「日本の美術館における現代美術展――開催記録とその展覧会カタログ一覧」報告書

文　化　庁

2019 年 3 月

目　次

概要 …… 報告書 01 - p.3
現代美術、そして現代美術展について …… 報告書 01 - p.8

第 1 部「現代美術展一覧」
凡例 …… 報告書 01 - p.9
現代美術展一覧
国立美術館 …… 報告書 01 - p.12
公立美術館
北海道 …… 報告書 01 - p.79
東北 …… 報告書 01 - p.103
関東 …… 報告書 02 - p.28
中部 …… 報告書 04 - p.58
近畿 …… 報告書 05 - p.23
中国 …… 報告書 05 - p.66
四国 …… 報告書 05 - p.104
九州・沖縄 …… 報告書 06 - p.1
私立美術館 …… 報告書 06 - p.49
附 現代美術展一覧：簡略編 …… 報告書 07 - p.1

第 2 部「現代美術展カタログ一覧」
凡例 …… 報告書 09 - p.1
現代美術展カタログ一覧
1953（昭和 28）年～1985（昭和 60）年 …… 報告書 09 - p.7
1986（昭和 61）年～1992（平成 4）年 …… 報告書 10 - p.1
1993（平成 5）年～1997（平成 9）年 …… 報告書 11 - p.1
1998（平成 10）年～2003（平成 15）年 …… 報告書 12 - p.1
2004（平成 16）年～2008（平成 20）年 …… 報告書 13 - p.1
2009（平成 21）年～2014（平成 26）年 …… 報告書 14 - p.1
2015（平成 27）年～2018（平成 30）年 …… 報告書 15 - p.1
附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧
・そのⅠ 総合展（20 世紀美術史・近代日本美術史・分野史・主題）の中の現代作家 …… 報告書 15 - p.58
・そのⅡ 総合展（地域の美術）の中の現代作家 …… 報告書 15 - p.100

「日本の美術館における現代美術展――開催記録とその展覧会カタログ一覧」報告書
概　要

本報告書は、平成 30 年度「国内アート市場に関する基礎情報調査等委託事業」の一環として実施されたもので、日本の美術館における現代美術展の取り組みについて調査を実施、その結果を「現代美術展一覧」と「現代美術展カタログ一覧」としてまとめたものである。まず、対象とした美術館および対象外とした美術館について、そして現代美術展について触れておく。

対象とした美術館

本報告書が対象とする美術館は、原則として、学芸員が配置された美術館とし、設立主体により、次の 3 つに大別した。

1．国立美術館
東京国立近代美術館（国立近代美術館を含む）、京都国立近代美術館（国立近代美術館京都分館を含む）、国立国際美術館、国立新美術館、東京国立博物館（1 件）、国際交流基金（3 件）

2．公立美術館
都道府県立美術館、および市区町立美術館で、公立美術館には公立博物館を含め、また、公立美術館の前身とでも言うべき主要な県立の文化会館・郷土文化会館や市立の市民ギャラリーを含めた。

3．私立美術館
国立美術館、公立美術館以外の美術館を私立美術館とし、美術館と呼称している私立美術館以外に若干の公立および民間の展示施設を含めた。

対象外とした美術館と現代美術展

美術館と呼称している美術館群のうち、次の美術館群は対象外とした。

1．東京都美術館（旧館、1926－1975 年）のように、館名が美術館とあるものの、学芸員を置かぬ、貸館を主体とした美術館、および美術館の貸館部門（の展覧会）は対象外とした。

2．国立、公立、私立の芸術大学、美術大学等に併設された美術館（博物館、資料館、展示館、記念館、図書館を含む）も対象外とした。その理由は、当該大学の関係者でないと分からない要素（特に開催主体）が多く、また小規模の展覧会の数も多く、全貌を明らかにするには一つ一つの美術館の記録を整備する必要があるからである。したがって、本報告書には 1984 年に多摩美術大学の東野芳明教授が企画・実施され、現在まで継続されている「TAMA VIVANT」展は含まれていない。

また、対象外とした現代美術展がある。

1．本報告書が対象とする美術館が開催した展覧会のうち、（呼称は美術館によって異なるが）自館コレクションを主体としたテーマを掲げた常設展・収蔵作品展・小企画展・コーナー展示などは対象外とした。それぞれの刊行物が、1 枚物（リーフレット）であることが多く、薄いパンフレットが刊行されていても、どの美術館ライブラリーにも所蔵されていないこともあるが、分量が圧倒的に多いので、いわば本幹を希薄化させてしまう恐れがあるからで

ある。

2．アンデパンダン展と一般公募のコンクール展も対象外とした。学芸員や美術館が委嘱した選考委員の〈眼〉を通していないからである。その結果、日本国際美術展や現代日本美術展が含まれないことになった（一部企画展は採録）が、一連の現代彫刻展・野外彫刻展を含めて「コンクール展の記録」としてまとめられる必要性は大きいものがある。

3．横浜トリエンナーレやあいちトリエンナーレなど実行委員会・組織委員会形式の地域トリエンナーレも対象外とした。全体像を提示できず、部分的な紹介に終わることを避けるためである。

4．次に、分野であるが、写真は、現代写真展のうち東京国立近代美術館フィルムセンター、東京都写真美術館における企画展を対象外とした。また、工芸（陶芸）も同様に、現代工芸のうち、東京国立近代美術館工芸館、京都国立近代美術館、および県立の陶芸専門美術館における現代工芸展は対象外とした。いずれも、それぞれのテーマに絞って「一覧」を編むことが望まれるからで、その「一覧」でこれらの専門美術館の企画展は質的に圧倒的な存在感を示すとともに、最大の理由として、量的に「一覧」を形成するに値する広がりを有するからである。ただ、そのほかの美術館で開催された現代工芸展・現代写真展は採録した。展数が少ないこともあるが、その多くは〈現代美術〉という視点から工芸や写真を捉えた企画展であるからである。

5．日本画は、前衛的な動向やグループに光をあてた企画展、日本画の可能性を探る企画展を中心に取り上げ、「現代日本画展」とあっても採録しなかった。

繰り返しになるが、本報告書は、総合型美術館の学芸員（研究員）らによって企画・開催されてきた「現代美術展」を大づかみに把握して提示するもので、これを核として、個展をはじめコンクール展やアンデパンダン展、地域トリエンナーレ、アート・フェア、画廊企画展などそれぞれの「一覧」の編纂が継続されることを願うものである。

なお、自明のことだが、現代美術展を開催していない博物館・美術館は、本報告書には収録されていない。

現代美術とは

そもそも日本の美術界において〈現代美術〉ほど、この言葉を使用する人によって、分野・職種・立場・世代によって、その内容が異なる用語、概念規定が確立していない用語は無いと思われる。作家や美術関係者（研究者、美術館人、評論家、ジャーナリスト、美術商、コレクター等々）一人一人において、指し示す内容が大きく、また微妙に違うのである。とは言え、歴史的に見ると 3 つの意味を有することが分かる。批判を厭わないで記すならば、次のようになる。

A. 古美術や明治美術に対して、現在（いま）制作されている美術として広く使われ始めたのが〈現代美術〉で、1930 年代のことである。ここで言う〈現代美術〉は、表現の内実とは無関係に近いため、21 世紀の今日まで使われ続けられている。

B. 太平洋戦争後、1940 年代後半から 1960 年代にかけて、もう一つの〈現代美術〉が生まれる。戦後美術とほぼ同意語に用いられることになる、いわば〈現代〉を形象した〈良質〉の美術で、美術の質が言葉の中身に含まれることになる。この流れは、主として公募展作家

によって継承され今日に至っている。

C. 実験的な造形美術、抽象的な表現世界は、やがて、インスタレーションや映像などが加わり、デザイン・写真・建築を巻き込んで、絵画（平面）や彫刻（立体）といった分野の一つとして認知され呼称されることになる。

本報告書では、基本的には「C」と「B」の意味で〈現代美術〉を用いたが、美術館によって〈現代美術〉の認識の差異がある以上、結果的には「A」が若干組み込まれているのは否めない事実である。なお、〈現代美術〉の展開と「現代美術展」史についての概略は別項にまとめた。

また、本報告書では、現代美術展と言った場合、複数の作家によって構成されている企画展であることを大前提としている。従って、本報告書には個展（現代作家個展、美術館企画個展）は含まれていない。作家の展覧会歴において個展とグループ展とに二分するように、内容（性格）の異なる展覧会を混在してはならないのである。複数の作家と記したが、二人展・三人展は個展に準ずるものとした。ただ、あるテーマによる企画展において結果として 3 人の作家が取り上げられた場合は、現代美術展として扱った。

調査の方法

具体的な編纂過程――「現代美術展」の選択は、3 つの柱からなる。まず目の極めて粗い網で「現代美術展」をすくい、次に定番の目の網を用いて「現代美術展」を集め、さらに細かい網を使う、という 3 段階方式で調査・編纂を進めた。

１．歴史的に評価されている「現代美術展」の選択

まず、戦後日本美術史において有名な、画期的な意味を持つ「現代美術展」を編者の知見に拠りリストアップして記録を進めた。特に、1980 年代までの「現代美術展」を集積するのに有効な方法であった。補助的には、編纂の最終段階で主要な現代作家の出品歴を参照して漏れが無いかをチェックした。

２．シリーズ展の調査

次に焦点を合わせたのは、シリーズ展である。京都国立近代美術館の「現代美術の動向」展、横浜市民ギャラリーの「今日の作家」展、兵庫県立近代美術館の「アート・ナウ」展などに代表されるシリーズ展のほか、アート・アニュアル、アート・ビエンナーレと呼ばれる、一連の最新の美術動向を探り反映させた展覧会群がこれにあたる。内容的にも量的にも、この報告書の大黒柱に位置するものとなった。

３．キーワード検索による集積

さらに、「現代美術」をはじめ「現代」「今日」「同時代」「戦後美術」というキーワードを通した「現代美術展」の検索・集積である。展覧会の名称（展名）は、最初はシンプルだったものが、時代を経るにしたがって、サブタイトルを多用するなど複雑化していく傾向の中、展名からのアプローチは即決性が薄かったが、1 冊 1 冊その展覧会カタログを手にして選択を進めた。ただ、この方法では、それぞれの美術館において〈現代美術〉の捉え方に温度差があるため、伝統的な具象作家をも含む「現代美術展」が網にかかったが、敢えて外すことをしなかった。美術館がどう〈現代美術〉を捉え、作品を収蔵し展覧会を企画して来たかという歴史を提示するのも、本報告書のもう一つの役割である、と考えたからである。

以上の選択ですくい上げた「現代美術展」の展覧会カタログの調査は、美術館ライブラリー、および（市民に公開されている）芸術系大学図書館、公立図書館で現物を手にして実施した。特に国立新美術館ライブラリーは突出して現代美術展カタログの所蔵数が多く、別館にはAF（「アーティスト・ファイル」展に出品された作家）資料コーナーも設けられていて、現代美術展カタログの宝庫となっている。また、市民に公開している芸術系大学図書館は数がまだ少ないが、和光大学附属梅根記念図書・情報館は現代美術展カタログがかなり充実していて現物調査の原動力の一つとなった。公立図書館では、美術館（市民ギャラリー）に近隣する県市区立図書館もその美術館の展覧会カタログが比較的揃っていて現物調査の助けとなった。一方で、調査期間中、東京都現代美術館（美術図書室）が大規模改修工事による長期休館と重なったのは痛手となった。さらに、東京芸術大学附属図書館上野本館も図書館システムの更新および長期休館のため検索・閲覧作業ができなかった。

構　成

本報告書は、

・第１部「現代美術展一覧」

・第２部「現代美術展カタログ一覧」

から構成される。

前者の「現代美術展一覧」は、美術館ごとの「現代美術展」開催記録である。後者の「現代美術展カタログ一覧」は、その「現代美術展」の開催にあたって編集・刊行された展覧会カタログ個々の書誌情報（以下、展覧会カタログ情報とする）を展覧会開催順に配列したものである。

この２つの一覧の基本的な情報は、もともとは一つの展覧会カタログ情報で、まず「現代美術展カタログ一覧」を作成し、これを展開させて「現代美術展一覧」をまとめたのである。誰でもが美術館ライブラリーで閲覧できる、言い換えれば、展覧会カタログという共有できる情報源を核に、「現代美術展」個々の内容を記録し、「現代美術展」がどのように展開されてきたかという歴史を、文字情報のみで「一覧、通覧、総覧」したものを目指したのである。

さらに書き加えるなら、「現代美術展一覧」は、今回まとめた展覧会カタログ情報をはじめ、当該現代美術展に関する様々な情報を付加できる構造になっている。記録集、美術館年報・紀要の情報、展覧会評、詳細な出品情報などがそれである。展覧会カタログ情報はそれらの中でも、最も重要な基本情報と言うことができよう。なお、凡例は、「現代美術展一覧」「現代美術展カタログ一覧」それぞれの冒頭に記した。

「現代美術展一覧」は現代作家を中心に扱っているが、現代作家は「現代美術展」だけでなく、様々な内容、分野の展覧会でも紹介されている。特に、20世紀美術史や近代日本美術史、あるいは分野史・主題史の中で、またある地域を総覧した特別展において、現代作家は登場する。そこでこれらを総合展と呼ぶならば、総合展の中の現代作家として扱い附録を加えることにした。附録は「現代美術展カタログ一覧」の後に置き、附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧とした。

編纂者

本報告書は、国立新美術館の監修のもと（着手・実施にあたって国立新美術館参与桶田大介氏、同客員研究員作田知樹氏のお手数を煩わせました）、一般社団法人アート東京の墨屋宏明氏、澤田伸之氏の協力を得て、中島理壽（美術ドキュメンタリスト）が編纂したものである。

最後になったが、編纂にあたっては文化庁 林保太課長補佐からご指導をいただいた。また、国立新美術館アートライブラリーの職員の皆さんをはじめ、多くの美術館図書室・図書館の方々のお世話になった。謝意を表するものである。

現代美術、そして現代美術展について

日本における〈現代美術〉という用語の使われ方は、実際の現代美術展の歴史を通覧し、戦後に、美術館学芸員（研究員）が企画・実践した具体的な「現代美術展」について触れると、一層その実情がはっきりするであろう。

A. 古美術、さらに明治美術・大正美術、近代美術に対する呼称として、現在（いま）制作されている美術として使われ始めた〈現代美術〉だが、その痕跡として 1918（大正 7）年の美術誌『現代之美術』や、1934（昭和 9）年の『現代美術』の創刊があげられよう。また、現代美術館設立運動が起こり、当時の議会でも質疑が交わされている。そして、1935（昭和 10）年に東京府美術館開館 10 周年を記念して開催された「現代綜合美術展」は、官展と在野美術家団体から選ばれた作家による、当時の画壇を（文字通り総合した）展覧会であった。因みに、戦前期の新しい美術動向は、「新興美術」や「アヴァンギャルド芸術」と呼ばれていた。

B. 戦後の 1947（昭和 22）年から東京都美術館で「現代美術総合展」が 3 年連続開催された。東京だけでなく、例えば金沢でも「現代美術展」が数回開かれている。このような戦前からの流れを引き継ぐように〈現代美術〉は用いられるのだが、やがて公募展やコンクール展（日本国際美術展や現代日本美術展など）、あるいは個展・アンデパンダン展・グループ展において、戦争や人間社会の悲惨さ・矛盾などを直視した具象系作家や、欧米からのアンフォルメル旋風にもまれた抽象系作家を中心にもう一つの〈現代美術〉が展開されるのである。一方、この時代に誕生したのが、学芸員が運営・企画の中核を担う本格的な近代美術館、神奈川県立近代美術館（1951 年開館）と国立近代美術館（1952 年開館）で、開館間もなく国立近代美術館では「抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉」展（1953 年）や「現代美術の実験」展（1961 年）などが、神奈川県立近代美術館では今日の新人・1955 年展や戦後美術のクロニクル展（1971 年）などが開催されるのである。

C. 1960 年代から 70 年代にかけて、東京と京都の国立近代美術館は、「現代美術の新世代」展（1966 年）、「1970 年 8 月 現代美術の一断面」展や一連の「現代美術の動向」展を開催、上記の〈現代美術〉の実験的な最も新しい動きを探り始める。ただ、惜しむらくは、学芸員らはこの新動向に的確な言葉を使うことはしなかった。やがて、絵画は平面に、彫刻は立体と呼称されるようになり、野外彫刻やインスタレーションなどが盛んとなっていく。〈現代美術〉は壁面や台座から離れ、抽象化を深め、〈現代美術〉という一つの分野を形成するに至るのである。

以上の説明において「今日」「同時代」「現在（げんざい）」などの熟語をあえて使わなかったのは、ことを更に曖昧にしてしまうことを怖れたからである。それにしても、時代の変遷とともに言葉の意味が変化するのはごく普通のことだが、〈現代美術〉のように 2 層、3 層と重なり合って使用されるのは珍しいのではないだろうか。正直のところ、本報告書は、このような言葉としての〈現代美術〉の状況を反映して、対象をきちんと絞り込むことができなかった。分量的には「C」が最も多く、「B」が次にかなりの分量を占め、「A」が若干組み込まれている、といった按配である。

第 1 部「現代美術展一覧」

凡例

この一覧は、次の項目から構成されている。
・展覧会名称（展名）
・欧文タイトル
・会期、会場
・主催者名
・巡回展の場合
・選考委員、ゲスト・キュレーター
・出品
・注記
・展覧会カタログ情報

展覧会名称（展名）
・展名の記載にあたっては、典拠文献（主に展覧会カタログ）の記載通りとした。
・展名に記載されている記号はできるだけそのまま記載したが、記号が重複する場合など若干手を入れたものがある（例：アーティスト・ファイル 2008――現代の作家たち）。
・典拠文献に異なる展名の表記がある場合は、展名＋副題（サブタイトル）を基本形とし、副題は〈　　〉で囲んだ（例：抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉）。
・シリーズ化されている現代美術展は、そのシリーズ名を展名に冠した（例：現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング）。
・現代美術展が定期展の場合は、その回次を展名に第〇回と冠した（例：第 21 回今日の作家展インスタレイションとは何か）。展名に回次が記載されていない場合は〔　　〕で囲み補記した（例：絵画の豊かさ展〔第 13 回今日の作家展〕）。
欧文タイトル
・欧文タイトルは、典拠文献（主に展覧会カタログ）の記載通りとした。
・欧文タイトルは、典拠文献に記載されていない場合は「当該カタログに記載無」とした。
会期、会場名
・会期は展覧会初日と最終日を「－」で結び記載した。
・会場名は、地域名・会場名を基本とし、会場名から地域名が推定できる場合は省略した（例：鎌倉・神奈川県立近代美術館）。
主催者名
・主催、共催等、展覧会開催に関わった美術館名、および主要な諸機関・団体名を列記した。財団法人で財団法人〇〇財団とある場合は頭の財団法人は割愛した。株式会社も同様に割愛した。
巡回展の場合

・以上は、1 か所での単独開催展のケースだが、複数の美術館を巡回した現代美術展が、数は少ないが存在する。この場合の「会期、会場、および主催・協力等」の記載は、第 1 会場の会期、会場／第 2 会場の会期、会場のように「／」を用いて列記した。主催等は、改行して当該会場の主催等を記載、最後に〔巡回 2-1〕のように巡回順位を記載した。

例　会期:1984 年 11 月 23 日－1985 年 1 月 20 日　東京国立近代美術館／1985 年 2 月 1 日－3 月 10 日　吹田市・国立国際美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館〔巡回 2-1〕

選考委員、ゲスト・キュレーター

・委嘱による外部からの参加者は、その氏名を主催者名の前の位置に、その役職名を冠して記載した。

出品

・出品欄は、その現代美術展に出品（出陳）された作家名を列記した。列記にあたっては、準拠した目録や図版順を〔　　〕に囲み補記した。出品状況がセクション（章）別に記載されている場合は、そのセクション（章）名を冒頭に冠した。この場合、複数のセクションに出品されている作家は、2 番目以後の作家名のあとに「(重)」と記した。

・出品欄には、原則として、その現代美術展に出品された作家名をすべて記載したが、日本作家以外の国の作家（以下、外国作家とする）が多い場合は、日本作家のみを記載し、「註：出品欄は日本作家を収載」と注記した。

・この報告書での「日本作家」とは、日本人、および韓国・中国出身で、かつ日本に作家活動の基盤を有する作家を含めるものとした。

・また、この報告書では「日本作家」の戦後作品を対象としているため、戦前（1945 年以前）の作品のみが出品されている作家は対象外とし、「註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。」と注記した。

展覧会カタログ情報

・これまで記してきた事項は展覧会開催情報であるが、末尾に「〇展覧会カタログ」と小見出しで区切って、展覧会カタログ情報を記載した。

・この展覧会カタログ情報は、「現代美術展カタログ一覧」の記載に準拠しつつ、採録した文献においては、執筆者が明記されている文献のみを、「執筆者名：文献名」として記載した。したがって資料編でも無署名であればすべて削ったことになる。また、あいさつ文は原則として（執筆者が明記されているが）割愛した。

・以上のことから、基本形は、

展覧会カタログ名

発行所　発行年月日

執筆者名：文献名

展覧会カタログの所蔵情報

となる。詳細は、「現代美術展カタログ一覧」の凡例を参照されたい。

・なお、「現代美術展カタログ一覧」において附録とした総合展の扱いであるが、この「現代美術展一覧」では関係なく一緒に配列した。ただし、「現代美術展カタログ一覧」では本体とは別の

一覧に置かれるので、見出しの「〇展覧会カタログ」の後に

――→「総合展カタログの中の現代作家」一覧

のように 記号「――→」を用いて参照するようにした。

配列

・個々の展覧会カタログ（の書誌情報）は、その「現代美術展」の開催順に配列した。

・展覧会カタログにおいては、展覧会の開催初日と展覧会カタログの発行日とが一致しない場合が多い。そこで基準値として展覧会の開催初日を用いることにしたものである。

・展覧会開催初日が重なった場合は、目次の美術館順とした。

・本体の展覧会カタログのほかに、別冊・記録集などが刊行されている場合は、本体の展覧会カタログに連続して配列した。展覧会の開催初日を基準値とした利点を活かした措置である。英語版や DVD 版についてはその存在のみを記すにとどめた。

その他

・今回の調査で見ることが出来なかった展覧会カタログ（未見カタログ）で、重要な現代美術展かつ他の刊行物でその展覧会の内容が判明した場合は、例外として「現代美術展一覧」のみ再録し、末尾の註に「未見につき『刊行物名』に拠った」と記しておいた。

・作家名のうち、以下の作家の「土＋口」は「吉」を使用した。

吉賀あさみ、吉川和江、吉川富三、吉川秀昭、吉澤健、吉澤照子、吉澤美香、吉田亜世美、吉田千鶴子、吉田遠志、吉田博、吉田ふじを、吉田穂高、吉田守孝、吉田幸紘

・執筆者名のうち、以下の執筆者の「土＋口」は「吉」を使用した。

吉川あゆみ、吉川神津夫

現代美術展一覧：簡略編

・それぞれの美術館で開催された現代美術展を一望できるよう巻末に「附 現代美術展一覧：簡略編」付した。本体の「現代美術展一覧」のデータを集約したもので、それぞれ「欧文タイトル」と「会期・会場、主催等」から構成され、配列は「現代美術展一覧」と同様の美術館順とした。

第 1 部「現代美術展一覧」

国立美術館

国立近代美術館・東京国立近代美術館（旧館）

現代写真展〈日本とアメリカ〉●

欧文タイトル：「THE EXHIBITION OF CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY――JAPAN AND AMERICA」

会期：1953 年 8 月 29 日－10 月 4 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：アメリカ；石元泰博。日本；秋山庄太郎、天野竜一、知久義雄、土門拳、瑛九、藤本四八、福田勝治、船山克、古川秀二、二村次郎、濱谷浩、橋本保治、早田雄二、林忠彦、樋口進、平谷一登、堀口章宣、稲村隆正、石井彰、石井清、石井幸之助、石井周治、伊藤博由、伊藤憲治、岩合徳光、岩田博、木村伊兵衛、木瀬忠男、小石清、小柳春夫、前田和夫、槇野尚一、増田松樹、増島得男、真継不二夫、松島進、松田静夫、三木淳、森松秀雄、永田喜一、中村立行、西山清、仁礼輝夫、野尻敏将、納富通、越智修、生出匡、大川定夫、奥村浩、大竹省二、大東元、大内英吾、坂本万七、佐保山堯海、関白陽、柴野敬三、椎橋正雄、鈴木直治、高田正雄、高木正三、田村栄、田村茂、棚橋紫水、豊澄震太郎、土崎一、筑紫敏男、上田備山、渡辺義雄、亘理俊次、山本静夫、吉田良夫、吉岡専造〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代写真展〈日本とアメリカ〉目録

国立近代美術館　1953 年 8 月

エドワード・スタイヘン：現代アメリカ写真展によせて

伊奈信男：写真の機能と現状

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学

抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉●

欧文タイトル：「ABSTRACTION AND SURREALISM：How to understand them?」

会期：1953 年 12 月 1 日－1954 年 1 月 20 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：I 絵画；阿部展也、安部真知、阿部金剛、朝妻治郎、瑛九、榎戸庄衛、福沢一郎、古沢岩美、文挾克明、早瀬龍江、長谷川三郎、浜田知明、東俊二、堀田操、今井大彭、井上照子、伊藤久三郎、糸園和三郎、神谷信子、勝本富士雄、勝田寛一、桂ユキ子〔ゆき〕、川端実、河原温、城所昌夫、菊地又男、駒井哲郎、小牧源太郎、小松義雄、南大路一、水谷武彦、宮田武彦、村井正誠、村田箕史雄、籾山七重、中川タマオ、中村真、難波田龍起、西田信一、野崎南海雄、織田リラ、岡本太郎、小川孝子、岡上淑子、オノサト・トシノブ、恩地孝四郎、小山田二郎、斎藤義重、笹川由為子、下郷羊雄、品川工、杉全直、末松正樹、白木正一、多賀谷伊徳、玉置正敏、田中健三、田中君子、立石鉄臣、利根山光人、豊田一男、土屋幸夫、

津高和一、鶴岡政男、内間安瑆、上野省策、宇治山哲平、漆原英子、矢島甲子夫、山口勝弘、山口長男、山口正城、山口源、山本敬輔、吉原治良、吉川三伸、油野誠一。II 彫刻；伏木南国、広井力、堀内正和、笠置季男、北代省三、昆野恆、中島快彦、勅使河原蒼風、鶴岡政男(重)、植木茂、長野隆業〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉

国立近代美術館　1953 年 12 月　2 枚(二ツ折両面刷)

植村鷹千代：抽象芸術

瀧口修造：シユルレアリズムと幻想芸術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、愛芸文

19 人の作家〈戦後の絵画・彫刻〉●

欧文タイトル：「Painting and Sculpture for the past Ten years」

会期：1955 年 2 月 5 日－3 月 13 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：海老原喜之助、福田平八郎、福沢一郎、稗田一穂、東山魁夷、川口軌外、小牧源太郎、昆野恆、村井正誠、小倉遊亀、佐藤忠良、徳岡神泉、鶴岡政男、植木茂、脇田和、山口薫、山口長男、山本丘人、吉岡堅二〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

19 人の作家〈戦後の絵画・彫刻〉

国立近代美術館　1955 年 2 月

無署名：戦後十年間におけるわが国現代美術の動き

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文

日米抽象美術展 ●

欧文タイトル：「Japan America Abstract Arts」

会期：1955 年 4 月 29 日－6 月 12 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館・朝日新聞社

出品：油絵；宇治山哲平、小野里利信〔オノサト・トシノブ〕、勝本富士雄、川口軌外、小松義雄、杉全直、須田剋太、多賀谷伊徳、田中田鶴子、津高和一、中村真、難波田龍起、西田信一、長谷川三郎、村井正誠、山口長男、山口正城、吉原治良。版画；恩地孝四郎。彫刻；植木茂、昆野恆、建畠覚造、長野隆業、広井力、北代省三。ヴィトリーヌ；山口勝弘。書；池田水城、井上有一、上田桑鳩、笹野舟橋、篠田桃紅、森田子龍〔目録順〕

○展覧会カタログ

日米抽象美術展　　朝日新聞社企画部編

朝日新聞社　1955 年 4 月 29 日

ヘンリー・ボトキン：アメリカン・アブストラクト・アーチスト会長メッセージ

今泉篤男：日米抽象美術展によせて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、愛芸文

現代日本の書・墨の芸術〈ヨーロッパ巡回展覧作品国内展示会〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1955 年 8 月 20 日－28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：井上有一、上田桑鳩、江口草玄、大沢竹胎、金子鷗亭、篠田桃紅、手島右卿、比田井南谷、森田子龍ら 81 名〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代日本の書・墨の芸術〈ヨーロッパ巡回展覧作品国内展示会〉

国立近代美術館　1955 年 8 月　付・出品目録 1 枚

神田喜一郎：書の発生と展開

久松真一：書と東洋精神

井島 勉：書の芸術的性格について

森田子龍：現書壇の展望

所蔵：□、国新美、東近美

現代の版画〈日本とエコール・ド・パリ〉●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PRINTS　Japanese Artists and l' Ecole de Paris」

会期：1956 年 5 月 19 日－6 月 10 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：西洋。日本 物故者；恩地孝四郎、上阪雅人。現存作家；永瀬義郎、川西英、北川民次、川上澄生、平塚運一、初山滋、畦地梅太郎、猪熊弦一郎、棟方志功、前田藤四郎、海老原喜之助、村井正誠、山口薫、斎藤清、品川工、脇田和、浜口陽三、水船六洲、関野準一郎、浜田知明、北岡文雄、駒井哲郎、吉田穂高、吉田政次、利根山光人〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代の版画〈日本とエコール・ド・パリ〉

国立近代美術館　1956 年 5 月

無署名：現代版画〈日本とエコール・ド・パリ〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文

今日の写真〈日本とフランス〉●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY　JAPAN & FRANCE」

会期：1956 年 6 月 22 日－7 月 15 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：日本；秋山庄太郎、福田勝治、船山実、濱谷浩、林忠彦、本庄光郎、稲村隆正、石元泰博、岩宮武二、木村伊兵衛、杵島隆、河野徹、三木淳、緑川洋一、中村立行、大竹省二、大辻清司、大束元、田村茂、田中徳太郎、植田正治、吉岡専造〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

今日の写真〈日本とフランス〉

国立近代美術館　1956 年 6 月

伊奈信男：今日の写真展――フランスと日本

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文

日本の彫刻〈上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代〉●

欧文タイトル：「EXHIBITION OF JAPANESE SCULPTURE Contemporary Sculpture versus Haniwa, Bronze Buddhist Statues, and Masks of the Asuka and the Nara Periods」

会期：1956 年 9 月 1 日－30 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：上代作品。現代作品；石井鶴三、木内克、長野隆業、大須賀力、菊池一雄、辻晋堂、堀内正和、舟越保武、向井良吉〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

日本の彫刻〈上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代〉

国立近代美術館　1956 年 9 月

無署名：日本の彫刻〈上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文

前衛美術の 15 人〈特別陳列・アメリカ現代美術〉●

欧文タイトル：「15 Vanguard Artists」

会期：1957 年 5 月 10 日－6 月 5 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：赤穴桂子、東貞美、江見絹子、藤松博、福島秀子、五味秀夫、三井永一、野田好子、小野忠弘、柴田紗千夫、阿井正典、細川宗英、木村賢太郎、森堯茂、須賀通泰。アメリカ現代美術；ガイ・アンダーソン、ケネス・キャラハン、モリス・グレーヴス、マーク・トビー、ダヴィッド・ヘア、エジオ・マルティネリ、ライス・カパーン、セイモア・リプトン〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

前衛美術の 15 人〈特別陳列・アメリカ現代美術〉

国立近代美術館　1957 年 5 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

17 人の作家〈現代の絵画・彫刻シリーズ〉●

欧文タイトル：「LIVING SEVENTEEN JAPANESE ARTISTS」

会期：1957 年 10 月 1 日－11 月 3 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：奥村土牛、丸木位里、岩橋英遠、加山又造、上村松篁、福田豊四郎、児島善三郎、有岡一郎、三岸節子、岡鹿之助、斎藤義重、桜井浜江、麻生三郎、杉全直、新海竹蔵、淀井敏夫、熊倉順吉〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

17 人の作家〈現代の絵画・彫刻シリーズ〉

国立近代美術館　1957 年 10 月　1 枚(三ツ折両面刷)

無署名：現代美術の動き

所蔵：□、国新美、東近美、東博資

○展覧会事項

抽象絵画の展開 ●

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF JAPANESE ABSTRACT PAINTING」

会期：1958 年 6 月 7 日－7 月 13 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：その先駆；坂田一男。戦前から戦後へ；恩地孝四郎、川口軌外、末松正樹、長谷川三郎、村井正誠、山口正城。今日への展開；安谷屋正義、今井俊満、宇治山哲平、内間安瑆、江見絹子、岡田謙三、小野忠弘、勝田寛一、川端実、清川泰次、小谷博貞、斎藤義重、佐藤敬、佐野繁次郎、沢田重隆、嶋本昭三、須田剋太、清野恒、田淵安一、高崎元尚、玉置正敏、

津高和一、土橋醇、堂本尚郎、中井幸一、中山爾郎、難波田龍起、橋本三郎、文挟克明、藤沢典明、前田常作、松村禎夫、南大路一、宮城音蔵、村上三郎、村田簣史雄、森本健二、山口源、油野誠一、吉田政次。墨象；上田桑鳩、岡部蒼風、篠田桃紅、辻太、比田井南谷、森田子龍〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

抽象絵画の展開

国立近代美術館　1958 年 6 月　1 枚(三ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、神近美

戦後の秀作 ●

欧文タイトル：「POSTWAR OUTSTANDING WORKS OF ART」

会期：1959 年 1 月 23 日－3 月 1 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館・朝日新聞社

出品：伊東深水、岩橋英遠、上村松篁、奥村土牛、小倉遊亀、小野竹喬、堅山南風、金島桂華、鏑木清方、加山又造、川合玉堂、川端龍子、郷倉千靭、小林古径、小松均、杉山寧、髙山辰雄、徳岡神泉、中村岳陵、中村貞以、西山翠嶂、橋本明治、東山魁夷、福田豊四郎、福田平八郎、前田青邨、望月春江、安田靫彦、山口華楊、山口蓬春、山本丘人、横山大観、吉岡堅二。洋画；朝井閑右衛門、麻生三郎、荒井龍男、飯島一次、糸園和三郎、猪熊弦一郎、牛島憲之、梅原龍三郎、海老原喜之助、岡鹿之助、桂ユキ子〔ゆき〕、川口軌厓〔軌外〕、川端実、北川民次、小磯良平、小絲源太郎、児島善三郎、小林和作、小牧源太郎、斎藤義重、佐伯米子、坂本繁二郎、桜井浜江、佐野繁次郎、杉全直、鈴木信太郎、須田国太郎、須田剋太、高橋忠弥、高畠達四郎、高間惣七、鷹山宇一、田崎廣助、鳥海青児、津高和一、鶴岡政男、中川一政、中谷泰、中村琢二、中山巍、鍋井克之、難波田龍起、野口彌太郎、林武、福沢一郎、藤井令太郎、三岸節子、三雲祥之助、宮本三郎、村井正誠、村田簣史雄、森芳雄、森田元子、安井曾太郎、山口薫、山口長男、脇田和。版画；内間安瑆、恩地孝四郎、駒井哲郎、斎藤清、長谷川潔、浜口陽三、棟方志功、吉田政次。彫刻；朝倉響子、植木茂、菊池一雄、木内克、昆野恆、佐藤忠良、清水多嘉示、新海竹蔵、辻晋堂、舟越保武、本郷新、向井良吉、柳原義達、山本豊市〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

戦後の秀作

国立近代美術館　1959 年 1 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

現代写真展－1959 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1960 年 1 月 5 日－24 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：秋山庄太郎、東洋介、石黒健治、石元泰博、今井寿恵、植田正治、大竹省二、大束元、風見武秀、川田喜久治、北沢広、北代省三、木村伊兵衛、河野弘、小島啓祐、迫幸一、佐藤明、清水俊彦、白川義員、菅井健雄、高田美、田沼武能、丹野章、東松照明、内藤正敏、長

野重一、中村立行、奈良原一高、納富通、野口淳、橋本保治、濱谷浩、林忠彦、広友正義、藤川清、藤本四八、二川幸夫、船山克、細江英公、堀内初太郎、真継不二夫、三木慶介、三木淳、緑川洋一、森健、柳沢信、吉村正治、米津孝、渡辺雄吉、渡辺義雄。カラー写真；阿部展也、石元泰博(重)、植田正治(重)、河合肇、木村伊兵衛(重)、木村鉄雄、小久保善吉、後藤敬一郎、東松照明(重)、長野重一(重)、中村正也、奈良原一高(重)、濱谷浩(重)、本庄光郎、真嶋五一、緑川洋一(重)、依田孝喜〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代写真展－1959

国立近代美術館　1960 年 1 月　1 枚(二ツ折片面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、東博資

日本画の新世代 ●

欧文タイトル：「RECENT DEVELOPMENT IN JAPANESE STYLE PAINTING」

会期：1960 年 2 月 26 日－3 月 27 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：今野忠一、信太金昌、下保昭、福王寺法林、石本正、稗田一穂、中村正義、渡辺学、上原卓、野崎貢、朝倉摂、麻田鷹司、加山又造、工藤甲人、下村良之介、近藤弘明、長崎莫人、岩崎巴人、大野秀隆〔俶嵩〕、岩崎鐸、上野泰郎、横山操、佐藤多持〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

日本画の新世代

国立近代美術館　1960 年 2 月

無署名：日本画の新世代

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美

超現実絵画の展開 ●

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF JAPANESE SURREALISTIC PAINTING」

会期：1960 年 4 月 1 日－24 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：戦後の作品；芥川〔間所〕紗織、阿部展也、安部真知、池田龍雄、泉茂、伊藤好一郎、今井大彭、上野省策、上村次敏、瑛九、大塚睦、岡本太郎、織田リラ、小山田二郎、桂川寛、桂ユキ子〔ゆき〕、加藤清美、加納光於、河原温、駒井哲郎、小牧源太郎、佐久間阿佐緒、白木正一、杉全直、立石鉄臣、玉置正敏、鶴岡政男、寺田政明、利根山光人、中村宏、野田好子、浜田知明、早瀬瀧江、福沢一郎、古沢岩美、堀田操、本田克己、松澤宥、真鍋博、水谷勇夫、三井永一、宮城輝夫、藪内正直〔出品目録順〕

註：出品欄は「戦後の作品」を収載。

○展覧会カタログ

超現実絵画の展開

国立近代美術館　1960 年 4 月

瀧口修造：日本における超現実絵画の展開

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

現代写真展 1960 ●

欧文タイトル：「contemporary Japanese photographies 1960」

会期：1961 年 1 月 5 日－2 月 5 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：石元泰博、今井寿恵、岩宮武二、植田正治、大竹省二、笠井亘、片桐三樹、門田勲、河合肇、川島浩、河又松次郎、木村伊兵衛、小久保善吉、後藤敬一郎、河野弘、迫幸一、佐藤明、周はじめ、白川義員、田枝幹宏、田中一郎、田中徳太郎、多比良敏雄、田淵行男、丹野章、津田洋保、勅使河原蒼風、東松照明、土門拳、内藤正敏、長野重一、中村正也、奈良原一高、西岡伸太、野口淳、野中昭夫、野村英男、羽田敏雄、濱谷浩、林忠彦、藤川清、藤田一一、船越好文、細江英公、三木慶介、三木淳、緑川洋一、横田祐介、吉田穂高、渡辺義雄、渡部雄吉〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代写真展 1960

国立近代美術館　1961 年 1 月　1 枚(三ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、愛芸文

現代美術の実験 ●

欧文タイトル：「Adventure in Today's Art of Japan」

会期：1961 年 4 月 12 日－30 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：荒川修作、因藤壽、越智靖〔オチ・オサム〕、菊畑茂久馬、工藤哲巳、久野真、小畠廣志、白髪一雄、田中敦子、田中栄作、中西夏之、樋口シン、松澤宥、元永定正、吉仲太造、バイヤーズ〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代美術の実験

国立近代美術館　1961 年 4 月

瀬木慎一：現代美術の実験

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美

現代絵画の展望〈近代日本美術代表作品シリーズ IV〉 ●

欧文タイトル：「PROMINENT WORKS OF CONTEMPORARY JAPANESE PAINTING」

会期：1962 年 2 月 13 日－25 日　日本橋・三越本店　主催：国立近代美術館

出品：日本画；麻田鷹司、岩橋英遠、上村松篁、奥村土牛、小倉遊亀、加山又造、下村良之介、杉山寧、髙山辰雄、堂本印象、徳岡神泉、中村岳陵、橋本明治、東山魁夷、福田平八郎、丸木位里、山口蓬春、山本丘人、横山操、吉岡堅二。油絵；麻生三郎、糸園和三郎、海老原喜之助、江見絹子、岡鹿之助、岡田謙三、香月泰男、川端実、北川民次、小絲源太郎、児島善三郎、斎藤義重、杉全直、須田剋太、高間惣七、田崎廣助、田中田鶴子、田中忠雄、鳥海青児、津高和一、堂本尚郎、中川一政、鍋井克之、野口彌太郎、林武、福沢一郎、村井正誠、山口薫、山口長男、脇田和〔出品目録順〕

註：国立近代美術館では改築工事が実施されたため、この期間は他の施設を利用して企画展を開催した。本展もそのシリーズの一つで、最終展に位置する。会場は日本橋・三越本店だが国立近代美術館の主催展なので採録した。

○展覧会カタログ

現代絵画の展望〈近代日本美術代表作品シリーズ IV〉

国立近代美術館　1962 年 2 月

無署名：現代絵画の展望

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、横浜美、愛芸文

近代日本の造形〈油絵と彫刻〉●

欧文タイトル：「OIL PAINTING AND SCULPTURE IN Modern Japan」

会期：1962 年 6 月 28 日－7 月 22 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：油絵 1.写実主義の歩み A.外光派とその周辺。B.写実への新しい自覚；坂本繁二郎、小林和作、鍋井克之、須田国太郎、硲伊之助、内田巌、金山康喜。2.主観主義的な流れ A.主知的な流れ；北川民次、岡鹿之助。B.情意的な流れ；林武、野口彌太郎、田中忠雄、海老原喜之助。3.単純化と装飾化；熊谷守一、小絲源太郎、安井曾太郎、梅原龍三郎、児島善三郎、中川一政、高畠達四郎、中村琢二、田崎廣助、鳥海青児。4.前衛美術の先駆者 A.幻想の方向；松本竣介、阿部展也。B.抽象の方向；坂田一男、荒井龍男。5.現代美術の諸傾向 A.具象的傾向；福沢一郎、鶴岡政男、山口薫、脇田和、中谷泰、糸園和三郎、麻生三郎、田中岑、野見山暁治、中本達也、深見隆、高橋秀。B.抽象的傾向；岡田謙三、山口長男、斎藤義重、難波田龍起、村井正誠、川端実、津高和一、オノサト・トシノブ、桂ユキ子〔ゆき〕、田中田鶴子、杉全直、田淵安一、元永定正、江見絹子、前田常作、今井俊満、堂本尚郎。彫刻 1.洋風彫刻の発展 A.写実主義の流れ；吉田三郎。B.個性的な作風の展開；木内克、山本豊市、高田博厚、柳原義達、佐藤忠良、舟越保武。2.伝統木彫の展開；本郷新。3.戦後の展開；辻晋堂、堀内正和、植木茂、向井良吉、毛利武士郎、豊福知徳、木村賢太郎、井上武吉〔出品目録順〕

註：増築工事完成後の初の企画展。1950 年代から 1970 年代にかけて国立近代美術館では数多くの「近代」を冠した展覧会が開かれていて、それらには戦後作品も含まれているが、この「一覧」では割愛した。ただ、本展と次の「近代日本の造形〈絵画と彫刻〉」展は、前者は記念展であり、後者は「現代」に主眼が置かれているので採録した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

近代日本の造形〈油絵と彫刻〉

国立近代美術館　1962 年 6 月

国立近代美術館：近代日本の造形〈油絵と彫刻〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美

近代日本の造形／絵画と彫刻 ●

欧文タイトル：「PAINTING AND SCULPTURE IN MODERN JAPAN」

会期：1962 年 7 月 28 日－8 月 26 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：1 階 近代日本の絵画と彫刻 ○絵画。○彫刻。2・3 階 現代の絵画と彫刻 ○絵画 具象的傾向；福沢一郎、鳥海青児、岩橋英遠、井上長三郎、鶴岡政男、山口薫、脇田和、糸園和三郎、麻生三郎、藤井令太郎、小山田二郎、大森朔衛、石本正、田中岑、野見山暁治、宮城音蔵、中本達也、網谷義郎、深見隆、加山又造、麻田鷹司、高橋秀、大沼映夫。抽象的傾向；山口長男、斎藤義重、岡田謙三、難波田龍起、村井正誠、吉原治良、佐藤敬、行木正義、岡本太郎、川端実、津高和一、オノサト・トシノブ、桂ユキ子〔ゆき〕、田中田鶴子、杉全直、田淵安一、赤穴宏、元永定正、江見絹子、下村良之介、長谷川晶、前田常作、今井俊満、堂

本尚郎。〇墨象；上田桑鳩、森田子龍、篠田桃紅、井上有一。〇彫刻；辻晋堂、柳原義達、堀内正和、植木茂、向井良吉、毛利武士郎、豊福知徳、木村賢太郎、井上武吉。4 階 近代の日本画と木彫〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

近代日本の造形／絵画と彫刻

国立近代美術館　1962 年 7 月　1 枚(二ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美

現代写真展 1961／1962 ●

欧文タイトル：「contemporary Japanese photographies 1961／1962」

会期：1963 年 1 月 5 日－25 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：青野義一、浅野明、石元泰博、稲村不二雄、井上青竜、岩宮武二、大上智、小川隆之、川田喜久治、栗原達男、桑原史成、小久保善吉、杉木直也、鈴木克美、竹村嘉夫、玉井瑞夫、東松照明、富山治夫、土門拳、長野重一、奈良原一高、秋元啓一＋土崎一＋船山克＋槇野尚一、仁礼兼義、原田義和、広瀬文雄、深瀬昌久、福島菊次郎、藤木高嶺、二川幸夫、細江英公、三木淳、緑川洋一、宮川恒二、宗源博久、山田照夫、山村雅昭、横須賀功光、横田祐介、吉田幹夫、依田孝喜、渡辺義雄、渡部雄吉、亘理俊次、名取洋之助。特別出品；石元泰博、今井寿恵、木村伊兵衛、後藤敬一郎、東松照明、土門拳、奈良原一高〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代写真展 1961／1962

国立近代美術館　1963 年 1 月　1 枚(三ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、横浜美

彫刻の新世代 ●

欧文タイトル：「NEW GENERATION OF JAPANESE SCULPTORS」

会期：1963 年 5 月 17 日－6 月 16 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：江口週、小田襄、掛井五郎、小畠廣志、篠田守男、志水晴児、多田美波、富樫一、中西夏之、原武典、樋口シン、日高頼子、広重昌子、三上友也、最上壽之、山崎脩、湯原和夫、若林奮〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

彫刻の新世代

国立近代美術館　1963 年 5 月

中村傳三郎：彫刻の新世代

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、京都学(9 冊合綴のうち)

戦中世代の画家 ●

欧文タイトル：「painters of the “senchū” generation」

会期：1965 年 1 月 29 日－2 月 28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：赤穴宏、朝倉摂、麻生三郎、石本正、大森朔衛、工藤甲人、近藤弘明、佐藤真一、杉全直、常盤大空、野田好子、野見山暁治、稗田一穂、平川敏夫、堀文子、山下菊二、山本正、吉田善彦〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

戦中世代の画家

国立近代美術館　1965 年 1 月

本間正義：戦中世代の画家

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美

在外日本作家展〈ヨーロッパとアメリカ〉●

欧文タイトル：「EXHIBITION OF JAPANESE ARTISTS ABROAD Europe and America」

会期：1965 年 10 月 15 日－11 月 28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：ヨーロッパ；阿部展也、千葉勝、吾妻兼治郎、豊福知徳、保田春彦、藤田吉香、佐々木四郎、飯田善國、泉茂、今井俊満、鬼頭曄、木村忠太、佐藤敬、嶋田しづ、菅井汲、関口俊吾、館慶一、田中阿喜良、田中修、田淵安一、堂本尚郎、土橋醇、前田常作、長谷川潔、浜口陽三、南桂子、水井康雄。アメリカ；靉嘔、荒川修作、猪熊弦一郎、岩崎鐸、岡田謙三、川島猛、川端実、河原温、木村令二、清川泰次、桑山忠明、桑山忠祐〔タダスキー〕、近藤竜男、下田治、高井貞二、高山道雄、平岡弘子、福井延光、東典男、池川司郎、大館年男、草間彌生、新妻実、吉村益信、大橋泰。メキシコ；高橋清〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

在外日本作家展〈ヨーロッパとアメリカ〉

国立近代美術館　1965 年 10 月　英文併載

河北倫明：ヨーロッパの日本作家たち

本間正義：アメリカの日本作家たち

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

現代美術の新世代 ●

欧文タイトル：「new generation of contemporary art」

会期：1966 年 1 月 21 日－2 月 27 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：伊藤隆康、稲葉治夫、宇佐美圭司、江口週、岡本信治郎、小田襄、小野田實、櫃尾正次、喜谷繁暉、重延瓔子、篠原有司男、清水晃、高松次郎、高山尚、豊島弘尚、福岡道雄、三木富雄、向井修二、森口宏一、森本紀久子、若林奮〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

現代美術の新世代

国立近代美術館　1966 年 1 月

三木多聞：現代美術の新世代

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

現代写真の 10 人 ●

欧文タイトル：「TEN ARTISTS OF CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY」

会期：1966 年 7 月 15 日－8 月 21 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：安斎吉三郎、佐藤明、篠山紀信、高梨豊、東松照明、富山治夫、中村由信、奈良原一高、細江英公、横須賀功光〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

現代写真の 10 人

国立近代美術館　1966 年 7 月

金丸重嶺：今日の写真・時間と空間

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美

東西美術交流展 ●

欧文タイトル：「Mutual Influences between Japanese and Western Arts」

会期：1968 年 9 月 7 日－10 月 27 日　京橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・日本ユネスコ国内委員会

出品：I 前景。II 明治初期の日本美術に与えた西洋の影響 1868－1890 年。III19 世紀後半から 20 世紀初頭への西洋美術に与えた日本の影響。IV 近代日本美術に与えた西洋の影響。V 現代日本と西洋美術における相互影響 西洋美術。日本美術 絵画；堂本尚郎、平川敏夫、加山又造、森田子龍、岡部繁夫、岡田謙三、岡本信治郎、斎藤義重、篠田桃紅、菅井汲、高松次郎、山口長男、吉原治良。版画；浜口陽三、長谷川三郎、池田満寿夫、棟方志功、斎藤清。VI デザインと建築〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

東西美術交流展

東京国立近代美術館　1968 年 9 月　英文併載

山田智三郎：東西美術交流

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

東京国立近代美術館（新館）

現代世界美術展〈東と西の対話〉 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART Dialogue between the East and the West」

会期：1969 年 6 月 12 日－8 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：日本；荒川修作、靉嘔、吾妻兼治郎、江口週、福岡道雄、堀内正和、飯田善國、井上有一、木村賢太郎、三木富雄、元永定正、斎藤義重、菅井汲、高松次郎、田中信太郎、豊福知徳、宇佐美圭司、若林奮、山口勝弘、吉原治良〔出品目録順〕

註：出品欄は「日本」の部のみ収載した。

〇展覧会カタログ

現代世界美術展〈東と西の対話〉

東京国立近代美術館　1969 年 6 月　開館記念展

本間正義：序

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

1970 年 8 月 現代美術の一断面 ●

欧文タイトル：「AUGUST 1970－ASPECTS OF NEW JAPANESE ART」

会期：1970 年 8 月 4 日－30 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：狗巻賢二、大西清自、河口龍夫、小清水漸、菅木志雄、高橋雅之、高松次郎、田中信太郎、成田克彦、本田眞吾、矢辺啓司、吉田克朗、李禹煥〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

1970 年 8 月 現代美術の一断面

東京国立近代美術館　1970 年 8 月

東野芳明：「70 年 8 月」展企画の弁

狗巻賢二、河口龍夫、小清水漸、菅木志雄、高橋雅之、高松次郎、田中信太郎、成田克彦、本田眞吾、矢辺啓司、吉田克朗：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

戦後日本美術の展開〈具象表現の変貌〉 ●

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF POSTWAR JAPANESE ART：Figurative Art」

会期：1972 年 2 月 8 日－3 月 12 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：戦争体験あるいは社会意識の強い傾向；福沢一郎、北脇昇、井上長三郎、鶴岡政男、中谷泰、香月泰男、松本竣介、寺田政明、麻生三郎、小山田二郎、河原温、朝倉摂、浜田知明。フォーヴ的傾向；林武、野口彌太郎、鳥海青児、海老原喜之助、朝井閑右衛門、横山操、中村正義、新感覚的傾向；大沢昌助、山口薫、脇田和、野見山暁治、藤田吉香、岩橋英遠、片岡球子、吉岡堅二、髙山辰雄、近藤弘明、上野泰郎、加山又造、木内克、新海竹蔵、山本豊市、柳原義達、舟越保武、豊福知徳。生活感情に基づく傾向；北川民次、糸園和三郎、田中阿喜良、福田豊四郎、小野具定、渡辺学、石本正、池田満寿夫、野田哲也、本郷新、佐藤忠良。虚像としての傾向；藤松博、三尾公三、岡本信治郎、高松次郎、宇佐美圭司、堀内正和、若林奮〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

戦後日本美術の展開〈具象表現の変貌〉

東京国立近代美術館　1972 年 2 月

三木多聞：〔解説〕

所蔵：□、東文研、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

ヨーロッパの日本作家 ●

欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN EUROPE」

会期：1972 年 10 月 17 日－11 月 26 日　京都国立近代美術館／1973 年 1 月 5 日－2 月 11 日　竹橋・東京国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

戦後日本美術の展開〈抽象表現の多様化〉 ●

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF POSTWAR JAPANESE ART：Abstract and Non-Figurative」

会期：1973 年 6 月 12 日－7 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：1 戦前からの継承および具象から抽象への移行；川口軌外、岡田謙三、山口長男、山口正城、荒井龍男、難波田龍起、村井正誠、瑛九、岡本太郎、津高和一、杉山寧、佐藤多持、大野俶嵩、下村良之介、恩地孝四郎、山口源、品川工、篠田桃紅、井上有一、笠置季男、長野隆業、植木茂、野水信、昆野恆、木村賢太郎、江口週。2 抽象表現主義の抬頭；斎藤義重、難波田龍起(重)、佐藤敬、高井貞二、岡部繁夫、杉全直、元永定正、白髪一雄、今井俊満、田中敦子、萩原英雄、斎藤寿一、加納光於、辻晋堂、小野忠弘、向井良吉、建畠覚造、毛利武士郎、井上武吉。抽象表現主義以降の諸局面 a-反芸術的傾向；中西夏之、荒川修作、三木富雄。b-ハード・エッジとオプ・アート；斎藤義重(重)、吉原治良、オノサト・トシノブ、阿部展也、菅井汲、靉嘔、永井一正：c-立体；堀内正和、清水九兵衛、飯田善國、多田美波、豊福知徳、吾妻兼治郎、山口勝弘、湯原和夫、保田春彦、篠田守男、最上壽之、田中信太郎。d-その他；川端実、猪熊弦一郎、前田常作、堂本尚郎、関根伸夫〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

戦後日本美術の展開〈抽象表現の多様化〉

東京国立近代美術館　1973 年 6 月

三木多聞：〔解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

アメリカの日本作家 ●

欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN THE AMERICAS」

会期：1973 年 9 月 26 日－11 月 4 日　京都国立近代美術館／1974 年 1 月 5 日－2 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

15 人の写真家 ●

欧文タイトル：「FIFTEEN PHOTOGRAPHERS TODAY」

会期：1974 年 7 月 26 日－9 月 1 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：荒木経惟、北井一夫、沢渡朔、篠山紀信、高梨豊、田村シゲル〔茂〕、内藤正敏、中平卓馬、新倉孝雄、橋本照嵩、深瀬昌久、森山大道、柳沢信、山田脩二、渡辺克巳〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

15 人の写真家

東京国立近代美術館　1974 年 7 月

渡辺　強：「15 人の写真家」展を巡って

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文

1960 年代――現代美術の転換期 ●

欧文タイトル：「The 1960's――A Decade of Change in Contemporary Japanese Art」

会期：1981 年 12 月 4 日－1982 年 1 月 31 日　竹橋・東京国立近代美術館／2 月 10 日－3 月 14 日　京都国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

出品：靉嘔、赤瀬川原平、吾妻兼治郎、荒川修作、池田龍雄、池田満寿夫、磯辺行久、伊藤隆康、今井俊満、宇佐美圭司、江口週、岡本信治郎、小田襄、小野忠弘、オノサト・トシノブ、桂ゆき、加納光於、河口龍夫、菊畑茂久馬、木村賢太郎、草間彌生、工藤哲巳、桑山忠明、小島信明、斎藤義重、篠田守男、篠原有司男、白髪一雄、菅井汲、杉全直、関根伸夫、関根美夫、高松次郎、多田美波、建畠覚造、田中敦子、田中信太郎、田淵安一、辻晋堂、津高和一、堂本尚郎、豊福知徳、中西夏之、中村宏、流政之、難波田龍起、新妻実、萩原英雄、馬場彬、平賀敬、福岡道雄、藤松博、堀内正和、前田常作、三木富雄、宮脇愛子、向井良吉、村井正誠、村岡三郎、最上壽之、元永定正、山口勝弘、山口長男、山下菊二、山田正亮、湯原和夫、横尾忠則、吉仲太造、吉原治良、吉原英雄、吉村益信、若林奮〔出品作家一覧順〕

○展覧会カタログ

1960 年代――現代美術の転換期

東京国立近代美術館　1981 年 12 月

三木多聞：1960 年代――現代美術の転換期

浅野徹、市川政憲、岩﨑吉一、尾﨑正明、近藤幸夫、藤井久栄、松本透、三木多聞、本江邦夫：作家解説と出品目録

浅野徹・近藤幸夫編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

現代美術における写真〈1970 年代の美術を中心として〉 ●

欧文タイトル：「Photography in Contemporary Art」

会期：1983 年 10 月 7 日－12 月 2 日　竹橋・東京国立近代美術館／12 月 13 日－1984 年 1 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館

出品：I ポップ・アートと写真；リチャード・ハミルトン、デイヴィッド・ホックニー、ロバート・ラウシェンバーグ、ジェームズ・ローゼンクイスト、アンディ・ウォーホル。II 日本作家；畦地拓治、彦坂尚嘉、今井祝雄、柏原えつとむ、片瀬和夫、河口龍夫、木下佳通代、小本章、郭徳俊、眞板雅文、松本旻、野村仁、斉藤智、植松奎二、若江漢字、山本圭吾、山中信夫。III 外国作家；ジョン・バルデッサーリ、ベルント&ヒラ・ベッヒャー、ヴィクター・バーギン、ヤン・ディベッツ、ヘン・ファン・エルク、ハミッシュ・フルトン、ギルバート&ジョージ、ハンス・ハーケ、ジョセフ・コスース、バーバラ・クルーガー、リチャード・ロング〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代美術における写真〈1970 年代の美術を中心として〉

東京国立近代美術館　1983 年 10 月　英文併載

藤井久栄：現代美術と写真
藤井久栄：ポップ・アートと写真〈5 人の画家の場合〉
近藤幸夫：写真による美術〈日本の状況〉
松本 透：コンセプチュアル・アートと写真
藤井久栄、近藤幸夫、千葉成夫、田中淳、松本透、本江邦夫、岩﨑吉一、浅野徹：〔作家解説〕
藤井久栄、松本透・田中淳編：参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

現代美術への視点 メタファーとシンボル〔第 1 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：METAPHOR and/or SYMBOL」
会期：1984 年 11 月 23 日－1985 年 1 月 20 日　竹橋・東京国立近代美術館／1985 年 2 月 1 日－3 月 10 日　吹田市・国立国際美術館
主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館〔巡回 2-1〕
出品：エドワード・アリントン、ペーター・ベンメルス、ロレンツォ・ボネキ、ペーター・シュヴァリエ、エンツォ・クッキ、遠藤利克、ローラ・フォード、ジェラール・ガルースト、アントニー・ゴームリー、ケン・キフ、小清水漸、黒田アキ、ベントラン・ラヴィエ、カルロ・マリア・マリアーニ、ヘルムート・ミッデンドルフ、中村功、ジュリアン・オピー、スーザン・ローゼンバーグ、ジュリアン・シュナベール、椎原保、高木修、辰野登恵子〔カタログ順〕
○展覧会カタログ
現代美術への視点 メタファーとシンボル
東京国立近代美術館　1984 年 11 月
本江邦夫：序論
市川政憲：“移りゆき（パッサージュ）”あるいは存在の“真実”
田中淳、市川政憲、本江邦夫、千葉成夫：〔作家解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

現代デザインの展望〈ポストモダンの地平から〉●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY LANDSCAPE From the Horizon of Postmodern Design」
会期：1985 年 9 月 11 日－10 月 20 日　京都国立近代美術館／12 月 7 日－1986 年 1 月 19 日　竹橋・東京国立近代美術館
主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕
――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

近代日本の美術〈所蔵作品による全館陳列〉●

欧文タイトル：「MODERN JAPANESE ART from the Museum Collection」
会期：1986 年 6 月 28 日－8 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美

術館

出品：戦後の具象絵画；岡本太郎、荒井龍男、北脇昇、須田国太郎、児島善三郎、金山康喜、河原温、坂田一男、山口薫、糸園和三郎、石井茂雄、香月泰男、曹良奎、中谷泰、麻生三郎、小絲源太郎、岡鹿之助、林武、海老原喜之助。戦後の日本画；東山魁夷、橋本明治、加山又造、山本丘人、杉山寧、横山操、上村松篁、岩橋英遠、石本正、平山郁夫、下村良之介、髙山辰雄、吉岡堅二。彫刻；新海竹蔵、山本豊市、柳原義達、舟越保武、佐藤忠良。現代美術－1950 年代以後 絵画；瑛九、川端実、斎藤義重、杉全直、鶴岡政男、山田正亮、高橋秀、田淵安一、津高和一、山口長男、今井俊満、オノサト・トシノブ、菊畑茂久馬、白髪一雄、猪熊弦一郎、菅井汲、堂本尚郎、野見山暁治、難波田龍起、吉原治良、佐藤敬、元永定正、利根山光人、田中敦子、靉嘔、荒川修作、三尾公三、因藤壽、高松次郎、岡本信治郎、阿部展也、近藤竜男、小野木学、斎藤義重(重)、絹谷幸二、上田薫、高橋秀(重)、李禹煥、桂ゆき、有元利夫、中西夏之、黒田アキ、辰野登恵子、中村功、櫃田伸也。版画；浜口陽三、駒井哲郎、瑛九(重)、浜田知明、関野準一郎、萩原英雄、菅井汲(重)、吹田文明、深沢幸雄、加納光於、池田満寿夫、吉原英雄、野田哲也、靉嘔(重)、木村光佑、中林忠良、吉田穂高、上矢津、井田照一、榎倉康二、清塚紀子、河口龍夫、小本章、山中信夫。彫刻；植木茂、向井良吉、吾妻兼治郎、三木富雄、建畠覚造、辻晋堂、篠田守男、若林奮、豊福知徳、堀内正和、最上壽之、田中信太郎、清水九兵衛、斎藤史門、渡辺豊重。屋外 彫刻；木村賢太郎、保田春彦、イサム・ノグチ、マリノ・マリーニ、多田美波、小清水漸〔出品目録順〕

註：本展は、初期文展/印象派、大正期・昭和前期の洋画、大正期・昭和前期の前衛的傾向 1、大正期・昭和前期の前衛的傾向 2、近代日本画の展開、大正・昭和戦前期の版画、明治末期から昭和初期の彫刻、アメリカ派と昭和 10 年代の作家たち、昭和期・近代版画の熟成、戦争記録画/戦後の具象絵画、戦後の日本画、彫刻、そして現代美術－1950 年代以後から構成されている。ここでは、「戦後の具象絵画」「戦後の日本画」「現代美術－1950 年代以後」の出品を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

近代日本の美術〈所蔵作品による全館陳列〉

東京国立近代美術館　1986 年 6 月

無署名：近代日本の美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東芸大、東大駒、和光大

昭和の美術〈所蔵作品による全館陳列〉●

欧文タイトル：「Art of the Showa Period From the Museum Collection」

会期：1989 年 7 月 21 日－9 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：荒井龍男、荒川修作、有元利夫、朝倉摂、麻生三郎、靉嘔、鳥海青児、堂本尚郎、海老原喜之助、瑛九、遠藤利克、榎倉康二、福田平八郎、福田豊四郎、舟越保武、浜田知明、浜口陽三、長谷川潔、橋本明治、速水史朗、林武、東山魁夷、平山郁夫、堀内正和、井田照一、池田満寿夫、池田龍雄、猪熊弦一郎、井上長三郎、石井茂雄、伊東深水、伊藤隆康、岩

橋英遠、曹良奎、金山康喜、加納光於、片岡球子、河口龍夫、河原温、加山又造、香月泰男、菊畑茂久馬、菊竹清文、木村賢太郎、木村光佑、北脇昇、清水九兵衛、清塚紀子、児玉希望、小絲源太郎、小島信明、小嶋悠司、児島善三郎、駒井哲郎、小本章、昆野恆、黒田アキ、黒崎彰、桑山忠明、李禹煥、前田青邨、丸木位里、松本旻、松本竣介、三木富雄、最上壽之、森芳雄、毛利武士郎、元永定正、向井良吉、棟方志功、村井正誠、中村岳陵、中村宏、中村功、中村正義、中村貞以、中西夏之、中谷泰、難波田龍起、新妻実、野田哲也、イサム・ノグチ、小倉遊亀、岡鹿之助、岡田謙三、岡本太郎、恩地孝四郎、小野竹喬、オノサト・トシノブ、小山田二郎、斎藤義重、坂田一男、佐藤忠良、ハリー･K・シゲタ、下村良之介、新海竹蔵、白髪一雄、空充秋、須田国太郎、菅井汲、杉全直、杉本繁、杉山寧、多田美波、高松次郎、髙山辰雄、田中敦子、田中信太郎、建畠覚造、辰野登恵子、徳岡神泉、豊福知徳、辻晋堂、鶴岡政男、津高和一、内田巌、宇田荻邨、植木茂、上村松篁、上野誠、梅原龍三郎、若林奮、脇田和、山田正亮、山口蓬春、山口薫、山口勝弘、山口長男、山本丘人、山本正道、山中信夫、山下菊二、柳原義達、保田春彦、安田靫彦、安井曾太郎、横尾忠則、横山操、横山大観、吉田穂高、吉原英雄、吉原治良、吉仲太造〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

昭和の美術〈所蔵作品による全館陳列〉

東京国立近代美術館　1989 年 7 月

富山秀男：当館コレクションと昭和の美術

田中 淳：昭和期の美術への試論――近代から現代への架橋として

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

現代美術への視点 色彩とモノクローム〔第 2 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：COLOR and/or MONOCHROME」

会期：1989 年 9 月 30 日－11 月 26 日　竹橋・東京国立近代美術館／1990 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館、協力：東京ドイツ文化センター・ブリティシュ・カウンシル〔巡回 2-1〕

出品：グレンヴィル・デイヴィー、ジョエル・デュコロワ、ゲオルク・エットル、カタリーナ・フリッチュ、ヨルク・ガイスマール、原口典之、池村玲子、剣持和夫、小林正人、ヴォルフガング・ライブ、サイモン・リンク、トーマス・ロッハー、シルヴィオ・メルリーノ、三輪美津子、長沢秀之、西川勝人、ティム・ロリンズ ＆K.O.S.、鈴木省三、マーク・タンジー、寺内曜子、ウォーレス ＆ ドノヒュー〔カタログ順〕

○展覧会カタログ

現代美術への視点 色彩とモノクローム

東京国立近代美術館　1989 年 9 月

市川政憲：ひとつの色彩

松本 透：色彩・言語・レディメイド

市川政憲、松本透、田中淳：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代美術への視点 形象のはざまに〔第 3 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Among the Figures」

会期：1992 年 9 月 22 日－11 月 8 日　竹橋・東京国立近代美術館／12 月 12 日－1993 年 1 月 31 日　吹田市・国立国際美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館〔巡回 2-1〕

出品：赤塚祐二、朝比奈逸人、伊藤誠、岩本拓郎、笠原たけし、黒川弘毅、佐川晃司、清水誠一、金寿千、鷲見和紀郎、高見澤文雄、中上清、中村一美、橋本夏夫、丸山直文〔カタログ順〕

○展覧会カタログ

現代美術への視点 形象のはざまに

東京国立近代美術館　1992 年 9 月

本江邦夫：形象について

松本 透：線について――かたちから形象へ

中林和雄：絵画、隣人としての

中林和雄、松本透、本江邦夫、千葉成夫、市川政憲、田中淳：作家解説

中林和雄編：展覧会歴／主要文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代美術への視点 絵画、唯一なるもの〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：PAINTING-SINGULAR OBJECT」

会期：1995 年 11 月 3 日－12 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館／1996 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

出品：アド・ラインハート、山田正亮、ゲルハルト・リヒター、ブライス・マーデン、村上友晴、長沢秀之、高見澤文雄、ロス・ブレックナー、根岸芳郎、小林良一、小林正人［出品目録順］

○展覧会カタログ

現代美術への視点 絵画、唯一なるもの

東京国立近代美術館　1995 年 11 月

中林和雄：絵画について

本江邦夫：死と絵画

本江邦夫、中林和雄、市川政憲、都築千重子、松本透：解説

都築千重子編：展覧会歴／主要文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

プロジェクト・フォー・サバイバル〈1970 年以降の現代美術再訪：プロジェクティブ［意志的・投企的］な実践の再発見に向けて〉●

欧文タイトル：「PROJECT FOR SURVIVAL」

会期：1996 年 10 月 8 日－11 月 24 日　京都国立近代美術館／12 月 3 日－1997 年 1 月 12 日　竹橋・東京国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

未完の世紀：20 世紀美術がのこすもの ●

欧文タイトル：「The Unfinished Century：Legacies of 20th Century Art」

会期：2002 年 1 月 16 日－3 月 10 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・読売新聞社

出品：IV 戦時と「戦後」の美術 1940-50 年代 リアリズムの戦後；松本栄一、岡本太郎、鶴岡政男、丸木位里・俊、浜田知明、山下菊二、池田龍雄、海老原喜之助、河原温、麻生三郎、曹良奎、石井茂雄、川田喜久治、東松照明。V 文明の反ユートピア 1950 年代；草間彌生、駒井哲郎、今井俊満、建畠覚造、瑛九、毛利武士郎、斎藤義重、難波田龍起、田中敦子、向井良吉、吉原治良、白髪一雄。心象の絵画；東山魁夷、加山又造、徳岡神泉、横山操、平山郁夫、髙山辰雄。VI 加速する社会と芸術 1960 年代 更新されたモダニズム；植田正治、石元泰博、柳原義達、山田正亮、山口長男、宇佐美圭司、菅井汲、桑山忠明、保田春彦、堀内正和。芸術と非日常；工藤哲巳、松澤宥、細江英公、菊畑茂久馬、三木富雄、横尾忠則、荒川修作、野田哲也、若林奮、森山大道、高松次郎。VII 人間と物質 1970 年代以降；牛腸茂雄、菅木志雄、田村彰英、大辻清司、河口龍夫、小清水漸、山中信夫、草間彌生(重)、李禹煥、尹亨根、朴柄甫、野村仁、榎倉康二。VIII 芸術と歴史 1980 年代以降；中西夏之、辰野登恵子、村岡三郎、小林正人、森村泰昌、石内都、戸谷成雄、中原浩大、中村一美、野見山暁治、高木修、土谷武、田中信太郎、畠山直哉、宮島達男〔作品リスト順〕

註：出品欄は第 IV 章のうち「リアリズムの戦後」および第 V・VI・VII・VIII 章の日本作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

未完の世紀：20 世紀美術がのこすもの　　東京国立近代美術館編

読売新聞社　2002 年 1 月

市川政憲：20 世紀文明と文化のはざまに

松本 透：戦後美術の同時代性について

市川政憲、松本透：章解説

鈴木勝雄、都築千重子、蔵屋美香、中林和雄、若江漢字、古田亮、保坂健二朗、大谷省吾、高橋幸次：コラム（第 IV 章後半以降）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

写真の現在 2 サイトー場所と光景 ●

欧文タイトル：「Photography Today 2――[sáit]site／sight」

会期：2002 年 6 月 18 日－8 月 4 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：伊藤義彦、勝又邦彦、兼子裕代、小林のりお、鈴木理策、野口里佳、港千尋、横澤典〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

写真の現在 2 サイトー場所と光景

東京国立近代美術館　2002 年 6 月　付・会場ガイド 1 枚

増田 玲：サイトー場所と光景

伊藤義彦、勝又邦彦、兼子裕代、小林のりお、鈴木理策、野口里佳、港千尋、横澤典。増田玲、蔵屋美香編：インタビュー

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代美術への視点 連続と侵犯〔第 5 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Continuity / Transgression」

会期：2002 年 10 月 29 日－12 月 23 日　竹橋・東京国立近代美術館／2003 年 1 月 16 日－3 月 23 日　吹田市・国立国際美術館

主催：東京国立近代美術館・国立国際美術館〔巡回 2-1〕

出品：青木淳、キャンディス・ブレイツ、遠藤利克、ロラン・フレクスナー、ロニ・ホーン、イリヤ&エミリア・カバコフ、ロン・ミュエク、中山ダイスケ、ジュリアン・オピー、高嶺格〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代美術への視点 連続と侵犯

東京国立近代美術館　2002 年 10 月　主に英文併載　別冊共 2 冊

中林和雄：連続と侵犯

青木淳：メビウスの輪あるいはクラインの壺、遠藤利克：〔作家のことば〕、ロラン・フレクスナー：〔作家のことば〕、イリヤ&エミリア・カバコフ：《墜ちた天使》インスタレーション 1997-2002 年、中山ダイスケ〔作家のことば、インタビュー・蔵屋美香〕、ジュリアン・オピー：バリでの休暇、高嶺格：〔作家のことば、インタビュー・蔵屋美香〕

保坂健二朗、蔵屋美香、中林和雄：作家解説

現代美術への視点 連続と侵犯［別冊］

東京国立近代美術館　2002 年

中林和雄：同時代と美術館

蔵屋美香：リアルということ／フィクションということ

保坂健二朗：開きながら対峙させる矛盾、あるいはデザイン

保坂健二朗、蔵屋美香、中林和雄：作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美(別冊無)、横浜美、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大、国会図、都中図

痕跡――戦後美術における身体と思考 ●

欧文タイトル：「TRACES：Body and Idea in Contemporary Art」

会期：2004 年 11 月 9 日－12 月 19 日　京都国立近代美術館／2005 年 1 月 12 日－2 月 27 日　竹橋・東京国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

アジアのキュビスム－境界なき対話 ●

欧文タイトル：「Cubism in Asia：Unbounded Dialogues」

会期：2005 年 8 月 9 日－10 月 2 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国際交流基金・韓国国立現代美術館・シンガポール美術館／11 月 11 日－2006 年 1 月 30 日　徳壽宮美術館／2 月 18 日－4 月 9 日　シンガポール美術館

出品：山田正亮、山本敬輔、鶴岡政男、三上誠〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

アジアのキュビスム－境界なき対話

東京国立近代美術館・国際交流基金　2005 年 8 月　英文併載　付・別冊＋年譜 1 枚

建畠 哲：アジアのキュビスム

林 道郎：オン・ザ・テーブル――静物の実験

アフマド・マシャディ：「複数の近代性」の交渉――アジア美術におけるキュビスムとの出会い

松本 透：キュビスムにおける身体

後小路雅弘：ネイション－国民の創生

崔銀珠、金仁恵、ジョイス・ファン：テーマ

三輪健仁、建畠哲、林道郎、後小路雅弘、金仁恵：コラム

大谷省吾：キュビスムと日本

古市保子編：年表

古市保子、鈴木勝雄、西野華子、後小路雅弘：作家略歴

松本 透：用語解説

古市保子・松本透編：日本語文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図、都中図

アジアのキュビスム－境界なき対話　日英語版

東京国立近代美術館・国際交流基金　2005 年 8 月　英文併載

註：上記カタログの論考・文章等に英訳が加えられたもの。全 296 ページで、出品リストのみ位置（ノンブル）が変わっている。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

写真の現在 3 臨界をめぐる 6 つの試論 ●

欧文タイトル：「Photography Today 3　Resolution／Dissolution」

会期：2006 年 10 月 31 日－12 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：伊奈英次、小野規、浅田暢夫、北野謙、鈴木崇、向後兼一〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

写真の現在 3 臨界をめぐる 6 つの試論

東京国立近代美術館　2006 年 10 月　英文併載

増田 玲：臨界をめぐる 6 つの試論

伊奈英次、小野規、浅田暢夫、北野謙、鈴木崇、向後兼一。増田玲、竹内万里子編：インタビュー

増田玲、竹内万里子、保坂健二朗：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

わたしいまめまいしたわ〈現代美術にみる自己と他者〉Self／Other ●

欧文タイトル：「Self / Other」

会期：2008 年 1 月 18 日－3 月 9 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：1 わたしはひとりではない；植田正治、北脇昇、澤田知子。2 アイデンティティの根拠；岡崎乾二郎、河原温、高松次郎、宮島達男、村上友晴。3 暗い部屋と「わたし」；山中信夫。4 揺らぐ身体；金明淑、草間彌生、日高理恵子。5 スフィンクスの問いかけ；舟越桂。6 冥界との対話；草間彌生(重)、斎藤真一、須田一政。7 SELF AND OTHERS；牛腸茂雄。8 「社会と向き合うわたし」を見つめるわたし；秋山祐徳太子、郭徳俊、高嶺格〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

わたしいまめまいしたわ〈現代美術にみる自己と他者〉Self／Other

東京国立近代美術館　2008 年 1 月　主に英文併載

蔵屋美香、三輪健仁、鈴木勝雄、保坂健二朗、大谷省吾：〔章解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art 6：Emotional Drawing」

会期：2008 年 8 月 26 日－10 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館／11 月 18 日－12 月 21 日　京都国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国際交流基金〔巡回 2-1〕

出品：レイコ・イケムラ、アマル・ケナウィ、アヴィシュ・ケブレザデ、キム・ジュンウク、ホセ・レガスピ、ナリニ・マラニ、奈良美智、マニュエル・オカンポ、S.テディ D.、坂上チユキ、ピナリー・サンピタック、ミトゥ・セン、アディティ・シン、シュシ・スライマン、辻直之、ウゴ・ウントロ〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング　　東京国立近代美術館・国際交流基金編

東京国立近代美術館　2008 年 8 月　英文併載　別冊共 2 冊

保坂健二朗：エモーショナル・ドローイングについて

保坂健二朗、中村麗子：作家解説

坂上チユキ：〔作家のことば〕

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング カタログ別冊

東京国立近代美術館　2008 年

レイコ・イケムラ、アマル・ケナウィ、アヴィシュ・ケブレザデ、奈良美智、マニュエル・オカンポ、S.テディ D.、ピナリー・サンピタック、ミトゥ・セン、アディティ・シン、シュシ・スライマン、辻直之、ウゴ・ウントロ：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大、国会図、都中図

沖縄・プリズム 1872▸2008 ●

欧文タイトル：「OKINAWA PRISMED 1872-2008」

会期：2008 年 10 月 31 日－12 月 21 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館、特別協力：沖縄県立博物館・美術館

出品：第 2 章；安次嶺金正、安次富長昭、安谷屋正義、儀間比呂志、岡本太郎、森口豁、東松照明、平良孝七、高嶺剛。第 3 章；掛川源一郎、平敷兼七、比嘉康雄、石川真生、國吉清尚、伊志嶺隆、比嘉豊光、知花均、与那覇大智、粟国久直、上原美智子、圓井義典、宮城明、波多野哲朗、阪田清子、山城知佳子、照屋勇賢〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

沖縄・プリズム 1872▸2008

東京国立近代美術館　2008 年 10 月

鈴木勝雄：[序論] 沖縄・プリズム――隔たりを生きる倫理

鈴木勝雄：章解説

蔵屋美香、鶴見香織、鈴木勝雄、有馬智子：作品解説

鈴木勝雄：乱反射する沖縄

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

建築はどこにあるの? 7 つのインスタレーション ●

欧文タイトル：「Where is Architecture? Seven Installations by Japanese Architects」

会期：2010 年 4 月 29 日－8 月 8 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：アトリエ・ワン、中村竜治、中山英之、鈴木了二、内藤廣、菊地宏、伊東豊雄〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

建築はどこにあるの? 7 つのインスタレーション

東京国立近代美術館　2010 年 6 月 5 日　英文併載

アトリエ・ワン、中村竜治、中山英之、鈴木了二、内藤廣、菊地宏、伊東豊雄：アンケート「建築と展覧会」

保坂健二朗：建築はどこにあるの?

南後由和：建築物とインスタレーションの離接運動

三輪健仁、保坂健二朗：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

「日本画」の前衛 1938-1949 ●

欧文タイトル：「The Avant-Garde of “Nihonga” 1938-1949」

会期：2010 年 9 月 3 日－10 月 17 日　京都国立近代美術館／2011 年 1 月 8 日－2 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館／2 月 22 日－3 月 27 日　広島県立美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 3-2〕

――→京都国立近代美術館〔巡回 3-1〕

写真の現在 4〈そのときの光、そのさきの風〉●

欧文タイトル：「Photography Today 4：in their persistent endeavors to meet the world」

会期：2012 年 6 月 1 日－7 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：有元伸也、本山周平、中村綾緒、新井卓、村越としや〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

写真の現在 4〈そのときの光、そのさきの風〉

東京国立近代美術館　2012 年 6 月 1 日　英文併載　付・FLOOR GUIDE 1 枚

増田 玲：世界に出会う接続的な営為

有元伸也、本山周平、中村綾緒、新井卓、村越としや、聞き手・増田玲：インタビュー

増田玲、中村麗子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

美術にぶるっ!〈ベストコレクション 日本近代美術の 100 年〉●

欧文タイトル：「Art Will Thrill You! ：The Essence of Modern Japanese Art」

会期：2012 年 10 月 16 日－2013 年 1 月 14 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・NHK・NHK プロモーション

出品：第 I 部 コレクション スペシャル　ハイライト。はじめの一歩；松本竣介、佐藤忠良。人を表す 1。人を表す 2。風景を描く。前衛の登場；恩地孝四郎、瑛九。戦争の世紀に 1。戦争の世紀に 2；岡本太郎、北脇昇。写真；植田正治、大辻清司、石元泰博、東松照明、田村彰英、森山大道、須田一政、高梨豊、牛腸茂雄。日本画；福田平八郎、横山操、東山魁夷、徳岡神泉、加山又造、髙山辰雄。疑うことと信じること 1；、草間彌生、ブルース・ナウマン、

横尾忠則、ヴィト・アコンチ、マーサ・ロスラー。疑うことと信じること 2；荒川修作、河原温、高松次郎、ロバート・ラウシェンバーグ、榎倉康二、李禹煥。海外作品と MOMAT。その他；イサム・ノグチ、木村賢太郎、マリノ・マリーニ、多田美波、アントニー・ゴームリー、ジュリアン・オピー、田中功起、舟越保武、柳原義達〔出品作品リスト順〕

出品：第 II 部実験場 1950s　1 原爆の刻印；土門拳、川田喜久治。2 静物としての身体；鶴岡政男、阿部展也、井上長三郎、香月泰男、毛利武士郎、村岡三郎、河原温、浜田知明。複数化するタブロー；河原温(重)、桂川寛、勅使河原宏、真鍋博、久里洋二、グループ「白」、関根弘、池田龍雄、吉仲太造、安部真知、中谷泰、園田正、千田梅二。記録・運動体；油井正次、魚沼六郎〔上野誠〕、新居広治、小口一郎、鈴木賢二、押仁太、山野卓造〔卓〕、福田恒太、尾藤豊、入野達弥。5 現場の磁力；池田龍雄(重)、山下菊二、粟津潔、中村宏、井上長三郎(重)、常盤とよ子、亀井文夫、曹良奎。6 モダン／プリミティヴ；間所〔芥川〕紗織、菅井汲、岡本太郎、山口長男、イサム・ノグチ、向井良吉、辻晋堂、剣持勇。7「国土」の再編；東山魁夷、利根山光人、山下菊二(重)、木村伊兵衛、濱谷浩、小島一郎、野田真吉。8 都市とテクノロジー；山口勝弘、難波田龍起、北代省三、堀内正和、オノサト・トシノブ、亀倉雄策、猪熊弦一郎、松本俊夫、石井茂雄、奈良原一高、シネマ 57。9 コラージュ／モンタージュ；岡本太郎(重)、桂ゆき、山下菊二(重)、中村宏(重)、石井茂雄(重)、ドナルド・リチー、松本俊夫(重)、日大映研。10 方法としてのオブジェ；草間彌生、福島秀子、池田満寿夫、加納光於、桜井孝身、吉原治良、菊畑茂久馬、白髪一雄、工藤哲巳、荒川修作、辻晋堂(重)、八木一夫、東松照明(重)、飯村隆彦、細江英公〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の出品作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

美術にぶるっ!〈ベストコレクション 日本近代美術の 100 年〉

NHK・NHK プロモーション　2012 年 10 月　東京国立近代美術館 60 周年記念特別展

松本 透：時代はめぐる――東京国立近代美術館の 60 年

鈴木勝雄、桝田倫広：章解説、コラム

蔵屋美香、鶴見香織、鈴木勝雄、大谷省吾：作品解説

桝田倫広編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

現代のプロダクトデザインーMade in Japan を生む ●

欧文タイトル：「PRODUCT DESIGN TODAY：Creating “Made in Japan”」

会期：2013 年 11 月 1 日－2014 年 1 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：大治将典、小泉誠、城谷耕生、須藤玲子、センヌキデザインプロジェクト(大治将典、小野里奈、増田尚紀、山崎宏、山田佳一朗、吉田守孝)〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代のプロダクトデザインーMade in Japan を生む

東京国立近代美術館　2013 年 11 月 1 日　英文併載

諸山正則：Made in Japan を生む：現代日本のプロダクトデザインの力
唐澤昌宏、諸山正則、内藤裕子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

映画をめぐる美術――マルセル・ブロータースから始める ●

欧文タイトル：「Reading Cinema, Finding Words：Art after Marcel Broodthaers」
会期：2013 年 9 月 7 日－10 月 27 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館・京都新聞社／2014 年 4 月 22 日－6 月 1 日　東京国立近代美術館
主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕
――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

日本の家 1945 年以降の建築と暮らし ●

欧文タイトル：「THE JAPANESE HOUSE　ARCHITECTURE AND LIFE AFTER 1945」
会期：2017 年 7 月 19 日－10 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国際交流基金
出品：石元泰博、アントニン・レーモンド、清家清、丹下健三、生田勉、白井晟一、前川國男、坂倉準三、増沢洵、池辺陽、大野勝彦、黒川紀章、難波和彦、畠山直哉、吉阪隆正、吉村順三、東孝光、阿部勤、真壁智治、篠原一男、坂本一成、伊東豊雄、毛綱毅曠、藤井博巳、山下和正、相田武文、藤本壮介、柄沢祐輔、長谷川逸子、妹島和世、青木淳、中山英之、大西麻貴、百田有希、安藤忠雄、岸和郎、アトリエ・ワン、西沢大良、西沢立衛、広瀬鎌二、隈研吾＋篠原聡子、長谷川豪、島田陽、石山修武、宮本佳明、岡啓輔、津村耕佑、藤森照信、手塚貴晴、手塚由比、五十嵐淳、金野千恵、家成俊勝、乾久美子、菊竹清訓、黒沢隆、山本理顕、西田司、藤野高志〔作品リスト順〕
〇展覧会カタログ
日本の家 1945 年以降の建築と暮らし
新建築社　2017 年 7 月 26 日　新建築住宅特集 別冊　英文併載
塚本由晴、保坂健二朗：章解説
保坂健二朗：作品解説
藤岡洋保：独立住宅に見る日本の近代
保坂健二朗：日本の戦後の住宅の系譜学について
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

アジアにめざめたら〈アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代〉 ●

欧文タイトル：「Awakening：Art in Society in Asia 1960s-1990s」
会期：2018 年 10 月 10 日－12 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館、韓国国立現代美術館、ナショナル・ギャラリー・シンガポール、国際交流基金アジアセンター／2019 年 1 月 31 日－5 月 6 日　韓国国立現代美術館／6 月 13 日－9 月 15 日　ナショナル・ギャラリー・シンガポール
出品：松本俊夫、荒川修作、高松次郎、郭仁植、中西夏之、李禹煥、野村仁、オノ・ヨーコ、

植松奎二、郭徳俊、工藤哲巳、赤瀬川原平、平田実、羽永光利、ゼロ次元、中村宏、山下菊二、松澤宥、プレイ(THE PLAY)〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本の作家およびグループを収載。

〇展覧会カタログ

アジアにめざめたら〈アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代〉

東京国立近代美術館　2018 年 10 月 9 日

ペ・ミョンジ、セン・ユージン、鈴木勝雄：アジアにめざめたら――アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代

イ・インボム、セン・ユージン、鈴木勝雄、チェン・ジアユン、桝田倫広、ユン・ジンソプ、リュ・ハンスン、ユン・ボンモ、ペ・ミョンジ、スマン・ゴピナート、シャーミン・トー、チェ・ヨル、アデル・タン：〔解説・論考〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美

国立近代美術館京都分館・京都国立近代美術館（旧館）

現代絵画の動向 ●

欧文タイトル：「Trend of Contemporary Japanese Paintings」

会期：1963 年 4 月 27 日－5 月 26 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館〔現代美術の動向シリーズ第 1 回展〕

出品：鳥海青児、海老原喜之助、福沢一郎、岩橋英遠、糸園和三郎、山口薫、香月泰男、小牧源太郎、丸木位里、加山又造、荻太郎、麻生三郎、芝田米三、野見山暁治、中本達也、岡田謙三、山口長男、村井正誠、鶴岡政男、吉原治良、須田剋太、川端実、津高和一、難波田龍起、斎藤義重、杉全直、田中岑、今井俊満、赤穴宏、田淵安一、前田常作、田中田鶴子、堂本尚郎、高橋秀、森田子龍、井上有一、桂ユキ子〔ゆき〕、宮脇愛子、因藤壽、磯辺行久、下村良之介、大野俶嵩、古田安、野村耕、深見隆、久野真、村上善男、白髪一雄、元永定正、片岡真太郎、富岡惣一郎、関根勢之助、高瀬善明、森本岩雄、井上篤、村上三郎、楠田信吾、坂本昌也、花房寿夫、岩田重義〔目録順〕

〇展覧会カタログ

現代絵画の動向

国立近代美術館京都分館　1963 年 4 月　1 枚（二ツ折両面刷）〔現代美術の動向シリーズ第 1 回展〕

今泉篤男：現代絵画の動向

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、京都学(9 冊合綴のうち)

現代絵画の動向〈西洋と日本〉 ●

欧文タイトル：「contemporary trend of paintings：occident and japan」

会期：1963 年 7 月 6 日－8 月 29 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館　〔現代美術の動向シリーズ第 2 回展〕

出品：カレル・アペル、ジャン・アトラン、ジャン・カルズー、ジャン・デュビュッフェ、江見絹子、ジャン・フォートリエ、ルイス・フェイト、ルチオ・フォンタナ、福島秀子、サ

ム・フランシス、ハンス・アルトウング、フリッツ・フンデルトワッサー、井原康雄、今井俊満、ジャスパー・ジョーンズ、桂ユキ子〔ゆき〕、川端実、木梨アイネ、イヴ・クライン、前田常作、フレッド・マーチン、ジョルジュ・マチュー、森口宏一、元永定正、ジョン・ミッチェル、アントニオ・ミュージック、オノサト・トシノブ、アルヌルフ・ライナー、斎藤義重、ジュラール・シュナイダー、篠田桃紅、白髪一雄、須田剋太、菅井汲、高間惣七、田中敦子、アントニオ・タピエス、津高和一、吉原治良、ザオ・ウーキー〔目録順〕

○展覧会カタログ

現代絵画の動向〈西洋と日本〉

国立近代美術館京都分館　1963 年 7 月　2 枚(二ツ折両面刷 1 枚＋両面刷 1 枚)〔現代美術の動向シリーズ第 2 回展〕

今泉篤男：現代絵画の動向〈西洋と日本〉

所蔵：□、東文研、国新美、東近美、東博資、都現美、京都学(9 冊合綴のうち)

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 3 回展〕●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TREND OF JAPANESE PAINTINGS AND SCULPTURES」

会期：1964 年 4 月 4 日－5 月 10 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

出品：絵画；荒川修作、石橋行雄、磯辺行久、伊藤隆康、伊藤利彦、稲葉治夫、上野憲男、上前智祐、宇佐美圭司、岡本信治郎、小倉浩二、オノサト・トシノブ、菊畑茂久馬、木梨アイネ、工藤哲巳、志賀健蔵、下村良之介、須賀卯夫、関根勢之助、高井貞二、高瀬善明、土井俊泰、中西夏之、中西康進、針生鎮郎、馬場彬、藤谷悟、正延正俊、丸本耕、三上誠、三島喜美代、水谷勇夫、宮本浩二、向井修二、村上友康、山崎つる子、山下菊二、渡辺恂三。彫塑；吾妻兼治郎、上田弘明、梅本昭、江口週、小田襄、児玉正美、塩見哲郎、篠田守男、志水晴児、寺尾恍示、富樫実、平川正道、福岡道雄、福嶋敬恭、三宅多喜男、宮永理吉、向井良吉、村岡三郎、村上泰造、最上壽之、山崎脩、湯原和夫、若林奮〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 3 回展〕

国立近代美術館京都分館　1964 年 4 月

無署名：現代美術の動向 絵画と彫塑

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美

日本・カラー1964 Color in Japan〈現代写真代表作展／特陳・東京オリンピック報道写真〉●

欧文タイトル：「Color in Japan Masterpieces of Contemporary Photography Accompanied with Photo Report during Tokyo Olympics」

会期：1965 年 1 月 23 日－2 月 21 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

出品：秋元啓一、秋山庄太郎、土門拳、藤川清、藤本四八、福田勝治、船山克、二川幸夫、後藤敬一郎、濱谷浩、早崎治、林忠彦、早田雄二、本庄光郎、堀内初太郎、細江英公、今井寿恵、稲村隆正、入江泰吉、石井清、石元泰博、岩宮武二、河合肇、杵島隆、木村伊兵衛、

児島寛二、小久保善吉、黒川清司、緑川洋一、三木淳、長野重一、中村正也、中村立行、奈良原一高、西山清、岡田紅陽、大竹省二、大辻清司、大束元、大内英吾、佐藤辰三、島田謹介、杉山吉良、田中光常、田中徳太郎、棚橋紫水、田沼武能、東松照明、植田正治、渡辺雄吉、渡辺義雄、依田孝喜、横須賀功光、吉田利雄、吉川富三、吉岡専造〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

日本・カラー1964 Color in Japan〈現代写真代表作展／特陳・東京オリンピック報道写真〉

国立近代美術館京都分館　1965 年 1 月　1 枚(四ツ折両面刷)

金丸重嶺：日本の写真家

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、京都学

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TREND OF JAPANESE PAINTINGS AND SCULPTURES」

会期：1965 年 6 月 18 日－7 月 25 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

出品：絵画；荒川修作、麻田浩、中馬泰文、後藤昭夫、細木茂子、市村司、加納光於、小松豊、小本章、昆野勝、真野岩夫、宮崎万平、森本紀久子、野見山暁治、野村久之、岡部繁夫、岡本信治郎、小野田實、関根美夫、重延瓔子、篠原有司男、白髪一雄、田口安男、高崎元尚、豊島弘尚、宇佐美圭司、ヨシダミノル、吉仲太造。彫塑；細川宗英、井上武吉、木村賢太郎、小島信明、松本正司、三木富雄、宮永理吉、村上泰造、野崎一良、大谷文男、篠田守男、鈴木実、多田美波、滝口勝、田中栄作、梅本昭〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 4 回展〕

国立近代美術館京都分館　1965 年 6 月

国立近代美術館京都分館：現代美術の動向 絵画と彫塑

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文

近代絵画の流れ ●

欧文タイトル：「Development of Modern Painting in Japan」

会期：1965 年 8 月 1 日－29 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

出品：洋画；福沢一郎、鈴木信太郎、北脇昇、荒井龍男、須田国太郎、梅原龍三郎、高畠達四郎、小絲源太郎、脇田和、小牧源太郎、坂田一男、安井曾太郎、児島善三郎、野口彌太郎、麻生三郎、中谷泰、斎藤義重、鳥海青児、伊谷賢蔵、山口長男、山口薫、宮本三郎〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の洋画家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

近代絵画の流れ

国立近代美術館京都分館　1965 年 8 月

無署名：〔ことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資

具象絵画の新たなる展開 ●

欧文タイトル：「FIGURATIVE PAINTING IN JAPAN AFTER THE WAR」

会期：1965 年 12 月 17 日－1966 年 1 月 30 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

出品：麻生三郎、飯島一次、糸園和三郎、牛島憲之、海老原喜之助、大沢昌助、岡鹿之助、荻太郎、奥谷博、織田廣喜、香月泰男、金田辰弘、彼末宏、北川民次、久保守、桑原正昭、佐野繁次郎、芝田米三、近岡善次郎、鳥海青児、中谷泰、野見山暁治、福沢一郎、福本章、松本宏、三岸節子、森芳雄、矢橋六郎、山口薫、脇田和〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

具象絵画の新たなる展開

国立近代美術館京都分館　1965 年 12 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美

現代美術の動向 1966〔第 5 回展〕 ●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE PAINTING AND SCULPTURE」

会期：1966 年 5 月 10 日－6 月 5 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

出品：蛯子善悦、江口週、福田武、橋本典子、八田豊、平田洋一、今井祝雄、今中クミ子、岸本清子、松本陽子、松谷武判、森口宏一、村上善男、栄利秋、鈴木正教、高橋安子、高松次郎、田中繁一、田中信太郎、田中稔之、当摩忠子、土谷武、若林奮、山口勝弘、矢野正治〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向〔第 5 回展〕

国立近代美術館京都分館　1966 年 5 月

国立近代美術館京都分館：〔ことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美

現代美術の動向 1967〔第 6 回展〕 ●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」

会期：1967 年 7 月 8 日－8 月 13 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：靉嘔、青木マサオ、井田照一、伊藤隆康、大野増穂、岡崎和郎、岡田博、加納光於、聴濤襄治、日下賢二、榊健、坂本文男、坂本正治、白井昭子、鈴木実、高橋由明、寺尾恍示、寺田武弘、中西夏之、野中ユリ、福嶋敬恭、船井裕、松田豊、松本正司、宮脇愛子、森省一郎、湯原和夫、吉田稔郎、ヨシダミノル、吉原英雄、吉村益信、若尾和呂〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向〔第 6 回展〕

京都国立近代美術館　1967 年 7 月

乾　由明：現代美術の動向

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、愛芸文、京都学(12 冊合綴のうち)

現代美術の動向 1968〔第 7 回展〕●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART 1968」

会期：1968 年 8 月 16 日－9 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：粟津潔、市村実、伊藤隆道、伊原通夫、宇佐美圭司、大石もも子、柏原えつとむ、河口龍夫、楠田信吾、幸村真佐男、下谷千尋、庄司達、新宮晋、関根伸夫、田中信太郎、寺門晃、栃木順子、戸山築、中沢潮、楢原雍、野田哲也、野中ユリ、松本旻、三尾公三、宮川憲明、山本圭吾〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向〔第 7 回展〕

京都国立近代美術館　1968 年 8 月

鈴木健二：現代美術の動向

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、京都学(12 冊合綴のうち)

日本画の新人たち ●

欧文タイトル：「YOUNG ARTISTS IN JAPANESE-STYLE PAINTING」

会期：1969 年 5 月 20 日－6 月 15 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：池田幹雄、岩澤重夫、上村淳之、宇田裕彦、烏頭尾精、大島哲以、川﨑春彦、黒沢吉蔵、後藤純男、佐々木裕久、下田義寛、長崎莫人、西村昭二郎、橋本龍美、平山郁夫、松尾敏男、三谷青子、山岸純〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

日本画の新人たち

京都国立近代美術館　1969 年 5 月

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、神近美、京都学、国会図

現代美術の動向 1969〔第 8 回展〕●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」

会期：1969 年 8 月 19 日－9 月 23 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：浅井昭、飯田昭二、狗巻賢二、榎本建規、大西清自、奥田善巳、小野教治、加藤アキラ、瓦林睦生、木村光佑、黒崎彰、小清水漸、小林はくどう、ザ・プレイ、菅隆子、鈴木慶則、高橋士郎、田中薫、富張広司、戸村浩、永井一正、名坂千吉郎、成田克彦、西真、林俊憲、原口典之、樋口正一郎、松澤宥、松谷武判、矢辺啓司、矢柳剛、吉田克朗、李禹煥〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向〔第 8 回展〕

京都国立近代美術館　1969 年 8 月

京都国立近代美術館：現代美術の動向

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、京都学(12 冊合綴のうち)、国会図

現代美術の動向 1970〔最終第 9 回展〕●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」
会期：1970 年 7 月 7 日－8 月 9 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館
出品：五辻茂、榎倉康二、大黒利幸、木村光佑、木村利三郎、倉貫徹、佐藤亜土、佐藤重信、佐野芳樹、白浜信明、菅木志雄、高山登、武里惣、寺田武弘、トウハンシ、楢原雍、野村仁、八田淳、原健、舩坂芳助、水上旬、梁島晃一、吉田克朗〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
現代美術の動向〔最終第 9 回展〕
京都国立近代美術館　1970 年 7 月
京都国立近代美術館：現代美術の動向
所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美、京都学、和光大

現代美術の鳥瞰 ●
欧文タイトル：「BIRD'S EYE VIEW OF CONTEMPORARY JAPANESE ART, 1972」
会期：1972 年 8 月 5 日－27 日　京都国立近代美術館
出品：靉嘔、泉茂、井田照一、黒崎彰、木村光佑、下谷千尋、高松次郎、多田美波、堂本尚郎、永井一正、野田哲也、福岡道雄、船井裕、舩坂芳助、前田常作、三尾公三、最上壽之、元永定正、保田春彦、山口牧生、矢柳剛、湯原和夫〔出品目録順〕
註：作品制作年は 1969－1972 年。
○展覧会カタログ
現代美術の鳥瞰
京都国立近代美術館　1972 年 8 月
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、神近美、横浜美、愛芸文

ヨーロッパの日本作家 ●
欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN EUROPE」
会期：1972 年 10 月 17 日－11 月 26 日　京都国立近代美術館／1973 年 1 月 5 日－2 月 11 日　竹橋・東京国立近代美術館
主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕
出品：秋山礼巳、吾妻兼治郎、阿部展也、宇津宮功、大谷文男、小倉浩二、嘉野稔、木村忠太、佐々木四郎、佐藤亜土、佐藤敬、菅井汲、高橋秀、タジリ・シンキチ、田中阿喜良、田淵安一、千葉勝、豊福知徳、中井克巳、長岡国人、長澤英俊、長谷川潔、浜口陽三、平賀敬、松谷武判、水井康雄、南桂子、宮本浩二、山縣寿夫〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
ヨーロッパの日本作家
京都国立近代美術館　1972 年 10 月
内山武夫：ヨーロッパの日本作家たち
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

グラフィックイメージ'73 ●
欧文タイトル：「graphic image'73」

会期：1973 年 8 月 24 日－9 月 16 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館
出品：ヤネズ・ベルニーク、福田繁雄、伊藤隆道、片山利弘、木村光佑、k2(長友啓典・黒田征太郎)、ニコラス・クルシュニック、永井一正、中村誠、ブリジット・ライリー、篠田守男、菅井汲、スーパースタジオ、多田美波、田中一光、脇田愛二郎、横尾忠則〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
グラフィックイメージ'73
京都国立近代美術館　1973 年 8 月　第 2 回展
小川正隆：「グラフィックイメージ」の行動の基盤にふれて
註：第 1 回の「グラフィックイメージ'72」は銀座・東京セントラル美術館で開催された。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒

アメリカの日本作家 ●
欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN THE AMERICAS」
会期：1973 年 9 月 26 日－11 月 4 日　京都国立近代美術館／1974 年 1 月 5 日－2 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館
主催：京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕
出品：靉嘔、池川司郎、池田満寿夫、猪熊弦一郎、伊原通夫、大竹登美江、岡田謙三、金光松美、川島猛、川端実、岸正豊、木村利三郎、キヨオカ　ロイ、桑山忠明、近藤竜男、酒井和也、篠原有司男、白井昭子、高井貞二、竹田鎮三郎、土本真澄、豊田豊、中川直人、中里斉、新妻実、ニシザワ　ルイス〔ルイス・西沢〕、樋口シン、福井延光、ポール堀内、松原直子、マナブマベ〔間部〕、皆島万作、村田簣史雄、村田博〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
アメリカの日本作家
京都国立近代美術館　1973 年 9 月
小倉忠夫：アメリカの日本作家たち
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

グラフィックイメージ'74(ワード＋イメージ) ●
欧文タイトル：「Graphic Image'74 Word＋Image」
会期：1974 年 8 月 20 日－9 月 19 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館
出品：靉嘔、浅葉克己、粟津潔、福田繁雄、細谷巖、石岡瑛子、上條喬久、片山利弘、木村光佑、k2(長友啓典・黒田征太郎)、永井一正、中村誠、野田哲也、シノダ・ユウ、篠山紀信、田中一光、戸村浩、脇田愛二郎、横尾忠則、吉本直貴〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
グラフィックイメージ'74(ワード＋イメージ)
京都国立近代美術館　1974 年 8 月　第 3 回展
小川正隆：「グラフィックイメージ'74」を迎えて
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、京都学、東大駒

現代美術の鳥瞰〈明日を探る作家たち〉 ●

欧文タイトル：「BIRD'S EYE VIEW OF CONTEMPORARY JAPANESE ART, 1977」

会期：1977 年 8 月 27 日－9 月 25 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・京都新聞社

出品：井田照一、伊藤隆道、植村義夫、大林義満、金子潤、木村秀樹、黒崎彰、鯉江良二、小林はくどう、斉藤智、佐藤敏、島州一、庄司達、富樫実、西村陽平、萩原朔美、橋本幸志、橋本文良、福田繁雄、真坂雅文、舞原克典、松井憲作、松本正司、松本文子、宮川憲明、宮崎豊治、山口勝弘、山口牧生、山本圭吾、横尾忠則〔作品目録順〕

註：作品制作年は 1972－1977 年で大部分は新作 1977 年。

○展覧会カタログ

現代美術の鳥瞰〈明日を探る作家たち〉　京都国立近代美術館編

京都新聞社　1977 年 8 月

井田照一、伊藤隆道、植村義夫、大林義満、木村秀樹、黒崎彰、小林はくどう、斉藤智、佐藤敏、島州一、庄司達、富樫実、西村陽平、萩原朔美、橋本幸志、橋本文良、福田繁雄、舞原克典、松井憲作、松本正司、宮崎豊治、山口勝弘、山口牧生、山本圭吾：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

1960 年代――現代美術の転換期 ●

欧文タイトル：「The 1960's――A Decade of Change in Contemporary Japanese Art」

会期：1981 年 12 月 4 日－1982 年 1 月 31 日　竹橋・東京国立近代美術館／2 月 10 日－3 月 14 日　京都国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

現代美術における写真〈1970 年代の美術を中心として〉 ●

欧文タイトル：「Photography in Contemporary Art」

会期：1983 年 10 月 7 日－12 月 2 日　竹橋・東京国立近代美術館／12 月 13 日－1984 年 1 月 22 日　京都国立近代美術館

主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

現代デザインの展望〈ポストモダンの地平から〉 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY LANDSCAPE From the Horizon of Postmodern Design」

会期：1985 年 9 月 11 日－10 月 20 日　京都国立近代美術館／12 月 7 日－1986 年 1 月 19 日　竹橋・東京国立近代美術館

主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

出品：石井和紘、磯崎新、倉俣史朗、槇文彦、高松伸、梅田正徳、山下和正、葉祥栄〔作品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

現代デザインの展望〈ポストモダンの地平から〉

京都国立近代美術館　1985 年 9 月　英文併載

河本信治：序論

アレッサンドロ・メンディーニ：イタリアのラディカル・デザインとネオ・ラディカル・デザイン

河本信治：現代の風景－ポストモダン・デザインの地平から

エミリオ・アンバース：〔作家解説　日本作家〕

石井和紘、磯崎新、槇文彦、高松伸、梅田正徳、山下和正、葉祥栄：〔作家のことば　日本作家〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

京都国立近代美術館（新館）

現代美術への視点 色彩とモノクローム〔第 2 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：COLOR and/or MONOCHROME」

会期：1989 年 9 月 30 日－11 月 26 日　竹橋・東京国立近代美術館／1990 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館

主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館、協力：東京ドイツ文化センター・ブリティシュ・カウンシル〔巡回 2-2〕

――→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

現代美術への視点 絵画、唯一なるもの〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：PAINTING-SINGULAR OBJECT」

会期：1995 年 11 月 3 日－12 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館／1996 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館

主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

プロジェクト・フォー・サバイバル〈1970 年以降の現代美術再訪：プロジェクティブ［意志的・投企的］な実践の再発見に向けて〉●

欧文タイトル：「PROJECT FOR SURVIVAL」

会期：1996 年 10 月 8 日－11 月 24 日　京都国立近代美術館／12 月 3 日－1997 年 1 月 12 日　竹橋・東京国立近代美術館

主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

出品：ローター・バウムガルテン、マルセル・ブルータース、ダン・グラハム、アンゼルム・キーファー、宮島達男、クシュトフ・ウディチコ、フランクフルト近代美術館(MMK)〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

プロジェクト・フォー・サバイバル〈1970 年以降の現代美術再訪：プロジェクティブ［意志的・投企的］な実践の再発見に向けて〉

京都国立近代美術館　1996 年 10 月
河本信治：はじめに：出品作品への若干の脚注
ローター・バウムガルテン、マルセル・ブルータース、ダン・グラハム、宮島達男、クシュトフ・ウディチコ：〔作家のことば〕
河本信治、池田祐子、松原龍一：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

身体の夢 ファッション OR 見えないコルセット ●

欧文タイトル：「VISIONS OF THE BODY：FASHION OR INVISIBLE CORSET」
会期：1999 年 4 月 6 日－6 月 6 日　京都国立近代美術館／8 月 7 日－11 月 23 日　東京都現代美術館
主催：京都国立近代美術館・京都服装文化研究財団〔巡回 2-1〕
出品：安藤福子、蔡國強、ひびのこづえ、笠原恵実子、川久保玲、キュピキュピ(石橋義正、木村真束、分島麻実、江村耕市)、小西良幸、熊谷登喜夫、草間彌生、真木洋茂、三宅一生、森村泰昌、沖啓介、鈴木淳子、津村耕佑、渡辺淳弥、山本耀司、やなぎみわ〔作家解説順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕
身体の夢 ファッション OR 見えないコルセット
京都服装文化研究財団　1999 年 4 月 2 日　主に英文併載
河本信治：序論
深井晃子：身体の夢――20 世紀の身体イメージとファッション
渡邊守章：身体の夢／夢の身体
遠藤 徹：仮想身体の着替え方――デヴィッド・リンチ「ロスト・ハイウェイ」の可能性を探る
笠原恵実子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

COLORS ファッションと色彩 VIKTOR & ROLF & KCI ●

欧文タイトル：「FASHION IN COLORS　VIKTOR & ROLF & KCI」
会期：2004 年 4 月 29 日－6 月 20 日　京都国立近代美術館／8 月 24 日－12 月 5 日　六本木・森美術館
主催：京都国立近代美術館・京都服飾文化研究財団〔巡回 2-1〕
出品：山本耀司、川久保玲、渡辺淳弥、三宅一生〔作品解説順〕
註：出品欄は日本作家(デザイナー)を収載。
○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕
COLORS ファッションと色彩 VIKTOR & ROLF & KCI
京都服飾文化研究財団　2004 年 4 月 29 日　主に欧文併載
河本信治：はじめに

深井晃子：仮託された夢、時代の色
ヴィクター&ロルフ、セルフポートレイト：〔インタヴュー〕
スーアン・ファン・デル・ザイプ：ヴィクター&ロルフ、交差するアートとファッション
石関 亮：ヴィクター&ロルフ、そのクリエーション
クロード・レヴィ＝ストロース：赤には二面があること
クロード・アンベール：マネ、黒の効果
小林康夫：青――空間と身体のポエジー
森川嘉一郎：都市と色
ドミニク・カルドン：色の流行と天然染料――緊張下の歴史
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

痕跡――戦後美術における身体と思考 ●

欧文タイトル：「TRACES：Body and Idea in Contemporary Art」
会期：2004 年 11 月 9 日－12 月 19 日　京都国立近代美術館／2005 年 1 月 12 日－2 月 27 日　竹橋・東京国立近代美術館
主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕
出品：1.表面；ジャクソン・ポロック、ルーチョ・フォンタナ、アルベルト・ブッリ、ロバート・モリス、イヴ・クライン、嶋本昭三、吉田稔郎、村上三郎、斎藤義重、山内重太郎、李禹煥、2.行為；ヴィレム・デ・クーニング、ジョルジュ・マチウ、ロバート・モリス(重)、イヴ・クライン(重)、オットー・ミュール、ギュンター・ブルス、リチャード・セラ、嶋本昭三(重)、白髪一雄、村上三郎(重)、金山明、鷲見康夫、篠原有司男、関根伸夫、3.身体；イヴ・クライン(重)、ロバート・ラウシェンバーグ＆スーザン・ウエイル、ロバート・ラウシェンバーグ(重)、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・モリス(重)、ヘルマン・ニッチ、アンディ・ウォーホル、アナ・メンディエッタ、マリーナ・アブラモヴィッチ、デニス・オッペンハイム、ヴィトー・アコンチ、ルドルフ・シュワルツコグラー、白髪一雄(重)、中西夏之、榎忠、4.物質；ルドルフ・シュワルツコグラー(重)、吉原治良、吉田稔郎(重)、石橋泰幸、桜井孝身、尾花成春、白髪富士子、吉村益信、5.破壊；オットー・ミュール(重)、アルマン、サイ・トゥオンブリー、ジム・ダイン、バリー・ル・ヴァ、村上三郎(重)、嶋本昭三(重)、高松次郎、山崎つる子、向井修二、6.転写；ロバート・ラウシェンバーグ(重)＆ジョン・ケージ、ロバート・ラウシェンバーグ(重)、ジャスパー・ジョーンズ(重)、ロバート・モリス(重)、メル・ボックナー、高松次郎(重)、北辻良央、榎倉康二、中西夏之(重) 、北辻良央(重)、榎倉康二(重)、中西夏之(重)、7.時間；デニス・オッペンハイム(重)、ロバート・スミッソン、リチャード・ロング、マリーナ・アブラモヴィッチ(重)＆ウーライ、田中敦子、高松次郎(重)、榎倉康二(重)、成田克彦、野村仁、河口龍夫、文承根、8.思考；ローマン・オパルカ、ソル・ルウィット、メル・ボックナー(重)、狗巻賢二、辰野登恵子、沢居曜子、野村仁(重)〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
痕跡――戦後美術における身体と思考

京都国立近代美術館　2004 年 11 月
尾﨑信一郎：痕跡―苛酷なる現実としての美術
ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン：イメージ――航跡
リチャード・シフ：指標と似せもの
フーベルト・クロッカー：超過とプロセス――ウィーン・アクショニズム
尾﨑信一郎：章解説、作品解説
尾﨑信一郎編：関係年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング ●
欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art 6：Emotional Drawing」
会期：2008 年 8 月 26 日－10 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館／11 月 18 日－12 月 21 日　京都国立近代美術館
主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館・国際交流基金〔巡回 2-2〕
―→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

生存のエシックス ワークブック ●
欧文タイトル：「Trouble in Paradise」
会期：2010 年 7 月 9 日－8 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館、特別協力：京都市立芸術大学
出品：プロジェクト日本関係者；森公一、高橋悟、松井紫朗、森本幸裕、井上明彦、石原友明、中原浩大、中ハシ克シゲ〔一覧順〕
○展覧会カタログ
生存のエシックス ワークブック
京都国立近代美術館　2010 年 7 月 8 日　京都市立芸術大学 130 周年記念事業協賛　バインダー使用
高橋 悟：歩行ガイド
十一元三：発達障害を通じた医療と芸術のクロストーク〈対人相互性と動〉
立木康介：芸術・思考・心的空間
岩城見一：「生存のエシックス」のために〈「表現論理」の意味を考える〉
池澤茉莉、河本信治、永田絵里、牧口千夏：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図

「日本画」の前衛 1938-1949 ●
欧文タイトル：「The Avant-Garde of “Nihonga” 1938-1949」
会期：2010 年 9 月 3 日－10 月 17 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館／2011 年 1 月 8 日－2 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館／2 月 22 日－3 月 27 日　広島県立美術館　主催：広島県立美術館・イズミテクノ・中国新聞社・京都国立近代美術館

出品：II 前衛集団「歴程美術協会」の軌跡；船田玉樹。III「洋画」との交錯、「日本画と洋画」のはざまに；丸木位里、船田玉樹(重)、北脇昇、堀尾実。V 戦後の再生、「パンリアル」結成への道；山崎隆、三上誠、下村良之介、星野真吾、不動茂弥〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

「日本画」の前衛 1938-1949

京都国立近代美術館　2010 年 9 月　英語版(全 34p.)共 2 冊

山野英嗣：「日本画」の前衛 1938-1949

永井明生：歴程美術協会の結成と変容～離脱と再建の二つの流れ

山野英嗣：章解説

山野英嗣、永井明生、藤崎綾：作品解説

川井遊木・山野英嗣編：「日本画」の前衛 1938-1949 関連年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研(2 冊)、東博資(2 冊)、都現美、江戸博(2 冊)、神近美、横浜美(2 冊)、愛芸文(2 冊)、東大駒、和光大(2 冊)、国会図、都中図(2 冊)

映画をめぐる美術――マルセル・ブロータースから始める ●

欧文タイトル：「Reading Cinema, Finding Words：Art after Marcel Broodthaers」

会期：2013 年 9 月 7 日－10 月 27 日　京都国立近代美術館／2014 年 4 月 22 日－6 月 1 日　竹橋・東京国立近代美術館

主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館・京都新聞社〔巡回 2-1〕

出品：田中功起、やなぎみわ

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

映画をめぐる美術――マルセル・ブロータースから始める

京都国立近代美術館　2013 年 9 月 7 日

牧口千夏：映画を読む、言葉を探す――マルセル・ブロータースから始めてみる

リピット水田堯：無メディウム――映像アート

エリック・デ・ブロイン：マルセル・ブロータース：シネマ・モデル

小林朋世、池澤茉莉編：主要展覧会歴

良知暁編：主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

あの時みんな熱かった! アンフォルメルと日本の美術 ●

欧文タイトル：「A Feverish Era：Art Informel and the Expansion of Japanese Artistic Expression in the 1950s and ’60s」

会期：2016 年 7 月 27 日－9 月 11 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館〔展覧会カタログに記載が無いため同館ホームページに拠った〕

出品：第 1 章 ミシェル・タピエとアンフォルメル；ジョルジュ・マチュー、アンス・アルトゥング、ポール・ジェンキンス、ルーチョ・フォンタナ、カレン・アペル、フランコ・ガレ

ッリ、マーク・トビー、サム・フランシス、ジュゼッペ・カポグロッシ、ジャン＝ポール・リオペル、ジャン・デュビュッフェ、ジャン・フォートリエ。第 2 章 身体・アクション・線の流動；井上有一、森田子龍、比田井南谷、吉原治良、津高和一、堂本印象、大西茂、田淵安一、川端実、横山操、鷲見康夫、白髪一雄、伊沢宏子、村上三郎、堂本尚郎、番浦省吾、佐野猛夫、今井俊満、鶴岡政男、難波田龍起、不動茂弥、河井寛次郎、嶋本昭三、篠原有司男。第 3 章 原始・生命・生態的イメージ；岡本太郎、岡部嶺男、鈴木治、利根山光人、水谷勇夫、星野真吾、元永定正、田中敦子、松谷武判、山本敬輔、熊倉順吉、八木一夫、森野泰明、勅使河原蒼風、向井良吉、村岡三郎、藤本能道、麻田脩二、久保金平。第 4 章 反復・集合・覆われる画面；麻生三郎、赤穴宏、荻太郎、工藤甲人、児玉希望、本野東一、正延正俊、三上誠、郭徳俊、伊藤久三郎、丸木位里、中西夏之、針生鎮郎、高瀬善明、伊藤隆康、東松照明、向井修二、末松正樹、三輪晁勢、猪原大華、佐藤敬、宮脇愛子。第 5 章 マチエール・物質；村井正誠、上前智祐、下村良之介、斎藤義重、麻田鷹司、辻晋堂、寺尾恍示、大野俶嵩、野村耕、小野忠弘、吉原通雄、名合孝之、三浦景生、冬木偉沙夫、楠田信吾、岩田重義、野村久之、菊畑茂久馬、桜井孝身、山内重太郎、俣野衛、高松次郎、荒川修作、工藤哲巳〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

あの時みんな熱かった! アンフォルメルと日本の美術

京都国立近代美術館　2016 年 7 月 27 日

平井章一：日本におけるアンフォルメルとその役割

平井章一：章解説

平井章一編：関連年表

松原龍一、平井章一、小倉実子、大村菜生、平井菊花：作家略歴

平井章一編：主要参考和文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

国立国際美術館

日本の美、その色とかたち ●

欧文タイトル：「Aesthetics in Japanese Art：Form and Colour」

会期：1977 年 10 月 15 日－12 月 18 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：徳岡神泉、菅井汲、前田常作、竹谷富士雄、横山操、西山翠嶂、丸木位里、上阪雅人、津高和一、前田青邨、堅山南風、山口正城、吉原治良、久松真一、福田平八郎、岩橋英遠、平川敏夫、加山又造、東山魁夷、岡田謙三、鳥海青児、高井貞二、川島猛、熊谷守一、大沢昌助、川端龍子、山本丘人、平山郁夫、田中信太郎、永井一正、植木茂、木村賢太郎、木内克、棟方志功、辻村ジュサブロー、篠原有司男〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

日本の美、その色とかたち

国立国際美術館　1977 年 10 月 15 日　開館記念展
本間正義：日本の美、その色とかたち
谷川俊太郎：詩
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

青い眼、黒い眼 日本人画家のフランス体験 エコール・ド・パリからアンフォルメルへ… ●
欧文タイトル：「Les peintres japonais et la France－de l'Ecole de Paris à l'Informel」
会期：1978 年 1 月 21 日－3 月 21 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：青山義雄、荒木哲夫、麻田浩、堂本尚郎、浜口陽三、長谷川潔、平賀敬、今井俊満、岩田栄吉、木村忠太、鬼頭曄、荻須高徳、岡本太郎、佐藤敬、菅井汲、田淵安一、竹谷富士雄、田中阿喜良、渡辺恂三〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。
○展覧会カタログ
青い眼、黒い眼 日本人画家のフランス体験 エコール・ド・パリからアンフォルメルへ…
国立国際美術館　1978 年 1 月 21 日
村田慶之輔：日本人画家のフランス体験〈エコール・ド・パリからアンフォルメルへ〉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒

近代イタリア美術と日本〈作家の交流をめぐって〉 ●
欧文タイトル：「ITALY AND JAPAN　art in last ten decades」
会期：1979 年 10 月 6 日－12 月 2 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：阿部展也、吾妻兼治郎、千葉勝、福家靖男、古郡弘、長谷川路可、絹谷幸二、長澤英俊、中井克巳、緒方良信、里中英人、関根伸夫、菅原二郎、高橋秀、鳥羽郁世、豊福知徳、辻本和之、山縣寿夫、山本正道、保田春彦〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
近代イタリア美術と日本〈作家の交流をめぐって〉
国立国際美術館　1979 年 10 月 6 日
本間正義：序
イオレ・デ・サンナ：20 世紀イタリア美術史概観
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

まがいものの光景　現代美術とユーモア ●
欧文タイトル：「Simulated Images in Contemporary Art」
会期：1980 年 7 月 25 日－9 月 23 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：靉嘔、伊藤隆康、草間彌生、重村三雄、シノダ・ユウ、篠原有司男、島州一、須賀啓、鈴木慶則、建畠覚造、谷川晃一、七彩工芸グループ(欠田誠ほか)、福田繁雄、三島喜美代、向井修二、村岡三郎、持田総章、若江漢字〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

まがいものの光景　現代美術とユーモア

国立国際美術館　1980 年 7 月　1 枚(両面刷、ポスター大)

建畠 哲：おかしな部屋

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、横浜美、京都学

現代の絵画〈東欧と日本〉●

欧文タイトル：「Contemporary Painting in Eastern Europe and Japan」

会期：1981 年 2 月 20 日－3 月 1 日　横浜・神奈川県立県民ギャラリー　主催：国際芸術文化振興会／3 月 5 日－31 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・国際芸術文化振興会

出品：日本；藤井一、川井昭夫、木村光佑、黒川博、黒崎彰、松本旻、宮脇愛子、野田哲也、小田襄、大野忠男、斎藤俊徳、田中孝、谷口茂、塚原琢哉〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代の絵画〈東欧と日本〉

国際芸術文化振興会　1981 年 2 月

リシャルド・スタニスエアフスキー：東欧の現代美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、京都学

現代ラテン・アメリカ美術と日本 ●

欧文タイトル：「Arte Latinoamericano Contemporáneo y Japón」

会期：1981 年 10 月 2 日－12 月 6 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：福島近、福島隆志、近藤敏、越石幸子、楠野友繁、間部学、中久保益男、大竹富江、豊田豊、若林和男、村田簀史雄、ルイス・西沢、酒井和也、高橋清、竹田鎮三郎、利根山光人〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家・日系作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代ラテン・アメリカ美術と日本

国立国際美術館　1981 年 10 月 2 日

マルク・ベルコウィッツ：ラテン・アメリカの美術について

ヨシダ・ヨシエ：ブラジルの現代美術とメスティソ文化

本間正義：中米メキシコの現代美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大

現代美術への視点 メタファーとシンボル〔第 1 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：METAPHOR and/or SYMBOL」

会期：1984 年 11 月 23 日－1985 年 1 月 20 日　竹橋・東京国立近代美術館／1985 年 2 月 1 日－3 月 10 日　吹田市・国立国際美術館

主催：国立国際美術館・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

絵画の嵐・1950 年代〈アンフォルメル／具体美術／コブラ〉●

欧文タイトル：「Action et Emotion, Peintures des Années 50：Informel, Gutaï, Cobra」

会期：1985 年 9 月 27 日－11 月 26 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：コプラ；ピエール・アレシンスキー、カーレル・アペル、コンスタン、コルネイユ、ジャン=ミシェル・アトラン、アイラー・ビル、ユージェヌ・ブランド、クリスチャン・ドートルモン、モーゲンス・バル、フーゴ・クラウス、カールオットー・フルテン、セルジュ・ヴァンデルカン、ジャック・ドゥーセ、カール=オットー・ゲッツ、スヴァヴァル・グッズナソン、ヘンリ・ヘールプ、エーギル・ヤコブセン、アスガー・ヨルン、ゾルタン・ケメーニ、ルースベール、エーリク・オルトヴァード、アンダース・エースタリン、カール＝ヘニング・ペーゼルセン、アントン・ロースケンス、シンキチ・タジリ、テーオ・ウォルヴェカンプ、アンフォルメル；フランコ・アセット、カミーユ・ブリエン、ジュゼッペ・カポグロッシ、クリスト・コッチ、堂本尚郎、ジャン・デッビュッフェ、クレール・ファルケンスタン、ジャン・フォートリエ、ルチオ・フォンタナ、サム・フランシス、ハンス・アルトゥング、今井俊満、ポール・ジェンキンス、ジョルジュ・マチウ、アンリ・ミショー、アルフォンソ・オッソリオ、ジャン＝ポール・リオペル、サレス、アントニオ・サウラ、イヤロスラフ・セルパン、ピエール・スーラージュ、アントニ・タピエス、ヴォルス、具体美術；金山明、前川強、正延正俊、元永定正、向井修二、村上三郎、嶋本昭三、白髪富士子、白髪一雄、鷲見康夫、田中敦子、上前智祐、浮田要三、吉田稔郎、吉原治良、吉原通雄、同時代の関連作家；森田子龍、大西茂、菅井汲、田淵安一、勅使河原蒼風〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

絵画の嵐・1950 年代〈アンフォルメル／具体美術／コブラ〉

国立国際美術館　1985 年 9 月 27 日

ジャン=クラランス・ランベール、松浦寿夫訳：コブラの精神

シルヴァン・ルコンブル、尾﨑信一郎訳：アンフォルメルとその周辺

建畠 哲：生成するタブロー――具体美術協会の 1950 年代

塩田昌弘：1950 年代の前衛書道と前衛いけばな

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、都中図

絵画 1977－1987〈開館 10 周年記念〉●

欧文タイトル：「The Tenth Anniversary Exhibition / PAINTING 1977－1987」

会期：1987 年 10 月 3 日－12 月 6 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：荒瀬景敏、菊畑茂久馬、桑山忠明、関口敦仁、田窪恭治、辰野登恵子、中里斉、中原浩大、根岸芳郎、彦坂尚嘉、堀浩哉、松尾直樹、松本陽子、山田正亮、山本富章、横溝秀実、吉本作次、依田寿久、李禹煥、ジェニファー・バートレット、ジョナサン・ボロフスキー、サンドロ・キア、フランチェスコ・クレメンテ、チェマ・コボ、エンツォ・クッキ、ジム・ダイン、ブライス・マーデン、アグネス・マーチン、ロバート・モリス、A・R・ペンク、ゲルハルト・リヒター、スーザン・ローゼンバーグ、ロバート・ライマン、ザロメ、ジュリアン・シュナベール、ホセ・マリア・シチーリア、フランク・ステラ、サイ・トゥオンブリー

〔作家索引順〕

〇展覧会カタログ

絵画 1977－1987〈開館 10 周年記念〉

国立国際美術館　1987 年 10 月 3 日

中村敬治：序

尾野正晴：絵画空間における「揺らぎ」

建畠 哲：遡行と生成

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

ドローイングの現在 ●

欧文タイトル：「Drawing as Itself」

会期：1989 年 10 月 7 日－11 月 26 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：ジョナサン・ボロフスキー、ハンネ・ダルボーヴェン、ハンス・ホライン、池村玲子、アンゼルム・キーファー、イム・クヌーベル(本名ヴォルフガング・クヌーベル)、ソル・ルウィット、ロイ・リキテンシュタイン、ブライス・マーデン、ヴァルター・ピヒラー、ジグマール・ポルケ、アルヌルフ・ライナー、ゲルハルト・リヒター、リチャード・セラ、フランク・ステラ、サイ・トゥオンブリ、磯崎新、宇佐美圭司、遠藤利克、柏原えつとむ、加納光於、川俣正、菊畑茂久馬、小林正人、高松伸、高松次郎、辰野登恵子、中村一美、矢野美智子、山田正亮、李禹煥、若林奮〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

ドローイングの現在

国立国際美術館　1989 年 10 月 7 日

村田慶之輔：ドローイングの状況

バーニス・ローズ：今日のドローイング：流用と順応

建畠 哲：線の遅延

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大

ミニマル・アート ●

欧文タイトル：「MINIMAL ART」

会期：1990 年 10 月 6 日－11 月 25 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：カール・アンドレ、ラリー・ベル、ダン・フレイヴィン、ドナルド・ジャド、エルスワース・ケリー、ソル・ルウィット、ロバート・マンゴールド、ブライス・マーデン、アグネス・マーチン、ロバート・モリス、バーネット・ニューマン、アド・ラインハート、ロバート・ライマン、リチャード・セラ、フランク・ステラ、桑山忠明、小清水漸、榊健、辰野登恵子、田中信太郎、原口典之、福嶋敬恭、山田正亮、吉田克朗、李禹煥〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

ミニマル・アート

国立国際美術館　1990 年 10 月 6 日

村田慶之輔：はじめに－ミニマル・アートの遠近

藤枝晃雄：ミニマル・アート〈立体への過程〉
尾野正晴：ミニマル・アートにおける絵画
建畠 哲：もの派とミニマリズム
桑山忠明、小清水漸、辰野登恵子、原口典之、山田正亮、李禹煥：〔作家のことば〕
中村敬治、藤枝晃雄：〔解説〕
註：カタログの「解説」に関しては日本人作家のみ記載した。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、東大駒、和光大、国会図

芸術と日常〈反芸術／汎芸術〉●

欧文タイトル：「Japanese Anti-Art：Now and Then」
会期：1991 年 10 月 10 日－12 月 1 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：赤瀬川原平、秋山祐徳太子、荒川修作、榎忠、菊畑茂久馬、工藤哲巳、小島信明、佐藤正明、ザ・プレイ〔THE PLAY〕、篠原有司男、高松次郎、谷川晃一、中村宏、平賀敬、福岡道雄、村岡三郎、森村泰昌、山中信夫、吉野辰海、吉村益信〔作家索引順〕
○展覧会カタログ
芸術と日常〈反芸術／汎芸術〉
国立国際美術館　1991 年 10 月 10 日
三木多聞：日本の現代美術 1950～60 年代
中村敬治：芸術と日常
榮樂徹編：出品作家関連年表 付・関連評論
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

彫刻の遠心力－この十年の展開 ●

欧文タイトル：「CENTRIFUGAL SCULPTURE An Aspect of Japanese Sculpture in the Last Decade」
会期：1992 年 10 月 10 日－11 月 29 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：今村源、石原友明、小泉俊己、幸村真佐男、久保田成子、宮崎豊治、内藤礼、中原浩大、中ハシ克シゲ、髙柳恵里、寺内曜子、山崎亨、森村泰昌、近藤滋〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
彫刻の遠心力－この十年の展開
国立国際美術館　1992 年 10 月 10 日
中村敬治：彫刻の遠心力
中村敬治、島敦彦：解説
島敦彦編：関連年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

現代美術への視点 形象のはざまに〔第 3 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Among the Figures」
会期：1992 年 9 月 22 日－11 月 8 日　竹橋・東京国立近代美術館／12 月 12 日－1993 年 1

月 31 日　吹田市・国立国際美術館

主催：国立国際美術館・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

現代の染め ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TEXTILE DESIGN-DYEING」

会期：1994 年 9 月 1 日－27 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：麻田脩二、市村冨美夫、井隼慶人、兼先恵子、河田孝郎、澁谷和子、新道弘之、福本繁樹、福本潮子、本田昌史、三橋遵、森口邦彦、八幡はるみ、山口通恵、吉田晃良〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代の染め

国立国際美術館　1994 年 9 月

木村重信：あいさつ

福永重樹：現代の染め

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、国会図

抽象美術へのいざない ●

欧文タイトル：「INVITATION TO ABSTRACT ART」

会期：1995 年 8 月 14 日－9 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：桑山忠明、榎倉康二、斎藤義重、岡田謙三、山口長男、中里斉、元永定正、高橋秀、吉原治良、森田子龍、井上有一、津高和一、須田剋太、菅井汲、白髪一雄、嶋本昭三、今井俊満、堀浩哉、依田寿久、高松次郎、李禹煥、山田正亮、榊健、草間彌生、瑛九、坂田一男、堀内正和、秋岡美帆、福岡道雄、中原浩大、辰野登恵子〔出品作品一覧順〕

註：出品欄は日本作家を収載。坂田一男のみ戦前作品。

○展覧会カタログ

抽象美術へのいざない

国立国際美術館　1995 年 8 月 14 日

中西博之：〔解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

紙の世界 ●

欧文タイトル：「THE WORLD OF PAPER」

会期：1995 年 10 月 5 日－12 月 3 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：井田照一、伊部京子、扇千花、橿尾正次、角永和夫、北山善夫、志水正明、高田洋一、田中哲子、長谷光城、長谷川勢津子、八田豊、福本浩子〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

紙の世界

国立国際美術館　1995 年 10 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、江戸博、東大駒、国会図

美術家の冒険〈多面化する表現と手法〉●

欧文タイトル：「PROTEAN ARTISTS OF THE TIMES」

会期：1996 年 9 月 5 日－11 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：柳幸典、和田千秋、土佐尚子、アイデアル・コピー、大森裕美子、三輪美津子、岡崎乾二郎〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

美術家の冒険〈多面化する表現と手法〉

国立国際美術館　1996 年 9 月 5 日

中西博之：美術家の展覧会

中西博之：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

重力－戦後美術の座標軸 ●

欧文タイトル：「GRAVITY－Axis of Contemporary art」

会期：1997 年 10 月 30 日－12 月 9 日　吹田市・国立国際美術館 主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

出品：1.水平の絵画；ハンス・ネイムス、ヘレン・フランケンサーラー、モーリス・ルイス、嶋本昭三、白髪一雄、村上三郎、元永定正、吉原通雄、吉田稔郎、松谷武判。2.身体と位置；デニス・オッペンハイム、ブルース・ナウマン、リチャード・セラ、河口龍夫、植松奎二、野村仁、榎倉康二。3.落下と着地；リチャード・セラ(重)、キース・ソニア、ロバート・モリス、アラン・サレット、ロバート・スミッソン、リンダ・ベングリス、エヴァ・ヘス、ジョン・マックラッケン、メル・ボックナー、ロバート・ラウシェンバーグ、元永定正(重)、吉田稔郎(重)、高松次郎、関根伸夫、吉田克朗、小清水漸。4.重量という原理；カール・アンドレ、リチャード・セラ(重)、ロバート・スミッソン(重)、マイケル・ハイザー、リンダ・ベングリス（重）、デヴィッド・ラビノヴィッチ、バリー・ル・ヴァ、李禹煥、関根伸夫(重)、吉田克朗(重)、原口典之、菅木志雄、植松奎二(重)、野村仁(重)、曽我孝司〔出品作品リスト順〕

註：ジャクソン・ポロックは作家略歴に収載されているが出品作品リストには無。

○展覧会カタログ

重力－戦後美術の座標軸

国立国際美術館　1997 年 10 月 30 日

尾﨑信一郎：重力―戦後美術の座標軸

イヴ＝アラン・ボア：重力というパンドラの箱

ロザリンド・クラウマ：視覚的無意識 第 6 章

尾﨑信一郎編：「重力―戦後美術の座標軸」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

瀧口修造とその周辺 ●

欧文タイトル：「To and From Shuzo Takiguchi」

会期：1998 年 8 月 6 日－9 月 27 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：瀧口修造、滝口修造＋岡崎和郎、マルセル・デュシャン、リチャード・ハミルトン、荒川修作、池田龍雄、岡崎和郎、加納光於、加納光於＋大岡信、菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、中西夏之、宮脇愛子、ジョセフ・コーネル、サム・フランシス、ジャスパー・ジョーンズ、アンリ・ミショー、ジョアン・ミロ、ジョアン・ミロ＋滝口修造、阿部展也、阿部芳文〔展也〕＋滝口修造〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
瀧口修造とその周辺
国立国際美術館　1998 年 8 月 6 日
島 敦彦：瀧口修造とその周辺
島敦彦編：瀧口修造略年譜
島敦彦編：瀧口修造 主要著作・関連文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、愛芸文、国会図

芸術と環境－エコロジーの視点から ●
欧文タイトル：「ART AND THE ENVIRONMENT FROM AN ECOLOGICAL POINT OF VIEW」
会期：1998 年 10 月 8 日－11 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団
出品：ユゼフ・シャイナ、モンティエン・ブンマー、フェリックス・シュテファン・フーバー、ミロスワフ・バウカ、PH スタジオ、石内都〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
芸術と環境－エコロジーの視点から
国立国際美術館　1998 年 10 月　主に英文併載
加須屋明子：芸術と環境――エコロジーの視点から
ヤン・リルケ：文化の中のエコロジー
クリスティーナ・ヴィルコシェフスカ：エコロジー的美学は可能か?
マリア・モジューフ：銀の重さの体にちなんだ千年祭
PH スタジオ、石内都：〔作家のことば〕
加須屋明子編：主要参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

日韓現代美術展〈自己と他者の間〉 ●
欧文タイトル：「Between the Unknown Straits」
会期：1998 年 10 月 15 日－11 月 23 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・社団法人国際芸術文化振興会・韓日美術交流振興会／1999 年 4 月 8 日－5 月 16 日　吹田市・国立国際美術館
主催：国立国際美術館・社団法人国際芸術文化振興会・韓日美術交流振興会〔巡回 2-2〕
――→目黒区美術館〔巡回 2-1〕

空間体験：[国立国際美術館]への 6 人のオマージュ ●

欧文タイトル：「Space Experiences：Homage to The National Museum of Art, Osaka」

会期：2000 年 6 月 15 日－7 月 16 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：寺内曜子、祐成政徳、平松伸之、和田みつひと、リヴァーニ・ノイエンシュワンダー、前沢知子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

空間体験：[国立国際美術館]への 6 人のオマージュ

国立国際美術館　2000 年 6 月　英文併載

中西博之：空間体験：《国立国際美術館》への 6 人のオマージュ

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

主題としての美術館〈美術館をめぐる現代美術〉 ●

欧文タイトル：「MUSEUM AS SUBJECTS」

会期：2001 年 10 月 25 日－12 月 11 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

出品：アンドレアス・グルスキー、アレックス・ハートレー、カンディーダ・ヘーファー、ジャック・レイルナー、ウテ・リンドナー、イネス・ロンバルディ、ヴィック・ムニーズ、クリスチャン・フィリップ・ミュラー、トーマス・シュトゥルート、杉本博司、竹岡雄二、フレッド・ウィルソン、ハイモ・ツォーベルニク、マーク・ダイオン、ジェイスン・シモン、ケート・エリクソン、メル・ジーグラー〔出品作品目録順〕

○展覧会カタログ

主題としての美術館〈美術館をめぐる現代美術〉

国立国際美術館　2001 年 11 月序

中西博之：美術館についての美術展

青木康子、内村周、中西博之、松本尚、宮田有香編：略歴〔主に欧文〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

主題としての美術館〈美術館をめぐる現代美術〉

国立国際美術館　2001 年 10 月　1 枚(両面刷)

中西博之：美術館についての美術展

所蔵：□、国新美、東近美、神近美

いま、話そう――日韓現代美術展 ●

欧文タイトル：「A Second Talk：Contemporary Art from Korea and Japan」

会期：2002 年 8 月 1 日－9 月 10 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・韓国国立現代美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

出品：岩城直美、木村友紀、松井智恵、松尾藤代、坂上チユキ〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

いま、話そう――日韓現代美術展

国立国際美術館　2002 年 8 月 1 日　2002 年日韓国民交流年記念事業

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、東大駒、国会図

現代美術への視点 連続と侵犯〔第 5 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Continuity / Transgression」

会期：2002 年 10 月 29 日－12 月 23 日　竹橋・東京国立近代美術館／2003 年 1 月 16 日－3 月 23 日　吹田市・国立国際美術館

主催：国立国際美術館・東京国立近代美術館・ダイキン工業現代美術振興財団〔巡回 2-2〕

――→東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

マルセル・デュシャンと 20 世紀美術 ●

欧文タイトル：「Marcel Duchamp and the 20th Century Art」

会期：2004 年 11 月 3 日－12 月 19 日　大阪・国立国際美術館／2005 年 1 月 5 日－3 月 21 日　横浜美術館

主催：国立国際美術館・朝日新聞社・朝日放送〔巡回 2-1〕

出品：第 1 部；マルセル・デュシャン。第 2 部；荒川修作、藤本由紀夫、菊畑茂久馬、久保田成子、工藤哲巳、森村泰昌、岡崎和郎、篠原有司男、瀧口修造、横尾忠則、吉村益信〔作品リスト順〕

註：出品欄は第 2 部の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

マルセル・デュシャンと 20 世紀美術

朝日新聞社　2004 年 11 月

マイケル・R・テーラー：ブラインド・マンの虚勢

河合哲夫：デュシャンのミュンヘン滞在

北山研二：ノートのマルセル・デュシャン、蝶番の思索者

平芳幸浩：章解説、作家解説

平芳幸浩：鏡の送り返し――デュシャン以降の芸術

橋本梓・濱田真由美編：マルセル・デュシャン関連年譜

濱田真由美編：マルセル・デュシャン主要参考文献リスト

濱田真由美編：マルセル・デュシャン主要展覧会歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

もの派－再考 ●

欧文タイトル：「Reconsidering Mono-ha」

会期：2005 年 10 月 25 日－12 月 18 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：高松次郎、鈴木慶則、前田守一、飯田昭二、丹波勝次、小池一誠、李禹煥、関根伸夫、菅木志雄、榎倉康二、原口典之、小清水漸、吉田克朗、成田克彦、高山登、狗巻賢二、野村仁〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

もの派－再考

国立国際美術館　2005 年 10 月

中井康之：「もの派―再考」

峯村敏明：存在を問う美術の系譜

中井康之編：図版〔カタログ〕

鈴木慶則：表現に於ける石子順造の呪縛〈絵画とは何物か〉

飯田昭二：石子順造と「幻触れ」の者たち

関根伸夫：〈もの派〉誕生のころ

高山 登：枕木について

狗巻賢二：資質としてのミニマム・アーチスト。

野村 仁：Tardiology

李禹煥：もの派―内と外の出会いによって

菅 木志雄：〈ものはあるように、あった〉

酒井安純等編：〔出品作家〕略歴・国内文献・海外文献

濱田真由美編：もの派関連年表

酒井安純：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、国会図、都中図

現代美術の皮膚 ●

欧文タイトル：「Skin of / in Contemporary Art」

会期：2007 年 10 月 2 日－12 月 2 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：マーク・クライン、キキ・スミス、オルラン、レスリー・ディル、ティム・ホーキンソン、イ・ドンウ、林智子、フィリップ・ブロフィ、小谷元彦、ヤン・ファーブル、西尾康之〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代美術の皮膚

国立国際美術館　2007 年 10 月

平芳幸浩：現代美術と皮膚

斎藤 環：アートの皮膚／皮膚のアート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

液晶絵画 ●

欧文タイトル：「STILL / MOTION」

会期：2008 年 2 月 14 日－4 月 13 日　津・三重県立美術館／4 月 29 日－6 月 15 日　大阪・国立国際美術館／8 月 23 日－10 月 13 日　東京都写真美術館

主催：国立国際美術館・朝日放送・朝日新聞社〔巡回 3-2〕

――→三重県立美術館〔巡回 3-1〕

絵画の庭－ゼロ年代日本の地平から ●

欧文タイトル：「Fifth Anniversary Exhibition：Garden of Painting Japanese Art of the

00s」

会期：2010 年 1 月 16 日－4 月 4 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日新聞社・朝日放送

出品：草間彌生、O JUN、奈良美智、小林孝亘、長谷川繁、村瀬恭子、会田誠、法貴信也、加藤泉、杉戸洋、町田久美、正木隆、栗田咲子、青木陵子、中山玲佳、加藤美佳、タカノ綾、花澤武夫、秋吉風人、森千裕、池田光弘、岩永忠すけ、小沢さかえ、牧嶋武史、はまぐちさくらこ、後藤靖香、坂本夏子、厚地朋子〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

絵画の庭－ゼロ年代日本の地平から

国立国際美術館　2010 年 1 月

島 敦彦：絵画の庭－ゼロ年代日本の地平から

建畠哲、橋本梓、植松由佳、島敦彦、中井康之、小野尚子、池田絵美子、高嶋慈：作品解説

小野尚子・池田絵美子、高嶋慈編：作家略歴

橋本梓・宮田有香編：関連年表〈絵画展を中心とした日本の美術動向 1995.1-2009.10〉

註：第 2 版あり。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

風穴 もうひとつのコンセプチュアリズム、アジアから ●

欧文タイトル：「Kaza Ana / Air Hole：Another From of Conceptualism from Asia」

会期：2011 年 3 月 8 日－6 月 5 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：プレイ、アラヤー・ラートチャムルーンスック、ディン・Q・レー、立花文穂、島袋道浩、邱志傑、ヤン・ヘギュ、木村友紀、contact Gonzo〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

風穴 もうひとつのコンセプチュアリズム、アジアから

国立国際美術館　2011 年 3 月　未製本(7 折、全 88 ページ)

橋本 梓：風穴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

世界制作の方法 ●

欧文タイトル：「Ways of Worldmaking」

会期：2011 年 10 月 4 日－12 月 11 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：エキソニモ、パラモデル、青木陵子＋伊藤存、クワクボリョウタ、木藤純子、鬼頭健吾、金氏徹平、大西康明、半田真規〔出品作品順〕

〇展覧会カタログ

世界制作の方法

国立国際美術館　2011 年 10 月　英文併載

牟田 淳：宇宙創成の論理

中井康之：世界制作の方法
下谷涼子、関聖美、大久保優、佐藤龍一郎・作成：略歴・主要文献
八木雄二：西ヨーロッパ中世の精神
池田良子、小野尚子、宮田有香：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

リアル・ジャパネスク〈世界の中の日本現代美術〉●

欧文タイトル：「Real Japanesque：The Unique World of Japanese Contemporary Art」
会期：2012 年 7 月 10 日－9 月 30 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：泉太郎、大野智史、貴志真生也、佐藤克久、五月女哲平、竹川宣彰、竹﨑和征、南川史門、和田真由子〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
リアル・ジャパネスク〈世界の中の日本現代美術〉
国立国際美術館　2012 年 7 月　別冊共 2 冊
中西博之：ユニークさを求めて
中西博之：作家解説
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美(別冊共)、横浜美(別冊共)、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大(別冊共)、国会図、都中図

ノスタルジー＆ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉 ●

欧文タイトル：「Nostalgia and Fantasy：Imagination and Its Origins in Contemporary Art」
会期：2014 年 5 月 27 日－9 月 15 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：北辻良央、柄澤齊、山本桂輔、小西紀行、橋爪彩、小橋陽介、須藤由希子、棚田康司、横尾忠則、淀川テクニック〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
ノスタルジー＆ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉
国立国際美術館　2014 年 5 月
安來正博：世界の片隅で現代美術が見る夢
安來正博：作家解説
岡部るい、楠本愛、高木瑞季：作家略歴
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

他人の時間 ●

欧文タイトル：「Time of others」
会期：2015 年 4 月 11 日－6 月 28 日　東京都現代美術館／7 月 25 日－9 月 23 日　大阪・国立国際美術館／11 月 19 日－2016 年 2 月 28 日　シンガポール美術館／6 月 11 日－9 月 18 日　クイーンズランド州立美術館現代美術館
主催：国立国際美術館・東京都現代美術館・シンガポール美術館・クィーンズランド州立美

術館現代美術館・国際交流基金アジアセンター〔巡回・国内 2-2〕
――→東京都現代美術館〔巡回・国内 2-1〕

エッケ・ホモ〈現代の人間像を見よ〉●

欧文タイトル：「ECCE HOMO The Human Images in Contemporary Art」

会期：2016 年 1 月 16 日－3 月 21 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日新聞社

出品：1 日常の悲惨；鶴岡政男、石井茂雄、山下菊二、中村宏、尾藤豊、桂川寛、芥川〔間所〕紗織、浜田知明、池田龍雄、靉嘔、工藤哲巳、荒川修作、吉仲太造、村岡三郎、北山善夫。2 肉体のリアル；小谷元彦、西尾康之、木下晋、石内都、塩田千春。3 不在の肖像；小林孝亘、内藤礼、オノデラユキ、森村泰昌、田口和奈、北野謙、島袋道浩〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

エッケ・ホモ〈現代の人間像を見よ〉

国立国際美術館　2016 年 1 月　特別展

福元崇志：予兆と反転――現代の人間像は、見えない

中井康之：現代の人間表現について〈アルベルト・ジャコメッティの芸術と小谷元彦の芸術との距離〉

福元崇志：章解説

中井康之、小野寺結、尹志慧、福元崇志、高見澤なごみ、楠本愛、古俣皓隆、池田あけみ：作家・作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

視覚芸術百態 19 のテーマによる 196 の作品 ●

欧文タイトル：「The Myriad Forms of Visual Art：196 Works with 19 Themes」

会期：2018 年 5 月 26 日－7 月 1 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：高松次郎、五月女哲平、村上友晴、内藤礼、秋吉風人、篠原有司男、荒木悠、宮脇愛子、岡崎乾二郎、竹岡雄二、岡崎和郎、工藤哲巳、畠山直哉、三木富雄、関根伸夫、タイガー立石、斎藤義重、舟越桂、柳原義達、八木一夫、森山大道、吉野辰海、中原浩大、落合多武、柴田敏雄、小林孝亘、髙柳恵里、中西夏之、宮本隆司、竹﨑和征、河原温、山城隆一、横尾忠則、小川信治、高橋尚愛、李禹煥、村岡三郎、元永定正、柳幸典、オノデラユキ〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

視覚芸術百態 19 のテーマによる 196 の作品

国立国際美術館　2018 年 5 月 26 日　英文併載　バインダー使用

中西博之：所蔵作品展について

鈴木宏昭：認知科学から見る認識と言葉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、国会図

ニュー・ウェイブ 現代美術の 80 年代 ●

欧文タイトル：「New Wave：Japanese Contemporary Art of the 1980s」

会期：2018 年 11 月 3 日－2019 年 1 月 20 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：河原温、五十嵐彰雄、木下佳通代、佐川晃司、辰野登恵子、加納光於、文承根、郭徳俊、高山登、鳴剛、野村仁、若林奮、横尾忠則、北辻良央、松井智惠、朝比奈逸人、杉山知子、日比野克彦、田窪恭治、福嶋敬恭、中原浩大、山倉研志、松尾直樹、長沢秀之、野田裕示、平林薫、川俣正、松井紫朗、川島慶樹、坂口正之、宮﨑豊治、諏訪直樹、山部泰司、吉本作次、森村泰昌、中西學、吉原英里、小林正人、中村一美、荒敦子、関口敦仁、山本富章、橘田尚之、吉澤美香、松本陽子、鈴木省三、北山善夫、神山明、田嶋悦子、百瀬寿、横溝秀実、根岸芳郎、中村功、館勝生、石原友明、吉野辰海、舟越桂、中川佳宣、黒川弘毅、池垣タダヒコ、剣持和夫、堀浩哉、福田美蘭、小田英之〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ニュー・ウェイブ 現代美術の 80 年代

国立国際美術館　2018 年 11 月 3 日　主に英文併載

安來正博：現代美術の曲り角〈追憶の 80 年代〉

谷 新：80 年代美術をめぐって／その隆盛と社会に開かれたアート〈「ポストモダン」を超える「オルタナティヴ」なステップ〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研

国立新美術館

20 世紀美術探検〈アーティストたちの三つの冒険物語〉 ●

欧文タイトル：「Living in the Material World： “Things” in Art of the 20th Century and Beyond」

会期：2007 年 1 月 21 日－3 月 19 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：第 II 部第 2 章消費社会における物・商品・欲望－20 世紀後半の美術；草間彌生、久保田成子、工藤哲巳、中西夏之、荒川修作、高松次郎、赤瀬川原平、田中信太郎、篠原有司男、吉村益信、笠原恵実子。第 III 部；髙柳恵里、田中功起〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

20 世紀美術探検〈アーティストたちの三つの冒険物語〉

国立新美術館　2007 年 1 月　主に英文併載　開館記念展

南 雄介：序文――「物の時代」の美術のために

福永 治：近代美術の革新――20 世紀前半の日本社会と美術

ヴェラ・ヴォルフ：素材に対する正しさか、物質の復讐か――モダニティのための素材の美学

南雄介、宮島綾子、長屋光枝、西野華子、本橋弥生：イントロダクション・章解説・作家解説

浅野智子、西野華子、南雄介、本橋弥生、宮島綾子、長谷川珠緒、長屋光枝、植田彩芳

子、久保田恭子：作家略歴(第 I 部・第 II 部)

マイケル・クレイグ＝マーティン：主要展覧会歴・文献(第 III 部)

浅野智子編：年表

南雄介、長屋光枝、宮島綾子、福永治、西野華子、加藤絢：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

アーティスト・ファイル 2008――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2008：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

会期：2008 年 3 月 5 日－5 月 6 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：エリナ・ブロテルス、市川武史、ポリクセニ・パパペトルー、佐伯洋江、さわひらき、白井美穂、祐成政徳、竹村京〔ファイル順〕

○展覧会カタログ

アーティスト・ファイル 2008――現代の作家たち 展覧会カタログ

国立新美術館　2008 年 3 月　イントロダクション＋作家ファイル 8 冊＋展覧会ドキュメント

本橋弥生、南雄介、長屋光枝、本橋弥生：テキスト

本橋弥生、長谷川珠緒：巻末資料〔略歴、主要文献〕

作家ファイル全 8 冊＝ファイル 001：エリナ・ブロテルス、ファイル 002：市川武史、ファイル 003：ポリクセニ・パパペトルー、ファイル 004：佐伯洋江、ファイル 005：さわひらき、ファイル 006：白井美穂、ファイル 007：祐成政徳、ファイル 008：竹村京

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008〈文化庁芸術家在外研修の成果〉 ●

欧文タイトル：「DOMANI」

会期：2008 年 12 月 13 日－2009 年 1 月 26 日　国立新美術館　主催：文化庁、共催：国立新美術館・読売新聞社

出品：中井貞次、田中信太郎、原直久、石井勢津子、舟越桂、山本富章、ヒグマ春夫、馬場磨貴、小林浩、開発好明、駒形克哉、伴戸玲伊子、山本晶、小山利枝子、菱山裕子〔作品出品リスト順〕

○展覧会カタログ

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008〈文化庁芸術家在外研修の成果〉

文化庁　2008 年 12 月

中井貞次、田中信太郎、原直久、石井勢津子、舟越桂、山本富章、ヒグマ春夫、馬場磨貴、小林浩、開発好明、駒形克哉、伴戸玲伊子、山本晶、小山利枝子、菱山裕子：〔作家のことば〕

野口玲一：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜

美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

アーティスト・ファイル 2009――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2009：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

会期：2009 年 3 月 4 日－5 月 6 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：ペーター・ボーゲルス、平川滋子、石川直樹、金田実生、宮永愛子、村井進吾、大平實、齋藤芽生、津上みゆき〔ファイル順〕

○展覧会カタログ

アーティスト・ファイル 2009――現代の作家たち 展覧会カタログ

国立新美術館　2009 年 3 月　リーフレット 1 枚＋作家ファイル 9 冊＋展覧会ドキュメント

平井章一、南雄介、加藤絢、福永治、本橋弥生：テキスト

本橋弥生、南雄介、加藤絢：巻末資料〔略歴、主要文献〕

平川滋子：〔作家のことば〕

作家ファイル全 9 冊＝ファイル 009：ペーター・ボーゲルス、ファイル 010：平川滋子、ファイル 011：石川直樹、ファイル 012：金田実生、ファイル 013：宮永愛子、ファイル 014：村井進吾、ファイル 015：大平實、ファイル 016：齋藤芽生、ファイル 017：津上みゆき

□展覧会ドキュメント

福永治、本橋弥生、加藤絢：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、神近美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

DOMANI・明日展 2009〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉 ●

欧文タイトル：「DOMANI 2009」

会期：2009 年 12 月 12 日－2010 年 1 月 24 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社

出品：久保田繁雄、吉仲正直、栗本夏樹、伊庭靖子、安田佐智種、吉田暁子、礒﨑真理子、呉亜沙、三田村光土里、浅見貴子、高野浩子、藤原彩人〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

DOMANI・明日展 2009〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉

文化庁　2009 年 12 月

久保田繁雄、吉仲正直、栗本夏樹、伊庭靖子、安田佐智種、吉田暁子、礒﨑真理子、呉亜沙、三田村光土里、浅見貴子、高野浩子、藤原彩人：作家のコメント、作品解説

野口玲一：解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

アーティスト・ファイル 2010――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2010：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

会期：2010 年 3 月 3 日－5 月 5 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：福田尚代、石田尚志、桑久保徹、アーノウト・ミック、南野馨、O JUN、斎藤ちさと〔ファイル順〕

○展覧会カタログ

アーティスト・ファイル 2010――現代の作家たち 展覧会カタログ

国立新美術館　2010 年 3 月　主に英文併載　リーフレット＋作家ファイル 7 冊＋展覧会ドキュメント

南雄介、西野華子、平井章一、長屋光枝、宮島綾子、福永治：テキスト

櫻井聖子、平井章一、工藤弘二、宮島綾子：巻末資料〔略歴、主要文献〕

作家ファイル全 7 冊＝ファイル 018：福田尚代、ファイル 019：石田尚志、ファイル 020：桑久保徹、ファイル 021：アーノウト・ミック、ファイル 022：南野馨、ファイル 023：O JUN、ファイル 024：斎藤ちさと

□展覧会ドキュメント

平井章一、宮島綾子、櫻井聖子、工藤弘二：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

陰影礼讃――国立美術館コレクションによる ●

欧文タイトル：「SHADOWS：Works from the National Museums of Art」

会期：2010 年 9 月 8 日－10 月 18 日　国立新美術館　主催：独立行政法人国立美術館、共催：朝日新聞社・東京新聞・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・NHK

出品：長谷川潔、平山郁夫、秋野不矩、徳岡神泉、東山魁夷、北脇昇、靉嘔、森芳雄、今井憲一、奈良原一高、川田喜久治、篠山紀信、宮本隆司、畠山直哉、山口勝弘・大辻清司、石元泰博、古屋誠一、東松照明、森山大道、高松次郎、榎倉康二、秋岡美帆、小林孝亘、丸山直文、辰野登恵子、杉本博司〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の日本人作家を収載した。

陰影礼讃――国立美術館コレクションによる

独立行政法人国立美術館　2010 年 9 月

中西博之：陰影礼讃

中西博之：章解説

大谷省吾、宮島綾子、陳岡めぐみ、中尾優衣、牧口千夏、増田玲：コラム

櫻井聖子、大谷省吾、小林美香、宮島綾子、牧口千夏、林直、増田玲、陳岡めぐみ、西野華子、中尾優衣：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

DOMANI・明日展 2010〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉 ●

欧文タイトル：「DOMANI The Art of Tomorrow 2010 Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」

会期：2010 年 12 月 11 日－2011 年 1 月 23 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術

館、共催：読売新聞社

出品：古郷秀一、三好耕三、遠山香苗、近藤高弘、流麻二果、深井聡一郎、鈴木涼子、赤崎みま、神戸智行、近藤聡乃、町田久美、山口紀子〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

DOMANI・明日展 2010〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉

文化庁　2010 年 12 月 11 日

野口玲一：DOMANI・明日展 2010 概要と出品作家について

古郷秀一、三好耕三、遠山香苗、近藤高弘、流麻二果、深井聡一郎、鈴木涼子、赤崎みま、神戸智行、近藤聡乃、町田久美、山口紀子：コメント、作品解説

野口玲一：解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

アーティスト・ファイル 2011――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2011：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

会期：2011 年 3 月 16 日－6 月 6 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：クリスティン・ベイカー、バードヘッド、タラ・ドノヴァン、岩熊力也、鬼頭健吾、松江泰治、ビョルン・メルフス、中井川由季〔ファイル順〕

〇展覧会カタログ

アーティスト・ファイル 2011――現代の作家たち 展覧会カタログ

国立新美術館　2011 年 3 月　主に英文併載　リーフレット＋作家ファイル 8 冊＋展覧会ドキュメント

宮島綾子、平井章一、西野華子、南雄介、長屋光枝、本橋弥生、福永治：テキスト

山田由佳子、小林明子、西野華子、長屋光枝：巻末資料〔略歴、主要文献〕

岩熊力也：〔作家のことば〕

作家ファイル全 8 冊＝＝ファイル 025：クリスティン・ベイカー、ファイル 026：バードヘッド、ファイル 027：タラ・ドノヴァン、ファイル 028：岩熊力也、ファイル 029：鬼頭健吾、ファイル 030：松江泰治、ファイル 031：ビョルン・メルフス、ファイル 032：中井川由季

□展覧会ドキュメント

長屋光枝、西野華子、小林明子、山田由佳子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉 ●

欧文タイトル：「DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」

会期：2012 年 1 月 14 日－2 月 12 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社

出品：山口牧子、横澤典、塩谷亮、綿引展子、阿部守、児嶋サコ、津田睦美、元田久治。45周年特別展示；奥谷博、渡辺恂三、一色邦彦、馬越陽子、白野文敏、豊島弘尚、中井貞次、最上壽之、小嶋悠司、服部峻昇、原健、今井信吾、舩坂芳助、峯田義郎、絹谷幸二、大成浩、高柳裕、相笠昌義、鈴木丘、櫃田伸也、齋藤研、池田良二、上條陽子、森野眞弓、谷中武彦、池田宗弘、市野英樹、三澤憲司、川口起美雄、河内成幸、菊竹清文、田村能里子、遠藤彰子、金森宰司、北久美子、安達博文、久野和洋、八木幾朗、相田幸男、内田あぐり、瀬川富紀男、玉川信一、柳澤紀子、山本直彰、吉岡正人、下川昭宣、浅野均、諏訪敦、宮いつき、北郷悟、小林孝亘、丸山直文、福島瑞穂〔リスト順〕

〇展覧会カタログ

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉

文化庁　2012年1月10日　第14回展

山口牧子、横澤典、塩谷亮、綿引展子、阿部守、児嶋サコ、津田睦美、元田久治、聞き手・真住貴子：作家との対話

山口牧子、横澤典、塩谷亮、綿引展子、阿部守、児嶋サコ、津田睦美、元田久治：作家のコメント、作品解説

真住貴子：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

「具体」――ニッポンの前衛 18年の軌跡 ●

欧文タイトル：「GUTAI / The Spirit of an Era」

会期：2012年7月4日－9月10日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：上前智祐、大原紀美子、金山明、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原治良、吉原通雄、浮田要三、名坂有子、前川強、正延正俊、松谷武判、向井修二、今井祝雄、今中クミ子、小野田實、菅野聖子、聴濤襄治、喜谷繁暉、木梨アイネ、坂本昌也、田井智、高崎元尚、田中竜児、坪内晃幸、猶原通正、名坂千吉郎、堀尾昭子、堀尾貞治、松田豊、森内敬子、ヨシダミノル〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

「具体」――ニッポンの前衛 18年の軌跡

国立新美術館　2012年7月　主に英文併載

平井章一：「具体」――近代精神の理想郷

平井章一：章解説／Column／年譜

山田由佳子：大阪万博というフィナーレへ向かって

米田尚輝：芦屋からアムステルダムへ――「具体」の展示空間について

山田由佳子編：主要参考文献

平井章一編：出品作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「“DOMANI：The Art of Tomorrow 2013” Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」

会期：2013 年 1 月 12 日－2 月 3 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

出品：曽根裕、米正万也、塩田千春、神彌佐子、橋爪彩、行武治美、澤田知子、糸井潤、平野薫、青野千穂、池田学、小尾修〔リスト順〕

○展覧会カタログ

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉

文化庁　2013 年 1 月 12 日　英文併載　第 15 回展

曽根裕、米正万也、塩田千春、神彌佐子、橋爪彩、行武治美、澤田知子、糸井潤、平野薫、青野千穂、池田学、小尾修、聞き手・真住貴子：作家インタビュー

曽根裕、米正万也、塩田千春、神彌佐子、橋爪彩、行武治美、澤田知子、糸井潤、平野薫、青野千穂、池田学、小尾修：作家のコメント、作品解説

真住貴子：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

アーティスト・ファイル 2013――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2013：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

会期：2013 年 1 月 23 日－4 月 1 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：ダレン・アーモンド、東亭順、ヂョン・ヨンドゥ、利部志穂、國安孝昌、ナリニ・マラニ、中澤英明、志賀理江子〔ファイル順〕

○展覧会カタログ

アーティスト・ファイル 2013――現代の作家たち 展覧会カタログ

国立新美術館　2013 年 1 月　主に英文併載　リーフレット＋作家ファイル 8 冊(ケース入)＋展覧会ドキュメント

西野華子、宮島綾子、南雄介、福永治、本橋弥生、長屋光枝：テキスト

阿部真弓、岩﨑美千子：巻末資料〔略歴、主要文献〕

作家ファイル 8 冊＝033：ダレン・アーモンド、034：東亭順、035：ヂョン・ヨンドゥ、036：利部志穂、037：國安孝昌、038：ナリニ・マラニ、039：中澤英明、040：志賀理江子

□展覧会ドキュメント

福永治、西野華子、阿部真弓、岩﨑美千子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

16th 未来を担う美術家たち DOMANI・明日展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉　建築×アート ●

欧文タイトル：「16th DOMANI　The Art of Tomorrow Exhibition」

会期：2013 年 12 月 14 日－2014 年 1 月 26 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

出品：アーティスト；榊原澄人、徳丸鏡子、川上りえ、吉本直子、大栗恵、大野由美子、小笠原美環、土橋素子〔出品リスト順〕

註：出品欄はアーティストを収載した。

〇展覧会カタログ

16th DOMANI・明日展〈建築×アート「未来の家」に集まろう。〉

文化庁　2013 年 12 月 14 日　英文併載

榊原澄人、徳丸鏡子、川上りえ、吉本直子、大栗恵、大野由美子、小笠原美環、土橋素子、聞き手・真住貴子：作家インタビュー

榊原澄人、徳丸鏡子、川上りえ、吉本直子、大栗恵、大野由美子、小笠原美環、土橋素子：〔作家のことば、作品解説〕

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

17th 未来を担う美術家たち DOMANI・明日展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：「“17th DOMANI：The Art of Tomorrow” Exhibition」

会期：2014 年 12 月 13 日－2015 年 1 月 25 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

出品：アーティスト；青木克世、紙川千亜紀、小林俊哉、岩崎貴宏、梶浦聖子、濱田富貴、和田淳、入江明日香、奥谷太一、北野謙、古武家賢太郎、関根直子〔出品リスト順〕

註：出品欄はアーティストを収載した。

〇展覧会カタログ

17th DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉

文化庁　2014 年 12 月 13 日　主に英文併載　付・インタビュー英語版

青木克世、紙川千亜紀、小林俊哉、岩崎貴宏、梶浦聖子、濱田富貴、和田淳、入江明日香、奥谷太一、北野謙、古武家賢太郎、関根直子：作家インタビュー

青木克世、紙川千亜紀、小林俊哉、岩崎貴宏、梶浦聖子、濱田富貴、和田淳、入江明日香、奥谷太一、北野謙、古武家賢太郎、関根直子：〔作家のことば、作品解説〕

北野珠子、野村悠里、邊牟木尚美：保存修復家インタビュー

北野珠子、野村悠里、邊牟木尚美：〔ことば、解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム ●

欧文タイトル：「MANGA＊ANIME＊GAMES＊FROM JAPAN」

会期：2015 年 6 月 24 日－8 月 31 日　国立新美術館／9 月 19 日－11 月 23 日　神戸・兵庫県立美術館

主催：国立新美術館〔巡回 2-1〕

註：出品欄は個々の作家というよりは作品が主として扱われているので割愛した。

〇展覧会カタログ

ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム from 1989　　メディア・アート国際化推進委員会編

図書刊行会　2015 年 6 月 24 日

青木 保：はじめに

中野晴行：マンガ史 1989-2015

氷川竜介：アニメ史 1989-2015

さやわか：ゲーム史 1989-2015

三輪健太朗、渡邉大輔、石岡良治、岩下朋世：コラム

大口孝之、大橋崇行、宇野常寛：エッセイ

真住貴子、本橋弥生、小山祐美子、古家満葉：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

□英語版〔2015 年 10 月 25 日発行〕

所蔵：□、国新美、国会図

アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋〈日本と韓国の作家たち〉●

欧文／韓文タイトル：「Artist File 2015：Next Doors：Contemporary Art in Japan and Korea／아티스트 파일 2015：동행」

会期：2015 年 7 月 29 日－10 月 12 日　国立新美術館／11 月 10 日－2016 年 2 月 14 日　韓国国立現代美術館果川館　主催：国立新美術館・韓国国立現代美術館　共催：国際交流基金・韓国国際交流財団

出品：イム・フンスン、キ・スルギ、小林耕平、イ・ヘイン、イ・ソンミ、イ・ウォノ、南川史門、百瀬文、手塚愛子、冨井大裕、ヤン・ジョンウク、横溝静〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋〈日本と韓国の作家たち〉

国立新美術館　2015 年 7 月　韓文英文併載

青木保、キム・ジョンベ：ごあいさつ

南雄介、チェ・ウンジュ：共同序文

米田尚輝：オブジェクトとイメージの隣接性

カン・スジョン：ここでは時間が空間となるのだ

イ・ヨンウ、イ・サビン、米田尚輝、メン・ジョン、チョン・ヨンシム、イ・スヨン、長屋光枝、日比野民蓉、南雄介、イ・グァンフン：〔作家論〕

照屋全宝、桑名真吾、ロ・ユニア、チョ・アラ、キム・ジョン、イ・サンア、日比野民蓉：Biographies and Bibliographies of Artists

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

第 18 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「18th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」

会期：2015 年 12 月 12 日－2016 年 1 月 24 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館・読売新聞社

出品：ALIMO、木島孝文、栗林隆、佐伯洋江、線幸子、田村友一郎、富岡直子、西ノ宮佳代、野田睦美、古川あいか、松岡圭介、風間サチコ〔出展リスト順〕

○展覧会カタログ

第 18 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉

文化庁　2015 年 12 月　主に英文併載

真住貴子：表現と素材――第 18 回 DOMANI・明日展によせて

ALIMO、木島孝文、栗林隆、佐伯洋江、線幸子、田村友一郎、富岡直子、西ノ宮佳代、野田睦美、古川あいか、松岡圭介、風間サチコ：ことば

市川詠子編：修復家 ことばと活動

石井美恵、奥村祥子：ことば

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

はじまり、美の饗宴〈すばらしき大原美術館コレクション〉●

欧文タイトル：「THE BEST SELECTION OF THE OHARA MUSEUM OF ART」

会期：2016 年 1 月 20 日－4 月 4 日　国立新美術館　主催：国立新美術館・公益財団法人大原美術館・NHK プロモーション

出品：第 6 章；河原温、堂本尚郎、斎藤義重、荒川修作、宇佐美圭司。第 7 章；福田美蘭、やなぎみわ、辰野登恵子、東島毅、津上みゆき、北城貴子、町田久美、三瀬夏之介、押江千衣子、彦坂敏昭、浅見貴子、花澤武夫、上田暁子、坂本夏子、谷保玲奈〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

はじまり、美の饗宴〈すばらしき大原美術館コレクション〉

NHK プロモーション　2016 年 2 月 16 日

青木 保：美術を通して世界へ!

高階秀爾：多様な文化の殿堂－大原美術館のコレクションをめぐって

大原謙一郎：大原美術館の自己紹介

柳沢秀行：大原美術館の 85 年

瀧上華、柳沢秀行：章解説〔第 6 章・第 7 章〕

瀧上華、岩﨑美千子、南雄介、柳沢秀行、長屋光枝：作家・作品解説〔第 6 章・第 7 章〕

大原謙一郎×阿川佐和子：対談

長屋光枝、瀧上華、岩﨑美千子、柳沢秀行、吉川あゆみ：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

第 19 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「19th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」

会期：2016 年 12 月 10 日－2017 年 2 月 5 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館

出品：秋吉風人、池内晶子、今井智己、岡田葉、折笠良、金子富之、曽谷朝絵、平川祐樹、保科晶子、松井えり菜、南隆雄、三原聡一郎、山内光枝〔出展作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 19 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉

文化庁　2016 年 12 月　主に英文併載

林 洋子：再定義される「日本」と、「現代美術」――2020 年代のアートシーンに向けて

秋吉風人、池内晶子、今井智己、岡田葉、折笠良、金子富之、曽谷朝絵、平川祐樹、保科晶子、松井えり菜、南隆雄、三原聡一郎、山内光枝：ことば

三原聡一郎：〔作品について〕

近藤健一：キュレーターにとっての新進芸術家海外研修制度と、その副産物

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

第 20 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「20th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition Showcasing Participants from the Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」

会期：2018 年 1 月 13 日－3 月 4 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館

出品：雨宮庸介、猪瀬直哉、田中麻記子、中谷ミチコ、中村裕太、西尾美也、増田佳江、mamoru、三宅砂織、盛圭太、やんツー〔出展作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 20 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉

文化庁　2018 年 1 月

林 洋子：寄留者の記憶――DOMANI・明日展 20 周年に寄せて

雨宮庸介、猪瀬直哉、田中麻記子、中谷ミチコ、中村裕太、西尾美也、増田佳江、mamoru、三宅砂織、盛圭太、やんツー：ことば

金澤韻、かないみき、須川咲子、徳山拓一、佐々木有美：ことば（研修参加者）

所蔵：□、国新美、東博資、都現美、神近美、横浜美

東京国立博物館

美術館を読み解く――表慶館と現代の美術 ●

欧文タイトル：「Reading the Art Museum　Hyokeikan and Art of Today」

会期：2001 年 1 月 23 日－3 月 11 日　東京国立博物館　主催：東京国立近代美術館・東京国立博物館

出品：松井紫朗、栗本百合子、谷山恭子、髙柳恵里、テレジータ・フェルナンデス〔出品リ

スト順〕

〇展覧会カタログ

美術館を読み解く――表慶館と現代の美術

東京国立近代美術館　2001 年 1 月　主に英文併載　別冊共 2 冊

蔵屋美香：中空の美術館 6

松井紫朗、栗本百合子、谷山恭子、髙柳恵里、テレジータ・フェルナンデス：〔作家のことば・インタビュー〕

古田 亮：表慶館小史

蔵屋美香、古田亮、中林和雄：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

美術館を読み解く――表慶館と現代の美術 別冊

東京国立近代美術館　2001 年

蔵屋美香、古田亮、中林和雄：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

国際交流基金（国際交流フォーラム、国際交流基金フォーラム）

幸福幻想――アジアの現代美術作家たち ●

欧文タイトル：「VISIONS OF HAPPINESS　Ten Asian Contemporary Artists」

会期：1995 年 2 月 25 日－3 月 26 日　赤坂・国際交流フォーラム　主催：国際交流基金アセアン文化センター

出品：曽根裕

註：10 作家のうち日本作家は 1 名。

〇展覧会カタログ

幸福幻想――アジアの現代美術作家たち

国際交流基金アセアン文化センター　1995 年 2 月　英文併載

清水敏男：幸福幻想

古市保子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

「アウト・ザ・ウィンドウ」展 ●

欧文タイトル：「OUT THE WINDOW-SPACES OF DISTRACTION」

会期：2004 年 1 月 10 日－2 月 15 日　赤坂・国際交流基金フォーラム　主催：独立行政法人国際交流基金アジアセンター

出品：保田克史、古川浩一、五島一浩、林勇気、日野圭子、伊瀬聖子、木村真由美、小林耕平、小泉明郎、中野西敏弘、大門未希生、齋藤正和、佐藤義尚、笹口数、島田正道、田中功起〔出品作家略歴順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

「アウト・ザ・ウィンドウ」展カタログ

国際交流基金アジアセンター　2004 年 1 月 10 日　英文併載

李振華：三国志新釈

ソ・ジンソク：混沌と自由

ソ・ジンソク、李振華、住友文彦：〔作家解説〕

住友文彦：散漫な空間

古市保子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

「Have We Met?－見知らぬ君へ」展 ●

欧文タイトル：「Have We Met? Catalog」

会期：2004 年 12 月 11 日－2005 年 1 月 30 日　赤坂・国際交流基金フォーラム　主催：国際交流基金

出品：クリシナラージ・チョナトゥ、アナント・ジョシ、小林洋子、ルディ・マントファニ、森弘治、名和晃平、エコ・ヌグロボ、ウィット・ピムカンチャナポン、シギット・ピウス、アングン・プリアンボド、ポーンタウィーサック・リムサクン、さわひらき、キラン・スッビア、ヘマ・ウパッデァヤエ〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

「Have We Met?－見知らぬ君へ」展カタログ

国際交流基金　2004 年 12 月　主に英文併載

河野晴子：親愛なるアジアへ――どこかでお会いしたことがありますか?

プージャ・スード：私たちはすでに出会っているのだろうか?それぞれの物語は語り合えたのだろうか?そして、互いに恋に落ちるのだろうか?

クリシナラージ・チョナトゥ、プージャ・スード、アナント・ジョシ、河野晴子、アデ・ダルマワン、プラープダー・ユン、キラン・スッビア、ヘマ・ウパッデァヤエ：〔解説、ことば〕

アデ・ダルマワン：Knots not notes――思考の破片

プラープダー・ユン：ぼくの同時代人たちはすべて空港にいる

古市保子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

公立美術館 北海道

北海道立近代美術館

第 13 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鳥取展；1979 年 12 月 8 日－22 日　鳥取県立博物館／愛知展；1980 年 1 月 8 日－20 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 27 日－2 月 11 日　弘前市立博物館／北海道展；2 月 17 日－3 月 2 日　札幌・北海道立近代美術館

主催：文化庁・北海道立近代美術館〔巡回 4-4〕

──→鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

日本のガラス造形・昭和 ●

欧文タイトル：「Japanese Glass in the Showa Period」

会期：1986 年 11 月 9 日－12 月 21 日　札幌・北海道立近代美術館／1987 年 1 月 10 日－3 月 22 日　東京都庭園美術館

主催：北海道立近代美術館・朝日新聞社〔巡回 2-1〕

出品：岩田藤七、各務鑛三、小柴外一、淡島雅吉、佐藤潤四郎、藤田喬平、岩田久利〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

日本のガラス造形・昭和

朝日新聞社　1986 年 11 月

武田 厚：げてものから造形へ

佐々木順子：作家解説・出品目録

苫名真・池田直子・佐々木順子編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

美術北海道 100 年展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 9 月 19 日－10 月 11 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・北海道新聞社

出品：I 夜明け。II 戦前の進展。III 新しい出発；岩橋英遠、片岡球子、菊川多賀、久保守、佐藤忠良、田中忠雄、中村善策、本郷新、松島正幸、森田沙伊、山口蓬春、阿部貞夫、木田金次郎、本間莞彩、赤穴宏、因藤壽、植木茂、上野憲男、小野州一、難波田龍起、村山陽一、山内壮夫、渡辺伊八郎、一木万寿三、伊藤正、大本靖、小川マリ、尾崎志郎、笠井忠郎、亀山良雄、北岡文雄、坂坦道、砂田友治、栃内忠男、橋本三郎、本田明二、折原久左ヱ門、小森忍、山本正年。IV 現代；川井坦、石垣光雄、鵜川五郎、神田日勝、岸本裕躬、瀬戸英樹、花田和治、深井克美、伏木田光夫、松樹路人、米谷雄平、一原有徳、岡部昌生、木原康行、渋谷栄一、手島圭三郎、浜西勝則、百瀬寿、森ヒロコ、矢柳剛、渡会純价、板津邦夫、伊藤隆道、大塚哲郎、小野寺玄、國松明日香、砂澤ビッキ、安田侃、米坂ヒデノリ〔出品リスト

順〕

註：出品欄は戦後の章を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

美術北海道 100 年展　　北海道立近代美術館編

北海道新聞社　1987 年 9 月　北海道立近代美術館開館 10 周年記念

鬼丸吉弘：開館 10 周年と北海道の美術

吉田豪介：状況・北海道の現代美術

奥岡茂雄：概説 北海道の美術

天野太郎・地家光二編：北海道美術史年表

天野太郎：主要美術団体等事項解説

苫名 真編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1989」

会期：1989 年 3 月 4 日－26 日　札幌・北海道立近代美術館／4 月 4 日－5 月 14 日　北海道立旭川美術館／5 月 20 日－6 月 18 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立近代美術館〔巡回 3-1〕

出品：秋山國夫、阿部国利、安藤和也、伊藤光悦、木村訓丈、清田操、高坂和子、佐藤武、鹿士政春、鈴木秀明、瀬戸英樹、高橋伸、遠山隆義、西田陽二、宮川美樹、森弘志、矢元政行、輪島進一〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉

北海道立近代美術館　1989 年 3 月　特別展・第 1 回展　図録 115

井関正昭：「世紀末の風景」展によせて

佐藤友哉：世紀末と北の具象絵画

越前俊也、中村聖司、浅川泰、大熊敏之、寺嶋弘道、新明英仁：作家作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図

北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1990-91」

会期：1990 年 11 月 9 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1991 年 1 月 6 日－2 月 10 日　北海道立函館美術館／2 月 23 日－3 月 24 日　北海道立旭川美術館

主催：北海道立近代美術館〔巡回 3-1〕

出品：阿部典英、荒井善則、サカイトシノリ、佐々木徹、渋谷俊彦、下岡孝之、清野泰行、堀田牧史、百瀬寿〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉

北海道立函館美術館　1990 年 11 月　第 2 回展

越前俊也：現代美術の軽やかさ

新明英仁、越前俊也、穂積利明、五十嵐聡美：作家作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大、国会図

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」

会期：1992 年 11 月 21 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1993 年 1 月 5 日－31 日　北海道立旭川美術館／2 月 7 日－28 日　北海道立函館美術館／3 月 6 日－28 日　北海道立帯広美術館

主催：北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

出品：岩下碩通、越前谷嘉高、鈴木誠子、徳丸滋、中村木美、服部冬樹、宮崎むつ、美水円、艾沢詳子、渡辺晃一〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水

北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館

1992 年 11 月　第 3 回展

鈴木正實：自然へのアプローチ

苫名 真：10 人の原自然――胎動の森・脈打つ水

越前俊也、穂積利明、五十嵐聡美、苫名真、光岡幸治：作家作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図

札幌アヴァンギャルドの潮流展〈戦後から現在へ－北海道における前衛美術活動の軌跡〉 ●

欧文タイトル：「Northern Tide：Avant-garde Art From Hokkaido」

会期：1994 年 10 月 7 日－18 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：札幌アヴァンギャルドの潮流展実行委員会・北海道新聞社

出品：Part 1 札幌アヴァンギャルド：ゼロ展(1953)から 1980 へ 1950 年代；早川重章、高橋由明、渡辺伊八郎、村山陽一、熊谷明宏、芹田英治、小谷博貞、高橋昭一、佐々木美枝子、小松清、国井澄。1960 年代；菊地日出男、澤田哲郎、難波田龍起、八木保次、上野憲男、小野州一、菊地又男、野本醇、菅原弘記、丹野信吾、伏木田光夫、一原有徳、高橋英生、田村宏、福井正治、矢崎勝美、砂澤ビッキ。1970 年代；千葉豪、一ノ戸ヨシノリ、岡部昌生、米谷雄平、阿部典英、後藤和子、今荘義男、杉山留美子、石垣光雄、花田和治、國松明日香。Part 2 特別陳列：渡辺伊八郎(重複記載、以下「重」とす)。Part 3 ポスト・アヴァンギャルドの現在；赤石準一、阿部典英(重)、荒井善則、泉谷進、板津邦夫、一ノ戸ヨシノリ(重)、一原有徳(重)、今荘義男(重)、岩下碩通、上田公夫、上野憲男(重)、江川博、大滝憲二、岡貞光、岡部昌生(重)、柿崎熙、菊地又男(重)、國松明日香(重)、小谷博貞(重)、後藤和子(重)、近堂隆志、佐々木徹、佐々木美枝子(重)、佐渡芙二夫、菅原弘記(重)、杉山留美子(重)、鈴木誠子、高橋佳乃子、高橋昭五郎、高橋博昭、高橋靖子、田川善立、田村佳津子、田村宏(重)、丹野信吾(重)、近宮彦彌、外山欽平、中谷有逸、中山信一、楢原武正、難波田龍起(重)、野崎嘉男、野本醇(重)、花田和治(重)、服部憲治、林弘堯、藤木正則、堀内掬夫、松居勝敏、松井茂樹、丸藤信也、三浦恭三、毛内康二、森健二、八木保次(重)、矢崎勝美(重)、山内孝夫、米谷雄平(重)〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

札幌アヴァンギャルドの潮流展〈戦後から現在へ－北海道における前衛美術活動の軌跡〉

札幌アヴァンギャルドの潮流展実行委員会　1994 年 10 月 7 日

奥岡茂雄：北海道美術史を拓く〈『札幌アヴァンギャルドの潮流展』の意義〉

吉田豪介：札幌アヴァンギャルドの潮流〈前衛美術運動の意味を問う、もう一つの北海道美術史〉

佐藤友哉：北海道の現代美術〈1970 年代後半以降の動向と作家たち〉

田村 宏：原色の異端児－渡辺伊八郎

岡部昌生編：渡辺伊八郎〔略年譜〕

吉田豪介：〔章解説〕

岡部昌生・鎌田享・吉田豪介編：札幌アヴァンギャルドの潮流展 関連年表

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

会期：1994 年 10 月 23 日－11 月 27 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 3 日－1995 年 1 月 8 日　北海道立旭川美術館／1 月 14 日－2 月 19 日　北海道立帯広美術館／2 月 25 日－3 月 26 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

出品：小川待子、鹿目尚志、北川佳子、倉本龍彦、佐々木けいし、南正剛、毛綱毅曠、吉川千香子、米原眞司〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉

北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館 1994 年 10 月　第 4 回展

見延(井内)佳津恵：呼びかける器たち

平利弘、中村聖司、見延(井内)佳津恵、穂積利明、鎌田享、光岡幸治：作家作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

会期：1996 年 10 月 26 日－12 月 1 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 7 日－1997 年 1 月 12 日　北海道立帯広美術館／1 月 19 日－2 月 16 日　北海道立旭川美術館／2 月 22 日－3 月 23 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

出品：身体のイメージ；今義典、端聡、鈴木武子、谷岡靖則。身体の痕跡；設楽知昭、唐牛幸史、清水博子、井上まさじ。生きられる身体；藤木正則、藤原瞬〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ

北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館
1996 年 10 月　第 5 回展
光岡幸治：身体表現をめぐって
穂積利明：語る身体－心身一元論と二元論をめぐって
見延(井内)佳津恵：展覧会の構成について－三つの視点から
平利弘、浅川真紀、穂積利明、光岡幸治、見延(井内)佳津恵：作家作品解説
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

永遠へのまなざし ●

欧文タイトル：「Art for the SPIRIT」
会期：2001 年 10 月 31 日－12 月 2 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館
出品：クリスチャン・ボルタンスキー、岡部昌生、宮島達男、ジェームズ・タレル、舟越桂〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
永遠へのまなざし
北海道立近代美術館　2001 年 10 月
佐藤友哉：存在の再生装置としての美術
久米淳之：永遠へ向かう 5 つのまなざし
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

Outspoken Glass 遠慮のないガラス－今日の日本から ●

会期：2003 年 2 月 5 日－3 月 23 日　札幌・北海道立近代美術館／4 月 8 日－5 月 11 日　岡山県立美術館
主催：北海道立近代美術館・「Outspoken Glass 遠慮のないガラス」展実行委員会〔巡回 2-1〕
出品：家住利男、池本一三、伊藤孚、イワタルリ、扇田克也、大村俊二、塩谷直美、渋谷良治、高橋禎彦、福西毅、三宅道子、行武治美、米原眞司〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
Outspoken Glass 遠慮のないガラス－今日の日本から
北海道立近代美術館・岡山県立美術館　2003 年 2 月　図録ライヴ版共 2 冊
水田順子：Outspoken Glass 遠慮のないガラス?!
水田順子、中村聖司：〔作家解説〕
北海道立近代美術館学芸部編：作家略歴
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美(図録ライヴ版のみ)、横浜美、和光大(本体のみ)、国会図

Born in HOKKAIDO 大地に実る、人とアート〈北海道美術の過去・現在・未来〉 ●

欧文タイトル：「30th anniversary Hokkaido Art past, present, and future」

会期：2007 年 11 月 1 日－2008 年 1 月 24 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・北海道造形教育連盟・NHK 札幌放送局

出品：青木美歌、真砂雅喜、毛内やすはる、池田光弘、伴翼、盛本学史、松永かの、朝地信介、福井路可、Kinpro(新矢千里)、諏訪敦、野上裕之、端聡、貝澤珠美、高橋喜代史、鈴木涼子〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

Born in HOKKAIDO 大地に実る、人とアート〈北海道美術の過去・現在・未来〉

北海道立近代美術館　2007 年 11 月　開館 30 周年記念

浅川真紀：「風土」というリアリティ〈16 の創造の果実にみる〉

青木美歌、真砂雅喜、毛内やすはる、池田光弘、伴翼、盛本学史、松永かの、朝地信介、福井路可、Kinpro(新矢千里)、諏訪敦、野上裕之、端聡、貝澤珠美、高橋喜代史、鈴木涼子：〔作家のことば〕

浅川真紀、鎌田享、久米淳之、佐藤由美香：〔作家解説〕

鎌田 享：美術館と学校の連携〈《Born in HOKKAIDO》での取り組み〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

現代木彫の潮流〈創造と回帰〉●

欧文タイトル：「Currents in Japanese Contemporary Wood Sculpture」

会期：2010 年 9 月 11 日－10 月 17 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

出品：舟越桂、深井隆、戸谷成雄、小清水漸、菅木志雄、遠藤利克、古渡章、林範親、川越悟、岩下碩通、大平實、神山明、阿部典英、砂澤ビッキ、土屋公雄、保田井智之、峯田敏郎、須田悦弘、櫻井康弘、三沢厚彦、棚田康司、三輪途道、三宅一樹、土屋仁応、前原冬樹〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代木彫の潮流〈創造と回帰〉

北海道立近代美術館　2010 年 9 月

穂積利明：木彫－美術の再構築へ

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大

北海道発：8 人の写真と映像 もうひとつの眺め ●

欧文タイトル：「Contemporary Photography and Video Artists of Hokkaido」

会期：2015 年 1 月 31 日－3 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

出品：露口啓二、伊藤隆介、ニナ・フィッシャー&マロアン・エル・サニ、鈴木涼子、北川陽稔、大友真志、岡田敦、佐竹真紀〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

北海道発：8 人の写真と映像 もうひとつの眺め

北海道立近代美術館　2015 年 1 月　英文併載　全 17 点(カタログ 1 冊＋作家リーフレット 16 枚)ケース入

穂積利明：北海道の現代美術と映像－もうひとつのサイト(場・鑑賞法)に向かって

鎌田享、穂積利明、寺地亜衣、福地大輔：〔作家解説〕

露口啓二：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

北海道・いまを生きるアーティストたち ともにいること ともにあること ●

欧文タイトル：「The Emerging Artists in Hokkaido」

会期：2016 年 5 月 25 日－6 月 23 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

出品：今村育子、国松希根太、経塚真代、紅露はるか、斉藤幹男、佐藤史恵、鈴木悠哉、高野理栄子、山田良〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

北海道・いまを生きるアーティストたち ともにいること ともにあること

北海道立近代美術館　2016 年 5 月

薗部容子：美術と共生－9 作家の展開

穂積利明、薗部容子、大下智一：作家作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

北海道立旭川美術館

木の美 絵画と彫刻のあいだ展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1985 年 10 月 26 日－12 月 22 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館

出品：岩下碩通、植木茂、桂ゆき、川俣正、北山善夫、小清水漸、斎藤義重、菅木志雄、菅沼緑、田窪恭治、彦坂尚嘉、松井茂樹、李田たけを、李禹煥〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

木の美 絵画と彫刻のあいだ展

北海道美術館協力会旭川美術館部　1985 年 10 月

本間正義：今日の木のエスプリ

佐藤友哉：木と現代のレリーフ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉 ●

欧文タイトル：「ART　SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1989」

会期：1989 年 3 月 4 日－26 日　札幌・北海道立近代美術館／4 月 4 日－5 月 14 日　北海道立旭川美術館／5 月 20 日－6 月 18 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立旭川美術館〔巡回 3-2〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 3-1〕

木のニューウェーブ〈イコンの森の思索者たち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 11 月 10 日－12 月 22 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社

出品：阿部典英、川越悟、土屋公雄、戸谷成雄、深井隆、舟越桂〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

木のニューウェーブ〈イコンの森の思索者たち〉

北海道立旭川美術館　1990 年 11 月 10 日

浅川 泰：象徴の森を経て

越前俊也：アヒロピイトス、あるいは彫刻再生－20 世紀のおわりに木を素材にした作家たち

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1990-91」

会期：1990 年 11 月 9 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1991 年 1 月 6 日－2 月 10 日　北海道立函館美術館／2 月 23 日－3 月 24 日　北海道立旭川美術館

主催：北海道立旭川美術館〔巡回 3-3〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 3-1〕

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」

会期：1992 年 11 月 21 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1993 年 1 月 5 日－31 日　北海道立旭川美術館／2 月 7 日－28 日　北海道立函館美術館／3 月 6 日－28 日　北海道立帯広美術館

主催：北海道立旭川美術館〔巡回 4-2〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

人と風と神々〈北海道の現代木彫〉●

欧文タイトル：「Man, Wind and Gods；Contemporary Wood Carving in Hokkaido, 1993.」

会期：1993 年 8 月 28 日－10 月 3 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・NHK 旭川放送局

出品：植木茂、砂澤ビッキ、板津邦夫、富谷道信、中江紀洋、岡沼淳一〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

人と風と神々〈北海道の現代木彫〉

北海道立旭川美術館　1993 年 8 月

中村聖司：木彫の「人」「風」「神々」

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、国会図

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

会期：1994 年 10 月 23 日－11 月 27 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 3 日－1995 年 1 月 8 日　北海道立旭川美術館／1 月 14 日－2 月 19 日　北海道立帯広美術館／2 月 25 日－3 月 26 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社〔巡回 4-2〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

会期：1996 年 10 月 26 日－12 月 1 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 7 日－1997 年 1 月 12 日　北海道立帯広美術館／1 月 19 日－2 月 16 日　北海道立旭川美術館／2 月 22 日－3 月 23 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社〔巡回 4-3〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

北海道の抽象絵画－未知の形象を求めて ●

欧文タイトル：「ABSTRACT PAINTING IN HOKKAIDO」

会期：1997 年 2 月 22 日－3 月 30 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社

出品：山口正城、難波田龍起、小谷博貞、渡辺伊八郎、因藤壽、菅原弘記、村山陽一、佐々木美枝子、寺島春雄、八木保次、上野憲男、菊地又男、丹野信吾、後藤和子、杉山留美子、野崎嘉男、花田和治、百瀬寿、米谷雄平〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

「北海道の抽象絵画－未知の形象を求めて」図録

北海道立旭川美術館　1997 年 2 月

中村聖司：〔あとがき〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

会期：1998 年 5 月 16 日－6 月 14 日　北海道立旭川美術館／8 月 1 日－9 月 6 日　津・三重県立美術館／10 月 24 日－11 月 23 日　郡山市立美術館／1999 年 2 月 5 日－3 月 21 日　愛媛県美術館

主催：北海道立旭川美術館・「日本の具象彫刻 10 人展」旭川市民実行委員会・旭川美術振興会・読売新聞社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会〔巡回 4-1〕

出品：高田博厚、菊池一雄、本郷新、山内壮夫、柳原義達、佐藤忠良、舟越保武、吉田芳夫、西常雄、桜井祐一〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s

日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・読売新聞社・美術館連絡協議会・空間造形コンサルタント　1998 年 5 月

酒井哲朗：ヒューマニズムの系譜――具象彫刻 10 人

柳原義達、聞き手・村田哲朗：回想

フィリップ・カマン：フランスにおける日本の彫刻展

毛利伊知郎、中山恵理、中村聖司、鈴木尊志：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

北海道立函館美術館

北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉●

欧文タイトル：「ART　SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1989」

会期：1989 年 3 月 4 日－26 日　札幌・北海道立近代美術館／4 月 4 日－5 月 14 日　北海道立旭川美術館／5 月 20 日－6 月 18 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立函館美術館〔巡回 3-3〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 3-1〕

北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1990-91」

会期：1990 年 11 月 9 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1991 年 1 月 6 日－2 月 10 日　北海道立函館美術館／2 月 23 日－3 月 24 日　北海道立旭川美術館

主催：北海道立函館美術館〔巡回 3-2〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 3-1〕

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」

会期：1992 年 11 月 21 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1993 年 1 月 5 日－31 日　北海道立旭川美術館／2 月 7 日－28 日　北海道立函館美術館／3 月 6 日－28 日　北海道立帯広美術館

主催：北海道立函館美術館〔巡回 4-3〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

会期：1994 年 10 月 23 日－11 月 27 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 3 日－1995 年 1 月 8 日　北海道立旭川美術館／1 月 14 日－2 月 19 日　北海道立帯広美術館／2 月 25 日－3 月 26 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社〔巡回 4-4〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

道南の美術 抽象の波 1950～70 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 1 月 20 日－2 月 18 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

出品：岩船修三、鵜川五郎、蛯子善悦、鎌田俳捺子、木村良、三箇三郎、菅野充造、竹内昭吾、橋本三郎、平川勇、三津谷理与子、佐藤俊郎、高野政志、箱根寿保、長谷川晶、木村訓丈、近堂隆志、清野満敏、外山欽平、橋本克豊〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

道南の美術 抽象の波 1950～70

北海道立函館美術館　1996 年 1 月

大下智一：道南の美術における「抽象の波」

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

現代日本版画の一断面〈材・技法・表現：「版」を超えて〉 ●

欧文タイトル：「AN ASPECT OF JAPANESE CONTEMPORARY PRINT　In excess of printing：Material, Technique, Expression」

会期：1996 年 2 月 24 日－3 月 24 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

出品：靉嘔、池田良二、一原有徳、岡部昌生、郭徳俊、木原康行、浜田知明、深沢幸雄、百瀬寿、矢柳剛、李禹煥〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代日本版画の一断面〈材・技法・表現：「版」を超えて〉

北海道立函館美術館　1996 年 2 月

穂積利明：戦後日本版画の歩み－版を超えて

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「現代美術と文字」展 ●

欧文タイトル：「SPRITUAL FRAGMENT：DRAWING LETTERS IN ART」

会期：1996 年 10 月 26 日－12 月 8 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

出品：荒川修作、石川九楊、刈谷博、白川昌生、平林薫、宮前正樹〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「現代美術と文字」展図録

北海道立函館美術館　1996 年 10 月

柴 勤：「現代美術と文字」展の開催にあたって

穂積利明：スピリチュアル・フラグメント――ニホン的精神としての文字

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

会期：1996 年 10 月 26 日－12 月 1 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 7 日－1997 年 1 月 12 日　北海道立帯広美術館／1 月 19 日－2 月 16 日　北海道立旭川美術館／2 月 22 日－3 月 23 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社〔巡回 4-4〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

道南美術の 21 世紀〈いま〉と〈これから〉●

欧文タイトル：「Southern Hokkaido Artists in the 21th Century」

会期：2011 年 12 月 17 日－2012 年 3 月 20 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館

出品：相田幸男、秋元美穂、安積徹、石川久美子、石川潤、岩井聖子、苧坂恒治、遠藤弘志、長内さゆみ、クリスト ヨーク、小宮伸二、櫻井純、ささきようすけ、佐藤志帆、佐藤留利子、鈴木秀明、隅田信城、高井秀樹、滝花保和、永嶺康紀、西田靖郎、丸岡哲也、三浦千代志、水口議、水野智吉、安田祐子、山形弘枝、山田光、横山朝覧、輪島進一〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

道南美術の 21 世紀〈いま〉と〈これから〉

北海道立函館美術館　2011 年 12 月 17 日　開館 25 周年記念

大下智一：道南美術の 21 世紀〈いま〉と〈これから〉30 人のかたち

相田幸男、秋元美穂、安積徹、石川久美子、石川潤、岩井聖子、苧坂恒治、遠藤弘志、長内さゆみ、クリスト ヨーク、小宮伸二、櫻井純、ささきようすけ、佐藤志帆、佐藤留利子、鈴木秀明、隅田信城、高井秀樹、滝花保和、永嶺康紀、西田靖郎、丸岡哲也、三浦千代志、水口議、水野智吉、安田祐子、山形弘枝、山田光、横山朝覧、輪島進一：作家の言葉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

北海道立帯広美術館

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」

会期：1992 年 11 月 21 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1993 年 1 月 5 日－31 日　北海道立旭川美術館／2 月 7 日－28 日　北海道立函館美術館／3 月 6 日－28 日　北海道立帯広美術館

主催：北海道立帯広美術館〔巡回 4-4〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

会期：1994 年 10 月 23 日－11 月 27 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 3 日－1995 年 1 月 8 日　北海道立旭川美術館／1 月 14 日－2 月 19 日　北海道立帯広美術館／2 月 25 日－3 月 26 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立帯広美術館〔巡回 4-3〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

会期：1996 年 10 月 26 日－12 月 1 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 7 日－1997 年 1 月 12 日　北海道立帯広美術館／1 月 19 日－2 月 16 日　北海道立旭川美術館／2 月 22 日－3 月 23 日　北海道立函館美術館

主催：北海道立帯広美術館〔巡回 4-2〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 4-1〕

道東アートファイル 2013 in the LIGHT／in the SHADOW ●

欧文タイトル：「Art Works in Eastern Hokkaido 2013」

会期：2013 年 11 月 22 日－2014 年 2 月 2 日　北海道立帯広美術館　主催：北海道立帯広美術館

出品：山本雄基、細木るみ子、松本早苗、浅川茂、藤原千也、小笹純弥、戸張良彦〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

道東アートファイル 2013 in the LIGHT／in the SHADOW

北海道立帯広美術館　2014 年 1 月

鎌田 享：「ひかりのなか」と「かげのもと」

山本雄基、細木るみ子、松本早苗、浅川茂、藤原千也、小笹純弥、戸張良彦：〔作家のことば〕

鎌田享、佐藤由美加、石尾乃里子：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

北海道立釧路芸術館

文化庁主催第 36 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：北海道展；2002 年 12 月 3 日－2003 年 1 月 13 日　北海道立釧路芸術館　主催：文化庁・北海道教育委員会・北海道立釧路芸術館・釧路新聞社・釧路教育芸術振興基金

出品：日本画；加来万周、牧野一泉。洋画；石川順惠、大友洋司。版画；太田三郎、鈴木康弘。彫刻；牛膓達夫〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

文化庁主催第 36 回現代美術選抜展図録

北海道立釧路芸術館　2002 年 12 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

札幌芸術の森美術館

北の創造者たち'87 木の造形 5 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 8 月 22 日－10 月 4 日　札幌・芸術の森センター・アートロビー　主催：札幌芸術の森・「北の創造者たち'87」実行委員会

出品：高橋昭五郎、中江紀洋、二部黎、松井茂樹、松隈康夫〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

北の創造者たち'87 木の造形 5 人展

札幌芸術の森　1987 年 8 月　〔第 1 回展〕

竹岡和田男：大地の息吹き、その力感と精神性〈「北の創造者たち'87 －木の造形 5 人展」〉に寄せて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、国会図

北の創造者たち'88 木の造形 5 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 8 月 27 日－10 月 10 日　札幌・芸術の森センター・アートロビー　主催：札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

出品：阿部典英、大塚哲郎、岡沼淳一、川名義美、田村宏〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

北の創造者たち'88 木の造形 5 人展

札幌芸術の森　1988 年 8 月　第 2 回展

鬼丸吉弘：多様な個性〈「北の創造者たち'88 －木の造形 5 人展」〉に寄せて

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

「北の創造者たち'91〈金属のフィールド・今〉」展 ●

欧文タイトル：「INSTALLATIONS OF METAL ART」

会期：1991 年 12 月 22 日－1992 年 2 月 2 日　札幌・芸術の森美術館　主催：芸術の森美術館

出品：小林令明、佐々木けいし、楢原武正、藤井忠行、藤原瞬〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「北の創造者たち'91〈金属のフィールド・今〉」展図録

財団法人札幌芸術の森　1991 年 12 月

長谷川彰子：「北の創造者たち'91～金属のフィールド・今」によせて

小林令明、佐々木けいし、楢原武正、藤井忠行、藤原瞬：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北の創造者たち'94「平面の断章－うつろう空間」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 8 月 31 日－10 月 16 日　札幌・芸術の森美術館　主催：芸術の森美術館

出品：後藤和子、美水円、杉山留美子、荒井善則、小坂哲治、下岡孝之、佐々木徹、高橋佳

乃子〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

北の創造者たち'94「平面の断章－うつろう空間」図録

財団法人札幌芸術の森　1994 年 8 月

大野正勝：平面の断章－うつろう空間

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北の創造者たち'96 平面の断章 自立する素材と形 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 7 月 27 日－9 月 8 日　札幌・芸術の森美術館　主催：財団法人札幌芸術の森

出品：井桁雅臣、林弘堯、大滝憲二、長内利尚、高橋俊司、小林英樹、市川草介〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

北の創造者たち'96 平面の断章 自立する素材と形 図録

財団法人札幌芸術の森　1996 年 7 月

吉崎元章：「平面の断章 II」自立する素材と形

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北の創造者たち'98 平面の断章 III 知覚される身体性 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 10 月 18 日－1999 年 1 月 24 日　札幌・芸術の森美術館　主催：財団法人札幌芸術の森

出品：艾沢詳子、井上まさじ、高橋靖子、今泉真治、高坂和子、江川博〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

北の創造者たち'98 平面の断章 III 知覚される身体性 図録

財団法人札幌芸術の森　1998 年 10 月

大野正勝：序・一枚の絵と身体性

大野正勝：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北の創造者たち 2001「美術スル」見方 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 12 月 23 日－2001 年 3 月 21 日　札幌・芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団

出品：川上りえ、佐々木秀明、鴻上宏子、藤本和彦、新明史子、古幡靖、端聡〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

北の創造者たち 2001「美術スル」見方

札幌市芸術文化財団　2000 年 12 月　付・パフォーマンス＋レジデンス・レポート

岩﨑直人：作家解説

川上りえ、佐々木秀明、鴻上宏子、藤本和彦、新明史子、古幡靖、端聡：作家インタビュー

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北の創造者たち展〈虚実皮膜〉●

欧文タイトル：「Northern Creators　Fiction／Fact：Skin／Membrane」

会期：2003 年 10 月 26 日－2004 年 1 月 18 日　札幌・芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団

出品：鈴木涼子、坂巻正美、上遠野敏、伊藤隆介、藤木正則、坂東史樹〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

北の創造者たち展〈虚実皮膜〉

札幌市芸術文化財団　2003 年 10 月

岩﨑直人：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

会期：2003 年 11 月 30 日－2004 年 1 月 18 日　新潟市美術館／1 月 25 日－3 月 28 日　三隅町立香月美術館／4 月 4 日－5 月 23 日　札幌芸術の森美術館／5 月 30 日－7 月 25 日　高知県立美術館／8 月 18 日－29 日　大丸ミュージアム・梅田／9 月 4 日－10 月 18 日　相模原・女子美アートミュージアム

主催：札幌市芸術文化財団・北海道新聞社〔巡回 6-3〕

――→新潟市美術館〔巡回 6-1〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団・北海道放送株式会社〔巡回 9-2〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

北の創造者たち展 10th Anniversary Lovely～らぶりぃ～ ●

会期：2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団

出品：樫見菜々子、堀かをり、松村繁、森迫暁夫、松原成樹、設楽知昭、彼方アツコ、佐々木雅子〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

北の創造者たち展 10th Anniversary Lovely～らぶりぃ～

札幌市芸術文化財団　2006 年 5 月 25 日〔第 2 版〕

岩﨑直人：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

「空間に生きる――日本のパブリックアート」展 ●

欧文タイトル：「Public Art in Japan」

会期：2006 年 10 月 1 日－29 日　札幌芸術の森美術館／11 月 5 日－12 月 24 日　世田谷美術館

主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団・「空間に生きる――日本のパブリックアート」展開催実行委員会〔巡回 2-1〕

出品：I エポックメイキング・プロジェクト；丹下健三、岡本太郎、イサム・ノグチ、ダニ・カラヴァン。II ユニーク・プロジェクト；環境造形 Q(山口牧生、増田正和、小林陸一郎)、鈴木昭男、安田侃、荒川修作/マドリン・ギンズ、庄野泰子、篠原修、若林奮、新宮晋、土屋公雄、池田一。III 戦後パブリックアートの諸相；菊池一雄、笠置季男、本郷新、舟越保武、流政之、篠田守男、多田美波、豊福知徳、中谷芙二子、小田襄、清水九兵衛、田中信太郎、飯田善國、岡本敦生、岡崎乾二郎、澄川喜一、井上武吉、田辺光彰、辻けい、ニルス・ウド、アンディー・ゴールズワージー、デイヴィッド・ナッシュ、海老塚耕一、折元立身、藤浩志、間島領一〔図版収載順〕

註：出品欄は個人作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

「空間に生きる――日本のパブリックアート」展

「空間に生きる――日本のパブリックアート」展実行委員会・空間造形コンサルタント 2006 年 10 月

酒井忠康：パブリックアートとは何か――展覧会によせて

細田雅春：存在するアート＝1989

水沢勉、酒井忠康、樋泉綾子、渡辺真理、石井幸彦、大野慶子、岩﨑直人、清水裕子、吉崎元章、鳴海雅人、畑山祐子：解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

この 20 年の、20 のアート〈広島市現代美術館コレクションによる〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 11 月 3 日－2007 年 1 月 14 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団、協力：広島市現代美術館

出品：会田誠、青木野枝、岩井俊雄、大岩オスカール幸男、小沢剛、川俣正、小林孝亘、須田悦弘、千住博、堂本右美、奈良美智、日高理恵子、福田美蘭、舟越桂、宮島達男、村上隆、森村泰昌、柳幸典、ヤノベケンジ、吉澤美香〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

この 20 年の、20 のアート〈広島市現代美術館コレクションによる〉

札幌芸術の森美術館　2006 年 11 月　開園 20 周年記念

岩崎直人：文

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、国会図

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション ●

欧文タイトル：「neoteny japan　CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S――FROM TAKAHASHI COLLECTION」

会期：2008 年 7 月 18 日－9 月 15 日　鹿児島県霧島アートの森／11 月 22 日－2009 年 1 月 25 日　札幌芸術の森美術館／5 月 20 日－7 月 15 日　上野の森美術館

主催：札幌芸術の森美術館〔巡回 3-2〕

――→鹿児島県霧島アートの森〔巡回 3-1〕

札幌美術展 さっぽろ・昭和 30 年代〈美術評論家なかがわ・つかさが見た熱き時代〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 10 月 30 日－2011 年 1 月 30 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)・北海道新聞社

出品：第 1 章 昭和 30 年代の札幌のすがた；木田金次郎、小野州一、一木万寿三、谷口一芳、伊藤正、野村英夫、豊島輝彦、栗谷川健一、本郷新。第 2 章 なかがわ・つかさ現る；木田金次郎(重)、田中祥三。第 3 章 展覧会評にみるなかがわ・つかさの視点；北岡文雄、西村計雄、伊藤正(重)、中居定雄、八木保次、八木伸子、澤田哲郎、松島正幸、笹沼浩平、加藤清江、岸葉子、伏木田光夫、大本靖、小川原脩、小谷博貞、本郷新(重)、米坂ヒデノリ、渡辺伊八郎、国井澄、栃内忠男、本田明二。第 4 章 昭和 30 年代の公募展・グループ展；伊坂重孝、畠山三代喜、伊藤隆一、亀山良雄、坂坦道、鎌田俳捺子、国松登、菊地又男、義江清司、富樫正雄、伊藤仁、大月源二、大本靖(重)、本田明二(重)、浅野愡、尾崎志郎、阿部貞夫、金子誠治、北浦晃、渡会純价、渡辺伊八郎(重)、佐々木美枝子、熊谷明宏、芹田英治、竹岡羊子、芹田綾子、小松清、澤田哲郎(重)、難波田龍起、八木保次(重)、小野州一(重)、赤穴宏、上野憲男、長谷川晶、伏木田光夫(重)、福井正治、野本醇、米谷雄平、田村宏、阿部典英、高橋昭一、一原有徳、高橋英生、豊島輝彦(重)、野崎嘉男、堀内掬夫、岡部昌生。第 5 章 空想道近代美術館～美術館建設の夢；三岸好太郎、林竹治郎、山本菊造、山田正、菅原翠洲、小山昇、石野宣三、兼平英示、山崎省三、工藤三郎、小柳正、山田義夫、伊藤信夫、居串佳一、阿部文之助、本間莞彩、上野山清貢、俣野第四郎、山内弥一郎、大塚謙三、木田金次郎、能勢眞美、田辺三重松、中村善策、田中忠雄、菊池精二。第 6 章『美術北海道』とさまざまな活動；なかがわ・つかさ。第 7 章 なかがわ・つかさが遺したもの；小谷博貞(重)、栗谷川健一(重)〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

札幌美術展 さっぽろ・昭和 30 年代〈美術評論家なかがわ・つかさが見た熱き時代〉

札幌市芸術文化財団　2010 年 10 月 30 日　札幌芸術の森美術館開館 20 周年記念

吉崎元春：なかがわ・つかさと札幌の美術

吉崎元春編：解説／年譜／参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、国会図、都中図

高橋コレクション――マインドフルネス! ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION　Mindfulness!」

会期：2013 年 7 月 12 日－9 月 1 日　鹿児島県霧島アートの森／9 月 14 日－11 月 24 日　札幌芸術の森美術館

主催：札幌芸術の森美術館・北海道新聞社〔巡回 2-2〕

――→鹿児島県霧島アートの森〔巡回 2-1〕

札幌美術展 アクア-ライン ●

欧文タイトル：「Art along the shore」

会期：2013 年 11 月 30 日－2014 年 2 月 16 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・北海道新聞社

出品：佐々木秀明、宮川美樹、国松希根太、山田良、中野北溟、端聡、前澤良彰、蒼野甘夏、山田恭代美、八木保次、露口啓二、前川アキ、徳丸晋、吉成翔子〔出品作品リスト順〕

○展覧カタログ

「札幌美術展 アクア-ライン」図録　　札幌芸術の森美術館編

札幌市芸術文化財団　2013 年 12 月

今村信隆：Art along the shore〈水と美術の諸相〉

今村信隆、宮城加奈子、岩﨑直人：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

すごいぞ、これは! ●

欧文タイトル：「This is Amazing!」

会期：2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／11 月 14 日－12 月 25 日　札幌芸術の森美術館／2016 年 1 月 7 日－14 日　高知・藁工ミュージアム、かるぽーと／2 月 2 日－10 日　福山・鞆の津ミュージアム

主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・札幌芸術の森美術館〔巡回 4-2〕

――→埼玉県立近代美術館〔巡回 4-1〕

本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌彫刻美術館）

北の彫刻展 ●

欧文タイトル：「Sculptures of the North」

会期：1982 年 7 月 31 日－8 月 29 日　札幌彫刻美術館　主催：「北の彫刻展」実行委員会・財団法人札幌彫刻美術館・北方圏センター・北海道国際文化協会

出品：スタファン・オストルンド、佐藤忠良、秋山沙走武、板津邦夫、伊藤寿朗、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、中江紀洋、本田明二、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、安田侃〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

北の彫刻展

「北の彫刻展」実行委員会・札幌彫刻美術館　1982 年 7 月　第 1 回展

田上義也：北の方位〈「北の彫刻展」開催にあたって〉

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、国会図

第 2 回北の彫刻展 ●

欧文タイトル：「Sculptures of the North」

会期：1984 年 7 月 31 日－9 月 16 日　札幌彫刻美術館　主催：「北の彫刻展」実行委員会・財団法人札幌彫刻美術館・北方圏センター・北海道国際文化協会

出品：秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤寿朗、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、砂澤ビッキ、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、本田明二、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、米坂ヒデノリ〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 2 回北の彫刻展

札幌彫刻美術館　1984 年 7 月

原子 修：北の視座〈「第 2 回北の彫刻展」開催にあたって〉

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、国会図

第 5 回北の彫刻展〈北海道の作家たち・730 日の軌跡〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 8 月 30 日－10 月 14 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館・札幌彫刻美術館専門委員会

出品：本田明二、砂澤ビッキ、秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岩下碩通、岡沼淳一、小野寺紀子、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、山谷圭司、米坂ヒデノリ〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

第 5 回北の彫刻展〈北海道の作家たち・730 日の軌跡〉図録

札幌彫刻美術館　1990 年 8 月

所蔵：□、国新美、国会図

第 6 回北の彫刻展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 8 月 28 日－10 月 18 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岩下碩通、岡沼淳一、小野寺紀子、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、山谷圭司、米坂ヒデノリ〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

第 6 回北の彫刻展

札幌彫刻美術館　1992 年 8 月

所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

第 7 回北の彫刻展〈北の彫刻家 26 人の熱き波動、その放射する 59 日間。〉●

欧文タイトル：「The 7th Exhibition of Northern Sculpture」

会期：1994 年 8 月 5 日－10 月 2 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岩下碩通、岡沼淳一、小野寺紀子、上遠野敏、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、山谷圭司、米坂ヒデノリ、渡辺行夫〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

第 7 回北の彫刻展図録〈北の彫刻家 26 人の熱き波動、その放射する 59 日間。〉

札幌彫刻美術館　1994 年 8 月

所蔵：□、東近美、都現美、横浜美、国会図

第 10 回記念 北の彫刻展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 9 月 1 日－10 月 9 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岡沼淳一、小野寺紀子、上遠野敏、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、高橋昭五郎、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山谷圭司、米坂ヒデノリ、渡辺行夫〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

第 10 回記念 北の彫刻展図録

札幌彫刻美術館　2000 年 9 月

阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岡沼淳一、小野寺紀子〔1 行〕、上遠野敏、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、高橋昭五郎、中江紀洋〔1 行〕、永野光一、二部黎、松隈康夫〔2 行〕、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山谷圭司、米坂ヒデノリ〔3 行〕、渡辺行夫：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

北の彫刻展 2002 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 8 月 30 日－10 月 14 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：伊藤隆弘、岡沼淳一、小川誠、小野寺紀子、川上りえ、菅原尚俊、寺田栄、藤井忠行〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

北の彫刻展 2002 図録

札幌彫刻美術館　2002 年 8 月

井上みどり：北の彫刻展 2002〈8 人の作家との出会い〉

伊藤隆弘、岡沼淳一、小川誠、小野寺紀子、川上りえ、菅原尚俊、寺田栄、藤井忠行：

〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、国会図

北の彫刻展 2004〈新しい具象〉●

欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2004 “Towards New Figure”」

会期：2004 年 8 月 27 日－10 月 11 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：伊藤三千代、岡部亮、笠原昌子、川上加奈、椎名澄子、野又圭司、野村裕之、伴翼〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

北の彫刻展 2004〈新しい具象〉

札幌彫刻美術館　2004 年 8 月

井上みどり：北の彫刻展 2004〈新しい具象〉

伊藤三千代、岡部亮、笠原昌子、川上加奈、椎名澄子、野又圭司、野村裕之、伴翼：〔作家のことば〕

所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

北の彫刻展 2006〈感性を刺激する素材の魅力〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 8 月 26 日－10 月 9 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：小林重予、中江紀洋、楢原武正、艾沢詳子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

北の彫刻展 2006〈感性を刺激する素材の魅力〉

札幌彫刻美術館　2006 年 9 月

井上みどり：北の彫刻展 2006〈感性を刺激する素材の魅力〉

小林重予、中江紀洋、楢原武正、艾沢詳子：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

北の彫刻展 2008〈心の中の自由な世界〉●

欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2008」

会期：2008 年 8 月 30 日－10 月 13 日　本郷新記念札幌彫刻美術館　主催：本郷新記念札幌彫刻美術館

出品：阿地信美智、柿﨑均、川上勉、佐々木秀明、藤田真理、丸岡哲也〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

北の彫刻展 2008〈心の中の自由な世界〉

本郷新記念札幌彫刻美術館　2008 年 9 月

井上みどり：北の彫刻展 2008〈心の中の自由な世界〉

阿地信美智、柿﨑均、川上勉、佐々木秀明、藤田真理、丸岡哲也：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

北の彫刻展 2010〈次世代をになう女性たち〉●

欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2010」

会期：2010 年 10 月 2 日－11 月 14 日　本郷新記念札幌彫刻美術館　主催：本郷新記念札幌

彫刻美術館

出品：伊藤三千代、桂充子、川上加奈、鴻上宏子、佐々木雅子、佐藤志帆、椎名澄子、富原加奈子、渡邊希〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

北の彫刻展 2010〈次世代をになう女性たち〉

本郷新記念札幌彫刻美術館　2010 年 10 月

井上みどり：北の彫刻展 2010〈次世代をになう女性たち〉

伊藤三千代、桂充子、川上加奈、鴻上宏子、佐々木雅子、佐藤志帆、椎名澄子、富原加奈子、渡邊希：〔作家のことば〕

所蔵：□、東文研、横浜美、国会図

江別市セラミックアートセンター

日本の現代陶芸〈伝統と新風の精美〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 8 月 6 日－9 月 19 日　江別市セラミックアートセンター／10 月 1 日－11 月 27 日　瀬戸市美術館

主催：独立行政法人国立美術館・北海道教育委員会・江別市〔巡回 2-1〕

出品：川喜田半泥子、十二代坂倉新兵衛、北大路魯山人、富本憲吉、河井寛次郎、石黒宗麿、荒川豊蔵、濱田庄司、中里無庵、三輪休和、金重陶陽、楠部彌弌、藤原啓、加藤土師萌、六代清水六兵衛、近藤悠三、安原喜明、山本陶秀、三輪壽雪、塚本快示、加藤卓男、江崎一生、田村耕一、八木一夫、岡部嶺男、河本五郎、島岡達三、藤本能道、熊倉順吉、荒木高子、清水裕詞(七代六兵衛)、藤平伸、三代山田常山、山田光、十三代今泉今右衛門、清水卯一、鈴木治、大樋年朗、辻清明、松井康成、林康夫、井上萬二、今井政之、加藤清之、坪井明日香、藤原雄、加守田章二、三代徳田八十吉、三浦小平二、森野泰明、十四代酒井田柿右衛門、鈴木藏、柳原睦夫、伊藤慶二、加藤孝造、中村錦平、三代宮永東山、伊勢﨑淳、佐藤敬、原清、林秀行、森陶岳、鯉江良二、五代伊藤赤水、中島宏、川崎毅、栗木達介、小池頌子、久世建二、小川待子、深見陶治、十五代樂吉左衛門、中島晴美、川口淳、三輪和彦、秋山陽、滝口和男、八代清水六兵衛〔柾博〕、八木明、井上雅之、重松あゆみ、田嶋悦子〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

日本の現代陶芸〈伝統と新風の精美〉

江別市セラミックアートセンター・瀬戸市美術館　2011 年 8 月 6 日　平成 23 年度国立美術館巡回展

諸山正則：近代陶芸の作家たち

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、愛芸文、国会図

釧路市生涯学習センター・アートギャラリー

第 26 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；1992 年 11 月 13 日－24 日　今治市河野美術館／岡山展；11 月 28 日－12 月 11 日　井原市立田中美術館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／岐阜展；1993 年 1 月 7 日－18 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／岩手展；1 月 24 日－2 月 7 日　水沢市文化会館／北海道展；2 月 13 日－28 日　釧路市生涯学習センター・アートギャラリー

主催：文化庁・北海道教育委員会・釧路市・釧路市教育委員会〔巡回 6-6〕

――→今治市河野美術館〔巡回 6-1〕

釧路市立美術館

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●

欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」

会期：2006 年 6 月 24 日－7 月 30 日　釧路市立美術館／8 月 8 日－9 月 10 日　唐津市近代図書館／9 月 16 日－10 月 22 日　掛川市二の丸美術館／10 月 28 日－12 月 3 日　尼崎市総合文化センター

主催：釧路市立美術館〔巡回 4-1〕

出品：片岡球子、金子卓義、絹谷幸二、木原康行、篠田桃紅、関根伸夫、月岡栄貴、堂本尚郎、濱野年広、毛綱毅曠、百瀬寿、森村泰昌、澤田政廣、田窪恭治、中江紀洋、深井隆、籔内佐斗司、矢柳剛、中野恵祥、平松保城、藤田喬平、舟串盛雄、松田権六、三木稔、三田村自芳、山脇洋二、六代清水六兵衛〔作品リスト順〕

註：本展覧会カタログには主催者の記載が無いのでそれぞれの美術館等を主催者として記載しておく。出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉

黄金の美術館展実行委員会　2006 年 6 月 24 日　平成 18 年度市町村立美術館共同巡回展支援事業

佐藤友哉：美術のなかの「金」

井村広巳、瀬戸厚志：作品・技法紹介

井澤博、中野由香里、角井千代絵、井村広巳、瀬戸厚志：作家紹介

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

公立美術館 東北

青森県

青森県立美術館

縄文と現代〈二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』〉 ●

欧文タイトル：「Art and Object：Affinity of the Jomon and the Contemporary」

会期：2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　青森県立美術館　主催：縄文と現代展実行委員会(東奥日報社、日本放送協会青森放送局、青森県)・青森県立美術館

出品：現代 第 1 章；岡本太郎、村井正誠、タイガー立石、阿部展也、鶴岡政男、工藤麻紀子、高山良策、内藤正敏、鈴木理策、菅井汲、野見山暁治、桂ゆき、斎藤義重、横山裕一、寺田政明、田澤茂、瑛九、皆川明。第 2 章；瑛九(重)、菊畑茂久馬、池田龍雄、田中敦子、元永定正、白髪一雄、岡本太郎(重)、今井俊満、山口長男、小野忠弘、吉仲太造、李禹煥、村上善男、難波田龍起、菅井汲(重)、菅木志雄、村岡三郎、西尾康之、間島領一、若林奮、戸谷成雄。第 3 章；西尾康之(重)、吉岡康弘、佳嶋、丸尾末廣、佐伯俊男、佐藤勲、カンノサカン、塩田千春、川島秀明、小川信治、中村宏、山下菊二、芥川〔間所〕紗織、尾藤豊、阿部合成、真島直子、秋山祐徳太子、村上善男(重)、荒川修作、吉江庄蔵、吉野辰海。第 4 章；小谷元彦、会田誠、工藤哲巳、山口晃、森万里子、草間彌生、土井典、ヤノベケンジ、青木野枝、岡本光博、内藤礼、福田里香、コーネリアス、小沢剛、村山留里子、馬場哲晃〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

縄文と現代〈二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』〉

オークコーポレーション　2006 年 10 月

工藤健志：「いま」と「いにしえ」をつなぐ愛

工藤健志：章解説

冨野華奈：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美

ラブラブショー ●

欧文タイトル：「LOVE LOVE SHOW；The new conceptions of contemporary art exhibition.」

会期：2009 年 12 月 12 日－2010 年 2 月 14 日　青森県立美術館、十和田市現代美術館　主催：ラブラブショー展実行委員会(青森県立美術館・十和田市現代美術館・青森テレビ)

出品：鈴木理策、遠山裕崇、山吉由利子、桑原弘明、岡崎京子、伊藤隆介、曽我部恵一×奥村雄樹、立石大河亞、松村泰三、斎藤義重、菊地敦己、ロビン西、KIMURA、吉田初三郎、秋山さやか〔出品作品リスト順〕

註：会期中、両美術館をつなぐ無料シャトルバスが運行され、西澤徹夫と寶神尚史によるインスタレーション作品が設置された。

〇展覧会カタログ

ラブラブショー

ラブラブショー展実行委員会　2009 年 12 月　青森県立美術館×十和田市現代美術館共

同企画展　付・DVD1 枚

工藤健志：WHAT IS THIS THING CALLED LOVE LOVE SHOW～〈ラブラブショー〉とは何でしょう

工藤健志、村雨ケンジ、板倉容子、原田真紀、茂田有徳、山貝征典：〔解説〕

西澤徹夫×寶神尚史：〔作家のことば〕

山貝征典：ラブラブショーにささげる〈LOVE LOVE SHOW DICTIONARY〉

工藤健志、山貝征典、細矢久人：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美

「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 7 月 12 日－9 月 7 日　青森県立美術館／9 月 20 日－11 月 16 日　静岡県立美術館／12 月 13 日－2015 年 2 月 16 日　島根県立石見美術館

主催：「美少女の美術史」展実行委員会(青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館)〔巡回 3-1〕

出品：Mr.、小磯良平、中原淳一、高橋真琴、内藤ルネ、水森亜土、陸奥 A 子、田渕由美子、太刀掛秀子、岡本光博、KEI、MONQ、山本大貴、手塚治虫、高橋しん、村上隆、わたなべひろし、けいこ、高田明美、赤塚不二夫、金子國義、四谷シモン、山本タカト、石黒賢一郎、加藤美佳、青島千穂、松山賢、永島信也、BOME(ボーメ)、大嶋優木、桜文鳥、智惠理、マックスファクトリー・浅井真紀、吾妻ひでお、谷口真人、森口裕二、丸尾末廣、中村宏、工藤麻紀子、熊澤未来子、味戸ケイコ、東郷青児、有元利夫、藤野一友、吉岡正人、O JUN、高木正勝、三谷十糸子、イヂチアキコ、唐仁原希、村山香奈恵、タカノ綾、ob、志村貴子、林静一、塚原重義〔掲載作品一覧順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉

「美少女の美術史」展実行委員会編

青幻舎　2014 年 7 月 20 日

川西由里・村上敬・工藤健志：美少女なんて、いるわけないじゃない。〈「美少女の美術史」展企画者座談会〉

村上敬、川西由里、工藤健志：〔章解説、作品解説〕

川西由里、工藤健志、村上敬：少女をめぐる 3 つのエッセイ

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

青森市民美術展示館

第 19 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 1 月 7 日－19 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 26 日－2 月 9 日　青森市民美術展示館／山形展；2 月 15 日－28 日　山形美術館
主催：文化庁・青森県教育委員会・青森市・青森市教育委員会・青森市文化施設管理公社〔巡回 3-2〕
――→豊橋市美術博物館〔巡回 3-1〕

十和田市現代美術館

ワッと!どうぶつ What?アート展〈現代アートに見る動物たち〉●
欧文タイトル：「Animals in contemporary art　Many Animals!! What? Art?」
会期：2008 年 7 月 19 日－8 月 31 日　十和田市現代美術館　主催：十和田市現代美術館
出品：三沢厚彦、奈良美智、小林孝亘、本山ひろ子、島田忠幸、オオクラテツヒロ、土屋仁応〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
ワッと!どうぶつ What?アート展〈現代アートに見る動物たち〉
十和田市現代美術館　2008 年 8 月 13 日　夏季企画展
佐々木美華子：「ワッと!どうぶつ What?アート」展解説
本山ひろ子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、国会図

ラブラブショー ●
欧文タイトル：「LOVE LOVE SHOW；The new conceptions of contemporary art exhibition.」
会期：2009 年 12 月 12 日－2010 年 2 月 14 日　青森県立美術館、十和田市現代美術館
主催：ラブラブショー展実行委員会(青森県立美術館・十和田市現代美術館・青森テレビ)
――→青森県立美術館〔同時開催〕

八戸市美術館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1988 年 10 月 2 日－23 日　八戸市美術館／11 月 2 日－23 日　名古屋・愛知県美術館／12 月 4 日－25 日　静岡市・駿府博物館／1989 年 1 月 11 日－29 日　横浜・そごう美術館
主催：文化庁・東京国立近代美術館・八戸市・八戸市教育委員会〔巡回 4-1〕
出品：日本画；小野竹喬、加山又造、小嶋悠司、杉山寧、髙山辰雄、徳岡神泉、橋本明治、平山郁夫、山口蓬春、吉岡堅二。油彩画、その他；麻生三郎、荒川修作、池田龍雄、石井茂雄、猪熊弦一郎、上田薫、梅原龍三郎、海老原喜之助、岡田謙三、岡本太郎、オノサト・トシノブ、桂ゆき、河原温、北脇昇、児島善三郎、斎藤義重、菅井汲、杉全直、須田国太郎、辰野登恵子、田淵安一、曹良奎、鳥海青児、中谷泰、中西夏之、中村宏、難波田龍起、野口彌太郎、馬場彬、林武、福沢一郎、松本竣介、三尾公三、元永定正、安井曾太郎、山口薫、山口長男、吉原治良、李禹煥。版画；池田満寿夫、井田照一、瑛九、榎倉康二、小作青史、恩地孝四郎、加納光於、河口龍夫、河内成幸、木村光佑、清塚紀子、駒井哲郎、野田哲也、

長谷川潔、浜口陽三、浜田知明、棟方志功、横尾忠則、吉田穂高。彫刻；植木茂、木内克、佐藤忠良、高田博厚、高松次郎、舟越保武、堀内正和、最上壽之、安田周三郎、柳原義達、若林奮〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展図録

〔東京国立近代美術館〕 1988 年 10 月

浅野 徹：「日本の現代美術――1945 年以後」展について

浅野徹、尾﨑正明、児島薫、高橋幸次、田中淳、藤井久栄、本江邦夫：作家略歴、作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

弘前市立博物館

第 13 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鳥取展；1979 年 12 月 8 日－22 日　鳥取県立博物館／愛知展；1980 年 1 月 8 日－20 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 27 日－2 月 11 日　弘前市立博物館／北海道展；2 月 17 日－3 月 2 日　北海道立近代美術館

主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 4-3〕――→鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

第 16 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：青森展；1982 年 10 月 17 日－11 月 3 日　弘前市立博物館／広島展；11 月 20 日－12 月 5 日　呉市立美術館／徳島展；12 月 10 日－26 日　徳島県郷土文化会館／愛知展；1983 年 1 月 8 日－23 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 4-1〕

出品：日本画；川﨑春彦、堀越保二。洋画；小西保文、藤本東一良。版画；磯見輝夫、清宮質文。彫刻；西常雄〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 16 回現代美術選抜展

〔文化庁〕 1982 年 10 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、愛芸文、国会図

第 18 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：大阪展；1984 年 12 月 9 日－12 月 23 日　岸和田市立文化会館／愛知展；1985 年 1 月 6 日－20 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 27 日－2 月 15 日　弘前市立博物館

主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 3-3〕

――→岸和田市立文化会館〔巡回 3-1〕

第 21 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1987 年 11 月 21 日－12 月 6 日　藤沢市民ギャラリー／愛知展；1988 年 1 月 6 日－24 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 30 日－2 月 21 日　弘前市立博物館

主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 3-3〕

――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 3-1〕

第 22 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1988 年 11 月 13 日－27 日　豊田市民文化会館／宮城展；1989 年 1 月 8 日－24 日　石巻文化センター／青森展；1 月 29 日－2 月 19 日　弘前市立博物館

主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 3-3〕

――→豊田市民文化会館〔巡回 3-1〕

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：秋田展；1990 年 11 月 22 日－12 月 6 日　アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)／青森展；12 月 11 日－26 日　弘前市立博物館／徳島展；1991 年 1 月 6 日－20 日　徳島県郷土文化会館／高知展；1 月 25 日－2 月 10 日　高知県立郷土文化会館／愛媛展；2 月 14 日－28 日　今治市河野美術館

主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 5-2〕

――→アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)〔巡回 5-1〕

岩手県

岩手県立美術館

文化庁主催第 38 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岩手展；2004 年 11 月 13 日－28 日　盛岡・岩手県立美術館／岡山展；2005 年 1 月 8 日－23 日　高梁市歴史美術館／岐阜展；2 月 5 日－27 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー

主催：文化庁・岩手県教育委員会・岩手県立美術館〔巡回 3-1〕

出品：日本画；福井江太郎、長沢明。洋画；小山利枝子、野田裕示。版画；黒木美希、馬場知子。彫刻；土屋公雄〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

文化庁主催第 38 回現代美術選抜展図録

〔文化庁〕　2004 年 11 月

所蔵：□、国新美、愛芸文

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

会期：2004 年 6 月 11 日－7 月 11 日　神戸・兵庫県立美術館／9 月 11 日－10 月 17 日　いわき市立美術館／10 月 30 日－12 月 19 日　葉山・神奈川県立近代美術館／2005 年 1 月 4 日－2 月 27 日　盛岡・岩手県立美術館／4 月 23 日－5 月 22 日　金沢 21 世紀美術館

主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-4〕

――→兵庫県立美術館〔巡回 5-1〕

アート・記憶・場所〈もりとぴあねっと共同企画〉●

欧文タイトル：「Project by Morioka Yuitopia Museum Network　Art, Memory, Place」

会期：2007 年 10 月 6 日－11 月 25 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：岩手県立美術館

出品：千葉奈穂子、古幡靖、岡田卓也、石川美奈子、栗田宏一、吉田重信〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

アート・記憶・場所〈もりとぴあねっと共同企画〉

岩手県立美術館　2007 年 12 月 14 日　英文併載　企画展

加藤俊明：アート・記憶・場所

千葉奈穂子、古幡靖、岡田卓也、石川美奈子、栗田宏一、吉田重信：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

2016 年の IMA〈岩手の現代美術家たち〉●

欧文タイトル：「Here and Now　Seven Artists from Iwate」

会期：2016 年 9 月 3 日－10 月 16 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：岩手県立美術館・岩手県文化振興事業団

出品：長谷川誠、山本英治、泉田之也、細川憲一、千葉奈穂子、本田恵美、尾崎森平〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

2016 年の IMA〈岩手の現代美術家たち〉図録〔資料編〕

岩手県立美術館・岩手県文化振興事業団　2016 年 9 月 3 日　記録編共 2 冊(カバー入)

濱淵真弓、盛本直美、吉田尊子、大野正勝、根本亮子、加藤俊明：〔作家論〕

加藤俊明：イメージの連鎖する世界へ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

2016 年の IMA〈岩手の現代美術家たち〉図録〔記録編〕

岩手県立美術館・岩手県文化振興事業団　2016 年 9 月 24 日

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

北上市民会館

第 8 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1974 年 9 月 14 日－29 日　福島県文化センター美術博物館／山形展；10 月 9 日－27 日　山形美術博物館／岩手展；11 月 2 日－17 日　北上市民会館／群馬展；12 月 5 日－20 日　群馬県立近代美術館

主催：文化庁・岩手県教育委員会・北上市・北上市教育委員会・岩手芸術協会・北上市文化団体連絡協議会・第 28 回岩手芸術祭実行委員会〔巡回 4-3〕

――→福島県文化センター美術博物館〔巡回 4-1〕

水沢市文化会館

第 26 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；1992 年 11 月 13 日－24 日　今治市河野美術館／岡山展；11 月 28 日－12 月 11 日　井原市立田中美術館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／岐阜展；1993 年 1 月 7 日－18 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／岩手展；1 月 24 日－2 月 7 日　水沢市文化会館／北海道展；2 月 13 日－28 日　釧路市生涯学習センター・アートギャラリー

主催：文化庁・水沢市・水沢市文化振興財団〔巡回 6-5〕

――→今治市河野美術館〔巡回 6-1〕

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館／山口展；11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日　石川県七尾美術館／秋田展；2 月 3 日－18 日　秋田県立近代美術館／岩手展；2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・岩手県教育委員会・水沢市・水沢市教育委員会・水沢市文化振興財団〔巡回 6-6〕

――→浦添市美術館〔巡回 6-1〕

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1998 年 11 月 22 日－12 月 7 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／愛媛展；12 月 13 日－27 日　今治市河野美術館／群馬展；1999 年 1 月 8 日－22 日　前橋市民文化会館／岩手展；1 月 28 日－2 月 11 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・岩手県教育委員会・水沢市・水沢市教育委員会・水沢市文化振興財団〔巡回 4-4〕

――→大垣市スイトピアセンターアートギャラリー〔巡回 4-1〕

萬鉄五郎記念美術館

集団 N39 1962 年－1969 年 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 9 月 19 日－12 月 23 日　花巻市・萬鉄五郎記念美術館　主催：萬鉄五郎記念美術館

出品：大宮政郎、柵山龍司、村上善男、浅利篤、多田雅彦、村山暢男、橋本正、杉村英一、藤澤多巳夫、田村富男、瀬川昌男、藤原國男、高橋昭八郎、伊藤元之〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

集団 N39 1962 年－1969 年

萬鉄五郎記念美術館　2010 年 3 月 15 日

大宮政郎：「N39」にまつわる事柄〈萬鉄五郎の爆発から 50 年、若き北緯のマグマが爆発する〉

齋藤岳城：「N39」という記号――60 年代岩手の詩と美術をめぐって

平澤広、伊藤真紀子、五十嵐佳乙子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

iwate コンテンポラリーアート ●

○展覧会事項〔次の 4 展から構成される。会場・主催は萬鉄五郎記念美術館。〕

欧文タイトル：当該カタログに記載無

写真家及川修次 故郷へのオマージュ「岩手風土記」展

会期：2012 年 4 月 21 日－6 月 24 日

ランドスケープアート 大地の語り部 山本英治－地形は語る TOWA の城郭展

会期：2012 年 6 月 30 日－8 月 26 日

橋本尚恣　日常〈通過点・到達点〉展

会期：2012 年 9 月 1 日－11 月 11 日

舞良雅子〈素材から見えるもの〉展

会期：2012 年 11 月 23 日－2013 年 2 月 24 日

○展覧会カタログ

iwate コンテンポラリーアート

萬鉄五郎記念美術館　〔2013 年 3 月〕　全国美術館会議 東日本大震災復興対策事業

平澤 広：日常のなかに在るもの

及川修次、山本英治、橋本尚恣、舞良雅子：〔作家のことば〕

註：舞良雅子展の展示風景が収載されているので 2013 年 3 月以降の発行と思われる。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

宮城県

宮城県美術館

開館記念特別展第 1 部 現代日本の美術 ●

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art」

会期：1981 年 11 月 3 日－12 月 6 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館

出品：岩橋英遠、上村松篁、片岡球子、加山又造、小松均、荘司福、髙山辰雄、東山魁夷、星野真吾、丸木位里、靉嘔、麻生三郎、荒川修作、宇佐美圭司、大沢昌助、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、桂ゆき、加納光於、河原温、絹谷幸二、小磯良平、斎藤真一、白髪一雄、菅木志雄、高松次郎、田淵安一、堂本尚郎、中西夏之、平賀敬、福沢一郎、三尾公三、元永定正、山口長男、李禹煥、池田満寿夫、木村光佑、島州一、野田哲也、浜口陽三、浜田知明、吾妻兼治郎、江口週、榎倉康二、斎藤義重、清水九兵衛、小清水漸、佐藤忠良、篠原有司男、新宮晋、鈴木実、建畠覚造、土谷武、堀内正和、村岡三郎、山本正道、若林奮、石井勢津子、小林はくどう、中谷芙二子、山口勝弘、山本圭吾〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

開館記念特別展第 1 部 現代日本の美術

宮城県美術館　1981 年 11 月

上村松篁、片岡球子、加山又造、小松均、荘司福、髙山辰雄〔再録〕、東山魁夷、星野真吾、丸木位里、靉嘔、麻生三郎、荒川修作〔英詩、谷川俊太郎和訳〕、宇佐美圭司、大沢昌助、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、河原温、斎藤真一、白髪一雄、菅木志雄、高松次郎、田淵安一、堂本尚郎、平賀敬、三尾公三、元永定正、池田満寿夫、木村光佑、島州一、浜田知明、吾妻兼治郎、江口週、榎倉康二、清水九兵衛、佐藤忠良、篠原有司男、新宮晋、建畠覚造、土谷武、堀内正和、山本正道、石井勢津子、小林はくどう、中谷芙二子、山口勝弘、山本圭吾：〔作家のことば〕

三木多聞：現代美術と日本

針生一郎：現代美術の綜合展と評価基準の問題

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

現代日本の美術・2 風景との出会い　第 1 部 展覧会「風景の表現」●

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art 2　An Encounter with the Sights around Us」

会期：1983 年 7 月 30 日－9 月 15 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・東北放送

出品：麻田鷹司、岩橋英遠、奥村土牛、小野具定、下保昭、加山又造、工藤甲人、小松均、荘司福、髙山辰雄、田渕俊夫、東山魁夷、平山郁夫、松本文子、山本丘人、吉田善彦、相笠昌義、牛島憲之、岡野浩二、小野末、小山敬三、斎藤真一、鴫剛、篠原有司男、田崎廣助、田中岑、田中稔之、田淵安一、田村一男、野見山暁治、櫃田伸也、深見隆、福井良之助、松本旻、松本英一郎、松本陽子、三尾公三、三栖右嗣、向井潤吉、元永定正、小野忠重、斎藤清、関野準一郎、前田守一、吉田勝彦、渡辺達正、木村光佑、木村利三郎、タイガー立石、

小山愛人、野田哲也、森岡完介、吉田穂高、岡部昌生、建畠覚造、保田春彦、山本正道、福岡道雄、菅木志雄、杉浦康益、高橋雅之、羽生真、眞板雅文、畦地拓治、斉藤智、山中信夫、白岩登三靖、田村彰英、荒木経惟、須田一政、薗部澄、奈良原一高、藤原新也、森山大道、山崎博、伊奈新祐、江本裕一郎、高木きつこ、黒川芳信、島野義孝、津村克史、中谷芙二子、野村仁、安藤紘平、かわなかのぶひろ、鈴木志郎康、山口保幸〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代日本の美術・2 風景との出会い　第 1 部 展覧会「風景の表現」図録

宮城県美術館　1983 年 7 月

麻田鷹司、小野具定、工藤甲人、小松均、荘司福、田渕俊夫、東山魁夷〔1 行〕、平山郁夫、松本文子、吉田善彦、相笠昌義、岡野浩二、小野末、小山敬三、斎藤真一、鴫剛、篠原有司男、田崎廣助、田中岑、田中稔之、田村一男、野見山暁治、櫃田伸也、深見隆、福井良之助、松本旻、松本英一郎、松本陽子、三尾公三、三栖右嗣、向井潤吉、元永定正、小野忠重、斎藤清、関野準一郎、前田守一、吉田勝彦、渡辺達正、木村光佑、木村利三郎、タイガー立石、小山愛人、森岡完介、吉田穂高、岡部昌生、建畠覚造、保田春彦、山本正道、福岡道雄、菅木志雄、杉浦康益、高橋雅之、羽生真、眞板雅文、畦地拓治、斉藤智、白岩登三靖、田村彰英、荒木経惟、薗部澄、奈良原一高、藤原新也、森山大道、山崎博、伊奈新祐、江本裕一郎、高木きつこ、黒川芳信、島野義孝、津村克史、中谷芙二子、野村仁、安藤紘平、かわなかのぶひろ、鈴木志郎康、山口保幸：〔作家のことば〕

酒井哲朗：今日の風景表現

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

現代日本の美術・3　戦後生まれの作家たち ●

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art 3 “The New Generation”」

会期：第 1 期・平面 1986 年 10 月 1 日－11 月 9 日／第 2 期・立体 11 月 15 日－12 月 14 日

仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・東北放送

出品：第 1 期・平面；青山亘幹、大野俊明、津田一江、中島千波、西田俊英、箱崎睦昌、畠中光享、林功、松生歩、山本真也、遠藤彰子、小笠原宣、川口起美雄、坂田哲也、佐藤一郎、玉川信一、智内兄助、十時孝好、朝比奈逸人、荒敦子、栗岡孝於、小林正人、中村功、根岸芳郎、松尾直樹。第 2 期・立体；青木野枝、植村公雄、内田晴之、遠藤利克、岡崎乾二郎、川俣正、北山善夫、黒川晃彦、小泉俊己、鈴木隆、竹田康宏、土屋公雄、戸谷成雄、中島一平、深井隆、舟越桂、本間かおり、増田聡子、松井紫朗、宮﨑豊治、籔内佐斗司、山倉研志、山本富章〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代日本の美術・3　戦後生まれの作家たち

宮城県美術館　1986 年 10 月　開館 5 周年記念特別展

桑原住雄：視座の逆転へ〈日本近代美術の構成〉

酒井哲朗：「現代日本の美術」展について

新田秀樹：「現代美術」の新世代

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館公募展示棟／6 月 3 日－14 日　京都市美術館／7 月 1 日－26 日　北九州市立美術館／8 月 1 日－30 日　仙台・宮城県美術館

主催：宮城県美術館・毎日新聞社〔巡回 4-4〕

――→京都市美術館〔巡回 4-2〕

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

会期：1987 年 5 月 23 日－6 月 21 日　富山県立近代美術館／6 月 26 日－7 月 14 日　大阪・ナビオ美術館／8 月 28 日－9 月 2 日　銀座・松屋／9 月 11 日－10 月 11 日　新潟市美術館／12 月 5 日－1988 年 1 月 31 日　仙台・宮城県美術館／2 月 11 日－3 月 21 日　下関市立美術館

主催：宮城県美術館・読売新聞社・ミヤギテレビ・美術館連絡協議会〔巡回 6-5〕

――→富山県立近代美術館〔巡回 6-1〕

美術の国の人形たち ●

欧文タイトル：「Man：In Another Dimension of the Human Form」

会期：1989 年 7 月 29 日－9 月 10 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：カジュアルな「彫刻」；秋山祐徳太子、有元利夫、入江比呂、木村直道、小島信明、篠原有司男、辻晋堂、西村公泉、籔内佐斗司。表層のリアリズム；魚田元生、翁譲、片岡昌、グループ七彩、重村三雄、土井典、ノロ燐、吉田良一、四谷シモン。素材のシンボリズム；桂ゆき、小泉雅代、都築房子、中井恒夫、福田新之助。オブジェ・パーティ；粟辻早重、井村隆、堤展子、中西學、前本彰子、山本タカト〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

美術の国の人形たち

宮城県美術館　1989 年 7 月

増淵宗一：美術の国の人形たち――彫刻と人形のプレリュード

三田村畯右：人のイメージ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

幻想の力〈日本の近・現代美術から〉展 ●

欧文タイトル：「Art and Vision：From Japanese Modern Art」

会期：1990 年 10 月 2 日－11 月 4 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：身体；鶴岡政男、荒川修作、藤野一友、三木富雄、三上誠、宇佐美圭司、星野真吾、麻生三郎、秋元雄史。事物；上田薫、金昌烈、吉仲太造、草間彌生、関口敦仁。部屋；河原

温、高松次郎、荒川修作(重複記載、以下「重」とす)、小磯良平、有元利夫、川﨑麻児、田窪恭治、関口敦仁(重)。森；近藤弘明、東山魁夷、横尾忠則、戸谷成雄、鈴木省三、池村玲子。夜と闇；鶴岡政男(重)、宮城輝夫、鏑木昌弥。鳥獣虫魚；山下菊二、池田龍雄、鶴岡政男(重)、桂ゆき、中村正義、佐藤昌宏、高木敏行。子供；川上澄生、中村宏、片山健、川原田徹、岡本信治郎。終末；鶴岡政男(重)、横尾忠則(重)、岩崎巴人、山下菊二(重)、香月泰男、司修、平山郁夫、大竹伸朗〔出品目録順〕

註：戦前作品のみの出品作家（田中恭吉、萬鉄五郎、岸田劉生、玉城末一、杉田勇次郎、川口軌外、印藤真楯、中丸清十郎、村上華岳、秦テルヲ、太田聴雨、清水登之、石垣栄太郎、小牧源太郎、国吉康雄、古賀春江、伊藤久三郎、松本竣介）は割愛した。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

幻想の力〈日本の近・現代美術から〉展図録

宮城県美術館　1990 年 10 月

酒井哲朗：「幻想絵画」をめぐって

有川幾夫：「幻想の力」展について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

「戦後写真と東北」展〈周縁へ。周縁から…。〉●

欧文タイトル：「Photography & Climatology」

会期：1990 年 11 月 10 日－1991 年 2 月 3 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館

出品：木村伊兵衛、濱谷浩、小島一郎、森山大道、秋山亮二、内藤正敏〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

「戦後写真と東北」展〈周縁へ。周縁から…。〉図録

宮城県美術館　1990 年 11 月

三上満良：東北撮影行――ひなびとたちの磁場へ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

昭和の絵画 第 3 部 戦後美術――その再生と展開 ●

欧文タイトル：「Paintings from the Showa Era（1926～1989）Part 3――1945 and after」

会期：1991 年 9 月 21 日－10 月 20 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：牛島憲之、松本竣介、福沢一郎、阿部展也、麻生三郎、岡本太郎、岡鹿之助、北代省三、桂川寛、鶴岡政男、尾藤豊、池田龍雄、桂ゆき、川口軌外、林武、村井正誠、山口薫、山下菊二、岡田謙三、小山田二郎、脇田和、糸園和三郎、難波田龍起、村上善男、宮本三郎、石井茂雄、野口彌太郎、瑛九、鳥海青児、中村宏、海老原喜之助、山口長男、斎藤義重、森芳雄、小磯良平、杉全直、今井俊満、宮城輝夫、白髪一雄、菅井汲、元永定正、井上長三郎、桑山忠明、高松次郎、谷川晃一、靉嘔、荒川修作、篠原有司男、山田正亮、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、平賀敬、田淵安一、吉原治良、猪熊弦一郎、斎藤真一、前田常作、相笠昌義、彦坂尚嘉、絹谷幸二、宇治山哲平、上田薫、李禹煥、中西夏之、三尾公三、菊畑茂久

馬、堀浩哉、有元利夫、辰野登恵子、中村一美、村上友晴、松本陽子、宇佐美圭司、榎倉康二、福田美蘭、増田聡子、横尾忠則、東山魁夷、岩崎鐸、秋野不矩、吉岡堅二、髙山辰雄、広田多津、西山英雄、奥村土牛、小松均、杉山寧、長崎莫人、堂本印象、横山操、岩崎巴人、川端龍子、徳岡神泉、平山郁夫、小野具定、上田臥牛、小倉遊亀、山本丘人、大野俶嵩、中村正義、片岡球子、下村良之介、上村松篁、小野竹喬、星野真吾、三上誠、岩橋英遠、奥田元宋、森田曠平、北澤映月、加山又造、佐藤多持、上野泰郎、麻田鷹司、近藤弘明、畠中光享、大島哲以、稗田一穂、中島千波、下保昭、平松礼二、池田遙邨、荘司福〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

昭和の絵画 第3部 戦後美術――その再生と展開 図録

宮城県美術館　1991年9月　開館10周年記念特別展

針生一郎：戦後日本の美術をふりかえって

酒井哲朗：戦後の絵画 1945～1989

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

「戦後写真と東北2」展〈原・日本風景への試論〉●

欧文タイトル：「Photography & Climatology II」

会期：1992年6月13日－7月12日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：薗部澄、柳沢信、細江英公、北井一夫、須田一政、大島洋、千葉禎介〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

「戦後写真と東北2」展〈原・日本風景への試論〉図録

宮城県美術館　1992年6月

三浦雅士：東北の風景

三上満良：幻のふるさと――“疑似”原風景の時代

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

異形のFigure――東北の3人展 ●

欧文タイトル：「Unique Works by three Artists of Tohoku」

会期：1993年5月20日－7月11日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：斎藤隆、針生鎮郎、吉野辰海

〇展覧会カタログ

異形のFigure――東北の3人展図録

宮城県美術館　1993年5月　付・図版3枚(ケース入)

酒井哲朗：「異形のFigure」展について

斎藤隆、針生鎮郎、吉野辰海：〔作家のことば〕

三上満良、和田浩一：〔略年譜、主な文献目録、作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、東大駒、和光大、都中

図

「手」の冒険：構想図[イメージ・スケッチ]の世界 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 7 月 2 日－8 月 14 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：前田正博、宮地葉子、横山尚人、津村耕佑、中野裕通、菱沼良樹、水戸岡鋭治、山中俊治、北川原温、團紀彦、若林広幸、池谷仙克、黒澤明、小竹信節、小畑正好、白佐木和馬、藤幡正樹〔出品リスト順〕

註：出品欄は個人作家を収載。

○展覧会カタログ

「手」の冒険：構想図[イメージ・スケッチ]の世界 図録

宮城県美術館　1994 年 7 月

三上満良：構想図の世界――イメージの源流をもとめて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

ヒニクなファンタジー 現代 5 人の想像世界 ●

欧文タイトル：「Ironic Fantasy　Another World by Five Contemporary Artists」

会期：1996 年 7 月 27 日－9 月 1 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：太郎千恵藏、中野渡尉隆、奈良美智、村上隆、森万里子〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

ヒニクなファンタジー 現代 5 人の想像世界 図録

宮城県美術館　1996 年 7 月　英文併載　開館 15 周年記念

松井みどり：批評の地平、幻想の野：日本美術の〈ポスト〉モダン

マイア・ダミアノヴィック：欠乏のスキャンダル

和田浩一：ヒニクなファンタジー

太郎千恵藏、中野渡尉隆、奈良美智、村上隆：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

「東北の形象――20 世紀からの発見」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 10 月 3 日－11 月 8 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・NHK 仙台放送局

出品：村上善男、内藤正敏〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「東北の形象――20 世紀からの発見」展図録

NHK 東北プランニング　1998 年 10 月 2 日

三上満良：20 世紀・東北の発見

西野嘉章：石斧と工具――快地よい「かたち」について
赤坂憲雄：円環と祈り――生と死の紋章をめぐって
有川幾夫、三上満良：〔章解説、論考〕
工藤正廣：賜物として東北へ――村上善男・内藤正敏のヴィジョン
村上善男、内藤正敏：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

「アートみやぎ」展〔第 1 回展〕●

欧文タイトル：「art miyagi」
会期：2000 年 1 月 22 日－3 月 26 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局
出品：青野文昭、翁ひろみ、木村太郎、作間敏宏、佐藤健吾エリオ、虎尾裕、能島和明、樋口徹〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
「アートみやぎ」展図録
宮城県美術館　2000 年 1 月　第 1 回展
西村勇晴：「アートみやぎ」開催にあたって
塩田長和：共有・共生・再生――アートみやぎの 8 人
青野文昭、翁ひろみ、木村太郎、作間敏宏「連作『治癒』から連作『colony』へ」、佐藤健吾エリオ「私と私絵画」、虎尾裕、能島和明、樋口徹：〔作家のことば〕
和田浩一：「アートみやぎ」出品作家について
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

特別展「アートみやぎ 2003」〔第 2 回展〕●

欧文タイトル：「art miyagi 2003」
会期：2003 年 1 月 28 日－3 月 23 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局
出品：阿部仁史、勝又豊子、ササキツトム、高山登、千葉和男、平間至、吉野辰海、渡辺雄彦〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
特別展「アートみやぎ 2003」図録
宮城県美術館　2003 年 1 月 28 日　第 2 回展
庄司淳一：アートみやぎ 2003 の八つの部屋〈展示解説に代えて〉
阿部仁史、勝又豊子、ササキツトム、高山登、千葉和男、平間至〔1 行〕、吉野辰海「容器の造形」、渡辺雄彦：〔作家のことば〕
西村勇晴：みやぎの美術 1999-2002
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

アート・ウォッチング part 2〈感覚遊園地探検〉●

欧文タイトル：「ART WATCHING part 2」

会期：2003 年 6 月 28 日－8 月 31 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社

出品：耳や鼻で；関主税、平松礼二、押江千衣子、猪熊弦一郎、菅井汲、岡本信治郎、堀浩哉、古沢岩美、難波田龍起、元永定正、水上央子。皮膚で；荘司福、上田薫、安田佐智種、本田健、白髪一雄、池田龍雄、石井茂雄、星野真吾、佐々木正芳、草間彌生、佐藤哲三、曽谷朝絵、小林孝亘、間島領一。筋肉で；靉嘔、山本直彰、日高理恵子、遠藤彰子、デイヴィッド・ホックニー、菅井汲(重)、浅野弥衛、斎藤義重、丸田恭子、篠原有司男〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

アート・ウォッチング part 2〈感覚遊園地探検〉

宮城県美術館　2003 年 6 月 28 日

布施英利：脳と美の解剖学

加野恵子：アート・ウォッチングと感覚遊園地探検――本展覧会のイントロダクション

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

コモン・スケープ 今日の写真における日常へのまなざし ●

欧文タイトル：「Commonscapes：Photography Today, Views of the Everyday」

会期：2004 年 1 月 17 日－3 月 28 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・財団法人自治総合センター

出品：ウィリアム・エグルストン、古屋誠一、ホンマタカシ、野口里佳、ハイナー・シリング、清野賀子、高橋恭司、安村崇〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

コモン・スケープ 今日の写真における日常へのまなざし

宮城県美術館　2004 年 1 月　英文併載

鷲田清一：着生のすがた〈日常の曖昧な淀みのなかで〉

和田浩一：コモン・スケープ〈今日の写真における日常へのまなざし〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

楽しむ空間・一歩前へ! ●

欧文タイトル：「Spaces for You－Stepping Out!」

会期：2004 年 7 月 31 日－9 月 20 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・財団法人自治総合センター

出品：廣瀬智央、クリスティーナ・クービッシュ、松井紫朗、祐成政徳、ピーター・フォーゲル〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

楽しむ空間・一歩前へ!

宮城県美術館　2004 年 7 月　主に英文併載　図録 1・2 共 2 冊(ケース入)
和田浩一：世界を発見するための一歩!
廣瀬智央、クリスティーナ・クービッシュ、松井紫朗、祐成政徳、ピーター・フォーゲル〔再録〕:〔作家のことば〕
後藤文子編：〔作家略歴〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

コレクションの四半世紀〈所蔵作品による全館展示〉●
欧文タイトル：「The Collection's Quarter Century」
会期：第 1 部・2006 年 4 月 8 日－5 月 28 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館
出品：第 1 部 A4；桂ゆき、山口長男、阿部金剛、村井正誠、駒井哲郎、瑛九、山口勝弘、難波田龍起、今井俊満、田中敦子、白髪一雄、篠原有司男、三木富雄、斎藤義重、宮脇愛子、磯辺行久、高松次郎、宇佐美圭司、吉原治良、川端実、荒川修作、李禹煥、高山登、榎倉康二、針生鎮郎、百瀬寿、小野皓一、堀内正和、建畠覚造〔出品目録順〕
註：出品欄は「第 1 部 A4」のうち戦後作品出品の作家を収載。
○展覧会カタログ
コレクションの四半世紀〈所蔵作品による全館展示〉
宮城県美術館　2006 年 4 月 8 日　開館 25 周年記念
和田浩一：章解説
和田浩一：斎藤義重と、絵画への問い
三上満良：荒川修作《Within Verbing / Blank Body / By…》と宮城県美術館／針生鎮郎・百瀬寿・小野皓一
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、和光大、国会図、都中図

アートみやぎ 2007〔第 3 回展〕●
欧文タイトル：「art miyagi 2007」
会期：2007 年 1 月 30 日－4 月 8 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局
出品：石川舜、及川聡子、翁譲、加藤千尋、木伏大助、佐藤淳一、タノタイガ、樋口佳絵〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
アートみやぎ 2007 図録
宮城県美術館　2007 年 1 月 30 日　開館 25 周年記念　第 3 回展
西村勇晴：みやぎの美術 2003-2006
三上満良：「アートみやぎ 2007」の出品作家について
石川舜、及川聡子、翁譲、加藤千尋、木伏大助〔聞き手・三上満良〕、佐藤淳一、タノタイガ、樋口佳絵：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

新しい美術の系譜 国立国際美術館(大阪)の名作 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 8 月 5 日－10 月 3 日　仙台・宮城県美術館／10 月 16 日－12 月 5 日　都城市立美術館

主催：宮城県美術館・国立国際美術館・NHK 仙台放送局〔巡回 2-1〕

出品：III 戦後日本の美術；瑛九、オノサト・トシノブ、草間彌生、小山田二郎、吉仲太造、芥川〔間所〕紗織、中西夏之、三木富雄、浅岡慶子・三木富雄。V ベッヒャー以降の現代写真の世界；杉本博司、オノデラユキ、やなぎみわ、森村泰昌〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

新しい美術の系譜(図版)

国立国際美術館・宮城県美術館・都城市立美術館　2010 年 8 月　平成 22 年度国立美術館巡回展　図版・解説共 2 冊(ケース入)

島 敦彦：国立美術館巡回展の開催にあたって

中井康之：章解説

安來正博、加須屋明子、宮坂敦子、島敦彦、宮田有香、原田正俊：III 戦後日本の美術 作品解説

角本摩衣子、島敦彦、岡部るい、小野尚子：V ベッヒャー以降の現代写真 作品解説〔日本作家〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

アートみやぎ 2011〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「ART MIYAGI 2011」

会期：2011 年 1 月 15 日－3 月 21 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・自治総合センター・河北新報社・NHK 仙台放送局

出品：安彦文平、鹿野護、佐々木加奈子、佐々木健、椎名勇仁、志賀理江子、細川憲一〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

「アートみやぎ 2011」図録

宮城県美術館協力会　2011 年 2 月 28 日　第 4 回展

大嶋貴明：「アートみやぎ 2011」について

大嶋貴明、和田浩一：〔作家論〕

大嶋貴明、和田浩一、小檜山祐幹：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」●

欧文タイトル：「Sunouchi Toru and Gendai Gallery：The Eye and Spirit of the Showa Period」

会期：2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　仙台・宮城県美術館／2014 年 1 月 25 日－3 月 16

日　愛媛県美術館(第 1 会場)・町立久万美術館(第 2 会場)／4 月 12 日－6 月 8 日　新潟市美術館

主催：宮城県美術館・NHK 仙台放送局・NHK プラネット東北・河北新報社〔巡回 3-1〕

出品：靉光、朝井閑右衛門、フランコ・アセット、麻生三郎、カレン・アペル、伊丹万作、今西中通、上野山清貢、海老原喜之助、海老原友忠、岡鹿之助、岡本鉄四郎、小野幸吉、小野隆生、マドハット・カケイ、加藤太郎、喜多村知、木下晋、木村荘八、小泉清、古茂田公雄、古茂田守介、坂下広吉、佐藤清三郎、佐藤哲三、重松鶴之助、千家元麿、田中担三、田畑あきら子、鳥海青児、曹良奎、寺田政明、堂本尚郎、中村彝、野田英夫、長谷川利行、長谷川潾二郎、林倭衛、林武、原精一、藤牧義夫、前田寛治、ミリヤーナ・マオドュシュ、松田正平、松本竣介、峰村リツ子、みよし、三輪田俊助、村山槐多、森田英二、森堯茂、柳瀬正夢、吉岡憲、吉原治良、四方田草炎、萬鉄五郎〔作家索引順、戦前作家を含む〕

○展覧会カタログ

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」図録

NHK プラネット東北　2013 年 11 月

有川幾夫：洲之内徹と昭和

佐伯一麦：作家としての洲之内徹――「棗の木の下」を中心に

和田浩一、松沢寿重、鴫原悠、加野恵子、菅野仁美、小檜山祐幹、神内有理：〔章解説・解説〕

大倉 宏：現代画廊の変容

和田浩一：時代の中の洲之内徹 気まぐれと狷介

松沢寿重：「横雲橋の上の雲」と「坂の上の雲」とのあいだ

神内有理：無言の一年－洲之内徹の松山

鴫原 悠：洲之内徹の松山時代(1946-52)－『愛媛新聞』を手がかりに

洲之内 徹：再録「樹氷(一幕二場)」

後藤洋明編：洲之内徹年譜

後藤洋明編：現代画廊展覧会歴

後藤洋明編：洲之内徹著作文献目録

菅野仁美編：洲之内徹関連文献目録

加野恵子編：現代画廊パンフレット執筆者目録

小檜山祐幹編：「気まぐれ美術館」シリーズ掲載作家・作品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

わが愛憎の画家たち――針生一郎と戦後美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 1 月 31 日－3 月 22 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・ミヤギテレビ

出品：福沢一郎、鶴岡政男、岡本太郎、香月泰男、麻生三郎、阿部展也、井上長三郎、海老原喜之助、浜田知明、阿部合成、勅使河原宏、池田龍雄、福島秀子、山口勝弘、芥川紗織、

山野卓、山下菊二、河原温、中村宏、中野淳、尾藤豊、桂川寛、小山田チカエ、曹良奎、福田恒太、中本達也、佐藤忠良、中谷泰、朝倉摂、小山田二郎、吉原治良、斎藤義重、前田常作、杉全直、難波田龍起、堀内正和、桂ゆき、瑛九、今井俊満、高橋秀、昆野勝、池田満寿夫、靉嘔、赤瀬川原平、篠原有司男、荒川修作、吉野辰海、立石紘一、岡本信治郎、馬場彬、小野忠弘、橿尾正次、菊畑茂久馬、宮城輝夫、佐々木正芳、村上善男、水谷勇夫、松澤宥、渡辺恂三、細谷修平、丸木位里・俊、梅田英俊、横尾忠則、大島哲以、辻まこと、星野真吾、石井茂雄、中村正義、横山操、片岡球子、三上誠、大森運夫、池田幹雄、不動茂弥、下村良之介、佐藤多持、菊池養之助、田中竜児、三木富雄、菅井汲、高松次郎、粟津潔、河口龍夫、関根伸夫、磯崎新、工藤哲巳、井田照一、山中信夫、石井勢津子、ヨーゼフ・ボイス、ラインハルト・サビエ、大浦信行、瀧口修造〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

わが愛憎の画家たち――針生一郎と戦後美術 図録　　宮城県美術館編

読売新聞社・美術館連絡協議会　2015 年 1 月

三上満良：章解説／解題

三上満良：針生一郎――美術運動家としての足跡

古川美佳：アジアのリアリズムを求めつづけて――光州ビエンナーレ 2000「芸術と人権」展を中心に

菅野仁美編：針生一郎の足跡 1925-2010(2015)年譜・執筆歴（年譜）

赤間和美編：針生一郎の足跡 1925-2010(2015)年譜・執筆歴（執筆歴）

赤間和美、菅野仁美、加野恵子：出品作家略歴

註：標題紙に〈アヴァンギャルドを見つめつづけた反骨の評論家の足跡〉の副題あり。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、京都学、和光大、国会図、都中図

石巻文化センター

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 11 月 9 日－23 日　豊田市民文化会館／徳島展；11 月 29 日－12 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；1987 年 1 月 10 日－25 日　富山県民会館美術館／福島展；1 月 31 日－2 月 15 日　郡山市民文化センター／宮城展；2 月 21 日－3 月 8 日　石巻文化センター

主催：文化庁・宮城県教育委員会・石巻市教育委員会・河北新報社〔巡回 5-5〕

――→豊田市民文化会館〔巡回 5-1〕

第 22 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1988 年 11 月 13 日－27 日　豊田市民文化会館／宮城展；1989 年 1 月 8 日－24 日　石巻文化センター／青森展；1 月 29 日－2 月 19 日　弘前市立博物館

主催：文化庁・宮城県教育委員会・石巻市教育委員会・河北新報社〔巡回 3-2〕

――→豊田市民文化会館〔巡回 3-1〕

リアス・アーク美術館

境界の風景〈水を越え、人は行く〉●

欧文タイトル：「BOUNDS LANDSCAPE」

会期：1994 年 10 月 26 日－11 月 27 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：リアス・アーク美術館

出品：平山郁夫、大山忠作、竹内邦夫、澤宏靱、関主税、加藤東一、田渕俊夫、青山義雄、大沢昌助、若松光一郎、小関利雄、奈良清四郎、牛島憲之、國領經郎、岡田謙三、今井俊満、高間惣七、富岡惣一郎、田中岑、嶋剛、畦地拓治、山口啓介、小清水漸、松本陽子、堂本尚郎、菊畑茂久馬、堀浩哉〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

境界の風景〈水を越え、人は行く〉

リアス・アーク美術館　1994 年 10 月　開館記念

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：新潟展；1994 年 11 月 18 日－12 月 1 日　長岡市美術センター／福島展；12 月 6 日－18 日　郡山市立美術館／宮城展；12 月 22 日－1995 年 1 月 15 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／宮崎展；1 月 20 日－2 月 5 日　宮崎県総合博物館／福岡展；2 月 9 日－26 日　田川市美術館

主催：文化庁・宮城県教育委員会・リアス・アーク美術館〔巡回 5-3〕

――→長岡市美術センター〔巡回 5-1〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐／広島展；11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館／長崎展；12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館／徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館館／宮城展；1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／秋田展；2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館

主催：文化庁・宮城県教育委員会・リアス・アーク美術館〔巡回 6-5〕

――→セラトピア土岐〔巡回 6-1〕

陶芸の現在的造形 ●

欧文タイトル：「Dialogue with Clay－The Spirit of Contemporary Ceramics」

会期：1998 年 7 月 29 日－9 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：リアス・アーク美術館

出品：秋山陽、板橋廣美、井上雅之、加藤委、川口淳、川崎毅、北村純子、清水柾博、小池頌子、齋藤敏寿、重松あゆみ、柴田眞理子、田嶋悦子、中井川由季、中島晴美、深見陶治、

前田剛、松本ヒデオ、宮永甲太郎、森野彰人〔作家作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

陶芸の現在的造形

リアス・アーク美術館　1998 年 7 月 29 日

奥野憲一：陶芸の現在的造形

渡部誠一：現代と陶芸〈現代陶芸論への作業仮説あるいは序説として〉

木田拓也、今井陽子、冨田康子、奥野憲一、金子賢治、渡部誠一：作家解説

金子賢治：現代陶芸の変貌

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

秋田県

秋田県立近代美術館

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館／山口展；11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日　石川県七尾美術館／秋田展；2 月 3 日－18 日　横手・秋田県立近代美術館／岩手展；2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県立近代美術館〔巡回 6-5〕

――→浦添市美術館〔巡回 6-1〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐／広島展；11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館／長崎展；12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館／徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館館／宮城展；1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／秋田展；2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館

主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県立近代美術館〔巡回 6-6〕

――→セラトピア土岐〔巡回 6-1〕

大地の造形〈東北の彫刻家たち〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 8 月 29 日－10 月 11 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：秋田県立近代美術館

出品：I 原始のかたち。II 祈りのかたち。III 大地に刻む(1)近代彫刻の始まり；佐藤朝山。(2)風土と造形；中野桂樹、橋本朝秀、新海竹蔵、三国慶一、桜井祐一、北村正信、本郷新、三坂耿一郎、佐藤忠良、舟越保武、千野茂、小坂圭二、岩野勇三、米坂ヒデノリ、工藤健。

(3)かたちの広がり；昆野恆、植木茂、吾妻兼治郎、遠藤洪平六、皆川嘉博。(4)いのちを刻む；阿部米蔵、砂澤ビッキ、鈴木実、峯田敏郎、舟越桂〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の彫刻家を収載。

〇展覧会カタログ

大地の造形〈東北の彫刻家たち〉図録

秋田県立近代美術館　1998 年 8 月

井上芳明・田中日佐夫・小笠原光・三浦直：座談会 北の風土に潜むもの

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資

馬場彬とサトウ画廊の画家たち〈戦後美術の断面〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2001 年 9 月 9 日－10 月 14 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：秋田県立近代美術館

出品：馬場彬、近藤竜男、吉仲太造、桑原盛行、池田龍雄、針生鎮郎、中村宏、深沢幸雄、昆野勝、豊島弘尚、佐々木正芳、村上善男、高橋甲子男、勝呂忠、難波田龍起、藤松博、内田克巳、吉村益信、小野忠弘、宮下勝行、岡本信治郎、赤瀬川原平、石川舜、みのわ淳、江澤正秀、小山田二郎、長谷秀三〔出展作品一覧順〕

〇展覧会カタログ

馬場彬とサトウ画廊の画家たち〈戦後美術の断面〉

秋田県立近代美術館　2001 年 9 月 9 日

針生一郎：「サトウ画廊月報」を読み直して

馬場 彬：『サトウ画廊のこと』

山本丈志：サトウ画廊と馬場彬

山本丈志、後藤雅洋：編集

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、都中図

ジパング II 沸騰する日本の現代アート ●

欧文タイトル：「Zipangu－The Surge of Japanese Contemporary Art」

会期：2012 年 10 月 6 日－12 月 2 日　新潟県立万代島美術館／2013 年 4 月 7 日－6 月 16 日　高崎市美術館／9 月 14 日－11 月 10 日　横手・秋田県立近代美術館

主催：ジパング展秋田展実行委員会(ABS 秋田放送／秋田県立近代美術館)・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

――→新潟県立万代島美術館〔巡回 3-1〕

秋田総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：秋田展；1990 年 11 月 22 日－12 月 6 日　アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)／青森展；12 月 11 日－26 日　弘前市立博物館／徳島展；1991 年 1 月 6 日－20 日　徳島県郷土文化会館／高知展；1 月 25 日－2 月 10 日　高知県立郷土文化会館／愛媛

展；2 月 14 日－28 日　今治市河野美術館
主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県〔巡回 5-1〕
出品：日本画；伊藤彬、小山硬。洋画；松本英一郎、安原竹夫。版画；遠藤享、河内成幸。彫刻；小田襄〔図版収載順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。
○展覧会カタログ
第 24 回現代美術選抜展
〔文化庁〕 1990 年 11 月
所蔵：□、国新美

第 4 回アジア美術展 ●
欧文タイトル：「4th Asian Art Show, Akita　REALISM ASAN ATTITUDE」
会期：福岡展；1994 年 9 月 10 日－10 月 16 日　福岡市美術館／箱根展；1995 年 1 月 1 日－2 月 12 日　箱根・彫刻の森美術館／秋田展；2 月 17 日－3 月 21 日　秋田県総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール／東京展；1995 年 4 月 5 日－5 月 14 日　世田谷美術館
主催：秋田県〔巡回 4-3〕
――→福岡市美術館〔巡回 4-1〕

秋田市立千秋美術館

現代美術のレッスン・1 ●
欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART」
会期：1999 年 2 月 11 日－3 月 22 日　秋田市立千秋美術館　主催：秋田市立千秋美術館・ABS 秋田放送
出品：ロイ・リキテンスタイン、李禹煥、ラファエル・ソト、難波田龍起、イヴ・クライン、草間彌生、ヨーゼフ・ボイス、ジョージ・シーガル、アンディ・ウォーホル、河口龍夫、上田薫、若江漢字〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
「現代美術のレッスン・1」GUIDE
秋田市立千秋美術館　1999 年 2 月 11 日　ポストカード 12 枚＋解説文 1 枚(ケース入)
松尾由美子、鈴木葉子：編集
所蔵：□、国新美、国会図

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 1999〈文化庁芸術家在外研修の成果〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1999 年 2 月 2 日－28 日　新宿・安田火災東郷青児美術館／4 月 11 日－5 月 9 日　秋田市立千秋美術館
主催：秋田市立千秋美術館・文化庁・読売新聞社〔巡回 2-2〕
――→安田火災東郷青児美術館〔巡回 2-1〕

山形県

山形美術館

第 19 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 1 月 7 日－19 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 26 日－2 月 9 日　青森市民美術展示館／山形展；2 月 15 日－28 日　山形美術館

主催：文化庁・山形県教育委員会、共催：山形美術館等〔巡回 3-3〕

――→豊橋市美術博物館〔巡回 3-1〕

未来のノスタルジー〈山形・同時代作家展〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 7 月 27 日－8 月 20 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送・山形テレビ

出品：安部定、大内晴夫、太田三郎、木嶋正吾、木原正徳、小池隆英、後藤寿之、サイトユフジ、作田富幸、佐藤勤、佐藤時啓、佐藤真生、蔦谷一行、中原淳、松田重仁、本木京一、渡辺栄一〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

未来のノスタルジー〈山形・同時代作家展〉

山形美術館　1995 年 7 月

菅原教夫：「未来のノスタルジー――山形・同時代作家展」によせて

岡部信幸：あとがきにかえて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

生まれるイメージ ●

欧文タイトル：「Descending Images 2005」

会期：2005 年 5 月 25 日－6 月 26 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送・山形テレビ

出品：青山ひろゆき、小林和彦、花澤洋太、吉岡まさみ〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

生まれるイメージ

山形美術館　2005 年 5 月

岡部信幸：生まれるイメージ

青山ひろゆき、小林和彦、花澤洋太、吉岡まさみ：制作コメント

所蔵：□、国新美、都現美

生まれるイメージ 2007 ●

欧文タイトル：「Descending Images 2007」

会期：2007 年 5 月 16 日－6 月 24 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送

出品：倉田研治、堀正明、元木孝美、山田修市、若月公平〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
生まれるイメージ 2007
山形美術館　2007 年 5 月
岡部信幸：万物照応(correspondence)
倉田研治、堀正明、元木孝美、山田修市、若月公平：制作コメント
所蔵：□、国新美

生まれるイメージ 2010 ●
欧文タイトル：「Descending Images 2010」
会期：2010 年 12 月 17 日－2011 年 1 月 30 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送
出品：阿部岳史、阿部亮年、石井博康、大沼洋美、木原正徳、鴻崎正武、小林俊介、長里子、中村桂子、松山隼〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
生まれるイメージ 2010
山形美術館　2011 年
阿部岳史、阿部亮年、石井博康、大沼洋美、木原正徳、鴻崎正武、小林俊介、長里子、中村桂子、松山隼：〔作家のコメント〕
岡部信幸：編集
所蔵：□、国新美、東近美、神近美

山形美術博物館

第 8 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：福島展；1974 年 9 月 14 日－29 日　福島県文化センター美術博物館／山形展；10 月 9 日－27 日　山形美術博物館／岩手展；11 月 2 日－17 日　北上市民会館／群馬展；12 月 5 日－20 日　群馬県立近代美術館
主催：文化庁・山形美術博物館・山形県教育委員会・山形市教育委員会・山形新聞・山形放送〔巡回 4-2〕
――→福島県文化センター美術博物館〔巡回 4-1〕

よねざわ市民ギャラリー・ドリーム

第 27 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：神奈川展；1993 年 11 月 10 日－21 日　藤沢市民ギャラリー／山形展；11 月 27 日－12 月 14 日　よねざわ市民ギャラリー・ドリーム／愛知展；12 月 22 日－1994 年 1 月 16 日　豊橋市美術博物館／徳島展；1 月 21 日－2 月 6 日　徳島県郷土文化会館／香川展；2 月 10 日－24 日　坂出市民美術館

主催：文化庁・山形県教育委員会・米沢市教育委員会〔巡回 5-2〕
――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 5-1〕

福島県

福島県立美術館

現代東北美術の状況展〈開館記念展第 3 部〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1984 年 10 月 13 日－11 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館
出品：工藤甲人、佐藤圀夫、櫻庭藤二郎、小松均、今野忠一、福王寺法林、結城天童、荘司福、大山忠作、菊地養之助、小林五浪、星茂、佐野ぬい、豊島弘尚、村上善男、阿伊染徳美、大塚博、木村栄治、斎藤長三、清野恒、近岡善次郎、佐々木正芳、佐藤一郎、杉村惇、宮城輝夫、五十嵐二朗、鎌田正蔵、田口安男、橋本章、吉井忠、若松光一郎、天野邦弘、関野準一郎、松村定育、高頭祥八、百瀬寿、小松章三、田辺和郎、斎藤清、山野辺義雄、渡辺豊重、工藤哲巳、小坂圭二、岩間正男、加藤常明、菅木志雄、舟越保武、工藤健、峯田敏郎、青山光佑、吾妻兼治郎、鈴木実、豊田豊、峯田義郎、佐藤忠良、高山登、佐藤静司、細井良雄、三坂耿一郎〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
現代東北美術の状況展〈開館記念展第 3 部〉
福島県立美術館　1984 年 10 月
大島清次：「現代東北美術の状況展」に寄せて
工藤甲人、佐藤圀夫、櫻庭藤二郎、小松均、今野忠一、福王寺法林、結城天童、荘司福、大山忠作、菊地養之助、小林五浪、佐野ぬい、豊島弘尚、村上善男、阿伊染徳美、大塚博、木村栄治、斎藤長三、清野恒、近岡善次郎、佐々木正芳、佐藤一郎、杉村惇、宮城輝夫、五十嵐二朗、鎌田正蔵、田口安男、橋本章、吉井忠、若松光一郎、天野邦弘、関野準一郎、高頭祥八、百瀬寿〔2 行〕、小松章三、田辺和郎、斎藤清、山野辺義雄、渡辺豊重、工藤哲巳、小坂圭二、岩間正男、加藤常明、菅木志雄、舟越保武、工藤健、峯田敏郎、青山光佑、鈴木実、峯田義郎、佐藤忠良、高山登、佐藤静司、細井良雄、三坂耿一郎：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

現代東北美術の状況展・II ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1987 年 10 月 17 日－11 月 23 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館
出品：工藤甲人、小泉智英、小松均、今野忠一、佐々木裕久、信太金昌、荘司福、能島和明、松本栄、今川和男、柏健、加藤貞子、斉藤昇、佐々木健治、佐々木良三、佐藤柳逸、菅野矢一、瀬川明甫、高橋幸彦、田口安男、玉川信一、針生鎮郎、前田春治、松田松雄、渡辺豊重、天野邦弘、大宮政郎、ゴトウ・シュウ、小松章三、豊島弘尚、百瀬寿、山中現、阿部米蔵、

遠藤洪平六、小野忠弘、北郷悟、工藤哲巳、菅木志雄、高橋枡旺、高山登、富樫実、西山勇三、林範親、舟越桂、峯田敏郎〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

「現代東北美術の状況展・II」図録

福島県立美術館　1987 年 10 月 17 日

二階堂 充：時と人の風景から

工藤甲人、今野忠一、佐々木裕久、信太金昌、荘司福、能島和明、松本栄、柏健、加藤貞子、斉藤昇、佐々木健治、佐々木良三、佐藤柳逸、菅野矢一、瀬川明甫、高橋幸彦、田口安男、玉川信一、針生鎮郎、前田春治、松田松雄、渡辺豊重、天野邦弘、大宮政郎、ゴトウ・シュウ、小松章三、豊島弘尚、山中現、阿部米蔵、遠藤洪平六、小野忠弘、北郷悟、工藤哲巳、菅木志雄、高橋枡旺、高山登、富樫実、西山勇三、林範親、舟越桂、峯田敏郎：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

ファイバー・アート〈糸と布の可能性〉●

欧文タイトル：「FIBER ART」

会期：1993 年 2 月 6 日－3 月 21 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：小林正和、小林尚美、熊井恭子、吉田晃良、石田智子、吉村正郎、佐久間美智子、久保田繁雄、草間喆雄、榛葉莟子、徳重恵美子、中村木美、車季南〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ファイバー・アート〈糸と布の可能性〉

福島県立美術館　1993 年 2 月

長谷部満彦：日本のファイバー・アート

小林正和、小林尚美、熊井恭子、吉田晃良、石田智子、吉村正郎、佐久間美智子、久保田繁雄、草間喆雄、榛葉莟子、中村木美、車季南：〔作家のことば〕

林王 昭：ファイバー・アート 糸と布の可能性

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

福島の新世代’96 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 1 月 27 日－3 月 10 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：安藤栄作、坂元郁夫、藤田邦統、山田善三、北郷悟、山中現、安部直人、玉川信一、高橋幸彦〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

福島の新世代’96

福島県立美術館　1996 年 1 月 27 日

早川博明：個の領分――明日の美術をもとめて

安藤栄作、坂元郁夫、藤田邦統、山田善三、北郷悟、山中現、安部直人、玉川信一、高橋幸彦：〔作家のことば〕

吉村有子：1996 年の新世代の作家たち

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

抽象絵画の創造力〈想念がかたちになるとき〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 9 月 14 日－10 月 20 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：難波田龍起、浅野弥衛、桑原盛行、李禹煥、オノサト・トシノブ、吉原治良、元永定正、杉全直、山口長男、斎藤義重、今井俊満、白髪一雄、草間彌生、田中敦子、桑山忠明、山田正亮〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ

抽象絵画の創造力〈想念がかたちになるとき〉図録

福島県立美術館　1996 年 9 月 14 日

宮武 弘：抽象絵画の創造力

佐治ゆかり編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

福島の新世代'98 ●

欧文タイトル：「A Message to the Next Century」

会期：1998 年 12 月 11 日－1999 年 2 月 7 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館・福島民報社・テレビュー福島

出品：石川貞治、薄井崇友、宗像利浩、線幸子、加藤学、高橋克之、渡辺晃一〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

福島の新世代'98

福島県立美術館　1998 年 12 月 11 日

早川博明：未知なるものとの出会い

石川貞治、薄井崇友、宗像利浩、線幸子、加藤学、高橋克之、渡辺晃一：〔作家のことば〕

真柴 毅：A Message to the Next Century〈7 つの世界から〉

真柴毅、久慈伸一、宮武弘：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

福島の新世代 2001 SEVEN ROOMS ●

会期：2001 年 9 月 22 日－11 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館・福島民報社・テレビュー福島

出品：菅野純、瀬戸正人、山口卓司、山根敏郎、岩倉榮利、三原昌平、坂本朝夫〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

福島の新世代 2001 SEVEN ROOMS

福島県立美術館　2001 年 9 月

荒木康子：「壁」をめぐって

菅野純、山根敏郎、岩倉榮利、坂本朝夫、聞き手・荒木康子、増渕鏡子：〔インタビュー〕

瀬戸正人、山口卓司、三原昌平：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

New Spirits 福島 鴻崎正武・高橋克之・小林浩〈物語をめぐって〉●

会期：2005 年 6 月 18 日－7 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：鴻崎正武、高橋克之、小林浩

○展覧会カタログ

New Spirits 福島 鴻崎正武・高橋克之・小林浩〈物語をめぐって〉

福島県立美術館　2005 年 6 月 18 日

酒井哲朗：ニュー・スピリッツ福島 物語をめぐって

鴻崎正武、高橋克之、小林浩：〔作家のことば〕

荒木康子：私たちの物語

吉村有子・荒木康子編：作家略歴・展覧会歴・関連文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

胸さわぎの夏休み〈イチハラ×やなぎ×ヤノベ×小沢＝∞、美術館で熱くなれ!〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 7 月 17 日－8 月 29 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館、共催：福島県立美術館協力会

出品：イチハラヒロコ、やなぎみわ、ヤノベケンジ、小沢剛〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

胸さわぎの夏休み〈イチハラ×やなぎ×ヤノベ×小沢＝∞、美術館で熱くなれ!

福島県立美術館　2010 年 8 月 13 日

酒井哲朗：芸術の想像力

橋本淳之：学校連携共同ワークショップ

荒木康子：胸さわぎの熱い夏を満喫するために

荒木康子：作家略歴・展覧会歴・関連文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

被災地からの発信 ふくしま 3.11 以降を描く ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 9 月 10 日－10 月 10 日　福島県立美術館　主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

出品：油井ひろ子、松本良子、片平仁、門馬美喜、坂内直美、宮本興一郎、齋藤杏奈〔出品

リスト順〕

〇展覧会カタログ

被災地からの発信 ふくしま 3.11 以降を描く　　福島県立美術館編

被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会　2017 年 3 月 17 日　平成 28 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

油井ひろ子、松本良子、片平仁、門馬美喜、坂内直美、宮本興一郎、齋藤杏奈：〔作家のことば〕

伊藤 匡：違和感を持ちながら『被災地からの発信・ふくしま 3.11 以降を描く』展について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

福島県文化センター美術博物館

第 8 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1974 年 9 月 14 日－29 日　福島県文化センター美術博物館／山形展；10 月 9 日－27 日　山形美術博物館／岩手展；11 月 2 日－17 日　北上市民会館／群馬展；12 月 5 日－20 日　群馬県立近代美術館

主催：文化庁・福島県教育委員会・(財)福島県文化センター〔巡回 4-1〕

出品：日本画；今野忠一、近藤弘明。洋画；寺田政明、櫃田伸也。版画。彫刻；千野茂〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 8 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1974 年 9 月

所蔵：□、国新美、横浜美

いわき市立美術館

砂へ、そして砂から もうひとつの美術館《解体をめぐって》●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1985 年 4 月 6 日－21 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：伊藤公象、島田忠幸、田窪恭治、谷口雅邦、渡辺明節。パフォーマンス；島崎剛、仁科きぬ子〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

砂へ、そして砂から もうひとつの美術館《解体をめぐって》

いわき市立美術館　1985 年 4 月

南嶌 宏：最後の美術館

伊藤公象・島田忠幸・田窪恭治・谷口雅邦・中村秀樹・たにあらた・酡島庸二：座談会

「もうひとつの美術館」をめぐって

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美

戦後美術の原像展〈戦争の刻印と鎮魂〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 7 月 30 日－8 月 28 日　いわき市立美術館　主催：いわき市教育委員会・いわき市立美術館

出品：1 歴史の中の戦争。2 十五年戦争と美術。3 戦後－ヒロシマ以後；佐田勝、松本竣介、向井潤吉、阿部展也、香月泰男、野地正記、浜田知明、井上長三郎、福沢一郎、飯田善國、井上有一、深尾庄介、神田周三、古沢岩美、山本敬輔、米倉寿仁、鶴岡政男、イヴ・クライン、柿手春三、増田勉、平山郁夫、荒木高子、アリヨス・イエルチチ、鯉江良二、殿敷侃、西雅秋、広島市民が描いた原爆の絵、亀倉雄策、粟津潔、福田繁雄、早川良雄、永井一正、田中一光〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の作家を収載。

○展覧会カタログ

戦後美術の原像展〈戦争の刻印と鎮魂〉

いわき市立美術館　1988 年 7 月

田中日佐夫：《戦後美術の原像展－戦争の刻印と鎮魂－》によせて

小泉晋弥：戦争と美術ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

いわきの美術Ⅰ 作家たちの抽象 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 11 月 21 日－12 月 13 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：石川進、大塚雄造、塩田清忠、線幸子、高杉和久、田辺恭臣、若松光一郎〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

いわきの美術Ⅰ 作家たちの抽象

いわき市立美術館　1992 年 11 月

佐々木吉晴、杉浦友治、竹内啓子、平野明彦：〔作家解説〕

杉浦友治：出品作家といわきの美術風土

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

戦後・美術の変貌展 わかりやすい現代美術〈現代美術入門〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 7 月 30 日－9 月 25 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：今井俊満、白髪一雄、菅木志雄、高松次郎、三木富雄、宮島達男、元永定正、森村泰昌、山口勝弘、李禹煥〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

戦後・美術の変貌展 わかりやすい現代美術〈現代美術入門〉

いわき市立美術館　1994 年 7 月

佐々木吉晴：初めて現代美術に触れる人のために 日本の戦後美術の背景－入門
佐々木吉晴、植田玲子、平野明彦：作家解説、略歴
所蔵：□、国新美、東文研、国会図

いわきの美術 II 熱いまなざしの軌跡〈七人の写実〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1994 年 10 月 8 日－11 月 6 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館
出品：石井實、北郷喜三郎、熊坂太郎、鈴木邦夫、山野辺義雄、吉田富美、渡辺文雄〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
いわきの美術 II 熱いまなざしの軌跡〈七人の写実〉
いわき市立美術館　1994 年 10 月
柴田百合子、杉浦友治、竹内啓子：作家解説
杉浦友治：状況のある一面について
所蔵：□、国新美

いわきの美術 III 内なる具象展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 4 月 27 日－5 月 19 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館
出品：石田譲介、稲川敏之、田口安男、田子英長、坪井正光、広瀬諭、峰丘〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
いわきの美術 III 内なる具象展
いわき市立美術館　1996 年 4 月
杉浦友治、柴田百合子、佐々木吉晴：〔作家解説〕
杉浦友治：絵画が提示される場所
所蔵：□、国新美

いわきの美術 IV 境界を超えて〈立体表現の拡がり〉Part1 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1999 年 5 月 29 日－6 月 27 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館
出品：安藤栄作、山本伸樹、鈴木蛙土、森川亮輔、緑川宏樹、湯川隆、上遠野敏、小瀧勝平、北郷悟、舟生厚〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
いわきの美術 IV 境界を超えて〈立体表現の拡がり〉Part1　記録
いわき市立美術館　1999 年
所蔵：□、国新美

炭鉱(ヤマ)へのまなざし〈常磐炭田と美術〉展
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2004 年 7 月 17 日－8 月 29 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館・福島民報社

出品：鳥居敏文、若松光一郎、向井潤吉、熊坂太郎、齋藤實、鈴木武、佐藤忠良、松浦良、中山章、竹谷富士雄、西常雄、中谷泰、吉井忠、森芳雄、鈴木新夫、橋本松雄、金野新一、伊藤和子、古川昌弘、金子初男、中村亨司、橋本弘、稲川敏之、吉田昭男、菊地正男、熊坂行夫。写真；鈴木清、穴戸春巳、上遠野良夫、萩原義弘〔作家略歴順〕

〇展覧会カタログ

炭鉱(ヤマ)へのまなざし〈常磐炭田と美術〉展

いわき市立美術館　2004 年 7 月

小野 浩：近代産業としての常磐炭田史

田口安男：いわきの風土〈私の視野のうち〉

杉浦友治：炭鉱(ヤマ)へのまなざし――それぞれのリアリティ

所蔵：□、国新美、東近美

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

会期：2004 年 6 月 11 日－7 月 11 日　神戸・兵庫県立美術館／9 月 11 日－10 月 17 日　いわき市立美術館／10 月 30 日－12 月 19 日　葉山・神奈川県立近代美術館／2005 年 1 月 4 日－2 月 27 日　盛岡・岩手県立美術館／4 月 23 日－5 月 22 日　金沢 21 世紀美術館

主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-2〕

――→兵庫県立美術館〔巡回 5-1〕

彫刻なるもの－川島清・土谷武・若林奮の作品から ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 11 月 17 日－12 月 17 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：川島清、土谷武、若林奮

〇展覧会カタログ

彫刻なるもの－川島清・土谷武・若林奮の作品から

いわき市立美術館　2006 年 11 月

平野明彦：作品解説

小泉晋弥：「彫刻なるもの」－世界と人間の仲介者

平野明彦：彫刻－川島清・土谷武・若林奮の作品について

竹内啓子編：〔作家略歴〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

いま。つくりたいもの、伝えたいこと。●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 9 月 17 日－10 月 23 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：安斉重夫、安藤栄作、石井實、石川貞治、石川進、磯上芳久、織田千代、小野重治、上遠野良夫、小瀧勝平、塩田清忠、下山田晴彦、鈴木邦夫、髙野正晃、野島美穂、長谷川浩子、広瀬諭、藤於環、峰丘、山本伸樹、湯川隆、吉田重信、吉田成寿、渡辺啓、渡辺文雄〔出

品リスト順〕

〇展覧会カタログ

いま。つくりたいもの、伝えたいこと。

いわき市立美術館　2011 年 9 月

安斉重夫、安藤栄作、石井實、石川貞治、石川進、磯上芳久、織田千代、小野重治、上遠野良夫、小瀧勝平、塩田清忠、下山田晴彦、鈴木邦夫、髙野正晃、野島美穂、長谷川浩子、広瀬諭、藤於環、峰丘、山本伸樹、湯川隆、吉田重信、吉田成寿、渡辺啓、渡辺文雄：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

会期：2013 年 1 月 12 日－3 月 24 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館／4 月 20 日－6 月 2 日　いわき市立美術館／7 月 13 日－9 月 8 日　富山県立近代美術館／10 月 5 日－11 月 10 日　北九州市立美術館分館／11 月 23 日－2014 年 1 月 26 日　世田谷美術館

主催：いわき市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・福島民友新聞社・福島中央テレビ〔巡回 5-2〕

――→神奈川県立近代美術館〔巡回 5-1〕

いわき市文化センター

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1975 年 9 月 24 日－10 月 7 日　いわき市文化センター／宮崎展；10 月 21 日－11 月 4 日　宮崎県総合博物館／奈良展；11 月 15 日－30 日　奈良県立美術館／神奈川展；12 月 7 日－21 日　神奈川県立県民ホールギャラリー

主催：文化庁・福島県教育委員会・いわき市教育委員会・いわき市文化団体連絡協議会・いわき美術協会〔巡回 4-1〕

出品：日本画；塩出英雄、蓮尾辰雄。洋画；國領經郎、三尾公三。版画；靉嘔、井田照一、小野木学。彫刻；保田春彦〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 9 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1975 年 9 月

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美

郡山市立美術館

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：新潟展；1994 年 11 月 18 日－12 月 1 日　長岡市美術センター／福島展；12 月 6 日

－18 日　郡山市立美術館／宮城展；12 月 22 日－1995 年 1 月 15 日　リアス・アーク美術館／宮崎展；1 月 20 日－2 月 5 日　宮崎県総合博物館／福岡展；2 月 9 日－26 日　田川市美術館

主催：文化庁・福島県教育委員会・郡山市立美術館〔巡回 5-2〕

――→長岡市美術センター〔巡回 5-1〕

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」

会期:1994 年 9 月 27 日－10 月 30 日　熊本県立美術館／1995 年 5 月 31 日－6 月 12 日　大丸ミュージアム･梅田／8 月 12 日－9 月 24 日　郡山市立美術館／10 月 7 日－12 月 3 日　広島市現代美術館

主催：郡山市立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-3〕

――→熊本県立美術館〔巡回 4-1〕

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

会期：1998 年 5 月 16 日－6 月 14 日　北海道立旭川美術館／8 月 1 日－9 月 6 日　津・三重県立美術館／10 月 24 日－11 月 23 日　郡山市立美術館／1999 年 2 月 5 日－3 月 21 日　愛媛県美術館

主催：郡山市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・福島民友新聞社・福島中央テレビ〔巡回 4-3〕

――→北海道立旭川美術館〔巡回 4-1〕

郡山市民文化センター

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 11 月 9 日－23 日　豊田市民文化会館／徳島展；11 月 29 日－12 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；1987 年 1 月 10 日－25 日　富山県民会館美術館／福島展；1 月 31 日－2 月 15 日　郡山市民文化センター／宮城展；2 月 21 日－3 月 8 日　石巻文化センター

主催：文化庁・福島県教育委員会・郡山市教育委員会・郡山市文化施設管理公社〔巡回 5-4〕

――→豊田市民文化会館〔巡回 5-1〕

公立美術館 関東

茨城県

茨城県近代美術館

現代茨城の美術展〈戦後 40 年の流れ〉●

欧文タイトル：「ART IN IBARAKI, 1945-1988」

会期：前期 明治・大正生まれの作家たち 1988 年 11 月 13 日－12 月 20 日／後期 昭和生まれの作家たち 1989 年 1 月 7 日－2 月 12 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県・茨城県教育委員会

出品：洋画 明治・大正生まれ；安藤信哉、飯野農夫也、飯野安、稲田三郎、稲村退三、榎戸庄衛、小野瀬進、小又光、角浩、香取徳、栗原信、黒澤三郎、小林晟、小堀進、小松崎永夫、小松義雄、酒泉淳、佐藤成一、菅野圭介、鈴木良三、大道武男、滝平二郎、田中良、辻永、鶴岡義雄、寺門弘、利根山光人、永瀬義郎、長山義一、中山節子、新居広治、西田亨、服部正一郎、塙賢三、原田睦、張替正次、平野逸郎、広原長七郎、福田輝、福田義之助、二重作龍夫、堀越隆次、本郷惇、巻島友治、村山密、茂木直喜、森嶋正浩、森田茂、山内豊喜、若林一男、渡辺浩三。洋画 昭和生まれ；靉嘔、相沢和郎、秋山静、麻生花児、アワノトシオ、飯泉俊夫、石井武夫、磯崎俊光、上田薫、海老原昭治、大沢康之、大森英樹、小沼隆一郎、片岡洋一、木村克朗、栗田政勝、栗田政裕、栗橋ノリオ、栗原喜依子、黒木重雄、小澤基弘、小林次男、小松興亜、齋藤義孝、サイトウ良、佐藤洋照、清水優、白木俊之、鈴木睦子、鈴木俊行、鈴木信男、十河雅典、立見榮男、舘野弘、田所幸一、田中良尊、玉川信一、丹保喜三郎、長南一夫、塚原明義、寺門晃、富張広司、中沢洋一、仲村寛、中山庄太郎、新居田郁夫、西岡民雄、西成田育男、西野和治、野沢二郎、橋本光、福田玲子、福地靖、古山浩一、堀井英男、益子昭雄、増田聡子、松井亨、松本安良、水落啓、武留井義男、谷田川卓、柳田昭、山田和枝、山本文彦、吉田勝彦、吉田正雄、綿引明浩。写真 明治・大正生まれ；大辻清司、貝塚光慶、小林彬、飛田耕、古橋惣吉、町田和久。写真 昭和生まれ；小野信一、鹿志村保男、川田喜久治、黒沢淳泰、斎藤さだむ、佐々木元彦、鈴木輝男、関政夫、中井川俊洋、福田仁、藤井正夫、室伏勇。彫刻 明治・大正生まれ；雨宮治郎、飯田艇三、池邊瑠璃、石塚輝雄、板谷真吾、一色五郎、木津一夫、木内岬、木内克、倉持芳、小鹿尚久、後藤清一、小森邦夫、菅原安男、高久茂雄、松田喜三郎、三沢寛、宮本理三郎、村田勝四郎、森山朝光。彫刻 昭和生まれ；赤荻賢司、阿部誠、市村緑郎、一色邦彦、伊藤公象、伊藤知香、伊藤尚未、伊藤鈞、大槻孝之、小張隆男、河口龍夫、川崎普照、神戸武志、國安孝昌、郡司和男、小口一也、後藤末吉、小林三千夫、サトル・タカダ、信太進、篠田守男、鈴木実、高橋睦治、田代勝、田中信太郎、富樫一、中村義孝、西成田洋子、西野慎二、能島征二、橋本裕臣、早瀬重留、原口美喜麿、平戸司郎、蛭田二郎、槇渉、松村泰三、三田村畯右、六崎敏光、森脇裕之、山口勝弘、山崎猛、湯原和夫〔出品目録順〕

註：出品欄は洋画家(版画家を含む)、写真家、彫刻家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

現代茨城の美術展〈戦後 40 年の流れ〉図録

茨城県近代美術館　1988 年　開館記念展第二部

寺門征也：開催までの経緯

長山貞之：戦後茨城の美術とは

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

ファミリー美術館'96 素材とかたち〈触覚との対話〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 8 月 4 日－9 月 3 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館

出品：淀井敏夫、堀内正和、建畠覚造、清水九兵衛、流政之、土谷武、草間彌生、靉嘔、最上壽之〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ファミリー美術館'96 素材とかたち〈触覚との対話〉

茨城県近代美術館　1996 年 8 月　特別展

外舘和子：素材とかたちからみた 9 人の歩み

外舘和子編：作家紹介

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

眼をとじて――“見ること”の現在 ●

欧文タイトル：「Close your eyes…and visualize What you see」

会期：2009 年 10 月 31 日－12 月 13 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館

出品：オディロン・ルドン、アルベルト・ジャコメッティ、若林奮、村上友晴、河口龍夫、鈴木省三、エミコ・サワラギ・ギルバート、長沢秀之、岡村桂三郎、日高理恵子、小林孝亘、水谷イズル〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

眼をとじて――“見ること”の現在

茨城県近代美術館　2009 年 10 月

市川政憲：展覧会によせて－見る作家とつくる「観客」

河口龍夫、鈴木省三、エミコ・サワラギ・ギルバート、長沢秀之、岡村桂三郎、日高理恵子、小林孝亘、水谷イズル：コメント

市川政憲、小泉淳一、井野功一：作家略歴・解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

耳をすまして――美術と音楽の交差点 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 1 月 22 日－3 月 6 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館

出品：恩地孝四郎、難波田龍起、駒井哲郎、堂本尚郎、三木富雄、野村仁、藤本由紀夫、藤枝守、金沢健一、石田尚志、八木良太〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

耳をすまして――美術と音楽の交差点

茨城県近代美術館　2011 年 1 月　付・CD1 枚
市川政憲：序にかえて――「出会い」について
澤渡麻里：目と耳が交差する時空間へ
澤渡麻里：〔章解説〕
藤本由紀夫、藤枝守、金沢健一、石田尚志、八木良太：〔作家のことば〕
荒木扶佐子、澤渡麻里、井野功一、永松左知、春田友則、今瀬佐和：作家略歴
澤渡麻里：出品目録・主要作品解説
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

輝く女たち――その強さ、儚さ、複雑さ ●

欧文タイトル：「Images of women　Strength, Fragility, and Ambiguity」
会期：2011 年 7 月 30 日－9 月 11 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
出品：第 1 章 慈愛と神秘；小林古径、綿引司郎、斎藤清、池田満寿夫、能島征二。第 2 章 燃える生命力；寺内萬治郎、木内克、小磯良平、柳原義達、佐藤忠良、麻生三郎、土谷武、山本文彦。第 3 章 少女性；山下新太郎、林武、鈴木良三、柴田三千春、堀越隆次、森田曠平、清宮質文、一色邦彦。第 4 章 複雑な心を映す体；小倉遊亀、早瀬瀧江、片岡球子、北澤映月、荘司福、桂ゆき、江見絹子、芥川〔間所〕紗織、漆原英子、土井典、やなぎみわ、宮北千織、松井冬子、櫻井りえこ〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。
○展覧会カタログ
輝く女たち――その強さ、儚さ、複雑さ
茨城県近代美術館　2011 年 7 月
永松左知：描かれる女性・描く女性――その強さ、儚さ、複雑さ
永松左知：章解説
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

二年後。自然と芸術、そしてレクイエム ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2013 年 2 月 5 日－3 月 20 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
出品：牧島如鳩、中西夏之、河口龍夫、エミコ・サワラギ・ギルバート、井上直、野沢二郎、楢橋朝子、間島秀徳、米田知子〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。
○展覧会カタログ
二年後。自然と芸術、そしてレクイエム 図録
茨城県近代美術館　2013 年 2 月　付・別刷 2 枚
市川政憲：ひとつのメッセージ あるいは、震災後の「近さ」と隔たりについて
河口龍夫、エミコ・サワラギ・ギルバート、井上直、野沢二郎、楢橋朝子、間島秀徳、米田知子：コメント

中西夏之：コメント

市川政憲：作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

聖なるものへ〈ひそやかな祝祭〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 11 月 2 日－2014 年 1 月 13 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館

出品：序章；舟越保武。第 1 章　うつろいの中のかがやき；小堀進、浦田正夫、木村忠太、福王寺法林、那波多目功一、中西夏之、伊藤彬、柳田昭。第 2 章　痛みのありか；舟越保武(重)、浜田知明、土井典、秀島由己男、堀井英男、鏑木昌弥、石井武夫、木下晋、エミコ・サワラギ・ギルバート、山本直彰、川瀬伊人。第 3 章　ひそやかな対面；長谷川潔、三岸節子、金山康喜、秀島由己男(重)、有元利夫、舟越桂〔出品目録順〕

註：戦前作品のみの出品作家は割愛した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

聖なるものへ－ひそやかな祝祭－図録

茨城県近代美術館　2013 年 11 月

永松左知：触れえないイメージとしての聖なるものへ

永松左知：章解説

永松左知：出品目録および主要作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

天心の思い描いたもの――ぼかしの彼方へ ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 2 月 15 日－3 月 21 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館・天心・波山記念事業実行委員会

出品：第 1 部。第 2 部；國司華子、園家誠二、井手康人、浅見貴子、荒井経、宮北千織、岩永てるみ、鈴木恵麻、川瀬伊人、濱田樹里、三瀬夏之介、神戸智行、高島圭史、大久保智睦、並木秀俊〔出品リスト順〕

註：第 1 部は横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山の、いわゆる五浦の 4 作家である。

○展覧会カタログ

天心の思い描いたもの――ぼかしの彼方へ

茨城県近代美術館　2014 年 2 月　岡倉天心没後 100 年記念展

市川政憲：展覧会によせて――「間」の人、岡倉天心と五浦

井野功一：天心の思い描いたこと

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

茨城県つくば美術館

「素材×技術」からフォルムへ〈布と金属〉●

欧文タイトル:「CONTEMPORARY JAPANESE TEXTILES AND METALWORKS　From Materials & Artistry to Forms」

会期：2007 年 7 月 27 日－8 月 26 日　茨城県つくば美術館　主催：茨城県つくば美術館

出品：小名木陽一、久保田繁雄、福本潮子、福本繁樹、八幡はるみ、須藤玲子、橋本真之、留守玲〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「素材×技術」からフォルムへ〈布と金属〉

茨城県つくば美術館　2007 年 7 月

外舘和子：構造としてのかたちとイムズとしての実材表現、あるいは日本的造形史観

小名木陽一、聞き手・外舘和子：〔作家インタビュー〕

外舘和子：染織・金工用語解説

外舘和子：作家プロフィール

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、国会図

魅惑の像 具象的なるかたち ●

欧文タイトル：「Figurative：Personified Shapes」

会期：2008 年 7 月 25 日－8 月 24 日　茨城県つくば美術館　主催：茨城県つくば美術館

出品：籔内佐斗司、中村義孝、北川宏人、永冨悦史、伊藤遠平、山野千里〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

魅惑の像 具象的なるかたち

茨城県つくば美術館　2008 年 7 月

外舘和子：人形的具象性の造形－人形・彫刻・工芸を跨ぐ像のかたち

外舘和子：作品解説

外舘和子：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

水戸芸術館現代美術センター

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉●

欧文タイトル：「The Game of Manners Japanese Art in 1990」

会期：I 期・1990 年 3 月 22 日－5 月 6 日、II 期・5 月 19 日－7 月 1 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：青木野枝、秋山陽、荒敦子、上野慶一、大竹伸朗、神山明、川島慶樹、川俣正、國安孝昌、坂口正之、関口敦仁、千崎千恵夫、戸谷成雄、中原浩大、仁科茂、西村陽平、橋本真之、平林薫、福田美蘭、増田聡子、宮島達男、矢野美智子、吉澤美香〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉Vol.1 資料編

水戸芸術館現代美術ギャラリー　1990 年 3 月　開館記念展

吉田秀和：開館のごあいさつ

中原佑介：ごあいさつ

中原佑介：現代美術の位置

浅井俊裕、渡部誠一、寺門寿明、萬木康博、森司、長谷川祐子：作家解説

中島理壽編：主な文献〈1980 年代のカタログを中心に〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉Vol.2 記録編　　水戸芸術館現代美術ギャラリー編集

水戸芸術館　1990 年　開館記念展

註：発行日は記載されていない。II 期(5 月 19 日－7 月 1 日)のなかばか会期後の刊行と推測される。

Vol.2 所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

The Game of Manners：Japanese Art in 1990〔英語版〕

英語版所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉 I 期〔リーフレット〕

水戸芸術館　1990 年 3 月　1 枚(三ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉 II 期〔リーフレット〕

水戸芸術館　1990 年〔5〕月　1 枚(三ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、和光大(VOL.2 に貼付)

脱走する写真 11 の新しい表現 ●

欧文タイトル：「Beyond the Photographic Frame－11 Recent Works」

会期：1990 年 7 月 14 日－8 月 26 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：森村泰昌、森村泰昌＋山崎亨＋近藤滋、海東忠彦、川村克彦、遊佐辰也、アイデアル・コピー、今道子、三上浩＋達川清〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載した。

○展覧会カタログ

脱走する写真 11 の新しい表現

水戸芸術館現代美術ギャラリー　1990 年 8 月 1 日　主に英文併載

寺門寿明：“脱走する写真”をめぐって

長谷川祐子：写真：解禁された誘惑装置〈80 年代の多様なる表現への考察〉

森村泰昌〔1 行〕、今道子、川村克彦、三上浩、達川清、遊佐辰也、アイデアル・コピー、海東忠彦、森村泰昌＋山崎亨＋近藤滋、ソフィ・カル、ダグ&マイク・スターン：〔作家のことば〕

長谷川祐子、寺門寿明：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

子どもと現代美術シリーズ　箱の世界 do it yourself 展 ●

欧文タイトル：「THE WORLD OF BOX DO IT YOURSELF」

会期：1991 年 2 月 9 日－3 月 24 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：マルセル・デュシャン、マン・レイ、ルイーズ・ニーヴェルスン、ジョセフ・コーネル、ヨゼフ・ボイス、ジョージ・シーガル、エドワード・キーンホルツ、ドナルド・ジャッド、ソル・ルウィット、ナムジュン・パイク、ラリー・ベル、草間彌生、加納光於・大岡信、荒川修作、清塚紀子、河口龍夫、菅木志雄、古渡章、間島領一、戸谷成雄、北山善夫、白川昌生、田窪恭治、柄澤齊、藤本由紀夫、北川健次、前本彰子、小林健二、杉山知子、河西立雄、木村卓也、藤浩志、越前谷嘉高、笠原恵実子、赤崎みま〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

子どもと現代美術シリーズ　箱の世界 do it yourself 展

水戸芸術館現代美術ギャラリー　1991 年 2 月 9 日

森 司：序文「箱の世界 do it yourself」展について

浅井俊裕：「明るい箱」〈楽園についての覚書き〉

浅井俊裕、森司：作家略歴

長谷川祐子、森司：編集

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、和光大、国会図、都中図

MITO ANNUAL ’91 美術とメッセージ ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL ’91　BEYOND THE MANIFESTO」

会期：1991 年 4 月 13 日－6 月 2 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：小林健二、殿敷侃、長澤伸穂〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

MITO ANNUAL ’91 美術とメッセージ VOL.1

水戸芸術館　1991 年 4 月　展覧会資料第 9 号

渡部誠一：美術とメッセージ――BEYOND THE MANIFESTO

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

MITO ANNUAL ’91 美術とメッセージ VOL.2〔記録〕

水戸芸術館　1992 年　展覧会資料第 12 号

渡部誠一：序

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

MITO ANNUAL ’92 大きな日記／小さな物語〈10 人の作家たちがつづる〉 ●

欧文タイトル：「PRIVATE DIARY　10 Japanese Young Artists」

会期：1992 年 2 月 15 日－4 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：笠原由起子、中ハシ克シゲ、中西學、西山美奈子、ささだるい、杉山知子、寺嶋真里、

鯨津朝子、堤展子。関連企画；ヤノベケンジ〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

MITO ANNUAL ’92 大きな日記／小さな物語〈10 人の作家たちがつづる〉

水戸芸術館　1992 年 2 月　資料第 11 号　別冊(小冊子)共 2 冊

浅井俊裕：『大きな日記／小さな物語』

浅井俊裕：〔作家解説〕

浅井俊裕編：作家の略歴と文献資料

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

水戸アニュアル’93 アナザーワールド・異世界への旅〈あるいはヴァーチャル・リアリティからの逃走〉●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL ’93　ANOTHER WORLD」

会期：1992 年 11 月 21 日－1993 年 3 月 7 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館・読売新聞社

出品：アニッシュ・カプーア、葛飾北斎、IFP(Information Fiction Publicité)、マーク・ロスコ、ヤン・ファーブル、リチャード・ウィルソン、ダム・タイプ、フランチェスコ・クレメンテ、LSX〔展覧会ドキュメント出品作品リスト順〕、ワークショップ；トロバール・クリュス

註：ダム・タイプ、LSX、トロバール・クリュスが日本で結成されたグループである。

〇展覧会カタログ

水戸アニュアル’93 アナザーワールド・異世界への旅〈あるいはヴァーチャル・リアリティからの逃走〉1

水戸芸術館現代美術ギャラリー　1992 年 11 月　英文併載　展覧会資料 14 号　展覧会ドキュメント共 2 冊

長谷川祐子：豊饒なる無、豊饒なる死――アナザーワールド 7

辻 椎雄：北斎の異界と現代の異界

永澤 峻：マーク・ロスコの絵画における「アナザー・ワールド」

ティモシー・リアリー：別世界〈脳の二半球〉

アニッシュ・カプーア、葛飾北斎〔再録〕、ヤン・ファーブル、フランチェスコ・クレメンテ、マーク・ロスコ、リチャード・ウィルソン、ダム・タイプ、LSX、トロバール・クリュス：〔作家のことば〕

長谷川祐子、ドナルド・カスピット〔抄録〕、黒沢伸：作家解説

IFP、インタヴュー・長谷川祐子：IFP への質問

長谷川祐子、森司：編集

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、写真美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

水戸アニュアル’93 アナザーワールド・異世界への旅〈あるいはヴァーチャル・リアリティからの逃走〉2 展覧会ドキュメント

水戸芸術館現代美術ギャラリー　1992 年 11 月　英文併載　展覧会資料 14 号
長谷川祐子：“アナザーワールド”――その展示空間
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

水戸アニュアル'94 開放系 Open System ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '94　Open System」
会期：1994 年 4 月 2 日－5 月 29 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：柳幸典、田甫律子、蔡國強、刈谷博〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
水戸アニュアル'94 開放系 Open System
水戸芸術館現代美術センター　1994 年 4 月　英文併載　別冊 4 枚共　展覧会資料 17 号
渡部誠一：序にかえて
倉林 靖：『開放系』とは何か?－各作家の実践に即しながら
□別冊
柳幸典、田甫律子、蔡國強、刈谷博：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

水戸アニュアル'95 絵画考〈器と物差し〉●

欧文タイトル：「Discover Paintings：works & language」
会期：1995 年 4 月 1 日－5 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：堂本右美、越前谷嘉高、東島毅、北☆〔田＋又＋土〕吉彦、小林孝亘、佐川晃司、竹内義郎、辰野登恵子、山神悦子〔図版リスト順〕
註：作品制作年は 1974 年から 1995 年までで、大部分が 1990 年代の制作
○展覧会カタログ
水戸アニュアル'95 絵画考〈器と物差し〉
水戸芸術館現代美術センター　1995 年 4 月 1 日　英文併載
森 司：「絵画」としての存在
井上明彦：アトリエの時間――絵画の自己反映性をめぐる一考察
石井弥夢：平面上で語る絵画
中村英樹：自己の皮膚と出会う絵画
中島理壽編：日本の美術動向 1968-1995――絵画を中心に
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」●

欧文タイトル：「Ibaraki Biannual Dialogos 1996 Conditions of Contemporaries」
会期：1996 年 2 月 10 日－3 月 31 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

現代美術センター、共催：水戸市立博物館

出品：伊藤知香、井上雅之、近藤歩、信太進、島剛、十河雅典、高橋睦治、中澤真純、野沢二郎、藤本均定成、槙野匠、宮森敬子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」

水戸芸術館現代美術センター　1996 年 2 月 10 日　展覧会資料第 25 号

渡部誠一：ディアロゴスー新たなサイトの創造のために

渡部誠一：造形表現の現代性の条件について――工芸を手がかりとして

森田清明、渡部誠一、五十殿利治、加藤和恵、森田義之、寺門寿明：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」ドキュメンテーション

水戸芸術館現代美術センター　1996 年 2 月　展覧会資料第 26 号

渡部誠一：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研(背文字なしとあり)、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

水戸アニュアル'96 プライベートルーム〈写真としての日常〉●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '96　PRIVATEROOM Eight Japanese Artists in Photography」

会期：1996 年 4 月 13 日－6 月 2 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：出村洋子－渡邊泰行、浜田涼、市川平、池田久嗣、かなもりゆうこ、小谷泰子、永原ゆり、中川政昭〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

水戸アニュアル'96 プライベートルーム〈写真としての日常〉

水戸芸術館現代美術センター　1996 年 4 月 3 日　英文併載　展覧会資料第 27 号

浅井俊裕：写真と日常

篠原資明：「間」のマニエリスム

小本 章：現代写真のイメージとテクニック

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

水戸アニュアル'96 プライベートルーム〈写真としての日常〉記録編(Compiled Records)

水戸芸術館現代美術センター　1996 年 5 月 25 日　英文併載　展覧会資料第 28 号

浅井俊裕：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

アートシーン 90-96 水戸芸術館が目撃した現代美術 ●

欧文タイトル：「Contemporary Art Center, ATM ART SCENE 90-96」

会期：第 I 期・1996 年 11 月 30 日－1997 年 1 月 19 日／第 II 期・2 月 1 日－3 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：第 I 期 見ることは信じること；森村泰昌、福田美蘭、杉山知子、ロバート・メイプルソープ、IFP、八谷和彦、小林孝亘、吉澤美香、堂本右美、曽根裕、遊佐辰也、鯨津朝子、会田誠、ジャン・グルーバー、ダグ&マイク・スターン、バーバラ・キャスティン、赤崎みま、中澤真純、イチハラヒロコ、宮島達男。第 II 期 浮くかたち；小清水漸、中原浩大、中村哲也、藤浩志、長澤英俊、中ハシ克シゲ、クリスト&ジャンヌ＝クロード、川俣正、青木野枝、蔡國強、西村陽平、間島領一

〇展覧会刊行物

現代美術事典 90s　　水戸芸術館現代美術センター編

水戸芸術館現代美術センター　1997 年 3 月 31 日　資料第 32 号

註：執筆は黒沢伸、村田真、浅井俊裕、森司、渡部誠一、清水敏男、長谷川祐子、三上豊、寺門寿明、逢坂恵理子、有馬純寿。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

水戸アニュアル'97 しなやかな共生 ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '97　Flexible Coexistence」

会期：1997 年 4 月 5 日－6 月 1 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：フェリックス・ゴンザレス=トレス、パーミンダー・コウ、石内都、デイヴィッド・ハモンズ、嶋田美子、和田千秋〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

水戸アニュアル'97 しなやかな共生

水戸芸術館現代美術センター　1997 年 5 月 15 日　主に英文併載　付・冊子　展覧会資料第 30 号

逢坂恵理子：しなやかな共生への「薬」と「療法」

日向あき子：とりあえず身体性、とりあえず他者の世紀

斎藤茂男：静かなる部屋への郷愁

フェリックス・ゴンザレス=トレス〔再録〕、パーミンダー・コウ、石内都、デイヴィッド・ハモンズ、嶋田美子、和田千秋：〔作家のことば〕

逢坂恵理子、大橋浩美：編集

□別冊

和田千秋：ヨハネ 9 章を考える／障碍の受容／絵日記／愛語

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

日本の夏 1960-64 こうなったらやけくそだ！ ●

欧文タイトル：「Japanese Art 1960s－Japanese Summer 1960-64」

会期：1997 年 8 月 2 日－9 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現

代美術センター

出品：山口勝弘、清水晃、立石紘一、中村宏、赤瀬川原平、菊畑茂久馬、磯辺行久、村上三郎、元永定正、山下菊二、宮脇愛子、草間彌生、風倉匠、吉村益信、篠原有司男、吉野辰海、荒川修作、田中信太郎、豊島壮六、細江英公、中西夏之、高松次郎、磯崎新〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

日本の夏 1960-64 こうなったらやけくそだ

水戸芸術館現代美術センター　1997 年 11 月 18 日　展覧会資料第 35 号

椹木野衣：「熱」狂と「熱」力学

針生一郎：ネオ・ダダの季節をふりかえる

磯崎 新：システムが自走した

峯村敏明：一つの卵の中のオブジェとイヴェント

松本小四郎：タイムトリップ――60 年代の報道映像

浅井俊裕：タイムトンネル――60 年代証言者のビデオ・インタビュー

渡部誠一：1960-64 の表現　I・II・III

浅井俊裕：リビングルーム／前衛グループ・マップ／関連企画

中村 晃：図形楽譜

吉田豪介：黄土(のちに ŌDO)／組織、渡部誠一：ROZO 群、浅井俊裕：群馬 NOMO グループ／VAVA、松永康：ガガ現代美術会／埼玉前衛芸術作家集団、光田由里：集団現代彫刻／ケラ美術協会、黒田雷児：ネオ・ダダ／九州派、山田諭：ハイレッド・センター、奥村泰彦：時間派、三頭谷鷹史：ゼロ次元、神原正明：北美文化協会、尾﨑信一郎：具体美術協会、柳沢秀行：岡山青年美術家集団、松本教仁：前衛土佐派

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

なぜ、これがアートなの? ●

欧文タイトル：「IS THIS ART ?」

会期：1998 年 7 月 21 日－9 月 23 日　豊田市美術館／10 月 8 日－12 月 6 日　佐倉・川村記念美術館／12 月 19 日－1999 年 3 月 22 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー

主催：水戸芸術館現代美術センター〔巡回 3-3〕

――→豊田市美術館〔巡回 3-1〕

出品：I アートを見る、アートをつくる；元永定正、上田薫。II 形のない形；井上有一。III すっきりしたイメージ；吉原治良。IV 物は語る；河原温、宮島達男。V 私の内側／私の外側；森村泰昌、三宅一生、中山ダイスケ。エピローグ〔水戸芸術館現代美術センターでの「出品リスト」順〕

註：出品欄は日本作家を収載した。

○展覧会カタログ

なぜ、これがアートなの?

水戸芸術館現代美術センター　1999 年 2 月 13 日　展覧会資料第 39 号

逢坂恵理子：メイキング・オヴ「なぜ、これがアートなの?」

ソフィ・カル、松浦寿夫訳：「盲目の人々」のテキスト
アメリア・アレナス：スペシャル・ギャラリー・トーク
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

水戸アニュアル'99 プライベートルーム II ――新時代の写真表現 ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '99　PRIVATE ROOM II―Photographs by a New Generation of Women in Japan」
会期：1999 年 4 月 3 日－6 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：菅野純、白井里実、長島有里枝、中野愛子、蜷川実花、野口里佳、野村恵子、原美樹子、宮下マキ、山本香〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
水戸アニュアル'99 プライベートルーム II ――新時代の写真表現〔1 資料編〕
水戸芸術館現代美術センター　1999 年 4 月 1 日　英文併載　展覧会資料第 40 号
浅井俊裕：プライベートルーム、ふたたび
飯沢耕太郎：カノジョたちは部屋にいる〈90 年代の女性写真家たち〉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大
水戸アニュアル'99 プライベートルーム II ――新時代の写真表現〔2 記録編〕
水戸芸術館現代美術センター　1999 年 5 月 20 日　英文併載　展覧会資料第 41 号
浅井俊裕：カノジョたちの部屋
長島有里枝、中野愛子、野村恵子、蜷川実花、野口里佳、白井里実、宮下マキ、山本香、原美樹子、菅野純：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

日本ゼロ年 ●

欧文タイトル：「Ground Zero Japan」
会期：1999 年 11 月 20 日－2000 年 1 月 23 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　企画：椹木野衣、主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：岡本太郎、小谷元彦、成田亨、大竹伸朗、できやよい、会田誠、横尾忠則、ヤノベケンジ、東松照明、村上隆、飴屋法水〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
日本ゼロ年
水戸芸術館現代美術センター　2000 年 1 月 14 日　展覧会資料第 46 号
椹木野衣：〔序〕
椹木野衣：日本ゼロ年
東浩紀、聞き手・椹木野衣：〈流通〉とポストモダン
竹熊健太郎、聞き手・椹木野衣：〈吉田戦車〉以前・以後

福田和也、聞き手・椹木野衣：〈デジャ・ヴュ〉としての世紀末
サワラギ＋ノイ：〈現代・美術〉をめぐって
椹木野衣：Ground Zero Japan
森 司：編集
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、東大駒、和光大

BIT GENERATION 2000 テレビゲーム展 ●

欧文タイトル：「BIT GENERATION “TV-GAMES”」
会期：2000 年 6 月 15 日－8 月 29 日　神戸ファッション美術館／10 月 28 日－2001 年 1 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー
主催：水戸芸術館現代美術センター・読売新聞社　企画協力：テレビゲーム・ミュージアム〔巡回 2-2〕
――→神戸ファッション美術館〔巡回 2-1〕

SPACE ODYSSEY 宇宙の旅 ●

会期：2001 年 2 月 10 日－5 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：森脇裕之、金山明、平野治朗〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家のみ収載した。
○展覧会カタログ
SPACE ODYSSEY 宇宙の旅
水戸芸術館現代美術センター　2001 年 4 月 4 日　英文併載　展覧会資料第 48 号
逢坂恵理子：新たな視点を求めて――現代美術と宇宙の旅
デイヴィッド・マリン：宇宙を見る
ジョン・マックラーケン、トーマス・ルフ〔再録〕、ウェンヨン&ギャンブル、マイケル・ライト、デイヴィッド・マリン、森脇裕之、トーマス・シャノン、平野治朗：〔作家のことば〕
逢坂恵理子：〔作家解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

亜細亜散歩 ●

欧文タイトル：「Promenade in Asia－CUTE」
会期：[東京展] 2001 年 8 月 10 日－10 月 21 日　銀座・資生堂ギャラリー　主催：資生堂企画文化部／[水戸展]2001 年 8 月 10 日－10 月 21 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：[水戸展] 飯島愛、川上和歌子、顧世勇、西山美なコ、朴洪天、姚瑞中、王俊傑、王慶松、王徳瑜〔図版収載順〕
註：出品欄は水戸展のみ収載した。
○展覧会カタログ
亜細亜散歩 カタログ Vol.1〔資料編〕

資生堂・水戸芸術館現代美術センター　2001 年 8 月 8 日　英文併載
AFTER KITSCH〔会場：資生堂ギャラリー〕
樋口昌樹：タラコスパゲティが和食になるとき
CUTE〔会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー〕
浅井俊裕：アジアと現代美術
Contribution
金宣延：作家への道
李玉玲：明日もいい日〈1980 年代以降の台湾現代美術〉
牧 陽一：記憶と身体〈中国の現代アート〉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

亜細亜散歩 カタログ Vol.2〔記録編〕
資生堂・水戸芸術館現代美術センター　2001 年 10 月 10 日　英文併載
AFTER KITSCH
樋口昌樹：AFTER KITSCH〈作品解説〉
CUTE
浅井俊裕：〔作品解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

「日常茶飯美－Beautiful Life ?」展 ●
会期：2002 年 1 月 26 日－3 月 31 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：藤浩志、伊藤存、ハイケ・カティ・バラト、サキ サトム、ジュリア・ロクテフ、マリア・ヒアドルンド、小山田徹、伊達伸明、キム・ヨンジン、西野竜郎〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
「日常茶飯美－Beautiful Life ?」展
水戸芸術館現代美術センター　2002 年 3 月 1 日　英文併載　展覧会資料第 52 号
窪田研二：更新される日常性
藤 浩志、伊藤 存、ハイケ・カティ・バラト、サキ サトム、ジュリア・ロクテフ、マリア・ヒアドルンド、小山田 徹、伊達伸明、キム・ヨンジン、西野竜郎：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

スクリーン・メモリーズ ●
欧文タイトル：「SCREEN MEMORIES」
会期：2002 年 4 月 13 日－6 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　ゲスト・キュレーター：飯田高誉、主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：池田謙、杉本博司、田中功起、横尾忠則〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載した。

〇展覧会カタログ

スクリーン・メモリーズ

水戸芸術館現代美術センター　2002 年 4 月 13 日　英文併載　展覧会資料第 53 号

飯田高誉：スクリーン・メモリーズ――隠蔽記憶

ダグ・エイケン〔再録〕、ケネス・アンガー、キャンディス・ブレイツ、トマス・デマンド、ドミニク・ゴンザレス＝フォルステル、池田謙、アイザック・ジュリアン、ウィリアム・ケントリッジ、ハーモニーコリン〔再録〕、コリエール・ショア、杉本博司、田中功起、ジョン・ウォータース、ケリス・ウィン・エヴァンス、横尾忠則：〔作家コメント〕

逢坂恵理子、小竹森由香：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

「カフェ・イン・水戸」●

欧文タイトル：「CAFE in Mito　Communicable Action For Everybody」

会期：2002 年 8 月 10 日－9 月 23 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー、商店街、参加ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：椿昇＋室井尚、藤本由紀夫、須藤正樹、獅子倉シンジ、東芋、徐冰、minim＋＋、金沢健一、デジタル PBX、徳田憲樹、高木正勝、槙野さやか、さとうりさ、川上和歌子、大塚麻子、イチハラヒロコ、藤浩志、箭内新一、赤池孝彦＋Art Randoms、Yukinko Akira、村田朋泰、松本美枝子、大森宏一、山田圭一、間島秀徳、根本しづ子、大谷健二〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

「カフェ・イン・水戸」ハンドブック

水戸芸術館現代美術センター　2002 年 8 月　展覧会資料第 54 号

所蔵：□、国新美、東文研

「カフェ・イン・水戸」記録集

水戸芸術館現代美術センター　2002 年 10 月 26 日　展覧会資料第 55 号

逢坂恵理子：今年の夏は「カフェ・イン・水戸」

窪田研二：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

12 人の挑戦――大観から日比野まで ●

欧文タイトル：「Twelve Japanese Artists from the Venice Biennale 1952-2001」

会期：2002 年 10 月 5 日－12 月 8 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・茨城新聞社

出品：横山大観、木内克、篠田守男、靉嘔、山口勝弘、田中信太郎、川俣正、伊藤公象、河口洋一郎、日比野克彦、宮島達男、畠山直哉〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

12 人の挑戦――大観から日比野まで

茨城新聞社　2002 年 11 月 8 日

針生一郎：ヴェネチア・ビエンナーレ日本参加史から

南條史生：体験としてのヴェネチア・ビエンナーレ

逢坂恵理子：ヴェネチア・ビエンナーレと 12 人を巡って

大熊敏之、森司、逢坂恵理子：〔作品解説〕

大熊敏之、土方明司：〔作家解説〕

高橋正樹、飯村雅明：作家インタビュー・コラム

横山勝彦、林洋子、平野到、前山裕司、神谷幸江：日本公式参加の歩み

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

こもれび展 ●

欧文タイトル：「KOMOREBI」

会期：2003 年 8 月 9 日－10 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：日高理恵子、伊庭靖子、稲垣智子、池田光宏、木村崇人、小林孝亘、松村アサタ、ポル・マロ、曽谷朝絵、滝田順〔図版リスト順〕

〇展覧会カタログ

こもれび展

水戸芸術館現代美術センター　2003 年 8 月 8 日　英文併載　展覧会資料第 58 号

浅井俊裕：こもれびの魅惑

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

こもれび展カタログ

水戸芸術館現代美術センター　2003 年 9 月　展覧会資料第 59 号

浅井俊裕：「こもれび展」作品案内

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

Living Together is Easy ●

和文タイトル：メイン論文に〈日本語に訳せば「共生はたやすい」となるのだが英語圏の人々にとっては、実際は「共生はたやすくない」というアイロニカルな反対の意味を含む表現なのである。〉とあり。

会期：2004 年 1 月 24 日－3 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・国際交流基金・メルボルン・ヴィクトリア州立美術館・メルボルン大学アジアリンク・センター／8 月 26 日－11 月 7 日　メルボルン・ヴィクトリア州立美術館

出品：フィオナ・ホール、ローズマリー・ラング、もとみやかをる、中村哲也、サミュエル・ナマンジャー、スーザン・ノリー、ディヴィッド・ロチェスキー、篠田太郎、リッキー・スワロウ、束芋、高嶺格、山口晃〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

Living Together is Easy

水戸芸術館現代美術センター　2004 年 1 月　英文併載　展覧会資料第 61 号

逢坂恵理子：“Living Together is Easy” のパラドックス

ジェイソン・スミス：近似性

ジェーン・ディヴェリー、ジェイソン・スミス：作品について

もとみやかをる、中村哲也、篠田太郎、東芋、高嶺格、山口晃：作品について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

孤独な惑星 ●

欧文タイトル：「lonely planet」

会期：2004 年 4 月 10 日－6 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：ジェイク&ディノス・チャップマン、トニー・アウスラー、川内倫子、会田誠、リネケ・ダイクストラ、ビル・ヴィオラ、オリバー・ペイン&ニック・レルフ、佐藤姿子、加藤泉、猪瀬光、ヤエル・バルタナ、青島千穂〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

孤独な惑星

リトル・モア　2004 年 4 月 10 日　英文併載

窪田研二：孤独な惑星

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、国会図、都中図

カフェ・イン・水戸 2004 ●

欧文タイトル：「CAFE in Mito 2004　Communicable Action For Everybody」

会期：2004 年 8 月 8 日－10 月 3 日　水戸芸術館＋中心市街地　主催：水戸市芸術振興財団

出品：永井英男、小出ナオキ、徐冰、鈴木康広、山崎美弥子、マーティン・クリード、名和晃平、大平貴之、岩井俊雄、マリ＝アンジュ・ギュミノ、林剛人丸、蔡國強、アトリエ・ワン＋筑波大学貝島研究室、師井聡子、木下哲人、和田みつひと、池田光宏、中村哲也、石塚隆則、笠原出、笛田亜希、元木孝美、渡部裕二、オノマサキ、村田朋泰、イチハラヒロコ、小室千帆、開発好明、鈴木りんいち〔壱〕、千田美弥子、成清美朝、Artless Art、カン・バッジ・プロジェクト、大谷健二、青木淳、日埜直彦、アトリエ・ワン〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

カフェ・イン・水戸 2004 ハンドブック

水戸芸術館現代美術センター　2004 年 8 月　展覧会資料第 63 号

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、写真美

「カフェ・イン・水戸 2004」記録集

水戸芸術館現代美術センター　2004 年 10 月 23 日　展覧会資料第 64 号

逢坂恵理子：カフェ・イン・水戸 2004－「街とアートと人を結ぶ」コミュニケーション

森司、高橋瑞木、窪田研二：リノベーション・プロジェクト

森 司：「水戸再発見」への実践的アプローチ――3 つのアート・リノベーション・モデル

森司、窪田研二、逢坂恵理子、高橋瑞木、浅井俊裕：作品解説＋作品データ

福島 文：関連企画／アートワークスギャラリー

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：水戸市芸術振興財団〔巡回 9-1〕

出品：ボーメ〔BOME〕、田熊勝夫、寺岡邦明、木下隆志、山口勝久、谷明、松村しのぶ、榎木ともひで、大嶋優木、竹谷隆之、香川雅彦、村田明玄〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

造形集団 海洋堂の軌跡 カタログ

アートプランニング レイ　〔2005 年 4 月〕

宮脇 修：海洋堂の軌跡――日本で最初を試みる

浅井俊裕：フィギュアと現代美術――アーティストの了見

工藤健志：欲望と消費、あるいは戦後日本文化と海洋堂

山本直樹：日本のプラモデル史

松本教仁、浅井俊裕、工藤健志：造形師紹介

工藤健志・浅井俊裕：用語解説

工藤健志：ヒトびと解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

X-COLOR グラフティ in Japan ●

欧文タイトル：「X-COLOR Graffiti in Japan」

会期：2005 年 10 月 1 日－12 月 4 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：ACUTE、OG.AKIM、AMES、BEL×2、BUTOBASK、CASPER、COSA、CS、DASTE、DEM、DICE、DISKAH、ESOW、FATE、HUZE、ICHI、JOTA、KAMI、KANE、KEONE、KRESS、MAKE、NEIM、NESM、PHIL、QP、RACK、REW、ROM、SASU、SITE、SKLAWL、SUIKO、TABU、VERY、VITR、ZEN、Z¥$〔プロフィール順〕

○展覧会カタログ

X-COLOR グラフティ in Japan

水戸芸術館現代美術センター　2005 年 12 月 2 日　英文併載

窪田研二：美しき逸脱

能勢伊勢雄：社会彫刻としてのグラフィティ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大

われらの時代 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 12 月 17 日－2006 年 2 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　企画：逢坂恵理子、主催：水戸市芸術振興財団

出品：雨宮庸介、伊藤遠平、伊藤東彦、岩堀敏行、オノマサキ、久米みどり、小林政美、小峰尚、小室千帆、齋藤敏寿、櫻井りえこ、芝田次男、鈴木りん壱、立見榮男、戸田和子、内藤定壽、中井川由季、中野裕海、西成田育男、西成田洋子、根本しづ子、増田克史、村山隆治、山田圭一、横須賀幸男〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

われらの時代

水戸芸術館現代美術センター　2005 年 12 月 15 日　展覧会資料第 69 号

逢坂恵理子：序にかえて

小泉晋弥、外舘和子、森田清明、大森潤也、高橋正樹、浅井俊裕、寺門寿明：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、東大駒、和光大、国会図

人間の未来へ－ダークサイドからの逃走 ●

欧文タイトル：「To The Human Future Flight From The Dark Side」

会期：2006 年 2 月 25 日－5 月 7 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：アントニ・ゴームリー、マイケル・ライト、ビル・ヴィオラ、マグダレーナ・アバカノヴィッチ、スゥ・ドーホー、橋本公、ジェームズ・ナクトウェイ、広河隆一、フィリップ・ロルカ・デコルシア、オノ・ヨーコ、長倉洋海、ユージン・スミス、シリン・ネシャット〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

人間の未来へ－ダークサイドからの逃走

水戸芸術館現代美術センター　2006 年 4 月 14 日　英文併載　付・ギャラリーガイド 1 枚　展覧会資料第 73 号

逢坂恵理子：異口共感の世界へ

宮内勝典、聞き手・逢坂恵理子：混迷から希望へ

アントニ・ゴームリー、マイケル・ライト、ビル・ヴィオラ、マグダレーナ・アバカノヴィッチ〔再録〕、スゥ・ドーホー、橋本公、ジェームズ・ナクトウェイ、広河隆一、フィリップ・ロルカ・デコルシア〔再録〕、オノ・ヨーコ、長倉洋海、ユージン・スミス〔再録〕、シリン・ネシャット：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、国会図

ライフ ●

欧文タイトル：「Life」

会期：2006 年 7 月 22 日－10 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：工房「集」、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、齋藤裕一、日野之彦、棚田康司、川島秀明、佐々木卓也、吉永マサユキ、今村花子、岡崎京子、ハスラー・アキラ、舛次崇、西尾康之、山際正巳〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ライフ

水戸芸術館現代美術センター　2006 年 9 月 15 日　展覧会資料 74 号

茂木健一郎：限りある生命に自由を夢見て

高橋瑞木：「ライフ」が生まれる場所

はたよしこ：ボーダレス・アートの見晴らし台より展望する

ジャクリーヌ・ベルント：「平坦な戦場」の多面性－岡崎京子のマンガが示唆するもの

高橋瑞木：跳躍する表現－ライフ展の作家と展示

岡崎京子・絵：チョコレートマーブルちゃん　再録

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、横浜美、和光大、国会図

マイクロポップの時代：夏への扉 ●

欧文タイトル：「The Age of Micropop：The New Generation of Japanese Artists」

会期：2007 年 2 月 3 日－5 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：島袋道浩、有馬かおる、タカノ綾、青木陵子、杉戸洋、奈良美智、野口里佳、落合多武、森千裕、泉太郎、國方真秀未、大木裕之、半田真規、田中功起、K.K.〔展示作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

マイクロポップの時代：夏への扉　　松井みどり著

パルコ　2007 年 3 月 19 日　英文併載

桜井圭介×三田格×松井みどり、司会・宮村周子：特別鼎談マイクロポップ時代の表現

ダグラス・フォーゲル：火星に生命体は存在するか?

森 司：松井みどりの「マイクロポップ」

島袋道浩、K.K.・談：〔作家のことば〕

松井みどりインタビュー：マイクロポップへの道

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

日常の喜び ●

欧文タイトル：「Happiness in Everyday Life」

会期：2008 年 10 月 25 日－2009 年 1 月 18 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：淺井裕介、ガイ・ベンナー、森田浩彰、大巻伸嗣、宮島達男、岩崎貴宏、KOSUGE1-

16、日比野克彦、神谷哲史、梅佳代、アトリエ・ワン、西尾美也、藤浩志、マルコ・ボーア〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

日常の喜び 記録集

水戸芸術館現代美術センター　2009 年 2 月 7 日　英文併載　展覧会資料第 78 号

森 司：日常の再考察

竹久 侑：日常と社会〈作家考を通して〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

現代美術も楽勝よ。●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 8 月 29 日－10 月 12 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　企画：水戸芸術館現代美術センター、主催：水戸市芸術振興財団・水戸市・水戸市教育委員会・芸術文化活性化事業実行委員会

出品：曽根裕、野村仁、ジュリアン・オピー、畠山直哉、I.F.P.、小林孝亘、アニッシュ・カプーア、河口龍夫、イリヤ・カバコフ、川俣正、蔡國強、クリスト&ジャンヌ＝クロード、王慶松、マグダレーナ・アバカノヴィッチ、ベルナール・フォコン、ロバート・メープルソープ、日高理恵子、ソフト・セル〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代美術も楽勝よ。記録集

水戸芸術館現代美術センター　2009 年 12 月 25 日　展覧会資料第 83 号

浅井俊裕：「現代美術も楽勝よ。」によせて

高橋瑞木：Nadegata が水戸で本当にやったこと

森山純子、竹久侑：十人十色の鑑賞プログラム

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

リフレクション／映像が見せる“もうひとつの世界”　●

欧文タイトル：「REFLECTION：alternative worlds through the video camera」

会期：2010 年 2 月 6 日－5 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：藤井光、Chim↑Pom、八幡亜樹、宇川直宏、さわひらき〔出品作品一覧順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

リフレクション／映像が見せる“もうひとつの世界”

水戸芸術館現代美術センター　2010 年 3 月 31 日　英文併載　資料第 84 号

竹久 侑：展覧会という「ディスプレイの政治」――リフレクション展をめぐって

藤井 光：自分たちのメディアを創る――映像を用いた“もうひとつ”の美術史

門林岳史：この映像の「作者」は誰か?

竹久侑、門脇さや子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

新次元：マンガ表現の現在 ●

欧文タイトル：「Manga Realities：Exploring the Art of Japanese Comics Today」

韓文タイトル：「망가 : 일본만화의 새로운 표현」

会期：2010 年 8 月 14 日－9 月 26 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・国際交流基金／2011 年 10 月まで韓国、オーストラリア、フィリピンに巡回。

出品：浅野いにお、安野モヨコ、五十嵐大介、今日マチ子、くらもちふさこ、二ノ宮知子、ハロルド作石、松本大洋、若木民喜〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「新次元：マンガ表現の現在」カタログ

国際交流基金　2010 年 11 月 30 日　韓文・英文併載

高橋瑞木：マンガは、読むだけではない

戸田康夫、高橋瑞木：〔作家略歴〕

斎藤 環：マンガ表現の重層性

ジャクリーヌ・ベルント：「リアル」なマンガとは?多様性と雑種性、そして関係性

古市保子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

クワイエット・アテンションズ 彼女からの出発 ●

欧文タイトル：「Quiet Attentions：Departure from Women」

会期：2011 年 2 月 12 日－5 月 8 日〔東日本大震災のため 3 月 11 日に閉会〕　水戸芸術館（敷地内、現代美術ギャラリー）　主催：水戸市芸術振興財団

出品：小林史子、三田村光土里、土屋信子、木村友紀＋ユタ・クータ＋荒川医、Sachiko M〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

○展覧会カタログ

クワイエット・アテンションズ 彼女からの出発記録集

水戸芸術館現代美術センター　2011 年 3 月 31 日　英文併載　展覧会資料第 93 号

川上未映子：少女はおしっこの不安を爆破、心はあせるわ

高橋瑞木：白地図としての作品

木村友紀：ボイコット・ウーマン

荒川 医：制作について：彼女がここにいるようだ

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

CAFE in Mito 2011－かかわりの色いろ ●

欧文タイトル：「CAFE in Mito 2011」

会期：2011 年 7 月 30 日－10 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー、広場　主催：水戸市芸術振興財団

出品：青木陵子、青山悟、秋山さやか、淺井裕介、伊藤存、上田薫、遠藤一郎、大友良英、O JUN、大巻伸嗣、笠原出、川島秀明、クリスト&ジャンヌ＝クロード、小林孝亘、酒井咲帆、ジュリアン・オピー、杉戸洋、杉山知子、鈴木康広、曽谷朝絵、高木正勝、髙田安規子・政子、辰野登恵子、タノタイガ、長島有里枝、Nadegata Instant Party(中崎透＋山城大督＋野田智子)、奈良美智、西尾美也、西山美なコ、蜷川実花、ハスラー・アキラ、林剛人丸、日高理恵子、日比野克彦、ひびのこづえ、本城直季、三田村光土里、Rico(本橋理子)、山口晃〔出品作家・作品解説順〕

○展覧会カタログ

CAFE in Mito 2011－かかわりの色いろ 記録集

水戸芸術館現代美術センター　2012 年 1 月 20 日　展覧会資料第 95 号

浅井俊裕：「CAFE in Mito 2011－かかわりの色いろ」再出発に際して

竹久侑、古川真由美、中野詩、高橋瑞木、菊池広子、浅井俊裕、中川歩美、森山純子、高巣真樹、篠田大基：解説

竹久侑、高橋瑞木、森山純子、浅井俊裕、門脇さや子：出品作家・作品解説

浅井俊裕、石井一十三、大菅小夜、竹久侑：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

3.11 とアーティスト｜進行形の記録 ●

欧文タイトル：「Artists and the Disaster｜Documentation in Progress」

会期：2012 年 10 月 13 日－12 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：荒井良二、遠藤一郎、開発好明、加藤翼、北澤潤、小森はるか＋瀬尾なつみ、眞田岳彦、高山明(Port B)、タノタイガ、Chim↑Pom、椿昇、照屋勇賢、トーチカ(＋関根光才)、中島佑太×ビルド・フルーガス、ニシコ、畠山直哉、日比野克彦、藤井光、「プロジェクト FUKUSHIMA!」、宮下マキ、村上タカシ(MMIX Lab)、ヤノベケンジ、山川冬樹、wah document〔展覧会概要順〕

○展覧会カタログ

3.11 とアーティスト｜進行形の記録 記録集　　メディア・デザイン研究所編

水戸芸術館現代美術センター　2012 年 11 月 16 日　展覧会資料第 98 号

齋藤歩・竹久侑編：年表

竹久 侑：作家インタビュー

照屋勇賢、トーチカ、日比野克彦、藤井光、椿昇、Chim↑Pom、遠藤一郎、宮下マキ、wah document、村上タカシ(MMIX Lab)、荒井良二、開発好明、北澤潤、山川冬樹、眞田岳彦、ヤノベケンジ、ニシコ、タノタイガ、高山明(Port B)、加藤翼、中島佑太×ビルド・フルーガス、小森はるか＋瀬尾なつみ、畠山直哉：作家インタビュー

竹久 侑：本展の企画についての記録と考察

鷲田清一：あえてみずからをヴァルネラブルに――震災とアーティストたち

椹木野衣：水戸芸術館での雛形としての「9.30」

畠山直哉：「災害や大規模事故を受けてアートのできることがあるとすれば、それはどのようなものだと思いますか」という問いへの応答

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

拡張するファッション ●

欧文タイトル：「You reach out－right now－for something：Questioning the Concept of Fashion」

会期：2014 年 2 月 22 日－5 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／6 月 14 日－9 月 23 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

主催：水戸市芸術振興財団〔巡回 2-1〕

出品：パスカル・ガテン、ホンマタカシ、DIY メディア、ミランダ・ジュライ、青木陵子、長島有里枝、スーザン・チャンチオロ、コズミックワンダー、ブレス／小金沢健人、横尾香央留、神田恵介×浅田政志、フォーム・オン・ワーズ〔展示作品リスト順〕

○展覧会カタログ

林央子編著：拡張するファッション ドキュメント

DU BOOKS　2014 年 5 月 23 日　英文併載

古野華奈子：作家プロフィール&展示紹介

高橋瑞木：ファッションは人生の伴走者

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

カフェ・イン・水戸 R ●

欧文タイトル：「CAFE in Mito R」

会期：2015 年 8 月 1 日－10 月 18 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団／8 月 1 日－9 月 30 日　水戸市内各所

出品：アレグザンドラ・ダン、柳家花緑、宮永愛子、佐々木愛、志村信裕、大塚千野、山下麻衣＋小林直人、目【め】、日比野克彦。街なか出品作家；北澤潤、増田拓史、山本麻紀子〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

カフェ・イン・水戸 R

水戸芸術館現代美術センター　2015 年 11 月 20 日　展覧会資料第 101 号　開館 25 周年事業

浅井俊裕：「カフェ・イン・水戸 R」～鷹揚なプラットフォーム

浅井俊裕、竹久侑、井関宗悠：解説

日比野克彦：Of the MITO, for the MITO

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて ●

欧文タイトル：「Hello World－For the Post－Human Age」

会期：2018 年 2 月 10 日－5 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：セシル・B・エヴァンス、小林健太、エキソニモ(赤岩やえ＋千房けん輔)、デヴィッド・ブランディ、ヒト・シュタイエル、谷口暁彦、サイモン・デニー、レイチェル・マクリーン〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて 記録集

水戸芸術館現代美術センター　2018 年 3 月 23 日　英文併載　展覧会資料第 107 号

山峰潤也：早期危機発見装置としての芸術

水野勝仁：可塑的な表面でつくり直されるヒトの顔

砂山太一：Strange World, Strange Love

山峰潤也、後藤桜子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、横浜美、国会図

日立市民会館

第 4 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：奈良展；1970 年 9 月 19 日－10 月 4 日　奈良県文化会館／香川展；10 月 10 日－25 日　高松・香川県文化会館／高知展；11 月 7 日－15 日　高知県立郷土文化会館／茨城展；11 月 22 日－12 月 1 日　日立市民会館

主催：文化庁・茨城県教育委員会・日立市・日立市教育委員会〔巡回 4-4〕

――→奈良県文化会館〔巡回 4-1〕

日立市郷土博物館

第 14 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：茨城展；1980 年 11 月 1 日－14 日　日立市郷土博物館／静岡展；11 月 19 日－12 月 2 日　浜松市美術館／兵庫展；12 月 7 日－21 日　尼崎市総合文化センター／新潟展；1981 年 1 月 6 日－18 日　新潟県美術博物館

主催：文化庁・茨城県教育委員会・日立市・日立市教育委員会・日立市郷土博物館・日立市民文化事業団〔巡回 4-1〕

出品：日本画；小林恒吉、竹内浩一、守屋多々志。洋画；児玉幸雄、時田幸彦、中西夏之、元永定正。版画；河口龍夫、吉田穂高。彫刻；高橋剛、田中薫〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 14 回現代美術選抜展

〔文化庁〕 1980 年 11 月
所蔵：□、国新美、写真美、横浜美、国会図

栃木県

栃木県立美術館

日本の現代美術〈国内美術と国際美術と〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1977 年 10 月 22 日－11 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：安田靫彦、前田青邨、堅山南風、奥村土牛、小野竹喬、小倉遊亀、山口華楊、山本丘人、上村松篁、小松均、岩橋英遠、橋本明治、片岡球子、東山魁夷、杉山寧、奥田元宋、髙山辰雄、吉田善彦、工藤甲人、石本正、加山又造、平山郁夫、中川一政、小絲源太郎、梅原龍三郎、北川民次、小山敬三、岡鹿之助、福沢一郎、牛島憲之、荻須高徳、猪熊弦一郎、山口長男、斎藤義重、朝井閑右衛門、岡田謙三、村井正誠、森芳雄、脇田和、糸園和三郎、岡本太郎、オノサト・トシノブ、麻生三郎、木村忠太、菅井汲、田淵安一、元永定正、桂ゆき、福井良之助、三尾公三、前田常作、久里洋二、堂本尚郎、藤田吉香、高橋秀、靉嘔、加納光於、河原温、中西夏之、荒川修作、高松次郎、宇佐美圭司、脇田愛二郎、浜口陽三、萩原英雄、松本旻、池田満寿夫、木村光佑、横尾忠則、野田哲也、吉田克朗〔出品目録順〕
〇展覧会カタログ
日本の現代美術〈国内美術と国際美術と〉
栃木県立美術館　1977 年 10 月　開館 5 周年記念特別企画
矢口國夫：日本の現代美術
上野憲示：日本画、矢口國夫：洋画、竹山博彦：版画
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

世界の現代版画 25 年展 ●
欧文タイトル：「The World in Contemporary Prints 1955-1980」
会期：1981 年 2 月 7 日－3 月 22 日　東京都美術館企画展示室／4 月 7 日－5 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館／5 月 16 日－6 月 7 日　広島県立美術館
主催：栃木県立美術館・朝日新聞社〔巡回 3-2〕
――→東京都美術館〔巡回 3-1〕

芸術と素朴 ●
欧文タイトル：「Naivety in Art」
会期：1986 年 3 月 30 日－6 月 15 日　世田谷美術館／6 月 28 日－8 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館
主催：栃木県立美術館〔巡回 2-2〕
――→世田谷美術館〔巡回 2-1〕

アート ドキュメント'87〈インスタレーション＋ビデオ・アート＋パフォーミング・アート〉●

欧文タイトル：「ART DOCUMENT ’87 INSTALLATION＋VIDEO＋PERFORMANCE」
会期：1987 年 2 月 22 日－3 月 29 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：合田容子、Rosemary ABRAM、Stan ANDERSON、伊藤タダオ、伊東敏光、井上正一、江上弘、江森清、逢坂卓郎、大塚由美子、勝野正則、加藤アキラ、菊地克典、北原充成、國安孝昌、剣持和夫、土屋穰、殿敷侃、富岡知子、長尾浩幸、奈部雅昭、西成田洋子、福田篤夫、藤浩志、藤木正則、真島明子、松本幹永、柳幸典、吉井秀文、李岡熙、稲垣貴士、岩本宇司、越後谷卓司、Peter CALLAS、土佐尚子、米島竜雄、内田房江＋岩崎真、大山麻里、小林三千夫、竹屋啓子＋竹屋啓子コンテンポラリー ダンスカンパニー、森本浩正＋天利道子〔出品目録順〕
〇展覧会カタログ
アート ドキュメント’87〈インスタレーション＋ビデオ・アート＋パフォーミング・アート〉
図録
栃木県立美術館　1987 年 2 月
竹山博彦：日常の場としての美術と、公立美術館
Rosemary ABRAM、Stan ANDERSON、伊藤タダオ、伊東敏光、井上正一、江上弘、江森清、逢坂卓郎、大塚由美子、勝野正則、加藤アキラ、菊地克典、北原充成、國安孝昌、剣持和夫、殿敷侃、富岡知子、長尾浩幸、奈部雅昭、西成田洋子、福田篤夫、藤浩志、藤木正則、真島明子、松本幹永、柳幸典、吉井秀文、稲垣貴士、岩本宇司、越後谷卓司、Peter CALLAS、土佐尚子、米島竜雄、内田房江＋岩崎真、大山麻里、小林三千夫、竹屋啓子＋竹屋啓子コンテンポラリー ダンスカンパニー、森本浩正＋天利道子：制作意図
安齊重男：アート ドキュメントの審査に加わって……。
田中幸人：「淡島さん」から「不可視の空間」へ
南條史生：審査に参加して
若桑みどり：アート ドキュメントの審査に関わった、或る美術史家のメモ
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大

現代美術になった写真 ●
欧文タイトル：「PHOTOGRAPHIC ASPECT OF JAPANESE ART TODAY」
会期：1987 年 12 月 20 日－1988 年 1 月 31 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：Progressive Wing；畦地拓治、石原友明、伊藤義彦、五井毅彦、小本章、小山穂太郎、中川政昭、永原ゆり、野村仁、服部冬樹、ティム・マクミラン、村上慎二、森村泰昌、山崎博。Retrospective Wing；山中信夫〔出品リスト順〕
〇展覧会カタログ
現代美術になった写真
栃木県立美術館　1987 年 12 月　主に英文併載
山本和弘：アートメディアとしての写真
東野芳明：断想・山中信夫〈ロビンソン夫人の秘部は見えるか〉

たにあらた：山中信夫／ピンホールが開示した世界
山本和弘：ピンホールの思索者 山中信夫〈その作品に即して〉
山本和弘編、高見澤文雄、堀浩哉、正木基・協力：山中信夫全作品目録
山本和弘・堀浩哉編、正木基・協力：山中信夫年譜
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、都中図

音のある美術 ●

欧文タイトル：「moments sonores」
会期：1989 年 8 月 13 日－9 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：伊藤隆康、WAY、牛島達治、金沢健一、小杉武久、鈴木昭男、田辺光彰、坪井昭憲、藤原和通、藤本由紀夫、本郷重彦、増田感、松村要二、横尾哲生、吉村弘、ルイジ・ルッソロ、ジュー・ジョーンズ、ミラン・ニザック、タカコ・サイトウ、エメット・ウイリアムス、ラ・モンテ・ヤング、デイヴィッド・E・トンプソン、ケン・フリードマン＋マイク・ウィーバー、フェリックス・ヘス〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
音のある美術
栃木県立美術館　1989 年 8 月
庄野 進：眼と耳が交差する時
恩地元子：移動を誘う空間
杉村浩哉：調和の幻想
伊藤隆康〔再録〕、WAY、牛島達治、金沢健一、小杉武久、鈴木昭男、田辺光彰、坪井昭憲、藤原和通、藤本由紀夫、本郷重彦、増田感、松村要二、横尾哲生、吉村弘、フェリックス・ヘス：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

土の造形 ●

欧文タイトル：「Japanese Clay Work Today」
会期：1990 年 7 月 29 日－9 月 16 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：秋山陽、伊藤公象、伊藤知香、井上雅之、笠原恵実子、笠原由起子、假屋崎省吾、清水柾博、久谷蔦枝、小池雅久、齋藤敏寿、杉浦康益、田中正弘、西村陽平、松井利夫、三島喜美代、三梨伸、森脇隆赫、尹熙倉、寄神宗美〔作品目録順〕
○展覧会カタログ
土の造形
栃木県立美術館　1990 年 7 月
青木 宏：土の造形へのプロローグ
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、和光大、国会図、都中図

観念の刻印〈1990 日本の版画・写真・立体〉●

欧文タイトル：「THE IMPRINTED IDEAS」
会期：1990 年 11 月 18 日－1991 年 1 月 20 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立

美術館

出品：IDEAL COPY、秋岡美帆、H et H、有吉徹、池田良二、一原有徳、片瀬和夫、柄澤齊、河口龍夫、川村克彦、北川健次、剣持和夫、小山穂太郎、今道子、佐藤時啓、菅野由美子、杉本博司、殿敷侃、中川政昭、中村こうたろう〔公太郎〕、松原健、森村泰昌、山口啓介〔出品作品チェックリスト順〕

○展覧会カタログ

観念の刻印〈1990 日本の版画・写真・立体〉

栃木県立美術館　1990 年 11 月

山本和弘：観念の刻印

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、和光大、国会図

ザ・サイレント・パッション〈日本の女性アーティストたち〉●

欧文タイトル：「The Silent Passion Seven Artists from Japan」

会期：1991 年 7 月 28 日－10 月 10 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：荒敦子、イケムラレイコ、白井美穂、高津美絵、髙柳恵里、福田美蘭、松井智惠〔出品作品チェックリスト順〕

○展覧会カタログ

ザ・サイレント・パッション〈日本の女性アーティストたち〉

栃木県立美術館　1991 年 7 月

山本和弘：沈黙もせず、物語もせず／〔作家略歴、主要文献、作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、和光大

戦後日本画の転換期〈1950 年代を中心に〉●

欧文タイトル：「in the heat of passion；nihonga 1950's」

会期：1993 年 4 月 18 日－5 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：山崎隆、三上誠、大野俶嵩、下村良之介、星野真吾、湯田寛、野村耕、不動茂弥、岩田重義、楠田信吾、福田豊四郎、吉岡堅二、渡辺学、加山又造、麻田鷹司、岩崎鐸、丸木位里、小松均、岩橋英遠、藤田隆治、岩崎巴人、上田臥牛、横山操、長崎莫人、堂本印象、中村正義〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

戦後日本画の転換期〈1950 年代を中心に〉

栃木県立美術館　1993 年 4 月

竹山博彦：日本画における諸問題－戦後日本画の 20 年を振り返る

竹山博彦、半田勝久：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

「死にいたる美術－メメント・モリ」展 ●

欧文タイトル：「memento mori：Visions of Death c. 1500-1994」

会期：1994 年 5 月 29 日－7 月 17 日　町田市立国際版画美術館／7 月 31 日－9 月 25 日　宇

都宮・栃木県立美術館
主催：栃木県立美術館〔巡回 2-2〕
――→町田市立国際版画美術館〔巡回 2-1〕

揺れる女／揺らぐイメージ〈フェミニズムの誕生から現代まで〉●
欧文タイトル：「FLOATING IMAGES OF WOMEN IN ART HISTORY from the Birth of the Feminism toward the Dissolution of the Gender」
会期：1997 年 7 月 20 日－9 月 26 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：第 III 部 1 地母神の力；桂ゆき、草間彌生。2 アイデンティティの喪失、ジェンダーの解体；荒木経惟、オノデラユキ、笠原恵実子〔図版収載順〕
註：出品欄は第 III 部の日本作家を収載。
○展覧会カタログ
揺れる女／揺らぐイメージ〈フェミニズムの誕生から現代まで〉
栃木県立美術館　1997 年 7 月
小勝禮子：揺れる女／揺らぐイメージ――サロン絵画から現代美術まで
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

メディテーション－真昼の瞑想〈90 年代の日本の美術〉●
欧文タイトル：「Noontime Meditation：Contemporary Japanese Art having Inner Sight」
会期：1999 年 7 月 11 日－9 月 26 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：綿引展子、林田直子、杉戸洋、イケムラレイコ、小林孝亘、加藤清美、木村繁之、保田井智之、舟越桂、柄澤齊、戸谷成雄、富田有紀子、艾沢詳子、小山穂太郎〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
メディテーション－真昼の瞑想〈90 年代の日本の美術〉
栃木県立美術館　1999 年 7 月　付・「メディテーション－真昼の瞑想」展を味わうためのノート 1 冊
多田富雄：キメラの肖像〈「真昼の瞑想」によせて〉
小勝禮子：瞑想する美術－美術は意味を回復するか
綿引展子、林田直子、杉戸洋、イケムラレイコ、小林孝亘、加藤清美、木村繁之、保田井智之、舟越桂、柄澤齊、戸谷成雄、富田有紀子、艾沢詳子、小山穂太郎：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

「奔る女たち 女性画家の戦中・戦後 1930-1950 年代」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2001 年 10 月 21 日－12 月 9 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：第 I 部 戦前 1930-36 年。第 II 部 戦中 1937-45 年。第 III 部 戦後 1946-60 年；藤川栄子、赤松俊子〔丸木俊〕、桂ユキ子〔ゆき〕、桜井浜江、長谷川春子、三岸節子、森田元子、吉田ふじを、深沢紅子、桜井悦、有馬さとえ、片谷曖子〔美香〕、早瀬龍江、入江一子、

小川マリ子〔マリ〕、佐川敏子、芥川〔間所〕紗織、赤穴桂子、赤星信子、島あふひ、甲斐仁代、織田彩子、福島秀子、江見絹子、田中田鶴子、広田多津、朝倉摂、秋野不矩、小倉遊亀、荘司福、山沢栄子、岡上淑子〔図版番号収載順〕

註：出品欄は「第 III 部 戦後 1946-60 年」を収載。

○展覧会カタログ

「奔る女たち 女性画家の戦中・戦後 1930-1950 年代」展

栃木県立美術館　2001 年 10 月　付・観賞ノート

小勝禮子：近代日本における女性画家をめぐる制度－戦前・戦後の洋画家を中心に

橋本慎司：日本絵画と女性画家たち

鈴木かおる：在野団体の女性日本画家たち

小勝禮子：〔章解説〕

尾形明子：『女人芸術』と画家たち

小勝禮子、橋本慎司、鈴木かおる：作家解説

鈴木かおる編：官設展覧会・在野美術団体

小勝禮子：女性洋画家団体

橋本慎司・小勝禮子編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

ピクチャー・イン・モーション ●

欧文タイトル：「Picture in Motion」

会期：2004 年 7 月 18 日－9 月 12 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：会田寅次郎、会田誠、加藤到、木村崇人、小瀬村真美、田中功起、友政麻理子、門田秀雄、山崎博、ユニット 00(堀浩哉・堀えりぜ・畠中実)〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ピクチャー・イン・モーション

栃木県立美術館　2004 年 7 月

山本和弘：PiM――多層的フレームのコンステレーション

山本和弘：アーティストおよび作品についてのエッセイ

田中功起：アーティストのコメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

「前衛の女性 1950－1975」展 ●

欧文タイトル：「Japanese Women Artists in Avant-garde Movements, 1950-1975」

会期：2005 年 7 月 24 日－9 月 11 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：赤穴桂子、芥川〔間所〕紗織、安部真知、荒木高子、出光孝子、出光真子、今中クミ子、内間俊子、内海柳子、漆原英子、榎本和子、江見絹子、大黒愛子、オノ・ヨーコ、オノサト・トモコ、大原紀美子、片谷曖子〔美香〕、桂ユキ子〔ゆき〕、神谷信子、菅野聖子、岸本清子、草間彌生、久保田成子、合田佐和子、斉藤陽子、塩見允枝子、篠原佳尾、白井昭子、

白髪富士子、多田美波、田中敦子、田中田鶴子、田部光子、富山妙子、名坂有子、野中ユリ、林三從、福島秀子、古家玲子、堀尾昭子、三島喜美代、宮脇愛子、森泰、森本紀久子、矢嶋美枝子、山崎つる子〔作家解説順〕

○展覧会カタログ

「前衛の女性 1950－1975」展

栃木県立美術館　2005 年 7 月

小勝禮子：戦後の「前衛」芸術運動と女性アーティスト 1950-60 年代

由本みどり：フルクサスと日本人女性芸術家たち

小勝禮子、由本みどり：章解説

小勝禮子、由本みどり：作家解説

北村淳子・山崎明子編年表

宮田有香・小勝禮子編：参考文献抄

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

「イノセンスーいのちに向きあうアート」展 ●

欧文タイトル：「INNOCENCE－ART towards LIFE」

会期：2010 年 7 月 17 日－9 月 20 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：I きれいな色・透明な色・激しい色；難波田史男、木村繁之、稲田萌子、篠原佳尾、今村花子、神山悦雄、鶴貝典子、カズ・スズキ、増渕里美。II 増殖するかたち；坂上チユキ、草間彌生、長重之、西澤彰、小原久美子、清野ミナ、長谷川稔、岸本茂、松本国三、佐々木卓也。III 身のまわりの世界；丸木スマ、大道あや、舛次崇、秋山俊也、中森和秀、村田和司、大波文夫、西須眞二、鈴木和江、今村花子(重)。IV 物語をつむぐ；坂井淑恵、イケムラレイコ、奈良美智、宮田英雄、柳剛。V 痛み・怒り・恐怖・記憶；丸木スマ(重)、大道あや(重)、渡辺豊重、綿引展子、綿引展子＋ヘラ・ゼーレ、田島征三、井上廣子。特別出品；渡辺豊重(重)〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「イノセンスーいのちに向きあうアート」展

栃木県立美術館　2010 年 7 月

小勝禮子：イノセンス(？)ーいのちに向きあうアート

小勝禮子・島一嘉編：作家略歴

小勝禮子編：主要参考文献

篠崎孝司：ルンビニー園美術班の活動ー「生命そのものの輝き」を感じるために

戸田香代子：つながるひろがるアート展 Nasu

長 重之：もうひとつの活動歴

宮坂 健：すぎの芽学園と増渕里美の絵画

梶原紀子：もうひとつの美術館の歩みー新しいアートの発信拠点として

島 一嘉：美術と出会うーイノセンス展関連企画の利用法

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸

文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

画像進化論〈サルからヒトへ、そしてスペクタクルの社会 メディア的進化と創造的退行のダイナミズム〉●

欧文タイトル：「Pictorial Theory of Evolution」

会期：2011 年 7 月 23 日－9 月 19 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：杉浦邦恵、福田美蘭、石原友明、小山穂太郎、小本章、田中一村、山中信夫、森村泰昌、佐藤時啓、若江漢字、田中功起、片瀬和夫、鴫剛、秋岡美帆、井上廣子、湯浅龍平、山崎博、中村一美、中川政昭、萩原朔美、長沢秀之、長重之、野村仁、松井智惠〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

画像進化論〈サルからヒトへ、そしてスペクタクルの社会 メディア的進化と創造的退行のダイナミズム〉

栃木県立美術館　2011 年 7 月

山本和弘：画像進化論――自然の経済と芸術の経済との闘争について

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大

光あれ!－光と闇の表現者たち〈とちぎアート・ドキュメント〉●

欧文タイトル：「THE QUEST FOR LIGHT AND DARKNESS」

会期：2012 年 7 月 21 日－9 月 17 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：柄澤齊、豊島弘尚、大森博之、クワクボリョウタ、菊地武彦、内倉ひとみ、渡辺豊重、荒井経、薄井隆夫、タムラサトル〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

光あれ!－光と闇の表現者たち〈とちぎアート・ドキュメント〉

栃木県立美術館　2012 年 7 月　開館 40 周年記念企画 2 復興祈念

島 一嘉：光あれ!－光と闇に託すもの

柄澤齊、豊島弘尚、大森博之、クワクボリョウタ、菊地武彦、内倉ひとみ、渡辺豊重、荒井経、薄井隆夫、タムラサトル：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」

会期：2012 年 9 月 1 日－10 月 21 日　福岡アジア美術館／11 月 27 日－2013 年 1 月 6 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館／1 月 26 日－3 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館／4 月 13 日－6 月 23 日　津・三重県立美術館

主催：栃木県立美術館〔巡回 4-3〕

――→福岡アジア美術館〔巡回 4-1〕

みる、ふれる、きくアート－感覚で楽しむ美術〈とちぎアート・ドキュメント〉●

欧文タイトル：「TOUCH IS LOVE」

会期：2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：吉本義人、手塚登久夫、古郷秀一、栃木美保、松島さくら子、丸山浩司、糸井潤、田中康予、丑久保健一、武藤玲子、日原公大、岩本拓郎、藤原彩人、妻木律子、ひびのこづえ〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
みる、ふれる、きくアート－感覚で楽しむ美術〈とちぎアート・ドキュメント〉
栃木県立美術館　2013 年 11 月
島 一嘉：ひととひと・ひとともものをつなぐこと／〔作家解説〕／美術館・学校連携ワークショップの実施について
吉本義人、手塚登久夫、古郷秀一、栃木美保、松島さくら子、丸山浩司、糸井潤、田中康予、武藤玲子、日原公大、岩本拓郎、藤原彩人、妻木律子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

宇都宮美術館

森ニイマス ●
欧文タイトル：「Windows to the World Around Us」
会期：1997 年 7 月 13 日－8 月 27 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館
出品：丑久保健一、今村哲、岩村伸一、吉田重信〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
森ニイマス
宇都宮美術館　1997 年 7 月　英文併載
谷 新：森は「育む」
岡本康明：森ニイマス
所蔵：□、国新美、東文研、東大駒、和光大

アート/生態系〈美術表現の「自然」と「制作」〉展 ●
欧文タイトル：「Art/Ecosystem　The Contemporary Japanese Art Scene」
会期：1998 年 7 月 23 日－9 月 6 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館
出品：土谷武、村岡三郎、菅木志雄、松井紫朗、草間彌生、辰野登恵子、伊藤公象、星野暁、戸谷成雄、河口龍夫、遠藤利克、小泉俊己、太田三郎、山口啓介、袴田京太朗、丸山直文、高橋靖史〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
アート/生態系〈美術表現の「自然」と「制作」〉展
宇都宮美術館　1998 年 7 月　主に英文併載　付、ギャラリー・ガイド
谷 新：アート/生態系 美術表現の「自然」と「制作」
谷 新：章解説
谷新、伊藤伸子、福島文靖、北村淳子：作家解説
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光

大、国会図、都中図

アート/生態系〈美術表現の「自然」と「制作」〉記録集

宇都宮美術館　1999 年

谷 新：企画とその外部の連関〈アート/生態系－美術表現の『自然』と『制作』展を巡って〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

恋スル身体――A SENSE of REALITY ●

会期：1999 年 7 月 18 日－8 月 29 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

出品：小杉武久、スタジオ・アッズーロ、椿昇、砥綿正之＋松本泰章、藤本由紀夫、やなぎみわ〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

恋スル身体――A SENSE of REALITY

宇都宮美術館　1999 年 7 月　バインダー使用

岡本康明：恋スル身体－A SENSE of REALITY

杉田 敦：道は身体のただなかに終わる?

森 公一：メディア・アートが提示する人間とメディア・テクノロジーの関係

谷 新：「身体」を希求する身体

谷新、岡本康明：〔作家解説〕

やなぎみわ・椿昇・司会 岡本康明：シンポジウム

岡本康明、伊藤伸子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ヴァイブレーション〈結びあう知覚〉●

欧文タイトル：「VIBRATION　EXPRESSIVE POWERS OF SCULPTURES」

会期：2001 年 7 月 29 日－9 月 24 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館・下野新聞社、協力：現代彫刻センター

出品：高村光太郎、平櫛田中、柳原義達、安田侃、青木野枝、伊藤誠、佐藤時啓、原田要、椎原保、樋口裕昭、安藤栄作、平田五郎〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

ヴァイブレーション〈結びあう知覚〉

宇都宮美術館　2001 年 7 月

小泉晋弥：彫刻の現代性――ヴァイブレーションへの誘い

有木宏二、藤井明、谷新、武田昭彦、深谷克典、梅津元、水沢勉、降旗千賀子、中村英樹、山本和弘、奥村泰彦、小池一子、平野明彦、千葉成夫：〔作家解説〕

石原友明：美術館で、盲人と、透明人間とが、出会ったと、せよ。Ver.4

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

モダニズムの至福のとき いわき市立美術館名品展 ●

欧文タイトル：「Vitality in Modernism Collection from Iwaki City Art Museum」

会期：2002 年 9 月 15 日－11 月 4 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館、協力：いわき市立美術館

出品：鈴木新夫、山口長男、草間彌生、斎藤義重、杉全直、若松光一郎、佐藤忠良、田口安男、堂本尚郎、田淵安一、元永定正、今井俊満、高松次郎、李禹煥、彦坂尚嘉、中西夏之、辰野登恵子、中村一美、河口龍夫、堀浩哉、吉澤美香、小林正人、川俣正、遠藤利克、川島清〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

モダニズムの至福のとき いわき市立美術館名品展

宇都宮美術館　2002 年 9 月

田口安男：いわき市立美術館の方位

大島清次：私感：いわき市立美術館のコレクション

中原佑介：展示とのたたかい

谷 新：いわき市立美術館の所蔵品と企画構成について

谷 新：章解説

植田玲子、有木宏二、石川潤、平野明彦、竹内啓子、谷新、柴田百合子、堀越達雄、北村淳子、前村文博、杉浦友治、福島文靖：作家略歴・作家解説

鷹見明彦：鍵のかかった窓に射した影－日本の反芸術と高松次郎

千葉成夫：戦争を知らない子供たち－美術の戦後

佐々木吉晴：いわき市立美術館の 20 年－コレクション形成を中心として

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

モダニズムの至福のとき いわき市立美術館名品展関連イヴェント記録集

宇都宮美術館　2003 年

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒

いまいるところ／いまあるわたし〈VOCA 展に映し出された現在〉●

欧文タイトル：「The Present State of Contemporary Art. Selected Works from the VOCA Exhibition.」

会期：2006 年 7 月 9 日－9 月 18 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

出品：福田美蘭、世良京子、小林正人、森弘志、館勝生、三輪美津子、堂本右美、石川順惠、駒形克哉、大岩オスカール幸男、東島毅、小林孝亘、富岡直子、端聡、小池隆英、曽根裕、東郷靖彦、上田奈保、善住芳枝、湯川雅紀、伊庭靖子、岡田修二、杉戸洋、太郎千恵藏、やなぎみわ、平町公、髙柳恵里、岩尾恵都子、フジイフランソワ、みやじけいこ、内藤絹子、坂井淑恵、押江千衣子、市川美幸、石田徹也、水上央子、高浜利也、曽谷朝絵、後藤智、石塚ツナヒロ、溝口真一、照屋勇賢、津上みゆき、岩城直美、大谷有花、小野博、中ザワヒデ

キ、前田朋子、小柳裕、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、日野之彦、居城純子、中川トラヲ。特別企画；田中泯〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

いまいるところ／いまあるわたし〈VOCA 展に映し出された現在〉

宇都宮美術館　2007 年 2 月

谷 新：VOCA 展に託された未来

太郎千恵藏、やなぎみわ、照屋勇賢、湯川雅紀、平町公、石川順惠、東島毅、聞き手・谷新、岡本康明：講演・対談

谷 新：作家・作品解説

註：本書は記録集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展 ●

欧文タイトル：「SURREALISM AND ART　IMAGE AND REALITY」

会期：2007 年 4 月 21 日－6 月 17 日　宇都宮美術館／7 月 3 日－9 月 17 日　豊田市美術館／9 月 29 日－12 月 9 日　横浜美術館

主催：宇都宮美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会・下野新聞社〔巡回 3-1〕

出品：藤松博、草間彌生、森村泰昌、奈良美智、高松次郎、やなぎみわ〔作家別出品一覧順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会　2007 年 4 月

中村尚明：シュルレアリスムがひらく「類比」としてのイメージ

石川 潤：イメージの発生、イメージの治癒

北谷正雄：シュルレアリスムと戦後の美術

石川潤、中村尚明、北谷正雄：〔章解説〕

内山淳子、北川智昭、能勢陽子、北谷正雄、石川潤、中村尚明、都筑正敏、金井直、西崎紀衣：作家解説

内山淳子編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

ミニマル／ポストミニマル〈1970 年代以降の絵画と彫刻〉 ●

欧文タイトル：「MINIMAL / POST MINIMAL－The Contemporary Japanese Art from 1970s」

会期：2013 年 2 月 24 日－4 月 7 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

出品：荒井経、石川順惠、薄久保香、遠藤利克、川島清、辰野登恵子、戸谷成雄、中村一美、

袴田京太朗、堀浩哉〔作家略歴順〕

〇展覧会カタログ

ミニマル／ポストミニマル〈1970 年代以降の絵画と彫刻〉

宇都宮美術館　2013 年 2 月

谷 新：1970 年代と〈その後〉……ふつうにしてラディカル 地に足をつけた作家たちの「本質」への下降

谷 新：章解説

田澤梓、小堀修司、石川賢、谷新、福島文靖：作家・作品解説

谷新編、田澤梓協力：1970 年代主要展覧会リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、愛芸文、東大駒、国会図

足利市立美術館

詩人の眼・大岡信コレクション ●

欧文タイトル：「The Poet's Eyes：Makoto Ooka and his Collection」

会期：2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　三鷹市美術ギャラリー／8 月 3 日－26 日　静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ／11 月 3 日－12 月 10 日　福岡県立美術館／2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　足利市立美術館

主催：足利市みどりと文化・スポーツ財団(足利市立美術館)、朝日新聞社〔巡回 4-4〕

──→三鷹市美術ギャラリー〔巡回 4-1〕

氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 11 月 15 日－2009 年 1 月 25 日　うらわ美術館／4 月 4 日－5 月 17 日　八王子市夢美術館／8 月 29 日－10 月 12 日　足利市立美術館

主催：足利市みどり文化・スポーツ財団(足利市立美術館)・足利市教育委員会・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

──→うらわ美術館〔巡回 3-1〕

画廊の系譜〈浅川コレクションと 1960-80 年代日本の美術〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2012 年 11 月 10 日－12 月 24 日　足利市立美術館　主催：足利市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：中西夏之、菊畑茂久馬、三木富雄、工藤哲巳、靉嘔、小野忠弘、藤松博、堂本尚郎、駒井哲郎、難波田龍起、加納光於、山口長男、オノサト・トシノブ、桜井孝身、今井俊満、瀧口修造、篠原有司男、瑛九、池田満寿夫、池田龍雄、細江英公、谷川晃一、吉野辰海、清水晃、宮迫千鶴、田中繁一、中根明貴子、秋山祐徳太子、澄川喜一、森田玖吾、今泉省彦、遠藤昭、阿部浩、貝野澤章、鍋田庸男、玉征夫、新井リコ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

画廊の系譜〈浅川コレクションと 1960-80 年代日本の美術〉

足利市立美術館　2012 年 11 月 10 日

篠原誠司：浅川邦夫と日本の戦後美術
浅川邦夫・成田秀彦、聞き手・篠原誠司：浅川邦夫インタビュー
山本豊津、庄司達、井上道子、土倉有三、並河恵美子、高山良子、小林ひとみ、小田律子、熊谷寿美子、聞き手・篠原誠司：画廊インタビュー
木村重信、峯村敏明、聞き手・篠原誠司：interview
浅川邦夫：〔ことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展 ●

欧文タイトル：「The Echoes from the Abyss：The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition」
会期:2017 年 11 月 3 日－12 月 24 日　足利市立美術館／2018 年 4 月 27 日－6 月 24 日　沖縄県立博物館・美術館／8 月 11 日－9 月 24 日　渋谷区立松濤美術館
主催：足利市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕
出品：吉増剛造、中西夏之、加納光於、赤瀬川原平、中平卓馬、森山大道、若林奮、荒木経惟、中森敏雄、中川潤、奈良原一高、東松照明、瀧口修造〔出品リスト順〕
註：出品欄は吉増剛造と戦後造形作品出品の作家を収載。
○展覧会カタログ
「涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展」図録
足利市立美術館・美術館連絡協議会　2017 年 11 月 3 日
篠原誠司、菊井崇史、春日洋一郎：章解説、作品解説
鶴岡真弓、今福龍太、江尻潔、小林康夫、稲川方人、川島健二、篠原誠司、平塚泰三、滝口悠生、菊井崇史、宮川耕次、矢口哲男、松井輝美、寺本一生、川延安直、原田洋二、平澤広、森田一、奥脇崇大、森本悟郎、田中教子、工藤正廣：〔論考〕
吉田文憲・岸田将幸・菊井崇史：座談会 吉増剛造の軌跡
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、東大駒、国会図、都中図

群馬県

群馬県立近代美術館

第 8 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：福島展；1974 年 9 月 14 日－29 日　福島県文化センター美術博物館／山形展；10 月 9 日－27 日　山形美術博物館／岩手展；11 月 2 日－17 日　北上市民会館／群馬展；12 月 5 日－20 日　高崎・群馬県立近代美術館
主催：文化庁・群馬県教育委員会・群馬県立近代美術館〔巡回 4-4〕
――→福島県文化センター美術博物館〔巡回 4-1〕

染と織――現代の動向 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1980 年 8 月 16 日－9 月 15 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：伊砂利彦、稲垣稔次郎、小合友之助、鎌倉芳太郎、来野月乙、木村雨山、佐野猛夫、シナズミ・ジョージ、志村ふくみ、鈴田照次、芹沢銈介、田島征彦、中井貞次、中村勝馬、中村光哉、松原与七、三浦景生、宗広力三、森口華弘、森口邦彦、山田貢、麻田脩二、草間喆雄、志村光広、中野光雄、桧垣檀、広川青五、小名木陽一、小林尚美、小林正和、高木敏子、中川千早、橋本京子、藤岡蕙子＋佐久間美智子、堀内紀子、八木マリヨ〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

染と織――現代の動向

群馬県立近代美術館　1980 年 8 月

杉原信彦：近代日本の染織寸見

内山武夫：新しい染織

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学

現代日本洋画展〈戦前から戦後へ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1980 年 10 月 4 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：藤田嗣治、小絲源太郎、安井曾太郎、梅原龍三郎、須田国太郎、児島善三郎、中川一政、北川民次、岡鹿之助、高畠達四郎、野口彌太郎、林武、荻須高徳、鳥海青児、小磯良平、海老原喜之助、牛島憲之、山口薫、森芳雄、脇田和、中谷泰、香月泰男、麻生三郎、福沢一郎、北脇昇、井上長三郎、靉光、鶴岡政男、岡本太郎、糸園和三郎、松本竣介、阿部展也、桂ゆき、杉全直、川口軌外、山口長男、斎藤義重、吉原治良、村井正誠、難波田龍起、長谷川三郎、宇治山哲平、川端実、オノサト・トシノブ、〔以下は準備最終段階での追加出品か：註〕児島善三郎(重)、荻須高徳(重)、鳥海青児(重)、海老原喜之助(重)、森芳雄(重)、脇田和(重)、麻生三郎(重)、福沢一郎(重)、松本竣介(重)、川口軌外(重)、井上長三郎(重)、山口長男(重)、難波田龍起(重)、三岸節子〔出品目録順〕

註：出品目録では 83 点の他に、神奈川県立近代美術館所蔵作品 25 点（14 作家）が記載されていて、展覧会準備の最終段階で出品が決定した、と推測される。14 作家のうち 13 作家は作家略歴が記載されているが三岸節子のみが記載されていない。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

現代日本洋画展〈戦前から戦後へ〉

群馬県立近代美術館　1980 年 10 月 4 日

匠 秀夫：現代日本洋画展〈戦前から戦後へ〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

ファイバーワーク展――織の造形とその展開 ●

欧文タイトル：「FIBER WORK」

会期：1983 年 3 月 5 日－27 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：礒辺晴美、小名木陽一、草間喆雄、小林尚美、小林正和、高木敏子、徳重恵美子、中川千早、濱谷明夫、藤岡蕙子＋佐久間美智子、堀内紀子、八木マリヨ、吉村正郎〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

ファイバーワーク展――織の造形とその展開

群馬県立近代美術館　1983 年 3 月

内山武夫：ファイバーワーク

黒田亮子、佐々木正直：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

現代絵画の 20 年〈1960～70 年代の洋画と新しい「平面」芸術の動向〉●

欧文タイトル：「Japanese Contemporary Paintings, 1960～1980」

会期：1984 年 4 月 12 日－5 月 20 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：靉嘔、相笠昌義、阿部展也、荒川修作、有元利夫、井田照一、猪熊弦一郎、狗巻賢二、今井俊満、因藤壽、上田薫、宇佐美圭司、榎倉康二、大沢昌助、大沼映夫、岡田謙三、岡本信治郎、奥谷博、オノサト・トシノブ、小山田二郎、郭仁植、柏原えつとむ、桂ゆき、金子國義、加納光於、鴨居玲、河口龍夫、川島猛、川端実、河原温、菊畑茂久馬、絹谷幸二、草間彌生、工藤哲巳、久野真、桑山忠明、合田佐和子、近藤竜男、斎藤義重、斎藤真一、桜井孝身、鴫剛、篠原有司男、島田章三、清水晃、白髪一雄、菅木志雄、菅井汲、タイガー立石、高橋秀、高松次郎、田口安男、辰野登恵子、田中敦子、田中信太郎、田中稔之、谷川晃一、田淵安一、津高和一、堂本尚郎、中川直人、中里斉、中西夏之、馬場彬、彦坂尚嘉、平賀敬、藤田吉香、藤松博、堀浩哉、前田常作、松本旻、三尾公三、宮城輝夫、元永定正、森芳雄、李禹煥、山口長男、山下菊二、山田正亮、吉原治良〔索引順〕

I 具象的傾向及び幻想的傾向；相笠昌義、有元利夫、大沼映夫、奥谷博、鴨居玲、絹谷幸二、斎藤真一、島田章三、田口安男、馬場彬、藤田吉香、藤松博、小山田二郎、前田常作、宮城輝夫、山下菊二。II 抽象的傾向；阿部展也、猪熊弦一郎、因藤壽、大沢昌助、岡田謙三、オノサト・トシノブ、桂ゆき、加納光於、川島猛、川端実、久野真、斎藤義重、菅井汲、高橋秀、田中稔之、津高和一、山口長男。III 抽象主義的傾向；今井俊満、白髪一雄、田中敦子、田淵安一、堂本尚郎、元永定正、吉原治良。IV 反芸術的傾向とポップ・アート及びハイパーリアリズム；菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、桜井孝身、清水晃、靉嘔、岡本信治郎、金子國義、合田佐和子、篠原有司男、タイガー立石、谷川晃一、平賀敬、上田薫、鴫剛、中川直人、三尾公三、森芳雄。V 概念芸術的傾向と新しい「平面」芸術；荒川修作、井田照一、宇佐美圭司、柏原えつとむ、河口龍夫、河原温、菅木志雄、高松次郎、田中信太郎、松本旻、狗巻賢二、榎倉康二、郭仁植、桑山忠明、近藤竜男、辰野登恵子、中里斉、中西夏之、彦坂尚嘉、堀浩哉、山田正亮、李禹煥〔作家解説順〕

○展覧会カタログ

現代絵画の 20 年〈1960～70 年代の洋画と新しい「平面」芸術の動向〉

群馬県立近代美術館　1984 年 4 月

針生一郎：日本美術の 60 年代と 70 年代

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

染と織――現代の動向 II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 9 月 28 日－11 月 4 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：伊砂利彦、北村武資、小宮康正、志村ふくみ、鈴田滋人、田島征彦、鳥巣水子、中野光雄、古澤万千子、松枝小夜子、松枝哲哉、松原与七、森口邦彦、柚木沙弥郎、四本貴資、礒辺晴美、小名木陽一、草間喆雄、久保田繁雄、熊井恭子、小林尚美、小林正和、佐久間美智子、車季南、徳重惠美子、福本潮子、吉村正郎、新井淳一、粟辻博、脇阪克二〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

染と織――現代の動向 II

群馬県立近代美術館　1991 年 9 月

佐々木正直：現代の伝統染織からテキスタイル・デザインの作家たちまで

黒田亮子：新しい繊維の造形と布の復権

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、京都学、国会図

あるコレクターがみた戦後日本美術 ●

欧文タイトル：「Through a Collector's Eye：Japanese Art after 1945」

会期：2001 年 9 月 15 日－10 月 28 日　高崎・群馬県立近代美術館／12 月 7 日－2002 年 1 月 14 日　松山・愛媛県美術館

主催：群馬県立近代美術館〔巡回 2-1〕

出品：勅使河原蒼風、岡田謙三、山口長男、斎藤義重、村井正誠、オノサト・トシノブ、瑛九、坂本善三、川端実、阿部展也、浅野弥衛、菅井汲、田淵安一、白髪一雄、豊福知徳、吾妻兼治郎、前田常作、今井俊満、堂本尚郎、渡辺恂三、工藤哲巳、菊畑茂久馬、荒川修作、高松次郎、李禹煥、宇佐美圭司、長澤英俊、小清水漸、彦坂尚嘉、森村泰昌、川俣正、大竹伸朗、山倉研志、前本彰子〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

あるコレクターがみた戦後日本美術

群馬県立近代美術館・愛媛県美術館　2001 年 9 月

針生一郎：戦後日本美術史から見た各務コレクション

建畠 哲：私有された歴史

萬木康博：個人コレクションの起点と終着点

田中龍也、武田信孝、藤川哲：章解説

田中龍也：「あるコレクターがみた戦後日本美術」－各務コレクションの特徴と本展の構

成

武田信孝：戦後日本美術における 3 つの共通項をめぐって

一色常道、上村清道、武田信孝、谷内克聡、藤川哲、松下和美、田中龍也、鶴見香織：作家略歴

武田信孝、藤川哲編：主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

日常の変貌 ●

欧文タイトル：「Les métamorphoses du quotidien」

会期：2004 年 2 月 28 日－4 月 11 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：平川典俊、大谷有花、会田誠、鷹野隆大〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

日常の変貌

群馬県立近代美術館　2004 年 2 月　英文併載　和綴(ケース入)

谷内克聡：日常の変貌

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、国会図、都中図

迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：〔群馬展〕2006 年 9 月 17 日－10 月 22 日　第 1 会場；高崎市美術館、第 2 会場；前橋・群馬県庁昭和庁舎／10 月 31 日－12 月 10 日　渋谷区立松濤美術館

主催：群馬県立近代美術館・高崎市美術館・渋谷区立松濤美術館〔巡回 2-1・第 2 会場〕

出品：I 海外作家のコレクション。II 戦争と画家たち；浜田知明、上野誠。III 国内作家のコレクション；瀧口修造、金子真珠郎、中川幸夫、松澤宥、草間彌生、加納光於、山口長男、斎藤義重、麻生三郎、桂ゆき、小山田二郎、元永定正、深沢幸雄、池田龍雄、村岡三郎、吉原英雄、中村宏、岡本信治郎、篠原佳尾、秀島由己男、星野美智子、秋山祐徳太子、高松次郎、李禹煥、若林奮、三木富雄、赤瀬川原平、黒崎彰、谷川晃一、野中ユリ、河口龍夫、関根伸夫、榎倉康二、上矢津、菅木志雄、彦坂尚嘉、多賀新、戸谷成雄、孫雅由、遠藤利克、柄澤齊、北川健次〔出品リスト順〕

註：群馬県立近代美術館の分担した展示は、同館が休館中であったため群馬県庁昭和庁舎で開催された。なお、出品欄は日本作家のみ収載した。

○展覧会カタログ

迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉

群馬県立近代美術館・渋谷区立松濤美術館　2006 年 9 月

佐谷和彦：砂盃富男と私の 30 年の歩み〈戦争と画家たちをテーマにしたコレクター、評論家、画家、詩人であった親友〉

砂盃次代：展覧会の開催によせて

熊谷ゆう子：展覧会の構成について

瀬尾典昭：今日的な、個人コレクションについて〈砂盃富男の場合〉

染谷 滋：砂盃富男――画家、詩人、コレクター、評論家、美術館主、そして…

染谷滋編：砂盃富男年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

酸化したリアリティー〈群馬青年ビエンナーレの作家たち〉●

欧文タイトル:「Oxidized Reality　7 Artists from The Gunma Biennale for Young Artists」

会期：2010 年 1 月 23 日－3 月 22 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：江原一幸、SATSUKI、大矢加奈子、松岡圭介、永田惇哉、笹山直規、椎名勇仁〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

酸化したリアリティー〈群馬青年ビエンナーレの作家たち〉

群馬県立近代美術館　2010 年 3 月 18 日　主に英文併載

田中龍也：酸化したリアリティー〈群馬青年ビエンナーレの作家たち〉

江原一幸、SATSUKI、大矢加奈子、松岡圭介、永田惇哉、笹山直規、椎名勇仁：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

カルテックス 共通言語としてのテキスタイル〈共振する思考〉●

欧文タイトル：「CULTEX　textile as a cross-cultural language」

会期：2010 年 12 月 21 日－2011 年 1 月 30 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館／7 月 9 日－9 月 4 日　高崎・群馬県立近代美術館

主催：群馬県立近代美術館〔巡回 2-2、「風のように、光のように ノルウェーと日本のテキスタイル・アート」展〕

破壊された都市の肖像――ゲルニカ、ロッテルダム、東京…●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 1 月 19 日－3 月 24 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：ケーテ・コルヴィッツ、パブロ・ピカソ、ジョアン・ミロ、ヘンリー・ムーア、ジャン・フォートリエ、ヴォルス、福沢一郎、鶴岡政男、浜田知明、オシップ・ザッキン、ロベルト・マッタ、瀧口修造、井上有一、川俣正〔出品リスト順〕

註：日本作家はすべて戦後作品。

○展覧会カタログ

破壊された都市の肖像――ゲルニカ、ロッテルダム、東京…

群馬県立近代美術館　2013 年 1 月 19 日　平成 24 年度企画展示

松下由里：『破壊された都市の肖像』――本展の構成について

松下由里、田中龍也、佐藤聖子：作家略歴・作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

1974 年ニ生マレテ ●

欧文タイトル：「BORN IN 1974　40th Anniversary Exhibition：1974, Part 1」

会期：2014 年 6 月 28 日－8 月 24 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館・上毛新聞社

出品：宮永愛子、小林耕平、水野暁、土屋貴哉、春木麻衣子、末永史尚〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

1974 年ニ生マレテ

群馬県立近代美術館　2014 年 8 月 9 日　主に英文併載　開館 40 周年記念展第 1 部

藤田千彩：私たちが生まれた 1974 年から現在に至るまで

宮本武典：〈境〉にて

宮永愛子、小林耕平、水野暁、土屋貴哉、春木麻衣子、末永史尚：〔作家による展示コンセプト〕

熊谷ゆう子「1974 年に生まれて」展について

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

1974 戦後日本美術の転換点 ●

欧文タイトル：「1974 A Turning Point in Postwar Japanese Art 40th Anniversary Exhibition：1974, Part 2」

会期：2014 年 9 月 13 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館・上毛新聞社

出品：磯崎新、中平卓馬、清水九兵衛、保田春彦、篠田守男、江口週、伊藤公象、三尾公三、上田薫、靉嘔、桑山忠明、横尾忠則、中林忠良、日和崎尊夫、両角修、島州一、郭徳俊、野田哲也、吉田克朗、木村秀樹、榎倉康二、狗巻賢二、菅木志雄、高松次郎、河口龍夫、鴫剛、若江漢字、野村仁、今井祝雄、植松奎二、山中信夫、松本旻、井田照一、柏原えつとむ、北辻良央、李禹煥、小清水漸、戸谷成雄、丑久保健一、辰野登恵子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

1974 戦後日本美術の転換点

群馬県立近代美術館　2014 年 9 月 12 日　開館 40 周年記念展第 2 部

谷 新：1974 年/美術に見る転換期の諸相〈崩れゆくものと生れいずるものの境界に立って〉

田中龍也：1974―戦後日本美術の転換点

松下由里、田中龍也：章解説

松下由里：1974 年群馬県立近代美術館開館 その前史をふりかえる〈旧陸軍岩鼻火薬製造所跡地に「群馬の森」ができるまで〉

熊谷ゆう子、松下由里、定松晶子、野田麻美、田中龍也、佐藤聖子、相良浩：出品作家略歴

佐藤聖子編：主要参考文献／CHRONOLOGY〔折り込み年表〕

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

アート・オブ・ライフ〈生きることの美学〉●

欧文タイトル：「The Art of Life」

会期：2015 年 7 月 11 日－8 月 30 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：山口薫、石内都、三輪途道、南桂子、久野和洋、山口啓介、金田実生、伊庭靖子、押江千衣子、上田薫、草間彌生、遠藤享、長谷川繁、小瀬村真美、河原温、松江泰治〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載した。

○展覧会カタログ

アート・オブ・ライフ〈生きることの美学〉

群馬県立近代美術館　2015 年 7 月 11 日

佐藤聖子：世界へのまなざし と 生きることの美学

佐藤聖子：章解説、作品解説

佐藤聖子、田中龍也編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

戦後日本美術の出発 1945-1955〈画家たちは「自由」をどう表現したか〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：松本竣介、井上長三郎、鶴岡政男、麻生三郎、吉原治良、村井正誠、山口薫、森芳雄、香月泰男、福沢一郎、北脇昇、岡本太郎、古沢岩美、阿部展也、杉全直、丸木位里・俊、山下菊二、桂川寛〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

戦後日本美術の出発 1945-1955〈画家たちは「自由」をどう表現したか〉

群馬県立近代美術館　2015 年 9 月 19 日

原田 光：敗戦後 10 年

徳江庸行：鶴岡政男、松本竣介、麻生三郎の戦後の活動を考える

松下由里、定松晶子：章解説

谷内克聡編：関連年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

群馬 NOMO グループの全貌 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 1 月 16 日－3 月 21 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美

術館

出品：砂盃富男、角田仁一、田島弘章、藤森勝次、金子英彦、加藤アキラ、堤幸夫、森康雄〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

群馬 NOMO グループの全貌

群馬県立近代美術館　2016 年 1 月 16 日

田中龍也：〔章解説〕

田中龍也、染谷滋：関連事項解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

群馬県立館林美術館

エコ&アート 近くから遠くへ〈アートを通して地球環境を考える〉●

欧文タイトル：「Ecology and Art　Thinking About the Earth Through Art：From Nearby to Far Away」

会期：2009 年 7 月 4 日－9 月 23 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

出品：篠原誠司、石川直樹、リチャード・ミズラック、平田五郎、リチャード・ロング、ロバート・スミッソン、高谷史郎、野村仁、ヨーゼフ・ボイス、バックミンスター・フラー、國府理、三分一博志、サウンドバム、日比野克彦〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

エコ&アート 近くから遠くへ〈アートを通して地球環境を考える〉

群馬県立館林美術館　2009 年 7 月

松下和美：アートを通して地球環境を考える試みー近くから遠くへ

川島健二：ナビゲートとテキスト

篠原誠司、石川直樹、高谷史郎、國府理、三分一博志、サウンドバム、日比野克彦：本展のためのコメント

松下和美、神尾玲子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

館林ジャンクション〈中央関東の現代美術〉●

欧文タイトル：「TATEBAYASHI：CONTEMPORARY ART IN CENTRAL KANTO」

会期：2012 年 4 月 28 日－7 月 1 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

出品：篠崎孝司、小川精一、吉本義人、菊地武彦、亀山知英、長重之、佐々木耕成、小林達也、光山明、藤井龍徳、森竹巴、利根川友理、タカユキオバナ、五月女哲平、佐藤万絵子、栃木美保〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

館林ジャンクション〈中央関東の現代美術〉

群馬県立館林美術館　2012 年 6 月 21 日

川島健二：中央関東文化論

田中龍也：館林ジャンクション〈中央関東の現代美術〉

篠崎孝司、小川精一、吉本義人、菊地武彦、亀山知英、長重之、佐々木耕成、小林達也、光山明、藤井龍徳、森竹巴、利根川友理、タカユキオバナ、五月女哲平、佐藤万絵子、栃木美保：ステイトメント

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

再発見! ニッポンの立体 ●

欧文タイトル：「Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan」

会期：2016 年 7 月 16 日－9 月 19 日　群馬県立館林美術館／11 月 15 日－2017 年 1 月 9 日　静岡県立美術館／1 月 24 日－4 月 9 日　津・三重県立美術館

主催：群馬県立館林美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

出品：平櫛田中、向井良吉、グループ七彩、棚田康司、保井智貴、野口哲哉、四谷シモン、宮本理三郎、荒井良、前原冬樹、中谷ミチコ、下村良之介、山田常山(三代)、小山一草(二代)、宮永理吉、大嶋久興、佐藤和彦、吉川充、岸一舟、関沢芳堂、永島信也、須田悦弘、沼田一雅、辻晋堂、八木一夫、鈴木治、桜文鳥〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

再発見! ニッポンの立体

群馬県立館林美術館・静岡県立美術館・三重県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会　2016 年 7 月 16 日

毛利伊知郎：「再発見! ニッポンの立体」

神尾玲子：立体と平面の境界――浮彫に関するいくつかのこと

原 舞子：小さきものへ――小品から見る日本の立体表現の歩み

村上 敬：「本物そっくりな」ひとがたについて――彫刻とヒューマノイド人形と

毛利伊知郎：章解説

毛利伊知郎編：日本の立体造形略年譜

毛利伊知郎、村上敬、神尾玲子、原舞子：主要作家解説

毛利伊知郎・原舞子編：主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

大地に立って／空を見上げて〈風景のなかの現代美術〉 ●

欧文タイトル：「Standing on the Earth, Looking up into the Sky－Contemporary Artists' Views of Landscapes」

会期：2016 年 10 月 8 日－12 月 4 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

出品：瀬尾夏美、ALIMO、笹井青依、中西信洋、シンゴヨシダ、笹岡啓子、スタン・アンダソン、秋山さやか、日比野克彦〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

大地に立って／空を見上げて〈風景のなかの現代美術〉展覧会カタログ

群馬県立館林美術館　2016 年 10 月
松下和美：大地に立って／空を見上げてー風景のなかの現代美術
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

大地に立って／空を見上げて〈風景のなかの現代美術〉展覧会ドキュメント
群馬県立館林美術館　2016 年 12 月
松下和美：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

アーツ前橋

開館記念展「カゼイロノハナ 未来への対話」●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2013 年 10 月 26 日－2014 年 1 月 26 日　アーツ前橋　主催：アーツ前橋
出品：三輪途道、南城一夫、清水刀根、茂木紘一、福田貂太郎、高橋常雄、須藤和之、ましもゆき、牛嶋直子、山口薫、横堀角次郎、木暮伸也、小野田賢三、反町博彦、田中青坪、中村節也、砂盃富男、塩原友子、金子英彦、加藤アキラ、林哲也、前島美江、谷新一郎、富田文隆、黒田六造、小見辰男、司修、近藤嘉男、福沢一郎、有村真鐵、照屋勇賢、ペ・ヨンファン、村田峰紀、佐藤正幸、萩原恭次郎、池田政治、横堀艸風、白川昌生、小泉明郎、金井訓志、八木隆行〔出品作品リスト順〕
〇展覧会カタログ
アーツ前橋 カゼイロノハナ 風色の本〈カゼイロノハナ 未来への対話〉
美術出版社　2013 年 10 月 25 日　アーツ前橋開館記念展　2 分冊の 1
住友文彦、辻瑞生、吉田成志、今井朋：コラム、作家解説・作品解説
吉田成志：群馬の前衛
辻 瑞生：日常生活のなかで美術文化を育んだ「生活造形実験室」
今井 朋：地域主義を掲げる芸術グループ「場所・群馬」
住友文彦：前橋と世界の芸術をつなぐ場「コンセプトスペース」
今井 朋：新しい共有の仕組みを提案「未来の芽 里親プロジェクト」
住友文彦：風色の芸術
染谷 滋：美術の街 前橋
染谷 滋：前橋美術文化年表について
アーツ前橋 カゼイロノハナ 空色の本〈アーツ前橋、はじまる〉
美術出版社　2013 年 10 月 25 日　アーツ前橋開館記念展　2 分冊の 2
住友文彦：開館記念展「カゼイロノハナ 未来への対話」について
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図

プレイヤーズ 遊びかからはじまるアート展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 7 月 5 日－9 月 15 日　アーツ前橋　主催：アーツ前橋

出品：青秀祐、八谷和彦、三家俊彦、関口光太郎、小松崎茂、山川惣治、高荷義之、タミヤ、大平貴之、KOSUGE 1-16、近藤嘉男〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

プレイヤーズ 遊びかからはじまるアート展〔記録用リーフレット〕

アーツ前橋　2014 年 7 月

青秀祐、八谷和彦、関口光太郎、三家俊彦、高荷義之、大平貴之、KOSUGE 1-16：〔作家への質問〕

高荷義之：〔作家インタビュー〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

前橋市民文化会館

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1998 年 11 月 22 日－12 月 7 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／愛媛展；12 月 13 日－27 日　今治市河野美術館／群馬展；1999 年 1 月 8 日－22 日　前橋市民文化会館／岩手展；1 月 28 日－2 月 11 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・群馬県教育委員会・前橋市・前橋市教育委員会・前橋市民文化会館〔巡回 4-3〕

――→大垣市スイトピアセンターアートギャラリー〔巡回 4-1〕

太田市美術館・図書館

開館記念展 未来への狼火 ●

欧文タイトル：「OPENING EXHIBITION　NOROSHI SIGNAL FLARE FOR OUR FUTURE」

会期：2017 年 4 月 26 日－7 月 17 日　太田市美術館・図書館　主催：太田市・太田市文化スポーツ振興財団

出品：淺井裕介、藤原泰佑、前野健太、清水房之丞、飯塚小玗斎、正田壌、石内都、片山真理、林勇気〔作品リスト順〕

註：清水房之丞(1903-1964)は詩人。

○展覧会カタログ

開館記念展 未来への狼火

図書刊行会　2017 年 6 月 15 日　英文併載

小金沢 智：〔章解説〕

淺井裕介、藤原泰佑、前野健太、石内都〔再録〕、林勇気：〔作家のことば〕

守屋慎一郎：関連イベント

小金沢 智：わたしたちの未来への狼火のために

守屋慎一郎：知と感性のプラットフォームを目指して 太田市美術館・図書館の管理運営計画

小金沢 智：作家・作品紹介

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

高崎市美術館

迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：〔群馬展〕2006 年 9 月 17 日－10 月 22 日　第 1 会場；高崎市美術館、第 2 会場；前橋・群馬県庁昭和庁舎／10 月 31 日－12 月 10 日　渋谷区立松濤美術館

主催：群馬県立近代美術館・高崎市美術館・渋谷区立松濤美術館〔巡回 2-1・第 1 会場〕

註：群馬県立近代美術館の分担した展示は、同館が休館中であったため群馬県庁昭和庁舎で開催された。

――→群馬県立近代美術館〔巡回 2-1・第 2 会場；群馬県庁昭和庁舎〕

魔法の美術館〈ようこそ。ここは光のワンダーランド〉●

欧文タイトル：「Magical Art Museum Welcome, you are now in the wonderland of lights」

会期：2009 年 11 月 15 日－2010 年 1 月 11 日　高崎市美術館　主催：高崎市美術館

出品：近森基＋＋久納鏡子、森脇裕之、そがあやの、宮本和奈、山内哲也、田中敬一、柏原エリナ〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

魔法の美術館〈ようこそ。ここは光のワンダーランド〉

高崎市美術館　2009 年 11 月

近森基＋＋久納鏡子、森脇裕之、そがあやの、宮本和奈、山内哲也、田中敬一、柏原エリナ：コンセプト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図、都中図

ジパング II 沸騰する日本の現代アート ●

欧文タイトル：「Zipangu－The Surge of Japanese Contemporary Art」

会期：2012 年 10 月 6 日－12 月 2 日　新潟県立万代島美術館／2013 年 4 月 7 日－6 月 16 日　高崎市美術館／9 月 14 日－11 月 10 日　秋田県立近代美術館

主催：高崎市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

――→新潟県立万代島美術館〔巡回 3-1〕

富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

福沢一郎とそれぞれの戦後美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 1 月 31 日－3 月 7 日　富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館　主催：富

岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
出品：福沢一郎、浜田知明、寺田政明、古沢岩美、阿部展也、早瀬龍江、白木正一、杉全直、小山田二郎〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
福沢一郎とそれぞれの戦後美術
富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館　2004 年 1 月 30 日　企画展
尾崎眞人：福沢一郎の「主題絵画」にみる「空間変遷」の意味と美術文化の作家たち
本田悟郎：福沢一郎の絵画〈初期作品から戦後の展開へ〉
本田悟郎編：資料編〔作家解説、福沢一郎略年譜 1954～1965 年、本展関連文献〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

埼玉県

埼玉県立近代美術館
木のかたちとエスプリ ●
欧文タイトル：「SHAPE AND SPIRIT IN WOOD WORKS」
会期：1983 年 2 月 5 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：飯室哲也、植木茂、丑久保健一、江口週、大橋篤司、川俣正、木村勝、小清水漸、斎藤義重、宿沢育夫、菅木志雄、鈴木実、澄川喜一、関根伸夫、高松次郎、竹田康宏、建畠覚造、田中担三、富松孝侑、中川久嗣、林範親、深井隆、福田繁雄、最上壽之、杢田たけを、八木正、李禹煥、脇田愛二郎、田辺麗子、柳宗理、渡辺力〔出品作品一覧順〕
註：このほか、円空、橋本平八、ヘリット・T・リートフェルトの 3 名が出品されている。
○展覧会カタログ
木のかたちとエスプリ
埼玉県立近代美術館　1983 年 2 月　木製の表紙・裏表紙によるバインダー使用
本間正義：はじめに――木ということ
中原佑介：積木と自然
飯室哲也、植木茂、江口週、大橋篤司、川俣正、木村勝、小清水漸、宿沢育夫、菅木志雄、鈴木実、澄川喜一、関根伸夫、高松次郎、竹田康宏、建畠覚造、田中担三、富松孝侑、中川久嗣、林範親、深井隆、福田繁雄、最上壽之、杢田たけを、八木正、脇田愛二郎：〔コメント〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
現代のリアリズム ●
欧文タイトル：「REALISM NOW」

会期：1983 年 10 月 4 日－12 月 4 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：馬場建三、合田佐和子、林範親、池田喜重、石井勢津子、河口龍夫、金昌烈、木下晋、丸尾浩二、松本旻、三尾公三、三島喜美代、三栖右嗣、持田総章、森本洋充、向井修二、七彩(欠田誠、加野正浩ら)、西木実、翁譲、齋藤研、重村三雄、鴫剛、篠原有司男、鈴木睦子、高松次郎、谷口茂、上田薫、若江漢字、渡辺高士、山縣寿夫、山崎直秀、吉村芳生〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代のリアリズム

埼玉県立近代美術館　1983 年 10 月

桑原住雄：今日のリアリズム

三木多聞：リアリズムについて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

埼玉の現代美術 版画の今日 ●

欧文タイトル：「Contemporary Japanese Prints」

会期：1984 年 2 月 7 日－3 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：第 1 部；靉嘔、秋山静、東谷武美、有地好登、池田満寿夫、一原有徳、伊藤孝、内間安瑆、梅沢和雄、小作青史、柄澤齊、川上洋明、黒崎彰、ケンシ、小山愛人、斉藤弘久、志賀幸雄、高柳裕、富張広司、中林忠良、野田哲也、浜口陽三、日和崎尊夫、三栖右嗣、森岡完介、安田悟、山本容子、吉田克朗、吉田穂高、瑛九。第 2 部；畦地拓治、有吉徹、井田照一、いわたきよし、榎倉康二、岡部昌生、上矢津、鯉江良二、小本章、島州一、下谷千尋、永井一正、松本旻〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

埼玉の現代美術 版画の今日

埼玉県立近代美術館　1984 年 2 月

藤井久栄：現代版画の展望

靉嘔、秋山静、東谷武美、有地好登、池田満寿夫、一原有徳、伊藤孝、内間安瑆〔再録〕、梅沢和雄、小作青史、柄澤齊、川上洋明、黒崎彰、ケンシ〔再録〕、小山愛人、斉藤弘久、志賀幸雄、高柳裕、富張広司、中林忠良、野田哲也、日和崎尊夫、三栖右嗣、森岡完介、安田悟、山本容子、吉田克朗、吉田穂高：〔第 1 部 作家のことば〕

久保貞次郎：瑛九とその周辺

黒崎 彰：版のコンセプトと応用

畦地拓治、有吉徹、井田照一、いわたきよし、榎倉康二、岡部昌生、上矢津、鯉江良二、小本章、島州一、下谷千尋、永井一正、松本旻：〔第 2 部 作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

現代のユーモア ●

欧文タイトル：「Humour in Contemporary Art」

会期：1984 年 10 月 6 日－12 月 16 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：安部定、赤瀬川原平、マッド・アマノ、粟辻早重、靉嘔、鄭璟娟、福田繁雄、浜田知明、林秀行、広井力、本郷重彦、堀内正和、池田遙邨、石川充宏、伊藤隆康、岩橋英遠、掛井五郎、鹿目尚志、片岡昌、片岡球子、桂ゆき、川下成海、木村直道、熊谷守一、倉俣史朗、久里洋二、儘田能光、松本秋則、松本雅之、三澤憲司、最上壽之、元永定正、向井良吉、中橋克成、小田まゆみ、岡田謙三、岡本信治郎、坂口正之、笹山志保、佐藤忠良、U.G.サトー、佐藤慈男、重村三雄、シノダ・ユウ、須賀啓、鈴木治、鈴木慶則、高木敏行、高橋秀、田中毅、タイガー立石、戸田正寿、土谷武、鶴岡政男、宇治山哲平、浮川秀信、渡辺豊重、籔内佐斗司、山本正道、矢崎虎夫、スタジオ 65〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代のユーモア

埼玉県立近代美術館　1984 年 10 月

匠 秀夫：「現代のユーモア」展にあたって

佐藤忠良、岡本信治郎、赤瀬川原平、福田繁雄：〔作家のことば〕

山口昌男：絵画と笑い－カーニバル的想像力

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、和光大

現代のセルフポートレート ●

欧文タイトル：「SELF-PORTRAIT TODAY」

会期：1985 年 8 月 22 日－10 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：天野博之、靉嘔、福岡道雄、古沢岩美、平賀敬、池田満寿夫、今井祝雄、石原友明、筧忠治、鴨居玲、絹谷幸二、北脇昇、鯉江良二、小松崎邦雄、久里洋二、郭徳俊、前田青邨、松井憲作、三尾公三、宮脇愛子、中西學、中山正樹、野田哲也、奥谷博、奥山民枝、大塚つとむ、齋藤研、斎藤三郎、斎藤真一、下村良之介、四宮金一、杉原玲子、杉山知子、鈴木実、高松次郎、東野芳明、鶴岡政男、上田薫、宇治山哲平、魚田元生、山口勝弘、山本タカト、山本容子、横尾忠則、吉村芳生〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代のセルフポートレート

埼玉県立近代美術館　1985 年 8 月

桑原住雄：自画像への仮説

岩井 寛：セルフポートレート論考

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

瑛九とその周辺 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 6 月 14 日－8 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／9 月 6 日－28 日　宮崎県総合博物館／10 月 4 日－10 月 27 日　和歌山県立近代美術館

主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

出品：瑛九、靉嘔、池田満寿夫、泉茂、オノサト・トシノブ、長谷川三郎、早川良雄、細江英公、吉原英雄〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

瑛九とその周辺　　埼玉県立近代美術館編

読売新聞社・美術館連絡協議会　1986 年 6 月

久保貞次郎：瑛九とその周辺

瀬木慎一：瑛九という画家

靉 嘔：〈デモクラート〉補遺

池田満寿夫：私のなかの瑛九

オノサト・トシノブ：瑛九

長谷川三郎：手紙《瑛九さんへ》

早川良雄：瑛九さんの思い出

細江英公：瑛九は光の粒子、いまだにぼくの内部で現象中である

吉原英雄：一本の赤いバラ

大久保静雄、長谷川てい：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

現代の「白と黒」●

欧文タイトル：「BLACK AND WHITE IN ART TODAY」

会期：1986 年 10 月 5 日－12 月 14 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：I 色としての白と黒；五十嵐彰雄、狗巻賢二、大沢昌助、清川泰次、須部佐知子、崔明永、鄭相和、ピエロ・マンゾーニ、山田正亮、吉原治良、天野純治、因藤壽、菊畑茂久馬、桑山忠明、リチャード・セラ、浜田浄、原口典之、古川吉重、ジョン・マクロフリン、村井正誠、村上友晴。II 対話する白と黒；青木洋子、浅野弥衛、ケンシ、白髪一雄、ピエール・スーラ―ジュ、孫雅由、朴栖甫、浜田浄(重)、ルチオ・フォンタナ、ジャクソン・ポロック、松谷武判、アンリ・ミショー、吉田稔郎、李禹煥、伊丹潤、榎倉康二、郭仁植、田部井勤、富岡惣一郎、オットー・ピーネ、山口正城、磯田幹、今井瑾郎、遠藤利克、ジュゼッペ・カポグロッシ、河原温、ジョセフ・コスス、斎藤義重、菅木志雄、高松次郎、田代睦三、建畠覚造、長谷光城、難波京子、ジャン＝ピエール・レイノー、若林奮、伊藤公象、岡部昌生、柴田美千里、清水晃、高橋秀、ジャン・ティンゲリー、ジャン・デュビュッフェ、ルイーズ・ニーヴェルソン、林康夫、ロバート・マザーウェル。III 明暗にともなう白と黒；岡田真宏、エンリコ・カステラーニ、高崎元尚、福岡道雄、古井洵、安達武生、池田喜重、ヴィクトル・

ヴァザルリ、岡田真宏(重)、ハインツ・マック、松本旻、ロイ・リキテンスタイン〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代の「白と黒」

埼玉県立近代美術館　1986 年 10 月

田中幸人：闇の中の顚末記〈「現代の白と黒」展に寄せて〉

中原佑介；現代美術の白と黒

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代のイコン〈かみとひとともののときのなかに〉●

欧文タイトル：「Icons in Contemporary Art」

会期：1987 年 6 月 13 日－8 月 2 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：秋元雄史、荒川修作、荒木高子、石原友明、一原有徳、岩井俊雄、因藤壽、上村次敏、魚田元生、栄久庵憲司、遠藤利克、小作青史、小澤喜、小山田二郎、香月泰男、金子國義、鴨居玲、河原温、木村賢太郎、木村直道、鯉江良二、小林正人、サイトウマコト、櫻井宏哉、島根紹、鈴木久雄、髙崎正治、高松次郎、田窪恭治、辻晋堂、寺田真由美、長澤英俊、中西夏之、深井隆、福沢一郎、古郡弘、星野真吾、星野美智子、本郷新、前田常作、松本雅之、三尾公三、三上誠、宮本隆司、村上華岳、村上善男、李田たけを、八木一夫、山下菊二、横尾忠則、吉江庄蔵、淀井敏夫、渡辺明〔出品作家一覧順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代のイコン〈かみとひとともののときのなかに〉

埼玉県立近代美術館　1987 年 6 月　英文併載

多木浩二：変容する〈イコン〉

横尾忠則：作品“GEOCHEMISTRY”と「かみ」

高松次郎：影のシリーズについて〈いまの時点から〉

遠藤利克：エピタフ II

河原 温：〔ことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

動きの表現 ●

欧文タイトル：「MOVEMENT & MODERN ART」

会期：1988 年 10 月 8 日－12 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：伊藤隆道、岩井俊雄、片江政敏、河原温、菊竹清文、松本秋則、宮島達男、野村仁、岡本敦生、鴫剛、白髪一雄、高田洋一、田中薫、内田晴之、山口勝弘〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

動きの表現

埼玉県立近代美術館　1988 年 10 月　主に英文併載　付録・驚き盤

松岡正剛：日本美術における動きと破れ

前山裕司：20 世紀美術と動き

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

地・間・余白〈今日の表現から〉●

欧文タイトル：「The Space：Material, Tension, Vacancy in Japanese Contemporary Art」

会期：1989 年 2 月 3 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：安達武生、荒川修作、荒木高子、池田遙邨、出原栄一、井田照一、伊藤公象、糸園和三郎、井上有一、岩谷徹、榎倉康二、遠藤享、岡田謙三、岡部昌生、岡本敦生、小倉遊亀、角永和夫、金重陶陽、上矢津、河口龍夫、清川泰次、国島征二、久野真、昆野恆、斎藤隆、サイトウ・マコト、里中英人、柴田耕作、菅木志雄、勝呂忠、関根伸夫、高木修、高松次郎、高柳裕、田中信太郎、津高和一、土屋公雄、堂本尚郎、徳岡神泉、永井一正、中岡慎太郎、長谷光城、長野垤志、中村孝平、中山正樹、浜口陽三、速水史朗、福岡道雄、福田平八郎、星襄一、保科豊巳、杢田たけを、元永定正、吉原治良、若林奮〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

地・間・余白〈今日の表現から〉

埼玉県立近代美術館　1989 年 2 月

栗田 勇：日本人の美について〈地・間・余白〉

河口龍夫：「関係の場」としての地

津高和一：逆算する美意識〈間、余白について〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

アート・エキサイティング'89 現在を超えて〈日豪交換現代日本美術展〉●

欧文タイトル：「ART EXCITING '89-beyond the today's being-」

会期：1989 年 6 月 17 日－7 月 23 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：平面；靉嘔、井田照一、榎倉康二、岡部昌生、河口龍夫、河内成幸、絹谷幸二、黒崎彰、黒田克正、小林敬生、鴫剛、白髪一雄、杉本博司、十河雅典、中林忠良、櫃田伸也、平賀敬、森岡完介、森村泰昌、山本富章、吉澤美香、吉田克朗、吉永裕、李禹煥。立体ほか；池田宗弘、岩井俊雄、岡本敦生、草間彌生、菅木志雄、高田洋一、田窪恭治、土屋公雄、戸谷成雄、中岡慎太郎、深井隆、舟越桂、松本秋則、三島喜美代、三輪和彦、最上壽之、籔内左斗司、小本章&パット・ホフィー〔カタログ収載順〕

〇展覧会カタログ

アート・エキサイティング'89 現在を超えて〈日豪交換現代日本美術展〉

埼玉県立近代美術館　1989 年 6 月

本間正義：現代美術の日本

靉嘔、井田照一、榎倉康二〔再録〕、岡部昌生、河口龍夫、河内成幸、絹谷幸二、黒崎彰、黒田克正、小林敬生、鴫剛、白髪一雄、十河雅典、中林忠良、櫃田伸也、平賀敬、森岡完介、森村泰昌、山本富章、吉澤美香、吉田克朗、吉永裕〔2 行〕、李禹煥、池田宗弘、岩井俊雄、岡本敦生、草間彌生、菅木志雄、高田洋一、田窪恭治、土屋公雄、戸谷成雄、中岡慎太郎、深井隆、舟越桂、松本秋則、三島喜美代、三輪和彦、最上壽之、籔内左斗司、小本章：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

現代の美術～アメリカと日本〈滋賀県立近代美術館所蔵名品展〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 4 月 6 日－5 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：イサム・ノグチ、今井俊満、宇佐美圭司、加納光於、桑山忠明、斎藤義重、白髪一雄、菅井汲、高松次郎、田中敦子、堂本尚郎、中西夏之、元永定正、山口長男、山田正亮、李禹煥〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代の美術～アメリカと日本〈滋賀県立近代美術館所蔵名品展〉

埼玉県立近代美術館　1991 年 4 月

高橋佐智子：戦後アメリカ美術の流れ〈抽象表現主義からポップ・アートまで〉

小林昌夫：戦後日本美術の流れ〈出品作家を中心として〉

松永康、中村誠：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

線の表現〈眼と手のゆくえ〉●

欧文タイトル：「LINE IN CONTEMPORARY ART　The Destination of Eyes and Hands」

会期：1991 年 9 月 10 日－10 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：荒川修作、浅野弥衛、安土修三(ガリバー)、瑛九、葩島庸二、浜田浄、原裕司、原口典之、羽田野和夫、早川重章、堀浩哉、堀内正和、市川恒治、池田良二、今井俊満、稲憲一郎、猪熊弦一郎、伊藤隆道、金山明、北辻良央、北澤一伯、工藤哲巳、黒崎俊雄、桑原盛行、李禹煥、宮島達男、宮脇愛子、元永定正、向井修二、村上善男、中西夏之、野村仁、逢坂卓郎、大坪真一郎、朴栖甫、斎藤義重、坂井ナイーバ健吾、佐藤時啓、新藤建吉、白髪一雄、高松次郎、竹山聖、建畠覚造、辰野登恵子、トキ・コウジ、津久井利彰、上田和則、若松光一郎、山田正亮〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

線の表現〈眼と手のゆくえ〉

埼玉県立近代美術館　1991 年 9 月

田中幸人：線のコスモロジー
千葉成夫：線と輪郭をめぐる断想
大久保静雄：〈線の表現－眼と手のゆくえ〉のために
大久保静雄、大越久子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

開館 10 周年記念展「アダムとイヴ」●

欧文タイトル：「Tenth Anniversary Exhibition Adam and Eve」
会期：1992 年 10 月 10 日－12 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：愛の寓話；阿部展也、靉嘔、宮本三郎、菅井汲、奥山民枝。恋の階段；瑛九、山中春雄、池田満寿夫、絹谷幸二、山本容子、斎藤真一、横尾忠則、間島領一、荒木経惟、大森博之、中原浩大。欲望の構図；三尾公三、合田佐和子、四谷シモン、鷲見麿、渡辺恂三、金子國義、草間彌生、平賀敬。存在の遠近；細江英公、高松次郎、魚田元生、S to S(前本彰子＋仁科茂)、イケムラレイコ、森村泰昌、中村公太郎〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品の日本作家を収載。
○展覧会カタログ
開館 10 周年記念展「アダムとイヴ」
埼玉県立近代美術館　1992 年 10 月
田中幸人：都市づくりの発信基地として〈開館 10 周年を迎えて〉
水野 隆：はじめに
高階秀爾：西欧美術における男女像
伊藤俊治：20 世紀の「愛」と「性」のゆくえ
池田満寿夫：マネキン〔再録〕／横尾忠則：ドリーム・コンタクト／草間彌生・作詞：「待ちくらしのみ」「血の海へ流そう」／奥山民枝：山水戀圖
平野 到：ウーライ/マリーナ・アブラモヴィッチ〈30.11.1975→27.6.1988〉
前山裕司：身体から/身体へ
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ニュー・ヴィジョン・サイタマ 手わざと現代 ●

欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA　Art by Hand : A Natural Way in Contemporary Art」
会期：1993 年 2 月 6 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：橋本真之、スタン・アンダソン、永山聡子〔作家解説順〕
○展覧会カタログ
ニュー・ヴィジョン・サイタマ 手わざと現代
埼玉県立近代美術館　1993 年 2 月　第 1 回展　別冊ドキュメント編共 2 冊

松永 康：序文

松永 康：作家解説

梅津元編：年譜・主要参考文献

橋本真之・永山聡子・スタン・アンダソン、小久保さわ子・スタン・アンダソン・永山聡子・橋本真之・今泉省彦・石川健二、橋本真之・笹山央・永山聡子・スタン・アンダソン：〔検討会の発言の抜粋〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

矩形の森――思考するグリッド ●

欧文タイトル：「CROSS AND SQUARE－GRIDS」

会期：1994 年 2 月 5 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：分割と展開；ピエト・モンドリアン、ウルリッヒ・リュックリーム、江上計太、山田正亮。連続と集積；カール・アンドレ、ドナルド・ジャッド、アンディ・ウォーホル、磯辺行久、草間彌生。ずれと気配；倉重光則、菅木志雄、田中栄吉、中里斉、中村一美。構造と意味；ギルバート&ジョージ、ピーター・ハリー、パウル・クレー、トーマス・ロッハー、ジャン＝ピエール・レイノー、アド・ラインハート、荒川修作、伊藤義彦、松本旻〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

矩形の森――思考するグリッド

埼玉県立近代美術館　1994 年 2 月　主に英文併載

平野 到：はじめに／作家解説

早見 堯：20 世紀絵画におけるグリッド

平野到、中村誠、伊豆井秀一、田中幸人：作家解説

川添 登：日本の空間とグリッド

柏木 博：管理と逸脱〈グリッド〉

青木 淳：近代建築とグリッド〈バックミンスター・フラーの話から〉

八束はじめ：都市のグリッド

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

果実の受胎 駒井哲郎と現代版画家群像 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 6 月 14 日－7 月 31 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：駒井哲郎、東谷武美、池田良二、磯見輝夫、小作青史、加納光於、鎌谷伸一、河内成幸、北川健次、清塚紀子、小林清子、白井昭子、辰野登恵子、田村文雄、中林忠良、野田哲也、馬場章、原健、柳澤紀子〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

果実の受胎 駒井哲郎と現代版画家群像

埼玉県立近代美術館　1994 年 6 月

岡田隆彦：駒井哲郎－西洋の誘惑

中村 稔：版画と詩との婚姻－駒井哲郎の詩画集

田中幸人：現代版画、その流動的な魅力について

東谷武美、池田良二、磯見輝夫、小作青史、加納光於、鎌谷伸一、河内成幸、北川健次、清塚紀子、小林清子、白井昭子、辰野登恵子、田村文雄、中林忠良、野田哲也、馬場章、原健、柳澤紀子：〔作家のことば〕

長谷川てい：駒井哲郎と現代の版画家たち

長谷川てい、金子百合子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

「うつすこと」と「見ること」〈意識拡大装置〉●

欧文タイトル：「VISUALIZATION－in the end of the twentieth century」

会期：1994 年 8 月 12 日－9 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：秋岡美帆、梅阪鶯里、瑛九、奥山順市、小山穂太郎、佐藤時啓、杉浦邦恵、高山正隆、津田佳紀、野島康三、野村仁、福原信三、山崎博、山中信夫〔出品作家一覧順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

「うつすこと」と「見ること」〈意識拡大装置〉

埼玉県立近代美術館　1994 年 8 月　主に英文併載

梅津 元：序論

伊藤俊治：視覚メディア装置の変容〈写真の誕生から現在まで〉

松浦寿夫：純粋な像

佐々木正人：なぜ〈雲〉がえらばれたのか〈エコロジカル・リアリズムの立場〉

梅津元、大久保静雄：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文

やわらかく 重く〈現代日本美術の場と空間 Grace & Gravity〉●

欧文タイトル：「Grace & Gravity」

会期：1995 年 6 月 10 日－7 月 30 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／9 月 15 日－1996 年 1 月 7 日　オハイオ州コロンバス・ライフ・ギャラリー　主催：埼玉県立近代美術館・オハイオ芸術協会

出品：藤本由紀夫、今村源、石川順惠、伊藤誠、小山穂太郎、村上慎二、笹岡敬、髙柳恵里、多和圭三、徳永雅之、尹熙倉〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

やわらかく 重く〈現代日本美術の場と空間 Grace & Gravity〉

埼玉県立近代美術館　1995 年 6 月　英文併載

田中幸人：生成への“ゆらぎ”〈若さとしての日本美術の特徴〉

前山裕司：空間と場――日本
藤本由紀夫、今村源、石川順惠、伊藤誠、小山穂太郎、村上慎二、笹岡敬、髙柳恵里、多和圭三、徳永雅之、尹熙倉：〔質問と回答、作家のことば〕
前山裕司、長谷川てい、伊豆井秀一：編集
□ドキュメント〔全 8 ページ〕
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉●
欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」
会期：1995 年 2 月 17 日－3 月 26 日　岐阜県美術館／4 月 15 日－5 月 28 日　広島市現代美術館／8 月 19 日－9 月 24 日　北九州市立美術館／10 月 7 日－12 月 17 日　北浦和・埼玉県立近代美術館
主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-4〕
――→岐阜県美術館〔巡回 4-1〕

火の起源と神話〈日中韓のニューアート〉●
欧文タイトル：「Origin and Myths of Fire：New Art from Japan, China and Korea」
会期：1996 年 10 月 12 日－12 月 8 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・朝日新聞社
出品：古郡弘、西雅秋、元慶煥、呂勝中、長澤伸穂、蔡國強、陸根丙、李相鉉、陳箴、徐冰、李升澤、黄鋭、土屋公雄〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
火の起源と神話〈日中韓のニューアート〉
埼玉県立近代美術館　1996 年 10 月　主に英文併載　別冊共 2 冊
田中幸人：万物の気脈〈新たな神話の創造へ向けて〉
中村 誠：「火の起源と神話－日中韓のニューアート－」展誌上ガイド
古郡弘、西雅秋、元慶煥、呂勝中、長澤伸穂、蔡國強、陸根丙、李相鉉、陳箴、徐冰、李升澤、黄鋭、土屋公雄：作家コメント
李仁範：韓国の現代美術の特質と問題〈アイデンティティの崩壊と浮遊〉
栗憲庭：90 年代中期コンテンポラリーアートの多元的動向
千葉成夫：「足の早いものは足が遅い－東アジアのなかの現代日本美術」
梅津元編：作家資料
中村 誠：作家紹介
鎌田東二：神道と火
久野 昭：自然哲学と火
田中豊助：錬金術と火
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

メキシコ現代版画と日本〈カイロン版画工房コレクションを中心に〉●
欧文タイトル：「México y Japón en la estampa contemporánea」

会期：1998 年 2 月 7 日－3 月 22 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／4 月 23 日－5 月 31 日　下関市立美術館

主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・メキシコ合衆国外務省〔巡回 2-1〕

出品：I メキシコ(カイロン版画工房コレクション)。II 日本；深沢幸雄、北川民次、ルイス・ニシザワ、高橋力雄、竹田鎮三郎、利根山光人、吉田穂高〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

メキシコ現代版画と日本〈カイロン版画工房コレクションを中心に〉

美術館連絡協議会・読売新聞社　1998 年 2 月　西文併載　小冊子＋カタログ 2 冊(ケース入)

長谷川てい：版画をとおして－メキシコと日本

本間正義：メキシコに関係した日本の版画家たち

長谷川てい、平野到、河田明久、濱本聰：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

ニュー・ヴィジョン・サイタマ〈消えてゆくもの 満ちてくるもの〉●

欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA」

会期：1998 年 10 月 3 日－12 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：黒田克正、稲憲一郎、小山穂太郎〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

企画展図録『ニュー・ヴィジョン・サイタマ－黒田克正、稲憲一郎、小山穂太郎』

埼玉県立近代美術館　1998 年 10 月　主に英文併載

松永 康：作家解説

長谷川てい・小林未央子編：資料

松永 康：あとがき

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、東大駒、国会図

自然を読む アナタノ自然ハドコニアル… ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 4 月 3 日－5 月 5 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：天空；瑛九、奥山民枝、野村仁、山崎博。現象；金昌烈、上田薫、榎倉康二、加納光於、中林忠良、杉浦邦恵、高松次郎、高田洋一。風景 光へ；川合玉堂。気へ；伊藤彬、木村忠太、小作青史、田淵安一、野見山暁治、秋岡美帆、戸谷成雄。都市へ；斎藤三郎、村上善男、鴫剛、野田哲也、四宮金一、三尾公三。萌しへ；佐藤時啓、池田良二、大浦一志、遠藤利克、宮島達男。夢想；草間彌生、駒井哲郎、逢坂卓郎〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

自然を読む アナタノ自然ハドコニアル…

埼玉県立近代美術館　1999 年 4 月

田中幸人：風景そして風景画とは?

長谷川てい：自然と美術表現

古山剛索、前山裕司、長谷川てい、小林未央子、松永康、大久保静雄、大越久子、小川浩史：作家紹介

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

「デモクラート 1951～1957 解放された戦後美術」展 ●

欧文タイトル：DEMOKRATO 1951-1957　The Liberation of Art in Postwar Japan

会期：1999 年 5 月 2 日－30 日　宮崎県立美術館／1999 年 6 月 8 日－7 月 11 日　和歌山県立近代美術館／1999 年 8 月 21 日－10 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館

主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

――→宮崎県立美術館〔巡回 3-1〕

呼吸する風景 長沢秀之、佐藤時啓、平田五郎 ●

欧文タイトル：「Breathing Landscapes」

会期：1999 年 6 月 22 日－8 月 8 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：佐藤時啓、長沢秀之、平田五郎〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

呼吸する風景 長沢秀之、佐藤時啓、平田五郎

埼玉県立近代美術館　1999 年 6 月　英文併載

大越久子：体で測る景

佐藤時啓、長沢秀之、平田五郎：作家の言葉　再録

大越久子・中村誠・今井隆裕・徳山由香編：年譜／参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

プラスチックの時代 美術とデザイン ●

欧文タイトル：「Plastic Age：Art and Design　Plastic Life / Plastic Culture Plastic Art / Art of Plastic」

会期：2000 年 10 月 7 日－12 月 10 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：第 1 部 Plastic Life / Plastic Culture。第 2 部 Plastic Art / Art of Plastic；斎藤義重、中西夏之、石原友明、柳幸典、中原浩大、松井紫朗、吉田宏、袴田京太朗、和田みつひと、横溝美由紀〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は第 2 部の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

プラスチックの時代 美術とデザイン

埼玉県立近代美術館　2000 年 10 月　企画展　主に英文併載　テキスト＋出品作品リス

ト＋カタログ＋Chronology(ビニール袋入)
大久保静雄：序――プラスチックに夢と希望を託して
梅津 元：プラスチック時代の芸術作品
遠藤 徹：擬態の果て：モノ化した仮想現実
竹原あき子：プラスチックの魅力
横井秀俊：プラスチックの成形――見えないプラスチック
阿木 譲：音楽におけるプラスチック感覚
鷲田清一：プラスチックな身体感覚
浅沼敬子編：参考文献・プラスチックの種類 1、2、3
梅津元、大越久子、大久保静雄、三井圭司、浅沼敬子：解説
浅沼敬子、三井圭司・作成：〔年表〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

企画展「木村直道＋遊びの美術」第 2 部 ●

欧文タイトル：「ART and PLAY」
会期：2006 年 1 月 7 日－2 月 5 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：マルセル・デュシャン、ジャン・アルプ、元永定正、立石大河亞(タイガー立石)、歌川国芳、山東京伝、田中偉一郎、山口晃、藤城凡子、エルヴィン・ヴルム〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
遊びの美術
埼玉県立近代美術館　2006 年 1 月 7 日　企画展
平野 到：遊美考
平野 到：解説
平野到、伊豆井秀一、梅津元：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

ニュー・ヴィジョン・サイタマ III〈7 つの眼×7 つの作法〉 ●

欧文タイトル：「New Vision Saitama III」
会期：2007 年 12 月 26 日－2008 年 1 月 27 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：古川勝紀、河田政樹、織咲誠、岡村桂三郎、宮本純夫、冨井大裕、志水児王〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
ニュー・ヴィジョン・サイタマ III〈7 つの眼×7 つの作法〉
埼玉県立近代美術館　2007 年 12 月 26 日　企画展　展示記録集共 2 冊(ケース入)
中村誠、前山裕司、大久保静雄、大越久子、伊豆井秀一、梅津元、平野到：〔作家論〕
古川勝紀、河田政樹、織咲誠、宮本純夫、冨井大裕：〔作家のことば〕
平野 到：あとがき

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

ニュー・ヴィジョン・サイタマ 4 静観するイメージ ●

欧文タイトル：「New Vision Saitama 4」

会期：2011 年 1 月 29 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：樋口恭一、秋元珠江、市川裕司、塩﨑由美子、榮水亜樹、荻野僚介、町田良夫〔図版掲収順〕

○展覧会カタログ

New Vision Saitama 4 静観するイメージ

埼玉県立近代美術館　2011 年 1 月 29 日　別冊(Documents)共 2 冊

伊豆井秀一、中村誠、渋谷拓、大越久子、前山裕司、平野到、梅津元：作家解説

秋元珠江「ひとつのそら」、市川裕司「螺旋体」、塩﨑由美子、町田良夫：作家のことば

平野 到：あとがきにかえて「NVS4／静観するイメージ」のユーザーズ・マニュアル

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

日本の 70 年代 1968-1982 ●

欧文タイトル：「The 70s in Japan 1968-1982」

会期：2012 年 9 月 15 日－11 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

註：粟津潔から横尾忠則まで多くの作家が出品されているようだが、出品リストでは作品と資料の判別がしがたく出品欄は保留とした。

○展覧会カタログ

日本の 70 年代 1968-1982

埼玉県立近代美術館・美術館連絡協議会　2012 年 9 月

前山裕司：70 年代の気分を読み解くために

平沢 剛：1970 年代の再検証

建畠 哲：転換点としての 70 年代美術

西村智弘：実験映画と自主制作の時代

飯沢耕太郎：ラディカリズムとコマーシャリズムの行方

前山裕司：回想の西武美術館

平野 到：COLUMN

前山裕司：COLUMN

梅津 元：COLUMN

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、都中図

すごいぞ、これは! ●

欧文タイトル：「This is Amazing!」

会期：2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／11 月 14 日－12 月 25 日　札幌芸術の森美術館／2016 年 1 月 7 日－14 日　高知・藁工ミュージアム、かるぽーと／2 月 2 日－10 日　福山・鞆の津ミュージアム

主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・埼玉県立近代美術館〔巡回 4-1〕

出品：阿部恵子、伊藤輝政、刈谷智恵、川上建次、喜舎場盛也、しろ、杉浦篤、田湯加那子、西脇直毅、藤岡祐機、本田雅啓、前田諒太郎〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

すごいぞ、これは!　　埼玉県立近代美術館編

心揺さぶるアート事業実行委員会事務局　2015 年 9 月 19 日　文化庁平成 27 年度戦略的芸術文化創造推進事業

前山裕司：すごいから、はじまる

塩田純一、天野一夫、渋谷拓、建畠哲、大内郁、保坂健二朗、前山裕司、真武真喜子、櫛野展正、宮城加奈子、近藤由紀、服部正：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

ニュー・ヴィジョン・サイタマ 5 迫り出す身体 ●

欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA　The Emerging Body」

会期：2016 年 9 月 17 日－11 月 14 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：青木真莉子、小左誠一郎、鈴木のぞみ、高橋大輔、二藤建人、中園孔二、小畑多丘〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ニュー・ヴィジョン・サイタマ 5 迫り出す身体

埼玉県立近代美術館　2016 年 10 月

青木真莉子、小左誠一郎、鈴木のぞみ、高橋大輔、二藤建人、小畑多丘：〔作家のことば〕

ナイル・ケティング：マクドナルド、星、迷路

大浦 周：迫り出す身体

大浦周・吉岡知子編：作家解説・略歴

大浦周、吉岡知子、平野到：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

版画の景色――現代版画センターの軌跡 ●

欧文タイトル：「A View of Prints：The Trajectory of the Gendai Hanga Center」

会期：2018 年 1 月 16 日－3 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：エディション作品に関わる作家；靉嘔、安藤忠雄、飯田善國、磯崎新、一原有徳、アンディ・ウォーホル、内間安瑆、大沢昌助、岡本信治郎、小田襄、小野具定、オノサト・トシノブ、柏原えつとむ、加藤清之、加山又造、木村光佑、木村茂、木村利三郎、草間彌生、

島州一、菅井汲、澄川喜一、関根伸夫、高橋雅之、高柳裕、戸張孤雁、難波田龍起、野田哲也、林芳史、藤江民、舟越保武、堀浩哉、堀内正和、本田眞吾、松本旻、宮脇愛子、ジョナス・メカス、元永定正、柳澤紀子、山口勝弘、吉田克朗、吉原英雄。コレクション作品に関わる作家；瑛九、駒井哲郎〔作家略歴順〕

〇展覧会カタログ

版画の景色――現代版画センターの軌跡

埼玉県立近代美術館　2018 年 1 月　3 分冊(ケース入)

荒井由泰、石田了一、見田隆博、木下哲夫、栗原敦、指田純子、関根伸夫、西岡文彦、西田考作、堀浩哉、柳正彦、柳澤紀子：アンケート：現代版画センターについて

梅津 元：考え続けるために、[現代] 版画 [センター] について

大浦周、五味良子、鴨原悠、前山裕司、吉岡知子編：作家略歴

梅津 元：時代の熱気を帯びた多面的な運動体〈オーガナイザーとしての現代版画センター〉

梅津元、五味良子、鴨原悠：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、国会図、都中図

モダンアート再訪ーダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●

欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」

会期：2018 年 2 月 3 日－3 月 18 日　鳥取県立博物館／4 月 7 日－5 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／6 月 2 日－8 月 26 日　広島市現代美術館／9 月 15 日－11 月 4 日　横須賀美術館

主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-2〕

――→鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

埼玉会館

第 2 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1968 年 9 月 22 日－10 月 6 日　松江・島根県立博物館／10 月 15 日－27 日　徳山・出光会館／11 月 7 日－16 日　富山県民会館／11 月 24 日－12 月 3 日　浦和・埼玉会館

主催：文化庁・埼玉県・埼玉県教育委員会〔巡回 4-4〕

――→島根県立博物館〔巡回 4-1〕

うらわ美術館

求心力／遠心力 うらわと現代の美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2001 年 4 月 24 日－7 月 8 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館

出品：Part.I；寺内萬治郎、髙田誠、瑛九、小松崎邦雄、百瀬浩、小川游、加藤勝重、櫻井英嘉、津久井利彰、細野稔人。Part.II；渋谷和良、石塚雅子、塩﨑由美子、青柳慶、秋元珠江、林武史〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

求心力／遠心力 うらわと現代の美術

うらわ美術館　2001 年 4 月　さいたま市誕生記念

森田 一：「浦和の美術」をめぐる求心力と遠心力

森田 一：作家略歴、作家・作品解説

倉林靖、本江邦夫、鷹見明彦、荻原佐和子、中村誠、千葉成夫：TEXT

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

〇展覧会事項

融点・詩と彫刻による ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 11 月 19 日－2003 年 2 月 11 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館

出品：河口龍夫、篠原資明、村岡三郎、建畠哲、若林奮、吉増剛造

〇展覧会カタログ

融点・詩と彫刻による

うらわ美術館　2002 年 11 月

坂本 満：謎と美術館

森田 一：詩と彫刻の融点／三つの相

篠原資明：光と種子とマンダラと

建畠 哲：旅のコラボレーション

吉増剛造：「うらわ」まで

山田志麻子編：彫刻家×詩人略年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、東大駒、国会図

まどわしの空間―遠近法をめぐる現代の 15 相 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 11 月 18 日－2004 年 2 月 22 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館

出品：川村直子、友利宇景、平松賢太郎、デイヴィッド・ホックニー、高松次郎、屋代敏博、ヤン・ディベッツ、ジョルジュ・ルース、鯨津朝子、小本章＋永原ゆり、三尾公三、福田繁雄、アンソニー・グリーン、中村宏、タイガー立石〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

まどわしの空間―遠近法をめぐる現代の 15 相

うらわ美術館　2003 年 11 月

坂本 満：線遠近法の「約束ごと」とイリュージョニスム

森田 一：空間の変異譚／遠近法をめぐるささやかな試み

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、都中図

フルクサス展――芸術から日常へ ●

欧文タイトル：「Fluxus-Art into Life」

会期：2004 年 11 月 20 日－2005 年 2 月 20 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館

出品：靉嘔、ハイレッド・センター、和泉達、久保田成子、オノ・ヨーコ、斉藤陽子、塩見允枝子〔作家別索引順〕

註：出品欄は日本作家を収載した。

〇展覧会カタログ

フルクサス展――芸術から日常へ

うらわ美術館　2004 年 11 月　付・地図 1 枚(片面刷)　開館 5 周年記念

吉本麻美：展覧会にあたって

吉本麻美：コメント

秋山邦晴、靉嘔、塩見允枝子：座談会 フルクサス・ユニバース　再録

吉本麻美編：アーティスト・マップ

吉本麻美編：関連年表

吉本麻美、森田一：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 11 月 15 日－2009 年 1 月 25 日　うらわ美術館／4 月 4 日－5 月 17 日　八王子市夢美術館／8 月 29 日－10 月 12 日　足利市立美術館

主催：うらわ美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

出品：赤瀬川原平、木村恒久、中村宏、つげ義春、タイガー立石、宇野亜喜良、粟津潔、横尾忠則〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉

うらわ美術館・八王子学園都市文化ふれあい財団・足利市立美術館　2008 年 11 月

森田 一：氾濫するイメージ

森田一、滝口明子：解説

滝口明子編：作家略年譜、出品目録

森田一、滝口明子、川俣高人、江尻潔：編集

所蔵：□、東文研、都現美、横浜美、国会図、都中図

オブジェの方へ――変貌する「本」の世界 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 11 月 4 日－2010 年 1 月 24 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会

出品：1.海外の作品から。2.国内の作品から；松澤宥、柏原えつとむ、堀浩哉、李禹煥、河口龍夫、若林奮、淤見一秀、安部典子、福田尚代、加納光於、中村宏、山口勝弘、脇田愛二郎、嶋本昭三、柄澤齊、藤井敬子、村岡三郎、荒木高子、西村陽平、遠藤利克〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

オブジェの方へ――変貌する「本」の世界

美術館連絡協議会　2009 年 11 月　開館 10 周年記念

森田 一：オブジェの方へ――展覧会の入口あたりの断片的な話

所蔵：□、国新美、東文研、都現美

日本・オブジェ 1920－70 年代 断章 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2012 年 11 月 17 日－2013 年 1 月 20 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：I.マルセル・デュシャンと瀧口修造；マルセル・デュシャン、瀧口修造。II.新興美術運動とシュルレアリスム；中山岩太、山本悍右、植木昇、植田正治。III.オブジェの拡張；小原豊雲、勅使河原蒼風、熊倉順吉、八木一夫、林康夫、井上有一。IV.オブジェの氾濫；イサム・ノグチ、荒川修作、向井良吉、村岡三郎、三木富雄、工藤哲巳、赤瀬川原平、松澤宥。V.詩とオブジェ；北園克衛、伊藤元之、高橋昭八郎、新国誠一、向井周太郎。VI.オブジェ思想の超克へ；関根伸夫、李禹煥〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

日本・オブジェ 1920－70 年代 断章

美術館連絡協議会　2012 年 11 月

森田 一：オブジェ考、点描風に

森田一、滝口明子、金澤一志：〔章解説、解説〕

金澤一志：住人たち、すこし固い部屋の《詩とオブジェ》

森田一・滝口明子編：関連年表

滝口明子編：作家略歴

滝口明子編：主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、東大駒、国会図、都中図

川越市立美術館

タッチ、アート！体感する美術展 ●

欧文タイトル：「TOUCH, ART」

会期：2006 年 1 月 7 日－3 月 26 日　川越市立美術館　主催：川越市立美術館

出品：小原馨、高田洋一、徳田憲樹、原田和男、松井紫朗、光島貴之〔作品データ順〕

〇展覧会カタログ

タッチ、アート！体感する美術展

川越市立美術館　2006 年 1 月 7 日

山田明子：タッチ、アート！〈美術は楽しい〉

小原馨、高田洋一、徳田憲樹、原田和男、松井紫朗、光島貴之：コメント

相田祐次：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、国会図

ペインティングの現在〈4 人の平面作品から〉●
欧文タイトル：「Present-Day Paintings：Two-Dimensional Works of Four Artists」
会期：2015 年 10 月 31 日－12 月 23 日　川越市立美術館　主催：川越市立美術館
出品：荻野僚介、樺山祐和、高橋大輔、浅見貴子〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
ペインティングの現在〈4 人の平面作品から〉
川越市立美術館　2015 年 10 月
平野 到：絵画を生きる
濱田千里：ペインティングの現在〈4 人の作品から〉
荻野僚介、樺山祐和、高橋大輔、浅見貴子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

千葉県

千葉県立美術館

第 11 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：高知展；1977 年 11 月 19 日－12 月 4 日　高知県立郷土文化会館／徳島展；12 月 9 日－25 日　徳島県郷土文化会館／愛媛展；1978 年 1 月 7 日－22 日　愛媛県立美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 17 日　千葉県立美術館
主催：文化庁・千葉県立美術館〔巡回 4-4〕
――→高知県立郷土文化会館〔巡回 4-1〕

第 12 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：福井展；1978 年 10 月 22 日－11 月 5 日　福井県立美術館／大分展；11 月 21 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館／兵庫展；12 月 9 日－22 日　尼崎市総合文化センター 美術ホール／千葉展；1979 年 1 月 9 日－21 日　千葉県立美術館
主催：文化庁・千葉県立美術館〔巡回 4-4〕
――→福井県立美術館〔巡回 4-1〕

第 15 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：静岡展；1981 年 11 月 11 日－25 日　富士宮・富士美術館／愛知展；12 月 1 日－20 日　豊橋市美術博物館／富山展；1982 年 1 月 9 日－24 日　富山県民会館美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 11 日　千葉県立美術館

主催：文化庁・千葉県立美術館〔巡回 4-4〕
――→富士美術館〔巡回 4-1〕

千葉市美術館

Tranquility――静謐 ●

会期：1996 年 1 月 4 日－2 月 25 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館

出品：ニエレ・トローニ、ミシェル・ヴェルジュ、マリア・ノルトマン、杉本博司、宮島達男〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

Tranquility――静謐

千葉市美術館　1996 年 1 月　全 6 冊　主に英文併載

半田滋男：Tranquility

□杉本博司

加藤典洋：沈黙の隣り――杉本博司の「海景」

□宮島達男

宮島達男・半田滋男：地の天

註：出品作家 5 名がそれぞれ 1 冊ずつのカタログ構成となっていて、そのうち日本作家 2 名を記載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

戦後美術の断面－兵庫県立近代美術館所蔵・山村コレクションから ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 11 月 23 日－12 月 27 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館、協力：兵庫県立近代美術館

出品：津高和一、斎藤義重、山口長男、オノサト・トシノブ、菅井汲、磯辺行久、宇佐美圭司、須田剋太、菊畑茂久馬、関根美夫、高松次郎、篠原有司男、久野真、高橋秀、中里斉、植木茂、八木一夫、山口牧生、清水九兵衛、堀内正和、関根伸夫、吉村益信、赤瀬川原平、吉原治良、元永定正、白髪一雄、田中敦子、嶋本昭三、村上三郎、吉原通雄、向井修二、正延正俊、白髪富士子、浮田要三、山崎つる子、上前智祐、鷲見康夫、前川強、松谷武判、今井俊満、堂本尚郎、榎倉康二、朝比奈逸人、黒田アキ、山倉研志、中辻悦子、小野和則、米林雄一、小清水漸、岡田露愁、曽我孝司、三島喜美代、松井紫朗〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

戦後美術の断面－兵庫県立近代美術館所蔵・山村コレクションから

千葉市美術館　1996 年 11 月

尾崎信一郎：批評への意志〈山村コレクションの形成と特質〉

尾崎信一郎：「見ること」への意志〈山村コレクションの輪郭〉

建畠 哲：コレクターとは何か

山村徳太郎、山村徳太郎・山本進、萬木康博、増田洋、元永定正：文献抄　再録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

超克するかたち〈彫刻と立体〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 3 月 19 日－4 月 24 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・千葉日報社

出品：斎藤義重、土谷武、村岡三郎、福嶋敬恭、菅木志雄、小清水漸、八木正〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

超克するかたち〈彫刻と立体〉

千葉市美術館　1997 年 3 月　別冊(八木正ノート)共 2 冊

谷 新：“造形主義”を超えて－彫刻／立体の新しい空間

菅 木志雄：周囲に沿って、モノは渡る

藁科英也：八木正の作品－その展開と特質

藁科英也編：作家略歴

藁科英也編：参考文献

□別冊 八木正ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

「草月とその時代 1945-1970」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 10 月 17 日－11 月 29 日　芦屋市立美術博物館／12 月 5 日－1999 年 1 月 10 日　千葉市美術館

主催：千葉市美術館・朝日新聞社・草月とその時代展実行委員会、協力：財団法人草月会〔巡回 2-2〕

――→芦屋市立美術博物館〔巡回 2-1〕

ジ・エッセンシャル――逢坂卓郎、須田悦弘、大塚聡、渡辺好明 ●

欧文タイトル：「THE ESSENTIAL－TAKURO OSAKA, YOSHIHIRO SUDA, SATOSHI OTSUKA, YOSHIAKI WATANABE」

会期：2002 年 4 月 9 日－6 月 2 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館

出品：逢坂卓郎、須田悦弘、大塚聡、渡辺好明〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ジ・エッセンシャル――逢坂卓郎、須田悦弘、大塚聡、渡辺好明

〔千葉市美術館〕 2002 年 4 月 18 日

半田滋男：ジ・エッセンシャル

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

戦後日本デザインの軌跡 1953-2005 千葉からの挑戦 ●

欧文タイトル：「Contemporary Design in Japan 1953-2005 CHIBA, Where it started」

会期：2006 年 4 月 1 日－5 月 28 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・読売新聞東京本

社・美術館連絡協議会

註：出品された約 400 点の多くは、千葉大学工学部工業意匠学科の出身者たちのデザイン作品から構成されて、タイトルに「戦後日本デザインの軌跡」とあるが工業製品によるデザイン展となっている。参考までに採録しておいた。

〇展覧会カタログ

戦後日本デザインの軌跡 1953-2005 千葉からの挑戦

千葉市美術館・美術館連絡協議会　2006 年 4 月 1 日

森 仁史：日本デザインの戦後史――貫戦史からの展望

橋本優子：ステーションルネサンス時代のスペース・プランニング

宮崎紀郎、聞き手・森仁史：広がるデザインの世界

松本哲夫、石川弘、松丸武、渚徹、宮智英之助、赤瀬達三、御園秀一＋岡本浩志、児山啓一、宮城壮太郎、宇田川信学：インタビュー

森仁史・都築弘樹編：戦後デザイン史年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図

日本の版画 1941-1950「日本の版画」とは何か ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 1 月 12 日－3 月 2 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・東京新聞

出品：武井武雄、川上澄生、前川千帆、関野準一郎、石井鶴三、恩地孝四郎、北岡文雄、船崎光治郎、奥山儀八郎、平塚運一、川西英、勝平得之、ポール・ジャクレー、初山滋、山口進、馬淵聖、稲垣知雄、畦地梅太郎、上阪雅人、小野忠重、鈴木賢二・新居広治・滝平二郎、新居広治・牧大介・滝平二郎、小口一郎・鈴木賢二、新居広治、上野誠、滝平二郎、油井正次、小口一郎、山口源、品川工、棟方志功、斎藤清、駒井哲郎、浜田知明、浜口陽三、瑛九、泉茂、加藤正、福井良之助〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後(1946-)作品の出品作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

日本の版画 1941-1950「日本の版画」とは何か

千葉市美術館　2008 年 1 月　「日本の版画」シリーズ第 5 回展

西山純子：日本の版画・1941-1950・「日本の版画」とは何か

岩切信一郎：戦中戦後の出版と版画本

西山純子：章解説

西山純子：作家解説抄

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

国立美術館所蔵による 20 世紀の写真 ●

欧文タイトル：「20th CENTURY PHOTOGRAPHY」

会期：2008 年 11 月 1 日－12 月 14 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・京都国立近代美術館、出品協力：東京国立近代美術館・国立国際美術館

出品：野島康三、石元泰博、恩地孝四郎、瑛九、植田正治、小石清、大辻清司、北園克衛、

木村伊兵衛、土門拳、高松次郎、東松照明、奈良原一高、細江英公、森山大道、杉本博司、森村泰昌、畠山直哉〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

国立美術館所蔵による 20 世紀の写真

千葉市美術館　2008 年 11 月

倉石信乃：写真史へのコメント

水沼啓和、藁科英也、中西博之：章解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

瀧口修造とマルセル・デュシャン ●

欧文タイトル：「Shuzo Takiguchi and Marcel Duchamp」

会期：2011 年 11 月 22 日－2012 年 1 月 29 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館、協力：慶應義塾大学アート・センター、富山県立近代美術館

出品：I 1923 年以降のマルセル・デュシャン；安齊重男、ウーゴ・ムラス、マルセル・デュシャン、ジャック・ヴィヨン、ロベール・ルベル。II 瀧口修造とマルセル・デュシャン；瀧口修造、アンドレ・ブルトン、マルセル・デュシャン(重)、サルバドール・ダリ、マン・レイ、北代省三、高梨豊、ジャスパー・ジョーンズ、岡崎和郎、大辻清司、マックス・フーバー、上野紀子、中江嘉男、合田佐和子、鈴木亘、坪内一忠、ロベール・ルベル(重)、ジャン・ティンゲリー、荒川修作、ティニー・デュシャン、中西夏之、武満徹、マドリン・ギンズ、多田美波、赤瀬川原平、加納光於、野中ユリ、リチャード・ハミルトン、奈良原一高、塩崎有隆、ウーゴ・ムラス(重)。III 瀧口修造ゆかりの作家とマルセル・デュシャン；マン・レイ(重)、瀧口修造(重)、マドリン・ギンズ(重)、宮脇愛子、ジョセフ・コーネル、内田芳孝、ジャン・ティンゲリー(重)、ジャスパー・ジョーンズ(重)、荒川修作(重)、吉村益信、篠原有司男、工藤哲巳、赤瀬川原平(重)、岡崎和郎(重)、空閑俊憲、ジョン・ケージ、久保田成子、靉嘔、オノ・ヨーコ、松澤宥〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

瀧口修造とマルセル・デュシャン

千葉市美術館　2011 年 11 月 22 日

巖谷國士：瀧口修造とマルセル・デュシャン 1958-1968

笠井裕之：「後期瀧口」に近づくために〈1958 年の旅——リバティ・パスポート——オブジェの店〉

岡崎和郎・談、聞き手・水沼啓和：瀧口修造とデュシャンをめぐって

杉野秀樹：瀧口夫妻の眠る墓建立にまつわる話『冬の幻』を道標に

土渕信彦：瀧口修造の装幀と手作り本に関する一考察〈特に「仮綴風」をめぐって〉

水沼啓和、八木宏昌、稲塚展子：解説

朝木由香・笠井裕之・橋本まゆ・水沼啓和編：瀧口修造＝マルセル・デュシャン書簡資料集

朝木由香編：瀧口修造 マルセル・デュシャン関連年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

1968 年 激動の時代の芸術 ●

欧文タイトル：「1968：Art in the Turbulent Age」

会期：2018 年 9 月 19 日－11 月 11 日　千葉市美術館／12 月 1 日－2019 年 1 月 27 日　北九州市立美術館分館／2 月 10 日－3 月 24 日　静岡県立美術館

主催：千葉市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

出品：A 激動の 1968 年；東松照明、渡辺眸、浜口タカシ、北井一夫、橋下治、赤瀬川原平、中村宏、森山大道、福島菊次郎、城之内元晴、鶴岡政男、桑原史成、篠原有司男、木村恒久、原口典之、田村彰英、久保田博二、羽永光利、渡辺克巳、朝倉摂、横尾忠則、タイガー立石、粟津潔、堀浩哉、彦坂尚嘉、中西夏之。

B 1968 年の現代美術；赤瀬川原平(重)、羽永光利(重)、横尾忠則(重)、粟津潔(重)、山下菊二、梅田英俊、ケイト・ミレット、村井修、磯崎新、高松次郎、松本俊夫、秋山邦晴、杉浦康平、大辻清司、伊藤隆康、山口勝弘、河口龍夫、吉村益信、宮脇愛子、四谷シモン、伊坂芳太良、亀倉雄策、福田繁雄、石岡瑛子、東松照明(重)、木村恒久(重)、平田実、岩田信市〔信一〕、桜井孝身、尾花成春、北出幸男、秋山亮二、柏原えつとむ、鈴木慶則、関根伸夫、タイガー立石(重)、丹羽勝次、前田守一、飯田昭二。

C 領域を越える芸術；横尾忠則(重)、及川正通、粟津潔(重)、和田誠、羽永光利(重)、赤瀬川原平(重)、西村多美子、中谷忠雄、細江英公、中西夏之(重)、中村宏(重)、宇野亜喜良、宮井陸郎、渡辺藤一、佐藤亢、伊坂芳太良(重)、灘本唯人、高松次郎(重)、井上洋介、谷川晃一、田名網敬一、つげ義春、大崎紀夫、北井一夫(重)、林静一、立石紘一〔タイガー立石〕(重)、篠原有司男(重)、原榮三郎、藤本晴美、浜野安宏、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、山田塊也、おおえまさのり。

D 新世代の台頭；羽永光利(重)、森山大道(重)、高梨豊、中平卓馬、関根伸夫(重)、田中一光、李禹煥、菅木志雄、高松次郎(重)、小池一誠、中島興、松澤宥、柏原えつとむ(重)、小泉博夫、前川欣三、河原温、岡本はじめ、樋口茂、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー(重)、大辻清司(重)〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

1968 年 激動の時代の芸術

千葉市美術館・北九州市立美術館・静岡県立美術館　2018 年 9 月 19 日

水沼啓和：1968 現代美術の転換点

ウィリアム・マロッティ：代々木から一駅はなれて〈日本の 1968 年における新宿、そして暴力と曖昧さの政治性〉

水沼啓和、小松健一郎、川谷承子：章解説・作品解説

シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、林静一、羽根太朗、嶋田美子、松井茂、阪本裕文、石崎尚、梅津元、川谷承子：関連エッセイ

北井一夫、田名網敬一：インタビュー

所蔵：□、東文研、横浜美、東大駒、国会図

佐倉市立美術館

チバ・アート・ナウ'94 PAPER'S SPLENDOR ●

欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '94 Paper's splendor」

会期：1994 年 11 月 17 日－12 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：岩井壽照、永田哲也、中村功、蔀島庸二、原田ユリア、保科豊巳、吉永裕〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

チバ・アート・ナウ'94　PAPER'S SPLENDOR

佐倉市立美術館　1994 年 11 月　佐倉市制 40 周年記念特別展　第 1 回展

正木 基：現代美術における紙との“関係性”

岩井壽照、永田哲也、中村功、蔀島庸二、原田ユリア、保科豊巳、吉永裕：〔作家のことば〕

黒川公二：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

体感する美術'95 アートと遊ぼう、夏休み! ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 7 月 22 日－8 月 6 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：間島領一、王新平〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

体感する美術'95 アートと遊ぼう、夏休み!

佐倉市立美術館　1995 年〔7 月〕　第 1 回目

倉林 靖：体感する美術

大月浩子：美術館ワークショップの効能

永山智子：体感する美術"95 用語事典

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

チバ・アート・ナウ'95 鉄－四つの対話 ●

欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '95 iron-four dialogues」

会期：1996 年 1 月 23 日－2 月 12 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：岡田真宏、小泉俊己、田中ほむら、菱田祐一郎〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

チバ・アート・ナウ'95　鉄－四つの対話

佐倉市立美術館　1996 年 1 月 23 日　第 2 回展

早見 堯：「鉄」の二律背反性

黒川公二：鉄－四つの対話

岡田真宏、小泉俊己、田中ほむら、菱田祐一郎：〔作家コメント〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

体感する美術'96 アーティストと考えるサバイバル・ツール ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 7 月 20 日－8 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：秋山祐徳太子、浅野庚一、飯田啓子、飯村隆彦、池田龍雄、今井俊満、上原壽雄、江口週、エダ カルヴァイト、大嶽恵子、大槻孝之、小倉正史、小倉洋一、小沢剛、海﨑三郎、掛井五郎、風倉匠、鎌田豊成、神山明、北辻良央、木下宏、鞍掛純一、さかぎしよしおう、篠田守男、島袋道浩、白川昌生、関正司、曽根裕、立石大河亞、建畠哲、建畠朔弥、田名網敬一、多和圭三、椿昇、坪内一忠、歳森イサオ、中村ミナト、西村陽平、牛波、浜田剛爾、ピーター ベラーズ、樋口正一郎、ヒグマ春夫、舟越直木、古井洵、牧野辰雄、間島領一、最上壽之、八鍬瑞子、保田春彦、籔内佐斗司、山倉研志、湯瀬富美子、湯原和夫、吉野辰海、吉本義人、渡辺豊重〔図版収載順〕

註：吉川陽一郎はコメントのみで出品せず。

○展覧会カタログ

体感する美術'96 アーティストと考えるサバイバル・ツール

佐倉市立美術館　1996 年〔8 月〕　第 2 回目

小倉正史：美術館でサバイバル・ツールの展覧会にすること

永山智子：「サバイバル・ツール」ができるまで

秋山祐徳太子、池田龍雄、今井俊満、エダ カルヴァイト、大嶽恵子、小倉洋一、小沢剛、掛井五郎、立石大河亞、歳森イサオ、西村陽平、浜田剛爾、ピーター ベラーズ、樋口正一郎、ヒグマ春夫、舟越直木、八鍬瑞子、籔内佐斗司、湯瀬富美子、湯原和夫、吉川陽一郎：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

チバ・アート・ナウ'96 人工楽園／Artificial Paradise ●

欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '96 ARTIFICIAL PARADISE」

会期：1996 年 10 月 30 日－11 月 17 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：上野正夫、エサシトモコ、神山明、須田悦弘、鳥山豊、林範親〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

チバ・アート・ナウ'96　人工楽園／Artificial Paradise

佐倉市立美術館　1996 年 10 月 30 日　第 3 回展

鷹見明彦：工匠集／失楽園の装置について

黒川公二：チバ・アート・ナウ'96 人工楽園について

上野正夫、エサシトモコ、神山明、須田悦弘、林範親：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

体感する美術'97 まちへ出よう－風と精霊と人の声 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 7 月 20 日－8 月 10 日　佐倉市立美術館・市内新町周辺　主催：佐倉市立美術館

出品：牛島達治、嶋田英也、宮前正樹〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

体感する美術'97 まちへ出よう－風と精霊と人の声

佐倉市立美術館　1997 年〔7 月〕　第 3 回目　1 枚(両面刷)

牛島達治、嶋田英也、宮前正樹：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、江戸博、横浜美

体感する美術'97 まちへ出よう－風と精霊と人の声 DOCUMENT

佐倉市立美術館　1997 年〔8 月〕　第 3 回目

長田謙一：まちへ出よう 風と精霊と人の声

永山智子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

チバ・アート・ナウ'97 現代美術というジャンル ●

欧文タイトル：「CHIBA Art Now '97 A Field of "GENDAI BIJUTSU"」

会期：1998 年 2 月 22 日－3 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：天野純治、金子友紀、久保理恵子、多和圭三、西村陽平、間島秀徳〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

チバ・アート・ナウ'97 現代美術というジャンル

佐倉市立美術館　1998 年 2 月 22 日　ケース入

谷 新：ジャンルを超えて

黒川公二：現代美術というジャンルについて

久保理恵子、間島秀徳、天野純治、金子友紀、西村陽平：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

体感する美術'98 まちとアートのコミュニケーション ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 7 月 19 日－8 月 9 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：ワークショップ結果展示

○展覧会カタログ

体感する美術'98 まちとアートのコミュニケーション

佐倉市立美術館　1998 年〔9 月〕　第 4 回目

永山智子：〔ことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒

チバ・アート・ナウ'98 FREAKS〈境界線上の遊戯〉 ●

欧文タイトル：「CHIBA Art Now ’98　FREAKS」
会期：1998 年 11 月 15 日－12 月 20 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：落田洋子、柏木賢造、勝本みつる、立石大河亜、原高史〔出品作品一覧順〕
○展覧会カタログ
チバ・アート・ナウ’98 FREAKS〈境界線上の遊戯〉
佐倉市立美術館　1998 年 11 月 15 日
黒川公二：FREAKS－境界線上の遊戯－について
中村敬治：虎の威を借りて誅す
落田洋子、柏木賢造、勝本みつる、立石大河亞〔再録〕、原高史：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

体感する美術’99 ミエナイ・サクラヲ・ミル ●
欧文タイトル：「Field of Sensibility ’99」
会期：1999 年 7 月 17 日－8 月 8 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：資料展示
○展覧会カタログ
体感する美術’99 ミエナイ・サクラヲ・ミル
佐倉市立美術館　1999 年〔9 月〕　第 5 回目
長田謙一：真夏の昼と夜の夢
永山智子：IFS 日記
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、国会図

チバ・アート・ナウ’99 知覚の実験室 ●
欧文タイトル：「CHIBA Art Now ’99 Loboratory of the Senses」
会期：1999 年 11 月 14 日－12 月 19 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：斎藤美奈子、篠田太郎、富田俊明、藤原隆洋、安田佐智種〔出品作品一覧順〕
○展覧会カタログ
チバ・アート・ナウ’99 知覚の実験室
佐倉市立美術館　1999 年 11 月 14 日
千葉成夫：なかみとしてのインスタレーション
斎藤美奈子、篠田太郎、富田俊明、藤原隆洋、安田佐智種：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

体感する美術’2000 佐倉観光案内 ●
欧文タイトル：「Field of Sensibility 2000」
会期：2000 年 7 月 22 日－8 月 6 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：ワークショップ結果等の展示
○展覧会カタログ

体感する美術'2000 佐倉観光案内

佐倉市立美術館　2000 年〔7 月〕　第 6 回目

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

チバ・アート・ナウ'00 拡張する絵画－色彩による試み ●

欧文タイトル：「Chiba Art Now '00：Extending the Boundaries of Painting－Exploration of Color」

会期：2001 年 2 月 4 日－3 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：佐藤勲、紫牟田和俊、祐成政徳、向山喜章〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

チバ・アート・ナウ'00 拡張する絵画－色彩による試み

佐倉市立美術館　2001 年 2 月 4 日　英文併載

黒岩恭介：拡張する絵画

黒川公二：本展について

紫牟田和俊、祐成政徳、向山喜章：〔作家のコメント〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

体感する美術'2001 あつめる わける ならべる ミュージアムのたねあかし ●

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2001」

会期：2001 年 8 月 4 日－19 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：大森裕美子、ワークショップ結果展示

○展覧会カタログ

体感する美術'2001 あつめる わける ならべる ミュージアムのたねあかし

佐倉市立美術館　2001 年〔8 月〕　第 7 回目　付・別冊

大森裕美子編・デザイン：ワークショップ テキスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

チバ・アート・ナウ'01 絵画の領域 ●

欧文タイトル：「Chiba Art Now '01：Boundaries of Painting」

会期：2001 年 11 月 11 日－12 月 16 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：赤塚祐二、金田実生、中村一美、堀由樹子、松本春崇、山倉研志、吉川民仁〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

チバ・アート・ナウ'01 絵画の領域

佐倉市立美術館　2001 年 11 月 11 日　英文併載

倉林 靖：絵画の領域――自覚された失語症のあとで

堀由樹子、赤塚祐二、山倉研志、金田実生、吉川民仁、中村一美：インタビュー

松本春崇：コメント

黒川公二：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

体感する美術'2002「耳をひらいて」●

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2002　Open your ears」

会期：2002 年 7 月 20 日－8 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：ワークショップ結果展示

○展覧会カタログ

体感する美術'2002「耳をひらいて」

佐倉市立美術館　2002 年〔7 月〕　第 8 回目　付・CD

永山智子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

チバ・アート・ナウ'02 かたちの所以 ●

欧文タイトル：「CHIBA Art Now '00 Retracing the Paths」

会期：2002 年 11 月 23 日－12 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：鷲見和紀郎、土屋公雄、藤堂良浩、中村哲也、丸山富之〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

チバ・アート・ナウ'02 かたちの所以

佐倉市立美術館　2002 年 11 月 23 日　第 9 回展

黒川公二：本展について

高島直之：〈生きている空間〉と〈生ける現在〉

鷲見和紀郎、丸山富之、藤堂良浩、中村哲也、土屋公雄：〔作家への質問と回答〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

体感する美術'2003 ずこうのじかん 美術の時間 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 7 月 19 日－8 月 3 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：ワークショップ結果展示

○展覧会カタログ

体感する美術'2003 ずこうのじかん 美術の時間

佐倉市立美術館　2003 年〔7 月〕　第 9 回目

永山智子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

カオスモス'03 Mindscape ●

欧文タイトル：「Chaosmos '03：Mindscape」

会期：2003 年 8 月 30 日－9 月 28 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：倉本麻弓、福田尚代、藤城凡子、村上保、森山晶〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

カオスモス’03 Mindscape

佐倉市立美術館　2003 年 8 月 3 日　英文併載

鷹見明彦：偶然＋スケール＋時間＋ことば×夢

森山晶、村上保、福田尚代、倉本麻弓、藤城凡子：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

体感する美術’2004 POWER OF PLACE〈美術館のあるまち〉●

欧文タイトル：「POWER OF PLACE」

会期：2004 年 7 月 24 日－8 月 7 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：開発好明らによるワークショップ結果展示

○展覧会カタログ

体感する美術’2004 POWER OF PLACE〈美術館のあるまち〉

佐倉市立美術館　2004 年〔7 月〕　第 10 回目　付・DVD、双六

開発好明：発泡屋台、さくらテレビ

永山智子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

「世界の呼吸法－アートの呼吸 呼吸のアート」展 ●

欧文タイトル：「The Art of Breathing in the World－Art and Respiration」

会期：2005 年 7 月 9 日－9 月 4 日　佐倉・川村記念美術館／7 月 9 日－8 月 21 日　佐倉市立美術館　主催：川村記念美術館　共催：佐倉市立美術館

――→川村記念美術館〔ほぼ同時開催〕

カオスモス’05 辿りつけない光景 ●

欧文タイトル：「Chaosmos ’05：Unreal Reality」

会期：2006 年 1 月 31 日－3 月 5 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：大竹竜太、さわひらき、関根直子、田口和奈、ムラタ有子〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

カオスモス’05 辿りつけない光景

佐倉市立美術館　2006 年 1 月 31 日　英文併載

西村智弘：風景への戦略

黒川公二：「辿りつけない光景」について

ムラタ有子、大竹竜太、関根直子：作家へのインタビュー

田口和奈「制作プロセス」、さわひらき：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

カオスモス’07 さびしさと向きあって ●

欧文タイトル：「Chaosmos ’07：In the Face of Sadness」

会期：2007 年 11 月 16 日－12 月 24 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：石田徹也、菊池伶司、田畑あきら子、成瀬麻紀子、正木隆〔出品作品一覧順〕
○展覧会カタログ
カオスモス'07 さびしさと向きあって
佐倉市立美術館　2007 年 11 月 16 日　英文併載
布施英利：芸術は「痛み」に何ができるのか
黒川公二：痛みと天啓
田畑あきら子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

カオスモス'09 作家はつぶやく ●
欧文タイトル：「Chaosmos '09：Monologues in Solitude」
会期：2010 年 2 月 7 日－3 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：喜舎場盛也、戸來貴規、宮嶋葉一、吉田哲也、和田淳〔出品作品一覧順〕
○展覧会カタログ
カオスモス'09 作家はつぶやく
佐倉市立美術館　2010 年 2 月 7 日　英文併載
丹尾安典：独自の音符
黒川公二：「作家はつぶやく」について
宮嶋葉一：作家へのインタビュー
吉田哲也：〔作家のことば〕〔再録〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図

魔法の美術館 ●
欧文タイトル：「ART IN WONDER LAND」
会期：2016 年 2 月 6 日－3 月 27 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：坪倉輝明、緒方壽人、岡田憲一、重田佑介、HDMI、森脇裕之、的場やすし／山野真吾／徳井太郎、金箱淳一／猪口大樹／吉田真也、藤本直明、岡田憲一＋冷水久仁江(LENS)、小松宏誠〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
魔法の美術館
佐倉市立美術館　2016 年 2 月
西川可奈子：あとがき
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、国会図

カオスモス 5 一粒の砂に世界を見るように ●
欧文タイトル：「Chaosmos 5：To View a World within a Grain of Sand」
会期：2017 年 3 月 1 日－28 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：井川淳子、高瀬智淳、キューライス、満田晴穂、クリスティアーネ・レーア〔出品作品一覧順〕

〇展覧会カタログ

カオスモス 5 一粒の砂に世界を見るように

佐倉市立美術館　2017 年 3 月 1 日　英文併載

島 敦彦：搦め手から見る現代美術――佐倉市立美術館の果敢な試み

黒川公二：「一粒の砂に世界を見るように」について

井川淳子、キューライス、満田晴穂、クリスティアーネ・レーア：作家へのインタビュー

高瀬智淳「美術とのこと、職歴と制作。」、キューライス「《失われた朝食》について」「《Fast Week》について」「《すばらしい仕事》について」：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

茂原市立美術館・郷土資料館

「コンテンポラリー&トラッド〈郷土に息づく工芸・現代芸術〉」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 10 月 1 日－26 日　茂原市立美術館・郷土資料館　主催：茂原市立美術館・郷土資料館

出品：帆足みゆき、帆足まおり、深山美峰、土橋慶光、矢部宏、エサシトモコ、河本雅史、高澤正行、武荒信顕〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

「コンテンポラリー&トラッド〈郷土に息づく工芸・現代芸術〉」図録

茂原市立美術館・郷土資料館　1997 年 10 月 1 日　平成 9 年度特別展

舛田隆満：解説

帆足みゆき、帆足まおり、エサシトモコ、河本雅史、高澤正行、武荒信顕：〔作家のことば〕

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

東京都

東京都美術館（新館）

靉光・松本竣介そして戦後美術の出発 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1977 年 12 月 17 日－1978 年 2 月 26 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館

出品：靉光、松本竣介、麻生三郎、阿部展也、井上長三郎、岡本太郎、笠置季男、香月泰男、北脇昇、木内克、杉全直、建畠覚造、鶴岡政男、福沢一郎、古沢岩美、堀内正和、丸木位里、丸木俊、村井正誠、森芳雄、山口薫〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

靉光・松本竣介そして戦後美術の出発

東京都美術館　1977 年 12 月

朝日 晃：靉光, 松本竣介そして――

森田恒之：戦後美術の出発とその周辺

村井正誠・談：戦後美術の出発〈村井正誠氏に聞く〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

写真と絵画〈その相異〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1978 年 10 月 7 日－12 月 3 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：写真師の眼と油絵師の眼。写真の展開と画家の写真；瑛九。絵画は絵画、写真は写真；上田薫、松本旻、鴫剛〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

写真と絵画〈その相異〉

東京都美術館　1978 年 10 月 7 日　特別展図録第 4 号

萬木康博：写真師の眼と油絵師の眼

塩見隆之：絵画は絵画、写真は写真

上田薫、松本旻、鴫剛：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

近代日本美術の歩み展〈明治・大正から昭和へ〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：東京展・1979 年 9 月 1 日－30 日　東京都美術館企画展示棟／京都展・1979 年 10 月 6 日－28 日　京都市美術館

主催：東京都美術館・朝日新聞社〔巡回 2-1〕

出品：IV 戦後の美術；香月泰男、鶴岡政男、林武、森芳雄、猪熊弦一郎、脇田和、山口薫、

海老原喜之助、河原温、岡鹿之助、鳥海青児、小絲源太郎、糸園和三郎、福田豊四郎、東山魁夷、中村岳陵、横山操、加山又造、宇田荻邨、徳岡神泉、奥村土牛、平山郁夫、山本丘人、小野竹喬、山口華楊、吉岡堅二、髙山辰雄、木内克、柳原義達、菊池一雄、澤田政廣、舟越保武、佐藤忠良、山本豊市、駒井哲郎、浜田知明、池田満寿夫、浜口陽三、野田哲也、村井正誠、岡田謙三、難波田龍起、山口長男、今井俊満、白髪一雄、元永定正、堂本尚郎、オノサト・トシノブ、菅井汲、吉原治良、斎藤義重、川端実、杉山寧、植木茂、堀内正和、靉嘔、三木富雄、山口勝弘、豊福知徳、向井良吉、高松次郎、建畠覚造、三尾公三、宇佐美圭司、篠田守男、保田春彦、井上武吉、流政之、関根伸夫、榎倉康二〔出品目録順〕

註：出品のうち、I 近代日本美術の出発、II 明治末－大正期美術の展開、III 大正末－昭和前期の美術は対象外のため削除した。なお、III に収載されている福田平八郎は戦前作品(188《山桜》1943)のほか戦後作品(189《新雪》1948)が出陳される。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

近代日本美術の歩み展〈明治・大正から昭和へ〉図録

朝日新聞社東京本社　1979 年 9 月〔東京都美術館・京都市美術館〕

嘉門安雄：近代日本美術の流れ〈試論〉

細野正信、三木多聞、桑原住雄等：時代概観と作家略歴

中島理壽・野崎たみ子・萩原幸子編、牧野研一郎協力：近代日本美術に関する文献年表〈付：主要美術雑誌刊行年表〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代版画の一断面展 ●

欧文タイトル：「Japanese Contemporary Prints－its Technique and Representation」

会期：1980 年 10 月 4 日－11 月 30 日　東京都美術館　主催：東京都美術館

出品：凸版；棟方志功、山口源、萩原英雄、北岡文雄、吹田文明、吉田穂高、黒崎彰、両角修、日和崎尊夫。凹版；長谷川潔、浜口陽三、駒井哲郎、浜田知明、深沢幸雄、斎藤寿一、加納光於、池田満寿夫、中林忠良。平面；利根山光人、馬場檮男、小作青史、吉原英雄、原健、田村文雄、東谷武美。孔版；靉嘔、松本旻、木村光佑、野田哲也、斉藤智、森義利、福井良之助。版の応用；下谷千尋、島州一、榎倉康二、永井一正、高松次郎〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代版画の一断面展図録

東京都美術館　1980 年 10 月 4 日　特別展図録第 8 号

川合昭三：技法からみた戦後版画の変遷

吉田穂高：木版画の特性

中林忠良：銅版画の意味

吉原英雄：石版画の魅力

木村光佑：シルクスクリーンの可能性とその発展

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図、都中図

世界の現代版画 25 年展 ●

欧文タイトル：「The World in Contemporary Prints 1955-1980」

会期：1981 年 2 月 7 日－3 月 22 日　東京都美術館企画展示室／4 月 7 日－5 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館／5 月 16 日－6 月 7 日　広島県立美術館

主催：東京都美術館・朝日新聞社〔巡回 3-1〕

出品：尼野和三、靉嘔、榎倉康二、舩坂芳助、萩原英雄、萩原朔美、浜田知明、浜口陽三、原健、井田照一、池田満寿夫、上矢津、加納光於、木村秀樹、木村光佑、小山愛人、黒崎彰、日下賢二、李禹煥、松本旻、宮下登喜雄、村上明、永井一正、野田哲也、斉藤智、菅井汲、高松次郎、田中孝、若江漢字、山口源、横尾忠則、吉田穂高、吉原英雄、吉村芳生〔作家略歴順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

世界の現代版画 25 年展図録　　東京都美術館編

朝日新聞社　1981 年 2 月

本間正義：国際版画展について

熊谷伊佐子編：国際版画ビエンナーレについて

河合晴生編：技法解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

現代美術の動向 I 1950 年代――その暗黒と光芒展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1981 年 9 月 12 日－11 月 8 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館

出品：阿部展也、麻生三郎、朝妻治郎、森芳雄、浜田知明、鶴岡政男、丸木位里、丸木俊（赤松俊子）、井上長三郎、岡本太郎、村井正誠、難波田龍起、利根山光人、オノサト・トシノブ、杉全直、山口長男、斎藤義重、山口薫、川端実、末松正樹、前田常作、赤穴宏、山中春雄、藤松博、香月泰男、間所〔芥川〕紗織、朝倉摂、三上誠、横山操、比田井南谷、吉原治良、嶋本昭三、吉原通雄、吉田稔郎、白髪一雄、村上三郎、田中敦子、金山明、元永定正、今井俊満、堂本尚郎、田淵安一、瑛九、泉茂、靉嘔、池田満寿夫、山口勝弘、北代省三、福島秀子、駒井哲郎、加藤正、加納光於、漆原英子、吉井忠、山下菊二、曹良奎、中村宏、桂川寛、尾藤豊、吉仲太造、河原温、石井茂雄、池田龍雄、飯田善國、建畠覚造、向井良吉、堀内正和、毛利武士郎、植木茂、木村賢太郎、藤田昭子、篠田守男、井上武吉、森堯茂、阿井正典、八木一夫、辻晋堂〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向 I 1950 年代――その暗黒と光芒展図録

東京都美術館　1981 年 9 月 12 日　東京都美術館特別展図録第 9 号

萬木康博：1950 年代――その暗黒と光芒

河合晴生編：略年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大

駒、国会図、都中図

日本銅版画史展――キリシタン渡米から現代まで ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 10 月 1 日－11 月 28 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：長谷川潔、浜口陽三、関野準一郎、駒井哲郎、浜田知明、瑛九、菅野陽、深沢幸雄、斎藤寿一、池田満寿夫、加納光於、秀島由己男、中林忠良、池田良二、北川健次〔出品目録順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

日本銅版画史展――キリシタン渡米から現代まで 図録

東京都美術館　1982 年 10 月 1 日　特別展図録第 10 号

河合晴生：銅版画――日本における定着化

松木 寛：近世銅版画の展開とその影響

河合晴生：銅版画の技法と表現

松木寛・中島理壽・河合晴生編：日本銅版画史年表

中島理壽編：文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

現代美術の動向 II 1960 年代〈多様化への出発〉 ●

欧文タイトル：「Trends of Japanese Art in the 1960s」

会期：1983 年 10 月 22 日－12 月 18 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館

出品：靉嘔、赤瀬川原平、荒川修作、飯田善國、飯村隆彦、池田龍雄、池田満寿夫、磯辺行久、一原有徳、井上武吉、因藤壽、宇佐美圭司、江口週、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、加納光於、河口龍夫、川端実、河原温、菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、小島信明、駒井哲郎、斎藤義重、桜井孝身、清水晃、篠田守男、篠原有司男、菅井汲、関根伸夫、高松次郎、多田美波、立石紘一、建畠覚造、谷川晃一、中西夏之、中村宏、野田哲也、萩原英雄、平賀敬、深沢幸雄、吹田文明、堀内正和、松澤宥、三木富雄、宮脇愛子、向井良吉、村井正誠、村岡三郎、村上善男、毛利武士郎、最上壽之、保田春彦、山口勝弘、山口長男、横尾忠則、吉原英雄、吉村益信、若林奮〔索引順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向 II 1960 年代〈多様化への出発〉

東京都美術館　1983 年 10 月 22 日　東京都美術館特別展図録第 11 号

斉藤泰嘉：現代美術の動向 II――反芸術的傾向を中心に

中島理壽編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

現代美術の動向 III 1970 年以降の美術――その国際性と独自性 ●

欧文タイトル：「Trends of Contemporary Japanese Art 1970-1984―Universality / individuality」

会期：1984 年 10 月 20 日－12 月 16 日　東京美術館企画展示棟 主催：東京都美術館

出品：榎倉康二、小清水漸、菅木志雄、高山登、村上友晴、河原温、荒木高子、松澤宥、伊藤公象、高松次郎、鯉江良二、原口典之、長澤英俊、村岡三郎、李禹煥、田中泯〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代美術の動向 III 1970 年以降の美術――その国際性と独自性

東京都美術館　1984 年 10 月　東京都美術館特別展図録第 14 号

萬木康博：「1970 年以降の美術――その国際性と独自性」展について

中島理壽編：文献〈東京都美術館図書室の所蔵資料による〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

現代美術の 40 年〈新館開館 10 周年記念〉●

欧文タイトル：「10th Anniversary of New Building－40 YEARS OF JAPANESE CONTEMPORARY ART」

会期：1985 年 10 月 12 日－12 月 8 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館

出品：I 戦後美術の出発と具象絵画の流れ；松本竣介、靉光、鶴岡政男、麻生三郎、丸木位里、丸木俊、杉全直、北脇昇、阿部展也、浜田知明、靉嘔、池田満寿夫、中村宏、香月泰男、堀内正和、建畠覚造、II 戦後の抽象とアンフォルメルや具体の美術運動・村井正誠、難波田龍起、オノサト・トシノブ、山口長男、今井俊満、元永定正、白髪一雄、吉原治良、田中敦子、篠田守男、向井良吉、III 読売アンデパンダン展を中心とする反芸術運動とその後のポップ・アート的傾向・三木富雄、小島信明、工藤哲巳、荒川修作、高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之、篠原有司男、菊畑茂久馬、谷川晃一、岡本信治郎、横尾忠則、平賀敬、池田龍雄、草間彌生、IV ライト・アート・山口勝弘、河口龍夫、吉村益信、V もの派とインスタレーション・李禹煥、小清水漸、斎藤義重、菅木志雄、榎倉康二、高山登、伊藤公象、井上武吉〔図版収載順〕

出品：靉嘔、靉光、赤瀬川原平、麻生三郎、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、池田満寿夫、伊藤公象、井上武吉、今井俊満、榎倉康二、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、香月泰男、河口龍夫、菊畑茂久馬、北脇昇、草間彌生、工藤哲巳、小島信明、小清水漸、斎藤義重、篠田守男、篠原有司男、白髪一雄、菅木志雄、杉全直、高松次郎、高山登、建畠覚造、田中敦子、谷川晃一、鶴岡政男、中西夏之、中村宏、難波田龍起、浜田知明、平賀敬、堀内正和、松本竣介、丸木位里、丸木俊、三木富雄、向井良吉、村井正誠、元永定正、山口勝弘、山口長男、横尾忠則、吉原治良、吉村益信、李禹煥〔索引順〕

○展覧会カタログ

現代美術の 40 年〈新館開館 10 周年記念〉

東京都美術館　1985 年 10 月 11 日　東京都美術館特別展図録第 16 号

乙葉 哲：「現代美術の 40 年」展にあたって

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

布のかたち 糸のかたち ●

欧文タイトル：「FABRIC IN SPACE」

会期：1987 年 10 月 3 日－11 月 29 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：高木敏子、濱谷明夫、吉村正郎、堀内紀子、中川真木、末光泰彦、榛葉莟子、小林正和、古江尚子、車李南、徳重恵美子、植松奎二、田中秀穂、庄司達〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

布のかたち 糸のかたち

東京都美術館　1987 年 10 月 3 日　別冊共 2 冊　特別展図録第 18 号

真室佳武：今日のファイバーワーク〈布と糸の造形〉

熊谷伊佐子：布のかたち 糸のかたち

金子寛編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

「現代の土」展 ●

欧文タイトル：「ASPECTS OF CONTEMPORARY CLAY ART」

会期：1990 年 10 月 5 日－12 月 1 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：速水史朗、鯉江良二、國安孝昌、三島喜美代、荒木高子、杉浦康益、伊藤公象〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「現代の土」展

東京都美術館　1990 年 10 月 18 日　特別展図録第 20 号

乙葉 哲：現代美術における土の造形

速水史朗、鯉江良二、國安孝昌、三島喜美代、荒木高子、杉浦康益、伊藤公象：〔作家のことば〕

河合晴生編：年譜

鳥居正利＋河合晴生編：文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

「構造と記憶――戸谷成雄・遠藤利克・剣持和夫」展〈木による作品を中心として〉●

欧文タイトル：「STRUCTURE and REMEMBRANCE-TOYA, ENDO, KENMOCHI」

会期：1991 年 10 月 2 日－11 月 28 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：戸谷成雄、遠藤利克、剣持和夫〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「構造と記憶――戸谷成雄・遠藤利克・剣持和夫」展〈本による作品を中心として〉

東京都美術館　1991 年 10 月 15 日　特別展図録第 21 号

渡部葉子：序文

戸谷成雄：「表面」をめぐって

遠藤利克：見出された泉

剣持和夫：廃墟の出現

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

語り出す鉄たち〈今日の金属彫刻から〉●

欧文タイトル：「Metal Sculpture Today－iron, steel & stainless steel」

会期：1992 年 10 月 6 日－12 月 1 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：村岡三郎、若林奮、西雅秋、青木野枝、金沢健一、内田晴之、篠田守男〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

語り出す鉄たち〈今日の金属彫刻から〉

東京都美術館　1992 年 10 月 5 日　特別展図録第 22 号

真室佳武：金属彫刻〈その歩みと現在〉

村岡三郎、若林奮、西雅秋、青木野枝、金沢健一、内田晴之、篠田守男：作家の言葉

大賀洋介編：年譜

満園節子編：文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

現代絵画の一断面――「日本画」を越えて ●

欧文タイトル:「Beyond the“Nihonga”－An Aspect of Contemporary Japanese Paintings」

会期：1993 年 9 月 28 日－11 月 24 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：河嶋淳司、山崎宏、マコトフジムラ、斉藤典彦、岡村桂三郎、日高理恵子、竹内啓、尾長良範、武田州左、諏訪直樹、中上清、間島秀徳、村上隆〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代絵画の一断面――「日本画」を越えて

東京都美術館　1993 年 9 月 28 日　特別展図録第 23 号

加藤弘子：「日本画」を越えて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

魂の対話 エイブル・アート'97・東京展 ●

欧文タイトル：「ABLE ART '97 TOKYO」

会期：1997 年 7 月 31 日－8 月 13 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・日本障害者芸術文化協会・朝日新聞社

出品：みずのき寮の絵かきたち、西垣籌一、千葉盲学校の子どもたち、西村陽平〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

エイブル・アート'97・東京展「魂の対話」作品集

日本障害者芸術文化協会　1997 年 7 月　全 17 枚(ケース入)＋出品リスト

岡崎清子：創る時、人はひとりになる

所蔵：□

このアートで元気になる エイブル・アート'99 ●

欧文タイトル：「Art to Revitalize－ABLE ART '99 TOKYO」

会期：1999 年 2 月 16 日－3 月 22 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・日本障害者芸術文化協会・東京、朝日新聞社

出品：みずのき寮、やまなみ工房、すずかけ絵画クラブ、富士山弘願寺、造形物研究所(信楽青年寮)、工房絵、アトリエひこ、素心学院、川口太陽の家、野呂山学園、たんぽぽの家、四恩職業センター、風の工房、万葉荘園、善人工房、ひふみ園、徳岡麻実子、光島貴之、佐々木卓也、伊藤悦子、坂上チユキ、此花第 2 太平学園、アトリエ・ポレポレ〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

このアートで元気になる エイブル・アート'99

日本障害者芸術文化協会・東京　1999 年 2 月　英文併載

坂上チユキ：〔作家のことば〕

服部 正：「エイブル・アート」案内記

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

モナ・リザ 100 の微笑 ●

欧文タイトル：「Les 100 Sourires de Monna Lisa」

会期：2000 年 1 月 29 日－3 月 26 日　東京都美術館／4 月 4 日－6 月 11 日　静岡県立美術館／7 月 15 日－8 月 20 日　広島県立美術館

主催：東京都美術館・日本経済新聞社・テレビ東京〔巡回 3-1〕

出品：荒川修作、福田繁雄、福田美蘭、森村泰昌、ヨシダ・キミコ〔索引順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

モナ・リザ 100 の微笑

日本経済新聞社　2000 年 1 月　付・CD-ROM

ジャン＝ミシェル・リベット：モナ・リザの栄光

三浦篤：かくも永き戯れ〈《モナ・リザ》神話の変容〉

ジャン＝ミシェル・リベット、三浦篤：章解説

ジャン・シュユー：モナ・リザ見聞譚

藤原えりみ編：索引・作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

「Arts & Life：生きるための家」展 ●

欧文タイトル：「Arts & Life：Where will we live tomorrow?」

会期：2012 年 7 月 15 日－9 月 30 日　東京都美術館ギャラリーA・B　主催：東京都美術館・朝日新聞社

註：本展はコンペ形式で一般公募したもので、159 点の応募作品から最優秀賞(山田紗子)をはじめ 39 点が選出された。出品欄は一般公募なので割愛した。

○展覧会カタログ

「Arts & Life：生きるための家」展

東京都美術館　2012 年 7 月　東京都美術館リニューアル記念企画

小嶋一浩：審査講評

真室佳武：若き建築家への期待

小嶋一浩：雑木林のような空間

西沢立衛：人間像について

平田晃久：建築、これまでとこれから

藤本壮介：生きるための家について

河野佑美：私たちの「生きるための家」のために

河野佑美、平方正昭：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

都美セレクション 新鋭美術家 2013 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 2 月 19 日－3 月 7 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都歴史文化財団東京都美術館

出品：今林明子、岩崎純、岸野香、児島新太郎、嶋崎達哉、濱田富貴〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

都美セレクション 新鋭美術家 2013

東京都美術館　2013 年 2 月

真室佳武：「都美セレクション 新鋭美術家 2013」展に寄せて

武内厚子：美術公募団体の新鋭たち

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

都美セレクション 新鋭美術家 2014 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2014－From the Public Entry Exhibition」

会期：2014 年 2 月 19 日－3 月 7 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

出品：丸山強、吉田幸紘、原田圭、川島史也、本郷芳哉〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

都美セレクション 新鋭美術家 2014

東京都美術館　2014 年 2 月

真室佳武：「都美セレクション 新鋭美術家 2014」展について

丸山強、吉田幸紘、原田圭、川島史也、本郷芳哉：〔作家のことば〕

大橋菜都子：身近な世界へのまなざし――出品作品紹介

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

「楽園としての芸術」展 ●

欧文タイトル：「ART AS A HAVEN OF HAPPINESS」

会期：2014 年 7 月 26 日－10 月 8 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館

出品：しょうぶ学園、アトリエ・エレマン・プレザン

〇展覧会カタログ

「楽園としての芸術」展

東京都美術館　2014 年 7 月

中原淳行：楽園としての芸術〈アトリエ・エレマン・プレザンとしょうぶ学園〉

中原淳行：扉解説

福森伸、佐久間寛厚：〔ことば〕

中原淳行、水田有子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

都美セレクション 新鋭美術家 2015 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2015－From the Public Entry Exhibition」

会期：2015 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

出品：瀬島匠、高島圭史、高松和樹、田丸稔、山田彩加〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

都美セレクション 新鋭美術家 2015

東京都美術館　2015 年 2 月 19 日

瀬島匠、高島圭史、高松和樹、田丸稔、山田彩加：〔作家のことば〕

河合晴生：「都美セレクション 新鋭美術家 2015」展について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

都美セレクション 新鋭美術家 2016 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2016－From the Public Entry Exhibition」

会期：2016 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

出品：花澤洋太、森美樹、西村大喜、武田司、戸田麻子〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

都美セレクション 新鋭美術家 2016

東京都美術館　2016 年 2 月

花澤洋太、森美樹、西村大喜、武田司、戸田麻子：〔作家のことば〕

河村三枝子：都美セレクション 新鋭美術家 2016 出品作家、作品の紹介

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景 ●

欧文タイトル：「Tokyo Metropolitan Art Museum's 90th Anniversary Exhibition Dialogue with Trees－Five Stories of Rebirth and Renewal」

会期：2016 年 7 月 26 日－10 月 2 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館

出品：土屋仁応、田窪恭治、須田悦弘、國安孝昌、舟越桂〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景

東京都美術館　2016 年 7 月 26 日〔第 2 版・9 月 10 日〕　開館 90 周年記念展

真室佳武：東京都美術館開館 90 周年と記念展「木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景」に寄せて

田村麗恵：木々との再生――5 つの風景との出会い

小林明子、山村仁志、中原淳行：作家解説

山村仁志：再生をめぐって――東京都美術館と 5 つの風景

山村仁志編：関連年表――東京都美術館の 90 年と日本の木彫

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景展覧会記録集

東京都美術館　2016 年 8 月 20 日〔第 2 版・9 月 10 日〕　開館 90 周年記念展

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

都美セレクション 新鋭美術家 2017 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2017－From the Public Entry Exhibition」

会期：2017 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

出品：青木宏憧、大石朋生、斉藤里香、畠山昌子、増井岳人〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

都美セレクション 新鋭美術家 2017

東京都美術館　2017 年 2 月

青木宏憧、大石朋生、斉藤里香、畠山昌子、増井岳人：〔作家のことば〕

山中千紗子：美術における表現者たち〈新鋭美術家の紹介〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

現代の写実－映像を超えて〈上野アーティストプロジェクト〉 ●

欧文タイトル：「Ueno Artist Project：“Contemporary Realism－Transcending the Photograph and Video”」

会期：2017 年 11 月 17 日－2018 年 1 月 6 日　東京都美術館ギャラリーA・C　主催：東京都美術館

出品：小森隼人、塩谷亮、橋本大輔、小田野尚之、元田久治、蛭田美保子、佐々木里加、岩田壮平、稲垣考二〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代の写実－映像を超えて〈上野アーティストプロジェクト〉

東京都美術館　2017 年 11 月 16 日
山村仁志：現代の写実――映像、リアリティ、写実
山村仁志：作家解説
田村麗恵編：9 人が語る絵画と写実――作家 Q&A
山村仁志、早川典子、田村麗恵：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

BENTO おべんとう展 食べる・集う・つながるデザイン いただきます編 ●
欧文タイトル：「BENTO Design for Eating, Gathering and Communicating」
会期：2018 年 7 月 21 日－10 月 8 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館
出品：小倉ヒラク、大塩あゆ美、阿部了、マライエ・フォーゲルサング、北澤潤、小山田徹、森内康博〔出品リスト順〕
註：出品欄は個人作家を収載。
○展覧会カタログ
BENTO おべんとう展 食べる・集う・つながるデザイン いただきます編
東京都美術館　2018 年 7 月 20 日
熊谷香寿美：おべんとうのコミュニケーション・デザインの可能性
小倉ヒラク、大塩あゆ美、阿部了、マライエ・フォーゲルサング、北澤潤、小山田徹、森内康博、山本千織：インタビュー
稲庭彩和子：コラム
上條桂子、米津いつか、熊谷香寿美、稲庭彩和子：編集
註：本展のチラシに、展示室のインスタレーション風景等を収録した「ごちそうさま編」の刊行予告が記されている。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、横浜美、国会図、都中図

東京都現代美術館

日本の現代美術 1985-1995 ●
欧文タイトル：「ART IN JAPAN TODAY 1985-1995」
会期：1995 年 3 月 19 日－5 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館
出品：荒木経惟、蔡國強、遠藤利克、福田美蘭、舟越桂、笠原恵実子、川俣正、松井智恵、宮島達男、森村泰昌、長澤英俊、中村一美、杉本博司、辰野登恵子、土屋公雄、戸谷成雄、柳幸典、吉澤美香〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
日本の現代美術 1985-1995
東京都現代美術館　1995 年 3 月
嘉門安雄：あいさつ
矢口國夫：開館記念展「日本の現代美術 1985-1995」〈東京都現代美術館の開館と美術

の現況〉

塩田純一：1995 年の地図――日本美術の現在地

熊谷伊佐子：日本の現代美術この 10 年

宮下規久朗、加藤弘子、渡部葉子、南雄介、乙葉哲、平野千枝子、野口玲一、大賀洋介、武内厚子、林洋子、薩摩雅登、森千花、橋本啓子、関直子：作家解説／作家略歴・参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

レボリューション／美術の 60 年代〈ウォーホルからボイスまで〉●

欧文タイトル：「REVOLUTION：ART OF THE SIXTIES FROM WARHOL TO BEUYS」

会期：1995 年 9 月 30 日－12 月 10 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：フルクサス(靉嘔、小杉武久、久保田成子、オノ・ヨーコ、斉藤陽子、塩見充枝子、ワダ・ヨシマサ)、河原温、工藤哲巳、草間彌生、オノ・ヨーコ、パフォーマンス（久保田成子、工藤哲巳、草間彌生、オノ・ヨーコ）

註：出品欄は日本作家のみ収載した。フルクサスとパフォーマンスは「運動、グループ、傾向などによる項目(事項項目)」として扱われ、それぞれその項目に関わった作家の作品が出品されている。従って独立して「作家による項目(作家項目)」として作家解説が記されているのは河原温、工藤哲巳、草間彌生、オノ・ヨーコである。

〇展覧会カタログ

レボリューション／美術の 60 年代〈ウォーホルからボイスまで〉

東京都現代美術館　1995 年 9 月　主に英文併載　補遺 1 枚(二ツ折両面刷)

塩田純一：レボリューション――30 年後に

渡部葉子：境界を越える美術――ウォーホルからボイスまで

クローディア・グールド、アン・ブレムナー：振り返って：1960 年代のアメリカ美術

ジョン・トンプソン：リアリズム，ポップ，そして貧困

平野千枝子、宮下規久朗、林洋子、大賀洋介、南雄介、渡部葉子、武内厚子、熊谷伊佐子、乙葉哲、塩田純一：〔作家解説、事項等解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

日本の美術――よみがえる 1964 年 ●

欧文タイトル：「1964：A TURNING POINT IN JAPANESE ART」

会期：1996 年 1 月 13 日－3 月 24 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：日本画；安田靫彦、前田青邨、奥村土牛、小野竹喬、小倉遊亀、徳岡神泉、山口華楊、岩橋英遠、福田豊四郎、片岡球子、澤宏靱、吉岡堅二、北澤映月、東山魁夷、杉山寧、髙山辰雄、工藤甲人、森田曠平、岩崎巴人、小野具定、水田舜人、三上誠、大野俶崇、下村良之介、星野真吾、中村正義、加山又造、平山郁夫。油彩画；熊谷守一、坂本繁二郎、小絲源太郎、梅原龍三郎、北川民次、林武、岡鹿之助、福沢一郎、野口彌太郎、牛島憲之、荻須高徳、猪熊弦一郎、岡田謙三、鳥海青児、山口長男、小磯良平、海老原喜之助、田村一男、難波田

龍起、村井正誠、吉原治良、山口薫、森芳雄、香月泰男、川端実、坂本善三、麻生三郎、杉全直、菅井汲、元永定正、小野木学、白髪一雄、芝田米三、前田常作、吉仲太造、田口安男、山田正亮、桑山忠明、田中敦子、小野田實、宇佐美圭司、向井修二。版画；長谷川潔、浜口陽三、一原有徳、萩原英雄、清宮質文、浜田知明、駒井哲郎、福井良之助、深沢幸雄、吹田文明、加納光於、池田満寿夫、日下賢二。彫刻；柳原義達、堀内正和、佐藤忠良、八木一夫、建畠覚造、飯田善國、多田美波、井上武吉、篠田守男、江口週、小田襄、最上壽之、若林奮。反芸術的傾向；宮城輝夫、山下菊二、関根美夫、藤松博、松澤宥、山口勝弘、靉嘔、針生鎮郎、岡本信治郎、篠原有司男、村上善男、菊畑茂久馬、小島信明、中西夏之、荒川修作、磯辺行久、清水晃、高松次郎、福岡道雄、赤瀬川原平、三木富雄、森本紀久子、立石紘一。第32回ヴェネチア・ビエンナーレ；斎藤義重、オノサト・トシノブ、豊福知徳、堂本尚郎。時代のルポルタージュ；岡本太郎、桂ゆき、向井良吉、横山操、元永定正、上野泰郎、中村宏、渡辺恂三、横尾忠則、立石紘一〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

日本の美術――よみがえる1964年

東京都現代美術館　1996年1月

矢口國夫：1964年 / 東京オリンピック / そして……〈日本美術のひとつのターニング・ポイント〉

野口玲一：1964年の日本美術――アンフォルメルの影、その後の展開

藤井亜紀編、中島理壽監修：年表 1963－1965

藤井亜紀編、中島理壽監修：文献目録 1963－1965

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

近代都市と芸術展　東京：都市と芸術 1870-1996 ●

欧文タイトル：「LA VILLE MODERNE　TOKYO, LA VILLE MODERNE」

会期：1996年7月24日－9月16日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京ルネッサンス推進委員会・東京都現代美術館

出品：富岡畦草、木村恒久

註：出品欄は戦後作品の作家のみ収載した。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

近代都市と芸術展　東京：都市と芸術 1870-1996

東京都現代美術館　1996年7月24日

〔無署名〕：戦後の東京〈消えた街角－富岡畦草の定点撮影／木村恒久のバーチュオシティ〉〔解説〕

註：近代都市と芸術展のカタログは、ポンピドゥー・センターで開催されたものの巡回展である「ヨーロッパの近代都市と芸術」展カタログと本カタログの 2 分冊からなり、前者にはメイン論文の欧文版が 2 冊付けられている。副題に「1870-1996」とあるので本「現代美術展カタログ一覧」に収録したが、戦後日本作品の作家は 2 名のみである。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、和光

大、国会図、都中図

時間 / 視線 / 記憶－90 年代美術にみる写真表現〈コレクションによるテーマ展示〉●

欧文タイトル：「Surface Exposed：Photography in Art of the 90s」

会期：1997 年 6 月 20 日－8 月 17 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：杉本博司、小山穂太郎、石内都、石原友明、剣持和夫、畠山直哉〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

時間 / 視線 / 記憶－90 年代美術にみる写真表現〈コレクションによるテーマ展示〉

東京都現代美術館　1997 年 6 月

渡部葉子：時間 / 視線 / 記憶

林 洋子：さらされる表面 / さらされる皮膚 石内都「1906」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

建築の 20 世紀〈終わりから始まりへ〉●

欧文タイトル：「AT THE END OF THE CENTURY ONE HUNDRED YEARS OF ARCHITECTURE」

会期：1998 年 7 月 10 日－9 月 6 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・ロサンゼルス現代美術館・日本経済新聞社

出品：安藤忠雄、石井和紘、磯崎新、伊東豊雄、柄谷行人、菊竹清訓、黒川紀章、坂倉準三、篠原一男、杉本博司、谷口吉郎、丹下健三、土浦亀城、長谷川逸子、堀口捨己、前川國男、八束はじめ、山口文象、山田守、山脇巌、吉田五十八〔索引順〕

註：出品作家・建築家は索引に拠った。

○展覧会カタログ

建築の 20 世紀〈終わりから始まりへ〉

デルファイ研究所　1998 年 7 月 1 日

嘉門安雄：「建築の 20 世紀」展によせて

註：本展はロサンゼルス現代美術館の企画による国際巡回展で、本書はその展覧会カタログの日本語版である。なお、増刷（10 月 1 日）がある。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

マンガの時代〈手塚治虫からエヴァンゲリオンまで〉●

欧文タイトル：「The MANGA Age」

会期：1998 年 10 月 3 日－12 月 13 日　東京都現代美術館／1999 年 2 月 6 日－4 月 11 日　広島市現代美術館

主催：東京都現代美術館・朝日新聞社〔巡回 2-1〕

出品：26.アートとマンガとの間；相原コージ・竹熊健太郎、安西水丸、井口真吾、石ノ森章太郎、佐々木マキ、スージー甘金、高野文子、根本敬、畑中純、藤原カムイ、松本大洋、湯村輝彦＋糸井重里。27.現代美術とマンガ；ロイ・リキテンスタイン、タイガー立石、村上隆、奈良美智、太郎千恵蔵、西山美なコ〔出品リスト順〕

註：本展は手塚治虫、さいとう・たかを、白土三平、赤塚不二夫、藤子・F・不二雄ら多くの漫画家が出品されているが、上記 2 章のみを収載した。

〇展覧会カタログ

マンガの時代〈手塚治虫からエヴァンゲリオンまで〉

東京都現代美術館・広島市現代美術館　1998 年 10 月

山口昌男：戦後物語マンガ論－周縁の力

出原均、大賀洋介、岡本芳枝、堀田義隆：章解説

乙葉哲編：年表

村上知彦：「マンガ史」とはなにか－戦後マンガへのいくつかの視座

矢口國夫、大賀洋介、乙葉哲、出原均、岡本芳枝：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 1999 ひそやかなラディカリズム ●

欧文タイトル：「MOT Annual 1999 Modest Radicalism」

会期：1999 年 1 月 15 日－3 月 28 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：内藤礼、関口国雄、杉戸洋、髙柳恵里、丸山直文、吉田哲也、中沢研、河田政樹、小沢剛〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

MOT アニュアル 1999 ひそやかなラディカリズム 展覧会カタログ

東京都現代美術館　1999 年 1 月　第 1 回展

南 雄介：ひそやかなラディカリズム

内藤礼〔4 文字〕、関口国雄、杉戸洋〔2 行〕、髙柳恵里、丸山直文、吉田哲也、中沢研、河田政樹、小沢剛：〔作家自身によるステイトメント〕

橋本啓子編：作家略歴・参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 1999 ひそやかなラディカリズム〔鑑賞の手引き〕

東京都現代美術館　1999 年 1 月　第 1 回展

南 雄介：ひそやかなラディカリズム

内藤礼〔4 文字〕、関口国雄、杉戸洋〔2 行〕、髙柳恵里、丸山直文、吉田哲也、中沢研、河田政樹、小沢剛：〔作家自身によるステイトメント〕

所蔵：□、東近美、都現美(展示解説)、和光大

「アクション 行為がアートになるとき 1949-1979」●

欧文タイトル：「Out of Actions：Between Performance and the Object, 1949-1979」

会期：1999 年 2 月 11 日－4 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・ロサンゼルス現代美術館

出品：赤瀬川原平、金山明、久保田成子、工藤哲巳、草間彌生、村上三郎、中西夏之、小野洋子、嶋本昭三、白髪一雄、高松次郎、田中敦子〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載した。

〇展覧会カタログ

「アクション 行為がアートになるとき 1949-1979」カタログ 日本語版

東京都現代美術館　1999 年 2 月

リチャード・コシャレック：まえがき

ポール・シンメル：序/謝辞

ポール・シンメル：虚空への跳躍ーパフォーマンスとそのオブジェ

尾崎信一郎：身体と場――日本の戦後美術におけるアクション

ヒューバート・クロッカー：身振りとオブジェ――アクションという解放〈ヨーロッパにおけるパフォーマンス・アート〉

ガイ・ブレット：生の戦略――全体像と主眼点〈ブエノスアイレス/ロンドン/リオデジャネイロ/サンティアゴ 1960-1980 年〉

クリスティーン・スタイルズ：無垢な悦び――世界各地のアート・アクション

レスリー・キング＝ハモンド、ロウリー・ストークス・シムズ：動詞としての美術――進化する連続性　再録

岡村恵子：行為がアートになるとき――東京展によせて

藤井亜紀編：主要参考文献

塩田純一、岡村恵子、藤井亜紀：編集

註：このカタログはロサンゼルス現代美術館発行「Out of Actions：Between Performance and the Object, 1949-1979」展カタログの日本語版として編集・刊行されたもの。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

身体の夢 ファッション OR 見えないコルセット ●

欧文タイトル：「VISIONS OF THE BODY：FASHION OR INVISIBLE CORSET」

会期：1999 年 4 月 6 日－6 月 6 日　京都国立近代美術館／8 月 7 日－11 月 23 日　東京都現代美術館

主催：東京都現代美術館・京都服装文化研究財団・朝日新聞社、企画制作協力：京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

MOT アニュアル 2000 低温火傷 ●

欧文タイトル：「MOT ANNUAL 2000　Land/mind/body-scapes in the Age of Cold Burn」

会期：2000 年 1 月 18 日－3 月 26 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：平川典俊、中村政人、木村太陽、守章、高島陽子、ホンマタカシ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

MOT アニュアル 2000 低温火傷

東京都現代美術館　2000 年 1 月　別冊共 2 冊　主に英文併載(別冊：英文併載)

岡村恵子：「低温火傷」の時代に

平川典俊、中村政人〔英文〕、木村太陽、守章〔英文〕、高島陽子：〔作家自身によるテキスト〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

日本美術の 20 世紀　美術が語るこの 100 年 ●

欧文タイトル：「Japanese Art in the 20th Century」

会期：2000 年 9 月 15 日－11 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会

出品：IV 第 2 次大戦前後――抑圧と解放；福沢一郎、北脇昇、鶴岡政男、阿部展也、杉全直、井上長三郎、糸園和三郎、久保守、麻生三郎、朝妻治郎、山口薫、吉井忠、香月泰男、中村貞以、川崎小虎、小野竹喬、加藤太郎、恩地孝四郎、駒井哲郎、浜田知明。V 高度経済成長期――新しい美術への挑戦；岡本太郎、村井正誠、山口長男、難波田龍起、オノサト・トシノブ、瑛九、靉嘔、池田満寿夫、前田常作、山口勝弘、北代省三、福島秀子、池田龍雄、中村宏、桂ゆき、利根山光人、石井茂雄、吉仲太造、小山田二郎、吉原治良、嶋本昭三、金山明、元永定正、白髪一雄、田中敦子、松谷武判、田淵安一、堂本尚郎、今井俊満、菅井汲、野見山暁治、岡鹿之助、海老原喜之助、牛島憲之、脇田和、鳥海青児、小絲源太郎、曾宮一念、三上誠、大野俶嵩、不動茂弥、小倉遊亀、奥田元宋、加山又造、森田曠平、北澤映月、髙山辰雄、吉岡堅二、草間彌生、岡田謙三、山田正亮、磯辺行久、斎藤義重、村上善男、宇佐美圭司、郭徳俊、桑山忠明、小島信明、工藤哲巳、三木富雄、菊畑茂久馬、篠原有司男、荒川修作、中西夏之、赤瀬川原平、高松次郎、タイガー立石、岡本信治郎、横尾忠則、泉茂、池田満寿夫(重)、浜口陽三、吉原英雄、野田哲也、堀内正和、毛利武士郎、辻晋堂、山本豊市、村岡三郎、篠田守男、向井良吉、江口週、若林奮、建畠覚造。VI 美術の個別化と国際性――21 世紀に向けて；李禹煥、小清水漸、菅木志雄、榎倉康二、鴫剛、上田薫、彦坂尚嘉、堀浩哉、森村泰昌、中村一美、根岸芳郎、辰野登恵子、丸山直文、吉澤美香、木村光佑、下谷千尋、島州一、斉藤智、加納光於、原健、中林忠良、篠原有司男(重)、保田春彦、脇田愛二郎、土谷武、戸谷成雄、舟越桂〔出品リスト順〕

註：I 章は「近代市民意識の高まり――明治浪漫主義」、II 章は「大正の芸術運動と関東大震災」、III 章は「新思潮と日本――昭和前期」とある戦前期までと、本 IV 章以降の戦後期からとで構成されている。なお、「事項解説」は後半の戦後期の主要な展覧会やグループ等に絞って 11 ページにわたって解説をしている好資料である。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

日本美術の 20 世紀　美術が語るこの 100 年

東京都現代美術館　2000 年 9 月　東京 2000 年祭共催事業

福永 治：日本美術の 100 年－20 世紀末の地平から

乙葉 哲：東京都現代美術館コレクションについてーその群と流れ

福永 治：章解説

乙葉哲編：関連年表

乙葉哲編：事項解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ギフト・オブ・ホープ 21 世紀アーティストの冒険 ●

欧文タイトル：「The Gift of Hope」

会期：2000 年 12 月 16 日－2001 年 4 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会

出品：八谷和彦、カチョー、スラシ・クソンウォン、イー・ジンギョン〔李真京〕、リー・ミンウェイ〔李明維〕、大岩オスカール幸男、ナウィン・ラワンチャイクン、「時の蘇生」柿の木プロジェクト実行委員会、島袋道浩、ベアト・ストロイリ、山出淳也、ヤノベケンジ〔ポスター・クレジット順〕

○展覧会カタログ

ギフト・オブ・ホープ 21 世紀アーティストの冒険

東京都現代美術館　2000 年 12 月 16 日　ポスター12 枚＋展覧会カタログ＋展覧会カタログ補遺 1 枚〔函入り〕

佐倉良樹、塩田純一、オノ・セイゲン、南雄介：テキスト

スラシ・クソンウォン、イー・ジンギョン〔李真京〕、リー・ミンウェイ〔李明維〕、大岩オスカール幸男：〔作家のことば〕

ナウィン・ラワンチャイクン×インソン・ウォンサム：〔会話〕

山出淳也×鎮西芳美：〔メール交信〕

□展覧会カタログ

塩田純一：ギフト－希望の原理

塩田純一、南雄介、鎮西芳美、熊谷伊佐子、平野千枝子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

グローバル・ヴィジョン――1980 年代から今日まで ●

欧文タイトル：「Global Visions――Art after 1980 from the Museum Collection」

会期：2001 年 4 月 28 日－6 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：蔡國強、遠藤利克、河原温、菅木志雄、石内都〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

グローバル・ヴィジョン――1980 年代から今日まで

東京都現代美術館　2001 年 4 月　1 枚(両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、都中図

水辺のモダン〈江東・墨田の美術 墨東遊覧案内〉 ●

欧文タイトル：「Moderns by the Sumida River－Art in Eastern Tokyo from the Late Nineteenth Century to the Present－」

会期：2001 年 6 月 16 日－8 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会・読売新聞社

出品：VII 日常の風景；鈴木新夫、牛島憲之、曹良奎、浜口陽三、麻生三郎、谷内六郎、林忠彦、薗部澄、木村伊兵衛、田沼武能、師岡宏次、森山大道、細江英公、大西みつぐ、平嶋彰彦、内海三郎、兼平雄樹。X 記憶/記録；荒木経惟、山出淳也、土屋公雄、石内都、大岩オスカール幸男〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品を対象とした 2 つの章の作家を収載した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

水辺のモダン〈江東・墨田の美術 墨東遊覧案内〉

東京都現代美術館　2001 年 6 月

〔無署名〕:〔章解説 VII・X〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、都中図

MOT アニュアル 2002 フィクション?－絵画がひらく世界 ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2012　Fiction? Painting in the Age of Virtual」

会期：2002 年 1 月 19 日－3 月 24 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会

出品：今村哲、村瀬恭子、タナベマサエ、紺泉、柴田健治、蓜島伸彦、佐藤純也、落合多武〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2002 フィクション?－絵画がひらく世界

東京都現代美術館　2002 年 1 月　主に英文併載　補遺共 2 冊

平野千枝子：虚構の時代と絵画

今村 哲：〔作家のことば〕

武内厚子編：作家略歴・参考文献

今村哲、村瀬恭子、タナベマサエ、紺泉、柴田健治、蓜島伸彦、佐藤純也：質問(出品)作品について考えていること（コメント）

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、都中図

傾く小屋　美術家たちの証言 since 9.11 ●

欧文タイトル：「Slanting House/Statements by the Artists in Japan since 9.11」

会期：2002 年 11 月 12 日－12 月 15 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・セゾン現代美術館セゾンアートプログラム

出品：M.ギンズ＋荒川修作、齋藤芽生、豊嶋康子、中村一美、松澤宥、山本糾、港千尋、宮本隆司、横溝美由紀〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

傾く小屋　美術家たちの証言 since 9.11

セゾン現代美術館セゾンアートプログラム　2002 年 11 月 12 日　主に英文併載

塩田純一：「傾く小屋」まで－美術館の視点から

M.ギンズ＋荒川修作、齋藤芽生、豊嶋康子、中村一美、松澤宥、山本糾、港千尋、宮本

隆司、横溝美由紀：作家のテキスト

丸山洋志：あらゆる価値の転倒を「建築」する理由〈テロ以後――荒川＋ギンズの宿命反転住居をめぐって〉

高砂三和子：「傾く小屋」から－微かなる声の方へ〈この展覧会に含まれない多くの作家のために〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2003 おだやかな日々 ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2003　days」

会期：2003 年 1 月 11 日－3 月 23 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：野田哲也、押江千衣子、上原三千代、染谷亜里可、高木正勝、小林孝亘〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2003 おだやかな日々

東京都現代美術館　2003 年 1 月　英文併載

熊谷伊佐子：おだやかな日々

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

ミュージアムスクール：地球の上で ●

欧文タイトル：「Museum School：On the Earth」

会期：2003 年 10 月 4 日－12 月 14 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：9 名のうち日本作家は栗田宏一ひとり。

○展覧会カタログ

ミュージアムスクール：地球の上で

東京都現代美術館　2003 年 10 月　主に英文併載

渡部葉子：地球の上で－物質の記憶、宿された時間

渡部葉子、武内厚子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、東大駒、国会図

MOT アニュアル 2004 私はどこから来たのか／そしてどこへ行くのか ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2004　Where do I come from? Where am I going?」

会期：2004 年 1 月 17 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：北島敬三、内海聖史、磯山智之、奥井ゆみ子、小瀬村真美、山口晃、中ザワヒデキ、三浦淳子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2004 私はどこから来たのか／そしてどこへ行くのか

東京都現代美術館　2004 年 1 月　英文併載

関 直子：私はどこから来たのか／そしてどこへ行くのか

笠原美智子：北島敬三の野望 写真による写真論

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

球体関節人形展 ●

欧文タイトル：「DOLLS OF INNOCENCE」

会期：2004 年 2 月 7 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・日本テレビ・「イノセンス」制作委員会

出品：ハンス・ベルメール、三輪輝子、秋山まほこ、山吉由利子、山本じん、三浦悦子、恋月姫、中村寝郎、木立真佐美、土井典、吉田良、井桁裕子、月光社、伽井丹彌、四谷シモン、片岡昌、よねやまりゅう、マリオ・A〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

球体関節人形展

日本テレビ放送網　2004 年 2 月 7 日　映画「イノセンス」公開記念

押井 守：身体の幾何学

種村季弘：人形・関節・シャーマニズム

藤田博史、聞き手・小川千惠子：球体関節人形と精神分析

Just a Shell？ 押井守「人形」語録　再録

小川千惠子：ニッポンの球体関節人形事情〈出品作家解説〉

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、都中図

再考：近代日本の絵画〈美意識の形成と展開〉 ●

欧文タイトル：「Remaking Modernism in Japan 1900-2000」

会期：2004 年 4 月 10 日－6 月 20 日　東京芸術大学大学美術館（第 1 部）、東京都現代美術館（第 2 部）　主催：東京芸術大学・東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・セゾン現代美術館

出品：第 11 章〈戦後〉という時代；岡本太郎、井上長三郎(重)、鶴岡政男(重)、丸木位里・俊、麻生三郎、吾妻治郎、阿部展也、浜田知明(重)、河原温、石井茂雄、長谷川三郎、村井正誠、難波田龍起、瑛九、オノサト・トシノブ、吉原治良(重)、山口長男(重)、斎藤義重、北代省三、大辻清司、山口勝弘、勅使河原蒼風、駒井哲郎(重)、福島秀子、瀧口修造。

第 12 章 リセット：1950-60 年代；今井俊満、村上三郎、勅使河原蒼風(重)、三上誠、堂本尚郎、津高和一、吉原治良(重)、元永定正、田中敦子、白髪一雄、星野真吾(重)、工藤哲巳、荒川修作、菊畑茂久馬、三木富雄、松澤宥、中西夏之。

第 13 章 ものと観念；荒川修作(重)、高松次郎、松澤宥(重)、北辻良央、榎倉康二、河口龍夫、李禹煥、菅木志雄。

第 14 章 日本ポップ；山下菊二、靉嘔、池田龍雄、中村宏、中村正義、篠原有司男、清水晃、磯辺行久、草間彌生、菅井汲、岡本信治郎、タイガー立石、横尾忠則、福田美蘭、大竹伸朗、森村泰昌。

第 15 章 絵画の世紀；草間彌生(重)、宇佐美圭司、山田正亮、桑山忠明、村上友晴、岡崎乾二郎、彦坂尚嘉、中西夏之(重)、加納光於、山本富章、根岸芳郎、小林正人、吉澤美香、辰野

登恵子、石川順惠、堂本右美、中村一美〔出品リスト順〕

註：出品欄は、戦前期を対象外とし、第 11 章から第 15 章まで収載したが、その割愛部分の構成は、【第 1 章 博覧会美術、第 2 章 アカデミズムの形成、第 3 章 風景論、第 4 章 静物論、第 5 章 画家とモデル――アカデミズムの視覚、第 6 章 理想と大衆化、第 7 章 日常への眼差し――「近代」の規範、第 8 章〈インターナショナル〉スタイルへの連動、第 9 章〈東洋〉と〈日本〉、第 10 章 戦争を描く】となっている。なお、井上長三郎(重)、鶴岡政男(重)、浜田知明(重)、吉原治良(重)、山口長男(重)、駒井哲郎(重)、星野真吾(重)と 7 作家に「重」があるのは第 4 章と第 5 章に作品が出品されているためである。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

再考：近代日本の絵画〈美意識の形成と展開〉

セゾン現代美術館　2004 年 4 月

竹内順一：あいさつ

氏家齊一郎：あいさつ

堤 清二：あいさつ

難波英夫：四角い窓から――辻井喬、J. ハーバーマス、P. ブルデュー、平塚らいてう

三浦雅士：モダニズム再考にあたっての一視点

南雄介、加藤弘子、藤井亜紀、荻原佐和子、高砂三和子：章解説

建畠 哲：歴史の中の前衛

中島理壽編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、都中図

MOT アニュアル 2005 愛と孤独、そして笑い ●

欧文タイトル：「mot annual 2005　life actually」

会期：2005 年 1 月 15 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：イケムラレイコ、綿引展子、岡田裕子、出光真子、嶋田美子、澤田知子、イチハラヒロコ、溝口彰子 O.I.C.、鴻池朋子、オノデラユキ〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2005 愛と孤独、そして笑い

東京都現代美術館　2005 年 1 月　英文併載

笠原美智子：愛と孤独、そして笑い――シビアな〈今〉を生きるために

溝口彰子：〔作家のことば〕

笠原美智子、米崎清実：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、和光大、都中図

東京府美術館の時代 1926－1970 ●

欧文タイトル：「Age of “Tokyo Metropolitan Art Gallery”」

会期：2005 年 9 月 23 日－12 月 4 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東

京都現代美術館

出品：II. 展覧会再現 3-日本アンデパンダン展(読売アンデパンダン展)；大久保作次郎、文挟克明、山野卓、岡本太郎、藤松博、池田龍雄、勝呂忠、寺田政明、毛利武士郎、靉嘔、土方久功、池田満寿夫、利根山光人、中井勝郎、俣野衛、岡崎和郎、工藤哲巳、水谷勇夫、菊畑茂久馬、磯辺行久、小島信明、中沢潮、赤瀬川原平、中西夏之。4-第 10 回日本国際美術展(東京ビエンナーレ)「人間と物質」；原榮三郎、安齊重男、大辻清司、河口龍夫、狗巻賢二〔出品リスト順〕

註：本展は、【I. 美術館をつくる 1-建設から取壊しまで、2-佐藤記念室とコレクション、II. 展覧会再現 1-第一回聖徳太子奉讃美術展、2-紀元二千六百年奉祝美術展覧会、3-日本アンデパンダン展(読売アンデパンダン展)、4-第 10 回日本国際美術展(東京ビエンナーレ)「人間と物質」】から構成されている。出品欄は II. 展覧会再現の 3 と 4 を収載した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

東京府美術館の時代 1926－1970

東京都現代美術館　2005 年 9 月 22 日　開館 10 周年記念

斉藤泰嘉：東京府美術館の時代

加藤弘子：解説

西川美穂子：解説

加藤弘子：「美術館」という場所で――1926 年から 1970 年まで

米崎清実：上野公園と東京府美術館

関 直子：画家／批評家／教育者による展覧会場の可能性

北澤憲昭：美術館とアヴァンギャルド――制度史的観点による仮説的エスキス

森 仁史：明治 40 年から大正 15 年を経て昭和 2 年に至る交響的変奏――美術工芸の長い道のり

林 洋子：紀元二千六百年奉祝美術展覧会――「帝展改組」と「東京美術学校改革」のはざまで

渡部葉子：「非常な冒険」の展覧会――東京ビエンナーレ'70 再考

所蔵：〔本編〕□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

東京府美術館の時代 1926－1970 資料編

東京都歴史文化財団東京都現代美術館　2007 年 3 月 31 日

中島理壽編：年表

藤井亜紀編：文献目録

加藤弘子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、国会図

MOT アニュアル 2006 No Border「日本画」から／「日本画」へ ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2006　No Border」

会期：2006 年 1 月 21 日－3 月 26 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：篠塚聖哉、天明屋尚、長沢明、町田久美、松井冬子、三瀬夏之介、吉田有紀〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2006 No Border「日本画」から／「日本画」へ

東京都現代美術館　2006 年 1 月　全 31 葉(たとう入)

菊屋吉生：「日本画」の BORDER をめぐる展覧会前史

加藤弘子：NO BORDER－「日本画」から／「日本画」へ

篠塚聖哉、長沢明、町田久美、三瀬夏之介、吉田有紀、聞き手・山本雅美：作家インタビュー

天明屋尚、松井冬子：〔作家のことば〕

山本雅美編：〔作家略歴〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

カルティエ現代美術財団コレクション展 ●

欧文タイトル：「Collection of the Fondation Cartier pour I'art contemporain at MOT」

会期：2006 年 4 月 22 日－7 月 2 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・日本経済新聞社・カルティエ現代美術財団

出品：川内倫子、松井えり菜、森山大道

註：出品欄は日本人作家のみ収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

カルティエ現代美術財団コレクション展

有限会社フォイル　2006 年 4 月 29 日　英文併載

エレーヌ・ケルマシュテル：カルティエ現代美術財団コレクション：思いがけないものとの遭遇

関直子、西川美穂子、鎮西芳美：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2007 等身大の約束 ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2007　From a World as Large as Life」

会期：2007 年 1 月 20 日－4 月 1 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：千葉奈穂子、秋山さやか、中山ダイスケ、加藤泉、しばたゆり〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2007 等身大の約束

東京都現代美術館　2007 年 1 月

米崎清実：等身大の約束

千葉奈穂子、秋山さやか、しばたゆり：〔作品についての作家のことば〕

米崎清実編、楠まゆこ協力：出品作家資料

千葉奈穂子、秋山さやか、中山ダイスケ、加藤泉、しばたゆり：作家のステイトメント
米崎清実、岡村恵子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

SPACE FOR YOUR FUTURE――アートとデザインの遺伝子を組み替える ●

欧文タイトル：「SPACE FOR YOUR FUTURE：Recombining the DNA of Art and Design」
会期：2007 年 10 月 27 日－2008 年 1 月 20 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館・日本経済新聞社
出品：妹島和世＋西沢立衛／SANAA、石上純也、ダイキン エア・デザイン・プロジェクト、前田征紀、タナカノリユキ、嶺脇美貴子、nendo、東泉一郎、植原亮輔と渡邉良重、MONGOOSE STUDIO、蜷川実花、足立喜一朗、荒神明香〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本人作家のみ収載した。
○展覧会カタログ
SPACE FOR YOUR FUTURE――アートとデザインの遺伝子を組み替える
INAX 出版　2007 年 12 月 10 日
妹島和世＋西沢立衛／SANAA、石上純也、トビアス・レーベルガー、R&Sie(n)＋D、フセイン・チャラヤン、BLESS、前田征紀、エルネスト・ネト、ショーン・グラッドウェル、タナカノリユキ、アピチャッポン・ウィーラセタクン、アシューム・ヴィヴィッド・アストロ・フォーカス(avaf)、カーステン・ニコライ、オラファー・エリアソン、マイケル・リン：Q&A
長谷川祐子：Space for Your Future
関 昭郎：未来の触知性
福住廉、森山朋絵、難波祐子、長谷川祐子、森千花、キアラ・ベルトーラ、関昭郎、村田康祐：〔作家解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2008「解きほぐすとき」●

欧文タイトル：「MOT Annual 2008 Unraveling and Revealing」
会期：2008 年 2 月 9 日－4 月 13 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館
出品：彦坂敏昭、高橋万里子、金氏徹平、手塚愛子、立花文穂〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
MOT アニュアル 2008「解きほぐすとき」
東京都現代美術館　2008 年 2 月　英文併載
西川美穂子：解きほぐすとき
楠まゆこ編：作家資料〔作家略歴・参考文献〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

屋上庭園 ●

欧文タイトル：「Roof Gardens」

会期：2008 年 4 月 29 日－7 月 6 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：中林忠良、内海聖史、須田悦弘〔図版収載順〕

註：出品欄は、戦後作品の日本作家のみ収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

屋上庭園

東京都現代美術館　2008 年 4 月

関 直子：章解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

パラレル・ワールド もうひとつの世界へ／ユーグ・レプ展 ●

欧文タイトル：「PARALLEL WORLDS an exhibition by Hugues REIP」

会期：2008 年 7 月 26 日－9 月 28 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：内藤礼、名和晃平、曽根裕〔作家解説順〕

註：出品欄は全 11 名のうち 3 名の日本人作家のみ収載した。

○展覧会カタログ

パラレル・ワールド もうひとつの世界へ／ユーグ・レプ展

有限会社スプラウト・ジャパン　2008 年 7 月

ユーグ・レプ：もうひとつの世界へ

ピエール・アルフェリ：双眼鏡

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2010 装飾 ●

欧文タイトル：「AN10-MOT Annual 2010　Neo-Ornamentalism from Japanese Contemporary Art」

会期：2010 年 2 月 6 日－4 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：黒田潔、森淳一、青木克世、山本基、小川敦生、野老朝雄、松本尚、水田寛、塩保朋子、横内賢太郎〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2010 装飾

東京都現代美術館　2010 年 2 月　主に英文併載

鶴岡真弓：ネオ・オーナメンタリズムの兆し〈「反転」と「反語」の装飾力〉

関 昭郎：「装飾」：表皮下のエモーション

関昭郎、鎮西芳美：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

こどものにわ ●

欧文タイトル：「Garden for Children」

会期：2010 年 7 月 24 日－10 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：出田郷、遠藤幹子、大巻伸嗣、KOSUGE 1-16、サキサトム〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

こどものにわ

東京都現代美術館　2010 年 7 月　主に英文併載

難波祐子：こどものにわ

前山言葉編：関連プログラム

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

トランスフォーメーション〔東京アートミーティング第 1 回〕 ●

欧文タイトル：「Transformation」

会期：2010 年 10 月 29 日－2011 年 1 月 30 日　東京都現代美術館／10 月 29 日－11 月 17 日　東京芸術大学上野校地　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・東京新聞・東京芸術大学　特別協力：多摩美術大学芸術人類学研究所

出品：石川直樹、小谷元彦、及川潤耶、スプツニ子!、高木正勝〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載。

○展覧会カタログ

トランスフォーメーション

ACCESS　2010 年 10 月 29 日　主に英文併載　東京アートミーティング第 1 回

中沢新一：変容の岬

和田真文、小高日香理、荒井保洋、高井康充、橋本瑛史：〔作家解説〕

長谷川祐子：生を召還するための謀議 芸術表現に於ける「変容」の現在

平野啓一郎：身体と出現

変容人類学研究室編：「トランスフォーメーション」のためのリソース・アーカイヴ

西川美穂子、吉﨑和彦：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2011 世界の深さのはかり方 ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2011 Nearest Faraway」

会期：2011 年 2 月 26 日－5 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：池内晶子、椛田ちひろ、木藤純子、関根直子、冨井大裕、八木良太〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2011 世界の深さのはかり方

東京都現代美術館　2011 年 2 月　英文併載

鎮西芳美：世界の深さのはかり方

冨井大裕、木藤純子、関根直子、池内晶子、椛田ちひろ、八木良太：〔作家のことば〕

鎮西芳美、高井康充：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

建築、アートがつくりだす新しい環境〈これからの“感じ”〉●

欧文タイトル：「ARCHITECTURAL ENVIRONMENTS for TOMORROW new spatial practices in architecture and art」

会期：2011 年 10 月 29 日－2012 年 1 月 15 日　東京都現代美術館／11 月 10 日－11 月 29 日　東京芸術大学　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社、東京芸術大学

出品：AMID.cero9、エル・アナツイ、バーレーン王国文化省、ペトラ・ブレーゼ、ダグ＋マイク・スターン、藤本壮介、アントン・ガルシア＝アブリル、フランク・O・ゲーリー、ジェラティン、原広司＋ローランド・ハーゲンバーグ、平田晃久、石上純也、伊東豊雄、クリスチャン・ケレツ、荒神明香、近藤哲雄、ルイザ・ランブリ、ウォルター・ニーダーマイヤー、オフィス・ケルステン・ゲールス・ダヴィッド・ファン・セーヴェレン、ピエト・オウドルフ、スミルハン・ラディック、マシュー・リッチー、妹島和世＋西沢立衛／SANAA、マティアス・シューラー＋トランスゾーラ―、セルガスカーノ、スタジオ・ムンバイ、フィオナ・タン、ヴィム・ヴェンダース〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

建築、アートがつくりだす新しい環境

ACCESS　2011 年 11 月 11 日　英文併載　東京アートミーティング第 2 回

原 広司：建築、アートがつくりだす新しい環境

長谷川祐子：新しい環境、新しい体験のためのポリティクス

ペーター・スローターダイク：球体論 ： 空間の詩学についての自問自答

妹島和世＋西沢立衛／SANAA、聞き手・長谷川祐子：新しい時代をつくりだす建築、アートの役割

飯島真理子、島田浩太朗、橋本瑛史、平山優子、近藤佑子：作家解説、主な活動歴

AMID.cero9、ヌーラ・アルサイヤ、ペトラ・ブレーゼ、ダグ＋マイク・スターン、藤本壮介、アントン・ガルシア＝アブリル、平田晃久、石上純也、伊東豊雄、荒神明香、近藤哲雄、ルイザ・ランブリ、オフィス・ケルステン・ゲールス・ダヴィッド・ファン・セーヴェレン、ピエト・オウドルフ、スミルハン・ラディック、マシュー・リッチー、マティアス・シューラー、セルガスカーノ、スタジオ・ムンバイ、フィオナ・タン、ヴィム・ヴェンダース：ステートメント

三宅拓也：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸

文、東大駒、和光大、国会図、都中図

＋プラス FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性 ●

欧文タイトル：「＋FUTURE BEAUTY」

会期：2012 年 7 月 28 日－10 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館・京都服飾文化研究財団・日本経済新聞社

註：出品目録が未詳のため出品欄は記載しなかった。

○展覧会カタログ

＋プラス FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性　日本語版カタログ

平凡社　2012 年 7 月 25 日

〔深井晃子〕：はじめに

蘆田裕史、石関亮：〔作家解説〕

玉井健太郎、長見佳祐、聞き手・KCI：インタビュー

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○関連書籍

FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性

平凡社　2012 年 7 月 25 日

註：本書は 2010 年にロンドンのバービガン・アート・ギャラリーで開催された同展の展覧会カタログの日本語翻訳版。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2012 風が吹けば桶屋が儲かる ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2012：Making Situations, Editing Landscapes」

会期：2012 年 10 月 27 日－2013 年 2 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：森田浩彰、下道基行、Nadegata Instant Party(中崎透＋山城大督＋野田智子)、奥村雄樹、佐々瞬、田村友一郎、田中功起〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2012 風が吹けば桶屋が儲かる

東京都現代美術館　2012 年 10 月　第 12 回展

田中功起：もう一度その感覚を取り戻すためのノート

田中功起：個別の、事実と蛇足について 1-6, 0

下道基行、Nadegata Instant Party、佐々 瞬、田村友一郎：〔作家のことば〕

西川美穂子：状況の制作、風景の編集――風が吹けば桶屋が儲かる

三宅拓也編：作家略歴・文献目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

アートと音楽――新たな共感覚をもとめて〔東京アートミーティング第 3 回〕 ●

欧文タイトル：「Art & Music－Search for New Synesthesia」
会期：2012 年 10 月 27 日－2013 年 2 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・東京新聞
出品：池田亮司、大西景太、オノセイゲン＋坂本龍一＋高谷史郎、大友良英リミテッド・アンサンブルズ、ザ・サイン・ウェーブ・オーケストラ、坂本龍一＋高谷史郎、武満徹、田中未知・高松次郎、八木良太〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本人作家・音楽家のみ収載した。
〇展覧会カタログ
アートと音楽――新たな共感覚をもとめて
フィルムアート社　2012 年 11 月 1 日　東京アートミーティング第 3 回
坂本龍一、聞き手・畠中実：見ること／聴くことの未来へ――「感覚」に立ち返ったその先にあるもの インタビュー
岡田温司：宇宙の音-色
池上高志：ノイズとサウンド・インスタレーション
若尾 裕：物語から離れて漂流する音たち
セレスト・ブルシエ＝ムジュノ、カールステン・ニコライ、クリスティーネ・エドルンド、フロリアン・ヘッカー、池田亮司、オノセイゲン＋坂本龍一＋高谷史郎、大友良英リミテッド・アンサンブルズ、ステファン・ヴィティエロ、マノン・デ・ブール、ザ・サイン・ウェーブ・オーケストラ、大西景太、バルトロメウス・トラウベック、八木良太、ウドムサック・クリサナミス、坂本龍一＋高谷史郎：〔作家への質問&回答〕
長谷川祐子：感覚の統合性をとりもどすために
眞壁宏幹：「共感覚」はなぜ人を惹きつけてきたか――その研究と実践の歴史を概観する
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

うさぎスマッシュ――世界に触れるアートとデザイン〔東京アートミーティング第 4 回〕●
欧文タイトル：「BUNNY SMASH　design to touch the world」
会期：2013 年 10 月 3 日－2014 年 1 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社・東京芸術大学
出品：アトリエ・ワン＋東京工芸大学塚本研究室＋筑波大学貝島研究室、石井裕＋タンジブル・メディア・グループ／MIT メディア・ラボ、竹村真一＋Earth Literacy Program、牛込陽介、スプツニ子!、木村恒久〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本関係者を収載した。
〇展覧会カタログ
うさぎスマッシュ――世界に触れるアートとデザイン
フィルムアート社　2013 年 11 月 1 日　英文併載　東京アートミーティング第 4 回
アンソニー・ダン&フィオナ・レイビー：クリティカル・デザイン FAQ
佐藤 卓：関係の中で体感するデザイン

レアンドロ・エルリッヒ、OMA*AMO、アトリエ・ワン＋東京工芸大学塚本研究室＋筑波大学貝島研究室、マイケル・リー、リヴィタル・コーエン&テューア・ヴァン・バーレン、マーニー・ウェーバー、フェルナンド・サンチェス・カスティーリョ、ブラク・アリカン、ビュロ・デテュード、リチャード・ウィルソン、石井裕＋タンジブル・メディア・グループ／MIT メディア・ラボ、竹村真一＋Earth Literacy Program、キャンプ、ジュディ・ウェルゼイン、シセル・トラース、ライゾマティクス、アレキサンドラ・デイジー・ギンズバーグ&サシャ・ポーフレップ、牛込陽介、ミカエル・マッセイ、スプツニ子!：〔作家の回答〕

長谷川祐子：うさぎスマッシュ――世界に触れる方法

リピット水田堯：《触れる地球》――世界の境界で

柏木 博：微細な微候から世界に触れるということについて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2014 フラグメントー未完のはじまり ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2014　FRAGMENTS－Incomplete Beginnings」

会期：2014 年 2 月 15 日－5 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：髙田安規子・政子、宮永亮、青田真也、福田尚代、吉田夏奈、パラモデル〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

MOT アニュアル 2014 フラグメントー未完のはじまり

東京都現代美術館　2014 年 2 月

森 千花：フラグメント――未完のはじまり

髙田安規子・政子、宮永亮、青田真也、福田尚代、吉田夏奈、パラモデル：〔作家のことば〕

岡部理加編：作家略歴

菊池夏乃子編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

ミッション[宇宙×芸術]――コスモロジーを超えて ●

欧文タイトル：「mission[SPACE×ART]－beyond Cosmologies」

会期：2014 年 6 月 7 日－8 月 31 日　東京都現代美術館　主催：公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館、NHK エンタープライズ

出品：beyond、大平貴之、チームラボ、森脇裕之、木本圭子、鈴木康広、逢坂卓郎、oblaat(谷川俊太郎)、ユリウス・フォン・ビスマルク、安藤孝浩、河口洋一郎、イ・ヨンジュン、西澤丞、名和晃平、松本零士、なつのロケット団、多摩美術大学×東京大学 ARTSAT、福原哲郎、oblaat(谷川俊太郎、三角みづ紀、最果タヒ、穂村弘)、和田ラヂヲ〔作品リスト順〕

註：出品欄は、古典および機関・企業（NASA、JAXA など）による展示物は対象外とした。

○展覧会カタログ

ミッション[宇宙×芸術]――コスモロジーを超えて

青幻舎　2014 年 7 月 31 日〔東京都現代美術館〕

森山朋絵：宇宙にとって芸術とはなにか――ミッション[宇宙×芸術]展によせて

大平貴之「星は見ている」、チームラボ「憑依する滝、人工衛星の重力」:〔作家のことば〕

逢坂卓郎：宇宙芸術とは

若田光一・逢坂卓郎：特別対談〔再録〕

坂根厳夫：ミッション[宇宙×芸術]によせて

内冨素子：宇宙機関と芸術の出会い

森脇裕之：現代アートの視点と宇宙芸術

森脇裕之：種子島宇宙芸術祭の構想

山中敏正：プロダクトデザインと宇宙芸術

辻野照久：アートとしての宇宙切手の魅力

松尾尚子：地球人としての自覚・人類益の創成

潮田知彦：国際宇宙ステーション(ISS)と宇宙芸術

鈴木浩之：人工衛星と宇宙芸術

久保田晃弘：遙かなるもののリアリティ

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ワンダフルワールド こどものワクワク、いっしょにたのしもう みる・はなす、そして発見!の美術展 ●

欧文タイトル：「Wonderful World　Sparkle is everywhere! Let's see, talk, discover, and share the fun with everyone!」

会期：2014 年 7 月 12 日－8 月 31 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：橋本トモコ、クワクボリョウタ、船井美佐、金澤麻由子、武藤亜希子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ワンダフルワールド こどものワクワク、いっしょにたのしもう みる・はなす、そして発見!の美術展

東京都現代美術館　2014 年 7 月　英文併載

山本雅美：ワンダフルワールド〈こどものワクワク、いっしょにたのしもう みる・はなす、そして発見!の美術展〉

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図、都中図

新たな系譜学をもとめて――アート・身体・パフォーマンス ●

欧文タイトル：「Seeking New Genealogies－Art / Bodies / Performances」

会期：2014 年 9 月 27 日－2015 年 1 月 4 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現

代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社

出品：ジュリー・メーレトゥ、アブラハム・ヴァハマン、ジョン・G・ハリーズ、ショシュ・コルムシュ、シャロン・ロックハート、チェルフィッチュ、インバル・ピント&アブシャロム・ポラック・ダンスカンパニー、金氏徹平、エルネスト・ネト、ジャクソン・ポロック、サイ・トゥオンブリー、吉原治良、村上三郎、田中敦子、白髪一雄、ダムタイプ、ダグラス・ゴードン&フィリップ・パレーノ、デンツウ ラボ トウキョウ&ライゾマティクス、チョイ・カファイ、大植真太郎＋森山未來＋平原慎太郎〔作品リスト順〕

註：この他、アンリ・マティスのエッチング（1935-36 年）が出品されている。なお、資料展示は割愛した。

〇展覧会カタログ

新たな系譜学をもとめて――アート・身体・パフォーマンス

フィルムアート社　2014 年 10 月 25 日　主に英文併載　東京アートミーティング第 5 回

野村萬斎・高谷史郎、聞き手・長谷川祐子：ラディカルな「型」の存在、非存在をめぐる対話〈21 世紀の狂言師とメディアアーティストの間で〉

中田英寿、聞き手・長谷川祐子：身体のリズム〈動きの無駄を削ぎ落とし、最後に残るもの〉

岡田利規：演じることと身体

野村萬斎、ジュリー・メーレトゥ、シャロン・ロックハート、岡田利規(チェルフィッチュ)、インバル・ピント&アブシャロム・ポラック・ダンスカンパニー、金氏徹平、エルネスト・ネト、高谷史郎(ダムタイプ)、真鍋大度(ライゾマティクス)、チョイ・カファイ、大植真太郎＋森山未來＋平原慎太郎：〔作家の回答〕

長谷川祐子：新たな系譜学をもとめて〈跳躍・痕跡・身体〉

細馬宏通：拘束された身体が表わすもの〈インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック・ダンスカンパニーの身体動作表現から〉

岡本 章：戦後の舞台芸術における伝統と前衛

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

未見の星座〈つながり／発見のプラクティス〉●

欧文タイトル：「Constellations：Practices for Unseen Connections / Discoveries」

会期：2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：大﨑のぶゆき、北川貴好、志村信裕、太田三郎、山本高之、淺井裕介、伊藤久也〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

未見の星座〈つながり／発見のプラクティス〉

東京都現代美術館　2015 年 1 月　主に英文併載　付・英語版

森 千花：見えない線をえがく――未見の星座

大﨑のぶゆき、北川貴好、志村信裕、太田三郎、山本高之、淺井裕介、伊藤久也：〔作家のことば〕

福島瑞葉、高橋夏菜、前山言葉編：作家略歴

森千花、森山朋絵：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

他人の時間 ●

欧文タイトル：「Time of others」

会期：2015 年 4 月 11 日－6 月 28 日　東京都現代美術館／7 月 25 日－9 月 23 日　大阪・国立国際美術館／11 月 19 日－2016 年 2 月 28 日　シンガポール美術館／6 月 11 日－9 月 18 日　クイーンズランド州立美術館現代美術館

主催：東京都現代美術館・国立国際美術館・シンガポール美術館・クィーンズランド州立美術館現代美術館・国際交流基金アジアセンター〔巡回・国内 2-1〕

出品：リンゴ・ブノアン、チェン・ジエレン、ヒーメン・チョン、キリ・ダレナ、グレアム・フレッチャー、ホー・ツーニェン、サレ・フセイン、ジョナサン・ジョーンズ、加藤翼、河原温、ヴォー・アン・カーン、キム・ボム、アン・ミー・レー、イム・ミヌク、バスィール・マハムード、mamoru、ミヤギフトシ、トザー・パク(パク・シュウンチュエン)、プラッチャヤ・ピントーン、ブルース・クェック、ルアンルパ、下道基行、ナティー・ウタリット、ヴァンディー・ラッタナ、ヤン・ヴォー〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

他人の時間 カタログ

東京都現代美術館・国立国際美術館・シンガポール美術館・クィーンズランド州立美術館現代美術館・国際交流基金アジアセンター　2015 年 4 月 10 日　英文併載

崔敬華 橋本梓 ミシェル・ホー ルーベン・キーハン：企画にあたって

ミシェル・ホー、橋本梓、崔敬華、ルーベン・キーハン：〔作家・作品解説〕

崔敬華：分かちあえない時間を巡るいくつかの考察

橋本 梓：他人の時間のために

ミシェル・ホー：他者性の場所：グローバルな現代における東南アジアの美術

ルーベン・キーハン：他人の時間と、差異から露呈してくる複数の現実

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、都中図

“TOKYO”－見えない都市を見せる ●

欧文タイトル：「“TOKYO”－Sensing the Cultural Magma of the Metropolis」

会期：2015 年 11 月 7 日－2016 年 2 月 14 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・アーツカウンシル東京・産経新聞社

出品：YMO、蜷川実花、小金沢健人、ホンマタカシ、中平卓馬、トーマス・デマンド、赤瀬川原平、大西麻貴＋百田有希、黒河内真衣子、津村耕佑、Chim↑Pom、テイバー・ロバック、ジェレミー・ショウ、TCF、ジェイムス・フェラーロ、イェンナ・ステラ、林科、サーダン・

アフィフ、松江哲明、スーパーフレックス、目【め】〔図版収載順〕

註：これらの作家の他に桑原甲子雄の写真(1936 年)が出品されている。

○展覧会カタログ

“TOKYO”－見えない都市を見せる

青幻舎　2015 年 11 月 20 日　英文併載　東京アートミーティング第 6 回

宮沢章夫、蜷川実花、塚本由晴：インタビュー

蜷川実花、岡田利規、ホンマタカシ、EBM(T)、松江哲明：作家のことば

水野勝仁：ポスト・インターネットにおける三つのデフォルト：OS／イメージ・オブジェクト／オンラインギャラリー

長谷川祐子：東京は今でも未来的か

難波祐子：東京-パラレル-リミックス

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

MOT アニュアル 2016 キセイノセイキ ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2016　Loose Lips Save Ships」

会期：2016 年 3 月 5 日－5 月 29 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：遠藤麻衣＋増本泰斗、小泉明郎、齋藤はぢめ、アルトゥル・ジミェフスキ、高田冬彦、橋本聡、藤井光、古屋誠一、ダン・ペルジョヴスキ、横田徹〔同館の HP に拠る〕

○展覧会カタログ

註：本展の展覧会カタログは未見。

○関連書籍

あなたは自主規制の名のもとに検閲を内面化しますか〈Our Feardom of Expression and Internalization of Censorship〉

torch press　2016 年 5 月 21 日

田中功起＋影山裕樹：あとがき

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、和光大、国会図

東京都庭園美術館

12 人の現代彫刻家〈庭園美術館へのいざない〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 3 月 2 日－4 月 16 日　東京都庭園美術館　主催：東京都文化振興会

出品：澤田政廣、山本豊市、高田博厚、圓鍔勝三、柳原義達、淀井敏夫、堀内正和、佐藤忠良、舟越保武、富永直樹、向井良吉、建畠覚造〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

12 人の現代彫刻家〈庭園美術館へのいざない〉

東京都文化振興会　1986 年 3 月 2 日　資料第 9 輯

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大

日本のガラス造形・昭和 ●

欧文タイトル：「Japanese Glass in the Showa Period」

会期：1986 年 11 月 9 日－12 月 21 日　札幌・北海道立近代美術館／1987 年 1 月 10 日－3 月 22 日　東京都庭園美術館

主催：財団法人東京都文化振興会・朝日新聞社〔巡回 2-2〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 2-1〕

庭園植物記 ●

欧文タイトル：「ARTISTS' GARDENS　BOTANICAL RECOLLECTIONS」

会期：2005 年 9 月 3 日－11 月 6 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

出品：中川幸夫、石元泰博、東松照明、荒木経惟、井津建郎、杉浦邦恵、山崎博、鈴木理策、蜷川実花〔出品リスト順〕

註：出品欄は中川幸夫と「第 V 章 現代写真にみる植物」の写真家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

庭園植物記

東京都歴史文化財団東京都庭園美術館　2005 年 9 月

井関正昭：はじめに

正木基、天野一夫：コラム

岡塚章子：庭園植物記――絵画から写真へ、観察から表現へ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

建築の記憶〈写真と建築の近現代〉 ●

欧文タイトル：「Remembrance of Places Past　Japanese Architectural Photography from the 19th to the 21st century」

会期：2008 年 1 月 26 日－3 月 31 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

出品：多比良敏雄、石元泰博、平山忠治、渡辺義雄、村井修、杉本博司、畠山直哉、鈴木理策〔出品リスト順〕

註：出品欄は「5 写真家の目、建築家の仕事」「6 日本建築の美」「7 現代写真の建築」の写真家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

建築の記憶〈写真と建築の近現代〉

東京都歴史文化財団東京都庭園美術館　2008 年 1 月　英文併載

岡塚章子：章解説

浅羽英男、池上重康、梅宮弘光、八巻香澄：図版解説

森仁史、中村一紀、山口俊浩、梅宮弘光、村井修〔談〕、石元泰博〔再録〕、青木淳：コラム

岡塚章子：建築の記憶〈写真と建築の近現代〉

浅羽英男、池上重康、梅宮弘光、岡塚章子、八巻香澄：建築家 写真家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

装飾は流転する〈「今」と向きあう 7 つの方法〉●

欧文タイトル：「Decoration never dies, anyway」

会期：2017 年 11 月 18 日－2018 年 2 月 25 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

出品：山縣良和、髙田安規子・政子、山本麻紀子〔展示作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

装飾は流転する〈「今」と向きあう 7 つの方法〉

東京都庭園美術館　2017 年 11 月　主に英文併載

樋田豊次郎：装飾よこんにちは

田中雅子：作家解説

八巻香澄：作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

東京都写真美術館

本報告書では写真、デザイン、工芸（陶芸）の専門美術館は採録の対象から外したので巡回展のみ記載することにする。

液晶絵画 ●

欧文タイトル：「STILL / MOTION」

会期：2008 年 2 月 14 日－4 月 13 日　津・三重県立美術館／4 月 29 日－6 月 15 日　大阪・国立国際美術館／8 月 23 日－10 月 13 日　東京都写真美術館

主催：東京都歴史文化財団東京都写真美術館・朝日新聞社〔巡回 3-3〕

――→三重県立美術館〔巡回 3-1〕

板橋区立美術館

開館記念 板橋の現代美術と古美術展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1979 年 5 月 20 日－6 月 17 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：古美術。現代美術 日本画；佐藤太清、岩崎鐸、星茂、今井珠泉、飛田啓之介。洋画；矢崎牧廣、鱒龍之助、井上長三郎、石塚三郎、山本日子士良、寺田政明、古沢岩美、小林邦二、荒船利雄。彫塑；瀬戸團治、志田達三、白井謙二郎、斉藤吉郎、茨木敏夫、塚田喜司郎〔出品目録順〕

註：出品欄は「現代美術」を収載。

○展覧会カタログ

開館記念 板橋の現代美術と古美術展

板橋区立美術館　1979 年 5 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

20 世紀末美術展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 8 月 13 日－9 月 12 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：湯村輝彦、辰巳四郎、河村要助、吉田カツ、金子國義、建石修志、合田佐和子、岩崎貿都彰、空山基、藤原新也〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

20 世紀末美術展図録

板橋区立美術館　1982 年 8 月

海野 弘：世紀末ふたたび

北村 想：プロロオグ

藤原新也：私って、文化的なカルチャー文化国民になれるのネ!……とは言わせません。世は今、世紀末黒魔術の時代なのです。

宮迫千鶴：未法時代と「美しきもの」――旅人・藤原新也は暗い眼をして、帰ってきた。

大月浩子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

都市に棲む展〈ネコのひたいに建った家〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1985 年 8 月 3 日－9 月 8 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：相田武文、東孝光、安藤忠雄、石井和紘、石山修武、伊東豊雄、木島安史、象設計集団、長谷川逸子、宮脇檀、毛綱毅曠、渡辺豊和〔図版収載順〕

註：標題紙に「1930－40 年代生まれの建築家たちが、都市の極限空間に建てた家」とある。

○展覧会カタログ

都市に棲む展〈ネコのひたいに建った家〉図録

板橋区立美術館　1985 年 8 月 3 日　企画展　ART-NOW シリーズ No.7

植田 実：住宅を解体していく住宅群

松山 巖：棲むことのゆくえ

相田武文、東孝光、安藤忠雄、石井和紘、石山修武、伊東豊雄、木島安史、象設計集団、長谷川逸子、宮脇檀、毛綱毅曠、渡辺豊和：〔作家のことば〕

吉村 弘：空気に近い音楽

野崎一人：夢はスマイを駈けめぐる

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大、国会図、都中図

日本のルポルタージュ・アート展〈絵描きがとらえたシャッター・チャンス〉●

欧文タイトル：「REPORTAGE ART in JAPAN」

会期：1988 年 5 月 14 日－6 月 12 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：中村宏、池田龍雄、利根山光人、井上長三郎、尾藤豊、桂川寛、村上善男〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

日本のルポルタージュ・アート展〈絵描きがとらえたシャッター・チャンス〉

板橋区立美術館　1988 年 5 月　特別展

尾﨑眞人：〔章解説〕

尾﨑眞人：歴史・記録・記憶〈国家の歴史と個人の記憶のあいだで〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

板橋の現況'89 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 8 月 19 日－9 月 17 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：日本画；浅野紫露、上野志津江、鈴木福恵、飛田啓之介。洋画；青木東正、石井達治、石川歌子、石島京児、稲岡新一郎、井上長三郎、井上照子、井上リラ、春日明夫、加治孝夫、川村勉、斉藤朗彦、関晴明、高松勝治、武田采子、竹田一夫、谷村睦子、中澤茂、中野敏、永井利昭、西田藤三郎、野村泰二、日高梢、福田建之、藤沢喬、古沢岩美、星由江、丸山芳子、持林英二郎、山田季孝、山本日子士良、鷲田恭。彫刻；浅井健作、大城章二、尾川宏、木戸修、斉藤吉郎、桜井水月、志田達三、白井謙二郎、瀬戸剛、深井隆、森口茂。工芸；石川義夫、中村清美、堀如眞。版画；岩下洋、清塚紀子、千正博一、仙北屋崇。写真；鈴木英男。その他；石井博康、丸山常生〔出品目録順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

板橋の現況'89

板橋区立美術館　1989 年 8 月 19 日　開館 10 周年記念

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

館蔵品を中心とした「昭和の前衛〈思考する絵画の視点から〉」●

欧文タイトル：「Avant-garde of the Showa Period From the Museum Collection」

会期：1990 年 7 月 21 日－8 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：〔戦後作品〕；佐田勝、国吉康雄、入江比呂、古沢岩美、高山良策、尾藤豊、山下菊二、早瀬龍江、川口軌外、北代省三、高山良策、白木正一、桂川寛、井上長三郎、池田龍雄、中村宏、杉全直、桂ゆき、吉仲太造、村上善男、糸園和三郎〔出品目録順〕

註：佐田勝、入江比呂、古沢岩美、早瀬龍江、高山良策、井上長三郎、桂ゆきを含む戦前の作品 66 点も出陳される。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

館蔵品を中心とした「昭和の前衛〈思考する絵画の視点から〉」

板橋区立美術館　1990 年 7 月　〔全 16 ページ〕

尾﨑眞人：昭和の前衛たちの発生構造〈真昼を駆けぬけ、暗夜を往くもの〉

尾﨑眞人編：略年表・美術史の流れ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

東京アヴァンギャルドの森 1946-1956〈シリーズ ART IN TOKYO No.2〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 9 月 29 日－10 月 28 日　板橋区立美術館

出品：靉嘔、朝妻治郎、阿部展也、池田龍雄、池田満寿夫、井上長三郎、石井茂雄、糸園和三郎、榎本和子、大塚睦、岡本太郎、片谷曖子、桂ゆき、桂川寛、河原温、川端実、川口軌外、北代省三、小牧源太郎、斎藤義重、佐田勝、下郷羊雄、白木正一、新海覚雄、末松正樹、杉全直、高山良策、曹良奎、勅使河原宏、利根山光人、中村宏、難波田龍起、早瀬龍江、尾藤豊、福島秀子、藤川曜子、藤沢典明、古沢岩美、間所〔芥川〕紗織、箕田源二郎、村井正誠、村上善男、山下菊二、山口勝弘、吉仲太造〔作家解説順〕

○展覧会カタログ

東京アヴァンギャルドの森 1946-1956

板橋区立美術館　1990 年 9 月　特別展　シリーズ ART IN TOKYO No.2

尾﨑眞人：「政治という」密室と「アトリエという」密室〈1946-1956 に見られる日本の前衛美術運動〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

「物体」詩〈思考するオブジェから GOMI-ART へ〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 4 月 27 日－6 月 2 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：1)〈物質〉との対話－コラージュ；阿部展也、山下菊二、三木富雄。2)〈オブジェ〉の意味とシュールレアリスム；中村宏、池田龍雄。3)〈廃物〉の再生－《ジャンク・アート》；中西夏之、立石大河亜、入江比呂、間島領一、杢田たけを、小野忠弘、吉田ヨーゾー。4)〈オブジェ〉を離脱した《オブジェ》；大山右一、菊畑茂久馬、篠原有司男、赤瀬川原平、吉村益信。5)〈物質〉とイメージの交信；山内重太郎、桜井孝身、靉嘔、荒川修作、田窪恭治、李禹煥、川島清。6)大量消費生活と《GOMI-ART》；殿敷侃、丸山常生。7)〈場〉の記憶として捨得される《GOMI-ART》；豊平ヨシオ、村上善男、丸山常生(重)。8)仮定としての《GOMI-ART》；福田美蘭、島州一〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

「物体」詩〈思考するオブジェから GOMI-ART へ〉展図録

板橋区立美術館　1991 年 4 月 27 日　特別展

尾﨑眞人：〈自然〉と〈廃物〉の創造

西豊、湯浅よし子、尾﨑眞人：出品作家略年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、都中図

「昭和の前衛〈表現の冒険者たち〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 6 月 8 日－23 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：佐田勝、国吉康雄、古沢岩美、高山良策、尾藤豊、大塚睦、山口長男、山下菊二、北代省三、池田龍雄、白木正一、桂川寛、早瀬龍江、井上長三郎、杉全直、吉仲太造、糸園和三郎、村上善男、中村宏、寺田政明、桂ゆき、麻生三郎、阿部展也、福島秀子〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧カタログ

「昭和の前衛〈表現の冒険者たち〉」展図録

板橋区立美術館　1991 年 6 月 8 日　特別展　MUSEUM COLLECTION

尾崎眞人：“昭和”における前衛の意味

湯浅よし子・尾崎眞人編：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

「再制作と引用」展 ●

欧文タイトル：「Reconstructed and Quotation」

会期：1993 年 9 月 18 日－10 月 24 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：靉嘔、赤瀬川原平、菊畑茂久馬、北代省三、小島信明、小清水漸、斎藤義重、菅木志雄、篠原有司男、嶋本昭三、白髪富士子、関根伸夫、高松次郎、立石大河亞、田中敦子、津田佳紀、戸谷成雄、牛波、彦坂尚嘉、福田美蘭、吉野辰海、龍崎哲郎、李禹煥、高見澤文雄、堀浩哉、稲憲一郎〔出品一覧順〕

○展覧会カタログ

「再制作と引用」展

板橋区立美術館　1993 年 9 月 18 日　特別展　シリーズ・ART IN TOKYO No.5

南 雄介：引用の芸術のための覚書

長谷川祐子：引用－愛と批評と無限の展開について

尾崎眞人：〈再制作〉――戦後前衛美術の孕んだ、一つの踏み絵

川島良子、高田美規雄、三田村畯右、真室佳武、清水秀作、原田光、猪羽充、勅使河原純、原久子、ワシオ・トシヒコ、福住治夫、三木哲夫、福田美蘭、宇波彰、高島直之、後々田寿徳、笹木繁男、酒井義孝、金澤毅、篠雅廣、熊谷優子、大橋紀生、小室千晶、山本和弘、大野俊治、平野明彦、増田洋、立石大河亞、前山裕司、榎本徹、有川幾夫、渡辺レイ子、山本隆志、戸村正巳、式淳子、柳沢秀行、中本和美、末吉守人、青木茂、島州一、三上満良、西村健治、藁科英也、清水誠一、小松崎広子、渡辺一郎、深井隆、池田龍雄、小松崎拓男、大井健地、二村裕子、鷲見哲彦、中村守孝、光田由里、千葉由美子、立花卓、山根康愛、寺田真由美、大村和子、たにあらた、上葛明広、山西健夫、功刀知子、中村邦明、橋富博喜、日夏露彦、高橋秀治、山口侊子、藤田一人、伊藤匡、横山勝彦、河﨑晃一、出原均、永井祥子、金沢健一、大賀洋介、門田秀雄、利根山光人、間島領一、岸野裕人・速水豊、濱本聰、田中建三、榮樂徹、佐谷周吾、津

田佳紀、小島信明、篠田達美、大北利根子、伊豆井秀一、吉原美恵子、田中日佐夫、薗部雄作、村田慶之輔、丸山常生、村田真、戸谷成雄、瀬木慎一、柏原えつとむ、小泉晋弥、内海信彦、青木康彦、柏木博、真倉光子、黒田悠子、こばやしひとみ：〈再制作〉に関するアンケート

山科知子、尾﨑眞人：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

日本の木口木版画〈明治から今日まで〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 12 月 4 日－1994 年 1 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：松原忠四郎、北川民次、関野準一郎、武井武雄、西川藤太郎、北岡文雄、城所祥、日和崎尊夫、小林敬生、柄澤齊、山本進、栗田政裕、三塩英春、斉藤修、永畑風人〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

日本の木口木版画〈明治から今日まで〉

板橋区立美術館　1993 年 12 月 4 日

丹尾安典：近代の彫師・合田清

気谷 誠：闇に開かれた窓〈挿絵としての木口木版画〉

松岡希代子：木口木版画〈明治から今日まで〉

松岡希代子、岩清水祥代、山科知子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛知芸、京都学、東大駒、国会図、都中図

KARADA が ART になるとき〈物質になった器官と身体〉展 ●

欧文タイトル：「When the Body Becomes Art：the Organs and Body as Object」

会期：1994 年 4 月 9 日－5 月 29 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：吉原治良、福沢一郎、古沢岩美、尾藤豊、山下菊二、白木正一、池田龍雄、芥川〔間所〕紗織、杉全直、中村宏、靉嘔、吉仲太造、村岡三郎、荒川修作、小島信明、中西夏之、魚田元生、入江比呂、四谷シモン、山口勝弘、工藤哲巳、菊畑茂久馬、堀内正和、篠田守男、三木富雄、谷岡靖則、岡崎和郎、榎倉康二、高木修、宮脇愛子、北辻良央、金沢健一、津田佳紀、河口龍夫、草間彌生、高松次郎、若林奮、清水誠一、伊藤義彦、今道子、福田美蘭、丸山常生、寺田真由美、吉江庄蔵、荒木経惟、石内都、大森博之、杉浦邦恵、レイコ・イケムラ、やまだいくこ、井上リサ＋LISA Space Nightingale〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

KARADA が ART になるとき〈物質になった器官と身体〉展カタログ

板橋区立美術館　1994 年 4 月　特別展　シリーズ・Art in Tokyo No.6

リン・クック：芸術表現に現れた肉体を展示し、観賞し、言及すること

アピナン・ポーサヤーナン：ボディ・ランゲージ〈コック・ティーザー、ピス・ドリン

カー、パブリック・シェイバー〉

イーリス・グニオスドルシュ：1945 年以降のドイツにおける人体表現

尾﨑眞人：When the Body Becomes Art 日本の戦後美術と現代美術をとおして

岩清水祥代：出品作家略歴

尾﨑眞人、山科知子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

線について〈不在のモダニズム、不可視のリアリズム〉●

欧文タイトル：「About lines：Non-existing Modernism and Invisible Realism」

会期：1995 年 5 月 20 日－7 月 2 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：草間彌生、北代省三、堀内正和、末松正樹、福島秀子、高松次郎、斎藤義重、菊畑茂久馬、浅野弥衛、中西夏之、河口龍夫、中里斉、李禹煥、清水誠一、荒川修作、菅木志雄、工藤哲巳、中村一美、長谷川栄、高木修、丸山常生、村上善男、千崎千恵夫、菊地武彦、櫻井英嘉、内海信彦、多和英子、堀浩哉、さかぎしよしおう、丸田恭子、中山正樹、西村美和、青木野枝〔出品作品目録順〕

註：山口長男、吉原治良、瑛九、小牧源太郎は戦前作品なので対象外とした。

〇展覧会カタログ

線について〈不在のモダニズム、不可視のリアリズム〉

板橋区立美術館　1995 年 5 月　特別展　シリーズ・ART IN TOKYO No.7

谷川 渥：線の想像力

尾﨑眞人：線について――あるいは、今ひとたびの証明について

三宅知子編：出品作家略歴

霜田誠二：ぎざぎざの旅

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

美術の内がわ・外がわ〈何故、眼差しは交わったか〉●

欧文タイトル：「Inside of Works, Outside of Works」

会期：1996 年 4 月 2 日－5 月 6 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：向井良吉、建畠覚造、堀内正和、中西夏之、靉嘔、磯辺行久、小島信明、工藤哲巳、河口龍夫、高松次郎、池田龍雄、戸谷成雄、吉野辰海、中村宏、中山正樹、村岡三郎、井上武吉、菅木志雄、久保田成子、草間彌生、荒木高子、関根伸夫、白井美穂、石田眞利、福田美蘭、富田有紀子、小清水漸、鵜飼美紀、谷充央、伊能敬子、岡本敦生、林辺正子、山本佳子、土谷武、松田百合子、多和英子、木村林吉、渡辺好明、李禹煥、吉井秀文、杉山健司、城戸孝充、草野貴世、坂崎隆一、山本直彰〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

美術の内がわ・外がわ〈何故、眼差しは交わったか〉

板橋区立美術館　1996 年 4 月　特別展　シリーズ ART IN TOKYO No.8

尾﨑眞人：美術の内がわ・外がわ

霜田誠二：アジアのパフォーマンス・アート連続展に寄せて
尾崎眞人、高橋眞利子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

「前衛作家の 10 年〈その自己変容と持続〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 6 月 5 日－30 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：麻生三郎、阿部展也、磯辺行久、井上長三郎、岩崎鐸、上前智祐、漆原英子、大塚睦、片谷曖子、桂川寛、桂ゆき、菊畑茂久馬、清塚紀子、草間彌生、篠原有司男、島州一、白木正一、末松正樹、高山良策、中村宏、尾藤豊、古沢岩美、山本敬輔、吉仲太造〔出品目録順〕
註：出陳作品全 50 点は館蔵品（うち 6 点は寄託作品）。
○展覧会カタログ
「前衛作家の 10 年〈その自己変容と持続〉」展図録
板橋区立美術館　1996 年 6 月 5 日　特別展
尾崎眞人：戦後美術にみられる、前衛という現象
中條恭子・尾崎眞人編：年譜…1945-1995〈板橋区立美術館収蔵品による〉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

わかってたまるか現代美術〈わからないということについて Collection による〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 5 月 10 日－6 月 8 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：荒川修作、草間彌生、向井修二、中西夏之、関根伸夫、高木修、清水誠一、今道子、福田美蘭、牛波〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
わかってたまるか現代美術〈わからないということについて Collection による〉
板橋区立美術館　1997 年 5 月
尾崎眞人：わかってたまるか現代美術〈五つの「わからない」、または対話について〉／〔Q.&A.〕
佐々木英里子：作家解説
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図、都中図

「私」美術のすすめ〈何故 WaTaKuShi は描かれるか〉●

欧文タイトル：「The Recommendation of “I” Art.」
会期：1997 年 9 月 6 日－10 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：荒川修作、今井祝雄、木下佳通代、綿引展子、渡辺晃一、郭徳俊、宮脇愛子、河口龍夫、光野浩一、牛波、太田三郎、和田千秋、豊嶋康子、深瀬昌久、魚田元生、鈴木淳子、作間敏宏、岡田裕子、杉本桂〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
「私」美術のすすめ〈何故 WaTaKuShi は描かれるか〉

板橋区立美術館　1997 年 9 月　特別展　シリーズ・Art in Tokyo No.9
三田晴夫：日本美術と〈私〉をめぐって
尾崎眞人：いま再びの「私」－仮想現実時代の「同一性」と「自己性」について
尾崎眞人、福田さおり、佐々木英理子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

「加害／被害」展 ●

欧文タイトル：「Attack / Damage」
会期：1998 年 8 月 29 日－10 月 25 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：香月泰男、浜田知明、丸木位里・俊、古沢岩美、山下菊二、太田三郎、殿敷侃、岩瀬殉一郎、郭徳俊、原仲裕三、木村稔、熊野谷毅、BuBu＋嶋田美子、嶋田美子、丸山芳子、山本直木、オルタンシァ・ラミレス、佐藤時啓、宋賢淑、豊嶋康子、鳥光桃代、牛波、堀浩哉、丸山常生〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
「加害／被害」展カタログ
板橋区立美術館　1998 年 8 月　特別展　シリーズ・ART IN TOKYO No.10
尾崎眞人：美術作品にみられる「加害／被害」
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

脱・「現代美術教養論」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1999 年 10 月 2 日－11 月 14 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：麻生三郎、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、磯辺行久、糸園和三郎、岩崎鐸、上前智祐、内海信彦、漆原英子、榎本和子、岡本敦生、太田三郎、郭徳俊、桂ゆき、金沢健一、川島清、菊畑茂久馬、北代省三、清塚紀子、草間彌生、小島信明、今道子、篠原有司男、島州一、清水誠一、末松正樹、杉全直、須田基揮、関根伸夫、千崎千恵夫、高木修、高松次郎、立石大河亜、建畠覚造、豊嶋康子、中西夏之、中村宏、牛波、原仲裕三、深井隆、福島秀子、福田美蘭、藤松博、丸山常生、向井修二、村上善男、吉仲太造、山下菊二〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
脱・「現代美術教養論」図録
板橋区立美術館　1999 年 10 月　開館 20 周年記念図録 II
尾崎眞人：自分のなかの他者を発見するために――新たな「物語化」のすすめ
福田さおり編：作家略歴
所蔵：□、国新美、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

アトリエの謎展〈ミュージアム・コレクション'79-'99 Part III〉●

欧文タイトル：「atorie-no-nazo」
会期：1999 年 11 月 20 日－2000 年 1 月 10 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：白井謙二郎、古沢岩美、寺田政明、清塚紀子、深井隆、丸山常生〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

アトリエの謎展図録〈ミュージアム・コレクション'79-'99 Part III〉

板橋区立美術館　1999 年 11 月　開館 20 周年記念

白井謙二郎、清塚紀子、深井隆、丸山常生　聞き手・松岡希代子、佐々木英理子：〔作家にきく〕

古沢岩美、寺田政明：〔作家のことば再録〕

松岡希代子：6 人 6 様アトリエ案内

所蔵：□、国新美、東文研、和光大、国会図、都中図

作品を読む〈足で読む、耳で読む、画面で読む〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 5 月 27 日－7 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：靉嘔、芥川〔間所〕紗織、麻生三郎、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、石井茂雄、石井鶴三、石川寅治、磯辺行久、糸園和三郎、井上長三郎、岩崎鐸、漆原英子、榎本和子、太田三郎、大塚睦、岡本太郎、荻須高徳、オノサト・トシノブ、小野田豊、郭徳俊、片谷曖子、片山公一、桂川寛、桂ゆき、金沢健一、川口軌外、川島清、川端実、菊畑茂久馬、北代省三、木戸修、木村荘八、清塚紀子、草間彌生、国吉康雄、小島信明、駒井哲郎、小牧源太郎、今道子、佐田勝、佐藤太清、佐藤時啓、篠原有司男、島州一、白井謙二郎、白木正一、末松正樹、杉全直、須田基揮、清野恒、関根伸夫、高木修、高松次郎、高山良策、立石大河亜、田中佐一郎、田中田鶴子、鶴岡政男、寺田政明、利根山光人、豊嶋康子、中西夏之、中村宏、牛波、橋尾常次、早瀬瀧江、原仲裕三、尾藤豊、平山郁夫、深井隆、福沢一郎、福島秀子、福田建之、福田美蘭、藤沢喬、藤松博、古沢岩美、細田喜道、丸山常生、三木富雄、向井修二、村上善男、矢部友衛、山下菊二、山本敬輔、山本日子士良、吉仲太造、吉原治良〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

作品を読む〈足で読む、耳で読む、画面で読む〉

板橋区役所　2000 年 5 月

尾崎眞人：「公立美術館」が「美術史」コレクションを乖離する日。

吉備久美子、近藤正高、塚本樹、深澤明香、藤田一人、牧野光、水田由紀：〔街角キュレーター寄稿〕

尾崎眞人、佐々木英理子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

「崇高と労働」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 8 月 26 日－10 月 29 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：青野文昭、上前智祐、内海信彦、大石千秋、岡部昌生、加藤義郎、菊畑茂久馬、佐藤時啓、嶋田美子、髙柳恵里、多和圭三、豊嶋康子、中村孝平、ハスラー・アキラ、bu bu〔出品者リスト順〕

○展覧会カタログ

「崇高と労働」図録

板橋区立美術館　2000 年 8 月　特別展　シリーズ・Art in Tokyo No.12

尾﨑眞人：崇高と労働〈或いは、常にその先にあるモノ〉

尾﨑眞人、佐々木英理子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

発信//板橋//2011 けしきをいきる ●

欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」

会期：2011 年 2 月 26 日－3 月 27 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：利部志穂、迯町勝治、蓖島伸彦、藤本壮介、船井美佐、屋代敏博、吉賀あさみ〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

発信//板橋//2011 けしきをいきる

板橋区立美術館　2011 年 2 月 26 日　付・展示記録集

前山裕司：けしきをいきる-ために

利部志穂、迯町勝治、蓖島伸彦、船井美佐、吉賀あさみ：〔作家のことば〕

弘中智子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図、都中図

発信//板橋//2013 ギャップ・ダイナミクス ●

欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」

会期：2013 年 11 月 26 日－2014 年 1 月 5 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：大矢りか、金沢寿美、任田進一、中津川浩章、丸山常生、丸山芳子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

発信//板橋//2013 ギャップ・ダイナミクス

板橋区立美術館　2013 年 11 月 26 日　付・展示記録集

Studio mar＝丸山芳子・丸山常生：新たな始まり

大矢りか、金沢寿美、任田進一、中津川浩章、丸山常生、丸山芳子：〔作家のことば〕

松岡希代子、佐藤さおり：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図、都中図

20 世紀検証シリーズ No.4 種村季弘の眼 迷宮の美術家たち展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 9 月 6 日－10 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：今道子、種村季弘、加納光於、鈴木慶則、金子國義、鬼海弘雄、桑原弘明、中村宏、池田龍雄、横尾龍彦、土井典、真島直子、細江英公、中谷忠雄、横尾忠則、合田佐和子、谷川晃一、十文字美信、四谷シモン、吉野辰海、秋山祐徳太子、井上洋介、赤瀬川原平、中西夏之、清水晃、平賀敬、美濃瓢吾、野中ユリ、吉江庄蔵、森村泰昌、柄澤齊、間村俊一、勝本みつる、宇野亜喜良、石内都、渡辺兼人、菊畑茂久馬、一原有徳、森ヒロコ、永田耕衣、

藤富保男〔作品一覧順〕

〇展覧会カタログ

種村季弘の眼 迷宮の美術家たち　　柿沼裕朋編

平凡社　2014 年 8 月 29 日

柿沼裕朋：はじめに／各章リード

種村季弘：タネムラ流批評

齋藤靖朗編：種村季弘略年譜

種村季弘：編者あとがき

弘中智子編：作品一覧

弘中智子編：出品作家略歴

柿沼裕朋、弘中智子、齋藤靖朗編：出品作家批評リスト

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

発信//板橋//2016 江戸－現代 ●

欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」

会期：2016 年 12 月 3 日－2017 年 1 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：奥畑実奈、川島大幸、清塚紀子、白石顕子、人見元基・狛、深井隆、山口晃〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

発信//板橋//2016 江戸－現代

板橋区立美術館　2016 年 12 月 3 日　付・展示記録集

深井隆：江戸－現代

奥畑実奈、川島大幸、清塚紀子、白石顕子、人見元基・狛、深井隆、山口晃：〔作家のことば〕

植松有希、伏見恵理子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図、都中図

品川文化振興事業団 O 美術館

書と絵画との熱き時代・1945～1969 ●

欧文タイトル：「Calligraphy and Painting, the Passionate Age：1945-1969」

会期：1992 年 1 月 25 日－2 月 26 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：上田桑鳩、大沢雅休、小川瓦木、稲村雲洞、大沢竹胎、武士桑風、中島邑水、表立雲、岡部蒼風、池田水城、森田子龍、井上有一、江口草玄、辻太、篠田昭二、手島右卿、比田井南谷、篠田桃紅、長谷川三郎、吉原治良、津高和一、須田剋太、中村真、泉茂、白髪一雄、岡田謙三、川端実、高井貞二、菅井汲、田淵安一、大西茂、柳頼雅、横山操、堂本印象〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

書と絵画との熱き時代・1945～1969

品川文化振興事業団 O 美術館　1992 年 1 月

針生一郎：戦後日本の前衛書〈絵画との密月時代をこえて〉

天野一夫：「書と絵画との熱き時代」展・序説

小川瓦木、稲村雲洞、武士桑風、表立雲、岡部蒼風、辻太、篠田昭二、比田井南谷：アンケート

大西 茂：〔作家のことば〕

森田子龍：私のめざしている書

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、京都学、国会図

ビデオ・新たな世界――そのメディアの可能性 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 11 月 3 日－25 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：安藤紘平、飯村隆彦、出光真子、かわなかのぶひろ、小林はくどう、中井恒夫、中島興、中谷芙二子、萩原朔美、松本俊夫、山口勝弘、今井祝雄、植松奎二、郭徳俊、河口龍夫、木下佳通代、黒崎彰、野村仁、松本正司、村岡三郎、米津茂英、榎倉康二、川村悦郎、倉重光則、小本章、高見澤文雄、保科豊巳、堀浩哉、和田守弘、谷川俊太郎、寺山修司、楠かつのり、IKIF(石田木船映像工場)、石田英範、大榎淳、昼間行雄、松村泰三、加藤到〔作家略歴順〕

註：略歴作家のうち萩原朔美の図版は無い。

〇展覧会カタログ

ビデオ・新たな世界――そのメディアの可能性

品川文化振興事業団 O 美術館　1992 年 11 月

天野一夫：総論――反「ビデオ・アート」そして/あるいは汎「ビデオ・アート」

西嶋憲生：初期ビデオ探究ノート〈映像史・美術史との接点〉

盛岡祥倫：日本のビデオ・アートをめぐるメモランダム：1972 年-

松本俊夫、中谷芙二子、安藤紘平、飯村隆彦、小林はくどう、かわなかのぶひろ、中島興、山口勝弘、中井恒夫、松本正司、河口龍夫、植松奎二、米津茂英、今井祝雄、野村仁、出光真子、郭徳俊、川村悦郎、堀浩哉、和田守弘、高見澤文雄、倉重光則、保科豊巳、小本章、楠かつのり、IKIF(石田木船映像工場)、石田英範、大榎淳、昼間行雄、松村泰三、加藤到：自作解説・ことば、アンケート

松本俊夫：初期ビデオを振り返って

楠かつのり：新たな映像イメージを求めて〈身体のうちなるテクノロジー〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、和光大

「私の地球、私の仲間」絵画展〈国連・障害者の十年〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 12 月 4 日－23 日　大崎・O 美術館　主催：NHK、NHK 厚生文化事業団・国際障害者年推進会議・品川文化振興事業団 O 美術館

出品：特別招待出品；岩下哲士、エム ナマエ、スティーブン・ウィルシャー〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「私の地球、私の仲間」絵画展〈国連・障害者の十年〉

NHK・NHK 厚生文化事業団　1992 年 12 月

岩崎巴人、久里洋二、高木金次、野田好子、長谷川栄：審査委員講評

所蔵：□、国新美、東文研

ART IN JAPANESQUE〈現代の「日本画」と「日本画」的イメージ〉●

欧文タイトル:「Art in Japanesque Contemporary Traditional-style Japanese Painting and the Conventional Japanesque Image」

会期：1993 年 1 月 29 日－2 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：靉嘔、篠原有司男、田口雅巳、横尾忠則、岡村桂三郎、尾長良範、河嶋淳司、北田克己、清河恵美、斉藤典彦、鈴木陽子、マコトフジムラ、奥村靫正、諏訪直樹、大日本印刷、谷口広樹、寺門孝之、中ハシ克シゲ〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART IN JAPANESQUE〈現代の「日本画」と「日本画」的イメージ〉

品川文化振興事業団 O 美術館　1993 年 1 月

天野一夫:序論・「ART IN JAPANESQUE〈現代における「日本画」的イメージの行方〉」

柏木 博：日本的なるものの表現を振り返る

北澤憲昭：「日本画」というキッチュ

田口雅巳、岡村桂三郎、尾長良範、河嶋淳司、北田克己、清河恵美、斉藤典彦、鈴木陽子、諏訪直樹〔再録〕、大日本印刷、谷口広樹、寺門孝之、中ハシ克シゲ「庭の松」：作家アンケート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

「電子的皮膜・水のたてもの」展 ●

欧文タイトル：「ELECTRONIC SURFACE　LIQUID STRUCTURE」

会期：1993 年 11 月 6 日－12 月 1 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：石井勢津子、伊東豊雄、小畑正好、倉俣史朗、関口敦仁、藤幡正樹、横尾忠則〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「電子的皮膜・水のたてもの」展

品川文化振興事業団 O 美術館　1993 年 11 月

谷川 渥：皮膚論的な想像力のために

天野一夫：電子的皮膜――水のたてもの

石井勢津子、伊東豊雄、小畑正好、関口敦仁、藤幡正樹、横尾忠則：〔アンケート、作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

日本画の抽象－その日本的特質 ●

欧文タイトル：「Abstraction in Nihonga－Reconsideration of Japanese Features－」
会期：1994 年 2 月 11 日－3 月 9 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館
出品：岩橋英遠、児玉希望、杉山寧、堂本印象、岩澤重夫、堂本元次、山本知克、大野俶嵩、下村良之介、野村耕、不動茂弥、星野真吾、三上誠、山崎隆、湯田寛、岩田重義、楠田信吾、久保田壱重郎、榊健、名合孝之、野村久之、朝倉摂、岩崎鐸、上田臥牛、佐藤多持、塩原友子、中島清之、船田玉樹、水谷勇夫〔出品リスト順〕
註：出品欄の岩橋英遠は戦前作品。
〇展覧会カタログ
日本画の抽象－その日本的特質
品川文化振興事業団 O 美術館　1994 年 2 月
針生一郎：日本画の抽象おぼえ書き
天野一夫：日本画の抽象・序説
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

「水の変幻――その新しき表現」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1995 年 6 月 9 日－7 月 2 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館
出品：榎本潮、城戸孝充、小島久弥、笹岡敬、八柳尚樹、クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョノー、ビル・ヴィオラ、伊奈新祐〔出品目録順〕
〇展覧会カタログ
「水の変幻――その新しき表現」展
品川文化振興事業団 O 美術館　1995 年 6 月
小林康夫：水、その曖昧さから物質性へ〈東野芳明の主題による 5 つの断章〉
建畠 哲：三つの泉
天野一夫：まもの・水もの・つくりもの――現代における〈水〉表現
榎本潮、城戸孝充、小島久弥、笹岡敬、八柳尚樹、伊奈新祐：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

「ひとがた・カラクリ・ロボット」展〈ひとはひとをどのようにあらわそうとしたのか〉 ●
欧文タイトル：「HUMAN FIGURE　How dose MAN express the human Figure?」
会期：1996 年 2 月 2 日－3 月 3 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館
出品：村井次郎、ジャン・ピエール・ダルナ、グループ・七彩(欠田誠、加野正浩)、七彩、毛利臣男・加野正浩、八代目玉屋庄兵衛、ナム・ジュン・パイク、土佐尚子、加藤一郎、四谷シモン、荒木博志、森村泰昌、鳥光桃代、吉田かつじ、太郎千恵藏〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。
〇展覧会カタログ
「ひとがた・カラクリ・ロボット」展〈ひとはひとをどのようにあらわそうとしたのか〉
品川文化振興事業団 O 美術館　1996 年 2 月

増淵宗一：現代における人形の諸相
土居郁雄：活人形史・その光芒〈創始者松本喜三郎の動勢を中心に〉
立川昭二：人形の夢、人間の夢
井上晴樹：第一次ロボット・ブームに探る人形、カラクリ、ロボットの関係
天野一夫編：関連総合年表
土居郁雄編：活人形史・興行年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

「LIFE/ART/TECHNOLOGY――生物/いのち/ART」展 ●

会期：1996 年 11 月 22 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：飴屋法水、ウィリアム・レイサム、王新平、大橋力、カール・シムズ、銅金裕司、トーマス・レイ、マイケル・トルソン、三上晴子、muon(足立涼子・手島荘子)〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

「LIFE/ART/TECHNOLOGY――生物/いのち/ART」展
品川文化振興事業団 O 美術館　1996 年 11 月　付・別刷 1 枚
中村桂子：生きものの内にあるのは
天野一夫：〈LIFE――ART――TECHNOLOGY〉
飴屋法水、ウィリアム・レイサム、王新平、大橋力、カール・シムズ、銅金裕司、トーマス・レイ、マイケル・トルソン、三上晴子、muon：作家のことば・展示コメント・アンケート
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

「光をつかむ――素材としての〈光〉の現れ」展 ●

欧文タイトル：「CATCHING THE LIGHT」

会期：1997 年 11 月 21 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：有地左右一＋笹岡敬、逢坂卓郎、作間敏宏、平松伸之、松村泰三、吉田重信、渡辺好明〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「光をつかむ――素材としての〈光〉の現れ」展
品川文化振興事業団 O 美術館　1997 年 11 月
池内了：過去と未来を結ぶ宇宙の光
天野一夫：〈光〉・そのとらえがたさの中で――「光をつかむ」展のために
有地左右一＋笹岡敬、逢坂卓郎、作間敏宏、平松伸之、松村泰三、吉田重信〔1 行〕、渡辺好明：〔作家のことば〕
有地左右一＋笹岡敬、逢坂卓郎、作間敏宏、松村泰三、渡辺好明：〔アンケート〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美(付・出品目録 8p.)、写真美、江戸博(付・出

品目録 8p.)、神近美、横浜美(付・出品目録 8p.)、愛芸文、国会図(付・出品目録 8p.)、都中図(付・出品目録 8p.)

「曖昧なる境界――影像としてのアート」展 ●

欧文タイトル：「Anbiguous border：Art as a shadow 」

会期：1998 年 11 月 20 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：秋岡美帆、市川美幸、伊庭靖子、小河朋司、小山穂太郎、徳永雅之、中野西敏弘、森田多恵〔目録順〕

○展覧会カタログ

「曖昧なる境界――影像としてのアート」展

品川文化振興事業団 O 美術館　1998 年 11 月

建畠 哲：曖昧さについて

杉田 敦：静かに戒められる感覚

天野一夫：影像的

秋岡美帆、市川美幸、伊庭靖子、小河朋司、小山穂太郎、徳永雅之、中野西敏弘、森田多恵：作家解説・アンケート・ワークショップ・コメント・展覧会についてのコメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

渋谷区立松濤美術館

特別展 松濤美術館 現代の版画 1987 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 10 月 13 日－11 月 23 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：東谷武美、安東菜々、井田照一、柄澤齊、河内セイコー〔成幸〕、木村光佑、木村秀樹、清塚紀子、久保卓治、黒崎彰、小林敬生、坂爪厚生、園山晴巳、中林忠良、野田哲也、橋本文良、浜西勝則、森岡完介、森野眞弓、山崎秀男、山中現、綿引明浩〔総目録順〕

○展覧会カタログ

特別展 松濤美術館 現代の版画 1987

渋谷区立松濤美術館　1987 年 10 月

藤井久栄：版画の現在

瀬尾典昭：「現代の版画 1987」について

東谷武美、安東菜々、井田照一〔再録〕、柄澤齊、河内セイコー、木村光佑、木村秀樹、清塚紀子、久保卓治、黒崎彰、小林敬生、坂爪厚生、園山晴巳、中林忠良、野田哲也、橋本文良、浜西勝則、森岡完介、森野眞弓、山崎秀男、山中現、綿引明浩：〔作家本人のコメント〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大

特別展〈具体〉未完の前衛集団〈兵庫県立近代美術館所蔵作品を中心に〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 4 月 10 日－5 月 27 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：吉原治良、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、金山明、田中敦子、元永定正、吉原通雄、村上三郎、山崎つる子、上前智祐、鷲見康夫、正延正俊、浮田要三、吉田稔郎、向井修二、前川強、松谷武判〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

特別展〈具体〉未完の前衛集団〈兵庫県立近代美術館所蔵作品を中心に〉

渋谷区立松濤美術館　1990 年 4 月

中島徳博：拡散と凝縮〈吉原治良と具体美術協会〉

千葉成夫：「具体」への入口

光田由里：ラディカルな欠如〈初期・具体美術協会〉

光田由里編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

特別展 松濤美術館 現代の版画 1990 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 8 月 7 日－9 月 16 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：秋岡美帆、池田良二、磯見輝夫、井上厚、遠藤竜太、大浦信行、岸中延年、北辻良央、小枝繁昭、越谷賢一、小山愛人、高原洋一、田中孝、出店久夫、永原ゆり、林孝彦、筆塚稔尚、山口啓介、山本容子、若月公平〔総目録順〕

○展覧会カタログ

特別展 松濤美術館 現代の版画 1990

渋谷区立松濤美術館　1990 年 8 月

小倉忠夫：今日の版画状況について

秋岡美帆、池田良二、磯見輝夫、井上厚、遠藤竜太、大浦信行、岸中延年、北辻良央、小枝繁昭、越谷賢一、小山愛人、高原洋一、田中孝、出店久夫、永原ゆり、林孝彦、筆塚稔尚、山口啓介、山本容子、若月公平：〔作家本人のコメント〕

瀬尾典昭：現代の現在地点

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

特別展 現代の版画 1994 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 12 月 14 日－1995 年 1 月 29 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：飯塚二郎、出原司、井出創太郎、大島成己、太田三郎、海東忠彦、杉山晶子、鈴木頼子、曽根光子、高浜利也、西村正幸、藤木正則、増田史朗、宮井里夏、山本麻友香、横田亜弓、艾沢詳子〔出品作品目録順〕

○展覧会カタログ

特別展 現代の版画 1994

渋谷区立松濤美術館　1994 年 12 月

飯塚二郎、出原司、井出創太郎、大島成己、太田三郎、海東忠彦、杉山晶子、鈴木頼子、曽根光子、高浜利也、西村正幸、藤木正則、増田史朗、宮井里夏、山本麻友香、横田亜弓、艾沢詳子：作家本人のコメント

瀬尾典昭：版画に対する意識と視点

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、都中図

版画の 1970 年代 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 6 月 11 日－7 月 21 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：粟津潔、田名網敬一、田中一光、永井一正、福田繁雄、横尾忠則、靉嘔、井田照一、一原有徳、榎倉康二、岡部昌生、上矢津、河口龍夫、北辻良央、下谷千尋、畦地拓治、安東菜々、木村秀樹、小本章、小山愛人、斉藤智、島州一、田中孝、中林忠良、萩原朔美、松谷武判、松本旻、村上明、山中信夫、吉田克朗、吉仲太造、池田良二、郭徳俊、北川健次、木村光佑、黒崎彰、山下菊二、吉田穂高、吉原英雄、磯崎新、磯辺行久、菊畑茂久馬、関根伸夫、高松次郎、野田哲也、眞板雅文、若江漢字、加納光於、桑山忠明、菅木志雄、菅井汲、タイガー立石、辰野登恵子、中村宏、原口典之、浜田浄、百瀬寿、吉村益信、李禹煥、飯田善國、小田襄、斎藤義重、保田春彦、若林奮、脇田愛二郎〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

版画の 1970 年代

渋谷区立松濤美術館　1996 年 6 月　特別展

瀬尾典昭：状況と特質〈「版画の 1970 年代」について〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

女性の肖像〈日本現代美術の顔〉 ●

欧文タイトル：「images of women in Japanese contemporary art 1930's-90's」

会期：1996 年 12 月 10 日－1997 年 2 月 2 日　渋谷区立松濤美術館 主催：渋谷区立松濤美術館

出品：〔戦後〕；矢部友衛、松本竣介、吉原治良、恩地孝四郎、阿部展也、森緑翠、宮地重雄、永井潔、北川民次、桂ゆき、大辻清司、早瀬龍江、内田巌、河原温、瑛九、山口薫、間所紗織、尾藤豊、漆原英子、中村宏、伊東深水、篠原有司男、横尾忠則、高松次郎、鏑木昌弥、内藤正敏、合田佐和子、入江比呂、吉仲太造、草間彌生、舟越桂、イケムラレイコ、三輪美津子、平川典俊、荒木経惟、中原浩大、福田美蘭、森村泰昌、白井美穂、丸山直文〔出品リスト順〕

註：「戦前」には中原実、寺島貞志、小野忠重、峰村リツ子、矢部友衛、佐藤哲三、岡本唐貴、瑛九、鴨下晁湖、武藤嘉門、ワルワーラ・ブブノワ、荻島安二、向井久万、山下菊二、内田巌、新海覚雄、杉全直、鳥居敏文、村山知義、鈴木誠、阿部展也が出品されている。

○展覧会カタログ

女性の肖像〈日本現代美術の顔〉

渋谷区立松濤美術館　1996 年 12 月

光田由里：女性の肖像〈日本現代美術の顔〉について

光田由里編：作品解説・作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図

現代日本の水彩表現〈にじみ、ぼかし、重ね、線〉●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY JAPANESE WATERCOLOR－Wet in wet, Grandated wash, Overpainting Line－」

会期：2002 年 12 月 10 日－2003 年 1 月 26 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：土屋文明、舟橋淳司、野見山暁治、池田満寿夫、難波田史男、カジ・ギャスディン、青柳光枝、山口啓介、大浦こころ、丸山直文、若林奮、杉山尚子、榎倉康二、李禹煥、崔恩景、山田正亮、根岸芳郎、小池隆英〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代日本の水彩表現〈にじみ、ぼかし、重ね、線〉

渋谷区立松濤美術館　2002 年 12 月　特別展

福井泰民：〔作家解説〕

福井泰民：現代日本の水彩表現〈にじみ、ぼかし、重ね、線〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：〔群馬展〕2006 年 9 月 17 日－10 月 22 日　第 1 会場；高崎市美術館、第 2 会場；前橋・群馬県庁昭和庁舎／10 月 31 日－12 月 10 日　渋谷区立松濤美術館

主催：群馬県立近代美術館・高崎市美術館・渋谷区立松濤美術館〔巡回 2-2〕

註：群馬県立近代美術館の分担した展示は、同館が休館中であったため群馬県庁昭和庁舎で開催された。

――→群馬県立近代美術館〔巡回 2-1・第 2 会場；群馬県庁昭和庁舎〕

大辻清司の写真〈出会いとコラボレーション〉●

欧文タイトル：「OTSUJI KIYOJI　Photographs as Collaborations」

会期：2007 年 6 月 5 日－7 月 16 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：大辻清司、斎藤義重、瀧口修造、阿部展也、山口勝弘、北代省三、浜田浜雄、グラフィック集団、石元泰博、辻彩子、佐藤慶次郎〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

大辻清司の写真〈出会いとコラボレーション〉

渋谷区立松濤美術館　2007 年 6 月

光田由里：構成・図版解説

大日方欣一編：大辻清司アンソロジー

大日方欣一：写真家大辻清司・揺籃期と出発

大日方欣一編：大辻清司クロニクル

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図

○関連書籍

大日方欣一・光田由里編：大辻清司の写真〈出会いとコラボレーション〉

フィルムアート社　2007 年 6 月 11 日

註：本書は上記の展覧会カタログを単行書化したもの。

所蔵：□、国新美、東近美、写真美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展 ●

欧文タイトル：「Hi-Red Center：The Documents of “Direct Action”」

会期:2013 年 11 月 9 日－12 月 23 日　名古屋市美術館／2014 年 2 月 11 日－3 月 23 日　渋谷区立松濤美術館

主催：渋谷区立松濤美術館・日本経済新聞社〔巡回 2-2〕

――→名古屋市美術館〔巡回 2-1〕

『今様』－昔と今をつなぐ ●

欧文タイトル：「IMAYŌ Connecting Past and Present」

会期：2017 年 4 月 5 日－5 月 21 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：石井亨、木村了子、染谷聡、棚田康司、満田晴穂、山本太郎〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

『今様』－昔と今をつなぐ

渋谷区立松濤美術館　2017 年 4 月 5 日　英文併載

ジョン・ショスタック：このデジャビュ〔既視感〕、見たことがある：『今様』をめぐる一考察

河合正朝：「今様」を考える

大平奈緒子：先人への憧憬と挑戦－受け継ぎ、変容させる者たち

石井亨、木村了子、染谷聡、棚田康司、満田晴穂、山本太郎：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東大駒、国会図、都中図

涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展 ●

欧文タイトル：「The Echoes from the Abyss：The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition」

会期:2017 年 11 月 3 日－12 月 24 日　足利市立美術館／2018 年 4 月 27 日－6 月 24 日　沖縄県立博物館・美術館／8 月 11 日－9 月 24 日　渋谷区立松濤美術館

主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

――→足利市立美術館〔巡回 3-1〕

終わりのむこうへ：廃墟の美術史 ●

欧文タイトル：「BEYOND THE END：RUINS IN ART HISTORY」

会期：2018 年 12 月 8 日－2019 年 1 月 31 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：不染鉄、岡鹿之助、池田龍雄、今井憲一、大沢昌助、麻田浩、大岩オスカール、元田久治、野又穫〔作品リスト順〕

註:出品欄は「III 章 廃墟に出会った日本の画家たち:近世と近代の日本の美術と廃墟主題」、「V 章 幻想のなかの廃墟：昭和期の日本における廃墟的世界」、および「VI 章 遠い未来を夢見て：いつかの日を描き出す現代画家たち」のうち、戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

終わりのむこうへ：廃墟の美術史

渋谷区立松濤美術館　2018 年 12 月 3 日

谷川 渥：廃墟の美学－表象の歴史を眼差す

平泉千枝：日本に廃墟画はあったのか〈江戸から現代まで〉

平泉千枝、西美弥子：作家・作品解説

所蔵：□

世田谷美術館

芸術と素朴 ●

欧文タイトル：「Naivety in Art」

会期：1986 年 3 月 30 日－6 月 15 日　世田谷美術館／6 月 28 日－8 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館

主催：世田谷美術館〔巡回 2-1〕

出品：山本作兵衛、丸木スマ、広島市民が描いた原爆の絵、棟方志功、稗田一穂、川上澄生、畦地梅太郎、飯野農夫也、谷内六郎、久里洋二、有元利夫、篠原有司男、横尾忠則、日比野克彦〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

芸術と素朴

世田谷美術館　1986 年 3 月　主に英文併載

大島清次：芸術と素朴

遠藤 望：近代美術における素朴性

塩田純一：現代美術における素朴

遠藤 望：日本近代美術と素朴な画家たち

川口幸也：素朴の水系――稚拙美の源流から

塩田純一：ノート：日本の近現代美術における素朴表現

遠藤望、児島薫、竹山博彦、川口幸也、塩田純一：〔作家解説〕

高橋直裕：子どもと美術

註：論考は第 II 部のみを記載、作家解説は戦後作品出品の作家を対象とした。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

日本の美術館建築展 ●

欧文タイトル：「JAPANESE MUSEUM ARCHITECTURE」
会期：1987 年 2 月 21 日－3 月 22 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館
出品：坂倉準三、谷口吉郎、村野藤吾、川崎清、前川國男、磯崎新、黒川紀章、大髙正人、内井昭蔵、槇文彦、丹下健三、吉田五十八、菊竹清訓、白井晟一、谷口吉生、石山修武、原広司、大江宏、山本忠司、毛綱毅曠、戸尾任宏〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
日本の美術館建築展図録
世田谷美術館　1987 年 2 月
大島清次：日本の地方公立美術館建築をめぐって
奥平耕造：美術館建築の歴史
磯崎新、黒川紀章、大髙正人、内井昭蔵、槇文彦、丹下健三、菊竹清訓、谷口吉生、石山修武、原広司、大江宏、山本忠司、毛綱毅曠、戸尾任宏：〔建築家のことば〕
宝木範義、塩田純一、児島薫、遠藤望、川口幸也：〔各館活動解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

NEW TRENDS　世田谷の新世代 ●
会期：1987 年 8 月 1 日－31 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館
出品：荒敦子、舟越直木、ヒグマ春夫、小泉俊己、西村博美、重吉克隆、高橋淑人、吉澤美香〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
NEW TRENDS　世田谷の新世代
世田谷美術館　1987 年 8 月
塩田純一：ノート：世田谷の新世代、あるいは今日の美術館の役割について
荒敦子、舟越直木、ヒグマ春夫、小泉俊己、西村博美、重吉克隆、高橋淑人、吉澤美香：〔作家のことば〕
塩田純一、石井幸彦：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

「あそびのこころ」展 ●
欧文タイトル：「an instinct for play」
会期：1990 年 5 月 26 日－6 月 24 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館
出品：伊藤知香、熊谷優子、スタン・アンダソン、土屋公雄、藤岡蕙子、松本秋則、最上壽之、渡辺豊重〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
「あそびのこころ」展
世田谷美術館　1990 年 5 月　21 枚(両面刷)
大島清次：遊びと芸術〈ある実践的な試み〉
高橋直裕：「あそびのこころ」が求めるもの

伊藤知香、熊谷優子、スタン・アンダソン、土屋公雄、藤岡蕙子、松本秋則、最上壽之、渡辺豊重：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、都中図

「世界の飢えを考えよう――国際美術展」日本展 ●

欧文タイトル：「THE INTERNATIONAL ART SHOW FOR THE END OF WORLD HUNGER」

会期：1990 年 7 月 7 日－8 月 5 日　世田谷美術館　主催：「世界の飢えを考えよう――国際美術展」実行委員会・世田谷美術館・朝日新聞社

出品：大竹伸朗、神山明、鈴木省三、平林薫、眞板雅文、矢野美智子、李禹煥、若林奮〔出品リスト順〕

註：出品欄には日本展出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

「世界の飢えを考えよう――国際美術展」日本展図録

「世界の飢えを考えよう――国際美術展」実行委員会・世田谷美術館・朝日新聞社　1990 年 7 月

石 弘之：飢餓の現実

神山明、鈴木省三、平林薫、眞板雅文、矢野美智子、李禹煥、若林奮：〔作家のことば〕

註:本展は世界巡回展の日本展で、この日本展に際して 8 名の日本作家が出品している。この目録では日本展のカタログのために付せられた部分を記載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

野生の復権展〈開館 5 周年記念展：コレクションからのメッセージ〉 ●

欧文タイトル：「Wildness：Toward Their Own Natures An Aspect of Contemporary Art」

会期：1991 年 4 月 2 日－5 月 6 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：飯田善國、伊藤公象、横尾忠則、大竹伸朗、小泉俊己、荒敦子〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の日本人作家を収載した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

野生の復権展〈開館 5 周年記念展：コレクションからのメッセージ〉

世田谷美術館　1991 年 4 月

勅使河原 純：野生の復権〈ある意識を超えた選択について〉

所蔵：□、東博資、都現美、都中図

都市と現代美術 廃墟としてのわが家 ●

欧文タイトル：「The Urban Environment and Art in Japan　My Home Sweet Home in Ruins」

会期：1992 年 6 月 7 日－7 月 26 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：宮本隆司、田窪恭治、絶対現場 1987(鈴木了二・田窪恭治・安齊重男)、川俣正、PH スタジオ、土屋公雄、戸谷成雄、河口龍夫、長澤伸穂、國安孝昌、柳幸典〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

都市と現代美術 廃墟としてのわが家

世田谷美術館　1992 年 6 月　英文併載

塩田純一：都市と現代美術

宮本隆司、田窪恭治、絶対現場 1987(鈴木了二・田窪恭治・安齊重男)、川俣正、PH スタジオ、土屋公雄、戸谷成雄、河口龍夫、長澤伸穂、國安孝昌、柳幸典：コメント

塩田純一、高橋直裕、北村淳子、清水真砂、矢野進：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

70 年代日本の前衛〈抗争から内なる葛藤に ボローニャ展帰国記念〉●

欧文タイトル：「AVANGUARDIE GIAPPONESI DEGLI ANNI 70」

会期：1993 年 3 月 17 日－31 日　世田谷美術館

主催：世田谷美術館・70 年代日本の前衛展実行委員会・朝日新聞社

出品：伊藤公象、榎倉康二、河口龍夫、北辻良央、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、菅木志雄、田窪恭治、辰野登恵子、彦坂尚嘉、堀浩哉、松澤宥、李禹煥〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

70 年代日本の前衛〈抗争から内なる葛藤に ボローニャ展帰国記念〉

70 年代日本の前衛展実行委員会　1993 年 3 月

井関正昭：序文

バルバラ・ベルトッツィ：70 年代日本のアヴァンギャルド

勅使河原 純：日本の 70 年代：われらの美術

建畠哲：自らの内なる制度を見据えて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

日本のアウトサイダー・アート〈パラレル・ヴィジョン－20 世紀美術とアウトサイダー・アート〉●

欧文タイトル：「Japanese Outsider Art：Inhabitants of Another World」

会期：1993 年 9 月 30 日－12 月 12 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・朝日新聞社

出品：小笹逸男、草間彌生、古賀春江、坂上チユキ、福村惣太夫、山下清、吉川敏明、渡辺金蔵(赤木城吉)〔作家解説順〕

註：古賀春江、渡辺金蔵は戦前の作家。小笹逸男、福村惣太夫、吉川敏明はみずのき寮の入寮者。

○展覧会カタログ

日本のアウトサイダー・アート〈パラレル・ヴィジョン－20 世紀美術とアウトサイダー・アート〉

世田谷美術館　1993 年 9 月　英文併載

塩田純一：異界の人――日本のアウトサイダー・アート

塩田純一、長谷川祐子、遠藤望：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大

駒、和光大、国会図

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉●

欧文タイトル：「4th Asian Art Show, Tokyo」

会期：福岡展；1994 年 9 月 10 日－10 月 16 日　福岡市美術館／箱根展；1995 年 1 月 1 日－2 月 12 日　箱根・彫刻の森美術館／秋田展；2 月 17 日－3 月 21 日　秋田県総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール／東京展；1995 年 4 月 5 日－5 月 14 日　世田谷美術館

主催：世田谷美術館・美術館連絡協議会・読売新聞社・福岡市美術館〔巡回 4-4〕

――→福岡市美術館〔巡回 4-1〕

○展覧会カタログ

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉

世田谷美術館　1995 年 4 月　英文併載〔世田谷美術館版 1〕

註：内容は福岡市美術館版に同じ。

所蔵：□、国新美、都現美

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉

世田谷美術館　1995 年 4 月　英文併載［世田谷美術館版 2］

遠藤 望：「アジア美術展」：アジア現代美術企画の含む問題

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

開館 10 周年記念特別展・世田谷の美術 ●

欧文タイトル：「The Art of Setagaya：Commemorating the Ten-Year Anniversary of the Setagaya Art Museum」

会期：1996 年 4 月 6 日－5 月 26 日　世田谷美術館　主催：世田谷区・世田谷美術館

出品：第 1 部さまざまな流れのなかで：創造的な個性 洋画；1 鈴木保徳、2 伊原宇三郎、3 渡辺浩三、4 田中繁吉、5 木下義謙、6-8 土方久功、9 牛島憲之、10 野口謙蔵、11 向井潤吉、12 緑川廣太郎、13 池邊一郎、14 久保守、15 青山龍水、16 西山真一、17 須田寿、18 伊勢正義、19 林鶴雄、20 庫田叉、21 西尾節子、22 森芳雄、23 脇田和、24 中谷泰、25 飯島一次、26 黒田頼綱、27 末田利一、28 大島士一、29 永田精二、30 野口登士子、31 三芳悌吉、32 室田豊四郎、33 織田廣喜、34 児玉佐規子、35 庄司栄吉、36 中川力、37 谷内六郎、38 斎藤真一、39 葛西四雄、40 野田好子、41 木村正、42 小作青史、43 太田國廣、44 田村能里子。彫刻；45 澤田政廣、46 大内青圃、47 森野圓象、48 本郷新、49 黒田嘉治、50 菊池一雄、51 山本常一、52 古川順三、53 柳原義達、54 淀井敏夫、55 舟越保武、56 田畑一作、57 小坂圭二、58 向井良吉、59 佐藤助雄、60 寒川典美、61 加藤昭男、62 細川宗英、63 岩野勇三、64-65 石井厚生、66 木下宏。版画；67-68 稲垣知雄、69-70 細田政義、71 吉田遠志、72-75 駒井哲郎、76 増田誠、77 吹田文明、78 加藤清美、79 原健。写真；80-81 桑原甲子雄、82-83 藤本四八。日本画；84 松林桂月、85 平福百穂、86 小川千甕、87 堅山南風、88 石川寒巌、89 郷倉千靭、90 岩田正巳、91 新井勝利、92 川口春波、93 横尾深林人、94 大山魯牛、95 福田豊四郎、96 片岡球子、97 内山雨海、98 片桐白登、99 髙山辰雄、100 西野新川、101 吉田善彦、102 大平華泉、103 郷倉和子、104 稗田一穂、105 上野泰郎、106 吉澤照子、107 三輪敦子、

108 白井進、109 佐々木裕久、110 石黒直子、111 柴田長俊。工芸；112-113 富本憲吉、114 山崎覚太郎、115 會田富康、116 大須賀喬、117 野口道方、118 井尾敏雄、119 山田貢、120 辻光典、121 帖佐美行、122 大須賀選、123 原清、124 横山尚人、125 井尾建二。第 2 部国際的動向への関心：連帯を求めて；126 福沢一郎、127 菅創吉、128 難波田龍起、129 村井正誠、130 山口薫、131 鶴岡政男、132 今西中通、133 末松正樹、134 田中亜木男、135 清川泰次、136 利根山光人、137 飯田善國、138 玉置正敏、139 深尾庄介、140 間所〔芥川〕紗織、141 千葉勝、142 吉仲太造、143 堂本尚郎、144 高橋秀、145 保田春彦、146 井上悟、147 福田繁雄、148 吉村益信、149 河原温、150 豊島弘尚、151 瓦林睦生、152 小田襄、153 横尾忠則、154 李禹煥、155 谷川晃一、156-157 安齊重男、158-159 荒木経惟、160 藤岡蕙子・佐久間美智子、161-162 難波田史男、163 森野眞弓、164 榎倉康二、165 黒田悠子、166 桑原盛行、167 絹谷幸二、168 中川千早、169 奥山民枝、170 彦坂尚嘉、171 翁譲、172 佐藤良助、173 シュウゾウ・アヅチ・ガリバー／安土修三、174 畦地拓治、175 舟越桂、176 野田裕示、177 舟越直木、178 高橋淑人、179 小泉俊巳、180 荒敦子、181 福田美蘭。第 3 部地域的な交流の輪；182 難波田龍起(重)、183 村井正誠(重)、184 須田寿(重)、185 山口薫(重)、186 小川孝子、187 脇田和(重)、188 朝妻治郎、189 利根山光人(重)、190 広井力、191 橋本正司、192 吹田文明(重)、193 最上壽之、194 小川千甕(重)、195 内田巌、196 牛島憲之(重)、197 向井潤吉(重)、198 福田豊四郎(重)、199 本郷新(重)、200 難波田龍起(重)、201 須田寿(重)、202 庫田叉(重)、203 南政善、204 菊池一雄(重)、205 原精一、206 森芳雄(重)、207 中谷泰(重)、208 石川滋彦、209 柳原義達(重)、210 南大路一、211 藤本四八(重)、212 佐藤忠良、213 舟越保武(重)、214 向井良吉(重)〔作品図版番号順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

開館 10 周年記念特別展・世田谷の美術

世田谷美術館　1996 年 4 月

大島清次：「世田谷派」Setagaya School

勅使河原 純：世田谷の美術をめぐる歩み

村井正誠、インタヴュー・構成 橋本善八：「自由な仲間たち」に寄せて

本郷新、須田寿：「白と黒の会」の思い出　再録

清水真砂編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

開館 10 周年記念特別展 芸術と素朴〈コレクション 10 年の歩み〉●

欧文タイトル：「From the Collection　Naivety in Art：A Decade of Exploration」

会期：1996 年 10 月 5 日－12 月 1 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：稲垣知雄、難波田龍起、中谷泰、山下清、芥川〔間所〕紗織、小山田チカエ、谷内六郎、杢田たけを、織田廣喜、横尾深林人、稗田一穂、土方久功、利根山光人、田中亜木男、辻光典、難波田史男、鶴岡政男、野口登士子、阿部合成、塔本シスコ、草間彌生、斎藤真一、井上悟、水木伸一、柚木沙弥郎、福沢一郎、吉澤照子、大山魯牛、横尾忠則、篠原有司男、大竹伸朗、安土修三(ガリバー)、坂上チユキ、戸谷成雄、蔡國強、久永強〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

開館 10 周年記念特別展 芸術と素朴〈コレクション 10 年の歩み〉

世田谷美術館　1996 年 10 月

大島清次：再考「芸術と素朴」

宝木範義：日本の近・現代美術における「素朴」

勅使河原 純：不条理のダンス――昭和 30 年代(1955-1964)・中部ヨーロッパの試み・外も内もなく

遠藤 望：彼らは、なぜ描いたか――アメリカと日本の独学の画家たち

久永 強：〔作家のことば〕

遠藤望、笠松佐和子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

デ・ジェンダリズム――回帰する身体 ●

欧文タイトル：「DE-GENDERISM」

会期：1997 年 2 月 8 日－3 月 23 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・朝日新聞社

出品：エヴァ・ヘス、マシュー・バーニー、草間彌生、モナ・ハトゥーム、マリー＝アンジェ・ギルミノ、ジャニーヌ・アントーニ、レベッカ・ホーン、マリーナ・アブラモヴィッチ、馬六明、キム・スジャ、加藤豪、ロバート・ゴーバー、西山美なコ、八谷和彦、ヴィト・アコンチ〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

デ・ジェンダリズム――回帰する身体

淡交社　1997 年 2 月 18 日

小林康夫：序 創造的な差異へ――痛みを通して差を超える

ロバート・ストア：眩しい呪文

デヴィッド・エリオット：強い女たち

椹木野衣：バフォメット主義の東西混淆

長谷川祐子：デ・ジェンダリズム

エヴァ・ヘス：〔作家のことば〕（〔再録〕）

長谷川祐子、アリエラ・アズライ、木村祐子、栗山明、東谷隆司：作家解説

マリーナ・アブラモヴィッチ、聞き手・長谷川祐子。キム・スジャ、聞き手・ハンス＝ウルリヒ・オブリスト：インタヴュー

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

デ・ジェンダリズム〈回帰する身体〉〔英語版〕

世田谷美術館　1997 年 2 月　全 32 ページ

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、和光大、国会図

時代の体温 ●

欧文タイトル：「ART / DOMESTIC　Temperature of the Time」

会期：1999 年 2 月 11 日－3 月 22 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：奈良美智、多田美波、東恩納裕一、田中敦子、大木裕之、根本敬、大竹伸朗〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

時代の体温

世田谷美術館　1999 年 2 月

東谷隆司：ART / DOMESTIC of the Time

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

見る・写す・表わす／みる・うつす・あらわす／ミル・ウツス・アラワス ●

欧文タイトル：「PERCEPTION Seeing」

会期：2001 年 2 月 28 日－5 月 6 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：グランマ・モーゼス、北大路魯山人、荒木経惟、アンソニー・グリーン、舟越桂、デイヴィッド・ホックニー、安齊重男〔図版収載順〕

註：出品欄は小冊子に取り上げられた作家を収載。この他、同館のコレクションのうち宮本三郎、向井潤吉から荒敦子、福田美蘭にいたる作家、高梨豊や桑原甲子雄らの写真家が数多く出品されている。

○展覧会カタログ

見る・写す・表わす／みる・うつす・あらわす／ミル・ウツス・アラワス

世田谷美術館　2001 年 2 月　企画展　付・英語版

大島清次：見ること・写すこと・表わすこと

遠藤 望：企画展「見る・写す・表わす」についての覚書

塚田美紀：子どもたちの声をきく――作品と出会う瞬間の素描

村上由美、遠藤望：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「KALEIDOSCOPE〈6 人の個性と表現〉」展 ●

欧文タイトル：「Kaleidoscope：Six Individual Expressions」

会期：2003 年 7 月 26 日－9 月 28 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：川村紀子、齋藤勝利、清水慶武、中野昌司、東美名子、光島貴之〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「KALEIDOSCOPE〈6 人の個性と表現〉」展

世田谷美術館　2003 年 7 月　英文併載

高橋直裕：KALEIDOSCOPE〈6 人の個性と表現〉展

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

時空を超える風景たち 明治の記録画から現代都市の写真まで ●

欧文タイトル：「LANDSCAPES TRANS-LOCATED」

会期：2003 年 10 月 11 日－12 月 7 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：小堀四郎、向井潤吉、宮本三郎、師岡宏次、難波田龍起、脇田和、緑川廣太郎、飯島一次、山口薫、森芳雄、須田寿、朝妻治郎、吉田善彦、髙山辰雄、阿部合成、難波田史男、牛島憲之、利根山光人、平嶋彰彦、宮本隆司〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

時空を超える風景たち 明治の記録画から現代都市の写真まで

世田谷美術館　2003 年 10 月

杉山悦子：「時空を超える風景たち」展〈展覧会の主旨と構成について〉

杉山悦子：章解説、作家略歴

杉山悦子、遠藤望：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

瀧口修造 夢の漂流物 ●

欧文タイトル：「Drifting Objects of Dreams：The Collection of Shuzo Takiguchi」

会期：2005 年 2 月 5 日－4 月 10 日　世田谷美術館／5 月 28 日－7 月 3 日　富山県立近代美術館

主催：世田谷美術館、協力：慶應義塾大学アート・センター・多摩美術大学図書館〔巡回 2-1〕

出品：富山県立近代美術館瀧口修造コレクション国内作家；靉嘔、赤瀬川原平、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、池田満寿夫、富岡多恵子、泉茂、磯崎新、出光孝子、伊藤隆康、今井滋、今井俊満、上野紀子、中江嘉男、漆原英子、瑛九、大島加津子、岡崎和郎、小野洋子、オノサト・トシノブ、小山田二郎、小山田チカエ、橿尾正次、加藤太郎、加納光於、大岡信、河原温、菊畑茂久馬、北川民次、北代省三、北脇昇、木下新、木村直道、草間彌生、工藤哲巳、合田佐和子、駒井哲郎、小牧源太郎、桜井孝身、佐藤慶次郎、篠原有司男、篠原佳尾、鈴木亘、高松次郎、武満徹、多田美波、田中敦子、田中孝道、たべ・けんぞう、ヨシダ・ヨシエ、坪内一忠、鶴岡政男、堂本尚郎、利根山光人、中川幸夫、中辻悦子、中西夏之、流政之、名坂有子、新倉喜作、西脇順三郎、飯田善國、野地正記、野中ユリ、浜口陽三、浜田知明、浜田浜雄、原田敬一郎、平岡弘子、平沢淑子、福田繁雄、藤田昭子、藤松博、藤山ハン、前田常作、松澤宥、三木敏弘、三木富雄、宮城輝夫、宮脇愛子、幸美奈子、森正洋、山口勝弘、吉仲太造、吉村益信、四谷シモン、金子國義、川井昭一。富山県立近代美術館瀧口修造コレクション瀧口修造作品；瀧口修造。慶應義塾大学所蔵作品；瀧口修造。多摩美術大学図書館瀧口修造文庫所蔵作品；瀧口修造、阿部展也、北代省三、山口勝弘、加納光於、横尾忠則、土方巽、田中一光。瀧口修造旧蔵(個人蔵)作品；草間彌生、菅井汲、武満徹、西脇順三郎、瀧口修造。参考出品作品；阿部展也、安齊重男、出光孝子、大辻清司、岡上淑子、北代省三、草間彌生、駒井哲郎、高梨豊、難波田龍起、西脇順三郎、福島秀子、前田常作、三木富雄、村井正誠、山口勝弘、横尾忠則、瀧口修造、東野芳明、中江嘉男〔出品作品目録順〕

○展覧会カタログ

瀧口修造 夢の漂流物

世田谷美術館・富山県立近代美術館　2005 年 2 月
酒井忠康：「瀧口修造 夢の漂流物」展に寄せて
小沢節子：瀧口修造と時代――「昭和の日本」という現実のなかで
谷 昌親：窓辺の邂逅――瀧口修造とアンドレ・ブルトン
林 浩平：「絶対」探求者の非望――『瀧口修造の詩的実験 1927～1937』における言語意識
林 道郎：『近代芸術』――批評の契機としての
藤井亜紀：瀧口修造と前衛美術――新しい芸術を育む場をめぐる態度とその変容
手塚美和子：サイナジー＝瀧口修造と実験工房――永続する創造の絆
高島直之：物質の夢――瀧口修造と前衛写真
矢野 進：瀧口修造と映画――P・C・L 映画製作所から美術映画「北斎」へ
小沼純一：瀧口修造と作曲家――音楽にみる夢のかたち
國吉和子：「この狂おしい美貌の青空」――瀧口修造と土方巽
稲塚展子：デザインへのまなざし――美術という場所から
野田尚稔：瀧口修造とコラボレーション――ジョアン・ミロ、マルセル・デュシャンと
光田由里：ある疑問符――瀧口修造の「造形的実験」
土渕信彦：透明な部屋――瀧口修造の「オブジェの店」を開く構想の余白に
笠井裕之：慶應義塾大学アート・センター――瀧口修造アーカイヴから
恩蔵 昇：西落合の書斎からの漂着物――多摩美術大学図書館・瀧口修造文庫
杉野秀樹：謎を残したままの、夢の漂流物――富山県立近代美術館の瀧口修造コレクション
杉山悦子：瀧口修造という場――その存在が意味するところ
瀧口修造 夢の漂流物展 資料編（I）
　野田尚稔・杉山悦子編：瀧口修造略年譜
　野田尚稔編：瀧口修造クロニクル――写真資料による
　土渕信彦編：瀧口修造による「作家の横顔」
　稲塚展子・杉野秀樹編：出品作家略歴
瀧口修造 夢の漂流物展 資料編（II）
　中島理壽編：タケミヤ画廊で開催された展覧会の記録
　土渕信彦編：アクロスティック詩とリバティ・パスポート
　土渕信彦編：「瀧口修造：夢の漂流物」参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ウナセラ・ディ・トーキョー――残像の東京物語 1935～1992 ●
欧文タイトル：「Afterimages of Tokyo 1935-1992」
会期：2005 年 4 月 23 日－5 月 29 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館
出品：荒木経惟、桑原甲子雄、高梨豊、濱谷浩、平嶋彰彦、宮本隆司、師岡宏次〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ウナセラ・ディ・トーキョー――残像の東京物語 1935～1992

世田谷美術館　2005 年 4 月　英文併載

酒井忠康：残像のなかから――展覧会に寄せて

高橋直裕：「都市へ、そしてトーキョーへ」

石崎 尚：写真の時制

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図、都中図

クリエイターズ－長大作／細谷巖／矢吹申彦〈まだ見ぬ日常への案内者たち〉●

欧文タイトル：「CREATORS－Daisuke Choh / Gan Hosoya / Novhiko Yabuki」

会期：2006 年 7 月 15 日－9 月 24 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：長大作、細谷巖、矢吹申彦

○展覧会カタログ

クリエイターズ－長大作／細谷巖／矢吹申彦〈まだ見ぬ日常への案内者たち〉

世田谷美術館　2006 年 7 月

酒井忠康：あいさつにかえて

桐山登士樹、木島俊介、伊集院静：〔作家論〕

野田尚稔：まだ見ぬ日常への案内者たち

野田尚稔、杉山悦子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 ●

欧文タイトル：「ROUSSEAU ENVISAGED：Henri Rousseau and Japanese Artists」

会期：2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　世田谷美術館／12 月 20 日－2007 年 2 月 12 日　名古屋・愛知県美術館／3 月 9 日－5 月 6 日　島根県立美術館

主催：世田谷美術館・東京新聞・NHK・NHK プロモーション〔巡回 3-1〕

出品：IV 現代のルソー像；横尾忠則、靉嘔、有元利夫、小杉小二郎、矢吹申彦、伊坂義夫、青木世一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢

東京新聞・NHK・NHK プロモーション　2006 年 10 月

遠藤 望：ルソーの 1 世紀――アンリ・ルソーと日本の近・現代美術

遠藤望、石崎尚：〔IV 現代のルソー像 章解説、作家略歴、作品解説〕

石崎尚編：展覧会関連年表

高嶋雄一郎編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

「空間に生きる――日本のパブリックアート」展 ●

欧文タイトル：「Public Art in Japan」

会期：2006 年 10 月 1 日－29 日　札幌芸術の森美術館／11 月 5 日－12 月 24 日　世田谷美術館

主催：世田谷美術館・「空間に生きる――日本のパブリックアート」展開催実行委員会〔巡回 2-2〕

――→札幌芸術の森美術館〔巡回 2-1〕

「世田谷時代 1946-1954 の岡本太郎」展〈戦後復興期の再出発と同時代人たちとの交流〉●

欧文タイトル：「Taro Okamoto and His Contemporaries in the Post-War Era」

会期： 2007 年 3 月 24 日－5 月 27 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・世田谷文学館・岡本太郎記念館・川崎市岡本太郎美術館

出品：岡本太郎、山口長男、吉原治良、桂ゆき、間所〔芥川〕紗織、吉仲太造、村上善男、ジャン・アトラン、村井正誠、長谷川三郎、末松正樹、阿部展也、桂川寛、勅使河原宏、池田龍雄、北代省三、福島秀子、山口勝弘、イサム・ノグチ〔出品目録順〕

註：出品欄は第 4 章「同時代の前衛美術家たち」の作家を収載。

〇展覧会カタログ

「世田谷時代 1946-1954 の岡本太郎」展〈戦後復興期の再出発と同時代人たちとの交流〉第 1 巻

世田谷美術館　2007 年 3 月

酒井忠康：あいさつにかえて――岡本太郎という文化現象

杉山悦子、野田尚稔：I.画家・岡本太郎の出発と再出発 第 4 章 同時代の前衛美術家たち

野田尚稔編：作家略歴 同時代の前衛美術家たち

註：個展カタログではあるが現代作家との交流の部分を採録した。なお、第 2 巻では文学者との交流が取り上げられている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

福原信三と美術と資生堂展 ●

欧文タイトル：「Shinzo Fukuhara：Art and SHISEIDO」

会期：2007 年 9 月 1 日－11 月 4 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：第 3 章 戦後の資生堂ギャラリーの活動(資生堂アートハウスのコレクションより)1 第三次椿会の作家たち；岡鹿之助、中谷泰、牛島憲之、森芳雄、舟越保武、奥村土牛、柳原義達、佐藤忠良、稗田一穂、脇田和、吉田善彦。2 第四次椿会の作家たち；堀浩哉、村上友晴、舟越桂、向井良吉、李禹煥。3 現代の活動；蔡國強〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

福原信三と美術と資生堂展

世田谷美術館　2007 年 9 月

酒井忠康：あいさつにかえて

福原義春：福原信三が遺したもの

註：本「一覧」では資生堂ギャラリーの椿会展が対象外となったので、本カタログでは

椿会展には触れていないが当該出品作品のみ採録した。なお編集は清水真砂、石井幸彦。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉●

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」
会期：2009 年 5 月 2 日－6 月 21 日　世田谷美術館／8 月 27 日－10 月 28 日　酒田・土門拳記念館／11 月 6 日－12 月 13 日　名古屋・愛知県美術館／2010 年 6 月 5 日－8 月 31 日　清里フォトアートミュージアム
主催：世田谷美術館・日本経済新聞社〔巡回 4-1〕
出品：濱谷浩、東松照明、林忠彦、長野重一、木村伊兵衛、田沼武能、土門拳、川田喜久治、石元泰博、奈良原一高、細江英公〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉
クレヴィス　2009 年 5 月 2 日
マーク・フューステル：太陽を凝視する
田沼武能、池田真魚、都築弘雄、林義勝、石元泰博、長野重一、東松照明、奈良原恵子、川田喜久治、細江英公、聞き手・高橋直裕：写真家紹介聞取り帖
副田一穂・中村史子編：略歴・展覧会・文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」
会期：2013 年 1 月 12 日－3 月 24 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館／4 月 20 日－6 月 2 日　いわき市立美術館／7 月 13 日－9 月 8 日　富山県立近代美術館／10 月 5 日－11 月 10 日　北九州市立美術館分館／11 月 23 日－2014 年 1 月 26 日　世田谷美術館
主催：世田谷美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 5-5〕
――→神奈川県立近代美術館〔巡回 5-1〕

金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち ●

欧文タイトル：「KANAYAMA Yasuki in Paris－Japanese Painters in the 1950s」
会期：2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日　葉山・神奈川県立近代美術館／5 月 16 日－7 月 5 日　富山県立近代美術館／7 月 18 日－9 月 6 日　世田谷美術館
主催：世田谷美術館・東京新聞〔巡回 3-3〕
――→神奈川県立近代美術館〔巡回 3-1〕

練馬区立美術館

「現代版画の表現と技法」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1986 年 4 月 26 日－5 月 25 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：木版；棟方志功、笹島喜平、萩原英雄、清宮質文、吹田文明、吉田穂高、城所祥、黒崎彰、舩坂芳助、野田哲也、井田照一、日和崎尊夫、河内成幸、両角修、柄澤齊、山中現。銅板、金属版；長谷川潔、浜口陽三、一原有徳、浜田知明、駒井哲郎、深沢幸雄、広田雅久、斎藤寿一、木原康行、加納光於、池田満寿夫、秀島由己男、中林忠良、清塚紀子、久保卓治、山本容子、松本秀一、永井一正。石版、オフセット；村井正誠、脇田和、菅井汲、利根山光人、永井一正(重)、吉原英雄、加納光於(重)、小作青史、井田照一(重)、原健、東谷武美、小林清子、園山晴巳、小本章、井田照一(重)。孔版；村井正誠(重)、脇田和(重)、オノサト・トシノブ、菅井汲(重)、利根山光人(重)、小野木学、前田常作、田中一光、靉嘔、荒川修作、木村光佑、松本旻、斉藤智、横尾忠則、森岡完介、脇田愛二郎、百瀬寿、長谷川哲、鎌谷伸一、木村秀樹、福井良之助、森義利。コピー；小本章＋永原ゆり〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

「現代版画の表現と技法」展

練馬区立美術館　1986 年 4 月

横山勝彦：「芸術としての版画(ノート)」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

ねりまの美術’87 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 3 月 1 日－22 日　練馬区立美術館　組織委員：裾分一弘、桑原住雄、針生一郎、本間正義、三木多聞、主催：練馬区立美術館

出品：深沢紅子、鳥居敏文、三坂耿一郎、斎藤長三、杢田たけを、分部順治、斎藤正夫、千野茂、鈴木登良次、倉石隆、松木重雄、滝瀬源一、川村浩章、木内岬、野見山暁治、宮城音蔵、白根光夫、佐藤照雄、中谷貞彦、池田龍雄、高橋圀夫、田中繁一、加賀谷武、中村宏、近藤竜男、篠崎明雄、本田晴彦、青木野枝〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

ねりまの美術’87

練馬区立美術館　1987 年 3 月　第 1 回展

根崎光男：編集後記

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、愛芸文、東大駒、国会図

ポスター日本〈グラフィックデザインの確立と展開〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 4 月 29 日－6 月 7 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：ポスターの歴史；近江匡、上田健一、猪熊弦一郎、早川良雄、伊藤憲治、今竹七郎、重成基、山城隆一、亀倉雄策、大橋正、河野鷹思、原弘、粟津潔＋細谷巌、勝井三雄、田中一光、杉浦康平、和田誠。今日のポスター；青葉益輝、浅葉克己、粟津潔、伊坂芳太良、草刈順、石岡瑛子、成瀬京子＋乾京子、伊藤憲治(重)、植松国臣、宇野亜喜良、及川正通、大橋正(重)、片山利弘、勝井三雄(重)、上條喬久、亀倉雄策(重)、河村要助、木村恒久、国東照幸、合田佐和子、河野鷹思(重)、杉浦康平(重)、田名網敬一、田中一光(重)、永井一正、長友啓典、

土屋直久、中村誠、中村誠＋福田繁雄、灘本唯人、早川良雄(重)、原弘(重)、福田繁雄、細谷巌、増田正、力石行男、鈴木清二、山城隆一(重)、湯村輝彦、横尾忠則、和田誠(重)〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家(アートディレクター、デザイナー、イラストレーター)を収載。

○展覧会カタログ

ポスター日本〈グラフィックデザインの確立と展開〉図録

練馬区立美術館　1987 年 4 月

阿部公正：ポスターと絵画

高見堅太郎：系譜・日本のグラフィック・デザイン

高見堅太郎、内田広由紀：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

抽象彫刻の形成期 1945-1960 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 11 月 3 日－12 月 11 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：吾妻兼治郎、井上武吉、木村賢太郎、篠田守男、建畠覚造、豊福知徳、堀内正和、向井良吉、村岡三郎、毛利武士郎〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

抽象彫刻の形成期 1945-1960

練馬区立美術館　1988 年 11 月

三木多聞：抽象彫刻の形成期

横山勝彦：戦後抽象彫刻の基調(ノート)

註：物故彫刻家の植木茂、昆野恆、辻晋堂は作家解説と参考図版の収載のみ。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

ねりまの美術'89 ●

欧文タイトル：「Art of Nerima '89」

会期：1989 年 2 月 8 日－3 月 13 日　練馬区立美術館　組織委員：粟津則雄、桑原住雄、針生一郎、本間正義、三木多聞、主催：練馬区立美術館

出品：秋保正三、岩井泰三、岡崎乾二郎、岡本省吾、笠松宏友、加藤一、桐野江節雄、久保孝雄、近藤良悦、高井寛二、高木雅章、高橋潮、田代晴巳、寺坂公雄、中尾彰、永瀬照子、楢原健三、西尾善積、にしおかひろし、西村愿定、野田典男、橋本憲治、藤井考次朗、三好ユキ子、森省一郎、八幡健二、山内秀臣、吉野純〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

ねりまの美術'89

練馬区立美術館　1989 年 2 月　第 3 回展

根崎光男：編集後記

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会

図

浮遊する彫刻 ●

欧文タイトル：「Sculptures ; beyond gravity」

会期：1990 年 5 月 3 日－6 月 10 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：北代省三、北山善夫、昆野恆、庄司達〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「浮遊する彫刻」図録

練馬区立美術館　1990 年 5 月

横山勝彦：「浮遊する彫刻」展開催をめぐって

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

「ねりまの美術'91－彫刻の現在」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 2 月 9 日－3 月 21 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：青木野枝、伊藤誠、岡崎乾二郎、海﨑三郎、金沢健一、寺田真由美〔図版リスト順〕

○展覧カタログ

「ねりまの美術'91－彫刻の現在」展図録

練馬区立美術館　1991 年 2 月　別冊共 2 冊

青木野枝、伊藤誠、岡崎乾二郎、海﨑三郎、金沢健一、寺田真由美：出品作家インタビュー

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「木版画－明治末から現代－」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 9 月 19 日－10 月 19 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：上阪雅人、前川千帆、恩地孝四郎、平塚運一、山口源、畦地梅太郎、棟方志功、笹島喜平、斎藤清、品川工、小野忠重、萩原英雄、吉田遠志、関野準一郎、清宮質文、吉田政次、北岡文雄、内間安瑆、吹田文明、吉田穂高、秋山泰計、城所祥、小作青史、日下賢二、李禹煥、黒崎彰、舩坂芳助、野田哲也、磯見輝夫、日和崎尊夫、小林敬生、小山松隆、河内成幸、両角修、柄澤齊、山本進、山中現、岩切裕子〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ

「木版画－明治末から現代－」展図録

練馬区立美術館　1992 年 9 月

横山勝彦：日本の木版画－版画という言葉(ノート)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

ねりまの美術'94 平面とイメージの魅惑 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 2 月 5 日－3 月 13 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：太田三郎、小野絵里、小山穂太郎、田中繁一、戸川馨、藤井孝次朗、山内秀臣、横田亜弓〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

ねりまの美術'94 平面とイメージの魅惑

練馬区立美術館　1994 年 2 月

横山勝彦：平面とイメージの魅惑について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、都中図

現代美術の手法 1 コラージュ ●

欧文タイトル：「Collage」

会期：1995 年 9 月 15 日－10 月 22 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：1)コラージュの導入。2)コラージュの定着。3)戦後美術の展開(1)――現代美術の胎動；吉原治良、阿部展也、飯田善國、斎藤義重、佐野繁次郎、小野忠弘、桂ユキ子〔ゆき〕、久野真、村上善男、吉仲太造、尾花成春、大山右一、菊畑茂久馬、田部光子、三上誠、大野俶嵩、野村耕。4) 戦後美術の展開(2)――個性的表現の確立；中村宏、赤瀬川原平、石井茂雄、清水晃、曽山節雄、タイガー立石、荒川修作、今井俊満、桂ユキ子〔ゆき〕(重)、杉全直、山下菊二、池田満寿夫、篠原有司男、野中ユリ。5) 戦後美術の展開(3)――現在の動向；高松次郎、若江漢字、斎藤義重、清塚紀子、李田たけを、三木富雄、五月女幸雄、草間彌生、脇田和、大内田茂士、島田章三、川俣正、小野和則、森村泰昌、福田美蘭、斎藤寿一、依田順子、宮崎進、藤山貴司、田部光子、横尾忠則、武山まどか。6)参考作品；外国作家〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ

現代美術の手法 1 コラージュ

練馬区立美術館　1995 年 9 月

横山勝彦：コラージュについての覚書

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

現代美術の手法 2 メディアと表現－品川工・山口勝弘 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 4 月 27 日－6 月 9 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：品川工、山口勝弘

○展覧会カタログ

現代美術の手法 2 メディアと表現－品川工・山口勝弘

練馬区立美術館　1996 年 4 月

横山勝彦：新しい造形を求めて――『メディアと表現－品川工・山口勝弘』展開催をめ

ぐって

山口勝弘：提案〈鑑賞からメディア・リテラシーへ〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代美術の手法 3 「日本画」純粋と越境〈90 年代の視点から〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 4 月 25 日－6 月 7 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：浅見貴子、味岡伸太郎、伊藤彬、岡村桂三郎、小野友三、柄澤齊、菊地武彦、小嶋悠司、斎藤隆、斉藤典彦、菅原健彦、高野勝、滝沢具幸、竹内啓、土屋禮一、仲山計介、マコト・フジムラ、間島秀徳、八木幾朗、山本直彰、楊曉閏、米谷清和〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代美術の手法 3 「日本画」純粋と越境〈90 年代の視点から〉

練馬区立美術館　1998 年 4 月

横山勝彦：「現代美術の手法展」について

野地耕一郎：純粋と越境－90 年代の「日本画」考

浅見貴子、味岡伸太郎、菊地武彦、小嶋悠司、斎藤隆、斉藤典彦、菅原健彦、高野勝、滝沢具幸、竹内啓、仲山計介、八木幾朗、山本直彰、楊曉閏、米谷清和：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

現代美術の手法 4 和紙のかたち展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 4 月 24 日－6 月 6 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：井田照一、井上隆夫、伊部京子、橿尾正次、角喜代則、北山善夫、昆野恆、楡木令子、柳井嗣雄、吉永裕〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代美術の手法 4 和紙のかたち展

練馬区立美術館　1999 年 4 月

横山勝彦：和紙と現代美術〈『現代美術の手法(4)－和紙のかたち』展によせて〉

楡木令子、柳井嗣雄：〔作家のことば〕

井田照一、井上隆夫、伊部京子、橿尾正次、角喜代則、北山善夫、昆野恆〔再録〕、楡木令子、吉永裕：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

現代美術の手法(5) 大きい版画と小さな版画展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 10 月 29 日－12 月 3 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：清宮彬、松原忠四郎、武井武雄、川上澄生、平塚運一、大沢昌助、棟方志功、一原有

徳、岡本太郎、清宮質文、菅井汲、駒井哲郎、吉田穂高、堂本尚郎、吉原英雄、島州一、木村光佑、横尾忠則、李禹煥、磯見輝夫、井田照一、日和崎尊夫、榎倉康二、原健、小林敬生、池田良二、河内成幸、両角修、柄澤齋、辰野登恵子、山本容子、尾崎ユタカ、渋谷和良、山口啓介、宮井里夏、平井素子、高浜利也、横田亜弓、尾関立子〔作品リスト順〕

註：戦前作品のみの出品作家（安田雷洲、前川千帆、国吉康雄、長谷川潔、武藤完一、平川清蔵、畦地梅太郎、藤牧義夫）は割愛した。

〇展覧会カタログ

現代美術の手法(5) 大きい版画と小さな版画展

練馬区立美術館　2000 年 10 月

横山勝彦：「大きい版画」と「小さい版画」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

現代美術の手法(6)「光とその表現」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2001 年 8 月 19 日－9 月 24 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：瑛九、上田薫、小山利枝子、徳永雅之、杉本博司、佐藤時啓、山口勝弘、菱山裕子、倉重光則、石井勢津子、作間敏宏、高橋洋子、吉永裕〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代美術の手法(6)「光とその表現」展

練馬区立美術館　2001 年 8 月　別冊共 2 冊

横山勝彦：「光」とその表現―現代美術における光の問題

所蔵：□、国新美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

「ねりまの美術 2003 版画・半画・反画〈表現と技法〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 9 月 6 日－10 月 13 日　練馬区立美術館　検討委員：粟津則雄、針生一郎、三木多聞、伊豆井秀一、主催：練馬区立美術館

出品：平塚運一、恩地孝四郎、永瀬義郎、畦地梅太郎、笹島喜平、品川工、吉田穂高、萩原英雄、北岡文雄、清宮質文、吹田文明、永井一正、小作青史、黒崎彰、日和崎尊夫、両角修、小林敬生、内間安瑆、工藤哲巳、李禹煥、河内成幸、柄澤齊、筆塚稔尚、岩切裕子、駒井哲郎、浜田知明、瑛九、斎藤寿一、池田満寿夫、加納光於、中林忠良、菊池怜司、浜口陽三、木原康行、深沢幸雄、池田良二、山本容子、松本秀一、キ・ケーリング、鈴木信吾、久保卓治、中西夏之、山口啓介、草間彌生、武田史子、横田亜弓、尾関立子、熊谷守一、有島生馬、三雲祥之助、寺田政明、宮脇公実、菅井汲、朝倉摂、勝呂忠、池田龍雄、荒川修作、吉原英雄、大沢昌助、山口長男、山下菊二、井田照一、原健、靉嘔、辰野登恵子、園山晴己、藤松博、嶋田しづ、加藤清美、谷川晃一、木葉井悦子、金子國義、上矢津、加山又造、淀井彩子、森村泰昌、君嶋真理子、佐竹邦子、福井良之助、森義利、野田哲也、横尾忠則、木村光佑、小野木学、近藤竜男、木村秀樹、榎倉康二、斉藤智、郭徳俊、鎌谷伸一、平井素子、中村忠

二、高松次郎〔作品リスト順〕

註：戦前作品のみの出品作家（川上冬崖、山本芳翠、戸張孤雁、石井柏亭、清宮彬、萬鉄五郎、橋口五葉、川瀬巴水、吉田博、堂本印象、谷中安規、前田藤四郎、小野忠重、棟方志功、下沢木鉢郎、前川千帆、朝井清、麻田辨次、川西英、北村今三、小泉癸己男、小林朝治、武田新太郎、前田政雄、石井了介、栗山茂、長谷川潔、野村重喜）および練馬区立豊玉中学校生徒作品は割愛した。

〇展覧会カタログ

「ねりまの美術 2003 版画・半画・反画〈表現と技法〉」展

練馬区立美術館　2003 年 9 月　第 18 回展

横山勝彦：「版画」入門の入門

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

「超」日本画宣言――それは、かつて日本画と呼ばれていた ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 2 月 22 日－4 月 11 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館・「超」日本画展実行委員会

出品：浅見貴子、岡村桂三郎、尾長良範、小野友三、斉藤典彦、菅原健彦、竹内啓、武田州左、マコト・フジムラ、間島秀徳、山本直彰〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

「超」日本画宣言――それは、かつて日本画と呼ばれていた

「超」日本画展実行委員会　2004 年 2 月

野地耕一郎：「日本画」と呼ぶのは、もうやめにしませんか?

浅見貴子、岡村桂三郎、尾長良範、小野友三、斉藤典彦、菅原健彦、竹内啓、武田州左、マコト・フジムラ、間島秀徳、山本直彰：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、国会図

現代美術の手法(7)　「創造のさなかに」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 19 日－3 月 31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：荻太郎、岡崎乾二郎、建畠覚造、青木野枝、吉田亜世美、井上尚子〔図版リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代美術の手法(7)　「創造のさなかに」展 参考資料集

練馬区立美術館　2005 年 2 月 19 日

横山勝彦：「観賞と創造の追っかけっこ」－「創造のさなかに」展開催をめぐって

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、、国会図

現代美術の手法(7)　「創造のさなかに」展 図録

練馬区立美術館　2005 年 3 月 23 日

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

ねりまの美術 2007 油彩画と版画 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 2 月 24 日－4 月 8 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：油彩画；鳥海青児、白髪一雄。油彩画と版画；山口長男、寺田政明、大沢昌助、勝呂忠、野見山暁治、小野木学、池田龍雄、近藤竜男、中西夏之、辰野登恵子。版画；清宮質文、柄澤齊、菊池怜司、久保卓治、郭徳俊、横田亜弓〔作品リスト順〕

註：戦前作品のみの出品作家（木村荘八と宮芳平）は割愛した。

○展覧会カタログ

ねりまの美術 2007 油彩画と版画

練馬区立美術館　2007 年 2 月

横山勝彦：油彩画と版画

所蔵：□、国新美、都現美

「賛美小舎」上田コレクション〈夫妻であつめた愛しの現代美術〉●

欧文タイトル：「Sambi Shosha Ueda Collection Mr. and Mrs. Ueda's Lovely Contemporary Art」

会期：2007 年 4 月 21 日－6 月 3 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：セクション I「美術」を越えて；石原友明、河嶋淳司、福田美蘭、ヨーゼフ・ボイス、松井智恵、ミッション・インヴィジブル(松井智恵＋石原友明)、柳幸典。セクション II「絵画」を越えて；岡村桂三郎、尾長良範、小野友三、小滝雅道、諏訪直樹、間島秀徳、山本直彰、湯浅龍平。セクション III「日常／非日常」を越えて；斉藤典彦、須田悦弘、武田州左、日高理恵子、マコト・フジムラ、湯川雅紀〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「賛美小舎」上田コレクション〈夫妻であつめた愛しの現代美術〉　練馬区立美術館編

〔練馬区立美術館〕 2007 年 4 月 21 日

上田國昭・上田克子：私たちのコレクションの成り立ち――作家の未来の共有を願って

北澤憲昭：読画会の頃――諏訪直樹の思い出を軸として

上山陽子：コレクション「所有」するということ――「賛美小舎」の「現代美術」を中心に

野地耕一郎：「日本画」という事件の目撃者にして、「事件」の収集家。

上山陽子、野地耕一郎：〔章解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち展〈II 現代作家によるつくり手たちの子どもの時間〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 8 月 2 日－31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：舟越桂、菅沼緑、西尾路子、松本秋則〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち展〈II 現代作家によるつくり手たちの子どもの時間〉

練馬区立美術館　2008 年 8 月　夏の特別企画展

高橋優実：「木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち」について
菅沼緑、西尾路子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、国会図

現代の水墨画 2009〈水墨表現の現在地点〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2009 年 1 月 30 日－3 月 22 日　富山県水墨美術館／4 月 21 日－5 月 31 日　練馬区立美術館
主催：練馬区立美術館〔巡回 2-2〕
──→富山県水墨美術館〔巡回 2-1〕

粟津則雄コレクション展〈“思考する眼”の向こうに〉●
欧文タイトル：「AWAZU NORIO COLLECTION」
会期：2016 年 11 月 19 日－2017 年 2 月 12 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館
出品：西脇順三郎、三雲祥之助、井上長三郎、柳原義達、駒井哲郎、野見山暁治、田淵安一、深沢幸雄、麻田浩、加藤清美、木原康行、渡辺恂三、池田満寿夫、中林忠良、宇野亜喜良、絹谷幸二、久保卓治、あきびんご、見目陽一、畑中優、柄澤齊、青木一平、小堀令子、芹沢銈介〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
粟津則雄コレクション目録
練馬区立美術館　2016 年 11 月 17 日
粟津則雄：想い出さまざま
加藤陽介：編集
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、国会図、都中図

目黒区美術館

「美術史探索學入門 美術館時代が掘り起こした作家達」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1988 年 2 月 27 日－3 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
出品：香田勝太、手塚一夫、山口正城、藤野一友、山中信夫。現代美術としての映像表現・篇；安土修三(ガリバー)、池田龍雄、今井祝雄、植村義夫、榎倉康二、郭徳俊、加藤好弘、河口龍夫、北辻良央、庄司達、菅木志雄、高木修、高橋雅之、高山登、長重之、中山正樹、野村仁、八田淳、羽生真、藤井博、松澤宥、松本正司、水上旬、宮崎豊治、村岡三郎、森口宏一、米津茂英、渡辺哲也、和田宏弘。特別出品；高島直之。追加出品；藤原和通〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
「美術史探索學入門 美術館時代が掘り起こした作家達」展
目黒区美術館　1988 年 2 月
加藤貞雄：ごあいさつ

正木 基：美術史の厚みと美術館のネットワーク

正田みどり、山田敦雄、中塚宏行、後小路雅弘、山本和弘：〔作家解説、略年譜、参考文献〕

正木 基：現代美術としての映像表現

正木基編：現代美術としての映像表現略年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

ワークショップ・手と目の冒険広場 PAPIER：紙物語－美しく繊細な造形 ●

会期：1990 年 7 月 28 日－8 月 26 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：イメージの広がる洋紙の世界；尾川宏、川上喜三郎、北川佳子、田代耕司、茶谷正洋、友岡秀秋、永井一正、平野友一、広井敏通、藤本雅子、三浦公亮、吉崎元造。伝統が息づく和紙の形；荒木真喜雄、内山光弘。空間に漂う紙の造形；北山善夫、高田洋一、中川真木〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ワークショップ・手と目の冒険広場 PAPIER：紙物語－美しく繊細な造形

目黒区美術館　1990 年 7 月

加藤貞雄：目黒区美術館のワークショップ〈ごあいさつにかえて〉

降旗千賀子：紙物語

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

自然を愛する芸術家たち〈バルビゾン派からコンテンポラリーフォトグラファーまで〉 ●

欧文タイトル：「Artists Who Love Nature：From Barbizon School to Contemporary Photographers」

会期：1990 年 10 月 27 日－12 月 24 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区・目黒区教育委員会・産経新聞社

出品：写真家；遠藤竜太、深瀬昌久、合田佐和子、服部冬樹、林隆喜、池田満寿夫、神蔵美子、松江泰治、森山大道、永原ゆり、清家冨夫、柴田敏雄、杉本博司、杉浦邦恵、高木由利子、田村彰英、田中裕子、築地仁、山崎博〔図版収載順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本人写真家を収載。なお画家には日本作家は含まれていない。

○展覧会カタログ

自然を愛する芸術家たち〈バルビゾン派からコンテンポラリーフォトグラファーまで〉

目黒区美術館・産経新聞社・富士カントリー　1990 年 10 月　目黒区緑化都市宣言記念展

阿部良雄：自然を愛する芸術家たち

村山康男：19 世紀フランスにおける自然と写真〈森林・樹木・花〉

杉浦邦恵・石原悦郎：現代写真と自然について

稲賀繁美、阿部良雄、写真家；前田実、福地麻理子：作家解説

阿部良雄編、写真；前田実編：年表

阿部良雄、福地麻理子編：略書誌

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

熱き時代のパンリアル展〈目黒名〈画〉座〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 6 月 8 日－7 月 14 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：不動茂弥、下村良之介、野村耕、三上誠、星野真吾、湯田寛、木村嘉子〔作家略歴収載順〕

○展覧会カタログ

熱き時代のパンリアル展

目黒区美術館　1991 年 6 月　「目黒名〈画〉座」5 分冊のうち

加藤貞雄：パンリアル美術協会

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

ワークショップ・手と目の冒険広場 水のアラベスク ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 9 月 7 日－10 月 4 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：金昌烈、原田正路、三嶋典東、伊砂利彦、上田薫、佐野猛夫、福岡道雄、吉村弘、門坂流、鴫剛、八柳尚樹〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

ワークショップ・手と目の冒険広場 水のアラベスク

目黒区美術館　1991 年 9 月

降旗千賀子：水にやどるまなざし

山田敦雄：絵画の水－はだざわりと型

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

ワークショップ・手と目の冒険広場 色の博物誌・青－永遠なる魅力 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 8 月 1 日－9 月 15 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会

出品：東山魁夷、瑛九、オノサト・トシノブ、斎藤義重、堂本尚郎、難波田龍起、大沢昌助、李禹煥、小野木学、鴨居玲、前田常作、白髪一雄、近藤竜男、三尾公三、秋山静、山田正亮、菊畑茂久馬、加納光於、井田照一、小林健二〔作品リスト順〕

註：出品欄は「II.青の系譜－近代から現代」のうち戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

ワークショップ・手と目の冒険広場 色の博物誌・青－永遠なる魅力

目黒区美術館　1992 年 8 月

加藤貞雄：ごあいさつ

森田恒之：瑠璃考

前田富士男：「青とは、いわば魅惑してやまぬ無の世界だ」〈近代絵画における色彩のありか〉

降旗千賀子：青を視覚的な肌触りとして感じるために

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中図

ニュー目黒名〈画〉座〈想い出の 1980 年代から ニュー・アート・パラダイス〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 12 月 11 日－1994 年 1 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：野又穫、前田哲明、牛島達治、上野茂都、川俣正、安田奈緒子〔表紙記載順〕

○展覧会カタログ

ニュー目黒名〈画〉座〈想い出の 1980 年代から ニュー・アート・パラダイス〉

目黒区美術館　1993 年 12 月　6 分冊

正木基、家村珠代：作家論

川俣正、聞き手・正木基：〔インタビュー〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

めぐろの美術史展－洋画・版画之巻 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 3 月 12 日－4 月 10 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：井手宣通、海老原喜之助、岡田謙三、岡部繁夫、岡見富雄、荻須高徳、古茂田守介、須山計一、仙波均平、松岡正雄、宮田武彦、駒井哲郎〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

めぐろの美術史展－洋画・版画之巻

目黒区美術館　1994 年 3 月 12 日

加藤貞雄：ごあいさつ

正木 基：めぐろの美術史－洋画・版画之巻－覚書

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

手と目の冒険広場「色の博物誌・赤――神秘の謎解き」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 8 月 6 日－9 月 18 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会

出品：浜口陽三、山口華楊、奥田元宋、草間彌生、元永定正、村上三郎、斎藤義重、大沢昌助、オノサト・トシノブ、大野俶嵩、小清水漸、村上友晴、黒崎彰、中村功、吉永裕〔作品リスト順〕

註：出品欄は「II 部 美術の中の赤－鼓動するイメージをめぐって」のうち戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

手と目の冒険広場「色の博物誌・赤――神秘の謎解き」

目黒区美術館　1994 年 8 月

加藤貞雄：ごあいさつ

村上善男：赤色変幻――原色彩としてのアカ

谷 新：赤について

降旗千賀子：赤をみる・赤を知る－素材を通して考えること

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

戦後児童画の一断面展〈多古子供アトリエと読売アンデパンダン展〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 12 月 10 日－1995 年 1 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

註：論考に拠ると作家になった児童は居ないので出品欄は割愛した。

〇展覧会カタログ

戦後児童画の一断面展〈多古子供アトリエと読売アンデパンダン展〉

目黒区美術館　1994 年 12 月

池田 栄：多古子供アトリエ 1950 年代の実践について

正木 基：多古子供アトリエと戦後児童画

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

戦後文化の軌跡 1945－1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

会期：1995 年 4 月 19 日－6 月 4 日　目黒区美術館／6 月 14 日－7 月 21 日　広島市現代美術館／8 月 15 日－9 月 24 日　兵庫県立近代美術館／10 月 8 日－11 月 5 日　福岡県立美術館

主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-1〕

出品：美術；浜田知明、松本竣介、向井潤吉、井上長三郎、香月泰男、福沢一郎、北脇昇、鶴岡政男、古沢岩美、丸木位里・俊、麻生三郎、岡本太郎、村井正誠、山元恵一、漆原英子、山口勝弘、北代省三、内田巌、桂川寛、箕田源二郎、中山正、島田澄也、桂川寛、山下菊二、尾藤豊、入野達弥、草間彌生、佐藤忠良、靉嘔、河原温、池田龍雄、中村宏、石井茂雄、堀内正和、利根山光人、曹良奎、朝倉摂、小山田二郎、斎藤義重、山口長男、オノサト・トシノブ、東山魁夷、恩地孝四郎、斎藤清、駒井哲郎、棟方志功、イサム・ノグチ、瑛九、加藤正、森田子龍、加山又造、八木一夫、安原喜明、井上有一、吉原英雄、横山操、泉茂、林康夫、辻晋堂、岩橋英遠、大野俶嵩、一原有徳、堂本印象、池田満寿夫、加納光於、篠田桃紅、三上誠、磯辺行久、鈴木治、清宮質文、中村正義、山田光、星野真吾、下村良之介、片岡球子、熊倉順吉、横尾忠則、瀧口修造、小原豊雲、勅使河原蒼風、中川幸夫、金山明、難波田龍起、桜井孝身、白髪一雄、嶋本昭三、田中敦子、荒川修作、村岡三郎、篠田守男、工藤哲

巳、山田正亮、高松次郎、元永定正、菊畑茂久馬、村上三郎、赤瀬川原平、砂澤ビッキ、若林奮、三木富雄、篠原有司男、谷川晃一、郭徳俊、幸村真佐男、多田美波、吉村益信、吉原治良、松澤宥、関根伸夫、野田哲也、菅木志雄、原口典之、野村仁、神田日勝、日和崎尊夫、柏原えつとむ、鯉江良二、松本旻、木村光佑、榎倉康二、百瀬寿、李禹煥、山崎博、北辻良央、上田薫、鴫剛、木村秀樹、河口龍夫、植松奎二、山本容子、島州一、秋山祐徳太子、斉藤智、宇佐美圭司、井田照一、三島喜美代、三輪龍作、櫃田伸也、辰野登恵子、彦坂尚嘉、北山善夫、池田良二、小清水漸、山中信夫、堀浩哉、岡崎乾二郎、柄澤齊、田窪恭治、戸谷成雄、荒木高子、日比野克彦、川俣正、安齊重男、遠藤利克、中村一美、森村泰昌、舟越桂、木下晋、宮島達男、西村陽平、山口啓介、岡部昌生、日高理恵子、福田美蘭、写真；濱谷浩、林忠彦、木村伊兵衛、土門拳、菊池俊吉、影山光洋、東松照明、名取洋之助、永田登三、河又松次郎、奈良原一高、細江英公、川田喜久治、中平卓馬、森山大道、高梨豊、篠山紀信、荒木経惟、藤原新也、木村恒久、建築；前川國男、アントニン・レーモンド、市浦健、丹下健三、内藤多仲、村野藤吾、山下寿郎、黒川紀章、毛綱毅曠、磯崎新、象設計集団、石井和紘、原広司、安藤忠雄、デザイン；富永直樹、レイモンド・ローウィ、泉真也、佐々木達三、亀倉雄策、イサム・ノグチ、渡邊力、山城隆一、細谷巌、柳宗理、早川良雄、原弘、田中一光、剣持勇、岡本太郎、河野鷹思、宮野力哉、串田光弘、横尾忠則、宇野亜喜良、粟津潔、及川正通、金子國義、林静一、平野甲賀、福田繁雄、菊竹清訓、永井一正、中村誠、長谷川好男、石岡瑛子、浅葉克己、米谷美久、泉屋政昭、鈴木八朗、奥村靫正、杉浦康平、勝井三雄、サイトウ・マコト、松永真、戸田正寿〔出品リスト順。マンガ・ファッション・テレビCM・その他は割愛した〕

○展覧会カタログ

戦後文化の軌跡 1945－1995　　目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社編

朝日新聞社　1995 年 4 月

多木浩二：序論 世界史のなかの戦後日本と文化

家村珠代、出原均、中島徳博、山崎均、尾崎信一郎、平井章一、西田桐子、西本匡伸、川浪千鶴、小林淑郎、帯金章郎、渡辺弓雄、山岸律子、古賀太、藤本圭太、山内健：作品・資料解説

第 I 章　廃墟からの出発 戦争からの傷跡〈1945-1950 年頃〉

出原 均：混乱から立ち上がる敗戦直後の美術

中島徳博：戦後写真のアクチュアリティー

家村珠代：〝欠落感〟をひきずる戦後の家族

第 II 章　成長と抑圧のはざまで〈1950 年代〉

西本匡伸：リアリズムとアヴァンギャルドの 50 年代美術

村上知彦：解体に向かうマンガ・メディア

松葉一清：建築に見る「戦後」概念の風化

第 III 章　伝統と革新〈1950-1960 年代〉

中島徳博：理念と自由を求める日本画・陶芸・書

川浪千鶴：前衛いけばなの興亡〈1945-55 年〉
正木 基：「美術と／の映画」の 50 年代・60 年代
正木 基：東京国際版画ビエンナーレと版画概念の拡散
第 IV 章　展開する前衛 大衆文化の形成〈1960 年代〉
山崎 均：過剰と沸騰の 60 年代美術
家村珠代：東京オリンピックのデザイン
山崎 均：大阪万博と生活の未来
柏木 博：戦後デザインの根拠
扇田昭彦：小劇場運動以後の現代演劇
第 V 章　「近代の懐疑」からポストモダンの時代へ〈1970-1990 年代〉
建畠 哲：西欧モダニズムを懐疑し、逸脱する現代美術
帯金章郎：西欧モダニズムを懐疑し、逸脱する現代美術
深井晃子：世界性をもった日本のファッション・デザイン
藤本圭太：テレビ CM の前衛性
石井亜矢子編：戦後文化史年表
石井亜矢子編：主要参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

1953 年 ライトアップ――新しい戦後美術像が見えてきた ●
欧文タイトル：「Shedding Light on Art in Japan 1953」
会期：1996 年 6 月 8 日－7 月 21 日　目黒区美術館
主催：多摩美術大学・目黒区美術館・朝日新聞社
出品：I.「引き裂かれた日本・私」; 阿部展也、イサム・ノグチ、石元泰博、岡本太郎、長谷川三郎。II.ジャンルを超えて ; 亀倉雄策、勅使河原蒼風、土門拳。III.ものの凝視が始まった ; 飯田善國、今井俊満、大野俶嵩、河原温、草間彌生、鶴岡政男、奈良原一高、浜田知明、比田井南谷、平川正道、村岡三郎、毛利武士郎、山田正亮。IV.歴史再発見①タケミヤ画廊の個展シリーズ・瀧口修造の眼 ; 瑛九、榎本和子、岡上淑子、小貫政之助、小野里利信(オノサト・トシノブ)、小山田二郎、加藤正、北代省三、末松正樹、須賀通泰、田川覚三、田中岑、鶴岡政男、利根山光人、名井萬亀、難波田龍起、藤松博、宮脇公実、山口勝弘。②グタイ、その前夜 ; 金山明、嶋本昭三、白髪一雄、田中敦子、村上三郎、元永定正、吉田稔郎、吉原治良。③実験工房－詩的実験の精神を生きる ; 大辻清司、北代省三(重複記載、以下「重」とす)、駒井哲郎、斎藤義重、山口勝弘(重)、勅使河原蒼風(重)、長谷川三郎(重)、福島秀子、参考作品 ; 石元泰博(重)、大辻清司(重)、辻彩子〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
1953 年 ライトアップ――新しい戦後美術像が見えてきた
目黒区美術館・多摩美術大学　1996 年 6 月
峯村敏明：総序
村山康男：引き裂かれた日本・私

家村珠代：ジャンルを超えて
峯村敏明：触覚のリアリズム――噴出したもう一つの日本
海老塚耕一：瀧口修造とタケミヤ画廊
建畠 哲：グタイ前夜
山口勝弘：実験工房
1953 年をめぐる映像、建築、詩の状況
萩原朔美：美術映画の行方
飯島洋一：三つの原爆計画－失われた原爆の記憶
平出 隆：空に架けられたもの－1953 年の詩
中島理壽・柏木弘・古田裕・渡辺嘉幸・野田尚稔・寺西恵編：年表 1951-1955
中島理壽編：文献：1953――この年の出品作家に関する文献目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

手と目の冒険広場「心を癒す植物－アート・ボタニカル・ガーデン」●
欧文タイトル：「Botanical Art Museum」
会期：1996 年 8 月 3 日－9 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
出品：太田三郎、押江千衣子、駒形克哉、竹田康宏、杉山啓子、田嶋悦子、中井川由季、中川佳宣、増田聡子、横尾哲生〔作品リスト順〕
註：出品欄は「part I 植物に向けられた眼〈10 人の表現〉」の作家を収載。
○展覧会カタログ
手と目の冒険広場「心を癒す植物－アート・ボタニカル・ガーデン」
目黒区美術館　1996 年 8 月 3 日
前田富士男：エネルゲイアとしての造形――ゲーテの植物学と 20 世紀美術
原田正路：循環
降旗千賀子：植物に向かうまなざし
榎本寿紀：ワークショップ
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒－静かな光の余韻」●
欧文タイトル：「WHITE and BLACK」
会期：1998 年 8 月 1 日－9 月 15 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会
出品：第一部 白と黒の文化史－色材をめぐって。第二部 美術表現の白と黒；不染鉄、岡田謙三、清原啓子、浅野弥衛、今井俊満、菅井汲、山田正亮、村上友晴、イケムラレイコ、小野皓一、芝章文、浅見貴子、西川勝人〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒－静かな光の余韻」
目黒区美術館　1998 年 8 月

森田恒之：白いキャンバスと黒いキャンバス
小林康夫：絵画のアルファとオメガ－表面と拡がり
降旗千賀子：色彩を超えて－白と黒の在所
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

日韓現代美術展〈自己と他者の間〉●

欧文タイトル：「Between the Unknown Straits」
会期：1998 年 10 月 15 日－11 月 23 日　目黒区美術館／1999 年 4 月 8 日－5 月 16 日　吹田市・国立国際美術館
主催：目黒区美術館・社団法人国際芸術文化振興会・韓日美術交流振興会〔巡回 2-1〕
出品：斎藤義重、草間彌生、小沢剛、平田五郎、やなぎみわ、須田悦弘〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
日韓現代美術展〈自己と他者の間〉
目黒区美術館・国立国際美術館・国際芸術文化振興会　1998 年 10 月　主に韓文併載
千葉成夫：巷の孤児としての美術――日本、そして韓国
金英順：自己と他者の間〈韓国現代美術におけるふたつの断層〉
千葉成夫、金英順：作家解説
家村珠代：ドリーム・プラン
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

目黒アート・アニュアル 2000　14 作家の個展 ●

欧文タイトル：「Meguro Art Annual 2000」
会期：2001 年 2 月 3 日－25 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
出品：井上慎、上松一条、内田千代子、古茂田杏子、古茂田美津子、柴田敏雄、田渕観齋、長はるこ、中井幸一、西大記、沼田元氣、平野正樹、藤掛正邦、宮廻正明
○展覧会カタログ
目黒アート・アニュアル 2000　14 作家の個展
目黒区美術館　2001 年 2 月
註：本カタログは副題に「14 作家の個展」とあるように、14 名の作家個展を 1 冊に製本した形となっている。ただ作品図版はほとんど無く、それぞれ作家インタビュー、作家略歴、関連文献・参考文献、出品目録から構成されている。
正木 基：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

手と目の冒険広場「色の博物誌・緑－豊潤な影」●

欧文タイトル：「GREEN」
会期：2001 年 8 月 4 日－9 月 19 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：IV.現代の表現；押江千衣子、加藤良造、小林孝亘、鈴木省三、林田直子、天利道子〔作品リスト順〕

註：出品欄は第 IV 章「現代の表現」の作家を収載。

○展覧会カタログ

手と目の冒険広場「色の博物誌・緑－豊潤な影」

目黒区美術館　2001 年 8 月

森田恒之：近代絵画と緑色絵具

関根秀樹：孔雀石と緑青の文化史

降旗千賀子：豊潤な影－ささえる色・緑

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

線の迷宮［ラビリンス］－細密版画の魅力 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 7 月 6 日－9 月 6 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：木原康行、日和崎尊夫、小林敬生、門坂流、蒲池清爾、久保卓治、柄澤齊、清原啓子、尾崎ユタカ、宮崎敬介〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

線の迷宮［ラビリンス］－細密版画の魅力

目黒区美術館　2002 年 7 月

降旗千賀子：知覚する線の旅－細密版画

佐川夕子編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

色の博物誌・黄－地の力&空の光 ●

欧文タイトル：「YELLOW」

会期：2004 年 7 月 17 日－9 月 8 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：栗田宏一、村岡三郎、若林奮、伊庭靖子、片山雅史、鈴木省三、徳永雅之、山中信夫、吉田重信〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

色の博物誌・黄－地の力&空の光

目黒区美術館　2004 年 7 月 30 日

前田富士男：再・中心化としての黄色――近代絵画における色彩のオーダー

森田恒之：黄色絵具小史――油絵具を中心に

降旗千賀子：黄色の話――地の力・空の光

榎本寿紀：2003 年プレ・ワークショップ黄色

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

線の迷宮 II――鉛筆と黒鉛の旋律 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 7 月 7 日－9 月 9 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：佐伯洋江、関根直子、妻木良三、磯邉一郎、小川信治、小川百合、篠田教夫、木下晋、齋鹿逸郎〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

線の迷宮 II――鉛筆と黒鉛の旋律

目黒区美術館　2007 年 7 月 6 日

降旗千賀子：鉛筆と黒鉛の奏でるもの―絵画表現としての可能性

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

目黒の新進作家－七人の作家、7 つの表現 ●

欧文タイトル：「EMERGING ARTISTS IN MEGURO-SEVEN ARTISTS, SEVEN ASPECTS」

会期：2007 年 12 月 4 日－2008 年 1 月 13 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：東亜順、石川直樹、源生ハルコ、鈴木康広、瀧健太郎、野村恵子、屋代敏博〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

目黒の新進作家－七人の作家、7 つの表現

目黒区美術館　2007 年 12 月 14 日・27 日　全 9 冊(概要編、図版編 7 冊、会場記録編)

佐川夕子：本展について、七人の作家たち

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

線の迷宮〈ラビリンス〉番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情－70 年代の版画集を中心に ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 8 月 1 日－9 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：相笠昌義、麻田浩、東貞美、畦地梅太郎、飯田善國、池田満寿夫、井田照一、宇佐美圭司、小作青史、加納光於、柄澤齊、木原康行、木村茂、草間彌生、黒崎彰、駒井哲郎、高橋秀、中西夏之、中林忠良、野中ユリ、浜田知明、秀島由己男、日和崎尊夫、深沢幸雄、村上友晴、保田春彦、矢柳剛、吉田克朗、李禹煥、若林奮〔版画集作品図版順〕

○展覧会カタログ

線の迷宮〈ラビリンス〉番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情―70 年代の版画集を中心に

目黒区美術館　2009 年 8 月 1 日

降旗千賀子：版画の時代―眼球で知るたのしみ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

「ヤマ」の美術・写真・グラフィック・映画〈‘文化’資源としての「炭鉱」展〉●

欧文タイトル：「The coal mine as cultural resource Art / Photography / Graphic Arts / Film of Japanese Coal Mines」

会期：2009 年 11 月 4 日－12 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館、共催：目黒区・目黒区教育委員会・東京新聞・ポレポレ東中野

出品：上野英信、井上為次郎、千田梅二、山本作兵衛、上田博、立花重雄、築山節生、立石大河亜、野見山暁治、若林光一郎、鈴木新夫、熊坂太郎、稲川敏之、畠山哲雄、倉持吉之助、小林政雄、木下勘二、松永源右衛門、尾花成春、谷口利夫、富山妙子、山下菊二、池田龍雄、風間完、黒田征太郎、菊畑茂久馬、滝純一、向井潤吉、鈴木賢二(スズキケンジ)、新居広治、佐藤忠良、吉井忠、森芳雄、西常雄、竹谷富士雄、中谷泰、鳥居敏文、山内壮夫、横山操、浮田克躬、新海覚雄、多田美波、畠山哲雄、佐藤時啓、岡部昌生、吉増剛造、土門拳、中山陽、本橋成一、藤川清、庄田明、山崎富士雄、山口勲、裵昭、宮松宏至、田嶋雅巳、奈良原一高、大槇弘、萩原義弘、丹野清志、鈴木清、安藤文雄、寺田健一郎〔目次順〕

註：出品欄は目次に記載されている作家を収載。

〇展覧会カタログ

「ヤマ」の美術・写真・グラフィック・映画〈‘文化’資源としての「炭鉱」展〉

目黒区美術館　2009 年 11 月 4 日

正木 基：解題

ジャスティン・ジェスティー、徳永恵太、森本弘行、上野朱、杉浦友治、佐藤友哉、山口洋三、中森敏夫、土屋誠一、肴倉睦子、石川翔平：論考・寄稿

うえだ・ひろし、野見山暁治、富山妙子、池田龍雄、菊畑茂久馬、滝純一、多田美波、岡部昌生＋吉岡宏高、吉増剛造、中山陽、宮松宏至、大槇弘、萩原義弘、本橋成一：インタビュー

正木 基：あとがきにかえて

石崎 尚：略歴執筆

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

メグロアドレス－都会に生きる作家 ●

欧文タイトル：「Meguro Addresses-Artists in Urban Life」

会期：2012 年 2 月 7 日－4 月 1 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：青山悟＋平石博一、今井智己、須藤由希子、長坂常、南川史門、保井智貴〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

メグロアドレス－都会に生きる作家

目黒区美術館　2012 年 2 月 7 日　主に英文併載

石崎 尚：メグロアドレスの考え方

青山悟、今井智己、須藤由希子、長坂常、南川史門、保井智貴：〔作家のことば〕

田中功起：制作と発表を切り分け、そのあと、もう一度ひとつにする

石崎 尚：他者との関係の中で展覧会について考えるためのメモ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

青梅市立美術館

特別展「日本画」の現在〈現代画家 9 人の競演〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 2 月 11 日－3 月 28 日　青梅市立美術館　主催：青梅市立美術館

出品：伊藤彬、内田あぐり、岡村桂三郎、神戸智行、滝沢具幸、武田州左、戸田康一、長沢明、米岡響子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

特別展「日本画」の現在〈現代画家 9 人の競演〉

青梅市立美術館　2010 年 2 月 11 日

松平修文：現在の日本画

石田治郎：「日本画」としての現在

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

八王子市夢美術館

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 6 月 10 日－7 月 17 日　八王子市夢美術館／7 月 28 日－9 月 10 日　倉敷市立美術館／9 月 30 日－10 月 29 日　福井市美術館／11 月 18 日－12 月 24 日　安城市民ギャラリー

主催：八王子市学園都市文化ふれあい財団・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-1〕

出品：天野裕夫、荒川修作、磯辺行久、井田照一、猪熊弦一郎、榎倉康二、佐藤慶次郎、嶋本昭三、白髪一雄、諏訪直樹、高橋秀、中西夏之、野村仁、村井正誠、元永定正、櫃田伸也、柳原義達、金昌烈、李禹煥〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉

第 7 回共同巡回展実行委員会　2006 年 6 月　平成 18 年度市町村立美術館活性化事業

第 7 回共同巡回展　バインダー使用

岡田 潔：安藤基金コレクションをめぐって〈現代美術への取り組み〉

古田啓一：「参加してエンジョイ展」の進化

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 11 月 15 日－2009 年 1 月 25 日　うらわ美術館／4 月 4 日－5 月 17 日　八王

子市夢美術館／8 月 29 日－10 月 12 日　足利市立美術館
主催：八王子学園都市文化ふれあい財団・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕
――→うらわ美術館〔巡回 3-1〕

府中市美術館

府中市美術館教育普及企画展 2001 私にできること～みる、きく、ふれるの探検 ●
欧文タイトル：「Art Exhibition for Educational Program 2001 I CAN DO IT-Exploring the Senses of Sight, Hearing, Touch」
会期：2001 年 11 月 23 日－12 月 27 日　府中市美術館　主催：府中市美術館
出品：金沢健一、光島貴之、藤原隆洋、春日聡〔展示作品リスト順〕
○展覧会カタログ
府中市美術館教育普及企画展 2001 私にできること～みる、きく、ふれるの探検
府中市美術館　2001 年 12 月
本江邦夫：ごあいさつ
武居利史：エッセイ ワークショップと連動した展覧会の試み
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

第 1 回府中ビエンナーレ ダブル・リアリティ〈両義的な空間とイリュージョンの 7 人〉 ●
欧文タイトル：「The First Fuchu Biennial 2002　Double Reality－Contemporary Artists in Information Technology Age」
会期：2002 年 11 月 16 日－2003 年 1 月 19 日　府中市美術館　主催：府中市美術館
出品：金田実生、斎藤美奈子、佐藤尉隆、曽谷朝絵、太郎千恵藏、眞島竜男、山内幾郎〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
第 1 回府中ビエンナーレ ダブル・リアリティ〈両義的な空間とイリュージョンの 7 人〉
府中市美術館　2002 年 11 月
本江邦夫：ごあいさつ
山村仁志：ダブル・リアリティ―アトム大使のために
本江邦夫：修辞としての「現実」を超えて
小倉正史：アートはどこへ行く？
金田実生、斎藤美奈子、佐藤尉隆、曽谷朝絵、太郎千恵藏、眞島竜男、山内幾郎：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
第 1 回府中ビエンナーレ ダブル・リアリティ〈両義的な空間とイリュージョンの 7 人〉記録集
府中市美術館　2002 年 12 月序
山村仁志：「ダブル・リアリティ」の記録

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項(本体と同じ)

ゾーン――不穏な時代の透視者たち ●

欧文タイトル：「ZONE-Clairvoyants in this threatening age」

会期：2003 年 11 月 1 日－12 月 28 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：加藤泉、神谷徹、登山博文、長谷川繁、東恩納裕一、渡辺紅月〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ゾーン――不穏な時代の透視者たち

府中市美術館　2003 年 11 月

本江邦夫：ごあいさつ

山村仁志：ゾーン－ヴィジョンのマトリックス

神山亮子、東谷隆司、山本さつき、本江邦夫〔再録〕：作家解説

加藤泉〔2 行〕、神谷徹、登山博文、長谷川繁〔1 行〕、東恩納裕一、渡辺紅月：作家コメント

神山亮子編：〔作家略歴、文献〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

第 2 回府中ビエンナーレ－来るべき世界に〈アーティスト 8 人のコミュニケーション行為がひらく未来〉 ●

欧文タイトル：「The 2nd Fuchu Biennial 2004－For the World to Come－」

会期：2004 年 12 月 11 日－2005 年 2 月 27 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：照屋勇賢、石川雷太、磯崎道佳、安岐理加、池田光宏、増山麗奈、河田政樹、田中陽明〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 2 回府中ビエンナーレ－来るべき世界に〈アーティスト 8 人のコミュニケーション行為がひらく未来〉

府中市美術館　2005 年 1 月　主に英文併載

武居利史：来るべき世界に－アートによるコミュニケーション行為の可能性

本江邦夫：境界について

照屋勇賢、石川雷太「反注釈／石川雷太による『石川雷太』」、磯崎道佳、安岐理加、池田光宏、増山麗奈、河田政樹、田中陽明：作家コメント

田中陽明：GREEN-NET SCAPE project

神山亮子編：資料〔作家略歴・参考文献〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

絵画の行方－現代美術の美しさって何? ●

欧文タイトル：「A Perspective of Painting：What is the Beauty of Contemporary Art ?」

会期：2005 年 12 月 10 日－2006 年 2 月 19 日　府中市美術館 主催：府中市美術館

出品：大谷有花、小林俊介、須賀昭初、鈴木省三、二木直巳、水上央子〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

絵画の行方－現代美術の美しさって何?

府中市美術館　2005 年 12 月

本江邦夫：絵画の行方

山村仁志：起源の絵画へ――須賀昭初と大谷有花について

神山亮子：現象としての絵画――二木直巳と小林俊介

武居利史：抵抗としての絵画――鈴木省三と水上央子の仕事から

大谷有花、小林俊介、須賀昭初、鈴木省三、二木直巳、水上央子：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

アートとともに－寺田小太郎コレクション〈絵のある暮らし、コレクションの楽しみ〉●

欧文タイトル：「With You, With Art－The Terada Kotaro Collection」

会期：2006 年 4 月 29 日－7 月 17 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：相笠昌義、赤塚祐二、有元利夫、猪飼節子、磯見輝夫、伊藤洋一郎、伊庭靖子、今西中通、岩尾恵都子、太田冬美、小野木学、オノサト・トシノブ、小山田二郎、柿崎兆、金子國義、加納光於、鴨居玲、河内良介、川口起美雄、北野裕之、木村荘八、呉亜沙、桜田晴義、白髪一雄、菅創吉、菅野圭介、高橋克之、玉川信一、智内兄助、恒松正敏、富田有紀子、難波田龍起、難波田史男、額田宣彦、野田裕示、野見山暁治、蓜島伸彦、浜田浄、原精一、藤田修、舟越桂、舟越保武、前田昌良、ミズテツオ、宮崎進、棟方志功、村上友晴、山口啓介、山口長男、山本麻友香、吉岡憲、吉岡正人、崔恩景、エミリオ・グレコ、尹享根、郭仁植、ベン・ニコルソン、アド・ラインハート、鄭相和、ショーン・スカリー、ラファエル・ソト、李禹煥、ヤン・フォス〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

アートとともに－寺田小太郎コレクション〈絵のある暮らし、コレクションの楽しみ〉展覧会図録

府中市美術館　2006 年 4 月

寺田小太郎：コレクション展にあたって

山村仁志：美的価値判断のレッスン

成相 肇：寺田コレクションの旋律と変奏－「白と黒」、「寺田小太郎の部屋」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

第 3 回府中ビエンナーレ 美と価値〈ポストバブル世代の 7 人〉●

欧文タイトル：「The 3rd Fuchu Biennial On Beauty and Value Seven Artists of Post-Bubble Generation」

会期：2006 年 10 月 21 日－12 月 24 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：大竹敦人、窪田美樹、小林耕平、境澤邦泰、豊嶋康子、松井茂、森本太郎〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

第 3 回府中ビエンナーレ 美と価値〈ポストバブル世代の 7 人〉

府中市美術館　2006 年 10 月　別冊共

神山亮子：現在の美と価値を求めて ポストバブル世代の 7 人の実践

本江邦夫：評価について

大竹敦人「球体写真」、窪田美樹、小林耕平、境澤邦泰、豊嶋康子〔3 行〕、松井茂〔2 行〕、森本太郎：7 人のステートメント

武居利史、成相肇、山村仁志、岡見さえ、本江邦夫：作家解説

武居利史編：作家略歴・参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

第 4 回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズ-色をめぐる冒険 ●

欧文タイトル：「The 4th Fuchu Biennial TRUE COLORS」

会期：2008 年 11 月 15 日－2009 年 2 月 1 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：雨宮庸介、今澤正、原高史、武藤努、村山留里子、横内賢太郎、渡辺豊〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 4 回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズ-色をめぐる冒険

府中市美術館　2008 年 11 月　別冊共

山村仁志：トゥルー・カラーズ――記憶と色彩

本江邦夫：「色」について

雨宮庸介、今澤正、原高史、武藤努、村山留里子、横内賢太郎、渡辺豊：作家によるコメント

成相肇、神山亮子、武居利史：解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、和光大、国会図

多摩川で／多摩川から、アートする〈アートの現場としての多摩川 観光芸術研究所から球体写真まで 1964-2009〉 ●

欧文タイトル：「At/From Tamagawa 1964-2009：Contemporary Japanese Art from a Geographical Viewpoint」

会期：2009 年 9 月 19 日－11 月 3 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：観光芸術研究所、中村宏、立石紘一〔タイガー立石、立石大河亜〕、高松次郎、山中信夫、蔡國強、郭仁植、柴田敏雄、山本糾、日高理恵子、マコト フジムラ、大竹敦人〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

多摩川で／多摩川から、アートする〈アートの現場としての多摩川 観光芸術研究所から球体写真まで 1964-2009

府中市美術館　2009 年 9 月

井出洋一郎：はじめに

神山亮子：多摩川で／多摩川から、アートする――地理的視点からの現代美術記述の試み

神山亮子：章解説、解説

神山亮子、成相肇、武居利史編：作家解説、略歴、参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

アートサイト府中 2010 いきるちから ●

欧文タイトル：「“Art Site Fuchu 2010：The Power for Living”」

会期：2010 年 12 月 2 日－2011 年 3 月 6 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：大巻伸嗣、木下晋、菱山裕子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

アートサイト府中 2010 いきるちから

府中市美術館　2010 年 12 月

井出洋一郎：アートサイト府中 2010 いきるちから 開催メッセージ

武居利史：美術の転換する力－「いきるちから」をはぐくむ

大巻伸嗣、木下晋、菱山裕子：作家コメント

池田和子：関連企画

竹内那美：アートサイト・サポーターの活動

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

石子順造的世界－美術発・マンガ経由・キッチュ行 ●

欧文タイトル：「The World of ISHIKO Junzo：From Art via Manga to Kitsch」

会期：2011 年 12 月 10 日－2012 年 2 月 26 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：美術；池田龍雄、中村宏、高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之、小島信明、横尾忠則、鈴木慶則、杉浦康平、丹羽勝次、飯田昭二、小池一誠、前田守一、斉藤司郎、前山忠、堀内正和、立石紘一、須賀啓、野村久之、関根伸夫、河口龍夫、柏原えつとむ、岡崎和郎〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

石子順造的世界－美術発・マンガ経由・キッチュ行

美術出版社　2011 年 12 月 10 日

成相 肇：石子順造的世界――脈打つ「ぶざまさ」を見据えて

山根貞男、高野慎三、長津忠：座談会 あの頃の石子さん――『漫画主義』同人が語る石子順造

成相 肇：コラム

松井 茂：知覚のボディ・ビルディング――その日常性への上昇

瓜生吉則：石子順造の／とマンガ＝メディア論

井上章一：美貌はキッチュをのりこえて

成相肇編：石子順造入門〔著作案内、石子順造小辞典〕

成相肇編：石子順造年譜、文献目録

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

「虹の彼方－ここととどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」●

欧文タイトル：「OVER THE RAINBOW」

会期：2012 年 11 月 23 日－2013 年 2 月 24 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：伊庭靖子、斎藤ちさと、池田晶紀、小木曽瑞枝、Rocca SPIELE(柿木原政広/トゥルーリ・オカモチェク)、塩見允枝子、MAMORU、三田村光土里、渡辺泰子〔図版収載順〕、丸山晶崇〔図版無〕

○展覧会カタログ

「虹の彼方－ここととどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」カタログ(本編)

府中市美術館　2012 年 11 月 23 日

神山亮子：虹の彼方－ここととどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大(本編のみ)、国会図、都中図

「虹の彼方－ここととどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」カタログ(記録編)

府中市美術館　2013 年 2 月 9 日

MAMORU、伊庭靖子、斎藤ちさと、渡辺泰子、小木曽瑞枝、塩見允枝子、池田晶紀、三田村光土里、Rocca SPIELE：テキスト

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

絵画の現在 ●

欧文タイトル：「Paintings Here And Now」

会期：2018 年 1 月 13 日－2 月 25 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：今井俊介、木村彩子、木村彩子＋近藤恵介、近藤亜樹、白井美穂、諏訪未知、津上みゆき、福士朋子〔図版リスト順〕

○展覧会カタログ

絵画の現在

府中市美術館　2018 年 1 月

神山亮子：絵画の現在をめぐって

坂元暁美：1990 年代から「絵画の現在」へ

今井俊介、木村彩子、近藤亜樹、白井美穂、諏訪未知、津上みゆき、福士朋子：作家によるステートメント

神山亮子：解説

今井俊介、木村彩子、近藤亜樹、白井美穂、諏訪未知、津上みゆき、福士朋子：〔アンケート〕

所蔵：□、和光大、国会図、都中図

絵画の現在　カタログ別冊

府中市美術館　2018 年

所蔵：□、神近美

町田市立国際版画美術館

日本の現代版画 1 三人の銅版画家展〈長谷川潔／浜口陽三／駒井哲郎〉●

欧文タイトル：「20th Century Japanese Prints (1)　Kiyoshi Hasegawa, Yōzō Hamaguchi, Tetsurō Komai」

会期：1987 年 9 月 12 日－10 月 18 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：長谷川潔、浜口陽三、駒井哲郎〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

日本の現代版画 1 三人の銅版画家展〈長谷川潔／浜口陽三／駒井哲郎〉

町田市立国際版画美術館　1987 年 9 月　主に英文併載

河野 実：本展開催を前にして

島田康寛：長谷川潔の芸術

河野 実：一枚の作品から

河合晴生：駒井哲郎〈垣間見る玩具箱の世界とパイオニア精神〉

中島理壽編：長谷川潔／浜口陽三／駒井哲郎 年譜と文献

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

瑛九とその仲間たち展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 5 月 21 日－6 月 26 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：瑛九、靉嘔、池田満寿夫、泉茂、磯辺行久、吉原英雄〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

瑛九とその仲間たち展

町田市立国際版画美術館　1988 年 5 月

久保貞次郎：瑛九とその仲間たち　再録

荒川幸枝：瑛九と銅版画

中島理壽編：I 略歴、II 1950 年代美術――熱き人びとの一軌跡〔年表〕

荒川幸枝、河野実：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

マニエラの交叉点－版画と映像表現の現在 ●

欧文タイトル：「Compound of the “Manièra”」

会期：1991 年 4 月 14 日－5 月 12 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：畦地拓治、H et H、有吉徹、石原友明、大浦信行、太田三郎、片山雅史、北辻良央、小枝繁昭、小山穂太郎、佐藤時啓、渋谷和良、高橋寛、津田佳紀、松原健、森村泰昌、山口啓介、横尾忠則、若林奮〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

マニエラの交叉点－版画と映像表現の現在 図録

町田市立国際版画美術館　1991 年 4 月 14 日

正木 基：〈版画としての版画〉と〈現代美術としての版画〉

山本和弘：消費社会の美術

滝沢恭司：版と映像による表現の現在〈出品作品をめぐって〉

畦地拓治、H et H、有吉徹、石原友明、大浦信行「縄文の縄で首を吊れるか」、太田三郎、片山雅史、北辻良央、小枝繁昭、小山穂太郎、佐藤時啓、渋谷和良、高橋寛、津田佳紀、松原健、森村泰昌、山口啓介、横尾忠則、若林奮：〔コメント〕

滝沢恭司、内田啓一：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、東大駒、国会図

コレクションによる 戦後の日本版画展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 4 月 12 日－6 月 14 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：恩地孝四郎、山口進、畦地梅太郎、棟方志功、笹島喜平、斎藤清、品川工、関野準一郎、北岡文雄、長谷川潔、浜口陽三、瑛九、浜田知明、駒井哲郎、菅井汲、利根山光人、若山八十氏、福井良之助、森義利、一原有徳、萩原英雄、張替正次、菅野陽、増田誠、三井永一、飯田善國、木村利三郎、深沢幸雄、高橋清、吹田文明、吉田穂高、木村茂、永井一正、靉嘔、大橋弘明、吉原英雄、渡辺豊重、二見彰一、加納光於、池田満寿夫、竹田鎮三郎、小田襄、小作青史、木村光佑、高羽賢一、戸口ツトム、松本旻、横尾忠則、若林奮、黒崎彰、中林忠良、相笠昌義、野田哲也、日和崎尊夫、清原啓子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

コレクションによる 戦後の日本版画展 図録

町田市立国際版画美術館　1992 年 4 月 12 日

河野 実：戦後の日本版画展開催にあたって

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

久保貞次郎と芸術家展〈戦後初期版画を中心に〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 6 月 13 日－7 月 25 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：I 北川民次；北川民次。II 洋画家(彫刻家)の版画[1950 年代]；川口軌外、木内克、岡鹿之助、福沢一郎、猪熊弦一郎、海老原喜之助、益田義信、村井正誠、山口薫、脇田和、桂ユキ子〔ゆき〕、駒井哲郎。III 瑛九とその仲間たち；瑛九、オノサト・トシノブ、早川良雄、山城隆一、利根山光人、泉茂、森啓、玉井瑞夫、加藤正、杉村恒、靉嘔、奈良原一高、吉原英雄、河原温、細江英公、池田満寿夫、磯辺行久、青原俊子。IV デモクラート以外の作家より；深沢史朗、木村利三郎、木村茂、竹田鎮三郎、小田襄、木村光佑。特別出品；エメット・ウィリアムス〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

久保貞次郎と芸術家展〈戦後初期版画を中心に〉図録

町田市立国際版画美術館　1993 年 6 月

河野 実：初代館長久保貞次郎

靉 嘔：久保さんとデモクラート

滝沢恭司：章解説

エメット・ウィリアムス：メッセージ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

「死にいたる美術－メメント・モリ」展 ●

欧文タイトル：「memento mori：Visions of Death c. 1500-1994」

会期：1994 年 5 月 29 日－7 月 17 日　町田市立国際版画美術館／7 月 31 日－9 月 25 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：町田市立国際版画美術館〔巡回 2-1〕

出品：第二部 現代の死；ハンス・ベルメール、ヴォルス、ジョゼフ・コーネル、瀧口修造、池田龍雄、吉仲太造、草間彌生、荒川修作、ヨーゼフ・ボイス、ホルスト・ヤンセン、アンゼルム・キーファー、ジョエル＝ピーター・ウィトキン、クリスチャン・ボルタンスキー、村岡三郎、河口龍夫、戸谷成雄、北辻良央、柄澤齊、北川健次、服部冬樹、小山穂太郎〔図版収載順〕

註：出品は「第二部 現代の死」のみを収載した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

「死にいたる美術－メメント・モリ」展

町田市立国際版画美術館・栃木県立美術館　1994 年 5 月

小勝禮子：序－「死を想え、生を想え」

高山 宏：「エクスポーズ」するいやはて－死のヴィジュアルという逆説について

小池寿子：中世後期における死の図像－屍体が語ること

第一部 死の版画史

佐川美智子：拡散する死のイメージ

佐川美智子、小池寿子、小勝禮子：作品解説

第二部 現代の死

小勝禮子：眼差しの向こう側――死と現代の美術

ハンス・ベルメール〔再録〕、池田龍雄「生と死と芸術と――」、吉仲太造〔再録〕、草間彌生〔再録〕、ジョエル＝ピーター・ウィトキン〔再録〕、クリスチャン・ボルタンスキー〔再録〕、村岡三郎〔再録〕、河口龍夫〔再録〕、戸谷成雄〔再録〕、柄澤齊、北川健次〔再録〕：〔作家のことば〕

ラズロ・グローツァー、ロバート・マザウェル、瀧口修造、篠原有司男、ハイナー・シュタッヘルハウス、シュテファン・ブレッシン、マーク・ローゼンタール、峯村敏明、笠原美智子、山本和弘：作品解説　すべて再録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

現代版画の潮流展 ●

欧文タイトル：「Current of the Contemporary prints」

会期：2005 年 2 月 26 日－3 月 27 日　町田市立国際版画美術館／6 月 11 日－7 月 10 日　松本市美術館

主催：町田市立国際版画美術館・大学版画学会・現代版画の潮流展開催実行委員会〔巡回 2-1〕

出品：第一世代；瑛九、萩原英雄、北岡文雄、駒井哲郎、泉茂、深沢幸雄、吹田文明、吉田穂高、天野邦弘、高橋秀、吉原英雄、池田満寿夫。第二世代；小作青史、松本旻、黒崎彰、中林忠良、中馬泰文、清塚紀子、長岡国人、野田哲也、柳澤紀子、磯見輝夫、田村文雄、森野眞弓、上矢津、原健、吉田克朗、小林敬生、池田良二、坪田政彦、永井研治、松川幸寛、渡辺達正、東谷武美、安東菜々、一圓達夫、河内成幸、木村秀樹、田中孝、村上文生、天野純治、有地好登、中路規夫、北野敏美、小山愛人、園山晴巳、馬場章、武蔵篤彦、出原司。第三世代；岸中延年、片山雅史、山口純寛、若月公平、木村繁之、西村正幸、筆塚稔尚、平木美鶴、吉田亜世美、遠藤竜太、木下恵介、倉地比沙支、長尾浩幸、濱田弘明、生嶋順理、岩切裕子、古谷博子、清水美三子、平井素子、笹井祐子、高浜利也、田島直樹、奥山直人、武田律子、佐竹邦子、森田力、大矢雅章、吉岡俊直、大塩紗永、根岸陽子、松尾明子〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

現代版画の潮流展図録

現代版画の潮流展開催実行委員会　2005 年 2 月 27 日

中林忠良：版画年 04～05 特別企画 現代版画の潮流展 開催にあたって

米倉 守：現代版画のナショナルとは…考

滝沢恭司：現代日本版画レポート〈問題提起、歴史、教育〉

萩原英雄、深沢幸雄、吹田文明、天野邦弘、高橋秀、吉原英雄、小作青史、松本旻、黒崎彰、中林忠良、中馬泰文、清塚紀子、長岡国人、野田哲也、柳澤紀子、磯見輝夫、田村文雄、森野眞弓、上矢津、原健、小林敬生、池田良二、坪田政彦、永井研治、松川幸寛、渡辺達正、東谷武美、安東菜々、一圓達夫、河内成幸、木村秀樹、田中孝、村上文生、天野純治、有地好登、中路規夫、園山晴巳、北野敏美、小山愛人、馬場章、武蔵篤彦、出原司、岸中延年、片山雅史、山口純寛、若月公平、木村繁之、西村正幸、筆塚稔尚、平木美鶴、吉田亜世美、遠藤竜太、木下恵介、倉地比沙支、長尾浩幸、濱田弘明、生嶋順理、岩切裕子、古谷博子、清水美三子、平井素子、笹井祐子、高浜利也、田島直樹、奥山直人、武田律子、佐竹邦子、森田力、大矢雅章、吉岡俊直、大塩紗永、根岸陽子、松尾明子：作家のことば

所蔵：□、国新美、東近美、都現美

マルチプル・ショー〈デュシャンからリキテンスタインへ〉 ●

欧文タイトル：「Multiple Show from Duchamp to Lichtenstein」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 12 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：I デュシャンからフルクサスへ；マルセル・デュシャン、マン・レイ、メレット・オッペンハイム、加納光於、瀧口修造、岡崎和郎、アルマン、ヨーゼフ・ボイス、靉嘔、ウイリアム・コプリー、オノ・ヨーコ、ジョン・ケージ、ヘニング・クリスチャンセン、トニー・クラッグ。II 平面と立体と：さまざまな試み；ルーチョ・フォンタナ、イヴ・クライン、ヴィクトル・ヴァザルリ、ルイーズ・ニーヴェルソン、セザール、クレス・オルデンバーグ、デイヴィッド・ブラッドショウ、エヴァ・ヘス、ステファン・カルテンバック、ブルース・ナウマン、アラン・サラ、リチャード・セラ、キース・ソニエ、ロイ・リキテンスタイン、クリスト。III 版画工房の発展とマルチプル：アメリカを中心に；ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、アンディ・ウォーホル、クレス・オルデンバーグ、トム・ウェッセルマン、ロイ・リキテンスタイン、ジョナサン・ボロフスキー、フランク・ステラ〔図版収載順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

マルチプル・ショー〈デュシャンからリキテンスタインへ〉

町田市立国際版画美術館　2005 年 4 月 9 日

杉野秀樹：戦後、美術の大衆化の中で――マルチプルと瀧口修造

高木幸枝：章解説・作品解説

高木幸枝：アメリカの版画工房とマルチプル――エピソードから

高木幸枝、佐川美智子、和南城愛理：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

木版画東西対決〈仏教版画から現代まで〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 10 月 6 日－11 月 25 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：Round 1 モノクロ対決；平塚運一、笹島喜平、秋山泰計、磯見輝夫、桂川成美。Round 2 多色刷り対決；恩地孝四郎、関野準一郎、前川千帆、永瀬義郎、古川龍生、下澤木鉢郎、畦地梅太郎、斎藤清、品川工、小野忠重、馬淵聖、清宮質文、吉田穂高。Round 3 木口木版対決；日和崎尊夫、城所祥、柄澤齊、小林敬生。Round 4 現代木版対決；萩原英雄、内間安瑆、黒崎彰、日下賢二、吹田文明、松本旻、北岡文雄、河内成幸、山中現、吉田亜世美、岩切裕子、中村桂子、李禹煥、鄭相和、田中陽子〔作品リスト順〕

註：作家解説は外国人と日本人（韓国人を含む）とに二分されている。この出品欄では後者の戦後作品出品作家を記載した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

木版画東西対決〈仏教版画から現代まで〉

町田市立国際版画美術館　2007 年 10 月 6 日　開館 20 周年記念展

和南城愛理：木版画東西対決展について

佐川美智子、高木幸枝、和南城愛理、河野実、滝沢恭司、佐々木守俊：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

空想の建築〈ピラネージから野又穫へ〉展 ●

欧文タイトル：「Imaginary Architecture from Piranesi to Minoru Nomata」

会期：2013 年 4 月 13 日－6 月 16 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：阿部浩、コイズミアヤ、野又穫〔作品リスト順〕、特別展示：野又穫ドローイング展〈ELEMENTS－あちら、こちら、かけら〉

註：現代日本人作家のみ収録

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

空想の建築〈ピラネージから野又穫へ〉展

エクスナレッジ　2013 年 4 月 25 日〔町田市立国際版画美術館編〕

竺 覚暁：幻想建築小史

佐川美智子：世界にかたちを与えるもの－空想の建築をめぐって

佐川美智子：〔章解説〕

佐川美智子：ピラミッド幻想 阿部浩

谷尻 誠：妄想と名前のない建築

佐川美智子、藤村拓也・解説：作品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

静かな詩情 銅版画の色と光 ●

欧文タイトル：「Calm Poems of Intaglio Color Painting」

会期：2013 年 8 月 10 日－9 月 23 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：浜口陽三、南桂子、駒井哲郎、玉上恒夫、深沢幸雄、大内マコト、斎藤寿一、二見彰一、池田満寿夫、堀井英男、白井昭子、荒木哲夫、長岡国人、ヨルク・シュマイサー、鈴木信吾、門坂流、馬場章、集治千晶〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

静かな詩情 銅版画の色と光

町田市立国際版画美術館　2013 年 8 月 10 日

和南城愛理：作家解説

所蔵：□、国新美、東文研、国会図、都中図

モンスターを探せ!!〈ピラネージからゴヤ、そしてエルンストへ〉 ●

欧文タイトル：「Where are the Monsters!?」

会期：2014 年 8 月 9 日－9 月 23 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：IV 怪物は死なず；浜田知明、深沢幸雄、池田龍雄、相笠昌義、作田富幸、池田俊彦〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ記載した。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

モンスターを探せ!!〈ピラネージからゴヤ、そしてエルンストへ〉

町田市立国際版画美術館　2014 年 8 月 9 日
藤村拓也：解説
所蔵：□、国新美、東文研、国会図

森羅万象を刻む〈デューラーから柄澤齊へ〉●

欧文タイトル：「Engraving the Universe：from Albrecht Dürer to Hitoshi Karasawa」
会期：2016 年 4 月 29 日－6 月 19 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会
出品：第四章 刻線の大宇宙〈自然〉；門坂流、長谷川潔。第五章 刻線の彼方へ；渡辺千尋、日和崎尊夫、木原康行。第六章 柄澤齊〈森羅万象を刻む〉；柄澤齊〔作品目録順〕
註：戦後作品の版画家のみ収録した。
○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕
森羅万象を刻む〈デューラーから柄澤齊へ〉
町田市立国際版画美術館　2016 年 4 月 29 日
柄澤 齊：汎版論〈表象としての版とビュラン〉
藤村拓也：章解説
藤村拓也：版画の性分〈エングレーヴィングと木口木版画〉
藤村拓也、滝沢恭司：作品目録・解説
所蔵：□、国新美、東文研、神近美、愛芸文、国会図、都中図

三鷹市美術ギャラリー（三鷹市芸術文化センター）

LET'S GO 浮世絵〈現代美術と浮世絵の交錯〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 11 月 15 日－12 月 21 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市美術ギャラリー
出品：靉嘔、篠原有司男、立石大河亜、寺岡政美、横尾忠則〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
LET'S GO 浮世絵〈現代美術と浮世絵の交錯〉
三鷹市美術ギャラリー　1997 年 11 月
峯村敏明：芸術浪人たちの世界回復作戦
小林 忠：江戸の反芸術・浮世絵
富田智子：60 年代の浮世絵ルネサンス
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

読めない本・新たな文字 ●

欧文タイトル：「Unreadable Books, New Letters」
会期：1998 年 3 月 3 日－22 日　三鷹市芸術文化センター　主催：三鷹市芸術文化振興財団
出品：天野豊久、松田薫、西村陽平、徐冰、張少俊〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ

読めない本・新たな文字

三鷹市芸術文化振興財団　1998 年 3 月　英文併載

荒木夏実：読めない本を読む時間

西村陽平、松田薫、天野豊久、徐冰、張少俊：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、国会図

表出するイメージ〈和紙を通した現代美術の表現〉●

欧文タイトル：「Emerging Images：Contemporary Expressions through Japanese Hand-made Paper」

会期：2000 年 3 月 4 日－26 日　三鷹市芸術文化センター　主催：三鷹市芸術文化振興財団

出品：青島一成、扇千花、服部俊弘、本間かおり〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

表出するイメージ〈和紙を通した現代美術の表現〉

三鷹市芸術文化振興財団　2000 年 3 月　英文併載

荒木夏実：和紙を通して見えてくるもの

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、国会図

オフロ・アート――銭湯の背景画 ●

欧文タイトル：「Bath Art：Scene Painting for the Public Bath」

会期：2002 年 3 月 2 日－24 日　三鷹市芸術文化センター・アートスタジオ　主催：三鷹市芸術文化振興財団

出品：背景画家；笹野恵一、笹野修治、柴田武寛、中島盛夫、早川利光、丸山清人。現代美術家；北浦信一郎、高橋信行、福田美蘭、前川知美、安田千絵、山崎美弥子〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

オフロ・アート――銭湯の背景画

三鷹市芸術文化振興財団　2002 年 3 月　英文併載

町田 忍：銭湯ペンキ絵 その美学

丸山清人、早川利光、中島盛夫：〔アンケート〕

北浦信一郎、高橋信行、福田美蘭、前川知美、安田千絵、山崎美弥子：〔作家コメント〕

富田智子：銭湯から抜け出したペンキ絵――その展望と可能性について

荒木夏実：銭湯背景画――ユニークな美術鑑賞スタイル

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、国会図

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 7 月 11 日－9 月 21 日　周南市美術博物館／12 月 13 日－2004 年 2 月 1 日　三鷹市美術ギャラリー／3 月 5 日－28 日　福井県立美術館

主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー〔巡回 3-2〕

――→周南市美術博物館〔巡回 3-1〕

木彫から立体造形へ〈1960 年の新人たち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 5 日－3 月 21 日　三鷹市美術ギャラリー、三鷹市芸術文化センター・アートスタジオ　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー、協力：東京画廊

出品：豊福知徳、江口週、田中栄作、最上壽之〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

木彫から立体造形へ〈1960 年の新人たち〉

三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー　2005 年 2 月 5 日

豊福知徳、江口週、田中栄作、最上壽之：作家のことば

富田智子：「1960 年の新人たち」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、国会図

「COLORFUL 温泉 絵画の湯」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 11 月 26 日－12 月 20 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団三鷹市美術ギャラリー

出品：靉嘔、赤瀬川原平、池田満寿夫、宇佐美圭司、瑛九、岡崎乾二郎、小作青史、オノサト・トシノブ、加納光於、駒井哲郎、清水晃、菅井汲、スズキコージ、清宮質文、高松次郎、辰野登恵子、中西夏之、野田哲也、浜田知明、山本正、吉田穂高、米谷清和、李禹煥〔出品作家一覧順〕

○展覧会カタログ

「COLORFUL 温泉 絵画の湯」展 観賞パンフレット

三鷹市美術ギャラリー　2005 年 11 月　平成 17 年度文化庁委嘱文化ボランティア推進モデル事業

大竹ゆき、NPO MAG-net：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒

詩人の眼・大岡信コレクション ●

欧文タイトル：「The Poet's Eyes：Makoto Ooka and his Collection」

会期：2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　三鷹市美術ギャラリー／8 月 3 日－26 日　静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ／11 月 3 日－12 月 10 日　福岡県立美術館／2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　足利市立美術館

主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー、朝日新聞社〔巡回 4-1〕

出品：東野芳明、パブロ・ピカソ、瀧口修造、駒井哲郎、利根山光人、ジャン・フォートリエ、今井俊満、榎本和子、福島秀子、前田常作、嶋田しづ、加納光於、大岡信、サム・フランシス、中西夏之、一柳慧、三好達治、ジョアン・ミロ、宇佐美圭司、宇佐美爽子、ジャン・ティンゲリー、菅井汲、多田美波、高橋秀、野崎一良、谷川晃一、オディロン・ルドン、加藤楸邨、清水九兵衛、藤松博、岡田輝、相沢常樹、金子國義、アレクサンダー・カルダー、曾宮一念、大築勇吏仁、柿沼和夫、クレス・オルデンバーグ、ジャスパー・ジョーンズ、クリスト、舩木研兒、安野光雅、萩原朔太郎、安田侃、黒田征太郎、丹阿弥丹波子、本宮健史、

井田照一、ハンス・アルトゥング、マリエル・バンクー〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

詩人の眼・大岡信コレクション

朝日新聞社　2006 年 4 月

大岡 信：南画廊の青春

太田泰人：詩と美術が若かったころ――大岡信と戦後の美術

田中さち代、佐藤洋子、黒瀬久恵編：解説

富田智子、西本匡伸、江尻潔、黒瀬久恵：作家解説

飯島耕一、三浦雅士、榎本和子、嶋田しづ、加納光於、佐谷和彦、中西夏之、一柳慧、宇佐美圭司、粟津則雄、長谷川櫂、谷川俊太郎：寄稿

浅倉祐一朗、西本匡伸、江尻潔、佐藤洋子、黒瀬久恵：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

THE YOSHIDA FAMILY 展〈世界をめぐる吉田家 4 代の画家たち〉●

欧文タイトル：「THE YOSHIDAS：A FAMILY JOURNEY IN ART」

会期：2009 年 8 月 29 日－10 月 12 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー

出品：吉田嘉三郎〔明治期の作家〕、吉田博、吉田ふじを、吉田遠志、吉田穂高、吉田千鶴子、吉田亜世美〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

THE YOSHIDA FAMILY 展〈世界をめぐる吉田家 4 代の画家たち〉カタログ

三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー　2009 年 8 月

瀬木慎一：吉田家の画家たち

本江邦夫：言霊の版画家――吉田穂高

富田智子：芸術家の「家」〈下落合の吉田邸について〉

吉田 司：「インターナショナル吉田版画アカデミー」について

吉田亜世美：画家の家に生まれて

富田智子：世界をめぐる吉田家の旅と作品

富田智子編：吉田家関連文献

富田智子編：吉田家略年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

森秀貴・京子コレクションによる現代版画展 ●

欧文タイトル：「Contemporary Prints from the Kyoko and Hideki Mori Collection」

会期：2013 年 9 月 14 日－10 月 14 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー

出品：瑛九、ジョン・ケージ、元永定正、前田常作、池田龍雄、草間彌生、靉嘔、ナム・ジュン・パイク、横尾忠則、谷川晃一、坂口登、彦坂尚嘉、堀浩哉、大浦信行、藤江民〔出品

リスト順〕

〇展覧会カタログ

森秀貴・京子コレクションによる現代版画展 図録

三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー　2013 年 9 月 13 日

森 秀貴：コレクション事始め

浅倉祐一朗、大竹ゆき：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

武蔵野市吉祥寺美術館

紙上の技法学〈筑波大学所蔵石井コレクション〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2012 年 1 月 7 日－2 月 19 日　武蔵野市立吉祥寺美術館　主催：武蔵野市立吉祥寺美術館

出品：瑛九、猪熊弦一郎、難波田史男、難波田龍起、池田龍雄、中村忠二、鶴岡政男、大沢昌助、菅井汲、桂ゆき、加納光於、清宮質文、池田満寿夫、駒井哲郎、深沢幸雄、奥山民枝〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

紙上の技法学〈筑波大学所蔵石井コレクション〉

武蔵野市立吉祥寺美術館　2012 年 1 月

菅沼万里絵：解説

所蔵：□、国新美、東文研、国会図、都中図

われわれは〈リアル〉である 1920s-1950s〈プロレタリア美術運動からルポルタージュ絵画運動まで：記録された民衆と労働〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 5 月 17 日－6 月 29 日　武蔵野市吉祥寺美術館　主催：武蔵野市吉祥寺美術館

出品：1 プロレタリア美術運動とその時代。2 戦争と民衆－戦争画と勤労・増産絵画。3 戦後、ルポルタージュへ；浜田知明、池田龍雄、桂川寛、尾藤豊、中村宏、鈴木賢二、利根山光人、高山良策〔出品目録順〕

註：出品欄は 3 章を収載。ただし刊行物(表紙絵・漫画等)は除いた。

〇展覧会カタログ

われわれは〈リアル〉である 1920s-1950s〈プロレタリア美術運動からルポルタージュ絵画運動まで：記録された民衆と労働〉

武蔵野市吉祥寺美術館　2014 年 5 月

大内 曜：〔章解説、作家略歴〕

所蔵：□、国新美、東大駒、国会図

カンバセーション＿ピース：かたちを(た)もたない記録〈小西紀行＋AHA!〉●

欧文タイトル：「CONVERSATION PIECE/PEACE」
会期：2016 年 1 月 16 日－2 月 28 日　武蔵野市立吉祥寺美術館　主催：武蔵野市立吉祥寺美術館
出品：小西紀行、AHA!(人類の営みのためのアーカイブ)
〇展覧会カタログ
カンバセーション＿ピース：かたちを(た)もたない記録〈小西紀行＋AHA!〉
　武蔵野市立吉祥寺美術館　2016 年 8 月 15 日
　大内 曜：LOGUE1-4
　保坂和志：ESSAY
　松本 篤：REVIEW
　AHA!：INTERVIEW
　所蔵：□、国新美、国会図

神奈川県

神奈川県立近代美術館

今日の新人・1955 年展 ●

欧文タイトル：「Present-Day Promising Artists」

会期：1955 年 12 月 3 日－1956 年 1 月 15 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：木村賢太郎、須賀通泰、梅藤哲郎、毛利武士郎、山口勝弘、木内岬、建畠覚造、藤田昭子、向井良吉、赤穴宏、藤沢典明、田中阿喜良、吉仲太造、芥川〔間所〕紗織、清川泰次、玉置正敏、河原温、田中岑、漆原英子、福島秀子、真鍋博、利根山光人、今野忠一、池田龍雄、石本正、信太金昌、加藤正、野崎貢、泉茂、加山又造、浜田知明、森村惟一

○展覧会カタログ

今日の新人・1955 年展

神奈川県立近代美術館　1955 年 12 月　1 枚(二ツ折両面刷)

神奈川県立近代美術館運営委員会：今日の新人・1955 年展について

所蔵：□、都現美、神近美

集団 58 野外彫刻展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1957 年 12 月 1 日－1958 年 4 月 30 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：柳原義達、昆野恆、向井良吉、建畠覚造、森堯茂、毛利武士郎、木内岬、阿井正典、木村賢太郎〔目録順〕

○展覧会カタログ

集団 58 野外彫刻展目録

神奈川県立近代美術館　1957 年 12 月　1 枚(二ツ折両面刷)

土方定一：野外彫刻展の方向　再録

所蔵：□、国新美、神近美

集団 60 野外彫刻展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1960 年 6 月 1 日－10 月 31 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：阿井正典、昆野恆、毛利武士郎、木村賢太郎、森堯茂、向井良吉、中島快彦、小野忠弘、建畠覚造

○展覧会カタログ

集団 60 野外彫刻展目録

神奈川県立近代美術館　1960 年 6 月　1 枚(二ツ折両面刷)

柳原義達：集団 60 野外彫刻展から

所蔵：□、東近美、神近美

戦後の現代日本美術展(1945～1960) ●

欧文タイトル:「CONTEMPORARY ARTS OF JAPAN AFTER THE WAR II(1945～1960)」

会期：1964 年 9 月 20 日－11 月 8 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：阿部展也、靉光、赤穴宏、朝井閑右衛門、麻生三郎、荒井龍男、鳥海青児、海老原喜之助、江見絹子、福田豊四郎、福沢一郎、長谷川晶、橋本明治、林武、東山魁夷、堀文子、飯田操朗、今井俊満、今西中通、猪熊弦一郎、井上長三郎、糸園和三郎、岩橋英遠、金山康喜、片岡球子、加藤栄三、加山又造、川端実、川口軌外、河原温、香月泰男、北川民次、北脇昇、児島善三郎、小牧源太郎、工藤甲人、松本竣介、森芳雄、村井正誠、中谷泰、野田英夫、野口彌太郎、荻太郎、荻須高徳、岡鹿之助、岡田謙三、岡本太郎、大森朔衛、オノサト・トシノブ、斎藤義重、佐野繁次郎、佐藤敬、島崎鶏二、須田国太郎、菅野圭哉〔圭介〕、杉全直、杉山寧、田淵安一、田畔司朗、高畠達四郎、高間惣七、髙山辰雄、田中阿喜良、田中岑、鶴岡政男、内田巌、上村松篁、上野泰郎、脇田和、山口長男、山口薫、吉原治良、真鍋博。版画；麻生三郎(重)、海老原喜之助(重)、瑛九、深沢幸雄、福井良之助、藤田嗣治、浜口陽三、浜田知明、一原有徳、池田満寿夫、加納光於、駒井哲郎、国吉康雄、日下賢二、益田義信、南桂子、三井永一、森義利、棟方志功、村井正誠(重)、萩原英雄、斎藤寿一、関野準一郎、菅井汲、山口源、吉田穂高、吉田政次〔作品目録順〕

註：出品作家のうち靉光、飯田操朗、今西中通、児島善三郎、松本竣介、野田英夫、島崎鶏二は戦前作品の出品で、鳥海青児、林武、堀文子、岡田謙三、佐野繁次郎、菅野圭哉、真鍋博、版画の藤田嗣治、浜田知明、益田義信、棟方志功、村井正誠は制作年が未詳。

〇展覧会カタログ

戦後の現代日本美術展(1945～1960)

神奈川県立近代美術館　1964 年 9 月

神奈川県立近代美術館運営委員会：戦後の現代日本美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美

戦後美術のクロニクル展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1971 年 4 月 3 日－5 月 16 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館

出品：岡鹿之助、福沢一郎、鳥海青児、野口彌太郎、海老原喜之助、林武、岡本太郎、吉原治良、野田英夫、北川民次、長谷川三郎、山口薫、児島善三郎、靉光、松本竣介、森芳雄、脇田和、村井正誠、鷹山宇一、高畠達四郎、金山康喜、麻生三郎、河原温、瑛九、斎藤義重、川端実、山口長男、オノサト・トシノブ、朝井閑右衛門、岡田謙三、白髪一雄、今井俊満、元永定正、菅井汲、前田常作、堂本尚郎、鶴岡政男、井上長三郎、香月泰男、高松次郎、山下菊二、宇佐美圭司、糸園和三郎、荒川修作、荻須高徳、宇治山哲平、阿部展也、三尾公三、福田平八郎、福田豊四郎、東山魁夷、小倉遊亀、徳岡神泉、工藤甲人、髙山辰雄、平山郁夫、横山操、平川敏夫、片岡球子、橋本明治、渡辺学、上村松篁、池田幹雄、稗田一穂、丸木位里、近藤弘明、奥村土牛、岩橋永遠〔英遠〕、石本正、加山又造、山本丘人、駒井哲郎、浜口陽三、南桂子、浜田知明、池田満寿夫、棟方志功、秀島由己男、横尾忠則、加納光於、靉嘔

〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

戦後美術のクロニクル展

神奈川県立近代美術館　1971 年 4 月

匠 秀夫：昭和期美術の展開について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

現代美術・戦後展〈巨匠展シリーズ III〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1979 年 10 月 27 日－12 月 16 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：坂本繁二郎、藤田嗣治、小絲源太郎、小林和作、須田国太郎、児島善三郎、中川一政、北川民次、高畠達四郎、林武、岡鹿之助、野口彌太郎、牛島憲之、佐野繁次郎、荻須高徳、鳥海青児、小磯良平、海老原喜之助、宮本三郎、朝井閑右衛門、三岸節子、佐藤敬、山口薫、桂ユキ〔ゆき〕、原精一、脇田和、森芳雄、中谷泰、糸園和三郎、香月泰男、松本竣介、麻生三郎、金山康喜、福沢一郎、北脇昇、靉光、鷹山宇一、岡本太郎、高間惣七、川口軌外、山口長男、斎藤義重、岡田謙三、村井正誠、吉原治良、長谷川三郎、鶴岡政男、宇治山哲平、瑛九、川端実、今井俊満、阿部展也、菅井汲、高松次郎、荒川修作［出品目録順］

○展覧会カタログ

現代美術・戦後展〈巨匠展シリーズ III〉

神奈川県立近代美術館　1979 年 10 月

土方定一：文化ファシズム下の美術と戦後の現代美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

日本近代彫刻の展開 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1981 年 7 月 11 日－8 月 9 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：木内克、加藤顕清、新海竹蔵、山本豊市、高田博厚、笠置季男、イサム・ノグチ、圓鍔勝三、本郷新、安田周三郎、菊池一雄、柳原義達、辻晋堂、淀井敏夫、堀内正和、佐藤忠良、舟越保武、向井良吉、建畠覚造、清水九兵衛、流政之、毛利武士郎、飯田善國、多田美波、豊福知徳、高橋清、水井康雄、吾妻兼治郎、土谷武、山口牧生、速水史朗、木村賢太郎、村岡三郎、山口勝弘、宮脇愛子、保田春彦、湯原和夫、富樫一、井上武吉、篠田守男、澄川喜一、江口週、島田忠恵、若林奮、最上壽之、小田襄、三木富雄、山本正道、関根伸夫〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

日本近代彫刻の展開

神奈川県立近代美術館　1981 年 7 月　開館 30 周年記念展第 II 部

匠 秀夫：土方定一先生を偲ぶ〈三十周年記念特別展第二部「日本近代彫刻の展開」を機会に〉

酒井忠康：附記

青木茂編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

美術の「戦後」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 11 月 18 日－2001 年 1 月 21 日　コレクションへの 9 つの視点＝鎌倉・神奈川県立近代美術館本館、松本竣介・麻生三郎展＝鎌倉・神奈川県立近代美術館別館

出品：第 1 章；山下菊二、阿部展也、村井正誠、荒井龍男、川口軌外、斎藤義重、鶴岡政男、福沢一郎、宇治山哲平、高間惣七、須田剋太、中野秀人、朝井閑右衛門、鳥海青児、山口長男、田中岑、糸園和三郎、上野誠、秀島由己男、佐野繁次郎、アルベルト・ジャコメッティ、麻生三郎、海老原喜之助、イサム・ノグチ、柳原義達、木内克、野水信、辻晋堂、飯田善國、向井良吉、堀内正和、高橋清、ジョルジュ・マチウ、杉全直、今井俊満、堂本尚郎、清宮質文、一原有徳。第 2 章；松本竣介、麻生三郎〔出品リスト順〕

註：所蔵作品展。

○展覧会カタログ

美術の「戦後」

神奈川県立近代美術館　2000 年 11 月

長門佐季：山下菊二と松川裁判――ある戦後

原田 光：1950 年代混沌の表象

太田泰人：風土論的考察

籾山昌夫：描かれたベトナム戦争

橋 秀文：佐野繁次郎のエスプリ――戦後の装幀を中心に

山梨俊夫：人間が「在る」――ジャコメッティ、海老原喜之助、麻生三郎

水沢 勉：《こけし》を中心に――「像」の変奏

堀 元彰：アンフォルメル、あるいは…

酒井忠康：夕日のある風景

酒井忠康：松本竣介・麻生三郎展に寄せて

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

もうひとつの現代展〈コレクションによる 葉山館開館記念〉●

欧文タイトル：「ANOTHER HISTORY：Contemporary Japanese Art from the Collection of The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama」

会期：2003 年 10 月 11 日－2004 年 1 月 25 日　葉山・神奈川県立近代美術館

主催：神奈川県立近代美術館

出品：加藤顕清、加藤栄三、荘司福、吉岡堅二、岩橋英遠、髙山辰雄、木内克、平山郁夫、

山口蓬春、加山又造、西脇順三郎、野口彌太郎、牛島憲之、鳥海青児、朝井閑右衛門、海老原喜之助、中谷泰、佐田勝、原精一、藤井令太郎、高田博厚、菊池一雄、舟越保武、佐藤忠良、柳原義達、川口軌外、高間惣七、宇治山哲平、井上長三郎、麻生三郎、糸園和三郎、鶴岡政男、難波田龍起、森芳雄、鷹山宇一、三岸節子、村井正誠、斎藤義重、山口長男、宮脇愛子、吉原治良、山口勝弘、福沢一郎、阿部展也、山下菊二、山口薫、脇田和、猪熊弦一郎、川端実、荻須高徳、佐野繁次郎、田中阿喜良、湯原和夫、坂倉新平、野見山暁治、田淵安一、堂本尚郎、菅井汲、佐藤敬、今井俊満、土橋醇、辻本和之、保田春彦、片岡球子、三上誠、中村正義、四方田草炎、工藤甲人、近藤弘明、横尾忠則、棟方志功、上野泰郎、山本正道、横山操、堀内正和、杉全直、草間彌生、中川幸夫、辻晋堂、八木一夫、前田常作、建畠覚造、向井良吉、清水九兵衛、若林奮、李禹煥、高松次郎、中西夏之、河口龍夫、吉田克朗、関根伸夫、眞板雅文、若江漢字、安齊重男、村上善男、澄川喜一、勝呂忠、早川重章、岡本信治郎、渡辺豊重、田中岑、江見絹子、嶋田しづ、奥谷博、篠田守男、小田襄、吾妻兼治郎、土谷武、毛利武士郎、飯田善國、野中ユリ、最上壽之、小川待子、舟越桂、小杉武久、江口週、井上武吉〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

もうひとつの現代展〈コレクションによる 葉山館開館記念〉カタログ

神奈川県立近代美術館　2003 年 10 月

酒井忠康：序にかえて――不死の時間・不死の空間

水沢 勉：発見されるべき「日本」――埴輪を導きの糸として

水沢 勉：カンヴァスの荒地――《一人》から《死者》へ、麻生三郎を中心に

太田泰人：廃墟の上の世界――前衛美術の戦後的状況

山梨俊夫：「国際化」と「土着性」――50 年代、60 年代の個の探索

山梨俊夫：絵画への回帰、持続、あるいは復権――70 年代、80 年代の絵画の位置

籾山昌夫：ひとつ、もうひとつ、またひとつ〈1970・80 年代の「美術」〉

橋 秀文：悲しみの詩学〈清宮質文の版画〉

是枝 開：戦後日本の彫刻――「彫刻」とは呼びえぬものへの道程

三本松倫代：21 世紀（へ）の視座――90 年代以降の日本／美術

李美那：美術館という場――2 つの場所の記憶から

長門佐季、稲庭彩和子、伊藤由美、山中潤：コラム

奥野美香編：年表／事項解説／参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

会期：2004 年 6 月 11 日－7 月 11 日　神戸・兵庫県立美術館／9 月 11 日－10 月 17 日　いわき市立美術館／10 月 30 日－12 月 19 日　葉山・神奈川県立近代美術館／2005 年 1 月 4 日－2 月 27 日　盛岡・岩手県立美術館／4 月 23 日－5 月 22 日　金沢 21 世紀美術館

主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術

館連絡協議会〔巡回 5-3〕

――→兵庫県立美術館〔巡回 5-1〕

プライマリー・フィールド〈美術の現在――七つの〈場〉との対話〉●

欧文タイトル：「Primary Field」

会期：2007 年 11 月 23 日－2008 年 1 月 14 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：吉川陽一郎、多和圭三、大森博之、石川順惠、青木野枝、坂口寛敏、さかぎしよしおう〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

プライマリー・フィールド〈美術の現在――七つの〈場〉との対話〉

神奈川県立近代美術館　2007 年 11 月

山梨俊夫：モダニズムとしての現在－序章として

吉川陽一郎、多和圭三、大森博之、石川順惠、青木野枝、坂口寛敏、さかぎしよしおう、聞き手・是枝開：インタヴュー

是枝 開：原初的な場との対話－インタヴューを終えて・追記

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

プライマリー・フィールド II 絵画の現在―七つの〈場〉との対話 ●

欧文タイトル：「Primary Field II」

会期：2010 年 12 月 4 日－2011 年 1 月 23 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：高橋信行、小西真奈、保坂毅、三輪美津子、東島毅、伊藤存、児玉靖枝〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

プライマリー・フィールド II 絵画の現在―七つの〈場〉との対話

神奈川県立近代美術館　2010 年 12 月

是枝 開：プライマリー・フィールド――原初的な場/基本的な場所

高橋信行、小西真奈、保坂毅、三輪美津子、東島毅、伊藤存、児玉靖枝、聞き手・是枝開：インタヴュー

稲庭彩和子、山梨俊夫：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

会期：2013 年 1 月 12 日－3 月 24 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館／4 月 20 日－6 月 2 日　いわき市立美術館／7 月 13 日－9 月 8 日　富山県立近代美術館／10 月 5 日－11 月 10 日　北九州市立美術館分館／11 月 23 日－2014 年 1 月 26 日　世田谷美術館

主催：神奈川県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 5-1〕

出品：大辻清司、北代省三、岡本太郎、山口勝弘、福島秀子、瀧口修造、武満徹、湯浅譲二、福島和夫、秋山邦晴、駒井哲郎、浜田浜雄、斎藤義重、石元泰博、辻彩子、佐藤慶次郎、山

崎英夫、今井直次、鈴木博義、園田高弘〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉　神奈川県立近代美術館・いわき市立美術館・富山県立近代美術館・北九州市立美術館・世田谷美術館編

読売新聞社・美術連絡協議会　2013 年 1 月

水沢 勉：実験工房――芽生えと兆し

石田一志：実験工房の音楽活動

手塚美和子：実験工房――世界の舞台へ

大日方欣一：影像から／影像へ――初期実験工房の探究

西澤晴美：実験工房――舞台とパフォーマンス

杉野秀樹、矢野進、朝木由香、西澤晴美、鈴木治行、石井幸彦、川崎弘二、有馬純寿、大日方欣一、那須孝幸、平野明彦、麻生恵子：章解説・解説

杉野秀樹：激動の中の美術雑誌、そしてバレエ『生きる悦び』への助走

朝木由香：実験工房前夜――日米通信社時代の瀧口修造

石井幸彦：実験工房時代の駒井哲郎

佐藤玲子：「実験工房」のかたち――北代省三を中心として

矢野 進：「実験工房」誕生の背景としての世田谷――新作曲派協会からの展開

川崎弘二：実験工房の電子音楽

平野明彦：インターメディアとしての運動体――1960 年代における実験工房について

麻生恵子：実験の精神が語るもの――実験工房、その後を個々の活動から探る

今井直次・福島和夫・山口勝弘・湯浅譲二、聞き手・那須孝幸：実験工房メンバーによる座談会

那須孝幸：座談会を終えて

松原知子：用語解説

藤代知子・西澤晴美編：主要文献リスト

杉野秀樹、石井幸彦、平野明彦：List of Exhibits

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

戦争／美術 1940－1950〈モダニズムの連鎖と変容〉●

欧文タイトル：「WAR/ART 1940-1950：Seguences and Transformations of Modernism」

会期：2013 年 7 月 6 日－10 月 14 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館　葉山館開館 10 周年

出品：土方久功、山下菊二、玉村方久斗、恩地孝四郎、鳥海青児、麻生三郎、井上長三郎、鶴岡政男、丸木俊、上野誠、石井柏亭、丸木位里、田中佐一郎、朝井閑右衛門、澤田哲郎、阿部展也、浜田知明、イサム・ノグチ、原精一、鷹山宇一、村井正誠、山口蓬春、海老原喜之助、田淵安一、佐藤哲三〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

戦争／美術 1940－1950〈モダニズムの連鎖と変容〉

神奈川県立近代美術館　2013 年 7 月　葉山館開館 10 周年
水沢 勉：あいさつ
水沢 勉：空虚と充満――1940 年代美術への一視座として
河田明久：作戦記録画をめぐる思惑のあれこれ
岡村幸宣：ふたつの芳名録と「原爆の図」
水沢 勉：On the Exhibition WAR/ART1940-1950
長門佐季編：戦争／美術 関連年表 1936-1953
藤代知子編：主要参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち ●

欧文タイトル：「KANAYAMA Yasuki in Paris－Japanese Painters in the 1950s」
会期：2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日　葉山・神奈川県立近代美術館／5 月 16 日－7 月 5 日　富山県立近代美術館／7 月 18 日－9 月 6 日　世田谷美術館
主催：神奈川県立近代美術館・東京新聞〔巡回 3-1〕
出品：金山康喜、猪熊弦一郎、古茂田守介、藤田嗣治、佐野繁次郎、荻須高徳、佐藤敬、関口俊吾、菅井汲、野見山暁治、田淵安一、岡本半三、今井俊満、堂本尚郎〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち
東京新聞　2015 年 1 月
野見山暁治：カナヤマ
橋 秀文：金山康喜のパリと 1950 年代の日本人画家たち
杉野秀樹、渡辺希利子、遠藤望、橋秀文、西澤晴美：章解説・解説
杉野秀樹：未完の風景画／未完の金山康喜
渡辺希利子：金山康喜の遺品調査を終えて
西澤晴美：田淵安一の東京とパリ 渡仏前後の作風の変遷をたどる
渡辺希利子編：金山康喜年譜
渡辺希利子編：1950 年代渡仏芸術家・文化人フランス滞仏時期一覧
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

1950 年代の日本美術――戦後の出発点 ●

欧文タイトル：「Japanese Art of the 1950s：Starting Point after the War」
会期：2017 年 1 月 28 日－3 月 21 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
出品：岡本太郎、阿部展也、村井正誠、海老原喜之助、佐藤哲三、井上長三郎、川口軌外、麻生三郎、田中岑、山口薫、鶴岡政男、山口長男、鳥海青児、朝井閑右衛門、棟方志功、駒井哲郎、堀内正和、毛利武士郎、向井良吉、辻晋堂、木内克、斎藤義重、藤井令太郎、浜口陽三、南桂子、佐野繁次郎、佐藤敬、田淵安一、金山康喜、岡本半三、野見山暁治、末松正

樹、菅井汲、今井俊満、飯田善國、北代省三、山口勝弘、福島秀子、白髪一雄、瑛九、靉嘔、加納光於、野中ユリ、浜田知明、イサム・ノグチ、上野誠、山下菊二、朝倉摂、清宮質文、中谷泰、池田龍雄、中野秀人、香月泰男〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

1950 年代の日本美術――戦後の出発点

神奈川県立近代美術館　2017 年 1 月

水沢 勉：1950 年代を再考する。

西澤晴美：1950 年代の美術史と美術館

橋 秀文、西澤晴美：章解説

橋 秀文：〈初年兵哀歌〉シリーズを中心とした浜田知明の 1950 年代の版画について

川人未来・西澤晴美共編：関連年表

西澤晴美・橋秀文共編：主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

神奈川県立県民ホール

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1975 年 9 月 24 日－10 月 7 日　いわき市文化センター／宮崎展；10 月 21 日－11 月 4 日　宮崎県総合博物館／奈良展；11 月 15 日－30 日　奈良県立美術館／神奈川展；12 月 7 日－21 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー

主催：文化庁・神奈川県教育委員会・神奈川県立県民ホール〔巡回 4-4〕

――→いわき市文化センター〔巡回 4-1〕

現代彫刻の歩み展〈41 人の作家による戦後彫刻の足跡〉 ●

欧文タイトル：「Contemporary Sculpture in Japan」

会期：1980 年 2 月 23 日－3 月 16 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

出品：荒木高子、飯田善國、池田宗弘、一色邦彦、伊藤隆道、井上武吉、植木茂、丑久保健一、江口週、加藤昭男、河口龍夫、木内克、木村賢太郎、清水九兵衛、小清水漸、小畠廣志、桜井祐一、佐藤忠良、篠田守男、篠原有司男、新宮晋、関根伸夫、田中薫、辻晋堂、土谷武、豊福知徳、中西夏之、福岡道雄、福嶋敬恭、三木富雄、向井良吉、八木一夫、保田春彦、柳原義達、山口勝弘、山口牧生、山本衛士、山本正道、吉村益信、淀井敏夫、米林雄一〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代彫刻の歩み展〈41 人の作家による戦後彫刻の足跡〉

神奈川県立県民ホール　1980 年 2 月　開館 5 周年記念　シリーズ第 1 回展

三木多聞：彫刻から立体造形へ〈戦後彫刻の問題点〉

中原佑介：今日の彫刻

中村伝三郎：現代彫刻の歩みとともに〈私の回顧録〉

小栗光雄編：戦後彫刻年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

現代彫刻の歩みー木の造形 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY SCULPTURE IN JAPAN－WOOD」

会期：1985 年 1 月 31 日－2 月 24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール　開館 10 周年記念

出品：第 I 部；圓鍔勝三、桜井祐一、佐藤玄々、澤田政廣、新海竹蔵、橋本平八、平櫛田中。第 II 部；阿井正典、飯田善國、植木茂、丑久保健一、江口週、榎倉康二、海老塚耕一、遠藤利克、桂ゆき、角永和夫、加納光於、加茂博、河口龍夫、菊畑茂久馬、北山善夫、倉重光則、剣持和夫、小清水漸、小畠廣志、昆野恆、斎藤義重、菅木志雄、菅創吉、菅沼緑、鈴木実、砂澤ビッキ、澄川喜一、関根伸夫、高松次郎、高山登、田窪恭治、竹田康宏、建畠覚造、田中栄作、田辺光彰、辻耕治、辻晋堂、勅使河原蒼風、富樫実、富松孝侑、戸谷成雄、豊福知徳、中川久嗣、流政之、橋本典子、福岡道雄、ふじい忠一、保科豊巳、眞板雅文、向井良吉、最上壽之、杢田たけを、八木正、籔内佐斗司、米坂ヒデノリ、米林雄一、李禹煥、若林奮、脇田愛二郎、渡辺豊重〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代彫刻の歩みー木の造形

神奈川県立県民ホール　1985 年 1 月 31 日

酒井忠康：人間と木との対話

北澤憲昭：木と美術

小栗光雄編：戦後彫刻年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

’87 神奈川アート・アニュアル ●

欧文タイトル：「THE 1st KANAGAWA ART ANNUAL」

会期：1987 年 1 月 21 日－2 月 1 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員：斎藤義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：井上雅之、内海信彦、神山明、金昌永、剣持和夫、後藤尚子、斎藤史門、諏訪直樹、野村和弘、平野米三、藤山貴司、柳幸典、山田恵子、渡辺良雄〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

’87 神奈川アート・アニュアル

神奈川県立県民ホール　1987 年 1 月 21 日　第 1 回展

藤島俊會：美術の開化から多義的な表現へ――神奈川アニュアル・コトハジメ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

第 2 回神奈川アート・アニュアル ●

欧文タイトル：「THE 2ND KANAGAWA ART ANNUAL」

会期：1988 年 1 月 20 日－31 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員：斎藤

義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：青木敦、青木恵子、大北利根子、勝又豊子、白岩繁夫、津田佳紀、中上清、マダン ラル、宮前正樹、吉川陽一郎〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

第 2 回神奈川アート・アニュアル

神奈川県立県民ホール　1988 年 1 月 20 日

針生一郎：無重力状況を浮遊する作家たちの探求

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大

第 3 回神奈川アート・アニュアル ●

欧文タイトル：「THE 3RD KANAGAWA ART ANNUAL」

会期：1989 年 3 月 1 日－14 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員：斎藤義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：オノ・ヨシヒロ、笠原恵実子、五井毅彦、三枝孝司、佐藤俊造、髙橋勉、高橋洋子、瀧本貞夫、奈良巖、平林薫、望月志郎、八柳尚樹、渡辺明〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

第 3 回神奈川アート・アニュアル

神奈川県立県民ホール　1989 年 3 月 1 日

柳生不二雄：「神奈川アート・アニュアル'89」によせて

千葉成夫：美術の何が変ってゆくか

オノ・ヨシヒロ、笠原恵実子、五井毅彦、三枝孝司、佐藤俊造、髙橋勉、高橋洋子、瀧本貞夫、奈良巖、平林薫、望月志郎、八柳尚樹、渡辺明：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、和光大

現代彫刻の歩み III「1970 年代以降の表現－物質と空間の変容」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 1 月 17 日－2 月 8 日　横浜・神奈川県立県民ホール　主催：神奈川県立県民ホール　開館 15 周年記念

出品：青木野枝、岩本宇司、海老塚耕一、遠藤利克、岡崎乾二郎、岡本敦生、神山明、北辻良央、橘田尚之、國安孝昌、黒川弘毅、黒蕨壮、剣持和夫、小清水漸、島剛、島田忠幸、白川昌生、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、西雅秋、橋本夏夫、深井隆、舟越桂、舟越直木、松井紫朗、村岡三郎、尹熙倉、吉川陽一郎、吉野辰海〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

現代彫刻の歩み III「1970 年代以降の表現－物質と空間の変容」

神奈川県立県民ホール　1990 年 1 月 17 日　開館 15 周年記念　第 3 回展

針生一郎：タブラ・ラサを経て再生した彫刻群

中村英樹：彫刻を見る視点の変貌

青木野枝、岩本宇司、海老塚耕一、遠藤利克「空洞性について(その 1)」、岡崎乾二郎「挿し絵」、岡本敦生、神山明、北辻良央、橘田尚之「夏の好き日」、國安孝昌「思うこと」、黒川弘毅、黒蕨壮、剣持和夫「作品と“場”について」、小清水漸、島剛、島田忠幸「グ

ルジア紀行(I)」、白川昌生「個別性からの出発」、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、西雅秋、橋本夏夫、深井隆「制作にあたって」、舟越桂、舟越直木、松井紫朗、村岡三郎、尹熙倉、吉川陽一郎、吉野辰海：〔作家のことば〕

峯村敏明：神学と修辞学〈80 年代の彫刻を活気づけたもの〉

藤島俊會：展覧会開催の経過と若干の考察〈野外彫刻を中心として〉

小栗光雄編：彫刻年表 1970(昭和 45)－1989(平成元年)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大

神奈川アート・アニュアル'91 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '91」

会期：1991 年 3 月 7 日－24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員：斎藤義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：井口大介、内倉ひとみ、岡本禎子、カナイヒロミ、菊谷直美、庄司恵、鈴木省三、中谷欣也、難波京子、蓑田貴子、森脇隆赫、朴元姫、劉明均〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート・アニュアル'91

神奈川県立県民ホール　1991 年 3 月 7 日　第 4 回展

針生一郎：「神奈川アート・アニュアル'91」によせて

近藤幸夫：1990 年をふりかえって

内倉ひとみ、岡本禎子、カナイヒロミ、菊谷直美、庄司恵、鈴木省三、中谷欣也、難波京子、蓑田貴子、森脇隆赫、朴元姫、劉明均：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

神奈川アート・アニュアル'92 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '92」

会期：1992 年 3 月 5 日－22 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：伊東直昭、岩川ユキヒロ、岡本敦生、小川保司、木村裕、倉重光則、さかぎしよしおう、髙井叡子、津田竜之介、中川猛、広田美穂、H et H〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート・アニュアル'92

神奈川県立県民ホール　1992 年 3 月 5 日　第 5 回展

柳生不二雄：あらたなる日々にむけて

北澤憲昭：越境と死――1991 年の回顧

伊東直昭、岩川ユキヒロ、岡本敦生、小川保司、木村裕、倉重光則、さかぎしよしおう、髙井叡子、津田竜之介、中川猛、広田美穂、H et H：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

神奈川アート・アニュアル'93 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '93」

会期：1993 年 2 月 27 日－3 月 16 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：小野皓一、加茂博、郡田政之、塩野麻理、鯨津朝子、中島敏行、永島洋子、中村シキカツ、樋口薫、森口園子、結城勉、吉田茂規〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート・アニュアル'93

神奈川県立県民ホール　1993 年 2 月 27 日　第 6 回展

針生一郎：〔ことば〕

正木 基：変わらずの 1990 年代に

小野皓一、加茂博、郡田政之〔3 行〕、塩野麻理、鯨津朝子、中島敏行、永島洋子、中村シキカツ、樋口薫、森口園子、結城勉、吉田茂規：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

神奈川アート・アニュアル'94 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '94」

会期：1994 年 1 月 13 日－30 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：石田眞利、大岩オスカール幸男、大村雄一郎、加藤力、金子友紀、倉橋元治、滝波重人、塚原奈緒子、服部昌樹、服部正志、藤枝柚実、村井俊二〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート・アニュアル'94

神奈川県立県民ホール　1994 年 1 月 13 日　第 7 回展

柳生不二雄：選考の経過と作家のプロフィール

千葉成夫：停滞論

石田眞利、大岩オスカール幸男、大村雄一郎、加藤力〔再録〕、金子友紀、倉橋元治、滝波重人、塚原奈緒子、服部昌樹、服部正志、藤枝柚実：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

神奈川アート・アニュアル'96 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '96」

会期：1996 年 3 月 6 日－24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川芸術文化財団

出品：市野泰道、井上リサ、小川百合、片岡操、小林孝亘、今道子、佐藤邦生、鈴木哲弥、関直美、平林りえ、藤澤江里子、三沢厚彦、山内隆〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート・アニュアル'96

神奈川県立県民ホール　1996 年 3 月 6 日　第 8 回展

柳生不二雄：「神奈川アート・アニュアル'96」について〈現代日本美術の諸相から〉

近藤幸夫：時代の底を流れるものへむかって

市野泰道、井上リサ、小川百合、片岡操、小林孝亘、今道子、鈴木哲弥、関直美、平林

りえ、三沢厚彦、山内隆：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、横浜美

神奈川アート・アニュアル'97 明日への作家たち ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '97」

会期：1997 年 3 月 19 日－4 月 12 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川芸術文化財団

出品：石上和弘、石毛千穂、河合勇作、棚田康司、辻忍、菱山裕子、房拓、松下ユリ子、三梨伸、森田多恵、諸泉茂、山口啓介〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート・アニュアル'97　明日への作家たち

神奈川芸術文化財団　1997 年 3 月 19 日　第 9 回展

針生一郎：招待作家たちのプロフィール

千葉成夫：オタクと停滞－見取り図

石上和弘、石毛千穂、河合勇作、棚田康司、辻忍、菱山裕子、房拓、松下ユリ子、三梨伸、森田多恵、諸泉茂、山口啓介：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

神奈川アート アニュアル'98 明日への作家たち ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '98」

会期：1998 年 2 月 25 日－3 月 15 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県民ホール

出品：浅見貴子、小野友三、勝田素子、木村太陽、剣持啓子、斎藤美奈子、田中太賀志、向山武志、母袋俊也、吉田亜世美、若月公平、渡邉清介〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート アニュアル'98 明日への作家たち

神奈川県民ホール　1998 年 2 月 25 日

柳生不二雄：神奈川アート アニュアル「明日への作家たち」について

天野一夫：我々の美術の〈弱さ〉について

浅見貴子、小野友三、勝田素子、剣持啓子、斎藤美奈子、田中太賀志、向山武志、母袋俊也、吉田亜世美、若月公平、渡邉清介：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美

神奈川アート アニュアル 2000 明日への作家たち ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL 2000」

会期：2000 年 2 月 19 日－3 月 20 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　選考委員・酒井忠康、千葉成夫、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県民ホール

出品：阿部佳明、市川美幸、今井紀彰、鵜飼美紀、小河朋司、大森崇、片平隆行、金澤一水、川田祐子、谷山恭子、樋口健彦、平町公〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

神奈川アート アニュアル 2000 明日への作家たち

神奈川県民ホール　2000 年 2 月 19 日

千葉成夫：選考の経過と作家のプロフィール

堀 元彰：分極化する美術－2 つの展覧会に触れて

阿部佳明、市川美幸、今井紀彰、鵜飼美紀、大森崇〔2 行〕、片平隆行、金澤一水、川田祐子、谷山恭子、樋口健彦、平町公：作家コメント

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美

かながわアート アニュアル 2001 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL 2001」

会期：2001 年 2 月 24 日－3 月 25 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　選考委員・酒井忠康、千葉成夫、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県民ホール

出品：長沢明、河田政樹、春日聡、仁木智之、飯島浩二、井上尚子、清岡正彦、村上慎二、景山健〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

かながわアート アニュアル 2001 展覧会カタログ

神奈川県民ホールギャラリー　2001 年 2 月

正木基、堀元彰、松尾こなぎ、近藤幸夫、天野一夫：テキスト

松尾こなぎ編：〔作家略歴、主要文献〕

千葉成夫：オモチャ箱派と歴史派－ひとつのメモ

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒

現代彫刻の歩み IV モノつくりの逆襲 ●

欧文タイトル：「CREATION COUNTERATTACK」

会期：2004 年 10 月 16 日－11 月 27 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

出品：彫刻；細川宗英、山本正道、三澤憲司、籔内佐斗司、太郎千恵藏、杉浦康益、西村盛雄、塩﨑由美子、古郡弘、西雅秋、岡崎和郎、野村和弘。人形；平田郷陽、野口園生、大魔神・角川大映撮影所。フィギュア；香川雅彦、榎木ともひで、香川雅彦(重)、榎木ともひで(重)、大嶋優木、竹谷隆之、山口隆、鬼木祐二、谷口順一、藤岡ユキオ、五島純、藤岡ユキオ(重)、竹谷隆之(重)、四角壱門、東海村原八、村田明玄、松村しのぶ、田熊勝夫、松本栄一郎、山本聖士、木下隆志、菅谷中、松本栄一郎(重)、田熊勝夫(重)、山本聖士(重)、山口勝久、寺岡邦明、田熊勝夫(重)、木下隆志(重)、松本栄一郎(重)、谷明。彩色；楳田哲也、古田悟郎、清水ゆう子。ガレージキット；香川雅彦(重)、ボーメ〔BOME〕〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代彫刻の歩み IV モノつくりの逆襲

神奈川芸術文化財団　2004 年 10 月 16 日　第 11 回神奈川国際芸術フェスティバル・神奈川県民ホール開館 30 周年記念

石井 太：モノつくりの逆襲にみる日本の心、魂の原風景

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

スーパーエクスタシー 至福への旅路 ●

欧文タイトル：「michi」

会期：2006 年 10 月 28 日－11 月 24 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

出品：野田雄一、藤田敏彰、松島さくら子、三澤憲司、塩﨑由美子、野村和弘、山田正好〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

スーパーエクスタシー 至福への旅路

神奈川県民ホール　2006 年 10 月

小川 稔：月へのしたたり

石井 太：銀の涙

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、都中図

日常／場違い ●

欧文タイトル：「Everyday Life another space」

会期：2009 年 12 月 16 日－2010 年 1 月 23 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

出品：雨宮庸介、木村太陽、佐藤恵子、泉太郎、藤堂良門、久保田弘成〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

日常／場違い

神奈川県民ホール　2010 年　開館 35 周年記念

多和田葉子：詩人や女優や野宿者の居場所

中野仁詞：日常 場違い 6 人の作家による「日常」と「場違い」

雨宮庸介、木村太陽、泉太郎、藤堂良門、久保田弘成：〔作家によるコメント〕

池田シゲル：「やまびこと転倒」

中野仁詞、榎本千賀子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、和光大、国会図

日常／オフレコ ●

欧文タイトル：「Everyday Life／Off the Record」

会期：2014 年 1 月 11 日－30 日　横浜・KAAT 神奈川芸術劇場　主催：神奈川県民ホール

出品：青田真也、安藤由佳子、梶岡俊幸、佐藤雅晴、八木良太〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

日常／オフレコ

神奈川県民ホール　2014 年 1 月　英文併載　DVD1 枚付　〔日常シリーズ第 3 弾〕

岡田利規：日常／オフレコ 世界の秘密(書きおろし小説)

中野仁詞：日常／オフレコ「ある記録が隠された」という記録を隠すこと あるいはその記録は、記憶でもありうる

青田真也、安藤由佳子、梶岡俊幸、佐藤雅晴、八木良太：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

横浜市民ギャラリー

今日の作家 64 年展〔第 1 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition：'64」

会期：1964 年 6 月 17 日－7 月 8 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　横浜現代美術館開設準備委員会：針生一郎、東野芳明、加藤衛、川添登、吉原慎一郎、吉沢忠、瀧口修造、園田敬男、中原佑介、瀬木慎一、主催：横浜市

出品：磯辺行久、小田襄、渡辺恂三、加納光於、田中栄作、山口勝弘、村上善男、元永定正、水谷勇夫、多田美波、向井修二、山下菊二、小久保彰、岡本信治郎〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

今日の作家 64 年展

〔横浜市〕　1964 年 6 月　第 1 回今日の作家展

中原佑介：「今日の作家 64 年展」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

今日の作家'65 年展〔第 2 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「ARTISTS TO-DAY EXHIBITION 1965」

会期：1965 年 11 月 5 日－15 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　横浜現代美術館開設準備委員会：針生一郎、東野芳明、加藤衛、川添登、吉原慎一郎、吉沢忠、瀧口修造、園田敬男、中原佑介、瀬木慎一、主催：横浜市

出品：荒川修作、志水晴児、宇佐美圭司、菊畑茂久馬、井上武吉、加藤清美、岡部繁夫、白髪一雄、高崎元尚、松本陽子、森本紀久子、栃木順子、藤田昭子、吉仲太造〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'65 年展

〔横浜市〕　1965 年 11 月　第 2 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、横浜美、国会図

今日の作家'66 年展〔第 3 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「ARTISTS TO-DAY EXHIBITION 1966」

会期：1966 年 10 月 14 日－26 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：針生一郎、東野芳明、加藤衛、川添登、吉原慎一郎、吉沢忠、瀧口修造、園田敬男、中原佑介、瀬木慎一、主催：横浜市

出品：今井祝雄、稲葉治夫、大野増穂、小島信明、重延瓔子、白井昭子、高松次郎、田中不二、野村博、八田豊、細川宗英、細田政義、前田常作、三好敏弘、ヨシダミノル、若尾和呂〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'66 年展

〔横浜市〕　1966 年 10 月　第 3 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美

今日の作家'67 年展〔第 4 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition：'67」

会期：1967 年 10 月 15 日－26 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：針生一郎、川添登、瀧口修造、瀬木慎一、東野芳明、吉原慎一郎、園田敬男、加藤衛、吉沢忠、中原佑介、

主催：横浜市

出品：篠田守男、福岡道雄、澄川喜一、尼野和三、大島哲以、中村正義、佐藤亜土、靉嘔、池田満寿夫、片山未加、斎藤寿一、野中ユリ、横尾忠則、飯塚八朗、福嶋敬恭、岡田博、田中信太郎〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'67 年展

〔横浜市〕　1967 年 10 月　第 4 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、和光大

今日の作家 68 年展〔第 5 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition '68」

会期：1968 年 11 月 1 日－11 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：針生一郎、川添登、瀧口修造、瀬木慎一、東野芳明、吉原慎一郎、園田敬男、加藤衛、吉沢忠、中原佑介、

主催：横浜市

出品：泉茂、最上壽之、篠原有司男、豊島弘尚、森口宏一、稲葉桂、土谷武、宮脇愛子、小野教治、牛玖健治、吹田文明、馬場彬、吉原英雄、山本圭吾、飯田善國、前山忠、斉藤顕治、木村直道、今中クミ子、吉村益信〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家 68 年展

〔横浜市〕　1968 年 11 月　第 5 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、神近美、横浜美、国会図

今日の作家'69 年展〔第 6 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1969 年 11 月 7 日－18 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：針生一郎、川添登、瀧口修造、瀬木慎一、東野芳明、吉原慎一郎、園田敬男、加藤衛、吉沢忠、中原佑介、

主催：横浜市

出品：伊藤隆道、飯田昭二、永井一正、日下賢二、野田哲也、天野邦弘、橿尾正次、市村司、松村定育、佐藤努、千田高詩、川村直子、福田繁雄、伊原通夫、吉田稔郎、工藤哲巳、大西清自、矢辺啓司、池水慶一、三尾公三〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'69 年展

〔横浜市〕　1969 年 11 月　第 6 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

今日の作家 70 年展〔第 7 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition ’70」

会期：1970 年 10 月 20 日－30 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：加藤衛、川添登、瀬木慎一、園田敬男、東野芳明、中原佑介、針生一郎、吉原慎一郎、吉沢忠、主催：横浜市

出品：石井厚生、魚田元生、海老原暎、河口龍夫、木村光佑、国島征二、小清水漸、小林はくどう、柵山龍司、菅木志雄、中里斉、速水史朗、福井延光、本田眞吾、マッド・アマノ、松原龍夫、松本旻、山本美智代、吉田克朗、若江漢字〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

今日の作家 70 年展

〔横浜市〕　1970 年 10 月　第 7 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

今日の作家’72 年展〔第 8 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition ’72」

会期：1972 年 10 月 29 日－11 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：加藤衛、川添登、瀬木慎一、園田敬男、東野芳明、中原佑介、針生一郎、吉沢忠、吉原慎一郎、主催：横浜市

出品：荒井久栄、狗巻賢二、植松奎二、榎倉康二、大里宏峻、柏原えつとむ、清塚紀子、倉重光則、斉藤静輝、佐々木四郎、島州一、下谷千尋、竹田和子、中林忠良、八田淳、原口典之、藤原和通、細木茂子、森秀雄、矢野正治、山本衛士、吉本直貴〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

今日の作家’72 年展

〔横浜市〕　1972 年 10 月　第 8 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図

今日の作家’73 年展〔第 9 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition ’73」

会期：1973 年 11 月 3 日－14 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：加藤衛、川添登、瀬木慎一、東野芳明、中原佑介、針生一郎、吉沢忠、吉原慎一郎、主催：横浜市

出品：青山光佑、荒木哲夫、因藤壽、江口週、小野木学、角永和夫、小本章、坂爪厚生、中林富紀子、二村裕子、二見彰一、堀浩哉、眞坂雅文、雅子＋尚嘉〔柴田雅子＋彦坂尚嘉〕、村岡三郎、森秀男、柳新也、山下清澄、山中信夫、脇田愛二郎〔作品リスト順〕

註：森秀男は、主体美術協会会員（1966 年）で、1983 年 1 月 29 日に 55 歳で急逝。

〇展覧会カタログ

今日の作家’73 年展

〔横浜市〕　1973 年 11 月　第 9 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図

世界現代美術展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1974 年 10 月 20 日－11 月 19 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

出品：日本作家；岡本太郎、オノサト・トシノブ、桂ユキ子〔ゆき〕、斎藤義重、高間惣七、田淵安一、鶴岡政男、村井正誠、吉原治良、赤穴宏、江見絹子、大沢昌助、岡部繁夫、川端実、末松正樹、杉全直、建畠覚造、田中田鶴子、津高和一、堂本尚郎、難波田龍起、池田満寿夫、今井俊満、岡本信治郎、加納光於、志水晴児、白髪一雄、田中栄作、早川重章、前田常作、宮脇公実、向井良吉、元永定正、山下菊二、吉田穂高、磯辺行久、小田襄、久野真、篠田守男、多田美波、田中敦子、中西夏之、野村耕、三木富雄、村上善男、吉仲太造、荒川修作〔リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

世界現代美術展

〔横浜市〕　1974 年 10 月　1 枚(二ツ折両面刷)

瀬木慎一：〔ことば〕

所蔵：□、国新美

今日の作家選抜展〔第 10 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition」

会期：1974 年 11 月 1 日－12 日　関内・横浜市民ギャラリー　選考委員：瀬木慎一、主催：横浜市

註：今回は、第 10 回目を記念して過去 9 回展出品作家の中から選抜が行なわれる。

出品：井上武吉、伊藤隆道、飯田善國、因藤壽、宇佐美圭司、小野木学、大島哲以、岡本信治郎、木村光佑、斉藤顕治、斎藤寿一、志水晴児、篠田守男、島州一、下谷千尋、白髪一雄、田中栄作、田中信太郎、多田美波、豊島弘尚、中林忠良、永井一正、二村裕子、野田哲也、福田繁雄、松本陽子、三尾公三、村上善男、元永定正、山口勝弘、横尾忠則、吉仲太造、若尾和呂、脇田愛二郎〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

今日の作家選抜展

〔横浜市〕　1974 年 11 月　第 10 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、横浜美、国会図

今日の静物・展〔第 11 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Still Life to-day Exhibition」

会期：1975 年 12 月 4 日－14 日　関内・横浜市民ギャラリー　選考者：中原佑介、主催：横浜市

出品：靉嘔、青山光佑、粟津潔、飯田昭二、榎倉康二、海老原暎、岡本信治郎、上矢津、北山泰斗、久里洋二、五月女幸雄、島州一、鈴木慶則、関根美夫、建畠覚造、中西夏之、野田哲也、八田淳、原口典之、福田繁雄、眞板雅文、山本衛士、矢柳剛、吉仲太造、吉村益信、若江漢字〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

今日の静物・展

〔横浜市〕　1975 年 12 月　第 11 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

中原佑介：現代の「静物」

青山光佑、粟津潔「銀色の小さな風景」、飯田昭二、榎倉康二、海老原暎、岡本信治郎、上矢津、北山泰斗、久里洋二、島州一、鈴木慶則「制作のためのメモ」、関根美夫、建畠覚造、原口典之、福田繁雄「〈生物〉の〈セイブツ〉」、山本衛士、矢柳剛、若江漢字：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、和光大、国会図

今日の空間展〔第 12 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「INFORMATION & COMMUNICATION」

会期：1976 年 11 月 1 日－14 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：アーティスト・ユニオン、主催：横浜市

出品：作家のことば収載作家；池田龍雄、市川訓子、井上象元、今井由緒子、小田博、オチ・オサム、片江政敏、金子昭二、邦千谷、斉藤顕治、斉藤智、島州一、嶋本昭三、鷲見和紀郎、鈴木久美子、鈴木紀庸、千田高詩、田中恭子、田中信太郎、たべけんぞう、高橋勝、建畠朔弥、谷川晃一、玉野黄市、辻村和子、土屋圀代、友原康博、ながれひろし、中谷芙二子、萩原朔美、橋本洋子、ヒグマ春夫、堀川紀夫、マッド・アマノ、前田一澄、松澤宥、向井隆豊、村上三郎、村上善男、毛網紋太、守屋行彬、矢田アキ、山崎つる子、山田彊一、よしのまこと、若江漢字、渡辺宏、渡部伸彦、グループ〈複数〉、グループ〈権兵衛〉、土居樹男。出品作家リストの作家；伴勝雄、田中繁一、藤沢典明、工藤孝生、風倉匠、小野友之、二紀和太留、梅林文夫、浅野康一、細木茂子、加藤好弘、福井昭雄、岸本真理、伊藤隆康、山中良二郎、川上キヨ子、樋口正一郎、ヨシダカリン、加治孝夫、越中谷寿生、若藤政美、後啓子、深尾庄介、岩永忠樹、西浦由郎、丹保喜三郎、向井勝美、彦坂和夫、鷲頭剛、斉藤寧、平塚章子、堀暉子、梶野九陽、立中禀子、なかむらせつこ、石松健男、柵山龍司、浦田宗夫、鈴木貴久、石原ミチオ、加藤正嘉、栗本光春、清水まさのり、畝尻一義、丹羽康介、布山淳一、水野幸道、森井象山、横山明男、若林隆、井内亮二、森瀬和広、羽山富雄、高畑純、泉栄治、武内寛、藤岡章、阿部省三、香川昌久、赤松雅信、藤原郁夫、坪内晃幸、浅山仁、鷹尾浩一郎、河野実、岡本民子、菊沢尋吉、西山日出男、関上泰達、藤沢千丈、向井正孝、西川隆敏、三好滋、越智賢三、中山洋子、日野譲、永易基精、兵頭一夫、矢野徹志、貞鍋博文、工藤寿栄子、高崎元尚、大西清澄、上野敏郎、小野田實、木村雪子、長滋子、長谷川美喜、丸山栄子、矢上五郎八、代平源吾、北川令子、久我くるみ、坪田薫、濱礼子、三沢泰子、池田代志行、清水慶子、高見沢弘、司与明、深町和春、ながれひろし、渡辺宏(重)、村上三郎、坂上靖子、鷲見康夫、立浪敏男、上前智祐、金崎博、小西千寿子、橋本洋子、上田民子、嶋本昭三、原山勝、坂本昌也、小竹るり子、山本一了、松下元夫、松下玲子、楠本操、一ノ戸ヨシノリ、後藤充弘、荒井善則、丹野利雄、藤木正則、平間文子、盛安俊壱、岡田徹、木路毛五郎、長谷真砂子、大山記糸夫、渡部伸彦(重)、Cees Francke、 John M. Bennet、Gasowski、Tom Morrissey、Wm. Bryanclank、Mark Williams、John Malveto、土屋圀代(重)。図版箇所記名作家；池田龍雄(重複記載、以下(重)とす)、市川訓子(重)、稲木秀臣、井上象元(重)、今井由緒子(重)、上田佳世子〔図版無〕、小田博(重)、オチ・オサム(重、図版無)、井山武司・長谷真砂子〔図版無〕、片江政敏(重、図版無)、金子昭二(重)、邦千谷(重、図版無)、楠本操、斉藤顕

治(重)、斉藤智(重)、鴫剛、柴田雅子〔図版無〕、島州一(重)、嶋本昭三(重)、須賀昭初、須賀啓、鷲見和紀郎(重)、鈴木久美子(重)、鈴木紀庸(重)、千田高詩(重)、田中恭子(重)、田中信太郎(重)、たべけんぞう(重)、高桐禎雄〔図版無〕、高橋勝(重)、建畠朔弥(重)、谷川晃一(重)、玉野黄一(重、図版無)、辻村和子「舞」「踏」研究所(重)、土屋圀代(重)、土居樹男(重)、飛永頼節、友原康博(重)、ながれひろし(重)、中上清、中谷芙二子(重)、萩原朔美(重)、橋本洋子(重)、早川昌〔図版無〕、林三従〔図版無〕、ヒグマ春夫(重)、古館興、堀川紀夫(重)、マッド・アマノ(重)、前田一澄(重)、松岡園子、松田順一郎、松澤宥(重、図版無)、水上旬〔図版無〕、向井隆豊(重)、村上三郎(重)、村上善男(重)、毛網紋太(重、図版無)、守屋行彬(重、図版無)、矢田アキ(重)、山崎つる子(重)、山田彊一(重)、よしのまこと(重、図版無)、吉仲太造〔図版無〕、吉野辰海、吉村益信〔図版無〕、若江漢字(重)、渡辺宏(重)、渡部伸彦(重)、グループ〈複数〉〔図版無〕、グループ〈権兵衛〉(重)

註：グループ〈複数〉の構成員は飯田昭二・丹羽勝次・長岡宏・小杉一郎・小林幹於・杉山邦彦。

〇展覧会カタログ

今日の空間展

〔横浜市〕 1976 年 11 月　第 12 回今日の作家展　1 枚(八ツ折両面刷)

針生一郎、ヨシダ・ヨシエ：〔ことば〕

池田龍雄、市川訓子、井上象元、今井由緒子、小田博、オチ・オサム、片江政敏、金子昭二、邦千谷、斉藤顕治、斉藤智、島州一、嶋本昭三、鷲見和紀郎、鈴木久美子、鈴木紀庸、千田高詩、田中恭子、田中信太郎、たべけんぞう、高橋勝、建畠朔弥、谷川晃一、玉野黄市、辻村和子、土屋圀代、友原康博、ながれひろし、中谷芙二子、萩原朔美、橋本洋子、ヒグマ春夫、堀川紀夫、マッド・アマノ、前田一澄、松澤宥、向井隆豊、村上三郎、村上善男、毛網紋太、守屋行彬、矢田アキ、山崎つる子、山田彊一、よしのまこと、若江漢字、渡辺宏、渡部伸彦、グループ〈複数〉、グループ〈権兵衛〉、土居樹男：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、横浜美

絵画の豊かさ展〔第 13 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「THE RICHNESS OF PAINTING」

会期：1977 年 11 月 18 日－29 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：峯村敏明、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：伊藤純子、狗巻賢二、榎倉康二、柴田雅子、清水誠一、菅木志雄、諏訪直樹、高松次郎、山本一郎、李禹煥〔作家略歴順〕

〇展覧会カタログ

絵画の豊かさ展

〔横浜市・横浜市教育委員会〕 1977 年 11 月　第 13 回今日の作家展

峯村敏明：平面を越えて

伊藤純子、榎倉康二、柴田雅子、清水誠一、菅木志雄、諏訪直樹、山本一郎、李禹煥、狗巻賢二：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

表現を仕組む〔第 14 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1978 年 11 月 2 日－12 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：岡田隆彦、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：糸数都、岩本拓郎、榎倉康二、小野寺才逸、鎌谷伸一、川崎純照、小清水漸、菅木志雄、高木修、高見澤文雄、高山登、田窪恭治、八田淳、樋口正一郎、堀浩哉、山田桃子、渡辺哲也〔作家略歴順〕

○展覧会カタログ

表現を仕組む

〔横浜市・横浜市教育委員会〕　1978 年 11 月　第 14 回今日の作家展

岡田隆彦：表現を仕組む

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

今日の作家'79 展〔第 15 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1979 年 11 月 24 日－12 月 5 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：島州一・高山登・東野芳明・眞板雅文、主催：横浜市教育委員会

出品：池田徹、伊藤弥生、植松奎二、越後紀子、榎倉康二、沖啓介、倉重光則、島州一、菅木志雄、高山登、東野芳明、村岡三郎、八田淳、眞板雅文、和田守弘。資料出品；Arnulf Rainer、Barry Flanagan、Dieter Krieg、藤原和通〔出品作家順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'79 展

〔横浜市教育委員会〕　1979 年 11 月　第 15 回今日の作家展　封筒入(全 22 葉)

東野芳明：断章

島州一・高山登・眞板雅文：SPACIAL IDENTITIES

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美

今日の作家 感情と構成・展〔第 16 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day」

会期：1980 年 11 月 16 日－30 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：藤枝晃雄、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：川俣正、須賀昭初、中上清、中村功、根岸芳郎、福嶋敬恭、山田正亮〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家 感情と構成・展

〔横浜市・横浜市教育委員会〕　1980 年 11 月　第 16 回今日の作家展

藤枝晃雄：感情と構成・展によせて…

川俣正、須賀昭初、中上清、中村功、根岸芳郎、山田正亮：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

今日の作家［壁］展〔第 17 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day ’81：THEME THE WALL」

会期：1981 年 11 月 19 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：秋田由利、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：天野博之、天利道子、井川惺亮、岡崎乾二郎、荻野裕政、川俣正、柏原えつとむ、串田治、斎藤義重、永崎通久、前田一澄、三代川和美、三宅康郎、森口宏一、森田秀、守屋行彬〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家［壁］展

〔横浜市・横浜市教育委員会〕　1981 年 11 月　第 17 回今日の作家展

秋田由利：THEME［壁］

天利道子、井川惺亮、岡崎乾二郎、荻野裕政、川俣正、柏原えつとむ、串田治、永崎通久、前田一澄、三宅康郎、森口宏一、森田秀、守屋行彬：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

今日の作家展 NOVEMBER STEPS〔第 18 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「NOVEMBER STEPS」

会期：1982 年 11 月 11 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：東野芳明、海老塚耕一、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：出光真子、海老塚耕一、遠藤利克、沖啓介、北山善夫、草間彌生、佐々木悦弘、田窪恭治、髙澤直代、菱沼良樹、前本彰子、矢野美智子、山本容子、横尾忠則、吉澤美香〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家展 NOVEMBER STEPS

〔横浜市・横浜市教育委員会〕　1982 年 11 月　第 18 回今日の作家展

東野芳明・海老塚耕一：INTERVIEW

出光真子、海老塚耕一、草間彌生、菱沼良樹、前本彰子、山本容子、吉澤美香：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

今日の作家展’83〔第 19 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「19th Artists to-day」

会期：1983 年 11 月 18 日－29 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：早見堯、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：井川惶亮、伊藤誠、岡崎乾二郎、櫻井英嘉、高木修、髙澤直代、竹田康宏、長重之、長沢秀之、根岸芳郎、古川流雄、松本陽子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家展’83　横浜市民ギャラリー編

横浜市・横浜市教育委員会　1983 年 11 月　第 19 回今日の作家展〔内面化される構造〕
早見 堯：内面化される構造
井川惶亮、伊藤誠、岡崎乾二郎、櫻井英嘉、高木修、髙澤直代、竹田康宏、長重之、長沢秀之、根岸芳郎、古川流雄、松本陽子：〔コメント〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

第 20 回今日の作家展［面］をめぐる表現の現在 ●

欧文タイトル：「20th ARTISTS TO-DAY '84」
会期：1984 年 11 月 10 日－25 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：たに あらた、主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：大竹伸朗、柏原えつとむ、北山善夫、関口敦仁、高松次郎、高見澤文雄、田窪恭治、日比野克彦、福嶋敬恭、堀浩哉、山倉研志、李禹煥〔別紙出品リスト順〕
○展覧会カタログ
今日の作家'84 展カタログ
横浜市・横浜市教育委員会　1984 年 11 月　第 20 回今日の作家展〔[面] をめぐる表現の現在〕
たに あらた：[面] をめぐる表現の現在
柏原えつとむ、北山善夫、関口敦仁、堀浩哉、山倉研志：作家のことば
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

第 21 回今日の作家展 インスタレイションとは何か ●

欧文タイトル：「ARTISTS TODAY '85：WHEN INSTALLATIONS BECOME FORM?」
会期：1985 年 11 月 9 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：千葉成夫、主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：阿部守、柏原えつとむ、桂ゆき、蔵重範子、剣持和夫、白岩繁夫、菅木志雄、平林薫、藤浩志、保科豊巳、三宅康郎、森田秀〔別紙出品リスト順〕
○展覧会カタログ
今日の作家'85 展　カタログ　　横浜市民ギャラリー編
横浜市・横浜市教育委員会　1985 年 11 月　第 21 回今日の作家展〔インスタレイションとは何か〕
千葉成夫：インスタレイションとは何か――美術と美術を逸脱するもの
阿部守〔2 行〕、桂ゆき、蔵重範子〔再録〕、菅木志雄、藤浩志、保科豊巳：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

第 22 回今日の作家展'86 現代美術の黙示録 I 魂の深層から ●

欧文タイトル：「Artists to-day '86：“Apocalypse in Contemporary Art I－from the depth of soul”」

会期：1986 年 11 月 14 日－27 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：日夏露彦、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：松澤宥、菅木志雄、米谷栄一〔別紙出品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'86 展カタログ　　横浜市民ギャラリー編

横浜市・横浜市教育委員会　1986 年 11 月　第 22 回今日の作家展〔'86 現代美術の黙示録 I 魂の深層から〕

日夏露彦：現代美術の黙示録 I　魂の深層から

松澤宥、菅木志雄、米谷栄一：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

第 23 回今日の作家［位相］展〈素材・絵画・黙示による〉●

欧文タイトル：「The 23rd 'Artists Today' Exhibition：Phases / Material, Tableau and Apocalypserd」

会期：1987 年 11 月 19 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：千葉成夫・たにあらた・日夏露彦、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：豊平ヨシオ、國安孝昌、能勢孝二郎、小田中康浩、坂口登、芝章文、中村一美、矢嶋美枝子、中川政昭、辻けい、菅野由美子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'87 展カタログ　　横浜市民ギャラリー編

横浜市・横浜市教育委員会　1987 年 11 月　第 23 回今日の作家展〔[位相] 展〈素材・絵画・黙示による〉〕

豊平ヨシオ、國安孝昌、能勢孝二郎：〔作家のことば〕

たにあらた：2 アモルファス「非晶質」'87――絵画の場合

小田中康浩、坂口登、芝章文、中村一美：〔作家のことば〕

日夏露彦：3 現代美術の黙示録 II

矢嶋美枝子、菅野由美子：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、都中図

第 24 回今日の作家「多極の動態」展 ●

欧文タイトル：「The 24th 'Artists Today' Exhibition：Phases Multiplar Movement」

会期：1988 年 11 月 11 日－26 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：中村英樹、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：井口大介、井口里栄、池ヶ谷肇、石井厚生、伊東直昭、伊藤誠、上田雄三、上野慶一、榎倉康二、小田英之、木下佳通代、國安孝昌、土谷武、福田美蘭、藤田昭子、向井美恵、最上壽之、山田恵子、山部泰司、矢野静明〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家'88 展カタログ　　横浜市民ギャラリー編

横浜市・横浜市教育委員会　1988 年 11 月　第 24 回今日の作家展〔多極の動態展〕

中村英樹：新しい自分の輪郭〈統合する力〉

井口大介、井口里栄、池ヶ谷肇〔再録〕、伊東直昭、上田雄三、上野慶一〔1 行〕、小田英之、國安孝昌、土谷武、福田美蘭、藤田昭子、向井美恵、最上壽之、山田恵子、山部泰司、矢野静明：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

第 25 回今日の作家展 かめ座のしるし ●

欧文タイトル：「KAME-ZA Shell and Vessel, Signifying」

会期：1989 年 11 月 11 日－26 日　関内・横浜市民ギャラリー　構想・構成：峯村敏明、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：杉全直、田淵安一、彦坂尚嘉、辰野登恵子、清水誠一、上野慶一、長澤英俊、小清水漸、戸谷成雄、黒川弘毅、橘田尚之、加茂博、笠原たけし、小泉俊己、青木野枝、舟越直木、小野初代、川越悟、草間彌生、北辻良央、野村仁、大森博之、矢野美智子、笹谷晃生〔出品者一覧順〕

○展覧会カタログ

今日の作家’89 かめ座のしるし展カタログ　　横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー編

横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー　1989 年 11 月　第 25 回今日の作家展〔かめ座のしるし〕

峯村敏明：かめ座のしるし

杉全直、田淵安一、彦坂尚嘉、辰野登恵子、清水誠一、上野慶一、長澤英俊、小清水漸、戸谷成雄、黒川弘毅、橘田尚之、加茂博、笠原たけし、小泉俊己、青木野枝、舟越直木、小野初代、川越悟、草間彌生、北辻良央、野村仁、大森博之、矢野美智子〔再録〕、笹谷晃生：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

第 26 回今日の作家展’90 トリアス ●

欧文タイトル：「The 26th ‘Artists Today’ Exhibition：TPLαS」

会期：1990 年 11 月 10 日－25 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：水沢勉、近藤幸夫、正木基、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：吉田克朗、寺内曜子、長澤伸穂、白井美穂、柳健司、笠原恵実子、一原有徳、秋岡美帆、山口啓介〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家展 カタログ　　横浜市民ギャラリー編

横浜市・横浜市教育委員会　1990 年 11 月　第 26 回今日の作家展〔’90 トリアス〕

水沢 勉：1 復元力の所在

吉田克朗、寺内曜子、長澤伸穂：〔作家のことば〕

近藤幸夫：2 不在の空間

白井美穂：〔作家のことば〕

正木 基：3 拡"大"する版――「エッジ」としての版画
一原有徳、秋岡美帆、山口啓介：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

よこはまの作家たち'91 それぞれの美術の表現 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1991 年 3 月 5 日－17 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：甲斐哲義、グレン・アンダーソン、高間夏樹、中上清、宮田翁輔、和田守弘、小田野尚之、松本勝、森田佑子、山本直彰、隈部滋子、黒田茂樹、利渉重雄、陰里寿朗、海老塚耕一、川村直子、神山明、鈴木明、難波京子、櫻井宏哉〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
よこはまの作家たち'91 それぞれの美術の表現　　横浜市民ギャラリー編
横浜市・横浜市教育委員会　1991 年 3 月
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

第 27 回今日の作家展'91 史としての現在〈8 人の作家と 1 人の評論家による展覧会〉 ●
欧文タイトル：「The 27th 'Artists Today' Exhibition : The Present as History　An Exhibition by Eight Artists and One Critic.」
会期：1991 年 11 月 14 日－27 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：北澤憲昭、主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：橋田尚之、黒川弘毅、小山穂太郎、鈴木省三、諏訪直樹、戸谷成雄、中上清、マコトフジムラ〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
第 27 回今日の作家展'91 史としての現在〈8 人の作家と 1 人の評論家による展覧会〉　　横浜市民ギャラリー編
横浜市・横浜市教育委員会　1991 年 11 月
北澤憲昭：史としての現在〈8 人の作家と 1 人の評論家による展覧会〉
橋田尚之、黒川弘毅、鈴木省三、諏訪直樹〔再録〕、戸谷成雄、中上清、マコトフジムラ：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

第 28 回今日の作家展 現代性への問いかけ――ある様々な企て ●
欧文タイトル：「The 28th 'Artists Today' Exhibition : The Emission into The Modernity」
会期：1992 年 11 月 20 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：小倉正史、矢口國夫、山梨俊夫、主催：横浜市・横浜市教育委員会・第 28 回今日の作家展開催企画委員会
出品：加藤到、津田佳紀、平川典俊、宮前正樹、遠藤利克、北辻良央、北山善夫、西雅秋、鈴木朝湖、村井俊二、王新平、山口由理子〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
第 28 回今日の作家展 カタログ　　横浜市民ギャラリー・第 28 回今日の作家展開催企画委

員会編
横浜市民ギャラリー　1992 年 11 月　〔現代性への問いかけ――ある様々な企て〕
小倉正史：盛大介の嘲笑
加藤到「作品名　ビデオ前線注意報」、津田佳紀、平川典俊〔1 行のみ〕、宮前正樹：〔作家のことば〕
矢口國夫：表現の絵解き――ある展示形態の試み
遠藤利克、北辻良央、北山善夫：〔作家のことば〕
山梨俊夫：《物に／物と》――物質との関係の変貌
西雅秋「馴致」、鈴木朝湖、王新平、山口由理子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

第 29 回今日の作家展 視えない現実 ●
欧文タイトル：「The 29th ‘Artists Today’ Exhibition：Invisible Realities」
会期：1993 年 11 月 19 日－12 月 2 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：逢坂恵理子、
主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：椿昇、中ハシ克シゲ、中村政人、柳幸典〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
第 29 回今日の作家展 視えない現実　　横浜市民ギャラリー・第 29 回今日の作家展開催企画実行委員会編
横浜市民ギャラリー　1993 年 11 月　主に英文併載
逢坂恵理子：思考する目――不可視から可視へ
椿昇、中ハシ克シゲ、中村政人、柳幸典：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

第 30 回今日の作家展 洋上の宇宙〈アジア太平洋の現代アート〉 ●
欧文タイトル：「The 30th ‘Artists Today’ Exhibition　Asia-Pacific Universe：Contemporary Art from Australia, Canada, China, India, Japan, Philippines」
会期：1995 年 3 月 12 日－31 日　関内・横浜市民ギャラリー　横浜市民ギャラリー30 周年記念展実行委員会委員：北澤憲昭、金澤毅、小倉正史、中村英樹、山梨俊夫、小林昭夫、逢坂恵理子　主催：横浜市・横浜市民ギャラリー30 周年記念展実行委員会
出品：橋本真之、ビル・ヘンソン、マーク・フスティニアニ、胡介鳴、ラヴィ・マンドリク、アルウィン・レアミロ、バーナード・ザックス、作左部潮、芝章文、白川昌生、竹内義郎、牛島智子、ジン・ミー・ユーン〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
第 30 回今日の作家展 洋上の宇宙〈アジア太平洋の現代アート〉　　横浜市民ギャラリー・横浜市民ギャラリー30 周年記念展実行委員会編
横浜市民ギャラリー　1995 年 3 月　英文併載　横浜市民ギャラリー30 周年記念
橋本真之、マーク・フスティニアニ、胡介鳴、ラヴィ・マンドリク、アルウィン・レア

ミロ、バーナード・ザックス、作左部潮、芝章文、白川昌生、竹内義郎、牛島智子、ジン・ミー・ユーン：〔作家のことば〕

北澤憲昭：橋本真之、金澤毅：ビル・ヘンソン、バーナード・ザックス、作左部潮、小倉正史：マーク・フスティニアニ、アルウィン・レアミロ、白川昌生、ジン・ミー・ユーン、中村英樹：胡介鳴、芝章文、山梨俊夫：ラヴィ・マンドリク、竹内義郎、小林昭夫：牛島智子：〔委員のことば〕

小倉正史：洋上の宇宙：アートの多様性

金澤 毅：アジア パシフィック時代の夜明け

山梨俊夫：インド美術瞥見

中村英樹：上海の現代美術状況

北澤憲昭：現代美術のむつかしさ――今日の作家展の 30 年のために

逢坂恵理子：第 29 回今日の作家展(1993 年) 視えない現実・記録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

第 31 回今日の作家展〈DISPLACEMENT 横浜から横浜へ〉●

欧文タイトル：「The 31st 'Artists Today' Exhibition：DISPLACEMENT」

会期：1996 年 3 月 16 日－31 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：小倉正史、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：ハンク・ブル、ラニ・マエストロ、島袋道浩、土志田ミツオ、粉川哲夫、草間彌生〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 31 回今日の作家展〈DISPLACEMENT 横浜から横浜へ〉　第 31 回今日の作家展実行委員会・横浜市民ギャラリー編

第 31 回今日の作家展実行委員会　1996 年 3 月　英文併載

小倉正史：DISPLACEMENT お元気ですか

ハンク・ブル、ラニ・マエストロ、島袋道浩、土志田ミツオ、粉川哲夫、草間彌生：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

第 32 回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's〈無意識の共鳴〉●

欧文タイトル：「The 32nd 'Artists Today' Exhibition NEW JAPANESE PHOTOGRAPHY IN 1999's：THE RESONANCE OF UNCONSCIOUSNESS」

会期：1996 年 11 月 13 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　ゲスト・キュレイター：伊藤俊治、主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

出品：柴田敏雄、古屋誠一、今道子、上田義彦、畠山直哉、伊奈英次、髙橋恭司、普後均、猪瀬光、倉田精二、宮本隆司〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 32 回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's〈無意識の共鳴〉

横浜市民ギャラリー　1996 年 11 月　主に英文併載

伊藤俊治：無意識の共鳴 NEW JAPANESE PHOTOGRAPHY

今道子、上田義彦〔再録〕、畠山直哉、伊奈英次、髙橋恭司、倉田精二、宮本隆司：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

第 33 回今日の作家展 都市の情景：複数性のなかの単一性 ●

欧文タイトル：「The 33rd 'Artists Today' Exhibition：Singularity in Plurality」

会期：1997 年 11 月 1 日－18 日　関内・横浜市民ギャラリー　ゲスト・キュレーター：近藤幸夫、主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

出品：荒木経惟、大村益三、小金沢健人、藤堂良浩、宮前正樹、村上隆〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 33 回今日の作家展 都市の情景：複数性のなかの単一性

横浜市民ギャラリー　1997 年 11 月　英文併載

近藤幸夫：複数性のなかの単一性――大衆化社会における表現者の位置について

荒木経惟〔1 行〕、大村益三、小金沢健人、藤堂良浩、宮前正樹、村上隆：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

第 34 回今日の作家展〈APPROACHING REALITY コンセプチュアリズムの新たな展開〉 ●

欧文タイトル：「The 34th Artists Today Exhibition：APPROACHING REALITY New Turn of the Conceptualism」

会期：1999 年 3 月 4 日－23 日　関内・横浜市民ギャラリー　ゲスト・キュレーター：市原研太郎、主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

出品：井口大介、喜多順子、北川裕二、木村友紀、国民投票〔REFERENDUM〕、スズキヒロシ、ナカイメグミ〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 34 回今日の作家展〈APPROACHING REALITY コンセプチュアリズムの新たな展開〉

横浜市民ギャラリー　1999 年 3 月　主に英文併載

市原研太郎：コンセプチュアリズムの系譜

北川裕二、木村友紀、ナカイメグミ：作家のことば

内山淳子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

明滅するイメージ COMMUTATION 展 ●

欧文タイトル：「COMMUTATION」

会期：1999 年 10 月 23 日－11 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　共同ディレクター：伊藤俊治・港千尋・椹木野衣・高橋周平、主催：横浜国際写真フェスティバル実行委員会・横

浜市・横浜市民ギャラリー

出品：山川冬樹、西川ミチル、大嶋暁子、カトリン・パウル、生原力＋村上陽子、春日聡〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

明滅するイメージ COMMUTATION 展

〔横浜市民ギャラリー〕 1999 年 10 月

伊藤俊治：〔ことば〕

カトリン・パウル：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

今日の作家展 2001 アーティキュレイト・ヴォイスー新しい“イメージ”の可能性 ●

欧文タイトル：「series ARTISTS TODAY 2001：ARTICLATE VOICE From the age of new imagery expansions」

会期：2001 年 9 月 1 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

出品：天江竜太、大木裕之、木村友紀＋前田征紀、武智子、眞島竜男、横溝静〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家展 2001 アーティキュレイト・ヴォイスー新しい“イメージ”の可能性

横浜市民ギャラリー　2001 年 9 月　主に英文併載　第 35 回今日の作家展

市原研太郎：Image Aesthetics：イメージの新たな可能性に向けて

内山淳子：アーティキュレイト・ヴォイス展をめぐるノート

横溝静、木村友紀〔1 行〕、前田征紀：作家のことば

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美

今日の作家展 2003 水を掬ぶ。花を弄す。〈自然へのまなざし〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 2 月 18 日－3 月 16 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・横浜市民ギャラリー／4 月 12 日－5 月 15 日　福井県あわら市・金津創造の森　主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・金津創造の森財団／5 月 20 日－6 月 15 日　文化フォーラム春日井・ギャラリー　主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・春日井市・かすがい市民文化財団

出品：川村悦子、児玉靖枝、斉藤典彦、本田健、山河全〔作品出品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家展 2003 水を掬ぶ。花を弄す。〈自然へのまなざし〉

「今日の作家展 2003」実行委員会　2003 年 2 月　第 36 回今日の作家展

針生一郎：5 人の画家の独自なアプローチ

石山陽子：自然をみる。

内山淳子：試論：「水を掬ぶ。花を弄す。―自然へのまなざし―」展をめぐって

肥田木朋子：新たなる「今日的なもの」を求めて

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

今日の作家展 2004 人間のこころをめぐる表現 ●

欧文タイトル：「Artists Today」

会期：2004 年 2 月 27 日－3 月 21 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：「今日の作家展 2004」実行委員 会・横浜市民ギャラリー／4 月 17 日－5 月 23 日　福井県あわら市・金津創造の森　主催：「今日の作家展 2004」実行委員会・金津創造の森財団・あわら市・あわら市教育委員会／5 月 28 日－6 月 27 日　文化フォーラム春日井・ギャラリー　主催：「今日の作家展 2004」実行委員会・春日井市・かすがい市民文化財団

出品：智内兄助、森脇正人、楊曉閩、橋口譲二〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の作家展 2004　人間のこころをめぐる表現　　横浜市民ギャラリー編

「今日の作家展 2004」実行委員会　2004 年 2 月　第 37 回今日の作家展

石山陽子：人間表現からみえてくるもの

内山淳子：人間がそこにわたしがそこにいること

肥田木朋子：人のこころに感じる

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

今日の作家展 2005 私をひらく美術〈4 人の作家によるワークショップと展示〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 25 日－3 月 20 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：天利道子、内海信彦、川田祐子、山本直彰〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

今日の作家展 2005 私をひらく美術〈4 人の作家によるワークショップと展示〉

横浜市民ギャラリー　2005 年 2 月　1 枚(二ツ折両面刷)　第 38 回今日の作家展

所蔵：□、国新美

川田祐子〈今日の作家展 2005 私をひらく美術 展示とワークショップ〉

〔川田祐子〕　2005 年 4 月 20 日　英文併載

川田祐子：展示とワークショップそして制作――琴線を爪弾くように

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、和光大

ニューアート展 2010 描く－手と眼の快 ●

欧文タイトル：「New Art 2010：Painting－Pleasure of Hands and Eyes」

会期：2010 年 9 月 30 日－10 月 19 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：赤羽史亮、石山朔〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ニューアート展 2010 描く－手と眼の快

横浜市民ギャラリー　2010 年 9 月　英文併載

赤羽史亮、石山朔：〔作家のことば〕
齋藤里紗：描くー手と眼の快
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

ニューアート展 NEXT 2011 Sparkling Days ●
和文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2011 年 9 月 30 日－10 月 19 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー
出品：曽谷朝絵、荒神明香、ミヤケマイ〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
ニューアート展 NEXT 2011 Sparkling Days
横浜市民ギャラリー　2011 年 9 月　英文併載
曽谷朝絵、荒神明香、ミヤケマイ：〔作家のことば〕
佐藤直子：Sparkling Days――それぞれが受け止めたもの
齋藤里紗：Sparkling Days について
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、東大駒、国会図

ニューアート展 NEXT 2012 動く絵、描かれる時間：ファンタスマゴリア ●
欧文タイトル：「New Art NEXT 2012　Moving Pictures and Depicted Time：Phantasmagoria」
会期：2012 年 9 月 28 日－10 月 17 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー
出品：金澤麻由子、シムラブロス(SHIMURA bros)
○展覧会カタログ
ニューアート展 NEXT 2012 動く絵、描かれる時間：ファンタスマゴリア
横浜市民ギャラリー　2012 年 9 月　英文併載　付・DVD1 枚
佐藤直子：動く絵、描かれる時間：Phantasmagoria によせて
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

新・今日の作家展 2016 創造の場所－モノ派から現代へ〔第 1 回展〕 ●
欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2016 Spaces of Creation Mono-ha to the Art of Today」
会期：2016 年 9 月 22 日－10 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー
出品：斎藤義重、榎倉康二、菅木志雄、池内晶子、鈴木孝幸〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
新・今日の作家展 2016 創造の場所－もの派から現代へ
横浜市民ギャラリー　2016 年 9 月　第 1 回展　記録集共 2 冊
大塚真弓：創造の場所
菅木志雄、池内晶子、鈴木孝幸、聞き手・大塚真弓：インタビュー

所蔵：□、都現美、横浜美、和光大

□記録集〔全 8 ページ、10 月 9 日以後の刊行〕

所蔵：□、横浜美

新・今日の作家展 2017 キオクのかたち／キロクのかたち ●

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2017 Compilations of Memories and Records」

会期：2017 年 9 月 22 日－10 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：久保ガエタン、小森はるか＋瀬尾夏美、是恒さくら、笹岡啓子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

新・今日の作家展 2017 キオクのかたち／キロクのかたち

横浜市民ギャラリー　2017 年 9 月　第 2 回展

齋藤里紗：記憶と記録と作品をめぐって

齋藤里紗、大塚真弓、森未祈：〔作家解説、インタビュー・聞き手〕

久保ガエタン、小森はるか＋瀬尾夏美、是恒さくら、笹岡啓子：インタビュー

所蔵：□、横浜美

新・今日の作家展 2018 定点なき視点 ●

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2018 Unfixed Perspectives」

会期：2018 年 9 月 21 日－10 月 8 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：岩井優、川村麻純、阪田清子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

新・今日の作家展 2018 定点なき視点

横浜市民ギャラリー　2018 年 9 月　第 3 回展

岩井優、川村麻純、阪田清子、聞き手・齋藤里紗、大塚真弓：〔作家のことば、インタビュー〕

大塚真弓：定点なき視点

所蔵：□

横浜美術館

第 3 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「3rd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」

会期：1989 年 7 月 6 日－8 月 13 日　福岡市美術館／11 月 3 日－12 月 15 日　横浜美術館

主催：第 3 回アジア美術展実行委員会・横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ〔巡回 2-2〕

――→福岡市美術館〔巡回 2-1〕

戦後日本の前衛美術 ●

欧文タイトル：「JAPANESE ART AFTER 1945：SCREAM AGAINST THE SKY」

会期：1994 年 2 月 5 日－3 月 30 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・読売新聞社
出品：第 1 章真夏の太陽にいどむ：具体美術協会・元永定正、吉田稔郎、嶋本昭三、村上三郎、白髪富士子、田中敦子、金山明、白髪一雄、吉原治良、吉原通雄。第 2 章環：モダニズムと伝統；井上有一、森田子龍、勅使河原蒼風、篠田桃紅、出口王仁三郎、八木一夫、イサム・ノグチ。第 3 章復讐の形態学：読売アンデパンダンと 1960 年代のプロテスト；東松照明、中西夏之、高松次郎、赤瀬川原平、荒川修作、篠原有司男、吉村益信、草間彌生、村岡三郎、横尾忠則、飯村隆彦、城之内元晴。第 4 章肉体の叛乱：暗黒舞踏とオプセッショナル・アート；草間彌生(重複記載、以下「重」とす)、工藤哲巳、三木富雄、浅岡慶子、土方巽。第 5 章微笑の箱：東京フルクサス、概念芸術と形而上学派；小野洋子、フルクサス、靉嘔、斉藤陽子、小杉武久、塩見允枝子、刀根康尚、一柳慧、ナムジュン・パイク、久保田成子、瀧口修造、マルセル・デュシャン、ジャスパー・ジョーンズ、荒川修作(重)、ジャン・ティンゲリー、岡崎和郎、高松次郎(重)、杉本博司、宮島達男、河原温。第 6 章状況律：もの派、そして彫刻的パラダイムを超えて；李禹煥、成田克彦、小清水漸、吉田克朗、菅木志雄、斎藤義重、遠藤利克、川俣正。第 7 章無限の網：日本の現代抽象絵画；草間彌生(重)、宮脇愛子、山田正亮、桑山忠明、李禹煥(重)、松本陽子、中川直人、辰野登恵子、中村一美。第 8 章鎖陰：実験映画とビデオ；日大映研、細江英公、谷川俊太郎と武満徹、柳原良平、真鍋博、藤野一友と大林宣彦、松本俊夫、飯村隆彦(重)、久里洋二、和田誠、横尾忠則(重)、田名編敬一、ドナルド・リーチ、高林陽一、大井文雄、金坂健二、シネマ・ヴォワイアン、今井祝雄、島村達雄、岡部道男、中井恒夫、山田学と月尾嘉男、奥山順市、粟津潔、原將人、桂宏平、宮井陸郎、辻勝之、古川タク、寺山修司、矢崎勝美、安藤紘平、金井勝、城之内元晴(重)、林静一、長野千秋、中島興、中谷芙二子、出光真子、萩原朔美、かわなかのぶひろ、小林はくどう。第 9 章ヒノマル・イルミネーション：1990 年代の日本のアート；森村泰昌、中原浩大、柳幸典、ダム・タイプ〔出品作品リスト順〕
〇展覧会カタログ
戦後日本の前衛美術　　横浜美術館学芸部編
　読売新聞社　1994 年 2 月
　アレキサンドラ・モンロー：序章
　天野太郎：状況についての課題――1990 年を中心に
　アレキサンドラ・モンロー、柏木智雄、深田独、天野太郎：章解説
　新畑泰秀、深田独：作家略歴
　柏木智雄編：主要参考文献
　所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「拡張するガラス：美の表現者たち」展 ●
欧文タイトル：「EXPANDED GLASS　Traditional and Contemporary」
会期：1995 年 4 月 23 日－6 月 18 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・朝日新聞社・神奈川新聞社・テレビ神奈川
出品：藤田喬平

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

「拡張するガラス：美の表現者たち」展

横浜美術館・朝日新聞社　1995 年 4 月　主に英文併載

武田 厚：ガラスはガラス・素材と表現に関する芸術としての領域

藤田喬平、聞き手・武田厚：〔インタビュー〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代の写真〔I〕失われた風景－幻想と現実の境界 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY　ABSOLUTE LANDSCAPE BETWEEN ILLUSION AND REALITY」

会期：1997 年 2 月 1 日－3 月 30 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：平川典俊、金村修〔出品リスト順〕

註：出品欄は 16 作家のうち日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代の写真〔I〕失われた風景－幻想と現実の境界

横浜美術館　1997 年 2 月　主に英文併載

天野太郎：現代の写真の一様相――非在の証明の発見

倉石信乃：殺風景のハードコア 金村修から

ルイス・ボルツ：ニューポートの死

カトリーヌ・グルー：絶対的な風景

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

「世界を編む」展 ●

欧文タイトル：「Weaving the World, Contemporary Art of Linear Construction」

会期：1999 年 6 月 26 日－8 月 22 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：青木野枝、関島寿子、関次俊雄、熊井恭子〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

「世界を編む」展

横浜美術館　1999 年 6 月　開館 10 周年記念

沼田英子：世界を編む

イザック・ゴールドバーグ：つくる、ほどく、それは常につくること

ジャネット・コプロス：「際」の時代

猿渡紀代子：〔章解説〕

青木野枝、関島寿子、関次俊雄、熊井恭子：〔作家ステートメント〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

現代の写真 II 反記憶 ●

欧文タイトル：「ANTI-MEMORY：Contemporary Photography II」

会期：2000 年 11 月 23 日－2001 年 1 月 21 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：清野賀子、磯田智子、小野博、仙北慎次〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

現代の写真 II 反記憶

横浜美術館　2000 年 11 月　主に英文併載

天野太郎：序

天野太郎：反記憶

倉石信乃：Time After Time――磯田智子の二つの連作

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代の写真 III ノンセクト・ラディカル ●

欧文タイトル：「Non-Sect Radical：Contemporary Photography III」

会期：2004 年 7 月 17 日－9 月 20 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

出品：アハラム・シブリ、アンリ・サラ、スティーヴ・マックィーン、高嶺格、奈良美智、ダヴィッド・クレルボ、石川真生、露口啓二〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代の写真 III ノンセクト・ラディカル

横浜美術館　2004 年 7 月　主に英文併載

天野太郎：場への眼差し

ウルリヒ・ルック、高嶺格、石川真生、露口啓二：作品解説

天野太郎、木村絵理子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

マルセル・デュシャンと 20 世紀美術 ●

欧文タイトル：「Marcel Duchamp and the 20th Century Art」

会期：2004 年 11 月 3 日－12 月 19 日　大阪・国立国際美術館／2005 年 1 月 5 日－3 月 21 日　横浜美術館

主催：横浜美術館・朝日新聞社・神奈川新聞社・テレビ神奈川〔巡回 2-2〕

――→国立国際美術館〔巡回 2-1〕

日本×画展〈しょく発する 6 人〉 ●

欧文タイトル：「NIHONGA Painting：Six Provocative Artists」

会期：2006 年 7 月 15 日－9 月 20 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

出品：藤井雷、松井冬子、しりあがり寿、中村ケンゴ、小瀬村真美、中上清〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

日本×画展〈しょく発する 6 人〉

横浜美術館　2006 年 7 月

柏木智雄：日本×画展 しょく発する 6 人

藤井雷、松井冬子、しりあがり寿、中村ケンゴ、小瀬村真美、中上清：インタビュー

八柳サエ、坂本恭子：インタビュー構成・編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

日本×画展〈しょく発する 6 人〉補遺

横浜美術館　2006 年

藤井雷、松井冬子、しりあがり寿、中村ケンゴ、小瀬村真美、中上清：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

アイドル! ●

欧文タイトル：「Idols」

会期：2006 年 10 月 7 日－2007 年 1 月 8 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：篠山紀信、中原杏／きらりんプロジェクト・小学館・テレビ東京、蜷川実花、川島秀明、草間彌生、KATHY、加藤美佳、西野正将、株式会社セガ「オシャレ魔女ラブ and ベリー」」〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

アイドル!

横浜美術館・横浜市芸術文化振興財団　2006 年 10 月

草間彌生：生命の輝きに満ちて

内野 儀：「なんてったって、アイドル」――アイドルから読む現代アメリカ

天野太郎：増幅するアイドル像

内山淳子：ドキュメントー高校生ゲストキュレーターズ・ミーティング

天野太郎、倉石信乃、内山淳子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

水の情景――モネ、大観から現代まで ●

欧文タイトル：「Views of Water：From Monet and Taikan to the Present」

会期：2007 年 4 月 21 日－7 月 1 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

出品：section1 たゆたう；金昌烈、藤芳あい、水野勝規、徳岡神泉、金村修、丸山直文、高松次郎、眞板雅文、水木塁。Section2 動く；柴田敏雄、梶井照陰、石田尚志。Section3 満ちる；原田正路。Section4 水と人；沢田教一、ジュン・グエン＝ハツシバ、淀川テクニック、照屋勇賢、高嶺格〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

水の情景――モネ、大観から現代まで

横浜美術館・横浜市芸術文化振興財団　2007 年 4 月
雪山行二：本展によせて
松永真太郎、新畑泰秀、倉石信乃：セクション解説
松永真太郎：虚実の間にのぞむ――映像作品を中心に
新畑泰秀：崇高なる、水の情景
倉石信乃：きれいな水
松永真太郎、新畑泰秀、倉石信乃、木下貴博、庄司尚子：作家／作品解説
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展 ●
欧文タイトル：「SURREALISM AND ART　IMAGE AND REALITY」
会期：2007 年 4 月 21 日－6 月 17 日　宇都宮美術館／7 月 3 日－9 月 17 日　豊田市美術館／9 月 29 日－12 月 9 日　横浜美術館
主催：横浜美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川〔巡回 3-3〕
――→宇都宮美術館〔巡回 3-1〕

ゴス ●
欧文タイトル：「GOTH：Reality of the Departed World」
会期：2007 年 12 月 22 日－2008 年 3 月 26 日　横浜美術館　主催：横浜美術館
出品：リッキ・スワロー、Dr.ラクラ、束芋、イングリッド・ムワンギ・ロバート・ヒュッター、ピュ～ぴる、吉永マサユキ〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
ゴス
三元社　2007 年 12 月 22 日　主に英文併載
雪山行二：序
木村絵理子：死を想う美術 21 世紀の死の舞踏
木村絵理子、天野太郎：作家解説
リッキ・スワロー、Dr.ラクラ、束芋、イングリッド・ムワンギ・ロバート・ヒュッター、ピュ～ぴる、吉永マサユキ、聞き手・木村絵理子：アーティスト・インタビュー
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、和光大、国会図

4 人が創る「わたしの美術館」展－とっておきの横浜美術館コレクション〈茂木健一郎・はな・角田光代・荒木経惟〉 ●
欧文タイトル：「Four Views of the Collection of the Yokohama Museum of Art」
会期：2008 年 6 月 20 日－8 月 17 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川
出品：茂木健一郎；松井冬子、奈良美智、片岡球子、高嶺格、宮崎進、浜田知明、小作青史、浜口タカシ、柳幸典、米田知子。はな；清宮彬、川上澄生、川西英、塚本哲、品川工、駒井哲郎、横山大観、郷倉千靭、堅山南風、真道黎明、藤本四八、坂本万七、斎藤清。角田光代；

中上清、小倉遊亀、片岡球子(重)、菅井汲、中村好宏、小林裕児、駒井哲郎(重)、高間惣七。荒木経惟；荒木経惟、中島清之。市長が選んだこの 1 点!〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

4 人が創る「わたしの美術館」展－とっておきの横浜美術館コレクション〈茂木健一郎・はな・角田光代・荒木経惟〉

横浜美術館　2008 年 6 月

中田 宏：「この 1 点!」によせて

八柳サエ：Viva! コレクション

茂木健一郎：絵画の福音

はな：ほほえみ浮かぶ、絵の中で

角田光代：光

荒木経惟・談：模写・複写・盗作

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

魅惑のニッポン木版画 ●

欧文タイトル：「Fascinating Japanese Woodcut Prints」

会期：2014 年 3 月 1 日－5 月 25 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社

出品：第 1 章 幕末・明治－生活を彩る木版画。第 2 章 大正から昭和－木版画の復活。第 3 章 1950 年代以降－国際的な舞台へ；清宮彬、前川千帆、恩地孝四郎、川上澄生、初山滋、伊東深水、木和村創爾郎、畦地梅太郎、棟方志功、笹島喜平、斎藤清、大田耕士、吉田遠志、田嶋宏行、水船六洲、星襄一、関野準一郎、吉田政次、清宮質文、北岡文雄、馬淵聖、林保次郎、吉田千鶴子、小林七席、吉田穂高、岩見禮花、馬場檮男、由木礼、野田哲也、小林敬生、柄澤齊、山中現、吉田亜世美。第 4 章 現代－新たな木版画の表現へ；吉田亜世美(重)、風間サチコ、湯浅克俊、桐月沙樹〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

魅惑のニッポン木版画

横浜美術館　2014 年 3 月　開館 25 周年記念

逢坂恵理子：序にかえて

沼田英子、太田雅子：章解説

沼田英子：横浜美術館コレクションに見る魅惑のニッポン木版画

太田雅子：木版画の新たな表現――本展出品の 4 人の現代作家について

太田雅子編：魅惑のニッポン木版画展関連年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美

村上隆のスーパーフラット・コレクション〈蕭白、魯山人からキーファーまで〉 ●

欧文タイトル：「Takashi Murakami's Superflat Collection――From Shóhaku and Rosanjin to Anselm Kiefer――」

会期：2016 年 1 月 30 日－4 月 3 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社
出品：山本作兵衛、田中一村、井上有一、北大路魯山人、村田森、厚川文子、藤吉憲典、郡司庸久、浜名一憲、原朋子、上泉秀人、寒川義雄、小嶋亜創、熊谷幸治、沼田智也、尾形アツシ、小野哲平、大谷工作室、上田勇児、もとくにこ、高岡哲也、村上福壽郎、グルーヴィジョンズ、沢田英男、赤木明登&松林誠、土屋仁応、松下昌司、小出ナオキ、前川秀樹、大竹利絵子、篠山紀信、荒木経惟、中村一美、三木富雄、村上友晴、榎倉康二、李禹煥、川俣正、小林正人、中原浩大、岡崎乾二郎、小沢剛、大竹伸朗、BOME(ボーメ)、奈良美智、竹熊健太郎、藤原新也、佐内正史、ヒロ杉山／エンライトメント、徳重道朗、五木田智央、ヒロミックス、タカノ綾、灰原愛、堀尾貞治、榎忠、青島千穂、小泉明郎、谷口真人、吉村大星、菊畑茂久馬、村上裕二、畠山直哉、仲田智、ob、國方真秀未、寺田克也、指差し作業員〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。
〇展覧会カタログ
村上隆のスーパーフラット・コレクション〈蕭白、魯山人からキーファーまで〉
　カイカイキキ　2016 年 7 月 30 日　主に英文併載
　逢坂恵理子：はじめに
　村上 隆：ステートメント
　三木あき子：芸術への問い、芸術のちから－スーパーフラット・コレクションから見えるもの
　柏木智雄：コレクションの最果て
　三木あき子：スーパーフラット・コレクションとは?
　デイヴィッド・ウォルシュ＋村上隆：コレクター対談
　熊倉功夫：千利休と村上隆
　広瀬一郎＋村上隆：陶芸対談
　村上 隆：スーパーフラット・コレクション－ゴミ屋敷の中の、カブトムシの死骸の入った水槽と芸術と奇蹟の関係性
　三木あき子、柏木智雄、松永真太郎、庄司尚子、藤田麻希、カイカイキキ：作家解説
　花井素子、柏木智雄、小林沙友里、藤田麻希：用語解説
　所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、横浜美
複製技術と美術家たち－ピカソからウォーホルまで〈富士ゼロックス版画コレクション×横浜美術館〉●
欧文タイトル：「Artists in the Age of Mechanical Reproduction－From Picasso to Warhol」
会期：2016 年 4 月 23 日－6 月 5 日　横浜美術館　主催：横浜美術館
出品：第 I 章 写真の登場と大画家たちの版画。第 II 章 普遍的スタイルを求めて。第 III 章 変容のイメージ。第 IV 章 大量消費時代にむけて；斎藤義重、荒川修作、吉田克朗、河口龍夫。第 V 章 ゼログラフィーと美術家；河口龍夫(重)、山口勝弘、戸村浩、野村仁、前田信明、高松次郎、山崎博、星野高志郎、岸田良子〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

複製技術と美術家たちーピカソからウォーホルまで〈富士ゼロックス版画コレクション×横浜美術館〉

東京パブリッシングハウス　2016 年 4 月

中村尚明：複製技術時代の美術家たちー美術の装置一式をめぐって

柿木伸之：切断からの像〈ベンヤミンとクレーにおける破壊と構成〉

成相 肇：ログラフィック・ラヴ

中村尚明、片多祐子：章解説

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

BODY / PLAY / POLITICS ●

和文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 10 月 1 日－12 月 14 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：インカ・ショニバレ MBE、イー・イラン、アピチャッポン・ウィーラセタクン、ウダム・チャン・グエン、石川竜一、田村友一郎〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

BODY / PLAY / POLITICS

モ・クシュラ　2016 年 11 月 11 日　英文併載

木村絵理子：解説

木村絵理子：BODY / PLAY / POLITICS〈身体は歴史を引き受ける〉

木村絵理子：作家インタビュー

松永真太郎、片多祐子、日比野民蓉：〔作家略歴〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

モネ それからの 100 年 ●

欧文タイトル：「Monet's Legacy」

会期：2018 年 4 月 25 日－7 月 1 日　名古屋市美術館／7 月 14 日－9 月 24 日　横浜美術館

主催：横浜美術館・東京新聞・テレビ朝日〔巡回 2-2〕

――→名古屋市美術館〔巡回 2-1〕

横浜市民ギャラリーあざみ野

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展 ●

和文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 10 月 26 日－11 月 10 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：曽谷朝絵、フランシス真悟、橋本典久。映像；高橋啓祐。振付家；林洋子、相良ゆみ、中村恩恵、矢内原美邦〔List 順〕

〇展覧会カタログ

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展　Catalogue volume 1

横浜市民ギャラリーあざみ野　2007 年 10 月　主に英文併載

岡崎智美：ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展に寄せて

曽谷朝絵、フランシス真悟、橋本典久、高橋啓祐：〔作家のことば〕

林洋子、相良ゆみ、中村恩恵、矢内原美邦：〔ダンサーのことば〕

所蔵：□、横浜美、国会図

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展 作品リスト

横浜市民ギャラリーあざみ野　2007 年 10 月　ART FORUM FESTIVAL 2007　1 枚(二ツ折両面刷)

所蔵：□、横浜美

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展　Catalogue volume 2

横浜市民ギャラリーあざみ野　2008 年 1 月 31 日

所蔵：□、横浜美、国会図

スーパーピュア展 2008 アートは障がいを超える ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 10 月 24 日－11 月 9 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　横浜市民ギャラリーあざみ野、共催：男女共同参画センター横浜北

出品：工房しょうぶ、工房絵、アトリエ・パンパキ、アートかれん、神奈川県立麻生養護学校高等部表現支援コース美術グループ〔図版収載順〕

註：出品欄は施設・グループ名とした。

○展覧会カタログ

スーパーピュア展 2008 アートは障がいを超える

横浜市民ギャラリーあざみ野　2008 年 10 月　第 3 回展　ART FORUM FESTIVAL 2008

土井初音、北澤桃子、いまぜきまり、南芳枝、青木薫：〔ことば〕

所蔵：□、横浜美、国会図

あざみ野コンテンポラリーvol.1 イメージの手ざわり展 ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.1　TOUCH OF IMAGE」

会期：2011 年 2 月 5 日－20 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：川戸由紀、志村信裕、田村友一郎、plaplax(ぷらぷらっくす)、松本力、横溝静〔図版収載順〕

註：出品欄は展覧会出品作家を収載。

○展覧会カタログ

あざみ野コンテンポラリーvol.1 イメージの手ざわり展

横浜市民ギャラリーあざみ野　2011 年 2 月

南芳枝、川戸久枝、志村信裕、田村友一郎、plaplax(ぷらぷらっくす)、松本力、横溝静：インタビュー

山村浩二：〔推奨のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図

あざみ野コンテンポラリーvol.2 Viewpoints いま「描く」ということ ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.2　Viewpoints：Drawing & Painting」

会期：2012 年 2 月 4 日－26 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：淺井裕介、椛田ちひろ、桑久保徹、吉田夏奈〔図版収載順〕

註：出品欄は展覧会出品作家を収載。

○展覧会カタログ

あざみ野コンテンポラリーvol.2 Viewpoints いま「描く」ということ

横浜市民ギャラリーあざみ野　2012 年 2 月

淺井裕介、椛田ちひろ、桑久保徹、吉田夏奈：〔作家のことば、インタビュー〕

所蔵：□、東近美、都現美、横浜美、東大駒、国会図

あざみ野コンテンポラリーvol.3 ART meets DANCE 2012 ●

和文タイトル：「アート・ミーツ・ダンス」

会期：2012 年 10 月 20 日－11 月 11 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

参加：亀井佑子、佐々木愛、酒井幸菜、梅田宏明、山下残〔あいさつ文紹介順〕

○展覧会カタログ

あざみ野コンテンポラリーvol.3 ART meets DANCE 2012

横浜市民ギャラリーあざみ野　2012 年 10 月　帯＋〔作家シート〕5 枚

亀井佑子、佐々木愛、酒井幸菜、梅田宏明、山下残：〔作家のことば、インタビュー〕

所蔵：□、都現美、国会図

横浜 wo 発掘 suru vol.4 アニメーションのつくり手たち〈山村浩二がえらぶ新世代〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 6 月 14 日－30 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野、協力：東京芸術大学大学院映像研究科

出品：池亜佐美、ONIONSKIN(田村聡和＋菅谷愛)、川口恵里、キム・ハケン、胡ゆぇんゆぇん、告畑綾、中田彩郁、水尻自子、村本咲、吉田まほ、和田淳、山村浩二〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

横浜 wo 発掘 suru vol.4 アニメーションのつくり手たち〈山村浩二がえらぶ新世代〉

横浜市民ギャラリーあざみ野　2013 年 6 月　第 4 回

山村浩二：若きインディーズの潮流

池亜佐美、ONIONSKIN、川口恵里、キム・ハケン、胡ゆぇんゆぇん、告畑綾、中田彩郁、水尻自子、村本咲、吉田まほ、和田淳、山村浩二：〔作家のことば〕

所蔵：□、横浜美、国会図

写真の境界 ●

欧文タイトル：「Boundaries of Photograph」

会期：2014 年 2 月 1 日－23 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：多和田有希、春木麻衣子、吉田和生〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

写真の境界

横浜市民ギャラリーあざみ野　2014 年 2 月　あざみ野 フォト・アニュアル

森 未祈：境界が写しだすイメージ

多和田有希、春木麻衣子、吉田和生：インタビュー

所蔵：□、国会図

あざみ野コンテンポラリーvol.5 リッスン トゥ ザ ダクソフォン ハンス・ライヒェル×内橋和久 ●

欧文タイトル：「Listen to the Daxophone」

会期：2014 年 5 月 31 日－6 月 15 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：ハンス・ライヒェル、内橋和久

〇展覧会カタログ

あざみ野コンテンポラリーvol.5 リッスン トゥ ザ ダクソフォン ハンス・ライヒェル×内橋和久

横浜市民ギャラリーあざみ野　2014 年 5 月

森 未祈：リッスン・トゥ・ザ・ダクソフォン――二人の音楽世界

内橋和久：インタビュー

所蔵：□、国会図

あざみ野コンテンポラリーvol.6 もう一つの選択 ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.6　Alternative Choice」

会期：2015 年 10 月 17 日－11 月 8 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：青山悟、斎藤玲児、友政麻理子、和田昌宏、凌宗権、王坪〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

あざみ野コンテンポラリーvol.6 もう一つの選択

横浜市民ギャラリーあざみ野　2015 年 10 月　開館 10 周年記念

青山悟、斎藤玲児、友政麻理子、和田昌宏、凌宗権、王坪：〔インタビュー〕

所蔵：□、横浜美、国会図

あざみ野コンテンポラリーvol.7 悪い予感のかけらもないさ展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 10 月 7 日－30 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：岡田裕子、風間サチコ、金川晋吾、鈴木光、関川航平〔インタビュー収載順〕

〇展覧会カタログ

あざみ野コンテンポラリーvol.7 悪い予感のかけらもないさ展

横浜市民ギャラリーあざみ野　2016 年 10 月

岡田裕子、風間サチコ、金川晋吾、鈴木光、関川航平：〔作家インタビュー〕

所蔵：□、横浜美、国会図

あざみ野コンテンポラリーvol.9 今もゆれている ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.9　Uncertain Landscape」

会期：2018 年 9 月 29 日－10 月 21 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：西村有、石垣克子、山城知佳子、露口啓二、今井智己〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

あざみ野コンテンポラリーvol.9 今もゆれている

横浜市民ギャラリーあざみ野　2018 年 9 月

西村有、石垣克子、山城知佳子、露口啓二、今井智己：〔作家インタビュー〕

所蔵：□

川崎市市民ミュージアム

TREND’89「現代写真の動向・展」●

欧文タイトル：「TREND ’89－Aspects of Contemporary Photography－」

会期：1989 年 9 月 30 日－10 月 22 日　川崎市市民ミュージアム　主催：財団法人川崎市市民ミュージアム

出品：ルイス・ボルツ、杉本博司、柴田敏雄、山本糾、谷口雅、港千尋、鈴木清、吉村朗、五井毅彦、伊田明宏＋上野修〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

TREND’89「現代写真の動向・展」

川崎市市民ミュージアム　1989 年 9 月 30 日

平木 収：写真行為の動向

谷口雅、港千尋、上野修：〔論考〕

深川雅文：Beyond Borders

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

色相の詩学展〈現代絵画・平面からのメッセージ〉●

欧文タイトル:「Poetics of Hue A message from two dimensions of contemporary paintings」

会期：1991 年 11 月 2 日－12 月 15 日　川崎市市民ミュージアム　主催：川崎市市民ミュージアム・川崎市・川崎市教育委員会

出品：飯田真人、井川惺亮、石井理之、小田英之、菊畑茂久馬、小林正人、櫻井英嘉、渋谷和良、紫牟田和俊、杣木浩一、滝波重人、田中信太郎、東原均、長沢秀之、中西夏之、中村一美、根岸芳郎、堀浩哉、丸山直文、百瀬寿、山田正亮〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

色相の詩学展〈現代絵画・平面からのメッセージ〉

川崎市市民ミュージアム　1991 年 11 月 2 日　企画展
たにあらた：「表現」を志向した色彩
堀 月子：絵画は何において新しいか
篠原資明、たにあらた、長谷川祐子、堀月子：出品作家短評
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

現代写真の動向 ANOTHER REALITY ●

欧文タイトル：「Aspects of Contemporary Photography 1995」
会期：1995 年 11 月 21 日－1996 年 1 月 28 日　川崎市市民ミュージアム　主催：財団法人川崎市市民ミュージアム
出品：松江泰治、市川美幸、畠山直哉、楢橋朝子、吉村朗、瀬戸正人、内田京子、里博文、杉浦邦恵、五井毅彦〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
現代写真の動向 ANOTHER REALITY
川崎市市民ミュージアム　1995 年 11 月 21 日
伊藤俊治：物質としての写真へ
平木 収：“現代写真”を撮ることと見ること
深川雅文：砂漠を越えて
深川雅文：作家分析論
深川雅文、林華子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

現代写真の動向 2001 outer ⇄ inter ●

欧文タイトル：「Aspects of Contemporary Photography 2001」
会期：2001 年 11 月 3 日－12 月 24 日　川崎市市民ミュージアム　主催：川崎市市民ミュージアム
出品：西本浩介、吉田公子、朝岡あかね、高橋辰夫、前沢知子、齋木克裕、今義典、折元立身、吉村朗〔掲載作品リスト順〕
○展覧会カタログ
現代写真の動向 2001 outer ⇄ inter
川崎市市民ミュージアム　2000 年 11 月 3 日
杉田 敦：失うことで手に入るもの? 現代写真という隘路の中で
深川雅文：われわれは、いまどこにいるのか
倉石信乃：インデックス雑感
朝岡あかね、高橋辰夫、前沢知子：〔作家のことば〕
深川雅文：作家分析論
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、東大駒

川崎市岡本太郎美術館

万歳七唱 岡本太郎の鬼子たち ●

欧文タイトル：「Homage to Taro Okamoto from seven artists」

会期：2000 年 4 月 22 日－7 月 9 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館

出品：荒川修作、池田龍雄、北代省三、篠原有司男、村上善男、山口勝弘、横尾忠則、岡本太郎〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

万歳七唱 岡本太郎の鬼子たち 展覧会カタログ

川崎市岡本太郎美術館　2000 年 4 月

針生一郎：岡本太郎の鬼子たち私観

瀬木慎一：岡本太郎・空白と飛躍

荒川修作、池田龍雄、北代省三、篠原有司男、村上善男、山口勝弘、横尾忠則：作家自身のテキスト

佐藤玲子、楠本亜紀：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

風の模型――北代省三と実験工房 ●

欧文タイトル：「shozo kitadai and experimental workshop」

会期：2003 年 4 月 26 日－7 月 6 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館

出品：北代省三、山口勝弘、岡本太郎、福島秀子、武満徹、佐藤慶次郎〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

風の模型――北代省三と実験工房

川崎市岡本太郎美術館　2003 年 4 月

中原佑介：北代省三と美術

松岡正剛：寸法の夢・寸分の時――ぼくの伯父さん・北代省三の思い出

大日方欣一：北代省三の写真

北代省三：「模型論・ノート」より

佐藤玲子：北代省三の軌跡

秋山邦晴〔再録〕、秋山実、今井直次、大辻清司〔再録〕、岡部昭彦、佐藤慶次郎、鈴木博義〔談〕、橋本潔、広井力、湯浅譲二〔談〕：北代省三をめぐって

山口勝弘・談：風と音のワークショップ

高橋アキ・北代省三往復書簡より

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

CHIKAKU/四次元との対話 岡本太郎からはじまる日本の現代美術 ●

欧文タイトル：「CHIKAKU Time and Memory in Japan」

会期：2006 年 4 月 8 日－6 月 25 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館・国際交流基金

出品：岡本太郎、森山大道、中平卓馬、杉本博司、渡辺誠、森脇裕之、やなぎみわ、伊藤高

志、草間彌生、笠原恵実子、日高理恵子、須田悦弘、中村哲也、小谷元彦、トリン・ミンハ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

CHIKAKU/四次元との対話 岡本太郎からはじまる日本の現代美術

川崎市岡本太郎美術館　2006 年 4 月　ヨーロッパ巡回帰国展

伊藤俊治：四次元の知覚 日本の現代美術への一視座

渡辺 誠：グラーツ・ビーゴ・カワサキ「展示」されたもの

今福龍太：四次元的「日本」〈「呪術」から「日常性の内部」へ〉

多和田葉子：言葉で撮るスナップ写真

岡部美紀、渡辺誠：海外展報告

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

岡本太郎生誕百年記念展 芸術と科学の婚姻 虚舟――私たちは、何処から来て、何処へ行くのか ●

欧文タイトル：「UTSUROBUNE　Where Do We Come From? Where Are We Going?」

会期：2011 年 10 月 15 日－2012 年 1 月 9 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館・芸術と科学の婚姻展実行委員会

出品：篠崎崇、細江英公、粟野ユミト、岩崎秀雄、植田信隆、杉本博司、多田正美、銅金裕司、戸田裕介、能勢伊勢雄、藤本由紀夫〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

岡本太郎生誕百年記念展 芸術と科学の婚姻 虚舟――私たちは、何処から来て、何処へ行くのか

芸術と科学の婚姻展実行委員会・川崎市岡本太郎美術館　2011 年 10 月

村田慶之輔：まえがき〈そして、私たちは何なのか〉

馬淵 晃：芸術と科学の婚姻まで

新見 隆：総論 生への哀情こそが、この世における、最高の美のかたちである――奇妙奇天烈、摩訶不思議なる、「虚舟」展由来記あるいは顛末記

岩崎秀雄・岡田小枝子、工藤光子・篠崎崇・高梨直紘・山岸敦・司会 馬淵晃：パネルディスカッション 科学・芸術・イマジネーション

篠崎崇、新見隆：〔章解説〕

粟野ユミト、岩崎秀雄、植田信隆、杉本博司〔1 行〕、多田正美、銅金裕司、戸田裕介、能勢伊勢雄、藤本由紀夫：作家の言葉

片岡香：「虚舟」展付記

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

相模原市民ギャラリー

立体作家 11 人展 時空を超えたメッセージ ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 11 月 5 日－12 月 11 日　相模原市民ギャラリー　主催：相模原市教育委員会

出品：天野裕夫、川島茂雄、後藤良二、清水一直、高木辰夫、堤一彦、中野浩二、名坂健、別府博文、松本雄治、安丸信行〔出品作品一覧順〕

○展覧会カタログ

立体作家 11 人展 時空を超えたメッセージ　　相模原市民ギャラリー編

相模原市教育委員会　2005 年 11 月 5 日

天野裕夫、川島茂雄、後藤良二、清水一直、高木辰夫、堤一彦、中野浩二、名坂健、別府博文、松本雄治、安丸信行：〔作家のことば〕

柳川雅史：相模原の彫刻展史

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美、国会図

茅ヶ崎市美術館

ちがさきアート NOW 四つの部屋－身体の虚実 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 1 月 24 日－3 月 3 日　茅ヶ崎市美術館　主催：茅ヶ崎市文化振興財団

出品：岩川幸弘、大森崇、木村巧、棚田康司〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ちがさきアート NOW 四つの部屋－身体の虚実

茅ヶ崎市美術館　2002 年 1 月　企画展

岩川幸弘、大森崇、木村巧、棚田康司：〔作家のことば〕

村山鎮雄：身体表現への挑戦

上良純子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

空想散歩〈夢は日常に遠く近く〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 1 月 26 日－3 月 2 日　茅ヶ崎市美術館　主催：茅ヶ崎市文化振興財団

出品：こうのこのみ、多田すみえ、河野りえ、沢田あきこ、石井礼子〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

空想散歩〈夢は日常に遠く近く〉

茅ヶ崎市美術館　2003 年 1 月　企画展

村山鎮雄：想像力の飛翔 空想散歩

こうのこのみ、多田すみえ、河野りえ、沢田あきこ、石井礼子：〔作家のことば〕

上良純子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図

平塚市美術館

TOKYO POP――新しい美術のイメージ ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 4 月 27 日－5 月 26 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館

出品：平面・立体；会田誠、イチハラヒロコ、桑原正彦、太郎千恵藏、中ハシ克シゲ、中村哲也、奈良美智、間島領一、ミヤタケイコ、村上隆、ムラギしマナヴ、明和電機、森万里子。ビデオ；小島淳二、高橋栄樹、寺嶋章之〔作品目録順〕

〇展覧会カタログ

TOKYO POP――新しい美術のイメージ

平塚市美術館　1996 年 4 月

小松崎拓男：ぼくらの時代の美術――先駆けるものたちへ

村上 隆：ART is DOB

太郎千恵藏：客観化から、主体化へ〈ステイトメント 1991～1996〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

幻想植物園展〈アートが表現する植物の生命力〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 10 月 17 日－12 月 13 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館

出品：第 3 部アートになった植物；草間彌生、荒木経惟、関島寿子、池田久嗣、岩崎永人、銅金裕司〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は第 3 部「アートになった植物」の作家を収載した。

〇展覧会カタログ

幻想植物園展〈アートが表現する植物の生命力〉

平塚市美術館　1998 年 10 月

浜口哲一：人と植物の五千年

草間彌生、荒木経惟、関島寿子、池田久嗣、岩崎永人、銅金裕司：インタビュー

端山聡子：一枚の葉っぱから現代アートまで

小池光理：夢見る装置としての植物園

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

20 世紀。美術は虚像を認知した〈モナ・リサとマンモンのあいだで〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 8 月 3 日－9 月 23 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館・「20 世紀。美術は虚像を認知した」展実行委員会

出品：田口雅巳、スージー甘金、赤瀬川原平、篠原有司男、鈴木慶則、清水晃、高松次郎、大山右一、高木修、吉仲太造、岡田裕子、若江漢字、河内成幸、吉田光彦、鈴鹿芳康、後藤真祈子、酒井充、鈴木喜晴、福田美蘭、小原有月、岡崎和郎、前田信明、山崎博、荒木経惟、藤沢喬、小本章・永原ゆり、北辻良央、島州一、河原温、木下佳通代、太田三郎、柏原えつとむ、吉村益信、靉嘔、眞板雅文、立石大河亜、三田村光土里、寺田真由美、郭徳俊、牛波、

阿部佳明、豊嶋康子、中山正樹、中村宏、森村泰昌、小川信治、細川文昌、河田政樹、奈良美智、村上隆〔作品リスト順〕

註：出品欄には日本作家を収載。

○展覧会カタログ

20 世紀。美術は虚像を認知した〈モナ・リサとマンモンのあいだで〉

平塚市美術館　2002 年 8 月

尾崎眞人：針路は、「複々製に進路をとれ」と与えられたとせよ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

幻想と幻視－混在領域と領域侵犯 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 10 月 11 日－11 月 23 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館

出品：星崎孝之助、川口起美雄、平野杏子、伊藤彬、近藤弘明、古沢岩美、森川ユキエ、山下菊二、大島哲以、平賀敬、工藤甲人、塚越源七、小関利雄、島田章三、小石剛、石井茂雄、中村宏、牧野邦夫、木村一生、高松次郎、中村孝平、杉山尚子、青野文昭、豊嶋康子、郭徳俊、彦坂尚嘉、笠木絵津子、眞板雅文、高木修、若江漢字〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ

幻想と幻視－混在領域と領域侵犯

平塚市美術館　2003 年 10 月　企画展

尾崎眞人：「幻想美術」かく戦えり

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

藤沢市民ギャラリー

第 21 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1987 年 11 月 21 日－12 月 6 日　藤沢市民ギャラリー／愛知展；1988 年 1 月 6 日－24 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 30 日－2 月 21 日　弘前市立博物館

主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会〔巡回 3-1〕

出品：日本画；佐々木裕久、中路融人。洋画；後藤よ志子、馬場彬。版画；東谷武美、原健。彫刻；雨宮敬子〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 21 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1987 年 11 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美

第 23 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1989 年 11 月 16 日－12 月 3 日　藤沢市民ギャラリー／岡山展；12 月 8 日－24 日　岡山県立美術館／愛知展；1990 年 1 月 6 日－21 日　豊橋市美術博物館／沖縄展；2 月 1 日－25 日　浦添市美術館

主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会〔巡回 4-1〕

出品：日本画；仲村進、山本知克。洋画；北久美子、田中稔之。版画；坂爪厚生、森野眞弓。彫刻；加藤昭男〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 23 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1989 年 11 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、国会図

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1993 年 11 月 10 日－21 日　藤沢市民ギャラリー／山形展；11 月 27 日－12 月 14 日　よねざわ市民ギャラリー・ドリーム／愛知展；12 月 22 日－1994 年 1 月 16 日　豊橋市美術博物館／徳島展；1 月 21 日－2 月 6 日　徳島県郷土文化会館／香川展；2 月 10 日－24 日　坂出市民美術館

主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会〔巡回 5-1〕

出品：日本画；内田あぐり、岡村桂三郎。洋画；遠藤彰子、福田美蘭。版画；嶋田善雄、北野敏美。彫刻；北郷悟〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 27 回現代美術選抜展図録

文化庁文化部芸術課　1993 年 11 月

内田弘保文化庁長官：あいさつ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美

藤沢市アートスペース

From now on!! 藤沢発、アートのこれから ●

会期：2015 年 10 月 3 日－2016 年 1 月 17 日　藤沢市アートスペース　主催：藤沢市・藤沢市教育委員会

出品：漆原夏樹、麻生知子、松浦歩、米山幸助、江川純太、柵瀬茉莉子、新澤悟郎、池田拓馬、内山聡〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

From now on!! 藤沢発、アートのこれから

藤沢市アートスペース　2016 年 1 月　開館記念特別展覧会

齋藤武郎：藤沢市アートスペースの「いま」と「これから」

杉本聡子編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、国会図

横須賀市文化会館市民ギャラリー

ひろがる美術 1945-2000〈横須賀市所蔵〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　横須賀市文化会館市民ギャラリー　主催：横須賀市教育委員会

出品：油彩画他；林武、朝井閑右衛門、猪熊弦一郎、山口長男、難波田龍起、伊藤久三郎、村井正誠、山口薫、鶴岡政男、森芳雄、脇田和、菅野圭介、川端実、糸園和三郎、オノサト・トシノブ、麻生三郎、小山田二郎、野見山暁治、元永定正、三尾公三、嶋田しづ、白髪一雄、森兵五、早川重章、植松眞治、堂本尚郎、宮脇愛子、靉嘔、石井茂雄、加納光於、島田章三、奥谷博、岡本健彦、中西夏之、磯辺行久、高松次郎、李禹煥、平賀敬。日本画・工芸；森田曠平、三上誠、山中雪人、中村光哉、水谷愛子、麻田鷹司、小嶋悠司、山中聰、吉田多最。彫刻；柳原義達、堀内正和、向井良吉、江口週、最上壽之、若林奮〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

ひろがる美術 1945-2000〈横須賀市所蔵〉

横須賀市教育委員会　2005 年 7 月

原田 光：戦後美術コレクションの第一歩

原田光、中田貴絵、工藤香澄、井上清水、立浪佐和子、石渡尚：作品解説

井上清水：美術はひろがる――いくつかの作品を手がかりに

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

横須賀美術館

開館記念〈生きる〉展――現代作家 9 人のリアリティ ●

欧文タイトル：「Vital Signs：Reality of Nine Contemporary Artists」

会期：2007 年 4 月 28 日－7 月 16 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

出品：石内都、石田尚志、岡村桂三郎、木村太陽、小林孝亘、清水慶武、舟越桂、真島直子、ヤノベケンジ〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

開館記念〈生きる〉展――現代作家 9 人のリアリティ

横須賀美術館　2007 年 4 月　主に英文併載

原田 光：〈生きる〉を問う

冨田康子：石内都〈INNOCENCE〉――受容としての「生」について／非・連続性としての時間／隠喩的世界の回復について

立浪佐和子：作品の根底に流れるもの／揺さぶられる本能、引き出される「生」／見つめる、描く、そして生きる

林田ゆみ子：ひと巡りの後の自由

工藤香澄：内在する不可思議さ／ヤノベケンジの作品について

石内都、岡村桂三郎、木村太陽、小林孝亘、舟越桂、真島直子：作家のことば

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

ワンダーシニア 30 展〈現代日本の画家が描く、それぞれの昭和、平成〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 2 月 13 日－4 月 11 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

出品：相笠昌義、池口史子、石川忠一、井上悟、入江観、大津英敏、大沼映夫、岡本健彦、奥谷博、上條陽子、絹谷幸二、小杉小二郎、佐々木豊、佐藤かずこ、佐藤泰生、佐野ぬい、篠原有司男、島田鮎子、島田章三、田中淳、谷川晃一、豊島弘尚、野田弘志、林敬二、櫃田伸也、福本章、馬越陽子、森本草介、山本貞、横尾忠則、吉野谷幸重、渡辺恂三〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ワンダーシニア 30 展〈現代日本の画家が描く、それぞれの昭和、平成〉

横須賀美術館　2010 年 2 月

宝木範義：戦後洋画の半世紀を考える

相笠昌義、池口史子、石川忠一、井上悟、入江観、大津英敏、大沼映夫、岡本健彦、奥谷博、上條陽子、絹谷幸二、小杉小二郎、佐々木豊、佐藤かずこ、佐藤泰生、佐野ぬい、篠原有司男、島田鮎子、島田章三、田中淳、谷川晃一、豊島弘尚、林敬二、福本章、馬越陽子、森本草介、山本貞、横尾忠則、吉野谷幸重、渡辺恂三：作家のことば

石渡尚、工藤香澄、立浪佐知子、冨田康子、塙萌衣：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

トリック&ユーモア展〈描かれた不思議〉●

欧文タイトル：「Tricks and Humor：Depicting the Uncanny」

会期：2011 年 9 月 10 日－11 月 6 日　横須賀市美術館　主催：横須賀市美術館

出品：1 章 トリックがみちびく迷宮－M.C.エッシャーの世界・M.C.エッシャー。2 章 日本絵画の中のあそび；清水節堂。3 章 まどわしの世界－シュルレアリストの方法。4 章 さまよう視線－知覚と美術と、ユーモア；高松次郎、堀内正和、鈴木慶則、前田守一、丹羽勝次、立石大河亜、飯田昭二、、李禹煥、菅木志雄、関根伸夫、オノサト・トシノブ、福田繁雄、U.G.サトー、福田美蘭。5 章 絵、それとも写真?－リアリズムの諸相；吉仲太造、上田薫、金昌烈、岡田修二、小瀬村真美、伊庭靖子〔作品目録順〕

註：出品欄は、戦後作品が出品された日本作家のみ収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

トリック&ユーモア展〈描かれた不思議〉

横須賀市美術館　2011 年 9 月

坂根厳夫：“トリック&ユーモア”展に寄せて…〈遊び心を触発する展覧会の回想から〉

立浪佐和子：だまされる眼、覚醒する思考／章解説／作家解説
沓沢耕介、工藤香澄、冨田康子、中村貴絵、日野原清水：作家解説
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

街の記憶〈写真と現代美術でたどるヨコスカ〉●

欧文タイトル：「Memories of a City：Yokosuka in Photographs and Contemporary Art」
会期：2013 年 4 月 27 日－6 月 30 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館
出品：薗部澄、東松照明、北井一夫、森山大道、浜口タカシ、田村彰英、石内都、高橋亜彌子、若江漢字、藤田修、市川美幸、ホンマタカシ、高橋和海、秋山さやか、鈴木昭男〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
街の記憶〈写真と現代美術でたどるヨコスカ〉
横須賀美術館　2013 年 4 月
工藤香澄：展覧会ノート――街の記憶
工藤香澄、新井陽子：作品解説
鈴木昭男：〔作家のことば〕
沓沢耕介：拡大し、積み重なる術――横須賀の記憶
新井陽子：ただよう横須賀〈鈴木昭男の場合〉
新井陽子：すける横須賀〈秋山さやかの場合〉
沓沢耕介編：横須賀中心市街地年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中図

ほっこり美術館 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2015 年 4 月 18 日－6 月 14 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館
出品：山口蓬春、鳥海青児、深堀隆介、児玉靖枝、熊谷守一、長谷川潾二郎、古茂田公雄、寺田政明、南桂子、中澤英明、仮屋美紀、伊庭靖子、鴻池朋子、黒田有里〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。
○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕
ほっこり美術館
横須賀美術館　2015 年 4 月
稲村 繁：埴輪のイロハ
横谷賢一郎：大津絵 キャラクター絵画の成立
日野原清水：ほっこり美術館ガイド
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

モダンアート再訪ーダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●

欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」

会期：2018 年 2 月 3 日－3 月 18 日　鳥取県立博物館／4 月 7 日－5 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／6 月 2 日－8 月 26 日　広島市現代美術館／9 月 15 日－11 月 4 日　横須賀美術館
主催：横須賀美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-4〕
――→鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

公立美術館 中部

新潟県

新潟県立近代美術館
大光コレクション展〈先見の眼差し……再構成。〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1993 年 7 月 15 日－9 月 5 日　長岡・新潟県立近代美術館　主催：新潟県教育委員会・新潟県立近代美術館
出品：I 日本部門；鳥海青児、藤田嗣治、小牧源太郎、鶴岡政男、脇田和、海老原喜之助、児島善三郎、瑛九、山口薫、佐藤敬、元永定正、中本達也、田淵安一、桂ゆき、岡本太郎、久野真、今井俊満、木村忠太、阿部展也、向井修二、タジリ・シンキチ、吉原治良、オノサト・トシノブ、堂本尚郎、桑山タダスキー、菅井汲、前田常作、斎藤義重、山口長男、靉嘔、高橋秀、李禹煥、麻田鷹司、加山又造、東山魁夷、工藤甲人、横山操。III 長岡現代美術館賞展部門；磯辺行久、岡本信治郎、加納光於、中西夏之、宮城輝夫、森本紀久子、市村司、菊畑茂久馬、篠原有司男、関根伸夫、高松次郎、三木富雄、靉嘔(重)、荒川修作、今中クミ子、小島信明、吉村益信、今井祝雄、伊藤隆康、最上壽之、山口勝弘、湯原和夫、河口龍夫、関根伸夫(重)、宇佐見圭司〔カタログ順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。
〇展覧会カタログ
大光コレクション展〈先見の眼差し……再構成。〉
新潟県立近代美術館　1993 年 7 月 15 日　開館記念展
本間正義：大光コレクションをふりかえる
小見秀男：大光コレクション展についての覚え書き
陰里鐵郎：大光コレクション・近代日本洋画作品について
佐々木吉晴：欧米の戦後美術－1960 年前後の制度解体を中心に
中原佑介：長岡現代美術賞展のこと
山口勝弘：封印が解かれる 1960 年代
関根伸夫：位相の時から
小見秀男、桑原収、横山秀樹、宮下東子、宮崎俊英、松矢国憲、佐々木奈美子、桐原浩、

平野千枝子、藤田裕彦：作家略歴、作品解説

小見秀男、藤田裕彦、佐々木奈美子、宮崎俊英、吉澤隆史、桑原収：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

インサイド／アウトサイド 日本現代彫刻の８人 ●

欧文タイトル：「Inside/Outside　Japanese Contemporary Sculpture by Eight Artists」

会期：1998 年 9 月 5 日－10 月 11 日　長岡・新潟県立近代美術館　主催：新潟県立近代美術館、共催：新潟日報社

出品：青木野枝、岡本敦生、小清水漸、竹田康宏、中岡慎太郎、舟越直木、前田哲明、松井紫朗〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

インサイド／アウトサイド 日本現代彫刻の８人

新潟県立近代美術館　1998 年 9 月

小見秀男、桐原浩：資料〔作家解説、年譜、文献〕

桐原 浩：あとがき〈本展開催経緯と当館の野外彫刻設置について〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、

長岡現代美術館賞回顧展 1964－1968〈時代をかけ抜けた美術館と若く熱き美術家たち〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 4 月 20 日－6 月 9 日　長岡・新潟県立近代美術館、長岡商工会議所 1F 美術文化ホール(旧長岡近代美術館)　主催：新潟県立近代美術館・NST 新潟総合テレビ・財団法人駒形十吉記念美術館・長岡市・長岡商工会議所

出品：1 回展；池田満寿夫、磯辺行久、岡本信治郎、加納光於、蔵本朝美、田畔司朗、田中敦子、玉置正敏、中西夏之、深沢幸雄、三井永一、宮城輝夫、向井修二、森本紀久子、山崎つる子。2 回展；市村司、菊畑茂久馬、篠原有司男、白髪一雄、関根伸夫、高松次郎、三木富雄、元永定正。3 回展；靉嘔、荒川修作、今中クミ子、小島信明、八田豊、前田常作、ヨシダ・ミノル、吉村益信。4 回展；伊藤隆康、今井祝雄、福岡道雄、三木富雄(重)、最上壽之、山口勝弘、湯原和夫。5 回展；宇佐美圭司、河口龍夫、関根伸夫、吉田稔郎。参考出品；松田豊、島州一、萩原朔美〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

長岡現代美術館賞回顧展 1964－1968〈時代をかけ抜けた美術館と若く熱き美術家たち〉

新潟県立近代美術館　2002 年 4 月 19 日

高島直之：長岡現代美術館賞展の役割とその時代

桐原浩、小見秀男、宮崎俊英：章解説

石井利治氏インタヴュー

小見秀男：長岡現代美術館館長駒形十吉ノート〈越後長岡人・巨大なる魁〉

宮崎俊英：長岡現代美術館の活動について

桐原 浩：駆け抜けた美術館と美術家たち

宮崎俊英、小見秀男、桐原浩：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

GUN 新潟に前衛があった頃 ●

欧文タイトル：「Niigata Contemporary Artist Group and Its Era GUN」

会期：2012 年 11 月 3 日－2013 年 1 月 14 日　長岡・新潟県立近代美術館

出品：前山忠、堀川紀夫、アンディ・ウォーホル、ジェームズ・ローゼンクイスト、アレックス・カッツ、前田常作、吉村益信、山口勝弘、中西夏之、岡本太郎、菅井汲、加納光於、鈴木慶則、前田守一、飯田昭二、小池一誠、近藤直行、鈴木力、市橋哲夫、関根哲男、佐藤秀治、北村克躬、猪爪彦一、佐藤昭久、霜鳥健二、舟見倹二、星野健司、真島若桜、三上祥司〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

GUN 新潟に前衛があった頃

新潟県立近代美術館　2012 年 11 月

富井玲子：〈GUN〉における国際的同時性－新潟、日本、グローバルに考える

藤田裕彦：〈GUN〉の特殊性とその変質

高 晟埈：グループ〈GUN〉がデビューするまで－日本地方都市の「前衛」

藤田裕彦：章解説

宮下東子補：新潟現代美術家集団 GUN の歩み

藤田裕彦、宮下東子：新潟現代美家集団 GUN　作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、神近美、愛芸文、国会図、都中図

新潟県立万代島美術館

絵画の現在〈11 人の作家による 11 の展覧会〉 ●

欧文タイトル：「PAINTING IN OUR TIME」

会期：2003 年 7 月 12 日－8 月 17 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館　開館記念展 I

出品：岡村桂三郎、斉藤典彦、菅原健彦、千住博、辰野登恵子、手塚雄二、中村一美、奈良美智、日高理恵子、福田美蘭、森村泰昌〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

絵画の現在〈11 人の作家による 11 の展覧会〉

新潟県立万代島美術館　2003 年 7 月　開館記念展 I

横山秀樹：「絵画の現在」展の意義について

本江邦夫：絵画についての覚書

藤田裕彦：試論―日本における「絵画の現在」

今井有、桐原浩、横山秀樹、藤田裕彦：作家解説／作家略歴

福田美蘭：福田美蘭自身による自作覚え書き 1・2

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

コレクター・駒形十吉の眼〈併設 平山郁夫展〉●

欧文タイトル：「Jukichi Komagata：Collector's Eye Masterpieces from Komagata Collection」

会期：2003 年 8 月 23 日－9 月 28 日　新潟県立万代島美術館　主催：コレクター・駒形十吉の眼展実行委員会・新潟県立万代島美術館・NST 新潟総合テレビ　開館記念展 II・NST 新潟総合テレビ開局 35 周年記念

出品：海老原喜之助、脇田和、山口薫、藤田嗣治、児島善三郎、熊谷守一、斎藤義重、香月泰男、オノサト・トシノブ、白髪一雄、高松次郎、元永定正、タジリシンキチ、磯辺行久、篠原有司男、靉嘔、宇佐美圭司、前田常作、今井祝雄、山口勝弘、吉村益信、荒川修作、中西夏之、三木富雄、加山又造、髙山辰雄、東山魁夷、吉田善彦、下田義寛、加藤唐九郎、楠部彌弌、松田権六、金重素山、平山郁夫〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

コレクター・駒形十吉の眼〈併設 平山郁夫展〉

「コレクター・駒形十吉の眼」展実行委員会　2003 年 8 月　開館記念展 II・NST 新潟総合テレビ開局 35 周年記念

平山郁夫：「コレクター展併設平山郁夫展」によせて

加山又造：駒形十吉さんの思い出

横山秀樹：駒形十吉氏と新潟県立近代美術館の大光コレクション

高晟埈、伊藤香織：作品解説

高晟埈：駒形十吉とそのコレクション

高野政和編：駒形十吉氏年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

新潟の美術 2004 新潟の作家 100 人 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 1 月 24 日－3 月 7 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館・新潟日報社・新潟日報美術振興財団

出品：長谷部権次呂、木村卓央、金井二郎、穂苅春雄、三輪晃久、大矢紀、伊藤彫耳、大矢十四彦、山﨑隆夫、齋藤満栄、柴田長俊、本多酒泉、池田美弥子、長沢明、高橋美則、五十嵐二朗、岩下尊弘、渡辺啓輔、市橋哲夫、西村満、桐生照子、鈴木力、早津剛、池山阿有、長谷部昇、川崎ヒロ子、馬場まり子、藤田由明、本間ケイ、二村裕子、福岡奉彦、奥山民枝、清水伸、中野雅友、原裕治、五十嵐敏雄、杉森企観明、猪爪彦一、久我修、栗田宏、信田俊郎、長谷川清晴、近藤充、吉田志麻、市橋輝之、林昭三、高橋洋、大成浩、戸張公晴、原田哲男、江尻昭子、星野健司、霜鳥健二、牛膓達夫、小林新一、羽賀康夫、弓納持福夫、江川

蒼竹、丸山翠蘭、中野松葉、長井蒼之、吉田六嶺、小黒五稜、石丸雨虹、小林畦水、菅井柳翠、野中吟雪、薄田東仙、石山恵美子、目黒順三郎、堀政晴、広川青五、宮田藍堂、本間一秋、三浦小平二、宮田脩平、亀倉康之、原益夫、原正樹、渡辺信二、高井進、中村謙二、伊藤赤水、石山悦子、熊井恭子、川嶋宣彦、宮田亮平、市川正美、吉田隆介、齋藤尚明、西片正、小飯塚眞理子、羽鳥律子、佐々木玲子、馬場省吾、関根哲男、前山忠、星野暁、田中正弘、坂爪勝幸、杣木浩一、磯部聡、丹治嘉彦、丸山直文、会田誠〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

新潟の美術 2004 新潟の作家 100 人

新潟県立万代島美術館　2004 年 1 月 24 日

横山秀樹：「新潟の作家 100 人」の開催にあたって

所蔵：□、都現美、国会図

ユートピアを探しに〈想像力の彼方へ〉●

欧文タイトル：「Looking for utopia　Beyond the Imagination」

会期：2005 年 10 月 29 日－12 月 11 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館、共催：新潟日報社・NHK 新潟放送局

出品：奥山民枝、不染鉄、橋本倫、原田要、山口啓介、野又穫、牛腸茂雄、丸山直文、山口晃、小林孝亘〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

ユートピアを探しに〈想像力の彼方へ〉

新潟県立万代島美術館　2005 年 10 月 29 日

谷川 渥：絵画の無何有郷

桐原 浩：ユートピア、どこに探すか

桐原 浩：章解説

桐原浩、小西珠緒、藤田裕彦、高晟埈：作品解説

桐原浩、小西珠緒、藤田裕彦、高晟埈：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

ジパング II 沸騰する日本の現代アート ●

欧文タイトル：「Zipangu－The Surge of Japanese Contemporary Art」

会期：2012 年 10 月 6 日－12 月 2 日　新潟県立万代島美術館／2013 年 4 月 7 日－6 月 16 日　高崎市美術館／9 月 14 日－11 月 10 日　秋田県立近代美術館

主催：新潟県立万代島美術館・TeNY テレビ新潟・ジパング展新潟展実行委員会・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

出品：会田誠、青山悟、池田学、伊藤遠平、上田順平、O Jun、大畑伸太郎、岡本瑛里、風間サチコ、樫木知子、金子富之、熊澤未来子、鴻池朋子、近藤聡乃、指江昌克、佐藤雅晴、田代裕基、棚田康司、チームラボ、天明屋尚、藤田桃子、町田久美、三瀬夏之介、宮永愛子、森淳一、山口藍、山口晃、山﨑史生、山本太郎、山本竜基、渡邊佳織〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ジパング II 沸騰する日本の現代アート

青幻舎　2012 年 10 月 5 日

高晟埈、山本丈志、柴田純江：作家論

三潴末雄×小崎哲哉：対談 日本発 現代アートの向かう先

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、国会図、都中図

新潟県美術博物館

第 14 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：茨城展；1980 年 11 月 1 日－14 日　日立市郷土博物館／静岡展；11 月 19 日－12 月 2 日　浜松市美術館／兵庫展；12 月 7 日－21 日　尼崎市総合文化センター／新潟展；1981 年 1 月 6 日－18 日　新潟県美術博物館

主催：文化庁・新潟県教育委員会・新潟県美術博物館〔巡回 4-4〕

――→日立市郷土博物館〔巡回 4-1〕

新潟市美術館

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

会期：1987 年 5 月 23 日－6 月 21 日　富山県立近代美術館／6 月 26 日－7 月 14 日　大阪・ナビオ美術館／8 月 28 日－9 月 2 日　銀座・松屋／9 月 11 日－10 月 11 日　新潟市美術館／12 月 5 日－1988 年 1 月 31 日　仙台・宮城県美術館／2 月 11 日－3 月 21 日　下関市立美術館

主催：新潟市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 6-4〕

――→富山県立近代美術館〔巡回 6-1〕

にいがた・アート・ナウ 1997 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 1 月 17 日－3 月 20 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館

出品：絵画；市橋哲夫、大橋廣治、金井二郎、川崎ヒロ子、倉田久男、小林和夫、近藤直行、鈴木力、関屋俊彦、長井亮之、西村満、新田公彰、林節子、藤田由明、堀井健美、本間ケイ、松田忠三、三芳悌吉、山﨑隆夫、渡邊博。彫刻；金子直裕、高橋洋、戸張公晴、渡邊利馗。工芸；石山恵美子、亀倉康之、川嶋宣彦、本間一秋、目黒順三郎、渡辺信二。版画；佐合敦、渡辺欣次。写真；小林新一、羽賀康夫、弓納持福夫〔出品リスト順〕

註：出品欄は絵画、彫刻、工芸、版画、写真の作家を収載。

〇展覧会カタログ

にいがた・アート・ナウ 1997

新潟市美術館　1997 年 1 月 17 日

林 紀一郎：新潟の出会いの作家たち

久保尋二：新潟の美術現況――絵画・書・彫刻部門
小磯 稔：確かな表現で独自の空間を形成する工芸と版画
佐藤 央：小林新一 羽賀康夫 弓納持福夫について
北上あつ子：それぞれのアートナウ
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

宇宙のかけら・時のかけら展〈笠井千鶴・野村仁・宮島達男〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 2 月 11 日－3 月 26 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館
出品：笠井千鶴、野村仁、宮島達男〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
宇宙のかけら・時のかけら展〈笠井千鶴・野村仁・宮島達男〉
新潟市美術館　2000 年 2 月 11 日
谷 哲夫：ハリネズミの愛しかた
神田直子：写真の中の「時間」
谷 哲夫：闇と光－宮島達男の世界
谷哲夫、神田直子、北上あつ子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」
会期：2003 年 11 月 30 日－2004 年 1 月 18 日　新潟市美術館／1 月 25 日－3 月 28 日　三隅町立香月美術館／4 月 4 日－5 月 23 日　札幌芸術の森美術館／5 月 30 日－7 月 25 日　高知県立美術館／8 月 18 日－29 日　大丸ミュージアム・梅田／9 月 4 日－10 月 18 日　相模原・女子美アートミュージアム
主催：新潟市美術館・NT21 新潟テレビ 21〔巡回 6-1〕
出品：舟越桂、ライオネル・ファイニンガー、香月泰男、藤田嗣治、有元利夫、本郷新、アレクサンダー・カルダー、パウル・クレー、猪熊弦一郎、パブロ・ピカソ、若林奮〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
作家からの贈りもの
キュレイターズ　2003 年 11 月　作家別冊 9 点
谷 哲夫：イメージのゆりかご――作家からの贈りもの 5
影山千夏：未来のおとなたちへ
坂倉秀典：〔香月のおもちゃ〕
井上みどり：本郷新とテラコッタ
若林 奮：〔作家のことば〕
若林夏欧：〔ことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

ニイガタ・クリエーション〈美術館は生きている〉●

欧文タイトル：「Niigata Creations　Museum in Motion」
会期：2014 年 2 月 15 日－3 月 30 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館
出品：丸山直文、阪田清子、冨井大裕、Noism。参考；アルベルト・ジャコメッティ、メダルド・ロッソ、堀内正和〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
ニイガタ・クリエーション〈美術館は生きている〉
新潟市美術館　2014 年 3 月
塩田純一：地域と創造。そして、「美術館は生きている」ということ。
丸山直文、阪田清子、冨井大裕、金森穣：〔作家のことば〕
荒井直美：ニイガタ・クリエーションは可能か?
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」●
欧文タイトル：「Sunouchi Toru and Gendai Gallery：The Eye and Spirit of the Showa Period」
会期：2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　仙台・宮城県美術館／2014 年 1 月 25 日－3 月 16 日　愛媛県美術館(第 1 会場)・町立久万美術館(第 2 会場)／4 月 12 日－6 月 8 日　新潟市美術館
主催：新潟市美術館・NHK 新潟放送局・NHK プロモーション〔巡回 3-3〕
――→宮城県美術館〔巡回 3-1〕

アナタにツナガル展 ●
欧文タイトル：「CONNECTING WITH YOU」
会期：2016 年 2 月 13 日－4 月 10 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館
出品：折元立身、岩井成昭、神林美樹、田中仁、角地智史。参考作品；基村英行〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
アナタにツナガル展図録
新潟市美術館　2016 年 3 月 25 日
塩田純一：関係をつむぎだすアート－「アナタにツナガル」展によせて
角地智史：〔作家のことば〕
荒井直美：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

新潟市新津美術館

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　福井市美術館／9 月 3 日－10 月 9 日　新潟市新津美

術館／10 月 17 日－11 月 20 日　八幡浜市民ギャラリー／11 月 26 日－2006 年 1 月 15 日　周南市美術博物館

主催：新津文化振興財団・第 6 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-2〕

――→福井市美術館〔巡回 4-1〕

メタルズ!〈変容する金属の美〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 6 月 28 日－8 月 31 日　高岡市美術館／9 月 11 日－10 月 19 日　碧南市藤井達吉現代美術館／11 月 1 日－12 月 23 日　北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いのちのたび博物館)／2015 年 1 月 24 日－3 月 8 日　新潟市新津美術館

主催：新潟市新津美術館・メタルズ!実行委員会、共催：新潟日報社・NHK プロモーション〔巡回 4-4〕

――→高岡市美術館〔巡回 4-1〕

長岡市美術センター

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：新潟展；1994 年 11 月 18 日－12 月 1 日　長岡市美術センター／福島展；12 月 6 日－18 日　郡山市立美術館／宮城展；12 月 22 日－1995 年 1 月 15 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／宮崎展；1 月 20 日－2 月 5 日　宮崎県総合博物館／福岡展；2 月 9 日－26 日　田川市美術館

主催：文化庁・新潟県教育委員会・長岡市・長岡市教育委員会〔巡回 5-1〕

出品：日本画；斉藤典彦、手塚雄二。洋画；児玉靖枝、堀研。版画；古川仁史、宮井里夏。彫刻；谷口真紀〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 28 回現代美術選抜展図録

長岡市美術センター、郡山市立美術館、リアス・アーク美術館、宮崎県総合博物館、田川市美術館　1994 年 11 月

遠山敦子文化庁長官：ごあいさつ

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、国会図

富山県

富山県立近代美術館

〔第 1 回〕富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’81」

会期：1981 年 7 月 5 日－9 月 23 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：日本・セクション；彦坂尚嘉、村岡三郎、中西夏之、沖啓介、高松次郎、宇佐美圭司〔出品目録順〕

註：「日本・セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

○展覧会カタログ

〔第 1 回〕富山国際現代美術展図録

富山県立近代美術館　1981 年 7 月　第 1 回展

小川正隆：富山に世界の創造的な息吹きを〈「富山国際現代美術展」の開催にあたって――〉

東野芳明：日本の 6 人

彦坂尚嘉、村岡三郎、中西夏之、沖啓介、高松次郎、宇佐美圭司：作家の言葉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図

’81 富山の美術展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1981 年 10 月 1 日－25 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：平面；大島秀信、下保昭、下田義寛、豊秋半二、加賀谷武、川井昭夫、清原啓一、頭川政始、野上祇磨、橋本博英、林清納、藤江民、前田常作、松原龍夫、金守世士夫、橋本文良、石井南畊、大平山濤、表立雲、尾長保、村田吉生、山崎覚太郎。立体；伊藤公象、岩城信嘉、浦山一雄、大成浩、岡崎星秀、辻志郎、宮崎辰児、横山豊介、米林雄一、可西泰三、名取川雅司、畠春斎〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

’81 富山の美術展図録

富山県立近代美術館　1981 年 10 月

小川正隆：「’81 富山の美術」展によせて

大島秀信、下保昭、下田義寛、豊秋半二、加賀谷武、川井昭夫、清原啓一、頭川政始、野上祇磨、橋本博英、林清納、藤江民、前田常作、松原龍夫、金守世士夫、橋本文良、石井南畊、大平山濤、表立雲〔3 文字〕、尾長保、村田吉生、山崎覚太郎、伊藤公象、岩城信嘉、浦山一雄、大成浩、岡崎星秀、辻志郎、宮崎辰児、横山豊介、米林雄一、可西泰三、名取川雅司、畠春斎：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図

第 1 回現代芸術祭－瀧口修造と戦後美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：記載無〔1982 年 7 月 1 日－9 月 15 日〕　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：瀧口修造、北代省三、利根山光人、藤松博、大辻清司、前田常作、福島秀子、山口勝弘、池田龍雄、吉仲太造、漆原英子、加納光於、榎本和子、松澤宥、篠原有司男、河原温、工藤哲巳、中西夏之、荒川修作、赤瀬川原平、田辺三太郎、宮脇愛子、岡崎和郎、磯崎新、野中ユリ、合田佐和子、平沢淑子、四谷シモン、駒井哲郎〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

第 1 回現代芸術祭－瀧口修造と戦後美術－図録

富山県立近代美術館　1982 年 7 月序

小川正隆：「現代芸術祭」の構想について〈「瀧口修造と戦後美術」の場合〉

東野芳明：瀧口修造と戦後美術

山口勝弘：実験工房のこと〈1950 年代〉

大岡 信：詩人瀧口修造

武満 徹：瀧口修造と音楽

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

「現代日本美術の展望―油絵」展 ●

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING」

会期：1982 年 11 月 3 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：匠秀夫、乾由明、三木多聞、増田洋、小川正隆、主催：富山県立近代美術館

出品：中川一政、福沢一郎、牛島憲之、山口長男、小磯良平、大沢昌助、田村一男、村井正誠、小牧源太郎、森芳雄、小野末、宇治山哲平、糸園和三郎、オノサト・トシノブ、小野忠弘、麻生三郎、桂ゆき、杉全直、浅野弥衛、野見山暁治、久野真、泉茂、宮崎進、藤松博、元永定正、福井良之助、三尾公三、白髪一雄、松樹路人、鴨居玲、堂本尚郎、田中稔之、今井俊満、池田龍雄、上田薫、藤田吉香、山田正亮、吉原英雄、小西保文、靉嘔、加納光於、大沼映夫、岡本信治郎、島田章三、奥谷博、中西夏之、高松次郎、李禹煥、宇佐美圭司、榎倉康二、絹谷幸二、鴫剛、彦坂尚嘉、原口典之〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「現代日本美術の展望―油絵」展

富山県立近代美術館　1982 年 11 月

小川正隆：なぜ「油絵」なのか――第二回「現代日本美術の展望」によせて

乾 由明：現代日本の抽象系絵画

三木多聞：具象絵画を中心とした日本の油絵の現状について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「現代日本美術の展望――立体造形」展 ●

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-SCULPTURE」

会期：1983 年 11 月 1 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送

出品：斎藤義重、菊池一雄、柳原義達、淀井敏夫、堀内正和、佐藤忠良、舟越保武、植木茂、向井良吉、建畠覚造、清水九兵衛、毛利武士郎、飯田善國、多田美波、朝倉響子、吾妻兼治郎、土谷武、山口牧生、村岡三郎、保田春彦、鈴木実、掛井五郎、新妻実、湯原和夫、井上武吉、篠田守男、澄川喜一、伊藤公象、辻志郎、若林奮、福岡道雄、最上壽之、小田襄、李禹煥、池田宗弘、河口龍夫、山本正道、米林雄一、関根伸夫、菅木志雄、小清水漸、眞板雅文、望月菊磨、戸谷成雄、北山善夫、田窪恭治、海老塚耕一、沖啓介、岡崎乾二郎、高田洋一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「現代日本美術の展望――立体造形」展

富山県立近代美術館　1983 年 11 月

小川正隆：「立体造形」の多彩な展覧

中原佑介：現代彫刻とその可能性

酒井忠康：具象彫刻についての所感

柳原正樹、片岸昭二：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

’84 富山の美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 2 月 1 日－26 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：遠藤幸一、兼久文治、玉生正信、津山昌、小川正隆、主催：富山県立近代美術館

出品：大島秀信、下保昭、下田義寛、田中五百子、谷口山郷、加賀谷武、川井昭夫、野上祇麿、林清納、堀浩哉、前田常作、松原龍夫、柳瀬作治、尼野和三、須藤陽子、鶴谷登、藤江民、青柳志郎、近藤芳竹、常川汀華、岩城信嘉、岡崎星秀、谷口義人、辻志郎、長谷川総一郎、米林雄一、麻生三郎〔工芸家〕、小沢千琴、久谷蔦枝、須賀正佐、関里繪子〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

’84 富山の美術

富山県立近代美術館　1984 年 2 月

小川正隆：美術の新しい発信地を目ざして

兼久文治：地方性と個性を問い直す

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、国会図

第 2 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’84」

会期：1984 年 7 月 4 日－9 月 2 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：日本セクション；小清水漸、菅木志雄、辰野登恵子、矢野美智子、横尾忠則、吉澤美香〔出品目録順〕

註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

○展覧会カタログ

第 2 回富山国際現代美術展

富山県立近代美術館　1984 年 7 月　主に欧文併載

小川正隆：「A New Map of A New Art」の企画にふれて

東野芳明：富山ナウ’84――日本セクション

小清水漸、菅木志雄、辰野登恵子、矢野美智子、横尾忠則、吉澤美香：作家の言葉

大坪健二：後記：テーマ「A New Map of A New Art」雑感

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「現代日本美術の展望――グラフィックアート&デザイン」展 ●

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN――GRAPHIC ART & DESIGN」

会期：1984 年 11 月 1 日－12 月 16 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・富山テレビ放送

出品：浜口陽三、萩原英雄、深沢幸雄、菅井汲、池田満寿夫、吉原英雄、亀倉雄策、粟津潔、田中一光、永井一正、石岡瑛子、靉嘔、泉茂、磯見輝夫、井田照一、一原有徳、河口龍夫、河内成幸、木村光佑、木村秀樹、黒崎彰、小林清子、小林敬生、小本章、高柳裕、中林忠良、野田哲也、浜田知明、早川良雄、吹田文明、南桂子、元永定正、森岡完介、山本容子、横尾忠則、渡辺豊重、浅葉克己、五十嵐威暢、井上嗣也、勝井三雄、河村要助、サイトウマコト、佐藤晃一、杉浦康平、戸田正寿、長友啓典、中村誠、福田繁雄、細谷巌、湯村輝彦〔出品作品順〕

○展覧会カタログ

「現代日本美術の展望――グラフィックアート&デザイン」展

富山県立近代美術館　1984 年 11 月

小川正隆：「グラフィックアート&デザイン」の企画によせて

小倉忠夫：現代日本版画の状況

田中一光：デザインと私

柳原正樹、片岸昭二：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、国会図、都中図

「現代日本美術の展望――生活造形」展 ●

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-DESIGN OF DAILY LIFE」

会期：1985 年 11 月 1 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送

出品：デザイン部門 リビング・オフィス・インスツルメント；栄久庵憲司、倉俣史朗、新居猛、葉祥栄、渡辺力、鴨志田厚子、永原浄、イサム・ノグチ、黒川雅之、会田雄亮、小松誠、栄木正敏、森正洋、吉川博教、渡辺和、柴田献一、佐々文夫、菅澤利明、上山俊一、白幡明、河上恭一郎、船越三郎。カルチャー・インスツルメント。トランス・ポーテーション・インスツルメント；岩崎信治。テキスタイル；安部兼章、粟辻博、三宅一生、山岸柾史。工芸部門 陶磁；内田邦夫、髙鶴元、清水卯一、鈴木治、辻清明、中村錦平、藤平伸、松井康成、柳原睦夫。漆工；磯矢阿伎良、田口善国、増村益城。染織；小林正和、島貫昭子、中川干早、志村ふくみ、森口邦彦。ガラス；藤田喬平、益田芳徳。金工；中村ミナト、中山あや、平松保城〔出品目録順〕

註：出品欄は個人作家を収載。

○展覧会カタログ

「現代日本美術の展望――生活造形」展

富山県立近代美術館　1985 年 11 月

小川正隆：「生活造形」のプラザを目ざして

泉 眞也：日本の工業デザインの今日と明日

中村錦平：私にとっての「飾る」

柳原正樹：後記

柳原正樹、田中玲子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

「現代日本美術の動勢――絵画 PART1」展 ●

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING PART 1」

会期：1986 年 10 月 25 日－12 月 7 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：河北倫明、富山秀男、村田慶之輔、酒井忠康、小川正隆、主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送・富山エフエム放送

出品：髙山辰雄、麻生三郎、今野忠一、石本正、稗田一穂、野見山暁治、宮崎進、下村良之介、三尾公三、白根光夫、下保昭、加山又造、麻田鷹司、藤田吉香、田口安男、平山郁夫、小西保文、上村淳之、大沼映夫、島田章三、渡辺恂三、奥谷博、横尾忠則、リーガ・パング、下田義寛、滝沢具幸、田渕俊夫、絹谷幸二、鴫剛、中島千波、中野嘉之、畠中光享〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「現代日本美術の動勢――絵画 PART1」展

富山県立近代美術館　1986 年 10 月

小川正隆：「現代日本美術の動勢」展の開幕にあたって

富山秀男：現代日本美術の動勢――日本画を中心として

村田慶之輔：具象表現について――洋画の場合

柳原正樹：後記

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

美との対話'87〈大原／西武／高輪美術館所蔵作品による〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 2 月 7 日－4 月 5 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・大原美術館・西武美術館・高輪美術館・富山新聞社・北国新聞社・北日本放送

出品：麻生三郎、荒川修作、今井俊満、宇佐美圭司、海老塚耕一、小野忠弘、オノサト・トシノブ、加納光於、清水九兵衛、桑山忠明、桑山忠祐〔タダスキー〕、小清水漸、嶋田しづ、白髪一雄、菅井汲、高橋秀、堂本尚郎、中西夏之、難波田龍起、福島秀子、堀内正和、前田常作、元永定正、山口長男、山田正亮、横尾忠則、吉原治良、李禹煥〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

美との対話'87〈大原／西武／高輪美術館所蔵作品による〉

富山近美友の会　1987 年 2 月

藤田慎一郎：メッセージ

紀国憲一：メッセージ

小川正隆：「美との対話」のひとつの試みとして

藤田慎一郎：大原美術館の五十年と現代美術

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

会期：1987 年 5 月 23 日－6 月 21 日　富山県立近代美術館／6 月 26 日－7 月 14 日　大阪・ナビオ美術館／8 月 28 日－9 月 2 日　銀座・松屋／9 月 11 日－10 月 11 日　新潟市美術館／12 月 5 日－1988 年 1 月 31 日　仙台・宮城県美術館／2 月 11 日－3 月 21 日　下関市立美術館

主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送・美術館連絡協議会〔巡回 6-1〕

出品：亀倉雄策、田中一光、永井一正、福田繁雄〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉図録　編集協力・富山県立近代美術館

読売新聞社・美術館連絡協議会　1987 年 5 月

小川正隆：「4-G.D」の企画によせて

亀倉雄策、田中一光、永井一正、福田繁雄：〔作家のことば〕

大倉宏、林紀一郎、片岸昭二、三上満良：〔作家論〕

片岸昭二編：年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、京都学、和光大、国会図

第 3 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’87　NEW ART AROUND THE PACIFIC」

会期：1987 年 7 月 4 日－9 月 3 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：日本セクション；原口典之、堀浩哉、眞板雅文、柏原えつとむ、木村光佑、鴫剛〔出品目録順〕

註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

○展覧会カタログ

第 3 回富山国際現代美術展

富山県立近代美術館　1987 年 7 月　主に英文併載

小川正隆：TOYAMA NOW の新しい前進のために

小川正隆：太平洋圏に新しい波を〈日本セクションのコミッショナーとして〉

大坪健二：日本の現代美術と 6 人の作家

原口典之、堀浩哉、眞板雅文、柏原えつとむ、木村光佑、鴫剛：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

’88 富山の美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 3 月 12 日－4 月 10 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：安達博文、尼野和三、上田和則、円戸智江、尾長良範、加賀谷武、木下晋、清河恵美、頭川政始、鶴谷登、時女信子、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉、久谷蔦枝、谷口義

人、富山省三、南部治夫、東山秀誠、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

’88 富山の美術 図録

富山県立近代美術館　1988 年 3 月

小川正隆：驀進せよ! 現代美術の牽引車「’88 富山の美術」によせて

梅沢直正：可能性の発掘「富山の美術」の存在意義

朝倉吉彦：「富山の美術」にふれて〈新しい美の創造と高揚〉

久泉迪雄：「富山の美術」4 回の経過から

安達博文、尼野和三、上田和則、円戸智江、尾長良範、加賀谷武、木下晋、清河恵美、頭川政始、鶴谷登、時女信子、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉、久谷蔦枝、谷口義人、富山省三、南部治夫、東山秀誠、吉江庄蔵、米林雄一：言葉

島 敦彦：「’88 富山の美術」出品作品にふれて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図

「現代日本美術の動勢－絵画 PART2」展 ●

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING PART2」

会期：1988 年 10 月 29 日－12 月 11 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：杉全直、浅野弥衛、菅井汲、泉茂、元永定正、嶋田しづ、白髪一雄、福島秀子、堂本尚郎、今井俊満、山田正亮、高橋秀、馬場彬、中西夏之、李禹煥、松谷武判、宇佐美圭司、河口龍夫、榎倉康二、桑原盛行、野村仁、彦坂尚嘉、辰野登恵子、野田裕示、岡崎乾二郎、平林薫、矢野美智子、安田奈緒子、吉澤美香、榊原美砂子〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

「現代日本美術の動勢－絵画 PART2」展

富山県立近代美術館　1988 年 10 月

小川正隆：「絵画は、ひとつ」――「絵画 PART2」によせて

東野芳明：女性作家の抬頭

増田 洋：1950 年代に発したもの

柳原正樹：後記

柳原正樹、浅地豊：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図

’90 富山の美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 2 月 3 日－3 月 4 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：梅沢直正、津山昌、小川正隆、久泉迪雄、島敦彦、主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：安達博文、大島秀信、大村雅章、岡田繁憲、尾長良範、川井昭夫、木下晋、清河恵美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、西島直紀、野上祇磨、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、

伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、柳原幸子、伊藤公象、岩城信嘉、大成浩、谷口義人、富山省三、中村滝雄、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

'90 富山の美術図録

富山県立近代美術館　1990 年 2 月

小川正隆：迸れ、「創造」の奔流―「'90 富山の美術」によせて

津山 昌：「'90 富山の美術」の作品について

安達博文、大島秀信、大村雅章、岡田繁憲、尾長良範、川井昭夫、木下晋、清河恵美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、西島直紀、野上祇麿、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、柳原幸子、伊藤公象、岩城信嘉、大成浩、谷口義人、富山省三、中村滝雄、吉江庄蔵、米林雄一：言葉

浅地 豊：後記

所蔵：□、国新美、東文研

第 4 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW '90　The 4th International Contemporary Art Exhibition, Toyama NEW ART FROM THE MEDITERRANEAN AND JAPAN」

会期：1990 年 7 月 4 日－8 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：日本セクション；海老塚耕一、舟越桂、木村秀樹、北辻良央、北山善夫、田中薫〔作品リスト順〕

註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

〇展覧会カタログ

第 4 回富山国際現代美術展

富山県立近代美術館　1990 年 7 月　主に欧文併載

小川正隆：「富山国際現代美術展」の軌跡によせて

小川正隆：NEW ART に寄せる日本の立場

大坪健二：日本の中で、世界の中で

海老塚耕一、舟越桂、木村秀樹、北辻良央、北山善夫、田中薫：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図

「現代日本美術の動勢―立体造形」展 ●

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-SCULPTURE」

会期：1991 年 9 月 14 日－10 月 27 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：小川正隆、酒井忠康、峯村敏明、主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：植松奎二、海老塚耕一、遠藤利克、岡本敦生、北辻良央、北山善夫、黒川弘毅、小清水漸、篠田守男、菅木志雄、田中信太郎、土谷武、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、長澤英俊、深井隆、福岡道雄、舟越桂、村岡三郎、保田春彦、山口牧生、米林雄一〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

「現代日本美術の動勢―立体造形」展 図録

富山県立近代美術館　1991 年 9 月

小川正隆：「現代日本美術の動勢――立体造形」の序として

酒井忠康：美のパスポート

峯村敏明：表面の層化と物質的想像力〈80 年代後半の彫刻について〉

植松奎二、海老塚耕一、岡本敦生〔再録〕、北辻良央〔4 行〕、北山善夫、黒川弘毅、小清水漸、篠田守男、菅木志雄、田中信太郎、土谷武」、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、深井隆、福岡道雄、舟越桂、村岡三郎、保田春彦、山口牧生、米林雄一：作家の言葉

島 敦彦：S.T.の 8 年

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

「'91 富山の美術」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 11 月 2 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：安達博文、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、桐沢仁美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子、橋本文良、広田郁世、藤江民、古川通泰、堀浩哉、松原賢、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉、大成浩、加賀谷武、辻志郎、富山省三、南部治夫、長谷宗悦、東山秀誠、松田文平、村椿雅憲、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「'91 富山の美術」展図録

富山県立近代美術館　1991 年 11 月

小川正隆：新しい風よ、舞い上れ――「'91 富山の美術」によせて

津山 昌：生命のざわめき

安達博文、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、桐沢仁美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子〔3 行〕、橋本文良、広田郁世、藤江民、古川通泰、堀浩哉、松原賢、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉〔1 行〕、大成浩、加賀谷武、辻志郎、富山省三、南部治夫、東山秀誠、松田文平、村椿雅憲〔2 行〕、吉江庄蔵、米林雄一：言葉

浅地 豊：後記

所蔵：□、国新美、国会図

第 5 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW '93　Art Scene in Central Europe」

会期：1993 年 7 月 3 日－9 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：日本セクション；川島清、剣持和夫、村岡三郎、土屋公雄〔出品目録順〕

註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

○展覧会カタログ

第 5 回富山国際現代美術展

富山県立近代美術館　1993 年 7 月　主に欧文併載

中原佑介：日本セクションについて

川島清、剣持和夫、村岡三郎、土屋公雄：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「'95 富山の美術」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 2 月 18 日－3 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：平面；安達博文、石田歩、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、冨田潤、野上祇磨、橋本文良、松原賢、柳原幸子。立体；荒井明浩、伊藤賢治、岡部俊彦、笠原鉄明、加治晋、ウラジミル・クライン、笹岡敬、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「'95 富山の美術」展図録

富山県立近代美術館　1995 年 2 月

小川正隆：「富山の美術」その役割は…。

安達博文、石田歩、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、冨田潤、野上祇磨、橋本文良、松原賢、柳原幸子、荒井明浩、伊藤賢治、岡部俊彦、笠原鉄明、加治晋、ウラジミル・クライン、笹岡敬、吉江庄蔵、米林雄一：〔作家のことば〕

八木宏昌：後記

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

第 6 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「The Sixth International Contemporary Art Exhibition, Toyama／TOYAMA NOW '96　Up and Coming Talent in UK and Japan」

会期：1996 年 7 月 17 日－9 月 20 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：日本セクション；青木野枝、江上計太、藤崎幸雄、五十嵐彰雄、池内晶子、狗巻賢二、丸山直文〔出品目録順〕

註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

○展覧会カタログ

第 6 回富山国際現代美術展

富山県立近代美術館　1996 年 7 月　英文併載

大坪健二：「富山国際現代美術展」の 15 年

中原佑介：極小化された表現主義

青木野枝、江上計太、藤崎幸雄、五十嵐彰雄、池内晶子、狗巻賢二、丸山直文：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

可視化の構造－11 の空間〈とやま現代作家シリーズ〉●

欧文タイトル：「Ways of Visualization：Toyama Contemporary Artists Series」

会期：1997 年 2 月 8 日－3 月 16 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北

日本新聞社・北日本放送

出品：尾長良範、笠原鉄明、清澤実行、斉藤晴之、笹岡敬、渋谷良治、高井知乗、野田雄一、藤井一範、古川勝紀、水上泰財〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

可視化の構造－11 の空間〈とやま現代作家シリーズ〉図録

富山県立近代美術館　1997 年 2 月　第 1 回展

八木近直：とやま現代作家シリーズ「可視化の構造―11 の空間」の開催にあたり

尾長良範、笠原鉄明、清澤実行、斉藤晴之、笹岡敬、渋谷良治、高井知乗、野田雄一、藤井一範、古川勝紀、水上泰財：作家のことば

八木宏昌：骰子一擲、いかに 7 の目を出すか

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図

現代日本美術の動勢 版／写すこと／の試み ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 9 月 13 日－10 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：飯塚二郎、井出創太郎、笹井祐子、鈴木頼子、高浜利也、林孝彦、松浦孝之、宮井里夏、山口純寛〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代日本美術の動勢 版／写すこと／の試み

富山県立近代美術館　1997 年 9 月

飯塚二郎、井出創太郎、笹井祐子、鈴木頼子、高浜利也、林孝彦、松浦孝之、宮井里夏、山口純寛：作家のコメント

杉野秀樹：作家解説

杉野秀樹：「写す」ことの意義から、次へ

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

第 7 回富山国際現代美術展 ポーランド－日本 内／外 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’99 POLAND－JAPAN　The Seventh International Contemporary Art Exhibition, Toyama　POLAND&JAPAN INTERNAL／EXTERNAL」

会期：1999 年 7 月 9 日－9 月 5 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：平林薫、小山穂太郎、河口龍夫、角永和夫、赤塚祐二、今村源、小林健二〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を記載。

○展覧会カタログ

第 7 回富山国際現代美術展 ポーランド－日本 内／外

富山県立近代美術館　1999 年 7 月　英文併載

平林薫、小山穂太郎、河口龍夫、角永和夫〔1 行〕、赤塚祐二、今村源、小林健二：〔作家のことば〕

レフ・カルヴォフスキー：内/外

片岸昭二：「TOYAMA NOW ’99」の構成と日本の出品作家
片岸昭二、若松基、稲塚展子：編集
所蔵：□、国新美、都現美、国会図

現代日本美術の動勢――インダストリアル・デザインの新風景 ●

欧文タイトル：「New Perspectives on Industrial Design」
会期：1999 年 10 月 30 日－12 月 12 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・チューリップテレビ
出品：川崎和男、森正洋ら 37 のインダストリアルデザイナー、オフィス等の出品
○展覧会カタログ
現代日本美術の動勢――インダストリアル・デザインの新風景
富山県立近代美術館　1999 年 10 月
榮久庵憲司：インダストリアルデザインの風景
川上元美：明日に向かうデザインのひろがり
稲塚展子：解説
稲塚展子：未来の「生活造形」のために
所蔵：□、国新美、東近美、国会図

瀧口修造 夢の漂流物 ●

欧文タイトル：「Drifting Objects of Dreams：The Collection of Shuzo Takiguchi」
会期：2005 年 2 月 5 日－4 月 10 日　世田谷美術館／5 月 28 日－7 月 3 日　富山県立近代美術館
主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送、協力：慶應義塾大学アート・センター・多摩美術大学図書館〔巡回 2-2〕
――→世田谷美術館〔巡回 2-1〕

とやま現代作家シリーズ 時の中で ●

欧文タイトル：「Toyama Art Today 2007」
会期：2007 年 10 月 20 日－12 月 2 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送
出品：遠藤雪代、尾長良範、北岡哲、清河恵美、桐沢仁美、高慶敬子、笹岡敬、柴沢勝造、渋谷良治、舘寿弥、玉本奈々、玉分昭光、釣谷幸輝、豊富春菜、パベル・トルンカ、中村滝雄、neutral production、野村瑞穂、畠山耕治、平井千香子、広田郁世、本郷仁、水上央子、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
とやま現代作家シリーズ 時の中で
富山県立近代美術館　2007 年 10 月
麻生恵子：時の中で 26 作家の作品について
遠藤雪代、尾長良範、北岡哲、清河恵美、桐沢仁美、高慶敬子、笹岡敬、柴沢勝造、渋谷良治、舘寿弥、玉本奈々、玉分昭光、釣谷幸輝、豊富春菜、パベル・トルンカ、中村滝雄、neutral production、野村瑞穂、畠山耕治、平井千香子、広田郁世、本郷仁、

水上央子、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功：作家の言葉

麻生恵子、若松基、桐井昇子：編集

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

I BELIEVE：日本の現代美術 ●

欧文タイトル：「I BELIEVE：JAPANESE CONTEMPORARY ART」

会期：2009 年 10 月 10 日－11 月 29 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：大竹伸朗、折元立身、河井美咲、関根直子、高嶺格、村瀬恭子、山川冬樹〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

I BELIEVE：日本の現代美術

富山県立近代美術館　2009 年 10 月　付・出品リスト

麻生恵子：「信じる」ことについて――日本の美術家 7 人をめぐって

折元立身、河井美咲、関根直子、高嶺格〔再録〕、村瀬恭子、山川冬樹：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、国会図

とやま現代作家シリーズ メッセージーアート新世代から ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 9 月 18 日－11 月 23 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：尾﨑真理、尾長良範、木藤純子、清河北斗、高慶敬子、酒井七海、佐藤忠博、佐野猛、佐野曜子、渋谷良治、城﨑郁恵、園家誠二、釣谷幸輝、中村滝雄、neutral production(籔陽介・畠山雅弘)、平井千香子、広田郁世、堀敏治、本郷仁、水上央子、水野利詩恵、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

とやま現代作家シリーズ メッセージーアート新世代から

富山県立近代美術館　2010 年 9 月

稲塚展子：この場所からのメッセージ

尾﨑真理、尾長良範、木藤純子、清河北斗、高慶敬子、酒井七海、佐藤忠博、佐野猛、佐野曜子、渋谷良治、城﨑郁恵、園家誠二、釣谷幸輝、中村滝雄、籔陽介、畠山雅弘、平井千香子、広田郁世、堀敏治、本郷仁、水上央子、水野利詩恵、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功：作家のことば

稲塚展子、若松基、遠藤亮平：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉 ●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

会期：2013 年 1 月 12 日－3 月 24 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館／4 月 20 日－6 月 2 日　いわき市立美術館／7 月 13 日－9 月 8 日　富山県立近代美術館／10 月 5 日－11 月 10 日　北九州市立美術館分館／11 月 23 日－2014 年 1 月 26 日　世田谷美術館

主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・北日本放送〔巡回 5-3〕
――→神奈川県立近代美術館〔巡回 5-1〕

金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち ●
欧文タイトル：「KANAYAMA Yasuki in Paris－Japanese Painters in the 1950s」
会期：2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日　葉山・神奈川県立近代美術館／5 月 16 日－7 月 5 日　富山県立近代美術館／7 月 18 日－9 月 6 日　世田谷美術館
主催：富山県立近代美術館・北陸中日新聞社〔巡回 3-2〕
――→神奈川県立近代美術館〔巡回 3-1〕

時代の共鳴者 辻井喬・瀧口修造と 20 世紀美術〈セゾン現代美術館コレクションから〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2015 年 12 月 1 日－2016 年 1 月 17 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・セゾン現代美術館・北日本新聞社・北日本放送
出品：辻井喬、田中一光、石岡瑛子、浅葉克己、松永真、瀧口修造、荒川修作、加納光於、中西夏之、堂本尚郎、福島秀子、横尾忠則〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
〇展覧会カタログ
時代の共鳴者 辻井喬・瀧口修造と 20 世紀美術〈セゾン現代美術館コレクションから〉
富山県立近代美術館　2015 年 12 月　北陸新幹線開業記念
稲塚展子：章解説、作家略歴
稲塚展子：二つのまなざし－辻井喬と瀧口修造
稲塚展子、碓井麻央：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

富山県民会館美術館

第 2 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1968 年 9 月 22 日－10 月 6 日　松江・島根県立博物館／10 月 15 日－27 日　徳山・出光会館／11 月 7 日－16 日　富山県民会館／11 月 24 日－12 月 3 日　浦和・埼玉会館
主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・富山新聞社〔巡回 4-3〕
――→島根県立博物館〔巡回 4-1〕

第 15 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：静岡展；1981 年 11 月 11 日－25 日　富士宮・富士美術館／愛知展；12 月 1 日－20 日　豊橋市美術博物館／富山展；1982 年 1 月 9 日－24 日　富山県民会館美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 11 日　千葉県立美術館
主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・富山新聞社・富山テレビ放送〔巡回 4-3〕
――→富士美術館〔巡回 4-1〕

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 11 月 9 日－23 日　豊田市民文化会館／徳島展；11 月 29 日－12 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；1987 年 1 月 10 日－25 日　富山県民会館美術館／福島展；1 月 31 日－2 月 15 日　郡山市民文化センター／宮城展；2 月 21 日－3 月 8 日　石巻文化センター

主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・北日本新聞社・北日本放送〔巡回 5-3〕

――→豊田市民文化会館〔巡回 5-1〕

富山県水墨美術館

現代の水墨画 I ●

欧文タイトル：「SUIBOKU of Today」

会期：2000 年 9 月 1 日－10 月 22 日　富山県水墨美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送・第 55 回国民体育大会スポーツ芸術主催事業

出品：毛利武彦、平川敏夫、小泉淳作、中野弘彦、加山又造、小山硬、伊藤彬、田渕俊夫、平松礼二、中野嘉之、土屋禮一〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代の水墨画 I

富山県水墨美術館　2000 年 9 月

石丸正運：「現代の水墨画 I」によせて

福井文夫：墨の復権――精神の回復を求めて

毛利武彦、平川敏夫、小泉淳作、中野弘彦、加山又造、小山硬、伊藤彬、田渕俊夫、平松礼二、中野嘉之、土屋禮一：〔作家のことば〕

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、横浜美、国会図、都中図

現代の水墨画 2004〈墨の可能性とあらたなる創造〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 2 月 13 日－3 月 21 日　富山県水墨美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送

出品：平川敏夫、中野弘彦、伊藤彬、齋藤隆、中野嘉之、箱崎睦昌、梅原幸雄、鈴木敬三、菅原健彦、浅見貴子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代の水墨画 2004〈墨の可能性とあらたなる創造〉

富山県水墨美術館　2004 年 2 月

福井文夫：墨、〈棄てる〉力の復活

浅地 豊：水墨画の魅力と出品作品について

平川敏夫、中野弘彦〔再録〕、伊藤彬、齋藤隆、中野嘉之、梅原幸雄、鈴木敬三、菅原健彦、浅見貴子：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、国会図

現代の水墨画 2009〈水墨表現の現在地点〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 1 月 30 日－3 月 22 日　富山県水墨美術館／4 月 21 日－5 月 31 日　練馬区立美術館

主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送〔巡回 2-1〕

出品：伊藤彬、中野嘉之、箱崎睦昌、正木康子、八木幾朗、呉一騏、尾長良範、浅見貴子、マツダジュンイチ、三瀬夏之介、田中みぎわ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

現代の水墨画 2009〈水墨表現の現在地点〉

富山県水墨美術館・練馬区立美術館　2009 年 1 月

内山武夫：「現代の水墨画」に寄せて

八木宏昌：「水墨画」…重き流れの中から

野地耕一郎：新たな眼差しで「水墨」を見てみる

伊藤彬、中野嘉之、箱崎睦昌、正木康子、八木幾朗、呉一騏、尾長良範、浅見貴子、マツダジュンイチ、三瀬夏之介、田中みぎわ：アンケート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

高岡市美術館（高岡市立美術館）

第 7 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：徳島展；1973 年 9 月 29 日－10 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；10 月 20 日－11 月 4 日　高岡市立美術館／奈良展；11 月 11 日－25 日　奈良県立美術館／滋賀展；12 月 1 日－16 日　滋賀県立琵琶湖文化館

主催：文化庁・富山県教育委員会・高岡市立美術館・北日本新聞社〔巡回 4-2〕

――→徳島県郷土文化会館〔巡回 4-1〕

変貌する世界――日本の現代絵画 1945 年以後 ●

欧文タイトル：「THE WORLD IN TRANSITION PAINTING IN JAPAN SINCE 1945」

会期：1997 年 11 月 1 日－12 月 7 日　高岡市美術館／1998 年 2 月 7 日－3 月 8 日　米子市美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館・富山県・富山教育委員会・高岡市・高岡市教育委員会・高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館〔巡回 2-1〕

出品：第 1 章 変貌する絵画；北脇昇、荒井龍男、金山康喜、田中忠雄、瑛九、石井茂雄、麻生三郎、村井正誠、前田常作、藤松博、菊畑茂久馬、岡本太郎、井上長三郎、木村忠太、嶋田しづ、三尾公三、猪熊弦一郎、岡本信治郎、宇佐美圭司。第 2 章 行為とその軌跡；今井俊満、杉全直、田淵安一、斎藤義重、津高和一、元永定正、白髪一雄、須田剋太、難波田龍起、吉原治良、田中敦子。第 3 章 構成と反復；山口長男、宮脇愛子、菅井汲、川島猛、桑山忠明、オノサト・トシノブ、阿部展也、山田正亮、岡田謙三、川端実、高橋秀、中里斉、百瀬寿。

第 4 章「絵画」再考――1970 年代以降 ; 中西夏之、李禹煥、荒川修作、小林正人、鈴木省三、松本陽子、秋岡美帆、堀浩哉、榎倉康二、辰野登恵子、野見山暁治、岩本拓郎〔作品目録順〕

〇展覧会カタログ

変貌する世界――日本の現代絵画 1945 年以後　　東京国立近代美術館編

高岡市美術館・米子市美術館　1997 年 11 月　平成 9 年度国立博物館・美術館巡回展

松本透：変貌する世界／変貌する絵画

大谷省吾、尾﨑信一郎、家村珠代、本江邦夫：〔章解説〕

大谷省吾、家村珠代、本江邦夫、宮崎直子、松本透、河本信治、永井隆則、島敦彦、池田祐子、千葉成夫、中西博之、小林昌夫、加藤類子、山野英嗣、尾野正晴、島田康寛：作品目録・解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

女性アーティスト展 私たちは越えていく ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 6 月 15 日－7 月 15 日　高岡市美術館　主催：高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館、北日本新聞社

出品：嶋田しづ、多田美波、宮脇愛子、草間彌生、久保田成子、出光真子、石内都〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

女性アーティスト展 私たちは越えていく

高岡市美術館　2013 年 6 月 13 日

小勝禮子：日本の美術館における女性アーティスト展開催の経緯と未来への可能性

宝田陽子：私たちは越えていく－7 人のアーティストたち

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

メタルズ!〈変容する金属の美〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 6 月 28 日－8 月 31 日　高岡市美術館／9 月 11 日－10 月 19 日　碧南市藤井達吉現代美術館／11 月 1 日－12 月 23 日　北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いのちのたび博物館)／2015 年 1 月 24 日－3 月 8 日　新潟市新津美術館

主催：高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館・メタルズ!実行委員会・北日本新聞社、共催：高岡市・高岡市教育委員会・NHK プラネット中部〔巡回 4-1〕

出品：第 2 部 近現代彫刻・造形 ; 朝倉文夫、堀内正和、野水信、村岡三郎、若林奮、堀川恭、村上炳人、久野真、石黒鏘二、柳原義達、舟越保武、佐藤忠良、向井良吉、多田美波、宮脇愛子、清水九兵衛、土谷武、吾妻兼治郎、保田春彦、米林雄一〔作品目録順〕

註：出品欄は「第 2 部 近現代彫刻・造形」の戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

『メタルズ!〈変容する金属の美〉』図録　　高岡市美術館編

メタルズ!実行委員会　2014 年 6 月 28 日
村上 隆：「メタルズ!〈変容する金属の美〉」に寄せて
横山秀樹：新潟県の蝋型鋳金
松井和幸：鉄の歴史
山本成子：林忠正と《十二の鷹》
村上 隆：〔基本コンセプトについて〕
山本成子、竹内唯：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

入善町下山芸術の森発電所美術館

瀧口修造の眼――戦後の作家たち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2001 年 7 月 15 日－9 月 16 日　入善町下山芸術の森発電所美術館　主催：入善町・入善町教育委員会、共催：富山県立近代美術館・北日本新聞社
出品：靉嘔、赤瀬川原平、麻生三郎、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、池田満寿夫、泉茂、井上武吉、今井俊満、宇佐美圭司、瑛九、岡崎和郎、オノサト・トシノブ、小野忠弘、小山田二郎、櫃尾正次、加納光於、河原温、北代省三、草間彌生、久保田成子、合田佐和子、駒井哲郎、斎藤義重、篠原有司男、菅井汲、高松次郎、多田美波、東野芳明、堂本尚郎、利根山光人、中川幸夫、中西夏之、野中ユリ、浜田知明、細江英公、堀内正和、前田常作、松澤宥、三木富雄、水谷勇夫、宮脇愛子、向井良吉、村井正誠、山口勝弘、山口長男、横尾忠則、吉村益信〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
瀧口修造の眼――戦後の作家たち
入善町教育委員会　2001 年 7 月
長縄 宣：影像の深淵－瀧口修造の批評眼
所蔵：□、国新美、神近美、和光大

石川県

石川県立美術館

戦後日本の具象美術〈見えるものへのこだわり〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1994 年 10 月 5 日－23 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館
出品：日本画；池田遙邨、上村松篁、奥村土牛、小倉遊亀、小野竹喬、片岡球子、加山又造、小松均、杉山寧、髙山辰雄、徳岡神泉、中村貞以、中村正義、西山英雄、橋本明治、稗田一穂、東山魁夷、福田豊四郎、森田曠平、山口華楊、山本丘人、横山操、吉岡堅二。油彩画；

糸園和三郎、牛島憲之、海老原喜之助、香月泰男、金山平三、鴨居玲、鬼頭鍋三郎、熊谷守一、小磯良平、小絲源太郎、島田章三、清水錬徳、新道繁、曾宮一念、高光一也、田村一男、田村孝之介、鳥海青児、寺内萬治郎、東郷青児、中村研一、中山巍、西山真一、林武、福沢一郎、藤本東一良、南政善、宮本三郎、向井潤吉、森本仁平、森芳雄、吉井淳二。版画；池田満寿夫、木村光佑、中林忠良、野田哲也、長谷川潔、浜口陽三、浜田知明、吉田穂高、吉原英雄。彫刻；畝村直久、圓鍔勝三、菊池一雄、木内克、木下繁、木村珪二、桜井祐一、佐藤忠良、清水多嘉示、高田博厚、千野茂、富永直樹、豊福知徳、畫間弘、舟越保武、本郷新、松田尚之、峯孝、柳原義達、山本豊市、淀井敏夫〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

戦後日本の具象美術〈見えるものへのこだわり〉

石川県立美術館　1994 年 10 月

末吉守人、西田孝司、二木伸一郎、谷口出：時空を超えて、具象の今日

谷口出、織田春樹、二木伸一郎、西田孝司：作家・作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、愛芸文、京都学、国会図

黒の迷宮〈凝視の刻〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 1 月 4 日－2 月 5 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館、共催：北國新聞社

出品：木下晋、小林敬生、日和崎尊夫〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

黒の迷宮〈凝視の刻〉

石川県立美術館　2006 年 1 月

木下晋、小林敬生、日和崎尊夫：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美

新紀元 革新の視座〈加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎の創造〉●

欧文タイトル：「Creation of Takeshi Kagaya, Susumu Kinoshita, Kenji Kuze, Raikan Shoda, Shugoro Hasuda」

会期：2014 年 4 月 20 日－5 月 18 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館

出品：加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

新紀元 革新の視座〈加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎の創造〉

石川県立美術館　2014 年 4 月 20 日

嶋崎丞、寺尾健一、二木伸一郎：論考 作家と作品

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

金沢 21 世紀美術館

21 世紀の出会い－共鳴、ここ・から ●

欧文タイトル：「The Encounters in the 21st Century：Polyphony－Emerging Resonances」
会期：2004 年 10 月 9 日－2005 年 3 月 21 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館
出品：A-POC(三宅一生＋藤原大)、できやよい、藤浩志、藤幡正樹＋銅金裕司、石渡誠、川崎和男、須田悦弘、山本基、ヤノベケンジ、横山宏〔図版収載順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
21 世紀の出会い－共鳴、ここ・から 展覧会ガイド
金沢 21 世紀美術館　2004 年 10 月 9 日　開館記念展
長谷川祐子：「21 世紀の出会い－共鳴、ここ・から」展によせて
村田大輔、長谷川祐子、大橋浩美、吉岡恵美子、越前俊也、鷲田めるろ、木村健、黒沢伸、北出智恵子：〔作品解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○関連書籍
21 世紀の出会い――共鳴、ここ・から　　企画：金沢 21 世紀美術館
淡交社　2004 年 10 月 28 日
蓑 豊：序――生活の中の美術
ポール・ヴィリリオ：破滅の進行
長谷川祐子：ポリフォニー
ベンジャミン・H.D.ブクロー：抽象概念の宇宙的な具象化――オロスコの写真作品
パウロ・エルケンホフ：ブラジル／視点
ハンス＝ウルリッヒ・オブリスト：新しい〈共有〉の可能性――都市・建築・アートの試み
住友文彦：映像の中へ――私たちと同時代の美術がもつ可能性
北澤憲昭：手仕事――美術における盲目性、もしくは人間の条件
リクリット・ティラヴァーニャ＋中沢新一：往復書簡
フランソワ・ロッシュ＋妹島和世＋西沢立衛：鼎談
マシュー・バーニー、聞き手・長谷川祐子：インタヴュー
長谷川祐子、鷲田めるろ、村田大輔：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●
欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」
会期：2004 年 6 月 11 日－7 月 11 日　神戸・兵庫県立美術館／9 月 11 日－10 月 17 日　いわき市立美術館／10 月 30 日－12 月 19 日　葉山・神奈川県立近代美術館／2005 年 1 月 4 日－2 月 27 日　盛岡・岩手県立美術館／4 月 23 日－5 月 22 日　金沢 21 世紀美術館
主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術

館連絡協議会〔巡回 5-5〕

――→兵庫県立美術館〔巡回 5-1〕

もうひとつの楽園 ●

欧文タイトル：「Alternative Paradise」

会期：2005 年 11 月 5 日－2006 年 3 月 5 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館、金沢・世界工芸フォーラム開催委員会、金沢市

出品：招待作家；秋山陽、マギー・カルデルス、ジャナン・ダグデレン、アンジェロ・フィロメーノ、金沢健一、北川宏人、村山留里子、中村哲也、嵯峨篤、アン・ウィルソン、ソフィ・ジェズマー、藤澤直人、原研哉、岩井俊雄、隈研吾。スタジオ・プロダクト作家；相川繁隆、福嶋則夫、原田実、畠山耕治、干田浩、石田巳代治、角偉三郎、川本敦久、木場紀子、北出不二雄、艸田正樹、前史雄、毎田健治、宮崎寒雉、村田百川、村田佳彦、室田芳子、中川衛、中町博志、中村基克、中村卓夫、中野孝一、大場松魚、扇田克也、大樋長左衛門、大樋年雄、坂下直大、戸出克彦、徳田八十吉、辻和美、魚住為楽、彌永秀一、米田豊也、米山央、吉田美統〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

もうひとつの楽園

金沢 21 世紀美術館　2005 年 11 月　英文併載

蓑 豊：はじめに

不動美里：生成のプロセスの只中にあるもの

吉岡恵美子：触知のまなざしが結ぶ「生」のかたち

不動美里、吉岡恵美子：〔作家論〕

隈研吾、深澤直人、原研哉、岩井俊雄：〔解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

「メビウスの卵展 15 年の挑戦・光とアートランド」●

欧文タイトル：「Eggs of Möbius　Science in Art Exhibition in Kanazawa」

会期：2006 年 3 月 18 日－26 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

註：上記リーフレットには出品目録が無いため出品作家は未詳。

〇展覧会カタログ

「メビウスの卵展 15 年の挑戦・光とアートランド」展覧会リーフレット

金沢 21 世紀美術館　2006 年 3 月 18 日　1 枚(二ツ折両面刷)

石黒敦彦：メビウスの卵展 15 年の挑戦

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

リアル・ユートピア～無限の物語 ●

欧文タイトル：「Real Utopia～Stories of the Unlimited」

会期：2006 年 11 月 23 日－2007 年 3 月 21 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：イ・ブル、草間彌生、岸本清子、木村太陽〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

リアル・ユートピア～無限の物語

金沢 21 世紀美術館　2006 年 11 月 22 日

村田大輔：リアル・ユートピア～無限の物語

岩田信市インタビュー、聞き手・村田大輔：岸本清子とその時代

村田大輔、橋爪真紀：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

愛についての 100 の物語 ●

欧文タイトル：「Hundred Stories about Love」

会期：2009 年 4 月 29 日－8 月 30 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館、共催：北國新聞社

出品：粟津潔、粟津美穂、チェルフィッチュ、舟越桂、浜田剛爾、一柳慧、イトー・ターリ、金沢不満合唱団、姜尚中、川上未映子、川崎和男、木村太陽、岸本清子、みかん電鉄、森村泰昌、村田仁、奥田扇久、坂田靖子、島袋道浩、塩田千春、鈴木昭男、鈴木ヒラク、詫間のり子、谷川俊太郎、照屋勇賢、東郷健、土橋とし子、牛嶋均、山本基、山折哲雄、山下洋輔、山崎つる子、横溝静、湯浅誠〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家(造形作家、文学者、学者、活動者ら)を収載。

〇展覧会カタログ

愛についての 100 の物語

金沢 21 世紀美術館　2009 年 7 月 1 日　開館 5 周年記念展

不動美里：愛についての 100 の物語

不動美里、黒澤浩美、北出智恵子、村田大輔、平林恵、高嶋雄一郎、立松由美子、吉岡恵美子：作家・作品解説、作家略歴

粟津美穂、アーティスト D85、谷川俊太郎：〔作家のことば・詩〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

内なる声 ●

欧文タイトル：「Inner Voices」

会期：2011 年 7 月 30 日－11 月 6 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：イー・イラン、塩田千春、ジェマイマ・ワイマン、キム・ソラ、シルパ・グプタ、呉夏枝、ワー・ヌ、藤原由葵、メリッサ・ラモス〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

内なる声

ACCESS　2011 年 7 月 29 日　英文併載

黒澤浩美：Inner Voices－内なる声

上野千鶴子：女の時代・女のアート いま、アジアで女であるとはどういうことか?

福岡伸一：生命の、内なる声

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

工芸未来派 ●

欧文タイトル：「ART CRAFTING TOWARDS THE FUTURE」

会期：2012 年 4 月 28 日－8 月 31 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：青木克世、猪倉髙志、北村辰夫、大樋年雄、桑田卓郎、竹村友里、中村康平、中村信喬、野口春美、葉山有樹、見附正康、山村慎哉〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

工芸未来派

金沢 21 世紀美術館　2012 年 4 月 26 日

秋元雄史：「工芸未来派」の背景となる考え方――今なぜ工芸の現代美術化が必要なのか?

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

ソンエリュミエール－物質・移動・時間 ●

欧文タイトル：「Son et Lumière-Material, Transition, Time」

会期：2012 年 4 月 28 日－11 月 4 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：木村太陽、岸本清子、サイトウ・マコト、田嶋悦子、草間彌生、秋山陽、粟津潔、パトリック・ブラン＋日比野克彦〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

ソンエリュミエール 物質・移動・時間、そして叡智

フォイル　2013 年 2 月 1 日

サイトウ・マコト、秋山陽、チン↑ポム、鈴木ヒラク、日比野克彦、村上隆、梅田哲也：〔作家トーク、ことば〕

北出智恵子、村田大輔、不動美里、平林薫：作家プロフィール

北出智恵子：時を経て生く創造者

註：本展覧会カタログは「ソンエリュミエール、そして叡智」展と共用。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

ソンエリュミエール、そして叡智 ●

欧文タイトル：「Son et Lumière, et sagesse profonde」

会期：2012 年 9 月 15 日－2013 年 3 月 17 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：木村太陽、草間彌生、チン↑ポム、鈴木ヒラク、奈良美智、パトリック・ブラン＋日比野克彦、日比野克彦、村上隆、梅田哲也〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

ソンエリュミエール 物質・移動・時間、そして叡智

フォイル　2013 年 2 月 1 日

サイトウ・マコト、秋山陽、チン↑ポム、鈴木ヒラク、日比野克彦、村上隆、梅田哲也：〔作家トーク、ことば〕

北出智恵子、村田大輔、不動美里、平林薫：作家プロフィール

北出智恵子：時を経て生く創造者

註：本展覧会カタログは「ソンエリュミエール－物質・移動・時間」展と共用。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

内臓感覚－遠クテ近イ生ノ声 ●

欧文タイトル：「Visceral Sensation－Voices So Far, So Near」

会期：2013 年 4 月 27 日－9 月 1 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：ルイーズ・ブルジョワ、長新太、ナタリー・ユールベリ&ハンス・ベリ、加藤泉、草間彌生、アナ・メンディエータ、中川幸夫、サスキア・オルドウォーバース、オル太、ピピロッティ・リスト、志賀理江子、ビル・ヴィオラ、渡辺菊眞〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

内臓感覚－遠クテ近イ生ノ声

赤々舎　2013 年 4 月 27 日　英文併載

三木成夫：〔ことば〕　再録

今福龍太：内臓というこだまに呼ばれて

吉岡恵美子：響け、内なる声よ 聴け、「遠くて近い声」を

吉岡恵美子：作家解説

吉岡恵美子、加世多美怜、齋藤雅宏編：略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

ジャパン・アーキテクツ 1945－2010〈開館 10 周年記念特別展〉 ●

欧文タイトル：「JAPAN ARCHITECTS 1945－2010」

会期：2014 年 11 月 1 日－2015 年 3 月 15 日　金沢 21 世紀美術館　ゲスト・キュレーター：五十嵐太郎・山崎亮、主催：金沢 21 世紀美術館、ポンピドゥ・センター パリ国立近代美術館

出品：磯崎新、白井晟一、前川國男、坂倉準三、増沢洵、吉阪隆正、海老原一郎、アントニン・レーモンド、大江宏、村野藤吾、吉村順三、丹下健三、谷口吉郎、菊竹清訓、渡邊洋治、大髙正人、林昌二、ル・コルビュジエ、芦原義信、清家清、林(山田)雅子、黒川紀章、槇文彦、大谷幸夫、内田祥哉、高橋靖一、原広司、中嶋龍彦、伊坂芳太良、西山夘三、神谷宏治、福田朝生、上田篤、村田豊、横尾忠則、生田勉、進来廉、山下和正、竹山実、重田良一、毛綱毅曠、六角鬼丈、倉本龍彦、石山修武、相田武文、長谷川逸子、早川邦彦、谷口吉生、藤井博巳、坂本一成、伊東豊雄、山本理顕、篠原一男、北川原温、水谷頴介、高月昭子、東孝光、

鈴木恂、安藤忠雄、鈴木了ニ、高松伸、妹島和世、青木淳、アトリエ・ワン、乾久美子、石上純也、遠藤秀平、佐藤光彦、隈研吾、妹島和世＋西沢立衛／SANAA、髙崎正治、中村拓志、市川創太／ダブルネガティヴスアーキテクチャー、武井誠＋鍋島千恵／TNA、手塚貴晴／手塚由比、内藤廣、永山祐子、西沢立衛、坂茂、藤本壮介、平田晃久、藤森照信、みかんぐみ、渡辺誠、山下保博／アトリエ・天工人〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

ジャパン・アーキテクツ 1945－2010〈開館 10 周年記念特別展〉

新建築社・金沢 21 世紀美術館　2014 年 10 月 31 日　英文併載　『新建築』第 89 巻第 14 号別冊

フレデリック・ミゲルー：日本建築の来たるべきアイデンティティ

磯崎 新：「わ」空間の建築家

フレデリック・ミゲルー：展覧会の構成

植田 実：建築の本当と絵空事

今村創平：日本現代建築の諸相：モダニズムとラディカリズムの往還

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、和光大、国会図、都中図

「ジャパン・アーキテクツ 3.11 以後の建築」展

欧文タイトル:「Architecture since 3.11　New relationships between society and architects」

会期：2014 年 11 月 1 日－2015 年 5 月 10 日　金沢 21 世紀美術館　ゲスト・キュレーター：五十嵐太郎・山崎亮、主催：金沢 21 世紀美術館

出品：伊東豊雄、乾久美子、藤本壮介、平田晃久、畠山直哉、坂茂、三分一博志、竹内昌義、馬場正尊、青木淳、新居千秋、工藤和美、藤村龍至、小津誠一、宮下智裕、松田達、光嶋裕介、岡啓輔、西村浩〔同館 HP の出品リストの個人作家を収載〕

〇展覧会カタログ

五十嵐太郎・山崎亮編著：3.11 以後の建築〈社会と建築家の新しい関係〉

学芸出版社　2014 年 11 月 15 日

五十嵐太郎、山崎亮：「3.11 以後の建築」展に寄せて

註：この書物は本展の関連書籍として出版されたもので、上記の一文は本展に直截的に触れた部分である。

所蔵：□、東近美、都現美、東大駒、和光大、国会図、都中図

われらの時代〈ポスト工業化社会の美術〉●

欧文タイトル：「In Our Time：Art in Post-industrial Japan」

会期：2015 年 4 月 25 日－8 月 30 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：大久保あり、金氏徹平、宇川直宏、小金沢健人、泉太郎、三瀬夏之介、束芋、スプツニ子!、八木良太、アルマ望遠鏡プロジェクト〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

われらの時代〈ポスト工業化社会の美術〉

金沢 21 世紀美術館　2015 年 4 月 25 日　英文併載

秋元雄史：「ザ・コンテンポラリー1 われらの時代：ポスト工業化社会の美術」によせて

内田 樹：21 世紀の 15 年を回顧する

鷲田めるろ、星野太、北田暁大、津田大介、福住廉：キーワードで語る“われらの時代”

大久保あり：〔作家のことば〕

北出智恵子、黒澤浩美、中田耕市、鷲田めるろ、内呂博之、高橋律子、米田晴子：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

ザ・コンテンポラリー2 誰が世界を翻訳するのか ●

欧文タイトル：「The Contemporary 2　Who interprets the world?」

会期：2015 年 9 月 19 日－12 月 13 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：照屋勇賢

〇展覧会カタログ

ザ・コンテンポラリー2 誰が世界を翻訳するのか

マイブックサービス　2015 年 11 月 21 日　英文併載

真島一郎：翻訳論 ver・2015――生の振幅をめぐる賭け

黒澤浩美：誰が世界を翻訳するのか――新しい歴史の地平のために

照屋勇賢：「On Okinawa、過去と未来からのコレクション」展

註：本展に出品された日本作家は照屋勇賢ひとりなので、メイン論文と照屋に関する論考、記録を記載し、出品欄も 1 名のみ収載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

起点としての 80 年代 ●

欧文タイトル：「Starting Points：Japanese Art of the ’80s」

会期：2018 年 7 月 7 日－10 月 21 日　金沢 21 世紀美術館／11 月 3 日－12 月 16 日　高松市美術館／2019 年 1 月 5 日－3 月 24 日　静岡市美術館

主催：金沢 21 世紀美術館〔巡回 3-1〕

出品：I メディウムを巡って；岡崎乾二郎、諏訪直樹、辰野登恵子、戸谷成雄、中原浩大、中村一美。II 日常とひそやかさ；今村源、杉山知子、日比野克彦、舟越桂、吉澤美香。III 関係性；川俣正、藤本由紀夫、松井智惠、宮島達男。IV 記憶・アーカイヴ・物語；石原友明、大竹伸朗、森村泰昌、横尾忠則〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

起点としての 80 年代

マイブックサービス　2018 年 7 月 7 日

鷲田めるろ：1980 年代の日本美術における批判的地域主義

牧野裕二：中原浩大とは何かーイメージ、持ち物、こども

伊藤 鮎：それぞれの、もう一つの起点－横尾忠則、大竹伸朗、日比野克彦の 80 年代

以倉 新：80 年代についての一考察

鷲田めるろ、以倉新、牧野裕二、伊藤鮎：章解説・作家解説

松井智惠：森・根・支持
峯村敏明：言語／制度／時として詩
谷 新：80 年代日本／美術の成果－70 年代のミニマリズムを超えて
建畠 哲：転換期としての 80 年代
飯沢耕太郎：「日本写真」の 1980 年代
北澤憲昭：汎化されたアヴァンギャルドー「美術の 1980 年代」試論
小池一子：オルタナティブをめざすということ
篠原資明：ヤワコいアートへー関西ニューウェーヴ考
島 敦彦：1980 年代遠望－メディア・アート周辺雑記
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

石川県七尾美術館

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館／山口展；11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日　石川県七尾美術館／秋田展；2 月 3 日－18 日　秋田県立近代美術館／岩手展；2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館
主催：文化庁・石川県教育委員会・財団法人七尾美術館〔巡回 6-4〕
――→浦添市美術館〔巡回 6-1〕

小松市民ギャラリー・ルフレ

第 31 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：愛知展；1998 年 1 月 23 日－2 月 8 日　一宮スポーツ文化センター／石川展；2 月 14 日－28 日　小松市民ギャラリー・ルフレ／岡山展；3 月 8 日－22 日　タカヤ文化財団華鴒美術館
主催：文化庁・石川県・石川県教育委員会・小松市教育委員会・小松市立本陣記念美術館〔巡回 3-2〕
――→一宮スポーツ文化センター〔巡回 3-1〕

福井県

福井県立美術館

第 12 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福井展；1978 年 10 月 22 日－11 月 5 日　福井県立美術館／大分展；11 月 21 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館／兵庫展；12 月 9 日－22 日　尼崎市総合文化センター 美術ホール／千葉展；1979 年 1 月 9 日－21 日　千葉県立美術館

主催：文化庁・福井県教育委員会・福井県立美術館〔巡回 4-1〕

出品：日本画；小泉淳作、田中青坪、三谷青子。洋画；須田寿、日野耕之祐。版画；黒崎彰。彫刻；松尾光伸、山縣寿夫、若林奮〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 12 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1978 年 10 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、国会図

土岡秀太郎と北荘・北美と現代美術 ●

欧文タイトル：「AVANT-GARDE MOVEMENT IN FUKUI」

会期：1983 年 3 月 5 日－27 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

出品：I 未来派・三科の衝撃と北荘画会の創立(1922)。II 北荘画会とその周辺。III 1930 年協会と初期独立－第 2 回独立美術展(1932)開催前後。IV アニマ展(1935)と海外超現実主義作品展(1937)の開催。V 北荘時代の洋画講習会。VI 北荘の再建と旭亮弘。VII 北美文化協会の創立と児童画運動；北川民次、木水育男、水野忠、川上高徳、渡辺(大畑)昭子、野々目桂三、高橋昇、徳田祐夫、中西肇。VIII 北美文化協会(1950 年代)；河合イサム、板本孝、堤野学、藤田哲郎、橿尾(牧野)道子、盆出省、越石幸子、鈴木(水口)友子。IX 北美時代の美術講習会；中村徳三郎、阿部展也、川口軌外、鳥海青児、古沢岩美、岡本太郎、村井正誠、松崎真一、難波田龍起、小野忠弘、藤沢典明、福沢一郎、末松正樹、井上長三郎。X 八田豊と橿尾正次；八田豊、橿尾正次。XI 北美文化協会(1960 年代)；矢野正治、山本圭吾、河合イサム(重)、猪坂一、山本広、五十嵐彰雄、田中(飯田)教子、杉本(時岡)泰子、村松達也、田主誠。XII 土岡秀太郎をめぐる美術交流；小牧源太郎、津高和一、森本紀久子、篠原有司男、吉村益信、小島信明、斎藤義重、三尾公三、李禹煥、阿部展也(重)、前田常作、三上誠、冨田惣七。XIII 北美文化協会(1970 年代)；松原龍夫、長谷光城、河合イサム(重)、貫井泰一郎、佐藤(後)啓子、土屋圀代、阿部莉江子、大橋孝子、前沢広道、松宮喜代勝〔出品目録順〕

註：VI 章までは戦前作品で、ただし小山田二郎《鳥女》1956、玉村晋一《くもり日の寺(東別院)》1948、上出(島田)穂美《風景》c.1948 が含まれる。VII 章から戦後の作品だが北川民次は戦前作品となっている。

〇展覧会カタログ

土岡秀太郎と北荘・北美と現代美術図録

福井県立美術館　1983 年 3 月　開館 5 周年記念特別企画

藤沢典明：土岡氏とのこと

針生一郎：土岡秀太郎―芸術運動家の足跡

土岡秀一：土岡秀太郎について

神原正明：北荘・北美と戦前・戦後の美術

神原正明編：北荘・北美関係年表

松村忠祀、貴志真人、八百山登、清水純一郎、神原正明：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

Art Today Exhibition ’86 in FUKUI ●

和文タイトル：「福井アート・トゥディ’86」

会期：1986 年 5 月 15 日－25 日　福井県立美術館　主催：福井アート・フォーラム・福井新聞社・福井県立美術館

出品：五十嵐彰雄、下島さとみ、土屋公雄、長谷光城、中野千華、松宮喜代勝〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

Art Today Exhibition ’86 in FUKUI

福井アート・フォーラム　1986 年 5 月 15 日

荒井由泰、吉田耿介、重達夫：ごあいさつ

土岡秀一：動機ハ単純ダッタ。私タチガ見タイ展覧会ヲ自分タチノ手デ開イテミタイ、トイウコトダ。

天谷信之：作品へ――オブジェの解体〈企画展のテーマについて〉

五十嵐彰雄、下島さとみ、土屋公雄、長谷光城、中野千華、松宮喜代勝：〔作家インタビュー〕

佐野周一、上木孝、天谷信之、土岡秀一、青山直弘、伊与登志雄：〔作家インタビュー〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大

日本のポップ展〈1960 年代〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 3 月 6 日－29 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

出品：横尾忠則、森山大道、石津謙介

○展覧会カタログ

日本のポップ展〈1960 年代〉カタログ

福井県立美術館　1992 年 3 月

後々田寿徳：序文

加藤エリヤ、後々田寿徳、野田訓生、稲増龍太、篠雅廣：論考〔’60S TV カルチャー／特撮空想科学映画／横尾忠則／森山大道／グループサウンズ／VAN／玩具の諸相／マツダ R360 クーペ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美

知覚するかたち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 7 月 28 日－8 月 20 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

出品：棚沢順、杉原敏昭、橋本真之、白髪一雄、森岡祥倫、加藤智彦、橿尾正次、鈴木恂、丑久保健一、金沢健一、高田洋一〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

知覚するかたち

福井県立美術館　2000 年 7 月

佐々木正人：「かたち」を知覚するとき

森岡祥倫：隔たり・響き・生きられた身体

西村直樹：知覚するかたち

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 7 月 11 日－9 月 21 日　周南市美術博物館／12 月 13 日－2004 年 2 月 1 日　三鷹市美術ギャラリー／3 月 5 日－28 日　福井県立美術館

主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・福井県立美術館〔巡回 3-3〕

――→周南市美術博物館〔巡回 3-1〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：福井県立美術館〔巡回 9-8〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

福井市美術館

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　福井市美術館／9 月 3 日－10 月 9 日　新潟市新津美術館／10 月 17 日－11 月 20 日　八幡浜市民ギャラリー／11 月 26 日－2006 年 1 月 15 日　周南市美術博物館

主催：福井市美術館・第 6 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-1〕

出品：赤瀬川原平、太田三郎、岡部昌生、小谷元彦、甲斐雅之、河口龍夫、河原温、草間彌生、佐藤時啓、澤田知子、しばたゆり、白髪一雄、高松次郎、殿敷侃、野村仁、福田美蘭、藤浩志、やなぎみわ、柳幸典、ヤノベケンジ、李禹煥〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉

第 6 回共同巡回展実行委員会　2005 年 7 月　平成 17 年度市町村立美術館等活性化事業・第 6 回共同巡回展　カード編共(ケース入)

岡本芳枝：「現代美術はわかりにくい」か?

松本久美子、荒井直美、井上千秋、河野泰久：作家・作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 6 月 10 日－7 月 17 日　八王子市夢美術館／7 月 28 日－9 月 10 日　倉敷市立美術館／9 月 30 日－10 月 29 日　福井市美術館／11 月 18 日－12 月 24 日　安城市民ギャラリー

主催：福井市美術館・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-3〕

――→八王子市夢美術館〔巡回 4-1〕

山梨県

山梨県立美術館

現代美術百貨展 ●

欧文タイトル：「Department Store of Contemporary Art」

会期：2000 年 6 月 17 日－8 月 16 日　甲府・山梨県立美術館　主催：山梨県立美術館・現代美術百貨展実行委員会

出品：山口晃、やなぎみわ、草間彌生、太郎千恵藏、伊藤知香、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、高松次郎、小谷元彦、福田繁雄、柳幸典、福田美蘭、豊嶋康子、荒木高子、西村陽平、笠井千鶴、篠原有司男、吉村益信、間島領一、森村泰昌、赤瀬川原平、河原温、靉嘔、久保田成子、オノ・ヨーコ、村上隆、テクノクラート、清水晃〔図版リスト順〕

○展覧会カタログ

現代美術百貨展

山梨県立美術館・現代美術百貨展実行委員会　2000 年 6 月　別冊・辞典共 3 冊

篠原資明：〈商品〉をめぐるヴァリエーション――商品と作品との間を思考するために

神野真吾：現代美術百貨展で現代美術に強くなる!

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

現代美術百貨展 別冊

山梨県立美術館・現代美術百貨展実行委員会　2000 年 6 月

島田紀夫：ようこそ、現代美術百貨展へ。

神野真吾：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

現代美術百貨辞典

山梨県立美術館　2000 年 6 月 17 日

島田紀夫：ようこそ、現代美術百貨展へ。
神野真吾、小田切武：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

美し、やまなし、パワー!〈山梨の女性アーティストたち〉●
欧文タイトル：「UTSUKUSHI YAMANASHI POWER!」
会期：2016 年 6 月 25 日－8 月 21 日　甲府・山梨県立美術館　主催：山梨県立美術館
出品：竹田春子、桑原浜子、佐野智子、小林一枝、堀内洋子、五味祥子、八代美紀、鈴木美江、安藤峯子、宇野さおり、窪咲子、ナカノ 163、松田百合子、村岡由梨、小川リヱ、団野雅子、浅川洋、秋山泉、早野恵美、徳丸鏡子、丸山純子、秋山早苗、古屋真知子、青島みどり、柴田文江、山本鈴美香〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。
○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕
美し、やまなし、パワー!〈山梨の女性アーティストたち〉
山梨県立美術館　2016 年 6 月 24 日
小勝禮子：日本の女性美術家たち－活動と評価の歴史
森川もなみ、平林彰、高野早代子：章解説、作家解説
堀内洋子、五味祥子、八代美紀、鈴木美江、安藤峯子、宇野さおり、窪咲子、ナカノ 163、松田百合子、村岡由梨、小川リヱ、団野雅子、浅川洋、秋山泉、徳丸鏡子、丸山純子、秋山早苗、古屋真知子、柴田文江、山本鈴美香：アンケート
森川もなみ：山梨における女性アーティストをめぐる歴史
森川もなみ編：山梨県立美術館において過去に紹介された女性アーティスト
高野早代子：佐野智子を中心とした山梨の女性作家の活動について
森川もなみ編：関連年表
森川もなみ編：主要参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

河口湖美術館

ワンダフル・マイ・アート〈高橋コレクションの作家たち〉●
欧文タイトル：「Wonderful My Art　Selected artists from TAKAHASHI COLLECTION」
会期：2013 年 4 月 14 日－9 月 16 日　河口湖美術館　主催：河口湖美術館・山梨日日新聞・山梨放送、共同企画：本庄俊男(彩鳳堂画廊)・ミヅマアートギャラリー
出品：安藤正子、池田光弘、大畑伸太郎、加藤泉、加藤美佳、草間彌生、桑久保徹、鴻池朋子、五木田智央、近藤亜樹、千葉正也、天明屋尚、戸田沙也加、名知聡子、奈良美智、西尾康之、濱田樹里、町田久美、山口晃〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
ワンダフル・マイ・アート〈高橋コレクションの作家たち〉

サンエムカラー　2013 年 4 月
高橋龍太郎：ごあいさつ
高橋龍太郎×三潴末雄：My Art――高橋コレクションを語る
所蔵：□、和光大

長野県

長野県信濃美術館

第 5 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：長野展；1971 年 9 月 19 日－10 月 3 日　長野県信濃美術館／静岡展；10 月 14 日－21 日　静岡県民会館／広島展；10 月 30 日－11 月 14 日　広島県立美術館／福岡展；11 月 23 日－12 月 5 日　福岡県文化会館美術館
主催：文化庁・長野県教育委員会〔巡回 4-1〕
出品：日本画；佐藤太清、松尾敏男。洋画；糸園和三郎、楢原健三。版画；吹田文明。彫刻；大須賀力〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買い上げ作品の作家のみ収載。
○展覧会カタログ
第 5 回現代美術選抜展
〔文化庁〕　1971 年 9 月
所蔵：□、東近美、国会図

第 17 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：長野展；1983 年 10 月 9 日－23 日　長野県信濃美術館／鳥取展；10 月 30 日－11 月 13 日　米子市美術館／香川展；11 月 19 日－12 月 4 日　香川県文化会館／三重展；12 月 10 日－25 日　四日市市文化会館／愛知展；1984 年 1 月 7 日－22 日　豊橋市美術博物館
主催：文化庁・長野県教育委員会・長野県信濃美術館〔巡回 5-1〕
出品：日本画；岩澤重夫、西村昭二郎。洋画；天野三郎、浮田克躬。版画；斎藤清、舩坂芳助。彫刻；澄川喜一〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。
○展覧会カタログ
第 17 回現代美術選抜展
〔文化庁〕　1983 年 10 月
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、国会図

彼女たちが創る理由〈現代の表現〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2002 年 9 月 15 日－10 月 14 日　長野県信濃美術館　主催：長野県信濃美術館

出品：青木野枝、鵜飼美紀、草間彌生、小山利枝子、丸田恭子〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

彼女たちが創る理由〈現代の表現〉

長野県信濃美術館　2002 年 9 月 15 日

霜田英子：彼女たちが創る理由〈反復する、浸透する〉

青木野枝、鵜飼美紀、草間彌生、小山利枝子、丸田恭子：ステイトメント

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

彼女たちが創る理由〈現代の表現〉〔記録集〕

長野県信濃美術館　2002 年　1 枚〔四ツ折両面刷〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

長野県信濃美術館クロージング ネオヴィジョン 新たな広がり展図録〈7 人の若手作家〉●

欧文タイトル：「CLOSING NEO VISION」

会期：2017 年 9 月 16 日－30 日　長野県信濃美術館　主催：長野県・長野県信濃美術館

出品：上田暁子、北村佳奈、倉石太次郎、篠田優、下平千夏、坪内真弓、新村優子〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

長野県信濃美術館クロージング ネオヴィジョン 新たな広がり展図録〈7 人の若手作家〉

長野県信濃美術館　2017 年 9 月 16 日

上田暁子、北村佳奈、倉石久子〔太次郎の母〕、篠田優、下平千夏、坪内真弓、新村優子：〔作家のことば〕

瀬尾典昭、松浦千栄子、古舘遼、松井正、木内真由美、上沢修、大野織江：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、国会図

茅野市美術館

在る表現――その文脈と諏訪〈松澤宥・辰野登恵子・宮坂了作・根岸芳郎〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 8 月 7 日－9 月 11 日　茅野市美術館　主催：茅野市美術館

出品：松澤宥、辰野登恵子、宮坂了作、根岸芳郎〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

在る表現――その文脈と諏訪〈松澤宥・辰野登恵子・宮坂了作・根岸芳郎〉

茅野市美術館　2016 年 8 月 7 日

嶋田美子：虚空間のコミューン－松澤宥のめざしたもの

南 雄介：辰野登恵子 絵画と版画

宮坂了作：美術と私

根岸芳郎：絵画の周辺

太田智子：この土地に生まれて 辰野登恵子と諏訪

前田忠史：在る表現－その文脈と諏訪 松澤宥・辰野登恵子・宮坂了作・根岸芳郎
前田忠史、太田智子、中田麻衣子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

松本市美術館

現代版画の潮流展 ●

欧文タイトル：「Current of the Contemporary prints」
会期：2005 年 2 月 26 日－3 月 27 日　町田市立国際版画美術館／6 月 11 日－7 月 10 日　松本市美術館
主催：松本市美術館・大学版画学会・現代版画の潮流展開催実行委員会〔巡回 2-2〕
――→町田市立国際版画美術館〔巡回 2-1〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」
会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館
主催：松本市美術館・SBC 信越放送〔巡回 9-4〕
――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

堤清二 セゾン文化、という革命をおこした男。●

欧文タイトル：「Seiji Tsutsumi, the Man who Revolutionized　“Saison Culture”」
会期：2017 年 4 月 21 日－6 月 11 日　松本市美術館　主催：松本市美術館、特別協力：セゾン現代美術館
出品：荒川修作、瀧口修造、中西夏之、加納光於、堂本尚郎、菅井汲、篠原有司男、横尾忠則、宇佐美圭司、中村一美、辰野登恵子、田中一光、石岡瑛子、浅葉克己〔掲載作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
〇展覧会カタログ
堤清二 セゾン文化、という革命をおこした男。
松本市美術館　2017 年 4 月 21 日　松本市市制施行 110 周年記念・松本市美術館開館 15 周年記念展
堤 たか雄：「Il est quelqu’un authentiquel」
小川 稔：フォルム／フォルムが消えること
堤 清二：時代精神の根據地として　再録
難波英夫：堤清二と辻井喬
小池一子：文化の軸をつくり広げた、堤さん
武藤美紀：堤清二／辻井喬と松本市美術館

辻井 喬：詩
武藤美紀、堀井真美、澁田見彰：編集
武藤美紀：作品解説
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

辰野町郷土美術館

立ちあがる境界 ●

欧文タイトル：「Art on the Border」
会期：1994 年 10 月 20 日－11 月 23 日　長野県上伊那郡・辰野町郷土美術館　主催：辰野町郷土美術館
出品：戸谷成雄、辰野登恵子、北澤一伯、根岸芳郎、仁科茂、小山利枝子〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
立ちあがる境界
辰野町郷土美術館　1994 年 10 月
小田部胤久：触覚の美学のために
戸谷成雄〔再録〕、辰野登恵子〔再録〕、北澤一伯、根岸芳郎、仁科茂、小山利枝子：〔作家のことば〕
赤羽義洋：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、江戸博、神近美、愛芸文、和光大、国会図

岐阜県

岐阜県美術館

今日の造形・木と紙〈自然との対話〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1984 年 6 月 15 日－7 月 22 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館
出品：北山善夫、高田洋一、保科豊巳、井田照一、長谷光城、植木茂、江口週、小倉裕久、河原美比古、小清水漸、澄川喜一、関根伸夫、竹田康宏、ふじい忠一、最上壽之、田窪恭治、彦坂尚嘉、杢田たけを〔作品目録順〕
○展覧会カタログ
今日の造形・木と紙〈自然との対話〉
岐阜県美術館　1984 年 6 月 15 日
桑原鑛司：自然との対話
北山善夫〔再録〕、高田洋一、保科豊巳、井田照一、長谷光城、植木茂〔再録〕、江口週、小倉裕久、河原美比古、小清水漸、澄川喜一、関根伸夫、竹田康宏、ふじい忠一、最

上壽之、田窪恭治、彦坂尚嘉、杢田たけを：作家のことば

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

今日の造形 土と炎展〈新たな展開と可能性〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 1 月 6 日－2 月 11 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

出品：イサム・ノグチ、辻晋堂、八木一夫、荒木高子、鈴木治、速水史朗、伊藤公象、三島喜美代、森野泰明、柳原睦夫、川上力三、宮永理吉、中村錦平、佐藤敏、林秀行、鯉江良二、笹山忠保、小林三千夫、星野暁、西村陽平、杉浦康益、久谷蔦枝、秋山陽、あんどう雅信、田嶋悦子、松井紫朗〔作品目録順〕

○展覧カタログ

今日の造形 土と炎展〈新たな展開と可能性〉

岐阜県美術館　1987 年 1 月

乾 由明：現代における土と炎の造形

青木正弘：土をめぐって

荒木高子、鈴木治、速水史朗、伊藤公象、三島喜美代、森野泰明、柳原睦夫、川上力三、宮永理吉、中村錦平、佐藤敏、林秀行、鯉江良二、笹山忠保、小林三千夫、星野暁、西村陽平、杉浦康益、久谷蔦枝、秋山陽、あんどう雅信、田嶋悦子、松井紫朗：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

今日の造形 6 おもしろわざものすぐれもの展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 10 月 31 日－12 月 17 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

出品：本郷重彦、西村公泉、西野康造、小名木陽一、島津嘉準、坂口正之、松本秋則、井村隆、天野裕夫、馬田純子〔作品目録順〕

○展覧カタログ

今日の造形 6 おもしろわざものすぐれもの展

岐阜県美術館　1989 年 10 月

本郷重彦、西村公泉、西野康造、小名木陽一、島津嘉準、坂口正之、松本秋則、井村隆、天野裕夫、馬田純子：〔作家のことば〕

正村美里：「わざものすぐれもの」たちによせて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

今日の造形 7 現代美術〈日本の心〉展 ●

欧文タイトル：「The 7th ART NOW：Contemporary Art “The Mind of Japan”」

会期：1991 年 2 月 16 日－3 月 24 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

出品：井田照一、遠藤利克、小清水漸、諏訪直樹、辰野登恵子、戸谷成雄、中村一美、野村

仁、林武史、彦坂尚嘉、平林薫、堀浩哉、宮島達男、籔内佐斗司、李禹煥〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

今日の造形 7 現代美術〈日本の心〉展

岐阜県美術館　1991 年 2 月

青木正弘：日本現代美術覚書'91

井田照一、小清水漸、諏訪直樹〔再録〕、辰野登恵子、戸谷成雄〔再録〕、中村一美、林武史、彦坂尚嘉、平林薫、堀浩哉、宮島達男、籔内佐斗司、李禹煥：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

「岐阜の美術」－絵画・1960 年代までの歩み ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 12 月 1 日－1993 年 1 月 17 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・岐阜新聞・岐阜放送

出品：洋画；熊谷守一、小寺健吉、田中比左良、加賀孝一郎、水谷清、横山潤之助、坪内節太郎、村井正誠、安藤勲、里見常夫、守洞春、キシオ・ムラタ〔村田簀史雄〕、横井蛙平、山田貞実、北川五郎、石川勇、吉田修三、稲田年行、宇野一、執行正夫、大澤一佐志、後藤昭夫、井上忠明〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の洋画家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

「岐阜の美術」－絵画・1960 年代までの歩み

岐阜県美術館　1992 年 12 月　開館 10 周年記念展 2

平光明彦：岐阜の美術〈近代日本画と岐阜の画家〉

古川秀昭：岐阜の美術－「洋画」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」

会期：1995 年 2 月 17 日－3 月 26 日　岐阜県美術館／4 月 15 日－5 月 28 日　広島市現代美術館／8 月 19 日－9 月 24 日　北九州市立美術館／10 月 7 日－12 月 17 日　北浦和・埼玉県立近代美術館

主催：岐阜県美術館・読売新聞中部本社・中京テレビ放送・美術館連絡協議会〔巡回 4-1〕

出品：高松次郎、李禹煥、関根伸夫、榎倉康二、狗巻賢二、吉田克朗、菅木志雄、高山登、成田克彦、小清水漸、野村仁、原口典之〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉

読売新聞社・美術館連絡協議会　1995 年 2 月　英文併載

岡田 潔：現代美術への問い〈物質からの探究ともの派をめぐって〉

真武真喜子、岡田潔、平野到、大久保京、出原均、小田るな、梅津元、廣江泰孝：〔作家

論〕

真武真喜子、岡田潔、平野到、大久保京、出原均、小田るな、梅津元、廣江泰孝：作家資料篇〔略歴、文献、作品資料〕

真武真喜子・大久保京編：年表

真武真喜子・大久保京編：総合文献

岡田潔、廣江泰孝、出原均、小田るな、武真喜子、大久保京、梅津元、平野到、前山裕司：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

20 世紀美術への招待状〈富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵作品による ピカソ、シャガールから横山大観、竹内栖鳳まで〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 7 月 16 日－8 月 22 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・富山県立近代美術館・富山県水墨美術館・岐阜新聞・岐阜放送

出品：I 日本画の 20 世紀；杉山寧、髙山辰雄、片岡球子、横山操、千住博。II 西洋美術の 20 世紀；瀧口修造。III 戦後日本のポスター；亀倉雄策、田中一光、福田繁雄、永井一正、勝井三雄、松永真、佐藤晃一、中村誠、サイトウマコト、戸田正寿、横尾忠則〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後の日本作家のみ収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

20 世紀美術への招待状〈富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵作品による ピカソ、シャガールから横山大観、竹内栖鳳まで〉

岐阜県美術館　2010 年 7 月

杉野秀樹：富山県立近代美術館のコレクション〈コレクションのはじまり――瀧口修造＆ミロとともに〉

浅地 豊：富山県水墨美術館のコレクション〈コレクションのあゆみと水墨の魅力について〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

大垣市スイトピアセンターアートギャラリー

第 26 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；1992 年 11 月 13 日－24 日　今治市河野美術館／岡山展；11 月 28 日－12 月 11 日　井原市立田中美術館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／岐阜展；1993 年 1 月 7 日－18 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／岩手展； 1 月 24 日－2 月 7 日　水沢市文化会館／北海道展；2 月 13 日－28 日　釧路市生涯学習センター・アートギャラリー

主催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市教育委員会〔巡回 6-4〕

――→今治市河野美術館〔巡回 6-1〕

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1998 年 11 月 22 日－12 月 7 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／愛媛展；12 月 13 日－27 日　今治市河野美術館／群馬展；1999 年 1 月 8 日－22 日　前橋市民文化会館／岩手展；1 月 28 日－2 月 11 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市・大垣市教育委員会・大垣市文化事業団〔巡回 4-1〕

出品：日本画；菅原健彦、西田俊英。洋画；太田冬美、畑中優。版画；藤浪理恵子、薬師寺章雄。彫刻；海老塚耕一〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 32 回現代美術選抜展図録

大垣市スイトピアセンターアートギャラリー・今治市河野美術館・前橋市民文化会館・水沢市文化会館　1998 年 11 月

林田英樹文化庁長官：ごあいさつ

所蔵：□、東近美、横浜美

文化庁主催第 38 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岩手展；2004 年 11 月 13 日－28 日　岩手県立美術館／岡山展；2005 年 1 月 8 日－23 日　高梁市歴史美術館／岐阜展；2 月 5 日－27 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー

主催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市・大垣市教育委員会〔巡回 3-3〕

――→岩手県立美術館〔巡回 3-1〕

セラトピア土岐

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐／広島展；11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館／長崎展；12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館／徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館館／宮城展；1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／秋田展；2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館

主催：文化庁・岐阜県教育委員会・土岐市・土岐市教育委員会〔巡回 6-1〕

出品：日本画；西田眞人、西久松吉雄。洋画；小久保裕、長沢秀之。版画；安藤真司、若月公平。彫刻；大田雅代〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 30 回現代美術選抜展図録

セラトピア土岐、たけはら美術館、長崎県立美術博物館、徳島県郷土文化会館、リアス・アーク美術館、秋田県立近代美術館　1996 年 11 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

静岡県

静岡県立美術館

現代美術入門 絵画の空白と余白 ●

欧文タイトル：「an approach to modern art　BLANK IN MODERN PAINTING from Cézanne to Conceptual Art」

会期：1989 年 2 月 10 日－3 月 12 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：岡田謙三、山口長男、宮脇愛子、桑山忠明、河原温、荒川修作、中里斉〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

現代美術入門 絵画の空白と余白

静岡県立美術館　1989 年 2 月

永草次郎：現代絵画における空白と余白

小針由紀隆：しみとイメージ

小針由紀隆、永草次郎：作家・作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、国会図

モナ・リザ 100 の微笑 ●

欧文タイトル：「Les 100 Sourires de Monna Lisa」

会期：2000 年 1 月 29 日－3 月 26 日　東京都美術館／4 月 4 日－6 月 11 日　静岡県立美術館／7 月 15 日－8 月 20 日　広島県立美術館

主催：静岡県立美術館・静岡朝日テレビ・日本経済新聞社〔巡回 3-2〕

――→東京都美術館〔巡回 3-1〕

きらめく光〈日本とヨーロッパの点表現〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 2 月 18 日－3 月 30 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：岡鹿之助、牛島憲之、草間彌生、浅見貴子、高橋洋子。参考図版；川田祐子、大巻伸嗣〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の日本人作家のみを収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

きらめく光〈日本とヨーロッパの点表現〉

静岡県立美術館　2003 年 2 月 18 日

吉岡健二郎：点描の世界

中谷伸生：点描の東西〈大雅・スーラなど〉
飯田真、小針由紀隆、泰井良、森充代、堀切正人：章解説
飯田 真：日本文人画にみる点表現－池大雅を中心に
村上 敬：調和の幻想－新印象主義の絵画について
泰井 良：大下藤次郎《万年橋》における点表現の違いについて
森 充代：大正期日本画における点描－今村紫紅と小野竹喬を中心に
飯田真、小針由紀隆、村上敬、泰井良、堀切正人、森充代：作家・作品解説
堀切正人：章解説〔現代美術〕、作家・作品解説〔現代作家〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

「きらめく光〈日本とヨーロッパの点表現〉」展 インスタレーション・教育普及事業記録集 2003 “DOT/NET”
静岡県立美術館 2003 年 3 月 31 日
堀切正人：展覧会ソナタ〈「きらめく光」展の共同制作と現代美術セクションの展示について〉
浅見貴子、大巻伸嗣、高橋洋子、川田祐子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

今、ここにある風景＝コレクション＋アーティスト＋あなた ●
欧文タイトル：「Here is the Museum, the scape collaborated with our collection, artists and you－The Encounter of our Collection and 4 Artists」
会期：2002 年 7 月 27 日－9 月 8 日 静岡県立美術館 主催：静岡県立美術館
出品：大岩オスカール幸男、日高理恵子、吉田暁子、菱山裕子〔出品作品リスト順〕。駒井哲郎、秋野不矩、北川民次、アンゼルム・キーファー、草間彌生、桑山忠明、李禹煥、福田平八郎、宮脇愛子〔図版収載順〕
註：美術館コレクションから出品作家が選んだ作品のうち戦前以前の作品(近世絵画、浮世絵など)は出品データから割愛した。
○展覧会カタログ
今、ここにある風景＝コレクション＋アーティスト＋あなた
静岡県立美術館 2002 年 7 月
吉岡健二郎：ごあいさつ
李美那：今、この場所から
李美那：ヒキダシタイ・プログラム
大岩オスカール幸男、日高理恵子、吉田暁子、菱山裕子：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

今、ここにある風景＝コレクション＋アーティスト＋あなた「ヒキダシタイ・プログラム活動報告書」でこぽん下克上
静岡県立美術館 2003 年 3 月 付・CD-ROM1 枚

李美那：活動報告書作成にあたって

李美那：編集後記

所蔵：□、国新美(CD-ROM 付)、東文研、都現美(CD-ROM 付)、神近美(CD-ROM 付)、横浜美、愛芸文、国会図

静岡 New Art「あなたの居場所」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 3 月 18 日－2004 年 2 月 1 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：鈴木貴博、村上暁子、佐原路子、佐原路子＋高橋唐子、高橋唐子、安岐理加、横山飛鳥〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

静岡 New Art「あなたの居場所」展

静岡県立美術館　2004 年 3 月 31 日

堀切正人：「展覧会」マッピング〈わたしの／現代美術の／美術館の居場所〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図、都中図

静岡 New Art「あなたの居場所」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 9 月 15 日－10 月 30 日　静岡県立美術館県民ギャラリーほか　主催：静岡県立美術館

出品：居城純子、高橋唐子、柳原詮子、山極満博、米原昌郎〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

静岡 New Art「あなたの居場所」展

静岡県立美術館　2006 年 3 月 31 日

堀切正人：静岡 New Art「あなたの居場所」展について

居城純子、高橋唐子、柳原詮子、米原昌郎：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

風景ルルル〈わたしのソトガワとのかかわり方〉 ●

欧文タイトル：「Lu Lu Lu Landscape：How I see the world around me」

会期：2008 年 11 月 3 日－12 月 21 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館　共催：中日新聞東海本社、テレビ静岡

出品：髙木紗恵子、照屋勇賢、柳澤顕、鈴木理策、内海聖史、ブライアン・アルフレッド、佐々木加奈子、小西真奈〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

風景ルルル〈わたしのソトガワとのかかわり方〉

静岡県立美術館　2008 年 12 月 5 日　主に英文併載

川谷承子：「風景ルルル〈わたしのソトガワとのかかわり方〉」距離や地理を越えたコミュニティーを求めて

所蔵：□、都現美、写真美、神近美、京都学、和光大

グループ「幻触」と石子順造 1966-1971〈時代を先駆けた冒険者たちの記録〉●

欧文タイトル：「Group “Genshoku” and Ishiko Junzo 1966-1971」

会期：2014 年 2 月 1 日－3 月 23 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：石子順造、鈴木慶則、伊藤隆史、前田守一、伊藤勉、小山田二郎、桂川寛、池田龍雄、河原温、中村宏、三木富雄、赤瀬川原平、井上洋介、谷川晃一、田名網敬一、横尾忠則、林静一、堀川紀夫、丹羽勝次、小沢克巳、中西夏之、高松次郎、荒川修作、小島信明、タイガー立石、飯田昭二、小池一誠、中森五三九、杉浦康平、関根伸夫、李禹煥、成田克彦、吉田克朗、鈴木健司、大辻清司、原榮三郎〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

グループ「幻触」と石子順造 1966-1971〈時代を先駆けた冒険者たちの記録〉

静岡県立美術館　2014 年 2 月

加治屋健司：「事物から存在へ」について

川谷承子：編集

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

グループ「幻触」と石子順造 1966-1971 別冊

静岡県立美術館　2014 年 3 月 31 日

川谷承子：グループ「幻触」と石子順造

本阿弥 清：石子順造と「幻触」〈日本の現代美術に与えた影響〉

成相 肇：匿名の肉体にさわるには――石子順造的世界の手引き

大岡 淳：石子順造の転回――近代芸術批判のアポリア

加治屋健司：石子順造と視覚の制度

所蔵：□、都現美、神近美、和光大

「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 7 月 12 日－9 月 7 日　青森県立美術館／9 月 20 日－11 月 16 日　静岡県立美術館／12 月 13 日－2015 年 2 月 16 日　島根県立石見美術館

主催：「美少女の美術史」展実行委員会(青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館)〔巡回 3-2〕

――→青森県立美術館〔巡回 3-1〕

再発見! ニッポンの立体 ●

欧文タイトル：「Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan」

会期：2016 年 7 月 16 日－9 月 19 日　群馬県立館林美術館／11 月 15 日－2017 年 1 月 9 日　静岡県立美術館／1 月 24 日－4 月 9 日　津・三重県立美術館

主催：静岡県立美術館・読売新聞社・静岡第一テレビ・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

――→群馬県立館林美術館〔巡回 3-1〕

アートのなぞなぞ 高橋コレクション展 ●

欧文タイトル：「The Riddle of Art：Takahashi Collection」

会期：2017 年 12 月 23 日－2018 年 2 月 28 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館・静岡朝日テレビ

出品：青山悟、井上有一、畠山直哉、徳岡神泉、丸山直文、髙山辰雄、村瀬恭子、三宅砂織、坂本夏子、小西紀行、岩崎貴宏、青木美歌、竹村京、宮永愛子、鈴木ヒラク、森山大道、蜷川実花、志賀理江子、会田誠、樫木知子、鴻池朋子、加藤美佳、奈良美智、大竹利絵子、ob、工藤麻紀子、小谷元彦、橋爪彩、塩田千春、加藤泉、淺井裕介、草間彌生、桑田卓郎、金氏徹平、村上隆、Mr.、西尾康之、ヤノベケンジ、梅沢和木、名和晃平、束芋、横尾忠則、立石大河亞、宮﨑勇次郎、梅津庸一、難波田龍起、山口晃、チームラボ〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

アートのなぞなぞ 高橋コレクション展

静岡県立美術館　2017 年 12 月 21 日

川谷承子：共振するか反発するか?

川谷承子、植松篤、石上充代、泰井良、村上敬：解説

高橋龍太郎：がらがらぽん

所蔵：□、国新美、国会図

静岡県民会館

第 5 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：長野展；1971 年 9 月 19 日－10 月 3 日　長野県信濃美術館／静岡展；10 月 14 日－21 日　静岡県民会館／広島展；10 月 30 日－11 月 14 日　広島県立美術館／福岡展；11 月 23 日－12 月 5 日　福岡県文化会館美術館

主催：文化庁・静岡県民会館〔巡回 4-2〕

――→長野県信濃美術館〔巡回 4-1〕

掛川市二の丸美術館

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●

欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」

会期：2006 年 6 月 24 日－7 月 30 日　釧路市立美術館／8 月 8 日－9 月 10 日　唐津市近代図書館／9 月 16 日－10 月 22 日　掛川市二の丸美術館／10 月 28 日－12 月 3 日　尼崎市総合文化センター

主催：掛川市二の丸美術館〔巡回 4-3〕

――→釧路市立美術館〔巡回 4-1〕

浜松市美術館

第 14 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：茨城展；1980 年 11 月 1 日－14 日　日立市郷土博物館／静岡展；11 月 19 日－12 月 2 日　浜松市美術館／兵庫展；12 月 7 日－21 日　尼崎市総合文化センター／新潟展；1981 年 1 月 6 日－18 日　新潟県美術博物館

主催：文化庁・静岡県教育委員会・浜松市美術館・静岡新聞社・SBS 静岡放送〔巡回 4-2〕

──→日立市郷土博物館〔巡回 4-1〕

浜松市秋野不矩美術館

革新表現に挑む女流画家たち〈創画会の原点・今・明日〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 4 月 29 日－6 月 5 日　浜松市秋野不矩美術館　主催：浜松市秋野不矩美術館・中日新聞東海本社

出品：秋野不矩、広田多津、荒木亨子、梶岡百江、高畑郁子、津田一江、野畑直子、松本祐子、宮いつき〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

革新表現に挑む女流画家たち〈創画会の原点・今・明日〉

浜松市秋野不矩美術館　2016 年 4 月 29 日　特別展

所蔵：□、横浜美、京都学、国会図

愛知県

愛知県美術館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 10 月 2 日－23 日　八戸市美術館／11 月 2 日－23 日　名古屋・愛知県美術館／12 月 4 日－25 日　静岡市・駿府博物館／1989 年 1 月 11 日－29 日　横浜・そごう美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・愛知県・愛知県教育委員会・愛知県美術館〔巡回 4-2〕――→八戸市美術館〔巡回 4-1〕

20 世紀 愛知の美術 ●

欧文タイトル：「20th Century Art in Aichi」

会期：1993 年 2 月 19 日－3 月 21 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館

出品：第 4 章 戦後の復興と新時代への幕開け 日本画；我妻碧宇、市野亨、田島康、堀尾実、水谷勇夫、中村正義、平川敏夫、星野真吾、片岡球子、内田土卵、森緑翠、嶋谷自然。洋画；北川民次、鬼頭鍋三郎、杉本健吉、伊藤廉、三岸節子、市野長之介、鈴木三五郎、辻親造、坪内節太郎、水谷清、魚津良吉、荻須高徳、坂井範一、島田章三、笠井誠一、浅野弥衛、吉本弘。彫刻；野々村一男、野水信、石田清、高藤鎮夫。第 5 章 多様化の時代；久野真、桑山忠明、荒川修作、河原温、櫃田伸也、山本富章、金子潤、石黒鏘二、国島征二、庄司達〔出品作品リスト順〕

註：本展は、【第 1 章 明治期 画壇の成立、第 2 章 大正から昭和へ－日本画の動向、第 3 章 大正から昭和へ－洋画の動向、渡仏した洋画家たち、サンサシオンの洋画家たち、前衛芸術の台頭、第 4 章 戦後の復興と新時代への幕開け 日本画・洋画、第 5 章 多様化の時代】から構成されていて、出品欄は、第 4 章と第 5 章を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

20 世紀 愛知の美術

愛知県美術館　1993 年 2 月　愛知県美術館開館記念第 3 部

深山孝彰：近代愛知の美術〈明治から昭和戦前まで〉

木本文平：戦後愛知の美術－復興から現代へ

木本文平、深山孝彰：章解説

木本文平、坂下雄彦、高橋秀治、寺門臨太郎、拝戸雅彦、古田浩俊、牧野研一郎、松井秀法、深山孝彰、村上博哉、村田眞宏：作家解説

木本文平・深山孝彰編：「愛知の美術」関係年表

深山孝彰編：主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東芸大、国会図、都中図

現代の陶芸 1950－1990 ●

欧文タイトル：「Contemporary Ceramics 1950-1990」

会期：1993 年 7 月 16 日－8 月 22 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・愛知

県陶磁資料館

出品：辻晋堂、八木一夫、熊倉順吉、藤平伸、山田光、鈴木治、荒木高子、林康夫、加藤清之、坪井明日香、森野泰明、柳原睦夫、宮永理吉、林秀行、伊藤公象、三島喜美代、佐藤敏、鯉江良二、笹山忠保、中村錦平、三輪龍作、金子潤、栗木達介、寄神宗美、土門邦勝、星野暁、西村陽平、中村康平、杉浦康益、久谷蔦枝、秋山陽、清水柾博、井上雅之、重松あゆみ、田嶋悦子〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代の陶芸 1950－1990

愛知県美術館　1993 年 7 月

鈴木健二：現代陶芸の展開

牧野研一郎、浅田員由、唐澤昌宏：〔章解説〕

唐澤昌宏、長屋菜津子、牧野研一郎：作家略歴

所蔵：□、東近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

環流〈日韓現代美術展〉●

欧文タイトル：「Circulating Currents－Japanese and Korean Contemporary Art－」

会期：1995 年 7 月 14 日－9 月 3 日　愛知県美術館、名古屋市美術館

主催：愛知県美術館・名古屋市美術館・中日新聞社・中部日本放送・東海テレビ放送〔名古屋市美術館と同時開催〕

出品：愛知県美術館；堀浩哉、戸谷成雄、北山善夫、遠藤利克、中村一美、岡村桂三郎。名古屋市美術館；小清水漸、西雅秋、久野利博、平林薫、磯部聡、尹熙倉〔会場別出品作家順〕

〇展覧会カタログ

環流〈日韓現代美術展〉

「環流－日韓現代美術展」実行委員会　1995 年 7 月　愛知県美術館・名古屋市美術館共同企画

山脇一夫：土着とモダン

李慶成：韓国の近代美術

徐成緑：韓国現代美術の動向と主要な争点

牧野研一郎：日本回帰をめぐって

牧野研一郎、山脇一夫、角田美奈子、拝戸雅彦：作品解説

角田美奈子、拝戸雅彦、原沢暁子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

環流〈日韓現代美術展〉

「環流－日韓現代美術展」実行委員会　1995 年

註：本カタログの凡例に「出品された作品の写真、または設置状況写真を掲載した」とあり、発行日の記載は無いが会期中または終了後に刊行されたことが分かる。編集は角田美奈子、拝戸雅彦、原沢暁子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸

文、京都学、国会図、都中図

アジアの潜在力〈海と島が育んだ美術〉●

欧文タイトル：「Asian Potential－Art Nursed by Sea and Islands」

会期：2005 年 5 月 24 日－7 月 10 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知・財団法人 2005 年日本国際博覧会協会・財団法人自治総合センター

出品：I 彫る；須田悦弘、安藤栄作、舟越桂、平川正道、向井良吉、勅使河原蒼風、河井寛次郎。II 染める。III 型取る・肉づける；古伏脇司、さかぎしよしおう、多和圭三、イケムラレイコ、杉浦康益、小川待子、國吉清尚、関島寿子、林辺正子、三木富雄、土谷武、毛利武士郎、剣持勇、辻晋堂、鶴岡政男〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

アジアの潜在力〈海と島が育んだ美術〉

愛知県美術館・日本経済新聞社　2005 年 5 月

市川政憲：海から川へ

樋田豊次郎：日本人のアジア美術認識を踏まえて

村田真宏、高橋秀治、拝戸雅彦、樋田豊次郎、市川政憲：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

愉しき家 ●

欧文タイトル：「Enjoyable House」

会期：2006 年 8 月 4 日－10 月 1 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・朝日新聞社・財団法人自治総合センター

出品：東恩納裕一、小林のりお、小林孝亘、ヴォルフガング・ライプ、正木隆、ゴードン・マッタ＝クラーク、森北伸、N55、中村一美、中尾寛、西野達、乃美希久子、さわひらき、塩田千春、ミハ・ウルマン、牛嶋均、やなぎみわ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

愉しき家

愛知県美術館　2006 年 8 月　1st＋2nd＋英語版共 3 冊(ケース入)

□1st

拝戸雅彦：愉しむ家

湯田文・野田直子編：作家データ

拝戸雅彦、森美樹：編集

□2nd

拝戸雅彦編：解説と作家によるテキスト

正木隆、N55、中尾寛、塩田千春：作家によるコメント

□英語版

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都

学、和光大、国会図

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 ●

欧文タイトル：「ROUSSEAU ENVISAGED：Henri Rousseau and Japanese Artists」

会期：2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　世田谷美術館／12 月 20 日－2007 年 2 月 12 日　名古屋・愛知県美術館／3 月 9 日－5 月 6 日　島根県立美術館

主催：愛知県美術館・中日新聞社・NHK 名古屋放送局・NHK 中部ブレーンズ〔巡回 3-2〕

――→世田谷美術館〔巡回 3-1〕

「20 世紀美術の森」展 ●

欧文タイトル：「Forest of the 20th Century Art」

会期：2007 年 6 月 29 日－8 月 26 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・岐阜県美術館・三重県立美術館・中日新聞社

出品：ポール・セリュジエ、ハンス(ジャン)・アルプ、萬鉄五郎、大澤鉦一郎、小川芋銭、宇田荻邨、山口長男、川合玉堂、矢橋六郎、山口薫、須田国太郎、小林研三、横山操、香月泰男、アンドリュー・ワイエス、田渕俊夫、熊谷守一、土屋禮一、磯見輝夫、島田章三、戸谷成雄、オディロン・ルドン、グスタフ・クリムト、恩地孝四郎、田中恭吉、藤森静雄、パウル・クレー、古賀春江、ホアン・ミロ、駒井哲郎、浜口陽三、元永定正、金昌烈、澄川喜一、中西夏之、堀浩哉、李禹煥、百瀬寿、野見山暁治、伊藤公象、館勝生、ホセ・マリア・シシリア、李康昭、秋岡美帆、サルバドール・ダリ、川口軌外、伊藤利彦、村井正誠、アントニ・タピエス、小清水漸、アンゼルム・キーファー、岡田徹、山本正道、荒川修作、パトリック・トザニ、諏訪直樹、秋山陽、ふじい忠一、尹錫男、ポール・ゴーギャン、パブロ・ピカソ、ヴァシリー・カンディンスキー、松本竣介、瑛九、難波田龍起、舟越桂、庄司達、さわひらき〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

「20 世紀美術の森」展図録

愛知県美術館・中日新聞社　2007 年 6 月　開館 15 周年記念 愛知・岐阜・三重県立美術館協同企画 No.3

市川政憲：「共生の森へ」

中村史子：章解説

村田真宏、古田浩俊、中村史子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

サイクルとリサイクル〈めぐりめぐる形とイメージ〉 ●

欧文タイトル：「Cycle and Recycle」

会期：2007 年 9 月 7 日－11 月 4 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・財団法人自治総合センター

出品：城戸孝充、大巻伸嗣、ピエトラ・ピストレット、篠原猛史、鷲見麿、手塚愛子、竹村京、渡辺英司、ピーター・ヴュートリヒ〔挿絵リスト順〕

○展覧会カタログ

サイクルとリサイクル Vol.1〈めぐりめぐる形とイメージ〉

愛知県美術館　2007 年 9 月　主に英文併載　2 分冊の 1

城戸孝充「舟ー今を見つづける為に」、竹村京「6 年前からの招待」ほか、渡辺英司「話す鏡」:〔作家のことば〕

拝戸雅彦：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

サイクルとリサイクル Vol.2〈めぐりめぐる形とイメージ〉

愛知県美術館　2007 年 9 月　英文併載　2 分冊の 2

拝戸雅彦：〔作家についてのコメント〕

篠原猛史、竹村京：〔作家のことば〕

拝戸雅彦：「片思い」としてのリサイクル、そして美術

拝戸雅彦、鯨井秀伸：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉●

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」

会期：2009 年 5 月 2 日－6 月 21 日　世田谷美術館／8 月 27 日－10 月 28 日　酒田・土門拳記念館／11 月 6 日－12 月 13 日　名古屋・愛知県美術館／2010 年 6 月 5 日－8 月 31 日　清里フォトアートミュージアム

主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知〔巡回 4-3〕

──→世田谷美術館〔巡回 4-1〕

これからの写真 ●

欧文タイトル：「Photography Will Be」

会期：2014 年 8 月 1 日－9 月 28 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・朝日新聞社

出品：新井卓、加納俊輔、川内倫子、木村友紀、鈴木崇、鷹野隆大、田代一倫、田村友一郎、畠山直哉〔出展作品リスト順〕

○展覧会カタログ

これからの写真

愛知県美術館・朝日新聞社　2014 年 8 月

中村史子：光源はいくつもある〈写真の多義性をめぐって〉

甲斐義明：発見のための写真

中村史子：作家解説

塩津青夏：作家略歴

林田新、甲斐義明・解説：参考文献

冨田由紀子・林田新・甲斐義明・中村史子編：写真関連年表 写真をめぐる日本の動向 1994-2014

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

愛知芸術文化センター

仮装する空間〈瀬田哲司・岡崎乾二郎&津田佳紀・鈴木昭男〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 3 月 8 日－27 日　名古屋・愛知芸術文化センター　企画：愛知県文化情報センター・愛知県美術館、主催：愛知芸術文化センター

出品：仮装 1・瀬田哲司、仮装 2・岡崎乾二郎&津田佳紀、仮装 3・鈴木昭男

〇展覧会カタログ

仮装する空間〈瀬田哲司・岡崎乾二郎&津田佳紀・鈴木昭男〉

愛知芸術文化センター　1994 年 3 月　1 枚(三ツ折両面刷)

瀬田哲司、岡崎乾二郎、津田佳紀、鈴木昭男：制作ノート

所蔵：□、神近美

〇記録集

パブリック・アートの実験 PUBLIC ART　　愛知県文化情報センター編

愛知県文化情報センター　1994 年

Prologue テキスト

南條史生：パブリック・アートの道化的精神

本間正義：美術館から公共空間へ

Part I　都市の中のアート

今井祝雄：都市のアートスケープ

北川フラム：都市の魅力〈機能(ファンクション)から物語(フィクション)へ〉

瀬田哲司・正木基：「仮装する空間」をめぐる対話から 1 表現者の行為は公共空間の中で、どううけとめられるのか?

Part II 芸術における公共性

新田秀樹：パブリック・アートは誰のものか?

岡崎乾二郎：共同体における芸術家のシャーマン的役割

岡崎乾二郎・津田佳紀：「仮装する空間」をめぐる対話から 2 公的空間は誰にも属さない、意識の余白の中に存在している。

Part III 都市と融合するアートへ

茂登山清文：パブリック・アートとの対話〈“幸福の王子”以後〉

南條史生：都市とアートとの接近〈「人間の条件」展より〉

中川 真：ノイズの調合〈都市とサウンド・インスタレーション〉

中川真・川崎義博・ロルフ・ユリウス：「仮装する空間」をめぐる対話から 3 「音」の設置。聴覚からのアプローチは、都市空間に何を生みだすのか?

所蔵：□、国新美、愛芸文

名古屋市美術館

セブン・アーチスツ――今日の日本美術帰国展 ●

欧文タイトル：「SEVEN ARTISTS ASPECTS OF CONTEMPORARY JAPANESE ART」

会期：1992 年 8 月 15 日－9 月 27 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・国際交流基金・名古屋＝ロサンゼルス姉妹都市委員会

出品：伊藤公象、山口牧生、庄司達、久野利博、李禹煥、松井智惠、榎忠〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

セブン・アーチスツ――今日の日本美術帰国展図録　　名古屋市美術館編

セブン・アーチスツ展実行委員会　1992 年 8 月

フジナミ・ノリコ：「セブン・アーチスツ」展を終えて

山脇一夫：「セブン・アーチスツ」展海外での巡回を終えて

伊藤公象、山口牧生、庄司達、久野利博、李禹煥、松井智惠、榎忠：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

ポジション 1994 名古屋発現代美術展 ●

欧文タイトル：「POSITION 1994 Nagoya Contemporary Art Exhibition」

会期：1994 年 1 月 5 日－2 月 6 日　名古屋市美術館　選考委員：中村英樹・三頭谷鷹史・木方幹人・山脇一夫、主催：名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団

出品：阿野義久、磯部聡、大野左紀子、国島征二、久野利博、鯉江良二、小島久弥、小谷浩士、設楽知昭、庄司達、鷲見麿、清野祥一、長谷川哲、藤井一、水上旬、三輪美津子、山本富章〔出品作家・出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ポジション 1994 名古屋発現代美術展図録　　名古屋市美術館編

名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団　1994 年 1 月

中村英樹：キーポイントを突け!〈芸術の否定の否定〉

三頭谷鷹史：美術と文化的土壌

木方幹人：これからの「芸術」

山脇一夫：現代美術の可能性

阿野義久、磯部聡、大野左紀子、国島征二、久野利博、鯉江良二〔1 行〕、小島久弥、小谷浩士、設楽知昭、庄司達、鷲見麿、清野祥一、長谷川哲、藤井一、水上旬、三輪美津子、山本富章：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

環流〈日韓現代美術展〉 ●

欧文タイトル：「Circulating Currents－Japanese and Korean Contemporary Art－」

会期：1995 年 7 月 14 日－9 月 3 日　愛知県美術館、名古屋市美術館

主催：愛知県美術館・名古屋市美術館・中日新聞社・中部日本放送・東海テレビ放送〔愛知県美術館と同時開催〕

出品：愛知県美術館；堀浩哉、戸谷成雄、北山善夫、遠藤利克、中村一美、岡村桂三郎。名

古屋市美術館；小清水漸、西雅秋、久野利博、平林薫、磯部聡、尹熙倉〔会場別出品作家順〕
――→愛知県美術館〔同時開催〕

天と地の間に－今日の日本美術展 II ●

欧文タイトル：「Between Earth and the Heavens-Aspects of Japanese Contemporary Art II」

会期：1996 年 6 月 15 日－8 月 25 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館

出品：鯉江良二、蔡國強、長澤伸穂、村岡三郎、山本富章〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

天と地の間に－今日の日本美術展 II 図録

天と地の間に－今日の日本美術展 II 実行委員会　1996 年 6 月　〔名古屋市美術館〕

山脇一夫：天と地の間に－文明の岐路で

鯉江良二、蔡國強、長澤伸穂、村岡三郎、山本富章：作家コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒

眼差しのゆくえ－現代美術のポジション 1997 ●

欧文タイトル：「LOOKING TOWARD THE FUTURE」

会期：1997 年 8 月 2 日－9 月 28 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団

出品：今村哲、栗本百合子、須田真弘、瀬田哲司、椿原章代、長坂治、丹羽誠次郎、橋本公成、平松伸之、松本幹永、吉本作次〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

眼差しのゆくえ－現代美術のポジション 1997 図録

名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団　1997 年 8 月

山脇一夫：近代の終焉?

茂登山清文：ポジションたち――100 度にひらかれたいくつかの問題群として

石崎勝基：からっぽがいっぱい II－「ポジション 1997 展」によせて

拝戸雅彦：私が考える現代アートについて

今村哲、栗本百合子〔1 行〕、須田真弘、瀬田哲司、椿原章代、長坂治、丹羽誠次郎〔2 行〕、橋本公成、平松伸之、松本幹永、吉本作次：〔作家のことば〕

原沢暁子：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

戦後日本のリアリズム 1945-1960 ●

欧文タイトル：「Realism in Postwar Japan 1945-1960」

会期：1998 年 4 月 18 日－7 月 12 日　名古屋市美術館

主催：名古屋市美術館・毎日新聞社

出品：靉嘔、赤穴宏、赤塚徹、芥川紗織、朝倉摂、朝妻治郎、安次富長昭、安次嶺金正、麻生三郎、安谷屋正義、阿部展也、安部真知、荒川修作、安西啓明、飯田善國、飯野農夫也、池田龍雄、池田満寿夫、池田遥邨、石井茂雄、石橋和己、石原薫、泉茂、市村司、井手則雄、

伊藤昭一、糸園和三郎、稲田三郎、井上覚造、井上長三郎、井上武吉、井上洋介、入江比呂、植竹邦良、上野省策、上野誠、臼井薫、内田巌、瑛九、海老原喜之助、海老原友忠、大熊峻、大沢昌助、大塚睦、岡田愛子、岡本太郎、小野木学、小野忠重、小野忠弘、小山田二郎、小山田チカエ、影山光洋、片谷曖子、片山昭弘、片寄貢、香月泰男、勝田寛一、桂川寛、桂ユキ子〔ゆき〕、加藤正、金井精一、金子真珠郎、川島浩、川田喜久治、川端実、河原温、菊池一雄、菊池俊吉、菊池養之助、岸田貢宜、杵島隆、北岡文雄、北川民次、北村西望、北脇昇、儀間比呂志、木村伊兵衛、木村賢太郎、木村成敏、窪喜尽、熊谷元一、倉石隆、桑原史成、小口一郎、小林喜巳子、小林二郎、斎藤三郎、佐伯和美、佐伯義勝、酒井慎一、桜井孝身、佐田勝、佐藤昭一、佐藤忠良、志賀丈二、渋谷草三郎、島田澄也、島村潔、下村良之介、新海覚雄、末松正樹、菅野陽、杉全直、勝呂忠、鈴木賢二、全和凰、曹良奎、高山良策、滝平二郎、建畠覚造、田中亜木男、田中忠雄、玉置正敏、田村茂、土屋幸夫、鶴岡政男、勅使河原蒼風、勅使河原宏、手島右卿、寺田政明、東松照明、常盤とよ子、利根山光人、富山妙子、土門拳、鳥居敏文、名井萬亀、中井勝郎、永井潔、長尾靖、中島保彦、中谷泰、中西勝、長野重一、中野淳、中野秀人、中村宏、中村立行、中本達也、那須良輔、奈良原一高、難波田龍起、新居広治、野見山暁治、野村耕、灰谷正夫、白玲、濱口富治、浜田知明、濱谷浩、林重男、林忠彦、早瀬龍江、坂野耿一、尾藤豊、深沢幸雄、深田敏夫、福井芳郎、福沢一郎、福島菊次郎、福島秀子、福田恒太、福田新生、藤川清、藤沢典明、藤松博、不動茂弥、古沢岩美、星野真吾、堀内康司、本郷新、本田克己、前田常作、俣野衛、松重美人、松本栄一、松本竣介、松山文雄、真鍋博、丸木位里・俊、三上誠、三木淳、水谷勇夫、箕田源二郎、宮下森、向井潤吉、向井良吉、村井正誠、村上善男、毛利武士郎、森熊猛、森田信夫、森芳雄、柳原義達、矢部友衛、山下菊二、山中春雄、山野卓造〔卓〕、山端庸介、山元恵一、山本敬輔、横山操、吉井忠、吉岡専造、吉田潤、吉田利次、吉仲太造、吉原治良、吉原英雄、吉村正治、米倉寿仁、若林一男、脇田和、渡部雄吉〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

戦後日本のリアリズム 1945-1960

戦後日本のリアリズム展実行委員会　1998 年 4 月

山田 諭：戦後日本のリアリズムについて――新しい世紀の日本美術のために

山田 諭：解説・年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

「現代美術のポジション 2003－吹きぬける新風」●

欧文タイトル：「Contemporary Art POSITION 2003」

会期：2003 年 1 月 7 日－3 月 30 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・朝日新聞社・名古屋市文化振興事業団

出品：小川信治、加藤万也、佐藤三恵、白水ロコ、杉山健司、染谷亜里可、林繭子、真月洋子、森北伸〔出品作家・リスト順〕

○展覧会カタログ

「現代美術のポジション 2003－吹きぬける新風」図録　　名古屋市美術館編

名古屋市美術館・朝日新聞社・名古屋市文化振興事業団　2003 年 1 月
原沢暁子：時代を映し出す 9 名の作家たち
深山孝彰：斜めから見た現代美術、そして「ポジション」
井上昇治：名古屋の／と現代美術
小川信治、加藤万也、佐藤三恵、白水ロコ、杉山健司、染谷亜里可、林繭子、真月洋子、森北 伸：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、都現美、神近美、愛芸文、和光大

『名古屋』の美術〈これまでとこれから〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 2 月 4 日－3 月 26 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・日本経済新聞社・中日新聞社

出品：第一部 洋画；横井礼以、大澤鉦一郎、北川民次、伊藤廉、坂井範一、鬼頭鍋三郎、荻須高徳、宮脇晴、矢橋六郎、杉本健吉、三岸節子、魚津良吉、下郷羊雄、藪野正雄、筧忠治、吉川三伸、山田光春、小川博史、辻親造、浅野弥衛、岡田徹、上原欽二、藤島奨、安藤幹衛、吉川家永、坂野耿一、音部幸司、久野真、加藤金一郎、芥川〔間所〕紗織、三尾公三、丹羽和子、稲葉実、笠井誠一、河原温、桑山忠明、高木勲、島田章三、島田鮎子、八島正明、荒川修作、森真吾、近藤文雄、櫃田伸也、森岡完介、吉岡弘昭、斎藤吾朗、稲垣考二、吉本作次、奈良美智。彫刻；野々村一男、野水信、加藤昭男、石黒鏘二、国島征二、高橋洋、庄司達、戸谷成雄、日本画・前田青邨、我妻碧宇、嶋谷自然、片岡球子、内田土卵、水島裕、森緑翠、大森運夫、水谷勇夫、星野真吾、中村正義、平川敏夫、大島哲以、高畑郁子、小山硬、田渕俊夫、平松礼二〔出品作品一覧順〕。第二部；浅野世津子、阿野義久、阿部正枝、板倉明義、伊藤寿美、伊藤美知代、唄嶋かおり、内村恵子、大島信人、大村優佳、尾中真理、加古マツオ、金石拓男、川奈凛子、川野民子、木城圭美、鬼頭幸三、栗木清美、小西雅也、近藤久美子、渋谷安弘、清水太一、首藤恵里、庄司多津男、鈴木敦博、鈴木知子、鈴木雅明、傍島幹司、土屋敦資、幅宏二郎、原勉、フジモトナツコ、松永賢、三浦久美子、森岡佐知子、森川美紀、山田純嗣、山枡紳二郎、吉田葵、若杉しのぶ〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

『名古屋』の美術〈これまでとこれから〉

名古屋市美術館・日本経済新聞社名古屋支社　2006 年 2 月 4 日
山田 諭：名古屋の美術の「これまで」－戦後 60 年の歩み
原沢暁子：作家解説
山田諭編：年表
浅野 徹：名古屋市美術館の初の試み、馬場駿吉：審査を終えて、牧野研一郎：審査寸評、山本富章：審査を終えて、吉田俊英：審査を終えて
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、愛芸文

ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展 ●

欧文タイトル：「Hi-Red Center：The Documents of “Direct Action”」

会期:2013 年 11 月 9 日－12 月 23 日　名古屋市美術館／2014 年 2 月 11 日－3 月 23 日　渋

谷区立松濤美術館

主催：名古屋市美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知〔巡回 2-1〕

出品：高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之、和泉達、ナムジュン・パイク(白南準)、刀根康尚、村井督侍、沢渡朔、宮田国男、平田実、飯村隆彦、羽永光利、風倉匠〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展

「ハイレッド・センター」展実行委員会　2013 年 11 月

和泉 達：時代の変温動物か!

刀根康尚：直接行動とは何であったか。

小杉武久：反芸術の時代

飯村隆彦：ハイレッド・センターと私の映画作り

久保田成子：Hi-Red Center の思い出

山田 諭：ハイレッド・センターの正体

光田由里：ハイレッド・センターとオブジェ／場所／手続／写真そして穴

山田諭編：関係者略歴

光田由里編：関連年表

椎名節編：主要関連文献

所蔵：□、東近美、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版 2014 ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION 2014　Mindfulness!」

会期：2014 年 4 月 12 日－6 月 8 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・中日新聞社

出品：会田誠、秋山さやか、安藤正子、池田学、伊藤存、梅津庸一、大野智史、小谷元彦、樫木知子、加藤泉、加藤美佳、草間彌生、熊澤未来子、小出ナオキ、鴻池朋子、近藤亜樹、坂本夏子、さわひらき、塩田千春、塩保朋子、志賀理江子、菅木志雄、染谷亜里可、竹村京、田中功起、束芋、Chim↑Pom、名知聡子、奈良美智、蜷川実花、畠山直哉、冨谷悦子、松井えり菜、村上隆、村瀬恭子、やなぎみわ、ヤノベケンジ、山口晃、横尾忠則、和田典子〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版 2014

美術出版社　2014 年 4 月 12 日

高橋龍太郎：「マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版 2014」に寄せて

内田真由美：高橋コレクションの軌跡――「ネオテニー・ジャパン」から「マインドフルネス! 2014」へ

高橋龍太郎：作家・作品コメント

高橋龍太郎インタビュー：聞き手・笠木日南子

児島やよい：マインドフルネス!な作家たち 2014――今、ひらかれた展覧会のために

笠木日南子：現代美術「熱」

エレーヌ・ケルマシュター：情熱を共有する
児島やよい、内田真由美、笠木日南子：出品作家解説・略歴
笠木日南子、中村暁子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉●
欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」
会期：2014 年 5 月 31 日－8 月 31 日　六本木・森美術館／11 月 8 日－12 月 23 日　名古屋市美術館／2015 年 1 月 16 日－3 月 15 日　沖縄県立博物館・美術館／4 月 5 日－6 月 7 日　高知県立美術館
主催：名古屋市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・中京テレビ放送〔巡回 4-2〕
――→森美術館〔巡回 4-1〕

モネ それからの 100 年 ●
欧文タイトル：「Monet's Legacy」
会期：2018 年 4 月 25 日－7 月 1 日　名古屋市美術館／7 月 14 日－9 月 24 日　横浜美術館
主催：名古屋市美術館・中日新聞社・東海テレビ放送・東海ラジオ放送〔巡回 2-1〕
出品：堂本尚郎、福田美蘭、平松礼二、児玉麻緒、児玉靖枝、丸山直文、松本陽子、水野勝規、中西夏之、根岸芳郎、岡崎乾二郎、小野耕石、鈴木理策、湯浅克俊〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕
モネ それからの 100 年
東京新聞　2018 年 4 月
深谷克典：モネ それからの 100 年〈永遠の現在としての絵画〉
松永真太郎：モネと現代――「風景」をめぐって
深谷克典、松永真太郎、坂本恭子、大澤紗蓉子：作品解説
ポール・ヘイズ・タッカー：モネの遺産――近代画家としてのモネの戦略
坂本恭子：壁画と衝立 クロード・モネと中西夏之
深谷克典編：クロード・モネ略年譜
小野耕石、児玉麻緒、児玉靖枝、鈴木理策、根岸芳郎、平松礼二、福田美蘭、松本陽子、丸山直文、水野勝規、湯浅克俊：モネに寄せて――出品作家から
坂本恭子編：参考文献抄
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒

安城市民ギャラリー

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2006 年 6 月 10 日－7 月 17 日　八王子市夢美術館／7 月 28 日－9 月 10 日　倉敷市立美術館／9 月 30 日－10 月 29 日　福井市美術館／11 月 18 日－12 月 24 日　安城市民ギャ

ラリー

主催：安城市・安城市教育委員会・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-4〕

――→八王子市夢美術館〔巡回 4-1〕

一宮スポーツ文化センター

第 31 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1998 年 1 月 23 日－2 月 8 日　一宮スポーツ文化センター／石川展；2 月 14 日－28 日　小松市民ギャラリー・ルフレ／岡山展；3 月 8 日－22 日　タカヤ文化財団 華鴒美術館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・一宮市教育委員会〔巡回 3-1〕

出品：日本画；千住博、山本直彰。洋画；石垣定哉、中村一美。版画；柄澤齊、林孝彦。彫刻；上野良隆〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 31 回現代美術選抜展図録

一宮スポーツ文化センター・小松市立本陣記念美術館・タカヤ文化財団 華鴒美術館 1998 年 1 月

所蔵：□、東近美、横浜美、愛芸文

岡崎市美術館

第 26 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；1992 年 11 月 13 日－24 日　今治市河野美術館／岡山展；11 月 28 日－12 月 11 日　井原市立田中美術館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／岐阜展；1993 年 1 月 7 日－18 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／岩手展；1 月 24 日－2 月 7 日　水沢市文化会館／北海道展；2 月 13 日－28 日　釧路市生涯学習センター・アートギャラリー

主催：文化庁・愛知県教育委員会・岡崎市美術館〔巡回 6-3〕

――→今治市河野美術館〔巡回 6-1〕

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館／山口展；11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日　石川県七尾美術館／秋田展；2 月 3 日－18 日　秋田県立近代美術館／岩手展；2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・岡崎市美術館〔巡回 6-3〕

――→浦添市美術館〔巡回 6-1〕

岡崎市美術博物館

「森」としての絵画－「絵」のなかで考える ●

欧文タイトル：「Painting as Forest：Artists as Thinker」

会期：2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　岡崎市美術博物館　主催：岡崎市・中日新聞社

出品：I.システムとしての絵画；岡崎乾二郎、額田宣彦。II.ドローイングから紡ぐ；法貴信也、伊藤存。III.イメージの湧出力；杉戸洋、吉澤美香、越前谷嘉高、村瀬恭子、丸山直文。IV.影像的；横内賢太郎、岩熊力也。V.器としての絵画；加藤泉、奈良美智。VI.絵を立ち上げる；佐藤勲、O JUN、染谷亜里可、中ザワヒデキ、手塚愛子、パラモデル〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「森」としての絵画－「絵」のなかで考える

岡崎市美術博物館　2007 年 2 月　付・Supplement

天野一夫：森の絵画――現代の日本の絵画

千葉真智子：章解説

千葉真智子：絵と言葉のなかに身を置く

伊藤存、岩熊力也、越前谷嘉高、O JUN、岡崎乾二郎、加藤泉、佐藤勲、杉戸洋〔1 行〕、染谷亜里可、手塚愛子、中ザワヒデキ、奈良美智、額田宣彦、パラモデル、法貴信也、丸山直文、村瀬恭子〔1 行〕、横内賢太郎、吉澤美香：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

文化フォーラム春日井

文化庁主催第 37 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；2003 年 12 月 13 日－28 日　今治市河野美術館／愛知展；2004 年 1 月 14 日－2 月 1 日　文化フォーラム春日井

主催：文化庁・愛知県教育委員会・春日井市・春日井市教育委員会・かすがい市民文化財団〔巡回 2-2〕

――→今治市河野美術館〔巡回 2-1〕

瀬戸市美術館

日本の現代陶芸〈伝統と新風の精美〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 8 月 6 日－9 月 19 日　江別市セラミックアートセンター／10 月 1 日－11 月 27 日　瀬戸市美術館

主催：独立行政法人国立美術館・愛知県教育委員会・瀬戸市・瀬戸市文化振興財団〔巡回 2-2〕

――→江別市セラミックアートセンター〔巡回 2-1〕

豊田市美術館

なぜ、これがアートなの? ●

欧文タイトル：「IS THIS ART ?」

会期：1998 年 7 月 21 日－9 月 23 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館／10 月 8 日－12 月 6 日　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館／12 月 19 日－1999 年 3 月 22 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

主催：豊田市美術館〔巡回 3-1〕

出品：I アートを見る、アートを創る；森村泰昌、上田薫、元永定正。II 形のない形；井上有一。III すっきりした形；吉原治良。IV 物は語る；河原温。V 私の内側／私の外側；三宅一生〔豊田市美術館での「出品リスト」順〕

註：出品欄は日本作家を収載した。

○展覧会関連書

アメリア・アレナス著、福のり子訳：なぜ、これがアートなの?

淡交社　1998 年 2 月 19 日

逢坂恵理子、清水穣、都築正敏、沼辺信一、林寿美：用語解説

註：本書の内容を基に「なぜ、これがアートなの?」展が企画・開催された。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会カタログ

「なぜ、これがアートなの?」展出品リスト

豊田市美術館　1998 年 7 月　1 枚(二ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美

「なぜ、これがアートなの?」

豊田市美術館　1998 年 7 月　1 枚(両面刷)

所蔵：□、国新美、東文研

空き地 ●

欧文タイトル：「VACANT LOT」

会期：2000 年 3 月 7 日－5 月 7 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：イチハラヒロコ、須田悦弘、福田美蘭、池野浩彰、大岩オスカール幸男、岡崎和郎、榎忠、小沢剛、小川信治、赤瀬川原平、佐倉密コレクション〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

空き地

豊田市美術館　2000 年 3 月　企画展　展示記録共 2 冊(ケース入)

林 浩平：空き地にて

林 浩平：人影の消えた空き地に物たちはいる――展覧会「空き地」のために

都築正敏：遊びをせんとや生まれけむ

佐倉密・林浩平：モノをめぐって／モノの痕跡をめぐって

□展示記録〔全 36 ページ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

イメージの水位――ナルキッソスをめぐる変容と反射 ●

欧文タイトル：「Water Level of Image－Transformation and Reflection of Narcissus」

会期：2004 年 7 月 6 日－9 月 5 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：草間彌生、山口長男、瑛九、徳岡神泉、池田遙邨、小野竹喬、赤瀬川原平、中西夏之、鳴剛、堀浩哉、諏訪直樹、榎倉康二、杉本博司〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

イメージの水位――ナルキッソスをめぐる変容と反射

豊田市美術館　2004 年 7 月

金井 直：画家 / ナルキッソスの波紋

金井直・成瀬美幸編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

イン・ベッド〈生命の美術〉 ●

欧文タイトル：「IN BED-Images from a Vital Stage」

会期：2004 年 10 月 5 日－12 月 26 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：ジョルジュ・アデアグボ、荒木経惟、ヨーゼフ・ボイス、クリスチャン・ボルタンスキー、ジェームズ・リー・バイヤース、ソフィ・カル、ピエル・パオロ・カルツォラーリ、マルレーネ・デュマス、ナン・ゴールディン、井田照一、河原温、ウィリアム・ケントリッジ、イヴ・クライン、倉俣史朗、草間彌生、松澤宥、ロン・ミュエク、シリン・ネシャット、オノ・ヨーコ、パブロ・ピカソ、アルヌルフ・ライナー、ビル・ヴィオラ〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

イン・ベッド〈生命の美術〉

豊田市美術館　2004 年 10 月

青木正弘：なぜ、「イン・ベッド」なのか

ステファン・クーラー：イン・ベッド

アマル・デュンクル：ベッド

多和田葉子：しんだい

ステファン・クーラー、坂上しのぶ、吉竹彩子：作家解説

坂上しのぶ編：経歴・文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

ベリーベリーヒューマン ●

欧文タイトル：「very very human」

会期：2005 年 10 月 15 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：石田達郎、加藤美佳、鬼頭健吾、小林耕平、古池大介、山本高之、森北伸、渡辺豪〔作

品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ベリーベリーヒューマン

豊田市美術館　2006 年 2 月 28 日

小西信之：ベリーベリーヒューマン

山本高之、古池大介：〔作家のことば〕

北川智昭：ヒューマンへの視点

北川智昭、有衛里美、大柄聡子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図

内なるこども ●

欧文タイトル：「The Child」

会期：2006 年 4 月 14 日－6 月 18 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：荒木経惟、木村伊兵衛、野田哲也、小倉遊亀、島尾伸三、髙山辰雄、北川民次、小野木学、中澤英明、土門拳、高松次郎、笹井史恵、北山善夫、小作青史、加藤泉、奈良美智、イケムラレイコ、播磨みどり、会田誠、中村正義〔作品一覧順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

内なるこども　　豊田市美術館編

青幻舎　2006 年 3 月 31 日

田境志保、金井直：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ガーデンズ――小さな秘密の庭へ ●

欧文タイトル：「GARDENS」

会期：2006 年 9 月 30 日－12 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：鈴木昭男、照屋勇賢、栗林隆、高木正勝、小粥丈晴〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

ガーデンズ――小さな秘密の庭へ

豊田市美術館　2006 年 9 月　主に欧文併載

カトリーヌ・グルー：ガーデンズ――さまざまな経験と問いかけ

能勢陽子：GARDENS――小さな秘密の庭へ

能勢陽子：作家解説

能勢陽子、北谷正雄、金井直、西﨑紀衣：編集

所蔵：□、東近美、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図

宇宙御絵図 UCHU-MIEZU ●

会期：2007 年 6 月 19 日－9 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：安齊重男、金山明、河原温、北山善夫、佐倉密、鷲見和紀郎、田中信行、長沼宏昌、

野村仁、松澤宥、毛利武士郎、ZAPPA〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

宇宙御絵図 UCHU-MIEZU

豊田市美術館　2007 年 6 月

篠原資明：宇宙と風雅モダニズム

青木正弘：「宇宙御絵図」を思考する

西﨑紀衣、金井直、吉竹彩子、安言子、北川智昭：作家解説

青木正弘編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展 ●

欧文タイトル：「SURREALISM AND ART　IMAGE AND REALITY」

会期：2007 年 4 月 21 日－6 月 17 日　宇都宮美術館／7 月 3 日－9 月 17 日　豊田市美術館／9 月 29 日－12 月 9 日　横浜美術館

主催：豊田市美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会〔巡回 3-2〕

――→宇都宮美術館〔巡回 3-1〕

不協和音－日本のアーティスト 6 人 ●

欧文タイトル：「DISSONANCES」

会期：2008 年 9 月 30 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：久保田成子、草間彌生、オノ・ヨーコ、斉藤陽子、塩見允枝子、田中敦子〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

不協和音－日本のアーティスト 6 人

ムディマ・ファンデーション ミラノ　2008 年 9 月　英文併載

ジーノ・ディマッジオ：不協和音

アキレ・ボニト・オリヴァ：精神状態を征服した 6 人の日本人アーティスト

ジァン・カルロ・カルツァ：日本美術における女性的価値の過去と現在

由本みどり：前衛を超えて：日本人女性芸術家たちの位置

マニュエラ・ガンディーニ、アレキサンドラ・モンロー〔再録〕、ジャンルカ・ランツィ、河﨑晃一：〔作家論・作家インタビュー〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図

反重力〈浮遊｜時空旅行｜パラレル・ワールド〉 ●

欧文タイトル：「Antigravity」

会期：2013 年 9 月 14 日－12 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・テレビ朝日・メ～テレ、共催：朝日新聞社

出品：ジルヴィナス・ケンピナス、中原浩大＋井上明彦、カーステン・ヘラー、やくしまるえつこ、レアンドロ・エルリッヒ、中村竜治、奥村雄樹、佐藤克久、中谷芙二子、内藤礼、

クワクボリョウタ、エルネスト・ネト、平川紀道、河原温、松澤宥、毛利武士郎〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

反重力〈浮遊｜時空旅行｜パラレル・ワールド〉

青幻舎　2013 年 12 月 1 日　英文併載

ジルヴィナス・ケンピナス、中原浩大＋井上明彦、カーステン・ヘラー〔2 行〕、やくしまるえつこ、レアンドロ・エルリッヒ、中村竜治、奥村雄樹、佐藤克久、中谷芙二子、内藤礼、エルネスト・ネト、平川紀道〔2 行〕、松澤宥〔1 行〕:〔作家のことば〕

能勢陽子：作家・作品解説

吉岡 洋：飛行、浮遊、そして反重力へ

能勢陽子：反重力－重さからの離陸のゆくえ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

蜘蛛の糸 クモがつむぐ美の系譜－江戸から現代へ ●

欧文タイトル：「Spider's Thread－Spinning images of Japanese beauty」

会期：2016 年 10 月 15 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・朝日新聞社

出品：塩田千春、満田晴穂、熊谷守一、中谷芙二子、新宮晋、森村泰昌、荒木経惟、小柳裕、山口薫、福沢一郎、工藤哲巳、猪瀬光、大藤信郎、鴨居玲、籔内佐斗司、ムットーニ、イケムラレイコ、小林正人、小泉明郎、戸谷成雄、青木千絵、草間彌生、田中敦子、手塚愛子、浅野弥衛、狗巻賢二、小川信治、さかぎしよしおう、額田宣彦、法貴信也、秋山陽、青木野枝、加藤翼、ミヤギフトシ〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

蜘蛛の糸 クモがつむぐ美の系譜－江戸から現代へ

蜘蛛の糸展実行委員会　2016 年 10 月

奥本大三郎：蜘蛛と人生

都筑正敏：蜘蛛の糸

藤井享子：蜘蛛の巣文様を着ること－近世前期小袖文様の意匠から

成瀬美幸：小茂田青樹、速水御舟の写生観とその背景

都筑正敏、成瀬美幸、西﨑紀衣、鈴木俊晴、千葉真智子、北谷正雄、能勢陽子：作品リスト、作家・作品解説

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

ビルディング・ロマンス〈現代譚を紡ぐ〉 ●

欧文タイトル：「Building Romance」

会期：2018 年 1 月 20 日－4 月 8 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・朝日新聞社・ひまわりネットワーク・エフエムとよた

出品：志賀理江子、危口統之と悪魔のしるし、アピチャッポン・ウィーラセタクン、スーザ

ン・ヒラー、飴屋法水〔作品リスト順〕
〇展覧会カタログ
ビルディング・ロマンス〈現代譚を紡ぐ〉
豊田市美術館　2018 年 3 月
遠藤水城：大いなる過渡期の論理
能勢陽子：本当のフィクション
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

豊田市民文化会館
第 20 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：愛知展；1986 年 11 月 9 日－23 日　豊田市民文化会館／徳島展；11 月 29 日－12 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；1987 年 1 月 10 日－25 日　富山県民会館美術館／福島展；1 月 31 日－2 月 15 日　郡山市民文化センター／宮城展；2 月 21 日－3 月 8 日　石巻文化センター
主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊田市・豊田市教育委員会〔巡回 5-1〕
出品：日本画；鈴木竹柏、毛利武彦。洋画；阿部平臣、佐野ぬい。版画；小作青史、高柳裕。彫刻；長江録弥〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。
〇展覧会カタログ
第 20 回現代美術選抜展
〔文化庁〕　1986 年 11 月
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美
第 22 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：愛知展；1988 年 11 月 13 日－27 日　豊田市民文化会館／宮城展；1989 年 1 月 8 日－24 日　石巻文化センター／青森展；1 月 29 日－2 月 19 日　弘前市立博物館
主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊田市・豊田市教育委員会〔巡回 3-1〕
出品：日本画；鎌倉秀雄、滝沢具幸。洋画；芝田耕、森秀雄。版画；小林敬生、斎藤寿一。彫刻；日高頼子〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。
〇展覧会カタログ
第 22 回現代美術選抜展
〔文化庁〕　1988 年 11 月
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美

豊橋市美術博物館

第 13 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鳥取展；1979 年 12 月 8 日－22 日　鳥取県立博物館／愛知展；1980 年 1 月 8 日－20 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 27 日－2 月 11 日　弘前市立博物館／北海道展；2 月 17 日－3 月 2 日　北海道立近代美術館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・豊橋文化協会・中日新聞社〔巡回 4-2〕

――→鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

第 15 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：静岡展；1981 年 11 月 11 日－25 日　富士宮・富士美術館／愛知展；12 月 1 日－20 日　豊橋市美術博物館／富山展；1982 年 1 月 9 日－24 日　富山県民会館美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 11 日　千葉県立美術館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 4-2〕

――→富士美術館〔巡回 4-1〕

第 16 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：青森展；1982 年 10 月 17 日－11 月 3 日　弘前市立博物館／広島展；11 月 20 日－12 月 5 日　呉市立美術館／徳島展；12 月 10 日－26 日　徳島県郷土文化会館／愛知展；1983 年 1 月 8 日－23 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 4-4〕

――→弘前市立博物館〔巡回 4-1〕

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：長野展；1983 年 10 月 9 日－23 日　長野県信濃美術館／鳥取展；10 月 30 日－11 月 13 日　米子市美術館／香川展；11 月 19 日－12 月 4 日　香川県文化会館／三重展；12 月 10 日－25 日　四日市市文化会館／愛知展；1984 年 1 月 7 日－22 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・愛知教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 5-5〕

――→長野県信濃美術館〔巡回 5-1〕

第 18 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：大阪展；1984 年 12 月 9 日－12 月 23 日　岸和田市立文化会館／愛知展；1985 年 1 月 6 日－20 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 27 日－2 月 15 日　弘前市立博物館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 3-2〕

――→岸和田市立文化会館〔巡回 3-1〕

第 19 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 1 月 7 日－19 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 26 日－2 月 9 日

青森市民美術展示館／山形展；2 月 15 日－28 日　山形美術館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 3-1〕

出品：日本画；高木義夫、福井爽人。洋画；伊庭新太郎、大沼映夫。版画；中林忠良、渡辺豊重。彫刻；今城国忠〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 19 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1986 年 1 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、愛芸文

第 21 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1987 年 11 月 21 日－12 月 6 日　藤沢市民ギャラリー／愛知展；1988 年 1 月 6 日－24 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 30 日－2 月 21 日　弘前市立博物館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 3-2〕

――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 3-1〕

第 23 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1989 年 11 月 16 日－12 月 3 日　藤沢市民ギャラリー／岡山展；12 月 8 日－24 日　岡山県立美術館／愛知展；1990 年 1 月 6 日－21 日　豊橋市美術博物館／沖縄展；2 月 1 日－25 日　浦添市美術館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 4-3〕

――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 4-1〕

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1993 年 11 月 10 日－21 日　藤沢市民ギャラリー／山形展；11 月 27 日－12 月 14 日　よねざわ市民ギャラリー・ドリーム／愛知展；12 月 22 日－1994 年 1 月 16 日　豊橋市美術博物館／徳島展；1 月 21 日－2 月 6 日　徳島県郷土文化会館／香川展；2 月 10 日－24 日　坂出市民美術館

主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市美術博物館・中日新聞社〔巡回 5-3〕

――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 5-1〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：豊橋市美術博物館・中日新聞社〔巡回 9-6〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

NIHON 画〈新たな地平を求めて〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 10 月 29 日－12 月 11 日　豊橋市美術博物館　主催：豊橋市美術博物館・中日新聞社

出品：福田平八郎、徳岡神泉、小松均、山本丘人、東山魁夷、髙山辰雄、加山又造、工藤甲人、片岡球子、近藤弘明、平山郁夫、吉岡堅二、秋野不矩、杉山寧、堂本印象、横山操、山崎隆、三上誠、不動茂弥、大野俶嵩、下村良之介、野村耕、岩崎鐸、岩田重義、堀尾実、水谷勇夫、上田臥牛、丸木位里、丸木俊、佐藤多持、大島哲以、永井繁男、伊東隆雄、中村正義、平川敏夫、大森運夫、高畑郁子、星野真吾、森緑翠、土屋禮一、小嶋悠司、諏訪直樹、間島秀徳、岡村桂三郎、山本直彰、八木幾朗、石野善浩、新恵美佐子、加藤良造、田中武、漆原夏樹、高村総二郎、三瀬夏之介、山本太郎、久松和子〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

NIHON 画〈新たな地平を求めて〉

豊橋市美術博物館　2016 年 10 月 29 日　豊橋市制施行 110 周年・美術博物館リニューアル記念展

毛利伊知郎：「NIHON 画〈新たな地平を求めて〉」前史的断章

吉田俊英：「日本画」の延長上、もしくは変身を繰り返す「日本絵画」

丸地加奈子：「日本画」と物質－素材をめぐる挑戦

岡田亘也、丸地加奈子、細田樹里、田中竜也：作家略年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

碧南市藤井達吉現代美術館

メタルズ!〈変容する金属の美〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 6 月 28 日－8 月 31 日　高岡市美術館／9 月 11 日－10 月 19 日　碧南市藤井達吉現代美術館／11 月 1 日－12 月 23 日　北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いのちのたび博物館)／2015 年 1 月 24 日－3 月 8 日　新潟市新津美術館

主催：碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会・メタルズ!実行委員会、共催：朝日新聞社・NHK プラネット中部〔巡回 4-2〕

――→高岡市美術館〔巡回 4-1〕

公立美術館 近畿

三重県

三重県立美術館

三重の美術・現代展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 9 月 25 日－11 月 21 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

出品：前期；中谷泰、足代義郎、森谷重夫、岡本実、三輪勇之助、関田庄司、小林研三、小林藤四郎、森芳雄、八島正明、和田義彦、土嶋敏男、鈴木三朝、嶋谷自然、古野新生、杉原元人、石垣彰夫、奥山芳泉、橋本綵可、野口巳緻子、松永隆雄、大西金次郎、片山義郎、中村晋也。後期；岩中徳次郎、館慶一、浅野弥衛、元永定正、木下富雄、中野英一、伊藤利彦、奥行彦、今村幸生、戸田陽子、神戸武志、田畑進〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

三重の美術・現代展カタログ

三重県立美術館　1982 年 9 月 24 日　開館記念展

匠 秀夫：地方美術館と展覧会をめぐって

乾 由明：現代日本の抽象系美術

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

現代美術の新世代展〈東海地区を中心とした〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1983 年 7 月 2 日－8 月 7 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

出品：伊藤清和、今井瑾郎、内田晴之、海老塚耕一、遠藤利克、岡本敦生、角永和夫、北辻良央、北山善夫、木村秀樹、久野利博、栗岡孝於、甲谷武、小清水漸、小谷浩士、斎藤吾朗、沢居曜子、鈴木広行、諏訪直樹、清野祥一、高田洋一、高藤有示、竹田康宏、辰野登恵子、田中薫、田畑進、蛇雄、長澤知明、原真知子、藤井一、古川清、星野暁、松本薫、松本雅之、村田千秋、山本富章、吉村正郎〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代美術の新世代展〈東海地区を中心とした〉

三重県立美術館　1983 年 7 月

酒井忠康：物質との対話〈現代美術の新世代展に寄せて〉

中村英樹：東海地区の現代美術

牧野研一郎：現代美術とは?

伊藤清和、今井瑾郎、内田晴之、海老塚耕一、遠藤利克、岡本敦生、角永和夫、北辻良央、北山善夫、木村秀樹、久野利博、栗岡孝於、甲谷武、小清水漸、小谷浩士、斎藤吾朗、沢居曜子、鈴木広行、諏訪直樹、清野祥一、高田洋一、高藤有示、竹田康宏、辰野登恵子、田中薫、田畑進、蛇雄、長澤知明、原真知子、藤井一、古川清、星野暁、松本薫、松本雅之、村田千秋、山本富章、吉村正郎：コメント

中谷伸生編：現代美術基本用語解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、和光大、国会図

アーティストとクリティック――批評家土方定一と戦後美術 ●

欧文タイトル：「10th Anniversary Exhibition of MIE PREFECTURAL ART MUSEUM Artists & An Art Critic-Teiichi HIJIKATA & Japanese Art in the post-WORLD WAR II Period」

会期：1992 年 8 月 15 日－9 月 13 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

出品：第 1 章「歴史と造型心理――戦時下から占領下へ」油彩画；福沢一郎、北脇昇、海老原喜之助、鶴岡政男、鷹山宇一、糸園和三郎、香月泰男、寺田政明、松本竣介、阿部展也、藤井令太郎、吉岡憲、中村宏、河原温。版画；浜田知明、秀島由己男。第 2 章「トコトコが来た――心理的映像と詩的情景」油彩画；高畠達四郎、林武、岡鹿之助、野口彌太郎、朝井閑右衛門、鳥海青児、難波田龍起、三岸節子、山口薫、原精一、森芳雄、脇田和、宇治山哲平、麻生三郎、田中阿喜良、三輪勇之助。版画；飯野農夫也、駒井哲郎。第 3 章「現代の彫刻的状況と抽象絵画――抽象構成と建築的空間」油彩画；高間惣七、川口軌外、山口長男、斎藤義重、村井正誠、川端実、杉全直、菅井汲、田中岑、田淵安一。版画；一原有徳。彫刻；辻晋堂、柳原義達、堀内正和、向井良吉、飯田善國、多田美波、井上武吉、湯原和夫、江口週、若林奮〔出品目録順〕

註：出品欄は、戦後作品出品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

アーティストとクリティック――批評家土方定一と戦後美術

三重県立美術館　1992 年 8 月　開館 10 周年記念展

荒屋鋪 透：「アーティストとクリティック――批評家土方定一と戦後美術」展構成について

東 俊郎：まだ天使が生まれていない場所で

東俊郎編：土方定一年譜

荒屋鋪透編：文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

動物美術館〈20 世紀日本の生きもののイメージ〉●

欧文タイトル：「ART MUSEUM OF ANIMALS Japanese Plastic Expression of Creature in 20th Century」

会期：1995 年 4 月 1 日－5 月 7 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

出品：1.動物に注がれる眼差し；池田遙邨、徳岡神泉、坂本繁二郎、海老原喜之助、古茂田公雄、長谷川潾二郎、脇田和、小林研三、柳原義達、淀井敏夫。2.動物をめぐるヴィジョン；加山又造、稗田一穂、工藤甲人、下村良之介、池田龍雄、三輪勇之助、桂ゆき、須田寿、阿部合成、瑛九、秋山泰計、斎藤清、辻晋堂、鈴木治、熊倉順吉。3.生きものをめぐる表現の可能性；戸田正寿、若林奮、吉野辰海、籔内佐斗司、浅井健作、天野裕夫、安藤泉、大谷まや、馬田純子〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

動物美術館〈20 世紀日本の生きもののイメージ〉　三重県立美術館編

三重県立美術館協力会　1995 年 4 月
酒井哲朗：動物美術館－日本の動物表現をめぐって
毛利伊知郎：現代社会と動物表現
荒屋鋪透、毛利伊知郎：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」
会期：1998 年 5 月 16 日－6 月 14 日　北海道立旭川美術館／8 月 1 日－9 月 6 日　津・三重県立美術館／10 月 24 日－11 月 23 日　郡山市立美術館／1999 年 2 月 5 日－3 月 21 日　愛媛県美術館
主催：三重県立美術館・読売新聞中部本社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・中京テレビ放送〔巡回 4-2〕
――→北海道立旭川美術館〔巡回 4-1〕

20 世紀美術にみる人間展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2004 年 10 月 23 日－12 月 12 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・愛知県美術館・岐阜県美術館
出品：佐藤忠良、鳥海青児、森芳雄、本郷新、舟越保武、麻生三郎、小山田二郎、福沢一郎、中村正義、山口薫、桂ゆき、脇田和〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。
○展覧会カタログ
20 世紀美術にみる人間展 鑑賞ガイド
三重県立美術館協力会　2004 年 10 月　愛知・岐阜・三重 三重県立美術館協同企画
毛利伊知郎：「20 世紀美術にみる人間展」について
村田真宏：美術館のコレクションとは
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

液晶絵画 ●

欧文タイトル：「STILL / MOTION」
会期：2008 年 2 月 14 日－4 月 13 日　津・三重県立美術館／4 月 29 日－6 月 15 日　大阪・国立国際美術館／8 月 23 日－10 月 13 日　東京都写真美術館
主催：三重県立美術館・三重県・メ～テレ・朝日新聞社〔巡回 3-1〕
出品：森村泰昌、やなぎみわ、鷹野隆大、小島千雪、千住博〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
液晶絵画

朝日新聞社　2008 年 2 月 14 日　英文併載

建畠 哲：Still / Motion

南家識子、福元崇志、藤村里美、石崎勝基、加須屋明子、毛利伊知郎：〔作家解説〕

加須屋明子：映像と時間〈ミロスワフ・バウカとドミニク・レイマンの映像表現を中心に〉

石崎勝基：時よ止まれ、お前は美しいのか?〈絵と映像の A 感覚〉

藤村里美：映像と写真

稲垣貴士：映像表現史〈映像と絵画の「あいだ」〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

「ひろがるアート〈現代美術入門篇〉」展 ●

欧文タイトル：「EXPANDING ART」

会期：2010 年 10 月 23 日－12 月 19 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・愛知県美術館・岐阜県美術館・自治総合センター・中日新聞社

出品：人間像の変容；荒川修作、工藤哲巳、イケムラレイコ、吉本作次、中澤英明。ひろがる平面；瑛九、田中敦子、李禹煥。物質変容の種子；小清水漸、黒川弘毅、西村陽平、千崎千恵夫、多和圭三。物質変容の痕跡；岡村桂三郎、出原次朗、原裕治、戸谷成雄。平面再訪；桑山忠明、中西夏之、秋岡美帆、今村哲、染谷亜里可、杉戸洋、館勝生。エピローグ；野村仁〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

「ひろがるアート〈現代美術入門篇〉」展図録

三重県立美術館協力会　2010 年 10 月　愛知・岐阜・三重 三重県立美術館協同企画展

石崎勝基：作品解説、あるいは幕間に潜りこもう!

石崎勝基、生田ゆき：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」

会期：2012 年 9 月 1 日－10 月 21 日　福岡アジア美術館／11 月 27 日－2013 年 1 月 6 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館／1 月 26 日－3 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館／4 月 13 日－6 月 23 日　津・三重県立美術館

主催：三重県立美術館〔巡回 4-4〕

──→福岡アジア美術館〔巡回 4-1〕

三重の新世代 2015 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists in Mie」

会期：2015 年 1 月 4 日－3 月 29 日　津・三重県立美術館柳原義達記念館　主催：三重の新世代展実行委員会・三重県立美術館

出品：荒木由香里、石山浩達、磯貝知哉、板野久美子、稲葉直也、岩名泰岳、上島好恵、大

西佐奈、近藤麻美、下村雄三、谷口美喜、西村怜奈、林康貴、平田茂、平松典子、廣田光司、宮本宗、柳田美穂、山鹿翔子、山本真也〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「三重の新世代 2015」図録　　三重県立美術館編

三重の新世代展実行委員会　2015 年 1 月 4 日

毛利伊知郎：「三重の新世代 2015」開催にあたって

樋口萌、毛利伊知郎：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図

再発見! ニッポンの立体 ●

欧文タイトル：「Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan」

会期：2016 年 7 月 16 日－9 月 19 日　群馬県立館林美術館／11 月 15 日－2017 年 1 月 9 日　静岡県立美術館／1 月 24 日－4 月 9 日　津・三重県立美術館

主催：三重県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

――→群馬県立館林美術館〔巡回 3-1〕

四日市市文化会館

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：長野展；1983 年 10 月 9 日－23 日　長野県信濃美術館／鳥取展；10 月 30 日－11 月 13 日　米子市美術館／香川展；11 月 19 日－12 月 4 日　香川県文化会館／三重展；12 月 10 日－25 日　四日市市文化会館／愛知展；1984 年 1 月 7 日－22 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・三重県教育委員会・四日市市文化振興財団〔巡回 5-4〕

――→長野県信濃美術館〔巡回 5-1〕

滋賀県

滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'86 多義的な表面 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'86 The Ambiguous Surface」

会期：1986 年 2 月 18 日－3 月 23 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：五十嵐彰雄、根岸芳郎、山本豊章、横溝秀実〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

シガ・アニュアル'86 多義的な表面

滋賀県立近代美術館　1986 年 2 月

尾野正晴：多義的な表面

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、国会図

シガ・アニュアル'87 “主張する人体” ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'87 Expressions of Human Figures」

会期：1987 年 1 月 6 日－2 月 15 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：都築房子、石原友明、舟越桂、中西學、池村玲子、服部冬樹〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

シガ・アニュアル'87 “主張する人体”

滋賀県立近代美術館　1987 年 1 月

小林昌夫：主張する人体

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、東大駒

シガ・アニュアル'88 陶・生まれ変わる造形 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'88 CLAY WORK THE REPRO-ACTION OF FORM」

会期：1988 年 4 月 9 日－5 月 15 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：秋山陽、井上雅之、奥田博土、笠原由起子、堤展子、中村康平、松井利夫、松本ヒデオ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

シガ・アニュアル'88 陶・生まれ変わる造形

滋賀県立近代美術館　1988 年 4 月

桑山俊道：陶・生まれ変わる造形

秋山陽、井上雅之、奥田博土、笠原由起子、堤展子、中村康平、松井利夫、松本ヒデオ：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

シガ・アニュアル'90 写真による現代版画〈虚と実の間〉 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '90 CONTEMPORARY PRINTS ; THE APPLICATION OF PHOTOGRAPH」

会期：1990 年 1 月 5 日－2 月 12 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：秋岡美帆、大島成己、小枝繁昭、出店久夫、永原ゆり、濱田弘明〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

シガ・アニュアル'90 写真による現代版画〈虚と実の間〉

滋賀県立近代美術館　1990 年 1 月　第 4 回展

平田健生：虚と実の間

秋岡美帆、大島成己、小枝繁昭、出店久夫、永原ゆり、濱田弘明〔2 行〕：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、東大駒、和光大

シガ・アニュアル'91 自己との遭遇――パリに学んだエスプリ ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '91」

会期：1991 年 1 月 5 日－2 月 11 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：コリン・ミノル、立山正一、中島千剛、渡辺良雄〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

シガ・アニュアル'91 自己との遭遇――パリに学んだエスプリ

滋賀県立近代美術館　1991 年 1 月　第 5 回展

占部敏子：自己との遭遇〈パリに学んだエスプリ〉

コリン・ミノル、立山正一、中島千剛、渡辺良雄：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、京都学、東大駒、和光大

シガ・アニュアル'92 言語／美術 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '92 Functions of Language in Contemporary Art

会期：1992 年 1 月 5 日－2 月 16 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：平林薫、宮島達男、セシル・アンドリュー、宮前正樹、リフレイン〔一覧順〕

〇展覧会カタログ

シガ・アニュアル'92 言語／美術

滋賀県立近代美術館　1992 年 1 月　第 6 回展　6 枚たとう・袋入(各三ツ折両面刷)

□〔第 1 葉〕

高橋佐智子：言語／美術

□〔第 2 葉～第 6 葉　平林薫、宮島達男、セシル・アンドリュー、宮前正樹、リフレイン〕

高橋佐智子：〔作家論〕

平林薫、宮島達男、セシル・アンドリュー、宮前正樹：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研

シガ・アニュアル'93 染め・織り〈生まれ変わる造形〉 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'93 FIBER WORK / THE REPRO-ACTION OF FORM」

会期：1993 年 1 月 5 日－2 月 14 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：上野真知子、朝倉美津子、大手裕子、高田有子、車李南、藤本哲夫、本田昌史、三橋遵〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

シガ・アニュアル'93 染め・織り〈生まれ変わる造形〉

滋賀県立近代美術館　1993 年 1 月

桑山俊道：染め・織り〈生まれ変わる造形〉

上野真知子、朝倉美津子、大手裕子、高田有子、車李南、藤本哲夫、本田昌史、三橋遵：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学

シガ・アニュアル'94 版の宇宙 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '94 CONTEMPORARY PRINTS；VOYAGE TO THE REALM OF IMAGINATION」

会期：1994 年 2 月 19 日－3 月 27 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：安藤真司、木下恵介、小林清子、清水美三子、林孝彦、筆塚稔尚、芳野太一、若月公平〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

シガ・アニュアル'94 版の宇宙

滋賀県立近代美術館　1994 年 2 月　第 8 回展

安藤真司、木下恵介、小林清子、清水美三子、林孝彦、筆塚稔尚、芳野太一、若月公平：〔作家のことば〕

占部敏子：「版の宇宙」〈マチエールの魅力と夢想の時〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、京都学、和光大

シガ・アニュアル'95 ファンタジーRPG イラストレーション展 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'95 FANTASY RPG〔Role Playing Game〕ILLUSTRATION」

会期：1995 年 1 月 5 日－2 月 19 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：天野喜孝、加藤洋之＋後藤啓介、草彅琢仁、末弥純、山田章博、米田仁士〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

シガ・アニュアル'95 ファンタジーRPG イラストレーション展

滋賀県立近代美術館　1995 年 1 月

天野喜孝、加藤洋之＋後藤啓介、草彅琢仁、末弥純、山田章博、米田仁士：〔作家のことば〕

平田健生：異世界を描く画家たち

所蔵：□

シガ・アニュアル'96 ハンドメイド・オブジェ ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '96 Handmade Objects」

会期：1996 年 1 月 5 日－2 月 18 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：上野政彦、金村仁、髙柳恵里、長井かほる、中ハシ克シゲ、山崎亨〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

シガ・アニュアル'96 ハンドメイド・オブジェ

滋賀県立近代美術館　1996 年 1 月　第 10 回展

尾﨑佐智子：ハンドメイド・オブジェ――レディメイドを越えて／〔作家略歴、作家論〕

上野政彦、金村仁、髙柳恵里、長井かほる、中ハシ克シゲ、山崎亨：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、和光大

シガ・アニュアル'97 紙〈生まれ変わる造形〉●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '97 Paper Work / The Repro-action of Form」

会期：1997 年 1 月 7 日－2 月 16 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：朝倉俊輔、井上園子、扇千花、角喜代則、西村陽平、半谷学、三嶽伊紗、八幡はるみ〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

シガ・アニュアル'97 紙〈生まれ変わる造形〉

滋賀県立近代美術館　1997 年 1 月　第 11 回展

桑山俊道：「紙〈生まれ変わる造形〉」

朝倉俊輔、井上園子、扇千花、角喜代則、西村陽平、半谷学、三嶽伊紗、八幡はるみ：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

シガ・アニュアル'98 精霊の宿るところ――見えざるものの啓示 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '98 SPIRITUAL PRESENCE in the Contemporary Art」

会期：1998 年 2 月 21 日－3 月 29 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：浅岡慶子、黒川弘毅、粟国久直〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

シガ・アニュアル'98 精霊の宿るところ――見えざるものの啓示

滋賀県立近代美術館　1998 年 2 月　第 12 回展

占部敏子：精霊の宿るところ――見えざるものの啓示

浅岡慶子、黒川弘毅、粟国久直：作家コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、京都学、和光大

シガ・アニュアル 1999 現代空想絵師展〈ファンタスティック・イラストレーター〉●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL 1999 7 Artists of Japanese Contemporary Fantastic Illustration」

会期：1999 年 2 月 27 日－3 月 28 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：雨宮慶太、いのまたむつみ、開田裕治、笠井あゆみ、弘司、小林智美、高田明美〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

シガ・アニュアル 1999 現代空想絵師展〈ファンタスティック・イラストレーター〉

滋賀県立近代美術館　1999 年 2 月　第 13 回展

雨宮慶太、開田裕治、笠井あゆみ、弘司、小林智美、高田明美：〔作家のことば〕

平田健生：ジュヴナイル・イラストレーションとは何か

所蔵：□、国新美、和光大

コピーの時代〈デュシャンからウォーホル、モリムラへ〉●

欧文タイトル：「20th Anniversary Exhibition The Copy Age From Duchamp through Warhol to Morimura」

会期：2004 年 6 月 5 日－9 月 5 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：(1)はじまりとしてのマルセル・デュシャン；マルセル・デュシャン。(2)大衆文化からの引用；アンディ・ウォーホル、ロイ・リキテンスタイン、トム・ウェッセルマン、ジェフ・クーンズ、リチャード・プリンス、立石大河亞、森村泰昌、鷲見麿、柳幸典、中村政人、福田美蘭、岡本光博。(3)複製としての貨幣；アンディ・ウォーホル(重)、赤瀬川原平、森村泰昌(重)、柳幸典(重)、アイデアルコピー、メル・ボクナー。(4)盗め「日本美術史」；森村泰昌(重)、玉城末一、野島康三、福田美蘭(重)、黒田清輝、葛飾北斎、志村ふくみ、清水卯一、小川信治、小沢剛、李禹煥、金山明、山口晃。(5)盗め「西洋美術史」；ロイ・リキテンスタイン(重)、クロード・モネ、アンディ・ウォーホル(重)、アンリ・マティス、シェリー・レヴィーン、コンスタンチン・ブランクーシ、ウォーカー・エヴァンズ、マイク・ビドロ、篠原有司男、森村泰昌(重)、鷲見麿(重)、小川信治(重)、福田美蘭(重)。(6)オリジナルなきコピー；シンディ・シャーマン、小川信治(重)、コンスタンチン・ブランクーシ(重)、マルセル・デュシャン(重)〔出品リスト順〕

註：出品欄にはコピーの対象となった古典的作品（したがって作家）が含まれているが、そのまま削除しないで収載。

〇展覧会カタログ

コピーの時代〈デュシャンからウォーホル、モリムラへ〉

滋賀県立近代美術館　2004 年 6 月　開館 20 周年記念展

桑山俊道：滋賀県立近代美術館と現代美術

尾﨑佐智子：序

椹木野衣：「引用と複製――その臨界点 日本・シュミレーショニズム・20 世紀末の一断面」

尾﨑佐智子：「コピーの時代〈デュシャンからウォーホル、モリムラへ〉」

高梨純次：模倣と造形〈日本美術史にみる「模」の諸相〉

尾﨑佐智子：章解説

尾﨑佐智子、田平麻子、高梨純次、桑山俊道：作家・作品解説

福田美蘭：〔作家のことば〕

田平麻子編：用語解説

田平麻子、尾﨑佐智子、高梨純次、桑山俊道：作家解説

田平麻子編：関連年表

田平麻子編：主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

滋賀県立琵琶湖文化館

第 6 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：滋賀展；1972 年 10 月 8 日－22 日　滋賀県立琵琶湖文化館／長崎展；10 月 29 日－11 月 12 日　長崎県立美術博物館／鹿児島展；11 月 19 日－12 月 3 日　鹿児島市立美術館／東京展；12 月 19 日－28 日　銀座・東京セントラル美術館

主催：文化庁・滋賀県・滋賀県教育委員会〔巡回 4-1〕

出品：日本画；大矢紀、信太金昌。洋画；富岡惣一郎、星崎孝之助。版画；木村光佑。彫刻；安田周三郎、和田金剛〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 6 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1972 年 10 月

所蔵：□、国新美、東文研

第 7 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：徳島展；1973 年 9 月 29 日－10 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；10 月 20 日－11 月 4 日　高岡市立美術館／奈良展；11 月 11 日－25 日　奈良県立美術館／滋賀展；12 月 1 日－16 日　滋賀県立琵琶湖文化館

主催：文化庁・滋賀県・滋賀県教育委員会・滋賀県文化体育振興事業団〔巡回 4-4〕

――→徳島県郷土文化会館〔巡回 4-1〕

京都府

京都府京都文化博物館

アートと考古学展〈物の声を、土の声を聴け〉 ●

欧文タイトル：「ART AND ARCHAEOLOGY：THE SILENT VOICES OF MATERIALS AND SOIL」

会期：2016 年 7 月 23 日－9 月 11 日　京都文化博物館　主催：京都文化博物館

出品：第 4 章 考古学と出会い、響き合うアート；松井利夫、伊達伸明、八木良太、日下部一司、清水志郎〔作品目録順〕

註：出品欄は現代作家を収載。

○展覧会カタログ

アートと考古学展〈物の声を、土の声を聴け〉

京都文化博物館　2016 年 7 月 23 日　世界考古学会議京都(WAC-8)開催記念

松井利夫：ここではないどこか〈アートと考古学展に寄せて〉

村野正景：総論「アートと考古学」とは何か
上村博、中村大、家成俊勝、松井利夫・村野正景：各論、会場構成について、対談
所蔵：□、国新美、京都学、国会図

京都市美術館

1972 京都ビエンナーレ ●

欧文タイトル：「KYOTO BIENNALE 1972」
会期：1972 年 2 月 24 日－3 月 7 日　京都市美術館　主催：京都市美術館
出品：芥川耿、池水慶一、狗巻賢二、井上貴由、井本由之、植松奎二、大場敬、岡野靖夫、奥田善巳、郭徳俊、柏原えつとむ、片岡友和、河口龍夫、川越義夫、川村悦郎、岸川国芳、北辻良央、木村光佑、楠秀男、クボ サトシ、佐野芳樹、志野明、鈴木重夫、滝本清次、田代幸俊、田中俊昭、野村仁、八田淳、林剛、伴文夫、平田洋一、水上旬、山本保、山本義雄、米津茂英、脇山幹夫、和田寛〔アンケート回答順〕
○展覧会カタログ
1972 京都ビエンナーレ
〔京都市美術館〕　1972 年 2 月
平野重光：われわれにとって美術とは何か
芥川耿、池水慶一、井上貴由、井本由之、植松奎二、岡野靖夫、郭徳俊、柏原えつとむ、片岡友和、河口龍夫、川越義夫、川村悦郎、岸川国芳、木村光佑、楠秀男〔1 行〕、クボ サトシ、佐野芳樹、志野明、鈴木重夫、滝本清次、田代幸俊、田中俊昭、野村仁〔1 行〕、八田淳、林剛、伴文夫、平田洋一、水上旬、山本保、山本義雄〔1 行〕、米津茂英、脇山幹夫〔1 行〕、和田寛：あなたにとって美術とは何か
所蔵：□、国新美、東近美、神近美

1973 京都ビエンナーレ〈集団による美術〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1973 年 8 月 10 日－19 日　京都市美術館　主催：京都市
出品：五人組写真集編集委員会＋5；池田昇一、矢田卓、雅子＋尚嘉〔柴田雅子＋彦坂尚嘉〕、伊藤久、鈴木完侍、高見澤文雄、稲憲一郎、渡辺哲也、矢野直一、堀浩哉。Equivalent Cinema；石原薫、今井祝雄、植松奎二、植村義夫、松本正司、宮川憲明、村岡三郎、山中信夫、山本圭吾。ニルヴァナ資料集積・究極表現研究所；柿田ヒサヨシ、金子昭二、河津紘、栗山邦正、小林起一、池田龍雄、林三従、松澤宥、松田順一郎。JAPAN KOBE ZERO。The Play〔図版収載順〕
註：出品欄のニルヴァナ資料集積・究極表現研究所は寄稿者名を記載した。
○展覧会カタログ
1973 京都ビエンナーレ〈集団による美術〉写真・資料集
京都市美術館　1973 年
魔胎工房、柿田ヒサヨシ、金子昭二、河津紘、栗山邦正、小林起一、護摩工房、最終世界センター、死型工房、池田龍雄、林三従、パーリニハーナ・ハーリヤーヤ体、松澤

宥、松田順一郎、古式汎儀礼派：〔寄稿〕

註：図版ページは五人組写真集編集委員会＋5、Equivalent Cinema、「知ってる人＋知ってる人＋知ってる人」、ニルヴァナ資料集積・究極表現研究所、JAPAN KOBE ZERO、The Play から構成されている。

所蔵：□、国新美、神近美、京都学

1976 京都ビエンナーレ〈七名の評論家による現代作家展〉●

欧文タイトル：「KYOTO BIENNALE 1976〈Contemporary art selected by seven art critics〉」

会期：1976 年 2 月 22 日－3 月 22 日　京都市美術館　主催：京都市美術館

出品：乾由明選抜；井田照一、清水九兵衛、小清水漸、斉藤智、田中孝、村岡三郎。高橋亨選抜；木村秀樹、沢居曜子、堀尾貞治、増田正和、宮崎豊治、村岡三郎、山田信義。たにあらた選抜；清水誠一、高見澤文雄、田窪恭治、堀浩哉、和田守弘、渡辺哲也。中原佑介選抜；斉藤智、眞板雅文。早見堯選抜；岩野弘之、高木修、田代幸俊、浜口行雄、森田秀。平野重光選抜；今井祝雄、上杉忠嗣、野村仁、彦坂尚嘉。峯村敏明選抜；狗巻賢二、河原温、北辻良央、小清水漸、菅木志雄、野村仁、原口典之、彦坂尚嘉、水本修二、森田秀〔選抜作家一覧順〕

〇展覧会カタログ

1976 京都ビエンナーレ〈七名の評論家による現代作家展〉

〔京都市美術館〕　1976 年 2 月　第 3 回展

乾 由明：時間と消去

高橋 亨：想像力・序

たにあらた：“うつし”ということ

中原佑介：「写景」と「借景」と――

早見 堯：物体以後の美術

平野重光：現実の意識として

峯村敏明：前提――その 1.または自律的空間の他律的について／前提――その 3、または内的時間の見出すシステムについて

所蔵：□、国新美、東近美、京都学

近代日本美術の歩み展〈明治・大正から昭和へ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：東京展・1979 年 9 月 1 日－30 日　東京都美術館／京都展・1979 年 10 月 6 日－28 日　京都市美術館

主催：京都市・朝日新聞社〔巡回 2-2〕

――→東京都美術館〔巡回 2-1〕

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館公募展示棟／6 月 3 日－14 日　京都市美術館／7 月 1 日－26 日　北九州市立美術館／8 月 1 日－30 日　仙台・宮城県美術館

主催：京都市・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社〔巡回 4-2〕

出品：山田正亮、桑山忠明、李禹煥、榎倉康二、辰野登恵子、朝比奈逸人、根岸芳郎、野田裕示〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉

日本国際美術振興会・毎日新聞社　1987 年 4 月

新田秀樹：現代日本美術展・企画部門の新設によせて

桑山忠明、李禹煥、榎倉康二、辰野登恵子、朝比奈逸人、根岸芳郎、野田裕示：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、愛芸文、国会図

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

会期：1989 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館／6 月 7 日－18 日　京都市美術館／6 月 24 日－7 月 23 日　高松市美術館／7 月 28 日－8 月 15 日　船橋・西武美術館／11 月 4 日－26 日　北九州市立美術館／12 月 16 日－1990 年 1 月 21 日　広島市現代美術館

主催：京都市・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社〔巡回 6-2〕

出品：中西夏之、菊畑茂久馬、横尾忠則、堀浩哉、山本富章、山本和香子、近藤克義、関口敦仁、吉本作次〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉　現代日本美術展事務局編

日本国際美術振興会・毎日新聞社　1989 年 4 月

山根康愛：絵画――祝福されるもの

南嶌 宏：絵画――その祝福と悲しみ

中西夏之、菊畑茂久馬、堀浩哉、山本富章、山本和香子、近藤克義、関口敦仁、吉本作次：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

版から／版へ〈京都 1989〉●

欧文タイトル：「Intersection of Printing」

会期：1989 年 11 月 11 日－12 月 7 日　京都市美術館　主催：京都市

出品：秋岡美帆、安東菜々、池垣タダヒコ、出原司、大島成己、片山雅史、岸中延年、木村秀樹、小枝繁昭、佐久間嘉明、篠原猛史、杉山晶子、中川佳宣、中村美知生、長尾浩幸、橋本文良、濱田弘明〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

版から／版へ〈京都 1989〉　京都市美術館編

京都市　1989 年 11 月 10 日　特別展

中谷至宏：脳のダイナミズム

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、京都学、国会図

筆あとの誘惑〈モネ、栖鳳から現代まで〉●

欧文タイトル：「Seductive Brush Marks from the late 19th century to the present day」

会期：1992 年 11 月 1 日－29 日　京都市美術館　主催：京都市

出品：組織；山田正亮。形象；堀浩哉。感情；海老原喜之助、日高昌克。動勢；白髪一雄、堂本尚郎、田淵安一。集積；瑛九、諏訪直樹、五十嵐彰雄、菊畑茂久馬、依田寿久、吉仲正直。契機；小林正人、中西夏之、李禹煥、関口敦仁、中村一美、堀浩哉(重)、児玉靖枝、館勝生、野見山暁治、渡辺信明〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

筆あとの誘惑〈モネ、栖鳳から現代まで〉　京都市美術館編

京都市　1992 年 11 月 1 日　特別展

中谷至宏：序論

中谷至宏、喜多村明里：〔作品解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

大阪府

大阪府立現代美術センター

イメージの現代 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1980 年 4 月 1 日－19 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府

出品：荒木高子、安東菜々、今村輝久、河合隆三、木村光佑、木村嘉子、黒崎彰、呉本俊松、杉山英行、武井明子、田中一好、中井富士子、西山康三郎、藤原向意、松井憲作、持田総章、村岡三郎、元永定正、矢野正治、山本容子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

イメージの現代

大阪府立現代美術センター　1980 年 4 月　開館記念展

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、愛芸文

絵画の方向'94 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 6 月 27 日－7 月 9 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府立現代美術センター

出品：出原司、岩川ユキヒロ、内海信彦、岡田修二、小田英之、片山雅史、金村仁、小谷浩士、中西圭子、福田英昭、松井憲作、武蔵篤彦、吉田克朗〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

絵画の方向'94

大阪府立現代美術センター　1994 年 6 月 27 日

今田純子：〔あいさつ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

絵画の方向'95 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 6 月 26 日－7 月 8 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府立現代美術センター

出品：赤松玉女、大杉剛司、片野満、清野耕一、田中朱実、田中孝、中村眞喜子、長尾浩幸、奈良美智、フルタミチエ、松浦孝之、松尾直樹、安井良尚、横田亜弓〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

絵画の方向'95

大阪府立現代美術センター　1995 年 6 月

今田純子：ごあいさつ

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室

絵画の冒険～今井俊満と戦後美術の歩み〈大阪市立近代美術館(仮称)コレクション展〉 ●

欧文タイトル：「Aventure de la peinture－Toshimitsu Imaï et ses contemporains」

会期：2003 年 6 月 14 日－7 月 6 日　大阪・ATC ミュージアム　主催：大阪市教育委員会

出品：今井俊満、菅井汲、吉原治良、三上誠、大野秀隆〔俶嵩〕、河野芳夫、河原温、ジャン・デュビュッフェ、堂本尚郎、上前智祐、村上三郎、元永定正、嶋本昭三、白髪一雄、ジャン・フォートリエ、アントニ・タピエス、マーク・ロスコ、ジョーン・ミッチェル、向井修二、草間彌生、フランク・ステラ、シモン・アンタイ、クロード・ヴィアラ、アンゼルム・キーファー、エンツォ・クッキ、ジャン＝ミシェル・バスキア〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

絵画の冒険～今井俊満と戦後美術の歩み〈大阪市立近代美術館(仮称)コレクション展〉　大阪市立近代美術館建設準備室編

大阪市教育委員会　2003 年 6 月

乾 由明：今井俊満のなかの「日本」

清原佐知子：苦悩の人間像から灼熱の奔流へ～初期の今井俊満をめぐって

清原佐知子：章解説

清原佐知子編：今井俊満略年譜

清原佐知子・三井知行編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

岸和田市立文化会館

第 18 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：大阪展；1984 年 12 月 9 日－12 月 23 日　岸和田市立文化会館／愛知展；1985 年 1 月 6 日－20 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 27 日－2 月 15 日　弘前市立博物館
主催：文化庁・大阪府教育委員会・岸和田市・岸和田市教育委員会〔巡回 3-1〕
出品：日本画；堂本元次、野崎貢。洋画；月舘れい、中谷龍一。版画；野田哲也、深沢幸雄。彫刻；手塚登久夫〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。
〇展覧会カタログ
第 18 回現代美術選抜展
〔文化庁〕 1984 年 12 月
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、愛芸文

兵庫県

兵庫県立近代美術館
今日の 100 人展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1971 年 9 月 5 日－10 月 3 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・毎日新聞社
出品：絵画；麻田鷹司、上原卓、大野俶嵩、加山又造、工藤甲人、近藤弘明、下田義寛、関川都、髙山辰雄、西山英雄、平川敏夫、平山郁夫、丸木位里、横山操、渡辺学、荒川修作、泉茂、糸園和三郎、井上長三郎、猪熊弦一郎、宇佐美圭司、大沢昌助、岡本信治郎、奥谷博、オノサト・トシノブ、片山昭弘、香月泰男、桂ユキ子〔ゆき〕、鴨居玲、北山泰斗、小牧源太郎、斎藤義重、白髪一雄、須賀卯夫、菅井汲、杉全直、高井貞二、高松次郎、田淵安一、津高和一、野中ユリ、藤田吉香、前田常作、三尾公三、村井正誠、元永定正、山口長男、吉原治良。版画；靉嘔、尼野和三、池田満寿夫、磯辺行久、井田照一、加納光於、木村光佑、日下賢二、黒崎彰、永井一正、野田哲也、萩原英雄、浜田知明、吹田文明、舩坂芳助、松谷武判、松本旻、矢柳剛、横尾忠則、吉原英雄。彫刻；吾妻兼治郎、飯田善國、伊藤隆道、伊藤隆康、井上武吉、伊原通夫、小田襄、河口龍夫、聴濤襄治、木村賢太郎、小清水漸、栄利秋、篠田守男、下谷千尋、新宮晋、関根伸夫、多田美波、建畠覚造、田中信太郎、辻晋堂、豊福知徳、野崎一良、福嶋敬恭、堀内正和、向井良吉、最上壽之、森口宏一、八木一夫、保田春彦、湯原和夫、吉村益信、若林奮〔出品目録順〕
〇展覧会カタログ
今日の 100 人展
兵庫県立近代美術館　1971 年 9 月　開館 1 周年記念・毎日新聞創刊 100 年記念　兵美特展目録 No.6
乾 由明：《今日の 100 人展》について
木村重圭編：1960 年代現代美術年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒

アート・ナウ ’75 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’75」

会期：1975 年 1 月 5 日－19 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、藤井源一、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：荒木高子、泉茂、井田照一、狗巻賢二、植松奎二、大林義満、小名木陽一、聴濤襄治、木村秀樹、久保田繁雄、小林伸雄、斉藤智、志水正明、新宮晋、鈴鹿芳康、関根勢之助、鄭相和、富樫実、林秀行、船井裕、増田正和、三島喜美代、森口宏一、森本兼司、柳新也、山田信義、山本圭吾、山本哲三、Japan Kobe Zero〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’75

兵庫県立近代美術館　1975 年 1 月　兵美特展 No.28

所蔵：□、国新美、横浜美

アート・ナウ ’76 ●

欧文タイトル：「art now ’76」

会期：1976 年 1 月 6 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：五十嵐彰雄、今井祝雄、小野田實、片山昭弘、角永和夫、呉本俊松、小清水漸、小林陸一郎、栄利秋、沢居曜子、角南礼子、田中孝、坪井明日香、坪田政彦、野島二郎、野田正明、橋本幸志、服部三郎、濱谷明夫、福岡道雄、福本和子、藤本敬八郎、堀尾貞治、舞原克典、丸本耕、宮﨑豊治、宮永理吉、森野泰明、山中嘉一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’76

兵庫県立近代美術館　1976 年 1 月　兵美特展目録 No.35

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美、京都学

アート・ナウ ’77 ●

欧文タイトル：「art now ’77」

会期：1977 年 2 月 8 日－27 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：浮川秀信、カドタ〔門田〕修充、北辻良央、楠田信吾、楠秀男、倉貫徹、小林弘明、坂爪厚生、佐藤敏、志村光広、庄司達、杉山英行、滝川みづほ、田中薫、中馬泰文、中野光雄、長谷光城、柳楽隆一、野崎一良、橋本文良、福嶋敬恭、本郷重彦、松本文子、宮川憲明、

持田総章、柳原睦夫、山崎脩、山本容子〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

アート・ナウ ’77

兵庫県立近代美術館　1977 年 2 月　兵美特展目録 No.41

中島徳博：「アート・ナウ」について

所蔵：□、国新美、横浜美

アート・ナウ ’78 ●

欧文タイトル：「art now ’78」

会期：1978 年 2 月 4 日－26 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、伊藤誠、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：安東菜々、石原薫、井関和代、井田彪、奥田善巳、金子潤、岸中延年、木下佳通代、久保晃、河野芳夫、小林正和、斉部哲夫、高崎元尚、高野基夫、辰野登恵子、中井富士子、西山康三郎、橋本清、服部淑子、久森俊、文承根、前川強、松井憲作、松嶋茂勝、松本美保子、守谷史男、八木マリヨ、薮内弘〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

アート・ナウ ’78

兵庫県立近代美術館　1978 年 2 月　兵美特展目録 No.49

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美

特別展・吉原治良と具体のその後 ●

欧文タイトル：「JIRO YOSHIHARA AND TODAY’S ASPECTS OF THE “GUTAI”」

会期：1979 年 1 月 5 日－28 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品：吉原治良、伊勢谷圭、今井祝雄、上田民子、上前智祐、浮田要三、大原紀美子、岡田博、岡本一、小野田實、金山明、菅野聖子、聴濤襄治、木梨アイネ、坂本昌也、柴田健、嶋本昭三、白髪一雄、鷲見康夫、関根美夫、高崎元尚、田中敦子、田中竜児、坪内晃幸、猶原通正、名坂千吉郎、名坂有子、船井裕、堀尾昭子、前川強、正延正俊、松谷武判、松田豊、村上三郎、元永定正、森内敬子、山崎つる子、吉田稔郎、ヨシダミノル、吉原通雄、渡辺宏、向井修二〔出品目録・元「具体」会員出品目録順〕

〇展覧会カタログ

特別展・吉原治良と具体のその後 図録

兵庫県立近代美術館　1979 年 1 月　兵美特展目録 No.55

増田 洋：「吉原治良と具体のその後」――ある文化衝撃の問いなおし

赤根和生：吉原治良――その芸術と史的業績

伊勢谷圭、今井祝雄、上田民子、上前智祐、浮田要三、大原紀美子、岡田博、岡本一、小野田實、菅野聖子、聴濤襄治、木梨アイネ、柴田健、嶋本昭三、白髪一雄「具体美術協会と私」、鷲見康夫、関根美夫、高崎元尚、田中竜児「吉原先生のこと」、坪内晃幸、猶原通正、名坂千吉郎、名坂有子、船井裕、堀尾昭子、前川強、正延正俊、松谷

武判「ダダと具体」、松田豊、村上三郎、元永定正、森内敬子、山崎つる子、吉田稔郎、ヨシダミノル、吉原通雄、渡辺宏、藤川東一郎、喜谷繁暉「不出品の弁」：〔作家のことば、グタイ・具体と私〕

木村重圭・山脇一夫編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

アート・ナウ ’79 ●

欧文タイトル：「art now ’79」

会期：1979 年 2 月 3 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、伊藤誠、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、藤慶之、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：青野卓司、秋元幸茂、浅野弥衛、五十嵐晴夫、池田啓子、石山駿、一圓達夫、今井誠志、今村輝久、内田晴之、榎忠、勝野博、川内麻嗣、小林尚美、櫻井晨正、笹山忠保、佐野賢、鈴木治、高木敏子、中沢真子、中島隆、平松美禰子、二見彰一、松谷武判、真野岩夫、元永定正、森本裕子、山田真紀子、和田章〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’79

兵庫県立近代美術館　1979 年 2 月　兵美特展目録 No.56

所蔵：□、国新美、横浜美

アート・ナウ ’80 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’80」

会期：1980 年 3 月 2 日－30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：麻田脩二、石井千晶、上前智祐、大寺俊紀、梶なゝ子、木内喜雄、北野正治、木村浩、木村嘉子、日下部一司、黒川博、斎藤俊徳、信貴奨、曽我孝司、田中一好、野村仁、林正子、樋口洋子、福田弘美、星野暁、堀行雄、松本薫、村上文生、母袋幸子、森俊夫、森田秀、山本和弘、横溝秀実、吉田廣喜、ザ・プレイ〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’80

兵庫県立近代美術館　1980 年 3 月　主に英文併載　兵美特展目録 No.64

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美、和光大

アート・ナウ 1970～1980 ●

欧文タイトル：「ART NOW 1970～1980」

会期：1981 年 3 月 7 日－29 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松

寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：荒木高子、泉茂、井田照一、今村輝久、植松奎二、河口龍夫、木村光佑、木村秀樹、清水九兵衛、楠田信吾、久保晃、呉本俊松、黒崎彰、河野芳夫、小清水漸、小林正和、斉藤智、新宮晋、鈴木治、田中薫、田中一好、田中孝、坪井明日香、富樫実、野崎一良、橋本幸志、速水史朗、福岡道雄、船井裕、星野暁、堀尾貞治、増田正和、松谷武判、松本文子、三尾公三、三島喜美代、宮崎豊治、宮永理吉、村岡三郎、元永定正、森口宏一、八木マリヨ、柳原睦夫、矢野正治、山口牧生、山田信義、山本圭吾、山本容子、ザ・プレイ〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ 1970～1980

兵庫県立近代美術館　1981 年 3 月　兵美特展目録 No.71

無署名：「アート・ナウ」8 年の歩み

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美

明日の美術館を求めて・美術劇場〈新館竣工記念〉●

欧文タイトル：「Toward the Museum of Tomorrow－LIVE ART THEATER」

会期：1982 年 4 月 28 日－5 月 30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品（出演・上映・講演を含む）：飯村隆彦、ザ・プレイ(池水慶一、佐々木敏明、二井清治、原口博行、藤尾紀子、三喜徹雄、三宅紀美子、吉村元嗣、鈴木芳伸、小林慎一)、嶋本昭三、浜田剛爾、福田繁雄、堀尾貞治、山口勝弘、山本圭吾、ヨシダ稔〔ミノル〕、塩見允枝子＋岩田孝子、中村滋延＋松本昌彦、田中泯、総合商社 HAND-JOE（上杉清文、南伸坊、末井昭、鈴木祐弘）、千田高詩＋創造のアトリエ、大阪芸術大学芸術計画学科共同制作グループ APA、塩崎健市＋杉浦貞、伊藤高志、かわなかのぶひろ、鈴木志郎康、田名網敬一、寺山修司、萩原朔美、藤田実、古川タク、松本俊夫〔出品者一覧順〕

○展覧会カタログ

明日の美術館を求めて・美術劇場〈新館竣工記念〉図録

兵庫県立近代美術館　1982 年 4 月　兵美特展目録 No.74

山脇一夫：序文

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美

アート・ナウ ’82 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’82」

会期：1982 年 12 月 11 日－1983 年 1 月 23 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松寛、(主催者側)増田洋、吉村良夫

出品：朝比奈逸人、飯田三代、池田修造、和泉俊昭、宇高明、太田堯子、岡本タロー、河添潤、佐久間嘉明、佐藤慈男、柴高康造、田中昇、椿昇、寺内成人、中谷昭雄、村田千秋、宮崎又行、宮崎みよし、山田幸作、弓場祥子〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’82

兵庫県立近代美術館　1982 年 12 月　英文併載　兵美特展目録 No.78

中島徳博：「アート・ナウ」の再出発

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、横浜美

アート・ナウ ’84 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’84」

会期：1984 年 3 月 3 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者)金井元彦、津田豊治

出品：上谷朋子、生形貴春、大久保英治、北山善夫、栗岡孝於、篠原猛史、杉山知子、高原洋一、龍田龍也、塚脇淳、中島一平、馬場草香、藤本哲夫、松井智惠、村上明、吉田和央、渡部慶二郎。特別陳列；太田堯子、河添潤、佐藤慈男〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’84　　兵庫県立近代美術館編

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1984 年 3 月 3 日　第 10 回展

山脇一夫：「アート・ナウ ’84」について

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大

アート・ナウ ’85 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’85」

会期：1985 年 2 月 23 日－3 月 24 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社・伊藤文化財団

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者側)金井元彦、木原宣郎

アート・ナウ’85 選考委員：赤根和生、乾由明、木村重信、高橋亨、建畠哲、那賀裕子＋貞彦、福永重樹、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫

出品：上野真知子、生田丹代子、石原友明、柏原秀年、小西祐司、坂口正之、椎原保、炭谷昇、橘昭信、田中貞一、中西圭子、中西學、中原浩大、濱田弘明、原田要、藤原志保、松井紫朗。特別陳列；生形貴春、北山善夫、杉山知子、吉田和央〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’85

兵庫県立近代美術館　1985 年 2 月 23 日　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

明日の美術館を求めて(II) 環境としてのイメージ展 ●

欧文タイトル：「Image as environment」

会期：1985 年 10 月 5 日－11 月 4 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品：(1)自然；畦地拓治、鴫剛、福岡道雄。(2)都市；靉嘔、木村利三郎、篠田守男、菅井汲、

三島喜美代、吉田克朗、若林奮。(3)人間；横尾忠則。(4)生活；池田満寿夫、杉山知子、野田哲也、三尾公三、三島喜美代(重)、吉原英雄。(5)社会；浜田知明、堀内紀夫、馬場建三〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

○展覧会カタログ

明日の美術館を求めて(II) 環境としてのイメージ展図録

兵庫県立近代美術館　1985 年 10 月　兵美特展目録 No.92　開館 15 周年記念

中島徳博：環境へのアプローチ

所蔵：□、国新美、横浜美

アート・ナウ ’86 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’86」

会期：1986 年 2 月 22 日－3 月 22 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者側)金井元彦、木原宣郎

アート・ナウ’86 選考委員：赤根和生、乾由明、木村重信、高橋亨、村田慶之輔、篠原資明、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫

出品：池垣タダヒコ、今村源、小倉亨、小野和則、川端嘉人、菊池孝、郡山広明、しばたゆり、高間準、西村正幸、福田新之助、ふじい忠一、道北英治、三村逸子、山崎亨、山部泰司、吉村正郎。特別陳列；石原友明、中西學、中原浩大、濱田弘明〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’86

兵庫県立近代美術館　1986 年 2 月 22 日　兵美特展目録 No.95

池垣タダヒコ、今村源、小倉亨、小野和則、川端嘉人、菊池孝、郡山広明、しばたゆり、高間準、西村正幸、福田新之助〔2 行〕、ふじい忠一、道北英治、三村逸子、山崎亨、山部泰司、吉村正郎、石原友明、中西學、中原浩大、濱田弘明：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

具体－行為と絵画〈スペイン・ユーゴスラビア帰国記念展〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 8 月 30 日－9 月 28 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社・伊藤文化財団

出品：吉原治良、元永定正、白髪一雄、金山明、前川強、正延正俊、松谷武判、向井修二、村上三郎、嶋本昭三、白髪富士子、田中敦子、上前智祐、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

具体－行為と絵画図録〈スペイン・ユーゴスラビア帰国記念展〉

兵庫県立近代美術館　1986 年 8 月 30 日　兵美特展目録 No.97

山脇一夫：序文

山脇一夫：具体－行為と絵画を巡る冒険
山脇一夫編：作家紹介
山脇一夫編：具体美術協会年表
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒

アート・ナウ ’87 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’87」
会期：1987 年 2 月 28 日－3 月 22 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社
展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者側)金井元彦、野口富生
アート・ナウ’87 選考委員：赤根和生、井上明彦、乾由明、木村重信、篠原資明、高橋亨、福永重樹、村田慶之輔、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫
出品：稲垣敦雄、大塚由美子、片山雅史、川島慶樹、サイモン・ポール・フィッツジェラルド、佐藤智子、柴野幸仁、田嶋悦子、田中美和、田仲容子、津田晃良、堤展子、都築房子、長野久人、松尾直樹、山口和美。特別陳列；小野和則、菊池孝、道北英治〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
アート・ナウ ’87
兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1987 年 2 月 28 日　兵美特展図録 No.101
稲垣敦雄、大塚由美子、片山雅史、川島慶樹、サイモン・ポール・フィッツジェラルド、佐藤智子、柴野幸仁、田嶋悦子、田中美和、田仲容子、津田晃良、堤展子、都築房子、長野久人、松尾直樹、山口和美、小野和則、菊池孝、道北英治〔2 行〕：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美

アート・ナウ ’88 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’88」
会期：1988 年 2 月 20 日－3 月 21 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社
展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者側)金井元彦、野口富生
アート・ナウ’88 選考委員：赤根和生、井上明彦、乾由明、木村重信、篠原資明、高橋亨、福永重樹、村田慶之輔、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫
出品：秋岡美帆、岩本宇司、岡田武、小田中康浩、橿尾正次、河﨑晃一、桐原淳行、久野利博、杉浦隆夫、杉浦美佐緒、田中千世子、中路規夫、中村未知生、長尾浩幸、永原ゆり、森村泰昌、横山栄一。特別陳列；片山雅史、川島慶樹、都築房子〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
アート・ナウ ’88
兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1988 年 2 月 20 日　兵美特展図録 No.101
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美

アート・ナウ〈関西の 80 年代〉●

欧文タイトル：「ART NOW－Eighties in Kansai－」

会期：1990 年 11 月 20 日－12 月 16 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：朝比奈逸人、椿昇、北山善夫、杉山知子、松井智惠、石原友明、中西學、中原浩大、松井紫朗、山部泰司、片山雅史、川島慶樹、田嶋悦子、森村泰昌〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ〈関西の 80 年代〉

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1990 年 11 月 20 日　兵美特展図録 No.120

中島徳博：アート・ナウ、あるいは現代美術のアマルガム

尾崎信一郎：関西の 80 年代

中島徳博、山崎均、平井章一、尾崎信一郎：作家解説

尾崎信一郎・平井章一編：関西の 80 年代年表〈集団展を中心に〉

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美

森田子龍と『墨美』●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 5 月 23 日－7 月 5 日　兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品：I.森田子龍。II.墨人会関係の書家たち；上田桑鳩、井上有一、江口草玄、関谷義道、辻太、今岡徳夫、篠田昭二、高橋蒼玄、大沢華空。III.同時代の関西の画家たち；白髪一雄、菅井汲、須田剋太、津高和一、中村真、長谷川三郎、元永定正、吉原治良。IV.『墨美』と交流のあった海外の画家たち；フランツ・クライン、ハンス・アルツング、ジョルジュ・マチュー、スタンリー・ウイリアム・ヘイター、ピエール・スーラージュ、ルウィン・アルコプレー、ピエール・アレシンスキー、ジェラール・シュネイデル、ベルト・ラルデラ〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

森田子龍と『墨美』

兵庫県立近代美術館　1992 年 5 月 20 日

森田子龍：書・書いて考えて 60 年

中島徳博：『墨美』再考

尾崎信一郎：森田子龍と『墨美』〈書と抽象絵画をめぐって〉

森田子龍・辻太、聞き手・尾崎信一郎：インタビュー「書と抽象絵画をめぐって」

尾崎信一郎、平井章一：作家略歴

尾崎信一郎編：森田子龍と『墨美』関連年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美

アート・ナウ ’92〈12 人の実践／90 年代美術の新地平〉●

欧文タイトル：「ART NOW ’92 Twelve Artists：New Horizon in the 90’s」

会期：1992 年 11 月 14 日－1993 年 1 月 10 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：大野浩志、大島成己、片山みやび、金井正夫、北☆〔田＋又＋土〕吉彦、谷口真紀、長谷川博士、藤本由紀夫、黄鋭、増田妃早子、森口ゆたか、ヤノベケンジ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

アート・ナウ ’92〈12 人の実践／90 年代美術の新地平〉　兵庫県立近代美術館編

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1992 年 11 月 14 日　兵美特展目録 No.127

中島徳博：「アート・ナウ」の再開〈現代美術の問いかけ〉

山崎 均：90 年代へ〈アート・ナウ覚書〉

尾﨑信一郎、山崎均、中島徳博：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

関西の美術 1950’s～1970’s〈創造者たちのメッセージ〉●

欧文タイトル：「ART IN KANSAI 1950’s～1970’s」

会期：1994 年 4 月 9 日－5 月 8 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・産経新聞社・関西テレビ放送

出品：I. 1950 年代～破壊と総合のダイナミズム；三上誠、星野真吾、下村良之介、大野俶嵩、八木一夫、鈴木治、山田光、辻晋堂、吉原治良、津高和一、中村真、須田剋太、山崎隆夫、堀内正和、植木茂、森田子龍、井上有一、宇野三吾、林康夫、鈴木康之、小原豊雲、泉茂、吉原英雄、久保晃、河野芳夫、小林二郎、片山昭弘、大熊峻、廣重明、市村司、林俊治、白髪一雄、元永定正、田中敦子、嶋本昭三。II. 1960 年代～可能性の実験；野村耕、中井克巳、関根勢之助、松谷武判、矢野正治、今井祝雄、野村久之、榊健、須賀卯夫、鈴木正教、今中クミ子、森口宏一、井原康雄、木梨アイネ、吉田稔郎、ヨシダミノル、平田洋一、福岡道雄、村松達也、栄利秋、楠田信吾、寺尾恍示、グループ「位」、向井修二、THE PLAY。III. 1970 年代～沈潜する眼差し；下谷千尋、呉本俊松、郭徳俊、野村仁、北辻良央、植松奎二、木下佳通代、斉藤智、狗巻賢二、村岡三郎、河口龍夫、JAPAN KOBE ZERO、榎忠、松井憲作、宮﨑豊治、木村秀樹、清水九兵衛、小清水漸、奥田善巳、沢居曜子、松本正司、今井祝雄(重)〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

関西の美術 1950’s～1970’s〈創造者たちのメッセージ〉カタログ

兵庫県立近代美術館　1994 年 4 月

中村義一：戦後美術の栄光――50 年代美術の関西

赤根和生：回想のわが「’60 年代」

平野重光：70 年代の一つの場合――「京都アンデパンダン」展と「京都ビエンナーレ」

平井章一：関西の美術 1950～70 年代――概説的に

平井章一編：関西戦後美術年表－1980 年まで

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

アート・ナウ 1994〈啓示と持続〉●

欧文タイトル：「ART NOW 1994 Revelation and Duration」

会期：1994 年 5 月 21 日－6 月 26 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美

術館・朝日新聞社

出品：石川裕敏、出原司、金村仁、川端嘉人、笹岡敬、館勝生、寺嶋真里、中川佳宣、星野暁、森田多恵、柳美和〔やなぎみわ〕、山口高志、渡辺信明〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ 1994〈啓示と持続〉　　兵庫県立近代美術館編

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1994 年 5 月 20 日　兵美特展図録 No.129

尾崎信一郎：啓示と持続〈「近代的な視覚」をめぐって〉

尾崎信一郎、山崎均、平井章一、中島徳博：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

明日の美術館を求めて III　眼の宇宙－かたちをめぐる冒険 ●

欧文タイトル：「COSMOLOGY OF LIGHT AND FORM」

会期：1994 年 10 月 8 日－11 月 20 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品：第 I 部フォトグラムからホログラムへ；中山岩太、安井仲治、椎原治、天野龍一、瑛九、石原友明、久保田敏弘、山口雅浩、遠藤秀明、大山永昭、本田捷夫、小山隆浩、ムリジョ・モラ・ルイス・マニュエル、岡田勝行、辻内順平、鎌田康禿、岩田藤郎、山口忠彦、酒井朋子、三田村畯右、パトリック・ボイド。第 II 部高次元と遊ぶ；石原慶一、藤本由紀夫、フジモト・デュシャン・モリムラ(藤本由紀夫・森村泰昌)、小田英之、石原友明(重)、宮崎興二、斎藤幸恵、古瀬惇、塩崎学、酒井啓、山口哲、石井源久、高田一郎、中田宏明、阿竹克人、戸村浩、関三平。第 III 部かたちの情報デザイン；高木隆司、渡辺泰成、相馬嵩、坂元宗和、高木幹雄、小川泰、日詰明男、藤幡正樹、山崎亨、吉本直貴、鍛冶充浩、上善恒雄、三浦公亮、前川淳〔出品目録順〕

註：第 I 部の中山岩太、安井仲治、椎原治、天野龍一は戦前作品。

○展覧会カタログ

明日の美術館を求めて III　眼の宇宙－かたちをめぐる冒険

兵庫県立近代美術館　1994 年 9 月 10 日

伏見康治：エッシャーの世界、伏見の世界

小川 泰：美意識・遊び心と創造性

増成隆士：カオスとラビリンスが組み込まれたコスモス〈『眼の宇宙』展に寄せて〉

山崎 均：眼とかたちの宇宙

註：奥付は「1994 年 9 月 10 日」だが、あいさつ文の日付は「1994 年 10 月」となっている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

戦後文化の軌跡 1945－1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

会期：1995 年 4 月 19 日－6 月 4 日　目黒区美術館／6 月 14 日－7 月 21 日　広島市現代美術館／8 月 15 日－9 月 24 日　神戸・兵庫県立近代美術館／10 月 8 日－11 月 5 日　福岡県

立美術館

主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-3〕

――→目黒区美術館〔巡回 4-1〕

アート・ナウ ’96――在ることの根源へ ●

欧文タイトル：「ART NOW ’96 Toward the Origin of Being」

会期：1996 年 12 月 7 日－1997 年 1 月 19 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：池上恵一、岩村伸一、岡普司、甲斐良夫、小谷泰子、フルタミチエ、細川悠紀子、堀尾貞治〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’96――在ることの根源へ　　兵庫県立近代美術館編

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1996 年 12 月

平井章一：在ることの根源へ

池上恵一、岩村伸一、岡普司、甲斐良夫、小谷泰子、フルタミチエ、細川悠紀子、堀尾貞治：〔作家のことば〕

平井章一：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東文研

アート・ナウ ’98〈ほとばしる表現力－『アウトサイダー・アート』の断面〉 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’98 OVERFLOWING POWER OF EXPRESSION：ASPECT OF “OUTSIDER ART”」

会期：1998 年 11 月 28 日－1999 年 1 月 17 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

註：作者なので出品欄は割愛した。

○展覧会カタログ

アート・ナウ ’98〈ほとばしる表現力－『アウトサイダー・アート』の断面〉　兵庫県立近代美術館編

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1998 年 11 月

服部 正：他者のまなざしから内側へ－「アウトサイダー・アート」の昨今

服部 正：〔章解説〕

服部正編：主要参考文献

所蔵：□、国新美

アート・ナウ 2000『なごみ』のヒント ●

欧文タイトル：「ART NOW 2000：Getting Calm through Art」

会期：2000 年 6 月 17 日－7 月 30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：おっと、きむらとしろう じんじん、窪田順、橘宣行、銅金裕司、冨塚純光、八島孝一、余田卓也、米澤友美、LOCO〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

アート・ナウ 2000『なごみ』のヒント

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　2000 年 6 月

服部 正：お祭り気分の美術館―デュビュッフ流、美術の楽しみ方

服部 正：〔作家略歴〕

所蔵：□、国新美、都現美

兵庫県立美術館

「美術の力〈時代を拓く 7 作家〉」展 ●

欧文タイトル：「Power of Art」

会期：2002 年 7 月 13 日－8 月 25 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・朝日新聞社

出品：青木野枝、蔡國強、ヘンリク・ハカンソン、河口龍夫、小林孝亘、ハンス・ペーター・クーン、ビル・ヴィオラ〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

「美術の力〈時代を拓く 7 作家〉」展図録

兵庫県立美術館　2002 年 7 月　英文併載　開館記念展　バインダー使用

山崎 均：美術と生命――境界の感覚

青木野枝、蔡國強、ヘンリク・ハカンソン、河口龍夫、小林孝亘、ハンス・ペーター・クーン、ビル・ヴィオラ：コメント

橋本啓子：現代美術のグループ展を巡る問題について

平井章一：美術の力、美術館の力

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

未来予想図〈私の人生☆劇場〉 ●

欧文タイトル：「Theatre of Our Lives」

会期：2002 年 11 月 19 日－2003 年 1 月 13 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ

出品：榎忠、かなもりゆうこ、児玉靖枝、しばたゆり、内藤絹子、黄鋭、堀尾貞治、松井智恵、森村泰昌、やなぎみわ〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

未来予想図〈私の人生☆劇場〉図録

兵庫県立美術館　2002 年 11 月　英文併載　開館記念展

木村重信：観賞の創造性

江上ゆか：そして人生は続く〈当世美術(館)事情〉

榎忠、かなもりゆうこ、児玉靖枝、しばたゆり、内藤絹子、黄鋭、堀尾貞治、松井智恵、森村泰昌、やなぎみわ：〔作家のコメント〕

江上ゆか、西田桐子：〔学芸員のコメント〕

江上ゆか、西田桐子、平井章一：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

会期：2004 年 6 月 11 日－7 月 11 日　神戸・兵庫県立美術館／9 月 11 日－10 月 17 日　いわき市立美術館／10 月 30 日－12 月 19 日　葉山・神奈川県立近代美術館／2005 年 1 月 4 日－2 月 27 日　盛岡・岩手県立美術館／4 月 23 日－5 月 22 日　金沢 21 世紀美術館

主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-1〕

出品：妹島和世＋西沢立衛、ヨコミゾマコト、青木淳、坂茂〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects

「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会・美術館連絡協議会　2004 年 6 月　英文併載

太田泰人：美術のための空間を考える

鷲田めるろ：1999 年以降の日本人建築家による美術館建築

青木 淳：〔建築家のことば〕

和田菜穂子、鷲田めるろ、李美那編：Museum Architectures from 1999／美術館建築・最近の動向

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中図

現代絵画のいま〈キュレーターからのメッセージ 2012〉 ●

欧文タイトル：「NEW PHASES in CONTEMPORARY PAINTING　A Curator's Message 2012」

会期：2012 年 10 月 27 日－12 月 24 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・朝日新聞社

出品：二艘木洋行、居城純子、渡辺聡、平町公、彦坂敏昭、丸山直文、横内賢太郎、大崎のぶゆき、奈良美智、野村和弘、法貴信也、和田真由子、石田尚志、三宅砂織〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代絵画のいま〈キュレーターからのメッセージ 2012〉

兵庫県立美術館　2012 年 10 月　特別展

石田尚志、居城純子、大崎のぶゆき、奈良美智、二艘木洋行、野村和弘、彦坂敏昭、平町公、法貴信也、丸山直文、三宅砂織、横内賢太郎、和田真由子、渡辺聡：アンケート

出原 均：絵画たちはささやく

出原均、小林公、小野尚子、河田亜也子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、　東大駒、国会図

ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム ●

欧文タイトル：「MANGA＊ANIME＊GAMES＊FROM JAPAN」

会期：2015 年 6 月 24 日－8 月 31 日　国立新美術館／9 月 19 日－11 月 23 日　神戸・兵庫県立美術館

主催：兵庫県立美術館・ワコールアートセンター・神戸ビエンナーレ組織委員会〔巡回 2-2〕⟶国立新美術館〔巡回 2-1〕

神戸ファッション美術館

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 7 月 19 日－10 月 5 日　神戸ファッション美術館／10 月 10 日－26 日　新宿・三越美術館／12 月 4 日－23 日　福岡県立美術館

主催：朝日新聞社・神戸ファッション美術館・朝日放送〔巡回 3-1〕

出品：篠山紀信、長島有里枝、森村泰昌、荒木経惟、田原桂一、植田正治〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉

朝日新聞社　1997 年 7 月　バインダー使用

伊藤俊治：写真／時代の仮面、世界のペルソナ

高橋周平：対抗する 6 つの美意識

池田 香：Full of “EXPRESSION”

篠山紀信、長島有里枝、森村泰昌、荒木経惟、田原桂一、植田正治：〔作家のことば〕

森村泰昌、羽鳥美保、大西若人、倉石信乃、ジェローム・サン、金子隆一：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、横浜美、京都学、国会図

BIT GENERATION 2000 テレビゲーム展 ●

欧文タイトル：「BIT GENERATION “TV-GAMES”」

会期：2000 年 6 月 15 日－8 月 29 日　神戸ファッション美術館／10 月 28 日－2001 年 1 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー

主催：神戸ファッション美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ　企画協力：テレビゲーム・ミュージアム〔巡回 2-1〕

展示：インスタレーション展示、「物」の展示、テレビゲーム展示、映像展示

〇展覧会カタログ

BIT GENERATION 2000 テレビゲーム展

神戸ファッション美術館・水戸芸術館現代美術センター　2000 年 6 月 15 日

浅井俊裕：テレビゲームと現代美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

明石市立文化博物館

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 11 月 6 日－17 日　名古屋・松坂屋美術館／1999 年 1 月 3 日－15 日　新潟・三越／3 月 2 日－8 日　大阪・近鉄アート館／4 月 29 日－6 月 9 日　新宿・安田火災東郷青児美術館／6 月 19 日－7 月 11 日　明石市立文化博物館

主催：明石市立文化博物館・神戸新聞社〔巡回 5-5〕

――→松坂屋美術館〔巡回 5-1〕

芦屋市立美術博物館

具体展 I〈1954～1958〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：具体展 I〈1954～1958〉; 1992 年 6 月 20 日－8 月 2 日　芦屋市立美術博物館。甦る野外展；7 月 25 日－8 月 2 日　芦屋公園　主催：芦屋市立美術博物館

出品：吉原治良、上前智祐、浮田要三、金山明、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、正延正俊、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄。甦る野外展；浮田要三、金山明、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、谷口采鴻、正延正俊、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

具体展 I〈1954～1958〉

芦屋市立美術博物館　1992 年 6 月

山本淳夫：初期具体〈1954－1958〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

具体展 II〈1959～1965〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 1 月 5 日－2 月 14 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館

出品：吉原治良、上前智祐、浮田要三、大原紀美子、金山明、木梨アイネ、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、坪内晃幸、名坂有子、前川強、正延正俊、松谷武判、向井修二、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

具体展 II〈1959～1965〉

芦屋市立美術博物館　1993 年 1 月

山本淳夫：中期具体〈1959－1965〉

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

具体展 III〈1965～1972〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 6 月 19 日－7 月 18 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館

出品：吉原治良、今井祝雄、今中クミ子、上前智祐、大原紀美子、小野田實、菅野聖子、聴濤襄治、坂本昌也、嶋本昭三、白髪一雄、鷲見康夫、田井智、高崎元尚、田中竜児、坪内晃

幸、猶原通正、名坂千吉郎、名坂有子、堀尾昭子、前川強、正延正俊、松谷武判、松田豊、向井修二、村上三郎、元永定正、森内敬子、山崎つる子、吉田稔郎、ヨシダ・ミノル、吉原通雄〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

具体展 III〈1965～1972〉

芦屋市立美術博物館　1993 年 6 月

山本淳夫：後期具体〈1965－1972〉

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○関連書籍

具体展 I・II・III

芦屋市立美術博物館　1994 年 3 月序

山本淳夫：「具体」1954－1972

河﨑晃一、山本淳夫、加藤瑞穂：作家解説

村上三郎、白髪一雄、塚村真美：具体的な話 村上三郎 vs.白髪一雄

註：本書は既刊の 3 冊の展覧会カタログを再構成したもので、テキストの加筆、講演会記録の収録、英文併載等が行われた。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

人間の条件展〈私たちは、どこへ向かうのか。〉●

欧文タイトル：「Of the Human Condition：Hope and Despair at the End of the Century」

会期：1994 年 2 月 1 日－20 日　表参道・スパイラル　主催：ART LIFE 21 実行委員会／特別展示・4 月 9 日－5 月 29 日　芦屋市立美術博物館

主催：芦屋市立美術博物館〔巡回 2-2〕

出品：ダムタイプ、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、椿昇、日下淳一、井上リサ、太田三郎、片瀬和夫、宮島達男、野村仁、鈴木貴博、岡崎乾二郎、津田佳紀、マサミ・テラオカ〔寺岡政美〕、平川典俊、柳幸典、荒木経惟、森村泰昌〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。なお、本展は「巡回 2-2」だが 1994 年 4 月の芦屋市立美術博物館で採録した。

○展覧会カタログ

人間の条件展 カタログ〈私たちは、どこへ向かうのか。〉

ワコールアートセンター　1994 年 2 月　英文併載

スーザン・ソンタグ：サラエボの春

南條史生：クォ・ヴァディス

ピーター・シュワルツ：新しい未来〈アルヴィン・トフラーへのインタヴュー〉

布施英利：「死体」に向かう現代美術

デーナ・フリース＝ハンセン：作家・作品解説

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

「草月とその時代 1945-1970」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 10 月 17 日－11 月 29 日　芦屋市立美術博物館／12 月 5 日－1999 年 1 月 10 日　千葉市美術館
主催：芦屋市立美術博物館・芦屋市文化振興財団・朝日新聞社・草月とその時代展実行委員会〔巡回 2-1〕
出品：I オブジェの時代；阿部展也、榎本和子、岡本太郎、大辻清司、北代省三、駒井哲郎、瀧口修造、勅使河原蒼風、勅使河原宏、イサム・ノグチ、橋本正司、福沢一郎、福島秀子、堀内正和、毛利〔堂本〕真美、山口勝弘、八木一夫、山田光、〔「APN」のための構成〕山口勝弘・大辻清司・北代省三・斎藤義重・勅使河原蒼風・長谷川三郎、勅使河原宏、鈴木秀太郎、大野齊治、桂川寛、安部公房。II アンフォルメル；フランコ・アセット、ジュゼッペ・カポグロッシ、ジャン・デュビュッフェ、ジャン・フォートリエ、ルーチョ・フォンタナ、サム・フランシス、フランコ・ガレッリ、ジョルジュ・マチウ、ジョアン・ミッチェル、ジャン=ポール・リオペル、アントニ・タピエス、マーク・トビー、ヴォルス、今井俊満、嶋本昭三、白髪一雄、田中敦子、勅使河原蒼風、堂本尚郎、福島秀子、村上三郎、元永定正、吉原治良。III 草月アートセンター；ジャン・ティンゲリー、ジャスパー・ジョーンズ、勅使河原宏、ロバート・ラウシェンバーグ、小島信明、三木富雄、山口勝弘、アンディ・ウォーホル〔書籍・写真雑誌・パンフレット・ポスター・チラシなどの印刷物、楽譜、台本、録音、16 ミリ・36 ミリ・アニメーション・映画などの映像は割愛した〕
○展覧会カタログ
「草月とその時代 1945-1970」展カタログ
　草月とその時代 1945-1970 展実行委員会　1998 年 10 月 17 日
　勅使河原宏：草月と戦後日本の芸術運動
　I オブジェの時代
　　建畠 哲：あいまいなる戦後のオブジェ
　　五十殿利治：戦後アヴァンギャルドの出発－「夜の会」から実験工房へ
　　藁科英也：勅使河原蒼風の立体造形
　　藁科英也：解説
　　藁科英也：戦前期の蒼風コレクション／三人三様－土門拳、亀倉雄策と蒼風
　　橋本裕之：ヌードと前衛
　　藁科英也：文献解題
　II アンフォルメル
　　芳賀 徹：勅使河原蒼風とアンフォルメル(と私)
　　加藤瑞穂：日本におけるアンフォルメルの受容
　　梶原伯子、加藤瑞穂：作家解説
　　加藤瑞穂：コラム
　　加藤瑞穂編：参考文献
　　加藤瑞穂編、協力・磯野昌子、岡本由加、藁科英也：関連年表
　III 草月アートセンター

山本淳夫編：草月アートセンター〔活動記録〕
秋山邦晴：文献再録　草月アートセンター
山本淳夫、長谷川雅丈：コラム
相倉久人：朱いベーゼンドルファー・ピアノにジャズは似合うだろうか〈草月とジャズ〉
山本淳夫：「音の実験」と草月アートセンター
正木 基：草月シネマテークの時代－実験映画と実験映像を中心に
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

尼崎市総合文化センター

第 10 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：鹿児島展；1976 年 10 月 30 日－11 月 12 日　鹿児島市立美術館／熊本展；11 月 18 日－12 月 1 日　熊本県立美術館／長崎展；12 月 7 日－19 日　長崎県立美術博物館／兵庫展；1977 年 1 月 8 日－21 日　尼崎市総合文化センター
主催：文化庁・兵庫県・尼崎市・神戸新聞社〔巡回 4-4〕
――→鹿児島市立美術館〔巡回 4-1〕

第 12 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：福井展；1978 年 10 月 22 日－11 月 5 日　福井県立美術館／大分展；11 月 21 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館／兵庫展；12 月 9 日－22 日　尼崎市総合文化センター 美術ホール／千葉展；1979 年 1 月 9 日－21 日　千葉県立美術館
主催：文化庁・尼崎市総合文化センター〔巡回 4-3〕
――→福井県立美術館〔巡回 4-1〕

第 14 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：茨城展；1980 年 11 月 1 日－14 日　日立市郷土博物館／静岡展；11 月 19 日－12 月 2 日　浜松市美術館／兵庫展；12 月 7 日－21 日　尼崎市総合文化センター／新潟展；1981 年 1 月 6 日－18 日　新潟県美術博物館
主催：文化庁・尼崎市総合文化センター・兵庫県・兵庫県教育委員会〔巡回 4-3〕
――→日立市郷土博物館〔巡回 4-1〕

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●
欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」
会期：2006 年 6 月 24 日－7 月 30 日　釧路市立美術館／8 月 8 日－9 月 10 日　唐津市近代図書館／9 月 16 日－10 月 22 日　掛川市二の丸美術館／10 月 28 日－12 月 3 日　尼崎市総合文化センター
主催：尼崎市総合文化センター〔巡回 4-4〕

――→釧路市立美術館〔巡回 4-1〕

伊丹市立美術館

コレクション－10 年の成果　現代美術へのいざない ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 12 月 13 日－1998 年 2 月 1 日　伊丹市立美術館　主催：伊丹市立美術館

出品：小牧源太郎、柳原義達、堀内正和、植木茂、浜田知明、今村輝久、向井良吉、泉茂、久保晃、土谷武、山口牧生、村岡三郎、井上武吉、森口宏一、渡辺豊重、江口週、谷川晃一、川俣正〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

コレクション－10 年の成果　現代美術へのいざない 出品目録

伊丹市立美術館　1998 年

大河内菊雄：あいさつ

藤牧和恵、村田正則、坂上義太郎：作家略歴

註：この「出品目録」は会期後に刊行されたもので、ただ発行日が記されていない。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大

アート遊園地 ●

欧文タイトル：「THE PLEASURE GROUND OF ART」

会期：1998 年 8 月 1 日－9 月 20 日　伊丹市立美術館　主催：伊丹市立美術館

出品：太田三郎、中ハシ克シゲ、藤本由紀夫〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

アート遊園地〔解説〕図録

伊丹市立美術館　1998 年 8 月

大河内菊雄：「アート遊園地」に寄せて

太田三郎、中ハシ克シゲ、藤本由紀夫：〔作家のことば〕

坂上義太郎：『アート遊園地』にみる「時間」「空間」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

アート遊園地〔作品〕図録

伊丹市立美術館　1998 年

所蔵：□、都現美、神近美、横浜美

西宮市大谷記念美術館

美術の考古学展 第 1 部「位相－大地」の考古学 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 6 月 15 日－7 月 21 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館

註：出品目録は収載されていない。

○展覧会カタログ

美術の考古学展図録 第 1 部「位相－大地」の考古学

西宮市大谷記念美術館　1996 年 6 月 15 日　美術の考古学 I

関根伸夫：〈位相－大地〉のころ

吉田克朗：「位相－大地」について

小清水 漸：二十八年目の手紙

小清水貴子：拝啓、櫛下町順子さま。

関根伸夫、吉田克朗、小清水漸、小清水貴子：アンケート

岸野裕人：「位相－大地」――個人的回想

篠 雅廣：「位相－大地」の考古学

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

美術の考古学 II パンリアル創世紀展〈戦後日本画の革新運動〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 7 月 11 日－8 月 16 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館

出品：山崎隆、三上誠、下村良之介、星野真吾、不動茂弥、大野秀隆〔俶嵩〕、松井章、高濱祺、野村耕、湯田寛、木村嘉子〔出品リスト順〕

註：作家略歴に記されている田中進(竜児)は出品リストには含まれていない。

○展覧会カタログ

パンリアル創世紀展〈戦後日本画の革新運動〉カタログ

西宮市大谷記念美術館　1998 年 7 月 11 日　美術の考古学 II

篠 雅廣：企画者から

中井康之：「パンリアル美術協会」創世のころ

平井章一：反画壇の名のもとに－1950 年代の関西の前衛美術グループ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大

対話する美術／前衛の関西〈開館 40 周年記念〉●

欧文タイトル：「Artistic Intractions：Avant-garde Kansai」

会期：2012 年 6 月 9 日－7 月 29 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館

出品：津高和一、須田剋太、白髪一雄、村上三郎、元永定正、松谷武判、泉茂、鄭相和、木下佳通代、山口牧生、藤本由紀夫、森口宏一、植松奎二、石原友明、パラモデル（林泰彦、中野裕介）、渡辺信子、奥田善巳〔図版収録順〕

○展覧会カタログ

対話する美術／前衛の関西〈開館 40 周年記念〉

西宮市大谷記念美術館　2012 年 6 月 9 日　英文併載

池上 司：対話する美術／前衛の関西

池上 司：〔作品解説、作品解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

姫路市立美術館

現代郷土作家 8 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 8 月 15 日－9 月 15 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

出品：雲丹亀利彦、後藤克浩、小林隆之、柴田昌子、高浜利也、水田勢二、山口謙二、渡邊詩子〔掲載作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代郷土作家 8 人展

姫路市立美術館友の会　2008 年 8 月　開館 25 周年記念

平瀬礼太・本丸生野：現代郷土作家 8 人展について

雲丹亀利彦、後藤克浩、小林隆之、柴田昌子、高浜利也、水田勢二、山口謙二、渡邊詩子：作家のことば

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、京都学、国会図、都中図

現代郷土作家展 吉本直子・久保健史・浅田暢夫〈内包の布 空間の石 存在の写真〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2012 年 9 月 13 日－10 月 21 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

出品：吉本直子、久保健史、浅田暢夫

○展覧会カタログ

現代郷土作家展 吉本直子・久保健史・浅田暢夫〈内包の布 空間の石 存在の写真〉

姫路市立美術館　2012 年 9 月

吉本直子、久保健史、浅田暢夫：〔作家のことば〕

本丸生野：内包の布 空間の石 存在の写真

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

現代郷土作家展 生きるものたちへ〈藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 12 月 15 日－23 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

出品：藤原向意、松田一戯、清水浄、東影智裕

○展覧会カタログ

現代郷土作家展 生きるものたちへ〈藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕〉

姫路市立美術館　2014 年 11 月

高瀬晴之：「現代郷土作家展 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 生きるものたちへ」について

藤原向意、松田一戯、清水浄、東影智裕：〔作家からのメッセージ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

奈良県

奈良県立美術館

第 7 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：徳島展；1973 年 9 月 29 日－10 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；10 月 20 日－11 月 4 日　高岡市立美術館／奈良展；11 月 11 日－25 日　奈良県立美術館／滋賀展；12 月 1 日－16 日　滋賀県立琵琶湖文化館

主催：文化庁・奈良県教育委員会・奈良県立美術館〔巡回 4-3〕

――→徳島県郷土文化会館〔巡回 4-1〕

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1975 年 9 月 24 日－10 月 7 日　いわき市文化センター／宮崎展；10 月 21 日－11 月 4 日　宮崎県総合博物館／奈良展；11 月 15 日－30 日　奈良県立美術館／神奈川展；12 月 7 日－21 日　神奈川県立県民ホールギャラリー

主催：文化庁・奈良県教育委員会・奈良県立美術館〔巡回 4-3〕

――→いわき市文化センター〔巡回 4-1〕

奈良ゆかりの現代作家〈柳原義達・井上武吉・上村淳之・絹谷幸二の世界〉 ●

欧文タイトル：「ARTISTS OF NARA－The Works of Yoshitatsu Yanagihara, Bukichi Inoue, Atsushi Uemura and Koji Kinutani」

会期：1993 年 4 月 29 日－5 月 30 日　奈良県立美術館　主催：奈良県立美術館

出品：柳原義達、絹谷幸二、井上武吉、上村淳之〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

奈良ゆかりの現代作家〈柳原義達・井上武吉・上村淳之・絹谷幸二の世界〉

奈良県立美術館　1993 年 4 月　開館 20 周年記念特別展

平岡照啓：「奈良ゆかりの現代作家」展によせて

柳原義達、絹谷幸二、井上武吉、上村淳之：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

美の最前線・現代アートなら〈素材と知の魔術〉 ●

欧文タイトル：「Beauty on the Edge－Contemporary Art Nara－Magic of materials and wisdom」

会期：2014 年 6 月 14 日－7 月 21 日　奈良県立美術館　主催：奈良県立美術館

出品：ふじい忠一、竹股桂、森口ゆたか、絹谷幸太、三瀬夏之介、菊池孝、下谷千尋〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

美の最前線・現代アートなら〈素材と知の魔術〉

奈良県立美術館　2014 年 6 月

南城 守：素材と知の魔術

ふじい忠一、竹股桂、森口ゆたか、絹谷幸太、三瀬夏之介、菊池孝、下谷千尋：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、国会図

奈良県文化会館

第 4 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：奈良展；1970 年 9 月 19 日－10 月 4 日　奈良県文化会館／香川展；10 月 10 日－25 日　高松・香川県文化会館／高知展；11 月 7 日－15 日　高知県立郷土文化会館／茨城展；11 月 22 日－12 月 1 日　日立市民会館

主催：文化庁・奈良県・奈良県教育委員会〔巡回 4-1〕

出品：日本画；大森運夫、加倉井和夫、下田義寛。洋画；猪熊弦一郎、北川民次、田村一男、藤田吉香。彫刻；水船六洲〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 4 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1970 年 9 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、国会図

和歌山県

和歌山県立近代美術館

瑛九とその周辺 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 6 月 14 日－8 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／9 月 6 日－28 日　宮崎県総合博物館／10 月 4 日－10 月 27 日　和歌山県立近代美術館

主催：和歌山県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

――→埼玉県立近代美術館〔巡回 3-1〕

現代の造形――土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 7 月 29 日－8 月 27 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

出品：荒木高子、前川強、濱谷明夫

○展覧会カタログ

現代の造形――土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展

和歌山県立近代美術館　1989 年 7 月

荒木高子、前川強、濱谷明夫：〔作家のことば〕

浜田拓志：展覧会ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

美術の現在 4つの試み〈宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990年7月28日－8月26日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

出品：宮崎豊治、北山善夫、木村秀樹、野田裕示〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

美術の現在 4つの試み〈宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展〉

和歌山県立近代美術館　1990年7月

宮崎豊治、北山善夫、木村秀樹、野田裕示：〔作家のことば〕

安來正博、奥村泰彦：展覧会ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

現代の陶芸 1980－1990〈関西の作家を中心として〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990年10月6日－28日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

出品：秋山陽、荒木高子、川上力三、清水柾博、笹山忠保、佐藤敏、鈴木治、坪井明日香、林秀行、林康夫、星野暁、三島喜美代、宮永理吉、森野泰明、柳原睦夫、山田光〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代の陶芸 1980－1990〈関西の作家を中心として〉展図録

和歌山県立近代美術館　1990年10月

秋山陽、荒木高子、川上力三、清水柾博、笹山忠保、佐藤敏、鈴木治、坪井明日香、林秀行、林康夫、星野暁、三島喜美代、宮永理吉、森野泰明、柳原睦夫、山田光：〔作家のことば〕

奥村泰彦、安來正博、寺口淳治、浜田拓志：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

「新しい関西の美術家たち ものとあわれ」展 ●

欧文タイトル：「Emerging Appearance Art Works in Experience」

会期：1997年3月1日－30日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

出品：有地左右一＋笹岡敬、藤本由紀夫、ミッション・インヴィジヴル、森口ゆたか、小河朋司、笹岡敬〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「新しい関西の美術家たち ものとあわれ」展図録

和歌山県立近代美術館　1997年2月28日　主に英文併載　付・補遺

奥野泰彦：ものとあわれ－体験としてなりたつ作品

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

「デモクラート 1951～1957 解放された戦後美術」展 ●

欧文タイトル：「DEMOKRATO 1951-1957　The Liberation of Art in Postwar Japan」

会期：1999 年 5 月 2 日－30 日　宮崎県立美術館／1999 年 6 月 8 日－7 月 11 日　和歌山県立近代美術館／1999 年 8 月 21 日－10 月 11 日　埼玉県立近代美術館

主催：和歌山県立近代美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

――→宮崎県立美術館〔巡回 3-1〕

森のなかで ●

欧文タイトル：「IN THE FOREST」

会期：2007 年 7 月 28 日－10 月 8 日　田辺市立美術館×熊野古道なかへち美術館／10 月 20 日－12 月 9 日　和歌山県立近代美術館

主催：「森のなかで」展実行委員会・和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館〔巡回 2-2〕

――→田辺市立美術館×熊野古道なかへち美術館〔巡回 2-1〕

田辺市立美術館

森のなかで ●

欧文タイトル：「IN THE FOREST」

会期：2007 年 7 月 28 日－10 月 8 日　田辺市立美術館×熊野古道なかへち美術館／10 月 20 日－12 月 9 日　和歌山県立近代美術館

主催：「森のなかで」展実行委員会・和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館〔巡回 2-1〕

出品：戸谷成雄、銅金裕司、矢櫃徳三、押江千衣子、内山りゅう、高木正勝、栗田宏一〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

森のなかで

「森のなかで」展実行委員会　2007 年 7 月

奥村一郎、浜田拓志、山本泰代：〔作家解説〕

銅金裕司：ナギはどこから来たか

奥村一郎：森のなかで

浜田拓志：「森のなかで」展と南方熊楠

山本泰代：熊野古道なかへち美術館から

戸谷成雄、銅金裕司、矢櫃徳三、押江千衣子、内山りゅう、高木正勝、栗田宏一：作家のことば

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都

学、和光大、国会図

熊野古道なかへち美術館

森のなかで ●

欧文タイトル：「IN THE FOREST」

会期：2007 年 7 月 28 日－10 月 8 日　田辺市立美術館×熊野古道なかへち美術館／10 月 20 日－12 月 9 日　和歌山県立近代美術館

主催：「森のなかで」展実行委員会・和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館〔巡回 2-1、同時開催〕

――→田辺市立美術館〔巡回 2-1〕

公立美術館 中国

鳥取県

鳥取県立博物館

第 13 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鳥取展；1979 年 12 月 8 日－22 日　鳥取県立博物館／愛知展；1980 年 1 月 8 日－20 日　豊橋市美術博物館／青森展；1 月 27 日－2 月 11 日　弘前市立博物館／北海道展；2 月 17 日－3 月 2 日　北海道立近代美術館

主催：文化庁・鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

出品：日本画；岩崎巴人、上村淳之、佐藤圀夫。洋画；青山龍水、桜田精一、沢村美佐子。版画；泉茂、笹島喜平。彫刻；北村治禧〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 13 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1979 年 12 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

現代美術の創造者たち〈昭和 20 年代の京都・大阪・神戸〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 10 月 10 日－11 月 9 日　鳥取県立博物館　主催：鳥取県立博物館

出品：イサム・ノグチ、辻晋堂、堀内正和、植木茂、長谷川三郎、津高和一、須田剋太、富本憲吉、近藤悠三、山田喆、稲垣稔次郎、小合友之助、宇野三吾、林康夫、鈴木康之、三浦省吾、中西美和、雲雀民雄、藤田作、八木一夫、山田光、鈴木治、吉岡堅二、向井久万、秋野不矩、広田多津、澤宏靱、上村松篁、奥村厚一、三上誠、星野真吾、山崎隆、不動茂弥、

大野俶嵩、下村良之介、瑛九、泉茂、早川良雄、吉原治良、元永定正、嶋本昭三、田中敦子、村上三郎、金山明、白髪一雄〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

現代美術の創造者たち〈昭和 20 年代の京都・大阪・神戸〉図録

鳥取県立博物館資料刊行会　1989 年 10 月 10 日　特別展

木村重信：昭和 20 年代の美術 京都

高橋 亨：昭和 20 年代の美術 大阪・神戸

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

Variations 絵画の多様性 ●

会期：2014 年 1 月 11 日－2 月 14 日　鳥取県立博物館　主催：鳥取県立博物館

出品：秦博志、安木洋平、山下律子、山田和之〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

Variations 絵画の多様性

鳥取県立博物館　2014 年 1 月

尾﨑信一郎：Variations 絵画の多様性

秦博志、安木洋平、山下律子、山田和之：〔作家のことば〕

尾﨑信一郎：〔作家解説〕

山本亮、尾﨑信一郎：編集

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、京都学、国会図、都中図

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 9 月 6 日－28 日　米子市美術館／10 月 9 日－19 日　倉吉博物館／10 月 25 日－11 月 3 日　鳥取県立博物館

主催：厚生労働省・鳥取県・鳥取市〔巡回 3-3〕

――→米子市美術館〔巡回 3-1〕

モダンアート再訪－ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●

欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」

会期：2018 年 2 月 3 日－3 月 18 日　鳥取県立博物館／4 月 7 日－5 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／6 月 2 日－8 月 26 日　広島市現代美術館／9 月 15 日－11 月 4 日　横須賀美術館

主催：鳥取県立博物館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-1〕

出品：藤野一友、河原温、池田龍雄、海老原喜之助、野見山暁治、工藤哲巳、山内重太郎、桜井孝身、石橋泰幸、田部光子、尾花成春、菊畑茂久馬、田中敦子、嶋本昭三、元永定正、白髪一雄、松谷武判、吉原治良、オチオサム、向井修二、赤瀬川原平、風倉匠、篠原有司男、タイガー立石、中村宏、草間彌生、柳幸典、瑛九、原口典之、桑山忠明、榎倉康二、山崎直秀、大竹伸朗、やなぎみわ、辰野登恵子、横尾忠則、金村修〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後出品作品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

モダンアート再訪ーダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展

鳥取県立博物館・埼玉県立近代美術館・広島市現代美術館・横須賀美術館・美術館連絡協議会　2018 年 2 月 1 日

尾﨑信一郎：モダンアート再訪

山口洋三：福岡市美術館のコレクション形成ー（元々）相対化されていた「モダンアート」

冨田康子、宇多瞳、尾﨑信一郎、吉岡知子、洲濱元子、山口洋三、赤井あずみ、小島ひろみ：作家解説

吉岡知子：ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いていたジョアン・ミロ 1940-1945

洲濱元子：核の時代の美術〈ダリ、イヴ・クラインそして工藤哲巳について〉

冨田康子：前衛美術と女性作家

赤井あずみ：「基盤」からはじめるー榎倉康二と原口典之の試みについて

宇多瞳、赤井あずみ、尾﨑信一郎、吉岡知子、冨田康子：作家解説

尾﨑信一郎、宇多瞳、山口洋三、冨田康子、小島ひろみ：用語解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

倉吉博物館

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 9 月 6 日ー28 日　米子市美術館／10 月 9 日ー19 日　倉吉博物館／10 月 25 日ー11 月 3 日　鳥取県立博物館

主催：厚生労働省・鳥取県・鳥取市〔巡回 3-2〕

――→米子市美術館〔巡回 3-1〕

米子市美術館

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：長野展；1983 年 10 月 9 日ー23 日　長野県信濃美術館／鳥取展；10 月 30 日ー11 月 13 日　米子市美術館／香川展；11 月 19 日ー12 月 4 日　香川県文化会館／三重展；12 月 10 日ー25 日　四日市市文化会館／愛知展；1984 年 1 月 7 日ー22 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・鳥取県教育委員会・米子市教育委員会〔巡回 5-2〕

――→長野県信濃美術館〔巡回 5-1〕

辻晋堂・八木一夫・堀内正和〈1950 年代京都から：新たなる造形への出発〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 7 月 21 日ー8 月 18 日　米子市美術館　主催：米子市美術館

出品：辻晋堂、八木一夫、堀内正和。版画；辻晋堂、八木一夫、下村良之介、熊倉順吉、佐

野猛夫、不動茂弥、富樫実、麻田浩〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

辻晋堂・八木一夫・堀内正和〈1950 年代京都から：新たなる造形への出発〉

米子市美術館　1991 年 7 月　辻晋堂没後 10 周年記念特別企画展

堀内正和：三人展に寄せて

木村重信：現代造形のパイオニアたち

下村良之介：辻晋堂氏と版画

山田光、柳生不二雄、藤慶之、山崎脩、橋本正司、宮永理吉、佐野賢、林秀行：三人の思い出

註：三人展という形式だが、周辺作家の作品(版画)が出品されているので採録した。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

変貌する世界――日本の現代絵画 1945 年以後 ●

欧文タイトル：「THE WORLD IN TRANSITION PAINTING IN JAPAN SINCE 1945」

会期：1997 年 11 月 1 日－12 月 7 日　高岡市美術館／1998 年 2 月 7 日－3 月 8 日　米子市美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館・鳥取県教育委員会・米子市美術館・米子市・米子市教育委員会〔巡回 2-2〕

――→高岡市美術館〔巡回 2-1〕

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 9 月 6 日－28 日　米子市美術館／10 月 9 日－19 日　倉吉博物館／10 月 25 日－11 月 3 日　鳥取県立博物館

主催：厚生労働省・鳥取県・鳥取市〔巡回 3-1〕

出品：足立伸一、西村真智子、久保田洋子、鶴川弘二、山田繁、舛次崇、川上敏郎、戸來貴規、門山幸順、河野咲子、澤田真一、古久保憲満、伊藤喜彦、中本清親、藤岡祐機、吉澤健、齋藤勝利、山崎健一、戸舎清志、小幡正雄、鮴万里絵、瀬戸東満、高岡源一郎、西川智之、萩野トヨ、水谷伸郎、表敷功、福嶋貴時、戸次公明、吉川秀昭、勝部翔太、小川滋、宮間英次郎、東健次〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展

第 14 回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会実行委員会　2014 年 9 月

井上多枝子：そこにある美術〈アール・ブリュット〉

工藤幸治：言語的思考はなくとも芸術は誕生する〈齋藤勝利の場合〉

玉井 詞：もみの木福祉会でのアート活動に携って

井上多枝子、はたよしこ、小林瑞恵：作家紹介

所蔵：□、国新美

島根県

島根県立博物館

第 2 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1968 年 9 月 22 日－10 月 6 日　松江・島根県立博物館／10 月 15 日－27 日　徳山・出光会館／11 月 7 日－16 日　富山県民会館／11 月 24 日－12 月 3 日　浦和・埼玉会館

主催：文化庁・島根県教育委員会〔巡回 4-1〕

出品：日本画；伊東万耀、下保昭。洋画；佐伯米子、佐竹徳、中村善策。彫刻；進藤武松、水船六洲。工芸；海野建夫、叶光夫〔出品目録順〕

註：出品欄は招待出品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 2 回現代美術選抜展図録

〔文化庁〕　1968 年 9 月

手塚真一：現代美術選抜展について

註：本展から「現代美術選抜展」として文化庁の主催によって開催された。第 1 回に相当するのが「中央美術団体受賞作品展」で、前年の 1967 年 10 月に文部省と北海道教育委員会の主催により札幌・北海道立美術館で開催されている（秋田県でも開催されたようだが詳細は未確認）。

所蔵：□、東近美

島根県立美術館

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 ●

欧文タイトル：「ROUSSEAU ENVISAGED：Henri Rousseau and Japanese Artists」

会期：2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　世田谷美術館／12 月 20 日－2007 年 2 月 12 日　名古屋・愛知県美術館／3 月 9 日－5 月 6 日　松江・島根県立美術館

主催：島根県立美術館　NHK 松江放送局・NHK ちゅうごくソフトプラン〔巡回 3-3〕

――→世田谷美術館〔巡回 3-1〕

島根県立石見美術館

「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 7 月 12 日－9 月 7 日　青森県立美術館／9 月 20 日－11 月 16 日　静岡県立美術館／12 月 13 日－2015 年 2 月 16 日　島根県立石見美術館

主催：「美少女の美術史」展実行委員会(青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館)〔巡回 3-3〕

――→青森県立美術館〔巡回 3-1〕

岡山県

岡山県総合文化センター（岡山県天神山文化プラザ）

第 15 回名作展 日本の抽象絵画〈アンフォルメルを中心として〉●

欧文タイトル：「ABSTRACT ART IN JAPAN」

会期：1977 年 2 月 16 日－3 月 6 日　岡山県総合文化センター　主催：岡山県教育委員会・岡山県総合文化センター・岡山県総合文化センター文化振興会

出品：坂田一男、荒井龍男、吉原治良、長谷川三郎、瑛九、阿部展也、芥川〔間所〕沙織、猪熊弦一郎、岡田謙三、山口長男、斎藤義重、難波田龍起、村井正誠、井上長三郎、榎戸庄衛、川端実、オノサト・トシノブ、若松光一郎、菅井汲、関根美夫、前田常作、今井俊満、堂本尚郎、川島猛、高橋秀、近藤竜男、荒川修作〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 15 回名作展 日本の抽象絵画〈アンフォルメルを中心として〉

〔岡山県総合文化センター〕　1977 年 2 月

片岡雅志：抽象絵画移植の軌跡

所蔵：□、国新美、東近美、東大駒、都現美、神近美

「美へのまなざし・交差する世界」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2012 年 6 月 14 日－24 日　岡山県天神山文化プラザ　主催：岡山県天神山文化プラザ

出品：蛭田二郎、香川昌久、池畑秀穂、森山知己、金盛秀禎、難波滋、佐藤定、小川尊一、立花博、寺尾宗徳、磯谷晴弘、上田久利、神﨑順治、難波由城雄、岡本正教、伊瀬輝雄、寺田武弘、伊永和弘、額田哲郎、三宅弘子、福島隆壽、泉谷淑夫、西平孝史、北山由紀雄、安藤清和、岡部玄、金谷雄一、草間喆雄、能勢伊勢雄、高原洋一、平田稔、榎本勝彦、金谷哲郎、小林照尚、時光新吾、森下勲、甲田千晴、長原勲、役重佳廣、作元朋子、佐藤孝洋、片山康之、青地大輔、浅野有紀、永岡かずみ、花田洋通、田丸稔、椿苑、上西竜二、島村敏明、池田理寛〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「美へのまなざし・交差する世界」記録集

岡山県天神山文化プラザ　2012 年 9 月 25 日　岡山県総合文化センター＋岡山県天神山文化プラザ開館 50 周年記念展

大橋宗志：みんな、ここで育った〈「美へのまなざし・交差する世界」展に寄せて〉

蛭田二郎、香川昌久、池畑秀穂、森山知己、金盛秀禎、難波滋、佐藤定、小川尊一、立花博、寺尾宗徳、磯谷晴弘、上田久利、神﨑順治、難波由城雄、岡本正教、伊瀬輝雄、寺田武弘、伊永和弘、額田哲郎、三宅弘子、福島隆壽、泉谷淑夫、西平孝史、北山由紀雄、安藤清和、岡部玄、金谷雄一、草間喆雄、能勢伊勢雄、高原洋一、平田稔、榎

本勝彦、金谷哲郎、小林照尚、時光新吾、森下勲、甲田千晴、長原勲、役重佳廣、作元朋子、佐藤孝洋、片山康之、青地大輔、浅野有紀、永岡かずみ、花田洋通、田丸稔、椿苑、上西竜二、島村敏明、池田理寛：作家コメント

所蔵：□、国新美、写真美、国会図

岡山県立美術館

第 23 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1989 年 11 月 16 日－12 月 3 日　藤沢市民ギャラリー／岡山展；12 月 8 日－24 日　岡山県立美術館／愛知展；1990 年 1 月 6 日－21 日　豊橋市美術博物館／沖縄展；2 月 1 日－25 日　浦添市美術館

主催：文化庁・岡山県立美術館・岡山県教育委員会・第 23 回現代美術選抜展岡山展実行委員会〔巡回 4-2〕

――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 4-1〕

日本近現代木彫展〈継承・そして新たなる地平〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 2 月 14 日－3 月 15 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：平櫛田中、石井鶴三、澤田政廣、冨永朝堂、土方久功、斎藤義重、本郷新、圓鍔勝三、辻晋堂、桂ゆき、植木茂、建畠覚造、豊福知徳、江口週、最上壽之、岩下碩通、小清水漸、菅沼緑、戸谷成雄、深井隆、舟越桂、神山明〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

日本近現代木彫展〈継承・そして新たなる地平〉

岡山県立美術館　1992 年 2 月 14 日

本間正義：日本近代木彫の展開

柳沢秀行：〔作家略歴、作品解説〕

柳沢秀行編：参考文献

柳沢秀行編：年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

アート・ラビリンス〈90 年代美術への視座〉●

欧文タイトル：「Art Labyrinth A view point to Japanese Contemporary Art」

会期：1994 年 2 月 18 日－3 月 21 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：河口洋一郎、コンプレッソ・プラスティコ、関口敦仁、中原浩大、福田美蘭、藤本由紀夫、三上晴子、柳幸典、ヤノベケンジ〔出品作品一覧順〕

〇展覧会カタログ

アート・ラビリンス〈90 年代美術への視座〉

岡山県立美術館　1994 年 3 月

妹尾克己：アート・ラビリンス〈90 年代美術への視座〉

河口洋一郎、関口敦仁、中原浩大、福田美蘭、藤本由紀夫、柳幸典、ヤノベケンジ：〔作家のことば〕

妹尾克己、柳沢秀行：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

女はどう表現されてきたか ●

欧文タイトル：「Female Identity」

会期：1996 年 10 月 9 日－11 月 10 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：戦後 I；向井久万、古沢岩美、堂本印象、小倉遊亀、前田青邨、棟方志功、瑛九、河原温、麻生三郎、髙山辰雄、中村宏、三栖右嗣、荒川修作、工藤哲巳、三上誠、佐藤多持、高橋秀、安田靫彦、森田曠平、石本正、佐々木正芳、高松次郎、三輪龍作、板橋廣美、中村誠、浅葉克己、石岡瑛子、戸田正寿、井上嗣也。戦後 II；芥川〔間所〕紗織、桂ゆき、小倉遊亀(重)、広田多津、内田あぐり、田嶋悦子、草間彌生、レイコ・イケムラ、嶋田美子〔図版収載順〕

註：出品欄は「戦後 I」および「戦後 II」の作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

女はどう表現されてきたか

岡山県立美術館　1996 年 10 月 9 日

福冨　幸：MESSAGE

福冨　幸：〔章解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

アートラビリンス II 時の記憶 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 2 月 14 日－3 月 16 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：岡部玄、小野和則、小石原剛、しばたゆり、関崎哲、寺田武弘、高原洋一、藤本由紀夫、三宅康郎〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

アートラビリンス II 時の記憶

岡山県立美術館　1997 年 2 月 14 日　自主企画特別展

柳沢秀行：「美術館も変わらなきゃ ん!でもまてよ」

岡部玄、小野和則〔3 行〕、小石原剛、関崎哲、しばたゆり、高原洋一、寺田武弘、藤本由紀夫、三宅康郎：〔作家のことば〕

柳沢秀行：作家解説

柳沢秀行：おわりに

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

ガーデン〈現代美術をとおしてみる後楽園〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 11 月 3 日－12 月 3 日　招待展・後楽園園内／アンデパンダン展・後楽園周辺河川敷　主催：おかやま後楽園 300 年祭実行委員会、共催：岡山県立美術館

出品：池田晶一、岩野勝人、榎本勝彦、大久保英治、太田三郎、岡部玄、國安孝昌、地域と芸術計画(代表・小石原剛)、寺田武弘、藤本由紀夫、眞板雅文〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ガーデン〈現代美術をとおしてみる後楽園〉〔記録集〕

岡山県立美術館　2001 年 3 月 1 日　おかやま後楽園 300 年祭・空間アート

柳沢秀行：「ガーデン〈現代美術をとおしてみる後楽園〉」

柳沢秀行：作品解説

註：会場は後楽園および後楽園周辺河川敷だが、岡山県立美術館が発行所なので本「一覧」に収録した。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大

戦後岡山の美術〈前衛達の姿〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 2 月 13 日－3 月 24 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：昭和 20 年代 培われた土壌；佐藤一章、柚木祥吉郎、青地秀太郎、塩津誠一、河原修平、小林喜一郎、奥田仁、中津瀬忠彦、三橋健、小野絵麻、青木正春、坂田一男、竹内清、上岡麟一。昭和 30 年代の前衛達；斎藤國雄、斎藤康子、金谷哲郎、小野二三子、石井(海見)久子、柳井(前田)孝造、赤木始(曠児郎)、小幡博志、寺尾昇、平島二郎、カイハラタカシ(貝原孝志)、渡辺総一、山本師朗、香川昌久、横田健三、林三従、寺田武弘、大西茂、工藤哲巳、三宅弘子、劉生容。そして…1970 年を越えて；小野絵里、斎藤國雄(重)、寺田武弘(重)、香川昌久(重)、林三従(重)〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

戦後岡山の美術〈前衛達の姿〉

岡山県立美術館　2002 年 2 月　自主企画特別展

柳沢秀行：戦後岡山の美術〈前衛達の姿〉昭和 20 年－40 年

柳沢秀行：〔章解説、作家解説、グループ等解説・資料〕

柳沢秀行編：関連年表

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

Outspoken Glass 遠慮のないガラス－今日の日本から ●

会期：2003 年 2 月 5 日－3 月 23 日　札幌・北海道立近代美術館／4 月 8 日－5 月 11 日　岡山県立美術館

主催：岡山県立美術館〔巡回 2-2〕

――→北海道立近代美術館〔巡回 2-1〕

カルテックス 共通言語としてのテキスタイル〈共振する思考〉●

欧文タイトル：「CULTEX　textile as a cross-cultural language」

会期：2010 年 12 月 21 日－2011 年 1 月 30 日　岡山県立美術館／「風のように、光のよう

に ノルウェーと日本のテキスタイル・アート」展　7 月 9 日－9 月 4 日　高崎・群馬県立近代美術館

主催：岡山県立美術館〔巡回 2-1〕

出品：上野真知子、アニケン・アムンセン、川井由夏、エヴァ・ジョルベルグ、島田清徳、ガブリエッラ・ヨーランソン〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

カルテックス 共通言語としてのテキスタイル〈共振する思考〉

岡山県立美術館・群馬県立近代美術館　2010 年 12 月

レスリー・ミラー：CULTEX

上野真知子、アニケン・アムンセン、川井由夏、エヴァ・ジョルベルグ、島田清徳、ガブリエッラ・ヨーランソン：作家レポート

桑山俊道：日本文化としてのファイバーワーク

マリアンネ・ザメシュニック：インスタレーション・アートにおける知性と感性

福冨 幸：あとがき

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図

目の目 手の目 心の目〈体感の向こうに広がる世界〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 3 月 14 日－4 月 19 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：太田三郎、北川太郎、草間喆雄、向後千里、島田清徳、福井一尊、三橋遵、南川茂樹〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

目の目 手の目 心の目〈体感の向こうに広がる世界〉

岡山県立美術館・岡山大学　2016 年 2 月 19 日

太田三郎、北川太郎、草間喆雄、向後千里、島田清徳、福井一尊、三橋遵、南川茂樹：〔作家のことば〕

広瀬浩二郎：「Peace of Pieces」プロジェクト

福冨 幸：あとがき「心の目」を養う

所蔵：□、国新美

有為自然――岡崎和郎、伊勢﨑淳、中西夏之〈すべてとつながり、場がうまれ、ともに生きる〉●

欧文タイトル：「The Three-Cornered World：Kazuo OKAZAKI, Jun ISEZAKI and Natsuyuki NAKANISHI　Connecting with the other, making place, coexisnting here」

会期：2015 年 4 月 28 日－6 月 7 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館・山陽新聞社

出品：岡崎和郎、伊勢﨑淳、中西夏之〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

有為自然――岡崎和郎、伊勢﨑淳、中西夏之〈すべてとつながり、場がうまれ、ともに生きる〉

岡山県立美術館　2015 年 5 月 20 日
岡崎和郎、伊勢﨑淳：インタビュー
中西夏之：詩
鍵岡正謹：有為の奥山今日越えて
高嶋雄一郎：三人の人間による一つの場が生まれるまで
巖谷國士：人間と自然、自然と芸術 三人のアーティストをめぐって
高嶋雄一郎、大山真季：編集
所蔵：□、国新美、東近美、神近美

井原市立田中美術館

第 26 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：愛媛展；1992 年 11 月 13 日－24 日　今治市河野美術館／岡山展；11 月 28 日－12 月 11 日　井原市立田中美術館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／岐阜展；1993 年 1 月 7 日－18 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／岩手展； 1 月 24 日－2 月 7 日　水沢市文化会館／北海道展；2 月 13 日－28 日　釧路市生涯学習センター・アートギャラリー
主催：文化庁・岡山県教育委員会・井原市教育委員会・井原市立田中美術館〔巡回 6-2〕
――→今治市河野美術館〔巡回 6-1〕

倉敷市立美術館（倉敷市立展示美術館）

動く彫刻展――空間概念の変革をめざして ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1985 年 6 月 4 日－23 日　倉敷市立展示美術館　主催：倉敷市・倉敷市教育委員会、協力：現代彫刻センター
出品：飯田善國、伊藤隆道、菊竹清文、田中薫〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
動く彫刻展――空間概念の変革をめざして
倉敷市立展示美術館・現代彫刻センター　1985 年 6 月
片岡雅志：動く彫刻〈空間概念の変革〉
伊藤隆道、菊竹清文、田中薫：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、和光大、国会図

戦後美術－1960 年のアヴァンギャルド ●

欧文タイトル：「ART OF POSTWAR 1960’S AVANT-GARDE」
会期：1996 年 4 月 20 日―5 月 26 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館
出品：海外作家；カレル・アペル、ジョゼフ・アルバース、ピエール・アルシンスキー、トム・ウェッセルマン、イヴ・クライン、ジョゼフ・コーネル、ジャスパー・ジョーンズ、ジム・ダイン、ジャン・ティンゲリー、ウィレム・デ・クーニング、ジャン・デュビュッフェ、

ジャン・フォートリエ、ルーチョ・フォンタナ、ハンス・ホフマン、ジョルジュ・マチウ、ラリー・リヴァース。国内作家；赤瀬川原平、荒川修作、磯辺行久、今井俊満、岡崎和郎、菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、桑山忠明、斎藤義重、白髪一雄、杉全直、高松次郎、多田美波、田中敦子、堂本尚郎、中西夏之、中村正義、難波田龍起、平松輝子、元永定正、山口長男、山田正亮、山本正、横尾忠則、吉仲太造、若林奮〔作家略歴・出品目録順〕

〇展覧会カタログ

戦後美術－1960 年のアヴァンギャルド

倉敷市立美術館　1996 年 3 月 31 日

乾 由明：戦後美術の転換期――1960 年前後の革新者たち

前田 興：旧倉敷市庁舎（倉敷市立美術館）の建築とその周辺〈1960 年前後の丹下健三の動向〉

杉野文香編：年表 1955－64

佐々木千恵：作家略歴、用語解説、文献目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 6 月 10 日－7 月 17 日　八王子市夢美術館／7 月 28 日－9 月 10 日　倉敷市立美術館／9 月 30 日－10 月 29 日　福井市美術館／11 月 18 日－12 月 24 日　安城市民ギャラリー

主催：倉敷市立美術館・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-2〕

――→八王子市夢美術館〔巡回 4-1〕

クロスロード〈共鳴する美術〉I・II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 7 月 27 日－9 月 2 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

出品：森山知己、山本麻友香〔I 図版収載順〕、藤井弘、島村敏明、森美樹、國光裕之、灰原愛、真重涼香、佐藤朋子、永岡かずみ、松本弘＋越宗泰昭〔II 出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

クロスロード〈共鳴する美術〉I

倉敷市立美術館　2007 年 7 月　「倉敷市」40 周年記念　I・II 共 2 冊

佐々木千恵：レゾナンス〈森山知己・山本麻友香〉

前田興、佐々木千恵：編集

所蔵：□、国新美、国会図

クロスロード〈共鳴する美術〉II

倉敷市立美術館　2007 年 8 月　「倉敷市」40 周年記念

佐々木千恵：水とひとをめぐる場

藤井弘、島村敏明、森美樹、國光裕之、灰原愛、真重涼香、佐藤朋子、永岡かずみ、松本弘＋越宗泰昭：作家の言葉

前田興、佐々木千恵：編集

所蔵：□、国新美、国会図

共鳴する美術 2008 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 9 月 19 日－11 月 3 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館・岡山市デジタルミュージアム・奈義町現代美術館・岡山ネットワーク事業実行委員会

出品：大西伸明、金平靖子、田中恵美、松居邦明、みやじけいこ、森本美絵〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

共鳴する美術 2008

岡山ネットワーク事業実行委員会　2008 年 9 月

佐々木千恵、杉野文香：編集

所蔵：□、国新美、都現美

共鳴する美術 2009〈表現への挑戦〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 9 月 18 日－11 月 8 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

出品：青地大輔、杉浦慶太、藤原裕策、松井えり菜〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

共鳴する美術 2009〈表現への挑戦〉

倉敷市立美術館　2009 年 9 月

前田興、杉野文香：編集

所蔵：□、国新美、神近美

共鳴する美術 2010〈ストーリー・テリング〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 11 月 12 日－12 月 23 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

出品：片山康之、下道基行、鷹取雅一、龍門藍〔図版リスト順〕

○展覧会カタログ

共鳴する美術 2010〈ストーリー・テリング〉

倉敷市立美術館　2010 年 11 月

佐々木千恵：トゥルー・ストーリーで〈「展覧会」という物語〉

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、横浜美

共鳴する美術 2010〈ストーリー・テリング〉記録集

倉敷市立美術館　2010 年 12 月

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、横浜美

共鳴する美術 2011〈工芸の現在〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 10 月 29 日－12 月 18 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

出品：高月国光、瀧山雄一、外川明日香、村松加奈子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

共鳴する美術 2011〈工芸の現在〉

倉敷市立美術館　2011 年 10 月
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美

高梁市歴史美術館

文化庁主催第 38 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：岩手展；2004 年 11 月 13 日－28 日　岩手県立美術館／岡山展；2005 年 1 月 8 日－23 日　高梁市歴史美術館／岐阜展；2 月 5 日－27 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー
主催：文化庁・岡山県・高梁市・高梁市教育委員会・高梁市歴史美術館〔巡回 3-2〕
――→岩手県立美術館〔巡回 3-1〕

奈義町現代美術館

アートの今・岡山 2007 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：〔2007 年 10 月 31 日－11 月 11 日　岡山県天神山文化プラザ　主催：「アートの今・岡山」展実行委員会・おかやま県民文化祭実行委員会・岡山県天神山文化プラザ／12 月 1 日－24 日　高梁市歴史美術館(高梁市文化交流館)　主催：高梁市・高梁市教育委員会・高梁市歴史美術館〕／2008 年 1 月 6 日－2 月 3 日　奈義町現代美術館　主催：奈義町・奈義町教育委員会・奈義町現代美術館
註：岡山県天神山文化プラザの企画展とあるが、この「一覧」では奈義町現代美術館で採録し、巡回展の記録は〔　　〕で囲み記載のみにとどめた。
出品：青木陸祐、太田三郎、佐藤智美、島村敏明、廣中薫、藤原洋次郎、ポール・コール、森山知己〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
アートの今・岡山 2007
「アートの今・岡山」展実行委員会　2007 年 10 月　第 5 回おかやま県民文化祭主催事業　岡山県天神山文化プラザ企画展
青木陸祐、太田三郎、佐藤智美、島村敏明、廣中薫、藤原洋次郎、ポール・コール、森山知己：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美

アートの今・岡山 2015「dialogues 対話」●
欧文タイトル：「The Present of Art OKAYAMA 2015」
会期：〔2015 年 11 月 4 日－15 日　岡山県天神山文化プラザ／11 月 28 日－12 月 23 日　高梁市歴史美術館〕／2016 年 1 月 9 日－2 月 7 日　奈義町現代美術館　主催：「アートの今・岡山」展実行委員会・岡山県天神山文化プラザ・おかやま県民文化祭実行委員会・高梁市・高梁市教育委員会・高梁市歴史美術館・奈義町・奈義町教育委員会・奈義町現代美術館
註：岡山県天神山文化プラザの企画展であるが、この「一覧」では奈義町現代美術館で採録

し、巡回展の記録は〔　　〕で囲み記載のみにとどめた。
出品：蛭田二郎、上田久利、木村克朗、岡田啓伸、能勢伊勢雄、中原浩大〔出品リスト順〕
〇展覧会カタログ
アートの今・岡山 2015「dialogues 対話」記録集
「アートの今・岡山」展実行委員会　2016 年 1 月 31 日
蛭田二郎×上田久利、木村克朗×岡田啓伸、能勢伊勢雄×中原浩大：対話
所蔵：□、国新美、国会図

広島県

広島県立美術館

第 5 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：長野展；1971 年 9 月 19 日－10 月 3 日　長野県信濃美術館／静岡展；10 月 14 日－21 日　静岡県民会館／広島展；10 月 30 日－11 月 14 日　広島県立美術館／福岡展；11 月 23 日－12 月 5 日　福岡県文化会館美術館
主催：文化庁・広島県教育委員会・中国新聞社〔巡回 4-3〕
――→長野県信濃美術館〔巡回 4-1〕

世界の現代版画 25 年展 ●
欧文タイトル：「The World in Contemporary Prints 1955-1980」
会期：1981 年 2 月 7 日－3 月 22 日　東京都美術館企画展示室／4 月 7 日－5 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館／5 月 16 日－6 月 7 日　広島県立美術館
主催：広島県立美術館・朝日新聞社〔巡回 3-3〕
――→東京都美術館〔巡回 3-1〕

モナ・リザ 100 の微笑 ●
欧文タイトル：「Les 100 Sourires de Monna Lisa」
会期：2000 年 1 月 29 日－3 月 26 日　東京都美術館／4 月 4 日－6 月 11 日　静岡県立美術館／7 月 15 日－8 月 20 日　広島県立美術館
主催：広島県立美術館・テレビ新広島・日本経済新聞社〔巡回 3-3〕
――→東京都美術館〔巡回 3-1〕

「日本画」の前衛 1938-1949 ●
欧文タイトル：「The Avant-Garde of “Nihonga” 1938-1949」
会期：2010 年 9 月 3 日－10 月 17 日　京都国立近代美術館／2011 年 1 月 8 日－2 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館／2 月 22 日－3 月 27 日　広島県立美術館
主催：広島県立美術館・イズミテクノ・中国新聞社・京都国立近代美術館〔巡回 3-3〕
――→京都国立近代美術館〔巡回 3-1〕

戦争と平和展〈広島・長崎被爆 70 周年〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 7 月 25 日－9 月 13 日　広島県立美術館／9 月 20 日－10 月 25 日　長崎県美術館

主催：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会〔巡回 2-1〕

註：本展カタログ未見のため「こどもガイド」を記載。本郷新、上野誠、田川憲、名井萬亀、石内都の作品図版が収載されている。

〇展覧会カタログ

戦争と平和展〈広島・長崎被爆 70 周年〉こどもガイド

広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会　2015 年 7 月　平成 27 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業　1 枚(四ツ折両面刷)

山下寿水、弘津かおる：〔解説〕

所蔵：□、東近美

広島市現代美術館

広島・ヒロシマ・HIROSHIMA〈国内外の制作委託作家 78 名によるヒロシマの心〉●

欧文タイトル：「Commissioned Work “Theme Hiroshima”」

会期：1989 年 5 月 3 日－8 月 20 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

出品：靉嘔、麻生三郎、上田薫、岡崎勇次、奥谷博、金光松美、絹谷幸二、國領經郎、佐野ぬい、鴫剛、菅井汲、高橋秀、武永槇雄、田中稔之、新延輝雄、野見山暁治、福島瑞穂、松本英一郎、三尾公三、村井正誠、村上善男、森芳雄、大森運夫、奥田元宋、上野泰郎、塩出英雄、田渕俊夫、福井爽人、船田玉樹、一原有徳、岡部昌生、小作青史、加納光於、木村光佑、黒崎彰、島州一、利根山光人、中林忠良、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男、深沢幸雄、吹田文明、松谷武判、松本旻、百瀬寿、森義利、両角修、吉田穂高、吉原英雄、飯田善國、池田満寿夫、井上武吉、江口週、圓鍔元規、斎藤義重、清水九兵衛、空充秋、堀内正和、最上壽之、山口牧生、脇田愛二郎、山口勝弘〔作品リスト順〕

註：出品欄は 78 作家のうち日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

広島・ヒロシマ・HIROSHIMA〈国内外の制作委託作家 78 名によるヒロシマの心〉

広島市現代美術館　1989 年 5 月　開館記念展　主に英文併載

桑原住雄：美術のなかのヒロシマ〈制作委託作品について〉

イアン・バーカー：比類なき委託〈広島市現代美術館の英国作家委託〉

靉嘔、麻生三郎〔2 行〕、上田薫、岡崎勇次、奥谷博、金光松美、絹谷幸二、國領經郎、佐野ぬい、鴫剛、菅井汲、高橋秀、武永槇雄、田中稔之、新延輝雄、野見山暁治、福島瑞穂、松本英一郎、三尾公三、村井正誠、村上善男、森芳雄〔1 行〕、大森運夫、奥田元宋、上野泰郎、塩出英雄、田渕俊夫、福井爽人、船田玉樹、一原有徳、岡部昌生、小作青史、加納光於、木村光佑、黒崎彰、島州一、利根山光人、中林忠良、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男〔1 行〕、深沢幸雄〔2 行〕、吹田文明、松谷武判、松本旻、百瀬寿、森義利〔1 行〕、両角修、吉田穂高、吉原英雄、飯田善國、池田満寿夫〔2 行〕、井

上武吉、江口週、圓鍔元規、斎藤義重、清水九兵衛、空充秋、堀内正和、最上壽之、山口牧生、脇田愛二郎〔2 行〕、山口勝弘：〔作家のことば；日本作家〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

会期：1989 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館／6 月 7 日－18 日　京都市美術館／6 月 24 日－7 月 23 日　高松市美術館／7 月 28 日－8 月 15 日　船橋・西武美術館／11 月 4 日－26 日　北九州市立美術館／12 月 16 日－1990 年 1 月 21 日　広島市現代美術館

主催：広島市現代美術館・毎日新聞社〔巡回 6-6〕

――→京都市美術館〔巡回 6-2〕

広島現代作家展 芸術表現としての“場” ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 2 月 27 日－3 月 28 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国放送・中国新聞社

出品：甲斐雅之、佐々木成明、瀬島匠、千崎千恵夫、西雅秋、花村憲夫〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

広島現代作家展 芸術表現としての“場”

広島市現代美術館　1993 年 2 月 27 日

迫中陽子：1993 年 2 月 広島に生まれた 6 つの“場”

迫中陽子、出原均：作家解説

出原 均：インスタレーション・ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

広島現代作家展 芸術表現としての“場”展示記録

広島市現代美術館　1993 年 3 月 8 日

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、和光大、国会図

アジアの創造力 ●

欧文タイトル：「Creativity in Asian Art Now」

会期：第 1・2 部 1994 年 9 月 7 日－11 月 13 日／第 3 部 9 月 18 日－11 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ

出品：第 1 部 現代のフォーク・アート。第 2 部 アジアの現代絵画、彫刻；何多苓、堀浩哉、黄鋭、李石柱、李禹煥、丸山直文、中村一美、朴栖甫、櫻井英嘉、邵帆、辰野登恵子、戸谷成雄。第 3 部 アジアのインスタレーション・ワーク；蔡國強、川俣正、柳幸典、陸根丙〔図版収載順〕

註：出品欄は第 2 部と第 3 部の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

「アジアの創造力」図録

広島市現代美術館・朝日新聞社　1994 年 9 月　英文併載

竹澤雄三：序文

帯金章郎：アジアの創造力

福永 治：アジアの可能性

長谷川時夫：ミティラー絵画――21 世紀的絵画の萌芽

伊藤俊治：生命の波動――バリ絵画のトポス

河野 実：年画――民衆の英知を内包した民間芸術

福永治、宮武洋：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

「アジアの創造力 第 3 部 アジアのインスタレーション・ワーク」図録

広島市現代美術館・朝日新聞社　1994 年　英文併載

福永治、宮武洋：作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

光と影――うつろいの詩学 ●

欧文タイトル：「Light & shadow－the sense of ephemerality」

会期：1994 年 11 月 26 日－1995 年 1 月 22 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送

出品：赤塚祐二、今村源、大島成己、児玉靖枝、小林正人、鷲見和紀郎、古井智、吉井秀文、吉田重信、和田賢一、有地左右一＋笹岡敬〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

光と影――うつろいの詩学

広島市現代美術館　1994 年 11 月

小田るな：光と影〈消えゆくものの調べ〉

小田るな、洲濱元子、出原均：〔コメント〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」

会期：1995 年 2 月 17 日－3 月 26 日　岐阜県美術館／4 月 15 日－5 月 28 日　広島市現代美術館／8 月 19 日－9 月 24 日　北九州市立美術館／10 月 7 日－12 月 17 日　北浦和・埼玉県立近代美術館

主催：広島市現代美術館・読売新聞大阪本社・広島テレビ・美術館連絡協議会〔巡回 4-2〕

――→岐阜県美術館〔巡回 4-1〕

戦後文化の軌跡 1945－1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

会期：1995 年 4 月 19 日－6 月 4 日　目黒区美術館／6 月 14 日－7 月 21 日　広島市現代美術館／8 月 15 日－9 月 24 日　兵庫県立近代美術館／10 月 8 日－11 月 5 日　福岡県立美術

館

主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-2〕

――→目黒区美術館〔巡回 4-1〕

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」

会期:1994 年 9 月 27 日－10 月 30 日　熊本県立美術館／1995 年 5 月 31 日－6 月 12 日　大丸ミュージアム･梅田／8 月 12 日－9 月 24 日　郡山市立美術館／10 月 7 日－12 月 3 日　広島市現代美術館

主催：広島市現代美術館・朝日新聞社〔巡回 4-4〕

――→熊本県立美術館〔巡回 4-1〕

ヒロシマ以後―現代美術からのメッセージⅠ〈被爆 50 周年記念展〉 ●

欧文タイトル：「Special Exhibition for the 50th Anniversary of the Hiroshima A-bombing：AFTER HIROSHIMA－Message from Contemporary Art」

会期：第 1 部・1995 年 7 月 22 日－9 月 17 日　第 2 部・7 月 30 日－9 月 17 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：サルヴァドール・ダリ、イサム・ノグチ、カレン・アペル、イヴ・クライン、ベン・シャーン、ヘンリー・ムーア、アンディ・ウォーホル、ナンシー・スペロ、クリス・バーデン、アントニー・ゴームリー、ヨーヘン・ゲルツ、ギュンター・ユッカー、ルイ・ジャム、アンジュ・レッチァ、福井芳郎、古沢岩美、山本敬輔、増田勉、丸木位里・俊、山下菊二、鶴岡政男、池田龍雄、桂ゆき、岡本太郎、白井晟一、前田常作、土門拳、東松照明、川田喜久治、岡崎和郎、タイガー立石、磯崎新、工藤哲巳、入野忠芳、殿敷侃、たべ・けんぞう、荒木高子、河口龍夫、岡部昌生、若林奮、片瀬和夫、西雅秋、森村泰昌、ヤノベケンジ、三上晴子、山口啓介、鯉江良二、佐藤時啓、古井智〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ヒロシマ以後―現代美術からのメッセージⅠ〈被爆 50 周年記念展〉

広島市現代美術館　1995 年 7 月

飯島宗一：被爆 50 周年記念展に寄せる

竹澤雄三：ヒロシマ以後のヒロシマ

出原 均：記録と表現〈1960 年代までの作品について〉

洲濱元子：物質と記憶あるいは想像力〈1970 年代以降の作品を中心に〉

小田るな・洲浜元子編：年譜――原爆と核に関する美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研(I のみ)、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

「表出する大地」展 ●

欧文タイトル：「Aspects of Land and Soil」

会期：1997 年 2 月 8 日－3 月 30 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送

出品：味岡伸太郎、牛島達治、榎忠、遠藤利克、甲斐雅之、假屋崎省吾、野村俊幸、柳幸典〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

「表出する大地」展図録

広島市現代美術館　1997 年 2 月

出原 均：ある弁明とある解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

マンガの時代〈手塚治虫からエヴァンゲリオンまで〉●

欧文タイトル：「The MANGA Age」

会期：1998 年 10 月 3 日－12 月 13 日　東京都現代美術館／1999 年 2 月 6 日－4 月 11 日　広島市現代美術館

主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ〔巡回 2-2〕

――→東京都現代美術館〔巡回 2-1〕

サイバー・アジア～メディア・アートの近未来形 ●

欧文タイトル：「Cyber Asia－media art in the near future」

会期：2003 年 2 月 18 日－4 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送

出品：フェン・メンボー、八谷和彦、岩井俊雄、コン・スンフン、クワクボリョウタ、minim＋＋、鈴木康広、高谷史郎、ワン・ゴンシン、ウ・ティエンチャン、シュ・ビン、ユェン・グァンミン、エキソニモ〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

サイバー・アジア～メディア・アートの近未来形

広島市現代美術館　2003 年 2 月

小松崎拓男：メディア・アートをめぐって～「亜細亜散歩」異聞

小松崎拓男、洲濱元子、表絵美子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

絵画新世紀 ●

欧文タイトル：「New Generation Japanese Painters」

会期：2003 年 6 月 21 日－8 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：加藤美佳、福井篤、法貴信也、長谷川純、高橋信行、渡辺聡〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

絵画新世紀

広島市現代美術館　2003 年 6 月　2 分冊の 1

小松崎拓男：絵画についての 14 の断章

小橋祥子編：参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

絵画新世紀

広島市現代美術館　2003 年 6 月　2 分冊の 2

小松崎拓男：絵画新世紀を企画して

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大

松澤宥と九つの柱〈九相の未来 パーリ―・ニルヴァーナに向かって〉●

欧文タイトル：「“YUTAKA MATSUZAWA and NINE PILLARS” The Future of Nine Aspects：Towards the Parinirvana」

会期：2004 年 12 月 18 日－2005 年 1 月 23 日　広島市現代美術館ミュージアム・スタジオ

主催：広島市現代美術館・「松澤宥と九つの柱」BOX アート実行委員会

出品：松澤宥、植田信隆、能勢伊勢雄、新見隆、佐倉密、中ザワヒデキ、宗田光一、伊丹裕、米谷栄一、平岡雅之、根本寿幸、長澤章生、小倉正史、小坂真夕、若江漢字、岡崎泰弘、清家新一、水上旬、赤土類、小林起一、河津紘、春原敏之、小野和則、たべ・けんぞう、木倶知のりこ、春山清、黒田康夫、黒田典子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

松澤宥と九つの柱〈九相の未来 パーリ―・ニルヴァーナに向かって〉

広島市現代美術館　2005 年 1 月

小倉正史：九つの柱によせて

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

そして、未来へ――ヒロシマ賞受賞作家のまなざし ●

欧文タイトル：「Toward the Future－through the Eyes of Artists awarded the Hiroshima Art Prize」

会期：2005 年 4 月 16 日－6 月 26 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ

出品：三宅一生、ロバート・ラウシェンバーグ、レオン・ゴラブ、ナンシー・スペロ、クシュシトフ・ウディチコ、ダニエル・リベスキンド〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

そして、未来へ――ヒロシマ賞受賞作家のまなざし 展覧会記録集

広島市現代美術館　2005 年　英文併載　被爆 60 周年特別展

竹澤雄三：そして、ヒロシマの未来

三宅一生、ロバート・ラウシェンバーグ、ナンシー・スペロ、クシュシトフ・ウディチコ、ダニエル・リベスキンド：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊

橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：広島市現代美術館〔巡回 9-7〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

『ポートレート・セッション』展 ●

欧文タイトル：「Portrait Session」

会期：2007 年 3 月 11 日－5 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

出品：会田誠、秋吉風人、東義孝、榎本耕一、長谷川純、法貴信也、石井友人、泉孝昭、川原直人、川島秀明、喜多順子、小林正人、小柳裕、桑原正彦、桑久保徹、丸山直文、政田武史、増田佳江、ピーター・マクドナルド、三輪美津子、中川トラヲ、西原功織、大竹竜太、ミコライ・ポリンスキー、ピーター・ポマー、パメラ・ローゼンクランツ、杉戸洋、多田友充、田口和奈、竹川宣彰、竹﨑和征、塚田守〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

Portrait Session

大和ラヂエーター製作所　2007 年 3 月 11 日　英文併載

四方田犬彦：顔の奇跡

田中英二：絵画史の 3 つの事例から

野崎昌弘：アートにとって「美」とは何か

渡辺真也：中心性への希求〈パメラ・ローゼンクランツの芸術行為と自己同一性の解体〉

伊藤大輔：肖像画の基礎概念〈生身性と肖似性〉

清水 穣：アーカイヴ、アナクロニズム、イメージ〈批評の現場から〉

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、和光大、都中図

シェルター×サバイバル ファンタスティックに生き抜くための「もうひとつの家」●

欧文タイトル：「Shelter×Survival-Alternative homes for fantastic lives-」

会期：2008 年 2 月 16 日－4 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：増岡巽、津村耕佑、坂茂、坂口恭平、いちむらみさこ／小川てつオ、会田誠、小沢剛、椿昇、柳幸典、もとみやかをる、ヤノベケンジ、鈴木明、牛嶋均〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

シェルター×サバイバル ファンタスティックに生き抜くための「もうひとつの家」

広島市現代美術館　2008 年 2 月　英文併載

谷川眞美：逃走する孤独、の快楽 またはシェルタリング・ユアセルフ

松岡 剛：自由を生き抜くための「もうひとつの家」

西山恒彦編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

ドーム：そのモニュメントをめぐるアーティストの試み ●

欧文タイトル：「Dome Artist's Attempts around the Monument」

会期：2008 年 6 月 28 日－8 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

出品：牛嶋均、小沢剛、川田喜久治、鴫剛、フィオナ・タン、土田ヒロミ、土門拳、利根山光人、ジャン＝ガブリエル・ペリオ、細江英公、松澤宥、宮島達男、アンジュ・レッチァ、若林奮〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

ドーム：そのモニュメントをめぐるアーティストの試み

広島市現代美術館　2008 年 6 月

神谷幸江：集合的記憶に抗う：ひとつのモニュメントを巡って

松岡剛、小橋祥子、神谷幸江：解説

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

どろどろ、どろん――異界をめぐるアジアの現代美術 ●

欧文タイトル：「DORODORO, DORON－The Uncanny World in Folk and Contemporary Art in Asia」

会期：2009 年 3 月 14 日－5 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：西尾康之、小谷元彦、高木正勝、中原浩大、八谷和彦、佐藤允、会田誠、加藤泉、風間サチコ、戸谷成雄、小山田徹＋Com-Pass Caving Unit〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

どろどろ、どろん――異界をめぐるアジアの現代美術

広島市現代美術館　2009 年 5 月　主に英文併載

小橋祥子：どろどろ、どろん――異界をめざす想像力

杉本好伸、石倉敏明、常光徹、松尾恒一：〔解説〕

小橋祥子、松岡剛：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

一人快芸術 ●

欧文タイトル：「Art of Power Born of Pleasure」

会期：2009 年 12 月 19 日－2010 年 2 月 21 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：梅佳代、大段徳市、岡啓輔、佐藤修悦、岡本明才、杉本春奈、森謙次、武田憲昌、ともひろ、並木運美、西山友浩、平田一式飾、ひらた蓬の会、宮間英次郎、村上多美、山下陽光、山本尚志、吉村芳生〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

一人快芸術

広島市現代美術館　2009 年 12 月　英文併載

松岡 剛：一人快芸術という強度〈たった一人で充足し、そのうえ人に伝播する。〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中

図

もっと動きを：振付師としてのアーティスト ●

欧文タイトル：「More of an activity：the artist as choreographer」

会期：2010 年 7 月 31 日－10 月 11 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：ヴィクトル・アリンピエフ、ウィレム・デ・クーニング、橋本聡、今村哲、ジョーン・ジョナス、ヤンドゥ・ヂョン、イヴ・クライン、ブルース・ナウマン、ロビン・ロード、澤登恭子、白髪一雄、田中敦子〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

もっと動きを：振付師としてのアーティスト

広島市現代美術館　2010 年 9 月　英語版共

神谷幸江：はじめに、身体があった

角奈緒子、神谷幸江：作家解説

角奈緒子、神谷幸江：〔用語解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

この素晴らしき世界：アジアの現代美術から見る世界の今 ●

欧文タイトル：「What a Wonderful World：Visions in contemporary Asian art of our world today」

会期：2012 年 3 月 24 日－5 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：シルパ・グプタ、ティンティン・ウリア、ジュン・ヤン、下道基行、郭奕臣、マイケル・リー、□〔イ＋t＋者〕云(ツゥ・イュン)〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

この素晴らしき世界：アジアの現代美術から見る世界の今

広島市現代美術館　2012 年 5 月　主に英文併載

角 奈緒子：世界を映す鏡としての芸術

シルパ・グプタ、ティンティン・ウリア、ジュン・ヤン、下道基行、郭奕臣、マイケル・リー、□〔イ＋t＋者〕云(ツゥ・イュン)：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

広島市現代美術館コレクションによる「サイト・ヒロシマ」展 ●

欧文タイトル：「Site＝Hiroshima」

会期：2013 年 7 月 6 日－11 月 4 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

出品：荒木経惟、芥川永、船田玉樹、アンソニー・グリーン、灰谷正夫、北辻良央、北山善夫、工藤哲巳、草間彌生、松本英一郎、丸木位里・俊、宮崎進、村上善男、奈良美智、西雅秋、野見山暁治、大岩オスカール、小沢剛、佐野ぬい、鴫剛、利根山光人、土田ヒロミ〔出品作品リスト順〕

註：次の「サイト〈場所の記憶、場所の力〉」展に関連して開催された。その展覧会カタログ

は同展のカタログに併載され、

松岡 剛：「サイト＝ヒロシマ」を駆動させるもの

とともに会場風景〔図版〕と「サイト＝ヒロシマ」出品作品リストが巻末に収められた。

サイト〈場所の記憶、場所の力〉●

欧文タイトル：「ART ARCH HIROSHIMA 2013 Site：Places of Memories, Spaces with Potential」

会期：2013 年 7 月 20 日－10 月 14 日　広島市現代美術館　主催：広島県美術館活性化対策事業実行委員会・中国新聞社

出品：フランシス・アリス、川俣正、木村友紀、桑久保徹、トニコ・レモス・アウアド、ゴードン・マッタ＝クラーク、イサム・ノグチ、マイケル・ラコウィッツ、田口行弘、照屋勇賢、西京人(チャン・シャオション＋ギムホンソック＋小沢剛)

註：広島県美術館活性化対策事業実行委員会は、広島市現代美術館、公益財団法人ヒロシマ美術館、広島県立美術館、社団法人広島県観光連盟、ひろしま文化振興財団、NPO 法人セトラひろしまが参加。

〇展覧会カタログ

アート・アーチ・ひろしま 2013 サイト〈場所の記憶、場所の力〉

広島市現代美術館　2013 年 7 月

神谷幸江：場(＝サイト)とむきあう、アンモニュメンタルな試み

神谷幸江、齋藤武郎、角奈緒子：作家・作品解説

是恒さくら編：作家略歴

サイト＝ヒロシマ　松岡剛：「サイト＝ヒロシマ」を駆動させるもの

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

スリーピング・ビューティー ●

欧文タイトル：「SLEEPING BEAUTY」

会期：2014 年 5 月 17 日－7 月 21 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：コム デ ギャルソン／川久保玲、岩崎貴宏、菊畑茂久馬、草間彌生、三木富雄、三宅一生、宮本隆司、村上友晴、小谷元彦、志賀理江子、白髪一雄、田口和奈〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

スリーピング・ビューティー

広島市現代美術館　2014 年 5 月　主に英文併載

藤野可織：美の正体についての考察

角 奈緒子：深奥で密かに瞬く美を目覚めさせるために

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 1 部 ライフ＝ワーク ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 1 LIFE＝WORK」

会期：2015 年 7 月 18 日－9 月 27 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：香月泰男、宮崎進、四國五郎、大道あや、殿敷侃、石内都、後藤靖香、入野忠芳、江上茂雄、吉村芳生、村上友晴、Tomoya、大木裕之〔出品リスト順〕

註：出品欄は「原爆の絵」の作者 48 名は割愛し作家を収載。

○展覧会カタログ

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 1 部 ライフ＝ワーク

広島市現代美術館　2015 年 7 月

福永 治：被爆 70 年と広島市現代美術館

松岡 剛：「原爆の絵」からたどる、生きることと、つくること

松岡剛、小島ひろみ：〔解説〕

小島ひろみ編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 2 部 俯瞰の世界図 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 2 A BIRD'S-EYE VIEW OF THE WORLD」

会期：2015 年 10 月 10 日－12 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：林重男、マシュー・デイ・ジャクソン、吉田初三郎、丹下健三、ル・コルビュジエ、松江泰治、ジャナーン・アル・アーニ、チャールズ&レイ・イームズ、石原正、本城直季、山口晃、リン・シュカイ(林書楷)、大岩オスカール、ニパン・オラニウェー〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 2 部 俯瞰の世界図

広島市現代美術館　2015 年 10 月　英文併載

角 奈緒子：高いところから、広くそして深くとらえるということ

林 重男：爆心地ヒロシマに入る　再録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 3 部 ふぞろいなハーモニー ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 3 DISCORDANT HARMONY」

会期：2015 年 12 月 19 日－2016 年 3 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：千葉正也、高嶺格、田中功起、米田知子〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 3 部 ふぞろいなハーモニー

広島市現代美術館　2015 年 12 月　英文併載

黄建宏、神谷幸江、キム・ソンジョン、キャロル・インハ＝ルー：「ふぞろいなハーモニー」アジアという想像物についての批評的考察

キム・ソンジョン：ハーモニー：共感の文化から不調和へ

キャロル・インハ＝ルー：フィールドワークの現場としてのアジア

黄建宏(ファン・チェンホン)：真空への配慮

神谷幸江：過去と未来の間、で考える。ヒロシマから。

黄建宏、キャロル・インハ＝ルー、神谷幸江、パク・ユンア：作家・作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

モダンアート再訪ーダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●

欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」

会期：2018 年 2 月 3 日－3 月 18 日　鳥取県立博物館／4 月 7 日－5 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／6 月 2 日－8 月 26 日　広島市現代美術館／9 月 15 日－11 月 4 日　横須賀美術館

主催：広島市現代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-3〕

――→鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

呉市立美術館

第 16 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：青森展；1982 年 10 月 17 日－11 月 3 日　弘前市立博物館／広島展；11 月 20 日－12 月 5 日　呉市立美術館／徳島展；12 月 10 日－26 日　徳島県郷土文化会館／愛知展；1983 年 1 月 8 日－23 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・広島県教育委員会・呉市文化振興財団・呉市立美術館〔巡回 4-2〕

――→弘前市立博物館〔巡回 4-1〕

動く彫刻展 4 人の作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 10 月 12 日－11 月 4 日　呉市立美術館　主催：呉市立美術館・呉市文化振興財団・中国新聞社

出品：飯田善國、伊藤隆道、菊竹清文、田中薫〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

動く彫刻展 4 人の作家からの贈りもの

呉市立美術館・呉市文化振興財団・現代彫刻センター　1984 年 10 月

福永 治：動く彫刻展によせて

飯田善國、伊藤隆道、菊竹清文、田中薫：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図

現代のやきもの展〈新しい造形への招待〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1985 年 6 月 14 日－7 月 7 日　呉市立美術館　主催：呉市立美術館・呉市文化振興財団・中国新聞社

出品：石山駿、永楽紘一、江口勝美、小野珀子、川崎千足、久世建二、栗木達介、笹山忠保、瀬戸浩、竹田恒夫、徳田正彦、中村錦平、西村陽平、林秀行、松井康成、宮永理吉、森野泰明、柳原睦夫、吉川正道、和太守卑良〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代のやきもの展〈新しい造形への招待〉・図録

呉市立美術館・呉市文化振興財団　1985 年 6 月

福永 治：現代のやきもの展にあたって

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、和光大、国会図

たけはら美術館

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐／広島展；11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館／長崎展；12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館／徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館館／宮城展；1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／秋田展；2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館

主催：文化庁・広島県教育委員会・竹原市・竹原市教育委員会・たけはら美術館〔巡回 6-2〕

――→セラトピア土岐〔巡回 6-1〕

東広島市立美術館

現代の美術・今日の情況展〈この地方で、いま…〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 2 月 21 日－3 月 22 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

出品：入野忠芳、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、三原捷宏、殿敷侃、藤崎恒頼、堀晃、堀研、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代の美術・今日の情況展〈この地方で、いま…〉図録

東広島市立美術館　1987 年 2 月 21 日　第 1 回展　特別展図録第 11 号

入野忠芳、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、三原捷宏、殿敷侃〔3 行〕、藤崎恒頼、堀晃、堀研、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、国会図

現代の美術・今日の情況展 II〈この地方で、いま…〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 3 月 9 日－31 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

出品：入野忠芳、奥田秀樹、北田和広、木下和、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、松尾裕人、三原捷宏、吉田正浪、藤崎恒頼、堀晃、堀研、前川謙一、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代の美術・今日の情況展 II〈この地方で、いま…〉図録

東広島市立美術館　1991 年 3 月 9 日　特別展図録第 16 号

入野忠芳、奥田秀樹、北田和広、木下和、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、松尾裕人、三原捷宏、吉田正浪、藤崎恒頼、堀晃、堀研、前川謙一、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、国会図

現代の版画・新時代の展望 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PRINTS：A VIEW OF THE NEW AGE」

会期：1993 年 2 月 20 日－3 月 28 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

出品：東谷武美、池田良二、柄澤齊、河内成幸、木村秀樹、浜西勝則、両角修、山口啓介〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代の版画・新時代の展望

東広島市立美術館　1993 年 2 月 20 日　特別展図録第 18 号

江口和浩：現代の版画・新時代の展望

東谷武美、池田良二、柄澤齊、河内成幸、木村秀樹、浜西勝則、両角修、山口啓介：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、国会図

現代の美術・今日の情況展 III〈この地方で、いま…〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 3 月 4 日－29 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

出品：入野忠芳、北田和広、木下和、河野通男、佐古昭典、佐々木寅夫、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、槇原慶喜、三原捷宏、藤崎恒頼、堀晃、堀研、泉谷淑夫、江見佳彦、高原洋一〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代の美術・今日の情況展 III〈この地方で、いま…〉図録

東広島市立美術館　1995 年 3 月 4 日　特別展図録第 20 号

入野忠芳、北田和広、木下和、河野通男、佐古昭典、佐々木寅夫、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、槇原慶喜、三原捷宏、藤崎恒頼、堀晃、堀研、泉谷淑夫、江見佳彦、高原洋一：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、国会図

ふくやま美術館

こころの対話〈芸術における精神的なもの〉●

欧文タイトル：「Spiritual in Art」

会期：1993 年 2 月 27 日－3 月 28 日　ふくやま美術館　主催：ふくやま美術館・福山市教育委員会・中国新聞社

出品：ヴァシリィ・カンディンスキー、パウル・クレー、アルベルト・ジャコメッティ、円空、仙厓、吉原治良、李禹煥、アルカンジェロ〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

こころの対話〈芸術における精神的なもの〉

ふくやま美術館　1993 年 2 月

谷藤史彦：こころの対話

谷藤史彦：〔作家論〕

宮内ちづる編：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

小さな彫刻 大きな宇宙 ●

欧文タイトル：「Small Sculptures」

会期：1994 年 1 月 4 日－2 月 6 日　ふくやま美術館　主催：ふくやま芸術文化振興財団ふくやま美術館・福山市教育委員会・中国新聞社・中国放送

出品：有元利夫、堀内正和、飯田善國、工藤哲巳、三木富雄、三澤憲司、岡崎和郎、篠田守男、土谷武、若林奮、山本正道、柳原義達〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

小さな彫刻 大きな宇宙

ふくやま美術館　1994 年 1 月　開館 5 周年記念 II

石井 太：小さな彫刻・大きな宇宙によせて

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

山口県

山口県立美術館

山口の現代美術 I ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1981 年 4 月 18 日－5 月 10 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：澄川喜一、田中稔之、田辺武、殿敷侃、服部碩夫、濱野邦昭、藤崎恒頼、堀晃、三輪龍作、吉村芳生〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

山口の現代美術 I

山口県立美術館　1981 年 4 月 16 日

澄川喜一、田中稔之、田辺武、服部碩夫、濱野邦昭、藤崎恒頼、堀晃、三輪龍作、吉村

芳生：〔作家のことば〕

所蔵：□、東近美、横浜美

現代の陶芸 I「いま、土と火でなにが可能か」展 ●

欧文タイトル：「CLAY WORK NOW I　WHAT CAN BE DONE WITH CLAY AND FIRE」

会期：1982 年 4 月 17 日－5 月 9 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：荒木高子、伊藤公象、鯉江良二、里中英人、星野暁、三島喜美代、三輪龍作〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代の陶芸 I「いま、土と火でなにが可能か」展報告書

山口県立美術館　1983 年 3 月

荒木高子、伊藤公象、鯉江良二、里中英人、星野暁、三島喜美代、三輪龍作〔1 行〕：メッセージ

ルドルフ・シュニーダー：荒木高子の作品について

榎本 徹：展覧会ノート〈いま、土と火でなにが可能か〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、都中図

中本達也と戦後美術の一断面 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 7 月 24 日－8 月 22 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：中本達也、大沢昌助、井上長三郎、鶴岡政男、森芳雄、吉井忠、麻生三郎、阿部展也、小山田二郎、倉石隆、山下菊二、利根山光人、小野木学、永田力、中野淳、前田常作、石橋和己、池田龍雄、曹良奎、中村宏、河原温〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

中本達也と戦後美術の一断面

山口県立美術館　1982 年 7 月 24 日

針生一郎：歴史としての絵画――中本達也

海上雅臣：人間の声――明日のための断片

高田美規雄：中本達也とその周辺

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

山口の現代美術 II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1983 年 4 月 16 日－5 月 8 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：嶋田日出夫、武市勝、西岡文彦、原田文明、堀研、前川謙一、矢儀浩嗣、山下哲郎、吉松順一郎〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

山口の現代美術 II

山口県立美術館　1983 年 4 月 16 日

高田美規雄：〔ことば〕

嶋田日出夫、武市勝、西岡文彦、原田文明、堀研、前川謙一、矢儀浩嗣、山下哲郎、吉松順一郎：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美

近・現代日本の彫刻 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 1 月 6 日－2 月 12 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：石井鶴三、河内山賢祐、植木茂、豊福知徳、本郷新、若林奮、堀内正和、河口龍夫、三木富雄、佐藤忠良、細川宗英、篠田守男、田中米吉、清水九兵衛、最上壽之、淀井敏夫、土谷武、山本正道、川口政宏、斎藤義重、小清水漸、建畠覚造、澄川喜一、向井良吉、一色邦彦、鈴木実、江口週、菅木志雄、李禹煥〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

近・現代日本の彫刻

山口県立美術館　1984 年 1 月 6 日

三木多聞：日本の近・現代彫刻の史的展望

中原佑介：日本の彫刻の特質について

杉本春生：現代彫刻と詩における反自然性〈高村光太郎から李禹煥へ〉

安井雄一郎：山口の彫刻家

安井雄一郎編：作品カタログ

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大

現代の陶芸 II いま、大きなやきものになにが見えるか ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 10 月 13 日－11 月 11 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：辻晋堂、ピーター・.ボーコス、井澤乙也、佐藤敏、杉浦康益、中村康平、西村陽平、三輪和彦、千葉県立千葉盲学校生徒〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代の陶芸 II いま、大きなやきものになにが見えるか

山口県立美術館　1984 年 12 月 1 日

P.ボーコス、井澤乙也、佐藤敏、杉浦康益、中村康平、西村陽平、三輪和彦：メッセージ

榎本 徹：展覧会ノート〈いま、大きなやきものになにが見えるか〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

山口の現代美術 III ●

欧文タイトル：「’85 CONTEMPORARY ART, YAMAGUCHI」

会期：1985 年 6 月 14 日－7 月 7 日 山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：河村正之、蔵重範子、砥上賢治、柳井嗣雄、伊藤誠、岡崎乾二郎、菊池敏直、佐川晃司、高木修、松浦寿夫、吉川陽一郎〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

山口の現代美術 III

山口県立美術館　1985 年 8 月 1 日

河村正之、蔵重範子、砥上賢治、柳井嗣雄、伊藤誠、岡崎乾二郎、菊池敏直、佐川晃司、高木修、松浦寿夫、吉川陽一郎：〔作家のことば〕

高田美規雄：〔ことば〕

松浦寿夫：迂回のパッサージュ　再録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美

戦後日本画の一断面〈模索と葛藤〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 1 月 7 日－2 月 9 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：丸木位里、船田玉樹、横山操、丸木位里・俊、渡辺学、三上誠、水谷勇夫、星野真吾、朝倉摂、中村正義、岩崎巴人、長崎莫人、藤田隆治、佐藤多持、上田臥牛、下村良之介、加山又造、岩崎鐸、大野俶嵩、野村耕、楠田信吾、岩田重義〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

戦後日本画の一断面〈模索と葛藤〉

山口県立美術館　1986 年 1 月 6 日

河北倫明：「戦後日本画の一断面」展によせて

針生一郎：戦後日本画の風雲児たち

木村重信：京都における日本画の革新〈パンリアルとケラ〉

菊屋吉生：日本画変革の流れ〈戦前からの流れに重点をおいて〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

THE NINE〈デザイン・ナウ――9 人のクリエイターたち〉●

欧文タイトル：「Wildness：Toward Their Own Natures An Aspect of Contemporary Art」

会期：1986 年 6 月 27 日－7 月 27 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：井上嗣也、サイトウマコト、戸田正寿、河村要助、湯村輝彦、吉田カツ、田中紀之〔タナカノリユキ〕、谷口康彦、日比野克彦〔目録順〕

○展覧会カタログ

THE NINE〈デザイン・ナウ――9 人のクリエイターたち〉

山口県立美術館　1986 年 6 月 27 日

三浦雅士：消費される絵画

榎本了壱：デザインの地平線からどれだけ浮上するか

高田美規雄：戦後のグラフィックアートと今日

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

現代の陶芸 III いま、やきもの色に心ときめくか ●

欧文タイトル：「CLAY WORK NOW III ’87 YAMAGUCHI」

会期：1987 年 2 月 28 日－3 月 22 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：井上雅之、金子潤、佐々木成、土門邦勝〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代の陶芸 III いま、やきもの色に心ときめくか

山口県立美術館　1987 年 3 月 22 日

井上雅之、金子潤、佐々木成、土門邦勝：メッセージ

榎本 徹：展覧会ノート〈いま、やきもの色に心ときめくか〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

山口の現代美術 IV 今日の立体〈素材・構造・イメージ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 5 月 19 日－6 月 14 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：橘田尚之、小泉俊己、竹田康宏、中西學、中原浩大、松井紫朗〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

山口の現代美術 IV 今日の立体〈素材・構造・イメージ〉

山口県立美術館　1987 年 5 月

橘田尚之、小泉俊己、竹田康宏、中西學、中原浩大、松井紫朗：〔作家のことば〕

篠原資明：トランス・アート装置

高田美規雄：差異のなかに

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、東大駒、国会図

山口の現代美術 V ニュージャパニーズスタイル ペインティング〈日本画材の可能性〉●

欧文タイトル：「NEW JAPANESE-STYLE PAINTING――Possiblity of Nihonga Pigments――」

会期：1988 年 12 月 2 日－25 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：内倉ひとみ、片山雅史、加藤悦郎、河嶋淳司、清河恵美、芝章文、柴野幸仁、諏訪直樹、宮前正樹、山田宴三〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

山口の現代美術 V ニュージャパニーズスタイル ペインティング〈日本画材の可能性〉

山口県立美術館　1989 年 3 月 31 日

河嶋淳司、宮前正樹、内倉ひとみ、山田宴三、芝章文、諏訪直樹、片山雅史、加藤悦郎、柴野幸仁、清河恵美：〔作家コメント〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

11 人の 1965～75〈日本の写真は変えられたか〉●

欧文タイトル：「ELEVEN PHOTOGRAPHERS IN JAPAN 1965～75」

会期：1989 年 1 月 6 日－2 月 12 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：東松照明、高梨豊、森山大道、中平卓馬、深瀬昌久、荒木経惟、内藤正敏、柳沢信、須田一政、田村彰英、牛腸茂雄〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

11 人の 1965～75〈日本の写真は変えられたか〉

山口県立美術館　1989 年 1 月 6 日
金子隆一：VIVO 以後〈11 人の 1965～75〉
飯沢耕太郎：さびしさの思想化〈東松照明の 1965～75〉
飯沢耕太郎：「PROVOKE」の疾走
飯沢耕太郎：“私”と“他者”への眼差し
榎本 徹：11 人の 1965～75〈展覧会ノート〉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

戦後写真・再生と展開 ●

欧文タイトル：「TWELVE PHOTOGRAPHERS IN JAPAN 1945～55」
会期：1990 年 7 月 20 日－8 月 26 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：林忠彦、土門拳、金井精一、木村伊兵衛、濱谷浩、小島一郎、福島菊次郎、福田勝治、本庄光郎、植田正治、岩宮武二、大辻清司〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
戦後写真・再生と展開
山口県立美術館　1990 年 7 月
金子隆一：再生と展開〈戦前・戦後をつらぬくもの〉
飯沢耕太郎：リアリズムという問題
飯沢耕太郎：主観主義の隘路
榎本 徹：戦後写真・再生と展開〈展覧会ノート〉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

プリンテッド・アート展〈版画と写真の臨界点から――〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1990 年 11 月 2 日－12 月 2 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：野田哲也、吉田克朗、木村光佑、島州一、木村秀樹、小山愛人、森岡完介、高原洋一、斉藤智、小本章、小枝繁昭、秋岡美帆、森村泰昌、石原友明〔作品目録順〕
○展覧会カタログ
プリンテッド・アート展〈版画と写真の臨界点から――〉
山口県立美術館　1990 年 11 月
針生一郎：写真と版画の新しい関係
飯沢耕太郎：プリントとしての写真を巡る断章
斎藤郁夫：写真製版によるシルクスクリーンがもたらしたもの
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、東大駒、和光大、国会図

戦後洋画と福島繁太郎――昭和美術の一側面 ●

欧文タイトル：「FUKUSHIMA Shigetaro and his Role in Post-War Painting in Japan」
会期：1991 年 6 月 28 日－8 月 4 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：山口薫、森芳雄、宇治山哲平、香月泰男、松田正平、麻生三郎、青山義雄、アンリ・マティス、ジョルジュ・ルオー、アンドレ・ドラン、パブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラック、モーリス・ユトリロ、カイム・スーティン〔カタログ順〕

〇展覧会カタログ

戦後洋画と福島繁太郎――昭和美術の一側面

山口県立美術館　1991 年 6 月 28 日

青山義雄：思い出すままに

福島葉子：福島繁太郎のコレクション

安井雄一郎編：カタログ〔出品目録〕

安井雄一郎編：出品作家略歴

安井雄一郎編：年譜

安井雄一郎編：参考文献

安井雄一郎編：旧福島コレクション・カタログ

福島恒徳・安井雄一郎編：美術雑誌「フォルム」目次

安井雄一郎：福島繁太郎―人と生涯

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図、都中図

写真の 1955～65〈自立した映像群〉●

欧文タイトル：「PHOTOGRAPHS IN JAPAN 1955～65」

会期：1991 年 11 月 28 日－12 月 23 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：石元泰博、奈良原一高、東松照明、川田喜久治、細江英公、佐藤明、丹野章、川原舜、中村正也、常盤とよ子、今井寿恵〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

写真の 1955～65〈自立した映像群〉

山口県立美術館　1991 年 11 月

金子隆一：「10 人の眼」から「VIVO」へ〈現代写真の 1 頁〉

飯沢耕太郎：青空という裂け目――VIVO の世代

榎本 徹：写真の 1955～65〈展覧会ノート〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

下関市立美術館

下関の美術 戦後世代の 12 人 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 2 月 18 日－3 月 9 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館

出品：石山義秀、臼杵裕也、尾潟正美、川崎誠和、國本悦生、熊谷實、新谷勉、田中義文、濱野邦昭、堀晃、堀研、前川謙一〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

下関の美術 戦後世代の 12 人

下関市立美術館　1986 年 2 月 18 日

臼杵裕也、尾潟正美、川崎誠和、國本悦生、熊谷實、新谷勉、田中義文、濱野邦昭、堀晃、堀研：〔作家のことば〕

濱本 聰：企画ノート〈地方ということ〉

所蔵：□、国新美、東近美、国会図

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

会期：1987 年 5 月 23 日－6 月 21 日　富山県立近代美術館／6 月 26 日－7 月 14 日　大阪・ナビオ美術館／8 月 28 日－9 月 2 日　銀座・松屋／9 月 11 日－10 月 11 日　新潟市美術館／12 月 5 日－1988 年 1 月 31 日　仙台・宮城県美術館／2 月 11 日－3 月 21 日　下関市立美術館

主催：下関市立美術館・読売新聞西部本社・KRY 山口放送・美術館連絡協議会〔巡回 6-6〕

――→富山県立近代美術館〔巡回 6-1〕

メキシコ現代版画と日本〈カイロン版画工房コレクションを中心に〉●

欧文タイトル：「México y Japón en la estampa contemporánea」

会期：1998 年 2 月 7 日－3 月 22 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／4 月 23 日－5 月 31 日　下関市立美術館

主催：下関市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・メキシコ合衆国外務省〔巡回 2-2〕

――→埼玉県立近代美術館〔巡回 2-1〕

戦後美術と下関 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 9 日－3 月 21 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館

出品：香月泰男、森掬生、植木茂、矢部桂一郎、阿山勇祐、赤﨑義人、名井玲、山本新蔵、有馬周三、赤﨑君美、椿義則、金森修、古舘充臣、三輪享良〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「戦後美術と下関」図録

下関市立美術館　2005 年 2 月

濱本 聰：下関の戦後美術(洋画篇)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

周南市美術博物館（徳山市美術博物館）

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館／山口展；11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日　石川県七尾美術館／秋田展；2 月 3 日－18 日　秋田県立近代美術館／岩手展；2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・山口県教育委員会・徳山市美術博物館〔巡回 6-2〕
――→浦添市美術館〔巡回 6-1〕

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 7 月 11 日－9 月 21 日　周南市美術博物館／12 月 13 日－2004 年 2 月 1 日　三鷹市美術ギャラリー／3 月 5 日－28 日　福井県立美術館

主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・周南市美術博物館・毎日新聞社・TYS テレビ山口〔巡回 3-1〕

出品：安齊重男、池田満寿夫、石川順惠、磯辺行久、磯見輝夫、井田照一、井上長三郎、上前智祐、榎倉康二、大畠裕、大森運夫、大矢雅章、岡村桂三郎、オノデラユキ、郭徳俊、梶喜一、片岡球子、桂ゆき、加藤泉、加納光於、河口龍夫、河原朝生、川俣正、菊地武彦、北籔和夫、木村光佑、草間彌生、鞍掛徳麿、黒崎彰、黒崎俊雄、桑原正彦、桑山忠明、合田佐和子、合田ノブヨ、小嶋悠司、小松均、斉藤智、斎藤隆、斉藤嗣火、坂本善三、佐熊桂一郎、白井昭子、白木正一、末松正樹、菅木志雄、須田剋太、関根伸夫、千崎千恵夫、多賀新、高島野十郎、高橋克之、高松次郎、高山徹、高山登、竹田和子、辰野登恵子、館勝生、田中田鶴子、中川幸夫、中西夏之、中林忠良、中原浩大、中村宏、野田哲也、浜田浄、半田強、彦坂尚嘉、日和崎尊夫、古沢岩美、星野真吾、堀浩哉、堀尾貞治、眞板雅文、間島領一、増田誠、松谷武判、松本旻、三上誠、三島喜美代、村井督侍、李田たけを、森光子、森野眞弓、森村泰昌、森山知己、山下菊二、山本弘、吉原芳仙、李禹煥、和田賢一〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉

「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会　2003 年 7 月 11 日

赤松祐樹：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」――「コレクション」と「歴史」について

野田訓生：反－美術館としての「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」

浅倉祐一朗：コレクションという場所

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図、都中図

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　福井市美術館／9 月 3 日－10 月 9 日　新潟市新津美術館／10 月 17 日－11 月 20 日　八幡浜市民ギャラリー／11 月 26 日－2006 年 1 月 15 日　周南市美術博物館

主催：周南市美術博物館・第 6 回共同巡回展実行委員会・朝日新聞社・YAB 山口朝日放送〔巡回 4-4〕
――→福井市美術館〔巡回 4-1〕

三隅町立香月美術館

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

会期：2003 年 11 月 30 日－2004 年 1 月 18 日　新潟市美術館／1 月 25 日－3 月 28 日　三隅町立香月美術館／4 月 4 日－5 月 23 日　札幌芸術の森美術館／5 月 30 日－7 月 25 日　高知県立美術館／8 月 18 日－29 日　大丸ミュージアム・梅田／9 月 4 日－10 月 18 日　相模原・女子美アートミュージアム

主催：三隅町立香月美術館〔巡回 6-2〕

――→新潟市美術館〔巡回 6-1〕

公立美術館 四国

徳島県

徳島県立近代美術館

ピカソと日本 ●

欧文タイトル：「Picasso and Japan」

会期：1990 年 11 月 3 日－12 月 9 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

出品：神原泰、山口長男、岡本太郎、林武、佐藤敬、脇田和、三雲祥之助、棟方志功、香月泰男、萩原英雄、長谷川三郎、山本敬輔、瑛九、鶴岡政男、山下菊二、下村良之介、泉茂、岡本信治郎、荒川修作、島田章三、大沼映夫、池田満寿夫、絹谷幸二、横尾忠則〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

ピカソと日本

徳島県立近代美術館　1990 年 11 月 3 日　開館記念展

池上忠治：ピカソと日本

友井伸一：1920-30 年代のピカソ

江川佳秀：ピカソと日本の近代美術〈大正から終戦まで〉

竹内利夫：現代の日本美術とピカソ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

現代美術'91 素材はいろいろ ●

欧文タイトル：「ART SCEN 1991　Each Material, Each Expression」

会期：1991 年 8 月 10 日－10 月 6 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

出品：池垣タダヒコ、大島成己、岡普司、川端紘一、菊池孝、小西祐司、小林由紀男、曽我

孝司、高木光司、中川佳宣、中西學、藤本由紀夫、三島喜美代、道北英治、渡辺信明〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

現代美術'91 素材はいろいろ

徳島県立近代美術館　1991 年 8 月

高橋 亨：表現はもっといろいろ

池垣タダヒコ、大島成己、岡普司、川端紘一、菊池孝、小西祐司、小林由紀男、曽我孝司、高木光司、中川佳宣、中西學、藤本由紀夫、三島喜美代、道北英治：〔作家のことば〕

吉原美恵子：素材はいろいろ・ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

50 年後〈彼らはなぜ戦争を表現するのか〉●

欧文タイトル：「50 years after　The artists who have no experience about the war.」

会期：1995 年 10 月 17 日－12 月 17 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

出品：太田三郎、西雅秋、福田新之助、柳幸典〔出品作家リスト順〕

〇展覧会カタログ

50 年後〈彼らはなぜ戦争を表現するのか〉

徳島県立近代美術館　1995 年 12 月 15 日

三木多聞：戦争と美術〈「50 年後 彼らはなぜ戦争を表現するのか」展に関して〉

吉川神津夫：戦争の影の下に

森 芳功：日本のモダニズムと社会性〈戦争期と現代の美術への視点〉

森芳功、吉川神津夫：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

自然を見つめる作家たち〈現代日本の自然表現と伝統〉●

欧文タイトル：「Artists and Nature-Expression of Nature in Japan Today；Traditional and Contemporary Ways」

会期：2002 年 1 月 26 日－3 月 17 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

出品：本田健、水口裕務、森山知己、秋岡美帆、大久保英治〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

自然を見つめる作家たち〈現代日本の自然表現と伝統〉

徳島県立近代美術館　2002 年 3 月 10 日　主に英文併載

森 芳功：日本の自然観と美術－その可能性について／〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

本と美術－20 世紀の挿絵本からアーティスツ・ブックスまで ●

欧文タイトル：「Books and Art in 20th Century」

会期：2002 年 7 月 6 日－8 月 25 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

出品：駒井哲郎、池田満寿夫、靉嘔、柏原えつとむ、若林奮、加納光於、中村宏、山口勝弘、荒木高子、村岡三郎、大久保英治、藤本由紀夫、イチハラヒロコ、大竹伸朗〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

本と美術－20 世紀の挿絵本からアーティスツ・ブックスまで

徳島県立近代美術館　2002 年 7 月 6 日　特別展

友井伸一：本と美術の競演－はじめに

友井伸一：〔章解説、解説〕

友井伸一：今そこにある本－大竹伸朗、大久保英治、藤本由紀夫

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

現代アートによる徳島再見 ●

欧文タイトル：「TOKUSHIMA REDISCOVERY BY FINE ART」

会期：2008 年 2 月 9 日－3 月 23 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

出品：岩野勝人、川原康孝、森宮英文、谷本天志、中西信洋〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代アートによる徳島再見

徳島県立近代美術館　2008 年 3 月 14 日

岩野勝人：現代美術による徳島再見展によせて

岩野勝人：〔作家のことば〕

吉川神津夫：地域に対するリアリティの所在

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

特別展－未来に伝えたい－学芸員おすすめアート ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 9 月 13 日－10 月 13 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

出品：奈良美智、河井清一、井上長三郎、鳥海青児、山下菊二、菊畑茂久馬、星野真吾、髙山辰雄、川端健生、加納光於、一原有徳、石内都〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

特別展－未来に伝えたい－学芸員おすすめアート

徳島県立近代美術館　2008 年 9 月 13 日

友井伸一、安達一樹：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大

駒、国会図、都中図

おもろいやつら 人間像で見る関西の美術 ●

欧文タイトル：「omoroi-yatsura」

会期：2009 年 7 月 18 日－8 月 30 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

出品：石原友明、泉茂、井原康雄、植木茂、植松奎二、大久保英治、大島成己、郭徳俊、下村良之介、鈴木治、辻晋堂、中井克巳、中西學、野村仁、福岡道雄、福嶋敬恭、星野真吾、松井憲作、三尾公三、三上誠、宮崎豊治、村岡三郎、元永定正、森村泰昌、やなぎみわ、吉原治良、吉原英雄〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

おもろいやつら 人間像で見る関西の美術

徳島県立近代美術館　2009 年 7 月 18 日　特別展

吉川神津夫：徳島のコレクションに関する一考察 関西の美術をもとに

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

徳島県郷土文化会館

第 7 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：徳島展；1973 年 9 月 29 日－10 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；10 月 20 日－11 月 4 日　高岡市立美術館／奈良展；11 月 11 日－25 日　奈良県立美術館／滋賀展；12 月 1 日－16 日　滋賀県立琵琶湖文化館

主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 4-1〕

出品：日本画；浦田正夫、後藤純男。洋画；三浦俊輔、本山唯雄。版画；郭徳俊。彫刻；堀川恭、三坂耿一郎〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 7 回現代美術選抜展

〔文化庁〕　1973 年 9 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美

第 11 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：高知展；1977 年 11 月 19 日－12 月 4 日　高知県立郷土文化会館／徳島展；12 月 9 日－25 日　徳島県郷土文化会館／愛媛展；1978 年 1 月 7 日－22 日　愛媛県立美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 17 日　千葉県立美術館

主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 4-2〕

――→高知県立郷土文化会館〔巡回 4-1〕

第 16 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：青森展；1982 年 10 月 17 日－11 月 3 日　弘前市立博物館／広島展；11 月 20 日－12 月 5 日　呉市立美術館／徳島展；12 月 10 日－26 日　徳島県郷土文化会館／愛知展；1983 年 1 月 8 日－23 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 4-3〕

――→弘前市立博物館〔巡回 4-1〕

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 11 月 9 日－23 日　豊田市民文化会館／徳島展；11 月 29 日－12 月 14 日　徳島県郷土文化会館／富山展；1987 年 1 月 10 日－25 日　富山県民会館美術館／福島展；1 月 31 日－2 月 15 日　郡山市民文化センター／宮城展；2 月 21 日－3 月 8 日　石巻文化センター

主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会〔巡回 5-2〕

――→豊田市民文化会館〔巡回 5-1〕

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 11 月 10 日－26 日　高知県立郷土文化会館／12 月 3 日－24 日　徳島県郷土文化会館／1990 年 1 月 9 日－28 日　宮崎県総合博物館／2 月 3 日－25 日　鹿児島県歴史資料センター黎明館／3 月 4 日－25 日　熊本県立美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・徳島県教育委員会・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 5-2〕

――→高知県立郷土文化会館〔巡回 5-1〕

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：秋田展；1990 年 11 月 22 日－12 月 6 日　アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)／青森展；12 月 11 日－26 日　弘前市立博物館／徳島展；1991 年 1 月 6 日－20 日　徳島県郷土文化会館／高知展；1 月 25 日－2 月 10 日　高知県立郷土文化会館／愛媛展；2 月 14 日－28 日　今治市河野美術館

主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 5-3〕

――→アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)〔巡回 5-1〕

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1993 年 11 月 10 日－21 日　藤沢市民ギャラリー／山形展；11 月 27 日－12 月 14 日　よねざわ市民ギャラリー・ドリーム／愛知展；12 月 22 日－1994 年 1 月 16 日

豊橋市美術博物館／徳島展；1 月 21 日－2 月 6 日　徳島県郷土文化会館／香川展； 2 月 10 日－24 日　坂出市民美術館

主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 5-4〕

――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 5-1〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐／広島展；11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館／長崎展；12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館／徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館館／宮城展；1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／秋田展；2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館

主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 6-4〕

――→セラトピア土岐〔巡回 6-1〕

香川県

香川県文化会館

新しい世界の美術〔第 1 回〕 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART OF THE WORLD」

会期：1966 年 10 月 8 日－21 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館

出品：斎藤義重、菅井汲、磯辺行久、今中クミ子、川島猛

註：出品欄は出品目録が無いので作家解説に拠った。

〇展覧会カタログ

新しい世界の美術

香川県文化会館　1966 年 10 月 8 日　〔第 1 回〕

久保隆美：〔あいさつ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、和光大

第 4 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：奈良展；1970 年 9 月 19 日－10 月 4 日　奈良県文化会館／香川展；10 月 10 日－25 日　高松・香川県文化会館／高知展；11 月 7 日－15 日　高知県立郷土文化会館／茨城展；11 月 22 日－12 月 1 日　日立市民会館

主催：文化庁・香川県・香川県文化会館〔巡回 4-2〕

――→奈良県文化会館〔巡回 4-1〕

新しい世界の美術 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART OF THE WORLD」

会期：1971 年 10 月 9 日－24 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館

出品：猪熊弦一郎、川島猛、北山泰斗、久野真、蔵本利彦、斎藤義重、重田良一、菅井汲、

高松次郎、流政之、速水史朗、前田常作、真子実也、山下菊二、吉原治良。賛助出品；ジョージ・ナカシマ〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

新しい世界の美術

香川県文化会館　1971 年 10 月 9 日　第 2 回

所蔵：□、国新美、東文研、東博資

新しい日本の美術 5 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1974 年 9 月 28 日－10 月 20 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県教育委員会・香川県文化会館、協力：東京画廊

出品：猪熊弦一郎、斎藤義重、流政之、前田常作、吉原治良〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

新しい日本の美術 5 人展

香川県文化会館　1974 年 9 月 28 日

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、東大駒、和光大、国会図

彫刻 5 人展〈藤川勇造とその流れ〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1976 年 10 月 23 日－11 月 7 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館

出品：太田三郎、早川巍一郎、菊池一雄、堀内正和、田畑一作〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

彫刻 5 人展〈藤川勇造とその流れ〉

香川県文化会館　1976 年 10 月

藤川栄子：彫刻五人展に寄せて

三木多聞：藤川勇造とその流れ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、愛芸文、京都学、国会図

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：長野展；1983 年 10 月 9 日－23 日　長野県信濃美術館／鳥取展；10 月 30 日－11 月 13 日　米子市美術館／香川展；11 月 19 日－12 月 4 日　高松・香川県文化会館／三重展；12 月 10 日－25 日　四日市市文化会館／愛知展；1984 年 1 月 7 日－22 日　豊橋市美術博物館

主催：文化庁・香川県教育委員会・香川県文化会館〔巡回 5-3〕

――→長野県信濃美術館〔巡回 5-1〕

高松市美術館

現代絵画の一断面 くり返しの構造展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 2 月 4 日－26 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

出品：阿部展也、磯辺行久、伊藤隆康、川島猛、草間彌生、桑原盛行、桑山タダスキー、小島信明、高崎元尚、田中敦子、福島秀子、前田常作、三木富雄、宮脇愛子、向井修二、村上善男、吉仲太造、アンディ・ウォーホル〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代絵画の一断面 くり返しの構造展

高松市美術館　1989 年 2 月

住谷晃一郎：くり返しの構造――現代絵画の一断面

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

会期：1989 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館／6 月 7 日－18 日　京都市美術館／6 月 24 日－7 月 23 日　高松市美術館／7 月 28 日－8 月 15 日　船橋・西武美術館／11 月 4 日－26 日　北九州市立美術館／12 月 16 日－1990 年 1 月 21 日　広島市現代美術館

主催：高松市美術館・毎日新聞社〔巡回 6-3〕

――→京都市美術館〔巡回 6-2〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：高松市美術館・西日本放送〔巡回 9-9〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

コレクション＋(プラス)ひびきあう音・色・形 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 7 月 25 日－9 月 7 日　高松市美術館　主催：高松市美術館、共催：NHK 高松放送局

出品：奈良美智、藤本由紀夫、靉嘔、狗巻賢二、草間彌生、高松次郎、田中敦子、李禹煥、河原温、堀内正和、和泉希洋志、杉本博司、金沢健一、押江千衣子、小林孝亘、曽谷朝絵、日高理恵子、丸山直文、森万里子〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

コレクション＋(プラス)ひびきあう音・色・形

高松市美術館　2008 年 7 月　開館 20 周年記念

牧野裕二：音のある展覧会

藤本由紀夫、和泉希洋志、金沢健一、聞き手・牧野裕二：3 つのインタビューから
奈良美智、藤本由紀夫、和泉希洋志、金沢健一：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、東大駒、国会図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00〈時をつなぐビジョン〉●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.00 Vision of Captured Time」
会期：2009 年 11 月 20 日－12 月 20 日　高松市美術館　主催：高松市美術館
出品：赤松きよ、梅田哲也、off-Nibroll、志賀理江子、しばたゆり〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00〈時をつなぐビジョン〉
高松市美術館　2009 年 11 月
秋元雄史：「高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00」によせて アニュアル展を開催する意義
天野一夫：街としての美術館・美術館としての街－高松コンテンポラリーアート・アニュアルのために
笠原美智子：「高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00」によせて 現代アートのアニュアル展はなぜ必要か
毛利義嗣：時をつなぐビジョン
赤松きよ、梅田哲也、off-Nibroll、しばたゆり：作家ステートメント
志賀理江子、聞き手・毛利義嗣：作家インタビュー
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01〈もうひとつの・カーニバル〉●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.01 Another Carnival」
会期：2010 年 9 月 18 日－10 月 24 日　高松市美術館　主催：高松市美術館
出品：青木陵子、石田尚志、猪瀬直哉、カミイケタクヤ、山下香里〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01〈もうひとつの・カーニバル〉
高松市美術館　2010 年 9 月　瀬戸内国際芸術祭 2010 連携
毛利義嗣：もうひとつの・カーニバル
毛利直子、毛利義嗣、橋本こずえ：〔作家論〕
林 洋子：「生きた美術館」であるために――地方美術館が現代美術に向き合う意味
浅井俊裕：「ミュージアム」をもう一度
天野一夫：夢見と覚醒――高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01 のために
青木陵子、石田尚志、猪瀬直哉、カミイケタクヤ、山下香里：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.02 贈り物と交換 ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.02　Gift and Exchange」

会期：2012 年 7 月 28 日－9 月 9 日　高松市美術館　主催：高松市美術館
出品：和泉希洋志、GABOMI(ガボミ)、平野薫、八木良太、山本高之〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.02 贈り物と交換
高松市美術館　2012 年 7 月
毛利義嗣：贈り物と交換
毛利義嗣、牧野裕二、田中みなみ：作家解説
浅井俊裕：アニュアルということ
木ノ下智恵子：返礼なき贈与は受け取ったものを戒める
植松由佳：現代美術展を開催するということ
和泉希洋志、GABOMI(ガボミ)、平野薫、八木良太、山本高之：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.03 DAYDREAMS／夢のゆくえ ●
欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.03　DAYDREAMS」
会期：2013 年 10 月 26 日－12 月 1 日　高松市美術館　主催：高松市美術館
出品：スプツニ子!、高木正勝、高松明日香、トーチカ、依田洋一朗〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.03 DAYDREAMS／夢のゆくえ
高松市美術館　2013 年 10 月
牧野裕二：開催にあたって
所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.03 DAYDREAMS／夢のゆくえ インスタレーションビュー
高松市美術館　2013 年
牧野裕二、毛利義嗣：〔作家解説〕
木ノ下智恵子：夢を イマージュを、つくる農夫の収穫祭
茂木健一郎スペシャルトークより
スプツニ子!〔談〕、高松明日香、トーチカ、依田洋一朗、高木正勝：〔作家のことば〕
所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.04 リアルをめぐって ●
欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.04　Regarding the Reality」
会期：2014 年 5 月 27 日－6 月 22 日　高松市美術館　主催：高松市美術館
出品：橋爪彩、大西伸明、小沢裕子、石黒浩〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.04 リアルをめぐって
高松市美術館　2014 年 5 月
橋爪彩〔再録〕、大西伸明、小沢裕子、石黒浩〔再録〕：〔作家のことば〕

牧野裕二：〔解説〕

所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.04 リアルをめぐって インスタレーションビュー

高松市美術館　2014 年

牧野裕二：はじめに

牧野裕二、毛利義嗣、山口裕美：〔作家解説〕

木ノ下智恵子：もう 1 つのリアル～新しい自己を、多様な他者を、想起するチカラ

所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.05 見えてる風景／見えない風景 ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.5　Visible / Invisible Sceneries」

会期：2016 年 10 月 8 日－11 月 6 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

出品：流麻二果、ドットアーキテクツ、谷澤紗和子、伊藤隆介、来田広大。特別展示；谷澤紗和子×藤野可織〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.05 見えてる風景／見えない風景

高松市美術館　2016 年 10 月　瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業

流麻二果、dot architects、谷澤紗和子、伊藤隆介、来田広大：〔作家のことば〕

篠原資明：風景をめぐって

毛利直子：敷かれた線路の後方、または視線の向こう側

藤 浩志：地域の心臓、あるいはエンジンとしての美術館

木ノ下智恵子：モーメント現象と色眼鏡

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.06 物語る物質 ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.6 / Materials That Tell Stories」

会期：2017 年 10 月 22 日－11 月 26 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

出品：小野耕石、亀井洋一郎、橋本雅也、南条嘉毅、須賀悠介、高本敦基〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.06 物語る物質

高松市美術館　2017 年 10 月

小野耕石、亀井洋一郎、橋本雅也、南条嘉毅、須賀悠介、高本敦基：〔作家のことば〕

篠原資明：物質をめぐる六想

牧野裕二、橘美貴：作家論

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

起点としての 80 年代 ●

欧文タイトル：「Starting Points：Japanese Art of the ’80s」

会期：2018 年 7 月 7 日－10 月 21 日　金沢 21 世紀美術館／11 月 3 日－12 月 16 日　高松市美術館／2019 年 1 月 5 日－3 月 24 日　静岡市美術館

主催：高松市美術館〔巡回 3-2〕
――→金沢 21 世紀美術館〔巡回 3-1〕

坂出市民美術館

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1993 年 11 月 10 日－21 日　藤沢市民ギャラリー／山形展；11 月 27 日－12 月 14 日　よねざわ市民ギャラリー・ドリーム／愛知展；12 月 22 日－1994 年 1 月 16 日　豊橋市美術博物館／徳島展；1 月 21 日－2 月 6 日　徳島県郷土文化会館／香川展；2 月 10 日－24 日　坂出市民美術館

主催：文化庁・香川県教育委員会・坂出市教育委員会〔巡回 5-5〕
――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 5-1〕

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

みずのき寮からの発信〈言葉はいらない 魂との出会い〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 10 月 24 日－2000 年 1 月 10 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

註：作者なので出品欄は割愛した。

〇展覧会カタログ

みずのき寮からの発信〈言葉はいらない 魂との出会い〉

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　1999 年 10 月

西垣籌一：みずのきアトリエのきのう・きょう――そして明日

谷村雅弘：「月火月火と…明日は絵かきやな」〈みずのき寮絵画教室の現在〉

荻田知子：絵画教室での指導と作品

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

風景遊歩 Sight-cruising ●

欧文タイトル：「Cruising Landscapes」

会期：2005 年 3 月 13 日－6 月 12 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

出品：あたらしい風景；高橋信行、香月泰男、牛島憲之、畠山直哉、秋岡美帆、野村仁、猪熊弦一郎、福岡道雄、柳幸典、やなぎみわ、曽根裕。見えない風景；高木正勝、中川幸夫、大岩オスカール幸男、アルフレッド・ジャー、ソフィ・カル、藤本由紀夫、小林孝亘、野口里佳、会田誠、小野博〔図版収載順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

〇展覧会カタログ

風景遊歩 Sight-cruising

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団　2005 年 3 月

松村 円：あたらしい風景〈その先へとみちびくもの〉

中田耕市：みえない風景〈見えることと見えないこと〉

ソフィ・カル、小野博：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

奏でる身体 ●

欧文タイトル：「The Body Sings of Life」

会期：2007 年 4 月 22 日－6 月 24 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

出品：三木富雄、猪熊弦一郎、イサム・ノグチ、石内都、北山善夫、やなぎみわ、塩田千春、森村泰昌、澤田知子〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

○展覧会カタログ

奏でる身体

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　2007 年 4 月　英文併載

松村 円：奏でる身体

松村円、古野華奈子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

時間の形 ●

欧文タイトル：「FORM of TIME」

会期：2008 年 10 月 26 日－2009 年 1 月 12 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

出品：秋山さやか、猪熊弦一郎、ローマン・オパルカ、藤本由紀夫、ジュゼッペ・ペノーネ、宮本隆司〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

時間の形

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団　2008 年 12 月　英文併載

松村 円：時間の形を見る

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

拡張するファッション ●

欧文タイトル：「You reach out－right now－for something：Questioning the Concept of Fashion」

会期：2014 年 2 月 22 日－5 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／6 月 14 日－9 月 23 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団〔巡回 2-2〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 2-1〕

愛媛県

愛媛県美術館（愛媛県立美術館）

第 11 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：高知展；1977 年 11 月 19 日－12 月 4 日　高知県立郷土文化会館／徳島展；12 月 9 日－25 日　徳島県郷土文化会館／愛媛展；1978 年 1 月 7 日－22 日　松山・愛媛県立美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 17 日　千葉県立美術館

主催：文化庁・愛媛県立美術館〔巡回 4-3〕

――→高知県立郷土文化会館〔巡回 4-1〕

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

会期：1998 年 5 月 16 日－6 月 14 日　北海道立旭川美術館／8 月 1 日－9 月 6 日　津・三重県立美術館／10 月 24 日－11 月 23 日　郡山市立美術館／1999 年 2 月 5 日－3 月 21 日　松山・愛媛県美術館

主催：愛媛県美術館・読売新聞大阪本社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会〔巡回 4-4〕

――→北海道立旭川美術館〔巡回 4-1〕

あるコレクターがみた戦後日本美術 ●

欧文タイトル：「Through a Collector's Eye：Japanese Art after 1945」

会期：2001 年 9 月 15 日－10 月 28 日　群馬県立近代美術館／12 月 7 日－2002 年 1 月 14 日　松山・愛媛県美術館

主催：愛媛県美術館〔巡回 2-2〕

――→群馬県立近代美術館〔巡回 2-1〕

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」●

欧文タイトル：「Sunouchi Toru and Gendai Gallery：The Eye and Spirit of the Showa Period」

会期：2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　仙台・宮城県美術館／2014 年 1 月 25 日－3 月 16 日　松山・愛媛県美術館(第 1 会場)・町立久万美術館(第 2 会場)／4 月 12 日－6 月 8 日　新潟市美術館

主催：「洲之内徹展」実行委員会(愛媛県・町立久万美術館・愛媛新聞社・テレビ愛媛)〔巡回 3-2〕

――→宮城県美術館〔巡回 3-1〕

今治市河野美術館

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：秋田展；1990 年 11 月 22 日－12 月 6 日　アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)／青森展；12 月 11 日－26 日　弘前市立博物館／徳島展；1991 年 1 月 6 日－20 日　徳島県郷土文化会館／高知展；1 月 25 日－2 月 10 日　高知県立郷土文化会館／愛媛展；2 月 14 日－28 日　今治市河野美術館

主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市河野美術館〔巡回 5-5〕

――→アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)〔巡回 5-1〕

第 26 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；1992 年 11 月 13 日－24 日　今治市河野美術館／岡山展；11 月 28 日－12 月 11 日　井原市立田中美術館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／岐阜展；1993 年 1 月 7 日－18 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／岩手展；1 月 24 日－2 月 7 日　水沢市文化会館／北海道展；2 月 13 日－28 日　釧路市生涯学習センター・アートギャラリー

主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市教育委員会・今治市河野美術館〔巡回 6-1〕

出品：日本画；浅野均、福王寺一彦。洋画；鍋島正一、浜田真理。版画；小枝繁昭、山口啓介。彫刻；下川昭宣〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 26 回現代美術選抜展図録

文化庁文化部芸術課　1992 年 11 月

内田弘保文化庁長官：あいさつ

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、京都学、国会図

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1998 年 11 月 22 日－12 月 7 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー／愛媛展；12 月 13 日－27 日　今治市河野美術館／群馬展；1999 年 1 月 8 日－22 日　前橋市民文化会館／岩手展；1 月 28 日－2 月 11 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・愛媛県・今治市教育委員会・今治市河野美術館〔巡回 4-2〕

――→大垣市スイトピアセンターアートギャラリー〔巡回 4-1〕

文化庁主催第 37 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；2003 年 12 月 13 日－28 日　今治市河野美術館／愛知展；2004 年 1 月 14 日－2 月 1 日　文化フォーラム春日井

主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市・今治市教育委員会・今治市河野美術館〔巡回 2-1〕

出品：日本画；間島秀徳、宮廻正明。洋画；今澤正、近藤大志。版画；鈴木康、吉原英里。彫刻；黒川弘毅〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

文化庁主催第 37 回現代美術選抜展図録

〔文化庁〕 2003 年 12 月

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、愛芸文

八幡浜市民ギャラリー

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　福井市美術館／9 月 3 日－10 月 9 日　新潟市新津美術館／10 月 17 日－11 月 20 日　八幡浜市民ギャラリー／11 月 26 日－2006 年 1 月 15 日　周南市美術博物館

主催：メセナ八幡浜・第 6 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-3〕

―→福井市美術館〔巡回 4-1〕

高知県

高知県立美術館

ark of ART 美術の方舟 ●

会期：1993 年 11 月 3 日－23 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館

出品：横尾忠則、大竹伸朗、正延正俊、白髪一雄、李禹煥、野見山暁治、篠原有司男、菊畑茂久馬、堀浩哉、舟越桂、戸谷成雄、若林奮、森村泰昌、合田佐和子、福田美蘭、中村一美、河口龍夫。郷土関係部門；信清誠一、中村博、森田早稲、中沢竹太郎、山本茂一郎、奥谷博、土方久功、日和崎尊夫、中林忠良、島内松南、山本倉丘、森田曠平〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。また郷土関係部門は戦後作品の出品作家を対象とした。

○展覧会カタログ

ark of ART 美術の方舟

高知県立美術館　1993 年 11 月　開館記念展　3 分冊(ケース入)

鍵岡正謹：時代は疼く－現代日本の美術

松本教仁：アブソリュート イーゴ ペインティング

□郷土関係部門

川島郁子：土佐、高知…そして美術

□シャガール特別展示〔全 8 ページ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

TOSA-TOSA ’95 クールの時代 美術のノイズ・ミュージック ●

欧文タイトル：「TOSA-TOSA ’95　COOL AGE, NOISE MUSIC OF ART」

会期：1995 年 2 月 16 日－3 月 19 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

出品：青木野枝、岡本敦生、門田修充、狩野信児、SEIGO、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、藤崎幸雄、大木裕之〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

TOSA-TOSA ’95 クールの時代 美術のノイズ・ミュージック

高知県立美術館　1995 年 2 月　2 分冊(Profile、Document)

鍵岡正謹：TOSA-TOSA 展を開催するにあたって

谷 新：作品＝ノイズ・シンフォニーの因子

松本教仁：ハイブリッド／そしてクールの時代

□Profile

青木野枝、岡本敦生〔再録〕、門田修充、狩野信児、SEIGO(西悟)、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、藤崎幸雄、大木裕之、佐藤篤、恒藤洋樹：〔作家のことば〕

谷 新：作家解説

□Document

松本敦仁：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

TOSA－TOSA ’99 紙 ●

欧文タイトル：「TOSA－TOSA ’99　paper」

会期：1999 年 2 月 14 日－3 月 22 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

出品：井田照一、岩村伸一、橿尾正次、北泰子、北古味可葉、坂本直昭、辻けい、浜井弘治、三嶽伊紗、宮田福美、横谷研二、吉田富久一〔出品作品目録順〕

○展覧会カタログ

TOSA－TOSA ’99 紙

高知県立美術館　1999 年 2 月

井田照一〔再録〕、岩村伸一、橿尾正次、北泰子、北古味可葉、坂本直昭、辻けい、浜井弘治、三嶽伊紗〔再録〕、宮田福美、横谷研二、吉田富久一：〔作家のことば〕

鍵岡正謹：現代美術と紙

影山千夏：「TOSA－TOSA ’99 紙」〈視覚と感覚の出会い〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉 現代陶芸・14 人の尖鋭たち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 3 月 2 日－4 月 20 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

出品：泉秀憲、勝間田千惠子、小池頌子、齋藤敏寿、重松あゆみ、田嶋悦子、堤展子、中島晴美、西邨滋、日野田崇、松島世賜恵、松田百合子、松本ヒデオ、森野彰人〔作品目録順〕

註：本展と同時に「TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉柳原睦夫と現代陶芸」展が開催されている。セットで刊行されたと思われるので参考までに次に採録しておく。

○展覧会カタログ

TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉 現代陶芸・14 人の尖鋭たち

高知県立美術館　2003 年 3 月

河村章代：現代陶芸を「これも陶芸?」と思っているあなたに

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉 柳原睦夫と現代陶芸

高知県立美術館　2003 年 3 月

鍵岡正謹：柳原睦夫さんの陶芸

柳原睦夫、インタビュアー 鍵岡正謹・河村章代：インタビュー

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

会期：2003 年 11 月 30 日－2004 年 1 月 18 日　新潟市美術館／1 月 25 日－3 月 28 日　三隅町立香月美術館／4 月 4 日－5 月 23 日　札幌芸術の森美術館／5 月 30 日－7 月 25 日　高知県立美術館／8 月 18 日－29 日　大丸ミュージアム・梅田／9 月 4 日－10 月 18 日　相模原・女子美アートミュージアム

主催：高知県立美術館・高知新聞社〔巡回 6-4〕

――→新潟市美術館〔巡回 6-1〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：高知県立美術館・高知新聞社〔巡回 9-5〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉 ●

欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」

会期：2014 年 5 月 31 日－8 月 31 日　六本木・森美術館／11 月 8 日－12 月 23 日　名古屋市美術館／2015 年 1 月 16 日－3 月 15 日　沖縄県立博物館・美術館／4 月 5 日－6 月 7 日　高知県立美術館

主催：高知県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-4〕
――→森美術館〔巡回 4-1〕

高知県立郷土文化会館

第 4 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：奈良展；1970 年 9 月 19 日－10 月 4 日　奈良県文化会館／香川展；10 月 10 日－25 日　高松・香川県文化会館／高知展；11 月 7 日－15 日　高知県立郷土文化会館／茨城展；11 月 22 日－12 月 1 日　日立市民会館
主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 4-3〕
――→奈良県文化会館〔巡回 4-1〕

第 11 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：高知展；1977 年 11 月 19 日－12 月 4 日　高知県立郷土文化会館／徳島展；12 月 9 日－25 日　徳島県郷土文化会館／愛媛展；1978 年 1 月 7 日－22 日　愛媛県立美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 17 日　千葉県立美術館
主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 4-1〕
出品：日本画；下保昭、吉岡堅二。洋画；絹谷幸二、寺島龍一。版画；竹田鎮三郎。彫刻；植木力、山本常一〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。
○展覧会カタログ
第 11 回現代美術選抜展
〔文化庁〕　1977 年 11 月
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図

ポリクロスアート'88 展 多極交叉芸術祭 ●
欧文タイトル：「POLYCROSS ART '88」
会期：1988 年 3 月 17 日－31 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知県立郷土文化会館・高知市文化振興事業団
出品：稲垣貴士、小清水漸、中西圭子、高原洋一、岸田龍平、黒田敬子、斎藤俊徳、鈴木たかし、真木智子、原田文明、浅山仁、遠藤貢治、佐藤 CAN、塩田昌樹、辻野榮一、林厚良、吉田尚行、上田祐嗣、小原典子、門田修充、高崎元尚、玉造義隆、都築房子、中川和幸、浜田憲司郎、藤崎幸雄、山崎道、横谷研二〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
POLYCROSS ART '88 多極交叉芸術祭
〔高知県立郷土文化会館〕　1988 年 3 月　〔第 1 回展〕
所蔵：□、国新美、東大駒、神近美、横浜美、愛芸文

ポリクロスアート展 2 ●
欧文タイトル：「POLYCROSS ART Exhibition」

会期：1989 年 5 月 18 日－6 月 4 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知県立郷土文化会館・高知市文化振興事業団

出品：井川惺亮、池田丈一、石井理之、入交京子、上田祐嗣、大島克文、小原典子、門田修充、金谷敬和、川島慶樹、高崎元尚、田中担三、玉造義隆、都築房子、藤崎幸雄、松宮喜代勝、持田総章、山崎道〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ポリクロスアート展 2

〔ポリクロスアート展実行委員会〕 1989 年 5 月 〔第 2 回展〕

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 11 月 10 日－26 日　高知県立郷土文化会館／12 月 3 日－24 日　徳島県郷土文化会館／1990 年 1 月 9 日－28 日　宮崎県総合博物館／2 月 3 日－25 日　鹿児島県歴史資料センター黎明館／3 月 4 日－25 日　熊本県立美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 5-1〕

出品：日本画；小野竹喬、加山又造、小嶋悠司、杉山寧、髙山辰雄、徳岡神泉、橋本明治、平山郁夫、山口蓬春、吉岡堅二。油彩画、その他；麻生三郎、荒川修作、池田龍雄、石井茂雄、猪熊弦一郎、上田薫、梅原龍三郎、海老原喜之助、岡田謙三、岡本太郎、オノサト・トシノブ、桂ゆき、河原温、北脇昇、児島善三郎、斎藤義重、菅井汲、杉全直、須田国太郎、辰野登恵子、田淵安一、曹良奎、鳥海青児、中谷泰、中西夏之、中村宏、難波田龍起、野口彌太郎、馬場彬、林武、福沢一郎、松本竣介、三尾公三、元永定正、安井曾太郎、山口薫、山口長男、吉原治良、李禹煥。版画；池田満寿夫、井田照一、瑛九、榎倉康二、小作青史、恩地孝四郎、加納光於、河口龍夫、河内成幸、木村光佑、清塚紀子、駒井哲郎、野田哲也、長谷川潔、浜口陽三、浜田知明、棟方志功、横尾忠則、吉田穂高。彫刻；植木茂、木内克、佐藤忠良、高田博厚、高松次郎、舟越保武、堀内正和、最上壽之、安田周三郎、柳原義達、若林奮〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展図録

〔東京国立近代美術館〕 1989 年 11 月

浅野 徹：「日本の現代美術――1945 年以後」展について

浅野徹、尾﨑正明、児島薫、高橋幸次、田中淳、藤井久栄、本江邦夫：作家略歴、作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、国会図

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：秋田展；1990 年 11 月 22 日－12 月 6 日　アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)／青森展；12 月 11 日－26 日　弘前市立博物館／徳島展；1991 年 1 月 6 日－20 日　徳島県郷土文化会館／高知展；1 月 25 日－2 月 10 日　高知県立郷土文化会館／愛媛

展；2 月 14 日－28 日　今治市河野美術館

主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 5-4〕

――→アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)〔巡回 5-1〕

ポリクロスアート'91 展 多極交差芸術祭 ●

欧文タイトル：「POLY CROSS ART FESTIVAL：POLY CROSS ART EXHIBITION」

会期：1991 年 12 月 10 日－20 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知市文化振興事業団・高知県立郷土文化会館、主管：ポリクロスアート展実行委員会

出品：朝井章夫、上田祐嗣、遠藤貢治、大島克文、尾崎由味子、門田修充、塩田繚麻、西悟〔SEIGO〕、祖父江建樹、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、中岡りえ、中川佳宣、名本英樹、野田広人、林宜子、藤崎幸雄、藤原慎治、MAGGIE WILLIAMS〔マギー・ウィリアムス〕、森木裕貴、山崎道〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ポリクロスアート'91 展 多極交差芸術祭

ポリクロスアートフェスティバル実行委員会・高知市文化振興事業団・高知県立郷土文化会館　1991 年 12 月　〔第 3 回展〕

高橋 亨：〔ことば〕

たにあらた：〔ことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

ポリクロスアート'93 展 現代美術の様相と断層から ●

欧文タイトル：「POLYCROSS ART EXHIBITION '93」

会期：1993 年 9 月 16 日－25 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知市文化振興事業団、主管：ポリクロスアート展実行委員会、共催：高知県立郷土文化会館

出品：朝井章夫、安藤義孝、上田裕嗣、内川和子、遠藤貢治、大島克文、尾崎由味子、影山千夏、門田修充、川崎康為、岸田龍平、塩田繚麻、信田英司、祖父江建樹、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、名本英樹、浜田憲司郎、藤崎幸雄、増田和剛、松林誠、百田美賀、森木裕貴、山崎道、山中雅史〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

ポリクロスアート'93 展 現代美術の様相と断層から

〔高知市文化振興事業団〕　1993 年 9 月　1 枚(二ツ折両面刷)〔第 4 回展〕

松本教仁：表現の欲望〈ポリクロスアート'93 展によせて〉

所蔵：□、国新美

公立美術館 九州・沖縄

福岡県

福岡県立美術館

現代美術の展望―'85 FUKUOKA 変貌するイマジネーション ●

欧文タイトル：「Prospect of Contemporary Art- '85 FUKUOKA：LIVE IMAGINATION」

会期：1985 年 11 月 3 日－28 日　福岡県立美術館　主催：福岡県・福岡県教育委員会・福岡県立美術館　シリーズ第 1 回展

出品：阿部守、伊藤高志、伊奈新祐、内野博夫、江上計太、河口洋一郎、河原美比古、瓦林睦生、菊竹清文、菊畑茂久馬、倉重光則、髙鶴元、近藤博志、酒井忠臣、佐藤文玄、塚本洋守、徳重恵美子、永崎通久、RADICAL TV、望月菊麿、森下明彦、山崎直秀、渡辺宏〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

現代美術の展望―'85 FUKUOKA 変貌するイマジネーション VOL.I

福岡県立美術館　1985 年 11 月 3 日　開館記念特別展・シリーズ第 1 回展

松本俊夫：現代美術の地平〈主として関係場の生成をめぐって〉

阿部守、伊藤高志、伊奈新祐、内野博夫、江上計太、河口洋一郎〔再録〕、河原美比古、瓦林睦生、菊竹清文、菊畑茂久馬、倉重光則、髙鶴元、近藤博志、酒井忠臣、佐藤文玄、塚本洋守、徳重恵美子、永崎通久、RADICAL TV、望月菊麿、森下明彦、山崎直秀、渡辺宏：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研(VOL.I のみ)、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

現代美術の展望―'85 FUKUOKA 変貌するイマジネーション VOL.II

福岡県立美術館　1985 年 11 月 28 日　開館記念特別展・シリーズ第 1 回展

川浪千鶴：「現代美術の展望―'85 FUKUOKA」展について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

現代美術の展望―'90 FUKUOKA 変貌する布〈意味を消された現場から〉 ●

欧文タイトル：「The Forceful Fiber：Five Artists from The Forefront」

会期：1990 年 2 月 27 日－3 月 25 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館

出品：植松奎二、河口龍夫、庄司達、車季南、濱谷明夫〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代美術の展望―'90 FUKUOKA 変貌する布〈意味を消された現場から〉

福岡県立美術館　1990 年 2 月 27 日　シリーズ第 2 回展

後藤耕二：基調報告 意味を消された現場から

川浪千鶴：変貌する布〈5 人の作家から〉

植松奎二、河口龍夫、庄司達、車季南、濱谷明夫：制作ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

現代美術の展望―'90 FUKUOKA 変貌する布〈意味を消された現場から〉〔別冊〕

福岡県立美術館　1990 年 3 月　1 枚(三ツ折両面刷)

註：展示写真を収録するため会期半ばの 3 月 12 日に刊行されたもの。諸 OPAC には付録と記載されているが展覧会事項に関して別冊の方が正確なのでこれを用いた。

所蔵：〔別冊明記されている館〕□、国新美、東近美、東博資、東大駒、横浜美、国会図

現代美術の展望―'94 Fukuoka 七つの対話〈スタンスをめぐって〉●

欧文タイトル：「Prospect for Contemporary Art- Fukuoka '94：Seven Attitudes, Seven Dialogues」

会期：1994 年 10 月 5 日－11 月 5 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館　シリーズ第 3 回展

出品：世良京子、和田千秋、桒野よう子、村上勝、黒鳥晴男、草野貴世、坂崎隆一〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代美術の展望―'94 Fukuoka 七つの対話〈スタンスをめぐって〉

福岡県立美術館　1994 年 10 月　付・別冊(三ツ折両面刷 2 枚)　シリーズ第 3 回展

川浪千鶴：福岡・現在・美術考――対話の可能性をめぐって

川浪千鶴・魚里洋一・宮本初音編：福岡アート・シーン 1985－1994

世良京子、和田千秋、桒野よう子、村上勝、黒鳥晴男、草野貴世、坂崎隆一：〔作家のことば〕別冊

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大(別冊のみ)、国会図

戦後文化の軌跡 1945－1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

会期：1995 年 4 月 19 日－6 月 4 日　目黒区美術館／6 月 14 日－7 月 21 日　広島市現代美術館／8 月 15 日－9 月 24 日　兵庫県立近代美術館／10 月 8 日－11 月 5 日　福岡県立美術館

主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-4〕

――→目黒区美術館〔巡回 4-1〕

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 7 月 19 日－10 月 5 日　神戸ファッション美術館／10 月 10 日－26 日　新宿・三越美術館／12 月 4 日－23 日　福岡県立美術館

主催：朝日新聞社・福岡県立美術館〔巡回 3-3〕

――→神戸ファッション美術館〔巡回 3-1〕

詩人の眼・大岡信コレクション ●

欧文タイトル：「The Poet's Eyes：Makoto Ooka and his Collection」

会期：2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　三鷹市美術ギャラリー／8 月 3 日－26 日　静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ／11 月 3 日－12 月 10 日　福岡県立美術館／2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　足利市立美術館

主催：福岡県立美術館、朝日新聞社、九州朝日放送〔巡回 4-3〕

――→三鷹市美術ギャラリー〔巡回 4-1〕

福岡現代美術クロニクル 1970-2000 ●

欧文タイトル：「Situations and Exchanges：Fukuoka Contemporary Art Chronicle 1970-2000」

会期：2013 年 1 月 5 日－2 月 11 日　福岡県立美術館、福岡市美術館　主催：福岡県立美術館・福岡市美術館〔福岡市美術館と同時開催〕

出品：福岡県立美術館；小松豊、松本芳年、柳和暢、藤野忠利、舟一朝、小田部泰久、柴田善二、木戸龍一、川原田徹、小山正、長谷川清、村上勝、仙頭利通、木塚忠広、小川幸一、山野真悟、江上計太、和田千秋、牛島智子、土佐尚子、永崎通久、山崎直秀、高向一成、廣末勝巳、大久保忠春、酒井忠臣、片山武、松川英俊、佐藤文玄、望月菊磨、河原美比古、池松一隆、内野博夫、松本俊夫、伊藤高志、森下明彦、伊奈新祐、フィルム・メーカーズ・フィールド〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

福岡現代美術クロニクル 1970-2000

福岡現代美術クロニクル展実行委員会　2013 年 1 月 5 日

山口洋三：本展開催にあたって

山口洋三：情況のための交流、交流のための情況：「九州派以後」の福岡現代美術

山口洋三、正路佐知子：〔章解説〕

山口洋三：〔解説〕

正路佐知子、竹口浩司、藤本真帆、山口洋三、森下明彦：作家略歴

山口洋三・正路佐知子編：福岡現代美術略年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

福岡県文化会館美術館

第 5 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：長野展；1971 年 9 月 19 日－10 月 3 日　長野県信濃美術館／静岡展；10 月 14 日－21 日　静岡県民会館／広島展；10 月 30 日－11 月 14 日　広島県立美術館／福岡展；11 月 23 日－12 月 5 日　福岡県文化会館美術館

主催：文化庁・福岡県教育委員会・福岡県文化会館〔巡回 4-4〕

――→長野県信濃美術館〔巡回 4-1〕

○展覧会カタログ

第 5 回現代美術選抜展

〔福岡県文化会館〕 1971 年 11 月 1 枚(二ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美

福岡市美術館

平面絵画――その多様化展 ●

欧文タイトル：「Variations on planar paintings」

会期：1980 年 10 月 28 日－12 月 21 日 福岡市美術館 主催：福岡市美術館

出品：桑山忠明、菅木志雄、山田正亮〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

平面絵画――その多様化展

福岡市美術館 1980 年 10 月

尾野正晴：平面絵画――その多様化

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

アジア現代美術展〈アジア美術展第 2 部〉 ●

欧文タイトル：「Festival：Contemporary Asian Art Show, 1980 Asian Artists Exhibition part II」

会期：1980 年 11 月 1 日－30 日 福岡市美術館 主催：福岡市・福岡市教育委員会・福岡市美術館・アジア美術展実行委員会

出品：九州以外の作家；靉嘔、麻田鷹司、麻田浩、麻生三郎、池田満寿夫、井田照一、今井俊満、今村幸生、植木茂、大島哲以、岡本太郎、小山田二郎、加賀見政之、片岡球子、加納光於、加山又造、絹谷幸二、木村希八、木村光佑、工藤甲人、黒崎彰、國領經郎、篠田守男、島田章三、下田義寛、白髪一雄、末松正樹、杉全直、高松次郎、多田美波、建畠覚造、田中信太郎、玉置正敏、堂本尚郎、利根山光人、中川直人、中西夏之、平山郁夫、福岡道雄、福沢一郎、藤沢典明、前田常作、松本旻、丸木位里、三尾公三、三栖右嗣、村井正誠、元永定正、柳原義達、山本文彦、横尾忠則、吉田穂高、吉原英雄、淀井敏夫、若林奮〔図版収載順〕

註：出品欄は「九州以外の作家」を収載、田淵安一、松本英一郎らや九州派の作家ら九州の作家(95 名)は割愛した。

○展覧会カタログ

アジア現代美術展〈アジア美術展第 2 部〉

福岡市美術館 1980 年 11 月 開館 1 周年記念特別展

青木 秀：「アジア現代美術展」に寄せて

乾 由明：現代日本の美術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

明日への造形－九州 第 1 回展 変換と差異――複製技術社会の中で ●

欧文タイトル：「1st “Forms For Tomorrow－Kyūshū” transformations and differences」

会期：1981 年 3 月 24 日－4 月 26 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：永崎通久、山崎直秀、吉村芳生
○展覧会カタログ
明日への造形－九州 第 1 回展 変換と差異――複製技術社会の中で
福岡市美術館　1981 年 3 月
帯金章郎：変換と差異――複製技術社会の中で
永崎通久、山崎直秀、吉村芳生：制作ノート
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

フォトグラム展 ●
欧文タイトル：「photograms」
会期：1982 年 2 月 2 日－28 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：マン・レイ、モホリ・ナギ、瑛九、山口正城〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
フォトグラム展
福岡市美術館　1982 年 2 月
帯金章郎：フォトグラム－光と影による造形
帯金章郎編：出品目録
帯金章郎編：略歴
帯金章郎編：フォトグラムに関する参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

明日への造形＝九州 第 2 回展　新しいイメージの展開――平面性と現代の図像 ●
欧文タイトル：「EXPANSION for New Image―planar and contemporary iconograph」
会期：1982 年 3 月 2 日－28 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：小山正、仙頭利通〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
明日への造形＝九州 第 2 回展　新しいイメージの展開――平面性と現代の図像
福岡市美術館　1982 年 3 月
柴田勝則：〔ことば〕
小山正、仙頭利通：制作ノート
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、愛芸文、国会図

素材と空間展 ●
欧文タイトル：「Materials and Spaces」
会期：1983 年 2 月 1 日－27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：川俣正、戸谷成雄、保科豊巳〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
素材と空間展
福岡市美術館　1983 年 2 月

帯金章郎：素材と空間

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美

明日への造形－九州 第 3 回展 自然との新たなかかわりを求めて ●

欧文タイトル：「3rd “Forms For Tomorrow－Kyūshū”」

会期：1983 年 3 月 1 日－27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：菊竹清文、常木新二

○展覧会カタログ

明日への造形－九州 第 3 回展 自然との新たなかかわりを求めて

福岡市美術館　1983 年 3 月

後小路雅弘：自然との新たなかかわりを求めて

菊竹清文、常木新二：制作ノート

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美

明日への造形－九州　第 4 回展〈版〉画の探究。●

欧文タイトル：「4TH FORMS FOR TOMORROW－KYŪSHŪ Inquiry about〈HAN〉ga」

会期：1984 年 2 月 28 日－3 月 25 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：川原田徹、殿敷侃、吉田東〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

明日への造形－九州　第 4 回展〈版〉画の探究。

福岡市美術館　1984 年 2 月

石田泰弘：〈版〉画の探究。

川原田徹、殿敷侃、吉田東：作家のことば

所蔵：□、国新美、横浜美、愛芸文、国会図

明日への造形－九州　第 5 回展 芸術とテクノロジー ●

欧文タイトル：「5th “Forms for Tomorrow－Kyūshū” Art and Technology」

会期：1985 年 1 月 15 日－2 月 24 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：船津美江子、原田大三郎、伊奈新祐〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

明日への造形－九州　第 5 回展 芸術とテクノロジー

福岡市美術館　1985 年 1 月

松浦 仁：芸術とテクノロジー〈コンピュータ・グラフィックスとビデオ・アートを中心に〉

船津美江子、原田大三郎、伊奈新祐：制作ノート

所蔵：□、国新美、都現美、愛芸文、国会図

第 2 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「2nd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」

会期：1985 年 11 月 2 日－12 月 1 日　福岡市美術館　主催：第 2 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社

出品：日本；東谷武美、古川タク、萩原朔美、彦坂尚嘉、櫃田伸也、星野暁、出光真子、河

内成幸、河口龍夫、かわなかのぶひろ、北山善夫、小林正和、小嶋悠司、幸村真佐男、小清水漸、松生歩、中井恒夫、中島千波、西村陽平、野村仁、小笠原宣、菅木志雄、田窪恭治、辰野登恵子、宇佐美圭司、山本正道、米谷清和、吉村正郎、船津美江子、箱崎睦昌、河口洋一郎、川原田徹、菊竹清文、小川幸一、大久保忠春、大津英敏、小山正、滝純一、殿敷侃〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 2 回アジア美術展

福岡市美術館　1985 年 11 月　英文併載

副島三喜男：アジア美術のなかの独自性

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、国会図、都中図

明日への造形－九州 第 6 回展 色彩の豊饒 ●

欧文タイトル：「6th “Forms for Tomorrow－Kyūshū” Richness of Colors」

会期：1986 年 2 月 18 日－3 月 30 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：荒瀬景敏、内倉ひとみ

○展覧会カタログ

明日への造形－九州 第 6 回展 色彩の豊饒

福岡市美術館　1986 年 2 月

安永幸一：色彩の豊饒〈ニュー・ウェーヴ感覚〉

荒瀬景敏、内倉ひとみ〔再録〕：制作ノート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、愛芸文、国会図

明日への造形－九州 第 7 回展 イメージの突然、変異――浮遊と中断 ●

欧文タイトル：「7th “FORMS FOR TOMORROW－KYŪSHŪ” SUDDEN SUSPENSION OF IMAGES」

会期：1987 年 2 月 17 日－3 月 29 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：松尾直樹、桐原淳行、山崎嘉久

○展覧会カタログ

明日への造形－九州 第 7 回展 イメージの突然、変異――浮遊と中断

福岡市美術館　1987 年 2 月

松尾直樹、桐原淳行、山崎嘉久：制作ノート

黒田雷児：イメージの突然、変異――浮遊と中断

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

流動する美術－I 発熱する表面 ●

欧文タイトル：「ART IN FLUX－I Fering Surface」

会期：1987 年 9 月 15 日－11 月 1 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：高見澤文雄、中村功、中村一美〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

流動する美術－I 発熱する表面

福岡市美術館　1987 年 9 月　自主企画展

黒田雷児：外部と浸透しあう表面は発熱するか?

高見澤文雄、中村功、中村一美：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

九州派展〈反芸術プロジェクト〉●

欧文タイトル：「GROUP KYUSHU-HA：ANTI-ART PROJECT」

会期：1988 年 9 月 23 日－10 月 10 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：石橋泰幸、浦田宗夫、大黒愛子、大山右一、オチ・オサム、尾花成春、尾張猛、川上省三、菊畑茂久馬、木下新、斉藤秀三郎、桜井孝身、磨墨静量、谷口利夫、田部光子、寺田健一郎、西嶋正臣、働正、舟木富治、俣野衛、宮崎準之助、八柄雄高、山内重太郎、米倉徳、皆島万作〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

九州派展〈反芸術プロジェクト〉　福岡市美術館編

福岡市美術館協会　1988 年 9 月 23 日〔改訂第 2 刷 1989 年 3 月 20 日〕

針生一郎：九州派顛末記

谷口治達：谷間の時代の青春の狂騒――私にとっての九州派

黒田雷児：異説・美術運動としての九州派――共生する制作者たち

石橋泰幸：〔ことば〕、浦田宗夫：〔ことば〕、大山右一：九州派断片、オチ・オサム：〔ことば〕、小幡英資：〔ことば〕、尾花成春：元「九州派」への質問に対して、尾張猛：〔ことば〕、片江政敏：〔ことば〕、川上省三：〔ことば〕、菊畑茂久馬：〔ことば〕、斉藤秀三郎：〔ことば〕、桜井孝身：〔ことば〕、磨墨静量：「磨墨」あれこれ、谷口利夫：質問に答えて、わたしと九州派、田部光子：遅すぎて、早すぎる、この九州派展、西嶋正臣：〔ことば〕、働正：〔ことば〕、舟木富治：〔ことば〕、俣野衛：九州派雑感、宮崎準之助：尻馬の弁、八柄雄高：「九州派、一つの断面」、山内重太郎：元「九州派」への質問に答えて、米倉徳：〔ことば〕、皆島万作：元「九州派」への質問に答えて、森永純：元「九州派」への質問に答えて

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、改訂第 2 刷・都現美、横浜美、国会図

第 3 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「3rd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」

会期：1989 年 7 月 6 日－8 月 13 日　福岡市美術館／11 月 3 日－12 月 15 日　横浜美術館

主催：第 3 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本〔巡回 2-1〕

出品：日本；神山明、仁科茂、関口敦仁、菅野由美子、豊平ヨシオ、山本富章〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 3 回アジア美術展

福岡市美術館　1989 年 7 月　英文併載

副島三喜男：「アジアらしさの世界」をさぐる

黒田雷児：越境するシンボル

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

流動する美術－II メディアの複合 音と造形 ●

欧文タイトル：「Art in Flux II　COMBINED MEDIA SOUND AND FORM」

会期：1990 年 10 月 23 日－12 月 9 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：藤本由紀夫、氏家啓雄

○展覧会カタログ

流動する美術－II メディアの複合 音と造形

福岡市美術館　1990 年 10 月

松浦 仁：メディアの複合－音と造形

藤本由紀夫、氏家啓雄：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美

流動する美術－III ネオ・ダダの写真 ●

欧文タイトル：「Art in Flux III　NEO-DADA Witnessed：Photo Documents」

会期：1993 年 11 月 23 日－1994 年 2 月 6 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：目撃者(写真家)；石黒健治、石松健男、小林正徳、東松照明、ジャクリーヌ・ポール。目撃された者(ネオ・ダダ)；赤瀬川原平、荒川修作、石橋別人、風倉匠、岸本清子、木下新、篠原有司男、田中信太郎、田辺三太郎、豊島壮六、平岡弘子、升沢金平、吉野辰海、吉村益信。

○展覧会カタログ

流動する美術－III ネオ・ダダの写真

福岡市美術館　1993 年 11 月

吉村益信：断面のスナップ

石黒健治：暗室にて

黒田雷児：明るい殺戮者、その瞬間芸の術

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

第 4 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「4th Asian Art Show, FUKUOKA　REALISM ASAN ATTITUDE」

会期：福岡展；1994 年 9 月 10 日－10 月 16 日　福岡市美術館／箱根展；1995 年 1 月 1 日－2 月 12 日　箱根・彫刻の森美術館／秋田展；2 月 17 日－3 月 21 日　秋田県総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール／東京展；1995 年 4 月 5 日－5 月 14 日　世田谷美術館

主催：第 4 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本〔巡回 4-1〕

出品：中村政人、西山美なコ、藤浩志〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

第 4 回アジア美術展開催要項

第 4 回アジア美術展実行委員会事務局　1994 年　全 16 ページ

所蔵：□、国新美

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉

福岡市美術館　1994 年 9 月 10 日　英文併載〔福岡市美術館版〕

副島三喜男：出品作家作品の選考経過について

後小路雅弘：態度としてのリアリズム――90 年代のアジア美術

黒田雷児：街のヘンなもの――三人の在日日本人アーティスト

サリマ・ハシュミ：イスラム世界の女性芸術家たち――パキスタンからの最新展望

チェ・テマン：韓国の民衆美術：疎通としてのリアリズム

グエン・クアン：ベトナム現代美術の概念――伝統と変容する文化

ヌーセイ・プーマチャン：ラオスの現代美術

所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉

秋田県総合生活文化会館　1995 年 2 月

註：未見。秋田県立図書館の OPAC に拠る。

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉●

世田谷美術館　1995 年 4 月　英文併載〔世田谷美術館版 1〕

註：内容は福岡市美術館版に同じ。

所蔵：□、国新美、都現美

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉●

世田谷美術館　1995 年 4 月　英文併載［世田谷美術館版 2］

遠藤 望：「アジア美術展」：アジア現代美術企画の含む問題

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

流動する美術－IV ああ、「日本の風景」？〈大和塀と案内嬢の部屋〉●

欧文タイトル：「Art in Flux IV　Oh, My‘Japanese Landscapes’?」

会期：1996 年 9 月 3 日－11 月 4 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：中ハシ克シゲ、柳美和〔やなぎみわ〕〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

流動する美術－IV ああ、「日本の風景」？〈大和塀と案内嬢の部屋〉

福岡市美術館　1996 年 9 月

山口洋三：脱・文脈化される「風景の」リアリティ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

流動する美術－V 兆し｜徴し｜癒し?の造形〈障害者アートの一側面を考える〉●

欧文タイトル：「Art in Flux V　Art of Promise / Sign / Cure? Catch a Glimpse of One Aspect of Art Created by Disabled Artists」

会期：1998 年 2 月 3 日－3 月 29 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：松花苑みずのき寮、アートセラピー美術館、千葉県立千葉盲学校、木村優、上田豊治

〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

流動する美術－V 兆し｜徴し｜癒し?の造形〈障害者アートの一側面を考える〉

福岡市美術館　1998 年 2 月

柴田勝則：揺らいでいる、でも見えている

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大、国会図

福岡美術戦後物語〈ふるさと美術誌―福岡市を中心に〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 8 月 8 日－9 月 6 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本

出品：序章 昭和初期：戦前・戦中の福岡美術；青柳暢夫、児島善三郎、多々羅義雄、津上昌平、中村研一、中村琢二、光安浩行、水上泰生、山喜多二郎太、山崎朝雲、吉田博、和田三造、伊藤研之、高橋渡、久野久、許斐儀一郎、田中善徳、青木寿、椎野修、庄野伊甫、田中冬心、真隅太荘。第 1 章 西部美術協会とその前後；井上寛信、今西中通、上田宇三郎、寺田竹雄、冨永朝堂、野見山暁治、松尾晃華、松永□〔冖＋刂〕山。第 2 章 朱風貌社の画家たち；赤星孝、上田宇三郎(重)、宇治山哲平、久野大正、山田栄二。第 3 章 シニア美術家たちの戦後；青柳暢夫(重)、今中素友、梶原貫五、熊野礼夫、児島善三郎(重)、小早川清、多々羅義雄(重)、冨永朝堂(重)、中村研一(重)、中村琢二(重)、藤岡一、光安浩行(重)、水上泰生(重)、安永良徳、山喜多二郎太(重)、吉田博(重)、吉村忠夫、和田三造(重)。第 4 章 中央美術団体復活と美術家たち；赤星孝(重)、石田耕古、伊勢幸平、井上寛信(重)、今長谷巌、大内田茂士、大村清隆、織田廣喜、甲斐巳八郎、木下邦子、熊代駿、高野達、立花重雄、手島貢、豊島綱明、広瀬不可止、松井源右衛門、松村三之、山田栄二(重)。第 5 章 九州派の美術家たち；石橋泰幸、大黒愛子、大山右一、オチ・オサム、尾花成春、尾張猛、菊畑茂久馬、木下新、斉藤秀三郎、桜井孝身、麿墨静量、谷口利夫、田部光子、寺田健一郎、舟木富治、俣野衛、皆島万作、宮崎準之助、八柄豊〔雄高〕、山内重太郎、米倉徳。第 6 章 福岡県文化会館(現・福岡県立美術館)開館；片山摂三、冨田溪仙、吉村忠夫(重)。第 7 章 九州・現代美術の動向展/今日の美術展の美術家たち；引頭勘治、小串英次郎、貝島福通、加呂昌太郎、小谷修一、田副正武、寺田健一郎(重)、中西久吉、馬場武尚、安川民畝。第 8 章 福岡市美術展・西日本美術展始まる；伊藤研之、斉藤秀三郎(重)、 仙頭利通、滝口文吾、鳥飼寿徳、永淵純一、濱田隆志。第 9 章 大学と美術家たち；柴田善二、高村正之、築山節生、原田新八郎、宮崎集、赤堀光信、鐘ヶ江寿、児島幸雄、鶴甫、豊福孝行、石橋健作、井上正勝、木戸龍一、花田喜八郎。第 10 章 美術批評とジャーナリズム。第 11 章 福岡市美術館開館；小山正、菊竹清文、永崎通久、山崎直秀。第 12 章 様々な美術グループ；秋吉素碩、阿部平臣、池田正臣、上村光夫、大神崇維、小川蓮太郎、鬼木美代子、川添達成、河津嘉三、河原大輔、國崎登美、久保田治美、島一行、タイガー立石、高倉準一、竹岡羊子、谷健太郎、長谷川陽三、日野耕之祐、松浦安弘、松重明、吉本尚二。第 13 章 海外での活躍；板谷房、瓦林睦生、豊福知徳、野見山暁治(重)、萩谷巌、古川吉重。第 14 章 画廊活動と福岡市彫刻のあるまちづくり事業。第 15 章 西日本文化賞、福岡市文化賞の美術家たち；伊藤研之(重)、山本作兵衛、青木寿(重)、赤星信子、

足達襄、小野茂明、小田部泰久〔出品作品順〕

〇展覧会カタログ

福岡美術戦後物語〈ふるさと美術誌―福岡市を中心に〉　福岡市美術館編

福岡美術戦後物語展実行委員会　1998 年 8 月 8 日

柴田勝則：展覧会構成について

柴田勝則：章解説、本章概説

松浦 仁：前衛芸術集団「ソシエテ・イルフ」の活動

古川智次：吉田博・和田三造・児島善三郎・中村研一の戦後

山内重太郎：九州派覚書

古賀唯介：文化行政の中で〈福岡県文化会館（現・福岡県立美術館）を中心に〉

深野 治：「九州・現代美術の動向展」とその周辺

宮崎 集：大学と美術教育

谷口治達：福岡における美術批評とジャーナリズム

副島三喜男：在任中の思い出

谷 健太郎：あのころ このころ

吉田 浩：海外に飛躍する美術家たち

中島民雄：素晴しき出店―ふくおかと大阪フォルム画廊

柴田勝則、山口洋三、山本香瑞子、大久保京：作家略歴

柴田勝則・大久保京編：年表

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

流動する美術－VI 私だけの MUSEUM ●

欧文タイトル：「Art in Flux VI　Museum for nothing but me」

会期：1998 年 10 月 13 日－12 月 13 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：阿部浩二、山出淳也〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

流動する美術－VI 私だけの MUSEUM

福岡市美術館　1998 年 10 月 13 日

阿部浩二＋山出淳也＋山口洋三：作家との E メール交換

山口洋三：〔作家論〕

山口洋三：それぞれの「私」が見ている世界を映し出す[MUSEUM]

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

水晶の塔をさがして〈現代アートが開く「私」の世界〉●

欧文タイトル:「“Secret Values”-5 Contemporary Artists Searching for the Quartz Tower」

会期：2000 年 10 月 7 日－11 月 5 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本

出品：大森裕美子、小林健二、佐々恭子、松尾藤代、平田五郎〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

水晶の塔をさがして〈現代アートが開く「私」の世界〉

福岡市美術館　2000 年 10 月 7 日　展示記録共 2 冊

山口洋三：水晶の塔をさがして／〔作家論〕

水晶の塔をさがして〈現代アートが開く「私」の世界〉展示記録

福岡市美術館　2000 年 11 月 5 日

山口洋三：水晶の塔をさがして〈展示作品の構成と解説にかえて〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

流動する美術－VII 視覚を越えて・巡りて〈日高理恵子/光島貴之の絵画〉●

欧文タイトル：「Art in Flux-VII　Beyond & Around the Visual Perception」

会期：2001 年 1 月 5 日－3 月 25 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：日高理恵子、光島貴之

○展覧会カタログ

流動する美術－VII 視覚を越えて・巡りて〈日高理恵子/光島貴之の絵画〉

福岡市美術館　2001 年 2 月 1 日

柴田勝則：断章：視覚を越えて・巡りて――営みの遠近法

日高理恵子：樹の空間をめぐる覚え書き

光島貴之：「街シリーズ」制作に寄せて――触覚時間の体験

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

流動する美術－VIII 都市風景のメカニズム〈伊奈英次・金村修の写真〉●

欧文タイトル：「Art in Flux VIII　Inside Out：Mechanism of Cityscapes」

会期：2003 年 10 月 15 日－12 月 27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：伊奈英次、金村修

○展覧会カタログ

流動する美術－VIII 都市風景のメカニズム〈伊奈英次・金村修の写真〉展覧会図録

福岡市美術館　2003 年 10 月 15 日　英文併載

山口洋三：都市風景のメカニズム

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

流動する美術－VIII 都市風景のメカニズム〈伊奈英次・金村修の写真〉作品図録

福岡市美術館　2003 年 10 月 15 日

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

福岡現代美術クロニクル 1970-2000 ●

欧文タイトル：「Situations and Exchanges：Fukuoka Contemporary Art Chronicle 1970-2000」

会期：2013 年 1 月 5 日－2 月 11 日　福岡県立美術館、福岡市美術館　主催：福岡県立美術館・福岡市美術館〔福岡県立美術館と同時開催〕

出品：福岡市美術館；安齊重男、川俣正、阿部守、戸谷成雄、北山善夫、スクランブル・プラン記録集(江上計太、林浩、板山信一、キンタロ、木塚忠広、宮本初音、和田千秋、渡辺宏、

山野真悟)、岡部昌生、大浦こころ、山野真悟、柳幸典、殿敷侃、今泉憲治、桑野進、土田恵子、宮川敬一、武田総章、石川幸二、新庄良博、金ヶ江和隆、石井香久子、ハミッシュ・フルトン、鈴木淳、耘野康臣、森秀信、岡本光博、広橋勲、末藤夕香、草野貴世、坂崎隆一、山出淳也、森村泰昌、母里聖徳、江上計太、草間彌生、小沢剛、牛嶋均、ナウィン・ラワンチャイクン、蔡國強、ナム＝ジュン・パイク、タン・ダウ、藤浩志、ニロファール・アクムット、ツェレンナドミディン・ツェグミド、村上勝、小川幸一、元村正信、和田千秋、江上計太、世良京子、角孝政、八尋晋、坂井存、後藤章子、成田鐘哲〔出品作品リスト順〕

――→福岡県立美術館〔同時開催〕

想像しなおし ●

欧文タイトル：「IN SEARCH OF CRITICAL IMAGINATION」

会期：2014 年 1 月 5 日－2 月 23 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・TVQ 九州放送

出品：大西康明、手塚愛子、川辺ナホ、狩野哲郎、山本高之、山内光枝〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

想像しなおし

福岡市美術館　2014 年 2 月 10 日

テッサ・モーリス＝スズキ：世界を再想像する　再録

正路佐知子：〔ことば〕

正路佐知子：美術、世界を再想像するための

正路佐知子：作家試論

正路佐知子、山口洋三、吉田暁子、綿抜由季：略歴

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

歴史する! Doing history! ●

会期：2016 年 8 月 2 日－31 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：飯山由貴、梅田哲也、大木裕之、酒井咲帆＋ALBUS、坂崎隆一、田代一倫〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

歴史する! Doing history!

福岡市美術館　2017 年 3 月 31 日

正路佐知子：ここからはじめる――「歴史する! Doing history!」

酒井咲帆、田代一倫：〔作家のことば〕

岸政彦、川端浩平、手塚夏子：講演録

大日方欣一、一谷智子：エッセイ

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

福岡アジア美術館

アニメイト。〈日韓現代アートに見るアニメ的なもの〉 ●

欧文タイトル：「Animate。ANIME in Japanese and Korean Contemporary Art」
会期：2005 年 2 月 3 日－3 月 29 日　福岡アジア美術館　主催：福岡アジア美術館／9 月 8 日－10 月 30 日　ソウル・省谷美術館
出品：西山美なコ、会田誠、青木陵子＋伊藤存〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
〇展覧会カタログ
アニメイト。〈日韓現代アートに見るアニメ的なもの〉
ナンジョウアンドアソシエイツ　2005 年 2 月
パク・シンウィ：韓国現代美術における漫画への新しい取組み
北澤ひろみ：Animate。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●
欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」
会期：2012 年 9 月 1 日－10 月 21 日　福岡アジア美術館／11 月 27 日－2013 年 1 月 6 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館／1 月 26 日－3 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館／4 月 13 日－6 月 23 日　津・三重県立美術館
主催：福岡アジア美術館・西日本新聞社・テレビ西日本〔巡回 4-1〕
出品：出光真子、井上廣子、石川真生、町田久美、阪田清子、塩田千春、綿引展子、山城知佳子〔出品アーティスト順〕
〇展覧会カタログ
アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012
福岡アジア美術館・沖縄県立博物館・美術館・栃木県立美術館・三重県立美術館協力会　2012 年 9 月 1 日　英文併載
小勝禮子：アジアの、境界を生きる女たち展――女たちの多声合唱
ラワンチャイクン寿子：女性たちのアジア美術――90 年代を軸に
中尾智路：境界を生きるジレンマを抱えて
小勝禮子、堀川理沙：章解説
小勝禮子、豊見山愛：作家・作品解説
豊見山愛：沖縄の女性アーティスト――日本〈復帰〉を節目に〔エッセイ〕
註：エッセイ、出品記録は日本作家のみ収載。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

北九州市立美術館

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1987 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館公募展示棟／6 月 3 日－14 日　京都市美術館／7 月 1 日－26 日　北九州市立美術館／8 月 1 日－30 日　仙台・宮城県美術館

主催：北九州市教育委員会・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社〔巡回 4-3〕

――→京都市美術館〔巡回 4-2〕

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

会期：1989 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館／6 月 7 日－18 日　京都市美術館／6 月 24 日－7 月 23 日　高松市美術館／7 月 28 日－8 月 15 日　船橋・西武美術館／11 月 4 日－26 日　北九州市立美術館／12 月 16 日－1990 年 1 月 21 日　広島市現代美術館

主催：北九州市立美術館・毎日新聞社〔巡回 6-5〕

――→京都市美術館〔巡回 6-2〕

1st. 北九州ビエンナーレ ●

欧文タイトル：「1st. Kitakyushu Biennale」

会期：1990 年 10 月 18 日－11 月 11 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

出品：青木野枝、荒敦子、福田美蘭、増田聡子、吉澤美香〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

1st. 北九州ビエンナーレ

北九州市立美術館　1990 年 10 月 18 日

山根康愛：ビエンナーレ・過去・今・after one decade

林田直子、黒岩恭介、山根康愛、真武真喜子：〔作家解説〕

荒 敦子：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、国会図

2nd 北九州ビエンナーレ クロノスの仮面 Aspects of Time ●

欧文タイトル：「2nd Kitakyushu Biennale　Masks of Chronos」

会期：1993 年 2 月 20 日－3 月 21 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

出品：白川昌生、西雅秋、柳幸典、ヤノベケンジ〔出品リスト順〕

○展覧カタログ

2nd 北九州ビエンナーレ クロノスの仮面 Aspects of Time

北九州市立美術館　1993 年 3 月 10 日

黒岩恭介：作品の時間について

真武真喜子：クロノスの仮面－アートの時間をめぐって

白川昌生、西雅秋、柳幸典、ヤノベケンジ：〔作家のことば〕

真武真喜子、中島順一、柏木のりこ、前田淳子：〔作家論〕

大久保京、中島順一、柏木のりこ、前田淳子編：〔プロフィル、展覧会歴、文献〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

3rd 北九州ビエンナーレ クイントエッセンス ●

欧文タイトル：「3rd KITAKYUSHU BIENNALE QUINTESSENCE」

会期：1994 年 10 月 15 日－11 月 27 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館
出品：植松奎二、遠藤利克、辰野登恵子、戸谷成雄、長沢秀之、眞板雅文、山本富章〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
3rd 北九州ビエンナーレ クイントエッセンス
北九州市立美術館　1994 年 11 月 10 日　別冊(参考文献 24p.)共
山根康愛：現代美術は“クイントエッセンス”たりうるか
前田淳子、真武真喜子、大久保京、山根康愛、黒岩恭介：〔作家論〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉●
欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」
会期：1995 年 2 月 17 日－3 月 26 日　岐阜県美術館／4 月 15 日－5 月 28 日　広島市現代美術館／8 月 19 日－9 月 24 日　北九州市立美術館／10 月 7 日－12 月 17 日　北浦和・埼玉県立近代美術館
主催：北九州市立美術館・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会〔巡回 4-3〕
――→岐阜県美術館〔巡回 4-1〕

4th 北九州ビエンナーレ〈感覚の庭〉●
欧文タイトル：「4th KITAKYUSHU BIENNALE-Garden of Sences-」
会期：1997 年 3 月 1 日－30 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館
出品：靉嘔、逢坂卓郎、今道子、PH スタジオ、藤本由紀夫、吉水浩〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
4th 北九州ビエンナーレ〈感覚の庭〉
北九州市立美術館　1997 年 3 月 30 日
前田淳子：感覚の庭－作品をとおしてみた「感覚」
前田淳子、花田伸一、大久保京、真武真喜子、黒岩恭介、山根康愛：作家論／展覧会歴・参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

5th 北九州ビエンナーレ 繰り返しと連続性の美学 ●
欧文タイトル：「5th Kitakyushu Biennale　The Aesthetics of Repetition and Continuity」
会期：1999 年 2 月 27 日－3 月 28 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館
出品：桑山忠明、江上計太、世良京子、祐成政徳〔出品目録順〕
○展覧会カタログ
5th 北九州ビエンナーレ 繰り返しと連続性の美学
北九州市立美術館　1999 年 3 月 14 日　主に英文併載
黒岩恭介：繰り返しあるいは連続性の美学
黒岩恭介、花田伸一、前田淳子、真武真喜子：〔作家論〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

6th 北九州ビエンナーレ〈ことのはじまり〉●

欧文タイトル：「The 6th Kitakyushu Biennale　The Beginning of Things」

会期：2001 年 3 月 3 日－25 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

出品：川俣正、中ザワヒデキ、島袋道浩、セカンド・プラネット

○展覧会カタログ

6th 北九州ビエンナーレ〈ことのはじまり〉

北九州市立美術館　2001 年 3 月 31 日　全 162 枚(ケース入)

註：全 162 葉(うち白紙 4 枚)、両面刷。各葉にノンブルが無いため順序が定かでなく目録記載が困難な〈展覧会カタログ〉である。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図

7th 北九州ビエンナーレ ART FOR SALE：アートと経済の恋愛学 ●

欧文タイトル：「7th Kitakyushu Biennale　ART FOR SALE：Intimacy between Aesthetics and Economy」

会期：2002 年 12 月 22 日－2003 年 2 月 2 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

出品：白川昌生、三田村美土里〔光土里〕、会田家(会田誠、岡田裕子)、渡辺郷〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

7th 北九州ビエンナーレ ART FOR SALE：アートと経済の恋愛学

北九州市立美術館　2003 年 3 月 31 日

稲賀繁美：仮(厄／焼く)にたとうが立つまいが

真武真喜子：ART FOR SALE アートと経済の恋愛学

白川昌生、三田村美土里〔光土里〕、会田誠、岡田裕子、渡辺郷：〔作家のことば〕

花田伸一、真武真喜子、山根康愛、阿佐美淑子：〔作家論〕

花田伸一、真武真喜子、山根康愛、阿佐美淑子編：展覧会歴・参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図

アート・オブ・メモリー〈記憶をめぐる 4 つのレシピ〉●

欧文タイトル：「Art of Memory 4 Recipes for Mnemosyne」

会期：2015 年 1 月 4 日－2 月 22 日　北九州市立美術館　主催：アート・オブ・メモリー展実行委員会(北九州市立美術館・毎日新聞社・TVQ 九州放送)

出品：柴川敏之、クワクボリョウタ、北上伸江、plaplax〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

アート・オブ・メモリー〈記憶をめぐる 4 つのレシピ〉

北九州市立美術館　2015 年 1 月 20 日

清田幸枝、河村朱音、小松健一郎：〔章解説、作家論〕

小松健一郎：アート・オブ・メモリー 記憶の術、アートと記憶

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

北九州市立美術館分館

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

会期：2013 年 1 月 12 日－3 月 24 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館／4 月 20 日－6 月 2 日　いわき市立美術館／7 月 13 日－9 月 8 日　富山県立近代美術館／10 月 5 日－11 月 10 日　北九州市立美術館分館／11 月 23 日－2014 年 1 月 26 日　世田谷美術館

主催：北九州市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・TVQ 九州放送〔巡回 5-4〕

――→神奈川県立近代美術館〔巡回 5-1〕

1968 年 激動の時代の芸術 ●

欧文タイトル：「1968：Art in the Turbulent Age」

会期：2018 年 9 月 19 日－11 月 11 日　千葉市美術館／12 月 1 日－2019 年 1 月 27 日　北九州市立美術館分館／2 月 10 日－3 月 24 日　静岡県立美術館

主催：1968 年展実行委員会(北九州市立美術館・読売新聞社・FBS 福岡放送)・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

――→千葉市美術館〔巡回 3-1〕

北九州市立八幡美術館

第 3 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：甲府展；1969 年 9 月 17 日－23 日　山交百貨店 5 階展示場　主催：文化庁・山梨県教育委員会・山梨県芸術祭運営委員会／金沢展；10 月 4 日－12 日　北陸放送会館ホール　主催：文化庁・石川県・石川県教育委員会・金沢市・北国新聞社／九州展；11 月 20 日－12 月 2 日　北九州市立八幡美術館　主催：文化庁・福岡県教育委員会・北九州市教育委員会

出品：日本画；中村貞以、広田多津。洋画；川上尉平、髙田誠、田中阿喜良、吉原英雄。彫刻；峯孝〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買い上げ作品の作家のみ収載。なお、本展は北九州市立八幡美術館〔巡回 3-3〕のみで採録。

〇展覧会カタログ

第 3 回現代美術選抜展

〔文化庁〕 1969 年 9 月

所蔵：□、東近美

北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いのちのたび博物館)

メタルズ!〈変容する金属の美〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 6 月 28 日－8 月 31 日　高岡市美術館／9 月 11 日－10 月 19 日　碧南市藤井達吉現代美術館／11 月 1 日－12 月 23 日　北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いの

ちのたび博物館)／2015 年 1 月 24 日－3 月 8 日　新潟市新津美術館
主催：北九州市立自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)・北九州イノベーションギャラリー(KIGS)・メタルズ!実行委員会・毎日新聞社、共催：NHK プラネット九州〔巡回 4-3〕
――→高岡市美術館〔巡回 4-1〕

田川市美術館

第 28 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：新潟展；1994 年 11 月 18 日－12 月 1 日　長岡市美術センター／福島展；12 月 6 日－18 日　郡山市立美術館／宮城展；12 月 22 日－1995 年 1 月 15 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／宮崎展；1 月 20 日－2 月 5 日　宮崎県総合博物館／福岡展；2 月 9 日－26 日　田川市美術館
主催：文化庁・福岡県教育委員会・田川市美術館〔巡回 5-5〕
――→長岡市美術センター〔巡回 5-1〕

マンドラゴラの実〈現代美術が写す、筑豊〉 ●
欧文タイトル：「“Love Magic？”」
会期：1997 年 10 月 30 日－11 月 24 日　田川市美術館　主催：田川市美術館
出品：スズキヒロシ、母里聖徳、森秀信〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
マンドラゴラの実〈現代美術が写す、筑豊〉
田川市美術館　1997 年 11 月 15 日
佐々木哲哉：筑豊と筑豊人
工藤健志：筑豊／愛することと考えること
工藤健志・梅原哲也編：「筑豊」に関する主要参考文献
スズキヒロシ、母里聖徳、森秀信：作家コメント
工藤健志、原田真紀、熊倉敬聡：作家・作品解説、作品論
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

「沸点」アーティストの反骨精神 ●
欧文タイトル：「FUTTEN」
会期：2016 年 11 月 18 日－12 月 25 日　田川市美術館　主催：田川市美術館・西日本新聞社
出品：阿部直昭、有元利夫、池田龍雄、池田満寿夫、伊藤克広、井上敬一、井上有一、奥山民枝、筧本生、片山雅史、香月泰男、上川伸、上條陽子、黒田征太郎、髙鶴元、駒井哲郎、酒井忠臣、佐藤泰生、セルゲイ草柳、滝純一、滝口文吾、田島征三、千原稔、つかこうへい、寺田和幸、土門拳、中川一政、中村正義、平岡春治、本田光男、松永真、望月菊磨、元村正信、森一浩、八頭司昴、山本作兵衛、吉武研司、吉村芳生〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。
○展覧会カタログ

「沸点」アーティストの反骨精神

西日本新聞社　2016 年 11 月 11 日　田川市美術館開館 25 周年記念

ワシオ・トシヒコ：「沸点」から「沸展」へ

大庭ほなみ、原田歩夢、安蘇龍生、廣畑公紀：作品解説

松永 真：「沸点」展のデザインについて

文川 和：反骨の魂〈沸点に至るまで〉

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

「沸点の現象」アーティストの反骨精神 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2018 年 1 月 7 日－2 月 4 日　田川市美術館　主催：田川市美術館

出品：麻生亜里、有田巧、井口章、岩永敬三、上村隆一、岡田安正、小山文雄、角間貴生、加藤光馬、上木原健二、川口久敏、河原律子、きはらごう、國本悦生、桑野進、小嶋勇、小鶴幸一、近藤えみ、佐々木三多、佐々木俊介、下平武敏、鈴木淳、清忠寿、園田真理子、立元真一郎、田中浩二、竹馬紀美子、塚本猪一郎、徳永隆、西留利義、野見山暁治、野村正則、濱田隆志、日髙実枝、日比野桂子、futaco、前田信幸、正村タカシ、水口政夫、三角兼次、三村亘、村田晴子、森信也、山口千里、山城有未、山田依子、山部善次郎、湯浅義明、横山博之、吉開繁美〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「沸点の現象」アーティストの反骨精神

田川市美術館　2018 年 1 月

平岡春治：「チクホウ」からの発信――共振する「沸点」

大庭ほなみ：本展開催にあたって

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、国会図

佐賀県

唐津市近代図書館

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●

欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」

会期：2006 年 6 月 24 日－7 月 30 日　釧路市立美術館／8 月 8 日－9 月 10 日　唐津市近代図書館／9 月 16 日－10 月 22 日　掛川市二の丸美術館／10 月 28 日－12 月 3 日　尼崎市総合文化センター

主催：唐津市近代図書館〔巡回 4-2〕

――→釧路市立美術館〔巡回 4-1〕

長崎県

長崎県立美術博物館

第 6 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：滋賀展；1972 年 10 月 8 日－22 日　滋賀県立琵琶湖文化館／長崎展；10 月 29 日－11 月 12 日　長崎県立美術博物館／鹿児島展；11 月 19 日－12 月 3 日　鹿児島市立美術館／東京展；12 月 19 日－28 日　銀座・東京セントラル美術館

主催：文化庁・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館〔巡回 4-2〕

――→滋賀県立琵琶湖文化館〔巡回 4-1〕

第 10 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鹿児島展；1976 年 10 月 30 日－11 月 12 日　鹿児島市立美術館／熊本展；11 月 18 日－12 月 1 日　熊本県立美術館／長崎展；12 月 7 日－19 日　長崎県立美術博物館／兵庫展；1977 年 1 月 8 日－21 日　尼崎市総合文化センター

主催：文化庁・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館〔巡回 4-3〕

――→鹿児島市立美術館〔巡回 4-1〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐／広島展；11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館／長崎展；12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館／徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館館／宮城展；1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／秋田展；2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館

主催：文化庁・長崎県・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館〔巡回 6-3〕

――→セラトピア土岐〔巡回 6-1〕

長崎県美術館

「長崎の美術 1 写真／長崎」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 4 月 23 日－6 月 26 日　長崎県美術館　主催：長崎県美術館

出品：上野彦馬、永見徳太郎、山端庸介、奈良原一高、東松照明、雑賀雄二〔図版リスト順〕

註：上野彦馬と永見徳太郎は戦前の作品。

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

「長崎の美術 1 写真／長崎」展図録

長崎県美術館　2005 年 4 月 23 日

伊藤晴子：長崎と写真

越中勇、伊藤晴子：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

デジタル遊園地〈ネットワーキングアートの未来〉●

欧文タイトル：「The Future of Communication」

会期：2006 年 7 月 29 日－9 月 3 日　長崎県美術館　主催：長崎県美術館

出品：ナム＝ジュン・パイク、インゴ・ギュンター、明和電機、河口洋一郎、八谷和彦、宮島達男、西島治樹、岩井俊雄〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

デジタル遊園地〈ネットワーキングアートの未来〉

長崎県美術館　2006 年 7 月　英文併載

伊東順二：芸術から心へ－ネットワーキング・アートの未来

森山朋絵：展覧会ノート：ネットワーキング・アートは成立しているか?

野中 明：作家プロフィール、作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

戦争と平和展〈広島・長崎被爆 70 周年〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 7 月 25 日－9 月 13 日　広島県立美術館／9 月 20 日－10 月 25 日　長崎県美術館

主催：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会〔巡回 2-2〕

──→広島県立美術館〔巡回 2-1〕

熊本県

熊本県立美術館

第 10 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鹿児島展；1976 年 10 月 30 日－11 月 12 日　鹿児島市立美術館／熊本展；11 月 18 日－12 月 1 日　熊本県立美術館／長崎展；12 月 7 日－19 日　長崎県立美術博物館／兵庫展；1977 年 1 月 8 日－21 日　尼崎市総合文化センター

主催：文化庁・熊本県教育委員会・熊本県立美術館〔巡回 4-2〕

──→鹿児島市立美術館〔巡回 4-1〕

熊本の現代作家 9 人展 ●

欧文タイトル：「L'EXPOSITION DES 9 PEINTRES CONTEMPORAINS DE KUMAMOTO」

会期：1977 年 6 月 17 日－7 月 17 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

出品：日本画；堅山南風、真道黎明、川本末雄、浦田正夫。洋画；牛島憲之、田代順七、坂本善三、井手宣通、宮崎精一〔作品目録順〕

○展覧会カタログ

熊本の現代作家 9 人展

熊本県立美術館　1977 年 6 月 17 日

乙葉 統：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、愛芸文

現代のイメージ 平面と空間 ●

欧文タイトル：「IMAGE OF TODAY　PLANE / SPACE / ILLUSION」

会期：1986 年 12 月 6 日－24 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館

出品：阿部守、井川惺亮、岩田恒介、内野博夫、菅章、古澤伸一郎、前田信明〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

現代のイメージ 平面と空間

熊本県立美術館　1986 年 12 月

村上 哲：〔ことば〕

所蔵：□、国新美、和光大

わが国の現代絵画〈前衛への視点から〉 ●

欧文タイトル：「PAINTINGS IN JAPANESE CONTEMPORARY ART from the Viewpoint for 'Avant-garde'」

会期：1987 年 10 月 21 日－11 月 23 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

出品：村井正誠、瑛九、阿部展也、麻生三郎、池田満寿夫、中谷泰、山口長男、岡本太郎、利根山光人、元永定正、今井俊満、斎藤義重、岡田謙三、菅井汲、オノサト・トシノブ、坂本善三、小野木学、田中稔之、高橋秀、草間彌生、加納光於、桑山忠明、楠本正明、近藤竜男、李禹煥、河原温、高松次郎、荒川修作、村上善男、宇佐美圭司、井川惺亮、上田薫〔図版掲収順〕

○展覧会カタログ

わが国の現代絵画〈前衛への視点から〉

熊本県立美術館　1987 年 10 月

村上 哲：「場」としての絵画――現代美術における平面形式

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

現代のイメージ III 構築と解体のヴィジョン ●

欧文タイトル：「IMAGE OF TODAY III : VISION BEYOND CONSTRUCTION FOR DECONSTRUCTION」

会期：1989 年 3 月 1 日－26 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

出品：楠本正明、池邊教、坂口登、岩田恒介、前田信明、菅章、中村一美、古澤伸一郎、小出英夫〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代のイメージ III 構築と解体のヴィジョン

熊本県立美術館　1989 年 3 月

楠本正明、池邊教、坂口登、岩田恒介、前田信明、菅章、中村一美、古澤伸一郎、小出英夫：〔作家のことば〕
村上 哲：〔ことば〕
古澤伸一郎〔ことば〕
所蔵：□、横浜美、和光大

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1989 年 11 月 10 日－26 日　高知県立郷土文化会館／12 月 3 日－24 日　徳島県郷土文化会館／1990 年 1 月 9 日－28 日　宮崎県総合博物館／2 月 3 日－25 日　鹿児島県歴史資料センター黎明館／3 月 4 日－25 日　熊本県立美術館
主催：文化庁・東京国立近代美術館・熊本県教育委員会・熊本県立美術館〔巡回 5-5〕
――→高知県立郷土文化会館〔巡回 5-1〕

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」
会期:1994 年 9 月 27 日－10 月 30 日　熊本県立美術館／1995 年 5 月 31 日－6 月 12 日　大丸ミュージアム･梅田／8 月 12 日－9 月 24 日　郡山市立美術館／10 月 7 日－12 月 3 日　広島市現代美術館
主催：熊本県立美術館・熊本朝日放送・朝日新聞社〔巡回 4-1〕
出品：コレクション テーマ「ヒロシマ」；靉嘔、麻生三郎、一原有徳、上田薫、上野泰郎、大森運夫、奥谷博、絹谷幸二、黒崎彰、國領經郎、佐野ぬい、鴫剛、田渕俊夫、利根山光人、野見山暁治、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男、深沢幸雄、吹田文明、福島瑞穂、松谷武判、松本旻、三尾公三、村井正誠、村上善男、両角修、吉田穂高、池田満寿夫。ヒロシマ――次世代への黙示；荒木高子、工藤哲巳、司修、高松次郎、鯉江良二、宇佐美圭司、河口龍夫、殿敷侃、大竹伸朗〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展カタログ　　朝日新聞社文化企画局大阪企画部編
朝日新聞社　1994 年 9 月
新藤兼人：霊魂よ眠れ
靉嘔、麻生三郎〔2 行〕、一原有徳、上田薫、上野泰郎、大森運夫、奥谷博、絹谷幸二、黒崎彰、國領經郎、佐野ぬい、鴫剛、田渕俊夫、利根山光人、野見山暁治、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男〔1 行〕、深沢幸雄〔3 行〕、吹田文明、福島瑞穂、松谷武判、松本旻、三尾公三、村井正誠、村上善男、両角修、吉田穂高、池田満寿夫〔3 行〕：コメント
小泉晋弥：作品解説
竹澤雄三：コレクション、テーマ「ヒロシマ」について
小泉晋弥：21 世紀への黙示――ヒロシマ
平木 収：原爆写真とは何か――次代の人類のヴィジョンのために

後藤和雄：戦争を風化させないために――フォト CD「ヒロシマ・1945」
小泉晋弥：市民が描いた原爆の絵
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

現代のイメージ IV 空間との対話〈広がりゆく立体造形――実在と不在のはざまで〉●
欧文タイトル：「Image of Today IV　Vision between Space and Existence」
会期：2000 年 1 月 27 日－3 月 3 日　熊本県立美術館・分館　主催：熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社
出品：末田龍介、松尾光伸、竹田康宏、児玉士洋、高濱英俊〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
現代のイメージ IV 空間との対話〈広がりゆく立体造形――実在と不在のはざまで〉
熊本県立美術館　2000 年 1 月
末田龍介、松尾光伸、竹田康宏、児玉士洋、高濱英俊：〔作家のコメント〕
村上 哲：現代のイメージ・回顧と現在
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

現代のイメージ V 絵画の現在進行形〈絵が解き放たれるとき〉●
欧文タイトル：「Image of Today V Painting beyond Formalism for Interactionism」
会期：2001 年 3 月 8 日－4 月 8 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社
出品：中村一美、湯浅龍平、井川惺亮、坂口登、星加民雄、西松幹浩〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
現代のイメージ V 絵画の現在進行形〈絵が解き放たれるとき〉
熊本県立美術館　2001 年 3 月
中村一美、湯浅龍平、井川惺亮、坂口登、星加民雄、西松幹浩：〔作家のコメント〕
村上 哲：絵画についての覚書－フォーマリズムを超えて
所蔵：□、国新美、東近美

熊本市現代美術館

ATTITUDE2002 熊本国際美術展〈心の中の、たったひとつの真実のために〉●
和文タイトル：「アティテュード 2002」
会期：2002 年 10 月 12 日－12 月 8 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、企画：熊本市現代美術館
出品：ジェイムズ・タレル、マリーナ・アブラモヴィッチ、草間彌生、宮島達男、石井裕、クンビョン・ユック、ジュン・グエン・ハツシバ、岡山直之、エネ・リス・ゼンパー、シューミン・リン、吉野辰海、菊畑茂久馬、田中功起、遠藤邦江、大原美子、ピーター・サーキシアン、アンドレアス・グルスキー、スーザン・ヴィクトール、サーニャ・イヴェコヴィッチ、ウインカ・ショーニバーレ、ミロヴァン・マルコヴィッチ、嶋田美子＋BuBu、殿敷侃、

リュドミラ・ゴルロヴァ、ヤノベケンジ、堀浩哉＋Unit00、太郎千恵藏、いつもここから(菊地秀規、山田一成)、藤岡祐機、伊藤隆哉、渡邊義紘、熊本県立熊本養護学校高等部農芸班〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ATTITUDE2002 熊本国際美術展〈心の中の、たったひとつの真実のために〉

熊本市現代美術館　2002 年 10 月 12 日　主に英文併載　開館記念展 Vol.1

田中幸人：熊本市現代美術館開館によせて

南嶌宏：ATTITUDE2002 心の中の、たったひとつの真実のために

ジェイムズ・タレル、マリーナ・アブラモヴィッチ、草間彌生、宮島達男、石井裕、クンビョン・ユック、ジュン・グエン・ハツシバ、岡山直之、エネ・リス・ゼンパー、シューミン・リン「Glass Ceiling」、吉野辰海、菊畑茂久馬、田中功起、大原美子、スーザン・ヴィクトール、ミロヴァン・マルコヴィッチ、嶋田美子、殿敷侃〔1 行〕、リュドミラ・ゴルロヴァ、ヤノベケンジ、堀浩哉＋ユニット 00、太郎千恵藏、菊地秀規、山田一成：〔作家のことば〕

遠藤邦江、藤岡祐機、伊藤隆哉、渡邊義紘、熊本県立熊本養護学校高等部農芸班「花いっぱいやさしさいっぱい」：〔ことば〕

本田代志子、金澤韻、冨澤治子、坂本顕子、藏座江美、山室りさ：作家解説

ボヤーナ・ペイジ：象について

ダニエル・ビルンバウム、サラット・マハラジ：他者の言葉で 対談再録

サラ・ハッサン、イフティカール・ダディ：平和のために：9 月 11 日とそれ以降を考える

アンダ・ロッテンバーグ：芸術家が探求するもの

ジュリアナ・エングバーグ：夜警

リン・ガンパート：ニューヨークから眺め：9 月 11 日を思う

ホー・ハンルー：もう一つの道を選ぶ時

註：「作家のことば」は、小・中学生など作家以外の人たちは割愛した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

「九州力ー世界美術としての九州」展 ●

欧文タイトル：「Kyushu-Ryoku」

会期：2003 年 2 月 15 日－4 月 6 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社

出品：坂本繁二郎、山本作兵衛、中村研一、東郷青児、田代順七、牛島憲之、山口長男、宇治山哲平、千賀友子、瑛九、坂本善三、古沢岩美、井手宣通、織田廣喜、坂田憲雄、三浦洋一、浜田知明、久永強、野見山暁治、田淵安一、マナブ間部、宮崎静夫、池田龍雄、桜井孝身、宮崎準之助、吉村益信、田部光子、春口光義、秀島由己男、菊畑茂久馬、風倉匠、森山裕之、河津紘、野田哲也、立石大河亞、成田克彦、塩田武史、倉重光則、葉祥明、小野田維、名嘉睦稔、小山佐敏、林浩、柳幸典、藤浩志＋mm シスターズ、高嶺格〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の作家を収載。

○展覧会カタログ

「九州力－世界美術としての九州」展

熊本市現代美術館　2003 年 2 月 15 日　開館記念展 Vol.3

田中幸人：「九州力」に向かって

針生一郎：「九州力」はどこにあるのか

金澤韻、山室りさ、本田代志子、冨澤治子、藏座江美、竹田茜、坂本顕子：解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

アルス・クマモトー熊本力の現在 ●

欧文タイトル：「Ars Kumamoto」

会期：2006 年 12 月 23 日－2007 年 3 月 4 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

出品：1 田中春弥、2 田口璋、3 宮崎静夫、4 段村一美、5 江田豊、6 下田悌三郎、7 渕田安子、8 春口光義、9 秀島由己男、10 岩永忠樹、11 二子石義之、12 宮本明、13 鎌田勝美、14 木戸征郎、15 田代晃三、16 大津英敏、17-18 牛島義弘、19 小材啓治、20 瀬川富紀男、21 上村隆一、22 有田巧、23 歳嶋洋一朗、24 石山義秀、25 小山佐敏、26 伊東浩一、27 田中均、28 熊谷有展、29 松崎良太、30 鹿見喜陌、31 中村賢次、32-41 野田哲也、42 浜田知明、43 中嶋一雄、44 市村緑郎、45 石原昌一、46 本田貴侶、47 山本幸一、48 鷹尾俊一、49 竹田康宏、50 勝野眞言、51 高濱英俊、52 水上嘉久、53-58 宮崎珠太郎、59-61 白木光虎、62-66 井上泰秋、67-68 高津明美、69-70 島田清美、71-73 山口耕三、74-76 久保田保義、77-79 小川哲男、80-84 松木良介、85-90 友枝雄策、91-95 岩上孝二、96-99 鶴田一郎、100-104 西村一也、105 花田峰堂、106-108 安永春炎、109-111 兼城昌山、112-114 森山淡草、115-116 吉岡功治、117-121 田中栄一、122-123 長野良市、124 村上タカシ、125 蔵野由紀子、126 小林まみ、127 佐藤和歌子、128 千々岩修、129 二宮弘一、130 野田竜太郎、131 林典子、132 藤田ひろぶみ〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

アルス・クマモトー熊本力の現在

熊本市現代美術館　2006 年 12 月 23 日

南嶌 宏：Ars Kumamoto－熊本力の現在〈美の故郷、熊本の空を見上げて〉

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

ATTITUDE2007 人間の家〈真に歓喜に値するもの〉 ●

欧文タイトル：「ATTITUDE2007 The House of Human Beings Authentically Blessed Jubilance」

会期：2007 年 7 月 21 日－10 月 14 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・RKK 熊本放送

出品：荒木経惟、石田澄男、川島清、木下晋、辻綾子、中山ダイスケ、埴谷雄高、土方巽、やなぎみわ、山田新一、山本糾、ルチェザール・ボヤジェフ、ジュディ・シカゴ&ドナルド・ウッドマン、ヨーク・ガイスマール、ズビグニエフ・リベラ、ボリス・ミハイロフ、ポーンタウィーサック・リムサクン、レオニード・ソコフ、ラーシャ・トドシェヴィッチ、芥正彦、

堀浩哉、極限の美－日本・台湾・韓国のハンセン病療養所入所者の作品、中山節夫、阿部薫、鮎川誠、ハイヤ節、はやぶさプロジェクト〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ATTITUDE2007 人間の家〈真に歓喜に値するもの〉

熊本市現代美術館　2007 年 7 月 21 日

南嶌宏：人間の家－真に歓喜に値するもの

荒木経惟、石田澄男、川島清、木下晋、辻綾子、中山ダイスケ、埴谷雄高、土方巽〔1 行〕、やなぎみわ、山田新一、山本糾、ルチェザール・ボヤジェフ、ジュディ・シカゴ、ヨーク・ガイスマール〔欧文〕、ズビグニエフ・リベラ、ボリス・ミハイロフ、ポーンタウィーサック・リムサクン、レオニード・ソコフ、ラーシャ・トドシェヴィッチ、芥正彦、堀浩哉、中山節夫、鮎川誠、「はやぶさ」プロジェクト参加者：〔作家のことば〕

坂本顕子、冨澤治子、伊豆菜々、藏座江美、芦田彩葵、矢加部咲、本田代志子、小山明日香、竹田茜：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

メモリアーまなざしの軌跡 ●

欧文タイトル：「memoria-casting a gaze」

会期：2008 年 7 月 19 日－10 月 19 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・RKK 熊本放送

出品：アナザーマウンテンマン、レオニード・ソコフ、カンディダ・ヘーファー、チェン・ジエレン、ピーター・ローゼル、イヴォンヌ・リー・シュルツ、千々岩修、須田悦弘、マリエッラ・モスラー〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

メモリアーまなざしの軌跡　カタログ I

熊本市現代美術館　2008 年 7 月 19 日　主に英文併載

本田代志子：メモリアーまなざしの軌跡

伊豆菜々：新興熊本大博覧会

アナザーマウンテンマン、レオニード・ソコフ、カンディダ・ヘーファー、チェン・ジエレン、ピーター・ローゼル、イヴォンヌ・リー・シュルツ、千々岩修、須田悦弘、マリエッラ・モスラー：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

メモリアーまなざしの軌跡　カタログ II

熊本市現代美術館　2008 年 8 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

花・風景 モネと現代日本のアーティストたち〈大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〉 ●

欧文タイトル：「FLOWERS AND LANDSCAPE Claude Monet and Young Japanese Artists：Shinji Ohmaki, Mika Ninagawa, and Satoko Nachi」

会期：2009 年 7 月 4 日－9 月 23 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・KAB 熊本朝日放送

出品：クロード・モネ、石元泰博、大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

花・風景 モネと現代日本のアーティストたち〈大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〉展覧会カタログ I

熊本市現代美術館　2009 年 7 月 4 日

桜井 武：花・風景〈モネと現代日本のアーティストたち〉

大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子：〔作家のことば〕

芦田彩葵、矢加部咲：作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

花・風景 モネと現代日本のアーティストたち〈大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〉展覧会カタログ II

熊本市現代美術館　2009 年 8 月 20 日

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉●

欧文タイトル：「CELEBRATORY TEXTILES FROM EDO TO THE PRESENT DAY」

会期：2010 年 4 月 10 日－6 月 13 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・熊本放送

出品：手塚愛子、齋藤芽生、ひびのこづえ〔出品作品リスト順〕

註：出品作品のうち「江戸の幟旗」「熊本のテキスタイル」は割愛した。

〇展覧会カタログ

祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉展覧会カタログ I

熊本市現代美術館　2010 年 4 月 10 日

桜井 武：祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉

手塚愛子、齋藤芽生、ひびのこづえ：〔作家のことば〕

坂本顕子、矢加部咲：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉展覧会カタログ II

熊本市現代美術館　2010 年 5 月 14 日

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

へるんさんの秘めごと〈小泉八雲生誕 160 年記念・来日 120 年記念〉●

欧文タイトル：「The Secret of Lafcadio Hearn」

会期：2010 年 6 月 26 日－9 月 5 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、TKU テレビ熊本

出品：転調 へるんさんの秘めごと 現代日本のアーティストたち；野村佐紀子、西尾康之、

秀島由己男、亀井徹、松井冬子、鈴木淳。コーダ 終結部；相馬浩一、宮島達男〔出品作品リスト順〕

註：対象外となる「導入 へるんさんの息吹を体感する」、「基調 1 くわいだん へるんさんの時代の日本の闇」、「基調 2 へるんさんの時代のイギリス、アメリカの闇」の出品は割愛した。

〇展覧会カタログ

へるんさんの秘めごと〈小泉八雲生誕 160 年記念・来日 120 年記念〉展覧会カタログ I

熊本市現代美術館　2010 年 6 月 26 日

桜井 武：ごあいさつ

冨澤治子：章解説

冨澤治子、藤本真帆、大岩みゆき：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

〇報告書

へるんさんの秘めごと〈小泉八雲生誕 160 年記念・来日 120 年記念〉展報告書

熊本市現代美術館　2010 年 11 月 22 日

野村佐紀子、西尾康之、秀島由己男、亀井徹、松井冬子、鈴木淳：アーティスト・トーク

記念連続講演会〈載録〉

冨澤治子：小泉八雲と現代日本アーティストに共通する視点について

小泉 凡：小泉八雲を現代に生かす

西川盛雄：ラフカディオ・ハーンのクレオール文化

跡上史郎：小泉八雲のマンガ〈再話する「へるんさん」を再話する〉

大熊敏之：小泉八雲と日本の技芸－富山大学ヘルン文庫を手がかりに

矢加部咲：松井冬子 阿蘇での素描ドキュメント

藤本真帆：鈴木淳 《嫌よ嫌よも好きのうち》、《ちにあしがつかず》の制作について

大岩みゆき：小泉八雲展ガイドブック制作秘話

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

熊本アーティスト・インデックス ●

欧文タイトル：「KUMAMOTO ARTISTS INDEX」

会期：2010 年 7 月 31 日－9 月 12 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団

出品：アートホーリーメン、加藤笑平、櫻井栄一、竹之下亮、ワタリドリ計画〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

熊本アーティスト・インデックス〔展覧会報告書〕

熊本市現代美術館　2010 年 10 月

坂本顕子：〔作家解説〕

所蔵：□、和光大

水・火・大地 創造の源を求めて ●

欧文タイトル：「Water, Fire, and Earth the source of creativity」

会期：2011 年 4 月 9 日－6 月 12 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・テレビ熊本

出品：杉本博司、遠藤利克、千住博、淺井裕介、蔡國強、リチャード・ロング、ディヴィッド・ナッシュ、アンディー・ゴールズワージー〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

水・火・大地 創造の源を求めて カタログ I

熊本市現代美術館　2011 年 4 月 9 日

桜井 武：火・水・大地 創造の源を求めて

桜井武、本田代志子、藤本真帆：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

水・火・大地 創造の源を求めて カタログ II

熊本市現代美術館　2011 年 5 月 20 日

桜井武、本田代志子、藤本真帆：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

「魔法の美術館 みんなで楽しむ光のアート」展 ●

欧文タイトル：「Magic Art Museum：Light Art Is Fun for Everyone」

会期：2013 年 7 月 6 日－9 月 8 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・テレビ熊本

出品：アトリエオモヤ、緒方壽人、児玉幸子、松村誠一郎、的場やすし／徳井太郎、森脇裕之、プラプラックス(近森基／久納鏡子／筧康明／小原藍)、鈴木太朗、宮本和奈、真鍋大度／比嘉了、小松宏誠、クワクボリョウタ、赤川智洋〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

「魔法の美術館 みんなで楽しむ光のアート」展

熊本市現代美術館　2013 年 7 月 6 日

桜井 武：魔法の美術館 みんなで楽しむ光のアート

坂本顕子：編集

所蔵：□、国新美、和光大

STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」 ●

欧文タイトル：「STANCE or DISTANCE?　My Connection with the World」

会期：2015 年 10 月 10 日－12 月 6 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市現代美術館・熊本日日新聞社・KAB 熊本朝日放送

出品：渡邊淳司＋安藤英由樹、石黒浩、藤井直敬＋GRINDER-MAN＋EVALA、林智子、加藤泉、金川晋吾、横溝静、モナ・ハトゥム、小泉明郎、ボリス・ミハイロフ、ミカ・ロッテンバーグ、ズビグニエフ・リベラ、エリザベス・プライス、リー・ブラザーズ、大野智史、藤田桃子、塩保朋子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」

熊本市現代美術館　2015 年 10 月 10 日　主に英文併載　付・別葉 1 枚

芦田彩葵：STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」
渡邊淳司＋安藤英由樹、石黒浩、藤井直敬＋GRINDER-MAN＋EVALA、林智子、加藤泉、金川晋吾、横溝静、モナ・ハトゥム、小泉明郎、ボリス・ミハイロフ、ミカ・ロッテンバーグ、ズビグニエフ・リベラ、エリザベス・プライス、リー・ブラザーズ、大野智史、藤田桃子、塩保朋子：〔作家のことば〕
桜井 武：『STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」』展
芦田彩葵、塚本春菜、岩崎千夏：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美

高橋コレクションの宇宙 ●
欧文タイトル：「The Cosmos of the Takahashi Collection」
会期：2017 年 4 月 8 日－6 月 11 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市現代美術館・熊本日日新聞社・熊本朝日放送
出品：会田誠、青山悟、淺井裕介、荒木経惟、石田尚志、梅津庸一、小沢剛、落合多武、加藤泉、金氏徹平、清川あさみ、草間彌生、鴻池朋子、小林孝亘、坂本夏子、坂本夏子&梅津庸一、さわひらき、志賀理江子、鈴木ヒラク、高木正勝、田口和奈、束芋、チームラボ、天明屋尚、内藤礼、奈良美智、名和晃平、西尾康之、蜷川実花、畠山直哉、町田久美、Mr.、宮永愛子、村上隆、森山大道、山口晃〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
高橋コレクションの宇宙
熊本市現代美術館　2017 年 3 月 31 日
高橋龍太郎インタビュー：誰のためでもないがゆえに誰のためでもあるコレクション
桜井 武：「高橋コレクションの宇宙」展――マインドフルネスと現代美術
藤田直哉編：ブックリスト 複数の、構築され、流動する「日本」イメージ
池澤茉莉：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、国会図

大分県

大分県立芸術会館

第 12 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：福井展；1978 年 10 月 22 日－11 月 5 日　福井県立美術館／大分展；11 月 21 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館／兵庫展；12 月 9 日－22 日　尼崎市総合文化センター 美術ホール／千葉展；1979 年 1 月 9 日－21 日　千葉県立美術館
主催：文化庁・大分県・大分県教育委員会・大分県立芸術会館〔巡回 4-2〕
――→福井県立美術館〔巡回 4-1〕

手で見る美術展 ●

欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」
会期：1989 年 11 月 14 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館　主催：大分県・大分県教育委員会・大分県立芸術会館・西武美術館・大分合同新聞社、企画協力：社会福祉法人桜雲会
出品：秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥〔作品リスト順〕
〇展覧会カタログ
手で見る美術展
西武美術館・大分県立芸術会館　1989 年 11 月
中村雄二郎：触覚について――断章用に
秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、愛芸文、京都学

大分県立美術館

生への言祝ぎ〈インスタレーション、十二の柱＋出会いのパフォーマンス〉●
欧文タイトル：「Auspicious Celebration of Lives　Installation of 12 Pillars＋Performances of Encounters」
会期：2016 年 6 月 11 日－7 月 18 日　大分県立美術館　主催：生への言祝ぎ展実行委員会・大分県立美術館・大分県芸術文化スポーツ振興財団
出品：青木野枝、さかぎしよしおう、戸田裕介、戸谷成雄、中村洋子、樋口健彦、藤本由紀夫、真島直子、増田洋美、村元崇洋、吉雄介、留守玲、スティーブン・コーヘン、トネ・フィンク、マリアンネ・グレーバー〔図版収載順〕
〇展覧会カタログ
生への言祝ぎ〈インスタレーション、十二の柱＋出会いのパフォーマンス〉
生への言祝ぎ展実行委員会　2016 年 6 月
新見隆：大分の独創性へ、大分のクリエイティヴな生き方へ、その未来への、芳しき贈り物。〈「生への言祝ぎ」、十二の柱「かたち」、四つのパフォーマンス「からだ」に寄せて〉
青木野枝、さかぎしよしおう、戸田裕介、戸谷成雄、中村洋子、樋口健彦、藤本由紀夫、真島直子、増田洋美、村元崇洋、吉雄介、留守玲、スティーブン・コーヘン、トネ・フィンク、マリアンネ・グレーバー：〔作家のことば〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸

文、国会図

大分市美術館

大分現代美術展 2002 アート循環系サイト ●

欧文タイトル：「Cyclical Art Site Contemporary Art Exhibition in Oita 2002」

会期：2002 年 5 月 25 日－7 月 14 日　大分市美術館　主催：大分市美術館

出品：岩井俊雄、大岩オスカール幸男、大久保英治、岡崎乾二郎、折元立身、郭徳俊、河口龍夫、剣持和夫、剣持啓子、斎藤美奈子、佐藤時啓、諏訪眞理子、太郎千恵藏、中村政人、原口典之、前田一澄、村井進吾、村岡三郎〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

大分現代美術展 2002 アート循環系サイトカタログ

大分市美術館　2002 年 5 月

満生和昭：ごあいさつ

菅 章：都市の記憶装置としてのアート・サイト

長田弘通、野田菜生子、大野陽子、岡村暢哉、菅章、岩尾徳信、大戸隆明、藤澤祐司：〔ゾーン解説〕

長田弘通、大野陽子、菅章、野田菜生子、野原えり、大神健二、岩尾徳信、岡村暢哉、藤澤祐司：〔作家解説〕

大久保英治：〔作家のことば〕

長田弘通、大野陽子：Work shop Report

野田菜生子：Performance Report

島岡成治：大分の都市の記憶－その歴史の痕跡

浅田彰(司会)・菅章・太郎千恵藏・岡崎乾二郎・中谷礼仁：シンポジウム 世界文化と地域性

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大、国会図、都中図

戦後大分の美術Ⅰ スバル〈一断面〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 2 月 8 日－3 月 23 日　大分市美術館　主催：大分市美術館

出品：廣瀬通秀、油野誠一、菅久、菅玲子、江藤明、神田千里、矢岡勲〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

戦後大分の美術Ⅰ スバル〈一断面〉展

大分市美術館　2003 年 2 月

満生和昭：スバル会の意義について

菅 章：スバル一断面試論〈戦後美術におけるスバルの布置〉

狭間 久：大分の美術とスバル〈意気盛んな青春時代〉

廣瀬通秀：スバル会創立の頃

江藤 明：回想〈ネギ・スバル、そして県美展〉

菅 久：スバルと人

大神健二：〔解説〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大、国会図

戦後大分の美術 II 大分前衛美術会／7 人の会〈その軌跡をたどって〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 9 月 21 日－11 月 7 日　大分市美術館　主催：大分市美術館

出品：三浦勉、岩尾秀樹、安藤真、江藤明、脇正人、神田千里、井上佐之助、十時良、二宮秀夫、廣瀬通秀、渡辺恭英、新名隆男、飯尾寿夫、西村駿一、児玉成弘〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

戦後大分の美術 II 大分前衛美術会／7 人の会〈その軌跡をたどって〉

大分市美術館　2005 年 9 月

脇 正人：前衛・7 人の会の思い出

児玉成弘：「7 人の会」作家群像

菅 章：アヴァンギャルドの輝きとその終焉〈「大分前衛美術会」／「7 人の会」をめぐって〉

大神健二：解説

所蔵：□、国新美

宮崎県

宮崎県総合博物館

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1975 年 9 月 24 日－10 月 7 日　いわき市文化センター／宮崎展；10 月 21 日－11 月 4 日　宮崎県総合博物館／奈良展；11 月 15 日－30 日　奈良県立美術館／神奈川展；12 月 7 日－21 日　神奈川県立県民ホールギャラリー

主催：文化庁・宮崎県県教育委員会・宮崎県総合博物館〔巡回 4-2〕

――→いわき市文化センター〔巡回 4-1〕

瑛九とその周辺 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 6 月 14 日－8 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／9 月 6 日－28 日　宮崎県総合博物館／10 月 4 日－10 月 27 日　和歌山県立近代美術館

主催：宮崎県総合博物館・宮崎市・宮崎県教育委員会・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

――→埼玉県立近代美術館〔巡回 3-1〕

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 11 月 10 日－26 日　高知県立郷土文化会館／12 月 3 日－24 日　徳島県郷土

文化会館／1990 年 1 月 9 日－28 日　宮崎県総合博物館／2 月 3 日－25 日　鹿児島県歴史資料センター黎明館／3 月 4 日－25 日　熊本県立美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県総合博物館〔巡回 5-3〕

――→高知県立郷土文化会館〔巡回 5-1〕

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：新潟展；1994 年 11 月 18 日－12 月 1 日　長岡市美術センター／福島展；12 月 6 日－18 日　郡山市立美術館／宮城展；12 月 22 日－1995 年 1 月 15 日　気仙沼・リアス・アーク美術館／宮崎展；1 月 20 日－2 月 5 日　宮崎県総合博物館／福岡展；2 月 9 日－26 日　田川市美術館

主催：文化庁・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県総合博物館〔巡回 5-4〕

――→長岡市美術センター〔巡回 5-1〕

宮崎県立美術館

ふれあい彫刻展 ●

欧文タイトル：「Exhibition of ART　Touch-me」

会期：1997 年 4 月 26 日－5 月 25 日　宮崎県立美術館　主催：宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県立美術館

出品：佐藤忠良、高田博厚、柳原義達、三木俊治、清水良治、平原孝明、阿南典子、笹山幸徳、長友理一郎、満木政一、黒木亮、鈴木律子、黒木郁子、長友明子、藤本恵三、山田忠範、田中等、佐藤弘徳、鬼塚良昭、八木常憲、上別府志郎、若杉早苗、中井保博、奥村羊一、田中毅、鈴木恂、山口牧生、木村賢太郎、藤田昭子、井沢大也、江口週、植木茂、平川滋子、佐々木敏雄、中島修、吾妻兼治郎、清水九兵衛、増田感、本田明、堀内正和、海老塚耕一、流政之、橋本真之、全国盲学校の生徒作品〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

ふれあい彫刻展

宮崎県立美術館　1997 年 4 月

マーカス・ワイセン：みんなのための美術館

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美

「デモクラート 1951～1957 解放された戦後美術」展 ●

欧文タイトル：「DEMOKRATO 1951-1957　The Liberation of Art in Postwar Japan」

会期：1999 年 5 月 2 日－30 日　宮崎県立美術館／1999 年 6 月 8 日－7 月 11 日　和歌山県立近代美術館／1999 年 8 月 21 日－10 月 11 日　埼玉県立近代美術館

主催：宮崎県立美術館・宮崎県・宮崎県教育委員会・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

出品：瑛九、泉茂、加藤正、早川良雄、内田耕平、吉田利次、郡司盛男、棚橋紫水、山城隆

一、幹英生、河野徹、細江英公、靉嘔、利根山光人、河原温、岩宮武二、古家玲子、津志本貞、内間俊子、織田繁、オノサト・トモコ、杉村恒、北川民次、吉原英雄、磯辺行久、高井義博、鶴岡弘康、井山忠行、池田満寿夫、船井裕、山中嘉一、春口光義、内海柳子、森啓、森泰〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

「デモクラート 1951～1957 解放された戦後美術」展

デモクラート展実施委員会　1999 年 5 月

福島辰夫：私のデモクラート、瑛九のデモクラート

高橋 亨：デモクラートとその時代〈関西の動向を中心に〉

正木 基：デモクラート美術家協会総論―文献切り貼りによる私見

大久保靜雄・高野明広・安來正博・小林未央子編：デモクラート美術家協会年表

早川良雄・加藤正・靉嘔・福島辰夫・吉原英雄・細江英公・大久保靜雄：デモクラート展記念座談会

岡塚章子：瑛九と写真

安來正博：泉茂宛書簡

安來正博：関西デモクラートの 7 年〈結成から解散までの経緯〉

靉嘔、磯辺行久、井山忠行、内海柳子、加藤正、春口光義、早川良雄、古家玲子、松尾明美、幹英生、山中嘉一、吉田利次、吉原英雄：「デモクラートと私」

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

都城市立美術館

MESSAGE'97〈南九州の現代作家たち〉●

欧文タイトル：「MESSAGE '97　Southern Kyushu Contemporary Artists」

会期：1997 年 2 月 21 日－3 月 16 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館

出品：内倉ひとみ、久保俊郎、通畠義信、萩原貞行、藤浩志、文田牧人、保田井智之、又木啓子、光野浩一、吉川陽一郎〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

MESSAGE'97〈南九州の現代作家たち〉

都城市立美術館　1997 年 2 月 21 日

黒田雷児：非同盟の同盟〈「現代美術」の廃虚から〉

内倉ひとみ、久保俊郎、通畠義信、萩原貞行、藤浩志、文田牧人、保田井智之、又木啓子、光野浩一、吉川陽一郎：〔作家のことば〕

原田正俊：10 人の視線と、南九州と

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

MESSAGE'97〈南九州の現代作家たち〉ドキュメント

都城市立美術館　1997 年 4 月 25 日

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、写真美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

MESSAGE2007 南九州の現代作家たちメッセージ 2007 ●

欧文タイトル:「MESSAGE2007　Southern Kyushu Contemporary Artists message 2007」

会期：2007 年 1 月 19 日－3 月 11 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館・BTV 都城ケーブルテレビ

出品：赤塚祐二、阿部健二、壱岐紀仁、河口洋一郎、倉山裕昭、黒木周、児玉幸子、高嶺格、矢野静明〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

MESSAGE2007 南九州の現代作家たちメッセージ 2007

都城市立美術館　2007 年〔3〕月　開館 25 周年特別企画展　付・CD-ROM

石川千佳子：宮崎の現代美術 120 ヶ月〈メッセージ'07 までのインターバル〉

宮園広幸：かごしまの行方と現代美術

赤塚祐二、阿部健二、壱岐紀仁、河口洋一郎、倉山裕昭、黒木周、児玉幸子、高嶺格、矢野静明：〔作家のことば〕

原田正俊：美術の裂罅水をさがして

原田正俊、長友実希子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

セザンヌ・ピカソから現代まで 国立国際美術館(大阪)の名作 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：新しい美術の系譜；2010 年 8 月 5 日－10 月 3 日　仙台・宮城県美術館／10 月 16 日－12 月 5 日　都城市立美術館

主催：都城市立美術館・国立国際美術館〔巡回 2-2〕

――→宮城県美術館〔巡回 2-1〕

メッセージ 2017「南九州の現代作家たち」●

欧文タイトル：「MESSAGE 2017 Contemporary Artists of South Kyushu」

会期：2017 年 10 月 21 日－12 月 3 日　都城市立美術館・その他サテライト会場　主催：都城市立美術館・BTV・都城市立美術館特別展実行委員会

出品：平川渚、芳木麻里絵、今和泉隆行、島嵜清史、宮田君平、早川直己、戸高千世子、小山田徹、姫田真武〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

メッセージ 2017「南九州の現代作家たち」

都城市立美術館　2017 年 10 月

本江邦夫：MESSAGE 2017－真摯さについて

平川渚、芳木麻里絵、今和泉隆行、島嵜清史、宮田君平、早川直己、戸高千世子、小山田徹、姫田真武：〔作家のことば〕

原田正俊：「97-07-17」繋がりと浸透

原田正俊、亀元佐恵：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、国会図

鹿児島県

鹿児島県歴史資料センター黎明館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 11 月 10 日－26 日　高知県立郷土文化会館／12 月 3 日－24 日　徳島県郷土文化会館／1990 年 1 月 9 日－28 日　宮崎県総合博物館／2 月 3 日－25 日　鹿児島県歴史資料センター黎明館／3 月 4 日－25 日　熊本県立美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・鹿児島県教育委員会・鹿児島県歴史資料センター黎明館〔巡回 5-4〕

――→高知県立郷土文化会館〔巡回 5-1〕

鹿児島県霧島アートの森

「パフォーミング・アートの世界」展〈多様化した現代美術の表現〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 10 月 9 日－31 日　鹿児島県霧島アートの森　主催：鹿児島県文化振興財団

出品：参加アーティスト；東京モダンアート娘、グルテン・スメリー、KATHY

○展覧会カタログ

「パフォーミング・アートの世界」展〈多様化した現代美術の表現〉開催記録

鹿児島県霧島アートの森　2005 年 2 月

林 耕二：編集

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション ●

欧文タイトル：「neoteny japan　CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S――FROM TAKAHASHI COLLECTION」

会期：2008 年 7 月 18 日－9 月 15 日　鹿児島県霧島アートの森／11 月 22 日－2009 年 1 月 25 日　札幌芸術の森美術館／5 月 20 日－7 月 15 日　上野の森美術館

主催：財団法人日本美術協会・上野の森美術館・産経新聞社〔巡回 3-1〕

出品：会田誠、青山悟、秋山さやか、池田学、池田光弘、伊藤存、小川信治、小沢剛、小谷元彦、加藤泉、加藤美佳、工藤麻紀子、鴻池朋子、小林孝亘、佐伯洋江、さわひらき、須田悦弘、高嶺格、束芋、千葉正也、できやよい、照屋勇賢、天明屋尚、奈良美智、名和晃平、西尾康之、町田久美、Mr.、三宅信太郎、村上隆、村瀬恭子、村山留里子、山口晃〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション

美術出版社　2008 年 9 月 20 日

高橋龍太郎：ネオテニー・ジャパンとは?
高橋龍太郎：展覧会出品作品 独白
斎藤環、椹木野衣、潘廣宜：コラム
岡里崇、内田真由美、坂元暁美、今井里江子、児島やよい：出品作家解説
児島やよい：高橋コレクションにみる 90 年代以降のジャパン・アート
高橋龍太郎 VS 山下裕二：対談 小児的な全能感がアートの世界を全部支えている!
辛酸なめ子 文・絵：どうしてお医者さんはアートを買いたくなるのか
内田真由美：ひとりのコレクターの意志――高橋コレクション
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

高橋コレクション――マインドフルネス! ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION　Mindfulness!」
会期：2013 年 7 月 12 日－9 月 1 日　鹿児島県霧島アートの森／9 月 14 日－11 月 24 日　札幌芸術の森美術館
主催：鹿児島県・鹿児島県文化振興財団霧島アートの森・南日本新聞社・KTS 鹿児島テレビ〔巡回 2-1〕
出品：会田誠、荒木経惟、安藤正子、大岩オスカール、大野智史、落合多武、ob、樫木知子、川島秀明、草間彌生、熊澤未来子、小出ナオキ、鴻池朋子、小西紀行、小林正人、近藤亜樹、坂本夏子、佐藤允、塩田千春、塩保朋子、菅木志雄、鈴木ヒラク、辰野登恵子、Chim↑Pom、名知聡子、奈良美智、橋爪彩、畠山直哉、平野薫、福井篤、藤田桃子、舟越桂、松井えり菜、宮島達男、村上隆、森村泰昌、森山大道、ヤノベケンジ、横尾忠則、李禹煥〔出品作品リスト順〕
○展覧会カタログ
高橋コレクション――マインドフルネス!
美術出版社　2013 年 7 月 12 日
高橋龍太郎：「高橋コレクション展 マインドフルネス!」に寄せて
内田真由美：高橋コレクションの軌跡――「ネオテニー・ジャパン」から「マインドフルネス!」へ
内田真由美、児島やよい、岩﨑直人、上木原堅一、植松篤：作家解説
会田誠×高橋龍太郎：対談
児島やよい：マインドフルネス!な作家たち――今、ひらかれた展覧会のために
エレーヌ・ケルマシュター：情熱を共有する
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、愛芸文、国会図

鹿児島市立美術館

第 6 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：滋賀展；1972 年 10 月 8 日－22 日　滋賀県立琵琶湖文化館／長崎展；10 月 29 日－

11 月 12 日　長崎県立美術博物館／鹿児島展；11 月 19 日－12 月 3 日　鹿児島市立美術館／東京展；12 月 19 日－28 日　銀座・東京セントラル美術館

主催：文化庁・鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会〔巡回 4-3〕

――→滋賀県立琵琶湖文化館〔巡回 4-1〕

第 10 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鹿児島展；1976 年 10 月 30 日－11 月 12 日　鹿児島市立美術館／熊本展；11 月 18 日－12 月 1 日　熊本県立美術館／長崎展；12 月 7 日－19 日　長崎県立美術博物館／兵庫展；1977 年 1 月 8 日－21 日　尼崎市総合文化センター

主催：文化庁・鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会〔巡回 4-1〕

出品：日本画；石川義、川﨑鈴彦。洋画；高田保雄、渡辺武夫。版画；関野準一郎。彫刻；伊東傀、野水信〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 10 回現代美術選抜展図録

〔文化庁〕　1976 年 10 月

所蔵：□、東文研、横浜美

アート!新スタイル〈かごしまの作家、かかわりの世界観〉 ●

欧文タイトル：「NEW STYLE of ART 2001」

会期：2001 年 10 月 5 日－11 月 11 日　鹿児島市立美術館　主催：鹿児島市・鹿児島市教育委員会・鹿児島市立美術館・南日本新聞社・MBC 南日本放送

出品：藤浩志、文田聖二、河口洋一郎、内倉ひとみ、竹之内直記、川路益右、徳永隆〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

アート!新スタイル〈かごしまの作家、かかわりの世界観〉

アート!新スタイル展実行委員会　2001 年 10 月 5 日　特別企画展

南條史生：現代美術の最前線

丸田めぐみ：「かかわり」をめぐって

丸田めぐみ、山西健夫：作家解説

〔上村洋子〕：作家年譜・参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

アート!新スタイル〈かごしまの作家、かかわりの世界観〉展示記録

アート!新スタイル展実行委員会　2001 年 10 月 31 日　全 20 ページ

藤浩志、文田聖二、河口洋一郎、内倉ひとみ、竹之内直記、川路益右、徳永隆：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館　／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館

主催：鹿児島市立美術館〔巡回 9-3〕

――→水戸芸術館現代美術ギャラリー〔巡回 9-1〕

絵画の現在〈活躍する鹿児島の画家たち〉●

欧文タイトル：「THE PRESENT OF PAINTING」

会期：2007 年 10 月 4 日－11 月 4 日　鹿児島市立美術館　主催：鹿児島市・鹿児島市教育委員会・鹿児島市立美術館・南日本新聞社・MBC 南日本放送

出品：森一浩、福満正志郎、松尾直樹、赤塚祐二、文田牧人、是枝開〔作品一覧順〕

○展覧会カタログ

絵画の現在〈活躍する鹿児島の画家たち〉

鹿児島市立美術館　2007 年 9 月

谷口雄三：絵画の過去

森一浩、福満正志郎、松尾直樹、赤塚祐二、文田牧人、是枝開：コメント

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、国会図

沖縄県

沖縄県立博物館・美術館

移動と表現〈変容する身体・言語・文化〉●

欧文タイトル：「Migration & Expression」

会期：2009 年 1 月 31 日－3 月 29 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館

出品：玉那覇正吉、安次嶺金正、安谷屋正義、屋宜盛功、フリオ・ゴヤ、エリカ・ナカソネ、アンドレス・オンナ、ラウル・クルス・ガベ、シンティア・ダニラ・ヨナシロ／ガストン・オマル・メンドーザ、エドワルド・トケシ、アロルド・ヒガ、カズミ・アデマール・シマブクロ、マルシオ・シマブクロ、宮城与徳、小橋川秀男、内間安瑆、比嘉良治、小谷節也、チャールズ・ヒガ、トシコ・タカエズ、市村しげの、謝敷宏、柳幸典、河原温、照屋勇賢、キドラット・タヒミック、トリン・T・ミンハ、鄒素芬〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

移動と表現〈変容する身体・言語・文化〉

沖縄文化の杜　2009 年 1 月　開館 1 周年記念展覧会

翁長直樹：はじめに

第 1 章／占領と移動 ニシムイ美術村

翁長直樹：占領と文化
ジェーン・デュレイ：生きるために描く
スタンレー・スタインバーグ：思い出のニシムイ
土江真樹子：北森(ニシムイ、1948-1950)へ向かって
翁長直樹：作品・作家解説
第 2 章／移民・異郷・境界
比嘉良治：移動と表現－北米に関して
リナ・ガベ：沖縄 アルゼンチン：ある円環
翁長直樹、渡辺真也：作品・作家解説
第 3 章／移動する現在
与儀武秀：東アジア、沖縄の表現の可能性
大城仁美：「アート×□＝∞」－新しい価値を探って
翁長直樹、渡辺真也、大城仁美：作品・作家解説
渡辺真也：Searching for Unforeseen Others
資料編
仲程香野編：作家略歴
大城仁美・仲程香野編：作品リスト
上間常道編：沖縄移民・移住史年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、和光大

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」
会期：2012 年 9 月 1 日－10 月 21 日　福岡アジア美術館／11 月 27 日－2013 年 1 月 6 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館／1 月 26 日－3 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館／4 月 13 日－6 月 23 日　津・三重県立美術館
主催：沖縄県立博物館・美術館〔巡回 4-2〕
――→福岡アジア美術館〔巡回 4-1〕

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉●

欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」
会期：2014 年 5 月 31 日－8 月 31 日　六本木・森美術館／11 月 8 日－12 月 23 日　名古屋市美術館／2015 年 1 月 16 日－3 月 15 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館／4 月 5 日－6 月 7 日　高知県立美術館
主催：沖縄県立博物館・美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会〔巡回 4-3〕
――→森美術館〔巡回 4-1〕

邂逅の海〈交差するリアリズム〉●

欧文タイトル：「A Reunion with the Sea：Realism as Modern Asian Thought.」
会期：2017 年 12 月 19 日－2018 年 2 月 4 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館
出品：多田弘、山城えりか、儀保克幸、水谷篤司、波多野泉、夏愛華、前田比呂也、平良優

季、仲里安広、金城満、我喜屋位瑳務、喜舎場盛也、金城徹、仲宗根香織、親川哲、阪田清子、山城知佳子、根間智子、鷹野隆大、高嶺剛、安谷屋正義、松本力、嘉手苅志朗、照屋勇賢、ジュン・グエン＝ハツシバ、袁廣鳴、石田尚志〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

邂逅の海〈交差するリアリズム〉

沖縄県立博物館・美術館　2018 年 1 月 19 日　開館 10 周年記念展

池原盛浩：美術館開館 10 周年記念展「邂逅の海 交差するリアリズム」

玉那覇英人：沖縄の美術の「いま」と「これから」のために

多田弘、山城えりか、儀保克幸、水谷篤司、波多野泉、夏愛華、前田比呂也、平良優季、仲里安広、金城満、我喜屋位瑳務、金城徹、仲宗根香織、松本力、嘉手苅志朗、照屋勇賢、ジュン・グエン＝ハツシバ、袁廣鳴、石田尚志：〔作家のことば〕

梶原正史、大城さゆり、玉那覇英人、豊見山愛、島筒格、謝花聡恵：〔作品解説〕

町田恵美編：Las barcas〔作家略歴〕

翁長直樹・前田比呂也・池原盛浩：鼎談 展示で何を伝えて来たのか、そして今後何を目指していくべきか

上原誠勇：「邂逅の海」へ船を出そう

町田恵美：隔たりにおけるつながり

岡田有美子：寄せては返す、往復書簡としての las barcas

大田和人：国際交流・沖縄と台湾

水谷篤司：沖縄、台湾との芸術交流について

岡本由希子・町田恵美編：参考文献

大城さゆり、大西弘美、玉那覇英人：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、国会図、都中図

涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展 ●

欧文タイトル：「The Echoes from the Abyss：The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition」

会期:2017 年 11 月 3 日－12 月 24 日　足利市立美術館／2018 年 4 月 27 日－6 月 24 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館／8 月 11 日－9 月 24 日　渋谷区立松濤美術館

主催：沖縄県立博物館・美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

――→足利市立美術館〔巡回 3-1〕

那覇市民ギャラリー

戦後 50 年 1945－1995 沖縄の美術 ●

欧文タイトル：「THE FINE ARTS OF OKINAWA」

会期：1995 年 10 月 17 日－11 月 5 日　那覇市民ギャラリー　主催：那覇市

出品：大嶺政寛、南風原朝光、名渡山愛順、玉那覇正吉、島田寛平、謝花寛烝、金城正栄、山里将聖、金城南海、柳光観、親泊英繁、屋部憲、山田真山、仲里勇、慶田喜一、古波蔵誠仁、富川盛智、久場とよ、大城精徳、大城宏捷、池原喜久雄、石嶺伝郎、高江洲盛一、嘉数能愛、喜村朝貞、宮平清一、當間幸雄、深見桂子、大城栄誠、保志門幸子、山元恵一、末吉

安久、安次嶺金正、安元賢治、安谷屋正義、神山泰治、岸本一夫、宮城健盛、永山信春、大城皓也、名渡山愛擴、新川唯盛、平野長伴、宮良薫、山里昌弘、城間喜宏、安次富長昭、治谷文夫、渡慶次真由、浦添健、森田永吉、永丘智行、津山彬、安仁屋政栄、大村徳恵、具志堅誓謹、榎本正治、普天間敏、喜久村徳男、稲嶺成祚、比嘉良治、山里永吉、浦崎永錫、金城俊、大嶺政敏、喜友名朝紀、大浜英治、比嘉武史、ウエチヒロ、山元文子、兼城賢章、大城一夫、石垣博孝、大見謝文、与儀達治、儀間朝健、大嶺信一、米須敏三郎、小橋川肇、金城規克、和字慶朝健、下地寛清、砂川喜代、赤嶺正則、具志堅聖児、新城剛、真喜志勉、新垣安雄、新里紹光、翁長自修、平良晃、宮城孝也、佐久間盛義、宮城篤正、鎮西公子、仲嶺康輝、読谷山朝典、與那覇朝大、金城進、川平恵造、山之端一博、与久田健一、翠宮城セツ、金城安太郎、知名久夫、宮良瑛子、比嘉良二、宇根悦子、儀間比呂志、奥原崇典、伊江隆人、仲元清輝、当山進、宮良貴子、下地明増、屋良朝春、新城征孝、浦崎彦志、玉城栄一、新垣正一、大江幸子、中島イソ子、前田比呂也、照屋万里、宮城千鶴子、桑江良健、屋冨祖盛美、仲松清隆、島袋喜代子、金城満、山城見信、山内盛博、喜久村宏、宮城明、新垣安之輔、屋良朝彦、山田武、宮里顯、高島彦志、砂川則男、瑞慶山昇、しろませいゆう、知念秀幸、玉城美智子、比嘉正彦、佐久本伸光、奥本静江、比嘉良徳、幸地学、大城讓、叶ひでき、宮里昌健、宮城和邦、阿波連永子、池宮城友子、新城喜一、田中興八、上間尚子、大浜佳津子、大久保彰、喜舎場正一、渡名喜元俊、宮城保武、ウルカトム、永津禎三、又吉邦華、西村立子、平野智子、大城久美子、松本幸昌、名嘉睦稔、吉永ます子、具志恒勇、伊智稔〔イチ・ミノル〕、知花均、花城勉、志喜屋徹〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

戦後 50 年 1945－1995 沖縄の美術　　那覇市文化局文化振興室編

那覇市　1995 年 10 月 17 日

親泊康晴：心をふるいたたせた作品との再会

安次富長昭：新しい創造をめざして

星 雅彦：沖縄戦後美術の軌跡

所蔵：□、東近美、和光大

浦添市美術館

第 23 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1989 年 11 月 16 日－12 月 3 日　藤沢市民ギャラリー／岡山展；12 月 8 日－24 日　岡山県立美術館／愛知展；1990 年 1 月 6 日－21 日　豊橋市美術博物館／沖縄展；2 月 1 日－25 日　浦添市美術館

主催：文化庁・沖縄県・沖縄県教育委員会・浦添市美術館〔巡回 4-4〕

――→藤沢市民ギャラリー〔巡回 4-1〕

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 1・モダニズムの系譜 ●

欧文タイトル：「Exhibition of Contemporary Okinawan Artists　Projects Commemorating the 50th Anniversary of the End of Pacific War and the Battle of Okinawa」

会期：1995 年 8 月 2 日－27 日　浦添市美術館、浦添市民会館　主催：沖縄県、共催：浦添市美術館・浦添市教育委員会・沖縄タイムス社・沖縄県文化振興会・沖縄県文化協会

出品：青山映二、朝内信二郎、安次富長昭、安次嶺金正、安谷屋正義、安谷屋美佐子、新垣安雄、伊江隆人、石嶺伝郎、稲嶺成祚、上江洲由郎、ウエチヒロ、上原一明、浦本寛史、大城皓也、大浜英治、大浜用光、大嶺實清、大嶺信一、奥田実、翁長自修、勝連竜子、上條文穂、川平恵造、喜久村徳男、儀保克幸、金城馨、金城規克、金城満、幸地学、志喜屋徹、下地寛清、城間喜宏、新里義和、新城剛、砂川喜代、玉城哲人、玉那覇正吉、知念良智、知花均、当山進、渡慶次真由、渡名喜元俊、仲里安広、永津禎三、仲松清隆、仲間伸恵、長嶺斉、仲本賢、永山信春、西村貞雄、花城勉、治谷文夫、比嘉武史、普天間敏、前田比呂也、真喜志勉、丸山映、宮城明、宮城健盛、屋富祖盛美、山内盛博、山城見信、山元恵一、屋良朝彦、与儀達治、与久田健一、能山宗忠、和宇慶朝健〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 1・モダニズムの系譜

沖縄県　1995 年 8 月　太平洋戦争・沖縄線終結 50 周年事業

城間喜宏：「沖縄戦後美術の流れ」その意義

稲嶺成祚：序章

山田高男：戦後復興期の美術

星 雅彦：戦後沖縄美術の前衛たち

諸見里道浩：安定のなかの模索〈前衛から系列へ〉

翁長直樹：状況への発言

翁長直樹：拡散の時代

安座間安司：模索と展望〈九〇年代の動きを中心に〉

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、都中図

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館／山口展；11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館／石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日　石川県七尾美術館／秋田展；2 月 3 日－18 日　秋田県立近代美術館／岩手展；2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館

主催：文化庁・沖縄県教育委員会・浦添市美術館・琉球新報社〔巡回 6-1〕

出品：日本画；土屋禮一、北田克己。洋画；玉川信一、金井訓志。版画；爲金義勝、櫻井貞夫。彫刻；三坂制〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

第 29 回現代美術選抜展図録

浦添市美術館・徳山市美術博物館・岡崎市美術館・石川県七尾美術館・秋田県立近代美術館・水沢市文化会館　1995 年 11 月

所蔵：□、国新美、写真美

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 2・固有性へのこだわり ●

欧文タイトル：「Exhibition of Contemporary Okinawan Artists」

会期：1996 年 10 月 2 日－27 日　浦添市美術館　主催：沖縄県、共催：浦添市・浦添市美術館・沖縄県文化振興会・沖縄タイムス社

出品：赤嶺正則、新垣正一、石垣博孝、イチ・ミノル、上原勲、上原隆昭、浦崎彦志、浦添健、ウルカトム、大城精徳、大城讓、大浜隆子、大見謝文、大嶺政寛、奥原崇典、我如古彰一、叶ひでき、喜久村宏、喜名盛勝、喜友名朝紀、金城真常、金城進、金城実、金城明一、金城安太郎、具志恒勇、具志堅宏清、具志堅誓謹、翠宮城セツ、久場とよ、桑江良健、慶田喜一、小橋川肇、米須敏三郎、佐久本伸光、島田寛平、島袋喜代子、尚武、新垣正雄、新城栄徳、新城喜一、新城征孝、瑞慶山昇、砂川恵光、平良晃、高江洲盛一、高島彦志、田中興八、玉城栄一、玉城美智子、玉那覇正吉、知名久夫、知念秀幸、鎮西公子、照屋万里、當真勲、富元明雄、友知雪江、名嘉睦稔、中島イソ子、仲嶺康輝、長嶺よし、中邨紘一、仲元清輝、名渡山愛擴、名渡山愛順、西村立子、南風原朝光、比嘉英男、比嘉良徳、比嘉良二、平野長伴、宮城和邦、宮城孝也、宮城哲雄、宮城篤正、宮里顯、宮良瑛子、安元賢治、柳光観、山里永吉、山里昌弘、山田真山、山田武、山之端一博、山元文子、屋良朝春、吉永ます子、與那覇朝大〔作品リスト順〕

註：本展は「Part1 ローカルから固有性へ」と「Part2 固有性から自立へ」の 2 部構成となっている。

〇展覧会カタログ

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 2・固有性へのこだわり

沖縄県　1996 年 10 月　太平洋戦争・沖縄線終結 50 周年事業

翁長直樹：はじめに

星 雅彦：王朝美術から戦中・戦後の沖縄美術へ〈外来文化からの摂取と結実〉

仲井間憲児：脱ローカリズム考〈収斂から拡散へ〉

真久田 巧：個と社会

稲嶺成祚：沖縄の具象彫刻

稲嶺成祚：おわりに

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

私立美術館

ア

池田 20 世紀美術館

アート最前線 25 年 作家とともに Part I ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 9 月 1 日－11 月 30 日　伊東・池田 20 世紀美術館　主催：財団法人池田 20 世紀美術館

出品：谷本重義、永田力、ガストン・プチ、岡本信治郎、靉嘔、永井一正、矢柳剛、呉炫三、渡辺豊重、柳澤紀子、田口安男、内山懋、島田章三、森秀雄、近藤弘明、福田繁雄、稲葉治夫、重田良一、豊島弘尚、佐藤多持、池田龍雄、司修、渡辺恂三、宮崎進、相笠昌義、佐々木豊、勝呂忠、馬場彬、細江英公、重岡建治、木村一生、佐野ぬい、林敬二、谷川晃一、中村木美、焔仁、馬越陽子、池田幹雄、上野泰郎、大森運夫、小嶋悠司、渡辺学、田名網敬一、上條陽子、小西保文、尾崎愛明、佐原和行、松本英一郎〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

アート最前線 25 年 作家とともに Part I

池田 20 世紀美術館　2000 年 9 月

林紀一郎：ごあいさつ〈謝辞をかねて〉

谷本重義、永田力、ガストン・プチ、岡本信治郎、靉嘔、永井一正、渡辺豊重、柳澤紀子、田口安男、内山懋、島田章三、森秀雄、近藤弘明、福田繁雄、稲葉治夫、重田良一、豊島弘尚、佐藤多持、池田龍雄、司修、渡辺恂三、宮崎進、相笠昌義、佐々木豊、勝呂忠、馬場彬〔再録〕、細江英公、重岡建治〔2 行〕、木村一生、佐野ぬい、林敬二、谷川晃一、中村木美、焔仁、馬越陽子、池田幹雄、上野泰郎〔2 行〕、大森運夫、小嶋悠司、渡辺学、田名網敬一、上條陽子、小西保文、尾崎愛明、佐原和行、松本英一郎：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

アート最前線 25 年 作家とともに Part II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 12 月 1 日－2001 年 2 月 28 日　伊東・池田 20 世紀美術館　主催：池田 20 世紀美術館

出品：大野五郎、滝沢具幸、池田宗弘、石踊紘一、一色邦彦、市野英樹、丑久保健一、大成浩、奥谷博、小作青史、加藤春生、川口起美雄、河内成幸、絹谷幸二、小島信明、小西祐典、齋藤研、柴田長俊、島州一、島谷晃、鈴木孝史、多賀新、高岸昇、高柳裕、塚原琢哉、戸田康一、長島義明、二村裕子、原健、櫃田伸也、舩坂芳助、松永楠生、松本旻、三澤憲司、峯田義郎、最上壽之、森野眞弓、谷中武彦、山本衛士、若江漢字、秋山祐徳太子、久里洋二、今井信吾、中西勝、桜井寛、栗原一郎、間島領一、佐々木正芳、木下晋、中林忠良、水谷勇

夫、斎藤吾朗、織田廣喜、山本貞、福島瑞穂、安達博文、田淵安一〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

アート最前線 25 年 作家とともに Part II

池田 20 世紀美術館　2000 年 12 月

林 紀一郎：ごあいさつ〈謝辞にかえて〉

大野五郎〔1 行〕、滝沢具幸、池田宗弘、石踊紘一、一色邦彦、市野英樹、丑久保健一、大成浩、奥谷博、小作青史、加藤春生、川口起美雄、河内成幸、絹谷幸二、小島信明、小西祐典〔2 行〕、齋藤研、柴田長俊、島州一、島谷晃、鈴木孝史、多賀新、高岸昇、高柳裕、塚原琢哉、戸田康一、長島義明、二村裕子、原健、櫃田伸也、舩坂芳助、松永楠生、松本旻、三澤憲司、峯田義郎、最上壽之、森野眞弓、谷中武彦、山本衛士、若江漢字、秋山祐徳太子、久里洋二、今井信吾、中西勝、桜井寛、栗原一郎、間島領一、佐々木正芳、木下晋、中林忠良、水谷勇夫、斎藤吾朗、織田廣喜、山本貞、福島瑞穂、安達博文、田淵安一：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

伊勢丹美術館

今・アート最前線 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1983 年 9 月 1 日－6 日　新宿・伊勢丹美術館　主催：伊勢丹美術館

出品：靉嘔、狗巻賢二、因藤壽、宇佐美圭司、オクヤナオミ、郭仁植、北山善夫、金昌烈、桑原盛行、小清水漸、坂口登、三川義久、菅木志雄、関根伸夫、高松次郎、田口安男、田中稔之、田淵安一、鄭相和、堂本尚郎、長谷光城、彦坂尚嘉、平賀敬、堀浩哉、眞板雅文、前田常作、山田正亮、李禹煥〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

今・アート最前線

伊勢丹　1983 年 9 月

田中幸人：新しい第三の目の創造を

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大

出光会館

第 2 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1968 年 9 月 22 日－10 月 6 日　松江・島根県立博物館／10 月 15 日－27 日　徳山・出光会館／11 月 7 日－16 日　富山県民会館／11 月 24 日－12 月 3 日　浦和・埼玉会館

主催：文化庁・山口県教育委員会・徳山市教育委員会・出光美術館〔巡回 4-2〕

――→島根県立博物館〔巡回 4-1〕

上野の森美術館

現代美術の展望「VOCA 展'94－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1994 年 3 月 15 日－26 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会(財団法人日本美術協会・上野の森美術館)

出品：赤塚裕二、荒瀬景敏、崔恩景、越前谷嘉高、マコト・フジムラ、藤田邦統、福田美蘭、平体文枝、磯部錦司、片山雅史、菊地武彦、小林正人、児玉靖枝、小池隆英、小山利枝子、栗野よう子、丸山直文、森弘志、村井俊二、村上隆、小田英之、小田中康浩、小川佳夫、岡崎乾二郎、尾長良範、大竹伸朗、大友洋司、佐川晃司、櫻井美智子、佐々木薫、世良京子、設楽知昭、末永敏明、菅原清美、菅原健彦、杉山知子、鈴木修一郎、館勝生、高橋克之、山口啓介、吉川民仁、吉澤美香〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・福田美蘭、世良京子、VOCA 奨励賞・小林正人、森弘志、館勝生

○展覧会カタログ

現代美術の展望「VOCA 展'94－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会　1994 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫：選考所感

鍵岡正謹、塩田純一、菊屋吉生、正木基、大熊敏之、剱持邦弘、井手和子、矢口國夫、尾野正晴、大坪健二、金澤毅、三田晴夫、松浦寿夫、三上豊、山梨俊夫、黒田雷児、尾﨑信一郎、菅原教夫、北澤憲昭、椹木野衣、太田垣實、篠原資明、天野太郎、千葉成夫、松村壽雄、新田秀樹、山脇一夫：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大

VOCA 展'95「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1995 年 3 月 16 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：岡部千花世、堂本右美、藤澤江里子、福田美蘭、池辺政人、石川順惠、片山雅史、清野泰行、小林正人、小林良一、駒形克哉、丸田恭子、松尾直樹、三輪美津子、長橋秀樹、二階堂真、大渕純、大岩オスカール幸男、坂木優子、山東京伝二、SEIGO(西悟)、杉本みゆき、竹内義郎、田中信行、内山睦、ビセンス・ビアプラナ、和田千秋、渡辺えつこ、山部泰司、湯浅龍平〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・三輪美津子、VOCA 奨励賞・堂本右美、石川順惠、駒形克哉、大岩オスカール幸男

○展覧会カタログ

VOCA 展'95「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会　1995 年 3 月　英文併載

高階秀爾：物語性と造形性

酒井忠康：なにもない空間

建畠哲：イノセントな美術

本江邦夫：反問する絵画

秋元雄史、天野太郎、越前俊也、長谷川祐子、早見堯、広本伸幸、市川政憲、鍵岡正謹、川田都樹子、釼持邦弘、黒田雷児、松村壽雄、南雄介、名古屋覚、中島徳博、新田秀樹、帯金章郎、小倉正史、太田垣實、大坪健二、尾﨑眞人、妹尾克己、島敦彦、清水敏男、田中幸人、谷川渥、山本和弘、山脇一夫、矢内みどり、萬木康博：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

VOCA 展'96「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1996 年 2 月 17 日－3 月 3 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：グレッグ・アンガス、マコト・フジムラ、端聡、東島毅、井口大介、井上能巳、金村仁、加藤学、木津文哉、小林孝亘、児玉靖枝、栗本夏樹、増田聡子、溝口昭彦、牛波、小笠原尚子、岡田修二、押江千衣子、大浦こころ、佐藤篤、須藤泰規、杉山晶子、武田州左、徳永雅之、富岡直子、富田有紀子、横田亜弓、依藤奈奈、吉川民仁、吉本作次、渡辺信明〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・東島毅、VOCA 奨励賞・小林孝亘、富岡直子、富田有紀子、端聡

○展覧会カタログ

VOCA 展'96「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　1996 年 2 月

高階秀爾：絵画性の復権

酒井忠康：感受性の風土

建畠 哲：内在する光

本江邦夫：気配について

石塚春夫、矢口國夫、佐藤友哉、水沢勉、正木基、高島直之、篠原資明、天野一夫、下山肇、森司、小田るな、太田垣實、佐々木吉晴、大坪健二、勅使河原純、毛利義嗣、有川幾夫、谷新、川浪千鶴、鍵岡正謹、土方明司、光田由里、草薙奈津子、前山裕司、名古屋覚、近藤幸夫、松村壽雄、中林和雄、菅原教夫、山脇一夫、尾﨑信一郎：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

VOCA 展'97「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1997 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：藤田邦統、福田美蘭、日高理恵子、本田健、井崎聖子、石田歩、小林俊介、児玉靖枝、小池隆英、是枝開、久米亮子、草野貴世、松本春崇、宮森敬子、中根秀夫、奈良美智、野沢二郎、岡村桂三郎、申明銀、曽根裕、菅原健彦、館勝生、竹内啓、東郷靖彦、筒井伸輔、上田奈保、上村亮太、綿引展子、渡辺晃一、山崎智司、善住芳枝〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・小池隆英、VOCA 奨励賞・曽根裕、東郷靖彦、上田奈保、善住芳枝、選

考委員特別賞・福田美蘭

○展覧会カタログ

VOCA 展'97「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　1997 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫：〔選考評〕

出原均、拝戸雅彦、長谷川祐子、宝玉正彦、石塚春夫、鍵岡正謹、菊屋吉生、喜多村明里、小泉晋弥、小勝禮子、草薙奈津子、正木基、松本透、水沢勉、名古屋覚、新田秀樹、岡田潔、奥岡茂雄、翁長直樹、逢坂恵理子、尾﨑信一郎、斉藤泰嘉、高島直之、谷新、梅津元、藁科英也、谷口雄三、山本育夫、山根康愛、柳原正樹、安田篤生：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

VOCA 展'98「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1998 年 3 月 28 日－4 月 12 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：知花均、越前谷嘉高、枝光由嘉里、袴田京太朗、長谷川繁、林田直子、伊庭靖子、石塚統浩、加藤英人、城戸真亜子、北☆〔田＋又＋土〕吉彦、児玉靖枝、小石原剛、小谷泰子、藏本秀彦、丸野由希子、松尾藤代、三井田盛一郎、満江英典、村井恭子、岡田裕子、岡田修二、小作志野、齋藤公平、佐古昭典、佐藤梨香、末永敏明、杉戸洋、高井知乗、高野勝、太郎千恵藏、綿引展子、湯川雅紀〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・湯川雅紀、VOCA 奨励賞・伊庭靖子、岡田修二、杉戸洋、太郎千恵藏

○展覧会カタログ

VOCA 展'98「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　1998 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、鍵岡正謹：〔選考評〕

有川幾夫、長谷川敬子、長谷川祐子、林洋子、平野到、石川健次、石塚春夫、笠原美智子、菊屋吉生、草薙奈津子、正木基、松本透、三上豊、南嶌宏、水沢勉、毛利義嗣、森司、名古屋覚、中谷至宏、中塚宏行、翁長直樹、尾野正晴、尾﨑佐智子、尾﨑眞人、佐藤友哉、竹澤雄三、谷新、藁科英也、山根康愛、山脇一夫、柳原正樹、柳沢秀行、横山勝彦：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

VOCA 展'99「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1999 年 2 月 20 日－3 月 7 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財

団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：粟国久直、会田誠、赤崎みま、朝岡あかね、堂本右美、福士朋子、林繭子、平町公、石川順惠、伊藤ひろ子、金田勝一、是枝開、桒野よう子、間島秀徳、宮井里夏、水本剛廣、浪越篤彦、額田宣彦、落合多武、小谷元彦、佐々木直美、佐藤勲、島田洋美、高崎賀朗、髙柳恵里、和田雄一、渡辺紅月、山田昌宏、山本麻友香、やなぎみわ、安喜万佐子、横尾美美、米田知子〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・やなぎみわ、VOCA 奨励賞・堂本右美、平町公、石川順惠、髙柳恵里

○展覧会カタログ

VOCA 展'99「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　1999 年 2 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、谷新：〔選考評〕

安黒正流、荒木夏実、出原均、原田光、長谷川祐子、早川博明、石川健次、鍵岡正謹、笠原美智子、川浪千鶴、菊屋吉生、木本文平、倉林靖、黒川公二、草薙奈津子、李美那、前山裕司、松本透、三上満良、南雄介、光田由里、名古屋覚、中谷至宏、大野正勝、翁長直樹、太田垣實、尾﨑信一郎、佐藤友哉、菅章、菅原教夫、谷内克聡、冨迫美幸、植松由佳：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、愛芸文、和光大

VOCA 展 2000 現代美術の展望――新しい平面の作家たち ●

欧文タイトル：「The Exhibition "VOCA" 2000　T HE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2000 年 3 月 16 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：荒井経、馬場健太郎、出口大介、フジイフランソワ、藤井浩一朗、原井輝明、平林純、岩尾恵都子、岩男和子、菊地武彦、栗田咲子、眞島竜男、みやじけいこ、村上隆、流麻二果、内藤絹子、大村雄一郎、小沢剛、坂井淑恵、清水留理子、末藤夕香、鈴木涼子、高橋信行、高橋亮、鷹野隆大、竹﨑和征、田中美和、上田アキ、渡辺聡、山本豊子、与那覇大智〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・岩尾恵都子、VOCA 奨励賞・フジイフランソワ、みやじけいこ、内藤絹子、坂井淑恵

○展覧会カタログ

VOCA 展 2000 現代美術の展望――新しい平面の作家たち

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2000 年 3 月

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、山脇一夫：〔選評〕

谷新、名古屋覚、尾﨑眞人、藤川哲、石川健次、斎藤郁夫、柳原正樹、早川博明、荒木夏実、草薙奈津子、吉原美恵子、堀元彰、柳沢秀行、菅原教夫、平野明彦、小口斉子、平野到、坂元暁美、尾﨑佐智子、南雄介、都築悦子、佐藤友哉、李美那、大野正勝、笠原美智子、鍵岡正謹、中塚宏行、蔵屋美香、逢坂恵理子、菅章、翁長直樹：〔作家紹介〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2001「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2001 年 2 月 18 日－28 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：安彦文平、青野文昭、藤井浩一朗、原田章生、市川美幸、石田徹也、伊藤存、カワシマトモエ、風間サチコ、パルコキノシタ、岸本吉弘、鯉江真紀子、今義典、倉科勇三、前川知美、真喜志奈美、松尾暢、水上央子、小原健吾、荻野僚介、大木奈緒美、押江千衣子、櫻井美智子、高浜利也、髙橋啓和、鷹取雅一、寺島ブラディオ、内田かんぬ、上田奈保、梅本和之、和田愛語、山田佐保子、吉岡俊直〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・押江千衣子、VOCA 奨励賞・市川美幸、石田徹也、水上央子、高浜利也

○展覧会カタログ

VOCA 展 2001「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2001 年 2 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、草薙奈津子：〔選評〕

荒木夏実、藤川哲、林洋子、宝玉正彦、石川健次、鍵岡正謹、笠原美智子、川浪千鶴、蔵屋美香、黒沢伸、李美那、南嶌宏、村田真、長門佐季、名古屋覚、中井康之、中村英樹、西村勇晴、小口斉子、翁長直樹、尾﨑信一郎、坂元暁美、佐々木吉晴、佐藤友哉、渋澤和彦、篠雅廣、菅章、菅原教夫、谷新、寺嶋弘道、山脇一夫、柳原正樹、柳沢秀行：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2002「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART 2002」

会期：2002 年 3 月 15 日－31 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：福島栄利子、古谷利裕、後藤智、法貴信也、石川裕敏、石塚ツナヒロ、岩熊力也、金平靖子、加藤泉、川田祐子、喜多順子、北浦信一郎、久保理恵子、松林誠、松江泰治、松橋孝、溝口真一、盛本学史、中島葉子、中沢研、能島浜江、小河朋司、小山田匡範、齋木克裕、斎藤ちさと、佐藤健吾エリオ、曽谷朝絵、照屋勇賢、や／だ〔山田大輔〕、山田泰、山本晶、安喜万佐子、吉田暁子〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・曽谷朝絵、VOCA 奨励賞・後藤智、石塚ツナヒロ、溝口真一、照屋勇賢

○展覧会カタログ

VOCA 展 2002「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2002 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、長谷川祐子：〔選考評〕

篠雅廣、谷新、藤川哲、片岡真実、長谷川敬子、小笠原光、石川健次、柳沢秀行、窪田

研二、小栗光雄、尾﨑佐智子、荒木夏実、福永治、鍵岡正謹、出原均、菊屋吉生、渋澤和彦、新明英仁、山脇一夫、前山裕司、草薙奈津子、天野一夫、柳原正樹、坂元暁美、今香、西村勇晴、名古屋覚、翁長直樹、立木祥一郎、太田泰人、早川博明、蔵屋美香、菅原教夫、李美那：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2003「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2003　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2003 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：秋山さやか、安東茂樹、井桁雅臣、井崎聖子、稲垣真幸、今井紀彰、岩城直美、宇田義久、大木裕之、大谷有花、奥井ゆみ子、小野博、加藤さくよし、亀山尚子、菊池敬子、小林浩、佐藤勲、高橋克之、瀧井晶子、田中功起、津上みゆき、仲里安広、中ザワヒデキ、英裕、福井篤、福永照久、松野潤一、村林基、もとはし遥、森川美紀、米田昌功、寄神くり〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・津上みゆき、VOCA 奨励賞・岩城直美、大谷有花、小野博、中ザワヒデキ

○展覧会カタログ

VOCA 展 2003「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2003 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、笠原美智子：〔選考評〕

蔵屋美香、坂元暁美、黒沢伸、浅川泰、小笠原光、菅章、小栗光雄、李美那、中井康之、大野正勝、鍵岡正謹、名古屋覚、荒木夏実、柳沢秀行、樋口昌樹、窪田研二、伊豆井秀一、石川健次、有川幾夫、平野明彦、籾山昌夫、山本和弘、尾﨑佐智子、宝玉正彦、翁長直樹、出原均、光田由里、大島賛都、渋澤和彦、川辺雅美、長谷川敬子、菅原教夫、平野千枝子、山脇一夫、柳原正樹、篠雅廣：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2004「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2004　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2004 年 3 月 13 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：浅見貴子、阿部啓明、阿部幸子、伊勢裕人、今澤正、上田風子、上間彩花、薄井隆夫、宇津木倫子、大西久、岡田葉、雄川愛、小野環、岸本吉弘、久保理恵子、小林俊介、小柳裕、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、佐藤万絵子、佐野陽一、下川信義、新盛清一、玉本奈々、俊尭、友枝憲太郎、豊嶋康子、中村達志、中山ダイスケ、西澤千晴、野口香子、長谷川純、北城貴子、前田朋子、水上央子、溝口真一、好宮佐知子〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・前田朋子、VOCA 奨励賞・小柳裕、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、佳作賞・中山ダイスケ、西澤千晴、府中市美術館館長賞・久保理恵子

○展覧会カタログ

VOCA 展 2004「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2004 年 3 月　英文併載

高階秀爾、建畠哲、笠原美智子、草薙奈津子、水沢勉：〔選考評〕

光田由里、地家光二、川浪千鶴、有川幾夫、坂元暁美、藤川哲、翁長直樹、谷新、山脇一夫、尾﨑佐智子、名古屋覚、荒木夏実、出原均、岸野裕人、舟木力英、菅原教夫、篠雅廣、住友文彦、渋澤和彦、丹羽晴美、菅章、石川健次、柳原正樹、三好徹、李美那、平野到、鍵岡正謹、住谷晃一郎、植草学、冨田章、堀元彰、柳沢秀行、中井康之、早川博明、宝玉正彦、関直子：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2005「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2005　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2005 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：荒井経、石井健太郎、居城純子、内海聖史、小川敦生、片岡健二、金田勝一、北村英哲、工藤春香、工藤麻紀子、久保田香、鯉江真紀子、齋藤芽生、澤田知子、柴川敏之、下薗城二、城田圭介、新明史子、鷹取雅一、立花文穂、田中みぎわ、千々岩修、手塚愛子、中川トラヲ、長沢明、中村桂子、中谷ゆうこ、羽毛田優子、浜竹睦子、日野之彦、廣岡茂樹、ベ・サンスン(裵相順)、町田久美、森山晶、山口智子、山城芽、米原昌郎〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・日野之彦、VOCA 奨励賞・居城純子、中川トラヲ、佳作賞・手塚愛子、羽毛田優子、大原美術館賞・鯉江真紀子、府中市美術館賞・田中みぎわ

○展覧会カタログ

VOCA 展 2005「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2005 年 3 月　英文併載

酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、天野一夫、塩田純一、松井みどり：〔選考評〕

宝玉正彦、五十嵐卓、出原均、石川健次、片岡真実、尾﨑佐智子、菅原教夫、篠雅廣、名古屋覚、坂元暁美、平野到、越前俊也、笠原美智子、植松由佳、岸本和明、渋澤和彦、柳原正樹、吉崎元章、蔵屋美香、住友文彦、植草学、草薙奈津子、中井康之、原久子、野地耕一郎、水沢勉、山脇一夫、太田垣實、川浪千鶴、窪田研二、菅章、冨田章、光田由里、鷹見明彦、飯田高誉、尾形希和子、藤川哲：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2006「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「The Vision of Contemporary Art 2006」

会期：2006 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：青木克世、泉孝昭、兼未希恵、河﨑まゆ子、鬼頭健吾、木原千春、小西真奈、小橋陽

介、佐伯洋江、島村敏明、鈴木俊輔、高幹雄、髙木紗恵子、高橋万里子、千葉奈穂子、妻木良三、津村陽子、豊泉綾乃、豊富春菜、永原トミヒロ、中山徳幸、流麻二果、西原功織、蜷川実花、橋爪彩、長谷川冬香、花澤洋太、浜田涼、春木麻衣子、藤本英明、ロバート・プラット、室井公美子、山田純嗣、山本晶、楊雅淳、横山博之、渡辺郷〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・小西真奈、VOCA 奨励賞・佐伯洋江、ロバート・プラット、佳作賞・兼未希恵、髙木紗恵子、大原美術館賞・蜷川実花、府中市美術館賞・髙木紗恵子

○展覧会カタログ

VOCA 展 2006「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2006 年 3 月

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、松井みどり、南雄介：〔選評〕

宝玉正彦、能勢陽子、太田垣實、天野一夫、植松由佳、渋澤和彦、坂元暁美、窪田研二、大島賛都、岸本和明、塩田純一、佐藤友哉、飯田志保子、笠原美智子、大野正勝、降籏千賀子、中井康之、石川健次、柳原正樹、森田一、篠雅廣、光田由里、和田浩一、倉石信乃、李美那、山脇一夫、岡部信幸、近藤幸夫、出原均、安座間安司、森口まどか、谷新、植草学、上神田敬、名古屋覚、南嶌宏、花田伸一：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大

VOCA 展 2007「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2007　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2007 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：會田千夏、阿部亮平、池田光弘、石井礼子、磯邉一郎、入江明日香、岩堀敏行、江本幸恵、金氏徹平、神谷徹、黒嶋亮子、小林志保子、小林達也、嵯峨篤、佐々木愛、佐々木加奈子、佐々木里加、塩保朋子、清水亮輔、菅野まり子、傍嶋崇、田口和奈、寺島みどり、中岡真珠美、波田浩司、樋口佳絵、ヒラタシノ、町田久美、松田豊美、宮﨑勇次郎、森本美絵、山口晃、山下律子、山城知佳子、山本太郎、吉賀あさみ〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・山本太郎、VOCA 奨励賞・池田光弘、傍嶋崇、佳作賞・田口和奈、中岡真珠美、大原美術館賞・樋口佳絵、府中市美術館賞・山口晃

○展覧会カタログ

VOCA 展 2007「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2007 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、宮崎克己：〔選考評〕

吉崎元章、岡部信幸、保坂健二朗、藤田一人、窪田研二、石川健次、山下裕二、山脇一夫、大島賛都、林洋子、降旗千賀子、平澤広、李美那、不動美里、真武真喜子、光田由里、五十嵐卓、植草学、南嶌宏、森田一、名古屋覚、飯田志保子、加藤義夫、植松由佳、寺嶋弘道、武田昭彦、橋本善八、小勝禮子、山本淳夫、菅章、藤川哲、坂元暁美、岸本和明、翁長直樹、柳原正樹、松下和美：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

VOCA 展 2008「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2008　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2008 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：天野亨彦、猪狩雅則、伊藤雅恵、岩熊力也、及川聡子、片山博文、川上幸之介、川口奈々子、阪本トクロウ、笹岡啓子、三宮一将、椎名勇仁、下道基行、ジャンボスズキ、須藤由希子、関根直子、俵萌子、千葉正也、遠山裕崇、中西信洋、根間智子、常陸活志、平井千香子、藤原裕策、藤原由葵、ベ・サンスン(裵相順)、堀由樹子、水村綾子、元田久治、森迫暁夫、森本絵利、安田悠、山内崇嗣、山本桂輔、横内賢太郎、渡辺依理〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・横内賢太郎、VOCA 奨励賞・川上幸之介、笹岡啓子、佳作賞・伊藤雅恵、藤原裕策、大原美術館賞・岩熊力也、府中市美術館賞・関根直子

○展覧会カタログ

VOCA 展 2008「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2008 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、逢坂恵理子、南嶌宏：〔選評評〕

出原均、山脇一夫、名古屋覚、森田一、和田浩一、植松由佳、藤川哲、大島賛都、加藤義夫、大野正勝、杉山悦子、菅章、武田昭彦、廣瀬就久、光田由里、坂元暁美、降旗千賀子、尾﨑信一郎、宮本武典、山口洋三、日沼禎子、宮城潤、谷新、柳原正樹、植草学、山下裕二、太田垣實、白坂ゆり、宝玉正彦、冨澤治子、吉崎元章、森司、飯田志保子、蔵屋美香、松井みどり、天野一夫、堀切正人：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大

Art of our time ●

和文タイトル：「私たちの時代の美術」

会期：2008 年 9 月 27 日－11 月 9 日　上野の森美術館　主催：財団法人日本美術協会・上野の森美術館、彫刻の森美術館、フジサンケイグループ

出品：李禹煥、草間彌生、三宅一生〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

Art of our time

財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2008 年 9 月

高階秀爾：展覧会によせて

岡里崇、坂元暁美、黒河内卓郎、辻井有里、与田美樹、土方浦歌、清原佐知子、及川真理、黒岩雅志、中村尚明、安城寿子、野中顕子：〔作家・作品解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2009「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2009　The Vision of Contemporary Art」

会期：2009 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：淺井裕介、麻生知子、池谷保、今津景、梅津庸一、樫木知子、苅谷昌江、川見俊、小金沢健人、五木田智央、小西紀行、櫻井りえこ、佐藤修康、鈴木ヒラク、田尾創樹、高木こずえ、竹村京、田中宏美、田中幹、生川晴子、名和晃平、根岸文子、橋本トモコ、伴戸玲伊子、平川渚、風能奈々、福永大介、藤田桃子、船井美佐、まつながえみ、三瀬夏之介、吉岡千尋、和田絢、渡邊慶子、渡邊陽平〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・三瀬夏之介、VOCA 奨励賞・樫木知子、竹村京、佳作賞・今津景、櫻井りえこ、大原美術館賞・淺井裕介、府中市美術館賞・高木こずえ

〇展覧会カタログ

VOCA 展 2009「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2009 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、逢坂恵理子、南嶌宏：〔選評評〕

福住廉、山下裕二、宮本武典、名古屋覚、荒木夏実、天野一夫、太田垣實、影山千夏、拝戸雅彦、本田代志子、和田浩一、植松由佳、浅井俊裕、大島賛都、窪田研二、蔵屋美香、光田由里、神谷幸江、五十嵐卓、尾崎信一郎、山脇一夫、木ノ下智恵子、木村理恵子、占部敏子、大野正勝、菅章、長屋光枝、松井みどり、小林純子、岡里崇、近藤由紀、廣瀬就久、加藤弘子、宝玉正彦、原久子、森口まどか、吉崎元章、柳原正樹：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション ●

欧文タイトル：「neoteny japan　CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S――FROM TAKAHASHI COLLECTION」

会期：2008 年 7 月 18 日－9 月 15 日　鹿児島県霧島アートの森／11 月 22 日－2009 年 1 月 25 日　札幌芸術の森美術館／5 月 20 日－7 月 15 日　上野の森美術館

主催：財団法人日本美術協会・上野の森美術館・産経新聞社〔巡回 3-3〕

――→鹿児島県霧島アートの森〔巡回 3-1〕

VOCA 展 2010「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「"VOCA" 2010　The Vision of Contemporary Art」

会期：2010 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：朝海陽子、朝地信介、石川直樹、市川孝典、伊藤彩、薄久保香、耘野善之、遠藤俊治、大浦和代、大野智史、大庭大介、利部志穂、風間サチコ、清川あさみ、齋藤芽生、阪田清子、坂本夏子、櫻井伸也、佐藤允、竹﨑和征、多和田有希、TETTA、長井朋子、中谷ミチコ、名知聡子、西山裕希子、平下英理、船井美佐、ましもゆき、水谷一、三宅砂織、柳澤顕、山本理恵子、和田典子、渡部裕二〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・三宅砂織、VOCA 奨励賞・坂本夏子、中谷ミチコ、佳作賞・清川あさみ、佳作賞／大原美術館賞・齋藤芽生

○展覧会カタログ

VOCA 展 2010「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2010 年 3 月　英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、荒木夏実、光田由里、南嶌宏：〔選考評〕

松井みどり、吉崎元章、李美那、福住廉、大島賛都、谷新、野中明、拝戸雅彦、岡部信幸、窪田研二、木ノ下智恵子、南雄介、山下裕二、浅井俊裕、宝玉正彦、豊見山愛、山脇一夫、柳原正樹、神谷幸江、鎮西芳美、和田浩一、原田光、堀元彰、高嶋雄一郎、桜井武、廣瀬就久、名古屋覚、平本邦雄、岡里崇、近藤由紀、出原均、太田垣實、中井康之、能勢陽子、花田伸一：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大

VOCA 展 2011 現代美術の展望－新しい平面の作家たち ●

欧文タイトル：「“VOCA” 2011　The Vision Of Contemporary Art」

会期：2011 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：青山悟、浅倉伸、阿部岳史、雨宮庸介、安藤由佳子、石塚源太、市川武史、伊藤遠平、上田暁子、大竹司、小川豊、小沢さかえ、片山高志、門田光雅、クサナギシンペイ、熊澤未来子、熊野海、小池真奈美、後藤靖香、コバヤシ麻衣子、坂川守、佐竹龍蔵、佐藤純也、澤田明子、関口正浩、髙石晃、戸谷森、中山玲佳、花澤武夫、パラモデル、冬耳、水田寛、森千裕、山下耕平、山本聖子、横野健一〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・中山玲佳、VOCA 奨励賞・後藤靖香、森千裕、佳作賞・熊澤未来子、澤田明子、大原美術館賞・上田暁子

○展覧会カタログ

VOCA 展 2011 現代美術の展望－新しい平面の作家たち

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2011 年 3 月

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、光田由里、南嶌宏：〔選考所感〕

桜井武、平澤広、岡部信幸、土屋誠一、平野到、太田垣實、南雄介、塩田純一、山脇一夫、窪田研二、佐藤敬爾、森千花、中塚宏行、名古屋覚、堀元彰、児島やよい、能勢陽子、山下裕二、荒木夏実、宝玉正彦、出原均、影山千夏、松井みどり、李美那、大島賛都、保坂健二朗、谷新、岡里崇、神谷幸江、近藤由紀、廣瀬就久、林寿美、植松由佳、川浪千鶴、福住廉、柳原正樹：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

行為の触覚 反復の思考 ●

欧文タイトル：「The idea of repeated touch」

会期：2012 年 3 月 7 日－12 日　上野の森美術館　主催：上野の森美術館・行為の触覚 反復の思考実行委員会

出品：石井琢郎、臼井拓朗、烏山秀直、今野健太、諏訪未知〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

行為の触覚 反復の思考

行為の触覚 反復の思考実行委員会　2012 年 3 月

釼持邦弘：行為の触覚 反復の思考に寄せて

石井琢郎×栗田大輔、臼井拓朗、烏山秀直、今野健太、諏訪未知、編集・鈴木晴奈、沢田朔、山﨑泰行、菅原美穂：対談＋インタビュー

所蔵：□、国新美

VOCA 展 2012「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA2012　The Vision of Contemporary Art」

会期：2012 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：池森暢昌、榎本耕一、呉夏枝、大成哲、奥村雄樹、尾家杏奈、柏原由佳、椛田ちひろ、桑久保徹、小村希史、近藤智美、鈴木星亜、関根直子、五月女哲平、髙橋芙美子、高橋ゆり、武居功一郎、竹中美幸、田中千智、津田直、永岡大輔、永禮賢、濱田樹里、堀川すなお、前沢知子、松下徹、松本三和、三浦洋子、宮地明人、宮本佳美、山内光枝、山田郁予、吉濱翔、ワタリドリ計画(麻生知子・武内明子)〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・鈴木星亜、VOCA 奨励賞・桑久保徹、武居功一郎、佳作賞・大成哲、柏原由佳、大原美術館賞・柏原由佳

〇展覧会カタログ

VOCA 展 2012「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2012 年 3 月

英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、神谷幸江、光田由里、南嶌宏：〔選考評〕

松田弘、窪田研二、近藤由紀、野中明、橋本梓、森山貴之、出原均、児島やよい、岡里崇、藪前知子、山下裕二、名古屋覚、谷新、松井みどり、和田浩一、李美那、柳原正樹、大島賛都、山脇一夫、荒木夏実、荒木康子、岡部信幸、高嶋雄一郎、木本文平、高橋瑞木、南雄介、橋本善八、平野到、尾﨑信一郎、佐藤敬爾、太田垣實、川浪千鶴、福住廉、土屋誠一、以倉新：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大

VOCA 展 2013「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2013　The Vision of Contemporary Art」

会期：2013 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：蒼野甘夏、石井七歩、出月秀明、伊藤遠平、瓜生祐子、江川純太、王子直紀、大﨑のぶゆき、太田祐司、大矢加奈子、岡田真希人、尾﨑嶺、鹿野震一郎、加茂昂、菊地敦己、小谷野夏木、近藤亜樹、笹井青依、佐藤翠、柴田麻衣、末永史尚、鈴木敦子、鈴木紗也香、唐仁原希、友政麻理子、中村友紀、平子雄一、文谷有佳里、北城貴子、松本恭吾、村山悟郎、

山口英紀、横田章、吉田夏奈、吉田晋之介、和田真由子〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・鈴木紗也香、VOCA 奨励賞・柴田麻衣、平子雄一、佳作賞・大﨑のぶゆき、吉田晋之介、大原美術館賞・佐藤翠

○展覧会カタログ

VOCA 展 2013「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2013 年 3 月

英文併載

高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、神谷幸江、光田由里：〔選考評〕

佐藤敬爾、飯田高誉、高嶋雄一郎、大島賛都、尾﨑信一郎、藪前知子、土屋誠一、山脇一夫、福住廉、田中龍也、森山貴之、柳原正樹、松井みどり、高橋瑞木、中田耕市、大谷省吾、和田浩一、宝玉正彦、岡里崇、出原均、藤川哲、平野到、五十嵐卓、太田垣實、鷲田めるろ、名古屋覚、木村絵理子、飯田志保子、以倉新、那須孝幸、李美那、山下裕二、川浪千鶴、荒木夏実、谷新、中井康之：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

VOCA 展 2014「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2014　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2014 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：秋吉風人、阿部未奈子、荒井理行、入谷葉子、臼井良平、大小島真木、大坂秩加、大槻英世、小川晴輝、片山真紀、狩野哲郎、川北ゆう、金光男、指田菜穂子、佐藤香菜、炭田紗季、染谷悠子、高橋大輔、多田友充、田中望、徳山太郎、友清ちさと、中村航、西野由璃子、二艘木洋行、箱嶋泰美、橋本聡、伴美里、平川恒太、松嶋由香利、山川さやか、山本雄基、山本もえ美〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・田中望、VOCA 奨励賞・大小島真木、金光男、佳作賞・大坂秩加、染谷悠子、大原美術館賞・佐藤香菜

○展覧会カタログ

VOCA 展 2014「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2014 年 3 月

英文併載

高階秀爾、笠原美智子、片岡夏実、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫：〔選考評〕

森啓輔、柳原正樹、能勢陽子、寺浦薫、川谷承子、山本丈志、岡里崇、平野到、ダリル・ウィー、保坂健二朗、西川美穂子、山下寿水、森山貴之、川西弘一、大島徹也、髙嶋雄一郎、五十嵐卓、小金沢智、服部浩之、宮本武典、野中明、真武真喜子、橋本梓、是枝開、岩渕貞哉、田中龍也、成相肇、赤松祐樹、木村絵理子、池上司、豊見山愛、佐藤由美加、山下裕二：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

VOCA 展 2015「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2015　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2015 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：今井俊介、榮水亜樹、奥村雄樹、小野耕石、笠見康大、加茂昂、川久保ジョイ、岸幸太、衣川明子、ジョミ・キム、齋悠記、鋤柄ふくみ、鈴木興、瀬尾夏美、武田浩志、武田雄介、竹村文宏、長谷川由貴、原田圭、平野泰子、福田龍郎、本城直季、牧野真耶、松岡学、松平莉奈、松本寛庸、mariane、水川千春、水野里奈、ミヤギフトシ、村瀬恭子、村田峰紀、森綾乃、横山奈美〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・小野耕石、VOCA 奨励賞・岸幸太、水野里奈、佳作賞・松岡学、松平莉奈、大原美術館賞・川久保ジョイ

〇展覧会カタログ

VOCA 展 2015「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2015 年 3 月　英文併載

高階秀爾、笠原美智子、片岡夏実、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫：〔選考評〕

森啓輔、前山裕司、三輪健仁、長門佐季、水田順子、岡村恵子、木村絵理子、高橋しげみ、森千花、池上司、豊見山愛、都筑正敏、以倉新、清水建人、佐藤友哉、中田耕市、角奈緒子、寺浦薫、宮本武典、大島徹也、白坂ゆり、岡里崇、野田尚稔、杉野秀樹、森山貴之、桜井武、田中龍也、渋沢和彦、五十嵐卓、松村円、徳山拓一、真武真喜子、赤松祐樹、橋本梓：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

VOCA 展 2016「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2016　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2016 年 3 月 12 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：青木豊、石川潤、井田幸昌、牛嶋直子、ERIC、大山エンリコイサム、尾﨑森平、笠井麻衣子、柏木健佑、嘉手苅志朗、川合朋郎、菊地良博、小林透、今実佐子、佐竹真紀、下出和美、神馬啓佑、鈴木のぞみ、関根直子、竹谷満、谷原菜摘子、NAZE、白田誉主也、花岡伸宏、久門剛史、藤部恭代、前田エマ、村上早、村上友重、横野明日香、芳木麻里絵、渡邊瑠璃〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・久門剛史、VOCA 奨励賞・鈴木のぞみ、谷原菜摘子、佳作賞・大山エンリコイサム、佐竹真紀、大原美術館賞・尾﨑森平

〇展覧会カタログ

VOCA 展 2016「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2016 年 3 月　英文併載

建畠哲、本江邦夫、笠原美智子、片岡真実、神谷幸江、島敦彦：〔選考評〕

岡里崇、吉崎元章、野中明、辻瑞生、古野華奈子、米田尚輝、高橋しげみ、野田尚稔、

山下裕二、豊見山愛、名古屋覚、清水建人、永松左知、前山裕司・長門佐季、寺嶋弘道、中田耕市、中村史子、小原真史、新見隆、麻生恵子、中井康之、吉岡恵美子、山本丈志、徳山拓一、林寿美、加藤義夫、宮本武典、金井直、角奈緒子、都筑正敏、森千花、正路佐知子：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

VOCA 展 2017「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2017　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2017 年 3 月 11 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：青木恵美子、浅野有紀、池平徹兵、上田良、小野さおり、加納俊輔、川角岳大、菊谷達史、来田広大、国松希根太、幸田千依、齋藤瑠璃子、坂口竜太、佐竹真紀子、篠原愛、鈴木基真、高田 K 子、高松明日香、武内明子、田島大介、田中秀和、照沼敦朗、土井沙織、仲田絵美、南条嘉毅、Nerhol、東畠孝子、益永梢子、松尾勘太、松田啓佑、村上華子、村田宗一郎、屋宜久美子、矢野佑貴、米田拓朗〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・幸田千依、VOCA 奨励賞・上田良、鈴木基真、佳作賞・村上華子、佳作賞／大原美術館賞・青木恵美子

○展覧会カタログ

VOCA 展 2017「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2017 年 3 月　英文併載

建畠哲、本江邦夫、島敦彦、光田由里、柳沢秀行：〔選考評〕

五十嵐卓、古川文子、野村しのぶ、橋本梓、日沼禎子、和田浩一、副田一穂、中田耕市、植松篤、吉崎元章、辻瑞生、山本丈志、坂元暁美、荒井直美、山下裕二、林寿美、寺嶋弘道、角奈緒子、楠本智郎、児島やよい、長門佐季、木村絵理子、名古屋覚、竹久侑、牧野裕二、大浦周、牧口千夏、米田尚輝、黒川公二、徳山拓一、金井直、桝田倫広、小林純子、大島賛都、小原真史：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

VOCA 展 2018 現代美術の展望－新しい平面の作家たち ●

欧文タイトル：「VOCA 2018　The Vision Of Contemporary Art」

会期：2018 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：會田千夏、芦田なつみ、阿部大介・鷹野健、石井麻希、碓井ゆい、梅沢和木、浦川大志、EKKO、小穴琴恵、表恒匡、川田知志、小泉圭理、越ちひろ、坂内直美、白井ゆみ枝、平良優季、髙田安規子・政子、田幡浩一、中山恵美子、野村康生、BABU、林葵衣、彦坂敏昭、百頭たけし、藤井俊治、前川祐一郎、増子博子、水江未来、森下明音、森本愛子、門馬美喜、山田七菜子、吉田志穂、ワタナベメイ〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・碓井ゆい、VOCA 奨励賞・藤井俊治、山田七菜子、佳作賞・梅沢和木、森本愛子、大原美術館賞・浦川大志

〇展覧会カタログ

VOCA 展 2018 現代美術の展望－新しい平面の作家たち

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2018 年 3 月

島敦彦、光田由里、柳沢秀行、小勝禮子、水沢勉：〔選考評〕

森本陽香、松岡剛、服部浩之、橋本梓、中尾英恵、筒井宏樹、正路佐知子、住吉智恵、大浦周、林寿美、金井直、国枝かつら、三本松倫代、川延安直、辻瑞生、小林純子、田村麗恵、岡里崇、山内舞子、古川文子、花田伸一、牧口千夏、遠藤水城、成相肇、吉原美惠子、千葉真智子、濱淵真弓、植松篤、徳山拓一、黒川公二、清水建人、野中祐美子、小原真史、荒井直美：〔作家解説〕

所蔵：□、国新美、東近美、写真美、神近美、和光大

梅田近代美術館

ASAHI＝ART・NOW ’73 ●

和文タイトル：アサヒ＝アート・ナウ’73

会期：1973 年 8 月 7 日－26 日　大阪・梅田近代美術館　主催：梅田近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、藤井源一、増田洋、(主催者側)池田弘、村松寛

出品：郭徳俊、河合隆三、河口龍夫、菅野聖子、木村光佑、清水九兵衛、黒崎彰、下谷千尋、堤淑子、寺田武弘、橋本典子、速水史朗、藤原向意、松本正司、三尾公三、緑川宏樹、三輪なつ子、村岡三郎、矢野正治、山口牧生〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

ASAHI＝ART・NOW ’73

〔梅田近代美術館・朝日新聞社〕　1973 年 8 月　たとう入

梅田近代美術館・朝日新聞社：ことば

郭徳俊、速水史朗、藤原向意、三輪なつ子、山口牧生：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、和光大

NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

海市〈もうひとつのユートピア〉●

欧文タイトル：「Kaishi　The Mirage City：Another Utopia」

会期：1997 年 4 月 19 日－7 月 13 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　ICC オープニング記念展

参画：磯崎新、岡崎乾二郎、川俣正、吉松秀樹、小林克弘、丸山洋志、古谷誠章、エリザベス・ディラー＋リカルド・スコフィディオ、鵜沢隆、アレハンドロ・サエラ＝ポロ＋ファシ

ッド・ムサヴィ、田中純、渡辺真理、入江経一

〇展覧会カタログ

海市〈もうひとつのユートピア〉

NTT 出版　1998 年 3 月 30 日

磯崎新、浅田彰、助川剛、岡崎乾二郎、川俣正、吉松秀樹、小林克弘、中村敬治、丸山洋志、古谷誠章、菊池誠、エリザベス・ディラー＋リカルド・スコフィディオ、鵜沢隆、アレハンドロ・ザエラ＝ポロ＋ファシッド・ムサヴィ、田中純、渡辺真理、入江経一、伊東豊雄、パスカル・シェーニング＋インゲリッド・ヘルシンク・アルマース、六角鬼丈、クリスチャン・ド・ポルツァンパルク、チュー＝ユアン・リー、隈研吾、ガボール・バッフマン、佐藤健司、中西泰人、濱野慶彦、柏木博、月尾嘉男、五十嵐太郎、東浩紀、オーディール・フィリオン、中谷礼仁、キョン・パーク：執筆、トーク・対談・鼎談等

藤幡正樹、荒川修作、岩井俊雄：あなたにとってユートピアとは?

磯崎 新：あとがき

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ネクスト：メディア・アートの新世代 ●

欧文タイトル：「n_ext：New Generation of Media Artists」

会期：2004 年 4 月 23 日－6 月 27 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

出品：安藤孝浩、エキソニモ、大畑彩、春日聡、齋藤正和、澤井妙治＋城一裕＋真鍋大度、鈴木太朗、徳井直生、中居伊織、橋本典久、山本努武、るさんちまん〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ネクスト：メディア・アートの新世代

NTT 出版　2004 年 4 月 23 日　英文併載

畠中 実：n_ext へ向けて

阿部一直：速度依存症の美学

四方幸子：アート&ビヨンドーオープン・コミュニティの実験

清水建人：日常的な言葉としてのメディア・アート

森山朋絵：まだ暗く、遠い道の果てにーn_ext：メディア・アートの新世代によせて

安藤孝浩、エキソニモ、大畑彩、春日聡、齋藤正和、澤井妙治＋城一裕＋真鍋大度、鈴木太朗、徳井直生、中居伊織、橋本典久、山本努武、るさんちまん：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

コネクティング・ワールド〈創造的コミュニケーションに向けて〉 ●

欧文タイトル：「Connecting Worlds」

会期：2006 年 9 月 15 日－11 月 26 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

出品：エキソニモ、MaSS Dev.、毛利悠子＋三原聡一郎、タノタイガ〔図版収載順〕
註：出品欄は日本作家、ユニットを収載。
○展覧会カタログ
コネクティング・ワールド〈創造的コミュニケーションに向けて〉
NTT 出版　2006 年 9 月 15 日　英文併載
四方幸子：コネクティング・ワールド――未知へと接続しつづけること
池上高志：物語りからテクスチャーの並列性へ
佐藤俊樹：つながりは世界を断線する
四方幸子、中島史江：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

サイレント・ダイアローグ 見えないコミュニケーション ●
欧文タイトル：「silent dialogue」
会期：2007 年 11 月 23 日－2008 年 2 月 17 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]
出品：藤枝守＋銅金裕司、藤幡正樹＋銅金裕司、安藤孝浩、tEnt(田中浩也＋久原真人)〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
サイレント・ダイアローグ 見えないコミュニケーション
NTT 出版　2008 年 2 月 5 日
畠中 実：見えない世界との対話〈サイレント・ダイアローグ〉
銅金裕司：わたしたちが持つべき微細な「緒力」について〈新コンセプト「manuality」の重要性／サイレント・ダイアローグに向けて〉
デイヴィッド・ダン：二重記述の必要性
畠中実、指吸保子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

大原美術館

青春は不定形〈パリ－日本 一九五〇年代〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2004 年 4 月 9 日－5 月 30 日　倉敷・大原美術館　主催：大原美術館
出品：ジャン・フォートリエ、ヴォルス、ジャン・デュビュッフェ、カレル・アペル、アントニ・タピエス、ハンス・アルトゥング、ジョルジュ・マチウ、ジャン＝ポール・リオペール、ピエール・スーラージュ、ピエール・アレシンスキー、ジュセッペ・カポグロッシ、今井俊満、堂本尚郎、元永定正、白髪一雄、福島秀子〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
青春は不定形〈パリ－日本 一九五〇年代〉

大原美術館　2004 年 4 月 9 日
高階秀爾：青春の戦後美術－アンフォルメルとその時代
芳賀 徹：アンフォルメルな回想－1950 年代のパリと日本
吉川あゆみ：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

インパクト 東と西の現代－もう一つの大原美術館 ●
欧文タイトル：「IMPACT」
会期：2006 年 7 月 11 日－11 月 5 日　倉敷・大原美術館　主催：大原美術館、共催：山陽新聞社
出品：福田美蘭、中川幸夫、森山大道、田嶋悦子、会田誠、山口晃、やなぎみわ、鴻池朋子、小谷元彦、蜷川実花、鯉江真紀子、津上みゆき、小林孝亘、東島毅〔作品リスト順〕
註：「第十章 21 世紀の大原美術館」の戦後作品の出品作家を収載。
○展覧会カタログ
インパクト 東と西の現代－もう一つの大原美術館
大原美術館　2006 年 7 月 11 日
高階秀爾：インパクト展の意味するもの
柳沢秀行、孝岡睦子、サラ・デュルト：〔章解説、論考〕
註：章解説(柳沢秀行)の最終章に「21 世紀の大原美術館」があり現代作家に触れられている。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

小原流会館エスパス OHARA
第 1 回平行芸術展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1981 年 8 月 6 日－19 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流
出品：戸谷成雄、花井重信、松宮喜代勝、小清水漸、長谷光城、佐々木悦弘、川俣正、菅木志雄、保科豊巳、加茂博〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
平行芸術展
財団法人小原流　1981 年 8 月　1 枚(両面刷)　第 1 回展
峯村敏明：「平行芸術展」企画者の弁
戸谷成雄、花井重信、松宮喜代勝、小清水漸、長谷光城、佐々木悦弘、川俣正、菅木志雄、保科豊巳、加茂博：〔作家のことば〕
所蔵：□、都現美、和光大
第 2 回平行芸術展 不透明性をめぐって ●

欧文タイトル：未詳(当該カタログ未見につき)

会期：1982 年 7 月 22 日－27 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：池ヶ谷肇、大村益三、岡崎乾二郎、黒川弘毅、田窪恭治、多和圭三、福岡道雄、宮内洋幸

〇展覧会カタログ

第 2 回平行芸術展

財団法人小原流　1982 年 7 月

峯村敏明：なぜ彫刻か

池ヶ谷肇、大村益三、岡崎乾二郎、黒川弘毅、田窪恭治、多和圭三、福岡道雄、宮内洋幸：〔作家のことば〕

所蔵：□、都現美

註：未見につき峯村敏明編著『平行芸術の 80 年代 1981－1991』(美術出版社 1992 年 9 月)に拠った。

第 3 回平行芸術展 翻る表面 裏返る表面――構成と分節 ●

欧文タイトル：未詳(当該カタログ未見)

会期：1983 年 7 月 21 日－26 日　南青山・東京小原流会館 9 階ホール　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：片桐俊文、近藤博志、庄司達、高木修、遠山香苗、保科豊巳

〇展覧会カタログ

第 3 回平行芸術展

財団法人小原流　1983 年 7 月

峯村敏明：唯表面主義の綻び

片桐俊文、近藤博志、庄司達、高木修、遠山香苗、保科豊巳：〔作家のことば〕

所蔵：□、都現美

註：未見につき峯村敏明編著『平行芸術の 80 年代 1981－1991』(美術出版社 1992 年 9 月)に拠った。

第 4 回平行芸術展〈SUBJECT-SYMBOL-APPARITION〉 ●

欧文タイトル：「“Parallelism in Art” No.4」

会期：1984 年 5 月 31 日－6 月 12 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：遠藤利克、深井隆、北辻良央、黒川弘毅、長澤英俊、戸谷成雄、矢野美智子〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

第 4 回平行芸術展〈SUBJECT-SYMBOL-APPARITION〉

財団法人小原流　1984 年 5 月　1 枚(両面刷)

峯村敏明：形而上的価値を射(鋳)る者たち

遠藤利克、深井隆、北辻良央、黒川弘毅、長澤英俊、戸谷成雄、矢野美智子：〔作家のこ

とば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大

第 5 回平行芸術展 ノスタルジアの歩行様式 ●

欧文タイトル：「“Parallelism in Art” No.5」

会期：1986 年 6 月 14 日－22 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー／6 月 25 日－30 日　大阪・小原流研修会館 2 階　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：稲垣敦雄、越前谷嘉高、大森博之、橘田尚之、小泉俊己、駒形克哉、近藤昌美、松本春崇〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 5 回平行芸術展 ノスタルジアの歩行様式

財団法人小原流　1986 年 6 月　1 枚(両面刷)

峯村敏明：「心のカメラを引いて見よ」

稲垣敦雄、越前谷嘉高、大森博之、橘田尚之、小泉俊己、駒形克哉、近藤昌美、松本春崇：〔作家のことば〕

所蔵：□、東近美、横浜美、和光大

第 6 回平行芸術展 彫刻の夢と現実 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 7 月 21 日－31 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：小野初代、笠原たけし、高橋裕二、中原浩大、橋本夏夫、山口奉宏、山本かず子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 6 回平行芸術展 彫刻の夢と現実

財団法人小原流　1987 年 7 月　1 枚(両面刷)

峯村敏明：モルペウスの芸術をたたえて

小野初代、笠原たけし、高橋裕二、中原浩大、橋本夏夫、山口奉宏、山本かず子：〔作家のことば〕

所蔵：□、和光大

第 7 回平行芸術展 しげるものたち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 8 月 26 日－9 月 8 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：青木野枝、上野慶一、鈴木省三、千崎千恵夫、宮島達男〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 7 回平行芸術展 しげるものたち

財団法人小原流　1988 年 8 月　1 枚(両面刷)

峯村敏明：ヴィジョンと‘しげり’

青木野枝、上野慶一、鈴木省三、千崎千恵夫、宮島達男：〔作家のことば〕

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大

第 8 回平行芸術展 樹木のセンセーション ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 7 月 20 日－30 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：北川聡、吉田宏、さかぎしよしおう、高見澤文雄、松井智惠〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 8 回平行芸術展 樹木のセンセーション

財団法人小原流　1989 年 7 月　1 枚(両面刷)

峯村敏明：樹木のセンセーション――滲む光

北川聡、吉田宏、さかぎしよしおう、高見澤文雄、松井智惠：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、和光大

第 9 回平行芸術展 既視感の食卓 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 7 月 13 日－31 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：石原友明、髙柳恵里、竹内義郎、舟越直木、チャールズ・ウォーゼン、山崎豊三、山田和夫〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 9 回平行芸術展 既視感の食卓

財団法人小原流　1990 年 7 月　1 枚(両面刷)

峯村敏明：1990 年――「食卓派」の登場

石原友明、髙柳恵里、竹内義郎、舟越直木、チャールズ・ウォーゼン、山崎豊三、山田和夫：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、和光大

第 10 回平行芸術展 25 時の表現欲求 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 9 月 18 日－30 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：松井利夫、佐藤時啓、高石誠、渡辺英司、假屋崎省吾〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 10 回平行芸術展 25 時の表現欲求

財団法人小原流　1991 年 9 月　1 枚(両面刷)

峯村敏明：25 時の表現欲求

松井利夫、佐藤時啓、高石誠、渡辺英司、假屋崎省吾：〔作家のことば〕

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、和光大

TEMPVS VICTVM〈生きられた時間 MTM コレクションの 80 年代〉 ●

会期：1992 年 9 月 24 日－10 月 3 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　主催：財団

法人小原流：エスパス OHARA

出品：青木野枝、石川順惠、上野慶一、越前谷嘉高、遠藤利克、大森博之、岡崎乾二郎、小野初代、笠原たけし、加茂博、川俣正、北辻良央、黒川弘毅、小泉俊己、小林正人、駒形克哉、菅木志雄、鈴木省三、髙柳恵里、竹内義郎、多和圭三、戸谷成雄、長澤英俊、中原浩大、中村一美、橋本夏夫、彦坂尚嘉、深井隆、舟越桂、舟越直木、堀浩哉、前本彰子、松井智惠、松浦寿夫、松本春崇、丸山直文、矢野美智子、山崎豊三、山田正亮、李禹煥〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

TEMPVS VICTVM〈生きられた時間 MTM コレクションの 80 年代〉

小原流企画部　1992 年 9 月

峯村敏明：ウクライナのローマ人にならって

所蔵：□、国新美、東文研、東大駒

第 11 回平行芸術展 全面展開期の絵画－I〈絵画と空間〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 10 月 6 日－17 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：石川順惠、竹内義郎、松居永樹〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 11 回平行芸術展 全面展開期の絵画－I〈絵画と空間〉

小原流企画部　1992 年 12 月序

峯村敏明：物質・物体・空間の連環のなかで

松浦寿夫・松居永樹・石川順惠・竹内義郎、司会・峯村敏明：シンポジウム 絵画の空間を問う

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大

第 12 回平行芸術展 全面展開の絵画-II〈イメージのついえ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 6 月 29 日－7 月 10 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：越前谷嘉高、加藤学、長橋秀樹、丸山直文〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 12 回平行芸術展 全面展開の絵画-II〈イメージのついえ〉

財団法人小原流：エスパス OHARA　1993 年 6 月

峯村敏明：イメージ――風を告げるもの

峯村敏明、丸山直文・長橋秀樹・加藤学・越前谷嘉高・谷川渥：シンポジウム 絵画にとってイメージとは何か

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、東大駒

〈かたまり彫刻〉とは何か ●

欧文タイトル：「What Is the Katamari Sculpture? Here Begins a Counter-attack against

Twentieth Century's Visualism」

会期：1993 年 12 月 1 日－14 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA & 1 階ロビー　企画・構成：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：戸谷成雄、黒川弘毅、多和圭三、高橋裕二、山崎豊三、大森博之、笠原たけし、舟越直木、坂東正章、丸山富之、虎尾裕、彦坂尚嘉、相田正則〔寄稿順〕

○展覧会カタログ

〈かたまり彫刻〉とは何か 図録

財団法人小原流　1993 年 12 月 1 日

峯村敏明：とどまる手と超える手の間で

峯村敏明：〈かたまり彫刻〉図入り年表

戸谷成雄、黒川弘毅、多和圭三、高橋裕二、山崎豊三、大森博之、笠原たけし、舟越直木、坂東正章、丸山富之、虎尾裕、彦坂尚嘉、相田正則：〈かたまり彫刻〉について私はこう考える

峯村敏明、長瀬雅之：編集

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美

第 13 回平行芸術展 全面展開期の絵画－III〈レトリックの一擲〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 11 月 21 日－12 月 2 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：岡崎乾二郎、中村一美、松浦寿夫、松本春崇〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 13 回平行芸術展 全面展開期の絵画－III〈レトリックの一擲〉

小原流企画開発部　1998 年 12 月 1 日

峯村敏明：空位の海、あるいはレトリックの絵画

註：展覧会の開催は「1994 年 11 月－12 月」で、発行日が「1998 年 12 月 1 日」とあるのは一般的ではないが、企画者の文章が「1998 年 11 月 2 日」と結ばれていることからも、間がかなり空いての刊行であったことが知られる。特別なケースなので、配列は開催初日の「1994 年 11 月 21 日」として扱い、例外とする。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大

第 14 回平行芸術展 目覚めぎわの物たち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 9 月 9 日－28 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：小林孝亘、遠山華子、吉田清美、吉田哲也〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 14 回平行芸術展 目覚めぎわの物たち

小原流企画開発部　1998 年 12 月 1 日

峯村敏明：孤立し痩せてこその物の強さ

註：前回と同様に時間を経ての刊行となっていて、第 13 回平行芸術展カタログと同時に刊行された。企画者の文章も 2 日後の「1998 年 11 月 4 日」となっている。本カタログも配列は、第 13 回同様に開催初日の「1996 年 9 月 9 日」として扱い、例外とした。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大

第 15 回平行芸術展 イメージ・ストーカー ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 12 月 1 日－15 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、

主催：財団法人小原流

出品：高橋信行、林田直子、丸山直文、米原昌郎、渡邉盈〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 15 回平行芸術展 イメージ・ストーカー

小原流企画開発部　1999 年 3 月 27 日

峯村敏明：ゆらぐイメージ、厳密なる偽装

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、和光大

第 16 回平行芸術展 響きと絵画 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 9 月 18 日－30 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、

主催：財団法人小原流

出品：岩熊力也、中沢研、吉田暁子〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 16 回平行芸術展 響きと絵画

小原流企画開発部　2001 年 10 月 1 日〔小原流会館エスパス OHARA〕

峯村敏明：情調論のはじまりに

吉田暁子：全ては夜の耳を持つこと

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、和光大

第 17 回平行芸術展 桜の花は匂わないか? ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 12 月 2 日－14 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、

主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

出品：遠藤丈暁、栗原一成、小島敏男、小瀬村真美〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 17 回平行芸術展 桜の花は匂わないか?

多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース　2002 年 12 月 20 日〔小原流会館エスパス OHARA〕

峯村敏明：〔ことば〕

峯村敏明：そして、匂いのこと

遠藤丈暁、栗原一成「光を超えた光」、小島敏男、小瀬村真美：〔作家のことば〕

今村知広、古谷恵三子、緒方友子、森本桂：終わりに

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

第 18 回平行芸術展　〈あざやか〉の構造 ●

欧文タイトル：「Parallelism in Art sense of azayaka」

会期：2003 年 10 月 27 日－11 月 8 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

出品：井出創太郎、齋藤芽生、さとう陽子、袴田京太朗、橋本倫〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 18 回平行芸術展　〈あざやか〉の構造 カタログ

多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース　2003 年 12 月 10 日〔小原流会館エスパス OHARA〕

峯村敏明：〈あざやか〉には影がある

岩堀綾子、平田剛志：批評の試み

井出創太郎、齋藤芽生、さとう陽子、袴田京太朗、橋本倫：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

第 19 回平行芸術展 彫刻は自分の半身を取り戻す ●

欧文タイトル：「The 19th Exhibition of Parallelism in Art “Sculpture Taking Back Its Own Shadow”」

会期：2004 年 11 月 1 日－13 日　南青山・小原流会館 1 階／エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

出品：大森博之、川島亮子、金智仁、水上嘉久、増田克史〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 19 回平行芸術展 彫刻は自分の半身を取り戻す

多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース　2005 年 1 月 7 日

峯村敏明：彫刻は「関係」からの超出を志向する

大森博之、川島亮子、金智仁、水上嘉久、増田克史：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大

第 20 回平行芸術展 崩落の記譜法 ●

欧文タイトル：「The Last Exhibition of Parallelism in Art “Patterns of Descension”」

会期：2005 年 10 月 24 日－11 月 5 日　南青山・小原流会館 1 階／エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

出品：山下香里、横尾忠則、黒須信雄、染谷亜里可、戸谷成雄、遠藤利克〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

第 20 回平行芸術展 崩落の記譜法

多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース　2006 年 1 月 5 日〔小原流会館〕

峯村敏明：〔閉幕のことば〕

峯村敏明：崩落の記譜法は崩落しない

遠藤利克、黒須信雄、染谷亜里可、戸谷成雄、山下香里、横尾忠則：「崩落」によせて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

カ

カスヤの森現代美術館

絵画＝単立と連立…1〈今、絵画はどこへ行こうとしているのか!?〉●

欧文タイトル：「Painting Today」

会期：2003 年 9 月 3 日－11 月 2 日　横須賀・カスヤの森現代美術館　主催：カスヤの森現代美術館

出品：合田佐和子、若江漢字、宮嶋葉一、O JUN、長谷川繁、湯川雅紀〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

絵画＝単立と連立…1〈今、絵画はどこへ行こうとしているのか!?〉

〔カスヤの森現代美術館〕　2003 年 9 月

光田由里：絵画を背負う背中

所蔵：□、国新美、神近美、横浜美

コラボレーションの磁場〈デュシャン、マン・レイをめぐって〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 11 月 7 日－12 月 7 日　横須賀・カスヤの森現代美術館　主催：カスヤの森現代美術館

出品：瀧口修造、岡崎和郎、若江漢字〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

コラボレーションの磁場〈デュシャン、マン・レイをめぐって〉

カスヤの森現代美術館　2003 年 11 月　瀧口修造・生誕 100 年記念展　2 枚(二ツ折両面刷)

土渕信彦：コラボレーションの磁場

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美

軽井沢高輪美術館　――→セゾン現代美術館

川村記念美術館　――→DIC 川村記念美術館

清里フォトアートミュージアム

本報告書では写真、デザイン、工芸（陶芸）の専門美術館は採録の対象から外したので巡回展のみ記載することにする。

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉●

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」

会期：2009 年 5 月 2 日－6 月 21 日　世田谷美術館／8 月 27 日－10 月 28 日　酒田・土門拳記念館／11 月 6 日－12 月 13 日　名古屋・愛知県美術館／2010 年 6 月 5 日－8 月 31 日　清里フォトアートミュージアム

主催：清里フォトアートミュージアム〔巡回 4-4〕
――→世田谷美術館〔巡回 4-1〕

近鉄アート館

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 11 月 6 日－17 日　名古屋・松坂屋美術館／1999 年 1 月 3 日－15 日　新潟・三越／3 月 2 日－8 日　大阪・近鉄アート館／4 月 29 日－6 月 9 日　新宿・安田火災東郷青児美術館／6 月 19 日－7 月 11 日　明石市立文化博物館
主催：産経新聞社〔巡回 5-3〕
――→松坂屋美術館〔巡回 5-1〕

サ

斎藤記念川口現代美術館

レクイエム〈榎倉康二と 33 人の作家〉●
欧文タイトル：「REQUIEM：Koji Enokura and 33 Artists」
会期：1996 年 3 月 29 日－5 月 26 日　川口市・斎藤記念川口現代美術館　主催：斎藤記念川口現代美術館・レクイエム－榎倉康二と 33 人の作家－展実行委員会
出品：東慶太郎、川島清、近藤克、川俣正、菊池敏直、千崎千恵夫、竹田康宏、保科豊巳、田中睦治、小林亮介、小山穂太郎、佐川晃司、池田雅文、中村一美、丸山常生、和田賢一、佐藤時啓、紫牟田和俊、宮島達男、関口敦仁、野村和弘、福田由紀夫、古井智、近藤昌美、茂井健司、日下淳一、小屋哲雄、白井美穂、佐藤友則、長橋秀樹、大村雄一郎、上村豊、日比野ルミ〔出品作品リスト順〕
○展覧会詳細
会期：Part 1・1996 年 3 月 29 日－4 月 14 日、Part 2・4 月 19 日－5 月 5 日、Part 3・5 月 10 日－26 日
出品：Part1；榎倉康二、上村豊、日下淳一、関口敦仁、日比野ルミ、福田由紀夫、保科豊巳、丸山常生、宮島達男。Part2；榎倉康二、川島清、川俣正、菊池敏直、小山穂太郎、近藤昌美、佐川晃司、佐藤時啓、紫牟田和俊、千崎千恵夫、竹田康宏、田中睦治、野村和弘、東慶太郎。Part3；榎倉康二、池田雅文、大村雄一郎、小林亮介、小屋哲雄、近藤克、佐藤友則、茂井健司、白井美穂、中村一美、長橋秀樹、古井智、和田賢一〔標題紙リスト順〕
○展覧会カタログ
レクイエム〈榎倉康二と 33 人の作家〉
斎藤記念川口現代美術館　1996 年 3 月
森田　一：「レクイエム」展企画－榎倉康二再思のために
東慶太郎、川島清、近藤克、川俣正、菊池敏直、千崎千恵夫、竹田康宏、保科豊巳、田中睦治、小林亮介、小山穂太郎、佐川晃司、池田雅文、中村一美、丸山常生、和田賢

一、佐藤時啓、紫牟田和俊、宮島達男、関口敦仁、野村和弘、福田由紀夫、古井智、近藤昌美、茂井健司、日下淳一、小屋哲雄、白井美穂、佐藤友則、長橋秀樹、大村雄一郎、上村豊、日比野ルミ：出品作家コメント

森田一、松尾子水樹：編集

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学

サントリー美術館

現代陶芸〈伝統と前衛〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 2 月 2 日－3 月 28 日　赤坂・サントリー美術館　主催：サントリー美術館

出品：八木一夫、鈴木治、熊倉順吉、荒木高子、中村錦平、三輪龍作、佐藤敬、鯉江良二、星野暁〔出品目録順〕

註：出品欄は「前衛の担い手」の 9 作家を収載。

○展覧会カタログ

現代陶芸〈伝統と前衛〉

サントリー美術館　1982 年 2 月　開館 20 周年記念

林屋晴三：現代陶芸〈伝統と前衛〉

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、京都学、東大駒、国会図

サントリーミュージアム[天保山]

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉●

欧文タイトル：「TAKARAZUKA　The Land of Dreams」

会期：2004 年 4 月 17 日－6 月 20 日　サントリーミュージアム[天保山]／7 月 24 日－9 月 26 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー／11 月 13 日－12 月 12 日　横浜・そごう美術館

主催：サントリーミュージアム[天保山]・NHK 大阪放送局・NHK きんきメディアプラン〔巡回 3-1〕

出品：西山美なコ、森村泰昌、横尾忠則、やなぎみわ、蜷川実花〔出品作品目録順〕

○展覧会カタログ

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉作家編

サントリーミュージアム[天保山]　2004 年 4 月 16 日

渡邊彩子：アイコトバは「タカラヅカ」

やなぎみわ：処女神よりは、グロリアになりたい

西山美なコ、森村泰昌、横尾忠則、やなぎみわ、蜷川実花、生意気：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、和光大、国会図

ストライプハウス美術館

現代の美術 今日の作家 5 人展 ●

欧文タイトル：「Exhibition of 5 Japanese Artist of today」

会期：1981 年 9 月 8 日－30 日　六本木・ストライプハウス美術館　主催：ストライプハウス美術館

出品：内間安理、重田良一、澄川喜一、堂本尚郎、松本旻〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

現代の美術 今日の作家 5 人展

ストライプハウス美術館　1981 年 9 月　英文併載

塚原 操：〔あいさつ〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大

マニフェスト展〈世紀末大学開講記念 混沌の現実に未来を視つめる・8 人の世紀末宣言〉 ●

欧文タイトル：「University of the End of the Century・Tokyo」

会期：1993 年 6 月 4 日－26 日　六本木・ストライプハウス美術館　主催：公開講座「世紀末大学」

出品：池田龍雄、井上武吉、大成浩、加藤正、塚原琢哉、山内泰雄、山口勝弘、ワシオ・トシヒコ〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

マニフェスト展〈世紀末大学開講記念 混沌の現実に未来を視つめる・8 人の世紀末宣言〉

ストライプハウス美術館　1993 年 5 月

塚原琢哉：ごあいさつ

池田龍雄、井上武吉、大成浩、加藤正、塚原琢哉、山内泰雄、山口勝弘、ワシオ・トシヒコ：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

駿府博物館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 10 月 2 日－23 日　八戸市美術館／11 月 2 日－23 日　名古屋・愛知県美術館／12 月 4 日－25 日　静岡市・駿府博物館／1989 年 1 月 11 日－29 日　横浜・そごう美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・静岡県教育委員会・財団法人駿府博物館〔巡回 4-3〕

――→八戸市美術館〔巡回 4-1〕

西武美術館

日本現代美術の展望 ●

欧文タイトル：「View of Japanese Contemporary Art」

会期：1975 年 9 月 5 日－14 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館

出品：靉嘔、荒川修作、飯田善國、池田満寿夫、伊藤隆道、宇佐美圭司、加納光於、清水九兵衛、桑山忠明、篠田守男、篠原有司男、新宮晋、菅井汲、関根伸夫、高松次郎、多田美波、

田中信太郎、田淵安一、堂本尚郎、中西夏之、野田哲也、三木富雄、三尾公三、保田春彦、山口勝弘、横尾忠則、若林奮〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

日本現代美術の展望

西武美術館　1975 年 9 月

堤 清二：時代精神の根據地として

大岡 信：葉の中で疼〈光へ向って――現代芸術の行方〉

岡田隆彦：豊かなのか混乱なのか

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、京都学、和光大

Art Today ’77 見えることの構造 6 人の目 ●

欧文タイトル：「STRUCTURE OF SEEING」

会期：1977 年 7 月 7 日－27 日　池袋・西武美術館　ゲスト・キュレーター：東野芳明、主催：西武美術館

出品：宇佐美圭司、河口龍夫、倉俣史朗、斉藤智、島州一〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

Art Today ’77 見えることの構造 6 人の目

西武美術館　1977 年 7 月

東野芳明：見えることの構造

宇佐美圭司、河口龍夫、倉俣史朗、斉藤智、島州一：〔作家のことば〕

註：作家のことばは、それぞれ「宇佐美圭司による宇佐美圭司」のように自らを書いている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

時代の証言＝パリ・ビエンナーレ’59－’73 ●

欧文タイトル：「BIENNALE DE PARIS ’59－’73」

会期：1978 年 3 月 3 日－29 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館・読売新聞社

出品：佐藤亜土、堂本尚郎、榎倉康二、工藤哲巳、高松次郎〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

時代の証言＝パリ・ビエンナーレ’59－’73

西武美術館・読売新聞社　1978 年 3 月

岡田隆彦：パリ・ビエンナーレ

ジョルジュ・ブダイユ：パリ・ビエンナーレの 20 年――現代芸術の検証と展望

第 3 回・岡本謙次郎、大岡信、第 4 回・小倉忠夫、第 5 回・中原佑介、第 6 回・東野芳明、第 7 回・岡田隆彦：〔コミッショナーの寄稿〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

art today ’79 木との対話 ●

欧文タイトル：「art today ’79 “Wood works by three artists”」

会期：1979 年 3 月 3 日－27 日　池袋・西武美術館　コミッショナー：中原佑介、主催：西

武美術館

出品：小清水漸、彦坂尚嘉、最上壽之〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

art today ’79 木との対話

西武美術館　1979 年 3 月　art today 第 2 回展

中原佑介：「木との対話」についての相手のない対話

小清水漸、彦坂尚嘉、最上壽之：中原佑介対談

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大

Art Today ’80 絵画の問題展〈ロマンティックなものをこえて〉●

欧文タイトル：「art today ’80 Paintings in 1980 by three artists」

会期：1980 年 11 月 15 日－12 月 17 日　池袋・西武美術館　構成：藤枝晃雄、主催：西武美術館

出品：辰野登恵子、根岸芳郎、依田寿久〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

Art Today ’80 絵画の問題展〈ロマンティックなものをこえて〉

西武美術館　1980 年 11 月

藤枝晃雄：絵画の問題〈ロマンティックなものをこえて〉

辰野登恵子、根岸芳郎、依田寿久：〔作家コメント〕

所蔵：□、国新美、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大

もの派とポストもの派の展開〈1969 年以降の日本の美術〉●

欧文タイトル：「Art in Japan since 1969／MONO-HA and POST MONO-HA」

会期：1987 年 6 月 26 日－7 月 19 日　池袋・西武美術館 主催：多摩美術大学・西武美術館

出品：関根伸夫、李禹煥、菅木志雄、小清水漸、吉田克朗、成田克彦、山中信夫、北辻良央、田窪恭治、諏訪直樹、戸谷成雄、海老塚耕一、川俣正、岡崎乾二郎、吉澤美香、平林薫、加茂博、深井隆、矢野美智子、遠藤利克、黒川弘毅、前本彰子〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

もの派とポストもの派の展開〈1969 年以降の日本の美術〉

多摩美術大学・西武美術館　1987 年 6 月

東野芳明：もの派とポストもの派の展開－関係者の随想

峯村敏明：もの派はどこまで超えられたか

森司、清水哲朗、塩崎有隆、荻原佐和子、難波英夫、岡しげみ.：作家解説

森口 陽：もの派・再制作手控え

峯村敏明編：同時代の発言　再録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

セゾン現代美術館（軽井沢高輪美術館）

現代美術・その先駆者たちと現在〈大原美術館コレクションから〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 4 月 8 日－25 日　尼崎・つかしんホール／4 月 29 日－7 月 16 日　軽井沢高輪美術館

主催：軽井沢高輪美術館・大原美術館・西武美術館〔巡回 2-2〕

――→つかしんホール〔巡回 2-1〕

ART TODAY 1986「ポスト・モダンの病理学」●

欧文タイトル：「PATHOLOGY OF POST-MODERN」

会期：1986 年 9 月 6 日－11 月 3 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館

出品：山本富章、関口敦仁、中原浩大、髙崎正治〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 1986「ポスト・モダンの病理学」

軽井沢財団法人高輪美術館　1986 年 9 月

森口 陽：問題提起的視点としてのタイトル――《ポスト・モダンの病理学》について

難波英夫：ポスト・モダン/病/パトス

塩崎有隆、中村麗、清水哲朗、新見隆：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美

ART TODAY 1987「趣味の社会への平手打ち」●

欧文タイトル：「ART TODAY 1987：A SLAP IN THE FACE OF TASTEFUL PUBLIC」

会期：1987 年 9 月 12 日－11 月 3 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館

出品：中村一美、岡崎乾二郎、遠藤利克、吉原悠博〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 1987「趣味の社会への平手打ち」　軽井沢高輪美術館・西武美術館編

軽井沢財団法人高輪美術館　1987 年 9 月

岡田隆彦：独自のかたちを作ろうとする行為

三浦雅士：趣味の社会への平手打ち

中村 麗：中村一美 変位する空間

清水哲朗：岡崎乾二郎 視線の変遷

塩崎有隆：遠藤利克 原初的 image へ

新見 隆：吉原悠博 うなりのハコ、ひかりのなかで

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

ART TODAY 1989 主題のない四楽章 ●

会期：1989 年 9 月 8 日－11 月 5 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館・セゾン文化財団

出品：池田真規子、小山穂太郎、白井美穂、タナカノリユキ〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 1989 主題のない四楽章

軽井沢財団法人高輪美術館　1989 年 9 月

難波英夫、中村麗、清水哲朗、小林等／新見隆：〔作家論〕

東野芳明＋三浦雅士：対談 80 年代って何だっけ?

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

Art Today 1990 複製技術時代の芸術(アウラ)復興 ●

欧文タイトル：「ART TODAY ’90」

会期：1990 年 9 月 8 日－11 月 4 日　軽井沢高輪美術館　主催：セゾン文化財団・軽井沢財団法人高輪美術館・セゾン美術館

出品：長沢秀之、矢野美智子、近藤昌美、豊嶋康子〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

Art Today 1990 複製技術時代の芸術(アウラ)復興

セゾン文化財団・軽井沢高輪美術館　1990 年 9 月

中村麗、難波英夫、清水哲朗、杉山悦子：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

Art Today’92 トランスアートのパラドックス／透明な光のポリフォニー ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 9 月 11 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

出品：赤塚祐二、江上計太、大森裕美子、森田彗〔図版リスト順〕

○展覧会カタログ

Art Today’92 トランスアートのパラドックス／透明な光のポリフォニー

セゾン現代美術館　1992 年 9 月

清水哲朗：「アート・トゥデイ 1992」展 副題の設定と「透明な光のポリフォニー」について

中村 麗：「トランスアートのパラドックス」に関するメモ書

清水哲朗、中村麗：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒

ART TODAY ’93 ネオ・ジャパノロジー考 ●

欧文タイトル：「ART TODAY ’93」

会期：1993 年 9 月 11 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

出品：日高理恵子、アズビー・ブラウン、村上隆、尹熙倉〔図版リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY ’93 ネオ・ジャパノロジー考

セゾン現代美術館　1993 年 9 月

清水哲朗：Art Today 1993「ネオ・ジャパノロジー考」と私達の「新しい日本学」について

U.N.：「ネオ・ジャパノロジー考」を考える
中村麗、清水哲朗：〔作家論〕
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、和光大

ART TODAY 1994 サンクチュアリ(聖域)－20 世紀末芸術における「聖域」をめぐる一考察 ●
欧文タイトル：「SANCTUARY：THOUGHTS ON SANCTUARIES IN ART AT THE END OF THE TWENTIETH CENTURY」
会期：1994 年 10 月 8 日－12 月 4 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館
出品：鈴木範一、津村耕佑、内藤礼、中尾寛、宮島達男、横尾忠則、建畠哲、篠原資明、川口晴美、芦田みゆき〔リスト順〕
○展覧会カタログ
ART TODAY 1994 サンクチュアリ(聖域)－20 世紀末芸術における「聖域」をめぐる一考察
セゾン現代美術館　1994 年 10 月
清水哲朗：サンクチュアリ(聖域)－20 世紀末芸術における「聖域」をめぐる一考察
建畠哲、篠原資明、川口晴美、芦田みゆき：〔作家のことば・詩〕
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美

ART TODAY 1995 絵画レッスン〈5 つの方法論をめぐって〉 ●
会期：1995 年 9 月 9 日－11 月 26 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館
出品：宇田見ひとみ、小野友三、国民投票、湯浅龍平、吉川和江〔図版リスト順〕
○展覧会カタログ
ART TODAY 1995 絵画レッスン〈5 つの方法論をめぐって〉
セゾン現代美術館　1995 年 9 月
中村 麗：「芸術の習慣」としての絵画レッスン
宇田見ひとみ、小野友三、国民投票、湯浅龍平、吉川和江：〔作家のことば〕
中村麗、清水哲朗：〔作家論〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

ART TODAY 1996 ひながた〈これは現代美術ではない〉 ●
会期：1996 年 9 月 14 日－11 月 24 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館
出品：鵜飼美紀、黒田寛、祐成勝枝、水島大介〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
ART TODAY 1996 ひながた〈これは現代美術ではない〉
セゾン現代美術館　1996 年 9 月
清水哲朗：ART TODAY 1996 展「ひながた－これは現代美術ではない」〈その主題および副題への検討〉
鵜飼美紀、黒田寛、祐成勝枝、水島大介：〔作家のことば〕
清水哲朗、中村麗：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美

ART TODAY 1997 開かれた作品の詩学 オーペラ・アペルタ ●

欧文タイトル：「ART TODAY 1997　OPERA APERTA」

会期：1997 年 9 月 13 日－11 月 24 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：赤塚祐二、江上計太、岡崎乾二郎、黒田寛、小山穂太郎、豊嶋康子、中尾寛、長沢秀之、中村一美、アズビー・ブラウン、山本富章、湯浅龍平〔図版リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 1997 開かれた作品の詩学 オーペラ・アペルタ

財団法人セゾン現代美術館　1997 年 9 月　第 10 回記念

難波英夫：わたしの ART TODAY

中村 麗：開かれた作品

清水哲朗：立体性の美学－1980 年代日本現代美術への回想

赤塚祐二、江上計太、岡崎乾二郎、黒田寛、小山穂太郎、豊嶋康子、中尾寛、長沢秀之、中村一美、アズビー・ブラウン、山本富章、湯浅龍平：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文

ART TODAY 1998 ミメーシス――わたしの「かたち」〈世紀末の新しい表現〉 ●

欧文タイトル：「ART TODAY MIMESIS」

会期：1998 年 9 月 12 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：石川順惠、堂本右美、ひびのこづえ、森田多恵〔図版リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 1998 ミメーシス――わたしの「かたち」〈世紀末の新しい表現〉

セゾン現代美術館　1998 年 9 月

中村 麗：ミメーシスーわたしの「かたち」

石川順惠、堂本右美、ひびのこづえ、森田多恵：〔作家のことば〕

中村 麗：〔作家論〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、東大駒

ART TODAY 2000 3 つの回顧から ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 9 月 9 日－10 月 9 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

出品：伊藤誠、川島清、鷲見和紀郎〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 2000 3 つの回顧から

セゾン現代美術館　2000 年 9 月 9 日

難波英夫：メッセージ

伊藤誠、川島清、鷲見和紀郎、聞き手・難波英夫：〔作家は語る〕

伊藤誠、川島清、鷲見和紀郎：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、和光大

ART TODAY 2001 SANGAI ●

会期：2001 年 9 月 8 日－10 月 8 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：水上央子、松澤宥、磯辺行久〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 2001 SANGAI

セゾン現代美術館　2001 年 9 月 8 日

難波英夫：SANGAI／三外

磯辺行久：ワーキング・ノート

所蔵：□、国新美、東近美、都現美

ART TODAY 2004 ●

会期：2004 年 10 月 9 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

出品：山本晶、斎藤ちさと、すがわらきよみ〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 2004 図録

セゾン現代美術館　2004 年 10 月 9 日

難波英夫：メッセージ

山本晶、斎藤ちさと、すがわらきよみ：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、都現美、和光大

ART TODAY 2006 ●

会期：2006 年 10 月 7 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

出品：和田賢一、渡邉野子〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 2006 図録

セゾン現代美術館　2006 年 10 月 7 日

難波英夫：メッセージ

和田賢一、渡邉野子：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、和光大

ART TODAY 2011 昨日の今日と今日の今日 ●

会期：2011 年 10 月 8 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：赤塚祐二、石川順惠、磯辺行久、伊藤誠、宇佐美圭司、江上計太、岡田修二、菅野由美子、関口敦仁、堂本右美、中村一美、水上央子、安田佐智種、山本富章、吉澤美香〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ART TODAY 2011 昨日の今日と今日の今日 図版
財団法人セゾン現代美術館　2011 年 10 月 8 日
所蔵：□、国新美、東文研

セゾン美術館

日本の眼と空間〈もうひとつのモダン・デザイン〉●
欧文タイトル：「Japanese Aesthetics and Sense of Space　Another Aspect of Modern Japanese Design」
会期：1990 年 9 月 8 日－24 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館
出品：第 IX 章 近代の超克へ――その三つのかたち；白井晟一、八木一夫、イサム・ノグチ。
第 X 章 戦後デザインにおける「和風」；黒田辰秋、剣持勇、内田邦夫〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
日本の眼と空間〈もうひとつのモダン・デザイン〉
セゾン美術館　1990 年 9 月
新見 隆：序論――「日本の眼と空間」の目指すもの
バート・ウィンザー：20 世紀美術とデザインにおける日本の伝統の融和：イサム・ノグチ、八木一夫、白井晟一
註：現代作家に関する論考のみ採録。また、出品欄も戦後の章を収載した。
大塚保子、鍵岡正謹、鈴木尊志、新見隆：章解説、作家解説
梅宮弘光編：関連年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図、都中図

21 世紀・的・空間〈現代美術と民俗的空間の出会い：日本の眼と空間 III〉●
欧文タイトル：「A Vision of Japan for the 21st Century　Encounter of Contemporary Art and Folklore－Japanese Aesthetics and Sense of Space III」
会期：1994 年 2 月 23 日－4 月 4 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館
出品：アイディアル・コピー、今村源、大久保英治、大森裕美子、さかぎしよしおう、多和圭三、野村仁、林田直子、平川典俊、藤本由紀夫、尹熙倉〔図版収載順〕
註：本展は現代美術のほかに考古出土品、民俗祭祀、民具が出品された。
○展覧会カタログ
21 世紀・的・空間〈現代美術と民俗的空間の出会い：日本の眼と空間 III〉
セゾン美術館・アイディアル・コピー　1994 年 2 月　英文併載
新見 隆：21 世紀・的・日本――未来の芸術家たちにあてる手紙
熊倉敬聡：「21 世紀・的・芸術」に向けて
岡 しげみ：神の宿る国
鈴木尊志：コラージュ・東方思考
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

視ることのアレゴリー　1995：絵画・彫刻の現在 ●

欧文タイトル：「ALLEGORY OF SEEING 1995：Painting and Sculpture in Contemporary Japan」

会期：1995 年 6 月 23 日－8 月 27 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館

出品：第 1 期 表層：矛盾の包摂；三輪美津子、東島毅、辰野登恵子、橋田尚之、中村一美、鷲見和紀郎、石川順惠、吉田哲也、菊池敏直、小林良一。第 2 期 形象：意味の転生；世良京子、中原浩大、赤塚祐二、谷口眞紀、岡崎乾二郎、吉川陽一郎、丸山直文、黒川弘毅、藤澤江里子、伊藤誠。第 3 期 風景：位相の変容；古井智、小池隆英、小林正人、青木野枝、松本陽子、細井篤、児玉靖枝、祐成政徳、松浦寿夫、長橋秀樹〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

視ることのアレゴリー　1995：絵画・彫刻の現在

セゾン美術館　1995 年 6 月

建畠 哲：“モルフィズム”の復活

杉山悦子：語りえぬ未知の現象〈アレゴリーという名の構造〉

是枝 開：絵画・彫刻の今日的問題

辰野登恵子、橋田尚之、中村一美、鷲見和紀郎、石川順惠、吉田哲也、菊池敏直、小林良一、世良京子、中原浩大、赤塚祐二、谷口眞紀、岡崎乾二郎、吉川陽一郎、丸山直文、黒川弘毅〔再録〕、藤澤江里子、伊藤誠、古井智、小池隆英、小林正人、青木野枝、松本陽子、細井篤、児玉靖枝、祐成政徳、松浦寿夫、長橋秀樹：テキスト

中島理壽編：年表：日本の現代美術展〈出品作家を中心に〉1987.6-1995.5

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

そごう美術館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 10 月 2 日－23 日　八戸市美術館／11 月 2 日－23 日　名古屋・愛知県美術館／12 月 4 日－25 日　静岡市・駿府博物館／1989 年 1 月 11 日－29 日　横浜・そごう美術館

主催：文化庁・東京国立近代美術館・神奈川県教育委員会・財団法人そごう美術館〔巡回 4-4〕

――→八戸市美術館〔巡回 4-1〕

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉 ●

欧文タイトル：「TAKARAZUKA　The Land of Dreams」

会期：2004 年 4 月 17 日－6 月 20 日　サントリーミュージアム[天保山]／7 月 24 日－9 月 26 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー／11 月 13 日－12 月 12 日　横浜・そごう美術館

主催：財団法人そごう美術館・NHK 横浜放送局・NHK プロモーション〔巡回 3-3〕

――→サントリーミュージアム[天保山]〔巡回 3-1〕

損保ジャパン東郷青児美術館（安田火災東郷青児美術館）

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 1 月 27 日－2 月 15 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社

出品：山田修市、安達博文、相田幸男、瀬川富紀男、吉岡正人、秋岡美帆、仏山輝美、諏訪敦。特別出品；奥谷博、渡辺恂三、小島信明、馬越陽子、白野文敏、豊島弘尚、櫻井晨正、今井信吾、絹谷幸二、高岸昇〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「DOMANI・明日」展 図録

読売新聞社　1998 年 1 月

奥谷 博：『DOMANI・明日』展開催にあたり

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、京都学、東大駒

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 11 月 6 日－17 日　名古屋・松坂屋美術館／1999 年 1 月 3 日－15 日　新潟・三越／3 月 2 日－8 日　大阪・近鉄アート館／4 月 29 日－6 月 9 日　新宿・安田火災東郷青児美術館／6 月 19 日－7 月 11 日　明石市立文化博物館

主催：安田火災美術財団・東京新聞・NHK サービスセンター〔巡回 5-4〕

――→松坂屋美術館〔巡回 5-1〕

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 1999〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 2 月 2 日－28 日　新宿・安田火災東郷青児美術館／4 月 11 日－5 月 9 日　秋田市立千秋美術館

主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社〔巡回 2-1〕

出品：川﨑麻児、西田俊英、山本直彰、内田あぐり、中村文子、末永敏明、浅野均、斉藤典彦。特別出品；大島哲以、小嶋悠司、戸田康一、平岩洋彦、松井和弘〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「DOMANI・明日」展 1999 図録

文化庁・読売新聞社　1999 年 2 月

大島哲以：「DOMANI・明日」展 1999 開催にあたり

川﨑麻児、西田俊英、山本直彰、内田あぐり〔2 行〕、中村文子、末永敏明、浅野均、斉藤典彦：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、東大駒、国会図

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 2000〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 2 月 23 日－3 月 26 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安

田火災美術財団・読売新聞社

出品：鎌谷伸一、鹿取武司、小枝繁昭、山口啓介、黒木重雄、佐藤時啓、小山愛人、天野純治。特別出品；吉田克朗、黒崎彰、魚住五百誉、原健、松本旻、舩坂芳助、二村裕子、高柳裕、富張広司、小作青史〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「DOMANI・明日」展 2000 図録

文化庁・読売新聞社　2000 年 2 月

魚住五百誉：「DOMANI・明日」展 2000 開催にあたり

鎌谷伸一、鹿取武司、小枝繁昭、山口啓介、黒木重雄、佐藤時啓、小山愛人、天野純治：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 2001〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2001 年 1 月 6 日－27 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社

出品：宇野務、黒川弘毅、高岡典男、下川昭宣、梶滋、袴田京太朗、伊藤誠、北郷悟。特別出品；一色邦彦、若林奮、最上壽之、河口龍夫、峯田義郎〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「DOMANI・明日」展 2001 図録

文化庁・読売新聞社　2001 年 1 月

一色邦彦：「DOMANI・明日」展 2001 開催にあたり

宇野務、黒川弘毅、高岡典男、下川昭宣、梶滋、袴田京太朗、伊藤誠、北郷悟：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

文化庁芸術家在外研修制度 35 周年記念 DOMANI・明日展 2002〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 1 月 23 日－2 月 24 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社、協力：文化庁芸術家在外研修員の会

出品：奥谷博、渡辺恂三、小島信明、馬越陽子、白野文敏、豊島弘尚、櫻井晨正、今井信吾、絹谷幸二、相笠昌義、櫃田伸也、齋藤研、上條陽子、伊庭新太郎、村山きおえ、市野英樹、川口起美雄、田村能里子、遠藤彰子、島谷晃、松永久、金森宰司、山田修市、北久美子、安達博文、久野和洋、相田幸男、瀬川富紀男、吉岡正人、伊藤育子、玉川信一、山内慶子、福井洋一、原田丕、福島瑞穂、小嶋悠司、戸田康一、谷中武彦、石踊紘一、川﨑麻児、西田俊英、内田あぐり、原健、松本旻、舩坂芳助、高柳裕、小作青史、池田良二、森野眞弓、若江漢字、多賀新、河内成幸、浜西勝則、星野美智子、山口啓介、柳澤紀子、天野純治〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「DOMANI・明日」展 2002 図録

文化庁・読売新聞社　2002 年 1 月

奥谷 博：文化庁芸術家在外研修制度 35 周年記念「DOMANI・明日」展 2002 開催にあたり

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2003〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 1 月 25 日－3 月 2 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：小林孝亘、丸山直文、新井知生、小澤基弘、宮森敬子、山本明比古、福士朋子、西大記、蛭田均、本田健〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

DOMANI・明日展 2003 図録

文化庁・読売新聞東京本社　2003 年 1 月

山本明比古：「DOMANI・明日」展 2003 開催にあたり

小林孝亘、丸山直文、新井知生、小澤基弘、宮森敬子、山本明比古、福士朋子、西大記、蛭田均、本田健：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

25 人の絵画展〈東郷青児美術館大賞 25 周年記念〉●

欧文タイトル：「“Works of 25 Prized Artists” in commemoration of the 25th anniversary of ‘Seiji Togo Memorial Museum of Art Grand Prix’」

会期：2003 年 4 月 26 日－6 月 29 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：宮永岳彦、三尾公三、島田章三、松樹路人、小松崎邦雄、清川泰次、富岡惣一郎、大沼映夫、田中稔之、森秀雄、堂本尚郎、渡辺豊重、後藤よ志子、野田弘志、佐々木豊、前田常作、馬越陽子、奥谷博、林敬二、島田鮎子、豊島弘尚、山本貞、福本章、笠井誠一、和田義彦〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

25 人の絵画展〈東郷青児美術館大賞 25 周年記念〉

損保ジャパン東郷青児美術館　2003 年 4 月 25 日

嘉門安雄：東郷青児美術館大賞に想う

三木多聞：25 人の絵画展について

陰里鐵郎：25 周年記念展にあたって

米倉 守：真如の月の影清し

中村隆夫：東郷青児美術館大賞、25 年の重み

植村鷹千代：安田火災東郷青児美術館大賞 15 回の顕彰を顧みて　再録

中島啓子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2004〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 1 月 24 日－3 月 3 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：日高理恵子、土手朋英、宮いつき、平山英樹、重政啓治、羽生輝、加藤晋、依田万実、松倉茂比古〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

DOMANI・明日展 2004 図録

文化庁・読売新聞東京本社　2004 年 1 月

羽生 輝：「DOMANI・明日」展 2004 開催にあたり

日高理恵子、土手朋英、宮いつき、平山英樹、重政啓治、羽生輝、加藤晋、依田万実、松倉茂比古：コメント、作家解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2005〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 1 月 21 日－2 月 24 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：佐藤杏子、山本麻友香、判治佐江子、筆塚稔尚、吉川直哉、大島成己、宮下マキ、渋谷和良、綿引明浩〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

DOMANI・明日展 2005 図録

文化庁・読売新聞東京本社　2005 年 1 月

判治佐江子：「DOMANI・明日」展 2005 開催にあたり

佐藤杏子、山本麻友香、判治佐江子、筆塚稔尚、吉川直哉、大島成己、宮下マキ、渋谷和良、綿引明浩：コメント、作家解説

註：この回から「DOMANI」に「ドマーニ あす」とルビが付される。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、国会図

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2006〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 1 月 20 日－3 月 1 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：前田哲明、塩野麻理、大井秀規、中山ダイスケ、楡木令子、棚田康司、横溝美由紀、

中ザワヒデキ、土岐謙次〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

DOMANI・明日展 2006 図録

文化庁・読売新聞東京本社　2006 年 1 月

大井秀規：「DOMANI・明日」展 2006 開催にあたり

野口玲一：作家解説

前田哲明、塩野麻理、大井秀規、中山ダイスケ、楡木令子、棚田康司、横溝美由紀、中ザワヒデキ、土岐謙次：コメント、作品解説

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2007〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 1 月 11 日－2 月 18 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：片山雅史、木村繁之、斉藤典彦、宮いつき、平木美鶴、木下恵介、栗田政裕、小野友三、吉川龍、平体文枝、水本剛廣、押江千衣子、諏訪敦、石黒賢一郎、菅沼稔、小林孝亘、今永清玄、加藤正二郎、井上護、井上秀樹、西房浩二、浅野均、加藤学、赤羽カオル、丸山直文、菅野まり子、東島毅、滝純一、佐藤幸代、高橋洋〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

DOMANI・明日展 2007 図録

文化庁・読売新聞東京本社　2007 年 1 月

滝 純一：「DOMANI・明日」展 2007 開催にあたり

片山雅史、木村繁之、斉藤典彦、宮いつき、平木美鶴、木下恵介、栗田政裕、小野友三、吉川龍、平体文枝、水本剛廣、押江千衣子、諏訪敦、石黒賢一郎、菅沼稔、小林孝亘、今永清玄、加藤正二郎、井上護、井上秀樹、西房浩二、浅野均、加藤学、赤羽カオル、丸山直文、菅野まり子、東島毅、滝純一、佐藤幸代、高橋洋：コメント、作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

タ

大丸ミュージアム・梅田

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」

会期:1994 年 9 月 27 日－10 月 30 日　熊本県立美術館／1995 年 5 月 31 日－6 月 12 日　大丸ミュージアム･梅田／8 月 12 日－9 月 24 日　郡山市立美術館／10 月 7 日－12 月 3 日　広島市現代美術館

主催：朝日新聞社〔巡回 4-2〕

――→熊本県立美術館〔巡回 4-1〕

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

会期：2003 年 11 月 30 日－2004 年 1 月 18 日　新潟市美術館／1 月 25 日－3 月 28 日　三隅町立香月美術館／4 月 4 日－5 月 23 日　札幌芸術の森美術館／5 月 30 日－7 月 25 日　高知県立美術館／8 月 18 日－29 日　大丸ミュージアム・梅田／9 月 4 日－10 月 18 日　相模原・女子美アートミュージアム

主催：読売新聞大阪本社・読売テレビ〔巡回 6-5〕

――→新潟市美術館〔巡回 6-1〕

高輪美術館　――→セゾン現代美術館

彫刻の森美術館

第 4 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「4th Asian Art Show　REALISM ASAN ATTITUDE」

会期：福岡展；1994 年 9 月 10 日－10 月 16 日　福岡市美術館／箱根展；1995 年 1 月 1 日－2 月 12 日　箱根・彫刻の森美術館／秋田展；2 月 17 日－3 月 21 日　秋田県総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール／東京展；1995 年 4 月 5 日－5 月 14 日　世田谷美術館

主催：産経新聞社・ニッポン放送・フジテレビ・福岡市美術館〔巡回 4-2〕

――→福岡市美術館〔巡回 4-1〕

開館 30 周年記念展 森に生きるかたち ●

欧文タイトル：「Forms in Nature」

会期：1999 年 8 月 1 日－2000 年 9 月 10 日　箱根・彫刻の森美術館　主催：彫刻の森美術館・フジサンケイグループ

出品：伊藤公象、遠藤利克、北山善夫、國安孝昌、土屋公雄、戸谷成雄、林武史、藤田昭子、眞板雅文〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

開館 30 周年記念展 森に生きるかたち

彫刻の森美術館　1999 年 8 月　英文併載

伊藤公象、遠藤利克、北山善夫、國安孝昌、土屋公雄、戸谷成雄、林武史、藤田昭子、眞板雅文：〔作家のことば〕

松村壽雄：彫刻の森美術館の 30 年と「森に生きるかたち」展

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

つかしんホール

現代美術・その先駆者たちと現在〈大原美術館コレクションから〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 4 月 8 日－25 日　尼崎・つかしんホール／4 月 29 日－7 月 16 日　軽井沢高輪美術館

主催：大原美術館・軽井沢高輪美術館・西武美術館・毎日新聞社〔巡回 2-1〕

出品：山口長男、猪熊弦一郎、オノサト・トシノブ、麻生三郎、小野忠弘、菅井汲、元永定正、白髪一雄、前田常作、堂本尚郎、今井俊満、嶋田しづ、桑山忠佑〔タダスキー〕、近藤竜男、加納光於、中西夏之、荒川修作、宇佐美圭司、横尾忠則、田窪恭治、北山善夫〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

〇展覧会カタログ

現代美術・その先駆者たちと現在〈大原美術館コレクションから〉

軽井沢高輪美術館、西武美術館　1986 年 4 月

森口陽・藤田慎一郎・大岡信・乾由明：座談会：大原美術館と現代美術

所蔵：□、国新美、東文研、都現美

つかしんアニュアル'86 HANGING――吊るされた美術〔第 1 回展〕●

欧文タイトル：「TSUKASHIN ANNUAL'86」

会期：1986 年 5 月 9 日－28 日　尼崎・つかしんホール　主催：西武美術館

出品：飯田善國、小名木陽一、橿尾正次、河口龍夫、北山善夫、久里洋二、庄司達、高木敏子、竹田康宏、寺田真由美、中辻悦子、福岡道雄、元永定正、矢野美智子、山口勝弘、山本衛士、若林奮、アレクサンダー・コルダー〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

つかしんアニュアル'86 HANGING――吊るされた美術

つかしんホール　1986 年 5 月　第 1 回展

中原佑介：第三の壁――吊るされた作品

鍵岡正謹：〔作家解説〕

鍵岡正謹：ハンモックの中の怠惰な夢 あとがきに代えて

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

つかしんアニュアル オブジェ――逸脱する物質〔第 2 回展〕●

欧文タイトル：「OBJET」

会期：1987 年 5 月 9 日－27 日　尼崎・つかしんホール　ゲスト・キュレーター：建畠哲、

主催：西武美術館

出品：赤瀬川原平、小野和則、菊畑茂久馬、北辻良央、草間彌生、工藤哲巳、菅野由美子、瀧口修造、田窪恭治、田中敦子、ティム里美、中西夏之、西雅秋、松井紫朗、三木富雄、三島喜美代、宮崎豊治、村岡三郎、吉野辰海、吉村益信、若林奮〔出品リスト順〕

〇展覧会カタログ

〔つかしんアニュアル〕オブジェ――逸脱する物質

つかしんホール　1987 年 5 月　つかしんアニュアル第 2 回展

建畠 哲：逸脱する物質

鍵岡正謹、建畠哲：〔作家解説〕

鍵岡正謹：ものたちとの距離 あとがきに代えて

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

つかしんアニュアル'88　日本・韓国作家による美術の現在(水平と垂直)〔第 3 回展〕●

欧文タイトル：「'88 TSUKASHIN ANNUAL」

会期：1988 年 5 月 27 日－6 月 21 日　尼崎・つかしんホール　主催：西武美術館

出品：崔在銀、川俣正、李健鏞、李禹煥、大久保英治、朴炫基、沈文燮、曽我孝司、植松奎二、若林奮〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

つかしんアニュアル'88　日本・韓国作家による美術の現在(水平と垂直)

つかしんホール　1988 年 5 月　つかしんアニュアル第 3 回展

寺田 透：随想〈垂直と水平〉

鍵岡正謹：〔作家小解説〕

鍵岡正謹：韓国の現代作家を迎えて あとがき

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、都中図

手で見る美術展 ●

欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」

会期：1988 年 9 月 2 日－13 日　有楽町アート・フォーラム／9 月 18 日－10 月 4 日　尼崎・つかしんホール

主催：西武美術館、企画協力：社会福祉法人桜雲会〔巡回 2-2〕

――→有楽町アート・フォーラム〔巡回 2-1〕

つかしんアニュアル'89 浮遊体――イマージュ空感〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「'89 TSUKASHIN ANNUAL Fu-Yu-Tai」

会期：1989 年 5 月 21 日－6 月 11 日　尼崎・つかしんホール　ゲスト・キュレーター：篠原資明、主催：西武美術館

出品：石原友明、大島成己、桐原淳行、関口敦仁、田中美和、中川佳宣、根岸芳郎、松本陽子、山本裕子、吉澤美香〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

つかしんアニュアル'89 浮遊体――イマージュ空感

つかしんホール　1989 年 5 月　第 4 回展

篠原資明：浮遊体――イマージュの空感装置として

鍵岡正謹、篠原資明：〔作家解説〕

鍵岡正謹：アストラル体のこと あとがき

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、京都学、和光大

DIC 川村記念美術館（川村記念美術館）

日本の現代美術・交錯する 12 の軌跡 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 9 月 12 日－1991 年 4 月　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館

出品：荒川修作、飯田善國、オノサト・トシノブ、桑山忠明、斎藤義重、菅井汲、高松次郎、堀内正和、山口勝弘、山口長男、李禹煥、若林奮〔PROFILE 順〕

○展覧会カタログ

日本の現代美術・交錯する 12 の軌跡

川村記念美術館　1990 年 9 月　企画展示　1 枚(二ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美

なぜ、これがアートなの? ●

欧文タイトル：「IS THIS ART ?」

会期：1998 年 7 月 21 日－9 月 23 日　豊田市美術館／10 月 8 日－12 月 6 日　佐倉・川村記念美術館／12 月 19 日－1999 年 3 月 22 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー

主催：川村記念美術館〔巡回 3-2〕

――→豊田市美術館〔巡回 3-1〕

「世界の呼吸法－アートの呼吸 呼吸のアート」展 ●

欧文タイトル：「The Art of Breathing in the World－Art and Respiration」

会期：2005 年 7 月 9 日－9 月 4 日　佐倉・川村記念美術館／7 月 9 日－8 月 21 日　佐倉市立美術館　主催：川村記念美術館　共催：佐倉市立美術館

出品：川村記念美術館；北郷悟、倉重光則、鯉江真紀子、KOSUGI＋ANDO・小杉美穂子・安藤泰彦、小林良一、佐藤時啓、須賀昭初、松居エリ、松本陽子、吉田重信。佐倉市立美術館；尾崎旬、金沢健一、シモガワケイ、タムラサトル、平井正義、森口ゆたか〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

「世界の呼吸法－アートの呼吸 呼吸のアート」展

川村記念美術館　2005 年 7 月　川村記念美術館開館 15 周年記念

小泉晋弥：世界の呼吸法――芸術蕊のための

上神田 敬：世界の呼吸法――芸術・呼吸・生命

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

静寂と色彩：月光のアンフラマンス ●

欧文タイトル：「Stillness into Color：Inframince of Moonlight」

会期：2009 年 10 月 10 日－2010 年 1 月 11 日　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館(DIC 株式会社)

出品：第二部；小野田賢三、黒田寛、松本陽子、ホセ・マリア・シシリア、エンマ・クンツ、渡辺えつこ、伴美里、小池隆英、栗田宏一、中西夏之、キム・テクサン、吉川静子、リチャード・タトル、渡邉修、増田洋美〔作品リスト順〕

註：出品欄は主に現代作家を対象とした第二部を収載。ちなみに第一部は中世から近代にいたる作品と複製限定版『マルセル・デュシャン、ノート』が出品された。

○展覧会カタログ

静寂と色彩：月光のアンフラマンス

川村記念美術館　2009 年 10 月　英文併載

北山研二：アンフラマンスまたは外部の断面

鈴木尊志、北山研二：作家・作品解説
吉川静子：宇宙のどこかに、私の「それ」がある
増田洋美：PLAY THE GLASS
平井達郎：見ることの不思議さ
アントン・C・マイヤー：アートを超えて…
アントン・C・マイヤー：エンマ・クンツの美術作品
鈴木尊志：静寂と色彩 月光のアンフラマンス
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

美術は語られる――評論家・中原佑介の眼 ●

欧文タイトル：「Talking about Art－The Viewpoint of Yusuke Nakahara」
会期：2016 年 2 月 11 日－4 月 10 日　佐倉・DIC 川村記念美術館　主催：DIC 川村記念美術館
出品：1 章 先駆者たち；瀧口修造、オノサト・トシノブ。II 章 同時代の作家たち；河原温、池田龍雄、赤瀬川原平、立石紘一、高松次郎、李禹煥。III 章 海外作家の紹介；ピエロ・マンゾーニ、クリスト、朴栖甫。IV 章 現代彫刻；コンスタンティン・ブランクーシ、クレス・オルデンバーグ、山口勝弘、宮脇愛子〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
美術は語られる――評論家・中原佑介の眼 リーフレット
DIC 川村記念美術館　2016 年 2 月
光田由里：〔章解説、事項解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

静かに狂う眼差し――現代美術覚書〈DIC 川村記念美術館×林道郎〉 ●

欧文タイトル：「Kawamura Memorial DIC Museum of Art×Michio Hayashi　Quiet Dislocations：Notes on Contemporary Art」
会期：2017 年 7 月 8 日－8 月 27 日　佐倉・DIC 川村記念美術館　主催：DIC 株式会社
出品：赤瀬川原平、中西夏之、李禹煥らを含む美術館コレクションから戦後アメリカ美術を中心とした約 90 点。
○関連書籍
林道郎著：静かに狂う眼差し――現代美術覚書
水声社　2017 年 7 月 1 日
註：本展の企画が進むなか、展覧会カタログ形式ではない書籍化が模索され実現したもの。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

東京オペラシティアートギャラリー

Releasing Senses――感覚の解放 ●

欧文タイトル：「Releasing Senses」

会期：1999 年 9 月 9 日－11 月 21 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：アーニャ・ガラッチオ、クリスチャン・マークレー、村岡三郎、マルティン・ヴァルデ〔図版掲載順〕

○展覧会カタログ

Releasing Senses――感覚の解放

東京オペラシティ文化財団　1999 年 9 月 9 日　東京オペラシティアートギャラリー開館記念企画展　展覧会資料第 1 号　主に英文併載

デヴィッド・エリオット：〔メッセージ〕

ロバート・ストー：〔メッセージ〕

ジェルマン・ヴィアット：〔メッセージ〕

片岡真実：作品解説

片岡真実：感覚の解放――“見えない糸”のポテンシャル

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

プライム：記憶された色と形 ●

欧文タイトル：「Prime：Reflection of Color and Form」

会期：2000 年 5 月 27 日－7 月 20 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：堂本右美、松井紫朗、間島秀徳、近藤正勝、前田哲明、押江千衣子〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

プライム：記憶された色と形

東京オペラシティ文化財団　2000 年 5 月 27 日　展覧会資料第 4 号　主に英文併載

大島賛都：空虚な空間を満たすもの

飯田志保子、佐山由紀編：資料編

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図

出会い展 ●

欧文タイトル：「Encounter」

会期：2001 年 1 月 12 日－3 月 18 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：アン・ダームス、プラメン・デジャノフ&スウェトラナ・ヒガー、ヤン・ファーブル＋イリヤ・カバコフ、島袋道浩＋野村誠、渡辺英司、ジュン・ヤン〔図版収載順〕

○展覧会カタログ

出会い展

東京オペラシティ文化財団　2001 年 1 月 12 日〔東京オペラシティアートギャラリー〕

篠田達美：未知との遭遇

片岡真実：出会い――知覚と認識から想像と再生の旅へ

飯田志保子・佐山由紀編：作家年譜＋参考文献
片岡真実、島袋道浩＋野村誠：作家解説
島袋道浩＋野村誠：「タコとタヌキ――島袋野村芸術研究基金」について
所蔵：□、国新美、東文研、神近美、和光大

わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 ●

欧文タイトル：「MY HOME IS YOURS / YOUR HOME IS MINE」
会期：2001 年 7 月 1 日－9 月 16 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団
出品：アトリエ・ワン、B.a.d、キム・ソラ／ギムホンソック、イェンス・ハーニング、スラシ・クソンウォン、ザビエ・ムラン／小浜泉、小沢剛、ペリフェリック、スゥ・ドーホー、ワン・ジャンウェイ、山出淳也〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 Volume 1 DRAFT
東京オペラシティ文化財団　2001 年 7 月 1 日　展覧会資料第 9 号　主に英文併載
ホウ・ハンルゥ、ジェローム・サンス：わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 2：東京バージョン
都築響一：We sing the city electric
坂茂、聞き手・片岡真実：仮設住宅の可能性と現代の「家」
片岡真実：周縁あるいは中間領域としてのオープン・ハウス
キム・ソラ：〔作家のことば〕
飯田志保子・佐山由紀編：略歴・主な参考文献
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、和光大
わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 Volume 2 ACTION
東京オペラシティ文化財団　2001 年 7 月 1 日　展覧会資料第 9 号
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、和光大

ガール! ガール! ガール! ●

欧文タイトル：「GIRL! GIRL! GIRL!」
会期：2003 年 8 月 5 日－10 月 15 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団
出品：アーユーミーニング・カンパニー、粟野ユミト、イチハラヒロコ、澤田知子、タニシ K、チコ・トコ・プロジェクト、藤原靖子、前沢知子、山崎美弥子〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
ガール! ガール! ガール!
東京オペラシティ文化財団　2003 年 8 月 5 日　展覧会資料第 17 号　主に英文併載
堀 元彰：不思議の国のアリスたち――現代日本の女性アーティスト
飯田志保子、佐山由紀編：略歴・主要参考文献
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
ガール! ガール! ガール! カタログ補遺

東京オペラシティ文化財団　2003 年 8 月 29 日　1 枚(両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

タイム・オブ・マイ・ライフ〈永遠の少年たち〉●

欧文タイトル：「Time of My Life　Art with Youthful Spirit」

会期：2004 年 2 月 21 日－5 月 9 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：難波田史男、有元利夫、舟越桂、山本容子、保田井智之、奈良美智、村瀬恭子、杉戸洋、中川トラヲ、工藤麻紀子、奥村雄樹〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

タイム・オブ・マイ・ライフ〈永遠の少年たち〉

東京オペラシティ文化財団　2004 年 2 月 21 日　付・CD-ROM1 枚

堀 元彰：永遠の少年たち－美術の青春、あるいは青春の美術

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、和光大、国会図

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉●

欧文タイトル：「TAKARAZUKA　The Land of Dreams」

会期：2004 年 4 月 17 日－6 月 20 日　サントリーミュージアム[天保山]／7 月 24 日－9 月 26 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー／11 月 13 日－12 月 12 日　横浜・そごう美術館

主催：東京オペラシティ文化財団・NHK プロモーション〔巡回 3-2〕

――→サントリーミュージアム[天保山]〔巡回 3-1〕

トレース・エレメンツ 日豪の写真メディアにおける精神と記憶 ●

欧文タイトル：「Trace Elements　spirit and memory in Japanese and Australian photomedia」

会期：東京展；2008 年 7 月 19 日－10 月 13 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー

主催：東京オペラシティ文化財団／シドニー展；2009 年 2 月 19 日－3 月 21 日　パフォーマンス・スペース・アット・キャリアジュワークス

出品：古橋悌二、古屋誠一、松井智惠、志賀理江子、田口和奈〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

トレース・エレメンツ 日豪の写真メディアにおける精神と記憶

東京オペラシティ文化財団　2008 年 7 月 19 日　展覧会資料第 36 号　主に英文併載

飯田志保子：現代の微量元素

ベック・ディーン：トレース・エレメンツ//オーストラリアのアーティスト

東 浩紀：二つの痕跡について

マーティン・ジョリー：とり憑かれたオーストラリア

飯田志保子：作品解説

高谷史郎、古屋誠一、松井智惠、志賀理江子、田口和奈：インタヴュー

佐山由紀編：略年譜・主要参考文献

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、和光大、国会図、都中図

絵画の在りか ●

欧文タイトル：「The Way of Painting」

会期：2014 年 7 月 12 日－9 月 21 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：公益財団法人東京オペラシティ文化財団

出品：青木豊、厚地朋子、千葉正也、榎本耕一、福永大介、風能奈々、今井俊介、岩永忠すけ、鹿野震一郎、小西紀行、工藤麻紀子、政田武史、松原壮志朗、南川史門、持塚三樹、中園孔二、大野智史、小左誠一郎、五月女哲平、髙木大地、高橋大輔、竹﨑和征、八重樫ゆい、横野明日香〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

絵画の在りか

東京オペラシティ文化財団　2014 年 7 月 12 日　主に英文併載　展覧会資料

堀 元彰：絵画の在りか

蔵屋美香：切ったはったの世界の修復

沢山 遼：バロック／バラック

清水 穣：アーカイヴと必然性

堀元彰編：参考文献

堀元彰編：年表

青木豊、厚地朋子、榎本耕一、福永大介、風能奈々、今井俊介、岩永忠すけ、鹿野震一郎、小西紀行、工藤麻紀子、政田武史、松原壮志朗、南川史門、持塚三樹、中園孔二、大野智史、小左誠一郎、五月女哲平、髙木大地、高橋大輔、竹﨑和征、八重樫ゆい、横野明日香：アンケート

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、和光大

高橋コレクション展 ミラー・ニューロン ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION：Mirror Neuron」

会期：2015 年 4 月 18 日－6 月 28 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団・朝日新聞社

出品：草間彌生、菅木志雄、関根伸夫、李禹煥、小林正人、榎倉康二、岡田謙三、井上有一、金坂健二、荒木経惟、奈良美智、加藤美佳、小谷元彦、安藤正子、樫木知子、鴻池朋子、辰野登恵子、丸山直文、中村一美、舟越桂、青木陵子、大岩オスカール、伊藤存、村瀬恭子、蜷川実花、須田悦弘、橋本雅也、塩保朋子、宮永愛子、名和晃平、Chim↑Pom、西尾康之、会田誠、村上隆、Mr.、小沢剛、池田学、小林孝亘、青山悟、町田久美、加藤泉、淺井裕介、近藤亜樹、束芋、山口晃、風間サチコ、松井えり菜、森村泰昌、やなぎみわ、森山大道、横尾忠則、ヤノベケンジ〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

高橋コレクション展 ミラー・ニューロン

玄光社　2015 年 5 月 31 日

高橋龍太郎：ミラー ニューロンとシミュレーション

児島やよい、内田真由美、堀元彰、福士理：作家解説
堀 元彰：来るべき時代のカルテ――高橋コレクションについて
飯尾次郎・出原日向子編：高橋龍太郎年譜
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

東京ステーションギャラリー

「現代日本絵画の展望」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1999 年 10 月 2 日－11 月 14 日　東京ステーションギャラリー　主催：現代日本絵画の展望展実行委員会・東日本鉄道文化財団・日本放送教育協会
出品：佐藤武、艾沢詳子、高橋克之、本田健、百瀬寿、会田誠、赤塚祐二、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、天野純治、内田あぐり、内海信彦、岡田裕子、岡村桂三郎、小林孝亘、斉藤典彦、渋谷和良、菅野まり子、鈴木省三、線幸子、千住博、武田州左、堂本右美、野田裕示、馬場健太郎、二木直巳、古川勝紀、星川忠資、森野眞弓、山口啓介、山本直彰、若月公平、綿引展子、安達博文、五十嵐彰雄、杉戸洋、根岸芳郎、丸田恭子、柳澤紀子、赤崎みま、粟国久直、今村哲、上村亮太、郭徳俊、北山善夫、木津文哉、木村秀樹、小嶋悠司、児玉靖枝、佐川晃司、善住芳枝、西久松吉雄、平岡靖弘、松尾藤代、山河全、荒瀬景敏、太田三郎、堀内理香、山根秀信、吉田寛志、城ケ崎悟、世良京子、永津禎三、マコト・フジムラ〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
「現代日本絵画の展望」展
東日本鉄道文化財団　1999 年 10 月〔東京ステーションギャラリー〕
松田重昭・高階秀爾・内山武夫・酒井忠康・安永幸一：座談会「現代日本絵画の展望」展
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

『現代絵画の展望』展〈それぞれの地平線〉 ●

欧文タイトル：「Perspectives of Contemporary Painting－Horizons－」
会期：2007 年 12 月 8 日－2008 年 2 月 11 日　第 1 会場；新橋・旧新橋停車場鉄道歴史展示館、第 2 会場；上野・Break ステーションギャラリー　主催：東京ステーションギャラリー
出品：池田龍雄、篠原有司男、加納光於、李禹煥、堀浩哉、辰野登恵子、小林孝亘、山口啓介、丸山直文、山本麻友香、大岩オスカール、曽谷朝絵〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
『現代絵画の展望』展〈それぞれの地平線〉
東日本鉄道文化財団　2007 年 12 月
千葉成夫：日本の現代絵画をどう捉え直すか
成川 隆：作家略歴
成川隆、田中晴子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、東大駒、国会図

現代絵画の展望 12 人の地平線 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 12 月 8 日－2010 年 3 月 22 日　新橋・旧新橋停車場鉄道歴史展示館　主催：東京ステーションギャラリー

出品：宮崎進、堂本尚郎、中村宏、郭徳俊、吉村芳生、イケムラレイコ、中村一美、小林正人、藤浪理恵子、夏目麻麦、元田久治、山田純嗣〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

現代絵画の展望 12 人の地平線

東日本鉄道文化財団　2009 年 12 月

田中晴子：「現代作家現代絵画の展望」展 12 名と出品作について

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図

現代絵画の展望 12 人の地平線

東日本鉄道文化財団　2009 年 12 月　1 枚(三ツ折両面刷)

所蔵：□、国新美、東近美

現代絵画の展望 24 の時の鐘 ●

欧文タイトル：「－The Eyes of Twelve Artists－Perspectives of Contemporary Painting」

会期：2011 年 12 月 6 日－2012 年 3 月 18 日　旧新橋停車場鉄道歴史展示館　主催：東京ステーションギャラリー

出品：元永定正、岡本信治郎、松本陽子、横尾忠則、遠藤彰子、森村泰昌、野田裕示、三輪美津子、小川信治、村瀬恭子、三瀬夏之介、池田光弘〔出品リスト順〕

○展覧カタログ

「現代絵画の展望 24 の時の鐘」図録

東日本鉄道文化財団(東京ステーションギャラリー)　2011 年 12 月

田中晴子、柚花文：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、国会図

東京セントラル美術館

第 6 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：滋賀展；1972 年 10 月 8 日－22 日　滋賀県立琵琶湖文化館／長崎展；10 月 29 日－11 月 12 日　長崎県立美術博物館／鹿児島展；11 月 19 日－12 月 3 日　鹿児島市立美術館／東京展；12 月 19 日－28 日　銀座・東京セントラル美術館

主催：文化庁・東京セントラル美術館〔巡回 4-4〕

――→滋賀県立琵琶湖文化館〔巡回 4-1〕

東高現代美術館

絵画/日本－断層からの出現 ●

欧文タイトル：「Painting/Japan-Emerging through Discontinuity」

会期：1990 年 5 月 18 日－6 月 17 日　表参道・東高現代美術館　主催：東高現代美術館
出品：上野慶一、中原浩大、中村一美、松浦寿夫、松本春崇〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
絵画/日本－断層からの出現 カタログ　　東高現代美術館＋SCAI 編
東高現代美術館　1990 年 5 月　主に英文併載
井谷助二郎：ごあいさつ
峯村敏明：断層からの出現
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大

建築のラスト・シーン――都市[TOKYO]の欲望のプログラム ●
欧文タイトル：「Last Scene in Architecture Program of Desire in the City / TOKYO」
会期：1990 年 12 月 1 日－24 日　表参道・東高現代美術館　ゲスト・キュレーター：鈴木隆之、主催：東高現代美術館
出品：シーラカンス、渡辺誠／アーキテクツ オフィス、古谷誠章、髙崎正治、入江経一、TAO Architects、妹島和世、竹山聖〔図版収載順〕
○展覧会カタログ
建築のラスト・シーン――都市[TOKYO]の欲望のプログラム
東高現代美術館　1990 年 12 月 1 日　英文併載　分冊(全 16 ページ)共 2 冊
井谷助二郎：ごあいさつ
鈴木隆之：終わりのないラスト・シーン――建築以降の建築を巡って
伊藤俊治：建築の見えない欲動
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大(分冊欠)

日本の現代美術－ゾーンズ・オブ・ラヴ〈オーストラリア・ニュージーランド巡回展〉プレヴュー ●
欧文タイトル：「A Preview of Zones of Love-Contemporary Art from Japan Catalogue」
会期：1991 年 5 月 18 日－6 月 16 日　表参道・東高現代美術館　主催：東高現代美術館
出品：荒敦子、遠藤利克、笠原恵実子、コンプレッソ・プラスティコ、菅野由美子、ダム・タイプ、中原浩大、平林薫、宮島達男、三輪美津子、森村泰昌〔作品リスト順〕
註：本展はオーストラリアの西オーストラリア美術館(1991 年 7 月 18 日－9 月 1 日)、南オーストラリア美術館(9 月 20 日－11 月 3 日)、ニュージーランドのワイカト博物館(12 月 12 日－1992 年 2 月 2 日)、ダニーデン美術館(2 月 27 日－4 月 9 日)、オーストラリアのシドニー現代美術館(7 月 7 日－9 月 14 日)を巡回。
○展覧会カタログ
日本の現代美術－ゾーンズ・オブ・ラヴ〈オーストラリア・ニュージーランド巡回展〉 プレヴューカタログ
東高現代美術館　1991 年 5 月　英文併載
井谷助二郎：ごあいさつ
レオン・パロイシィエン：メッセージ
ジュディ・アニア：美術史の娘たち

建畠 哲：辺境のモダニズム
四方田犬彦：速度とノスタルジア〈現代日本文化をめぐる小考察〉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

鞆の津ミュージアム

すごいぞ、これは! ●

欧文タイトル：「This is Amazing!」
会期：2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／11 月 14 日－12 月 25 日　札幌芸術の森美術館／2016 年 1 月 7 日－14 日　高知・藁工ミュージアム、かるぽーと／2 月 2 日－10 日　福山・鞆の津ミュージアム
主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・鞆の津ミュージアム〔巡回 4-4〕
――→埼玉県立近代美術館〔巡回 4-1〕

土門拳記念館

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉●

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」
会期：2009 年 5 月 2 日－6 月 21 日　世田谷美術館／8 月 27 日－10 月 28 日　酒田・土門拳記念館／11 月 6 日－12 月 13 日　名古屋・愛知県美術館／2010 年 6 月 5 日－8 月 31 日　清里フォトアートミュージアム
主催：財団法人土門拳記念館〔巡回 4-2〕
――→世田谷美術館〔巡回 4-1〕

ナ

直島コンテンポラリーアートミュージアム

――→ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム

ナビオ美術館

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」
会期：1987 年 5 月 23 日－6 月 21 日　富山県立近代美術館／6 月 26 日－7 月 14 日　大阪・ナビオ美術館／8 月 28 日－9 月 2 日　銀座・松屋／9 月 11 日－10 月 11 日　新潟市美術館／12 月 5 日－1988 年 1 月 31 日　仙台・宮城県美術館／2 月 11 日－3 月 21 日　下関市立美術館
主催：読売新聞大阪本社・読売テレビ放送・美術館連絡協議会〔巡回 6-2〕
――→富山県立近代美術館〔巡回 6-1〕

ハ

華鴿美術館

第 31 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1998 年 1 月 23 日－2 月 8 日　一宮スポーツ文化センター／石川展；2 月 14 日－28 日　小松市民ギャラリー・ルフレ／岡山展；3 月 8 日－22 日　タカヤ文化財団華鴿美術館

主催：文化庁・岡山県教育委員会・タカヤ文化財団華鴿美術館〔巡回 3-3〕

――→一宮スポーツ文化センター〔巡回 3-1〕

原美術館

第 1 回ハラ・アニュアル 80 年代への展望 ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL VISION FOR THE 80s」

会期：1980 年 11 月 26 日－12 月 25 日　北品川・原美術館　選考委員：磯崎新・東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

出品：榎倉康二、沖啓介、川俣正、小清水漸、高橋雅之、原口典之、堀浩哉、眞板雅文、村岡三郎〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 1 回ハラ・アニュアル 80 年代への展望

原美術館　1980 年 11 月 26 日

原 俊夫：ハラ・アニュアルの開催にあたって

針生一郎：HARA ANNUAL 80 年代への展望

榎倉康二、沖啓介、川俣正、小清水漸、高橋雅之、堀浩哉、眞板雅文、村岡三郎：〔作家のことば〕

金澤毅：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

第 2 回ハラ・アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 2」

会期：1981 年 11 月 20 日－12 月 27 日　北品川・原美術館　選考委員：磯崎新・東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

出品：海老塚耕一、岡崎乾二郎、倉重光則、坂口登、櫻井英嘉、須田基揮、戸田正寿、戸谷成雄〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 2 回ハラ・アニュアル

原美術館　1981 年 11 月

原 俊夫：ハラ・アニュアルの開催にあたって

東野芳明：ハラ・アニュアル第 2 回展〈生きた回路として〉

海老塚耕一、岡崎乾二郎、倉重光則、坂口登、櫻井英嘉、須田基揮、戸田正寿、戸谷成

雄：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大

第 3 回ハラ・アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL III」

会期：1983 年 2 月 11 日－3 月 13 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

出品：栗岡孝於、南部慶滉、原田大三郎、菱沼良樹、間島領一、宮前辰雄、吉澤美香〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 3 回ハラ・アニュアル

アルカンシェール美術財団　1983 年 2 月　主に英文併載

原 俊夫：ハラ・アニュアル III の開催にあたって

山口勝弘：柔軟な資質と独自性の発見

栗岡孝於、南部慶滉、原田大三郎、菱沼良樹、間島領一、宮前辰雄、吉澤美香〔2 行〕：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

第 4 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL IV」

会期：1984 年 2 月 24 日－3 月 25 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

出品：上野真知子、浅野久義、井川惺亮、今村幸生、スーザン・ダージェス、辰野登恵子、辻耕治、野田裕示、長谷宗悦〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 4 回ハラ アニュアル

アルカンシェール美術財団　1984 年 2 月　主に英文併載

原 俊夫：ごあいさつ

三木多聞：ハラ アニュアル IV を迎えるにあたって

上野真知子、浅野久義、井川惺亮、今村幸生、辻耕治、野田裕示、長谷宗悦〔1 行〕：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

第 5 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 5」

会期：1985 年 3 月 23 日－5 月 12 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団 原美術館

出品：内倉ひとみ、大坪光泉、緒方一成、菅野由美子、田中秀穂、田中泯、都築房子、椿昇、深井隆、藤村克裕、松浦寿夫、湯崎夫沙子、吉永裕〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 5 回ハラ アニュアル

アルカンシェール美術財団　1985 年 3 月　主に英文併載

原 俊夫：ごあいさつ

金澤 毅：ハラ アニュアル V を迎えて

内倉ひとみ、大坪光泉、緒方一成、菅野由美子、田中秀穂、田中泯、都築房子、深井隆、藤村克裕、松浦寿夫、湯崎夫沙子：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

第 6 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL VI」

会期：1986 年 3 月 29 日－5 月 11 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

出品：青木野枝、岩井俊雄、大塚由美子、岡田真宏、菊谷直美、駒形克哉、高橋淑人、中原浩大、藤浩志、横山栄一、吉本作次〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 6 回ハラ アニュアル

アルカンシェール美術財団　1986 年 3 月 29 日　主に英文併載

原 俊夫：ごあいさつ

峯村敏明：「ボイスが死んだことし」〈第 6 回ハラ アニュアル展について〉

岩井俊雄、大塚由美子、岡田真宏、菊谷直美、駒形克哉、高橋淑人〔2 行〕、藤浩志、横山栄一：〔作家のことば〕

金澤 毅：キュレーター

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

第 7 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 7」

会期：1987 年 3 月 21 日－5 月 10 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

出品：伊島薫、出射茂、江上弘、遠藤利克、片山雅史、田中敬一、土屋公雄、広田美穂、古郷秀一、百瀬寿〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 7 回ハラ アニュアル

アルカンシェール美術財団　1987 年 3 月 21 日　主に英文併載

原 俊夫：ごあいさつ

針生一郎：第 7 回ハラ アニュアル展によせて

伊島薫、出射茂、江上弘、遠藤利克、片山雅史、田中敬一、土屋公雄、広田美穂、古郷秀一：〔作家のことば〕

金澤 毅：キュレーター

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

第 8 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 8」

会期：1988 年 3 月 12 日－5 月 8 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

出品：池村玲子、内海信彦、笠原恵実子、神山明、櫻井宏哉、柴田耕作、島田忠幸、鈴木省三、真木智子、宮島達男〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 8 回ハラ アニュアル

アルカンシェール美術財団　1988 年 3 月 12 日　主に英文併載

原 俊夫：ごあいさつ

金澤 毅：第 8 回ハラ アニュアルによせて

内海信彦、笠原恵実子、神山明〔2 行〕、櫻井宏哉、柴田耕作、島田忠幸、鈴木省三、真木智子、宮島達男：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

第 9 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL IX」

会期：1989 年 3 月 25 日－5 月 10 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

出品：勝野正則、金沢健一、作間敏宏、白川昌生、畠山直哉、松尾光伸、宮前正樹、山田恵子、尹熙倉、吉田克朗〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 9 回ハラ アニュアル

アルカンシェール美術財団　1989 年 3 月 25 日　主に英文併載

原 俊夫：ごあいさつ

光行清子：第 9 回ハラ アニュアル：90 年代に向けて

勝野正則〔1 行〕、金沢健一、作間敏宏〔2 行〕、白川昌生、畠山直哉、松尾光伸、宮前正樹、山田恵子、尹熙倉、吉田克朗：〔作家のことば〕

金澤毅、光行清子：キュレーター

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

第 10 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL X」

会期：1990 年 9 月 26 日－11 月 11 日　北品川・原美術館　主催：原美術館

出品：岡部俊彦、斎藤史門、島剛、杉浦康益、高木由利子、髙柳恵里、田旗浩一、中岡慎太郎、中村一美、山口啓介〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

第 10 回ハラ アニュアル

アルカンシェール美術財団　1990 年 9 月 26 日　主に英文併載

原 俊夫：ごあいさつ

金澤 毅：第 10 回ハラ アニュアルを迎えて

島剛、杉浦康益、高木由利子、髙柳恵里、田旗浩一、中岡慎太郎、中村一美、山口啓介：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

ウインター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開 ●

欧文タイトル：「Winter Garden：The Exploration of the Micropop Imagination in Contemporary Japanese Art」

会期：2009 年 5 月 23 日－7 月 20 日　北品川・原美術館　主催：国際交流基金・原美術館〔国際交流基金 HP に拠る〕

出品：青木陵子、泉太郎、落合多武、工藤麻紀子、國方真秀未、佐伯洋江、杉戸洋、タカノ綾、田中功起、千葉正也、Chim↑Pom、半田真規、八木良太、山本桂輔〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

ウインター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開

美術出版社　2009 年 8 月　英文併載　国際交流基金海外巡回展〔原美術館〕

松井みどり：ウインター・ガーデン〈日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開〉

松井みどり：〔作家論〕

所蔵：□、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

ハラ ミュージアム アーク

プライマル スピリット－今日の造形精神 ●

欧文タイトル：「A Primal Spirit：Ten Contemporary Japanese Sculptors」

会期：1990 年 3 月 10 日－4 月 15 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：原美術館・ロサンゼルス カウンティ美術館

出品：海老塚耕一、遠藤利克、ふじい忠一、川俣正、剣持和夫、國安孝昌、徳重恵美子、戸谷成雄、土屋公雄、若林奮〔出品リスト順〕

○展覧会カタログ

プライマル スピリット－今日の造形精神

アルカンシェール美術財団　1990 年 3 月 10 日　日本語訳版(2 分冊のうち)

原 俊夫：序文

ハワード N. フォックス：イントロダクション

ハワード N. フォックス：プライマル スピリット

海老塚耕一、遠藤利克、ふじい忠一、川俣正、剣持和夫、國安孝昌、徳重恵美子、戸谷成雄、土屋公雄：〔作家インタビュー〕

若林 奮：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会

図

アートは楽しい 2 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 7 月 27 日－9 月 1 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

出品：秋山文生、浅井清貴、尼子靖、天野裕夫、井村隆、今道子、高橋士郎、田名網敬一、中岡慎太郎、中村ちとせ、エムババッチ、松本秋則、丸勝美、安田辰雄、籔内佐斗司〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

アートは楽しい 2

原美術館　1991 年 7 月 27 日

秋山文生、浅井清貴、尼子靖、天野裕夫、井村隆、今道子、高橋士郎、田名網敬一、中岡慎太郎、中村ちとせ、エムババッチ、松本秋則、丸勝美、安田辰雄、籔内佐斗司〔1 行〕：〔作家のことば〕

所蔵：□、東文研、都現美、和光大

アートは楽しい 3 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 8 月 1 日－9 月 15 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

出品：秋山祐徳太子、石山駿、出原司、尾崎玄一郎、小保方利男、カナイヒロミ、木下知子、小宮彌栄子、徳田憲樹、中村誠、永井一正、米良道靖、吉田富久一〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

アートは楽しい 3

原美術館　1992 年 8 月 1 日　付・ワークシート

秋山祐徳太子、石山駿、出原司、尾崎玄一郎、小保方利男、カナイヒロミ、木下知子、小宮彌栄子、徳田憲樹、中村誠、永井一正、米良道靖、吉田富久一：〔作家のことば〕

所蔵：□、東文研、都現美、和光大

断面 1979－1994 ●

欧文タイトル：「ASPECTS 1979-1994」

会期：1994 年 9 月 15 日－12 月 18 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：原美術館

出品：遠藤利克、榎倉康二、堀浩哉、イケムラレイコ、草間彌生、李禹煥、村岡三郎、中村一美、中里斉、大竹伸朗、戸谷成雄、横尾忠則、吉田克朗〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

断面 1979－1994

アルカンシェール美術財団　1994 年 9 月 14 日　英文併載　開館 15 周年記念展

原 俊夫：ごあいさつ

安田篤生：序論

安田篤生：作家と作品

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図

アートは楽しい 6　機械帝国 ●

欧文タイトル：「Art is Fun 6：MECHAZONE」

会期：1995 年 7 月 1 日－9 月 24 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

出品：岡部俊彦、金山明、コンプレッソ プラスティコ、サトル タカダ、篠田太郎、テクノクラート、常葉勇、永沼理善、原田和男、吉田正人＋いとうともこ〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

アートは楽しい 6　機械帝国

原美術館　1995 年 7 月 1 日　主に英文併載

堀口勝信：機械帝国

金山明、コンプレッソ プラスティコ、サトル タカダ、篠田太郎、テクノクラート、常葉勇、永沼理善、原田和男、吉田正人＋いとうともこ：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美

アートは楽しい 7　IN／OUT ●

欧文タイトル：「Art is Fun 7：IN/OUT」

会期：1996 年 7 月 6 日－9 月 1 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

出品：有地左右一＋笹岡敬、城戸孝充、小島久弥、関口敦仁、西野康造、松村泰三、森脇裕之、八谷和彦、竹内忍〔出品作品リスト順〕

○展覧会カタログ

アートは楽しい 7　IN／OUT

原美術館　1996 年 7 月 6 日　主に英文併載

伊藤俊治：スーパーシステムとアート〈自己と世界への新しい視座〉

岡田ゆかり：「IN／OUT」展に向けて

有地左右一＋笹岡敬、城戸孝充、小島久弥、関口敦仁、西野康造、松村泰三、森脇裕之、八谷和彦、竹内忍：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美

富士美術館

第 15 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：静岡展；1981 年 11 月 11 日－25 日　富士宮・富士美術館／愛知展；12 月 1 日－20 日　豊橋市美術博物館／富山展；1982 年 1 月 9 日－24 日　富山県民会館美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 11 日　千葉県立美術館

主催：文化庁・静岡県教育委員会・読売新聞社静岡支局・静岡第一テレビ・富士美術館〔巡回 4-1〕

出品：日本画；小栗潮、渡辺学。洋画；島田章三、脇田和。版画；土田雅昭。彫刻；中村博直〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

○展覧会カタログ

第 15 回現代美術選抜展

〔文化庁〕 1981 年 11 月

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、愛芸文、国会図

船橋・西武美術館

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

会期：1989 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館／6 月 7 日－18 日　京都市美術館／6 月 24 日－7 月 23 日　高松市美術館／7 月 28 日－8 月 15 日　船橋・西武美術館／11 月 4 日－26 日　北九州市立美術館／12 月 16 日－1990 年 1 月 21 日　広島市現代美術館

主催：西武美術館・毎日新聞社〔巡回 6-4〕

──→京都市美術館〔巡回 6-2〕

ブリヂストン美術館

世界現代芸術展 ●

欧文タイトル：当該リーフレットに記載無

会期：1957 年 10 月 11 日－11 月 10 日　京橋・ブリヂストン美術館　主催：読売新聞社・ブリヂストン美術館

出品：今井俊満、堂本尚郎、勅使河原蒼風〔出品目録順〕

○展覧会カタログ

世界現代芸術展目録

〔読売新聞社・ブリヂストン美術館〕 1957 年 10 月　1 枚(二ツ折両面刷)

ミシェル・タピエ：〔ことば〕

所蔵：□、国新美、東近美

ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム

キッズアートランド〈親子の夏休み体験ミュージアム〉●

欧文タイトル：「KIDS' ART LAND」

会期：1993 年 7 月 10 日－9 月 5 日　ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム　主催：ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム、福武書店

出品：間島領一、ヤノベケンジ、藤本由紀夫、小林健二、藤浩志、熊谷優子、楠かつのり、牛島達治〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

キッズアートランド〈親子の夏休み体験ミュージアム〉　ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム編
福武書店　1994 年 3 月 1 日
倉林 靖：どうしてアートは必要なんだろう?
秋元雄史：こどもとあそび。あるいは、芸術家と表現。
黒沢 伸：カレーが食べたい気がしない?
原田博子：ワークショップマラソンの夏
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

オープンエアー'94 海景のなかの現代美術展 ●
欧文タイトル：「Open Air '94 "OUT OF BOUNDS" CONTEMPORARY ART IN THE SEASCAPE」
会期：1994 年 9 月 15 日－11 月 27 日　ベネッセハウス 直島コンテンポラリーアートミュージアム　主催：福武書店、Benesse Island・直島文化村
出品：大竹伸朗、岡崎乾二郎、片瀬和夫、草間彌生、小山穂太郎、杉本博司、テクノクラート、中野渡尉隆、PH スタジオ、□〔公＋木〕の木タクヤ、村上隆〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
オープンエアー'94 海景のなかの現代美術展
福武書店　1994 年 9 月　英文併載
南條史生：越境する街
井上明彦：失楽園にて
秋元雄史：現場の話〈作家との対話から〉
南條史生：作品・作家解説
原田博子、西山裕子：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大

マ

松坂屋美術館

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 11 月 6 日－17 日　名古屋・松坂屋美術館／1999 年 1 月 3 日－15 日　新潟・三越／3 月 2 日－8 日　大阪・近鉄アート館／4 月 29 日－6 月 9 日　新宿・安田火災東郷青児美術館／6 月 19 日－7 月 11 日　明石市立文化博物館
主催：中日新聞社・松坂屋美術館〔巡回 5-1〕
出品：相笠昌義、池口史子、石垣定哉、稲垣孝二、井上悟、今井信吾、入江観、江村正光、遠藤彰子、大津英敏、大沼映夫、岡野博、奥谷博、笠井誠一、金森宰司、金子亨、川村悦子、北久美子、絹谷幸二、桐生照子、黄憲、小島俊男、小西保文、齋藤研、坂口國男、坂田哲也、

桜井寛、桜田久美、佐々木豊、佐藤泰生、芝田米三、島田鮎子、島田章三、志村節子、瀬川富紀男、高橋幸彦、谷川泰宏、中村清治、中山忠彦、野田弘志、橋本博英、林清納、林敬二、平賀敬、福本章、藤田吉香、堀研、堀晃、本田希枝、前田常作、馬越陽子、増田常徳、松樹路人、松本英一郎、宮下実、森本草介、山田修市、山本達郎、山本文彦、湯澤宏〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉

中日新聞社　1998 年 11 月

村木 明：20 世紀絵画の回顧と 21 世紀への展望

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

三越美術館

IMA「絵画の今日」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 8 月 31 日－9 月 12 日　三越美術館・新宿　主催：三越美術館・新宿、IMA「絵画の今日」展実行委員会

出品：同人作家；麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進。招待作家；相笠昌義、相田幸男、赤松玉女、秋岡美帆、安徳瑛、生駒泰充、井澤幸三、伊庭新太郎、池口史子、市野英樹、稲垣考二、今井信吾、岩崎正、宇野和幸、遠藤彰子、小原素彦、大内田敬、大津英敏、金山桂子、川村悦子、貴堂静栄、北久美子、絹谷幸二、小林一彦、児玉靖枝、近藤大志、佐々木豊、佐藤一郎、佐藤昌宏、齋藤研、酒井信義、坂田哲也、桜井寛、櫻井晨正、島田鮎子、瀬川富紀男、田中いっこう、高橋常政、高橋幸彦、谷川晃一、鶴田憲次、十時孝好、中野庸二、鍋島正一、長谷川泰子、林敬二、櫃田伸也、蛭田均、福岡奉彦、福島瑞穂、福田美蘭、藤田邦統、堀晃、堀越千秋、本田希枝、馬越陽子、松本英一郎、水口裕務、室越健美、元永定正、森一浩、森田康雄、森本勇、山尾才、山河全、吉田淳一、リーガ・パング、わたなべ ゆう、渡辺恂三〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

IMA「絵画の今日」展

三越美術館・新宿　1993 年 8 月

麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進：〔同人作家のことば〕

梅原 猛：IMA「絵画の今日」展によせて

岡田隆彦：仮象の力――「絵画の今日」展によせて

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、京都学、和光大

IMA「絵画の今日」展 ●

欧文タイトル：「1995 ima」

会期：1995 年 9 月 1 日－13 日　新宿・三越美術館　主催：三越美術館、IMA「絵画の今日」展実行委員会

出品：同人作家；麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進、元永定正。招待作家；相笠昌義、相田幸男、赤松玉女、秋岡美帆、安徳瑛、生駒泰充、伊庭新太郎、池口史子、市野英樹、稲垣考二、今井信吾、岩崎正、宇野和幸、遠藤彰子、小原素彦、大内田敬、大津英敏、金山桂子、川村悦子、貴堂静栄、北久美子、絹谷幸二、小林一彦、近藤大志、佐々木豊、佐藤一郎、佐藤昌宏、酒井信義、桜井寛、櫻井晨正、島田鮎子、瀬川富紀男、田中いっこう、高橋常政、高橋幸彦、谷川晃一、津地威汎、十時孝好、中野庸二、中原史雄、林敬二、櫃田伸也、蛭田均、福岡奉彦、福島瑞穂、福田美蘭、藤田邦統、堀越千秋、本田希枝、馬越陽子、松本英一郎、水口裕務、室越健美、森一浩、森田康雄、森本勇、山尾才、山河全、吉田淳一、リーガ・パング、わたなべゆう、渡辺恂三〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

IMA「絵画の今日」展

三越美術館　1995 年 9 月　第 2 回展

黒井千次：時代の壁と時代の眼

真室佳武：IMA「絵画の今日」展によせて

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美

IMA「絵画の今日」展 1997 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 6 月 10 日－22 日　新宿・三越美術館　主催：IMA「絵画の今日」展実行委員会・読売新聞社

出品：同人作家；麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進、元永定正。招待作家；相笠昌義、相田幸男、赤松玉女、秋岡美帆、生駒泰充、伊庭新太郎、池口史子、市野英樹、稲垣考二、今井信吾、岩崎正、宇野和幸、遠藤彰子、小原素彦、大内田敬、大津英敏、金山桂子、川村悦子、貴堂静栄、北久美子、絹谷幸二、小林一彦、近藤大志、佐々木豊、佐藤一郎、佐藤昌宏、酒井信義、坂田哲也、桜井寛、櫻井晨正、島田鮎子、瀬川富紀男、田中いっこう、高橋常政、高橋幸彦、谷川晃一、津地威汎、十時孝好、中野庸二、中原史雄、林敬二、櫃田伸也、蛭田均、福岡奉彦、福島瑞穂、福田美蘭、藤田邦統、堀越千秋、本田希枝、馬越陽子、松本英一郎、水口裕務、室越健美、森一浩、森田康雄、森本勇、山尾才、山河全、吉田淳一、吉原英雄、リーガ・パング、わたなべゆう、渡辺恂三〔出品目録順〕

〇展覧会カタログ

IMA「絵画の今日」展 1997

三越美術館　1997 年 6 月　第 3 回展

陰里鐵郎：第 3 回 IMA「絵画の今日」展によせて

麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進、元永定正：〔同人作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 7 月 19 日－10 月 5 日　神戸ファッション美術館／10 月 10 日－26 日　新宿・三越美術館／12 月 4 日－23 日　福岡県立美術館
主催：朝日新聞社〔巡回 3-2〕
――→神戸ファッション美術館〔巡回 3-1〕

森美術館

「ハピネス――アートにみる幸福への鍵」●
欧文タイトル：「HAPPINESS：A SURVIVAL GUIDE FOR ART＋LIFE」
会期：2003 年 10 月 18 日－2004 年 1 月 18 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：アデル・アブデセメッド、荒木経惟、ヨーゼフ・ボイス、ピーター・ブレイク、アリギエロ・ボエッティ、ルイーズ・ブルジョワ、マルセル・ブロータース、ジェームズ・リー・バイヤーズ、ツァイ・グオチャン(蔡國強)、アンソニー・カロ、ヴィヤ・セルミンス、チェン・リージ(成砺志)、チェ・ジョンファ(崔正化)、ジョゼフ・コーネル、リチャード・ディーコン、ピーター・ドイグ、ヘリ・ドノ、マルレーネ・デュマス、マイケル・エルムグリーン＋インガー・ドラッグセット、トレイシー・エミン、オイヴィンド・ファールストロム、ペーター・フィッシュリ＋ダーフィト・ヴァイス、ダン・フレーヴィン、フォートゥイン＋オブライエン、ハミッシュ・フルトン、ギルバート＆ジョージ、ドミニク・ゴンザレス=フェルステル、ダン・グレアム、フィリップ・ガストン、ダニエル・グースマン、リチャード・ハミルトン、ハワード・ホジキン、カールステン・フラー、シラゼ・フシャーリー、クリスティーナ・イグレシアス、チョン・ソヨン、イリヤ・カバコフ、アニッシュ・カプーア、川俣正、ドゥリヤ・カジ＋デヴィッド・エルズワース、イアン・ケア、キム・チョルオク、キム・ソンリョン、キム・ヨンジン、ピーター・キンリー、イヴ・クライン、クー・ジュンガ、ジェフ・クーンズ、草間彌生、スラシ・クソンウォン、ピーター・ランド、リー・ウファン(李禹煥)、フェルナン・レジェ、マーク・ルイス、チャールズ・ロング、ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)、エヴァ・マリサルディ、アグネス・マーティン、丸山直文、デヴィッド・メダラ、宮島達男、ヘンリー・ムーア、森村泰昌、ホワン・ムニョス、村上隆、奈良美智、ブルース・ナウマン、リヴァーニ・ノイエンシュヴァンダー＋カオ・ギマラエス、クリス・オフィリ、オノ・ヨーコ、ジョヴァンニ・オッツォーラ、ジュリオ・パオリーニ、エドゥアルド・パオロッツィ、アド・ラインハート、ブリジット・ライリー、トーマス・ルフ、ロバート・ライマン、レモ・サルヴァドーリ、トーマス・シュッテ、マルチェッロ・シメオーネ、トーマス・シュトゥルート、杉本博司、スーパーフレックス、パスカル・マルティン・タユー、フレッド・トマセーリ、メッテ・トロンヴォル、サイ・トゥオンブリー、ヤン・ヴェルクロイセ、ビル・ヴィオラ、アンディ・ウォーホル、ヴィム・ヴァウマン、ジリアン・ウェアリング、トム・ウェッセルマン、シュ・ビン(徐冰)、ヤン・フードン(楊福東)、吉原治良、ジャン・ペイリー(張培力)〔作家一覧順〕
註：戦前作品のみの出品作家（文清、ポール・セザンヌ、ルネ・クレール、ジョン・コンスタブル、アンドレ・ドラン、ポール・ゴーガン、白隠慧鶴、伊藤若冲、ワシリー・カンディンスキー、狩野永納、狩野正信、勝川春章、葛飾北斎、エドゥアール・マネ、雅熙、アンリ・

マティス、アレクサンドル・メドヴェトキン、クロード・モネ、ドミニク・ルイ・パペティ、パブロ・ピカソ、レニ・リーフェンシュタール、ヴァルター･ルットマン、遮莫(小栗宗継)、曾我蕭白、天遊松谿、東嶺圓慈、ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー、雲谷等的、ジガ・ヴェルトフ）は割愛した。

〇展覧会カタログ

「ハピネス――アートにみる幸福への鍵」カタログ 日本語版

森美術館　2003 年 10 月 18 日　開館記念展

理事長森佳子・館長デヴィッド・エリオット：ごあいさつ

デヴィッド・エリオット：なぜハピネスなのだろう? 〈アート＆ライフのためのサバイバルガイド〉

ピエール・ルイジ・タッツィ：芸術と幸福〈いくつかの省略をともないつつ並行する歴史〉

山下裕二：日本美術の「ハピネス」若冲、蕭白、白隠

丘山 新：アジアの幸福論

スヴェン=オロフ・ヴァレンスタイン：自由、ユートピア、崇高

南條史生：幸福のメカニズム〈欲望と粋とサバイバル〉

ジョン・C.ジェイ：欲望の祭壇

草間彌生+デヴィッド・エリオット：あなたにとって「幸福」とは? 対話

赤瀬川源平：アートのカーテン

松井みどり：柔らかな想像力〈オノ・ヨーコと草間彌生における幸福の逸脱性〉

アピナン・ポーサヤーナン：ハッピー・アワーズよ、いつまでもアジア・シンドローム

シモン・ジャミ：帝国の終焉

ダニエル・バーンバウム：これこそ幸福ではなかろうか〈金聖歎と 33 の幸福な時〉

ジョン・シウドマック：インド、ネパール、東西アジアの宗教美術

ヘルムート・ノイマン：チベット仏教美術とハーモニー

ピエール・ルイジ・タッツィ、デヴィッド・エリオット、片岡真実、東谷隆司、ルッツ・ベッカー、山下裕二、金善姫、浅野秀剛、荒木夏実、ビル・ヴィオラ：作家解説

キャサリン・チャン・ミノ、デニス・パトリー・レイディ、ギタ・メータ、デヴィッド・エリオット、ジョン・M. ローゼンフィールド、田邊三郎助、山下裕二、伊藤京子、デジレ・フェル・シンガー、リー・ウファン、ジョン・シウドマック、ヘルムート・ノイマン：作品解説

デヴィッド・エリオット、片岡真実、椿玲子：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004 ●

欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING : NEW VISIONS in CONTEMPORARY JAPANESE ART 2004」

会期：2004 年 2 月 7 日－4 月 11 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：会田誠、秋山さやか、青木陵子＋伊藤存、アトリエ・ワン、坂茂、エキソニモ、藤澤直人、福井篤、フジタマ、八谷和彦、花代、畠山直哉、法貴信也、池田謙、生西康典＋掛川康典、今村源、石川雷太、伊東篤宏、加藤豪、加藤美佳、木村友紀、木下晋、小杉武久、クワクボリョウタ、ポル・マロ、みかんぐみ、ミナ ペルホネン(皆川明)、ミッション・インヴィジブル、村瀬恭子、村山留里子、中川正博(20471120)、中村哲也、中西夏之、生意気、ニブロール、西尾康之、小谷元彦、大木裕之、オノデラユキ、鶯蛙、ルパート・キャリー＋高橋知子、眞田岳彦、笹口数、渋谷清道、志水児王、篠田太郎、高嶺格、竹村ノブカズ、タナカカツキ、田中功起、東京ピクニッククラブ、上村亮太、渡部睦子、渡辺郷、やなぎみわ、ヤノベケンジ、安村崇〔出品作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004

森美術館　2004 年 2 月 7 日　英文併載

デヴィッド・エリオット：あいさつ

片岡真実：個の共鳴〈日本美術の新しい展望〉

東谷隆司、片岡真実、原久子、紫牟田伸子、四方幸子、飯田高誉、畠中実、黒岩朋子：作家作品解説

飯田高誉：CROSSING1 「交差点」から「野の道まで」

原 久子：CROSSING2 ここにあるもの

紫牟田伸子：CROSSING3 「Re」から次へ

畠中 実：CROSSING4 交差点の想像力

片岡真実、黒岩朋子、椿玲子、佐々木瞳、越田環、門木徹：編集

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大

COLORS ファッションと色彩 VIKTOR & ROLF & KCI ●

欧文タイトル：「FASHION IN COLORS　VIKTOR & ROLF & KCI」

会期：2004 年 4 月 29 日－6 月 20 日　京都国立近代美術館／8 月 24 日－12 月 5 日　六本木・森美術館

主催：森美術館・京都服飾文化研究財団〔巡回 2-1〕

――→京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

アーキラボ 建築・都市・アートの新たな実験 1950-2005 ●

欧文タイトル：「ARCHILAB　NEW EXPERIMENTS IN ARCHITECTURE, ART AND THE CITY, 1950-2005」

会期：2004 年 12 月 21 日－2005 年 3 月 13 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・サントル地域現代芸術振興基金・読売新聞東京本社

出品：阿部仁史、安藤忠雄、青木淳、坂茂、遠藤秀平、長谷川逸子、磯崎新、伊東豊雄、菊竹清訓、隈研吾、黒川紀章、槇文彦、タエグ・ニシモト、丹下健三、渡辺誠、山下秀之、葉祥栄〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本の建築家を収載。

〇展覧会カタログ

アーキラボ 建築・都市・アートの新たな実験 1950-2005

森美術館　2004 年 12 月 20 日

南條史生：建築とアートを巡る断章・序論にかえて

マリー＝アンジュ・ブレイエ：サントル地域現代芸術振興基金〈実験的な収集について〉

八束はじめ：近代建築の「機械」――「アルターエゴ」そして／あるいは「イド」としての

アンドレア・ブランツィ：ラディカル運動

フレデリック・ミゲルー：ノンスタンダードの秩序

クリスチャン・ジラール：機械ホールにて

マーク・ウィグリー：黒への復帰

五十嵐太郎：近代以降の革命とユートピア

森田伸子、南條史生：編集

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

秘すれば花：東アジアの現代美術 ●

欧文タイトル：「The Elegance of Silence：Contemporary Art from East Asia」

会期：2005 年 3 月 29 日－6 月 19 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：伊庭靖子、小林俊哉、丸山直文、向山喜章、奈良美智、須田悦弘、山口晃〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

〇展覧会カタログ

秘すれば花：東アジアの現代美術

森美術館　2005 年 3 月 28 日　主に英文併載

キム・スンヒ：秘すれば花〈新しい東アジアのアートを探して〉

南條史生：アジアの花

建畠 哲：豊かなる沈黙

小川光代、キム・スンヒ、南條史生、片岡真実：作家解説

カン・ウン：作家の言葉

ウー・ホン：天国でもなく、家でもなく〈東アジアの現代美術における風景と内部空間の描写〉

キム・スンヒ、小川光代、佐々木瞳、門木徹、鷹箸絵麻：編集

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美

ストーリーテラーズ〈アートが紡ぐ物語〉 ●

欧文タイトル：「The WoRld is A StAgE StoRiEs BEhiNd PictuREs」

会期：2005 年 3 月 29 日－6 月 19 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：エイヤ＝リーサ・アハティラ、ジャナン・アルアニ、グレゴリー・クリュードソン、シュテファン・エクスラー、テリーザ・ハバード／アレクサンダー・ビルヒラー、イケムラレイコ、ウィリアム・ケントリッジ、鴻池朋子、トレイシー・モファット、小谷元彦、アン

ネ・オロフソン、キャラ・ウォーカー、マーク・ウォリンジャー、キャレン・ヤシンスキー〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

ストーリーテラーズ〈アートが紡ぐ物語〉

森美術館　2005 年 3 月 29 日　主に英文併載

デヴィッド・エリオット：ごあいさつ

荒木夏実：アートが紡ぐ物語

巽 孝之：語るオブジェの花園で

神谷幸江：映像：移動する視点がとらえる物語

エイヤ＝リーサ・アハティラ、ジャナン・アルアニ、シュテファン・エクスラー〔作家紹介の抜粋〕、テリーザ・ハバード／アレクサンダー・ビルヒラー〔抜粋〕、イケムラレイコ、ウィリアム・ケントリッジ〔抜粋〕、鴻池朋子、トレイシー・モファット、小谷元彦、アンネ・オロフソン〔抜粋〕、キャラ・ウォーカー〔抜粋〕、マーク・ウォリンジャー、キャレン・ヤシンスキー：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、和光大

東京－ベルリン ベルリン－東京展 ●

欧文タイトル：「TOKYO－BERLIN／BERLIN－TOKYO」

会期：2006 年 1 月 28 日－5 月 7 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・ベルリン国立博物館群ベルリン新国立美術館・朝日新聞社

出品：セクション 9；福沢一郎、古沢岩美、石井茂雄、河原温、岡本太郎、山下菊二、樋口忠男、本庄光郎、岩宮武二、三瀬幸一、実験工房(北代省三、山口勝弘、大辻清司)、斎藤義重、勅使河原蒼風、長谷川三郎、土門拳、林忠彦、木村伊兵衛、長野重一。セクション 10；工藤哲巳、草間彌生、タイガー立石、横尾忠則、赤瀬川原平、高松次郎、中西夏之、靉嘔、塩見允枝子、小杉武久〔作品リスト順〕

註：出品欄はセクション 9 とセクション 10 の日本作家を収載。

〇展覧会カタログ〔――→附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〕

東京－ベルリン ベルリン－東京展

森美術館　2006 年 1 月 28 日

デヴィッド・エリオット、ペーター＝クラウス・シュースター：東京－ベルリン／ベルリン－東京 近代の都市をめぐる終わりなき対話

藤森照信：19、20 世紀における日本とドイツの建築交流

イルメラ・日地谷＝キルシュネライト：明暗の境界 日本文学作品内のベルリン

水沢 勉：砕かれた鏡像――ベルリンの日本人芸術家の自己像をめぐって

飯沢耕太郎：日本の写真家たちとベルリン

ローラント・メルツ：日本との出会い 1900-1945 年のベルリンの美術

ミヒャエル・ヘルター：アーティストのプロヴィンス 1945 年以降のベルリンにおけるヴィジュアル・アートの状況に寄せて

ジャクリーヌ・ベルント：日常の場と夢想の空間：東京とベルリンから見たマンガ／コ

ミック

ドナルド・リチー：映画における表現主義

ドナルド・リチー：映画『新しき土』――日独合作の一例

荒木夏実、広瀬麻美、片岡真実、近藤健一、黒岩朋子、南條史生、瀬田光代、鷹箸絵麻：作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

笑い展 現代アートにみる「おかしみ」の事情 ●

欧文タイトル：「ALL ABOUT LAUGHTER：HUMOR IN CONTEMPORARY ART」

会期：2007 年 1 月 27 日－5 月 6 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・日本テレビ放送網

出品：SECTION 1 前衛の笑い；赤瀬川原平、靉嘔、ハイレッド・センター、中西夏之、オノ・ヨーコ、塩見允枝子。SECTION 2 小さな笑い；磯崎道佳、木村太陽、倉重迅、渡辺英司。SECTION 3 笑いの裏返し；会田誠、チェン・シャオション(陳劭雄)＋小沢剛、鳥光桃代。SECTION 4 逸脱する笑い；今村哲、磯崎道佳(重)、金氏徹平、岡山直之、田中功起、山本高之〔出品作家リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

笑い展 現代アートにみる「おかしみ」の事情

森美術館　2007 年 1 月 26 日

片岡真実：真実を探して――穴と輪ゴムとマスクとコヨーテ

斎藤 環：匿名のアイロニー、形式のユーモア

塩見允枝子：フルクサスの笑い

片岡真実：作家・作品解説

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、和光大、国会図、都中図

「六本木クロッシング 2007：未来への脈動」展 ●

欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING 2007：FUTURE BEATS IN JAPANESE CONTEMPORARY ART」

会期：2007 年 10 月 13 日－2008 年 1 月 14 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：Ages5&Up、飴屋法水、チェルフィッチュ、できやよい、エンライトメント、榎忠、冨谷悦子、原真一、春木麻衣子、長谷川踏太／TOMATO、東恩納裕一、池水慶一、伊藤ガビン、岩崎貴宏、鬼頭健吾、小林耕平、眞島竜男、丸山清人、中西信洋、名和晃平、小粥丈晴〔小粥丈晴・雄川愛〕、さかぎしよしおう、佐藤雅彦＋桐山孝司、関口敦仁、田中偉一郎、田中信行、立石大河亞、辻川幸一郎、内原恭彦、内山英明、宇川直宏、山口崇司／d.v.d、横山裕一、吉村芳生、吉野辰海、四谷シモン〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

「六本木クロッシング 2007：未来への脈動」展

森美術館　2007 年 10 月 13 日　英文併載
南條史生：ごあいさつ
荒木夏実：「交差」の可能性：時代と枠組みを越えて／〔作家解説〕
天野一夫：「交差点」であることから－「荒野」に立つものとして／〔作家解説〕
佐藤直樹：アートの価値の源泉としてのクロッシング／〔作家解説〕
椹木野衣：「クロッシング」をめぐって／〔作家解説〕
佐藤雅彦：「計算の概念」の、この世界への新しい記述のしかた
桐山孝司：《計算の庭》の状態遷移図
荒木夏実、黒岩朋子、椿玲子、佐々木瞳、西牧佐知子、岸本直子：編集
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

アートは心のためにある：UBS アートコレクションより ●
欧文タイトル：「ART IS FOR THE SPIRIT：Works from The UBS Art Collection」
会期：2008 年 2 月 2 日－4 月 6 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：荒木経惟、畠山直哉、宮本隆司、森村泰昌、杉本博司〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
アートは心のためにある：UBS アートコレクションより
森美術館　2008 年 2 月 2 日　英文併載
南條史生：ごあいさつ
片岡真実：われわれは世界とどう繋がっているのか?
森佳子、聞き手・南條史生：インタビュー アートコレクションをつくること
ピー・リー(皮力)：「みんな自分の物語がある」UBS アートコレクションにおけるアジアの物語性
ジョアン・バーンスタイン：「心を突き動かすイメージ」UBS アートコレクションの歴史とこれから
片岡真実、越田環、町野加代子、小山田洋子：作家・作品解説
片岡真実、町野加代子、越田環、佐々木瞳、小山田洋子、鈴木幸太：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図、都中図

六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か? ●
欧文タイトル：「Roppongi Crossing 2010：Can There Be Art?」
会期：2010 年 3 月 20 日－7 月 4 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：相川勝、雨宮庸介、青山悟、Chim↑Pom、contact Gonzo、ダムタイプ、HITOTZUKI(Kami＋Sasu)、加藤翼、小金沢健人、森村泰昌、ログズギャラリー、志賀理江子、鈴木ヒラク、高嶺格、照屋勇賢、宇治野宗輝、八幡亜樹、横溝静、米田知子、⊥〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か?

美術出版社　2010 年 3 月 20 日〔第 2 刷：4 月 20 日〕　英文併載
南條史生：ごあいさつ
近藤健一：2010 年、芸術は可能か?
窪田研二：可能性としての芸術
木ノ下智恵子：「六本木クロッシング 2010 展」のための覚書
窪田研二、国枝かつら、近藤健一、木ノ下智恵子、鷹箸絵麻、町野加代子：〔作品解説〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

ネイチャー・センス 日本の自然知覚力を考える ●

欧文タイトル：「SENSINGNATURE RETHINKING THE JAPANESE PERCEPTION OF NATURE」
会期：2010 年 7 月 24 日－11 月 7 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：吉岡徳仁、篠田太郎、栗林隆〔出品作品リスト順〕
〇展覧会カタログ
ネイチャー・センス 日本の自然知覚力を考える
平凡社　2010 年 8 月 31 日　主に英文併載
南條史生：ごあいさつ
片岡真実：ネイチャー・センス〈気配としての自然〉
アレクサンダー・フォン・フェーゲザック、ドリアン・チョン、清水穣：〔作家論〕
渡辺俊夫：近代日本の自然観の成立
赤坂憲雄：野生の呼び声〈異類婚姻譚を手がかりとして〉
新見 隆：方形の自然、あるいは、ゆらぐ水の魔〈裏返しのジャポニズム、F・L・ライト、ウィーン工房、藤井厚二〉
上野 誠：万葉集に歌われた自然のかたち
澁川雅俊：ネイチャー・ブックラウンジ
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図、都中図

メタボリズムの未来都市――戦後日本・今甦る復興の夢とビジョン ●

欧文タイトル：「METABOLISM, THE CITY OF THE FUTURE：Dreams and Visions of Reconstruction in Postwar and Present-Day Japan」
会期：2011 年 9 月 17 日－2012 年 1 月 15 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・UIA2011 東京大会日本組織委員会・日本経済新聞社
出品：浅田孝、粟津潔、磯崎新、栄久庵憲司、大髙正人、大谷幸夫、川添登、菊竹清訓、黒川紀章、丹下健三、槇文彦
註：出品欄はメタボリズムの中心人物を収載した。
〇展覧会カタログ
メタボリズムの未来都市――戦後日本・今甦る復興の夢とビジョン
森美術館　2011 年 9 月 17 日
南條史生：今日におけるメタボリズムの意義と日本の復興、そして未来について

八束はじめ：本展覧会の構成〈「メタボリズム連鎖」という「近代の超克」〉
前田尚武、田篭美保、吉田侑季、今村創平、金子祐介、菊池誠、戸田穣、豊川斎赫、日埜直彦、松下希和、八束はじめ：プロジェクト解説
クワァン・セン、豊川斎赫、中森康文、今村創平、黒川紀章〔再録〕、南後由和、松下希和、山名善之、日埜直彦、菊池誠、金子祐介、及部克人、片岡真実、太田佳代子：論考
内野正樹・金子祐介編：メタボリズム・クロニクル 1945-2010
内野正樹・金子祐介編：メタボリズムをさらに深く知るための 100 冊
広瀬麻美、佐々木瞳、前田尚武、田篭美保、玉山雅美、吉田侑季：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

LOVE 展：アートにみる愛のかたち〈シャガールから草間彌生、初音ミクまで〉●
欧文タイトル：「All You Need Is LOVE From Chagall to Kusama and Hatsune Miku」
会期：2013 年 4 月 26 日－9 月 1 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：荒木経惟、浅田政志、Chim↑Pom、初音ミク、出光真子、石川真生、近藤智美、草間彌生、森淳一、村山留里子、西山美なコ、岡本太郎、オノ・ヨーコ&ジョン・レノン、折元立身、澤柳英行、杉本博司、TANY、寺岡政美、津村耕佑、梅沢和木、やくしまるえつこ＋真鍋大度＋石橋素＋菅野薫、吉永マサユキ〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○展覧会カタログ
LOVE 展：アートにみる愛のかたち〈シャガールから草間彌生、初音ミクまで〉　森美術館編
平凡社　2013 年 4 月 24 日　英文併載　六本木ヒルズ・森美術館 10 周年記念展
南條史生：愛と革命 共生の美学
角田光代：愛という言葉の向こうにあるもの
田中優子：江戸時代における愛と恋
岡田温司：愛のチューニング
藤井直敬：Love & Reality
荒木夏実、広瀬麻美、片岡真実、河上直衣、近藤健一、熊倉晴子、西牧佐知子、大下裕二、酒井敦子、田篭美保、鷹箸絵麻、椿玲子、吉田彩子：作家・作品解説
佐々木瞳、荒木夏実、広瀬麻美：編集
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

六本木クロッシング 2013 アウト・オブ・ダウト――来たるべき風景のために ●
欧文タイトル：「Roppongi Crossing 2013：OUT OF DOUBT」
会期：2013 年 9 月 21 日－2014 年 1 月 13 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：赤瀬川原平、アキラ・アキラ、荒川医&南川史門、朝海陽子、千葉正也、遠藤一郎、サイモン・フジワラ、岩田草平×プロマイノリティ、泉太郎、金氏徹平、風間サチコ、小林史

子、小泉明郎、満田晴穂、森千裕、中平卓馬、中村宏、中村裕太、丹羽良徳、奥村雄樹、プロジェクト FUKUSHIMA!、流井幸治、笹本晃、下道基行、菅木志雄、田島美加、高坂正人、柳幸典〔作品リスト順〕

○展覧会カタログ

六本木クロッシング 2013 アウト・オブ・ダウト――来たるべき風景のために

森美術館　2013 年 10 月 15 日　英文併載　森美術館開館 10 周年記念展

南條史生：ごあいさつ

片岡真実、ルーベン・キーハン、ガブリエル・リッター：作家・作品解説

サイモン・フジワラ、中村宏、風間サチコ、新井卓、小泉明郎、柳幸典、下道基行、丹羽良徳、遠藤一郎、千葉正也、流井幸治、荒川医&南川史門、森千裕、泉太郎、金氏徹平、奥村雄樹、田島美加、高坂正人、笹本晃、小林史子、アキラ・アキラ、満田晴穂、中村裕太、菅木志雄、朝海陽子、岩田草平×プロマイノリティ、プロジェクト FUKUSHIMA!：作家インタビュー

片岡真実：根源的な何かを求めて――複雑さ、矛盾、両義性の先に

ルーベン・キーハン：喪失の構造、解放の構造

ガブリエル・リッター：ナンセンスの系譜

ミリアム・サス：「現代」から「コンテンポラリー」へ

白木栄世、水田紗弥子、堀内奈穂子、小林晴夫、井上文雄：ディスカーシブ・プラットフォーム

片岡真実、佐々木瞳：編集

註：内容は同じだが奥付が平凡社発行のカタログがあり。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美

六本木クロッシング 2013 アウト・オブ・ダウト――来たるべき風景のために　森美術館編

平凡社　2013 年 10 月　英文併載　森美術館開館 10 周年記念展

註：内容は上記森美術館発行のカタログに同じ。

所蔵：□、東大駒、和光大、国会図、都中図

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉●

欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」

会期：2014 年 5 月 31 日－8 月 31 日　六本木・森美術館／11 月 8 日－12 月 23 日　名古屋市美術館／2015 年 1 月 16 日－3 月 15 日　沖縄県立博物館・美術館／4 月 5 日－6 月 7 日　高知県立美術館

主催：森美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-1〕

出品：宮武東洋、影山光洋、吉岡専造、大竹省二、奈良美智、小西淳也、梅佳代、菊地智子、近藤聡乃、照屋勇賢、塩田千春、山本高之〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

○展覧会カタログ

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉

森美術館　2014 年 6 月 19 日　主に英文併載
荒木夏実：ゴー・ビトゥイーンズ展：境界を超えるこどもの力
サンドラ・J・ホルスタイン：ゴー・ビトゥイーンズからイン・ビトゥイーンズ、そしてハイフン付アメリカ人へ
ジャクリーン・リーム・サッローム：ミドル・ネームは言わないで
金仁淑：個性のはじまり
須本エドワード豊：狭間の景色、根付く足跡
荒木夏実、後藤桜子、清家三智、田篭美保、高木瑞季、鷹箸絵麻、豊見山愛、椿玲子：作家・作品解説
荒木夏実、佐々木瞳：編集
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

シンプルなかたち：美はどこからくるのか ●

欧文タイトル：「Simple Forms：Contemplating Beauty」
会期：2015 年 4 月 25 日－7 月 5 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・ポンピドゥー・センター・メス、特別共催：エルメス財団
出品：岡崎和郎、李禹煥、杉本博司、岡田紅陽、黒田泰蔵、大巻伸嗣、田中信行、西川勝人〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。
○展覧会カタログ
シンプルなかたち：美はどこからくるのか　　森美術館編
平凡社　2015 年 4 月 22 日　英文併載
南條史生：ごあいさつ
エマ・ラヴィーニュ：ごあいさつ
ピエール＝アレクシィ・デュマ：序文
ジャン・ド・ロワジー：シンプルとは?
南條史生、鷹箸絵麻、椿玲子：解説〔日本作家〕
椿玲子、佐々木瞳：編集
所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

六本木クロッシング 2016 展 僕の身体、あなたの声 ●

欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING 2016　My Body, Your Voice」
会期：2016 年 3 月 26 日－7 月 10 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：毛利悠子、片山真理、石川竜一、さわひらき、山城大督、高山明、野村和弘、ミヤギフトシ、藤井光、後藤靖香、佐々瞬、志村信裕、百瀬文、ナイル・ケティング、松川朋奈、小林エリカ、西原尚、ジュン・ヤン、ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ、長谷川愛〔作品リスト順〕
○展覧会カタログ
六本木クロッシング 2016 展 僕の身体、あなたの声

森美術館　2016 年 5 月 1 日　主に英文併載
南條史生：ごあいさつ
荒木夏実、キム・ソンジョン、小澤慶介、ウー・ダークン：キュレーターによるステートメント 僕の身体、あなたの声
ウー・ダークン、荒木夏実、小澤慶介、キム・ソンジョン：作家・作品解説
荒木夏実：僕とあなたのいる世界
キム・ソンジョン：声
小澤慶介：「他者」はどこにいった あるいは、埋め込まれた「他者」を探して
ウー・ダークン：混迷の時代に共感は可能か?
荒木夏実、佐々木瞳：編集
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

ヤ・ラ・ワ

安田火災東郷青児美術館　―→損保ジャパン東郷青児美術館

有楽町朝日ギャラリー
クリエイティブ'84――10 人の女性画家 ●
欧文タイトル：「Creative '84――Ten Women Painters」
会期：1984 年 12 月 1 日－23 日　有楽町朝日ギャラリー　主催：朝日新聞社
出品：片岡球子、桂ゆき、合田佐和子、荘司福、津田一江、前本彰子、三岸節子、矢野美智子、山本容子、吉澤美香〔出品リスト順〕
○展覧会カタログ
クリエイティブ'84――10 人の女性画家　　朝日新聞東京本社企画第一部編
朝日新聞社　1984 年 12 月
東野芳明：「10 人の女性画家」展によせて
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美

有楽町アート・フォーラム
手で見る美術展 ●
欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」
会期：1988 年 9 月 2 日－13 日　有楽町アート・フォーラム／9 月 18 日－10 月 4 日　尼崎・つかしんホール
主催：西武美術館、企画協力：社会福祉法人桜雲会〔巡回 2-1〕
出品：秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美

代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥〔作品リスト順〕

〇展覧会カタログ

手で見る美術展

西武美術館　1988 年 9 月

中村雄二郎：触覚について――断章用に

秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥：〔作家のことば〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美

ワタリウム美術館

アイ・ラブ・アート II 展〈現代美術のコンセプトを探る〉●

欧文タイトル：「I LOVE ART II　IN QUEST OF THE CONCEPT OF CONTEMPORARY ART」

会期：1992 年 1 月 14 日－3 月 15 日　神宮前・ワタリウム　主催：ワタリウム

出品：河原温、シグマー・ポルケ、ギルバート・アンド・ジョージ、ドナルド・ジャッド、ソル・ルウィット、ジョン・ケージ〔図版収載順〕

〇展覧会カタログ

アイ・ラブ・アート II 展〈現代美術のコンセプトを探る〉

ワタリウム　1992 年 1 月

和多利志寿子：吠えろというの

金沢一志、日向あき子、小林昌男、秋山邦晴：〔作家解説、作家論〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、愛芸文、和光大

「大地の精神」展 ●

欧文タイトル：「THE SPIRIT OF THE EARTH」

会期：1994 年 8 月 31 日－11 月 23 日　神宮前・ワタリウム美術館　主催：ワタリウム美術館

出品：リカルド・ブレイ、岡本太郎、ジャクソン・シュルングワニ

〇展覧会カタログ

大地の精神

ワタリウム美術館　1994 年 8 月

和多利浩一：〔ことば〕

ヤン・フート：リカルド・ブレイ〈ありつづける存在〉

和多利浩一：エッセイ

ディルク・ピュルタウ：ほこりのため息

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、和光大

藁工ミュージアム

すごいぞ、これは! ●

欧文タイトル：「This is Amazing!」

会期：2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／11 月 14 日－12 月 25 日　札幌芸術の森美術館／2016 年 1 月 7 日－14 日　高知・藁工ミュージアム、かるぽーと／2 月 2 日－10 日　福山・鞆の津ミュージアム

主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・藁工ミュージアム〔巡回 4-3〕

――→埼玉県立近代美術館〔巡回 4-1〕

附 現代美術展一覧：簡略編

凡例

・本編は、それぞれの美術館で開催された現代美術展を一望するために「現代美術展一覧」のデータを集約したものである。
・本編は、それぞれ「欧文タイトル」と「会期・会場、主催等」から構成される。
・配列は「現代美術展一覧」と同じ美術館順とした。

国立美術館

国立近代美術館・東京国立近代美術館（旧館）

現代写真展〈日本とアメリカ〉●

欧文タイトル：「THE EXHIBITION OF CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY――JAPAN AND AMERICA」

1953 年 8 月 29 日－10 月 4 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉●

欧文タイトル：「ABSTRACTION AND SURREALISM：How to understand them?」

1953 年 12 月 1 日－1954 年 1 月 20 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

19 人の作家〈戦後の絵画・彫刻〉●

欧文タイトル：「Painting and Sculpture for the past Ten years」

1955 年 2 月 5 日－3 月 13 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

日米抽象美術展　朝日新聞社企画部編 ●

欧文タイトル：「Japan America Abstract Arts」

1955 年 4 月 29 日－6 月 12 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館・朝日新聞社

現代日本の書・墨の芸術〈ヨーロッパ巡回展覧作品国内展示会〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1955 年 8 月 20 日－28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

現代の版画〈日本とエコール・ド・パリ〉●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PRINTS　Japanese Artists and l' Ecole de Paris」

1956 年 5 月 19 日－6 月 10 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

今日の写真〈日本とフランス〉●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY　JAPAN & FRANCE」

1956 年 6 月 22 日－7 月 15 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

日本の彫刻〈上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代〉●

欧文タイトル：「EXHIBITION OF JAPANESE SCULPTURE Contemporary Sculpture versus Haniwa, Bronze Buddhist Statues, and Masks of the Asuka and the Nara Periods」

1956 年 9 月 1 日－30 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

前衛美術の 15 人〈特別陳列・アメリカ現代美術〉●

欧文タイトル：「15 Vanguard Artists」

1957 年 5 月 10 日－6 月 5 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

17 人の作家〈現代の絵画・彫刻シリーズ〉●

欧文タイトル：「LIVING SEVENTEEN JAPANESE ARTISTS」

1957 年 10 月 1 日－11 月 3 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

抽象絵画の展開 ●

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF JAPANESE ABSTRACT PAINTING」

1958 年 6 月 7 日－7 月 13 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

戦後の秀作 ●

欧文タイトル：「POSTWAR OUTSTANDING WORKS OF ART」

1959 年 1 月 23 日－3 月 1 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館・朝日新聞社

現代写真展－1959 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1960 年 1 月 5 日－24 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

日本画の新世代 ●

欧文タイトル：「RECENT DEVELOPMENT IN JAPANESE STYLE PAINTING」

1960 年 2 月 26 日－3 月 27 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

超現実絵画の展開 ●

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF JAPANESE SURREALISTIC PAINTING」

1960 年 4 月 1 日－24 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

現代写真展 1960 ●

欧文タイトル：「contemporary Japanese photographies 1960」

1961 年 1 月 5 日－2 月 5 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

現代美術の実験 ●

欧文タイトル：「Adventure in Today's Art of Japan」

1961 年 4 月 12 日－30 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

現代絵画の展望〈近代日本美術代表作品シリーズ IV〉●

欧文タイトル：「PROMINENT WORKS OF CONTEMPORARY JAPANESE PAINTING」

1962 年 2 月 13 日－25 日　日本橋・三越本店　主催：国立近代美術館

近代日本の造形〈油絵と彫刻〉●

欧文タイトル：「OIL PAINTING AND SCULPTURE IN Modern Japan」

1962 年 6 月 28 日－7 月 22 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

近代日本の造形／絵画と彫刻 ●

欧文タイトル：「PAINTING AND SCULPTURE IN MODERN JAPAN」

1962 年 7 月 28 日－8 月 26 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

現代写真展 1961／1962 ●

欧文タイトル：「contemporary Japanese photographies 1961／1962」

1963 年 1 月 5 日－25 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
彫刻の新世代 ●
欧文タイトル：「NEW GENERATION OF JAPANESE SCULPTORS」
1963 年 5 月 17 日－6 月 16 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
戦中世代の画家 ●
欧文タイトル：「painters of the “senchū” generation」
1965 年 1 月 29 日－2 月 28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
在外日本作家展〈ヨーロッパとアメリカ〉 ●
欧文タイトル：「EXHIBITION OF JAPANESE ARTISTS ABROAD Europe and America」
1965 年 10 月 15 日－11 月 28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
現代美術の新世代 ●
欧文タイトル：「new generation of contemporary art」
1966 年 1 月 21 日－2 月 27 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
現代写真の 10 人 ●
欧文タイトル：「TEN ARTISTS OF CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY」
1966 年 7 月 15 日－8 月 21 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
東西美術交流展 ●
欧文タイトル：「Mutual Influences between Japanese and Western Arts」
1968 年 9 月 7 日－10 月 27 日　京橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・日本ユネスコ国内委員会

東京国立近代美術館（新館）
現代世界美術展〈東と西の対話〉 ●
欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART Dialogue between the East and the West」
1969 年 6 月 12 日－8 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館
1970 年 8 月　現代美術の一断面 ●
欧文タイトル：「AUGUST 1970－ASPECTS OF NEW JAPANESE ART」
1970 年 8 月 4 日－30 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館
戦後日本美術の展開〈具象表現の変貌〉 ●
欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF POSTWAR JAPANESE ART：Figurative Art」
1972 年 2 月 8 日－3 月 12 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館
ヨーロッパの日本作家 ●
欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN EUROPE」
1973 年 1 月 5 日－2 月 11 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕
戦後日本美術の展開〈抽象表現の多様化〉 ●
欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF POSTWAR JAPANESE ART：Abstract and Non-Figurative」

1973 年 6 月 12 日－7 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

アメリカの日本作家 ●

欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN THE AMERICAS」

1974 年 1 月 5 日－2 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

15 人の写真家 ●

欧文タイトル：「FIFTEEN PHOTOGRAPHERS TODAY」

1974 年 7 月 26 日－9 月 1 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

1960 年代――現代美術の転換期 ●

欧文タイトル：「The 1960's――A Decade of Change in Contemporary Japanese Art」

1981 年 12 月 4 日－1982 年 1 月 31 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

現代美術における写真〈1970 年代の美術を中心として〉 ●

欧文タイトル：「Photography in Contemporary Art」

1983 年 10 月 7 日－12 月 2 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

現代美術への視点 メタファーとシンボル〔第 1 回展〕 ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：METAPHOR and/or SYMBOL」

1984 年 11 月 23 日－1985 年 1 月 20 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館〔巡回 2-1〕

現代デザインの展望〈ポストモダンの地平から〉 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY LANDSCAPE From the Horizon of Postmodern Design」

1985 年 12 月 7 日－1986 年 1 月 19 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

近代日本の美術〈所蔵作品による全館陳列〉 ●

欧文タイトル：「MODERN JAPANESE ART from the Museum Collection」

1986 年 6 月 28 日－8 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

昭和の美術〈所蔵作品による全館陳列〉 ●

欧文タイトル：「Art of the Showa Period From the Museum Collection」

1989 年 7 月 21 日－9 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

現代美術への視点 色彩とモノクローム〔第 2 回展〕 ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：COLOR and/or MONOCHROME」

1989 年 9 月 30 日－11 月 26 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館、協力：東京ドイツ文化センター・ブリティシュ・カウンシル〔巡回 2-1〕

現代美術への視点 形象のはざまに〔第 3 回展〕 ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Among the Figures」

1992 年 9 月 22 日－11 月 8 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館〔巡回 2-1〕

現代美術への視点 絵画、唯一なるもの〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：PAINTING-SINGULAR OBJECT」

1995 年 11 月 3 日－12 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

プロジェクト・フォー・サバイバル〈1970 年以降の現代美術再訪：プロジェクティブ［意志的・投企的］な実践の再発見に向けて〉●

欧文タイトル：「PROJECT FOR SURVIVAL」

1996 年 12 月 3 日－1997 年 1 月 12 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

未完の世紀：20 世紀美術がのこすもの ●

欧文タイトル：「The Unfinished Century：Legacies of 20th Century Art」

2002 年 1 月 16 日－3 月 10 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・読売新聞社

写真の現在 2 サイトー場所と光景 ●

欧文タイトル：「Photography Today 2――[sáit]site／sight」

2002 年 6 月 18 日－8 月 4 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

現代美術への視点 連続と侵犯〔第 5 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Continuity / Transgression」

2002 年 10 月 29 日－12 月 23 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国立国際美術館〔巡回 2-1〕

痕跡――戦後美術における身体と思考 ●

欧文タイトル：「TRACES：Body and Idea in Contemporary Art」

2005 年 1 月 12 日－2 月 27 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

アジアのキュビスムー境界なき対話 ●

欧文タイトル：「Cubism in Asia：Unbounded Dialogues」

2005 年 8 月 9 日－10 月 2 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国際交流基金・韓国国立現代美術館・シンガポール美術館

写真の現在 3 臨界をめぐる 6 つの試論 ●

欧文タイトル：「Photography Today 3　Resolution／Dissolution」

2006 年 10 月 31 日－12 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

わたしいまめまいしたわ〈現代美術にみる自己と他者〉Self／Other ●

欧文タイトル：「Self / Other」

2008 年 1 月 18 日－3 月 9 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art 6：Emotional Drawing」

2008 年 8 月 26 日－10 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国際交流基金〔巡回 2-1〕

沖縄・プリズム 1872▸2008 ●

欧文タイトル：「OKINAWA PRISMED 1872-2008」

2008 年 10 月 31 日－12 月 21 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館、特別協力：沖縄県立博物館・美術館

建築はどこにあるの? 7 つのインスタレーション ●

欧文タイトル：「Where is Architecture? Seven Installations by Japanese Architects」

2010 年 4 月 29 日－8 月 8 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

「日本画」の前衛 1938-1949 ●

欧文タイトル：「The Avant-Garde of “Nihonga” 1938-1949」

2011 年 1 月 8 日－2 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 3-2〕

写真の現在 4〈そのときの光、そのさきの風〉 ●

欧文タイトル：「Photography Today 4：in their persistent endeavors to meet the world」

2012 年 6 月 1 日－7 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

美術にぶるっ!〈ベストコレクション 日本近代美術の 100 年〉 ●

欧文タイトル：「Art Will Thrill You!　：The Essence of Modern Japanese Art」

2012 年 10 月 16 日－2013 年 1 月 14 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・NHK・NHK プロモーション

現代のプロダクトデザイン－Made in Japan を生む ●

欧文タイトル：「PRODUCT DESIGN TODAY：Creating “Made in Japan”」

2013 年 11 月 1 日－2014 年 1 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

映画をめぐる美術——マルセル・ブロータースから始める ●

欧文タイトル：「Reading Cinema, Finding Words：Art after Marcel Broodthaers」

2014 年 4 月 22 日－6 月 1 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

日本の家 1945 年以降の建築と暮らし ●

欧文タイトル：「THE JAPANESE HOUSE　ARCHITECTURE AND LIFE AFTER 1945」

2017 年 7 月 19 日－10 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国際交流基金

アジアにめざめたら〈アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代〉 ●

欧文タイトル：「Awakening：Art in Society in Asia 1960s-1990s」

2018 年 10 月 10 日－12 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館、韓国国立現代美術館、ナショナル・ギャラリー・シンガポール、国際交流基金アジアセンター

国立近代美術館京都分館・京都国立近代美術館（旧館）

現代絵画の動向 ●

欧文タイトル：「Trend of Contemporary Japanese Paintings」

1963 年 4 月 27 日－5 月 26 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館〔現代美術の動向シリーズ第 1 回展〕

現代絵画の動向〈西洋と日本〉 ●

欧文タイトル：「contemporary trend of paintings：occident and japan」

1963 年 7 月 6 日－8 月 29 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館〔現代美術の動向シリーズ第 2 回展〕

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 3 回展〕 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TREND OF JAPANESE PAINTINGS AND SCULPTURES」

1964 年 4 月 4 日－5 月 10 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

日本・カラー1964 Color in Japan〈現代写真代表作展／特陳・東京オリンピック報道写真〉 ●

欧文タイトル：「Color in Japan Masterpieces of Contemporary Photography Accompanied with Photo Report during Tokyo Olympics」

1965 年 1 月 23 日－2 月 21 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 4 回展〕 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TREND OF JAPANESE PAINTINGS AND SCULPTURES」

1965 年 6 月 18 日－7 月 25 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

近代絵画の流れ ●

欧文タイトル：「Development of Modern Painting in Japan」

1965 年 8 月 1 日－29 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

具象絵画の新たなる展開 ●

欧文タイトル：「FIGURATIVE PAINTING IN JAPAN AFTER THE WAR」

1965 年 12 月 17 日－1966 年 1 月 30 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

現代美術の動向 1966〔第 5 回展〕 ●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE PAINTING AND SCULPTURE」

1966 年 5 月 10 日－6 月 5 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

現代美術の動向 1967〔第 6 回展〕 ●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」

1967 年 7 月 8 日－8 月 13 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

現代美術の動向 1968〔第 7 回展〕 ●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART 1968」

1968 年 8 月 16 日－9 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

日本画の新人たち ●

欧文タイトル：「YOUNG ARTISTS IN JAPANESE-STYLE PAINTING」

1969 年 5 月 20 日－6 月 15 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

現代美術の動向 1969〔第 8 回展〕 ●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」

1969 年 8 月 19 日－9 月 23 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

現代美術の動向 1970〔最終第 9 回展〕 ●

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」

1970 年 7 月 7 日－8 月 9 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

現代美術の鳥瞰 ●

欧文タイトル：「BIRD'S EYE VIEW OF CONTEMPORARY JAPANESE ART, 1972」

1972 年 8 月 5 日－27 日　京都国立近代美術館

ヨーロッパの日本作家 ●

欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN EUROPE」

1972 年 10 月 17 日－11 月 26 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

グラフィックイメージ'73 ●

欧文タイトル：「graphic image'73」

1973 年 8 月 24 日－9 月 16 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

アメリカの日本作家 ●

欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN THE AMERICAS」

1973 年 9 月 26 日－11 月 4 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館〔巡回 2-1〕

グラフィックイメージ'74(ワード＋イメージ) ●

欧文タイトル：「Graphic Image'74 Word＋Image」

1974 年 8 月 20 日－9 月 19 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

現代美術の鳥瞰〈明日を探る作家たち〉 ●

欧文タイトル：「BIRD'S EYE VIEW OF CONTEMPORARY JAPANESE ART, 1977」

1977 年 8 月 27 日－9 月 25 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・京都新聞社

1960 年代――現代美術の転換期 ●

欧文タイトル：「The 1960's――A Decade of Change in Contemporary Japanese Art」

1982 年 2 月 10 日－3 月 14 日　京都国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

現代美術における写真〈1970 年代の美術を中心として〉 ●

欧文タイトル：「Photography in Contemporary Art」

1983 年 10 月 7 日－12 月 2 日　東京国立近代美術館／12 月 13 日－1984 年 1 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-2〕

現代デザインの展望〈ポストモダンの地平から〉●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY LANDSCAPE From the Horizon of Postmodern Design」

1985 年 9 月 11 日－10 月 20 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

京都国立近代美術館（新館）

現代美術への視点 色彩とモノクローム〔第 2 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：COLOR and/or MONOCHROME」

1990 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館、協力：東京ドイツ文化センター・ブリティシュ・カウンシル〔巡回 2-2〕

現代美術への視点 絵画、唯一なるもの〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：PAINTING-SINGULAR OBJECT」

1996 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-2〕

プロジェクト・フォー・サバイバル〈1970 年以降の現代美術再訪：プロジェクティブ［意志的・投企的］な実践の再発見に向けて〉●

欧文タイトル：「PROJECT FOR SURVIVAL」

1996 年 10 月 8 日－11 月 24 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

身体の夢 ファッション OR 見えないコルセット ●

欧文タイトル：「VISIONS OF THE BODY：FASHION OR INVISIBLE CORSET」

1999 年 4 月 6 日－6 月 6 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・京都服装文化研究財団〔巡回 2-1〕

COLORS ファッションと色彩 VIKTOR & ROLF & KCI ●

欧文タイトル：「FASHION IN COLORS　VIKTOR & ROLF & KCI」

2004 年 4 月 29 日－6 月 20 日　京都国立近代美術館／8 月 24 日－12 月 5 日　六本木・森美術館

主催：京都国立近代美術館・京都服飾文化研究財団〔巡回 2-1〕

痕跡――戦後美術における身体と思考 ●

欧文タイトル：「TRACES：Body and Idea in Contemporary Art」

2004 年 11 月 9 日－12 月 19 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 2-1〕

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art 6：Emotional Drawing」

2008 年 11 月 18 日－12 月 21 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館・国際交流基金〔巡回 2-2〕

生存のエシックス ワークブック ●

欧文タイトル：「Trouble in Paradise」

2010 年 7 月 9 日－8 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館、特別協力：京都市立芸術大学

「日本画」の前衛 1938-1949 ●

欧文タイトル：「The Avant-Garde of “Nihonga” 1938-1949」

2010 年 9 月 3 日－10 月 17 日　京都国立近代美術館

主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館〔巡回 3-1〕

映画をめぐる美術――マルセル・ブロータースから始める ●

欧文タイトル：「Reading Cinema, Finding Words：Art after Marcel Broodthaers」

2013 年 9 月 7 日－10 月 27 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館・京都新聞社〔巡回 2-1〕

あの時みんな熱かった! アンフォルメルと日本の美術 ●

欧文タイトル：「A Feverish Era：Art Informel and the Expansion of Japanese Artistic Expression in the 1950s and ’60s」

2016 年 7 月 27 日－9 月 11 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

国立国際美術館

日本の美、その色とかたち ●

欧文タイトル：「Aesthetics in Japanese Art：Form and Colour」

1977 年 10 月 15 日－12 月 18 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

青い眼、黒い眼 日本人画家のフランス体験 エコール・ド・パリからアンフォルメルへ… ●

欧文タイトル：「Les peintres japonais et la France－de l’Ecole de Paris à l’Informel」

1978 年 1 月 21 日－3 月 21 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

近代イタリア美術と日本〈作家の交流をめぐって〉 ●

欧文タイトル：「ITALY AND JAPAN　art in last ten decades」

1979 年 10 月 6 日－12 月 2 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

まがいものの光景　現代美術とユーモア ●

欧文タイトル：「Simulated Images in Contemporary Art」

1980 年 7 月 25 日－9 月 23 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

現代の絵画〈東欧と日本〉 ●

欧文タイトル：「Contemporary Painting in Eastern Europe and Japan」

1981 年 3 月 5 日－31 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・国際芸術文化振興会

現代ラテン・アメリカ美術と日本 ●

欧文タイトル：「Arte Latinoamericano Contemporáneo y Japón」

1981 年 10 月 2 日－12 月 6 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

現代美術への視点 メタファーとシンボル〔第 1 回展〕 ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：METAPHOR and/or SYMBOL」

1985 年 2 月 1 日－3 月 10 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

絵画の嵐・1950 年代〈アンフォルメル／具体美術／コブラ〉●

欧文タイトル：「Action et Emotion, Peintures des Années 50：Informel, Gutaï, Cobra」

1985 年 9 月 27 日－11 月 26 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

絵画 1977－1987〈開館 10 周年記念〉●

欧文タイトル：「The Tenth Anniversary Exhibition / PAINTING 1977－1987」

1987 年 10 月 3 日－12 月 6 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

ドローイングの現在 ●

欧文タイトル：「Drawing as Itself」

1989 年 10 月 7 日－11 月 26 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

ミニマル・アート ●

欧文タイトル：「MINIMAL ART」

1990 年 10 月 6 日－11 月 25 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

芸術と日常〈反芸術／汎芸術〉●

欧文タイトル：「Japanese Anti-Art：Now and Then」

1991 年 10 月 10 日－12 月 1 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

彫刻の遠心力－この十年の展開 ●

欧文タイトル：「CENTRIFUGAL SCULPTURE An Aspect of Japanese Sculpture in the Last Decade」

1992 年 10 月 10 日－11 月 29 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

現代美術への視点 形象のはざまに〔第 3 回展〕●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Among the Figures」

1992 年 12 月 12 日－1993 年 1 月 31 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

現代の染め ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TEXTILE DESIGN-DYEING」

1994 年 9 月 1 日－27 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

抽象美術へのいざない ●

欧文タイトル：「INVITATION TO ABSTRACT ART」

1995 年 8 月 14 日－9 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

紙の世界 ●

欧文タイトル：「THE WORLD OF PAPER」

1995 年 10 月 5 日－12 月 3 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

美術家の冒険〈多面化する表現と手法〉●

欧文タイトル：「PROTEAN ARTISTS OF THE TIMES」

1996 年 9 月 5 日－11 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

重力－戦後美術の座標軸 ●

欧文タイトル：「GRAVITY－Axis of Contemporary art」

1997 年 10 月 30 日－12 月 9 日　吹田市・国立国際美術館 主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

瀧口修造とその周辺 ●

欧文タイトル：「To and From Shuzo Takiguchi」

1998 年 8 月 6 日－9 月 27 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

芸術と環境－エコロジーの視点から ●

欧文タイトル：「ART AND THE ENVIRONMENT FROM AN ECOLOGICAL POINT OF VIEW」

1998 年 10 月 8 日－11 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

日韓現代美術展〈自己と他者の間〉 ●

欧文タイトル：「Between the Unknown Straits」

1999 年 4 月 8 日－5 月 16 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・社団法人国際芸術文化振興会・韓日美術交流振興会〔巡回 2-2〕

空間体験：[国立国際美術館]への 6 人のオマージュ ●

欧文タイトル：「Space Experiences：Homage to The National Museum of Art, Osaka」

2000 年 6 月 15 日－7 月 16 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

主題としての美術館〈美術館をめぐる現代美術〉 ●

欧文タイトル：「MUSEUM AS SUBJECTS」

2001 年 10 月 25 日－12 月 11 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

いま、話そう――日韓現代美術展 ●

欧文タイトル：「A Second Talk：Contemporary Art from Korea and Japan」

2002 年 8 月 1 日－9 月 10 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・韓国国立現代美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

現代美術への視点 連続と侵犯〔第 5 回展〕 ●

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Continuity / Transgression」

2003 年 1 月 16 日－3 月 23 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・東京国立近代美術館・ダイキン工業現代美術振興財団〔巡回 2-2〕

マルセル・デュシャンと 20 世紀美術 ●

欧文タイトル：「Marcel Duchamp and the 20th Century Art」

2004 年 11 月 3 日－12 月 19 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日新聞社・朝日放送〔巡回 2-1〕

もの派－再考 ●

欧文タイトル：「Reconsidering Mono-ha」

2005 年 10 月 25 日－12 月 18 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

現代美術の皮膚 ●

欧文タイトル：「Skin of / in Contemporary Art」

2007 年 10 月 2 日－12 月 2 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

液晶絵画 ●

欧文タイトル：「STILL / MOTION」

2008 年 4 月 29 日－6 月 15 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日放送・朝日新聞社〔巡回 3-2〕

絵画の庭－ゼロ年代日本の地平から ●

欧文タイトル：「Fifth Anniversary Exhibition：Garden of Painting Japanese Art of the 00s」

2010 年 1 月 16 日－4 月 4 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日新聞社・朝日放送

風穴 もうひとつのコンセプチュアリズム、アジアから ●

欧文タイトル：「Kaza Ana / Air Hole：Another From of Conceptualism from Asia」

2011 年 3 月 8 日－6 月 5 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

世界制作の方法 ●

欧文・韓文タイトル：「Ways of Worldmaking」

2011 年 10 月 4 日－12 月 11 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

リアル・ジャパネスク〈世界の中の日本現代美術〉 ●

欧文タイトル：「Real Japanesque：The Unique World of Japanese Contemporary Art」

2012 年 7 月 10 日－9 月 30 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

ノスタルジー＆ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉 ●

欧文タイトル：「Nostalgia and Fantasy：Imagination and Its Origins in Contemporary Art」

2014 年 5 月 27 日－9 月 15 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

他人の時間 ●

欧文タイトル：「Time of others」

2015 年 7 月 25 日－9 月 23 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・東京都現代美術館・シンガポール美術館・クィーンズランド州立美術館現代美術館・国際交流基金アジアセンター〔巡回・国内 2-2〕

エッケ・ホモ〈現代の人間像を見よ〉 ●

欧文タイトル：「ECCE HOMO The Human Images in Contemporary Art」

2016 年 1 月 16 日－3 月 21 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日新聞社

視覚芸術百態 19 のテーマによる 196 の作品 ●

欧文タイトル：「The Myriad Forms of Visual Art：196 Works with 19 Themes」

2018 年 5 月 26 日－7 月 1 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

ニュー・ウェイブ 現代美術の 80 年代 ●

欧文タイトル：「New Wave：Japanese Contemporary Art of the 1980s」

2018 年 11 月 3 日－2019 年 1 月 20 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

国立新美術館

20 世紀美術探検〈アーティストたちの三つの冒険物語〉●

欧文タイトル：「Living in the Material World： “Things” in Art of the 20th Century and Beyond」

2007 年 1 月 21 日－3 月 19 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

アーティスト・ファイル 2008――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2008：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

2008 年 3 月 5 日－5 月 6 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：「DOMANI」

2008 年 12 月 13 日－2009 年 1 月 26 日　国立新美術館　主催：文化庁、共催：国立新美術館・読売新聞社

アーティスト・ファイル 2009――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2009　The NACT Annual Show of Contemporary Art」

2009 年 3 月 4 日－5 月 6 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

DOMANI・明日展 2009〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：「DOMANI 2009」

2009 年 12 月 12 日－2010 年 1 月 24 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社

アーティスト・ファイル 2010――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2010：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

2010 年 3 月 3 日－5 月 5 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

陰影礼讃――国立美術館コレクションによる ●

欧文タイトル：「SHADOWS：Works from the National Museums of Art」

2010 年 9 月 8 日－10 月 18 日　国立新美術館　主催：独立行政法人国立美術館、共催：朝日新聞社・東京新聞・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・NHK

DOMANI・明日展 2010〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：「DOMANI The Art of Tomorrow 2010 Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」

2010 年 12 月 11 日－2011 年 1 月 23 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社

アーティスト・ファイル 2011――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2011：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

2011 年 3 月 16 日－6 月 6 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：「DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」

2012 年 1 月 14 日－2 月 12 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社

「具体」――ニッポンの前衛 18 年の軌跡 ●

欧文タイトル：「GUTAI / The Spirit of an Era」

2012 年 7 月 4 日－9 月 10 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「“DOMANI：The Art of Tomorrow 2013” Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」

2013 年 1 月 12 日－2 月 3 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

アーティスト・ファイル 2013――現代の作家たち ●

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2013：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

2013 年 1 月 23 日－4 月 1 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

16th 未来を担う美術家たち DOMANI・明日展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉建築×アート ●

欧文タイトル：「16th DOMANI　The Art of Tomorrow Exhibition」

2013 年 12 月 14 日－2014 年 1 月 26 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

17th 未来を担う美術家たち DOMANI・明日展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：「“17th DOMANI：The Art of Tomorrow” Exhibition」

2014 年 12 月 13 日－2015 年 1 月 25 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム ●

欧文タイトル：「MANGA＊ANIME＊GAMES＊FROM JAPAN」

2015 年 6 月 24 日－8 月 31 日　国立新美術館　主催：国立新美術館〔巡回 2-1〕

アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋〈日本と韓国の作家たち〉●

欧文／韓文タイトル：「Artist File 2015 Next Doors：Contemporary Art in Japan and Korea ／아티스트 파일 2015：동행」

2015 年 7 月 29 日－10 月 12 日　国立新美術館／11 月 10 日－2016 年 2 月 14 日　韓国国立現代美術館果川館　主催：国立新美術館・韓国国立現代美術館　共催：国際交流基金・韓国国際交流財団

第 18 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「18th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for

Upcoming Artists」

2015 年 12 月 12 日－2016 年 1 月 24 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館・読売新聞社

はじまり、美の饗宴〈すばらしき大原美術館コレクション〉●

欧文タイトル：「THE BEST SELECTION OF THE OHARA MUSEUM OF ART」

2016 年 1 月 20 日－4 月 4 日　国立新美術館　主催：国立新美術館・公益財団法人大原美術館・NHK プロモーション

第 19 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「19th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」

2016 年 12 月 10 日－2017 年 2 月 5 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館

第 20 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●

欧文タイトル：「20th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition Showcasing Participants from the Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」

2018 年 1 月 13 日－3 月 4 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館

東京国立博物館

美術館を読み解く――表慶館と現代の美術 ●

欧文タイトル：「Reading the Art Museum　Hyokeikan and Art of Today」

2001 年 1 月 23 日－3 月 11 日　東京国立博物館　主催：東京国立近代美術館・東京国立博物館

国際交流基金（国際交流フォーラム、国際交流基金フォーラム）

幸福幻想――アジアの現代美術作家たち ●

欧文タイトル：「VISIONS OF HAPPINESS　Ten Asian Contemporary Artists」

1995 年 2 月 25 日－3 月 26 日　赤坂・国際交流フォーラム　主催：国際交流基金アセアン文化センター

「アウト・ザ・ウィンドウ」展カタログ ●

欧文タイトル：「OUT THE WINDOW-SPACES OF DISTRACTION」

2004 年 1 月 10 日－2 月 15 日　赤坂・国際交流基金フォーラム　主催：独立行政法人国際交流基金アジアセンター

「Have We Met?－見知らぬ君へ」展 ●

欧文タイトル：「Have We Met? Catalog」

2004 年 12 月 11 日－2005 年 1 月 30 日　赤坂・国際交流基金フォーラム　主催：国際交流基金

公立美術館 北海道

北海道

北海道立近代美術館

第 13 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

北海道展；1980 年 2 月 17 日－3 月 2 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：文化庁・北海道立近代美術館〔巡回 4-4〕

日本のガラス造形・昭和 ●

欧文タイトル：「Japanese Glass in the Showa Period」

1986 年 11 月 9 日－12 月 21 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・朝日新聞社〔巡回 2-1〕

美術北海道 100 年展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 9 月 19 日－10 月 11 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・北海道新聞社

北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉 ●

欧文タイトル：「ART　SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1989」

1989 年 3 月 4 日－26 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1990-91」

1990 年 11 月 9 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」

1992 年 11 月 21 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

札幌アヴァンギャルドの潮流展〈戦後から現在へ－北海道における前衛美術活動の軌跡〉 ●

欧文タイトル：「Northern Tide：Avant-garde Art From Hokkaido」

1994 年 10 月 7 日－18 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：札幌アヴァンギャルドの潮流展実行委員会・北海道新聞社

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

1994 年 10 月 23 日－11 月 27 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

1996 年 10 月 26 日－12 月 1 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

永遠へのまなざし ●

欧文タイトル：「Art for the SPIRIT」

2001 年 10 月 31 日－12 月 2 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館
Outspoken Glass 遠慮のないガラス－今日の日本から ●
2003 年 2 月 5 日－3 月 23 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・「Outspoken Glass 遠慮のないガラス」展実行委員会〔巡回 2-1〕
Born in HOKKAIDO 大地に実る、人とアート〈北海道美術の過去・現在・未来〉 ●
欧文タイトル：「30th anniversary Hokkaido Art past, present, and future」
2007 年 11 月 1 日－2008 年 1 月 24 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・北海道造形教育連盟・NHK 札幌放送局
現代木彫の潮流〈創造と回帰〉 ●
欧文タイトル：「Currents in Japanese Contemporary Wood Sculpture」
2010 年 9 月 11 日－10 月 17 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館
北海道発：8 人の写真と映像 もうひとつの眺め ●
欧文タイトル：「Contemporary Photography and Video Artists of Hokkaido」
2015 年 1 月 31 日－3 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館
北海道・いまを生きるアーティストたち ともにいること ともにあること ●
欧文タイトル：「The Emerging Artists in Hokkaido」
2016 年 5 月 25 日－6 月 23 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

北海道立旭川美術館
木の美 絵画と彫刻のあいだ展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1985 年 10 月 26 日－12 月 22 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館
北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉 ●
欧文タイトル：「ART　SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1989」
1989 年 4 月 4 日－5 月 14 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館
木のニューウェーブ〈イコンの森の思索者たち〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1990 年 11 月 10 日－12 月 22 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社
北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉 ●
欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1990-91」
1991 年 2 月 23 日－3 月 24 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館
北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●
欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」
1993 年 1 月 5 日－31 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館
人と風と神々〈北海道の現代木彫〉 ●
欧文タイトル：「Man, Wind and Gods；Contemporary Wood Carving in Hokkaido, 1993.」
1993 年 8 月 28 日－10 月 3 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・NHK 旭

川放送局

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

1994 年 12 月 3 日－1995 年 1 月 8 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

1997 年 1 月 19 日－2 月 16 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社

北海道の抽象絵画－未知の形象を求めて ●

欧文タイトル：「ABSTRACT PAINTING IN HOKKAIDO」

1997 年 2 月 22 日－3 月 30 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

1998 年 5 月 16 日－6 月 14 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・「日本の具象彫刻 10 人展」旭川市民実行委員会・旭川美術振興会・読売新聞社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会〔巡回 4-1〕

北海道立函館美術館

北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉●

欧文タイトル：「ART　SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1989」

1989 年 5 月 20 日－6 月 18 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館

北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1990-91」

1991 年 1 月 6 日－2 月 10 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」

1993 年 2 月 7 日－28 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

1995 年 2 月 25 日－3 月 26 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

道南の美術 抽象の波 1950～70 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 1 月 20 日－2 月 18 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

現代日本版画の一断面〈材・技法・表現：「版」を超えて〉●

欧文タイトル：「AN ASPECT OF JAPANESE CONTEMPORARY PRINT　In excess of printing：Material, Technique, Expression」

1996 年 2 月 24 日－3 月 24 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

「現代美術と文字」展 ●

欧文タイトル：「SPRITUAL FRAGMENT：DRAWING LETTERS IN ART」

1996 年 10 月 26 日－12 月 8 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

1997 年 2 月 22 日－3 月 23 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

道南美術の 21 世紀〈いま〉と〈これから〉●

欧文タイトル：「Southern Hokkaido Artists in the 21th Century」

2011 年 12 月 17 日－2012 年 3 月 20 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館

北海道立帯広美術館

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」

1993 年 3 月 6 日－28 日　北海道立帯広美術館　主催：北海道立帯広美術館

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

1995 年 1 月 14 日－2 月 19 日　北海道立帯広美術館　主催：北海道立帯広美術館

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」

1996 年 12 月 7 日－1997 年 1 月 12 日　北海道立帯広美術館　主催：北海道立帯広美術館

道東アートファイル 2013 in the LIGHT／in the SHADOW ●

欧文タイトル：「Art Works in Eastern Hokkaido 2013」

2013 年 11 月 22 日－2014 年 2 月 2 日　北海道立帯広美術館　主催：北海道立帯広美術館

北海道立釧路芸術館

文化庁主催第 36 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

北海道展；2002 年 12 月 3 日－2003 年 1 月 13 日　北海道立釧路芸術館　主催：文化庁・北海道教育委員会・北海道立釧路芸術館・釧路新聞社・釧路教育芸術振興基金

札幌芸術の森美術館

北の創造者たち'87 木の造形 5 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 8 月 22 日－10 月 4 日　札幌・芸術の森センター・アートロビー　主催：札幌芸術の森・「北の創造者たち'87」実行委員会

北の創造者たち'88 木の造形 5 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 8 月 27 日－10 月 10 日　札幌・芸術の森センター・アートロビー　主催：札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

「北の創造者たち'91〈金属のフィールド・今〉」展 ●

欧文タイトル：「INSTALLATIONS OF METAL ART」

1991 年 12 月 22 日－1992 年 2 月 2 日　札幌・芸術の森美術館　主催：芸術の森美術館

北の創造者たち'94「平面の断章－うつろう空間」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 8 月 31 日－10 月 16 日　札幌・芸術の森美術館　主催：芸術の森美術館

北の創造者たち'96 平面の断章 自立する素材と形 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 7 月 27 日－9 月 8 日　札幌・芸術の森美術館　主催：財団法人札幌芸術の森

北の創造者たち'98 平面の断章 III 知覚される身体性 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 10 月 18 日－1999 年 1 月 24 日　札幌・芸術の森美術館　主催：財団法人札幌芸術の森

北の創造者たち 2001「美術スル」見方 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 12 月 23 日－2001 年 3 月 21 日　札幌・芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団

北の創造者たち展〈虚実皮膜〉●

欧文タイトル：「Northern Creators　Fiction／Fact：Skin／Membrane」

2003 年 10 月 26 日－2004 年 1 月 18 日　札幌・芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団

北の創造者たち展 10th Anniversary Lovely～らぶりぃ～ ●

2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

2004 年 4 月 4 日－5 月 23 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団・北海道新聞社〔巡回 6-3〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2005 年 9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団・北海道放送株式会社〔巡回 9-2〕

「空間に生きる――日本のパブリックアート」展 ●

欧文タイトル：「Public Art in Japan」

2006 年 10 月 1 日－29 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団・「空間に生きる――日本のパブリックアート」展開催実行委員会〔巡回 2-1〕

この 20 年の、20 のアート〈広島市現代美術館コレクションによる〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 11 月 3 日－2007 年 1 月 14 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団、協力：広島市現代美術館

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション ●

欧文タイトル：「neoteny japan　CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S――FROM TAKAHASHI COLLECTION」

2008 年 11 月 22 日－2009 年 1 月 25 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館〔巡回 3-2〕

札幌美術展 さっぽろ・昭和 30 年代〈美術評論家なかがわ・つかさが見た熱き時代〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 10 月 30 日－2011 年 1 月 30 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)・北海道新聞社

高橋コレクション――マインドフルネス! ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION　Mindfulness!」

2013 年 9 月 14 日－11 月 24 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・北海道新聞社〔巡回 2-2〕

札幌美術展 アクア-ライン ●

欧文タイトル：「Art along the shore」

2013 年 11 月 30 日－2014 年 2 月 16 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・北海道新聞社

すごいぞ、これは! ●

欧文タイトル：「This is Amazing!」

2015 年 11 月 14 日－12 月 25 日　札幌芸術の森美術館　主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・札幌芸術の森美術館〔巡回 4-2〕

本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌彫刻美術館）

北の彫刻展 ●

欧文タイトル：「Sculptures of the North」

1982 年 7 月 31 日－8 月 29 日　札幌彫刻美術館　主催：「北の彫刻展」実行委員会・財団法人札幌彫刻美術館・北方圏センター・北海道国際文化協会

第 2 回北の彫刻展 ●

欧文タイトル：「Sculptures of the North」

1984 年 7 月 31 日－9 月 16 日　札幌彫刻美術館　主催：「北の彫刻展」実行委員会・財団法人札幌彫刻美術館・北方圏センター・北海道国際文化協会

第 5 回北の彫刻展〈北海道の作家たち・730 日の軌跡〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 8 月 30 日－10 月 14 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館・札幌彫刻美術館専門委員会

第 6 回北の彫刻展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 8 月 28 日－10 月 18 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

第 7 回北の彫刻展図録〈北の彫刻家 26 人の熱き波動、その放射する 59 日間。〉●

欧文タイトル：「The 7th Exhibition of Northern Sculpture」

1994 年 8 月 5 日－10 月 2 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

第 10 回記念 北の彫刻展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 9 月 1 日－10 月 9 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

北の彫刻展 2002 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2002 年 8 月 30 日－10 月 14 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

北の彫刻展 2004〈新しい具象〉●

欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2004 “Towards New Figure”」

2004 年 8 月 27 日－10 月 11 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

北の彫刻展 2006〈感性を刺激する素材の魅力〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 8 月 26 日－10 月 9 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

北の彫刻展 2008〈心の中の自由な世界〉●

欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2008」

2008 年 8 月 30 日－10 月 13 日　本郷新記念札幌彫刻美術館　主催：本郷新記念札幌彫刻美術館

北の彫刻展 2010〈次世代をになう女性たち〉●

欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2010」

2010 年 10 月 2 日－11 月 14 日　本郷新記念札幌彫刻美術館　主催：本郷新記念札幌彫刻美術館

江別市セラミックアートセンター

日本の現代陶芸〈伝統と新風の精美〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2011 年 8 月 6 日－9 月 19 日　江別市セラミックアートセンター　主催：独立行政法人国立

美術館・北海道教育委員会・江別市〔巡回 2-1〕

釧路市立美術館
黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●
欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」
2006 年 6 月 24 日－7 月 30 日　釧路市立美術館　主催：釧路市立美術館〔巡回 4-1〕

公立美術館 東北

青森県

青森県立美術館
縄文と現代〈二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』〉●
欧文タイトル：「Art and Object：Affinity of the Jomon and the Contemporary」
2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　青森県立美術館　主催：縄文と現代展実行委員会(東奥日報社、日本放送協会青森放送局、青森県)・青森県立美術館
ラブラブショー ●
欧文タイトル:「LOVE LOVE SHOW；The new conceptions of contemporary art exhibition.」
2009 年 12 月 12 日－2010 年 2 月 14 日　青森県立美術館、十和田市現代美術館　主催：ラブラブショー展実行委員会(青森県立美術館・十和田市現代美術館・青森テレビ)
「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2014 年 7 月 12 日－9 月 7 日　青森県立美術館　主催：「美少女の美術史」展実行委員会(青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館)〔巡回 3-1〕

青森市民美術展示館
第 19 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
青森展；1986 年 1 月 26 日－2 月 9 日　青森市民美術展示館　主催：文化庁・青森県教育委員会・青森市・青森市教育委員会・青森市文化施設管理公社〔巡回 3-2〕

十和田市現代美術館
ワッと!どうぶつ What?アート展〈現代アートに見る動物たち〉●
欧文タイトル：「Animals in contemporary art　Many Animals!! What? Art?」
2008 年 7 月 19 日－8 月 31 日　十和田市現代美術館　主催：十和田市現代美術館
ラブラブショー ●

欧文タイトル:「LOVE LOVE SHOW ; The new conceptions of contemporary art exhibition.」
2009 年 12 月 12 日－2010 年 2 月 14 日　青森県立美術館、十和田市現代美術館　主催：ラブラブショー展実行委員会(青森県立美術館・十和田市現代美術館・青森テレビ)

八戸市美術館
「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1988 年 10 月 2 日－23 日　八戸市美術館／11 月 2 日－23 日　名古屋・愛知県美術館／12 月 4 日－25 日　静岡市・駿府博物館／1989 年 1 月 11 日－29 日　横浜・そごう美術館
主催：文化庁・東京国立近代美術館・八戸市・八戸市教育委員会〔巡回 4-1〕

弘前市立博物館
第 13 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
青森展；1980 年 1 月 27 日－2 月 11 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 4-3〕
第 16 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
青森展；1982 年 10 月 17 日－11 月 3 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 4-1〕
第 18 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
青森展；1985 年 1 月 27 日－2 月 15 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 3-3〕
第 21 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
青森展；1988 年 1 月 30 日－2 月 21 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 3-3〕
第 22 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
青森展；1989 年 1 月 29 日－2 月 19 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 3-3〕
第 24 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
青森展；1990 年 12 月 11 日－26 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館〔巡回 5-2〕

岩手県

岩手県立美術館

文化庁主催第 38 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

岩手展；2004 年 11 月 13 日－28 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：文化庁・岩手県教育委員会・岩手県立美術館〔巡回 3-1〕

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

2005 年 1 月 4 日－2 月 27 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-4〕

アート・記憶・場所〈もりとぴあねっと共同企画〉 ●

欧文タイトル：「Project by Morioka Yuitopia Museum Network　Art, Memory, Place」

2007 年 10 月 6 日－11 月 25 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：岩手県立美術館

2016 年の IMA〈岩手の現代美術家たち〉 ●

欧文タイトル：「Here and Now　Seven Artists from Iwate」

2016 年 9 月 3 日－10 月 16 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：岩手県立美術館・岩手県文化振興事業団

北上市民会館

第 8 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

岩手展；1974 年 11 月 2 日－17 日　北上市民会館　主催：文化庁・岩手県教育委員会・北上市・北上市教育委員会・岩手芸術協会・北上市文化団体連絡協議会・第 28 回岩手芸術祭実行委員会〔巡回 4-3〕

水沢市文化会館

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

岩手展；1996 年 2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館　主催：文化庁・岩手県教育委員会・水沢市・水沢市教育委員会・水沢市文化振興財団〔巡回 6-6〕

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

岩手展；1999 年 1 月 28 日－2 月 11 日　水沢市文化会館　主催：文化庁・岩手県教育委員会・水沢市・水沢市教育委員会・水沢市文化振興財団〔巡回 4-4〕

萬鉄五郎記念美術館

集団 N39 1962 年－1969 年 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 9 月 19 日－12 月 23 日　花巻市・萬鉄五郎記念美術館　主催：萬鉄五郎記念美術館
iwate コンテンポラリーアート ●

〇展覧会事項〔次の 4 展から構成される。会場・主催は萬鉄五郎記念美術館。〕

欧文タイトル：当該カタログに記載無

写真家及川修次 故郷へのオマージュ「岩手風土記」展

2012 年 4 月 21 日－6 月 24 日

ランドスケープアート 大地の語り部 山本英治－地形は語る TOWA の城郭展

2012 年 6 月 30 日－8 月 26 日

橋本尚恣　日常〈通過点・到達点〉展

2012 年 9 月 1 日－11 月 11 日

舞良雅子〈素材から見えるもの〉展

2012 年 11 月 23 日－2013 年 2 月 24 日

宮城県

宮城県美術館

開館記念特別展第 1 部 現代日本の美術 ●

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art」

1981 年 11 月 3 日－12 月 6 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館

現代日本の美術・2 風景との出会い　第 1 部 展覧会「風景の表現」●

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art 2　An Encounter with the Sights around Us」

1983 年 7 月 30 日－9 月 15 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・東北放送

現代日本の美術・3　戦後生まれの作家たち ●

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art 3 “The New Generation”」

第 1 期・平面 1986 年 10 月 1 日－11 月 9 日／第 2 期・立体 11 月 15 日－12 月 14 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・東北放送

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉●

1987 年 8 月 1 日－30 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・毎日新聞社〔巡回 4-4〕

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

1987 年 12 月 5 日－1988 年 1 月 31 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・読売新聞社・ミヤギテレビ・美術館連絡協議会〔巡回 6-5〕

美術の国の人形たち ●

欧文タイトル：「Man：In Another Dimension of the Human Form」

1989 年 7 月 29 日－9 月 10 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

幻想の力〈日本の近・現代美術から〉展 ●

欧文タイトル：「Art and Vision：From Japanese Modern Art」

1990 年 10 月 2 日 11 月 4 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

「戦後写真と東北」展〈周縁へ。周縁から…。〉 ●

欧文タイトル：「Photography & Climatology」

1990 年 11 月 10 日－1991 年 2 月 3 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館

昭和の絵画 第 3 部 戦後美術――その再生と展開 ●

欧文タイトル：「Paintings from the Showa Era（1926～1989）Part 3――1945 and after」

1991 年 9 月 21 日－10 月 20 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・TBC 東北放送　開館 10 周年記念特別展

「戦後写真と東北 2」展〈原・日本風景への試論〉 ●

欧文タイトル：「Photography & Climatology II」

1992 年 6 月 13 日－7 月 12 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

異形の Figure――東北の 3 人展 ●

欧文タイトル：「Unique Works by three Artists of Tohoku」

1993 年 5 月 20 日－7 月 11 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

「手」の冒険：構想図[イメージ・スケッチ]の世界 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 7 月 2 日－8 月 14 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

ヒニクなファンタジー 現代 5 人の想像世界 ●

欧文タイトル：「Ironic Fantasy　Another World by Five Contemporary Artists」

1996 年 7 月 27 日－9 月 1 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

「東北の形象――20 世紀からの発見」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 10 月 3 日－11 月 8 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・NHK 仙台放送局

「アートみやぎ」展〔第 1 回展〕 ●

欧文タイトル：「art miyagi」

2000 年 1 月 22 日－3 月 26 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局

特別展「アートみやぎ 2003」〔第 2 回展〕 ●

欧文タイトル：「art miyagi 2003」

2003 年 1 月 28 日－3 月 23 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・

NHK 仙台放送局

アート・ウォッチング part 2〈感覚遊園地探検〉●

欧文タイトル：「ART WATCHING part 2」

2003 年 6 月 28 日－8 月 31 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社

コモン・スケープ 今日の写真における日常へのまなざし ●

欧文タイトル：「Commonscapes：Photography Today, Views of the Everyday」

2004 年 1 月 17 日－3 月 28 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・財団法人自治総合センター

楽しむ空間・一歩前へ! ●

欧文タイトル：「Spaces for You－Stepping Out!」

2004 年 7 月 31 日－9 月 20 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・財団法人自治総合センター

コレクションの四半世紀〈所蔵作品による全館展示〉●

欧文タイトル：「The Collection's Quarter Century」

2006 年 4 月 8 日－5 月 28 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館

アートみやぎ 2007〔第 3 回展〕●

欧文タイトル：「art miyagi 2007」

2007 年 1 月 30 日－4 月 8 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局

新しい美術の系譜 国立国際美術館(大阪)の名作 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 8 月 5 日－10 月 3 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・国立国際美術館・NHK 仙台放送局〔巡回 2-1〕

アートみやぎ 2011〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「ART MIYAGI 2011」

2011 年 1 月 15 日－3 月 21 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・自治総合センター・河北新報社・NHK 仙台放送局

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」●

欧文タイトル：「Sunouchi Toru and Gendai Gallery：The Eye and Spirit of the Showa Period」

2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・NHK 仙台放送局・NHK プラネット東北・河北新報社〔巡回 3-1〕

わが愛憎の画家たち――針生一郎と戦後美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2015 年 1 月 31 日－3 月 22 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・ミヤギテレビ

石巻文化センター

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

宮城展；1987 年 2 月 21 日－3 月 8 日　石巻文化センター　主催：文化庁・宮城県教育委員会・石巻市教育委員会・河北新報社〔巡回 5-5〕

第 22 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

宮城展；1989 年 1 月 8 日－24 日　石巻文化センター　主催：文化庁・宮城県教育委員会・石巻市教育委員会・河北新報社〔巡回 3-2〕

リアス・アーク美術館

境界の風景〈水を越え、人は行く〉 ●

欧文タイトル：「BOUNDS LANDSCAPE」

1994 年 10 月 26 日－11 月 27 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：リアス・アーク美術館

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

宮城展；1994 年 12 月 22 日－1995 年 1 月 15 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：文化庁・宮城県教育委員会・リアス・アーク美術館〔巡回 5-3〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

宮城展；1997 年 1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：文化庁・宮城県教育委員会・リアス・アーク美術館〔巡回 6-5〕

陶芸の現在的造形 ●

欧文タイトル：「Dialogue with Clay－The Spirit of Contemporary Ceramics」

1998 年 7 月 29 日－9 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：リアス・アーク美術館

秋田県

秋田県立近代美術館

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

秋田展；1996 年 2 月 3 日－18 日　秋田県立近代美術館　主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県立近代美術館〔巡回 6-5〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

秋田展；1997 年 2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館　主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県立近代美術館〔巡回 6-6〕

大地の造形〈東北の彫刻家たち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 8 月 29 日－10 月 11 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：秋田県立近代美術館

馬場彬とサトウ画廊の画家たち〈戦後美術の断面〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2001 年 9 月 9 日－10 月 14 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：秋田県立近代美術館

ジパング II 沸騰する日本の現代アート ●

欧文タイトル：「Zipangu－The Surge of Japanese Contemporary Art」

2013 年 9 月 14 日－11 月 10 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：ジパング展秋田展実行委員会(ABS 秋田放送／秋田県立近代美術館)・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

秋田県総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

秋田展；1990 年 11 月 22 日－12 月 6 日　アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館)　主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県〔巡回 5-1〕

第 4 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「4th Asian Art Show, Akita　REALISM ASAN ATTITUDE」

秋田展；1995 年 2 月 17 日－3 月 21 日　秋田県総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール　主催：秋田県〔巡回 4-3〕

秋田市立千秋美術館

現代美術のレッスン・1 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART」

1999 年 2 月 11 日－3 月 22 日　秋田市立千秋美術館　主催：秋田市立千秋美術館・ABS 秋田放送

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 1999〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 4 月 11 日－5 月 9 日　秋田市立千秋美術館　主催：秋田市立千秋美術館・文化庁・読売新聞社〔巡回 2-2〕

山形県

山形美術館

第 19 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

山形展；1986 年 2 月 15 日－28 日　山形美術館　主催：文化庁・山形県教育委員会、共催：山形美術館等〔巡回 3-3〕

未来のノスタルジー〈山形・同時代作家展〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1995 年 7 月 27 日－8 月 20 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送・山形テレビ

生まれるイメージ ●

欧文タイトル：「Descending Images 2005」

2005 年 5 月 25 日－6 月 26 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送・山形テレビ

生まれるイメージ 2007 ●

欧文タイトル：「Descending Images 2007」

2007 年 5 月 16 日－6 月 24 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送

生まれるイメージ 2010 ●

欧文タイトル：「Descending Images 2010」

2010 年 12 月 17 日－2011 年 1 月 30 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送

山形美術博物館

第 8 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

山形展；1974 年 10 月 9 日－27 日　山形美術博物館　主催：文化庁・山形美術博物館・山形県教育委員会・山形市教育委員会・山形新聞・山形放送〔巡回 4-2〕

よねざわ市民ギャラリー・ドリーム

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

山形展；1993 年 11 月 27 日－12 月 14 日　よねざわ市民ギャラリー・ドリーム　主催：文化庁・山形県教育委員会・米沢市教育委員会〔巡回 5-2〕

福島県

福島県立美術館

現代東北美術の状況展〈開館記念展第 3 部〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1984 年 10 月 13 日－11 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

現代東北美術の状況展・II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 10 月 17 日－11 月 23 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

ファイバー・アート〈糸と布の可能性〉●

欧文タイトル：「FIBER ART」

1993 年 2 月 6 日－3 月 21 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

福島の新世代'96 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 1 月 27 日－3 月 10 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

抽象絵画の創造力〈想念がかたちになるとき〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 9 月 14 日－10 月 20 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

福島の新世代'98 ●

欧文タイトル：「A Message to the Next Century」

1998 年 12 月 11 日－1999 年 2 月 7 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館・福島民報社・テレビュー福島

福島の新世代 2001 SEVEN ROOMS ●

2001 年 9 月 22 日－11 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館・福島民報社・テレビュー福島

New Spirits 福島 鴻崎正武・高橋克之、小林浩〈物語をめぐって〉●

2005 年 6 月 18 日－7 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

胸さわぎの夏休み〈イチハラ×やなぎ×ヤノベ×小沢＝∞、美術館で熱くなれ!〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 7 月 17 日－8 月 29 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館、共催：福島県立美術館協力会

被災地からの発信 ふくしま 3.11 以降を描く ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2016 年 9 月 10 日－10 月 10 日　福島県立美術館　主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

福島県文化センター美術博物館

第 8 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

福島展；1974 年 9 月 14 日－29 日　福島県文化センター美術博物館　主催：文化庁・福島県教育委員会・(財)福島県文化センター〔巡回 4-1〕

いわき市立美術館

砂へ、そして砂から もうひとつの美術館《解体をめぐって》●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1985 年 4 月 6 日－21 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

戦後美術の原像展〈戦争の刻印と鎮魂〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 7 月 30 日－8 月 28 日　いわき市立美術館　主催：いわき市教育委員会・いわき市立美術館

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

2004 年 9 月 11 日－10 月 17 日　いわき市立美術館　主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-2〕

彫刻なるもの－川島清・土谷武・若林奮の作品から ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 11 月 17 日－12 月 17 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

いま。つくりたいもの、伝えたいこと。●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2011 年 9 月 17 日－10 月 23 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

2013 年 4 月 20 日－6 月 2 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・福島民友新聞社・福島中央テレビ〔巡回 5-2〕

いわき市文化センター

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

福島展；1975 年 9 月 24 日－10 月 7 日　いわき市文化センター　主催：文化庁・福島県教育委員会・いわき市教育委員会・いわき市文化団体連絡協議会・いわき美術協会〔巡回 4-1〕

郡山市立美術館

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

福島展；1994 年 12 月 6 日－18 日　郡山市立美術館　主催：文化庁・福島県教育委員会・郡山市立美術館〔巡回 5-2〕

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」

1995 年 8 月 12 日－9 月 24 日　郡山市立美術館　主催：郡山市立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-3〕

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

1998 年 10 月 24 日－11 月 23 日　郡山市立美術館　主催：郡山市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・福島民友新聞社・福島中央テレビ〔巡回 4-3〕

郡山市民文化センター
第 20 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
福島展；1987 年 1 月 31 日－2 月 15 日　郡山市民文化センター　主催：文化庁・福島県教育委員会・郡山市教育委員会・郡山市文化施設管理公社〔巡回 5-4〕

公立美術館 関東

茨城県

茨城県近代美術館
現代茨城の美術展〈戦後 40 年の流れ〉●
欧文タイトル：「ART IN IBARAKI, 1945-1988」
前期 明治・大正生まれの作家たち 1988 年 11 月 13 日－12 月 20 日／後期 昭和生まれの作家たち 1989 年 1 月 7 日－2 月 12 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県・茨城県教育委員会
ファミリー美術館'96 素材とかたち〈触覚との対話〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1996 年 8 月 4 日－9 月 3 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
眼をとじて――“見ること”の現在 ●
欧文タイトル：「Close your eyes…and visualize What you see」
2009 年 10 月 31 日－12 月 13 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
耳をすまして――美術と音楽の交差点 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2011 年 1 月 22 日－3 月 6 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
輝く女たち――その強さ、儚さ、複雑さ ●
欧文タイトル：「Images of women　Strength, Fragility, and Ambiguity」
2011 年 7 月 30 日－9 月 11 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
二年後。自然と芸術、そしてレクイエム ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2013 年 2 月 5 日－3 月 20 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
聖なるものへ－ひそやかな祝祭－ ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2013 年 11 月 2 日－2014 年 1 月 13 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
天心の思い描いたもの――ぼかしの彼方へ ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 2 月 15 日－3 月 21 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館・天心・波山記念事業実行委員会

茨城県つくば美術館

「素材×技術」からフォルムへ〈布と金属〉●

欧文タイトル:「CONTEMPORARY JAPANESE TEXTILES AND METALWORKS　From Materials & Artistry to Forms」

2007 年 7 月 27 日－8 月 26 日　茨城県つくば美術館　主催：茨城県つくば美術館

魅惑の像 具象的なるかたち ●

欧文タイトル：「Figurative：Personified Shapes」

2008 年 7 月 25 日－8 月 24 日　茨城県つくば美術館　主催：茨城県つくば美術館

水戸芸術館現代美術センター

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉●

欧文タイトル：「The Game of Manners Japanese Art in 1990」

I 期・1990 年 3 月 22 日－5 月 6 日、II 期・5 月 19 日－7 月 1 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

脱走する写真 11 の新しい表現 ●

欧文タイトル：「Beyond the Photographic Frame－11 Recent Works」

1990 年 7 月 14 日－8 月 26 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

子どもと現代美術シリーズ　箱の世界 do it yourself 展 ●

欧文タイトル：「THE WORLD OF BOX DO IT YOURSELF」

1991 年 2 月 9 日－3 月 24 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

MITO ANNUAL '91 美術とメッセージ ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '91　BEYOND THE MANIFESTO」

1991 年 4 月 13 日－6 月 2 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

MITO ANNUAL '92 大きな日記／小さな物語〈10 人の作家たちがつづる〉●

欧文タイトル：「PRIVATE DIARY　10 Japanese Young Artists」

1992 年 2 月 15 日－4 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

水戸アニュアル'93 アナザーワールド・異世界への旅〈あるいはヴァーチャル・リアリティからの逃走〉 ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '93　ANOTHER WORLD」

1992 年 11 月 21 日－1993 年 3 月 7 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館・読売新聞社

水戸アニュアル'94 開放系 Open System ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '94　Open System」

1994 年 4 月 2 日－5 月 29 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術

センター

水戸アニュアル'95 絵画考〈器と物差し〉●

欧文タイトル：「Discover Paintings：works & language」

1995 年 4 月 1 日－5 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」●

欧文タイトル：「Ibaraki Biannual Dialogos 1996 Conditions of Contemporaries」

1996 年 2 月 10 日－3 月 31 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター、共催：水戸市立博物館

水戸アニュアル'96 プライベートルーム〈写真としての日常〉●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '96　PRIVATEROOM Eight Japanese Artists in Photography」

1996 年 4 月 13 日－6 月 2 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

アートシーン 90-96 水戸芸術館が目撃した現代美術 ●

欧文タイトル：「Contemporary Art Center, ATM ART SCENE 90-96」

第 I 期・1996 年 11 月 30 日－1997 年 1 月 19 日／第 II 期・2 月 1 日－3 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

水戸アニュアル'97 しなやかな共生 ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '97　Flexible Coexistence」

1997 年 4 月 5 日－6 月 1 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

日本の夏 1960-64 こうなったらやけくそだ！ ●

欧文タイトル：「Japanese Art 1960s－Japanese Summer 1960-64」

1997 年 8 月 2 日－9 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

なぜ、これがアートなの? ●

欧文タイトル：「IS THIS ART ?」

1998 年 12 月 19 日－1999 年 3 月 22 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター〔巡回 3-3〕

水戸アニュアル'99 プライベートルーム II ――新時代の写真表現 ●

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '99　PRIVATE ROOM II―Photographs by a New Generation of Women in Japan」

1999 年 4 月 3 日－6 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

日本ゼロ年 ●

欧文タイトル：「Ground Zero Japan」

1999 年 11 月 20 日－2000 年 1 月 23 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術

館現代美術センター

BIT GENERATION 2000 テレビゲーム展 ●

欧文タイトル：「BIT GENERATION “TV-GAMES”」

2000 年 10 月 28 日－2001 年 1 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター・読売新聞社　企画協力：テレビゲーム・ミュージアム〔巡回 2-2〕

SPACE ODYSSEY 宇宙の旅 ●

2001 年 2 月 10 日－5 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

亜細亜散歩 ●

欧文タイトル：「Promenade in Asia－CUTE」

2001 年 8 月 10 日－10 月 21 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

「日常茶飯美－Beautiful Life ?」展 ●

2002 年 1 月 26 日－3 月 31 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

スクリーン・メモリーズ ●

欧文タイトル：「SCREEN MEMORIES」

2002 年 4 月 13 日－6 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

「カフェ・イン・水戸」●

欧文タイトル：「CAFE in Mito　Communicable Action For Everybody」

2002 年 8 月 10 日－9 月 23 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー、商店街、参加ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

12 人の挑戦――大観から日比野まで ●

欧文タイトル：「Twelve Japanese Artists from the Venice Biennale 1952-2001」

2002 年 10 月 5 日－12 月 8 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・茨城新聞社

こもれび展 ●

欧文タイトル：「KOMOREBI」

2003 年 8 月 9 日－10 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

Living Together is Easy ●

和文タイトル：メイン論文に〈日本語に訳せば「共生はたやすい」となるのだが英語圏の人々にとっては、実際は「共生はたやすくない」というアイロニカルな反対の意味を含む表現なのである。〉とあり。

2004 年 1 月 24 日－3 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・国際交流基金・メルボルン・ヴィクトリア州立美術館・メルボルン大学アジアリンク・センター

孤独な惑星 ●

欧文タイトル：「lonely planet」

2004 年 4 月 10 日－6 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

カフェ・イン・水戸 2004 ●

欧文タイトル：「CAFE in Mito 2004　Communicable Action For Everybody」

2004 年 8 月 8 日－10 月 3 日　水戸芸術館＋中心市街地　主催：水戸市芸術振興財団

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団〔巡回 9-1〕

X-COLOR グラフティ in Japan ●

欧文タイトル：「X-COLOR Graffiti in Japan」

2005 年 10 月 1 日－12 月 4 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

われらの時代 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 12 月 17 日－2006 年 2 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　企画：逢坂恵理子、主催：水戸市芸術振興財団

人間の未来へ－ダークサイドからの逃走 ●

欧文タイトル：「To The Human Future Flight From The Dark Side」

2006 年 2 月 25 日－5 月 7 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

ライフ ●

欧文タイトル：「Life」

2006 年 7 月 22 日－10 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

マイクロポップの時代：夏への扉 ●

欧文タイトル：「The Age of Micropop：The New Generation of Japanese Artists」

2007 年 2 月 3 日－5 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

日常の喜び ●

欧文タイトル：「Happiness in Everyday Life」

2008 年 10 月 25 日－2009 年 1 月 18 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

現代美術も楽勝よ。●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 8 月 29 日－10 月 12 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　企画：水戸芸術館現代美術センター、主催：水戸市芸術振興財団・水戸市・水戸市教育委員会・芸術文化活性化事業実行委員会

リフレクション／映像が見せる“もうひとつの世界” ●

欧文タイトル：「REFLECTION：alternative worlds through the video camera」

2010 年 2 月 6 日－5 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

「新次元：マンガ表現の現在」●

欧文タイトル：「Manga Realities：Exploring the Art of Japanese Comics Today」

韓文タイトル：「망가 : 일본만화의 새로운 표현」

2010 年 8 月 14 日－9 月 26 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・国際交流基金

クワイエット・アテンションズ 彼女からの出発 ●

欧文タイトル：「Quiet Attentions：Departure from Women」

2011 年 2 月 12 日－5 月 8 日〔東日本大震災のため 3 月 11 日に閉会〕　水戸芸術館（敷地内、現代美術ギャラリー）　主催：水戸市芸術振興財団

CAFE in Mito 2011－かかわりの色いろ ●

欧文タイトル：「CAFE in Mito 2011」

2011 年 7 月 30 日－10 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー、広場　主催：水戸市芸術振興財団

3.11 とアーティスト｜進行形の記録 ●

欧文タイトル：「Artists and the Disaster｜Documentation in Progress」

2012 年 10 月 13 日－12 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

拡張するファッション ●

欧文タイトル：「You reach out－right now－for something：Questioning the Concept of Fashion」

2014 年 2 月 22 日－5 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団〔巡回 2-1〕

カフェ・イン・水戸 R ●

欧文タイトル：「CAFE in Mito R」

2015 年 8 月 1 日－10 月 18 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団／8 月 1 日－9 月 30 日　水戸市内各所

ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて ●

欧文タイトル：「Hello World－For the Post－Human Age」

2018 年 2 月 10 日－5 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

日立市民会館

第 4 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

茨城展；1970 年 11 月 22 日－12 月 1 日　日立市民会館　主催：文化庁・茨城県教育委員会・日立市・日立市教育委員会〔巡回 4-4〕

日立市郷土博物館

第 14 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

茨城展；1980 年 11 月 1 日－14 日　日立市郷土博物館　主催：文化庁・茨城県教育委員会・日立市・日立市教育委員会・日立市郷土博物館・日立市民文化事業団〔巡回 4-1〕

栃木県

栃木県立美術館

日本の現代美術〈国内美術と国際美術と〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1977 年 10 月 22 日－11 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

世界の現代版画 25 年展 ●

欧文タイトル：「The World in Contemporary Prints 1955-1980」

1981 年 4 月 7 日－5 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館・朝日新聞社〔巡回 3-2〕

芸術と素朴 ●

欧文タイトル：「Naivety in Art」

1986 年 6 月 28 日－8 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館〔巡回 2-2〕

アート ドキュメント'87〈インスタレーション＋ビデオ・アート＋パフォーミング・アート〉 ●

欧文タイトル：「ART DOCUMENT '87 INSTALLATION＋VIDEO＋PERFORMANCE」

1987 年 2 月 22 日－3 月 29 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

現代美術になった写真 ●

欧文タイトル：「PHOTOGRAPHIC ASPECT OF JAPANESE ART TODAY」

1987 年 12 月 20 日－1988 年 1 月 31 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

音のある美術 ●

欧文タイトル：「moments sonores」

1989 年 8 月 13 日－9 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

土の造形 ●

欧文タイトル：「Japanese Clay Work Today」

1990 年 7 月 29 日－9 月 16 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

観念の刻印〈1990 日本の版画・写真・立体〉 ●

欧文タイトル：「THE IMPRINTED IDEAS」

1990 年 11 月 18 日－1991 年 1 月 20 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

ザ・サイレント・パッション〈日本の女性アーティストたち〉 ●

欧文タイトル：「The Silent Passion Seven Artists from Japan」

1991 年 7 月 28 日－10 月 10 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

戦後日本画の転換期〈1950 年代を中心に〉 ●

欧文タイトル：「in the heat of passion；nihonga 1950's」

1993 年 4 月 18 日－5 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

「死にいたる美術－メメント・モリ」展 ●

欧文タイトル：「memento mori：Visions of Death c. 1500-1994」

1994 年 7 月 31 日－9 月 25 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館〔巡回 2-2〕

揺れる女／揺らぐイメージ〈フェミニズムの誕生から現代まで〉 ●

欧文タイトル：「FLOATING IMAGES OF WOMEN IN ART HISTORY from the Birth of the Feminism toward the Dissolution of the Gender」

1997 年 7 月 20 日－9 月 26 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

メディテーション－真昼の瞑想〈90 年代の日本の美術〉 ●

欧文タイトル：「Noontime Meditation：Contemporary Japanese Art having Inner Sight」

1999 年 7 月 11 日－9 月 26 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

「奔る女たち 女性画家の戦中・戦後 1930-1950 年代」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2001 年 10 月 21 日－12 月 9 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

ピクチャー・イン・モーション ●

欧文タイトル：「Picture in Motion」

2004 年 7 月 18 日－9 月 12 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

「前衛の女性 1950－1975」展 ●

欧文タイトル：「Japanese Women Artists in Avant-garde Movements, 1950-1975」

2005 年 7 月 24 日－9 月 11 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

「イノセンス－いのちに向きあうアート」展 ●

欧文タイトル：「INNOCENCE－ART towards LIFE」

2010 年 7 月 17 日－9 月 20 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

画像進化論〈サルからヒトへ、そしてスペクタクルの社会 メディア的進化と創造的退行のダイナミズム〉 ●

欧文タイトル：「Pictorial Theory of Evolution」

2011 年 7 月 23 日－9 月 19 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

光あれ!－光と闇の表現者たち〈とちぎアート・ドキュメント〉 ●

欧文タイトル：「THE QUEST FOR LIGHT AND DARKNESS」

2012 年 7 月 21 日－9 月 17 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」

2013 年 1 月 26 日－3 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館〔巡回 4-3〕

みる、ふれる、きくアート－感覚で楽しむ美術〈とちぎアート・ドキュメント〉 ●

欧文タイトル：「TOUCH IS LOVE」

2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

宇都宮美術館

森ニイマス ●

欧文タイトル：「Windows to the World Around Us」

1997 年 7 月 13 日－8 月 27 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

アート/生態系〈美術表現の「自然」と「制作」〉展 ●

欧文タイトル：「Art/Ecosystem　The Contemporary Japanese Art Scene」

1998 年 7 月 23 日－9 月 6 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

恋スル身体――A SENSE of REALITY ●

1999 年 7 月 18 日－8 月 29 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

ヴァイブレーション〈結びあう知覚〉●

欧文タイトル：「VIBRATION　EXPRESSIVE POWERS OF SCULPTURES」

2001 年 7 月 29 日－9 月 24 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館・下野新聞社、協力：現代彫刻センター

モダニズムの至福のとき いわき市立美術館名品展 ●

欧文タイトル：「Vitality in Modernism Collection from Iwaki City Art Museum」

2002 年 9 月 15 日－11 月 4 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館、協力：いわき市立美術館

いまいるところ／いまあるわたし〈VOCA 展に映し出された現在〉●

欧文タイトル：「The Present State of Contemporary Art. Selected Works from the VOCA Exhibition.」

2006 年 7 月 9 日－9 月 18 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展 ●

欧文タイトル：「SURREALISM AND ART　IMAGE AND REALITY」

2007 年 4 月 21 日－6 月 17 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会・下野新聞社〔巡回 3-1〕

ミニマル／ポストミニマル〈1970 年代以降の絵画と彫刻〉●

欧文タイトル：「MINIMAL / POST MINIMAL－The Contemporary Japanese Art from 1970s」

2013 年 2 月 24 日－4 月 7 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

足利市立美術館

詩人の眼・大岡信コレクション ●

欧文タイトル：「The Poet's Eyes：Makoto Ooka and his Collection」

2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　足利市立美術館　主催：足利市みどりと文化・スポーツ財団(足利市立美術館)、朝日新聞社〔巡回 4-4〕

氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 8 月 29 日－10 月 12 日　足利市立美術館　主催：足利市みどり文化・スポーツ財団(足利市立美術館)・足利市教育委員会・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

画廊の系譜〈浅川コレクションと 1960-80 年代日本の美術〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2012 年 11 月 10 日－12 月 24 日　足利市立美術館　主催：足利市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展 ●

欧文タイトル：「The Echoes from the Abyss：The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition」

2017 年 11 月 3 日－12 月 24 日　足利市立美術館　主催：足利市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

群馬県

群馬県立近代美術館

第 8 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

群馬展；1974 年 12 月 5 日－20 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：文化庁・群馬県教育委員会・群馬県立近代美術館〔巡回 4-4〕

染と織――現代の動向 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1980 年 8 月 16 日－9 月 15 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

現代日本洋画展〈戦前から戦後へ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1980 年 10 月 4 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

ファイバーワーク展――織の造形とその展開 ●

欧文タイトル：「FIBER WORK」

1983 年 3 月 5 日－27 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

現代絵画の 20 年〈1960～70 年代の洋画と新しい「平面」芸術の動向〉●

欧文タイトル：「Japanese Contemporary Paintings, 1960～1980」

1984 年 4 月 12 日－5 月 20 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

染と織――現代の動向 II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 9 月 28 日－11 月 4 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

あるコレクターがみた戦後日本美術 ●

欧文タイトル：「Through a Collector's Eye：Japanese Art after 1945」

2001 年 9 月 15 日－10 月 28 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館〔巡回 2-1〕

日常の変貌 ●

欧文タイトル：「Les métamorphoses du quotidien」

2004 年 2 月 28 日－4 月 11 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

〔群馬展〕2006 年 9 月 17 日－10 月 22 日　第 1 会場；高崎市美術館、第 2 会場；前橋・群馬県庁昭和庁舎　主催：群馬県立近代美術館・高崎市美術館・渋谷区立松濤美術館〔巡回 2-1・第 2 会場〕

註：群馬県立近代美術館の分担した展示は、同館が休館中であったため群馬県庁昭和庁舎で開催された。

酸化したリアリティー〈群馬青年ビエンナーレの作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Oxidized Reality　7 Artists from The Gunma Biennale for Young Artists」

2010 年 1 月 23 日－3 月 22 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

カルテックス 共通言語としてのテキスタイル〈共振する思考〉 ●

欧文タイトル：「CULTEX　textile as a cross-cultural language」

2011 年 7 月 9 日－9 月 4 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館〔巡回 2-2、「風のように、光のように ノルウェーと日本のテキスタイル・アート」展〕

――→岡山県立美術館〔巡回 2-1〕

破壊された都市の肖像――ゲルニカ、ロッテルダム、東京… ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2013 年 1 月 19 日－3 月 24 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

1974 年ニ生マレテ ●

欧文タイトル：「BORN IN 1974　40th Anniversary Exhibition：1974, Part 1」

2014 年 6 月 28 日－8 月 24 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館・上毛新聞社

1974 戦後日本美術の転換点 ●

欧文タイトル：「1974 A Turning Point in Postwar Japanese Art 40th Anniversary Exhibition：1974, Part 2」

2014 年 9 月 13 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館・上毛新聞社

アート・オブ・ライフ〈生きることの美学〉 ●

欧文タイトル：「The Art of Life」

2015 年 7 月 11 日－8 月 30 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

戦後日本美術の出発 1945-1955〈画家たちは「自由」をどう表現したか〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

群馬 NOMO グループの全貌 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2016 年 1 月 16 日－3 月 21 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

群馬県立館林美術館

エコ&アート 近くから遠くへ〈アートを通して地球環境を考える〉●

欧文タイトル：「Ecology and Art　Thinking About the Earth Through Art：From Nearby to Far Away」

2009 年 7 月 4 日－9 月 23 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

館林ジャンクション〈中央関東の現代美術〉●

欧文タイトル：「TATEBAYASHI：CONTEMPORARY ART IN CENTRAL KANTO」

2012 年 4 月 28 日－7 月 1 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

再発見! ニッポンの立体 ●

欧文タイトル：「Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan」

2016 年 7 月 16 日－9 月 19 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

大地に立って／空を見上げて〈風景のなかの現代美術〉●

欧文タイトル：「Standing on the Earth, Looking up into the Sky－Contemporary Artists' Views of Landscapes」

2016 年 10 月 8 日－12 月 4 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

アーツ前橋

開館記念展「カゼイロノハナ 未来への対話」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2013 年 10 月 26 日－2014 年 1 月 26 日　アーツ前橋　主催：アーツ前橋　アーツ前橋開館記念展

プレイヤーズ 遊びかからはじまるアート展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 7 月 5 日－9 月 15 日　アーツ前橋　主催：アーツ前橋

前橋市民文化会館

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

群馬展；1999 年 1 月 8 日－22 日　前橋市民文化会館　主催：文化庁・群馬県教育委員会・前橋市・前橋市教育委員会・前橋市民文化会館〔巡回 4-3〕

太田市美術館・図書館

開館記念展 未来への狼火 ●

欧文タイトル：「OPENING EXHIBITION　NOROSHI SIGNAL FLARE FOR OUR FUTURE」

2017 年 4 月 26 日－7 月 17 日　太田市美術館・図書館　主催：太田市・太田市文化スポーツ振興財団

高崎市美術館
迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
〔群馬展〕2006 年 9 月 17 日－10 月 22 日　第 1 会場；高崎市美術館、第 2 会場；前橋・群馬県庁昭和庁舎　主催：群馬県立近代美術館・高崎市美術館・渋谷区立松濤美術館〔巡回 2-1・第 1 会場〕
魔法の美術館〈ようこそ。ここは光のワンダーランド〉●
欧文タイトル：「Magical Art Museum Welcome, you are now in the wonderland of lights」
2009 年 11 月 15 日－2010 年 1 月 11 日　高崎市美術館　主催：高崎市美術館
ジパング II 沸騰する日本の現代アート ●
欧文タイトル：「Zipangu－The Surge of Japanese Contemporary Art」
2013 年 4 月 7 日－6 月 16 日　高崎市美術館　主催：高崎市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
福沢一郎とそれぞれの戦後美術 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2004 年 1 月 31 日－3 月 7 日　富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館　主催：富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

埼玉県

埼玉県立近代美術館
木のかたちとエスプリ ●
欧文タイトル：「SHAPE AND SPIRIT IN WOOD WORKS」
1983 年 2 月 5 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
現代のリアリズム ●
欧文タイトル：「REALISM NOW」
1983 年 10 月 4 日－12 月 4 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
埼玉の現代美術 版画の今日 ●
欧文タイトル：「Contemporary Japanese Prints」
1984 年 2 月 7 日－3 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
現代のユーモア ●
欧文タイトル：「Humour in Contemporary Art」
1984 年 10 月 6 日－12 月 16 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

現代のセルフポートレート ●

欧文タイトル：「SELF-PORTRAIT TODAY」

1985 年 8 月 22 日－10 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

瑛九とその周辺 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 6 月 14 日－8 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

現代の「白と黒」●

欧文タイトル：「BLACK AND WHITE IN ART TODAY」

1986 年 10 月 5 日－12 月 14 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

現代のイコン〈かみとひとともののときのなかに〉●

欧文タイトル：「Icons in Contemporary Art」

1987 年 6 月 13 日－8 月 2 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

動きの表現 ●

欧文タイトル：「MOVEMENT & MODERN ART」

1988 年 10 月 8 日－12 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

地・間・余白〈今日の表現から〉●

欧文タイトル：「The Space：Material, Tension, Vacancy in Japanese Contemporary Art」

1989 年 2 月 3 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

アート・エキサイティング'89 現在を超えて〈日豪交換現代日本美術展〉●

欧文タイトル：「ART EXCITING '89-beyond the today's being-」

1989 年 6 月 17 日－7 月 23 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

現代の美術～アメリカと日本〈滋賀県立近代美術館所蔵名品展〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 4 月 6 日－5 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

線の表現〈眼と手のゆくえ〉●

欧文タイトル：「LINE IN CONTEMPORARY ART　The Destination of Eyes and Hands」

1991 年 9 月 10 日－10 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

開館 10 周年記念展「アダムとイヴ」●

欧文タイトル：「Tenth Anniversary Exhibition Adam and Eve」

1992 年 10 月 10 日－12 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

ニュー・ヴィジョン・サイタマ　手わざと現代 ●

欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA　Art by Hand : A Natural Way in Contemporary Art」

1993 年 2 月 6 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

矩形の森――思考するグリッド ●

欧文タイトル：「CROSS AND SQUARE－GRIDS」

1994 年 2 月 5 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

果実の受胎 駒井哲郎と現代版画家群像 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 6 月 14 日－7 月 31 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

「うつすこと」と「見ること」〈意識拡大装置〉 ●

欧文タイトル：「VISUALIZATION－in the end of the twentieth century」

1994 年 8 月 12 日－9 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

やわらかく 重く〈現代日本美術の場と空間 Grace & Gravity〉 ●

欧文タイトル：「Grace & Gravity」

1995 年 6 月 10 日－7 月 30 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・オハイオ芸術協会

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」

1995 年 10 月 7 日－12 月 17 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-4〕

火の起源と神話〈日中韓のニューアート〉 ●

欧文タイトル：「Origin and Myths of Fire：New Art from Japan, China and Korea」

1996 年 10 月 12 日－12 月 8 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・朝日新聞社

メキシコ現代版画と日本〈カイロン版画工房コレクションを中心に〉 ●

欧文タイトル：「México y Japón en la estampa contemporánea」

1998 年 2 月 7 日－3 月 22 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・メキシコ合衆国外務省〔巡回 2-1〕

ニュー・ヴィジョン・サイタマ〈消えてゆくもの 満ちてくるもの〉 ●

欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA」

1998 年 10 月 3 日－12 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

自然を読む アナタノ自然ハドコニアル… ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 4 月 3 日－5 月 5 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

呼吸する風景 長沢秀之、佐藤時啓、平田五郎 ●

欧文タイトル：「Breathing Landscapes」

1999 年 6 月 22 日－8 月 8 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

デモクラート 1951～1957〈開放された戦後美術〉 ●

欧文タイトル：「DEMOKRATO 1951-1957　The Liberation of Art in Postwar Japan」

1999 年 8 月 21 日－10 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

プラスチックの時代 美術とデザイン ●

欧文タイトル：「Plastic Age：Art and Design　Plastic Life / Plastic Culture Plastic Art / Art of Plastic」

2000 年 10 月 7 日－12 月 10 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
企画展「木村直道＋遊びの美術」第 2 部 ●
欧文タイトル：「ART and PLAY」
2006 年 1 月 7 日－2 月 5 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
ニュー・ヴィジョン・サイタマ III〈7 つの眼×7 つの作法〉 ●
欧文タイトル：「New Vision Saitama III」
2007 年 12 月 26 日－2008 年 1 月 27 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
ニュー・ヴィジョン・サイタマ 4 静観するイメージ ●
欧文タイトル：「New Vision Saitama 4」
2011 年 1 月 29 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
日本の 70 年代 1968-1982 ●
欧文タイトル：「The 70s in Japan 1968-1982」
2012 年 9 月 15 日－11 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会
すごいぞ、これは! ●
欧文タイトル：「This is Amazing!」
2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・埼玉県立近代美術館〔巡回 4-1〕
ニュー・ヴィジョン・サイタマ 5 迫り出す身体 ●
欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA　The Emerging Body」
2016 年 9 月 17 日－11 月 14 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
版画の景色――現代版画センターの軌跡 ●
欧文タイトル：「A View of Prints：The Trajectory of the Gendai Hanga Center」
2018 年 1 月 16 日－3 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

埼玉会館
第 2 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1968 年 11 月 24 日－12 月 3 日　浦和・埼玉会館　主催：文化庁・埼玉県・埼玉県教育委員会〔巡回 4-4〕

うらわ美術館
求心力／遠心力 うらわと現代の美術 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2001 年 4 月 24 日－7 月 8 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館
融点・詩と彫刻による ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無

2002 年 11 月 19 日－2003 年 2 月 11 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館
まどわしの空間―遠近法をめぐる現代の 15 相 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2003 年 11 月 18 日－2004 年 2 月 22 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館
フルクサス展――芸術から日常へ ●
欧文タイトル：「Fluxus-Art into Life」
2004 年 11 月 20 日－2005 年 2 月 20 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館
氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2008 年 11 月 15 日－2009 年 1 月 25 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕
オブジェの方へ――変貌する「本」の世界 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2009 年 11 月 4 日－2010 年 1 月 24 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会
日本・オブジェ 1920－70 年代 断章 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2012 年 11 月 17 日－2013 年 1 月 20 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

川越市立美術館
タッチ、アート! 体感する美術展 ●
欧文タイトル：「TOUCH, ART」
2006 年 1 月 7 日－3 月 26 日　川越市立美術館　主催：川越市立美術館
ペインティングの現在〈4 人の平面作品から〉 ●
欧文タイトル：「Present-Day Paintings：Two-Dimensional Works of Four Artists」
2015 年 10 月 31 日－12 月 23 日　川越市立美術館　主催：川越市立美術館

千葉県

千葉県立美術館
第 11 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
千葉展；1978 年 1 月 29 日－2 月 17 日　千葉県立美術館　主催：文化庁・千葉県立美術館〔巡回 4-4〕
第 12 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
千葉展；1979 年 1 月 9 日－21 日　千葉県立美術館　主催：文化庁・千葉県立美術館〔巡回

4-4〕

第 15 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

千葉展；1982 年 1 月 29 日－2 月 11 日　千葉県立美術館　主催：文化庁・千葉県立美術館〔巡回 4-4〕

千葉市美術館

Tranquility――静謐 ●

1996 年 1 月 4 日－2 月 25 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館

戦後美術の断面－兵庫県立近代美術館所蔵・山村コレクションから ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 11 月 23 日－12 月 27 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館、協力：兵庫県立近代美術館

超克するかたち〈彫刻と立体〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1997 年 3 月 19 日－4 月 24 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・千葉日報社

「草月とその時代 1945-1970」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 12 月 5 日－1999 年 1 月 10 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・朝日新聞社・草月とその時代展実行委員会、協力：財団法人草月会〔巡回 2-2〕

ジ・エッセンシャル――逢坂卓郎、須田悦弘、大塚聡、渡辺好明 ●

欧文タイトル：「THE ESSENTIAL－TAKURO OSAKA, YOSHIHIRO SUDA, SATOSHI OTSUKA, YOSHIAKI WATANABE」

2002 年 4 月 9 日－6 月 2 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館

戦後日本デザインの軌跡 1953-2005 千葉からの挑戦 ●

欧文タイトル：「Contemporary Design in Japan 1953-2005 CHIBA, Where it started」

2006 年 4 月 1 日－5 月 28 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会

日本の版画 1941-1950「日本の版画」とは何か ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 1 月 12 日－3 月 2 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・東京新聞

国立美術館所蔵による 20 世紀の写真 ●

欧文タイトル：「20th CENTURY PHOTOGRAPHY」

2008 年 11 月 1 日－12 月 14 日　千葉市美術館　主催:千葉市美術館･京都国立近代美術館、出品協力：東京国立近代美術館・国立国際美術館

瀧口修造とマルセル・デュシャン ●

欧文タイトル：「Shuzo Takiguchi and Marcel Duchamp」

2011 年 11 月 22 日－2012 年 1 月 29 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館、協力：慶應

義塾大学アート・センター、富山県立近代美術館
1968 年 激動の時代の芸術 ●
欧文タイトル：「1968：Art in the Turbulent Age」
2018 年 9 月 19 日－11 月 11 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

佐倉市立美術館
チバ・アート・ナウ'94　PAPER'S SPLENDOR ●
欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '94 Paper's splendor」
1994 年 11 月 17 日－12 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
体感する美術'95 アートと遊ぼう、夏休み! ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1995 年 7 月 22 日－8 月 6 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
チバ・アート・ナウ'95　鉄－四つの対話 ●
欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '95 iron-four dialogues」
1996 年 1 月 23 日－2 月 12 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
体感する美術'96 アーティストと考えるサバイバル・ツール ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1996 年 7 月 20 日－8 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
チバ・アート・ナウ'96　人工楽園／Artificial Paradise ●
欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '96 ARTIFICIAL PARADISE」
1996 年 10 月 30 日－11 月 17 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
体感する美術'97 まちへ出よう－風と精霊と人の声 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1997 年 7 月 20 日－8 月 10 日　佐倉市立美術館・市内新町周辺　主催：佐倉市立美術館
チバ・アート・ナウ'97 現代美術というジャンル ●
欧文タイトル：「CHIBA Art Now '97 A Field of "GENDAI BIJUTSU"」
1998 年 2 月 22 日－3 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
体感する美術'98 まちとアートのコミュニケーション ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1998 年 7 月 19 日－8 月 9 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
チバ・アート・ナウ'98 FREAKS〈境界線上の遊戯〉 ●
欧文タイトル：「CHIBA Art Now '98　FREAKS」
1998 年 11 月 15 日－12 月 20 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
体感する美術'99 ミエナイ・サクラヲ・ミル ●
欧文タイトル：「Field of Sensibility '99」
1999 年 7 月 17 日－8 月 8 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
チバ・アート・ナウ'99 知覚の実験室 ●

欧文タイトル：「CHIBA Art Now ’99 Loboratory of the Senses」

1999 年 11 月 14 日－12 月 19 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

体感する美術’2000 佐倉観光案内 ●

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2000」

2000 年 7 月 22 日－8 月 6 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

チバ・アート・ナウ’00 拡張する絵画－色彩による試み ●

欧文タイトル：「Chiba Art Now ’00：Extending the Boundaries of Painting－Exploration of Color」

2001 年 2 月 4 日－3 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

体感する美術’2001 あつめる わける ならべる ミュージアムのたねあかし ●

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2001」

2001 年 8 月 4 日－19 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

チバ・アート・ナウ’01 絵画の領域 ●

欧文タイトル：「Chiba Art Now ’01：Boundaries of Painting」

2001 年 11 月 11 日－12 月 16 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

体感する美術’2002「耳をひらいて」 ●

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2002　Open your ears」

2002 年 7 月 20 日－8 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

チバ・アート・ナウ’02 かたちの所以 ●

欧文タイトル：「CHIBA Art Now ’00 Retracing the Paths」

2002 年 11 月 23 日－12 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

体感する美術’2003 ずこうのじかん 美術の時間 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 7 月 19 日－8 月 3 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

カオスモス’03 Mindscape ●

欧文タイトル：「Chaosmos ’03：Mindscape」

2003 年 8 月 30 日－9 月 28 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

体感する美術’2004 POWER OF PLACE〈美術館のあるまち〉 ●

欧文タイトル：「POWER OF PLACE」

2004 年 7 月 24 日－8 月 7 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

「世界の呼吸法－アートの呼吸 呼吸のアート」展 ●

欧文タイトル：「The Art of Breathing in the World－Art and Respiration」

2005 年 7 月 9 日－8 月 21 日　佐倉市立美術館　主催：川村記念美術館、共催：佐倉市立美術館

カオスモス’05 辿りつけない光景 ●

欧文タイトル：「Chaosmos ’05：Unreal Reality」

2006 年 1 月 31 日－3 月 5 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

カオスモス’07 さびしさと向きあって ●

欧文タイトル：「Chaosmos ’07：In the Face of Sadness」
2007 年 11 月 16 日－12 月 24 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
カオスモス’09 作家はつぶやく ●
欧文タイトル：「Chaosmos ’09：Monologues in Solitude」
2010 年 2 月 7 日－3 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
魔法の美術館 ●
欧文タイトル：「ART IN WONDER LAND」
2016 年 2 月 6 日－3 月 27 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
カオスモス 5 一粒の砂に世界を見るように ●
欧文タイトル：「Chaosmos 5：To View a World within a Grain of Sand」
2017 年 3 月 1 日－28 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

茂原市立美術館・郷土資料館
「コンテンポラリー&トラッド〈郷土に息づく工芸・現代芸術〉」 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1997 年 10 月 1 日－26 日　茂原市立美術館・郷土資料館　主催：茂原市立美術館・郷土資料館

東京都（都立）

東京都美術館（新館）
靉光・松本竣介そして戦後美術の出発 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1977 年 12 月 17 日－1978 年 2 月 26 日　東京都美術館　主催：東京都美術館
写真と絵画〈その相異〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1978 年 10 月 7 日－12 月 3 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館
近代日本美術の歩み展〈明治・大正から昭和へ〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
東京展・1979 年 9 月 1 日－30 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・朝日新聞社〔巡回 2-1〕
現代版画の一断面展図録 ●
欧文タイトル：「Japanese Contemporary Prints－its Technique and Representation」
1980 年 10 月 4 日－11 月 30 日　東京都美術館　主催：東京都美術館
世界の現代版画 25 年展 ●
欧文タイトル：「The World in Contemporary Prints 1955-1980」
1981 年 2 月 7 日－3 月 22 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館・朝日新聞社〔巡回 3-1〕

現代美術の動向 I 1950 年代――その暗黒と光芒展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1981 年 9 月 12 日－11 月 8 日　東京都美術館　主催：東京都美術館

日本銅版画史展――キリシタン渡米から現代まで ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1982 年 10 月 1 日－11 月 28 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

現代美術の動向 II 1960 年代〈多様化への出発〉 ●

欧文タイトル：「Trends of Japanese Art in the 1960s」

1983 年 10 月 22 日－12 月 18 日　東京都美術館　主催：東京都美術館

現代美術の動向 III 1970 年以降の美術――その国際性と独自性 ●

欧文タイトル：「Trends of Contemporary Japanese Art 1970-1984－Universality / individuality」

1984 年 10 月 20 日－12 月 16 日　東京美術館 主催：東京都美術館

現代美術の 40 年〈新館開館 10 周年記念〉 ●

欧文タイトル：「10th Anniversary of New Building－40 YEARS OF JAPANESE CONTEMPORARY ART」

1985 年 10 月 12 日－12 月 8 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館

布のかたち 糸のかたち ●

欧文タイトル：「FABRIC IN SPACE」

1987 年 10 月 3 日－11 月 29 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

「現代の土」展 ●

欧文タイトル：「ASPECTS OF CONTEMPORARY CLAY ART」

1990 年 10 月 5 日－12 月 1 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

「構造と記憶――戸谷成雄・遠藤利克・剣持和夫」展〈木による作品を中心として〉 ●

欧文タイトル：「STRUCTURE and REMEMBRANCE-TOYA, ENDO, KENMOCHI」

1991 年 10 月 2 日－11 月 28 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

語り出す鉄たち〈今日の金属彫刻から〉 ●

欧文タイトル：「Metal Sculpture Today－iron, steel & stainless steel」

1992 年 10 月 6 日－12 月 1 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

現代絵画の一断面――「日本画」を越えて ●

欧文タイトル:「Beyond the“Nihonga”－An Aspect of Contemporary Japanese Paintings」

1993 年 9 月 28 日－11 月 24 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

魂の対話 エイブル・アート'97・東京展 ●

欧文タイトル：「ABLE ART '97 TOKYO」

1997 年 7 月 31 日－8 月 13 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・日本障害者芸術文化協会・朝日新聞社

このアートで元気になる エイブル・アート'99 ●

欧文タイトル：「Art to Revitalize－ABLE ART '99 TOKYO」

1999 年 2 月 16 日－3 月 22 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・日本障害者芸術文化協会・東京、朝日新聞社

モナ・リザ 100 の微笑 ●

欧文タイトル：「Les 100 Sourires de Monna Lisa」

2000 年 1 月 29 日－3 月 26 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・日本経済新聞社・テレビ東京〔巡回 3-1〕

「Arts & Life：生きるための家」展 ●

欧文タイトル：「Arts & Life：Where will we live tomorrow?」

2012 年 7 月 15 日－9 月 30 日　東京都美術館ギャラリーA・B　主催：東京都美術館・朝日新聞社

都美セレクション 新鋭美術家 2013 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2013 年 2 月 19 日－3 月 7 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都歴史文化財団東京都美術館

都美セレクション 新鋭美術家 2014 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2014－From the Public Entry Exhibition」

2014 年 2 月 19 日－3 月 7 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

「楽園としての芸術」展 ●

欧文タイトル：「ART AS A HAVEN OF HAPPINESS」

2014 年 7 月 26 日－10 月 8 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館

都美セレクション 新鋭美術家 2015 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2015－From the Public Entry Exhibition」

2015 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

都美セレクション 新鋭美術家 2016 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2016－From the Public Entry Exhibition」

2016 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景 ●

欧文タイトル：「Tokyo Metropolitan Art Museum's 90th Anniversary Exhibition Dialogue with Trees－Five Stories of Rebirth and Renewal」

2016 年 7 月 26 日－10 月 2 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館

都美セレクション 新鋭美術家 2017 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists 2017－From the Public Entry Exhibition」

2017 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

現代の写実－映像を超えて〈上野アーティストプロジェクト〉 ●

欧文タイトル：「Ueno Artist Project：“Contemporary Realism－Transcending the Photograph and Video”」

2017 年 11 月 17 日－2018 年 1 月 6 日　東京都美術館ギャラリーA・C　主催：東京都美術館

BENTO おべんとう展 食べる・集う・つながるデザイン いただきます編 ●

欧文タイトル：「BENTO Design for Eating, Gathering and Communicating」

2018 年 7 月 21 日－10 月 8 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館

東京都現代美術館

日本の現代美術 1985-1995 ●

欧文タイトル：「ART IN JAPAN TODAY 1985-1995」

1995 年 3 月 19 日－5 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

レボリューション／美術の 60 年代〈ウォーホルからボイスまで〉 ●

欧文タイトル：「REVOLUTION：ART OF THE SIXTIES FROM WARHOL TO BEUYS」

1995 年 9 月 30 日－12 月 10 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

日本の美術――よみがえる 1964 年 ●

欧文タイトル：「1964：A TURNING POINT IN JAPANESE ART」

1996 年 1 月 13 日－3 月 24 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

近代都市と芸術展　東京：都市と芸術 1870-1996 ●

欧文タイトル：「LA VILLE MODERNE　TOKYO, LA VILLE MODERNE」

1996 年 7 月 24 日－9 月 16 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京ルネッサンス推進委員会・東京都現代美術館

時間 / 視線 / 記憶－90 年代美術にみる写真表現〈コレクションによるテーマ展示〉 ●

欧文タイトル：「Surface Exposed：Photography in Art of the 90s」

1997 年 6 月 20 日－8 月 17 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

建築の 20 世紀〈終わりから始まりへ〉 ●

欧文タイトル：「AT THE END OF THE CENTURY ONE HUNDRED YEARS OF ARCHITECTURE」

1998 年 7 月 10 日－9 月 6 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・ロサンゼルス現代美術館・日本経済新聞社

マンガの時代〈手塚治虫からエヴァンゲリオンまで〉 ●

欧文タイトル：「The MANGA Age」

1998 年 10 月 3 日－12 月 13 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・朝日新聞社〔巡回 2-1〕

MOT アニュアル 1999 ひそやかなラディカリズム ●

欧文タイトル：「MOT Annual 1999 Modest Radicalism」

1999 年 1 月 15 日－3 月 28 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

「アクション 行為がアートになるとき 1949-1979」 ●

欧文タイトル：「Out of Actions：Between Performance and the Object, 1949-1979」

1999 年 2 月 11 日－4 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・ロサンゼルス現代美術館

身体の夢 ファッション OR 見えないコルセット ●

欧文タイトル：「VISIONS OF THE BODY：FASHION OR INVISIBLE CORSET」
1999 年 8 月 7 日－11 月 23 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・京都服装文化研究財団・朝日新聞社、企画制作協力：京都国立近代美術館〔巡回 2-2〕

MOT アニュアル 2000 低温火傷 ●
欧文タイトル：「MOT ANNUAL 2000　Land/mind/body-scapes in the Age of Cold Burn」
2000 年 1 月 18 日－3 月 26 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

日本美術の 20 世紀　美術が語るこの 100 年 ●
欧文タイトル：「Japanese Art in the 20th Century」
2000 年 9 月 15 日－11 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会

ギフト・オブ・ホープ 21 世紀アーティストの冒険 ●
欧文タイトル：「The Gift of Hope」
2000 年 12 月 16 日－2001 年 4 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会

グローバル・ヴィジョン――1980 年代から今日まで ●
欧文タイトル：「Global Visions――Art after 1980 from the Museum Collection」
2001 年 4 月 28 日－6 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

水辺のモダン〈江東・墨田の美術 墨東遊覧案内〉 ●
欧文タイトル：「Moderns by the Sumida River－Art in Eastern Tokyo from the Late Nineteenth Century to the Present－」
2001 年 6 月 16 日－8 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会・読売新聞社

MOT アニュアル 2002 フィクション?－絵画がひらく世界 ●
欧文タイトル：「MOT Annual 2012　Fiction? Painting in the Age of Virtual」
2002 年 1 月 19 日－3 月 24 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会

傾く小屋　美術家たちの証言 since 9.11 ●
欧文タイトル：「Slanting House/Statements by the Artists in Japan since 9.11」
2002 年 11 月 12 日－12 月 15 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・セゾン現代美術館セゾンアートプログラム

MOT アニュアル 2003 おだやかな日々 ●
欧文タイトル：「MOT Annual 2003　days」
2003 年 1 月 11 日－3 月 23 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

ミュージアムスクール：地球の上で ●
欧文タイトル：「Museum School：On the Earth」
2003 年 10 月 4 日－12 月 14 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

MOT アニュアル 2004 私はどこから来たのか／そしてどこへ行くのか ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2004　Where do I come from? Where am I going?」

2004 年 1 月 17 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

球体関節人形展 ●

欧文タイトル：「DOLLS OF INNOCENCE」

2004 年 2 月 7 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・日本テレビ・「イノセンス」制作委員会

再考：近代日本の絵画〈美意識の形成と展開〉 ●

欧文タイトル：「Remaking Modernism in Japan 1900-2000」

2004 年 4 月 10 日－6 月 20 日　東京芸術大学大学美術館（第 1 部）、東京都現代美術館（第 2 部）　主催：東京芸術大学・東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・セゾン現代美術館

MOT アニュアル 2005 愛と孤独、そして笑い ●

欧文タイトル：「mot annual 2005　life actually」

2005 年 1 月 15 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

東京府美術館の時代 1926－1970 ●

欧文タイトル：「Age of “Tokyo Metropolitan Art Gallery”」

2005 年 9 月 23 日－12 月 4 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

MOT アニュアル 2006 No Border「日本画」から／「日本画」へ ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2006　No Border」

2006 年 1 月 21 日－3 月 26 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

カルティエ現代美術財団コレクション展 ●

欧文タイトル：「Collection of the Fondation Cartier pour I'art contemporain at MOT」

2006 年 4 月 22 日－7 月 2 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・日本経済新聞社・カルティエ現代美術財団

MOT アニュアル 2007 等身大の約束 ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2007　From a World as Large as Life」

2007 年 1 月 20 日－4 月 1 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

SPACE FOR YOUR FUTURE――アートとデザインの遺伝子を組み替える ●

欧文タイトル：「SPACE FOR YOUR FUTURE：Recombining the DNA of Art and Design」

2007 年 10 月 27 日－2008 年 1 月 20 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館・日本経済新聞社

MOT アニュアル 2008「解きほぐすとき」 ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2008 Unraveling and Revealing」

2008 年 2 月 9 日－4 月 13 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代

美術館

屋上庭園 ●

欧文タイトル：「Roof Gardens」

2008 年 4 月 29 日－7 月 6 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

パラレル・ワールド もうひとつの世界へ／ユーグ・レプ展 ●

欧文タイトル：「PARALLEL WORLDS an exhibition by Hugues REIP」

2008 年 7 月 26 日－9 月 28 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

MOT アニュアル 2010 装飾 ●

欧文タイトル：「AN10-MOT Annual 2010　Neo-Ornamentalism from Japanese Contemporary Art」

2010 年 2 月 6 日－4 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

こどものにわ ●

欧文タイトル：「Garden for Children」

2010 年 7 月 24 日－10 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

トランスフォーメーション ●

欧文タイトル：「Transformation」

2010 年 10 月 29 日－2011 年 1 月 30 日　東京都現代美術館／10 月 29 日－11 月 17 日　東京芸術大学上野校地　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・東京新聞・東京芸術大学　特別協力：多摩美術大学芸術人類学研究所

MOT アニュアル 2011 世界の深さのはかり方 ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2011 Nearest Faraway」

2011 年 2 月 26 日－5 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

建築、アートがつくりだす新しい環境〈これからの“感じ”〉 ●

欧文タイトル：「ARCHITECTURAL ENVIRONMENTS for TOMORROW new spatial practices in architecture and art」

2011 年 10 月 29 日－2012 年 1 月 15 日　東京都現代美術館／11 月 10 日－11 月 29 日　東京芸術大学　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社、東京芸術大学

＋プラス FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性 ●

欧文タイトル：「＋FUTURE BEAUTY」

2012 年 7 月 28 日－10 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館・京都服飾文化研究財団・日本経済新聞社

MOT アニュアル 2012 風が吹けば桶屋が儲かる ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2012：Making Situations, Editing Landscapes」
2012 年 10 月 27 日－2013 年 2 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

アートと音楽――新たな共感覚をもとめて ●
欧文タイトル：「Art & Music－Search for New Synesthesia」
2012 年 10 月 27 日－2013 年 2 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・東京新聞

うさぎスマッシュ――世界に触れるアートとデザイン ●
欧文タイトル：「BUNNY SMASH　design to touch the world」
2013 年 10 月 3 日－2014 年 1 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社・東京芸術大学

MOT アニュアル 2014 フラグメント－未完のはじまり ●
欧文タイトル：「MOT Annual 2014　FRAGMENTS－Incomplete Beginnings」
2014 年 2 月 15 日－5 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

ミッション[宇宙×芸術]――コスモロジーを超えて ●
欧文タイトル：「mission[SPACE×ART]－beyond Cosmologies」
2014 年 6 月 7 日－8 月 31 日　東京都現代美術館　主催：公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館、NHK エンタープライズ

ワンダフルワールド こどものワクワク、いっしょにたのしもう みる・はなす、そして発見!の美術展 ●
欧文タイトル：「Wonderful World　Sparkle is everywhere! Let's see, talk, discover, and share the fun with everyone!」
2014 年 7 月 12 日－8 月 31 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

新たな系譜学をもとめて――アート・身体・パフォーマンス ●
欧文タイトル：「Seeking New Genealogies－Art / Bodies / Performances」
2014 年 9 月 27 日－2015 年 1 月 4 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社

未見の星座〈つながり／発見のプラクティス〉 ●
欧文タイトル：「Constellations：Practices for Unseen Connections / Discoveries」
2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

他人の時間 ●
欧文タイトル：「Time of others」
2015 年 4 月 11 日－6 月 28 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・国立国際美術館・シンガポール美術館・クィーンズランド州立美術館現代美術館・国際交流基金アジアセンター〔巡回・国内 2-1〕

“TOKYO”－見えない都市を見せる ●

欧文タイトル：「“TOKYO”－Sensing the Cultural Magma of the Metropolis」

2015 年 11 月 7 日－2016 年 2 月 14 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・アーツカウンシル東京・産経新聞社

MOT アニュアル 2016 キセイノセイキ ●

欧文タイトル：「MOT Annual 2016　Loose Lips Save Ships」

2016 年 3 月 5 日－5 月 29 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

東京都庭園美術館

日本のガラス造形・昭和 ●

欧文タイトル：「Japanese Glass in the Showa Period」

1987 年 1 月 10 日－3 月 22 日　東京都庭園美術館　主催：財団法人東京都文化振興会・朝日新聞社〔巡回 2-2〕

12 人の現代彫刻家〈庭園美術館へのいざない〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 3 月 2 日－4 月 16 日　東京都庭園美術館　主催：東京都文化振興会

庭園植物記 ●

欧文タイトル：「ARTISTS' GARDENS　BOTANICAL RECOLLECTIONS」

2005 年 9 月 3 日－11 月 6 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

建築の記憶〈写真と建築の近現代〉 ●

欧文タイトル：「Remembrance of Places Past　Japanese Architectural Photography from the 19th to the 21st century」

2008 年 1 月 26 日－3 月 31 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

装飾は流転する〈「今」と向きあう 7 つの方法〉 ●

欧文タイトル：「Decoration never dies, anyway」

2017 年 11 月 18 日－2018 年 2 月 25 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

東京都写真美術館

本報告書では写真、デザイン、工芸（陶芸）の専門美術館は採録の対象から外したので巡回展のみ記載。

液晶絵画 ●

欧文タイトル：「STILL / MOTION」

2008 年 8 月 23 日－10 月 13 日　東京都写真美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都写真美術館・朝日新聞社〔巡回 3-3〕

東京都（区立）

板橋区立美術館
開館記念 板橋の現代美術と古美術展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1979 年 5 月 20 日－6 月 17 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
20 世紀末美術展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1982 年 8 月 13 日－9 月 12 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
都市に棲む展〈ネコのひたいに建った家〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1985 年 8 月 3 日－9 月 8 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
日本のルポルタージュ・アート展〈絵描きがとらえたシャッター・チャンス〉●
欧文タイトル：「REPORTAGE ART in JAPAN」
1988 年 5 月 14 日－6 月 12 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
板橋の現況'89 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1989 年 8 月 19 日－9 月 17 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
館蔵品を中心とした「昭和の前衛〈思考する絵画の視点から〉」●
欧文タイトル：「Avant-garde of the Showa Period From the Museum Collection」
1990 年 7 月 21 日－8 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
東京アヴァンギャルドの森 1946-1956〈シリーズ ART IN TOKYO No.2〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1990 年 9 月 29 日－10 月 28 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
「物体」詩〈思考するオブジェから GOMI-ART へ〉展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1991 年 4 月 27 日－6 月 2 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
「昭和の前衛〈表現の冒険者たち〉」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1991 年 6 月 8 日－23 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
「再制作と引用」展 ●
欧文タイトル：「Reconstructed and Quotation」
1993 年 9 月 18 日－10 月 24 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
日本の木口木版画〈明治から今日まで〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1993 年 12 月 4 日－1994 年 1 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
KARADA が ART になるとき〈物質になった器官と身体〉展 ●
欧文タイトル：「When the Body Becomes Art：the Organs and Body as Object」

1994 年 4 月 9 日－5 月 29 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
線について〈不在のモダニズム、不可視のリアリズム〉●
欧文タイトル：「About lines：Non-existing Modernism and Invisible Realism」
1995 年 5 月 20 日－7 月 2 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
美術の内がわ・外がわ〈何故、眼差しは交わったか〉●
欧文タイトル：「Inside of Works, Outside of Works」
1996 年 4 月 2 日－5 月 6 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
前衛作家の 10 年〈その自己変容と持続〉」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1996 年 6 月 5 日－30 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
わかってたまるか現代美術〈わからないということについて Collection による〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1997 年 5 月 10 日－6 月 8 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
「私」美術のすすめ〈何故 WaTaKuShi は描かれるか〉●
欧文タイトル：「The Recommendation of “I” Art.」
1997 年 9 月 6 日－10 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
「加害／被害」展 ●
欧文タイトル：「Attack / Damage」
1998 年 8 月 29 日－10 月 25 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
脱・「現代美術教養論」●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1999 年 10 月 2 日－11 月 14 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
アトリエの謎展〈ミュージアム・コレクション’79-’99 Part III〉●
欧文タイトル：「atorie-no-nazo」
1999 年 11 月 20 日－2000 年 1 月 10 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
作品を読む〈足で読む、耳で読む、画面で読む〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2000 年 5 月 27 日－7 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
「崇高と労働」●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2000 年 8 月 26 日－10 月 29 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
発信//板橋//2011 けしきをいきる ●
欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」
2011 年 2 月 26 日－3 月 27 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
発信//板橋//2013 ギャップ・ダイナミクス ●
欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」
2013 年 11 月 26 日－2014 年 1 月 5 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
20 世紀検証シリーズ No.4 種村季弘の眼 迷宮の美術家たち展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 9 月 6 日－10 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

発信//板橋//2016 江戸－現代 ●

欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」

2016 年 12 月 3 日－2017 年 1 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

品川文化振興事業団 O 美術館

書と絵画との熱き時代・1945～1969 ●

欧文タイトル：「Calligraphy and Painting, the Passionate Age：1945-1969」

1992 年 1 月 25 日－2 月 26 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

ビデオ・新たな世界――そのメディアの可能性 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 11 月 3 日－25 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

「私の地球、私の仲間」絵画展〈国連・障害者の十年〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 12 月 4 日－23 日　大崎・O 美術館　主催：NHK、NHK 厚生文化事業団・国際障害者年推進会議・品川文化振興事業団 O 美術館

ART IN JAPANESQUE〈現代の「日本画」と「日本画」的イメージ〉 ●

欧文タイトル：「Art in Japanesque Contemporary Traditional-style Japanese Painting and the Conventional Japanesque Image」

1993 年 1 月 29 日－2 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

「電子的皮膜・水のたてもの」展 ●

欧文タイトル：「ELECTRONIC SURFACE　LIQUID STRUCTURE」

1993 年 11 月 6 日－12 月 1 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

日本画の抽象－その日本的特質 ●

欧文タイトル：「Abstraction in Nihonga－Reconsideration of Japanese Features－」

1994 年 2 月 11 日－3 月 9 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

「水の変幻――その新しき表現」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1995 年 6 月 9 日－7 月 2 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

「ひとがた・カラクリ・ロボット」展〈ひとはひとをどのようにあらわそうとしたのか〉 ●

欧文タイトル：「HUMAN FIGURE　How dose MAN express the human Figure?」

1996 年 2 月 2 日－3 月 3 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

「LIFE/ART/TECHNOLOGY――生物/いのち/ART」展 ●

1996 年 11 月 22 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

「光をつかむ――素材としての〈光〉の現れ」展 ●

欧文タイトル：「CATCHING THE LIGHT」

1997 年 11 月 21 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館
「曖昧なる境界――影像としてのアート」展 ●
欧文タイトル：「Anbiguous border：Art as a shadow」
1998 年 11 月 20 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

渋谷区立松濤美術館
特別展 松濤美術館 現代の版画 1987 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1987 年 10 月 13 日－11 月 23 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
特別展〈具体〉未完の前衛集団〈兵庫県立近代美術館所蔵作品を中心に〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1990 年 4 月 10 日－5 月 27 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
特別展 松濤美術館 現代の版画 1990 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1990 年 8 月 7 日－9 月 16 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
特別展 現代の版画 1994 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1994 年 12 月 14 日－1995 年 1 月 29 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
版画の 1970 年代 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1996 年 6 月 11 日－7 月 21 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
女性の肖像〈日本現代美術の顔〉 ●
欧文タイトル：「images of women in Japanese contemporary art 1930's-90's」
1996 年 12 月 10 日－1997 年 2 月 2 日　渋谷区立松濤美術館 主催：渋谷区立松濤美術館
現代日本の水彩表現〈にじみ、ぼかし、重ね、線〉 ●
欧文タイトル：「CONTEMPORARY JAPANESE WATERCOLOR－Wet in wet, Grandated wash, Overpainting Line－」
2002 年 12 月 10 日－2003 年 1 月 26 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2006 年 10 月 31 日－12 月 10 日　渋谷区立松濤美術館　主催：群馬県立近代美術館・高崎市美術館・渋谷区立松濤美術館〔巡回 2-2〕
大辻清司の写真〈出会いとコラボレーション〉 ●
欧文タイトル：「OTSUJI KIYOJI　Photographs as Collaborations」
2007 年 6 月 5 日－7 月 16 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展 ●
欧文タイトル：「Hi-Red Center：The Documents of "Direct Action"」
2014 年 2 月 11 日－3 月 23 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・日本経

済新聞社〔巡回 2-2〕

『今様』－昔と今をつなぐ ●

欧文タイトル：「IMAYŌ Connecting Past and Present」

2017 年 4 月 5 日－5 月 21 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展 ●

欧文タイトル：「The Echoes from the Abyss：The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition」

2018 年 8 月 11 日－9 月 24 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

終わりのむこうへ：廃墟の美術史 ●

欧文タイトル：「BEYOND THE END：RUINS IN ART HISTORY」

2018 年 12 月 8 日－2019 年 1 月 31 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

世田谷美術館

芸術と素朴 ●

欧文タイトル：「Naivety in Art」

1986 年 3 月 30 日－6 月 15 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館〔巡回 2-1〕

日本の美術館建築展 ●

欧文タイトル：「JAPANESE MUSEUM ARCHITECTURE」

1987 年 2 月 21 日－3 月 22 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

NEW TRENDS　世田谷の新世代 ●

1987 年 8 月 1 日－31 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

「あそびのこころ」展 ●

欧文タイトル：「an instinct for play」

1990 年 5 月 26 日－6 月 24 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

「世界の飢えを考えよう――国際美術展」日本展 ●

欧文タイトル：「THE INTERNATIONAL ART SHOW FOR THE END OF WORLD HUNGER」

1990 年 7 月 7 日－8 月 5 日　世田谷美術館　主催:「世界の飢えを考えよう――国際美術展」実行委員会・世田谷美術館・朝日新聞社

野生の復権展〈開館 5 周年記念展：コレクションからのメッセージ〉 ●

欧文タイトル：「Wildness：Toward Their Own Natures An Aspect of Contemporary Art」

1991 年 4 月 2 日－5 月 6 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

都市と現代美術 廃墟としてのわが家 ●

欧文タイトル：「The Urban Environment and Art in Japan　My Home Sweet Home in Ruins」

1992 年 6 月 7 日－7 月 26 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

70 年代日本の前衛〈抗争から内なる葛藤に ボローニャ展帰国記念〉●

欧文タイトル：「AVANGUARDIE GIAPPONESI DEGLI ANNI 70」

1993 年 3 月 17 日－31 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・70 年代日本の前衛展実行委員会・朝日新聞社

日本のアウトサイダー・アート〈パラレル・ヴィジョン－20 世紀美術とアウトサイダー・アート〉●

欧文タイトル：「Japanese Outsider Art：Inhabitants of Another World」

1993 年 9 月 30 日－12 月 12 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・朝日新聞社

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉●

欧文タイトル：「4th Asian Art Show, Tokyo」

東京展；1995 年 4 月 5 日－5 月 14 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・美術館連絡協議会・読売新聞社・福岡市美術館〔巡回 4-4〕

開館 10 周年記念特別展・世田谷の美術 ●

欧文タイトル：「The Art of Setagaya：Commemorating the Ten-Year Anniversary of the Setagaya Art Museum」

1996 年 4 月 6 日－5 月 26 日　世田谷美術館　主催：世田谷区・世田谷美術館

開館 10 周年記念特別展 芸術と素朴〈コレクション 10 年の歩み〉●

欧文タイトル：「From the Collection　Naivety in Art：A Decade of Exploration」

1996 年 10 月 5 日－12 月 1 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

デ・ジェンダリズム――回帰する身体 ●

欧文タイトル：「DE-GENDERISM」

1997 年 2 月 8 日－3 月 23 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・朝日新聞社

時代の体温 ●

欧文タイトル：「ART / DOMESTIC　Temperature of the Time」

1999 年 2 月 11 日－3 月 22 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

見る・写す・表わす／みる・うつす・あらわす／ミル・ウツス・アラワス ●

欧文タイトル：「PERCEPTION Seeing」

2001 年 2 月 28 日－5 月 6 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

「KALEIDOSCOPE〈6 人の個性と表現〉」展 ●

欧文タイトル：「Kaleidoscope：Six Individual Expressions」

2003 年 7 月 26 日－9 月 28 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

時空を超える風景たち 明治の記録画から現代都市の写真まで ●

欧文タイトル：「LANDSCAPES TRANS-LOCATED」

2003 年 10 月 11 日－12 月 7 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

瀧口修造 夢の漂流物 ●

欧文タイトル：「Drifting Objects of Dreams：The Collection of Shuzo Takiguchi」

2005 年 2 月 5 日－4 月 10 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館、協力：慶應義塾大学アート・センター・多摩美術大学図書館〔巡回 2-1〕

ウナセラ・ディ・トーキョー――残像の東京物語 1935～1992 ●

欧文タイトル：「Afterimages of Tokyo 1935-1992」

2005 年 4 月 23 日－5 月 29 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

クリエイターズ－長大作／細谷巖／矢吹申彦〈まだ見ぬ日常への案内者たち〉 ●

欧文タイトル：「CREATORS－Daisuke Choh / Gan Hosoya / Novhiko Yabuki」

2006 年 7 月 15 日－9 月 24 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 ●

欧文タイトル：「ROUSSEAU ENVISAGED：Henri Rousseau and Japanese Artists」

2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・東京新聞・NHK・NHK プロモーション〔巡回 3-1〕

「空間に生きる――日本のパブリックアート」展 ●

欧文タイトル：「Public Art in Japan」

2006 年 11 月 5 日－12 月 24 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・「空間に生きる――日本のパブリックアート」展開催実行委員会〔巡回 2-2〕

「世田谷時代 1946-1954 の岡本太郎」展〈戦後復興期の再出発と同時代人たちとの交流〉 ●

欧文タイトル：「Taro Okamoto and His Contemporaries in the Post-War Era」

2007 年 3 月 24 日－5 月 27 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・世田谷文学館・岡本太郎記念館・川崎市岡本太郎美術館

福原信三と美術と資生堂展 ●

欧文タイトル：「Shinzo Fukuhara：Art and SHISEIDO」

2007 年 9 月 1 日－11 月 4 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉 ●

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」

2009 年 5 月 2 日－6 月 21 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・日本経済新聞社〔巡回 4-1〕

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉 ●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

2013 年 11 月 23 日－2014 年 1 月 26 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 5-5〕

金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち ●

欧文タイトル：「KANAYAMA Yasuki in Paris－Japanese Painters in the 1950s」

2015 年 7 月 18 日－9 月 6 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・東京新聞〔巡回 3-3〕

練馬区立美術館

「現代版画の表現と技法」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 4 月 26 日－5 月 25 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

ねりまの美術'87 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 3 月 1 日－22 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館〔第 1 回展〕

ポスター日本〈グラフィックデザインの確立と展開〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 4 月 29 日－6 月 7 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

抽象彫刻の形成期 1945-1960 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 11 月 3 日－12 月 11 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

ねりまの美術'89 ●

欧文タイトル：「Art of Nerima '89」

1989 年 2 月 8 日－3 月 13 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館〔第 3 回展〕

浮遊する彫刻 ●

欧文タイトル：「Sculptures；beyond gravity」

1990 年 5 月 3 日－6 月 10 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

「ねりまの美術'91－彫刻の現在」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 2 月 9 日－3 月 21 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

「木版画－明治末から現代－」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 9 月 19 日－10 月 19 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

ねりまの美術'94 平面とイメージの魅惑 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 2 月 5 日－3 月 13 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

現代美術の手法 1 コラージュ ●

欧文タイトル：「Collage」

1995 年 9 月 15 日－10 月 22 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

現代美術の手法 2 メディアと表現－品川工・山口勝弘 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 4 月 27 日－6 月 9 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

現代美術の手法 3 「日本画」純粋と越境〈90 年代の視点から〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 4 月 25 日－6 月 7 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

現代美術の手法 4 和紙のかたち展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 4 月 24 日－6 月 6 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

現代美術の手法(5) 大きい版画と小さな版画展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 10 月 29 日－12 月 3 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

現代美術の手法(6)「光とその表現」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2001 年 8 月 19 日－9 月 24 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

「ねりまの美術 2003 版画・半画・反画〈表現と技法〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 9 月 6 日－10 月 13 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館〔第 18 回展〕

「超」日本画宣言――それは、かつて日本画と呼ばれていた ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 2 月 22 日－4 月 11 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館・「超」日本画展実行委員会

現代美術の手法(7) 「創造のさなかに」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 2 月 19 日－3 月 31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

ねりまの美術 2007 油彩画と版画 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2007 年 2 月 24 日－4 月 8 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

「賛美小舎」上田コレクション：夫妻であつめた愛しの現代美術 ●

欧文タイトル：「Sambi Shosha Ueda Collection Mr. and Mrs. Ueda's Lovely Contemporary Art」

2007 年 4 月 21 日－6 月 3 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち展〈II 現代作家によるつくり手たちの子どもの時間〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 8 月 2 日－31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

現代の水墨画 2009〈水墨表現の現在地点〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 4 月 21 日－5 月 31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館〔巡回 2-2〕

粟津則雄コレクション展〈"思考する眼"の向こうに〉 ●

欧文タイトル：「AWAZU NORIO COLLECTION」

2016 年 11 月 19 日－2017 年 2 月 12 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

目黒区美術館

「美術史探索學入門 美術館時代が掘り起こした作家達」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 2 月 27 日－3 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

ワークショップ・手と目の冒険広場 PAPIER：紙物語－美しく繊細な造形 ●

1990 年 7 月 28 日－8 月 26 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

自然を愛する芸術家たち〈バルビゾン派からコンテンポラリーフォトグラファーまで〉 ●

欧文タイトル：「Artists Who Love Nature：From Barbizon School to Contemporary Photographers」

1990 年 10 月 27 日－12 月 24 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区・目黒区教育委員会・産経新聞社

熱き時代のパンリアル展〈目黒名〈画〉座〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 6 月 8 日－7 月 14 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

ワークショップ・手と目の冒険広場 水のアラベスク ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 9 月 7 日－10 月 4 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

ワークショップ・手と目の冒険広場 色の博物誌・青－永遠なる魅力 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 8 月 1 日－9 月 15 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会

ニュー目黒名〈画〉座〈想い出の 1980 年代から ニュー・アート・パラダイス〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1993 年 12 月 11 日－1994 年 1 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

めぐろの美術史展－洋画・版画之巻 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 3 月 12 日－4 月 10 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

手と目の冒険広場「色の博物誌・赤――神秘の謎解き」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 8 月 6 日－9 月 18 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会

戦後児童画の一断面展〈多古子供アトリエと読売アンデパンダン展〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 12 月 10 日－1995 年 1 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

戦後文化の軌跡 1945－1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

1995 年 4 月 19 日－6 月 4 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-1〕

1953 年 ライトアップ――新しい戦後美術像が見えてきた ●

欧文タイトル：「Shedding Light on Art in Japan 1953」

1996 年 6 月 8 日－7 月 21 日　目黒区美術館　主催：多摩美術大学・目黒区美術館・朝日新聞社

手と目の冒険広場「心を癒す植物－アート・ボタニカル・ガーデン」●

欧文タイトル：「Botanical Art Museum」

1996 年 8 月 3 日－9 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒－静かな光の余韻」●

欧文タイトル：「WHITE and BLACK」

1998 年 8 月 1 日－9 月 15 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会
日韓現代美術展〈自己と他者の間〉●
欧文タイトル：「Between the Unknown Straits」
1998 年 10 月 15 日－11 月 23 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・社団法人国際芸術文化振興会・韓日美術交流振興会〔巡回 2-1〕
目黒アート・アニュアル 2000　14 作家の個展 ●
欧文タイトル：「Meguro Art Annual 2000」
2001 年 2 月 3 日－25 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
手と目の冒険広場「色の博物誌・緑－豊潤な影」●
欧文タイトル：「GREEN」
2001 年 8 月 4 日－9 月 19 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
線の迷宮［ラビリンス］－細密版画の魅力 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2002 年 7 月 6 日－9 月 6 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
色の博物誌・黄－地の力&空の光 ●
欧文タイトル：「YELLOW」
2004 年 7 月 17 日－9 月 8 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
線の迷宮 II――鉛筆と黒鉛の旋律 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2007 年 7 月 7 日－9 月 9 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
目黒の新進作家－七人の作家、7 つの表現 ●
欧文タイトル：「EMERGING ARTISTS IN MEGURO-SEVEN ARTISTS, SEVEN ASPECTS」
2007 年 12 月 4 日－2008 年 1 月 13 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
線の迷宮〈ラビリンス〉番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情－70 年代の版画集を中心に ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2009 年 8 月 1 日－9 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
「ヤマ」の美術・写真・グラフィック・映画〈‘文化’資源としての「炭鉱」展〉●
欧文タイトル：「The coal mine as cultural resource Art / Photography / Graphic Arts / Film of Japanese Coal Mines」
2009 年 11 月 4 日－12 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館、共催：目黒区・目黒区教育委員会・東京新聞・ポレポレ東中野
メグロアドレス－都会に生きる作家 ●
欧文タイトル：「Meguro Addresses-Artists in Urban Life」
2012 年 2 月 7 日－4 月 1 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

東京都（市立）

青梅市立美術館

特別展「日本画」の現在〈現代画家 9 人の競演〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 2 月 11 日－3 月 28 日　青梅市立美術館　主催：青梅市立美術館

八王子市夢美術館

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 6 月 10 日－7 月 17 日　八王子市夢美術館　主催：八王子市学園都市文化ふれあい財団・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-1〕

氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 4 月 4 日－5 月 17 日　八王子市夢美術館　主催：八王子学園都市文化ふれあい財団・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

府中市美術館

府中市美術館教育普及企画展 2001 私にできること～みる、きく、ふれるの探検 ●

欧文タイトル：「Art Exhibition for Educational Program 2001 I CAN DO IT-Exploring the Senses of Sight, Hearing, Touch」

2001 年 11 月 23 日－12 月 27 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

第 1 回府中ビエンナーレ ダブル・リアリティ〈両義的な空間とイリュージョンの 7 人〉●

欧文タイトル：「The First Fuchu Biennial 2002 Double Reality：7 Contemporary Artists in Information Technology Age」

2002 年 11 月 16 日－2003 年 1 月 19 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

ゾーン――不穏な時代の透視者たち ●

欧文タイトル：「ZONE-Clairvoyants in this threatening age」

2003 年 11 月 1 日－12 月 28 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

第 2 回府中ビエンナーレ－来るべき世界に〈アーティスト 8 人のコミュニケーション行為がひらく未来〉●

欧文タイトル：「The 2nd Fuchu Biennial 2004－For the World to Come－」

2004 年 12 月 11 日－2005 年 2 月 27 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

絵画の行方－現代美術の美しさって何? ●

欧文タイトル：「A Perspective of Painting：What is the Beauty of Contemporary Art ?」

2005 年 12 月 10 日－2006 年 2 月 19 日　府中市美術館 主催：府中市美術館

アートとともに－寺田小太郎コレクション〈絵のある暮らし、コレクションの楽しみ〉●

欧文タイトル：「With You, With Art－The Terada Kotaro Collection」

2006 年 4 月 29 日－7 月 17 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

第 3 回府中ビエンナーレ 美と価値〈ポストバブル世代の 7 人〉●

欧文タイトル：「The 3rd Fuchu Biennial On Beauty and Value Seven Artists of Post-Bubble Generation」

2006 年 10 月 21 日－12 月 24 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

第 4 回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズ-色をめぐる冒険 ●

欧文タイトル：「The 4th Fuchu Biennial TRUE COLORS」

2008 年 11 月 15 日－2009 年 2 月 1 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

多摩川で／多摩川から、アートする〈アートの現場としての多摩川 観光芸術研究所から球体写真まで 1964-2009〉●

欧文タイトル：「At/From Tamagawa 1964-2009：Contemporary Japanese Art from a Geographical Viewpoint」

2009 年 9 月 19 日－11 月 3 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

アートサイト府中 2010 いきるちから ●

欧文タイトル：「“Art Site Fuchu 2010：The Power for Living”」

2010 年 12 月 2 日－2011 年 3 月 6 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

石子順造的世界－美術発・マンガ経由・キッチュ行 ●

欧文タイトル：「The World of ISHIKO Junzo：From Art via Manga to Kitsch」

2011 年 12 月 10 日－2012 年 2 月 26 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

「虹の彼方－ここととどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」●

欧文タイトル：「OVER THE RAINBOW」

2012 年 11 月 23 日－2013 年 2 月 24 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

絵画の現在 ●

欧文タイトル：「Paintings Here And Now」

2018 年 1 月 13 日－2 月 25 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

町田市立国際版画美術館

日本の現代版画 1 三人の銅版画家展〈長谷川潔／浜口陽三／駒井哲郎〉●

欧文タイトル：「20th Century Japanese Prints (1)　Kiyoshi Hasegawa, Yōzō Hamaguchi, Tetsurō Komai」

1987 年 9 月 12 日－10 月 18 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

瑛九とその仲間たち展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 5 月 21 日－6 月 26 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

マニエラの交叉点－版画と映像表現の現在 ●

欧文タイトル：「Compound of the “Manièra”」

1991 年 4 月 14 日－5 月 12 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

コレクションによる 戦後の日本版画展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 4 月 12 日－6 月 14 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
久保貞次郎と芸術家展〈戦後初期版画を中心に〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1993 年 6 月 13 日－7 月 25 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
「死にいたる美術－メメント・モリ」展 ●
欧文タイトル：「memento mori：Visions of Death c. 1500-1994」
1994 年 5 月 29 日－7 月 17 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
〔巡回 2-1〕
現代版画の潮流展 ●
欧文タイトル：「Current of the Contemporary prints」
2005 年 2 月 26 日－3 月 27 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館・
大学版画学会・現代版画の潮流展開催実行委員会〔巡回 2-1〕
マルチプル・ショー〈デュシャンからリキテンスタインへ〉●
欧文タイトル：「Multiple Show from Duchamp to Lichtenstein」
2005 年 4 月 9 日－6 月 12 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
木版画東西対決〈仏教版画から現代まで〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2007 年 10 月 6 日－11 月 25 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
空想の建築〈ピラネージから野又穫へ〉展 ●
欧文タイトル：「Imaginary Architecture from Piranesi to Minoru Nomata」
2013 年 4 月 13 日－6 月 16 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
静かな詩情 銅版画の色と光 ●
欧文タイトル：「Calm Poems of Intaglio Color Painting」
2013 年 8 月 10 日－9 月 23 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
モンスターを探せ!!〈ピラネージからゴヤ、そしてエルンストへ〉●
欧文タイトル：「Where are the Monsters!?」
2014 年 8 月 9 日－9 月 23 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
森羅万象を刻む〈デューラーから柄澤齊へ〉●
欧文タイトル：「Engraving the Universe：from Albrecht Dürer to Hitoshi Karasawa」
2016 年 4 月 29 日－6 月 19 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館・
読売新聞社・美術館連絡協議会

三鷹市美術ギャラリー（三鷹市芸術文化センター）
LET'S GO 浮世絵〈現代美術と浮世絵の交錯〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1997 年 11 月 15 日－12 月 21 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市美術ギャラリー
読めない本・新たな文字 ●
欧文タイトル：「Unreadable Books, New Letters」

1998 年 3 月 3 日－22 日　三鷹市芸術文化センター　主催：三鷹市芸術文化振興財団

表出するイメージ〈和紙を通した現代美術の表現〉●

欧文タイトル：「Emerging Images：Contemporary Expressions through Japanese Hand-made Paper」

2000 年 3 月 4 日－26 日　三鷹市芸術文化センター　主催：三鷹市芸術文化振興財団

オフロ・アート――銭湯の背景画 ●

欧文タイトル：「Bath Art：Scene Painting for the Public Bath」

2002 年 3 月 2 日－24 日　三鷹市芸術文化センター・アートスタジオ　主催：三鷹市芸術文化振興財団

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 12 月 13 日－2004 年 2 月 1 日　三鷹市美術ギャラリー　主催:「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー〔巡回 3-2〕

木彫から立体造形へ〈1960 年の新人たち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 2 月 5 日－3 月 21 日　三鷹市美術ギャラリー、三鷹市芸術文化センター・アートスタジオ　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー、協力：東京画廊

「COLORFUL 温泉 絵画の湯」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 11 月 26 日－12 月 20 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団三鷹市美術ギャラリー

詩人の眼・大岡信コレクション ●

欧文タイトル：「The Poet's Eyes：Makoto Ooka and his Collection」

2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー、朝日新聞社〔巡回 4-1〕

THE YOSHIDA FAMILY 展〈世界をめぐる吉田家 4 代の画家たち〉●

欧文タイトル：「THE YOSHIDAS：A FAMILY JOURNEY IN ART」

2009 年 8 月 29 日－10 月 12 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー

森秀貴・京子コレクションによる現代版画展 ●

欧文タイトル：「Contemporary Prints from the Kyoko and Hideki Mori Collection」

2013 年 9 月 14 日－10 月 14 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー

武蔵野市吉祥寺美術館

紙上の技法学〈筑波大学所蔵石井コレクション〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2012 年 1 月 7 日－2 月 19 日　武蔵野市立吉祥寺美術館　主催：武蔵野市立吉祥寺美術館
われわれは〈リアル〉である 1920s-1950s〈プロレタリア美術運動からルポルタージュ絵画運動まで：記録された民衆と労働〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2014 年 5 月 17 日－6 月 29 日　武蔵野市吉祥寺美術館　主催：武蔵野市吉祥寺美術館
カンバセーション＿ピース：かたちを(た)もたない記録〈小西紀行＋AHA!〉●
欧文タイトル：「CONVERSATION PIECE/PEACE」
2016 年 1 月 16 日－2 月 28 日　武蔵野市立吉祥寺美術館　主催：武蔵野市立吉祥寺美術館

神奈川県

神奈川県立近代美術館
今日の新人・1955 年展 ●
欧文タイトル：「Present-Day Promising Artists」
1955 年 12 月 3 日－1956 年 1 月 15 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
集団 58 野外彫刻展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1957 年 12 月 1 日－1958 年 4 月 30 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
集団 60 野外彫刻展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1960 年 6 月 1 日－10 月 31 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
戦後の現代日本美術展(1945～1960) ●
欧文タイトル:「CONTEMPORARY ARTS OF JAPAN AFTER THE WAR II(1945～1960)」
1964 年 9 月 20 日－11 月 8 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
戦後美術のクロニクル展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1971 年 4 月 3 日－5 月 16 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
現代美術・戦後展〈巨匠展シリーズ III〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1979 年 10 月 27 日－12 月 16 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
日本近代彫刻の展開 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1981 年 7 月 11 日－8 月 9 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

美術の「戦後」●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 11 月 18 日－2001 年 1 月 21 日　コレクションへの 9 つの視点＝鎌倉・神奈川県立近代美術館本館、松本竣介・麻生三郎展＝鎌倉・神奈川県立近代美術館別館　主催：神奈川県立近代美術館

もうひとつの現代展〈コレクションによる 葉山館開館記念〉●

欧文タイトル：「ANOTHER HISTORY：Contemporary Japanese Art from the Collection of The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama」

2003 年 10 月 11 日－2004 年 1 月 25 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

2004 年 10 月 30 日－12 月 19 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-3〕

プライマリー・フィールド〈美術の現在――七つの〈場〉との対話〉●

欧文タイトル：「Primary Field」

2007 年 11 月 23 日－2008 年 1 月 14 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

プライマリー・フィールド II 絵画の現在―七つの〈場〉との対話 ●

欧文タイトル：「Primary Field II」

2010 年 12 月 4 日－2011 年 1 月 23 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

2013 年 1 月 12 日－3 月 24 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 5-1〕

戦争／美術 1940－1950〈モダニズムの連鎖と変容〉●

欧文タイトル：「WAR/ART 1940-1950：Sequences and Transformations of Modernism」

2013 年 7 月 6 日－10 月 14 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館　葉山館開館 10 周年

金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち ●

欧文タイトル：「KANAYAMA Yasuki in Paris－Japanese Painters in the 1950s」

2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館・東京新聞〔巡回 3-1〕

1950 年代の日本美術――戦後の出発点 ●

欧文タイトル：「Japanese Art of the 1950s：Starting Point after the War」

2017 年 1 月 28 日－3 月 21 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

神奈川県立県民ホール

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

神奈川展；1975 年 12 月 7 日－21 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：文化庁・神奈川県教育委員会・神奈川県立県民ホール〔巡回 4-4〕

現代彫刻の歩み展〈41 人の作家による戦後彫刻の足跡〉 ●

欧文タイトル：「Contemporary Sculpture in Japan」

1980 年 2 月 23 日－3 月 16 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

現代彫刻の歩み－木の造形 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY SCULPTURE IN JAPAN－WOOD」

1985 年 1 月 31 日－2 月 24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール　開館 10 周年記念

’87 神奈川アート・アニュアル ●

欧文タイトル：「THE 1st KANAGAWA ART ANNUAL」

1987 年 1 月 21 日－2 月 1 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

第 2 回神奈川アート・アニュアル ●

欧文タイトル：「THE 2ND KANAGAWA ART ANNUAL」

1988 年 1 月 20 日－31 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

第 3 回神奈川アート・アニュアル ●

欧文タイトル：「THE 3RD KANAGAWA ART ANNUAL」

1989 年 3 月 1 日－14 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

現代彫刻の歩み III「1970 年代以降の表現－物質と空間の変容」 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 1 月 17 日－2 月 8 日　横浜・神奈川県立県民ホール　主催：神奈川県立県民ホール　開館 15 周年記念

神奈川アート・アニュアル’91 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL ’91」

1991 年 3 月 7 日－24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

神奈川アート・アニュアル’92 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL ’92」

1992 年 3 月 5 日－22 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

神奈川アート・アニュアル'93 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '93」

1993 年 2 月 27 日－3 月 16 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

神奈川アート・アニュアル'94 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '94」

1994 年 1 月 13 日－30 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

神奈川アート・アニュアル'96 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '96」

1996 年 3 月 6 日－24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川芸術文化財団

神奈川アート・アニュアル'97　明日への作家たち ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '97」

1997 年 3 月 19 日－4 月 12 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川芸術文化財団

神奈川アート アニュアル'98 明日への作家たち ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '98」

1998 年 2 月 25 日－3 月 15 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

神奈川アート アニュアル 2000 明日への作家たち ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL 2000」

2000 年 2 月 19 日－3 月 20 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

かながわアート アニュアル 2001 ●

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL 2001」

2001 年 2 月 24 日－3 月 25 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

現代彫刻の歩み IV モノつくりの逆襲 ●

欧文タイトル：「CREATION COUNTERATTACK」

2004 年 10 月 16 日－11 月 27 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

スーパーエクスタシー 至福への旅路 ●

欧文タイトル：「michi」

2006 年 10 月 28 日－11 月 24 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

日常／場違い ●

欧文タイトル：「Everyday Life another space」

2009 年 12 月 16 日－2010 年 1 月 23 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

日常／オフレコ ●

欧文タイトル：「Everyday Life／Off the Record」

2014 年 1 月 11 日－30 日　横浜・KAAT 神奈川芸術劇場　主催：神奈川県民ホール

横浜市民ギャラリー

今日の作家 64 年展〔第 1 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition：'64」

1964 年 6 月 17 日－7 月 8 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家'65 年展〔第 2 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「ARTISTS TO-DAY EXHIBITION 1965」

1965 年 11 月 5 日－15 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家'66 年展〔第 3 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「ARTISTS TO-DAY EXHIBITION 1966」

1966 年 10 月 14 日－26 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家'67 年展〔第 4 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition：'67」

1967 年 10 月 15 日－26 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家 68 年展〔第 5 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition '68」

1968 年 11 月 1 日－11 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家'69 年展〔第 6 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1969 年 11 月 7 日－18 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家 70 年展〔第 7 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition '70」

1970 年 10 月 20 日－30 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家'72 年展〔第 8 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition '72」

1972 年 10 月 29 日－11 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家'73 年展〔第 9 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition '73」

1973 年 11 月 3 日－14 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

世界現代美術展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1974 年 10 月 20 日－11 月 19 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の作家選抜展〔第 10 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition」

1974 年 11 月 1 日－12 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の静物・展〔第 11 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Still Life to-day Exhibition」

1975 年 12 月 4 日－14 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

今日の空間展〔第 12 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「INFORMATION & COMMUNICATION」

1976 年 11 月 1 日－14 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

絵画の豊かさ展〔第 13 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「THE RICHNESS OF PAINTING」

1977 年 11 月 18 日－29 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

表現を仕組む〔第 14 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1978 年 11 月 2 日－12 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

今日の作家'79 展〔第 15 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1979 年 11 月 24 日－12 月 5 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市教育委員会

今日の作家 感情と構成・展〔第 16 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day」

1980 年 11 月 16 日－30 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

今日の作家［壁］展〔第 17 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「Artists to-day '81：THEME THE WALL」

1981 年 11 月 19 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

今日の作家展 NOVEMBER STEPS〔第 18 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「NOVEMBER STEPS」

1982 年 11 月 11 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

今日の作家展'83〔第 19 回今日の作家展〕●

欧文タイトル：「19th Artists to-day」

1983 年 11 月 18 日－29 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 20 回今日の作家展［面］をめぐる表現の現在 ●

欧文タイトル：「20th ARTISTS TO-DAY '84」

1984 年 11 月 10 日－25 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 21 回今日の作家展 インスタレイションとは何か ●

欧文タイトル：「ARTISTS TODAY '85：WHEN INSTALLATIONS BECOME FORM?」

1985 年 11 月 9 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 22 回今日の作家展'86 現代美術の黙示録 I 魂の深層から ●

欧文タイトル：「Artists to-day '86："Apocalypse in Contemporary Art I－from the depth

of soul”」

1986 年 11 月 14 日－27 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 23 回今日の作家［位相］展〈素材・絵画・黙示による〉●

欧文タイトル：「The 23rd ’Artists Today’ Exhibition：Phases / Material, Tableau and Apocalypserd」

1987 年 11 月 19 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 24 回今日の作家「多極の動態」展 ●

欧文タイトル：「The 24th ’Artists Today’ Exhibition：Phases Multiplar Movement」

1988 年 11 月 11 日－26 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 25 回今日の作家展 かめ座のしるし ●

欧文タイトル：「KAME-ZA Shell and Vessel, Signifying」

1989 年 11 月 11 日－26 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 26 回今日の作家展’90 トリアス ●

欧文タイトル：「The 26th ‘Artists Today’ Exhibition：TPLαS」

1990 年 11 月 10 日－25 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

よこはまの作家たち’91 それぞれの美術の表現 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 3 月 5 日－17 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 27 回今日の作家展’91 史としての現在〈8 人の作家と 1 人の評論家による展覧会〉●

欧文タイトル：「The 27th ‘Artists Today’ Exhibition：The Present as History　An Exhibition by Eight Artists and One Critic.」

1991 年 11 月 14 日－27 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 28 回今日の作家展 現代性への問いかけ――ある様々な企て ●

欧文タイトル：「The 28th ‘Artists Today’ Exhibition：The Emission into The Modernity」

1992 年 11 月 20 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会・第 28 回今日の作家展開催企画委員会

第 29 回今日の作家展 視えない現実 ●

欧文タイトル：「The 29th ‘Artists Today’ Exhibition：Invisible Realities」

1993 年 11 月 19 日－12 月 2 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 30 回今日の作家展 洋上の宇宙〈アジア太平洋の現代アート〉●

欧文タイトル：「The 30th ’Artists Today’ Exhibition　Asia-Pacific Universe：Contemporary Art from Australia, Canada, China, India, Japan, Philippines」

1995 年 3 月 12 日－31 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市民ギャラリー 30 周年記念展実行委員会

第 31 回今日の作家展〈DISPLACEMENT 横浜から横浜へ〉●

欧文タイトル：「The 31st ’Artists Today’ Exhibition：DISPLACEMENT」

1996 年 3 月 16 日－31 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

第 32 回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's〈無意識の共鳴〉●

欧文タイトル：「The 32nd 'Artists Today' Exhibition NEW JAPANESE PHOTOGRAPHY IN 1999's：THE RESONANCE OF UNCONSCIOUSNESS」

1996 年 11 月 13 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

第 33 回今日の作家展 都市の情景：複数性のなかの単一性 ●

欧文タイトル：「The 33rd 'Artists Today' Exhibition：Singularity in Plurality」

1997 年 11 月 1 日－18 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

第 34 回今日の作家展〈APPROACHING REALITY コンセプチュアリズムの新たな展開〉●

欧文タイトル：「The 34th Artists Today Exhibition：APPROACHING REALITY New Turn of the Conceptualism」

1999 年 3 月 4 日－23 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

明滅するイメージ COMMUTATION 展 ●

欧文タイトル：「COMMUTATION」

1999 年 10 月 23 日－11 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜国際写真フェスティバル実行委員会・横浜市・横浜市民ギャラリー

今日の作家展 2001 アーティキュレイト・ヴォイスー新しい“イメージ”の可能性 ●

欧文タイトル：「series ARTISTS TODAY 2001：ARTICLATE VOICE From the age of new imagery expansions」

2001 年 9 月 1 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

今日の作家展 2003 水を掬ぶ。花を弄す。〈自然へのまなざし〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 2 月 18 日－3 月 16 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・横浜市民ギャラリー／4 月 12 日－5 月 15 日　福井県あわら市・金津創造の森主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・金津創造の森財団／5 月 20 日－6 月 15 日　文化フォーラム春日井・ギャラリー　主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・春日井市・かすがい市民文化財団

今日の作家展 2004 人間のこころをめぐる表現 ●

欧文タイトル：「Artists Today」

2004 年 2 月 27 日－3 月 21 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：「今日の作家展 2004」実行委員 会・横浜市民ギャラリー／4 月 17 日－5 月 23 日　福井県あわら市・金津創造の森主催：「今日の作家展 2004」実行委員会・金津創造の森財団・あわら市・あわら市教育委員会／5 月 28 日－6 月 27 日　文化フォーラム春日井・ギャラリー　主催：「今日の作家展 2004」実行委員会・春日井市・かすがい市民文化財団

今日の作家展 2005 私をひらく美術〈4 人の作家によるワークショップと展示〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 2 月 25 日－3 月 20 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

ニューアート展 2010 描く－手と眼の快 ●

欧文タイトル：「New Art 2010：Painting－Pleasure of Hands and Eyes」

2010 年 9 月 30 日－10 月 19 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

ニューアート展 NEXT 2011 Sparkling Days ●

和文タイトル：当該カタログに記載無

2011 年 9 月 30 日－10 月 19 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

ニューアート展 NEXT 2012 動く絵、描かれる時間：ファンタスマゴリア ●

欧文タイトル：「New Art NEXT 2012　Moving Pictures and Depicted Time：Phantasmagoria」

2012 年 9 月 28 日－10 月 17 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

新・今日の作家展 2016 創造の場所－もの派から現代へ〔第 1 回展〕 ●

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2016 Spaces of Creation Mono-ha to the Art of Today」

2016 年 9 月 22 日－10 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

新・今日の作家展 2017 キオクのかたち／キロクのかたち ●

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2017　Compilations of Memories and Records」

2017 年 9 月 22 日－10 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

新・今日の作家展 2018 定点なき視点 ●

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2018　Unfixed Perspectives」

2018 年 9 月 21 日－10 月 8 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

横浜美術館

第 3 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「3rd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」

1989 年 11 月 3 日－12 月 15 日　横浜美術館　主催：第 3 回アジア美術展実行委員会・横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ〔巡回 2-2〕

戦後日本の前衛美術 ●

欧文タイトル：「JAPANESE ART AFTER 1945：SCREAM AGAINST THE SKY」

1994 年 2 月 5 日－3 月 30 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・読売新聞社

「拡張するガラス：美の表現者たち」展 ●

欧文タイトル：「EXPANDED GLASS　Traditional and Contemporary」

1995 年 4 月 23 日－6 月 18 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・朝日新聞社・神奈川新聞社・テレビ神奈川

現代の写真〔I〕失われた風景－幻想と現実の境界 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY　ABSOLUTE LANDSCAPE BETWEEN ILLUSION AND REALITY」

1997 年 2 月 1 日－3 月 30 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

「世界を編む」展 ●

欧文タイトル：「Weaving the World, Contemporary Art of Linear Construction」

1999 年 6 月 26 日－8 月 22 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

現代の写真 II 反記憶 ●

欧文タイトル：「ANTI-MEMORY：Contemporary Photography II」

2000 年 11 月 23 日－2001 年 1 月 21 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

現代の写真 III ノンセクト・ラディカル ●

欧文タイトル：「Non-Sect Radical：Contemporary Photography III」

2004 年 7 月 17 日－9 月 20 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

マルセル・デュシャンと 20 世紀美術 ●

欧文タイトル：「Marcel Duchamp and the 20th Century Art」

2005 年 1 月 5 日－3 月 21 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・朝日新聞社・神奈川新聞社・テレビ神奈川〔巡回 2-2〕

日本×画展〈しょく発する 6 人〉 ●

欧文タイトル：「NIHONGA Painting：Six Provocative Artists」

2006 年 7 月 15 日－9 月 20 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

アイドル! ●

欧文タイトル：「Idols」

2006 年 10 月 7 日－2007 年 1 月 8 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

水の情景――モネ、大観から現代まで ●

欧文タイトル：「Views of Water：From Monet and Taikan to the Present」

2007 年 4 月 21 日－7 月 1 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展 ●

欧文タイトル：「SURREALISM AND ART　IMAGE AND REALITY」

2007 年 9 月 29 日－12 月 9 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川〔巡回 3-3〕

ゴス ●

欧文タイトル：「GOTH：Reality of the Departed World」

2007 年 12 月 22 日－2008 年 3 月 26 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

4 人が創る「わたしの美術館」展－とっておきの横浜美術館コレクション〈茂木健一郎・はな・角田光代・荒木経惟〉 ●

欧文タイトル：「Four Views of the Collection of the Yokohama Museum of Art」

2008 年 6 月 20 日－8 月 17 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

魅惑のニッポン木版画 ●

欧文タイトル：「Fascinating Japanese Woodcut Prints」

2014 年 3 月 1 日－5 月 25 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社

村上隆のスーパーフラット・コレクション〈蕭白、魯山人からキーファーまで〉 ●

欧文タイトル：「Takashi Murakami's Superflat Collection――From Shóhaku and Rosanjin to Anselm Kiefer――」

2016 年 1 月 30 日－4 月 3 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社

複製技術と美術家たち－ピカソからウォーホルまで〈富士ゼロックス版画コレクション×横浜美術館〉 ●

欧文タイトル：「Artists in the Age of Mechanical Reproduction－From Picasso to Warhol」

2016 年 4 月 23 日－6 月 5 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

BODY / PLAY / POLITICS ●

和文タイトル：当該カタログに記載無

2016 年 10 月 1 日－12 月 14 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

モネ それからの 100 年 ●

欧文タイトル：「Monet's Legacy」

2018 年 7 月 14 日－9 月 24 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・東京新聞・テレビ朝日〔巡回 2-2〕

横浜市民ギャラリーあざみ野

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展 ●

和文タイトル：当該カタログに記載無

2007 年 10 月 26 日－11 月 10 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

スーパーピュア展 2008 アートは障がいを超える ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 10 月 24 日－11 月 9 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　横浜市民ギャラリーあざみ野、共催：男女共同参画センター横浜北

あざみ野コンテンポラリーvol.1 イメージの手ざわり展 ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.1　TOUCH OF IMAGE」

2011 年 2 月 5 日－20 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.2 Viewpoints いま「描く」ということ ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.2　Viewpoints：Drawing & Painting」

2012 年 2 月 4 日－26 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.3 ART meets DANCE 2012 ●

和文タイトル：「アート・ミーツ・ダンス」

2012 年 10 月 20 日－11 月 11 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

横浜 wo 発掘 suru vol.4 アニメーションのつくり手たち〈山村浩二がえらぶ新世代〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2013 年 6 月 14 日－30 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野、協力：東京芸術大学大学院映像研究科

写真の境界 ●

欧文タイトル：「Boundaries of Photograph」

2014 年 2 月 1 日－23 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.5 リッスン トゥ ザ ダクソフォン ハンス・ライヒェル×内橋和久 ●

欧文タイトル：「Listen to the Daxophone」

2014 年 5 月 31 日－6 月 15 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.6 もう一つの選択 ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.6　Alternative Choice」

2015 年 10 月 17 日－11 月 8 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.7 悪い予感のかけらもないさ展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2016 年 10 月 7 日－30 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.9 今もゆれている ●

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.9　Uncertain Landscape」

2018 年 9 月 29 日－10 月 21 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

川崎市市民ミュージアム

TREND’89「現代写真の動向・展」●

欧文タイトル：「TREND ’89－Aspects of Contemporary Photography－」

1989 年 9 月 30 日－10 月 22 日　川崎市市民ミュージアム　主催：財団法人川崎市市民ミュージアム

色相の詩学展〈現代絵画・平面からのメッセージ〉●

欧文タイトル：「Poetics of Hue A message from two dimensions of contemporary paintings」

1991 年 11 月 2 日－12 月 15 日　川崎市市民ミュージアム　主催：川崎市市民ミュージアム・川崎市・川崎市教育委員会

現代写真の動向 ANOTHER REALITY ●

欧文タイトル：「Aspects of Contemporary Photography 1995」
1995 年 11 月 21 日－1996 年 1 月 28 日　川崎市市民ミュージアム　主催：財団法人川崎市市民ミュージアム

現代写真の動向 2001 outer ⇄ inter ●
欧文タイトル：「Aspects of Contemporary Photography 2001」
2001 年 11 月 3 日－12 月 24 日　川崎市市民ミュージアム　主催：川崎市市民ミュージアム

川崎市岡本太郎美術館

万歳七唱 岡本太郎の鬼子たち ●
欧文タイトル：「Homage to Taro Okamoto from seven artists」
2000 年 4 月 22 日－7 月 9 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館

風の模型――北代省三と実験工房 ●
欧文タイトル：「shozo kitadai and experimental workshop」
2003 年 4 月 26 日－7 月 6 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館

CHIKAKU/四次元との対話 岡本太郎からはじまる日本の現代美術 ●
欧文タイトル：「CHIKAKU Time and Memory in Japan」
2006 年 4 月 8 日－6 月 25 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館・国際交流基金

岡本太郎生誕百年記念展 芸術と科学の婚姻 虚舟――私たちは、何処から来て、何処へ行くのか ●
欧文タイトル：「UTSUROBUNE　Where Do We Come From? Where Are We Going?」
2011 年 10 月 15 日－2012 年 1 月 9 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館・芸術と科学の婚姻展実行委員会

相模原市民ギャラリー

立体作家 11 人展 時空を超えたメッセージ ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2005 年 11 月 5 日－12 月 11 日　相模原市民ギャラリー　主催：相模原市教育委員会

茅ヶ崎市美術館

ちがさきアート NOW 四つの部屋－身体の虚実 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2002 年 1 月 24 日－3 月 3 日　茅ヶ崎市美術館　主催：茅ヶ崎市文化振興財団

空想散歩〈夢は日常に遠く近く〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2003 年 1 月 26 日－3 月 2 日　茅ヶ崎市美術館　主催：茅ヶ崎市文化振興財団

平塚市美術館

TOKYO POP――新しい美術のイメージ ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 4 月 27 日－5 月 26 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館

幻想植物園展〈アートが表現する植物の生命力〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 10 月 17 日－12 月 13 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館

20 世紀。美術は虚像を認知した〈モナ・リサとマンモンのあいだで〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2002 年 8 月 3 日－9 月 23 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館・「20 世紀。美術は虚像を認知した」展実行委員会

幻想と幻視－混在領域と領域侵犯 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 10 月 11 日－11 月 23 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館

藤沢市民ギャラリー

第 21 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

神奈川展；1987 年 11 月 21 日－12 月 6 日　藤沢市民ギャラリー　主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会〔巡回 3-1〕

第 23 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

神奈川展；1989 年 11 月 16 日－12 月 3 日　藤沢市民ギャラリー　主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会〔巡回 4-1〕

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

神奈川展；1993 年 11 月 10 日－21 日　藤沢市民ギャラリー　主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会〔巡回 5-1〕

藤沢市アートスペース

From now on!! 藤沢発、アートのこれから ●

2015 年 10 月 3 日－2016 年 1 月 17 日　藤沢市アートスペース　主催：藤沢市・藤沢市教育委員会

横須賀市文化会館市民ギャラリー

ひろがる美術 1945-2000〈横須賀市所蔵〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　横須賀市文化会館市民ギャラリー　主催：横須賀市教育委員会

横須賀美術館

開館記念〈生きる〉展――現代作家 9 人のリアリティ ●

欧文タイトル：「Vital Signs：Reality of Nine Contemporary Artists」

2007 年 4 月 28 日－7 月 16 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

ワンダーシニア 30 展〈現代日本の画家が描く、それぞれの昭和、平成〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 2 月 13 日－4 月 11 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

トリック&ユーモア展〈描かれた不思議〉●

欧文タイトル：「Tricks and Humor：Depicting the Uncanny」

2011 年 9 月 10 日－11 月 6 日　横須賀市美術館　主催：横須賀市美術館

街の記憶〈写真と現代美術でたどるヨコスカ〉●

欧文タイトル：「Memories of a City：Yokosuka in Photographs and Contemporary Art」

2013 年 4 月 27 日－6 月 30 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

ほっこり美術館 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2015 年 4 月 18 日－6 月 14 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

モダンアート再訪－ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●

欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」

2018 年 9 月 15 日－11 月 4 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-4〕

公立美術館 中部

新潟県

新潟県立近代美術館

大光コレクション展〈先見の眼差し……再構成。〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1993 年 7 月 15 日－9 月 5 日　長岡・新潟県立近代美術館　主催：新潟県教育委員会・新潟県立近代美術館

インサイド／アウトサイド 日本現代彫刻の 8 人 ●

欧文タイトル：「Inside/Outside　Japanese Contemporary Sculpture by Eight Artists」

1998 年 9 月 5 日－10 月 11 日　長岡・新潟県立近代美術館　主催：新潟県立近代美術館、共催：新潟日報社

長岡現代美術館賞回顧展 1964－1968〈時代をかけ抜けた美術館と若く熱き美術家たち〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2002 年 4 月 20 日－6 月 9 日　長岡・新潟県立近代美術館、長岡商工会議所 1F 美術文化ホール(旧長岡近代美術館)　主催：新潟県立近代美術館・NST 新潟総合テレビ・財団法人駒形十吉記念美術館・長岡市・長岡商工会議所

GUN 新潟に前衛があった頃 ●

欧文タイトル：「Niigata Contemporary Artist Group and Its Era GUN」

2012 年 11 月 3 日－2013 年 1 月 14 日　長岡・新潟県立近代美術館　主催：新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

絵画の現在〈11 人の作家による 11 の展覧会〉●

欧文タイトル：「PAINTING IN OUR TIME」

2003 年 7 月 12 日－8 月 17 日　新潟県万代島美術館　主催：新潟県万代島美術館　開館記念展 I

コレクター・駒形十吉の眼〈併設 平山郁夫展〉●

欧文タイトル：「Jukichi Komagata：Collector's Eye Masterpieces from Komagata Collection」

2003 年 8 月 23 日－9 月 28 日　新潟県立万代島美術館　主催：コレクター・駒形十吉の眼展実行委員会・新潟県立万代島美術館・NST 新潟総合テレビ　開館記念展 II・NST 新潟総合テレビ開局 35 周年記念

新潟の美術 2004 新潟の作家 100 人 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 1 月 24 日－3 月 7 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館・新潟日報社・新潟日報美術振興財団

ユートピアを探しに〈想像力の彼方へ〉●

欧文タイトル：「Looking for utopia　Beyond the Imagination」

2005 年 10 月 29 日－12 月 11 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館、共催：新潟日報社・NHK 新潟放送局

ジパング II 沸騰する日本の現代アート ●

欧文タイトル：「Zipangu－The Surge of Japanese Contemporary Art」

2012 年 10 月 6 日－12 月 2 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館・TeNY テレビ新潟・ジパング展新潟展実行委員会・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

新潟県美術博物館

第 14 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

新潟展；1981 年 1 月 6 日－18 日　新潟県美術博物館　主催：文化庁・新潟県教育委員会・新潟県美術博物館〔巡回 4-4〕

新潟市美術館

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

1987 年 9 月 11 日－10 月 11 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 6-4〕

にいがた・アート・ナウ 1997 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1997 年 1 月 17 日－3 月 20 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館

宇宙のかけら・時のかけら展〈笠井千鶴・野村仁・宮島達男〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 2 月 11 日－3 月 26 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

2003 年 11 月 30 日－2004 年 1 月 18 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館・NT21 新潟テレビ 21〔巡回 6-1〕

ニイガタ・クリエーション〈美術館は生きている〉●

欧文タイトル：「Niigata Creations　Museum in Motion」

2014 年 2 月 15 日－3 月 30 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」●

欧文タイトル：「Sunouchi Toru and Gendai Gallery：The Eye and Spirit of the Showa Period」

2014 年 4 月 12 日－6 月 8 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館・NHK 新潟放送局・NHK

プロモーション〔巡回 3-3〕
アナタにツナガル展 ●
欧文タイトル：「CONNECTING WITH YOU」
2016 年 2 月 13 日－4 月 10 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館

新潟市新津美術館
現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2005 年 9 月 3 日－10 月 9 日　新潟市新津美術館　主催：新津文化振興財団・第 6 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-2〕
メタルズ!〈変容する金属の美〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2015 年 1 月 24 日－3 月 8 日　新潟市新津美術館　主催：新潟市新津美術館・メタルズ!実行委員会〔巡回 4-4〕

長岡市美術センター
第 28 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
新潟展；1994 年 11 月 18 日－12 月 1 日　長岡市美術センター　主催：文化庁・新潟県教育委員会・長岡市・長岡市教育委員会〔巡回 5-1〕

富山県

富山県立近代美術館
〔第 1 回〕富山国際現代美術展 ●
欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’81」
1981 年 7 月 5 日－9 月 23 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
’81 富山の美術展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1981 年 10 月 1 日－25 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
第 1 回現代芸術祭－瀧口修造と戦後美術 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1982 年 7 月 1 日－9 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
「現代日本美術の展望―油絵」展 ●
欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING」
1982 年 11 月 3 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
「現代日本美術の展望――立体造形」展 ●
欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-SCULPTURE」

1983 年 11 月 1 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送

’84 富山の美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1984 年 2 月 1 日－26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

第 2 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’84」

1984 年 7 月 4 日－9 月 2 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

「現代日本美術の展望――グラフィックアート&デザイン」展 ●

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN――GRAPHIC ART & DESIGN」

1984 年 11 月 1 日－12 月 16 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・富山テレビ放送

「現代日本美術の展望――生活造形」展 ●

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-DESIGN OF DAILY LIFE」

1985 年 11 月 1 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送

「現代日本美術の動勢――絵画 PART1」展 ●

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING PART 1」

1986 年 10 月 25 日－12 月 7 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送・富山エフエム放送

美との対話’87〈大原／西武／高輪美術館所蔵作品による〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 2 月 7 日－4 月 5 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・大原美術館・西武美術館・高輪美術館・富山新聞社・北国新聞社・北日本放送

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉 ●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

1987 年 5 月 23 日－6 月 21 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送・美術館連絡協議会〔巡回 6-1〕

第 3 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’87　NEW ART AROUND THE PACIFIC」

1987 年 7 月 4 日－9 月 3 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

’88 富山の美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 3 月 12 日－4 月 10 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

「現代日本美術の動勢－絵画 PART2」展 ●

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING PART2」

1988 年 10 月 29 日－12 月 11 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

’90 富山の美術 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 2 月 3 日－3 月 4 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

第 4 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’90　The 4th International Contemporary Art Exhibition, Toyama NEW ART FROM THE MEDITERRANEAN AND JAPAN」

1990 年 7 月 4 日－8 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

「現代日本美術の動勢―立体造形」展 ●

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-SCULPTURE」

1991 年 9 月 14 日－10 月 27 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

「’91 富山の美術」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 11 月 2 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

第 5 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’93　Art Scene in Central Europe」

1993 年 7 月 3 日－9 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

「’95 富山の美術」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1995 年 2 月 18 日－3 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

第 6 回富山国際現代美術展 ●

欧文タイトル：「The Sixth International Contemporary Art Exhibition, Toyama／TOYAMA NOW ’96　Up and Coming Talent in UK and Japan」

1996 年 7 月 17 日－9 月 20 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

可視化の構造－11 の空間〈とやま現代作家シリーズ〉 ●

欧文タイトル：「Ways of Visualization：Toyama Contemporary Artists Series」

1997 年 2 月 8 日－3 月 16 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

現代日本美術の動勢 版／写すこと／の試み ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1997 年 9 月 13 日－10 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本

新聞社・北日本放送

第 7 回富山国際現代美術展 ポーランド－日本 内／外 ●

欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’99 POLAND－JAPAN　The Seventh International Contemporary Art Exhibition, Toyama　POLAND&JAPAN INTERNAL／EXTERNAL」

1999 年 7 月 9 日－9 月 5 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

現代日本美術の動勢――インダストリアル・デザインの新風景 ●

欧文タイトル：「New Perspectives on Industrial Design」

1999 年 10 月 30 日－12 月 12 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・チューリップテレビ

瀧口修造 夢の漂流物 ●

欧文タイトル：「Drifting Objects of Dreams：The Collection of Shuzo Takiguchi」

2005 年 5 月 28 日－7 月 3 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送、協力：慶應義塾大学アート・センター・多摩美術大学図書館〔巡回 2-2〕

とやま現代作家シリーズ 時の中で ●

欧文タイトル：「Toyama Art Today 2007」

2007 年 10 月 20 日－12 月 2 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

I BELIEVE：日本の現代美術 ●

欧文タイトル：「I BELIEVE：JAPANESE CONTEMPORARY ART」

2009 年 10 月 10 日－11 月 29 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

とやま現代作家シリーズ メッセージーアート新世代から ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 9 月 18 日－11 月 23 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉 ●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

2013 年 7 月 13 日－9 月 8 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・北日本放送〔巡回 5-3〕

金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち ●

欧文タイトル：「KANAYAMA Yasuki in Paris－Japanese Painters in the 1950s」

2015 年 5 月 16 日－7 月 5 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北陸中日新聞社〔巡回 3-2〕

時代の共鳴者 辻井喬・瀧口修造と 20 世紀美術〈セゾン現代美術館コレクションから〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2015 年 12 月 1 日－2016 年 1 月 17 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・セゾン現代美術館・北日本新聞社・北日本放送

富山県民会館美術館

第 2 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1968 年 11 月 7 日－16 日　富山県民会館　主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・富山新聞社〔巡回 4-3〕

第 15 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

富山展；1982 年 1 月 9 日－24 日　富山県民会館美術館　主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・富山新聞社・富山テレビ放送〔巡回 4-3〕

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

富山展；1987 年 1 月 10 日－25 日　富山県民会館美術館　主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・北日本新聞社・北日本放送〔巡回 5-3〕

富山県水墨美術館

現代の水墨画 I ●

欧文タイトル：「SUIBOKU of Today」

2000 年 9 月 1 日－10 月 22 日　富山県水墨美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送・第 55 回国民体育大会スポーツ芸術主催事業

現代の水墨画 2004〈墨の可能性とあらたなる創造〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 2 月 13 日－3 月 21 日　富山県水墨美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送

現代の水墨画 2009〈水墨表現の現在地点〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 1 月 30 日－3 月 22 日　富山県水墨美術館／4 月 21 日－5 月 31 日　練馬区立美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送〔巡回 2-1〕

高岡市立美術館

第 7 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

富山展；1973 年 10 月 20 日－11 月 4 日　高岡市立美術館　主催：文化庁・富山県教育委員会・高岡市立美術館・北日本新聞社〔巡回 4-2〕

変貌する世界――日本の現代絵画 1945 年以後 ●

欧文タイトル：「THE WORLD IN TRANSITION PAINTING IN JAPAN SINCE 1945」

1997 年 11 月 1 日－12 月 7 日　高岡市美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館・富山県・富山教育委員会・高岡市・高岡市教育委員会・高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館〔巡回 2-1〕

女性アーティスト展 私たちは越えていく ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2013 年 6 月 15 日－7 月 15 日　高岡市美術館　主催：高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館、北日本新聞社

メタルズ!〈変容する金属の美〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 6 月 28 日－8 月 31 日　高岡市美術館　主催：高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館・メタルズ!実行委員会・北日本新聞社〔巡回 4-1〕

入善町下山芸術の森発電所美術館

瀧口修造の眼――戦後の作家たち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2001 年 7 月 15 日－9 月 16 日　入善町下山芸術の森発電所美術館　主催：入善町・入善町教育委員会、共催：富山県立近代美術館・北日本新聞社

石川県

石川県立美術館

戦後日本の具象美術〈見えるものへのこだわり〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 10 月 5 日－23 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館

黒の迷宮〈凝視の刻〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 1 月 4 日－2 月 5 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館、共催：北國新聞社

新紀元 革新の視座〈加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎の創造〉 ●

欧文タイトル：「Creation of Takeshi Kagaya, Susumu Kinoshita, Kenji Kuze, Raikan Shoda, Shugoro Hasuda」

2014 年 4 月 20 日－5 月 18 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館

石川県七尾美術館

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日　石川県七尾美術館　主催：文化庁・石川県教育委員会・財団法人七尾美術館〔巡回 6-4〕

金沢 21 世紀美術館

21 世紀の出会い－共鳴、ここ・から ●

欧文タイトル：「The Encounters in the 21st Century：Polyphony－Emerging Resonances」
2004 年 10 月 9 日－2005 年 3 月 21 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」
2005 年 4 月 23 日－5 月 22 日　金沢 21 世紀美術館　主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-5〕

もうひとつの楽園 ●

欧文タイトル：「Alternative Paradise」
2005 年 11 月 5 日－2006 年 3 月 5 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館、金沢・世界工芸フォーラム開催委員会、金沢市

「メビウスの卵展 15 年の挑戦・光とアートランド」●

欧文タイトル：「Eggs of Möbius　Science in Art Exhibition in Kanazawa」
2006 年 3 月 18 日－26 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

リアル・ユートピア～無限の物語 ●

欧文タイトル：「Real Utopia～Stories of the Unlimited」
2006 年 11 月 23 日－2007 年 3 月 21 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

愛についての 100 の物語 ●

欧文タイトル：「Hundred Stories about Love」
2009 年 4 月 29 日－8 月 30 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館、共催：北國新聞社

内なる声 ●

欧文タイトル：「Inner Voices」
2011 年 7 月 30 日－11 月 6 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

工芸未来派 ●

欧文タイトル：「ART CRAFTING TOWARDS THE FUTURE」
2012 年 4 月 28 日－8 月 31 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

ソンエリュミエール－物質・移動・時間 ●

欧文タイトル：「Son et Lumière-Material, Transition, Time」
2012 年 4 月 28 日－11 月 4 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

ソンエリュミエール、そして叡智 ●

欧文タイトル：「Son et Lumière, et sagesse profonde」
2012 年 9 月 15 日－2013 年 3 月 17 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

内臓感覚－遠クテ近イ生ノ声 ●

欧文タイトル：「Visceral Sensation－Voices So Far, So Near」
2013 年 4 月 27 日－9 月 1 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

ジャパン・アーキテクツ 1945－2010〈開館 10 周年記念特別展〉●

欧文タイトル：「JAPAN ARCHITECTS 1945－2010」

2014 年 11 月 1 日－2015 年 3 月 15 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館、ポンピドゥ・センター パリ国立近代美術館

「ジャパン・アーキテクツ 3.11 以後の建築」展

欧文タイトル:「Architecture since 3.11　New relationships between society and architects」

2014 年 11 月 1 日－2015 年 5 月 10 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

われらの時代〈ポスト工業化社会の美術〉●

欧文タイトル：「In Our Time：Art in Post-industrial Japan」

2015 年 4 月 25 日－8 月 30 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

ザ・コンテンポラリー2 誰が世界を翻訳するのか ●

欧文タイトル：「The Contemporary 2　Who interprets the world?」

2015 年 9 月 19 日－12 月 13 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

起点としての 80 年代 ●

欧文タイトル：「Starting Points：Japanese Art of the ’80s」

2018 年 7 月 7 日－10 月 21 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館〔巡回 3-1〕

小松市民ギャラリー・ルフレ

第 31 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

石川展；1998 年 2 月 14 日－28 日　小松市民ギャラリー・ルフレ　主催：文化庁・石川県・石川県教育委員会・小松市教育委員会・小松市立本陣記念美術館〔巡回 3-2〕

福井県

福井県立美術館

第 12 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

福井展；1978 年 10 月 22 日－11 月 5 日　福井県立美術館　主催：文化庁・福井県教育委員会・福井県立美術館〔巡回 4-1〕

土岡秀太郎と北荘・北美と現代美術 ●

欧文タイトル：「AVANT-GARDE MOVEMENT IN FUKUI」

1983 年 3 月 5 日－27 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

Art Today Exhibition ’86 in FUKUI ●

和文タイトル：「福井アート・トゥディ’86」

1986 年 5 月 15 日－25 日　福井県立美術館　主催：福井アート・フォーラム・福井新聞社・福井県立美術館

日本のポップ展〈1960 年代〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 3 月 6 日－29 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

知覚するかたち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 7 月 28 日－8 月 20 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 3 月 5 日－28 日　福井県立美術館　主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・福井県立美術館〔巡回 3-3〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館〔巡回 9-8〕

福井市美術館

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　福井市美術館　主催：福井市美術館・第 6 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-1〕

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 9 月 30 日－10 月 29 日　福井市美術館　主催：福井市美術館・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-3〕

山梨県

山梨県立美術館

現代美術百貨展 ●

欧文タイトル：「Department Store of Contemporary Art」

2000 年 6 月 17 日－8 月 16 日　甲府・山梨県立美術館　主催：山梨県立美術館・現代美術百貨展実行委員会

美し、やまなし、パワー!〈山梨の女性アーティストたち〉 ●

欧文タイトル：「UTSUKUSHI YAMANASHI POWER!」

2016 年 6 月 25 日－8 月 21 日　甲府・山梨県立美術館　主催：山梨県立美術館

河口湖美術館

ワンダフル・マイ・アート〈高橋コレクションの作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Wonderful My Art　Selected artists from TAKAHASHI COLLECTION」

2013 年 4 月 14 日－9 月 16 日　河口湖美術館　主催：河口湖美術館・山梨日日新聞・山梨放送、共同企画：本庄俊男(彩鳳堂画廊)・ミヅマアートギャラリー

長野県

長野県信濃美術館

第 5 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

長野展；1971 年 9 月 19 日－10 月 3 日　長野県信濃美術館　主催：文化庁・長野県教育委員会〔巡回 4-1〕

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

長野展；1983 年 10 月 9 日－23 日　長野県信濃美術館　主催：文化庁・長野県教育委員会・長野県信濃美術館〔巡回 5-1〕

彼女たちが創る理由〈現代の表現〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2002 年 9 月 15 日－10 月 14 日　長野県信濃美術館　主催：長野県信濃美術館

長野県信濃美術館クロージング ネオヴィジョン 新たな広がり展図録〈7 人の若手作家〉 ●

欧文タイトル：「CLOSING NEO VISION」

2017 年 9 月 16 日－30 日　長野県信濃美術館　主催：長野県・長野県信濃美術館

茅野市美術館

在る表現――その文脈と諏訪〈松澤宥・辰野登恵子・宮坂了作・根岸芳郎〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2016 年 8 月 7 日－9 月 11 日　茅野市美術館　主催：茅野市美術館

松本市美術館

現代版画の潮流展 ●

欧文タイトル：「Current of the Contemporary prints」

2005 年 6 月 11 日－7 月 10 日　松本市美術館　主催：松本市美術館・大学版画学会・現代版画の潮流展開催実行委員会〔巡回 2-2〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館　主催：松本市美術館・SBC 信越放送〔巡回 9-4〕

堤清二 セゾン文化、という革命をおこした男。 ●

欧文タイトル：「Seiji Tsutsumi, the Man who Revolutionized　“Saison Culture”」

2017 年 4 月 21 日－6 月 11 日　松本市美術館　主催：松本市美術館、特別協力：セゾン現代美術館

辰野町郷土美術館

立ちあがる境界 ●

欧文タイトル：「Art on the Border」

1994 年 10 月 20 日－11 月 23 日　長野県上伊那郡・辰野町郷土美術館　主催：辰野町郷土美術館

岐阜県

岐阜県美術館

今日の造形・木と紙〈自然との対話〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1984 年 6 月 15 日－7 月 22 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

今日の造形 土と炎展〈新たな展開と可能性〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 1 月 6 日－2 月 11 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

今日の造形 6 おもしろわざものすぐれもの展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 10 月 31 日－12 月 17 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

今日の造形 7 現代美術〈日本の心〉展 ●

欧文タイトル：「The 7th ART NOW：Contemporary Art “The Mind of Japan”」

1991 年 2 月 16 日－3 月 24 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

「岐阜の美術」－絵画・1960 年代までの歩み ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 12 月 1 日－1993 年 1 月 17 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・岐阜新聞・岐阜放送

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」

1995 年 2 月 17 日－3 月 26 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・読売新聞中部本社・中京テレビ放送・美術館連絡協議会〔巡回 4-1〕

20 世紀美術への招待状〈富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵作品による ピカソ、シャガールから横山大観、竹内栖鳳まで〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 7 月 16 日－8 月 22 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・富山県立近代美術館・富山県水墨美術館・岐阜新聞・岐阜放送

大垣市スイトピアセンターアートギャラリー

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

岐阜展；1998 年 11 月 22 日－12 月 7 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー　主

催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市・大垣市教育委員会・大垣市文化事業団〔巡回 4-1〕
文化庁主催第 38 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
岐阜展；2005 年 2 月 5 日－27 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー　主催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市・大垣市教育委員会〔巡回 3-3〕

セラトピア土岐
第 30 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐　主催：文化庁・岐阜県教育委員会・土岐市・土岐市教育委員会〔巡回 5-1〕

静岡県

静岡県立美術館
現代美術入門 絵画の空白と余白 ●
欧文タイトル：「an approach to modern art　BLANK IN MODERN PAINTING from Cézanne to Conceptual Art」
1989 年 2 月 10 日－3 月 12 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館
モナ・リザ 100 の微笑 ●
欧文タイトル：「Les 100 Sourires de Monna Lisa」
2000 年 4 月 4 日－6 月 11 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館・静岡朝日テレビ・日本経済新聞社〔巡回 3-2〕
今、ここにある風景＝コレクション＋アーティスト＋あなた ●
欧文タイトル：「Here is the Museum, the scape collaborated with our collection, artists and you－The Encounter of our Collection and 4 Artists」
2002 年 7 月 27 日－9 月 8 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館
きらめく光〈日本とヨーロッパの点表現〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2003 年 2 月 18 日－3 月 30 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館
静岡 New Art「あなたの居場所」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2003 年 3 月 18 日－2004 年 2 月 1 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館
静岡 New Art「あなたの居場所」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2005 年 9 月 15 日－10 月 30 日　静岡県立美術館県民ギャラリーほか　主催：静岡県立美術館
風景ルルル〈わたしのソトガワとのかかわり方〉 ●

欧文タイトル：「Lu Lu Lu Landscape：How I see the world around me」
2008 年 11 月 3 日－12 月 21 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館　共催：中日新聞東海本社、テレビ静岡

グループ「幻触」と石子順造 1966-1971〈時代を先駆けた冒険者たちの記録〉●
欧文タイトル：「Group“Genshoku”and Ishiko Junzo 1966-1971」
2014 年 2 月 1 日－3 月 23 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2014 年 9 月 20 日－11 月 16 日　静岡県立美術館　主催：「美少女の美術史」展実行委員会(青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館)〔巡回 3-2〕

再発見! ニッポンの立体 ●
欧文タイトル：「Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan」
2016 年 11 月 15 日－2017 年 1 月 9 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館・読売新聞社・静岡第一テレビ・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

アートのなぞなぞ 高橋コレクション展 ●
欧文タイトル：「The Riddle of Art：Takahashi Collection」
2017 年 12 月 23 日－2018 年 2 月 28 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館・静岡朝日テレビ

静岡県民会館

第 5 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
静岡展；1971 年 10 月 14 日－21 日　静岡県民会館　主催：文化庁・静岡県民会館〔巡回 4-2〕

掛川市二の丸美術館

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●
欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」
2006 年 9 月 16 日－10 月 22 日　掛川市二の丸美術館　主催：掛川市二の丸美術館〔巡回 4-3〕

浜松市美術館

第 14 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
静岡展；1980 年 11 月 19 日－12 月 2 日　浜松市美術館　主催：文化庁・静岡県教育委員会・浜松市美術館・静岡新聞社・SBS 静岡放送〔巡回 4-2〕

浜松市秋野不矩美術館

革新表現に挑む女流画家たち〈創画会の原点・今・明日〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2016 年 4 月 29 日－6 月 5 日　浜松市秋野不矩美術館　主催：浜松市秋野不矩美術館・中日新聞東海本社

愛知県

愛知県美術館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 11 月 2 日－23 日　名古屋・愛知県美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・愛知県・愛知県教育委員会・愛知県美術館〔巡回 4-2〕

20 世紀 愛知の美術 ●

欧文タイトル：「20 th Century Art in Aichi」

1993 年 2 月 19 日－3 月 21 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館

現代の陶芸 1950－1990 ●

欧文タイトル：「Contemporary Ceramics 1950-1990」

1993 年 7 月 16 日－8 月 22 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・愛知県陶磁資料館

環流〈日韓現代美術展〉●

欧文タイトル：「Circulating Currents－Japanese and Korean Contemporary Art－」

1995 年 7 月 14 日－9 月 3 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・名古屋市美術館・中日新聞社・中部日本放送・東海テレビ放送〔名古屋市美術館と同時開催〕

アジアの潜在力〈海と島が育んだ美術〉●

欧文タイトル：「Asian Potential－Art Nursed by Sea and Islands」

2005 年 5 月 24 日－7 月 10 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知・財団法人 2005 年日本国際博覧会協会・財団法人自治総合センター

愉しき家 ●

欧文タイトル：「Enjoyable House」

2006 年 8 月 4 日－10 月 1 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・朝日新聞社・財団法人自治総合センター

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 ●

欧文タイトル：「ROUSSEAU ENVISAGED：Henri Rousseau and Japanese Artists」

2006 年 12 月 20 日－2007 年 2 月 12 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・中日新聞社・NHK 名古屋放送局・NHK 中部ブレーンズ〔巡回 3-2〕

「20 世紀美術の森」展 ●

欧文タイトル：「Forest of the 20th Century Art」

2007 年 6 月 29 日－8 月 26 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・岐阜県美術

館・三重県立美術館・中日新聞社

サイクルとリサイクル〈めぐりめぐる形とイメージ〉●

欧文タイトル：「Cycle and Recycle」

2007 年 9 月 7 日－11 月 4 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・財団法人自治総合センター

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉●

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」

2009 年 11 月 6 日－12 月 13 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知〔巡回 4-3〕

これからの写真 ●

欧文タイトル：「Photography Will Be」

2014 年 8 月 1 日－9 月 28 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・朝日新聞社

愛知芸術文化センター

仮装する空間〈瀬田哲司・岡崎乾二郎&津田佳紀・鈴木昭男〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 3 月 8 日－27 日　名古屋・愛知芸術文化センター　企画：愛知県文化情報センター・愛知県美術館、主催：愛知芸術文化センター

名古屋市美術館

セブン・アーチスツ――今日の日本美術帰国展 ●

欧文タイトル：「SEVEN ARTISTS ASPECTS OF CONTEMPORARY JAPANESE ART」

1992 年 8 月 15 日－9 月 27 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・国際交流基金・名古屋＝ロサンゼルス姉妹都市委員会

ポジション 1994 名古屋発現代美術展 ●

欧文タイトル：「POSITION 1994 Nagoya Contemporary Art Exhibition」

1994 年 1 月 5 日－2 月 6 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団

環流〈日韓現代美術展〉●

欧文タイトル：「Circulating Currents－Japanese and Korean Contemporary Art－」

1995 年 7 月 14 日－9 月 3 日　名古屋市美術館　主催：愛知県美術館・名古屋市美術館・中日新聞社・中部日本放送・東海テレビ放送〔愛知県美術館と同時開催〕

天と地の間に－今日の日本美術展 II ●

欧文タイトル：「Between Earth and the Heavens-Aspects of Japanese Contemporary Art II」

1996 年 6 月 15 日－8 月 25 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館

眼差しのゆくえ－現代美術のポジション 1997 ●

欧文タイトル：「LOOKING TOWARD THE FUTURE」

1997 年 8 月 2 日－9 月 28 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団

戦後日本のリアリズム 1945-1960 ●

欧文タイトル：「Realism in Postwar Japan 1945-1960」

1998 年 4 月 18 日－7 月 12 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・毎日新聞社

「現代美術のポジション 2003－吹きぬける新風」●

欧文タイトル：「Contemporary Art POSITION 2003」

2003 年 1 月 7 日－3 月 30 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・朝日新聞社・名古屋市文化振興事業団

『名古屋』の美術〈これまでとこれから〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 2 月 4 日－3 月 26 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・日本経済新聞社・中日新聞社

ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展 ●

欧文タイトル：「Hi-Red Center：The Documents of “Direct Action”」

2013 年 11 月 9 日－12 月 23 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知〔巡回 2-1〕

マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版 2014 ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION 2014　Mindfulness!」

2014 年 4 月 12 日－6 月 8 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・中日新聞社

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉●

欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」

2014 年 11 月 8 日－12 月 23 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・中京テレビ放送〔巡回 4-2〕

モネ それからの 100 年 ●

欧文タイトル：「Monet’s Legacy」

2018 年 4 月 25 日－7 月 1 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・中日新聞社・東海テレビ放送・東海ラジオ放送〔巡回 2-1〕

安城市民ギャラリー

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 11 月 18 日－12 月 24 日　安城市民ギャラリー　主催：安城市・安城市教育委員会・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-4〕

一宮スポーツ文化センター

第 31 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

愛知展；1998 年 1 月 23 日－2 月 8 日　一宮スポーツ文化センター　主催：文化庁・愛知県教育委員会・一宮市教育委員会〔巡回 3-1〕

岡崎市美術館
第 29 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
愛知展；1995 年 12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・岡崎市美術館〔巡回 6-3〕

岡崎市美術博物館
「森」としての絵画－「絵」のなかで考える ●
欧文タイトル：「Painting as Forest：Artists as Thinker」
2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　岡崎市美術博物館　主催：岡崎市・中日新聞社

文化フォーラム春日井
文化庁主催第 37 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
愛知展；2004 年 1 月 14 日－2 月 1 日　文化フォーラム春日井　主催：文化庁・愛知県教育委員会・春日井市・春日井市教育委員会・かすがい市民文化財団〔巡回 2-2〕

瀬戸市美術館
日本の現代陶芸〈伝統と新風の精美〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2011 年 10 月 1 日－11 月 27 日　瀬戸市美術館　主催：独立行政法人国立美術館・愛知県教育委員会・瀬戸市・瀬戸市文化振興財団〔巡回 2-2〕

豊田市美術館
なぜ、これがアートなの? ●
欧文タイトル：「IS THIS ART ?」
1998 年 7 月 21 日－9 月 23 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館〔巡回 3-1〕
空き地 ●
欧文タイトル：「VACANT LOT」
2000 年 3 月 7 日－5 月 7 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館
イメージの水位――ナルキッソスをめぐる変容と反射 ●
欧文タイトル：「Water Level of Image－Transformation and Reflection of Narcissus」
2004 年 7 月 6 日－9 月 5 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館
イン・ベッド〈生命の美術〉 ●
欧文タイトル：「IN BED-Images from a Vital Stage」

2004 年 10 月 5 日－12 月 26 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

ベリーベリーヒューマン ●

欧文タイトル：「very very human」

2005 年 10 月 15 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

内なるこども ●

欧文タイトル：「The Child」

2006 年 4 月 14 日－6 月 18 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

ガーデンズ――小さな秘密の庭へ ●

欧文タイトル：「GARDENS」

2006 年 9 月 30 日－12 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

宇宙御絵図 UCHU-MIEZU ●

2007 年 6 月 19 日－9 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展 ●

欧文タイトル：「SURREALISM AND ART　IMAGE AND REALITY」

2007 年 7 月 3 日－9 月 17 日　豊田市美術館　主催：主催：豊田市美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会〔巡回 3-2〕

不協和音－日本のアーティスト 6 人 ●

欧文タイトル：「DISSONANCES」

2008 年 9 月 30 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

反重力〈浮遊｜時空旅行｜パラレル・ワールド〉 ●

欧文タイトル：「Antigravity」

2013 年 9 月 14 日－12 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・テレビ朝日・メ～テレ、共催：朝日新聞社

蜘蛛の糸 クモがつむぐ美の系譜－江戸から現代へ ●

欧文タイトル：「Spider's Thread－Spinning images of Japanese beauty」

2016 年 10 月 15 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・朝日新聞社

ビルディング・ロマンス〈現代譚を紡ぐ〉 ●

欧文タイトル：「Building Romance」

2018 年 1 月 20 日－4 月 8 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・朝日新聞社・ひまわりネットワーク・エフエムとよた

豊田市民文化会館

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

愛知展；1986 年 11 月 9 日－23 日　豊田市民文化会館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊田市・豊田市教育委員会〔巡回 5-1〕

第 22 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

愛知展 ; 1988 年 11 月 13 日－27 日　豊田市民文化会館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊田市・豊田市教育委員会〔巡回 3-1〕

豊橋市美術博物館

第 13 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1980 年 1 月 8 日－20 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・豊橋文化協会・中日新聞社〔巡回 4-2〕

第 15 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1981 年 12 月 1 日－20 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 4-2〕

第 16 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1983 年 1 月 8 日－23 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 4-4〕

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1984 年 1 月 7 日－22 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 5-5〕

第 18 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1985 年 1 月 6 日－20 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 3-2〕

第 19 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1986 年 1 月 7 日－19 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 3-1〕

第 21 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1988 年 1 月 6 日－24 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 3-2〕

第 23 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展 ; 1990 年 1 月 6 日－21 日　豊橋市美術博物館　主催 : 文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社〔巡回 4-3〕

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル : 当該カタログに記載無

愛知展；1993 年 12 月 22 日－1994 年 1 月 16 日　豊橋市美術博物館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市美術博物館・中日新聞社〔巡回 5-3〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2006 年 7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館　主催：豊橋市美術博物館・中日新聞社〔巡回 9-6〕

NIHON 画〈新たな地平を求めて〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2016 年 10 月 29 日－12 月 11 日　豊橋市美術博物館　主催：豊橋市美術博物館・中日新聞社

碧南市藤井達吉現代美術館

メタルズ!〈変容する金属の美〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 9 月 11 日－10 月 19 日　碧南市藤井達吉現代美術館　主催：碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会・メタルズ!実行委員会〔巡回 4-2〕

公立美術館 近畿

三重県

三重県立美術館

三重の美術・現代展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1982 年 9 月 25 日－11 月 21 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

現代美術の新世代展〈東海地区を中心とした〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1983 年 7 月 2 日－8 月 7 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

アーティストとクリティック――批評家土方定一と戦後美術 ●

欧文タイトル：「10th Anniversary Exhibition of MIE PREFECTURAL ART MUSEUM Artists & An Art Critic-Teiichi HIJIKATA & Japanese Art in the post-WORLD WAR II Period」

1992 年 8 月 15 日－9 月 13 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

動物美術館〈20 世紀日本の生きもののイメージ〉 ●

欧文タイトル：「ART MUSEUM OF ANIMALS Japanese Plastic Expression of Creature in 20th Century」

1995 年 4 月 1 日－5 月 7 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

1998 年 8 月 1 日－9 月 6 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・読売新聞中部本社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・中京テレビ放送〔巡回 4-2〕

20 世紀美術にみる人間展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 10 月 23 日－12 月 12 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・愛知県美術館・岐阜県美術館

液晶絵画 ●

欧文タイトル：「STILL / MOTION」

2008 年 2 月 14 日－4 月 13 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・三重県・メ～テレ・朝日新聞社〔巡回 3-1〕

「ひろがるアート〈現代美術入門篇〉」展 ●

欧文タイトル：「EXPANDING ART」

2010 年 10 月 23 日－12 月 19 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・愛知県美術館・岐阜県美術館・自治総合センター・中日新聞社

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」

2013 年 4 月 13 日－6 月 23 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館〔巡回 4-4〕

三重の新世代 2015 ●

欧文タイトル：「New-wave Artists in Mie」

2015 年 1 月 4 日－3 月 29 日　津・三重県立美術館柳原義達記念館　主催：三重の新世代展実行委員会・三重県立美術館

再発見! ニッポンの立体 ●

欧文タイトル：「Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan」

2017 年 1 月 24 日－4 月 9 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

四日市市文化会館

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

三重展；1983 年 12 月 10 日－25 日　四日市市文化会館　主催：文化庁・三重県教育委員会・四日市市文化振興財団〔巡回 5-4〕

滋賀県

滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'86 多義的な表面 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'86 The Ambiguous Surface」

1986 年 2 月 18 日－3 月 23 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'87 "主張する人体" ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'87 Expressions of Human Figures」

1987 年 1 月 6 日－2 月 15 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'88 陶・生まれ変わる造形 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'88 CLAY WORK THE REPRO-ACTION OF FORM」

1988 年 4 月 9 日－5 月 15 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'90 写真による現代版画〈虚と実の間〉 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '90 CONTEMPORARY PRINTS ; THE APPLICATION OF PHOTOGRAPH」

1990 年 1 月 5 日－2 月 12 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'91 自己との遭遇――パリに学んだエスプリ ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '91」

1991 年 1 月 5 日－2 月 11 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'92 言語／美術 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '92 Functions of Language in Contemporary Art

1992 年 1 月 5 日－2 月 16 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'93 染め・織り〈生まれ変わる造形〉 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'93 FIBER WORK / THE REPRO-ACTION OF FORM」

1993 年 1 月 5 日－2 月 14 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'94 版の宇宙 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '94 CONTEMPORARY PRINTS ; VOYAGE TO THE REALM OF IMAGINATION」

1994 年 2 月 19 日－3 月 27 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'95 ファンタジーRPG イラストレーション展 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'95 FANTASY RPG 〔Role Playing Game〕 ILLUSTRATION」

1995 年 1 月 5 日－2 月 19 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'96 ハンドメイド・オブジェ ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '96 Handmade Objects」

1996 年 1 月 5 日－2 月 18 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'97 紙〈生まれ変わる造形〉 ●

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '97 Paper Work / The Repro-action of Form」

1997 年 1 月 7 日－2 月 16 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

シガ・アニュアル'98 精霊の宿るところ――見えざるものの啓示 ●

欧文タイトル:「SHIGA ANNUAL '98 SPIRITUAL PRESENCE in the Contemporary Art」
1998 年 2 月 21 日－3 月 29 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館
シガ・アニュアル 1999 現代空想絵師展〈ファンタスティック・イラストレーター〉●
欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL 1999 7 Artists of Japanese Contemporary Fantastic Illustration」
1999 年 2 月 27 日－3 月 28 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館
コピーの時代〈デュシャンからウォーホル、モリムラへ〉●
欧文タイトル：「20th Anniversary Exhibition The Copy Age From Duchamp through Warhol to Morimura」
2004 年 6 月 5 日－9 月 5 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

滋賀県立琵琶湖文化館
第 6 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
滋賀展；1972 年 10 月 8 日－22 日　滋賀県立琵琶湖文化館　主催：文化庁・滋賀県・滋賀県教育委員会〔巡回 4-1〕
第 7 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
滋賀展；1973 年 12 月 1 日－16 日　滋賀県立琵琶湖文化館　主催：文化庁・滋賀県・滋賀県教育委員会・滋賀県文化体育振興事業団〔巡回 4-4〕

京都府

京都府京都文化博物館
アートと考古学展〈物の声を、土の声を聴け〉●
欧文タイトル：「ART AND ARCHAEOLOGY：THE SILENT VOICES OF MATERIALS AND SOIL」
2016 年 7 月 23 日－9 月 11 日　京都文化博物館　主催：京都文化博物館

京都市美術館
1972 京都ビエンナーレ〈七名の評論家による現代作家展〉●
欧文タイトル：「KYOTO BIENNALE 1972」
1972 年 2 月 24 日－3 月 7 日　京都市美術館　主催：京都市美術館
1973 京都ビエンナーレ〈集団による美術〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1973 年 8 月 10 日－19 日　京都市美術館　主催：京都市
1976 京都ビエンナーレ〈七名の評論家による現代作家展〉●
欧文タイトル:「KYOTO BIENNALE 1976〈Contemporary art selected by seven art critics〉」

1976 年 2 月 22 日－3 月 22 日　京都市美術館　主催：京都市美術館

近代日本美術の歩み展〈明治・大正から昭和へ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1979 年 10 月 6 日－28 日　京都市美術館　主催：京都市・朝日新聞社〔巡回 2-2〕

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 6 月 3 日－14 日　京都市美術館　主催：京都市・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社〔巡回 4-2〕

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

1989 年 6 月 7 日－18 日　京都市美術館　主催：京都市・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社〔巡回 6-2〕

版から／版へ〈京都 1989〉●

欧文タイトル：「Intersection of Printing」

1989 年 11 月 11 日－12 月 7 日　京都市美術館　主催：京都市

筆あとの誘惑〈モネ、栖鳳から現代まで〉●

欧文タイトル：「Seductive Brush Marks from the late 19th century to the present day」

1992 年 11 月 1 日－29 日　京都市美術館　主催：京都市

大阪府

大阪府立現代美術センター

イメージの現代 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1980 年 4 月 1 日－19 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府

絵画の方向'94 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 6 月 27 日－7 月 9 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府立現代美術センター

絵画の方向'95 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1995 年 6 月 26 日－7 月 8 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府立現代美術センター

大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室

絵画の冒険～今井俊満と戦後美術の歩み〈大阪市立近代美術館(仮称)コレクション展〉●

欧文タイトル：「Aventure de la peinture－Toshimitsu Imaï et ses contemporains」

2003 年 6 月 14 日－7 月 6 日　大阪・ATC ミュージアム　主催：大阪市教育委員会

岸和田市立文化会館

第 18 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

大阪展；1984 年 12 月 9 日－12 月 23 日　岸和田市立文化会館　主催：文化庁・大阪府教育委員会・岸和田市・岸和田市教育委員会〔巡回 3-1〕

兵庫県

兵庫県立近代美術館

今日の 100 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1971 年 9 月 5 日－10 月 3 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・毎日新聞社

アート・ナウ ’75 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’75」

1975 年 1 月 5 日－19 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’76 ●

欧文タイトル：「art now ’76」

1976 年 1 月 6 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’77 ●

欧文タイトル：「art now ’77」

1977 年 2 月 8 日－27 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’78 ●

欧文タイトル：「art now ’78」

1978 年 2 月 4 日－26 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

特別展・吉原治良と具体のその後 ●

欧文タイトル：「JIRO YOSHIHARA AND TODAY’S ASPECTS OF THE “GUTAI”」

1979 年 1 月 5 日－28 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

アート・ナウ ’79 ●

欧文タイトル：「art now ’79」

1979 年 2 月 3 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’80 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’80」

1980 年 3 月 2 日－30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ 1970～1980 ●

欧文タイトル：「ART NOW 1970～1980」

1981 年 3 月 7 日－29 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

明日の美術館を求めて・美術劇場〈新館竣工記念〉 ●

欧文タイトル：「Toward the Museum of Tomorrow－LIVE ART THEATER」

1982 年 4 月 28 日－5 月 30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

アート・ナウ ’82 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’82」

1982 年 12 月 11 日－1983 年 1 月 23 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’84 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’84」

1984 年 3 月 3 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’85 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’85」

1985 年 2 月 23 日－3 月 24 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社・伊藤文化財団

明日の美術館を求めて(II) 環境としてのイメージ展 ●

欧文タイトル：「Image as environment」

1985 年 10 月 5 日－11 月 4 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

アート・ナウ ’86 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’86」

1986 年 2 月 22 日－3 月 22 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

具体－行為と絵画図録〈スペイン・ユーゴスラビア帰国記念展〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 8 月 30 日－9 月 28 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社・伊藤文化財団

アート・ナウ ’87 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’87」

1987 年 2 月 28 日－3 月 22 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’88 ●

欧文タイトル：「ART NOW ’88」

1988 年 2 月 20 日－3 月 21 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ〈関西の 80 年代〉●

欧文タイトル：「ART NOW－Eighties in Kansai－」

1990 年 11 月 20 日－12 月 16 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

森田子龍と『墨美』●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 5 月 23 日－7 月 5 日　兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

アート・ナウ ’92〈12 人の実践／90 年代美術の新地平〉●

欧文タイトル：「ART NOW ’92 Twelve Artists：New Horizon in the 90’s」

1992 年 11 月 14 日－1993 年 1 月 10 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

関西の美術 1950’s～1970’s〈創造者たちのメッセージ〉●

欧文タイトル：「ART IN KANSAI 1950’s～1970’s」

1994 年 4 月 9 日－5 月 8 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・産経新聞社・関西テレビ放送

アート・ナウ 1994〈啓示と持続〉●

欧文タイトル：「ART NOW 1994 Revelation and Duration」

1994 年 5 月 21 日－6 月 26 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

明日の美術館を求めて III　眼の宇宙－かたちをめぐる冒険 ●

欧文タイトル：「COSMOLOGY OF LIGHT AND FORM」

1994 年 10 月 8 日－11 月 20 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

戦後文化の軌跡 1945－1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

1995 年 8 月 15 日－9 月 24 日　兵庫県立近代美術館　主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-3〕

アート・ナウ ’96――在ることの根源へ ●

欧文タイトル：「ART NOW ’96 Toward the Origin of Being」

1996 年 12 月 7 日－1997 年 1 月 19 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

アート・ナウ ’98〈ほとばしる表現力－『アウトサイダー・アート』の断面〉●

欧文タイトル：「ART NOW ’98 OVERFLOWING POWER OF EXPRESSION：ASPECT OF “OUTSIDER ART”」

1998 年 11 月 28 日－1999 年 1 月 17 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代

美術館・朝日新聞社

アート・ナウ 2000『なごみ』のヒント ●

欧文タイトル：「ART NOW 2000：Getting Calm through Art」

2000 年 6 月 17 日－7 月 30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

兵庫県立美術館

「美術の力〈時代を拓く 7 作家〉」展 ●

欧文タイトル：「Power of Art」

2002 年 7 月 13 日－8 月 25 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・朝日新聞社

未来予想図〈私の人生☆劇場〉 ●

欧文タイトル：「Theatre of Our Lives」

2002 年 11 月 19 日－2003 年 1 月 13 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」

2004 年 6 月 11 日－7 月 11 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会〔巡回 5-1〕

現代絵画のいま〈キュレーターからのメッセージ 2012〉 ●

欧文タイトル：「NEW PHASES in CONTEMPORARY PAINTING　A Curator's Message 2012」

2012 年 10 月 27 日－12 月 24 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・朝日新聞社

ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム ●

欧文タイトル：「MANGA＊ANIME＊GAMES＊FROM JAPAN」

2015 年 9 月 19 日－11 月 23 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・ワコールアートセンター・神戸ビエンナーレ組織委員会〔巡回 2-2〕

神戸ファッション美術館

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1997 年 7 月 19 日－10 月 5 日　神戸ファッション美術館　主催：朝日新聞社・神戸ファッション美術館・朝日放送〔巡回 3-1〕

BIT GENERATION 2000 テレビゲーム展 ●

欧文タイトル：「BIT GENERATION "TV-GAMES"」

2000 年 6 月 15 日－8 月 29 日　神戸ファッション美術館　主催：神戸ファッション美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ　企画協力：テレビゲーム・ミュージアム〔巡回 2-1〕

明石市立文化博物館

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 6 月 19 日－7 月 11 日　明石市立文化博物館　主催：明石市立文化博物館・神戸新聞社〔巡回 5-5〕

芦屋市立美術博物館

具体展 I〈1954～1958〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

具体展 I〈1954～1958〉; 1992 年 6 月 20 日－8 月 2 日　芦屋市立美術博物館。甦る野外展；7 月 25 日－8 月 2 日　芦屋公園　主催：芦屋市立美術博物館

具体展 II〈1959～1965〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1993 年 1 月 5 日－2 月 14 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館

具体展 III〈1965～1972〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1993 年 6 月 19 日－7 月 18 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館

人間の条件展〈私たちは、どこへ向かうのか。〉特別展示 ●

欧文タイトル：「Of the Human Condition：Hope and Despair at the End of the Century」

1994 年 4 月 9 日－5 月 29 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館

「草月とその時代 1945-1970」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 10 月 17 日－11 月 29 日　芦屋市立美術博物館／12 月 5 日－1999 年 1 月 10 日　千葉市美術館　主催：芦屋市立美術博物館・芦屋市文化振興財団・朝日新聞社・草月とその時代展実行委員会〔巡回 2-1〕

尼崎市総合文化センター

第 10 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

兵庫展；1977 年 1 月 8 日－21 日　尼崎市総合文化センター　主催：文化庁・兵庫県・尼崎市・神戸新聞社〔巡回 4-4〕

第 12 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

兵庫展；1978 年 12 月 9 日－22 日　尼崎市総合文化センター 美術ホール　主催：文化庁・尼崎市総合文化センター〔巡回 4-3〕

第 14 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

兵庫展；1980 年 12 月 7 日－21 日　尼崎市総合文化センター　主催：文化庁・尼崎市総合文化センター・兵庫県・兵庫県教育委員会〔巡回 4-3〕

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●

欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」

2006 年 10 月 28 日－12 月 3 日　尼崎市総合文化センター　主催：尼崎市総合文化センター〔巡回 4-4〕

伊丹市立美術館

コレクション－10 年の成果　現代美術へのいざない ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1997 年 12 月 13 日－1998 年 2 月 1 日　伊丹市立美術館　主催：伊丹市立美術館

アート遊園地 ●

欧文タイトル：「THE PLEASURE GROUND OF ART」

1998 年 8 月 1 日－9 月 20 日　伊丹市立美術館　主催：伊丹市立美術館

西宮市大谷記念美術館

美術の考古学展 第 1 部「位相－大地」の考古学 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 6 月 15 日－7 月 21 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館

美術の考古学 II パンリアル創世紀展〈戦後日本画の革新運動〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 7 月 11 日－8 月 16 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館

対話する美術／前衛の関西〈開館 40 周年記念〉●

欧文タイトル：「Artistic Intractions：Avant-garde Kansai」

2012 年 6 月 9 日－7 月 29 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館

姫路市立美術館

現代郷土作家 8 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 8 月 15 日－9 月 15 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

現代郷土作家展 吉本直子・久保健史・浅田暢夫〈内包の布 空間の石 存在の写真〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2012 年 9 月 13 日－10 月 21 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

現代郷土作家展 生きるものたちへ〈藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 12 月 15 日－12 月 23 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

奈良県

奈良県立美術館

第 7 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

奈良展；1973 年 11 月 11 日－25 日　奈良県立美術館　主催：文化庁・奈良県教育委員会・奈良県立美術館〔巡回 4-3〕

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

奈良展；1975 年 11 月 15 日－30 日　奈良県立美術館　主催：文化庁・奈良県教育委員会・奈良県立美術館〔巡回 4-3〕

奈良ゆかりの現代作家〈柳原義達・井上武吉・上村淳之・絹谷幸二の世界〉 ●

欧文タイトル：「ARTISTS OF NARA－The Works of Yoshitatsu Yanagihara, Bukichi Inoue, Atsushi Uemura and Koji Kinutani」

1993 年 4 月 29 日－5 月 30 日　奈良県立美術館　主催：奈良県立美術館

美の最前線・現代アートなら〈素材と知の魔術〉 ●

欧文タイトル：「Beauty on the Edge－Contemporary Art Nara－Magic of materials and wisdom」

2014 年 6 月 14 日－7 月 21 日　奈良県立美術館　主催：奈良県立美術館

奈良県文化会館

第 4 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

奈良展；1970 年 9 月 19 日－10 月 4 日　奈良県文化会館　主催：文化庁・奈良県・奈良県教育委員会〔巡回 4-1〕

和歌山県

和歌山県立近代美術館

瑛九とその周辺 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 10 月 4 日－10 月 27 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 3-3〕

現代の造形――土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 7 月 29 日－8 月 27 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

美術の現在 4 つの試み〈宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 7 月 28 日－8 月 26 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

現代の陶芸 1980－1990〈関西の作家を中心として〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 10 月 6 日－28 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

「新しい関西の美術家たち ものとあわれ」展 ●

欧文タイトル：「Emerging Appearance Art Works in Experience」

1997 年 3 月 1 日－30 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

デモクラート 1951～1957〈開放された戦後美術〉●

欧文タイトル：「DEMOKRATO 1951-1957　The Liberation of Art in Postwar Japan」

1999 年 6 月 8 日－7 月 11 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

森のなかで ●

欧文タイトル：「IN THE FOREST」

2007 年 10 月 20 日－12 月 9 日　和歌山県立近代美術館　主催：「森のなかで」展実行委員会・和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館〔巡回 2-2〕

田辺市立美術館

森のなかで ●

欧文タイトル：「IN THE FOREST」

2007 年 7 月 28 日－10 月 8 日　田辺市立美術館×熊野古道なかへち美術館　主催：「森のなかで」展実行委員会・和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館〔巡回 2-1、熊野古道なかへち美術館と同時開催〕

熊野古道なかへち美術館

森のなかで ●

欧文タイトル：「IN THE FOREST」

2007 年 7 月 28 日－10 月 8 日　田辺市立美術館×熊野古道なかへち美術館　主催：「森のなかで」展実行委員会・和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館〔巡回 2-1、田辺市立美術館と同時開催〕

公立美術館 中国

鳥取県

鳥取県立博物館

第 13 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

鳥取展；1979 年 12 月 8 日－22 日　鳥取県立博物館　主催：文化庁・鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館〔巡回 4-1〕

現代美術の創造者たち〈昭和 20 年代の京都・大阪・神戸〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 10 月 10 日－11 月 9 日　鳥取県立博物館　主催：鳥取県立博物館

Variations 絵画の多様性 ●

2014 年 1 月 11 日－2 月 14 日　鳥取県立博物館　主催：鳥取県立博物館

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 10 月 25 日－11 月 3 日　鳥取県立博物館　主催：厚生労働省・鳥取県・鳥取市〔巡回 3-1〕

モダンアート再訪－ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●

欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」

2018 年 2 月 3 日－3 月 18 日　鳥取県立博物館　主催：鳥取県立博物館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-1〕

倉吉博物館

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 10 月 9 日－19 日　倉吉博物館　主催：厚生労働省・鳥取県・鳥取市〔巡回 3-1〕

米子市美術館

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

鳥取展；1983 年 10 月 30 日－11 月 13 日　米子市美術館　主催：文化庁・鳥取県教育委員会・米子市教育委員会〔巡回 5-2〕

辻晋堂・八木一夫・堀内正和〈1950 年代京都から：新たなる造形への出発〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 7 月 21 日－8 月 18 日　米子市美術館　主催：米子市美術館

変貌する世界――日本の現代絵画 1945 年以後 ●

欧文タイトル：「THE WORLD IN TRANSITION PAINTING IN JAPAN SINCE 1945」

1998 年 2 月 7 日－3 月 8 日　米子市美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館・鳥取県教育委員会・米子市美術館・米子市・米子市教育委員会〔巡回 2-2〕

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 9 月 6 日－28 日　米子市美術館　主催：厚生労働省・鳥取県・鳥取市〔巡回 3-1〕

島根県

島根県立博物館
第 2 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1968 年 9 月 22 日－10 月 6 日　松江・島根県立博物館　主催：文化庁・島根県教育委員会〔巡回 4-1〕

島根県立美術館
ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 ●
欧文タイトル：「ROUSSEAU ENVISAGED：Henri Rousseau and Japanese Artists」
2007 年 3 月 9 日－5 月 6 日　松江・島根県立美術館　主催：島根県立美術館　NHK 松江放送局・NHK ちゅうごくソフトプラン〔巡回 3-3〕

島根県立石見美術館
「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2014 年 12 月 13 日－2015 年 2 月 16 日　島根県立石見美術館　主催：「美少女の美術史」展実行委員会(青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館)〔巡回 3-3〕

岡山県

岡山県総合文化センター（岡山県天神山文化プラザ）
第 15 回名作展 日本の抽象絵画〈アンフォルメルを中心として〉●
欧文タイトル：「ABSTRACT ART IN JAPAN」
1977 年 2 月 16 日－3 月 6 日　岡山県総合文化センター　主催：岡山県教育委員会・岡山県総合文化センター・岡山県総合文化センター文化振興会
「美へのまなざし・交差する世界」●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2012 年 6 月 14 日－24 日　岡山県天神山文化プラザ　主催：岡山県天神山文化プラザ

岡山県立美術館
第 23 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
岡山展；1989 年 12 月 8 日－24 日　岡山県立美術館　主催：文化庁・岡山県立美術館・岡山県教育委員会・第 23 回現代美術選抜展岡山展実行委員会〔巡回 4-2〕
日本近現代木彫展〈継承・そして新たなる地平〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 2 月 14 日－3 月 15 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館
アート・ラビリンス〈90 年代美術への視座〉●
欧文タイトル：「Art Labyrinth A view point to Japanese Contemporary Art」
1994 年 2 月 18 日－3 月 21 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館
女はどう表現されてきたか ●
欧文タイトル：「Female Identity」
1996 年 10 月 9 日－11 月 10 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館
アート ラビリンス II 時の記憶 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1997 年 2 月 14 日－3 月 16 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館
ガーデン〈現代美術をとおしてみる後楽園〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2000 年 11 月 3 日－12 月 3 日　招待展・後楽園園内／アンデパンダン展・後楽園周辺河川敷　主催：おかやま後楽園 300 年祭実行委員会、共催：岡山県立美術館
戦後岡山の美術〈前衛達の姿〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2002 年 2 月 13 日－3 月 24 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館
Outspoken Glass 遠慮のないガラス－今日の日本から ●
2003 年 4 月 8 日－5 月 11 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館〔巡回 2-2〕
カルテックス 共通言語としてのテキスタイル〈共振する思考〉●
欧文タイトル：「CULTEX　textile as a cross-cultural language」
2010 年 12 月 21 日－2011 年 1 月 30 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館〔巡回 2-1〕
目の目 手の目 心の目〈体感の向こうに広がる世界〉●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2015 年 3 月 14 日－4 月 19 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館
有為自然――岡崎和郎、伊勢﨑淳、中西夏之〈すべてとつながり、場がうまれ、ともに生きる〉●
欧文タイトル：「The Three-Cornered World：Kazuo OKAZAKI, Jun ISEZAKI and Natsuyuki NAKANISHI　Connecting with the other, making place, coexisnting here」
2015 年 4 月 28 日－6 月 7 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館・山陽新聞社

倉敷市立美術館（倉敷市立展示美術館）
動く彫刻展――空間概念の変革をめざして ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1985 年 6 月 4 日－23 日　倉敷市立展示美術館　主催：倉敷市・倉敷市教育委員会、協力：現代彫刻センター
戦後美術－1960 年のアヴァンギャルド ●

欧文タイトル：「ART OF POSTWAR 1960'S AVANT-GARDE」

1996 年 4 月 20 日―5 月 26 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 7 月 28 日－9 月 10 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館・第 7 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-2〕

クロスロード〈共鳴する美術〉I・II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2007 年 7 月 27 日－9 月 2 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

共鳴する美術 2008 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 9 月 19 日－11 月 3 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館・岡山市デジタルミュージアム・奈義町現代美術館・岡山ネットワーク事業実行委員会

共鳴する美術 2009〈表現への挑戦〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 9 月 18 日－11 月 8 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

共鳴する美術 2010〈ストーリー・テリング〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 11 月 12 日－12 月 23 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

共鳴する美術 2011〈工芸の現在〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2011 年 10 月 29 日－12 月 18 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

高梁市歴史美術館

文化庁主催第 38 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

岡山展；2005 年 1 月 8 日－23 日　高梁市歴史美術館　主催：文化庁・岡山県・高梁市・高梁市教育委員会・高梁市歴史美術館〔巡回 3-2〕

奈義町現代美術館

アートの今・岡山 2007 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 1 月 6 日－2 月 3 日　奈義町現代美術館　主催：奈義町・奈義町教育委員会・奈義町現代美術館

アートの今・岡山 2015「dialogues 対話」●

欧文タイトル：「The Present of Art OKAYAMA 2015」

2016 年 1 月 9 日－2 月 7 日　奈義町現代美術館　主催：奈義町・奈義町教育委員会・奈義町現代美術館

広島県

広島県立美術館

第 5 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

広島展；1971 年 10 月 30 日－11 月 14 日　広島県立美術館　主催：文化庁・広島県教育委員会・中国新聞社〔巡回 4-3〕

世界の現代版画 25 年展 ●

欧文タイトル：「The World in Contemporary Prints 1955-1980」

1981 年 5 月 16 日－6 月 7 日　広島県立美術館　主催：広島県立美術館・朝日新聞社〔巡回 3-3〕

モナ・リザ 100 の微笑 ●

欧文タイトル：「Les 100 Sourires de Monna Lisa」

2000 年 7 月 15 日－8 月 20 日　広島県立美術館　主催：広島県立美術館・テレビ新広島・日本経済新聞社〔巡回 3-3〕

「日本画」の前衛 1938-1949 ●

欧文タイトル：「The Avant-Garde of “Nihonga” 1938-1949」

2011 年 2 月 22 日－3 月 27 日　広島県立美術館　主催：広島県立美術館・イズミテクノ・中国新聞社・京都国立近代美術館〔巡回 3-3〕

戦争と平和展〈広島・長崎被爆 70 周年〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2015 年 7 月 25 日－9 月 13 日　広島県立美術館　主催：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会〔巡回 2-1〕

広島市現代美術館

広島・ヒロシマ・HIROSHIMA〈国内外の制作委託作家 78 名によるヒロシマの心〉 ●

欧文タイトル：「Commissioned Work “Theme Hiroshima”」

1989 年 5 月 3 日－8 月 20 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉 ●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

1989 年 12 月 16 日－1990 年 1 月 21 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・毎日新聞社〔巡回 6-6〕

広島現代作家展 芸術表現としての“場” ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1993 年 2 月 27 日－3 月 28 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国放送・中国新聞社

アジアの創造力 ●

欧文タイトル：「Creativity in Asian Art Now」

第 1・2 部 1994 年 9 月 7 日－11 月 13 日／第 3 部 9 月 18 日－11 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ

光と影――うつろいの詩学 ●

欧文タイトル：「Light & shadow－the sense of ephemerality」

1994 年 11 月 26 日－1995 年 1 月 22 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」

1995 年 4 月 15 日－5 月 28 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・読売新聞大阪本社・広島テレビ・美術館連絡協議会〔巡回 4-2〕

戦後文化の軌跡 1945－1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

1995 年 6 月 14 日－7 月 21 日　広島市現代美術館　主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社〔巡回 4-2〕

ヒロシマ以後―現代美術からのメッセージ I〈被爆 50 周年記念展〉 ●

欧文タイトル：「Special Exhibition for the 50th Anniversary of the Hiroshima A-bombing：AFTER HIROSHIMA－Message from Contemporary Art」

第 1 部・1995 年 7 月 22 日－9 月 17 日　第 2 部・7 月 30 日－9 月 17 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」

1995 年 10 月 7 日－12 月 3 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社〔巡回 4-4〕

「表出する大地」展 ●

欧文タイトル：「Aspects of Land and Soil」

1997 年 2 月 8 日－3 月 30 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送

マンガの時代〈手塚治虫からエヴァンゲリオンまで〉 ●

欧文タイトル：「The MANGA Age」

1999 年 2 月 6 日－4 月 11 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ〔巡回 2-2〕

サイバー・アジア～メディア・アートの近未来形 ●

欧文タイトル：「Cyber Asia－media art in the near future」

2003 年 2 月 18 日－4 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送

絵画新世紀 ●

欧文タイトル：「New Generation Japanese Painters」

2003 年 6 月 21 日－8 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

松澤宥と九つの柱〈九相の未来 パーリ―・ニルヴァーナに向かって〉●

欧文タイトル：「“YUTAKA MATSUZAWA and NINE PILLARS” The Future of Nine Aspects：Towards the Parinirvana」

2004 年 12 月 18 日－2005 年 1 月 23 日　広島市現代美術館ミュージアム・スタジオ　主催：広島市現代美術館・「松澤宥と九つの柱」BOX アート実行委員会

そして、未来へ――ヒロシマ賞受賞作家のまなざし ●

欧文タイトル：「Toward the Future－through the Eyes of Artists awarded the Hiroshima Art Prize」

2005 年 4 月 16 日－6 月 26 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2006 年 10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館〔巡回 9-7〕

『ポートレート・セッション』展 ●

欧文タイトル：「Portrait Session」

2007 年 3 月 11 日－5 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

シェルター×サバイバル ファンタスティックに生き抜くための「もうひとつの家」●

欧文タイトル：「Shelter×Survival-Alternative homes for fantastic lives-」

2008 年 2 月 16 日－4 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

ドーム：そのモニュメントをめぐるアーティストの試み ●

欧文タイトル：「Dome Artist's Attempts around the Monument」

2008 年 6 月 28 日－8 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

どろどろ、どろん――異界をめぐるアジアの現代美術 ●

欧文タイトル：「DORODORO, DORON－The Uncanny World in Folk and Contemporary Art in Asia」

2009 年 3 月 14 日－5 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

一人快芸術 ●

欧文タイトル：「Art of Power Born of Pleasure」

2009 年 12 月 19 日－2010 年 2 月 21 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

もっと動きを：振付師としてのアーティスト ●

欧文タイトル：「More of an activity：the artist as choreographer」

2010 年 7 月 31 日－10 月 11 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

この素晴らしき世界：アジアの現代美術から見る世界の今 ●

欧文タイトル：「What a Wonderful World：Visions in contemporary Asian art of our world today」

2012 年 3 月 24 日－5 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
広島市現代美術館コレクションによる「サイト・ヒロシマ」展 ●
欧文タイトル：「Site＝Hiroshima」
2013 年 7 月 6 日－11 月 4 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館
サイト〈場所の記憶、場所の力〉 ●
欧文タイトル：「ART ARCH HIROSHIMA 2013 Site：Places of Memories, Spaces with Potential」
2013 年 7 月 20 日－10 月 14 日　広島市現代美術館　主催：広島県美術館活性化対策事業実行委員会・中国新聞社
スリーピング・ビューティー ●
欧文タイトル：「SLEEPING BEAUTY」
2014 年 5 月 17 日－7 月 21 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 1 部 ライフ＝ワーク ●
欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 1 LIFE＝WORK」
2015 年 7 月 18 日－9 月 27 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 2 部 俯瞰の世界図 ●
欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 2 A BIRD'S-EYE VIEW OF THE WORLD」
2015 年 10 月 10 日－12 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 3 部 ふぞろいなハーモニー ●
欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 3 DISCORDANT HARMONY」
2015 年 12 月 19 日－2016 年 3 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
モダンアート再訪－ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●
欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」
2018 年 6 月 2 日－8 月 26 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-3〕

呉市立美術館
第 16 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
広島展；1982 年 11 月 20 日－12 月 5 日　呉市立美術館　主催：文化庁・広島県教育委員会・呉市文化振興財団・呉市立美術館〔巡回 4-2〕
動く彫刻展 4 人の作家からの贈りもの ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1984 年 10 月 12 日－11 月 4 日　呉市立美術館　主催：呉市立美術館・呉市文化振興財団・

中国新聞社

現代のやきもの展〈新しい造形への招待〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1985 年 6 月 14 日－7 月 7 日　呉市立美術館　主催：呉市立美術館・呉市文化振興財団・中国新聞社

たけはら美術館

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

広島展；1996 年 11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館　主催：文化庁・広島県教育委員会・竹原市・竹原市教育委員会・たけはら美術館〔巡回 6-2〕

東広島市立美術館

現代の美術・今日の情況展〈この地方で、いま…〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 2 月 21 日－3 月 22 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

現代の美術・今日の情況展 II〈この地方で、いま…〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 3 月 9 日－31 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

現代の版画・新時代の展望 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PRINTS：A VIEW OF THE NEW AGE」

1993 年 2 月 20 日－3 月 28 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

現代の美術・今日の情況展 III〈この地方で、いま…〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1995 年 3 月 4 日－29 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

ふくやま美術館

こころの対話〈芸術における精神的なもの〉●

欧文タイトル：「Spiritual in Art」

1993 年 2 月 27 日－3 月 28 日　ふくやま美術館　主催：ふくやま美術館・福山市教育委員会・中国新聞社

小さな彫刻 大きな宇宙 ●

欧文タイトル：「Small Sculptures」

1994 年 1 月 4 日－2 月 6 日　ふくやま美術館　主催：ふくやま芸術文化振興財団ふくやま美術館・福山市教育委員会・中国新聞社・中国放送

山口県

山口県立美術館

山口の現代美術 I ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1981 年 4 月 18 日－5 月 10 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

現代の陶芸 I「いま、土と火でなにが可能か」展 ●

欧文タイトル：「CLAY WORK NOW I　WHAT CAN BE DONE WITH CLAY AND FIRE」

1982 年 4 月 17 日－5 月 9 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

中本達也と戦後美術の一断面 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1982 年 7 月 24 日－8 月 22 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

山口の現代美術 II ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1983 年 4 月 16 日－5 月 8 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

近・現代日本の彫刻 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1984 年 1 月 6 日－2 月 12 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

現代の陶芸 II いま、大きなやきものになにが見えるか ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1984 年 10 月 13 日－11 月 11 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

山口の現代美術 III ●

欧文タイトル：「'85 CONTEMPORARY ART, YAMAGUCHI」

1985 年 6 月 14 日－7 月 7 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

戦後日本画の一断面〈模索と葛藤〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 1 月 7 日－2 月 9 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

THE NINE〈デザイン・ナウ――9 人のクリエイターたち〉●

欧文タイトル：「Wildness：Toward Their Own Natures An Aspect of Contemporary Art」

1986 年 6 月 27 日－7 月 27 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

現代の陶芸 III いま、やきもの色に心ときめくか ●

欧文タイトル：「CLAY WORK NOW III '87 YAMAGUCHI」

1987 年 2 月 28 日－3 月 22 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

山口の現代美術 IV 今日の立体〈素材・構造・イメージ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 5 月 19 日－6 月 14 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

山口の現代美術 V ニュージャパニーズスタイル ペインティング〈日本画財の可能性〉●

欧文タイトル：「NEW JAPANESE-STYLE PAINTING――Possiblity of Nihonga Pigments――」

1988 年 12 月 2 日－25 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

11 人の 1965～75〈日本の写真は変えられたか〉●

欧文タイトル：「ELEVEN PHOTOGRAPHERS IN JAPAN 1965～75」

1989 年 1 月 6 日－2 月 12 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

戦後写真・再生と展開 ●

欧文タイトル：「TWELVE PHOTOGRAPHERS IN JAPAN 1945～55」

1990 年 7 月 20 日－8 月 26 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

プリンテッド・アート展〈版画と写真の臨界点から――〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 11 月 2 日－12 月 2 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

戦後洋画と福島繁太郎――昭和美術の一側面 ●

欧文タイトル：「FUKUSHIMA Shigetaro and his Role in Post-War Painting in Japan」

1991 年 6 月 28 日－8 月 4 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

写真の 1955～65〈自立した映像群〉●

欧文タイトル：「PHOTOGRAPHS IN JAPAN 1955～65」

1991 年 11 月 28 日－12 月 23 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

下関市立美術館

下関の美術 戦後世代の 12 人 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 2 月 18 日－3 月 9 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●

欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」

1988 年 2 月 11 日－3 月 21 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館・読売新聞西部本社・KRY 山口放送・美術館連絡協議会〔巡回 6-6〕

メキシコ現代版画と日本〈カイロン版画工房コレクションを中心に〉●

欧文タイトル：「México y Japón en la estampa contemporánea」

1998 年 4 月 23 日－5 月 31 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・メキシコ合衆国外務省〔巡回 2-2〕

戦後美術と下関 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 2 月 9 日－3 月 21 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館

周南市美術博物館（徳山市美術博物館）

第 29 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

山口展；1995 年 11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館　主催：文化庁・山口県教育委員会・徳山市美術博物館〔巡回 6-2〕

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 7 月 11 日－9 月 21 日　周南市美術博物館　主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・周南市美術博物館・毎日新聞社・TYS テレビ山口〔巡回 3-1〕

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 11 月 26 日－2006 年 1 月 15 日　周南市美術博物館　主催：周南市美術博物館・第 6 回共同巡回展実行委員会・朝日新聞社・YAB 山口朝日放送〔巡回 4-4〕

三隅町立香月美術館

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

2004 年 1 月 25 日－3 月 28 日　三隅町立香月美術館　主催：三隅町立香月美術館〔巡回 6-2〕

公立美術館 四国

徳島県

徳島県立近代美術館

ピカソと日本 ●

欧文タイトル：「Picasso and Japan」

1990 年 11 月 3 日－12 月 9 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

現代美術'91 素材はいろいろ ●

欧文タイトル：「ART SCEN 1991　Each Material, Each Expression」

1991 年 8 月 10 日－10 月 6 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

50 年後〈彼らはなぜ戦争を表現するのか〉●

欧文タイトル：「50 years after　The artists who have no experience about the war.」

1995 年 10 月 17 日－12 月 17 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

自然を見つめる作家たち〈現代日本の自然表現と伝統〉●

欧文タイトル：「Artists and Nature-Expression of Nature in Japan Today；Traditional and Contemporary Ways」

2002 年 1 月 26 日－3 月 17 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

本と美術－20 世紀の挿絵本からアーティスツ・ブックスまで ●

欧文タイトル：「Books and Art in 20th Century」

2002 年 7 月 6 日－8 月 25 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞

社・四国放送

現代アートによる徳島再見 ●

欧文タイトル：「TOKUSHIMA REDISCOVERY BY FINE ART」

2008 年 2 月 9 日－3 月 23 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

特別展－未来に伝えたい－学芸員おすすめアート ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 9 月 13 日－10 月 13 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

おもろいやつら 人間像で見る関西の美術 ●

欧文タイトル：「omoroi-yatsura」

2009 年 7 月 18 日－8 月 30 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

徳島県郷土文化会館

第 7 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

徳島展；1973 年 9 月 29 日－10 月 14 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 4-1〕

第 11 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

徳島展；1977 年 12 月 9 日－25 日　徳島県郷土文化会館 主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 4-2〕

第 16 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

徳島展；1982 年 12 月 10 日－26 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 4-3〕

第 20 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

徳島展；1986 年 11 月 29 日－12 月 14 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会〔巡回 5-2〕

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 12 月 3 日－24 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・徳島県教育委員会・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 5-2〕

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

徳島展；1991 年 1 月 6 日－20 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 5-3〕

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

徳島展；1994 年 1 月 21 日－2 月 6 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 5-4〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館〔巡回 6-4〕

香川県

香川県文化会館

新しい世界の美術〔第 1 回〕 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART OF THE WORLD」

1966 年 10 月 8 日－21 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館

第 4 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

香川展；1970 年 10 月 10 日－25 日　高松・香川県文化会館　主催：主催：文化庁・香川県・香川県文化会館〔巡回 4-2〕

新しい世界の美術 ●

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART OF THE WORLD」

1971 年 10 月 9 日－24 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館

新しい日本の美術 5 人展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1974 年 9 月 28 日－10 月 20 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県教育委員会・香川県文化会館、協力：東京画廊

彫刻 5 人展〈藤川勇造とその流れ〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1976 年 10 月 23 日－11 月 7 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館

第 17 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

香川展；1983 年 11 月 19 日－12 月 4 日　香川県文化会館　主催：文化庁・香川県教育委員会・香川県文化会館〔巡回 5-3〕

高松市美術館

現代絵画の一断面 くり返しの構造展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 2 月 4 日－26 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

1989 年 6 月 24 日－7 月 23 日　高松市美術館　主催：高松市美術家・毎日新聞社〔巡回 6-3〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2007 年 7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館　主催：高松市美術館・西日本放送〔巡回 9-9〕

コレクション＋(プラス)ひびきあう音・色・形 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2008 年 7 月 25 日－9 月 7 日　高松市美術館　主催：高松市美術館、共催：NHK 高松放送局

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00〈時をつなぐビジョン〉●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.00 Vision of Captured Time」

2009 年 11 月 20 日－12 月 20 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01〈もうひとつの・カーニバル〉●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.01 Another Carnival」

2010 年 9 月 18 日－10 月 24 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.02 贈り物と交換 ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.02　Gift and Exchange」

2012 年 7 月 28 日－9 月 9 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.03 DAYDREAMS／夢のゆくえ ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.03　DAYDREAMS」

2013 年 10 月 26 日－12 月 1 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.04 リアルをめぐって ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.04　Regarding the Reality」

2014 年 5 月 27 日－6 月 22 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.05 見えてる風景／見えない風景 ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.5　Visible / Invisible Sceneries」

2016 年 10 月 8 日－11 月 6 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.06 物語る物質 ●

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.6 / Materials That Tell Stories」

2017 年 10 月 22 日－11 月 26 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

起点としての 80 年代 ●

欧文タイトル：「Starting Points：Japanese Art of the ’80s」

2018 年 11 月 3 日－12 月 16 日　高松市美術館　主催：高松市美術館〔巡回 3-2〕

坂出市民美術館

第 27 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

香川展；1994 年 2 月 10 日－24 日　坂出市民美術館　主催：文化庁・香川県教育委員会・坂出市教育委員会〔巡回 5-5〕

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

みずのき寮からの発信〈言葉はいらない 魂との出会い〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 10 月 24 日－2000 年 1 月 10 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

風景遊歩 Sight-cruising ●

欧文タイトル：「Cruising Landscapes」

2005 年 3 月 13 日－6 月 12 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

奏でる身体 ●

欧文タイトル：「The Body Sings of Life」

2007 年 4 月 22 日－6 月 24 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

時間の形 ●

欧文タイトル：「FORM of TIME」

2008 年 10 月 26 日－2009 年 1 月 12 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

拡張するファッション ●

欧文タイトル：「You reach out－right now－for something：Questioning the Concept of Fashion」

2014 年 6 月 14 日－9 月 23 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団〔巡回 2-2〕

愛媛県

愛媛県美術館（愛媛県立美術館）

第 11 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

愛媛展；1978 年 1 月 7 日－22 日　松山・愛媛県立美術館 主催：文化庁・愛媛県立美術館〔巡回 4-3〕

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

1999 年 2 月 5 日－3 月 21 日　松山・愛媛県美術館　主催：愛媛県美術館・読売新聞大阪本社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会〔巡回 4-4〕

あるコレクターがみた戦後日本美術 ●

欧文タイトル：「Through a Collector's Eye：Japanese Art after 1945」

2001 年 12 月 7 日－2002 年 1 月 14 日　松山・愛媛県美術館　主催：愛媛県美術館〔巡回 2-2〕

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」 ●

欧文タイトル：「Sunouchi Toru and Gendai Gallery：The Eye and Spirit of the Showa Period」

2014 年 1 月 25 日－3 月 16 日　松山・愛媛県美術館(第 1 会場)・町立久万美術館(第 2 会場)　主催：「洲之内徹展」実行委員会(愛媛県・町立久万美術館・愛媛新聞社・テレビ愛媛)〔巡回 3-2〕

今治市河野美術館

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

愛媛展；1991 年 2 月 14 日－28 日　今治市河野美術館　主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市河野美術館〔巡回 5-5〕

第 32 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

愛媛展；1998 年 12 月 13 日－27 日　今治市河野美術館　主催：文化庁・愛媛県・今治市教育委員会・今治市河野美術館〔巡回 4-2〕

文化庁主催第 37 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

愛媛展；2003 年 12 月 13 日－28 日　今治市河野美術館　主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市・今治市教育委員会・今治市河野美術館〔巡回 2-1〕

八幡浜市民ギャラリー

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 10 月 17 日－11 月 20 日　八幡浜市民ギャラリー　主催：メセナ八幡浜・第 6 回共同巡回展実行委員会〔巡回 4-3〕

高知県

高知県立美術館

ark of ART 美術の方舟 ●

1993 年 11 月 3 日－23 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館

TOSA-TOSA ’95 クールの時代 美術のノイズ・ミュージック ●

欧文タイトル：「TOSA-TOSA ’95　COOL AGE, NOISE MUSIC OF ART」

1995 年 2 月 16 日－3 月 19 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

TOSA－TOSA ’99 紙 ●

欧文タイトル：「TOSA－TOSA ’99　paper」

1999 年 2 月 14 日－3 月 22 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉　現代陶芸・14 人の尖鋭たち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 3 月 2 日－4 月 20 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

作家からの贈りもの ●

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

2004 年 5 月 30 日－7 月 25 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社〔巡回 6-4〕

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2007 年 5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社〔巡回 9-5〕

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉 ●

欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」

2015 年 4 月 5 日－6 月 7 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-4〕

高知県立郷土文化会館

第 4 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

高知展；1970 年 11 月 7 日－15 日　高知県立郷土文化会館　主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 4-3〕

第 11 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

高知展；1977 年 11 月 19 日－12 月 4 日　高知県立郷土文化会館 主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 4-1〕

ポリクロスアート’88 展 多極交叉芸術祭 ●

欧文タイトル：「POLYCROSS ART ’88」

1988 年 3 月 17 日－31 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知県立郷土文化会館・高知市文化振興事業団

ポリクロスアート展 2 ●

欧文タイトル：「POLYCROSS ART Exhibition」

1989 年 5 月 18 日－6 月 4 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知県立郷土文化会館・高知市文化振興事業団

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 11 月 10 日－26 日　高知県立郷土文化会館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 5-1〕

第 24 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

高知展；1991 年 1 月 25 日－2 月 10 日　高知県立郷土文化会館　主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館〔巡回 5-4〕

ポリクロスアート'91 展 多極交差芸術祭 ●

欧文タイトル：「POLY CROSS ART FESTIVAL：POLY CROSS ART EXHIBITION」

1991 年 12 月 10 日－20 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知市文化振興事業団・高知県立郷土文化会館、主管：ポリクロスアート展実行委員会

ポリクロスアート'93 展 現代美術の様相と断層から ●

欧文タイトル：「POLYCROSS ART EXHIBITION '93」

1993 年 9 月 16 日－25 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知市文化振興事業団、主管：ポリクロスアート展実行委員会、共催：高知県立郷土文化会館

公立美術館 九州・沖縄

福岡県

福岡県立美術館

現代美術の展望―'85 FUKUOKA 変貌するイマジネーション ●

欧文タイトル：「Prospect of Contemporary Art- '85 FUKUOKA：LIVE IMAGINATION」

1985 年 11 月 3 日－28 日　福岡県立美術館　主催：福岡県・福岡県教育委員会・福岡県立美術館　シリーズ第 1 回展

現代美術の展望―'90 FUKUOKA 変貌する布〈意味を消された現場から〉 ●

欧文タイトル：「The Forceful Fiber：Five Artists from The Forefront」

1990 年 2 月 27 日－3 月 25 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館

現代美術の展望―'94 Fukuoka 七つの対話〈スタンスをめぐって〉 ●

欧文タイトル：「Prospect for Contemporary Art- Fukuoka '94：Seven Attitudes, Seven Dialogues」

1994 年 10 月 5 日－11 月 5 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館　シリーズ第 3 回展

戦後文化の軌跡 1945-1995 ●

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

1995 年 10 月 8 日－11 月 5 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館・目黒区美術館・広島市現代美術館・兵庫県立近代美術館・朝日新聞社〔巡回 4-4〕

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1997 年 12 月 4 日－23 日　福岡県立美術館　主催：朝日新聞社・福岡県立美術館〔巡回 3-3〕

詩人の眼・大岡信コレクション ●

欧文タイトル：「The Poet's Eyes：Makoto Ooka and his Collection」

2006 年 11 月 3 日－12 月 10 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館、朝日新聞社、九州朝日放送〔巡回 4-3〕

福岡現代美術クロニクル 1970-2000 ●

欧文タイトル：「Situations and Exchanges：Fukuoka Contemporary Art Chronicle 1970-2000」

2013 年 1 月 5 日－2 月 11 日　福岡県立美術館、福岡市美術館　主催：福岡県立美術館・福岡市美術館〔福岡市美術館と同時開催〕

福岡県文化会館美術館

第 5 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

福岡展；1971 年 11 月 23 日－12 月 5 日　福岡県文化会館美術館　主催：文化庁・福岡県教育委員会・福岡県文化会館〔巡回 4-4〕

福岡市美術館

平面絵画――その多様化展 ●

欧文タイトル：「Variations on planar paintings」

1980 年 10 月 28 日－12 月 21 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

アジア現代美術展〈アジア美術展第 2 部〉 ●

欧文タイトル：「Festival：Contemporary Asian Art Show, 1980 Asian Artists Exhibition part II」

1980 年 11 月 1 日－30 日　福岡市美術館　主催：福岡市・福岡市教育委員会・福岡市美術館・アジア美術展実行委員会

明日への造形－九州 第 1 回展 変換と差異――複製技術社会の中で ●

欧文タイトル：「1st "Forms For Tomorrow－Kyūshū" transformations and differences」

1981 年 3 月 24 日－4 月 26 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

フォトグラム展 ●

欧文タイトル：「photograms」

1982 年 2 月 2 日－28 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

明日への造形＝九州 第 2 回展　新しいイメージの展開――平面性と現代の図像 ●

欧文タイトル：「EXPANSION for New Image—planar and contemporary iconograph」

1982 年 3 月 2 日－28 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

素材と空間展 ●

欧文タイトル：「Materials and Spaces」

1983 年 2 月 1 日－27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

明日への造形－九州 第 3 回展 自然との新たなかかわりを求めて ●

欧文タイトル：「3rd “Forms For Tomorrow－Kyūshū”」

1983 年 3 月 1 日－27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

明日への造形－九州　第 4 回展〈版〉画の探究。●

欧文タイトル：「4TH FORMS FOR TOMORROW－KYŪSHŪ Inquiry about〈HAN〉ga」

1984 年 2 月 28 日－3 月 25 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

明日への造形－九州　第 5 回展 芸術とテクノロジー ●

欧文タイトル：「5TH　“Forms for Tomorrow－Kyūshū” Art and Technology」

1985 年 1 月 15 日－2 月 24 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

第 2 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「2nd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」

1985 年 11 月 2 日－12 月 1 日　福岡市美術館　主催：第 2 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社

明日への造形－九州 第 6 回展 色彩の豊饒 ●

欧文タイトル：「6th “Forms for Tomorrow－Kyūshū” Richness of Colors」

1986 年 2 月 18 日－3 月 30 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

明日への造形－九州 第 7 回展 イメージの突然、変異――浮遊と中断 ●

欧文タイトル：「7th “FORMS FOR TOMORROW－KYŪSHŪ” SUDDEN SUSPENSION OF IMAGES」

1987 年 2 月 17 日－3 月 29 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

流動する美術－I 発熱する表面 ●

欧文タイトル：「ART IN FLUX－I Fererring Surface」

1987 年 9 月 15 日－11 月 1 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

九州派展〈反芸術プロジェクト〉●

欧文タイトル：「GROUP KYUSHU-HA：ANTI-ART PROJECT」

1988 年 9 月 23 日－10 月 10 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

第 3 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「3rd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」

1989 年 7 月 6 日－8 月 13 日　福岡市美術館　主催：第 3 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本〔巡回 2-1〕

流動する美術－II メディアの複合 音と造形 ●

欧文タイトル：「Art in Flux II　COMBINED MEDIA SOUND AND FORM」

1990 年 10 月 23 日－12 月 9 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

流動する美術－III ネオ・ダダの写真 ●

欧文タイトル：「Art in Flux III　NEO-DADA Witnessed：Photo Documents」

1993 年 11 月 23 日－1994 年 2 月 6 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

第 4 回アジア美術展 ●

欧文タイトル：「4th Asian Art Show, FUKUOKA　REALISM ASAN ATTITUDE」

福岡展；1994 年 9 月 10 日－10 月 16 日　福岡市美術館　主催：第 4 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本〔巡回 4-1〕

流動する美術－IV ああ、「日本の風景」？〈大和塀と案内嬢の部屋〉 ●

欧文タイトル：「Art in Flux IV　Oh, My‘Japanese Landscapes’?」

1996 年 9 月 3 日－11 月 4 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

流動する美術－V 兆し｜徴し｜癒し?の造形〈障害者アートの一側面を考える〉 ●

欧文タイトル：「Art in Flux V　Art of Promise / Sign / Cure? Catch a Glimpse of One Aspect of Art Created by Disabled Artists」

1998 年 2 月 3 日－3 月 29 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

福岡美術戦後物語〈ふるさと美術誌―福岡市を中心に〉　福岡市美術館編 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 8 月 8 日－9 月 6 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本

流動する美術－VI 私だけの MUSEUM ●

欧文タイトル：「Art in Flux VI　Museum for nothing but me」

1998 年 10 月 13 日－12 月 13 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

水晶の塔をさがして〈現代アートが開く「私」の世界〉 ●

欧文タイトル：「“Secret Values”-5 Contemporary Artists Searching for the Quartz Tower」

2000 年 10 月 7 日－11 月 5 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本

流動する美術－VII 視覚を越えて・巡りて〈日高理恵子/光島貴之の絵画〉 ●

欧文タイトル：「Art in Flux-VII　Beyond & Around the Visual Perception」

2001 年 1 月 5 日－3 月 25 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

流動する美術－VIII 都市風景のメカニズム〈伊奈英次・金村修の写真〉 ●

欧文タイトル：「Art in Flux VIII　Inside Out：Mechanism of Cityscapes」

2003 年 10 月 15 日－12 月 27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

福岡現代美術クロニクル 1970-2000 ●

欧文タイトル：「Situations and Exchanges：Fukuoka Contemporary Art Chronicle 1970-2000」

2013 年 1 月 5 日－2 月 11 日　福岡県立美術館、福岡市美術館　主催：福岡県立美術館・福岡市美術館〔福岡県立美術館と同時開催〕

想像しなおし ●

欧文タイトル：「IN SEARCH OF CRITICAL IMAGINATION」

2014 年 1 月 5 日－2 月 23 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・TVQ 九州放送

歴史する! Doing history! ●

2016 年 8 月 2 日－31 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

福岡アジア美術館

アニメイト。〈日韓現代アートに見るアニメ的なもの〉 ●

欧文タイトル：「Animate。ANIME in Japanese and Korean Contemporary Art」

2005 年 2 月 3 日－3 月 29 日　福岡アジア美術館　主催：福岡アジア美術館

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」

2012 年 9 月 1 日－10 月 21 日　福岡アジア美術館　主催：福岡アジア美術館・西日本新聞社・テレビ西日本〔巡回 4-1〕

北九州市立美術館

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 7 月 1 日－26 日　北九州市立美術館　主催：北九州市教育委員会・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社〔巡回 4-3〕

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉 ●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

1989 年 11 月 4 日－26 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館・毎日新聞社〔巡回 6-5〕

1st. 北九州ビエンナーレ ●

欧文タイトル：「1st. Kitakyushu Biennale」

1990 年 10 月 18 日－11 月 11 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

2nd 北九州ビエンナーレ クロノスの仮面 Aspects of Time ●

欧文タイトル：「2nd Kitakyushu Biennale　Masks of Chronos」

1993 年 2 月 20 日－3 月 21 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

3rd 北九州ビエンナーレ クイントエッセンス ●

欧文タイトル：「3rd KITAKYUSHU BIENNALE QUINTESSENCE」

1994 年 10 月 15 日－11 月 27 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉 ●

欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」

1995 年 8 月 19 日－9 月 24 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館・読売新聞西

部本社・美術館連絡協議会〔巡回 4-3〕

4th 北九州ビエンナーレ〈感覚の庭〉●

欧文タイトル：「4th KITAKYUSHU BIENNALE-Garden of Sences-」

1997 年 3 月 1 日－30 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

5th 北九州ビエンナーレ 繰り返しと連続性の美学 ●

欧文タイトル：「5th Kitakyushu Biennale　The Aesthetics of Repetition and Continuity」

1999 年 2 月 27 日－3 月 28 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

6th 北九州ビエンナーレ〈ことのはじまり〉●

欧文タイトル：「The 6th Kitakyushu Biennale　The Beginning of Things」

2001 年 3 月 3 日－25 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

7th 北九州ビエンナーレ ART FOR SALE：アートと経済の恋愛学 ●

欧文タイトル：「7th Kitakyushu Biennale　ART FOR SALE：Intimacy between Aesthetics and Economy」

2002 年 12 月 22 日－2003 年 2 月 2 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

アート・オブ・メモリー〈記憶をめぐる 4 つのレシピ〉●

欧文タイトル：「Art of Memory 4 Recipes for Mnemosyne」

2015 年 1 月 4 日－2 月 22 日　北九州市立美術館　主催：アート・オブ・メモリー展実行委員会(北九州市立美術館・毎日新聞社・TVQ 九州放送)

北九州市立美術館分館

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉●

欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」

2013 年 10 月 5 日－11 月 10 日　北九州市立美術館分館　主催：北九州市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・TVQ 九州放送〔巡回 5-4〕

1968 年 激動の時代の芸術 ●

欧文タイトル：「1968：Art in the Turbulent Age」

2018 年 12 月 1 日－2019 年 1 月 27 日　北九州市立美術館分館　主催：1968 年展実行委員会(北九州市立美術館・読売新聞社・FBS 福岡放送)・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

北九州市立八幡美術館

第 3 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

九州展；1969 年 11 月 20 日－12 月 2 日　北九州市立八幡美術館　主催：文化庁・福岡県教育委員会・北九州市教育委員会

北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いのちのたび博物館)

メタルズ!〈変容する金属の美〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2014 年 11 月 1 日－12 月 23 日　北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いのちのたび博物館)　主催：北九州市立自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)・北九州イノベーションギャラリー(KIGS)・メタルズ!実行委員会・毎日新聞社〔巡回 4-3〕

田川市美術館

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

福岡展；1995 年 2 月 9 日－26 日　田川市美術館　主催：文化庁・福岡県教育委員会・田川市美術館〔巡回 5-5〕

マンドラゴラの実〈現代美術が写す、筑豊〉 ●

欧文タイトル：「“Love Magic？”」

1997 年 10 月 30 日－11 月 24 日　田川市美術館　主催：田川立美術館

「沸点」アーティストの反骨精神 ●

欧文タイトル：「FUTTEN」

2016 年 11 月 18 日－12 月 25 日　田川市美術館　主催：田川立美術館・西日本新聞社

「沸点の現象」アーティストの反骨精神 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2018 年 1 月 7 日－2 月 4 日　田川市美術館　主催：田川立美術館

佐賀県

唐津市近代図書館

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉 ●

欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」

2006 年 8 月 8 日－9 月 10 日　唐津市近代図書館　主催：唐津市近代図書館〔巡回 4-2〕

長崎県

長崎県立美術博物館

第 6 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

長崎展；1972 年 10 月 29 日－11 月 12 日　長崎県立美術博物館　主催：文化庁・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館〔巡回 4-2〕

第 10 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

長崎展；1976 年 12 月 7 日－19 日　長崎県立美術博物館　主催：文化庁・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館〔巡回 4-3〕

第 30 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

長崎展；1996 年 12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館　主催：文化庁・長崎県・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館〔巡回 6-3〕

長崎県美術館

「長崎の美術 1 写真／長崎」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 4 月 23 日－6 月 26 日　長崎県美術館　主催：長崎県美術館

デジタル遊園地〈ネットワーキングアートの未来〉 ●

欧文タイトル：「The Future of Communication」

2006 年 7 月 29 日－9 月 3 日　長崎県美術館　主催：長崎県美術館

戦争と平和展〈広島・長崎被爆 70 周年〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2015 年 9 月 20 日－10 月 25 日　長崎県美術館　主催：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会〔巡回 2-2〕

熊本県

熊本県立美術館

第 10 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

熊本展；1976 年 11 月 18 日－12 月 1 日　熊本県立美術館　主催：文化庁・熊本県教育委員会・熊本県立美術館〔巡回 4-2〕

熊本の現代作家 9 人展 ●

欧文タイトル：「L'EXPOSITION DES 9 PEINTRES CONTEMPORAINS DE KUMAMOTO」

1977 年 6 月 17 日－7 月 17 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

現代のイメージ 平面と空間 ●

欧文タイトル：「IMAGE OF TODAY　PLANE / SPACE / ILLUSION」

1986 年 12 月 6 日－24 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館

わが国の現代絵画〈前衛への視点から〉 ●

欧文タイトル：「PAINTINGS IN JAPANESE CONTEMPORARY ART from the Viewpoint for 'Avant-garde'」

1987 年 10 月 21 日－11 月 23 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

現代のイメージ III 構築と解体のヴィジョン ●

欧文タイトル：「IMAGE OF TODAY III：VISION BEYOND CONSTRUCTION FOR DECONSTRUCTION」

1989 年 3 月 1 日－26 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 3 月 4 日－25 日　熊本県立美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・熊本県教育委員会・熊本県立美術館〔巡回 5-5〕

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」

1994 年 9 月 27 日－10 月 30 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本朝日放送・朝日新聞社〔巡回 4-1〕

現代のイメージ IV 空間との対話〈広がりゆく立体造形――実在と不在のはざまで〉 ●

欧文タイトル：「Image of Today IV　Vision between Space and Existence」

2000 年 1 月 27 日－3 月 3 日　熊本県立美術館・分館　主催：熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社

現代のイメージ V 絵画の現在進行形〈絵が解き放たれるとき〉 ●

欧文タイトル：「Image of Today V Painting beyond Formalism for Interactionism」

2001 年 3 月 8 日－4 月 8 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社

熊本市現代美術館

ATTITUDE2002 熊本国際美術展〈心の中の、たったひとつの真実のために〉 ●

和文タイトル：「アティテュード 2002」

2002 年 10 月 12 日－12 月 8 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、企画：熊本市現代美術館

「九州力－世界美術としての九州」展 ●

欧文タイトル：「Kyushu-Ryoku」

2003 年 2 月 15 日－4 月 6 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社

アルス・クマモト－熊本力の現在 ●

欧文タイトル：「Ars Kumamoto」

2006 年 12 月 23 日－2007 年 3 月 4 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

ATTITUDE2007 人間の家〈真に歓喜に値するもの〉 ●

欧文タイトル：「ATTITUDE2007 The House of Human Beings Authentically Blessed Jubilance」

2007 年 7 月 21 日－10 月 14 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・RKK 熊本放送

メモリアーまなざしの軌跡 ●

欧文タイトル：「memoria-casting a gaze」

2008 年 7 月 19 日－10 月 19 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・RKK 熊本放送

花・風景 モネと現代日本のアーティストたち〈大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〉●

欧文タイトル：「FLOWERS AND LANDSCAPE Claude Monet and Young Japanese Artists：Shinji Ohmaki, Mika Ninagawa, and Satoko Nachi」

2009 年 7 月 4 日－9 月 23 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・KAB 熊本朝日放送

祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉●

欧文タイトル：「CELEBRATORY TEXTILES FROM EDO TO THE PRESENT DAY」

2010 年 4 月 10 日－6 月 13 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・熊本放送

へるんさんの秘めごと〈小泉八雲生誕 160 年記念・来日 120 年記念〉●

欧文タイトル：「The Secret of Lafcadio Hearn」

2010 年 6 月 26 日－9 月 5 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、TKU テレビ熊本

熊本アーティスト・インデックス ●

欧文タイトル：「KUMAMOTO ARTISTS INDEX」

2010 年 7 月 31 日－9 月 12 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団

水・火・大地 創造の源を求めて ●

欧文タイトル：「Water, Fire, and Earth the source of creativity」

2011 年 4 月 9 日－6 月 12 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・テレビ熊本

「魔法の美術館 みんなで楽しむ光のアート」展 ●

欧文タイトル：「Magic Art Museum：Light Art Is Fun for Everyone」

2013 年 7 月 6 日－9 月 8 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・テレビ熊本

STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」●

欧文タイトル：「STANCE or DISTANCE?　My Connection with the World」

2015 年 10 月 10 日－12 月 6 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市現代美術館・熊本日日新聞社・KAB 熊本朝日放送

高橋コレクションの宇宙 ●

欧文タイトル：「The Cosmos of the Takahashi Collection」

2017 年 4 月 8 日－6 月 11 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市現代美術館・熊本日日新聞社・熊本朝日放送

大分県

大分県立芸術会館

第 12 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

大分展；1978 年 11 月 21 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館 主催：文化庁・大分県・大分県教育委員会・大分県立芸術会館〔巡回 4-2〕

手で見る美術展 ●

欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」

1989 年 11 月 14 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館　主催：大分県・大分県教育委員会・大分県立芸術会館・西武美術館・大分合同新聞社、企画協力：社会福祉法人桜雲会

大分県立美術館

生への言祝ぎ〈インスタレーション、十二の柱＋出会いのパフォーマンス〉 ●

欧文タイトル：「Auspicious Celebration of Lives　Installation of 12 Pillars＋Performances of Encounters」

2016 年 6 月 11 日－7 月 18 日　大分県立美術館　主催：生への言祝ぎ展実行委員会・大分県立美術館・大分県芸術文化スポーツ振興財団

大分市美術館

大分現代美術展 2002 アート循環系サイト ●

欧文タイトル：「Cyclical Art Site Contemporary Art Exhibition in Oita 2002」

2002 年 5 月 25 日－7 月 14 日　大分市美術館　主催：大分市美術館

戦後大分の美術 I スバル〈一断面〉展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 2 月 8 日－3 月 23 日　大分市美術館　主催：大分市美術館

戦後大分の美術 II 大分前衛美術会／7 人の会〈その軌跡をたどって〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 9 月 21 日－11 月 7 日　大分市美術館　主催：大分市美術館

宮崎県

宮崎県総合博物館

第 9 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

宮崎展；1975 年 10 月 21 日－11 月 4 日　宮崎県総合博物館　主催：文化庁・宮崎県県教育委員会・宮崎県総合博物館〔巡回 4-2〕

瑛九とその周辺 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 9 月 6 日－28 日　宮崎県総合博物館　主催：宮崎県総合博物館・宮崎市・宮崎県教

育委員会・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 1 月 9 日－28 日　宮崎県総合博物館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県総合博物館〔巡回 5-3〕

第 28 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

宮崎展；1995 年 1 月 20 日－2 月 5 日　宮崎県総合博物館　主催：文化庁・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県総合博物館〔巡回 5-4〕

宮崎県立美術館

ふれあい彫刻展 ●

欧文タイトル：「Exhibition of ART　Touch-me」

1997 年 4 月 26 日－5 月 25 日　宮崎県立美術館　主催：宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県立美術館

デモクラート 1951～1957〈開放された戦後美術〉●

欧文タイトル：「DEMOKRATO 1951-1957　The Liberation of Art in Postwar Japan」

1999 年 5 月 2 日－30 日　宮崎県立美術館　主催：宮崎県立美術館・宮崎県・宮崎県教育委員会・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会〔巡回 3-1〕

都城市立美術館

MESSAGE'97〈南九州の現代作家たち〉●

欧文タイトル：「MESSAGE '97　Southern Kyushu Contemporary Artists」

1997 年 2 月 21 日－3 月 16 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館

MESSAGE2007 南九州の現代作家たちメッセージ 2007 ●

欧文タイトル：「MESSAGE2007　Southern Kyushu Contemporary Artists message 2007」

2007 年 1 月 19 日－3 月 11 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館・BTV 都城ケーブルテレビ

セザンヌ・ピカソから現代まで 国立国際美術館(大阪)の名作●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2010 年 10 月 16 日－12 月 5 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館・国立国際美術館〔巡回 2-2〕

メッセージ 2017「南九州の現代作家たち」●

欧文タイトル：「MESSAGE 2017 Contemporary Artists of South Kyushu」

2017 年 10 月 21 日－12 月 3 日　都城市立美術館・その他サテライト会場　主催：都城市立美術館・BTV・都城市立美術館特別展実行委員会

鹿児島県

鹿児島県歴史資料センター黎明館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 2 月 3 日－25 日　鹿児島県歴史資料センター黎明館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・鹿児島県教育委員会・鹿児島県歴史資料センター黎明館〔巡回 5-4〕

鹿児島県霧島アートの森

「パフォーミング・アートの世界」展〈多様化した現代美術の表現〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 10 月 9 日－31 日　鹿児島県霧島アートの森　主催：鹿児島県文化振興財団

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション ●

欧文タイトル：「neoteny japan　CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S――FROM TAKAHASHI COLLECTION」

2008 年 7 月 18 日－9 月 15 日　鹿児島県霧島アートの森　主催：鹿児島県霧島アートの森・南日本新聞社・KTS 鹿児島テレビ〔巡回 3-1〕

高橋コレクション――マインドフルネス! ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION　Mindfulness!」

2013 年 7 月 12 日－9 月 1 日　鹿児島県霧島アートの森　主催：鹿児島県・鹿児島県文化振興財団霧島アートの森・南日本新聞社・KTS 鹿児島テレビ〔巡回 2-1〕

鹿児島市立美術館

第 6 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

鹿児島展；1972 年 11 月 19 日－12 月 3 日　鹿児島市立美術館　主催：文化庁・鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会〔巡回 4-3〕

第 10 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

鹿児島展；1976 年 10 月 30 日－11 月 12 日　鹿児島市立美術館　主催：文化庁・鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会〔巡回 4-1〕

アート!新スタイル〈かごしまの作家、かかわりの世界観〉 ●

欧文タイトル：「NEW STYLE of ART 2001」

2001 年 10 月 5 日－11 月 11 日　鹿児島市立美術館　主催：

造形集団 海洋堂の軌跡 ●

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

2005 年 11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館　主催：鹿児島市立美術館〔巡回 9-3〕

絵画の現在〈活躍する鹿児島の画家たち〉 ●

欧文タイトル：「THE PRESENT OF PAINTING」

2007 年 10 月 4 日－11 月 4 日　鹿児島市立美術館　主催：鹿児島市・鹿児島市教育委員会・鹿児島市立美術館・南日本新聞社・MBC 南日本放送

沖縄県

沖縄県立博物館・美術館

移動と表現〈変容する身体・言語・文化〉●

欧文タイトル：「Migration & Expression」

2009 年 1 月 31 日－3 月 29 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」

2012 年 11 月 27 日－2013 年 1 月 6 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館〔巡回 4-2〕

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉●

欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」

2015 年 1 月 16 日－3 月 15 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会〔巡回 4-3〕

邂逅の海〈交差するリアリズム〉●

欧文タイトル：「A Reunion with the Sea：Realism as Modern Asian Thought.」

2017 年 12 月 19 日－2018 年 2 月 4 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館

涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展 ●

欧文タイトル：「The Echoes from the Abyss：The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition」

2018 年 4 月 27 日－6 月 24 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会〔巡回 3-2〕

那覇市民ギャラリー

戦後 50 年 1945－1995 沖縄の美術　　那覇市文化局文化振興室編 ●

欧文タイトル：「THE FINE ARTS OF OKINAWA」

1995 年 10 月 17 日－11 月 5 日　那覇市民ギャラリー　主催：那覇市

浦添市美術館

第 23 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

沖縄展；1990 年 2 月 1 日－25 日　浦添市美術館　主催：文化庁・沖縄県・沖縄県教育委員会・浦添市美術館〔巡回 4-4〕

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 1・モダニズムの系譜 ●

欧文タイトル:「Exhibition of Contemporary Okinawan Artists　Projects Commemorating the 50th Anniversary of the End of Pacific War and the Battle of Okinawa」
1995 年 8 月 2 日－27 日　浦添市美術館、浦添市民会館　主催：沖縄県、共催：浦添市美術館・浦添市教育委員会・沖縄タイムス社・沖縄県文化振興会・沖縄県文化協会

第 29 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館　主催：文化庁・沖縄県教育委員会・浦添市美術館・琉球新報社〔巡回 6-1〕

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 2・固有性へのこだわり ●
欧文タイトル：「Exhibition of Contemporary Okinawan Artists」
1996 年 10 月 2 日－27 日　浦添市美術館　主催：沖縄県、共催：浦添市・浦添市美術館・沖縄県文化振興会・沖縄タイムス社

私立美術館

ア

池田 20 世紀美術館

アート最前線 25 年 作家とともに Part I ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2000 年 9 月 1 日－11 月 30 日　伊東・池田 20 世紀美術館　主催：財団法人池田 20 世紀美術館

アート最前線 25 年 作家とともに Part II ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
2000 年 12 月 1 日－2001 年 2 月 28 日　伊東・池田 20 世紀美術館　主催：池田 20 世紀美術館

伊勢丹美術館

今・アート最前線 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1983 年 9 月 1 日－6 日　新宿・伊勢丹美術館　主催：伊勢丹美術館

出光会館

第 2 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1968 年 10 月 15 日－27 日　徳山・出光会館　主催：文化庁・山口県教育委員会・徳山市教

育委員会・出光美術館〔巡回 4-2〕

上野の森美術館

現代美術の展望「VOCA 展'94－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

1994 年 3 月 15 日－26 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会(財団法人日本美術協会・上野の森美術館)

VOCA 展'95「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

1995 年 3 月 16 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展'96「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

1996 年 2 月 17 日－3 月 3 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展'97「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

1997 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展'98「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

1998 年 3 月 28 日－4 月 12 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展'99「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

1999 年 2 月 20 日－3 月 7 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2000 現代美術の展望――新しい平面の作家たち ●

欧文タイトル：「The Exhibition "VOCA" 2000　T HE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2000 年 3 月 16 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2001「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2001 年 2 月 18 日－28 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2002「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART 2002」

2002 年 3 月 15 日－31 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本

美術協会・上野の森美術館

VOCA 展 2003「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2003　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2003 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

VOCA 展 2004「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2004　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2004 年 3 月 13 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

VOCA 展 2005「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2005　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2005 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

VOCA 展 2006「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「The Vision of Contemporary Art 2006」

2006 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会　上野の森美術館

VOCA 展 2007「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2007　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2007 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

VOCA 展 2008「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2008　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2008 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

Art of our time ●

和文タイトル：「私たちの時代の美術」

2008 年 9 月 27 日－11 月 9 日　上野の森美術館　主催：財団法人日本美術協会・上野の森美術館、彫刻の森美術館、フジサンケイグループ

VOCA 展 2009「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2009　The Vision of Contemporary Art」

2009 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション ●

欧文タイトル：「neoteny japan　CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S――FROM TAKAHASHI COLLECTION」

2009 年 5 月 20 日－7 月 15 日　上野の森美術館　主催：財団法人日本美術協会・上野の森美術館・産経新聞社〔巡回 3-3〕

VOCA 展 2010「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「“VOCA” 2010　The Vision of Contemporary Art」

2010 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

VOCA 展 2011 現代美術の展望－新しい平面の作家たち ●

欧文タイトル：「“VOCA” 2011　The Vision Of Contemporary Art」

2011 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

行為の触覚 反復の思考 ●

欧文タイトル：「The idea of repeated touch」

2012 年 3 月 7 日－12 日　上野の森美術館　主催：上野の森美術館・行為の触覚 反復の思考実行委員会

VOCA 展 2012「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA2012　The Vision of Contemporary Art」

2012 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館

VOCA 展 2013「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2013　The Vision of Contemporary Art」

2013 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2014「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2014　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2014 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2015「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2015　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2015 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2016「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2016　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2016 年 3 月 12 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2017「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

欧文タイトル：「VOCA 2017　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

2017 年 3 月 11 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

VOCA 展 2018 現代美術の展望－新しい平面の作家たち ●

欧文タイトル：「VOCA 2018　The Vision Of Contemporary Art」

2018 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

梅田近代美術館

ASAHI＝ART・NOW ’73 ●

和文タイトル：「アサヒ＝アート・ナウ’73」

1973 年 8 月 7 日－26 日　大阪・梅田近代美術館　主催：梅田近代美術館・朝日新聞社

NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

海市〈もうひとつのユートピア〉 ●

欧文タイトル：「Kaishi　The Mirage City：Another Utopia」

1997 年 4 月 19 日－7 月 13 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　ICC オープニング記念展

ネクスト：メディア・アートの新世代 ●

欧文タイトル：「n_ext：New Generation of Media Artists」

2004 年 4 月 23 日－6 月 27 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

コネクティング・ワールド〈創造的コミュニケーションに向けて〉 ●

欧文タイトル：「Connecting Worlds」

2006 年 9 月 15 日－11 月 26 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

サイレント・ダイアローグ 見えないコミュニケーション ●

欧文タイトル：「silent dialogue」

2007 年 11 月 23 日－2008 年 2 月 17 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

大原美術館

青春は不定形〈パリ－日本 一九五〇年代〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 4 月 9 日－5 月 30 日　倉敷・大原美術館　主催：大原美術館

インパクト 東と西の現代－もう一つの大原美術館 ●

欧文タイトル：「IMPACT」

2006 年 7 月 11 日－11 月 5 日　倉敷・大原美術館　主催：大原美術館、共催：山陽新聞社

小原流会館エスパス OHARA

第 1 回平行芸術展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1981 年 8 月 6 日－19 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財

団法人小原流

第 2 回平行芸術展 不透明性をめぐって ●

欧文タイトル：未詳(当該カタログ未見につき)

1982 年 7 月 22 日－27 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 3 回平行芸術展 翻る表面 裏返る表面――構成と分節 ●

欧文タイトル：未詳(当該カタログ未見につき)

1983 年 7 月 21 日－26 日　南青山・東京小原流会館 9 階ホール　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 4 回平行芸術展〈SUBJECT-SYMBOL-APPARITION〉●

欧文タイトル：「“Parallelism in Art” No.4」

1984 年 5 月 31 日－6 月 12 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 5 回平行芸術展 ノスタルジアの歩行様式 ●

欧文タイトル：「“Parallelism in Art” No.5」

1986 年 6 月 14 日－22 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー／6 月 25 日－30 日　大阪・小原流研修会館 2 階　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 6 回平行芸術展 彫刻の夢と現実 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1987 年 7 月 21 日－31 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 7 回平行芸術展 しげるものたち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 8 月 26 日－9 月 8 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 8 回平行芸術展 樹木のセンセーション ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 7 月 20 日－30 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 9 回平行芸術展 既視感の食卓 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 7 月 13 日－31 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 10 回平行芸術展 25 時の表現欲求 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 9 月 18 日－30 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

TEMPVS VICTVM〈生きられた時間 MTM コレクションの 80 年代〉●

1992 年 9 月 24 日－10 月 3 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　主催：財団法人小原流：エスパス OHARA

第 11 回平行芸術展 全面展開期の絵画－I〈絵画と空間〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 10 月 6 日－17 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 12 回平行芸術展 全面展開の絵画-II〈イメージのついえ〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1993 年 6 月 29 日－7 月 10 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

〈かたまり彫刻〉とは何か ●

欧文タイトル：「What Is the Katamari Sculpture? Here Begins a Counter-attack against Twentieth Century's Visualism」

1993 年 12 月 1 日－14 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA & 1 階ロビー　企画・構成：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 13 回平行芸術展 全面展開期の絵画－III〈レトリックの一擲〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1994 年 11 月 21 日－12 月 2 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 14 回平行芸術展 目覚めぎわの物たち ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1996 年 9 月 9 日－28 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 15 回平行芸術展 イメージ・ストーカー ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 12 月 1 日－15 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 16 回平行芸術展 響きと絵画 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 9 月 18 日－30 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

第 17 回平行芸術展 桜の花は匂わないか? ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2002 年 12 月 2 日－14 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

第 18 回平行芸術展 〈あざやか〉の構造 ●

欧文タイトル：「Parallelism in Art sense of azayaka」

2003 年 10 月 27 日－11 月 8 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、

主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

第 19 回平行芸術展 彫刻は自分の半身を取り戻す ●

欧文タイトル：「The 19th Exhibition of Parallelism in Art “Sculpture Taking Back Its Own Shadow”」

2004 年 11 月 1 日－13 日　南青山・小原流会館 1 階／エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

第 20 回平行芸術展 崩落の記譜法 ●

欧文タイトル：「The Last Exhibition of Parallelism in Art “Patterns of Descension”」

2005 年 10 月 24 日－11 月 5 日　南青山・小原流会館 1 階／エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

カ

カスヤの森現代美術館

絵画＝単立と連立…1〈今、絵画はどこへ行こうとしているのか!?〉 ●

欧文タイトル：「Painting Today」

2003 年 9 月 3 日－11 月 2 日　横須賀・カスヤの森現代美術館　主催：カスヤの森現代美術館

コラボレーションの磁場〈デュシャン、マン・レイをめぐって〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 11 月 7 日－12 月 7 日　横須賀・カスヤの森現代美術館　主催：カスヤの森現代美術館

清里フォトアートミュージアム

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉 ●

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」

2010 年 6 月 5 日－8 月 31 日　清里フォトアートミュージアム　主催：清里フォトアートミュージアム〔巡回 4-4〕

近鉄アート館

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 3 月 2 日－8 日　大阪・近鉄アート館　主催：産経新聞社〔巡回 5-3〕

サ

斎藤記念川口現代美術館

レクイエム〈榎倉康二と 33 人の作家〉 ●

欧文タイトル：「REQUIEM：Koji Enokura and 33 Artists」

1996 年 3 月 29 日－5 月 26 日　川口市・斎藤記念川口現代美術館　主催：斎藤記念川口現代美術館・レクイエム－榎倉康二と 33 人の作家－展実行委員会

サントリー美術館

現代陶芸〈伝統と前衛〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1982 年 2 月 2 日－3 月 28 日　赤坂・サントリー美術館　主催：サントリー美術館

サントリーミュージアム[天保山]

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉●

欧文タイトル：「TAKARAZUKA　The Land of Dreams」

2004 年 4 月 17 日－6 月 20 日　サントリーミュージアム[天保山]　主催：サントリーミュージアム[天保山]・NHK 大阪放送局・NHK きんきメディアプラン〔巡回 3-1〕

ストライプハウス美術館

現代の美術 今日の作家 5 人展 ●

欧文タイトル：「Exhibition of 5 Japanese Artist of today」

1981 年 9 月 8 日－30 日　六本木・ストライプハウス美術館　主催：ストライプハウス美術館

マニフェスト展〈世紀末大学開講記念 混沌の現実に未来を視つめる・8 人の世紀末宣言〉●

欧文タイトル：「University of the End of the Century・Tokyo」

1993 年 6 月 4 日－26 日　六本木・ストライプハウス美術館　主催：公開講座「世紀末大学」

駿府博物館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1988 年 12 月 4 日－25 日　静岡市・駿府博物館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・静岡県教育委員会・財団法人駿府博物館〔巡回 4-3〕

西武美術館

日本現代美術の展望 ●

欧文タイトル：「View of Japanese Contemporary Art」

1975 年 9 月 5 日－14 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館

Art Today ’77 見えることの構造 6 人の目 ●

欧文タイトル：「STRUCTURE OF SEEING」

1977 年 7 月 7 日－27 日　池袋・西武美術館　ゲスト・キュレーター：東野芳明、主催：西武美術館

時代の証言＝パリ・ビエンナーレ’59－’73 ●

欧文タイトル：「BIENNALE DE PARIS ’59－’73」

1978 年 3 月 3 日－29 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館・読売新聞社

art today ’79 木との対話 ●

欧文タイトル：「art today ’79 “Wood works by three artists”」

1979 年 3 月 3 日－27 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館

Art Today ’80 絵画の問題展〈ロマンティックなものをこえて〉 ●

欧文タイトル：「art today ’80 Paintings in 1980 by three artists」

1980 年 11 月 15 日－12 月 17 日　池袋・西武美術館　構成：藤枝晃雄、主催：西武美術館

もの派とポストもの派の展開〈1969 年以降の日本の美術〉 ●

欧文タイトル：「Art in Japan since 1969 Mono-ha and Post Mono-ha」

1987 年 6 月 26 日－7 月 19 日　池袋・西武美術館 主催：多摩美術大学・西武美術館

セゾン現代美術館（軽井沢高輪美術館）

現代美術・その先駆者たちと現在〈大原美術館コレクションから〉 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1986 年 4 月 29 日－7 月 16 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢高輪美術館・大原美術館・西武美術館〔巡回 2-2〕

ART TODAY 1986「ポスト・モダンの病理学」 ●

欧文タイトル：「PATHOLOGY OF POST-MODERN」

1986 年 9 月 6 日－11 月 3 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館

ART TODAY 1987「趣味の社会への平手打ち」 ●

欧文タイトル：「ART TODAY 1987：A SLAP IN THE FACE OF TASTEFUL PUBLIC」

1987 年 9 月 12 日－11 月 3 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館

ART TODAY 1989 主題のない四楽章 ●

1989 年 9 月 8 日－11 月 5 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館・セゾン文化財団

Art Today 1990 複製技術時代の芸術(アウラ)復興 ●

欧文タイトル：「ART TODAY ’90」

1990 年 9 月 8 日－11 月 4 日　軽井沢高輪美術館　主催：セゾン文化財団・軽井沢財団法人高輪美術館・セゾン美術館

Art Today’92 トランスアートのパラドックス／透明な光のポリフォニー ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 9 月 11 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

ART TODAY ’93 ネオ・ジャパノロジー考 ●

欧文タイトル：「ART TODAY ’93」

1993 年 9 月 11 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

ART TODAY 1994 サンクチュアリ(聖域)－20 世紀末芸術における「聖域」をめぐる一考察 ●

欧文タイトル：「SANCTUARY：THOUGHTS ON SANCTUARIES IN ART AT THE END OF THE TWENTIETH CENTURY」

1994 年 10 月 8 日－12 月 4 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

ART TODAY 1995 絵画レッスン〈5 つの方法論をめぐって〉●

1995 年 9 月 9 日－11 月 26 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

ART TODAY 1996 ひながた〈これは現代美術ではない〉●

1996 年 9 月 14 日－11 月 24 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

ART TODAY 1997 開かれた作品の詩学 オーペラ・アペルタ ●

欧文タイトル：「ART TODAY 1997　OPERA APERTA」

1997 年 9 月 13 日－11 月 24 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

ART TODAY 1998 ミメーシス――わたしの「かたち」〈世紀末の新しい表現〉●

欧文タイトル：「ART TODAY MIMESIS」

1998 年 9 月 12 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

ART TODAY 2000 3 つの回顧から ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 9 月 9 日－10 月 9 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

ART TODAY 2001 SANGAI ●

2001 年 9 月 8 日－10 月 8 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

ART TODAY 2004 ●

2004 年 10 月 9 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

ART TODAY 2006 ●

2006 年 10 月 7 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

ART TODAY 2011 昨日の今日と今日の今日 ●

2011 年 10 月 8 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

セゾン美術館

日本の眼と空間〈もうひとつのモダン・デザイン〉●

欧文タイトル：「Japanese Aesthetics and Sense of Space　Another Aspect of Modern Japanese Design」

1990 年 9 月 8 日－24 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館

21 世紀・的・空間〈現代美術と民俗的空間の出会い：日本の眼と空間 III〉●

欧文タイトル：「A Vision of Japan for the 21st Century　Encounter of Contemporary Art and Folklore－Japanese Aesthetics and Sense of Space III」

1994 年 2 月 23 日－4 月 4 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館

視ることのアレゴリー　1995：絵画・彫刻の現在 ●

欧文タイトル：「ALLEGORY OF SEEING 1995：Painting and Sculpture in Contemporary Japan」

1995 年 6 月 23 日－8 月 27 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館

そごう美術館

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1989 年 1 月 11 日－29 日　横浜・そごう美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・神奈川県教育委員会・財団法人そごう美術館〔巡回 4-4〕

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉●

欧文タイトル：「TAKARAZUKA　The Land of Dreams」

2004 年 11 月 13 日－12 月 12 日　横浜・そごう美術館　主催：財団法人そごう美術館・NHK 横浜放送局・NHK プロモーション〔巡回 3-3〕

損保ジャパン東郷青児美術館（安田火災東郷青児美術館）

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1998 年 1 月 27 日－2 月 15 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 1999〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 2 月 2 日－28 日　新宿・安田火災東郷青児美術館／4 月 11 日－5 月 9 日　秋田市立千秋美術館

主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社〔巡回 2-1〕

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 4 月 29 日－6 月 9 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：安田火災美術財団・東京新聞・NHK サービスセンター〔巡回 5-4〕

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 2000〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2000 年 2 月 23 日－3 月 26 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社

未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 2001〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2001 年 1 月 6 日－27 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社

文化庁芸術家在外研修制度 35 周年記念 DOMANI・明日展 2002〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2002 年 1 月 23 日－2 月 24 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社、協力：文化庁芸術家在外研修員の会

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2003〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2003 年 1 月 25 日－3 月 2 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

25 人の絵画展〈東郷青児美術館大賞 25 周年記念〉●

欧文タイトル：「“Works of 25 Prized Artists” in commemoration of the 25th anniversary of ‘Seiji Togo Memorial Museum of Art Grand Prix’」

2003 年 4 月 26 日－6 月 29 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2004〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2004 年 1 月 24 日－3 月 3 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2005〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2005 年 1 月 21 日－2 月 24 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2006〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2006 年 1 月 20 日－3 月 1 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2007〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2007 年 1 月 11 日－2 月 18 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

タ

大丸ミュージアム・梅田
「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展 ●
欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」
1995 年 5 月 31 日－6 月 12 日　大丸ミュージアム・梅田　主催：朝日新聞社〔巡回 4-2〕
作家からの贈りもの ●
欧文タイトル：「The Presents from the Artists」
2004 年 8 月 18 日－29 日　大丸ミュージアム・梅田　主催：読売新聞大阪本社・読売テレビ〔巡回 6-5〕

彫刻の森美術館
第 4 回アジア美術展 ●
欧文タイトル：「4th Asian Art Show　REALISM ASAN ATTITUDE」
箱根展；1995 年 1 月 1 日－2 月 12 日　箱根・彫刻の森美術館　主催：産経新聞社・ニッポン放送・フジテレビ・福岡市美術館〔巡回 4-2〕
開館 30 周年記念展 森に生きるかたち ●
欧文タイトル：「Forms in Nature」
1999 年 8 月 1 日－2000 年 9 月 10 日　箱根・彫刻の森美術館　主催：彫刻の森美術館・フジサンケイグループ

つかしんホール
現代美術・その先駆者たちと現在〈大原美術館コレクションから〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1986 年 4 月 8 日－25 日　尼崎・つかしんホール　主催：大原美術館・軽井沢高輪美術館・西武美術館・毎日新聞社〔巡回 2-1〕
つかしんアニュアル'86 HANGING――吊るされた美術〔第 1 回展〕 ●
欧文タイトル：「TSUKASHIN ANNUAL'86」
1986 年 5 月 9 日－28 日　尼崎・つかしんホール　主催：西武美術館
つかしんアニュアル オブジェ――逸脱する物質〔第 2 回展〕 ●
欧文タイトル：「OBJET」
1987 年 5 月 9 日－27 日　尼崎・つかしんホール　ゲスト・キュレーター：建畠哲、主催：西武美術館
つかしんアニュアル'88　日本・韓国作家による美術の現在(水平と垂直)〔第 3 回展〕 ●
欧文タイトル：「'88 TSUKASHIN ANNUAL」
1988 年 5 月 27 日－6 月 21 日　尼崎・つかしんホール　主催：西武美術館
手で見る美術展 ●

欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」

1988 年 9 月 18 日－10 月 4 日　尼崎・つかしんホール　主催：西武美術館、企画協力：社会福祉法人桜雲会〔巡回 2-2〕

つかしんアニュアル'89 浮遊体――イマージュ空感〔第 4 回展〕●

欧文タイトル：「'89 TSUKASHIN ANNUAL Fu-Yu-Tai」

1989 年 5 月 21 日－6 月 11 日　尼崎・つかしんホール　ゲスト・キュレーター：篠原資明、主催：西武美術館

DIC 川村記念美術館（川村記念美術館）

日本の現代美術・交錯する 12 の軌跡 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1990 年 9 月 12 日－1991 年 4 月　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館

なぜ、これがアートなの? ●

欧文タイトル：「IS THIS ART ?」

1998 年 10 月 8 日－12 月 6 日　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館〔巡回 3-2〕

「世界の呼吸法－アートの呼吸 呼吸のアート」展 ●

欧文タイトル：「The Art of Breathing in the World－Art and Respiration」

2005 年 7 月 9 日－9 月 4 日　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館、共催：佐倉市立美術館

静寂と色彩：月光のアンフラマンス ●

欧文タイトル：「Stillness into Color：Inframince of Moonlight」

2009 年 10 月 10 日－2010 年 1 月 11 日　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館(DIC 株式会社)

美術は語られる――評論家・中原佑介の眼 ●

欧文タイトル：「Talking about Art－The Viewpoint of Yusuke Nakahara」

2016 年 2 月 11 日－4 月 10 日　佐倉・DIC 川村記念美術館　主催：DIC 川村記念美術館

静かに狂う眼差し――現代美術覚書〈DIC 川村記念美術館×林道郎〉●

欧文タイトル：「Kawamura Memorial DIC Museum of Art×Michio Hayashi　Quiet Dislocations：Notes on Contemporary Art」

2017 年 7 月 8 日－8 月 27 日　佐倉・DIC 川村記念美術館　主催：DIC 株式会社

東京オペラシティアートギャラリー

Releasing Senses――感覚の解放 ●

欧文タイトル：「Releasing Senses」

1999 年 9 月 9 日－11 月 21 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

プライム：記憶された色と形 ●

欧文タイトル：「Prime：Reflection of Color and Form」

2000 年 5 月 27 日－7 月 20 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出会い展 ●

欧文タイトル：「Encounter」

2001 年 1 月 12 日－3 月 18 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 ●

欧文タイトル：「MY HOME IS YOURS / YOUR HOME IS MINE」

2001 年 7 月 1 日－9 月 16 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

ガール! ガール! ガール! ●

欧文タイトル：「GIRL! GIRL! GIRL!」

2003 年 8 月 5 日－10 月 15 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

タイム・オブ・マイ・ライフ〈永遠の少年たち〉 ●

欧文タイトル：「Time of My Life　Art with Youthful Spirit」

2004 年 2 月 21 日－5 月 9 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉 ●

欧文タイトル：「TAKARAZUKA　The Land of Dreams」

2004 年 7 月 24 日－9 月 26 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団・NHK プロモーション〔巡回 3-2〕

トレース・エレメンツ　日豪の写真メディアにおける精神と記憶 ●

欧文タイトル：「Trace Elements　spirit and memory in Japanese and Australian photomedia」

2008 年 7 月 19 日－10 月 13 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

絵画の在りか ●

欧文タイトル：「The Way of Painting」

2014 年 7 月 12 日－9 月 21 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：公益財団法人東京オペラシティ文化財団

高橋コレクション展　ミラー・ニューロン ●

欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION：Mirror Neuron」

2015 年 4 月 18 日－6 月 28 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団・朝日新聞社

東京ステーションギャラリー

「現代日本絵画の展望」展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1999 年 10 月 2 日－11 月 14 日　東京ステーションギャラリー　主催：現代日本絵画の展望展実行委員会・東日本鉄道文化財団・日本放送教育協会

『現代絵画の展望』展〈それぞれの地平線〉●

欧文タイトル：「Perspectives of Contemporary Painting－Horizons－」

2007 年 12 月 8 日－2008 年 2 月 11 日　第 1 会場；新橋・旧新橋停車場鉄道歴史展示館、第 2 会場；上野・Break ステーションギャラリー　主催：東京ステーションギャラリー

現代絵画の展望 12 人の地平線 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

2009 年 12 月 8 日－2010 年 3 月 22 日　新橋・旧新橋停車場鉄道歴史展示館　主催：東京ステーションギャラリー

現代絵画の展望 24 の時の鐘 ●

欧文タイトル：「－The Eyes of Twelve Artists－Perspectives of Contemporary Painting」

2011 年 12 月 6 日－2012 年 3 月 18 日　旧新橋停車場鉄道歴史展示館　主催：東京ステーションギャラリー

東京セントラル美術館

第 6 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

東京展；1972 年 12 月 19 日－28 日　銀座・東京セントラル美術館　主催：文化庁・東京セントラル美術館〔巡回 4-4〕

東高現代美術館

絵画/日本－断層からの出現 ●

欧文タイトル：「Painting/Japan-Emerging through Discontinuity」

1990 年 5 月 18 日－6 月 17 日　表参道・東高現代美術館　主催：東高現代美術館

建築のラスト・シーン――都市[TOKYO]の欲望のプログラム ●

欧文タイトル：「Last Scene in Architecture Program of Desire in the City / TOKYO」

1990 年 12 月 1 日－24 日　表参道・東高現代美術館　ゲスト・キュレーター：鈴木隆之、主催：東高現代美術館

日本の現代美術－ゾーンズ・オブ・ラヴ〈オーストラリア・ニュージーランド巡回展〉プレヴュー ●

欧文タイトル：「A Preview of Zones of Love-Contemporary Art from Japan Catalogue」

1991 年 5 月 18 日－6 月 16 日　表参道・東高現代美術館　主催：東高現代美術館

鞆の津ミュージアム

すごいぞ、これは! ●

欧文タイトル：「This is Amazing!」

2016 年 2 月 2 日－10 日　福山・鞆の津ミュージアム　主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・鞆の津ミュージアム〔巡回 4-4〕

土門拳記念館
日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉●
欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」
2009 年 8 月 27 日－10 月 28 日　酒田・土門拳記念館　主催：財団法人土門拳記念館〔巡回 4-2〕

ナ

ナビオ美術館
「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉●
欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」
1987 年 6 月 26 日－7 月 14 日　大阪・ナビオ美術館　主催：読売新聞大阪本社・読売テレビ放送・美術館連絡協議会〔巡回 6-2〕

華鴒美術館
第 31 回現代美術選抜展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
岡山展；1998 年 3 月 8 日－22 日　タカヤ文化財団華鴒美術館　主催：文化庁・岡山県教育委員会・タカヤ文化財団華鴒美術館〔巡回 3-3〕

原美術館
第 1 回ハラ・アニュアル 80 年代への展望 ●
欧文タイトル：「HARA ANNUAL VISION FOR THE 80s」
1980 年 11 月 26 日－12 月 25 日　北品川・原美術館　選考委員：磯崎新・東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団
第 2 回ハラ・アニュアル ●
欧文タイトル：「HARA ANNUAL 2」
1981 年 11 月 20 日－12 月 27 日　北品川・原美術館　選考委員：磯崎新・東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団
第 3 回ハラ・アニュアル ●
欧文タイトル：「HARA ANNUAL 3」
1983 年 2 月 11 日－3 月 13 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団
第 4 回ハラ アニュアル ●
欧文タイトル：「HARA ANNUAL IV」

1984 年 2 月 24 日－3 月 25 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

第 5 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 5」

1985 年 3 月 23 日－5 月 12 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団 原美術館

第 6 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL VI」

1986 年 3 月 29 日－5 月 11 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

第 7 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 7」

1987 年 3 月 21 日－5 月 10 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

第 8 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 8」

1988 年 3 月 12 日－5 月 8 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

第 9 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL IX」

1989 年 3 月 25 日－5 月 10 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

第 10 回ハラ アニュアル ●

欧文タイトル：「HARA ANNUAL X」

1990 年 9 月 26 日－11 月 11 日　北品川・原美術館　主催：原美術館

ウインター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開 ●

欧文タイトル：「Winter Garden：The Exploration of the Micropop Imagination in Contemporary Japanese Art」

2009 年 5 月 23 日－7 月 20 日　北品川・原美術館　主催：国際交流基金・原美術館

ハラ ミュージアム アーク

プライマル スピリット－今日の造形精神 ●

欧文タイトル：「A Primal Spirit：Ten Contemporary Japanese Sculptors」

1990 年 3 月 10 日－4 月 15 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：原美術館・ロサンゼルス カウンティ美術館

アートは楽しい 2 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1991 年 7 月 27 日－9 月 1 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージ

アム アーク

アートは楽しい 3 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

1992 年 8 月 1 日－9 月 15 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

断面 1979－1994 ●

欧文タイトル：「ASPECTS 1979-1994」

1994 年 9 月 15 日－12 月 18 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：原美術館

アートは楽しい 6　機械帝国 ●

欧文タイトル：「Art is Fun 6：MECHAZONE」

1995 年 7 月 1 日－9 月 24 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

アートは楽しい 7　IN／OUT ●

欧文タイトル：「Art is Fun 7：IN/OUT」

1996 年 7 月 6 日－9 月 1 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

富士美術館

第 15 回現代美術選抜展 ●

欧文タイトル：当該カタログに記載無

静岡展；1981 年 11 月 11 日－25 日　富士宮・富士美術館　主催：文化庁・静岡県教育委員会・読売新聞社静岡支局・静岡第一テレビ・富士美術館〔巡回 4-1〕

船橋・西武美術館

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉●

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

1989 年 7 月 28 日－8 月 15 日　船橋・西武美術館　主催：西武美術館・毎日新聞社〔巡回 6-4〕

ブリヂストン美術館

世界現代芸術展 ●

欧文タイトル：当該リーフレットに記載無

1957 年 10 月 11 日－11 月 10 日　京橋・ブリヂストン美術館　主催：読売新聞社・ブリヂストン美術館

ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム

キッズアートランド〈親子の夏休み体験ミュージアム〉●

欧文タイトル：「KIDS' ART LAND」
1993 年 7 月 10 日－9 月 5 日　ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム
主催：ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム、福武書店

オープンエアー'94 海景のなかの現代美術展 ●
欧文タイトル：「Open Air '94 "OUT OF BOUNDS" CONTEMPORARY ART IN THE SEASCAPE」
1994 年 9 月 15 日－11 月 27 日　ベネッセハウス 直島コンテンポラリーアートミュージアム　主催：福武書店、Benesse Island・直島文化村

マ

松坂屋美術館

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1998 年 11 月 6 日－17 日　名古屋・松坂屋美術館　主催：中日新聞社・松坂屋美術館〔巡回 5-1〕

三越美術館

IMA「絵画の今日」展 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1993 年 8 月 31 日－9 月 12 日　新宿・三越美術館　主催：三越美術館・新宿、IMA「絵画の今日」展実行委員会

IMA「絵画の今日」展 ●
欧文タイトル：「1995 ima」
1995 年 9 月 1 日－13 日　新宿・三越美術館　主催：三越美術館、IMA「絵画の今日」展実行委員会

IMA「絵画の今日」展 1997 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1997 年 6 月 10 日－22 日　新宿・三越美術館　主催：IMA「絵画の今日」展実行委員会・読売新聞社

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉 ●
欧文タイトル：当該カタログに記載無
1997 年 10 月 10 日－26 日　新宿・三越美術館　主催：朝日新聞社〔巡回 3-2〕

森美術館

「ハピネス――アートにみる幸福への鍵」 ●
欧文タイトル：「HAPPINESS：A SURVIVAL GUIDE FOR ART＋LIFE」
2003 年 10 月 18 日－2004 年 1 月 18 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004 ●

欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING：NEW VISIONS in CONTEMPORARY JAPANESE ART 2004」

2004 年 2 月 7 日－4 月 11 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

COLORS ファッションと色彩 VIKTOR & ROLF & KCI ●

欧文タイトル：「FASHION IN COLORS　VIKTOR & ROLF & KCI」

2004 年 8 月 24 日－12 月 5 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・京都服飾文化研究財団〔巡回 2-1〕

アーキラボ 建築・都市・アートの新たな実験 1950-2005 ●

欧文タイトル：「ARCHILAB　NEW EXPERIMENTS IN ARCHITECTURE, ART AND THE CITY, 1950-2005」

2004 年 12 月 21 日－2005 年 3 月 13 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・サントル地域現代芸術振興基金・読売新聞東京本社

秘すれば花：東アジアの現代美術 ●

欧文タイトル：「The Elegance of Silence：Contemporary Art from East Asia」

2005 年 3 月 29 日－6 月 19 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

ストーリーテラーズ〈アートが紡ぐ物語〉 ●

欧文タイトル：「The WoRld is A StAgE StoRiEs BEhiNd PictuREs」

2005 年 3 月 29 日－6 月 19 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

東京－ベルリン ベルリン－東京展 ●

欧文タイトル：「TOKYO－BERLIN／BERLIN－TOKYO」

2006 年 1 月 28 日－5 月 7 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・ベルリン国立博物館群ベルリン新国立美術館・朝日新聞社

笑い展 現代アートにみる「おかしみ」の事情 ●

欧文タイトル：「ALL ABOUT LAUGHTER：HUMOR IN CONTEMPORARY ART」

2007 年 1 月 27 日－5 月 6 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・日本テレビ放送網

「六本木クロッシング 2007：未来への脈動」展 ●

欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING 2007：FUTURE BEATS IN JAPANESE CONTEMPORARY ART」

2007 年 10 月 13 日－2008 年 1 月 14 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

アートは心のためにある：UBS アートコレクションより ●

欧文タイトル：「ART IS FOR THE SPIRIT：Works from The UBS Art Collection」

2008 年 2 月 2 日－4 月 6 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か? ●

欧文タイトル：「Roppongi Crossing 2010：Can There Be Art?」

2010 年 3 月 20 日－7 月 4 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

ネイチャー・センス 日本の自然知覚力を考える ●

欧文タイトル：「SENSINGNATURE RETHINKING THE JAPANESE PERCEPTION OF

NATURE」
2010 年 7 月 24 日－11 月 7 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
メタボリズムの未来都市――戦後日本・今甦る復興の夢とビジョン ●
欧文タイトル：「METABOLISM, THE CITY OF THE FUTURE：Dreams and Visions of Reconstruction in Postwar and Present-Day Japan」
2011 年 9 月 17 日－2012 年 1 月 15 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・UIA2011 東京大会日本組織委員会・日本経済新聞社
LOVE 展：アートにみる愛のかたち〈シャガールから草間彌生、初音ミクまで〉 ●
欧文タイトル：「All You Need Is LOVE From Chagall to Kusama and Hatsune Miku」
2013 年 4 月 26 日－9 月 1 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
六本木クロッシング 2013 アウト・オブ・ダウト――来たるべき風景のために ●
欧文タイトル：「Roppongi Crossing 2013：OUT OF DOUBT」
2013 年 9 月 21 日－2014 年 1 月 13 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉 ●
欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」
2014 年 5 月 31 日－8 月 31 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会〔巡回 4-1〕
シンプルなかたち：美はどこからくるのか ●
欧文タイトル：「Simple Forms：Contemplating Beauty」
2015 年 4 月 25 日－7 月 5 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・ポンピドゥー・センター・メス、特別共催：エルメス財団
六本木クロッシング 2016 展 僕の身体、あなたの声 ●
欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING 2016　My Body, Your Voice」
2016 年 3 月 26 日－7 月 10 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

ヤ

有楽町朝日ギャラリー
クリエイティブ'84――10 人の女性画家 ●
欧文タイトル：「Creative '84――Ten Women Painters」
1984 年 12 月 1 日－23 日　有楽町朝日ギャラリー　主催：朝日新聞社

有楽町アート・フォーラム
手で見る美術展 ●
欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」
1988 年 9 月 2 日－13 日　有楽町アート・フォーラム　主催：西武美術館、企画協力：社会福祉法人桜雲会〔巡回 2-1〕

ワ

ワタリウム美術館

アイ・ラブ・アート II 展〈現代美術のコンセプトを探る〉●

欧文タイトル：「I LOVE ART II　IN QUEST OF THE CONCEPT OF CONTEMPORARY ART」

1992 年 1 月 14 日－3 月 15 日　神宮前・ワタリウム　主催：ワタリウム

「大地の精神」展 ●

欧文タイトル：「THE SPIRIT OF THE EARTH」

1994 年 8 月 31 日－11 月 23 日　神宮前・ワタリウム美術館　主催：ワタリウム美術館

藁工ミュージアム

すごいぞ、これは! ●

欧文タイトル：「This is Amazing!」

2016 年 1 月 7 日－14 日　高知・藁工ミュージアム、かるぽーと　主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・藁工ミュージアム〔巡回 4-3〕

第 2 部「現代美術展カタログ一覧」

凡例

この一覧は、次の項目から構成されている。

・展覧会カタログ名
　展覧会名称（展名）＋カタログ（図録）
　編者名
・刊行事項
　発行所
　発行年月日
　特記事項
・書誌情報（内容の記載）
　あいさつ文
　論考
　図版
　資料編
　出品目録
　注記
・所蔵情報
・展覧会事項
　欧文名
　会期、会場名
　主催者名
　出品作家名
・附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧について
・その他
・配列
・編纂者

展覧会カタログ名

・書物の書名にあたる箇所で、ふつう「展名＋カタログ」から成っている。カタログは図録と記されていることが多い。ただ、展名のみの場合が圧倒的に多いのが実情である。展名のみの場合は、その展名をそのまま記載した。この展名を『　　』で囲むケースが最近顕著になってきているが、目録では記号の多様は極力避け、特に書名のような自明の事項には目録の中では記号を使用しないのが基本中の基本、鉄則である（文章による注記では、『　　』の使用は逆に鉄則であるが、このことが目録への無理解、技量不足から目録記載まで浸潤している、と考えている）。

・展覧会カタログの編者名は、書物の編著者名とは内容が少し異なる。展覧会カタログの奥付に「編集：○○○○」と学芸員の名前が記されているが、編著者よりも編集者（エディター）に近い意味で使われることが大部分である。この一覧では、当該美術館の編集だが、発行所が異なる場合のみ「□□□美術館編」と記載した。編著者に近い意味での「編」であれば「○○○○編」とした。

・ただ一筋縄ではいかないのが展覧会名称（展名）で、ふつう、1 冊の出版物においては 1 つの書名が共通して記されるが、展覧会カタログに限って言えば、この原則は当てはまらず、表紙・標題紙（扉）・奥付において微妙に異なる展覧会名称が記載されている。1980 年代まではそのようなことは少なかったが、1990 年代以降、特にここ 10 年、その傾向は強まってきている。そして、展覧会カタログの中でも現代美術展カタログにおいて最も顕著なのである。したがって、一般の書物のように書名を簡単には決められず、展覧会カタログの奥付を優先的に扱いつつ総合的に判断して展名とした。

刊行事項

・発行所の多くは当該美術館であるが、設立母体の自治体や美術振興財団、あるいは新聞社・放送局、そして近年増加傾向にある出版社など美術館以外の場合も多いが、いずれにしても奥付に拠って記載した。発行所が未詳の場合は推測される団体を〔　　〕で囲み補記した。

・発行日の記載もまた曖昧な点が多い事項となった。発行日を明記した展覧会カタログは、多く見積もっても 4 分の 1 ぐらいで、多くは記載されていない。そこで展覧会の会期初日を仮に発行日として記載した。このことも近年多く見られることだが、実際の展示写真を入れた展覧会カタログ（記録編）が会期中や会期後に刊行されることがあって、展覧会の会期初日＝実際の発行日が異なることが判明した場合は注記した。以上のことを踏まえ、展覧会カタログに発行年月日が記載されている場合はその日付を記載した。

・刊行事項には、発行所＋発行日のほかに特記事項の記載がある。その展覧会の種類・性格を表わす特別展・記念展等の記載、シリーズ展における回次、欧文併載状況の記載、当該展覧会カタログの形態（何分冊、一枚物、たとう入など）、美術館における一連番号などがそれで、適宜分かりやすく記載した。

・美術館やその設立母体の地方自治体の記念記載（開館何十周年記念、市制施行何十年記念など）は、展名欄ではなく特記事項として記載した。

・「欧文併載」は本文のすべてに、「主に欧文併載」は文献目録等を除き大部分に欧文が添えられている場合は特記した。欧文併載と記したが大部分は英文併載である。

書誌情報（内容の記載）

・この目録の記載、特に書誌情報の記載は、この「一覧」のために用いるもので、個々の展覧会カタログの目録記載とは多少異なる。例えば、作家論はふつう一つ一つタイトルと執筆者名を記載するが、ここでは個々のタイトルは記さずに「作家論」と要約した形で記載し、また複数の作家の文章も個々のタイトルは記さずに「作家のことば」としてまとめた。

・冒頭のあいさつ文の執筆者が美術館長の場合は「館長○○○○」と館長を冠した。

・論考（メイン論文、寄稿、随想なども含める）は、「タイトル（執筆者名）」とし、収載順に記載した。

・図版を主としつつ作家や作品に関するデータが含まれる部分を図版ページとする。作品データがきちんと編纂されているものが、本来の意味での「カタログ」ページであるが、日本の展覧会カタログの現状は、図版のみ、あるいは図版を主として作家・作品データが添えられているものが多数派を占めていて、「カタログ」として機能している展覧会カタログは少なく、したがって、混乱を避けるためこの「現代美術展カタログ一覧」では「図版」ページとすることにした。ただし、当該展覧会カタログの見出し（項目名）に「カタログ」と記している場合は、そのまま「カタログ」を使用した。
・図版ページのうち、図版のみ場合は、当該ページ（P. □もしくは PP. □-□）を記載した。ノンブルが無い場合は総数（□p.）をカウントして記した。なお、カラー図版とモノクロ図版との区別は原則としてしていない。
・図版とともに作家情報や諸解説が含まれる場合は、その項目を、

　　図版〔章解説、図版、作家略歴、作家のことば、作家論、作家・作品解説〕

のように 補記して記載した。
・作家情報である略年譜、略歴、経歴、展覧会歴、参考文献等は「作家略歴」とした。
・作家よる寄稿文やコメント（アンケートの Q&A を含む、インタビューなど）は「作家のことば」とした。
・図版ページの学芸員等による解説は、「章解説」「作家・作品解説」「作家論」として、前述したように個々のタイトルは割愛した。
・作家資料（略歴、文献目録等）、年表、事項解説、文献再録、関連行事などの資料編は、それぞれ「資料名（○○○○編）」として収載順に記載した。
・その展覧会に出品（出陳）された作品や掲載図版のリストは、当該展覧会カタログに記されている通り「出品目録」「出品リスト」「出品作品リスト」「掲載作品リスト」などそのまま記載した。
・近年の傾向に展覧会に際して芸術系出版社が展覧会カタログを単行書として刊行する場合が増えてきた。初めの時期には「本書は展覧会に際して刊行されたもの」と注記していたが、一般的な傾向となって来た時期からは敢えて注記はしないこととした。
・付属物（別冊、出品目録等）は刊行事項の末尾に「付・別冊」のように記載し、目録記載の最後の行に「□別冊」としてその内容を記載した。
・以上の項目のほかに記載しておくべきことがらは「註：」として注記した。
・奥付に「編集・○○、△△」とある場合は、「註：編集は○○、△△。」と注記した。
・編者による補記は〔　　〕で囲み、原文記載ではないことを識別した。
・論考や作家のことばのうち、再録文献はノンブルの次に末尾に「再録」とした。
・なお、翻訳者、人物写真（顔写真）、写真クレジット、およびルビの記載は割愛した。

所蔵情報

・当該展覧会カタログはどの美術館ライブラリー・図書館に行けば閲覧できるか、という所在情報は、本「現代美術展カタログ一覧」および「現代美術展一覧」を活用する上で重要な要素となってくる。そこで、Web サイトで公開されている所蔵データに基づき、次の美術館ライブラリー・図書館を選び、所蔵している場合は略号を以って「所蔵：□、国新美、東近美、東文研」

のように記載した。この点に関して言えば、ALC（美術図書館連絡会　Art Libries' Consortium）横断検索の存在はありがたかった。

・この所蔵情報は、実際の閲覧にあたっては改めて確認していただくことを前提に記載した。編纂時点でのデータであり、また編者の誤認もあるかと思うので、ぜひ確認をお願いしたい。

・展覧会カタログ所蔵情報の所蔵先とその略号は、

国新美*　国立新美術館アートライブラリー
東近美*　東京国立近代美術館アートライブラリ
東文研　東京文化財研究所資料閲覧室
東博資*　東京国立博物館資料館
都現美*　東京都現代美術館美術図書室
都写美*　東京都写真美術館図書室
江戸博*　東京都江戸東京博物館図書室
神近美*　神奈川県立近代美術館葉山館美術図書室
横浜美*　横浜美術館美術情報センター
愛芸文　愛知芸術文化センターアートライブラリー
京都学　京都府立京都学・歴彩館
東大駒　東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館資料室
和光大　和光大学附属梅根記念図書・情報館
国会図　国立国会図書館
都中図　東京都立中央図書館

となっている。

・以上 15 館のうち「*」印を付した 8 館は、ALC 横断検索加盟館となっていて、その WEB OPAC「美術図書館横断検索」で一括して検索できる。なお、東京都現代美術館美術図書室は、編纂時には大規模改修工事のために休館中であった。また、ALC 横断検索加盟館のうち国立西洋美術館研究資料センターは所蔵資料が西洋美術史分野に特化されているため対象外とした。

・愛知芸術文化センターアートライブラリーと京都府立京都学・歴彩館は、歴史があり、あるいは地域性に特徴があって、重要な拠点となっている。

・東京文化財研究所資料閲覧室と東京大学駒場博物館資料室は、前者が豊富な展覧会カタログの所蔵を誇り、後者は展覧会カタログに特化して収集しているので、一般の人が自由に閲覧できるわけではないが、リストに加えた。

・国立国会図書館と東京都立中央図書館は、公共図書館の代表として、また日本を代表する両図書館が展覧会カタログをどれほど所蔵しているかを知る意味で、リストに加えた。

・和光大学附属梅根記念図書・情報館は、概要で触れたように現代美術展カタログの宝庫なので（利用には登録が必要だが）比較的利用しやすいので、リストに加えた。

・東京芸術大学附属図書館上野本館は図書館システムの更新および長期休館のため検索・閲覧作業ができず（2018 年 8 月時点）対象外とした。そのほかの私立美術大学図書館も一般市民に公開していないので対象外とした。

・所蔵欄に「所蔵：□、国新美、東近美、東文研」とある冒頭の「□」は、本報告書のプリント版を所蔵する機関の図書室・資料室が、自分のところで所蔵する展覧会カタログに「■」のように色で塗れば、本プリント版が展覧会カタログ所蔵目録となり、同時に所在目録としても活用できるので、専任の司書が不在の小美術館・機関に向けての措置として、目障りかも知れないが、加えたものである。

展覧会事項

・当該展覧会カタログにおける展覧会開催記録を「展覧会事項」として付記した。「現代美術展一覧」の内容と同様だが、一部割愛したものがある。
・この展覧会事項は、「欧文タイトル」「会期、会場名、主催者名」、そして「出品」欄から構成される。
・欧文タイトルは当該展覧会カタログの記載に拠った。記載がない場合は「当該展覧会カタログに記載無」とした。
・会期、会場名、主催者名はそれぞれ当該展覧会カタログの記載に拠った。稀に会期の記載がない展覧会カタログがあるが、他の資料に拠って補記した。
・展覧会事項のうち、以下は「現代美術展一覧」の凡例と同文である。
・出品欄は、その現代美術展に出品（出陳）された作家名を列記した。列記にあたっては、準拠した目録や図版順を〔　　〕に囲み補記した。出品状況がセクション（章）別に記載されている場合は、そのセクション（章）名を冒頭に冠した。この場合、複数のセクションに出品されている作家は、2 番目以後の作家名のあとに「(重)」と記した。
・出品欄には、原則として、その現代美術展に出品された作家名をすべて記載したが、日本作家以外の国の作家（以下、外国作家とする）が多い場合は、日本作家のみを記載し、「註：出品欄は日本作家を収載」と注記した。
・この報告書での「日本作家」とは、日本人、および韓国・中国出身で、かつ日本に作家活動の基盤を有する作家を含めるものとした。
・また、この報告書では「日本作家」の戦後作品を対象としているため、戦前（1945 年以前）の作品のみが出品されている作家は対象外とし、「註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。」と注記した。

附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧について

・附録として「総合展の中の現代作家」を取り上げる〈附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧〉は、

　そのⅠ　総合展（20 世紀美術史・近代日本美術史・分野史・主題）の中の現代作家

　そのⅡ　総合展（地域の美術）の中の現代作家

と、2 つに分けて編纂した。「現代美術展カタログ一覧」の中に組み込まなかったのは、個々の目録の記載が大量になり、肝心の「現代美術展カタログ」が埋没しかねないからである。
・他の時代、他の分野の作家をも収載している総合展カタログのため、出品欄はすべて現代作家（戦後作品が出品されている日本作家）に絞り込んだ。そのほかの目録記載は「現代美術展カタログ」と同様である。

その他

・作家名は、その展覧会カタログの記載如何にかかわらず、通行名を統一して用いた（例：草間彌生、瀧口修造）。
・旧姓・旧名で記された作家名は現姓・現行名を補記した（例：芥川〔間所〕紗織、桂ユキ子〔ゆき〕）。
・なお、異体字や梵字は、文字盤に当該文字が無いため近い形の文字あるいは□を置き補記した（例：北野〔田＋又＋土〕吉彦、□〔双牛〕宮城セツ）。
・論考や資料編、諸リストに欧文（主に英文）が併載・併記されている場合は、ノンブルの後に英文併載と記したが、全文が英文併載かどうか判然としない場合が多く、おおよその記載となってしまった。全文が英文併載に近く１か所だけ和文の場合は、その個所の末尾に和文とした。

配列

・本「現代美術展カタログ一覧」の配列は、（その展覧会カタログの発行日ではなく）当該展覧会の開催初日順とした。
・「現代美術展一覧」との連係を重視したこともあるが、展覧会カタログの発行日は、奥付に明記されていない場合が多く、基準値として展覧会カタログの発行日を用いることは極めて不安定であるからである。
・展覧会開催初日が重なった場合は、「現代美術展一覧」の目次の美術館順とした。
・展覧会カタログのほかに、別冊・記録集などが刊行されている場合は、本体の展覧会カタログに連続して配列した。展覧会の開催初日を基準値とした利点を活かした措置である。英語版やDVD 版についてはその存在を簡単に記すにとどめた。

編纂者

・「現代美術展一覧」および「現代美術展カタログ一覧」の編纂・協力者は次の通りである。

編纂：中島理壽　協力：墨屋宏明、澤田伸之（以上、一般社団法人アート東京）、谷川謙、谷川節子、中島保子

現代美術展カタログ一覧

1953（昭和 28）年

現代写真展〈日本とアメリカ〉目録 ●

国立近代美術館　1953 年 8 月

〔あいさつ〕（館長岡部長景）　p.2

現代アメリカ写真展によせて（エドワード・スタイヘン）　pp.3, 4　英文・和文

写真の機能と現状（伊奈信男）　p.5

写真家略伝　pp.6-20

図版　64p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE EXHIBITION OF CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY――JAPAN AND AMERICA」

会期：1953 年 8 月 29 日－10 月 4 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：アメリカ；石元泰博。日本；秋山庄太郎、天野竜一、知久義雄、土門拳、瑛九、藤本四八、福田勝治、船山克、古川秀二、二村次郎、濱谷浩、橋本保治、早田雄二、林忠彦、樋口進、平谷一登、堀口章宣、稲村隆正、石井彰、石井清、石井幸之助、石井周治、伊藤博由、伊藤憲治、岩合徳光、岩田博、木村伊兵衛、木瀬忠男、小石清、小柳春夫、前田和夫、槇野尚一、増田松樹、増島得男、真継不二夫、松島進、松田静夫、三木淳、森松秀雄、永田喜一、中村立行、西山清、仁礼輝夫、野尻敏将、納富通、越智修、生出匡、大川定夫、奥村浩、大竹省二、大東元、大内英吾、坂本万七、佐保山堯海、関白陽、柴野敬三、椎橋正雄、鈴木直治、高田正雄、高木正三、田村栄、田村茂、棚橋紫水、豊澄震太郎、土崎一、筑紫敏男、上田備山、渡辺義雄、亘理俊次、山本静夫、吉田良夫、吉岡専造〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉 ●

国立近代美術館　1953 年 12 月　2 枚(二ツ折両面刷)

図版　抽象 ABSTRACTION　1p.(8 図)

抽象芸術（植村鷹千代）　pp.1, 4

出品目録　pp.2-3

シユルレアリズムと幻想芸術（瀧口修造）　p.4

図版 幻想 SURREALISSM　1p.(8 図)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「ABSTRACTION AND SURREALISM：How to understand them?」

会期：1953 年 12 月 1 日－1954 年 1 月 20 日　竹橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：I 絵画；阿部展也、安部真知、阿部金剛、朝妻治郎、瑛九、榎戸庄衛、福沢一郎、古沢岩美、文挟克明、早瀬龍江、長谷川三郎、浜田知明、東俊二、堀田操、今井大彭、井上照子、伊藤久三郎、糸園和三郎、神谷信子、勝本富士雄、勝田寛一、桂ユキ子〔ゆき〕、川端実、河原温、城所昌夫、菊地又男、駒井哲郎、小牧源太郎、小松義雄、南大路一、水谷武彦、宮田武彦、村井正誠、村田箕史雄、籾山七重、中川タマオ、中村真、難波田龍起、西田信一、野崎南海雄、織田リラ、岡本太郎、小川孝子、岡上淑子、オノサト・トシノブ、恩地孝四郎、小山田二郎、斎藤義重、笹川由為子、下郷羊雄、品川工、杉全直、末松正樹、白木正一、多賀谷伊徳、玉置正敏、田中健三、田中君子、立石鉄臣、利根山光人、豊田一男、土屋幸夫、津高和一、鶴岡政男、内間安瑆、上野省策、宇治山哲平、漆原英子、矢島甲子夫、山口勝弘、山口長男、山口正城、山口源、山本敬輔、吉原治良、吉川三伸、油野誠一。II 彫刻；伏木南国、広井力、堀内正和、笠置季男、北代省三、昆野恆、中島快彦、勅使河原蒼風、鶴岡政男(重)、植木茂、長野隆業〔出品目録順〕

1955（昭和 30）年

19 人の作家〈戦後の絵画・彫刻〉●

国立近代美術館　1955 年 2 月

戦後十年間におけるわが国現代美術の動き（無署名）　pp.1-2, 3-4　英文併載

図版〔図版、作家略歴、作品リスト〕　pp.5-23

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「Painting and Sculpture for the past Ten years」

会期：1955 年 2 月 5 日－3 月 13 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：海老原喜之助、福田平八郎、福沢一郎、稗田一穂、東山魁夷、川口軌外、小牧源太郎、昆野恆、村井正誠、小倉遊亀、佐藤忠良、徳岡神泉、鶴岡政男、植木茂、脇田和、山口薫、山口長男、山本丘人、吉岡堅二〔図版収載順〕

日・米抽象美術展　　朝日新聞社企画部編 ●

朝日新聞社　1955 年 4 月 29 日

日米抽象美術展目録(日本側)

アメリカン・アブストラクト・アーチスト会長メッセージ（会長ヘンリー・ボトキン）

日米抽象美術展によせて（次長今泉篤男）

図版〔作家略歴、図版〕　45p.

註：図版ページはアメリカ作家のみ。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「Japan America Abstract Arts」

会期：1955 年 4 月 29 日－6 月 12 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館・朝日新聞社

註：本カタログには会期の記載は無い。

出品：油絵；宇治山哲平、小野里利信〔オノサト・トシノブ〕、勝本富士雄、川口軌外、小松義雄、杉全直、須田剋太、多賀谷伊徳、田中田鶴子、津高和一、中村真、難波田龍起、西田信一、長谷川三郎、村井正誠、山口長男、山口正城、吉原治良。版画；恩地孝四郎。彫刻；植木茂、昆野恆、建畠覚造、長野隆業、広井力、北代省三。ヴィトリーヌ；山口勝弘。書；池田水城、井上有一、上田桑鳩、笹野舟橋、篠田桃紅、森田子龍〔目録順〕

現代日本の書・墨の芸術〈ヨーロッパ巡回展覧作品国内展示会〉●

国立近代美術館　1955 年 8 月　付・出品目録 1 枚

〔ことば〕（館長岡部長景）　p.1

書の発生と展開（神田喜一郎）　pp.2-3

書と東洋精神（久松真一）　pp.4, 13

図版　pp.5-12

現代作品依嘱作家〔一覧〕　p.12

書の芸術的性格について（井島勉）　pp.13-14

現書壇の展望（森田子龍）　pp.14-16

□出品目録〔1 枚、片面刷〕

所蔵：□、国新美、東近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1955 年 8 月 20 日－28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：井上有一、上田桑鳩、江口草玄、大沢竹胎、金子鷗亭、篠田桃紅、手島右卿、比田井南谷、森田子龍ら 81 名〔出品目録順〕

今日の新人・1955 年展 ●

神奈川県立近代美術館　1955 年 12 月　1 枚(二ツ折両面刷)

今日の新人・1955 年展について（神奈川県立近代美術館運営委員会）

〔作家略歴、出品リスト〕

所蔵：□、都現美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Present-Day Promising Artists」

会期：1955 年 12 月 3 日－1956 年 1 月 15 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：木村賢太郎、須賀通泰、梅藤哲郎、毛利武士郎、山口勝弘、木内岬、建畠覚造、藤田昭子、向井良吉、赤穴宏、藤沢典明、田中阿喜良、吉仲太造、芥川〔間所〕紗織、清川泰次、玉置正敏、河原温、田中岑、漆原英子、福島秀子、真鍋博、利根山光人、今野忠一、池田龍雄、石本正、信太金昌、加藤正、野崎貢、泉茂、加山又造、浜田知明、森村惟一

1956（昭和 31）年

現代の版画〈日本とエコール・ド・パリ〉●

国立近代美術館　1956 年 5 月

図版　6 図
現代版画〈日本とエコール・ド・パリ〉（無署名）
出品目録
図版　5 図
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「CONTEMPORARY PRINTS　Japanese Artists and l' Ecole de Paris」
会期：1956 年 5 月 19 日－6 月 10 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：西洋。日本 物故者；恩地孝四郎、上阪雅人。現存作家；永瀬義郎、川西英、北川民次、川上澄生、平塚運一、初山滋、畦地梅太郎、猪熊弦一郎、棟方志功、前田藤四郎、海老原喜之助、村井正誠、山口薫、斎藤清、品川工、脇田和、浜口陽三、水船六洲、関野準一郎、浜田知明、北岡文雄、駒井哲郎、吉田穂高、吉田政次、利根山光人〔出品目録順〕

今日の写真〈日本とフランス〉●
国立近代美術館　1956 年 6 月
今日の写真展――フランスと日本（伊奈信男）
図版　10p.
出品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY　JAPAN & FRANCE」
会期：1956 年 6 月 22 日－7 月 15 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：日本；秋山庄太郎、福田勝治、船山実、濱谷浩、林忠彦、本庄光郎、稲村隆正、石元泰博、岩宮武二、木村伊兵衛、杵島隆、河野徹、三木淳、緑川洋一、中村立行、大竹省二、大辻清司、大束元、田村茂、田中徳太郎、植田正治、吉岡専造〔出品目録順〕

日本の彫刻〈上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代〉●
国立近代美術館　1956 年 9 月
日本の彫刻〈上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代〉（無署名）　p.1
図版〔図版、解説〕　pp.2-4
出品目録　pp.5-6
図版〔図版、作家略歴〕　pp.7-15
日本彫刻に関する文献(抄)　pp.16-17
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「EXHIBITION OF JAPANESE SCULPTURE Contemporary Sculpture versus Haniwa, Bronze Buddhist Statues, and Masks of the Asuka and the Nara Periods」
会期：1956 年 9 月 1 日－30 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：上代作品。現代作品；石井鶴三、木内克、長野隆業、大須賀力、菊池一雄、辻晋堂、堀内正和、舟越保武、向井良吉〔出品目録順〕

1957（昭和 32）年

前衛美術の 15 人〈特別陳列・アメリカ現代美術〉●

国立近代美術館　1957 年 5 月

前衛美術の 15 人（無署名）　pp.1, 2　英文併載

図版〔図版、作家略歴、出品リスト〕　pp.3-17

特別陳列 アメリカ現代美術（リチャード・E・フラー）　pp.18, 19　和文・英文

図版〔図版、作家略歴、出品リスト〕　pp.20-27

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「15 Vanguard Artists」

会期：1957 年 5 月 10 日－6 月 5 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：赤穴桂子、東貞美、江見絹子、藤松博、福島秀子、五味秀夫、三井永一、野田好子、小野忠弘、柴田紗千夫、阿井正典、細川宗英、木村賢太郎、森堯茂、須賀通泰。アメリカ現代美術；ガイ・アンダーソン、ケネス・キャラハン、モリス・グレーヴス、マーク・トビー、ダヴィッド・ヘア、エジオ・マルティネリ、ライス・カパーン、セイモア・リプトン〔図版収載順〕

17 人の作家〈現代の絵画・彫刻シリーズ〉●

国立近代美術館　1957 年 10 月　1 枚(三ツ折両面刷)

現代美術の動き（無署名）

出品目録

図版　17 図

戦後美術界の系譜〔図表〕

所蔵：□、国新美、東近美、東博資

○展覧会事項

欧文タイトル：「LIVING SEVENTEEN JAPANESE ARTISTS」

会期：1957 年 10 月 1 日－11 月 3 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：奥村土牛、丸木位里、岩橋英遠、加山又造、上村松篁、福田豊四郎、児島善三郎、有岡一郎、三岸節子、岡鹿之助、斎藤義重、桜井浜江、麻生三郎、杉全直、新海竹蔵、淀井敏夫、熊倉順吉〔出品目録順〕

世界現代芸術展目録 ●

〔読売新聞社・ブリヂストン美術館〕　1957 年 10 月　1 枚(二ツ折両面刷)

〔ことば〕（ミシェル・タピエ）

〔出品目録〕

註：標題紙にあたる箇所に「タピエ、マチウ、サム・フランシスを迎えて開く国際アンフォルメルの祭典」とあり

所蔵：□、国新美、東近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該リーフレットに記載無

会期：1957 年 10 月 11 日－11 月 10 日　京橋・ブリヂストン美術館　主催：読売新聞社・ブリヂストン美術館

出品：今井俊満、堂本尚郎、勅使河原蒼風〔目録順〕

集団 58 野外彫刻展目録 ●

神奈川県立近代美術館　1957 年 12 月　1 枚(二ツ折両面刷)

図版　5 図

目録

野外彫刻展の方向（土方定一）　再録

所蔵：□、国新美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1957 年 12 月 1 日－1958 年 4 月 30 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：柳原義達、昆野恆、向井良吉、建畠覚造、森堯茂、毛利武士郎、木内岬、阿井正典、木村賢太郎〔目録順〕

1958（昭和 33）年

抽象絵画の展開 ●

国立近代美術館　1958 年 6 月　1 枚(三ツ折両面刷)

図版　1 図

〔解説〕

抽象絵画の展開〈抽象絵画の理解のために〉〔図表〕

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF JAPANESE ABSTRACT PAINTING」

会期：1958 年 6 月 7 日－7 月 13 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：その先駆；坂田一男。戦前から戦後へ；恩地孝四郎、川口軌外、末松正樹、長谷川三郎、村井正誠、山口正城。今日への展開；安谷屋正義、今井俊満、宇治山哲平、内間安瑆、江見絹子、岡田謙三、小野忠弘、勝田寛一、川端実、清川泰次、小谷博貞、斎藤義重、佐藤敬、佐野繁次郎、沢田重隆、嶋本昭三、須田剋太、清野恒、田淵安一、高崎元尚、玉置正敏、津高和一、土橋醇、堂本尚郎、中井幸一、中山爾郎、難波田龍起、橋本三郎、文挟克明、藤沢典明、前田常作、松村禎夫、南大路一、宮城音蔵、村上三郎、村田簣史雄、森本健二、山口源、油野誠一、吉田政次。墨象；上田桑鳩、岡部蒼風、篠田桃紅、辻太、比田井南谷、森田子龍〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の作家を収載。

1959（昭和 34）年

戦後の秀作 ●

国立近代美術館　1959 年 1 月

戦後の秀作（無署名）　英文併載

作家小伝

出品目録

図版　22p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「POSTWAR OUTSTANDING WORKS OF ART」

会期：1959 年 1 月 23 日－3 月 1 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館・朝日新聞社

出品：洋画；朝井閑右衛門、麻生三郎、荒井龍男、飯島一次、糸園和三郎、猪熊弦一郎、牛島憲之、梅原龍三郎、海老原喜之助、岡鹿之助、桂ユキ子〔ゆき〕、川口軌厓〔軌外〕、川端実、北川民次、小磯良平、小絲源太郎、児島善三郎、小林和作、小牧源太郎、斎藤義重、佐伯米子、坂本繁二郎、桜井浜江、佐野繁次郎、杉全直、鈴木信太郎、須田国太郎、須田剋太、高橋忠弥、高畠達四郎、高間惣七、鷹山宇一、田崎廣助、鳥海青児、津高和一、鶴岡政男、中川一政、中谷泰、中村琢二、中山巍、鍋井克之、難波田龍起、野口彌太郎、林武、福沢一郎、藤井令太郎、三岸節子、三雲祥之助、宮本三郎、村井正誠、村田簀史雄、森芳雄、森田元子、安井曾太郎、山口薫、山口長男、脇田和。版画・内間安瑆、恩地孝四郎、駒井哲郎、斎藤清、長谷川潔、浜口陽三、棟方志功、吉田政次。彫刻；朝倉響子、植木茂、菊池一雄、木内克、昆野恆、佐藤忠良、清水多嘉示、新海竹蔵、辻晋堂、舟越保武、本郷新、向井良吉、柳原義達、山本豊市〔出品目録順〕

註：出品のうち、日本画家は対象外のため割愛した。

1960（昭和 35）年

現代写真展－1959 ●

国立近代美術館　1960 年 1 月　1 枚(二ツ折片面刷)

〔ことば〕

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東博資

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1960 年 1 月 5 日－24 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：秋山庄太郎、東洋介、石黒健治、石元泰博、今井寿恵、植田正治、大竹省二、大束元、風見武秀、川田喜久治、北沢広、北代省三、木村伊兵衛、河野弘、小島啓祐、迫幸一、佐藤明、清水俊彦、白川義員、菅井健雄、高田美、田沼武能、丹野章、東松照明、内藤正敏、長野重一、中村立行、奈良原一高、納富通、野口淳、橋本保治、濱谷浩、林忠彦、広友正義、

藤川清、藤本四八、二川幸夫、船山克、細江英公、堀内初太郎、真継不二夫、三木慶介、三木淳、緑川洋一、森健、柳沢信、吉村正治、米津孝、渡辺雄吉、渡辺義雄。カラー写真；阿部展也、石元泰博(重)、植田正治(重)、河合肇、木村伊兵衛(重)、木村鉄雄、小久保善吉、後藤敬一郎、東松照明(重)、長野重一(重)、中村正也、奈良原一高(重)、濱谷浩(重)、本庄光郎、真嶋五一、緑川洋一(重)、依田孝喜〔出品目録順〕

日本画の新世代 ●

国立近代美術館　1960 年 2 月

日本画の新世代（無署名）　p.1

図版〔図版、作家略歴、作品リスト〕　pp.2-24

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「RECENT DEVELOPMENT IN JAPANESE STYLE PAINTING」

会期：1960 年 2 月 26 日－3 月 27 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：今野忠一、信太金昌、下保昭、福王寺法林、石本正、稗田一穂、中村正義、渡辺学、上原卓、野崎貢、朝倉摂、麻田鷹司、加山又造、工藤甲人、下村良之介、近藤弘明、長崎莫人、岩崎巴人、大野秀隆〔俶嵩〕、岩崎鐸、上野泰郎、横山操、佐藤多持〔図版収載順〕

超現実絵画の展開 ●

国立近代美術館　1960 年 4 月

日本における超現実絵画の展開（瀧口修造）　pp.1-5

出品目録　pp.6-8

図版　pp.9-16

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF JAPANESE SURREALISTIC PAINTING」

会期：1960 年 4 月 1 日－24 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：戦後の作品；芥川〔間所〕紗織、阿部展也、安部真知、池田龍雄、泉茂、伊藤好一郎、今井大彭、上野省策、上村次敏、瑛九、大塚睦、岡本太郎、織田リラ、小山田二郎、桂川寛、桂ユキ子〔ゆき〕、加藤清美、加納光於、河原温、駒井哲郎、小牧源太郎、佐久間阿佐緒、白木正一、杉全直、立石鉄臣、玉置正敏、鶴岡政男、寺田政明、利根山光人、中村宏、野田好子、浜田知明、早瀬瀧江、福沢一郎、古沢岩美、堀田操、本田克己、松澤宥、真鍋博、水谷勇夫、三井永一、宮城輝夫、藪内正直〔出品目録順〕

註：出品欄は「戦後の作品」を収載。

集団 60 野外彫刻展目録 ●

神奈川県立近代美術館　1960 年 6 月　1 枚(二ツ折両面刷)

集団 60 野外彫刻展から（柳原義達）

〔作家略歴、出品リスト〕

所蔵：□、東近美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1960 年 6 月 1 日－10 月 31 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
出品：阿井正典、昆野恆、毛利武士郎、木村賢太郎、森堯茂、向井良吉、中島快彦、小野忠弘、建畠覚造

1961（昭和 36）年
現代写真展 1960 ●
国立近代美術館　1961 年 1 月　1 枚(三ツ折両面刷)
図版　9 図
現代写真展－1960
出品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「contemporary Japanese photographies 1960」
会期：1961 年 1 月 5 日－2 月 5 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：石元泰博、今井寿恵、岩宮武二、植田正治、大竹省二、笠井亘、片桐三樹、門田勲、河合肇、川島浩、河又松次郎、木村伊兵衛、小久保善吉、後藤敬一郎、河野弘、迫幸一、佐藤明、周はじめ、白川義員、田枝幹宏、田中一郎、田中徳太郎、多比良敏雄、田淵行男、丹野章、津田洋保、勅使河原蒼風、東松照明、土門拳、内藤正敏、長野重一、中村正也、奈良原一高、西岡伸太、野口淳、野中昭夫、野村英男、羽田敏雄、濱谷浩、林忠彦、藤川清、藤田一一、船越好文、細江英公、三木慶介、三木淳、緑川洋一、横田祐介、吉田穂高、渡辺義雄、渡部雄吉〔出品目録順〕
現代美術の実験 ●
国立近代美術館　1961 年 4 月
現代美術の実験（瀬木慎一）pp.2-5
図版　4 図〔表紙共〕
出品目録〔作家略歴〕pp.6-8
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「Adventure in Today's Art of Japan」
会期：1961 年 4 月 12 日－30 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：荒川修作、因藤壽、越智靖〔オチ・オサム〕、菊畑茂久馬、工藤哲巳、久野真、小畠廣志、白髪一雄、田中敦子、田中栄作、中西夏之、樋口シン、松澤宥、元永定正、吉仲太造、バイヤーズ〔出品目録順〕

1962（昭和 37）年
現代絵画の展望〈近代日本美術代表作品シリーズ IV〉 ●

国立近代美術館　1962 年 2 月
現代絵画の展望（無署名）
出品目録
出品作家小伝
図版　23p.
註：国立近代美術館では改築工事が実施されたため、この期間は他の施設を利用して企画展を開催した。本展もそのシリーズの一つで、最終展に位置する。会場は日本橋・三越本店だが国立近代美術館の主催展なので採録した。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、横浜美、愛芸文
〇展覧会事項
欧文タイトル：「PROMINENT WORKS OF CONTEMPORARY JAPANESE PAINTING」
会期：1962 年 2 月 13 日－25 日　日本橋・三越本店　主催：国立近代美術館
出品：日本画；麻田鷹司、岩橋英遠、上村松篁、奥村土牛、小倉遊亀、加山又造、下村良之介、杉山寧、髙山辰雄、堂本印象、徳岡神泉、中村岳陵、橋本明治、東山魁夷、福田平八郎、丸木位里、山口蓬春、山本丘人、横山操、吉岡堅二。油絵；麻生三郎、糸園和三郎、海老原喜之助、江見絹子、岡鹿之助、岡田謙三、香月泰男、川端実、北川民次、小絲源太郎、児島善三郎、斎藤義重、杉全直、須田剋太、高間惣七、田崎廣助、田中田鶴子、田中忠雄、鳥海青児、津高和一、堂本尚郎、中川一政、鍋井克之、野口彌太郎、林武、福沢一郎、村井正誠、山口薫、山口長男、脇田和〔出品目録順〕

1963（昭和 38）年
現代写真展 1961／1962 ●
国立近代美術館　1963 年 1 月　1 枚(三ツ折両面刷)
図版　9 図
現代写真展－1961／1962
出品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、横浜美
〇展覧会事項
欧文タイトル：「contemporary Japanese photographies 1961／1962」
会期：1963 年 1 月 5 日－25 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：青野義一、浅野明、石元泰博、稲村不二雄、井上青竜、岩宮武二、大上智、小川隆之、川田喜久治、栗原達男、桑原史成、小久保善吉、杉木直也、鈴木克美、竹村嘉夫、玉井瑞夫、東松照明、富山治夫、土門拳、長野重一、奈良原一高、秋元啓一＋土崎一＋船山克＋槇野尚一、仁礼兼義、原田義和、広瀬文雄、深瀬昌久、福島菊次郎、藤木高嶺、二川幸夫、細江英公、三木淳、緑川洋一、宮川恒二、宗源博久、山田照夫、山村雅昭、横須賀功光、横田祐介、吉田幹夫、依田孝喜、渡辺義雄、渡部雄吉、亘理俊次、名取洋之助。特別出品；石元泰博、今井寿恵、木村伊兵衛、後藤敬一郎、東松照明、土門拳、奈良原一高〔出品目録順〕
現代絵画の動向 ●

国立近代美術館京都分館　1963 年 4 月　1 枚(二ツ折両面刷)〔現代美術の動向シリーズ第 1 回展〕
現代絵画の動向（今泉篤男）
図版　13 図
目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、京都学(9 冊合綴のうち)
○展覧会事項
欧文タイトル：「Trend of Contemporary Japanese Paintings」
会期：1963 年 4 月 27 日－5 月 26 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館　〔現代美術の動向シリーズ第 1 回展〕
出品：鳥海青児、海老原喜之助、福沢一郎、岩橋英遠、糸園和三郎、山口薫、香月泰男、小牧源太郎、丸木位里、加山又造、荻太郎、麻生三郎、芝田米三、野見山暁治、中本達也、岡田謙三、山口長男、村井正誠、鶴岡政男、吉原治良、須田剋太、川端実、津高和一、難波田龍起、斎藤義重、杉全直、田中岑、今井俊満、赤穴宏、田淵安一、前田常作、田中田鶴子、堂本尚郎、高橋秀、森田子龍、井上有一、桂ユキ子〔ゆき〕、宮脇愛子、因藤壽、磯辺行久、下村良之介、大野俶嵩、古田安、野村耕、深見隆、久野真、村上善男、白髪一雄、元永定正、片岡真太郎、富岡惣一郎、関根勢之助、高瀬善明、森本岩雄、井上篤、村上三郎、楠田信吾、坂本昌也、花房寿夫、岩田重義〔目録順〕

彫刻の新世代 ●
国立近代美術館　1963 年 5 月
彫刻の新世代（中村傳三郎）　英文併載
出品目録
図版〔図版、作品リスト、作家略歴〕　18p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、京都学(9 冊合綴のうち)
○展覧会事項
欧文タイトル：「NEW GENERATION OF JAPANESE SCULPTORS」
会期：1963 年 5 月 17 日－6 月 16 日　国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：江口週、小田襄、掛井五郎、小畠廣志、篠田守男、志水晴児、多田美波、富樫一、中西夏之、原武典、樋口シン、日高頼子、広重昌子、三上友也、最上壽之、山崎脩、湯原和夫、若林奮〔出品目録順〕

現代絵画の動向〈西洋と日本〉 ●
国立近代美術館京都分館　1963 年 7 月　2 枚(二ツ折両面刷 1 枚＋両面刷 1 枚)〔現代美術の動向シリーズ第 2 回展〕
現代絵画の動向〈西洋と日本〉（今泉篤男）
図版　6 図
出品作家小伝
目録
所蔵：□、東文研、国新美、東近美、東博資、都現美、京都学(9 冊合綴のうち)

〇展覧会事項

欧文タイトル：「contemporary trend of paintings：occident and japan」

会期：1963 年 7 月 6 日－8 月 29 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館　〔現代美術の動向シリーズ第 2 回展〕

出品：カレル・アペル、ジャン・アトラン、ジャン・カルズー、ジャン・デュビュッフェ、江見絹子、ジャン・フォートリエ、ルイス・フェイト、ルチオ・フォンタナ、福島秀子、サム・フランシス、ハンス・アルトウング、フリッツ・フンデルトワッサー、井原康雄、今井俊満、ジャスパー・ジョーンズ、桂ユキ子〔ゆき〕、川端実、木梨アイネ、イヴ・クライン、前田常作、フレッド・マーチン、ジョルジュ・マチュー、森口宏一、元永定正、ジョン・ミッチェル、アントニオ・ミュージック、オノサト・トシノブ、アルヌルフ・ライナー、斎藤義重、ジュラール・シュナイダー、篠田桃紅、白髪一雄、須田剋太、菅井汲、高間惣七、田中敦子、アントニオ・タピエス、津高和一、吉原治良、ザオ・ウーキー〔目録順〕

1964（昭和 39）年

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 3 回展〕●

国立近代美術館京都分館　1964 年 4 月

現代美術の動向 絵画と彫塑（無署名）　英文併載

出品目録　英文併載

図版〔図版、作家略歴〕　23p.

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TREND OF JAPANESE PAINTINGS AND SCULPTURES」

会期：1964 年 4 月 4 日－5 月 10 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館　〔第 3 回展〕

出品：絵画；豊川修作、石橋行雄、磯辺行久、伊藤隆康、伊藤利彦、稲葉治夫、上野憲男、上前智祐、宇佐美圭司、岡本信治郎、小倉浩二、オノサト・トシノブ、菊畑茂久馬、木梨アイネ、工藤哲巳、志賀健蔵、下村良之介、須賀卯夫、関根勢之助、高井貞二、高瀬善明、土井俊泰、中西夏之、中西康進、針生鎮郎、馬場彬、藤谷悟、正延正俊、丸本耕、三上誠、三島喜美代、水谷勇夫、宮本浩二、向井修二、村上友康、山崎つる子、山下菊二、渡辺恂三。彫塑；吾妻兼治郎、上田弘明、梅本昭、江口週、小田襄、児玉正美、塩見哲郎、篠田守男、志水晴児、寺尾恍示、富樫実、平川正道、福岡道雄、福嶋敬恭、三宅多喜男、宮永理吉、向井良吉、村岡三郎、村上泰造、最上壽之、山崎脩、湯原和夫、若林奮〔出品目録順〕

今日の作家 64 年展 ●

〔横浜市〕　1964 年 6 月　第 1 回今日の作家展

「今日の作家 64 年展」（中原佑介）　pp.3-4

図版〔図版、略歴〕　pp.5-18

作品目録　pp.19-23

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition：'64」

会期：1964 年 6 月 17 日－7 月 8 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　横浜現代美術館開設準備委員会：針生一郎、東野芳明、加藤衛、川添登、吉原慎一郎、吉沢忠、瀧口修造、園田敬男、中原佑介、瀬木慎一、主催：横浜市

出品：磯辺行久、小田襄、渡辺恂三、加納光於、田中栄作、山口勝弘、村上善男、元永定正、水谷勇夫、多田美波、向井修二、山下菊二、小久保彰、岡本信治郎〔作品目録順〕

戦後の現代日本美術展(1945～1960) ●

神奈川県立近代美術館　1964 年 9 月

戦後の現代日本美術（神奈川県立近代美術館運営委員会）　pp.1-2

作品目録・作家略歴　pp.3-17, 18-32　英文併載

図版　38p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル:「CONTEMPORARY ARTS OF JAPAN AFTER THE WAR II(1945～1960)」

会期：1964 年 9 月 20 日－11 月 8 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：阿部展也、靉光、赤穴宏、朝井閑右衛門、麻生三郎、荒井龍男、鳥海青児、海老原喜之助、江見絹子、福田豊四郎、福沢一郎、長谷川晶、橋本明治、林武、東山魁夷、堀文子、飯田操朗、今井俊満、今西中通、猪熊弦一郎、井上長三郎、糸園和三郎、岩橋英遠、金山康喜、片岡球子、加藤栄三、加山又造、川端実、川口軌外、河原温、香月泰男、北川民次、北脇昇、児島善三郎、小牧源太郎、工藤甲人、松本竣介、森芳雄、村井正誠、中谷泰、野田英夫、野口彌太郎、荻太郎、荻須高徳、岡鹿之助、岡田謙三、岡本太郎、大森朔衛、オノサト・トシノブ、斎藤義重、佐野繁次郎、佐藤敬、島崎鶏二、須田国太郎、菅野圭哉〔圭介〕、杉全直、杉山寧、田淵安一、田畔司朗、高畠達四郎、高間惣七、髙山辰雄、田中阿喜良、田中岑、鶴岡政男、内田巌、上村松篁、上野泰郎、脇田和、山口長男、山口薫、吉原治良、真鍋博。版画；麻生三郎(重)、海老原喜之助(重)、瑛九、深沢幸雄、福井良之助、藤田嗣治、浜口陽三、浜田知明、一原有徳、池田満寿夫、加納光於、駒井哲郎、国吉康雄、日下賢二、益田義信、南桂子、三井永一、森義利、棟方志功、村井正誠(重)、萩原英雄、斎藤寿一、関野準一郎、菅井汲、山口源、吉田穂高、吉田政次〔作品目録順〕

註：出品作家のうち靉光、飯田操朗、今西中通、児島善三郎、松本竣介、野田英夫、島崎鶏二は戦前作品の出品で、鳥海青児、林武、堀文子、岡田謙三、佐野繁次郎、菅野圭哉、真鍋博、版画の藤田嗣治、浜田知明、益田義信、棟方志功、村井正誠は制作年が未詳。

1965（昭和 40）年

日本・カラー1964 Color in Japan〈現代写真代表作展／特陳・東京オリンピック報道写真〉 ●

国立近代美術館京都分館　1965 年 1 月　1 枚(四ツ折両面刷)

日本の写真家（金丸重嶺）
日本・カラー1964〈現代写真代表作展〉〔出品目録〕
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、京都学
○展覧会事項
欧文タイトル：「Color in Japan Masterpieces of Contemporary Photography Accompanied with Photo Report during Tokyo Olympics」
会期：1965 年 1 月 23 日－2 月 21 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館
出品：秋元啓一、秋山庄太郎、土門拳、藤川清、藤本四八、福田勝治、船山克、二川幸夫、後藤敬一郎、濱谷浩、早崎治、林忠彦、早田雄二、本庄光郎、堀内初太郎、細江英公、今井寿恵、稲村隆正、入江泰吉、石井清、石元泰博、岩宮武二、河合肇、杵島隆、木村伊兵衛、児島寛二、小久保善吉、黒川清司、緑川洋一、三木淳、長野重一、中村正也、中村立行、奈良原一高、西山清、岡田紅陽、大竹省二、大辻清司、大束元、大内英吾、佐藤辰三、島田謹介、杉山吉良、田中光常、田中徳太郎、棚橋紫水、田沼武能、東松照明、植田正治、渡辺雄吉、渡辺義雄、依田孝喜、横須賀功光、吉田利雄、吉川富三、吉岡専造〔出品目録順〕

戦中世代の画家 ●
国立近代美術館　1965 年 1 月
戦中世代の画家（本間正義）　英文併載
出品目録
図版〔作家解説〕　18p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「painters of the “senchū” generation」
会期：1965 年 1 月 29 日－2 月 28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：赤穴宏、朝倉摂、麻生三郎、石本正、大森朔衛、工藤甲人、近藤弘明、佐藤真一、杉全直、常盤大空、野田好子、野見山暁治、稗田一穂、平川敏夫、堀文子、山下菊二、山本正、吉田善彦〔出品目録順〕

現代美術の動向〈絵画と彫塑〉〔第 4 回展〕 ●
国立近代美術館京都分館　1965 年 6 月
現代美術の動向 絵画と彫塑（国立近代美術館京都分館）　英文併載
図版〔作家解説、作品リスト、図版〕　11p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「CONTEMPORARY TREND OF JAPANESE PAINTINGS AND SCULPTURES」
会期：1965 年 6 月 18 日－7 月 25 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館　〔第 4 回展〕
出品：絵画；荒川修作、麻田浩、中馬泰文、後藤昭夫、細木茂子、市村司、加納光於、小松

豊、小本章、昆野勝、真野岩夫、宮崎万平、森本紀久子、野見山暁治、野村久之、岡部繁夫、岡本信治郎、小野田實、関根美夫、重延瓔子、篠原有司男、白髪一雄、田口安男、高崎元尚、豊島弘尚、宇佐美圭司、ヨシダミノル、吉仲太造。彫塑；細川宗英、井上武吉、木村賢太郎、小島信明、松本正司、三木富雄、宮永理吉、村上泰造、野崎一良、大谷文男、篠田守男、鈴木実、多田美波、滝口勝、田中栄作、梅本昭〔図版収載順〕

在外日本作家展〈ヨーロッパとアメリカ〉●

国立近代美術館　1965 年 10 月　英文併載

〔あいさつ〕（館長稲田清助）

ヨーロッパの日本作家たち（河北倫明）

アメリカの日本作家たち（本間正義）

図版〔図版、作家略歴〕 53p.

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「EXHIBITION OF JAPANESE ARTISTS ABROAD Europe and America」

会期：1965 年 10 月 15 日－11 月 28 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：ヨーロッパ；阿部展也、千葉勝、吾妻兼治郎、豊福知徳、保田春彦、藤田吉香、佐々木四郎、飯田善國、泉茂、今井俊満、鬼頭曄、木村忠太、佐藤敬、嶋田しづ、菅井汲、関口俊吾、館慶一、田中阿喜良、田中修、田淵安一、堂本尚郎、土橋醇、前田常作、長谷川潔、浜口陽三、南桂子、水井康雄。アメリカ；靉嘔、荒川修作、猪熊弦一郎、岩崎鐸、岡田謙三、川島猛、川端実、河原温、木村令二、清川泰次、桑山忠明、桑山忠祐〔タダスキー〕、近藤竜男、下田治、高井貞二、高山道雄、平岡弘子、福井延光、東典男、池川司郎、大館年男、草間彌生、新妻実、吉村益信、大橋泰。メキシコ；高橋清〔出品目録順〕

今日の作家'65 年展 ●

〔横浜市〕 1965 年 11 月　第 2 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

図版〔作家略歴、図版〕 13 図

今日の作家展・作品リスト

所蔵：□、国新美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ARTISTS TO-DAY EXHIBITION 1965」

会期：1965 年 11 月 5 日－15 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　横浜現代美術館開設準備委員会：針生一郎、東野芳明、加藤衛、川添登、吉原慎一郎、吉沢忠、瀧口修造、園田敬男、中原佑介、瀬木慎一、主催：横浜市

出品：荒川修作、志水晴児、宇佐美圭司、菊畑茂久馬、井上武吉、加藤清美、岡部繁夫、白髪一雄、高崎元尚、松本陽子、森本紀久子、栃木順子、藤田昭子、吉仲太造〔作品リスト順〕

具象絵画の新たなる展開 ●

国立近代美術館京都分館　1965 年 12 月

〔ことば〕（国立近代美術館京都分館）　英文併載

出品目録
図版〔作家略歴、図版〕 10p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル：「FIGURATIVE PAINTING IN JAPAN AFTER THE WAR」
会期：1965 年 12 月 17 日－1966 年 1 月 30 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館
出品：麻生三郎、飯島一次、糸園和三郎、牛島憲之、海老原喜之助、大沢昌助、岡鹿之助、荻太郎、奥谷博、織田廣喜、香月泰男、金田辰弘、彼末宏、北川民次、久保守、桑原正昭、佐野繁次郎、芝田米三、近岡善次郎、鳥海青児、中谷泰、野見山暁治、福沢一郎、福本章、松本宏、三岸節子、森芳雄、矢橋六郎、山口薫、脇田和〔出品目録順〕

1966（昭和 41）年
現代美術の新世代 ●
国立近代美術館　1966 年 1 月
現代美術の新世代（三木多聞）　英文併載
図版〔図版、作品リスト、作家略歴〕 21p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「new generation of contemporary art」
会期：1966 年 1 月 21 日－2 月 27 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館
出品：伊藤隆康、稲葉治夫、宇佐美圭司、江口週、岡本信治郎、小田襄、小野田實、橿尾正次、喜谷繁暉、重延瓔子、篠原有司男、清水晃、高松次郎、高山尚、豊島弘尚、福岡道雄、三木富雄、向井修二、森口宏一、森本紀久子、若林奮〔図版収載順〕
現代美術の動向〔第 5 回展〕 ●
国立近代美術館京都分館　1966 年 5 月
〔ことば〕（国立近代美術館京都分館）　英文併載
図版〔図版、作家略歴、作品リスト〕 13p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE PAINTING AND SCULPTURE」
会期：1966 年 5 月 10 日－6 月 5 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館　〔第 5 回展〕
出品：蛯子善悦、江口週、福田武、橋本典子、八田豊、平田洋一、今井祝雄、今中クミ子、岸本清子、松本陽子、松谷武判、森口宏一、村上善男、栄利秋、鈴木正教、高橋安子、高松次郎、田中繁一、田中信太郎、田中稔之、当摩忠子、土谷武、若林奮、山口勝弘、矢野正治〔図版収載順〕

現代写真の 10 人 ●

国立近代美術館　1966 年 7 月

今日の写真・時間と空間（金丸重嶺）　英文併載

図版〔図版、作家略歴〕　10p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「TEN ARTISTS OF CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY」

会期：1966 年 7 月 15 日－8 月 21 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：安斎吉三郎、佐藤明、篠山紀信、高梨豊、東松照明、富山治夫、中村由信、奈良原一高、細江英公、横須賀功光〔図版収載順〕

新しい世界の美術 ●

香川県文化会館　1966 年 10 月 8 日　〔第 1 回〕

〔あいさつ〕（館長久保隆美）

出品目録

図版〔解説、作家略歴、図版〕　44p.

〔新しい世界の美術の流れ図〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART OF THE WORLD」

会期：1966 年 10 月 8 日－21 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館

出品：斎藤義重、菅井汲、磯辺行久、今中クミ子、川島猛

註：出品欄は出品目録が無いので作家解説に拠った。

今日の作家’66 年展 ●

〔横浜市〕　1966 年 10 月　第 3 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

図版〔作家略歴、図版〕　15 図

今日の作家展・作品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ARTISTS TO-DAY EXHIBITION 1966」

会期：1966 年 10 月 14 日－26 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：針生一郎、東野芳明、加藤衛、川添登、吉原慎一郎、吉沢忠、瀧口修造、園田敬男、中原佑介、瀬木慎一、

主催：横浜市

出品：今井祝雄、稲葉治夫、大野増穂、小島信明、重延瓔子、白井昭子、高松次郎、田中不二、野村博、八田豊、細川宗英、細田政義、前田常作、三好敏弘、ヨシダミノル、若尾和呂〔作品リスト順〕

1967（昭和 42）年

現代美術の動向〔第 6 回展〕 ●

京都国立近代美術館　1967 年 7 月
現代美術の動向（乾由明）　英文併載
図版〔図版、作家略歴、作品リスト〕　16p.
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、愛芸文、京都学(12 冊合綴のうち)
○展覧会事項
欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」
会期：1967 年 7 月 8 日－8 月 13 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館 〔第 6 回展〕
出品：靉嘔、青木マサオ、井田照一、伊藤隆康、大野増穂、岡崎和郎、岡田博、加納光於、聴濤襄治、日下賢二、榊健、坂本文男、坂本正治、白井昭子、鈴木実、高橋由明、寺尾恍示、寺田武弘、中西夏之、野中ユリ、福嶋敬恭、船井裕、松田豊、松本正司、宮脇愛子、森省一郎、湯原和夫、吉田稔郎、ヨシダミノル、吉原英雄、吉村益信、若尾和呂〔図版収載順〕

今日の作家'67 年展 ●
〔横浜市〕　1967 年 10 月　第 4 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)
図版〔作家略歴、図版〕　15 図
今日の作家・作品リスト
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition：'67」
会期：1967 年 10 月 15 日－26 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：針生一郎、川添登、瀧口修造、瀬木慎一、東野芳明、吉原慎一郎、園田敬男、加藤衛、吉沢忠、中原佑介、主催：横浜市
出品：篠田守男、福岡道雄、澄川喜一、尼野和三、大島哲以、中村正義、佐藤亜土、靉嘔、池田満寿夫、片山未加、斎藤寿一、野中ユリ、横尾忠則、飯塚八朗、福嶋敬恭、岡田博、田中信太郎〔作品リスト順〕

1968（昭和 43）年
現代美術の動向〔第 7 回展〕●
京都国立近代美術館　1968 年 8 月
現代美術の動向（鈴木健二）　英文併載
図版〔図版、作家略歴、作品リスト〕　13p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、京都学(12 冊合綴のうち)
○展覧会事項
欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART 1968」
会期：1968 年 8 月 16 日－9 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館 〔第 7 回展〕
出品：粟津潔、市村実、伊藤隆道、伊原通夫、宇佐美圭司、大石もも子、柏原えつとむ、河

口龍夫、楠田信吾、幸村真佐男、下谷千尋、庄司達、新宮晋、関根伸夫、田中信太郎、寺門晃、栃木順子、戸山築、中沢潮、楢原雍、野田哲也、野中ユリ、松本旻、三尾公三、宮川憲明、山本圭吾〔図版収載順〕

第 2 回現代美術選抜展図録 ●

〔文化庁〕 1968 年 9 月

図版 pp.3-17

美術団体の系譜 p.18

現代美術選抜展について（手塚真一） pp.19-21

出品作品ならびに作家一覧〔付・制作意図〕 pp.21-29

第 2 回「現代美術選抜展」実施要項 pp.30-31

〔主催、期日・会場〕 p.32

註：本展から「現代美術選抜展」として文化庁の主催によって開催された。第 1 回に相当するのが「中央美術団体受賞作品展」で、前年の 1967 年 10 月に文部省と北海道教育委員会の主催により札幌・北海道立美術館で開催されている（秋田県でも開催されたようだが詳細は未確認）。

所蔵：□、東近美

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1968 年 9 月 22 日－10 月 6 日 松江・島根県立博物館 主催：文化庁・島根県教育委員会／10 月 15 日－27 日 徳山・出光会館 主催：文化庁・山口県教育委員会・徳山市教育委員会・出光美術館／11 月 7 日－16 日 富山県民会館 主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・富山新聞社／11 月 24 日－12 月 3 日 浦和・埼玉会館 主催：文化庁・埼玉県・埼玉県教育委員会

出品：日本画；伊東万耀、下保昭。洋画；佐伯米子、佐竹徳、中村善策。彫刻；進藤武松、水船六洲。工芸；海野建夫、叶光夫〔出品目録順〕

註：出品欄は招待出品の作家のみ収載。

今日の作家 68 年展 ●

〔横浜市〕 1968 年 11 月 第 5 回今日の作家展 1 枚(六ツ折両面刷)

図版〔作家略歴、図版〕 19 図

今日の作家展・作品リスト

所蔵：□、国新美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Artists・to-day Exhibition ’68」

会期：1968 年 11 月 1 日－11 日 桜木町・横浜市民ギャラリー 開催委員：針生一郎、川添登、瀧口修造、瀬木慎一、東野芳明、吉原慎一郎、園田敬男、加藤衛、吉沢忠、中原佑介、主催：横浜市

出品：泉茂、最上壽之、篠原有司男、豊島弘尚、森口宏一、稲葉桂、土谷武、宮脇愛子、小野教治、牛玖健治、吹田文明、馬場彬、吉原英雄、山本圭吾、飯田善國、前山忠、斉藤顕治、

木村直道、今中クミ子、吉村益信〔作品リスト順〕

1969（昭和 44）年

日本画の新人たち ●

京都国立近代美術館　1969 年 5 月

日本画の新人たち（京都国立近代美術館）　英文併載

図版〔図版、作家略歴、出品目録〕　9p.

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、神近美、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「YOUNG ARTISTS IN JAPANESE-STYLE PAINTING」

会期：1969 年 5 月 20 日－6 月 15 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：池田幹雄、岩澤重夫、上村淳之、宇田裕彦、烏頭尾精、大島哲以、川﨑春彦、黒沢吉蔵、後藤純男、佐々木裕久、下田義寛、長崎莫人、西村昭二郎、橋本龍美、平山郁夫、松尾敏男、三谷青子、山岸純〔図版収載順〕

現代世界美術展〈東と西の対話〉 ●

東京国立近代美術館　1969 年 6 月　開館記念展

挨拶（館長小林行雄）　pp.3, 4　英文併載

序（本間正義）　pp.5-6, 7-8　英文併載

図版　pp.9-97

出品目録　pp.99-103

作家略歴　pp.104-114

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART Dialogue between the East and the West」

会期：1969 年 6 月 12 日－8 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：日本；荒川修作、靉嘔、吾妻兼治郎、江口週、福岡道雄、堀内正和、飯田善國、井上有一、木村賢太郎、三木富雄、元永定正、斎藤義重、菅井汲、高松次郎、田中信太郎、豊福知徳、宇佐美圭司、若林奮、山口勝弘、吉原治良〔出品目録順〕

註：出品欄は「日本」の部のみ収載。

現代美術の動向〔第 8 回展〕 ●

京都国立近代美術館　1969 年 8 月

現代美術の動向（京都国立近代美術館）　英文併載

図版〔図版、作家略歴、作品リスト〕　17p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、京都学(12 冊合綴のうち)、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」

会期：1969 年 8 月 19 日－9 月 23 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館〔第 8 回展〕

出品：浅井昭、飯田昭二、狗巻賢二、榎本建規、大西清自、奥田善巳、小野教治、加藤アキラ、瓦林睦生、木村光佑、黒崎彰、小清水漸、小林はくどう、ザ・プレイ、菅隆子、鈴木慶則、高橋士郎、田中薫、富張広司、戸村浩、永井一正、名坂千吉郎、成田克彦、西真、林俊憲、原口典之、樋口正一郎、松澤宥、松谷武判、矢辺啓司、矢柳剛、吉田克朗、李禹煥〔図版収載順〕

第 3 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1969 年 9 月

〔現代美術選抜展〕（無署名）

図版　16p.

出品目録〈作家・作品・ことば〉

〔出品団体系図〕

第 3 回現代美術選抜展実施要項

所蔵：□、東近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：甲府展；1969 年 9 月 17 日－23 日　山交百貨店 5 階展示場　主催：文化庁・山梨県教育委員会・山梨県芸術祭運営委員会／金沢展；10 月 4 日－12 日　北陸放送会館ホール　主催：文化庁・石川県・石川県教育委員会・金沢市・北国新聞社／九州展；11 月 20 日－12 月 2 日　北九州市立八幡美術館　主催：文化庁・福岡県教育委員会・北九州市教育委員会

出品：日本画；中村貞以、広田多津。洋画；川上尉平、髙田誠、田中阿喜良、吉原英雄。彫刻；峯孝〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買い上げ作品の作家のみ収載。なお、本展は北九州市立八幡美術館〔巡回 3-3〕のみで採録。

今日の作家'69 年展 ●

〔横浜市〕　1969 年 11 月　第 6 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

図版〔作家略歴、図版〕　21 図

作品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1969 年 11 月 7 日－18 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：針生一郎、川添登、瀧口修造、瀬木慎一、東野芳明、吉原慎一郎、園田敬男、加藤衛、吉沢忠、中原佑介、主催：横浜市

出品：伊藤隆道、飯田昭二、永井一正、日下賢二、野田哲也、天野邦弘、橿尾正次、市村司、松村定育、佐藤努、千田高詩、川村直子、福田繁雄、伊原通夫、吉田稔郎、工藤哲巳、大西清自、矢辺啓司、池水慶一、三尾公三〔作品リスト順〕

1970（昭和 45）年

現代美術の動向〔最終第 9 回展〕●

京都国立近代美術館　1970 年 7 月

現代美術の動向（京都国立近代美術館）　英文併載

図版〔図版、作家略歴、作品リスト〕　10p.

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美、京都学、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「TRENDS IN CONTEMPORARY JAPANESE ART」

会期：1970 年 7 月 7 日－8 月 9 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館　〔最終第 9 回展〕

出品：五辻茂、榎倉康二、大黒利幸、木村光佑、木村利三郎、倉貫徹、佐藤亜土、佐藤重信、佐野芳樹、白浜信明、菅木志雄、高山登、武里惣、寺田武弘、トウハンシ、楢原雍、野村仁、八田淳、原健、舩坂芳助、水上旬、梁島晃一、吉田克朗〔図版収載順〕

1970 年 8 月　現代美術の一断面 ●

東京国立近代美術館　1970 年 8 月

〔あいさつ〕（東京国立近代美術館）　英文併載

「70 年 8 月」展企画の弁（東野芳明）　英文併載

図版〔作家略歴、コメント、図版〕　26p.

コメント（狗巻賢二、大西清自〔再録〕、河口龍夫、小清水漸、菅木志雄、高橋雅之、高松次郎、田中信太郎、成田克彦、本田眞吾、矢辺啓司、吉田克朗、李禹煥〔再録〕）

出品目録　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「AUGUST 1970－ASPECTS OF NEW JAPANESE ART」

会期：1970 年 8 月 4 日－30 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：狗巻賢二、大西清自、河口龍夫、小清水漸、菅木志雄、高橋雅之、高松次郎、田中信太郎、成田克彦、本田眞吾、矢辺啓司、吉田克朗、李禹煥〔出品目録順〕

第 4 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1970 年 9 月

図版　18p.

〔現代美術選抜展〕（無署名）

出品目録

第 4 回現代美術選抜展開催要項(抄)

出品団体・出品点数一覧

〔出品団体系図〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：奈良展；1970 年 9 月 19 日－10 月 4 日　奈良県文化会館　主催：文化庁・奈良県・奈良県教育委員会／香川展；10 月 10 日－25 日　高松・香川県文化会館　主催：文化庁・香川県・香川県文化会館／高知展；11 月 7 日－15 日　高知県立郷土文化会館　主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館／茨城展；11 月 22 日－12 月 1 日　日立市民会館　主催：文化庁・茨城県教育委員会・日立市・日立市教育委員会

出品：日本画；大森運夫、加倉井和夫、下田義寛。洋画；猪熊弦一郎、北川民次、田村一男、藤田吉香。彫刻；水船六洲〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上作品の作家のみ収載。

今日の作家 70 年展 ●

〔横浜市〕　1970 年 10 月　第 7 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

図版〔図版、作家略歴〕　20 図

出品作家・作品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition ’70」

会期：1970 年 10 月 20 日－30 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：加藤衛、川添登、瀬木慎一、園田敬男、東野芳明、中原佑介、針生一郎、吉原慎一郎、吉沢忠、主催：横浜市

出品：石井厚生、魚田元生、海老原暎、河口龍夫、木村光佑、国島征二、小清水漸、小林はくどう、柵山龍司、菅木志雄、中里斉、速水史朗、福井延光、本田眞吾、マッド・アマノ、松原龍夫、松本旻、山本美智代、吉田克朗、若江漢字〔作品リスト順〕

1971（昭和 46）年

戦後美術のクロニクル展 ●

神奈川県立近代美術館　1971 年 4 月

昭和期美術の展開について（匠秀夫）

戦後美術の編年史(洋画・日本画)

作品目録

図版　26p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1971 年 4 月 3 日－5 月 16 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館

出品：岡鹿之助、福沢一郎、鳥海青児、野口彌太郎、海老原喜之助、林武、岡本太郎、吉原治良、野田英夫、北川民次、長谷川三郎、山口薫、児島善三郎、靉光、松本竣介、森芳雄、脇田和、村井正誠、鷹山宇一、高畠達四郎、金山康喜、麻生三郎、河原温、瑛九、斎藤義重、川端実、山口長男、オノサト・トシノブ、朝井閑右衛門、岡田謙三、白髪一雄、今井俊満、

元永定正、菅井汲、前田常作、堂本尚郎、鶴岡政男、井上長三郎、香月泰男、高松次郎、山下菊二、宇佐美圭司、糸園和三郎、荒川修作、荻須高徳、宇治山哲平、阿部展也、三尾公三、福田平八郎、福田豊四郎、東山魁夷、小倉遊亀、徳岡神泉、工藤甲人、髙山辰雄、平山郁夫、横山操、平川敏夫、片岡球子、橋本明治、渡辺学、上村松篁、池田幹雄、稗田一穂、丸木位里、近藤弘明、奥村土牛、岩橋永遠〔英遠〕、石本正、加山又造、山本丘人、駒井哲郎、浜口陽三、南桂子、浜田知明、池田満寿夫、棟方志功、秀島由己男、横尾忠則、加納光於、靉嘔〔作品目録順〕

今日の 100 人展 ●

兵庫県立近代美術館　1971 年 9 月　開館 1 周年記念・毎日新聞創刊 100 年記念　兵美特展目録 No.6

〔あいさつ〕（兵庫県立近代美術館・毎日新聞社）

《今日の 100 人展》について（乾由明）

図版・作家略歴　52p.

出品目録

1960 年代現代美術年表（木村重圭編）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1971 年 9 月 5 日－10 月 3 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・毎日新聞社

出品：絵画；麻田鷹司、上原卓、大野俶嵩、加山又造、工藤甲人、近藤弘明、下田義寛、関川都、髙山辰雄、西山英雄、平川敏夫、平山郁夫、丸木位里、横山操、渡辺学、荒川修作、泉茂、糸園和三郎、井上長三郎、猪熊弦一郎、宇佐美圭司、大沢昌助、岡本信治郎、奥谷博、オノサト・トシノブ、片山昭弘、香月泰男、桂ユキ子〔ゆき〕、鴨居玲、北山泰斗、小牧源太郎、斎藤義重、白髪一雄、須賀卯夫、菅井汲、杉全直、高井貞二、高松次郎、田淵安一、津高和一、野中ユリ、藤田吉香、前田常作、三尾公三、村井正誠、元永定正、山口長男、吉原治良。版画；靉嘔、尼野和三、池田満寿夫、磯辺行久、井田照一、加納光於、木村光佑、日下賢二、黒崎彰、永井一正、野田哲也、萩原英雄、浜田知明、吹田文明、舩坂芳助、松谷武判、松本旻、矢柳剛、横尾忠則、吉原英雄。彫刻；吾妻兼治郎、飯田善國、伊藤隆道、伊藤隆康、井上武吉、伊原通夫、小田襄、河口龍夫、聴濤襄治、木村賢太郎、小清水漸、栄利秋、篠田守男、下谷千尋、新宮晋、関根伸夫、多田美波、建畠覚造、田中信太郎、辻晋堂、豊福知徳、野崎一良、福嶋敬恭、堀内正和、向井良吉、最上壽之、森口宏一、八木一夫、保田春彦、湯原和夫、吉村益信、若林奮〔出品目録順〕

第 5 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1971 年 9 月

図版　18p.

〔現代美術選抜展〕（無署名）

出品目録〈作家・作品・ことば〉

第 5 回現代美術選抜展開催要項(抄)
出品団体・出品点数一覧
〔出品団体系図〕
所蔵：□、東近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：長野展；1971 年 9 月 19 日－10 月 3 日　長野県信濃美術館　主催：文化庁・長野県教育委員会／静岡展；10 月 14 日－21 日　静岡県民会館　主催：文化庁・静岡県民会館／広島展；10 月 30 日－11 月 14 日　広島県立美術館　主催：文化庁・広島県教育委員会・中国新聞社／福岡展；11 月 23 日－12 月 5 日　福岡県文化会館美術館　主催：文化庁・福岡県教育委員会・福岡県文化会館
出品：日本画；佐藤太清、松尾敏男。洋画；糸園和三郎、楢原健三。版画；吹田文明。彫刻；大須賀力〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買い上げ作品の作家のみ収載。

第 5 回現代美術選抜展
〔福岡県文化会館〕　1971 年 11 月　1 枚(二ツ折両面刷)
出品作品〔目録〕
第 5 回現代美術選抜展〈受賞作品を一堂に集めて〉
所蔵：□、国新美
○展覧会事項〔共通展覧会カタログに同じ〕

新しい世界の美術 ●
香川県文化会館　1971 年 10 月 9 日　第 2 回
〔あいさつ〕(館長田中和夫)　英文併載
出品目録
図版〔作家略歴、図版、解説〕　40p.
香川県文化会館開催展覧会一覧
所蔵：□、国新美、東文研、東博資
○展覧会事項
欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART OF THE WORLD」
会期：1971 年 10 月 9 日－24 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館
出品：猪熊弦一郎、川島猛、北山泰斗、久野真、蔵本利彦、斎藤義重、重田良一、菅井汲、高松次郎、流政之、速水史朗、前田常作、真子実也、山下菊二、吉原治良。賛助出品；ジョージ・ナカシマ〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家のみ収載。

1972（昭和 47）年

戦後日本美術の展開〈具象表現の変貌〉 ●
東京国立近代美術館　1972 年 2 月

〔あいさつ〕（東京国立近代美術館）　英文併載
〔解説〕（三木多聞）　英文併載
出品目録　英文併載
図版　30p.
作家略歴
用語解説
所蔵：□、東文研、国新美、東近美、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF POSTWAR JAPANESE ART：Figurative Art」
会期：1972 年 2 月 8 日－3 月 12 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館
出品：戦争体験あるいは社会意識の強い傾向；福沢一郎、北脇昇、井上長三郎、鶴岡政男、中谷泰、香月泰男、松本竣介、寺田政明、麻生三郎、小山田二郎、河原温、朝倉摂、浜田知明。フォーヴ的傾向；林武、野口彌太郎、鳥海青児、海老原喜之助、朝井閑右衛門、横山操、中村正義。新感覚的傾向；大沢昌助、山口薫、脇田和、野見山暁治、藤田吉香、岩橋英遠、片岡球子、吉岡堅二、髙山辰雄、近藤弘明、上野泰郎、加山又造、木内克、新海竹蔵、山本豊市、柳原義達、舟越保武、豊福知徳。生活感情に基づく傾向；北川民次、糸園和三郎、田中阿喜良、福田豊四郎、小野具定、渡辺学、石本正、池田満寿夫、野田哲也、本郷新、佐藤忠良。虚像としての傾向；藤松博、三尾公三、岡本信治郎、高松次郎、宇佐美圭司、堀内正和、若林奮〔出品目録順〕

1972 京都ビエンナーレ〈七名の評論家による現代作家展〉●
〔京都市美術館〕　1972 年 2 月
開催にあたって（京都市美術館）
われわれにとって美術とは何か（平野重光）
〔作家略歴、アンケート回答〕　19p.
あなたにとって美術とは何か（芥川耿、池水慶一、井上貴由、井本由之、植松奎二、岡野靖夫、郭徳俊、柏原えつとむ、片岡友和、河口龍夫、川越義夫、川村悦郎、岸川国芳、木村光佑、楠秀男〔1 行〕、クボ サトシ、佐野芳樹、志野明、鈴木重夫、滝本清次、田代幸俊、田中俊昭、野村仁〔1 行〕、八田淳、林剛、伴文夫、平田洋一、水上旬、山本保、山本義雄〔1 行〕、米津茂英、脇山幹夫〔1 行〕、和田寛）
所蔵：□、国新美、東近美、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：「KYOTO BIENNALE 1972」
会期：1972 年 2 月 24 日－3 月 7 日　京都市美術館　主催：京都市美術館
出品：芥川耿、池水慶一、狗巻賢二、井上貴由、井本由之、植松奎二、大場敬、岡野靖夫、奥田善巳、郭徳俊、柏原えつとむ、片岡友和、河口龍夫、川越義夫、川村悦郎、岸川国芳、北辻良央、木村光佑、楠秀男、クボ サトシ、佐野芳樹、志野明、鈴木重夫、滝本清次、田代

幸俊、田中俊昭、野村仁、八田淳、林剛、伴文夫、平田洋一、水上旬、山本保、山本義雄、米津茂英、脇山幹夫、和田寛〔アンケート回答順〕

現代美術の鳥瞰 ●

京都国立近代美術館　1972 年 8 月

〔あいさつ〕（京都国立近代美術館）　pp.1, 2　英文併載

図版〔作家解説、図版〕　pp.3-13

出品目録　pp.14-16

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「BIRD'S EYE VIEW OF CONTEMPORARY JAPANESE ART, 1972」

会期：1972 年 8 月 5 日－27 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：靉嘔、泉茂、井田照一、黒崎彰、木村光佑、下谷千尋、高松次郎、多田美波、堂本尚郎、永井一正、野田哲也、福岡道雄、船井裕、舩坂芳助、前田常作、三尾公三、最上壽之、元永定正、保田春彦、山口牧生、矢柳剛、湯原和夫〔出品目録順〕

註：作品制作年は 1969－1972 年。

第 6 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1972 年 10 月

〔現代美術選抜展〕（無署名）　p.2

図版　pp.3-20

出品目録〈作家・作品・ことば〉　pp.21-29

第 6 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.30

出品団体・出品点数一覧　p.30

〔出品団体系図〕　p.31

所蔵：□、国新美、東文研

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：滋賀展；1972 年 10 月 8 日－22 日　滋賀県立琵琶湖文化館　主催：文化庁・滋賀県・滋賀県教育委員会／長崎展；10 月 29 日－11 月 12 日　長崎県立美術博物館　主催：文化庁・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館／鹿児島展；11 月 19 日－12 月 3 日　鹿児島市立美術館　主催：文化庁・鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会／東京展；12 月 19 日－28 日　銀座・東京セントラル美術館　主催：文化庁・東京セントラル美術館

出品：日本画；大矢紀、信太金昌。洋画；富岡惣一郎、星崎孝之助。版画；木村光佑。彫刻；安田周三郎、和田金剛〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

ヨーロッパの日本作家 ●

京都国立近代美術館　1972 年 10 月

あいさつ（館長河北倫明・岡田譲）　p.3　英文併載

ヨーロッパの日本作家たち（内山武夫）　pp.4-5, 6-7　英文併載

図版　pp.9-15
作家・図版〔図版、作家略歴〕　pp.17-46
出品目録　pp.47-49
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN EUROPE」
会期：1972 年 10 月 17 日－11 月 26 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館／1973 年 1 月 5 日－2 月 11 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館
出品：秋山礼巳、吾妻兼治郎、阿部展也、宇津宮功、大谷文男、小倉浩二、嘉野稔、木村忠太、佐々木四郎、佐藤亜土、佐藤敬、菅井汲、高橋秀、タジリ・シンキチ、田中阿喜良、田淵安一、千葉勝、豊福知徳、中井克巳、長岡国人、長澤英俊、長谷川潔、浜口陽三、平賀敬、松谷武判、水井康雄、南桂子、宮本浩二、山縣寿夫〔出品目録順〕

今日の作家'72 年展 ●
〔横浜市〕　1972 年 10 月　第 8 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)
図版〔図版、作家略歴〕　25 図
出品作家・作品リスト
いままで出品された作家名
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition '72」
会期：1972 年 10 月 29 日－11 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：加藤衛、川添登、瀬木慎一、園田敬男、東野芳明、中原佑介、針生一郎、吉沢忠、吉原慎一郎、主催：横浜市
出品：荒井久栄、狗巻賢二、植松奎二、榎倉康二、大里宏峻、柏原えつとむ、清塚紀子、倉重光則、斉藤静輝、佐々木四郎、島州一、下谷千尋、竹田和子、中林忠良、八田淳、原口典之、藤原和通、細木茂子、森秀雄、矢野正治、山本衛士、吉本直貴〔作品リスト順〕

1973（昭和 48）年
戦後日本美術の展開〈抽象表現の多様化〉●
東京国立近代美術館　1973 年 6 月
〔あいさつ〕（東京国立近代美術館）　英文併載
〔解説〕（三木多聞）
出品目録　英文併載
図版　40p.
作家略歴
用語解説

抽象主義、抽象表現主義、アクション・ペインティング、アンフォルメル、オブジェ、ネオ・ダダ、アッセンブリッジ（アッサンブラージュ）、ハード・エッジ、オプ・アート、プライマリー・ストラクチュア、キネティック・アート

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「DEVELOPMENT OF POSTWAR JAPANESE ART：Abstract and Non-Figurative」

会期：1973 年 6 月 12 日－7 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：1 戦前からの継承および具象から抽象への移行；川口軌外、岡田謙三、山口長男、山口正城、荒井龍男、難波田龍起、村井正誠、瑛九、岡本太郎、津高和一、杉山寧、佐藤多持、大野俶嵩、下村良之介、恩地孝四郎、山口源、品川工、篠田桃紅、井上有一、笠置季男、長野隆業、植木茂、野水信、昆野恒、木村賢太郎、江口週。2 抽象表現主義の抬頭；斎藤義重、難波田龍起(重)、佐藤敬、高井貞二、岡部繁夫、杉全直、元永定正、白髪一雄、今井俊満、田中敦子、萩原英雄、斎藤寿一、加納光於、辻晋堂、小野忠弘、向井良吉、建畠覚造、毛利武士郎、井上武吉。抽象表現主義以降の諸局面 a-反芸術的傾向；中西夏之、荒川修作、三木富雄。b-ハード・エッジとオプ・アート；斎藤義重(重)、吉原治良、オノサト・トシノブ、阿部展也、菅井汲、靉嘔、永井一正。c-立体；堀内正和、清水九兵衛、飯田善國、多田美波、豊福知徳、吾妻兼治郎、山口勝弘、湯原和夫、保田春彦、篠田守男、最上壽之、田中信太郎。d-その他；川端実、猪熊弦一郎、前田常作、堂本尚郎、関根伸夫〔出品目録順〕

ASAHI＝ART・NOW ’73 ●

〔梅田近代美術館・朝日新聞社〕　1973 年 8 月　たとう入(図版 20 葉・出品目録 1 葉二ツ折・ことば 1 葉)

ことば（梅田近代美術館・朝日新聞社）

図版〔図版、作家のことば、略歴〕 20 葉

〔作家のことば〕（郭徳俊、速水史朗、藤原向意、三輪なつ子、山口牧生）

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、和光大

○展覧会事項

和文タイトル：「アサヒ＝アート・ナウ’73」

会期：1973 年 8 月 7 日－26 日　大阪・梅田近代美術館　主催：梅田近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、藤井源一、増田洋、(主催者側)池田弘、村松寛

出品：郭徳俊、河合隆三、河口龍夫、菅野聖子、木村光佑、清水九兵衛、黒崎彰、下谷千尋、堤淑子、寺田武弘、橋本典子、速水史朗、藤原向意、松本正司、三尾公三、緑川宏樹、三輪なつ子、村岡三郎、矢野正治、山口牧生〔出品目録順〕

1973 京都ビエンナーレ〈集団による美術〉写真・資料集 ●

京都市美術館　1973 年

図版〔図版、「集積声明」文〕　18p.

〔寄稿〕（魔胎工房、柿田ヒサヨシ、金子昭二、河津紘、栗山邦正、小林起一、護摩工房、最終世界センター、死型工房、池田龍雄、林三従、パーリニハーナ・ハーリヤーヤ体、松澤宥、松田順一郎、古式汎儀礼派）

註：図版ページは五人組写真集編集委員会＋5、Equivalent Cinema、「知ってる人＋知ってる人＋知ってる人」、ニルヴァナ資料集積・究極表現研究所、JAPAN KOBE ZERO、The Play から構成されている。

所蔵：□、国新美、神近美、京都学

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1973 年 8 月 10 日－19 日　京都市美術館　主催：京都市

出品：五人組写真集編集委員会＋5；池田昇一、矢田卓、雅子＋尚嘉〔柴田雅子＋彦坂尚嘉〕、伊藤久、鈴木完侍、高見澤文雄、稲憲一郎、渡辺哲也、矢野直一、堀浩哉。Equivalent Cinema；石原薫、今井祝雄、植松奎二、植村義夫、松本正司、宮川憲明、村岡三郎、山中信夫、山本圭吾。ニルヴァナ資料集積・究極表現研究所；柿田ヒサヨシ、金子昭二、河津紘、栗山邦正、小林起一、池田龍雄、林三従、松澤宥、松田順一郎。JAPAN KOBE ZERO。The Play〔図版収載順〕

註：出品欄のニルヴァナ資料集積・究極表現研究所は寄稿者名を記載した。

グラフィックイメージ'73 ●

京都国立近代美術館　1973 年 8 月　第 2 回展

「グラフィックイメージ」の行動の基盤にふれて（小川正隆）

出品目録

図版　28p.

〔作家略歴〕

註：第 1 回の「グラフィックイメージ'72」は銀座・東京セントラル美術館で開催された。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒

〇展覧会事項

欧文タイトル：「graphic image'73」

会期：1973 年 8 月 24 日－9 月 16 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：ヤネズ・ベルニーク、福田繁雄、伊藤隆道、片山利弘、木村光佑、k2(長友啓典・黒田征太郎)、ニコラス・クルシュニック、永井一正、中村誠、ブリジット・ライリー、篠田守男、菅井汲、スーパースタジオ、多田美波、田中一光、脇田愛二郎、横尾忠則〔出品目録順〕

アメリカの日本作家 ●

京都国立近代美術館　1973 年 9 月

あいさつ（館長河北倫明・岡田譲）　p.3　英文併載

アメリカの日本作家たち（小倉忠夫）　pp.4-5, 6-7　英文併載

図版　pp.9-17
作家・図版〔作家略歴、図版〕　pp.19-53
出品目録　pp.54-56
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「JAPANESE ARTISTS IN THE AMERICAS」
会期：1973 年 9 月 26 日－11 月 4 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館／1974 年 1 月 5 日－2 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館
出品：靉嘔、池川司郎、池田満寿夫、猪熊弦一郎、伊原通夫、大竹登美江、岡田謙三、金光松美、川島猛、川端実、岸正豊、木村利三郎、キヨオカ　ロイ、桑山忠明、近藤竜男、酒井和也、篠原有司男、白井昭子、高井貞二、竹田鎮三郎、土本真澄、豊田豊、中川直人、中里斉、新妻実、ニシザワ　ルイス〔ルイス・西沢〕、樋口シン、福井延光、ポール堀内、松原直子、マナブマベ〔間部〕、皆島万作、村田簣史雄、村田博〔出品目録順〕

第 7 回現代美術選抜展 ●
〔文化庁〕　1973 年 9 月
〔現代美術選抜展〕（無署名）　p.2
図版　pp.3-20
出品目録〈作家・作品・ことば〉　pp.21-29
第 7 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.30
出品団体・出品点数一覧　p.30
〔出品団体系図〕　p.31
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：徳島展；1973 年 9 月 29 日－10 月 14 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館／富山展；10 月 20 日－11 月 4 日　高岡市立美術館　主催：文化庁・富山県教育委員会・高岡市立美術館・北日本新聞社／奈良展；11 月 11 日－25 日　奈良県立美術館　主催：文化庁・奈良県教育委員会・奈良県立美術館／滋賀展；12 月 1 日－16 日　滋賀県立琵琶湖文化館　主催：文化庁・滋賀県・滋賀県教育委員会・滋賀県文化体育振興事業団
出品：日本画；浦田正夫、後藤純男。洋画；三浦俊輔、本山唯雄。版画；郭徳俊。彫刻；堀川恭、三坂耿一郎〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

今日の作家'73 年展 ●
〔横浜市〕　1973 年 11 月　第 9 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)
図版〔図版、作家略歴〕　20 図

出品作家・作品リスト
いままで出品された作家名
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition ’73」
会期：1973 年 11 月 3 日－14 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　開催委員：加藤衛、川添登、瀬木慎一、東野芳明、中原佑介、針生一郎、吉沢忠、吉原慎一郎、主催：横浜市
出品：青山光佑、荒木哲夫、因藤壽、江口週、小野木学、角永和夫、小本章、坂爪厚生、中林富紀子、二村裕子、二見彰一、堀浩哉、眞坂雅文、雅子＋尚嘉〔柴田雅子＋彦坂尚嘉〕、村岡三郎、森秀男、柳新也、山下清澄、山中信夫、脇田愛二郎〔作品リスト順〕
註：森秀男は、主体美術協会会員（1966 年）で、1983 年 1 月 29 日に 55 歳で急逝。

1974（昭和 49）年
15 人の写真家 ●
東京国立近代美術館　1974 年 7 月
〔あいさつ〕（東京国立近代美術館）　英文併載
「15 人の写真家」展を巡って（渡辺強）　英文併載
作品・図版、作家・略歴　31p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「FIFTEEN PHOTOGRAPHERS TODAY」
会期：1974 年 7 月 26 日－9 月 1 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館
出品：荒木経惟、北井一夫、沢渡朔、篠山紀信、高梨豊、田村シゲル〔茂〕、内藤正敏、中平卓馬、新倉孝雄、橋本照嵩、深瀬昌久、森山大道、柳沢信、山田脩二、渡辺克巳〔図版収載順〕
グラフィックイメージ’74(ワード＋イメージ) ●
京都国立近代美術館　1974 年 8 月　第 3 回展
「グラフィックイメージ’74」を迎えて（小川正隆）
図版〔作家略歴、図版〕　40p.
出品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、京都学、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：「Graphic Image’74 Word＋Image」
会期：1974 年 8 月 20 日－9 月 19 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館
出品：靉嘔、浅葉克己、粟津潔、福田繁雄、細谷巖、石岡瑛子、上條喬久、片山利弘、木村光佑、k2(長友啓典・黒田征太郎)、永井一正、中村誠、野田哲也、シノダ・ユウ、篠山紀信、田中一光、戸村浩、脇田愛二郎、横尾忠則、吉本直貴〔出品目録順〕

第 8 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1974 年 9 月

〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2

図版 pp.3-20

出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.21-30

第 8 回現代美術選抜展開催要項(抄) p.31

出品団体・出品点数一覧 p.31

〔出品団体系図〕 p.32

所蔵：□、国新美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1974 年 9 月 14 日－29 日 福島県文化センター美術博物館 主催：文化庁・福島県教育委員会・(財)福島県文化センター／山形展；10 月 9 日－27 日 山形美術博物館 主催：文化庁・山形美術博物館・山形県教育委員会・山形市教育委員会・山形新聞・山形放送／岩手展；11 月 2 日－17 日 北上市民会館 主催：文化庁・岩手県教育委員会・北上市・北上市教育委員会・岩手芸術協会・北上市文化団体連絡協議会・第 28 回岩手芸術祭実行委員会／群馬展；12 月 5 日－20 日 高崎・群馬県立近代美術館 主催：文化庁・群馬県教育委員会・群馬県立近代美術館

出品：日本画；今野忠一、近藤弘明。洋画；寺田政明、櫃田伸也。版画。彫刻；千野茂〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

新しい日本の美術 5 人展 ●

香川県文化会館 1974 年 9 月 28 日

〔あいさつ〕（館長吉岡典威）

出品目録

図版 63p.

参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1974 年 9 月 28 日－10 月 20 日 高松・香川県文化会館 主催：香川県教育委員会・香川県文化会館、協力：東京画廊

出品：猪熊弦一郎、斎藤義重、流政之、前田常作、吉原治良〔出品目録順〕

世界現代美術展 ●

〔横浜市〕 1974 年 10 月 1 枚(二ツ折両面刷)

〔ことば〕（瀬木慎一）

〔出品目録〕

所蔵：□、国新美

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1974 年 10 月 20 日－11 月 19 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市

出品：日本作家；岡本太郎、オノサト・トシノブ、桂ユキ子〔ゆき〕、斎藤義重、高間惣七、田淵安一、鶴岡政男、村井正誠、吉原治良、赤穴宏、江見絹子、大沢昌助、岡部繁夫、川端実、末松正樹、杉全直、建畠覚造、田中田鶴子、津高和一、堂本尚郎、難波田龍起、池田満寿夫、今井俊満、岡本信治郎、加納光於、志水晴児、白髪一雄、田中栄作、早川重章、前田常作、宮脇公実、向井良吉、元永定正、山下菊二、吉田穂高、磯辺行久、小田襄、久野真、篠田守男、多田美波、田中敦子、中西夏之、野村耕、三木富雄、村上善男、吉仲太造、荒川修作〔リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

今日の作家選抜展 ●

〔横浜市〕　1974 年 11 月　第 10 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

図版　25 図

〔作家略歴〕

出品作家・作品リスト

註：選考委員の記載は無い。

所蔵：□、国新美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Artists to-day Exhibition」

会期：1974 年 11 月 1 日－12 日　関内・横浜市民ギャラリー　選考委員：瀬木慎一、主催：横浜市

註：今回は、第 10 回目を記念して過去 9 回展出品作家の中から選抜が行なわれる。

出品：井上武吉、伊藤隆道、飯田善國、因藤壽、宇佐美圭司、小野木学、大島哲以、岡本信治郎、木村光佑、斉藤顕治、斎藤寿一、志水晴児、篠田守男、島州一、下谷千尋、白髪一雄、田中栄作、田中信太郎、多田美波、豊島弘尚、中林忠良、永井一正、二村裕子、野田哲也、福田繁雄、松本陽子、三尾公三、村上善男、元永定正、山口勝弘、横尾忠則、吉仲太造、若尾和呂、脇田愛二郎〔作品リスト順〕

1975（昭和 50）年

アート・ナウ ’75 ●

兵庫県立近代美術館　1975 年 1 月　兵美特展 No.28

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2

出品者名　p.3

図版〔図版、作家略歴〕　pp.4-32

出品目録　pp.33-35

展覧会委員　p.36

所蔵：□、国新美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW '75」

会期：1975 年 1 月 5 日－19 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、藤井源一、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：荒木高子、泉茂、井田照一、狗巻賢二、植松奎二、大林義満、小名木陽一、聴濤襄治、木村秀樹、久保田繁雄、小林伸雄、斉藤智、志水正明、新宮晋、鈴鹿芳康、関根勢之助、鄭相和、富樫実、林秀行、船井裕、増田正和、三島喜美代、森口宏一、森本兼司、柳新也、山田信義、山本圭吾、山本哲三、Japan Kobe Zero〔出品目録順〕

日本現代美術の展望 ●

西武美術館　1975 年 9 月

時代精神の根據地として（堤清二）

葉の中で疼〈光へ向って――現代芸術の行方〉（大岡信）

豊かなのか混乱なのか（岡田隆彦）

図版〔作品、略歴〕55p.

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、京都学、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「View of Japanese Contemporary Art」

会期：1975 年 9 月 5 日－14 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館

出品：靉嘔、荒川修作、飯田善國、池田満寿夫、伊藤隆道、宇佐美圭司、加納光於、清水九兵衛、桑山忠明、篠田守男、篠原有司男、新宮晋、菅井汲、関根伸夫、高松次郎、多田美波、田中信太郎、田淵安一、堂本尚郎、中西夏之、野田哲也、三木富雄、三尾公三、保田春彦、山口勝弘、横尾忠則、若林奮〔出品目録順〕

第 9 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1975 年 9 月

〔現代美術選抜展〕（無署名）　p.2

図版　pp.3-22

出品目録〈作家・作品・ことば〉　pp.23-32

第 9 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.33

出品団体・出品点数一覧　p.33

〔出品団体系図〕　p.34

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福島展；1975 年 9 月 24 日－10 月 7 日　いわき市文化センター　主催：文化庁・福島県教育委員会・いわき市教育委員会・いわき市文化団体連絡協議会・いわき美術協会／宮

崎展；10 月 21 日－11 月 4 日　宮崎県総合博物館　主催：文化庁・宮崎県県教育委員会・宮崎県総合博物館／奈良展；11 月 15 日－30 日　奈良県立美術館　主催：文化庁・奈良県教育委員会・奈良県立美術館／神奈川展；12 月 7 日－21 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：文化庁・神奈川県教育委員会・神奈川県立県民ホール

出品：日本画；塩出英雄、蓮尾辰雄。洋画；國領經郎、三尾公三。版画；靉嘔、井田照一、小野木学。彫刻；保田春彦〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

今日の静物・展 ●

〔横浜市〕 1975 年 12 月　第 11 回今日の作家展　1 枚(六ツ折両面刷)

図版　24 図

現代の「静物」（中原佑介）

〔作家顔写真、作家のことば〕

〔作家のことば〕（青山光佑、粟津潔、飯田昭二、榎倉康二、海老原暎、岡本信治郎、上矢津、北山泰斗、久里洋二、島州一、鈴木慶則、関根美夫、建畠覚造、原口典之、福田繁雄、山本衛士、矢柳剛、若江漢字）

出品作家・作品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Still Life to-day Exhibition」

会期：1975 年 12 月 4 日－14 日　関内・横浜市民ギャラリー　選考者：中原佑介、主催：横浜市

出品：靉嘔、青山光佑、粟津潔、飯田昭二、榎倉康二、海老原暎、岡本信治郎、上矢津、北山泰斗、久里洋二、五月女幸雄、島州一、鈴木慶則、関根美夫、建畠覚造、中西夏之、野田哲也、八田淳、原口典之、福田繁雄、眞板雅文、山本衛士、矢柳剛、吉仲太造、吉村益信、若江漢字〔作品リスト順〕

1976（昭和 51）年

アート・ナウ ’76 ●

兵庫県立近代美術館　1976 年 1 月　兵美特展目録 No.35

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2

出品者名　p.3

図版〔図版、作家略歴〕　pp.4-32

出品目録　pp.33-35

展覧会委員　p.36

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美、京都学

○展覧会事項

欧文タイトル：「art now ’76」

会期：1976 年 1 月 6 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・

朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：五十嵐彰雄、今井祝雄、小野田實、片山昭弘、角永和夫、呉本俊松、小清水漸、小林陸一郎、栄利秋、沢居曜子、角南礼子、田中孝、坪井明日香、坪田政彦、野島二郎、野田正明、橋本幸志、服部三郎、濱谷明夫、福岡道雄、福本和子、藤本敬八郎、堀尾貞治、舞原克典、丸本耕、宮﨑豊治、宮永理吉、森野泰明、山中嘉一〔出品目録順〕

1976 京都ビエンナーレ〈七名の評論家による現代作家展〉●

〔京都市美術館〕 1976 年 2 月　第 3 回展

開催にあたって（京都市美術館） pp.2, 3　英文併載

〔評論家の文章、作家略歴、図版〕 pp.4-32

時間と消去（乾由明）

想像力・序（高橋亨）

“うつし”ということ（たにあらた）

「写景」と「借景」と――（中原佑介）

物体以後の美術（早見堯）

現実の意識として（平野重光）

前提――その 1.または自律的空間の他律的について／前提――その 3、または内的時間の見出すシステムについて（峯村敏明）

選抜作家と展示会場　裏表紙

所蔵：□、国新美、東近美、京都学

〇展覧会事項

欧文タイトル:「KYOTO BIENNALE 1976〈Contemporary art selected by seven art critics〉」

会期：1976 年 2 月 22 日－3 月 22 日　京都市美術館　主催：京都市美術館

出品：乾由明選抜；井田照一、清水九兵衛、小清水漸、斉藤智、田中孝、村岡三郎。高橋亨選抜；木村秀樹、沢居曜子、堀尾貞治、増田正和、宮﨑豊治、村岡三郎、山田信義。たにあらた選抜；清水誠一、高見澤文雄、田窪恭治、堀浩哉、和田守弘、渡辺哲也。中原佑介選抜；斉藤智、眞板雅文。早見堯選抜；岩野弘之、高木修、田代幸俊、浜口行雄、森田秀。平野重光選抜；今井祝雄、上杉忠嗣、野村仁、彦坂尚嘉。峯村敏明選抜；狗巻賢二、河原温、北辻良央、小清水漸、菅木志雄、野村仁、原口典之、彦坂尚嘉、水本修二、森田秀〔選抜作家一覧順〕

彫刻 5 人展〈藤川勇造とその流れ〉●

香川県文化会館　1976 年 10 月

ごあいさつ（館長吉岡典威）

彫刻五人展に寄せて（藤川栄子）

藤川勇造とその流れ（三木多聞）

図版〔作家略歴、図版〕 34p.

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、愛芸文、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1976 年 10 月 23 日－11 月 7 日　高松・香川県文化会館　主催：香川県文化会館
出品：太田三郎、早川巍一郎、菊池一雄、堀内正和、田畑一作〔図版収載順〕

第 10 回現代美術選抜展図録 ●
〔文化庁〕 1976 年 10 月
〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2
図版　pp.3-22
出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.23-32
第 10 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.33
出品団体・出品点数一覧　p.33
〔出品団体系図〕 p.34
所蔵：□、東文研、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：鹿児島展；1976 年 10 月 30 日－11 月 12 日　鹿児島市立美術館　主催：文化庁・鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会／熊本展；11 月 18 日－12 月 1 日　熊本県立美術館　主催：文化庁・熊本県教育委員会・熊本県立美術館／長崎展；12 月 7 日－19 日　長崎県立美術博物館　主催：文化庁・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館／兵庫展；1977 年 1 月 8 日－21 日　尼崎市総合文化センター　主催：文化庁・兵庫県・尼崎市・神戸新聞社
出品：日本画；石川義、川﨑鈴彦。洋画；高田保雄、渡辺武夫。版画；関野準一郎。彫刻；伊東傀、野水信〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

今日の空間展 ●
〔横浜市〕 1976 年 11 月　第 12 回今日の作家展　1 枚(八ツ折両面刷)
〔ことば〕（針生一郎、ヨシダ・ヨシエ）
〔作家のことば〕（池田龍雄、市川訓子、井上象元、今井由緒子、小田博、オチ・オサム、片江政敏、金子昭二、邦千谷、斉藤顕治、斉藤智、島州一、嶋本昭三、鷲見和紀郎、鈴木久美子、鈴木紀庸、千田高詩、田中恭子、田中信太郎、たべけんぞう、高橋勝、建畠朔弥、谷川晃一、玉野黄市、辻村和子、土屋圀代、友原康博、ながれひろし、中谷芙二子、萩原朔美、橋本洋子、ヒグマ春夫、堀川紀夫、マッド・アマノ、前田一澄、松澤宥、向井隆豊、村上三郎、村上善男、毛網紋太、守屋行彬、矢田アキ、山崎つる子、山田彊一、よしのまこと、若江漢字、渡辺宏、渡部伸彦、グループ〈複数〉、グループ〈権兵衛〉、土居樹男）
〔出品作家リスト〕
図版　53 図
所蔵：□、国新美、横浜美
○展覧会事項

欧文タイトル：「INFORMATION & COMMUNICATION」
会期：1976 年 11 月 1 日－14 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：アーティスト・ユニオン、主催：横浜市
出品：作家のことば収載作家；池田龍雄、市川訓子、井上象元、今井由緒子、小田博、オチ・オサム、片江政敏、金子昭二、邦千谷、斉藤顕治、斉藤智、島州一、嶋本昭三、鷲見和紀郎、鈴木久美子、鈴木紀庸、千田高詩、田中恭子、田中信太郎、たべけんぞう、高橋勝、建畠朔弥、谷川晃一、玉野黄市、辻村和子、土屋圀代、友原康博、ながれひろし、中谷芙二子、萩原朔美、橋本洋子、ヒグマ春夫、堀川紀夫、マッド・アマノ、前田一澄、松澤宥、向井隆豊、村上三郎、村上善男、毛網紋太、守屋行彬、矢田アキ、山崎つる子、山田彊一、よしのまこと、若江漢字、渡辺宏、渡部伸彦、グループ〈複数〉、グループ〈権兵衛〉、土居樹男。出品作家リストの作家；伴勝雄、田中繁一、藤沢典明、工藤孝生、風倉匠、小野友之、二紀和太留、梅林文夫、浅野康一、細木茂子、加藤好弘、福井昭雄、岸本真理、伊藤隆康、山中良二郎、川上キヨ子、樋口正一郎、ヨシダカリン、加治孝夫、越中谷寿生、若藤政美、後啓子、深尾庄介、岩永忠樹、西浦由郎、丹保喜三郎、向井勝美、彦坂和夫、鷲頭剛、斉藤寧、平塚章子、堀暉子、梶野九陽、立中禀子、なかむらせつこ、石松健男、柵山龍司、浦田宗夫、鈴木貴久、石原ミチオ、加藤正嘉、栗本光春、清水まさのり、畝尻一義、丹羽康介、布山淳一、水野幸道、森井象山、横山明男、若林隆、井内亮二、森瀬和広、羽山富雄、高畑純、泉栄治、武内寛、藤岡章、阿部省三、香川昌久、赤松雅信、藤原郁夫、坪内晃幸、浅山仁、鷹尾浩一郎、河野実、岡本民子、菊沢尋吉、西山日出男、関上泰達、藤沢千丈、向井正孝、西川隆敏、三好滋、越智賢三、中山洋子、日野譲、永易基精、兵頭一夫、矢野徹志、貞鍋博文、工藤寿栄子、高崎元尚、大西清澄、上野敏郎、小野田實、木村雪子、長滋子、長谷川美喜、丸山栄子、矢上五郎八、代平源吾、北川令子、久我くるみ、坪田薫、濱礼子、三沢泰子、池田代志行、清水慶子、高見沢弘、司与明、深町和春、ながれひろし、渡辺宏(重)、村上三郎、坂上靖子、鷲見康夫、立浪敏男、上前智祐、金崎博、小西千寿子、橋本洋子、上田民子、嶋本昭三、原山勝、坂本昌也、小竹るり子、山本一了、松下元夫、松下玲子、楠本操、一ノ戸ヨシノリ、後藤充弘、荒井善則、丹野利雄、藤木正則、平間文子、盛安俊壱、岡田徹、木路毛五郎、長谷真砂子、大山記糸夫、渡部伸彦(重)、Cees Francke、 John M. Bennet、Gasowski、Tom Morrissey、Wm. Bryanclank、Mark Williams、John Malveto、土屋圀代(重)。図版箇所記名作家；池田龍雄(重)、市川訓子(重)、稲木秀臣、井上象元(重)、今井由緒子(重)、上田佳世子〔図版無〕、小田博(重)、オチ・オサム(重、図版無)、井山武司・長谷真砂子〔図版無〕、片江政敏(重、図版無)、金子昭二(重)、邦千谷(重、図版無)、楠本操、斉藤顕治(重)、斉藤智(重)、鴫剛、柴田雅子〔図版無〕、島州一(重)、嶋本昭三(重)、須賀昭初、須賀啓、鷲見和紀郎(重)、鈴木久美子(重)、鈴木紀庸(重)、千田高詩(重)、田中恭子(重)、田中信太郎(重)、たべけんぞう(重)、高桐禎雄〔図版無〕、高橋勝(重)、建畠朔弥(重)、谷川晃一(重)、玉野黄一(重、図版無)、辻村和子「舞」「踏」研究所(重)、土屋圀代(重)、土居樹男(重)、飛永頼節、友原康博(重)、ながれひろし(重)、中上清、中谷芙二子(重)、萩原朔美(重)、橋本洋子(重)、早川昌〔図版無〕、林三従〔図版無〕、ヒグマ春夫(重)、古館興、堀川紀夫(重)、マッド・アマノ(重)、前田一澄(重)、松岡園子、松田順一郎、松澤宥(重、図版無)、水上旬〔図版無〕、向井隆豊(重)、村上三郎(重)、

村上善男(重)、毛網紋太(重、図版無)、守屋行彬(重、図版無)、矢田アキ(重)、山崎つる子(重)、山田彊一(重)、よしのまこと(重、図版無)、吉仲太造〔図版無〕、吉野辰海、吉村益信〔図版無〕、若江漢字(重)、渡辺宏(重)、渡部伸彦(重)、グループ〈複数〉〔図版無〕、グループ〈権兵衛〉(重)

註：グループ〈複数〉の構成員は飯田昭二・丹羽勝次・長岡宏・小杉一郎・小林幹於・杉山邦彦。

1977（昭和 52）年

アート・ナウ ’77 ●

兵庫県立近代美術館　1977 年 2 月　兵美特展目録 No.41

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）

出品者名

図版〔作家略歴、図版〕　28p.

出品目録

「アート・ナウ」について（中島徳博）

展覧会委員

所蔵：□、国新美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「art now ’77」

会期：1977 年 2 月 8 日－27 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：浮川秀信、カドタ〔門田〕修充、北辻良央、楠田信吾、楠秀男、倉貫徹、小林弘明、坂爪厚生、佐藤敏、志村光広、庄司達、杉山英行、滝川みづほ、田中薫、中馬泰文、中野光雄、長谷光城、柳楽隆一、野崎一良、橋本文良、福嶋敬恭、本郷重彦、松本文子、宮川憲明、持田総章、柳原睦夫、山崎脩、山本容子〔出品目録順〕

第 15 回名作展 日本の抽象絵画〈ア[illegible]ンフォルメルを中心として〉●

〔岡山県総合文化センター〕　1977 年 2 月

あいさつ（岡山県教育委員会・岡山県総合文化センター・岡山県総合文化センター文化振興会）

図版　27p.

抽象絵画移植の軌跡（片岡雅志）

略歴

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東大駒、都現美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ABSTRACT ART IN JAPAN」

会期：1977 年 2 月 16 日－3 月 6 日　岡山県総合文化センター　主催：岡山県教育委員会・岡山県総合文化センター・岡山県総合文化センター文化振興会

出品：坂田一男、荒井龍男、吉原治良、長谷川三郎、瑛九、阿部展也、芥川〔間所〕沙織、猪熊弦一郎、岡田謙三、山口長男、斎藤義重、難波田龍起、村井正誠、井上長三郎、榎戸庄衛、川端実、オノサト・トシノブ、若松光一郎、菅井汲、関根美夫、前田常作、今井俊満、堂本尚郎、川島猛、高橋秀、近藤竜男、荒川修作〔出品リスト順〕

熊本の現代作家 9 人展 ●

熊本県立美術館　1977 年 6 月 17 日

あいさつ（館長小山岑雄）

図版　132p.

略年譜

作品目録

註：編集は乙葉統。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「L'EXPOSITION DES 9 PEINTRES CONTEMPORAINS DE KUMAMOTO」

会期：1977 年 6 月 17 日－7 月 17 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

出品：日本画；堅山南風、真道黎明、川本末雄、浦田正夫。洋画；牛島憲之、田代順七、坂本善三、井手宣通、宮崎精一〔作品目録順〕

Art Today '77 見えることの構造 6 人の目 ●

西武美術館　1977 年 7 月

〔ことば〕（西武美術館）

見えることの構造（東野芳明）

図版〔図版、作家のことば〕 40p.

〔作家のことば〕（宇佐美圭司、河口龍夫、倉俣史朗、斉藤智、島州一）

註：作家のことばは、それぞれ「宇佐美圭司による宇佐美圭司」のように自らを書いている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「STRUCTURE OF SEEING」

会期：1977 年 7 月 7 日－27 日　池袋・西武美術館　ゲスト・キュレーター：東野芳明、主催：西武美術館

出品：宇佐美圭司、河口龍夫、倉俣史朗、斉藤智、島州一〔図版収載順〕

現代美術の鳥瞰〈明日を探る作家たち〉　京都国立近代美術館編 ●

京都新聞社　1977 年 8 月

〔あいさつ〕（京都国立近代美術館・京都新聞社）　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば〕

〔作家のことば〕（井田照一、伊藤隆道、植村義夫、大林義満、木村秀樹、黒崎彰、小林はくどう、斉藤智、佐藤敏、島州一、庄司達、富樫実、西村陽平、萩原朔美、橋本幸志、橋本文良、福田繁雄、舞原克典、松井憲作、松本正司、宮崎豊治、山口勝弘、山口牧生、山本圭吾）

作品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、神近美、横浜美、愛芸文

〇展覧会事項

欧文タイトル：「BIRD'S EYE VIEW OF CONTEMPORARY JAPANESE ART, 1977」

会期：1977 年 8 月 27 日－9 月 25 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・京都新聞社

出品：井田照一、伊藤隆道、植村義夫、大林義満、金子潤、木村秀樹、黒崎彰、鯉江良二、小林はくどう、斉藤智、佐藤敏、島州一、庄司達、富樫実、西村陽平、萩原朔美、橋本幸志、橋本文良、福田繁雄、真坂雅文、舞原克典、松井憲作、松本正司、松本文子、宮川憲明、宮崎豊治、山口勝弘、山口牧生、山本圭吾、横尾忠則〔作品目録順〕

註：作品制作年は 1972－1977 年で大部分は新作 1977 年。

日本の現代美術〈国内美術と国際美術と〉●

栃木県立美術館　1977 年 10 月　開館 5 周年記念特別企画

ごあいさつ（栃木県立美術館）

日本の現代美術（矢口國夫）

日本画（上野憲示）、洋画（矢口國夫）、版画（竹山博彦）

図版〔図版、作家略歴〕　71p.

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1977 年 10 月 22 日－11 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：安田靫彦、前田青邨、堅山南風、奥村土牛、小野竹喬、小倉遊亀、山口華楊、山本丘人、上村松篁、小松均、岩橋英遠、橋本明治、片岡球子、東山魁夷、杉山寧、奥田元宋、髙山辰雄、吉田善彦、工藤甲人、石本正、加山又造、平山郁夫、中川一政、小絲源太郎、梅原龍三郎、北川民次、小山敬三、岡鹿之助、福沢一郎、牛島憲之、荻須高徳、猪熊弦一郎、山口長男、斎藤義重、朝井閑右衛門、岡田謙三、村井正誠、森芳雄、脇田和、糸園和三郎、岡本太郎、オノサト・トシノブ、麻生三郎、木村忠太、菅井汲、田淵安一、元永定正、桂ゆき、福井良之助、三尾公三、前田常作、久里洋二、堂本尚郎、藤田吉香、高橋秀、靉嘔、加納光於、河原温、中西夏之、荒川修作、高松次郎、宇佐美圭司、脇田愛二郎、浜口陽三、萩原英雄、松本旻、池田満寿夫、木村光佑、横尾忠則、野田哲也、吉田克朗〔出品目録順〕

絵画の豊かさ展 ●

〔横浜市・横浜市教育委員会〕　1977 年 11 月　第 13 回今日の作家展

平面を越えて（峯村敏明）　英文併載

図版〔図版、作家のことば〕 10p.

〔作家のことば〕（伊藤純子、榎倉康二、柴田雅子、清水誠一、菅木志雄、諏訪直樹、山本一郎、李禹煥、狗巻賢二）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE RICHNESS OF PAINTING」

会期：1977 年 11 月 18 日－29 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：峯村敏明、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：伊藤純子、狗巻賢二、榎倉康二、柴田雅子、清水誠一、菅木志雄、諏訪直樹、高松次郎、山本一郎、李禹煥〔作家略歴順〕

第 11 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1977 年 11 月

〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2

図版　pp.3-26

出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.27-37

第 11 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.38

出品団体・出品点数一覧　p.38

〔出品団体系図〕 p.39

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：高知展；1977 年 11 月 19 日－12 月 4 日　高知県立郷土文化会館　主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館／徳島展；12 月 9 日－25 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館／愛媛展；1978 年 1 月 7 日－22 日　松山・愛媛県立美術館　主催：文化庁・愛媛県立美術館／千葉展；1 月 29 日－2 月 17 日　千葉県立美術館　主催：文化庁・千葉県立美術館

出品：日本画；下保昭、吉岡堅二。洋画；絹谷幸二、寺島龍一。版画；竹田鎮三郎。彫刻；植木力、山本常一〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

靉光・松本竣介そして戦後美術の出発 ●

東京都美術館　1977 年 12 月

あいさつ（東京都美術館）

図版　71p.

靉光，松本竣介そして――（朝日晃）

戦後美術の出発とその周辺（森田恒之）

戦後美術の出発〈村井正誠氏に聞く〉

資料

全日本美術家に諮る（松本竣介）　再録

作家略歴
「靉光・松本竣介そして戦後美術の出発」展関係年表
出品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1977 年 12 月 17 日－1978 年 2 月 26 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館
出品：靉光、松本竣介、麻生三郎、阿部展也、井上長三郎、岡本太郎、笠置季男、香月泰男、北脇昇、木内克、杉全直、建畠覚造、鶴岡政男、福沢一郎、古沢岩美、堀内正和、丸木位里、丸木俊、村井正誠、森芳雄、山口薫〔出品目録順〕

1978（昭和 53）年
青い眼、黒い眼 日本人画家のフランス体験 エコール・ド・パリからアンフォルメルへ… ●
国立国際美術館　1978 年 1 月 21 日
あいさつ（国立国際美術館）　仏文併載
日本人画家のフランス体験〈エコール・ド・パリからアンフォルメルへ〉（村田慶之輔）
図版　36p.
作家略歴
出品目録
関連年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：「Les peintres japonais et la France－de l'Ecole de Paris à l'Informel」
会期：1978 年 1 月 21 日－3 月 21 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：青山義雄、荒木哲夫、麻田浩、堂本尚郎、浜口陽三、長谷川潔、平賀敬、今井俊満、岩田栄吉、木村忠太、鬼頭曄、荻須高徳、岡本太郎、佐藤敬、菅井汲、田淵安一、竹谷富士雄、田中阿喜良、渡辺恂三〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。
アート・ナウ '78 ●
兵庫県立近代美術館　1978 年 2 月　兵美特展目録 No.49
ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2
出品者名　p.3
図版〔図版、作家略歴〕　pp.4-31
出品目録　pp.32-34
会場風景　p.35
展覧会委員　p.36

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「art now ’78」

会期：1978 年 2 月 4 日－26 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、伊藤誠、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：安東菜々、石原薫、井関和代、井田彪、奥田善巳、金子潤、岸中延年、木下佳通代、久保晃、河野芳夫、小林正和、斉部哲夫、高崎元尚、高野基夫、辰野登恵子、中井富士子、西山康三郎、橋本清、服部淑子、久森俊、文承根、前川強、松井憲作、松嶋茂勝、松本美保子、守谷史男、八木マリヨ、薮内弘〔出品目録順〕

時代の証言＝パリ・ビエンナーレ’59－’73 ●

西武美術館・読売新聞社　1978 年 3 月

ごあいさつ（西武美術館・読売新聞社）

パリ・ビエンナーレ（岡田隆彦）

パリ・ビエンナーレの 20 年――現代芸術の検証と展望（ジョルジュ・ブダイユ）

図版〔参考図版、図版、コミッショナーの寄稿〕　74p.

〔コミッショナーの寄稿〕（第 3 回・岡本謙次郎、大岡信、第 4 回・小倉忠夫、第 5 回・中原佑介、第 6 回・東野芳明、第 7 回・岡田隆彦）

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「BIENNALE DE PARIS ’59－’73」

会期：1978 年 3 月 3 日－29 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館・読売新聞社

出品：佐藤亜土、堂本尚郎、榎倉康二、工藤哲巳、高松次郎〔出品リスト順〕

写真と絵画〈囮の相異〉●

東京都美術館　1978 年 10 月 7 日　特別展図録第 4 号

はじめに（東京都美術館）　p.3

図版　pp.5-88

写真師の眼と油絵師の眼（萬木康博）　pp.90-91

絵画は絵画、写真は写真（塩見隆之）　pp.92-93

〔文献再録〕（高橋由一、長谷川三郎、瑛九）　pp.94-98

〔作家のことば〕（上田薫、松本旻、鴫剛）　pp.100-102

出品目録　pp.103-107

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1978 年 10 月 7 日－12 月 3 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：写真師の眼と油絵師の眼。写真の展開と画家の写真；瑛九。絵画は絵画、写真は写真；上田薫、松本旻、鴫剛〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

第 12 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1978 年 10 月

〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2

図版　pp.3-26

出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.27-37

第 12 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.38

出品団体・出品点数一覧　p.38

〔出品団体系図〕 p.39

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：福井展；1978 年 10 月 22 日－11 月 5 日　福井県立美術館　主催：文化庁・福井県教育委員会・福井県立美術館／大分展；11 月 21 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館　主催：文化庁・大分県・大分県教育委員会・大分県立芸術会館／兵庫展；12 月 9 日－22 日　尼崎市総合文化センター 美術ホール　主催：文化庁・尼崎市総合文化センター／千葉展；1979 年 1 月 9 日－21 日　千葉県立美術館　主催：文化庁・千葉県立美術館

出品：日本画；小泉淳作、田中青坪、三谷青子。洋画；須田寿、日野耕之祐。版画；黒崎彰。彫刻；松尾光伸、山縣寿夫、若林奮〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

表現を仕組む ●

〔横浜市・横浜市教育委員会〕 1978 年 11 月　第 14 回今日の作家展

表現を仕組む（岡田隆彦）

図版〔図版、作品リスト〕 9p.

〔作家略歴〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、神県図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1978 年 11 月 2 日－12 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：岡田隆彦、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：糸数都、岩本拓郎、榎倉康二、小野寺才逸、鎌谷伸一、川崎純照、小清水漸、菅木志雄、高木修、高見澤文雄、高山登、田窪恭治、八田淳、樋口正一郎、堀浩哉、山田桃子、渡辺哲也〔作家略歴順〕

1979（昭和 54）年

特別展・吉原治良と具体のその後 図録 ●

兵庫県立近代美術館　1979 年 1 月　兵美特展目録 No.55

ごあいさつ（館長楢崎四郎）　p.5　英文併載

「吉原治良と具体のその後」――ある文化衝撃の問いなおし（増田洋）　pp.6-7

吉原治良――その芸術と歴史的業績（赤根和生）　pp.8-10

吉原治良作品図版　pp.11-45

出品目録　pp.46-47, 48-49　英文併載

年表：吉原治良と具体美術協会　pp.50-59

CHRONOLOGY：Jiro Yoshihara and the Gutai Art Association　pp.60-68　英文

元「具体」会員図版〔出品目録、略歴、作家のことば、図版〕　pp.69-110

〔作家のことば、グタイ・具体と私〕（伊勢谷圭、今井祝雄、上田民子、上前智祐、浮田要三、大原紀美子、岡田博、岡本一、小野田實、菅野聖子、聴濤襄治、木梨アイネ、柴田健、嶋本昭三、白髪一雄「具体美術協会と私」、鷲見康夫、関根美夫、高崎元尚、田中竜児「吉原先生のこと」、坪内晃幸、猶原通正、名坂千吉郎、名坂有子、船井裕、堀尾昭子、前川強、正延正俊、松谷武判「ダダと具体」、松田豊、村上三郎、元永定正、森内敬子、山崎つる子、吉田稔郎、ヨシダミノル、吉原通雄、渡辺宏、藤川東一郎、喜谷繁暉「不出品の弁」）

参考文献（木村重圭・山脇一夫編）　p.111

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「JIRO YOSHIHARA AND TODAY'S ASPECTS OF THE "GUTAI"」

会期：1979 年 1 月 5 日－28 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品：吉原治良、伊勢谷圭、今井祝雄、上田民子、上前智祐、浮田要三、大原紀美子、岡田博、岡本一、小野田實、金山明、菅野聖子、聴濤襄治、木梨アイネ、坂本昌也、柴田健、嶋本昭三、白髪一雄、鷲見康夫、関根美夫、高崎元尚、田中敦子、田中竜児、坪内晃幸、猶原通正、名坂千吉郎、名坂有子、船井裕、堀尾昭子、前川強、正延正俊、松谷武判、松田豊、村上三郎、元永定正、森内敬子、山崎つる子、吉田稔郎、ヨシダミノル、吉原通雄、渡辺宏、向井修二〔出品目録・元「具体」会員出品目録順〕

アート・ナウ '79 ●

兵庫県立近代美術館　1979 年 2 月　兵美特展目録 No.56

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2

出品者名　p.3

図版〔作家略歴、図版〕　pp.4-32

出品目録　pp.33-35

展覧会委員　p.36

所蔵：□、国新美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「art now ’79」
会期：1979 年 2 月 3 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社
展覧会委員：赤根和生、伊藤誠、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、藤慶之、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋
出品：青野卓司、秋元幸茂、浅野弥衛、五十嵐晴夫、池田啓子、石山駿、一圓達夫、今井誠志、今村輝久、内田晴之、榎忠、勝野博、川内麻嗣、小林尚美、櫻井晨正、笹山忠保、佐野賢、鈴木治、高木敏子、中沢真子、中島隆、平松美禰子、二見彰一、松谷武判、真野岩夫、元永定正、森本裕子、山田真紀子、和田章〔出品目録順〕

art today ’79 木との対話 ●
西武美術館　1979 年 3 月　art today 第 2 回展
ごあいさつ（西武美術館）
「木との対話」についての相手のない対話（中原佑介）
図版〔図版、対談〕 40p.
　中原佑介対談（小清水漸、彦坂尚嘉、最上壽之）
略歴・文献〈出品作家自身による〉
出品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大
〇展覧会事項
欧文タイトル：「art today ’79 “Wood works by three artists”」
会期：1979 年 3 月 3 日－27 日　池袋・西武美術館　主催：西武美術館
出品：小清水漸、彦坂尚嘉、最上壽之〔出品リスト順〕

開館記念 板橋の現代美術と古美術展 ●
板橋区立美術館　1979 年 5 月
ごあいさつ（区長栗原敬三）
ごあいさつ（瀬田虎太郎）
図版　58p.
出品解説
作家紹介
出品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1979 年 5 月 20 日－6 月 17 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：古美術。現代美術 日本画；佐藤太清、岩崎鐸、星茂、今井珠泉、飛田啓之介。洋画；矢崎牧廣、鱒龍之助、井上長三郎、石塚三郎、山本日子士良、寺田政明、古沢岩美、小林邦二、荒船利雄。彫塑；瀬戸團治、志田達三、白井謙二郎、斉藤吉郎、茨木敏夫、塚田喜司郎

〔出品目録順〕

註：出品欄は「現代美術」を収載。

近代イタリア美術と日本〈作家の交流をめぐって〉●

国立国際美術館　1979 年 10 月 6 日

あいさつ（国立国際美術館）　pp.3, 4　英文併載

序（本間正義）　pp.6-9, 10-12　英文併載

関連年表　pp.13-15

図版　pp.17-86

20 世紀イタリア美術史概観（イオレ・デ・サンナ）　pp.87-106, 133-155　英文併載

作家略歴および出品目録　pp.107-127

List of Works　pp.128-131

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ITALY AND JAPAN　art in last ten decades」

会期：1979 年 10 月 6 日－12 月 2 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：阿部展也、吾妻兼治郎、千葉勝、福家靖男、古郡弘、長谷川路可、絹谷幸二、長澤英俊、中井克巳、緒方良信、里中英人、関根伸夫、菅原二郎、高橋秀、鳥羽郁世、豊福知徳、辻本和之、山縣寿夫、山本正道、保田春彦〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

現代美術・戦後展〈巨匠展シリーズ III〉●

神奈川県立近代美術館　1979 年 10 月

あいさつ（神奈川県立近代美術館）

文化ファシズム下の美術と戦後の現代美術（土方定一）

図版　96p.

出品目録

作家略歴

現代美術・戦後展関係年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1979 年 10 月 27 日－12 月 16 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：坂本繁二郎、藤田嗣治、小絲源太郎、小林和作、須田国太郎、児島善三郎、中川一政、北川民次、高畠達四郎、林武、岡鹿之助、野口彌太郎、牛島憲之、佐野繁次郎、荻須高徳、鳥海青児、小磯良平、海老原喜之助、宮本三郎、朝井閑右衛門、三岸節子、佐藤敬、山口薫、桂ユキ、原精一、脇田和、森芳雄、中谷泰、糸園和三郎、香月泰男、松本竣介、麻生三郎、金山康喜、福沢一郎、北脇昇、靉光、鷹山宇一、岡本太郎、高間惣七、川口軌外、山口長男、

斎藤義重、岡田謙三、村井正誠、吉原治良、長谷川三郎、鶴岡政男、宇治山哲平、瑛九、川端実、今井俊満、阿部展也、菅井汲、高松次郎、荒川修作〔出品目録順〕

今日の作家'79 展 ●

〔横浜市教育委員会〕 1979 年 11 月 第 15 回今日の作家展 封筒入(全 22 葉)

断章（東野芳明） 1 葉両面刷

SPACIAL IDENTITIES（島州一・高山登・眞板雅文） 1 葉両面刷 英文併載

図版 19 枚(片面刷)

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1979 年 11 月 24 日－12 月 5 日 関内・横浜市民ギャラリー 企画委員：島州一・高山登・東野芳明・眞板雅文、主催：横浜市教育委員会

註：企画委員のうち島州一、高山登、眞板雅文は Spacial Identities 委員とあり

出品：池田徹、伊藤弥生、植松奎二、越後紀子、榎倉康二、沖啓介、倉重光則、島州一、菅木志雄、高山登、東野芳明、村岡三郎、八田淳、眞板雅文、和田守弘。資料出品；Arnulf Rainer、Barry Flanagan、Dieter Krieg、藤原和通〔出品作家順〕

第 13 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1979 年 12 月

〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2

図版 pp.3-32

第 13 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.33-46

第 13 回現代美術選抜展開催要項(抄) p.47

出品団体・出品点数一覧 p.47

〔出品団体系図〕 p.48

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：鳥取展；1979 年 12 月 8 日－22 日 鳥取県立博物館 主催：文化庁・鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館／愛知展；1980 年 1 月 8 日－20 日 豊橋市美術博物館 主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・豊橋文化協会・中日新聞社／青森展；1 月 27 日－2 月 11 日 弘前市立博物館 主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館／北海道展；2 月 17 日－3 月 2 日 札幌・北海道立近代美術館 主催：文化庁・北海道立近代美術館

出品：日本画；岩崎巴人、上村淳之、佐藤圀夫。洋画；青山龍水、桜田精一、沢村美佐子。版画；泉茂、笹島喜平。彫刻；北村治禧〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

1980（昭和 55）年

現代彫刻の歩み展〈41 人の作家による戦後彫刻の足跡〉●

神奈川県立県民ホール　1980 年 2 月　開館 5 周年記念　シリーズ第 1 回展

〔あいさつ〕（神奈川県立県民ホール）

彫刻から立体造形へ〈戦後彫刻の問題点〉（三木多聞）

出品作家経歴・図版　83p.

今日の彫刻（中原佑介）

現代彫刻の歩みとともに〈私の回顧録〉（中村伝三郎）

出品目録

戦後彫刻年譜（小栗光雄編）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Contemporary Sculpture in Japan」

会期：1980 年 2 月 23 日－3 月 16 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール

出品：荒木高子、飯田善國、池田宗弘、一色邦彦、伊藤隆道、井上武吉、植木茂、丑久保健一、江口週、加藤昭男、河口龍夫、木内克、木村賢太郎、清水九兵衛、小清水漸、小畠廣志、桜井祐一、佐藤忠良、篠田守男、篠原有司男、新宮晋、関根伸夫、田中薫、辻晋堂、土谷武、豊福知徳、中西夏之、福岡道雄、福嶋敬恭、三木富雄、向井良吉、八木一夫、保田春彦、柳原義達、山口勝弘、山口牧生、山本衛士、山本正道、吉村益信、淀井敏夫、米林雄一〔出品目録順〕

アート・ナウ ’80 ●

兵庫県立近代美術館　1980 年 3 月　主に英文併載　兵美特展目録 No.64

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2

〔過去のアート・ナウ出品者一覧〕　p.3

出品者名　p.3

図版〔図版、作家略歴〕　pp.4-33

出品目録　pp.34, 35

展覧会委員　p.36

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW ’80」

会期：1980 年 3 月 2 日－30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：麻田脩二、石井千晶、上前智祐、大寺俊紀、梶なゝ子、木内喜雄、北野正治、木村浩、木村嘉子、日下部一司、黒川博、斎藤俊徳、信貴奨、曽我孝司、田中一好、野村仁、林正子、樋口洋子、福田弘美、星野暁、堀行雄、松本薫、村上文生、母袋幸子、森俊夫、森田秀、山

本和弘、横溝秀実、吉田廣喜、ザ・プレイ〔出品目録順〕

イメージの現代 ●

大阪府立現代美術センター　1980 年 4 月　開館記念展

図版〔図版、作家略歴〕 20p.

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1980 年 4 月 1 日－19 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府

出品：荒木高子、安東菜々、今村輝久、河合隆三、木村光佑、木村嘉子、黒崎彰、呉本俊松、杉山英行、武井明子、田中一好、中井富士子、西山康三郎、藤原向意、松井憲作、持田総章、村岡三郎、元永定正、矢野正治、山本容子〔図版収載順〕

まがいものの光景　現代美術とユーモア ●

国立国際美術館　1980 年 7 月　1 枚(両面刷、ポスター大)

おかしな部屋（建畠哲）

図版〔図版、出品目録、作家略歴〕18 図

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、横浜美、京都学

○展覧会事項

欧文タイトル：「Simulated Images in Contemporary Art」

会期：1980 年 7 月 25 日－9 月 23 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：靉嘔、伊藤隆康、草間彌生、重村三雄、シノダ・ユウ、篠原有司男、島州一、須賀啓、鈴木慶則、建畠覚造、谷川晃一、七彩工芸グループ(欠田誠ほか)、福田繁雄、三島喜美代、向井修二、村岡三郎、持田総章、若江漢字〔図版収載順〕

染と織――現代の動向 ●

群馬県立近代美術館　1980 年 8 月

ごあいさつ（館長岡畏三郎）

近代日本の染織寸見（杉原信彦）

新しい染織（内山武夫）

図版　38p.

作家略歴

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1980 年 8 月 16 日－9 月 15 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：伊砂利彦、稲垣稔次郎、小合友之助、鎌倉芳太郎、来野月乙、木村雨山、佐野猛夫、シナズミ・ジョージ、志村ふくみ、鈴田照次、芹沢銈介、田島征彦、中井貞次、中村勝馬、中村光哉、松原与七、三浦景生、宗広力三、森口華弘、森口邦彦、山田貢、麻田脩二、草間

喆雄、志村光広、中野光雄、桧垣檀、広川青五、小名木陽一、小林尚美、小林正和、高木敏子、中川千早、橋本京子、藤岡蕙子＋佐久間美智子、堀内紀子、八木マリヨ〔出品目録順〕

現代版画の一断面展図録 ●

東京都美術館　1980 年 10 月 4 日　特別展図録第 8 号

ごあいさつ（東京都美術館）　p.3

図版　pp.5-52

技法からみた戦後版画の変遷（川合昭三）　pp.53-57

木版画の特性（吉田穂高）　p.58

銅版画の意味（中林忠良）　p.59

石版画の魅力（吉原英雄）　p.60

シルクスクリーンの可能性とその発展（木村光佑）　p.61

技法解説　pp.62-63

作家略歴　pp.64-67

出品目録　pp.68-71

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Japanese Contemporary Prints－its Technique and Representation」

会期：1980 年 10 月 4 日－11 月 30 日　東京都美術館　主催：東京都美術館

出品：凸版；棟方志功、山口源、萩原英雄、北岡文雄、吹田文明、吉田穂高、黒崎彰、両角修、日和崎尊夫。凹版；長谷川潔、浜口陽三、駒井哲郎、浜田知明、深沢幸雄、斎藤寿一、加納光於、池田満寿夫、中林忠良。平面；利根山光人、馬場檮男、小作青史、吉原英雄、原健、田村文雄、東谷武美。孔版；靉嘔、松本旻、木村光佑、野田哲也、斉藤智、森義利、福井良之助。版の応用；下谷千尋、島州一、榎倉康二、永井一正、高松次郎〔出品目録順〕

平面絵画――その多様化展 ●

福岡市美術館　1980 年 10 月

平面絵画――その多様化（尾野正晴）

図版　p.6

〔作家略歴〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Variations on planar paintings」

会期：1980 年 10 月 28 日－12 月 21 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：桑山忠明、菅木志雄、山田正亮〔図版収載順〕

第 14 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1980 年 11 月

〔現代美術選抜展〕（無署名）　p.2

図版　pp.3-33
第 14 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉　pp.35-48
第 14 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.49
出品団体・出品点数一覧　p.49
〔出品団体系図〕　p.50
所蔵：□、国新美、写真美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：茨城展；1980 年 11 月 1 日－14 日　日立市郷土博物館　主催：文化庁・茨城県教育委員会・日立市・日立市教育委員会・日立市郷土博物館・日立市民文化事業団／静岡展；11 月 19 日－12 月 2 日　浜松市美術館　主催：文化庁・静岡県教育委員会・浜松市美術館・静岡新聞社・SBS 静岡放送／兵庫展；12 月 7 日－21 日　尼崎市総合文化センター　主催：文化庁・尼崎市総合文化センター・兵庫県・兵庫県教育委員会／新潟展；1981 年 1 月 6 日－18 日　新潟県美術博物館　主催：文化庁・新潟県教育委員会・新潟県美術博物館
出品：日本画；小林恒吉、竹内浩一、守屋多々志。洋画；児玉幸雄、時田幸彦、中西夏之、元永定正。版画；河口龍夫、吉田穂高。彫刻；高橋剛、田中薫〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

アジア現代美術展〈アジア美術展第 2 部〉●
福岡市美術館　1980 年 11 月　開館 1 周年記念特別展
あいさつ（市長進藤一馬）　p.5　英文併載
「アジア現代美術展」に寄せて（青木秀）　pp.6, 7　英文併載
図版〔図版、メッセージ、作家略歴〕　pp.9-304
各国現代美術の概要　pp.305-324, 325-339　英文併載
　現代日本の美術（乾由明）
参加国の位置　pp.340-341
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Festival：Contemporary Asian Art Show, 1980 Asian Artists Exhibition part II」
会期：1980 年 11 月 1 日－30 日　福岡市美術館　主催：福岡市・福岡市教育委員会・福岡市美術館・アジア美術展実行委員会
出品：九州以外の作家；靉嘔、麻田鷹司、麻田浩、麻生三郎、池田満寿夫、井田照一、今井俊満、今村幸生、植木茂、大島哲以、岡本太郎、小山田二郎、加賀見政之、片岡球子、加納光於、加山又造、絹谷幸二、木村希八、木村光佑、工藤甲人、黒崎彰、國領經郎、篠田守男、島田章三、下田義寛、白髪一雄、末松正樹、杉全直、高松次郎、多田美波、建畠覚造、田中信太郎、玉置正敏、堂本尚郎、利根山光人、中川直人、中西夏之、平山郁夫、福岡道雄、福沢一郎、藤沢典明、前田常作、松本旻、丸木位里、三尾公三、三栖右嗣、村井正誠、元永定正、柳原義達、山本文彦、横尾忠則、吉田穂高、吉原英雄、淀井敏夫、若林奮〔図版収載順〕

註：出品欄は「九州以外の作家」を収載、田淵安一、松本英一郎らや九州派の作家ら九州の作家(95 名)は割愛した。

Art Today ’80 絵画の問題展〈ロマンティックなものをこえて〉●

西武美術館　1980 年 11 月

ごあいさつ（西武美術館）

絵画の問題〈ロマンティックなものをこえて〉（藤枝晃雄）

カラー図版　11p.

制作の周辺〔作家略歴、作家コメント、図版〕　19p.

〔作家コメント〕（辰野登恵子、根岸芳郎、依田寿久）

出品リスト

所蔵：□、国新美、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「art today ’80 Paintings in 1980 by three artists」

会期：1980 年 11 月 15 日－12 月 17 日　池袋・西武美術館　構成：藤枝晃雄、主催：西武美術館

出品：辰野登恵子、根岸芳郎、依田寿久〔出品リスト順〕

今日の作家 感情と構成・展 ●

〔横浜市・横浜市教育委員会〕　1980 年 11 月　第 16 回今日の作家展

感情と構成・展によせて…（藤枝晃雄）

図版〔作家のことば、図版〕　7p.

〔作家のことば〕（川俣正、須賀昭初、中上清、中村功、根岸芳郎、山田正亮）

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

註：奥付無。

○展覧会事項

欧文タイトル：「Artists to-day」

会期：1980 年 11 月 16 日－30 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：藤枝晃雄、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：川俣正、須賀昭初、中上清、中村功、根岸芳郎、福嶋敬恭、山田正亮〔図版収載順〕

第 1 回ハラ・アニュアル 80 年代への展望 ●

原美術館　1980 年 11 月 26 日

ハラ・アニュアルの開催にあたって（館長原俊夫）

HARA ANNUAL 80 年代への展望（針生一郎）

出品作家

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　18p.

〔作家のことば〕（榎倉康二、沖啓介、川俣正、小清水漸、高橋雅之、堀浩哉、眞板雅文、村岡三郎）

出品リスト

註：編集は金澤毅。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「HARA ANNUAL VISION FOR THE 80s」

会期：1980 年 11 月 26 日－12 月 25 日　北品川・原美術館　選考委員：磯崎新・東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

出品：榎倉康二、沖啓介、川俣正、小清水漸、高橋雅之、原口典之、堀浩哉、眞板雅文、村岡三郎〔出品リスト順〕

1981（昭和 56）年

世界の現代版画 25 年展図録　　東京都美術館編 ●

朝日新聞社　1981 年 2 月

あいさつ（村上七郎・塚田泰三郎・定宗一宏・渡辺誠毅）　英文併載

国際版画展について（本間正義）　英文併載

図版　26p.

カタログ〔図版、作品リスト〕　83p.

国際版画ビエンナーレについて（熊谷伊佐子編）

技法解説（河合晴生編）

作家略歴

〔国際版画ビエンナーレ一覧・年表〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The World in Contemporary Prints 1955-1980」

会期：1981 年 2 月 7 日－3 月 22 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館・朝日新聞社／4 月 7 日－5 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館・朝日新聞社／5 月 16 日－6 月 7 日　広島県立美術館　主催：広島県立美術館・朝日新聞社

出品：尼野和三、靉嘔、榎倉康二、舩坂芳助、萩原英雄、萩原朔美、浜田知明、浜口陽三、原健、井田照一、池田満寿夫、上矢津、加納光於、木村秀樹、木村光佑、小山愛人、黒崎彰、日下賢二、李禹煥、松本旻、宮下登喜雄、村上明、永井一正、野田哲也、斉藤智、菅井汲、高松次郎、田中孝、若江漢字、山口源、横尾忠則、吉田穂高、吉原英雄、吉村芳生〔作家略歴順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

現代の絵画〈東欧と日本〉 ●

国際芸術文化振興会　1981 年 2 月

あいさつ（国立国際美術館・国際芸術文化振興会）　p.3　英文併載

東欧の現代美術（リシャルド・スタニスエアフスキー）　pp.4-5, 6-7　英文併載

図版〔解説、図版、作家略歴〕　pp.9-63

作家略歴／日本　pp.64-65, 65-67　英文併載

作品リスト　pp.68-74

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、京都学

○展覧会事項

欧文タイトル：「Contemporary Painting in Eastern Europe and Japan」

会期：1981 年 2 月 20 日－3 月 1 日　横浜・神奈川県立県民ギャラリー　主催：国際芸術文化振興会／3 月 5 日－31 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・国際芸術文化振興会

出品：日本；藤井一、川井昭夫、木村光佑、黒川博、黒崎彰、松本旻、宮脇愛子、野田哲也、小田襄、大野忠男、斎藤俊徳、田中孝、谷口茂、塚原琢哉〔作品リスト順〕

アート・ナウ 1970～1980 ●

兵庫県立近代美術館　1981 年 3 月　主に英文併載　兵美特展目録 No.71

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2

出品者名　p.3

図版〔図版、作家略歴〕　pp.4-52

アート・ナウ出品者一覧　p.53　和文のみ

「アート・ナウ」8 年の歩み　pp.54-57　和文のみ

アート・ナウ 1970～1980 出品目録　pp.58, 59

展覧会委員　p.60

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW 1970～1980」

会期：1981 年 3 月 7 日－29 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松寛、(主催者側)池田弘、増田洋

出品：荒木高子、泉茂、井田照一、今村輝久、植松奎二、河口龍夫、木村光佑、木村秀樹、清水九兵衛、楠田信吾、久保晃、呉本俊松、黒崎彰、河野芳夫、小清水漸、小林正和、斉藤智、新宮晋、鈴木治、田中薫、田中一好、田中孝、坪井明日香、富樫実、野崎一良、橋本幸志、速水史朗、福岡道雄、船井裕、星野暁、堀尾貞治、増田正和、松谷武判、松本文子、三尾公三、三島喜美代、宮崎豊治、宮永理吉、村岡三郎、元永定正、森口宏一、八木マリヨ、柳原睦夫、矢野正治、山口牧生、山田信義、山本圭吾、山本容子、ザ・プレイ〔出品目録順〕

明日への造形－九州 第 1 回展 変換と差異――複製技術社会の中で ●

福岡市美術館　1981 年 3 月

ごあいさつ

変換と差異――複製技術社会の中で（帯金章郎）

図版〔作家略歴、制作ノート、出品リスト、図版〕　19p.

　制作ノート（永崎通久、山崎直秀、吉村芳生）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項
欧文タイトル：「1st “Forms For Tomorrow－Kyūshū” transformations and differences」
会期：1981 年 3 月 24 日－4 月 26 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：永崎通久、山崎直秀、吉村芳生

山口の現代美術 I ●
山口県立美術館　1981 年 4 月 16 日
〔あいさつ〕（山口県立美術館）　p.3
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.4-43
〔作家のことば〕（澄川喜一、田中稔之、田辺武、服部碩夫、濱野邦昭、藤崎恒頼、堀晃、三輪龍作、吉村芳生）
出品目録　p.44
所蔵：□、東近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1981 年 4 月 18 日－5 月 10 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：澄川喜一、田中稔之、田辺武、殿敷侃、服部碩夫、濱野邦昭、藤崎恒頼、堀晃、三輪龍作、吉村芳生〔出品目録順〕

〔第 1 回〕富山国際現代美術展図録 ●
富山県立近代美術館　1981 年 7 月　第 1 回展
あいさつ（県知事中沖豊）　pp.3, 4　英文併載
富山に世界の創造的な息吹きを〈「富山国際現代美術展」の開催にあたって――〉（小川正隆）
pp.6-8, 9-10
図版　pp.11-36
フランス・セクション〔論考、作家の言葉、図版〕　pp.37-68
イギリス・セクション〔論考、作家の言葉、図版〕　pp.69-100
アメリカ・セクション〔論考、作家の言葉、図版〕　pp.101-127
日本・セクション〔論考、作家の言葉、図版〕　pp.129-158
日本の 6 人（東野芳明）
作家の言葉（彦坂尚嘉、村岡三郎、中西夏之、沖啓介、高松次郎、宇佐美圭司）
出品目録　pp.160-167
作家解説　pp.168-172
富山国際現代美術展組織図　p.173
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’81」
会期：1981 年 7 月 5 日－9 月 23 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
出品：日本・セクション；彦坂尚嘉、村岡三郎、中西夏之、沖啓介、高松次郎、宇佐美圭司〔出品目録順〕

註：「日本・セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

平行芸術展 ●

財団法人小原流　1981 年 8 月　1 枚(両面刷)　第 1 回展

図版〔図版、作家略歴〕 10 図

「平行芸術展」企画者の弁（峯村敏明）

〔作家のことば〕（戸谷成雄、花井重信、松宮喜代勝、小清水漸、長谷光城、佐々木悦弘、川俣正、菅木志雄、保科豊巳、加茂博）

所蔵：□、都現美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1981 年 8 月 6 日－19 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：戸谷成雄、花井重信、松宮喜代勝、小清水漸、長谷光城、佐々木悦弘、川俣正、菅木志雄、保科豊巳、加茂博〔図版収載順〕

現代の美術 今日の作家 5 人展 ●

ストライプハウス美術館　1981 年 9 月　英文併載

〔あいさつ〕（館長塚原操）

図版〔図版、作家略歴〕 10p.

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Exhibition of 5 Japanese Artist of today」

会期：1981 年 9 月 8 日－30 日　六本木・ストライプハウス美術館　主催：ストライプハウス美術館

出品：内間安理、重田良一、澄川喜一、堂本尚郎、松本旻〔図版収載順〕

現代美術の動向 I 1950 年代――その暗黒と光芒展図録 ●

東京都美術館　1981 年 9 月 12 日　東京都美術館特別展図録第 9 号

あいさつ（東京都美術館） p.3

図版　pp.5-74

1950 年代――その暗黒と光芒（萬木康博） pp.76-77

作家略歴・文献　pp.78-92

事項解説・文献　pp.93-98

展覧会・日本アンデパンダン展、読売アンデパンダン展、サロン・ド・メ(日本展)、日本国際美術展(東京ビエンナーレ)、現代日本美術展、抽象と幻想展、京都アンデパンダン展、今日の新人・1955 年展、メキシコ展、世界・今日の美術展、前衛美術の 15 人展、新しい絵画 世界展－アンフォルメルと具体、グループ展・その他・前衛美術会、日本アヴァンギャルド美術家クラブ、夜の会、世紀の会、デモクラート美術家協会、実験工房、アートクラブ、日本青年美術家連合(青美連)、具体美術協会、制作者懇談会、集団 30、集団現代彫刻、タケミヤ画廊、美術批評、アンフォルメル

資料抄　pp.98-100　再録
略年表（河合晴生編）　pp.101-107
出品目録　pp.108-114
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1981 年 9 月 12 日－11 月 8 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館
出品：阿部展也、麻生三郎、朝妻治郎、森芳雄、浜田知明、鶴岡政男、丸木位里、丸木俊（赤松俊子）、井上長三郎、岡本太郎、村井正誠、難波田龍起、利根山光人、オノサト・トシノブ、杉全直、山口長男、斎藤義重、山口薫、川端実、末松正樹、前田常作、赤穴宏、山中春雄、藤松博、香月泰男、間所〔芥川〕紗織、朝倉摂、三上誠、横山操、比田井南谷、吉原治良、嶋本昭三、吉原通雄、吉田稔郎、白髪一雄、村上三郎、田中敦子、金山明、元永定正、今井俊満、堂本尚郎、田淵安一、瑛九、泉茂、靉嘔、池田満寿夫、山口勝弘、北代省三、福島秀子、駒井哲郎、加藤正、加納光於、漆原英子、吉井忠、山下菊二、曹良奎、中村宏、桂川寛、尾藤豊、吉仲太造、河原温、石井茂雄、池田龍雄、飯田善國、建畠覚造、向井良吉、堀内正和、毛利武士郎、植木茂、木村賢太郎、藤田昭子、篠田守男、井上武吉、森堯茂、阿井正典、八木一夫、辻晋堂〔出品目録順〕

’81 富山の美術展図録 ●
富山県立近代美術館　1981 年 10 月
あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3
「’81 富山の美術」展によせて（小川正隆）　pp.4-5
図版〔作家のことば、図版〕　pp.9-45
〔作家のことば〕（大島秀信、下保昭、下田義寛、豊秋半二、加賀谷武、川井昭夫、清原啓一、頭川政始、野上祇磨、橋本博英、林清納、藤江民、前田常作、松原龍夫、金守世士夫、橋本文良、石井南畊、大平山濤、表立雲〔3 文字〕、尾長保、村田吉生、山崎覚太郎、伊藤公象、岩城信嘉、浦山一雄、大成浩、岡崎星秀、辻志郎、宮崎辰児、横山豊介、米林雄一、可西泰三、名取川雅司、畠春斎）
出品目録　pp.48-51
作家略歴　pp.52-57
「’81 富山の美術」展開催要領　p.58
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1981 年 10 月 1 日－25 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
出品：平面；大島秀信、下保昭、下田義寛、豊秋半二、加賀谷武、川井昭夫、清原啓一、頭川政始、野上祇磨、橋本博英、林清納、藤江民、前田常作、松原龍夫、金守世士夫、橋本文良、石井南畊、大平山濤、表立雲、尾長保、村田吉生、山崎覚太郎。立体；伊藤公象、岩城

信嘉、浦山一雄、大成浩、岡崎星秀、辻志郎、宮崎辰児、横山豊介、米林雄一、可西泰三、名取川雅司、畠春斎〔出品目録順〕

現代ラテン・アメリカ美術と日本 ●

国立国際美術館　1981 年 10 月 2 日

あいさつ（国立国際美術館）　pp.3, 4　西文併載

ラテン・アメリカの美術について（マルク・ベルコウィッツ）　pp.6-8, 9-11　西文併載

ブラジルの現代美術とメスティソ文化（ヨシダ・ヨシエ）　pp.12-18

中米メキシコの現代美術（本間正義）　pp.19-23

図版　pp.25-75

出品目録　pp.76-77, 79-82　西文併載

作家略歴　pp.83-108

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Arte Latinoamericano Contemporáneo y Japón」

会期：1981 年 10 月 2 日－12 月 6 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：福島近、福島隆志、近藤敏、越石幸子、楠野友繁、間部学、中久保益男、大竹富江、豊田豊、若林和男、村田簀史雄、ルイス・西沢、酒井和也、高橋清、竹田鎮三郎、利根山光人〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家・日系作家を収載。

開館記念特別展第 1 部 現代日本の美術 ●

宮城県美術館　1981 年 11 月

あいさつ（知事山本壮一郎）

あいさつ（館長津軽芳三郎）

カラー図版　61p.

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　125p.

〔作家のことば〕（上村松篁、片岡球子、加山又造、小松均、荘司福、髙山辰雄〔再録〕、東山魁夷、星野真吾、丸木位里、靉嘔、麻生三郎、荒川修作〔英詩、谷川俊太郎和訳〕、宇佐美圭司、大沢昌助、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、河原温、斎藤真一、白髪一雄、菅木志雄、高松次郎、田淵安一、堂本尚郎、平賀敬、三尾公三、元永定正、池田満寿夫、木村光佑、島州一、浜田知明、吾妻兼治郎、江口週、榎倉康二、清水九兵衛、佐藤忠良、篠原有司男、新宮晋、建畠覚造、土谷武、堀内正和、山本正道、石井勢津子、小林はくどう、中谷芙二子、山口勝弘、山本圭吾）

現代美術と日本（三木多聞）

現代美術の綜合展と評価基準の問題（針生一郎）

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art」
会期：1981 年 11 月 3 日－12 月 6 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館
出品：岩橋英遠、上村松篁、片岡球子、加山又造、小松均、荘司福、髙山辰雄、東山魁夷、星野真吾、丸木位里、靉嘔、麻生三郎、荒川修作、宇佐美圭司、大沢昌助、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、桂ゆき、加納光於、河原温、絹谷幸二、小磯良平、斎藤真一、白髪一雄、菅木志雄、高松次郎、田淵安一、堂本尚郎、中西夏之、平賀敬、福沢一郎、三尾公三、元永定正、山口長男、李禹煥、池田満寿夫、木村光佑、島州一、野田哲也、浜口陽三、浜田知明、吾妻兼治郎、江口週、榎倉康二、斎藤義重、清水九兵衛、小清水漸、佐藤忠良、篠原有司男、新宮晋、鈴木実、建畠覚造、土谷武、堀内正和、村岡三郎、山本正道、若林奮、石井勢津子、小林はくどう、中谷芙二子、山口勝弘、山本圭吾〔出品目録順〕

第 15 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1981 年 11 月
〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2
図版　pp.3-34
第 15 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.35-48
第 15 回現代美術選抜展開催要項(抄)　p.49
出品団体・出品点数一覧　p.49
〔出品団体系図〕 p.50
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：静岡展；1981 年 11 月 11 日－25 日　富士宮・富士美術館　主催：文化庁・静岡県教育委員会・読売新聞社静岡支局・静岡第一テレビ・富士美術館／愛知展；12 月 1 日－20 日　豊橋市美術博物館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社／富山展；1982 年 1 月 9 日－24 日　富山県民会館美術館　主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・富山新聞社・富山テレビ放送／千葉展；1 月 29 日－2 月 11 日　千葉県立美術館　主催：文化庁・千葉県立美術館
出品：日本画；小栗潮、渡辺学。洋画；島田章三、脇田和。版画；土田雅昭。彫刻；中村博直〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

今日の作家［壁］展 ●

〔横浜市・横浜市教育委員会〕 1981 年 11 月　第 17 回今日の作家展
THEME [壁]（秋田由利）
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 16p.
〔作家のことば〕（天利道子、井川惺亮、岡崎乾二郎、荻野裕政、川俣正、柏原えつとむ、串田治、永崎通久、前田一澄、三宅康郎、森口宏一、森田秀、守屋行彬）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Artists to-day '81：THEME THE WALL」

会期：1981 年 11 月 19 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：秋田由利、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：天野博之、天利道子、井川惺亮、岡崎乾二郎、荻野裕政、川俣正、柏原えつとむ、串田治、斎藤義重、永崎通久、前田一澄、三代川和美、三宅康郎、森口宏一、森田秀、守屋行彬〔図版収載順〕

第 2 回ハラ・アニュアル ●

原美術館　1981 年 11 月

ハラ・アニュアルの開催にあたって（館長原俊夫）　英文併載

ハラ・アニュアル第 2 回展〈生きた回路として〉（東野芳明）　英文併載

出品作家

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　16p.

〔作家のことば〕（海老塚耕一、岡崎乾二郎、倉重光則、坂口登、櫻井英嘉、須田基揮、戸田正寿、戸谷成雄）

出品リスト　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 2」

会期：1981 年 11 月 20 日－12 月 27 日　北品川・原美術館　選考委員：磯崎新・東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団

出品：海老塚耕一、岡崎乾二郎、倉重光則、坂口登、櫻井英嘉、須田基揮、戸田正寿、戸谷成雄〔出品リスト順〕

1960 年代――現代美術の転換期 ●

東京国立近代美術館　1981 年 12 月

あいさつ（安達健二・河北倫明）　pp.9, 11　英文併載

出品作家一覧　p.13

1960 年代――現代美術の転換期（三木多聞）　pp.14-21, 2331

図版〔多色図〕　pp.33-40

カタログ 作家解説と出品目録（浅野徹、市川政憲、岩﨑吉一、尾﨑正明、近藤幸夫、藤井久栄、松本透、三木多聞、本江邦夫）　pp.41-197

I 抽象表現主義的傾向；田淵安一、今井俊満、堂本尚郎、田中敦子、白髪一雄、元永定正、杉全直、村井正誠、難波田龍起、津高和一、小野忠弘、萩原英雄

II 抽象表現主義以降の新局面；荒川修作、工藤哲巳、草間彌生、伊藤隆康、中西夏之、高松次郎、赤瀬川原平、三木富雄、菊畑茂久馬、磯辺行久、吉仲太造、池田龍雄、関根美夫、平賀敬、篠原有司男、小島信明、岡本信治郎、靉嘔、宇佐美圭司、加納光於、池田満寿夫、吉原英雄、横尾忠則、桂ゆき、山下菊二、中村宏、前田常作、藤松博、馬場彬、山口長男、斎藤義重、吉原治良、菅井汲、オノサト・トシノブ、桑山忠明、山田正亮

III 彫刻、立体；辻晋堂、向井良吉、建畠覚造、流政之、豊福知徳、吾妻兼治郎、木村賢太郎、新妻実、江口週、堀内正和、篠田守男、小田襄、最上壽之、若林奮、村岡三郎、福岡道雄、多田美波、山口勝弘、吉村益信、河口龍夫、宮脇愛子、田中信太郎、湯原和夫、関根伸夫

年表（浅野徹・近藤幸夫編） pp.198-219

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The 1960's――A Decade of Change in Contemporary Japanese Art」

会期：1981 年 12 月 4 日－1982 年 1 月 31 日　竹橋・東京国立近代美術館／2 月 10 日－3 月 14 日　京都国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館

出品：靉嘔、赤瀬川原平、吾妻兼治郎、荒川修作、池田龍雄、池田満寿夫、磯辺行久、伊藤隆康、今井俊満、宇佐美圭司、江口週、岡本信治郎、小田襄、小野忠弘、オノサト・トシノブ、桂ゆき、加納光於、河口龍夫、菊畑茂久馬、木村賢太郎、草間彌生、工藤哲巳、桑山忠明、小島信明、斎藤義重、篠田守男、篠原有司男、白髪一雄、菅井汲、杉全直、関根伸夫、関根美夫、高松次郎、多田美波、建畠覚造、田中敦子、田中信太郎、田淵安一、辻晋堂、津高和一、堂本尚郎、豊福知徳、中西夏之、中村宏、流政之、難波田龍起、新妻実、萩原英雄、馬場彬、平賀敬、福岡道雄、藤松博、堀内正和、前田常作、三木富雄、宮脇愛子、向井良吉、村井正誠、村岡三郎、最上壽之、元永定正、山口勝弘、山口長男、山下菊二、山田正亮、湯原和夫、横尾忠則、吉仲太造、吉原治良、吉原英雄、吉村益信、若林奮〔出品作家一覧順〕

1982（昭和 57）年

フォトグラム展 ●

福岡市美術館　1982 年 2 月

ごあいさつ（福岡市美術館） p.3

フォトグラム－光と影による造形（帯金章郎） pp.4-8

図版　pp.9-33

出品目録（帯金章郎編） pp.34-41

略歴（帯金章郎編） pp.42-43

フォトグラムに関する参考文献（帯金章郎編） pp.44-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「photograms」

会期：1982 年 2 月 2 日－28 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：マン・レイ、モホリ・ナギ、瑛九、山口正城〔出品目録順〕

現代陶芸〈伝統と前衛〉●

サントリー美術館　1982 年 2 月　開館 20 周年記念

現代陶芸〈伝統と前衛〉（サントリー美術館） 見返し

図版　pp.1-67
現代陶芸〈伝統と前衛〉（林屋晴三）　pp.68-69
出品目録　pp.70-74
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、京都学、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1982 年 2 月 2 日－3 月 28 日　赤坂・サントリー美術館　主催：サントリー美術館
出品：八木一夫、鈴木治、熊倉順吉、荒木高子、中村錦平、三輪龍作、佐藤敬、鯉江良二、星野暁〔出品目録順〕
註：出品欄は「前衛の担い手」の 9 作家を収載。

明日への造形＝九州 第 2 回展　新しいイメージの展開――平面性と現代の図像 ●
福岡市美術館　1982 年 3 月
ごあいさつ（福岡市美術館）　p.3　英文併載
〔ことば〕（柴田勝則）　pp.4-6
図版〔図版、作家略歴、制作ノート、出品リスト〕　pp.7-22
　制作ノート（小山正、仙頭利通）
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「EXPANSION for New Image―planar and contemporary iconograph」
会期：1982 年 3 月 2 日－28 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：小山正、仙頭利通〔図版収載順〕

現代の陶芸 I「いま、土と火でなにが可能か」展報告書 ●
山口県立美術館　1983 年 3 月
ごあいさつ（山口県立美術館）　p.3
図版〔メッセージ、作家論、図版〕　pp.5-36
　メッセージ（荒木高子、伊藤公象、鯉江良二、里中英人、星野暁、三島喜美代、三輪龍作〔1 行〕）
　荒木高子の作品について（ルドルフ・シュニーダー）
展覧会ノート〈いま、土と火でなにが可能か〉（榎本徹）　pp.37-42
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CLAY WORK NOW I　WHAT CAN BE DONE WITH CLAY AND FIRE」
会期：1982 年 4 月 17 日－5 月 9 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：荒木高子、伊藤公象、鯉江良二、里中英人、星野暁、三島喜美代、三輪龍作〔図版収載順〕

明日の美術館を求めて・美術劇場〈新館竣工記念〉図録 ●
兵庫県立近代美術館　1982 年 4 月　兵美特展目録 No.74

ごあいさつ（館長楢崎四郎） p.2
序文（山脇一夫） pp.3-5
プログラム p.6
出品者一覧 p.7 英文併載
カタログ〔作家のことば、略歴、文献、図版〕 pp.8-48
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「Toward the Museum of Tomorrow－LIVE ART THEATER」
会期：1982 年 4 月 28 日－5 月 30 日 神戸・兵庫県立近代美術館 主催：兵庫県立近代美術館
出品（出演・上映・講演を含む）：飯村隆彦、ザ・プレイ(池水慶一、佐々木敏明、二井清治、原口博行、藤尾紀子、三喜徹雄、三宅紀美子、吉村元嗣、鈴木芳伸、小林慎一)、嶋本昭三、浜田剛爾、福田繁雄、堀尾貞治、山口勝弘、山本圭吾、ヨシダ稔〔ミノル〕、塩見允枝子＋岩田孝子、中村滋延＋松本昌彦、田中泯、総合商社 HAND-JOE（上杉清文、南伸坊、末井昭、鈴木祐弘）、千田高詩＋創造のアトリエ、大阪芸術大学芸術計画学科共同制作グループ APA、塩崎健市＋杉浦貞、伊藤高志、かわなかのぶひろ、鈴木志郎康、田名網敬一、寺山修司、萩原朔美、藤田実、古川タク、松本俊夫〔出品者一覧順〕

第 1 回現代芸術祭－瀧口修造と戦後美術－図録 ●
富山県立近代美術館 1982 年 7 月序
あいさつ（富山県立近代美術館） p.3
「現代芸術祭」の構想について〈「瀧口修造と戦後美術」の場合〉（館長小川正隆） pp.4-5
瀧口修造と戦後美術（東野芳明） pp.6-7
実験工房のこと〈1950 年代〉（山口勝弘） pp.8-9
詩人瀧口修造（大岡信） pp.10-11
瀧口修造と音楽（武満徹） p.12
海外からのメッセージ〔東野芳明・註〕 pp.13-16 英文・和文・図版
ジョン・ケージ、ジャスパー・ジョーンズ、ジャン・ティンゲリー、サム・フランシス
図版 pp.17-140
瀧口修造 私の心臓は時を刻む pp.17-18
招待作家・作品図版 pp.19-129
〔20 名のそれぞれの作家へのことば〕（〔ことば〕瀧口修造〔再録〕、瀧口さんによせて（北代省三）、〔ことば〕（利根山光人）、「うらない」（藤松博）、「現代芸術祭」によせて（大辻清司）、現代美術の原点（前田常作）抄録、ヴィトリーヌとその夢の発展（山口勝弘）、瀧口修造の一言と一句と（池田龍雄）、〔ことば〕（吉仲太造）、〔ことば〕（加納光於）、〔ことば〕（松澤宥）、早死に（篠原有司男）、〔ことば、1 行〕（河原温）、〔ことば、1 行〕（工藤哲巳）、〔ことば〕（中西夏之）、宇宙の最深部へ行ったもの（赤瀬川原平）、〔ことば〕（田辺三太郎）、〔ことば〕（宮脇愛子）、消えた対抗案があった。（磯崎新）、その人に（野中ユリ）、〔ことば〕（平沢淑子）、〔ことば〕（四谷シモン）

瀧口修造オブジェ ショップ Rrose Sélavy〈夢の漂流物〉 pp.131-140
瀧口修造・オブジェ ショップによせて（東野芳明） p.132
瀧口修造・自筆年譜 pp.141-150
年譜・補遺（瀧口綾子） pp.150-152
美術館計画についての告白的メモ抄録（瀧口修造）p.153
作家略歴 pp.154-158
出品目録 pp.159-163
第 1 回現代芸術祭－瀧口修造と戦後美術－実行委員略歴 pp.164-165
秋山邦晴、池田龍雄、大岡信、東野芳明、武満徹、山口勝弘、地元実行委員 8 名
第 1 回現代芸術祭－瀧口修造と戦後美術－イベント部門要覧 p.166
第 1 回現代芸術祭－瀧口修造と戦後美術－組織表 p.167
註：編集は太田将勝、片岸昭二。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1982 年 7 月 1 日－9 月 15 日 富山県立近代美術館 主催：富山県立近代美術館
出品：瀧口修造、北代省三、利根山光人、藤松博、大辻清司、前田常作、福島秀子、山口勝弘、池田龍雄、吉仲太造、漆原英子、加納光於、榎本和子、松澤宥、篠原有司男、河原温、工藤哲巳、中西夏之、荒川修作、赤瀬川原平、田辺三太郎、宮脇愛子、岡崎和郎、磯崎新、野中ユリ、合田佐和子、平沢淑子、四谷シモン、駒井哲郎〔出品目録順〕

第 2 回平行芸術展 不透明性をめぐって ●
財団法人小原流 1982 年 7 月
なぜ彫刻か（峯村敏明）
〔作家のことば〕（池ヶ谷肇、大村益三、岡崎乾二郎、黒川弘毅、田窪恭治、多和圭三、福岡道雄、宮内洋幸）
所蔵：□、都現美
註：未見につき峯村敏明編著『平行芸術の 80 年代 1981－1991』（美術出版社 1992 年 9 月）に拠った。
〇展覧会事項
欧文タイトル：未詳(当該カタログ未見につき)
会期：1982 年 7 月 22 日－27 日 南青山・東京小原流会館 1 階ロビー 企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流
出品：池ヶ谷肇、大村益三、岡崎乾二郎、黒川弘毅、田窪恭治、多和圭三、福岡道雄、宮内洋幸

中本達也と戦後美術の一断面 ●
山口県立美術館 1982 年 7 月 24 日
ごあいさつ（山口県立美術館） p.3
図版 pp.9-128

歴史としての絵画――中本達也（針生一郎） pp.129-133
人間の声――明日のための断片（海上雅臣） pp.134-139
中本達也とその周辺（高田美規雄） pp.141-153
年譜 pp.154-161
資料・文献目録 pp.162-168
〔参考図版〕 pp.169-171
出品目録 pp.172-174, 175-178 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1982 年 7 月 24 日－8 月 22 日 山口県立美術館 主催：山口県立美術館
出品：中本達也、大沢昌助、井上長三郎、鶴岡政男、森芳雄、吉井忠、麻生三郎、阿部展也、小山田二郎、倉石隆、山下菊二、利根山光人、小野木学、永田力、中野淳、前田常作、石橋和己、池田龍雄、曹良奎、中村宏、河原温〔出品目録順〕

北の彫刻展 ●
「北の彫刻展」実行委員会・札幌彫刻美術館 1982 年 7 月 第 1 回展
北の方位〈「北の彫刻展」開催にあたって〉（田上義也）
図版〔作家略歴、図版〕 pp.1-16
所蔵：□、国新美、都現美、神近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Sculptures of the North」
会期：1982 年 7 月 31 日－8 月 29 日 札幌彫刻美術館 主催：「北の彫刻展」実行委員会・財団法人札幌彫刻美術館・北方圏センター・北海道国際文化協会
出品：スタファン・オストルンド、佐藤忠良、秋山沙走武、板津邦夫、伊藤寿朗、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、中江紀洋、本田明二、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、安田侃〔図版収載順〕

20 世紀末美術展図録 ●
板橋区立美術館 1982 年 8 月
20 世紀末美術展開催にあたって（板橋区立美術館） p.1
世紀末ふたたび（海野弘） p.2
図版〔図版、出品目録、アンケート、略歴、著書及び関係書籍〕 pp.3-67
事件年表 pp.20, 27
プロロオグ（北村想） p.45
私って、文化的なカルチャー文化国民になれるのネ!……とは言わせません。世は今、世紀末黒魔術の時代なのです。（藤原新也） pp.58, 63, 66
末法時代と「美しきもの」――旅人・藤原新也は暗い眼をして、帰ってきた。（宮迫千鶴） p.68
Copy 世紀末を疾走する青少年 pp.69-71
註：編集は大月浩子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 8 月 13 日－9 月 12 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：湯村輝彦、辰巳四郎、河村要助、吉田カツ、金子國義、建石修志、合田佐和子、岩崎賀都彰、空山基、藤原新也〔図版収載順〕

三重の美術・現代展カタログ ●

三重県立美術館　1982 年 9 月 24 日　開館記念展

地方美術館と展覧会をめぐって（匠秀夫）　p.5

図版　pp.6-44

現代日本の抽象系美術（乾由明）　p.32

作家略歴　pp.45-50

出品目録　pp.51-55

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 9 月 25 日－11 月 21 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

出品：前期；中谷泰、足代義郎、森谷重夫、岡本実、三輪勇之助、関田庄司、小林研三、小林藤四郎、森芳雄、八島正明、和田義彦、土嶋敏男、鈴木三朝、嶋谷自然、古野新生、杉原元人、石垣彰夫、奥山芳泉、橋本綵可、野口巳緻子、松永隆雄、大西金次郎、片山義郎、中村晋也。後期；岩中徳次郎、館慶一、浅野弥衛、元永定正、木下富雄、中野英一、伊藤利彦、奥行彦、今村幸生、戸田陽子、神戸武志、田畑進〔出品目録順〕

第 16 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1982 年 10 月

〔現代美術選抜展〕（無署名）　p.2

図版　pp.3-33

第 16 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉　pp.35-48

第 16 回現代美術選抜展開催要項　p.49

出品団体・出品点数一覧　p.49

〔出品団体系図〕　p.50

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：青森展；1982 年 10 月 17 日－11 月 3 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館／広島展；11 月 20 日－12 月 5 日　呉市立美術館　主催：文化庁・広島県教育委員会・呉市文化振興財団・呉市立美術館／徳島展；12 月 10 日－26 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島新聞

社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館／愛知展；1983 年 1 月 8 日－23 日　豊橋市美術博物館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社

出品：日本画；川崎春彦、堀越保二。洋画；小西保文、藤本東一良。版画；磯見輝夫、清宮質文。彫刻；西常雄〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

「現代日本美術の展望―油絵」展 ●

富山県立近代美術館　1982 年 11 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

なぜ「油絵」なのか――第二回「現代日本美術の展望」によせて（小川正隆）　pp.6-7

現代日本の抽象系絵画（乾由明）　pp.8-9

具象絵画を中心とした日本の油絵の現状について（三木多聞）　pp.10-11

図版　pp.13-105

出品目録　pp.107-109

出品作家略歴　pp.110-114

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING」

会期：1982 年 11 月 3 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：匠秀夫、乾由明、三木多聞、増田洋、小川正隆、主催：富山県立近代美術館

出品：中川一政、福沢一郎、牛島憲之、山口長男、小磯良平、大沢昌助、田村一男、村井正誠、小牧源太郎、森芳雄、小野末、宇治山哲平、糸園和三郎、オノサト・トシノブ、小野忠弘、麻生三郎、桂ゆき、杉全直、浅野弥衛、野見山暁治、久野真、泉茂、宮崎進、藤松博、元永定正、福井良之助、三尾公三、白髪一雄、松樹路人、鴨居玲、堂本尚郎、田中稔之、今井俊満、池田龍雄、上田薫、藤田吉香、山田正亮、吉原英雄、小西保文、靉嘔、加納光於、大沼映夫、岡本信治郎、島田章三、奥谷博、中西夏之、高松次郎、李禹煥、宇佐美圭司、榎倉康二、絹谷幸二、鳴剛、彦坂尚嘉、原口典之〔出品目録順〕

今日の作家展 NOVEMBER STEPS ●

〔横浜市・横浜市教育委員会〕　1982 年 11 月　第 18 回今日の作家展

INTERVIEW（東野芳明・海老塚耕一）

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕　15p.

〔作家のことば〕（出光真子、海老塚耕一、草間彌生、菱沼良樹、前本彰子、山本容子、吉澤美香）

註：最終ページに「編集＋デザイン 沖啓介　製作協力 伊藤佐智子、小暮徹、ブルース・オズボーン、藤井吾郎、角取明子」とあり。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「NOVEMBER STEPS」

会期：1982 年 11 月 11 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：東野芳明、海老塚耕一、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：出光真子、海老塚耕一、遠藤利克、沖啓介、北山善夫、草間彌生、佐々木悦弘、田窪恭治、髙澤直代、菱沼良樹、前本彰子、矢野美智子、山本容子、横尾忠則、吉澤美香〔図版収載順〕

アート・ナウ ’82 ●

兵庫県立近代美術館　1982 年 12 月　英文併載　兵美特展目録 No.78

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　pp.2, 3

既出品者名　pp.4-6

出品者名　p.7

図版〔作家略歴、図版〕　pp.8-27

「アート・ナウ」の再出発（中島徳博）pp.28, 29

出品目録　pp.30, 31

展覧会委員　p.32

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW ’82」

会期：1982 年 12 月 11 日－1983 年 1 月 23 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、橋本喜三、原田平作、村松寛、(主催者側)増田洋、吉村良夫

出品：朝比奈逸人、飯田三代、池田修造、和泉俊昭、宇高明、太田堯子、岡本タロー、河添潤、佐久間嘉明、佐藤慈男、柴高康造、田中昇、椿昇、寺内成人、中谷昭雄、村田千秋、宮崎又行、宮崎みよし、山田幸作、弓場祥子〔出品目録順〕

1983（昭和 58）年

素材と空間展 ●

福岡市美術館　1983 年 2 月

ごあいさつ（福岡市美術館）　p.1

素材と空間（帯金章郎）　pp.2-4

図版〔作家略歴、図版〕　pp.5-23　作家略歴英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Materials and Spaces」

会期：1983 年 2 月 1 日－27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：川俣正、戸谷成雄、保科豊巳〔図版収載順〕

木のかたちとエスプリ ●

埼玉県立近代美術館　1983 年 2 月　木製の表紙・裏表紙によるバインダー使用

あいさつ（埼玉県立近代美術館）
はじめに――木ということ（本間正義）
積木と自然（中原佑介）
図版〔図版、出品目録、コメント、作家略歴、解説〕 42 枚
〔コメント〕（飯室哲也、植木茂、江口週、大橋篤司、川俣正、木村勝、小清水漸、宿沢育夫、菅木志雄、鈴木実、澄川喜一、関根伸夫、高松次郎、竹田康宏、建畠覚造、田中担三、富松孝侑、中川久嗣、林範親、深井隆、福田繁雄、最上壽之、杢田たけを、八木正、脇田愛二郎）
出品作品一覧
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「SHAPE AND SPIRIT IN WOOD WORKS」
会期：1983 年 2 月 5 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：飯室哲也、植木茂、丑久保健一、江口週、大橋篤司、川俣正、木村勝、小清水漸、斎藤義重、宿沢育夫、菅木志雄、鈴木実、澄川喜一、関根伸夫、高松次郎、竹田康宏、建畠覚造、田中担三、富松孝侑、中川久嗣、林範親、深井隆、福田繁雄、最上壽之、杢田たけを、八木正、李禹煥、脇田愛二郎、田辺麗子、柳宗理、渡辺力〔出品作品一覧順〕
註：このほか、円空、橋本平八、ヘリット・T・リートフェルトの 3 名が出品されている。

第 3 回ハラ・アニュアル ●
アルカンシェール美術財団　1983 年 2 月　主に英文併載
ハラ・アニュアル III の開催にあたって（館長原俊夫）
柔軟な資質と独自性の発見（山口勝弘）
出品作家
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 14p.
〔作家のことば〕（栗岡孝於、南部慶滉、原田大三郎、菱沼良樹、間島領一、宮前辰雄、吉澤美香〔2 行〕）　和文
出品作品リスト
〔作家略歴〕　英文
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「HARA ANNUAL III」
会期：1983 年 2 月 11 日－3 月 13 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団
出品：栗岡孝於、南部慶滉、原田大三郎、菱沼良樹、間島領一、宮前辰雄、吉澤美香〔出品作品リスト順〕

明日への造形－九州 第 3 回展 自然との新たなかかわりを求めて ●

福岡市美術館　1983 年 3 月
ごあいさつ（福岡市美術館）　p.3　英文併載
自然との新たなかかわりを求めて（後小路雅弘）　pp.4-6
図版〔作家略歴、制作ノート、展覧会、モニュメント、出品リスト、図版〕　pp.7-22
　制作ノート（菊竹清文、常木新二）
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「3rd “Forms For Tomorrow－Kyūshū”」
会期：1983 年 3 月 1 日－27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：菊竹清文、常木新二

ファイバーワーク展――織の造形とその展開 ●
群馬県立近代美術館　1983 年 3 月
ごあいさつ（館長岡畏三郎）　p.5
ファイバーワーク（内山武夫）　pp.7-9
図版〔作家略歴、図版〕　pp.11-72
出品目録　pp.73-74
ファイバーワーク関係年表　pp.75-81
註：編集は黒田亮子、佐々木正直。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「FIBER WORK」
会期：1983 年 3 月 5 日－27 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館
出品：礒辺晴美、小名木陽一、草間喆雄、小林尚美、小林正和、高木敏子、徳重恵美子、中川千早、濱谷明夫、藤岡蕙子＋佐久間美智子、堀内紀子、八木マリヨ、吉村正郎〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

土岡秀太郎と北荘・北美と現代美術図録 ●
福井県立美術館　1983 年 3 月　開館 5 周年記念特別企画
ごあいさつ（館長重達夫）　p.4
土岡氏とのこと（藤沢典明）　p.6
土岡秀太郎―芸術運動家の足跡（針生一郎）　pp.7-11
土岡秀太郎について（土岡秀一）　pp.12-16
北荘・北美と戦前・戦後の美術（神原正明）　pp.17-32
カタログ〔章解説、図版〕　pp.33-128
資料篇
　土岡秀太郎――エッセイ、作家論、その他。　pp.130-157　再録
土岡秀太郎を語る（藤沢典明、堀田清治、名村定志、近藤吾朗、久保貞次郎、瀬木慎一、津高和一、山崎省三、難波田龍起、冨田惣七）　pp.158-166　再録・抄録

北荘・北美関係年表（神原正明編） pp.167-185
出品目録 pp.186-190
参考出品〔図版〕 p.191
編集：松村忠祀、貴志真人、八百山登、清水純一郎、神原正明
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「AVANT-GARDE MOVEMENT IN FUKUI」
会期：1983 年 3 月 5 日－27 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館
出品：I 未来派・三科の衝撃と北荘画会の創立(1922)。 II 北荘画会とその周辺。III 1930 年協会と初期独立－第 2 回独立美術展(1932)開催前後。IV アニマ展(1935)と海外超現実主義作品展(1937)の開催。V 北荘時代の洋画講習会。VI 北荘の再建と旭亮弘。VII 北美文化協会の創立と児童画運動；木水育男、水野忠、川上高徳、渡辺(大畑)昭子、野々目桂三、高橋昇、徳田祐夫、中西肇。VIII 北美文化協会(1950 年代)；河合イサム、板本孝、堤野学、藤田哲郎、橿尾(牧野)道子、盆出省、越石幸子、鈴木(水口)友子。IX 北美時代の美術講習会；中村徳三郎、阿部展也、川口軌外、鳥海青児、古沢岩美、岡本太郎、村井正誠、松崎真一、難波田龍起、小野忠弘、藤沢典明、福沢一郎、末松正樹、井上長三郎。X 八田豊と橿尾正次；八田豊、橿尾正次。XI 北美文化協会(1960 年代)；矢野正治、山本圭吾、河合イサム(重)、猪坂一、山本広、五十嵐彰雄、田中(飯田)教子、杉本(時岡)泰子、村松達也、田主誠。XII 土岡秀太郎をめぐる美術交流；小牧源太郎、津高和一、森本紀久子、篠原有司男、吉村益信、小島信明、斎藤義重、三尾公三、李禹煥、阿部展也(重)、前田常作、三上誠、冨田惣七。XIII 北美文化協会(1970 年代)；松原龍夫、長谷光城、河合イサム(重)、貫井泰一郎、佐藤(後)啓子、土屋囡代、阿部莉江子、大橋孝子、前沢広道、松宮喜代勝〔出品目録順〕
註：VI 章までは戦前作品で、ただし小山田二郎《鳥女》1956、玉村晋一《くもり日の寺(東別院)》1948、上出(島田)穂美《風景》c.1948 が含まれる。VII 章から戦後の作品だが北川民次は戦前作品となっている。

山口の現代美術 II ●
山口県立美術館　1983 年 4 月 16 日
〔あいさつ〕（山口県立美術館） p.1
〔ことば〕（高田美規雄） pp.2-5
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.6-41
〔作家のことば〕（嶋田日出夫、武市勝、西岡文彦、原田文明、堀研、前川謙一、矢儀浩嗣、山下哲郎、吉松順一郎）
出品目録 p.42
註：奥付に「指導助言者／乾由明、杉本春生、中原佑介」とあり。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1983 年 4 月 16 日－5 月 8 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：嶋田日出夫、武市勝、西岡文彦、原田文明、堀研、前川謙一、矢儀浩嗣、山下哲郎、吉松順一郎〔出品目録順〕

現代美術の新世代展〈東海地区を中心とした〉●

三重県立美術館　1983 年 7 月

ごあいさつ（三重県立美術館）

物質との対話〈現代美術の新世代展に寄せて〉（酒井忠康）

東海地区の現代美術（中村英樹）

現代美術とは？（牧野研一郎）

受賞作品、推薦委員、選考委員、賞選考委員

図版〔作家経歴、文献、コメント、図版〕 74p.

コメント（伊藤清和、今井瑾郎、内田晴之、海老塚耕一、遠藤利克、岡本敦生、角永和夫、北辻良央、北山善夫、木村秀樹、久野利博、栗岡孝於、甲谷武、小清水漸、小谷浩士、斎藤吾朗、沢居曜子、鈴木広行、諏訪直樹、清野祥一、高田洋一、高藤有示、竹田康宏、辰野登恵子、田中薫、田畑進、蛇雄、長澤知明、原真知子、藤井一、古川清、星野暁、松本薫、松本雅之、村田千秋、山本富章、吉村正郎）

現代美術基本用語解説（中谷伸生編）

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1983 年 7 月 2 日－8 月 7 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

出品：伊藤清和、今井瑾郎、内田晴之、海老塚耕一、遠藤利克、岡本敦生、角永和夫、北辻良央、北山善夫、木村秀樹、久野利博、栗岡孝於、甲谷武、小清水漸、小谷浩士、斎藤吾朗、沢居曜子、鈴木広行、諏訪直樹、清野祥一、高田洋一、高藤有示、竹田康宏、辰野登恵子、田中薫、田畑進、蛇雄、長澤知明、原真知子、藤井一、古川清、星野暁、松本薫、松本雅之、村田千秋、山本富章、吉村正郎〔出品目録順〕

第 3 回平行芸術展 ●

財団法人小原流　1983 年 7 月

唯表面主義の綻び（峯村敏明）

〔作家のことば〕（片桐俊文、近藤博志、庄司達、高木修、遠山香苗、保科豊巳）

所蔵：□、都現美

註：未見につき峯村敏明編著『平行芸術の 80 年代 1981－1991』(美術出版社 1992 年 9 月) に拠った。

〇展覧会事項

欧文タイトル：未詳(当該カタログ未見につき)

会期：1983 年 7 月 21 日－26 日　南青山・東京小原流会館 9 階ホール　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：片桐俊文、近藤博志、庄司達、高木修、遠山香苗、保科豊巳

現代日本の美術・2 風景との出会い　第 1 部 展覧会「風景の表現」図録 ●

宮城県美術館　1983 年 7 月

あいさつ（宮城県美術館・東北放送）p.3

図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕pp.5-99

〔作家のことば〕（麻田鷹司、小野具定、工藤甲人、小松均、荘司福、田渕俊夫、東山魁夷〔1 行〕、平山郁夫、松本文子、吉田善彦、相笠昌義、岡野浩二、小野末、小山敬三、斎藤真一、鴫剛、篠原有司男、田崎廣助、田中岑、田中稔之、田村一男、野見山暁治、櫃田伸也、深見隆、福井良之助、松本旻、松本英一郎、松本陽子、三尾公三、三栖右嗣、向井潤吉、元永定正、小野忠重、斎藤清、関野準一郎、前田守一、吉田勝彦、渡辺達正、木村光佑、木村利三郎、タイガー立石、小山愛人、森岡完介、吉田穂高、岡部昌生、建畠覚造、保田春彦、山本正道、福岡道雄、菅木志雄、杉浦康益、高橋雅之、羽生真、眞板雅文、畦地拓治、斉藤智、白岩登三靖、田村彰英、荒木経惟、薗部澄、奈良原一高、藤原新也、森山大道、山崎博、伊奈新祐、江本裕一郎、高木きつこ、黒川芳信、島野義孝、津村克史、中谷芙二子、野村仁、安藤紘平、かわなかのぶひろ、鈴木志郎康、山口保幸）

今日の風景表現（酒井哲朗）pp.100-103

〔出品目録〕pp.104-107

註：第 2 部はワークショップとなっている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art 2　An Encounter with the Sights around Us」

会期：1983 年 7 月 30 日－9 月 15 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・東北放送

出品：麻田鷹司、岩橋英遠、奥村土牛、小野具定、下保昭、加山又造、工藤甲人、小松均、荘司福、髙山辰雄、田渕俊夫、東山魁夷、平山郁夫、松本文子、山本丘人、吉田善彦、相笠昌義、牛島憲之、岡野浩二、小野末、小山敬三、斎藤真一、鴫剛、篠原有司男、田崎廣助、田中岑、田中稔之、田淵安一、田村一男、野見山暁治、櫃田伸也、深見隆、福井良之助、松本旻、松本英一郎、松本陽子、三尾公三、三栖右嗣、向井潤吉、元永定正、小野忠重、斎藤清、関野準一郎、前田守一、吉田勝彦、渡辺達正、木村光佑、木村利三郎、タイガー立石、小山愛人、野田哲也、森岡完介、吉田穂高、岡部昌生、建畠覚造、保田春彦、山本正道、福岡道雄、菅木志雄、杉浦康益、高橋雅之、羽生真、眞板雅文、畦地拓治、斉藤智、山中信夫、白岩登三靖、田村彰英、荒木経惟、須田一政、薗部澄、奈良原一高、藤原新也、森山大道、山崎博、伊奈新祐、江本裕一郎、高木きつこ、黒川芳信、島野義孝、津村克史、中谷芙二子、野村仁、安藤紘平、かわなかのぶひろ、鈴木志郎康、山口保幸〔出品目録順〕

今・アート最前線 ●

伊勢丹　1983 年 9 月

ごあいさつ（伊勢丹美術館）　p.3

新しい第三の目の創造を（田中幸人） pp.4-5
図版〔図版、作家略歴〕 pp.6-61
出品目録 pp.62-63
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1983 年 9 月 1 日－6 日 新宿・伊勢丹美術館 主催：伊勢丹美術館
出品：靉嘔、狗巻賢二、因藤壽、宇佐美圭司、オクヤナオミ、郭仁植、北山善夫、金昌烈、桑原盛行、小清水漸、坂口登、三川義久、菅木志雄、関根伸夫、高松次郎、田口安男、田中稔之、田淵安一、鄭相和、堂本尚郎、長谷光城、彦坂尚嘉、平賀敬、堀浩哉、眞板雅文、前田常作、山田正亮、李禹煥〔出品目録順〕

現代のリアリズム ●
埼玉県立近代美術館 1983 年 10 月
はじめに（埼玉県立近代美術館） pp.5, 6 英文併載
図版 pp.7-71
今日のリアリズム（桑原住雄） pp.73-76, 77-79 英文併載
リアリズムについて（三木多聞） pp.80-82, 83-85 英文併載
作家略歴 pp.87-97
出品目録 pp.98-103
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「REALISM NOW」
会期：1983 年 10 月 4 日－12 月 4 日 北浦和・埼玉県立近代美術館 主催：埼玉県立近代美術館
出品：馬場建三、合田佐和子、林範親、池田喜重、石井勢津子、河口龍夫、金昌烈、木下晋、丸尾浩二、松本旻、三尾公三、三島喜美代、三栖右嗣、持田総章、森本洋充、向井修二、七彩(欠田誠、加野正浩ら)、西木実、翁譲、齋藤研、重村三雄、鴫剛、篠原有司男、鈴木睦子、高松次郎、谷口茂、上田薫、若江漢字、渡辺高士、山縣寿夫、山崎直秀、吉村芳生〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

現代美術における写真〈1970 年代の美術を中心として〉 ●
東京国立近代美術館 1983 年 10 月 英文併載
あいさつ（安達健二・河北倫明） p.5
現代美術と写真（藤井久栄） pp.6-8, 9-11
カタログ〔作家解説、図版、出品目録〕 pp.12---134
ポップ・アートと写真〈5 人の画家の場合〉（藤井久栄） pp.14-16, 17-19
写真による美術〈日本の状況〉（近藤幸夫） pp.38-39, 40-41

コンセプチュアル・アートと写真（松本透） pp.90-91, 92-93
〔作家解説〕（藤井久栄、近藤幸夫、千葉成夫、田中淳、松本透、本江邦夫、岩崎吉一、浅野徹）
参考文献（藤井久栄編、松本透・田中淳編） pp.135-136, 136-138 和文・英文
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Photography in Contemporary Art」
会期：1983 年 10 月 7 日－12 月 2 日 竹橋・東京国立近代美術館／12 月 13 日－1984 年 1 月 22 日 京都国立近代美術館 主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館
出品：I ポップ・アートと写真；リチャード・ハミルトン、デイヴィッド・ホックニー、ロバート・ラウシェンバーグ、ジェームズ・ローゼンクイスト、アンディ・ウォーホル。II 日本作家；畦地拓治、彦坂尚嘉、今井祝雄、柏原えつとむ、片瀬和夫、河口龍夫、木下佳通代、小本章、郭徳俊、眞板雅文、松本旻、野村仁、斉藤智、植松奎二、若江漢字、山本圭吾、山中信夫。III 外国作家；ジョン・バルデッサーリ、ベルント&ヒラ・ベッヒャー、ヴィクター・バーギン、ヤン・ディベッツ、ヘン・ファン・エルク、ハミッシュ・フルトン、ギルバート&ジョージ、ハンス・ハーケ、ジョセフ・コスース、バーバラ・クルーガー、リチャード・ロング〔図版収載順〕

第 17 回現代美術選抜展 ●
〔文化庁〕 1983 年 10 月
〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2
図版 pp.3-36
第 17 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.37-50
第 17 回現代美術選抜展開催要項 p.51
出品団体・出品点数一覧 p.51
〔出品団体系図〕 p.52
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：長野展；1983 年 10 月 9 日－23 日 長野県信濃美術館 主催：文化庁・長野県教育委員会・長野県信濃美術館／鳥取展；10 月 30 日－11 月 13 日 米子市美術館 主催：文化庁・鳥取県教育委員会・米子市教育委員会／香川展；11 月 19 日－12 月 4 日 香川県文化会館 主催：文化庁・香川県教育委員会・香川県文化会館／三重展；12 月 10 日－25 日 四日市市文化会館 主催：文化庁・三重県教育委員会・四日市市文化振興財団／愛知展；1984 年 1 月 7 日－22 日 豊橋市美術博物館 主催：文化庁・愛知教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社
出品：日本画；岩澤重夫、西村昭二郎。洋画；天野三郎、浮田克躬。版画；斎藤清、舩坂芳助。彫刻；澄川喜一〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

現代美術の動向 II　1960 年代〈多様化への出発〉●

東京都美術館　1983 年 10 月 22 日　東京都美術館特別展図録第 11 号

あいさつ（東京都美術館）

現代美術の動向 II――反芸術的傾向を中心に（斉藤泰嘉）　pp.11-15

図版〔作家解説〕pp.17-113

I 読売アンデパンダン展と反芸術的傾向・工藤哲巳、磯辺行久、篠原有司男、荒川修作、桜井孝身、菊畑茂久馬、村上善 II 反芸術以降――大衆化社会の美術・立石紘一、中村宏、谷川晃一、岡本信治郎、平賀敬、靉嘔、横尾忠則、池田龍雄、III 版画の動向・駒井哲郎、萩原英雄、吹田文明、深沢幸雄、一原有徳、池田満寿夫、加納光於、吉原英雄、野田哲也、IV 彫刻の動向・毛利武士郎、村岡三郎、江口週、最上壽之、向井良吉、飯田善國、井上武吉、若林奮、堀内正和、建畠覚造、保田春彦、篠田守男、山口勝弘、吉村益信、河口龍夫、多田美波、宮脇愛子、関根伸夫、V 抽象美術の成熟・在外作家・絵画の新傾向・映像・山口長男、村井正誠、オノサト・トシノブ、斎藤義重、川端実、菅井汲、草間彌生、河原温、宇佐美圭司、飯村隆彦

事項解説　p.115-126

読売アンデパンダン展、ネオ・ダダイズム・オルガナイザー、九州派、〈現代美術の実験〉展、内科画廊、ハプニング、ハイレッド・センター、反芸術、雑誌『形象』『機関』、千円札事件、現代日本美術展、東京国際版画ビエンナーレ展、集団現代彫刻、野外彫刻、〈空間から環境へ〉展、在外日本作家展――ヨーロッパとアメリカ

年表（中島理壽編）　pp.127-147

索引　pp.148-149

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Trends of Japanese Art in the 1960s」

会期：1983 年 10 月 22 日－12 月 18 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館

出品：靉嘔、赤瀬川原平、荒川修作、飯田善國、飯村隆彦、池田龍雄、池田満寿夫、磯辺行久、一原有徳、井上武吉、因藤壽、宇佐美圭司、江口週、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、加納光於、河口龍夫、川端実、河原温、菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、小島信明、駒井哲郎、斎藤義重、桜井孝身、清水晃、篠田守男、篠原有司男、菅井汲、関根伸夫、高松次郎、多田美波、立石紘一、建畠覚造、谷川晃一、中西夏之、中村宏、野田哲也、萩原英雄、平賀敬、深沢幸雄、吹田文明、堀内正和、松澤宥、三木富雄、宮脇愛子、向井良吉、村井正誠、村岡三郎、村上善男、毛利武士郎、最上壽之、保田春彦、山口勝弘、山口長男、横尾忠則、吉原英雄、吉村益信、若林奮〔索引順〕

「現代日本美術の展望――立体造形」展 ●

富山県立近代美術館　1983 年 11 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

「立体造形」の多彩な展覧（小川正隆） pp.4-5
現代彫刻とその可能性（中原佑介） pp.6-7
具象彫刻についての所感（酒井忠康） pp.8-9
図版 pp.11-111
出品目録 pp.112-113
出品作家略歴 pp.114-118
註：編集は柳原正樹、片岸昭二。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-SCULPTURE」
会期：1983 年 11 月 1 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送
出品：斎藤義重、菊池一雄、柳原義達、淀井敏夫、堀内正和、佐藤忠良、舟越保武、植木茂、向井良吉、建畠覚造、清水九兵衛、毛利武士郎、飯田善國、多田美波、朝倉響子、吾妻兼治郎、土谷武、山口牧生、村岡三郎、保田春彦、鈴木実、掛井五郎、新妻実、湯原和夫、井上武吉、篠田守男、澄川喜一、伊藤公象、辻志郎、若林奮、福岡道雄、最上壽之、小田襄、李禹煥、池田宗弘、河口龍夫、山本正道、米林雄一、関根伸夫、菅木志雄、小清水漸、眞板雅文、望月菊磨、戸谷成雄、北山善夫、田窪恭治、海老塚耕一、沖啓介、岡崎乾二郎、高田洋一〔出品目録順〕

今日の作家展'83　横浜市民ギャラリー編 ●
横浜市・横浜市教育委員会　1983 年 11 月　第 19 回今日の作家展〔内面化される構造〕
内面化される構造（早見堯） pp.3-7
図版〔略歴、コメント、図版〕 pp.8-55
〔コメント〕（井川惶亮、伊藤誠、岡崎乾二郎、櫻井英嘉、高木修、髙澤直代、竹田康宏、長重之、長沢秀之、根岸芳郎、古川流雄、松本陽子）
註：コメントは早見堯から作家へ 2 つの質問がなされたもの。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「19th Artists to-day」
会期：1983 年 11 月 18 日－29 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：早見堯、主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：井川惶亮、伊藤誠、岡崎乾二郎、櫻井英嘉、高木修、髙澤直代、竹田康宏、長重之、長沢秀之、根岸芳郎、古川流雄、松本陽子〔図版収載順〕

1984（昭和 59）年
近・現代日本の彫刻 ●
山口県立美術館　1984 年 1 月 6 日
ごあいさつ（山口県立美術館） p.3

日本の近・現代彫刻の史的展望（三木多聞） pp.5-11, 28-32 英文併載
日本の彫刻の特質について（中原佑介） pp.12-16
現代彫刻と詩における反自然性〈高村光太郎から李禹煥へ〉（杉本春生） pp.17-25
山口の彫刻家（安井雄一郎） pp.26-27
図版 pp.33-80
作品カタログ〔作家略歴、出品作品データ、図版〕（安井雄一郎編）pp.81-125
出品目録 pp.126-127
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1984 年 1 月 6 日－2 月 12 日 山口県立美術館 主催：山口県立美術館
出品：石井鶴三、河内山賢祐、植木茂、豊福知徳、本郷新、若林奮、堀内正和、河口龍夫、三木富雄、佐藤忠良、細川宗英、篠田守男、田中米吉、清水九兵衛、最上壽之、淀井敏夫、土谷武、山本正道、川口政宏、斎藤義重、小清水漸、建畠覚造、澄川喜一、向井良吉、一色邦彦、鈴木実、江口週、菅木志雄、李禹煥〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

’84 富山の美術 ●
富山県立近代美術館 1984 年 2 月
あいさつ（富山県立近代美術館） p.3
美術の新しい発信地を目ざして（小川正隆） p.4
地方性と個性を問い直す（兼久文治） pp.5-6
図版 pp.7-69
出品目録 pp.70-72
出品作家略歴 pp.73-75
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1984 年 2 月 1 日－26 日 富山県立近代美術館 招待作家選考委員：遠藤幸一、兼久文治、玉生正信、津山昌、小川正隆、主催：富山県立近代美術館
出品：大島秀信、下保昭、下田義寛、田中五百子、谷口山郷、加賀谷武、川井昭夫、野上祇麿、林清納、堀浩哉、前田常作、松原龍夫、柳瀬作治、尼野和三、須藤陽子、鶴谷登、藤江民、青柳志郎、近藤芳竹、常川汀華、岩城信嘉、岡崎星秀、谷口義人、辻志郎、長谷川総一郎、米林雄一、麻生三郎〔工芸家〕、小沢千琴、久谷蔦枝、須賀正佐、関里繪子〔出品目録順〕

埼玉の現代美術 版画の今日 ●
埼玉県立近代美術館 1984 年 2 月
はじめに（埼玉県立近代美術館） p.5
第 1 部 現代版画の世界
出品作家 p.10

第 1 部カラー図版　pp.11-24
現代版画の展望（藤井久栄）　pp.25-29
第 1 部 図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.30-87
〔作家のことば〕（靉嘔、秋山静、東谷武美、有地好登《私と版》、池田満寿夫、一原有徳、伊藤孝、内間安瑆〔再録〕、梅沢和雄、小作青史、柄澤齊、川上洋明、黒崎彰、ケンシ〔再録〕、小山愛人、斉藤弘久、志賀幸雄、高柳裕、富張広司、中林忠良、野田哲也、日和崎尊夫、三栖右嗣、森岡完介、安田悟、山本容子、吉田克朗、吉田穂高）
瑛九とその周辺（久保貞次郎）　pp.89-93
瑛九 図版　pp.94-95
第 2 部 版のコンセプトと応用
出品作家　p.98
第 2 部カラー図版　pp.99-104
版のコンセプトと応用（黒崎彰）　pp.105-109
第 2 部 図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.110-135
〔作家のことば〕（畦地拓治、有吉徹、井田照一、いわたきよし、榎倉康二、岡部昌生、上矢津、鯉江良二、小本章、島州一、下谷千尋、永井一正、松本旻）
出品目録　pp.136-145
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Contemporary Japanese Prints」
会期：1984 年 2 月 7 日－3 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：第 1 部；靉嘔、秋山静、東谷武美、有地好登、池田満寿夫、一原有徳、伊藤孝、内間安瑆、梅沢和雄、小作青史、柄澤齊、川上洋明、黒崎彰、ケンシ、小山愛人、斉藤弘久、志賀幸雄、高柳裕、富張広司、中林忠良、野田哲也、浜口陽三、日和崎尊夫、三栖右嗣、森岡完介、安田悟、山本容子、吉田克朗、吉田穂高、瑛九。第 2 部；畦地拓治、有吉徹、井田照一、いわたきよし、榎倉康二、岡部昌生、上矢津、鯉江良二、小本章、島州一、下谷千尋、永井一正、松本旻〔出品目録順〕
第 4 回ハラ アニュアル ●
アルカンシェール美術財団　1984 年 2 月　主に英文併載
ごあいさつ（館長原俊夫）
ハラ アニュアル IV を迎えるにあたって（三木多聞）
出品作家
図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　18p.
〔作家のことば〕（上野真知子、浅野久義、井川惺亮、今村幸生、辻耕治、野田裕示、長谷宗悦〔1 行〕）　和文
出品作品リスト
〔作家略歴〕　英文

これまでのハラ アニュアル展記録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「HARA ANNUAL IV」
会期：1984 年 2 月 24 日－3 月 25 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団
出品：上野真知子、浅野久義、井川惺亮、今村幸生、スーザン・ダージェス、辰野登恵子、辻耕治、野田裕示、長谷宗悦〔出品作品リスト順〕

明日への造形－九州　第 4 回展〈版〉画の探究。●
福岡市美術館　1984 年 2 月
ごあいさつ（福岡市美術館）　p.3　英文併載
〈版〉画の探究。（石田泰弘）　pp.4-6
図版〔作家略歴、作家のことば、展覧会、出品リスト〕　pp.7-27
　作家のことば（川原田徹、殿敷侃、吉田東）
所蔵：□、国新美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「4TH FORMS FOR TOMORROW－KYŪSHŪ Inquiry about〈HAN〉ga」
会期：1984 年 2 月 28 日－3 月 25 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：川原田徹、殿敷侃、吉田東〔図版収載順〕

アート・ナウ ’84　　兵庫県立近代美術館編 ●
兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1984 年 3 月 3 日　第 10 回展
ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2, 3　英文併載
「アート・ナウ」12 年間の歩みと新しい出発――展覧会運営のこれまでの経過　p.4
展覧会委員、アート・ナウ ’84 選考委員　p.5　英文併載
既出品者名　pp.5-8　英文併載
「アート・ナウ ’84」について（山脇一夫）　pp.9-11
出品者一覧　p.11　英文併載
図版〔図版、作家略歴〕　pp.12-31　英文併載
出品目録　pp.32-33, 34-35　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART NOW ’84」
会期：1984 年 3 月 3 日－25 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社
展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者)金井元彦、津田豊治
出品：上谷朋子、生形貴春、大久保英治、北山善夫、栗岡孝於、篠原猛史、杉山知子、高原洋一、龍田龍也、塚脇淳、中島一平、馬場草香、藤本哲夫、松井智惠、村上明、吉田和央、

渡部慶二郎。特別陳列；太田堯子、河添潤、佐藤慈男〔出品目録順〕

現代絵画の 20 年〈1960～70 年代の洋画と新しい「平面」芸術の動向〉●

群馬県立近代美術館　1984 年 4 月

ごあいさつ（館長岡畏三郎）　p.7

日本美術の 60 年代と 70 年代（針生一郎）　pp.9-12

図版　pp.13-24

カタログ〔章解説、作家解説、参考文献、図版〕　pp.25-109

I 具象的傾向及び幻想的傾向；相笠昌義、有元利夫、大沼映夫、奥谷博、鴨居玲、絹谷幸二、斎藤真一、島田章三、田口安男、馬場彬、藤田吉香、藤松博、小山田二郎、前田常作、宮城輝夫、山下菊二。II 抽象的傾向；阿部展也、猪熊弦一郎、因藤壽、大沢昌助、岡田謙三、オノサト・トシノブ、桂ゆき、加納光於、川島猛、川端実、久野真、斎藤義重、菅井汲、高橋秀、田中稔之、津高和一、山口長男。III 抽象主義的傾向；今井俊満、白髪一雄、田中敦子、田淵安一、堂本尚郎、元永定正、吉原治良。IV 反芸術的傾向とポップ・アート及びハイパーリアリズム；菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、桜井孝身、清水晃、靉嘔、岡本信治郎、金子國義、合田佐和子、篠原有司男、タイガー立石、谷川晃一、平賀敬、上田薫、鴫剛、中川直人、三尾公三、森芳雄。V 概念芸術的傾向と新しい「平面」芸術；荒川修作、井田照一、宇佐美圭司、柏原えつとむ、河口龍夫、河原温、菅木志雄、高松次郎、田中信太郎、松本旻、狗巻賢二、榎倉康二、郭仁植、桑山忠明、近藤竜男、辰野登恵子、中里斉、中西夏之、彦坂尚嘉、堀浩哉、山田正亮、李禹煥

「現代絵画の 20 年」関係年表　pp.110-128

索引　p.129

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、神近美、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Japanese Contemporary Paintings, 1960～1980」

会期：1984 年 4 月 12 日－5 月 20 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：靉嘔、相笠昌義、阿部展也、荒川修作、有元利夫、井田照一、猪熊弦一郎、狗巻賢二、今井俊満、因藤壽、上田薫、宇佐美圭司、榎倉康二、大沢昌助、大沼映夫、岡田謙三、岡本信治郎、奥谷博、オノサト・トシノブ、小山田二郎、郭仁植、柏原えつとむ、桂ゆき、金子國義、加納光於、鴨居玲、河口龍夫、川島猛、川端実、河原温、菊畑茂久馬、絹谷幸二、草間彌生、工藤哲巳、久野真、桑山忠明、合田佐和子、近藤竜男、斎藤義重、斎藤真一、桜井孝身、鴫剛、篠原有司男、島田章三、清水晃、白髪一雄、菅木志雄、菅井汲、タイガー立石、高橋秀、高松次郎、田口安男、辰野登恵子、田中敦子、田中信太郎、田中稔之、谷川晃一、田淵安一、津高和一、堂本尚郎、中川直人、中里斉、中西夏之、馬場彬、彦坂尚嘉、平賀敬、藤田吉香、藤松博、堀浩哉、前田常作、松本旻、三尾公三、宮城輝夫、元永定正、森芳雄、李禹煥、山口長男、山下菊二、山田正亮、吉原治良〔索引順〕

第 4 回平行芸術展〈SUBJECT-SYMBOL-APPARITION〉●

財団法人小原流　1984 年 5 月　1 枚(両面刷)

形而上的価値を射(鋳)る者たち（峯村敏明）

〔作家のことば〕（遠藤利克、深井隆、北辻良央、黒川弘毅、長澤英俊、戸谷成雄、矢野美智子）

図版〔図版、作家略歴〕 7 図　作家略歴は英文のみ

註：企画者は文章の中で副題の「APPARITION」を「出現」と記している。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「“Parallelism in Art” No.4」

会期：1984 年 5 月 31 日－6 月 12 日　南青山・東京小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：遠藤利克、深井隆、北辻良央、黒川弘毅、長澤英俊、戸谷成雄、矢野美智子〔図版収載順〕

今日の造形・木と紙〈自然との対話〉●

岐阜県美術館　1984 年 6 月 15 日

ごあいさつ（館長吉本幹彦）　p.3

自然との対話（桑原鑛司）　pp.4-6

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.7-82

作家のことば（北山善夫〔再録〕、高田洋一、保科豊巳、井田照一、長谷光城、植木茂〔再録〕、江口週、小倉裕久、河原美比古、小清水漸、澄川喜一、関根伸夫、竹田康宏、ふじい忠一、最上壽之、田窪恭治、彦坂尚嘉、杢田たけを）

飛騨の民具〔図版〕　pp.83-85

作品目録　pp.87-90

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 6 月 15 日－7 月 22 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

出品：北山善夫、高田洋一、保科豊巳、井田照一、長谷光城、植木茂、江口週、小倉裕久、河原美比古、小清水漸、澄川喜一、関根伸夫、竹田康宏、ふじい忠一、最上壽之、田窪恭治、彦坂尚嘉、杢田たけを〔作品目録順〕

第 2 回富山国際現代美術展 ●

富山県立近代美術館　1984 年 7 月　主に欧文併載

あいさつ（富山県立近代美術館）p.1

「A New Map of A New Art」の企画にふれて（小川正隆）pp.4-5, 6-7

図版　pp.9-27

ベネルクス セクション　pp.29-44

ドイツ連邦共和国 セクション　pp.45-70

スカンジナビア セクション　pp.71-90

日本セクション〔論考、作家の言葉、図版〕pp.91-121
富山ナウ'84――日本セクション（東野芳明）pp.92-94, 95-97
作家の言葉（小清水漸、菅木志雄、辰野登恵子、矢野美智子、横尾忠則、吉澤美香）
出品目録　pp.122-127
作家略歴　pp.128-135, 136-142
第 2 回富山国際現代美術展 連続イベント・講演会「もう一つの発言」p.143
後記：テーマ「A New Map of A New Art」雑感（大坪健二）p.145
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TOYAMA NOW '84」
会期：1984 年 7 月 4 日－9 月 2 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
出品：日本セクション；小清水漸、菅木志雄、辰野登恵子、矢野美智子、横尾忠則、吉澤美香〔出品目録順〕
註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

第 2 回北の彫刻展 ●
札幌彫刻美術館　1984 年 7 月
北の視座〈「第 2 回北の彫刻展」開催にあたって〉（原子修）
図版〔作家略歴、図版〕 pp.1-17
所蔵：□、国新美、都現美、神近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Sculptures of the North」
会期：1984 年 7 月 31 日－9 月 16 日　札幌彫刻美術館　主催：「北の彫刻展」実行委員会・財団法人札幌彫刻美術館・北方圏センター・北海道国際文化協会
出品：秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤寿朗、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、砂澤ビッキ、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、本田明二、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、米坂ヒデノリ〔図版収載順〕

現代のユーモア ●
埼玉県立近代美術館　1984 年 10 月
はじめに（埼玉県立近代美術館） pp.3, 4　英文併載
「現代のユーモア」展にあたって（匠秀夫） pp.6-7, 8-9　英文併載
図版〔作家のことば、図版、解説〕 pp.11-94
〔作家のことば〕（佐藤忠良、岡本信治郎、赤瀬川原平、福田繁雄）
絵画と笑いーカーニバル的想像力（山口昌男） pp.96-99, 100-102　英文併載
作家略歴　pp.103-123
出品目録　pp.124-139
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Humour in Contemporary Art」

会期：1984 年 10 月 6 日－12 月 16 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：安部定、赤瀬川原平、マッド・アマノ、粟辻早重、靉嘔、鄭璟娟、福田繁雄、浜田知明、林秀行、広井力、本郷重彦、堀内正和、池田遙邨、石川充宏、伊藤隆康、岩橋英遠、掛井五郎、鹿目尚志、片岡昌、片岡球子、桂ゆき、川下成海、木村直道、熊谷守一、倉俣史朗、久里洋二、儘田能光、松本秋則、松本雅之、三澤憲司、最上壽之、元永定正、向井良吉、中橋克成、小田まゆみ、岡田謙三、岡本信治郎、坂口正之、笹山志保、佐藤忠良、U.G.サトー、佐藤慈男、重村三雄、シノダ・ユウ、須賀啓、鈴木治、鈴木慶則、高木敏行、高橋秀、田中毅、タイガー立石、戸田正寿、土谷武、鶴岡政男、宇治山哲平、浮川秀信、渡辺豊重、籔内佐斗司、山本正道、矢崎虎夫、スタジオ 65〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

動く彫刻展 4 人の作家からの贈りもの ●

呉市立美術館・呉市文化振興財団・現代彫刻センター　1984 年 10 月

ごあいさつ（呉市立美術館・呉市文化振興財団・中国新聞社）　p.1

動く彫刻展によせて（福永治）　pp.2-7

図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.8-63

〔作家のことば〕（飯田善國、伊藤隆道、菊竹清文、田中薫）

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 10 月 12 日－11 月 4 日　呉市立美術館　主催：呉市立美術館・呉市文化振興財団・中国新聞社

出品：飯田善國、伊藤隆道、菊竹清文、田中薫〔図版収載順〕

現代東北美術の状況展〈開館記念展第 3 部〉 ●

福島県立美術館　1984 年 10 月

ごあいさつ（館長原田實）　p.3

「現代東北美術の状況展」に寄せて（大島清次）　pp.6-9

図版　pp.11-71

作家紹介〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.73-191

〔作家のことば〕（工藤甲人、佐藤圀夫、櫻庭藤二郎、小松均、今野忠一、福王寺法林、結城天童、荘司福、大山忠作、菊地養之助、小林五浪、佐野ぬい、豊島弘尚、村上善男、阿伊染徳美、大塚博、木村栄治、斎藤長三、清野恒、近岡善次郎、佐々木正芳、佐藤一郎、杉村惇、宮城輝夫、五十嵐二朗、鎌田正蔵、田口安男、橋本章、吉井忠、若松光一郎、天野邦弘、関野準一郎、高頭祥八、百瀬寿〔2 行〕、小松章三、田辺和郎、斎藤清、山野辺義雄、渡辺豊重、工藤哲巳、小坂圭二、岩間正男、加藤常明、菅木志雄、舟越保武、工藤健、峯田敏郎、青山光佑、鈴木実、峯田義郎、佐藤忠良、高山登、佐藤静司、細井良雄、三坂耿一郎）

出品目録　pp.193-197

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 10 月 13 日－11 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：工藤甲人、佐藤圀夫、櫻庭藤二郎、小松均、今野忠一、福王寺法林、結城天童、荘司福、大山忠作、菊地養之助、小林五浪、星茂、佐野ぬい、豊島弘尚、村上善男、阿伊染徳美、大塚博、木村栄治、斎藤長三、清野恒、近岡善次郎、佐々木正芳、佐藤一郎、杉村惇、宮城輝夫、五十嵐二朗、鎌田正蔵、田口安男、橋本章、吉井忠、若松光一郎、天野邦弘、関野準一郎、松村定育、高頭祥八、百瀬寿、小松章三、田辺和郎、斎藤清、山野辺義雄、渡辺豊重、工藤哲巳、小坂圭二、岩間正男、加藤常明、菅木志雄、舟越保武、工藤健、峯田敏郎、青山光佑、吾妻兼治郎、鈴木実、豊田豊、峯田義郎、佐藤忠良、高山登、佐藤静司、細井良雄、三坂耿一郎〔出品目録順〕

現代の陶芸 II いま、大きなやきものになにが見えるか ●

山口県立美術館　1984 年 12 月 1 日

ごあいさつ（山口県立美術館）　p.3

図版〔図版、メッセージ〕　pp.5-44

　メッセージ（P.ボーコス、井澤乙也、佐藤敏、杉浦康益、中村康平、西村陽平、三輪和彦）

展覧会ノート〈いま、大きなやきものになにが見えるか〉（榎本徹）　pp.45-50

出品目録　p.51

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1984 年 10 月 13 日－11 月 11 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：辻晋堂、ピーター・.ボーコス、井澤乙也、佐藤敏、杉浦康益、中村康平、西村陽平、三輪和彦、千葉県立千葉盲学校生徒〔出品目録順〕

現代美術の動向 III 1970 年以降の美術――その国際性と独自性 ●

東京都美術館　1984 年 10 月 11 日　東京都美術館特別展図録第 14 号

あいさつ（東京都美術館）　p.7　英文併載

「1970 年以降の美術――その国際性と独自性」展について（萬木康博）　pp.9-11

図版　pp.13-21

出品目録　pp.91-95

事項解説　pp.96-97

　第 10 回日本国際美術展〈人間と物質〉、もの派（モノ派）、アルテ・ポーヴェラ、現代美術野外フェスティバル、アンチ・イリュージョン―手続きと素材展、万博とその周辺

文献〈東京都美術館図書室の所蔵資料による〉（中島理壽編）　pp.98-105

年表　pp.107-117

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Trends of Contemporary Japanese Art 1970-1984―Universality / individuality」

会期：1984 年 10 月 20 日－12 月 16 日　東京美術館企画展示棟 主催：東京都美術館

出品：榎倉康二、小清水漸、菅木志雄、高山登、村上友晴、河原温、荒木高子、松澤宥、伊藤公象、高松次郎、鯉江良二、原口典之、長澤英俊、村岡三郎、李禹煥、田中泯〔出品目録順〕

「現代日本美術の展望――グラフィックアート&デザイン」展 ●

富山県立近代美術館　1984 年 11 月

あいさつ（富山県立近代美術館） p.3

「グラフィックアート&デザイン」の企画によせて（小川正隆） pp.4-5

現代日本版画の状況（小倉忠夫） pp.6-7

デザインと私（田中一光） pp.8-9

図版　pp.11-131

出品作品　pp.132-137

出品作家略歴　pp.138-142

註：編集は柳原正樹、片岸昭二。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN――GRAPHIC ART & DESIGN」

会期：1984 年 11 月 1 日－12 月 16 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・富山テレビ放送

出品：浜口陽三、萩原英雄、深沢幸雄、菅井汲、池田満寿夫、吉原英雄、亀倉雄策、粟津潔、田中一光、永井一正、石岡瑛子、靉嘔、泉茂、磯見輝夫、井田照一、一原有徳、河口龍夫、河内成幸、木村光佑、木村秀樹、黒崎彰、小林清子、小林敬生、小本章、高柳裕、中林忠良、野田哲也、浜田知明、早川良雄、吹田文明、南桂子、元永定正、森岡完介、山本容子、横尾忠則、渡辺豊重、浅葉克己、五十嵐威暢、井上嗣也、勝井三雄、河村要助、サイトウマコト、佐藤晃一、杉浦康平、戸田正寿、長友啓典、中村誠、福田繁雄、細谷巌、湯村輝彦〔出品作品順〕

今日の作家'84 展カタログ ●

横浜市・横浜市教育委員会　1984 年 11 月　第 20 回今日の作家展〔[面] をめぐる表現の現在〕 付・出品リスト 2 枚

[面] をめぐる表現の現在（たに あらた） pp.3-5

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕 pp.6-53

　作家のことば（柏原えつとむ、北山善夫、関口敦仁、福島敬恭〔再録〕、堀浩哉、山倉研志）

今日の作家展 20 年の歩み――出品作家リスト　pp.54-55

別紙

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

展名：第 20 回今日の作家展［面］をめぐる表現の現在

欧文タイトル：「20th ARTISTS TO-DAY ’84」

会期：1984 年 11 月 10 日－25 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：たに あらた、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：大竹伸朗、柏原えつとむ、北山善夫、関口敦仁、高松次郎、高見澤文雄、田窪恭治、日比野克彦、福嶋敬恭、堀浩哉、山倉研志、李禹煥〔別紙出品リスト順〕

現代美術への視点 メタファーとシンボル〔第 1 回展〕●

東京国立近代美術館　1984 年 11 月

あいさつ（三館長安達健二・河北倫明・小倉忠夫）　p.3　英文併載

序論（本江邦夫）　pp.4-12

“移りゆき（パッサージュ）”あるいは存在の“真実”（市川政憲）　pp.13-15

カタログ〔作家解説、図版、作品リスト〕　pp.17-87　英文併載

〔作家解説〕（田中淳、市川政憲、本江邦夫、千葉成夫）

作家出品歴・主要文献　pp.89-102　欧文・和文

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：METAPHOR and/or SYMBOL」

会期：1984 年 11 月 23 日－1985 年 1 月 20 日　竹橋・東京国立近代美術館／1985 年 2 月 1 日－3 月 10 日　吹田市・国立国際美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館

出品：エドワード・アリントン、ペーター・ベンメルス、ロレンツォ・ボネキ、ペーター・シュヴァリエ、エンツォ・クッキ、遠藤利克、ローラ・フォード、ジェラール・ガルースト、アントニー・ゴームリー、ケン・キフ、小清水漸、黒田アキ、ベントラン・ラヴィエ、カルロ・マリア・マリアーニ、ヘルムート・ミッデンドルフ、中村功、ジュリアン・オピー、スーザン・ローゼンバーグ、ジュリアン・シュナベール、椎原保、高木修、辰野登恵子〔カタログ順〕

クリエイティブ’84――10 人の女性画家　　朝日新聞東京本社企画第一部編 ●

朝日新聞社　1984 年 12 月

ごあいさつ（朝日新聞社）　p.3

「10 人の女性画家」展によせて（東野芳明）　pp.4-6

図版〔作家略歴、図版〕　pp.7-29

出品リスト　pp.30-31

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項
欧文タイトル：「Creative '84――Ten Women Painters」
会期：1984 年 12 月 1 日－23 日　有楽町朝日ギャラリー　主催：朝日新聞社
出品：片岡球子、桂ゆき、合田佐和子、荘司福、津田一江、前本彰子、三岸節子、矢野美智子、山本容子、吉澤美香〔出品リスト順〕

第 18 回現代美術選抜展 ●
〔文化庁〕 1984 年 12 月
〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2
図版　pp.3-36
第 18 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.37-50
第 18 回現代美術選抜展開催要項　p.51
出品団体・出品点数一覧　p.51
〔出品団体系図〕 p.52
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：大阪展；1984 年 12 月 9 日－12 月 23 日　岸和田市立文化会館　主催：文化庁・大阪府教育委員会・岸和田市・岸和田市教育委員会／愛知展；1985 年 1 月 6 日－20 日　豊橋市美術博物館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社／青森展；1 月 27 日－2 月 15 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館
出品：日本画；堂本元次、野崎貢。洋画；月舘れい、中谷龍一。版画；野田哲也、深沢幸雄。彫刻；手塚登久夫〔出品目録順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

1985（昭和 60）年
明日への造形－九州　第 5 回展 芸術とテクノロジー ●
福岡市美術館　1985 年 1 月
ごあいさつ（福岡市美術館）p.3　英文併載
芸術とテクノロジー〈コンピュータ・グラフィックスとビデオ・アートを中心に〉（松浦仁）pp.4-5
図版〔作家略歴、制作ノート、展覧会、出品リスト〕 pp.6-27
制作ノート（船津美江子、原田大三郎、伊奈新祐）
所蔵：□、国新美、都現美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「5th "Forms for Tomorrow－Kyūshū" Art and Technology」
会期：1985 年 1 月 15 日－2 月 24 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：船津美江子、原田大三郎、伊奈新祐〔図版収載順〕

現代彫刻の歩みー木の造形 ●

神奈川県立県民ホール　1985 年 1 月 31 日　開館 10 周年記念　第 2 回展

あいさつ（神奈川県立県民ホール）　p.3

人間と木との対話（酒井忠康）　pp.5-8

図版〔作家略歴、図版、出品目録〕　pp.9-145

木と美術（北澤憲昭）　pp.147-153

戦後彫刻年表（小栗光雄編）　pp.157-191

野外彫刻についてのアンケート結果報告　pp.193-195

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONTEMPORARY SCULPTURE IN JAPAN－WOOD」

会期：1985 年 1 月 31 日－2 月 24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　主催：神奈川県立県民ホール　開館 10 周年記念

出品：第 I 部；圓鍔勝三、桜井祐一、佐藤玄々、澤田政廣、新海竹蔵、橋本平八、平櫛田中。第 II 部；阿井正典、飯田善國、植木茂、丑久保健一、江口週、榎倉康二、海老塚耕一、遠藤利克、桂ゆき、角永和夫、加納光於、加茂博、河口龍夫、菊畑茂久馬、北山善夫、倉重光則、剣持和夫、小清水漸、小畠廣志、昆野恒、斎藤義重、菅木志雄、菅創吉、菅沼緑、鈴木実、砂澤ビッキ、澄川喜一、関根伸夫、高松次郎、高山登、田窪恭治、竹田康宏、建畠覚造、田中栄作、田辺光彰、辻耕治、辻晋堂、勅使河原蒼風、富樫実、富松孝侑、戸谷成雄、豊福知徳、中川久嗣、流政之、橋本典子、福岡道雄、ふじい忠一、保科豊巳、眞板雅文、向井良吉、最上壽之、杢田たけを、八木正、籔内佐斗司、米坂ヒデノリ、米林雄一、李禹煥、若林奮、脇田愛二郎、渡辺豊重〔図版収載順〕

アート・ナウ ’85 ●

兵庫県立近代美術館　1985 年 2 月 23 日　英文併載

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社・伊藤文化財団）　pp.2, 3

「アート・ナウ」13 年間の歩みと新しい出発――展覧会運営のこれまでの経過　pp.4-5

展覧会委員、アート・ナウ’85 選考委員　p.5

既出品者名　pp.6-7

出品者一覧　p.10

カタログ〔図版、作家略歴〕　pp.11-31

アート・ナウ’85 出品目録　pp.32-33, 34-35

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW ’85」

会期：1985 年 2 月 23 日－3 月 24 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社・伊藤文化財団

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者側)金井元彦、木原宣郎

アート・ナウ'85 選考委員：赤根和生、乾由明、木村重信、高橋亨、建畠哲、那賀裕子＋貞彦、福永重樹、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫

出品：上野真知子、生田丹代子、石原友明、柏原秀年、小西祐司、坂口正之、椎原保、炭谷昇、橘昭信、田中貞一、中西圭子、中西學、中原浩大、濱田弘明、原田要、藤原志保、松井紫朗。特別陳列；生形貴春、北山善夫、杉山知子、吉田和央〔出品目録順〕

第 5 回ハラ アニュアル ●

アルカンシェール美術財団　1985 年 3 月　主に英文併載

ごあいさつ（館長原俊夫）

ハラ アニュアル V を迎えて（金澤毅）

出品作家〔一覧〕

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 26p.

〔作家のことば〕（内倉ひとみ、大坪光泉、緒方一成、菅野由美子、田中秀穂、田中泯、都築房子、深井隆、藤村克裕、松浦寿夫、湯崎夫沙子） 和文

出品作品リスト

これまでのハラ アニュアル展記録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 5」

会期：1985 年 3 月 23 日－5 月 12 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団 原美術館

出品：内倉ひとみ、大坪光泉、緒方一成、菅野由美子、田中秀穂、田中泯、都築房子、椿昇、深井隆、藤村克裕、松浦寿夫、湯崎夫沙子、吉永裕〔出品作品リスト順〕

砂へ、そして砂から もうひとつの美術館《解体をめぐって》●

いわき市立美術館　1985 年 4 月

あいさつ（いわき市立美術館） p.1

最後の美術館（南嶌宏） pp.2-3

図版〔作家略歴、図版〕 pp.4-20

座談会「もうひとつの美術館」をめぐって（伊藤公象・島田忠幸・田窪恭治・谷口雅邦・中村秀樹・たにあらた・蓜島庸二） pp.21-28

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1985 年 4 月 6 日－21 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：伊藤公象、島田忠幸、田窪恭治、谷口雅邦、渡辺明節。パフォーマンス；島崎剛、仁科きぬ子〔図版収載順〕

動く彫刻展――空間概念の変革をめざして ●

倉敷市立展示美術館・現代彫刻センター　1985 年 6 月

ごあいさつ（倉敷市立展示美術館） p.5

動く彫刻〈空間概念の変革〉（片岡雅志） pp.6-7
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.8-63
〔作家のことば〕（伊藤隆道、菊竹清文、田中薫）
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1985 年 6 月 4 日－23 日　倉敷市立展示美術館　主催：倉敷市・倉敷市教育委員会、協力：現代彫刻センター
出品：飯田善國、伊藤隆道、菊竹清文、田中薫〔図版収載順〕

現代のやきもの展〈新しい造形への招待〉・図録 ●
呉市立美術館・呉市文化振興財団　1985 年 6 月
ごあいさつ（呉市立美術館・呉市文化振興財団・中国新聞社） p.3
現代のやきもの展にあたって（福永治） pp.5-10
図版〔図版、作家解説、作家略歴〕 pp.11-91
出品目録 pp.92-95
所蔵：□、国新美、都現美、神近美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1985 年 6 月 14 日－7 月 7 日　呉市立美術館　主催：呉市立美術館・呉市文化振興財団・中国新聞社
出品：石山駿、永楽紘一、江口勝美、小野珀子、川崎千足、久世建二、栗木達介、笹山忠保、瀬戸浩、竹田恒夫、徳田正彦、中村錦平、西村陽平、林秀行、松井康成、宮永理吉、森野泰明、柳原睦夫、吉川正道、和太守卑良〔出品目録順〕

山口の現代美術 III ●
山口県立美術館　1985 年 8 月 1 日
図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕 pp.1-48
〔作家のことば〕（河村正之、蔵重範子、砥上賢治、柳井嗣雄、伊藤誠、岡崎乾二郎、菊池敏直、佐川晃司、高木修、松浦寿夫、吉川陽一郎）
ごあいさつ（山口県立美術館） p.49
〔ことば〕（高田美規雄） pp.50-55
迂回のパッサージュ（松浦寿夫） pp.56-57　再録
出品目録 pp.58-59
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「’85 CONTEMPORARY ART, YAMAGUCHI」
会期：記載無〔1985 年 6 月 14 日－7 月 7 日〕　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：河村正之、蔵重範子、砥上賢治、柳井嗣雄、伊藤誠、岡崎乾二郎、菊池敏直、佐川晃司、高木修、松浦寿夫、吉川陽一郎〔出品目録順〕

都市に棲む展〈ネコのひたいに建った家〉図録 ●

板橋区立美術館　1985 年 8 月 3 日　企画展　ART-NOW シリーズ No.7

都市に棲む展開催にあたって（板橋区立美術館）　p.3

住宅を解体していく住宅群（植田実）　pp.6-11

棲むことのゆくえ（松山巖）　pp.12-17

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕　pp.18-65

〔作家のことば〕（相田武文、東孝光、安藤忠雄、石井和紘、石山修武、伊東豊雄、木島安史、象設計集団、長谷川逸子、宮脇檀、毛綱毅曠、渡辺豊和）

空気に近い音楽（吉村弘）　pp.66-67

夢はスマイを駈けめぐる（野崎一人）　pp.68-71

註：標題紙に「1930－40 年代生まれの建築家たちが、都市の極限空間に建てた家」とある。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1985 年 8 月 3 日－9 月 8 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：相田武文、東孝光、安藤忠雄、石井和紘、石山修武、伊東豊雄、木島安史、象設計集団、長谷川逸子、宮脇檀、毛綱毅曠、渡辺豊和〔図版収載順〕

現代のセルフポートレート ●

埼玉県立近代美術館　1985 年 8 月

あいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.3

自画像への仮説（桑原住雄）　pp.7-10

セルフポートレート論考（岩井寛）　pp.11-14

図版　pp.15-99

作家略歴　pp.101-124

出品目録　pp.125-129

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「SELF-PORTRAIT TODAY」

会期：1985 年 8 月 22 日－10 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：天野博之、靉嘔、福岡道雄、古沢岩美、平賀敬、池田満寿夫、今井祝雄、石原友明、筧忠治、鴨居玲、絹谷幸二、北脇昇、鯉江良二、小松崎邦雄、久里洋二、郭徳俊、前田青邨、松井憲作、三尾公三、宮脇愛子、中西學、中山正樹、野田哲也、奥谷博、奥山民枝、大塚つとむ、齋藤研、斎藤三郎、斎藤真一、下村良之介、四宮金一、杉原玲子、杉山知子、鈴木実、高松次郎、東野芳明、鶴岡政男、上田薫、宇治山哲平、魚田元生、山口勝弘、山本タカト、山本容子、横尾忠則、吉村芳生〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

現代デザインの展望〈ポストモダンの地平から〉 ●

京都国立近代美術館　1985 年 9 月　英文併載
あいさつ（館長・河北倫明・安達健二）　pp.5, 6
序論（河本信治）　pp.7-8, 9-11
イタリアのラディカル・デザインとネオ・ラディカル・デザイン（アレッサンドロ・メンディーニ）　pp.12-13, 14-16
現代の風景－ポストモダン・デザインの地平から（河本信治）　pp.17-21, 22-27
作品リスト　pp.28-31
カタログ〔作家解説、図版、作家のことば〕　pp.34-135
〔作家解説 日本作家〕（エミリオ・アンバース）
〔作家のことば 日本作家〕（石井和紘、磯崎新、槇文彦、高松伸、梅田正徳、山下和正、葉祥栄）
作家経歴　pp.137-143, 144-151
作品目録　pp.153-157, 158-162
註：作家解説と作家のことばは日本作家のみとした。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CONTEMPORARY LANDSCAPE From the Horizon of Postmodern Design」
会期：1985 年 9 月 11 日－10 月 20 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館／12 月 7 日－1986 年 1 月 19 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館
出品：石井和紘、磯崎新、倉俣史朗、槇文彦、高松伸、梅田正徳、山下和正、葉祥栄〔作品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

絵画の嵐・1950 年代〈アンフォルメル／具体美術／コブラ〉●
国立国際美術館　1985 年 9 月
あいさつ（国立国際美術館）　pp.4, 5　仏文併載
コブラの精神（ジャン＝クラランス・ランベール　松浦寿夫訳）　pp.6-9, 111-113　和文・仏文
アンフォルメルとその周辺（シルヴァン・ルコンブル　尾﨑信一郎訳）　pp.10-13, 114-116　和文・仏文
生成するタブロー――具体美術協会の 1950 年代（建畠哲）　pp.14-19, 117-121　仏文併載
図版　pp.20-92
1950 年代の前衛書道と前衛いけばな（塩田昌弘）　p.93
作家略歴　pp.94-105
年表　pp.106-110
出品目録　pp.122-125, 126-129　仏文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Action et Emotion, Peintures des Années 50：Informel, Gutaï, Cobra」

会期：1985 年 9 月 27 日－11 月 26 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：コプラ；ピエール・アレシンスキー、カーレル・アペル、コンスタン、コルネイユ、ジャン=ミシェル・アトラン、アイラー・ビル、ユージェヌ・ブランド、クリスチャン・ドートルモン、モーゲンス・バル、フーゴ・クラウス、カールオットー・フルテン、セルジュ・ヴァンデルカン、ジャック・ドゥーセ、カール=オットー・ゲッツ、スヴァヴァル・グッズナソン、ヘンリ・ヘールプ、エーギル・ヤコブセン、アスガー・ヨルン、ゾルタン・ケメーニ、ルースベール、エーリク・オルトヴァード、アンダース・エースタリン、カール＝ヘニング・ペーゼルセン、アントン・ロースケンス、シンキチ・タジリ、テーオ・ウォルヴェカンプ、アンフォルメル；フランコ・アセット、カミーユ・ブリエン、ジュゼッペ・カポグロッシ、クリスト・コッチ、堂本尚郎、ジャン・デッビュッフェ、クレール・ファルケンスタン、ジャン・フォートリエ、ルチオ・フォンタナ、サム・フランシス、ハンス・アルトゥング、今井俊満、ポール・ジェンキンス、ジョルジュ・マチウ、アンリ・ミショー、アルフォンソ・オッソリオ、ジャン＝ポール・リオペル、サレス、アントニオ・サウラ、イヤロスラフ・セルパン、ピエール・スーラージュ、アントニ・タピエス、ヴォルス、具体美術；金山明、前川強、正延正俊、元永定正、向井修二、村上三郎、嶋本昭三、白髪富士子、白髪一雄、鷲見康夫、田中敦子、上前智祐、浮田要三、吉田稔郎、吉原治良、吉原通雄、同時代の関連作家；森田子龍、大西茂、菅井汲、田淵安一、勅使河原蒼風〔出品目録順〕

明日の美術館を求めて(II) 環境としてのイメージ展図録 ●

兵庫県立近代美術館　1985 年 10 月　兵美特展目録 No.92　開館 15 周年記念

ごあいさつ（館長金井元彦）　p.3

環境へのアプローチ（中島徳博）　pp.4-7

図版〔章解説、図版〕　pp.8-29

出品リスト　pp.30-32

所蔵：□、国新美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Image as environment」

会期：1985 年 10 月 5 日－11 月 4 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品：(1)自然；畦地拓治、鴫剛、福岡道雄。(2)都市；靉嘔、木村利三郎、篠田守男、菅井汲、三島喜美代、吉田克朗、若林奮。(3)人間；横尾忠則。(4)生活；池田満寿夫、杉山知子、野田哲也、三尾公三、三島喜美代(重)、吉原英雄。(5)社会；浜田知明、堀内紀夫、馬場建三〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

現代美術の 40 年〈新館開館 10 周年記念〉 ●

東京都美術館　1985 年 10 月　東京都美術館特別展図録第 16 号　付：カタログ補遺 1 枚(両面刷)
あいさつ（東京都美術館）　p.7　英文併載
あいさつ（都知事鈴木俊一）　p.9　英文併載
「現代美術の 40 年」展にあたって（乙葉哲）　pp.11-14, 15-19　英文併載
図版　pp.21-32
カタログ〔作家略歴、出品目録、図版〕　pp.33-112
事項解説　pp.114-117
年表　pp.118-135
主な文献――現代美術の理解のために〈東京都美術館美術図書室の所蔵資料による〉pp.136-139
企画展示室での展覧会一覧　pp.140-143
索引　pp.144-145
カタログ補遺　1 枚(両面刷)
　菅木志雄、榎倉康二
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「10th Anniversary of New Building－40 YEARS OF JAPANESE CONTEMPORARY ART」
会期：1985 年 10 月 12 日－12 月 8 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館
出品：I 戦後美術の出発と具象絵画の流れ；松本竣介、靉光、鶴岡政男、麻生三郎、丸木位里、丸木俊、杉全直、北脇昇、阿部展也、浜田知明、靉嘔、池田満寿夫、中村宏、香月泰男、堀内正和、建畠覚造。II 戦後の抽象とアンフォルメルや具体の美術運動；村井正誠、難波田龍起、オノサト・トシノブ、山口長男、今井俊満、元永定正、白髪一雄、吉原治良、田中敦子、篠田守男、向井良吉。III 読売アンデパンダン展を中心とする反芸術運動とその後のポップ・アート的傾向；三木富雄、小島信明、工藤哲巳、荒川修作、高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之、篠原有司男、菊畑茂久馬、谷川晃一、岡本信治郎、横尾忠則、平賀敬、池田龍雄、草間彌生。IV ライト・アート；山口勝弘、河口龍夫、吉村益信。V もの派とインスタレーション；李禹煥、小清水漸、斎藤義重、菅木志雄、榎倉康二、高山登、伊藤公象、井上武吉〔図版収載順〕

木の美 絵画と彫刻のあいだ展 ●
北海道美術館協力会旭川美術館部　1985 年 10 月
あいさつ（北海道立旭川美術館）
今日の木のエスプリ（本間正義）
木と現代のレリーフ（佐藤友哉）
図版　14p.
カタログ〔作家略歴、図版〕55p.

出品目録

“現代美術と木”のおもな展覧会

主要参考文献

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1985 年 10 月 26 日－12 月 22 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館

出品：岩下碩通、植木茂、桂ゆき、川俣正、北山善夫、小清水漸、斎藤義重、菅木志雄、菅沼緑、田窪恭治、彦坂尚嘉、松井茂樹、杢田たけを、李禹煥〔出品目録順〕

「現代日本美術の展望――生活造形」展 ●

富山県立近代美術館　1985 年 11 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

「生活造形」のプラザを目ざして（小川正隆）　pp.4-5

日本の工業デザインの今日と明日（泉眞也）　pp.6-7

私にとっての「飾る」（中村錦平）　pp.8-9

図版　pp.11-127

出品目録　pp.128-132

出品作家略歴　pp.133-137

後記（柳原正樹）　p.139

註：編集は柳原正樹、田中玲子。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A PANORAMA OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-DESIGN OF DAILY LIFE」

会期：1985 年 11 月 1 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送

出品：デザイン部門 リビング・オフィス・インスツルメント；栄久庵憲司、倉俣史朗、新居猛、葉祥栄、渡辺力、鴨志田厚子、永原浄、イサム・ノグチ、黒川雅之、会田雄亮、小松誠、栄木正敏、森正洋、吉川博教、渡辺和、柴田献一、佐々文夫、菅澤利明、上山俊一、白幡明、河上恭一郎、船越三郎。カルチャー・インスツルメント。トランス・ポーテーション・インスツルメント；岩崎信治。テキスタイル；安部兼章、粟辻博、三宅一生、山岸柾史。工芸部門 陶磁；内田邦夫、髙鶴元、清水卯一、鈴木治、辻清明、中村錦平、藤平伸、松井康成、柳原睦夫。漆工；磯矢阿伎良、田口善国、増村益城。染織；小林正和、島貫昭子、中川干早、志村ふくみ、森口邦彦。ガラス；藤田喬平、益田芳徳。金工；中村ミナト、中山あや、平松保城〔出品目録順〕

註：出品欄は個人作家を収載。

第 2 回アジア美術展 ●

福岡市美術館　1985 年 11 月　英文併載

ごあいさつ（市長進藤一馬） pp.4, 5
アジア美術のなかの独自性（副島三喜男） pp.7-8, 9-10
各国展示会場 pp.14-15
図版〔メッセージ、日本を除く各国美術の現状紹介、作家略歴、図版〕 pp.17-347
アジア・フェスティバル《プログラム》 pp.350, 351
「第 2 回アジア美術展」記念シンポジウム pp.353, 354-355
第 2 回アジア美術展実行委員会名簿 pp.356-357, 358-359
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「2nd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」
会期：1985 年 11 月 2 日－12 月 1 日 福岡市美術館 主催：第 2 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社
出品：日本；東谷武美、古川タク、萩原朔美、彦坂尚嘉、櫃田伸也、星野暁、出光真子、河内成幸、河口龍夫、かわなかのぶひろ、北山善夫、小林正和、小嶋悠司、幸村真佐男、小清水漸、松生歩、中井恒夫、中島千波、西村陽平、野村仁、小笠原宣、菅木志雄、田窪恭治、辰野登恵子、宇佐美圭司、山本正道、米谷清和、吉村正郎、船津美江子、箱崎睦昌、河口洋一郎、川原田徹、菊竹清文、小川幸一、大久保忠春、大津英敏、小山正、滝純一、殿敷侃〔図版収載順〕

現代美術の展望―'85 FUKUOKA 変貌するイマジネーション VOL.I ●
福岡県立美術館 1985 年 11 月 3 日 開館記念特別展・シリーズ第 1 回展
あいさつ（館長岩下光弘） p.1
現代美術の地平〈主として関係場の生成をめぐって〉（松本俊夫） pp.4-8
CATALOGUE プランとプロセス I〔作家活動歴、参考文献、コメント、図版〕 pp.9-57
はじめに、凡例 p.10
作家索引 p.11
コメント（阿部守、伊藤高志、伊奈新祐、内野博夫、江上計太、河口洋一郎〔再録〕、河原美比古、瓦林睦生、菊竹清文、菊畑茂久馬、倉重光則、髙鶴元、近藤博志、酒井忠臣、佐藤文玄、塚本洋守、徳重恵美子、永崎通久、RADICAL TV、望月菊麿、森下明彦、山崎直秀、渡辺宏）
参照事項 p.58
F.M.F.、九州アート・ナウ展、I.A.F.
展覧会委員一覧 p.59
所蔵：□、国新美、東近美、東文研(VOL.I のみ)、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

現代美術の展望―'85 FUKUOKA 変貌するイマジネーション VOL.II
福岡県立美術館 1985 年 11 月 28 日 開館記念特別展・シリーズ第 1 回展
会場写真 pp.1-6
「現代美術の展望―'85 FUKUOKA」展について（川浪千鶴） pp.8-10

CATALOGUE プランとプロセス II〔図版〕 pp.11-49

会場構成、凡例 p.12

作家索引 p.13

出品目録 pp.50-51

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項（VOL I・VOL II 共通）

欧文タイトル：「Prospect of Contemporary Art- ’85 FUKUOKA：LIVE IMAGINATION」

会期：1985 年 11 月 3 日－28 日　福岡県立美術館　主催：福岡県・福岡県教育委員会・福岡県立美術館

出品：阿部守、伊藤高志、伊奈新祐、内野博夫、江上計太、河口洋一郎、河原美比古、瓦林睦生、菊竹清文、菊畑茂久馬、倉重光則、髙鶴元、近藤博志、酒井忠臣、佐藤文玄、塚本洋守、徳重恵美子、永崎通久、RADICAL TV、望月菊麿、森下明彦、山崎直秀、渡辺宏〔出品目録順〕

今日の作家’85 展　カタログ　　横浜市民ギャラリー編 ●

横浜市・横浜市教育委員会　1985 年 11 月　第 21 回今日の作家展〔インスタレイションとは何か〕 付・出品リスト 1 枚

インスタレイションとは何か――美術と美術を逸脱するもの（千葉成夫） pp.4-8

カラー図版 pp.9-12

図版〔作家略歴、作家のことば〕 pp.14-61

〔作家のことば〕（阿部守〔2 行〕、桂ゆき、蔵重範子〔再録〕、菅木志雄、藤浩志、保科豊巳）

今日の作家展 出品作家リスト(1964 年～1984 年) pp.62-63

別紙

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

展名：第 21 回今日の作家展 インスタレイションとは何か

欧文タイトル：「ARTISTS TODAY ’85：WHEN INSTALLATIONS BECOME FORM?」

会期：1985 年 11 月 9 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：千葉成夫、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：阿部守、柏原えつとむ、桂ゆき、蔵重範子、剣持和夫、白岩繁夫、菅木志雄、平林薫、藤浩志、保科豊巳、三宅康郎、森田秀〔別紙出品リスト順〕

1986（昭和 61）年

第 19 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1986 年 1 月

〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2

図版 pp.3-36

第 19 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.37-50

第 19 回現代美術選抜展開催要項 p.51

出品団体・出品点数一覧 p.51

〔出品団体系図〕 p.52

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 1 月 7 日－19 日 豊橋市美術博物館 主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社／青森展；1 月 26 日－2 月 9 日 青森市民美術展示館 主催：文化庁・青森県教育委員会・青森市・青森市教育委員会・青森市文化施設管理公社／山形展；2 月 15 日－28 日 山形美術館 主催：文化庁・山形県教育委員会、共催：山形美術館等

出品：日本画；高木義夫、福井爽人。洋画；伊庭新太郎、大沼映夫。版画；中林忠良、渡辺豊重。彫刻；今城国忠〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

戦後日本画の一断面〈模索と葛藤〉 ●

山口県立美術館 1986 年 1 月 6 日

ごあいさつ（山口県立美術館） p.3

「戦後日本画の一断面」展によせて（河北倫明） pp.6-7

図版 pp.9-104

戦後日本画の風雲児たち（針生一郎）pp.105-108

京都における日本画の革新〈パンリアルとケラ〉（木村重信） pp.109-112

日本画変革の流れ〈戦前からの流れに重点をおいて〉（菊屋吉生） pp.113-117

作家・作品紹介 pp.118-159

年譜〔年表〕 pp.160-166

資料〔宣言文等〕 pp.167-171

出品目録 pp.172-176

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 1 月 7 日－2 月 9 日 山口県立美術館 主催：山口県立美術館

出品：丸木位里、船田玉樹、横山操、丸木位里・俊、渡辺学、三上誠、水谷勇夫、星野真吾、

朝倉摂、中村正義、岩崎巴人、長崎莫人、藤田隆治、佐藤多持、上田臥牛、下村良之介、加山又造、岩崎鐸、大野俶嵩、野村耕、楠田信吾、岩田重義〔出品目録順〕

シガ・アニュアル'86 多義的な表面 ●

滋賀県立近代美術館　1986 年 2 月

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）　p.3　英文併載

多義的な表面（尾野正晴）　pp.4-7

カタログ〔作家略歴、図版〕　pp.8-55

作家個展歴　pp.56-57

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'86 The Ambiguous Surface」

会期：1986 年 2 月 18 日－3 月 23 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：五十嵐彰雄、根岸芳郎、山本豊章、横溝秀実〔図版収載順〕

下関の美術 戦後世代の 12 人 ●

下関市立美術館　1986 年 2 月 18 日

ごあいさつ（下関市立美術館）　p.3

図版　pp.4-27

〔作家略歴、作家のことば〕　pp.28-33

〔作家のことば〕（臼杵裕也、尾潟正美、川崎誠和、國本悦生、熊谷實、新谷勉、田中義文、濱野邦昭、堀晃、堀研）

企画ノート〈地方ということ〉（濱本聰）　p.34

出品リスト　p.35

所蔵：□、国新美、東近美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 2 月 18 日－3 月 9 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館

出品：石山義秀、臼杵裕也、尾潟正美、川崎誠和、國本悦生、熊谷實、新谷勉、田中義文、濱野邦昭、堀晃、堀研、前川謙一〔出品リスト順〕

明日への造形－九州 第 6 回展 色彩の豊饒 ●

福岡市美術館　1986 年 2 月

ごあいさつ（福岡市美術館）　p.5　英文併載

色彩の豊饒〈ニュー・ウェーヴ感覚〉（安永幸一）　pp.6-9

図版〔作家略歴、制作ノート、出品リスト、図版〕　pp.10-21, 23

制作ノート（荒瀬景敏、内倉ひとみ〔再録〕）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「6th "Forms for Tomorrow－Kyūshū" Richness of Colors」

会期：1986 年 2 月 18 日－3 月 30 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：荒瀬景敏、内倉ひとみ

アート・ナウ ’86 ●

兵庫県立近代美術館　1986 年 2 月 22 日　兵美特展目録 No.95

あいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.2　英文併載

カタログ〔出品者一覧、図版、作家略歴、作家のことば〕　pp.3-25

〔作家のことば〕（池垣タダヒコ、今村源、小倉亨、小野和則、川端嘉人、菊池孝、郡山広明、しばたゆり、高間準、西村正幸、福田新之助〔2 行〕、ふじい忠一、道北英治、三村逸子、山崎亨、山部泰司、吉村正郎、石原友明、中西學、中原浩大、濱田弘明）

アート・ナウ’86 出品目録　pp.26-27, 28-29　英文併載

ARTISTS' BIOGRAPHIES　pp.30-31

「アート・ナウ」の新しい出発――展覧会運営のこれまでの経過　p.32

既出品者名　pp.33-35

展覧会委員、アート・ナウ’85 選考委員　p.36

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW ’86」

会期：1986 年 2 月 22 日－3 月 22 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、（主催者側）金井元彦、木原宣郎

アート・ナウ’86 選考委員：赤根和生、乾由明、木村重信、高橋亨、村田慶之輔、篠原資明、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫

出品：池垣タダヒコ、今村源、小倉亨、小野和則、川端嘉人、菊池孝、郡山広明、しばたゆり、高間準、西村正幸、福田新之助、ふじい忠一、道北英治、三村逸子、山崎亨、山部泰司、吉村正郎。特別陳列；石原友明、中西學、中原浩大、濱田弘明〔出品目録順〕

12 人の現代彫刻家〈庭園美術館へのいざない〉 ●

東京都文化振興会　1986 年 3 月 2 日　資料第 9 輯

ごあいさつ（館長鈴木進）

図版〔作家略歴、図版〕

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1986 年 3 月 2 日－4 月 16 日　東京都庭園美術館　主催：東京都文化振興会

出品：澤田政廣、山本豊市、高田博厚、圓鍔勝三、柳原義達、淀井敏夫、堀内正和、佐藤忠良、舟越保武、富永直樹、向井良吉、建畠覚造〔出品リスト順〕

第 6 回ハラ アニュアル ●

アルカンシェール美術財団　1986 年 3 月 29 日　主に英文併載
ごあいさつ（館長原俊夫）
「ボイスが死んだことし」〈第 6 回ハラ アニュアル展について〉（峯村敏明）
出品作家
図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕 22p.
〔作家のことば〕（岩井俊雄、大塚由美子、岡田真宏、菊谷直美、駒形克哉、高橋淑人〔2行〕、藤浩志、横山栄一） 和文
出品リスト
これまでのハラ アニュアル展記録
註：キュレーターは金澤毅。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「HARA ANNUAL VI」
会期：1986 年 3 月 29 日－5 月 11 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：アルカンシェール美術財団
出品：青木野枝、岩井俊雄、大塚由美子、岡田真宏、菊谷直美、駒形克哉、高橋淑人、中原浩大、藤浩志、横山栄一、吉本作次〔出品リスト順〕

現代美術・その先駆者たちと現在〈大原美術館コレクションから〉●
軽井沢高輪美術館、西武美術館　1986 年 4 月
開催にあたって（高輪美術館・西武美術館）
座談会：大原美術館と現代美術（森口陽・藤田慎一郎・大岡信・乾由明）
アンフォルメルと日本の抽象美術の流れ(1945－1958)
出品作家一覧
出品リスト
所蔵：□、国新美、東文研、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1986 年 4 月 8 日－25 日　尼崎・つかしんホール　主催：大原美術館・軽井沢高輪美術館・西武美術館・毎日新聞社／4 月 29 日－7 月 16 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢高輪美術館・大原美術館・西武美術館
出品：32 山口長男、33 猪熊弦一郎、34 オノサト・トシノブ、35 麻生三郎、36 小野忠弘、37 菅井汲、38 元永定正、39 白髪一雄、40 前田常作、41 堂本尚郎、42 今井俊満、43 嶋田しづ、44 桑山忠佑〔タダスキー〕、45 近藤竜男、46 加納光於、47 中西夏之、48 荒川修作、49 宇佐美圭司、50 横尾忠則、51 田窪恭治、52 北山善夫〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家のみ収載。

「現代版画の表現と技法」展 ●
練馬区立美術館　1986 年 4 月
ごあいさつ（練馬区立美術館） p.5

「芸術としての版画(ノート)」（横山勝彦） pp.6-7
図版〔章解説、図版、技法解説、コメント〕 pp.8-88
出品リスト pp.89-96
出品作家一覧 p.97
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1986 年 4 月 26 日－5 月 25 日 練馬区立美術館 主催：練馬区立美術館
出品：木版；棟方志功、笹島喜平、萩原英雄、清宮質文、吹田文明、吉田穂高、城所祥、黒崎彰、舩坂芳助、野田哲也、井田照一、日和崎尊夫、河内成幸、両角修、柄澤齊、山中現。銅板、金属版；長谷川潔、浜口陽三、一原有徳、浜田知明、駒井哲郎、深沢幸雄、広田雅久、斎藤寿一、木原康行、加納光於、池田満寿夫、秀島由己男、中林忠良、清塚紀子、久保卓治、山本容子、松本秀一、永井一正。石版、オフセット；村井正誠、脇田和、菅井汲、利根山光人、永井一正(重)、吉原英雄、加納光於(重)、小作青史、井田照一(重)、原健、東谷武美、小林清子、園山晴巳、小本章、井田照一(重)。孔版；村井正誠(重)、脇田和(重)、オノサト・トシノブ、菅井汲(重)、利根山光人(重)、小野木学、前田常作、田中一光、靉嘔、荒川修作、木村光佑、松本旻、斉藤智、横尾忠則、森岡完介、脇田愛二郎、百瀬寿、長谷川哲、鎌谷伸一、木村秀樹、福井良之助、森義利。コピー；小本章＋永原ゆり〔出品リスト順〕

つかしんアニュアル'86 HANGING――吊るされた美術 ●
つかしんホール 1986 年 5 月 第 1 回展
ごあいさつ（西武美術館） p.3
第三の壁――吊るされた作品（中原佑介） pp.5-9
図版〔作家略歴、作家解説、図版〕 pp.10-45
〔作家解説〕（鍵岡正謹）
ハンモックの中の怠惰な夢 あとがきに代えて（鍵岡正謹） p.46
出品リスト p.47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「TSUKASHIN ANNUAL'86」
会期：1986 年 5 月 9 日－28 日 尼崎・つかしんホール 主催：西武美術館
出品：飯田善國、小名木陽一、櫃尾正次、河口龍夫、北山善夫、久里洋二、庄司達、高木敏子、竹田康宏、寺田真由美、中辻悦子、福岡道雄、元永定正、矢野美智子、山口勝弘、山本衛士、若林奮、アレクサンダー・コルダー〔出品リスト順〕

Art Today Exhibition '86 in FUKUI ●
福井アート・フォーラム 1986 年 5 月 15 日
図版 pp.1-12
福井アート・トゥディ'86 出品作家 p.13

ごあいさつ（荒井由泰、吉田耿介、重達夫） p.14
動機ハ単純ダッタ。私タチガ見タイ展覧会ヲ自分タチノ手デ開イテミタイ、トイウコトダ。（土岡秀一） p.15
作品へ――オブジェの解体〈企画展のテーマについて〉（天谷信之） pp.16-17
図版〔図版、作家略歴、作家インタビュー〕 pp.18-41
〔作家インタビュー〕五十嵐彰雄、下島さとみ、土屋公雄、長谷光城、中野千華、松宮喜代勝（インタビュー・佐野周一、上木孝、天谷信之、土岡秀一、青山直弘、伊与登志雄）
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大
○展覧会事項
展名：福井アート・トゥディ'86
会期：1986 年 5 月 15 日－25 日　福井県立美術館　主催：福井アート・フォーラム・福井新聞社・福井県立美術館
出品：五十嵐彰雄、下島さとみ、土屋公雄、長谷光城、中野千華、松宮喜代勝〔図版収載順〕

瑛九とその周辺　　埼玉県立近代美術館編 ●
読売新聞社・美術館連絡協議会　1986 年 6 月
あいさつ（主催者） p.3
瑛九とその周辺（久保貞次郎） pp.4-7　再録
瑛九という画家（瀬木慎一） pp.8-10
図版　pp.11-84
周辺作家の瑛九の思い出〔付：略歴〕
〈デモクラート〉補遺（靉嘔） pp.57-58
私のなかの瑛九（池田満寿夫） p.61
瑛九（オノサト・トシノブ） p.67　再録
手紙《瑛九さんへ》（長谷川三郎） p.70
瑛九さんの思い出（早川良雄） p.74
瑛九は光の粒子、いまだにぼくの内部で現象中である（細江英公） pp.77-78
一本の赤いバラ（吉原英雄） p.82
出品目録　pp.86-92
年譜　pp.93-109
アルバム――瑛九とその周辺　pp.110-111
瑛九著述抄　pp.112-119　再録
参考文献　pp.120-127
註：編集は大久保静雄、長谷川てい。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1986 年 6 月 14 日－8 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美

術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／9 月 6 日－28 日　宮崎県総合博物館　主催：宮崎県総合博物館・宮崎市・宮崎県教育委員会・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会／10 月 4 日－10 月 27 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：瑛九、靉嘔、池田満寿夫、泉茂、オノサト・トシノブ、長谷川三郎、早川良雄、細江英公、吉原英雄〔出品目録順〕

第 5 回平行芸術展 ノスタルジアの歩行様式 ●

財団法人小原流　1986 年 6 月　1 枚(両面刷)

「心のカメラを引いて見よ」（峯村敏明）

〔作家のことば〕（稲垣敦雄、越前谷嘉高、大森博之、橘田尚之、小泉俊己、駒形克哉、近藤昌美、松本春崇）

図版〔図版、作家略歴〕 8 図

所蔵：□、東近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「“Parallelism in Art” No.5」

会期：1986 年 6 月 14 日－22 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー／6 月 25 日－30 日　大阪・小原流研修会館 2 階　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：稲垣敦雄、越前谷嘉高、大森博之、橘田尚之、小泉俊己、駒形克哉、近藤昌美、松本春崇〔図版収載順〕

THE NINE〈デザイン・ナウ――9 人のクリエイターたち〉 ●

山口県立美術館　1986 年 6 月 27 日

あいさつ（山口県立美術館） p.3

図版　pp.5-59

消費される絵画（三浦雅士） pp.62-67

デザインの地平線からどれだけ浮上するか（榎本了壱） pp.68-73

戦後のグラフィックアートと今日（高田美規雄） pp.74-81

年表　pp,82-104

プロフィール〔作家略歴〕 pp.105-109

目録　pp.110-115

註：当該カタログには展覧会の会期が記載されていない。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Wildness：Toward Their Own Natures An Aspect of Contemporary Art」

会期：1986 年 6 月 27 日－7 月 27 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：井上嗣也、サイトウマコト、戸田正寿、河村要助、湯村輝彦、吉田カツ、田中紀之〔タナカノリユキ〕、谷口康彦、日比野克彦〔目録順〕

具体－行為と絵画図録〈スペイン・ユーゴスラビア帰国記念展〉 ●

兵庫県立近代美術館　1986 年 8 月 30 日　兵美特展目録 No.97

ごあいさつ（主催者） p.3
序文（山脇一夫） p.5
I 行為の記録 pp.6-9
II 絵画作品〔出品目録〕 pp.10-11
図版 pp.13-40
具体－行為と絵画を巡る冒険（山脇一夫） pp.41-45
作家紹介（山脇一夫編） pp.46-54
具体美術協会年表（山脇一夫編） pp.55-57
主な参考文献 pp.58-59
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1986 年 8 月 30 日－9 月 28 日 神戸・兵庫県立近代美術館 主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社・伊藤文化財団
出品：吉原治良、元永定正、白髪一雄、金山明、前川強、正延正俊、松谷武判、向井修二、村上三郎、嶋本昭三、白髪富士子、田中敦子、上前智祐、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄〔出品目録順〕

ART TODAY 1986「ポスト・モダンの病理学」●
軽井沢財団法人高輪美術館 1986 年 9 月
ごあいさつ（財団法人高輪美術館・西武美術館） p.3
問題提起的視点としてのタイトル――《ポスト・モダンの病理学》について（森口陽）p.4
ポスト・モダン/病/パトス（難波英夫） pp.5-7
図版〔作家論、作家略歴、図版〕 pp.8-39.
〔作家論〕（塩崎有隆、中村麗、清水哲朗、新見隆）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：「PATHOLOGY OF POST-MODERN」
会期：1986 年 9 月 6 日－11 月 3 日 軽井沢高輪美術館 主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館
出品：山本富章、関口敦仁、中原浩大、髙崎正治〔図版収載順〕

現代日本の美術・3 戦後生まれの作家たち ●
宮城県美術館 1986 年 10 月 開館 5 周年記念特別展
あいさつ（宮城県美術館・東北放送） p.3
図版〔作家略歴、図版〕 pp.5-54
視座の逆転へ〈日本近代美術の構成〉（桑原住雄） pp.56-60
「現代日本の美術」展について（酒井哲朗） pp.61-62
「現代美術」の新世代（新田秀樹） pp.63-64
出品目録 pp.65-71

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A Scene of Contemporary Japanese Art 3 “The New Generation”」

会期：第 1 期・平面 1986 年 10 月 1 日－11 月 9 日／第 2 期・立体 11 月 15 日－12 月 14 日

仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・東北放送

出品：第 1 期・平面；青山亘幹、大野俊明、津田一江、中島千波、西田俊英、箱崎睦昌、畠中光享、林功、松生歩、山本真也、遠藤彰子、小笠原宣、川口起美雄、坂田哲也、佐藤一郎、玉川信一、智内兄助、十時孝好、朝比奈逸人、荒敦子、栗岡孝於、小林正人、中村功、根岸芳郎、松尾直樹。第 2 期・立体；青木野枝、植村公雄、内田晴之、遠藤利克、岡崎乾二郎、川俣正、北山善夫、黒川晃彦、小泉俊己、鈴木隆、竹田康宏、土屋公雄、戸谷成雄、中島一平、深井隆、舟越桂、本間かおり、増田聡子、松井紫朗、宮﨑豊治、籔内佐斗司、山倉研志、山本富章〔出品目録順〕

現代の「白と黒」●

埼玉県立近代美術館　1986 年 10 月

あいさつ（埼玉県立近代美術館）　pp.1, 3　英文併載

図版〔章解説、作家略歴、図版〕　pp.7-191

解説

闇の中の顚末記〈「現代の白と黒」展に寄せて〉（田中幸人）　pp.195-197, 198-200　英文併載

現代美術の白と黒（中原佑介）　pp.201-203, 204-206　英文併載

出品目録　pp.207-212　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「BLACK AND WHITE IN ART TODAY」

会期：1986 年 10 月 5 日－12 月 14 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：I 色としての白と黒；五十嵐彰雄、狗巻賢二、大沢昌助、清川泰次、須部佐知子、崔明永、鄭相和、ピエロ・マンゾーニ、山田正亮、吉原治良、天野純治、因藤壽、菊畑茂久馬、桑山忠明、リチャード・セラ、浜田浄、原口典之、古川吉重、ジョン・マクロフリン、村井正誠、村上友晴。II 対話する白と黒；青木洋子、浅野弥衛、ケンシ、白髪一雄、ピエール・スーラ―ジュ、孫雅由、朴栖甫、浜田浄(重)、ルチオ・フォンタナ、ジャクソン・ポロック、松谷武判、アンリ・ミショー、吉田稔郎、李禹煥、伊丹潤、榎倉康二、郭仁植、田部井勤、富岡惣一郎、オットー・ピーネ、山口正城、磯田幹、今井瑾郎、遠藤利克、ジュゼッペ・カポグロッシ、河原温、ジョセフ・コスス、斎藤義重、菅木志雄、高松次郎、田代睦三、建畠覚造、長谷光城、難波京子、ジャン＝ピエール・レイノー、若林奮、伊藤公象、岡部昌生、柴田美千里、清水晃、高橋秀、ジャン・ティンゲリー、ジャン・デュビュッフェ、ルイーズ・

ニーヴェルソン、林康夫、ロバート・マザーウェル。III 明暗にともなう白と黒；岡田真宏、エンリコ・カステラーニ、高崎元尚、福岡道雄、古井洵、安達武生、池田喜重、ヴィクトル・ヴァザルリ、岡田真宏(重)、ハインツ・マック、松本旻、ロイ・リキテンスタイン〔出品目録順〕

「現代日本美術の動勢――絵画 PART1」展 ●

富山県立近代美術館　1986 年 10 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

「現代日本美術の動勢」展の開幕にあたって（小川正隆）　pp.4-5

現代日本美術の動勢――日本画を中心として（富山秀男）　pp.6-7

具象表現について――洋画の場合（村田慶之輔）　pp.8-9

カラー図版　pp.11-24

モノクロ図版　pp.25-89

出品目録　pp.90-91

出品作家略歴　pp.92-94

後記（柳原正樹）　p.95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING PART 1」

会期：1986 年 10 月 25 日－12 月 7 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：河北倫明、富山秀男、村田慶之輔、酒井忠康、小川正隆、主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送・富山エフエム放送

出品：髙山辰雄、麻生三郎、今野忠一、石本正、稗田一穂、野見山暁治、宮崎進、下村良之介、三尾公三、白根光夫、下保昭、加山又造、麻田鷹司、藤田吉香、田口安男、平山郁夫、小西保文、上村淳之、大沼映夫、島田章三、渡辺恂三、奥谷博、横尾忠則、リーガ・パング、下田義寛、滝沢具幸、田渕俊夫、絹谷幸二、鴫剛、中島千波、中野嘉之、畠中光享〔出品目録順〕

日本のガラス造形・昭和 ●

朝日新聞社　1986 年 11 月

あいさつ（東京都庭園美術館・朝日新聞社）　p.5

げてものから造形へ（武田厚）　pp.7-10

図版　pp.11-74

作家解説・出品目録（佐々木順子）　pp.77-109

年表（苫名真・池田直子・佐々木順子編）　pp.110-123

用語解説　pp.124-125

参考文献　pp.126-129

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Japanese Glass in the Showa Period」

会期：1986 年 11 月 9 日－12 月 21 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・朝日新聞社／1987 年 1 月 10 日－3 月 22 日　東京都庭園美術館　主催：財団法人東京都文化振興会・朝日新聞社

出品：岩田藤七、各務鑛三、小柴外一、淡島雅吉、佐藤潤四郎、藤田喬平、岩田久利〔図版収載順〕

第 20 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1986 年 11 月

〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2

図版　pp.3-36

第 20 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.37-50

第 20 回現代美術選抜展開催要項　p.51

出品団体・出品点数一覧　p.51

〔出品団体系図〕 p.52

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1986 年 11 月 9 日－23 日　豊田市民文化会館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊田市・豊田市教育委員会／徳島展；11 月 29 日－12 月 14 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会／富山展；1987 年 1 月 10 日－25 日　富山県民会館美術館　主催：文化庁・富山県教育委員会・富山県民会館・北日本新聞社・北日本放送／福島展；1 月 31 日－2 月 15 日　郡山市民文化センター　主催：文化庁・福島県教育委員会・郡山市教育委員会・郡山市文化施設管理公社／宮城展；2 月 21 日－3 月 8 日　石巻文化センター　主催：文化庁・宮城県教育委員会・石巻市教育委員会・河北新報社

出品：日本画；鈴木竹柏、毛利武彦。洋画；阿部平臣、佐野ぬい。版画；小作青史、高柳裕。彫刻；長江録弥〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

今日の作家'86 展カタログ　　横浜市民ギャラリー編 ●

横浜市・横浜市教育委員会　1986 年 11 月　第 22 回今日の作家展〔'86 現代美術の黙示録 I 魂の深層から〕 主に英文併載　付・出品リスト 1 枚

現代美術の黙示録 I　魂の深層から（日夏露彦） pp.2-7, 8-12

図版〔作家略歴、参考文献、図版、作家のことば〕 pp.13-41

〔作家のことば〕（松澤宥、菅木志雄、米谷栄一）

今日の作家展 出品作家リスト(1964 年～1985 年) pp.42-43〔和文のみ〕

別紙

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
展名：第 22 回今日の作家展'86 現代美術の黙示録 I 魂の深層から
欧文タイトル：「Artists to-day '86 : "Apocalypse in Contemporary Art I－from the depth of soul"」
会期：1986 年 11 月 14 日－27 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：日夏露彦、主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：松澤宥、菅木志雄、米谷栄一〔別紙出品リスト順〕

現代のイメージ 平面と空間 ●
熊本県立美術館　1986 年 12 月
〔ことば〕（村上哲）
Member
図版〔作家略歴、図版〕 7p.
所蔵：□、国新美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「IMAGE OF TODAY　PLANE / SPACE / ILLUSION」
会期：1986 年 12 月 6 日－24 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館
出品：阿部守、井川惺亮、岩田恒介、内野博夫、菅章、古澤伸一郎、前田信明〔図版収載順〕

1987（昭和 62）年
今日の造形 土と炎展〈新たな展開と可能性〉●
岐阜県美術館　1987 年 1 月
ごあいさつ（館長吉本幹彦） p.3
現代における土と炎の造形（乾由明） pp.4-12
土をめぐって（青木正弘） pp.13-16
図版〔図版、文献再録、作家略歴、作家のことば〕 pp.17-101
〔作家のことば〕（荒木高子、鈴木治、速水史朗、伊藤公象、三島喜美代、森野泰明、柳原睦夫、川上力三、宮永理吉、中村錦平、佐藤敏、林秀行、鯉江良二、笹山忠保、小林三千夫、星野暁、西村陽平、杉浦康益、久谷蔦枝、秋山陽、あんどう雅信、田嶋悦子、松井紫朗）
企画展示室外の作品展示場所　p.102
展示風景　pp.103-106
作品目録　pp.107-110
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1987 年 1 月 6 日－2 月 11 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

出品：イサム・ノグチ、辻晋堂、八木一夫、荒木高子、鈴木治、速水史朗、伊藤公象、三島喜美代、森野泰明、柳原睦夫、川上力三、宮永理吉、中村錦平、佐藤敏、林秀行、鯉江良二、笹山忠保、小林三千夫、星野暁、西村陽平、杉浦康益、久谷蔦枝、秋山陽、あんどう雅信、田嶋悦子、松井紫朗〔作品目録順〕

シガ・アニュアル'87 “主張する人体”●

滋賀県立近代美術館　1987 年 1 月

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）

主張する人体（小林昌夫）

作家と作品〔作家略歴、図版〕

出品リスト

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、東大駒

○展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'87 Expressions of Human Figures」

会期：1987 年 1 月 6 日－2 月 15 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：都築房子、石原友明、舟越桂、中西學、池村玲子、服部冬樹〔出品リスト順〕

'87 神奈川アート・アニュアル ●

神奈川県立県民ホール　1987 年 1 月 21 日　第 1 回展

あいさつ（神奈川県立県民ホール）　p.1　英文併載

図版〔作家略歴、図版〕　pp.2-15

美術の開化から多義的な表現へ――神奈川アニュアル・コトハジメ（藤島俊會）　pp.16-18

出品目録　pp.19-20

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE 1st KANAGAWA ART ANNUAL」

会期：1987 年 1 月 21 日－2 月 1 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員：斎藤義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：井上雅之、内海信彦、神山明、金昌永、剣持和夫、後藤尚子、斎藤史門、諏訪直樹、野村和弘、平野米三、藤山貴司、柳幸典、山田恵子、渡辺良雄〔出品目録順〕

美との対話'87〈大原／西武／高輪美術館所蔵作品による〉●

富山近美友の会　1987 年 2 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

メッセージ（藤田慎一郎）　p.4

メッセージ（紀国憲一）　p.5

「美との対話」のひとつの試みとして（小川正隆）　pp.6-7

図版　pp.9-70

大原美術館の五十年と現代美術（藤田慎一郎）　p.72

高輪美術館のコレクション活動　p.74
出品目録　pp.76-80
作家解説　pp.81-85
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1987 年 2 月 7 日－4 月 5 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・大原美術館・西武美術館・高輪美術館・富山新聞社・北国新聞社・北日本放送
出品：麻生三郎、荒川修作、今井俊満、宇佐美圭司、海老塚耕一、小野忠弘、オノサト・トシノブ、加納光於、清水九兵衛、桑山忠明、桑山忠祐〔タダスキー〕、小清水漸、嶋田しづ、白髪一雄、菅井汲、高橋秀、堂本尚郎、中西夏之、難波田龍起、福島秀子、堀内正和、前田常作、元永定正、山口長男、山田正亮、横尾忠則、吉原治良、李禹煥〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

明日への造形－九州 第 7 回展 イメージの突然、変異――浮遊と中断 ●
福岡市美術館　1987 年 2 月
図版〔図版、作家略歴、制作ノート、出品リスト〕　pp.1-2, 8-25
　制作ノート（松尾直樹、桐原淳行、山崎嘉久）
ごあいさつ（福岡市美術館）　p.4　英文併載
イメージの突然、変異――浮遊と中断（黒田雷児）　pp.5-7
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「7th “FORMS FOR TOMORROW－KYŪSHŪ” SUDDEN SUSPENSION OF IMAGES」
会期：1987 年 2 月 17 日－3 月 29 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：松尾直樹、桐原淳行、山崎嘉久

日本の美術館建築展図録 ●
世田谷美術館　1987 年 2 月
ごあいさつ（世田谷美術館）　p.5
日本の地方公立美術館建築をめぐって（大島清次）　pp.6-10, 158-162　英文併載
美術館建築の歴史（奥平耕造）　pp.11-24, 163-170　英文併載
図版〔文章再録、建築家略歴、図版、各館活動解説、建築家解説、建築家のことば〕　pp.25-142
　〔建築家のことば〕（磯崎新、黒川紀章、大髙正人、内井昭蔵、槇文彦、丹下健三、菊竹清訓、谷口吉生、石山修武、原広司、大江宏、山本忠司、毛綱毅曠、戸尾任宏）
〔各館活動解説〕（宝木範義、塩田純一、児島薫、遠藤望、川口幸也）
日本の美術館建築関連年表　pp.144-153
文献抄　pp.154-157
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「JAPANESE MUSEUM ARCHITECTURE」

会期：1987 年 2 月 21 日－3 月 22 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：坂倉準三、谷口吉郎、村野藤吾、川崎清、前川國男、磯崎新、黒川紀章、大髙正人、内井昭蔵、槇文彦、丹下健三、吉田五十八、菊竹清訓、白井晟一、谷口吉生、石山修武、原広司、大江宏、山本忠司、毛綱毅曠、戸尾任宏〔図版収載順〕

現代の美術・今日の情況展〈この地方で、いま…〉図録 ●

東広島市立美術館　1987 年 2 月 21 日　第 1 回展　特別展図録第 11 号

あいさつ　扉

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 pp.1-35

〔作家のことば〕（入野忠芳、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、三原捷宏、殿敷侃〔3 行〕、藤崎恒頼、堀晃、堀研、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一）

出品目録　pp.36-37

所蔵：□、国新美、都現美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 2 月 21 日－3 月 22 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

出品：入野忠芳、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、三原捷宏、殿敷侃、藤崎恒頼、堀晃、堀研、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一〔出品目録順〕

アート ドキュメント'87〈インスタレーション＋ビデオ・アート＋パフォーミング・アート〉図録 ●

栃木県立美術館　1987 年 2 月

あいさつ（栃木県立美術館） p.5

日常の場としての美術と、公立美術館（竹山博彦） pp.6-7

応募状況　p.8

図版〔作品データ、略歴、制作意図、図版〕

制作意図（Rosemary ABRAM、Stan ANDERSON、伊藤タダオ、伊東敏光、井上正一、江上弘、江森清、逢坂卓郎、大塚由美子、勝野正則、加藤アキラ、菊地克典、北原充成、國安孝昌、剣持和夫、殿敷侃、富岡知子、長尾浩幸、奈部雅昭、西成田洋子、福田篤夫、藤浩志、藤木正則、真島明子、松本幹永、柳幸典、吉井秀文、稲垣貴士、岩本宇司、越後谷卓司、Peter CALLAS、土佐尚子、米島竜雄、内田房江＋岩崎真、大山麻里、小林三千夫、竹屋啓子＋竹屋啓子コンテンポラリー ダンスカンパニー、森本浩正＋天利道子）

インスタレーション　pp.9-68

ビデオ・アート　pp.69-83

パフォーミング・アート　pp.85-95

アート ドキュメントの審査に加わって……。（安齊重男） pp.96-97

「淡島さん」から「不可視の空間」へ（田中幸人） pp.98-99

審査に参加して（南條史生） pp.100-101

アート ドキュメントの審査に関わった、或る美術史家のメモ（若桑みどり） pp.102-103
出品目録 pp.104-105
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART DOCUMENT ’87 INSTALLATION＋VIDEO＋PERFORMANCE」
会期：1987 年 2 月 22 日－3 月 29 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：合田容子、Rosemary ABRAM、Stan ANDERSON、伊藤タダオ、伊東敏光、井上正一、江上弘、江森清、逢坂卓郎、大塚由美子、勝野正則、加藤アキラ、菊地克典、北原充成、國安孝昌、剣持和夫、土屋穰、殿敷侃、富岡知子、長尾浩幸、奈部雅昭、西成田洋子、福田篤夫、藤浩志、藤木正則、真島明子、松本幹永、柳幸典、吉井秀文、李岡熙、稲垣貴士、岩本宇司、越後谷卓司、Peter CALLAS、土佐尚子、米島竜雄、内田房江＋岩崎真、大山麻里、小林三千夫、竹屋啓子＋竹屋啓子コンテンポラリー ダンスカンパニー、森本浩正＋天利道子〔出品目録順〕

アート・ナウ ’87 ●
兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1987 年 2 月 28 日　兵美特展図録 No.101
あいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社） p.2　英文併載
カタログ〔出品者一覧、図版、作家略歴、作家のことば〕 pp.3-23
〔作家のことば〕（稲垣敦雄、大塚由美子、片山雅史、川島慶樹、サイモン・ポール・フィッツジェラルド、佐藤智子、柴野幸仁、田嶋悦子、田中美和、田仲容子、津田晃良、堤展子、都築房子、長野久人、松尾直樹、山口和美、小野和則、菊池孝、道北英治〔2 行〕）
アート・ナウ’87 出品目録　pp.24-25, 26-27　英文併載
ARTISTS' BIOGRAPHIES　pp.28-29
「アート・ナウ」の新しい出発――展覧会運営のこれまでの経過　pp.30-31
展覧会委員、アート・ナウ’87 選考委員　p.31
既出品者名　pp.32-35
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART NOW ’87」
会期：1987 年 2 月 28 日－3 月 22 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社
展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者側)金井元彦、野口富生
アート・ナウ’87 選考委員：赤根和生、井上明彦、乾由明、木村重信、篠原資明、高橋亨、福永重樹、村田慶之輔、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫
出品：稲垣敦雄、大塚由美子、片山雅史、川島慶樹、サイモン・ポール・フィッツジェラルド、佐藤智子、柴野幸仁、田嶋悦子、田中美和、田仲容子、津田晃良、堤展子、都築房子、長野久人、松尾直樹、山口和美。特別陳列；小野和則、菊池孝、道北英治〔出品目録順〕

現代の陶芸 III いま、やきもの色に心ときめくか ●

山口県立美術館　1987 年 3 月 22 日
ごあいさつ（山口県立美術館）　p.3
図版〔図版、メッセージ〕　pp.5-32
　メッセージ（井上雅之、金子潤、佐々木成、土門邦勝）
展覧会ノート〈いま、やきもの色に心ときめくか〉（榎本徹）　pp.33-37
出品目録　pp.38-39
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「CLAY WORK NOW III ’87 YAMAGUCHI」
会期：1987 年 2 月 28 日－3 月 22 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：井上雅之、金子潤、佐々木成、土門邦勝〔出品目録順〕

ねりまの美術’87 ●
練馬区立美術館　1987 年 3 月　第 1 回展
ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.5
「ねりまの美術’87」展組織委員会　p.6
図版　pp.7-108
作家略歴　pp.110-114
出品目録　pp.115-120
編集後記（根崎光男）　p.121
所蔵：□、国新美、東文研、神近美、愛芸文、東大駒、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1987 年 3 月 1 日－22 日　練馬区立美術館　組織委員：裾分一弘、桑原住雄、針生一郎、本間正義、三木多聞、主催：練馬区立美術館
出品：深沢紅子、鳥居敏文、三坂耿一郎、斎藤長三、杢田たけを、分部順治、斎藤正夫、千野茂、鈴木登良次、倉石隆、松木重雄、滝瀬源一、川村浩章、木内岬、野見山暁治、宮城音蔵、白根光夫、佐藤照雄、中谷貞彦、池田龍雄、高橋圀夫、田中繁一、加賀谷武、中村宏、近藤竜男、篠崎明雄、本田晴彦、青木野枝〔出品目録順〕

第 7 回ハラ アニュアル ●
アルカンシェール美術財団　1987 年 3 月 21 日　主に英文併載
ごあいさつ（館長原俊夫）
第 7 回ハラ アニュアル展によせて（針生一郎）
出品作家〔一覧〕
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　18p.
　〔作家のことば〕（伊島薫、出射茂、江上弘、遠藤利克、片山雅史、田中敬一、土屋公雄、広田美穂、古郷秀一）　和文
出品リスト
これまでのハラ アニュアル展記録

註：キュレーターは金澤毅。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 7」

会期：1987 年 3 月 21 日－5 月 10 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

出品：伊島薫、出射茂、江上弘、遠藤利克、片山雅史、田中敬一、土屋公雄、広田美穂、古郷秀一、百瀬寿〔出品リスト順〕

現代絵画の展望－平面と空間〈第 18 回現代日本美術展・企画部門〉●

日本国際美術振興会・毎日新聞社　1987 年 4 月

はじめに（主催者）　p.5

現代日本美術展・企画部門の新設によせて（新田秀樹）　pp.9-11

図版〔作家略歴、作家のことば〕　pp.13-76

〔作家のことば〕（山田正亮〔再録〕、桑山忠明、李禹煥、榎倉康二、辰野登恵子、朝比奈逸人、根岸芳郎、野田裕示）

出品目録　pp.77-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館公募展示棟　主催：日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社／6 月 3 日－14 日　京都市美術館　主催：京都市・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社／7 月 1 日－26 日　北九州市立美術館　主催：北九州市教育委員会・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社／8 月 1 日－30 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・毎日新聞社

出品：山田正亮、桑山忠明、李禹煥、榎倉康二、辰野登恵子、朝比奈逸人、根岸芳郎、野田裕示〔出品目録順〕

ポスター日本〈グラフィックデザインの確立と展開〉図録 ●

練馬区立美術館　1987 年 4 月

ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.3

ポスターと絵画（阿部公正）　pp.4-5

系譜・日本のグラフィック・デザイン（高見堅太郎）　pp.6-8

図版〔図版、コメント〕　pp.9-96

コメント（高見堅太郎、内田広由紀）

出品目録　pp.97-107

出品作家一覧表　pp.108-109

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 4 月 29 日－6 月 7 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：ポスターの歴史；近江匡、上田健一、猪熊弦一郎、早川良雄、伊藤憲治、今竹七郎、重成基、山城隆一、亀倉雄策、大橋正、河野鷹思、原弘、粟津潔＋細谷巌、勝井三雄、田中一光、杉浦康平、和田誠。今日のポスター；青葉益輝、浅葉克己、粟津潔、伊坂芳太良、草刈順、石岡瑛子、成瀬京子＋乾京子、伊藤憲治(重)、植松国臣、宇野亜喜良、及川正通、大橋正(重)、片山利弘、勝井三雄(重)、上條喬久、亀倉雄策(重)、河村要助、木村恒久、国東照幸、合田佐和子、河野鷹思(重)、杉浦康平(重)、田名網敬一、田中一光(重)、永井一正、長友啓典、土屋直久、中村誠、中村誠＋福田繁雄、灘本唯人、早川良雄(重)、原弘(重)、福田繁雄、細谷巌、増田正、力石行男、鈴木清二、山城隆一(重)、湯村輝彦、横尾忠則、和田誠(重)〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家(アートディレクター、デザイナー、イラストレーター)を収載。

〔つかしんアニュアル〕オブジェ――逸脱する物質 ●

つかしんホール　1987 年 5 月　つかしんアニュアル第 2 回展

ごあいさつ（西武美術館）　p.3

逸脱する物質（建畠哲）　pp.5-9

図版〔作家略歴、作家解説、図版〕　pp.10-51

〔作家解説〕（鍵岡正謹、建畠哲）

ものたちとの距離 あとがきに代えて（鍵岡正謹）　p.52

出品リスト　pp.53-55

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「OBJET」

会期：1987 年 5 月 9 日－27 日　尼崎・つかしんホール　ゲスト・キュレーター：建畠哲、主催：西武美術館

出品：赤瀬川原平、小野和則、菊畑茂久馬、北辻良央、草間彌生、工藤哲巳、菅野由美子、瀧口修造、田窪恭治、田中敦子、ティム里美、中西夏之、西雅秋、松井紫朗、三木富雄、三島喜美代、宮崎豊治、村岡三郎、吉野辰海、吉村益信、若林奮〔出品リスト順〕

山口の現代美術 IV 今日の立体〈素材・構造・イメージ〉 ●

山口県立美術館　1987 年 5 月

ごあいさつ（山口県立美術館）　p.3

図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕　pp.4-48

〔作家のことば〕（橘田尚之、小泉俊己、竹田康宏、中西學、中原浩大、松井紫朗）

トランス・アート装置（篠原資明）　pp.49-53

差異のなかに（高田美規雄）　pp.54-57

出品目録　pp.58, 59　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1987 年 5 月 19 日－6 月 14 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：橘田尚之、小泉俊己、竹田康宏、中西學、中原浩大、松井紫朗〔出品目録順〕

「4-G.D」展〈ポスターとマーク〉図録　編集協力・富山県立近代美術館 ●
読売新聞社・美術館連絡協議会　1987 年 5 月
あいさつ（主催者）　p.7
「4-G.D」の企画によせて（小川正隆）　pp.8-10
図版〔作家のことば、図版、作家論〕　pp.11-154
〔作家のことば〕（亀倉雄策、田中一光、永井一正、福田繁雄）
〔作家論〕（大倉宏、林紀一郎、片岸昭二、三上満良）
出品リスト　pp.156-163
年表（片岸昭二編）　pp.164-189
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Exhibition：4-G.D」
会期：1987 年 5 月 23 日－6 月 21 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・北日本放送・美術館連絡協議会／6 月 26 日－7 月 14 日　大阪・ナビオ美術館　主催：読売新聞大阪本社・読売テレビ放送・美術館連絡協議会／8 月 28 日－9 月 2 日　銀座・松屋　主催：読売新聞社・美術館連絡協議会／9 月 11 日－10 月 11 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／12 月 5 日－1988 年 1 月 31 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・読売新聞社・ミヤギテレビ・美術館連絡協議会／2 月 11 日－3 月 21 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館・読売新聞西部本社・KRY 山口放送・美術館連絡協議会
出品：亀倉雄策、田中一光、永井一正、福田繁雄〔出品リスト順〕

現代のイコン〈かみとひとともののときのなかに〉 ●
埼玉県立近代美術館　1987 年 6 月　英文併載
はじめに（埼玉県立近代美術館）　pp.6, 7　英文併載
出品作家一覧　pp.8-9　英文併載
変容する〈イコン〉（多木浩二）　pp.10-12, 13-15　英文併載
図版　pp.17-108
作品“GEOCHEMISTRY”と「かみ」（横尾忠則）　pp.42, 43　英文併載
影のシリーズについて〈いまの時点から〉（高松次郎）　pp.75, 76　英文併載
エピタフ II（遠藤利克）　pp.94, 95
〔ことば〕（河原温）　p.104　英文
作家略歴　pp.110-136
出品リスト　pp.137-146
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項

欧文タイトル：「Icons in Contemporary Art」
会期：1987 年 6 月 13 日－8 月 2 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：秋元雄史、荒川修作、荒木高子、石原友明、一原有徳、岩井俊雄、因藤壽、上村次敏、魚田元生、栄久庵憲司、遠藤利克、小作青史、小澤喜、小山田二郎、香月泰男、金子國義、鴨居玲、河原温、木村賢太郎、木村直道、鯉江良二、小林正人、サイトウマコト、櫻井宏哉、島根紹、鈴木久雄、髙崎正治、高松次郎、田窪恭治、辻晋堂、寺田真由美、長澤英俊、中西夏之、深井隆、福沢一郎、古郡弘、星野真吾、星野美智子、本郷新、前田常作、松本雅之、三尾公三、三上誠、宮本隆司、村上華岳、村上善男、李田たけを、八木一夫、山下菊二、横尾忠則、吉江庄蔵、淀井敏夫、渡辺明〔出品作家一覧順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

もの派とポストもの派の展開〈1969 年以降の日本の美術〉●
多摩美術大学・西武美術館　1987 年 6 月
ごあいさつ（学長後藤狷士）　p.7
ごあいさつ（館長紀国憲一）　p.7
もの派とポストもの派の展開－関係者の随想（東野芳明）　pp.10-13, 188-189　英文併載
もの派はどこまで超えられたか（峯村敏明）　pp.14-24, 190-194　英文併載
図版〔作家解説、略歴、図版〕　pp.25-135
　作家解説（森司、清水哲朗、塩崎有隆、荻原佐和子、難波英夫、岡しげみ.）
作品リスト　pp.137-143
もの派・再制作手控え（森口陽）　pp.144-146, 195-196　英文併載
主要参考文献　pp.147-155
年譜　pp.156-168
同時代の発言（峯村敏明編）　pp.169-187　再録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art in Japan since 1969／MONO-HA and POST MONO-HA」
会期：1987 年 6 月 26 日－7 月 19 日　池袋・西武美術館 主催：多摩美術大学・西武美術館
出品：関根伸夫、李禹煥、菅木志雄、小清水漸、吉田克朗、成田克彦、山中信夫、北辻良央、田窪恭治、諏訪直樹、戸谷成雄、海老塚耕一、川俣正、岡崎乾二郎、吉澤美香、平林薫、加茂博、深井隆、矢野美智子、遠藤利克、黒川弘毅、前本彰子〔作品リスト順〕

第 3 回富山国際現代美術展 ●
富山県立近代美術館　1987 年 7 月　主に英文併載
あいさつ（富山県立近代美術館）　p.5
TOYAMA NOW の新しい前進のために（小川正隆）　pp.8-10, 11-12
図版　pp.13-35
カナダ・セクション　pp.37-58

大韓民国・セクション　pp.59-78
アメリカ・セクション　pp.79-102
日本セクション〔論考、作家のことば、図版〕　pp.103-127
太平洋圏に新しい波を〈日本セクションのコミッショナーとして〉（小川正隆）p.104
日本の現代美術と 6 人の作家（大坪健二）　pp.105-107, 107-109
〔作家のことば〕（原口典之、堀浩哉、眞板雅文、柏原えつとむ、木村光佑、鴫剛）
出品目録　pp.128-133
作家略歴　pp.134-142, 143-151
第 3 回富山国際現代美術展 連続イベント・講演会「富山発：もうひとつの発言」　p.152
富山国際現代美術展のあゆみ　pp.154, 155
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’87　NEW ART AROUND THE PACIFIC」
会期：1987 年 7 月 4 日－9 月 3 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
出品：日本セクション；原口典之、堀浩哉、眞板雅文、柏原えつとむ、木村光佑、鴫剛〔出品目録順〕
註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

第 6 回平行芸術展 彫刻の夢と現実 ●
財団法人小原流　1987 年 7 月　1 枚(両面刷)
モルペウスの芸術をたたえて（峯村敏明）
〔作家のことば〕（小野初代、笠原たけし、高橋裕二、中原浩大、橋本夏夫、山口奉宏、山本かず子）
図版〔図版、作家略歴〕　7 図
所蔵：□、和光大
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1987 年 7 月 21 日－31 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流
出品：小野初代、笠原たけし、高橋裕二、中原浩大、橋本夏夫、山口奉宏、山本かず子〔図版収載順〕

NEW TRENDS　世田谷の新世代 ●
世田谷美術館　1987 年 8 月
ごあいさつ（世田谷美術館）
ノート：世田谷の新世代、あるいは今日の美術館の役割について（塩田純一）
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕16p.
〔作家のことば〕（荒敦子、舟越直木、ヒグマ春夫、小泉俊己、西村博美、重吉克隆、高橋淑人、吉澤美香）
出品リスト

註：編集は塩田純一、石井幸彦。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

会期：1987 年 8 月 1 日－31 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：荒敦子、舟越直木、ヒグマ春夫、小泉俊己、西村博美、重吉克隆、高橋淑人、吉澤美香〔出品リスト順〕

北の創造者たち'87 木の造形 5 人展 ●

札幌芸術の森　1987 年 8 月　〔第 1 回展〕

大地の息吹き、その力感と精神性〈「北の創造者たち'87 －木の造形 5 人展」〉に寄せて（竹岡和田男）

図版〔作家略歴、図版〕 20p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 8 月 22 日－10 月 4 日　札幌・芸術の森センター・アートロビー　主催：札幌芸術の森・「北の創造者たち'87」実行委員会

出品：高橋昭五郎、中江紀洋、二部黎、松井茂樹、松隈康夫〔図版収載順〕

日本の現代版画 1 三人の銅版画家展〈長谷川潔／浜口陽三／駒井哲郎〉●

町田市立国際版画美術館　1987 年 9 月　主に英文併載

開催にあたって（館長久保貞次郎） pp.6, 7

本展開催を前にして（河野実） pp.8-10, 11-14

図版　pp.17-136

長谷川潔の芸術（島田康寛） pp.34-36, 37-39

一枚の作品から（河野実） pp.68-70, 71-73

駒井哲郎〈垣間見る玩具箱の世界とパイオニア精神〉（河合晴生） pp.102-104, 105-108

長谷川潔／浜口陽三／駒井哲郎 年譜と文献（中島理壽編） pp.137-145, 146-153, 154-160 和文

出品目録　pp.161-166

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「20th Century Japanese Prints (1)　Kiyoshi Hasegawa, Yōzō Hamaguchi, Tetsurō Komai」

会期：1987 年 9 月 12 日－10 月 18 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：長谷川潔、浜口陽三、駒井哲郎〔出品目録順〕

ART TODAY 1987「趣味の社会への平手打ち」　軽井沢高輪美術館・西武美術館編 ●

軽井沢高輪美術館　1987 年 9 月

序――「趣味の社会への平手打ち」から（高輪美術館・西武美術館） pp.4-5
独自のかたちを作ろうとする行為（岡田隆彦） pp.6-8
趣味の社会への平手打ち（三浦雅士） pp.9-11
図版〔略歴、作家論、図版〕 pp.12-43
中村一美 変位する空間（中村麗）
岡崎乾二郎 視線の変遷（清水哲朗）
遠藤利克 原初的 image へ（塩崎有隆）
吉原悠博 うなりのハコ、ひかりのなかで（新見隆）
作品リスト p.44
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART TODAY 1987：A SLAP IN THE FACE OF TASTEFUL PUBLIC」
会期：1987 年 9 月 12 日－11 月 3 日 軽井沢高輪美術館 主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館
出品：中村一美、岡崎乾二郎、遠藤利克、吉原悠博〔作品リスト順〕

流動する美術－I 発熱する表面 ●
福岡市美術館 1987 年 9 月 自主企画展
ごあいさつ（福岡市美術館） pp.2, 3 英文併載
外部と浸透しあう表面は発熱するか?（黒田雷児） pp.4-6
図版 pp.7-14
〔作家略歴、作家のことば〕 pp.15-17
〔作家のことば〕（高見澤文雄、中村功、中村一美）
出品リスト p.18
参考文献 p.19
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART IN FLUX－I Fererring Surface」
会期：1987 年 9 月 15 日－11 月 1 日 福岡市美術館 主催：福岡市美術館
出品：高見澤文雄、中村功、中村一美〔出品リスト順〕

絵画 1977－1987〈開館 10 周年記念〉●
国立国際美術館 1987 年 10 月 3 日
所蔵者一覧 p.4
あいさつ（国立国際美術館） p.5 英文併載
序（中村敬治） pp.6-8, 9-11 英文併載
図版 pp.13-52
カタログ〔作家略歴、参考文献、作品リスト、図版〕 pp.53-129 英文併載
絵画空間における「揺らぎ」（尾野正晴） pp.130-133

遡行と生成（建畠哲） pp.134-137
資料
年表「絵画 1977－1987」 pp.139-142 英文併載
アンソロジー「絵画論 1977－1987」 pp.143-165 再録
絵画の遍歴（峯村敏明）、絵画の問題（藤枝晃雄）、北九州レクチャー（フランク・ステラ）、イメージはいつも傷ついている（本江邦夫）、多義的な表面（尾野正晴）
作家索引 p.166
所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Tenth Anniversary Exhibition / PAINTING 1977－1987」
会期：1987 年 10 月 3 日－12 月 6 日 吹田市・国立国際美術館 主催：国立国際美術館
出品：荒瀬景敏、菊畑茂久馬、桑山忠明、関口敦仁、田窪恭治、辰野登恵子、中里斉、中原浩大、根岸芳郎、彦坂尚嘉、堀浩哉、松尾直樹、松本陽子、山田正亮、山本富章、横溝秀実、吉本作次、依田寿久、李禹煥、ジェニファー・バートレット、ジョナサン・ボロフスキー、サンドロ・キア、フランチェスコ・クレメンテ、チェマ・コボ、エンツォ・クッキ、ジム・ダイン、ブライス・マーデン、アグネス・マーチン、ロバート・モリス、A・R・ペンク、ゲルハルト・リヒター、スーザン・ローゼンバーグ、ロバート・ライマン、ザロメ、ジュリアン・シュナベール、ホセ・マリア・シチーリア、フランク・ステラ、サイ・トゥオンブリー
〔作家索引順〕

布のかたち 糸のかたち ●
東京都美術館 1987 年 10 月 3 日 別冊共 2 冊 特別展図録第 18 号
ごあいさつ（東京都美術館）p.5 英文併載
今日のファイバーワーク〈布と糸の造形〉（真室佳武） pp.6-8
布のかたち 糸のかたち（熊谷伊佐子） pp.9-12
図版 pp.13-28
カタログ〔作家略歴、図版〕 pp.29-85
出品作品リスト pp.86-93
本展関係年表 pp.94-97
参考文献（金子寛編） pp.98-108
□別冊〔全 20 ページ〕
図版 14p.
出品作品リスト
〔作品配置図〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「FABRIC IN SPACE」
会期：1987 年 10 月 3 日－11 月 29 日 東京都美術館企画展示室 主催：東京都美術館

出品：高木敏子、濱谷明夫、吉村正郎、堀内紀子、中川真木、末光泰彦、榛葉莟子、小林正和、古江尚子、車李南、徳重恵美子、植松奎二、田中秀穂、庄司達〔出品作品リスト順〕

特別展 松濤美術館 現代の版画 1987 ●

渋谷区立松濤美術館　1987 年 10 月

あいさつ（渋谷区立松濤美術館） p.5

版画の現在（藤井久栄） pp.7-11

「現代の版画 1987」について（瀬尾典昭） pp.12-13

図版〔作家略歴、作家本人のコメント、図版〕 pp.15-93

〔作家本人のコメント〕（東谷武美、安東菜々、井田照一〔再録〕、柄澤齊、河内セイコー、木村光佑、木村秀樹、清塚紀子、久保卓治、黒崎彰、小林敬生、坂爪厚生、園山晴巳、中林忠良、野田哲也、橋本文良、浜西勝則、森岡完介、森野眞弓、山崎秀男、山中現、綿引明浩）

総目録　pp.94-95

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 10 月 13 日－11 月 23 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：東谷武美、安東菜々、井田照一、柄澤齊、河内セイコー〔成幸〕、木村光佑、木村秀樹、清塚紀子、久保卓治、黒崎彰、小林敬生、坂爪厚生、園山晴巳、中林忠良、野田哲也、橋本文良、浜西勝則、森岡完介、森野眞弓、山崎秀男、山中現、綿引明浩〔総目録順〕

「現代東北美術の状況展・II」図録 ●

福島県立美術館　1987 年 10 月 17 日

ごあいさつ（福島県立美術館） p.3

時と人の風景から（二階堂充） pp.6-9

資料「開館記念展第 3 部 現代東北美術の状況展」概要　p.10

図版　pp.11-59

〔作家略歴、作家のことば〕 pp.60-104

〔作家のことば〕（工藤甲人、今野忠一、佐々木裕久、信太金昌、荘司福、能島和明、松本栄、柏健、加藤貞子、斉藤昇、佐々木健治、佐々木良三、佐藤柳逸、菅野矢一、瀬川明甫、高橋幸彦、田口安男、玉川信一、針生鎮郎、前田春治、松田松雄、渡辺豊重、天野邦弘、大宮政郎、ゴトウ・シュウ、小松章三、豊島弘尚、山中現、阿部米蔵、遠藤洪平六、小野忠弘、北郷悟、工藤哲巳、菅木志雄、高橋枡旺、高山登、富樫実、西山勇三、林範親、舟越桂、峯田敏郎）

出品目録　pp.105-107

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 10 月 17 日－11 月 23 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：工藤甲人、小泉智英、小松均、今野忠一、佐々木裕久、信太金昌、荘司福、能島和明、松本栄、今川和男、柏健、加藤貞子、斉藤昇、佐々木健治、佐々木良三、佐藤柳逸、菅野矢一、瀬川明甫、高橋幸彦、田口安男、玉川信一、針生鎮郎、前田春治、松田松雄、渡辺豊重、天野邦弘、大宮政郎、ゴトウ・シュウ、小松章三、豊島弘尚、百瀬寿、山中現、阿部米蔵、遠藤洪平六、小野忠弘、北郷悟、工藤哲巳、菅木志雄、高橋枡旺、高山登、富樫実、西山勇三、林範親、舟越桂、峯田敏郎〔出品目録順〕

わが国の現代絵画〈前衛への視点から〉●

熊本県立美術館　1987 年 10 月

ごあいさつ（館長外村次郎）　p.3

「場」としての絵画――現代美術における平面形式（村上哲）　pp.6-12

図版　pp.13-28

カタログ〔作家解説、参考文献、出品目録、図版〕　pp.29-105

年表 1945－1985――本展出品作家を中心に　pp.107-149

会場：熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「PAINTINGS IN JAPANESE CONTEMPORARY ART from the Viewpoint for ‘Avant-garde’」

会期：1987 年 10 月 21 日－11 月 23 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社

出品：村井正誠、瑛九、阿部展也、麻生三郎、池田満寿夫、中谷泰、山口長男、岡本太郎、利根山光人、元永定正、今井俊満、斎藤義重、岡田謙三、菅井汲、オノサト・トシノブ、坂本善三、小野木学、田中稔之、高橋秀、草間彌生、加納光於、桑山忠明、楠本正明、近藤竜男、李禹煥、河原温、高松次郎、荒川修作、村上善男、宇佐美圭司、井川惺亮、上田薫〔図版収載順〕

今日の作家’87 展カタログ　　横浜市民ギャラリー編 ●

横浜市・横浜市教育委員会　1987 年 11 月　第 23 回今日の作家展〔[位相] 展〈素材・絵画・黙示による〉〕

現代美術とは何か（横浜市民ギャラリー）

1 素材が作品になる処（千葉成夫）

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　16p.

〔作家のことば〕（豊平ヨシオ、國安孝昌、能勢孝二郎）

2 アモルファス「非晶質」’87――絵画の場合（たにあらた）

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　12p.

〔作家のことば〕（小田中康浩、坂口登、芝章文、中村一美）

3 現代美術の黙示録 II（日夏露彦）

図版〔作家略歴、作者のことば、図版〕　16p.

〔作家のことば〕（矢嶋美枝子、菅野由美子）

今日の作家展 出品作家リスト(1964 年～1986 年)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、都中図

○展覧会事項

展名：第 23 回今日の作家［位相］展〈素材・絵画・黙示による〉

欧文タイトル：「The 23rd 'Artists Today' Exhibition : Phases / Material, Tableau and Apocalypserd」

会期：1987 年 11 月 19 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：千葉成夫・たにあらた・日夏露彦、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：豊平ヨシオ、國安孝昌、能勢孝二郎、小田中康浩、坂口登、芝章文、中村一美、矢嶋美枝子、中川政昭、辻けい、菅野由美子〔図版収載順〕

第 21 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕 1987 年 11 月

〔現代美術選抜展〕（無署名） p.2

図版　pp.3-36

第 21 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉 pp.37-50

第 21 回現代美術選抜展開催要項　p.51

出品団体・出品点数一覧　p.51

〔出品団体系図〕 p.52

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1987 年 11 月 21 日－12 月 6 日　藤沢市民ギャラリー　主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会／愛知展；1988 年 1 月 6 日－24 日　豊橋市美術博物館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社／青森展；1 月 30 日－2 月 21 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館

出品：日本画；佐々木裕久、中路融人。洋画；後藤よ志子、馬場彬。版画；東谷武美、原健。彫刻；雨宮敬子〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

現代美術になった写真 ●

栃木県立美術館　1987 年 12 月　主に英文併載

あいさつ（栃木県立美術館） p.5

アートメディアとしての写真（山本和弘） pp.9-15, 16-20

Progressive Wing　英文併載

図版〔図版、作家略歴〕 pp.21-75

Retrospective Wing

〔ことば〕p.3

断想・山中信夫〈ロビンソン夫人の秘部は見えるか〉（東野芳明） pp.5-7, 8-9　英文併載

山中信夫／ピンホールが開示した世界（たにあらた） pp.11-21, 22-29 英文併載
ピンホールの思索者 山中信夫〈その作品に即して〉（山本和弘） pp.31-35, 36-39 英文併載
図版 pp.40-54
山中信夫全作品目録（山本和弘編、高見澤文雄、堀浩哉、正木基・協力） pp.55-101
山中信夫の言葉より pp.102-103
山中信夫年譜（山本和弘・堀浩哉編、正木基・協力） pp.104-113
Nobuo Yamanaka Biography p.114
山中信夫文献 pp.115-117
出品リスト pp.195-203
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「PHOTOGRAPHIC ASPECT OF JAPANESE ART TODAY」
会期：1987 年 12 月 20 日－1988 年 1 月 31 日 宇都宮・栃木県立美術館 主催：栃木県立美術館
出品：Progressive Wing；畦地拓治、石原友明、伊藤義彦、五井毅彦、小本章、小山穂太郎、中川政昭、永原ゆり、野村仁、服部冬樹、ティム・マクミラン、村上慎二、森村泰昌、山崎博。Retrospective Wing；山中信夫〔出品リスト順〕

1988（昭和 63）年
第 2 回神奈川アート・アニュアル ●
神奈川県立県民ホール 1988 年 1 月 20 日
あいさつ（神奈川県立県民ホール） p.1 英文併載
図版〔作家略歴、図版〕 pp.2-11 英文併載
無重力状況を浮遊する作家たちの探求（針生一郎） pp.12-14
出品目録 pp.15-16
〔第 1 回神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕 p.16
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE 2ND KANAGAWA ART ANNUAL」
会期：1988 年 1 月 20 日－31 日 横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー 選考委員：斎藤義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール
出品：青木敦、青木恵子、大北利根子、勝又豊子、白岩繁夫、津田佳紀、中上清、マダン ラル、宮前正樹、吉川陽一郎〔出品目録順〕
アート・ナウ ’88 ●
兵庫県立近代美術館・朝日新聞社 1988 年 2 月 20 日 兵美特展図録 No.101
あいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社） p.2 英文併載
カタログ〔出品者一覧、図版、作家略歴〕 pp.3-23

アート・ナウ’88 出品目録　pp.24-25, 26-27　英文併載
ARTISTS' BIOGRAPHIES　pp.28-29
「アート・ナウ」の新しい出発――展覧会運営のこれまでの経過　pp.30-31
展覧会委員、アート・ナウ’88 選考委員　p.31
既出品者名　pp.32-35
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART NOW ’88」
会期：1988 年 2 月 20 日－3 月 21 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社
展覧会委員：赤根和生、乾由明、小倉忠夫、木村重信、高橋亨、原田平作、村松寛、増田洋、吉村良夫、(主催者側) 金井元彦、野口富生
アート・ナウ’88 選考委員：赤根和生、井上明彦、乾由明、木村重信、篠原資明、高橋亨、福永重樹、村田慶之輔、吉村良夫、中島徳博、山脇一夫
出品：秋岡美帆、岩本宇司、岡田武、小田中康浩、橿尾正次、河﨑晃一、桐原淳行、久野利博、杉浦隆夫、杉浦美佐緒、田中千世子、中路規夫、中村未知生、長尾浩幸、永原ゆり、森村泰昌、横山栄一。特別陳列；片山雅史、川島慶樹、都築房子〔出品目録順〕

「美術史探索學入門 美術館時代が掘り起こした作家達」展 ●
目黒区美術館　1988 年 2 月
ごあいさつ（館長加藤貞雄）　p.3
美術史の厚みと美術館のネットワーク（正木基）　pp.5-8
図版〔作家解説、略年譜、参考文献、図版、著述文献再録〕　pp.9-158
〔作家解説、略年譜、参考文献〕（正田みどり、山田敦雄、中塚宏行、後小路雅弘、山本和弘）
出品目録　pp.159-160
現代美術としての映像表現・篇　pp.161-175
現代美術としての映像表現（正木基）
現代美術としての映像表現略年譜（正木基編）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1988 年 2 月 27 日－3 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
出品：香田勝太、手塚一夫、山口正城、藤野一友、山中信夫。現代美術としての映像表現・篇；安土修三(ガリバー)、池田龍雄、今井祝雄、植村義夫、榎倉康二、郭徳俊、加藤好弘、河口龍夫、北辻良央、庄司達、菅木志雄、高木修、高橋雅之、高山登、長重之、中山正樹、野村仁、八田淳、羽生真、藤井博、松澤宥、松本正司、水上旬、宮﨑豊治、村岡三郎、森口宏一、米津茂英、渡辺哲也、和田宏弘。特別出品；高島直之。追加出品；藤原和通〔図版収載

順〕

’88 富山の美術 図録 ●

富山県立近代美術館　1988 年 3 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

驀進せよ! 現代美術の牽引車「’88 富山の美術」によせて（小川正隆）　pp.4-5

可能性の発掘「富山の美術」の存在意義（梅沢直正）　p.6

「富山の美術」にふれて〈新しい美の創造と高揚〉（朝倉吉彦）　p.7

「富山の美術」4 回の経過から（久泉迪雄）　pp.8-9

図版　pp.10-71

出品作家／略歴と言葉　pp.72-79

言葉（安達博文、尼野和三、上田和則、円戸智江、尾長良範、加賀谷武、木下晋、清河恵美、頭川政始、鶴谷登、時女信子、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉、久谷蔦枝、谷口義人、富山省三、南部治夫、東山秀誠、吉江庄蔵、米林雄一）

出品目録　pp.80-81

「’88 富山の美術」出品作品にふれて（島敦彦）　pp.82-83

富山の美術／出品者一覧　p.84

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 3 月 12 日－4 月 10 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：安達博文、尼野和三、上田和則、円戸智江、尾長良範、加賀谷武、木下晋、清河恵美、頭川政始、鶴谷登、時女信子、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉、久谷蔦枝、谷口義人、富山省三、南部治夫、東山秀誠、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

第 8 回ハラ アニュアル ●

アルカンシェール美術財団　1988 年 3 月 12 日　主に英文併載

ごあいさつ（館長原俊夫）

第 8 回ハラ アニュアルによせて（金澤毅）

出品作家〔一覧〕

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　20p.

〔作家のことば〕（内海信彦、笠原恵実子、神山明〔2 行〕、櫻井宏哉、柴田耕作、島田忠幸、鈴木省三、真木智子、宮島達男）　和文

出品リスト

これまでのハラ アニュアル展記録

註：キュレーターは金澤毅。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「HARA ANNUAL 8」

会期：1988 年 3 月 12 日－5 月 8 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

出品：池村玲子、内海信彦、笠原恵実子、神山明、櫻井宏哉、柴田耕作、島田忠幸、鈴木省三、真木智子、宮島達男〔出品リスト順〕

POLYCROSS ART ’88 多極交叉芸術祭 ●

〔高知県立郷土文化会館〕　1988 年 3 月　〔第 1 回展〕

図版〔作家略歴、図版〕　28p.

所蔵：□、国新美、東大駒、神近美、横浜美、愛芸文

〇展覧会事項

欧文タイトル：「POLYCROSS ART ’88」

会期：1988 年 3 月 17 日－31 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知県立郷土文化会館・高知市文化振興事業団

出品：稲垣貴士、小清水漸、中西圭子、高原洋一、岸田龍平、黒田敬子、斎藤俊徳、鈴木たかし、真木智子、原田文明、浅山仁、遠藤貢治、佐藤 CAN、塩田昌樹、辻野榮一、林厚良、吉田尚行、上田祐嗣、小原典子、門田修充、高崎元尚、玉造義隆、都築房子、中川和幸、浜田憲司郎、藤崎幸雄、山崎道、横谷研二〔図版収載順〕

シガ・アニュアル’88 陶・生まれ変わる造形 ●

滋賀県立近代美術館　1988 年 4 月

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）　英文併載

陶・生まれ変わる造形（桑山俊道）

出品リスト

カラー図版　10p.

作家紹介・モノクロ図版〔作家のことば、作家歴、図版〕　68p.

〔作家のことば〕（秋山陽、井上雅之、奥田博土、笠原由起子、堤展子、中村康平、松井利夫、松本ヒデオ）

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL’88 CLAY WORK THE REPRO-ACTION OF FORM」

会期：1988 年 4 月 9 日－5 月 15 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：秋山陽、井上雅之、奥田博土、笠原由起子、堤展子、中村康平、松井利夫、松本ヒデオ〔出品リスト順〕

日本のルポルタージュ・アート展〈絵描きがとらえたシャッター・チャンス〉 ●

板橋区立美術館　1988 年 5 月　特別展

ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3

図版〔図版、章解説〕　pp.5-70

〔章解説〕（尾﨑眞人）

作家略歴　pp.71-75

歴史・記録・記憶〈国家の歴史と個人の記憶のあいだで〉（尾﨑眞人）pp.76-77

出品目録　pp.78-80

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「REPORTAGE ART in JAPAN」

会期：1988 年 5 月 14 日－6 月 12 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：中村宏、池田龍雄、利根山光人、井上長三郎、尾藤豊、桂川寛、村上善男〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の作家のみ収載。

瑛九とその仲間たち展 ●

町田市立国際版画美術館　1988 年 5 月

ごあいさつ（町田市立国際版画美術館）

瑛九とその仲間たち（久保貞次郎）　再録

瑛九と銅版画（荒川幸枝）

図版　82p.

I 略歴、II 1950 年代美術――熱き人びとの一軌跡（中島理壽編）

出品目録

註：編集は荒川幸枝、河野実。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 5 月 21 日－6 月 26 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：瑛九、靉嘔、池田満寿夫、泉茂、磯辺行久、吉原英雄〔出品目録順〕

つかしんアニュアル'88　日本・韓国作家による美術の現在(水平と垂直) ●

つかしんホール　1988 年 5 月　つかしんアニュアル第 3 回展

ごあいさつ（西武美術館）　p.3

随想〈垂直と水平〉（寺田透）　pp.5-7

図版〔作家小解説、作家略歴、図版〕　pp.10-49

〔作家小解説〕（鍵岡正謹）

韓国の現代作家を迎えて　あとがき（鍵岡正謹）　p.51

作品リスト　pp.53-55

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「'88 TSUKASHIN ANNUAL」

会期：1988 年 5 月 27 日－6 月 21 日　尼崎・つかしんホール　主催：西武美術館

出品：崔在銀、川俣正、李健鏞、李禹煥、大久保英治、朴炫基、沈文燮、曽我孝司、植松奎二、若林奮〔作品リスト順〕

戦後美術の原像展〈戦争の刻印と鎮魂〉●

いわき市立美術館　1988 年 7 月

ごあいさつ（いわき市立美術館）

《戦後美術の原像展－戦争の刻印と鎮魂－》によせて（田中日佐夫）

図版　97p.

〔章解説、解説、年表、文献再録〕

戦争と美術ノート（小泉晋弥）

出品目録

作家略歴

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 7 月 30 日－8 月 28 日　いわき市立美術館　主催：いわき市教育委員会・いわき市立美術館

出品：1 歴史の中の戦争。2 十五年戦争と美術。3 戦後－ヒロシマ以後；佐田勝、松本竣介、向井潤吉、阿部展也、香月泰男、野地正記、浜田知明、井上長三郎、福沢一郎、飯田善國、井上有一、深尾庄介、神田周三、古沢岩美、山本敬輔、米倉寿仁、鶴岡政男、イヴ・クライン、柿手春三、増田勉、平山郁夫、荒木高子、アリヨス・イエルチチ、鯉江良二、殿敷侃、西雅秋、広島市民が描いた原爆の絵、亀倉雄策、粟津潔、福田繁雄、早川良雄、永井一正、田中一光〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の作家を収載。

第 7 回平行芸術展 しげるものたち ●

財団法人小原流　1988 年 8 月　1 枚(両面刷)

ヴィジョンと'しげり'（峯村敏明）

〔作家のことば〕（青木野枝、上野慶一、鈴木省三、千崎千恵夫、宮島達男）

図版〔図版、作家略歴〕 5 図

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 8 月 26 日－9 月 8 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：青木野枝、上野慶一、鈴木省三、千崎千恵夫、宮島達男〔図版収載順〕

北の創造者たち'88 木の造形 5 人展 ●

札幌芸術の森　1988 年 8 月　第 2 回展

多様な個性〈「北の創造者たち'88 ―木の造形 5 人展」〉に寄せて（鬼丸吉弘） pp.2-3
図版〔作家略歴、図版〕 pp.4-23
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1988 年 8 月 27 日－10 月 10 日　札幌・芸術の森センター・アートロビー　主催：札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社
出品：阿部典英、大塚哲郎、岡沼淳一、川名義美、田村宏〔図版収載順〕

手で見る美術展 ●
西武美術館　1988 年 9 月　主に英文併載
ごあいさつ（西武美術館） pp.5, 7
触覚について――断章用に（中村雄二郎） pp.8-11, 12-15
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.16-87
〔作家のことば〕（秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥）
作品リスト　pp.88-89, 90-91
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」
会期：1988 年 9 月 2 日－13 日　有楽町アート・フォーラム／9 月 18 日－10 月 4 日　尼崎・つかしんホール　主催：西武美術館、企画協力：社会福祉法人桜雲会
出品：秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥〔作品リスト順〕

九州派展〈反芸術プロジェクト〉　福岡市美術館編 ●
福岡市美術館協会　1988 年 9 月 23 日〔改訂第 2 刷 1989 年 3 月 20 日〕
ごあいさつ（福岡市美術館） p.5
九州派顛末記（針生一郎） pp.6-9
谷間の時代の青春の狂騒――私にとっての九州派（谷口治達） pp.10-13
異説・美術運動としての九州派――共生する制作者たち（黒田雷児） pp.14-23
図版　pp.24-107
年表　pp.108-129
作家略歴　pp.130-155

「九州派展」図録のための元「九州派」への質問　pp.130---155

〔ことば〕（石橋泰幸）、〔ことば〕（浦田宗夫）、九州派断片（大山右一）、〔ことば〕（オチ・オサム）、〔ことば〕（小幡英資）、元「九州派」への質問に対して（尾花成春）、〔ことば〕（尾張猛）、〔ことば〕（片江政敏）、〔ことば〕（川上省三）、〔ことば〕（菊畑茂久馬）、〔ことば〕（斉藤秀三郎）、〔ことば〕（桜井孝身）、「磨墨」あれこれ（磨墨静量）、質問に答えて、わたしと九州派（谷口利夫）、遅すぎて、早すぎる、この九州派展（田部光子）、〔ことば〕（西嶋正臣）、〔ことば〕（働正）、〔ことば〕（舟木富治）、九州派雑感（俣野衛）、尻馬の弁（宮崎準之助）、「九州派、一つの断面」（八柄雄高）、元「九州派」への質問に答えて（山内重太郎）、〔ことば〕（米倉徳）、元「九州派」への質問に答えて（皆島万作）、元「九州派」への質問に答えて（森永純）

出品目録　pp.156-157

九州派文献アンソロジー　p.158　再録

主要参考文献　p.159

註：記載は改訂第 2 刷に拠った。

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、改訂第 2 刷・都現美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「GROUP KYUSHU-HA : ANTI-ART PROJECT」

会期：1988 年 9 月 23 日－10 月 10 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：石橋泰幸、浦田宗夫、大黒愛子、大山右一、オチ・オサム、尾花成春、尾張猛、川上省三、菊畑茂久馬、木下新、斉藤秀三郎、桜井孝身、磨墨静量、谷口利夫、田部光子、寺田健一郎、西嶋正臣、働正、舟木富治、俣野衛、宮崎準之助、八柄雄高、山内重太郎、米倉徳、皆島万作〔出品目録順〕

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展図録 ●

〔東京国立近代美術館〕　1988 年 10 月

あいさつ（文化庁長官植木浩）　p.5

「日本の現代美術――1945 年以後」展について（浅野徹）　pp.7-11

図版〔図版、作家略歴、作品解説〕　pp.13-92

作家略歴、作品解説（浅野徹、尾﨑正明、児島薫、高橋幸次、田中淳、藤井久栄、本江邦夫）

関連年表　pp.94-101

出品目録　pp.102-103

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1988 年 10 月 2 日－23 日　八戸市美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・八戸市・八戸市教育委員会／11 月 2 日－23 日　名古屋・愛知県美術館　主催：文化庁・東京国

立近代美術館・愛知県・愛知県教育委員会・愛知県美術館／12 月 4 日－25 日　静岡市・駿府博物館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・静岡県教育委員会・財団法人駿府博物館／1989 年 1 月 11 日－29 日　横浜・そごう美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・神奈川県教育委員会・財団法人そごう美術館

出品：日本画；小野竹喬、加山又造、小嶋悠司、杉山寧、髙山辰雄、徳岡神泉、橋本明治、平山郁夫、山口蓬春、吉岡堅二。油彩画、その他；麻生三郎、荒川修作、池田龍雄、石井茂雄、猪熊弦一郎、上田薫、梅原龍三郎、海老原喜之助、岡田謙三、岡本太郎、オノサト・トシノブ、桂ゆき、河原温、北脇昇、児島善三郎、斎藤義重、菅井汲、杉全直、須田国太郎、辰野登恵子、田淵安一、曹良奎、鳥海青児、中谷泰、中西夏之、中村宏、難波田龍起、野口彌太郎、馬場彬、林武、福沢一郎、松本竣介、三尾公三、元永定正、安井曾太郎、山口薫、山口長男、吉原治良、李禹煥。版画；池田満寿夫、井田照一、瑛九、榎倉康二、小作青史、恩地孝四郎、加納光於、河口龍夫、河内成幸、木村光佑、清塚紀子、駒井哲郎、野田哲也、長谷川潔、浜口陽三、浜田知明、棟方志功、横尾忠則、吉田穂高。彫刻；植木茂、木内克、佐藤忠良、高田博厚、高松次郎、舟越保武、堀内正和、最上壽之、安田周三郎、柳原義達、若林奮〔出品目録順〕

動きの表現 ●

埼玉県立近代美術館　1988 年 10 月　主に英文併載　付録・驚き盤

あいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.7

図版〔作家略歴、図版〕　pp.11-83

映像における動きの表現〔解説、作家略歴、図版〕　pp.84-91

日本美術における動きと破れ（松岡正剛）　pp.92-94, 100-101

20 世紀美術と動き（前山裕司）　pp.95-97, 102-104

歴史にみる動きの表現〔図版〕　pp.98-99

出品リスト　pp.105-109

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MOVEMENT & MODERN ART」

会期：1988 年 10 月 8 日－12 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：伊藤隆道、岩井俊雄、片江政敏、河原温、菊竹清文、松本秋則、宮島達男、野村仁、岡本敦生、鴫剛、白髪一雄、高田洋一、田中薫、内田晴之、山口勝弘〔出品リスト順〕

「現代日本美術の動勢－絵画 PART2」展 ●

富山県立近代美術館　1988 年 10 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

「絵画は、ひとつ」――「絵画 PART2」によせて（小川正隆）　pp.4-5

女性作家の抬頭（東野芳明）　pp.6-7

1950 年代に発したもの（増田洋）　pp.8-9

「現代日本美術の動勢－絵画 PART2」展招待作家選考委員　p.10
図版　pp.11-95
出品目録　pp.96-97
出品作家略歴　pp.98-101
後記（柳原正樹）p.102
註：編集は柳原正樹、浅地豊。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-PAINTING PART2」
会期：1988 年 10 月 29 日－12 月 11 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送
出品：杉全直、浅野弥衛、菅井汲、泉茂、元永定正、嶋田しづ、白髪一雄、福島秀子、堂本尚郎、今井俊満、山田正亮、高橋秀、馬場彬、中西夏之、李禹煥、松谷武判、宇佐美圭司、河口龍夫、榎倉康二、桑原盛行、野村仁、彦坂尚嘉、辰野登恵子、野田裕示、岡崎乾二郎、平林薫、矢野美智子、安田奈緒子、吉澤美香、榊原美砂子〔出品目録順〕

抽象彫刻の形成期 1945-1960 ●
練馬区立美術館　1988 年 11 月
ごあいさつ（練馬区立美術館）
抽象彫刻の形成期（三木多聞）
戦後抽象彫刻の基調(ノート)（横山勝彦）
図版〔作家解説、図版〕　64p.
作品目録
参考図版〔目録〕
戦後彫刻略年譜 1946～1964
〔作家略年譜〕
出品作家一覧
註：物故彫刻家の植木茂、昆野恆、辻晋堂は作家解説と参考図版の収載のみ。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1988 年 11 月 3 日－12 月 11 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館
出品：吾妻兼治郎、井上武吉、木村賢太郎、篠田守男、建畠覚造、豊福知徳、堀内正和、向井良吉、村岡三郎、毛利武士郎〔作品目録順〕

今日の作家'88 展カタログ　　横浜市民ギャラリー編 ●
横浜市・横浜市教育委員会　1988 年 11 月　第 24 回今日の作家展〔多極の動態展〕
ごあいさつ（横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー）　pp.2-3
新しい自分の輪郭〈統合する力〉（中村英樹）　pp.4-7, 8-11　英文併載

カラー図版　pp.12-15

図版〔作家経歴、作家のことば、図版〕　pp.18-77

〔作家のことば〕（井口大介、井口里栄、池ヶ谷肇〔再録〕、伊東直昭、上田雄三、上野慶一〔1 行〕、小田英之、國安孝昌、土谷武、福田美蘭、藤田昭子、向井美恵、最上壽之、山田恵子、山部泰司、矢野静明）

今日の作家展 出品作家リスト(1964 年～1987 年)　pp.78-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

展名：第 24 回今日の作家「多極の動態」展

欧文タイトル：「The 24th ‘Artists Today’ Exhibition：Phases Multiplar Movement」

会期：1988 年 11 月 11 日－26 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：中村英樹、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：井口大介、井口里栄、池ヶ谷肇、石井厚生、伊東直昭、伊藤誠、上田雄三、上野慶一、榎倉康二、小田英之、木下佳通代、國安孝昌、土谷武、福田美蘭、藤田昭子、向井美恵、最上壽之、山田恵子、山部泰司、矢野静明〔図版収載順〕

第 22 回現代美術選抜展 ●

〔文化庁〕　1988 年 11 月

〔現代美術選抜展〕（無署名）　p.2

図版　pp.3-36

第 22 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉　pp.37-50

第 22 回現代美術選抜展開催要項　p.51

出品団体・出品点数一覧　p.51

〔出品団体系図〕　p.52

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1988 年 11 月 13 日－27 日　豊田市民文化会館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊田市・豊田市教育委員会／宮城展；1989 年 1 月 8 日－24 日　石巻文化センター　主催：文化庁・宮城県教育委員会・石巻市教育委員会・河北新報社／青森展；1 月 29 日－2 月 19 日　弘前市立博物館　主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館

出品：日本画；鎌倉秀雄、滝沢具幸。洋画；芝田耕、森秀雄。版画；小林敬生、斎藤寿一。彫刻；日高頼子〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

山口の現代美術 V ニュージャパニーズスタイル ペインティング〈日本画材の可能性〉 ●

山口県立美術館　1989 年 3 月 31 日

ごあいさつ（山口県立美術館）

図版　16p.
出品作家紹介〔作家略歴、作家コメント〕
〔作家コメント〕（河嶋淳司、宮前正樹、内倉ひとみ、山田宴三、芝章文、諏訪直樹、片山雅史、加藤悦郎、柴野幸仁、清河恵美）
イメージと素材－日本画絵具（菊屋吉生）
出品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「NEW JAPANESE-STYLE PAINTING――Possiblity of Nihonga Pigments――」
会期：1988 年 12 月 2 日－25 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：内倉ひとみ、片山雅史、加藤悦郎、河嶋淳司、清河恵美、芝章文、柴野幸仁、諏訪直樹、宮前正樹、山田宴三〔出品目録順〕

1989（昭和 64・平成元）年
11 人の 1965～75〈日本の写真は変えられたか〉●
山口県立美術館　1989 年 1 月 6 日
ごあいさつ（山口県立美術館）　p.3
図版　pp.5-140
VIVO 以後〈11 人の 1965～75〉（金子隆一）　pp.141-148
さびしさの思想化〈東松照明の 1965～75〉（飯沢耕太郎）　pp.149-151
「PROVOKE」の疾走（飯沢耕太郎）　pp.152-154
“私”と“他者”への眼差し（飯沢耕太郎）　pp.155-157
11 人の 1965～75〈展覧会ノート〉（榎本徹）　pp.158-159
年表・1965～75　pp.160-170
作家紹介　pp.171-205
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ELEVEN PHOTOGRAPHERS IN JAPAN 1965～75」
会期：1989 年 1 月 6 日－2 月 12 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：東松照明、高梨豊、森山大道、中平卓馬、深瀬昌久、荒木経惟、内藤正敏、柳沢信、須田一政、田村彰英、牛腸茂雄〔図版収載順〕
地・間・余白〈今日の表現から〉●
埼玉県立近代美術館　1989 年 2 月
あいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.5

日本人の美について〈地・間・余白〉（栗田勇） pp.6-11, 12-16 英文併載
図版〔論考、図版〕 pp.17-96
「関係の場」としての地（河口龍夫） 英文併載
逆算する美意識〈間、余白について〉（津高和一） 英文併載
作家略歴 pp.99-130
出品目録 pp.131-134
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Space：Material, Tension, Vacancy in Japanese Contemporary Art」
会期：1989 年 2 月 3 日－3 月 21 日 北浦和・埼玉県立近代美術館 主催：埼玉県立近代美術館
出品：安達武生、荒川修作、荒木高子、池田遙邨、出原栄一、井田照一、伊藤公象、糸園和三郎、井上有一、岩谷徹、榎倉康二、遠藤享、岡田謙三、岡部昌生、岡本敦生、小倉遊亀、角永和夫、金重陶陽、上矢津、河口龍夫、清川泰次、国島征二、久野真、昆野恆、斎藤隆、サイトウ・マコト、里中英人、柴田耕作、菅木志雄、勝呂忠、関根伸夫、高木修、高松次郎、高柳裕、田中信太郎、津高和一、土屋公雄、堂本尚郎、徳岡神泉、永井一正、中岡慎太郎、長谷光城、長野垤志、中村孝平、中山正樹、浜口陽三、速水史朗、福岡道雄、福田平八郎、星襄一、保科豊巳、李田たけを、元永定正、吉原治良、若林奮〔出品目録順〕

現代絵画の一断面 くり返しの構造展 ●
高松市美術館 1989 年 2 月
あいさつ（高松市美術館） p.3
くり返しの構造――現代絵画の一断面（住谷晃一郎） pp.4-7
図版〔作家解説、図版〕 pp.8-32
出品リスト p.33
作家略歴 pp.34-35
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1989 年 2 月 4 日－26 日 高松市美術館 主催：高松市美術館
出品：阿部展也、磯辺行久、伊藤隆康、川島猛、草間彌生、桑原盛行、桑山タダスキー、小島信明、高崎元尚、田中敦子、福島秀子、前田常作、三木富雄、宮脇愛子、向井修二、村上善男、吉仲太造、アンディ・ウォーホル〔出品リスト順〕

ねりまの美術’89 ●
練馬区立美術館 1989 年 2 月 第 3 回展
ごあいさつ（練馬区立美術館） p.3
「ねりまの美術’89」展組織委員会 p.4

図版　pp.5-88
作家略歴　pp.90-94
出品目録　pp.95-98
編集後記（根崎光男）　p.99
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art of Nerima ’89」
会期：1989 年 2 月 8 日－3 月 13 日　練馬区立美術館　組織委員：粟津則雄、桑原住雄、針生一郎、本間正義、三木多聞、主催：練馬区立美術館
出品：秋保正三、岩井泰三、岡崎乾二郎、岡本省吾、笠松宏友、加藤一、桐野江節雄、久保孝雄、近藤良悦、高井寛二、高木雅章、高橋潮、田代晴巳、寺坂公雄、中尾彰、永瀬照子、楢原健三、西尾善積、にしおかひろし、西村愿定、野田典男、橋本憲治、藤井考次朗、三好ユキ子、森省一郎、八幡健二、山内秀臣、吉野純〔出品目録順〕

現代美術入門 絵画の空白と余白 ●
静岡県立美術館　1989 年 2 月
あいさつ（館長鈴木敬）　p.3　英文併載
現代絵画における空白と余白（永草次郎）　pp.6-9
しみとイメージ（小針由紀隆）　pp.10-11
図版　pp.13-32
作家・作品解説（小針由紀隆、永草次郎）　pp.33-44
年譜　p.45
出品目録　pp.46-47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「an approach to modern art　BLANK IN MODERN PAINTING from Cézanne to Conceptual Art」
会期：1989 年 2 月 10 日－3 月 12 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館
出品：岡田謙三、山口長男、宮脇愛子、桑山忠明、河原温、荒川修作、中里斉〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

第 3 回神奈川アート・アニュアル ●
神奈川県立県民ホール　1989 年 3 月 1 日
あいさつ（神奈川県立県民ホール）　p.1
「神奈川アート・アニュアル’89」によせて（柳生不二雄）　pp.2-3
美術の何が変ってゆくか（千葉成夫）　p.4
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.6-18
〔作家のことば〕（オノ・ヨシヒロ、笠原恵実子、五井毅彦、三枝孝司、佐藤俊造、髙橋勉、高橋洋子、瀧本貞夫、奈良巖、平林薫、望月志郎、八柳尚樹、渡辺明）
出品目録　pp.19-20

〔第 1 回・第 2 回神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕 p.21
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE 3RD KANAGAWA ART ANNUAL」
会期：1989 年 3 月 1 日－14 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員：斎藤義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール
出品：オノ・ヨシヒロ、笠原恵実子、五井毅彦、三枝孝司、佐藤俊造、髙橋勉、高橋洋子、瀧本貞夫、奈良巖、平林薫、望月志郎、八柳尚樹、渡辺明〔出品目録順〕

現代のイメージ III 構築と解体のヴィジョン ●
熊本県立美術館　1989 年 3 月
〔あいさつ〕（熊本県立美術館） p.1
図版〔作家略歴、作家のことば、参考文献、図版〕 pp.2-19
〔作家のことば〕（楠本正明、池邊教、坂口登、岩田恒介、前田信明、菅章、中村一美、古澤伸一郎、小出英夫）
〔ことば〕（村上哲） p.20
〔ことば〕（古澤伸一郎） p.21
出品作品リスト　pp.22-23
所蔵：□、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「IMAGE OF TODAY III : VISION BEYOND CONSTRUCTION FOR DECONSTRUCTION」
会期：1989 年 3 月 1 日－26 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本日日新聞社
出品：楠本正明、池邊教、坂口登、岩田恒介、前田信明、菅章、中村一美、古澤伸一郎、小出英夫〔出品作品リスト順〕

北海道・今日の美術 世紀末の風景〈微視と幻影〉 ●
北海道立近代美術館　1989 年 3 月　特別展・第 1 回展　図録 115
あいさつ（北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館） p.5
「世紀末の風景」展によせて（井関正昭） p.6
世紀末と北の具象絵画（佐藤友哉） pp.7-10
カタログ〔作家作品解説、図版、作家経歴〕 pp.11-65
作家作品解説（越前俊也、中村聖司、浅川泰、大熊敏之、寺嶋弘道、新明英仁）
出品リスト　pp.66-67
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART SPIRIT : HOKKAIDO BIENNIAL 1989」
会期：1989 年 3 月 4 日－26 日　札幌・北海道立近代美術館／4 月 4 日－5 月 14 日　北海道立旭川美術館／5 月 20 日－6 月 18 日　北海道立函館美術館　主催：各開催美術館
出品：秋山國夫、阿部国利、安藤和也、伊藤光悦、木村訓丈、清田操、高坂和子、佐藤武、

鹿士政春、鈴木秀明、瀬戸英樹、高橋伸、遠山隆義、西田陽二、宮川美樹、森弘志、矢元政行、輪島進一〔出品リスト順〕

第 9 回ハラ アニュアル ●

アルカンシェール美術財団　1989 年 3 月 25 日　主に英文併載

ごあいさつ（館長原俊夫）

第 9 回ハラ アニュアル：90 年代に向けて（光行清子）

出品作家

図版〔作家のことば、図版、作家略歴〕 20p.

〔作家のことば〕（勝野正則〔1 行〕、金沢健一、作間敏宏〔2 行〕、白川昌生、畠山直哉、松尾光伸、宮前正樹、山田恵子、尹熙倉、吉田克朗） 和文

出品作品リスト

これまでのハラ アニュアル展記録

註：キュレーターは金澤毅、光行清子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「HARA ANNUAL IX」

会期：1989 年 3 月 25 日－5 月 10 日　北品川・原美術館　推薦委員：東野芳明・針生一郎・三木多聞・峯村敏明・山口勝弘、主催：原美術館

出品：勝野正則、金沢健一、作間敏宏、白川昌生、畠山直哉、松尾光伸、宮前正樹、山田恵子、尹熙倉、吉田克朗〔出品作品リスト順〕

現代絵画の展望－祝福された絵画〈第 19 回現代日本美術展・企画部門〉　現代日本美術展事務局編 ●

日本国際美術振興会・毎日新聞社　1989 年 4 月

ごあいさつ（主催者） p.5

絵画――祝福されるもの（山根康愛） pp.9-11, 12-14　英文併載

絵画――その祝福と悲しみ（南嶌宏） pp.15-17

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.20-99　英文併載

〔作家のことば〕（中西夏之、菊畑茂久馬、堀浩哉、山本富章〔再録〕、山本和香子、近藤克義、関口敦仁、吉本作次）

出品目録　pp.101-103

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「PROSPECTS OF CONTEMPORARY ART：A CELEBRATION OF PAINTING」

会期：1989 年 4 月 23 日－5 月 7 日　東京都美術館　主催：日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社／6 月 7 日－18 日　京都市美術館　主催：京都市・日本国際美術振興会・美術文化振興協会・毎日新聞社／6 月 24 日－7 月 23 日　高松市美術館　主催：高松市

美術館・毎日新聞社／7 月 28 日－8 月 15 日　船橋・西武美術館　主催：西武美術館・毎日新聞社／11 月 4 日－26 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館・毎日新聞社／12 月 16 日－1990 年 1 月 21 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・毎日新聞社

出品：中西夏之、菊畑茂久馬、横尾忠則、堀浩哉、山本富章、山本和香子、近藤克義、関口敦仁、吉本作次〔出品目録順〕

広島・ヒロシマ・HIROSHIMA〈国内外の制作委託作家 78 名によるヒロシマの心〉●

広島市現代美術館　1989 年 5 月　開館記念展　主に英文併載

〔あいさつ〕（市長荒木武）　pp.6, 7

〔あいさつ〕（広島市現代美術館館長）　pp.8, 9

美術のなかのヒロシマ〈制作委託作品について〉（桑原住雄）　pp.10-15

比類なき委託〈広島市現代美術館の英国作家委託〉（イアン・バーカー）　pp.16-17

図版〔作家のことば、図版〕　pp.19-181

〔作家のことば；日本作家〕（靉嘔、麻生三郎〔2 行〕、上田薫、岡崎勇次、奥谷博、金光松美、絹谷幸二、國領經郎、佐野ぬい、鴫剛、菅井汲、高橋秀、武永槇雄、田中稔之、新延輝雄、野見山暁治、福島瑞穂、松本英一郎、三尾公三、村井正誠、村上善男、森芳雄〔1 行〕、大森運夫、奥田元宋、上野泰郎、塩出英雄、田渕俊夫、福井爽人、船田玉樹、一原有徳、岡部昌生、小作青史、加納光於、木村光佑、黒崎彰、島州一、利根山光人、中林忠良、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男〔1 行〕、深沢幸雄〔2 行〕、吹田文明、松谷武判、松本旻、百瀬寿、森義利〔1 行〕、両角修、吉田穂高、吉原英雄、飯田善國、池田満寿夫〔2 行〕、井上武吉、江口週、圓鍔元規、斎藤義重、清水九兵衛、空充秋、堀内正和、最上壽之、山口牧生、脇田愛二郎〔2 行〕、山口勝弘）

作家略歴　pp.182-187

作品リスト　pp.188-191

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Commissioned Work “Theme Hiroshima”」

会期：1989 年 5 月 3 日－8 月 20 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

出品：靉嘔、麻生三郎、上田薫、岡崎勇次、奥谷博、金光松美、絹谷幸二、國領經郎、佐野ぬい、鴫剛、菅井汲、高橋秀、武永槇雄、田中稔之、新延輝雄、野見山暁治、福島瑞穂、松本英一郎、三尾公三、村井正誠、村上善男、森芳雄、大森運夫、奥田元宋、上野泰郎、塩出英雄、田渕俊夫、福井爽人、船田玉樹、一原有徳、岡部昌生、小作青史、加納光於、木村光佑、黒崎彰、島州一、利根山光人、中林忠良、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男、深沢幸雄、吹田文明、松谷武判、松本旻、百瀬寿、森義利、両角修、吉田穂高、吉原英雄、飯田善國、池田満寿夫、井上武吉、江口週、圓鍔元規、斎藤義重、清水九兵衛、空充秋、堀内正和、最上壽之、山口牧生、脇田愛二郎、山口勝弘〔作品リスト順〕

註：出品欄は 78 作家のうち日本作家を収載。

ポリクロスアート展 2 ●

〔ポリクロスアート展実行委員会〕 1989 年 5 月 〔第 2 回展〕
出品作家紹介〔図版、作家歴〕 19p.
所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「POLYCROSS ART Exhibition」
会期：1989 年 5 月 18 日－6 月 4 日 高知県立郷土文化会館 主催：高知県立郷土文化会館・高知市文化振興事業団
出品：井川惺亮、池田丈一、石井理之、入交京子、上田祐嗣、大島克文、小原典子、門田修充、金谷敬和、川島慶樹、高崎元尚、田中担三、玉造義隆、都築房子、藤崎幸雄、松宮喜代勝、持田総章、山崎道〔図版収載順〕

つかしんアニュアル'89 浮遊体――イマージュ空感 ●
つかしんホール 1989 年 5 月 第 4 回展
ごあいさつ（西武美術館） p.3
浮遊体――イマージュの空感装置として（篠原資明） pp.5-9
図版〔作家解説、作家略歴、図版〕 pp.10-49
〔作家解説〕（鍵岡正謹、篠原資明）
アストラル体のこと あとがき（鍵岡正謹） p.51
作品リスト pp.52-55
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、京都学、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「'89 TSUKASHIN ANNUAL Fu-Yu-Tai」
会期：1989 年 5 月 21 日－6 月 11 日 尼崎・つかしんホール ゲスト・キュレーター：篠原資明、主催：西武美術館
出品：石原友明、大島成己、桐原淳行、関口敦仁、田中美和、中川佳宣、根岸芳郎、松本陽子、山本裕子、吉澤美香〔作品リスト順〕

アート・エキサイティング'89 現在を超えて〈日豪交換現代日本美術展〉 ●
埼玉県立近代美術館 1989 年 6 月
あいさつ（埼玉県立近代美術館） p.3
現代美術の日本（本間正義） pp.4-7
図版 pp.9-42
カタログ〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.43-115
〔作家のことば〕（靉嘔、井田照一、榎倉康二〔再録〕、岡部昌生、河口龍夫、河内成幸、絹谷幸二、黒崎彰、黒田克正、小林敬生、鴫剛、白髪一雄、十河雅典、中林忠良、櫃田伸也、平賀敬、森岡完介、森村泰昌、山本富章、吉澤美香、吉田克朗、吉永裕〔2 行〕、李禹煥、池田宗弘、岩井俊雄、岡本敦生、草間彌生、菅木志雄、高田洋一、田窪恭治、土屋公雄、戸谷成雄、中岡慎太郎、深井隆、舟越桂、松本秋則、三島喜美代、三輪和彦、最上壽之、籔内左斗司、小本章）
出品作家〔顔写真〕 pp.116-117

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART EXCITING '89-beyond the today's being-」

会期：1989 年 6 月 17 日－7 月 23 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：平面；靉嘔、井田照一、榎倉康二、岡部昌生、河口龍夫、河内成幸、絹谷幸二、黒崎彰、黒田克正、小林敬生、鳴剛、白髪一雄、杉本博司、十河雅典、中林忠良、櫃田伸也、平賀敬、森岡完介、森村泰昌、山本富章、吉澤美香、吉田克朗、吉永裕、李禹煥。立体ほか；池田宗弘、岩井俊雄、岡本敦生、草間彌生、菅木志雄、高田洋一、田窪恭治、土屋公雄、戸谷成雄、中岡慎太郎、深井隆、舟越桂、松本秋則、三島喜美代、三輪和彦、最上壽之、籔内左斗司、小本章&パット・ホフィー〔カタログ収載順〕

第 3 回アジア美術展 ●

福岡市美術館　1989 年 7 月　英文併載

ごあいさつ（桑原敬一）　pp.4, 5

「アジアらしさの世界」をさぐる（副島三喜男）　pp.22-26, 27-32

アジア美術展の歩み　pp.36, 37

図版　pp.39-194

エッセイ　pp.195-276

　越境するシンボル（黒田雷児）

作家・作品資料　pp.277-411

関連事業、ほか　pp.413-425

索引　pp.426-427, 427-428

註：主に日本関係を記載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「3rd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA」

会期：1989 年 7 月 6 日－8 月 13 日　福岡市美術館　主催：第 3 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本／11 月 3 日－12 月 15 日　横浜美術館　主催：第 3 回アジア美術展実行委員会・横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ

出品：日本；神山明、仁科茂、関口敦仁、菅野由美子、豊平ヨシオ、山本富章〔図版収載順〕

第 8 回平行芸術展 樹木のセンセーション ●

財団法人小原流　1989 年 7 月　1 枚(両面刷)

樹木のセンセーション――滲む光（峯村敏明）

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 5 図

〔作家のことば〕（北川聡、吉田宏、さかぎしよしおう、高見澤文雄、松井智惠）

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 7 月 20 日－30 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：北川聡、吉田宏、さかぎしよしおう、高見澤文雄、松井智惠〔図版収載順〕

美術の国の人形たち ●

宮城県美術館　1989 年 7 月

あいさつ（宮城県美術館・河北新報社・東北放送）p.3

美術の国の人形たち――彫刻と人形のプレリュード（増淵宗一）pp.6-10

人のイメージ（三田村畯右）pp.11-14

図版〔章解説、作家略歴、図版〕pp.15-79

出品目録　pp.81-87

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Man：In Another Dimension of the Human Form」

会期：1989 年 7 月 29 日－9 月 10 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：カジュアルな「彫刻」；秋山祐徳太子、有元利夫、入江比呂、木村直道、小島信明、篠原有司男、辻晋堂、西村公泉、籔内佐斗司。表層のリアリズム；魚田元生、翁譲、片岡昌、グループ七彩、重村三雄、土井典、ノロ燐、吉田良一、四谷シモン。素材のシンボリズム；桂ゆき、小泉雅代、都築房子、中井恒夫、福田新之助。オブジェ・パーティ；粟辻早重、井村隆、堤展子、中西學、前本彰子、山本タカト〔出品目録順〕

現代の造形――土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展 ●

和歌山県立近代美術館　1989 年 7 月

ごあいさつ（和歌山県立近代美術館）　p.3

図版〔作家のことば、図版、出品目録、年譜〕　pp.5-65

〔作家のことば〕（荒木高子、前川強、濱谷明夫）

展覧会ノート（浜田拓志）　pp.66-68

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 7 月 29 日－8 月 27 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

出品：荒木高子、前川強、濱谷明夫

音のある美術 ●

栃木県立美術館　1989 年 8 月

あいさつ（栃木県立美術館） p.5
眼と耳が交差する時（庄野進） pp.7-10
移動を誘う空間（恩地元子） pp.11-15
調和の幻想（杉村浩哉） pp.17-19
カタログ〔作家略歴、図版、作家のことば〕 pp.21-57
〔作家のことば〕（伊藤隆康〔再録〕、WAY、牛島達治、金沢健一、小杉武久、鈴木昭男、田辺光彰、坪井昭憲、藤原和通、藤本由紀夫、本郷重彦、増田感、松村要二、横尾哲生、吉村弘、フェリックス・ヘス）
出品目録 pp.59-61
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「moments sonores」
会期：1989 年 8 月 13 日－9 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：伊藤隆康、WAY、牛島達治、金沢健一、小杉武久、鈴木昭男、田辺光彰、坪井昭憲、藤原和通、藤本由紀夫、本郷重彦、増田感、松村要二、横尾哲生、吉村弘、ルイジ・ルッソロ、ジュー・ジョーンズ、ミラン・ニザック、タカコ・サイトウ、エメット・ウイリアムス、ラ・モンテ・ヤング、デイヴィッド・E・トンプソン、ケン・フリードマン＋マイク・ウィーバー、フェリックス・ヘス〔出品目録順〕

ART TODAY 1989 主題のない四楽章 ●
軽井沢財団法人高輪美術館　1989 年 9 月
「主題のない四楽章」について（財団法人高輪美術館・西武美術館・セゾン文化財団） pp.4-5
図版〔作家略歴、作家論、図版〕 pp.6-37
〔作家論〕（難波英夫、中村麗、清水哲朗、小林等／新見隆）
対談 80 年代って何だっけ?（東野芳明＋三浦雅士） pp.38-55
作品リスト pp.56-57
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美
○展覧会事項
会期：1989 年 9 月 8 日－11 月 5 日　軽井沢高輪美術館　主催：軽井沢財団法人高輪美術館・西武美術館・セゾン文化財団
出品：池田真規子、小山穂太郎、白井美穂、タナカノリユキ〔作品リスト順〕

現代美術への視点 色彩とモノクローム〔第 2 回展〕 ●
東京国立近代美術館　1989 年 9 月
あいさつ（館長大崎仁・小倉忠夫） p.5　英文併載
ひとつの色彩（市川政憲） pp.7-10, 11-14　英文併載
色彩・言語・レディメイド（松本透） pp.15-17, 18-20　英文併載
カタログ〔作家解説、図版、作品リスト〕 pp.21-96　英文併載

〔作家解説〕（市川政憲、松本透、田中淳）
作家出品歴／主要文献　pp.97-109　欧文・和文
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、東大駒、都現美、江戸博、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：COLOR and/or MONOCHROME」
会期：1989 年 9 月 30 日－11 月 26 日　竹橋・東京国立近代美術館／1990 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館、協力：東京ドイツ文化センター・ブリティシュ・カウンシル
出品：グレンヴィル・デイヴィー、ジョエル・デュコロワ、ゲオルク・エットル、カタリーナ・フリッチュ、ヨルク・ガイスマール、原口典之、池村玲子、剣持和夫、小林正人、ヴォルフガング・ライブ、サイモン・リンク、トーマス・ロッハー、シルヴィオ・メルリーノ、三輪美津子、長沢秀之、西川勝人、ティム・ロリンズ ＆K.O.S.、鈴木省三、マーク・タンジー、寺内曜子、ウォーレス ＆ ドノヒュー〔カタログ順〕

TREND’89「現代写真の動向・展」●
川崎市市民ミュージアム　1989 年 9 月 30 日
あいさつ（川崎市市民ミュージアム）　p.3
写真行為の動向（平木収）　pp.4-5
図版〔作家解説、図版、論考〕　pp.6-79
〔論考〕（谷口雅、港千尋、上野修）
作家略歴　pp.80, 81　英文併載
Beyond Borders（深川雅文）pp.82-87　英文
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「TREND ’89－Aspects of Contemporary Photography－」
会期：1989 年 9 月 30 日－10 月 22 日　川崎市市民ミュージアム　主催：財団法人川崎市市民ミュージアム
出品：ルイス・ボルツ、杉本博司、柴田敏雄、山本糾、谷口雅、港千尋、鈴木清、吉村朗、五井毅彦、伊田明宏＋上野修〔図版収載順〕

ドローイングの現在 ●
国立国際美術館　1989 年 10 月 7 日　主に英文併載　追加紙 1 葉(二ツ折両面刷)
所蔵家一覧　p.4
あいさつ（国立国際美術館）　p.5
ドローイングの状況（村田慶之輔）　pp.6-7, 8-9
今日のドローイング：流用と順応（バーニス・ローズ）　pp.10-15, 16-21　和文・英文
線の遅延（建畠哲）　pp.22-24, 追加紙
カラー図版　pp.25-42
カタログ〔作家略歴、作家解説、出品リスト、図版〕　pp.43-165　作家解説は和文

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Drawing as Itself」

会期：1989 年 10 月 7 日－11 月 26 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：ジョナサン・ボロフスキー、ハンネ・ダルボーヴェン、ハンス・ホライン、池村玲子、アンゼルム・キーファー、イム・クヌーベル(本名ヴォルフガング・クヌーベル)、ソル・ルウィット、ロイ・リキテンシュタイン、ブライス・マーデン、ヴァルター・ピヒラー、ジグマール・ポルケ、アルヌルフ・ライナー、ゲルハルト・リヒター、リチャード・セラ、フランク・ステラ、サイ・トゥオンブリ、磯崎新、宇佐美圭司、遠藤利克、柏原えつとむ、加納光於、川俣正、菊畑茂久馬、小林正人、高松伸、高松次郎、辰野登恵子、中村一美、矢野美智子、山田正亮、李禹煥、若林奮〔図版収載順〕

現代美術の創造者たち〈昭和 20 年代の京都・大阪・神戸〉図録 ●

鳥取県立博物館資料刊行会　1989 年 10 月 10 日　特別展

ごあいさつ（館長長石肇）　p.1

昭和 20 年代の美術 京都（木村重信）　pp.2-4

昭和 20 年代の美術 大阪・神戸（高橋亨）　pp.5-7

図版　pp.8-55

出品目録　pp.56-61

資料　pp.62-68

①新匠美術工芸会、②四耕会、③走泥社、④創造美術、⑤パンリアル美術協会、⑥デモクラート美術家協会、⑦具体美術協会

作家略歴　pp.69-73

年表　p.74

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 10 月 10 日－11 月 9 日　鳥取県立博物館　主催：鳥取県立博物館

出品：イサム・ノグチ、辻晋堂、堀内正和、植木茂、長谷川三郎、津高和一、須田剋太、富本憲吉、近藤悠三、山田喆、稲垣稔次郎、小合友之助、宇野三吾、林康夫、鈴木康之、三浦省吾、中西美和、雲雀民雄、藤田作、八木一夫、山田光、鈴木治、吉岡堅二、向井久万、秋野不矩、広田多津、澤宏靱、上村松篁、奥村厚一、三上誠、星野真吾、山崎隆、不動茂弥、大野俶嵩、下村良之介、瑛九、泉茂、早川良雄、吉原治良、元永定正、嶋本昭三、田中敦子、村上三郎、金山明、白髪一雄〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

今日の造形 6 おもしろわざものすぐれもの展 ●

岐阜県美術館　1989 年 10 月

ごあいさつ（館長田中三郎）　p.3

図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕 pp.5-69

〔作家のことば〕（本郷重彦、西村公泉、西野康造、小名木陽一、島津嘉準、坂口正之、松本秋則、井村隆、天野裕夫、馬田純子）

「わざものすぐれもの」たちによせて（正村美里） pp.70-75

作品目録 pp.76-77

主な作家資料 p.78

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 10 月 31 日－12 月 17 日 岐阜県美術館 主催：岐阜県美術館

出品：本郷重彦、西村公泉、西野康造、小名木陽一、島津嘉準、坂口正之、松本秋則、井村隆、天野裕夫、馬田純子〔作品目録順〕

「日本の現代美術――1945 年以後〈東京国立近代美術館所蔵作品による〉」展図録 ●

〔東京国立近代美術館〕 1989 年 11 月

あいさつ（文化庁長官植木浩） p.5

「日本の現代美術――1945 年以後」展について（浅野徹） pp.7-11

図版〔図版、作家略歴、作品解説〕 pp.13-92

作家略歴、作品解説（浅野徹、尾崎正明、児島薫、高橋幸次、田中淳、藤井久栄、本江邦夫）

関連年表 pp.94-101

出品目録 pp.102-103

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 11 月 10 日－26 日 高知県立郷土文化会館 主催：文化庁・東京国立近代美術館・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館／12 月 3 日－24 日 徳島県郷土文化会館 主催：文化庁・東京国立近代美術館・徳島県教育委員会・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県郷土文化会館／1990 年 1 月 9 日－28 日 宮崎県総合博物館 主催：文化庁・東京国立近代美術館・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県総合博物館／2 月 3 日－25 日 鹿児島県歴史資料センター黎明館 主催：文化庁・東京国立近代美術館・鹿児島県教育委員会・鹿児島県歴史資料センター黎明館／3 月 4 日－25 日 熊本県立美術館 主催：文化庁・東京国立近代美術館・熊本県教育委員会・熊本県立美術館

出品：日本画；小野竹喬、加山又造、小嶋悠司、杉山寧、髙山辰雄、徳岡神泉、橋本明治、平山郁夫、山口蓬春、吉岡堅二。油彩画、その他；麻生三郎、荒川修作、池田龍雄、石井茂雄、猪熊弦一郎、上田薫、梅原龍三郎、海老原喜之助、岡田謙三、岡本太郎、オノサト・トシノブ、桂ゆき、河原温、北脇昇、児島善三郎、斎藤義重、菅井汲、杉全直、須田国太郎、辰野登恵子、田淵安一、曹良奎、鳥海青児、中谷泰、中西夏之、中村宏、難波田龍起、野口

彌太郎、馬場彬、林武、福沢一郎、松本竣介、三尾公三、元永定正、安井曾太郎、山口薫、山口長男、吉原治良、李禹煥。版画；池田満寿夫、井田照一、瑛九、榎倉康二、小作青史、恩地孝四郎、加納光於、河口龍夫、河内成幸、木村光佑、清塚紀子、駒井哲郎、野田哲也、長谷川潔、浜口陽三、浜田知明、棟方志功、横尾忠則、吉田穂高。彫刻；植木茂、木内克、佐藤忠良、高田博厚、高松次郎、舟越保武、堀内正和、最上壽之、安田周三郎、柳原義達、若林奮〔出品目録順〕

今日の作家'89 かめ座のしるし展カタログ　　横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー編 ●

横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー　1989 年 11 月　第 25 回今日の作家展〔かめ座のしるし〕

ごあいさつ（横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー）

かめ座のしるし（峯村敏明）　英文併載

出品者一覧

図版〔図版、作家のことば〕　68p.

〔作家のことば〕（杉全直、田淵安一、彦坂尚嘉、辰野登恵子、清水誠一、上野慶一、長澤英俊、小清水漸、戸谷成雄、黒川弘毅、橘田尚之、加茂博、笠原たけし、小泉俊己、青木野枝、舟越直木、小野初代、川越悟、草間彌生、北辻良央、野村仁、大森博之、矢野美智子〔再録〕、笹谷晃生）

作家経歴　14p.

今日の作家展 出品作家リスト(1964 年～1989 年)

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

展名：第 25 回今日の作家展 かめ座のしるし

欧文タイトル：「KAME-ZA Shell and Vessel, Signifying」

会期：1989 年 11 月 11 日－26 日　関内・横浜市民ギャラリー　構想・構成：峯村敏明、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：杉全直、田淵安一、彦坂尚嘉、辰野登恵子、清水誠一、上野慶一、長澤英俊、小清水漸、戸谷成雄、黒川弘毅、橘田尚之、加茂博、笠原たけし、小泉俊己、青木野枝、舟越直木、小野初代、川越悟、草間彌生、北辻良央、野村仁、大森博之、矢野美智子、笹谷晃生〔出品者一覧順〕

版から／版へ〈京都 1989〉　　京都市美術館編 ●

京都市　1989 年 11 月 10 日　特別展

ごあいさつ（京都市美術館）　p.3

カラー図版　pp.7-24

作家略歴・モノクロ図版　pp.25-59

脳のダイナミズム（中谷至宏）　pp.60-63

出品リスト　pp.64-67

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Intersection of Printing」
会期：1989 年 11 月 11 日－12 月 7 日　京都市美術館　主催：京都市
出品：秋岡美帆、安東菜々、池垣タダヒコ、出原司、大島成己、片山雅史、岸中延年、木村秀樹、小枝繁昭、佐久間嘉明、篠原猛史、杉山晶子、中川佳宣、中村美知生、長尾浩幸、橋本文良、濱田弘明〔出品リスト順〕

手で見る美術展 ●
西武美術館・大分県立芸術会館　1989 年 11 月　主に英文併載
ごあいさつ（大分県立芸術会館）　p.5
触覚について――断章用に（中村雄二郎）　pp.6-9, 10-13
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.16-87
〔作家のことば〕(秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥)
作品リスト　pp.88-89, 90-91
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、愛芸文、京都学
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART FOR TOUCHING」
会期：1989 年 11 月 14 日－12 月 3 日　大分県立芸術会館　主催：大分県・大分県教育委員会・大分県立芸術会館・西武美術館・大分合同新聞社、企画協力：社会福祉法人桜雲会
出品：秋山祐徳太子、荒木高子、粟辻早重、飯田善國、井田照一、大久保英治、岡崎乾二郎、小名木陽一、河口龍夫、菊池孝、北山善夫、鯉江良二、小清水漸、白髪一雄、沈文燮、菅野由美子、杉山知子、関根伸夫、高田洋一、高橋禎彦、戸谷成雄、中西學、中村錦平、流政之、西村陽平、朴炫基、馬場彬、彦坂尚嘉、福岡道雄、藤岡蕙子、増田感、益田芳徳、三島喜美代、籔内左斗司、山口牧生、李禹煥〔作品リスト順〕

第 23 回現代美術選抜展 ●
〔文化庁〕　1989 年 11 月
ごあいさつ（文化庁長官植木浩）　p.3
図版　pp.5-37
第 23 回現代美術選抜展出品目録〈作家・作品・ことば〉　pp.39-52
第 23 回現代美術選抜展開催要項　p.53
出品団体・出品点数一覧　p.53
〔出品団体系図〕　p.54
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：神奈川展；1989 年 11 月 16 日－12 月 3 日　藤沢市民ギャラリー　主催：文化庁・神

奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会／岡山展；12 月 8 日－24 日　岡山県立美術館　主催：文化庁・岡山県立美術館・岡山県教育委員会・第 23 回現代美術選抜展岡山展実行委員会／愛知展；1990 年 1 月 6 日－21 日　豊橋市美術博物館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社／沖縄展；2 月 1 日－25 日　浦添市美術館　主催：文化庁・沖縄県・沖縄県教育委員会・浦添市美術館

出品：日本画；仲村進、山本知克。洋画；北久美子、田中稔之。版画；坂爪厚生、森野眞弓。彫刻；加藤昭男〔出品目録順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

1990（平成 2）年

シガ・アニュアル'90 写真による現代版画〈虚と実の間〉●

滋賀県立近代美術館　1990 年 1 月　第 4 回展

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）

虚と実の間（平田健生）

カラー図版　14p.

作家紹介・モノクロ図版〔作家のことば、作家歴、図版〕　43p.

〔作家のことば〕（秋岡美帆、大島成己、小枝繁昭、出店久夫、永原ゆり、濱田弘明〔2 行〕）

出品リスト

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '90 CONTEMPORARY PRINTS ; THE APPLICATION OF PHOTOGRAPH」

会期：1990 年 1 月 5 日－2 月 12 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：秋岡美帆、大島成己、小枝繁昭、出店久夫、永原ゆり、濱田弘明〔出品リスト順〕

現代彫刻の歩み III「1970 年代以降の表現－物質と空間の変容」●

神奈川県立県民ホール　1990 年 1 月 17 日　開館 15 周年記念　第 3 回展

あいさつ（神奈川県立県民ホール）　p.3

タブラ・ラサを経て再生した彫刻群（針生一郎）　pp.5-8

彫刻を見る視点の変貌（中村英樹）　pp.9-12

カラー図版　pp.13-42

カタログ〔作家のことば、作家略歴、図版、出品目録〕　pp.43-103

〔作家のことば〕（青木野枝、岩本宇司、海老塚耕一、遠藤利克、岡崎乾二郎、岡本敦生、神山明、北辻良央、橘田尚之、國安孝昌、黒川弘毅、黒蕨壮、剣持和夫、小清水漸、島剛、島田忠幸、白川昌生、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、西雅秋、橋本夏夫、深井隆、舟越桂、舟越直木、松井紫朗、村岡三郎、尹熙倉、吉川陽一郎、吉野辰海）

神学と修辞学〈80 年代の彫刻を活気づけたもの〉（峯村敏明）　pp.104-107

展覧会開催の経過と若干の考察〈野外彫刻を中心として〉（藤島俊會）　pp.108-110

彫刻年表 1970(昭和 45)－1989(平成元年)（小栗光雄編） pp.111-138
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1990 年 1 月 17 日－2 月 8 日　横浜・神奈川県立県民ホール　主催：神奈川県立県民ホール　開館 15 周年記念
出品：青木野枝、岩本宇司、海老塚耕一、遠藤利克、岡崎乾二郎、岡本敦生、神山明、北辻良央、橘田尚之、國安孝昌、黒川弘毅、黒蕨壮、剣持和夫、小清水漸、島剛、島田忠幸、白川昌生、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、西雅秋、橋本夏夫、深井隆、舟越桂、舟越直木、松井紫朗、村岡三郎、尹熙倉、吉川陽一郎、吉野辰海〔図版収載順〕

’90 富山の美術図録 ●
富山県立近代美術館　1990 年 2 月
あいさつ（富山県立近代美術館） p.3
迸れ、「創造」の奔流―「’90 富山の美術」によせて（小川正隆） p.5
「’90 富山の美術」の作品について（津山昌） pp.6-8
図版 平面　pp.9-53
図版 立体　pp.55-71
出品作家／略歴と言葉　pp.72-79
言葉（安達博文、大島秀信、大村雅章、岡田繁憲、尾長良範、川井昭夫、木下晋、清河恵美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、西島直紀、野上祇麿、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、柳原幸子、伊藤公象、岩城信嘉、大成浩、谷口義人、富山省三、中村滝雄、吉江庄蔵、米林雄一）
出品目録　pp.80-81
後記（浅地豊） p.82
富山の美術／出品者一覧　p.83
所蔵：□、国新美、東文研
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1990 年 2 月 3 日－3 月 4 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：梅沢直正、津山昌、小川正隆、久泉迪雄、島敦彦、主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送
出品：安達博文、大島秀信、大村雅章、岡田繁憲、尾長良範、川井昭夫、木下晋、清河恵美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、西島直紀、野上祇麿、野村幸子、橋本文良、林清納、藤江民、伏木澄夫、古川通泰、堀浩哉、松原龍夫、柳原幸子、伊藤公象、岩城信嘉、大成浩、谷口義人、富山省三、中村滝雄、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

現代美術の展望―’90 FUKUOKA 変貌する布〈意味を消された現場から〉 ●
福岡県立美術館　1990 年 2 月 27 日　シリーズ第 2 回展
あいさつ（館長大鶴英雄） p.3　英文併載

基調報告 意味を消された現場から（後藤耕二） pp.6-9
変貌する布〈5 人の作家から〉（川浪千鶴） pp.10-13
図版〔作家略歴、制作ノート、活動歴、図版〕 pp.15-55
制作ノート（植松奎二、河口龍夫、庄司達、車季南、濱谷明夫）
出品リスト pp.57-58
主要参考文献 p.59
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項〔下記別冊に同じ〕

現代美術の展望―'90 FUKUOKA 変貌する布〈意味を消された現場から〉〔別冊〕
福岡県立美術館 1990 年 3 月 1 枚(三ツ折両面刷)
図版〔展示写真〕
出品リスト
註：展示写真を収録するため会期半ばの 3 月 12 日に刊行されたもの。諸 OPAC には付録と記載されているが展覧会事項に関して別冊の方が正確なのでこれを用いた。
所蔵：〔別冊明記されている館〕□、国新美、東近美、東博資、東大駒、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Forceful Fiber：Five Artists from The Forefront」
会期：1990 年 2 月 27 日－3 月 25 日 福岡県立美術館 主催：福岡県立美術館
出品：植松奎二、河口龍夫、庄司達、車季南、濱谷明夫〔出品リスト順〕

プライマル スピリット－今日の造形精神 ●
アルカンシェール美術財団 1990 年 3 月 10 日 日本語訳版(2 分冊のうち)
ごあいさつ（アール A. パウェル 3 世・原俊夫） p.4
序文（原俊夫） pp.5-8
イントロダクション（ハワード N. フォックス） pp.9-14
プライマル スピリット（ハワード N. フォックス） pp.15-24
図版〔作家インタビュー、作家のことば、図版〕 pp.25-45
〔作家インタビュー〕(海老塚耕一、遠藤利克、ふじい忠一、川俣正、剣持和夫、國安孝昌、徳重恵美子、戸谷成雄、土屋公雄)、〔作家のことば〕（若林奮）
略歴 pp.46-52
文献リスト pp.53-69
出品リスト p.70
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A Primal Spirit：Ten Contemporary Japanese Sculptors」
会期：1990 年 3 月 10 日－4 月 15 日 渋川市・ハラ ミュージアム アーク 主催：原美術館・ロサンゼルス カウンティ美術館
註：標題紙に「このカタログは、アメリカ巡回展 "A Primal Spirit：Ten Contemporary

Japanese Sculptors”の英文展覧会カタログを邦訳したサプリメントである」とあり
出品：海老塚耕一、遠藤利克、ふじい忠一、川俣正、剣持和夫、國安孝昌、徳重恵美子、戸谷成雄、土屋公雄、若林奮〔出品リスト順〕

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉Vol.1 資料編 ●
水戸芸術館現代美術ギャラリー　1990 年 3 月　開館記念展
開館のごあいさつ（館長吉田秀和）　p.5
ごあいさつ（中原佑介）　p.7
現代美術の位置（中原佑介）　pp.8-10
図版〔作家略歴、作家解説、作品リスト〕　pp.11-104
　作家解説（浅井俊裕、渡部誠一、寺門寿明、萬木康博、森司、長谷川祐子）
主な文献〈1980 年代のカタログを中心に〉（中島理壽編）　pp.106-114
Vol.1 所蔵：□、国新美、東近美、東文研(I 期)、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Game of Manners Japanese Art in 1990」
会期：I 期・1990 年 3 月 22 日－5 月 6 日、II 期・5 月 19 日－7 月 1 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館
出品：I 期；中原浩大、川島慶樹、矢野美智子、戸谷成雄、青木野枝、福田美蘭、関口敦仁、平林薫、大竹伸朗、宮島達男、川俣正。II 期；増田聡子、上野慶一、西村陽平、仁科茂、坂口正之、吉澤美香、橋本真之、秋山陽、荒敦子、神山明、國安孝昌、千崎千恵夫〔VOL.2 目次順〕

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉Vol.2 記録編　　水戸芸術館現代美術ギャラリー編集
水戸芸術館　1990 年　開館記念展
図版〔本展出品作エスキース、イメージ・ドローイング、制作・設置状況写真、作品写真、会場写真ほか〕　pp.5-29, 35-61
　I 期ドキュメンテーション　pp.30-34
　II 期ドキュメンテーション　pp.62-65
註：発行日は記載されていない。II 期(5 月 19 日－7 月 1 日)のなかばか会期後の刊行と推測される。
Vol.2 所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項〔Vol.1 資料編に同じ〕

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉 I 期〔リーフレット〕
水戸芸術館　1990 年 3 月　1 枚(三ツ折両面刷)
図版〔作家のことば、図版〕　4p.
所蔵：□、国新美
○展覧会事項〔Vol.1 資料編に同じ〕

作法の遊戯〈'90 年春・美術の現在〉 II 期〔リーフレット〕

水戸芸術館　1990 年〔5〕月　1 枚(三ツ折両面刷)
図版〔作家のことば、図版〕 4p.
〔作家のことば〕(増田聡子、上野慶一、西村陽平、仁科茂、吉澤美香、坂口正之、橋本真之、荒敦子、秋山陽、神山明、千崎千恵夫、國安孝昌)
所蔵：□、国新美、和光大(VOL.2 に貼付)
○展覧会事項〔Vol.1 資料編に同じ〕

The Game of Manners：Japanese Art in 1990〔英語版〕
英語版所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学
○展覧会事項〔Vol.1 資料編に同じ〕

特別展〈具体〉未完の前衛集団〈兵庫県立近代美術館所蔵作品を中心に〉●
渋谷区立松濤美術館　1990 年 4 月
あいさつ（渋谷区立松濤美術館） p.9
具體美術宣言（吉原治良） pp.11-12　再録
図版　pp.13-68
拡散と凝縮〈吉原治良と具体美術協会〉（中島徳博） pp.70-74
「具体」への入口（千葉成夫） pp.75-79
ラディカルな欠如〈初期・具体美術協会〉（光田由里） pp.80-87
具体のことば（吉原治良、村上三郎、吉田稔郎、白髪富士子、白髪一雄、嶋本昭三、金山明、田中敦子、山崎つる子、浮田要三、鷲見康夫、元永定正、吉原通雄、ミシェル・タピエ、向井修二、松谷武判、正延正俊、上前智祐、前川強） pp.88-101　再録
出品リスト　pp.102-103
出品資料リスト　pp.104-105
作家略歴　pp.106-112
主要参考文献資料　pp.113-116
年表（光田由里編） pp.117-129
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1990 年 4 月 10 日－5 月 27 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
出品：吉原治良、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、金山明、田中敦子、元永定正、吉原道雄、村上三郎、山崎つる子、上前智祐、鷲見康夫、正延正俊、浮田要三、吉田稔郎、向井修二、前川強、松谷武判〔出品リスト順〕

「浮遊する彫刻」図録 ●
練馬区立美術館　1990 年 5 月
ごあいさつ（練馬区立美術館）
「浮遊する彫刻」展開催をめぐって（横山勝彦）
図版〔図版、作品目録、略年譜〕75p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Sculptures；beyond gravity」

会期：1990 年 5 月 3 日－6 月 10 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：北代省三、北山善夫、昆野恆、庄司達〔図版収載順〕

絵画/日本－断層からの出現 カタログ　　東高現代美術館＋SCAI 編 ●

東高現代美術館　1990 年 5 月　主に英文併載

ごあいさつ（館長井谷助二郎）　p.5

断層からの出現（峯村敏明）　pp.7-13, 14-20

図版　pp.21-36

作家略歴、展覧会歴、文献　pp.37-44　文献のみ和文・欧文

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Painting/Japan-Emerging through Discontinuity」

会期：1990 年 5 月 18 日－6 月 17 日　表参道・東高現代美術館　主催：東高現代美術館

出品：上野慶一、中原浩大、中村一美、松浦寿夫、松本春崇〔図版収載順〕

「あそびのこころ」展 ●

世田谷美術館　1990 年 5 月　21 枚(両面刷)

ごあいさつ（世田谷美術館）　p.1　英文併載

遊びと芸術〈ある実践的な試み〉（大島清次）　pp.2-5　英文併載

「あそびのこころ」が求めるもの（高橋直裕）　pp.6-9　英文併載

図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.10-40

〔作家のことば〕（伊藤知香、熊谷優子、スタン・アンダソン、土屋公雄、藤岡蕙子、松本秋則、最上壽之、渡辺豊重）

註：本カタログはバラ 21 枚で、会期・会場の記載および出品目録は無い。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「an instinct for play」

会期：1990 年 5 月 26 日－6 月 24 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：伊藤知香、熊谷優子、スタン・アンダソン、土屋公雄、藤岡蕙子、松本秋則、最上壽之、渡辺豊重〔図版収載順〕

第 4 回富山国際現代美術展 ●

富山県立近代美術館　1990 年 7 月　主に欧文併載

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.5

「富山国際現代美術展」の軌跡によせて（小川正隆）　pp.7-9, 10-12

図版　pp.13-35

フランス・セクション　pp.37-60

イタリア・セクション　pp.61-78
スペイン・セクション　pp.79-100
日本セクション〔論考、作家のことば、図版〕　pp.101-127
NEW ART に寄せる日本の立場（小川正隆）　p.102
日本の中で、世界の中で（大坪健二）　pp.103-105, 105-107
〔作家のことば〕（海老塚耕一、舟越桂、木村秀樹、北辻良央、北山善夫、田中薫）　英文併載
作品リスト　pp.130-133
作家略歴　pp.134-141, 142-148
富山国際現代美術展の歩み　pp.150, 151
第 4 回富山国際現代美術展 連続イベント・講演会「富山発：もう一つの発言」p.152
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TOYAMA NOW '90　The 4th International Contemporary Art Exhibition, Toyama NEW ART FROM THE MEDITERRANEAN AND JAPAN」
会期：1990 年 7 月 4 日－8 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
出品：日本セクション；海老塚耕一、舟越桂、木村秀樹、北辻良央、北山善夫、田中薫〔作品リスト順〕
註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

「世界の飢えを考えよう――国際美術展」日本展図録 ●

「世界の飢えを考えよう――国際美術展」実行委員会・世田谷美術館・朝日新聞社　1990 年 7 月
ごあいさつ（「世界の飢えを考えよう――国際美術展」実行委員会・世田谷美術館・朝日新聞社）
飢餓の現実（石弘之）　pp.102-103
図版〔図版、作家のことば〕　pp.104-111
〔作家のことば〕（神山明、鈴木省三、平林薫、眞板雅文、矢野美智子、李禹煥、若林奮）
出品リスト　pp.112-115
註：本展は世界巡回展の日本展で、この日本展に際して 8 名の日本作家が出品している。この目録では日本展のカタログのために付せられた部分を記載した。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE INTERNATIONAL ART SHOW FOR THE END OF WORLD HUNGER」
会期：1990 年 7 月 7 日－8 月 5 日　世田谷美術館　主催：「世界の飢えを考えよう――国際美術展」実行委員会・世田谷美術館・朝日新聞社
出品：大竹伸朗、神山明、鈴木省三、平林薫、眞板雅文、矢野美智子、李禹煥、若林奮〔出品リスト順〕

註：出品欄には日本展出品の日本作家を収載。

第 9 回平行芸術展 既視感の食卓 ●

財団法人小原流　1990 年 7 月　1 枚(両面刷)

1990 年――「食卓派」の登場（峯村敏明）

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 7 図

〔作家のことば〕（石原友明、髙柳恵里、竹内義郎、舟越直木、チャールズ・ウォーゼン、山崎豊三、山田和夫）

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 7 月 13 日－31 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：石原友明、髙柳恵里、竹内義郎、舟越直木、チャールズ・ウォーゼン、山崎豊三、山田和夫〔図版収載順〕

脱走する写真 11 の新しい表現 ●

水戸芸術館現代美術ギャラリー　1990 年 8 月 1 日　主に英文併載

ごあいさつ（芸術総監督中原佑介） pp.6, 7　英文併載

“脱走する写真”をめぐって（寺門寿明） pp.8-11

写真：解禁された誘惑装置〈80 年代の多様なる表現への考察〉（長谷川祐子） pp.12-15

I 作家資料〔作家のことば、図版、作家略歴〕 pp.16-119

〔作家のことば〕（森村泰昌〔1 行〕、今道子、川村克彦、三上浩、達川清、遊佐辰也、アイデアル・コピー、海東忠彦、森村泰昌＋山崎亨＋近藤滋、ソフィ・カル、ダグ&マイク・スターン）

II 展覧会ドキュメント〔展示風景、図版〕 pp.120-143

関連企画　p.144

III 作家解説（長谷川祐子、寺門寿明） pp.145-173

出品作品リスト　pp.174-175

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Beyond the Photographic Frame－11 Recent Works」

会期：1990 年 7 月 14 日－8 月 26 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：森村泰昌、森村泰昌＋山崎亨＋近藤滋、海東忠彦、川村克彦、遊佐辰也、アイデアル・コピー、今道子、三上浩＋達川清〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載した。

戦後写真・再生と展開 ●

山口県立美術館　1990 年 7 月

図版　pp.5-132

再生と展開〈戦前・戦後をつらぬくもの〉（金子隆一） pp.133-138
リアリズムという問題（飯沢耕太郎） pp.139-143
主観主義の隘路（飯沢耕太郎） pp.144-148
戦後写真・再生と展開〈展覧会ノート〉（榎本徹） pp.149-151
年表・1945～55 pp.152-162
作家紹介 pp.163-212
作品リスト pp.213-219
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TWELVE PHOTOGRAPHERS IN JAPAN 1945～55」
会期：1990 年 7 月 20 日－8 月 26 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館
出品：林忠彦、土門拳、金井精一、木村伊兵衛、濱谷浩、小島一郎、福島菊次郎、福田勝治、本庄光郎、植田正治、岩宮武二、大辻清司〔作品リスト順〕

ワークショップ・手と目の冒険広場 PAPIER：紙物語－美しく繊細な造形 ●
目黒区美術館　1990 年 7 月
ワークショップ・手と目の冒険広場「PAPIER：紙物語」会場構成 p.4
目黒区美術館のワークショップ〈ごあいさつにかえて〉（館長加藤貞雄） p.5
紙物語（降旗千賀子） pp.7-10
イメージの広がる洋紙の世界 p.11
伝統が息づく和紙の形 p.12
空間に漂う紙の造形(現代美術より） p.13
図版〔作家略歴、図版、解説〕 pp.14-51
出品リスト pp.52-55
オリジナル教材－紙の素材見本 pp.56-57
造形講座 pp.58-59
参考文献 p.60
紙に関する主な資料館 p.61
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
会期：1990 年 7 月 28 日－8 月 26 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
出品：イメージの広がる洋紙の世界；尾川宏、川上喜三郎、北川佳子、田代耕司、茶谷正洋、友岡秀秋、永井一正、平野友一、広井敏通、藤本雅子、三浦公亮、吉崎元造。伝統が息づく和紙の形；荒木真喜雄、内山光弘。空間に漂う紙の造形；北山善夫、高田洋一、中川真木〔出品リスト順〕

美術の現在 4 つの試み〈宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展〉 ●
和歌山県立近代美術館　1990 年 7 月
ごあいさつ（和歌山県立近代美術館） p.3

図版〔作家のことば、図版、出品目録、年譜〕 pp.5-75

〔作家のことば〕（宮﨑豊治、北山善夫、木村秀樹、野田裕示）

展覧会ノート（安來正博、奥村泰彦） pp.76-80

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 7 月 28 日－8 月 26 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館

出品：宮﨑豊治、北山善夫、木村秀樹、野田裕示〔図版収載順〕

土の造形 ●

栃木県立美術館　1990 年 7 月

あいさつ（栃木県立美術館） p.3

土の造形へのプロローグ（青木宏） pp.4-7

カラー図版　pp.9-18

カタログ〔作家略歴、図版〕 pp.19-59　英文併載

出品目録　p.61-63

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Japanese Clay Work Today」

会期：1990 年 7 月 29 日－9 月 16 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：秋山陽、伊藤公象、伊藤知香、井上雅之、笠原恵実子、笠原由起子、假屋崎省吾、清水柾博、久谷蔦枝、小池雅久、齋藤敏寿、杉浦康益、田中正弘、西村陽平、松井利夫、三島喜美代、三梨伸、森脇隆赫、尹熙倉、寄神宗美〔作品目録順〕

特別展 松濤美術館 現代の版画 1990 ●

渋谷区立松濤美術館　1990 年 8 月

あいさつ（渋谷区立松濤美術館） p.7

今日の版画状況について（小倉忠夫） pp.9-11

図版〔作家略歴、作家本人のコメント、図版〕 pp.13-82

〔作家本人のコメント〕（秋岡美帆、池田良二、磯見輝夫、井上厚、遠藤竜太、大浦信行、岸中延年、北辻良央、小枝繁昭、越谷賢一、小山愛人、高原洋一、田中孝、出店久夫、永原ゆり、林孝彦、筆塚稔尚、山口啓介、山本容子、若月公平）

現代の現在地点（瀬尾典昭） pp.85-89

総目録　pp.90-92

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 8 月 7 日－9 月 16 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館
出品：秋岡美帆、池田良二、磯見輝夫、井上厚、遠藤竜太、大浦信行、岸中延年、北辻良央、小枝繁昭、越谷賢一、小山愛人、高原洋一、田中孝、出店久夫、永原ゆり、林孝彦、筆塚稔尚、山口啓介、山本容子、若月公平〔総目録順〕

第 5 回北の彫刻展〈北海道の作家たち・730 日の軌跡〉図録 ●
札幌彫刻美術館　1990 年 8 月
ごあいさつ（札幌彫刻美術館）　p.3
図版〔作家略歴、図版〕　pp.4-55
出品目録　pp.56-57
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1990 年 8 月 30 日－10 月 14 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館・札幌彫刻美術館専門委員会
出品：本田明二、砂澤ビッキ、秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岩下碩通、岡沼淳一、小野寺紀子、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、山谷圭司、米坂ヒデノリ〔出品目録順〕

日本の眼と空間〈もうひとつのモダン・デザイン〉 ●
セゾン美術館　1990 年 9 月
ごあいさつ（館長紀国憲一）　p.5
図版　pp.9-43
序論――「日本の眼と空間」の目指すもの（新見隆）　pp.45-54, 292-293　英文併載
20 世紀美術とデザインにおける日本の伝統の融和：イサム・ノグチ、八木一夫、白井晟一（バート・ウィンザー）　pp.81-84, 302-305　和文・英文
註：現代作家に関する論考のみ採録。また、出品欄も戦後の章を収載した。
カタログ〔章解説、作家解説、図版〕　pp.85-268
　章解説、作家解説（大塚保子、鍵岡正謹、鈴木尊志、新見隆）
関連年表（梅宮弘光編）　pp.270-289
出品作家主要展覧会　p.290
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Japanese Aesthetics and Sense of Space　Another Aspect of Modern Japanese Design」
会期：1990 年 9 月 8 日－24 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館
出品：第 IX 章 近代の超克へ――その三つのかたち；白井晟一、八木一夫、イサム・ノグチ。
第 X 章 戦後デザインにおける「和風」；黒田辰秋、剣持勇、内田邦夫〔図版収載順〕

Art Today 1990 複製技術時代の芸術(アウラ)復興 ●

セゾン文化財団・軽井沢高輪美術館　1990 年 9 月

複製技術時代の芸術(アウラ)復興（セゾン文化財団・軽井沢高輪美術館・セゾン美術館）pp.4-5

図版〔作家略歴、作家論、図版〕 pp.6-37

〔作家論〕（中村麗、難波英夫、清水哲朗、杉山悦子）

出品リスト　pp.38-39

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART TODAY '90」

会期：1990 年 9 月 8 日－11 月 4 日　軽井沢高輪美術館　主催：セゾン文化財団・軽井沢高輪美術館・セゾン美術館

出品：長沢秀之、矢野美智子、近藤昌美、豊嶋康子〔出品リスト順〕

日本の現代美術・交錯する 12 の軌跡 ●

川村記念美術館　1990 年 9 月　企画展示　1 枚(二ツ折両面刷)

PROFILE

〔展示配置図〕

所蔵：□、国新美、東近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 9 月 12 日－1991 年 4 月　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館

出品：荒川修作、飯田善國、オノサト・トシノブ、桑山忠明、斎藤義重、菅井汲、高松次郎、堀内正和、山口勝弘、山口長男、李禹煥、若林奮〔PROFILE 順〕

第 10 回ハラ アニュアル ●

アルカンシェール美術財団　1990 年 9 月 26 日　主に英文併載

ごあいさつ（館長原俊夫）

第 10 回ハラ アニュアルを迎えて（金澤毅）

出品作家〔一覧〕

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕 20p.

〔作家のことば〕（島剛、杉浦康益、高木由利子、髙柳恵里、田旗浩一、中岡慎太郎、中村一美、山口啓介）　和文のみ

出品作品リスト

これまでのハラ アニュアル展記録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「HARA ANNUAL X」

会期：1990 年 9 月 26 日－11 月 11 日　北品川・原美術館　主催：原美術館

出品：岡部俊彦、斎藤史門、島剛、杉浦康益、高木由利子、髙柳恵里、田旗浩一、中岡慎太

郎、中村一美、山口啓介〔出品作品リスト順〕

東京アヴァンギャルドの森 1946-1956 ●

板橋区立美術館　1990 年 9 月　特別展　シリーズ ART IN TOKYO No.2

ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.2

「政治という」密室と「アトリエという」密室〈1946-1956 に見られる日本の前衛美術運動〉（尾崎眞人）　pp.3-4

図版　pp.5-70

世紀画集　p.71

資料ノート　pp.72-76

世紀群、週刊小河内、日本アンデパンダン展、日本アンデパンダン展＝読売アンデパンダン展、前衛美術会、ニッポン展、日本青年美術家連合(青美連)、日本アヴァンギャルド美術家クラブ、世紀の会、実験工房、絶対象派協会－昴、アートクラブ、パンと薔薇の会、「現在」と「列島」、集団 30、美術批評

作家解説　pp.77-82

出品目録　pp.83-85

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 9 月 29 日－10 月 28 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：靉嘔、朝妻治郎、阿部展也、池田龍雄、池田満寿夫、井上長三郎、石井茂雄、糸園和三郎、榎本和子、大塚睦、岡本太郎、片谷曖子、桂ゆき、桂川寛、河原温、川端実、川口軌外、北代省三、小牧源太郎、斎藤義重、佐田勝、下郷羊雄、白木正一、新海覚雄、末松正樹、杉全直、高山良策、曹良奎、勅使河原宏、利根山光人、中村宏、難波田龍起、早瀬龍江、尾藤豊、福島秀子、藤川曜子、藤沢典明、古沢岩美、間所〔芥川〕紗織、箕田源二郎、村井正誠、村上善男、山下菊二、山口勝弘、吉仲太造〔作家解説順〕

「現代の土」展 ●

東京都美術館　1990 年 10 月 18 日　特別展図録第 20 号

ごあいさつ（東京都美術館）

現代美術における土の造形（乙葉哲）

カタログ〔作家のことば、図版〕

〔作家のことば〕（速水史朗、鯉江良二、國安孝昌、三島喜美代、荒木高子、杉浦康益、伊藤公象）

配置図

記録〔年譜、文献、図版〕

年譜（河合晴生編）、文献（鳥居正利＋河合晴生編）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ASPECTS OF CONTEMPORARY CLAY ART」

会期：1990 年 10 月 5 日－12 月 1 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：速水史朗、鯉江良二、國安孝昌、三島喜美代、荒木高子、杉浦康益、伊藤公象〔図版収載順〕

ミニマル・アート ●

国立国際美術館　1990 年 10 月 6 日

あいさつ（国立国際美術館）p.3　英文併載

はじめに－ミニマル・アートの遠近（村田慶之輔）　p.7

ミニマル・アート〈立体への過程〉（藤枝晃雄）　pp.8-10

ミニマル・アートにおける絵画（尾野正晴）　pp.11-13

もの派とミニマリズム（建畠哲）　pp.14-16

カタログ〔作家略歴、解説もしくは作家のことば、図版、作品リスト〕　pp.17-109

〔作家のことば〕（桑山忠明、小清水漸、辰野登恵子、原口典之、山田正亮、李禹煥）

〔解説〕（中村敬治、藤枝晃雄）

註：カタログの「解説」に関しては日本人作家のみ記載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「MINIMAL ART」

会期：1990 年 10 月 6 日－11 月 25 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：カール・アンドレ、ラリー・ベル、ダン・フレイヴィン、ドナルド・ジャド、エルスワース・ケリー、ソル・ルウィット、ロバート・マンゴールド、ブライス・マーデン、アグネス・マーチン、ロバート・モリス、バーネット・ニューマン、アド・ラインハート、ロバート・ライマン、リチャード・セラ、フランク・ステラ、桑山忠明、小清水漸、榊健、辰野登恵子、田中信太郎、原口典之、福嶋敬恭、山田正亮、吉田克朗、李禹煥〔図版収載順〕

現代の陶芸 1980－1990〈関西の作家を中心として〉展図録 ●

和歌山県立近代美術館　1990 年 10 月

ごあいさつ（和歌山県立近代美術館）　p.5

図版〔作家のことば、図版、作家解説、作家略歴〕　pp.6-101

〔作家のことば〕（秋山陽、荒木高子、川上力三、清水柾博、笹山忠保、佐藤敏、鈴木治、坪井明日香、林秀行、林康夫、星野暁、三島喜美代、宮永理吉、森野泰明、柳原睦夫、山田光）

〔作家解説〕（奥村泰彦、安來正博、寺口淳治、浜田拓志）

出品目録　pp.102-103

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 10 月 6 日－28 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館
出品：秋山陽、荒木高子、川上力三、清水柾博、笹山忠保、佐藤敏、鈴木治、坪井明日香、林秀行、林康夫、星野暁、三島喜美代、宮永理吉、森野泰明、柳原睦夫、山田光〔出品目録順〕

1st. 北九州ビエンナーレ ●
北九州市立美術館　1990 年 10 月 18 日
ごあいさつ（北九州市立美術館）　p.3
ビエンナーレ・過去・今・after one decade（山根康愛）　pp.4-5
図版〔作家略歴、作家解説、図版、作家のことば〕　pp.6-51
〔作家解説〕（林田直子、黒岩恭介、山根康愛、真武真喜子）
〔作家のことば〕（荒敦子）
主な文献・資料　pp.53-55
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「1st. Kitakyushu Biennale」
会期：1990 年 10 月 18 日－11 月 11 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館
出品：青木野枝、荒敦子、福田美蘭、増田聡子、吉澤美香〔図版収載順〕

流動する美術－II メディアの複合 音と造形 ●
福岡市美術館　1990 年 10 月
ごあいさつ（福岡市美術館）　p.2
メディアの複合－音と造形（松浦仁）　pp.3-5
図版〔作家略歴、作家のことば、図版、文献再録〕　pp.6-22
〔作家のことば〕（藤本由紀夫、氏家啓雄）
出品リスト　p.23
所蔵：□、国新美、東文研、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art in Flux II　COMBINED MEDIA SOUND AND FORM」
会期：1990 年 10 月 23 日－12 月 9 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：藤本由紀夫、氏家啓雄

自然を愛する芸術家たち〈バルビゾン派からコンテンポラリーフォトグラファーまで〉 ●
目黒区美術館・産経新聞社・富士カントリー　1990 年 10 月　目黒区緑化都市宣言記念展
ごあいさつ（館長加藤貞雄）　p.1
自然を愛する芸術家たち（阿部良雄）　pp.2-8, 175-181　英文併載
図版　pp.9-147
19 世紀フランスにおける自然と写真〈森林・樹木・花〉（村山康男）　pp.149-151, 181-183　英文併載
現代写真と自然について（杉浦邦恵・石原悦郎）　pp.152-154, 183-185　英文併載
作家解説（画家；稲賀繁美、阿部良雄、写真家；前田実、福地麻理子）pp.155-172

年表（絵画；阿部良雄編、写真；前田実編） p.173

略書誌（阿部良雄、福地麻理子編） p.174

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Artists Who Love Nature：From Barbizon School to Contemporary Photographers」

会期：1990 年 10 月 27 日－12 月 24 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区・目黒区教育委員会・産経新聞社

出品：写真家；遠藤竜太、深瀬昌久、合田佐和子、服部冬樹、林隆喜、池田満寿夫、神蔵美子、松江泰治、森山大道、永原ゆり、清家冨夫、柴田敏雄、杉本博司、杉浦邦恵、高木由利子、田村彰英、田中裕子、築地仁、山崎博〔図版収載順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本人写真家を収載。なお画家には日本作家は含まれていない。

プリンテッド・アート展〈版画と写真の臨界点から――〉●

山口県立美術館　1990 年 11 月

ごあいさつ（山口県立美術館）

図版　48p.

写真と版画の新しい関係（針生一郎）

プリントとしての写真を巡る断章（飯沢耕太郎）

写真製版によるシルクスクリーンがもたらしたもの（斎藤郁夫）

作家略歴

作品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 11 月 2 日－12 月 2 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：野田哲也、吉田克朗、木村光佑、島州一、木村秀樹、小山愛人、森岡完介、高原洋一、斉藤智、小本章、小枝繁昭、秋岡美帆、森村泰昌、石原友明〔作品目録順〕

北海道・今日の美術 軽やかさとの対話〈抽象の新傾向〉●

北海道立函館美術館　1990 年 11 月　第 2 回展

あいさつ（北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館） p.3

現代美術の軽やかさ（越前俊也） pp.5-8

カタログ〔作家作品解説、図版、作家経歴〕 pp.9-46

　作家作品解説（新明英仁、越前俊也、穂積利明、五十嵐聡美）

出品リスト　pp.47-49

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1990-91」

会期：1990 年 11 月 9 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1991 年 1 月 6 日－2 月 10 日　北海道立函館美術館／2 月 23 日－3 月 24 日　北海道立旭川美術館　主催：各開催美術館

出品：阿部典英、荒井善則、サカイトシノリ、佐々木徹、渋谷俊彦、下岡孝之、清野泰行、堀田牧史、百瀬寿〔出品リスト順〕

木のニューウェーブ〈イコンの森の思索者たち〉●

北海道立旭川美術館　1990 年 11 月 10 日

あいさつ（主催者）p.3

象徴の森を経て（浅川泰）pp.6-7

アヒロピイトス、あるいは彫刻再生－20 世紀のおわりに木を素材にした作家たち（越前俊也）pp.8-11

図版〔作家略歴、図版〕pp.13-50

出品リスト　pp.51-52

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1990 年 11 月 10 日－12 月 22 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社

出品：阿部典英、川越悟、土屋公雄、戸谷成雄、深井隆、舟越桂〔出品リスト順〕

「戦後写真と東北」展〈周縁へ。周縁から…。〉図録 ●

宮城県美術館　1990 年 11 月

ごあいさつ（宮城県美術館）　p.3

東北撮影行――ひなびとたちの磁場へ（三上満良）　pp.4-6

図版〔作家略歴、図版〕　pp.7-91

出品目録　pp.92-95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Photography & Climatology」

会期：1990 年 11 月 10 日－1991 年 2 月 3 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館

出品：木村伊兵衛、濱谷浩、小島一郎、森山大道、秋山亮二、内藤正敏〔出品目録順〕

今日の作家展 カタログ　　横浜市民ギャラリー編 ●

横浜市・横浜市教育委員会　1990 年 11 月　第 26 回今日の作家展〔'90 トリアス〕

ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）

1 復元力の所在（水沢勉）　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　12p.

〔作家のことば〕（吉田克朗、寺内曜子、長澤伸穂）

2 不在の空間（近藤幸夫）　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 12p.
〔作家のことば〕（白井美穂）
3 拡"大"する版――「エッジ」としての版画（正木基） 英文併載
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 12p.
〔作家のことば〕（一原有徳、秋岡美帆、山口啓介）
今日の作家展 出品作家リスト(1964 年～1990 年)
註：表紙には「第 26 回今日の作家」とあり。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
展名：第 26 回今日の作家展'90 トリアス
欧文タイトル：「The 26th 'Artists Today' Exhibition：TPLαS」
会期：1990 年 11 月 10 日－25 日 関内・横浜市民ギャラリー 企画委員：水沢勉、近藤幸夫、正木基、主催：横浜市・横浜市教育委員会
出品：吉田克朗、寺内曜子、長澤伸穂、白井美穂、柳健司、笠原恵実子、一原有徳、秋岡美帆、山口啓介〔図版収載順〕

観念の刻印〈1990 日本の版画・写真・立体〉●
栃木県立美術館 1990 年 11 月
あいさつ（栃木県立美術館）p.3
観念の刻印（山本和弘）pp.4-7
図版 pp.9-55
〔IDEAL COPY の参加〕p.10
作家略歴 pp.57-70
出品作品チェックリスト pp.71-77
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE IMPRINTED IDEAS」
会期：1990 年 11 月 18 日－1991 年 1 月 20 日 宇都宮・栃木県立美術館 主催：栃木県立美術館
出品：IDEAL COPY、秋岡美帆、H et H、有吉徹、池田良二、一原有徳、片瀬和夫、柄澤齊、河口龍夫、川村克彦、北川健次、剣持和夫、小山穂太郎、今道子、佐藤時啓、菅野由美子、杉本博司、殿敷侃、中川政昭、中村こうたろう〔公太郎〕、松原健、森村泰昌、山口啓介〔出品作品チェックリスト順〕

アート・ナウ〈関西の 80 年代〉●
兵庫県立近代美術館・朝日新聞社 1990 年 11 月 20 日 兵美特展図録 No.120
ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社） p.3
アート・ナウ、あるいは現代美術のアマルガム（中島徳博） pp.4-7
関西の 80 年代（尾崎崎信一郎） pp.8-12
カタログ〔作家一覧、作家解説、主要参考文献・略歴・個展・集団展、図版〕 pp.14-41

作家解説（中島徳博、山崎均、平井章一、尾﨑信一郎）
アート・ナウ出品目録〈関西の 80 年代〉 pp.42, 43 英文併載
関西の 80 年代年表〈集団展を中心に〉（尾﨑信一郎・平井章一編） pp.44-48
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART NOW－Eighties in Kansai－」
会期：1990 年 11 月 20 日－12 月 16 日 神戸・兵庫県立近代美術館 主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社
出品：朝比奈逸人、椿昇、北山善夫、杉山知子、松井智惠、石原友明、中西學、中原浩大、松井紫朗、山部泰司、片山雅史、川島慶樹、田嶋悦子、森村泰昌〔出品目録順〕

第 24 回現代美術選抜展 ●
〔文化庁〕 1990 年 11 月
ごあいさつ（文化庁長官川村恒明） p.7
図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕 pp.9-48
第 24 回現代美術選抜展開催要項 p.49
出品団体・出品点数一覧 p.49
〔出品団体系図〕 p.50
所蔵：□、国新美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：秋田展；1990 年 11 月 22 日－12 月 6 日 アトリオン美術展示ホール(秋田総合生活文化会館美術館) 主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県／青森展；12 月 11 日－26 日 弘前市立博物館 主催：文化庁・青森県教育委員会・弘前市・弘前市教育委員会・弘前市立博物館／徳島展；1991 年 1 月 6 日－20 日 徳島県郷土文化会館 主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館／高知展；1 月 25 日－2 月 10 日 高知県立郷土文化会館 主催：文化庁・高知県教育委員会・高知県立郷土文化会館／愛媛展；2 月 14 日－28 日 今治市河野美術館 主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市河野美術館
出品：日本画；伊藤彬、小山硬。洋画；松本英一郎、安原竹夫。版画；遠藤享、河内成幸。彫刻；小田襄〔図版収載順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

建築のラスト・シーン――都市[TOKYO]の欲望のプログラム ●
東高現代美術館 1990 年 12 月 1 日 英文併載 分冊共 2 冊
ごあいさつ（館長井谷助二郎） p.3
終わりのないラスト・シーン――建築以降の建築を巡って（鈴木隆之） pp.4-7,8-10
図版〔図版、マニフェスト〕 pp.11-19
建築の見えない欲動（伊藤俊治） pp.20, 21
〔作家略歴〕 pp.22-26, 27-31
□分冊〔全 16 ページ〕

図版〔展示プラン、展示写真〕 14p.
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大(分冊欠)
○展覧会事項
欧文タイトル：「Last Scene in Architecture Program of Desire in the City / TOKYO」
会期：1990 年 12 月 1 日－24 日　表参道・東高現代美術館　ゲスト・キュレーター：鈴木隆之、主催：東高現代美術館
出品：シーラカンス、渡辺誠／アーキテクツ オフィス、古谷誠章、髙崎正治、入江経一、TAO Architects、妹島和世、竹山聖〔図版収載順〕

1991（平成 3）年
シガ・アニュアル'91 自己との遭遇――パリに学んだエスプリ ●
滋賀県立近代美術館　1991 年 1 月　第 5 回展
ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）
自己との遭遇〈パリに学んだエスプリ〉（占部敏子）
カラー図版　14p.
作家紹介・モノクロ図版〔作家のことば、作家歴、図版〕 33p.
〔作家のことば〕（コリン・ミノル、立山正一、中島千剛、渡辺良雄）
作品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、京都学、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '91」
会期：1991 年 1 月 5 日－2 月 11 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館
出品：コリン・ミノル、立山正一、中島千剛、渡辺良雄〔作品リスト順〕
子どもと現代美術シリーズ　箱の世界 do it yourself 展 ●
水戸芸術館現代美術ギャラリー　1991 年 2 月 9 日
ごあいさつ（水戸芸術館現代美術ギャラリー） p.7
序文「箱の世界 do it yourself」展について（森司） pp.8-9
「明るい箱」〈楽園についての覚書き〉（浅井俊裕） pp.10-12
カタログ〔図版〕 pp.13-87
作家略歴（浅井俊裕、森司） pp.89-98
出品リスト　pp.99-103
註：編集は長谷川祐子、森司。
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE WORLD OF BOX DO IT YOURSELF」
会期：1991 年 2 月 9 日－3 月 24 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館
出品：マルセル・デュシャン、マン・レイ、ルイーズ・ニーヴェルスン、ジョセフ・コーネ

ル、ヨゼフ・ボイス、ジョージ・シーガル、エドワード・キーンホルツ、ドナルド・ジャッド、ソル・ルウィット、ナムジュン・パイク、ラリー・ベル、草間彌生、加納光於・大岡信、荒川修作、清塚紀子、河口龍夫、菅木志雄、古渡章、間島領一、戸谷成雄、北山善夫、白川昌生、田窪恭治、柄澤齊、藤本由紀夫、北川健次、前本彰子、小林健二、杉山知子、河西立雄、木村卓也、藤浩志、越前谷嘉高、笠原恵実子、赤崎みま〔出品リスト順〕

「ねりまの美術'91－彫刻の現在」展図録 ●

練馬区立美術館　1991 年 2 月　別冊共 2 冊

ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.3

参考図版　pp.5-53

出品作家インタビュー（青木野枝、伊藤誠、岡崎乾二郎、海崎三郎、金沢健一、寺田真由美）　pp.54-63

作家略歴　pp.64-88

図版リスト　pp.89-91

□別冊〔全 16 ページ〕

展示写真　14p.

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 2 月 9 日－3 月 21 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：青木野枝、伊藤誠、岡崎乾二郎、海崎三郎、金沢健一、寺田真由美〔図版リスト順〕

今日の造形 7 現代美術〈日本の心〉展 ●

岐阜県美術館　1991 年 2 月

ごあいさつ（館長竹中寿一）　p.3　英文併載

日本現代美術覚書'91（青木正弘）　pp.5-8, 9-13　英文併載

カタログ〔コメント、略歴、図版〕　pp.14-75

コメント（井田照一、小清水漸、諏訪直樹〔再録〕、辰野登恵子、戸谷成雄〔再録〕、中村一美、林武史、彦坂尚嘉、平林薫、堀浩哉、宮島達男、籔内佐斗司、李禹煥）

参考文献　pp.77-92

出品リスト　pp.93-98

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 7th ART NOW：Contemporary Art “The Mind of Japan”」

会期：1991 年 2 月 16 日－3 月 24 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館

出品：井田照一、遠藤利克、小清水漸、諏訪直樹、辰野登恵子、戸谷成雄、中村一美、野村仁、林武史、彦坂尚嘉、平林薫、堀浩哉、宮島達男、籔内佐斗司、李禹煥〔作品リスト順〕

よこはまの作家たち'91 それぞれの美術の表現　　横浜市民ギャラリー編 ●

横浜市・横浜市教育委員会　1991 年 3 月

ごあいさつ（教育長上野初雄）

図版〔作家略歴、図版〕 pp.1-20

出品リスト　pp.21-22

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 3 月 5 日－17 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：甲斐哲義、グレン・アンダーソン、高間夏樹、中上清、宮田翁輔、和田守弘、小田野尚之、松本勝、森田佑子、山本直彰、隈部滋子、黒田茂樹、利渉重雄、陰里寿朗、海老塚耕一、川村直子、神山明、鈴木明、難波京子、櫻井宏哉〔出品リスト順〕

神奈川アート・アニュアル'91 ●

神奈川県立県民ホール　1991 年 3 月 7 日　第 4 回展

あいさつ（神奈川県立県民ホール） p.1

「神奈川アート・アニュアル'91」によせて（針生一郎） pp.2-3

1990 年をふりかえって（近藤幸夫） p.4

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.6-18

〔作家のことば〕（内倉ひとみ、岡本禎子、カナイヒロミ、菊谷直美、庄司恵、鈴木省三、中谷欣也、難波京子、蓑田貴子、森脇隆赫、朴元姫、劉明均）

出品目録　pp.19-20

〔第 1 回-第 3 回神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕 p.21

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '91」

会期：1991 年 3 月 7 日－24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、弦田平八郎、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：井口大介、内倉ひとみ、岡本禎子、カナイヒロミ、菊谷直美、庄司恵、鈴木省三、中谷欣也、難波京子、蓑田貴子、森脇隆赫、朴元姫、劉明均〔出品目録順〕

現代の美術・今日の情況展 II〈この地方で、いま…〉図録 ●

東広島市立美術館　1991 年 3 月 9 日　特別展図録第 16 号

あいさつ　扉

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 pp.1-29

〔作家のことば〕（入野忠芳、奥田秀樹、北田和広、木下和、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、松尾裕人、三原捷宏、吉田正浪、藤崎恒頼、堀晃、堀研、前川謙一、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一）

出品目録　pp.30-31

所蔵：□、国新美、都現美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1991 年 3 月 9 日－31 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館
出品：入野忠芳、奥田秀樹、北田和広、木下和、河野通男、斎藤俊徳、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、松尾裕人、三原捷宏、吉田正浪、藤崎恒頼、堀晃、堀研、前川謙一、吉村芳生、五十嵐晴夫、高原洋一〔出品目録順〕

現代の美術～アメリカと日本〈滋賀県立近代美術館所蔵名品展〉●
埼玉県立近代美術館　1991 年 4 月
ごあいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.2
戦後アメリカ美術の展開
　戦後アメリカ美術の流れ〈抽象表現主義からポップ・アートまで〉（高橋佐智子）　pp.4-6
　図版　pp.7-30
日本の現代美樹
　戦後日本美術の流れ〈出品作家を中心として〉（小林昌夫）　pp.32-34
　図版　pp.35-50
作家解説　pp.52-57
出品目録　pp.58-61
註：編集は松永康、中村誠。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1991 年 4 月 6 日－5 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：イサム・ノグチ、今井俊満、宇佐美圭司、加納光於、桑山忠明、斎藤義重、白髪一雄、菅井汲、高松次郎、田中敦子、堂本尚郎、中西夏之、元永定正、山口長男、山田正亮、李禹煥〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

MITO ANNUAL ’91 美術とメッセージ VOL.1 ●
水戸芸術館　1991 年 4 月　展覧会資料第 9 号
あいさつ（ギャラリー長吉田光男）　p.5　英文併載
美術とメッセージ――BEYOND THE MANIFESTO（渡部誠一）　pp.6-12
図版　pp.13-76
経歴・文献資料　pp.77-79　経歴のみ英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MITO ANNUAL ’91　BEYOND THE MANIFESTO」

会期：1991 年 4 月 13 日－6 月 2 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館
出品：小林健二、殿敷侃、長澤伸穂〔図版収載順〕

MITO ANNUAL '91 美術とメッセージ VOL.2〔記録〕
水戸芸術館　1992 年　展覧会資料第 12 号
序（渡部誠一）　p.3
会場構成　p.4
図版〔会場写真〕　pp.5-20
出品作品リスト　pp.21-23
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項〔上記 VOL.1 に同じ〕

マニエラの交叉点－版画と映像表現の現在 図録 ●
町田市立国際版画美術館　1991 年 4 月 14 日
ごあいさつ（館長久保貞次郎）　p.3
〈版画としての版画〉と〈現代美術としての版画〉（正木基）　pp.6-8
消費社会の美術（山本和弘）　pp.9-11
版と映像による表現の現在〈出品作品をめぐって〉（滝沢恭司）　pp.12-16
カタログ〔コメント、作家略歴、図版〕　pp.17-93
〔コメント〕（畦地拓治、H et H、有吉徹、石原友明、大浦信行、太田三郎、片山雅史、北辻良央、小枝繁昭、小山穂太郎、佐藤時啓、渋谷和良、高橋寛、津田佳紀、松原健、森村泰昌、山口啓介、横尾忠則、若林奮）
出品リスト　pp. 95-98
註：編集は滝沢恭司、内田啓一。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Compound of the "Manièra"」
会期：1991 年 4 月 14 日－5 月 12 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
出品：畦地拓治、H et H、有吉徹、石原友明、大浦信行、太田三郎、片山雅史、北辻良央、小枝繁昭、小山穂太郎、佐藤時啓、渋谷和良、高橋寛、津田佳紀、松原健、森村泰昌、山口啓介、横尾忠則、若林奮〔出品リスト順〕

「物体」詩〈思考するオブジェから GOMI-ART へ〉展図録 ●
板橋区立美術館　1991 年 4 月 27 日　特別展
ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3
〈自然〉と〈廃物〉の創造（尾﨑眞人）　pp.5-7, 61-64　英文併載
図版　pp.9-56
出品目録　pp.57-60
出品作家略年譜（西豊、湯浅よし子、尾﨑眞人）　pp.65-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 4 月 27 日－6 月 2 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：1)〈物質〉との対話－コラージュ；阿部展也、山下菊二、三木富雄。2)〈オブジェ〉の意味とシュールレアリスム；中村宏、池田龍雄。3)〈廃物〉の再生－《ジャンク・アート》；中西夏之、立石大河亜、入江比呂、間島領一、杢田たけを、小野忠弘、吉田ヨーゾー。4)〈オブジェ〉を離脱した《オブジェ》；大山右一、菊畑茂久馬、篠原有司男、赤瀬川原平、吉村益信。5)〈物質〉とイメージの交信；山内重太郎、桜井孝身、靉嘔、荒川修作、田窪恭治、李禹煥、川島清。6)大量消費生活と《GOMI-ART》；殿敷侃、丸山常生。7)〈場〉の記憶として捨得される《GOMI-ART》；豊平ヨシオ、村上善男、丸山常生(重)。8)仮定としての《GOMI-ART》；福田美蘭、島州一〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品の日本作家を収載した。

日本の現代美術－ゾーンズ・オブ・ラヴ〈オーストラリア・ニュージーランド巡回展〉　プレヴューカタログ ●

東高現代美術館　1991 年 5 月　英文併載

ごあいさつ（館長井谷助二郎）　p.5

メッセージ（レオン・パロイシィエン）　p.7　和文・英文

美術史の娘たち（ジュディ・アニア）　pp.9-15, 16-20

辺境のモダニズム（建畠哲）　pp.21-24, 25-27

図版　pp.29-44

速度とノスタルジア〈現代日本文化をめぐる小考察〉（四方田犬彦）　pp,45-48, 49-51

作家略歴　pp.52-54, 55-57

作品リスト　pp.58-60, 61-63

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「A Preview of Zones of Love-Contemporary Art from Japan Catalogue」

会期：1991 年 5 月 18 日－6 月 16 日　表参道・東高現代美術館　主催：東高現代美術館

出品：荒敦子、遠藤利克、笠原恵実子、コンプレッソ・プラスティコ、菅野由美子、ダム・タイプ、中原浩大、平林薫、宮島達男、三輪美津子、森村泰昌〔作品リスト順〕

註：本展はオーストラリアの西オーストラリア美術館(1991 年 7 月 18 日－9 月 1 日)、南オーストラリア美術館(9 月 20 日－11 月 3 日)、ニュージーランドのワイカト博物館(12 月 12 日－1992 年 2 月 2 日)、ダニーデン美術館(2 月 27 日－4 月 9 日)、オーストラリアのシドニー現代美術館(7 月 7 日－9 月 14 日)を巡回。

「昭和の前衛〈表現の冒険者たち〉」展図録 ●

板橋区立美術館　1991 年 6 月 8 日　特別展　MUSEUM COLLECTION

ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3

“昭和”における前衛の意味（尾崎眞人） pp.4-6, 57-59 英文併載
図版〔年表、図版〕 pp.7-56
作家解説（湯浅よし子・尾崎眞人編） pp.60-66
出品目録 pp.67-71
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1991 年 6 月 8 日－23 日 板橋区立美術館 主催：板橋区立美術館
出品：佐田勝、国吉康雄、古沢岩美、高山良策、尾藤豊、大塚睦、山口長男、山下菊二、北代省三、池田龍雄、白木正一、桂川寛、早瀬龍江、井上長三郎、杉全直、吉仲太造、糸園和三郎、村上善男、中村宏、寺田政明、桂ゆき、麻生三郎、阿部展也、福島秀子〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

熱き時代のパンリアル展 ●
目黒区美術館 1991 年 6 月 「目黒名〈画〉座」5 分冊のうち
パンリアル美術協会（加藤貞雄）
図版〔作家略歴〕 6p.
所蔵：□、国新美、東近美、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1991 年 6 月 8 日－7 月 14 日 目黒区美術館 主催：目黒区美術館
出品：不動茂弥、下村良之介、野村耕、三上誠、星野真吾、湯田寛、木村嘉子〔作家略歴収載順〕

戦後洋画と福島繁太郎――昭和美術の一側面 ●
山口県立美術館 1991 年 6 月 28 日
ごあいさつ（山口県立美術館） pp.5, 158 英文併載
思い出すままに（青山義雄） pp.8-9, 159 英文併載
福島繁太郎のコレクション（福島葉子） pp.10-14, 106 英文併載
図版〔章解説、図版、解説〕 pp.15-80
資料・小論
カタログ〔出品目録〕（安井雄一郎編） pp.82-86, 164-166 英文抄訳
出品作家略歴（安井雄一郎編） pp.87-95
年譜（安井雄一郎編） pp.96-111
〔参考写真〕 pp.112-119
参考文献（安井雄一郎編） pp.120-123
旧福島コレクション・カタログ（安井雄一郎編） pp.124-143
美術雑誌「フォルム」目次（福島恒徳・安井雄一郎編） pp.144-149
福島繁太郎―人と生涯（安井雄一郎） pp.150-157

FUKUSHIMA SHIGETARO：CHRONOLOGY　pp.161-163

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「FUKUSHIMA Shigetaro and his Role in Post-War Painting in Japan」

会期：1991 年 6 月 28 日－8 月 4 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：山口薫、森芳雄、宇治山哲平、香月泰男、松田正平、麻生三郎、青山義雄、アンリ・マティス、ジョルジュ・ルオー、アンドレ・ドラン、パブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラック、モーリス・ユトリロ、カイム・スーティン〔カタログ順〕

辻晋堂・八木一夫・堀内正和〈1950 年代京都から：新たなる造形への出発〉●

米子市美術館　1991 年 7 月　辻晋堂没後 10 周年記念特別企画展

ごあいさつ（米子市美術館）　p.3

三人展に寄せて（堀内正和）　pp.5-6

現代造形のパイオニアたち（木村重信）　pp.7-15

辻晋堂氏と版画（下村良之介）　pp.17-18

図版〔作家略歴、図版〕　pp.19-110

版画・図録〔作家紹介、図版〕　pp.111-130

資料編

三人の思い出（山田光、柳生不二雄、藤慶之、山崎脩、橋本正司、宮永理吉、佐野賢、林秀行）　pp.133-140

出品目録　pp.141-146

年譜　pp.147-153

主要参考文献　pp.154-155

註：三人展という形式だが、周辺作家の作品(版画)が出品されているので採録した。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 7 月 21 日－8 月 18 日　米子市美術館　主催：米子市美術館

出品：辻晋堂、八木一夫、堀内正和。版画；辻晋堂、八木一夫、下村良之介、熊倉順吉、佐野猛夫、不動茂弥、富樫実、麻田浩〔出品目録順〕

アートは楽しい 2 ●

原美術館　1991 年 7 月 27 日

ごあいさつ（ハラ ミュージアム アーク）

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕　15p.

〔作家のことば〕（秋山文生、浅井清貴、尼子靖、天野裕夫、井村隆、今道子、高橋士郎、田名網敬一、中岡慎太郎、中村ちとせ、エムババッチ、松本秋則、丸勝美、安田辰雄、籔内佐斗司〔1 行〕）

出品作品リスト

所蔵：□、東文研、都現美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 7 月 27 日－9 月 1 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

出品：秋山文生、浅井清貴、尼子靖、天野裕夫、井村隆、今道子、高橋士郎、田名網敬一、中岡慎太郎、中村ちとせ、エムババッチ、松本秋則、丸勝美、安田辰雄、籔内佐斗司〔出品作品リスト順〕

ザ・サイレント・パッション〈日本の女性アーティストたち〉●

栃木県立美術館　1991 年 7 月

あいさつ（栃木県立美術館）　p.3

沈黙もせず、物語もせず（山本和弘）　pp.4-8

図版　pp.9-51

〔作家略歴、主要文献、作家解説〕（山本和弘）　pp.53-60

出品作品チェックリスト　pp.61-62

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The Silent Passion Seven Artists from Japan」

会期：1991 年 7 月 28 日－10 月 10 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：荒敦子、イケムラレイコ、白井美穂、高津美絵、髙柳恵里、福田美蘭、松井智惠〔出品作品チェックリスト順〕

現代美術'91 素材はいろいろ ●

徳島県立近代美術館　1991 年 8 月

ごあいさつ（徳島県立近代美術館）　p.5　英文併載

表現はもっといろいろ（高橋亨）　pp.11, 13,15-17　英文併載

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　p.19-79

〔作家のことば〕（池垣タダヒコ、大島成己、岡普司、川端紘一、菊池孝、小西祐司、小林由紀男、曽我孝司、高木光司、中川佳宣、中西學、藤本由紀夫、三島喜美代、道北英治）

素材はいろいろ・ノート（吉原美恵子）pp.82-87, 89-93　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ART SCEN 1991　Each Material, Each Expression」

会期：1991 年 8 月 10 日－10 月 6 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

出品：池垣タダヒコ、大島成己、岡普司、川端紘一、菊池孝、小西祐司、小林由紀男、曽我孝司、高木光司、中川佳宣、中西學、藤本由紀夫、三島喜美代、道北英治、渡辺信明〔図版収載順〕

ワークショップ・手と目の冒険広場 水のアラベスク ●

目黒区美術館　1991 年 9 月

ごあいさつ（館長加藤貞雄） p.3
水にやどるまなざし（降旗千賀子） pp.4-5
絵画の水ーはだざわりと型（山田敦雄） pp.6-7
図版〔図版、解説〕 pp.8-37
出品作品リスト pp.38-39
作家略歴 pp.40-43
「水のアラベスク」体験講座 pp.44-45
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1991 年 9 月 7 日－10 月 4 日 目黒区美術館 主催：目黒区美術館
出品：金昌烈、原田正路、三嶋典東、伊砂利彦、上田薫、佐野猛夫、福岡道雄、吉村弘、門坂流、鴫剛、八柳尚樹〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

線の表現〈眼と手のゆくえ〉●
埼玉県立近代美術館 1991 年 9 月
あいさつ（埼玉県立近代美術館） p.3 英文併載
線のコスモロジー（田中幸人） pp.6-8, 9-11 英文併載
線と輪郭をめぐる断想（千葉成夫） pp.12-14, 15-17 英文併載
〈線の表現ー眼と手のゆくえ〉のために（大久保静雄） pp.18-20, 21-23 英文併載
図版 pp.25-115
作家略歴 pp.116-125
出品リスト pp.126-133
註：編集は大久保静雄、大越久子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「LINE IN CONTEMPORARY ART The Destination of Eyes and Hands」
会期：1991 年 9 月 10 日－10 月 20 日 北浦和・埼玉県立近代美術館 主催：埼玉県立近代美術館
出品：荒川修作、浅野弥衛、安土修三(ガリバー)、瑛九、蔀島庸二、浜田浄、原裕司、原口典之、羽田野和夫、早川重章、堀浩哉、堀内正和、市川恒治、池田良二、今井俊満、稲憲一郎、猪熊弦一郎、伊藤隆道、金山明、北辻良央、北澤一伯、工藤哲巳、黒崎俊雄、桑原盛行、李禹煥、宮島達男、宮脇愛子、元永定正、向井修二、村上善男、中西夏之、野村仁、逢坂卓郎、大坪真一郎、朴栖甫、斎藤義重、坂井ナイーバ健吾、佐藤時啓、新藤建吉、白髪一雄、高松次郎、竹山聖、建畠覚造、辰野登恵子、トキ・コウジ、津久井利彰、上田和則、若松光一郎、山田正亮〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

「現代日本美術の動勢―立体造形」展 図録 ●

富山県立近代美術館　1991 年 9 月

あいさつ（富山県立近代美術館） p.3

「現代日本美術の動勢――立体造形」の序として（小川正隆） pp.4-5

美のパスポート（酒井忠康） pp.6-7

表面の層化と物質的想像力〈80 年代後半の彫刻について〉（峯村敏明）pp.8-9

招待作家選考委員　p.10

図版〔作家の言葉、略歴、参考図版、図版〕 pp.11-103

作家の言葉（植松奎二、海老塚耕一、岡本敦生〔再録〕、北辻良央〔4 行〕、北山善夫、黒川弘毅、小清水漸、篠田守男、菅木志雄、田中信太郎、土谷武、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、深井隆、福岡道雄、舟越桂、村岡三郎、保田春彦、山口牧生、米林雄一）

「現代日本美術の動勢―立体造形」展出品作品リスト　pp.104-105

S.T.の 8 年（島敦彦） pp.106-107

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A CURRENT OF CONTEMPORARY ART IN JAPAN-SCULPTURE」

会期：1991 年 9 月 14 日－10 月 27 日　富山県立近代美術館　招待作家選考委員：小川正隆、酒井忠康、峯村敏明、主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：植松奎二、海老塚耕一、遠藤利克、岡本敦生、北辻良央、北山善夫、黒川弘毅、小清水漸、篠田守男、菅木志雄、田中信太郎、土谷武、土屋公雄、戸谷成雄、中原浩大、長澤英俊、深井隆、福岡道雄、舟越桂、村岡三郎、保田春彦、山口牧生、米林雄一〔出品作品リスト順〕

第 10 回平行芸術展 25 時の表現欲求 ●

財団法人小原流　1991 年 9 月　1 枚(両面刷)

25 時の表現欲求（峯村敏明）

図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕 5 図

〔作家のことば〕（松井利夫、佐藤時啓、高石誠、渡辺英司、假屋崎省吾）

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 9 月 18 日－30 日　南青山・小原流会館 1 階ロビー　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：松井利夫、佐藤時啓、高石誠、渡辺英司、假屋崎省吾〔図版収載順〕

昭和の絵画 第 3 部 戦後美術――その再生と展開 図録 ●

宮城県美術館　1991 年 9 月　開館 10 周年記念特別展

あいさつ（宮城県美術館・河北新報社・東北放送） p.3

戦後日本の美術をふりかえって（針生一郎） pp.5-10

戦後の絵画 1945～1989（酒井哲朗） pp.11-24
図版 pp.25-88
「戦後の絵画」年表 1945～1989 pp.89-115
作家略歴 pp.117-134
出品目録 pp.136-137
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Paintings from the Showa Era（1926～1989）Part 3――1945 and after」
会期：1991 年 9 月 21 日－10 月 20 日 仙台・宮城県美術館 主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送
出品：牛島憲之、松本竣介、福沢一郎、阿部展也、麻生三郎、岡本太郎、岡鹿之助、北代省三、桂川寛、鶴岡政男、尾藤豊、池田龍雄、桂ゆき、川口軌外、林武、村井正誠、山口薫、山下菊二、岡田謙三、小山田二郎、脇田和、糸園和三郎、難波田龍起、村上善男、宮本三郎、石井茂雄、野口彌太郎、瑛九、鳥海青児、中村宏、海老原喜之助、山口長男、斎藤義重、森芳雄、小磯良平、杉全直、今井俊満、宮城輝夫、白髪一雄、菅井汲、元永定正、井上長三郎、桑山忠明、高松次郎、谷川晃一、靉嘔、荒川修作、篠原有司男、山田正亮、岡本信治郎、オノサト・トシノブ、平賀敬、田淵安一、吉原治良、猪熊弦一郎、斎藤真一、前田常作、相笠昌義、彦坂尚嘉、絹谷幸二、宇治山哲平、上田薫、李禹煥、中西夏之、三尾公三、菊畑茂久馬、堀浩哉、有元利夫、辰野登恵子、中村一美、村上友晴、松本陽子、宇佐美圭司、榎倉康二、福田美蘭、増田聡子、横尾忠則、東山魁夷、岩崎鐸、秋野不矩、吉岡堅二、髙山辰雄、広田多津、西山英雄、奥村土牛、小松均、杉山寧、長崎莫人、堂本印象、横山操、岩崎巴人、川端龍子、徳岡神泉、平山郁夫、小野具定、上田臥牛、小倉遊亀、山本丘人、大野俶嵩、中村正義、片岡球子、下村良之介、上村松篁、小野竹喬、星野真吾、三上誠、岩橋英遠、奥田元宋、森田曠平、北澤映月、加山又造、佐藤多持、上野泰郎、麻田鷹司、近藤弘明、畠中光享、大島哲以、稗田一穂、中島千波、下保昭、平松礼二、池田遙邨、荘司福〔出品目録順〕

染と織――現代の動向 II ●
群馬県立近代美術館 1991 年 9 月
ごあいさつ（館長中山公男） p.7
現代の伝統染織からテキスタイル・デザインの作家たちまで（佐々木正直） pp.8-9
新しい繊維の造形と布の復権（黒田亮子） pp.10-12
図版 pp.13-52
作家略歴 pp.55-59
染織関係年表 1980-1991 pp.60-66
出品リスト pp.68-69
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 9 月 28 日－11 月 4 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：伊砂利彦、北村武資、小宮康正、志村ふくみ、鈴田滋人、田島征彦、鳥巣水子、中野光雄、古澤万千子、松枝小夜子、松枝哲哉、松原与七、森口邦彦、柚木沙弥郎、四本貴資、礒辺晴美、小名木陽一、草間喆雄、久保田繁雄、熊井恭子、小林尚美、小林正和、佐久間美智子、車季南、徳重惠美子、福本潮子、吉村正郎、新井淳一、粟辻博、脇阪克二〔出品リスト順〕

「構造と記憶――戸谷成雄・遠藤利克・剣持和夫」展〈木による作品を中心として〉●

東京都美術館　1991 年 10 月 15 日　特別展図録第 21 号

ごあいさつ（東京都美術館）　英文併載

序文（渡部葉子）

「表面」をめぐって（戸谷成雄）

見出された泉（遠藤利克）

廃墟の出現（剣持和夫）

カタログ〔作家略歴、出品リスト、図版、個展・グループ展、文献〕58p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「STRUCTURE and REMEMBRANCE-TOYA, ENDO, KENMOCHI」

会期：1991 年 10 月 2 日－11 月 28 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：戸谷成雄、遠藤利克、剣持和夫〔図版収載順〕

芸術と日常〈反芸術／汎芸術〉●

国立国際美術館　1991 年 10 月

あいさつ（国立国際美術館）　pp.5, 6　英文併載

日本の現代美術 1950～60 年代（三木多聞）　pp.9-11, 12-15　英文併載

芸術と日常（中村敬治）　pp.16-20, 21-26　英文併載

カラー図版　pp.27-47

作家索引　p.49

図版〔作家略歴、作品リスト、図版〕　pp.50-135　英文併載

出品作家関連年表 付・関連評論（榮樂徹編）　pp.136-171

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Japanese Anti-Art：Now and Then」

会期：1991 年 10 月 10 日－12 月 1 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：赤瀬川原平、秋山祐徳太子、荒川修作、榎忠、菊畑茂久馬、工藤哲巳、小島信明、佐藤正明、ザ・プレイ〔THE PLAY〕、篠原有司男、高松次郎、谷川晃一、中村宏、平賀敬、福岡道雄、村岡三郎、森村泰昌、山中信夫、吉野辰海、吉村益信〔作家索引順〕

色相の詩学展〈現代絵画・平面からのメッセージ〉●

川崎市市民ミュージアム　1991 年 11 月 2 日　企画展

あいさつ（館長池田輝夫）　p.3

「表現」を志向した色彩（たにあらた）　pp.6-9

絵画は何において新しいか（堀月子）　pp.10-12

カタログ〔図版〕　pp.13-35

出品リスト　pp.36-37

出品作家略年譜及び短評（篠原資明、たにあらた、長谷川祐子、堀月子）　pp.38-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル:「Poetics of Hue A message from two dimensions of contemporary paintings」

会期：1991 年 11 月 2 日－12 月 15 日　川崎市市民ミュージアム　主催：川崎市市民ミュージアム・川崎市・川崎市教育委員会

出品：飯田真人、井川惺亮、石井理之、小田英之、菊畑茂久馬、小林正人、櫻井英嘉、渋谷和良、紫牟田和俊、杣木浩一、滝波重人、田中信太郎、東原均、長沢秀之、中西夏之、中村一美、根岸芳郎、堀浩哉、丸山直文、百瀬寿、山田正亮〔出品リスト順〕

「'91 富山の美術」展図録 ●

富山県立近代美術館　1991 年 11 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

新しい風よ、舞い上れ――「'91 富山の美術」によせて（小川正隆）　p.5

生命のざわめき（津山昌）　pp.6-8

図版　pp.9-71

出品目録　pp.72-73

出品作家／言葉と略歴　pp.74-82

言葉（安達博文、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、桐沢仁美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子〔3 行〕、橋本文良、広田郁世、藤江民、古川通泰、堀浩哉、松原賢、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉〔1 行〕、大成浩、加賀谷武、辻志郎、富山省三、南部治夫、東山秀誠、松田文平、村椿雅憲〔2 行〕、吉江庄蔵、米林雄一）

富山の美術／出品者一覧　p.82

後記（浅地豊）　p.83

所蔵：□、国新美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1991 年 11 月 2 日－12 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：安達博文、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、桐沢仁美、釈永みちよ、鶴谷登、冨田潤、野上祇磨、野畑博、野村幸子、橋本文良、広田郁世、藤江民、古川通泰、堀浩哉、松原賢、松原龍夫、伊藤公象、岩城信嘉、大成浩、加賀谷武、辻志郎、富山省三、南部治夫、長谷宗

悦、東山秀誠、松田文平、村椿雅憲、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

第 27 回今日の作家展'91 史としての現在〈8 人の作家と 1 人の評論家による展覧会〉　横浜市民ギャラリー編 ●

横浜市・横浜市教育委員会　1991 年 11 月

ごあいさつ（横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー）

史としての現在〈8 人の作家と 1 人の評論家による展覧会〉（北澤憲昭）　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　32p.

〔作家のことば〕（橘田尚之、黒川弘毅、鈴木省三、諏訪直樹〔再録〕、戸谷成雄、中上清、マコトフジムラ）

「今日の作家展」出品作家リスト(1964 年～1991 年)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 27th 'Artists Today' Exhibition : The Present as History　An Exhibition by Eight Artists and One Critic.」

会期：1991 年 11 月 14 日－27 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：北澤憲昭、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：橘田尚之、黒川弘毅、小山穂太郎、鈴木省三、諏訪直樹、戸谷成雄、中上清、マコトフジムラ〔図版収載順〕

写真の 1955～65〈自立した映像群〉●

山口県立美術館　1991 年 11 月

ごあいさつ（山口県立美術館）　p.3

図版　pp.5-140

「10 人の眼」から「VIVO」へ〈現代写真の 1 頁〉（金子隆一）　pp.141-145

青空という裂け――VIVO の世代（飯沢耕太郎）　pp.146-154

写真の 1955～65〈展覧会ノート〉（榎本徹）　pp.155-157

年表・1955～65　pp.158-168

作家紹介　pp.169-207

作品リスト　pp.208-215

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「PHOTOGRAPHS IN JAPAN 1955～65」

会期：1991 年 11 月 28 日－12 月 23 日　山口県立美術館　主催：山口県立美術館

出品：石元泰博、奈良原一高、東松照明、川田喜久治、細江英公、佐藤明、丹野章、川原舜、中村正也、常盤とよ子、今井寿恵〔作品リスト順〕

ポリクロスアート'91 展 多極交差芸術祭 ●

ポリクロスアートフェスティバル実行委員会・高知市文化振興事業団・高知県立郷土文化会館　1991 年 12 月　〔第 3 回展〕

ごあいさつ（事業団副理事長橋井昭六）
ごあいさつ（館長田能満寿夫）
〔ことば〕（高橋亨）
〔ことば〕（たにあらた）
図版〔図版、作家略歴〕 23p.
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「POLY CROSS ART FESTIVAL：POLY CROSS ART EXHIBITION」
会期：1991 年 12 月 10 日－20 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知市文化振興事業団・高知県立郷土文化会館、主管：ポリクロスアート展実行委員会
出品：朝井章夫、上田祐嗣、遠藤貢治、大島克文、尾崎由味子、門田修充、塩田繚麻、西悟〔SEIGO〕、祖父江建樹、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、中岡りえ、中川佳宣、名本英樹、野田広人、林宜子、藤崎幸雄、藤原慎治、MAGGIE WILLIAMS〔マギー・ウィリアムス〕、森木裕貴、山崎道〔図版収載順〕

「北の創造者たち'91〈金属のフィールド・今〉」展図録 ●
財団法人札幌芸術の森　1991 年 12 月
ごあいさつ（芸術の森美術館） p.3
「北の創造者たち'91～金属のフィールド・今」によせて（長谷川彰子） pp.4-5
図版〔作家のことば、図版〕 pp.8-27
〔作家のことば〕（小林令明、佐々木けいし、楢原武正、藤井忠行、藤原瞬）
作品配置図　p.28
作家略歴　pp.29-39
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「INSTALLATIONS OF METAL ART」
会期：1991 年 12 月 22 日－1992 年 2 月 2 日　札幌・芸術の森美術館　主催：芸術の森美術館
出品：小林令明、佐々木けいし、楢原武正、藤井忠行、藤原瞬〔図版収載順〕

1992（平成 4）年
シガ・アニュアル'92 言語／美術 ●
滋賀県立近代美術館　1992 年 1 月　第 6 回展　6 枚たとう・袋入(各三ツ折両面刷)
□〔第 1 葉〕
ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）
言語／美術（高橋佐智子）
□〔第 2 葉～第 6 葉　平林薫、宮島達男、セシル・アンドリュー、宮前正樹、リフレイン〕
図版
〔作家論〕（高橋佐智子）

〔作家のことば〕（平林薫、宮島達男、セシル・アンドリュー、宮前正樹）
年譜
所蔵：□、国新美、東文研
○展覧会事項
欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '92 Functions of Language in Contemporary Art」
会期：1992 年 1 月 5 日－2 月 16 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館
出品：平林薫、宮島達男、セシル・アンドリュー、宮前正樹、リフレイン〔一覧順〕

アイ・ラブ・アート II 展〈現代美術のコンセプトを探る〉●
ワタリウム　1992 年 1 月
吠えろというの（和多利志寿子）　pp.4-5, 6-7　英文併載
図版〔図版、作家解説、書誌、作家略歴、作家論〕　pp.9-107
〔作家解説、作家論〕（金沢一志、日向あき子、小林昌男、秋山邦晴）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「I LOVE ART II　IN QUEST OF THE CONCEPT OF CONTEMPORARY ART」
会期：1992 年 1 月 14 日－3 月 15 日　神宮前・ワタリウム　主催：ワタリウム
出品：河原温、シグマー・ポルケ、ギルバート・アンド・ジョージ、ドナルド・ジャッド、ソル・ルウィット、ジョン・ケージ〔図版収載順〕

書と絵画との熱き時代・1945～1969 ●
品川文化振興事業団 O 美術館　1992 年 1 月
ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館）　p.1　英文併載
戦後日本の前衛書〈絵画との密月時代をこえて〉（針生一郎）　pp.2-5
「書と絵画との熱き時代」展・序説（天野一夫）　pp.6-14
図版〔図版、作家略歴、アンケート、作家のことば〕　pp.15-104
アンケート（小川瓦木、稲村雲洞、武士桑風、表立雲、岡部蒼風、辻太、篠田昭二、比田井南谷）
〔作家のことば〕（大西茂）
出品作品リスト　pp.105-107
関連年表　pp.108-135
私のめざしている書（森田子龍）pp.136-137
資料再録　pp.138-141
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Calligraphy and Painting, the Passionate Age：1945-1969」
会期：1992 年 1 月 25 日－2 月 26 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：上田桑鳩、大沢雅休、小川瓦木、稲村雲洞、大沢竹胎、武士桑風、中島邑水、表立雲、岡部蒼風、池田水城、森田子龍、井上有一、江口草玄、辻太、篠田昭二、手島右卿、比田井南谷、篠田桃紅、長谷川三郎、吉原治良、津高和一、須田剋太、中村真、泉茂、白髪一雄、岡田謙三、川端実、高井貞二、菅井汲、田淵安一、大西茂、柳頼雅、横山操、堂本印象〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

日本近現代木彫展〈継承・そして新たなる地平〉●

岡山県立美術館　1992 年 2 月 14 日

ごあいさつ（館長小野年之）　p.3

日本近代木彫の展開（本間正義）　pp.6-9

図版〔作家略歴、作品解説、図版〕　pp.11-95

〔作家略歴、作品解説〕（柳沢秀行）

出品作品リスト　pp.96-97

参考文献（柳沢秀行編）　pp.98-101

年譜（柳沢秀行編）　pp.102-107

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 2 月 14 日－3 月 15 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：平櫛田中、石井鶴三、澤田政廣、冨永朝堂、土方久功、斎藤義重、本郷新、圓鍔勝三、辻晋堂、桂ゆき、植木茂、建畠覚造、豊福知徳、江口週、最上壽之、岩下碩通、小清水漸、菅沼緑、戸谷成雄、深井隆、舟越桂、神山明〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

MITO ANNUAL ’92 大きな日記／小さな物語〈10 人の作家たちがつづる〉●

水戸芸術館　1992 年 2 月　資料第 11 号　別冊(小冊子)共 2 冊

あいさつ（現代美術ギャラリー長吉田光男）　p.5

『大きな日記／小さな物語』（浅井俊裕）　pp.6-9

図版〔作家解説、図版〕　pp.10-69

〔作家解説〕（浅井俊裕）

作家の略歴と文献資料（浅井俊裕編）　pp.71-77

□展示作品(小冊子、表紙共 8 ページ)

〔会場配置図〕

出品作品リスト

図版〔展示写真〕　10 図

註：見返しに「この小冊子では、新作であるために図録に掲載できなかった実際の展示状況を中心に紹介します。」とあり。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、

東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「PRIVATE DIARY 10 Japanese Young Artists」

会期：1992 年 2 月 15 日－4 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：笠原由起子、中ハシ克シゲ、中西學、西山美奈子、ささだるい、杉山知子、寺嶋真里、鯨津朝子、堤展子。関連企画；ヤノベケンジ〔図版収載順〕

神奈川アート・アニュアル'92 ●

神奈川県立県民ホール　1992 年 3 月 5 日　第 5 回展

あいさつ（神奈川県立県民ホール）　p.1

あらたなる日々にむけて（柳生不二雄）　pp.2-3

越境と死――1991 年の回顧（北澤憲昭）　pp.4-5

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.6-17

〔作家のことば〕（伊東直昭、岩川ユキヒロ、岡本敦生、小川保司、木村裕、倉重光則、さかぎしよしおう、髙井叡子、津田竜之介、中川猛、広田美穂、H et H）

出品目録　pp.18-19

〔第 1 回-'91 神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕　p.20

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '92」

会期：1992 年 3 月 5 日－22 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール

出品：伊東直昭、岩川ユキヒロ、岡本敦生、小川保司、木村裕、倉重光則、さかぎしよしおう、髙井叡子、津田竜之介、中川猛、広田美穂、H et H〔出品目録順〕

日本のポップ展〈1960 年代〉カタログ ●

福井県立美術館　1992 年 3 月

ごあいさつ（福井県立美術館）　p.3

序文（後々田寿徳）　pp.6-7

図版〔図版、論考〕　pp.8-151

'60S TV カルチャー／特撮空想科学映画／横尾忠則／森山大道／グループサウンズ／VAN／玩具の諸相／マツダ R360 クーペ（加藤エリヤ、後々田寿徳、野田訓生、稲増龍太、篠雅廣）

ポップ年譜　pp.152-159

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 3 月 6 日－29 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

出品：横尾忠則、森山大道、石津謙介

コレクションによる 戦後の日本版画展 図録 ●

町田市立国際版画美術館　1992 年 4 月 12 日
ごあいさつ（館長久保貞次郎）p.5
戦後の日本版画展開催にあたって（河野実）pp.8-9
カタログ〔作家略歴、図版〕pp.11-116
出品リスト　pp.117-121
文献目録　pp.122-125
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 4 月 12 日－6 月 14 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
出品：恩地孝四郎、山口進、畦地梅太郎、棟方志功、笹島喜平、斎藤清、品川工、関野準一郎、北岡文雄、長谷川潔、浜口陽三、瑛九、浜田知明、駒井哲郎、菅井汲、利根山光人、若山八十氏、福井良之助、森義利、一原有徳、萩原英雄、張替正次、菅野陽、増田誠、三井永一、飯田善國、木村利三郎、深沢幸雄、高橋清、吹田文明、吉田穂高、木村茂、永井一正、靉嘔、大橋弘明、吉原英雄、渡辺豊重、二見彰一、加納光於、池田満寿夫、竹田鎮三郎、小田襄、小作青史、木村光佑、高羽賢一、戸口ツトム、松本旻、横尾忠則、若林奮、黒崎彰、中林忠良、相笠昌義、野田哲也、日和崎尊夫、清原啓子〔出品リスト順〕

森田子龍と『墨美』●
兵庫県立近代美術館　1992 年 5 月 20 日
ごあいさつ（名誉館長貝原俊民）　p.3
書・書いて考えて 60 年（森田子龍）　pp.4-10
『墨美』再考（中島徳博）　pp.11-12
森田子龍と『墨美』〈書と抽象絵画をめぐって〉（尾﨑信一郎）　pp.13-18
インタビュー「書と抽象絵画をめぐって」（森田子龍・辻太、聞き手・尾﨑信一郎）　pp.19-24
図版　pp.25-99
　作家略歴（尾﨑信一郎、平井章一）
森田子龍と『墨美』出品作品リスト　pp.100-102
森田子龍と『墨美』関連年表（尾﨑信一郎編）　pp.103-107
文献再録「書と抽象絵画・座談会」（須田剋太・中村真・吉原治良・大沢雅休・森田子龍・(司会)有田光甫）　pp.110-119
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 5 月 23 日－7 月 5 日　兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館
出品：I.；森田子龍。II.墨人会関係の書家たち；上田桑鳩、井上有一、江口草玄、関谷義道、辻太、今岡徳夫、篠田昭二、高橋蒼玄、大沢華空。III.同時代の関西の画家たち；白髪一雄、

菅井汲、須田剋太、津高和一、中村真、長谷川三郎、元永定正、吉原治良。IV.『墨美』と交流のあった海外の画家たち；フランツ・クライン、ハンス・アルツング、ジョルジュ・マチュー、スタンリー・ウイリアム・ヘイター、ピエール・スーラージュ、ルウィン・アルコプレー、ピエール・アレシンスキー、ジェラール・シュネイデル、ベルト・ラルデラ〔出品作品リスト順〕

都市と現代美術 廃墟としてのわが家 ●

世田谷美術館　1992 年 6 月　英文併載

ごあいさつ（世田谷美術館）　p.5

都市と現代美術（塩田純一）　pp.8-14, 118-125

図版〔作家コメント、図版、作家略歴、解説〕　pp.17-104, 110-117

コメント（宮本隆司、田窪恭治、絶対現場 1987(鈴木了二・田窪恭治・安齊重男)、川俣正、PH スタジオ、土屋公雄、戸谷成雄、河口龍夫、長澤伸穂、國安孝昌、柳幸典）

出品リスト　pp.106-109

註：編集は塩田純一、高橋直裕、北村淳子、清水真砂、矢野進。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Urban Environment and Art in Japan　My Home Sweet Home in Ruins」

会期：1992 年 6 月 7 日－7 月 26 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：宮本隆司、田窪恭治、絶対現場 1987(鈴木了二・田窪恭治・安齊重男)、川俣正、PH スタジオ、土屋公雄、戸谷成雄、河口龍夫、長澤伸穂、國安孝昌、柳幸典〔出品リスト順〕

「戦後写真と東北 2」展〈原・日本風景への試論〉図録 ●

宮城県美術館　1992 年 6 月

ごあいさつ（宮城県美術館・河北新報社・東北放送）　p.3

東北の風景（三浦雅士）　pp.4-6

幻のふるさと――“疑似”原風景の時代（三上満良）　pp.7-10

図版〔作家略歴、図版〕　pp.11-123

出品目録　pp.124-127

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Photography & Climatology II」

会期：1992 年 6 月 13 日－7 月 12 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：薗部澄、柳沢信、細江英公、北井一夫、須田一政、大島洋、千葉禎介〔出品目録順〕

具体展 I〈1954～1958〉 ●

芦屋市立美術博物館　1992 年 6 月

ごあいさつ（館長松永精一郎） p.1
初期具体〈1954－1958〉（山本淳夫） pp.2-5
図版〔年表、図版〕 pp.6-25
作家解説 pp.26-28
具体展Ⅰ出品目録 pp.29-31
甦る野外展出品目録 p.32
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：具体展Ⅰ〈1954～1958〉；1992 年 6 月 20 日－8 月 2 日 芦屋市立美術博物館。甦る野外展；7 月 25 日－8 月 2 日 芦屋公園 主催：芦屋市立美術博物館
出品：吉原治良、上前智祐、浮田要三、金山明、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、正延正俊、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄。甦る野外展；浮田要三、金山明、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、谷口采鴻、正延正俊、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄〔出品目録順〕

ワークショップ・手と目の冒険広場 色の博物誌・青－永遠なる魅力 ●
目黒区美術館 1992 年 8 月
ごあいさつ（館長加藤貞雄） p.5
瑠璃考（森田恒之） pp.6-7
「青とは、いわば魅惑してやまぬ無の世界だ」〈近代絵画における色彩のありか〉（前田富士男） pp.8-11
図版〔解説、 図版〕 pp.12-60
青を視覚的な肌触りとして感じるために（降旗千賀子） pp.61-63
作家解説 pp.64-70
作品リスト pp.71-76
主要参考図書 p.77
「色の博物誌・青－永遠なる魅力」ワークショップ pp.78-79
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 8 月 1 日－9 月 15 日 目黒区美術館 主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会
出品：東山魁夷、瑛九、オノサト・トシノブ、斎藤義重、堂本尚郎、難波田龍起、大沢昌助、李禹煥、小野木学、鴨居玲、前田常作、白髪一雄、近藤竜男、三尾公三、秋山静、山田正亮、菊畑茂久馬、加納光於、井田照一、小林健二〔作品リスト順〕
註：出品欄は「II.青の系譜－近代から現代」のうち戦後作品出品の日本作家を収載。

アートは楽しい 3 ●
原美術館 1992 年 8 月 1 日 付・ワークシート

ごあいさつ（ハラ ミュージアム アーク）
図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 13p.
〔作家のことば〕（秋山祐徳太子、石山駿、出原司、尾崎玄一郎、小保方利男、カナイヒロミ、木下知子、小宮彌栄子、徳田憲樹、中村誠、永井一正、米良道靖、吉田富久一）
出品作品リスト
所蔵：□、東文研、都現美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 8 月 1 日－9 月 15 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク
出品：秋山祐徳太子、石山駿、出原司、尾崎玄一郎、小保方利男、カナイヒロミ、木下知子、小宮彌栄子、徳田憲樹、中村誠、永井一正、米良道靖、吉田富久一〔出品作品リスト順〕

セブン・アーチスツ――今日の日本美術帰国展図録　　名古屋市美術館編 ●
セブン・アーチスツ展実行委員会　1992 年 8 月
ごあいさつ（館長谷隆夫） p.5
ごあいさつ（浅尾新一郎） p.6
「セブン・アーチスツ」展を終えて（フジナミ・ノリコ） p.7
出品目録　p.8
図版　pp.9-52
「セブン・アーチスツ」展海外での巡回を終えて（山脇一夫） pp.53-60
作家紹介〔作家のことば、作家解説、作家略歴、主な文献〕 pp.61-79
〔作家のことば〕（伊藤公象、山口牧生、庄司達、久野利博、李禹煥、松井智惠、榎忠）
セブン・アーチスツ展文献および紹介記事　p.80
海外での反響　pp.81-86　再録
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「SEVEN ARTISTS ASPECTS OF CONTEMPORARY JAPANESE ART」
会期：1992 年 8 月 15 日－9 月 27 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・国際交流基金・名古屋＝ロサンゼルス姉妹都市委員会
出品：伊藤公象、山口牧生、庄司達、久野利博、李禹煥、松井智惠、榎忠〔出品目録順〕

アーティストとクリティック――批評家土方定一と戦後美術 ●
三重県立美術館　1992 年 8 月　開館 10 周年記念展
ごあいさつ（館長陰里鐵郎） p.5　英文併載
図版　pp.9-168
「アーティストとクリティック――批評家土方定一と戦後美術」展構成について（荒屋鋪透） pp.170-177
まだ天使が生まれていない場所で（東俊郎） pp.178-184
土方定一年譜（東俊郎編） pp.185-194

資料（土方定一の美術批評から） pp.195-234 再録
文献（荒屋鋪透編） pp.235-243
出品作家略歴 pp.244-249
出品目録 pp.250-256, 257-265 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「10th Anniversary Exhibition of MIE PREFECTURAL ART MUSEUM Artists & An Art Critic-Teiichi HIJIKATA & Japanese Art in the post-WORLD WAR II Period」
会期：1992 年 8 月 15 日－9 月 13 日 津・三重県立美術館 主催：三重県立美術館
出品：第 1 章「歴史と造型心理――戦時下から占領下へ」油彩画；福沢一郎、北脇昇、海老原喜之助、鶴岡政男、鷹山宇一、糸園和三郎、香月泰男、寺田政明、松本竣介、阿部展也、藤井令太郎、吉岡憲、中村宏、河原温。版画；浜田知明、秀島由己男。第 2 章「トコトコが来た――心理的映像と詩的情景」油彩画；高畠達四郎、林武、岡鹿之助、野口彌太郎、朝井閑右衛門、鳥海青児、難波田龍起、三岸節子、山口薫、原精一、森芳雄、脇田和、宇治山哲平、麻生三郎、田中阿喜良、三輪勇之助。版画；飯野農夫也、駒井哲郎。第 3 章「現代の彫刻的状況と抽象絵画――抽象構成と建築的空間」油彩画；高間惣七、川口軌外、山口長男、斎藤義重、村井正誠、川端実、杉全直、菅井汲、田中岑、田淵安一。版画；一原有徳。彫刻；辻晋堂、柳原義達、堀内正和、向井良吉、飯田善國、多田美波、井上武吉、湯原和夫、江口週、若林奮〔出品目録順〕
註：出品欄は、戦後作品出品の作家のみ収載。

第 6 回北の彫刻展 ●
札幌彫刻美術館 1992 年 8 月
出品作家〔一覧〕 p.2
ごあいさつ（札幌彫刻美術館） p.3
図版〔作家略歴、図版〕 pp.4-27
出品目録 pp.28-29
所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 8 月 28 日－10 月 18 日 札幌彫刻美術館 主催：財団法人札幌彫刻美術館
出品：秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岩下碩通、岡沼淳一、小野寺紀子、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、山谷圭司、米坂ヒデノリ〔出品目録順〕

Art Today'92 トランスアートのパラドックス／透明な光のポリフォニー ●
セゾン現代美術館 1992 年 9 月

「アート・トゥデイ 1992」展 副題の設定と「透明な光のポリフォニー」について（清水哲朗） p.4

「トランスアートのパラドックス」に関するメモ書（中村麗） p.5

図版〔作家略歴、図版〕 pp.7-39

絵画とイメージ（清水哲朗） p.14

フレームのゆらめき（中村麗） p.22

物質と対峙ー空間への詩学（中村麗） p.30

電子の画家と「美術」のこと（清水哲朗） p.38

図版リスト pp.40-41

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 9 月 11 日ー11 月 23 日 軽井沢・セゾン現代美術館 主催：セゾン現代美術館

出品：赤塚祐二、江上計太、大森裕美子、森田彗〔図版リスト順〕

「木版画ー明治末から現代ー」展図録 ●

練馬区立美術館 1992 年 9 月

ごあいさつ（練馬区立美術館） p.3

日本の木版画ー版画という言葉(ノート)（横山勝彦） pp.6-12

図版 pp.13-95

作家略歴 pp.96-108

関連年表 pp.109-110

出品リスト pp.111-120

索引 p.121

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 9 月 19 日ー10 月 19 日 練馬区立美術館 主催：練馬区立美術館

出品：上阪雅人、前川千帆、恩地孝四郎、平塚運一、山口源、畦地梅太郎、棟方志功、笹島喜平、斎藤清、品川工、小野忠重、萩原英雄、吉田遠志、関野準一郎、清宮質文、吉田政次、北岡文雄、内間安瑆、吹田文明、吉田穂高、秋山泰計、城所祥、小作青史、日下賢二、李禹煥、黒崎彰、舩坂芳助、野田哲也、磯見輝夫、日和崎尊夫、小林敬生、小山松隆、河内成幸、両角修、柄澤齊、山本進、山中現、岩切裕子〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

現代美術への視点 形象のはざまに〔第 3 回展〕 ●

東京国立近代美術館 1992 年 9 月 主に英文併載

あいさつ（館長植木浩・富山秀男・木村重信） p.5

形象について（本江邦夫） pp.9-11, 115-117
線について――かたちから形象へ（松本透） pp.13-15, 118-120
絵画、隣人としての（中林和雄） pp.17-20, 121-124
カタログ〔作家略歴、作家解説、図版、作品リスト〕 pp.21-99, 125-141
作家解説（中林和雄、松本透、本江邦夫、千葉成夫、市川政憲、田中淳）
展覧会歴／主要文献（中林和雄編） pp.101-112 〔和文のみ〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Among the Figures」
会期：1992 年 9 月 22 日－11 月 8 日　竹橋・東京国立近代美術館／12 月 12 日－1993 年 1 月 31 日　吹田市・国立国際美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館
出品：赤塚祐二、朝比奈逸人、伊藤誠、岩本拓郎、笠原たけし、黒川弘毅、佐川晃司、清水誠一、金寿千、鷲見和紀郎、高見澤文雄、中上清、中村一美、橋本夏夫、丸山直文〔カタログ順〕

TEMPVS VICTVM〈生きられた時間 MTM コレクションの 80 年代〉●
小原流企画部　1992 年 9 月
ウクライナのローマ人にならって（峯村敏明）
図版　40 図
〔出品リスト〕
所蔵：□、国新美、東文研、東大駒
○展覧会事項
会期：1992 年 9 月 24 日－10 月 3 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　主催：財団法人小原流：エスパス OHARA
出品：青木野枝、石川順惠、上野慶一、越前谷嘉高、遠藤利克、大森博之、岡崎乾二郎、小野初代、笠原たけし、加茂博、川俣正、北辻良央、黒川弘毅、小泉俊己、小林正人、駒形克哉、菅木志雄、鈴木省三、髙柳恵里、竹内義郎、多和圭三、戸谷成雄、長澤英俊、中原浩大、中村一美、橋本夏夫、彦坂尚嘉、深井隆、舟越桂、舟越直木、堀浩哉、前本彰子、松井智惠、松浦寿夫、松本春崇、丸山直文、矢野美智子、山崎豊三、山田正亮、李禹煥〔図版収載順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

語り出す鉄たち〈今日の金属彫刻から〉●
東京都美術館　1992 年 10 月 5 日　特別展図録第 22 号
ごあいさつ（東京都美術館） p.3
金属彫刻〈その歩みと現在〉（真室佳武） pp.4-7
カタログ〔配置図、図版〕pp.8-36
記録〔作家の言葉、年譜、文献、図版〕 pp.37-76
作家の言葉（村岡三郎、若林奮、西雅秋、青木野枝、金沢健一、内田晴之、篠田守男）

年譜（大賀洋介編）
文献（満園節子編）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Metal Sculpture Today－iron, steel & stainless steel」
会期：1992 年 10 月 6 日－12 月 1 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館
出品：村岡三郎、若林奮、西雅秋、青木野枝、金沢健一、内田晴之、篠田守男〔図版収載順〕

第 11 回平行芸術展 全面展開期の絵画－I〈絵画と空間〉●
小原流企画部　1992 年 12 月序
物質・物体・空間の連環のなかで（峯村敏明）　pp.1-3
シンポジウム 絵画の空間を問う（松浦寿夫・松居永樹・石川順惠・竹内義郎、司会・峯村敏明）　pp.4-8, 21-28
図版〔作家略歴、図版〕　pp.9-20
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 10 月 6 日－17 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、
主催：財団法人小原流
出品：石川順惠、竹内義郎、松居永樹〔図版収載順〕

彫刻の遠心力－この十年の展開 ●
国立国際美術館　1992 年 10 月 10 日　主に英文併載
あいさつ（国立国際美術館）　pp.3, 4
彫刻の遠心力（中村敬治）　pp.6-8, 9-11
カラー図版　pp.13-27
カタログ〔解説、図版〕　pp.29-96
解説（中村敬治、島敦彦）　和文
展覧会歴／主要文献　pp.97-107　主要文献は和文・英文
関連年表（島敦彦編）　pp.109-111
出品作品リスト　pp.113-115
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CENTRIFUGAL SCULPTURE An Aspect of Japanese Sculpture in the Last Decade」
会期：1992 年 10 月 10 日－11 月 29 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：今村源、石原友明、小泉俊己、幸村真佐男、久保田成子、宮崎豊治、内藤礼、中原浩大、中ハシ克シゲ、髙柳恵里、寺内曜子、山崎亨、森村泰昌、近藤滋〔出品作品リスト順〕

開館 10 周年記念展「アダムとイヴ」●

埼玉県立近代美術館　1992 年 10 月

あいさつ（埼玉県立近代美術館）　pp.6, 7　英文併載

都市づくりの発信基地として〈開館 10 周年を迎えて〉（田中幸人）　pp.8, 9　英文併載

はじめに（水野隆）　pp.10-12, 13-16　英文併載

西欧美術における男女像（高階秀爾）　pp.17-20, 21-24　英文併載

20 世紀の「愛」と「性」のゆくえ（伊藤俊治）　pp.25-28, 29-32　英文併載

図版　pp.33-80

マネキン（池田満寿夫）再録／ドリーム・コンタクト（横尾忠則）／「待ちくらしのみ」「血の海へ流そう」（草間彌生・作詞）／山水戀圖（奥山民枝）　pp.81-104

図版　pp.105-140

ウーライ/マリーナ・アブラモヴィッチ〈30.11.1975→27.6.1988〉（平野到）　pp.141-143

身体から/身体へ（前山裕司）　pp.144-145

作家略歴　pp.146-159

出品リスト　pp.160-165

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Tenth Anniversary Exhibition Adam and Eve」

会期：1992 年 10 月 10 日－12 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：愛の寓話；阿部展也、靉嘔、宮本三郎、菅井汲、奥山民枝。恋の階段；瑛九、山中春雄、池田満寿夫、絹谷幸二、山本容子、斎藤真一、横尾忠則、間島領一、荒木経惟、大森博之、中原浩大。欲望の構図；三尾公三、合田佐和子、四谷シモン、鷲見麿、渡辺恂三、金子國義、草間彌生、平賀敬。存在の遠近；細江英公、高松次郎、魚田元生、S to S(前本彰子＋仁科茂)、イケムラレイコ、森村泰昌、中村公太郎〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の日本作家を収載。

ビデオ・新たな世界――そのメディアの可能性 ●

品川文化振興事業団 O 美術館　1992 年 11 月

ごあいさつ（O 美術館）p.3

総論――反「ビデオ・アート」そして/あるいは汎「ビデオ・アート」（天野一夫）　pp.4-10

初期ビデオ探究ノート〈映像史・美術史との接点〉（西嶋憲生）　pp.11-13

日本のビデオ・アートをめぐるメモランダム：1972 年-（盛岡祥倫）　pp.14-17

図版〔図版、自作解説・ことば、アンケート〕　pp.19-86

自作解説・ことば、アンケート（松本俊夫、中谷芙二子、安藤紘平、飯村隆彦、小林はくどう、かわなかのぶひろ、中島興、山口勝弘、中井恒夫、松本正司、河口龍夫、植松奎二、米津茂英、今井祝雄、野村仁、出光真子、郭徳俊、川村悦郎、堀浩哉、和田守弘、高見澤文雄、倉重光則、保科豊巳、小本章、楠かつのり、IKIF(石田木船映像工場)、石

田英範、大榎淳、昼間行雄、松村泰三、加藤到）

初期ビデオを振り返って（松本俊夫） pp.33-35

新たな映像イメージを求めて〈身体のうちなるテクノロジー〉（楠かつのり） pp.64-66

作家略歴 pp.87-114

日本のビデオ表現とその周辺史(未定稿) pp.115-123

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1992 年 11 月 3 日－25 日 大崎・O 美術館 主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：安藤紘平、飯村隆彦、出光真子、かわなかのぶひろ、小林はくどう、中井恒夫、中島興、中谷芙二子、萩原朔美、松本俊夫、山口勝弘、今井祝雄、植松奎二、郭徳俊、河口龍夫、木下佳通代、黒崎彰、野村仁、松本正司、村岡三郎、米津茂英、榎倉康二、川村悦郎、倉重光則、小本章、高見澤文雄、保科豊巳、堀浩哉、和田守弘、谷川俊太郎、寺山修司、楠かつのり、IKIF(石田木船映像工場)、石田英範、大榎淳、昼間行雄、松村泰三、加藤到〔作家略歴順〕

註：略歴作家のうち萩原朔美の図版は無い。

第 26 回現代美術選抜展図録 ●

文化庁文化部芸術課 1992 年 11 月

あいさつ（文化庁長官内田弘保） p.7

図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕 pp.9-48

第 26 回現代美術選抜展開催要項 p.49

出品団体・出品点数一覧 p.49

〔出品団体系図〕 p.50

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛媛展；1992 年 11 月 13 日－24 日 今治市河野美術館 主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市教育委員会・今治市河野美術館／岡山展；11 月 28 日－12 月 11 日 井原市立田中美術館 主催：文化庁・岡山県教育委員会・井原市教育委員会・井原市立田中美術館／愛知展；12 月 16 日－27 日 岡崎市美術館 主催：文化庁・愛知県教育委員会・岡崎市美術館／岐阜展；1993 年 1 月 7 日－18 日 大垣市スイトピアセンター・アートギャラリー 主催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市教育委員会／岩手展； 1 月 24 日－2 月 7 日 水沢市文化会館 主催：文化庁・水沢市・水沢市文化振興財団／北海道展；2 月 13 日－28 日 釧路市生涯学習センター・アートギャラリー 主催：文化庁・北海道教育委員会・釧路市・釧路市教育委員会

出品：日本画；浅野均、福王寺一彦。洋画；鍋島正一、浜田真理。版画；小枝繁昭、山口啓介。彫刻；下川昭宣〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

アート・ナウ ’92〈12 人の実践／90 年代美術の新地平〉　兵庫県立近代美術館編 ●

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1992 年 11 月 14 日　兵美特展目録 No.127

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.3

「アート・ナウ」の再開〈現代美術の問いかけ〉（中島徳博）　pp.4-7

90 年代へ〈アート・ナウ覚書〉（山崎均）　pp.8-12

カタログ〔作家略歴、作家解説、図版〕　pp.13-37

〔作家解説〕（尾﨑信一郎、山崎均、中島徳博）

アート・ナウ’92 出品リスト　pp.38-39, 40-41　英文併載

ARTISTS’ BIOGRAPHIES　pp.42-43　英文

アート・ナウ’92／会場図面　pp.44-45

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW ’92 Twelve Artists：New Horizon in the 90’s」

会期：1992 年 11 月 14 日－1993 年 1 月 10 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：大野浩志、大島成己、片山みやび、金井正夫、北☆〔田＋又＋土〕吉彦、谷口真紀、長谷川博士、藤本由紀夫、黄鋭、増田妃早子、森口ゆたか、ヤノベケンジ〔出品リスト順〕

第 28 回今日の作家展 カタログ　横浜市民ギャラリー・第 28 回今日の作家展開催企画委員会編 ●

横浜市民ギャラリー　1992 年 11 月〔現代性への問いかけ――ある様々な企て〕

ごあいさつ（横浜市教育委員会・横浜市民ギャラリー）　英文併載

盛大介の嘲笑（小倉正史）　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　16p.

〔作家のことば〕（加藤到、津田佳紀、平川典俊〔1 行のみ〕、宮前正樹）

表現の絵解き――ある展示形態の試み（矢口國夫）　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　12p.

〔作家のことば〕（遠藤利克、北辻良央、北山善夫）

《物に／物と》――物質との関係の変貌（山梨俊夫）　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　20p.

〔作家のことば〕（西雅秋、鈴木朝湖、王新平、山口由理子）

今日の作家展 出品作家リスト(1964 年～1992 年)

註：次回展カタログに第 28 回「今日の作家展」(1992 年)「現代性への問いかけ～ある様々な企て」の記録が収載されている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

展名：第 28 回今日の作家展 現代性への問いかけ――ある様々な企て

欧文タイトル：「The 28th ‘Artists Today’ Exhibition：The Emission into The Modernity」

会期：1992 年 11 月 20 日－12 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：小倉正史、矢口國夫、山梨俊夫、主催：横浜市・横浜市教育委員会・第 28 回今日の作家展開催企画委員会
出品：加藤到、津田佳紀、平川典俊、宮前正樹、遠藤利克、北辻良央、北山善夫、西雅秋、鈴木朝湖、村井俊二、王新平、山口由理子〔図版収載順〕

北海道・今日の美術 10 人の原自然－胎動の森・脈打つ水 ●

北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館　1992 年 11 月　第 3 回展
あいさつ（北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館）　p.5
自然へのアプローチ（鈴木正實）　pp.6-8
10 人の原自然――胎動の森・脈打つ水（苫名真）　pp.9-10
カタログ〔作家作品解説、図版、作家経歴〕　pp.11-51
　作家作品解説（越前俊也、穂積利明、五十嵐聡美、苫名真、光岡幸治）
出品作品リスト　pp.52-53
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1992-1993」
会期：1992 年 11 月 21 日－12 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館／1993 年 1 月 5 日－31 日　北海道立旭川美術館／2 月 7 日－28 日　北海道立函館美術館／3 月 6 日－28 日　北海道立帯広美術館　主催：各開催美術館
出品：岩下碩通、越前谷嘉高、鈴木誠子、徳丸滋、中村木美、服部冬樹、宮崎むつ、美水円、艾沢詳子、渡辺晃一〔出品作品リスト順〕

いわきの美術 I 作家たちの抽象 ●

いわき市立美術館　1992 年 11 月
ごあいさつ（いわき市立美術館）　p.1
図版〔作家略歴、作家解説、図版〕　pp.2-29
　〔作家解説〕（佐々木吉晴、杉浦友治、竹内啓子、平野明彦）
出品作家といわきの美術風土（杉浦友治）　pp.30-32
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 11 月 21 日－12 月 13 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館
出品：石川進、大塚雄造、塩田清忠、線幸子、高杉和久、田辺恭臣、若松光一郎〔図版収載順〕

水戸アニュアル'93 アナザーワールド・異世界への旅〈あるいはヴァーチャル・リアリティからの逃走〉1 ●

水戸芸術館現代美術ギャラリー　1992 年 11 月　英文併載　展覧会資料 14 号　展覧会ドキュメント共 2 冊

あいさつ（ギャラリー長吉田光男） pp.4, 5
豊饒なる無、豊饒なる死――アナザーワールド（長谷川祐子） pp.8-12, 13-17
北斎の異界と現代の異界（辻惟雄） pp.18-19, 20-21
マーク・ロスコの絵画における「アナザー・ワールド」（永澤峻） pp.22-25, 26-29
別世界〈脳の二半球〉（ティモシー・リアリー） pp.30, 31
図版〔作家のことば、図版〕 pp.33-97
〔作家のことば〕（アニッシュ・カプーア、葛飾北斎〔再録〕、ヤン・ファーブル、フランチェスコ・クレメンテ、マーク・ロスコ、リチャード・ウィルソン、ダム・タイプ、LSX、トロバール・クリュス）
作家解説（長谷川祐子、ドナルド・カスピット〔抄録〕、黒沢伸） pp.98-124
IFP への質問（インタヴュー・長谷川祐子）
掲載図版リスト pp.125-127
作家紹介 pp.128, 129-130
註：編集は長谷川祐子、森司。
所蔵：□、国新美、東文研、東博資、写真美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MITO ANNUAL ’93 ANOTHER WORLD」
会期：1992 年 11 月 21 日－1993 年 3 月 7 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館・読売新聞社
出品：アニッシュ・カプーア、葛飾北斎、IFP(Information Fiction Publicité)、マーク・ロスコ、ヤン・ファーブル、リチャード・ウィルソン、ダム・タイプ、フランチェスコ・クレメンテ、LSX〔展覧会ドキュメント出品作品リスト順〕、ワークショップ；トロバール・クリュス
註：ダム・タイプ、LSX、トロバール・クリュスが日本で結成されたグループである。

水戸アニュアル’93 アナザーワールド・異世界への旅〈あるいはヴァーチャル・リアリティからの逃走〉2 展覧会ドキュメント
水戸芸術館現代美術ギャラリー　1992 年 11 月　英文併載　展覧会資料 14 号
“アナザーワールド”――その展示空間（長谷川祐子） pp.5-8, 9-12
図版 pp.13-44
ワークショップ トロバール・クリュス p.42
〔パフォーマンス ヤン・ファーブル〕 p.45
出品作品リスト順 pp.46-47
会場構成 p.48
作家略歴 pp.49-57
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図
○展覧会事項(本体の 1 に同じ)

「私の地球、私の仲間」絵画展〈国連・障害者の十年〉●

NHK・NHK 厚生文化事業団　1992 年 12 月
ごあいさつ（主催者）　p.3
審査委員講評（岩崎巴人、久里洋二、高木金次、野田好子、長谷川栄）　pp.4-5
図版〔図版、作家のことば、特別招待作家略歴〕　pp.6-63
所蔵：□、国新美、東文研
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 12 月 4 日－23 日　大崎・O 美術館　主催：NHK、NHK 厚生文化事業団・国際障害者年推進会議・品川文化振興事業団 O 美術館
出品：特別招待出品；岩下哲士、エム ナマエ、スティーブン・ウィルシャー〔図版収載順〕

1993（平成 5）年

シガ・アニュアル'93 染め・織り〈生まれ変わる造形〉●

滋賀県立近代美術館　1993 年 1 月

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）

染め・織り〈生まれ変わる造形〉（桑山俊道）

カラー図版　33p.

作家紹介・モノクロ図版〔作家のことば、作家歴、図版〕　33p.

〔作家のことば〕（上野真知子、朝倉美津子、大手裕子、高田有子、車李南、藤本哲夫、本田昌史、三橋遵）

出品リスト

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学

○展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'93 FIBER WORK / THE REPRO-ACTION OF FORM」

会期：1993 年 1 月 5 日－2 月 14 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：上野真知子、朝倉美津子、大手裕子、高田有子、車李南、藤本哲夫、本田昌史、三橋遵〔出品リスト順〕

具体展 II〈1959～1965〉●

芦屋市立美術博物館　1993 年 1 月

ごあいさつ（館長松永精一郎）　p.1

中期具体〈1959－1965〉（山本淳夫）　pp.2-5

図版〔年表、図版〕　pp.6-32

作家解説　pp.33-36

具体展 II 出品目録　pp.37-39

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 1 月 5 日－2 月 14 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館

出品：吉原治良、上前智祐、浮田要三、大原紀美子、金山明、木梨アイネ、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、坪内晃幸、名坂有子、前川強、正延正俊、松谷武判、向井修二、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原通雄〔出品目録順〕

ART IN JAPANESQUE〈現代の「日本画」と「日本画」的イメージ〉●

品川文化振興事業団 O 美術館　1993 年 1 月

ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館）　p.3　英文併載

序論・「ART IN JAPANESQUE〈現代における「日本画」的イメージの行方〉」（天野一夫）　pp.4-7

日本的なるものの表現を振り返る（柏木博）　pp.8-9

「日本画」というキッチュ（北澤憲昭） pp.10-13
図版〔図版、作家アンケート〕 pp.15-64
作家アンケート（田口雅巳、岡村桂三郎、尾長良範、河嶋淳司、北田克己、清河恵美、斉藤典彦、鈴木陽子、諏訪直樹〔再録〕、大日本印刷、谷口広樹、寺門孝之、中ハシ克シゲ）
作家略歴 pp.65-69
出品リスト pp.70-71
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art in Japanesque Contemporary Traditional-style Japanese Painting and the Conventional Japanesque Image」
会期：1993 年 1 月 29 日－2 月 23 日 大崎・O 美術館 主催：品川文化振興事業団 O 美術館
出品：靉嘔、篠原有司男、田口雅巳、横尾忠則、岡村桂三郎、尾長良範、河嶋淳司、北田克己、清河恵美、斉藤典彦、鈴木陽子、マコトフジムラ、奥村靫正、諏訪直樹、大日本印刷、谷口広樹、寺門孝之、中ハシ克シゲ〔出品リスト順〕

ファイバー・アート〈糸と布の可能性〉●
福島県立美術館 1993 年 2 月
ごあいさつ（福島県立美術館） p.3
日本のファイバー・アート（長谷部満彦） pp.6-7
会場構成図 p.8
図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕 pp.9-59
〔作家のことば〕（小林正和、小林尚美、熊井恭子、吉田晃良、石田智子、吉村正郎、佐久間美智子、久保田繁雄、草間喆雄、榛葉莟子、中村木美、車季南）
ファイバー・アート 糸と布の可能性（林王昭） pp.60-61
出品作品リスト p.62
主要参考文献 p.63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「FIBER ART」
会期：1993 年 2 月 6 日－3 月 21 日 福島県立美術館 主催：福島県立美術館
出品：小林正和、小林尚美、熊井恭子、吉田晃良、石田智子、吉村正郎、佐久間美智子、久保田繁雄、草間喆雄、榛葉莟子、徳重恵美子、中村木美、車季南〔出品作品リスト順〕

ニュー・ヴィジョン・サイタマ 手わざと現代 ●
埼玉県立近代美術館 1993 年 2 月 第 1 回展 別冊ドキュメント編共 2 冊
あいさつ（埼玉県立近代美術館） p.3 英文併載
序文（松永康） pp.4-6, 7-9 英文併載
カタログ〔作家解説、年譜、主要参考文献〕 pp.11-113
作家解説（松永康） 英文併載

年譜・主要参考文献（梅津元編）

別冊

ドキュメント編

図版〔展示風景〕 6p.

〔検討会の発言の抜粋〕（橋本真之・永山聡子・スタン・アンダソン、小久保さわ子・スタン・アンダソン・永山聡子・橋本真之・今泉省彦・石川健二、橋本真之・笹山央・永山聡子・スタン・アンダソン）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA　Art by Hand : A Natural Way in Contemporary Art」

会期：1993 年 2 月 6 日－3 月 21 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：橋本真之、スタン・アンダソン、永山聡子〔作家解説順〕

現代の版画・新時代の展望 ●

東広島市立美術館　1993 年 2 月 20 日　特別展図録第 18 号

ごあいさつ（東広島市立美術館） p.3

現代の版画・新時代の展望（江口和浩） pp.4-5

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 pp.6-45

〔作家のことば〕（東谷武美、池田良二、柄澤齊、河内成幸、木村秀樹、浜西勝則、両角修、山口啓介）

出品リスト　pp.46-47

所蔵：□、国新美、都現美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONTEMPORARY PRINTS : A VIEW OF THE NEW AGE」

会期：1993 年 2 月 20 日－3 月 28 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館

出品：東谷武美、池田良二、柄澤齊、河内成幸、木村秀樹、浜西勝則、両角修、山口啓介〔出品リスト順〕

2nd 北九州ビエンナーレ クロノスの仮面 Aspects of Time ●

北九州市立美術館　1993 年 3 月 10 日

あいさつ（北九州市立美術館） p.3　英文併載

作品の時間について（黒岩恭介） pp.4-7

クロノスの仮面－アートの時間をめぐって（真武真喜子） pp.8-10

図版〔作家プロフィル、作家のことば、図版、作家論〕 pp.13-73

〔作家のことば〕（白川昌生、西雅秋、柳幸典、ヤノベケンジ）

〔作家論〕（真武真喜子、中島順一、柏木のりこ、前田淳子）

〔プロフィル、展覧会歴、文献〕（大久保京、中島順一、柏木のりこ、前田淳子編）

出品リスト　pp.74-75
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「2nd Kitakyushu Biennale　Masks of Chronos」
会期：1993 年 2 月 20 日－3 月 21 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館
出品：白川昌生、西雅秋、柳幸典、ヤノベケンジ〔出品リスト順〕

神奈川アート・アニュアル'93 ●
神奈川県立県民ホール　1993 年 2 月 27 日　第 6 回展
あいさつ（神奈川県立県民ホール）　p.1
〔ことば〕（針生一郎）　pp.2-3
変わらずの 1990 年代に（正木基）　pp.4-5
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.6-17
〔作家のことば〕（小野皓一、加茂博、郡田政之〔3 行〕、塩野麻理、鯨津朝子、中島敏行、永島洋子、中村シキカツ、樋口薫、森口園子、結城勉、吉田茂規）
出品目録　pp.18-19
〔第 1 回-'92 神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕　p.20
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '93」
会期：1993 年 2 月 27 日－3 月 16 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール
出品：小野皓一、加茂博、郡田政之、塩野麻理、鯨津朝子、中島敏行、永島洋子、中村シキカツ、樋口薫、森口園子、結城勉、吉田茂規〔出品目録順〕

広島現代作家展 芸術表現としての“場” ●
広島市現代美術館　1993 年 2 月 27 日
ごあいさつ（広島市現代美術館）　p.3
1993 年 2 月 広島に生まれた 6 つの“場”（迫中陽子）　pp.4-5
図版〔作家解説、作家略歴、図版〕　pp.7-43
作家解説（迫中陽子、出原均）
インスタレーション・ノート（出原均）　pp.44-47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1993 年 2 月 27 日－3 月 28 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国放送・中国新聞社
出品：甲斐雅之、佐々木成明、瀬島匠、千崎千恵夫、西雅秋、花村憲夫〔図版収載順〕

広島現代作家展 芸術表現としての“場”展示記録
広島市現代美術館　1993 年 3 月 8 日

図版〔展示風景〕 6p.
〔出品目録〕
所蔵：□、国新美、東近美、神近美、和光大、国会図
○展覧会事項〔本体に同じ〕

こころの対話〈芸術における精神的なもの〉●
ふくやま美術館　1993 年 2 月
ごあいさつ（館長赤木博典） pp.3, 5　英文併載
こころの対話（谷藤史彦） pp.6-12
図版〔図版、作家論〕 pp.13-104
〔作家論〕（谷藤史彦）
作家略歴（宮内ちづる編） pp.106-119
出品目録　pp.120-128
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Spiritual in Art」
会期：1993 年 2 月 27 日－3 月 28 日　ふくやま美術館　主催：ふくやま美術館・福山市教育委員会・中国新聞社
出品：ヴァシリィ・カンディンスキー、パウル・クレー、アルベルト・ジャコメッティ、円空、仙厓、吉原治良、李禹煥、アルカンジェロ〔出品目録順〕

70 年代日本の前衛〈抗争から内なる葛藤に ボローニャ展帰国記念〉●
70 年代日本の前衛展実行委員会　1993 年 3 月
ごあいさつ（世田谷美術館・70 年代日本の前衛展実行委員会・朝日新聞社） p.3
序文（井関正昭） pp.4-5
70 年代日本のアヴァンギャルド（バルバラ・ベルトッツィ） pp.6-10
日本の 70 年代：われらの美術（勅使河原純） pp.11-13
自らの内なる制度を見据えて（建畠哲） pp.14-15
カタログ〔図版、作家略歴〕 pp.17-46
出品リスト　pp.47-49
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「AVANGUARDIE GIAPPONESI DEGLI ANNI 70」
会期：1993 年 3 月 17 日－31 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・70 年代日本の前衛展実行委員会・朝日新聞社
出品：伊藤公象、榎倉康二、河口龍夫、北辻良央、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、菅木志雄、田窪恭治、辰野登恵子、彦坂尚嘉、堀浩哉、松澤宥、李禹煥〔出品リスト順〕

戦後日本画の転換期〈1950 年代を中心に〉●
栃木県立美術館　1993 年 4 月

あいさつ（栃木県立美術館） p.3
日本画における諸問題－戦後日本画の 20 年を振り返る（竹山博彦） pp.5-7
図版〔作家解説、図版〕 pp.9-56
関連年表 pp.59-63
資料 pp.64-66 再録
参考文献抄 p.67
出品目録 pp.68-69
註：編集は竹山博彦、半田勝久。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「in the heat of passion；nihonga 1950's」
会期：1993 年 4 月 18 日－5 月 23 日 宇都宮・栃木県立美術館 主催：栃木県立美術館
出品：山崎隆、三上誠、大野俶嵩、下村良之介、星野真吾、湯田寛、野村耕、不動茂弥、岩田重義、楠田信吾、福田豊四郎、吉岡堅二、渡辺学、加山又造、麻田鷹司、岩崎鐸、丸木位里、小松均、岩橋英遠、藤田隆治、岩崎巴人、上田臥牛、横山操、長崎莫人、堂本印象、中村正義〔出品目録順〕

奈良ゆかりの現代作家〈柳原義達・井上武吉・上村淳之・絹谷幸二の世界〉●
奈良県立美術館 1993 年 4 月 開館 20 周年記念特別展
ごあいさつ（奈良県立美術館）pp.2, 3 英文併載
「奈良ゆかりの現代作家」展によせて（平岡照啓） pp.6-7
図版〔作家略年譜、作家のことば、図版、出品目録〕 pp.9-142
〔作家のことば〕（柳原義達、絹谷幸二、井上武吉、上村淳之）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ARTISTS OF NARA－The Works of Yoshitatsu Yanagihara, Bukichi Inoue, Atsushi Uemura and Koji Kinutani」
会期：1993 年 4 月 29 日－5 月 30 日 奈良県立美術館 主催：奈良県立美術館
出品：柳原義達、絹谷幸二、井上武吉、上村淳之〔図版収載順〕

異形の Figure――東北の 3 人展図録 ●
宮城県美術館 1993 年 5 月 付・図版 3 枚(ケース入)
あいさつ（宮城県美術館・河北新報社・東北放送） p.3
「異形の Figure」展について（酒井哲朗） pp.5-7
〔作家のことば、略年譜、図版、主な文献目録、作家論、出品リスト〕 pp.9-37
〔作家のことば〕（斎藤隆、針生鎮郎、吉野辰海）
〔略年譜、主な文献目録、作家論〕（三上満良、和田浩一）
□図版 3 枚〔1 作家 1 枚、各両面刷〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、東大駒、和光大、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Unique Works by three Artists of Tohoku」

会期：1993 年 5 月 20 日－7 月 11 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：斎藤隆、針生鎮郎、吉野辰海

マニフェスト展〈世紀末大学開講記念 混沌の現実に未来を視つめる・8 人の世紀末宣言〉●

ストライプハウス美術館　1993 年 5 月

ごあいさつ（塚原琢哉）

開講宣言 マニフェスト（発起人）

図版〔図版、作家のことば〕

〔作家のことば〕（池田龍雄、井上武吉、大成浩、加藤正、塚原琢哉、山内泰雄、山口勝弘、ワシオ・トシヒコ）

〔作家略歴〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「University of the End of the Century・Tokyo」

会期：1993 年 6 月 4 日－26 日　六本木・ストライプハウス美術館　主催：公開講座「世紀末大学」

出品：池田龍雄、井上武吉、大成浩、加藤正、塚原琢哉、山内泰雄、山口勝弘、ワシオ・トシヒコ〔図版収載順〕

久保貞次郎と芸術家展〈戦後初期版画を中心に〉図録 ●

町田市立国際版画美術館　1993 年 6 月

ごあいさつ（館長青木茂）p.5

初代館長久保貞次郎（河野実）pp.6-8

久保さんとデモクラート（靉嘔）pp.9-13

図版〔章解説、図版〕pp.15-68

章解説（滝沢恭司）

メッセージ（エメット・ウィリアムス）

久保貞次郎略年譜　p.69

作家略歴　pp.70-73

作品目録　pp.74-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 6 月 13 日－7 月 25 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：I 北川民次；北川民次。II 洋画家(彫刻家)の版画[1950 年代]；川口軌外、木内克、岡

鹿之助、福沢一郎、猪熊弦一郎、海老原喜之助、益田義信、村井正誠、山口薫、脇田和、桂ユキ子〔ゆき〕、駒井哲郎。III 瑛九とその仲間たち；瑛九、オノサト・トシノブ、早川良雄、山城隆一、利根山光人、泉茂、森啓、玉井瑞夫、加藤正、杉村恒、靉嘔、奈良原一高、吉原英雄、河原温、細江英公、池田満寿夫、磯辺行久、青原俊子。IV デモクラート以外の作家より；深沢史朗、木村利三郎、木村茂、竹田鎮三郎、小田襄、木村光佑。特別出品；エメット・ウィリアムス〔作品目録順〕

具体展 III〈1965～1972〉●

芦屋市立美術博物館　1993 年 6 月

ごあいさつ（館長松永精一郎）　p.1

後期具体〈1965－1972〉（山本淳夫）　pp.2-5

図版〔図版、年表〕　pp.6-30

作家解説　pp.31-36

具体展 III 出品目録　pp.37-39

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 6 月 19 日－7 月 18 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館

出品：吉原治良、今井祝雄、今中クミ子、上前智祐、大原紀美子、小野田實、菅野聖子、聴濤襄治、坂本昌也、嶋本昭三、白髪一雄、鷲見康夫、田井智、高崎元尚、田中竜児、坪内晃幸、猶原通正、名坂千吉郎、名坂有子、堀尾昭子、前川強、正延正俊、松谷武判、松田豊、向井修二、村上三郎、元永定正、森内敬子、山崎つる子、吉田稔郎、ヨシダ・ミノル、吉原通雄〔出品目録順〕

具体展 I・II・III

芦屋市立美術博物館　1994 年 3 月序

序文（芦屋市立美術博物館）　p.3

「具体」1954－1972（山本淳夫）　pp.6-26, 27-47　英文併載

図版〔章解説、出品目録、図版、作家解説〕　pp.49-200

　作家解説（河﨑晃一、山本淳夫、加藤瑞穂）

具体的な話 村上三郎 vs.白髪一雄（村上三郎、白髪一雄、塚村真美）　pp.201-219

略年譜　pp.220-223

註：本書は既刊の具体展 I・具体展 II・具体展 III の 3 冊の展覧会カタログを再構成したもので、テキストの加筆、講演会記録の収録、英文併載等が行われた。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

第 12 回平行芸術展 全面展開の絵画-II〈イメージのついえ〉●

財団法人小原流：エスパス OHARA　1993 年 6 月

イメージ――風を告げるもの（峯村敏明）　pp.1-4

シンポジウム 絵画にとってイメージとは何か（峯村敏明、丸山直文・長橋秀樹・加藤学・越

前谷嘉高・谷川渥） pp.5-8, 25-33
図版〔作家略歴、図版〕 pp.9-24
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1993 年 6 月 29 日－7 月 10 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流
出品：越前谷嘉高、加藤学、長橋秀樹、丸山直文〔図版収載順〕

第 5 回富山国際現代美術展 ●
富山県立近代美術館　1993 年 7 月　主に欧文併載
あいさつ（富山県立近代美術館） p.5
作家一覧　p.8
第 5 回富山国際現代美術展に寄せて（館長楠顕秀） pp.10, 11
図版　pp.13-32
オーストリア・セクション　pp.33-62
ドイツ・セクション　pp.63-88
スイス・セクション　pp.89-110
日本セクション〔論考、作家のことば、図版〕 pp.111-129
日本セクションについて（中原佑介） pp.112-113, 114-115
〔作家のことば〕（川島清、剣持和夫、村岡三郎、土屋公雄）
出品目録　pp.130-133
作家略歴　pp.134-144, 145-153
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TOYAMA NOW ’93　Art Scene in Central Europe」
会期：1993 年 7 月 3 日－9 月 15 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館
出品：日本セクション；川島清、剣持和夫、村岡三郎、土屋公雄〔出品目録順〕
註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

キッズアートランド〈親子の夏休み体験ミュージアム〉　ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム編 ●
福武書店　1994 年 3 月 1 日
ごあいさつ（主催者） p.3　英文併載
どうしてアートは必要なんだろう?（倉林靖） pp.5-7, 8-10　英文併載
こどもとあそび。あるいは、芸術家と表現。（秋元雄史） pp.11-13, 14-16　英文併載
展示〔図版〕 pp.17-40
ワークショップ〔論考、作家のことば・ドキュメント等〕 pp.41-86
カレーが食べたい気がしない?（黒沢伸） pp.42-44, 45-47　英文併載
ワークショップマラソンの夏（原田博子） pp.48-50, 51-53　英文併載

データ　pp.87-95
　Benesse Island 直島文化村　pp.88-89
　作家略歴　pp.90-91, 91-93　英文併載
　作品リスト　p.94
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「KIDS' ART LAND」
会期：1993 年 7 月 10 日－9 月 5 日　ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム　主催：ベネッセハウス・直島コンテンポラリーアートミュージアム、福武書店
出品：間島領一、ヤノベケンジ、藤本由紀夫、小林健二、藤浩志、熊谷優子、楠かつのり、牛島達治〔作品リスト順〕

大光コレクション展〈先見の眼差し……再構成。〉●
新潟県立近代美術館　1993 年 7 月 15 日　開館記念展
ごあいさつ（新潟県立近代美術館）　p.7
大光コレクションをふりかえる（本間正義）　pp.9-11
大光コレクション展についての覚え書き（小見秀男）　pp.12-13
図版〔章解説、図版〕　pp.15-142
　大光コレクション・近代日本洋画作品について（陰里鐵郎）
　欧米の戦後美術－1960 年前後の制度解体を中心に（佐々木吉晴）
　長岡現代美術賞展のこと（中原佑介）
長岡現代美術賞展ドキュメント　pp.143-150
　封印が解かれる 1960 年代（山口勝弘）
　位相の時から（関根伸夫）
カタログ〔付・作家略歴、作品解説〕　pp.151-185
　作家略歴、作品解説（小見秀男、桑原収、横山秀樹、宮下東子、宮崎俊英、松矢国憲、佐々木奈美子、桐原浩、平野千枝子、藤田裕彦）
資料編　pp.187-202
　主要作品目録、主要作品写真、移動先別リスト、長岡現代美術館関連文献
註：編集は小見秀男、藤田裕彦、佐々木奈美子、宮崎俊英、吉澤隆史、桑原収。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1993 年 7 月 15 日－9 月 5 日　長岡・新潟県立近代美術館　主催：新潟県教育委員会・新潟県立近代美術館
出品：I 日本部門；鳥海青児、藤田嗣治、小牧源太郎、鶴岡政男、脇田和、海老原喜之助、児島善三郎、瑛九、山口薫、佐藤敬、元永定正、中本達也、田淵安一、桂ゆき、岡本太郎、久野真、今井俊満、木村忠太、阿部展也、向井修二、タジリ・シンキチ、吉原治良、オノサ

ト・トシノブ、堂本尚郎、桑山タダスキー、菅井汲、前田常作、斎藤義重、山口長男、靉嘔、高橋秀、李禹煥、麻田鷹司、加山又造、東山魁夷、工藤甲人、横山操。III 長岡現代美術館賞展部門；磯辺行久、岡本信治郎、加納光於、中西夏之、宮城輝夫、森本紀久子、市村司、菊畑茂久馬、篠原有司男、関根伸夫、高松次郎、三木富雄、靉嘔(重)、荒川修作、今中クミ子、小島信明、吉村益信、今井祝雄、伊藤隆康、最上壽之、山口勝弘、湯原和夫、河口龍夫、関根伸夫(重)、宇佐見圭司〔カタログ順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

現代の陶芸 1950－1990 ●

愛知県美術館　1993 年 7 月

あいさつ（館長浅野徹・山田敬二）　p.7

現代陶芸の展開（鈴木健二）　pp.10-14, 15-19　英文併載

図版〔章解説、図版〕　pp.20-115

〔章解説〕（牧野研一郎、浅田員由、唐澤昌宏）

作家略歴（唐澤昌宏、長屋菜津子、牧野研一郎）　pp.117-121

出品目録　pp.122-124, 125-127　英文併載

所蔵：□、東近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Contemporary Ceramics 1950-1990」

会期：1993 年 7 月 16 日－8 月 22 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・愛知県陶磁資料館

出品：辻晋堂、八木一夫、熊倉順吉、藤平伸、山田光、鈴木治、荒木高子、林康夫、加藤清之、坪井明日香、森野泰明、柳原睦夫、宮永理吉、林秀行、伊藤公象、三島喜美代、佐藤敏、鯉江良二、笹山忠保、中村錦平、三輪龍作、金子潤、栗木達介、寄神宗美、土門邦勝、星野暁、西村陽平、中村康平、杉浦康益、久谷蔦枝、秋山陽、清水柾博、井上雅之、重松あゆみ、田嶋悦子〔出品目録順〕

人と風と神々〈北海道の現代木彫〉 ●

北海道立旭川美術館　1993 年 8 月

ごあいさつ（館長高橋洋）　p.1

ごあいさつ（七戸恒俊）　p.2

木彫の「人」「風」「神々」（中村聖司）　pp.3-5

図版〔図版、出品リスト〕　pp.6-19

作家解説　pp.20-21

主な参考文献　pp.22-24

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Man, Wind and Gods；Contemporary Wood Carving in Hokkaido, 1993.」

会期：1993 年 8 月 28 日－10 月 3 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・NHK 旭川放送局

出品：植木茂、砂澤ビッキ、板津邦夫、富谷道信、中江紀洋、岡沼淳一〔図版収載順〕

IMA「絵画の今日」展 ●

三越美術館・新宿　1993 年 8 月

出品作家一覧

IMA-「絵画の今日」展開催主旨（IMA「絵画の今日」展実行委員会）

〔同人作家のことば〕（麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進）

IMA「絵画の今日」展によせて（梅原猛）

仮象の力――「絵画の今日」展によせて（岡田隆彦）

図版　81p.

出品目録

略歴

註：同人作家は麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進。

所蔵：□、国新美、東文研、横浜美、京都学、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 8 月 31 日－9 月 12 日　三越美術館・新宿　主催：三越美術館・新宿、IMA「絵画の今日」展実行委員会

出品：同人作家；麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進。招待作家；相笠昌義、相田幸男、赤松玉女、秋岡美帆、安徳瑛、生駒泰充、井澤幸三、伊庭新太郎、池口史子、市野英樹、稲垣考二、今井信吾、岩崎正、宇野和幸、遠藤彰子、小原素彦、大内田敬、大津英敏、金山桂子、川村悦子、貴堂静栄、北久美子、絹谷幸二、小林一彦、児玉靖枝、近藤大志、佐々木豊、佐藤一郎、佐藤昌宏、齋藤研、酒井信義、坂田哲也、桜井寛、櫻井晨正、島田鮎子、瀬川富紀男、田中いっこう、高橋常政、高橋幸彦、谷川晃一、鶴田憲次、十時孝好、中野庸二、鍋島正一、長谷川泰子、林敬二、櫃田伸也、蛭田均、福岡奉彦、福島瑞穂、福田美蘭、藤田邦統、堀晃、堀越千秋、本田希枝、馬越陽子、松本英一郎、水口裕務、室越健美、元永定正、森一浩、森田康雄、森本勇、山尾才、山河全、吉田淳一、リーガ・パング、わたなべ ゆう、渡辺恂三〔出品目録順〕

ART TODAY ’93 ネオ・ジャパノロジー考 ●

セゾン現代美術館　1993 年 9 月

Art Today 1993「ネオ・ジャパノロジー考」と私達の「新しい日本学」について（清水哲朗）pp.4-5

「ネオ・ジャパノロジー考」を考える（U.N.）　p.6

図版〔作家略歴、作家論、図版〕　pp.8-39

〔作家論〕（中村麗、清水哲朗）

図版リスト　pp.40-41

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART TODAY ’93」

会期：1993 年 9 月 11 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

出品：日高理恵子、アズビー・ブラウン、村上隆、尹熙倉〔図版リスト順〕

ポリクロスアート'93 展 現代美術の様相と断層から ●

〔高知市文化振興事業団〕 1993 年 9 月　1 枚(二ツ折両面刷)〔第 4 回展〕

表現の欲望〈ポリクロスアート'93 展によせて〉（松本教仁）

〔出品目録〕

〔POLYCROSS ART の記録〕

所蔵：□、国新美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「POLYCROSS ART EXHIBITION '93」

会期：1993 年 9 月 16 日－25 日　高知県立郷土文化会館　主催：高知市文化振興事業団、主管：ポリクロスアート展実行委員会、共催：高知県立郷土文化会館

出品：朝井章夫、安藤義孝、上田裕嗣、内川和子、遠藤貢治、大島克文、尾崎由味子、影山千夏、門田修充、川崎康為、岸田龍平、塩田繚麻、信田英司、祖父江建樹、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、名本英樹、浜田憲司郎、藤崎幸雄、増田和剛、松林誠、百田美賀、森木裕貴、山崎道、山中雅史〔出品目録順〕

「再制作と引用」展 ●

板橋区立美術館　1993 年 9 月 18 日　特別展　シリーズ・ART IN TOKYO No.5

ごあいさつ（板橋区立美術館） p.3

引用の芸術のための覚書（南雄介） pp.5-6

引用－愛と批評と無限の展開について（長谷川祐子） pp.7-8

再制作図版〔作家略歴、図版〕 pp.9-49

引用図版〔作家略歴、図版〕 pp.51-89

〈再制作〉――戦後前衛美術の孕んだ、一つの踏み絵（尾崎眞人） pp.90-91

〈再制作〉に関するアンケート（川島良子、高田美規雄、三田村畯右、真室佳武、清水秀作、原田光、猪羽充、勅使河原純、原久子、ワシオ・トシヒコ、福住治夫、三木哲夫、福田美蘭、宇波彰、高島直之、後々田寿徳、笹木繁男、酒井義孝、金澤毅、篠雅廣、熊谷優子、大橋紀生、小室千晶、山本和弘、大野俊治、平野明彦、増田洋、立石大河亞、前山裕司、榎本徹、有川幾夫、渡辺レイ子、山本隆志、戸村正巳、式淳子、柳沢秀行、中本和美、末吉守人、青木茂、島州一、三上満良、西村健治、藁科英也、清水誠一、小松崎広子、渡辺一郎、深井隆、池田龍雄、小松崎拓男、大井健地、二村裕子、鷲見哲彦、中村守孝、光田由里、千葉由美子、立花卓、山根康愛、寺田真由美、大村和子、たにあらた、上葛明広、山西健夫、功刀知子、中村邦明、橋富博喜、日夏露彦、高橋秀治、山口侊子、藤田一人、伊藤匡、横山勝彦、河﨑晃一、出原均、永井祥子、金沢健一、大賀洋介、門田秀雄、利根山光人、間島領一、岸野裕人・速水豊、濱本聰、田中建三、榮樂徹、佐谷周吾、津田佳紀、小島信明、篠田達美、大北利根子、伊豆井秀一、吉原美恵子、田中日佐夫、薗部雄作、村田慶之輔、丸山常生、村田真、戸谷成雄、瀬木慎一、柏原えつとむ、小泉晋弥、内海信彦、

青木康彦、柏木博、真倉光子、黒田悠子、こばやしひとみ） pp.92-115
出品一覧 pp.116-119
註：編集は山科知子、尾﨑眞人。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Reconstructed and Quotation」
会期：1993 年 9 月 18 日－10 月 24 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：靉嘔、赤瀬川原平、菊畑茂久馬、北代省三、小島信明、小清水漸、斎藤義重、菅木志雄、篠原有司男、嶋本昭三、白髪富士子、関根伸夫、高松次郎、立石大河亞、田中敦子、津田佳紀、戸谷成雄、牛波、彦坂尚嘉、福田美蘭、吉野辰海、龍崎哲郎、李禹煥、高見澤文雄、堀浩哉、稲憲一郎〔出品一覧順〕

現代絵画の一断面――「日本画」を越えて ●
東京都美術館　1993 年 9 月 28 日　特別展図録第 23 号
ごあいさつ（東京都美術館） p.3
「日本画」を越えて（加藤弘子） pp.4-7
図版〔図版、作家略歴〕 pp.9-75
作品リスト pp.76-78
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル:「Beyond the“Nihonga”－An Aspect of Contemporary Japanese Paintings」
会期：1993 年 9 月 28 日－11 月 24 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館
出品：河嶋淳司、山崎宏、マコトフジムラ、斉藤典彦、岡村桂三郎、日高理恵子、竹内啓、尾長良範、武田州左、諏訪直樹、中上清、間島秀徳、村上隆〔作品リスト順〕

日本のアウトサイダー・アート〈パラレル・ヴィジョン－20 世紀美術とアウトサイダー・アート〉
●
世田谷美術館　1993 年 9 月　英文併載
あいさつ（世田谷美術館・朝日新聞社） p.5
異界の人――日本のアウトサイダー・アート（塩田純一） pp.7-14, 33-39
カタログ pp.15-28
作家解説 pp.29-31, 40-41
註：編集は塩田純一、長谷川祐子、遠藤望。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Japanese Outsider Art：Inhabitants of Another World」
会期：1993 年 9 月 30 日－12 月 12 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・朝日新聞社

出品：小笹逸男、草間彌生、古賀春江、坂上チユキ、福村惣太夫、山下清、吉川敏明、渡辺金蔵(赤木城吉)〔作家解説順〕

註：古賀春江、渡辺金蔵は戦前の作家。小笹逸男、福村惣太夫、吉川敏明はみずのき寮の入寮者。

ark of ART 美術の方舟 ●

高知県立美術館　1993 年 11 月　開館記念展　3 分冊(ケース入)

ごあいさつ（知事橋本大二郎）　p.3, 107　英文併載

時代は疼く－現代日本の美術（鍵岡正謹）　pp.7-11

作品図版　pp.13-85

アブソリュート イーゴ ペインティング（松本教仁）　pp.87-89

作家解説　pp.91-95

出品作品リスト(現代美術部門)　pp.96-99, 110-113　英文併載

NOW AND BEYOND Concerning the collection of The Museum of Art, Kochi　p.109

□郷土関係部門

土佐、高知…そして美術（川島郁子）　pp.2-3

図版　pp.4-23

郷土関係部門作家略歴　pp.24-29

郷土関係部門出品目録　pp.30-31

□シャガール特別展示〔全 8 ページ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

会期：1993 年 11 月 3 日－23 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館

出品：横尾忠則、大竹伸朗、正延正俊、白髪一雄、李禹煥、野見山暁治、篠原有司男、菊畑茂久馬、堀浩哉、舟越桂、戸谷成雄、若林奮、森村泰昌、合田佐和子、福田美蘭、中村一美、河口龍夫。郷土関係部門；信清誠一、中村博、森田早稲、中沢竹太郎、山本茂一郎、奥谷博、土方久功、日和崎尊夫、中林忠良、島内松南、山本倉丘、森田曠平〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家を収載した。また郷土関係部門は戦後作品の出品作家を対象とした。

「電子的皮膜・水のたてもの」展 ●

品川文化振興事業団 O 美術館　1993 年 11 月

ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館）　p.3　英文併載

皮膚論的な想像力のために（谷川渥）　pp.4-6

電子的皮膜――水のたてもの（天野一夫）　pp.7-12

図版〔アンケート、図版、作家のことば〕　pp.13-48

〔アンケート、作家のことば〕（石井勢津子、伊東豊雄、小畑正好、関口敦仁、藤幡正樹、横尾忠則）

作家略歴　pp.49-55

伊東豊雄建築作品　p.56

図版目録　pp.57-58

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「ELECTRONIC SURFACE　LIQUID STRUCTURE」

会期：1993 年 11 月 6 日－12 月 1 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：石井勢津子、伊東豊雄、小畑正好、倉俣史朗、関口敦仁、藤幡正樹、横尾忠則〔図版収載順〕

第 27 回現代美術選抜展図録 ●

文化庁文化部芸術課　1993 年 11 月

あいさつ（文化庁長官内田弘保）　p.7

図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕　pp.9-49

第 27 回現代美術選抜展開催要項　p.50

出品団体・出品点数一覧　p.50

〔出品団体系図〕　p.51

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：神奈川展；1993 年 11 月 10 日－21 日　藤沢市民ギャラリー　主催：文化庁・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会／山形展；11 月 27 日－12 月 14 日　よねざわ市民ギャラリー・ドリーム　主催：文化庁・山形県教育委員会・米沢市教育委員会／愛知展；12 月 22 日－1994 年 1 月 16 日　豊橋市美術博物館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・豊橋市美術博物館・中日新聞社／徳島展；1 月 21 日－2 月 6 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館／香川展；2 月 10 日－24 日　坂出市民美術館　主催：文化庁・香川県教育委員会・坂出市教育委員会

出品：日本画；内田あぐり、岡村桂三郎。洋画；遠藤彰子、福田美蘭。版画；嶋田善雄、北野敏美。彫刻；北郷悟〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

第 29 回今日の作家展 視えない現実　　横浜市民ギャラリー・第 29 回今日の作家展開催企画実行委員会編 ●

横浜市民ギャラリー　1993 年 11 月　主に英文併載

ごあいさつ（横浜市民ギャラリー・第 29 回今日の作家展開催企画委員会）　p.3

思考する目――不可視から可視へ（逢坂恵理子）　pp.5-8, 9-11

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.12-43

〔作家のことば〕（椿昇、中ハシ克シゲ、中村政人、柳幸典）

「今日の作家展」出品作家リスト(1964 年～1992 年)　pp.44-45　〔和文のみ〕

第 28 回「今日の作家展」(1992 年)「現代性への問いかけ～ある様々な企て」の記録　pp.46-48〔和文のみ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 29th ‘Artists Today’ Exhibition：Invisible Realities」

会期：1993 年 11 月 19 日－12 月 2 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画委員：逢坂恵理子、

主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：椿昇、中ハシ克シゲ、中村政人、柳幸典〔図版収載順〕

流動する美術－III ネオ・ダダの写真 ●

福岡市美術館　1993 年 11 月

ごあいさつ（福岡市美術館）　p.3

断面のスナップ（吉村益信）　pp.4-6

暗室にて（石黒健治）　pp.6-8

明るい殺戮者、その瞬間芸の術（黒田雷児）　pp.8-13

図版　pp.14-60, 71-72

年譜　pp.61-70

ネオ・ダダ文献抜粋　p.73

参考文献　pp.74-75

ネオ・ダダ作家略歴　pp.76-77

写真家略歴　pp,78-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art in Flux III　NEO-DADA Witnessed：Photo Documents」

会期：1993 年 11 月 23 日－1994 年 2 月 6 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：目撃者(写真家)；石黒健治、石松健男、小林正徳、東松照明、ジャクリーヌ・ポール。目撃された者(ネオ・ダダ)；赤瀬川原平、荒川修作、石橋別人、風倉匠、岸本清子、木下新、篠原有司男、田中信太郎、田辺三太郎、豊島壮六、平岡弘子、升沢金平、吉野辰海、吉村益信。

〈かたまり彫刻〉とは何か 図録 ●

財団法人小原流　1993 年 12 月 1 日

とどまる手と超える手の間で（峯村敏明）　pp.3-7, 8-12　英文併載

〈かたまり彫刻〉図入り年表（峯村敏明）　pp.13-59

彫刻について〈かたまり彫刻〉について私はこう考える（戸谷成雄、黒川弘毅、多和圭三、高橋裕二、山崎豊三、大森博之、笠原たけし、舟越直木、坂東正章、丸山富之、虎尾裕、彦坂尚嘉、相田正則）　pp.60-67

出品作家略歴　pp.68-72

註：標題紙に「20 世紀・唯視覚主義への反逆の始まり」とある。編集は峯村敏明、長瀬雅之。

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「What Is the Katamari Sculpture? Here Begins a Counter-attack against Twentieth Century's Visualism」

会期：1993 年 12 月 1 日－14 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA & 1 階ロビー　企画・構成：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：戸谷成雄、黒川弘毅、多和圭三、高橋裕二、山崎豊三、大森博之、笠原たけし、舟越直木、坂東正章、丸山富之、虎尾裕、彦坂尚嘉、相田正則〔寄稿順〕

ニュー目黒名〈画〉座〈想い出の 1980 年代から ニュー・アート・パラダイス〉●

目黒区美術館　1993 年 12 月　6 分冊＋チラシ 1 葉(両面刷)たとう入り

〔あいさつ〕（目黒区美術館）たとう

各冊〔図版、作家論、インタビュー、作品リスト、略年譜〕

作家論（正木基、家村珠代）

〔インタビュー〕（川俣正、聞き手・正木基）

略年譜

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1993 年 12 月 11 日－1994 年 1 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：野又穫、前田哲明、牛島達治、上野茂都、川俣正、安田奈緒子〔表紙記載順〕

1994（平成 6）年

小さな彫刻 大きな宇宙 ●

ふくやま美術館　1994 年 1 月　開館 5 周年記念 II

ごあいさつ（館長赤木博典）　p.3

図版　pp.4-38

出品作家・作品目録　pp.40-45

小さな彫刻・大きな宇宙によせて（石井太）　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Small Sculptures」

会期：1994 年 1 月 4 日－2 月 6 日　ふくやま美術館　主催：ふくやま芸術文化振興財団ふくやま美術館・福山市教育委員会・中国新聞社・中国放送

出品：有元利夫、堀内正和、飯田善國、工藤哲巳、三木富雄、三澤憲司、岡崎和郎、篠田守男、土谷武、若林奮、山本正道、柳原義達〔作品目録順〕

ポジション 1994 名古屋発現代美術展図録　　名古屋市美術館編 ●

名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団　1994 年 1 月

ごあいさつ（主催者）　p.5

出品作家・出品リスト　pp.6-7
図版　pp.9-43
テキスト
キーポイントを突け!〈芸術の否定の否定〉（中村英樹）　pp.46-47
美術と文化的土壌（三頭谷鷹史）　pp.48-49
これからの「芸術」（木方幹人）　pp.50-51
現代美術の可能性（山脇一夫）　pp.52-53
作家紹介〔作家のことば、略歴、主な文献〕　pp.55-72
〔作家のことば〕（阿野義久、磯部聡、大野左紀子、国島征二、久野利博、鯉江良二〔1 行〕、小島久弥、小谷浩士、設楽知昭、庄司達、鷲見麿、清野祥一、長谷川哲、藤井一、水上旬、三輪美津子、山本富章）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「POSITION 1994 Nagoya Contemporary Art Exhibition」
会期：1994 年 1 月 5 日－2 月 6 日　名古屋市美術館　選考委員：中村英樹・三頭谷鷹史・木方幹人・山脇一夫、主催：名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団
出品：阿野義久、磯部聡、大野左紀子、国島征二、久野利博、鯉江良二、小島久弥、小谷浩士、設楽知昭、庄司達、鷲見麿、清野祥一、長谷川哲、藤井一、水上旬、三輪美津子、山本富章〔出品作家・出品リスト順〕

神奈川アート・アニュアル'94 ●
神奈川県立県民ホール　1994 年 1 月 13 日　第 7 回展
あいさつ（神奈川県立県民ホール）
選考の経過と作家のプロフィール（柳生不二雄）
停滞論（千葉成夫）
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　12 図
〔作家のことば〕（石田眞利、大岩オスカール幸男、大村雄一郎、加藤力〔再録〕、金子友紀、倉橋元治、滝波重人、塚原奈緒子、服部昌樹、服部正志、藤枝柚実）
出品目録
〔第 1 回-'93 神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '94」
会期：1994 年 1 月 13 日－30 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県立県民ホール
出品：石田眞利、大岩オスカール幸男、大村雄一郎、加藤力、金子友紀、倉橋元治、滝波重人、塚原奈緒子、服部昌樹、服部正志、藤枝柚実、村井俊二〔出品目録順〕

矩形の森――思考するグリッド ●
埼玉県立近代美術館　1994 年 2 月　主に英文併載

あいさつ（埼玉県立近代美術館） p.3
はじめに（平野到） pp.5-11, 12-16
20 世紀絵画におけるグリッド（早見堯） pp.17-21, 22-24
カラー図版 pp.25-48
図版〔作家略歴、作家解説、図版〕 pp.49-119 和文・欧文
作家解説（平野到、中村誠、伊豆井秀一、田中幸人）
建築・都市・デザインにおけるグリッド
日本の空間とグリッド（川添登） pp.122-123, 124-125
管理と逸脱〈グリッド〉（柏木博） pp.126-127, 128-129
近代建築とグリッド〈バックミンスター・フラーの話から〉（青木淳） pp.130-131, 132-133
都市のグリッド（八束はじめ） pp.134-135, 136-137
出品リスト pp.138-142
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CROSS AND SQUARE－GRIDS」
会期：1994 年 2 月 5 日－3 月 21 日 北浦和・埼玉県立近代美術館 主催：埼玉県立近代美術館
出品：分割と展開；ピエト・モンドリアン、ウルリッヒ・リュックリーム、江上計太、山田正亮。連続と集積；カール・アンドレ、ドナルド・ジャッド、アンディ・ウォーホル、磯辺行久、草間彌生。ずれと気配；倉重光則、菅木志雄、田中栄吉、中里斉、中村一美。構造と意味；ギルバート&ジョージ、ピーター・ハリー、パウル・クレー、トーマス・ロッハー、ジャン＝ピエール・レイノー、アド・ラインハート、荒川修作、伊藤義彦、松本旻〔出品リスト順〕

ねりまの美術'94 平面とイメージの魅惑 ●
練馬区立美術館 1994 年 2 月
ごあいさつ（練馬区立美術館） p.3
平面とイメージの魅惑について（横山勝彦） pp.5-8
図版 pp.9-71
〔作家略歴、参考図版〕 pp.72-103
出品目録 pp.104-111
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1994 年 2 月 5 日－3 月 13 日 練馬区立美術館 主催：練馬区立美術館
出品：太田三郎、小野絵里、小山穂太郎、田中繁一、戸川馨、藤井孝次朗、山内秀臣、横田亜弓〔出品目録順〕

戦後日本の前衛美術　　横浜美術館学芸部編 ●

読売新聞社　1994 年 2 月

あいさつ（河北倫明・渡邉恒雄）　p.9　英文併載

序章（アレキサンドラ・モンロー）　pp.12-16, 17-21　和文・英文

状況についての課題――1990 年を中心に（天野太郎）　pp.22-25, 26-29

カタログ〔図版〕　pp.31-184

　出品作家一覧

　章解説（アレキサンドラ・モンロー、柏木智雄、深田独、天野太郎）

章解説 英文・英訳　pp.185-203

作家略歴（新畑泰秀、深田独）　pp.204-231

主要参考文献（柏木智雄編）　pp.232-266

出品作品リスト　pp.267-274, 275-282　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「JAPANESE ART AFTER 1945：SCREAM AGAINST THE SKY」

会期：1994 年 2 月 5 日－3 月 30 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・読売新聞社

出品：第 1 章真夏の太陽にいどむ：具体美術協会；元永定正、吉田稔郎、嶋本昭三、村上三郎、白髪富士子、田中敦子、金山明、白髪一雄、吉原治良、吉原通雄。第 2 章環：モダニズムと伝統；井上有一、森田子龍、勅使河原蒼風、篠田桃紅、出口王仁三郎、八木一夫、イサム・ノグチ。第 3 章復讐の形態学：読売アンデパンダンと 1960 年代のプロテスト；東松照明、中西夏之、高松次郎、赤瀬川原平、荒川修作、篠原有司男、吉村益信、草間彌生、村岡三郎、横尾忠則、飯村隆彦、城之内元晴。第 4 章肉体の叛乱：暗黒舞踏とオプセッショナル・アート；草間彌生(重)、工藤哲巳、三木富雄、浅岡慶子、土方巽。第 5 章微笑の箱：東京フルクサス、概念芸術と形而上学派；小野洋子、フルクサス、靉嘔、斉藤陽子、小杉武久、塩見允枝子、刀根康尚、一柳慧、ナムジュン・パイク、久保田成子、瀧口修造、マルセル・デュシャン、ジャスパー・ジョーンズ、荒川修作(重)、ジャン・ティンゲリー、岡崎和郎、高松次郎(重)、杉本博司、宮島達男、河原温。第 6 章状況律：もの派、そして彫刻的パラダイムを超えて；李禹煥、成田克彦、小清水漸、吉田克朗、菅木志雄、斎藤義重、遠藤利克、川俣正。第 7 章無限の網：日本の現代抽象絵画；草間彌生(重)、宮脇愛子、山田正亮、桑山忠明、李禹煥(重)、松本陽子、中川直人、辰野登恵子、中村一美。第 8 章鎖陰：実験映画とビデオ；日大映研、細江英公、谷川俊太郎と武満徹、柳原良平、真鍋博、藤野一友と大林宣彦、松本俊夫、飯村隆彦(重)、久里洋二、和田誠、横尾忠則(重)、田名編敬一、ドナルド・リーチ、高林陽一、大井文雄、金坂健二、シネマ・ヴォワイアン、今井祝雄、島村達雄、岡部道男、中井恒夫、山田学と月尾嘉男、奥山順市、粟津潔、原將人、桂宏平、宮井陸郎、辻勝之、古川タク、寺山修司、矢崎勝美、安藤紘平、金井勝、城之内元晴(重)、林静一、長野千秋、中島興、中谷芙二子、出光真子、萩原朔美、かわなかのぶひろ、小林はくどう。第 9 章ヒノマル・イルミネーション：1990 年代の日本のアート；森村泰昌、中原浩大、柳幸典、ダム・タイプ〔出品作

品リスト順〕

日本画の抽象－その日本的特質 ●

品川文化振興事業団 O 美術館　1994 年 2 月

ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館）　p.3　英文併載

日本画の抽象おぼえ書き（針生一郎）　pp.4-7

日本画の抽象・序説（天野一夫）　pp.8-17

図版　pp.19-80

作家略年譜　pp.83-91

総合年表　pp.92-100

出品リスト　pp.101-102

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Abstraction in Nihonga－Reconsideration of Japanese Features－」

会期：1994 年 2 月 11 日－3 月 9 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：岩橋英遠、児玉希望、杉山寧、堂本印象、岩澤重夫、堂本元次、山本知克、大野俶嵩、下村良之介、野村耕、不動茂弥、星野真吾、三上誠、山崎隆、湯田寛、岩田重義、楠田信吾、久保田壱重郎、榊健、名合孝之、野村久之、朝倉摂、岩崎鐸、上田臥牛、佐藤多持、塩原友子、中島清之、船田玉樹、水谷勇夫〔出品リスト順〕

註：出品欄の岩橋英遠は戦前作品。

アート・ラビリンス〈90 年代美術への視座〉 ●

岡山県立美術館　1994 年 3 月

ごあいさつ（館長宮地暢夫）　p.3

アート・ラビリンス〈90 年代美術への視座〉（妹尾克己）　pp.6-10

図版〔作家のことば、略歴、作家解説、図版〕　pp.11-67

〔作家のことば〕（河口洋一郎、関口敦仁、中原浩大、福田美蘭、藤本由紀夫、柳幸典、ヤノベケンジ）

三上晴子（辻宏子）　再録

作家解説（妹尾克己、柳沢秀行）

作家略歴・文献　pp.68-79

出品作品一覧　p.81

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art Labyrinth A view point to Japanese Contemporary Art」

会期：1994 年 2 月 18 日－3 月 21 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：河口洋一郎、コンプレッソ・プラスティコ、関口敦仁、中原浩大、福田美蘭、藤本由紀夫、三上晴子、柳幸典、ヤノベケンジ〔出品作品一覧順〕

シガ・アニュアル'94 版の宇宙 ●

滋賀県立近代美術館　1994 年 2 月　第 8 回展

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館） p.3

図版 pp.7-40

作家紹介〔作家のことば、作家歴〕 pp.41-57

〔作家のことば〕（安藤真司、木下恵介、小林清子、清水美三子、林孝彦、筆塚稔尚、芳野太一、若月公平）

「版の宇宙」〈マチエールの魅力と夢想の時〉（占部敏子） pp.58-59

出品リスト pp.60-63

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、京都学、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '94 CONTEMPORARY PRINTS；VOYAGE TO THE REALM OF IMAGINATION」

会期：1994 年 2 月 19 日－3 月 27 日 大津・滋賀県立近代美術館 主催：滋賀県立近代美術館

出品：安藤真司、木下恵介、小林清子、清水美三子、林孝彦、筆塚稔尚、芳野太一、若月公平〔出品リスト順〕

21 世紀・的・空間〈現代美術と民俗的空間の出会い：日本の眼と空間 III〉●

セゾン美術館・アイディアル・コピー 1994 年 2 月 英文併載

はじめに（セゾン美術館） pp.8, 9

21 世紀・的・日本――未来の芸術家たちにあてる手紙（新見隆） pp.16---128

図版 pp.18-317

〔アイディアル・コピーについて〕

「21 世紀・的・芸術」に向けて（熊倉敬聡）

神の宿る国（岡しげみ）

コラージュ・東方思考（鈴木尊志）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A Vision of Japan for the 21st Century Encounter of Contemporary Art and Folklore－Japanese Aesthetics and Sense of Space III」

会期：1994 年 2 月 23 日－4 月 4 日 池袋・セゾン美術館 主催：セゾン美術館

出品：アイディアル・コピー、今村源、大久保英治、大森裕美子、さかぎしよしおう、多和圭三、野村仁、林田直子、平川典俊、藤本由紀夫、尹熙倉〔図版収載順〕

註：本展は現代美術のほかに考古出土品、民俗祭祀、民具が出品された。

仮装する空間〈瀬田哲司・岡崎乾二郎&津田佳紀・鈴木昭男〉●

愛知芸術文化センター 1994 年 3 月 1 枚(三ツ折両面刷)

仮装する空間とは何か?

図版〔作家略歴、図版、制作ノート〕 3p.

制作ノート（瀬田哲司、岡崎乾二郎、津田佳紀、鈴木昭男）

仮装する空間[作品配置図]
所蔵：□、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1994 年 3 月 8 日－27 日　名古屋・愛知芸術文化センター　企画：愛知県文化情報センター・愛知県美術館、主催：愛知芸術文化センター
出品：仮装 1・瀬田哲司、仮装 2・岡崎乾二郎&津田佳紀、仮装 3・鈴木昭男
○記録集
パブリック・アートの実験 PUBLIC ART　　愛知県文化情報センター編
愛知県文化情報センター　1994 年
Prologue1 テキスト 1 パブリック・アートの実験　pp.3-6
Prologue2 テキスト 2 パブリック・アートの道化的精神（南條史生）　pp.7-8
Prologue3 テキスト 3 美術館から公共空間へ（本間正義）　pp.9-11
Part I　都市の中のアート　pp.13-34
レクチャー1 都市のアートスケープ（今井祝雄）　pp.15-20
レクチャー2 都市の魅力〈機能(ファンクション)から物語(フィクション)へ〉（北川フラム）pp.21-26
仮装 1「火火火火火火」瀬田哲司　pp.27-29
「仮装する空間」をめぐる対話から 1 表現者の行為は公共空間の中で、どううけとめられるのか?（瀬田哲司・正木基）　pp.30-33
PROFILE 瀬田哲司　p.34
Part II 芸術における公共性　pp.35-56
レクチャー3 パブリック・アートは誰のものか?〈新田秀樹〉　pp.37-44
レクチャー4 共同体における芸術家のシャーマン的役割（岡崎乾二郎）　pp.45-48
仮装 2「CAPUT MORTUUM-2」岡崎乾二郎&津田佳紀　pp.49-51
「仮装する空間」をめぐる対話から 2 公的空間は誰にも属さない、意識の余白の中に存在している。（岡崎乾二郎・津田佳紀）　pp.52-55
PROFILE 岡崎乾二郎、津田佳紀　p.56
Part III 都市と融合するアートへ　pp.57-76
テキスト 4 パブリック・アートとの対話〈“幸福の王子”以後〉（茂登山清文）　pp.59-62
テキスト 5 都市とアートとの接近〈「人間の条件」展より〉（南條史生）　pp.63-64
テキスト 6 ノイズの調合〈都市とサウンド・インスタレーション〉（中川真）　pp.65-68
仮装 3「Seseragi」鈴木昭男　pp.69-71
「仮装する空間」をめぐる対話から 3 「音」の設置。聴覚からのアプローチは、都市空間に何を生みだすのか?（中川真・川崎義博・ロルフ・ユリウス）　pp.72-75
PROFILE 鈴木昭男、川崎義博　p.76

所蔵：□、国新美、愛芸文

めぐろの美術史展－洋画・版画之巻 ●

目黒区美術館　1994 年 3 月 12 日

ごあいさつ（館長加藤貞雄）　p.3

めぐろの美術史－洋画・版画之巻－覚書（正木基）　pp.4-6

図版　pp.7-70

作家略歴　pp.71-77

出品リスト　pp.78-80

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 3 月 12 日－4 月 10 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：井手宣通、海老原喜之助、岡田謙三、岡部繁夫、岡見富雄、荻須高徳、古茂田守介、須山計一、仙波均平、松岡正雄、宮田武彦、駒井哲郎〔出品リスト順〕

現代美術の展望「VOCA 展'94－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会　1994 年 3 月　英文併載

VOCA 展を創設するにあたって（主催者）　p.5

企業メセナと VOCA 展への支援について（第一生命保険相互会社）　p.7

〔審査員、授賞者〕　pp.8, 101

選考所感（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫）　pp.9-13, 102-106

VOCA 展'94〔推薦委員、出品作家一覧〕　pp.15, 107

図版〔作家略歴、作家解説、図版〕　pp.16-99, 108-124

〔作家解説〕（鍵岡正謹、塩田純一、菊屋吉生、正木基、大熊敏之、剱持邦弘、井手和子、矢口國夫、尾野正晴、大坪健二、金澤毅、三田晴夫、松浦寿夫、三上豊、山梨俊夫、黒田雷児、尾﨑信一郎、菅原教夫、北澤憲昭、椹木野衣、太田垣實、篠原資明、天野太郎、千葉成夫、松村壽雄、新田秀樹、山脇一夫）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1994 年 3 月 15 日－26 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会(財団法人日本美術協会・上野の森美術館)

出品：赤塚裕二、荒瀬景敏、崔恩景、越前谷嘉高、マコト・フジムラ、藤田邦統、福田美蘭、平体文枝、磯部錦司、片山雅史、菊地武彦、小林正人、児玉靖枝、小池隆英、小山利枝子、栗野よう子、丸山直文、森弘志、村井俊二、村上隆、小田英之、小田中康浩、小川佳夫、岡崎乾二郎、尾長良範、大竹伸朗、大友洋司、佐川晃司、櫻井美智子、佐々木薫、世良京子、設楽知昭、末永敏明、菅原清美、菅原健彦、杉山知子、鈴木修一郎、館勝生、高橋克之、山口啓介、吉川民仁、吉澤美香〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・福田美蘭、世良京子、VOCA 奨励賞・小林正人、森弘志、館勝生

水戸アニュアル'94 開放系 Open System ●

水戸芸術館現代美術センター　1994 年 4 月　英文併載　別冊 4 枚(二ツ折両面刷、たとう入り)共　展覧会資料 17 号

序にかえて（渡部誠一）　pp.6-7, 8-9

『開放系』とは何か?－各作家の実践に即しながら（倉林靖）　pp.10-24, 58-69

図版　pp.25-56

作家略歴　pp.70-77

掲載図版リスト　pp.78-79

□別冊〔図版、会場写真、作家のことば〕　4 枚

〔作家のことば〕（柳幸典、田甫律子、蔡國強、刈谷博）　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '94　Open System」

会期：1994 年 4 月 2 日－5 月 29 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：柳幸典、田甫律子、蔡國強、刈谷博〔図版収載順〕

KARADA が ART になるとき〈物質になった器官と身体〉展カタログ ●

板橋区立美術館　1994 年 4 月　特別展　シリーズ・Art in Tokyo No.6

ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3　英文併載

芸術表現に現れた肉体を展示し、観賞し、言及すること（リン・クック）　pp.4-8, 110-113　英文併載

ボディ・ランゲージ〈コック・ティーザー、ピス・ドリンカー、パブリック・シェイバー〉（アピナン・ポーサヤーナン）　pp.9-13, 114-117　英文併載

1945 年以降のドイツにおける人体表現（イーリス・グニオスドルシュ）　pp.14-19, 118-123　欧文併載

When the Body Becomes Art　日本の戦後美術と現代美術をとおして（尾崎眞人）　pp.20-24, 124-128　英文併載

図版　pp.25-106

コラボレーション　pp.108-109

出品作家略歴（岩清水祥代）　pp.129-137

出品目録　pp.138-142

註：編集は尾崎眞人、山科知子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「When the Body Becomes Art：the Organs and Body as Object」

会期：1994 年 4 月 9 日－5 月 29 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：吉原治良、福沢一郎、古沢岩美、尾藤豊、山下菊二、白木正一、池田龍雄、芥川〔間所〕紗織、杉全直、中村宏、靉嘔、吉仲太造、村岡三郎、荒川修作、小島信明、中西夏之、魚田元生、入江比呂、四谷シモン、山口勝弘、工藤哲巳、菊畑茂久馬、堀内正和、篠田守男、三木富雄、谷岡靖則、岡崎和郎、榎倉康二、高木修、宮脇愛子、北辻良央、金沢健一、津田佳紀、河口龍夫、草間彌生、高松次郎、若林奮、清水誠一、伊藤義彦、今道子、福田美蘭、丸山常生、寺田真由美、吉江庄蔵、荒木経惟、石内都、大森博之、杉浦邦恵、レイコ・イケムラ、やまだいくこ、井上リサ＋LISA Space Nightingale〔出品目録順〕

関西の美術 1950’s～1970’s〈創造者たちのメッセージ〉カタログ ●

兵庫県立近代美術館　1994 年 4 月

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・産経新聞社・関西テレビ放送）　p.5

図版　pp.7-85

戦後美術の栄光――50 年代美術の関西（中村義一）　pp.8-9

回想のわが「’60 年代」（赤根和生）　pp.36-37

70 年代の一つの場合――「京都アンデパンダン」展と「京都ビエンナーレ」（平野重光）　pp.62-63

関西の美術 1950～70 年代――概説的に（平井章一）　pp.86-92

関西戦後美術年表－1980 年まで（平井章一編）　pp.93-122

文献再録：「前衛」たちのマニフェスト　pp.123-126

作家略歴　pp.127-135

主要参考文献　p.136

出品リスト　pp.137-141

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART IN KANSAI 1950’s～1970’s」

会期：1994 年 4 月 9 日－5 月 8 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・産経新聞社・関西テレビ放送

出品：I. 1950 年代～破壊と総合のダイナミズム；三上誠、星野真吾、下村良之介、大野俶嵩、八木一夫、鈴木治、山田光、辻晋堂、吉原治良、津高和一、中村真、須田剋太、山崎隆夫、堀内正和、植木茂、森田子龍、井上有一、宇野三吾、林康夫、鈴木康之、小原豊雲、泉茂、吉原英雄、久保晃、河野芳夫、小林二郎、片山昭弘、大熊峻、廣重明、市村司、林俊治、白髪一雄、元永定正、田中敦子、嶋本昭三。II. 1960 年代～可能性の実験；野村耕、中井克巳、関根勢之助、松谷武判、矢野正治、今井祝雄、野村久之、榊健、須賀卯夫、鈴木正教、今中クミ子、森口宏一、井原康雄、木梨アイネ、吉田稔郎、ヨシダミノル、平田洋一、福岡道雄、村松達也、栄利秋、楠田信吾、寺尾恍示、グループ「位」、向井修二、THE PLAY。III. 1970 年代～沈潜する眼差し；下谷千尋、呉本俊松、郭徳俊、野村仁、北辻良央、植松奎二、木下佳通代、斉藤智、狗巻賢二、村岡三郎、河口龍夫、JAPAN KOBE ZERO、榎忠、松井憲作、宮崎豊治、木村秀樹、清水九兵衛、小清水漸、奥田善巳、沢居曜子、松本正司、今井祝雄(重)

〔出品リスト順〕

人間の条件展 カタログ〈私たちは、どこへ向かうのか。〉●

ワコールアートセンター　1994 年 2 月　英文併載

ごあいさつ（廣谷憲治） pp.4, 5

サラエボの春（スーザン・ソンタグ） pp.6, 7

クォ・ヴァディス（南條史生） pp.8-9, 10-12

図版　pp.13-36

新しい未来〈アルヴィン・トフラーへのインタヴュー〉（ピーター・シュワルツ）pp.37-40, 41-44

「死体」に向かう現代美術（布施英利） pp.45-47, 48-50

作家・作品解説（デーナ・フリース＝ハンセン） pp.51-84

作品リスト　pp.85-87

会場地図　pp.88-89

執筆者プロフィール　p.90

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Of the Human Condition：Hope and Despair at the End of the Century」

会期：1994 年 2 月 1 日－20 日　表参道・スパイラル　主催：ART LIFE 21 実行委員会／4 月 9 日－5 月 29 日　芦屋市立美術博物館

主催：芦屋市立美術博物館〔巡回 2-2〕

出品：ダムタイプ、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、椿昇、日下淳一、井上リサ、太田三郎、片瀬和夫、宮島達男、野村仁、鈴木貴博、岡崎乾二郎、津田佳紀、マサミ・テラオカ〔寺岡政美〕、平川典俊、柳幸典、荒木経惟、森村泰昌〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。なお、本展は「巡回 2-2」だが 1994 年 4 月の芦屋市立美術博物館で採録した。

アート・ナウ 1994〈啓示と持続〉　　兵庫県立近代美術館編 ●

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1994 年 5 月 20 日　兵美特展図録 No.129

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社） p.5

啓示と持続〈「近代的な視覚」をめぐって〉（尾崎信一郎）pp.6-12

カタログ〔作家解説、主要参考文献、作家略歴、図版〕 pp.13-39

〔作家解説〕（尾崎信一郎、山崎均、平井章一、中島徳博）

「アート・ナウ'94」出品作品リスト　pp.40, 41　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW 1994 Revelation and Duration」

会期：1994 年 5 月 21 日－6 月 26 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：石川裕敏、出原司、金村仁、川端嘉人、笹岡敬、館勝生、寺嶋真里、中川佳宣、星野

暁、森田多恵、柳美和〔やなぎみわ〕、山口高志、渡辺信明〔出品作品リスト順〕

果実の受胎 駒井哲郎と現代版画家群像 ●

埼玉県立近代美術館　1994 年 6 月

あいさつ（埼玉県立近代美術館）p.5

図版〔図版、論考、作家のことば、作家略歴〕 pp.7-160

駒井哲郎－西洋の誘惑（岡田隆彦）

版画と詩との婚姻－駒井哲郎の詩画集（中村稔）

現代版画、その流動的な魅力について（田中幸人）

〔作家のことば〕（東谷武美、池田良二、磯見輝夫、小作青史、加納光於、鎌谷伸一、河内成幸、北川健次、清塚紀子、小林清子、白井昭子、辰野登恵子、田村文雄、中林忠良、野田哲也、馬場章、原健、柳澤紀子）

駒井哲郎と現代の版画家たち（長谷川てい） pp.162-164

駒井哲郎著作抜粋　pp.165-167　再録

駒井哲郎アルバムから　pp.168-169

駒井哲郎年譜　pp.170-176

参考文献　p.177

作品目録　pp.178-183

註：編集は長谷川てい、金子百合子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 6 月 14 日－7 月 31 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：駒井哲郎、東谷武美、池田良二、磯見輝夫、小作青史、加納光於、鎌谷伸一、河内成幸、北川健次、清塚紀子、小林清子、白井昭子、辰野登恵子、田村文雄、中林忠良、野田哲也、馬場章、原健、柳澤紀子〔作品目録順〕

絵画の方向'94 ●

大阪府立現代美術センター　1994 年 6 月 27 日

〔あいさつ〕（館長今田純子）

図版〔作家一覧、図版、作家略歴〕 14p.

出品作品

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 6 月 27 日－7 月 9 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府立現代美術センター

出品：出原司、岩川ユキヒロ、内海信彦、岡田修二、小田英之、片山雅史、金村仁、小谷浩士、中西圭子、福田英昭、松井憲作、武蔵篤彦、吉田克朗〔図版収載順〕

「手」の冒険：構想図[イメージ・スケッチ]の世界 図録 ●

宮城県美術館　1994 年 7 月

ごあいさつ（宮城県美術館・河北新報社・東北放送）　p.3

構想図の世界――イメージの源流をもとめて（三上満良）　pp.6-8

図版〔作家略歴、図版〕　pp.9-89

出品リスト　pp.91-99

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 7 月 2 日－8 月 14 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：前田正博、宮地葉子、横山尚人、津村耕佑、中野裕通、菱沼良樹、水戸岡鋭治、山中俊治、北川原温、團紀彦、若林広幸、池谷仙克、黒澤明、小竹信節、小畑正好、白佐木和馬、藤幡正樹〔出品リスト順〕

註：出品欄は個人作家を収載。

戦後・美術の変貌展 わかりやすい現代美術〈現代美術入門〉 ●

いわき市立美術館　1994 年 7 月

ごあいさつ　p.5

初めて現代美術に触れる人のために 日本の戦後美術の背景－入門（佐々木吉晴）　pp.7-10

図版〔図版、作家解説、略歴〕　pp.11-53

作家解説、略歴（佐々木吉晴、植田玲子、平野明彦）

戦後美術略年表 1945－1985　pp.54-61

出品リスト　pp.62-63

所蔵：□、国新美、東文研、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 7 月 30 日－9 月 25 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：今井俊満、白髪一雄、菅木志雄、高松次郎、三木富雄、宮島達男、元永定正、森村泰昌、山口勝弘、李禹煥〔出品リスト順〕

第 7 回北の彫刻展図録〈北の彫刻家 26 人の熱き波動、その放射する 59 日間。〉 ●

札幌彫刻美術館　1994 年 8 月

出品作家〔一覧〕　p.2

ごあいさつ（札幌彫刻美術館）　p.3

図版〔作家略歴、図版〕　pp.4-55

出品目録　p.56

所蔵：□、東近美、都現美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 7th Exhibition of Northern Sculpture」
会期：1994 年 8 月 5 日－10 月 2 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館
出品：秋山沙走武、阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岩下碩通、岡沼淳一、小野寺紀子、上遠野敏、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、坂坦道、高橋昭五郎、田村宏、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山本一也、山谷圭司、米坂ヒデノリ、渡辺行夫〔出品目録順〕

手と目の冒険広場「色の博物誌・赤――神秘の謎解き」●
目黒区美術館　1994 年 8 月
ごあいさつ（館長加藤貞雄）　p.3
赤色変幻――原色彩としてのアカ（村上善男）　pp.5-7
赤について（谷新）　pp.8-12
図版〔図版、解説〕　pp.13-60
赤をみる・赤を知る－素材を通して考えること（降旗千賀子）　pp.61-63
赤の色材－素材解説　pp.64-65
作家解説　pp.66-70
作品リスト　pp.71-75
主要参考図書　pp.76-77
手と目の冒険広場「色の博物誌・赤－神秘の謎解き」ワークショップ　pp.78-79
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1994 年 8 月 6 日－9 月 18 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会
出品：浜口陽三、山口華楊、奥田元宋、草間彌生、元永定正、村上三郎、斎藤義重、大沢昌助、オノサト・トシノブ、大野俶嵩、小清水漸、村上友晴、黒崎彰、中村功、吉永裕〔作品リスト順〕
註：出品欄は「II 部 美術の中の赤－鼓動するイメージをめぐって」のうち戦後作品出品の作家を収載。

「うつすこと」と「見ること」〈意識拡大装置〉
埼玉県立近代美術館　1994 年 8 月　主に英文併載
あいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.5
序論（梅津元）　pp.9-12, 176-179
視覚メディア装置の変容〈写真の誕生から現在まで〉（伊藤俊治）　pp.13-19, 180-187
純粋な像（松浦寿夫）　pp.20-25, 188-193
なぜ〈雲〉がえらばれたのか〈エコロジカル・リアリズムの立場〉（佐々木正人）　pp.26-29, 194-197
図版〔章解説、図版、文献再録、作家・作品解説〕　pp.30-175

ミュージアム シアター　pp.169-173
索引　p.198
註：編集は梅津元、大久保静雄。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「VISUALIZATION－in the end of the twentieth century」
会期：1994 年 8 月 12 日－9 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：秋岡美帆、梅阪鶯里、瑛九、奥山順市、小山穂太郎、佐藤時啓、杉浦邦恵、高山正隆、津田佳紀、野島康三、野村仁、福原信三、山崎博、山中信夫〔出品作家一覧順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

北の創造者たち'94「平面の断章－うつろう空間」図録 ●
財団法人札幌芸術の森　1994 年 8 月
平面の断章－うつろう空間（大野正勝）　pp.2-5
図版〔作家略歴、図版〕　pp.6-37
出品リスト　pp.38-39
会場構成図　p.39
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1994 年 8 月 31 日－10 月 16 日　札幌・芸術の森美術館　主催：芸術の森美術館
出品：後藤和子、美水円、杉山留美子、荒井善則、小坂哲治、下岡孝之、佐々木徹、高橋佳乃子〔出品リスト順〕

大地の精神 ●
ワタリウム美術館　1994 年 8 月
図版
〔ことば〕（和多利浩一）　英文併載
リカルド・ブレイ〈ありつづける存在〉（ヤン・フート）　英文併載
エッセイ（和多利浩一）
ほこりのため息（ディルク・ピュルタウ）　英文併載
〔作家紹介〕　英文
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
展名：「大地の精神」展
欧文タイトル：「THE SPIRIT OF THE EARTH」
会期：1994 年 8 月 31 日－11 月 23 日　神宮前・ワタリウム美術館　主催：ワタリウム美術館
出品：リカルド・ブレイ、岡本太郎、ジャクソン・シュルングワニ

現代の染め ●

国立国際美術館　1994 年 9 月

あいさつ（館長木村重信）　p.3

現代の染め（福永重樹）　pp.5-8

図版　pp.9-39

作家略歴　pp.42-45

出品リスト　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONTEMPORARY TEXTILE DESIGN-DYEING」

会期：1994 年 9 月 1 日－27 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：麻田脩二、市村冨美夫、井隼慶人、兼先恵子、河田孝郎、澁谷和子、新道弘之、福本繁樹、福本潮子、本田昌史、三橋遵、森口邦彦、八幡はるみ、山口通恵、吉田晃良〔出品リスト順〕

「アジアの創造力」図録 ●

広島市現代美術館・朝日新聞社　1994 年 9 月　英文併載

ごあいさつ（広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ）　p.5

序文（竹澤雄三）　pp.8-9, 10-11

アジアの創造力（帯金章郎）　pp.13-17, 18-23

アジアの可能性（福永治）　pp.24-28, 29-33

図版〔図版、出品リスト、作家略歴〕　pp.35-151

ミティラー絵画――21 世紀的絵画の萌芽（長谷川時夫）　pp.154-155, 156-157

生命の波動――バリ絵画のトポス（伊藤俊治）　pp.158-159, 160-161

年画――民衆の英知を内包した民間芸術（河野実）　pp.162-163, 164-165

註：編集は福永治、宮武洋(美術館)。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Creativity in Asian Art Now」

会期：第 1・2 部 1994 年 9 月 7 日－11 月 13 日／第 3 部 9 月 18 日－11 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ

出品：第 1 部 現代のフォーク・アート。第 2 部 アジアの現代絵画、彫刻；何多苓、堀浩哉、黄鋭、李石柱、李禹煥、丸山直文、中村一美、朴栖甫、櫻井英嘉、邵帆、辰野登恵子、戸谷成雄。第 3 部 アジアのインスタレーション・ワーク；蔡國強、川俣正、柳幸典、陸根丙〔図版収載順〕

註：出品欄は第 2 部と第 3 部の日本作家を収載。

「アジアの創造力 第 3 部 アジアのインスタレーション・ワーク」図録

広島市現代美術館・朝日新聞社　1994 年　英文併載

図版〔作品解説、図版〕　pp.7-55

作品解説（福永治、宮武洋）
作品リスト　pp.57-58
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項〔本体に同じ〕

第 4 回アジア美術展開催要項 ●
第 4 回アジア美術展実行委員会事務局　1994 年　全 16 ページ
第 4 回アジア美術展開催要項　pp.1-7, 8-14　英文併載
所蔵：□、国新美
○展覧会事項
欧文タイトル：「4th Asian Art Show, FUKUOKA　REALISM ASAN ATTITUDE」
会期：福岡展；1994 年 9 月 10 日－10 月 16 日　福岡市美術館　主催：第 4 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本／箱根展；1995 年 1 月 1 日－2 月 12 日　箱根・彫刻の森美術館　主催：産経新聞社・ニッポン放送・フジテレビ・福岡市美術館／秋田展；2 月 17 日－3 月 21 日　秋田県総合生活文化会館アトリオン美術展示ホール　主催：秋田県／東京展；1995 年 4 月 5 日－5 月 14 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・美術館連絡協議会・読売新聞社・福岡市美術館

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉
福岡市美術館　1994 年 9 月 10 日　英文併載〔福岡市美術館版〕
ごあいさつ（市長桑原敬一）　pp.6, 7
出品作家作品の選考経過について（副島三喜男）　pp.10, 32
態度としてのリアリズム――90 年代のアジア美術（後小路雅弘）　pp.11-16, 33-38
街のヘンなもの――三人の在日日本人アーティスト（黒田雷児）　pp.17-21, 39-43
イスラム世界の女性芸術家たち――パキスタンからの最新展望（サリマ・ハシュミ）　pp.22-26, 44-48
韓国の民衆美術：疎通としてのリアリズム（チェ・テマン）　pp.27-31, 49-54
図版〔章解説、作家略歴、図版〕　pp.55-216
エッセイ
ベトナム現代美術の概念――伝統と変容する文化（グエン・クアン）　pp.218-221, 226-230
ラオスの現代美術（ヌーセイ・プーマチャン）　pp.222-225, 231-234
作家資料　pp.235-279
作品リスト　pp.280-282, 283-286
作者索引　pp.287, 288
第 4 回アジア美術展〔関連資料〕　pp.289-291
所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「4th Asian Art Show, FUKUOKA　REALISM ASAN ATTITUDE」
会期：1994 年 9 月 10 日－10 月 16 日　福岡市美術館　主催：第 4 回アジア美術展実行委員会・福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本

出品：中村政人、西山美なコ、藤浩志〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉

秋田県総合生活文化会館　1995 年 2 月

註：未見。秋田県立図書館の OPAC に拠る。

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉

世田谷美術館　1995 年 4 月　英文併載〔世田谷美術館版 1〕

ごあいさつ（主催者）pp.6, 7

註：以下の内容は福岡市美術館版に同じなので割愛する。

所蔵：□、国新美、都現美

○展覧会事項

欧文タイトル：「4th Asian Art Show, Tokyo」

会期：1995 年 4 月 5 日－5 月 14 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・美術館連絡協議会・読売新聞社・福岡市美術館

出品：西山美なコ、中村政人、藤浩志〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

第 4 回アジア美術展〈時代を見つめる眼：多様な現実の諸相〉

世田谷美術館　1995 年 4 月　英文併載〔世田谷美術館版 2〕

ごあいさつ（主催者）

図版　pp.1-48

「アジア美術展」：アジア現代美術企画の含む問題（遠藤望）　pp.49-53, 54-59

作品リスト　pp.60-66

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項〔上記世田谷美術館版カタログと同じ〕

オープンエアー'94 海景のなかの現代美術展 ●

福武書店　1994 年 9 月　英文併載

ごあいさつ（館長福武總一郎）　pp.4, 5

越境する街（南條史生）　pp.6-7, 8-9

失楽園にて（井上明彦）　pp.10-11, 12-13

現場の話〈作家との対話から〉（秋元雄史）　pp.14-16, 17-20

会場地図　p.21

図版〔作品・作家解説、図版〕　pp.23-94

　作品・作家解説（南條史生）

作品リスト　pp.96-97, 98-99

作家略歴　pp.100-101, 102-103

註：編集は原田博子、西山裕子。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Open Air ’94 “OUT OF BOUNDS” CONTEMPORARY ART IN THE SEASCAPE」

会期：1994 年 9 月 15 日－11 月 27 日　ベネッセハウス 直島コンテンポラリーアートミュージアム　主催：福武書店、Benesse Island・直島文化村

出品：大竹伸朗、岡崎乾二郎、片瀬和夫、草間彌生、小山穂太郎、杉本博司、テクノクラート、中野渡尉隆、PH スタジオ、□〔公＋木〕の木タクヤ、村上隆〔作品リスト順〕

断面 1979－1994 ●

アルカンシェール美術財団　1994 年 9 月 14 日　英文併載　開館 15 周年記念展

ごあいさつ（館長原俊夫）　pp.2, 3

序論（安田篤生）　pp.4-5, 6-7

図版　pp.9-39

作家と作品（解説・安田篤生）　pp.42-54, 55-67

出品作品リスト　pp.69, 70

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ASPECTS 1979-1994」

会期：1994 年 9 月 15 日－12 月 18 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：原美術館

出品：遠藤利克、榎倉康二、堀浩哉、イケムラレイコ、草間彌生、李禹煥、村岡三郎、中村一美、中里斉、大竹伸朗、戸谷成雄、横尾忠則、吉田克朗〔出品作品リスト順〕

「ヒロシマ――21 世紀へのメッセージ」展カタログ　　朝日新聞社文化企画局大阪企画部編 ●

朝日新聞社　1994 年 9 月

図版　見返し-p.16

ごあいさつ（主催者）　p.21　英文併載

霊魂よ眠れ（新藤兼人）　pp.24-27, 28-31　英文併載

図版〔作家のコメント、図版、作品解説〕　pp.33-111

コメント（靉嘔、麻生三郎〔2 行〕、一原有徳、上田薫、上野泰郎、大森運夫、奥谷博、絹谷幸二、黒崎彰、國領經郎、佐野ぬい、鳴剛、田渕俊夫、利根山光人、野見山暁治、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男〔1 行〕、深沢幸雄〔3 行〕、吹田文明、福島瑞穂、松谷武判、松本旻、三尾公三、村井正誠、村上善男、両角修、吉田穂高、池田満寿夫〔3 行〕）

作品解説（小泉晋弥）

コレクション、テーマ「ヒロシマ」について（竹澤雄三）　pp.114-116, 117-119　英文併載

21 世紀への黙示――ヒロシマ（小泉晋弥）　pp.120-123, 124-126　英文併載

原爆写真とは何か――次代の人類のヴィジョンのために（平木収）　pp.127-129, 130-132　英文併載

戦争を風化させないために――フォト CD「ヒロシマ・1945」（後藤和雄）　pp.133-134

市民が描いた原爆の絵（小泉晋弥）　p.135

作家略歴　pp.136-138

出品目録　pp.140-141, 142-143　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「HIROSHIMA――THE PAST AND THE PROMISE」

会期：1994 年 9 月 27 日－10 月 30 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・熊本朝日放送・朝日新聞社／1995 年 5 月 31 日－6 月 12 日　大丸ミュージアム・梅田　主催：朝日新聞社／8 月 12 日－9 月 24 日　郡山市立美術館　主催：郡山市立美術館・朝日新聞社／10 月 7 日－12 月 3 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社

出品：コレクション テーマ「ヒロシマ」；靉嘔、麻生三郎、一原有徳、上田薫、上野泰郎、大森運夫、奥谷博、絹谷幸二、黒崎彰、國領經郎、佐野ぬい、鴫剛、田渕俊夫、利根山光人、野見山暁治、萩原英雄、浜田知明、秀島由己男、深沢幸雄、吹田文明、福島瑞穂、松谷武判、松本旻、三尾公三、村井正誠、村上善男、両角修、吉田穂高、池田満寿夫。ヒロシマ――次世代への黙示；荒木高子、工藤哲巳、司修、高松次郎、鯉江良二、宇佐美圭司、河口龍夫、殿敷侃、大竹伸朗〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

戦後日本の具象美術〈見えるものへのこだわり〉●

石川県立美術館　1994 年 10 月

開催にあたって（館長嶋崎丞）　p.1

時空を超えて、具象の今日（末吉守人、西田孝司、二木伸一郎、谷口出）　pp.4-15

図版　pp.17-105

作家・作品解説（谷口出、織田春樹、二木伸一郎、西田孝司）　pp.109-130

年譜　pp.131-140

出品目録　pp.141-143

参考文献　144-145

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 10 月 5 日－23 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館

出品：日本画；池田遙邨、上村松篁、奥村土牛、小倉遊亀、小野竹喬、片岡球子、加山又造、小松均、杉山寧、髙山辰雄、徳岡神泉、中村貞以、中村正義、西山英雄、橋本明治、稗田一穂、東山魁夷、福田豊四郎、森田曠平、山口華楊、山本丘人、横山操、吉岡堅二。油彩画；糸園和三郎、牛島憲之、海老原喜之助、香月泰男、金山平三、鴨居玲、鬼頭鍋三郎、熊谷守一、小磯良平、小絲源太郎、島田章三、清水錬徳、新道繁、曾宮一念、高光一也、田村一男、田村孝之介、鳥海青児、寺内萬治郎、東郷青児、中村研一、中山巍、西山真一、林武、福沢一郎、藤本東一良、南政善、宮本三郎、向井潤吉、森本仁平、森芳雄、吉井淳二。版画；池田満寿夫、木村光佑、中林忠良、野田哲也、長谷川潔、浜口陽三、浜田知明、吉田穂高、吉

原英雄。彫刻；畝村直久、圓鍔勝三、菊池一雄、木内克、木下繁、木村珪二、桜井祐一、佐藤忠良、清水多嘉示、高田博厚、千野茂、富永直樹、豊福知徳、畫間弘、舟越保武、本郷新、松田尚之、峯孝、柳原義達、山本豊市、淀井敏夫〔出品目録順〕

現代美術の展望―'94 Fukuoka 七つの対話〈スタンスをめぐって〉●

福岡県立美術館　1994 年 10 月　付・別冊(三ツ折両面刷 2 枚)　シリーズ第 3 回展

ごあいさつ（館長濱地甫伯）　p.3　英文併載

福岡・現在・美術考――対話の可能性をめぐって（川浪千鶴）　pp.4-6

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.7-21

草野貴世、黒鳥晴男、桒野よう子、坂崎隆一、世良京子、村上勝、和田千秋

福岡アート・シーン 1985－1994（〔川浪千鶴・魚里洋一・宮本初音〕編）　pp.23-63

□別冊

図版〔作家のことば、図版〕

〔作家のことば〕（世良京子、和田千秋、桒野よう子、村上勝、黒鳥晴男、草野貴世、坂崎隆一）

作品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大(別冊のみ)、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Prospect for Contemporary Art- Fukuoka '94：Seven Attitudes, Seven Dialogues」

会期：1994 年 10 月 5 日－11 月 5 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館

出品：世良京子、和田千秋、桒野よう子、村上勝、黒鳥晴男、草野貴世、坂崎隆一〔作品リスト順〕

札幌アヴァンギャルドの潮流展〈戦後から現在へ－北海道における前衛美術活動の軌跡〉●

札幌アヴァンギャルドの潮流展実行委員会　1994 年 10 月 7 日

あいさつ（札幌アヴァンギャルドの潮流展実行委員会・北海道新聞社）　p.3

北海道美術史を拓く〈『札幌アヴァンギャルドの潮流展』の意義〉（奥岡茂雄）　pp.4-5

札幌アヴァンギャルドの潮流〈前衛美術運動の意味を問う、もう一つの北海道美術史〉（吉田豪介）　pp.6-39

北海道の現代美術〈1970 年代後半以降の動向と作家たち〉（佐藤友哉）　pp.40-43

原色の異端児－渡辺伊八郎（田村宏）　pp.44-46

渡辺伊八郎〔略年譜〕（岡部昌生編）　p.47

図版〔章解説、図版〕　pp.48-160

〔章解説〕（吉田豪介）

札幌アヴァンギャルドの潮流展 関連年表（岡部昌生・鎌田享・吉田豪介編）pp.162-181

作家略歴　pp.182-207

出品リスト　pp.208-211

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Northern Tide：Avant-garde Art From Hokkaido」

会期：1994 年 10 月 7 日－18 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：札幌アヴァンギャルドの潮流展実行委員会・北海道新聞社

出品：Part 1 札幌アヴァンギャルド：ゼロ展(1953)から 1980 へ 1950 年代；早川重章、高橋由明、渡辺伊八郎、村山陽一、熊谷明宏、芹田英治、小谷博貞、高橋昭一、佐々木美枝子、小松清、国井澄。1960 年代；菊地日出男、澤田哲郎、難波田龍起、八木保次、上野憲男、小野州一、菊地又男、野本醇、菅原弘記、丹野信吾、伏木田光夫、一原有徳、高橋英生、田村宏、福井正治、矢崎勝美、砂澤ビッキ。1970 年代；千葉豪、一ノ戸ヨシノリ、岡部昌生、米谷雄平、阿部典英、後藤和子、今荘義男、杉山留美子、石垣光雄、花田和治、國松明日香。Part 2 特別陳列；渡辺伊八郎(重)。Part 3 ポスト・アヴァンギャルドの現在；赤石準一、阿部典英(重)、荒井善則、泉谷進、板津邦夫、一ノ戸ヨシノリ(重)、一原有徳(重)、今荘義男(重)、岩下碩通、上田公夫、上野憲男(重)、江川博、大滝憲二、岡貞光、岡部昌生(重)、柿崎熙、菊地又男(重)、國松明日香(重)、小谷博貞(重)、後藤和子(重)、近堂隆志、佐々木徹、佐々木美枝子(重)、佐渡芙二夫、菅原弘記(重)、杉山留美子(重)、鈴木誠子、高橋佳乃子、高橋昭五郎、高橋博昭、高橋靖子、田川善立、田村佳津子、田村宏(重)、丹野信吾(重)、近宮彦彌、外山欽平、中谷有逸、中山信一、楢原武正、難波田龍起(重)、野崎嘉男、野本醇(重)、花田和治(重)、服部憲治、林弘堯、藤木正則、堀内掬夫、松居勝敏、松井茂樹、丸藤信也、三浦恭三、毛内康二、森健二、八木保次(重)、矢崎勝美(重)、山内孝夫、米谷雄平(重)〔出品リスト順〕

いわきの美術 II 熱いまなざしの軌跡〈七人の写実〉●

いわき市立美術館　1994 年 10 月

ごあいさつ（いわき市立美術館）　p.1

図版〔図版、作家略歴、作家解説〕　pp.3-37

　作家解説（柴田百合子、杉浦友治、竹内啓子）

状況のある一面について（杉浦友治）　pp.38-40

出品作品リスト　pp.41-42

Seven Artists　pp.43-44　英文

所蔵：□、国新美

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 10 月 8 日－11 月 6 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：石井實、北郷喜三郎、熊坂太郎、鈴木邦夫、山野辺義雄、吉田富美、渡辺文雄〔出品作品リスト順〕

明日の美術館を求めて III　眼の宇宙－かたちをめぐる冒険 ●

兵庫県立近代美術館　1994 年 9 月 10 日

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館）　p.3

エッシャーの世界、伏見の世界（伏見康治）　pp.6-7

美意識・遊び心と創造性（小川泰）　pp.8-9

カオスとラビリンスが組み込まれたコスモス〈『眼の宇宙』展に寄せて〉（増成隆士） pp.10-11

眼とかたちの宇宙（山崎均） pp.12-13

カタログ〔章解説、作家略歴、図版〕 pp.14-137

出品目録 pp.138-143

註：奥付は「1994 年 9 月 10 日」だが、あいさつ文の日付は「1994 年 10 月」となっている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「COSMOLOGY OF LIGHT AND FORM」

会期：1994 年 10 月 8 日－11 月 20 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館

出品：第 I 部フォトグラムからホログラムへ；中山岩太、安井仲治、椎原治、天野龍一、瑛九、石原友明、久保田敏弘、山口雅浩、遠藤秀明、大山永昭、本田捷夫、小山隆浩、ムリジョ・モラ・ルイス・マニュエル、岡田勝行、辻内順平、鎌田康禿、岩田藤郎、山口忠彦、酒井朋子、三田村畯右、パトリック・ボイド。第 II 部高次元と遊ぶ；石原慶一、藤本由紀夫、フジモト・デュシャン・モリムラ(藤本由紀夫・森村泰昌)、小田英之、石原友明(重)、宮崎興二、斎藤幸恵、古瀬惇、塩崎学、酒井啓、山口哲、石井源久、高田一郎、中田宏明、阿竹克人、戸村浩、関三平。第 III 部かたちの情報デザイン；高木隆司、渡辺泰成、相馬嵩、坂元宗和、高木幹雄、小川泰、日詰明男、藤幡正樹、山崎亨、吉本直貴、鍛冶充浩、上善恒雄、三浦公亮、前川淳〔出品目録順〕

註：第 I 部の中山岩太、安井仲治、椎原治、天野龍一は戦前作品。第 I 部ホログラムの小山隆浩、第 II 部高次元画譜の山口哲は作家略歴が不収載。

ART TODAY 1994 サンクチュアリ(聖域)－20 世紀末芸術における「聖域」をめぐる一考察 ●

セゾン現代美術館　1994 年 10 月

サンクチュアリ(聖域)－20 世紀末芸術における「聖域」をめぐる一考察（清水哲朗） pp.4-9, 10-15　英文併載

図版〔作家略歴、作家論、図版、作家のことば・詩〕 pp.16-101

〔作家のことば・詩〕（建畠哲、篠原資明、川口晴美、芦田みゆき）

リスト pp.102-107

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「SANCTUARY：THOUGHTS ON SANCTUARIES IN ART AT THE END OF THE TWENTIETH CENTURY」

会期：1994 年 10 月 8 日－12 月 4 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：鈴木範一、津村耕佑、内藤礼、中尾寛、宮島達男、横尾忠則、建畠哲、篠原資明、川口晴美、芦田みゆき〔リスト順〕

3rd 北九州ビエンナーレ クイントエッセンス ●

北九州市立美術館　1994 年 11 月 10 日　主に英文併載　別冊(参考文献 24p.)共
あいさつ（北九州市立美術館）　p.3
現代美術は“クイントエッセンス”たりうるか（山根康愛）　pp.4-6
図版〔作家略歴、図版、作家論、展覧会歴〕　pp.7-108
〔作家論〕（前田淳子、真武真喜子、大久保京、山根康愛、黒岩恭介）　和文
出品目録　pp.110-111
□別冊
参考文献　pp.1-24
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：「3rd KITAKYUSHU BIENNALE QUINTESSENCE」
会期：1994 年 10 月 15 日－11 月 27 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館
出品：植松奎二、遠藤利克、辰野登恵子、戸谷成雄、長沢秀之、眞板雅文、山本富章〔出品目録順〕

立ちあがる境界 ●
辰野町郷土美術館　1994 年 10 月
ごあいさつ（辰野町郷土美術館）　p.3
触覚の美学のために（小田部胤久）　pp.4-7
出品リスト　pp.8-9
図版　pp.10-33
作家プロフィール〔作家のことば、略歴〕　pp.34-39
〔作家のことば〕（戸谷成雄〔再録〕、辰野登恵子〔再録〕、北澤一伯、根岸芳郎、仁科茂、小山利枝子）
註：編集は赤羽義洋。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、江戸博、神近美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art on the Border」
会期：1994 年 10 月 20 日－11 月 23 日　長野県上伊那郡・辰野町郷土美術館　主催：辰野町郷土美術館
出品：戸谷成雄、辰野登恵子、北澤一伯、根岸芳郎、仁科茂、小山利枝子〔出品リスト順〕

北海道・今日の美術 飛躍する器たち〈工芸、建築、デザインは呼びかける〉 ●
北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館　1994 年 10 月　第 4 回展
あいさつ（北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館）　p.3
呼びかける器たち（見延(井内)佳津恵）　pp.5-8
カタログ〔作家作品解説、図版、作家経歴〕　pp.9-51
作家作品解説（平利弘、中村聖司、見延(井内)佳津恵、穂積利明、鎌田享、光岡幸治）

出品リスト　pp.52-54

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1994-95」

会期：1994 年 10 月 23 日－11 月 27 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 3 日－1995 年 1 月 8 日　北海道立旭川美術館／1 月 14 日－2 月 19 日　北海道立帯広美術館／2 月 25 日－3 月 26 日　北海道立函館美術館　主催：各開催美術館・北海道新聞社(旭川展・函館展)

出品：小川待子、鹿目尚志、北川佳子、倉本龍彦、佐々木けいし、南正剛、毛綱毅曠、吉川千香子、米原眞司〔出品リスト順〕

境界の風景〈水を越え、人は行く〉●

リアス・アーク美術館　1994 年 10 月　開館記念

境界の風景〈水を越え、人は行く〉（無署名）　pp.6-7

図版　pp.9-48

作家略歴　pp.50-53

出品目録　p.54

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「BOUNDS LANDSCAPE」

会期：1994 年 10 月 26 日－11 月 27 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：リアス・アーク美術館

出品：平山郁夫、大山忠作、竹内邦夫、澤宏靱、関主税、加藤東一、田渕俊夫、青山義雄、大沢昌助、若松光一郎、小関利雄、奈良清四郎、牛島憲之、國領經郎、岡田謙三、今井俊満、高間惣七、富岡惣一郎、田中岑、嶋剛、畦地拓治、山口啓介、小清水漸、松本陽子、堂本尚郎、菊畑茂久馬、堀浩哉〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

チバ・アート・ナウ'94 PAPER'S SPLENDOR ●

佐倉市立美術館　1994 年 11 月　佐倉市制 40 周年記念特別展　第 1 回展

ごあいさつ（佐倉市立美術館）　p.3

図版　pp.4-31

現代美術における紙との“関係性”（正木基）　pp.32-35

作家紹介〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.36-50

〔作家のことば〕（岩井壽照、永田哲也、中村功、酡島庸二、原田ユリア、保科豊巳、吉永裕）

作品リスト　p.51

註：編集は黒川公二。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '94 Paper's splendor」
会期：1994 年 11 月 17 日－12 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：岩井壽照、永田哲也、中村功、蔀島庸二、原田ユリア、保科豊巳、吉永裕〔作品リスト順〕

第 28 回現代美術選抜展図録 ●
長岡市美術センター、郡山市立美術館、リアス・アーク美術館、宮崎県総合博物館、田川市美術館　1994 年 11 月
ごあいさつ（文化庁長官遠山敦子）　p.7
図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕　pp.9-49
第 28 回現代美術選抜展開催要項　p.50
出品団体・出品点数一覧　p.50
〔出品団体系図〕　p.51
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：新潟展；1994 年 11 月 18 日－12 月 1 日　長岡市美術センター　主催：文化庁・新潟県教育委員会・長岡市・長岡市教育委員会／福島展；12 月 6 日－18 日　郡山市立美術館　主催：文化庁・福島県教育委員会・郡山市立美術館／宮城展；12 月 22 日－1995 年 1 月 15 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：文化庁・宮城県教育委員会・リアス・アーク美術館／宮崎展；1 月 20 日－2 月 5 日　宮崎県総合博物館　主催：文化庁・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県総合博物館／福岡展；2 月 9 日－26 日　田川市美術館　主催：文化庁・福岡県教育委員会・田川市美術館
出品：日本画；斉藤典彦、手塚雄二。洋画；児玉靖枝、堀研。版画；古川仁史、宮井里夏。彫刻；谷口真紀〔図版収載順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

第 13 回平行芸術展 全面展開期の絵画－III〈レトリックの一擲〉 ●
小原流企画開発部　1998 年 12 月 1 日
空位の海、あるいはレトリックの絵画（峯村敏明）
図版〔作家略歴、図版〕　16p.
註：展覧会の開催は「1994 年 11 月－12 月」で、発行日が「1998 年 12 月 1 日」とあるのは一般的ではないが、企画者の文章が「1998 年 11 月 2 日」と結ばれていることからも、間がかなり空いての刊行であったことが知られる。特別なケースなので、配列は開催初日の「1994 年 11 月 21 日」として扱い、例外とする。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1994 年 11 月 21 日－12 月 2 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流

出品：岡崎乾二郎、中村一美、松浦寿夫、松本春崇〔図版収載順〕

光と影――うつろいの詩学 ●

広島市現代美術館　1994 年 11 月

ごあいさつ（広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送）　p.5

光と影〈消えゆくものの調べ〉（小田るな）　pp.8-11

図版〔コメント、図版〕　pp.13-79

〔コメント〕（小田るな、洲濱元子、出原均）

展覧会歴＋文献　pp.81-92

出品作品リスト　pp.93-95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Light & shadow－the sense of ephemerality」

会期：1994 年 11 月 26 日－1995 年 1 月 22 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送

出品：赤塚祐二、今村源、大島成己、児玉靖枝、小林正人、鷲見和紀郎、古井智、吉井秀文、吉田重信、和田賢一、有地左右一＋笹岡敬〔出品作品リスト順〕

戦後児童画の一断面展〈多古子供アトリエと読売アンデパンダン展〉 ●

目黒区美術館　1994 年 12 月

多古子供アトリエ 1950 年代の実践について（池田栄）

図版　10p.

多古子供アトリエと戦後児童画（正木基）

出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 12 月 10 日－1995 年 1 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

註：論考に拠ると作家になった児童は居ないので出品欄は割愛した。

特別展 現代の版画 1994 ●

渋谷区立松濤美術館　1994 年 12 月

あいさつ（渋谷区立松濤美術館）p.7

図版〔作家略歴、作家本人のコメント、図版〕pp.9-111

作家本人のコメント（飯塚二郎、出原司、井出創太郎、大島成己、太田三郎、海東忠彦、杉山晶子、鈴木頼子、曽根光子、高浜利也、西村正幸、藤木正則、増田史朗、宮井里夏、山本麻友香、横田亜弓、艾沢詳子）

版画に対する意識と視点（瀬尾典昭）pp.112-115

出品作品目録　pp.116-118

参考作品目録　pp.120-123

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1994 年 12 月 14 日－1995 年 1 月 29 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：飯塚二郎、出原司、井出創太郎、大島成己、太田三郎、海東忠彦、杉山晶子、鈴木頼子、曽根光子、高浜利也、西村正幸、藤木正則、増田史朗、宮井里夏、山本麻友香、横田亜弓、艾沢詳子〔出品作品目録順〕

1995（平成 7）年

シガ・アニュアル'95 ファンタジーRPG イラストレーション展 ●

滋賀県立近代美術館　1995 年 1 月

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）　p.3

図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.5-64

〔作家のことば〕（天野喜孝、加藤洋之＋後藤啓介、草彅琢仁、末弥純、山田章博、米田仁士）

異世界を描く画家たち（平田健生）　pp.65-72

参考図版　p.73

作品リスト　pp.74-79

所蔵：□

○展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL'95 FANTASY RPG〔Role Playing Game〕ILLUSTRATION」

会期：1995 年 1 月 5 日－2 月 19 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：天野喜孝、加藤洋之＋後藤啓介、草彅琢仁、末弥純、山田章博、米田仁士〔作品リスト順〕

TOSA-TOSA '95 クールの時代 美術のノイズ・ミュージック ●

高知県立美術館　1995 年 2 月　2 分冊(Profile＋Document)

TOSA-TOSA 展を開催するにあたって（館長鍵岡正謹）　p.3

作品＝ノイズ・シンフォニーの因子（谷 新）　pp.7-9

ハイブリッド／そしてクールの時代（松本教仁）　pp.11-13

Profile〔作家のことば、作家略歴、図版、作家解説〕　pp.15-59

〔作家のことば〕（青木野枝、岡本敦生〔再録〕、門田修充、狩野信児、SEIGO(西悟)、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、藤崎幸雄、大木裕之〔1 行〕、佐藤篤、恒藤洋樹）

作家解説（谷新）

□Document

作家解説（松本教仁） p.3

document〔図版〕 pp.5-49

〔作品リスト〕 pp.50-51

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TOSA-TOSA '95　COOL AGE, NOISE MUSIC OF ART」

会期：1995 年 2 月 16 日－3 月 19 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

出品：青木野枝、岡本敦生、門田修充、狩野信児、SEIGO、高崎元尚、玉造義隆、辻野榮一、都築房子、藤崎幸雄、大木裕之〔図版収載順〕

1970 年――物質と知覚〈もの派と根源を問う作家たち〉●

読売新聞社・美術館連絡協議会　1995 年 2 月　英文併載

はじめに（主催者） pp.6-7, 8-9

現代美術への問い〈物質からの探究ともの派をめぐって〉（岡田潔） pp.12-23, I-XII

図版〔作家論、図版〕 pp.25-126

〔作家論〕（真武真喜子、岡田潔、平野到、大久保京、出原均、小田るな、梅津元、廣江泰孝）

出品リスト　pp.127-136

作家資料篇〔略歴、文献、作品資料〕（真武真喜子、岡田潔、平野到、大久保京、出原均、小田るな、梅津元、廣江泰孝） pp.137-448

出品番号と作家資料篇作家資料番号の照合表　p.449

年表（真武真喜子・大久保京編） pp.451-487

総合文献（真武真喜子・大久保京編） pp.488-493

註：編集は岡田潔、廣江泰孝、出原均、小田るな、武真喜子、大久保京、梅津元、平野到、前山裕司。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Matter and Perception 1970 Mono-ha and the Search for Fundamentals」

会期：1995 年 2 月 17 日－3 月 26 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・読売新聞中部本社・中京テレビ放送・美術館連絡協議会／4 月 15 日－5 月 28 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・読売新聞大阪本社・広島テレビ・美術館連絡協議会／8 月 19 日－9 月 24 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会／10 月 7 日－12 月 17 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：高松次郎、李禹煥、関根伸夫、榎倉康二、狗巻賢二、吉田克朗、菅木志雄、高山登、

成田克彦、小清水漸、野村仁、原口典之〔出品リスト順〕

「'95 富山の美術」展図録 ●

富山県立近代美術館　1995 年 2 月

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

「富山の美術」その役割は…。（小川正隆）　pp.4-5

図版〔出品作家、作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.7-75

〔作家のことば〕（安達博文、石田歩、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、冨田潤、野上祇磨、橋本文良、松原賢、柳原幸子、荒井明浩、伊藤賢治、岡部俊彦、笠原鉄明、加治晋、ウラジミル・クライン、笹岡敬、吉江庄蔵、米林雄一）

出品目録　pp.76-77

富山の美術／出品者一覧　p.78

後記（八木宏昌）　p.79

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 2 月 18 日－3 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：平面；安達博文、石田歩、尾長良範、川井昭夫、清河恵美、冨田潤、野上祇磨、橋本文良、松原賢、柳原幸子。立体；荒井明浩、伊藤賢治、岡部俊彦、笠原鉄明、加治晋、ウラジミル・クライン、笹岡敬、吉江庄蔵、米林雄一〔出品目録順〕

幸福幻想――アジアの現代美術作家たち ●

国際交流基金アセアン文化センター　1995 年 2 月　英文併載

ごあいさつ（国際交流基金アセアン文化センター）　pp.4, 5

幸福幻想（清水敏男）　pp.7-14, 15-24

図版　pp.25-65

作家略歴〔作家のことば〕　pp.67-74, 75-82

出品作品リスト　pp.83-84

参考出品リスト　pp.84-85

註：編集は古市保子。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「VISIONS OF HAPPINESS　Ten Asian Contemporary Artists」

会期：1995 年 2 月 25 日－3 月 26 日　赤坂・国際交流フォーラム　主催：国際交流基金アセアン文化センター

出品：曽根裕

註：10 作家のうち日本作家は 1 名。

現代の美術・今日の情況展 III〈この地方で、いま…〉図録 ●

東広島市立美術館　1995 年 3 月 4 日　特別展図録第 20 号
あいさつ　扉
図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 pp.1-51
〔作家のことば〕(入野忠芳、北田和広、木下和、河野通男、佐古昭典、佐々木寅夫、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、槇原慶喜、三原捷宏、藤崎恒頼、堀晃、堀研、泉谷淑夫、江見佳彦、高原洋一)
出品目録　pp.52-53
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1995 年 3 月 4 日－29 日　東広島市立美術館　主催：東広島市立美術館
出品：入野忠芳、北田和広、木下和、河野通男、佐古昭典、佐々木寅夫、高橋秀幸、田谷行平、難波平人、槇原慶喜、三原捷宏、藤崎恒頼、堀晃、堀研、泉谷淑夫、江見佳彦、高原洋一〔出品目録順〕

第 30 回今日の作家展 洋上の宇宙〈アジア太平洋の現代アート〉　横浜市民ギャラリー・横浜市民ギャラリー30 周年記念展実行委員会編 ●
横浜市民ギャラリー　1995 年 3 月　英文併載　横浜市民ギャラリー30 周年記念
ごあいさつ（市長高秀秀信） p.3
出品作家紹介〔作家略歴、作家のことば、委員のことば、図版〕 pp.6-57
〔作家のことば〕(橋本真之、マーク・フスティニアニ、胡介鳴、ラヴィ・マンドリク、アルウィン・レアミロ、バーナード・ザックス、作左部潮、芝章文、白川昌生、竹内義郎、牛島智子、ジン・ミー・ユーン)
〔委員のことば〕：橋本真之（北澤憲昭）、ビル・ヘンソン、バーナード・ザックス、作左部潮（金澤毅）、マーク・フスティニアニ、アルウィン・レアミロ、白川昌生、ジン・ミー・ユーン（小倉正史）、胡介鳴、芝章文（中村英樹）、ラヴィ・マンドリク、竹内義郎（山梨俊夫）、牛島智子（小林昭夫）
洋上の宇宙：アートの多様性（小倉正史） pp.59-60, 61-62
アジア パシフィック時代の夜明け（金澤毅） pp.63-64, 65-66
インド美術瞥見（山梨俊夫） pp.67-68, 69-70
上海の現代美術状況（中村英樹） pp.71-72, 73-74
現代美術のむつかしさ――今日の作家展の 30 年のために（北澤憲昭） pp.75-76, 77-78
第 30 回今日の作家展出品リスト　pp.79-81
「今日の作家展」出品作家リスト(1964 年～1993 年) pp.82-83 〔和文のみ〕
第 29 回今日の作家展(1993 年) 視えない現実・記録（逢坂恵理子） p.84
年表(1945-1995.3)（横浜市民ギャラリー追補） pp.86-91 〔和文のみ〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項

欧文タイトル：「The 30th 'Artists Today' Exhibition Asia-Pacific Universe：Contemporary Art from Australia, Canada, China, India, Japan, Philippines」
会期：1995 年 3 月 12 日－31 日　関内・横浜市民ギャラリー　横浜市民ギャラリー30 周年記念展実行委員会委員：北澤憲昭、金澤毅、小倉正史、中村英樹、山梨俊夫、小林昭夫、逢坂恵理子　主催：横浜市・横浜市民ギャラリー30 周年記念展実行委員会
出品：橋本真之、ビル・ヘンソン、マーク・フスティニアニ、胡介鳴、ラヴィ・マンドリク、アルウィン・レアミロ、バーナード・ザックス、作左部潮、芝章文、白川昌生、竹内義郎、牛島智子、ジン・ミー・ユーン〔出品リスト順〕
註：作品制作年は 1974 年から 1995 年までで、大部分が 1990 年代の制作

VOCA 展'95「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会　1995 年 3 月　英文併載
「VOCA 展'95――新しい平面の作家たち」開催にあたって（主催者）　p.5
「VOCA 展'95」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7
〔授賞者、委員一覧〕　pp.9, 77, 83
物語性と造形性（高階秀爾）　pp.10, 78
なにもない空間（酒井忠康）　pp.11, 79
イノセントな美術（建畠哲）　pp.12, 80
反問する絵画（本江邦夫）　pp.13, 81
図版〔出品作家、作家略歴、作家解説、図版〕　pp.15-75, 83, 84-98
〔作家解説〕（秋元雄史、天野太郎、越前俊也、長谷川祐子、早見堯、広本伸幸、市川政憲、鍵岡正謹、川田都樹子、釼持邦弘、黒田雷児、松村壽雄、南雄介、名古屋覚、中島徳博、新田秀樹、帯金章郎、小倉正史、太田垣實、大坪健二、尾崎眞人、妹尾克己、島敦彦、清水敏男、田中幸人、谷川渥、山本和弘、山脇一夫、矢内みどり、萬木康博）
註：推薦委員のうち千葉成夫、橋秀文、谷新の文章は無い。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」
会期：1995 年 3 月 16 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：岡部千花世、堂本右美、藤澤江里子、福田美蘭、池辺政人、石川順惠、片山雅史、清野泰行、小林正人、小林良一、駒形克哉、丸田恭子、松尾直樹、三輪美津子、長橋秀樹、二階堂真、大渕純、大岩オスカール幸男、坂木優子、山東京伝二、SEIGO(西悟)、杉本みゆき、竹内義郎、田中信行、内山睦、ビセンス・ビアプラナ、和田千秋、渡辺えつこ、山部泰司、湯浅龍平〔図版収載順〕
授賞者：VOCA 賞・三輪美津子、VOCA 奨励賞・堂本右美、石川順惠、駒形克哉、大岩オスカール幸男

日本の現代美術 1985-1995 ●
東京都現代美術館　1995 年 3 月　主に英文併載

あいさつ（館長嘉門安雄） p.5
開館記念展「日本の現代美術 1985-1995」〈東京都現代美術館の開館と美術の現況〉（矢口國夫） pp.8-12, 13-17
1995 年の地図――日本美術の現在地（塩田純一） pp.18-23, 24-29
日本の現代美術この 10 年（熊谷伊佐子） pp.30-34, 35-39
カタログ〔作家解説、図版〕 pp.41-149
作家解説（宮下規久朗、加藤弘子、渡部葉子、南雄介、乙葉哲、平野千枝子、野口玲一、大賀洋介、武内厚子、林洋子、薩摩雅登、森千花、橋本啓子、関直子）
会場図面 p.150
作家略歴・参考文献（宮下規久朗、加藤弘子、渡部葉子、南雄介、乙葉哲、平野千枝子、野口玲一、大賀洋介、竹内厚子、林洋子、薩摩雅登、森千花、橋本啓子、関直子） pp.151-187〔参考文献は和文のみ〕
主要参考文献 pp.188-189〔和文のみ〕
出品作品リスト pp.191-195
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART IN JAPAN TODAY 1985-1995」
会期：1995 年 3 月 19 日－5 月 21 日 東京都現代美術館 主催：東京都現代美術館
出品：荒木経惟、蔡國強、遠藤利克、福田美蘭、舟越桂、笠原恵実子、川俣正、松井智恵、宮島達男、森村泰昌、長澤英俊、中村一美、杉本博司、辰野登恵子、土屋公雄、戸谷成雄、柳幸典、吉澤美香〔出品作品リスト順〕

水戸アニュアル'95 絵画考〈器と物差し〉●
水戸芸術館現代美術センター 1995 年 4 月 1 日 英文併載 展覧会資料第 21 号
「絵画」としての存在（森司） pp.7-13, 134-139
図版〔出品作品〕 pp.15-56
アトリエの時間――絵画の自己反映性をめぐる一考察（井上明彦） pp.58-65, 141-148
平面上で語る絵画（石井弥夢） pp.66-72, 149-155
自己の皮膚と出会う絵画（中村英樹） pp.73-81, 156-164
日本の美術動向 1968-1995――絵画を中心に（中島理壽編、富井玲子英訳） pp.82-98, 166-186
参考図版 pp.99-127
作家略歴 pp.129-132, 187-190
図版リスト pp.191-196
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Discover Paintings：works & language」

会期：1995 年 4 月 1 日－5 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：堂本右美、越前谷嘉高、東島毅、北☆〔田＋又＋土〕吉彦、小林孝亘、佐川晃司、竹内義郎、辰野登恵子、山神悦子〔図版リスト順〕

註：作品制作年は 1974 年から 1995 年までで、大部分が 1990 年代の制作

戦後文化の軌跡 1945―1995　　目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社編 ●

朝日新聞社　1995 年 4 月

はじめに（目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社）　p.2

序論 世界史のなかの戦後日本と文化（多木浩二）　pp.4-8

覚書 戦後視覚文化の回顧〈前提と方法について〉（『戦後文化の軌跡 1945―1995』研究会）　pp.9-12

図版　pp.14-247

作品・資料解説（家村珠代、出原均、中島徳博、山崎均、尾﨑信一郎、平井章一、西田桐子、西本匡伸、川浪千鶴、小林淑郎、帯金章郎、渡辺弓雄、山岸律子、古賀太、藤本圭太、山内健）

第 I 章　廃墟からの出発 戦争からの傷跡〈1945-1950 年頃〉　pp.13-40

混乱から立ち上がる敗戦直後の美術（出原均）　pp.14-16, 18-21

戦後写真のアクチュアリティー（中島徳博）　pp.35-37

〝欠落感〟をひきずる戦後の家族（家村珠代）　pp.38-40

第 II 章　成長と抑圧のはざまで〈1950 年代〉　pp.41-80

リアリズムとアヴァンギャルドの 50 年代美術（西本匡伸）　pp.42, 44-46, 48, 50-55

解体に向かうマンガ・メディア（村上知彦）　pp.73-76

建築に見る「戦後」概念の風化（松葉一清）　pp.77-80

第 III 章　伝統と革新〈1950-1960 年代〉　pp.81-118

理念と自由を求める日本画・陶芸・書（中島徳博）　pp.82-88

前衛いけばなの興亡〈1945-55 年〉（川浪千鶴）　pp.107-109

「美術と／の映画」の 50 年代・60 年代（正木基）　pp.110-113

東京国際版画ビエンナーレと版画概念の拡散（正木基）　pp.114-118

第 IV 章　展開する前衛 大衆文化の形成〈1960 年代〉　pp.119-166

過剰と沸騰の 60 年代美術（山崎均）　pp.120-129

東京オリンピックのデザイン（家村珠代）　pp.140-141

大阪万博と生活の未来（山崎均）　pp.144-145

戦後デザインの根拠（柏木博）　pp.159-162

小劇場運動以後の現代演劇（扇田昭彦）　pp.163-166

第 V 章　「近代の懐疑」からポストモダンの時代へ〈1970-1990 年代〉　pp.167-247

西欧モダニズムを懐疑し、逸脱する現代美術（建畠哲、帯金章郎）　pp.168-189

世界性をもった日本のファッション・デザイン（深井晃子） pp.239-242
テレビ CM の前衛性（藤本圭太） pp.243-244, 246
戦後文化史年表（石井亜矢子編） pp.248-257
主要参考文献（石井亜矢子編） pp.258-271
出品リスト pp.272-286

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Japanese Culture: The Fifty Postwar Years」

会期：1995 年 4 月 19 日―6 月 4 日　目黒区美術館／6 月 14 日―7 月 21 日　広島市現代美術館／8 月 15 日―9 月 24 日　神戸・兵庫県立近代美術館／10 月 8 日―11 月 5 日　福岡県立美術館

主催：目黒区美術館・兵庫県立近代美術館・広島市現代美術館・福岡県立美術館・朝日新聞社

出品：美術；浜田知明、松本竣介、向井潤吉、井上長三郎、香月泰男、福沢一郎、北脇昇、鶴岡政男、古沢岩美、丸木位里・俊、麻生三郎、岡本太郎、村井正誠、山元恵一、漆原英子、山口勝弘、北代省三、内田巌、桂川寛、箕田源二郎、中山正、島田澄也、山下菊二、尾藤豊、入野達弥、草間彌生、佐藤忠良、靉嘔、河原温、池田龍雄、中村宏、石井茂雄、堀内正和、利根山光人、曹良奎、朝倉摂、小山田二郎、斎藤義重、山口長男、オノサト・トシノブ、東山魁夷、恩地孝四郎、斎藤清、駒井哲郎、棟方志功、イサム・ノグチ、瑛九、加藤正、森田子龍、加山又造、八木一夫、安原喜明、井上有一、吉原英雄、横山操、泉茂、林康夫、辻晋堂、岩橋英遠、大野俶嵩、一原有徳、堂本印象、池田満寿夫、加納光於、篠田桃紅、三上誠、磯辺行久、鈴木治、清宮質文、中村正義、山田光、星野真吾、下村良之介、片岡球子、熊倉順吉、横尾忠則、瀧口修造、小原豊雲、勅使河原蒼風、中川幸夫、金山明、難波田龍起、桜井孝身、白髪一雄、嶋本昭三、田中敦子、荒川修作、村岡三郎、篠田守男、工藤哲巳、山田正亮、高松次郎、元永定正、菊畑茂久馬、村上三郎、赤瀬川原平、砂澤ビッキ、若林奮、三木富雄、篠原有司男、谷川晃一、郭徳俊、幸村真佐男、多田美波、吉村益信、吉原治良、松澤宥、関根伸夫、野田哲也、菅木志雄、原口典之、野村仁、神田日勝、日和崎尊夫、柏原えつとむ、鯉江良二、松本旻、木村光佑、榎倉康二、百瀬寿、李禹煥、山崎博、北辻良央、上田薫、鳴剛、木村秀樹、河口龍夫、植松奎二、山本容子、島州一、秋山祐徳太子、斉藤智、宇佐美圭司、井田照一、三島喜美代、三輪龍作、櫃田伸也、辰野登恵子、彦坂尚嘉、北山善夫、池田良二、小清水漸、山中信夫、堀浩哉、岡崎乾二郎、柄澤齊、田窪恭治、戸谷成雄、荒木高子、日比野克彦、川俣正、安齊重男、遠藤利克、中村一美、森村泰昌、舟越桂、木下晋、宮島達男、西村陽平、山口啓介、岡部昌生、日高理恵子、福田美蘭。写真；濱谷浩、林忠彦、木村伊兵衛、土門拳、菊池俊吉、影山光洋、東松照明、名取洋之助、永田登三、河又松次郎、奈良原一高、細江英公、川田喜久治、中平卓馬、森山大道、高梨豊、篠山紀信、荒木経惟、藤原新也、木村恒久。建築；前川國男、アントニン・レーモンド、市浦健、丹下健三、内藤多仲、村野藤吾、山下寿郎、黒川紀章、毛綱毅曠、磯崎新、象設計集団、石井和紘、

原広司、安藤忠雄。デザイン；富永直樹、レイモンド・ローウィ、泉真也、佐々木達三、亀倉雄策、イサム・ノグチ、渡邊力、山城隆一、細谷巖、柳宗理、早川良雄、原弘、田中一光、剣持勇、岡本太郎、河野鷹思、宮野力哉、串田光弘、横尾忠則、宇野亜喜良、粟津潔、及川正通、金子國義、林静一、平野甲賀、福田繁雄、菊竹清訓、永井一正、中村誠、長谷川好男、石岡瑛子、浅葉克己、米谷美久、泉屋政昭、鈴木八朗、奥村靫正、杉浦康平、勝井三雄、サイトウ・マコト、松永真、戸田正寿〔出品リスト順。マンガ・ファッション・テレビ CM・その他は割愛した〕

「拡張するガラス：美の表現者たち」展 ●

横浜美術館・朝日新聞社　1995 年 4 月　主に英文併載

あいさつ（主催者）　pp.4, 5

ガラスはガラス・素材と表現に関する芸術としての領域（武田厚）　pp.8-16, 17-23

図版〔作家略歴、インタビュー、図版〕　pp.25-216, 228-240, 241-253

〔インタビュー〕（日本作家；藤田喬平、聞き手・武田厚）

出品目録　pp.218-222, 223-227

参考文献　pp.254-261　主に欧文

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「EXPANDED GLASS　Traditional and Contemporary」

会期：1995 年 4 月 23 日－6 月 18 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・朝日新聞社・神奈川新聞社・テレビ神奈川

出品：藤田喬平

註：出品欄は日本作家を収載。

線について〈不在のモダニズム、不可視のリアリズム〉 ●

板橋区立美術館　1995 年 5 月　特別展　シリーズ・ART IN TOKYO No.7

ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3

線の想像力（谷川渥）　pp.4-7

線について――あるいは、今ひとたびの証明について（尾崎眞人）　pp.8-12

図版　pp.13-68

出品作家略歴（三宅知子編）　pp.71-89

霜田誠二〔作家略歴、作家のことば〕　pp.90-91

ぎざぎざの旅（霜田誠二）

出品作品目録　pp.92-95

参考文献　p.97

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「About lines：Non-existing Modernism and Invisible Realism」

会期：1995 年 5 月 20 日－7 月 2 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：草間彌生、北代省三、堀内正和、末松正樹、福島秀子、高松次郎、斎藤義重、菊畑茂久馬、浅野弥衛、中西夏之、河口龍夫、中里斉、李禹煥、清水誠一、荒川修作、菅木志雄、工藤哲巳、中村一美、長谷川栄、高木修、丸山常生、村上善男、千崎千恵夫、菊地武彦、櫻井英嘉、内海信彦、多和英子、堀浩哉、さかぎしよしおう、丸田恭子、中山正樹、西村美和、青木野枝〔出品作品目録順〕
註：山口長男、吉原治良、瑛九、小牧源太郎は戦前作品なので対象外とした。

「水の変幻――その新しき表現」展 ●
品川文化振興事業団 O 美術館　1995 年 6 月
ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館）　p.1　英文併載
水、その曖昧さから物質性へ〈東野芳明の主題による 5 つの断章〉（小林康夫）　pp.2-3
三つの泉（建畠哲）　pp.4-5
まもの・水もの・つくりもの――現代における〈水〉表現（天野一夫）　pp.6-8
図版〔作家のことば、図版〕　pp.9-24
〔作家のことば〕（榎本潮、城戸孝充、小島久弥、笹岡敬、八柳尚樹、伊奈新祐）
作家略歴　pp.25-29
出品作品リスト　p.31
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1995 年 6 月 9 日－7 月 2 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館
出品：榎本潮、城戸孝充、小島久弥、笹岡敬、八柳尚樹、クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョノー、ビル・ヴィオラ、伊奈新祐〔出品目録順〕

やわらかく 重く〈現代日本美術の場と空間 Grace & Gravity〉 ●
埼玉県立近代美術館　1995 年 6 月　英文併載
あいさつ（埼玉県立近代美術館）　pp.6, 7
生成への“ゆらぎ”〈若さとしての日本美術の特徴〉（田中幸人）　pp.8-9, 10-11
空間と場――日本（前山裕司）　pp.12-14, 15-17
図版〔質問と回答、作家のことば、図版〕　pp.19-85
〔質問と回答、作家のことば〕（藤本由紀夫、今村源、石川順惠、伊藤誠、小山穂太郎、村上慎二、笹岡敬、髙柳恵里、多和圭三、徳永雅之、尹熙倉）
作家略歴　pp.87-98
出品リスト　pp.99-101
註：編集は前山裕司、長谷川てい、伊豆井秀一。
□ドキュメント〔全 8 ページ〕
図版〔展示風景〕　7p.
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大
○展覧会事項

欧文タイトル：「Grace & Gravity」

会期：1995 年 6 月 10 日－7 月 30 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／9 月 15 日－1996 年 1 月 7 日　オハイオ州コロンバス・ライフ・ギャラリー　主催：埼玉県立近代美術館・オハイオ芸術協会

出品：藤本由紀夫、今村源、石川順惠、伊藤誠、小山穂太郎、村上慎二、笹岡敬、髙柳恵里、多和圭三、徳永雅之、尹熙倉〔出品リスト順〕

視ることのアレゴリー　1995：絵画・彫刻の現在 ●

セゾン美術館　1995 年 6 月

ごあいさつ（セゾン美術館）　p.7

“モルフィズム”の復活（建畠哲）　pp.10-16

語りえぬ未知の現象〈アレゴリーという名の構造〉（杉山悦子）　pp.17-24

絵画・彫刻の今日的問題（是枝開）　pp.25-28

図版　pp.29-168

Texts and Documents

I 出品作家の略歴/テキスト/展覧会歴/参考文献　pp.1-80

テキスト（辰野登恵子、橋田尚之、中村一美、鷲見和紀郎、石川順惠、吉田哲也、菊池敏直、小林良一、世良京子、中原浩大、赤塚祐二、谷口眞紀、岡崎乾二郎、吉川陽一郎、丸山直文、黒川弘毅〔再録〕、藤澤江里子、伊藤誠、古井智、小池隆英、小林正人、青木野枝、松本陽子、細井篤、児玉靖枝、祐成政徳、松浦寿夫、長橋秀樹）

II 年表：日本の現代美術展〈出品作家を中心に〉1987.6-1995.5（中島理壽編）　pp.81-86

III 出品作品リスト　pp.87-104

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ALLEGORY OF SEEING 1995：Painting and Sculpture in Contemporary Japan」

会期：1995 年 6 月 23 日－8 月 27 日　池袋・セゾン美術館　主催：セゾン美術館

出品：第 1 期 表層：矛盾の包摂；三輪美津子、東島毅、辰野登恵子、橋田尚之、中村一美、鷲見和紀郎、石川順惠、吉田哲也、菊池敏直、小林良一。第 2 期 形象：意味の転生；世良京子、中原浩大、赤塚祐二、谷口眞紀、岡崎乾二郎、吉川陽一郎、丸山直文、黒川弘毅、藤澤江里子、伊藤誠。第 3 期 風景：位相の変容；古井智、小池隆英、小林正人、青木野枝、松本陽子、細井篤、児玉靖枝、祐成政徳、松浦寿夫、長橋秀樹〔出品作品リスト順〕

絵画の方向’95 ●

大阪府立現代美術センター　1995 年 6 月

ごあいさつ（館長今田純子）

図版〔図版、作家略歴〕　7p.

出品作品

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 6 月 26 日－7 月 8 日　大阪府立現代美術センター　主催：大阪府立現代美術センター

出品：赤松玉女、大杉剛司、片野満、清野耕一、田中朱実、田中孝、中村眞喜子、長尾浩幸、奈良美智、フルタミチエ、松浦孝之、松尾直樹、安井良尚、横田亜弓〔図版収載順〕

アートは楽しい 6　機械帝国 ●

原美術館　1995 年 7 月 1 日　主に英文併載

ごあいさつ（館長原俊夫）　p.2

機械帝国（堀口勝信）　pp.4-5, 6-7

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　pp.8-27

〔作家のことば〕（金山明、コンプレッソ プラスティコ、サトル タカダ、篠田太郎、テクノクラート、常葉勇、永沼理善、原田和男、吉田正人＋いとうともこ）

出品作品リスト　pp.28-29, 30-31

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Art is Fun 6：MECHAZONE」

会期：1995 年 7 月 1 日－9 月 24 日　渋川市・ハラ ミュージアム アーク　主催：ハラ ミュージアム アーク

出品：岡部俊彦、金山明、コンプレッソ プラスティコ、サトル タカダ、篠田太郎、テクノクラート、常葉勇、永沼理善、原田和男、吉田正人＋いとうともこ〔出品作品リスト順〕

環流〈日韓現代美術展〉●

「環流－日韓現代美術展」実行委員会　1995 年 7 月　愛知県美術館・名古屋市美術館共同企画

あいさつ（愛知県美術館・名古屋市美術館・中日新聞社・中部日本放送・東海テレビ放送）　p.5　英文併載

土着とモダン（山脇一夫）　pp.8-10

韓国の近代美術（李慶成）　pp.11-14

韓国現代美術の動向と主要な争点（徐成緑）　pp.15-19

日本回帰をめぐって（牧野研一郎）　pp.20-22

カタログ〔作品解説、作家略歴、図版〕　pp.23-71　英文併載

作品解説（牧野研一郎、山脇一夫、角田美奈子、拝戸雅彦）

会場別出品作家　p.72

出品リスト　pp.73-76　英文併載

日韓現代美術史年表　pp.77-85

註：編集は角田美奈子、拝戸雅彦、原沢暁子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Circulating Currents－Japanese and Korean Contemporary Art－」

会期：1995 年 7 月 14 日－9 月 3 日　愛知県美術館、名古屋市美術館　主催：愛知県美術館・名古屋市美術館・中日新聞社・中部日本放送・東海テレビ放送

出品：愛知県美術館；堀浩哉、戸谷成雄、北山善夫、遠藤利克、中村一美、岡村桂三郎。名古屋市美術館；小清水漸、西雅秋、久野利博、平林薫、磯部聡、尹熙倉〔会場別出品作家順〕

環流〈日韓現代美術展〉

「環流－日韓現代美術展」実行委員会　1995 年

カタログ〔図版、展示風景〕　pp.7-103

論文英訳　pp.105-119

出品リスト　pp.120-123

註：本カタログの凡例に「出品された作品の写真、または設置状況写真を掲載した」とあり、発行日の記載は無いが会期中または終了後に刊行されたことが分かる。編集は角田美奈子、拝戸雅彦、原沢暁子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

体感する美術'95 アートと遊ぼう、夏休み! ●

佐倉市立美術館　1995 年〔7 月〕　第 1 回目

ごあいさつ（館長髙石惣一郎）　p.6

体感する美術（倉林靖）　pp.7-9

美術館ワークショップの効能（大月浩子）　pp.10-11

体感する美術"95 用語事典（永山智子）　pp.12-13

図版　pp.15-24

ワークショップ 1、2　pp.25-31

作家略歴　p.32

出品作品リスト　p.33

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1995 年 7 月 22 日－8 月 6 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：間島領一、王新平〔出品作品リスト順〕

ヒロシマ以後―現代美術からのメッセージ I〈被爆 50 周年記念展〉 ●

広島市現代美術館　1995 年 7 月

ごあいさつ（広島市現代美術館・中国新聞社）　pp.2, 3　英文併載

被爆 50 周年記念展に寄せる（飯島宗一）　pp.6-7, 8-9　英文併載

ヒロシマ以後のヒロシマ（竹澤雄三）　pp.10-13, 14-17　英文併載

記録と表現〈1960 年代までの作品について〉（出原均）　pp.18-23, 24-29　英文併載

物質と記憶あるいは想像力〈1970 年代以降の作品を中心に〉（洲浜元子）　pp.30-35, 36-39

英文併載
図版　国外作家　pp.41-62
図版　国内作家　pp.63-108
年譜――原爆と核に関する美術（小田るな・洲濱元子編）　pp.109-124
出品リスト　pp.125-127, 128-130
会場：広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
所蔵：□、国新美、東近美、東文研(I のみ)、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Special Exhibition for the 50th Anniversary of the Hiroshima A-bombing：AFTER HIROSHIMA－Message from Contemporary Art」
会期：第 1 部・1995 年 7 月 22 日－9 月 17 日　第 2 部・7 月 30 日－9 月 17 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
出品：サルヴァドール・ダリ、イサム・ノグチ、カレン・アペル、イヴ・クライン、ベン・シャーン、ヘンリー・ムーア、アンディ・ウォーホル、ナンシー・スペロ、クリス・バーデン、アントニー・ゴームリー、ヨーヘン・ゲルツ、ギュンター・ユッカー、ルイ・ジャム、アンジュ・レッチァ、福井芳郎、古沢岩美、山本敬輔、増田勉、丸木位里・俊、山下菊二、鶴岡政男、池田龍雄、桂ゆき、岡本太郎、白井晟一、前田常作、土門拳、東松照明、川田喜久治、岡崎和郎、タイガー立石、磯崎新、工藤哲巳、入野忠芳、殿敷侃、たべ・けんぞう、荒木高子、河口龍夫、岡部昌生、若林奮、片瀬和夫、西雅秋、森村泰昌、ヤノベケンジ、三上晴子、山口啓介、鯉江良二、佐藤時啓、古井智〔出品リスト順〕

未来のノスタルジー〈山形・同時代作家展〉●
山形美術館　1995 年 7 月
あいさつ（山形美術館）　p.3
「未来のノスタルジー――山形・同時代作家展」によせて（菅原教夫）　pp.6-9
図版　pp.11-45
作家略歴　pp.46-53
出品リスト　pp.54-60
あとがきにかえて（岡部信幸）p.62
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1995 年 7 月 27 日－8 月 20 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送・山形テレビ
出品：安部定、大内晴夫、太田三郎、木嶋正吾、木原正徳、小池隆英、後藤寿之、サイトユフジ、作田富幸、佐藤勤、佐藤時啓、佐藤真生、蔦谷一行、中原淳、松田重仁、本木京一、渡辺栄一〔出品リスト順〕

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 1・モダニズムの系譜 ●

沖縄県　1995 年 8 月　太平洋戦争・沖縄線終結 50 周年事業
ごあいさつ（知事大田昌秀）　p.3
「沖縄戦後美術の流れ」その意義（城間喜宏）　p.7
序章（稲嶺成祚）　pp.10-11
戦後復興期の美術（山田高男）　pp.12-17
戦後沖縄美術の前衛たち（星雅彦）　pp.18-29
安定のなかの模索〈前衛から系列へ〉（諸見里道浩）　pp.30-35
状況への発言（翁長直樹）　pp.36-37
PHOTO〔参考図版〕　pp.38-39, 52
拡散の時代（翁長直樹）　pp.40-43
模索と展望〈九〇年代の動きを中心に〉（安座間安司）　pp.44-51
カタログ　pp.53-92
作家プロフィール　pp.94-105
作品リスト　pp.106-107
参考文献　pp.108-110
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル:「Exhibition of Contemporary Okinawan Artists　Projects Commemorating the 50th Anniversary of the End of Pacific War and the Battle of Okinawa」
会期：1995 年 8 月 2 日－27 日　浦添市美術館、浦添市民会館　主催：沖縄県、共催：浦添市美術館・浦添市教育委員会・沖縄タイムス社・沖縄県文化振興会・沖縄県文化協会
出品：青山映二、朝内信二郎、安次富長昭、安次嶺金正、安谷屋正義、安谷屋美佐子、新垣安雄、伊江隆人、石嶺伝郎、稲嶺成祚、上江洲由郎、ウエチヒロ、上原一明、浦本寛史、大城皓也、大浜英治、大浜用光、大嶺實清、大嶺信一、奥田実、翁長自修、勝連竜子、上條文穂、川平恵造、喜久村徳男、儀保克幸、金城馨、金城規克、金城満、幸地学、志喜屋徹、下地寛清、城間喜宏、新里義和、新城剛、砂川喜代、玉城哲人、玉那覇正吉、知念良智、知花均、当山進、渡慶次真由、渡名喜元俊、仲里安広、永津禎三、仲松清隆、仲間伸恵、長嶺斉、仲本賢、永山信春、西村貞雄、花城勉、治谷文夫、比嘉武史、普天間敏、前田比呂也、真喜志勉、丸山映、宮城明、宮城健盛、屋富祖盛美、山内盛博、山城見信、山元恵一、屋良朝彦、与儀達治、与久田健一、能山宗忠、和宇慶朝健〔作品リスト順〕

抽象美術へのいざない ●
国立国際美術館　1995 年 8 月 14 日
あいさつ（国立国際美術館）　英文併載
〔解説〕（中西博之）
出品作品一覧.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「INVITATION TO ABSTRACT ART」

会期：1995 年 8 月 14 日－9 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：桑山忠明、榎倉康二、斎藤義重、岡田謙三、山口長男、中里斉、元永定正、高橋秀、吉原治良、森田子龍、井上有一、津高和一、須田剋太、菅井汲、白髪一雄、嶋本昭三、今井俊満、堀浩哉、依田寿久、高松次郎、李禹煥、山田正亮、榊健、草間彌生、瑛九、坂田一男、堀内正和、秋岡美帆、福岡道雄、中原浩大、辰野登恵子〔出品作品一覧順〕
註：出品欄は日本作家を収載。坂田一男のみ戦前作品。

IMA「絵画の今日」展 ●

三越美術館　1995 年 9 月　第 2 回展
IMA-「絵画の今日」展開催主旨（IMA「絵画の今日」展実行委員会）
時代の壁と時代の眼（黒井千次）
IMA「絵画の今日」展によせて（真室佳武）
図版　73p.
出品目録
略歴
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「1995 ima」
会期：1995 年 9 月 1 日－13 日　新宿・三越美術館　主催：三越美術館、IMA「絵画の今日」展実行委員会
出品：同人作家；麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進、元永定正。招待作家；相笠昌義、相田幸男、赤松玉女、秋岡美帆、安徳瑛、生駒泰充、伊庭新太郎、池口史子、市野英樹、稲垣考二、今井信吾、岩崎正、宇野和幸、遠藤彰子、小原素彦、大内田敬、大津英敏、金山桂子、川村悦子、貴堂静栄、北久美子、絹谷幸二、小林一彦、近藤大志、佐々木豊、佐藤一郎、佐藤昌宏、酒井信義、桜井寛、櫻井晨正、島田鮎子、瀬川富紀男、田中いっこう、高橋常政、高橋幸彦、谷川晃一、津地威汎、十時孝好、中野庸二、中原史雄、林敬二、櫃田伸也、蛭田均、福岡奉彦、福島瑞穂、福田美蘭、藤田邦統、堀越千秋、本田希枝、馬越陽子、松本英一郎、水口裕務、室越健美、森一浩、森田康雄、森本勇、山尾才、山河全、吉田淳一、リーガ・パング、わたなべゆう、渡辺恂三〔出品目録順〕

ART TODAY 1995 絵画レッスン〈5 つの方法論をめぐって〉●

セゾン現代美術館　1995 年 9 月
「芸術の習慣」としての絵画レッスン（中村麗）　pp.5-7
図版〔作家略歴、作家のことば、作家論、図版〕　pp.8-47
〔作家のことば〕（宇田見ひとみ、小野友三、国民投票、湯浅龍平、吉川和江）
〔作家論〕（中村麗、清水哲朗）
図版リスト　pp.48-49
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美
○展覧会事項
会期：1995 年 9 月 9 日－11 月 26 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン

現代美術館

出品：宇田見ひとみ、小野友三、国民投票、湯浅龍平、吉川和江〔図版リスト順〕

現代美術の手法 1 コラージュ ●

練馬区立美術館　1995 年 9 月

ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.1

コラージュについての覚書（横山勝彦）　pp.3-6

図版〔図版、解説〕　pp.7-108

出品作家略歴　pp.109-120

参考文献　p.121

出品リスト　pp.122-126

索引　p.127

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Collage」

会期：1995 年 9 月 15 日－10 月 22 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：1)コラージュの導入。2)コラージュの定着。3)戦後美術の展開(1)――現代美術の胎動；吉原治良、阿部展也、飯田善國、斎藤義重、佐野繁次郎、小野忠弘、桂ユキ子〔ゆき〕、久野真、村上善男、吉仲太造、尾花成春、大山右一、菊畑茂久馬、田部光子、三上誠、大野俶嵩、野村耕。4) 戦後美術の展開(2)――個性的表現の確立；中村宏、赤瀬川原平、石井茂雄、清水晃、曽山節雄、タイガー立石、荒川修作、今井俊満、桂ユキ子〔ゆき〕(重)、杉全直、山下菊二、池田満寿夫、篠原有司男、野中ユリ。5) 戦後美術の展開(3)――現在の動向；高松次郎、若江漢字、斎藤義重、清塚紀子、杢田たけを、三木富雄、五月女幸雄、草間彌生、脇田和、大内田茂士、島田章三、川俣正、小野和則、森村泰昌、福田美蘭、斎藤寿一、依田順子、宮崎進、藤山貴司、田部光子、横尾忠則、武山まどか。6)参考作品；外国作家〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

レボリューション／美術の 60 年代〈ウォーホルからボイスまで〉 ●

東京都現代美術館　1995 年 9 月　主に英文併載　補遺 1 枚(二ツ折両面刷)

ごあいさつ（館長嘉門安雄）　pp.6, 7

レボリューション――30 年後に（塩田純一）　pp.11-14, 15-17

境界を越える美術――ウォーホルからボイスまで（渡部葉子）　pp.18-21, 22-25

振り返って：1960 年代のアメリカ美術（クローディア・グールド、アン・ブレムナー）　pp.27-39, 40-49

リアリズム，ポップ，そして貧困（ジョン・トンプソン）　pp.50-61, 62-71

カタログ〔作家解説、事項解説、図版〕　pp.73-281

〔項目索引〕　pp.74, 75

〔作家解説、事項等解説〕（平野千枝子、宮下規久朗、林洋子、大賀洋介、南雄介、渡部葉

子、武内厚子、熊谷伊佐子、乙葉哲、塩田純一）　一部和文のみ

出品作品リスト　pp.283-297, 299-311

所蔵者一覧　pp.312, 313

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「REVOLUTION：ART OF THE SIXTIES FROM WARHOL TO BEUYS」

会期：1995 年 9 月 30 日－12 月 10 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館

出品：フルクサス(靉嘔、小杉武久、久保田成子、オノ・ヨーコ、斉藤陽子、塩見充枝子、ワダ・ヨシマサ)、河原温、工藤哲巳、草間彌生、オノ・ヨーコ、パフォーマンス（久保田成子、工藤哲巳、草間彌生、オノ・ヨーコ）

註：出品欄は日本作家のみ収載。フルクサスとパフォーマンスは「運動、グループ、傾向などによる項目(事項項目)」として扱われ、それぞれその項目に関わった作家の作品が出品されている。従って独立して「作家による項目(作家項目)」として作家解説が記されているのは河原温、工藤哲巳、草間彌生、オノ・ヨーコである。

紙の世界 ●

国立国際美術館　1995 年 10 月

あいさつ（国立国際美術館）

『紙の世界』（無署名）

図版〔作家略歴、図版〕　49p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、江戸博、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「THE WORLD OF PAPER」

会期：1995 年 10 月 5 日－12 月 3 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：井田照一、伊部京子、扇千花、橿尾正次、角永和夫、北山善夫、志水正明、高田洋一、田中哲子、長谷光城、長谷川勢津子、八田豊、福本浩子〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

50 年後〈彼らはなぜ戦争を表現するのか〉 ●

徳島県立近代美術館　1995 年 12 月 15 日

図版　pp.1-36

ごあいさつ（主催者）　p.39

戦争と美術〈「50 年後 彼らはなぜ戦争を表現するのか」展に関して〉（三木多聞）　pp.43, 91　英文併載

戦争の影の下に（吉川神津夫）　pp.45-49, 92-95　英文併載

日本のモダニズムと社会性〈戦争期と現代の美術への視点〉（森芳功）　pp.51-55, 96-99　英文併載

作家紹介〔図版、作家論、作家略歴、文献〕　pp.57-83

〔作家論〕（森芳功、吉川神津夫）　pp.100-107　英文併載

出品作家リスト　pp.85-87

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「50 years after　The artists who have no experience about the war.」

会期：1995 年 10 月 17 日－12 月 17 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

出品：太田三郎、西雅秋、福田新之助、柳幸典〔出品作家リスト順〕

戦後 50 年 1945－1995 沖縄の美術　　那覇市文化局文化振興室編 ●

那覇市　1995 年 10 月 17 日

心をふるいたたせた作品との再会（市長親泊康晴）　p.5

新しい創造をめざして（安次富長昭）　p.7

沖縄戦後美術の軌跡（星雅彦）　pp.9-23

カタログ〔図版〕　pp.24-179

作家略歴　pp.180-195

出品作品リスト　pp.196-199

参考文献　p.200

所蔵：□、東近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE FINE ARTS OF OKINAWA」

会期：1995 年 10 月 17 日－11 月 5 日　那覇市民ギャラリー　主催：那覇市

出品：大嶺政寛、南風原朝光、名渡山愛順、玉那覇正吉、島田寛平、謝花寛烝、金城正栄、山里将聖、金城南海、柳光観、親泊英繁、屋部憲、山田真山、仲里勇、慶田喜一、古波蔵誠仁、富川盛智、久場とよ、大城精徳、大城宏捷、池原喜久雄、石嶺伝郎、高江洲盛一、嘉数能愛、喜村朝貞、宮平清一、當間幸雄、深見桂子、大城栄誠、保志門幸子、山元恵一、末吉安久、安次嶺金正、安元賢治、安谷屋正義、神山泰治、岸本一夫、宮城健盛、永山信春、大城皓也、名渡山愛擴、新川唯盛、平野長伴、宮良薫、山里昌弘、城間喜宏、安次富長昭、治谷文夫、渡慶次真由、浦添健、森田永吉、永丘智行、津山彬、安仁屋政栄、大村徳恵、具志堅誓謹、榎本正治、普天間敏、喜久村徳男、稲嶺成祚、比嘉良治、山里永吉、浦崎永錫、金城俊、大嶺政敏、喜友名朝紀、大浜英治、比嘉武史、ウエチヒロ、山元文子、兼城賢章、大城一夫、石垣博孝、大見謝文、与儀達治、儀間朝健、大嶺信一、米須敏三郎、小橋川肇、金城規克、和字慶朝健、下地寛清、砂川喜代、赤嶺正則、具志堅聖児、新城剛、真喜志勉、新垣安雄、新里紹光、翁長自修、平良晃、宮城孝也、佐久間盛義、宮城篤正、鎮西公子、仲嶺康輝、読谷山朝典、與那覇朝大、金城進、川平恵造、山之端一博、与久田健一、翠宮城セツ、金城安太郎、知名久夫、宮良瑛子、比嘉良二、宇根悦子、儀間比呂志、奥原崇典、伊江隆人、仲元清輝、当山進、宮良貴子、下地明増、屋良朝春、新城征孝、浦崎彦志、玉城栄一、新垣正一、大江幸子、中島イソ子、前田比呂也、照屋万里、宮城千鶴子、桑江良健、屋冨祖盛美、仲松清隆、島袋喜代子、金城満、山城見信、山内盛博、喜久村宏、宮城明、新垣安之輔、屋良朝彦、山田武、宮里顯、高島彦志、砂川則男、瑞慶山昇、しろませいゆう、知念秀幸、玉

城美智子、比嘉正彦、佐久本伸光、奥本静江、比嘉良徳、幸地学、大城讓、叶ひでき、宮里昌健、宮城和邦、阿波連永子、池宮城友子、新城喜一、田中興八、上間尚子、大浜佳津子、大久保彰、喜舎場正一、渡名喜元俊、宮城保武、ウルカトム、永津禎三、又吉邦華、西村立子、平野智子、大城久美子、松本幸昌、名嘉睦稔、吉永ます子、具志恒勇、伊智稔〔イチ・ミノル〕、知花均、花城勉、志喜屋徹〔出品作品リスト順〕

現代美術への視点 絵画、唯一なるもの〔第 4 回展〕●

東京国立近代美術館　1995 年 11 月

あいさつ（館長植木浩・富山秀男）　p.7　英文併載

絵画について（中林和雄）　pp.11-17, 23-29　英文併載

死と絵画（本江邦夫）　pp.19-22, 31-33　英文併載

カタログ〔作家略歴、解説、図版〕　pp.35-123　英文併載

　解説（本江邦夫、中林和雄、市川政憲、都築千重子、松本透）

展覧会歴／主要文献（都築千重子編）　pp.126-141　和文・欧文

出品目録　pp.142-143

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：PAINTING-SINGULAR OBJECT」

会期：1995 年 11 月 3 日－12 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館／1996 年 1 月 5 日－2 月 12 日　京都国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館

出品：アド・ラインハート、山田正亮、ゲルハルト・リヒター、ブライス・マーデン、村上友晴、長沢秀之、高見澤文雄、ロス・ブレックナー、根岸芳郎、小林良一、小林正人［出品目録順］

第 29 回現代美術選抜展図録 ●

浦添市美術館・徳山市美術博物館・岡崎市美術館・石川県七尾美術館・秋田県立近代美術館・水沢市文化会館　1995 年 11 月

ごあいさつ（文化庁長官遠山敦子）　p.7

図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕　pp.9-49

第 29 回現代美術選抜展開催要項　p.50

出品団体・出品点数一覧　p.50

〔出品団体系図〕　p.51

所蔵：□、国新美、写真美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：沖縄展；1995 年 11 月 8 日－22 日　浦添市美術館　主催：文化庁・沖縄県教育委員会・浦添市美術館・琉球新報社／山口展；11 月 30 日－12 月 11 日　徳山市美術博物館　主催：文化庁・山口県教育委員会・徳山市美術博物館／愛知展；12 月 16 日－27 日　岡崎市美術館　主催：文化庁・愛知県教育委員会・岡崎市美術館／石川展；1996 年 1 月 13 日－28 日

石川県七尾美術館　主催：文化庁・石川県教育委員会・財団法人七尾美術館／秋田展；2 月 3 日－18 日　秋田県立近代美術館　主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県立近代美術館／岩手展；2 月 22 日－3 月 7 日　水沢市文化会館　主催：文化庁・岩手県教育委員会・水沢市・水沢市教育委員会・水沢市文化振興財団

出品：日本画；土屋禮一、北田克己。洋画；玉川信一、金井訓志。版画；爲金義勝、櫻井貞夫。彫刻；三坂制〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

現代写真の動向 ANOTHER REALITY ●

川崎市市民ミュージアム　1995 年 11 月 21 日

あいさつ（川崎市市民ミュージアム）　英文併載

物質としての写真へ（伊藤俊治）　pp.4-6

“現代写真”を撮ることと見ること（平木収）　pp.7-9

砂漠を越えて（深川雅文）　pp.10-14, 84-89　英文併載

作家分析論（深川雅文）　pp.15-16, 90-93　英文併載

図版　pp.17-77

バイオグラフィー　pp.80-83　英文併載

註：編集は深川雅文、林華子。

所蔵：□、国新美、東近美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Aspects of Contemporary Photography 1995」

会期：1995 年 11 月 21 日－1996 年 1 月 28 日　川崎市市民ミュージアム　主催：財団法人川崎市市民ミュージアム

出品：松江泰治、市川美幸、畠山直哉、楢橋朝子、吉村朗、瀬戸正人、内田京子、里博文、杉浦邦恵、五井毅彦〔図版収載順〕

1996（平成 8）年

Tranquility――静謐 ●

千葉市美術館　1996 年 1 月　全 6 冊　主に英文併載

Tranquility（半田滋男）　pp.3-5, 6-9

会場構成　pp.10-11

図版　pp.12-49

□杉本博司

沈黙の隣り――杉本博司の「海景」（加藤典洋）　pp.3-7, 8-11

図版　pp.12-47

〔作家略歴、主要文献〕　pp.49-53

□宮島達男

地の天（宮島達男・半田滋男）　pp.2-7, 9-13

図版　pp.15-49

作品〔リスト〕 pp.50, 51

〔作家略歴、主要文献〕 pp.52-57

註：出品作家 5 名がそれぞれ 1 冊ずつのカタログ構成となっていて、そのうち日本作家 2 名を記載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

会期：1996 年 1 月 4 日－2 月 25 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館

出品：ニエレ・トローニ、ミシェル・ヴェルジュ、マリア・ノルトマン、杉本博司、宮島達男〔図版収載順〕

シガ・アニュアル'96 ハンドメイド・オブジェ ●

滋賀県立近代美術館　1996 年 1 月　第 10 回展

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）p.5

ハンドメイド・オブジェ――レディメイドを越えて（尾﨑佐智子） pp.6-8

カタログ〔作家のことば、図版、作家略歴、主要参考文献、作家論〕 pp.9-67

〔作家のことば〕（上野政彦、金村仁、髙柳恵里、長井かほる、中ハシ克シゲ、山崎亨）

〔作家略歴、作家論〕（尾﨑佐智子）

出品リスト　pp.68-69

所蔵：□、国新美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '96 Handmade Objects」

会期：1996 年 1 月 5 日－2 月 18 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：上野政彦、金村仁、髙柳恵里、長井かほる、中ハシ克シゲ、山崎亨〔出品リスト順〕

日本の美術――よみがえる 1964 年 ●

東京都現代美術館　1996 年 1 月

ごあいさつ（館長嘉門安雄） pp.4, 5　英文併載

1964 年 / 東京オリンピック / そして……〈日本美術のひとつのターニング・ポイント〉（矢口國夫） pp.7-12, 183-189　英文併載

1964 年の日本美術――アンフォルメルの影、その後の展開（野口玲一） pp.13-19, 190-196　英文併載

図版　pp.21-124

年表 1963－1965（藤井亜紀編、中島理壽監修） pp.123-143

文献目録 1963－1965（藤井亜紀編、中島理壽監修） pp.123-143

出品作品リスト　pp.167-182

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「1964：A TURNING POINT IN JAPANESE ART」
会期：1996 年 1 月 13 日－3 月 24 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館
出品：日本画；安田靫彦、前田青邨、奥村土牛、小野竹喬、小倉遊亀、徳岡神泉、山口華楊、岩橋英遠、福田豊四郎、片岡球子、澤宏靱、吉岡堅二、北澤映月、東山魁夷、杉山寧、髙山辰雄、工藤甲人、森田曠平、岩崎巴人、小野具定、水田舜人、三上誠、大野俶崇、下村良之介、星野真吾、中村正義、加山又造、平山郁夫。油彩画；熊谷守一、坂本繁二郎、小絲源太郎、梅原龍三郎、北川民次、林武、岡鹿之助、福沢一郎、野口彌太郎、牛島憲之、荻須高徳、猪熊弦一郎、岡田謙三、鳥海青児、山口長男、小磯良平、海老原喜之助、田村一男、難波田龍起、村井正誠、吉原治良、山口薫、森芳雄、香月泰男、川端実、坂本善三、麻生三郎、杉全直、菅井汲、元永定正、小野木学、白髪一雄、芝田米三、前田常作、吉仲太造、田口安男、山田正亮、桑山忠明、田中敦子、小野田實、宇佐美圭司、向井修二。版画；長谷川潔、浜口陽三、一原有徳、萩原英雄、清宮質文、浜田知明、駒井哲郎、福井良之助、深沢幸雄、吹田文明、加納光於、池田満寿夫、日下賢二。彫刻；柳原義達、堀内正和、佐藤忠良、八木一夫、建畠覚造、飯田善國、多田美波、井上武吉、篠田守男、江口週、小田襄、最上壽之、若林奮。反芸術的傾向；宮城輝夫、山下菊二、関根美夫、藤松博、松澤宥、山口勝弘、靉嘔、針生鎮郎、岡本信治郎、篠原有司男、村上善男、菊畑茂久馬、小島信明、中西夏之、荒川修作、磯辺行久、清水晃、高松次郎、福岡道雄、赤瀬川原平、三木富雄、森本紀久子、立石紘一。第 32 回ヴェネチア・ビエンナーレ；斎藤義重、オノサト・トシノブ、豊福知徳、堂本尚郎。時代のルポルタージュ；岡本太郎、桂ゆき、向井良吉、横山操、元永定正、上野泰郎、中村宏、渡辺恂三、横尾忠則、立石紘一〔出品作品リスト順〕

道南の美術 抽象の波 1950～70 ●
北海道立函館美術館　1996 年 1 月
ごあいさつ（北海道立函館美術館・北海道新聞社）見返し
道南の美術における「抽象の波」（大下智一）pp.1-3
図版〔章解説、図版〕pp.4-17
作家略歴　pp.18-19
出品リスト　pp.20-21
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 1 月 20 日－2 月 18 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社
出品：岩船修三、鵜川五郎、蛯子善悦、鎌田俳捺子、木村良、三箇三郎、菅野充造、竹内昭吾、橋本三郎、平川勇、三津谷理与子、佐藤俊郎、高野政志、箱根寿保、長谷川晶、木村訓丈、近堂隆志、清野満敏、外山欽平、橋本克豊〔出品リスト順〕

チバ・アート・ナウ'95 鉄－四つの対話 ●
佐倉市立美術館　1996 年 1 月 23 日　第 2 回展
ごあいさつ（館長髙石惣一郎）　p.3

「鉄」の二律背反性（早見堯） pp.4-7
図版 pp.9-40
配置図 p.41
鉄－四つの対話（黒川公二） pp.42-43
作家資料〔作家コメント、略歴、図版〕 pp.45-54
〔作家コメント〕（岡田真宏、小泉俊己、田中ほむら、菱田祐一郎）
出品作品一覧 p.55
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CHIBA ART NOW ’95 iron-four dialogues」
会期：1996 年 1 月 23 日－2 月 12 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：岡田真宏、小泉俊己、田中ほむら、菱田祐一郎〔出品作品一覧順〕

福島の新世代’96 ●
福島県立美術館　1996 年 1 月 27 日
ごあいさつ（福島県立美術館） p.3
個の領分――明日の美術をもとめて（早川博明） p.6
図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕 pp.7-73
〔作家のことば〕（安藤栄作、坂元郁夫、藤田邦統、山田善三、北郷悟、山中現、安部直人、玉川信一、高橋幸彦）
1996 年の新世代の作家たち（吉村有子） pp.74-76
主要参考文献 p.77
出品作品リスト pp.78-79
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 1 月 27 日－3 月 10 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館
出品：安藤栄作、坂元郁夫、藤田邦統、山田善三、北郷悟、山中現、安部直人、玉川信一、高橋幸彦〔出品作品リスト順〕

「ひとがた・カラクリ・ロボット」展〈ひとはひとをどのようにあらわそうとしたのか〉 ●
品川文化振興事業団 O 美術館　1996 年 2 月
ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館） pp.4, 5　英文併載
現代における人形の諸相（増淵宗一） pp.7-11
活人形史・その光芒〈創始者松本喜三郎の動勢を中心に〉（土居郁雄） pp.13-22
人形の夢、人間の夢（立川昭二） pp.23-25
第一次ロボット・ブームに探る人形、カラクリ、ロボットの関係（井上晴樹） pp.27-31
図版 pp.33-72

関連写真・資料　pp.73-81
出品リスト　pp.82-83
作家略年譜　pp.84-89
関連総合年表（天野一夫編）　pp.91-99
活人形史・興行年表（土居郁雄編）　pp.101-103
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「HUMAN FIGURE　How dose MAN express the human Figure?」
会期：1996 年 2 月 2 日－3 月 3 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館
出品：村井次郎、ジャン・ピエール・ダルナ、グループ・七彩(欠田誠、加野正浩)、七彩、毛利臣男・加野正浩、八代目玉屋庄兵衛、ナム・ジュン・パイク、土佐尚子、加藤一郎、四谷シモン、荒木博志、森村泰昌、鳥光桃代、吉田かつじ、太郎千恵藏〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」●
水戸芸術館現代美術センター　1996 年 2 月 10 日　英文併載　展覧会資料第 25 号
ディアロゴスー新たなサイトの創造のために（渡部誠一）　pp.6, 9
造形表現の現代性の条件について――工芸を手がかりとして（渡部誠一）　pp.7-8, 10-11
図版資料〔作家略歴、図版、作家解説〕　pp.13-108
〔作家解説〕（森田清明、渡部誠一、五十殿利治、加藤和恵、森田義之、寺門寿明）
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Ibaraki Biannual Dialogos 1996 Conditions of Contemporaries」
会期：1996 年 2 月 10 日－3 月 31 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター、共催：水戸市立博物館
出品：伊藤知香、井上雅之、近藤歩、信太進、島剛、十河雅典、高橋睦治、中澤真純、野沢二郎、藤本均定成、槙野匠、宮森敬子〔図版収載順〕

いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」ドキュメンテーション
水戸芸術館現代美術センター　1996 年 2 月　展覧会資料第 26 号
会場構成　p.4
図版〔図版、会場写真〕　pp.6-29
ディアロゴス・プログラム　pp.30-31
註：編集は渡部誠一。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研(背文字なしとあり)、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項（上記本体に同じ）

VOCA 展'96「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　1996 年 2 月　英文併載

「VOCA 展'96」開催にあたって（主催者） p.4
「VOCA 展'96」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.5
〔授賞者、委員一覧〕 pp.6, 7
絵画性の復権（高階秀爾） pp.8, 9
感受性の風土（酒井忠康） pp.10, 11
内在する光（建畠哲） pp.12, 13
気配について（本江邦夫） pp.14, 15
出品作家〔一覧〕p.17
図版〔作家解説、図版〕 pp.18-79, 88-101
〔作家解説〕（石塚春夫、矢口國夫、佐藤友哉、水沢勉、正木基、高島直之、篠原資明、天野一夫、下山肇、森司、小田るな、太田垣實、佐々木吉晴、大坪健二、勅使河原純、毛利義嗣、有川幾夫、谷新、川浪千鶴、鍵岡正謹、土方明司、光田由里、草薙奈津子、前山裕司、名古屋覚、近藤幸夫、松村壽雄、中林和雄、菅原教夫、山脇一夫、尾﨑信一郎）
註：推薦委員のうち徳江庸行の文章は無い。
〔作家略歴〕 pp.80-87, 88-101
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」
会期：1996 年 2 月 17 日－3 月 3 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：グレッグ・アンガス、マコト・フジムラ、端聡、東島毅、井口大介、井上能巳、金村仁、加藤学、木津文哉、小林孝亘、児玉靖枝、栗本夏樹、増田聡子、溝口昭彦、牛波、小笠原尚子、岡田修二、押江千衣子、大浦こころ、佐藤篤、須藤泰規、杉山晶子、武田州左、徳永雅之、富岡直子、富田有紀子、横田亜弓、依藤奈奈、吉川民仁、吉本作次、渡辺信明〔出品作家一覧順〕
授賞者：VOCA 賞・東島毅、VOCA 奨励賞・小林孝亘、富岡直子、富田有紀子、端聡

現代日本版画の一断面〈材・技法・表現：「版」を超えて〉●
北海道立函館美術館　1996 年 2 月
ごあいさつ（北海道立函館美術館・北海道新聞社） p.2
戦後日本版画の歩み－版を超えて（穂積利明） pp.3-4
図版〔図版、作家解説、作家のことば再録〕 pp.5-15
用語解説　p.16
出品リスト　pp.17-19
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「AN ASPECT OF JAPANESE CONTEMPORARY PRINT　In excess of printing：Material, Technique, Expression」
会期：1996 年 2 月 24 日－3 月 24 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・

北海道新聞社

出品：靉嘔、池田良二、一原有徳、岡部昌生、郭徳俊、木原康行、浜田知明、深沢幸雄、百瀬寿、矢柳剛、李禹煥〔出品リスト順〕

神奈川アート・アニュアル'96 ●

神奈川県立県民ホール　1996 年 3 月 6 日　第 8 回展

あいさつ（神奈川芸術文化財団）

「神奈川アート・アニュアル'96」について〈現代日本美術の諸相から〉（柳生不二雄）

時代の底を流れるものへむかって（近藤幸夫）

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　13p.

〔作家のことば〕（市野泰道、井上リサ、小川百合、片岡操、小林孝亘、今道子、鈴木哲弥、関直美、平林りえ、三沢厚彦、山内隆）

出品目録

〔第 1 回-'94 神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '96」

会期：1996 年 3 月 6 日－24 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川芸術文化財団

出品：市野泰道、井上リサ、小川百合、片岡操、小林孝亘、今道子、佐藤邦生、鈴木哲弥、関直美、平林りえ、藤澤江里子、三沢厚彦、山内隆〔出品目録順〕

第 31 回今日の作家展〈DISPLACEMENT 横浜から横浜へ〉　第 31 回今日の作家展実行委員会・横浜市民ギャラリー編 ●

第 31 回今日の作家展実行委員会　1996 年 3 月　英文併載

ごあいさつ（第 31 回今日の作家展実行委員会・横浜市民ギャラリー）　p.3

DISPLACEMENT お元気ですか（小倉正史）　pp.4-5, 6-7

出品作家紹介〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.8-43

〔作家のことば〕（ハンク・ブル、ラニ・マエストロ、島袋道浩、土志田ミツオ、粉川哲夫、草間彌生）

第 31 回今日の作家展出品リスト　p.44

今日の作家展出品作家リスト 1964-1995　pp.45-47〔和文のみ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 31st 'Artists Today' Exhibition：DISPLACEMENT」

会期：1996 年 3 月 16 日－31 日　関内・横浜市民ギャラリー　企画：小倉正史、主催：横浜市・横浜市教育委員会

出品：ハンク・ブル、ラニ・マエストロ、島袋道浩、土志田ミツオ、粉川哲夫、草間彌生〔出品リスト順〕

レクイエム〈榎倉康二と 33 人の作家〉●

斎藤記念川口現代美術館　1996 年 3 月

ごあいさつ（須賀忠治・斎藤規子・レクイエムー榎倉康二と 33 人の作家ー展実行委員会）p.3

「レクイエム」展企画ー榎倉康二再思のために（森田一）　pp.6-7

榎倉康二 写真資料図版　pp.9-25

榎倉康二 出品作品リスト　pp.26-27

榎倉康二略歴　p.28

出品作家図版　pp.29-62

出品作品リスト　pp.64-65

出品作家コメント（東慶太郎、川島清、近藤克、川俣正、菊池敏直、千崎千恵夫、竹田康宏、保科豊巳、田中睦治、小林亮介、小山穂太郎、佐川晃司、池田雅文、中村一美、丸山常生、和田賢一、佐藤時啓、紫牟田和俊、宮島達男、関口敦仁、野村和弘、福田由紀夫、古井智、近藤昌美、茂井健司、日下淳一、小屋哲雄、白井美穂、佐藤友則、長橋秀樹、大村雄一郎、上村豊、日比野ルミ）　pp.66-79

註：須賀忠治は館長、斎藤規子は斎藤規子美術振興会の代表者。なお、編集は森田一、松尾子水樹

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学

○展覧会事項

欧文タイトル：「REQUIEM：Koji Enokura and 33 Artists」

会期：Part 1・1996 年 3 月 29 日ー4 月 14 日、Part 2・4 月 19 日ー5 月 5 日、Part 3・5 月 10 日ー26 日　川口市・斎藤記念川口現代美術館　主催：斎藤記念川口現代美術館・レクイエムー榎倉康二と 33 人の作家ー展実行委員会

出品：東慶太郎、川島清、近藤克、川俣正、菊池敏直、千崎千恵夫、竹田康宏、保科豊巳、田中睦治、小林亮介、小山穂太郎、佐川晃司、池田雅文、中村一美、丸山常生、和田賢一、佐藤時啓、紫牟田和俊、宮島達男、関口敦仁、野村和弘、福田由紀夫、古井智、近藤昌美、茂井健司、日下淳一、小屋哲雄、白井美穂、佐藤友則、長橋秀樹、大村雄一郎、上村豊、日比野ルミ〔出品作品リスト順〕

美術の内がわ・外がわ〈何故、眼差しは交わったか〉●

板橋区立美術館　1996 年 4 月　特別展　シリーズ ART IN TOKYO No.8

美術の内がわ・外がわ（板橋区立美術館）　p.3

美術の内がわ・外がわ（尾崎眞人）　pp.5-8

アジアのパフォーマンス・アート〈記念パフォーマンス〉　pp.9-11

アジアのパフォーマンス・アート連続展に寄せて（霜田誠二）　p.9

出品作家一覧　p.12

図版　pp.13-80

作家略年譜　pp.81-95

主要参考文献　pp.96-99

出品リスト　pp.100-103

註：編集は尾崎眞人、高橋眞利子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Inside of Works, Outside of Works」

会期：1996 年 4 月 2 日－5 月 6 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：向井良吉、建畠覚造、堀内正和、中西夏之、靉嘔、磯辺行久、小島信明、工藤哲巳、河口龍夫、高松次郎、池田龍雄、戸谷成雄、吉野辰海、中村宏、中山正樹、村岡三郎、井上武吉、菅木志雄、久保田成子、草間彌生、荒木高子、関根伸夫、白井美穂、石田眞利、福田美蘭、富田有紀子、小清水漸、鵜飼美紀、谷充央、伊能敬子、岡本敦生、林辺正子、山本佳子、土谷武、松田百合子、多和英子、木村林吉、渡辺好明、李禹煥、吉井秀文、杉山健司、城戸孝充、草野貴世、坂崎隆一、山本直彰〔出品リスト順〕

水戸アニュアル'96 プライベートルーム〈写真としての日常〉●

水戸芸術館現代美術センター　1996 年 4 月 3 日　英文併載　展覧会資料第 27 号

写真と日常（浅井俊裕）　pp.4-7, 8-11

「間」のマニエリスム（篠原資明）　pp.12-14, 15-17

図版　pp.19-77, 81-82

現代写真のイメージとテクニック（小本章）　pp.78-80, 83-85

作家略歴　pp.86-89, 90-93

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '96　PRIVATEROOM Eight Japanese Artists in Photography」

会期：1996 年 4 月 13 日－6 月 2 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：出村洋子－渡邊泰行、浜田涼、市川平、池田久嗣、かなもりゆうこ、小谷泰子、永原ゆり、中川政昭〔図版収載順〕

水戸アニュアル'96 プライベートルーム〈写真としての日常〉記録編(Compiled Records)

水戸芸術館現代美術センター　1996 年 5 月 25 日　英文併載　展覧会資料第 28 号

出品作品リスト　pp.2-3

図版〔作家論、図版〕　pp.4-19

〔作家論〕（浅井俊裕）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項(本体に同じ)

戦後美術－1960 年のアヴァンギャルド ●

倉敷市立美術館　1996 年 3 月 31 日
ごあいさつ（館長藤原郁夫）　p.3
戦後美術の転換期――1960 年前後の革新者たち（乾由明）　pp.4-8
図版　pp.10-69
旧倉敷市庁舎（倉敷市立美術館）の建築とその周辺〈1960 年前後の丹下健三の動向〉（前田興）　pp.71-73
参考図版　pp.70, 74-87
丹下健三略歴　p.73
年表 1955－64（杉野文香編）　pp.88-102
作家略歴・出品目録（佐々木千恵）　pp.103-116
用語解説（佐々木千恵編）　pp.117-118
アンフォルメル、オブジェ、具体美術協会、自動記述、抽象表現主義、ヌーヴォー・レアリスム、ネオ・ダダ、ハプニング、マチエール、ミニマル・アート、読売アンデパンダン展
文献目録（佐々木千恵編）　pp.119-126
註：発行日（3 月 31 日）と会期初日（4 月 20 日）は異なる。会計年度によるもの、と考えられる
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文
〇展覧会事項
欧文タイトル：「ART OF POSTWAR 1960’S AVANT-GARDE」
会期：1996 年 4 月 20 日－5 月 26 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館
出品：海外作家；カレル・アペル、ジョゼフ・アルバース、ピエール・アルシンスキー、トム・ウェッセルマン、イヴ・クライン、ジョゼフ・コーネル、ジャスパー・ジョーンズ、ジム・ダイン、ジャン・ティンゲリー、ウィレム・デ・クーニング、ジャン・デュビュッフェ、ジャン・フォートリエ、ルーチョ・フォンタナ、ハンス・ホフマン、ジョルジュ・マチウ、ラリー・リヴァース。国内作家；赤瀬川原平、荒川修作、磯辺行久、今井俊満、岡崎和郎、菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、桑山忠明、斎藤義重、白髪一雄、杉全直、高松次郎、多田美波、田中敦子、堂本尚郎、中西夏之、中村正義、難波田龍起、平松輝子、元永定正、山口長男、山田正亮、山本正、横尾忠則、吉仲太造、若林奮〔作家略歴・出品目録順〕

いわきの美術 III 内なる具象展 ●
いわき市立美術館　1996 年 4 月
ごあいさつ（いわき市立美術館）　p.1
図版〔図版、作家略歴、作家解説〕　pp.3-37
〔作家解説〕（杉浦友治、柴田百合子、佐々木吉晴）
絵画が提示される場所（杉浦友治）　pp.38-40
出品作品リスト　pp.41-42
Seven Artists　pp.43-44　英文
所蔵：□、国新美

〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 4 月 27 日－5 月 19 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館
出品：石田譲介、稲川敏之、田口安男、田子英長、坪井正光、広瀬諭、峰丘〔出品作品リスト順〕

現代美術の手法 2 メディアと表現－品川工・山口勝弘 ●
練馬区立美術館　1996 年 4 月
ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.5
新しい造形を求めて――『メディアと表現－品川工・山口勝弘』展開催をめぐって（横山勝彦）　pp.7-8
図版　pp.9-103
提案〈鑑賞からメディア・リテラシーへ〉（山口勝弘）　pp.104-105
略歴　pp.106-109
作品リスト　pp.110-119
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 4 月 27 日－6 月 9 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館
出品：品川工、山口勝弘

TOKYO POP――新しい美術のイメージ ●
平塚市美術館　1996 年 4 月
ごあいさつ（平塚市美術館）　p.3
ぼくらの時代の美術――先駆けるものたちへ（小松崎拓男）　pp.5-10
ART is DOB.（村上隆）　p.11
客観化から、主体化へ〈ステイトメント 1991～1996〉（太郎千恵藏）　pp.12-15
図版　pp.17-96
作家紹介　pp.97-108
作品目録　pp.109-113
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 4 月 27 日－5 月 26 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館
出品：平面・立体；会田誠、イチハラヒロコ、桑原正彦、太郎千恵藏、中ハシ克シゲ、中村哲也、奈良美智、間島領一、ミヤタケイコ、村上隆、ムラギしマナヴ、明和電機、森万里子。ビデオ；小島淳二、高橋栄樹、寺嶋章之〔作品目録順〕

「前衛作家の 10 年〈その自己変容と持続〉」展図録 ●

板橋区立美術館　1996 年 6 月　特別展
ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3
関連事業　p.4
戦後美術にみられる、前衛という現象（尾崎眞人）　pp.5-11
年譜…1945-1995〈板橋区立美術館収蔵品による〉（中條恭子・尾崎眞人編）　pp.13-71
出品作家リスト〔作品図版に拠る〕　pp.72-96
作家解説　pp.97-102
　靉靆*、芥川〔間所〕紗織*、麻生三郎、阿部展也、荒川修作*、池田龍雄*、磯辺行久、石井茂雄*、糸園和三郎*、井上長三郎、入江比呂*、岩崎鐸、上前智祐、漆原英子、榎本和子*、大塚睦、岡本敦雄*、オノサト・トシノブ*、片谷曖子、桂川寛、桂ゆき、川口軌外*、川島清*、川端実*、菊畑茂久馬、北代省三*、木戸修*、清塚紀子、草間彌生、小島信明*、国吉康雄*、駒井哲郎*、小牧源太郎*、今道子*、斎藤義重*、佐田勝*、篠原有司男、島州一、白木正一、白井謙二郎*、末松正樹、杉全直*、清野恒*、関根伸夫*、高木修*、高山良策、立石大河亜*、田中田鶴子*、田中佐一郎*、多毛津忠蔵*、寺田政明*、利根山光人*、中村宏、牛波*、尾藤豊、福沢一郎*、福島秀子*、福田美蘭*、藤松博*、古沢岩美、丸山常生*、三木富雄*、向井修二*、山下菊二*、山本敬輔、吉仲太造、吉原治良
出品目録　pp.103-106
〔参考にした文献〕　p.107
註：作家解説には出品されていない作家（*印）も含まれている。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 6 月 5 日－30 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：麻生三郎、阿部展也、磯辺行久、井上長三郎、岩崎鐸、上前智祐、漆原英子、大塚睦、片谷曖子、桂川寛、桂ゆき、菊畑茂久馬、清塚紀子、草間彌生、篠原有司男、島州一、白木正一、末松正樹、高山良策、中村宏、尾藤豊、古沢岩美、山本敬輔、吉仲太造〔出品目録順〕
註：出陳作品全 50 点は館蔵品（うち 6 点は寄託作品）。

1953 年 ライトアップ――新しい戦後美術像が見えてきた　1953 年ライトアップ展実行委員会編 ●
目黒区美術館・多摩美術大学　1996 年 6 月
ごあいさつ（多摩美術大学・目黒区美術館・朝日新聞社）　pp.4-5
総序（峯村敏明）　pp.9-15
図版　pp.18-195
引き裂かれた日本・私（村山康男）　pp.39-60
ジャンルを超えて（家村珠代）　pp.85-92
触覚のリアリズム――噴出したもう一つの日本（峯村敏明）　pp.107-132
瀧口修造とタケミヤ画廊（海老塚耕一）　pp.143-156

グタイ前夜（建畠哲） pp.165-175
実験工房（山口勝弘） pp.189-196
1953 年をめぐる映像、建築、詩の状況
美術映画の行方（萩原朔美） pp.198-202
三つの原爆計画－失われた原爆の記憶（飯島洋一） pp.203-208
空に架けられたもの－1953 年の詩（平出隆） pp.209-212
年表 1951-1955（中島理壽・柏木弘・古田裕・渡辺嘉幸・野田尚稔・寺西恵編） pp.213-231
文献：1953――この年の出品作家に関する文献目録（中島理壽編） pp.233-241
作品リスト pp.243-277
関連催事 p.278
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Shedding Light on Art in Japan 1953」
会期：1996 年 6 月 8 日－7 月 21 日 目黒区美術館 主催：多摩美術大学・目黒区美術館・朝日新聞社
出品：I.「引き裂かれた日本・私」；阿部展也、イサム・ノグチ、石元泰博、岡本太郎、長谷川三郎。II.ジャンルを超えて・亀倉雄策、勅使河原蒼風、土門拳。III.ものの凝視が始まった；飯田善國、今井俊満、大野俶嵩、河原温、草間彌生、鶴岡政男、奈良原一高、浜田知明、比田井南谷、平川正道、村岡三郎、毛利武士郎、山田正亮。IV.歴史再発見①タケミヤ画廊の個展シリーズ・瀧口修造の眼；瑛九、榎本和子、岡上淑子、小貫政之助、小野里利信(オノサト・トシノブ)、小山田二郎、加藤正、北代省三、末松正樹、須賀通泰、田川覚三、田中岑、鶴岡政男、利根山光人、名井萬亀、難波田龍起、藤松博、宮脇公実、山口勝弘。②グタイ、その前夜；金山明、嶋本昭三、白髪一雄、田中敦子、村上三郎、元永定正、吉田稔郎、吉原治良。③実験工房－詩的実験の精神を生きる；大辻清司、北代省三(重)、駒井哲郎、斎藤義重、山口勝弘(重)、勅使河原蒼風(重)、長谷川三郎(重)、福島秀子。参考作品；石元泰博(重)、大辻清司(重)、辻彩子〔作品リスト順〕

版画の 1970 年代 ●
渋谷区立松濤美術館 1996 年 6 月 特別展
あいさつ（渋谷区立松濤美術館） p.5
状況と特質〈「版画の 1970 年代」について〉（瀬尾典昭） pp.6-7
図版〔章解説、図版〕 pp.9-104
関連年表 pp.106-110
東京国際版画ビエンナーレについて p.111
作家略歴 pp.112-120
参考文献 p.121
出品リスト pp.122-125
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、

愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 6 月 11 日－7 月 21 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：粟津潔、田名網敬一、田中一光、永井一正、福田繁雄、横尾忠則、靉嘔、井田照一、一原有徳、榎倉康二、岡部昌生、上矢津、河口龍夫、北辻良央、下谷千尋、畦地拓治、安東菜々、木村秀樹、小本章、小山愛人、斉藤智、島州一、田中孝、中林忠良、萩原朔美、松谷武判、松本旻、村上明、山中信夫、吉田克朗、吉仲太造、池田良二、郭徳俊、北川健次、木村光佑、黒崎彰、山下菊二、吉田穂高、吉原英雄、磯崎新、磯辺行久、菊畑茂久馬、関根伸夫、高松次郎、野田哲也、眞板雅文、若江漢字、加納光於、桑山忠明、菅木志雄、菅井汲、タイガー立石、辰野登恵子、中村宏、原口典之、浜田浄、百瀬寿、吉村益信、李禹煥、飯田善國、小田襄、斎藤義重、保田春彦、若林奮、脇田愛二郎〔出品リスト順〕

天と地の間に－今日の日本美術展 II 図録 ●

天と地の間に－今日の日本美術展 II 実行委員会　1996 年 6 月　英文併載

ごあいさつ（主催者）　pp.2, 3

天と地の間に－文明の岐路で（山脇一夫）　pp.6-29

図版　pp.30-49

作家コメント、年譜、主な文献　pp.50-74

　作家コメント（鯉江良二、蔡國強、長澤伸穂、村岡三郎、山本富章)」）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Between Earth and the Heavens-Aspects of Japanese Contemporary Art II」

会期：1996 年 6 月 15 日－8 月 25 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館

出品：鯉江良二、蔡國強、長澤伸穂、村岡三郎、山本富章〔図版収載順〕

美術の考古学展図録 第 1 部「位相－大地」の考古学 ●

西宮市大谷記念美術館　1996 年 6 月 15 日　美術の考古学 I

ごあいさつ（西宮市大谷記念美術館）　p.3

〈位相－大地〉のころ（関根伸夫）　pp.6-7

関根伸夫氏へのアンケート　pp.8-9

「位相－大地」について（吉田克朗）　pp.10-11

吉田克朗氏へのアンケート　pp.12-13

二十八年目の手紙（小清水漸）　pp.14-15

小清水漸氏へのアンケート　pp.16-18

拝啓、櫛下町順子さま。（小清水貴子）　p.19

小清水貴子氏へのアンケート　pp.20-21

図版　pp.22-77

「位相－大地」――個人的回想（岸野裕人） pp.78-79
「位相－大地」の考古学（篠雅廣） pp.80-84
関根伸夫略歴 pp.86-87
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 6 月 15 日－7 月 21 日 西宮市大谷記念美術館 主催：西宮市大谷記念美術館
註：出品目録は収載されていない。

アートは楽しい 7 IN／OUT ●
原美術館 1996 年 7 月 6 日 主に英文併載
ごあいさつ（館長原俊夫） p.2
スーパーシステムとアート〈自己と世界への新しい視座〉（伊藤俊治） pp.4-5, 6-7
「IN／OUT」展に向けて（岡田ゆかり） pp.8-9, 10-11
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.12-29
〔作家のことば〕（有地左右一＋笹岡敬、城戸孝充、小島久弥、関口敦仁、西野康造、松村泰三、森脇裕之、八谷和彦、竹内忍）
出品作品リスト p.31
所蔵：□、国新美、東文研、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art is Fun 7：IN/OUT」
会期：1996 年 7 月 6 日－9 月 1 日 渋川市・ハラ ミュージアム アーク 主催：ハラ ミュージアム アーク
出品：有地左右一＋笹岡敬、城戸孝充、小島久弥、関口敦仁、西野康造、松村泰三、森脇裕之、八谷和彦、竹内忍〔出品作品リスト順〕

第 6 回富山国際現代美術展 ●
富山県立近代美術館 1996 年 7 月 英文併載
あいさつ（富山県立近代美術館） p.7
作家一覧 p.8
「富山国際現代美術展」の 15 年（大坪健二） pp.10, 11
図版〔図版、作品解説〕 pp.13-27
イギリス・セクション pp.29-61
日本セクション pp.63-95
極小化された表現主義（中原佑介） pp.64-65, 66-67
〔作家のことば〕（青木野枝、江上計太、藤崎幸雄、五十嵐彰雄、池内晶子、狗巻賢二、丸山直文）
出品目録 pp.97-99

略歴　pp.101-107, 108-113

富山国際現代美術展の歩み　pp.114-115, 116-117

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Sixth International Contemporary Art Exhibition, Toyama／TOYAMA NOW '96　Up and Coming Talent in UK and Japan」

会期：1996 年 7 月 17 日－9 月 20 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：日本セクション；青木野枝、江上計太、藤崎幸雄、五十嵐彰雄、池内晶子、狗巻賢二、丸山直文〔出品目録順〕

註：「日本セクション」のみ内容および出品作家を記載した。

体感する美術'96 アーティストと考えるサバイバル・ツール ●

佐倉市立美術館　1996 年〔8 月〕　第 2 回目

ごあいさつ（佐倉市立美術館）　p.4

美術館でサバイバル・ツールの展覧会にすること（小倉正史）　pp.5-9

「サバイバル・ツール」ができるまで（永山智子）　pp.10-11

作品展示〔出品作家一覧〕　pp.12-13

図版〔作家略歴、図版、コメント〕　pp.14-129

コメント（秋山祐徳太子、池田龍雄、今井俊満、エダ カルヴァイト、大嶽恵子、小倉洋一、小沢剛、掛井五郎、立石大河亞、歳森イサオ、西村陽平、浜田剛爾、ピーター ベラーズ、樋口正一郎、ヒグマ春夫、舟越直木、八鍬瑞子、籔内佐斗司、湯瀬富美子、湯原和夫、吉川陽一郎）

ワークショップ I、II　pp.130-142

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 7 月 20 日－8 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：秋山祐徳太子、浅野庚一、飯田啓子、飯村隆彦、池田龍雄、今井俊満、上原壽雄、江口週、エダ カルヴァイト、大嶽恵子、大槻孝之、小倉正史、小倉洋一、小沢剛、海﨑三郎、掛井五郎、風倉匠、鎌田豊成、神山明、北辻良央、木下宏、鞍掛純一、さかぎしよしおう、篠田守男、島袋道浩、白川昌生、関正司、曽根裕、立石大河亞、建畠哲、建畠朔弥、田名網敬一、多和圭三、椿昇、坪内一忠、歳森イサオ、中村ミナト、西村陽平、牛波、浜田剛爾、ピーター ベラーズ、樋口正一郎、ヒグマ春夫、舟越直木、古井洵、牧野辰雄、間島領一、最上壽之、八鍬瑞子、保田春彦、籔内佐斗司、山倉研志、湯瀬富美子、湯原和夫、吉野辰海、吉本義人、渡辺豊重〔図版収載順〕

註：吉川陽一郎はコメントのみで出品せず。

北の創造者たち'96 平面の断章 自立する素材と形 図録 ●

財団法人札幌芸術の森　1996 年 7 月

開催にあたって（芸術の森美術館） p.3
「平面の断章 II」自立する素材と形（吉崎元章） pp.4-8
カタログ〔作家略歴、図版〕 pp.9-37
出品作品リスト p.38
会場構成図 p.39
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 7 月 27 日－9 月 8 日 札幌・芸術の森美術館 主催：財団法人札幌芸術の森
出品：井桁雅臣、林弘堯、大滝憲二、長内利尚、高橋俊司、小林英樹、市川草介〔出品作品リスト順〕

ヒニクなファンタジー 現代 5 人の想像世界 図録 ●
宮城県美術館 1996 年 7 月 英文併載 開館 15 周年記念
あいさつ（主催者） pp.2, 3
批評の地平、幻想の野：日本美術の〈ポスト〉モダン（松井みどり） pp.6-11, 123-127
欠乏のスキャンダル（マイア・ダミアノヴィック） pp.12-18, 128-132
ヒニクなファンタジー（和田浩一） pp.19-22, 133-135
図版〔作家のことば、図版〕 pp.23-101
〔作家のことば〕（太郎千恵藏、中野渡尉隆、奈良美智、村上隆）
略歴 pp.102-104, 115-117
文献 pp.105-109, 118-122
出品目録 pp.110-114
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：「Ironic Fantasy Another World by Five Contemporary Artists」
会期：1996 年 7 月 27 日－9 月 1 日 仙台・宮城県美術館 主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送
出品：太郎千恵藏、中野渡尉隆、奈良美智、村上隆、森万里子〔出品目録順〕

手と目の冒険広場「心を癒す植物－アート・ボタニカル・ガーデン」●
目黒区美術館 1996 年 8 月 3 日
ごあいさつ（館長福永重樹） p.5
エネルゲイアとしての造形――ゲーテの植物学と 20 世紀美術（前田富士男） pp.7-11
循環（原田正路） pp.12-15
図版 pp.17-65
植物に向かうまなざし（降旗千賀子） pp.66-71
主な参考図書 p.71
作家略歴・作品リスト pp.72-88

ワークショップ（榎本寿紀） pp.88-90

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Botanical Art Museum」

会期：1996 年 8 月 3 日－9 月 16 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：太田三郎、押江千衣子、駒形克哉、竹田康宏、杉山啓子、田嶋悦子、中井川由季、中川佳宣、増田聡子、横尾哲生〔作品リスト順〕

註：出品欄は「part I 植物に向けられた眼〈10 人の表現〉」の作家を収載。

ファミリー美術館'96 素材とかたち〈触覚との対話〉●

茨城県近代美術館　1996 年 8 月　特別展

ごあいさつ（茨城県近代美術館） p.3

素材とかたちからみた 9 人の歩み（外舘和子） pp.5-28

図版　pp.29-108

作家紹介（外舘和子編） pp.109-127

出品リスト　pp.128-131

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 8 月 4 日－9 月 3 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館

出品：淀井敏夫、堀内正和、建畠覚造、清水九兵衛、流政之、土谷武、草間彌生、靉嘔、最上壽之〔出品リスト順〕

流動する美術－IV ああ、「日本の風景」？〈大和塀と案内嬢の部屋〉●

福岡市美術館　1996 年 9 月

ごあいさつ（福岡市美術館） p.2　英文併載

脱・文脈化される「風景の」リアリティ（山口洋三） pp.3-7, 7-8　英文併載

展示風景　pp.9-13

図版　pp.14-19

参考図版　pp.20-26

作家資料〔作家略歴〕 pp.27-31

出品リスト　p.32

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art in Flux IV　Oh, My‘Japanese Landscapes’?」

会期：1996 年 9 月 3 日－11 月 4 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：中ハシ克シゲ、柳美和〔やなぎみわ〕〔出品リスト順〕

美術家の冒険〈多面化する表現と手法〉●

国立国際美術館　1996 年 9 月 5 日
あいさつ（国立国際美術館）　p.8, 9　英文併載
美術家の展覧会（中西博之）　pp.10-15
図版〔作家解説、作家のことば、図版〕　pp.17-128
〔作家解説〕柳幸典「さまよえる人」、和田千秋「自分を育てる」、土佐尚子「テクノロジーとともに」、IDEAL COPY「素顔の IDEAL COPY」、大森裕美子「ものとの生活」、三輪美津子「美術との戯れ」、岡崎乾二郎「ものを書けるアーティスト」（中西博之）
〔作家のことば再録〕（柳幸典、和田千秋、土佐尚子、大森裕美子、岡崎乾二郎）
出品作品リスト　pp.130-134, 135-139　英文併載
略歴　pp.140-142
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「PROTEAN ARTISTS OF THE TIMES」
会期：1996 年 9 月 5 日－11 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：柳幸典、和田千秋、土佐尚子、アイデアル・コピー、大森裕美子、三輪美津子、岡崎乾二郎〔出品作品リスト順〕

第 14 回平行芸術展 目覚めぎわの物たち ●
小原流企画開発部　1998 年 12 月 1 日
孤立し痩せてこその物の強さ（峯村敏明）
図版〔作家略歴、図版〕　16p.
註：前回と同様に時間を経ての刊行となっていて、第 13 回平行芸術展カタログと同時に刊行された。企画者の文章も 2 日後の「1998 年 11 月 4 日」となっている。本カタログも配列は、第 13 回同様に開催初日の「1996 年 9 月 9 日」として扱い、例外とした。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 9 月 9 日－28 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：財団法人小原流
出品：小林孝亘、遠山華子、吉田清美、吉田哲也〔図版収載順〕

抽象絵画の創造力〈想念がかたちになるとき〉図録 ●
福島県立美術館　1996 年 9 月 14 日
ごあいさつ（福島県立美術館）　p.3
抽象絵画の創造力（宮武弘）　pp.4-7
図版〔章解説、図版〕　pp.9-64
作家略歴・解説　pp.65-81
参考文献（佐治ゆかり編）　pp.82-83
出品作品リスト　pp.84-86

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1996 年 9 月 14 日－10 月 20 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：難波田龍起、浅野弥衛、桑原盛行、李禹煥、オノサト・トシノブ、吉原治良、元永定正、杉全直、山口長男、斎藤義重、今井俊満、白髪一雄、草間彌生、田中敦子、桑山忠明、山田正亮〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

ART TODAY 1996 ひながた〈これは現代美術ではない〉●

セゾン現代美術館　1996 年 9 月

ART TODAY 1996 展「ひながた－これは現代美術ではない」〈その主題および副題への検討〉（清水哲朗）　pp.4-5

図版〔作家略歴、作家のことば、作家論、図版〕　pp.6-37

〔作家のことば〕（鵜飼美紀、黒田寛、祐成勝枝、水島大介）

〔作家論〕（清水哲朗、中村麗）

掲載図版リスト　pp.38-39

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美

○展覧会事項

会期：1996 年 9 月 14 日－11 月 24 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：鵜飼美紀、黒田寛、祐成勝枝、水島大介〔図版収載順〕

沖縄近現代美術家展 沖縄戦後美術の流れ　シリーズ 2・固有性へのこだわり ●

沖縄県　1996 年 10 月　太平洋戦争・沖縄線終結 50 周年事業

ごあいさつ（知事大田昌秀）　p.3

はじめに（翁長直樹）　pp.6-7

王朝美術から戦中・戦後の沖縄美術へ〈外来文化からの摂取と結実〉（星雅彦）　pp.8-15

脱ローカリズム考〈収斂から拡散へ〉（仲井間憲児）　pp.16-21

個と社会（真久田巧）　pp.22-25

沖縄の具象彫刻（稲嶺成祚）　pp.26-29

おわりに（稲嶺成祚）　pp.30-31

カタログ　pp.33-80

作家プロフィール　pp.82-92

作品リスト　pp.94-95

参考文献　pp.96-97

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「Exhibition of Contemporary Okinawan Artists」

会期：1996 年 10 月 2 日－27 日　浦添市美術館　主催：沖縄県、共催：浦添市・浦添市美術館・沖縄県文化振興会・沖縄タイムス社

出品：赤嶺正則、新垣正一、石垣博孝、イチ・ミノル、上原勲、上原隆昭、浦崎彦志、浦添健、ウルカトム、大城精徳、大城讓、大浜隆子、大見謝文、大嶺政寛、奥原崇典、我如古彰一、叶ひでき、喜久村宏、喜名盛勝、喜友名朝紀、金城真常、金城進、金城実、金城明一、金城安太郎、具志恒勇、具志堅宏清、具志堅誓謹、翠宮城セツ、久場とよ、桑江良健、慶田喜一、小橋川肇、米須敏三郎、佐久本伸光、島田寛平、島袋喜代子、尚武、新垣正雄、新城栄徳、新城喜一、新城征孝、瑞慶山昇、砂川恵光、平良晃、高江洲盛一、高島彦志、田中興八、玉城栄一、玉城美智子、玉那覇正吉、知名久夫、知念秀幸、鎮西公子、照屋万里、當真勲、富元明雄、友知雪江、名嘉睦稔、中島イソ子、仲嶺康輝、長嶺よし、中邨紘一、仲元清輝、名渡山愛擴、名渡山愛順、西村立子、南風原朝光、比嘉英男、比嘉良徳、比嘉良二、平野長伴、宮城和邦、宮城孝也、宮城哲雄、宮城篤正、宮里顯、宮良瑛子、安元賢治、柳光観、山里永吉、山里昌弘、山田真山、山田武、山之端一博、山元文子、屋良朝春、吉永ます子、與那覇朝大〔作品リスト順〕

註：本展は「Part1 ローカルから固有性へ」と「Part2 固有性から自立へ」の 2 部構成となっている。

開館 10 周年記念特別展 芸術と素朴〈コレクション 10 年の歩み〉●

世田谷美術館　1996 年 10 月

ごあいさつ（世田谷美術館）　pp.5, 7　英文併載

再考「芸術と素朴」（大島清次）　pp.11-14, 221-223　英文併載

日本の近・現代美術における「素朴」（宝木範義）　pp.15-19, 224-227　英文併載

不条理のダンス――昭和 30 年代(1955-1964)・中部ヨーロッパの試み・外も内もなく（勅使河原純）　pp.21-28, 228-233　英文併載

彼らは、なぜ描いたか――アメリカと日本の独学の画家たち（遠藤望）　pp.29-32, 234-237　英文併載

図版　pp.33-192

〔作家のことば〕（久永強）

作家解説　pp.193-218

註：編集は遠藤望、笠松佐和子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「From the Collection　Naivety in Art：A Decade of Exploration」

会期：1996 年 10 月 5 日－12 月 1 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：稲垣知雄、難波田龍起、中谷泰、山下清、芥川〔間所〕紗織、小山田チカエ、谷内六郎、杢田たけを、織田廣喜、横尾深林人、稗田一穂、土方久功、利根山光人、田中亜木男、辻光典、難波田史男、鶴岡政男、野口登士子、阿部合成、塔本シスコ、草間彌生、斎藤真一、井上悟、水木伸一、柚木沙弥郎、福沢一郎、吉澤照子、大山魯牛、横尾忠則、篠原有司男、

大竹伸朗、安土修三(ガリバー)、坂上チユキ、戸谷成雄、蔡國強、久永強〔図版収載順〕

プロジェクト・フォー・サバイバル〈1970 年以降の現代美術再訪：プロジェクティブ［意志的・投企的］な実践の再発見に向けて〉●

京都国立近代美術館　1996 年 10 月　付・作家略歴 1 枚(片面刷)

あいさつ（京都国立近代美術館・東京国立近代美術館）　pp.6, 7　英文併載

はじめに：出品作品への若干の脚注（河本信治）　pp.8-9

投企(プロジェクト)について（ヴィレム・フルッサー）　pp.10-16　再録

図版〔図版、作家のことば、作品解説〕　pp.17-82

〔作家のことば〕(ローター・バウムガルテン、マルセル・ブルータース、ダン・グラハム、宮島達男、クシュトフ・ウディチコ)

作品リスト　pp.84-86, 87-89　欧文併載

作家略歴　pp.90-92, 93-95　欧文併載

ローター・バウムガルテン、マルセル・ブルータース、ダン・グラハム、アンゼルム・キーファー、宮島達男、クシュトフ・ウディチコ

□付

プロジェクト・フォー・サバイバル 作家略歴　1 枚

註：編集は河本信治、池田祐子、松原龍一。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「PROJECT FOR SURVIVAL」

会期：1996 年 10 月 8 日－11 月 24 日　京都国立近代美術館／12 月 3 日－1997 年 1 月 12 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館

出品：ローター・バウムガルテン、マルセル・ブルータース、ダン・グラハム、アンゼルム・キーファー、宮島達男、クシュトフ・ウディチコ、フランクフルト近代美術館(MMK)〔作品リスト順〕

火の起源と神話〈日中韓のニューアート〉●

埼玉県立近代美術館　1996 年 10 月　主に英文併載　別冊共 2 冊

あいさつ（埼玉県立近代美術館・朝日新聞社）　pp.4, 5

万物の気脈〈新たな神話の創造へ向けて〉（田中幸人）　pp.8-10, 11-13

「火の起源と神話－日中韓のニューアート－」展誌上ガイド（中村誠）　pp.14-16, 17-19

図版〔図版、作家コメント〕　pp.21-73

作家コメント（古郡弘、西雅秋、元慶煥、呂勝中、長澤伸穂、蔡國強、陸根丙、李相鉉、陳箴、徐冰、李升澤、黄鋭、土屋公雄）

韓国の現代美術の特質と問題〈アイデンティティの崩壊と浮遊〉（李仁範）　pp.76-77, 78-79

90 年代中期コンテンポラリーアートの多元的動向（栗憲庭）　pp.80-81, 82-83

「足の早いものは足が遅い－東アジアのなかの現代日本美術」（千葉成夫）　pp.84-85, 86-87

作家資料・作家紹介、図版　pp.90-141

作家資料（梅津元編）、作家紹介（中村誠編）
神道と火（鎌田東二） pp.144-145, 146-147
自然哲学と火（久野昭） pp.148-149, 150-151
錬金術と火（田中豊助） pp.152-153, 154-155
開催記念シンポジウム 美術のポテンシャリティ〈枠組を超えて〉 pp.156-159
出品リスト p.160
□別冊〔表紙共 16 ページ〕
はじめに（埼玉県立近代美術館・朝日新聞社）
〔出品作品目録〕
作家メッセージ、作家紹介、略歴
〔会場配置図〕
註：作家メッセージと作家紹介は本体と同じである。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Origin and Myths of Fire：New Art from Japan, China and Korea」
会期：1996 年 10 月 12 日－12 月 8 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・朝日新聞社
出品：古郡弘、西雅秋、元慶煥、呂勝中、長澤伸穂、蔡國強、陸根丙、李相鉉、陳箴、徐冰、李升澤、黄鋭、土屋公雄〔出品リスト順〕

北海道・今日の美術 語る身体・10 人のアプローチ ●
北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館　1996 年 10 月　第 5 回展
あいさつ（北海道立近代美術館・北海道立旭川美術館・北海道立函館美術館・北海道立帯広美術館） p.3
身体表現をめぐって（光岡幸治） pp.4-6
語る身体－心身一元論と二元論をめぐって（穂積利明） pp.7-9
展覧会の構成について－三つの視点から（見延(井内)佳津恵） pp.10-12
カタログ〔作家作品解説、図版、作家経歴〕 pp.13-57
作家作品解説（平利弘、浅川真紀、穂積利明、光岡幸治、見延(井内)佳津恵）
出品リスト pp.58-59
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART SPIRIT：HOKKAIDO BIENNIAL 1996-97」
会期：1996 年 10 月 26 日－12 月 1 日　札幌・北海道立近代美術館／12 月 7 日－1997 年 1 月 12 日　北海道立帯広美術館／1 月 19 日－2 月 16 日　北海道立旭川美術館／2 月 22 日－3 月 23 日　北海道立函館美術館　主催：各美術館・北海道新聞社(旭川展・函館展)

出品：身体のイメージ；今義典、端聡、鈴木武子、谷岡靖則。身体の痕跡；設楽知昭、唐牛幸史、清水博子、井上まさじ。生きられる身体；藤木正則、藤原瞬〔図版収載順〕

「現代美術と文字」展図録 ●

北海道立函館美術館　1996 年 10 月

ごあいさつ（主催者）　p.2, 3　英文併載

「現代美術と文字」展の開催にあたって（柴勤）　p.6

スピリチュアル・フラグメント――ニホン的精神としての文字（穂積利明）　pp.7-12

図版　pp.13-61

作家略歴　pp.62-79　英文併載

出品作品リスト　pp.80-82　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「SPRITUAL FRAGMENT：DRAWING LETTERS IN ART」

会期：1996 年 10 月 26 日－12 月 8 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館・北海道新聞社

出品：荒川修作、石川九楊、刈谷博、白川昌生、平林薫、宮前正樹〔出品作品リスト順〕

チバ・アート・ナウ'96 人工楽園／Artificial Paradise

佐倉市立美術館　1996 年 10 月 30 日　第 3 回展 ●

ごあいさつ（館長海野道義）　p.3

工匠集／失楽園の装置について（鷹見明彦）　pp.4-7

図版　pp.9-38

配置図　p.39

チバ・アート・ナウ'96 人工楽園について（黒川公二）　pp.40-41

作家資料〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.42-54

〔作家のことば〕（上野正夫、エサシトモコ、神山明、須田悦弘、林範親）

出品作品一覧　p.55

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CHIBA ART NOW '96 ARTIFICIAL PARADISE」

会期：1996 年 10 月 30 日－11 月 17 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：上野正夫、エサシトモコ、神山明、須田悦弘、鳥山豊、林範親〔出品作品一覧順〕

第 30 回現代美術選抜展図録 ●

セラトピア土岐、たけはら美術館、長崎県立美術博物館、徳島県郷土文化会館、リアス・アーク美術館、秋田県立近代美術館　1996 年 11 月

ごあいさつ（文化庁長官吉田茂）　p.3

図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕　pp.5-45

第 30 回現代美術選抜展開催要項　p.46

出品団体・出品点数一覧　p.46

〔出品団体系図〕　p.47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1996 年 11 月 6 日－17 日　セラトピア土岐　主催：文化庁・岐阜県教育委員会・土岐市・土岐市教育委員会／広島展；11 月 23 日－12 月 6 日　竹原市・たけはら美術館　主催：文化庁・広島県教育委員会・竹原市・竹原市教育委員会・たけはら美術館／長崎展；12 月 12 日－25 日　長崎県立美術博物館　主催：文化庁・長崎県・長崎県教育委員会・長崎県立美術博物館／徳島展；1997 年 1 月 8 日－21 日　徳島県郷土文化会館　主催：文化庁・徳島県教育委員会・徳島県郷土文化会館／宮城展；1 月 29 日－2 月 13 日　気仙沼・リアス・アーク美術館　主催：文化庁・宮城県教育委員会・リアス・アーク美術館／秋田展；2 月 18 日－3 月 2 日　秋田県立近代美術館　主催：文化庁・秋田県教育委員会・秋田県立近代美術館

出品：日本画；西田眞人、西久松吉雄。洋画；小久保裕、長沢秀之。版画；安藤真司、若月公平。彫刻；大田雅代〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

第 32 回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's〈無意識の共鳴〉●

横浜市民ギャラリー　1996 年 11 月　主に英文併載

ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）p.5

無意識の共鳴 NEW JAPANESE PHOTOGRAPHY（伊藤俊治）　pp.6-7, 8-9

図版〔作家紹介、作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.12-77

〔作家のことば〕（今道子、上田義彦〔再録〕、畠山直哉、伊奈英次、髙橋恭司、倉田精二、宮本隆司）

今日の作家展 出品作家リスト 1964-1996　pp.78-79 〔和文のみ〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 32nd 'Artists Today' Exhibition NEW JAPANESE PHOTOGRAPHY IN 1999's：THE RESONANCE OF UNCONSCIOUSNESS」

会期：1996 年 11 月 13 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　ゲスト・キュレイター：伊藤俊治、主催：横浜市民ギャラリー・横浜市

出品：柴田敏雄、古屋誠一、今道子、上田義彦、畠山直哉、伊奈英次、高橋恭司、普後均、猪瀬光、倉田精二、宮本隆司〔図版収載順〕

「LIFE/ART/TECHNOLOGY――生物/いのち/ART」展 ●

品川文化振興事業団 O 美術館　1996 年 11 月　付・別刷 1 枚

ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館）　p.3　英文併載

生きものの内にあるのは（中村桂子） pp.4-5
〈LIFE――ART――TECHNOLOGY〉（天野一夫） pp.6-12
カタログ〔作家のことば、展示コメント、図版、アンケート〕 pp.13-47
作家のことば・展示コメント・アンケート（飴屋法水、ウィリアム・レイサム、王新平、大橋力、カール・シムズ、銅金裕司、トーマス・レイ、マイケル・トルソン、三上晴子、muon）
出品リスト p.48
作家略歴 pp.49-53, 54-59 英文併載
□別刷〔展示風景写真〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
会期：1996 年 11 月 22 日－12 月 23 日 大崎・O 美術館 主催：品川文化振興事業団 O 美術館
出品：飴屋法水、ウィリアム・レイサム、王新平、大橋力、カール・シムズ、銅金裕司、トーマス・レイ、マイケル・トルソン、三上晴子、muon(足立涼子・手島荘子)〔出品リスト順〕

戦後美術の断面－兵庫県立近代美術館所蔵・山村コレクションから ●
千葉市美術館 1996 年 11 月
ごあいさつ（千葉市美術館） p.3
山村徳太郎氏〔略歴〕 p.4
批評への意志〈山村コレクションの形成と特質〉（尾崎信一郎） pp.5-9
「見ること」への意志〈山村コレクションの輪郭〉（尾崎信一郎） pp.10-12
コレクターとは何か（建畠哲） pp.13-14
カタログ〔図版〕 pp.15-74
山村コレクション総作品目録 pp.75-119
「戦後美術の断面－兵庫県立近代美術館所蔵・山村コレクションから」出品リスト pp.120-121
作家略歴 pp.122-140
文献抄（山村徳太郎、山村徳太郎・山本進、萬木康博、増田洋、元永定正）pp.141-151 再録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1996 年 11 月 23 日－12 月 27 日 千葉市美術館 主催：千葉市美術館、協力：兵庫県立近代美術館
出品：津高和一、斎藤義重、山口長男、オノサト・トシノブ、菅井汲、磯辺行久、宇佐美圭司、須田剋太、菊畑茂久馬、関根美夫、高松次郎、篠原有司男、久野真、高橋秀、中里斉、

植木茂、八木一夫、山口牧生、清水九兵衛、堀内正和、関根伸夫、吉村益信、赤瀬川原平、吉原治良、元永定正、白髪一雄、田中敦子、嶋本昭三、村上三郎、吉原通雄、向井修二、正延正俊、白髪富士子、浮田要三、山崎つる子、上前智祐、鷲見康夫、前川強、松谷武判、今井俊満、堂本尚郎、榎倉康二、朝比奈逸人、黒田アキ、山倉研志、中辻悦子、小野和則、米林雄一、小清水漸、岡田露愁、曽我孝司、三島喜美代、松井紫朗〔出品リスト順〕

現代美術事典 90s　　水戸芸術館現代美術センター編 ●

水戸芸術館現代美術センター　1997 年 3 月 31 日　資料第 32 号

刊行のことば（水戸芸術館現代美術センター）　p.7

現代美術事典 90s　pp.9-207

事業名コード一覧　pp.208-209

アートシーン 90-96 水戸芸術館が目撃した現代美術〔出品作家および展示作品リスト、会場写真〕pp.210-213

註：本書は「アートシーン 90-96 水戸芸術館が目撃した現代美術」展の開催に合わせて刊行されたもので、執筆は黒沢伸、村田真、浅井俊裕、森司、渡部誠一、清水敏男、長谷川祐子、三上豊、寺門寿明、逢坂恵理子、有馬純寿。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

タイトル「アートシーン 90-96 水戸芸術館が目撃した現代美術」

欧文タイトル：「Contemporary Art Center, ATM ART SCENE 90-96」

会期：第 I 期・1996 年 11 月 30 日－1997 年 1 月 19 日／第 II 期・2 月 1 日－3 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館

出品：第 I 期 見ることは信じること；森村泰昌、福田美蘭、杉山知子、ロバート・メイプルソープ、IFP、八谷和彦、小林孝亘、吉澤美香、堂本右美、曽根裕、遊佐辰也、鯨津朝子、会田誠、ジャン・グルーバー、ダグ&マイク・スターン、バーバラ・キャスティン、赤崎みま、中澤真純、イチハラヒロコ、宮島達男。第 II 期 浮くかたち；小清水漸、中原浩大、中村哲也、藤浩志、長澤英俊、中ハシ克シゲ、クリスト&ジャンヌ＝クロード、川俣正、青木野枝、蔡國強、西村陽平、間島領一

アート・ナウ ’96――在ることの根源へ　　兵庫県立近代美術館編 ●

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1996 年 12 月

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.3

在ることの根源へ（平井章一）　pp.4-5

図版〔作家のことば、作家略歴、作家解説、図版〕　pp.6-37

〔作家のことば〕（池上恵一、岩村伸一、岡普司、甲斐良夫、小谷泰子、フルタミチエ、細川悠紀子、堀尾貞治）

〔作家解説〕（平井章一）

出品リスト　pp.38-39

所蔵：□、国新美、東文研

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW ’96 Toward the Origin of Being」

会期：1996 年 12 月 7 日－1997 年 1 月 19 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：池上恵一、岩村伸一、岡普司、甲斐良夫、小谷泰子、フルタミチエ、細川悠紀子、堀尾貞治〔出品リスト順〕

女性の肖像〈日本現代美術の顔〉●

渋谷区立松濤美術館　1996 年 12 月

あいさつ（渋谷区立松濤美術館）　p.3

女性の肖像〈日本現代美術の顔〉について（光田由里）　pp.8-15

図版　pp.17-108

出品リスト(年代順)　pp.110-111

作品解説・作家略歴（光田由里編）　pp.112-130

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、神近美、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「images of women in Japanese contemporary art 1930’s-90’s」

会期：1996 年 12 月 10 日－1997 年 2 月 2 日　渋谷区立松濤美術館 主催：渋谷区立松濤美術館

出品：〔戦後〕; 矢部友衛、松本竣介、吉原治良、恩地孝四郎、阿部展也、森緑翠、宮地重雄、永井潔、北川民次、桂ゆき、大辻清司、早瀬龍江、内田巌、河原温、瑛九、山口薫、間所紗織、尾藤豊、漆原英子、中村宏、伊東深水、篠原有司男、横尾忠則、高松次郎、鏑木昌弥、内藤正敏、合田佐和子、入江比呂、吉仲太造、草間彌生、舟越桂、イケムラレイコ、三輪美津子、平川典俊、荒木経惟、中原浩大、福田美蘭、森村泰昌、白井美穂、丸山直文〔出品リスト順〕

註：「戦前」には中原実、寺島貞志、小野忠重、峰村リツ子、矢部友衛、佐藤哲三、岡本唐貴、瑛九、鴨下晁湖、武藤嘉門、ワルワーラ・ブブノワ、荻島安二、向井久万、山下菊二、内田巌、新海覚雄、杉全直、鳥居敏文、村山知義、鈴木誠、阿部展也が出品されている。

1997（平成 9）年

シガ・アニュアル’97 紙〈生まれ変わる造形〉●

滋賀県立近代美術館　1997 年 1 月　第 11 回展

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）　p.3

「紙〈生まれ変わる造形〉」（桑山俊道）　pp.5-8

作家・作品紹介〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.9-73

〔作家のことば〕(朝倉俊輔、井上園子、扇千花、角喜代則、西村陽平、半谷学、三嶽伊紗、八幡はるみ)

作品リスト　pp.74-75

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、

和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL '97 Paper Work / The Repro-action of Form」

会期：1997 年 1 月 7 日－2 月 16 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：朝倉俊輔、井上園子、扇千花、角喜代則、西村陽平、半谷学、三嶽伊紗、八幡はるみ〔作品リスト順〕

にいがた・アート・ナウ 1997 ●

新潟市美術館　1997 年 1 月 17 日

ごあいさつ（館長斉藤修）　p.3

新潟の出会いの作家たち（林紀一郎）　pp.4-5

新潟の美術現況――絵画・書・彫刻部門（久保尋二）　pp.6-8

確かな表現で独自の空間を形成する工芸と版画（小磯稔）　pp.9-10

図版　pp.11-101

小林新一 羽賀康夫 弓納持福夫について（佐藤央）　pp.103-104

それぞれのアート ナウ（北上あつ子）　pp.105-106

記録 1966　pp.107-108

作家略歴　pp.109-116

出品リスト　pp.117-119

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 1 月 17 日－3 月 20 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館

出品：絵画；市橋哲夫、大橋廣治、金井二郎、川崎ヒロ子、倉田久男、小林和夫、近藤直行、鈴木力、関屋俊彦、長井亮之、西村満、新田公彰、林節子、藤田由明、堀井健美、本間ケイ、松田忠三、三芳悌吉、山﨑隆夫、渡邊博。彫刻；金子直裕、高橋洋、戸張公晴、渡邊利馗。工芸；石山恵美子、亀倉康之、川嶋宣彦、本間一秋、目黒順三郎、渡辺信二。版画；佐合敦、渡辺欣次。写真；小林新一、羽賀康夫、弓納持福夫〔出品リスト順〕

註：出品欄は絵画、彫刻、工芸、版画、写真の作家を収載。

現代の写真〔I〕失われた風景－幻想と現実の境界 ●

横浜美術館　1997 年 2 月　主に英文併載

〔あいさつ〕（館長陰里鐵郎）　pp.4, 5

図版〔図版、論考〕　pp.9-129

現代の写真の一様相――非在の証明の発見（天野太郎）

殺風景のハードコア 金村修から（倉石信乃）

ニューポートの死（ルイス・ボルツ）

絶対的な風景（カトリーヌ・グルー）

出品リスト　pp.130-131

主要展覧会歴／主要参考文献　pp.147-181　主に英文
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY　ABSOLUTE LANDSCAPE BETWEEN ILLUSION AND REALITY」
会期：1997 年 2 月 1 日－3 月 30 日　横浜美術館　主催：横浜美術館
出品：平川典俊、金村修〔出品リスト順〕
註：出品欄は 16 作家のうち日本作家を収載。

デ・ジェンダリズム――回帰する身体 ●
淡交社　1997 年 2 月 18 日
ごあいさつ（主催者）　p.4
序 創造的な差異へ――痛みを通して差を超える（小林康夫）　pp.8-9
眩しい呪文（ロバート・ストア）　pp.10-14
強い女たち（デヴィッド・エリオット）　pp.15-19
バフォメット主義の東西混淆（椹木野衣）　pp.20-23
デ・ジェンダリズム（長谷川祐子）　pp.24-30
図版〔作家のことば、作家解説、インタヴュー、図版〕　pp.33-116
〔作家のことば〕（エヴァ・ヘス〔再録〕）
作家解説（長谷川祐子、アリエラ・アズライ、木村祐子、栗山明、東谷隆司）
インタヴュー
マリーナ・アブラモヴィッチ（長谷川祐子）、キム・スジャ（ハンス＝ウルリヒ・オブリスト）
作品リスト　pp.117-120　英文併載
ヴィデオ・フィルム作品解説　pp.121-122
作家略歴　pp.123-134
註：本書は展覧会開催に際して出版された。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DE-GENDERISM」
会期：1997 年 2 月 8 日－3 月 23 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・朝日新聞社
出品：エヴァ・ヘス、マシュー・バーニー、草間彌生、モナ・ハトゥーム、マリー＝アンジェ・ギルミノ、ジャニーヌ・アントーニ、レベッカ・ホーン、マリーナ・アブラモヴィッチ、馬六明、キム・スジャ、加藤豪、ロバート・ゴーバー、西山美なコ、八谷和彦、ヴィト・アコンチ〔作品リスト順〕

デ・ジェンダリズム〈回帰する身体〉〔英語版〕
世田谷美術館　1997 年 2 月　全 32 ページ

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項(本体に同じ)

可視化の構造－11 の空間〈とやま現代作家シリーズ〉図録 ●
富山県立近代美術館　1997 年 2 月　第 1 回展
ごあいさつ（富山県立近代美術館） p.4
とやま現代作家シリーズ「可視化の構造―11 の空間」の開催にあたり（八木近直） p.5
出品作家〔作家のことば、略歴、図版〕 pp.7-51
作家のことば（尾長良範、笠原鉄明、清澤実行、斉藤晴之、笹岡敬、渋谷良治、高井知乗、野田雄一、藤井一範、古川勝紀、水上泰財）
出品目録　pp.52-53
骰子一擲、いかに 7 の目を出すか（八木宏昌） pp.54-55
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Ways of Visualization：Toyama Contemporary Artists Series」
会期：1997 年 2 月 8 日－3 月 16 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送
出品：尾長良範、笠原鉄明、清澤実行、斉藤晴之、笹岡敬、渋谷良治、高井知乗、野田雄一、藤井一範、古川勝紀、水上泰財〔出品目録順〕

「表出する大地」展図録 ●
広島市現代美術館　1997 年 2 月
ごあいさつ（広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送） pp.2, 3　英文併載
ある弁明とある解説（出原均） pp.6-13, 16-24　英文併載
展示計画　pp.14-15
図版　pp.25-89
展示会場地図　p.90
作家略歴　pp.91-101
出品リスト　pp.102-103
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Aspects of Land and Soil」
会期：1997 年 2 月 8 日－3 月 30 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送
出品：味岡伸太郎、牛島達治、榎忠、遠藤利克、甲斐雅之、假屋崎省吾、野村俊幸、柳幸典〔出品リスト順〕

アートラビリンス II 時の記憶 ●
岡山県立美術館　1997 年 2 月 14 日　自主企画特別展
ごあいさつ（館長宮地暢夫）p.3
「美術館も変わらなきゃ ん!でもまてよ」（柳沢秀行） pp.6-10

図版〔作家のことば、作家略歴、図版、作家解説〕 pp.11-83
〔作家のことば〕（岡部玄、小野和則〔3 行〕、小石原剛、関崎哲、しばたゆり、高原洋一、寺田武弘、藤本由紀夫、三宅康郎）
作家解説（柳沢秀行）
出品目録 pp.84-85
関連事業 p.86
おわりに（柳沢秀行） p.87
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 2 月 14 日－3 月 16 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館
出品：岡部玄、小野和則、小石原剛、しばたゆり、関崎哲、寺田武弘、高原洋一、藤本由紀夫、三宅康郎〔出品目録順〕

MESSAGE'97〈南九州の現代作家たち〉●
都城市立美術館　1997 年 2 月 21 日
あいさつ（都城市立美術館） p.3　英文併載
非同盟の同盟〈「現代美術」の廃虚から〉（黒田雷児） pp.7-9, 10-13　英文併載
カタログ〔作家のことば、図版〕 pp.15-55　英文併載
〔作家のことば〕（内倉ひとみ、久保俊郎、通畠義信、萩原貞行、藤浩志、文田牧人、保田井智之、又木啓子、光野浩一、吉川陽一郎）
10 人の視線と、南九州と（原田正俊） pp.57-58, 59-60　英文併載
作家略歴 pp.61-68
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MESSAGE '97　Southern Kyushu Contemporary Artists」
会期：1997 年 2 月 21 日－3 月 16 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館
出品：内倉ひとみ、久保俊郎、通畠義信、萩原貞行、藤浩志、文田牧人、保田井智之、又木啓子、光野浩一、吉川陽一郎〔図版収載順〕

MESSAGE'97〈南九州の現代作家たち〉ドキュメント
都城市立美術館　1997 年 4 月 25 日
図版 pp.1-10, 17-18
会場構成 p.11
出品リスト pp.12-16
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、写真美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項〔本体に同じ〕

「北海道の抽象絵画－未知の形象を求めて」図録 ●
北海道立旭川美術館　1997 年 2 月

あいさつ（北海道立旭川美術館・北海道新聞社）見返し
はじめに（無署名） p.1
図版 pp.2-15
作品・作家解説 pp.16-19
〔あとがき〕（中村聖司） p.19
出品リスト pp.20-21
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ABSTRACT PAINTING IN HOKKAIDO」
会期：1997 年 2 月 22 日－3 月 30 日 北海道立旭川美術館 主催：北海道立旭川美術館・北海道新聞社
出品：山口正城、難波田龍起、小谷博貞、渡辺伊八郎、因藤壽、菅原弘記、村山陽一、佐々木美枝子、寺島春雄、八木保次、上野憲男、菊地又男、丹野信吾、後藤和子、杉山留美子、野崎嘉男、花田和治、百瀬寿、米谷雄平〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

「新しい関西の美術家たち ものとあわれ」展図録 ●
和歌山県立近代美術館 1997 年 2 月 28 日 主に英文併載 付・補遺
ごあいさつ（副館長武部吉宏） p.3
図版 pp.4-15
解説
資料〔作家論、年譜、文献〕 pp.18-39
ものとあわれ－体験としてなりたつ作品（奥野泰彦） pp.40-45
□補遺〔1 枚、観音折両面刷〕
図版〔展示写真〕15 図
作品配置図
出品作品目録
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Emerging Appearance Art Works in Experience」
会期：1997 年 3 月 1 日－30 日 和歌山県立近代美術館 主催：和歌山県立近代美術館
出品：有地左右一＋笹岡敬、藤本由紀夫、ミッション・インヴィジヴル、森口ゆたか、小河朋司、笹岡敬〔図版収載順〕

4th 北九州ビエンナーレ〈感覚の庭〉●
北九州市立美術館 1997 年 3 月 30 日
あいさつ（北九州市立美術館）p.3 英文併載
4th 北九州ビエンナーレ 感覚の庭 会場図 pp.4-5

感覚の庭－作品をとおしてみた「感覚」（前田淳子） pp.6-7
カタログ〔作家プロフィール、図版、作家論〕 pp.9-66
作家論（前田淳子、花田伸一、大久保京、真武真喜子、黒岩恭介、山根康愛）
展覧会歴・参考文献（前田淳子、花田伸一、大久保京、真武真喜子、黒岩恭介、山根康愛編）
pp.67-108 展覧会歴のみ英文併載
出品目録 pp.109-111
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「4th KITAKYUSHU BIENNALE-Garden of Sences-」
会期：1997 年 3 月 1 日－30 日 北九州市立美術館 主催：北九州市立美術館
出品：靉嘔、逢坂卓郎、今道子、PH スタジオ、藤本由紀夫、吉水浩〔出品目録順〕

VOCA 展'97「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館 1997 年 3 月 英文併載
「VOCA 展'97」開催にあたって（主催者） p.4
「VOCA 展'97」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.5
〔授賞者、委員一覧〕 pp.6, 7
〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫） pp.8-15
図版〔出品作家、図版、作家解説〕 pp.17-79
〔作家解説〕（出原均、拝戸雅彦、長谷川祐子、宝玉正彦、石塚春夫、鍵岡正謹、菊屋吉生、喜多村明里、小泉晋弥、小勝禮子、草薙奈津子、正木基、松本透、水沢勉、名古屋覚、新田秀樹、岡田潔、奥岡茂雄、翁長直樹、逢坂恵理子、尾崎信一郎、斉藤泰嘉、高島直之、谷新、梅津元、藁科英也、谷口雄三、山本育夫、山根康愛、柳原正樹、安田篤生）
〔作家略歴〕 pp.80-85, 86-98
註：推薦委員のうち天野太郎、青木正弘の文章は無い。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」
会期：1997 年 3 月 15 日－30 日 上野の森美術館 主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：藤田邦統、福田美蘭、日高理恵子、本田健、井崎聖子、石田歩、小林俊介、児玉靖枝、小池隆英、是枝開、久米亮子、草野貴世、松本春崇、宮森敬子、中根秀夫、奈良美智、野沢二郎、岡村桂三郎、申明銀、曽根裕、菅原健彦、館勝生、竹内啓、東郷靖彦、筒井伸輔、上田奈保、上村亮太、綿引展子、渡辺晃一、山崎智司、善住芳枝〔図版収載順〕
授賞者：VOCA 賞・小池隆英、VOCA 奨励賞・曽根裕、東郷靖彦、上田奈保、善住芳枝、選考委員特別賞・福田美蘭

超克するかたち〈彫刻と立体〉●

千葉市美術館　1997 年 3 月　別冊(八木正ノート)共 2 冊
ごあいさつ（千葉市美術館）　p.3
“造形主義”を超えてー彫刻／立体の新しい空間（谷新）　pp.6-15
周囲に沿って、モノは渡る（菅木志雄）　pp.16-22
八木正の作品ーその展開と特質（藁科英也）　pp.23-31
図版　pp.33-124
作品リスト　pp.126-139
作家略歴（藁科英也編）　pp.140-158
参考文献（藁科英也編）　pp.159-160
「超克するかたちー彫刻と立体」出品リスト　pp.161-162
□超克するかたちー彫刻と立体・別冊 八木正ノート
八木正ノート　pp.1-45
八木正〔略歴〕　p.46
八木正文献目録　pp.47-48
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 3 月 19 日－4 月 24 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・千葉日報社
出品：斎藤義重、土谷武、村岡三郎、福嶋敬恭、菅木志雄、小清水漸、八木正〔作品リスト順〕

神奈川アート・アニュアル'97 明日への作家たち ●
神奈川芸術文化財団　1997 年 3 月 19 日　第 9 回展
出品作家　p.2
あいさつ（神奈川芸術文化財団）　p.3
招待作家たちのプロフィール（針生一郎）　pp.4-7
オタクと停滞ー見取り図（千葉成夫）　pp.8-9
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.10-33
〔作家のことば〕（石上和弘、石毛千穂、河合勇作、棚田康司、辻忍、菱山裕子、房拓、松下ユリ子、三梨伸、森田多恵、諸泉茂、山口啓介）
出品目録　pp.34-35
〔第 1 回-'96 神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕　p.36
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '97」
会期：1997 年 3 月 19 日－4 月 12 日　横浜・神奈川県立県民ホールギャラリー　選考委員・斎藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川芸術文化財団
出品：石上和弘、石毛千穂、河合勇作、棚田康司、辻忍、菱山裕子、房拓、松下ユリ子、三

梨伸、森田多恵、諸泉茂、山口啓介〔出品目録順〕

水戸アニュアル'97 しなやかな共生 ●

水戸芸術館現代美術センター　1997 年 5 月 15 日　主に英文併載　付・冊子　展覧会資料第 30 号

しなやかな共生への「薬」と「療法」（逢坂恵理子）　pp.7-9, 82-84

とりあえず身体性、とりあえず他者の世紀（日向あき子）　pp.11-13, 85-87

静かなる部屋への郷愁（斎藤茂男）　pp.14-15, 88-89

図版〔作家のことば、図版、作家略歴〕　pp.17-81

〔作家のことば〕（フェリックス・ゴンザレス=トレス〔再録〕、パーミンダー・コウ、石内都、デイヴィッド・ハモンズ、嶋田美子、和田千秋）

展覧会歴　pp.90-94

参考文献　pp.95-99

出品リスト　pp.100-101, 102-103

註：編集は逢坂恵理子、大橋浩美。

□和田千秋著述〔表紙共 16 ページ〕

ヨハネ 9 章を考える／障碍の受容／絵日記／愛語（和田千秋）　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MITO ANNUAL '97　Flexible Coexistence」

会期：1997 年 4 月 5 日－6 月 1 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：フェリックス・ゴンザレス=トレス、パーミンダー・コウ、石内都、デイヴィッド・ハモンズ、嶋田美子、和田千秋〔出品リスト順〕

海市〈もうひとつのユートピア〉 ●

NTT 出版　1998 年 3 月 30 日

はじめに（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]）　p.3

図版〔解説・概説、図版、論考、作家トーク、対談・鼎談、寄稿、作家略歴〕　pp.6-486

執筆者、トーク・対談・鼎談者等（磯崎新、浅田彰、助川剛、岡崎乾二郎、川俣正、吉松秀樹、小林克弘、中村敬治、丸山洋志、古谷誠章、菊池誠、エリザベス・ディラー＋リカルド・スコフィディオ、鵜沢隆、アレハンドロ・ザエラ＝ポロ＋ファシッド・ムサヴィ、田中純、渡辺真理、入江経一、伊東豊雄、パスカル・シェーニング＋インゲリッド・ヘルシンク・アルマース、六角鬼丈、クリスチャン・ド・ポルツァンパルク、チュー＝ユアン・リー、隈研吾、ガボール・バッフマン、佐藤健司、中西泰人、濱野慶彦、柏木博、月尾嘉男、五十嵐太郎、東浩紀、オーディール・フィリオン、中谷礼仁、キョン・パーク）

資料編

ヴィジターズ・フォーラム／連歌　pp.488-509

あなたにとってユートピアとは?（藤幡正樹、荒川修作、岩井俊雄ほか）　pp.510-521

プロフィール　pp.522-523

あとがき（磯崎新）　pp.524-525

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Kaishi　The Mirage City：Another Utopia」

会期：1997 年 4 月 19 日－7 月 13 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　ICC オープニング記念展

参画：磯崎新、岡崎乾二郎、川俣正、吉松秀樹、小林克弘、丸山洋志、古谷誠章、エリザベス・ディラー＋リカルド・スコフィディオ、鵜沢隆、アレハンドロ・サエラ＝ポロ＋ファシッド・ムサヴィ、田中純、渡辺真理、入江経一

ふれあい彫刻展 ●

宮崎県立美術館　1997 年 4 月

ごあいさつ（館長児玉郁夫）　p.3

みんなのための美術館（マーカス・ワイセン）　pp.4, 5　英文併載

図版〔図版、作品解説、作家のことば〕　pp.7-35

出品リスト　pp.37-41

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Exhibition of ART　Touch-me」

会期：1997 年 4 月 26 日－5 月 25 日　宮崎県立美術館　主催：宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県立美術館

出品：佐藤忠良、高田博厚、柳原義達、三木俊治、清水良治、平原孝明、阿南典子、笹山幸徳、長友理一郎、満木政一、黒木亮、鈴木律子、黒木郁子、長友明子、藤本恵三、山田忠範、田中等、佐藤弘徳、鬼塚良昭、八木常憲、上別府志郎、若杉早苗、中井保博、奥村羊一、田中毅、鈴木恂、山口牧生、木村賢太郎、藤田昭子、井沢大也、江口週、植木茂、平川滋子、佐々木敏雄、中島修、吾妻兼治郎、清水九兵衛、増田感、本田明、堀内正和、海老塚耕一、流政之、橋本真之、全国盲学校の生徒作品〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

わかってたまるか現代美術〈わからないということについて Collection による〉 ●

板橋区立美術館　1997 年 5 月

ご挨拶（板橋区立美術館）　p.3

作品位置地図　p.4

わかってたまるか現代美術〈五つの「わからない」、または対話について〉（尾崎眞人）　pp.5-8

リーフレットの見方　p.8

図版〔図版、Q.&A.、作家解説〕　pp.9-28

〔Q.&A.〕（尾﨑眞人）
作家解説（佐々木英里子）
註：質問（Question）と回答（Anwer）から構成されているページを便宜上「Q.&A.」としておいた。なお、本カタログ（全 24 ページ）は「リーフレット」と呼称されている。
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 5 月 10 日－6 月 8 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：荒川修作、草間彌生、向井修二、中西夏之、関根伸夫、高木修、清水誠一、今道子、福田美蘭、牛波〔図版収載順〕

IMA「絵画の今日」展 1997 ●
三越美術館　1997 年 6 月　第 3 回展
IMA「絵画の今日」展開催主旨（主催者）
第 3 回 IMA「絵画の今日」展によせて（陰里鐵郎）
〔同人作家のことば〕（麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進、元永定正）
図版　74p.
出品目録
略歴
所蔵：□、国新美、東文研、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 6 月 10 日－22 日　新宿・三越美術館　主催：IMA「絵画の今日」展実行委員会・読売新聞社
出品：同人作家；麻田浩、大沼映夫、奥谷博、島田章三、田口安男、三尾公三、宮崎進、元永定正。招待作家；相笠昌義、相田幸男、赤松玉女、秋岡美帆、生駒泰充、伊庭新太郎、池口史子、市野英樹、稲垣考二、今井信吾、岩崎正、宇野和幸、遠藤彰子、小原素彦、大内田敬、大津英敏、金山桂子、川村悦子、貴堂静栄、北久美子、絹谷幸二、小林一彦、近藤大志、佐々木豊、佐藤一郎、佐藤昌宏、酒井信義、坂田哲也、桜井寛、櫻井晨正、島田鮎子、瀬川富紀男、田中いっこう、高橋常政、高橋幸彦、谷川晃一、津地威汎、十時孝好、中野庸二、中原史雄、林敬二、櫃田伸也、蛭田均、福岡奉彦、福島瑞穂、福田美蘭、藤田邦統、堀越千秋、本田希枝、馬越陽子、松本英一郎、水口裕務、室越健美、森一浩、森田康雄、森本勇、山尾才、山河全、吉田淳一、吉原英雄、リーガ・パング、わたなべゆう、渡辺恂三〔出品目録順〕

時間 / 視線 / 記憶－90 年代美術にみる写真表現〈コレクションによるテーマ展示〉●
東京都現代美術館　1997 年 6 月
ごあいさつ（東京都現代美術館）　p.3　英文併載
時間 / 視線 / 記憶（渡部葉子）　pp.6-11, 60-65　英文併載

図版　pp.13-35
資料編
　略歴　pp.38-49　英文併載
　主要参考文献　pp.50-55
さらされる表面 / さらされる皮膚：石内都「1906」（林洋子）　pp.56-59
出品リスト　pp.66-67　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Surface Exposed：Photography in Art of the 90s」
会期：1997 年 6 月 20 日－8 月 17 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館
出品：杉本博司、小山穂太郎、石内都、石原友明、剣持和夫、畠山直哉〔出品リスト順〕

森ニイマス ●
宇都宮美術館　1997 年 7 月　英文併載
ごあいさつ（宇都宮美術館）　pp.5, 7
森は「育む」（谷新）　pp.10-13, 73-75
森ニイマス（岡本康明）　pp.15-21, 76-83
図版〔作家略歴、図版〕　pp.23-71, 84-91
出品リスト　p.92
関連企画スケジュール　p.93
所蔵：□、国新美、東文研、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Windows to the World Around Us」
会期：1997 年 7 月 13 日－8 月 27 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館
出品：丑久保健一、今村哲、岩村伸一、吉田重信〔出品リスト順〕

SHASIN 展〈時代を創る 6 つの個性〉 ●
朝日新聞社　1997 年 7 月　バインダー使用
開催にあたって（主催者）
写真／時代の仮面、世界のペルソナ（伊藤俊治）
対抗する 6 つの美意識（高橋周平）
Full of “EXPRESSION”（池田香）
図版〔作家のことば、作家論、作家略歴、図版〕
　〔作家のことば〕（篠山紀信、長島有里枝、森村泰昌、荒木経惟、田原桂一、植田正治）
　〔作家論〕（森村泰昌、羽鳥美保、大西若人、倉石信乃、ジェローム・サン、金子隆一）
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、横浜美、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 7 月 19 日－10 月 5 日　神戸ファッション美術館　主催：朝日新聞社・神戸

ファッション美術館・朝日放送／10 月 10 日－26 日　新宿・三越美術館　主催：朝日新聞社／12 月 4 日－23 日　福岡県立美術館　主催：朝日新聞社・福岡県立美術館

出品：篠山紀信、長島有里枝、森村泰昌、荒木経惟、田原桂一、植田正治〔図版収載順〕

揺れる女／揺らぐイメージ〈フェミニズムの誕生から現代まで〉●

栃木県立美術館　1997 年 7 月

あいさつ（栃木県立美術館）　英文併載

第 III 部 20 世紀末：現代美術

揺れる女／揺らぐイメージ――サロン絵画から現代美術まで（小勝禮子）　pp.102-109, 〔Résume〕pp.173-174

図版　pp.110-143

作家略歴 第 III 部　pp.156-162

主要参考文献 第 III 部　p.167

註：大部の展覧会カタログ。第 III 部のみを記載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「FLOATING IMAGES OF WOMEN IN ART HISTORY from the Birth of the Feminism toward the Dissolution of the Gender」

会期：1997 年 7 月 20 日－9 月 26 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：第 III 部 1 地母神の力；桂ゆき、草間彌生。2 アイデンティティの喪失、ジェンダーの解体；荒木経惟、オノデラユキ、笠原恵実子〔図版収載順〕

註：出品欄は第 III 部の日本作家を収載。

体感する美術'97 まちへ出よう－風と精霊と人の声 ●

佐倉市立美術館　1997 年〔7 月〕　第 3 回目　1 枚(両面刷)

ごあいさつ（佐倉市立美術館）

図版〔作家のことば、図版、作家略歴〕

〔作家のことば〕（牛島達治、嶋田英也、宮前正樹）

地図

所蔵：□、国新美、都現美、江戸博、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 7 月 20 日－8 月 10 日　佐倉市立美術館・市内新町周辺　主催：佐倉市立美術館

出品：牛島達治、嶋田英也、宮前正樹〔図版収載順〕

体感する美術'97 まちへ出よう－風と精霊と人の声 DOCUMENT

佐倉市立美術館　1997 年〔8 月〕　第 3 回目

〔ことば〕（佐倉市立美術館）　p.2

まちへ出よう 風と精霊と人の声（長田謙一）　pp.3-5

図版〔図版、ワークショップ、参加者の報告〕 pp.6-46
参加者・ボランティアのみなさん p.47
註：編集は永山智子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項〔本体に同じ〕

エイブル・アート'97・東京展「魂の対話」作品集 ●
日本障害者芸術文化協会 1997 年 7 月 全 17 枚(ケース入)＋出品リスト
ごあいさつ（日本障害者芸術文化協会）
創る時、人はひとりになる（岡崎清子）
みずのき寮の絵かきたち＋西垣籌一
千葉盲学校の子どもたち＋西村陽平
図版 12 枚
作品リスト
□出品リスト〔1 枚、三ツ折両面刷〕
所蔵：□
○展覧会事項
欧文タイトル：「ABLE ART '97 TOKYO」
会期：1997 年 7 月 31 日－8 月 13 日 東京都美術館 主催：東京都美術館・日本障害者芸術文化協会・朝日新聞社
出品：みずのき寮の絵かきたち、西垣籌一、千葉盲学校の子どもたち、西村陽平〔出品リスト順〕

日本の夏 1960-64 こうなったらやけくそだ！ ●
水戸芸術館現代美術センター 1997 年 11 月 18 日 展覧会資料第 35 号
ごあいさつ（水戸芸術館現代美術センター） p.7
「熱」狂と「熱」力学（椹木野衣） pp.8-13, 72-77 英文併載
ネオ・ダダの季節をふりかえる（針生一郎） pp.14-15, 78-79 英文併載
システムが自走した（磯崎新） pp.16-17, 80-81 英文併載
一つの卵の中のオブジェとイヴェント（峯村敏明） pp.18-19, 82-83 英文併載
会場構成協力 p.22
ギャラリー・マップ p.23
タイムトリップ――60 年代の報道映像（松本小四郎） p.24
タイムトンネル――60 年代証言者のビデオ・インタビュー（浅井俊裕） p.26
〔証言者略歴〕：朝倉摂、池辺晋一郎、石原慎太郎、磯崎新、一柳慧、岩城宏之、太田省吾、唐十郎、柄谷行人、葛井欣士郎、小杉武久、後藤昭夫、佐藤友太郎、篠田正浩、清水邦夫、武田明倫、田中信太郎、中原佑介、畑中良輔、林光、針生一郎、福住治夫、別役実、松平頼暁、松本俊夫、間宮芳生、三善晃、森村泰昌、諸井誠、山口勝弘、湯浅譲二、ヨシダ・ヨシエ、吉村益信 pp.29-35
1960-64 の表現 I・II・III（渡部誠一） p.36

図版　pp.37-51
リビングルーム（浅井俊裕）　pp.52-53
図形楽譜（中村晃）　p.54
前衛グループ・マップ（浅井俊裕）　p.58
〔前衛グループ解説〕黄土(のちに ŌDO)（吉田豪介）／組織（吉田豪介）／ROZO 群（渡部誠一）／群馬 NOMO グループ（浅井俊裕）／ガガ現代美術会（松永康）／埼玉前衛芸術作家集団（松永康）／集団現代彫刻（光田由里）／ネオ・ダダ（黒田雷児）／ハイレッド・センター（山田諭）／時間派（奥村泰彦）／ゼロ次元（三頭谷鷹史）／VAVA（浅井俊裕）／北美文化協会（神原正明）／ケラ美術協会（光田由里）／具体美術協会（尾崎信一郎）／岡山青年美術家集団（柳沢秀行）／前衛土佐派（松本教仁）／九州派（黒田雷児）　pp.60-69, 84-91　英文併載
関連企画（浅井俊裕）　p.93
出品リスト　pp.109-112
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Japanese Art 1960s－Japanese Summer 1960-64」
会期：1997 年 8 月 2 日－9 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：山口勝弘、清水晃、立石紘一、中村宏、赤瀬川原平、菊畑茂久馬、磯辺行久、村上三郎、元永定正、山下菊二、宮脇愛子、草間彌生、風倉匠、吉村益信、篠原有司男、吉野辰海、荒川修作、田中信太郎、豊島壮六、細江英公、中西夏之、高松次郎、磯崎新〔出品リスト順〕

眼差しのゆくえ－現代美術のポジション 1997 図録 ●
名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団　1997 年 8 月
ごあいさつ（主催者）　p.5
出品作家・出品リスト　pp.6-8
図版　pp.9-31
テキスト
近代の終焉?（山脇一夫）　pp.34-35
ポジションたち――100 度にひらかれたいくつかの問題群として（茂登山清文）　pp.36-37
からっぽがいっぱい II－「ポジション 1997 展」によせて（石崎勝基）　pp.38-39
私が考える現代アートについて（拝戸雅彦）　pp.40-42
作家紹介〔作家のことば、作家解説、作家略歴、主な文献〕　pp.43-67
〔作家のことば〕（今村哲、栗本百合子〔1 行〕、須田真弘、瀬田哲司、椿原章代、長坂治、丹羽誠次郎〔2 行〕、橋本公成、平松伸之、松本幹永、吉本作次）
作家解説（原沢暁子）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項

欧文タイトル：「LOOKING TOWARD THE FUTURE」
会期：1997 年 8 月 2 日－9 月 28 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・名古屋市文化振興事業団
出品：今村哲、栗本百合子、須田真弘、瀬田哲司、椿原章代、長坂治、丹羽誠次郎、橋本公成、平松伸之、松本幹永、吉本作次〔出品リスト順〕

「私」美術のすすめ〈何故 WaTaKuShi は描かれるか〉●
板橋区立美術館　1997 年 9 月　特別展　シリーズ・Art in Tokyo No.9
会場図面　p.3
ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.4　英文併載
日本美術と〈私〉をめぐって（三田晴夫）　pp.5-8, 76-80　英文併載
いま再びの「私」－仮想現実時代の「同一性」と「自己性」について（尾崎眞人）　pp.9-12, 81-87　英文併載
図版　pp.13-56
〔作家略歴〕　pp.57-75
出品リスト　pp.88-93
註：編集は尾崎眞人、福田さおり、佐々木英理子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Recommendation of “I” Art.」
会期：1997 年 9 月 6 日－10 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：荒川修作、今井祝雄、木下佳通代、綿引展子、渡辺晃一、郭徳俊、宮脇愛子、河口龍夫、光野浩一、牛波、太田三郎、和田千秋、豊嶋康子、深瀬昌久、魚田元生、鈴木淳子、作間敏宏、岡田裕子、杉本桂〔出品リスト順〕

現代日本美術の動勢 版／写すこと／の試み ●
富山県立近代美術館　1997 年 9 月
あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3
図版〔図版、作家略歴、作家のコメント、作家解説〕　pp.5-23, 26-79
作家のコメント（飯塚二郎、井出創太郎、笹井祐子、鈴木頼子、高浜利也、林孝彦、松浦孝之、宮井里夏、山口純寛）
作家解説（杉野秀樹）
「写す」ことの意義から、次へ（杉野秀樹）　p.25
作品リスト　pp.80-83
所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1997 年 9 月 13 日－10 月 26 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：飯塚二郎、井出創太郎、笹井祐子、鈴木頼子、高浜利也、林孝彦、松浦孝之、宮井里夏、山口純寛〔作品リスト順〕

ART TODAY 1997 開かれた作品の詩学 オーペラ・アペルタ ●

財団法人セゾン現代美術館　1997 年 9 月　第 10 回記念

わたしの ART TODAY（難波英夫）　p.5

開かれた作品（中村麗）　pp.6-7

立体性の美学－1980 年代日本現代美術への回想（清水哲朗）　pp.8-9

図版〔作家のことば、図版、作家略歴〕　pp.11-82.

〔作家のことば〕（赤塚祐二、江上計太、岡崎乾二郎、黒田寛、小山穂太郎、豊嶋康子、中尾寛、長沢秀之、中村一美、アズビー・ブラウン、山本富章、湯浅龍平）

図版リスト　pp.83-85

出品作家紹介　pp.86-87

これまでの「ART TODAY」展　pp.88-92

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART TODAY 1997　OPERA APERTA」

会期：1997 年 9 月 13 日－11 月 24 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：赤塚祐二、江上計太、岡崎乾二郎、黒田寛、小山穂太郎、豊嶋康子、中尾寛、長沢秀之、中村一美、アズビー・ブラウン、山本富章、湯浅龍平〔図版リスト順〕

「コンテンポラリー&トラッド〈郷土に息づく工芸・現代芸術〉」図録 ●

茂原市立美術館・郷土資料館　1997 年 10 月 1 日　平成 9 年度特別展

ごあいさつ（館長鶴岡修一郎）　p.1

図版　pp.3-21

解説〔解説、作家のことば、作家略歴、出品目録〕（解説・舛田隆満）　pp.23-32

〔作家のことば〕（帆足みゆき、帆足まおり、エサシトモコ、河本雅史、高澤正行、武荒信顕）

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 10 月 1 日－26 日　茂原市立美術館・郷土資料館　主催：茂原市立美術館・郷土資料館

出品：帆足みゆき、帆足まおり、深山美峰、土橋慶光、矢部宏、エサシトモコ、河本雅史、高澤正行、武荒信顕〔図版収載順〕

重力－戦後美術の座標軸 ●

国立国際美術館　1997 年 10 月 30 日

ごあいさつ（国立国際美術館）　pp.2, 3　英文併載

重力―戦後美術の座標軸（尾崎信一郎）　pp.7-15,186-193　英文併載

重力というパンドラの箱（イヴ＝アラン・ボア） pp.16-24, 194-199 英文併載
視覚的無意識 第 6 章（ロザリンド・クラウマ） pp.25-42
作品図版〔章解説、図版、作家解説、主塔参考文献〕 pp.43-165
出品作品リスト pp.166-168, 169-171 英文併載
作家略歴 pp.172-176
「重力―戦後美術の座標軸」（尾崎信一郎編） pp.177-185
註：作家解説は文献再録も多々含まれる。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「GRAVITY－Axis of Contemporary art」
会期：1997 年 10 月 30 日－12 月 9 日 吹田市・国立国際美術館 主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団
出品：1.水平の絵画；ハンス・ネイムス、ヘレン・フランケンサーラー、モーリス・ルイス、嶋本昭三、白髪一雄、村上三郎、元永定正、吉原通雄、吉田稔郎、松谷武判。2.身体と位置；デニス・オッペンハイム、ブルース・ナウマン、リチャード・セラ、河口龍夫、植松奎二、野村仁、榎倉康二。3.落下と着地；リチャード・セラ(重)、キース・ソニア、ロバート・モリス、アラン・サレット、ロバート・スミッソン、リンダ・ベングリス、エヴァ・ヘス、ジョン・マックラッケン、メル・ボックナー、ロバート・ラウシェンバーグ、元永定正(重)、吉田稔郎(重)、高松次郎、関根伸夫、吉田克朗、小清水漸。4.重量という原理；カール・アンドレ、リチャード・セラ(重)、ロバート・スミッソン(重)、マイケル・ハイザー、リンダ・ベングリス（重）、デヴィッド・ラビノヴィッチ、バリー・ル・ヴァ、李禹煥、関根伸夫(重)、吉田克朗(重)、原口典之、菅木志雄、植松奎二(重)、野村仁(重)、曽我孝司〔出品作品リスト順〕
註：ジャクソン・ポロックは作家略歴に収載されているが出品作品リストには無。

マンドラゴラの実〈現代美術が写す、筑豊〉●
田川市美術館 1997 年 11 月 15 日
ごあいさつ（田川市美術館） p.3 英文併載
筑豊と筑豊人（佐々木哲哉） pp.4-5, 5 抄訳
筑豊／愛することと考えること（工藤健志） pp.6-11, 12 抄訳
図版 pp.13-31
「筑豊」に関する主要参考文献（工藤健志・梅原哲也編） p.32
特別ふろく pp.33-34
作家資料〔作家コメント、作家略歴、参考文献、作家・作品解説、作家論、図版〕pp.35-55
作家コメント（スズキヒロシ、母里聖徳、森秀信）
作家・作品解説、作品論（工藤健志、原田真紀、熊倉敬聡）
出品リスト pp.56-57
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項

欧文タイトル：「“Love Magic？ ”」
会期：1997 年 10 月 30 日－11 月 24 日　田川市美術館　主催：田川市美術館
出品：スズキヒロシ、母里聖徳、森秀信〔出品リスト順〕

第 33 回今日の作家展 都市の情景：複数性のなかの単一性 ●
横浜市民ギャラリー　1997 年 11 月　英文併載
ごあいさつ（横浜市民ギャラリー） p.3
複数性のなかの単一性――大衆化社会における表現者の位置について（近藤幸夫） pp.6-8, 9-11
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.12-47
〔作家のことば〕（荒木経惟〔1 行〕、大村益三、小金沢健人、藤堂良浩、宮前正樹、村上隆）
出品リスト　p.48
「今日の作家展」出品作家リスト(1964-1996 年)　pp.49-51〔和文のみ〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The 33rd ‘Artists Today’ Exhibition：Singularity in Plurality」
会期：1997 年 11 月 1 日－18 日　関内・横浜市民ギャラリー　ゲスト・キュレーター：近藤幸夫、主催：横浜市民ギャラリー・横浜市
出品：荒木経惟、大村益三、小金沢健人、藤堂良浩、宮前正樹、村上隆〔出品リスト順〕

変貌する世界――日本の現代絵画 1945 年以後　　東京国立近代美術館編 ●
高岡市美術館・米子市美術館　1997 年 11 月　平成 9 年度国立博物館・美術館巡回展
ごあいさつ（文化庁長官林田英樹） p.5
ごあいさつ（久泉迪雄） p.6
ごあいさつ（田中良一） p.7
変貌する世界／変貌する絵画（松本透） pp.9-11
図版〔章解説、図版〕 pp.13-72
〔章解説〕（大谷省吾、尾崎信一郎、家村珠代、本江邦夫）
作品目録・解説（大谷省吾、家村珠代、本江邦夫、宮崎直子、松本透、河本信治、永井隆則、島敦彦、池田祐子、千葉成夫、中西博之、小林昌夫、加藤類子、山野英嗣、尾野正晴、島田康寛）pp.73-81
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE WORLD IN TRANSITION PAINTING IN JAPAN SINCE 1945」
会期：1997 年 11 月 1 日－12 月 7 日　高岡市美術館　主催：文化庁・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館・富山県・富山教育委員会・高岡市・高岡市教育委員会・高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館／1998 年 2 月 7 日－3 月 8 日　米子市美術館
主催：文化庁・東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立国際美術館・鳥取県教育委

員会・米子市美術館・米子市・米子市教育委員会

出品：第 1 章 変貌する絵画；北脇昇、荒井龍男、金山康喜、田中忠雄、瑛九、石井茂雄、麻生三郎、村井正誠、前田常作、藤松博、菊畑茂久馬、岡本太郎、井上長三郎、木村忠太、嶋田しづ、三尾公三、猪熊弦一郎、岡本信治郎、宇佐美圭司。第 2 章 行為とその軌跡；今井俊満、杉全直、田淵安一、斎藤義重、津高和一、元永定正、白髪一雄、須田剋太、難波田龍起、吉原治良、田中敦子。第 3 章 構成と反復；山口長男、宮脇愛子、菅井汲、川島猛、桑山忠明、オノサト・トシノブ、阿部展也、山田正亮、岡田謙三、川端実、高橋秀、中里斉、百瀬寿。第 4 章「絵画」再考――1970 年代以降；中西夏之、李禹煥、荒川修作、小林正人、鈴木省三、松本陽子、秋岡美帆、堀浩哉、榎倉康二、辰野登恵子、野見山暁治、岩本拓郎〔作品目録順〕

LET'S GO 浮世絵〈現代美術と浮世絵の交錯〉●

三鷹市美術ギャラリー　1997 年 11 月

ごあいさつ（主催者）　p.3

芸術浪人たちの世界回復作戦（峯村敏明）　pp.9-17

江戸の反芸術・浮世絵（小林忠）　pp.18-20

図版　pp.21-84

60 年代の浮世絵ルネサンス（富田智子）　pp.86-93

出品作家関連略年譜　pp.94-100

参考文献　pp.101-104

作品リスト　pp.105-107

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 11 月 15 日－12 月 21 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市美術ギャラリー

出品：靉嘔、篠原有司男、立石大河亜、寺岡政美、横尾忠則〔作品リスト順〕

「光をつかむ――素材としての〈光〉の現れ」展 ●

品川文化振興事業団 O 美術館　1997 年 11 月　付・出品作品解説 1 枚(二ツ折両面刷)

ごあいさつ（O 美術館）　p.5　英文併載

過去と未来を結ぶ宇宙の光（池内了）　pp.7-8

〈光〉・そのとらえがたさの中で――「光をつかむ」展のために（天野一夫）　pp.9-16

カタログ〔図版、作家のことば、アンケート〕　pp.17-59

〔作家のことば〕（有地左右一＋笹岡敬、逢坂卓郎、作間敏宏、平松伸之、松村泰三、吉田重信〔1 行〕、渡辺好明）

〔アンケート〕（有地左右一＋笹岡敬、逢坂卓郎、作間敏宏、松村泰三、渡辺好明）

ワークショップ　pp.61-64

作家略歴　65-76

□付

出品作品解説

作品配置図、出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美(付・出品目録 8p.)、写真美、江戸博(付・出品目録 8p.)、神近美、横浜美(付・出品目録 8p.)、愛芸文、国会図(付・出品目録 8p.)、都中図(付・出品目録 8p.)

○展覧会事項

欧文タイトル：「CATCHING THE LIGHT」

会期：1997 年 11 月 21 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：有地左右一＋笹岡敬、逢坂卓郎、作間敏宏、平松伸之、松村泰三、吉田重信、渡辺好明〔図版収載順〕

コレクション－10 年の成果　現代美術へのいざない 出品目録 ●

伊丹市立美術館　1998 年

〔作家一覧〕 p.3

あいさつ（館長大河内菊雄） p.5

図版　pp.9-79

作家略歴（藤牧和恵、村田正則、坂上義太郎） pp.81-90

関連展覧会一覧　p.91

出品リスト　pp.92-95

註：この「出品目録」は会期後に刊行されたもので、ただ発行日が記されていない。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1997 年 12 月 13 日－1998 年 2 月 1 日　伊丹市立美術館　主催：伊丹市立美術館

出品：小牧源太郎、柳原義達、堀内正和、植木茂、浜田知明、今村輝久、向井良吉、泉茂、久保晃、土谷武、山口牧生、村岡三郎、井上武吉、森口宏一、渡辺豊重、江口週、谷川晃一、川俣正〔出品リスト順〕

1998（平成 10）年

第 31 回現代美術選抜展図録 ●

一宮スポーツ文化センター・小松市立本陣記念美術館・タカヤ文化財団 華鴿美術館　1998 年 1 月

ごあいさつ（文化庁長林田英樹）　p.3

図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕　pp.5-45

第 31 回現代美術選抜展開催要項　p.46

出品団体・出品点数一覧　p.46

〔出品団体系図〕　p.47

所蔵：□、東近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：愛知展；1998 年 1 月 23 日－2 月 8 日　一宮スポーツ文化センター　主催：文化庁・愛知県教育委員会・一宮市教育委員会／石川展；2 月 14 日－28 日　小松市民ギャラリー・ルフレ　主催：文化庁・石川県・石川県教育委員会・小松市教育委員会・小松市立本陣記念美術館／岡山展；3 月 8 日－22 日　タカヤ文化財団 華鴿美術館　主催：文化庁・岡山県教育委員会・タカヤ文化財団 華鴿美術館

出品：日本画；千住博、山本直彰。洋画；石垣定哉、中村一美。版画；柄澤齊、林孝彦。彫刻；上野良隆〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

「DOMANI・明日」展 図録 ●

読売新聞社　1998 年 1 月

ごあいさつ（主催者）　p.5

『DOMANI・明日』展開催にあたり（奥谷博）　p.6

芸術家在外研修制度について　p.7

図版〔作家略歴、図版〕　pp.9-53

出品作品リスト　pp.54-55

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、京都学、東大駒

○展覧会事項

展名：未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 1 月 27 日－2 月 15 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社

出品：山田修市、安達博文、相田幸男、瀬川富紀男、吉岡正人、秋岡美帆、仏山輝美、諏訪敦。特別出品；奥谷博、渡辺恂三、小島信明、馬越陽子、白野文敏、豊島弘尚、櫻井晨正、今井信吾、絹谷幸二、高岸昇〔出品作品リスト順〕

流動する美術－V 兆し｜徴し｜癒し?の造形〈障害者アートの一側面を考える〉 ●

福岡市美術館　1998 年 2 月

ごあいさつ（福岡市美術館） p.2 英文併載
揺らいでいる、でも見えている（柴田勝則） pp.3-8, 29
図版 pp.9-28
資料〔法人・学校、作家略歴〕 p.30
参考文献 p.31
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art in Flux V Art of Promise / Sign / Cure? Catch a Glimpse of One Aspect of Art Created by Disabled Artists」
会期：1998 年 2 月 3 日－3 月 29 日 福岡市美術館 主催：福岡市美術館
出品：松花苑みずのき寮、アートセラピー美術館、千葉県立千葉盲学校、木村優、上田豊治〔図版収載順〕

メキシコ現代版画と日本〈カイロン版画工房コレクションを中心に〉●
美術館連絡協議会・読売新聞社 1998 年 2 月 西文併載 小冊子＋カタログ 2 冊(ケース入)
あいさつ（主催者） pp.6, 7
メッセージ（外務大臣ロサリオ・グリーン） pp.8, 9
版画をとおして－メキシコと日本（長谷川てい） pp.10-12, 14-17
出品リスト pp.18-23
□I メキシコ
□II 日本〔2 分冊の 2〕
メキシコに関係した日本の版画家たち（本間正義） pp.4-9, 10-16
図版〔作家略歴、図版〕 pp.17-45
註：編集は長谷川てい、平野到、河田明久、濱本聰。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「México y Japón en la estampa contemporánea」
会期：1998 年 2 月 7 日－3 月 22 日 北浦和・埼玉県立近代美術館 主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・メキシコ合衆国外務省／4 月 23 日－5 月 31 日 下関市立美術館 主催：下関市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・メキシコ合衆国外務省
出品：I メキシコ(カイロン版画工房コレクション)。II 日本；深沢幸雄、北川民次、ルイス・ニシザワ、高橋力雄、竹田鎮三郎、利根山光人、吉田穂高〔出品リスト順〕

シガ・アニュアル'98 精霊の宿るところ――見えざるものの啓示 ●
滋賀県立近代美術館 1998 年 2 月 第 12 回展
ごあいさつ（滋賀県立近代美術館） p.3
精霊の宿るところ――見えざるものの啓示（占部敏子） pp.4-8
図版〔略歴、展覧会歴、参考文献、作家コメント、図版〕 pp.9-68

作家コメント（浅岡慶子、黒川弘毅、粟国久直） 一部英文併載

出品リスト p.70

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、京都学、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル:「SHIGA ANNUAL '98 SPIRITUAL PRESENCE in the Contemporary Art」

会期：1998 年 2 月 21 日－3 月 29 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：浅岡慶子、黒川弘毅、粟国久直〔出品リスト順〕

チバ・アート・ナウ'97 現代美術というジャンル ●

佐倉市立美術館　1998 年 2 月 22 日　ケース入

チバ・アート・ナウ'97 の開催にあたって（館長海野道義） p.2

ジャンルを超えて（谷新） pp.3-6

現代美術というジャンルについて（黒川公二） pp.7-8

出品作品一覧 p.9

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 pp.11-70

〔作家のことば〕（久保理恵子、間島秀徳、天野純治、金子友紀、西村陽平）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CHIBA Art Now '97 A Field of "GENDAI BIJUTSU"」

会期：1998 年 2 月 22 日－3 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：天野純治、金子友紀、久保理恵子、多和圭三、西村陽平、間島秀徳〔出品作品一覧順〕

神奈川アート アニュアル'98 明日への作家たち ●

神奈川県民ホール　1998 年 2 月 25 日

出品作家 p.2

あいさつ（神奈川県民ホール） p.3

神奈川アート アニュアル「明日への作家たち」について（柳生不二雄） pp.4-7

我々の美術の〈弱さ〉について（天野一夫） pp.8-9

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.10-33

〔作家のことば〕（浅見貴子、小野友三、勝田素子、剣持啓子、斎藤美奈子、田中太賀志、向山武志、母袋俊也、吉田亜世美、若月公平、渡邉清介）

出品目録 pp.34-35

〔神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕 p.36

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL '98」

会期：1998 年 2 月 25 日－3 月 15 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　選考委員・斎

藤義重、酒井忠康、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県民ホール
出品：浅見貴子、小野友三、勝田素子、木村太陽、剣持啓子、斎藤美奈子、田中太賀志、向山武志、母袋俊也、吉田亜世美、若月公平、渡邉清介〔出品目録順〕

読めない本・新たな文字 ●

三鷹市芸術文化振興財団　1998 年 3 月　英文併載
ごあいさつ（三鷹市芸術文化振興財団）　p.1
読めない本を読む時間（荒木夏実）　pp.2, 3
図版〔作家のことば、図版〕　pp.4-13
〔作家のことば〕（西村陽平、松田薫、天野豊久、徐冰、張少俊）
作家略歴　pp.14-15
出品作品リスト　p.16
所蔵：□、国新美、東近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Unreadable Books, New Letters」
会期：1998 年 3 月 3 日－22 日　三鷹市芸術文化センター　主催：三鷹市芸術文化振興財団
出品：天野豊久、松田薫、西村陽平、徐冰、張少俊〔出品作品リスト順〕

VOCA 展'98「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　1998 年 3 月　英文併載
「VOCA 展'98」開催にあたって（主催者）　p.4
「VOCA 展'98」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.5
〔授賞者、委員一覧〕　pp.6, 7
〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、鍵岡正謹）　pp.8-17
図版〔出品作家、作家解説、図版〕　pp.19-85
〔作家解説〕（有川幾夫、長谷川敬子、長谷川祐子、林洋子、平野到、石川健次、石塚春夫、笠原美智子、菊屋吉生、草薙奈津子、正木基、松本透、三上豊、南嶌宏、水沢勉、毛利義嗣、森司、名古屋覚、中谷至宏、中塚宏行、翁長直樹、尾野正晴、尾﨑佐智子、尾﨑眞人、佐藤友哉、竹澤雄三、谷新、藁科英也、山根康愛、山脇一夫、柳原正樹、柳沢秀行、横山勝彦）
〔作家略歴〕　pp.86-92, 93-106
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」
会期：1998 年 3 月 28 日－4 月 12 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：知花均、越前谷嘉高、枝光由嘉里、袴田京太朗、長谷川繁、林田直子、伊庭靖子、石塚統浩、加藤英人、城戸真亜子、北☆〔田＋又＋土〕吉彦、児玉靖枝、小石原剛、小谷泰子、

藏本秀彦、丸野由希子、松尾藤代、三井田盛一郎、満江英典、村井恭子、岡田裕子、岡田修二、小作志野、齋藤公平、佐古昭典、佐藤梨香、末永敏明、杉戸洋、高井知乗、高野勝、太郎千恵藏、綿引展子、湯川雅紀〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・湯川雅紀、VOCA 奨励賞・伊庭靖子、岡田修二、杉戸洋、太郎千恵藏

戦後日本のリアリズム 1945-1960 ●

戦後日本のリアリズム展実行委員会　1998 年 4 月

あいさつ（名古屋市美術館・毎日新聞社）p.5

戦後日本のリアリズムについて――新しい世紀の日本美術のために（山田諭）pp.8-11

図版　pp.13-150

解説・年譜（山田諭）、文献再録

出品リスト　pp.151-162

註：〈無名〉の作家の発掘において画期的な展覧会となっている。それだけに個々の作家の簡単な紹介（名前の読み、生年、歿年）が無いのが惜しまれる

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Realism in Postwar Japan 1945-1960」

会期：1998 年 4 月 18 日－7 月 12 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・毎日新聞社

出品：靉嘔、赤穴宏、赤塚徹、芥川沙織、朝倉摂、朝妻治郎、安次富長昭、安次嶺金正、麻生三郎、安谷屋正義、阿部展也、安部真知、荒川修作、安西啓明、飯田善國、飯野農夫也、池田龍雄、池田満寿夫、池田遥邨、石井茂雄、石橋和己、石原薫、泉茂、市村司、井手則雄、伊藤昭一、糸園和三郎、稲田三郎、井上覚造、井上長三郎、井上武吉、井上洋介、入江比呂、植竹邦良、上野省策、上野誠、臼井薫、内田巌、瑛九、海老原喜之助、海老原友忠、大熊峻、大沢昌助、大塚睦、岡田愛子、岡本太郎、小野木学、小野忠重、小野忠弘、小山田二郎、小山田チカエ、影山光洋、片谷曖子、片山昭弘、片寄貢、香月泰男、勝田寛一、桂川寛、桂ユキ子〔ゆき〕、加藤正、金井精一、金子真珠郎、川島浩、川田喜久治、川端実、河原温、菊池一雄、菊池俊吉、菊池養之助、岸田貢宜、杵島隆、北岡文雄、北川民次、北村西望、北脇昇、儀間比呂志、木村伊兵衛、木村賢太郎、木村成敏、窪喜尽、熊谷元一、倉石隆、桑原史成、小口一郎、小林喜巳子、小林二郎、斎藤三郎、佐伯和美、佐伯義勝、酒井慎一、桜井孝身、佐田勝、佐藤昭一、佐藤忠良、志賀丈二、渋谷草三郎、島田澄也、島村潔、下村良之介、新海覚雄、末松正樹、菅野陽、杉全直、勝呂忠、鈴木賢二、全和凰、曹良奎、高山良策、滝平二郎、建畠覚造、田中亜木男、田中忠雄、玉置正敏、田村茂、土屋幸夫、鶴岡政男、勅使河原蒼風、勅使河原宏、手島右卿、寺田政明、東松照明、常盤とよ子、利根山光人、富山妙子、土門拳、鳥居敏文、名井萬亀、中井勝郎、永井潔、長尾靖、中島保彦、中谷泰、中西勝、長野重一、中野淳、中野秀人、中村宏、中村立行、中本達也、那須良輔、奈良原一高、難波田龍起、新居広治、野見山暁治、野村耕、灰谷正夫、白玲、濱口富治、浜田知明、濱谷浩、林重男、林忠彦、早瀬龍江、坂野耿一、尾藤豊、深沢幸雄、深田敏夫、福井芳郎、福沢一郎、

福島菊次郎、福島秀子、福田恒太、福田新生、藤川清、藤沢典明、藤松博、不動茂弥、古沢岩美、星野真吾、堀内康司、本郷新、本田克己、前田常作、俣野衛、松重美人、松本栄一、松本竣介、松山文雄、真鍋博、丸木位里・俊、三上誠、三木淳、水谷勇夫、箕田源二郎、宮下森、向井潤吉、向井良吉、村井正誠、村上善男、毛利武士郎、森熊猛、森田信夫、森芳雄、柳原義達、矢部友衛、山下菊二、山中春雄、山野卓造〔卓〕、山端庸介、山元恵一、山本敬輔、横山操、吉井忠、吉岡専造、吉田潤、吉田利次、吉仲太造、吉原治良、吉原英雄、吉村正治、米倉寿仁、若林一男、脇田和、渡部雄吉〔出品リスト順〕

現代美術の手法 3 「日本画」純粋と越境〈90 年代の視点から〉●

練馬区立美術館　1998 年 4 月

ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.3

「現代美術の手法展」について（横山勝彦）　p.5

純粋と越境－90 年代の「日本画」考（野地耕一郎）　pp.6-8

図版〔作家のことば、図版〕　pp.9-71

〔作家のことば〕（浅見貴子、味岡伸太郎、菊地武彦、小嶋悠司、斎藤隆、斉藤典彦、菅原健彦、高野勝、滝沢具幸、竹内啓、仲山計介、八木幾朗、山本直彰、楊曉閩、米谷清和）

作家略歴　pp.73-96

作品リスト　pp.97-101

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 4 月 25 日－6 月 7 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：浅見貴子、味岡伸太郎、伊藤彬、岡村桂三郎、小野友三、柄澤齊、菊地武彦、小嶋悠司、斎藤隆、斉藤典彦、菅原健彦、高野勝、滝沢具幸、竹内啓、土屋禮一、仲山計介、マコト・フジムラ、間島秀徳、八木幾朗、山本直彰、楊曉閩、米谷清和〔作品リスト順〕

ヒューマニズムの系譜――日本の具象彫刻 10 人：1930s－1950s ●

日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・読売新聞社・美術館連絡協議会・空間造形コンサルタント　1998 年 5 月

ごあいさつ（主催者）　pp.4, 5　英文併載

ヒューマニズムの系譜――具象彫刻 10 人（酒井哲朗）　pp.8-18, 19-29　英文併載

回想（柳原義達、聞き手・村田哲朗）　pp.30-34

フランスにおける日本の彫刻展（フィリップ・カマン）　pp.35-37, 38-39　和文・仏文

図版〔作家解説、作品リスト、図版〕　pp.41-177

〔作家解説〕（毛利伊知郎、中山恵理、中村聖司、鈴木尊志）　英文併載

関連年譜　pp.178-190

主要関連文献　pp.192-195

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The Humanist Tradition in Japan：Ten Figurative Sculptors 1930s－1950s」

会期：1998 年 5 月 16 日－6 月 14 日　北海道立旭川美術館　主催：北海道立旭川美術館・「日本の具象彫刻 10 人展」旭川市民実行委員会・旭川美術振興会・読売新聞社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会／8 月 1 日－9 月 6 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・読売新聞中部本社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・中京テレビ放送／10 月 24 日－11 月 23 日　郡山市立美術館　主催：郡山市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会・福島民友新聞社・福島中央テレビ／1999 年 2 月 5 日－3 月 21 日　松山・愛媛県美術館　主催：愛媛県美術館・読売新聞大阪本社・美術館連絡協議会・日本の具象彫刻 10 人展実行委員会

出品：高田博厚、菊池一雄、本郷新、山内壮夫、柳原義達、佐藤忠良、舟越保武、吉田芳夫、西常雄、桜井祐一〔図版収載順〕

建築の 20 世紀〈終わりから始まりへ〉●

デルファイ研究所　1998 年 7 月 1 日

「建築の 20 世紀」展によせて（館長嘉門安雄）　p.6

註：本展はロサンゼルス現代美術館の企画による国際巡回展で、本書はその展覧会カタログの日本語版である。なお、増刷（10 月 1 日）がある。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「AT THE END OF THE CENTURY ONE HUNDRED YEARS OF ARCHITECTURE」

会期：1998 年 7 月 10 日－9 月 6 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・ロサンゼルス現代美術館・日本経済新聞社

出品：安藤忠雄、石井和紘、磯崎新、伊東豊雄、柄谷行人、菊竹清訓、黒川紀章、坂倉準三、篠原一男、杉本博司、谷口吉郎、丹下健三、土浦亀城、長谷川逸子、堀口捨己、前川國男、八束はじめ、山口文象、山田守、山脇巌、吉田五十八〔索引順〕

註：出品作家・建築家は索引に拠った。

パンリアル創世紀展〈戦後日本画の革新運動〉カタログ ●

西宮市大谷記念美術館　1998 年 7 月 11 日　美術の考古学 II

パンリアル宣言　pp.2-3

ごあいさつ（西宮市大谷記念美術館）　p.7

企画者から（篠雅廣）　pp.9-10

「パンリアル美術協会」創世のころ（中井康之）　pp.11-16

図版　pp.17-75

資料

　年表　pp.78-99

出品記録　pp.100-101
作家略歴　pp.102-107
パンリアル宣言草案　pp.108-113
パンリアル宣言　p.114　再録
日本畫と傳統（清水純一）　p.115　再録
反画壇の名のもとに－1950 年代の関西の前衛美術グループ（平井章一）　pp.116-117
1950 年代関西前衛美術グループ綱領　pp.118-119
主要参考文献　p.120
出品リスト　pp.121-123
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 7 月 11 日－8 月 16 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館
出品：山崎隆、三上誠、下村良之介、星野真吾、不動茂弥、大野秀隆〔俶嵩〕、松井章、高濱祺、野村耕、湯田寛、木村嘉子〔出品リスト順〕
註：作家略歴に記されている田中進(竜児)は出品リストには含まれていない。

体感する美術'98 まちとアートのコミュニケーション ●
佐倉市立美術館　1998 年〔9 月〕　第 4 回目
〔ことば〕（永山智子）　p.1
ワークショップ 1、2、3　pp.3-33
公開研究会　pp.34-47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 7 月 19 日－8 月 9 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：ワークショップ結果展示

なぜ、これがアートなの?　アメリア・アレナス著、福のり子訳 ●
淡交社　1998 年 2 月 19 日
第 1 章 アートの神話／第 2 章「開かれた作品」の出現／第 3 章 やんちゃな抽象／第 4 章 きまじめな抽象／第 5 章 そんなに新しくはない――モダンと伝統／第 6 章 マリリンからマドンナへ――メディアとアート／第 7 章「物」は語る／第 8 章 内なる私 / 外なる私／終章　pp.5-193
用語解説（逢坂恵理子、清水穣、都築正敏、沼辺信一、林寿美）
本書に寄せて（林寿美）　pp.194-195
掲載図版一覧　i-iv

用語解説一覧　i

註：本書の内容を基に「なぜ、これがアートなの?」展が企画・開催された。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「IS THIS ART ?」

会期：1998 年 7 月 21 日－9 月 23 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館／10 月 8 日－12 月 6 日　佐倉・川村記念美術館　主催：川村記念美術館／12 月 19 日－1999 年 3 月 22 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

主催：豊田市美術館

出品：I アートを見る、アートを創る；森村泰昌、上田薫、元永定正。II 形のない形；井上有一。III すっきりした形；吉原治良。IV 物は語る；河原温。V 私の内側／私の外側；三宅一生〔豊田市美術館での「出品リスト」順〕

出品：I アートを見る、アートをつくる；元永定正、上田薫。II 形のない形；井上有一。III すっきりしたイメージ；吉原治良。IV 物は語る；河原温、宮島達男。V 私の内側／私の外側；森村泰昌、三宅一生、中山ダイスケ。エピローグ〔水戸芸術館現代美術センターでの「出品リスト」順〕

註：出品欄は日本作家を収載した。

「なぜ、これがアートなの?」展出品リスト

豊田市美術館　1998 年 7 月　1 枚(二ツ折両面刷)

〔出品リスト〕

図版　41 図

展覧会「なぜ、これがアートなの?」

所蔵：□、国新美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 7 月 21 日－9 月 23 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：I アートを見る、アートを創る；森村泰昌、上田薫、元永定正。II 形のない形；井上有一。III すっきりした形；吉原治良。IV 物は語る；河原温。V 私の内側／私の外側；三宅一生〔出品リスト順〕

「なぜ、これがアートなの?」

豊田市美術館　1998 年 7 月　1 枚(両面刷)

図版　8 図

なぜ、これがアートなの?

関連事業等

所蔵：□、国新美、東文研

○展覧会事項〔上記の「出品リスト」に同じ〕

なぜ、これがアートなの?

水戸芸術館現代美術センター　1999 年 2 月 13 日　展覧会資料第 39 号
メイキング・オヴ「なぜ、これがアートなの?」（逢坂恵理子）　pp.5-7
図版〔章コメント、図版〕　pp.8-40
ソフィ・カル「盲目の人々」のテキスト（松浦寿夫訳）　p.41
スペシャル・ギャラリー・トーク（アメリア・アレナス）　pp.42-56
「なぜ、これがアートなの?」のアンケートより　p.57
出品作家・作品について　pp.58-61
出品リスト　pp.62-63
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 12 月 19 日－1999 年 3 月 22 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー
主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：I アートを見る、アートをつくる；元永定正、上田薫。II 形のない形；井上有一。III すっきりしたイメージ；吉原治良。IV 物は語る；河原温、宮島達男。V 私の内側／私の外側；森村泰昌、三宅一生、中山ダイスケ。エピローグ〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

アート/生態系〈美術表現の「自然」と「制作」〉展 ●
宇都宮美術館　1998 年 7 月　主に英文併載　付、ギャラリー・ガイド
ごあいさつ（宇都宮美術館）　p.5
アート/生態系 美術表現の「自然」と「制作」（谷新）　pp.9-19, 133-140
図版〔章解説、作家解説、図版〕　pp.21-131
　章解説（谷新）
　作家解説（谷新、伊藤伸子、福島文靖、北村淳子）
作家略歴・参考文献　pp.141-180
出品作品リスト　pp.181-184
□ギャラリー・ガイド
〔解説、作家解説〕
〔作品配置図〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「Art/Ecosystem　The Contemporary Japanese Art Scene」
会期：1998 年 7 月 23 日－9 月 6 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館
出品：土谷武、村岡三郎、菅木志雄、松井紫朗、草間彌生、辰野登恵子、伊藤公象、星野暁、戸谷成雄、河口龍夫、遠藤利克、小泉俊己、太田三郎、山口啓介、袴田京太朗、丸山直文、高橋靖史〔出品作品リスト順〕

アート/生態系〈美術表現の「自然」と「制作」〉記録集

宇都宮美術館　1999 年

企画とその外部の連関〈アート/生態系－美術表現の『自然』と『制作』展を巡って〉（谷新）pp.4-5

〔作品配置図〕 p.6

図版〔展示風景〕 pp.7-35

出品作品リスト　pp.36-39

註：刊行日は記載されていない。編集は谷新、北村淳子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項〔本体に同じ〕

陶芸の現在的造形 ●

リアス・アーク美術館　1998 年 7 月 29 日

陶芸の現在的造形（奥野憲一） p.5

現代と陶芸〈現代陶芸論への作業仮説あるいは序説として〉（渡部誠一） pp.8-12, 13-16　英文併載

図版〔作家解説、図版〕 pp.17-57

作家解説（木田拓也、今井陽子、冨田康子、奥野憲一、金子賢治、渡部誠一）

現代陶芸の変貌（金子賢治） pp.58-62, 63-66　英文併載

出品作家プロフィールおよび主要参考文献　pp.67-107

作家作品リスト　pp.108-110

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Dialogue with Clay－The Spirit of Contemporary Ceramics」

会期：1998 年 7 月 29 日－9 月 13 日　気仙沼⊡リアス・アーク美術館　主催：リアス・アーク美術館

出品：秋山陽、板橋廣美、井上雅之、加藤委、川口淳、川崎毅、北村純子、清水柾博、小池頌子、齋藤敏寿、重松あゆみ、柴田眞理子、田嶋悦子、中井川由季、中島晴美、深見陶治、前田剛、松本ヒデオ、宮永甲太郎、森野彰人〔作家作品リスト順〕

手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒－静かな光の余韻」●

目黒区美術館　1998 年 8 月

ごあいさつ（館長福永重樹） p.5

白いキャンバスと黒いキャンバス（森田恒之） pp.8-11

絵画のアルファとオメガ－表面と拡がり（小林康夫） pp.12-15

図版〔図版、解説〕 pp.17-76

色彩を超えて－白と黒の在所（降旗千賀子） pp.78-83

作家解説　pp.84-89

作品リスト　pp.90-97
参考図書　pp.98-99
プレ・ワークショップ「白と黒」白黒探偵団がゆく　pp.100-101
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「WHITE and BLACK」
会期：1998 年 8 月 1 日－9 月 15 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・目黒区教育委員会
出品：第一部 白と黒の文化史－色材をめぐって。第二部 美術表現の白と黒；不染鉄、岡田謙三、清原啓子、浅野弥衛、今井俊満、菅井汲、山田正亮、村上友晴、イケムラレイコ、小野皓一、芝章文、浅見貴子、西川勝人〔作品リスト順〕

アート遊園地〔解説〕図録 ●
伊丹市立美術館　1998 年 8 月　英文併載
「アート遊園地」に寄せて（大河内菊雄）
図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕
〔作家のことば〕（太田三郎、中ハシ克シゲ、藤本由紀夫）
『アート遊園地』にみる「時間」「空間」（坂上義太郎）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、N
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE PLEASURE GROUND OF ART」
会期：1998 年 8 月 1 日－9 月 20 日　伊丹市立美術館　主催：伊丹市立美術館
出品：太田三郎、中ハシ克シゲ、藤本由紀夫〔図版収載順〕

アート遊園地〔作品〕図録
伊丹市立美術館　1998 年
図版〔会場写真〕 12p.
出品目録
所蔵：□、都現美、神近美、横浜美
○展覧会事項〔上記解説図録に同じ〕

瀧口修造とその周辺 ●
国立国際美術館　1998 年 8 月 6 日
あいさつ（国立国際美術館） pp.4, 5　英文併載
図版〔図版、文章再録〕 pp.9-118
瀧口修造とその周辺（島敦彦） pp.119-125
瀧口修造略年譜（島敦彦編） pp.127-133
瀧口修造 主要著作・関連文献（島敦彦編） pp.134-138
作家略歴・主要参考文献　pp.139-143
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「To and From Shuzo Takiguchi」

会期：1998 年 8 月 6 日－9 月 27 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：瀧口修造、滝口修造＋岡崎和郎、マルセル・デュシャン、リチャード・ハミルトン、荒川修作、池田龍雄、岡崎和郎、加納光於、加納光於＋大岡信、菊畑茂久馬、草間彌生、工藤哲巳、中西夏之、宮脇愛子、ジョセフ・コーネル、サム・フランシス、ジャスパー・ジョーンズ、アンリ・ミショー、ジョアン・ミロ、ジョアン・ミロ＋滝口修造、阿部展也、阿部芳文〔展也〕＋滝口修造〔図版収載順〕

福岡美術戦後物語〈ふるさと美術誌―福岡市を中心に〉　福岡市美術館編 ●

福岡美術戦後物語展実行委員会　1998 年 8 月 8 日

ごあいさつ（主催者）p.3

展覧会構成について（柴田勝則）　pp.3-4

図版〔章解説、論考、章概説、出品作品、図版〕　pp.5-124

章解説、本章概説（柴田勝則）

前衛芸術集団「ソシエテ・イルフ」の活動（松浦仁）

吉田博・和田三造・児島善三郎・中村研一の戦後（古川智次）

九州派覚書（山内重太郎）

文化行政の中で〈福岡県文化会館（現・福岡県立美術館）を中心に〉（古賀唯介）

「九州・現代美術の動向展」とその周辺（深野治）

大学と美術教育（宮崎集）

福岡における美術批評とジャーナリズム（谷口治達）

在任中の思い出（副島三喜男）

あのころ このころ（谷健太郎）

海外に飛躍する美術家たち（吉田浩）

素晴しき出店―ふくおかと大阪フォルム画廊（中島民雄）

作家略歴（柴田勝則、山口洋三、山本香瑞子、大久保京）　pp.125-144

年表（柴田勝則・大久保京編）　pp.145-173

主要参考文献　pp.174-175

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 8 月 8 日－9 月 6 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本

出品：序章 昭和初期：戦前・戦中の福岡美術；青柳暢夫、児島善三郎、多々羅義雄、津上昌平、中村研一、中村琢二、光安浩行、水上泰生、山喜多二郎太、山崎朝雲、吉田博、和田三造、伊藤研之、高橋渡、久野久、許斐儀一郎、田中善徳、青木寿、椎野修、庄野伊甫、田中冬心、真隅太荘。第 1 章 西部美術協会とその前後；井上寛信、今西中通、上田宇三郎、寺田竹雄、冨永朝堂、野見山暁治、松尾晃華、松永□〔冖＋刂〕山。第 2 章 朱風貌社の画家たち；

赤星孝、上田宇三郎(重)、宇治山哲平、久野大正、山田栄二。第 3 章 シニア美術家たちの戦後；青柳暢夫(重)、今中素友、梶原貫五、熊野礼夫、児島善三郎(重)、小早川清、多々羅義雄(重)、冨永朝堂(重)、中村研一(重)、中村琢二(重)、藤岡一、光安浩行(重)、水上泰生(重)、安永良徳、山喜多二郎太(重)、吉田博(重)、吉村忠夫、和田三造(重)。第 4 章 中央美術団体復活と美術家たち；赤星孝(重)、石田耕古、伊勢幸平、井上寛信(重)、今長谷巌、大内田茂士、大村清隆、織田廣喜、甲斐巳八郎、木下邦子、熊代駿、高野達、立花重雄、手島貢、豊島綱明、広瀬不可止、松井源右衛門、松村三之、山田栄二(重)。第 5 章 九州派の美術家たち；石橋泰幸、大黒愛子、大山右一、オチ・オサム、尾花成春、尾張猛、菊畑茂久馬、木下新、斉藤秀三郎、桜井孝身、麿墨静量、谷口利夫、田部光子、寺田健一郎、舟木富治、俣野衛、皆島万作、宮崎準之助、八柄豊〔雄高〕、山内重太郎、米倉徳。第 6 章 福岡県文化会館(現・福岡県立美術館)開館；片山摂三、冨田溪仙、吉村忠夫(重)。第 7 章 九州・現代美術の動向展/今日の美術展の美術家たち；引頭勘治、小串英次郎、貝島福通、加呂昌太郎、小谷修一、田副正武、寺田健一郎(重)、中西久吉、馬場武尚、安川民畝。第 8 章 福岡市美術展・西日本美術展始まる；伊藤研之、斉藤秀三郎(重)、 仙頭利通、滝口文吾、鳥飼寿徳、永淵純一、濱田隆志。第 9 章 大学と美術家たち；柴田善二、高村正之、築山節生、原田新八郎、宮崎集、赤堀光信、鐘ヶ江寿、児島幸雄、鶴甫、豊福孝行、石橋健作、井上正勝、木戸龍一、花田喜八郎。第 10 章 美術批評とジャーナリズム。第 11 章 福岡市美術館開館；小山正、菊竹清文、永崎通久、山崎直秀。第 12 章 様々な美術グループ；秋吉素碩、阿部平臣、池田正臣、上村光夫、大神崇維、小川蓮太郎、鬼木美代子、川添達成、河津嘉三、河原大輔、國崎登美、久保田治美、島一行、タイガー立石、高倉準一、竹岡羊子、谷健太郎、長谷川陽三、日野耕之祐、松浦安弘、松重明、吉本尚二。第 13 章 海外での活躍；板谷房、瓦林睦生、豊福知徳、野見山暁治(重)、萩谷巌、古川吉重。第 14 章 画廊活動と福岡市彫刻のあるまちづくり事業。第 15 章 西日本文化賞、福岡市文化賞の美術家たち；伊藤研之(重)、山本作兵衛、青木寿(重)、赤星信子、足達襄、小野茂明、小田部泰久〔出品作品順〕

大地の造形〈東北の彫刻家たち〉図録 ●

秋田県立近代美術館　1998 年 8 月

ごあいさつ（秋田県立近代美術館）　p.3

座談会 北の風土に潜むもの（井上芳明・田中日佐夫・小笠原光・三浦直）　pp.4-8

図版　pp.9-66

出品目録　pp.68-69

作家略歴　pp.70-75

主要参考文献　pp.76-77

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 8 月 29 日－10 月 11 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：秋田県立近代美術館

出品：I 原始のかたち。II 祈りのかたち。III 大地に刻む(1)近代彫刻の始まり；佐藤朝山。

(2)風土と造形；中野桂樹、橋本朝秀、新海竹蔵、三国慶一、桜井祐一、北村正信、本郷新、三坂耿一郎、佐藤忠良、舟越保武、千野茂、小坂圭二、岩野勇三、米坂ヒデノリ、工藤健。(3)かたちの広がり；昆野恆、植木茂、吾妻兼治郎、遠藤洪平六、皆川嘉博。(4)いのちを刻む；阿部米蔵、砂澤ビッキ、鈴木実、峯田敏郎、舟越桂〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の彫刻家を収載。

「加害／被害」展カタログ ●

板橋区立美術館　1998 年 8 月　特別展　シリーズ・ART IN TOKYO No.10

ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3

美術作品にみられる「加害／被害」（尾崎眞人）　pp.5-8

図版　pp.9-68

作家解説〔作家略歴、文献〕　pp.69-94

作品リスト　pp.95-98

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Attack / Damage」

会期：1998 年 8 月 29 日－10 月 25 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：香月泰男、浜田知明、丸木位里・俊、古沢岩美、山下菊二、太田三郎、殿敷侃、岩瀬殉一郎、郭徳俊、原仲裕三、木村稔、熊野谷毅、BuBu＋嶋田美子、嶋田美子、丸山芳子、山本直木、オルタンシァ・ラミレス、佐藤時啓、宋賢淑、豊嶋康子、鳥光桃代、牛波、堀浩哉、丸山常生〔作品リスト順〕

インサイド／アウトサイド 日本現代彫刻の 8 人 ●

新潟県立近代美術館　1998 年 9 月

ご挨拶（新潟県立近代美術館・新潟日報社）　p.3　英文併載

図版〔図版、展示風景〕　pp.5-60

　野外作品の配置、会場内の作品配置

資料〔作家解説、年譜、文献〕（小見秀男、桐原浩）　pp.61-88, 98-114

あとがき〈本展開催経緯と当館の野外彫刻設置について〉（桐原浩）　pp.89-91

出品目録　pp.92-96, 115-118

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、

○展覧会事項

欧文タイトル：「Inside/Outside　Japanese Contemporary Sculpture by Eight Artists」

会期：1998 年 9 月 5 日－10 月 11 日　長岡・新潟県立近代美術館　主催：新潟県立近代美術館、共催：新潟日報社

出品：青木野枝、岡本敦生、小清水漸、竹田康宏、中岡慎太郎、舟越直木、前田哲明、松井紫朗〔出品目録順〕

ART TODAY 1998 ミメーシス――わたしの「かたち」〈世紀末の新しい表現〉 ●

セゾン現代美術館　1998 年 9 月
ミメーシスーわたしの「かたち」（中村麗）
図版〔作家のことば、図版、作家略歴、作家論〕　32p.
〔作家のことば〕（石川順惠、堂本右美、ひびのこづえ、森田多恵）
〔作家論〕（中村麗）
図版リスト
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、横浜美、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART TODAY MIMESIS」
会期：1998 年 9 月 12 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館
出品：石川順惠、堂本右美、ひびのこづえ、森田多恵〔図版リスト順〕

「東北の形象――20 世紀からの発見」展図録 ●
NHK 東北プランニング　1998 年 10 月 2 日
あいさつ（宮城県美術館・NHK 仙台放送局）　p.7
20 世紀・東北の発見（三上満良）　pp.9-11
石斧と工具――快地よい「かたち」について（西野嘉章）　pp.12-13
円環と祈り――生と死の紋章をめぐって（赤坂憲雄）　pp.14-16
図版〔章解説、図版、論考、出品目録、作家のことば、図版目録〕　pp.17-109
〔章解説、論考〕（有川幾夫、三上満良）
賜物として東北へ――村上善男・内藤正敏のヴィジョン（工藤正廣）
〔作家のことば〕（村上善男、内藤正敏）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 10 月 3 日－11 月 8 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・NHK 仙台放送局
出品：村上善男、内藤正敏〔図版収載順〕

企画展図録『ニュー・ヴィジョン・サイタマー黒田克正、稲憲一郎、小山穂太郎』●
埼玉県立近代美術館　1998 年 10 月　主に英文併載
あいさつ　p.3
展示作品図版　pp.5-20
出品リスト　pp.21-28
作家解説、資料（作家解説：松永康、資料：長谷川てい・小林未央子編）　pp.29-152
あとがき（松永康）　pp.154-155, 156-157
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項

展名：ニュー・ヴィジョン・サイタマ〈消えてゆくもの 満ちてくるもの〉
欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA」
会期：1998 年 10 月 3 日－12 月 6 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：黒田克正、稲憲一郎、小山穂太郎〔出品リスト順〕

マンガの時代〈手塚治虫からエヴァンゲリオンまで〉●
東京都現代美術館・広島市現代美術館　1998 年 10 月
ごあいさつ（主催者）pp.2-5
戦後物語マンガ論－周縁の力（山口昌男）pp.10-27
図版〔章解説、年表、図版〕pp.29-336
　章解説（出原均、大賀洋介、岡本芳枝、堀田義隆）
　年表（乙葉哲編）
「マンガ史」とはなにか－戦後マンガへのいくつかの視座（村上知彦）pp.206-216
資料集
　マンガの時代・出品リスト　pp.338-347
　マンガの時代・参考文献リスト　pp.348-353
註：編集は矢口國夫、大賀洋介、乙葉哲、出原均、岡本芳枝。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The MANGA Age」
会期：1998 年 10 月 3 日－12 月 13 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・朝日新聞社／1999 年 2 月 6 日－4 月 11 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ
出品：26.アートとマンガとの間；相原コージ・竹熊健太郎、安西水丸、井口真吾、石ノ森章太郎、佐々木マキ、スージー甘金、高野文子、根本敬、畑中純、藤原カムイ、松本大洋、湯村輝彦＋糸井重里。27.現代美術とマンガ；ロイ・リキテンスタイン、タイガー立石、村上隆、奈良美智、太郎千恵藏、西山美なコ〔出品リスト順〕
註：本展は手塚治虫、さいとう・たかを、白土三平、赤塚不二夫、藤子・F・不二雄ら多くの漫画家が出品されているが、上記 2 章のみを収載した。

芸術と環境－エコロジーの視点から ●
国立国際美術館　1998 年 10 月　主に英文併載
あいさつ（国立国際美術館）　pp.4, 5
芸術と環境――エコロジーの視点から（加須屋明子）　pp.6-21, 98-113
文化の中のエコロジー（ヤン・リルケ）　pp.22-27, 114-119
エコロジー的美学は可能か?（クリスティーナ・ヴィルコシェフスカ）　pp.28-29, 120-122
銀の重さの体にちなんだ千年祭（マリア・モジューフ）　pp.30-31, 123-124
図版〔文章再録、図版、作家のことば〕　pp.33-96

〔作家のことば〕（日本作家；PH スタジオ、石内都）
作家略歴　pp.126-133, 134-142
主要参考文献（加須屋明子編）　pp.143-155
出品作品リスト　pp.156-157, 158-159
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART AND THE ENVIRONMENT FROM AN ECOLOGICAL POINT OF VIEW」
会期：1998 年 10 月 8 日－11 月 24 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団
出品：ユゼフ・シャイナ、モンティエン・ブンマー、フェリックス・シュテファン・フーバー、ミロスワフ・バウカ、PH スタジオ、石内都〔出品作品リスト順〕

流動する美術－VI 私だけの MUSEUM ●
福岡市美術館　1998 年 10 月 13 日
ごあいさつ（福岡市美術館）　p.3　英文併載
作家との E メール交換（阿部浩二＋山出淳也＋山口洋三）　pp.4-8, 22-24, 41-43
図版〔作家略歴、作家論、図版〕　pp.9-21, 25-40
〔作家論〕（山口洋三）
それぞれの「私」が見ている世界を映し出す[MUSEUM]　（山口洋三）　pp.44-46
文献　pp.46-47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art in Flux VI　Museum for nothing but me」
会期：1998 年 10 月 13 日－12 月 13 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館
出品：阿部浩二、山出淳也〔図版収載順〕

日韓現代美術展〈自己と他者の間〉●
目黒区美術館・国立国際美術館・国際芸術文化振興会　1998 年 10 月　主に韓文併載
ごあいさつ（主催者）　p.3
メッセージ（申樂均）　p.4
メッセージ（海部俊樹）　p.5
メッセージ（金爽圭）　p.6
巷の孤児としての美術――日本、そして韓国（千葉成夫）　pp.8-11
自己と他者の間〈韓国現代美術におけるふたつの断層〉（金英順）　pp.12-15
図版 1〔作家略歴、作家解説、図版〕　pp.17-89
作家解説（千葉成夫、金英順）
ドリーム・プラン（家村珠代）　pp.90-92

出品作品リスト　pp.93-96
図版 2 目黒区美術館での展示風景　pp.97-123
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Between the Unknown Straits」
会期：1998 年 10 月 15 日－11 月 23 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館・社団法人国際芸術文化振興会・韓日美術交流振興会／1999 年 4 月 8 日－5 月 16 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・社団法人国際芸術文化振興会・韓日美術交流振興会
出品：斎藤義重、草間彌生、小沢剛、平田五郎、やなぎみわ、須田悦弘〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

幻想植物園展〈アートが表現する植物の生命力〉●
平塚市美術館　1998 年 10 月
ごあいさつ（館長福田徳樹）　p.2
人と植物の五千年（浜口哲一）　pp.5-8
図版〔章解説、展示資料解説、図版、工芸作品解説〕　pp.9-48
作家略歴＋インタビュー　pp.49-61
　インタビュー（草間彌生、荒木経惟、関島寿子、池田久嗣、岩崎永人、銅金裕司）
一枚の葉っぱから現代アートまで（端山聡子）　pp.62-65
夢見る装置としての植物園（小池光理）　pp.66-68
出品作品リスト　pp.69-71
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 10 月 17 日－12 月 13 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館
出品：第 3 部アートになった植物；草間彌生、荒木経惟、関島寿子、池田久嗣、岩崎永人、銅金裕司〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は第 3 部「アートになった植物」の作家を収載した。

「草月とその時代 1945-1970」展カタログ ●
草月とその時代 1945-1970 展実行委員会　1998 年 10 月 17 日
ごあいさつ（主催者）　p.5
草月と戦後日本の芸術運動（勅使河原宏）　pp.8-9
I オブジェの時代　pp.11-82
　あいまいなる戦後のオブジェ（建畠哲）　pp.12-16
　戦後アヴァンギャルドの出発－「夜の会」から実験工房へ（五十殿利治）　pp.17-21
　勅使河原蒼風の立体造形（藁科英也）　pp.22-31
　作品図版　pp.33-63

解説（藁科英也）
コラム　pp.64-66
戦前期の蒼風コレクション／三人三様－土門拳、亀倉雄策と蒼風（藁科英也）、ヌードと前衛（橋本裕之）
文献再録　pp.68-81
文献解題（藁科英也）　p.82
II アンフォルメル　pp.83-195
勅使河原蒼風とアンフォルメル(と私)（芳賀徹）　pp.84-87
日本におけるアンフォルメルの受容（加藤瑞穂）　pp.88-98
作品図版　pp.99-131
作家解説（梶原伯子、加藤瑞穂）
コラム　pp.132-147
世界・今日の美術展／アンフォルメル関係者の来日／世界・現代芸術展／新しい絵画世界展〈アンフォルメルと具体〉／国際スカイフェスティバル（加藤瑞穂）
文献再録　pp.148-157
参考文献（加藤瑞穂編）　pp.158-171
関連年表（加藤瑞穂編、協力・磯野昌子、岡本由加、藁科英也）　pp.172-195
III 草月アートセンター　pp.197-303
草月アートセンター〔活動記録〕（山本淳夫編）　pp.198-298
文献再録　草月アートセンター（秋山邦晴）　pp.201---295
コラム（山本淳夫、長谷川雅丈）　pp.203---281
朱いベーゼンドルファー・ピアノにジャズは似合うだろうか〈草月とジャズ〉（相倉久人）pp.222-224
「音の実験」と草月アートセンター（山本淳夫）　pp.246-249
草月シネマテークの時代－実験映画と実験映像を中心に（正木基）　pp.274-279
SAC 総目次　pp.299-303
出品目録　pp.304-313
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1998 年 10 月 17 日－11 月 29 日　芦屋市立美術博物館　主催：芦屋市立美術博物館・芦屋市文化振興財団・朝日新聞社・草月とその時代展実行委員会／12 月 5 日－1999 年 1 月 10 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・朝日新聞社・草月とその時代展実行委員会　協力：財団法人草月会
出品：I オブジェの時代；阿部展也、榎本和子、岡本太郎、大辻清司、北代省三、駒井哲郎、瀧口修造、勅使河原蒼風、勅使河原宏、イサム・ノグチ、橋本正司、福沢一郎、福島秀子、堀内正和、毛利〔堂本〕真美、山口勝弘、八木一夫、山田光。〔「APN」のための構成〕山口

勝弘；大辻清司・北代省三・斎藤義重・勅使河原蒼風・長谷川三郎、勅使河原宏、鈴木秀太郎、大野齊治、桂川寛、安部公房。II アンフォルメル；フランコ・アセット、ジュゼッペ・カポグロッシ、ジャン・デュビュッフェ、ジャン・フォートリエ、ルーチョ・フォンタナ、サム・フランシス、フランコ・ガレッリ、ジョルジュ・マチウ、ジョアン・ミッチェル、ジャン=ポール・リオペル、アントニ・タピエス、マーク・トビー、ヴォルス、今井俊満、嶋本昭三、白髪一雄、田中敦子、勅使河原蒼風、堂本尚郎、福島秀子、村上三郎、元永定正、吉原治良。III 草月アートセンター；ジャン・ティンゲリー、ジャスパー・ジョーンズ、勅使河原宏、ロバート・ラウシェンバーグ、小島信明、三木富雄、山口勝弘、アンディ・ウォーホル〔書籍・写真雑誌・パンフレット・ポスター・チラシなどの印刷物、楽譜、台本、録音、16 ミリ・36 ミリ・アニメーション・映画などの映像は割愛した〕

北の創造者たち'98 平面の断章 III 知覚される身体性 図録 ●

財団法人札幌芸術の森　1998 年 10 月

序・一枚の絵と身体性（大野正勝）　p.3

図版〔出品リスト、作家略歴、作家解説、図版〕　pp.4-39

作家解説（大野正勝）

会場構成図　p.40

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 10 月 18 日－1999 年 1 月 24 日　札幌・芸術の森美術館　主催：財団法人札幌芸術の森

出品：艾沢詳子、井上まさじ、高橋靖子、今泉真治、高坂和子、江川博〔図版収載順〕

現代の精鋭作家たち展〈21 世紀の日本洋画を担う〉●

中日新聞社　1998 年 11 月

ごあいさつ（主催者）　p.5

20 世紀絵画の回顧と 21 世紀への展望（村木明）　pp.6-10

図版〔作家略歴、図版〕　pp.11-131

出品目録　pp.132-133

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 11 月 6 日－17 日　名古屋・松坂屋美術館　主催：中日新聞社・松坂屋美術館／1999 年 1 月 3 日－15 日　新潟・三越　主催：新潟日報社／3 月 2 日－8 日　大阪・近鉄アート館　主催：産経新聞社／4 月 29 日－6 月 9 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：安田火災美術財団・東京新聞・NHK サービスセンター／6 月 19 日－7 月 11 日　明石市立文化博物館　主催：明石市立文化博物館・神戸新聞社

出品：相笠昌義、池口史子、石垣定哉、稲垣孝二、井上悟、今井信吾、入江観、江村正光、遠藤彰子、大津英敏、大沼映夫、岡野博、奥谷博、笠井誠一、金森宰司、金子亨、川村悦子、

北久美子、絹谷幸二、桐生照子、黄憲、小島俊男、小西保文、齋藤研、坂口國男、坂田哲也、桜井寛、桜田久美、佐々木豊、佐藤泰生、芝田米三、島田鮎子、島田章三、志村節子、瀬川富紀男、高橋幸彦、谷川泰宏、中村清治、中山忠彦、野田弘志、橋本博英、林清納、林敬二、平賀敬、福本章、藤田吉香、堀研、堀晃、本田希枝、前田常作、馬越陽子、増田常徳、松樹路人、松本英一郎、宮下実、森本草介、山田修市、山本達郎、山本文彦、湯澤宏〔出品目録順〕

チバ・アート・ナウ'98 FREAKS〈境界線上の遊戯〉●

佐倉市立美術館　1998 年 11 月 15 日

チバ・アート・ナウ'98 の開催にあたって（館長海野道義）　p.3

FREAKS－境界線上の遊戯－について（黒川公二）　pp.4-5

虎の威を借りて誅す（中村敬治）　pp.6-7

図版　pp.8-58

展示配置図　p.59

作家資料〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.60-69

〔作家のことば〕（落田洋子、柏木賢造、勝本みつる、立石大河亞〔再録〕、原高史）

出品作品一覧　pp.70-71

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「CHIBA Art Now '98　FREAKS」

会期：1998 年 11 月 15 日－12 月 20 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：落田洋子、柏木賢造、勝本みつる、立石大河亞、原高史〔出品作品一覧順〕

「曖昧なる境界――影像としてのアート」展 ●

品川文化振興事業団 O 美術館　1998 年 11 月

ごあいさつ（品川文化振興事業団 O 美術館）　p.3　英文併載

曖昧さについて（建畠哲）　pp.5-6

静かに戒められる感覚（杉田敦）　pp.7-8

影像的（天野一夫）　pp.9-14

カタログ〔目録、作品解説、図版、アンケート、ワークショップ、コメント、展覧会についてのコメント〕　pp.15-40

作家解説・アンケート・ワークショップ・コメント・展覧会についてのコメント（秋岡美帆、市川美幸、伊庭靖子、小河朋司、小山穂太郎、徳永雅之、中野西敏弘、森田多恵）

作家略歴　pp.41-49

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Anbiguous border：Art as a shadow 」

会期：1998 年 11 月 20 日－12 月 23 日　大崎・O 美術館　主催：品川文化振興事業団 O 美術館

出品：秋岡美帆、市川美幸、伊庭靖子、小河朋司、小山穂太郎、徳永雅之、中野西敏弘、森田多恵〔目録順〕

第 32 回現代美術選抜展図録 ●

大垣市スイトピアセンターアートギャラリー・今治市河野美術館・前橋市民文化会館・水沢市文化会館　1998 年 11 月

ごあいさつ（文化庁長官林田英樹）p.3

図版〔図版、作家略歴、出品目録、作家のことば〕pp.5-44

第 32 回現代美術選抜展開催要項　p.46

出品団体・出品点数一覧　p.46

〔出品団体系図〕　p.47

所蔵：□、東近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岐阜展；1998 年 11 月 22 日－12 月 7 日　大垣市スイトピアセンターアートギャラリー　主催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市・大垣市教育委員会・大垣市文化事業団／愛媛展；12 月 13 日－27 日　今治市河野美術館　主催：文化庁・愛媛県・今治市教育委員会・今治市河野美術館／群馬展；1999 年 1 月 8 日－22 日　前橋市民文化会館　主催：文化庁・群馬県教育委員会・前橋市・前橋市教育委員会・前橋市民文化会館／岩手展；1 月 28 日－2 月 11 日　水沢市文化会館　主催：文化庁・岩手県教育委員会・水沢市・水沢市教育委員会・水沢市文化振興財団

出品：日本画；菅原健彦、西田俊英。洋画；太田冬美、畑中優。版画；藤浪理恵子、薬師寺章雄。彫刻；海老塚耕一〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上作品の作家のみ収載。

アート・ナウ ’98〈ほとばしる表現力－『アウトサイダー・アート』の断面〉　兵庫県立近代美術館編 ●

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　1998 年 11 月

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.3

他者のまなざしから内側へ－「アウトサイダー・アート」の昨今（服部正）　pp.5-7

図版〔章解説、作家略歴、図版〕　pp.9-53

〔章解説〕（服部正）

アート・ナウ’98 作品リスト　pp.54-58

主要参考文献（服部正編）　p.59

所蔵：□、国新美

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW ’98 OVERFLOWING POWER OF EXPRESSION：ASPECT OF “OUTSIDER ART”」

会期：1998 年 11 月 28 日－1999 年 1 月 17 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

註：作者なので出品欄は割愛した。

第 15 回平行芸術展 イメージ・ストーカー ●

小原流企画開発部　1999 年 3 月 27 日

ゆらぐイメージ、厳密なる偽装（峯村敏明）　pp.1-2, 19-20

図版〔作家略歴、図版〕　pp.3-18

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1998 年 12 月 1 日－15 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、

主催：財団法人小原流

出品：高橋信行、林田直子、丸山直文、米原昌郎、渡邉盈〔図版収載順〕

福島の新世代'98 ●

福島県立美術館　1998 年 12 月 11 日

ごあいさつ（福島県立美術館）　p.3

未知なるものとの出会い（早川博明）　p.7

カタログ〔図版〕　pp.9-52

資料〔作家略歴、作家のことば〕　pp.53-67

〔作家のことば〕（石川貞治、薄井崇友、宗像利浩、線幸子、加藤学、高橋克之、渡辺晃一）

A Message to the Next Century〈7 つの世界から〉（真柴毅）　pp.68-71

主要参考文献　pp.72-73

出品リスト　pp.74-75

註：編集は真柴毅、久慈伸一、宮武弘。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A Message to the Next Century」

会期：1998 年 12 月 11 日－1999 年 2 月 7 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館・福島民報社・テレビュー福島

出品：石川貞治、薄井崇友、宗像利浩、線幸子、加藤学、高橋克之、渡辺晃一〔出品リスト順〕

1999（平成 11）年

MOT アニュアル 1999 ひそやかなラディカリズム 展覧会カタログ ●

東京都現代美術館　1999 年 1 月　第 1 回展

ごあいさつ（東京都現代美術館）　pp.4, 5

ひそやかなラディカリズム（南雄介）　pp.8-16, 123-127

カタログ〔会場配置図、図版、作家のことば〕　pp.17-91

〔作家自身によるステイトメント〕（内藤礼〔4 文字〕、関口国雄、杉戸洋〔2 行〕、髙柳恵里、

丸山直文、吉田哲也、中沢研、河田政樹、小沢剛） pp.120-121 英文
出品リスト pp.95-98
作家略歴・参考文献（橋本啓子編） pp.99-119
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MOT Annual 1999 Modest Radicalism」
会期：1999 年 1 月 15 日－3 月 28 日 東京都現代美術館 主催：東京都現代美術館
出品：内藤礼、関口国雄、杉戸洋、髙柳恵里、丸山直文、吉田哲也、中沢研、河田政樹、小沢剛〔出品リスト順〕

MOT アニュアル 1999 ひそやかなラディカリズム〔鑑賞の手引き〕
東京都現代美術館 1999 年 1 月 第 1 回展
ひそやかなラディカリズム（南雄介）
〔作家自身によるステイトメント〕（内藤礼、関口国雄、杉戸洋〔2 行〕、髙柳恵里、丸山直文、吉田哲也、中沢研、河田政樹、小沢剛）
〔解説〕（担当学芸員）
所蔵：□、東近美、都現美(展示解説)、和光大
○展覧会事項〔展覧会カタロに同じ〕

「DOMANI・明日」展 1999 図録 ●
文化庁・読売新聞社 1999 年 2 月
ごあいさつ（主催者） p.5
「DOMANI・明日」展 1999 開催にあたり（大島哲以） p.6
芸術家在外研修制度について p.7
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.9-53
〔作家のことば〕（川﨑麻児、西田俊英、山本直彰、内田あぐり〔2 行〕、中村文子、末永敏明、浅野均、斉藤典彦）
出品作品リスト pp.54-55
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、東大駒、国会図
○展覧会事項
展名：未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 1999〈文化庁芸術家在外研修の成果〉
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1999 年 2 月 2 日－28 日 新宿・安田火災東郷青児美術館 主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社／4 月 11 日－5 月 9 日 秋田市立千秋美術館 主催：秋田市立千秋美術館・文化庁・読売新聞社
出品：川﨑麻児、西田俊英、山本直彰、内田あぐり、中村文子、末永敏明、浅野均、斉藤典彦。特別出品；大島哲以、小嶋悠司、戸田康一、平岩洋彦、松井和弘〔出品作品リスト順〕

「現代美術のレッスン・1」GUIDE ●
秋田市立千秋美術館 1999 年 2 月 11 日 ポストカード 12 枚＋解説文 1 枚(ケース入)

□ケース
ごあいさつ（秋田市立千秋美術館・ABS 秋田放送）
作品リスト
□〔解説文、1 枚両面刷〕
『現代美術のレッスン・1』鑑賞のポイント
□ポストカード〔各作家略歴、作品解説〕
註：編集は松尾由美子、鈴木葉子。
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CONTEMPORARY ART」
会期：1999 年 2 月 11 日－3 月 22 日　秋田市立千秋美術館　主催：秋田市立千秋美術館・ABS 秋田放送
出品：ロイ・リキテンスタイン、李禹煥、ラファエル・ソト、難波田龍起、イヴ・クライン、草間彌生、ヨーゼフ・ボイス、ジョージ・シーガル、アンディ・ウォーホル、河口龍夫、上田薫、若江漢字〔作品リスト順〕

「アクション 行為がアートになるとき 1949-1979」カタログ 日本語版 ●
東京都現代美術館　1999 年 2 月
あいさつ（館長嘉門安雄）　p.5
まえがき（リチャード・コシャレック）　p.9
序/謝辞（ポール・シンメル）　pp.10-15
虚空への跳躍－パフォーマンスとそのオブジェ（ポール・シンメル）　pp.17-119
身体と場――日本の戦後美術におけるアクション（尾崎信一郎）　pp.121-157
身振りとオブジェ――アクションという解放〈ヨーロッパにおけるパフォーマンス・アート〉（ヒューバート・クロッカー）　pp.159-195
生の戦略――全体像と主眼点〈ブエノスアイレス/ロンドン/リオデジャネイロ/サンティアゴ 1960-1980 年〉（ガイ・ブレット）　pp.197-225
無垢な悦び――世界各地のアート・アクション（クリスティーン・スタイルズ）　pp.227-329
動詞としての美術――進化する連続性（レスリー・キング＝ハモンド、ロウリー・ストークス・シムズ）　pp.331-343　再録
行為がアートになるとき――東京展によせて（岡村恵子）　pp.345-349
出品作品リスト　pp.351-363
主要参考文献（藤井亜紀編）　pp.365-383
図版索引　pp.384-385
所蔵者一覧　p.386
註：このカタログはロサンゼルス現代美術館発行「Out of Actions：Between Performance and the Object, 1949-1979」展カタログの日本語版として編集・刊行されたもので、編集は塩田純一、岡村恵子、藤井亜紀。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、

国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Out of Actions：Between Performance and the Object, 1949-1979」

会期：1999 年 2 月 11 日－4 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・ロサンゼルス現代美術館

出品：赤瀬川原平、金山明、久保田成子、工藤哲巳、草間彌生、村上三郎、中西夏之、小野洋子、嶋本昭三、白髪一雄、高松次郎、田中敦子〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載した。

時代の体温 ●

世田谷美術館　1999 年 2 月

ごあいさつ（世田谷美術館）　英文併載

図版　pp.1-32

ART / DOMESTIC of the Time（東谷隆司）　pp.33-62

List of Works　pp.65-125

Artists Note　pp.127-143

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART / DOMESTIC　Temperature of the Time」

会期：1999 年 2 月 11 日－3 月 22 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：奈良美智、多田美波、東恩納裕一、田中敦子、大木裕之、根本敬、大竹伸朗〔図版収載順〕

TOSA－TOSA ’99 紙 ●

高知県立美術館　1999 年 2 月

ごあいさつ（館長鍵岡正謹）　p.5

図版〔作家のことば、図版、作家略歴〕　pp.7-151

〔作家のことば〕（井田照一〔再録〕、岩村伸一、橿尾正次、北泰子、北古味可葉、坂本直昭、辻けい、浜井弘治、三嶽伊紗〔再録〕、宮田福美、横谷研二、吉田富久一）

参考資料編〔図版〕　pp.153-159

作品展示配置図　pp.160-161

現代美術と紙（鍵岡正謹）　pp.164-167

「TOSA－TOSA ’99 紙」〈視覚と感覚の出会い〉（影山千夏）　pp.168-171

「TOSA－TOSA ’99 紙」関連企画　pp.172-177

出品作品目録　pp.178-179

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TOSA－TOSA ’99　paper」

会期：1999 年 2 月 14 日－3 月 22 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社

出品：井田照一、岩村伸一、橿尾正次、北泰子、北古味可葉、坂本直昭、辻けい、浜井弘治、三嶽伊紗、宮田福美、横谷研二、吉田富久一〔出品作品目録順〕

このアートで元気になる エイブル・アート'99 ●

日本障害者芸術文化協会・東京　1999 年 2 月　英文併載

ごあいさつ（主催者）　p.3

カタログ〔図版、作家のことば〕　pp.5-47

〔作家のことば〕（坂上チユキ）

「エイブル・アート」案内記（服部正）　pp.50-52, 53-55

作品リスト　pp.56-61

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art to Revitalize－ABLE ART '99 TOKYO」

会期：1999 年 2 月 16 日－3 月 22 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・日本障害者芸術文化協会・東京、朝日新聞社

出品：みずのき寮、やまなみ工房、すずかけ絵画クラブ、富士山弘願寺、造形物研究所(信楽青年寮)、工房絵、アトリエひこ、素心学院、川口太陽の家、野呂山学園、たんぽぽの家、四恩職業センター、風の工房、万葉荘園、善人工房、ひふみ園、徳岡麻実子、光島貴之、佐々木卓也、伊藤悦子、坂上チユキ、此花第 2 太平学園、アトリエ・ポレポレ〔作品リスト順〕

VOCA 展'99「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　1999 年 2 月　英文併載

「VOCA 展'99」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展'99」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、委員一覧〕　pp.9, 93, 99

〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、谷新）　pp.11-15, 94-98

図版〔出品作家、作家解説、図版〕　pp.17-83

〔作家解説〕（安黒正流、荒木夏実、出原均、原田光、長谷川祐子、早川博明、石川健次、鍵岡正謹、笠原美智子、川浪千鶴、菊屋吉生、木本文平、倉林靖、黒川公二、草薙奈津子、李美那、前山裕司、松本透、三上満良、南雄介、光田由里、名古屋覚、中谷至宏、大野正勝、翁長直樹、太田垣實、尾﨑信一郎、佐藤友哉、菅章、菅原教夫、谷内克聡、冨迫美幸、植松由佳）

〔作家略歴〕　pp.85-92, 100-113

註：推薦委員のうち坂元暁美の文章は無い。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：1999 年 2 月 20 日－3 月 7 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財

団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：粟国久直、会田誠、赤崎みま、朝岡あかね、堂本右美、福士朋子、林繭子、平町公、石川順惠、伊藤ひろ子、金田勝一、是枝開、桒野よう子、間島秀徳、宮井里夏、水本剛廣、浪越篤彦、額田宣彦、落合多武、小谷元彦、佐々木直美、佐藤勲、島田洋美、高崎賀朗、髙柳恵里、和田雄一、渡辺紅月、山田昌宏、山本麻友香、やなぎみわ、安喜万佐子、横尾美美、米田知子〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・やなぎみわ、VOCA 奨励賞・堂本右美、平町公、石川順惠、髙柳恵里

シガ・アニュアル 1999 現代空想絵師展〈ファンタスティック・イラストレーター〉●

滋賀県立近代美術館　1999 年 2 月　第 13 回展

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館）　p.2

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.3-44

〔作家のことば〕（雨宮慶太、開田裕治、笠井あゆみ、弘司、小林智美、高田明美）

ジュヴナイル・イラストレーションとは何か（平田健生）　pp.45-49

作品リスト　pp.50-55

所蔵：□、国新美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「SHIGA ANNUAL 1999 7 Artists of Japanese Contemporary Fantastic Illustration」

会期：1999 年 2 月 27 日－3 月 28 日　大津・滋賀県立近代美術館　主催：滋賀県立近代美術館

出品：雨宮慶太、いのまたむつみ、開田裕治、笠井あゆみ、弘司、小林智美、高田明美〔作品リスト順〕

5th 北九州ビエンナーレ 繰り返しと連続性の美学 ●

北九州市立美術館　1999 年 3 月 14 日　主に英文併載

あいさつ（北九州市立美術館）　p.3

繰り返しあるいは連続性の美学（黒岩恭介）　pp.4-5, 6-7

図版〔作家略歴、図版、作家論〕　pp.9-62

〔作家論〕（黒岩恭介、花田伸一、前田淳子、真武真喜子）

展覧会歴・参考文献　pp.64-84

出品目録　pp.86-87

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「5th Kitakyushu Biennale　The Aesthetics of Repetition and Continuity」

会期：1999 年 2 月 27 日－3 月 28 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

出品：桑山忠明、江上計太、世良京子、祐成政徳〔出品目録順〕

第 34 回今日の作家展〈APPROACHING REALITY コンセプチュアリズムの新たな展開〉●

横浜市民ギャラリー　1999 年 3 月　主に英文併載

開催にあたって（横浜市民ギャラリー）　p.3

コンセプチュアリズムの系譜（市原研太郎） pp.6-11, 12-17
図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕 pp.18-61
作家のことば（北川裕二、木村友紀、ナカイメグミ）
出品リスト pp.62-63
註：編集は内山淳子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The 34th Artists Today Exhibition : APPROACHING REALITY New Turn of the Conceptualism」
会期：1999 年 3 月 4 日－23 日 関内・横浜市民ギャラリー ゲスト・キュレーター：市原研太郎、主催：横浜市民ギャラリー・横浜市
出品：井口大介、喜多順子、北川裕二、木村友紀、国民投票〔REFERENDUM〕、スズキヒロシ、ナカイメグミ〔出品リスト順〕

水戸アニュアル'99 プライベートルーム II ――新時代の写真表現〔1 資料編〕●
水戸芸術館現代美術センター 1999 年 4 月 1 日 英文併載 展覧会資料第 40 号
プライベートルーム、ふたたび（浅井俊裕） pp.4-6, 7-9
カノジョたちは部屋にいる〈90 年代の女性写真家たち〉（飯沢耕太郎） pp.10-14, 15-19
図版 pp.21-60
出品作家略歴 pp.61-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「MITO ANNUAL '99 PRIVATE ROOM II―Photographs by a New Generation of Women in Japan」
会期：1999 年 4 月 3 日－6 月 6 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー 主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：菅野純、白井里実、長島有里枝、中野愛子、蜷川実花、野口里佳、野村恵子、原美樹子、宮下マキ、山本香〔図版収載順〕

水戸アニュアル'99 プライベートルーム II ――新時代の写真表現〔2 記録編〕
水戸芸術館現代美術センター 1999 年 5 月 20 日 英文併載 展覧会資料第 41 号
カノジョたちの部屋（浅井俊裕） pp.4-6, 7-9
〔会場配置図〕 p.10
図版〔図版、作家のことば〕 pp.11-46
〔作家のことば〕（長島有里枝、中野愛子、野村恵子、蜷川実花、野口里佳、白井里実、宮下マキ、山本香、原美樹子、菅野純）
〔関連行事〕 pp.46-47
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、

和光大

〇展覧会事項(資料編に同じ)

自然を読む アナタノ自然ハドコニアル… ●

埼玉県立近代美術館　1999 年 4 月

風景そして風景画とは?（田中幸人）　pp.3-4

自然と美術表現（長谷川てい）　pp.5-8

図版〔章解説、図版〕　pp.9-48

作家紹介（古山剛索、前山裕司、長谷川てい、小林未央子、松永康、大久保静雄、大越久子、小川浩史）　pp.49-60

出品作品リスト　pp.61-63

註：本カタログには会期・会場の記載が無い。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 4 月 3 日－5 月 5 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：天空；瑛九、奥山民枝、野村仁、山崎博。現象；金昌烈、上田薫、榎倉康二、加納光於、中林忠良、杉浦邦恵、高松次郎、高田洋一。風景 光へ；川合玉堂。気へ；伊藤彬、木村忠太、小作青史、田淵安一、野見山暁治、秋岡美帆、戸谷成雄。都市へ；斎藤三郎、村上善男、鳴剛、野田哲也、四宮金一、三尾公三。萌しへ；佐藤時啓、池田良二、大浦一志、遠藤利克、宮島達男。夢想；草間彌生、駒井哲郎、逢坂卓郎〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

現代美術の手法 4 和紙のかたち展 ●

練馬区立美術館　1999 年 4 月

和紙と現代美術〈『現代美術の手法(4)－和紙のかたち』展によせて〉（横山勝彦）　pp.5-8

図版〔図版、作家のことば〕　pp.9-68

〔作家のことば〕（楡木令子、柳井嗣雄）

作家略歴〔作家略歴、コメント、図版〕　pp.69-103

コメント（井田照一、井上隆夫、伊部京子、橿尾正次、角喜代則、北山善夫、昆野恆〔再録〕、楡木令子、吉永裕）

作品リスト　pp.104-107

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 4 月 24 日－6 月 6 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：井田照一、井上隆夫、伊部京子、橿尾正次、角喜代則、北山善夫、昆野恆、楡木令子、柳井嗣雄、吉永裕〔作品リスト順〕

「デモクラート 1951～1957 解放された戦後美術」展 ●

デモクラート展実施委員会　1999 年 5 月

あいさつ（主催者）　p.5

私のデモクラート、瑛九のデモクラート（福島辰夫）　pp.7-10

デモクラートとその時代〈関西の動向を中心に〉（高橋亨）　pp.11-14

デモクラート美術家協会総論―文献切り貼りによる私見（正木基）　pp.15-20

図版　pp.21-109

資料編

デモクラート 活動の足跡　pp.112-125

デモクラート美術家協会年表（大久保靜雄・高野明広・安來正博・小林未央子編）　pp.126-141

デモクラート展記念座談会（早川良雄・加藤正・靉嘔・福島辰夫・吉原英雄・細江英公・大久保靜雄）　pp.142-151, 204-211　英文併載

機関誌『デモクラート』より　pp.152-158　再録

機関誌『デモクラート』寄稿リスト　pp.159-160

瑛九と写真（岡塚章子）　pp.161-165

泉茂宛書簡（安來正博）　pp.166-171

関西デモクラートの 7 年〈結成から解散までの経緯〉（安來正博）　pp.172-178

「デモクラートと私」（靉嘔、磯辺行久、井山忠行、内海柳子、加藤正、春口光義、早川良雄、古家玲子、松尾明美、幹英生、山中嘉一、吉田利次、吉原英雄）pp.179-183

デモクラート展開催記録および会員の動き　pp.184-185

主要美術雑誌におけるデモクラート関連記事一覧　pp.186-190

出品作家略歴　pp.191-195

出品リスト　pp.196-203

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「DEMOKRATO 1951-1957　The Liberation of Art in Postwar Japan」

会期：1999 年 5 月 2 日－30 日　宮崎県立美術館　主催：宮崎県立美術館・宮崎県・宮崎県教育委員会・読売新聞西部本社・美術館連絡協議会／1999 年 6 月 8 日－7 月 11 日　和歌山県立近代美術館　主催：和歌山県立近代美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ・美術館連絡協議会／1999 年 8 月 21 日－10 月 11 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：瑛九、泉茂、加藤正、早川良雄、内田耕平、吉田利次、郡司盛男、棚橋紫水、山城隆一、幹英生、河野徹、細江英公、靉嘔、利根山光人、河原温、岩宮武二、古家玲子、津志本貞、内間俊子、織田繁、オノサト・トモコ、杉村恒、北川民次、吉原英雄、磯辺行久、高井義博、鶴岡弘康、井山忠行、池田満寿夫、船井裕、山中嘉一、春口光義、内海柳子、森啓、森泰〔出品リスト順〕

いわきの美術 IV 境界を超えて〈立体表現の拡がり〉Part1　記録 ●

いわき市立美術館　1999 年

図版　8p.

所蔵：□、国新美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 5 月 29 日－6 月 27 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：安藤栄作、山本伸樹、鈴木蛙土、森川亮輔、緑川宏樹、湯川隆、上遠野敏、小瀧勝平、北郷悟、舟生厚〔図版収載順〕

呼吸する風景 長沢秀之、佐藤時啓、平田五郎 ●

埼玉県立近代美術館　1999 年 6 月　英文併載

あいさつ（埼玉県立近代美術館）　pp.6, 7

身体で測る景（大越久子）　pp.8-11, 12-16

展示作品図版　pp.17-71

資料〔作家の言葉、年譜／参考文献〕　pp.73-153

作家の言葉（佐藤時啓、長沢秀之、平田五郎）　再録

年譜／参考文献（大越久子・中村誠・今井隆裕・徳山由香編）

出品リスト　pp.154-157

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Breathing Landscapes」

会期：1999 年 6 月 22 日－8 月 8 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：佐藤時啓、長沢秀之、平田五郎〔出品リスト順〕

「世界を編む」展 ●

横浜美術館　1999 年 6 月　開館 10 周年記念

あいさつ（館長陰里鐵郎）　pp.4, 5　英文併載

世界を編む（沼田英子）　pp.8-18, 178-185

つくる、ほどく、それは常につくること（イザック・ゴールドバーグ）　pp.20-28, 186-192

「際」の時代（ジャネット・コプロス）　pp.30-35, 194-197

図版〔章解説、作家ステートメント、図版〕　pp.37-127

〔章解説〕（猿渡紀代子）　英文　pp.198-199

〔作家ステートメント〕（日本作家；青木野枝、関島寿子、関次俊雄、熊井恭子）

略歴＋文献（横浜美術館学芸部編）　pp.129-177

出品リスト　pp.200-203

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Weaving the World, Contemporary Art of Linear Construction」

会期：1999 年 6 月 26 日－8 月 22 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：青木野枝、関島寿子、関次俊雄、熊井恭子〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

第 7 回富山国際現代美術展 ポーランド－日本 内／外 ●

富山県立近代美術館　1999 年 7 月　英文併載

あいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

カタログ〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.7-67

〔作家のことば〕（日本作家・平林薫、小山穂太郎、河口龍夫、角永和夫〔1 行〕、赤塚祐二、今村源、小林健二）

内/外（レフ・カルヴォフスキー）　pp.69-71, 75-77

「TOYAMA NOW '99」の構成と日本の出品作家（片岸昭二）　pp.72-74, 78-80

出品リスト　pp.81-83

註：編集は片岸昭二、若松基、稲塚展子。

所蔵：□、国新美、都現美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「TOYAMA NOW '99 POLAND－JAPAN　The Seventh International Contemporary Art Exhibition, Toyama　POLAND&JAPAN INTERNAL／EXTERNAL」

会期：1999 年 7 月 9 日－9 月 5 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館

出品：平林薫、小山穂太郎、河口龍夫、角永和夫、赤塚祐二、今村源、小林健二〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を記載。

メディテーション－真昼の瞑想〈90 年代の日本の美術〉●

栃木県立美術館　1999 年 7 月　付・「メディテーション－真昼の瞑想」展を味わうためのノート 1 冊

あいさつ（栃木県立美術館）　p.5　英文併載

キメラの肖像〈「真昼の瞑想」によせて〉（多田富雄）　pp.8-10, 111-113　英文併載

瞑想する美術－美術は意味を回復するか（小勝禮子）　pp.11-21, 114-117　英文併載

図版〔作家のことば、図版〕　pp.23-95

〔作家のことば〕（綿引展子、林田直子、杉戸洋、イケムラレイコ、小林孝亘、加藤清美、木村繁之、保田井智之、舟越桂、柄澤齊、戸谷成雄、富田有紀子、艾沢詳子、小山穂太郎）

作家略歴　pp.97-109　英文併載

〔配置図〕　p.118

□「メディテーション－真昼の瞑想」展を味わうためのノート〔全 8 ページ〕

美術館から観覧者の皆さまへ

テーマ「メディテーション(瞑想)」について

図版〔図版、作家のことば抄、作品解説〕
企画展示室平面図
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Noontime Meditation：Contemporary Japanese Art having Inner Sight」
会期：1999 年 7 月 11 日－9 月 26 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：綿引展子、林田直子、杉戸洋、イケムラレイコ、小林孝亘、加藤清美、木村繁之、保田井智之、舟越桂、柄澤齊、戸谷成雄、富田有紀子、艾沢詳子、小山穂太郎〔図版収載順〕

体感する美術'99 ミエナイ・サクラヲ・ミル ●
佐倉市立美術館　1999 年〔9 月〕　第 5 回目
ごあいさつ（佐倉市立美術館）　p.3
真夏の昼と夜の夢（長田謙一）　pp.4-6
ワークショップ A、B、C、D、E　pp.7-61
IFS 日記（永山智子）　pp.62-69
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Field of Sensibility '99」
会期：1999 年 7 月 17 日－8 月 8 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：資料展示

恋スル身体――A SENSE of REALITY ●
宇都宮美術館　1999 年 7 月　バインダー使用
あいさつ（宇都宮美術館）　p.3　英文併載
恋スル身体－A SENSE of REALITY（岡本康明）　pp.7-10, 179-183　英文併載
道は身体のただなかに終わる?（杉田敦）　pp.11-15, 185-190　英文併載
メディア・アートが提示する人間とメディア・テクノロジーの関係（森公一）　pp.17-21, 191-195　英文併載
「身体」を希求する身体（谷新）　pp.23-29, 197-204　英文併載
図版〔作家解説、作家略歴、図版〕　pp.31-177, 205-216
〔作家解説〕（谷新、岡本康明）
関連企画　pp.217-227
シンポジウム（やなぎみわ・椿昇・司会 岡本康明）
小杉武久コンサート
註：編集は岡本康明、伊藤伸子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
会期：1999 年 7 月 18 日－8 月 29 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

出品：小杉武久、スタジオ・アッズーロ、椿昇、砥綿正之＋松本泰章、藤本由紀夫、やなぎみわ〔図版収載順〕

開館 30 周年記念展 森に生きるかたち ●

彫刻の森美術館　1999 年 8 月　英文併載

〔あいさつ〕（館長鈴木隆敏）　p.3

図版〔作家のことば、図版〕　pp.10-63

〔作家のことば〕（伊藤公象、遠藤利克、北山善夫、國安孝昌、土屋公雄、戸谷成雄、林武史、藤田昭子、眞板雅文）

彫刻の森美術館の 30 年と「森に生きるかたち」展（松村壽雄）　pp.65-70, 71-78

作家略歴　pp.79-90, 91-103

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Forms in Nature」

会期：1999 年 8 月 1 日－2000 年 9 月 10 日　箱根・彫刻の森美術館　主催：彫刻の森美術館・フジサンケイグループ

出品：伊藤公象、遠藤利克、北山善夫、國安孝昌、土屋公雄、戸谷成雄、林武史、藤田昭子、眞板雅文〔図版収載順〕

Releasing Senses――感覚の解放 ●

東京オペラシティ文化財団　1999 年 9 月 9 日　東京オペラシティアートギャラリー開館記念企画展　展覧会資料第 1 号　主に英文併載

ごあいさつ（館長米澤啓明）p.5

〔メッセージ〕（デヴィッド・エリオット）　p.9

〔メッセージ〕（ロバート・ストー）　pp.10, 11

〔メッセージ〕（ジェルマン・ヴィアット）　pp.12, 13

図版〔図版、作品解説〕　pp.15-72

作品解説（片岡真実）

感覚の解放――“見えない糸”のポテンシャル（片岡真実）　pp.75-85, 86-95

出品作家略歴・主要参考文献　pp.97-107, 108-113　主要参考文献は英文併載なし

註：見返し部分にポストカード形式(8 葉)による出品作品のカラー図版が挿入されている。なお、日本作家は村岡三郎 1 人の出品。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Releasing Senses」

会期：1999 年 9 月 9 日－11 月 21 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：アーニャ・ガラッチオ、クリスチャン・マークレー、村岡三郎、マルティン・ヴァルデ〔図版掲載順〕

脱・「現代美術教養論」図録 ●

板橋区立美術館　1999 年 10 月　開館 20 周年記念図録 II
展覧会にともなうイベント　p.2
ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3
会場作品配置図　p.4
自分のなかの他者を発見するために――新たな「物語化」のすすめ（尾﨑眞人）　pp.5-7
図版〔図版、フロー・チャート〕　pp.8-108
出品目録　pp.109-111
作家略歴（福田さおり編）　pp.112-120
所蔵：□、国新美、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1999 年 10 月 2 日－11 月 14 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：麻生三郎、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、磯辺行久、糸園和三郎、岩崎鐸、上前智祐、内海信彦、漆原英子、榎本和子、岡本敦生、太田三郎、郭徳俊、桂ゆき、金沢健一、川島清、菊畑茂久馬、北代省三、清塚紀子、草間彌生、小島信明、今道子、篠原有司男、島州一、清水誠一、末松正樹、杉全直、須田基揮、関根伸夫、千崎千恵夫、高木修、高松次郎、立石大河亜、建畠覚造、豊嶋康子、中西夏之、中村宏、牛波、原仲裕三、深井隆、福島秀子、福田美蘭、藤松博、丸山常生、向井修二、村上善男、吉仲太造、山下菊二〔出品目録順〕

「現代日本絵画の展望」展 ●
東日本鉄道文化財団　1999 年 10 月
ごあいさつ（現代日本絵画の展望展実行委員会）　p.5
〔授賞者〕　p.6
〔委員一覧〕　p.7
座談会「現代日本絵画の展望」展（松田重昭・高階秀爾・内山武夫・酒井忠康・安永幸一）　pp.9-15
図版　pp.17-80
作家略歴　pp.83-104
出品リスト　pp.105-107
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1999 年 10 月 2 日－11 月 14 日　東京ステーションギャラリー　主催：現代日本絵画の展望展実行委員会・東日本鉄道文化財団・日本放送教育協会
出品：佐藤武、艾沢詳子、高橋克之、本田健、百瀬寿、会田誠、赤塚祐二、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、天野純治、内田あぐり、内海信彦、岡田裕子、岡村桂三郎、小林孝亘、斉藤典彦、渋谷和良、菅野まり子、鈴木省三、線幸子、千住博、武田州左、堂本右美、野田裕示、馬場健太郎、二木直巳、古川勝紀、星川忠資、森野眞弓、山口啓介、山本直彰、若月公平、綿引展子、安達博文、五十嵐彰雄、杉戸洋、根岸芳郎、丸田恭子、柳澤紀子、赤崎みま、

粟国久直、今村哲、上村亮太、郭徳俊、北山善夫、木津文哉、木村秀樹、小嶋悠司、児玉靖枝、佐川晃司、善住芳枝、西久松吉雄、平岡靖弘、松尾藤代、山河全、荒瀬景敏、太田三郎、堀内理香、山根秀信、吉田寛志、城ケ崎悟、世良京子、永津禎三、マコト・フジムラ〔出品リスト順〕

明滅するイメージ COMMUTATION 展 ●

〔横浜市民ギャラリー〕 1999 年 10 月

〔あいさつ〕（横浜市民ギャラリー） p.2

〔ことば〕（伊藤俊治） p.3

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕 pp.4-15

〔作家のことば〕（カトリン・パウル） 英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「COMMUTATION」

会期：1999 年 10 月 23 日－11 月 3 日　関内・横浜市民ギャラリー　共同ディレクター：伊藤俊治・港千尋・椹木野衣・高橋周平、主催：横浜国際写真フェスティバル実行委員会・横浜市・横浜市民ギャラリー

出品：山川冬樹、西川ミチル、大嶋暁子、カトリン・パウル、生原力＋村上陽子、春日聡〔図版収載順〕

みずのき寮からの発信〈言葉はいらない 魂との出会い〉 ●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　1999 年 10 月

あいさつ（主催者） 見返し

みずのきアトリエのきのう・きょう――そして明日（西垣籌一） pp.2-3

図版〔作者紹介、図版〕 pp.4-62

作品目録　pp.63-64

「月火月火と…明日は絵かきやな」〈みずのき寮絵画教室の現在〉（谷村雅弘） p.65

[参考]アール・ブリュット美術館コレクション〔図版〕 pp.66-67

絵画教室での指導と作品（荻田知子） pp.68-69

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1999 年 10 月 24 日－2000 年 1 月 10 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

註：作者なので出品欄は割愛した。

現代日本美術の動勢――インダストリアル・デザインの新風景 ●

富山県立近代美術館　1999 年 10 月

あいさつ（富山県立近代美術館） p.5

インダストリアルデザインの風景（榮久庵憲司） pp.6-7
明日に向かうデザインのひろがり（川上元美） pp.8-9
図版〔コーナー目次、図版、章解説、作品解説〕 pp.11-84
解説（稲塚展子）
出品目録 pp.87-96
略歴 pp.98-100
出品一覧 p.101
未来の「生活造形」のために（稲塚展子） pp.102-104
主要参考文献 p.105
所蔵：□、国新美、東近美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「New Perspectives on Industrial Design」
会期：1999 年 10 月 30 日－12 月 12 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・チューリップテレビ
出品：川崎和男、森正洋ら 37 のインダストリアルデザイナー、オフィス等の出品

チバ・アート・ナウ'99 知覚の実験室 ●
佐倉市立美術館　1999 年 11 月 14 日
チバ・アート・ナウ'99 の開催にあたって（館長海野道義） p.3
なかみとしてのインスタレーション（千葉成夫） pp.4-7
図版 pp.9-70
註：富田俊明の部分に作家自身の文章などが収められている。
作家資料〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.59-69
〔作家のことば〕（斎藤美奈子、篠田太郎、富田俊明、藤原隆洋、安田佐智種）
展示配置図 p.70
出品作品一覧 p.71
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「CHIBA Art Now '99 Loboratory of the Senses」
会期：1999 年 11 月 14 日－12 月 19 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：斎藤美奈子、篠田太郎、富田俊明、藤原隆洋、安田佐智種〔出品作品一覧順〕

日本ゼロ年 ●
水戸芸術館現代美術センター　2000 年 1 月 14 日　展覧会資料第 46 号
〔序〕（椹木野衣） pp.2-3
日本ゼロ年（椹木野衣） pp.6-33
岡本太郎〈太陽の論理〉／小谷元彦〈バチあたり木彫フィギュア〉／成田亨〈怪獣殿下〉／大竹伸朗〈どこでもない日本〉／できやよい〈もうひとりのやよい〉／会田誠〈帰ってきた戦争画〉／横尾忠則〈人魂ポップ〉／ヤノベケンジ〈実現された未来〉／東松照明〈に

ぎやかな廃虚〉／村上隆〈ガチンコゼロ年〉／飴屋法水〈契約なき美術〉（椹木野衣）
歴史の終焉 パート 2〈東浩紀、竹熊健太郎、福田和也に聞く〉（聞き手・椹木野衣） pp.34-64
〈流通〉とポストモダン（東浩紀）
〈吉田戦車〉以前・以後（竹熊健太郎）
〈デジャ・ヴュ〉としての世紀末（福田和也）
〈現代・美術〉をめぐって（サワラギ＋ノイ） pp.35-64 再構成
作家プロフィール pp.65-67
出品作品リスト pp.68-69
Ground Zero Japan（椹木野衣） pp.70-71 英文
註：貼付用写真 77 枚添付。なお編集は森司。
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Ground Zero Japan」
会期：1999 年 11 月 20 日－2000 年 1 月 23 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー 企画：椹木野衣、主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：岡本太郎、小谷元彦、成田亨、大竹伸朗、できやよい、会田誠、横尾忠則、ヤノベケンジ、東松照明、村上隆、飴屋法水〔出品作品リスト順〕

アトリエの謎展図録〈ミュージアム・コレクション'79-'99 Part III〉●
板橋区立美術館 1999 年 11 月 開館 20 周年記念
アトリエの謎?（板橋区立美術館） p.7
図版 pp.9-56
作家紹介〔作家略歴、作家にきく、作家のことば再録〕 pp.57-107
〔作家にきく〕（白井謙二郎、清塚紀子、深井隆、丸山常生 聞き手・松岡希代子、佐々木英理子）
〔作家のことば再録〕（古沢岩美、寺田政明）
6 人 6 様アトリエ案内（松岡希代子） pp.108-109
出品作品リスト pp.110-111
所蔵：□、国新美、東文研、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「atorie-no-nazo」
会期：1999 年 11 月 20 日－2000 年 1 月 10 日 板橋区立美術館 主催：板橋区立美術館
出品：白井謙二郎、古沢岩美、寺田政明、清塚紀子、深井隆、丸山常生〔出品作品リスト順〕

2000（平成 12）年

MOT アニュアル 2000 低温火傷 ●
東京都現代美術館 2000 年 1 月 別冊共 2 冊 主に英文併載(別冊：英文併載)
ごあいさつ（東京都現代美術館） p.5

「低温火傷」の時代に（岡村恵子） pp.7-14, 86-93
カタログ〔作家自身によるテキスト、作品図版〕 pp.15-64
〔作家自身によるテキスト〕（平川典俊、中村政人〔英文〕、木村太陽、守章〔英文〕、高島陽子）
作家略歴・参考文献 pp.65-85 和文・欧文
別冊
展覧会カタログ・補遺
出品リスト pp.4-5 和文・欧文
会場記録写真等 pp.6-17
配置図 p.18
展示室略図 p.19
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「MOT ANNUAL 2000 Land/mind/body-scapes in the Age of Cold Burn」
会期：2000 年 1 月 18 日－3 月 26 日 東京都現代美術館 主催：東京都現代美術館
出品：平川典俊、中村政人、木村太陽、守章、高島陽子、ホンマタカシ〔出品リスト順〕

「アートみやぎ」展図録 ●
宮城県美術館 2000 年 1 月 第 1 回展
あいさつ（宮城県美術館） p.3
「アートみやぎ」開催にあたって（西村勇晴） pp.4-6
共有・共生・再生――アートみやぎの 8 人（塩田長和） pp.7-9
図版〔作家のことば、図版〕 pp.11-79
〔作家のことば〕（青野文昭、翁ひろみ、木村太郎、作間敏宏、佐藤健吾エリオ、虎尾裕、能島和明、樋口徹）
「アートみやぎ」出品作家について（和田浩一） pp.81-83
略歴 pp.84-91
出品目録 pp.92-95
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「art miyagi」
会期：2000 年 1 月 22 日－3 月 26 日 仙台・宮城県美術館 主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局
出品：青野文昭、翁ひろみ、木村太郎、作間敏宏、佐藤健吾エリオ、虎尾裕、能島和明、樋口徹〔出品目録順〕

現代のイメージ IV 空間との対話〈広がりゆく立体造形――実在と不在のはざまで〉 ●
熊本県立美術館 2000 年 1 月

はじめに（熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社）p.5
図版〔作家のコメント、作家略歴、図版〕 pp.7-27
〔作家のコメント〕（末田龍介、松尾光伸、竹田康宏、児玉士洋、高濱英俊）
現代のイメージ・回顧と現在（村上哲） pp.28-29
出品作品リスト pp.30-31
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Image of Today IV　Vision between Space and Existence」
会期：2000 年 1 月 27 日－3 月 3 日　熊本県立美術館・分館　主催：熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社
出品：末田龍介、松尾光伸、竹田康宏、児玉士洋、高濱英俊〔出品作品リスト順〕

モナ・リザ 100 の微笑 ●
日本経済新聞社　2000 年 1 月　付・CD-ROM
ごあいさつ（主催者） pp.4, 5　仏文併載
モナ・リザの栄光（ジャン＝ミシェル・リベット） pp.9-15
かくも永き戯れ〈《モナ・リザ》神話の変容〉（三浦篤） pp.16-27
カタログ〔章解説、図版〕 pp.29-199
章解説（ジャン＝ミシェル・リベット、三浦篤）
モナ・リザ見聞譚（ジャン・シュユー） pp.201-204
索引・作家解説（藤原えりみ編） pp.205-211
関連文献抄 p.212
PARTIE FRANÇAISE pp.213-246
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Les 100 Sourires de Monna Lisa」
会期：2000 年 1 月 29 日－3 月 26 日　東京都美術館　主催：東京都美術館・日本経済新聞社・テレビ東京／4 月 4 日－6 月 11 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館・静岡朝日テレビ・日本経済新聞社／7 月 15 日－8 月 20 日　広島県立美術館　主催：広島県立美術館・テレビ新広島・日本経済新聞社
出品：荒川修作、福田繁雄、福田美蘭、森村泰昌、ヨシダ・キミコ〔索引順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

宇宙のかけら・時のかけら展〈笠井千鶴・野村仁・宮島達男〉●
新潟市美術館　2000 年 2 月 11 日
ごあいさつ（新潟市美術館） p.3
図版〔作家略歴、作家解説、出品リスト、図版〕 pp.4-31
〔作家略歴〕：笠井千鶴、野村仁、宮島達男

ハリネズミの愛しかた（谷哲夫）
写真の中の「時間」（神田直子）
闇と光－宮島達男の世界（谷哲夫）
註：編集は谷哲夫、神田直子、北上あつ子
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 2 月 11 日－3 月 26 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館
出品：笠井千鶴、野村仁、宮島達男〔図版収載順〕

神奈川アート アニュアル 2000 明日への作家たち ●
神奈川県民ホール　2000 年 2 月 19 日
ごあいさつ（神奈川県民ホール）　p.4
出品作家選考委員、出品作家推薦委員　p.5
選考の経過と作家のプロフィール（千葉成夫）　pp.6-9
分極化する美術－2 つの展覧会に触れて（堀元彰）　pp.10-11
出品作家　p.12
図版　pp.14-25
略歴、ポートレート、作家コメント、モノクロ図版　pp.27-51
作家コメント（阿部佳明、市川美幸、今井紀彰、鵜飼美紀、大森崇〔2 行〕、片平隆行、金澤一水、川田祐子、谷山恭子、樋口健彦、平町公）
出品作品リスト　pp.52-53
〔神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕　p.54
所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL 2000」
会期：2000 年 2 月 19 日－3 月 20 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　選考委員・酒井忠康、千葉成夫、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県民ホール
出品：阿部佳明、市川美幸、今井紀彰、鵜飼美紀、小河朋司、大森崇、片平隆行、金澤一水、川田祐子、谷山恭子、樋口健彦、平町公〔出品作品リスト順〕

「DOMANI・明日」展 2000 図録 ●
文化庁・読売新聞社　2000 年 2 月
ごあいさつ（主催者）　p.5
「DOMANI・明日」展 2000 開催にあたり（魚住五百誉）　p.6
芸術家在外研修制度について　p.7
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.9-52
〔作家のことば〕（鎌谷伸一、鹿取武司、小枝繁昭、山口啓介、黒木重雄、佐藤時啓、小山愛人、天野純治）
版画の種類とその技法　p.53

出品作品リスト　pp.54-55
所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
展名：未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 2000〈文化庁芸術家在外研修の成果〉
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 2 月 23 日－3 月 26 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社
出品：鎌谷伸一、鹿取武司、小枝繁昭、山口啓介、黒木重雄、佐藤時啓、小山愛人、天野純治。特別出品；吉田克朗、黒崎彰、魚住五百誉、原健、松本旻、舩坂芳助、二村裕子、高柳裕、富張広司、小作青史〔出品作品リスト順〕

表出するイメージ〈和紙を通した現代美術の表現〉●
三鷹市芸術文化振興財団　2000 年 3 月　英文併載
ごあいさつ（三鷹市芸術文化振興財団）
和紙を通して見えてくるもの（荒木夏実）
図版　8p.
作家略歴
出品作品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Emerging Images：Contemporary Expressions through Japanese Hand-made Paper」
会期：2000 年 3 月 4 日－26 日　三鷹市芸術文化センター　主催：三鷹市芸術文化振興財団
出品：青島一成、扇千花、服部俊弘、本間かおり〔出品作品リスト順〕

空き地 ●
豊田市美術館　2000 年 3 月　企画展　展示記録共 2 冊(ケース入)
〔ことば〕（豊田市美術館）　p.5
空き地にて（林浩平）　pp.10-11
会場構成　p.13
図版　pp.17-99
作家略歴　pp.101-117
人影の消えた空き地に物たちはいる――展覧会「空き地」のために（林浩平）　pp.119-121
遊びをせんとや生まれけむ（都築正敏）　pp.124-127
佐倉密コレクション　pp.129-137
モノをめぐって／モノの痕跡をめぐって（佐倉密・林浩平）　pp.139-149
□展示記録〔全 36 ページ〕
図版　32p.
出品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、

和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「VACANT LOT」

会期：2000 年 3 月 7 日－5 月 7 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：イチハラヒロコ、須田悦弘、福田美蘭、池野浩彰、大岩オスカール幸男、岡崎和郎、榎忠、小沢剛、小川信治、赤瀬川原平、佐倉密コレクション〔出品リスト順〕

VOCA 展 2000 現代美術の展望――新しい平面の作家たち ●

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2000 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2000」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展 2000」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、委員一覧〕　pp.9, 89, 97

〔選評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、山脇一夫）　pp.11-15, 91-95

出品作家〔一覧〕　pp.17, 97

図版〔作家紹介、図版〕　pp.18-79

〔作家紹介〕（谷新、名古屋覚、尾崎眞人、藤川哲、石川健次、斎藤郁夫、柳原正樹、早川博明、荒木夏実、草薙奈津子、吉原美恵子、堀元彰、柳沢秀行、菅原教夫、平野明彦、小口斉子、平野到、坂元暁美、尾崎佐智子、南雄介、都築悦子、佐藤友哉、李美那、大野正勝、笠原美智子、鍵岡正謹、中塚宏行、蔵屋美香、逢坂恵理子、菅章、翁長直樹）

作家解説〔略歴〕　pp.81-87, 98-109

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The Exhibition “VOCA” 2000　T HE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2000 年 3 月 16 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：荒井経、馬場健太郎、出口大介、フジイフランソワ、藤井浩一朗、原井輝明、平林純、岩尾恵都子、岩男和子、菊地武彦、栗田咲子、眞島竜男、みやじけいこ、村上隆、流麻二果、内藤絹子、大村雄一郎、小沢剛、坂井淑恵、清水留理子、末藤夕香、鈴木涼子、高橋信行、高橋亮、鷹野隆大、竹﨑和征、田中美和、上田アキ、渡辺聡、山本豊子、与那覇大智〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・岩尾恵都子、VOCA 奨励賞・フジイフランソワ、みやじけいこ、内藤絹子、坂井淑恵

万歳七唱 岡本太郎の鬼子たち 展覧会カタログ ●

川崎市岡本太郎美術館　2000 年 4 月

ごあいさつ（川崎市岡本太郎美術館）　p.3　英文併載

岡本太郎の鬼子たち私観（針生一郎）　pp.7-11,12-18　英文併載

岡本太郎・空白と飛躍（瀬木慎一）　pp.19-24,25-31　英文併載

図版〔作家自身のテキスト、略歴、図版〕　pp.33-127

作家自身のテキスト（荒川修作、池田龍雄、北代省三、篠原有司男、村上善男、山口勝弘、

横尾忠則）
資料一覧　pp.129-136
参考文献　pp.137-139
出品リスト　pp.140-145
註：編集は佐藤玲子、楠本亜紀。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Homage to Taro Okamoto from seven artists」
会期：2000 年 4 月 22 日－7 月 9 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館
出品：荒川修作、池田龍雄、北代省三、篠原有司男、村上善男、山口勝弘、横尾忠則、岡本太郎〔出品リスト順〕

作品を読む〈足で読む、耳で読む、画面で読む〉●
板橋区役所　2000 年 5 月
会場作品配置図　見返し
「作品を読む」〈足で読む、耳で読む、画面で読む〉（板橋区立美術館）　p.1
「公立美術館」が「美術史」コレクションを乖離する日。（尾﨑眞人）　p.2
図版　pp.3-19
〔街角キュレーター寄稿〕（吉備久美子、近藤正高、塚本樹、深澤明香、藤田一人、牧野光、水田由紀）　pp.20-24
作品リスト　pp.25-28
註：編集は尾﨑眞人、佐々木英理子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 5 月 27 日－7 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：靉嘔、芥川〔間所〕紗織、麻生三郎、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、石井茂雄、石井鶴三、石川寅治、磯辺行久、糸園和三郎、井上長三郎、岩崎鐸、漆原英子、榎本和子、太田三郎、大塚睦、岡本太郎、荻須高徳、オノサト・トシノブ、小野田豊、郭徳俊、片谷曖子、片山公一、桂川寛、桂ゆき、金沢健一、川口軌外、川島清、川端実、菊畑茂久馬、北代省三、木戸修、木村荘八、清塚紀子、草間彌生、国吉康雄、小島信明、駒井哲郎、小牧源太郎、今道子、佐田勝、佐藤太清、佐藤時啓、篠原有司男、島州一、白井謙二郎、白木正一、末松正樹、杉全直、須田基揮、清野恒、関根伸夫、高木修、高松次郎、高山良策、立石大河亜、田中佐一郎、田中田鶴子、鶴岡政男、寺田政明、利根山光人、豊嶋康子、中西夏之、中村宏、牛波、橋尾常次、早瀬瀧江、原仲裕三、尾藤豊、平山郁夫、深井隆、福沢一郎、福島秀子、福田建之、福田美蘭、藤沢喬、藤松博、古沢岩美、細田喜道、丸山常生、三木富雄、向井修二、村上善男、矢部友衛、山下菊二、山本敬輔、山本日子士良、吉仲太造、吉原治良〔作品

リスト順〕

プライム：記憶された色と形 ●

東京オペラシティ文化財団　2000 年 5 月 27 日　展覧会資料第 4 号　主に英文併載

ごあいさつ（館長米澤啓明）　p.5

空虚な空間を満たすもの（大島賛都）　pp.8-15, 16-23

図版　pp.25-80

資料編（飯田志保子・佐山由紀編）　pp.81-101

出品作品リスト　pp.103-106

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Prime：Reflection of Color and Form」

会期：2000 年 5 月 27 日－7 月 20 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：堂本右美、松井紫朗、間島秀徳、近藤正勝、前田哲明、押江千衣子〔出品作品リスト順〕

空間体験：[国立国際美術館]への 6 人のオマージュ ●

国立国際美術館　2000 年 6 月　英文併載

空間体験：《国立国際美術館》への 6 人のオマージュ（中西博之）

図版　12p.

〔作家略歴〕

出品リスト.

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Space Experiences：Homage to The National Museum of Art, Osaka」

会期：2000 年 6 月 15 日－7 月 16 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：寺内曜子、祐成政徳、平松伸之、和田みつひと、リヴァーニ・ノイエンシュワンダー、前沢知子〔出品リスト順〕

BIT GENERATION 2000 テレビゲーム展 ●

神戸ファッション美術館・水戸芸術館現代美術センター　2000 年 6 月 15 日

テレビゲームと現代美術（浅井俊裕）　pp.66-71　英文併載

註：上記文章のみ採録。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「BIT GENERATION “TV-GAMES”」

会期：2000 年 6 月 15 日－8 月 29 日　神戸ファッション美術館　主催：神戸ファッション美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ／10 月 28 日－2001 年 1 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター・読売新聞社　企画協力：テレビゲーム・ミュージアム

展示：インスタレーション展示、「物」の展示、テレビゲーム展示、映像展示

現代美術百貨展 ●

山梨県立美術館・現代美術百貨展実行委員会　2000 年 6 月　別冊・辞典共 3 冊

ごあいさつ（館長島田紀夫）　p.3

〈商品〉をめぐるヴァリエーション――商品と作品との間を思考するために（篠原資明）　pp.6-8

現代美術百貨展で現代美術に強くなる!（神野真吾）　pp.9-15

図版〔章解説、図版〕　pp.16-92

作家略歴　pp.93-98

図版リスト　pp.99-101

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Department Store of Contemporary Art」

会期：2000 年 6 月 17 日－8 月 16 日　甲府・山梨県立美術館　主催：山梨県立美術館・現代美術百貨展実行委員会

出品：山口晃、やなぎみわ、草間彌生、太郎千恵藏、伊藤知香、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、高松次郎、小谷元彦、福田繁雄、柳幸典、福田美蘭、豊嶋康子、荒木高子、西村陽平、笠井千鶴、篠原有司男、吉村益信、間島領一、森村泰昌、赤瀬川原平、河原温、靉嘔、久保田成子、オノ・ヨーコ、村上隆、テクノクラート、清水晃〔図版リスト順〕

現代美術百貨展 別冊

山梨県立美術館・現代美術百貨展実行委員会　2000 年 6 月

ようこそ、現代美術百貨展へ。（館長島田紀夫）　p.1

図版〔展示風景〕　pp.3-13

現代美術百貨展案内図　p.14

出品作品リスト　pp.15-16

註：編集は神野真吾。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項〔本体に同じ〕

現代美術百貨辞典

山梨県立美術館　2000 年 6 月 17 日

ようこそ、現代美術百貨展へ。（館長島田紀夫）　p.1

現代美術百貨辞典　pp.2-7

現代美術百貨展案内図　p.8

註：編集は神野真吾、小田切武。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項〔本体に同じ〕

アート・ナウ 2000『なごみ』のヒント ●

兵庫県立近代美術館・朝日新聞社　2000 年 6 月

ごあいさつ（兵庫県立近代美術館・朝日新聞社）　p.3

お祭り気分の美術館―デュビュッフ流、美術の楽しみ方（服部正）　pp.4-5

図版〔作家略歴、図版〕pp.8-47

〔作家略歴〕（服部正）

出品作品リスト　pp.48-50

所蔵：□、国新美、都現美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ART NOW 2000：Getting Calm through Art」

会期：2000 年 6 月 17 日－7 月 30 日　神戸・兵庫県立近代美術館　主催：兵庫県立近代美術館・朝日新聞社

出品：おっと、きむらとしろう　じんじん、窪田順、橘宣行、銅金裕司、冨塚純光、八島孝一、余田卓也、米澤友美、LOCO〔出品作品リスト順〕

体感する美術'2000 佐倉観光案内 ●

佐倉市立美術館　2000 年〔7 月〕　第 6 回目

ごあいさつ（佐倉市立美術館）　p.3

ワークショップ A、B、C、D、参加者とスタッフ　pp.5-111

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2000」

会期：2000 年 7 月 22 日－8 月 6 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：ワークショップ結果等の展示

知覚するかたち ●

福井県立美術館　2000 年 7 月

ごあいさつ（福井県立美術館）　p.5

「かたち」を知覚するとき（佐々木正人）　pp.8-9

隔たり・響き・生きられた身体（森岡祥倫）　pp.10-11

知覚するかたち（西村直樹）　pp.12-17

図版　pp.18-49

出品作家略歴　pp.50-59

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 7 月 28 日－8 月 20 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館

出品：棚沢順、杉原敏昭、橋本真之、白髪一雄、森岡祥倫、加藤智彦、橿尾正次、鈴木恂、丑久保健一、金沢健一、高田洋一〔図版収載順〕

「崇高と労働」図録 ●

板橋区立美術館　2000 年 8 月　特別展　シリーズ・Art in Tokyo No.12

会場／作品配置、記念イベント日程　p.2

ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3

崇高と労働〈或いは、常にその先にあるモノ〉（尾﨑眞人）　pp.4-7

作品図版　pp.9-84

作家略歴　pp.85-97

出品者リスト　pp.98-99

註：編集は尾﨑眞人、佐々木英理子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 8 月 26 日－10 月 29 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：青野文昭、上前智祐、内海信彦、大石千秋、岡部昌生、加藤義郎、菊畑茂久馬、佐藤時啓、嶋田美子、髙柳恵里、多和圭三、豊嶋康子、中村孝平、ハスラー・アキラ、bu bu〔出品者リスト順〕

第 10 回記念 北の彫刻展図録 ●

札幌彫刻美術館　2000 年 9 月

出品作家〔一覧〕　p.2

ごあいさつ（札幌彫刻美術館）　p.3

図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕　pp.4-45

〔作家のことば〕（阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岡沼淳一、小野寺紀子〔1 行〕、上遠野敏、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、高橋昭五郎、中江紀洋〔1 行〕、永野光一、二部黎、松隈康夫〔2 行〕、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山谷圭司、米坂ヒデノリ〔3 行〕、渡辺行夫）

出品目録　p.46

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 9 月 1 日－10 月 9 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：阿部典英、板津邦夫、伊藤隆道、伊藤寿朗、岡沼淳一、小野寺紀子、上遠野敏、神田比呂子、國松明日香、斎藤一明、高橋昭五郎、中江紀洋、永野光一、二部黎、松隈康夫、丸山隆、山下嘉昭、山田吉泰、山谷圭司、米坂ヒデノリ、渡辺行夫〔出品目録順〕

現代の水墨画 I ●

富山県水墨美術館　2000 年 9 月

ごあいさつ（主催者）　p.5

「現代の水墨画 I」によせて（石丸正運） pp.6-7
墨の復権――精神の回復を求めて（福井文夫） pp.8-12
図版〔図版、作家のことば、略年譜〕 pp.13-84
〔作家のことば〕（毛利武彦、平川敏夫、小泉淳作、中野弘彦、加山又造、小山硬、伊藤彬、田渕俊夫、平松礼二、中野嘉之、土屋禮一）
出品作品リスト pp.86-87
所蔵：□、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「SUIBOKU of Today」
会期：2000 年 9 月 1 日－10 月 22 日　富山県水墨美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送・第 55 回国民体育大会スポーツ芸術主催事業
出品：毛利武彦、平川敏夫、小泉淳作、中野弘彦、加山又造、小山硬、伊藤彬、田渕俊夫、平松礼二、中野嘉之、土屋禮一〔出品作品リスト順〕

アート最前線 25 年 作家とともに Part I ●
池田 20 世紀美術館　2000 年 9 月
ごあいさつ〈謝辞をかねて〉（館長林紀一郎） pp.2-3
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.4-101
〔作家のことば〕（谷本重義、永田力、ガストン・プチ、岡本信治郎、靉嘔、永井一正、渡辺豊重、柳澤紀子、田口安男、内山懋、島田章三、森秀雄、近藤弘明、福田繁雄、稲葉治夫、重田良一、豊島弘尚、佐藤多持、池田龍雄、司修、渡辺恂三、宮崎進、相笠昌義、佐々木豊、勝呂忠、馬場彬〔再録〕、細江英公、重岡建治〔2 行〕、木村一生、佐野ぬい、林敬二、谷川晃一、中村木美、焔仁、馬越陽子、池田幹雄、上野泰郎〔2 行〕、大森運夫、小嶋悠司、渡辺学、田名網敬一、上條陽子、小西保文、尾崎愛明、佐原和行、松本英一郎）
企画展年表 pp.102-103
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 9 月 1 日－11 月 30 日　伊東・池田 20 世紀美術館　主催：財団法人池田 20 世紀美術館
出品：谷本重義、永田力、ガストン・プチ、岡本信治郎、靉嘔、永井一正、矢柳剛、呉炫三、渡辺豊重、柳澤紀子、田口安男、内山懋、島田章三、森秀雄、近藤弘明、福田繁雄、稲葉治夫、重田良一、豊島弘尚、佐藤多持、池田龍雄、司修、渡辺恂三、宮崎進、相笠昌義、佐々木豊、勝呂忠、馬場彬、細江英公、重岡建治、木村一生、佐野ぬい、林敬二、谷川晃一、中村木美、焔仁、馬越陽子、池田幹雄、上野泰郎、大森運夫、小嶋悠司、渡辺学、田名網敬一、上條陽子、小西保文、尾崎愛明、佐原和行、松本英一郎〔図版収載順〕

ART TODAY 2000 3 つの回顧から ●
セゾン現代美術館　2000 年 9 月 9 日

メッセージ（難波英夫） p.3
〔作家は語る〕（伊藤誠、川嶋清、鷲見和紀郎、聞き手・難波英夫） pp.4-16
図版〔図版、作家のことば〕 pp.17-64
〔作家のことば〕（伊藤誠、川嶋清、鷲見和紀郎）
作家略歴 pp.66-71
伊藤誠、川嶋清、鷲見和紀郎
作品リスト pp.72-74
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 9 月 9 日－10 月 9 日 軽井沢・セゾン現代美術館 主催：セゾン現代美術館
出品：伊藤誠、川島清、鷲見和紀郎〔作品リスト順〕

第 16 回平行芸術展 響きと絵画 ●
小原流企画開発部 2001 年 10 月 1 日
情調論のはじまりに（峯村敏明） pp.1-6
図版〔作家略歴、図版〕 pp.7-22
全ては夜の耳を持つこと（吉田暁子） pp.23, 26-29
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 9 月 18 日－30 日 南青山・小原流会館エスパス OHARA 企画：峯村敏明、
主催：財団法人小原流
出品：岩熊力也、中沢研、吉田暁子〔図版収載順〕

プラスチックの時代 美術とデザイン ●
埼玉県立近代美術館 2000 年 10 月 企画展 主に英文併載 テキスト＋出品作品リスト＋カタログ＋Chronology(ビニール袋入)
□Text
あいさつ（埼玉県立近代美術館） pp.4, 5
序――プラスチックに夢と希望を託して（大久保静雄） pp.6-8, 87-89
プラスチック時代の芸術作品（梅津元） pp.9-15, 90-94
擬態の果て：モノ化した仮想現実（遠藤徹） pp.18-23, 24-29
プラスチックの魅力（竹原あき子） pp.34-37, 38-42
プラスチックの成形――見えないプラスチック（横井秀俊） pp.50-54, 55-59
音楽におけるプラスチック感覚（阿木譲） pp.66-69, 70-73
プラスチックな身体感覚（鷲田清一） pp.82-86, 付 1-4
参考文献・プラスチックの種類 1、2、3（浅沼敬子編） pp.30-31, 44-47, 60-63, 76-79
□出品作品リスト〔全 16 ページ〕
□カタログ〔プラスチック製表紙・裏表紙＋72 枚〕

図版〔章解説、図版、解説、作家略歴、文献再録〕
　解説（梅津元、大越久子、大久保静雄、三井圭司、浅沼敬子）
□Chronology〔1 枚、両面刷〕
〔年表〕（浅沼敬子、三井圭司・作成）
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Plastic Age：Art and Design　Plastic Life / Plastic Culture Plastic Art / Art of Plastic」
会期：2000 年 10 月 7 日－12 月 10 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：第 1 部 Plastic Life / Plastic Culture。第 2 部 Plastic Art / Art of Plastic；斎藤義重、中西夏之、石原友明、柳幸典、中原浩大、松井紫朗、吉田宏、袴田京太朗、和田みつひと、横溝美由紀〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は第 2 部の日本作家を収載。

水晶の塔をさがして〈現代アートが開く「私」の世界〉●
福岡市美術館　2000 年 10 月 7 日　展示記録共 2 冊
ごあいさつ（主催者）　pp.2, 3　英文併載
水晶の塔をさがして（山口洋三）　pp.6-9
図版〔作家略歴、作家論、図版〕　pp.11-85　作家略歴は英文併載
　〔作家論〕（山口洋三）
参考文献　pp.86-91
○展覧会事項
欧文タイトル：「“Secret Values”-5 Contemporary Artists Searching for the Quartz Tower」
会期：2000 年 10 月 7 日－11 月 5 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館・西日本新聞社・テレビ西日本
出品：大森裕美子、小林健二、佐々恭子、松尾藤代、平田五郎〔出品作品リスト順〕

水晶の塔をさがして〈現代アートが開く「私」の世界〉展示記録
福岡市美術館　2000 年 11 月 5 日
展示プラン　見返し
水晶の塔をさがして〈展示作品の構成と解説にかえて〉（山口洋三）　p.1
図版　pp.2-16
出品作品リスト　p.17　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項〔本体に同じ〕

現代美術の手法(5) 大きい版画と小さな版画展 ●
練馬区立美術館　2000 年 10 月
ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.2

「大きい版画」と「小さい版画」（横山勝彦） p.3
図版 pp.4-25
作品リスト pp.26-27
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 10 月 29 日－12 月 3 日 練馬区立美術館 主催：練馬区立美術館
出品：清宮彬、松原忠四郎、武井武雄、川上澄生、平塚運一、大沢昌助、棟方志功、一原有徳、岡本太郎、清宮質文、菅井汲、駒井哲郎、吉田穂高、堂本尚郎、吉原英雄、島州一、木村光佑、横尾忠則、李禹煥、磯見輝夫、井田照一、日和崎尊夫、榎倉康二、原健、小林敬生、池田良二、河内成幸、両角修、柄澤齋、辰野登恵子、山本容子、尾崎ユタカ、渋谷和良、山口啓介、宮井里夏、平井素子、高浜利也、横田亜弓、尾関立子〔作品リスト順〕
註：戦前作品のみの出品作家（安田雷洲、前川千帆、国吉康雄、長谷川潔、武藤完一、平川清蔵、畦地梅太郎、藤牧義夫）は割愛した。

ガーデン〈現代美術をとおしてみる後楽園〉〔記録集〕●
岡山県立美術館 2001 年 3 月 1 日 おかやま後楽園 300 年祭・空間アート
はじめに p.2
「ガーデン〈現代美術をとおしてみる後楽園〉」（柳沢秀行） pp.3-4
図版〔作品解説、図版〕 pp.5-51
作品解説（柳沢秀行）
作品配置図等〔開催関連資料〕 pp.52-57
作家略歴（ガーデン事務局編） pp.58-63
註：会場は後楽園および後楽園周辺河川敷だが、岡山県立美術館が発行所なので本「一覧」に収録した。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 11 月 3 日－12 月 3 日 招待展・後楽園園内／アンデパンダン展・後楽園周辺河川敷 主催：おかやま後楽園 300 年祭実行委員会、共催：岡山県立美術館
出品：池田晶一、岩野勝人、榎本勝彦、大久保英治、太田三郎、岡部玄、國安孝昌、地域と芸術計画(代表・小石原剛)、寺田武弘、藤本由紀夫、眞板雅文〔図版収載順〕

美術の「戦後」●
神奈川県立近代美術館 2000 年 11 月
あいさつ（神奈川県立近代美術館） p.3
第 1 章 コレクションへの 9 つの視点〔本館〕 pp.4-20
〔年表、展示プラン〕 p.5
1 山下菊二と松川裁判――ある戦後（長門佐季） pp.6-7
2 1950 年代混沌の表象（原田光） pp.9-10

3 風土論的考察（太田泰人） pp.12-13
4 描かれたベトナム戦争（籾山昌夫） pp.15-16
5 佐野繁次郎のエスプリ――戦後の装幀を中心に（橋秀文） pp.18-19
6 人間が「在る」――ジャコメッティ、海老原喜之助、麻生三郎（山梨俊夫） pp.2526
7《こけし》を中心に――「像」の変奏（水沢勉） pp.28-29
8 アンフォルメル、あるいは…（堀元彰） pp.31-32
9 夕日のある風景（酒井忠康） pp.34-35
図版〔多色図〕 pp.21-24
第 2 章 松本竣介・麻生三郎展〔別館〕 pp.37-43
松本竣介・麻生三郎展に寄せて（酒井忠康） pp.38-39
出品リスト pp.42-43
註：個々の作家の個人情報（略歴、作家解説）は無い
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 11 月 18 日－2001 年 1 月 21 日 コレクションへの 9 つの視点＝鎌倉・神奈川県立近代美術館本館、松本竣介・麻生三郎展＝鎌倉・神奈川県立近代美術館別館
出品：第 1 章；山下菊二、阿部展也、村井正誠、荒井龍男、川口軌外、斎藤義重、鶴岡政男、福沢一郎、宇治山哲平、高間惣七、須田剋太、中野秀人、朝井閑右衛門、鳥海青児、山口長男、田中岑、糸園和三郎、上野誠、秀島由己男、佐野繁次郎、アルベルト・ジャコメッティ、麻生三郎、海老原喜之助、イサム・ノグチ、柳原義達、木内克、野水信、辻晋堂、飯田善國、向井良吉、堀内正和、高橋清、ジョルジュ・マチウ、杉全直、今井俊満、堂本尚郎、清宮質文、一原有徳。第 2 章；松本竣介、麻生三郎〔出品リスト順〕
註：所蔵作品展。

現代の写真 II 反記憶 ●
横浜美術館 2000 年 11 月 主に英文併載
あいさつ（館長陰里鐵郎） pp.4, 5
序（天野太郎） pp.8-13
反記憶（天野太郎） pp.14-19
Time After Time――磯田智子の二つの連作（倉石信乃） pp.30-40
カタログ〔図版〕 pp.41-121
略歴／文献 pp.123-141 主に英文
出品リスト pp.148-151
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ANTI-MEMORY：Contemporary Photography II」
会期：2000 年 11 月 23 日－2001 年 1 月 21 日 横浜美術館 主催：横浜美術館

出品：清野賀子、磯田智子、小野博、仙北慎次〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

アート最前線 25 年 作家とともに Part II ●

池田 20 世紀美術館　2000 年 12 月

ごあいさつ〈謝辞にかえて〉（館長林紀一郎）　pp.2-3

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.4-117

〔作家のことば〕（大野五郎〔1 行〕、滝沢具幸、池田宗弘、石踊紘一、一色邦彦、市野英樹、丑久保健一、大成浩、奥谷博、小作青史、加藤春生、川口起美雄、河内成幸、絹谷幸二、小島信明、小西祐典〔2 行〕、齋藤研、柴田長俊、島州一、島谷晃、鈴木孝史、多賀新、高岸昇、高柳裕、塚原琢哉、戸田康一、長島義明、二村裕子、原健、櫃田伸也、舩坂芳助、松永楠生、松本旻、三澤憲司、峯田義郎、最上壽之、森野眞弓、谷中武彦、山本衛士、若江漢字、秋山祐徳太子、久里洋二、今井信吾、中西勝、桜井寛、栗原一郎、間島領一、佐々木正芳、木下晋、中林忠良、水谷勇夫、斎藤吾朗、織田廣喜、山本貞、福島瑞穂、安達博文、田淵安一）

企画展年表　pp.118-119

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2000 年 12 月 1 日－2001 年 2 月 28 日　伊東・池田 20 世紀美術館　主催：池田 20 世紀美術館

出品：大野五郎、滝沢具幸、池田宗弘、石踊紘一、一色邦彦、市野英樹、丑久保健一、大成浩、奥谷博、小作青史、加藤春生、川口起美雄、河内成幸、絹谷幸二、小島信明、小西祐典、齋藤研、柴田長俊、島州一、島谷晃、鈴木孝史、多賀新、高岸昇、高柳裕、塚原琢哉、戸田康一、長島義明、二村裕子、原健、櫃田伸也、舩坂芳助、松永楠生、松本旻、三澤憲司、峯田義郎、最上壽之、森野眞弓、谷中武彦、山本衛士、若江漢字、秋山祐徳太子、久里洋二、今井信吾、中西勝、桜井寛、栗原一郎、間島領一、佐々木正芳、木下晋、中林忠良、水谷勇夫、斎藤吾朗、織田廣喜、山本貞、福島瑞穂、安達博文、田淵安一〔図版収載順〕

ギフト・オブ・ホープ 21 世紀アーティストの冒険 ●

東京都現代美術館　2000 年 12 月 16 日　ポスター12 枚＋展覧会カタログ＋展覧会カタログ補遺 1 枚〔函入り〕

ポスター〔12 枚、両面刷〕

テキスト（佐倉良樹、塩田純一、オノ・セイゲン、南雄介）

〔作家のことば〕（スラシ・クソンウォン、イー・ジンギョン〔李真京〕、リー・ミンウェイ〔李明維〕、大岩オスカール幸男）

〔会話〕（ナウィン・ラワンチャイクン×インソン・ウォンサム）　英文併載

〔メール交信〕（山出淳也×鎮西芳美）

□展覧会カタログ〔主に英文併載〕

ごあいさつ（東京都現代美術館）

ギフトー希望の原理（塩田純一）
〔作家略歴、文献〕
註：編集は塩田純一、南雄介、鎮西芳美、熊谷伊佐子、平野千枝子。
□展覧会カタログ補遺〔1 枚両面刷、2001 年 1 月 26 日発行〕
インスタレーション記録〔図版〕　表面
出品リスト　裏面
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Gift of Hope」
会期：2000 年 12 月 16 日－2001 年 4 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会
出品：八谷和彦、カチョー、スラシ・クソンウォン、イー・ジンギョン〔李真京〕、リー・ミンウェイ〔李真京〕、大岩オスカール幸男、ナウィン・ラワンチャイクン、「時の蘇生」柿の木プロジェクト実行委員会、島袋道浩、ベアト・ストロイリ、山出淳也、ヤノベケンジ〔ポスター・クレジット順〕

北の創造者たち 2001「美術スル」見方 ●
札幌市芸術文化財団　2000 年 12 月　付・パフォーマンス＋レジデンス・レポート
ごあいさつ（芸術の森美術館）　p.3
図版〔作家解説、図版、作家略歴〕　pp.4-45
作家解説（岩﨑直人）
作家インタビュー（川上りえ、佐々木秀明、鴻上宏子、藤本和彦、新明史子、古幡靖、端聡）　pp.46-47
□パフォーマンス＋レジデンス・レポート〔全 12 ページ　2001 年発行〕
〔あいさつ〕（芸術の森美術館）
図版〔解説、ワークショップ等風景写真〕　8p.
札幌芸術の森全体図、展覧会会場構成
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2000 年 12 月 23 日－2001 年 3 月 21 日　札幌・芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団
出品：川上りえ、佐々木秀明、鴻上宏子、藤本和彦、新明史子、古幡靖、端聡〔図版収載順〕

2001（平成 13）年
流動する美術－VII 視覚を越えて・巡りて〈日高理恵子/光島貴之の絵画〉●
福岡市美術館　2001 年 2 月 1 日

ごあいさつ（福岡市美術館） p.3 英文併載
断章：視覚を越えて・巡りて――営みの遠近法（柴田勝則） pp.4-9
図版 pp.10-25
樹の空間をめぐる覚え書き（日高理恵子） pp.26, 27 英文併載
「街シリーズ」制作に寄せて――触覚時間の体験（光島貴之） p.30 英文併載
年譜 pp.28-29, 31 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art in Flux-VII Beyond & Around the Visual Perception」
会期：2001 年 1 月 5 日－3 月 25 日 福岡市美術館 主催：福岡市美術館
出品：日高理恵子、光島貴之

「DOMANI・明日」展 2001 図録 ●
文化庁・読売新聞社 2001 年 1 月
ごあいさつ（主催者） p.3
「DOMANI・明日」展 2001 開催にあたり（一色邦彦） p.4
芸術家在外研修制度について p.5
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.7-45
〔作家のことば〕（宇野務、黒川弘毅、高岡典男、下川昭宣、梶滋、袴田京太朗、伊藤誠、北郷悟）
出品作品リスト pp.46-47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
展名：未来を担う美術家たち「DOMANI・明日」展 2001〈文化庁芸術家在外研修の成果〉
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2001 年 1 月 6 日－27 日 新宿・安田火災東郷青児美術館 主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社
出品：宇野務、黒川弘毅、高岡典男、下川昭宣、梶滋、袴田京太朗、伊藤誠、北郷悟。特別出品；一色邦彦、若林奮、最上壽之、河口龍夫、峯田義郎〔出品作品リスト順〕

出会い展 ●
東京オペラシティ文化財団 2001 年 1 月 12 日 主に英文併載
ごあいさつ（館長米澤啓明） pp.5, 6
未知との遭遇（篠田達美） pp.9-114, 15-20
出会い――知覚と認識から想像と再生の旅へ（片岡真実） pp.21-30, 31-40
作家年譜＋参考文献（飯田志保子・佐山由紀編） pp.43-50, 51-56, 57-62
図版〔図版、作品解説、フィルム・テクスト、作家のことば〕 pp.65-117
作家解説（片岡真実、島袋道浩＋野村誠）
〔作家のことば〕（島袋道浩＋野村誠）
所蔵：□、国新美、東文研、神近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Encounter」

会期：2001 年 1 月 12 日－3 月 18 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：アン・ダームス、プラメン・デジャノフ&スウェトラナ・ヒガー、ヤン・ファーブル＋イリヤ・カバコフ、島袋道浩＋野村誠、渡辺英司、ジュン・ヤン〔図版収載順〕

美術館を読み解く――表慶館と現代の美術 ●

東京国立近代美術館　2001 年 1 月　主に英文併載　別冊共 2 冊

あいさつ（館長辻村哲夫・坂元弘直）　pp.5, 7

中空の美術館（蔵屋美香）　pp.10-21, 86-96

出品リスト　p.22

作品配置図　p.23

図版〔作家のことば・インタビュー、図版〕　pp.25-45

〔作家のことば・インタビュー〕（松井紫朗、栗本百合子、谷山恭子、髙柳恵里、テレジータ・フェルナンデス）

作家略歴　pp.46-48

表慶館に関する資料　pp.49-84

表慶館小史（古田亮）

註：編集は蔵屋美香、古田亮、中林和雄。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Reading the Art Museum　Hyokeikan and Art of Today」

会期：2001 年 1 月 23 日－3 月 11 日　東京国立博物館　主催：東京国立近代美術館・東京国立博物館

出品：松井紫朗、栗本百合子、谷山恭子、髙柳恵里、テレジータ・フェルナンデス〔出品リスト順〕

美術館を読み解く――表慶館と現代の美術 別冊

東京国立近代美術館　2001 年

図版〔展示風景〕　pp.2-21, 27

出品リスト　p.22

作品配置図　p.23

解説　pp.24-25

表慶館に関する資料 出品リスト　p.26

註：編集は蔵屋美香、古田亮、中林和雄。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項〔本体に同じ〕

目黒アート・アニュアル 2000　14 作家の個展 ●

目黒区美術館　2001 年 2 月

註：本カタログは副題に「14 作家の個展」とあるように、14 名の作家個展を 1 冊に製本した形となっている。ただ作品図版はほとんど無く、それぞれ作家インタビュー、作家略歴、関連文献・参考文献、出品目録から構成されている。

註：編集は正木基。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Meguro Art Annual 2000」

会期：2001 年 2 月 3 日－25 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：井上慎、上松一条、内田千代子、古茂田杏子、古茂田美津子、柴田敏雄、田渕観齋、長はるこ、中井幸一、西大記、沼田元氣、平野正樹、藤掛正邦、宮廻正明

チバ・アート・ナウ'00 拡張する絵画－色彩による試み ●

佐倉市立美術館　2001 年 2 月 4 日　英文併載

ごあいさつ（館長海野道義）　p.3

拡張する絵画（黒岩恭介）　pp.4-7, 62-65

本展について（黒川公二）　pp.8-9, 66-68

カラー図版　pp.11-60

展示配置図　p.61

作家資料〔作家略歴、図版、作家のコメント〕　pp.69-77

〔作家のコメント〕（紫牟田和俊、祐成政徳、向山喜章）

出品作品一覧　pp.78, 79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Chiba Art Now '00：Extending the Boundaries of Painting－Exploration of Color」

会期：2001 年 2 月 4 日－3 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：佐藤勲、紫牟田和俊、祐成政徳、向山喜章〔出品作品一覧順〕

SPACE ODYSSEY 宇宙の旅 ●

水戸芸術館現代美術センター　2001 年 4 月 4 日　英文併載　展覧会資料第 48 号

新たな視点を求めて――現代美術と宇宙の旅（逢坂恵理子）　pp.7-12, 21-26

宇宙を見る（デイヴィッド・マリン）　pp.15-19, 27-31

展示風景〔図版〕　pp.33-72

作家資料〔作家略歴、作家のことば、作家解説〕

〔作家のことば〕（ジョン・マックラーケン、トーマス・ルフ〔再録〕、ウェンヨン&ギャンブル、マイケル・ライト、デイヴィッド・マリン、森脇裕之、トーマス・シャノン、平

野治朗）

〔作家解説〕（逢坂恵理子）

〔望遠鏡写真〕 p.94

資料展示 p.95

出品作品リスト pp.96-97, 98-99

関連企画 pp.100, 101

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

会期：2001 年 2 月 10 日－5 月 6 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー 主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：森脇裕之、金山明、平野治朗〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載した。

VOCA 展 2001「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館 2001 年 2 月 英文併載

「VOCA 展 2001」開催にあたって（主催者） p.5

「VOCA 展 2001」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.7

〔授賞者、委員一覧〕 pp.9, 95, 103

〔選評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、草薙奈津子） pp.11-15, 97-101

図版〔出品作家、作家解説、図版〕 pp.17-83

〔作家解説〕（荒木夏実、藤川哲、林洋子、宝玉正彦、石川健次、鍵岡正謹、笠原美智子、川浪千鶴、蔵屋美香、黒沢伸、李美那、南嶌宏、村田真、長門佐季、名古屋覚、中井康之、中村英樹、西村勇晴、小口斉子、翁長直樹、尾﨑信一郎、坂元暁美、佐々木吉晴、佐藤友哉、渋澤和彦、篠雅廣、菅章、菅原教夫、谷新、寺嶋弘道、山脇一夫、柳原正樹、柳沢秀行）

〔作家略歴〕 pp.85-93, 104-117

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2001 年 2 月 18 日－28 日 上野の森美術館 主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：安彦文平、青野文昭、藤井浩一朗、原田章生、市川美幸、石田徹也、伊藤存、カワシマトモエ、風間サチコ、パルコキノシタ、岸本吉弘、鯉江真紀子、今義典、倉科勇三、前川知美、真喜志奈美、松尾暢、水上央子、小原健吾、荻野僚介、大木奈緒美、押江千衣子、櫻井美智子、高浜利也、髙橋啓和、鷹取雅一、寺島ブラディオ、内田かんぬ、上田奈保、梅本和之、和田愛語、山田佐保子、吉岡俊直〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・押江千衣子、VOCA 奨励賞・市川美幸、石田徹也、水上央子、高浜利也

かながわアート アニュアル 2001 展覧会カタログ ●

神奈川県民ホールギャラリー　2001 年 2 月

ごあいさつ（神奈川県民ホール）　p.1

カタログ〔展示配置図、図版、テキスト、作家略歴、主要文献〕　pp.2-39

テキスト（正木基、堀元彰、松尾こなぎ、近藤幸夫、天野一夫）

〔作家略歴、主要文献〕（松尾こなぎ編）

オモチャ箱派と歴史派－ひとつのメモ（千葉成夫）　pp.41-43

作品リスト　pp.44-49

Biography and Nominator's memorandum　pp.50-53　英文

関連企画　p.54

出品作家選考委員、出品作家推薦委員　p.55

〔第 1 回-2000 神奈川アート・アニュアル 会期・出品作家〕p.56

編集：松尾こなぎ

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒

○展覧会事項

欧文タイトル：「KANAGAWA ART ANNUAL 2001」

会期：2001 年 2 月 24 日－3 月 25 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　選考委員・酒井忠康、千葉成夫、針生一郎、柳生不二雄、主催：神奈川県民ホール

出品：長沢明、河田政樹、春日聡、仁木智之、飯島浩二、井上尚子、清岡正彦、村上慎二、景山健〔作品リスト順〕

見る・写す・表わす／みる・うつす・あらわす／ミル・ウツス・アラワス ●

世田谷美術館　2001 年 2 月　企画展　付・英語版

〔ことば〕p.2

図版　pp.4-27

この小冊子でとりあげた作家について　p.28

見ること・写すこと・表わすこと（大島清次）　pp.29-31

企画展「見る・写す・表わす」についての覚書（遠藤望）　pp.32-33

子どもたちの声をきく――作品と出会う瞬間の素描（塚田美紀）　pp.34-35

展覧会出品作品目録　pp.36-41

□英語版〔全 16 ページ〕

註：大島清次、遠藤望、塚田美紀の文章と目録の英訳。

註：編集は村上由美、遠藤望。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「PERCEPTION Seeing」

会期：2001 年 2 月 28 日－5 月 6 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：グランマ・モーゼス、北大路魯山人、荒木経惟、アンソニー・グリーン、舟越桂、デイヴィッド・ホックニー、安齊重男〔図版収載順〕

註：出品欄は小冊子に取り上げられた作家を収載。この他、同館のコレクションのうち宮本三郎、向井潤吉から荒敦子、福田美蘭にいたる作家、高梨豊や桑原甲子雄らの写真家が数多く出品されている。

6th 北九州ビエンナーレ〈ことのはじまり〉●

北九州市立美術館　2001 年 3 月 31 日　全 162 枚(ケース入)

あいさつ（北九州市立美術館）

〔図版、諸文章、作家略歴・参考文献等〕

註：全 162 葉(うち白紙 4 枚)、両面刷。各葉にノンブルが無いため順序が定かでなく目録記載が困難な〈展覧会カタログ〉である。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 6th Kitakyushu Biennale　The Beginning of Things」

会期：2001 年 3 月 3 日－25 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

出品：川俣正、中ザワヒデキ、島袋道浩、セカンド・プラネット

現代のイメージ V 絵画の現在進行形〈絵が解き放たれるとき〉●

熊本県立美術館　2001 年 3 月

はじめに（熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社）　p.3

Member　p.5

図版〔作家略歴、作家のコメント、図版〕　pp.6-29

〔作家のコメント〕（中村一美、湯浅龍平、井川惺亮、坂口登、星加民雄、西松幹浩）

絵画についての覚書－フォーマリズムを超えて（村上哲）　p.30

出品作品リスト　p.31

所蔵：□、国新美、東近美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Image of Today V Painting beyond Formalism for Interactionism」

会期：2001 年 3 月 8 日－4 月 8 日　熊本県立美術館　主催：熊本県立美術館・NHK 熊本放送局・熊本日日新聞社

出品：中村一美、湯浅龍平、井川惺亮、坂口登、星加民雄、西松幹浩〔出品作品リスト順〕

求心力／遠心力　うらわと現代の美術 ●

うらわ美術館　2001 年 4 月　さいたま市誕生記念

ごあいさつ（うらわ美術館）　p.3

「浦和の美術」をめぐる求心力と遠心力（森田一）　pp.6-7

図版〔作家略歴、図版、作家・作品解説、TEXT〕　pp.9-67

作家略歴、作家・作品解説（森田一）

TEXT（倉林靖、本江邦夫、鷹見明彦、荻原佐和子、中村誠、千葉成夫）

出品作品リスト　pp.68-69

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2001 年 4 月 24 日－7 月 8 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館
出品：Part.I；寺内萬治郎、髙田誠、瑛九、小松崎邦雄、百瀬浩、小川游、加藤勝重、櫻井英嘉、津久井利彰、細野稔人。Part.II；渋谷和良、石塚雅子、塩﨑由美子、青柳慶、秋元珠江、林武史〔出品作品リスト順〕

グローバル・ヴィジョン――1980 年代から今日まで ●
東京都現代美術館　2001 年 4 月　1 枚(両面刷)
ごあいさつ（東京都現代美術館）英文併載
図版〔章解説、作品解説、図版〕 12 図
〔作品配置図〕
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「Global Visions――Art after 1980 from the Museum Collection」
会期：2001 年 4 月 28 日－6 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館
出品：蔡國強、遠藤利克、河原温、菅木志雄、石内都〔図版収載順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 Volume 1 DRAFT ●
東京オペラシティ文化財団　2001 年 7 月 1 日　展覧会資料第 9 号　主に英文併載
ごあいさつ（館長米澤啓明） p.5
わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 2：東京バージョン（ホウ・ハンルゥ、ジェローム・サンス） pp.9-12, 13-16
We sing the city electric.（都築響一） pp.17-24
仮設住宅の可能性と現代の「家」（坂茂、聞き手・片岡真実） pp.25-27, 28-30
周縁あるいは中間領域としてのオープン・ハウス（片岡真実） pp.31-33, 34-36
図版〔「最寄りの国際空港から自宅までの順路」という問いに対する作家の回答、図版、作品解説、作家のことば、略歴・主な参考文献〕 pp.37-105
〔作家のことば〕（キム・ソラ）
略歴・主な参考文献（飯田志保子・佐山由紀編）
キュレーター略歴　p.107
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、和光大、N
〇展覧会事項
欧文タイトル：「MY HOME IS YOURS / YOUR HOME IS MINE」
会期：2001 年 7 月 1 日－9 月 16 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団
出品：アトリエ・ワン、B.a.d、キム・ソラ／ギムホンソック、イェンス・ハーニング、スラシ・クソンウォン、ザビエ・ムラン／小浜泉、小沢剛、ペリフェリック、スゥ・ドーホー、ワン・ジャンウェイ、山出淳也〔図版収載順〕

わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 Volume 2 ACTION

東京オペラシティ文化財団　2001 年 7 月 1 日

展示プラン、展示写真　pp.2-3, 4-45

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、江戸博、横浜美、和光大

○展覧会事項(上記 Volume 1 に同じ)

瀧口修造の眼――戦後の作家たち ●

入善町教育委員会　2001 年 7 月

ごあいさつ（主催者）　p.1

図版〔図版、文献再録〕　pp.2-21

展示風景　p.22

出品作品リスト　p.23

影像の深淵－瀧口修造の批評眼（長縄宣）　pp.24-25

瀧口修造略年譜　pp.26-27

所蔵：□、国新美、神近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2001 年 7 月 15 日－9 月 16 日　入善町下山芸術の森発電所美術館　主催：入善町・入善町教育委員会、共催：富山県立近代美術館・北日本新聞社

出品：靉嘔、赤瀬川原平、麻生三郎、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、池田満寿夫、泉茂、井上武吉、今井俊満、宇佐美圭司、瑛九、岡崎和郎、オノサト・トシノブ、小野忠弘、小山田二郎、櫃尾正次、加納光於、河原温、北代省三、草間彌生、久保田成子、合田佐和子、駒井哲郎、斎藤義重、篠原有司男、菅井汲、高松次郎、多田美波、東野芳明、堂本尚郎、利根山光人、中川幸夫、中西夏之、野中ユリ、浜田知明、細江英公、堀内正和、前田常作、松澤宥、三木富雄、水谷勇夫、宮脇愛子、向井良吉、村井正誠、山口勝弘、山口長男、横尾忠則、吉村益信〔出品作品リスト順〕

ヴァイブレーション〈結びあう知覚〉 ●

宇都宮美術館　2001 年 7 月

あいさつ（宇都宮美術館）　pp.4, 5　英文併載

彫刻の現代性――ヴァイブレーションへの誘い（小泉晋弥）　pp.8-17

図版〔作家解説、図版〕　pp.19-151

〔作家解説〕（有木宏二、藤井明、谷新、武田昭彦、深谷克典、梅津元、水沢勉、降旗千賀子、中村英樹、山本和弘、奥村泰彦、小池一子、平野明彦、千葉成夫）

美術館で、盲人と、透明人間とが、出会ったと、せよ。Ver.4（石原友明）　pp.76-87

作家略歴　pp.152-167

作品リスト　pp.168-171

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「VIBRATION　EXPRESSIVE POWERS OF SCULPTURES」

会期：2001 年 7 月 29 日－9 月 24 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館・下野新聞社、協力：現代彫刻センター

出品：高村光太郎、平櫛田中、柳原義達、安田侃、青木野枝、伊藤誠、佐藤時啓、原田要、椎原保、樋口裕昭、安藤栄作、平田五郎〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

体感する美術'2001 あつめる わける ならべる ミュージアムのたねあかし ●

佐倉市立美術館　2001 年〔8 月〕　第 7 回目　付・別冊

ごあいさつ（佐倉市立美術館）　p.3

ワークショップの紹介　pp.4-77

　大森裕美子 作品展示／ワークショップ

□別冊

ワークショップ テキスト（大森裕美子編・デザイン）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2001」

会期：2001 年 8 月 4 日－19 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：大森裕美子、ワークショップ結果展示

手と目の冒険広場「色の博物誌・緑－豊潤な影」●

目黒区美術館　2001 年 8 月

ごあいさつ（目黒区美術館）　p.3

近代絵画と緑色絵具（森田恒之）　pp.4-7

図版〔図版、解説〕　pp.9-64

孔雀石と緑青の文化史（関根秀樹）　pp.66-69

豊潤な影－ささえる色・緑（降旗千賀子）　pp.70-74

作家解説　pp.75-79

作品リスト　pp.80-83

主要参考文献　pp.84-85

〔関連事業〕　p.86

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「GREEN」

会期：2001 年 8 月 4 日－9 月 19 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：IV.現代の表現；押江千衣子、加藤良造、小林孝亘、鈴木省三、林田直子、天利道子〔作品リスト順〕

註：出品欄は第 IV 章「現代の表現」の作家を収載。

亜細亜散歩 カタログ Vol.1〔資料編〕●

資生堂・水戸芸術館現代美術センター　2001 年 8 月 8 日　英文併載
ごあいさつ（資生堂企画文化部・水戸芸術館現代美術センター）　p.3
AFTER KITSCH〔会場：資生堂ギャラリー〕
タラコスパゲティが和食になるとき（樋口昌樹）　pp.8-11, 12-15
図版〔作家略歴、図版〕　pp.16-45
CUTE〔会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー〕
アジアと現代美術（浅井俊裕）　pp.48-51, 52-55
図版〔作家略歴、図版〕　pp.56-109
Contribution
作家への道（金宣延）　pp.112-113, 114-115
明日もいい日〈1980 年代以降の台湾現代美術〉（李玉玲）　pp.116-118, 119-121
記憶と身体〈中国の現代アート〉（牧陽一）　pp.122-124, 125-127
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Promenade in Asia－CUTE」
会期：[東京展] 2001 年 8 月 10 日－10 月 21 日　銀座・資生堂ギャラリー　主催：資生堂企画文化部／[水戸展]2001 年 8 月 10 日－10 月 21 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：[水戸展]飯島愛、川上和歌子、顧世勇、西山美なコ、朴洪天、姚瑞中、王俊傑、王慶松、王徳瑜〔図版収載順〕
註：出品欄は水戸展のみ収載。

亜細亜散歩 カタログ Vol.2〔記録編〕
資生堂・水戸芸術館現代美術センター　2001 年 10 月 10 日　英文併載
AFTER KITSCH
AFTER KITSCH〈作品解説〉（樋口昌樹）　pp.4, 5
図版　pp.6-23
CUTE
図版〔図版、作品解説〕　pp.26-61
〔作品解説〕（浅井俊裕）
水戸芸術館関連企画　pp.62-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項(Vol.1 に同じ)

現代美術の手法(6)「光とその表現」展 ●
練馬区立美術館　2001 年 8 月　別冊共 2 冊
ごあいさつ（館長髙柳文雄）　p.3
「光」とその表現―現代美術における光の問題（横山勝彦）　pp.5-7

図版　pp.8-64
〔作家略歴〕　pp.65-122　作品図版併載
作品リスト　pp.123-125
別冊
　図版〔展示風景〕　pp.1-15
　新作・インスタレーション〔リスト〕　p.16
所蔵：□、国新美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2001 年 8 月 19 日－9 月 24 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館
出品：瑛九、上田薫、小山利枝子、徳永雅之、杉本博司、佐藤時啓、山口勝弘、菱山裕子、倉重光則、石井勢津子、作間敏宏、高橋洋子、吉永裕〔作品リスト順〕

今日の作家展 2001 アーティキュレイト・ヴォイス－新しい“イメージ”の可能性 ●
横浜市民ギャラリー　2001 年 9 月　主に英文併載　第 35 回今日の作家展
ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）
Image Aesthetics：イメージの新たな可能性に向けて（市原研太郎）
アーティキュレイト・ヴォイス展をめぐるノート（内山淳子）
出品リスト
図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕
　作家のことば（横溝静、木村友紀〔1 行〕、前田征紀）
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：「series ARTISTS TODAY 2001：ARTICLATE VOICE From the age of new imagery expansions」
会期：2001 年 9 月 1 日－24 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー・横浜市
出品：天江竜太、大木裕之、木村友紀＋前田征紀、武智子、眞島竜男、横溝静〔出品リスト順〕

ART TODAY 2001 SANGAI ●
セゾン現代美術館　2001 年 9 月 8 日
メッセージ（セゾン現代美術館）　p.3
SANGAI／三外（難波英夫）　pp.4-8
図版　pp.9-56
ワーキング・ノート（磯辺行久）　pp.57-58
作家略歴　pp.60-62
作品リスト　pp.63-65
所蔵：□、国新美、東近美、都現美

〇展覧会事項

会期：2001 年 9 月 8 日－10 月 8 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館

出品：水上央子、松澤宥、磯辺行久〔作品リスト順〕

馬場彬とサトウ画廊の画家たち〈戦後美術の断面〉●

秋田県立近代美術館　2001 年 9 月 9 日

ごあいさつ（秋田県立近代美術館）p.3

「サトウ画廊月報」を読み直して（針生一郎）　pp.4-7

『サトウ画廊のこと』（馬場彬）　pp.8-13

サトウ画廊と馬場彬（山本丈志）　pp.14-19

図版　pp.21-83

出展作家略歴　pp.84-95

馬場彬関連年譜　pp.96-100

サトウ画廊予定表 1955.4.1-1981.4.15　pp.101-110

主要参考文献　pp.111-115

出展作品一覧　pp.116-118

註：編集は、山本丈志、後藤雅洋。

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2001 年 9 月 9 日－10 月 14 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：秋田県立近代美術館

出品：馬場彬、近藤竜男、吉仲太造、桑原盛行、池田龍雄、針生鎮郎、中村宏、深沢幸雄、昆野勝、豊島弘尚、佐々木正芳、村上善男、高橋甲子男、勝呂忠、難波田龍起、藤松博、内田克巳、吉村益信、小野忠弘、宮下勝行、岡本信治郎、赤瀬川原平、石川舜、みのわ淳、江澤正秀、小山田二郎、長谷秀三〔出展作品一覧順〕

あるコレクターがみた戦後日本美術 ●

群馬県立近代美術館・愛媛県美術館　2001 年 9 月

ごあいさつ（主催者）　pp.4, 5　英文併載

戦後日本美術史から見た各務コレクション（針生一郎）　pp.8-11, 12-15　英文併載

私有された歴史（建畠哲）　pp.16-17

個人コレクションの起点と終着点（萬木康博）　pp.18-20

図版〔章解説、図版〕　pp.21-116

章解説（田中龍也、武田信孝、藤川哲）

「あるコレクターがみた戦後日本美術」－各務コレクションの特徴と本展の構成（田中龍也）　pp.118-119

戦後日本美術における 3 つの共通項をめぐって（武田信孝）　pp.120-121

作家略歴（一色常道、上村清道、武田信孝、谷内克聡、藤川哲、松下和美、田中龍也、鶴見

香織） pp.122-136
主要参考文献（武田信孝、藤川哲編） pp.137-149
作品目録 pp.150-160
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Through a Collector's Eye：Japanese Art after 1945」
会期：2001 年 9 月 15 日－10 月 28 日 高崎・群馬県立近代美術館 主催：群馬県立近代美術館／12 月 7 日－2002 年 1 月 14 日 松山・愛媛県美術館 主催：愛媛県美術館
出品：勅使河原蒼風、岡田謙三、山口長男、斎藤義重、村井正誠、オノサト・トシノブ、瑛九、坂本善三、川端実、阿部展也、浅野弥衛、菅井汲、田淵安一、白髪一雄、豊福知徳、吾妻兼治郎、前田常作、今井俊満、堂本尚郎、渡辺恂三、工藤哲巳、菊畑茂久馬、荒川修作、高松次郎、李禹煥、宇佐美圭司、長澤英俊、小清水漸、彦坂尚嘉、森村泰昌、川俣正、大竹伸朗、山倉研志、前本彰子〔作品目録順〕

福島の新世代 2001 SEVEN ROOMS ●
福島県立美術館 2001 年 9 月
ごあいさつ（福島県立美術館） p.3
「壁」をめぐって（荒木康子） pp.6-7
展覧会関連事業 p.8
図版 pp.9-50
作家テキスト〔インタビュー、作家のことば〕 pp.52-65
〔インタビュー〕（菅野純、山根敏郎、岩倉榮利、坂本朝夫、聞き手・荒木康子、増渕鏡子）
〔作家のことば〕（瀬戸正人、山口卓司、三原昌平）
作家資料 pp.66-72
出品作品リスト pp.73-79
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
会期：2001 年 9 月 22 日－11 月 18 日 福島県立美術館 主催：福島県立美術館・福島民報社・テレビュー福島
出品：菅野純、瀬戸正人、山口卓司、山根敏郎、岩倉榮利、三原昌平、坂本朝夫〔出品作品リスト順〕

アート!新スタイル〈かごしまの作家、かかわりの世界観〉●
アート!新スタイル展実行委員会 2001 年 10 月 5 日 特別企画展
あいさつ（主催者） p.3
現代美術の最前線（南條史生） pp.6-9
「かかわり」をめぐって（丸田めぐみ） pp.10-14
図版〔作家解説、図版〕 pp.17-92

作家解説（丸田めぐみ、山西健夫）
作家年譜・参考文献（〔上村洋子〕） pp.93-107
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「NEW STYLE of ART 2001」
会期：2001 年 10 月 5 日－11 月 11 日　鹿児島市立美術館　主催：鹿児島市・鹿児島市教育委員会・鹿児島市立美術館・南日本新聞社・MBC 南日本放送
出品：藤浩志、文田聖二、河口洋一郎、内倉ひとみ、竹之内直記、川路益右、徳永隆〔図版収載順〕

アート!新スタイル〈かごしまの作家、かかわりの世界観〉展示記録
アート!新スタイル展実行委員会　2001 年 10 月 31 日　全 20 ページ
展示記録〔凡例〕
会場構成
図版〔展示風景、作家のことば〕 14p.
〔作家のことば〕（藤浩志、文田聖二、河口洋一郎、内倉ひとみ、竹之内直記、川路益右、徳永隆）
出品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項〔本体と同じ〕

「奔る女たち 女性画家の戦中・戦後 1930-1950 年代」展 ●
栃木県立美術館　2001 年 10 月　付・観賞ノート
あいさつ（栃木県立美術館） pp.4, 5　英文併載
近代日本における女性画家をめぐる制度－戦前・戦後の洋画家を中心に（小勝禮子） pp.9-20, 176-180　英文併載
日本絵画と女性画家たち（橋本慎司） pp.21-25, 181　抄訳併載
在野団体の女性日本画家たち（鈴木かおる） pp.26-29, 182-183　抄訳併載
カタログ〔章解説、図版〕 pp.31-120, 章解説英訳　pp.186-189
〔章解説〕（小勝禮子）
『女人芸術』と画家たち（尾形明子） pp.121-126, 184-185　英文併載
作家解説（小勝禮子、橋本慎司、鈴木かおる） pp.128-157
官設展覧会・在野美術団体（鈴木かおる編） pp.158-161
女性洋画家団体（小勝禮子） pp.162-163
年表（橋本慎司・小勝禮子編） pp.164-169
参考文献抄　pp.170-171
資料　pp.172-174
□観賞ノート〔全 8 ページ〕
奔る女たち（小勝禮子） pp.1-7
企画展示室案内図　p.8

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2001 年 10 月 21 日－12 月 9 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：第 I 部 戦前 1930-36 年。第 II 部 戦中 1937-45 年。第 III 部 戦後 1946-60 年；藤川栄子、赤松俊子〔丸木俊〕、桂ユキ子〔ゆき〕、桜井浜江、長谷川春子、三岸節子、森田元子、吉田ふじを、深沢紅子、桜井悦、有馬さとえ、片谷曖子〔美香〕、早瀬龍江、入江一子、小川マリ子〔マリ〕、佐川敏子、芥川〔間所〕紗織、赤穴桂子、赤星信子、島あふひ、甲斐仁代、織田彩子、福島秀子、江見絹子、田中田鶴子、広田多津、朝倉摂、秋野不矩、小倉遊亀、荘司福、山沢栄子、岡上淑子〔図版番号収載順〕

註：出品欄は「第 III 部 戦後 1946-60 年」を収載。

主題としての美術館〈美術館をめぐる現代美術〉●

国立国際美術館　2001 年 11 月序

ごあいさつ（国立国際美術館）　pp.6, 7　英文併載

美術館についての美術展（中西博之）　pp.8-12, 14-19　英文併載

図版　pp.20-57

略歴（青木康子、内村周、中西博之、松本尚、宮田有香編）　pp.58-80　主に欧文

出品作品目録　pp.82-87

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MUSEUM AS SUBJECTS」

会期：2001 年 10 月 25 日－12 月 11 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

出品：アンドレアス・グルスキー、アレックス・ハートレー、カンディーダ・ヘーファー、ジャック・レイルナー、ウテ・リンドナー、イネス・ロンバルディ、ヴィック・ムニーズ、クリスチャン・フィリップ・ミュラー、トーマス・シュトゥルート、杉本博司、竹岡雄二、フレッド・ウィルソン、ハイモ・ツォーベルニク、マーク・ダイオン、ジェイスン・シモン、ケート・エリクソン、メル・ジーグラー〔出品作品目録順〕

主題としての美術館〈美術館をめぐる現代美術〉

国立国際美術館　2001 年 10 月　1 枚(両面刷)

中西博之：美術館についての美術展

所蔵：□、国新美、東近美、神近美

○展覧会事項〔本体に同じ〕

永遠へのまなざし ●

北海道立近代美術館　2001 年 10 月

あいさつ（北海道立近代美術館）　p.1

存在の再生装置としての美術（佐藤友哉） pp.4-7
図版 pp.9-49
永遠へ向かう 5 つのまなざし（久米淳之） pp.52-57
年譜・文献 pp.58-79
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art for the SPIRIT」
会期：2001 年 10 月 31 日－12 月 2 日 札幌・北海道立近代美術館 主催：北海道立近代美術館
出品：クリスチャン・ボルタンスキー、岡部昌生、宮島達男、ジェームズ・タレル、舟越桂〔図版収載順〕

現代写真の動向 2001 outer ⇄ inter ●
川崎市市民ミュージアム 2000 年 11 月 3 日
あいさつ（川崎市市民ミュージアム）
失うことで手に入るもの? 現代写真という隘路の中で（杉田敦） 英文併載
われわれは、いまどこにいるのか（深川雅文） 英文併載
インデックス雑感（倉石信乃） 英文併載
図版〔図版、作家のことば〕 55p.
〔作家のことば〕（朝岡あかね、高橋辰夫、前沢知子） 英文併載
バイオグラフィー 英文併載
作家分析論（深川雅文）英文併載
掲載作品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：「Aspects of Contemporary Photography 2001」
会期：2001 年 11 月 3 日－12 月 24 日 川崎市市民ミュージアム 主催：川崎市市民ミュージアム
出品：西本浩介、吉田公子、朝岡あかね、高橋辰夫、前沢知子、齋木克裕、今義典、折元立身、吉村朗〔掲載作品リスト順〕

チバ・アート・ナウ'01 絵画の領域 ●
佐倉市立美術館 2001 年 11 月 11 日 英文併載
絵画の領域――自覚された失語症のあとで（倉林靖） pp.3-5, 6-8
図版〔略年譜、インタビュー、コメント、図版〕 pp.9-78 略年譜は英文
インタビュー（堀由樹子、赤塚祐二、山倉研志、金田実生、吉川民仁、中村一美）
コメント（松本春崇）
List of Exhibited Works〔出品作品一覧〕 pp.79, 80
註：編集は黒川公二。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Chiba Art Now '01：Boundaries of Painting」

会期：2001 年 11 月 11 日－12 月 16 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：赤塚祐二、金田実生、中村一美、堀由樹子、松本春崇、山倉研志、吉川民仁〔出品作品一覧順〕

府中市美術館教育普及企画展 2001 私にできること～みる、きく、ふれるの探検 ●

府中市美術館　2001 年 12 月

ごあいさつ（館長本江邦夫）　p.3　英文併載

エッセイ ワークショップと連動した展覧会の試み（武居利史）pp.5-9, 9　抄訳

展覧会プログラム　pp.10-12

展示とワークショップの記録　pp.13-37

年譜　pp.38-45　英文併載

展示作品リスト　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art Exhibition for Educational Program 2001 I CAN DO IT-Exploring the Senses of Sight, Hearing, Touch」

会期：2001 年 11 月 23 日－12 月 27 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：金沢健一、光島貴之、藤原隆洋、春日聡〔展示作品リスト順〕

2002（平成 14）年

MOT アニュアル 2002 フィクション?－絵画がひらく世界 ●

東京都現代美術館　2002 年 1 月　主に英文併載　補遺共 2 冊

ごあいさつ（東京都現代美術館）　p.3

虚構の時代と絵画（平野千枝子）　pp.6-12, 74-81

カタログ〔図版、作家のことば〕　pp.13-61

〔作家のことば〕（今村哲）

作品図版リスト　pp.62-63

作家略歴・参考文献（武内厚子編）　pp.64-71

質問：(出品)作品について考えていること（コメント；今村哲、村瀬恭子、タナベマサエ、紺泉、柴田健治、蓙島伸彦、佐藤純也）　pp.72, 73

□補遺〔全 24 ページ〕

図版〔展示風景〕　pp.1-19

出品リスト　pp.20-22

「フィクション?」展関連企画　p.23

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MOT Annual 2012　Fiction? Painting in the Age of Virtual」

会期：2002 年 1 月 19 日－3 月 24 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会

出品：今村哲、村瀬恭子、タナベマサエ、紺泉、柴田健治、葩島伸彦、佐藤純也、落合多武〔出品リスト順〕

「DOMANI・明日」展 2002 図録 ●

文化庁・読売新聞社　2002 年 1 月

ごあいさつ（主催者）　p.3

文化庁芸術家在外研修制度 35 周年記念「DOMANI・明日」展 2002 開催にあたり（奥谷博）　p.4

在外研修制度について　p.5

図版〔図版、作家略歴〕　pp.7-66

出品作品リスト　pp.68-69

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

○展覧会事項

展名：文化庁芸術家在外研修制度 35 周年記念 DOMANI・明日展 2002〈文化庁芸術家在外研修の成果〉

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 1 月 23 日－2 月 24 日　新宿・安田火災東郷青児美術館　主催：文化庁・安田火災美術財団・読売新聞社、協力：文化庁芸術家在外研修員の会

出品：奥谷博、渡辺恂三、小島信明、馬越陽子、白野文敏、豊島弘尚、櫻井晨正、今井信吾、絹谷幸二、相笠昌義、櫃田伸也、齋藤研、上條陽子、伊庭新太郎、村山きおえ、市野英樹、川口起美雄、田村能里子、遠藤彰子、島谷晃、松永久、金森宰司、山田修市、北久美子、安達博文、久野和洋、相田幸男、瀬川富紀男、吉岡正人、伊藤育子、玉川信一、山内慶子、福井洋一、原田丕、福島瑞穂、小嶋悠司、戸田康一、谷中武彦、石踊紘一、川﨑麻児、西田俊英、内田あぐり、原健、松本旻、舩坂芳助、高柳裕、小作青史、池田良二、森野眞弓、若江漢字、多賀新、河内成幸、浜西勝則、星野美智子、山口啓介、柳澤紀子、天野純治〔出品作品リスト順〕

ちがさきアート NOW 四つの部屋－身体の虚実 ●

茅ヶ崎市美術館　2002 年 1 月　企画展

ごあいさつ（茅ヶ崎市美術館）　p.5

図版〔図版、作家のことば〕　pp.7-22

〔作家のことば〕（岩川幸弘、大森崇、木村巧、棚田康司）

身体表現への挑戦（村山鎮雄）　pp.23-25

作家略歴、作品リスト　pp.26-30

註：編集は上良純子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 1 月 24 日－3 月 3 日　茅ヶ崎市美術館　主催：茅ヶ崎市文化振興財団

出品：岩川幸弘、大森崇、木村巧、棚田康司〔図版収載順〕

「日常茶飯美－Beautiful Life ?」展 ●

水戸芸術館現代美術センター　2002 年 3 月 1 日　英文併載　展覧会資料第 52 号

更新される日常性（窪田研二）　pp.6-10, 11-16

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　pp.17-119

〔作家のことば〕（藤浩志、伊藤存、ハイケ・カティ・バラト、サキ サトム、ジュリア・ロクテフ、マリア・ヒアドルンド、小山田徹、伊達伸明、キム・ヨンジン、西野竜郎）

関連企画　pp.122-123

作品リスト　pp.124-127

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

会期：2002 年 1 月 26 日－3 月 31 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸芸術館現代美術センター

出品：藤浩志、伊藤存、ハイケ・カティ・バラト、サキ サトム、ジュリア・ロクテフ、マリア・ヒアドルンド、小山田徹、伊達伸明、キム・ヨンジン、西野竜郎〔作品リスト順〕

自然を見つめる作家たち〈現代日本の自然表現と伝統〉 ●

徳島県立近代美術館　2002 年 3 月　主に英文併載

出品作品図版　pp.1-48

〔ごあいさつ〕（主催者）　p.51

日本の自然観と美術－その可能性について（森芳功）　pp.54-67, 116-124

解説と資料〔作家論、図版、作家略歴、参考文献〕　pp.69-108

〔作家論〕（森芳功）　英文は pp.126-135

出品目録　pp.109-113

展覧会場作品配置図　p.114

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Artists and Nature-Expression of Nature in Japan Today ; Traditional and Contemporary Ways」

会期：2002 年 1 月 26 日－3 月 17 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

出品：本田健、水口裕務、森山知己、秋岡美帆、大久保英治〔出品目録順〕

戦後岡山の美術〈前衛達の姿〉●

岡山県立美術館　2002 年 2 月　自主企画特別展

ごあいさつ（館長宮地暢夫）　p.3

戦後岡山の美術〈前衛達の姿〉昭和 20 年－40 年（柳沢秀行）　pp.6-14

図版〔章解説、作家解説、グループ等解説、図版〕　pp.15-117

〔章解説、作家解説、グループ等解説・資料〕（柳沢秀行）

〔グループ等解説・資料〕：日展洋画部門岡山県入選者(昭和 21 年～44 年)／A・G・O(前衛岡山美術協会)関連展覧会／せいき会／青年造形集団／前衛美術家 15 人展／岡山自由美術クラブ／サロン・ド・モア展／ATO 展／岡山青年美術家集団／汎瀬戸内現代美術展

関連年表（柳沢秀行編）　p.118-119

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 2 月 13 日－3 月 24 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：昭和 20 年代 培われた土壌；佐藤一章、柚木祥吉郎、青地秀太郎、塩津誠一、河原修平、小林喜一郎、奥田仁、中津瀬忠彦、三橋健、小野絵麻、青木正春、坂田一男、竹内清、上岡麟一。昭和 30 年代の前衛達；斎藤國雄、斎藤康子、金谷哲郎、小野二三子、石井(海見)久子、柳井(前田)孝造、赤木始(曠児郎)、小幡博志、寺尾昇、平島二郎、カイハラタカシ(貝原孝志)、渡辺総一、山本師朗、香川昌久、横田健三、林三従、寺田武弘、大西茂、工藤哲巳、三宅弘子、劉生容。そして…1970 年を越えて；小野絵里、斎藤國雄(重)、寺田武弘(重)、香川昌久(重)、林三従(重)〔図版収載順〕

オフロ・アート――銭湯の背景画 ●

三鷹市芸術文化振興財団　2002 年 3 月　英文併載

ごあいさつ（三鷹市芸術文化振興財団）　p.3

三鷹・武蔵野エリア 背景画のある銭湯　pp.6-7

銭湯ペンキ絵 その美学（町田忍）　pp.8-10, 11-12

図版〔アンケートによる作家経歴、作家コメント、図版〕　pp.13-48

〔アンケート〕（丸山清人、早川利光、中島盛夫）

〔作家コメント〕（北浦信一郎、高橋信行、福田美蘭、前川知美、安田千絵、山崎美弥子）

銭湯から抜け出したペンキ絵――その展望と可能性について（富田智子）　pp.49-50, 51-52

銭湯背景画――ユニークな美術鑑賞スタイル（荒木夏実）　pp.53-54, 55-56

現代美術家展覧会略歴　pp.57-58

作品リスト　p.59

参考文献　p.60

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Bath Art：Scene Painting for the Public Bath」

会期：2002 年 3 月 2 日－24 日　三鷹市芸術文化センター・アートスタジオ　主催：三鷹市芸術文化振興財団

出品：背景画家；笹野恵一、笹野修治、柴田武寛、中島盛夫、早川利光、丸山清人。現代美術家；北浦信一郎、高橋信行、福田美蘭、前川知美、安田千絵、山崎美弥子〔作品リスト順〕

VOCA 展 2002「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2002 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2002」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展 2002」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、選考委員〕　pp.9, 95

〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、長谷川祐子）　pp.11-15, 97-101

〔出品作家、推薦委員〕　pp.17, 103

図版〔図版、作家解説〕　pp.18-83

〔作家解説〕（篠雅廣、谷新、藤川哲、片岡真実、長谷川敬子、小笠原光、石川健次、柳沢秀行、窪田研二、小栗光雄、尾﨑佐智子、荒木夏実、福永治、鍵岡正謹、出原均、菊屋吉生、渋澤和彦、新明英仁、山脇一夫、前山裕司、草薙奈津子、天野一夫、柳原正樹、坂元暁美、今香、西村勇晴、名古屋覚、翁長直樹、立木祥一郎、太田泰人、早川博明、蔵屋美香、菅原教夫、李美那）　英文 pp.104-117

作家略歴　pp.85-94, 104-117

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE VISION OF CONTEMPORARY ART 2002」

会期：2002 年 3 月 15 日－31 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：福島栄利子、古谷利裕、後藤智、法貴信也、石川裕敏、石塚ツナヒロ、岩熊力也、金平靖子、加藤泉、川田祐子、喜多順子、北浦信一郎、久保理恵子、松林誠、松江泰治松橋孝、溝口真一、盛本学史、中島葉子、中沢研、能島浜江、小河朋司、小山田匡範、齋木克裕、斎藤ちさと、佐藤健吾エリオ、曽谷朝絵、照屋勇賢、や／だ〔山田大輔〕、山田泰、山本晶、安喜万佐子、吉田暁子〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・曽谷朝絵、VOCA 奨励賞・後藤智、石塚ツナヒロ、溝口真一、照屋勇賢

スクリーン・メモリーズ ●

水戸芸術館現代美術センター　2002 年 4 月 13 日　英文併載　展覧会資料第 53 号

スクリーン・メモリーズ――隠蔽記憶（飯田高誉）　pp.9-15, 67-73

図版〔作家コメント、図版〕　pp.17-64

〔作家コメント〕（ダグ・エイケン〔再録〕、ケネス・アンガー、キャンディス・ブレイツ、トマス・デマンド、ドミニク・ゴンザレス＝フォルステル、池田謙、アイザック・ジュリアン、ウィリアム・ケントリッジ、ハーモニーコリン〔再録〕、コリエール・ショア、杉本博司、田中功起、ジョン・ウォータース、ケリス・ウィン・エヴァンス、横尾忠則）

〔作家略歴〕 pp.74-81
出品リスト pp.82-
註：編集は逢坂恵理子、小竹森由香。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「SCREEN MEMORIES」
会期：2002 年 4 月 13 日－6 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　ゲスト・キュレーター：飯田高誉、主催：水戸芸術館現代美術センター
出品：池田謙、杉本博司、田中功起、横尾忠則〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家のみ収載した。

長岡現代美術館賞回顧展 1964－1968〈時代をかけ抜けた美術館と若く熱き美術家たち〉●
新潟県立近代美術館　2002 年 4 月 19 日
ごあいさつ（主催者） pp.3, 5　英文併載
長岡現代美術館賞展の役割とその時代（高島直之） pp.8-12
カタログ〔章解説、図版〕 pp.15-106
　章解説（桐原浩、小見秀男、宮崎俊英）
資料編
　パンフレット　pp.107-110
　〔参考図版〕 pp.111-119
　石井利治氏インタヴュー　pp.120-124
　文献再録〔新聞記事図版〕 pp.125-127
長岡現代美術館館長駒形十吉ノート〈越後長岡人・巨大なる魁〉（小見秀男） pp.128-131
長岡現代美術館の活動について（宮崎俊英） pp.132-136
駆け抜けた美術館と美術家たち（桐原浩） pp.137-140
作家略歴（宮崎俊英、小見秀男、桐原浩） pp.141-151
関連文献　pp.152-155
関連年表 1964－1968　pp.156-165
出品目録　pp.166-171
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2002 年 4 月 20 日－6 月 9 日　長岡・新潟県立近代美術館、長岡商工会議所 1F 美術文化ホール(旧長岡近代美術館)　主催：新潟県立近代美術館・NST 新潟総合テレビ・財団法人駒形十吉記念美術館・長岡市・長岡商工会議所
出品：1 回展；池田満寿夫、磯辺行久、岡本信治郎、加納光於、蔵本朝美、田畔司朗、田中敦子、玉置正敏、中西夏之、深沢幸雄、三井永一、宮城輝夫、向井修二、森本紀久子、山崎つ

る子。2 回展；市村司、菊畑茂久馬、篠原有司男、白髪一雄、関根伸夫、高松次郎、三木富雄、元永定正。3 回展；靉嘔、荒川修作、今中クミ子、小島信明、八田豊、前田常作、ヨシダ・ミノル、吉村益信。4 回展；伊藤隆康、今井祝雄、福岡道雄、三木富雄(重)、最上壽之、山口勝弘、湯原和夫。5 回展；宇佐美圭司、河口龍夫、関根伸夫、吉田稔郎。参考出品；松田豊、島州一、萩原朔美〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

大分現代美術展 2002 アート循環系サイトカタログ ●

大分市美術館　2002 年 5 月

ごあいさつ（市長木下敬之助）　p.2　英文併載

ごあいさつ（館長満生和昭）　p.3　英文併載

都市の記憶装置としてのアート・サイト（菅章）　pp.6-18, 192-204　英文併載

ゾーン別ダイジェスト　p.19

アート循環系サイト会場地図　p.20

カタログ〔ゾーン解説、図版、作家解説〕　pp.21-141

〔ゾーン解説〕（長田弘通、野田菜生子、大野陽子、岡村暢哉、菅章、岩尾徳信、大戸隆明、藤澤祐司）

〔作家解説〕（長田弘通、大野陽子、菅章、野田菜生子、野原えり、大神健二、岩尾徳信、岡村暢哉、藤澤祐司）

〔作家のことば〕（大久保英治）

Work shop Report（長田弘通、大野陽子）　pp.142-143

Performance Report（野田菜生子）　pp.144-145

大分の都市の記憶－その歴史の痕跡（島岡成治）　pp.146-149, 205-207　英文併載

シンポジウム 世界文化と地域性（浅田彰(司会)・菅章・太郎千恵藏・岡崎乾二郎・中谷礼仁）pp.150-163

作家略歴　pp.164-181　英文併載

参考文献　pp.182-183

経過報告　pp.184-185

作品リスト　pp.186-191　主に英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Cyclical Art Site Contemporary Art Exhibition in Oita 2002」

会期：2002 年 5 月 25 日－7 月 14 日　大分市美術館　主催：大分市美術館

出品：　岩井俊雄、大岩オスカール幸男、大久保英治、岡崎乾二郎、折元立身、郭徳俊、河口龍夫、剣持和夫、剣持啓子、斎藤美奈子、佐藤時啓、諏訪眞理子、太郎千恵藏、中村政人、原口典之、前田一澄、村井進吾、村岡三郎〔作品リスト順〕

写真の現在 2 サイト－場所と光景 ●

東京国立近代美術館　2002 年 6 月　付・会場ガイド 1 枚

あいさつ（館長辻村哲夫）　pp.4, 5　英文併載

サイトー場所と光景（増田玲） pp.8-14, 86-92 英文併載
図版〔インタビュー、図版〕 pp.15-79
インタビュー（伊藤義彦、勝又邦彦、兼子裕代、小林のりお、鈴木理策、野口里佳、港千尋、横澤典。増田玲、蔵屋美香編）
作家略歴 pp.81-85
作品リスト pp.93-95
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Photography Today 2――[sáit]site／sight」
会期：2002 年 6 月 18 日－8 月 4 日 竹橋・東京国立近代美術館 主催：東京国立近代美術館
出品：伊藤義彦、勝又邦彦、兼子裕代、小林のりお、鈴木理策、野口里佳、港千尋、横澤典〔作品リスト順〕

線の迷宮［ラビリンス］－細密版画の魅力 ●
目黒区美術館 2002 年 7 月 6 日
ごあいさつ（目黒区美術館）p.2
図版 pp.4-87
知覚する線の旅－細密版画（降旗千賀子） pp.88-91
作品リスト pp.92-100
作家略歴（佐川夕子編） pp.101-110
線の迷宮・ワークショップ p.111
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2002 年 7 月 6 日－9 月 6 日 目黒区美術館 主催：目黒区美術館
出品：木原康行、日和崎尊夫、小林敬生、門坂流、蒲池清爾、久保卓治、柄澤齊、清原啓子、尾崎ユタカ、宮崎敬介〔作品リスト順〕

本と美術－20 世紀の挿絵本からアーティスツ・ブックスまで ●
徳島県立近代美術館 2002 年 7 月 6 日 特別展
ごあいさつ（徳島県立近代美術館） p.3
本と美術の競演－はじめに（友井伸一） pp.7-8
カラー図版 pp.9-24
カタログ〔章解説、解説、図版〕 pp.25-133
〔章解説、解説〕（友井伸一）
今そこにある本－大竹伸朗、大久保英治、藤本由紀夫（友井伸一） pp.134-155
主要参考文献 pp.156-161

出品リスト　pp.162-165
主要作家索引　pp.166-169
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Books and Art in 20th Century」
会期：2002 年 7 月 6 日－8 月 25 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送
出品：駒井哲郎、池田満寿夫、靉嘔、柏原えつとむ、若林奮、加納光於、中村宏、山口勝弘、荒木高子、村岡三郎、大久保英治、藤本由紀夫、イチハラヒロコ、大竹伸朗〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

「美術の力〈時代を拓く 7 作家〉」展図録 ●
兵庫県立美術館　2002 年 7 月　英文併載　開館記念展　バインダー使用
ごあいさつ（兵庫県立美術館・朝日新聞社）　p.3
美術と生命――境界の感覚（山崎均）　pp.6-8, 9-12
出品作品図版　pp.13-42
作家紹介〔作家略歴、コメント、図版〕　pp.43-71
　コメント（青木野枝、蔡國強、ヘンリク・ハカンソン、河口龍夫、小林孝亘、ハンス・ペーター・クーン、ビル・ヴィオラ）
現代美術のグループ展を巡る問題について（橋本啓子）　pp.72-73, 74-75
参考資料　pp.76-80, 81-85
出品作品リスト　pp.86, 87
美術の力、美術館の力（平井章一）　pp.88-89, 90-91
関連企画　p.92
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Power of Art」
会期：2002 年 7 月 13 日－8 月 25 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・朝日新聞社
出品：青木野枝、蔡國強、ヘンリク・ハカンソン、河口龍夫、小林孝亘、ハンス・ペーター・クーン、ビル・ヴィオラ〔出品作品リスト順〕

体感する美術'2002「耳をひらいて」●
佐倉市立美術館　2002 年〔7 月〕　第 8 回目　付・CD
ごあいさつ（佐倉市立美術館）　p.2
ワークショップ　pp.3-83
　野村誠『しょうぎ作曲展』、吉村弘『佐倉のこどう鼓動』
註：編集は永山智子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、

国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Field of Sensibility 2002　Open your ears」

会期：2002 年 7 月 20 日－8 月 4 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：ワークショップ結果展示

今、ここにある風景＝コレクション＋アーティスト＋あなた ●

静岡県立美術館　2002 年 7 月

ごあいさつ（館長吉岡健二郎）　p.2

今、この場所から（李美那）　pp.5-8

図版　pp.10-95

　展示見取り図　pp.30, 96

ヒキダシタイ・プログラム（李美那）　pp.97-99

データ〔作家のことば、作家略歴〕　pp.100-115

　〔作家のことば〕（大岩オスカール幸男、日高理恵子、吉田暁子、菱山裕子）

出品作品リスト　pp.116-119

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Here is the Museum, the scape collaborated with our collection, artists and you－The Encounter of our Collection and 4 Artists」

会期：2002 年 7 月 27 日－9 月 8 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：大岩オスカール幸男、日高理恵子、吉田暁子、菱山裕子〔出品作品リスト順〕。駒井哲郎、秋野不矩、北川民次、アンゼルム・キーファー、草間彌生、桑山忠明、李禹煥、福田平八郎、宮脇愛子〔図版収載順〕

註：美術館コレクションから出品作家が選んだ作品のうち戦前以前の作品(近世絵画、浮世絵など)は出品データから割愛した。

今、ここにある風景＝コレクション＋アーティスト＋あなた「ヒキダシタイ・プログラム活動報告書」でこぽん下克上

静岡県立美術館　2003 年 3 月　付・CD-ROM1 枚

ごあいさつ（館長吉原健二郎）　p.2

ごあいさつ（友の会会長北條博厚）　p.3

活動報告書作成にあたって（李美那）　pp.4-5

構成イメージ　pp.6-7

ヒキダシタイ・プログラム　コンセプト　pp.9-17

ヒキダシタイ・プログラム全記録　pp.19-69

ヒキダシタイ・プログラム紹介　pp.71-79

編集後記（李美那）　p.80

所蔵：□、国新美(CD-ROM 付)、東文研、都現美(CD-ROM 付)、神近美(CD-ROM 付)、横浜

美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項〔本体に同じ〕

いま、話そう――日韓現代美術展 ●

国立国際美術館　2002 年 8 月 1 日　2002 年日韓国民交流年記念事業

あいさつ（館長宮島久雄）　英文併載

図版〔作家解説、作家略歴、図版〕　12p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「A Second Talk：Contemporary Art from Korea and Japan」

会期：2002 年 8 月 1 日－9 月 10 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・韓国国立現代美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

出品：岩城直美、木村友紀、松井智惠、松尾藤代、坂上チユキ〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

20 世紀。美術は虚像を認知した〈モナ・リサとマンモンのあいだで〉 ●

平塚市美術館　2002 年 8 月

ごあいさつ（館長福田徳樹）　p.3

会場図、展覧会にともなう観賞プログラム　p.4

針路は、「複々製に進路をとれ」と与えられたとせよ（尾崎眞人）　pp.5-12

カタログ　pp.13-84

作家略歴　pp.85-116

作品リスト　pp.117-119

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 8 月 3 日－9 月 23 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館・「20 世紀。美術は虚像を認知した」展実行委員会

出品：田口雅巳、スージー甘金、赤瀬川原平、篠原有司男、鈴木慶則、清水晃、高松次郎、大山右一、高木修、吉仲太造、岡田裕子、若江漢字、河内成幸、吉田光彦、鈴鹿芳康、後藤真祈子、酒井充、鈴木喜晴、福田美蘭、小原有月、岡崎和郎、前田信明、山崎博、荒木経惟、藤沢喬、小本章・永原ゆり、北辻良央、島州一、河原温、木下佳通代、太田三郎、柏原えつとむ、吉村益信、靉嘔、眞板雅文、立石大河亜、三田村光土里、寺田真由美、郭徳俊、牛波、阿部佳明、豊嶋康子、中山正樹、中村宏、森村泰昌、小川信治、細川文昌、河田政樹、奈良美智、村上隆〔作品リスト順〕

註：出品欄には日本作家を収載。

「カフェ・イン・水戸」ハンドブック ●

水戸芸術館現代美術センター　2002 年 8 月　展覧会資料第 54 号

ご挨拶（水戸市芸術振興財団・水戸商工会議所・水戸青年会議所）　p.7

水戸芸術館マップ〔解説、作家略歴、図版〕 pp.8-20
水戸 EAST マップ〔解説、作家略歴、図版〕 pp.21-25
水戸 WEST マップ〔解説、作家略歴、図版〕 pp.26-31
参加ギャラリーマップ〔解説、作家略歴、図版〕 pp.32-41
水戸市内展覧会・イベント情報 pp.54-55
「カフェ・イン・水戸」関連イベント pp.56-61
「カフェ・イン・水戸」イベント・カレンダー pp.62-63
所蔵：□、国新美、東文研
○展覧会事項
欧文タイトル：「CAFE in Mito Communicable Action For Everybody」
会期：2002 年 8 月 10 日－9 月 23 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー、商店街、参加ギャラリー 主催：水戸市芸術振興財団
出品：椿昇＋室井尚、藤本由紀夫、須藤正樹、獅子倉シンジ、東芋、徐冰、minim＋＋、金沢健一、デジタル PBX、徳田憲樹、高木正勝、槙野さやか、さとうりさ、川上和歌子、大塚麻子、イチハラヒロコ、藤浩志、箭内新一、赤池孝彦＋Art Randoms、Yukinko Akira、村田朋泰、松本美枝子、大森宏一、山田圭一、間島秀徳、根本しづ子、大谷健二〔図版収載順〕

「カフェ・イン・水戸」記録集
水戸芸術館現代美術センター 2002 年 10 月 26 日 展覧会資料第 55 号
今年の夏は「カフェ・イン・水戸」（逢坂恵理子） pp.4-5
「カフェ・イン・水戸」参加者記録 pp.6-7
図版〔図版、解説〕 pp.9-41
マップ p.42
参加ギャラリー p.43
「カフェ・イン・水戸」関連グッズ p.44
参加者の声 pp.45-48
出品作家略歴 pp.49-51
作品リスト pp.52-53
主要報道記録 pp.54-55
註：編集は窪田研二。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項〔ハンドブックに同じ〕

北の彫刻展 2002 図録 ●
札幌彫刻美術館 2002 年 8 月
出品作家〔一覧〕 p.2
ごあいさつ（札幌彫刻美術館） p.3
北の彫刻展 2002〈8 人の作家との出会い〉（井上みどり） pp.4-5
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.6-33
〔作家のことば〕（伊藤隆弘、岡沼淳一、小川誠、小野寺紀子、川上りえ、菅原尚俊、寺田

栄、藤井忠行）

出品作品リスト　p.34

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 8 月 30 日－10 月 14 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：伊藤隆弘、岡沼淳一、小川誠、小野寺紀子、川上りえ、菅原尚俊、寺田栄、藤井忠行〔出品作品リスト順〕

モダニズムの至福のとき いわき市立美術館名品展 ●

宇都宮美術館　2002 年 9 月

ごあいさつ（宇都宮美術館）　p.5

いわき市立美術館の方位（田口安男）　pp.10-11

私感：いわき市立美術館のコレクション（大島清次）　pp.12-13

展示とのたたかい（中原佑介）　pp.14-17

いわき市立美術館の所蔵品と企画構成について（谷新）　pp.18-22

図版〔章解説、作家略歴、作家解説、図版〕　pp.25-155

章解説（谷新）

作家略歴・作家解説（植田玲子、有木宏二、石川潤、平野明彦、竹内啓子、谷新、柴田百合子、堀越達雄、北村淳子、前村文博、杉浦友治、福島文靖）

鍵のかかった窓に射した影－日本の反芸術と高松次郎（鷹見明彦）　pp.118-120

戦争を知らない子供たち－美術の戦後（千葉成夫）　pp.156-164

いわき市立美術館の 20 年－コレクション形成を中心として（佐々木吉晴）　pp.166-171

出品作品リスト　pp.172-175

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Vitality in Modernism Collection from Iwaki City Art Museum」

会期：2002 年 9 月 15 日－11 月 4 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館、協力：いわき市立美術館

出品：鈴木新夫、山口長男、草間彌生、斎藤義重、杉全直、若松光一郎、佐藤忠良、田口安男、堂本尚郎、田淵安一、元永定正、今井俊満、高松次郎、李禹煥、彦坂尚嘉、中西夏之、辰野登恵子、中村一美、河口龍夫、堀浩哉、吉澤美香、小林正人、川俣正、遠藤利克、川島清〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家のみ収載。

モダニズムの至福のとき いわき市立美術館名品展関連イヴェント記録集

宇都宮美術館　2003 年

註：本書は本展の関連イヴェントの記録集で、講演会（講師・佐々木吉晴）およびアーティスト・トーク（4 作家・川島清、辰野登恵子、遠藤利克、中村一美）が収録されている。刊行

日は記載されていない。編集は北村淳子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒

○展覧会事項〔本体に同じ〕

彼女たちが創る理由〈現代の表現〉●

長野県信濃美術館　2002 年 9 月 15 日

ごあいさつ（長野県信濃美術館）　p.3

彼女たちが創る理由〈反復する、浸透する〉（霜田英子）　pp.4-7

作品図版〔作家自身によるステイトメント、図版〕　pp.8-40

　ステイトメント（青木野枝、鵜飼美紀、草間彌生、小山利枝子、丸田恭子）

出品作家資料　pp.41-52

出品作品リスト　pp.54-55

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2002 年 9 月 15 日－10 月 14 日　長野県信濃美術館　主催：長野県信濃美術館

出品：青木野枝、鵜飼美紀、草間彌生、小山利枝子、丸田恭子〔出品作品リスト順〕

彼女たちが創る理由〈現代の表現〉〔記録集〕

長野県信濃美術館　2002 年　1 枚〔四ツ折両面刷〕

図版〔展示風景、インスタレーション〕　10 図

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項〔本体に同じ〕

12 人の挑戦――大観から日比野まで ●

茨城新聞社　2002 年 11 月 8 日

国際美術展としてのヴェネチア・ビエンナーレ

　ヴェネチア・ビエンナーレ日本参加史から（針生一郎）　pp.8-15

　体験としてのヴェネチア・ビエンナーレ（南條史生）　pp.16-24

ヴェネチア・ビエンナーレと 12 人を巡って（逢坂恵理子）　pp.26-32

図版〔図版、作品解説〕　pp.33-80

　〔作品解説〕（大熊敏之、森司、逢坂恵理子）

12 人のプロフィール〔作家解説、インタビュー、作家略歴、コラム〕　pp.81-152

　〔作家解説〕（大熊敏之、土方明司）

　作家インタビュー・コラム（高橋正樹、飯村雅明）

日本公式参加の歩み（横山勝彦、林洋子、平野到、前山裕司、神谷幸江）　pp.153-205

出品作品リスト　pp.206-207

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Twelve Japanese Artists from the Venice Biennale 1952-2001」
会期：2002 年 10 月 5 日－12 月 8 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・茨城新聞社
出品：横山大観、木内克、篠田守男、靉嘔、山口勝弘、田中信太郎、川俣正、伊藤公象、河口洋一郎、日比野克彦、宮島達男、畠山直哉〔出品作品リスト順〕

ATTITUDE2002 熊本国際美術展〈心の中の、たったひとつの真実のために〉●
熊本市現代美術館　2002 年 10 月　主に英文併載　開館記念展 Vol.1
ごあいさつ（市長三角保之）　p.7
熊本市現代美術館開館によせて（田中幸人）　pp.8, 9
ATTITUDE2002 心の中の、たったひとつの真実のために（南嶌宏）　pp.11-17, 275-280
図版〔作家略歴、作家のことば、ことば、図版、作家解説〕　pp.19-199
〔作家のことば〕（ジェイムズ・タレル、マリーナ・アブラモヴィッチ、草間彌生、宮島達男、石井裕、クンビョン・ユック、ジュン・グエン・ハツシバ、岡山直之、エネ・リス・ゼンパー、シューミン・リン、吉野辰海、菊畑茂久馬、田中功起、大原美子、スーザン・ヴィクトール、ミロヴァン・マルコヴィッチ、嶋田美子、殿敷侃〔1 行〕、リュドミラ・ゴルロヴァ、ヤノベケンジ、堀浩哉＋ユニット 00、太郎千恵藏、菊地秀規、山田一成）
〔ことば〕（遠藤邦江、藤岡祐機、伊藤隆哉、渡邊義紘、熊本県立熊本養護学校高等部農芸班「花いっぱいやさしさいっぱい」）
作家解説（本田代志子、金澤韻、冨澤治子、坂本顕子、藏座江美、山室りさ）
作家略歴・文献　pp.201-229
象について（ボヤーナ・ペイジ）　pp.232-241, 282-289
他者の言葉で 対談（ダニエル・ビルンバウム、サラット・マハラジ）　pp.242-248, 290-294
再録
平和のために：9 月 11 日とそれ以降を考える（サラ・ハッサン、イフティカール・ダディ）　pp.249-252, 295-297
芸術家が探求するもの（アンダ・ロッテンバーグ）　pp.253-255, 298-300
夜警（ジュリアナ・エングバーグ）　pp.256-260, 301-304
ニューヨークから眺め：9 月 11 日を思う（リン・ガンパート）　pp.261-269, 305-311
もう一つの道を選ぶ時（ホー・ハンルー）　pp.271-274, 313-316
出品作品リスト　pp.318-321
註：「作家のことば」は、小・中学生など作家以外の人たちは割愛した。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
和文タイトル：「アティテュード 2002」
会期：2002 年 10 月 12 日－12 月 8 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、企画：熊本市現代美術館
出品：ジェイムズ・タレル、マリーナ・アブラモヴィッチ、草間彌生、宮島達男、石井裕、クンビョン・ユック、ジュン・グエン・ハツシバ、岡山直之、エネ・リス・ゼンパー、シュ

ーミン・リン、吉野辰海、菊畑茂久馬、田中功起、遠藤邦江、大原美子、ピーター・サーキシアン、アンドレアス・グルスキー、スーザン・ヴィクトール、サーニャ・イヴェコヴィッチ、ウインカ・ショーニバーレ、ミロヴァン・マルコヴィッチ、嶋田美子＋BuBu、殿敷侃、リュドミラ・ゴルロヴァ、ヤノベケンジ、堀浩哉＋Unit00、太郎千恵蔵、いつもここから(菊地秀規、山田一成)、藤岡祐機、伊藤隆哉、渡邊義紘、熊本県立熊本養護学校高等部農芸班〔出品作品リスト順〕

現代美術への視点 連続と侵犯〔第 5 回展〕●

東京国立近代美術館　2002 年 10 月　主に英文併載　別冊共 2 冊

あいさつ（主催者）　p.3

連続と侵犯（中林和雄）　pp.6-10, 11-15　英文併載

図版〔図版、作家のことば〕　pp.17-96, 102-109　和文・英文

〔作家のことば〕（青木淳、キャンディス・ブレイツ〔再録〕、遠藤利克、ロラン・フレクスナー〔保坂健二朗訳〕、ロニ・ホーン〔再録〕、イリヤ&エミリア・カバコフ、ロン・ミュエク〔再録〕、中山ダイスケ〔インタビュー・蔵屋美香〕、ジュリアン・オピー、高嶺格〔インタビュー・蔵屋美香〕）

出品作品リスト　pp.98-99　英文併載

作家解説（保坂健二朗、蔵屋美香、中林和雄）　pp.100-101　〔和文〕

別冊

現代美術への視点 連続と侵犯［別冊］

東京国立近代美術館　2002 年　和文

同時代と美術館（中林和雄）

リアルということ／フィクションということ（蔵屋美香）

開きながら対峙させる矛盾、あるいはデザイン（保坂健二朗）

図版〔会場写真、作品解説〕　22p.

作品解説（保坂健二朗、蔵屋美香、中林和雄）

作品配置図　pp.30-31

註：別冊は東京国立近代美術館における会場写真を収載。このことから、別冊の発行年月は 2002 年としかないが、刊行は 2002 年末と推定される。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美(別冊無)、横浜美、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art：Continuity / Transgression」

会期：2002 年 10 月 29 日－12 月 23 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国立国際美術館／2003 年 1 月 16 日－3 月 23 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・東京国立近代美術館・ダイキン工業現代美術振興財団

出品：青木淳、キャンディス・ブレイツ、遠藤利克、ロラン・フレクスナー、ロニ・ホーン、イリヤ&エミリア・カバコフ、ロン・ミュエク、中山ダイスケ、ジュリアン・オピー、高嶺格〔出品作品リスト順〕

傾く小屋　美術家たちの証言 since 9.11 ●

セゾン現代美術館セゾンアートプログラム　2002 年 11 月 12 日　主に英文併載

ごあいさつ（主催者）　p.3

「傾く小屋」まで－美術館の視点から（塩田純一）　pp.4-7, 8-11

図版〔作家のテキスト、作家略歴、図版〕　pp.13-147

作家のテキスト（M.ギンズ＋荒川修作〔再録〕、齋藤芽生、豊嶋康子、中村一美、松澤宥、山本糾、港千尋、宮本隆司、横溝美由紀）

あらゆる価値の転倒を「建築」する理由〈テロ以後――荒川＋ギンズの宿命反転住居をめぐって〉（丸山洋志）　和文のみ

「傾く小屋」から－微かなる声の方へ〈この展覧会に含まれない多くの作家のために〉（高砂三和子）　pp.148-152, 153-158

関連企画　p.159

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Slanting House/Statements by the Artists in Japan since 9.11」

会期：2002 年 11 月 12 日－12 月 15 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・セゾン現代美術館セゾンアートプログラム

出品：M.ギンズ＋荒川修作、齋藤芽生、豊嶋康子、中村一美、松澤宥、山本糾、港千尋、宮本隆司、横溝美由紀〔図版収載順〕

第 1 回府中ビエンナーレ ダブル・リアリティ〈両義的な空間とイリュージョンの 7 人〉●

府中市美術館　2002 年 11 月

ごあいさつ（館長本江邦夫）　pp.2, 3　英文併載

ダブル・リアリティ―アトム大使のために（山村仁志）　pp.6-18, 72-74　英文併載

修辞としての「現実」を超えて（本江邦夫）　pp.19-24

アートはどこへ行く？（小倉正史）　pp.25-32　p.25 のみ英文併載

図版〔作家のことば、図版〕　pp.33-61　英文併載

略歴　pp.62-71　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The First Fuchu Biennial 2002　Double Reality－Contemporary Artists in Information Technology Age」

会期：2002 年 11 月 16 日－2003 年 1 月 19 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：金田実生、斎藤美奈子、佐藤尉隆、曽谷朝絵、太郎千恵藏、眞島竜男、山内幾郎〔図版収載順〕

融点・詩と彫刻による ●

うらわ美術館　2002 年 11 月

融点・詩と彫刻による　表紙
ごあいさつ（館長坂本満）　p.3
謎と美術館（坂本満）　pp.4-5
詩と彫刻の融点／三つの相（森田一）　pp.6-19
光と種子とマンダラと（篠原資明）　pp.22-25
旅のコラボレーション（建畠哲）　pp.38-41
「うらわ」まで（吉増剛造）　pp.54, 57
図版　pp.26---67
資料
　出品作品および詩とその構成　pp.70-81
　彫刻家×詩人略年譜（山田志麻子編）　pp.83-95
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2002 年 11 月 19 日－2003 年 2 月 11 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館
出品：河口龍夫、篠原資明、村岡三郎、建畠哲、若林奮、吉増剛造

未来予想図〈私の人生☆劇場〉図録 ●
兵庫県立美術館　2002 年 11 月　英文併載　開館記念展
ごあいさつ（兵庫県美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ）　pp.2, 3
観賞の創造性（木村重信）　pp.6-7, 8-9
そして人生は続く〈当世美術(館)事情〉（江上ゆか）　pp.10-12, 13-16
図版〔作家のコメント、学芸員のコメント、図版〕　pp.17-97, 100-104
　〔作家のコメント〕（榎忠、かなもりゆうこ、児玉靖枝、しばたゆり、内藤絹子、黄鋭、堀尾貞治、松井智恵、森村泰昌、やなぎみわ）
　〔学芸員のコメント〕（江上ゆか、西田桐子）
出品リスト　pp.98-99
作家資料　pp.105-115
関連イベント　pp.116, 117
註：編集は江上ゆか、西田桐子、平井章一。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Theatre of Our Lives」
会期：2002 年 11 月 19 日－2003 年 1 月 13 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・読売新聞大阪本社・読売テレビ
出品：榎忠、かなもりゆうこ、児玉靖枝、しばたゆり、内藤絹子、黄鋭、堀尾貞治、松井智恵、森村泰昌、やなぎみわ〔出品リスト順〕

チバ・アート・ナウ'02 かたちの所以 ●
佐倉市立美術館　2002 年 11 月 23 日　第 9 回展

本展について（黒川公二） pp.4-7 英文併載
〈生きている空間〉と〈生ける現在〉（高島直之） pp.8-12 英文併載
図版〔作家への質問と回答、図版〕pp.13-65
〔作家への質問と回答〕（鷲見和紀郎、丸山富之、藤堂良浩、中村哲也、土屋公雄）
展示配置図 p.66
作家資料 pp.67-77
出品作品一覧 pp.78-79
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CHIBA Art Now '00 Retracing the Paths」
会期：2002 年 11 月 23 日－12 月 22 日 佐倉市立美術館 主催：佐倉市立美術館
出品：鷲見和紀郎、土屋公雄、藤堂良浩、中村哲也、丸山富之〔出品作品一覧順〕

第 17 回平行芸術展 桜の花は匂わないか? ●
多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース 2002 年 12 月 20 日
〔ことば〕（峯村敏明） 見返し
そして、匂いのこと（峯村敏明） pp.1-6
図版 pp.7-22
〔作家略歴、作家のことば〕 pp.23-26
〔作家のことば〕（遠藤丈暁、栗原一成、小島敏男、小瀬村真美）
終わりに（今村知広、古谷恵三子、緒方友子、森本桂） pp.27-28
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2002 年 12 月 2 日－14 日 南青山・小原流会館エスパス OHARA 企画：峯村敏明、
主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流
出品：遠藤丈暁、栗原一成、小島敏男、小瀬村真美〔図版収載順〕

文化庁主催第 36 回現代美術選抜展図録 ●
北海道立釧路芸術館 2002 年 12 月
ごあいさつ（文化庁長官河合隼雄） p.3
図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕 pp.5-45
第 36 回現代美術選抜展開催要項 p.46
出品団体・出品点数一覧 p.46
〔出品団体系図〕 p.47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：愛媛展；2002 年 12 月 3 日－2003 年 1 月 13 日 北海道立釧路芸術館 主催：文化庁・北海道教育委員会・北海道立釧路芸術館・釧路新聞社・釧路教育芸術振興基金

出品：日本画；加来万周、牧野一泉。洋画；石川順惠、大友洋司。版画；太田三郎、鈴木康弘。彫刻；牛膓達夫〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

現代日本の水彩表現〈にじみ、ぼかし、重ね、線〉●

渋谷区立松濤美術館　2002 年 12 月　特別展

あいさつ（渋谷区立松濤美術館）p.5

図版〔作家解説、図版〕pp.9-128

〔作家解説〕（福井泰民）

現代日本の水彩表現〈にじみ、ぼかし、重ね、線〉（福井泰民）pp.129-137

資料　p.138

作家略歴　pp.139-145

参考文献　pp.146-147

作品リスト　pp.148-151

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONTEMPORARY JAPANESE WATERCOLOR－Wet in wet, Grandated wash, Overpainting Line－」

会期：2002 年 12 月 10 日－2003 年 1 月 26 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館

出品：土屋文明、舟橋淳司、野見山暁治、池田満寿夫、難波田史男、カジ・ギャスディン、青柳光枝、山口啓介、大浦こころ、丸山直文、若林奮、杉山尚子、榎倉康二、李禹煥、崔恩景、山田正亮、根岸芳郎、小池隆英〔作品リスト順〕

7th 北九州ビエンナーレ ART FOR SALE：アートと経済の恋愛学 ●

北九州市立美術館　2003 年 3 月 31 日

あいさつ（北九州市立美術館）　p.3　英文併載

仮(厄／焼く)にたとうが立つまいが（稲賀繁美）　pp.6-12, 13-19　英文併載

ART FOR SALE アートと経済の恋愛学（真武真喜子）　pp.20-24, 25　抄訳併載

カタログ〔作家のことば、プロフィル、図版、作家論〕　pp.26-119

〔作家のことば〕（白川昌生、三田村美土里、会田誠、岡田裕子、渡辺郷）

〔作家論〕（花田伸一、真武真喜子、山根康愛、阿佐美淑子）英文併載

出品目録　pp.122-123

展覧会歴・参考文献（花田伸一、真武真喜子、山根康愛、阿佐美淑子編）pp.124-143

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「7th Kitakyushu Biennale　ART FOR SALE：Intimacy between Aesthetics and Economy」

会期：2002 年 12 月 22 日－2003 年 2 月 2 日　北九州市立美術館　主催：北九州市立美術館

出品：白川昌生、三田村美土里〔光土里〕、会田家(会田誠、岡田裕子)、渡辺郷〔出品目録順〕

2003（平成 15）年

「現代美術のポジション 2003－吹きぬける新風」図録　　名古屋市美術館編 ●

名古屋市美術館・朝日新聞社・名古屋市文化振興事業団　2003 年 1 月

ごあいさつ（主催者）　p.5

出品作家・リスト　pp.6-7

作品図版　pp.9-27

テキスト

時代を映し出す 9 名の作家たち（原沢暁子）　pp.30-31

斜めから見た現代美術、そして「ポジション」（深山孝彰）　pp.32-33

名古屋の／と現代美術（井上昇治）　pp.34-35

作家紹介〔作家のことば、略歴、主な文献〕　pp.37-55

〔作家のことば〕（小川信治、加藤万也、佐藤三恵、白水ロコ、杉山健司、染谷亜里可、林繭子、真月洋子、森北伸）

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Contemporary Art POSITION 2003」

会期：2003 年 1 月 7 日－3 月 30 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・朝日新聞社・名古屋市文化振興事業団

出品：小川信治、加藤万也、佐藤三恵、白水ロコ、杉山健司、染谷亜里可、林繭子、真月洋子、森北伸〔出品作家・リスト順〕

MOT アニュアル 2003 おだやかな日々 ●

東京都現代美術館　2003 年 1 月　英文併載

ごあいさつ（東京都現代美術館）　p.5

おだやかな日々（熊谷伊佐子）　pp.9-13, 88-93

図版　pp.15-63

出品目録　pp.66-69

作家略歴・参考文献　pp.70-81　和文

Biography　pp.82-87　英文

追加出品〔図版〕　p.96

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MOT Annual 2003　days」

会期：2003 年 1 月 11 日－3 月 23 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：野田哲也、押江千衣子、上原三千代、染谷亜里可、高木正勝、小林孝亘〔出品目録順〕

DOMANI・明日展 2003 図録 ●

文化庁・読売新聞東京本社　2003 年 1 月

ごあいさつ（主催者）　p.3

「DOMANI・明日」展 2003 開催にあたり（山本明比古）　p.4

在外研修制度について　p.5

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　pp.7-51

〔作家のことば〕（小林孝亘、丸山直文、新井知生、小澤基弘、宮森敬子、山本明比古、福士朋子、西大記、蛭田均、本田健）

出品作品リスト　pp.53-55

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

○展覧会事項

展名：未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2003〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 1 月 25 日－3 月 2 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：小林孝亘、丸山直文、新井知生、小澤基弘、宮森敬子、山本明比古、福士朋子、西大記、蛭田均、本田健〔出品作品リスト順〕

空想散歩〈夢は日常に遠く近く〉 ●

茅ヶ崎市美術館　2003 年 1 月　企画展

ごあいさつ（茅ヶ崎市美術館）　p.3

想像力の飛翔 空想散歩（村山鎮雄）　pp.4-6

図版〔図版、作家のことば〕　pp.7-26

〔作家のことば〕（こうのこのみ、多田すみえ、河野りえ、沢田あきこ、石井礼子）

作家略歴　pp.27-29

出品作品リスト　pp.30-31

註：編集は上良純子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 1 月 26 日－3 月 2 日　茅ヶ崎市美術館　主催：茅ヶ崎市文化振興財団

出品：こうのこのみ、多田すみえ、河野りえ、沢田あきこ、石井礼子〔出品作品リスト順〕

特別展「アートみやぎ 2003」図録 ●

宮城県美術館　2003 年 1 月 28 日　第 2 回展

あいさつ（宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局）　p.3

アートみやぎ 2003 の八つの部屋〈展示解説に代えて〉（庄司淳一）　pp.4-15

図版〔作家のことば、図版〕　pp.17-83

〔作家のことば〕（阿部仁史、勝又豊子、ササキツトム、高山登、千葉和男、平間至〔1 行〕、

吉野辰海、渡辺雄彦）

みやぎの美術 1999-2002（西村勇晴） pp.85-87

略歴 pp.88-95

出品目録 pp.96-99

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「art miyagi 2003」

会期：2003 年 1 月 28 日－3 月 23 日 仙台・宮城県美術館 主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局

出品：阿部仁史、勝又豊子、ササキツトム、高山登、千葉和男、平間至、吉野辰海、渡辺雄彦〔出品目録順〕

Outspoken Glass 遠慮のないガラス－今日の日本から ●

北海道立近代美術館・岡山県立美術館 2003 年 2 月 図録ライヴ版共 2 冊

あいさつ（主催者） p.3 英文併載

Outspoken Glass 遠慮のないガラス?!（水田順子） pp.4-5, 6-7 英文併載

図版〔作家解説、図版〕 pp.9-71

〔作家解説〕（水田順子、中村聖司）

作家略歴（北海道立近代美術館学芸部編） pp.72-85

作家別 技法・制作プロセス pp.86-87

□図録ライヴ版〔本文 24 ページ〕

図版〔展示風景、インスタレーション〕 pp.2-21

アーティストとふれる・感じる・参加するイベント p.47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、江戸博、神近美(図録ライヴ版のみ)、横浜美、和光大(本体のみ)、国会図

○展覧会事項

会期：2003 年 2 月 5 日－3 月 23 日 札幌・北海道立近代美術館 主催：北海道立近代美術館・「Outspoken Glass 遠慮のないガラス」展実行委員会／4 月 8 日－5 月 11 日 岡山県立美術館 主催：岡山県立美術館

出品：家住利男、池本一三、伊藤孚、イワタルリ、扇田克也、大村俊二、塩谷直美、渋谷良治、高橋禎彦、福西毅、三宅道子、行武治美、米原眞司〔図版収載順〕

戦後大分の美術 I スバル〈一断面〉展 ●

大分市美術館 2003 年 2 月

ごあいさつ（館長満生和昭） p.3

スバル会の意義について（満生和昭） p.5

スバル一断面試論〈戦後美術におけるスバルの布置〉（菅章） pp.6-17

大分の美術とスバル〈意気盛んな青春時代〉（狭間久） pp.18-20

スバル会創立の頃（廣瀬通秀） pp.21-23

回想〈ネギ・スバル、そして県美展〉（江藤明） pp.24-26
スバルと人（菅久） pp.27-30
図版〔図版、章解説、解説、作家略歴、作品解説〕 pp.31-87
〔解説〕（大神健二）
作品リスト pp.88-89
関連資料 1〔作家別出品記録〕 pp.90-92
関連資料 2〔作家別出品一覧表〕 p.93
参考文献 pp.94-95
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2003 年 2 月 8 日－3 月 23 日 大分市美術館 主催：大分市美術館
出品：廣瀬通秀、油野誠一、菅久、菅玲子、江藤明、神田千里、矢岡勲〔作品リスト順〕

「九州力－世界美術としての九州」展 ●
熊本市現代美術館 2003 年 2 月 15 日 開館記念展 Vol.3
ごあいさつ（熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社） p.4
「九州力」に向かって（田中幸人） pp.6-13
「九州力」はどこにあるのか（針生一郎） pp.6-13
図版〔解説、図版〕 pp.16-75
解説（金澤韻、山室りさ、本田代志子、冨澤治子、藏座江美、竹田茜、坂本顕子）
文献 pp.76-81
とくべつふろく マンガ論 pp.82-83
九州美術館ガイド pp.84-89
出品作品リスト pp.90-93
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Kyushu-Ryoku」
会期：2003 年 2 月 15 日－4 月 6 日 熊本市現代美術館 主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社
出品：坂本繁二郎、山本作兵衛、中村研一、東郷青児、田代順七、牛島憲之、山口長男、宇治山哲平、千賀友子、瑛九、坂本善三、古沢岩美、井手宣通、織田廣喜、坂田憲雄、三浦洋一、浜田知明、久永強、野見山暁治、田淵安一、マナブ間部、宮崎静夫、池田龍雄、桜井孝身、宮崎準之助、吉村益信、田部光子、春口光義、秀島由己男、菊畑茂久馬、風倉匠、森山裕之、河津紘、野田哲也、立石大河亞、成田克彦、塩田武史、倉重光則、葉祥明、小野田維、名嘉睦稔、小山佐敏、林浩、柳幸典、藤浩志＋mm シスターズ、高嶺格〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品の作家を収載。

今日の作家展 2003 水を掬ぶ。花を弄す。〈自然へのまなざし〉 ●
「今日の作家展 2003」実行委員会 2003 年 2 月 第 36 回今日の作家展

ごあいさつ（主催者） p.3
5 人の画家の独自なアプローチ（針生一郎） pp.5-8
図版〔作家解説、図版〕 pp.11-56
エッセイ
自然をみる。（石山陽子） pp.58-61
試論：「水を掬ぶ。花を弄す。―自然へのまなざし―」展をめぐって（内山淳子） pp.62-66
新たなる「今日的なもの」を求めて（肥田木朋子） pp.67-70
作家略歴 pp.71-75
作品出品リスト pp.76-77
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2003 年 2 月 18 日－3 月 16 日 関内・横浜市民ギャラリー 主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・横浜市民ギャラリー／4 月 12 日－5 月 15 日 福井県あわら市・金津創造の森 主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・金津創造の森財団／5 月 20 日－6 月 15 日 文化フォーラム春日井・ギャラリー 主催：「今日の作家展 2003」実行委員会・春日井市・かすがい市民文化財団
出品：川村悦子、児玉靖枝、斉藤典彦、本田健、山河全〔作品出品リスト順〕

サイバー・アジア～メディア・アートの近未来形 ●
広島市現代美術館 2003 年 2 月
あいさつ（広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送） pp.6, 7 英文併載
メディア・アートをめぐって～「亜細亜散歩」異聞（小松崎拓男） pp.9-22
図版 pp.25-101
作家略歴 pp.103-123 英文併載・英文
作品リスト pp.125, 126 英文併載
註：編集は小松崎拓男、洲濱元子、表絵美子。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Cyber Asia－media art in the near future」
会期：2003 年 2 月 18 日－4 月 6 日 広島市現代美術館 主催：広島市現代美術館・中国新聞社・中国放送
出品：フェン・メンボー、八谷和彦、岩井俊雄、コン・スンフン、クワクボリョウタ、minim＋＋、鈴木康広、高谷史郎、ワン・ゴンシン、ウ・ティエンチャン、シュ・ビン、ユェン・グァンミン、エキソニモ〔作品リスト順〕

TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉 現代陶芸・14 人の尖鋭たち ●
高知県立美術館 2003 年 3 月

ごあいさつ（館長鍵岡正謹） p.3
現代陶芸を「これも陶芸?」と思っているあなたに（河村章代） pp.4-7
図版〔図版、作家略歴〕 pp.10-89
作品目録 pp.90-91
所蔵：□、国新美、東近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2003 年 3 月 2 日－4 月 20 日 高知県立美術館 主催：高知県立美術館・高知新聞社
出品：泉秀憲、勝間田千惠子、小池頌子、齋藤敏寿、重松あゆみ、田嶋悦子、堤展子、中島晴美、西邨滋、日野田崇、松島世賜恵、松田百合子、松本ヒデオ、森野彰人〔作品目録順〕
註：本展と同時に「TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉柳原睦夫と現代陶芸」展が開催されている。セットで刊行されたと思われるので参考までに次に採録しておく。

TOSA-TOSA 2003 柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち〈現代陶芸の系譜〉 柳原睦夫と現代陶芸
高知県立美術館 2003 年 3 月
ごあいさつ（館長鍵岡正謹） p.3
柳原睦夫さんの陶芸（鍵岡正謹） pp.4-9
図版 pp.13-80
柳原睦夫・インタビュー（インタビュアー 鍵岡正謹・河村章代） pp.82-100
柳原睦夫略歴 pp.102-107
作品目録 pp.108-111
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

VOCA 展 2003「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館 2003 年 3 月 英文併載
「VOCA 展 2003」開催にあたって（主催者） p.5
「VOCA 展 2003」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.7
〔授賞者、選考委員〕 pp.9, 93
〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、笠原美智子） pp.11-15, 94-98
〔出品作家、推薦委員〕 pp.17, 99
図版〔図版、作家解説〕 pp.18-81
〔作家解説〕（蔵屋美香、坂元暁美、黒沢伸、浅川泰、小笠原光、菅章、小栗光雄、李美那、中井康之、大野正勝、鍵岡正謹、名古屋覚、荒木夏実、柳沢秀行、樋口昌樹、窪田研二、伊豆井秀一、石川健次、有川幾夫、平野明彦、籾山昌夫、山本和弘、尾﨑佐智子、宝玉正彦、翁長直樹、出原均、光田由里、大島賛都、渋澤和彦、川辺雅美、長谷川敬子、菅原教夫、平野千枝子、山脇一夫、柳原正樹、篠雅廣） 英文 pp.100-113
作家略歴 pp.83-91, 100-113
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2003　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2003 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：秋山さやか、安東茂樹、井桁雅臣、井崎聖子、稲垣真幸、今井紀彰、岩城直美、宇田義久、大木裕之、大谷有花、奥井ゆみ子、小野博、加藤さくよし、亀山尚子、菊池敬子、小林浩、佐藤勲、高橋克之、瀧井晶子、田中功起、津上みゆき、仲里安広、中ザワヒデキ、英裕、福井篤、福永照久、松野潤一、村林基、もとはし遥、森川美紀、米田昌功、寄神くり〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・津上みゆき、VOCA 奨励賞・岩城直美、大谷有花、小野博、中ザワヒデキ

静岡 New Art「あなたの居場所」展 ●

静岡県立美術館　2004 年 3 月 31 日

ごあいさつ（静岡県立美術館）　p.2

事業一覧　p.2

「展覧会」マッピング〈わたしの／現代美術の／美術館の居場所〉（堀切正人）　pp.3-4, 29-31

図版〔図版、企画書再録〕　pp.5-27

作家略歴　p.28

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 3 月 18 日－2004 年 2 月 1 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：鈴木貴博、村上暁子、佐原路子、佐原路子＋高橋唐子、高橋唐子、安岐理加、横山飛鳥〔図版収載順〕

風の模型――北代省三と実験工房 ●

川崎市岡本太郎美術館　2003 年 4 月

ごあいさつ（館長村田慶之輔）　p.3　英文併載

北代省三と美術（中原佑介）　pp.6-8

寸法の夢・寸分の時――ぼくの伯父さん・北代省三の思い出（松岡正剛）　pp.9-11

北代省三の写真（大日方欣一）　pp.12-16

図版　pp.17-100

「模型論・ノート」より（北代省三）　pp.101-104

北代省三の軌跡（佐藤玲子）　pp.105-107

北代省三をめぐって（秋山邦晴〔再録〕、秋山実、今井直次、大辻清司〔再録〕、岡部昭彦、佐藤慶次郎、鈴木博義〔談〕、橋本潔、広井力、湯浅譲二〔談〕）　pp.108-118

風と音のワークショップ（山口勝弘・談）　p.119

高橋アキ・北代省三往復書簡より　pp.120-122
北代省三年譜　pp.123-129 出品目録　pp.130-135
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「shozo kitadai and experimental workshop」
会期：2003 年 4 月 26 日－7 月 6 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館
出品：北代省三、山口勝弘、岡本太郎、福島秀子、武満徹、佐藤慶次郎〔出品目録順〕

25 人の絵画展〈東郷青児美術館大賞 25 周年記念〉●
損保ジャパン東郷青児美術館　2003 年 4 月 25 日
ごあいさつ（損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社）p.3
東郷青児美術館大賞に想う（嘉門安雄）　p.6
25 人の絵画展について（三木多聞）　p.7
25 周年記念展にあたって（陰里鐵郎）　p.8
真如の月の影清し（米倉守）　p.9
東郷青児美術館大賞、25 年の重み（中村隆夫）　pp.10-14
安田火災東郷青児美術館大賞 15 回の顕彰を顧みて（植村鷹千代）　pp.15-16　再録
図版　pp.17-88
出品作家紹介〔図版、作家のコメント、作家略歴〕　pp.89-114
東郷青児美術館大賞とは、受賞記念展の開催　p.115
出品リスト　pp.116-119
註：編集は中島啓子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「“Works of 25 Prized Artists” in commemoration of the 25th anniversary of ‘Seiji Togo Memorial Museum of Art Grand Prix’」
会期：2003 年 4 月 26 日－6 月 29 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社
出品：宮永岳彦、三尾公三、島田章三、松樹路人、小松崎邦雄、清川泰次、富岡惣一郎、大沼映夫、田中稔之、森秀雄、堂本尚郎、渡辺豊重、後藤よ志子、野田弘志、佐々木豊、前田常作、馬越陽子、奥谷博、林敬二、島田鮎子、豊島弘尚、山本貞、福本章、笠井誠一、和田義彦〔出品リスト順〕

絵画の冒険～今井俊満と戦後美術の歩み〈大阪市立近代美術館(仮称)コレクション展〉　大阪市立近代美術館建設準備室編 ●
大阪市教育委員会　2003 年 6 月
ごあいさつ（大阪市教育委員会・ATC ミュージアム）　p.3
今井俊満のなかの「日本」（乾由明）　pp.6-7
苦悩の人間像から灼熱の奔流へ～初期の今井俊満をめぐって（清原佐知子）　pp.8-11

文献再録　pp.12-15
図版〔章解説、図版〕　pp.17-56
　章解説（清原佐知子）
今井俊満略年譜（清原佐知子編）　p.57
作家略歴（清原佐知子・三井知行編）pp.58-60
作品リスト　pp.61-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：「Aventure de la peinture－Toshimitsu Imaï et ses contemporains」
会期：2003 年 6 月 14 日－7 月 6 日　大阪・ATC ミュージアム　主催：大阪市教育委員会
出品：今井俊満、菅井汲、吉原治良、三上誠、大野秀隆〔俶嵩〕、河野芳夫、河原温、ジャン・デュビュッフェ、堂本尚郎、上前智祐、村上三郎、元永定正、嶋本昭三、白髪一雄、ジャン・フォートリエ、アントニ・タピエス、マーク・ロスコ、ジョーン・ミッチェル、向井修二、草間彌生、フランク・ステラ、シモン・アンタイ、クロード・ヴィアラ、アンゼルム・キーファー、エンツォ・クッキ、ジャン＝ミシェル・バスキア〔作品リスト順〕

絵画新世紀 ●
広島市現代美術館　2003 年 6 月　2 分冊の 1
あいさつ（広島市現代美術館・中国新聞社）　p.3
絵画についての 14 の断章（小松崎拓男）　pp.6-9
図版　pp.11-45
出品リスト　pp.46-49
参考文献（小橋祥子編）　pp.50-53
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「New Generation Japanese Painters」
会期：2003 年 6 月 21 日－8 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
出品：加藤美佳、福井篤、法貴信也、長谷川純、高橋信行、渡辺聡〔出品リスト順〕

絵画新世紀
広島市現代美術館　2003 年 6 月　2 分冊の 2
あいさつ（広島市現代美術館・中国新聞社）
絵画新世紀を企画して（小松崎拓男）
〔作家略歴、図版〕　6p.
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項〔1 に同じ〕

アート・ウォッチング part 2〈感覚遊園地探検〉 ●
宮城県美術館　2003 年 6 月 28 日
あいさつ（宮城県美術館・河北新報社）　p.3

脳と美の解剖学（布施英利） pp.5-8
アート・ウォッチングと感覚遊園地探検――本展覧会のイントロダクション（加野恵子） pp.9-11
図版〔図版、コメント〕 pp.13-55
作家紹介 pp.58-61
出品目録 pp.62-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART WATCHING part 2」
会期：2003 年 6 月 28 日－8 月 31 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社
出品：耳や鼻で；関主税、平松礼二、押江千衣子、猪熊弦一郎、菅井汲、岡本信治郎、堀浩哉、古沢岩美、難波田龍起、元永定正、水上央子。皮膚で；荘司福、上田薫、安田佐智種、本田健、白髪一雄、池田龍雄、石井茂雄、星野真吾、佐々木正芳、草間彌生、佐藤哲三、曽谷朝絵、小林孝亘、間島領一。筋肉で；靉嘔、山本直彰、日高理恵子、遠藤彰子、デイヴィッド・ホックニー、菅井汲(重)、浅野弥衛、斎藤義重、丸田恭子、篠原有司男〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

あるサラリーマン・コレクションの軌跡〈戦後日本美術の場所〉●
「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会　2003 年 7 月 11 日
ごあいさつ（主催者） p.3
コレクターからのメッセージ「思い出すままに：コレクションを省みて」（無署名） pp.6-9
図版〔図版、コレクターのコメント〕 pp.11-146
「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」――「コレクション」と「歴史」について（赤松祐樹） pp.149-160
反ー美術館としての「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」（野田訓生） pp.161-169
コレクションという場所（浅倉祐一朗） pp.171-181
作家略歴 pp.183-207
出品リスト pp.208-217
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2003 年 7 月 11 日－9 月 21 日　周南市美術博物館　主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・周南市美術博物館・毎日新聞社・TYS テレビ山口／12 月 13 日－2004 年 2 月 1 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー／3 月 5 日－28 日　福井県立美術館　主催：「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会・福井

県立美術館

出品：安齊重男、池田満寿夫、石川順惠、磯辺行久、磯見輝夫、井田照一、井上長三郎、上前智祐、榎倉康二、大畠裕、大森運夫、大矢雅章、岡村桂三郎、オノデラユキ、郭徳俊、梶喜一、片岡球子、桂ゆき、加藤泉、加納光於、河口龍夫、河原朝生、川俣正、菊地武彦、北籔和夫、木村光佑、草間彌生、鞍掛徳麿、黒崎彰、黒崎俊雄、桑原正彦、桑山忠明、合田佐和子、合田ノブヨ、小嶋悠司、小松均、斉藤智、斎藤隆、斉藤嗣火、坂本善三、佐熊桂一郎、白井昭子、白木正一、末松正樹、菅木志雄、須田剋太、関根伸夫、千崎千恵夫、多賀新、高島野十郎、高橋克之、高松次郎、高山徹、高山登、竹田和子、辰野登恵子、館勝生、田中田鶴子、中川幸夫、中西夏之、中林忠良、中原浩大、中村宏、野田哲也、浜田浄、半田強、彦坂尚嘉、日和崎尊夫、古沢岩美、星野真吾、堀浩哉、堀尾貞治、眞板雅文、間島領一、増田誠、松谷武判、松本旻、三上誠、三島喜美代、村井督侍、李田たけを、森光子、森野眞弓、森村泰昌、森山知己、山下菊二、山本弘、吉原芳仙、李禹煥、和田賢一〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

絵画の現在〈11 人の作家による 11 の展覧会〉●

新潟県立万代島美術館　2003 年 7 月　開館記念展 I

ごあいさつ（新潟県立万代島美術館）　p.5

「絵画の現在」展の意義について（横山秀樹）　pp.6-7

絵画についての覚書（本江邦夫）　pp.9-12

試論―日本における「絵画の現在」（藤田裕彦）　pp.13-18

図版〔作家解説、参考文献、図版〕　pp.19-109

作家解説（今井有、桐原浩、横山秀樹、藤田裕彦）

福田美蘭自身による自作覚え書き 1・2（福田美蘭）

資料

作家略歴（今井有、桐原浩、横山秀樹、藤田裕彦）　pp.112-117

出品作品リスト　pp.118-119

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「PAINTING IN OUR TIME」

会期：2003 年 7 月 12 日－8 月 17 日　新潟県万代島美術館　主催：新潟県万代島美術館　開館記念展 I

出品：岡村桂三郎、斉藤典彦、菅原健彦、千住博、辰野登恵子、手塚雄二、中村一美、奈良美智、日高理恵子、福田美蘭、森村泰昌〔出品作品リスト順〕

体感する美術'2003 ずこうのじかん 美術の時間 ●

佐倉市立美術館　2003 年〔7 月〕　第 9 回目

ごあいさつ（佐倉市立美術館）　p.3

ワークショップ A、B、C、D、E、F、参加者とスタッフ　pp.4-111

註：編集は永山智子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 7 月 19 日－8 月 3 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：ワークショップ結果展示

「KALEIDOSCOPE〈6 人の個性と表現〉」展 ●

世田谷美術館　2003 年 7 月　英文併載

ごあいさつ（世田谷美術館）　p.2

図版〔図版、作家略歴、作品解説〕　pp.4-15

KALEIDOSCOPE〈6 人の個性と表現〉展（高橋直裕）　pp.16, 17

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Kaleidoscope：Six Individual Expressions」

会期：2003 年 7 月 26 日－9 月 28 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：川村紀子、齋藤勝利、清水慶武、中野昌司、東美名子、光島貴之〔図版収載順〕

ガール! ガール! ガール! ●

東京オペラシティ文化財団　2003 年 8 月 5 日　展覧会資料第 17 号　主に英文併載

ごあいさつ（館長名原剛）　pp.4, 5

不思議の国のアリスたち――現代日本の女性アーティスト（堀元彰）　pp.6-10, 11-16

図版〔図版、作品解説〕　pp.17-53

略歴・主要参考文献（飯田志保子、佐山由紀編）　pp.54-63

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「GIRL! GIRL! GIRL!」

会期：2003 年 8 月 5 日－10 月 15 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：アーユーミーニング・カンパニー、粟野ユミト、イチハラヒロコ、澤田知子、タニシ K、チコ・トコ・プロジェクト、藤原靖子、前沢知子、山崎美弥子〔図版収載順〕

ガール! ガール! ガール! カタログ補遺

東京オペラシティ文化財団　2003 年 8 月 29 日　1 枚(両面刷)

図版〔展示風景〕

〔出品目録〕

〔会場配置図〕

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項〔本体に同じ〕

こもれび展 ●

水戸芸術館現代美術センター　2003 年 8 月 8 日　英文併載　展覧会資料第 58 号

こもれびの魅惑（浅井俊裕） pp.4-9, 10-15
図版 pp.16-64
図版リスト pp.65-66, 66-67
作家略歴 pp.68-73, 74-79
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「KOMOREBI」
会期：2003 年 8 月 9 日－10 月 5 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー 主催：水戸市芸術振興財団
出品：日高理恵子、伊庭靖子、稲垣智子、池田光宏、木村崇人、小林孝亘、松村アサタ、ポル・マロ、曽谷朝絵、滝田順〔図版リスト順〕

こもれび展カタログ
水戸芸術館現代美術センター 2003 年 9 月 展覧会資料第 59 号
「こもれび展」作品案内（浅井俊裕） 英文併載
出品作品リスト
図版〔会場写真〕 27p.
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項（上記カタログに同じ）

コレクター・駒形十吉の眼〈併設 平山郁夫展〉●
「コレクター・駒形十吉の眼」展実行委員会 2003 年 8 月 開館記念展 II・NST 新潟総合テレビ開局 35 周年記念
ごあいさつ（村山稔） p.5
「コレクター展併設平山郁夫展」によせて（平山郁夫） p.8
駒形十吉さんの思い出（加山又造） p.9
駒形十吉氏と新潟県立近代美術館の大光コレクション（横山秀樹） pp.10-11
図版〔章解説、図版、作品解説〕 pp.13-119
作品解説（高晟埈、伊藤香織）
駒形十吉とそのコレクション（高晟埈） pp.120-123
作家略歴 pp.124-134
参考文献 pp.135-136
駒形十吉氏年譜（高野政和編） p.137
駒形十吉の美術論 pp.138-151 再録
駒形十吉収集作品リスト pp.152-161
出品作品リスト pp.162-164
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Jukichi Komagata : Collector's Eye Masterpieces from Komagata Collection」

会期：2003 年 8 月 23 日－9 月 28 日　新潟県立万代島美術館　主催：コレクター・駒形十吉の眼展実行委員会・新潟県立万代島美術館・NST 新潟総合テレビ　開館記念展 II・NST 新潟総合テレビ開局 35 周年記念

出品：海老原喜之助、脇田和、山口薫、藤田嗣治、児島善三郎、熊谷守一、斎藤義重、香月泰男、オノサト・トシノブ、白髪一雄、高松次郎、元永定正、タジリシンキチ、磯辺行久、篠原有司男、靉嘔、宇佐美圭司、前田常作、今井祝雄、山口勝弘、吉村益信、荒川修作、中西夏之、三木富雄、加山又造、髙山辰雄、東山魁夷、吉田善彦、下田義寛、加藤唐九郎、楠部彌弌、松田権六、金重素山、平山郁夫〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

カオスモス'03 Mindscape ●

佐倉市立美術館　2003 年 8 月 3 日　英文併載

カオスモス'03 の開催にあたって（佐倉市立美術館）　pp.4, 5

偶然＋スケール＋時間＋ことば×夢（鷹見明彦）　pp.6-9, 10-15

図版〔作家のことば、図版〕　pp.16-73

〔作家のことば〕（森山晶、村上保、福田尚代、倉本麻弓、藤城凡子）

展示配置図　p.74

作家資料　pp.75-85

出品作品一覧　pp.86-87

註：あいさつ文に「マインドスケープ＝精神、心の景色」とある。なお、チバ・アート・ナウとしては第 10 回目にあたる。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Chaosmos '03 : Mindscape」

会期：2003 年 8 月 30 日－9 月 28 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：倉本麻弓、福田尚代、藤城凡子、村上保、森山晶〔出品作品一覧順〕

絵画＝単立と連立…1〈今、絵画はどこへ行こうとしているのか!?〉 ●

〔カスヤの森現代美術館〕　2003 年 9 月

絵画を背負う背中（光田由里）

図版　12p.

所蔵：□、国新美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Painting Today」

会期：2003 年 9 月 3 日－11 月 2 日　横須賀・カスヤの森現代美術館　主催：カスヤの森現代美術館

出品：合田佐和子、若江漢字、宮嶋葉一、O JUN、長谷川繁、湯川雅紀〔図版収載順〕

「ねりまの美術 2003 版画・半画・反画〈表現と技法〉」展 ●

練馬区立美術館　2003 年 9 月　第 18 回展

図版　pp.2-8, 25-31

ごあいさつ（館長永田誠）　p.9

「版画」入門の入門（横山勝彦）　pp.10-12

版画の技法 用語解説　p.13

作品リスト　pp.14-19

作家リスト　pp.20-21

新日本百景(木版)　pp.22-23　図版

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 9 月 6 日－10 月 13 日　練馬区立美術館　検討委員：粟津則雄、針生一郎、三木多聞、伊豆井秀一、主催：練馬区立美術館

出品：平塚運一、恩地孝四郎、永瀬義郎、畦地梅太郎、笹島喜平、品川工、吉田穂高、萩原英雄、北岡文雄、清宮質文、吹田文明、永井一正、小作青史、黒崎彰、日和崎尊夫、両角修、小林敬生、内間安瑆、工藤哲巳、李禹煥、河内成幸、柄澤齊、筆塚稔尚、岩切裕子、駒井哲郎、浜田知明、瑛九、斎藤寿一、池田満寿夫、加納光於、中林忠良、菊池怜司、浜口陽三、木原康行、深沢幸雄、池田良二、山本容子、松本秀一、キ・ケーリング、鈴木信吾、久保卓治、中西夏之、山口啓介、草間彌生、武田史子、横田亜弓、尾関立子、熊谷守一、有島生馬、三雲祥之助、寺田政明、宮脇公実、菅井汲、朝倉摂、勝呂忠、池田龍雄、荒川修作、吉原英雄、大沢昌助、山口長男、山下菊二、井田照一、原健、靉嘔、辰野登恵子、園山晴己、藤松博、嶋田しづ、加藤清美、谷川晃一、木葉井悦子、金子國義、上矢津、加山又造、淀井彩子、森村泰昌、君嶋真理子、佐竹邦子、福井良之助、森義利、野田哲也、横尾忠則、木村光佑、小野木学、近藤竜男、木村秀樹、榎倉康二、斉藤智、郭徳俊、鎌谷伸一、平井素子、中村忠二、高松次郎〔作品リスト順〕

註：戦前作品のみの出品作家（川上冬崖、山本芳翠、戸張孤雁、石井柏亭、清宮彬、萬鉄五郎、橋口五葉、川瀬巴水、吉田博、堂本印象、谷中安規、前田藤四郎、小野忠重、棟方志功、下沢木鉢郎、前川千帆、朝井清、麻田辨次、川西英、北村今三、小泉癸己男、小林朝治、武田新太郎、前田政雄、石井了介、栗山茂、長谷川潔、野村重喜）および練馬区立豊玉中学校生徒作品は割愛した。

ミュージアムスクール：地球の上で ●

東京都現代美術館　2003 年 10 月　主に英文併載

はじめに（東京都現代美術館）　p.3

地球の上で－物質の記憶、宿された時間（渡部葉子）　pp.7-15, 40-46

図版　pp.17-32

出品リスト　p.33

作家解説　pp.34, 35
「地球の上で」展関連プログラム報告　pp.36-39
註：編集は渡部葉子、武内厚子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Museum School：On the Earth」
会期：2003 年 10 月 4 日－12 月 14 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館
出品：9 名のうち日本作家は栗田宏一ひとり。

もうひとつの現代展〈コレクションによる 葉山館開館記念〉カタログ ●
神奈川県立近代美術館　2003 年 10 月
序にかえて――不死の時間・不死の空間（酒井忠康）　pp.7-15
図版　pp.18-48, 85-112, 145-181, 209-240
発見されるべき「日本」――埴輪を導きの糸として（水沢勉）　pp.50-58
カンヴァスの荒地――《一人》から《死者》へ、麻生三郎を中心に（水沢勉）　pp.59-68
廃墟の上の世界――前衛美術の戦後的状況（太田泰人）　pp.69-81
「国際化」と「土着性」――50 年代、60 年代の個の探索（山梨俊夫）　pp.114-124
絵画への回帰、持続、あるいは復権――70 年代、80 年代の絵画の位置（山梨俊夫）　pp.125-132
ひとつ、もうひとつ、またひとつ〈1970・80 年代の「美術」〉（籾山昌夫）　pp.134-141
悲しみの詩学〈清宮質文の版画〉（橋秀文）　pp.182-191
戦後日本の彫刻――「彫刻」とは呼びえぬものへの道程（是枝開）　pp.194-208
21 世紀（へ）の視座――90 年代以降の日本／美術（三本松倫代）　pp.241-247
美術館という場――2 つの場所の記憶から（李美那）　pp.248-253
コラム（長門佐季、稲庭彩和子、伊藤由美、山中潤）　pp.82-83, 142-143, 192, 193, 254, 255
年表（奥野美香編）　pp.256-273
事項解説（奥野美香編）　pp.274-275
　実験工房、具体美術協会、反芸術、暗黒舞踏派、ミニマリズム(ミニマル・アート)、もの派、美共闘、インスタレーション
参考文献（奥野美香編）　pp.276-279
出品リスト　pp.280-287
English summary　p.288　英文
註：個々の作家の個人情報（略歴、作家解説）は無い
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ANOTHER HISTORY：Contemporary Japanese Art from the Collection of The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama」
会期：2003 年 10 月 11 日－2004 年 1 月 25 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：加藤顕清、加藤栄三、荘司福、吉岡堅二、岩橋英遠、髙山辰雄、木内克、平山郁夫、山口蓬春、加山又造、西脇順三郎、野口彌太郎、牛島憲之、鳥海青児、朝井閑右衛門、海老原喜之助、中谷泰、佐田勝、原精一、藤井令太郎、高田博厚、菊池一雄、舟越保武、佐藤忠良、柳原義達、川口軌外、高間惣七、宇治山哲平、井上長三郎、麻生三郎、糸園和三郎、鶴岡政男、難波田龍起、森芳雄、鷹山宇一、三岸節子、村井正誠、斎藤義重、山口長男、宮脇愛子、吉原治良、山口勝弘、福沢一郎、阿部展也、山下菊二、山口薫、脇田和、猪熊弦一郎、川端実、荻須高徳、佐野繁次郎、田中阿喜良、湯原和夫、坂倉新平、野見山暁治、田淵安一、堂本尚郎、菅井汲、佐藤敬、今井俊満、土橋醇、辻本和之、保田春彦、片岡球子、三上誠、中村正義、四方田草炎、工藤甲人、近藤弘明、横尾忠則、棟方志功、上野泰郎、山本正道、横山操、堀内正和、杉全直、草間彌生、中川幸夫、辻晋堂、八木一夫、前田常作、建畠覚造、向井良吉、清水九兵衛、若林奮、李禹煥、高松次郎、中西夏之、河口龍夫、吉田克朗、関根伸夫、眞板雅文、若江漢字、安齊重男、村上善男、澄川喜一、勝呂忠、早川重章、岡本信治郎、渡辺豊重、田中岑、江見絹子、嶋田しづ、奥谷博、篠田守男、小田襄、吾妻兼治郎、土谷武、毛利武士郎、飯田善國、野中ユリ、最上壽之、小川待子、舟越桂、小杉武久、江口週、井上武吉〔出品リスト順〕

幻想と幻視－混在領域と領域侵犯 ●

平塚市美術館　2003 年 10 月　企画展

ごあいさつ（館長福田徳樹）　p.3

「幻想美術」かく戦えり（尾崎眞人）　pp.4-7

図版　pp.9-40

作家略歴、主な個展、主なグループ展　pp.41-46

出品目録　pp.47-48

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 10 月 11 日－11 月 23 日　平塚市美術館　主催：平塚市美術館

出品：星崎孝之助、川口起美雄、平野杏子、伊藤彬、近藤弘明、古沢岩美、森川ユキエ、山下菊二、大島哲以、平賀敬、工藤甲人、塚越源七、小関利雄、島田章三、小石剛、石井茂雄、中村宏、牧野邦夫、木村一生、高松次郎、中村孝平、杉山尚子、青野文昭、豊嶋康子、郭徳俊、彦坂尚嘉、笠木絵津子、眞板雅文、高木修、若江漢字〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

流動する美術－VIII 都市風景のメカニズム〈伊奈英次・金村修の写真〉展覧会図録 ●

福岡市美術館　2003 年 10 月 15 日　英文併載

ごあいさつ（福岡市美術館）　pp.2, 3

図版　pp.4-11

都市風景のメカニズム（山口洋三）　pp.12-16

出品作品リスト　p.17

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art in Flux VIII　Inside Out：Mechanism of Cityscapes」

会期：2003 年 10 月 15 日－12 月 27 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：伊奈英次、金村修

流動する美術－VIII 都市風景のメカニズム〈伊奈英次・金村修の写真〉作品図録

福岡市美術館　2003 年 10 月 15 日

図版　伊奈英次　12p.　金村修　13p.

〔作家略歴、文献〕　抄訳併載

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項〔展覧会図録に同じ〕

「ハピネス――アートにみる幸福への鍵」カタログ 日本語版 ●

森美術館　2003 年 10 月 18 日　開館記念展

ごあいさつ（理事長森佳子・館長デヴィッド・エリオット）　p.7

なぜハピネスなのだろう? 〈アート＆ライフのためのサバイバルガイド〉（デヴィッド・エリオット）　pp.9-22

芸術と幸福〈いくつかの省略をともないつつ並行する歴史〉（ピエール・ルイジ・タッツィ）　pp.24-32

図版　pp.33-208

日本美術の「ハピネス」若冲、蕭白、白隠（山下裕二）　pp.210-215

アジアの幸福論（丘山新）　pp.216-220

アルカディア

自由、ユートピア、崇高（スヴェン=オロフ・ヴァレンスタイン）　pp.222-228

幸福のメカニズム〈欲望と粋とサバイバル〉（南條史生）　pp.229-231

欲望の祭壇（ジョン・C.ジェイ）　pp.232-237

ニルヴァーナ

あなたにとって「幸福」とは? 対話（草間彌生+デヴィッド・エリオット）　pp.239-243

アートのカーテン（赤瀬川源平）　pp.244-246

デザイア

柔らかな想像力〈オノ・ヨーコと草間彌生における幸福の逸脱性〉（松井みどり）　pp.248-252

ハッピー・アワーズよ、いつまでもアジア・シンドローム（アピナン・ポーサヤーナン）　pp.253-261

帝国の終焉（シモン・ジャミ）　pp.262-267

これこそ幸福ではなかろうか〈金聖歎と 33 の幸福な時〉（ダニエル・バーンバウム）　pp.268-270

ハーモニー

インド、ネパール、東西アジアの宗教美術（ジョン・シウドマック）　pp.324-325

チベット仏教美術とハーモニー（ヘルムート・ノイマン） pp.326-329
作家解説（ピエール・ルイジ・タッツィ、デヴィッド・エリオット、片岡真実、東谷隆司、ルッツ・ベッカー、山下裕二、金善姫、浅野秀剛、荒木夏実、ビル・ヴィオラ） pp.273-314
作品解説（キャサリン・チャン・ミノ、デニス・パトリー・レイディ、ギタ・メータ、デヴィッド・エリオット、ジョン・M. ローゼンフィールド、田邊三郎助、山下裕二、伊藤京子、デジレ・フェル・シンガー、リー・ウファン、ジョン・シウドマック、ヘルムート・ノイマン） pp.314-321
作家一覧 pp.322-323
執筆者紹介 pp.330-331
所蔵者一覧 p.332
註：編集はデヴィッド・エリオット、片岡真実、椿玲子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「HAPPINESS：A SURVIVAL GUIDE FOR ART＋LIFE」
会期：2003 年 10 月 18 日－2004 年 1 月 18 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：アデル・アブデセメッド、荒木経惟、ヨーゼフ・ボイス、ピーター・ブレイク、アリギエロ・ボエッティ、ルイーズ・ブルジョワ、マルセル・ブロータース、ジェームズ・リー・バイヤーズ、ツァイ・グオチャン(蔡國強)、アンソニー・カロ、ヴィヤ・セルミンス、チェン・リージ(成砺志)、チェ・ジョンファ(崔正化)、ジョゼフ・コーネル、リチャード・ディーコン、ピーター・ドイグ、ヘリ・ドノ、マルレーネ・デュマス、マイケル・エルムグリーン＋インガー・ドラッグセット、トレイシー・エミン、オイヴィンド・ファールストロム、ペーター・フィッシュリ＋ダーフィト・ヴァイス、ダン・フレーヴィン、フォートゥイン＋オブライエン、ハミッシュ・フルトン、ギルバート＆ジョージ、ドミニク・ゴンザレス=フェルステル、ダン・グレアム、フィリップ・ガストン、ダニエル・グースマン、リチャード・ハミルトン、ハワード・ホジキン、カールステン・フラー、シラゼ・フシャーリー、クリスティーナ・イグレシアス、チョン・ソヨン、イリヤ・カバコフ、アニッシュ・カプーア、川俣正、ドゥリヤ・カジ+デヴィッド・エルズワース、イアン・ケア、キム・チョルオク、キム・ソンリョン、キム・ヨンジン、ピーター・キンリー、イヴ・クライン、クー・ジュンガ、ジェフ・クーンズ、草間彌生、スラシ・クソンウォン、ピーター・ランド、リー・ウファン(李禹煥)、フェルナン・レジェ、マーク・ルイス、チャールズ・ロング、ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)、エヴァ・マリサルディ、アグネス・マーティン、丸山直文、デヴィッド・メダラ、宮島達男、ヘンリー・ムーア、森村泰昌、ホワン・ムニョス、村上隆、奈良美智、ブルース・ナウマン、リヴァーニ・ノイエンシュヴァンダー＋カオ・ギマラエス、クリス・オフィリ、オノ・ヨーコ、ジョヴァンニ・オッツォーラ、ジュリオ・パオリーニ、エドゥアルド・パオロッツィ、アド・ラインハート、ブリジット・ライリー、トーマス・ルフ、ロバート・ライマン、レモ・サルヴァドーリ、トーマス・シュッテ、マルチェッロ・シメオーネ、トーマス・シュトゥルート、

杉本博司、スーパーフレックス、パスカル･マルティン･タユー、フレッド・トマセーリ、メッテ・トロンヴォル、サイ・トゥオンブリー、ヤン・ヴェルクロイセ、ビル・ヴィオラ、アンディ・ウォーホル、ヴィム・ヴァウマン、ジリアン・ウェアリング、トム・ウェッセルマン、シュ・ビン(徐冰)、ヤン・フードン(楊福東)、吉原治良、ジャン･ペイリー(張培力)〔作家一覧順〕

註：戦前作品のみの出品作家（文清、ポール・セザンヌ、ルネ・クレール、ジョン・コンスタブル、アンドレ・ドラン、ポール・ゴーガン、白隠慧鶴、伊藤若冲、ワシリー・カンディンスキー、狩野永納、狩野正信、勝川春章、葛飾北斎、エドゥアール・マネ、雅熙、アンリ・マティス、アレクサンドル・メドヴェトキン、クロード・モネ、ドミニク・ルイ・パペティ、パブロ・ピカソ、レニ・リーフェンシュタール、ヴァルター･ルットマン、遮莫(小栗宗継)、曾我蕭白、天遊松谿、東嶺圓慈、ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー、雲谷等的、ジガ・ヴェルトフ）は割愛した。

北の創造者たち展〈虚実皮膜〉●

札幌市芸術文化財団　2003 年 10 月

あいさつ（芸術の森美術館）　p.3

図版〔作家解説、図版、作家略歴〕　pp.6-47

作家解説（岩﨑直人）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Northern Creators　Fiction／Fact：Skin／Membrane」

会期：2003 年 10 月 26 日－2004 年 1 月 18 日　札幌・芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団

出品：鈴木涼子、坂巻正美、上遠野敏、伊藤隆介、藤木正則、坂東史樹〔図版収載順〕

第 18 回平行芸術展　〈あざやか〉の構造 カタログ ●

多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース　2003 年 12 月 10 日

〈あざやか〉には影がある（峯村敏明）　pp.1-6

図版　pp.7-22

批評の試み（岩堀綾子、平田剛志）　p.23

〔作家略歴、作家のことば〕　pp.24-28

〔作家のことば〕（井出創太郎、齋藤芽生、さとう陽子、袴田京太朗、橋本倫）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Parallelism in Art sense of azayaka」

会期：2003 年 10 月 27 日－11 月 8 日　南青山・小原流会館エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

出品：井出創太郎、齋藤芽生、さとう陽子、袴田京太朗、橋本倫〔図版収載順〕

ゾーン――不穏な時代の透視者たち ●

府中市美術館　2003 年 11 月
ごあいさつ（館長本江邦夫）　pp.7, 9　英文併載
ゾーン－ヴィジョンのマトリックス（山村仁志）　pp.11-21, 22-23　抄訳
図版〔作家解説、図版〕　pp.25-72
作家解説（神山亮子、東谷隆司、山本さつき、本江邦夫〔再録〕）
資料〔作家コメント、作家略歴、文献〕　pp.73-85
作家コメント（加藤泉〔2 行〕、神谷徹、登山博文、長谷川繁〔1 行〕、東恩納裕一、渡辺紅月）
〔作家略歴、文献〕（神山亮子編）　一部英文併載
作品リスト　pp.87-89
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ZONE-Clairvoyants in this threatening age」
会期：2003 年 11 月 1 日－12 月 28 日　府中市美術館　主催：府中市美術館
出品：加藤泉、神谷徹、登山博文、長谷川繁、東恩納裕一、渡辺紅月〔作品リスト順〕

コラボレーションの磁場〈デュシャン、マン・レイをめぐって〉●
カスヤの森現代美術館　2003 年 11 月　瀧口修造・生誕 100 年記念展　2 枚(二ツ折両面刷)
コラボレーションの磁場（土渕信彦）
図版　5p.
作品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2003 年 11 月 7 日－12 月 7 日　横須賀・カスヤの森現代美術館　主催：カスヤの森現代美術館
出品：瀧口修造、岡崎和郎、若江漢字〔作品リスト順〕

まどわしの空間－遠近法をめぐる現代の 15 相 ●
うらわ美術館　2003 年 11 月
ごあいさつ（館長坂本満）　p.11
線遠近法の「約束ごと」とイリュージョニスム（坂本満）　pp.12-14
空間の変異譚／遠近法をめぐるささやかな試み（森田一）　pp.15-31
本稿註にある以外の参考文献　p.31
図版　pp.33-79
出品作家略歴　pp.81-88
作品リスト　pp.89-90
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、都中図
○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 11 月 18 日－2004 年 2 月 22 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館

出品：川村直子、友利宇景、平松賢太郎、デイヴィッド・ホックニー、高松次郎、屋代敏博、ヤン・ディベッツ、ジョルジュ・ルース、鯨津朝子、小本章＋永原ゆり、三尾公三、福田繁雄、アンソニー・グリーン、中村宏、タイガー立石〔作品リスト順〕

作家からの贈りもの ●

キュレイターズ　2003 年 11 月　作家別冊 9 点共

ごあいさつ（主催者）　p.3

イメージのゆりかご――作家からの贈りもの（谷哲夫）　pp.4-5

未来のおとなたちへ（影山千夏）　pp.6-7

図版〔作家解説、図版、文献再録、解説、作家のことば〕　pp.9-53

〔香月のおもちゃ〕（坂倉秀典）

本郷新とテラコッタ（井上みどり）

〔作家のことば〕（若林奮）

作家からの贈りものたちに出会える美術館　p.54

□作家別冊〔小冊子、リーフレット、カード〕

〔ことば〕（若林夏欧）

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Presents from the Artists」

会期：2003 年 11 月 30 日－2004 年 1 月 18 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館・NT21 新潟テレビ 21／1 月 25 日－3 月 28 日　三隅町立香月美術館　主催：三隅町立香月美術館／4 月 4 日－5 月 23 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌市芸術文化財団・北海道新聞社／5 月 30 日－7 月 25 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社／8 月 18 日－29 日　大丸ミュージアム・梅田　主催：読売新聞大阪本社・読売テレビ／9 月 4 日－10 月 18 日　相模原・女子美アートミュージアム　主催：女子美術大学 女子美アートミュージアム

出品：舟越桂、ライオネル・ファイニンガー、香月泰男、藤田嗣治、有元利夫、本郷新、アレクサンダー・カルダー、パウル・クレー、猪熊弦一郎、パブロ・ピカソ、若林奮〔図版収載順〕

文化庁主催第 37 回現代美術選抜展図録 ●

〔文化庁〕　2003 年 12 月

ごあいさつ（文化庁長官河合隼雄）　p.3

図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕　pp.5-45

第 37 回現代美術選抜展開催要項　p.46

出品団体及び出品可能点数　p.46

〔出品団体系図〕　p.47

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：愛媛展；2003 年 12 月 13 日－28 日　今治市河野美術館　主催：文化庁・愛媛県教育委員会・今治市・今治市教育委員会・今治市河野美術館／愛知展；2004 年 1 月 14 日－2 月 1 日　文化フォーラム春日井　主催：文化庁・愛知県教育委員会・春日井市・春日井市教育委員会・かすがい市民文化財団
出品：日本画；間島秀徳、宮廻正明。洋画；今澤正、近藤大志。版画；鈴木康、吉原英里。彫刻；黒川弘毅〔図版収載順〕
註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

2004（平成 16）年

「アウト・ザ・ウィンドウ」展カタログ ●

国際交流基金アジアセンター　2004 年 1 月 10 日　英文併載

ごあいさつ（国際交流基金アジアセンター）　pp.4, 5

三国志新釈（李振華）　pp.9-10, 11-12

混沌と自由（ソ・ジンソク）　pp.13-14, 15-16

図版 インスタレーション〔作家解説、図版〕　pp.17-41

〔作家解説〕（ソ・ジンソク、李振華、住友文彦）

散漫な空間（住友文彦）　pp.43-45, 47-49

図版 シングルチャンネルビデオ〔図版〕　pp.51-73

出品作家略歴　pp.75-89

註：編集は古市保子。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「OUT THE WINDOW-SPACES OF DISTRACTION」

会期：2004 年 1 月 10 日－2 月 15 日　赤坂・国際交流基金フォーラム　主催：独立行政法人国際交流基金アジアセンター

出品：保田克史、古川浩一、五島一浩、林勇気、日野圭子、伊瀬聖子、木村真由美、小林耕平、小泉明郎、中野西敏弘、大門未希生、齋藤正和、佐藤義尚、笹口数、島田正道、田中功起〔出品作家略歴順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

コモン・スケープ 今日の写真における日常へのまなざし ●

宮城県美術館　2004 年 1 月　英文併載

あいさつ（主催者）　pp.7, 9

着生のすがた〈日常の曖昧な淀みのなかで〉（鷲田清一）　pp.12-15, 114-115

コモン・スケープ〈今日の写真における日常へのまなざし〉（和田浩一）　pp.16-24, 116-120

図版　pp.25-92

作家略歴　pp.93-99, 100-105

出品目録　pp.106-109, 110-113

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Commonscapes：Photography Today, Views of the Everyday」

会期：2004 年 1 月 17 日－3 月 28 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・財団法人自治総合センター

出品：ウィリアム・エグルストン、古屋誠一、ホンマタカシ、野口里佳、ハイナー・シリング、清野賀子、高橋恭司、安村崇〔出品目録順〕

MOT アニュアル 2004 私はどこから来たのか／そしてどこへ行くのか ●

東京都現代美術館　2004 年 1 月　英文併載

ごあいさつ（東京都現代美術館） pp.5, 7

私はどこから来たのか／そしてどこへ行くのか（関直子） pp.10-21, 110-117

北島敬三の野望 写真による写真論（笠原美智子） pp.22-24, 118-119

カタログ〔図版〕pp.25-89

作家略歴・Biography・主要文献（笠原美智子・関直子・薮前知子編） pp.91-95, 96-99, 100-105　和文・英文

出品リスト　pp.106-109

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「MOT Annual 2004　Where do I come from? Where am I going?」

会期：2004 年 1 月 17 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：北島敬三、内海聖史、磯山智之、奥井ゆみ子、小瀬村真美、山口晃、中ザワヒデキ、三浦淳子〔出品リスト順〕

Living Together is Easy ●

水戸芸術館現代美術センター　2004 年 1 月　英文併載　展覧会資料第 61 号

ごあいさつ（主催者） pp.4, 5

“Living Together is Easy”のパラドックス（逢坂恵理子） pp.8-11, 12-15

図版　pp.17-40

近似性（ジェイソン・スミス） pp.42-44, 45-47

Artists' Profiles　pp.49-73

作品について（解説；ジェーン・ディヴェリー、ジェイソン・スミス）

作品について（作家のことば；もとみやかをる、中村哲也、篠田太郎、東芋、高嶺格、山口晃）

出品作品リスト　pp.74, 75

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

和文タイトル：メイン論文に〈日本語に訳せば「共生はたやすい」となるのだが英語圏の人々にとっては、実際は「共生はたやすくない」というアイロニカルな反対の意味を含む表現なのである。〉とあり。

会期：2004 年 1 月 24 日－3 月 28 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・国際交流基金・メルボルン・ヴィクトリア州立美術館・メルボルン大学アジアリンク・センター／8 月 26 日－11 月 7 日　メルボルン・ヴィクトリア州立美術館

出品：フィオナ・ホール、ローズマリー・ラング、もとみやかをる、中村哲也、サミュエル・

ナマンジャー、スーザン・ノリー、ディヴィッド・ロチェスキー、篠田太郎、リッキー・スワロウ、束芋、高嶺格、山口晃〔出品作品リスト順〕

DOMANI・明日展 2004 図録 ●

文化庁・読売新聞東京本社　2004 年 1 月

ごあいさつ（主催者）　p.3

「DOMANI・明日」展 2004 開催にあたり（羽生輝）　p.4

在外研修制度(新進芸術家海外留学制度)について　p.5

図版〔作家略歴、図版、コメント、作家解説〕　pp.7-43

コメント、作家解説（日高理恵子、土手朋英、宮いつき、平山英樹、重政啓治、羽生輝、加藤晋、依田万実、松倉茂比古）

出品作品リスト　pp.45-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

展名：未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2004〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 1 月 24 日－3 月 3 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：日高理恵子、土手朋英、宮いつき、平山英樹、重政啓治、羽生輝、加藤晋、依田万実、松倉茂比古〔出品作品リスト順〕

福沢一郎とそれぞれの戦後美術 ●

富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館　2004 年 1 月 30 日　企画展

挨拶（館長今井幹夫）　p.3

福沢一郎の「主題絵画」にみる「空間変遷」の意味と美術文化の作家たち（尾崎眞人）pp.6-13

福沢一郎の絵画〈初期作品から戦後の展開へ〉（本田悟郎）　pp.14-26

図版　pp.27-90

資料編〔作家解説、福沢一郎略年譜 1954～1965 年、本展関連文献〕（本田悟郎編）　pp.92-102

企画展福沢一郎とそれぞれの戦後美術 出品作品リスト　pp.103-105

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 1 月 31 日－3 月 7 日　富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館　主催：富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

出品：福沢一郎、浜田知明、寺田政明、古沢岩美、阿部展也、早瀬龍江、白木正一、杉全直、小山田二郎〔出品作品リスト順〕

球体関節人形展 ●

日本テレビ放送網　2004 年 2 月 7 日　映画「イノセンス」公開記念
あいさつ（主催者）　p.5
身体の幾何学（押井守）　p.8
図版　pp.9-113
人形・関節・シャーマニズム（種村季弘）　pp.114-123
球体関節人形と精神分析（藤田博史、聞き手・小川千惠子）　pp.124-129
Just a Shell？ 押井守「人形」語録　pp.130-137　再録
ニッポンの球体関節人形事情〈出品作家解説〉（小川千惠子）　pp.138-143
作家略歴　pp.144-147
出品リスト　pp.148-152
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DOLLS OF INNOCENCE」
会期：2004 年 2 月 7 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・日本テレビ・「イノセンス」制作委員会
出品：ハンス・ベルメール、三輪輝子、秋山まほこ、山吉由利子、山本じん、三浦悦子、恋月姫、中村寝郎、木立真佐美、土井典、吉田良、井桁裕子、月光社、伽井丹彌、四谷シモン、片岡昌、よねやまりゅう、マリオ・A〔出品リスト順〕

六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004 ●
森美術館　2004 年 2 月 7 日　英文併載
あいさつ（館長デヴィッド・エリオット）　pp.2, 3
個の共鳴〈日本美術の新しい展望〉（片岡真実）　pp.6-16
図版〔索引、図版、作家作品解説〕　pp.17---280
作家作品解説（東谷隆司、片岡真実、原久子、紫牟田伸子、四方幸子、飯田高誉, 畠中実、黒岩朋子）
CROSSING1 「交差点」から「野の道まで」（飯田高誉）　pp.65-72
CROSSING2 ここにあるもの（原久子）　pp.121-128
CROSSING3 「Re」から次へ（紫牟田伸子）　pp.177-184
CROSSING4 交差点の想像力（畠中実）　pp.233-240
作家略歴、主要活動歴、主要参考データ（黒岩朋子、椿玲子、門木徹編）pp.281-337
出品作品リスト　pp.338-347
開催概要　pp.348, 349
註：編集は片岡真実、黒岩朋子、椿玲子、佐々木瞳、越田環、門木徹。
所蔵：□、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING：NEW VISIONS in CONTEMPORARY JAPANESE ART 2004」
会期：2004 年 2 月 7 日－4 月 11 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：会田誠、秋山さやか、青木陵子＋伊藤存、アトリエ・ワン、坂茂、エキソニモ、藤澤直人、福井篤、フジタマ、八谷和彦、花代、畠山直哉、法貴信也、池田謙、生西康典＋掛川康典、今村源、石川雷太、伊東篤宏、加藤豪、加藤美佳、木村友紀、木下晋、小杉武久、クワクボリョウタ、ポル・マロ、みかんぐみ、ミナ ペルホネン(皆川明)、ミッション・インヴィジブル、村瀬恭子、村山留里子、中川正博(20471120)、中村哲也、中西夏之、生意気、ニブロール、西尾康之、小谷元彦、大木裕之、オノデラユキ、鶯蛙、ルパート・キャリー＋高橋知子、眞田岳彦、笹口数、渋谷清道、志水児王、篠田太郎、高嶺格、竹村ノブカズ、タナカカツキ、田中功起、東京ピクニッククラブ、上村亮太、渡部睦子、渡辺郷、やなぎみわ、ヤノベケンジ、安村崇〔出品作品リスト順〕

現代の水墨画 2004〈墨の可能性とあらたなる創造〉●

富山県水墨美術館　2004 年 2 月

ごあいさつ（富山県水墨美術館）　p.7

墨、〈棄てる〉力の復活（福井文夫）　pp.8-11

水墨画の魅力と出品作品について（浅地豊）　pp.12-15

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕　pp.17-68

〔作家のことば〕（平川敏夫、中野弘彦〔再録〕、伊藤彬、齋藤隆、中野嘉之、梅原幸雄、鈴木敬三、菅原健彦、浅見貴子）

出品リスト　pp.70-71

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 2 月 13 日－3 月 21 日　富山県水墨美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送

出品：平川敏夫、中野弘彦、伊藤彬、齋藤隆、中野嘉之、箱崎睦昌、梅原幸雄、鈴木敬三、菅原健彦、浅見貴子〔出品リスト順〕

タイム・オブ・マイ・ライフ〈永遠の少年たち〉●

東京オペラシティ文化財団　2004 年 2 月 21 日　付・CD-ROM1 枚

ごあいさつ（館長名原剛）　p.3　英文併載

永遠の少年たち－美術の青春、あるいは青春の美術（堀元彰）　pp.4-7, 8-11　英文併載

〔作家略歴〕　pp.12-23

出品リスト　pp.24-31

所蔵：□、国新美、都現美、神近美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Time of My Life　Art with Youthful Spirit」

会期：2004 年 2 月 21 日－5 月 9 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団

出品：難波田史男、有元利夫、舟越桂、山本容子、保田井智之、奈良美智、村瀬恭子、杉戸洋、中川トラヲ、工藤麻紀子、奥村雄樹〔出品リスト順〕

タイム・オブ・マイ・ライフ〈永遠の少年たち〉鑑賞ガイド

東京オペラシティ文化財団　2004 年 2 月　1 枚(二ツ折両面刷)

〔作家紹介、展示配置図〕

所蔵：□、国新美

○展覧会事項〔本体に同じ〕

「超」日本画宣言――それは、かつて日本画と呼ばれていた ●

「超」日本画展実行委員会　2004 年 2 月

「日本画」と呼ぶのは、もうやめにしませんか?（野地耕一郎）　pp.2-3

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕　pp.4-31

〔作家のことば〕（浅見貴子、岡村桂三郎、尾長良範、小野友三、斉藤典彦、菅原健彦、竹内啓、武田州左、マコト・フジムラ、間島秀徳、山本直彰）

作品リスト　p.32

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 2 月 22 日－4 月 11 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館・「超」日本画展実行委員会

出品：浅見貴子、岡村桂三郎、尾長良範、小野友三、斉藤典彦、菅原健彦、竹内啓、武田州左、マコト・フジムラ、間島秀徳、山本直彰〔作品リスト順〕

今日の作家展 2004 人間のこころをめぐる表現　　横浜市民ギャラリー編 ●

「今日の作家展 2004」実行委員会　2004 年 2 月　第 37 回今日の作家展

ごあいさつ（主催者）　p.3

図版〔作家解説、図版〕　pp.7-75

エッセイ

人間表現からみえてくるもの（石山陽子）　pp.78-81

人間がそこにわたしがそこにいること（内山淳子）　pp.82-85

人のこころに感じる（肥田木朋子）　pp.86-89

〔作家略歴〕pp.90-93

出品作品リスト　pp.94-95

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「Artists Today」

会期：2004 年 2 月 27 日－3 月 21 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：「今日の作家展 2004」実行委員 会・横浜市民ギャラリー／4 月 17 日－5 月 23 日　福井県あわら市・金津創造の森　主催：「今日の作家展 2004」実行委員会・金津創造の森財団・あわら市・あわら市教育委員会／5 月 28 日－6 月 27 日　文化フォーラム春日井・ギャラリー　主催：「今日の作家展 2004」実行委員会・春日井市・かすがい市民文化財団

出品：智内兄助、森脇正人、楊曉閩、橋口譲二〔出品作品リスト順〕

日常の変貌 ●

群馬県立近代美術館　2004 年 2 月　英文併載　和綴(ケース入)

ごあいさつ（館長中山公男）　pp.5, 7

日常の変貌（谷内克聡）　pp.8-15

会場俯瞰図　p.16

図版〔図版、作家略歴〕　pp.17-64

作品リスト、英文略歴　pp.68-75

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Les métamorphoses du quotidien」

会期：2004 年 2 月 28 日－4 月 11 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：平川典俊、大谷有花、会田誠、鷹野隆大〔作品リスト順〕

VOCA 展 2004「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2004 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2004」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展 2004」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、選考委員〕　pp.9, 101

〔選考評〕（高階秀爾、建畠哲、笠原美智子、草薙奈津子、水沢勉）　pp.11-15, 102-107

〔出品作家、推薦委員〕　pp.17, 109

図版〔図版、作家解説〕　pp.18-89

〔作家解説〕（光田由里、地家光二、川浪千鶴、有川幾夫、坂元暁美、藤川哲、翁長直樹、谷新、山脇一夫、尾﨑佐智子、名古屋覚、荒木夏実、出原均、岸野裕人、舟木力英、菅原教夫、篠雅廣、住友文彦、渋澤和彦、丹羽晴美、菅章、石川健次、柳原正樹、三好徹、李美那、平野到、鍵岡正謹、住谷晃一郎、植草学、冨田章、堀元彰、柳沢秀行、中井康之、早川博明、宝玉正彦、関直子）　英文 pp.110-125

作家略歴　pp.91-100, 110-125

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2004　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2004 年 3 月 13 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：浅見貴子、阿部啓明、阿部幸子、伊勢裕人、今澤正、上田風子、上間彩花、薄井隆夫、宇津木倫子、大西久、岡田葉、雄川愛、小野環、岸本吉弘、久保理恵子、小林俊介、小柳裕、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、佐藤万絵子、佐野陽一、下川信義、新盛清一、玉本奈々、俊尭、友枝憲太郎、豊嶋康子、中村達志、中山ダイスケ、西澤千晴、野口香子、長谷川純、

北城貴子、前田朋子、水上央子、溝口真一、好宮佐知子〔図版収載順〕
授賞者：VOCA 賞・前田朋子、VOCA 奨励賞・小柳裕、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、佳作賞・中山ダイスケ、西澤千晴、府中市美術館館長賞・久保理恵子

青春は不定形〈パリ－日本 一九五〇年代〉●
大原美術館　2004 年 4 月 9 日
ごあいさつ（館長高階秀爾）　p.3
青春の戦後美術－アンフォルメルとその時代（高階秀爾）　pp.7-11
アンフォルメルな回想－1950 年代のパリと日本（芳賀徹）　pp.12-17
図版〔図版、作品解説〕　pp.19-52
出品作家生没年表　pp.54-55
作品リスト　p.57
註：編集は吉川あゆみ。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2004 年 4 月 9 日－5 月 30 日　倉敷・大原美術館　主催：大原美術館
出品：ジャン・フォートリエ、ヴォルス、ジャン・デュビュッフェ、カレル・アペル、アントニ・タピエス、ハンス・アルトゥング、ジョルジュ・マチウ、ジャン＝ポール・リオペール、ピエール・スーラージュ、ピエール・アレシンスキー、ジュセッペ・カポグロッシ、今井俊満、堂本尚郎、元永定正、白髪一雄、福島秀子〔作品リスト順〕

孤独な惑星 ●
リトル・モア　2004 年 4 月 10 日　英文併載
図版　124p.
孤独な惑星（窪田研二）
〔作家解説、図版〕
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「lonely planet」
会期：2004 年 4 月 10 日－6 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団
出品：ジェイク&ディノス・チャップマン、トニー・アウスラー、川内倫子、会田誠、リネケ・ダイクストラ、ビル・ヴィオラ、オリバー・ペイン&ニック・レルフ、佐藤姿子、加藤泉、猪瀬光、ヤエル・バルタナ、青島千穂〔図版収載順〕

夢みるタカラヅカ展〈宝塚歌劇に魅了された芸術家、そして時代〉作家編 ●
サントリーミュージアム[天保山]　2004 年 4 月 16 日
アイコトバは「タカラヅカ」（渡邊彩子）　p.2
図版　pp.3-65
　処女神よりは、グロリアになりたい（やなぎみわ）

〔作家略歴、作家のことば〕 pp.68-73

〔作家のことば〕（西山美なコ、森村泰昌、横尾忠則、やなぎみわ、蜷川実花、生意気）

出品作品目録 p.74

所蔵：□、国新美、都現美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TAKARAZUKA The Land of Dreams」

会期：2004 年 4 月 17 日－6 月 20 日 サントリーミュージアム[天保山] 主催：サントリーミュージアム[天保山]・NHK 大阪放送局・NHK きんきメディアプラン／7 月 24 日－9 月 26 日 初台・東京オペラシティアートギャラリー 主催：東京オペラシティ文化財団・NHK プロモーション／11 月 13 日－12 月 12 日 横浜・そごう美術館 主催：財団法人そごう美術館・NHK 横浜放送局・NHK プロモーション

出品：西山美なコ、森村泰昌、横尾忠則、やなぎみわ、蜷川実花〔出品作品目録順〕

ネクスト：メディア・アートの新世代 ●

NTT 出版 2004 年 4 月 23 日 英文併載

ごあいさつ（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]） pp.6, 7

n_ext へ向けて（畠中実） pp.11-13, 14-15

速度依存症の美学（阿部一直） pp.16-17, 18-19

アート&ビヨンドーオープン・コミュニティの実験（四方幸子） pp.20-21, 22-23

日常的な言葉としてのメディア・アート（清水建人） pp.24-25, 26-27

まだ暗く、遠い道の果てにーn_ext：メディア・アートの新世代によせて（森山朋絵） pp.28-29, 30-31

図版〔作家のことば、図版〕 pp.33-80

〔作家のことば〕（安藤孝浩、エキソニモ、大畑彩、春日聡、齋藤正和、澤井妙治＋城一裕＋真鍋大度、鈴木太朗、徳井直生、中居伊織、橋本典久、山本努武、るさんちまん）

作家略歴・資料 pp.81-93

出品作品リスト p.94

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「n_ext：New Generation of Media Artists」

会期：2004 年 4 月 23 日－6 月 27 日 初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

出品：安藤孝浩、エキソニモ、大畑彩、春日聡、齋藤正和、澤井妙治＋城一裕＋真鍋大度、鈴木太朗、徳井直生、中居伊織、橋本典久、山本努武、るさんちまん〔出品作品リスト順〕

コピーの時代〈デュシャンからウォーホル、モリムラへ〉 ●

滋賀県立近代美術館 2004 年 6 月 開館 20 周年記念展

ごあいさつ（滋賀県立近代美術館） pp.2, 3 英文併載

関連行事 p.6

滋賀県立近代美術館と現代美術（桑山俊道） pp.8-9, 10-11 英文併載
序（尾﨑佐智子） pp.12, 13 英文併載
「引用と複製――その臨界点 日本・シュミレーショニズム・20 世紀末の一断面」（椹木野衣） pp.14-20, 22-27 英文併載
「コピーの時代〈デュシャンからウォーホル、モリムラへ〉」（尾﨑佐智子） pp.28-33, 34-39 英文併載
模倣と造形〈日本美術史にみる「模」の諸相〉（高梨純次） pp.40-43, 44-47 英文併載
カタログ〔章解説、図版、作家・作品解説〕 pp.49-199
章解説（尾﨑佐智子）
作家・作品解説（尾﨑佐智子、田平麻子、高梨純次、桑山俊道）
〔作家のことば〕（福田美蘭）
用語解説（田平麻子編） pp.201-203
作家解説（田平麻子、尾﨑佐智子、高梨純次、桑山俊道） pp.204-210
関連年表（田平麻子編） pp.212-215
主要参考文献（田平麻子編） pp.216-217
出品リスト pp.218-221, 222-225 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「20th Anniversary Exhibition The Copy Age From Duchamp through Warhol to Morimura」
会期：2004 年 6 月 5 日－9 月 5 日 大津・滋賀県立近代美術館 主催：滋賀県立近代美術館
出品：(1)はじまりとしてのマルセル・デュシャン；マルセル・デュシャン。(2)大衆文化からの引用；アンディ・ウォーホル、ロイ・リキテンスタイン、トム・ウェッセルマン、ジェフ・クーンズ、リチャード・プリンス、立石大河亜、森村泰昌、鷲見麿、柳幸典、中村政人、福田美蘭、岡本光博。(3)複製としての貨幣；アンディ・ウォーホル(重)、赤瀬川原平、森村泰昌(重)、柳幸典(重)、アイデアルコピー、メル・ボクナー。(4)盗め「日本美術史」；森村泰昌(重)、玉城末一、野島康三、福田美蘭(重)、黒田清輝、葛飾北斎、志村ふくみ、清水卯一、小川信治、小沢剛、李禹煥、金山明、山口晃。(5)盗め「西洋美術史」；ロイ・リキテンスタイン(重)、クロード・モネ、アンディ・ウォーホル(重)、アンリ・マティス、シェリー・レヴィーン、コンスタンチン・ブランクーシ、ウォーカー・エヴァンズ、マイク・ビドロ、篠原有司男、森村泰昌(重)、鷲見麿(重)、小川信治(重)、福田美蘭(重)。(6)オリジナルなきコピー；シンディ・シャーマン、小川信治(重)、コンスタンチン・ブランクーシ(重)、マルセル・デュシャン(重)〔出品リスト順〕
註：出品欄にはコピーの対象となった古典的作品（したがって作家）が含まれているが、そのまま削除しないで収載した。

日本から未来へ――Museums by Japanese Architects ●

「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会・美術館連絡協議会

2004 年 6 月　英文併載
美術のための空間を考える（太田泰人）　p.2
1999 年以降の日本人建築家による美術館建築（鷲田めるろ）　pp.3-7
図版〔図版、解説、建築家略歴、建築家のことば〕　pp.8-31
〔建築家のことば〕（青木淳）
Museum Architectures from 1999／美術館建築・最近の動向（和田菜穂子、鷲田めるろ、李美那編）pp.32-35
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Toward the Future：Museums by Japanese Architects」
会期：2004 年 6 月 11 日－7 月 11 日　神戸・兵庫県立美術館／9 月 11 日－10 月 17 日いわき市立美術館／10 月 30 日－12 月 19 日　葉山・神奈川県立近代美術館／2005 年 1 月 4 日－2 月 27 日　盛岡・岩手県立美術館／4 月 23 日－5 月 22 日　金沢 21 世紀美術館　主催：「日本から未来へ――Museums by Japanese Architects」展実行委員会、共催：美術館連絡協議会
出品：妹島和世＋西沢立衛、ヨコミゾマコト、青木淳、坂茂〔図版収載順〕

イメージの水位――ナルキッソスをめぐる変容と反射 ●
豊田市美術館　2004 年 7 月
ごあいさつ（館長寺光彦）　p.5
画家/ナルキッソスの波紋（金井直）　pp.9-15, 108-109　抄訳
図版〔章解説、図版〕　pp.17-94
作家略歴（金井直・成瀬美幸編）　pp.98-101
作品リスト　pp.102-107
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Water Level of Image－Transformation and Reflection of Narcissus」
会期：2004 年 7 月 6 日－9 月 5 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館
出品：草間彌生、山口長男、瑛九、徳岡神泉、池田遙邨、小野竹喬、赤瀬川原平、中西夏之、鴫剛、堀浩哉、諏訪直樹、榎倉康二、杉本博司〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

炭鉱(ヤマ)へのまなざし〈常磐炭田と美術〉展
いわき市立美術館　2004 年 7 月
ごあいさつ（主催者）　p.5
カタログ〔図版〕　pp.7-185
近代産業としての常磐炭田史（小野浩）　pp.188-195
いわきの風土〈私の視野のうち〉（田口安男）　pp.196-199
炭鉱(ヤマ)へのまなざし――それぞれのリアリティ（杉浦友治）　pp.200-208

作家略歴・作家の言葉　pp.209-241
資料　pp.242-243
主要参考文献・資料　pp.244-247
所蔵：□、国新美、東近美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2004 年 7 月 17 日－8 月 29 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館・福島民報社
出品：鳥居敏文、若松光一郎、向井潤吉、熊坂太郎、齋藤實、鈴木武、佐藤忠良、松浦良、中山章、竹谷富士雄、西常雄、中谷泰、吉井忠、森芳雄、鈴木新夫、橋本松雄、金野新一、伊藤和子、古川昌弘、金子初男、中村亨司、橋本弘、稲川敏之、吉田昭男、菊地正男、熊坂行夫。写真；鈴木清、穴戸春巳、上遠野良夫、萩原義弘〔作家略歴順〕

色の博物誌・黄－地の力&空の光 ●
目黒区美術館　2004 年 7 月 30 日
図版　pp.1-8, 81-88
ごあいさつ（目黒区美術館）　p.11
再・中心化としての黄色――近代絵画における色彩のオーダー（前田富士男）　pp.12-16
図版〔図版、解説〕　pp.17-56
黄色絵具小史――油絵具を中心に（森田恒之）　pp.58-61
黄色の話――地の力・空の光（降旗千賀子）　pp.62-65
黄－主な色材解説　pp.66-67
作家略歴　pp.68-73
作品リスト　pp.74-76
催し物・教育プログラム　p.77
2003 年プレ・ワークショップ黄色（榎本寿紀）pp.78-79
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「YELLOW」
会期：2004 年 7 月 17 日－9 月 8 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
出品：栗田宏一、村岡三郎、若林奮、伊庭靖子、片山雅史、鈴木省三、徳永雅之、山中信夫、吉田重信〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

現代の写真 III ノンセクト・ラディカル ●
横浜美術館　2004 年 7 月　主に英文併載
図版　pp.1-139
あいさつ（館長雪山行二）　pp.170, 171
場への眼差し（天野太郎）　pp.172-179, 180-187

略歴　pp.188-197　主に英文
出品リスト〔リスト、作品解説、作家自身による作品解説〕 pp.198-223
　作品解説（ウルリヒ・ルック、高嶺格、石川真生、露口啓二）
註：編集は天野太郎、木村絵理子。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Non-Sect Radical：Contemporary Photography III」
会期：2004 年 7 月 17 日－9 月 20 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川
出品：アハラム・シブリ、アンリ・サラ、スティーヴ・マックィーン、高嶺格、奈良美智、ダヴィッド・クレルボ、石川真生、露口啓二〔出品リスト順〕

ピクチャー・イン・モーション ●
栃木県立美術館　2004 年 7 月
あいさつ（栃木県立美術館） pp.2, 3　英文併載
PiM――多層的フレームのコンステレーション（山本和弘） pp.6-16
図版〔図版、アーティストおよび作品についてのエッセイ、作家略歴、アーティストのステイトメント／コメント〕 pp.19-101
　アーティストおよび作品についてのエッセイ（山本和弘）
　アーティストのコメント（田中功起）
出品リスト　p.105
スクリーニング・オーダー　p.107
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Picture in Motion」
会期：2004 年 7 月 18 日－9 月 12 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：会田寅次郎、会田誠、加藤到、木村崇人、小瀬村真美、田中功起、友政麻理子、門田秀雄、山崎博、ユニット 00(堀浩哉・堀えりぜ・畠中実)〔出品リスト順〕

体感する美術'2004 POWER OF PLACE〈美術館のあるまち〉●
佐倉市立美術館　2004 年〔7 月〕　第 10 回目　付・DVD、双六
ごあいさつ（佐倉市立美術館） p.2
ワークショップの紹介　pp.3-62
　発泡屋台、さくらテレビ（開発好明）
　開発好明〔略歴〕
□さくらテレビ DVD
□新町すごろく〔1 枚、片面刷〕
註：編集は永山智子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「POWER OF PLACE」

会期：2004 年 7 月 24 日－8 月 7 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：開発好明らによるワークショップ結果展示

楽しむ空間・一歩前へ! ●

宮城県美術館　2004 年 7 月　主に英文併載　図録 1・2 共 2 冊(ケース入)

□図録－1

あいさつ（主催者）　pp.4, 5

世界を発見するための一歩!（和田浩一）　pp.7-10, 11-14

図版〔作家のことば、図版〕　pp.15-45

〔作家のことば〕（廣瀬智央、クリスティーナ・クービッシュ、松井紫朗、祐成政徳、ピーター・フォーゲル〔再録〕）　pp.57-62　英文

〔作家略歴〕（後藤文子編）　pp.46-56

関連事業　p.63

□図録－2

作品配置図　p.4

図版〔展示写真〕　pp.5-29

出品目録　pp.30-31

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Spaces for You－Stepping Out!」

会期：2004 年 7 月 31 日－9 月 20 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・財団法人自治総合センター

出品：廣瀬智央、クリスティーナ・クービッシュ、松井紫朗、祐成政徳、ピーター・フォーゲル〔出品目録順〕

カフェ・イン・水戸 2004 ハンドブック ●

水戸芸術館現代美術センター　2004 年 8 月　展覧会資料第 63 号

ごあいさつ（水戸市芸術振興財団）　p.7

水戸芸術館〔解説、図版、作家略歴〕　pp.8-25

水戸中心市街地〔解説、図版、作家略歴〕　pp.26-49

関連自主企画展覧会　pp.50-52

水戸市内・周辺、展覧会・イベント情報　pp.53-54

「カフェ・イン・水戸 2004」イベント　pp.55-61

「カフェ・イン・水戸 2004」イベント・カレンダー　pp.62-63

所蔵：□、国新美、東文研、東博資、写真美

○展覧会事項

欧文タイトル：「CAFE in Mito 2004　Communicable Action For Everybody」

会期：2004 年 8 月 8 日－10 月 3 日　水戸芸術館＋中心市街地　主催：水戸市芸術振興財団

出品：永井英男、小出ナオキ、徐冰、鈴木康広、山崎美弥子、マーティン・クリード、名和晃平、大平貴之、岩井俊雄、マリ＝アンジュ・ギュミノ、林剛人丸、蔡國強、アトリエ・ワン＋筑波大学貝島研究室、師井聡子、木下哲人、和田みつひと、池田光宏、中村哲也、石塚隆則、笠原出、笛田亜希、元木孝美、渡部裕二、オノマサキ、村田朋泰、イチハラヒロコ、小室千帆、開発好明、鈴木りんいち〔壱〕、千田美弥子、成清美朝、Artless Art、カン・バッジ・プロジェクト、大谷健二、青木淳、日埜直彦、アトリエ・ワン〔図版収載順〕

「カフェ・イン・水戸 2004」記録集

水戸芸術館現代美術センター　2004 年 10 月 23 日　展覧会資料第 64 号

図版〔関連イベント〕 pp.2-9, 129-144

「カフェ・イン・水戸 2004」参加者記録　pp.10-11

図版〔展示風景、解説〕pp.16-49, 58-88, 94-99　英文併載

カフェ・イン・水戸 2004－「街とアートと人を結ぶ」コミュニケーション（逢坂恵理子）
pp.50-53, 54-57　英文併載

リノベーション・プロジェクト（森司、高橋瑞木、窪田研二） pp.89-93
「水戸再発見」への実践的アプローチ――3 つのアート・リノベーション・モデル（森司）

マップ、グッズ　pp.100-104

作品解説＋作品データ（森司、窪田研二、逢坂恵理子、高橋瑞木、浅井俊裕） pp.105-115

関連企画／アートワークスギャラリー（福島文） p.116

作家略歴　pp.117-123

参加者の声　pp.124-126

ボランティア　p.127

主要報道記録　p.128

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項〔ハンドブックに同じ〕

北の彫刻展 2004〈新しい具象〉●

札幌彫刻美術館　2004 年 8 月

ごあいさつ（札幌彫刻美術館） p.3

北の彫刻展 2004〈新しい具象〉（井上みどり） pp.4-6

出品作家〔一覧〕 p.7

図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.8-33
〔作家のことば〕（伊藤三千代、岡部亮、笠原昌子、川上加奈、椎名澄子、野又圭司、野村裕之、伴翼）

出品リスト　p.34

所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2004 “Towards New Figure”」

会期：2004 年 8 月 27 日－10 月 11 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：伊藤三千代、岡部亮、笠原昌子、川上加奈、椎名澄子、野又圭司、野村裕之、伴翼〔出品リスト順〕

イン・ベッド〈生命の美術〉●

豊田市美術館　2004 年 10 月　英文併載

ごあいさつ（館長寺光彦）　pp.6, 7

なぜ、「イン・ベッド」なのか（青木正弘）　pp.8-11, 12-15

イン・ベッド（ステファン・クーラー）　pp.16-17, 18-19

ベッド（アマル・デュンクル）　pp.20, 21

しんだい（多和田葉子）　pp.26---122

図版〔作家解説、図版〕　pp.25-125

作家解説（ステファン・クーラー、坂上しのぶ、吉竹彩子）

経歴・文献（坂上しのぶ編）　pp.127-136, 137-144

出品リスト　pp.145-150

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「IN BED-Images from a Vital Stage」

会期：2004 年 10 月 5 日－12 月 26 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：ジョルジュ・アデアグボ、荒木経惟、ヨーゼフ・ボイス、クリスチャン・ボルタンスキー、ジェームズ・リー・バイヤース、ソフィ・カル、ピエル・パオロ・カルツォラーリ、マルレーネ・デュマス、ナン・ゴールディン、井田照一、河原温、ウィリアム・ケントリッジ、イヴ・クライン、倉俣史朗、草間彌生、松澤宥、ロン・ミュエク、シリン・ネシャット、オノ・ヨーコ、パブロ・ピカソ、アルヌルフ・ライナー、ビル・ヴィオラ〔出品リスト順〕

21 世紀の出会い－共鳴、ここ・から 展覧会ガイド ●

金沢 21 世紀美術館　2004 年 10 月 9 日　開館記念展

あいさつ（館長蓑豊）　pp.4, 5　英文併載

「21 世紀の出会い－共鳴、ここ・から」展によせて（長谷川祐子）　pp.10-12, 13-15　英文併載

展覧会マップ　p.16

図版〔図版、作品解説〕　pp.17-115

〔作品解説〕（村田大輔、長谷川祐子、大橋浩美、吉岡恵美子、越前俊也、鷲田めるろ、木村健、黒沢伸、北出智恵子）

作家紹介　pp.121-165

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Encounters in the 21st Century：Polyphony－Emerging Resonances」
会期：2004 年 10 月 9 日－2005 年 3 月 21 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館
出品：A-POC(三宅一生＋藤原大)、できやよい、藤浩志、藤幡正樹＋銅金裕司、石渡誠、川崎和男、須田悦弘、山本基、ヤノベケンジ、横山宏〔図版収載順〕
註：出品欄は日本作家を収載。
○関連書籍
21 世紀の出会い――共鳴、ここ・から　　企画：金沢 21 世紀美術館
淡交社　2004 年 10 月 28 日
序――生活の中の美術（蓑豊）　pp.6-9
I 部
破滅の進行（ポール・ヴィリリオ）　pp.12-23
ポリフォニー（長谷川祐子）　pp.24-47
図版　pp.49-96
II 部
抽象概念の宇宙的な具象化――オロスコの写真作品（ベンジャミン・H.D.ブクロー）　pp.98-112
ブラジル／視点（パウロ・エルケンホフ）　pp.113-132
新しい〈共有〉の可能性――都市・建築・アートの試み（ハンス＝ウルリッヒ・オブリスト）　pp.133-141
映像の中へ――私たちと同時代の美術がもつ可能性（住友文彦）　pp.142-155
手仕事――美術における盲目性、もしくは人間の条件（北澤憲昭）　pp.156-164
III 部
往復書簡（リクリット・ティラヴァーニャ＋中沢新一）　pp.166-174
鼎談（フランソワ・ロッシュ＋妹島和世＋西沢立衛）　pp.175-184
インタヴュー（マシュー・バーニー、聞き手・長谷川祐子）　pp.185-193
執筆者紹介　pp.194-196
註：編集は長谷川祐子、鷲田めるろ、村田大輔。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

「パフォーミング・アートの世界」展〈多様化した現代美術の表現〉開催記録 ●
鹿児島県霧島アートの森　2005 年 2 月
パフォーマンスタイムテーブル　見返し
開催概要　p.1
図版〔解説、主な経歴、図版〕　pp.2-17
註：編集は林耕二。
所蔵：□、国新美、東近美
○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 10 月 9 日－31 日　鹿児島県霧島アートの森　主催：鹿児島県文化振興財団

出品：参加アーティスト；東京モダンアート娘、グルテン・スメリー、KATHY

ART TODAY 2004 図録 ●

セゾン現代美術館　2004 年 10 月 9 日

メッセージ（館長難波英夫）　p.3

図版〔図版、作家のことば〕　pp.4-52

〔作家のことば〕（山本晶、斎藤ちさと、すがわらきよみ）

作家略歴　pp.54-56

作品リスト　pp.57-59

所蔵：□、国新美、都現美、和光大

○展覧会事項

会期：2004 年 10 月 9 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館

出品：山本晶、斎藤ちさと、すがわらきよみ〔作品リスト順〕

現代彫刻の歩み IV モノつくりの逆襲 ●

神奈川芸術文化財団　2004 年 10 月 16 日　第 11 回神奈川国際芸術フェスティバル・神奈川県民ホール開館 30 周年記念

ごあいさつ（芸術総監督一柳慧）　pp.4-5

モノつくりの逆襲にみる日本の心、魂の原風景（石井太）　pp.8-15

図版〔章解説、作家解説、図版〕　pp.17-129

作家略歴　pp.130-133

出品目録　pp.134-141

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CREATION COUNTERATTACK」

会期：2004 年 10 月 16 日－11 月 27 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

出品：彫刻；細川宗英、山本正道、三澤憲司、籔内佐斗司、太郎千恵藏、杉浦康益、西村盛雄、塩﨑由美子、古郡弘、西雅秋、岡崎和郎、野村和弘。人形；平田郷陽、野口園生。大魔神；角川大映撮影所。フィギュア；香川雅彦、榎木ともひで、香川雅彦(重)、榎木ともひで(重)、大嶋優木、竹谷隆之、山口隆、鬼木祐二、谷口順一、藤岡ユキオ、五島純、藤岡ユキオ(重)、竹谷隆之(重)、四角壱門、東海村原八、村田明玄、松村しのぶ、田熊勝夫、松本栄一郎、山本聖士、木下隆志、菅谷中、松本栄一郎(重)、田熊勝夫(重)、山本聖士(重)、山口勝久、寺岡邦明、田熊勝夫(重)、木下隆志(重)、松本栄一郎(重)、谷明。彩色；楳田哲也、古田悟郎、清水ゆう子。ガレージキット；香川雅彦(重)、ボーメ〔BOME〕〔出品目録順〕

20 世紀美術にみる人間展 鑑賞ガイド ●

三重県立美術館協力会　2004 年 10 月　愛知・岐阜・三重 三重県立美術館協同企画
あいさつ（三重県立美術館・愛知県美術館・岐阜県美術館） p.3
「20 世紀美術にみる人間展」について（毛利伊知郎） pp.5-7
図版〔章解説、図版〕 pp.9-48
美術館のコレクションとは（村田真宏） pp.50-51
作家略歴　pp.52-59
出品作品リスト　pp.60-64
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2004 年 10 月 23 日－12 月 12 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・愛知県美術館・岐阜県美術館
出品：佐藤忠良、鳥海青児、森芳雄、本郷新、舟越保武、麻生三郎、小山田二郎、福沢一郎、中村正義、山口薫、桂ゆき、脇田和〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

第 19 回平行芸術展 彫刻は自分の半身を取り戻す ●
多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース　2005 年 1 月 7 日
彫刻は「関係」からの超出を志向する（峯村敏明） pp.1-6
図版　pp.7-23
〔作家略歴、作家のことば〕 pp.24-28
〔作家のことば〕（大森博之、川島亮子、金智仁、水上嘉久、増田克史）
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「The 19th Exhibition of Parallelism in Art “Sculpture Taking Back Its Own Shadow”」
会期：2004 年 11 月 1 日－13 日　南青山・小原流会館 1 階／エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流
出品：大森博之、川島亮子、金智仁、水上嘉久、増田克史〔図版収載順〕

マルセル・デュシャンと 20 世紀美術 ●
朝日新聞社　2004 年 11 月
ごあいさつ（主催者） pp.10, 11　英文併載
ブラインド・マンの虚勢（マイケル・R・テーラー） pp.12-23, 206-213　英文併載
デュシャンのミュンヘン滞在（河合哲夫） pp.24-30, 216-217　英文併載
ノートのマルセル・デュシャン、蝶番の思索者（北山研二） pp.32-39, 218-222　英文併載
図版〔章解説、図版、作家解説〕 pp.41-185
章解説、作家解説（平芳幸浩）
鏡の送り返し――デュシャン以降の芸術（平芳幸浩）

マルセル・デュシャン関連年譜（橋本梓・濱田真由美編） pp.186-189
マルセル・デュシャン主要参考文献リスト（濱田真由美編） pp.191-193
マルセル・デュシャン主要展覧会歴（濱田真由美編） pp.194-195
作品リスト pp.196-199, 200-204 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Marcel Duchamp and the 20th Century Art」
会期：2004 年 11 月 3 日－12 月 19 日 大阪・国立国際美術館 主催：国立国際美術館・朝日新聞社・朝日放送／2005 年 1 月 5 日－3 月 21 日 横浜美術館 主催：横浜美術館・朝日新聞社・神奈川新聞社・テレビ神奈川
出品：第 1 部；マルセル・デュシャン。第 2 部；荒川修作、藤本由紀夫、菊畑茂久馬、久保田成子、工藤哲巳、森村泰昌、岡崎和郎、篠原有司男、瀧口修造、横尾忠則、吉村益信〔作品リスト順〕
註：出品欄は第 2 部の日本作家を収載。

痕跡――戦後美術における身体と思考 ●
京都国立近代美術館 2004 年 11 月
ごあいさつ（主催者） pp.2, 3 英文併載
痕跡―苛酷なる現実としての美術（尾崎信一郎） pp.8-27, 310-327 英文併載
イメージ――航跡（ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン） pp.28-38, 328-336 和文・仏文
指標と似せもの（リチャード・シフ） pp.39-47, 337-343 和文・英文
超過とプロセス――ウィーン・アクショニズム（フーベルト・クロッカー） 和文・欧文
図版〔章解説、図版、作品解説、文献再録〕 pp.57-281
章解説、作品解説（尾崎信一郎）
作品リスト pp.284-287, 288-291 英文併載
作家解説 pp.292-301
関係年表（尾崎信一郎編） pp.302-309
註：作品リストには収載されているソル・ルウィットは作家解説には見当たらない。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東芸大、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TRACES：Body and Idea in Contemporary Art」
会期：2004 年 11 月 9 日－12 月 19 日 京都国立近代美術館／2005 年 1 月 12 日－2 月 27 日 竹橋・東京国立近代美術館 主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館
出品：1.表面；ジャクソン・ポロック、ルーチョ・フォンタナ、アルベルト・ブッリ、ロバート・モリス、イヴ・クライン、嶋本昭三、吉田稔郎、村上三郎、斎藤義重、山内重太郎、李禹煥。2.行為；ヴィレム・デ・クーニング、ジョルジュ・マチウ、ロバート・モリス(重)、イヴ・クライン(重)、オットー・ミュール、ギュンター・ブルス、リチャード・セラ、嶋本昭三

(重)、白髪一雄、村上三郎(重)、金山明、鷲見康夫、篠原有司男、関根伸夫。3.身体；イヴ・クライン(重)、ロバート・ラウシェンバーグ＆スーザン・ウエイル、ロバート・ラウシェンバーグ(重)、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・モリス(重)、ヘルマン・ニッチ、アンディ・ウォーホル、アナ・メンディエッタ、マリーナ・アブラモヴィッチ、デニス・オッペンハイム、ヴィトー・アコンチ、ルドルフ・シュワルツコグラー、白髪一雄(重)、中西夏之、榎忠。4.物質；ルドルフ・シュワルツコグラー(重)、吉原治良、吉田稔郎(重)、石橋泰幸、桜井孝身、尾花成春、白髪富士子、吉村益信。5.破壊；オットー・ミュール(重)、アルマン、サイ・トゥオンブリー、ジム・ダイン、バリー・ル・ヴァ、村上三郎(重)、嶋本昭三(重)、高松次郎、山崎つる子、向井修二。6.転写；ロバート・ラウシェンバーグ(重)＆ジョン・ケージ、ロバート・ラウシェンバーグ(重)、ジャスパー・ジョーンズ(重)、ロバート・モリス(重)、メル・ボックナー、高松次郎(重)、北辻良央、榎倉康二、中西夏之(重) 、北辻良央(重)、榎倉康二(重)、中西夏之(重)。7.時間；デニス・オッペンハイム(重)、ロバート・スミッソン、リチャード・ロング、マリーナ・アブラモヴィッチ(重)＆ウーライ、田中敦子、高松次郎(重)、榎倉康二(重)、成田克彦、野村仁、河口龍夫、文承根。8.思考；ローマン・オパルカ、ソル・ルウィット、メル・ボックナー(重)、狗巻賢二、辰野登恵子、沢居曜子、野村仁(重)〔作品リスト順〕

文化庁主催第 38 回現代美術選抜展図録 ●

〔文化庁〕 2004 年 11 月

ごあいさつ（文化庁長官河合隼雄） p.3

図版〔図版、作家略歴、作家のことば〕 pp.5-45

第 38 回現代美術選抜展開催要項 p.46

出品団体及び出品可能点数 p.46

〔出品団体系図〕 p.47

所蔵：□、国新美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：岩手展；2004 年 11 月 13 日－28 日 盛岡・岩手県立美術館 主催：文化庁・岩手県教育委員会・岩手県立美術館／岡山展；2005 年 1 月 8 日－23 日 高梁市歴史美術館 主催：文化庁・岡山県・高梁市・高梁市教育委員会・高梁市歴史美術館／岐阜展；2 月 5 日－27 日 大垣市スイトピアセンターアートギャラリー 主催：文化庁・岐阜県教育委員会・大垣市・大垣市教育委員会

出品：日本画；福井江太郎、長沢明。洋画；小山利枝子、野田裕示。版画；黒木美希、馬場知子。彫刻；土屋公雄〔図版収載順〕

註：出品欄は文化庁買上げ作品の作家のみ収載。

フルクサス展――芸術から日常へ ●

うらわ美術館 2004 年 11 月 付・地図 1 枚(片面刷) 開館 5 周年記念

ごあいさつ（館長坂本満） p.4 英文併載

PREFACE p.5 英文

展覧会にあたって（吉本麻美） pp.6-8

図版〔図版、作品データ、コメント〕 pp.9-100
コメント（吉本麻美）
座談会 フルクサス・ユニバース（秋山邦晴、靉嘔、塩見允枝子） pp.101-138, 139-179 再録
アーティスト・マップ（吉本麻美編） pp.180-194
関連年表（吉本麻美編） pp.195-214
アーティスト・リスト pp.216-217
主要参考文献 pp.218-219
作家別索引 pp.220-223
作品別索引 pp.224-225
註：図版ページはフルクサス・エディション、リフルックス・エディション、フルクサス関連作家の作品資料から概ね構成されている。なお、編集は吉本麻美、森田一。
□地図〔片面刷 1 枚〕
FLUXUS-event map 1958-1978
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Fluxus-Art into Life」
会期：2004 年 11 月 20 日－2005 年 2 月 20 日 うらわ美術館 主催：うらわ美術館
出品：靉嘔、ハイレッド・センター、和泉達、久保田成子、オノ・ヨーコ、斉藤陽子、塩見允枝子〔作家別索引順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

「Have We Met?－見知らぬ君へ」展カタログ ●
国際交流基金 2004 年 12 月 主に英文併載
ごあいさつ（国際交流基金） pp.4, 5
親愛なるアジアへ――どこかでお会いした□とがありますか?（河野晴子） pp.9-11, 12-14
私たちはすでに出会っているのだろうか?それぞれの物語は語り合えたのだろうか?そして、互いに恋に落ちるのだろうか?（プージャ・スード） pp.15-19, 20-24
図版〔解説、図版〕 pp.25-53
〔解説、ことば〕（クリシナラージ・チョナトゥ、プージャ・スード、アナント・ジョシ、河野晴子、アデ・ダルマワン、プラープダー・ユン、キラン・スッビア、ヘマ・ウパッデァヤエ）
Knots not notes――思考の破片（アデ・ダルマワン） pp.54-57, 58-61
ぼくの同時代人たちはすべて空港にいる（プラープダー・ユン） pp.62-63, 64-65
出品作家略歴 pp.67-75
註：編集は古市保子。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項

欧文タイトル：「Have We Met? Catalog」
会期：2004 年 12 月 11 日－2005 年 1 月 30 日　赤坂・国際交流基金フォーラム　主催：国際交流基金
出品：クリシナラージ・チョナトゥ、アナント・ジョシ、小林洋子、ルディ・マントファニ、森弘治、名和晃平、エコ・ヌグロボ、ウィット・ピムカンチャナポン、シギット・ピウス、アングン・プリアンボド、ポーンタウィーサック・リムサクン、さわひらき、キラン・スッビア、ヘマ・ウパッデァヤエ〔図版収載順〕

第 2 回府中ビエンナーレー来るべき世界に〈アーティスト 8 人のコミュニケーション行為がひらく未来〉●
府中市美術館　2005 年 1 月　主に英文併載
ごあいさつ（館長本江邦夫）　pp.6, 7
来るべき世界にーアートによるコミュニケーション行為の可能性（武居利史）　pp.9-19, 87-97
境界について（本江邦夫）　pp.20-23, 99-102
図版〔作家コメント、図版〕　pp.25-69
作家コメント（照屋勇賢、石川雷太、磯崎道佳、安岐理加、池田光宏、増山麗奈、河田政樹、田中陽明）
GREEN-NET SCAPE project（田中陽明）　pp.70-72
資料〔作家略歴・参考文献〕（神山亮子編）　pp.73-81
作品リスト　pp.82-83, 84-85
関連企画　p.86
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、N
○展覧会事項
欧文タイトル：「The 2nd Fuchu Biennial 2004－For the World to Come－」
会期：2004 年 12 月 11 日－2005 年 2 月 27 日　府中市美術館　主催：府中市美術館
出品：照屋勇賢、石川雷太、磯崎道佳、安岐理加、池田光宏、増山麗奈、河田政樹、田中陽明〔作品リスト順〕

松澤宥と九つの柱〈九相の未来 パーリ―・ニルヴァーナに向かって〉●
広島市現代美術館　2005 年 1 月
はじめに　p.2
九つの柱によせて（小倉正史）　p.3
展示プラン　p.4
展示会場　p.5
パフォーマンス　pp.6-7
図版〔図版、作家のことば〕　pp.9-36
作家略歴　pp.37-42
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項

欧文タイトル：「“YUTAKA MATSUZAWA and NINE PILLARS” The Future of Nine Aspects：Towards the Parinirvana」
会期：2004 年 12 月 18 日－2005 年 1 月 23 日　広島市現代美術館ミュージアム・スタジオ
主催：広島市現代美術館・「松澤宥と九つの柱」BOX アート実行委員会
出品：松澤宥、植田信隆、能勢伊勢雄、新見隆、佐倉密、中ザワヒデキ、宗田光一、伊丹裕、米谷栄一、平岡雅之、根本寿幸、長澤章生、小倉正史、小坂真夕、若江漢字、岡崎泰弘、清家新一、水上旬、赤土類、小林起一、河津紘、春原敏之、小野和則、たべ・けんぞう、木倶知のりこ、春山清、黒田康夫、黒田典子〔図版収載順〕

アーキラボ 建築・都市・アートの新たな実験 1950-2005 ●
森美術館　2004 年 12 月 20 日
ごあいさつ（森佳子、デヴィッド・エリオット）　p.3
建築とアートを巡る断章・序論にかえて（南條史生）　pp.8-12
サントル地域現代芸術振興基金〈実験的な収集について〉（マリー＝アンジュ・ブレイエ）　pp.13-17
図版〔章解説、解説、図版、建築家解説＋作品解説、論考〕　pp.19-306
近代建築の「機械」――「アルターエゴ」そして／あるいは「イド」としての（八束はじめ）　pp.122-128
ラディカル運動（アンドレア・ブランツィ）　pp.193-200
ノンスタンダードの秩序（フレデリック・ミゲルー）　pp.307-319
機械ホールにて（クリスチャン・ジラール）　pp.320-330
黒への復帰（マーク・ウィグリー）　pp.331-335
近代以降の革命とユートピア（五十嵐太郎）　pp.336-342
作品リスト　pp.343-367
執筆者紹介　pp.368-369
註：編集は森田伸子、南條史生。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ARCHILAB　NEW EXPERIMENTS IN ARCHITECTURE, ART AND THE CITY, 1950-2005」
会期：2004 年 12 月 21 日－2005 年 3 月 13 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・サントル地域現代芸術振興基金・読売新聞東京本社
出品：阿部仁史、安藤忠雄、青木淳、坂茂、遠藤秀平、長谷川逸子、磯崎新、伊東豊雄、菊竹清訓、隈研吾、黒川紀章、槇文彦、タエグ・ニシモト、丹下健三、渡辺誠、山下秀之、葉祥栄〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本の建築家を収載。

2005（平成 17）年
MOT アニュアル 2005 愛と孤独、そして笑い ●

東京都現代美術館　2005 年 1 月　英文併載
ごあいさつ（東京都現代美術館）　pp.5, 7
愛と孤独、そして笑い――シビアな〈今〉を生きるために（笠原美智子）　pp.10-27, 151-160
カタログ〔図版〕　pp.29-111
〔作家のことば〕（溝口彰子）
作家略歴・Biography・主要文献　pp.114-125, 126-135, 136-146　和文・英文
出品リスト　pp.147-150
註：編集は笠原美智子、米崎清実。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、和光大、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「mot annual 2005　life actually」
会期：2005 年 1 月 15 日－3 月 21 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館
出品：イケムラレイコ、綿引展子、岡田裕子、出光真子、嶋田美子、澤田知子、イチハラヒロコ、溝口彰子 O.I.C.、鴻池朋子、オノデラユキ〔出品リスト順〕

DOMANI・明日展 2005 図録 ●
文化庁・読売新聞東京本社　2005 年 1 月
ごあいさつ（主催者）　p.3
「DOMANI・明日」展 2005 開催にあたり（判治佐江子）　p.4
在外研修制度(新進芸術家海外留学制度)について　p.5
図版〔作家略歴、図版、コメント、作家解説〕　pp.7-43
コメント、作家解説（佐藤杏子、山本麻友香、判治佐江子、筆塚稔尚、吉川直哉、大島成己、宮下マキ、渋谷和良、綿引明浩）
出品作品リスト　pp.45-47
註：この回から「DOMANI」に「ドマーニ あす」とルビが付される。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
展名：未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2005〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2005 年 1 月 21 日－2 月 24 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社
出品：佐藤杏子、山本麻友香、判治佐江子、筆塚稔尚、吉川直哉、大島成己、宮下マキ、渋谷和良、綿引明浩〔出品作品リスト順〕

アニメイト。〈日韓現代アートに見るアニメ的なもの〉 ●
ナンジョウアンドアソシエイツ　2005 年 2 月
ごあいさつ（主催者）　p.2　英文併載
図版〔図版、作家解説〕　pp.3-35

作家年譜　p.36　英文
韓国現代美術における漫画への新しい取組み（パク・シンウィ）　pp.38-39　英文併載
Animate。（北澤ひろみ）　pp.40-43　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Animate。ANIME in Japanese and Korean Contemporary Art」
会期：2005 年 2 月 3 日－3 月 29 日　福岡アジア美術館　主催：福岡アジア美術館／9 月 8 日－10 月 30 日　ソウル・省谷美術館
出品：西山美なコ、会田誠、青木陵子＋伊藤存〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

瀧口修造 夢の漂流物 ●
世田谷美術館・富山県立近代美術館　2005 年 2 月
ごあいさつ（世田谷美術館・富山県立近代美術館）pp.6-7
白紙の周辺（瀧口修造）pp.14-15　再録
物々控（瀧口修造）pp.18-21　再録
「瀧口修造 夢の漂流物」展に寄せて（酒井忠康）pp.24-29
瀧口修造 夢の漂流物展 出品作品図版　pp.33-147
　章解説（稲塚展子・麻生恵子・野田尚稔・杉山悦子）
参考図版　pp.148-160
瀧口修造 夢の漂流物展 テクスト
　瀧口修造と時代――「昭和の日本」という現実のなかで（小沢節子）pp.162-171
　窓辺の邂逅――瀧口修造とアンドレ・ブルトン（谷昌親）pp.172-182
　「絶対」探究者の非望――『瀧口修造の詩的実験 1927～1937』における言語意識（林浩平）pp.183-188
　『近代芸術』――批評の契機としての（林道郎）pp.189-194
　瀧口修造と前衛美術――新しい芸術を育む場をめぐる態度とその変容（藤井亜紀）pp.195-201
　サイナジー＝瀧口修造と実験工房――永続する創造の絆（手塚美和子）pp.202-208
　物質の夢――瀧口修造と前衛写真（高島直之）pp.209-213
　瀧口修造と映画――P・C・L 映画製作所から美術映画「北斎」へ（矢野進）pp.214-220
　瀧口修造と作曲家――音楽にみる夢のかたち（小沼純一）pp.221-225
　「この狂おしい美貌の青空」――瀧口修造と土方巽（國吉和子）pp.226-231
　デザインへのまなざし――美術という場所から（稲塚展子）pp.232-237
　瀧口修造とコラボレーション――ジョアン・ミロ、マルセル・デュシャンと（野田尚稔）pp.238-243
　ある疑問符――瀧口修造の「造形的実験」（光田由里）pp.244-251
　透明な部屋――瀧口修造の「オブジェの店」を開く構想の余白に（土渕信彦）pp.252-263
　慶應義塾大学アート・センター――瀧口修造アーカイヴから（笠井裕之）pp.264-270

西落合の書斎からの漂着物――多摩美術大学図書館・瀧口修造文庫（恩蔵昇）pp.271-276
謎を残したままの、夢の漂流物――富山県立近代美術館の瀧口修造コレクション（杉野秀樹）pp.277-285
瀧口修造という場――その存在が意味するところ（杉山悦子）pp.286-299
瀧口修造 夢の漂流物展 資料編（I）
瀧口修造略年譜（野田尚稔・杉山悦子編）pp.302-305
瀧口修造クロニクル――写真資料による（野田尚稔編）pp.306-315
瀧口修造による「作家の横顔」（土渕信彦編）pp.316-342
出品作家略歴（稲塚展子・杉野秀樹編）pp.344-361
出品作品目録　pp.〔8〕-〔25〕
瀧口修造 夢の漂流物展 資料編（II）
タケミヤ画廊で開催された展覧会の記録（中島理壽編）pp.〔28〕-〔43〕
アクロスティック詩とリバティ・パスポート（土渕信彦編）pp.〔44〕-〔48〕
「瀧口修造：夢の漂流物」参考文献（土渕信彦編）pp.〔49〕-〔57〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Drifting Objects of Dreams：The Collection of Shuzo Takiguchi」
会期：2005 年 2 月 5 日－4 月 10 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館／5 月 28 日－7 月 3 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送　協力：慶應義塾大学アート・センター・多摩美術大学図書館
出品：富山県立近代美術館瀧口修造コレクション国内作家；靉嘔、赤瀬川原平、阿部展也、荒川修作、池田龍雄、池田満寿夫、富岡多恵子、泉茂、磯崎新、出光孝子、伊藤隆康、今井滋、今井俊満、上野紀子、中江嘉男、漆原英子、瑛九、大島加津子、岡崎和郎、小野洋子、オノサト・トシノブ、小山田二郎、小山田チカエ、橿尾正次、加藤太郎、加納光於、大岡信、河原温、菊畑茂久馬、北川民次、北代省三、北脇昇、木下新、木村直道、草間彌生、工藤哲巳、合田佐和子、駒井哲郎、小牧源太郎、桜井孝身、佐藤慶次郎、篠原有司男、篠原佳尾、鈴木亘、高松次郎、武満徹、多田美波、田中敦子、田中孝道、たべ・けんぞう、ヨシダ・ヨシエ、坪内一忠、鶴岡政男、堂本尚郎、利根山光人、中川幸夫、中辻悦子、中西夏之、流政之、名坂有子、新倉喜作、西脇順三郎、飯田善國、野地正記、野中ユリ、浜口陽三、浜田知明、浜田浜雄、原田敬一郎、平岡弘子、平沢淑子、福田繁雄、藤田昭子、藤松博、藤山ハン、前田常作、松澤宥、三木敏弘、三木富雄、宮城輝夫、宮脇愛子、幸美奈子、森正洋、山口勝弘、吉仲太造、吉村益信、四谷シモン、金子國義、川井昭一。富山県立近代美術館瀧口修造コレクション瀧口修造作品；瀧口修造。慶應義塾大学所蔵作品；瀧口修造。多摩美術大学図書館瀧口修造文庫所蔵作品；瀧口修造、阿部展也、北代省三、山口勝弘、加納光於、横尾忠則、土方巽、田中一光。瀧口修造旧蔵(個人蔵)作品；草間彌生、菅井汲、武満徹、西脇順三郎、瀧口修造。参考出品作品；阿部展也、安齊重男、出光孝子、大辻清司、岡上淑子、北代省三、草間彌生、駒井哲郎、高梨豊、難波田龍起、西脇順三郎、福島秀子、前田常作、三木富雄、

村井正誠、山口勝弘、横尾忠則、瀧口修造、東野芳明、中江嘉男〔出品作品目録順〕

木彫から立体造形へ〈1960 年の新人たち〉●

三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー　2005 年 2 月 5 日

ごあいさつ（三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー）　p.3

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.6-85

作家のことば（豊福知徳、江口週、田中栄作、最上壽之）

「1960 年の新人たち」（富田智子）　pp.86-89

関連事項年表　pp.90-94

出品リスト　p.95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 5 日－3 月 21 日　三鷹市美術ギャラリー、三鷹市芸術文化センター・アートスタジオ　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー、協力：東京画廊

出品：豊福知徳、江口週、田中栄作、最上壽之〔出品リスト順〕

「戦後美術と下関」図録 ●

下関市立美術館　2005 年 2 月

ごあいさつ（下関市立美術館）　p.3

図版　pp.5-38

下関洋画連盟結成の頃まで（赤﨑君美）　pp.40-41　加筆再録

下関戦後美術の光彩管見〈戦争をくぐってきた画家たち〉（武部忠夫）　pp.42-43　加筆再録

下関の戦後美術(洋画篇)（濱本聰）　pp.44-46

エピソード 漫画少年の描いた虹の放物線〈戦後に芽生えた長府版トキワ荘の夢〉（潤）　p.47

下関戦後美術略年表　p.48

戦後日本美術略史　p.49

所蔵品による戦後日本の美術(抜粋)〔参考図版〕　pp.50-51

作家略歴　pp.52-53

作品リスト　pp.54-55

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 9 日－3 月 21 日　下関市立美術館　主催：下関市立美術館

出品：香月泰男、森掬生、植木茂、矢部桂一郎、阿山勇祐、赤﨑義人、名井玲、山本新蔵、有馬周三、赤﨑君美、椿義則、金森修、古舘充臣、三輪享良〔作品リスト順〕

現代美術の手法(7)　「創造のさなかに」展 参考資料集 ●

練馬区立美術館　2005 年 2 月 19 日

ごあいさつ（館長永田誠）　p.2

「観賞と創造の追っかけっこ」－「創造のさなかに」展開催をめぐって（横山勝彦）　pp.3-4

図版　pp.5-53

作家略歴、図版　pp.54-77

図版リスト　pp.78-82

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 19 日－3 月 31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：荻太郎、岡崎乾二郎、建畠覚造、青木野枝、吉田亜世美、井上尚子〔図版リスト順〕

現代美術の手法(7) 「創造のさなかに」展 図録

練馬区立美術館　2005 年 3 月 23 日

ごあいさつ（館長永田誠） p.1

図版　pp.2-45

出品リスト　pp.46-48

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

○展覧会事項〔参考資料集に同じ〕

今日の作家展 2005 私をひらく美術〈4 人の作家によるワークショップと展示〉●

横浜市民ギャラリー　2005 年 2 月　1 枚(二ツ折両面刷)　第 38 回今日の作家展

Exhibition 展覧会情報

図版〔作家略歴、図版、個展会場風景〕 9 図

Workshop ワークショップ講座案内

所蔵：□、国新美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 2 月 25 日－3 月 20 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：天利道子、内海信彦、川田祐子、山本直彰〔図版収載順〕

川田祐子〈今日の作家展 2005 私をひらく美術 展示とワークショップ〉

〔川田祐子〕　2005 年 4 月 20 日　英文併載

図版〔図版、作品リスト〕 8 図

展示とワークショップそして制作――琴線を爪弾くように（川田祐子）

作家略歴 川田祐子

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、和光大

○展覧会事項〔上記に同じ〕

現代版画の潮流展図録 ●

現代版画の潮流展開催実行委員会　2005 年 2 月 27 日

版画年 04～05 特別企画 現代版画の潮流展 開催にあたって（中林忠良）p.5

現代版画のナショナルとは…考（米倉守）pp.6-8

現代日本版画レポート〈問題提起、歴史、教育〉（滝沢恭司）pp.9-11

図版〔図版、作家のことば〕pp.13-99

作家のことば（第一世代；萩原英雄、深沢幸雄、吹田文明、天野邦弘、高橋秀、吉原英雄。第二世代；小作青史、松本旻、黒崎彰、中林忠良、中馬泰文、清塚紀子、長岡国人、野田哲也、柳澤紀子、磯見輝夫、田村文雄、森野眞弓、上矢津、原健、小林敬生、池田良二、坪田政彦、永井研治、松川幸寛、渡辺達正、東谷武美、安東菜々、一圓達夫、河内成幸、木村秀樹、田中孝、村上文生、天野純治、有地好登、中路規夫、園山晴巳、北野敏美、小山愛人、馬場章、武蔵篤彦、出原司。第三世代；岸中延年、片山雅史、山口純寛、若月公平、木村繁之、西村正幸、筆塚稔尚、平木美鶴、吉田亜世美、遠藤竜太、木下恵介、倉地比沙支、長尾浩幸、濱田弘明、生嶋順理、岩切裕子、古谷博子、清水美三子、平井素子、笹井祐子、高浜利也、田島直樹、奥山直人、武田律子、佐竹邦子、森田力、大矢雅章、吉岡俊直、大塩紗永、根岸陽子、松尾明子）

資料

略歴・指導歴　pp.102-117

出品リスト・索引　pp.118-123

所蔵：□、国新美、東近美、都現美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Current of the Contemporary prints」

会期：2005 年 2 月 26 日－3 月 27 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館・大学版画学会・現代版画の潮流展開催実行委員会／6 月 11 日－7 月 10 日　松本市美術館　主催：松本市美術館・大学版画学会・現代版画の潮流展開催実行委員会

出品：第一世代；瑛九、萩原英雄、北岡文雄、駒井哲郎、泉茂、深沢幸雄、吹田文明、吉田穂高、天野邦弘、高橋秀、吉原英雄、池田満寿夫。第二世代；小作青史、松本旻、黒崎彰、中林忠良、中馬泰文、清塚紀子、長岡国人、野田哲也、柳澤紀子、磯見輝夫、田村文雄、森野眞弓、上矢津、原健、吉田克朗、小林敬生、池田良二、坪田政彦、永井研治、松川幸寛、渡辺達正、東谷武美、安東菜々、一圓達夫、河内成幸、木村秀樹、田中孝、村上文生、天野純治、有地好登、中路規夫、北野敏美、小山愛人、園山晴巳、馬場章、武蔵篤彦、出原司。第三世代；岸中延年、片山雅史、山口純寛、若月公平、木村繁之、西村正幸、筆塚稔尚、平木美鶴、吉田亜世美、遠藤竜太、木下恵介、倉地比沙支、長尾浩幸、濱田弘明、生嶋順理、岩切裕子、古谷博子、清水美三子、平井素子、笹井祐子、高浜利也、田島直樹、奥山直人、武田律子、佐竹邦子、森田力、大矢雅章、吉岡俊直、大塩紗永、根岸陽子、松尾明子〔図版収載順〕

風景遊歩 Sight-cruising ●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団　2005 年 3 月　主に英文併載　付・DVD1 枚

あいさつ（主催者）　pp.4, 5

あたらしい風景〈その先へとみちびくもの〉（松村円）　pp.8-9, 12-13

みえない風景〈見えることと見えないこと〉（中田耕市）　pp.10-11, 14-15

参考文献　p.16

図版〔図版、作品解説、作家のことば〕 pp.17-63

〔作家のことば〕（ソフィ・カル、小野博）

出品作家略歴 pp.65-78

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Cruising Landscapes」

会期：2005 年 3 月 13 日－6 月 12 日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

出品：あたらしい風景；高橋信行、香月泰男、牛島憲之、畠山直哉、秋岡美帆、野村仁、猪熊弦一郎、福岡道雄、柳幸典、やなぎみわ、曽根裕。見えない風景；高木正勝、中川幸夫、大岩オスカール幸男、アルフレッド・ジャー、ソフィ・カル、藤本由紀夫、小林孝亘、野口里佳、会田誠、小野博〔図版収載順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

VOCA 展 2005「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館 2005 年 3 月 英文併載

「VOCA 展 2005」開催にあたって（主催者） p.3

「VOCA 展 2005」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.5

〔授賞者、選考委員〕 pp.7, 99

〔選考評〕（酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、天野一夫、塩田純一、松井みどり） pp.8-12, 100-104

〔出品作家、推薦委員〕 pp.13, 105

図版〔図版、作家解説〕 pp.14-87

〔作家解説〕（宝玉正彦、五十嵐卓、出原均、石川健次、片岡真実、尾﨑佐智子、菅原教夫、篠雅廣、名古屋覚、坂元暁美、平野到、越前俊也、笠原美智子、植松由佳、岸本和明、渋澤和彦、柳原正樹、吉崎元章、蔵屋美香、住友文彦、植草学、草薙奈津子、中井康之、原久子、野地耕一郎、水沢勉、山脇一夫、太田垣實、川浪千鶴、窪田研二、菅章、冨田章、光田由里、鷹見明彦、飯田高誉、尾形希和子、藤川哲） 英文 pp.106-121

作家略歴 pp.89-98, 106-121

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2005 THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2005 年 3 月 15 日－30 日 上野の森美術館 主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：荒井経、石井健太郎、居城純子、内海聖史、小川敦生、片岡健二、金田勝一、北村英哲、工藤春香、工藤麻紀子、久保田香、鯉江真紀子、齋藤芽生、澤田知子、柴川敏之、下薗城二、城田圭介、新明史子、鷹取雅一、立花文穂、田中みぎわ、千々岩修、手塚愛子、中川トラヲ、長沢明、中村桂子、中谷ゆうこ、羽毛田優子、浜竹睦子、日野之彦、廣岡茂樹、ベ・

サンスン(裵相順)、町田久美、森山晶、山口智子、山城芽、米原昌郎〔図版収載順〕
授賞者：VOCA 賞・日野之彦、VOCA 奨励賞・居城純子、中川トラヲ、佳作賞・手塚愛子、羽毛田優子、大原美術館賞・鯉江真紀子、府中市美術館賞・田中みぎわ

秘すれば花：東アジアの現代美術 ●

森美術館　2005 年 3 月 28 日　主に英文併載
ごあいさつ（館長デヴィッド・エリオット）　pp.2, 3
秘すれば花〈新しい東アジアのアートを探して〉（キム・スンヒ）　pp.6-13, 14-21
アジアの花（南條史生）　pp.22-25, 26-29
豊かなる沈黙（建畠哲）　pp.30-33, 34-37
図版〔作家解説、図版、作家のことば〕　pp.39-149
　作家解説（小川光代、キム・スンヒ、南條史生、片岡真実）
　作家の言葉（カン・ウン）
天国でもなく、家でもなく〈東アジアの現代美術における風景と内部空間の描写〉（ウー・ホン）　pp.150-162, 163-174
作家略歴、参考文献　pp.175-193
出品リスト　pp.195-197, 198-199
註：編集はキム・スンヒ、小川光代、佐々木瞳、門木徹、鷹箸絵麻。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Elegance of Silence：Contemporary Art from East Asia」
会期：2005 年 3 月 29 日－6 月 19 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：伊庭靖子、小林俊哉、丸山直文、向山喜章、奈良美智、須田悦弘、山口晃〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

ストーリーテラーズ〈アートが紡ぐ物語〉 ●

森美術館　2005 年 3 月 29 日　主に英文併載
ごあいさつ（館長デヴィッド・エリオット）　pp.4, 5
アートが紡ぐ物語（荒木夏実）　pp.11-20, 154-163
語るオブジェの花園で（巽孝之）　pp.21-24, 164-167
映像：移動する視点がとらえる物語（神谷幸江）　pp.25-31,168-172
図版〔作家のことば、図版〕　pp.33-117　和文・英文
　〔作家のことば〕（エイヤ＝リーサ・アハティラ、ジャナン・アルアニ、シュテファン・エクスラー〔作家紹介の抜粋〕、テリーザ・ハバード／アレクサンダー・ビルヒラー〔抜粋〕、イケムラレイコ、ウィリアム・ケントリッジ〔抜粋〕、鴻池朋子、トレイシー・モファット、小谷元彦、アンネ・オロフソン〔抜粋〕、キャラ・ウォーカー〔抜粋〕、マーク・ウォリンジャー、キャレン・ヤシンスキー）
作家紹介〔略歴、Selected Bibliography〕　pp.119-147　Selected Bibliography は欧文
作品リスト　pp.148-152

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「The WoRld is A StAgE StoRiEs BEhiNd PictuREs」

会期：2005 年 3 月 29 日－6 月 19 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：エイヤ＝リーサ・アハティラ、ジャナン・アルアニ、グレゴリー・クリュードソン、シュテファン・エクスラー、テリーザ・ハバード／アレクサンダー・ビルヒラー、イケムラレイコ、ウィリアム・ケントリッジ、鴻池朋子、トレイシー・モファット、小谷元彦、アンネ・オロフソン、キャラ・ウォーカー、マーク・ウォリンジャー、キャレン・ヤシンスキー〔作品リスト順〕

造形集団 海洋堂の軌跡 カタログ ●

アートプランニング レイ　〔2005 年 4 月〕

ごあいさつ（主催者） p.5

海洋堂の軌跡――日本で最初を試みる（宮脇修） pp.8-9

フィギュアと現代美術――アーティストの了見（浅井俊裕） pp.10-15

欲望と消費、あるいは戦後日本文化と海洋堂（工藤健志） pp.16-22

日本のプラモデル史（山本直樹） pp.23-28

造形師紹介〔作家略歴、紹介、図版〕（松本教仁、浅井俊裕、工藤健志） pp.29-77

海洋堂社史 pp.78-121

用語解説（工藤健志・浅井俊裕） pp.122-138

ヒトびと解説（工藤健志） pp.139-146

出品リスト pp.147-171

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Chronicles of KAIYODO」

会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 5 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団／9 月 7 日－10 月 23 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団・北海道放送株式会社／11 月 11 日－12 月 11 日　鹿児島市立美術館　主催：鹿児島市立美術館／2006 年 3 月 8 日－5 月 7 日　松本市美術館　主催：松本市美術館・SBC 信越放送／5 月 20 日－7 月 17 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・高知新聞社／7 月 28 日－8 月 27 日　豊橋市美術博物館　主催：豊橋市美術博物館・中日新聞社／10 月 1 日－11 月 26 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館／2007 年 3 月 2 日－28 日　福井県立美術館　主催：福井県立美術館／7 月 20 日－9 月 2 日　高松市美術館　主催：高松市美術館・西日本放送

出品：ボーメ〔BOME〕、田熊勝夫、寺岡邦明、木下隆志、山口勝久、谷明、松村しのぶ、榎木ともひで、大嶋優木、竹谷隆之、香川雅彦、村田明玄〔図版収載順〕

そして、未来へ――ヒロシマ賞受賞作家のまなざし 展覧会記録集 ●

広島市現代美術館　2005 年　英文併載　被爆 60 周年特別展

そして、ヒロシマの未来（竹澤雄三）
ヒロシマ賞の概要
図版〔図版、作家のことば、テキスト〕
〔作家のことば〕（三宅一生、ロバート・ラウシェンバーグ、ナンシー・スペロ、クシュシトフ・ウディチコ、ダニエル・リベスキンド）
作品リスト
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Toward the Future－through the Eyes of Artists awarded the Hiroshima Art Prize」
会期：2005 年 4 月 16 日－6 月 26 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・朝日新聞社・広島ホームテレビ
出品：三宅一生、ロバート・ラウシェンバーグ、レオン・ゴラブ、ナンシー・スペロ、クシュシトフ・ウディチコ、ダニエル・リベスキンド〔作品リスト順〕

ウナセラ・ディ・トーキョー――残像の東京物語 1935～1992 ●
世田谷美術館　2005 年 4 月　英文併載
ごあいさつ（世田谷美術館）
残像のなかから――展覧会に寄せて（酒井忠康）
図版〔作家略歴、文献再録、図版〕 28p.
「都市へ、そしてトーキョーへ」（高橋直裕）
写真の時制（石崎尚）
年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Afterimages of Tokyo 1935-1992」
会期：2005 年 4 月 23 日－5 月 29 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館
出品：荒木経惟、桑原甲子雄、高梨豊、濱谷浩、平嶋彰彦、宮本隆司、師岡宏次〔図版収載順〕

アジアの潜在力〈海と島が育んだ美術〉●
愛知県美術館・日本経済新聞社　2005 年 5 月
あいさつ（主催者） pp.5, 7　英文併載
海から川へ（市川政憲） pp.11-14, 231-234
日本人のアジア美術認識を踏まえて（樋田豊次郎） pp.15-23
カタログ　pp.25-216
作家解説（村田真宏、高橋秀治、拝戸雅彦、樋田豊次郎、市川政憲） pp.217-221
出品目録　pp.222-229
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Asian Potential－Art Nursed by Sea and Islands」

会期：2005 年 5 月 24 日－7 月 10 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知・財団法人 2005 年日本国際博覧会協会・財団法人自治総合センター

出品：I 彫る；須田悦弘、安藤栄作、舟越桂、平川正道、向井良吉、勅使河原蒼風、河井寛次郎。II 染める。III 型取る・肉づける；古伏脇司、さかぎしよしおう、多和圭三、イケムラレイコ、杉浦康益、小川待子、國吉清尚、関島寿子、林辺正子、三木富雄、土谷武、毛利武士郎、剣持勇、辻晋堂、鶴岡政男〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

生まれるイメージ ●

山形美術館　2005 年 5 月

ごあいさつ（主催者）　p.3

生まれるイメージ（岡部信幸）　pp.4-6

カタログ〔図版、作家略歴、制作コメント〕　pp.7-27

　制作コメント（青山ひろゆき、小林和彦、花澤洋太、吉岡まさみ）

出品作品リスト　p.28

所蔵：□、国新美、都現美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Descending Images 2005」

会期：2005 年 5 月 25 日－6 月 26 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送・山形テレビ

出品：青山ひろゆき、小林和彦、花澤洋太、吉岡まさみ〔出品作品リスト順〕

New Spirits 福島 鴻崎正武・高橋克之・小林浩〈物語をめぐって〉●

福島県立美術館　2005 年 6 月 18 日

ごあいさつ（福島県立美術館）　p.3

ニュー・スピリッツ福島 物語をめぐって（酒井哲朗）　pp.6-7

展覧会関連事業　p.8

図版〔作家のことば、図版〕pp.9-39

　〔作家のことば〕（鴻崎正武、高橋克之、小林浩）

私たちの物語（荒木康子）　pp.40-44

作家略歴・展覧会歴・関連文献（吉村有子・荒木康子編）　pp.45-49

作品リスト　pp.50-51

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

会期：2005 年 6 月 18 日－7 月 18 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館

出品：鴻崎正武、高橋克之、小林浩

「世界の呼吸法－アートの呼吸 呼吸のアート」展 ●

川村記念美術館　2005 年 7 月　川村記念美術館開館 15 周年記念
ごあいさつ（川村記念美術館・佐倉市立美術館）　p.3
世界の呼吸法――芸術蕊のための（小泉晋弥）　pp.7-9
世界の呼吸法――芸術・呼吸・生命（上神田敬）　pp.10-20
図版　pp.21-60
「呼吸のアート」参考資料　pp.61-62
略歴　pp.63-67
略文献　pp.68-73
出品リスト　pp.74-77
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Art of Breathing in the World－Art and Respiration」
会期：2005 年 7 月 9 日－9 月 4 日　佐倉・川村記念美術館／7 月 9 日－8 月 21 日　佐倉市立美術館　主催：川村記念美術館　共催：佐倉市立美術館
出品：川村記念美術館；北郷悟、倉重光則、鯉江真紀子、KOSUGI＋ANDO・小杉美穂子・安藤泰彦、小林良一、佐藤時啓、須賀昭初、松居エリ、松本陽子、吉田重信。佐倉市立美術館；尾崎旬、金沢健一、シモガワケイ、タムラサトル、平井正義、森口ゆたか〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

ひろがる美術 1945-2000〈横須賀市所蔵〉●
横須賀市教育委員会　2005 年 7 月
ごあいさつ（横須賀市教育委員会）　p.1
戦後美術コレクションの第一歩（原田光）　pp.4-5
図版/解説〔図版、作品解説〕　pp.7-70
　作品解説（原田光、中田貴絵、工藤香澄、井上清水、立浪佐和子、石渡尚）
美術はひろがる――いくつかの作品を手がかりに（井上清水）　pp.72-75
作家略歴　pp.76-81
出品目録　pp.83-85
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　横須賀市文化会館市民ギャラリー　主催：横須賀市教育委員会
出品：油彩画他；林武、朝井閑右衛門、猪熊弦一郎、山口長男、難波田龍起、伊藤久三郎、村井正誠、山口薫、鶴岡政男、森芳雄、脇田和、菅野圭介、川端実、糸園和三郎、オノサト・トシノブ、麻生三郎、小山田二郎、野見山暁治、元永定正、三尾公三、嶋田しづ、白髪一雄、森兵五、早川重章、植松眞治、堂本尚郎、宮脇愛子、靉嘔、石井茂雄、加納光於、島田章三、

奥谷博、岡本健彦、中西夏之、磯辺行久、高松次郎、李禹煥、平賀敬。日本画・工芸；森田曠平、三上誠、山中雪人、中村光哉、水谷愛子、麻田鷹司、小嶋悠司、山中聰、吉田多最。彫刻；柳原義達、堀内正和、向井良吉、江口週、最上壽之、若林奮〔出品目録順〕

現代美術の ABC〈アートはあなたのそばにある〉●

第 6 回共同巡回展実行委員会　2005 年 7 月　平成 17 年度市町村立美術館等活性化事業・第 6 回共同巡回展　カード編共(ケース入)

ご挨拶（主催者）　p.6　英文併載

ご挨拶（遠藤安彦）　p.7　英文併載

「現代美術はわかりにくい」か?（岡本芳枝）　pp.8-13

展覧会に行くってどんなこと?（大月ヒロ子）　pp.14-21

出品リスト　pp.24-27

市町村立美術館等活性化事業について　pp.28-29

カタログカードを手にする方へ　裏表紙

カード編〔前書き、図版、作家・作品解説、作家略歴〕　3＋28 枚

作家・作品解説（松本久美子、荒井直美、井上千秋、河野泰久）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 7 月 23 日－8 月 28 日　福井市美術館　主催：福井市美術館・第 6 回共同巡回展実行委員会／9 月 3 日－10 月 9 日　新潟市新津美術館　主催：新津文化振興財団・第 6 回共同巡回展実行委員会／10 月 17 日－11 月 20 日　八幡浜市民ギャラリー　主催：メセナ八幡浜・第 6 回共同巡回展実行委員会／11 月 26 日－2006 年 1 月 15 日　周南市美術博物館　主催：周南市美術博物館・第 6 回共同巡回展実行委員会・朝日新聞社・YAB 山口朝日放送

出品：赤瀬川原平、太田三郎、岡部昌生、小谷元彦、甲斐雅之、河口龍夫、河原温、草間彌生、佐藤時啓、澤田知子、しばたゆり、白髪一雄、高松次郎、殿敷侃、野村仁、福田美蘭、藤浩志、やなぎみわ、柳幸典、ヤノベケンジ、李禹煥〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

「前衛の女性 1950－1975」展 ●

栃木県立美術館　2005 年 7 月

あいさつ（栃木県立美術館）　pp.4, 5　英文併載

戦後の「前衛」芸術運動と女性アーティスト 1950-60 年代（小勝禮子）　pp.9-19, 188-193　英文併載

フルクサスと日本人女性芸術家たち（由本みどり）　pp.20-29, 194-200　英文併載

カタログ〔章解説、図版〕　pp.31-128

章解説（小勝禮子、由本みどり）　pp.201-205　英文

資料図版　pp.129-137

作家解説（小勝禮子、由本みどり）　pp.140-165

年表（北村淳子・山崎明子編）　pp.166-178

参考文献抄（宮田有香・小勝禮子編） pp.179-186
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Japanese Women Artists in Avant-garde Movements, 1950-1975」
会期：2005 年 7 月 24 日－9 月 11 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：赤穴桂子、芥川〔間所〕紗織、安部真知、荒木高子、出光孝子、出光真子、今中クミ子、内間俊子、内海柳子、漆原英子、榎本和子、江見絹子、大黒愛子、オノ・ヨーコ、オノサト・トモコ、大原紀美子、片谷曖子〔美香〕、桂ユキ子〔ゆき〕、神谷信子、菅野聖子、岸本清子、草間彌生、久保田成子、合田佐和子、斉藤陽子、塩見允枝子、篠原佳尾、白井昭子、白髪富士子、多田美波、田中敦子、田中田鶴子、田部光子、富山妙子、名坂有子、野中ユリ、林三從、福島秀子、古家玲子、堀尾昭子、三島喜美代、宮脇愛子、森泰、森本紀久子、矢嶋美枝子、山崎つる子〔作家解説順〕
註：出品欄は出品目録が無いので作家解説に拠った。

静岡 New Art「あなたの居場所」展 ●
静岡県立美術館　2006 年 3 月 31 日
ごあいさつ（静岡県立美術館） p.2
静岡 New Art「あなたの居場所」展について（堀切正人） pp.4, 29-31
概念図　p.5
図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 pp.6-28
〔作家のことば〕（居城純子、高橋唐子、柳原詮子、米原昌郎）
事業一覧　p.32
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2005 年 9 月 15 日－10 月 30 日　静岡県立美術館県民ギャラリーほか　主催：静岡県立美術館
出品：居城純子、高橋唐子、柳原詮子、山極満博、米原昌郎〔図版収載順〕

戦後大分の美術 II 大分前衛美術会／7 人の会〈その軌跡をたどって〉●
大分市美術館　2005 年 9 月
ごあいさつ（館長樹村眞治） p.3
前衛・7 人の会の思い出（脇正人） pp.4-5
「7 人の会」作家群像（児玉成弘） pp.6-7
アヴァンギャルドの輝きとその終焉〈「大分前衛美術会」／「7 人の会」をめぐって〉（菅章） pp.8-14
カタログ〔解説、図版〕 pp.15-40
解説（大神健二）
作家解説　pp.41-45

出品履歴　pp.46-47
関連略年表　pp.48-51
文献整理　pp.52-53
出品リスト　pp.54-55
所蔵：□、国新美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2005 年 9 月 21 日－11 月 7 日　大分市美術館　主催：大分市美術館
出品：三浦勉、岩尾秀樹、安藤真、江藤明、脇正人、神田千里、井上佐之助、十時良、二宮秀夫、廣瀬通秀、渡辺恭英、新名隆男、飯尾寿夫、西村駿一、児玉成弘〔出品リスト順〕

X-COLOR グラフティ in Japan ●
水戸芸術館現代美術センター　2005 年 12 月 2 日　英文併載
図版
美しき逸脱（窪田研二）
社会彫刻としてのグラフィティ（能勢伊勢雄）
プロフィール／コメント
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「X-COLOR Graffiti in Japan」
会期：2005 年 10 月 1 日－12 月 4 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団
出品：ACUTE、OG.AKIM、AMES、BEL×2、BUTOBASK、CASPER、COSA、CS、DASTE、DEM、DICE、DISKAH、ESOW、FATE、HUZE、ICHI、JOTA、KAMI、KANE、KEONE、KRESS、MAKE、NEIM、NESM、PHIL、QP、RACK、REW、ROM、SASU、SITE、SKLAWL、SUIKO、TABU、VERY、VITR、ZEN、Z¥$〔プロフィール順〕

ベリーベリーヒューマン ●
豊田市美術館　2006 年 2 月 28 日
あいさつ（豊田市美術館）　p.3　英文併載
ベリーベリーヒューマン（小西信之）　pp.6-11, 78-83　英文併載
図版〔図版、作家生年・生地・在信地、作家のことば〕　pp.14-61
〔作家のことば〕（山本高之、古池大介）
ヒューマンへの視点（北川智昭）　pp.62-66, 84-87　英文併載
作品リスト　pp.68-69
作家略歴　pp.70-77
註：編集は北川智昭、有衛里美、大柄聡子。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「very very human」

会期：2005 年 10 月 15 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館

出品：石田達郎、加藤美佳、鬼頭健吾、小林耕平、古池大介、山本高之、森北伸、渡辺豪〔作品リスト順〕

第 20 回平行芸術展 崩落の記譜法 ●

多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース　2006 年 1 月 5 日

〔閉幕のことば〕（峯村敏明）　見返し

崩落の記譜法は崩落しない（峯村敏明）　pp.1-5

図版　pp.6-22

「崩落」によせて（遠藤利克、黒須信雄、染谷亜里可、戸谷成雄、山下香里、横尾忠則）pp.23-24

作家略歴　pp.25-28

平行芸術展の歩み　p.29

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The Last Exhibition of Parallelism in Art “Patterns of Descension”」

会期：2005 年 10 月 24 日－11 月 5 日　南青山・小原流会館 1 階／エスパス OHARA　企画：峯村敏明、主催：多摩美術大学美術学部芸術学科峯村コース、協力：財団法人小原流

出品：山下香里、横尾忠則、黒須信雄、染谷亜里可、戸谷成雄、遠藤利克〔図版収載順〕

もの派－再考 ●

国立国際美術館　2005 年 10 月

あいさつ（国立国際美術館）　pp.6-7　英文併載

「もの派―再考」（中井康之）　pp.9-21,244-256　英文併載

存在を問う美術の系譜（峯村敏明、英訳・富井玲子）　pp.25-31,257-263　英文併載

図版〔カタログ〕（中井康之編）　pp.33-183

表現に於ける石子順造の呪縛〈絵画とは何物か〉（鈴木慶則）　pp.44-45

石子順造と「幻触れ」の者たち（飯田昭二）　pp.50-51

〈もの派〉誕生のころ（関根伸夫）　pp.73-75

「1970 年の頃のこと」（小清水漸）　p.94　再録

枕木について（高山登）　pp.120-121

資質としてのミニマム・アーチスト。（狗巻賢二）　pp.130-131

Tardiology（野村仁）　pp.136-137

もの派―内と外の出会いによって（李禹煥）　pp.148-149

〈ものはあるように、あった〉（菅木志雄）　pp.158-159

資料

出品作品リスト　pp.186-190　英文併載

〔出品作家〕略歴・国内文献・海外文献（酒井安純、牧口千夏、高坂玲子等編）　pp.191-234

もの派関連年表（濱田真由美編）　pp.235-242

註：編集は中井康之、酒井安純。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Reconsidering Mono-ha」

会期：2005 年 10 月 25 日－12 月 18 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：高松次郎、鈴木慶則、前田守一、飯田昭二、丹波勝次、小池一誠、李禹煥、関根伸夫、菅木志雄、榎倉康二、原口典之、小清水漸、吉田克朗、成田克彦、高山登、狗巻賢二、野村仁〔出品作品リスト順〕

立体作家 11 人展 時空を超えたメッセージ　　相模原市民ギャラリー編 ●

相模原市教育委員会　2005 年 11 月 5 日

ごあいさつ（相模原市教育委員会）　p.3

展示会場案内　pp.4-5

図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.6-49

〔作家のことば〕（天野裕夫、川島茂雄、後藤良二、清水一直、高木辰夫、堤一彦、中野浩二、名坂健、別府博文、松本雄治、安丸信行）

相模原の彫刻展史（柳川雅史）　pp.50-53

相模原の彫刻史〈略年譜〉　p.54

出品作品一覧　pp.55-56

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 11 月 5 日－12 月 11 日　相模原市民ギャラリー　主催：相模原市教育委員会

出品：天野裕夫、川島茂雄、後藤良二、清水一直、高木辰夫、堤一彦、中野浩二、名坂健、別府博文、松本雄治、安丸信行〔出品作品一覧順〕

もうひとつの楽園 ●

金沢 21 世紀美術館　2005 年 11 月　英文併載

ご挨拶（大樋長左衛門）　p.3

はじめに（館長蓑豊）　p.4

生成のプロセスの只中にあるもの（不動美里）　pp.8-11, 12-15

触知のまなざしが結ぶ「生」のかたち（吉岡恵美子）　pp.16-18, 19-21

招待出品作家

図版〔図版、作家論〕　pp.26-69

〔作家論〕（不動美里、吉岡恵美子）

T-room

図版〔解説、図版、作家略歴〕　pp.72-130

〔解説〕（隈研吾、深澤直人、原研哉、岩井俊雄）

巻末資料

展示マップ　pp132-133

作品リスト　pp.134-135, 136-137

作家略歴　pp.138-142, 143-147

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Alternative Paradise」

会期：2005 年 11 月 5 日－2006 年 3 月 5 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館、金沢・世界工芸フォーラム開催委員会、金沢市

出品：招待作家；秋山陽、マギー・カルデルス、ジャナン・ダグデレン、アンジェロ・フィロメーノ、金沢健一、北川宏人、村山留里子、中村哲也、嵯峨篤、アン・ウィルソン、ソフィ・ジェズマー、藤澤直人、原研哉、岩井俊雄、隈研吾。スタジオ・プロダクト作家；相川繁隆、福嶋則夫、原田実、畠山耕治、干田浩、石田巳代治、角偉三郎、川本敦久、木場紀子、北出不二雄、艸田正樹、前史雄、毎田健治、宮崎寒雉、村田百川、村田佳彦、室田芳子、中川衛、中町博志、中村基克、中村卓夫、中野孝一、大場松魚、扇田克也、大樋長左衛門、大樋年雄、坂下直大、戸出克彦、徳田八十吉、辻和美、魚住為楽、彌永秀一、米田豊也、米山央、吉田美統〔作品リスト順〕

「COLORFUL 温泉 絵画の湯」展 観賞パンフレット ●

三鷹市美術ギャラリー　2005 年 11 月　平成 17 年度文化庁委嘱文化ボランティア推進モデル事業

ごあいさつ（主催者）　p.2

楽しみ方　p.3

色の部屋／形の扉／作品との旅／材料探索／作品との出会い　pp.4-9

出品リスト〔図版〕　pp.10-17

MAG-net って何?　p.18

展示 MAP　pp.19-20

関連イベント　p.21

註：編集は大竹ゆき、NPO MAG-net。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2005 年 11 月 26 日－12 月 20 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団三鷹市美術ギャラリー

出品：靉嘔、赤瀬川原平、池田満寿夫、宇佐美圭司、瑛九、岡崎乾二郎、小作青史、オノサト・トシノブ、加納光於、駒井哲郎、清水晃、菅井汲、スズキコージ、清宮質文、高松次郎、辰野登恵子、中西夏之、野田哲也、浜田知明、山本正、吉田穂高、米谷清和、李禹煥〔出品作家一覧順〕

絵画の行方－現代美術の美しさって何? ●

府中市美術館　2005 年 12 月

ごあいさつ（館長本江邦夫）　p.5　英文併載

絵画の行方（本江邦夫） pp.9-15, 92-97 英文併載
起源の絵画へ――須賀昭初と大谷有花について（山村仁志） pp.16-20, 98-101 英文併載
現象としての絵画――二木直巳と小林俊介（神山亮子） pp.21-25, 102-105 英文併載
抵抗としての絵画――鈴木省三と水上央子の仕事から（武居利史） pp.26-29, 106-109 英文併載
図版〔コメント、図版〕 pp.31-79 コメント英文併載
コメント（大谷有花、小林俊介、須賀昭初、鈴木省三、二木直巳、水上央子）
作家略歴／展覧会歴／コレクション／参考文献 pp.82-87
出品リスト pp.88-91
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A Perspective of Painting：What is the Beauty of Contemporary Art ?」
会期：2005 年 12 月 10 日－2006 年 2 月 19 日 府中市美術館 主催：府中市美術館
出品：大谷有花、小林俊介、須賀昭初、鈴木省三、二木直巳、水上央子〔出品リスト順〕

われらの時代 ●
水戸芸術館現代美術センター 2005 年 12 月 15 日 展覧会資料第 69 号
序にかえて（逢坂恵理子） pp.4-6
図版〔作家略歴、作家解説、図版〕 pp.7-107
〔作家解説〕（小泉晋弥、外舘和子、森田清明、大森潤也、高橋正樹、浅井俊裕、寺門寿明）
出品作品リスト pp.108-111
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2005 年 12 月 17 日－2006 年 2 月 5 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー 企画：逢坂恵理子、主催：水戸市芸術振興財団
出品：雨宮庸介、伊藤遠平、伊藤東彦、岩堀敏行、オノマサキ、久米みどり、小林政美、小峰尚、小室千帆、齋藤敏寿、櫻井りえこ、芝田次男、鈴木りん壱、立見榮男、戸田和子、内藤定壽、中井川由季、中野裕海、西成田育男、西成田洋子、根本しづ子、増田克史、村山隆治、山田圭一、横須賀幸男〔出品作品リスト順〕

2006（平成 18）年

黒の迷宮〈凝視の刻〉●
石川県立美術館 2006 年 1 月
開催にあたって（石川県立美術館） p.1
図版〔作家のことば、作家解説、作家略歴、図版〕 pp.2-13
〔作家のことば〕（木下晋、小林敬生、日和崎尊夫）
作品リスト pp.14-16

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 1 月 4 日－2 月 5 日　金沢・石川県立美術館　主催：石川県立美術館、共催：北國新聞社

出品：木下晋、小林敬生、日和崎尊夫〔図版収載順〕

遊びの美術 ●

埼玉県立近代美術館　2006 年 1 月 7 日　企画展

あいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.1

遊美考（平野到）　pp.3-8

図版　pp.9-47

出品作家略歴・解説・作品リスト（解説・平野到）　pp.49-62

註：編集は平野到、伊豆井秀一、梅津元。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

展名：企画展「木村直道＋遊びの美術」第 2 部

欧文タイトル：「ART and PLAY」

会期：2006 年 1 月 7 日－2 月 5 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：マルセル・デュシャン、ジャン・アルプ、元永定正、立石大河亞〔タイガー立石〕、歌川国芳、山東京伝、田中偉一郎、山口晃、藤城凡子、エルヴィン・ヴルム〔図版収載順〕

タッチ、アート! 体感する美術展 ●

川越市立美術館　2006 年 1 月 7 日

ごあいさつ（川越市立美術館）　p.3

タッチ、アート!〈美術は楽しい〉（山田明子）　pp.4-6

図版　pp.7-31

会場配置図　p.32

資料〔作家コメント、作家略歴〕pp.33-45

　コメント（小原馨、高田洋一、徳田憲樹、原田和男、松井紫朗、光島貴之）

作品 DATA　p.46

アーティストとふれる・感じる・参加するイベント　p.47

註：編集は相田祐次。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TOUCH, ART」

会期：2006 年 1 月 7 日－3 月 26 日　川越市立美術館　主催：川越市立美術館

出品：小原馨、高田洋一、徳田憲樹、原田和男、松井紫朗、光島貴之〔作品データ順〕

DOMANI・明日展 2006 図録 ●

文化庁・読売新聞東京本社　2006 年 1 月
ごあいさつ（主催者）　p.3
「DOMANI・明日」展 2006 開催にあたり（大井秀規）　p.4
在外研修制度(新進芸術家海外留学制度)について　p.5
図版〔作家略歴、作家解説、図版、作家コメント、作品解説〕　pp.7-43
作家解説（野口玲一）
コメント、作品解説（前田哲明、塩野麻理、大井秀規、中山ダイスケ、楡木令子、棚田康司、横溝美由紀、中ザワヒデキ、土岐謙次）
出品作品リスト　pp.45-47
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
展名：未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2006〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2006 年 1 月 20 日－3 月 1 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社
出品：前田哲明、塩野麻理、大井秀規、中山ダイスケ、楡木令子、棚田康司、横溝美由紀、中ザワヒデキ、土岐謙次〔出品作品リスト順〕

MOT アニュアル 2006 No Border「日本画」から／「日本画」へ ●
東京都現代美術館　2006 年 1 月　全 31 葉(たとう入)
ごあいさつ（東京都現代美術館）
「日本画」の BORDER をめぐる展覧会前史（菊屋吉生）　pp.7-10
NO BORDER－「日本画」から／「日本画」へ（加藤弘子）　pp.11-14
図版〔作家略歴、作家インタビュー、図版、作家のことば〕　pp.15-124
作家インタビュー（篠塚聖哉、長沢明、町田久美、三瀬夏之介、吉田有紀、聞き手・山本雅美）　英文併載
〔作家のことば〕（天明屋尚、松井冬子）　英文併載
〔作家略歴〕（山本雅美編）　主に英文併載
出品リスト　pp.125-128　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MOT Annual 2006　No Border」
会期：2006 年 1 月 21 日－3 月 26 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館
出品：篠塚聖哉、天明屋尚、長沢明、町田久美、松井冬子、三瀬夏之介、吉田有紀〔出品リスト順〕

カオスモス'05 辿りつけない光景 ●

佐倉市立美術館　2006 年 1 月 31 日　英文併載
カオスモス'05 の開催にあたって（佐倉市立美術館）　pp.4, 5
風景への戦略（西村智弘）　pp.6-9, 11-13
「辿りつけない光景」について（黒川公二）　pp.10, 14-15
図版〔作家へのインタビュー、作家のことば、図版〕　pp.17-66
　作家へのインタビュー（ムラタ有子、大竹竜太、関根直子）
　〔作家のことば〕（田口和奈、さわひらき）
展示配置図　p.67
作家資料〔略年譜、図版〕　pp.67-77
出品作品一覧　pp.78-79
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Chaosmos '05：Unreal Reality」
会期：2006 年 1 月 31 日－3 月 5 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：大竹竜太、さわひらき、関根直子、田口和奈、ムラタ有子〔出品作品一覧順〕

『名古屋』の美術〈これまでとこれから〉●
名古屋市美術館・日本経済新聞社名古屋支社　2006 年 2 月 4 日
あいさつ（名古屋市美術館・日本経済新聞社・中日新聞社）　p.3
第一部／これまで 歴史編
　名古屋の美術の「これまで」－戦後 60 年の歩み（山田諭）　pp.7-15
　図版　pp.16-53
　作家解説（原沢暁子）　pp.54-61
　年表（山田諭編）　pp.62-77
　第一部出品作品一覧　pp.78-79
第二部／これから 展望編
　公募について、審査について　p.81
　講評　pp.82-83
　　名古屋市美術館の初の試み（浅野徹）、審査を終えて（馬場駿吉）、審査寸評（牧野研一郎）、審査を終えて（山本富章）、審査を終えて（吉田俊英）
　図版　pp.84-103
　入選者プロフィール　pp.104-110
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2006 年 2 月 4 日－3 月 26 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・日本経済新聞社・中日新聞社
出品：第一部洋画；横井礼以、大澤鉦一郎、北川民次、伊藤廉、坂井範一、鬼頭鍋三郎、荻

須高徳、宮脇晴、矢橋六郎、杉本健吉、三岸節子、魚津良吉、下郷羊雄、藪野正雄、筧忠治、吉川三伸、山田光春、小川博史、辻親造、浅野弥衛、岡田徹、上原欽二、藤島奨、安藤幹衛、吉川家永、坂野耿一、音部幸司、久野真、加藤金一郎、芥川〔間所〕紗織、三尾公三、丹羽和子、稲葉実、笠井誠一、河原温、桑山忠明、高木勲、島田章三、島田鮎子、八島正明、荒川修作、森真吾、近藤文雄、櫃田伸也、森岡完介、吉岡弘昭、斎藤吾朗、稲垣考二、吉本作次、奈良美智。彫刻；野々村一男、野水信、加藤昭男、石黒鏘二、国島征二、高橋洋、庄司達、戸谷成雄。日本画；前田青邨、我妻碧宇、嶋谷自然、片岡球子、内田土卵、水島裕、森緑翠、大森運夫、水谷勇夫、星野真吾、中村正義、平川敏夫、大島哲以、高畑郁子、小山硬、田渕俊夫、平松礼二〔出品作品一覧順〕。第二部；浅野世津子、阿野義久、阿部正枝、板倉明義、伊藤寿美、伊藤美知代、唄嶋かおり、内村恵子、大島信人、大村優佳、尾中真理、加古マツオ、金石拓男、川奈凛子、川野民子、木城圭美、鬼頭幸三、栗木清美、小西雅也、近藤久美子、渋谷安弘、清水太一、首藤恵里、庄司多津男、鈴木敦博、鈴木知子、鈴木雅明、傍島幹司、土屋敦資、幅宏二郎、原勉、フジモトナツコ、松永賢、三浦久美子、森岡佐知子、森川美紀、山田純嗣、山枡紳二郎、吉田葵、若杉しのぶ〔図版収載順〕

人間の未来へ－ダークサイドからの逃走 ●

水戸芸術館現代美術センター　2006 年 4 月 14 日　英文併載　付・ギャラリーガイド 1 枚

展覧会資料第 73 号

異口共感の世界へ（逢坂恵理子）　pp.5-9, 15-19

宮内勝典――混迷から希望へ（聞き手・逢坂恵理子）pp.10-14, 20-23

ギャラリーマップ　p.24

展示風景　pp.25-84

〔詩・文章〕（谷川俊太郎、トルストイ、茨木のりこ、池田香代子）　再録

作家資料〔作家略歴、作家のことば〕　pp.85-111

〔作家のことば〕（アントニ・ゴームリー、マイケル・ライト、ビル・ヴィオラ、マグダレーナ・アバカノヴィッチ〔再録〕、スゥ・ドーホー、橋本公、ジェームズ・ナクトウェイ、広河隆一、フィリップ・ロルカ・デコルシア〔再録〕、オノ・ヨーコ、長倉洋海、ユージン・スミス〔再録〕、シリン・ネシャット）

出品作品リスト　pp.112-117

出典・著者紹介　p.118

関連企画　p.119

□ギャラリーガイド〔三ツ折片面刷〕

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「To The Human Future Flight From The Dark Side」

会期：2006 年 2 月 25 日－5 月 7 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：アントニ・ゴームリー、マイケル・ライト、ビル・ヴィオラ、マグダレーナ・アバカノヴィッチ、スゥ・ドーホー、橋本公、ジェームズ・ナクトウェイ、広河隆一、フィリップ・

ロルカ・デコルシア、オノ・ヨーコ、長倉洋海、ユージン・スミス、シリン・ネシャット〔出品作品リスト順〕

VOCA 展 2006「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2006 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2006」開催にあたって（主催者） p.5

「VOCA 展 2006」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.7

〔授賞者、選考委員一覧〕 pp.9, 103

〔選評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、松井みどり、南雄介） pp.10-15, 104-109

出品作家 推薦委員〔一覧〕 pp.17, 103

図版〔作家解説、図版〕 pp.18-91, 112-127

〔作家解説〕（宝玉正彦、能勢陽子、太田垣實、天野一夫、植松由佳、渋澤和彦、坂元暁美、窪田研二、大島賛都、岸本和明、塩田純一、佐藤友哉、飯田志保子、笠原美智子、大野正勝、降籏千賀子、中井康之、石川健次、柳原正樹、森田一、篠雅廣、光田由里、和田浩一、倉石信乃、李美那、山脇一夫、岡部信幸、近藤幸夫、出原均、安座間安司、森口まどか、谷新、植草学、上神田敬、名古屋覚、南嶌宏、花田伸一）

作家略歴　pp.93-102, 112-127

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Vision of Contemporary Art 2006」

会期：2006 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：青木克世、泉孝昭、兼未希恵、河﨑まゆ子、鬼頭健吾、木原千春、小西真奈、小橋陽介、佐伯洋江、島村敏明、鈴木俊輔、高幹雄、髙木紗恵子、高橋万里子、千葉奈穂子、妻木良三、津村陽子、豊泉綾乃、豊富春菜、永原トミヒロ、中山徳幸、流麻二果、西原功織、蜷川実花、橋爪彩、長谷川冬香、花澤洋太、浜田涼、春木麻衣子、藤本英明、ロバート・プラット、室井公美子、山田純嗣、山本晶、楊雅淳、横山博之、渡辺郷〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・小西真奈、VOCA 奨励賞・佐伯洋江、ロバート・プラット、佳作賞・兼未希恵、髙木紗恵子、大原美術館賞・蜷川実花、府中市美術館賞・髙木紗恵子

「メビウスの卵展 15 年の挑戦・光とアートランド」展覧会リーフレット ●

金沢 21 世紀美術館　2006 年 3 月 18 日　1 枚(二ツ折両面刷)

メビウスの卵展 15 年の挑戦（石黒敦彦）

メビウスの卵展・15 年の展開〔一覧〕

所蔵：□、国新美、東近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Eggs of Möbius　Science in Art Exhibition in Kanazawa」

会期：2006 年 3 月 18 日－26 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

註：上記リーフレットには出品目録が無いため出品作家は未詳。

戦後日本デザインの軌跡 1953-2005 千葉からの挑戦 ●

千葉市美術館・美術館連絡協議会　2006 年 4 月 1 日
あいさつ（主催者）p.5
日本デザインの戦後史――貫戦史からの展望（森仁史）　pp.8-19
ステーションルネサンス時代のスペース・プランニング（橋本優子）　pp.20-26
広がるデザインの世界（宮崎紀郎、聞き手・森仁史）　pp.27-30
図版　pp.31-158
インタビュー（松本哲夫、石川弘、松丸武、渚徹、宮智英之助、赤瀬達三、御園秀一＋岡本浩志、児山啓一、宮城壮太郎、宇田川信学）　pp.160-183
戦後デザイン史年表（森仁史・都築弘樹編）　pp.184-192
出品リスト　pp.194-205
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Contemporary Design in Japan 1953-2005 CHIBA, Where it started」
会期：2006 年 4 月 1 日－5 月 28 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会
註：出品された約 400 点の多くは、千葉大学工学部工業意匠学科の出身者たちのデザイン作品から構成されて、タイトルに「戦後日本デザインの軌跡」とあるが工業製品によるデザイン展となっている。参考までに採録しておいた。

コレクションの四半世紀〈所蔵作品による全館展示〉●
宮城県美術館　2006 年 4 月 8 日　開館 25 周年記念
第 1 部 A4 表現への意思－「現代」の諸相
章解説（和田浩一）　pp.50-51
図版〔図版、トピックス〕　pp.52-61
トピックス 斎藤義重と、絵画への問い（和田浩一）／荒川修作《Within Verbing / Blank Body / By…》と宮城県美術館／針生鎮郎・百瀬寿・小野皓一（三上満良）
出品目録　pp.118-139
作家索引　pp.140-143
註：「第 1 部 A4」のみを採録した。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Collection's Quarter Century」
会期：第 1 部・2006 年 4 月 8 日－5 月 28 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館
出品：第 1 部 A4；桂ゆき、山口長男、阿部金剛、村井正誠、駒井哲郎、瑛九、山口勝弘、難波田龍起、今井俊満、田中敦子、白髪一雄、篠原有司男、三木富雄、斎藤義重、宮脇愛子、磯辺行久、高松次郎、宇佐美圭司、吉原治良、川端実、荒川修作、李禹煥、高山登、榎倉康二、針生鎮郎、百瀬寿、小野皓一、堀内正和、建畠覚造〔出品目録順〕
註：出品欄は「第 1 部 A4」のうち戦後作品出品の作家を収載。

CHIKAKU/四次元との対話 岡本太郎からはじまる日本の現代美術 ●

川崎市岡本太郎美術館　2006 年 4 月　ヨーロッパ巡回帰国展
ごあいさつ（国際交流基金）　p.5
ごあいさつ（川崎市岡本太郎美術館）　p.7
四次元の知覚 日本の現代美術への一視座（伊藤俊治）　pp.8-19
図版　pp.21-96
グラーツ・ビーゴ・カワサキ「展示」されたもの（渡辺誠）　pp.97-101
四次元的「日本」〈「呪術」から「日常性の内部」へ〉（今福龍太）　pp.102-111
言葉で撮るスナップ写真（多和田葉子）　pp.112-116
海外展報告（岡部美紀、渡辺誠）　pp.118-123
出品リスト　pp.124-131
作家略歴　pp.132-136
著者略歴　p.136
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CHIKAKU Time and Memory in Japan」
会期：2006 年 4 月 8 日－6 月 25 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館・国際交流基金
出品：岡本太郎、森山大道、中平卓馬、杉本博司、渡辺誠、森脇裕之、やなぎみわ、伊藤高志、草間彌生、笠原恵実子、日高理恵子、須田悦弘、中村哲也、小谷元彦、トリン・ミンハ〔出品リスト順〕

内なるこども　　豊田市美術館編 ●
青幻舎　2006 年 3 月 31 日
序文　pp.4-5
図版〔図版、作品解説〕　pp.7-133
作品一覧　pp.136-138
作家略歴　pp.139-141
出典　p.142
註：編集は田境志保、金井直。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Child」
会期：2006 年 4 月 14 日－6 月 18 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館
出品：荒木経惟、木村伊兵衛、野田哲也、小倉遊亀、島尾伸三、髙山辰雄、北川民次、小野木学、中澤英明、土門拳、高松次郎、笹井史恵、北山善夫、小作青史、加藤泉、奈良美智、イケムラレイコ、播磨みどり、会田誠、中村正義〔作品一覧順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

北の創造者たち展 10th Anniversary Lovely～らぶりぃ～ ●

札幌市芸術文化財団　2006 年 5 月 25 日〔第 2 版〕
ごあいさつ（札幌芸術の森美術館）　p.3
図版〔作家解説、図版、作家略歴〕　pp.6-57
　作家解説（岩﨑直人）
出品リスト　pp.58-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
会期：2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団
出品：樫見菜々子、堀かをり、松村繁、森迫暁夫、松原成樹、設楽知昭、彼方アツコ、佐々木雅子〔出品リスト順〕

詩人の眼・大岡信コレクション ●
朝日新聞社　2006 年 4 月
ごあいさつ（主催者）p.5
南画廊の青春（大岡信）　pp.11-15
詩と美術が若かったころ――大岡信と戦後の美術（太田泰人）　pp.16-23
図版〔図版、解説、作家解説、寄稿〕　pp.26-151
　解説（田中さち代、佐藤洋子、黒瀬久恵編）
　作家解説（富田智子、西本匡伸、江尻潔、黒瀬久恵）
　寄稿（飯島耕一、三浦雅士、榎本和子、嶋田しづ、加納光於、佐谷和彦、中西夏之、一柳慧、宇佐美圭司、粟津則雄、長谷川櫂、谷川俊太郎）
　大岡信詩選　再録
大岡信年譜　pp.153-177
作家名索引　p.179
出品リスト　pp.iv-ix
註：編集は浅倉祐一朗、西本匡伸、江尻潔、佐藤洋子、黒瀬久恵。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Poet’s Eyes：Makoto Ooka and his Collection」
会期：2006 年 4 月 15 日－5 月 28 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー、朝日新聞社／8 月 3 日－26 日　静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ　主催：静岡県文化財団、朝日新聞社／11 月 3 日－12 月 10 日　福岡県立美術館　主催：福岡県立美術館、朝日新聞社、九州朝日放送／2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　足利市立美術館　主催：足利市みどりと文化・スポーツ財団(足利市立美術館)、朝日新聞社
出品：東野芳明、パブロ・ピカソ、瀧口修造、駒井哲郎、利根山光人、ジャン・フォートリ

エ、今井俊満、榎本和子、福島秀子、前田常作、嶋田しづ、加納光於、大岡信、サム・フランシス、中西夏之、一柳慧、三好達治、ジョアン・ミロ、宇佐美圭司、宇佐美爽子、ジャン・ティンゲリー、菅井汲、多田美波、高橋秀、野崎一良、谷川晃一、オディロン・ルドン、加藤楸邨、清水九兵衛、藤松博、岡田輝、相沢常樹、金子國義、アレクサンダー・カルダー、曾宮一念、大築勇吏仁、柿沼和夫、クレス・オルデンバーグ、ジャスパー・ジョーンズ、クリスト、舩木研兒、安野光雅、萩原朔太郎、安田侃、黒田征太郎、丹阿弥丹波子、本宮健史、井田照一、ハンス・アルトゥング、マリエル・バンクー〔出品リスト順〕

アートとともに－寺田小太郎コレクション〈絵のある暮らし、コレクションの楽しみ〉展覧会図録 ●

府中市美術館　2006 年 4 月

ごあいさつ（館長本江邦夫）　pp.4-5, 122　英文併載

コレクション展にあたって（寺田小太郎）　pp.6, 123　英文併載

美的価値判断のレッスン（山村仁志）　pp.8-14, 124-125　英文併載

寺田コレクションの旋律と変奏－「白と黒」、「寺田小太郎の部屋」（成相肇）　pp.15-23, 126-127　英文併載

図版〔章解説、図版〕　pp.25-104

出品作家略歴　pp.106-116

出品リスト　pp.117-121

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「With You, With Art－The Terada Kotaro Collection」

会期：2006 年 4 月 29 日－7 月 17 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：相笠昌義、赤塚祐二、有元利夫、猪飼節子、磯見輝夫、伊藤洋一郎、伊庭靖子、今西中通、岩尾恵都子、太田冬美、小野木学、オノサト・トシノブ、小山田二郎、柿崎兆、金子國義、加納光於、鴨居玲、河内良介、川口起美雄、北野裕之、木村荘八、呉亜沙、桜田晴義、白髪一雄、菅創吉、菅野圭介、高橋克之、玉川信一、智内兄助、恒松正敏、富田有紀子、難波田龍起、難波田史男、額田宣彦、野田裕示、野見山暁治、蓜島伸彦、浜田浄、原精一、藤田修、舟越桂、舟越保武、前田昌良、ミズテツオ、宮崎進、棟方志功、村上友晴、山口啓介、山口長男、山本麻友香、吉岡憲、吉岡正人、崔恩景、エミリオ・グレコ、尹享根、郭仁植、ベン・ニコルソン、アド・ラインハート、鄭相和、ショーン・スカリー、ラファエル・ソト、李禹煥、ヤン・フォス〔出品リスト順〕

参加してエンジョイ展〈不思議なアートに触れてみよう〉●

第 7 回共同巡回展実行委員会　2006 年 6 月　平成 18 年度市町村立美術館活性化事業　第 7 回共同巡回展　バインダー使用

ファイルのつかいかた

タイトルカード

作品カード〔作品解説、作家略歴、図版〕　31 枚

シールのあそびかた

シールシート
シール台紙
出品作品リスト
ご挨拶（主催者）　英文併載
ご挨拶（遠藤安彦）　英文併載
安藤基金コレクションをめぐって〈現代美術への取り組み〉（岡田潔）
「参加してエンジョイ展」の進化（古田啓一）
美術館教育普及活動の取り組みについて(座談会)
安藤基金コレクション活用の紹介
市町村立美術館活性化事業について（財団法人地域創造）
開催館のご紹介
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2006 年 6 月 10 日－7 月 17 日　八王子市夢美術館　主催：八王子市学園都市文化ふれあい財団・第 7 回共同巡回展実行委員会／7 月 28 日－9 月 10 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館・第 7 回共同巡回展実行委員会／9 月 30 日－10 月 29 日　福井市美術館　主催：福井市美術館・第 7 回共同巡回展実行委員会／11 月 18 日－12 月 24 日　安城市民ギャラリー　主催：安城市・安城市教育委員会・第 7 回共同巡回展実行委員会
出品：天野裕夫、荒川修作、磯辺行久、井田照一、猪熊弦一郎、榎倉康二、佐藤慶次郎、嶋本昭三、白髪一雄、諏訪直樹、高橋秀、中西夏之、野村仁、村井正誠、元永定正、櫃田伸也、柳原義達、金昌烈、李禹煥〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

黄金の美術館展〈美術にみる金の素材と表現〉●
黄金の美術館展実行委員会　2006 年 6 月 24 日　平成 18 年度市町村立美術館共同巡回展支援事業
ごあいさつ（主催者）　p.3
美術のなかの「金」（佐藤友哉）　pp.7-9
図版〔解説、図版、作家紹介〕　pp.11-107
作品・技法紹介（井村広巳、瀬戸厚志）　p.109
作家紹介（井澤博、中野由香里、角井千代絵、井村広巳、瀬戸厚志）　pp.110-114
作品リスト　pp.115-117
巡回館　p.119
所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Gold in Art　Painting, sculpture, craft and jewellery」
会期：2006 年 6 月 24 日－7 月 30 日　釧路市立美術館　主催：釧路市立美術館／8 月 8 日

－9 月 10 日　唐津市近代図書館　主催：唐津市近代図書館／9 月 16 日－10 月 22 日　掛川市二の丸美術館　主催：掛川市二の丸美術館／10 月 28 日－12 月 3 日　尼崎市総合文化センター　主催：尼崎市総合文化センター

出品：片岡球子、金子卓義、絹谷幸二、木原康行、篠田桃紅、関根伸夫、月岡栄貴、堂本尚郎、濱野年広、毛綱毅曠、百瀬寿、森村泰昌、澤田政廣、田窪恭治、中江紀洋、深井隆、籔内佐斗司、矢柳剛、中野恵祥、平松保城、藤田喬平、舟串盛雄、松田権六、三木稔、三田村自芳、山脇洋二、六代清水六兵衛〔作品リスト順〕

註：本展覧会カタログには主催者の記載が無いのでそれぞれの美術館等を主催者として記載しておく。出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

いまいるところ／いまあるわたし〈VOCA 展に映し出された現在〉●

宇都宮美術館　2007 年 2 月

あいさつ（宇都宮美術館）　p.5

VOCA 展に託された未来（谷新）　pp.8-9

図版〔作家略歴、図版、講演・対談〕　pp.10-69

講演・対談（太郎千恵藏、やなぎみわ、照屋勇賢、湯川雅紀、平町公、石川順惠、東島毅、聞き手・谷新、岡本康明）

作家・作品解説（谷新）　pp.70-77

出品リスト　pp.78-79

註：本書は記録集。なお田中泯の舞踏公演の写真が図版ページに 4 ページ収録されている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Present State of Contemporary Art. Selected Works from the VOCA Exhibition.」

会期：2006 年 7 月 9 日－9 月 18 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館

出品：福田美蘭、世良京子、小林正人、森弘志、館勝生、三輪美津子、堂本右美、石川順惠、駒形克哉、大岩オスカール幸男、東島毅、小林孝亘、富岡直子、端聡、小池隆英、曽根裕、東郷靖彦、上田奈保、善住芳枝、湯川雅紀、伊庭靖子、岡田修二、杉戸洋、太郎千恵藏、やなぎみわ、平町公、髙柳恵里、岩尾恵都子、フジイフランソワ、みやじけいこ、内藤絹子、坂井淑恵、押江千衣子、市川美幸、石田徹也、水上央子、高浜利也、曽谷朝絵、後藤智、石塚ツナヒロ、溝口真一、照屋勇賢、津上みゆき、岩城直美、大谷有花、小野博、中ザワヒデキ、前田朋子、小柳裕、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、日野之彦、居城純子、中川トラヲ。特別企画；田中泯〔出品リスト順〕

インパクト 東と西の現代－もう一つの大原美術館 ●

大原美術館　2006 年 7 月 11 日

ごあいさつ（館長高階秀爾）　p.3

インパクト展の意味するもの（高階秀爾）　pp.5-7

図版〔図版、章解説、論考〕　pp.9-171

〔章解説、論考〕（柳沢秀行、孝岡睦子、サラ・デュルト）

註：章解説(柳沢秀行)の最終章に「21 世紀の大原美術館」があり現代作家に触れられている。

作品リスト　pp.234-240

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「IMPACT」

会期：2006 年 7 月 11 日－11 月 5 日　倉敷・大原美術館　主催：大原美術館、共催：山陽新聞社

出品：福田美蘭、中川幸夫、森山大道、田嶋悦子、会田誠、山口晃、やなぎみわ、鴻池朋子、小谷元彦、蜷川実花、鯉江真紀子、津上みゆき、小林孝亘、東島毅〔作品リスト順〕

註：「第十章 21 世紀の大原美術館」の戦後作品の出品作家を収載。

クリエイターズー長大作／細谷巖／矢吹申彦〈まだ見ぬ日常への案内者たち〉●

世田谷美術館　2006 年 7 月

あいさつにかえて（館長酒井忠康）　p.7, 173　英文併載

図版〔作家論、図版〕　pp.9-151, 174-180

〔作家論〕（桐山登士樹、木島俊介、伊集院静）　英文併載

テキスト／資料

まだ見ぬ日常への案内者たち（野田尚稔）　pp.154-155, 181-183　英文併載

〔作家略歴、出品作品リスト〕　pp.156-172

註：編集は野田尚稔、杉山悦子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CREATORS－Daisuke Choh / Gan Hosoya / Novhiko Yabuki」

会期：2006 年 7 月 15 日－9 月 24 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：長大作、細谷巖、矢吹申彦

日本×画展〈しょく発する 6 人〉●

横浜美術館　2006 年 7 月

あいさつ（館長雪山行二）　pp.4, 5　英文併載

日本×画展 しょく発する 6 人（柏木智雄）　pp.6-11

図版　pp.12-59

資料

インタビュー（藤井雷、松井冬子、しりあがり寿、中村ケンゴ、小瀬村真美、中上清）　pp.62-85

インタビュー構成・編集（八柳サエ、坂本恭子）

作家略歴　pp.86-89　英文併載

出品リスト　pp.90-95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「NIHONGA Painting：Six Provocative Artists」

会期：2006 年 7 月 15 日－9 月 20 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

出品：藤井雷、松井冬子、しりあがり寿、中村ケンゴ、小瀬村真美、中上清〔出品リスト順〕

日本×画展〈しょく発する 6 人〉補遺

横浜美術館　2006 年

はじめに（館長雪山行二）見返し　英文併載

図版〔作家のことば、作家略歴、図版、展示風景〕 pp.1-25　英文併載

〔作家のことば〕（藤井雷、松井冬子、しりあがり寿、中村ケンゴ、小瀬村真美、中上清）

註：刊行日の記載はない。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項〔本体に同じ〕

ライフ ●

水戸芸術館現代美術センター　2006 年 9 月 15 日　展覧会資料 74 号

限りある生命に自由を夢見て（茂木健一郎） pp.5-10

「ライフ」が生まれる場所（高橋瑞木） pp.11-17

ボーダレス・アートの見晴らし台より展望する（はたよしこ） pp.18-23

「平坦な戦場」の多面性－岡崎京子のマンガが示唆するもの（ジャクリーヌ・ベルント） pp.24-30

跳躍する表現－ライフ展の作家と展示（高橋瑞木） pp.31-36

図版　pp.37-92

資料

出品作家プロフィール　pp.94-100

出品作品リスト　pp.101-103

関連イベント記録　pp.104-105

チョコレートマーブルちゃん（岡崎京子・絵） 再録

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Life」

会期：2006 年 7 月 22 日－10 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：工房「集」、HEARTBEAT DRAWING, SASAKI、齋藤裕一、日野之彦、棚田康司、川島秀明、佐々木卓也、吉永マサユキ、今村花子、岡崎京子、ハスラー・アキラ、舛次崇、西尾康之、山際正巳〔出品作品リスト順〕

デジタル遊園地〈ネットワーキングアートの未来〉●

長崎県美術館　2006 年 7 月　英文併載

ごあいさつ（館長伊東順二） p.3

芸術から心へーネットワーキング・アートの未来（伊東順二） pp.6-7, 8-9
展覧会ノート：ネットワーキング・アートは成立しているか?（森山朋絵） pp.10-11, 11-12
カタログ〔図版、作家プロフィール、作家解説〕 pp.13-45
　作家プロフィール、作家解説（野中明）
作品リスト　pp.46, 47
会場平面図　p.48
関連企画　p.50
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Future of Communication」
会期：2006 年 7 月 29 日－9 月 3 日　長崎県美術館　主催：長崎県美術館
出品：ナム＝ジュン・パイク、インゴ・ギュンター、明和電機、河口洋一郎、八谷和彦、宮島達男、西島治樹、岩井俊雄〔作品リスト順〕

愉しき家 ●

愛知県美術館　2006 年 8 月　1st＋2nd＋英語版共 3 冊(ケース入)
ごあいさつ（主催者） pp.4, 5　英文併載
愉しむ家（拝戸雅彦） pp.8-16
図版　pp.17-51
作家データ（湯田文・野田直子編） pp.53-81
出品リスト　pp.82-85
註：編集は拝戸雅彦、森美樹。
□2nd
会場図　pp.6-7
図版〔展示風景、図版〕 pp.9-91
解説と作家によるテキスト（拝戸雅彦編） pp.93-105
　作家によるコメント（正木隆、N55、中村一美〔再録〕、中尾寛、塩田千春）
図版 1st の正誤表　p.105
□英語版〔全 14 ページ〕
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Enjoyable House」
会期：2006 年 8 月 4 日－10 月 1 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・朝日新聞社・財団法人自治総合センター
出品：東恩納裕一、小林のりお、小林孝亘、ヴォルフガング・ライプ、正木隆、ゴードン・マッタ＝クラーク、森北伸、N55、中村一美、中尾寛、西野達、乃美希久子、さわひらき、塩田千春、ミハ・ウルマン、牛嶋均、やなぎみわ〔出品リスト順〕

北の彫刻展 2006〈感性を刺激する素材の魅力〉●

札幌彫刻美術館　2006 年 9 月

ごあいさつ（札幌彫刻美術館）　p.3

北の彫刻展 2006〈感性を刺激する素材の魅力〉（井上みどり）　pp.4-6

出品作家〔一覧〕　p.7

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.8-33

〔作家のことば〕（小林重予、中江紀洋、楢原武正、艾沢詳子）

出品リスト　p.35

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 8 月 26 日－10 月 9 日　札幌彫刻美術館　主催：財団法人札幌彫刻美術館

出品：小林重予、中江紀洋、楢原武正、艾沢詳子〔出品リスト順〕

コネクティング・ワールド〈創造的コミュニケーションに向けて〉●

NTT 出版　2006 年 9 月 15 日　英文併載

ごあいさつ（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]）　pp.2, 3

図版〔解説、図版〕　pp.11-80

コネクティング・ワールド――未知へと接続しつづけること（四方幸子）　pp.82-92, 94-105

物語りからテクスチャーの並列性へ（池上高志）　pp.106-114, 116-124

つながりは世界を断線する（佐藤俊樹）　pp.126-134, 136-144

作家略歴・資料　pp.149-163, 164-178

註：編集は四方幸子、中島史江(美術館)。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Connecting Worlds」

会期：2006 年 9 月 15 日－11 月 26 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]　主催：NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]

出品：エキソニモ、MaSS Dev.、毛利悠子＋三原聡一郎、タノタイガ〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家、ユニットを収載。

迷宮＋美術館〈コレクター砂盃富男が見た 20 世紀美術〉●

群馬県立近代美術館・渋谷区立松濤美術館　2006 年 9 月

あいさつ（主催者）　p.3

砂盃富男と私の 30 年の歩み〈戦争と画家たちをテーマにしたコレクター、評論家、画家、詩人であった親友〉（佐谷和彦）　pp.5-7

展覧会の開催によせて（砂盃次代）　p.8

カタログ〔章解説、作家略歴、図版〕　pp.9-96

展覧会の構成について（熊谷ゆう子）　pp.97-101

今日的な、個人コレクションについて〈砂盃富男の場合〉（瀬尾典昭）　pp.102-107

砂盃富男――画家、詩人、コレクター、評論家、美術館主、そして…（染谷滋） pp.108-112
砂盃富男年譜（染谷滋編） pp.113-118
砂盃コレクション総リスト pp.119-144
出品リスト pp.145-149
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：〔群馬展〕2006 年 9 月 17 日－10 月 22 日　第 1 会場；高崎市美術館、第 2 会場；前橋・群馬県庁昭和庁舎／10 月 31 日－12 月 10 日　渋谷区立松濤美術館　主催：群馬県立近代美術館・高崎市美術館・渋谷区立松濤美術館
出品：I 海外作家のコレクション。II 戦争と画家たち；浜田知明、上野誠。III 国内作家のコレクション；瀧口修造、金子真珠郎、中川幸夫、松澤宥、草間彌生、加納光於、山口長男、斎藤義重、麻生三郎、桂ゆき、小山田二郎、元永定正、深沢幸雄、池田龍雄、村岡三郎、吉原英雄、中村宏、岡本信治郎、篠原佳尾、秀島由己男、星野美智子、秋山祐徳太子、高松次郎、李禹煥、若林奮、三木富雄、赤瀬川原平、黒崎彰、谷川晃一、野中ユリ、河口龍夫、関根伸夫、榎倉康二、上矢津、菅木志雄、彦坂尚嘉、多賀新、戸谷成雄、孫雅由、遠藤利克、柄澤齊、北川健次〔出品リスト順〕
註：群馬県立近代美術館の分担した展示は、同館が休館中であったため群馬県庁昭和庁舎で開催された。なお、出品欄は日本作家のみ収載した。

ガーデンズ――小さな秘密の庭へ ●
豊田市美術館　2006 年 9 月　主に欧文併載
ごあいさつ（寺光彦） pp.4, 5
ガーデンズ――さまざまな経験と問いかけ（カトリーヌ・グルー） pp.6-15, 16-25
GARDENS――小さな秘密の庭へ（能勢陽子） pp.26-31, 32-37
図版〔展示風景〕 pp.39-79
作家解説（能勢陽子） pp.81-121
作家略歴・主要参考文献 pp.122-131
作品リスト pp.132-134
註：編集は能勢陽子、北谷正雄、金井直、西﨑紀衣。
所蔵：□、東近美、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「GARDENS」
会期：2006 年 9 月 30 日－12 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館
出品：鈴木昭男、照屋勇賢、栗林隆、高木正勝、小粥丈晴〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

「空間に生きる――日本のパブリックアート」展 ●
「空間に生きる――日本のパブリックアート」展実行委員会・空間造形コンサルタント

2006 年 10 月
ごあいさつ（主催者） p.3
パブリックアートとは何か――展覧会によせて（酒井忠康） pp.6-10
存在するアート＝1989（細田雅春） pp.11-13
図版〔解説、図版〕pp.15-82
解説（水沢勉、酒井忠康、樋泉綾子、渡辺真理、石井幸彦、大野慶子、岩﨑直人、清水裕子、吉崎元章、鳴海雅人、畑山祐子）
日本のパブリックアート関連年表 pp.84-89
図版リスト pp.90-97
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Public Art in Japan」
会期：2006 年 10 月 1 日－29 日 札幌芸術の森美術館 主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団・「空間に生きる――日本のパブリックアート」展開催実行委員会／11 月 5 日－12 月 24 日 世田谷美術館 主催：世田谷美術館・「空間に生きる――日本のパブリックアート」展開催実行委員会
出品：I エポックメイキング・プロジェクト；丹下健三、岡本太郎、イサム・ノグチ、ダニ・カラヴァン。II ユニーク・プロジェクト；環境造形 Q(山口牧生、増田正和、小林陸一郎)、鈴木昭男、安田侃、荒川修作/マドリン・ギンズ、庄野泰子、篠原修、若林奮、新宮晋、土屋公雄、池田一。III 戦後パブリックアートの諸相；菊池一雄、笠置季男、本郷新、舟越保武、流政之、篠田守男、多田美波、豊福知徳、中谷芙二子、小田襄、清水九兵衛、田中信太郎、飯田善國、岡本敦生、岡崎乾二郎、澄川喜一、井上武吉、田辺光彰、辻けい、ニルス・ウド、アンディー・ゴールズワージー、デイヴィッド・ナッシュ、海老塚耕一、折元立身、藤浩志、間島領一〔図版収載順〕
註：出品欄は個人作家のみ収載。

縄文と現代〈二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』〉●
オークコーポレーション 2006 年 10 月
ごあいさつ（主催者） pp.4, 5 英文併載
「いま」と「いにしえ」をつなぐ愛（工藤健志） pp.10-15
カタログ〔章解説、作家解説、図版〕 pp.17-96
章解説（工藤健志）、作家解説（冨野華奈）
作家略歴 pp.98-109
出品リスト 現代 pp.110-115
参考図版 pp.116-117
出品リスト 縄文 pp.118-126
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美
○展覧会事項

欧文タイトル：「Art and Object：Affinity of the Jomon and the Contemporary」
会期：2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　青森県立美術館　主催：縄文と現代展実行委員会(東奥日報社、日本放送協会青森放送局、青森県)・青森県立美術館
出品：現代 第 1 章；岡本太郎、村井正誠、タイガー立石、阿部展也、鶴岡政男、工藤麻紀子、高山良策、内藤正敏、鈴木理策、菅井汲、野見山暁治、桂ゆき、斎藤義重、横山裕一、寺田政明、田澤茂、瑛九、皆川明。第 2 章；瑛九(重)、菊畑茂久馬、池田龍雄、田中敦子、元永定正、白髪一雄、岡本太郎(重)、今井俊満、山口長男、小野忠弘、吉仲太造、李禹煥、村上善男、難波田龍起、菅井汲(重)、菅木志雄、村岡三郎、西尾康之、間島領一、若林奮、戸谷成雄。第 3 章；西尾康之(重)、吉岡康弘、佳嶋、丸尾末廣、佐伯俊男、佐藤勲、カンノサカン、塩田千春、川島秀明、小川信治、中村宏、山下菊二、芥川〔間所〕紗織、尾藤豊、阿部合成、真島直子、秋山祐徳太子、村上善男(重)、荒川修作、吉江庄蔵、吉野辰海。第 4 章；小谷元彦、会田誠、工藤哲巳、山口晃、森万里子、草間彌生、土井典、ヤノベケンジ、青木野枝、岡本光博、内藤礼、福田里香、コーネリアス、小沢剛、村山留里子、馬場哲晃〔出品リスト順〕

アイドル! ●

横浜美術館・横浜市芸術文化振興財団　2006 年 10 月
図版　pp.1-72
　生命の輝きに満ちて（草間彌生）
あいさつ（館長雪山行二）　pp.76, 77　英文併載
「なんてったって、アイドル」――アイドルから読む現代アメリカ（内野儀）pp.78-83
増幅するアイドル像（天野太郎）　pp.84-87
ドキュメントー高校生ゲストキュレーターズ・ミーティング（内山淳子）　pp.88-95
作家略歴　pp.96-113
出品リスト　pp.114-119
註：編集は天野太郎、倉石信乃、内山淳子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Idols」
会期：2006 年 10 月 7 日－2007 年 1 月 8 日　横浜美術館　主催：横浜美術館
出品：篠山紀信、中原杏／きらりんプロジェクト・小学館・テレビ東京、蜷川実花、川島秀明、草間彌生、KATHY、加藤美佳、西野正将、株式会社セガ「オシャレ魔女ラブ and ベリー」」〔出品リスト順〕

ART TODAY 2006 図録 ●

セゾン現代美術館　2006 年 10 月 7 日
メッセージ（館長難波英夫）　p.3
図版〔図版、作家のことば〕　pp.4-52
　〔作家のことば〕（和田賢一、渡邉野子）
作家略歴　pp.54-56　英文併載

作品リスト　pp.57-59
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、和光大
○展覧会事項
会期：2006 年 10 月 7 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：セゾン現代美術館
出品：和田賢一、渡邉野子〔作品リスト順〕

第 3 回府中ビエンナーレ 美と価値〈ポストバブル世代の 7 人〉●
府中市美術館　2006 年 10 月　別冊共
ごあいさつ（館長本江邦夫）　pp.8, 9　英文併載
現在の美と価値を求めて ポストバブル世代の 7 人の実践（神山亮子）　pp.15-19, 86-91　英文併載
評価について（本江邦夫）　pp.21-23, 92-95　英文併載
図版〔7 人のステートメント、作家解説、図版〕　pp.25-71
7 人のステートメント（大竹敦人、窪田美樹、小林耕平、境澤邦泰、豊嶋康子〔3 行〕、松井茂〔2 行〕、森本太郎）　pp.75-85 に英訳
作家解説（武居利史、成相肇、山村仁志、岡見さえ、本江邦夫）
作家略歴・参考文献（武居利史編）　pp.73-85
別冊〔出品リスト、会場風景、会場図面〕　1 葉(両面刷)
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The 3rd Fuchu Biennial On Beauty and Value Seven Artists of Post-Bubble Generation」
会期：2006 年 10 月 21 日－12 月 24 日　府中市美術館　主催：府中市美術館
出品：大竹敦人、窪田美樹、小林耕平、境澤邦泰、豊嶋康子、松井茂、森本太郎〔図版収載順〕

スーパーエクスタシー 至福への旅路 ●
神奈川県民ホール　2006 年 10 月
ごあいさつ（芸術総監督一柳慧）　p.5
月へのしたたり（小川稔）　pp.9-13
図版〔作品リスト、図版〕　pp.15-83
銀の涙（石井太）　pp.85-90
作家略歴　pp.91-94, 95-98　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「michi」
会期：2006 年 10 月 28 日－11 月 24 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

出品：野田雄一、藤田敏彰、松島さくら子、三澤憲司、塩﨑由美子、野村和弘、山田正好〔図版収載順〕

写真の現在 3 臨界をめぐる 6 つの試論 ●

東京国立近代美術館　2006 年 10 月　英文併載

あいさつ（館長辻村哲夫）　p.5

図版　pp.9-72

臨界をめぐる 6 つの試論（増田玲）　pp.75-80, 91-96

インタビュー（伊奈英次、小野規、浅田暢夫、北野謙、鈴木崇、向後兼一。増田玲、竹内万里子編）　pp.81-90, 97-102

作家略歴　pp.104-105, 106-107

出品作品リスト　pp.108-110

註：編集は増田玲、竹内万里子、保坂健二朗。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Photography Today 3　Resolution／Dissolution」

会期：2006 年 10 月 31 日－12 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：伊奈英次、小野規、浅田暢夫、北野謙、鈴木崇、向後兼一〔出品作品リスト順〕

この 20 年の、20 のアート〈広島市現代美術館コレクションによる〉 ●

札幌芸術の森美術館　2006 年 11 月　開園 20 周年記念

ごあいさつ（札幌芸術の森美術館）　p.3

図版〔図版、文〕　pp.7-57

文（岩﨑直人）

作家略歴　pp.58-61

作品リスト　pp.62-63

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2006 年 11 月 3 日－2007 年 1 月 14 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・札幌市芸術文化財団、協力：広島市現代美術館

出品：会田誠、青木野枝、岩井俊雄、大岩オスカール幸男、小沢剛、川俣正、小林孝亘、須田悦弘、千住博、堂本右美、奈良美智、日高理恵子、福田美蘭、舟越桂、宮島達男、村上隆、森村泰昌、柳幸典、ヤノベケンジ、吉澤美香〔作品リスト順〕

彫刻なるもの－川島清・土谷武・若林奮の作品から ●

いわき市立美術館　2006 年 11 月

ごあいさつ（いわき市立美術館）　p.3

図版〔図版、作品解説〕　pp.5-97

作品解説（平野明彦）
「彫刻なるもの」－世界と人間の仲介者（小泉晋弥） pp.98-109
彫刻－川島清・土谷武・若林奮の作品について（平野明彦） pp.110-121
〔作家略歴〕（竹内啓子編） pp.122-136
出品作品リスト p.137
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2006 年 11 月 17 日－12 月 17 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館
出品：川島清、土谷武、若林奮

リアル・ユートピア～無限の物語 ●
金沢 21 世紀美術館　2006 年 11 月 22 日　英文併載
ご挨拶（館長蓑豊） p.3
リアル・ユートピア～無限の物語（村田大輔） pp.6-9, 10-13
岸本清子とその時代〈岩田信市インタビュー〉（聞き手・村田大輔） pp.14-17, 18-21
図版 pp.23-55
作家略歴 pp.58-61
作品リスト p.62
展示マップ p.63
註：編集は村田大輔、橋爪真紀。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Real Utopia～Stories of the Unlimited」
会期：2006 年 11 月 23 日－2007 年 3 月 21 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館
出品：イ・ブル、草間彌生、岸本清子、木村太陽〔作品リスト順〕

2007（平成 19）年

DOMANI・明日展 2007 図録 ●
文化庁・読売新聞東京本社　2007 年 1 月
ごあいさつ（主催者） p.3
「DOMANI・明日」展 2007 開催にあたり（滝純一） p.4
在外研修制度(新進芸術家海外留学制度)について p.5
図版〔作家略歴、コメント、図版、作品解説〕 pp.7-67
コメント、作品解説（片山雅史、木村繁之、斉藤典彦、宮いつき、平木美鶴、木下恵介、栗田政裕、小野友三、吉川龍、平体文枝、水本剛廣、押江千衣子、諏訪敦、石黒賢一郎、菅沼稔、小林孝亘、今永清玄、加藤正二郎、井上護、井上秀樹、西房浩二、浅野均、加藤学、赤羽カオル、丸山直文、菅野まり子、東島毅、滝純一、佐藤幸代、高橋洋）

出品作品リスト　pp.69-71

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

展名：未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2007〈文化庁芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)の成果〉

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 1 月 11 日－2 月 18 日　新宿・損保ジャパン東郷青児美術館　主催：文化庁・損保ジャパン東郷青児美術館・読売新聞東京本社

出品：片山雅史、木村繁之、斉藤典彦、宮いつき、平木美鶴、木下恵介、栗田政裕、小野友三、吉川龍、平体文枝、水本剛廣、押江千衣子、諏訪敦、石黒賢一郎、菅沼稔、小林孝亘、今永清玄、加藤正二郎、井上護、井上秀樹、西房浩二、浅野均、加藤学、赤羽カオル、丸山直文、菅野まり子、東島毅、滝純一、佐藤幸代、高橋洋〔出品作品リスト順〕

MESSAGE2007 南九州の現代作家たちメッセージ 2007 ●

都城市立美術館　2007 年〔3〕月　開館 25 周年特別企画展　付・CD-ROM

はじめに（都城市立美術館）　p.3

宮崎の現代美術 120 ヶ月〈メッセージ'07 までのインターバル〉（石川千佳子）　pp.4-7

かごしまの行方と現代美術（宮園広幸）　pp.8-13

作家紹介〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.14-49

〔作家のことば〕（赤塚祐二、阿部健二、壱岐紀仁、河口洋一郎、倉山裕昭、黒木周、児玉幸子、高嶺格、矢野静明）

美術の裂罅水をさがして（原田正俊）　pp.50-51

作家略歴　pp.52-60

作品リスト　pp.61-63

関連事業　p.64

註：「はじめに」には 2007 年 3 月とあり。編集は原田正俊、長友実希子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MESSAGE2007　Southern Kyushu Contemporary Artists message 2007」

会期：2007 年 1 月 19 日－3 月 11 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館・BTV 都城ケーブルテレビ

出品：赤塚祐二、阿部健二、壱岐紀仁、河口洋一郎、倉山裕昭、黒木周、児玉幸子、高嶺格、矢野静明〔作品リスト順〕

MOT アニュアル 2007 等身大の約束 ●

東京都現代美術館　2007 年 1 月　主に英文併載

ごあいさつ（東京都現代美術館）　pp.4, 5

等身大の約束（米崎清実）　pp.8-15, 16-23

カタログ〔図版、作品についての作家のことば〕　pp.25-85

〔作品についての作家のことば〕（千葉奈穂子、秋山さやか、しばたゆり）
出品作家資料（米崎清実編、楠まゆこ協力） pp.87-105 主要参考文献のみ和文
作家のステイトメント（千葉奈穂子、秋山さやか、中山ダイスケ、加藤泉、しばたゆり）
作家略歴等：千葉奈穂子、秋山さやか、中山ダイスケ、加藤泉、しばたゆり
出品リスト pp.106-109
註：編集は米崎清実、岡村恵子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MOT Annual 2007 From a World as Large as Life」
会期：2007 年 1 月 20 日－4 月 1 日 東京都現代美術館 主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館
出品：千葉奈穂子、秋山さやか、中山ダイスケ、加藤泉、しばたゆり〔出品リスト順〕

笑い展 現代アートにみる「おかしみ」の事情 ●
森美術館 2007 年 1 月 26 日
ごあいさつ（館長南條史生） pp.6, 7 英文併載
出品作家リスト p.10 英文併載
真実を探して――穴と輪ゴムとマスクとコヨーテ（片岡真実） pp.12-25, 26-39 英文併載
匿名のアイロニー、形式のユーモア（斎藤環） pp.40-46, 47-53 英文併載
フルクサスの笑い（塩見允枝子） pp.54-57, 58-61 英文併載
図版〔章解説、図版、作家解説、作品解説〕 pp.62-216
作家・作品解説（片岡真実）
作品リスト pp.218-230
アーティスト・データ／略歴および主要参考文献 pp.231-260
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ALL ABOUT LAUGHTER：HUMOR IN CONTEMPORARY ART」
会期：2007 年 1 月 27 日－5 月 6 日 六本木・森美術館 主催：森美術館・日本テレビ放送網
出品：SECTION 1 前衛の笑い；赤瀬川原平、靉嘔、ハイレッド・センター、中西夏之、オノ・ヨーコ、塩見允枝子。SECTION 2 小さな笑い；磯崎道佳、木村太陽、倉重迅、渡辺英司。SECTION 3 笑いの裏返し；会田誠、チェン・シャオション(陳劭雄)＋小沢剛、鳥光桃代。SECTION 4 逸脱する笑い；今村哲、磯崎道佳(重)、金氏徹平、岡山直之、田中功起、山本高之〔出品作家リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

アートみやぎ 2007 図録 ●
宮城県美術館 2007 年 1 月 30 日 開館 25 周年記念 第 3 回展
あいさつ（館長長谷川三郎） p.3

みやぎの美術 2003-2006（西村勇晴） pp.4-6
「アートみやぎ 2007」の出品作家について（三上満良） pp.7-11
図版〔作家のことば、図版〕 pp.13-83
〔作家のことば〕（石川舜、及川聡子、翁譲、加藤千尋、木伏大助〔聞き手・三上満良〕、佐藤淳一、タノタイガ、樋口佳絵）
略歴 pp.84-89
出品目録 pp.90-95
Art Miyagi 2007 pp.96-97 英文
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「art miyagi 2007」
会期：2007 年 1 月 30 日－4 月 8 日 仙台・宮城県美術館 主催：宮城県美術館・河北新報社・NHK 仙台放送局
出品：石川舜、及川聡子、翁譲、加藤千尋、木伏大助、佐藤淳一、タノタイガ、樋口佳絵〔出品目録順〕

マイクロポップの時代：夏への扉 松井みどり著 ●
パルコ 2007 年 3 月 19 日 英文併載
はじめに pp.2, 3
マイクロポップ宣言：マイクロポップとは何か pp.6-7, 8-9
図版〔「夏への扉－マイクロポップの時代」展〕 pp.10-25
夏への扉：マイクロポップの時代 pp.27-67
マイクロポップ時代を読み解く 10 のキーポイント pp.68-73
特別鼎談マイクロポップ時代の表現（桜井圭介×三田格×松井みどり、司会・宮村周子） pp.74-77
火星に生命体は存在するか?（ダグラス・フォーゲル） pp.78-81
松井みどりの「マイクロポップ」（森司） pp.82-85
Artists：〔作家解説、作家略歴、作家のことば〕 pp.87-235
〔作家のことば〕（島袋道浩、K.K.・談）
マイクロポップへの道：松井みどりインタビュー pp.240-247
松井みどり 略歴・文献 p.250
作家 主な参考文献 pp.251-253
展覧会展示作品リスト pp.254-255
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Age of Micropop：The New Generation of Japanese Artists」
会期：2007 年 2 月 3 日－5 月 6 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー 主催：水戸市芸術振興財団

出品：島袋道浩、有馬かおる、タカノ綾、青木陵子、杉戸洋、奈良美智、野口里佳、落合多武、森千裕、泉太郎、國方真秀未、大木裕之、半田真規、田中功起、K.K.〔展示作品リスト順〕

「森」としての絵画－「絵」のなかで考える ●

岡崎市美術博物館　2007 年 2 月　付・Supplement

開催にあたって（岡崎市・中日新聞社）p.5

森の絵画――現代の日本の絵画（天野一夫）pp.9-13

カタログ〔章解説、図版〕pp.15-96

章解説（千葉真智子）

絵と言葉のなかに身を置く（千葉真智子）pp.98-99

作家ドキュメント〔作家のことば、作家略歴〕pp.100-121

〔作家のことば〕（伊藤存、岩熊力也、越前谷嘉高、O JUN、岡崎乾二郎、加藤泉、佐藤勲、杉戸洋〔1 行〕、染谷亜里可、手塚愛子、中ザワヒデキ、奈良美智、額田宣彦、パラモデル、法貴信也、丸山直文、村瀬恭子〔1 行〕、横内賢太郎、吉澤美香）

出品作品リスト　pp.122-125

□Supplement〔全 8 ページ〕

図版〔カタログ未収録作品図版〕8p.

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「Painting as Forest：Artists as Thinker」

会期：2007 年 2 月 10 日－3 月 25 日　岡崎市美術博物館　主催：岡崎市・中日新聞社

出品：I.システムとしての絵画；岡崎乾二郎、額田宣彦。II.ドローイングから紡ぐ；法貴信也、伊藤存。III.イメージの湧出力；杉戸洋、吉澤美香、越前谷嘉高、村瀬恭子、丸山直文。IV.影像的；横内賢太郎、岩熊力也。V.器としての絵画；加藤泉、奈良美智。VI.絵を立ち上げる；佐藤勲、O JUN、染谷亜里可、中ザワヒデキ、手塚愛子、パラモデル〔出品作品リスト順〕

ねりまの美術 2007 油彩画と版画 ●

練馬区立美術館　2007 年 2 月

ごあいさつ（上岡正道）　p.2

油彩画と版画（横山勝彦）　p.2

図版　pp.3-28

作品リスト　pp.29-32

所蔵：□、国新美、都現美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 2 月 24 日－4 月 8 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：油彩画；鳥海青児、白髪一雄。油彩画と版画；山口長男、寺田政明、大沢昌助、勝呂忠、野見山暁治、小野木学、池田龍雄、近藤竜男、中西夏之、辰野登恵子。版画；清宮質文、

柄澤齊、菊池怜司、久保卓治、郭徳俊、横田亜弓〔作品リスト順〕

註：戦前作品のみの出品作家（木村荘八と宮芳平）は割愛した。

Portrait Session ●

大和ラヂエーター製作所　2007 年 3 月 11 日　英文併載

顔の奇跡（四方田犬彦）　pp.4-7, 8-11

絵画史の 3 つの事例から（田中英二）　pp.12-15, 16-19

アートにとって「美」とは何か（野崎昌弘）　pp.20-21, 22-23

中心性への希求〈パメラ・ローゼンクランツの芸術行為と自己同一性の解体〉（渡辺真也）　pp.24-29, 30-35

肖像画の基礎概念〈生身性と肖似性〉（伊藤大輔）　pp.36-45, 46-57

図版　pp.59-189

アーカイヴ、アナクロニズム、イメージ〈批評の現場から〉（清水穣）　pp.190-193, 194-197

〔作品目録〕　pp.199-201

作家略歴　pp.202-209, 210-217

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、和光大、都中図

○展覧会事項

和文タイトル：『ポートレート・セッション』展

会期：2007 年 3 月 11 日－5 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館

出品：会田誠、秋吉風人、東義孝、榎本耕一、長谷川純、法貴信也、石井友人、泉孝昭、川原直人、川島秀明、喜多順子、小林正人、小柳裕、桑原正彦、桑久保徹、丸山直文、政田武史、増田佳江、ピーター・マクドナルド、三輪美津子、中川トラヲ、西原功織、大竹竜太、ミコライ・ポリンスキー、ピーター・ポマー、パメラ・ローゼンクランツ、杉戸洋、多田友充、田口和奈、竹川宣彰、竹崎和征、塚田守〔図版収載順〕

VOCA 展 2007「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2007 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2007」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展 2007」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、選考委員〕　pp.9, 103

〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、宮崎克己）　pp.11-15, 104-108

〔出品作家、推薦委員〕　pp.17, 109

図版〔図版、作家解説〕　pp.18-89

〔作家解説〕（吉崎元章、岡部信幸、保坂健二朗、藤田一人、窪田研二、石川健次、山下裕二、山脇一夫、大島賛都、林洋子、降旗千賀子、平澤広、李美那、不動美里、真武真喜子、光田由里、五十嵐卓、植草学、南嶌宏、森田一、名古屋覚、飯田志保子、加藤義夫、植松由佳、寺嶋弘道、武田昭彦、橋本善八、小勝禮子、山本淳夫、菅章、藤川哲、坂元暁美、岸本和明、翁長直樹、柳原正樹、松下和美）　英文 pp.110-127

作家略歴　pp.91-101, 110-127

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2007　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2007 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：會田千夏、阿部亮平、池田光弘、石井礼子、磯邉一郎、入江明日香、岩堀敏行、江本幸恵、金氏徹平、神谷徹、黒嶋亮子、小林志保子、小林達也、嵯峨篤、佐々木愛、佐々木加奈子、佐々木里加、塩保朋子、清水亮輔、菅野まり子、傍嶋崇、田口和奈、寺島みどり、中岡真珠美、波田浩司、樋口佳絵、ヒラタシノ、町田久美、松田豊美、宮﨑勇次郎、森本美絵、山口晃、山下律子、山城知佳子、山本太郎、吉賀あさみ〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・山本太郎、VOCA 奨励賞・池田光弘、傍嶋崇、佳作賞・田口和奈、中岡真珠美、大原美術館賞・樋口佳絵、府中市美術館賞・山口晃

「世田谷時代 1946-1954 の岡本太郎」展〈戦後復興期の再出発と同時代人たちとの交流〉第 1 巻 ●

世田谷美術館　2007 年 3 月

あいさつにかえて――岡本太郎という文化現象（酒井忠康）　pp.10-13

I.画家・岡本太郎の出発と再出発

第 4 章 同時代の前衛美術家たち（杉山悦子、野田尚稔）　pp.78-98

作家略歴 同時代の前衛美術家たち（野田尚稔編）　pp.116-119

第 1 巻・出品(収載)目録 同時代の前衛美術家たち　pp.127-129

註：個展カタログではあるが現代作家との交流の部分を採録した。なお、第 2 巻では文学者との交流が取り上げられている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Taro Okamoto and His Contemporaries in the Post-War Era」

会期： 2007 年 3 月 24 日－5 月 27 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・世田谷文学館・岡本太郎記念館・川崎市岡本太郎美術館

出品：岡本太郎、山口長男、吉原治良、桂ゆき、間所〔芥川〕紗織、吉仲太造、村上善男、ジャン・アトラン、村井正誠、長谷川三郎、末松正樹、阿部展也、桂川寛、勅使河原宏、池田龍雄、北代省三、福島秀子、山口勝弘、イサム・ノグチ〔出品目録順〕

註：出品欄は第 4 章「同時代の前衛美術家たち」の作家を収載。

「賛美小舎」上田コレクション〈夫妻であつめた愛しの現代美術〉　練馬区立美術館編 ●

〔練馬区立美術館〕 2007 年 4 月 21 日

ごあいさつ（館長上岡正道）　p.3

私たちのコレクションの成り立ち――作家の未来の共有を願って（上田國昭・上田克子）pp.7-9, 10-12　英文併載

読画会の頃――諏訪直樹の思い出を軸として（北澤憲昭）　pp.13-15

コレクション「所有」するということ――「賛美小舎」の「現代美術」を中心に（上山陽子）
pp.16-19
「日本画」という事件の目撃者にして、「事件」の収集家。（野地耕一郎） pp.20-23
図版〔章解説、図版〕 pp.24-104
〔章解説〕（上山陽子、野地耕一郎）
作家略歴 pp.105-120
「賛美小舎」上田コレクション全作品 pp.121-161
註：発行所の記載が無いので仮に練馬区立美術館としておいた。なお標題紙にはそれでも人は、「境界」を超える。〈初公開!「賛美小舎」上田コレクション――夫妻であつめた愛しの現代美術〉とある。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Sambi Shosha Ueda Collection Mr. and Mrs. Ueda's Lovely Contemporary Art」
会期：2007 年 4 月 21 日－6 月 3 日 練馬区立美術館 主催：練馬区立美術館
出品：セクション I「美術」を越えて；石原友明、河嶋淳司、福田美蘭、ヨーゼフ・ボイス、松井智恵、ミッション・インヴィジブル(松井智恵＋石原友明)、柳幸典。セクション II「絵画」を越えて；岡村桂三郎、尾長良範、小野友三、小滝雅道、諏訪直樹、間島秀徳、山本直彰、湯浅龍平。セクション III「日常／非日常」を越えて；斉藤典彦、須田悦弘、武田州左、日高理恵子、マコト・フジムラ、湯川雅紀〔図版収載順〕

奏でる身体 ●
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2007 年 4 月 英文併載
ごあいさつ（主催者） pp.4, 5
奏でる身体（松村円） pp.8-11, 12-15
図版 pp.17-55
作家略歴 pp.57-60, 61-65
作品リスト pp.66-67, 68-69
註：編集は松村円、古野華奈子。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Body Sings of Life」
会期：2007 年 4 月 22 日－6 月 24 日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団
出品：三木富雄、猪熊弦一郎、イサム・ノグチ、石内都、北山善夫、やなぎみわ、塩田千春、森村泰昌、澤田知子〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

開館記念〈生きる〉展――現代作家 9 人のリアリティ ●
横須賀美術館 2007 年 4 月 主に英文併載

ごあいさつ（横須賀美術館） pp.7, 9
〈生きる〉を問う（原田光） pp.13-17, 19-23
図版〔図版、作家論〕 pp.25-121, 156-173
作家論（冨田康子、立浪佐和子、林田ゆみ子、工藤香澄）
作家のことば／略歴／参考文献 pp.123-155
作家のことば（石内都、岡村桂三郎、木村太陽、小林孝亘、舟越桂、真島直子）
出品目録 pp.174-175
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Vital Signs：Reality of Nine Contemporary Artists」
会期：2007 年 4 月 28 日－7 月 16 日 横須賀美術館 主催：横須賀美術館
出品：石内都、石田尚志、岡村桂三郎、木村太陽、小林孝亘、清水慶武、舟越桂、真島直子、ヤノベケンジ〔出品目録順〕

生まれるイメージ 2007 ●
山形美術館 2007 年 5 月
ごあいさつ（主催者）p.2
万物照応(correspondence)（岡部信幸） pp.3-4
カタログ〔図版、作家略歴、制作コメント〕 pp.5-37
制作コメント（倉田研治、堀正明、元木孝美、山田修市、若月公平）
出品作品リスト p.38
所蔵：□、国新美
○展覧会事項
欧文タイトル：「Descending Images 2007」
会期：2007 年 5 月 16 日－6 月 24 日 山形美術館 主催：山形美術館・山形新聞・山形放送
出品：倉田研治、堀正明、元木孝美、山田修市、若月公平〔出品作品リスト順〕

大辻清司の写真〈出会いとコラボレーション〉●
渋谷区立松濤美術館 2007 年 6 月
あいさつ（渋谷区立松濤美術館） p.3
図版（構成・図版解説 光田由里） pp.9-200
出会いとコラボレーション 斎藤義重、瀧口修造、阿部展也、山口勝弘、北代省三、浜田浜雄、佐藤慶次郎
TOPICS APN、グラフィック集団、キネカリグラフ、コミューンとしての普賢山落、印刷物の仕事、大辻清司の「つくる」、大辻清司の「かたる」、「人間と物質」展、松澤宥、「ひと函の過去」
大辻清司アンソロジー（大日方欣一編） pp.33-39, 65-78, 202-243
写真家大辻清司・揺籃期と出発（大日方欣一） pp.217-223

大辻清司クロニクル（大日方欣一編） pp.224-244
グラフィック集団・略年譜 p.243
大辻清司アンソロジー出典一覧 p.246
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「OTSUJI KIYOJI Photographs as Collaborations」
会期：2007 年 6 月 5 日－7 月 16 日 渋谷区立松濤美術館 主催：渋谷区立松濤美術館
出品：大辻清司、斎藤義重、瀧口修造、阿部展也、山口勝弘、北代省三、浜田浜雄、グラフィック集団、石元泰博、辻彩子、佐藤慶次郎〔図版収載順〕

大辻清司の写真〈出会いとコラボレーション〉 大日方欣一・光田由里編
フィルムアート社 2007 年 6 月 11 日
註：本書は上記の展覧会カタログを単行書化したもの。
所蔵：□、国新美、東近美、写真美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

宇宙御絵図 UCHU-MIEZU ●
豊田市美術館 2007 年 6 月
ごあいさつ（豊田市美術館） p.4
宇宙と風雅モダニズム（篠原資明） pp.6-9
「宇宙御絵図」を思考する（青木正弘） pp.10-13
図版〔会場写真〕 pp.15-41
図版 pp.43-93
作家解説・略歴 pp.95-112
作家解説（西﨑紀衣、金井直、吉竹彩子、安言子、北川智昭）
作家略歴（青木正弘編）
出品作品リスト pp.115-119
宇宙御絵図関連イヴェント pp.120-121
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
会期：2007 年 6 月 19 日－9 月 24 日 豊田市美術館 主催：豊田市美術館
出品：安齊重男、金山明、河原温、北山善夫、佐倉密、鷲見和紀郎、田中信行、長沼宏昌、野村仁、松澤宥、毛利武士郎、ZAPPA〔出品作品リスト順〕

線の迷宮 II――鉛筆と黒鉛の旋律 ●
目黒区美術館 2007 年 7 月
ごあいさつ（目黒区美術館） p.5
図版 pp.7-81
鉛筆と黒鉛の奏でるもの―絵画表現としての可能性（降旗千賀子） pp.82-85
作品リスト pp.87-90
作家略歴・文献 pp.91-98

線の迷宮〈ラビリンス〉II―鉛筆と黒鉛の旋律 催し物・ワークショップ　p.99
〔会場風景〕 pp.100-112
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2007 年 7 月 7 日－9 月 9 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館
出品：佐伯洋江、関根直子、妻木良三、磯邉一郎、小川信治、小川百合、篠田教夫、木下晋、齋鹿逸郎〔作品リスト順〕

ATTITUDE2007 人間の家〈真に歓喜に値するもの〉●
熊本市現代美術館　2007 年 7 月 21 日　主に英文併載
人間の家－真に歓喜に値するもの（南嶌宏） pp.8-17, 18-25
作家一覧　p.27
図版〔作家のことば、解説、図版〕 pp.28-180
〔作家のことば〕（荒木経惟、石田澄男、川島清、木下晋、辻綾子、中山ダイスケ、埴谷雄高、土方巽〔1 行〕、やなぎみわ、山田新一、山本糾、ルチェザール・ボヤジェフ、ジュディ・シカゴ、ヨーク・ガイスマール〔欧文〕、ズビグニエフ・リベラ、ボリス・ミハイロフ、ポーンタウィーサック・リムサクン、レオニード・ソコフ、ラーシャ・トドシェヴィッチ、芥正彦、堀浩哉、中山節夫、鮎川誠、「はやぶさ」プロジェクト参加者）
〔解説〕（極限の美、ハイヤ節、「はやぶさ」プロジェクト）
作家解説・略歴　pp.181-212
作家解説（坂本顕子、冨澤治子、伊豆菜々、藏座江美、芦田彩葵、矢加部咲、本田代志子、小山明日香、竹田茜）
出品作品リスト　pp.213-224
ATTITUDE2007 会期中の催し　p.225
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ATTITUDE2007 The House of Human Beings Authentically Blessed Jubilance」
会期：2007 年 7 月 21 日－10 月 14 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・RKK 熊本放送
出品：荒木経惟、石田澄男、川島清、木下晋、辻綾子、中山ダイスケ、埴谷雄高、土方巽、やなぎみわ、山田新一、山本糾、ルチェザール・ボヤジェフ、ジュディ・シカゴ&ドナルド・ウッドマン、ヨーク・ガイスマール、ズビグニエフ・リベラ、ボリス・ミハイロフ、ポーンタウィーサック・リムサクン、レオニード・ソコフ、ラーシャ・トドシェヴィッチ、芥正彦、堀浩哉、極限の美－日本・台湾・韓国のハンセン病療養所入所者の作品、中山節夫、阿部薫、鮎川誠、ハイヤ節、はやぶさプロジェクト〔出品作品リスト順〕

「素材×技術」からフォルムへ〈布と金属〉●

茨城県つくば美術館　2007 年 7 月
ごあいさつ（茨城県つくば美術館）　p.3　英文併載
構造としてのかたちとイムズとしての実材表現、あるいは日本的造形史観（外舘和子）　pp.6-16, 96-107　英文併載
図版〔作家インタビュー、図版、文章再録〕　pp.17-79
〔作家インタビュー〕（小名木陽一、聞き手・外舘和子）
染織・金工用語解説（外舘和子）　pp.81-82
作家プロフィール（外舘和子）　pp.83-90, 108-109　抄訳
出品目録　pp.91-94
資料「素材×技術」からフォルムへ〈陶〉pp.110-111
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル:「CONTEMPORARY JAPANESE TEXTILES AND METALWORKS　From Materials & Artistry to Forms」
会期：2007 年 7 月 27 日－8 月 26 日　茨城県つくば美術館　主催：茨城県つくば美術館
出品：小名木陽一、久保田繁雄、福本潮子、福本繁樹、八幡はるみ、須藤玲子、橋本真之、留守玲〔出品目録順〕

クロスロード〈共鳴する美術〉I ●
倉敷市立美術館　2007 年 7 月　「倉敷市」40 周年記念　I・II 共 2 冊
図版　pp.5-36
テキスト
レゾナンス〈森山知己・山本麻友香〉（佐々木千恵）　pp.38-41
〔作家略歴〕　pp,42-43
森山知己出品作品リスト、山本麻友香出品作品リスト　pp.44-45
関連イベント　p.46
註：編集は前田興、佐々木千恵。
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2007 年 7 月 27 日－9 月 2 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館
出品：森山知己、山本麻友香〔図版収載順〕

クロスロード〈共鳴する美術〉II
倉敷市立美術館　2007 年 8 月　「倉敷市」40 周年記念
水とひとをめぐる場（佐々木千恵）　p.2
図版　pp.5-23
作家の言葉（藤井弘、島村敏明、森美樹、國光裕之、灰原愛、真重涼香、佐藤朋子、永岡かずみ、松本弘＋越宗泰昭）　pp.24-25

作家略歴　pp.26-30
出品作品リスト　p.31
註：編集は前田興、佐々木千恵。
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2007 年 7 月 27 日－9 月 2 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館
出品：藤井弘、島村敏明、森美樹、國光裕之、灰原愛、真重涼香、佐藤朋子、永岡かずみ、松本弘＋越宗泰昭〔出品作品リスト順〕

森のなかで ●

「森のなかで」展実行委員会　2007 年 7 月
はじめに（主催者）　p.5
図版〔作家解説、図版〕　pp.7-67
〔作家解説〕（奥村一郎、浜田拓志、山本泰代）
ナギはどこから来たかば（銅金裕司）
森のなかで（奥村一郎）　pp.70-73
「森のなかで」展と南方熊楠（浜田拓志）　pp.74-77
熊野古道なかへち美術館から（山本泰代）　pp.78-79
作家のことば（戸谷成雄、銅金裕司、矢櫃徳三、押江千衣子、内山りゅう、高木正勝、栗田宏一）　pp.81-107
関連プログラム　pp.108-109
略歴・文献　pp.110-117
出品リスト　pp.118-120
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「IN THE FOREST」
会期：2007 年 7 月 28 日－10 月 8 日　田辺市立美術館×熊野古道なかへち美術館／10 月 20 日－12 月 9 日　和歌山県立近代美術館　主催：「森のなかで」展実行委員会・和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館
出品：戸谷成雄、銅金裕司、矢櫃徳三、押江千衣子、内山りゅう、高木正勝、栗田宏一〔出品リスト順〕

福原信三と美術と資生堂展 ●

世田谷美術館　2007 年 9 月
あいさつにかえて（酒井忠康）　pp.5-7
福原信三が遺したもの（福原義春）　pp.8-9
図版〔論考、図版〕　pp.11-169
註：本「一覧」では資生堂ギャラリーの椿会展が対象外となったので、本カタログでは椿会

展には触れていないが当該出品作品のみ採録した。なお編集は清水真砂、石井幸彦。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Shinzo Fukuhara：Art and SHISEIDO」

会期：2007 年 9 月 1 日－11 月 4 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館

出品：第 3 章 戦後の資生堂ギャラリーの活動(資生堂アートハウスのコレクションより)1 第三次椿会の作家たち；岡鹿之助、中谷泰、牛島憲之、森芳雄、舟越保武、奥村土牛、柳原義達、佐藤忠良、稗田一穂、脇田和、吉田善彦。2 第四次椿会の作家たち；堀浩哉、村上友晴、舟越桂、向井良吉、李禹煥。3 現代の活動；蔡國強〔出品目録順〕

サイクルとリサイクル Vol.1〈めぐりめぐる形とイメージ〉●

愛知県美術館　2007 年 9 月　主に英文併載　2 分冊の 1

ごあいさつ（主催者）　pp.5, 7

挿絵リスト　pp.12-15

図版〔図版、作家のことば〕　pp.19-111

〔作家のことば〕（城戸孝充、竹村京、渡辺英司）

作家略歴　pp.113-133　外国人作家は英文

註：編集は拝戸雅彦。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Cycle and Recycle Vol.1」

会期：2007 年 9 月 7 日－11 月 4 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・財団法人自治総合センター

出品：城戸孝充、大巻伸嗣、ピエトラ・ピストレット、篠原猛史、鷲見麿、手塚愛子、竹村京、渡辺英司、ピーター・ヴュートリヒ〔挿絵リスト順〕

サイクルとリサイクル Vol.2〈めぐりめぐる形とイメージ〉

愛知県美術館　2007 年 9 月　英文併載　2 分冊の 2

図版〔図版、作家についてのコメント、作家のことば〕　pp.2-47

〔作家についてのコメント〕（拝戸雅彦）

〔作家のことば〕（篠原猛史、竹村京」）

「片思い」としてのリサイクル、そして美術（拝戸雅彦）　pp.48-51, 52-55

出品リスト　pp.56-63

註：編集は拝戸雅彦、鯨井秀伸。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項：「欧文タイトル：Cycle and Recycle Vol.2」以外は上記に同じ

現代美術の皮膚 ●

国立国際美術館　2007 年 10 月
ごあいさつ（国立国際美術館）　pp.4, 5　英文併載
現代美術と皮膚（平芳幸浩）　pp.8-12, 96-99　英文併載
アートの皮膚／皮膚のアート（斎藤環）　pp.13-20, 100-105　英文併載
図版　pp.21-94
作品リスト　pp.106-107, 108-109　英文併載
出品作家略歴　pp.110-125
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Skin of / in Contemporary Art」
会期：2007 年 10 月 2 日－12 月 2 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：マーク・クライン、キキ・スミス、オルラン、レスリー・ディル、ティム・ホーキンソン、イ・ドンウ、林智子、フィリップ・ブロフィ、小谷元彦、ヤン・ファーブル、西尾康之〔作品リスト順〕

絵画の現在〈活躍する鹿児島の画家たち〉●
鹿児島市立美術館　2007 年 9 月
ごあいさつ（主催者）　p.5
絵画の過去（谷口雄三）　pp.6-12
図版〔作家コメント、図版〕　pp.13-78
　コメント（森一浩、福満正志郎、松尾直樹、赤塚祐二、文田牧人、是枝開）
作家略歴・展覧会歴・主な所蔵先・参考文献　pp.80-83
作品一覧　pp.84-86
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE PRESENT OF PAINTING」
会期：2007 年 10 月 4 日－11 月 4 日　鹿児島市立美術館　主催：鹿児島市・鹿児島市教育委員会・鹿児島市立美術館・南日本新聞社・MBC 南日本放送
出品：森一浩、福満正志郎、松尾直樹、赤塚祐二、文田牧人、是枝開〔作品一覧順〕

アート・記憶・場所〈もりとぴあねっと共同企画〉●
岩手県立美術館　2007 年 12 月 14 日　英文併載　企画展
ごあいさつ（岩手県立美術館）　p.2
アート・記憶・場所（加藤俊明）　pp.4-5
図版〔作家のことば、図版、作家プロフィール〕　pp.7-43
　〔作家のことば〕（千葉奈穂子、古幡靖、岡田卓也、石川美奈子、栗田宏一、吉田重信）
出品リスト　pp.44-45
作品配置図　p.46
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、

国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Project by Morioka Yuitopia Museum Network　Art, Memory, Place」

会期：2007 年 10 月 6 日－11 月 25 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：岩手県立美術館

出品：千葉奈穂子、古幡靖、岡田卓也、石川美奈子、栗田宏一、吉田重信〔出品リスト順〕

「六本木クロッシング 2007：未来への脈動」展 ●

森美術館　2007 年 10 月　英文併載

ごあいさつ（館長南條史生）　pp.3, 4

「交差」の可能性：時代と枠組みを越えて（荒木夏実）　pp.9-13, 14-19

「交差点」であることから－「荒野」に立つものとして（天野一夫）　pp.20-23, 24-28

アートの価値の源泉としてのクロッシング（佐藤直樹）　pp.29-32, 33-37

「クロッシング」をめぐって（椹木野衣）　pp.38-42, 43-48

図版〔図版、作家解説〕　pp.51-268

〔作家解説〕（佐藤直樹、椹木野衣、荒木夏実、天野一夫）

「計算の概念」の、この世界への新しい記述のしかた（佐藤雅彦）　p.186

《計算の庭》の状態遷移図（桐山孝司）　p.188

作家略歴・参考文献　pp.273-303

作品リスト　pp.304-319

註：編集は荒木夏実、黒岩朋子、椿玲子、佐々木瞳、西牧佐知子、岸本直子。

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING 2007：FUTURE BEATS IN JAPANESE CONTEMPORARY ART」

会期：2007 年 10 月 13 日－2008 年 1 月 14 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：Ages5&Up、飴屋法水、チェルフィッチュ、できやよい、エンライトメント、榎忠、冨谷悦子、原真一、春木麻衣子、長谷川踏太／TOMATO、東恩納裕一、池水慶一、伊藤ガビン、岩崎貴宏、鬼頭健吾、小林耕平、眞島竜男、丸山清人、中西信洋、名和晃平、小粥丈晴〔小粥丈晴・雄川愛〕、さかぎしよしおう、佐藤雅彦＋桐山孝司、関口敦仁、田中偉一郎、田中信行、立石大河亞、辻川幸一郎、内原恭彦、内山英明、宇川直宏、山口崇司／d.v.d、横山裕一、吉村芳生、吉野辰海、四谷シモン〔作品リスト順〕

とやま現代作家シリーズ 時の中で ●

富山県立近代美術館　2007 年 10 月　追加紙 2 枚　県民芸術文化祭 2007 協賛事業

ごあいさつ（富山県立近代美術館）　p.5

時の中で 26 作家の作品について（麻生恵子）　pp.8-11

図版　pp,14-65

作家の言葉、略歴　pp.66-81

作家の言葉（遠藤雪代、尾長良範、北岡哲、清河恵美、桐沢仁美、高慶敬子、笹岡敬、柴沢勝造、渋谷良治、舘寿弥、玉本奈々、玉分昭光、釣谷幸輝、豊富春菜、パベル・トル

ンカ、中村滝雄、neutral production、野村瑞穂、畠山耕治、平井千香子、広田郁世、本郷仁、水上央子、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功）

作品リスト　pp.82-83

追加紙　〔図版 8〕

註：編集は麻生恵子、若松基、桐井昇子。

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Toyama Art Today 2007」

会期：2007 年 10 月 20 日－12 月 2 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：遠藤雪代、尾長良範、北岡哲、清河恵美、桐沢仁美、高慶敬子、笹岡敬、柴沢勝造、渋谷良治、舘寿弥、玉本奈々、玉分昭光、釣谷幸輝、豊富春菜、パベル・トルンカ、中村滝雄、neutral production、野村瑞穂、畠山耕治、平井千香子、広田郁世、本郷仁、水上央子、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功〔作品リスト順〕

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展　Catalogue volume 1 ●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2007 年 10 月　主に英文併載

はじめに（館長関淳一）　p.5

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展に寄せて（岡崎智美）　pp.7-10

図版〔作家・ダンサー(振付家)のことば、図版〕　pp.11-49

〔作家のことば〕（曽谷朝絵、フランシス真悟、橋本典久、高橋啓祐）

〔ダンサーのことば〕（林洋子、相良ゆみ、中村恩恵、矢内原美邦）

Biography　pp.51-58

List of Works　pp.59-62

所蔵：□、横浜美、国会図

○展覧会事項

和文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2007 年 10 月 26 日－11 月 10 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：曽谷朝絵、フランシス真悟、橋本典久。映像；高橋啓祐。振付家；林洋子、相良ゆみ、中村恩恵、矢内原美邦〔List 順〕

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展 作品リスト

横浜市民ギャラリーあざみ野　2007 年 10 月　ART FORUM FESTIVAL 2007　1 枚(二ツ折両面刷)

所蔵：□、横浜美

○展覧会事項〔本体に同じ〕

ART×DANCE 横浜創造界隈のアーティストたち展　Catalogue volume 2

横浜市民ギャラリーあざみ野　2008 年 1 月 31 日

図版〔風景・実演風景〕22p.

所蔵：□、横浜美、国会図

○展覧会事項〔本体に同じ〕

SPACE FOR YOUR FUTURE――アートとデザインの遺伝子を組み替える ●

INAX 出版　2007 年 12 月 10 日　英文併載

図版〔図版、Q&A〕 pp.8-136

Q&A（妹島和世＋西沢立衛／SANAA、石上純也、トビアス・レーベルガー、R&Sie(n)＋D、フセイン・チャラヤン、BLESS、前田征紀、エルネスト・ネト、ショーン・グラッドウェル、タナカノリユキ、アピチャッポン・ウィーラセタクン、アシューム・ヴィヴィッド・アストロ・フォーカス(avaf)、カーステン・ニコライ、オラファー・エリアソン、マイケル・リン）

Space for Your Future（長谷川祐子） pp.138-149, 218-229

未来の触知性（関昭郎） pp.150-156, 230-235

BIOGRAPHIES & Q&A〔作家解説〕 pp.157-216

〔作家解説〕（福住廉、森山朋絵、難波祐子、長谷川祐子、森千花、キアラ・ベルトーラ、関昭郎、村田康祐）

作品リスト　pp.236-241

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「SPACE FOR YOUR FUTURE：Recombining the DNA of Art and Design」

会期：2007 年 10 月 27 日－2008 年 1 月 20 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・日本経済新聞社

出品：妹島和世＋西沢立衛／SANAA、石上純也、ダイキン エア・デザイン・プロジェクト、前田征紀、タナカノリユキ、嶺脇美貴子、nendo、東泉一郎、植原亮輔と渡邉良重、MONGOOSE STUDIO、蜷川実花、足立喜一朗、荒神明香〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載した。

Born in HOKKAIDO 大地に実る、人とアート〈北海道美術の過去・現在・未来〉 ●

北海道立近代美術館　2007 年 11 月　開館 30 周年記念

ごあいさつ（主催者） p.1

「風土」というリアリティ〈16 の創造の果実にみる〉（浅川真紀） pp.2-6

フロアプラン、関連事業　p.7

図版〔作家略歴、作家のことば、作家解説、図版〕 pp.8-39

〔作家のことば〕（青木美歌、真砂雅喜、毛内やすはる、池田光弘、伴翼、盛本学史、松永かの、朝地信介、福井路可、Kinpro(新矢千里)、諏訪敦、野上裕之、端聡、貝澤珠美、高橋喜代史、鈴木涼子）

〔作家解説〕（浅川真紀、鎌田享、久米淳之、佐藤由美香）

美術館と学校の連携〈《Born in HOKKAIDO》での取り組み〉（鎌田享） pp.40-41

〔札幌市立小中学校紹介〕 pp.42-57

出品作家プロフィール　pp.58-61
出品リスト　pp.62-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「30th anniversary Hokkaido Art past, present, and future」
会期：2007 年 11 月 1 日－2008 年 1 月 24 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・北海道造形教育連盟・NHK 札幌放送局
出品：青木美歌、真砂雅喜、毛内やすはる、池田光弘、伴翼、盛本学史、松永かの、朝地信介、福井路可、Kinpro(新矢千里)、諏訪敦、野上裕之、端聡、貝澤珠美、高橋喜代史、鈴木涼子〔出品リスト順〕

カオスモス'07 さびしさと向きあって ●
佐倉市立美術館　2007 年 11 月 16 日　英文併載
カオスモス'07 の開催にあたって（佐倉市立美術館）　pp.3, 4
芸術は「痛み」に何ができるのか（布施英利）　pp.5-6, 9-11
痛みと天啓（黒川公二）　pp.7-8, 12-15
図版〔作家のことば・作家論再録、図版、作家のことば〕　pp.16-72
〔作家のことば〕（田畑あきら子）
展示配置図　p.73
作家資料　pp.73-83
出品作品一覧　pp.84-85, 86-87
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Chaosmos '07：In the Face of Sadness」
会期：2007 年 11 月 16 日－12 月 24 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：石田徹也、菊池伶司、田畑あきら子、成瀬麻紀子、正木隆〔出品作品一覧順〕

プライマリー・フィールド〈美術の現在――七つの〈場〉との対話〉 ●
神奈川県立近代美術館　2007 年 11 月
あいさつ（神奈川県立近代美術館）p.5
モダニズムとしての現在－序章として（山梨俊夫）　pp.8-11
インタヴュー（吉川陽一郎、多和圭三、大森博之、石川順惠、青木野枝、坂口寛敏、さかぎしよしおう、聞き手・是枝開）　pp.13-29
原初的な場との対話－インタヴューを終えて・追記（是枝開）　pp.30-32
図版　pp.33-87
作家略歴・参考文献　pp.90-99
出品作品リスト　pp.100-101
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図
○展覧会事項

欧文タイトル：「Primary Field」

会期：2007 年 11 月 23 日－2008 年 1 月 14 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：吉川陽一郎、多和圭三、大森博之、石川順惠、青木野枝、坂口寛敏、さかぎしよしおう〔出品作品リスト順〕

サイレント・ダイアローグ 見えないコミュニケーション ●

NTT 出版　2008 年 2 月 5 日

ごあいさつ（NTT インターコミュニケーション・センター［ICC］）　pp.2, 3

見えない世界との対話〈サイレント・ダイアローグ〉（畠中実）　pp.8-14, 15-21

わたしたちが持つべき微細な「緒力」について〈新コンセプト「manuality」の重要性／サイレント・ダイアローグに向けて〉（銅金裕司）　pp.22-26, 27-32

図版　pp.33-81

作家による作品解説　pp.82-92

二重記述の必要性（デイヴィッド・ダン）　pp.93-104, 105-114

作家ポロフィール　pp.115-134

出品作品リスト　pp.135, 136

関連イヴェント　pp.137-143

註：編集は畠中実、指吸保子(美術館)。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「silent dialogue」

会期：2007 年 11 月 23 日－2008 年 2 月 17 日　初台・NTT インターコミュニケーション・センター［ICC］　主催：NTT インターコミュニケーション・センター［ICC］

出品：藤枝守＋銅金裕司、藤幡正樹＋銅金裕司、安藤孝浩、tEnt(田中浩也＋久原真人)〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

目黒の新進作家－七人の作家、7 つの表現 ●

目黒区美術館　2007 年 12 月 14 日　全 9 冊(概要編、図版編 7 冊、会場記録編)

□概要編(全 8 ページ)

ごあいさつ（目黒区美術館）

本展について、七人の作家たち（佐川夕子）

本展のカタログ構成について

□図版編〔7 冊〕

図版〔図版、作家略歴〕

□会場記録編〔2007 年 12 月 27 日発行　全 24 ページ〕

図版〔会場写真〕

出品作品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、

和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「EMERGING ARTISTS IN MEGURO-SEVEN ARTISTS, SEVEN ASPECTS」

会期：2007 年 12 月 4 日－2008 年 1 月 13 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：東亜順、石川直樹、源生ハルコ、鈴木康広、瀧健太郎、野村恵子、屋代敏博〔出品作品リスト順〕

『現代絵画の展望』展〈それぞれの地平線〉●

東日本鉄道文化財団　2007 年 12 月

ごあいさつ（東京ステーションギャラリー・東日本鉄道文化財団）　p.3

日本の現代絵画をどう捉え直すか（千葉成夫）　pp.4-7

図版　pp.8-31

作家略歴（成川隆）　pp.32-33

出品リスト　p.34

註：編集は成川隆、田中晴子。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Perspectives of Contemporary Painting－Horizons－」

会期：2007 年 12 月 8 日－2008 年 2 月 11 日　第 1 会場；新橋・旧新橋停車場鉄道歴史展示館、第 2 会場；上野・Break ステーションギャラリー　主催：東京ステーションギャラリー

出品：池田龍雄、篠原有司男、加納光於、李禹煥、堀浩哉、辰野登恵子、小林孝亘、山口啓介、丸山直文、山本麻友香、大岩オスカール、曽谷朝絵〔出品リスト順〕

ゴス ●

三元社　2007 年 12 月 22 日　主に英文併載

序（館長雪山行二）　pp.4-7

死を想う美術 21 世紀の死の舞踏（木村絵理子）　pp.8-29

図版〔作家解説、図版〕　pp.31-160

作家解説（木村絵理子、天野太郎）

アーティスト・インタビュー、作家略歴（リッキ・スワロー、Dr.ラクラ、束芋、イングリッド・ムワンギ・ロバート・ヒュッター、ピュ～ぴる、吉永マサユキ、聞き手・木村絵理子）

pp.161-242

作品リスト　pp.244-251

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「GOTH：Reality of the Departed World」

会期：2007 年 12 月 22 日－2008 年 3 月 26 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：リッキ・スワロー、Dr.ラクラ、束芋、イングリッド・ムワンギ・ロバート・ヒュッタ

ー、ピュ～ぴる、吉永マサユキ〔作品リスト順〕

ニュー・ヴィジョン・サイタマ III〈7 つの眼×7 つの作法〉●

埼玉県立近代美術館　2007 年 12 月 26 日　企画展　展示記録集共 2 冊(ケース入)

ごあいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.3

図版〔図版、作家論、作家のことば〕　pp.6-47

〔作家論〕（中村誠、前山裕司、大久保静雄、大越久子、伊豆井秀一、梅津元、平野到）

〔作家のことば〕（古川勝紀、河田政樹、織咲誠、宮本純夫、冨井大裕）

出品作家略歴・文献　pp.48-54

あとがき（平野到）　p.55

□展示記録集〔全 16 ページ〕

図版〔展示写真〕　14p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「New Vision Saitama III」

会期：2007 年 12 月 26 日－2008 年 1 月 27 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：古川勝紀、河田政樹、織咲誠、岡村桂三郎、宮本純夫、冨井大裕、志水児王〔図版収載順〕

2008（平成 20）年

アートの今・岡山 2007 ●

「アートの今・岡山」展実行委員会　2007 年 10 月　第 5 回おかやま県民文化祭主催事業　岡山県天神山文化プラザ企画展

ごあいさつ（行正健志）　pp.2, 3　英文併載

図版〔作家のことば、図版〕　pp.4-35

〔作家のことば〕（青木陸祐、太田三郎、佐藤智美、島村敏明、廣中薫、藤原洋次郎、ポール・コール、森山知己）　英文併載

〔作家略歴〕　pp.36-39

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：〔2007 年 10 月 31 日－11 月 11 日　岡山県天神山文化プラザ　主催：「アートの今・岡山」展実行委員会・おかやま県民文化祭実行委員会・岡山県天神山文化プラザ／12 月 1 日－24 日　高梁市歴史美術館(高梁市文化交流館)　主催：高梁市・高梁市教育委員会・高梁市歴史美術館〕／2008 年 1 月 6 日－2 月 3 日　奈義町現代美術館　主催：奈義町・奈義町教育委員会・奈義町現代美術館

註：岡山県天神山文化プラザの企画展とあるが、この「一覧」では奈義町現代美術館で採録し、巡回展の記録は〔　　〕で囲み記載のみにとどめた。

出品：青木陸祐、太田三郎、佐藤智美、島村敏明、廣中薫、藤原洋次郎、ポール・コール、森山知己〔図版収載順〕

わたしいまめまいしたわ〈現代美術にみる自己と他者〉Self／Other ●

東京国立近代美術館　2008 年 1 月　主に英文併載

あいさつ（館長辻村哲夫）　p.4

図版〔章解説、図版〕　pp.6-45

〔章解説〕（蔵屋美香、三輪健仁、鈴木勝雄、保坂健二朗、大谷省吾）

出品作品リスト　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Self / Other」

会期：2008 年 1 月 18 日－3 月 9 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：1 わたしはひとりではない；植田正治、北脇昇、澤田知子。2 アイデンティティの根拠；岡崎乾二郎、河原温、高松次郎、宮島達男、村上友晴。3 暗い部屋と「わたし」；山中信夫。4 揺らぐ身体；金明淑、草間彌生、日高理恵子。5 スフィンクスの問いかけ；舟越桂。6 冥界との対話；草間彌生(重)、斎藤真一、須田一政。7 SELF AND OTHERS；牛腸茂雄。8 「社会と向き合うわたし」を見つめるわたし；秋山祐徳太子、郭徳俊、高嶺格〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

アートは心のためにある：UBS アートコレクションより ●

森美術館　2008 年 2 月 2 日　英文併載

ごあいさつ（館長南條史生）　pp.6, 7

ごあいさつ（マーク・ブランソン）　pp.8, 9

われわれは世界とどう繋がっているのか?（片岡真実）　pp.14-24, 25-36

インタビュー アートコレクションをつくること（森佳子、聞き手・南條史生）　pp.37-39, 40-43

「みんな自分の物語がある」UBS アートコレクションにおけるアジアの物語性（ピー・リー（皮力））　pp.44-45, 46-47

「心を突き動かすイメージ」UBS アートコレクションの歴史とこれから（ジョアン・バーンスタイン）　pp.48-51, 52-55

図版〔作家・作品解説、図版〕　pp.57-245

作家・作品解説（片岡真実、越田環、町野加代子、小山田洋子）

作品リスト　pp.246-257

主要参考文献　pp.258-270

註：編集は片岡真実、町野加代子、越田環、佐々木瞳、小山田洋子、鈴木幸太。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART IS FOR THE SPIRIT：Works from The UBS Art Collection」

会期：2008 年 2 月 2 日－4 月 6 日　六本木・森美術館　主催：森美術館

出品：荒木経惟、畠山直哉、宮本隆司、森村泰昌、杉本博司〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

MOT アニュアル 2008「解きほぐすとき」●

東京都現代美術館　2008 年 2 月　英文併載

図版　pp.1-12

ごあいさつ（東京都現代美術館）　pp.18, 19

解きほぐすとき（西川美穂子）　pp.20-26, 104-109

カタログ〔図版〕　pp.27-87

出品目録　pp.66-69

作家資料〔作家略歴・参考文献〕（楠まゆこ編）　pp.89-99　参考文献は和文

出品リスト　pp.100-103

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MOT Annual 2008 Unraveling and Revealing」

会期：2008 年 2 月 9 日－4 月 13 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：彦坂敏昭、高橋万里子、金氏徹平、手塚愛子、立花文穂〔出品リスト順〕

現代アートによる徳島再見 ●

徳島県立近代美術館　2008 年 3 月 14 日

現代美術による徳島再見展によせて（岩野勝人）　p.2

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕　pp.2-18

〔作家のことば〕（岩野勝人）

地域に対するリアリティの所在（吉川神津夫）　p.19

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TOKUSHIMA REDISCOVERY BY FINE ART」

会期：2008 年 2 月 9 日－3 月 23 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

出品：岩野勝人、川原康孝、森宮英文、谷本天志、中西信洋〔図版収載順〕

液晶絵画 ●

朝日新聞社　2008 年 2 月 14 日　英文併載

ごあいさつ（三重県立美術館・国立国際美術館・東京都写真美術館・朝日新聞社）　pp.4-5, 6-7

Still / Motion（建畠哲） pp.10-16, 17-21
図版〔作家解説、図版〕 pp.24-105
〔作家解説〕（南家識子、福元崇志、藤村里美、石崎勝基、加須屋明子、毛利伊知郎）
主要参考文献 pp.106-107, 108-109
映像と時間〈ミロスワフ・バウカとドミニク・レイマンの映像表現を中心に〉（加須屋明子） pp.110-113, 114-116
時よ止まれ、お前は美しいのか?〈絵と映像のA感覚〉（石崎勝基） pp.117-120, 121-123
映像と写真（藤村里美） pp.124-127, 128-130
映像表現史〈映像と絵画の「あいだ」〉（稲垣貴士） pp.131-135, 136-138
作品リスト pp.139-141, 142-143
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「STILL / MOTION」
会期：2008年2月14日－4月13日 津・三重県立美術館 主催：三重県立美術館・三重県・メ～テレ・朝日新聞社／4月29日－6月15日 大阪・国立国際美術館 主催：国立国際美術館・朝日放送・朝日新聞社／8月23日－10月13日 東京都写真美術館 主催：東京都歴史文化財団東京都写真美術館・朝日新聞社
出品：森村泰昌、やなぎみわ、鷹野隆大、小島千雪、千住博〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

シェルター×サバイバル ファンタスティックに生き抜くための「もうひとつの家」●
広島市現代美術館 2008年2月 英文併載
あいさつ（広島市現代美術館） pp.4, 5
逃走する孤独、の快楽 またはシェルタリング・ユアセルフ（谷川眞美） pp.8-13, 105-110
自由を生き抜くための「もうひとつの家」（松岡剛） pp.14-19, 111-116
図版 pp.21-104
作家略歴（西山恒彦編） pp.117-128
出品リスト pp.129-132
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Shelter×Survival-Alternative homes for fantastic lives-」
会期：2008年2月16日－4月13日 広島市現代美術館 主催：広島市現代美術館・中国新聞社
出品：増岡巽、津村耕佑、坂茂、坂口恭平、いちむらみさこ／小川てつオ、会田誠、小沢剛、椿昇、柳幸典、もとみやかをる、ヤノベケンジ、鈴木明、牛嶋均〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

アーティスト・ファイル2008――現代の作家たち 展覧会カタログ ●
国立新美術館 2008年3月 主に英文併載 イントロダクション＋作家ファイル8冊(ケー

ス入)＋展覧会ドキュメント
□イントロダクション〔全８ページ〕
あいさつ（国立新美術館） pp.2, 3
アーティスト・ファイルについて pp.4, 5
〔ファイル一覧〕 pp.6, 7
□ファイル 001：エリナ・ブロテルス
テキスト（本橋弥生） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料〔略歴、主要文献〕（本橋弥生・作成） pp.25-30
掲載図版 p.31
□ファイル 002：市川武史
テキスト（南 雄介） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 31
巻末資料（長谷川珠緒・作成） pp.25-29
掲載図版 p.30
□ファイル 003：ポリクセニ・パパペトルー
テキスト（南 雄介） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（本橋弥生・作成） pp.25-30
掲載図版 p.31
□ファイル 004：佐伯洋江
テキスト（南 雄介） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 27, 29
巻末資料（長谷川珠緒・作成） pp.25-26, 28
掲載図版 p.30
□ファイル 005：さわひらき
テキスト（長屋光枝） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（本橋弥生・作成） pp.25-30
掲載図版 p.31
□ファイル 006：白井美穂
テキスト（南 雄介） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（長谷川珠緒・作成） pp.25-30
掲載図版 p.31
□ファイル 007：祐成政徳
テキスト（南 雄介） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24

巻末資料（長谷川珠緒・作成） pp.25-30
掲載図版 p.31
□ファイル 008：竹村 京
テキスト（本橋弥生） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 30-31
巻末資料（本橋弥生・作成） pp.25-28
掲載図版 p.29
□展覧会ドキュメント
〔展示プラン〕 p.3
図版 pp.4-35
出品リスト pp.36-40
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ARTIST FILE 2008：The NACT Annual Show of Contemporary Art」
会期：2008 年 3 月 5 日－5 月 6 日 国立新美術館 主催：国立新美術館
出品：エリナ・ブロテルス、市川武史、ポリクセニ・パパペトルー、佐伯洋江、さわひらき、白井美穂、祐成政徳、竹村京〔ファイル順〕

VOCA 展 2008「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館 2008 年 3 月 英文併載
「VOCA 展 2008」開催にあたって（主催者） p.5
「VOCA 展 2008」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.7
〔授賞者、選考委員〕 pp.9, 101
〔選評評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、逢坂恵理子、南嶌宏） pp.10-15, 102-107
〔出品作家、推薦委員〕 pp.17, 109
図版〔図版、作家解説〕 pp.18-89
〔作家解説〕（出原均、山脇一夫、名古屋覚、森田一、和田浩一、植松由佳、藤川哲、大島賛都、加藤義夫、大野正勝、杉山悦子、菅章、武田昭彦、廣瀬就久、光田由里、坂元暁美、降旗千賀子、尾﨑信一郎、宮本武典、山口洋三、日沼禎子、宮城潤、谷新、柳原正樹、植草学、山下裕二、太田垣實、白坂ゆり、宝玉正彦、冨澤治子、吉崎元章、森司、飯田志保子、蔵屋美香、松井みどり、天野一夫、堀切正人） 英文 pp.110-127
作家略歴 pp.91-100, 110-126
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「VOCA 2008 THE VISION OF CONTEMPORARY ART」
会期：2008 年 3 月 14 日－30 日 上野の森美術館 主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法

人日本美術協会・上野の森美術館
出品：天野亨彦、猪狩雅則、伊藤雅恵、岩熊力也、及川聡子、片山博文、川上幸之介、川口奈々子、阪本トクロウ、笹岡啓子、三宮一将、椎名勇仁、下道基行、ジャンボスズキ、須藤由希子、関根直子、俵萌子、千葉正也、遠山裕崇、中西信洋、根間智子、常陸活志、平井千香子、藤原裕策、藤原由葵、ベ・サンスン(裵相順)、堀由樹子、水村綾子、元田久治、森迫暁夫、森本絵利、安田悠、山内崇嗣、山本桂輔、横内賢太郎、渡辺依理〔図版収載順〕
授賞者：VOCA 賞・横内賢太郎、VOCA 奨励賞・川上幸之介、笹岡啓子、佳作賞・伊藤雅恵、藤原裕策、大原美術館賞・岩熊力也、府中市美術館賞・関根直子

4 人が創る「わたしの美術館」展－とっておきの横浜美術館コレクション〈茂木健一郎・はな・角田光代・荒木経惟〉●
横浜美術館　2008 年 6 月
ごあいさつ（館長雪山行二）　pp.4, 5　英文併載
「この 1 点!」によせて（市長中田宏）　pp.6, 7　英文併載
Viva! コレクション（八柳サエ）　pp.8-16
図版〔ゲストキュレーター略歴、寄稿、図版〕　pp.18-135
　絵画の福音（茂木健一郎）
　ほほえみ浮かぶ、絵の中で（はな）
　光（角田光代）
　模写・複写・盗作（荒木経惟・談）
横浜市長が選んだこの 1 点!　pp.136-141
作品リスト　pp.142-157
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Four Views of the Collection of the Yokohama Museum of Art」
会期：2008 年 6 月 20 日－8 月 17 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川
出品：茂木健一郎；松井冬子、奈良美智、片岡球子、高嶺格、宮崎進、浜田知明、小作青史、浜口タカシ、柳幸典、米田知子。はな；清宮彬、川上澄生、川西英、塚本哲、品川工、駒井哲郎、横山大観、郷倉千靭、堅山南風、真道黎明、藤本四八、坂本万七、斎藤清。角田光代；中上清、小倉遊亀、片岡球子(重)、菅井汲、中村好宏、小林裕児、駒井哲郎(重)、高間惣七。荒木経惟；荒木経惟、中島清之。市長が選んだこの 1 点!〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

ドーム：そのモニュメントをめぐるアーティストの試み ●
広島市現代美術館　2008 年 6 月
ごあいさつ（広島市現代美術館）　p.2
集合的記憶に抗う：ひとつのモニュメントを巡って（神谷幸江）　pp.3-5
図版〔図版、解説、作家略歴〕　pp.6-19

解説（松岡剛、小橋祥子、神谷幸江）
ドームについて、原爆について、もっと知りたいと思ったあなたに　pp.20-21
出品リスト　pp.22-23
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Dome Artist's Attempts around the Monument」
会期：2008 年 6 月 28 日－8 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館
出品：牛嶋均、小沢剛、川田喜久治、鴫剛、フィオナ・タン、土田ヒロミ、土門拳、利根山光人、ジャン＝ガブリエル・ペリオ、細江英公、松澤宥、宮島達男、アンジュ・レッチァ、若林奮〔出品リスト順〕

ネオテニー・ジャパン――高橋コレクション ●
美術出版社　2008 年 9 月 20 日
序（主催者）　p.7
ネオテニー・ジャパンとは?（高橋龍太郎）pp.8-10
図版　pp.11-98
展覧会出品作品 独白（高橋龍太郎）
コラム（斎藤環、椹木野衣、潘廣宜）
出品作家解説、作家略歴　pp.99-132
出品作家解説（岡里崇、内田真由美、坂元暁美、今井里江子、児島やよい）
高橋コレクションにみる 90 年代以降のジャパン・アート（児島やよい）　pp.133-136
対談：小児的な全能感がアートの世界を全部支えている!（高橋龍太郎 VS 山下裕二）pp.137-145
どうしてお医者さんはアートを買いたくなるのか（文・絵 辛酸なめ子）　pp.146-147
ひとりのコレクターの意志――高橋コレクション（内田真由美）　pp.148-150
出品作品リスト　pp.152-155
高橋コレクションのある風景〔索引〕　p.158
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「neoteny japan　CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S――FROM TAKAHASHI COLLECTION」
会期：2008 年 7 月 18 日－9 月 15 日　鹿児島県霧島アートの森　主催：鹿児島県霧島アートの森・南日本新聞社・KTS 鹿児島テレビ／11 月 22 日－2009 年 1 月 25 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館／5 月 20 日－7 月 15 日　上野の森美術館　主催：財団法人日本美術協会・上野の森美術館・産経新聞社
出品：会田誠、青山悟、秋山さやか、池田学、池田光弘、伊藤存、小川信治、小沢剛、小谷元彦、加藤泉、加藤美佳、工藤麻紀子、鴻池朋子、小林孝亘、佐伯洋江、さわひらき、須田悦弘、高嶺格、束芋、千葉正也、できやよい、照屋勇賢、天明屋尚、奈良美智、名和晃平、西尾康之、町田久美、Mr.、三宅信太郎、村上隆、村瀬恭子、村山留里子、山口晃〔出品作品

リスト順〕

ワッと!どうぶつ What?アート展〈現代アートに見る動物たち〉●

十和田市現代美術館　2008 年 8 月 13 日　夏季企画展

ごあいさつ（十和田市現代美術館）　p.6

「ワッと!どうぶつ What?アート」展解説（佐々木美華子）　pp.7-8

〔展示配置図〕　p.9

図版〔図版、作家のことば〕　pp.10-40

〔作家のことば〕（本山ひろ子）

作家解説＋作品リスト　pp.41-43

作者略歴　pp.45-48

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Animals in contemporary art　Many Animals!! What? Art?」

会期：2008 年 7 月 19 日－8 月 31 日　十和田市現代美術館　主催：十和田市現代美術館

出品：三沢厚彦、奈良美智、小林孝亘、本山ひろ子、島田忠幸、オオクラテツヒロ、土屋仁応〔作品リスト順〕

メモリアーまなざしの軌跡　カタログ I ●

熊本市現代美術館　2008 年 7 月 19 日　主に英文併載

メモリアーまなざしの軌跡（本田代志子）　pp.4-6, 7-11

新興熊本大博覧会（伊豆菜々）　pp.10, 11

図版〔作家のことば、図版〕　pp.16-83

〔作家のことば〕（アナザーマウンテンマン、レオニード・ソコフ、カンディダ・ヘーファー、チェン・ジエレン、ピーター・ローゼル、イヴォンヌ・リー・シュルツ、千々岩修、須田悦弘、マリエッラ・モスラー）

作家略歴　pp.84-92　外国作家のみ英文併載

出品作品リスト　pp.93-95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「memoria-casting a gaze」

会期：2008 年 7 月 19 日－10 月 19 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・RKK 熊本放送

出品：アナザーマウンテンマン、レオニード・ソコフ、カンディダ・ヘーファー、チェン・ジエレン、ピーター・ローゼル、イヴォンヌ・リー・シュルツ、千々岩修、須田悦弘、マリエッラ・モスラー〔出品作品リスト順〕

メモリアーまなざしの軌跡　カタログ II

熊本市現代美術館　2008 年 8 月

ご挨拶（主催者）　p.3　英文併載

図版　pp.4-13

展覧会会期中の関連イベント　p.14
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項〔カタログ I に同じ〕

トレース・エレメンツ 日豪の写真メディアにおける精神と記憶 ●
東京オペラシティ文化財団　2008 年 7 月 19 日　展覧会資料第 36 号　主に英文併載
ごあいさつ（館長名原剛）　pp.4, 5
ごあいさつ（フィオナ・ウィニング）　pp.6, 7
現代の微量元素（飯田志保子）　pp.12-21, 36-44
トレース・エレメンツ//オーストラリアのアーティスト（ベック・ディーン）pp.22-26, 45-48
二つの痕跡について（東浩紀）　pp.27-29, 49-51
とり憑かれたオーストラリア（マーティン・ジョリー）　pp.30-35, 52-56
図版〔作品解説、図版、インタヴュー、文章再録〕　pp.57-120
　作品解説〔日本作家〕（飯田志保子）
　インタヴュー〔日本作家〕（高谷史郎、古屋誠一、松井智惠、志賀理江子、田口和奈）
略年譜・主要参考文献（佐山由紀編）　pp.122-137
出品作品リスト　pp.138-139
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、写真美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Trace Elements　spirit and memory in Japanese and Australian photomedia」
会期：東京展；2008 年 7 月 19 日－10 月 13 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー
主催：東京オペラシティ文化財団／シドニー展；2009 年 2 月 19 日－3 月 21 日　パフォーマンス・スペース・アット・キャリアジュワークス
出品：古橋悌二、古屋誠一、松井智惠、志賀理江子、田口和奈〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

魅惑の像 具象的なるかたち ●
茨城県つくば美術館　2008 年 7 月
ごあいさつ（茨城県つくば美術館）　pp.2, 3　英文併載
人形的具象性の造形－人形・彫刻・工芸を跨ぐ像のかたち（外舘和子）　pp.6-20, 99-113　英文併載
図版〔図版、作品解説〕　pp.21-84
　作品解説（外舘和子）
作家略歴（外舘和子）　pp.85-98　略歴英訳
出品リスト　pp.114-115
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Figurative：Personified Shapes」

会期：2008 年 7 月 25 日－8 月 24 日　茨城県つくば美術館　主催：茨城県つくば美術館

出品：籔内佐斗司、中村義孝、北川宏人、永冨悦史、伊藤遠平、山野千里〔出品リスト順〕

コレクション＋(プラス)ひびきあう音・色・形 ●

高松市美術館　2008 年 7 月　開館 20 周年記念

ごあいさつ（高松市美術館）　p.2

音のある展覧会（牧野裕二）　pp.3-5

3 つのインタビューから（藤本由紀夫、和泉希洋志、金沢健一、聞き手・牧野裕二）　pp.6-8

図版〔作家のことば、図版、展示風景〕　pp.9-48

〔作家のことば〕（奈良美智、藤本由紀夫、和泉希洋志、金沢健一）

作品レイアウト　p.50

作品リスト　pp.51-52

作家略歴　p.53

展示風景、オープニング風景　pp.54-55

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 7 月 25 日－9 月 7 日　高松市美術館　主催：高松市美術館、共催：NHK 高松放送局

出品：奈良美智、藤本由紀夫、靉嘔、狗巻賢二、草間彌生、高松次郎、田中敦子、李禹煥、河原温、堀内正和、和泉希洋志、杉本博司、金沢健一、押江千衣子、小林孝亘、曽谷朝絵、日高理恵子、丸山直文、森万里子〔作品リスト順〕

パラレル・ワールド もうひとつの世界へ／ユーグ・レプ展 ●

有限会社スプラウト・ジャパン　2008 年 7 月　欧文併載

もうひとつの世界へ（ユーグ・レプ）　pp.2, 3

図版　pp.6-83

双眼鏡（ピエール・アルフェリ）　pp.24-33, 34-41

自己実験　pp.42, 43

作家解説　pp.84, 85

収録作品　p.86

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「PARALLEL WORLDS an exhibition by Hugues REIP」

会期：2008 年 7 月 26 日－9 月 28 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：内藤礼、名和晃平、曽根裕〔作家解説順〕

註：出品欄は全 11 名のうち 3 名の日本人作家のみ収載した。

木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち展〈II 現代作家によるつくり手たちの子どもの時

間〉●

練馬区立美術館　2008 年 8 月　夏の特別企画展

ごあいさつ（館長堀田武則）　p.3

「木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち」について（高橋優実）　pp.4-5

図版〔図版、文献再録、作家のことば〕　pp.6-29

〔作家のことば〕（菅沼緑、西尾路子）

「夢の劇場」制作の現場から〔図版〕　p.30

作家略歴　pp.31-32

出品リスト　pp.33-35

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 8 月 2 日－31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：舟越桂、菅沼緑、西尾路子、松本秋則〔出品リスト順〕

現代郷土作家 8 人展 ●

姫路市立美術館友の会　2008 年 8 月　開館 25 周年記念

ごあいさつ（姫路市立美術館）　p.3

現代郷土作家 8 人展について（平瀬礼太・本丸生野）　pp.4-7

図版〔プロフィール、作家のことば、図版〕　pp.9-57

作家のことば（雲丹亀利彦、後藤克浩、小林隆之、柴田昌子、高浜利也、水田勢二、山口謙二、渡邊詩子）

掲載作品リスト　pp.58-59

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、京都学、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 8 月 15 日－9 月 15 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

出品：雲丹亀利彦、後藤克浩、小林隆之、柴田昌子、高浜利也、水田勢二、山口謙二、渡邊詩子〔掲載作品リスト順〕

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング　　東京国立近代美術館・国際交流基金編 ●

東京国立近代美術館　2008 年 8 月　英文併載　別冊共 2 冊

あいさつ（主催者）　pp.3, 5

エモーショナル・ドローイングについて（保坂健二朗）　pp.8-11, 12-15

図版　pp.17-111

作家解説・作家略歴（作家解説・保坂健二朗、中村麗子）　pp.113-147

〔作家のことば〕（坂上チユキ）

作品リスト　pp.148-159

別冊

現代美術への視点 6 エモーショナル・ドローイング カタログ別冊

東京国立近代美術館　2008 年
図版〔展示写真、作家のことば〕 38p.　英文併載
〔作家のことば〕（レイコ・イケムラ、アマル・ケナウィ、アヴィシュ・ケブレザデ、奈良美智、マニュエル・オカンポ、S.テディ D.、ピナリー・サンピタック、ミトゥ・セン、アディティ・シン、シュシ・スライマン、辻直之、ウゴ・ウントロ）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A Perspective on Contemporary Art 6：Emotional Drawing」
会期：2008 年 8 月 26 日－10 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国際交流基金／11 月 18 日－12 月 21 日　京都国立近代美術館
主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館・国際交流基金
出品：レイコ・イケムラ、アマル・ケナウィ、アヴィシュ・ケブレザデ、キム・ジュンウク、ホセ・レガスピ、ナリニ・マラニ、奈良美智、マニュエル・オカンポ、S.テディ D.、坂上チユキ、ピナリー・サンピタック、ミトゥ・セン、アディティ・シン、シュシ・スライマン、辻直之、ウゴ・ウントロ〔作品リスト順〕

北の彫刻展 2008〈心の中の自由な世界〉●
本郷新記念札幌彫刻美術館　2008 年 9 月
ごあいさつ（主催者） p.3
北の彫刻展 2008〈心の中の自由な世界〉（井上みどり） pp.4-5
出品作家〔一覧〕 p.7
図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕 pp.8-33
〔作家のことば〕（阿地信美智、柿崎均、川上勉、佐々木秀明、藤田真理、丸岡哲也）
出品リスト　p.35
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2008」
会期：2008 年 8 月 30 日－10 月 13 日　本郷新記念札幌彫刻美術館　主催：本郷新記念札幌彫刻美術館
出品：阿地信美智、柿崎均、川上勉、佐々木秀明、藤田真理、丸岡哲也〔出品リスト順〕

特別展－未来に伝えたい－学芸員おすすめアート ●
徳島県立近代美術館　2008 年 9 月 13 日
図版　pp.1-14
カタログ〔章解説、図版〕 pp.15-31
出品リスト　pp.32-35
註：編集は友井伸一、安達一樹。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 9 月 13 日－10 月 13 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館

出品：奈良美智、河井清一、井上長三郎、鳥海青児、山下菊二、菊畑茂久馬、星野真吾、髙山辰雄、川端健生、加納光於、一原有徳、石内都〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

共鳴する美術 2008 ●

岡山ネットワーク事業実行委員会　2008 年 9 月

図版　pp.2-13

略歴　p.14

註：編集は佐々木千恵、杉野文香。

所蔵：□、国新美、都現美

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 9 月 19 日－11 月 3 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館・岡山市デジタルミュージアム・奈義町現代美術館・岡山ネットワーク事業実行委員会

出品：大西伸明、金平靖子、田中恵美、松居邦明、みやじけいこ、森本美絵〔図版収載順〕

Art of our time ●

財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2008 年 9 月

あいさつ（財団法人日本美術協会）　pp.4, 5　英文併載

展覧会によせて（高階秀爾）　pp.6, 7　英文併載

〔高松宮殿下記念世界文化賞授賞者一覧〕　pp.8-9

図版〔作家・作品解説、図版〕　pp.11-95

〔作家・作品解説〕（岡里崇、坂元暁美、黒河内卓郎、辻井有里、与田美樹、土方浦歌、清原佐知子、及川真理、黒岩雅志、中村尚明、安城寿子、野中顕子）

資料編〔作家略歴〕　pp.98-105

Art of our time“私たちの時代の美術”〔年表〕　pp.106-107

高松宮殿下記念世界文化賞参考資料　pp.108-109

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大

〇展覧会事項

和文タイトル：「私たちの時代の美術」

会期：2008 年 9 月 27 日－11 月 9 日　上野の森美術館　主催：財団法人日本美術協会・上野の森美術館、彫刻の森美術館、フジサンケイグループ

出品：李禹煥、草間彌生、三宅一生〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

不協和音－日本のアーティスト 6 人 ●

ムディマ・ファンデーション ミラノ　2008 年 9 月　英文併載

不協和音（ジーノ・ディマッジオ）　pp.6-9, 198-199

精神状態を征服した 6 人の日本人アーティスト（アキレ・ボニト・オリヴァ） pp.10-13, 200-201
日本美術における女性的価値の過去と現在（ジァン・カルロ・カルツァ） pp.14-17, 202-203
前衛を超えて：日本人女性芸術家たちの位置（由本みどり） pp.18-27, 204-209
作家論〔図版、作家インタビュー、資料図版、作家論〕 pp.29-139, 210-230
〔作家論・作家インタビュー〕（マニュエラ・ガンディーニ、アレキサンドラ・モンロー〔再録〕、ジャンルカ・ランツィ、河崎晃一）
カタログ〔図版〕 pp.144-191
作品リスト pp.140-143, 192-194
所蔵：□、国新美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DISSONANCES」
会期：2008 年 9 月 30 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館
出品：久保田成子、草間彌生、オノ・ヨーコ、斉藤陽子、塩見允枝子、田中敦子〔図版収載順〕

スーパーピュア展 2008 アートは障がいを超える ●
横浜市民ギャラリーあざみ野　2008 年 10 月　第 3 回展　ART FORUM FESTIVAL 2008
ごあいさつ（館長関淳一）
図版〔図版、世話人等のことば〕 20p.
〔ことば〕（土井初音、北澤桃子、いまぜきまり、南芳枝、青木薫）
造形ワークショップ 手で見るかたち さわる不思議
所蔵：□、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2008 年 10 月 24 日－11 月 9 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　横浜市民ギャラリーあざみ野、共催：男女共同参画センター横浜北
出品：工房しょうぶ、工房絵、アトリエ・パンパキ、アートかれん、神奈川県立麻生養護学校高等部表現支援コース美術グループ〔図版収載順〕
註：出品欄は施設・グループ名とした。

日常の喜び 記録集 ●
水戸芸術館現代美術センター　2009 年 2 月 7 日　英文併載　展覧会資料第 78 号
日常の再考察（森司） pp.5-9, 71-74
日常と社会〈作家考を通して〉（竹久侑） pp.11-15, 75-79
図版 pp.17-69
関連企画 pp.80, 81
作家経歴 pp.82-85
出品作品リスト pp.86, 87
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、

和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Happiness in Everyday Life」

会期：2008 年 10 月 25 日－2009 年 1 月 18 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：淺井裕介、ガイ・ベンナー、森田浩彰、大巻伸嗣、宮島達男、岩崎貴宏、KOSUGE1-16、日比野克彦、神谷哲史、梅佳代、アトリエ・ワン、西尾美也、藤浩志、マルコ・ボーア〔出品作品リスト順〕

時間の形 ●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団　2008 年 12 月　英文併載

ごあいさつ（主催者）　見返し

図版　pp.1-9

時間の形を見る（松村円）　pp.10-11, 12-13

図版〔作家略歴、図版〕　pp.14-56

作品リスト　裏表紙見返し

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「FORM of TIME」

会期：2008 年 10 月 26 日－2009 年 1 月 12 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

出品：秋山さやか、猪熊弦一郎、ローマン・オパルカ、藤本由紀夫、ジュゼッペ・ペノーネ、宮本隆司〔作品リスト順〕

沖縄・プリズム 1872▸2008 ●

東京国立近代美術館　2008 年 10 月

ごあいさつ（館長加茂川幸夫）　pp.4, 5　英文併載

[序論] 沖縄・プリズム――隔たりを生きる倫理（鈴木勝雄）　pp.8-15, 154-163　英文併載

図版〔年表、章解説、図版、作家解説、作品解説〕　pp.17-135

　章解説（鈴木勝雄）

　作品解説（蔵屋美香、鶴見香織、鈴木勝雄、有馬智子）

乱反射する沖縄（鈴木勝雄）　pp.138-145

作家略歴　pp.146-150

文献抄録　pp.151-153

出品リスト　pp.164-175

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「OKINAWA PRISMED 1872-2008」

会期：2008 年 10 月 31 日－12 月 21 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代

美術館、特別協力：沖縄県立博物館・美術館

出品：第 2 章；安次嶺金正、安次富長昭、安谷屋正義、儀間比呂志、岡本太郎、森口豁、東松照明、平良孝七、高嶺剛。第 3 章；掛川源一郎、平敷兼七、比嘉康雄、石川真生、國吉清尚、伊志嶺隆、比嘉豊光、知花均、与那覇大智、粟国久直、上原美智子、圓井義典、宮城明、波多野哲朗、阪田清子、山城知佳子、照屋勇賢〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

国立美術館所蔵による 20 世紀の写真 ●

千葉市美術館　2008 年 11 月

ごあいさつ（主催者）　p.5

写真史へのコメント（倉石信乃）　pp.8-13

図版〔章解説、図版〕　pp.15-149

　章解説（水沼啓和、藁科英也、中西博之）

出品目録　pp.151-161

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「20th CENTURY PHOTOGRAPHY」

会期：2008 年 11 月 1 日－12 月 14 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・京都国立近代美術館、出品協力：東京国立近代美術館・国立国際美術館

出品：野島康三、石元泰博、恩地孝四郎、瑛九、植田正治、小石清、大辻清司、北園克衛、木村伊兵衛、土門拳、高松次郎、東松照明、奈良原一高、細江英公、森山大道、杉本博司、森村泰昌、畠山直哉〔出品目録順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

風景ルルル〈わたしのソトガワとのかかわり方〉 ●

静岡県立美術館　2008 年 12 月 5 日　主に英文併載

図版　pp.2-15

ごあいさつ（静岡県立美術館）pp.22, 23

「風景ルルル〈わたしのソトガワとのかかわり方〉」距離や地理を越えたコミュニティーを求めて（川谷承子）　pp.31-38, 39-43

図版〔作家解説、図版〕　pp.47-155

作家略歴／参考文献　pp.162-195

出品リスト　pp.198-203

所蔵：□、都現美、写真美、神近美、京都学、和光大

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Lu Lu Lu Landscape：How I see the world around me」

会期：2008 年 11 月 3 日－12 月 21 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館　共催：中日新聞東海本社、テレビ静岡

出品：髙木紗恵子、照屋勇賢、柳澤顕、鈴木理策、内海聖史、ブライアン・アルフレッド、

佐々木加奈子、小西真奈〔出品リスト順〕

氾濫するイメージ〈反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's〉●

うらわ美術館・八王子学園都市文化ふれあい財団・足利市立美術館　2008 年 11 月

ごあいさつ（主催者）　p.5

氾濫するイメージ（森田一）　pp.8-27

図版〔図版、解説〕　pp.29-196

解説（森田一、滝口明子）

作家略年譜、出品目録（滝口明子編）　pp.I-XXXII

主要参考文献　pp.XXXIII-XXXIV

註：編集は森田一、滝口明子、川俣高人、江尻潔。

所蔵：□、東文研、都現美、横浜美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2008 年 11 月 15 日－2009 年 1 月 25 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会／4 月 4 日－5 月 17 日　八王子市夢美術館　主催：八王子学園都市文化ふれあい財団・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会／8 月 29 日－10 月 12 日　足利市立美術館　主催：足利市みどり文化・スポーツ財団(足利市立美術館)・足利市教育委員会・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会

出品：赤瀬川原平、木村恒久、中村宏、つげ義春、タイガー立石、宇野亜喜良、粟津潔、横尾忠則〔図版収載順〕

第 4 回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズ-色をめぐる冒険 ●

府中市美術館　2008 年 11 月　別冊共

ごあいさつ（館長本江邦夫）　pp.4, 5　英文併載

トゥルー・カラーズ――記憶と色彩（山村仁志）　pp.8-15, 16-23　英文併載

「色」について（本江邦夫）　pp.24-27, 28-31　英文併載

図版〔作家によるコメント、解説、図版〕　pp.33-103

作家によるコメント（雨宮庸介、今澤正、原高史、武藤努、村山留里子、横内賢太郎、渡辺豊）　英文併載

解説（成相肇、神山亮子、武居利史）

作家略歴・参考文献（成相肇編）　pp.105-113

別冊〔会場写真、出品リスト〕　1 冊

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The 4th Fuchu Biennial TRUE COLORS」

会期：2008 年 11 月 15 日－2009 年 2 月 1 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：雨宮庸介、今澤正、原高史、武藤努、村山留里子、横内賢太郎、渡辺豊〔出品リスト順〕

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008〈文化庁芸術家在外研修の成果〉●

文化庁　2008 年 12 月
ごあいさつ（文化庁）p.2
在外研修制度(新進芸術家海外研修制度)について　p.3
図版〔作家のことば、作家略歴、作家解説、図版〕 pp.5-94
〔作家のことば〕（中井貞次、田中信太郎、原直久、石井勢津子、舟越桂、山本富章、ヒグマ春夫、馬場磨貴、小林浩、開発好明、駒形克哉、伴戸玲伊子、山本晶、小山利枝子、菱山裕子）
作家解説（野口玲一）
作品出品リスト　pp.95-101
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DOMANI」
会期：2008 年 12 月 13 日－2009 年 1 月 26 日　国立新美術館　主催：文化庁、共催：国立新美術館・読売新聞社
出品：中井貞次、田中信太郎、原直久、石井勢津子、舟越桂、山本富章、ヒグマ春夫、馬場磨貴、小林浩、開発好明、駒形克哉、伴戸玲伊子、山本晶、小山利枝子、菱山裕子〔作品出品リスト順〕

2009（平成 21）年

現代の水墨画 2009〈水墨表現の現在地点〉●

富山県水墨美術館・練馬区立美術館　2009 年 1 月

あいさつ（主催者）　p.5

「現代の水墨画」に寄せて（内山武夫）　pp.6-7

「水墨画」…重き流れの中から（八木宏昌）　pp.8-10

新たな眼差しで「水墨」を見てみる（野地耕一郎）　pp.11-15

図版　pp.17-79

作家紹介〔作家略歴、アンケート〕

アンケート（伊藤彬、中野嘉之、箱崎睦昌、正木康子、八木幾朗、呉一騏、尾長良範、浅見貴子、マツダジュンイチ、三瀬夏之介、田中みぎわ）

出品リスト　pp.94-95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 1 月 30 日－3 月 22 日　富山県水墨美術館　主催：富山県水墨美術館・北日本新聞社・富山テレビ放送／4 月 21 日－5 月 31 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：伊藤彬、中野嘉之、箱崎睦昌、正木康子、八木幾朗、呉一騏、尾長良範、浅見貴子、マツダジュンイチ、三瀬夏之介、田中みぎわ〔出品リスト順〕

移動と表現〈変容する身体・言語・文化〉●

沖縄文化の杜　2009 年 1 月　開館 1 周年記念展覧会

ごあいさつ（館長牧野浩隆）　pp.2,3,4　英文・西文併載

はじめに（翁長直樹）　pp.6-9, 100-103, 110-114　英文・西文併載

第 1 章／占領と移動 ニシムイ美術村

占領と文化（翁長直樹）　pp.10-13

生きるために描く（ジェーン・デュレイ）　pp.14-15, 104-105　和文・英文

思い出のニシムイ（スタンレー・スタインバーグ）　pp.16-18, 106-108　和文・英文

北森(ニシムイ、1948-1950)へ向かって（土江真樹子）　pp.19-20

作品・作家解説（翁長直樹）　p.21

《フォト・アルバム》ニシムイ美術村の画家たちとスタンレー・スタインバーグ、ウォルター・エイベルマン　pp.22-23

第 2 章／移民・異郷・境界

移動と表現－北米に関して（比嘉良治）　pp.24-27

沖縄 アルゼンチン：ある円環（リナ・ガベ）　pp.28-30, 115-117　和文・西文

作品・作家解説（翁長直樹、渡辺真也）　pp.31-33

《フォト・アルバム》アルゼンチン移民画家・屋宜盛功　pp.34-35

第 3 章／移動する現在

東アジア、沖縄の表現の可能性（与儀武秀） pp.36-38
「アート×□＝∞」－新しい価値を探って（大城仁美） pp.39-40
作品・作家解説（翁長直樹、渡辺真也、大城仁美） pp.41-42
図版 pp.43-98
Searching for Unforeseen Others（渡辺真也） p.109 英文
資料編
作家略歴（仲程香野編） pp.118-123
作品リスト（大城仁美・仲程香野編） pp.124-127 英文併載
沖縄移民・移住史年表（上間常道編） pp.128-139
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Migration & Expression」
会期：2009 年 1 月 31 日－3 月 29 日 那覇・沖縄県立博物館・美術館 主催：沖縄県立博物館・美術館
出品：玉那覇正吉、安次嶺金正、安谷屋正義、屋宜盛功、フリオ・ゴヤ、エリカ・ナカソネ、アンドレス・オンナ、ラウル・クルス・ガベ、シンティア・ダニラ・ヨナシロ／ガストン・オマル・メンドーザ、エドワルド・トケシ、アロルド・ヒガ、カズミ・アデマール・シマブクロ、マルシオ・シマブクロ、宮城与徳、小橋川秀男、内間安瑆、比嘉良治、小谷節也、チャールズ・ヒガ、トシコ・タカエズ、市村しげの、謝敷宏、柳幸典、河原温、照屋勇賢、キドラット・タヒミック、トリン・T・ミンハ、鄒素芬〔作品リスト順〕

アーティスト・ファイル 2009――現代の作家たち 展覧会カタログ ●
国立新美術館 2009 年 3 月 主に英文併載 リーフレット＋作家ファイル 9 冊(ケース入)＋展覧会ドキュメント
□リーフレット(二ツ折両面刷)
あいさつ（国立新美術館）
〔ファイル一覧〕
□ファイル 009：ペーター・ボーゲルス
テキスト（平井章一） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
“The Unified Field”（無署名） 英文
巻末資料〔略歴、主要文献〕（本橋弥生・作成） pp.25-31
出品作品 p.31
□ファイル 010：平川滋子
テキスト（南 雄介） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
〔作家のことば〕（平川滋子）
巻末資料（南 雄介・作成） pp.25-30
図版掲載プロジェクトリスト p.31

□ファイル 011：石川直樹
テキスト（加藤 絢） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（加藤 絢・作成） pp.25-30
出品作品 p.31
□ファイル 012：金田実生
テキスト（福永 治） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 30
巻末資料（本橋弥生・作成） pp.25-29
出品作品 p.31
□ファイル 013：宮永愛子
テキスト（本橋弥生） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 30
巻末資料（本橋弥生・作成） pp.25-29
出品作品 p.31
□ファイル 014：村井進吾
テキスト（福永 治） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（加藤 絢・作成） pp.25-30
出品作品 p.31
□ファイル 015：大平實
テキスト（福永 治） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（本橋弥生・作成） pp.25-31
出品作品 p.31
□ファイル 016：齋藤芽生
テキスト（本橋弥生） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 29
巻末資料（本橋弥生・作成） pp.25-28
出品作品 pp.30-31
□ファイル 017：津上みゆき
テキスト（加藤 絢） pp.2-4, 5-7
巻末資料（加藤 絢・作成） pp.9-14
出品作品 p.15
図版 pp.17-32
□展覧会ドキュメント
〔作家一覧〕 p.3
図版 pp.4-39

出品リスト　pp.40-45
展示プラン　p.46
関連事業　p.47
註：編集は福永治、本橋弥生、加藤絢。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ARTIST FILE 2009：The NACT Annual Show of Contemporary Art」
会期：2009 年 3 月 4 日－5 月 6 日　国立新美術館　主催：国立新美術館
出品：ペーター・ボーゲルス、平川滋子、石川直樹、金田実生、宮永愛子、村井進吾、大平實、齋藤芽生、津上みゆき〔ファイル順〕

どろどろ、どろん――異界をめぐるアジアの現代美術 ●
広島市現代美術館　2009 年 5 月　主に英文併載
ごあいさつ（広島市現代美術館）　pp.4, 5
どろどろ、どろん――異界をめざす想像力（小橋祥子）　pp.6-10, 11-16
図版〔章解説、図版、解説〕　pp.17-92
〔解説〕（杉本好伸、石倉敏明、常光徹、松尾恒一）
作家略歴　pp.93-98
出品リスト　pp.99-103
註：編集は小橋祥子、松岡剛。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DORODORO, DORON－The Uncanny World in Folk and Contemporary Art in Asia」
会期：2009 年 3 月 14 日－5 月 10 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
出品：西尾康之、小谷元彦、高木正勝、中原浩大、八谷和彦、佐藤允、会田誠、加藤泉、風間サチコ、戸谷成雄、小山田徹＋Com-Pass Caving Unit〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

VOCA 展 2009「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2009 年 3 月　英文併載
「VOCA 展 2009」開催にあたって（主催者）　p.3
「VOCA 展 2009」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.5
〔授賞者、選考委員〕　p.7
〔選評評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、逢坂恵理子、南嶌宏）　pp.8-19
〔出品作家、推薦委員〕　pp.22-23, 94-95

図版〔図版、作家解説〕 pp.24-93

〔作家解説〕（福住廉、山下裕二、宮本武典、名古屋覚、荒木夏実、天野一夫、太田垣實、影山千夏、拝戸雅彦、本田代志子、和田浩一、植松由佳、浅井俊裕、大島賛都、窪田研二、蔵屋美香、光田由里、神谷幸江、五十嵐卓、尾﨑信一郎、山脇一夫、木ノ下智恵子、木村理恵子、占部敏子、大野正勝、菅章、長屋光枝、松井みどり、小林純子、岡里崇、近藤由紀、廣瀬就久、加藤弘子、宝玉正彦、原久子、森口まどか、吉崎元章、柳原正樹） 英文 pp.97-109

Biography pp.110-126

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2009 The Vision of Contemporary Art」

会期：2009 年 3 月 15 日－30 日 上野の森美術館 主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：淺井裕介、麻生知子、池谷保、今津景、梅津庸一、樫木知子、苅谷昌江、川見俊、小金沢健人、五木田智央、小西紀行、櫻井りえこ、佐藤修康、鈴木ヒラク、田尾創樹、高木こずえ、竹村京、田中宏美、田中幹、生川晴子、名和晃平、根岸文子、橋本トモコ、伴戸玲伊子、平川渚、風能奈々、福永大介、藤田桃子、船井美佐、まつながえみ、三瀬夏之介、吉岡千尋、和田絢、渡邊慶子、渡邊陽平〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・三瀬夏之介、VOCA 奨励賞・樫木知子、竹村京、佳作賞・今津景、櫻井りえこ、大原美術館賞・淺井裕介、府中市美術館賞・高木こずえ

愛についての 100 の物語 ●

金沢 21 世紀美術館 2009 年 7 月 1 日 開館 5 周年記念展

愛についての 100 の物語（不動美里） 英文併載

図版〔図版、作家解説、作家略歴、作家のことば、作品解説、インタビュー抄、文章・文献再録、詩〕 173p. 作家略歴は英文併載

作家・作品解説、作家略歴（不動美里、黒澤浩美、北出智恵子、村田大輔、平林恵、高嶋雄一郎、立松由美子、吉岡恵美子）

〔作家のことば・詩〕（粟津美穂、アーティスト D85、谷川俊太郎）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Hundred Stories about Love」

会期：2009 年 4 月 29 日－8 月 30 日 金沢 21 世紀美術館 主催：金沢 21 世紀美術館、共催：北國新聞社

出品：粟津潔、粟津美穂、チェルフィッチュ、舟越桂、浜田剛爾、一柳慧、イトー・ターリ、金沢不満合唱団、姜尚中、川上未映子、川崎和男、木村太陽、岸本清子、みかん電鉄、森村泰昌、村田仁、奥田扇久、坂田靖子、島袋道浩、塩田千春、鈴木昭男、鈴木ヒラク、詫間のり子、谷川俊太郎、照屋勇賢、東郷健、土橋とし子、牛嶋均、山本基、山折哲雄、山下洋輔、

山崎つる子、横溝静、湯浅誠〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家(造形作家、文学者、学者、活動者ら)を収載。

日本の自画像〈写真が描く戦後 1945－1964〉●

クレヴィス　2009 年 5 月 2 日

ごあいさつ（主催者）pp.6, 7　英文併載

太陽を凝視する（マーク・フューステル）　pp.9-23　英文併載

図版　pp.25-198

写真家紹介聞取り帖（田沼武能、池田真魚、都築弘雄、林義勝、石元泰博、長野重一、東松照明、奈良原恵子、川田喜久治、細江英公、聞き手・高橋直裕）　pp.199-210

略歴・展覧会・文献（副田一穂・中村史子編）　pp.211-233

出品リスト　pp.234-237

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Japan：A Self-Portrait　Photographs 1945-1964」

会期：2009 年 5 月 2 日－6 月 21 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・日本経済新聞社／8 月 27 日－10 月 28 日　酒田・土門拳記念館　主催：財団法人土門拳記念館／11 月 6 日－12 月 13 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知／2010 年 6 月 5 日－8 月 31 日　清里フォトアートミュージアム　主催：清里フォトアートミュージアム

出品：濱谷浩、東松照明、林忠彦、長野重一、木村伊兵衛、田沼武能、土門拳、川田喜久治、石元泰博、奈良原一高、細江英公〔出品リスト順〕

ウインター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開 ●

美術出版社　2009 年 8 月　英文併載　国際交流基金海外巡回展

はじめに（国際交流基金）　p.1

ウインター・ガーデン〈日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開〉（松井みどり）　pp.4-27

図版〔図版、作家論、作家略歴〕　pp.28-81

〔作家論〕（松井みどり）

作品リスト　pp.82-83

所蔵：□、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Winter Garden：The Exploration of the Micropop Imagination in Contemporary Japanese Art」

会期：2009 年 5 月 23 日－7 月 20 日　北品川・原美術館　主催：国際交流基金・原美術館〔国際交流基金 HP に拠る〕

出品：青木陵子、泉太郎、落合多武、工藤麻紀子、國方真秀未、佐伯洋江、杉戸洋、タカノ綾、田中功起、千葉正也、Chim↑Pom、半田真規、八木良太、山本桂輔〔作品リスト順〕

エコ&アート 近くから遠くへ〈アートを通して地球環境を考える〉●

群馬県立館林美術館　2009 年 7 月

ごあいさつ（館長木島俊介）　p.3　英文併載

アートを通して地球環境を考える試みー近くから遠くへ（松下和美）　pp.5-7

図版〔テキスト、本展のためのコメント、図版、文献再録〕　pp.8-33

ナビゲートとテキスト（川島健二）

本展のためのコメント（篠原誠司、石川直樹、高谷史郎、國府理、三分一博志、サウンドバム、日比野克彦）

出品作家略歴・主な展覧会歴　pp.36-39

註：編集は松下和美、神尾玲子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Ecology and Art　Thinking About the Earth Through Art：From Nearby to Far Away」

会期：2009 年 7 月 4 日－9 月 23 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

出品：篠原誠司、石川直樹、リチャード・ミズラック、平田五郎、リチャード・ロング、ロバート・スミッソン、高谷史郎、野村仁、ヨーゼフ・ボイス、バックミンスター・フラー、國府理、三分一博志、サウンドバム、日比野克彦〔図版収載順〕

花・風景 モネと現代日本のアーティストたち〈大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〉展覧会カタログ I ●

熊本市現代美術館　2009 年 7 月 4 日

花・風景〈モネと現代日本のアーティストたち〉（桜井武）　pp.4-10, 11-15　英文併載

図版〔図版、作家のことば〕　pp.17-83

〔作家のことば〕（大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子）

作家解説・略歴　pp.84-93

作家解説（芦田彩葵、矢加部咲）

出品作品リスト　pp.94-95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「FLOWERS AND LANDSCAPE Claude Monet and Young Japanese Artists：Shinji Ohmaki, Mika Ninagawa, and Satoko Nachi」

会期：2009 年 7 月 4 日－9 月 23 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・KAB 熊本朝日放送

出品：クロード・モネ、石元泰博、大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〔出品作品リスト順〕

花・風景 モネと現代日本のアーティストたち〈大巻伸嗣、蜷川実花、名知聡子〉展覧会カタログ II

熊本市現代美術館　2009 年 8 月 20 日

ご挨拶（主催者） p.3

図版〔会場写真〕 pp.4-15

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項〔上記展覧会カタログ I に同じ〕

おもろいやつら 人間像で見る関西の美術 ●

徳島県立近代美術館 2009 年 7 月 18 日 特別展

ごあいさつ（徳島県立近代美術館） p.2

図版〔作家略歴、作品解説、図版〕 pp.4-73

徳島のコレクションに関する一考察 関西の美術をもとに（吉川神津夫） pp.74-78

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「omoroi-yatsura」

会期：2009 年 7 月 18 日－8 月 30 日 徳島県立近代美術館 主催：徳島県立近代美術館・徳島新聞社・四国放送

出品：石原友明、泉茂、井原康雄、植木茂、植松奎二、大久保英治、大島成己、郭徳俊、下村良之介、鈴木治、辻晋堂、中井克巳、中西學、野村仁、福岡道雄、福嶋敬恭、星野真吾、松井憲作、三尾公三、三上誠、宮崎豊治、村岡三郎、元永定正、森村泰昌、やなぎみわ、吉原治良、吉原英雄〔図版収載順〕

線の迷宮〈ラビリンス〉番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情－70 年代の版画集を中心に ●

目黒区美術館 2009 年 8 月 1 日

カラー図版 pp.2-8, 105-112

ごあいさつ（目黒区美術館） p.11

版画集作品図版 pp.12-86

版画の時代―眼球で知るたのしみ（降旗千賀子） pp.88-93

版画集作品リスト pp.94-102

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 8 月 1 日－9 月 27 日 目黒区美術館 主催：目黒区美術館

出品：相笠昌義、麻田浩、東貞美、畦地梅太郎、飯田善國、池田満寿夫、井田照一、宇佐美圭司、小作青史、加納光於、柄澤齊、木原康行、木村茂、草間彌生、黒崎彰、駒井哲郎、高橋秀、中西夏之、中林忠良、野中ユリ、浜田知明、秀島由己男、日和崎尊夫、深沢幸雄、村上友晴、保田春彦、矢柳剛、吉田克朗、李禹煥、若林奮〔版画集作品図版順〕

現代美術も楽勝よ。記録集 ●

水戸芸術館現代美術センター 2009 年 12 月 25 日 展覧会資料第 83 号

「現代美術も楽勝よ。」によせて（浅井俊裕） pp.4-5
図版〔展示風景〕 pp.6-20
『Reversible Collection』学芸員 A の最後の仕事 pp.21-28
Nadegata が水戸で本当にやったこと（高橋瑞木） pp.22-23
十人十色の鑑賞プログラム pp.29-40
十人十色の鑑賞プログラム（森山純子、竹久侑）
出品作品リストと解説 pp.41-47
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2009 年 8 月 29 日－10 月 12 日 水戸芸術館現代美術ギャラリー 企画：水戸芸術館現代美術センター、主催：水戸市芸術振興財団・水戸市・水戸市教育委員会・芸術文化活性化事業実行委員会
出品：曽根裕、野村仁、ジュリアン・オピー、畠山直哉、I.F.P.、小林孝亘、アニッシュ・カプーア、河口龍夫、イリヤ・カバコフ、川俣正、蔡國強、クリスト&ジャンヌ＝クロード、王慶松、マグダレーナ・アバカノヴィッチ、ベルナール・フォコン、ロバート・メープルソープ、日高理恵子、ソフト・セル〔出品作品リスト順〕

THE YOSHIDA FAMILY 展〈世界をめぐる吉田家 4 代の画家たち〉カタログ ●
三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー 2009 年 8 月
ごあいさつ（主催者） p.5
吉田家系図 p.8
吉田家の画家たち（瀬木慎一） pp.9-13, 14-17 英文併載
言霊の版画家――吉田穂高（本江邦夫） pp.18-21, 22-24 英文併載
図版〔章解説、図版、コラム〕 pp.25-111
芸術家の「家」〈下落合の吉田邸について〉（富田智子）
「インターナショナル吉田版画アカデミー」について（吉田司） pp.113, 114 英文併載
画家の家に生まれて（吉田亜世美） pp.115-116, 117-118 英文併載
世界をめぐる吉田家の旅と作品（富田智子） pp.119-125, 126-129 英文併載
吉田家関連文献（富田智子編） pp.130-137
吉田家略年譜（富田智子編） pp.138-154
出品リスト pp.155-158
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「THE YOSHIDAS：A FAMILY JOURNEY IN ART」
会期：2009 年 8 月 29 日－10 月 12 日 三鷹市美術ギャラリー 主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー

出品：吉田嘉三郎〔明治期の作家〕、吉田博、吉田ふじを、吉田遠志、吉田穂高、吉田千鶴子、吉田亜世美〔出品リスト順〕

共鳴する美術 2009〈表現への挑戦〉●

倉敷市立美術館　2009 年 9 月

開催にあたって（倉敷市立美術館）

図版　pp.1-12

略歴　p.13

註：編集は前田興、杉野文香。

所蔵：□、国新美、神近美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 9 月 18 日－11 月 8 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

出品：青地大輔、杉浦慶太、藤原裕策、松井えり菜〔図版収載順〕

集団 N39 1962 年－1969 年 ●

萬鉄五郎記念美術館　2010 年 3 月 15 日

ごあいさつ（萬鉄五郎記念美術館）　p.5

「N39」にまつわる事柄〈萬鉄五郎の爆発から 50 年、若き北緯のマグマが爆発する〉（大宮政郎）　pp.8-15

「N39」という記号――60 年代岩手の詩と美術をめぐって（齋藤岳城）　pp.16-25

図版〔解説、文献再録、図版〕　pp.27-216

N39 資料編

N39 活動の記録　pp.218-219

作家略歴　pp.220-239

出品目録　pp.240-245

註：編集は平澤広、伊藤真紀子、五十嵐佳乙子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2009 年 9 月 19 日－12 月 23 日　花巻市・萬鉄五郎記念美術館　主催：萬鉄五郎記念美術館

出品：大宮政郎、柵山龍司、村上善男、浅利篤、多田雅彦、村山暢男、橋本正、杉村英一、藤澤多巳夫、田村富男、瀬川昌男、藤原國男、高橋昭八郎、伊藤元之〔出品目録順〕

多摩川で／多摩川から、アートする〈アートの現場としての多摩川 観光芸術研究所から球体写真まで 1964-2009〉●

府中市美術館　2009 年 9 月

はじめに（館長井出洋一郎）　pp.2, 3　英文併載

多摩川と出品作品関連地図　pp.6-7

多摩川で／多摩川から、アートする――地理的視点からの現代美術記述の試み（神山亮子）

pp.8-15, 77　抄訳

図版〔章解説、解説、図版〕　pp.17-64

章解説、解説（神山亮子）

作家解説、略歴、参考文献（神山亮子、成相肇、武居利史編）　pp.66-71

出品リスト　pp.72-75

関連企画　p.78

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「At/From Tamagawa 1964-2009：Contemporary Japanese Art from a Geographical Viewpoint」

会期：2009 年 9 月 19 日－11 月 3 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：観光芸術研究所、中村宏、立石紘一〔タイガー立石、立石大河亜〕、高松次郎、山中信夫、蔡國強、郭仁植、柴田敏雄、山本糾、日高理恵子、マコト フジムラ、大竹敦人〔出品リスト順〕

I BELIEVE：日本の現代美術 ●

富山県立近代美術館　2009 年 10 月　付・出品リスト

ごあいさつ（富山県立近代美術館）　p.5

関連イベント　p.6

「信じる」ことについて――日本の美術家 7 人をめぐって（麻生恵子）　pp.8-14

図版〔図版、作家のことば〕　pp.17-79

〔作家のことば〕（折元立身、河井美咲、関根直子、高嶺格〔再録〕、村瀬恭子、山川冬樹）

作家資料　pp.80-87

□出品リスト〔1 枚、二ツ折両面刷〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「I BELIEVE：JAPANESE CONTEMPORARY ART」

会期：2009 年 10 月 10 日－11 月 29 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：大竹伸朗、折元立身、河井美咲、関根直子、高嶺格、村瀬恭子、山川冬樹〔出品リスト順〕

静寂と色彩：月光のアンフラマンス ●

川村記念美術館　2009 年 10 月　英文併載

ごあいさつ（館長中島正司）　pp.4, 5

アンフラマンスまたは外部の断面（北山研二）　pp.8-9, 10-11

図版〔作家・作品解説、図版〕　pp.13-124

作家・作品解説（鈴木尊志、北山研二）

宇宙のどこかに、私の「それ」がある（吉川静子）

PLAY THE GLASS（増田洋美）
見ることの不思議さ（平井達郎） pp.126-131, 132-139
アートを超えて…（アントン・C・マイヤー） pp.140-144, 145-149
エンマ・クンツの美術作品（アントン・C・マイヤー） pp.150-151, 152-153
エンマ・クンツ略年譜 1892-1963 pp.154, 155
静寂と色彩 月光のアンフラマンス（鈴木尊志） pp.156-159, 160-164
作家略歴 pp.165-171
作品リスト pp.172-175
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Stillness into Color：Inframince of Moonlight」
会期：2009 年 10 月 10 日－2010 年 1 月 11 日 佐倉・川村記念美術館 主催：川村記念美術館(DIC 株式会社)
出品：第二部；小野田賢三、黒田寛、松本陽子、ホセ・マリア・シシリア、エンマ・クンツ、渡辺えつこ、伴美里、小池隆英、栗田宏一、中西夏之、キム・テクサン、吉川静子、リチャード・タトル、渡邉修、増田洋美〔作品リスト順〕
註：出品欄は主に現代作家を対象とした第二部を収載した。ちなみに第一部は中世から近代にいたる作品と複製限定版『マルセル・デュシャン、ノート』が出品された。

眼をとじて――“見ること”の現在 ●
茨城県近代美術館 2009 年 10 月
ごあいさつ（館長市川政憲） p.3
展覧会によせて－見る作家とつくる「観客」（市川政憲） pp.7-11
図版〔図版、作家コメント〕 pp.13-76
コメント（河口龍夫、鈴木省三、エミコ・サワラギ・ギルバート、長沢秀之、岡村桂三郎、日高理恵子、小林孝亘、水谷イズル）
作家略歴・解説（市川政憲、小泉淳一、井野功一） pp.78-83
出品リスト pp.84-86
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Close your eyes…and visualize What you see」
会期：2009 年 10 月 31 日－12 月 13 日 水戸・茨城県近代美術館 主催：茨城県近代美術館
出品：オディロン・ルドン、アルベルト・ジャコメッティ、若林奮、村上友晴、河口龍夫、鈴木省三、エミコ・サワラギ・ギルバート、長沢秀之、岡村桂三郎、日高理恵子、小林孝亘、水谷イズル〔出品リスト順〕

オブジェの方へ――変貌する「本」の世界 ●
美術館連絡協議会 2009 年 11 月 開館 10 周年記念

ごあいさつ（うらわ美術館） p.3
オブジェの方へ――展覧会の入口あたりの断片的な話（森田一） pp.7-8
図版〔図版、解説〕 pp.9-80
主要作品作家略歴 pp.82-85
作品リスト pp.86-87
所蔵：□、国新美、東文研、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2009 年 11 月 4 日－2010 年 1 月 24 日 うらわ美術館 主催：うらわ美術館・読売新聞東京本社・美術館連絡協議会
出品：1.海外の作品から。2.国内の作品から；松澤宥、柏原えつとむ、堀浩哉、李禹煥、河口龍夫、若林奮、淤見一秀、安部典子、福田尚代、加納光於、中村宏、山口勝弘、脇田愛二郎、嶋本昭三、柄澤齊、藤井敬子、村岡三郎、荒木高子、西村陽平、遠藤利克〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

「ヤマ」の美術・写真・グラフィック・映画〈‘文化’資源としての「炭鉱」展〉●
目黒区美術館 2009 年 11 月 4 日
ごあいさつ（目黒区美術館） pp.2, 3 英文併載
第 1 章～炭鉱と美術～掘る、生きる、描く pp.7-150
解題（正木基）、論考・寄稿（ジャスティン・ジェスティー、徳永恵太、森本弘行、上野朱、杉浦友治、佐藤友哉）
図版〔図版、文章再録、略歴、参考文献〕
インタビュー（うえだ・ひろし、野見山暁治）
第 2 章～炭鉱と美術～外部からの関心～都市の「美術家」たちのまなざし pp.151-268
解題（正木基）、論考（山口洋三、中森敏夫）
図版〔図版、略歴、参考文献、文章再録〕
インタビュー（富山妙子、池田龍雄、菊畑茂久馬、滝純一、多田美波、岡部昌生＋吉岡宏高、吉増剛造）
第 3 章～炭鉱と写真 pp.269-368
解題（正木基）、論考（土屋誠一）
図版〔図版、文章再録、略歴、参考文献〕
インタビュー（中山陽、宮松宏至、大槁弘、萩原義弘）
第 4 章～炭鉱とグラフィック pp.369-388
解題（正木基）、論考（肴倉睦子）
図版〔図版、参考文献、略歴〕
第 5 章～映像の中の炭鉱 pp.389-414
解題（正木基）、論考（石川翔平）
「日本における炭鉱関連映像作品」作品リスト
「映像の中の炭鉱」上映作品

インタビュー（本橋成一）

あとがきにかえて（正木基） p.415

註：略歴執筆は石崎尚。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The coal mine as cultural resource Art / Photography / Graphic Arts / Film of Japanese Coal Mines」

会期：2009 年 11 月 4 日－12 月 27 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館、共催：目黒区・目黒区教育委員会・東京新聞・ポレポレ東中野

出品：上野英信、井上為次郎、千田梅二、山本作兵衛、上田博、立花重雄、築山節生、立石大河亞、野見山暁治、若林光一郎、鈴木新夫、熊坂太郎、稲川敏之、畠山哲雄、倉持吉之助、小林政雄、木下勘二、松永源右衛門、尾花成春、谷口利夫、富山妙子、山下菊二、池田龍雄、風間完、黒田征太郎、菊畑茂久馬、滝純一、向井潤吉、鈴木賢二(スズキケンジ)、新居広治、佐藤忠良、吉井忠、森芳雄、西常雄、竹谷富士雄、中谷泰、鳥居敏文、山内壮夫、横山操、浮田克躬、新海覚雄、多田美波、畠山哲雄、佐藤時啓、岡部昌生、吉増剛造、土門拳、中山陽、本橋成一、藤川清、庄田明、山崎富士雄、山口勲、裵昭、宮松宏至、田嶋雅巳、奈良原一高、大槇弘、萩原義弘、丹野清志、鈴木清、安藤文雄、寺田健一郎〔目次順〕

註：出品欄は目次に記載されている作家を収載。

魔法の美術館〈ようこそ。ここは光のワンダーランド〉●

高崎市美術館　2009 年 11 月

〔あいさつ〕（高崎市美術館） p.2　英文併載

〔ことば〕（無署名） p.3　英文併載

図版〔図版、作家略歴、コンセプト〕 pp.4-17

コンセプト（近森基＋＋久納鏡子、森脇裕之、そがあやの、宮本和奈、山内哲也、田中敬一、柏原エリナ）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Magical Art Museum Welcome, you are now in the wonderland of lights」

会期：2009 年 11 月 15 日－2010 年 1 月 11 日　高崎市美術館　主催：高崎市美術館

出品：近森基＋＋久納鏡子、森脇裕之、そがあやの、宮本和奈、山内哲也、田中敬一、柏原エリナ〔図版収載順〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00〈時をつなぐビジョン〉●

高松市美術館　2009 年 11 月

図版　pp.3-33

ごあいさつ（高松市美術館） p.34

「高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00」によせて アニュアル展を開催する意

義（秋元雄史） pp.35-36
街としての美術館・美術館としての街－高松コンテンポラリーアート・アニュアルのために（天野一夫） pp.37-38
「高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00」によせて 現代アートのアニュアル展はなぜ必要か（笠原美智子） p.39
時をつなぐビジョン（毛利義嗣） pp.40-47
作家資料〔作家ステートメント、作家略歴〕 pp.48-65
作家ステートメント（赤松きよ、梅田哲也、off-Nibroll、しばたゆり）
作家インタビュー（志賀理江子、聞き手・毛利義嗣）
出品リスト pp.66-69
関連イベント pp.70-71
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.00 Vision of Captured Time」
会期：2009 年 11 月 20 日－12 月 20 日 高松市美術館 主催：高松市美術館
出品：赤松きよ、梅田哲也、off-Nibroll、志賀理江子、しばたゆり〔出品リスト順〕

現代絵画の展望 12 人の地平線 ●
東日本鉄道文化財団 2009 年 12 月
ごあいさつ（東京ステーションギャラリー） p.3
図版 pp.4-27
「現代作家現代絵画の展望」展 12 名と出品作について（田中晴子） pp.28-33
出品リスト pp.34, 35 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2009 年 12 月 8 日－2010 年 3 月 22 日 新橋・旧新橋停車場鉄道歴史展示館 主催：東京ステーションギャラリー
出品：宮崎進、堂本尚郎、中村宏、郭徳俊、吉村芳生、イケムラレイコ、中村一美、小林正人、藤浪理恵子、夏目麻麦、元田久治、山田純嗣〔出品リスト順〕

現代絵画の展望 12 人の地平線
東日本鉄道文化財団 2009 年 12 月 1 枚(三ツ折両面刷)
〔ことば〕
図版 8 図
出品作家
所蔵：□、国新美、東近美
○展覧会事項〔本体に同じ〕

DOMANI・明日展 2009〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉 ●

文化庁　2009 年 12 月
ごあいさつ（文化庁）　p.2
在外研修制度(新進芸術家海外研修制度)について　p.3
図版〔作家のコメント、作品解説、解説、図版〕　pp.5-88
作家のコメント、作品解説（久保田繁雄、吉仲正直、栗本夏樹、伊庭靖子、安田佐智種、吉田暁子、礒﨑真理子、呉亜沙、三田村光土里、浅見貴子、高野浩子、藤原彩人）
解説（野口玲一）
作家略歴　pp.90-95
出品リスト　pp.96-99
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DOMANI 2009」
会期：2009 年 12 月 12 日－2010 年 1 月 24 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社
出品：久保田繁雄、吉仲正直、栗本夏樹、伊庭靖子、安田佐智種、吉田暁子、礒﨑真理子、呉亜沙、三田村光土里、浅見貴子、高野浩子、藤原彩人〔出品リスト順〕

ラブラブショー ●

ラブラブショー展実行委員会　2009 年 12 月　青森県立美術館×十和田市現代美術館共同企画展　付・DVD1 枚
ごあいさつ（主催者）　p.3
WHAT IS THIS THING CALLED LOVE LOVE SHOW～〈ラブラブショー〉とは何でしょう（工藤健志）　pp.6-15
図版〔解説、図版、文献再録、作家のことば〕　pp.17-88
〔解説〕（工藤健志、村雨ケンジ、板倉容子、原田真紀、茂田有徳、山貝征典）
〔作家のことば〕（西澤徹夫×寶神尚史）
併設企画　pp.89-95
ラブラブショーにささげる〈LOVE LOVE SHOW DICTIONARY〉（山貝征典）　pp.96-100
資料編〔作家略歴、参考図版〕　pp.101-119
出品作品リスト　pp.120-125
註：編集は工藤健志、山貝征典、細矢久人。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル:「LOVE LOVE SHOW；The new conceptions of contemporary art exhibition.」
会期:2009 年 12 月 12 日－2010 年 2 月 14 日　青森県立美術館、十和田市現代美術館　主催：ラブラブショー展実行委員会(青森県立美術館・十和田市現代美術館・青森テレビ)
出品：鈴木理策、遠山裕崇、山吉由利子、桑原弘明、岡崎京子、伊藤隆介、曽我部恵一×奥村雄樹、立石大河亞、松村泰三、斎藤義重、菊地敦己、ロビン西、KIMURA、吉田初三郎、

秋山さやか〔出品作品リスト順〕

註：会期中、両美術館をつなぐ無料シャトルバスが運行され、西澤徹夫と寶神尚史によるインスタレーション作品が設置された。

日常／場違い ●

神奈川県民ホール　2010 年　主に英文併載　たとう入り　開館 35 周年記念

ごあいさつ（芸術総監督一柳慧）　p.3

詩人や女優や野宿者の居場所（多和田葉子）　pp.5-9, 99-103

日常 場違い 6 人の作家による「日常」と「場違い」（中野仁詞）　pp.10-23, 104-117

図版〔作家によるコメント、図版、作家略歴〕　pp.25-120

〔作家によるコメント〕（雨宮庸介、木村太陽、泉太郎、藤堂良門、久保田弘成）

「やまびこと転倒」（池田シゲル）　p.63　和文のみ

作品リスト／日常 場違い×アートコンプレックス 2009　pp.118, 119

註：発行の日付は「©2010」とのみあり。なお、編集は中野仁詞、榎本千賀子。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Everyday Life another space」

会期：2009 年 12 月 16 日－2010 年 1 月 23 日　横浜・神奈川県民ホールギャラリー　主催：神奈川県民ホール

出品：雨宮庸介、木村太陽、佐藤恵子、泉太郎、藤堂良門、久保田弘成〔作品リスト順〕

一人快芸術 ●

広島市現代美術館　2009 年 12 月　英文併載

ごあいさつ（広島市現代美術館）　pp.2, 3

一人快芸術という強度〈たった一人で充足し、そのうえ人に伝播する。〉（松岡剛）　pp.6-10, 12-16

図版　pp.17-84

用語集〈登場人物および関連事項、ならびにキーワード解説〉　pp.85-96, 97-104

出品リスト　pp.105-111

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art of Power Born of Pleasure」

会期：2009 年 12 月 19 日－2010 年 2 月 21 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：梅佳代、大段徳市、岡啓輔、佐藤修悦、岡本明才、杉本春奈、森謙次、武田憲昌、ともひろ、並木運美、西山友浩、平田一式飾、ひらた蓬の会、宮間英次郎、村上多美、山下陽光、山本尚志、吉村芳生〔出品リスト順〕

2010（平成 22）年

絵画の庭－ゼロ年代日本の地平から ●

国立国際美術館　2010 年 1 月　英文併載　国立国際美術館新築移転 5 周年記念
ごあいさつ（国立国際美術館）　pp.4, 5
絵画の庭－ゼロ年代日本の地平から（島敦彦）　pp.12-17, 18-23
図版［作品解説、図版］　pp.26-240
作品解説（建畠哲、橋本梓、植松由佳、島敦彦、中井康之、小野尚子、池田絵美子、高嶋慈）
作家略歴（小野尚子・池田絵美子、高嶋慈編）　pp.244-274
関連年表〈絵画展を中心とした日本の美術動向 1995.1-2009.10〉（橋本梓・宮田有香編）　pp.276-293, 294-302
作品リスト　pp.304-315
註：第 2 版あり。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Fifth Anniversary Exhibition：Garden of Painting Japanese Art of the 00s」
会期：2010 年 1 月 16 日－4 月 4 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日新聞社・朝日放送
出品：草間彌生、O JUN、奈良美智、小林孝亘、長谷川繁、村瀬恭子、会田誠、法貴信也、加藤泉、杉戸洋、町田久美、正木隆、栗田咲子、青木陵子、中山玲佳、加藤美佳、タカノ綾、花澤武夫、秋吉風人、森千裕、池田光弘、岩永忠すけ、小沢さかえ、牧嶋武史、はまぐちさくらこ、後藤靖香、坂本夏子、厚地朋子〔作品リスト順〕

絵画の庭－ゼロ年代日本の地平から〔出品目録〕
国立国際美術館　2010 年 1 月　全 8p.
〔配置図、出品目録〕
所蔵：□、国新美、都現美
○展覧会事項
欧文タイトル、会期・会場：本体に同じ。
出品：加藤泉、後藤靖香、奈良美智、森千裕、村瀬恭子、花澤武夫、岩永忠すけ、秋吉風人、中山玲佳、青木陵子、池田光弘、加藤美佳、小林孝亘、小沢さかえ、正木隆、草間彌生、牧嶋武史、杉戸洋、町田久美、会田誠、はまぐちさくらこ、法貴信也、栗田咲子、坂本夏子、O JUN、厚地朋子、タカノ綾、長谷川繁〔出品目録順〕

酸化したリアリティー〈群馬青年ビエンナーレの作家たち〉●
群馬県立近代美術館　2010 年 3 月 18 日　主に英文併載
ごあいさつ（館長木島俊介）　p.3
酸化したリアリティー〈群馬青年ビエンナーレの作家たち〉（田中龍也）　pp.6-8, 9-12
図版〔作家のことば、図版〕　pp.13-51
〔作家のことば〕（江原一幸、SATSUKI、大矢加奈子、松岡圭介、永田惇哉、笹山直規、

椎名勇仁）

展示プラン　p.52

作家略歴・参考文献　pp.54-60

出品リスト　pp.61-63

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル:「Oxidized Reality　7 Artists from The Gunma Biennale for Young Artists」

会期：2010 年 1 月 23 日－3 月 22 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：江原一幸、SATSUKI、大矢加奈子、松岡圭介、永田惇哉、笹山直規、椎名勇仁〔出品リスト順〕

リフレクション／映像が見せる“もうひとつの世界”　●

水戸芸術館現代美術センター　2010 年 3 月 31 日　英文併載　資料第 84 号

展覧会という「ディスプレイの政治」――リフレクション展をめぐって（竹久侑）　pp.6-13, 74-81

フロアマップ・出品作品一覧　pp.14-15

展覧会風景〔図版、作家のコメント、解説〕pp.17-63

自分たちのメディアを創る――映像を用いた“もうひとつ”の美術史（藤井光）　pp.64-68, 82-86

この映像の「作者」は誰か?（門林岳史）　pp.69-73, 87-91

作家プロフィール　pp.92, 93

関連企画・教育プログラム　pp.94, 95

註：編集は竹久侑、門脇さや子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「REFLECTION：alternative worlds through the video camera」

会期：2010 年 2 月 6 日－5 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：藤井光、Chim↑Pom、八幡亜樹、宇川直宏、さわひらき〔出品作品一覧順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載した。

MOT アニュアル 2010 装飾　●

東京都現代美術館　2010 年 2 月　主に英文併載

ごあいさつ（東京都歴史文化財団・東京都現代美術館）　pp.4, 5

図版〔図版、英文論文〕　pp.8-80

ネオ・オーナメンタリズムの兆し〈「反転」と「反語」の装飾力〉（鶴岡真弓）　和文 pp.82-86

「装飾」：表皮下のエモーション（関昭郎）　和文 pp.87-100

出品作品リスト　pp.102-103

作家略歴　pp.104-109, 110-115

主要参考文献　pp.116-119

註：編集は関昭郎、鎮西芳美。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「AN10-MOT Annual 2010　Neo-Ornamentalism from Japanese Contemporary Art」

会期：2010 年 2 月 6 日－4 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：黒田潔、森淳一、青木克世、山本基、小川敦生、野老朝雄、松本尚、水田寛、塩保朋子、横内賢太郎〔出品作品リスト順〕

カオスモス'09 作家はつぶやく ●

佐倉市立美術館　2010 年 2 月 7 日　英文併載

カオスモス'09 の開催にあたって（佐倉市立美術館）　p.3

独自の音符（丹尾安典）　pp.4-5, 8-11

「作家はつぶやく」について（黒川公二）　pp.6-7, 12-15

図版〔作家へのインタビュー、図版、作品解説〕　pp.17-64

作家へのインタビュー（宮嶋葉一）

〔作家のことば〕（吉田哲也〔再録〕）

作家資料〔略年譜、主な参考文献、図版〕　pp.65-80

喜舎場盛也、戸來貴規、宮嶋葉一、吉田哲也、和田淳

展示配置図　p.81

出品作品一覧　pp.82-84, 85-87

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Chaosmos '09：Monologues in Solitude」

会期：2010 年 2 月 7 日－3 月 22 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館

出品：喜舎場盛也、戸來貴規、宮嶋葉一、吉田哲也、和田淳〔出品作品一覧順〕

特別展「日本画」の現在〈現代画家 9 人の競演〉 ●

青梅市立美術館　2010 年 2 月 11 日

ごあいさつ（青梅市立美術館）

図版〔図版、作家略歴〕　18p.

現在の日本画（松平修文）

「日本画」としての現在（石田治郎）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 2 月 11 日－3 月 28 日　青梅市立美術館　主催：青梅市立美術館

出品：伊藤彬、内田あぐり、岡村桂三郎、神戸智行、滝沢具幸、武田州左、戸田康一、長沢明、米岡響子〔図版収載順〕

ワンダーシニア 30 展〈現代日本の画家が描く、それぞれの昭和、平成〉●

横須賀美術館　2010 年 2 月

あいさつ（館長島田章三）　p.1

戦後洋画の半世紀を考える（宝木範義）　pp.7-15

図版　pp.17-81

作家のことば／略歴／参考文献　pp.83-99

作家のことば（相笠昌義、池口史子、石川忠一、井上悟、入江観、大津英敏、大沼映夫、岡本健彦、奥谷博、上條陽子、絹谷幸二、小杉小二郎、佐々木豊、佐藤かずこ、佐藤泰生、佐野ぬい、篠原有司男、島田鮎子、島田章三、田中淳、谷川晃一、豊島弘尚、林敬二、福本章、馬越陽子、森本草介、山本貞、横尾忠則、吉野谷幸重、渡辺恂三）

出品リスト　pp.100-102

註：編集は石渡尚、工藤香澄、立浪佐知子、冨田康子、塙萌衣。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 2 月 13 日－4 月 11 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

出品：相笠昌義、池口史子、石川忠一、井上悟、入江観、大津英敏、大沼映夫、岡本健彦、奥谷博、上條陽子、絹谷幸二、小杉小二郎、佐々木豊、佐藤かずこ、佐藤泰生、佐野ぬい、篠原有司男、島田鮎子、島田章三、田中淳、谷川晃一、豊島弘尚、野田弘志、林敬二、櫃田伸也、福本章、馬越陽子、森本草介、山本貞、横尾忠則、吉野谷幸重、渡辺恂三〔出品リスト順〕

アーティスト・ファイル 2010――現代の作家たち 展覧会カタログ ●

国立新美術館　2010 年 3 月　主に英文併載　リーフレット＋作家ファイル 7 冊(ケース入)＋展覧会ドキュメント

□リーフレット(二ツ折両面刷)

ごあいさつ（国立新美術館）

〔ファイル一覧〕

□ファイル 018：福田尚代

テキスト（南 雄介）　pp.2-4, 5-7

図版　pp.9-24

〔ことば〕　pp.20-23

巻末資料〔略歴、主要文献〕（櫻井聖子・作成）　pp.25-29

出品作品　pp.29-31

□ファイル 019：石田尚志
テキスト（西野華子） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（櫻井聖子・作成） pp.25-31
出品作品 p.31
□ファイル 020：桑久保 徹
テキスト（平井章一） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 27, 29
巻末資料（平井章一・作成） pp.25-26, 28
出品作品 p.30
□ファイル 021：アーノウト・ミック
テキスト（長屋光枝） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（工藤弘二・作成） pp.25-31
出品作品 p.31
□ファイル 022：南野 馨
テキスト（平井章一） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 31
巻末資料（工藤弘二・作成） pp.25-29
出品作品 p.30
□ファイル 023：O JUN
テキスト（宮島綾子） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（宮島綾子・作成） pp.25-29
出品作品 pp.30-31
□ファイル 024：斎藤ちさと
テキスト（福永 治） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（櫻井聖子・作成） pp.25-29
出品作品 pp.30-31
□展覧会ドキュメント
展示プラン、関連事業 p.2
〔作家一覧〕 p.3
図版 pp.4-31
出品リスト pp.32-39
註：編集は平井章一、宮島綾子、櫻井聖子、工藤弘二。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ARTIST FILE 2010：The NACT Annual Show of Contemporary Art」

会期：2010 年 3 月 3 日－5 月 5 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：福田尚代、石田尚志、桑久保徹、アーノウト・ミック、南野馨、O JUN、斎藤ちさと〔ファイル順〕

VOCA 展 2010「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2010 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2010」開催にあたって（主催者）　p.3

「VOCA 展 2010」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.5

〔授賞者、選考委員〕　p.7

〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、荒木夏実、光田由里、南嶌宏）　pp.8-21

〔出品作家、推薦委員〕　pp.24-25

図版〔図版、作家解説〕　pp.26-95

〔作家解説〕（松井みどり、吉崎元章、李美那、福住廉、大島賛都、谷新、野中明、拝戸雅彦、岡部信幸、窪田研二、木ノ下智恵子、南雄介、山下裕二、浅井俊裕、宝玉正彦、豊見山愛、山脇一夫、柳原正樹、神谷幸江、鎮西芳美、和田浩一、原田光、堀元彰、高嶋雄一郎、桜井武、廣瀬就久、名古屋覚、平本邦雄、岡里崇、近藤由紀、出原均、太田垣實、中井康之、能勢陽子、花田伸一）　英文　pp.97-108

Biography　pp.109-126

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「“VOCA” 2010　The Vision of Contemporary Art」

会期：2010 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：朝海陽子、朝地信介、石川直樹、市川孝典、伊藤彩、薄久保香、耘野善之、遠藤俊治、大浦和代、大野智史、大庭大介、利部志穂、風間サチコ、清川あさみ、齋藤芽生、阪田清子、坂本夏子、櫻井伸也、佐藤允、竹﨑和征、多和田有希、TETTA、長井朋子、中谷ミチコ、名知聡子、西山裕希子、平下英理、船井美佐、ましもゆき、水谷一、三宅砂織、柳澤顕、山本理恵子、和田典子、渡部裕二〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・三宅砂織、VOCA 奨励賞・坂本夏子、中谷ミチコ、佳作賞・清川あさみ、佳作賞／大原美術館賞・齋藤芽生

六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か? ●

美術出版社　2010 年 3 月 20 日〔第 2 刷：4 月 20 日〕　英文併載

〔会場作品写真〕ノンブル無

ごあいさつ（館長南條史生）　p.3

2010 年、芸術は可能か?（近藤健一）　pp.6-10, 11-15

可能性としての芸術（窪田研二） pp.16-18, 19-21
「六本木クロッシング 2010 展」のための覚書（木ノ下智恵子） pp.22-24, 25-27
図版〔作品解説、図版〕 pp.29-149
〔作品解説〕（窪田研二、国枝かつら、近藤健一、木ノ下智恵子、鷹箸絵麻、町野加代子）
作家略歴・参考文献 pp.152-167
作品リスト pp.168-177
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Roppongi Crossing 2010：Can There Be Art?」
会期：2010 年 3 月 20 日－7 月 4 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：相川勝、雨宮庸介、青山悟、Chim↑Pom、contact Gonzo、ダムタイプ、HITOTZUKI(Kami＋Sasu)、加藤翼、小金沢健人、森村泰昌、ログズギャラリー、志賀理江子、鈴木ヒラク、高嶺格、照屋勇賢、宇治野宗輝、八幡亜樹、横溝静、米田知子、⊥〔作品リスト順〕

祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉展覧会カタログ I ●
熊本市現代美術館　2010 年 4 月 10 日
祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉（桜井武） pp.4-9, 10-13　英文併載
江戸の幟旗 pp.15-39
熊本のテキスタイル pp.41-51
アートとテキスタイル〔作家のことば、図版〕 pp.53-83
〔作家のことば〕（手塚愛子、齋藤芽生、ひびのこづえ）
年譜 pp.84-87
出品作品リスト pp.88-91, 91-94　英文併載
註：「江戸の幟旗」「熊本のテキスタイル」の部分の記載は割愛した。編集は坂本顕子、矢加部咲。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CELEBRATORY TEXTILES FROM EDO TO THE PRESENT DAY」
会期：2010 年 4 月 10 日－6 月 13 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・熊本放送
出品：手塚愛子、齋藤芽生、ひびのこづえ〔出品作品リスト順〕
註：出品作品のうち「江戸の幟旗」「熊本のテキスタイル」は割愛した。

祝祭と祈りのテキスタイル〈江戸の幟旗から現代のアートへ〉展覧会カタログ II
熊本市現代美術館　2010 年 5 月 14 日
ご挨拶（主催者） p.1
会場写真 pp.2-13

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図

〇展覧会事項〔展覧会カタログ I に同じ〕

建築はどこにあるの? 7 つのインスタレーション ●

東京国立近代美術館　2010 年 6 月 5 日　英文併載

あいさつ（館長加茂川幸夫）　pp.4, 5

Site Map、Floor Map　pp.10-11

図版　pp.12-57

アンケート「建築と展覧会」（アトリエ・ワン、中村竜治、中山英之、鈴木了二、内藤廣、菊地宏、伊東豊雄）　pp.59-87

建築はどこにあるの?（保坂健二朗）　pp.90-95, 96-103

建築物とインスタレーションの離接運動（南後由和）　pp.104-108, 110-115

略歴　pp.119-139

作品リスト　pp.140-141

イベント、ウェブサイト　pp.142-143

註：編集は三輪健仁、保坂健二朗ほか。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Where is Architecture? Seven Installations by Japanese Architects」

会期：2010 年 4 月 29 日－8 月 8 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：アトリエ・ワン、中村竜治、中山英之、鈴木了二、内藤廣、菊地宏、伊東豊雄〔作品リスト順〕

へるんさんの秘めごと〈小泉八雲生誕 160 年記念・来日 120 年記念〉展覧会カタログ I ●

熊本市現代美術館　2010 年 6 月 26 日

ごあいさつ（館長桜井武）　pp.4, 5　英文併載

図版〔章解説、図版〕　pp.6-31

章解説（冨澤治子）　英文併載

作家略歴　pp.32-39

出品作品リスト　pp.40-45　英文併載

主要参考文献　p.46

註：編集は冨澤治子、藤本真帆、大岩みゆき。なお、奥付に「展覧会カタログ I」とあるが「II」以降は見当たらない。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The Secret of Lafcadio Hearn」

会期：2010 年 6 月 26 日－9 月 5 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、TKU テレビ熊本

出品：転調 へるんさんの秘めごと 現代日本のアーティストたち；野村佐紀子、西尾康之、秀島由己男、亀井徹、松井冬子、鈴木淳。コーダ 終結部；相馬浩一、宮島達男〔出品作品リスト順〕

註：対象外となる「導入 へるんさんの息吹を体感する」、「基調 1 くわいだん へるんさんの時代の日本の闇」、「基調 2 へるんさんの時代のイギリス、アメリカの闇」の出品は割愛した。

へるんさんの秘めごと〈小泉八雲生誕 160 年記念・来日 120 年記念〉展報告書

熊本市現代美術館　2010 年 11 月 22 日

会場風景記録〔図版〕 pp.4-19

アーティスト・トーク　pp.20-31

野村佐紀子、西尾康之、秀島由己男、亀井徹、松井冬子、鈴木淳

記念連続講演会〈載録〉 pp.32-73

①小泉八雲と現代日本アーティストに共通する視点について（冨澤治子）

②小泉八雲を現代に生かす（小泉凡）

③ラフカディオ・ハーンのクレオール文化（西川盛雄）

④小泉八雲のマンガ〈再話する「へるんさん」を再話する〉（跡上史郎）

⑤小泉八雲と日本の技芸－富山大学ヘルン文庫を手がかりに（大熊敏之）

松井冬子 阿蘇での素描ドキュメント（矢加部咲） pp.74-75

鈴木淳 《嫌よ嫌よも好きのうち》、《ちにあしがつかず》の制作について（藤本真帆） pp.76-77

小泉八雲展ガイドブック制作秘話（大岩みゆき） pp.78-79

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図

○展覧会事項〔展覧会カタログ I に同じ〕

生存のエシックス ワークブック ●

京都国立近代美術館　2010 年 7 月 8 日　京都市立芸術大学 130 周年記念事業協賛　バインダー使用

あいさつ（館長尾﨑正明） 英文併載

歩行ガイド（高橋悟）

発達障害を通じた医療と芸術のクロストーク〈対人相互性と動〉（十一元三）

芸術・思考・心的空間（立木康介）

「生存のエシックス」のために〈「表現論理」の意味を考える〉（岩城見一）

図版〔プロジェクト紹介〕

関係者・協力者一覧

註：編集は池澤茉莉、河本信治、永田絵里、牧口千夏。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Trouble in Paradise」

会期：2010 年 7 月 9 日－8 月 22 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館、特

別協力：京都市立芸術大学

出品：プロジェクト日本関係者；森公一、高橋悟、松井紫朗、森本幸裕、井上明彦、石原友明、中原浩大、中ハシ克シゲ〔一覧順〕

胸さわぎの夏休み〈イチハラ×やなぎ×ヤノベ×小沢＝∞、美術館で熱くなれ!〉●

福島県立美術館　2010 年 8 月 13 日

ごあいさつ（福島県立美術館）　p.3

芸術の想像力（酒井哲朗）　pp.6-8

図版　pp.9-71

学校連携共同ワークショップ（橋本淳之）　pp.72-74

関連事業　pp.75-76

胸さわぎの熱い夏を満喫するために（荒木康子）　pp.77-82

作家略歴・展覧会歴・関連文献（荒木康子）　pp.83-97

作品リスト　pp.98-101

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 7 月 17 日－8 月 29 日　福島県立美術館　主催：福島県立美術館、共催：福島県立美術館協力会

出品：イチハラヒロコ、やなぎみわ、ヤノベケンジ、小沢剛〔作品リスト順〕

「イノセンスーいのちに向きあうアート」展 ●

栃木県立美術館　2010 年 7 月

あいさつ（栃木県立美術館）　pp.4, 5　英文併載

イノセンス(？)ーいのちに向きあうアート（小勝禮子）pp.8-15, 81-87　英文併載

図版〔作家一覧、図版〕　pp.16-80

作家略歴（小勝禮子・島一嘉編）　pp.88-103

主要参考文献（小勝禮子編）　pp.104-105

障がいとアート活動 in Tochigi

ルンビニー園美術班の活動ー「生命そのものの輝き」を感じるために（篠崎孝司）pp.108-109

つながるひろがるアート展 Nasu（戸田香代子）　pp.110-111

もうひとつの活動歴（長重之）　p.112

すぎの芽学園と増渕里美の絵画（宮坂健）　p.113

もうひとつの美術館の歩みー新しいアートの発信拠点として（梶原紀子）　pp.114-115

もうひとつの美術館活動歴　pp.116-117

美術と出会うーイノセンス展関連企画の利用法（島一嘉）　pp.118-119

イノセンス展関連企画の記録　pp.120-121

作品リスト　pp.122-132

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「INNOCENCE－ART towards LIFE」

会期：2010 年 7 月 17 日－9 月 20 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：I きれいな色・透明な色・激しい色；難波田史男、木村繁之、稲田萌子、篠原佳尾、今村花子、神山悦雄、鶴貝典子、カズ・スズキ、増渕里美。II 増殖するかたち；坂上チユキ、草間彌生、長重之、西澤彰、小原久美子、清野ミナ、長谷川稔、岸本茂、松本国三、佐々木卓也。III 身のまわりの世界；丸木スマ、大道あや、舛次崇、秋山俊也、中森和秀、村田和司、大波文夫、西須眞二、鈴木和江、今村花子(重)。IV 物語をつむぐ；坂井淑恵、イケムラレイコ、奈良美智、宮田英雄、柳剛。V 痛み・怒り・恐怖・記憶；丸木スマ(重)、大道あや(重)、渡辺豊重、綿引展子、綿引展子＋ヘラ・ゼーレ、田島征三、井上廣子。特別出品；渡辺豊重(重)〔作品リスト順〕

こどものにわ ●

東京都現代美術館　2010 年 7 月　主に英文併載

こどものにわ（難波祐子）　pp.1-13, 33-42

出品作家略歴　pp.14-18, 43-47

作品リスト　p.19

会場マップ　p.20

図版　pp.21-32

関連プログラム（前山言葉編）　pp.48-49

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Garden for Children」

会期：2010 年 7 月 24 日－10 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：出田郷、遠藤幹子、大巻伸嗣、KOSUGE 1-16、サキサトム〔作品リスト順〕

ネイチャー・センス 日本の自然知覚力を考える ●

平凡社　2010 年 8 月 31 日　主に英文併載

ごあいさつ（館長南條史生）　pp.8, 9　英文併載

ネイチャー・センス〈気配としての自然〉（片岡真実）　pp.12-33, 194-207

図版〔図版、作品解説、作家論、作家略歴、参考文献〕　pp.34-105

〔作家論〕（アレクサンダー・フォン・フェーゲザック、ドリアン・チョン、清水穣）

近代日本の自然観の成立（渡辺俊夫）　pp.108-115, 182-185

野生の呼び声〈異類婚姻譚を手がかりとして〉（赤坂憲雄）　pp.116-121, 178-181

方形の自然、あるいは、ゆらぐ水の魔〈裏返しのジャポニズム、F・L・ライト、ウィーン工房、藤井厚二〉（新見隆）　pp.124-135, 171-177

万葉集に歌われた自然のかたち（上野誠） pp.136-147, 164-170
ネイチャー・ブックラウンジ（選・澁川雅俊、高橋潤二郎、文・澁川雅俊） pp.148-156
日本の自然知覚力を読む〈本書執筆者が薦める「ネイチャー・センス」の副読本〉 p.157
出品作品リスト p.210
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「SENSINGNATURE RETHINKING THE JAPANESE PERCEPTION OF NATURE」
会期：2010 年 7 月 24 日－11 月 7 日 六本木・森美術館 主催：森美術館
出品：吉岡徳仁、篠田太郎、栗林隆〔出品作品リスト順〕

もっと動きを：振付師としてのアーティスト ●
広島市現代美術館 2010 年 9 月 英語版共
ごあいさつ（広島市現代美術館） p.5
はじめに、身体があった（神谷幸江） pp.8-12
作家解説（角奈緒子、神谷幸江） pp.13-21
〔用語解説〕（角奈緒子、神谷幸江）
作品リスト pp.22-23 英文併載
図版 pp.24-47
作家略歴 pp.48-54
□英語版（全 16 ページ）
In the beginning was the body（神谷幸江）
Who's Who
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「More of an activity：the artist as choreographer」
会期：2010 年 7 月 31 日－10 月 11 日 広島市現代美術館 主催：広島市現代美術館・中国新聞社
出品：ヴィクトル・アリンピエフ、ウィレム・デ・クーニング、橋本聡、今村哲、ジョーン・ジョナス、ヤンドゥ・ヂョン、イヴ・クライン、ブルース・ナウマン、ロビン・ロード、澤登恭子、白髪一雄、田中敦子〔作品リスト順〕

熊本アーティスト・インデックス〔展覧会報告書〕 ●
熊本市現代美術館 2010 年 10 月
ご挨拶（熊本市現代美術館）
図版〔図版、作家略歴、作家解説〕 10p.
〔作家解説〕アートホーリーメン、加藤笑平、櫻井栄一、竹之下亮、ワタリドリ計画（坂本顕子）
EVENT & WORK SHOP
所蔵：□、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「KUMAMOTO ARTISTS INDEX」

会期：2010 年 7 月 31 日－9 月 12 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団

出品：アートホーリーメン、加藤笑平、櫻井栄一、竹之下亮、ワタリドリ計画〔図版収載順〕

新しい美術の系譜(図版) ●

国立国際美術館・宮城県美術館・都城市立美術館　2010 年 8 月　平成 22 年度国立美術館巡回展　図版・解説共 2 冊(ケース入)

ごあいさつ（主催者）p.5

国立美術館巡回展の開催にあたって（島敦彦）pp.7-10

図版〔章解説、図版〕pp.13-99

　章解説（中井康之）

□解説〔全 40 ページ〕

III 戦後日本の美術 作品解説（安來正博、加須屋明子、宮坂敦子、島敦彦、宮田有香、原田正俊）pp.19-23

V ベッヒャー以降の現代写真 作品解説〔日本作家〕（角本摩衣子、島敦彦、岡部るい、小野尚子）pp.31-32

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：新しい美術の系譜 国立国際美術館(大阪)の名作；2010 年 8 月 5 日－10 月 3 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・国立国際美術館・NHK 仙台放送局

セザンヌ・ピカソから現代まで 国立国際美術館(大阪)の名作；2010 年 10 月 16 日－12 月 5 日　都城市立美術館　主催：都城市立美術館・国立国際美術館

出品：III 戦後日本の美術；瑛九、オノサト・トシノブ、草間彌生、小山田二郎、吉仲太造、芥川〔間所〕紗織、中西夏之、三木富雄、浅岡慶子・三木富雄。V ベッヒャー以降の現代写真の世界；杉本博司、オノデラユキ、やなぎみわ、森村泰昌〔図版収載順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

「新次元：マンガ表現の現在」カタログ ●

国際交流基金　2010 年 11 月 30 日　韓文・英文併載

ごあいさつ（国際交流基金）　pp.10-11, 12-13, 14-15

マンガは、読むだけではない（高橋瑞木）　pp.20-31, 32-41, 42-55

図版〔図版、作家略歴〕　pp.56-166

　〔作家略歴〕（戸田康夫、高橋瑞木）

マンガ表現の重層性（斎藤環）　pp.170-178, 179-187, 188-198

「リアル」なマンガとは?多様性と雑種性、そして関係性（ジャクリーヌ・ベルント）　pp.200-206, 207-212, 213-219

註：編集は古市保子。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Manga Realities：Exploring the Art of Japanese Comics Today」

韓文タイトル：「망가 : 일본만화의 새로운 표현」

会期：2010 年 8 月 14 日－9 月 26 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団・国際交流基金／2011 年 10 月まで韓国、オーストラリア、フィリピンに巡回。
出品：浅野いにお、安野モヨコ、五十嵐大介、今日マチ子、くらもちふさこ、二ノ宮知子、ハロルド作石、松本大洋、若木民喜〔図版収載順〕

陰影礼讃――国立美術館コレクションによる ●
独立行政法人国立美術館　2010 年 9 月
ごあいさつ（理事長青柳正規）　p.5　英文併載
陰影礼讃（中西博之）　pp.8-15, 189-193　英文併載
図版〔章解説、図版、コラム〕　pp.17-168
　章解説（中西博之）
　コラム（大谷省吾、宮島綾子、陳岡めぐみ、中尾優衣、牧口千夏、増田玲）
作家略歴（櫻井聖子、大谷省吾、小林美香、宮島綾子、牧口千夏、林直、増田玲、陳岡めぐみ、西野華子、中尾優衣）　pp.170-178
出品リスト　pp.179-187
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「SHADOWS：Works from the National Museums of Art」
会期：2010 年 9 月 8 日－10 月 18 日　国立新美術館　主催：独立行政法人国立美術館、共催：朝日新聞社・東京新聞・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・NHK
出品：長谷川潔、平山郁夫、秋野不矩、徳岡神泉、東山魁夷、北脇昇、靉嘔、森芳雄、今井憲一、奈良原一高、川田喜久治、篠山紀信、宮本隆司、畠山直哉、山口勝弘・大辻清司、石元泰博、古屋誠一、東松照明、森山大道、高松次郎、榎倉康二、秋岡美帆、小林孝亘、丸山直文、辰野登恵子、杉本博司〔出品リスト順〕

現代木彫の潮流〈創造と回帰〉 ●
北海道立近代美術館　2010 年 9 月
木彫－美術の再構築へ（穂積利明）　pp.2-3
図版〔章解説、作家略歴、図版〕　pp.4-18
出品リスト　pp.19-20
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Currents in Japanese Contemporary Wood Sculpture」

会期：2010 年 9 月 11 日－10 月 17 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

出品：舟越桂、深井隆、戸谷成雄、小清水漸、菅木志雄、遠藤利克、古渡章、林範親、川越悟、岩下碩通、大平實、神山明、阿部典英、砂澤ビッキ、土屋公雄、保田井智之、峯田敏郎、須田悦弘、櫻井康弘、三沢厚彦、棚田康司、三輪途道、三宅一樹、土屋仁応、前原冬樹〔出品リスト順〕

とやま現代作家シリーズ メッセージーアート新世代から ●

富山県立近代美術館　2010 年 9 月

ごあいさつ（富山県立近代美術館）　p.3

カタログ〔図版〕　pp.7-56

この場所からのメッセージ（稲塚展子）　pp.58-63

作家のことばと略歴　pp.64-76

作家のことば（尾﨑真理、尾長良範、木藤純子、清河北斗、高慶敬子、酒井七海、佐藤忠博、佐野猛、佐野曜子、渋谷良治、城﨑郁恵、園家誠二、釣谷幸輝、中村滝雄、籔陽介、畠山雅弘、平井千香子、広田郁世、堀敏治、本郷仁、水上央子、水野利詩恵、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功）

作品リスト　pp.78-79

註：編集は稲塚展子、若松基、遠藤亮平。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 9 月 18 日－11 月 23 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・北日本新聞社・北日本放送

出品：尾﨑真理、尾長良範、木藤純子、清河北斗、高慶敬子、酒井七海、佐藤忠博、佐野猛、佐野曜子、渋谷良治、城﨑郁恵、園家誠二、釣谷幸輝、中村滝雄、neutral production(籔陽介・畠山雅弘)、平井千香子、広田郁世、堀敏治、本郷仁、水上央子、水野利詩恵、三隅摩里子、柳原幸子、米田昌功〔作品リスト順〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01〈もうひとつの・カーニバル〉 ●

高松市美術館　2010 年 9 月　瀬戸内国際芸術祭 2010 連携

図版　pp.3-65

ごあいさつ（高松市美術館）　p.66

もうひとつの・カーニバル（毛利義嗣）　p.67

〔作家論〕（毛利直子、毛利義嗣、橋本こずえ）　pp.68-75

「生きた美術館」であるために――地方美術館が現代美術に向き合う意味（林洋子）　pp.76-77

「ミュージアム」をもう一度（浅井俊裕）pp.78-79

夢見と覚醒――高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01 のために（天野一夫）pp.80-81

〔作家のことば〕（青木陵子、石田尚志、猪瀬直哉、カミイケタクヤ、山下香里）pp.82-86
作家略歴　pp.87-93
関連イベント　pp.94-97
出品リスト　pp.98-103
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.01 Another Carnival」
会期：2010 年 9 月 18 日－10 月 24 日　高松市美術館　主催：高松市美術館
出品：青木陵子、石田尚志、猪瀬直哉、カミイケタクヤ、山下香里〔出品リスト順〕

ニューアート展 2010 描く－手と眼の快 ●
横浜市民ギャラリー　2010 年 9 月　英文併載
ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）p.1
図版〔作家のことば、図版〕pp.2-17
〔作家のことば〕（赤羽史亮、石山朔）
描く－手と眼の快（齋藤里紗）pp.18-19, 20-21
略歴　pp.22-23
出品リスト　p.24
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「New Art 2010：Painting－Pleasure of Hands and Eyes」
会期：2010 年 9 月 30 日－10 月 19 日　関内・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー
出品：赤羽史亮、石山朔〔出品リスト順〕

北の彫刻展 2010〈次世代をになう女性たち〉●
本郷新記念札幌彫刻美術館　2010 年 10 月
ごあいさつ（本郷新記念札幌彫刻美術館）　p.1
北の彫刻展 2010〈次世代をになう女性たち〉（井上みどり）　pp.2-3
図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.4-39
〔作家のことば〕（伊藤三千代、桂充子、川上加奈、鴻上宏子、佐々木雅子、佐藤志帆、椎名澄子、富原加奈子、渡邊希）
作品リスト　p.40
所蔵：□、東文研、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Sculpture exhibition of North 2010」
会期：2010 年 10 月 2 日－11 月 14 日　本郷新記念札幌彫刻美術館　主催：本郷新記念札幌彫刻美術館
出品：伊藤三千代、桂充子、川上加奈、鴻上宏子、佐々木雅子、佐藤志帆、椎名澄子、富原加奈子、渡邊希〔作品リスト順〕

「ひろがるアート〈現代美術入門篇〉」展図録 ●

三重県立美術館協力会　2010 年 10 月　愛知・岐阜・三重 三重県立美術館協同企画展

ごあいさつ（主催者） pp.2, 3　英文併載

図版〔章解説、図版〕 pp.6-56

作品解説、あるいは幕間に潜りこもう!（石崎勝基） pp.58-73

出品リスト　pp.74-79

註：編集は石崎勝基、生田ゆき。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「EXPANDING ART」

会期：2010 年 10 月 23 日－12 月 19 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・愛知県美術館・岐阜県美術館・自治総合センター・中日新聞社

出品：人間像の変容；荒川修作、工藤哲巳、イケムラレイコ、吉本作次、中澤英明。ひろがる平面；瑛九、田中敦子、李禹煥。物質変容の種子；小清水漸、黒川弘毅、西村陽平、千崎千恵夫、多和圭三。物質変容の痕跡；岡村桂三郎、出原次朗、原裕治、戸谷成雄。平面再訪；桑山忠明、中西夏之、秋岡美帆、今村哲、染谷亜里可、杉戸洋、館勝生。エピローグ；野村仁〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

トランスフォーメーション ●

ACCESS　2010 年 10 月 29 日　主に英文併載　東京アートミーティング

変容の岬（中沢新一） pp.5-14, 15-24

図版〔作家解説、図版〕 pp.25-128, 163-173

〔作家解説〕（和田真文、小高日香理、荒井保洋、高井康充、橋本瑛史）

生を召還するための謀議：芸術表現に於ける「変容」の現在（長谷川祐子）pp.130-140, 141-153

身体と出現（平野啓一郎） pp.154-157, 158-161

作品リスト　pp.174-183

「トランスフォーメーション」のためのリソース・アーカイヴ（変容人類学研究室編）pp.185-187

註：編集は西川美穂子、吉﨑和彦。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Transformation」

会期：2010 年 10 月 29 日－2011 年 1 月 30 日　東京都現代美術館／10 月 29 日－11 月 17 日　東京芸術大学上野校地　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・東京新聞・東京芸術大学　特別協力：多摩美術大学芸術人類学研究所

出品：石川直樹、小谷元彦、及川潤耶、スプツニ子!、高木正勝〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家のみ収載した。

札幌美術展 さっぽろ・昭和 30 年代〈美術評論家なかがわ・つかさが見た熱き時代〉●

札幌市芸術文化財団　2010 年 10 月　札幌芸術の森美術館開館 20 周年記念

あいさつ（札幌芸術の森美術館）　p.3

なかがわ・つかさと札幌の美術（吉崎元春）　pp.6-14

図版　pp.15-171

解説（吉崎元春）

年譜（吉崎元春編）　pp.174-178

参考文献（吉崎元春編）　pp.179-186

出品リスト　pp.187-191

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2010 年 10 月 30 日－2011 年 1 月 30 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)・北海道新聞社

出品：第 1 章 昭和 30 年代の札幌のすがた；木田金次郎、小野州一、一木万寿三、谷口一芳、伊藤正、野村英夫、豊島輝彦、栗谷川健一、本郷新。第 2 章 なかがわ・つかさ現る；木田金次郎(重)、田中祥三。第 3 章 展覧会評にみるなかがわ・つかさの視点；北岡文雄、西村計雄、伊藤正(重)、中居定雄、八木保次、八木伸子、澤田哲郎、松島正幸、笹沼浩平、加藤清江、岸葉子、伏木田光夫、大本靖、小川原脩、小谷博貞、本郷新(重)、米坂ヒデノリ、渡辺伊八郎、国井澄、栃内忠男、本田明二。第 4 章 昭和 30 年代の公募展・グループ展；伊坂重孝、畠山三代喜、伊藤隆一、亀山良雄、坂坦道、鎌田俳捺子、国松登、菊地又男、義江清司、富樫正雄、伊藤仁、大月源二、大本靖(重)、本田明二(重)、浅野愡、尾崎志郎、阿部貞夫、金子誠治、北浦晃、渡会純价、渡辺伊八郎(重)、佐々木美枝子、熊谷明宏、芹田英治、竹岡羊子、芹田綾子、小松清、澤田哲郎(重)、難波田龍起、八木保次(重)、小野州一(重)、赤穴宏、上野憲男、長谷川晶、伏木田光夫(重)、福井正治、野本醇、米谷雄平、田村宏、阿部典英、高橋昭一、一原有徳、高橋英生、豊島輝彦(重)、野崎嘉男、堀内掬夫、岡部昌生。第 5 章 空想道近代美術館～美術館建設の夢；三岸好太郎、林竹治郎、山本菊造、山田正、菅原翠洲、小山昇、石野宣三、兼平英示、山崎省三、工藤三郎、小柳正、山田義夫、伊藤信夫、居串佳一、阿部文之助、本間莞彩、上野山清貢、俣野第四郎、山内弥一郎、大塚謙三、木田金次郎、能勢眞美、田辺三重松、中村善策、田中忠雄、菊池精二。第 6 章『美術北海道』とさまざまな活動；なかがわ・つかさ。第 7 章 なかがわ・つかさが遺したもの；小谷博貞(重)、栗谷川健一(重)〔出品リスト順〕

共鳴する美術 2010〈ストーリー・テリング〉●

倉敷市立美術館　2010 年 11 月

ごあいさつ（倉敷市立美術館）　p.2

図版　pp.3-44

テキスト

トゥルー・ストーリーで〈「展覧会」という物語〉（佐々木千恵）pp.46-53
作家略歴　pp.54-57
図版リスト　p.58
関連イベント　p.59
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2010 年 11 月 12 日－12 月 23 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館
出品：片山康之、下道基行、鷹取雅一、龍門藍〔図版リスト順〕

共鳴する美術 2010〈ストーリー・テリング〉記録集
倉敷市立美術館　2010 年 12 月
ごあいさつ（倉敷市立美術館）　p.1
会場風景〔図版〕　pp.1-5
下道基行「旅する本／「raveling Books」プロジェクト展示　pp.6-7
ワークショップ「tell me your story－粘土で作る『物語』」　p.8
「シティ・オブ・ドリームス〈100 の風景：現在・過去・未来〉」　pp.9-19
共鳴する美術 2010〈ストーリー・テリング〉出品リスト　p.20
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、横浜美
○展覧会事項〔本体に同じ〕

アートサイト府中 2010 いきるちから ●
府中市美術館　2010 年 12 月
ごあいさつ（府中市美術館）　pp.4, 5　英文併載
アートサイト府中 2010 いきるちから 開催メッセージ（館長井出洋一郎）　pp.6, 7　英文併載
美術の転換する力－「いきるちから」をはぐくむ（武居利史）　pp.9-15, 62-63　英文併載
図版〔作家コメント、図版〕　pp.17-46
作家コメント（大巻伸嗣、木下晋、菱山裕子）
関連企画（池田和子）　pp.47-49
アートサイト・サポーターの活動（竹内那美）　pp.50-52
出品リスト　pp.54-57　英文併載
作家略歴　pp.58-60
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「“Art Site Fuchu 2010：The Power for Living”」
会期：2010 年 12 月 2 日－2011 年 3 月 6 日　府中市美術館　主催：府中市美術館
出品：大巻伸嗣、木下晋、菱山裕子〔出品リスト順〕

プライマリー・フィールド II 絵画の現在―七つの〈場〉との対話 ●

神奈川県立近代美術館　2010 年 12 月
あいさつ（神奈川県立近代美術館）　p.5
プライマリー・フィールド――原初的な場/基本的な場所（是枝開）　pp.8-17
インタヴュー（高橋信行、小西真奈、保坂毅、三輪美津子、東島毅、伊藤存、児玉靖枝、聞き手・是枝開）　pp.18-39
図版　pp.41-104
作家解説、作家略歴、展覧会歴、主要参考文献　pp.105-119
Abridged Chronology　pp.120-123
作品目録　pp.124-125
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Primary Field II」
会期：2010 年 12 月 4 日－2011 年 1 月 23 日　葉山・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館
出品：高橋信行、小西真奈、保坂毅、三輪美津子、東島毅、伊藤存、児玉靖枝〔作品目録順〕

DOMANI・明日展 2010〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉●
文化庁　2010 年 12 月 11 日
ごあいさつ（主催者）　p.2
在外研修制度(新進芸術家海外研修制度)について　p.3
DOMANI・明日展 2010 概要と出品作家について（野口玲一）　pp.6-11
カタログ〔作家のコメント、解説、作品解説、図版〕　pp.14-104
コメント、作品解説（古郷秀一、三好耕三、遠山香苗、近藤高弘、流麻二果、深井聡一郎、鈴木涼子、赤崎みま、神戸智行、近藤聡乃、町田久美、山口紀子）
解説（野口玲一）
作家略歴　pp.108-113
作品リスト　pp.114-119
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「DOMANI The Art of Tomorrow 2010 Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」
会期：2010 年 12 月 11 日－2011 年 1 月 23 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社
出品：古郷秀一、三好耕三、遠山香苗、近藤高弘、流麻二果、深井聡一郎、鈴木涼子、赤崎みま、神戸智行、近藤聡乃、町田久美、山口紀子〔作品リスト順〕

生まれるイメージ 2010 ●
山形美術館　2011 年

ごあいさつ（主催者） p.2
カタログ〔図版、作家のコメント〕 pp.3-43
〔作家のコメント〕（阿部岳史、阿部亮年、石井博康、大沼洋美、木原正徳、鴻崎正武、小林俊介、長里子、中村桂子、松山隼）
作家略歴 pp.45-55
出品作品リスト pp.56-58
註：展示写真があり©も 2011 となっていて会期途中か終了直後の刊行と思われる。編集は岡部信幸。
所蔵：□、国新美、東近美、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：「Descending Images 2010」
会期：2010 年 12 月 17 日－2011 年 1 月 30 日　山形美術館　主催：山形美術館・山形新聞・山形放送
出品：阿部岳史、阿部亮年、石井博康、大沼洋美、木原正徳、鴻崎正武、小林俊介、長里子、中村桂子、松山隼〔出品作品リスト順〕

カルテックス 共通言語としてのテキスタイル〈共振する思考〉●
岡山県立美術館・群馬県立近代美術館　2010 年 12 月
主催者挨拶（岡山県立美術館・群馬県立近代美術館） p.3
CULTEX（レスリー・ミラー） pp.10-19
作家レポート及び略歴
作家レポート（上野真知子、アニケン・アムンセン、川井由夏、エヴァ・ジョルベルグ、島田清徳、ガブリエッラ・ヨーランソン） pp.21-33
略歴 pp.34-37
日本文化としてのファイバーワーク（桑山俊道） pp.40-46
インスタレーション・アートにおける知性と感性（マリアンネ・ザメシュニック） pp.48-51
出品目録 pp.52-53
あとがき（福冨幸） p.55
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CULTEX　textile as a cross-cultural language」
会期：2010 年 12 月 21 日－2011 年 1 月 30 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館／「風のように、光のように ノルウェーと日本のテキスタイル・アート」展　7 月 9 日－9 月 4 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館
出品：上野真知子、アニケン・アムンセン、川井由夏、エヴァ・ジョルベルグ、島田清徳、ガブリエッラ・ヨーランソン〔出品目録順〕

2011（平成 23）年
「アートみやぎ 2011」図録 ●

宮城県美術館協力会　2011 年 2 月 28 日　第 4 回展
あいさつ（宮城県美術館）　p.3
「アートみやぎ 2011」について（大嶋貴明）　p.4
会場構成　p.5
図版〔図版、作家論〕　pp.7-91
〔作家論〕（大嶋貴明、和田浩一）
作家略歴・参考文献　pp.94-102
出品目録　pp.103-107
註：編集は大嶋貴明、和田浩一、小檜山祐幹。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART MIYAGI 2011」
会期：2011 年 1 月 15 日－3 月 21 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・自治総合センター・河北新報社・NHK 仙台放送局
出品：安彦文平、鹿野護、佐々木加奈子、佐々木健、椎名勇仁、志賀理江子、細川憲一〔出品目録順〕

耳をすまして――美術と音楽の交差点 ●
茨城県近代美術館　2011 年 1 月　付・CD1 枚
ごあいさつ（茨城県近代美術館）　p.3
序にかえて――「出会い」について（市川政憲）　pp.7-10
目と耳が交差する時空間へ（澤渡麻里）　pp.11-15
図版〔章解説、図版、作家のことば〕　pp.17-96
〔章解説〕（澤渡麻里）
〔作家のことば〕（藤本由紀夫、藤枝守、金沢健一、石田尚志、八木良太）
作家略歴（荒木扶佐子、澤渡麻里、井野功一、永松左知、春田友則、今瀬佐和）　pp.99-104
出品目録・主要作品解説（澤渡麻里）　pp.105-118
出品リスト　pp.119-123
特別付録 CD 解説　p.125
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2011 年 1 月 22 日－3 月 6 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
出品：恩地孝四郎、難波田龍起、駒井哲郎、堂本尚郎、三木富雄、野村仁、藤本由紀夫、藤枝守、金沢健一、石田尚志、八木良太〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

New Vision Saitama 4 静観するイメージ ●
埼玉県立近代美術館　2011 年 1 月 29 日　別冊(Documents)共 2 冊

ごあいさつ（埼玉県立近代美術館） p.5
図版〔図版、作家解説、作家のことば〕 pp.8-64
作家解説（伊豆井秀一、中村誠、渋谷拓、大越久子、前山裕司、平野到、梅津元）
作家のことば（秋元珠江、市川裕司、塩﨑由美子、町田良夫）
あとがきにかえて「NVS4／静観するイメージ」のユーザーズ・マニュアル（平野到） pp.65-67
出品作家略歴・文献 pp.69-76
別冊
New Vision Saitama 4 静観するイメージ Documents
展示記録集 14p.
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
展名：ニュー・ヴィジョン・サイタマ 4 静観するイメージ
会期：2011 年 1 月 29 日－3 月 21 日 北浦和・埼玉県立近代美術館 主催：埼玉県立近代美術館
出品：樋口恭一、秋元珠江、市川裕司、塩﨑由美子、榮水亜樹、荻野僚介、町田良夫〔図版収載順〕

あざみ野コンテンポラリーvol.1 イメージの手ざわり展 ●
横浜市民ギャラリーあざみ野 2011 年 2 月
はじめに
展覧会〔作家略歴、アーティスト・インタビュー、図版〕 13p.
インタビュー（南芳枝、川戸久枝、志村信裕、田村友一郎、plaplax(ぷらぷらっくす)、松本力、横溝静）
上映会〔図版、山村浩二略歴、アニメーション作家 12 名の略歴、推奨のことば〕 6p.
〔推奨のことば〕（山村浩二）
アートサポーター 活動レポート
関連イベント
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.1 TOUCH OF IMAGE」
会期：2011 年 2 月 5 日－20 日 横浜市民ギャラリーあざみ野 主催：横浜市民ギャラリーあざみ野
出品：川戸由紀、志村信裕、田村友一郎、plaplax(ぷらぷらっくす)、松本力、横溝静〔図版収載順〕
註：出品欄は展覧会出品作家を収載。

クワイエット・アテンションズ 彼女からの出発記録集 ●
水戸芸術館現代美術センター 2011 年 3 月 31 日 英文併載 展覧会資料第 93 号

図版〔作家略歴、作家解説、図版〕 pp.6-79
少女はおしっこの不安を爆破、心はあせるわ（川上未映子） pp.81-89, 90-95
白地図としての作品（高橋瑞木） pp.97-105, 106-111
ボイコット・ウーマン（木村友紀） pp.112-114 抄録
制作について：彼女がここにいるようだ（荒川医） pp.115-117 抄録
関連企画 pp.118-119, 120-121
会場マップ p.122
出品作品リスト pp.123-125
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Quiet Attentions：Departure from Women」
会期：2011 年 2 月 12 日－5 月 8 日〔東日本大震災のため 3 月 11 日に閉会〕 水戸芸術館（敷地内、現代美術ギャラリー） 主催：水戸市芸術振興財団
出品：小林史子、三田村光土里、土屋信子、木村友紀＋ユタ・クータ＋荒川医、Sachiko M〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家のみ収載した。

MOT アニュアル 2011 世界の深さのはかり方 ●
東京都現代美術館 2011 年 2 月 英文併載
ごあいさつ（東京都現代美術館）pp.6-7, 8-9
世界の深さのはかり方（鎮西芳美）pp.12-32, 138-152
図版〔図版、作家のことば〕 pp.33-112
〔作家のことば〕（冨井大裕、木藤純子、関根直子、池内晶子、椛田ちひろ、八木良太）
作家略歴・参考文献 pp.113-136 参考文献は和文・欧文
出品リスト pp.153-159
註：編集は鎮西芳美、高井康充。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MOT Annual 2011 Nearest Faraway」
会期：2011 年 2 月 26 日－5 月 8 日 東京都現代美術館 主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館
出品：池内晶子、椛田ちひろ、木藤純子、関根直子、冨井大裕、八木良太〔出品リスト順〕

発信//板橋//2011 けしきをいきる ●
板橋区立美術館 2011 年 2 月 26 日 付・展示記録集
はじめに（板橋区立美術館） p.3
けしきをいきる-ために（前山裕司） pp.4-5
図版〔作家のことば、図版〕 pp.6-19

〔作家のことば〕（利部志穂、退町勝治、蓜島伸彦、船井美佐、吉賀あさみ）
出品作家略歴　pp.20-23
註：編集は弘中智子。
□展示記録集〔全 8 葉、両面刷〕
展示案内図
図版〔図版、作家略歴、本展出品作品〕　14p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」
会期：2011 年 2 月 26 日－3 月 27 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：利部志穂、退町勝治、蓜島伸彦、藤本壮介、船井美佐、屋代敏博、吉賀あさみ〔図版収載順〕

風穴 もうひとつのコンセプチュアリズム、アジアから ●
国立国際美術館　2011 年 3 月　未製本(7 折、全 88 ページ)
ごあいさつ（国立国際美術館）　pp.2, 3　英文併載
図版〔グループ・作家解説、図版〕　pp.4-79　英文併載
『プレイ新聞』複製　pp.5-8
風穴（橋本梓）　pp.80, 83, 84-85　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Kaza Ana / Air Hole：Another From of Conceptualism from Asia」
会期：2011 年 3 月 8 日－6 月 5 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：プレイ、アラヤー・ラートチャムルーンスック、ディン・Q・レー、立花文穂、島袋道浩、邱志傑、ヤン・ヘギュ、木村友紀、contact Gonzo〔図版収載順〕

VOCA 展 2011 現代美術の展望－新しい平面の作家たち ●
「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2011 年 3 月　英文併載
「VOCA 展 2011」開催にあたって（主催者）　p.3
「VOCA 展 2011」協賛によせて（第一生命保険株式会社）　p.5
〔授賞者、委員一覧〕　p.7
〔選考所感〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、光田由里、南嶌宏）pp.8-19
〔出品作家、推薦委員一覧〕　pp.22-23
図版〔図版、作家解説〕　pp.24-95, 97-108
〔作家解説〕（桜井武、平澤広、岡部信幸、土屋誠一、平野到、太田垣實、南雄介、塩田純一、山脇一夫、窪田研二、佐藤敬爾、森千花、中塚宏行、名古屋覚、堀元彰、児島やよい、能勢陽子、山下裕二、荒木夏実、宝玉正彦、出原均、影山千夏、松井みどり、李美那、大島賛都、保坂健二朗、谷新、岡里崇、神谷幸江、近藤由紀、廣瀬就久、林寿美、植松由佳、川浪千鶴、福住廉、柳原正樹）

Biography　pp.109-126
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「“VOCA” 2011　The Vision Of Contemporary Art」
会期：2011 年 3 月 14 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：青山悟、浅倉伸、阿部岳史、雨宮庸介、安藤由佳子、石塚源太、市川武史、伊藤遠平、上田暁子、大竹司、小川豊、小沢さかえ、片山高志、門田光雅、クサナギシンペイ、熊澤未来子、熊野海、小池真奈美、後藤靖香、コバヤシ麻衣子、坂川守、佐竹龍蔵、佐藤純也、澤田明子、関口正浩、髙石晃、戸谷森、中山玲佳、花澤武夫、パラモデル、冬耳、水田寛、森千裕、山下耕平、山本聖子、横野健一〔出品作家一覧順〕
授賞者：VOCA 賞・中山玲佳、VOCA 奨励賞・後藤靖香、森千裕、佳作賞・熊澤未来子、澤田明子、大原美術館賞・上田暁子

アーティスト・ファイル 2011――現代の作家たち 展覧会カタログ ●
国立新美術館　2011 年 3 月　主に英文併載　リーフレット＋作家ファイル 8 冊(ケース入)＋展覧会ドキュメント
□リーフレット(二ツ折両面刷)
ごあいさつ（国立新美術館）
〔ファイル一覧〕
□ファイル 025：クリスティン・ベイカー
テキスト（宮島綾子）　pp.2-4, 5-7
図版　pp.9-24, 29, 31
巻末資料〔略歴、主要文献〕（山田由佳子・作成）　pp.25-28
出品作品　p.30
□ファイル 026：バードヘッド
テキスト（平井章一）　pp.2-4, 5-7
図版　pp.9-24, 29, 31
巻末資料（小林明子・作成）　pp.25-28
出品作品　p.30
□ファイル 027：タラ・ドノヴァン
テキスト（西野華子）　pp.2-4, 5-7
図版　pp.9-24
巻末資料（西野華子・作成）　pp.25-31
出品作品　p.31
□ファイル 028：岩熊力也
テキスト（南 雄介）　pp.2-4, 5-7
図版　pp.9-24
巻末資料（小林明子・作成）　pp.25-29

〔作家のことば〕（岩熊力也） p.30
出品作品 p.31
□ファイル 029：鬼頭健吾
テキスト（長屋光枝） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24, 31
巻末資料（山田由佳子・作成） pp.25-29
出品作品 p.30
□ファイル 030：松江泰治
テキスト（本橋弥生） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（山田由佳子・作成） pp.25-30
出品作品 pp.30-31
□ファイル 031：ビョルン・メルフス
テキスト（長屋光枝） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（長屋光枝・作成） pp.25-31
出品作品 p.31
□ファイル 032：中井川由季
テキスト（福永 治） pp.2-4, 5-7
図版 pp.9-24
巻末資料（小林明子・作成） pp.25-31
出品作品 p.31
□展覧会ドキュメント
〔作家一覧〕 p.3
図版 pp.4-35
出品リスト pp.36-41
展示プラン p.42
関連事業 p.43
註：編集は長屋光枝、西野華子、小林明子、山田由佳子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ARTIST FILE 2011：The NACT Annual Show of Contemporary Art」
会期：2011 年 3 月 16 日－6 月 6 日 国立新美術館 主催：国立新美術館
出品：クリスティン・ベイカー、バードヘッド、タラ・ドノヴァン、岩熊力也、鬼頭健吾、松江泰治、ビョルン・メルフス、中井川由季〔ファイル順〕

水・火・大地 創造の源を求めて カタログⅠ ●
熊本市現代美術館 2011 年 4 月 9 日

火・水・大地 創造の源を求めて（桜井武） pp.4-9, 10-15 英文併載
図版 pp.17-49
作家略歴 pp.50-57
出品作品リスト pp.58-62 英文併載
註：編集は桜井武、本田代志子、藤本真帆。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Water, Fire, and Earth the source of creativity」
会期：2011 年 4 月 9 日－6 月 12 日 熊本市現代美術館 主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・テレビ熊本
出品：杉本博司、遠藤利克、千住博、淺井裕介、蔡國強、リチャード・ロング、ディヴィッド・ナッシュ、アンディー・ゴールズワージー〔出品作品リスト順〕

水・火・大地 創造の源を求めて カタログ II
熊本市現代美術館 2011 年 5 月 20 日
ご挨拶 p.3
図版〔会場写真、制作ドキュメント〕 pp.4-14
註：編集は桜井武、本田代志子、藤本真帆。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項〔カタログ I に同じ〕

画像進化論〈サルからヒトへ、そしてスペクタクルの社会 メディア的進化と創造的退行のダイナミズム〉●
栃木県立美術館 2011 年 7 月
あいさつ（栃木県立美術館） pp.2, 3 英文併載
画像進化論――自然の経済と芸術の経済との闘争について（山本和弘） pp.6-19
カタログ〔図版、解説〕 pp.21-103
作品リスト pp.104-110
参考文献 p.111
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Pictorial Theory of Evolution」
会期：2011 年 7 月 23 日－9 月 19 日 宇都宮・栃木県立美術館 主催：栃木県立美術館
出品：杉浦邦恵、福田美蘭、石原友明、小山穂太郎、小本章、田中一村、山中信夫、森村泰昌、佐藤時啓、若江漢字、田中功起、片瀬和夫、鴫剛、秋岡美帆、井上廣子、湯浅龍平、山崎博、中村一美、中川政昭、萩原朔美、長沢秀之、長重之、野村仁、松井智惠〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

輝く女たち――その強さ、儚さ、複雑さ ●
茨城県近代美術館 2011 年 7 月

ごあいさつ（茨城県近代美術館） p.3
描かれる女性・描く女性――その強さ、儚さ、複雑さ（永松左知） pp.6-11
図版〔章解説、図版〕 pp.13-44
　章解説（永松左知）
作家略歴 pp.45-51
出品リスト pp.52-60
主要参考文献 pp.61-62
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Images of women　Strength, Fragility, and Ambiguity」
会期：2011 年 7 月 30 日－9 月 11 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
出品：第 1 章 慈愛と神秘；小林古径、綿引司郎、斎藤清、池田満寿夫、能島征二。第 2 章 燃える生命力；寺内萬治郎、木内克、小磯良平、柳原義達、佐藤忠良、麻生三郎、土谷武、山本文彦。第 3 章 少女性；山下新太郎、林武、鈴木良三、柴田三千春、堀越隆次、森田曠平、清宮質文、一色邦彦。第 4 章 複雑な心を映す体；小倉遊亀、早瀬瀧江、片岡球子、北澤映月、荘司福、桂ゆき、江見絹子、芥川〔間所〕紗織、漆原英子、土井典、やなぎみわ、宮北千織、松井冬子、櫻井りえこ〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

CAFE in Mito 2011－かかわりの色いろ 記録集 ●
水戸芸術館現代美術センター　2012 年 1 月 20 日　展覧会資料第 95 号
「CAFE in Mito 2011－かかわりの色いろ」再出発に際して（浅井俊裕） pp.4-5
展示風景〔図版〕 pp.7-32
関連企画 かかわるきかく〔図版、解説〕 pp.33-63
　解説（竹久侑、古川真由美、中野詩、高橋瑞木、菊池広子、浅井俊裕、中川歩美、森山純子、高巣真樹、篠田大基）
　スタッフクレジット
出品作家・作品解説（竹久侑、高橋瑞木、森山純子、浅井俊裕、門脇さや子） pp.65-76
註：編集は浅井俊裕、石井一十三、大菅小夜、竹久侑。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「CAFE in Mito 2011」
会期：2011 年 7 月 30 日－10 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー、広場　主催：水戸市芸術振興財団
出品：青木陵子、青山悟、秋山さやか、淺井裕介、伊藤存、上田薫、遠藤一郎、大友良英、O JUN、大巻伸嗣、笠原出、川島秀明、クリスト&ジャンヌ＝クロード、小林孝亘、酒井咲帆、ジュリアン・オピー、杉戸洋、杉山知子、鈴木康広、曽谷朝絵、高木正勝、高田安規子・政子、辰野登恵子、タノタイガ、長島有里枝、Nadegata Instant Party(中崎透＋山城大督＋

野田智子)、奈良美智、西尾美也、西山美なコ、蜷川実花、ハスラー・アキラ、林剛人丸、日高理恵子、日比野克彦、ひびのこづえ、本城直季、三田村光土里、Rico(本橋理子)、山口晃〔出品作家・作品解説順〕

内なる声 ●

ACCESS　2011 年 7 月 29 日　英文併載

Inner Voices－内なる声（黒澤浩美）　pp.4-7, 7-10

女の時代・女のアート いま、アジアで女であるとはどういうことか?（上野千鶴子）　pp.11-14, 14-17

生命の、内なる声（福岡伸一）　pp.18-21, 21-24

図版　pp.25-87

文章〔対談、往復書簡、作家論、書簡集〕　pp.89-152

制作風景・作家略歴　pp.153-189

作品リスト　pp.191-196

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Inner Voices」

会期：2011 年 7 月 30 日－11 月 6 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：イー・イラン、塩田千春、ジェマイマ・ワイマン、キム・ソラ、シルパ・グプタ、呉夏枝、ワー・ヌ、藤原由葵、メリッサ・ラモス〔作品リスト順〕

日本の現代陶芸〈伝統と新風の精美〉●

江別市セラミックアートセンター・瀬戸市美術館　2011 年 8 月 6 日　平成 23 年度国立美術館巡回展

ごあいさつ（主催者）　p.3

近代陶芸の作家たち（諸山正則）　pp.6-9

図版　pp.11-100

作家略歴　pp.102-108

用語解説　pp.109-112

関連年表　pp.113-118

参考文献リスト　p.119

作品リスト　pp.120-123

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 8 月 6 日－9 月 19 日　江別市セラミックアートセンター　主催：独立行政法人国立美術館・北海道教育委員会・江別市／10 月 1 日－11 月 27 日　瀬戸市美術館　主催：独立行政法人国立美術館・愛知県教育委員会・瀬戸市・瀬戸市文化振興財団

出品：川喜田半泥子、十二代坂倉新兵衛、北大路魯山人、富本憲吉、河井寛次郎、石黒宗麿、

荒川豊蔵、濱田庄司、中里無庵、三輪休和、金重陶陽、楠部彌弌、藤原啓、加藤士師萌、六代清水六兵衛、近藤悠三、安原喜明、山本陶秀、三輪壽雪、塚本快示、加藤卓男、江崎一生、田村耕一、八木一夫、岡部嶺男、河本五郎、島岡達三、藤本能道、熊倉順吉、荒木高子、清水裕詞(七代六兵衛)、藤平伸、三代山田常山、山田光、十三代今泉今右衛門、清水卯一、鈴木治、大樋年朗、辻清明、松井康成、林康夫、井上萬二、今井政之、加藤清之、坪井明日香、藤原雄、加守田章二、三代徳田八十吉、三浦小平二、森野泰明、十四代酒井田柿右衛門、鈴木藏、柳原睦夫、伊藤慶二、加藤孝造、中村錦平、三代宮永東山、伊勢﨑淳、佐藤敬、原清、林秀行、森陶岳、鯉江良二、五代伊藤赤水、中島宏、川崎毅、栗木達介、小池頌子、久世建二、小川待子、深見陶治、十五代樂吉左衛門、中島晴美、川口淳、三輪和彦、秋山陽、滝口和男、八代清水六兵衛〔柾博〕、八木明、井上雅之、重松あゆみ、田嶋悦子〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

いま。つくりたいもの、伝えたいこと。●

いわき市立美術館　2011 年 9 月

ごあいさつ（いわき市立美術館）　見返し

図版〔図版、作家のことば〕　pp.1-25

〔作家のことば〕(安斉重夫、安藤栄作、石井實、石川貞治、石川進、磯上芳久、織田千代、小野重治、上遠野良夫、小瀧勝平、塩田清忠、下山田晴彦、鈴木邦夫、髙野正晃、野島美穂、長谷川浩子、広瀬諭、藤於環、峰丘、山本伸樹、湯川隆、吉田重信、吉田成寿、渡辺啓、渡辺文雄)

出品リスト　pp.26-29

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 9 月 17 日－10 月 23 日　いわき市立美術館　主催：いわき市立美術館

出品：安斉重夫、安藤栄作、石井實、石川貞治、石川進、磯上芳久、織田千代、小野重治、上遠野良夫、小瀧勝平、塩田清忠、下山田晴彦、鈴木邦夫、髙野正晃、野島美穂、長谷川浩子、広瀬諭、藤於環、峰丘、山本伸樹、湯川隆、吉田重信、吉田成寿、渡辺啓、渡辺文雄〔出品リスト順〕

メタボリズムの未来都市――戦後日本・今甦る復興の夢とビジョン ●

森美術館　2011 年 9 月 17 日

ごあいさつ（主催者）　p.1

今日におけるメタボリズムの意義と日本の復興、そして未来について（南條史生）　pp.6-9

本展覧会の構成〈「メタボリズム連鎖」という「近代の超克」〉（八束はじめ）　pp.10-16

図版〔章解説、図版、プロジェクト解説〕　pp.17-224

プロジェクト解説（前田尚武、田篭美保、吉田侑季、今村創平、金子祐介、菊池誠、戸田穣、豊川斎赫、日埜直彦、松下希和、八束はじめ）

論考（クワァン・セン、豊川斎赫、中森康文、今村創平、黒川紀章〔再録〕、南後由和、松下希和、山名善之、日埜直彦、菊池誠、金子祐介、及部克人、片岡真実、太田佳代子）　pp.225-

305
メタボリズム・クロニクル 1945-2010（内野正樹・金子祐介編） pp.307-311
メタボリズム運動を支えた人びと 人物相関図 p.312
メタボリズム運動を支えた人びと 人物紹介 pp.313-319
メタボリズムをさらに深く知るための 100 冊（内野正樹・金子祐介編） pp.320-321
作品リスト pp.322-333
新制作模型・映像リスト pp.334-335
註：編集は広瀬麻美、佐々木瞳、前田尚武、田篭美保、玉山雅美、吉田侑季。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「METABOLISM, THE CITY OF THE FUTURE：Dreams and Visions of Reconstruction in Postwar and Present-Day Japan」
会期：2011 年 9 月 17 日－2012 年 1 月 15 日 六本木・森美術館 主催：森美術館・UIA2011 東京大会日本組織委員会・日本経済新聞社
出品：浅田孝、粟津潔、磯崎新、栄久庵憲司、大髙正人、大谷幸夫、川添登、菊竹清訓、黒川紀章、丹下健三、槇文彦
註：出品欄はメタボリズムの中心人物を収載した。

ニューアート展 NEXT 2011 Sparkling Days ●
横浜市民ギャラリー 2011 年 9 月 英文併載
ごあいさつ（館長西澤洋） p.1 英文併載
図版〔作家のことば、図版〕 pp.2-25
〔作家のことば〕（曽谷朝絵、荒神明香、ミヤケマイ）
Sparkling Days――それぞれが受け止めたもの（佐藤直子） p.26
Sparkling Days について（齋藤里紗） p.27
作家略歴 pp.28-29
出品リスト pp.30-32
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、東大駒、国会図
○展覧会事項
和文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2011 年 9 月 30 日－10 月 19 日 関内・横浜市民ギャラリー 主催：横浜市民ギャラリー
出品：曽谷朝絵、荒神明香、ミヤケマイ〔出品リスト順〕

世界制作の方法 ●
国立国際美術館 2011 年 10 月 英文併載
宇宙創成の論理（牟田淳） 表紙・見返しほか
ごあいさつ（国立国際美術館） pp.4, 5
世界制作の方法（中井康之） pp.8-23, 14-19
図版〔作家解説、図版〕 pp.21-111

出品作品　p.112
略歴・主要文献（下谷涼子、関聖美、大久保優、佐藤龍一郎・作成）　pp.114-129, 130-141
西ヨーロッパ中世の精神（八木雄二）　裏表紙ほか
註：編集は中井康之、池田良子、小野尚子、宮田有香。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文・韓文タイトル：「Ways of Worldmaking」
会期：2011 年 10 月 4 日－12 月 11 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館
出品：エキソニモ、パラモデル、青木陵子＋伊藤存、クワクボリョウタ、木藤純子、鬼頭健吾、金氏徹平、大西康明、半田真規〔出品作品順〕

ART TODAY 2011 昨日の今日と今日の今日 図版 ●
財団法人セゾン現代美術館　2011 年 10 月 8 日
ごあいさつ（財団法人セゾン現代美術館）p.3
図版　pp.5-65.
作家略歴　pp.68-80
作品リスト　pp.81-83
所蔵：□、国新美、東文研
○展覧会事項
会期：2011 年 10 月 8 日－11 月 23 日　軽井沢・セゾン現代美術館　主催：財団法人セゾン現代美術館
出品：赤塚祐二、石川順惠、磯辺行久、伊藤誠、宇佐美圭司、江上計太、岡田修二、菅野由美子、関口敦仁、堂本右美、中村一美、水上央子、安田佐智種、山本富章、吉澤美香〔作品リスト順〕

岡本太郎生誕百年記念展 芸術と科学の婚姻 虚舟――私たちは、何処から来て、何処へ行くのか ●
芸術と科学の婚姻展実行委員会・川崎市岡本太郎美術館　2011 年 10 月
まえがき〈そして、私たちは何なのか〉（村田慶之輔）　pp.2-3
芸術と科学の婚姻まで（馬淵晃）　pp.4-5
総論 生への哀情こそが、この世における、最高の美のかたちである――奇妙奇天烈、摩訶不思議なる、「虚舟」展由来記あるいは顛末記（新見隆）　pp.7-12
パネルディスカッション 科学・芸術・イマジネーション（岩崎秀雄・岡田小枝子、工藤光子・篠崎崇・高梨直紘・山岸敦・司会 馬淵晃）　pp.13-28
図版〔章解説、図版、作家の言葉、解説〕　pp.29-92
〔章解説〕（篠崎崇、新見隆）
作家の言葉（粟野ユミト、岩崎秀雄、植田信隆、杉本博司〔1 行〕、多田正美、銅金裕司、戸田裕介、能勢伊勢雄、藤本由紀夫）
作家略歴　pp.94-103

作品リスト　pp.104-107

「虚舟」展付記（片岡香）　pp.108-109

研究機関紹介　p.111

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「UTSUROBUNE　Where Do We Come From? Where Are We Going?」

会期：2011 年 10 月 15 日－2012 年 1 月 9 日　川崎市岡本太郎美術館　主催：川崎市岡本太郎美術館・芸術と科学の婚姻展実行委員会

出品：篠崎崇、細江英公、粟野ユミト、岩崎秀雄、植田信隆、杉本博司、多田正美、銅金裕司、戸田裕介、能勢伊勢雄、藤本由紀夫〔作品リスト順〕

建築、アートがつくりだす新しい環境 ●

ACCESS　2011 年 11 月 11 日　英文併載　東京アートミーティング第 2 回

建築、アートがつくりだす新しい環境（原広司）　pp.4-7, 8-11

新しい環境、新しい体験のためのポリティクス（長谷川祐子）　pp.12-16, 17-21

球体論：空間の詩学についての自問自答（ペーター・スローターダイク）　pp.22-31, 32-41

図版　pp.43-191

新しい時代をつくりだす建築、アートの役割（妹島和世＋西沢立衛／SANAA、聞き手・長谷川祐子）　pp.194-199, 200-205

作家解説・作家略歴〔作家解説、主な活動歴、ステートメント〕　pp.207-257

作家解説、主な活動歴（飯島真理子、島田浩太朗、橋本瑛史、平山優子、近藤佑子）

ステートメント（AMID.cero9、ヌーラ・アルサイヤ、ペトラ・ブレーゼ、ダグ＋マイク・スターン、藤本壮介、アントン・ガルシア＝アブリル、平田晃久、石上純也、伊東豊雄、荒神明香、近藤哲雄、ルイザ・ランブリ、オフィス・ケルステン・ゲールス・ダヴィッド・ファン・セーヴェレン、ピエト・オウドルフ、スミルハン・ラディック、マシュー・リッチー、マティアス・シューラー、セルガスカーノ、スタジオ・ムンバイ、フィオナ・タン、ヴィム・ヴェンダース）

掲載作品リスト　pp.258-267

註：編集は三宅拓也。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項〔サブタイトル：これからの“感じ”〕

欧文タイトル：「ARCHITECTURAL ENVIRONMENTS for TOMORROW new spatial practices in architecture and art」

会期：2011 年 10 月 29 日－2012 年 1 月 15 日　東京都現代美術館／11 月 10 日－11 月 29 日　東京芸術大学　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社、東京芸術大学

出品：AMID.cero9、エル・アナツイ、バーレーン王国文化省、ペトラ・ブレーゼ、ダグ＋マ

イク・スターン、藤本壮介、アントン・ガルシア＝アブリル、フランク・O・ゲーリー、ジェラティン、原広司＋ローランド・ハーゲンバーグ、平田晃久、石上純也、伊東豊雄、クリスチャン・ケレツ、荒神明香、近藤哲雄、ルイザ・ランブリ、ウォルター・ニーダーマイヤー、オフィス・ケルステン・ゲールス・ダヴィッド・ファン・セーヴェレン、ピエト・オウドルフ、スミルハン・ラディック、マシュー・リッチー、妹島和世＋西沢立衛／SANAA、マティアス・シューラー＋トランスゾーラ―、セルガスカーノ、スタジオ・ムンバイ、フィオナ・タン、ヴィム・ヴェンダース〔図版収載順〕

共鳴する美術 2011〈工芸の現在〉●

倉敷市立美術館　2011 年 10 月

開催にあたって（倉敷市立美術館）　見返し

図版　pp.1-16

略歴　p.17

所蔵：□、国新美、都現美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2011 年 10 月 29 日－12 月 18 日　倉敷市立美術館　主催：倉敷市立美術館

出品：高月国光、瀧山雄一、外川明日香、村松加奈子〔図版収載順〕

瀧口修造とマルセル・デュシャン ●

千葉市美術館　2011 年 11 月 22 日

ごあいさつ（千葉市美術館）　pp.4-5

瀧口修造とマルセル・デュシャン 1958-1968（巖谷國士）　pp.14-32

「後期瀧口」に近づくために〈1958 年の旅――リバティ・パスポート――オブジェの店〉（笠井裕之）　pp.34-43

瀧口修造とデュシャンをめぐって（岡崎和郎・談、聞き手・水沼啓和）　pp.44-59

瀧口夫妻の眠る墓建立にまつわる話『冬の幻』を道標に（杉野秀樹）　pp.60-73

瀧口修造の装幀と手作り本に関する一考察〈特に「仮綴風」をめぐって〉（土渕信彦）　pp.74-86

図版・解説（水沼啓和、八木宏昌、稲塚展子）　pp.87-271

Chapter I　1923 年以降のマルセル・デュシャン　pp.89-106

Chapter II　瀧口修造とマルセル・デュシャン　pp.107-209

Chapter III　瀧口修造ゆかりの作家とマルセル・デュシャン　pp.211-271

マン・レイ、ジョセフ・コーネル、ジャン・ティンゲリー、ジャスパー・ジョーンズ、荒川修作、ネオ・ダダの作家たち（吉村益信、篠原有司男）、工藤哲巳、赤瀬川原平、岡崎和郎、ジョン・ケージ、靉嘔、オノ・ヨーコ、松澤宥

瀧口修造＝マルセル・デュシャン書簡資料集（朝木由香・笠井裕之・橋本まゆ・水沼啓和編）　pp.273-302

瀧口修造 マルセル・デュシャン関連年譜（朝木由香編）　pp.303-315

参考文献　pp.316-323

出品リスト　pp.324-342

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Shuzo Takiguchi and Marcel Duchamp」

会期：2011 年 11 月 22 日－2012 年 1 月 29 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館、協力：慶應義塾大学アート・センター、富山県立近代美術館

出品：I 1923 年以降のマルセル・デュシャン；安齊重男、ウーゴ・ムラス、マルセル・デュシャン、ジャック・ヴィヨン、ロベール・ルベル。II 瀧口修造とマルセル・デュシャン；瀧口修造、アンドレ・ブルトン、マルセル・デュシャン(重)、サルバドール・ダリ、マン・レイ、北代省三、高梨豊、ジャスパー・ジョーンズ、岡崎和郎、大辻清司、マックス・フーバー、上野紀子、中江嘉男、合田佐和子、鈴木亘、坪内一忠、ロベール・ルベル(重)、ジャン・ティンゲリー、荒川修作、ティニー・デュシャン、中西夏之、武満徹、マドリン・ギンズ、多田美波、赤瀬川原平、加納光於、野中ユリ、リチャード・ハミルトン、奈良原一高、塩崎有隆、ウーゴ・ムラス(重)。III 瀧口修造ゆかりの作家とマルセル・デュシャン；マン・レイ(重)、瀧口修造(重)、マドリン・ギンズ(重)、宮脇愛子、ジョセフ・コーネル、内田芳孝、ジャン・ティンゲリー(重)、ジャスパー・ジョーンズ(重)、荒川修作(重)、吉村益信、篠原有司男、工藤哲巳、赤瀬川原平(重)、岡崎和郎(重)、空閑俊憲、ジョン・ケージ、久保田成子、靉嘔、オノ・ヨーコ、松澤宥〔出品リスト順〕

「現代絵画の展望 24 の時の鐘」図録 ●

東日本鉄道文化財団(東京ステーションギャラリー)　2011 年 12 月

ごあいさつ（東京ステーションギャラリー）　p.3

図版　pp.4-27

現代絵画の展望シリーズについて　p.28

作家略歴と作品解説　pp.29-33

出品リスト　pp.34, 35　英文併載

註：編集は田中晴子、柚花文。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「－The Eyes of Twelve Artists－Perspectives of Contemporary Painting」

会期：2011 年 12 月 6 日－2012 年 3 月 18 日　旧新橋停車場鉄道歴史展示館　主催：東京ステーションギャラリー

出品：元永定正、岡本信治郎、松本陽子、横尾忠則、遠藤彰子、森村泰昌、野田裕示、三輪美津子、小川信治、村瀬恭子、三瀬夏之介、池田光弘〔出品リスト順〕

石子順造的世界－美術発・マンガ経由・キッチュ行 ●

美術出版社　2011 年 12 月 10 日

ごあいさつ（府中市美術館）　p.5　英文併載

石子順造的世界――脈打つ「ぶざまさ」を見据えて（成相肇）　pp.6-20

座談会 あの頃の石子さん――『漫画主義』同人が語る石子順造（山根貞男、高野慎三、長津忠） pp.21-27

図版〔図版、文章・文献再録、コラム、論考〕 pp.29-248

コラム（成相肇）

知覚のボディ・ビルディング――その日常性への上昇（松井茂）

石子順造の／とマンガ＝メディア論（瓜生吉則）

美貌はキッチュをのりこえて（井上章一）

石子順造入門〔著作案内、石子順造小辞典〕（成相肇編） pp.251-265

石子順造年譜、文献目録（成相肇編） pp.16-39

出品リスト pp.9-15

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、神近美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The World of ISHIKO Junzo：From Art via Manga to Kitsch」

会期：2011 年 12 月 10 日－2012 年 2 月 26 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：美術；池田龍雄、中村宏、高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之、小島信明、横尾忠則、鈴木慶則、杉浦康平、丹羽勝次、飯田昭二、小池一誠、前田守一、斉藤司郎、前山忠、堀内正和、立石紘一、須賀啓、野村久之、関根伸夫、河口龍夫、柏原えつとむ、岡崎和郎〔出品リスト順〕

道南美術の 21 世紀〈いま〉と〈これから〉●

北海道立函館美術館　2011 年 12 月 17 日　開館 25 周年記念

ごあいさつ（主催者）p.3

道南美術の 21 世紀〈いま〉と〈これから〉30 人のかたち（大下智一）pp.4-8

図版〔作家の言葉、図版〕pp.9-69

作家の言葉（相田幸男、秋元美穂、安積徹、石川久美子、石川潤、岩井聖子、苧坂恒治、遠藤弘志、長内さゆみ、クリスト ヨーク、小宮伸二、櫻井純、ささきようすけ、佐藤志帆、佐藤留利子、鈴木秀明、隅田信城、高井秀樹、滝花保和、永嶺康紀、西田靖郎、丸岡哲也、三浦千代志、水口議、水野智吉、安田祐子、山形弘枝、山田光、横山朝覧、輪島進一）

作家略歴 pp.70-76

作品リスト pp.77-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Southern Hokkaido Artists in the 21th Century」

会期：2011 年 12 月 17 日－2012 年 3 月 20 日　北海道立函館美術館　主催：北海道立函館美術館

出品：相田幸男、秋元美穂、安積徹、石川久美子、石川潤、岩井聖子、苧坂恒治、遠藤弘志、長内さゆみ、クリスト ヨーク、小宮伸二、櫻井純、ささきようすけ、佐藤志帆、佐藤留利子、

鈴木秀明、隅田信城、高井秀樹、滝花保和、永嶺康紀、西田靖郎、丸岡哲也、三浦千代志、水口議、水野智吉、安田祐子、山形弘枝、山田光、横山朝覧、輪島進一〔作品リスト順〕

2012（平成 24）年

紙上の技法学〈筑波大学所蔵石井コレクション〉●

武蔵野市立吉祥寺美術館　2012 年 1 月

ごあいさつ（武蔵野市立吉祥寺美術館）　p.3

ごあいさつ（五十殿利治）　p.4

図版〔解説、図版〕　pp.7-46

解説（菅沼万里絵）

作品解説　pp.47-58

出品リスト　pp.59-62

所蔵：□、国新美、東文研、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2012 年 1 月 7 日－2 月 19 日　武蔵野市立吉祥寺美術館　主催：武蔵野市立吉祥寺美術館

出品：瑛九、猪熊弦一郎、難波田史男、難波田龍起、池田龍雄、中村忠二、鶴岡政男、大沢昌助、菅井汲、桂ゆき、加納光於、清宮質文、池田満寿夫、駒井哲郎、深沢幸雄、奥山民枝〔出品リスト順〕

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉●

文化庁　2012 年 1 月 10 日　第 14 回展

ごあいさつ（主催者）　p.2　英文併載

芸術家在外研修(新進芸術家海外研修)制度について　p.3　英文併載

作家との対話（山口牧子、横澤典、塩谷亮、綿引展子、阿部守、児嶋サコ、津田睦美、元田久治、聞き手・真住貴子）　pp.6-11

図版〔作家のコメント、作家解説、作品解説、図版〕　pp.13-78

作家のコメント、作品解説（山口牧子、横澤典、塩谷亮、綿引展子、阿部守、児嶋サコ、津田睦美、元田久治）

作家解説（真住貴子）

Biography　pp.79-83

特別展示 芸術家在外研修(新進芸術家海外研修)制度 45 周年特別展示

図版〔作家略歴、作家のコメント、図版〕　pp.87-139

List of Works　pp.140-146　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the

Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」

会期：2012 年 1 月 14 日－2 月 12 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館、共催：読売新聞社

出品：山口牧子、横澤典、塩谷亮、綿引展子、阿部守、児嶋サコ、津田睦美、元田久治。45 周年特別展示；奥谷博、渡辺恂三、一色邦彦、馬越陽子、白野文敏、豊島弘尚、中井貞次、最上壽之、小嶋悠司、服部峻昇、原健、今井信吾、舩坂芳助、峯田義郎、絹谷幸二、大成浩、高柳裕、相笠昌義、鈴木丘、櫃田伸也、齋藤研、池田良二、上條陽子、森野眞弓、谷中武彦、池田宗弘、市野英樹、三澤憲司、川口起美雄、河内成幸、菊竹清文、田村能里子、遠藤彰子、金森宰司、北久美子、安達博文、久野和洋、八木幾朗、相田幸男、内田あぐり、瀬川富紀男、玉川信一、柳澤紀子、山本直彰、吉岡正人、下川昭宣、浅野均、諏訪敦、宮いつき、北郷悟、小林孝亘、丸山直文、福島瑞穂〔リスト順〕

あざみ野コンテンポラリーvol.2 Viewpoints いま「描く」ということ ●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2012 年 2 月

ごあいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野）

図版〔作家のことば、図版、インタビュー、作家略歴 〕 16p.

〔作家のことば、インタビュー〕（淺井裕介、椛田ちひろ、桑久保徹、吉田夏奈）

イベント

所蔵：□、東近美、都現美、横浜美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.2　Viewpoints：Drawing & Painting」

会期：2012 年 2 月 4 日－26 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：淺井裕介、椛田ちひろ、桑久保徹、吉田夏奈〔図版収載順〕

註：出品欄は展覧会出品作家を収載。

メグロアドレスー都会に生きる作家 ●

目黒区美術館　2012 年 2 月 7 日　主に英文併載

ごあいさつ（目黒区美術館） pp.4, 5

メグロアドレスの考え方（石崎尚） pp.10-19, 20-24

図版〔図版、作家のことば〕 pp.25-88

〔作家のことば〕（青山悟、今井智己、須藤由希子、長坂常、南川史門、保井智貴）

制作と発表を切り分け、そのあと、もう一度ひとつにする（田中功起） pp.90-99, 100-106

他者との関係の中で展覧会について考えるためのメモ（石崎尚） pp.90-93, 95-99　和文

作家略歴・文献目録　pp.108-116

作品リスト　pp.117-118

展覧会関連企画　p.119

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Meguro Addresses-Artists in Urban Life」

会期：2012 年 2 月 7 日－4 月 1 日　目黒区美術館　主催：目黒区美術館

出品：青山悟＋平石博一、今井智己、須藤由希子、長坂常、南川史門、保井智貴〔作品リスト順〕

行為の触覚 反復の思考 ●

行為の触覚 反復の思考実行委員会　2012 年 3 月

行為の触覚 反復の思考に寄せて（剱持邦弘）　p.3

図版〔図版、作家略歴〕　pp.5-20

対談＋インタビュー（石井琢郎×栗田大輔、臼井拓朗、烏山秀直、今野健太、諏訪未知。編集・鈴木晴奈、沢田朔、山﨑泰行、菅原美穂）　pp.21-37

作品リスト　pp.38-39

所蔵：□、国新美

○展覧会事項

欧文タイトル：「The idea of repeated touch」

会期：2012 年 3 月 7 日－12 日　上野の森美術館　主催：上野の森美術館・行為の触覚 反復の思考実行委員会

出品：石井琢郎、臼井拓朗、烏山秀直、今野健太、諏訪未知〔作品リスト順〕

VOCA 展 2012「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2012 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2012」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展 2012」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、選考委員〕　p.9

〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、神谷幸江、光田由里、南嶌宏）　pp.10-23

〔出品作家、推薦委員〕　pp.26-27

図版〔図版、作家解説〕　pp.28-95

〔作家解説〕（松田弘、窪田研二、近藤由紀、野中明、橋本梓、森山貴之、出原均、児島やよい、岡里崇、藪前知子、山下裕二、名古屋覚、谷新、松井みどり、和田浩一、李美那、柳原正樹、大島賛都、山脇一夫、荒木夏実、荒木康子、岡部信幸、高嶋雄一郎、木本文平、高橋瑞木、南雄介、橋本善八、平野到、尾﨑信一郎、佐藤敬爾、太田垣實、川浪千鶴、福住廉、土屋誠一、以倉新）　英文　pp.97-108

Biography　pp.109-126

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA2012　The Vision of Contemporary Art」

会期：2012 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財

団法人日本美術協会・上野の森美術館

出品：池森暢昌、榎本耕一、呉夏枝、大成哲、奥村雄樹、尾家杏奈、柏原由佳、椛田ちひろ、桑久保徹、小村希史、近藤智美、鈴木星亜、関根直子、五月女哲平、髙橋芙美子、高橋ゆり、武居功一郎、竹中美幸、田中千智、津田直、永岡大輔、永禮賢、濱田樹里、堀川すなお、前沢知子、松下徹、松本三和、三浦洋子、宮地明人、宮本佳美、山内光枝、山田郁予、吉濱翔、ワタリドリ計画(麻生知子・武内明子)〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・鈴木星亜、VOCA 奨励賞・桑久保徹、武居功一郎、佳作賞・大成哲、柏原由佳、大原美術館賞・柏原由佳

この素晴らしき世界：アジアの現代美術から見る世界の今 ●

広島市現代美術館　2012 年 5 月　主に英文併載

ごあいさつ（広島市現代美術館）　pp.4, 5

世界を映す鏡としての芸術（角奈緒子）　pp.8-12, 13-16

図版〔図版、作家のことば〕　pp.17-112

〔作家のことば〕（シルパ・グプタ、ティンティン・ウリア、ジュン・ヤン、下道基行、郭奕臣、マイケル・リー、□〔イ＋t＋者〕云(ツゥ・イュン)）

資料　pp.113-120

作家略歴　pp.121-135

作品リスト　pp.138-141

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「What a Wonderful World：Visions in contemporary Asian art of our world today」

会期：2012 年 3 月 24 日－5 月 13 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：シルパ・グプタ、ティンティン・ウリア、ジュン・ヤン、下道基行、郭奕臣、マイケル・リー、□〔イ＋t＋者〕云(ツゥ・イュン)〔作品リスト順〕

iwate コンテンポラリーアート ●

萬鉄五郎記念美術館　〔2013 年 3 月〕　全国美術館会議 東日本大震災復興対策事業

ごあいさつ（萬鉄五郎記念美術館）　p.3

日常のなかに在るもの（平澤広）　pp.6-7

図版〔図版、作家のことば、作家略歴、出品目録〕　pp.9-79

〔作家のことば〕（及川修次、山本英治、橋本尚恣、舞良雅子）

註：舞良雅子展の展示風景が収載されているので 2013 年 3 月以降の発行と思われる。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項〔次の 4 展から構成される。会場・主催は萬鉄五郎記念美術館〕

欧文タイトル：当該カタログに記載無

写真家及川修次 故郷へのオマージュ「岩手風土記」展

会期：2012 年 4 月 21 日－6 月 24 日

ランドスケープアート 大地の語り部 山本英治－地形は語る TOWA の城郭展

会期：2012 年 6 月 30 日－8 月 26 日

橋本尚恣　日常〈通過点・到達点〉展

会期：2012 年 9 月 1 日－11 月 11 日

舞良雅子〈素材から見えるもの〉展

会期：2012 年 11 月 23 日－2013 年 2 月 24 日

工芸未来派 ●

金沢 21 世紀美術館　2012 年 4 月 26 日

「工芸未来派」の背景となる考え方――今なぜ工芸の現代美術化が必要なのか?（秋元雄史）pp.4-25

図版〔作家略歴、図版〕 pp.27-123

略歴　pp.126-131

作品リスト　pp.132-134

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART CRAFTING TOWARDS THE FUTURE」

会期：2012 年 4 月 28 日－8 月 31 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：青木克世、猪倉髙志、北村辰夫、大樋年雄、桑田卓郎、竹村友里、中村康平、中村信喬、野口春美、葉山有樹、見附正康、山村慎哉〔作品リスト順〕

ソンエリュミエール 物質・移動・時間、そして叡智 ●

フォイル　2013 年 2 月 1 日

〔ことば〕 pp.3-4　英文併載

図版　pp.5-16

Contents〔作家一覧〕 p.17

図版〔解説、図版、作家トーク、作家のことば〕 pp.18-125

〔作家トーク、ことば〕（サイトウ・マコト、秋山陽、チン↑ポム、鈴木ヒラク、日比野克彦、村上隆、梅田哲也）

作家プロフィール、作品リスト（解説・北出智恵子、村田大輔、不動美里、平林薫） pp.127-151

時を経て生く創造者（北出智恵子） pp.152-153, 154-155　英文併載

註：本展覧会カタログは「ソンエリュミエール－物質・移動・時間」と「ソンエリュミエール、そして叡智」展とで共用。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項 1

展名「ソンエリュミエール－物質・移動・時間」

欧文タイトル：「Son et Lumière-Material, Transition, Time」
会期：2012 年 4 月 28 日－11 月 4 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館
出品：木村太陽、岸本清子、サイトウ・マコト、田嶋悦子、草間彌生、秋山陽、粟津潔、パトリック・ブラン＋日比野克彦〔作品リスト順〕
〇展覧会事項 2
展名「ソンエリュミエール、そして叡智」
欧文タイトル：「Son et Lumière, et sagesse profonde」
会期：2012 年 9 月 15 日－2013 年 3 月 17 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館
出品：木村太陽、草間彌生、チン↑ポム、鈴木ヒラク、奈良美智、パトリック・ブラン＋日比野克彦、日比野克彦、村上隆、梅田哲也〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

館林ジャンクション〈中央関東の現代美術〉●
群馬県立館林美術館　2012 年 6 月 21 日
ごあいさつ（館長染谷滋）　p.5
中央関東文化論（川島健二）　pp.8-11
館林ジャンクション〈中央関東の現代美術〉（田中龍也）　pp.12-18
図版〔展示プラン、作家のステイトメント、図版〕　pp.19-100
ステイトメント（篠崎孝司、小川精一、吉本義人、菊地武彦、亀山知英、長重之、佐々木耕成、小林達也、光山明、藤井龍徳、森竹巴、利根川友理、タカユキオバナ、五月女哲平、佐藤万絵子、栃木美保）
関連イベント　p.101
関連地図　p.102
資料――スペース・ユー活動記録(1991-2008)　pp.104-109
作家略歴・参考文献　pp.110-121
出品リスト　pp.122-125
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「TATEBAYASHI：CONTEMPORARY ART IN CENTRAL KANTO」
会期：2012 年 4 月 28 日－7 月 1 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館
出品：篠崎孝司、小川精一、吉本義人、菊地武彦、亀山知英、長重之、佐々木耕成、小林達也、光山明、藤井龍徳、森竹巴、利根川友理、タカユキオバナ、五月女哲平、佐藤万絵子、栃木美保〔出品リスト順〕

写真の現在 4〈そのときの光、そのさきの風〉●
東京国立近代美術館　2012 年 6 月 1 日　英文併載　付・FLOOR GUIDE 1 枚
ごあいさつ（館長加茂川幸夫）　pp.4, 5
図版　pp.9-103
世界に出会う接続的な営為（増田玲）　pp.108-112　英文　別紙 4p.

インタビュー（有元伸也、本山周平、中村綾緒、新井卓、村越としや、聞き手・増田玲） pp.113-124, 125-136

作家略歴　pp.138-140, 141-143

出品リスト　pp.144-147

註：編集は増田玲、中村麗子。

□FLOOR GUIDE〔1 枚、三ツ折両面刷〕

作家略歴、解説、出品リスト

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Photography Today 4：in their persistent endeavors to meet the world」

会期：2012 年 6 月 1 日－7 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：有元伸也、本山周平、中村綾緒、新井卓、村越としや〔作品リスト順〕

対話する美術／前衛の関西〈開館 40 周年記念〉●

西宮市大谷記念美術館　2012 年 6 月 9 日　英文併載

ごあいさつ（西宮市大谷記念美術館） pp.2, 3

対話する美術／前衛の関西（池上司） pp.6-9, 10-13

図版　pp.15-75

〔作品解説、作品解説〕（池上司）

出品リスト　pp.77-79

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Artistic Intractions：Avant-garde Kansai」

会期：2012 年 6 月 9 日－7 月 29 日　西宮市大谷記念美術館　主催：西宮市大谷記念美術館

出品：津高和一、須田剋太、白髪一雄、村上三郎、元永定正、松谷武判、泉茂、鄭相和、木下佳通代、山口牧生、藤本由紀夫、森口宏一、植松奎二、石原友明、パラモデル（林泰彦、中野裕介）、渡辺信子、奥田善巳〔図版収録順〕

「美へのまなざし・交差する世界」記録集 ●

岡山県天神山文化プラザ　2012 年 9 月 25 日　岡山県総合文化センター＋岡山県天神山文化プラザ開館 50 周年記念展

ごあいさつ（岡山県天神山文化プラザ） p.2

みんな、ここで育った〈「美へのまなざし・交差する世界」展に寄せて〉（大橋宗志） pp.5-7

会場配置図　pp.8-9

図版　pp.10-63

作家情報〔作家コメント、作家略歴〕 pp.65-91

作家コメント（蛭田二郎、香川昌久、池畑秀穂、森山知己、金盛秀禎、難波滋、佐藤定、小川尊一、立花博、寺尾宗徳、磯谷晴弘、上田久利、神﨑順治、難波由城雄、岡本正教、

伊瀬輝雄、寺田武弘、伊永和弘、額田哲郎、三宅弘子、福島隆壽、泉谷淑夫、西平孝史、北山由紀雄、安藤清和、岡部玄、金谷雄一、草間喆雄、能勢伊勢雄、高原洋一、平田稔、榎本勝彦、金谷哲郎、小林照尚、時光新吾、森下勲、甲田千晴、長原勲、役重佳廣、作元朋子、佐藤孝洋、片山康之、青地大輔、浅野有紀、永岡かずみ、花田洋通、田丸稔、椿苑、上西竜二、島村敏明、池田理寛）

作品リスト　pp.92-93

所蔵：□、国新美、写真美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2012 年 6 月 14 日－24 日　岡山県天神山文化プラザ　主催：岡山県天神山文化プラザ

出品：蛭田二郎、香川昌久、池畑秀穂、森山知己、金盛秀禎、難波滋、佐藤定、小川尊一、立花博、寺尾宗徳、磯谷晴弘、上田久利、神﨑順治、難波由城雄、岡本正教、伊瀬輝雄、寺田武弘、伊永和弘、額田哲郎、三宅弘子、福島隆壽、泉谷淑夫、西平孝史、北山由紀雄、安藤清和、岡部玄、金谷雄一、草間喆雄、能勢伊勢雄、高原洋一、平田稔、榎本勝彦、金谷哲郎、小林照尚、時光新吾、森下勲、甲田千晴、長原勲、役重佳廣、作元朋子、佐藤孝洋、片山康之、青地大輔、浅野有紀、永岡かずみ、花田洋通、田丸稔、椿苑、上西竜二、島村敏明、池田理寛〔作品リスト順〕

「具体」――ニッポンの前衛 18 年の軌跡 ●

国立新美術館　2012 年 7 月　主に英文併載

ごあいさつ（国立新美術館）　pp.4, 5

「具体」――近代精神の理想郷（平井章一）　pp.10-15, 242-248

図版〔章解説、年譜、図版、Column〕　pp.16-207

章解説・Column（平井章一）、年譜（平井章一編）

論考

大阪万博というフィナーレへ向かって（山田由佳子）　pp.210-215, 250-255

芦屋からアムステルダムへ――「具体」の展示空間について（米田尚輝）　pp.216-221, 256-260

資料編

主要参考文献（山田由佳子編）　pp.224-237

出品作家略歴（平井章一編）　pp.238-240, 282-286

出品リスト　pp.287-298

註：出品作家略歴は、和文と英文では配列が異なる。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「GUTAI / The Spirit of an Era」

会期：2012 年 7 月 4 日－9 月 10 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：上前智祐、大原紀美子、金山明、嶋本昭三、白髪一雄、白髪富士子、鷲見康夫、田中敦子、村上三郎、元永定正、山崎つる子、吉田稔郎、吉原治良、吉原通雄、浮田要三、名坂有子、前川強、正延正俊、松谷武判、向井修二、今井祝雄、今中クミ子、小野田實、菅野聖子、聴濤襄治、喜谷繁暉、木梨アイネ、坂本昌也、田井智、高崎元尚、田中竜児、坪内晃幸、猶原通正、名坂千吉郎、堀尾昭子、堀尾貞治、松田豊、森内敬子、ヨシダミノル〔出品リスト順〕

リアル・ジャパネスク〈世界の中の日本現代美術〉●

国立国際美術館　2012 年 7 月　別冊共 2 冊

はじめに（国立国際美術館）　p.3

作品図版　pp.7-97

ユニークさを求めて（中西博之）　pp.100-105

作家解説、ポートレート、略歴、出品作品リスト　pp.106-141

作家解説（中西博之）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美(別冊共)、横浜美(別冊共)、愛芸文、京都学、東芸大、東大駒、和光大(別冊共)、国会図、都中図

別冊〔上記日本語版の英訳〕

Real Japanesque：The Unique World of Japanese Contemporary Art

The National Museum of Art, Osaka：GREETING　p.1

Hiroyuki Nakanishi：SEARCHING FOR UNIQUENESS　pp.2-9

〔作家解説、略歴、出品作品リスト〕　pp.10-36

○展覧会事項

欧文タイトル：「Real Japanesque：The Unique World of Japanese Contemporary Art」

会期：2012 年 7 月 10 日－9 月 30 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：泉太郎、大野智史、貴志真生也、佐藤克久、五月女哲平、竹川宣彰、竹﨑和征、南川史門、和田真由子〔図版収載順〕

「Arts & Life：生きるための家」展 ●

東京都美術館　2012 年 7 月　東京都美術館リニューアル記念企画

ご挨拶（東京都美術館・朝日新聞社）　p.3

作品一覧　p.5

図版〔図版、作家のことば〕　pp.6-31, 35-40

審査経過　p.32

審査講評（審査委員長・小嶋一浩）　p.34

若き建築家への期待（真室佳武）　pp.41-42

雑木林のような空間（小嶋一浩）　pp.43-44

人間像について（西沢立衛）　pp.45-46

建築、これまでとこれから（平田晃久）　pp.47-48

生きるための家について（藤本壮介）　pp.49-50

私たちの「生きるための家」のために（河野佑美）　p.51

作家リスト　pp.52-53

註：編集は河野佑美、平方正昭。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Arts & Life：Where will we live tomorrow?」

会期：2012 年 7 月 15 日－9 月 30 日　東京都美術館ギャラリーA・B　主催：東京都美術館・朝日新聞社

註：本展はコンペ形式で一般公募したもので、159 点の応募作品から最優秀賞(山田紗子)をはじめ 39 点が選出された。出品欄は一般公募なので割愛した。

光あれ!－光と闇の表現者たち〈とちぎアート・ドキュメント〉●

栃木県立美術館　2012 年 7 月　開館 40 周年記念企画 2 復興祈念

あいさつ（栃木県立美術館）　p.3

光あれ!－光と闇に託すもの（島一嘉）　pp.4-7

図版〔図版、作家のことば〕　pp.8-47

〔作家のことば〕（柄澤齊、豊島弘尚、大森博之、クワクボリョウタ、菊地武彦、内倉ひとみ、渡辺豊重、荒井経、薄井隆夫、タムラサトル）

作家略歴　pp.48-53

出品リスト　pp.54-55

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE QUEST FOR LIGHT AND DARKNESS」

会期：2012 年 7 月 21 日－9 月 17 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：柄澤齊、豊島弘尚、大森博之、クワクボリョウタ、菊地武彦、内倉ひとみ、渡辺豊重、荒井経、薄井隆夫、タムラサトル〔出品リスト順〕

＋プラス FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性　日本語版カタログ ●

平凡社　2012 年 7 月 25 日

はじめに（〔深井晃子〕）　p.5

展覧会「Future Beauty 日本ファッションの未来性」出展ブランド　pp.6-7

図版〔作家解説、図版、インタビュー〕　pp.8-53

〔作家解説〕（蘆田裕史、石関亮）

インタビュー（玉井健太郎、長見佳祐、聞き手・KCI）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「＋FUTURE BEAUTY」

会期：2012 年 7 月 28 日－10 月 8 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京

都現代美術館・京都服飾文化研究財団・日本経済新聞社

註：出品目録が未詳のため出品欄は記載しなかった。

〇関連書籍

FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性

平凡社　2012 年 7 月 25 日

註：本書は 2010 年にロンドンのバービガン・アート・ギャラリーで開催された同展の展覧会カタログの日本語翻訳版。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.02 贈り物と交換 ●

高松市美術館　2012 年 7 月

図版　pp.3-63

ごあいさつ（高松市美術館）　p.64

贈り物と交換（毛利義嗣）　p.65

作家解説（毛利義嗣、牧野裕二、田中みなみ）　pp.66-73

アニュアルということ（浅井俊裕）　pp.74-75

返礼なき贈与は受け取ったものを戒める（木ノ下智恵子）　pp.76-77

現代美術展を開催するということ（植松由佳）pp.78-79

〔作家のことば〕（和泉希洋志、GABOMI(ガボミ)、平野薫、八木良太、山本高之）pp.80-84

作家略歴　pp.85-91

関連イベント　pp.92-93

出品リスト　pp.94-95

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.02　Gift and Exchange」

会期：2012 年 7 月 28 日－9 月 9 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

出品：和泉希洋志、GABOMI(ガボミ)、平野薫、八木良太、山本高之〔出品リスト順〕

アジアをつなぐ－境界を生きる女たち 1984-2012 ●

福岡アジア美術館・沖縄県立博物館・美術館・栃木県立美術館・三重県立美術館協力会　2012 年 9 月 1 日　英文併載

あいさつ（主催者）p.7

出品アーティスト　p.11

アジアの、境界を生きる女たち展――女たちの多声合唱（小勝禮子）pp.12-16, 17-21

女性たちのアジア美術――90 年代を軸に（ラワンチャイクン寿子）pp.22-23, 24-25

境界を生きるジレンマを抱えて（中尾智路）pp.26-27, 28-29

図版〔章解説、作家・作品解説、図版〕pp.31-148

章解説（小勝禮子、堀川理沙）

作家・作品解説（小勝禮子、豊見山愛）
アジアの女性アーティスト[エッセイ]　pp.149-190
＊沖縄の女性アーティスト――日本〈復帰〉を節目に（豊見山愛）pp.158-159, 159-160
出品アーティスト略歴　pp.191-212
参考文献　pp.213-215
作品リスト　pp.216-219
註：エッセイ、出品アーティスト略歴、および出品記録は日本人作家のみ収載した。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Woman In-Between：Asian Women Artists 1984-2012」
会期：2012 年 9 月 1 日－10 月 21 日　福岡アジア美術館　主催：福岡アジア美術館・西日本新聞社・テレビ西日本／11 月 27 日－2013 年 1 月 6 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館／1 月 26 日－3 月 24 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館／4 月 13 日－6 月 23 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館
出品：出光真子、井上廣子、石川真生、町田久美、阪田清子、塩田千春、綿引展子、山城知佳子〔出品アーティスト順〕

現代郷土作家展 吉本直子・久保健史・浅田暢夫〈内包の布 空間の石 存在の写真〉●
姫路市立美術館　2012 年 9 月
図版〔作家のことば、図版〕pp.4-27
〔作家のことば〕（吉本直子、久保健史、浅田暢夫）
内包の布 空間の石 存在の写真（本丸生野）pp.28-29
〔作家略歴〕pp.30-31
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2012 年 9 月 13 日－10 月 21 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館
出品：吉本直子、久保健史、浅田暢夫

日本の 70 年代 1968-1982 ●
埼玉県立近代美術館・美術館連絡協議会　2012 年 9 月　付・出品リスト 1 葉(三ツ折両面刷)
あいさつ（主催者）　p.7
図版　pp.3-5, 12-21, 29-91, 93-111, 113-135, 140-154, 156-157, 162-168, 170-179, 181-209, 216-219, 224-239, 241-258, 261-283
年表　pp.8-11
TEXT
70 年代の気分を読み解くために（前山裕司）　pp.22-27
1970 年代の再検証（平沢剛）　pp.136-139
転換点としての 70 年代美術（建畠哲）　pp.158-161

実験映画と自主制作の時代（西村智弘） pp.210-215
ラディカリズムとコマーシャリズムの行方（飯沢耕太郎） pp.220-223
回想の西武美術館（前山裕司） pp.259-260
COLUMN（平野到、前山裕司、梅津元） pp.45, 47-48, 92, 102, 112, 155, 169, 174, 176, 178-180, 185, 188-189, 240, 252
索引 pp.284-287
日本の 70 年代 1968-1982 出品リスト 1 葉
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「The 70s in Japan 1968-1982」
会期：2012 年 9 月 15 日－11 月 11 日 北浦和・埼玉県立近代美術館 主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会
註：粟津潔から横尾忠則まで多くの作家が出品されているようだが、出品リストでは作品と資料の判別がしがたく出品欄は保留とした。

ニューアート展 NEXT 2012 動く絵、描かれる時間：ファンタスマゴリア ●
横浜市民ギャラリー 2012 年 9 月 英文併載 付・DVD1 枚
ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）
動く絵、描かれる時間：Phantasmagoria によせて（佐藤直子）
図版〔作家のことば、図版〕 各 pp.2-7
〔作家略歴〕 各 pp.8, 9
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「New Art NEXT 2012 Moving Pictures and Depicted Time：Phantasmagoria」
会期：2012 年 9 月 28 日－10 月 17 日 関内・横浜市民ギャラリー 主催：横浜市民ギャラリー
出品：金澤麻由子、シムラブロス(SHIMURA bros)

ジパング II 沸騰する日本の現代アート ●
青幻舎 2012 年 10 月 5 日
はじめに（主催者） p.4
図版〔図版、作家論〕 pp.9-104
作家論（高晟埈、山本丈志、柴田純江） pp.152-157 英文、pp.166-171 中文
対談 日本発 現代アートの向かう先（三潴末雄×小崎哲哉） p.106-113, 158-165 英文、pp.172-177 中文
作家略歴 pp.114-144
作品リスト pp.146-151
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Zipangu－The Surge of Japanese Contemporary Art」

会期：2012 年 10 月 6 日－12 月 2 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館・TeNY テレビ新潟・ジパング展新潟展実行委員会・読売新聞社・美術館連絡協議会／2013 年 4 月 7 日－6 月 16 日　高崎市美術館　主催：高崎市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／9 月 14 日－11 月 10 日　横手・秋田県立近代美術館　主催：ジパング展秋田展実行委員会(ABS 秋田放送／秋田県立近代美術館)・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：会田誠、青山悟、池田学、伊藤遠平、上田順平、O Jun、大畑伸太郎、岡本瑛里、風間サチコ、樫木知子、金子富之、熊澤未来子、鴻池朋子、近藤聡乃、指江昌克、佐藤雅晴、田代裕基、棚田康司、チームラボ、天明屋尚、藤田桃子、町田久美、三瀬夏之介、宮永愛子、森淳一、山口藍、山口晃、山﨑史生、山本太郎、山本竜基、渡邊佳織〔作品リスト順〕

3.11 とアーティスト｜進行形の記録 記録集　　メディア・デザイン研究所編 ●

水戸芸術館現代美術センター　2012 年 11 月 16 日　主に英文併載　バインダー使用　展覧会資料第 98 号

作家名索引　p.4

展示風景　pp.5-28

年表（齋藤歩・竹久侑編）　pp.29-36

活動概要〔作家活動概要、作家略歴〕　pp.37-92

作家インタビュー（竹久侑）　pp.93-140

照屋勇賢、トーチカ、日比野克彦、藤井光、椿昇、Chim↑Pom、遠藤一郎、宮下マキ、wah document、村上タカシ(MMIX Lab)、荒井良二、開発好明、北澤潤、山川冬樹、眞田岳彦、ヤノベケンジ、ニシコ、タノタイガ、高山明(Port B)、加藤翼、中島佑太×ビルド・フルーガス、小森はるか＋瀬尾なつみ、畠山直哉

本展の企画についての記録と考察（竹久侑）　p.141-146, 147-150

あえてみずからをヴァルネラブルに――震災とアーティストたち（鷲田清一）　pp.151-153　和文

水戸芸術館での雛形としての「9.30」（椹木野衣）　pp.154-156　和文

「災害や大規模事故を受けてアートのできることがあるとすれば、それはどのようなものだと思いますか」という問いへの応答（畠山直哉）　pp.157-160　和文

展覧会概要　p.161

展覧会会場マップ＋出品作品一覧　pp.162-165

展覧会関連プログラム　pp.166, 167

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Artists and the Disaster｜Documentation in Progress」

会期：2012 年 10 月 13 日－12 月 9 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：荒井良二、遠藤一郎、開発好明、加藤翼、北澤潤、小森はるか＋瀬尾なつみ、眞田岳彦、高山明(Port B)、タノタイガ、Chim↑Pom、椿昇、照屋勇賢、トーチカ(＋関根光才)、中島佑太×ビルド・フルーガス、ニシコ、畠山直哉、日比野克彦、藤井光、「プロジェクトFUKUSHIMA!」、宮下マキ、村上タカシ(MMIX Lab)、ヤノベケンジ、山川冬樹、wah document〔展覧会概要順〕

あざみ野コンテンポラリーvol.3 ART meets DANCE 2012 ●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2012 年 10 月　帯＋〔作家シート〕5 枚

□帯

ごあいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野）

EVENT INFORMATION

□〔作家シート、各 1 枚(二ツ折両面刷)〕

図版〔作家のことば、インタビュー、作家略歴、図版〕

〔作家のことば、インタビュー〕（亀井佑子、佐々木愛、酒井幸菜、梅田宏明、山下残）

所蔵：□、都現美、国会図

○展覧会事項

和文タイトル：「アート・ミーツ・ダンス」

会期：2012 年 10 月 20 日－11 月 11 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

参加：亀井佑子、佐々木愛、酒井幸菜、梅田宏明、山下残〔あいさつ文紹介順〕

MOT アニュアル 2012 風が吹けば桶屋が儲かる ●

東京都現代美術館　2012 年 10 月　英文併載　第 12 回展

もう一度その感覚を取り戻すためのノート（田中功起）　見返し、pp.1-3, 4-6

個別の、事実と蛇足について 1-6, 0（田中功起）　pp.8, 12, 186-188, 190-195, 198-201

ごあいさつ（東京都現代美術館）　pp.10, 11

図版〔作家解説、図版、作家のことば〕　pp.14-197, 214-220

〔作家のことば〕（下道基行、Nadegata Instant Party、佐々瞬、田村友一郎）

状況の制作、風景の編集――風が吹けば桶屋が儲かる（西川美穂子）　pp.202-206, 208-213

作品リスト　pp.221-223, 224-225

作家略歴・文献目録（三宅拓也編）ノンブル無

付

活動カレンダー、田中功起、2012 年から 2013 年　2 枚(両面刷、和文・英文)

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「MOT Annual 2012：Making Situations, Editing Landscapes」

会期：2012 年 10 月 27 日－2013 年 2 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：森田浩彰、下道基行、Nadegata Instant Party(中崎透＋山城大督＋野田智子)、奥村

雄樹、佐々瞬、田村友一郎、田中功起〔作品リスト順〕

アートと音楽――新たな共感覚をもとめて ●

フィルムアート社　2012 年 11 月 1 日　東京アートミーティング第 3 回

見ること／聴くことの未来へ――「感覚」に立ち返ったその先にあるもの インタビュー（坂本龍一、聞き手・畠中実） pp.8-24, 25-37　英文併載

〈アートと音楽〉を考えるエッセンス

1 宇宙の音-色（岡田温司） pp.38-46

2 ノイズとサウンド・インスタレーション（池上高志） pp.47-50

3 物語から離れて漂流する音たち（若尾裕） pp.51-55

図版〔作家への質問&回答、図版〕 pp.56-136

〔作家への質問&回答〕（セレスト・ブルシエ＝ムジュノ、カールステン・ニコライ、クリスティーネ・エドルンド、フロリアン・ヘッカー、池田亮司、オノセイゲン＋坂本龍一＋高谷史郎、大友良英リミテッド・アンサンブルズ、ステファン・ヴィティエロ、マノン・デ・ブール、ザ・サイン・ウェーブ・オーケストラ、大西景太、バルトロメウス・トラウベック、八木良太、ウドムサック・クリサナミス、坂本龍一＋高谷史郎） 英文併載

感覚の統合性をとりもどすために（長谷川祐子） pp.137-147, 148-159　英文併載

「共感覚」はなぜ人を惹きつけてきたか――その研究と実践の歴史を概観する（眞壁宏幹） pp.160-176, 177-194　英文併載

作品リスト　pp.195-203

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art & Music－Search for New Synesthesia」

会期：2012 年 10 月 27 日－2013 年 2 月 3 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・東京新聞

出品：池田亮司、大西景太、オノセイゲン＋坂本龍一＋高谷史郎、大友良英リミテッド・アンサンブルズ、ザ・サイン・ウェーブ・オーケストラ、坂本龍一＋高谷史郎、武満徹、田中未知・高松次郎、八木良太〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本人作家・音楽家のみ収載した。

現代絵画のいま〈キュレーターからのメッセージ 2012〉 ●

兵庫県立美術館　2012 年 10 月　特別展

ごあいさつ（兵庫県立美術館・朝日新聞社） p.3

図版　pp.5-89

アンケート（石田尚志、居城純子、大﨑のぶゆき、奈良美智、二艘木洋行、野村和弘、彦坂敏昭、平町公、法貴信也、丸山直文、三宅砂織、横内賢太郎、和田真由子、渡辺聡） pp.90-104

絵画たちはささやく（出原均） pp.105-109, 109-114　英文併載

会場図面　p.115

作品リスト　pp.116-119

註：編集は出原均、小林公、小野尚子、河田亜也子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「NEW PHASES in CONTEMPORARY PAINTING　A Curator's Message 2012」

会期：2012 年 10 月 27 日－12 月 24 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・朝日新聞社

出品：二艘木洋行、居城純子、渡辺聡、平町公、彦坂敏昭、丸山直文、横内賢太郎、大崎のぶゆき、奈良美智、野村和弘、法貴信也、和田真由子、石田尚志、三宅砂織〔作品リスト順〕

GUN 新潟に前衛があった頃 ●

新潟県立近代美術館　2012 年 11 月

ごあいさつ（館長徳永健一）

〈GUN〉における国際的同時性－新潟、日本、グローバルに考える（富井玲子）　pp.1-5

〈GUN〉の特殊性とその変質（藤田裕彦）　pp.6-10

グループ〈GUN〉がデビューするまで－日本地方都市の「前衛」（高晟埈）　pp.11-15

図版　pp.17-83

　章解説（藤田裕彦）

　資料編　pp.74-83

新潟現代美術家集団 GUN の歩み（宮下東子補）　pp.84-85

新潟現代美家集団 GUN　作家略歴（藤田裕彦、宮下東子）　pp.86-88

「GUN―新潟に前衛があった頃」出品作品リスト　pp.89-91

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、神近美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Niigata Contemporary Artist Group and Its Era GUN」

会期・会場：2012 年 11 月 3 日－2013 年 1 月 14 日　長岡・新潟県立近代美術館

出品：前山忠、堀川紀夫、アンディ・ウォーホル、ジェームズ・ローゼンクイスト、アレックス・カッツ、前田常作、吉村益信、山口勝弘、中西夏之、岡本太郎、菅井汲、加納光於、鈴木慶則、前田守一、飯田昭二、小池一誠、近藤直行、鈴木力、市橋哲夫、関根哲男、佐藤秀治、北村克躬、猪爪彦一、佐藤昭久、霜鳥健二、舟見倹二、星野健司、真島若桜、三上祥司〔出品作品リスト順〕

画廊の系譜〈浅川コレクションと 1960-80 年代日本の美術〉 ●

足利市立美術館　2012 年 11 月 10 日

ごあいさつ（足利市立美術館）　p.5

浅川邦夫と日本の戦後美術（篠原誠司）　pp.8-15

「浅川コレクション」について　pp.16-17
図版〔章解説、図版、解説〕　pp.19-96
南画廊・画廊春秋展覧会リスト　pp.97-108
浅川邦夫インタビュー（浅川邦夫・成田秀彦、聞き手・篠原誠司）　pp.109-119
画廊と 1960～80 年代日本の美術　pp.121-177
画廊インタビュー（山本豊津、庄司達、井上道子、土倉有三、並河恵美子、高山良子、小林ひとみ、小田律子、熊谷寿美子、聞き手・篠原誠司）
interview（木村重信、峯村敏明、聞き手・篠原誠司）
出品作家略歴　pp.178-185
出品リスト　pp.186-188
参考文献　p.190
〔ことば〕（浅川邦夫）p.191
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2012 年 11 月 10 日－12 月 24 日　足利市立美術館　主催：足利市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会
出品：中西夏之、菊畑茂久馬、三木富雄、工藤哲巳、靄嘔、小野忠弘、藤松博、堂本尚郎、駒井哲郎、難波田龍起、加納光於、山口長男、オノサト・トシノブ、桜井孝身、今井俊満、瀧口修造、篠原有司男、瑛九、池田満寿夫、池田龍雄、細江英公、谷川晃一、吉野辰海、清水晃、宮迫千鶴、田中繁一、中根明貴子、秋山祐徳太子、澄川喜一、森田玖吾、今泉省彦、遠藤昭、阿部浩、貝野澤章、鍋田庸男、玉征夫、新井リコ〔出品リスト順〕

日本・オブジェ 1920－70 年代 断章 ●
美術館連絡協議会　2012 年 11 月
ごあいさつ（主催者）　p.3
図版〔図版、論考、章解説、解説〕　pp.5-85
オブジェ考、点描風に（森田一）
〔章解説、解説〕（森田一、滝口明子、金澤一志）
住人たち、すこし固い部屋の《詩とオブジェ》（金澤一志）　pp.88-91
関連年表（森田一・滝口明子編）　pp.92-107
作家略歴（滝口明子編）　pp.108-113
出品作品リスト　pp.114-119
主要参考文献（滝口明子編）　pp.120-122
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2012 年 11 月 17 日－2013 年 1 月 20 日　うらわ美術館　主催：うらわ美術館・読売

新聞社・美術館連絡協議会

出品：I.マルセル・デュシャンと瀧口修造；マルセル・デュシャン、瀧口修造。II.新興美術運動とシュルレアリスム；中山岩太、山本悍右、植木昇、植田正治。III.オブジェの拡張；小原豊雲、勅使河原蒼風、熊倉順吉、八木一夫、林康夫、井上有一。IV.オブジェの氾濫；イサム・ノグチ、荒川修作、向井良吉、村岡三郎、三木富雄、工藤哲巳、赤瀬川原平、松澤宥。V.詩とオブジェ；北園克衛、伊藤元之、高橋昭八郎、新国誠一、向井周太郎。VI.オブジェ思想の超克へ；関根伸夫、李禹煥〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

「虹の彼方ーこことどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」カタログ(本編) ●

府中市美術館　2012 年 11 月 23 日

ごあいさつ（府中市美術館）p.5

図版　pp.6-41, 43, 45, 47,49, 51

虹の彼方ーこことどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行（神山亮子）pp.42-50

BIOGRAPHY & SELECTED BIBLIOGRAPHY　pp.53-63

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大(本編のみ)、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「OVER THE RAINBOW」

会期：2012 年 11 月 23 日－2013 年 2 月 24 日　府中市美術館　主催：府中市美術館

出品：伊庭靖子、斎藤ちさと、池田晶紀、小木曽瑞枝、Rocca SPIELE(柿木原政広/トゥルーリ・オカモチェク)、塩見允枝子、MAMORU、三田村光土里、渡辺泰子〔図版収載順〕、丸山晶崇〔図版無〕

「虹の彼方ーこことどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」カタログ（記録編）

府中市美術館　2013 年 2 月 9 日

図版〔展示会場記録写真、テキスト〕pp.2---29

テキスト（MAMORU、伊庭靖子、斎藤ちさと、渡辺泰子、小木曽瑞枝、塩見允枝子、池田晶紀、三田村光土里、Rocca SPIELE）

出品リスト　pp.30-31

関連企画　p.32

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項(上記本編と同じ)

2013（平成 25）年

福岡現代美術クロニクル 1970-2000 ●

福岡現代美術クロニクル展実行委員会　2013 年 1 月 5 日

ごあいさつ（館長今村芳晴・錦織亮介）　p.5　英文併載

本展開催にあたって（山口洋三）　p.6

情況のための交流、交流のための情況：「九州派以後」の福岡現代美術（山口洋三） pp.7-13
図版〔章解説、文献再録、図版、解説〕 pp.15-144
〔章解説〕（山口洋三、正路佐知子）
〔解説〕（山口洋三）
作家略歴（正路佐知子、竹口浩司、藤本真帆、山口洋三、森下明彦） pp.146-160
福岡現代美術略年表（山口洋三・正路佐知子編） pp.162-191
出品作品リスト pp.192-203
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Situations and Exchanges：Fukuoka Contemporary Art Chronicle 1970-2000」
会期：2013 年 1 月 5 日－2 月 11 日　福岡県立美術館、福岡市美術館　主催：福岡県立美術館・福岡市美術館
出品：福岡県立美術館；小松豊、松本芳年、柳和暢、藤野忠利、舟一朝、小田部泰久、柴田善二、木戸龍一、川原田徹、小山正、長谷川清、村上勝、仙頭利通、木塚忠広、小川幸一、山野真悟、江上計太、和田千秋、牛島智子、土佐尚子、永崎通久、山崎直秀、高向一成、廣末勝巳、大久保忠春、酒井忠臣、片山武、松川英俊、佐藤文玄、望月菊磨、河原美比古、池松一隆、内野博夫、松本俊夫、伊藤高志、森下明彦、伊奈新祐、フィルム・メーカーズ・フィールド。福岡市美術館；安齊重男、川俣正、阿部守、戸谷成雄、北山善夫、スクランブル・プラン記録集(江上計太、林浩、板山信一、キンタロ、木塚忠広、宮本初音、和田千秋、渡辺宏、山野真悟)、岡部昌生、大浦こころ、山野真悟、柳幸典、殿敷侃、今泉憲治、桑野進、土田恵子、宮川敬一、武田総章、石川幸二、新庄良博、金ヶ江和隆、石井香久子、ハミッシュ・フルトン、鈴木淳、耘野康臣、森秀信、岡本光博、広橋勲、末藤夕香、草野貴世、坂崎隆一、山出淳也、森村泰昌、母里聖徳、江上計太、草間彌生、小沢剛、牛嶋均、ナウィン・ラワンチャイクン、蔡國強、ナム＝ジュン・パイク、タン・ダウ、藤浩志、ニロファール・アクムット、ツェレンナドミディン・ツェグミド、村上勝、小川幸一、元村正信、和田千秋、江上計太、世良京子、角孝政、八尋晋、坂井存、後藤章子、成田鐘哲〔出品作品リスト順〕

DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●
文化庁　2013 年 1 月 12 日　英文併載　第 15 回展
ごあいさつ（主催者） p.2
芸術家在外研修(新進芸術家海外研修)制度について p.3
1967 年度から 2012 年度までの 45 年間に在外研修した芸術家たちの派遣先国別人数 pp.4-5
作家インタビュー（曽根裕、米正万也、塩田千春、神彌佐子、橋爪彩、行武治美、澤田知子、糸井潤、平野薫、青野千穂、池田学、小尾修、聞き手・真住貴子） pp.8-16, 17-23
Catalogue〔作家のコメント、作家解説、作家略歴、作品解説、図版〕 pp.25-131, 138-143
作家のコメント、作品解説（曽根裕、米正万也、塩田千春、神彌佐子、橋爪彩、行武治美、

澤田知子、糸井潤、平野薫、青野千穂、池田学、小尾修）
作家解説（真住貴子）
List of Works　pp.132-137
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「“DOMANI：The Art of Tomorrow 2013” Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs」
会期：2013 年 1 月 12 日－2 月 3 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ
出品：曽根裕、米正万也、塩田千春、神彌佐子、橋爪彩、行武治美、澤田知子、糸井潤、平野薫、青野千穂、池田学、小尾修〔リスト順〕

実験工房展〈戦後芸術を切り拓く〉　神奈川県立近代美術館・いわき市立美術館・富山県立近代美術館・北九州市立美術館・世田谷美術館編 ●
読売新聞社・美術連絡協議会　2013 年 1 月
ごあいさつ（主催者）　p.21　英文併載
実験工房――芽生えと兆し（水沢勉）　pp.24-27, 312-315　英文併載
再録 実験の精神について（瀧口修造）　p.2
実験工房と 1950 年代（ヤシャ・ライハート）　pp.28-29, 316-317　和文・英文
実験工房の音楽活動（石田一志）　pp.31-34, 318-321　英文併載
実験工房――世界の舞台へ（手塚美和子）　pp.35-37, 322-323　英文併載
影像から／影像へ――初期実験工房の探究（大日方欣一）　pp.40-43, 324-327　英文併載
実験工房――舞台とパフォーマンス（西澤晴美）　pp.44-47, 328-331　英文併載
図版　pp.49-223
章解説・解説（杉野秀樹、矢野進、朝木由香、西澤晴美、鈴木治行、石井幸彦、川崎弘二、有馬純寿、大日方欣一、那須孝幸、平野明彦、麻生恵子）
激動の中の美術雑誌、そしてバレエ『生きる悦び』への助走（杉野秀樹）　pp.226-229
実験工房前夜――日米通信社時代の瀧口修造（朝木由香）　pp.230-233
実験工房時代の駒井哲郎（石井幸彦）　pp.234-237
「実験工房」のかたち――北代省三を中心として（佐藤玲子）　pp.238-241
「実験工房」誕生の背景としての世田谷――新作曲派協会からの展開（矢野進）　pp.242-245
実験工房の電子音楽（川崎弘二）　pp.246-248
インターメディアとしての運動体――1960 年代における実験工房について（平野明彦）　pp.249-252
実験の精神が語るもの――実験工房、その後を個々の活動から探る（麻生恵子）　pp.253-255
実験工房メンバーによる座談会（今井直次・福島和夫・山口勝弘・湯浅譲二、聞き手・那須孝幸）　pp.256-276

座談会を終えて（那須孝幸） p.277
用語解説（松原知子）pp.256-276
実験工房略年譜 pp.279-283
実験工房メンバー略歴 pp.284-288
実験工房時代の人物関係図 p.289
プログラム掲載文一覧 p.290
主要文献リスト（藤代知子・西澤晴美編） pp.291-297
出品リスト pp.298-310
List of Exhibits（杉野秀樹、石井幸彦、平野明彦） pp.332-351 英文
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「JIKKEN KŌBŌ：Experimental Workshop」
会期：2013 年 1 月 12 日－3 月 24 日 鎌倉・神奈川県立近代美術館 主催：神奈川県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／4 月 20 日－6 月 2 日 いわき市立美術館 主催：いわき市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・福島民友新聞社・福島中央テレビ／7 月 13 日－9 月 8 日 富山県立近代美術館 主催：富山県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・北日本放送／10 月 5 日－11 月 10 日 北九州市立美術館分館 主催：北九州市立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・TVQ 九州放送／11 月 23 日－2014 年 1 月 26 日 世田谷美術館 主催：世田谷美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会
出品：大辻清司、北代省三、岡本太郎、山口勝弘、福島秀子、瀧口修造、武満徹、湯浅譲二、福島和夫、秋山邦晴、駒井哲郎、浜田浜雄、斎藤義重、石元泰博、辻彩子、佐藤慶次郎、山崎英夫、今井直次、鈴木博義、園田高弘〔出品リスト順〕

破壊された都市の肖像――ゲルニカ、ロッテルダム、東京… ●
群馬県立近代美術館 2013 年 1 月 19 日 平成 24 年度企画展示
ごあいさつ（館長中山博美） p.3
『破壊された都市の肖像』――本展の構成について（松下由里） pp.4-8
図版 pp.9-30
関連地図 p.31
作家略歴・作品解説（松下由里、田中龍也、佐藤聖子） pp.32-37
出品リスト pp.38-39
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2013 年 1 月 19 日－3 月 24 日 高崎・群馬県立近代美術館 主催：群馬県立近代美術館
出品：ケーテ・コルヴィッツ、パブロ・ピカソ、ジョアン・ミロ、ヘンリー・ムーア、ジャ

ン・フォートリエ、ヴォルス、福沢一郎、鶴岡政男、浜田知明、オシップ・ザッキン、ロベルト・マッタ、瀧口修造、井上有一、川俣正〔出品リスト順〕

註：日本作家はすべて戦後作品。

アーティスト・ファイル 2013――現代の作家たち 展覧会カタログ ●

国立新美術館　2013 年 1 月　主に英文併載　リーフレット＋作家ファイル 8 冊(ケース入)＋展覧会ドキュメント

□リーフレット(二ツ折両面刷)

ごあいさつ（国立新美術館）

〔ファイル一覧〕

□ファイル 033：ダレン・アーモンド

テキスト（西野華子）pp.2-4, 5-7

掲載図版　p.8

図版　pp.9-24

巻末資料〔略歴、主要文献〕（阿部真弓・作成）pp.25-31

出品作品　p.31

□ファイル 034：東亭順

テキスト（宮島綾子）pp.2-4, 5-7

掲載図版　p.8

図版　pp.9-24, 29

巻末資料（岩﨑美千子・作成）pp.25-28

出品作品　pp.30-31

□ファイル 035：ヂョン・ヨンドゥ

テキスト（西野華子）pp.2-4, 5-7

図版　pp.8-24

巻末資料（阿部真弓・作成）pp.25-31

出品作品　p.31

□ファイル 036：利部志穂

テキスト（南 雄介）pp.2-4, 5-7

掲載図版　p.8

図版　pp.9-24, 29, 31

巻末資料（岩﨑美千子・作成）pp.25-28

出品作品　p.30

□ファイル 037：國安孝昌

テキスト（福永 治）pp.2-4, 5-7

掲載図版　p.8

図版　pp.9-24

巻末資料（岩﨑美千子・作成）pp.25-31

出品作品　p.31

□ファイル 038：ナリニ・マラニ
テキスト（本橋弥生）pp.2-4, 5-7
掲載図版　p.8
図版　pp.9-24
巻末資料（岩﨑美千子・作成）pp.25-31
出品作品　p.31
□ファイル 039：中澤英明
テキスト（福永 治）pp.2-4, 5-7
掲載図版　p.8
図版　pp.9-24
巻末資料（阿部真弓・作成）pp.25-29
出品作品　pp.30-31
□ファイル 040：志賀理江子
テキスト（長屋光枝）pp.2-4, 5-7
図版　pp.9-24
巻末資料（阿部真弓・作成）pp.25-29
出品作品　pp.30-31
□展覧会ドキュメント
〔作家一覧〕 p.3
図版　pp.4-35
出品リスト　pp.36-41
展示プラン　p.42
関連事業　p.43
註：編集は福永治、西野華子、阿部真弓、岩﨑美千子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ARTIST FILE 2013：The NACT Annual Show of Contemporary Art」
会期：2013 年 1 月 23 日－4 月 1 日　国立新美術館　主催：国立新美術館
出品：ダレン・アーモンド、東亭順、ヂョン・ヨンドゥ、利部志穂、國安孝昌、ナリニ・マラニ、中澤英明、志賀理江子〔ファイル順〕

二年後。自然と芸術、そしてレクイエム 図録 ●
茨城県近代美術館　2013 年 2 月　付・別刷 2 枚
ごあいさつ（茨城県近代美術館） p.3
ひとつのメッセージ あるいは、震災後の「近さ」と隔たりについて（市川政憲） pp.7-12
子どもたちと、子どもと接する大人の方へ　pp.13-15
図版〔図版、作家コメント〕 pp.17-84
　コメント（河口龍夫、エミコ・サワラギ・ギルバート、井上直、野沢二郎、楢橋朝子、間

島秀徳、米田知子）
作家略歴　pp.87-90
出品目録　pp.91-94
□別刷 2 枚の内
中西夏之 図版、コメント、作品解説(市川政憲)
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2013 年 2 月 5 日－3 月 20 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館
出品：牧島如鳩、中西夏之、河口龍夫、エミコ・サワラギ・ギルバート、井上直、野沢二郎、楢橋朝子、間島秀徳、米田知子〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

都美セレクション 新鋭美術家 2013 ●
東京都美術館　2013 年 2 月
ごあいさつ（東京都美術館）p.3
「都美セレクション 新鋭美術家 2013」展に寄せて（真室佳武）　pp.5-6
図版　pp.7-32
美術公募団体の新鋭たち（武内厚子）　pp.35-37
出品作家略歴　pp.38-41
出品作品リスト　pp.42-43
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2013 年 2 月 19 日－3 月 7 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都歴史文化財団東京都美術館
出品：今林明子、岩崎純、岸野香、児島新太郎、嶋崎達哉、濱田富貴〔出品作品リスト順〕

ミニマル／ポストミニマル〈1970 年代以降の絵画と彫刻〉●
宇都宮美術館　2013 年 2 月
ごあいさつ（宇都宮美術館）　p.5
1970 年代と〈その後〉……ふつうにしてラディカル 地に足をつけた作家たちの「本質」への下降（谷新）　pp.8-47, 198-208　英文併載
カタログ〔図版〕　pp.49-131
章解説（谷新）
作家・作品解説（田澤梓、小堀修司、石川賢、谷新、福島文靖）　pp.134---165
作家別出品作品リスト　pp.136---167
作家略歴　pp.169-180

1970 年代主要展覧会リスト（谷新編、田澤梓協力） pp.181-197
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MINIMAL / POST MINIMAL－The Contemporary Japanese Art from 1970s」
会期：2013 年 2 月 24 日－4 月 7 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館
出品：荒井経、石川順惠、薄久保香、遠藤利克、川島清、辰野登恵子、戸谷成雄、中村一美、袴田京太朗、堀浩哉〔作家略歴順〕

VOCA 展 2013「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2013 年 3 月　英文併載
「VOCA 展 2013」開催にあたって（主催者） p.3
「VOCA 展 2013」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.5
〔授賞者、選考委員〕 p.7
〔選考評〕（高階秀爾、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫、神谷幸江、光田由里） pp.8-19
〔出品作家、推薦委員〕 pp.22-23
図版〔図版、作家解説〕 pp.24-95
〔作家解説〕（佐藤敬爾、飯田高誉、高嶋雄一郎、大島賛都、尾﨑信一郎、藪前知子、土屋誠一、山脇一夫、福住廉、田中龍也、森山貴之、柳原正樹、松井みどり、高橋瑞木、中田耕市、大谷省吾、和田浩一、宝玉正彦、岡里崇、出原均、藤川哲、平野到、五十嵐卓、太田垣實、鷲田めるろ、名古屋覚、木村絵理子、飯田志保子、以倉新、那須孝幸、李美那、山下裕二、川浪千鶴、荒木夏実、谷新、中井康之） 英文 pp.97-108
Biography　pp.109-127
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「VOCA 2013　The Vision of Contemporary Art」
会期：2013 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：蒼野甘夏、石井七歩、出月秀明、伊藤遠平、瓜生祐子、江川純太、王子直紀、大﨑のぶゆき、太田祐司、大矢加奈子、岡田真希人、尾﨑嶺、鹿野震一郎、加茂昂、菊地敦己、小谷野夏木、近藤亜樹、笹井青依、佐藤翠、柴田麻衣、末永史尚、鈴木敦子、鈴木紗也香、唐仁原希、友政麻理子、中村友紀、平子雄一、文谷有佳里、北城貴子、松本恭吾、村山悟郎、山口英紀、横田章、吉田夏奈、吉田晋之介、和田真由子〔図版収載順〕
授賞者：VOCA 賞・鈴木紗也香、VOCA 奨励賞・柴田麻衣、平子雄一、佳作賞・大﨑のぶゆき、吉田晋之介、大原美術館賞・佐藤翠

ワンダフル・マイ・アート〈高橋コレクションの作家たち〉●
サンエムカラー　2013 年 4 月
ごあいさつ（高橋龍太郎） p.4

高橋コレクションについて　p.5
図版　pp.7-49
My Art――高橋コレクションを語る（高橋龍太郎×三潴末雄）　pp.51-56
三潴末雄〔略歴〕　p.56
出品作家プロフィール　pp.57-61
高橋龍太郎〔略歴〕　p.63
所蔵：□、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Wonderful My Art　Selected artists from TAKAHASHI COLLECTION」
会期：2013 年 4 月 14 日－9 月 16 日　河口湖美術館　主催：河口湖美術館・山梨日日新聞・山梨放送、共同企画：本庄俊男(彩鳳堂画廊)・ミヅマアートギャラリー
出品：安藤正子、池田光弘、大畑伸太郎、加藤泉、加藤美佳、草間彌生、桑久保徹、鴻池朋子、五木田智央、近藤亜樹、千葉正也、天明屋尚、戸田沙也加、名知聡子、奈良美智、西尾康之、濱田樹里、町田久美、山口晃〔図版収載順〕

LOVE 展：アートにみる愛のかたち〈シャガールから草間彌生、初音ミクまで〉　森美術館編

●

平凡社　2013 年 4 月 24 日　英文併載　六本木ヒルズ・森美術館 10 周年記念展
ごあいさつ（館長南條史生）　p.1
愛と革命：共生の美学（南條史生）　pp.4-7, 8-11
愛という言葉の向こうにあるもの（角田光代）　pp.12-13, 14-15
図版〔章解説、図版〕　pp.19-144
江戸時代における愛と恋（田中優子）　pp.146-148, 149-152
愛のチューニング（岡田温司）　pp.153-155, 156-158
Love & Reality（藤井直敬）　pp.159-163, 164-168
作家・作品解説（荒木夏実、広瀬麻美、片岡真実、河上直衣、近藤健一、熊倉晴子、西牧佐知子、大下裕二、酒井敦子、田篭美保、鷹箸絵麻、椿玲子、吉田彩子）　pp.170-198
作品リスト　pp.199-207
註：編集は佐々木瞳、荒木夏実、広瀬麻美(美術館)。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「All You Need Is LOVE From Chagall to Kusama and Hatsune Miku」
会期：2013 年 4 月 26 日－9 月 1 日　六本木・森美術館　主催：森美術館
出品：荒木経惟、浅田政志、Chim↑Pom、初音ミク、出光真子、石川真生、近藤智美、草間彌生、森淳一、村山留里子、西山美なコ、岡本太郎、オノ・ヨーコ&ジョン・レノン、折元立身、澤柳英行、杉本博司、TANY、寺岡政美、津村耕佑、梅沢和木、やくしまるえつこ＋真鍋大度＋石橋素＋菅野薫、吉永マサユキ〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

街の記憶〈写真と現代美術でたどるヨコスカ〉●

横須賀美術館　2013 年 4 月

ごあいさつ（横須賀美術館）　pp.2, 3　英文併載

展覧会ノート――街の記憶（工藤香澄）　pp.6-11, 194-197　英文併載

図版〔作家解説、作家略歴、参考文献、図版、作家のことば〕　pp.13-179

作品解説（工藤香澄、新井陽子）

〔作家のことば〕（鈴木昭男）

拡大し、積み重なる術――横須賀の記憶（沓沢耕介）　pp.180-181

ただよう横須賀〈鈴木昭男の場合〉（新井陽子）　pp.182-183

すける横須賀〈秋山さやかの場合〉（新井陽子）　pp.184-185

横須賀中心市街地年表（沓沢耕介編）　pp.186-193

出品リスト　pp.198-207

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Memories of a City：Yokosuka in Photographs and Contemporary Art」

会期：2013 年 4 月 27 日－6 月 30 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

出品：薗部澄、東松照明、北井一夫、森山大道、浜口タカシ、田村彰英、石内都、高橋亜彌子、若江漢字、藤田修、市川美幸、ホンマタカシ、高橋和海、秋山さやか、鈴木昭男〔出品リスト順〕

内臓感覚－遠クテ近イ生ノ声 ●

赤々舎　2013 年 4 月 27 日　英文併載

〔ことば〕（三木成夫）　pp.8, 9　再録

作品〔図版〕　pp.11-75

内臓というこだまに呼ばれて（今福龍太）　pp.76-79

響け、内なる声よ 聴け、「遠くて近い声」を（吉岡恵美子）　pp.80-87

作家解説・出品作品リスト・略歴　pp.89-115

作家解説（吉岡恵美子）

略歴（吉岡恵美子、加世多美怜、齋藤雅宏編）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Visceral Sensation－Voices So Far, So Near」

会期：2013 年 4 月 27 日－9 月 1 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：ルイーズ・ブルジョワ、長新太、ナタリー・ユールベリ&ハンス・ベリ、加藤泉、草間彌生、アナ・メンディエータ、中川幸夫、サスキア・オルドウォーバース、オル太、ピピロッティ・リスト、志賀理江子、ビル・ヴィオラ、渡辺菊眞〔出品作品リスト順〕

横浜 wo 発掘 suru vol.4 アニメーションのつくり手たち〈山村浩二がえらぶ新世代〉●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2013 年 6 月　第 4 回

ごあいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野）

若きインディーズの潮流（山村浩二）

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕 12p.

〔作家のことば〕（池亜佐美、ONIONSKIN、川口恵里、キム・ハケン、胡ゆぇんゆぇん、告畑綾、中田彩郁、水尻自子、村本咲、吉田まほ、和田淳、山村浩二）

横浜市所蔵カメラ・写真コレクション

イベント情報

所蔵：□、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 6 月 14 日－30 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野、協力：東京芸術大学大学院映像研究科

出品：池亜佐美、ONIONSKIN(田村聡和＋菅谷愛)、川口恵里、キム・ハケン、胡ゆぇんゆぇん、告畑綾、中田彩郁、水尻自子、村本咲、吉田まほ、和田淳、山村浩二〔図版収載順〕

女性アーティスト展 私たちは越えていく ●

高岡市美術館　2013 年 6 月 13 日

ごあいさつ（館長村上隆） p.3

日本の美術館における女性アーティスト展開催の経緯と未来への可能性（小勝禮子） pp.6-10

私たちは越えていく－7 人のアーティストたち（宝田陽子） pp.11-16

図版　pp.17-53

作家略歴　pp.54-65

出品リスト　pp.66-67

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 6 月 15 日－7 月 15 日　高岡市美術館　主催：高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館、北日本新聞社

出品：嶋田しづ、多田美波、宮脇愛子、草間彌生、久保田成子、出光真子、石内都〔出品リスト順〕

「魔法の美術館 みんなで楽しむ光のアート」展 ●

熊本市現代美術館　2013 年 7 月 6 日

〔あいさつ〕（熊本市現代美術館） p.2　英文併載

魔法の美術館 みんなで楽しむ光のアート（館長桜井武） pp.4, 5　英文併載

図版〔図版、作家解説、作品解説〕 pp.6-31

註：編集は坂本顕子。
所蔵：□、国新美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「Magic Art Museum：Light Art Is Fun for Everyone」
会期：2013 年 7 月 6 日－9 月 8 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社・テレビ熊本
出品：アトリエオモヤ、緒方壽人、児玉幸子、松村誠一郎、的場やすし／徳井太郎、森脇裕之、プラプラックス(近森基／久納鏡子／筧康明／小原藍)、鈴木太朗、宮本和奈、真鍋大度／比嘉了、小松宏誠、クワクボリョウタ、赤川智洋〔図版収載順〕

高橋コレクション――マインドフルネス! ●
美術出版社　2013 年 7 月 12 日
ごあいさつ（「高橋コレクション――マインドフルネス!」主催者）　p.5
「高橋コレクション展 マインドフルネス!」に寄せて（高橋龍太郎）　pp.6-7
高橋コレクションの軌跡――「ネオテニー・ジャパン」から「マインドフルネス!」へ（内田真由美）　pp.8-13
展覧会出品作品＋作家解説〔図版、作家解説〕　pp.15-129
作家解説（内田真由美、児島やよい、岩﨑直人、上木原堅一、植松篤）
対談 会田誠×高橋龍太郎　pp.131-137
マインドフルネス!な作家たち――今、ひらかれた展覧会のために（児島やよい）　pp.138-141
情熱を共有する（エレーヌ・ケルマシュター）　pp.142-145
出品作家略歴　pp.146-155
出品作品リスト　pp.156-160
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION　Mindfulness!」
会期：2013 年 7 月 12 日－9 月 1 日　鹿児島県霧島アートの森　主催：鹿児島県・鹿児島県文化振興財団霧島アートの森・南日本新聞社・KTS 鹿児島テレビ／9 月 14 日－11 月 24 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・北海道新聞社
出品：会田誠、荒木経惟、安藤正子、大岩オスカール、大野智史、落合多武、ob、樫木知子、川島秀明、草間彌生、熊澤未来子、小出ナオキ、鴻池朋子、小西紀行、小林正人、近藤亜樹、坂本夏子、佐藤允、塩田千春、塩保朋子、菅木志雄、鈴木ヒラク、辰野登恵子、Chim↑Pom、名知聡子、奈良美智、橋爪彩、畠山直哉、平野薫、福井篤、藤田桃子、舟越桂、松井えり菜、宮島達男、村上隆、森村泰昌、森山大道、ヤノベケンジ、横尾忠則、李禹煥〔出品作品リスト順〕

アート・アーチ・ひろしま 2013 サイト〈場所の記憶、場所の力〉●
広島市現代美術館　2013 年 7 月
ごあいさつ（広島県美術館活性化対策事業実行委員会）　pp.4, 5　英文併載

ごあいさつ（広島市現代美術館） pp.6, 7 英文併載
場(＝サイト)とむきあう、アンモニュメンタルな試み（神谷幸江） pp.10-15
図版、作家・作品解説 pp.17-60
作家・作品解説（神谷幸江、齋藤武郎、角奈緒子） 英文併載
資料
作家略歴（是恒さくら編） pp.62-72 和文併載はなし
「サイト〈場所の記憶、場所の力〉」出品作品リスト pp.73-75 英文併載
サイト＝ヒロシマ
「サイト＝ヒロシマ」を駆動させるもの（松岡剛） pp.78-79, 80-82 英文併載
会場風景〔図版〕 pp.83-87
「サイト＝ヒロシマ」出品作品リスト pp.88-90 英文併載
註：「サイト＝ヒロシマ」は、サイト〈場所の記憶、場所の力〉展に関連して開催された。なお、広島県美術館活性化対策事業実行委員会は広島市現代美術館、公益財団法人ヒロシマ美術館、広島県立美術館、社団法人広島県観光連盟、ひろしま文化振興財団、NPO 法人セトラひろしまが参加したもの。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図
○展覧会事項：サイト〈場所の記憶、場所の力〉
欧文タイトル：「ART ARCH HIROSHIMA 2013 Site：Places of Memories, Spaces with Potential」
会期：2013 年 7 月 20 日－10 月 14 日 広島市現代美術館 主催：広島県美術館活性化対策事業実行委員会・中国新聞社
出品：フランシス・アリス、川俣正、木村友紀、桑久保徹、トニコ・レモス・アウアド、ゴードン・マッタ＝クラーク、イサム・ノグチ、マイケル・ラコウィッツ、田口行弘、照屋勇賢、西京人(チャン・シャオション＋ギムホンソック＋小沢剛)
○展覧会事項〔広島市現代美術館コレクションによる「サイト・ヒロシマ」展〕
欧文タイトル：Site＝Hiroshima
会期：2013 年 7 月 6 日－11 月 4 日 広島市現代美術館 主催：広島市現代美術館
出品：荒木経惟、芥川永、船田玉樹、アンソニー・グリーン、灰谷正夫、北辻良央、北山善夫、工藤哲巳、草間彌生、松本英一郎、丸木位里・俊、宮崎進、村上善男、奈良美智、西雅秋、野見山暁治、大岩オスカール、小沢剛、佐野ぬい、鴫剛、利根山光人、土田ヒロミ〔出品作品リスト順〕

静かな詩情 銅版画の色と光 ●
町田市立国際版画美術館 2013 年 8 月 10 日 付・ハガキ 8 葉
図版〔作家解説、図版〕 10p.
作家解説（和南城愛理）
出品リスト
所蔵：□、国新美、東文研、国会図、都中図
○展覧会事項

欧文タイトル：「Calm Poems of Intaglio Color Painting」
会期：2013 年 8 月 10 日－9 月 23 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
出品：浜口陽三、南桂子、駒井哲郎、玉上恒夫、深沢幸雄、大内マコト、斎藤寿一、二見彰一、池田満寿夫、堀井英男、白井昭子、荒木哲夫、長岡国人、ヨルク・シュマイサー、鈴木信吾、門坂流、馬場章、集治千晶〔出品リスト順〕

映画をめぐる美術――マルセル・ブロータースから始める ●
京都国立近代美術館　2013 年 9 月 7 日
あいさつ（主催者）　pp.16, 17　英文併載
映画を読む、言葉を探す――マルセル・ブロータースから始めてみる（牧口千夏）　pp.20-23, 巻末　英文併載
無メディウム――映像アート（リピット水田堯）　pp.24-27, 28-30　英文併載
マルセル・ブロータース：シネマ・モデル（エリック・デ・ブロイン）　pp.32-39, 169-173　英文併載　再録
カタログ〔図版、文章・インタビュー等再録、参考図版〕　pp.2-14, 41-167, 197-205
主要展覧会歴（小林朋世、池澤茉莉編）　pp.174-182　主に欧文併載
主要参考文献（良知暁編）　pp.183-189　主に欧文併載
註：東京国立近代美術館所蔵の本カタログには 5 点の小冊子・リーフレットが付いている。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Reading Cinema, Finding Words：Art after Marcel Broodthaers」
会期：2013 年 9 月 7 日－10 月 27 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館・京都新聞社／2014 年 4 月 22 日－6 月 1 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館
出品：田中功起、やなぎみわ
註：出品欄は日本作家を収載。

森秀貴・京子コレクションによる現代版画展 図録 ●
三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー　2013 年 9 月 13 日
ごあいさつ（主催者）　p.5
コレクション事始め（森秀貴）　pp.8-12
図版〔作家解説、図版、作品データ〕　pp.13-111
出品リスト　pp.113-123
註：編集は浅倉祐一朗、大竹ゆき。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Contemporary Prints from the Kyoko and Hideki Mori Collection」

会期：2013 年 9 月 14 日－10 月 14 日　三鷹市美術ギャラリー　主催：三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー

出品：瑛九、ジョン・ケージ、元永定正、前田常作、池田龍雄、草間彌生、靉嘔、ナム・ジュン・パイク、横尾忠則、谷川晃一、坂口登、彦坂尚嘉、堀浩哉、大浦信行、藤江民〔出品リスト順〕

反重力〈浮遊｜時空旅行｜パラレル・ワールド〉●

青幻舎　2013 年 12 月 1 日　英文併載

〔ことば〕 p.3

図版〔作家のことば、作家・作品解説、図版〕 pp.6-215

〔作家のことば〕（ジルヴィナス・ケンピナス、中原浩大＋井上明彦、カーステン・ヘラー〔2 行〕、やくしまるえつこ、レアンドロ・エルリッヒ、中村竜治、奥村雄樹、佐藤克久、中谷芙二子、内藤礼、エルネスト・ネト、平川紀道〔2 行〕、松澤宥〔1 行〕）

作家・作品解説（能勢陽子）

飛行、浮遊、そして反重力へ（吉岡洋） pp.216-220, 229-234

反重力－重さからの離陸のゆくえ（能勢陽子） pp.221-228, 235-245

出品作品リスト　pp.246-247, 248-249

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Antigravity」

会期：2013 年 9 月 14 日－12 月 24 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・テレビ朝日・メ～テレ、共催：朝日新聞社

出品：ジルヴィナス・ケンピナス、中原浩大＋井上明彦、カーステン・ヘラー、やくしまるえつこ、レアンドロ・エルリッヒ、中村竜治、奥村雄樹、佐藤克久、中谷芙二子、内藤礼、クワクボリョウタ、エルネスト・ネト、平川紀道、河原温、松澤宥、毛利武士郎〔出品作品リスト順〕

六本木クロッシング 2013 アウト・オブ・ダウト――来たるべき風景のために ●

森美術館　2013 年 10 月 15 日　英文併載　森美術館開館 10 周年記念展

ごあいさつ（館長南條史生） p.5

展示風景　pp.9-24

Artists and Works〔図版、作家・作品解説、作家インタビュー、作家のことば〕 pp.25-199

作家・作品解説（片岡真実、ルーベン・キーハン、ガブリエル・リッター）

作家インタビュー（サイモン・フジワラ、中村宏、風間サチコ、新井卓、小泉明郎、柳幸典、下道基行、丹羽良徳、遠藤一郎、千葉正也、流井幸治、荒川医&南川史門、森千裕、泉太郎、金氏徹平、奥村雄樹、田島美加、高坂正人、笹本晃、小林史子、アキラ・アキラ、満田晴穂、中村裕太、菅木志雄、朝海陽子、岩田草平×プロマイノリティ、プロジェクト FUKUSHIMA!）

〔作家のことば〕（赤瀬川原平〔再録〕、中平卓馬〔再録〕）

Essays

根源的な何かを求めて――複雑さ、矛盾、両義性の先に（片岡真実） pp.202-211, 230-241

喪失の構造、解放の構造（ルーベン・キーハン） pp.212-215, 242-245

ナンセンスの系譜（ガブリエル・リッター） pp.216-223, 246-253

「現代」から「コンテンポラリー」へ（ミリアム・サス） pp.224-228, 254-258

ディスカーシブ・プラットフォーム（白木栄世、水田紗弥子、堀内奈穂子、小林晴夫、井上文雄） pp.260-262

全国の「ディスカーシブ・プラットフォーム」 pp.263-268

付録

作家略歴・主な参考文献 pp.270-293 主な参考文献は英文併載無

作品リスト pp.294-308

註：編集は片岡真実、佐々木瞳。なお、内容は同じだが奥付が平凡社発行のカタログがあり。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Roppongi Crossing 2013：OUT OF DOUBT」

会期：2013 年 9 月 21 日－2014 年 1 月 13 日 六本木・森美術館 主催：森美術館

出品：赤瀬川原平、アキラ・アキラ、荒川医&南川史門、朝海陽子、千葉正也、遠藤一郎、サイモン・フジワラ、岩田草平×プロマイノリティ、泉太郎、金氏徹平、風間サチコ、小林史子、小泉明郎、満田晴穂、森千裕、中平卓馬、中村宏、中村裕太、丹羽良徳、奥村雄樹、プロジェクト FUKUSHIMA!、流井幸治、笹本晃、下道基行、菅木志雄、田島美加、高坂正人、柳幸典〔作品リスト順〕

六本木クロッシング 2013 アウト・オブ・ダウト――来たるべき風景のために 森美術館編

平凡社 2013 年 10 月 英文併載 開館 10 周年記念展

註：内容は上記の森美術館発行のカタログと同じ

所蔵：□、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項〔上記森美術館発行のカタログと同じ〕

うさぎスマッシュ――世界に触れるアートとデザイン ●

フィルムアート社 2013 年 11 月 1 日 英文併載 東京アートミーティング第 4 回

クリティカル・デザイン FAQ（アンソニー・ダン&フィオナ・レイビー） pp.10-15, 16-19

関係の中で体感するデザイン（佐藤卓） pp.20-27, 28-32

図版〔質問、作家の回答、図版、作家解説〕 pp.33-136

〔作家の回答〕（レアンドロ・エルリッヒ、OMA*AMO、アトリエ・ワン＋東京工芸大学塚本研究室＋筑波大学貝島研究室、マイケル・リー、リヴィタル・コーエン&テューア・ヴァン・バーレン、マーニー・ウェーバー、フェルナンド・サンチェス・カスティーリョ、ブラク・アリカン、ビュロ・デテュード、リチャード・ウィルソン、石井裕＋タンジブル・メディア・グループ／MIT メディア・ラボ、竹村真一＋Earth Literacy Program、キャンプ、ジュディ・ウェルゼイン、シセル・トラース、ライゾマティクス、アレキサンドラ・デイジー・ギンズバーグ&サシャ・ポーフレップ、牛込陽介、ミカエル・マッセイ、スプ

ツニ子!、木村恒久〔再録〕）
うさぎスマッシュ――世界に触れる方法（長谷川祐子） pp.138-148, 149-157
《触れる地球》――世界の境界で（リピット水田堯） pp.158-165, 166-171
微細な微候から世界に触れるということについて（柏木博） pp.172-182, 183-191
作品リスト pp.193-200
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「BUNNY SMASH design to touch the world」
会期：2013 年 10 月 3 日－2014 年 1 月 19 日 東京都現代美術館 主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社、東京芸術大学
出品：アトリエ・ワン＋東京工芸大学塚本研究室＋筑波大学貝島研究室、石井裕＋タンジブル・メディア・グループ／MIT メディア・ラボ、竹村真一＋Earth Literacy Program、牛込陽介、スプツニ子!、木村恒久〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本関係者を収載した。

アーツ前橋 カゼイロノハナ 風色の本〈カゼイロノハナ 未来への対話〉●
美術出版社 2013 年 10 月 25 日 アーツ前橋開館記念展 2 分冊の 1
ご挨拶（主催者）p.2
図版〔コラム、作家解説・作品解説、図版〕 pp.5-131
コラム、作家解説・作品解説（住友文彦、辻瑞生、吉田成志、今井朋）
COLUMN
群馬の前衛（吉田成志） pp.34-35
日常生活のなかで美術文化を育んだ「生活造形実験室」（辻瑞生） pp.44-45
地域主義を掲げる芸術グループ「場所・群馬」（今井朋） p.60
前橋と世界の芸術をつなぐ場「コンセプトスペース」（住友文彦） p.61
新しい共有の仕組みを提案「未来の芽 里親プロジェクト」（今井朋） p.76
出品作品リスト pp.132-137
風色の芸術（住友文彦）pp.138-143, 150 抄訳併載
美術の街 前橋（染谷滋）pp.144-149, 151 抄訳併載
INTERVIEW(抜粋版) 有村真鐵／加藤アキラ pp.152-157, 158-167
前橋美術文化年表（制作・前橋文化年表作成プロジェクト） pp.169-213
前橋美術文化年表について（編集責任者・染谷滋）
地域アートプロジェクト pp.214-215

アーツ前橋 カゼイロノハナ 空色の本〈アーツ前橋、はじまる〉
美術出版社 2013 年 10 月 25 日 アーツ前橋開館記念展 2 分冊の 2
開館記念展「カゼイロノハナ 未来への対話」について（住友文彦）
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2013 年 10 月 26 日－2014 年 1 月 26 日　アーツ前橋　主催：アーツ前橋

出品：三輪途道、南城一夫、清水刀根、茂木紘一、福田貂太郎、高橋常雄、須藤和之、ましもゆき、牛嶋直子、山口薫、横堀角次郎、木暮伸也、小野田賢三、反町博彦、田中青坪、中村節也、砂盃富男、塩原友子、金子英彦、加藤アキラ、林哲也、前島美江、谷新一郎、富田文隆、黒田六造、小見辰男、司修、近藤嘉男、福沢一郎、有村真鐵、照屋勇賢、ペ・ヨンファン、村田峰紀、佐藤正幸、萩原恭次郎、池田政治、横堀艸風、白川昌生、小泉明郎、金井訓志、八木隆行〔出品作品リスト順〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.03 DAYDREAMS／夢のゆくえ ●

高松市美術館　2013 年 10 月

図版　pp.3-53

開催にあたって（牧野裕二）　pp.54-55

作家略歴　pp.56-59

出品リスト　pp.60-63

所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.03　DAYDREAMS」

会期：2013 年 10 月 26 日－12 月 1 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

出品：スプツニ子!、高木正勝、高松明日香、トーチカ、依田洋一朗〔出品リスト順〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.03 DAYDREAMS／夢のゆくえ インスタレーションビュー

高松市美術館　2013 年

図版〔展示風景〕　見返し-p.19

〔作家解説〕（牧野裕二、毛利義嗣）　pp.20-23

夢をイマージュを、つくる農夫の収穫祭（木ノ下智恵子）　pp.24-25

茂木健一郎スペシャルトークより　p.25

〔作家のことば〕（スプツニ子!〔談〕、高松明日香、トーチカ、依田洋一朗、高木正勝）　pp.26-29

所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

〇展覧会事項〔本体に同じ〕

現代のプロダクトデザイン－Made in Japan を生む ●

東京国立近代美術館　2013 年 11 月 1 日　英文併載

ごあいさつ（館長加茂川幸夫）　p.3

Made in Japan を生む：現代日本のプロダクトデザインの力（諸山正則）　pp.5-8, 9-11

図版〔作家略歴、図版〕　pp.12-51

出品目録　pp.52-55

註：編集は唐澤昌宏、諸山正則、内藤裕子。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「PRODUCT DESIGN TODAY：Creating “Made in Japan”」

会期：2013 年 11 月 1 日－2014 年 1 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：大治将典、小泉誠、城谷耕生、須藤玲子、センヌキデザインプロジェクト(大治将典、小野里奈、増田尚紀、山崎宏、山田佳一朗、吉田守孝)〔出品目録順〕

「洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神」図録 ●

NHK プラネット東北　2013 年 11 月

あいさつ（主催者）　pp.4, 5　英文併載

洲之内徹と昭和（有川幾夫）　pp.8-18

作家としての洲之内徹――「棗の木の下」を中心に（佐伯一麦）　pp.20-23

図版〔章解説、図版、解説、資料〕　pp.25-192

〔章解説・解説〕（和田浩一、松沢寿重、鴫原悠、加野恵子、菅野仁美、小檜山祐幹、神内有理）

現代画廊の変容（大倉宏）　pp.194-198

時代の中の洲之内徹 気まぐれと狷介（和田浩一）　pp.199-203

「横雲橋の上の雲」と「坂の上の雲」とのあいだ（松沢寿重）　pp.204-209

無言の一年－洲之内徹の松山（神内有理）　pp.210-215

洲之内徹の松山時代(1946-52)－『愛媛新聞』を手がかりに（鴫原悠）　pp.216-220

資料

再録「樹氷(一幕二場)」（洲之内徹）　pp.222-229

洲之内徹年譜（後藤洋明編）　pp.230-239

現代画廊展覧会歴（後藤洋明編）　pp.241-243

洲之内徹著作文献目録（後藤洋明編）　pp.244-247

洲之内徹関連文献目録（菅野仁美編）　pp.248-251

現代画廊パンフレット執筆者目録（加野恵子編）　pp.252-255

「気まぐれ美術館」シリーズ掲載作家・作品目録（小檜山祐幹編）　pp.256-262

出品目録　pp.263-272

作家索引　p.273

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Sunouchi Toru and Gendai Gallery：The Eye and Spirit of the Showa Period」

会期：2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・NHK 仙台放送局・NHK プラネット東北・河北新報社／2014 年 1 月 25 日－3 月 16 日　松山・愛

媛県美術館(第 1 会場)・町立久万美術館(第 2 会場)　主催：「洲之内徹展」実行委員会(愛媛県・町立久万美術館・愛媛新聞社・テレビ愛媛)／4 月 12 日－6 月 8 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館・NHK 新潟放送局・NHK プロモーション

出品：靉光、朝井閑右衛門、フランコ・アセット、麻生三郎、カレン・アペル、伊丹万作、今西中通、上野山清貢、海老原喜之助、海老原友忠、岡鹿之助、岡本鉄四郎、小野幸吉、小野隆生、マドハット・カケイ、加藤太郎、喜多村知、木下晋、木村荘八、小泉清、古茂田公雄、古茂田守介、坂下広吉、佐藤清三郎、佐藤哲三、重松鶴之助、千家元麿、田中担三、田畑あきら子、鳥海青児、曹良奎、寺田政明、堂本尚郎、中村彝、野田英夫、長谷川利行、長谷川潾二郎、林倭衛、林武、原精一、藤牧義夫、前田寛治、ミリヤーナ・マオドュシュ、松田正平、松本竣介、峰村リツ子、みよし、三輪田俊助、村山槐多、森田英二、森堯茂、柳瀬正夢、吉岡憲、吉原治良、四方田草炎、萬鉄五郎〔作家索引順、戦前作家を含む〕

みる、ふれる、きくアート－感覚で楽しむ美術〈とちぎアート・ドキュメント〉●

栃木県立美術館　2013 年 11 月

〔出品作家〕　p.3

あいさつ（栃木県立美術館）　p.5

手で見ること、目で感じること、ひととひと・ひとともものをつなぐこと（島一嘉）　pp.6-11

図版〔図版、作家のことば〕　pp.12-69

〔作家のことば〕(吉本義人、手塚登久夫、古郷秀一、栃木美保、松島さくら子、丸山浩司、糸井潤、田中康予、丑久保健一〔再録〕、武藤玲子、日原公大、岩本拓郎、藤原彩人、妻木律子)

〔作家解説〕ひびのこづえ、ライブ・ボーン（〔島一嘉〕）

美術館・学校連携ワークショップの実施について（島一嘉）　pp.70-73

作家略歴　pp.74-77

出品リスト　pp.78-79

関連企画　p.80

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TOUCH IS LOVE」

会期：2013 年 11 月 2 日－12 月 23 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館

出品：吉本義人、手塚登久夫、古郷秀一、栃木美保、松島さくら子、丸山浩司、糸井潤、田中康予、丑久保健一、武藤玲子、日原公大、岩本拓郎、藤原彩人、妻木律子、ひびのこづえ〔出品リスト順〕

ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展 ●

「ハイレッド・センター」展実行委員会　2013 年 11 月

あいさつ（主催者）　p.3

ハイレッド・センター＝Hi-Red Center　p.4　再録

「ハイレッド・センター」と白紙還元（高松次郎）p.8　再録

東京ミキサー計画序章（赤瀬川原平） pp.9-10 再録
メモランダム（中西夏之） p.11 再録
時代の変温動物か!（和泉達） pp.12-15
直接行動とは何であったか。（刀根康尚） pp.16-17
反芸術の時代（小杉武久） pp.18-19
ハイレッド・センターと私の映画作り（飯村隆彦） pp.20-21
Hi-Red Center の思い出（久保田成子） pp.22-23
図版 pp.25-183
ハイレッド・センターの正体（山田諭） pp.186-192
ハイレッド・センターとオブジェ／場所／手続／写真そして穴（光田由里） pp.194-199
関係者略歴（山田諭編） pp.200-203
関連年表（光田由里編） pp.204-221
主要関連文献（椎名節編） pp.222-229
出品リスト pp.230-239
所蔵：□、東近美、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Hi-Red Center：The Documents of “Direct Action”」
会期：2013 年 11 月 9 日－12 月 23 日 名古屋市美術館 主催：名古屋市美術館・日本経済新聞社・テレビ愛知／2014 年 2 月 11 日－3 月 23 日 渋谷区立松濤美術館 主催：渋谷区立松濤美術館・日本経済新聞社
出品：高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之、和泉達、ナムジュン・パイク(白南準)、刀根康尚、村井督侍、沢渡朔、宮田国男、平田実、飯村隆彦、羽永光利、風倉匠〔出品リスト順〕

道東アートファイル 2013 in the LIGHT／in the SHADOW ●
北海道立帯広美術館 2014 年 1 月
〔あいさつ〕（北海道立帯広美術館）p.3
「ひかりのなか」と「かげのもと」（鎌田享）pp.4-6
フロアプラン、関連事業 p.7
図版〔作家のことば、作家略歴、作家解説、図版〕pp.8-35
〔作家のことば〕（山本雄基、細木るみ子、松本早苗、浅川茂、藤原千也、小笹純弥、戸張良彦）
〔作家解説〕（鎌田享、佐藤由美加、石尾乃里子）
出品リスト pp.36-38
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Art Works in Eastern Hokkaido 2013」
会期：2013 年 11 月 22 日－2014 年 2 月 2 日 北海道立帯広美術館 主催：北海道立帯広美術館
出品：山本雄基、細木るみ子、松本早苗、浅川茂、藤原千也、小笹純弥、戸張良彦〔出品リ

スト順〕

発信//板橋//2013 ギャップ・ダイナミクス ●

板橋区立美術館　2013 年 11 月 26 日　付・展示記録集

はじめに（板橋区立美術館）　p.3

新たな始まりのために（Studio mar＝丸山芳子・丸山常生）　pp.4-5

図版〔作家のことば、図版、作家略歴〕　pp.6-23

〔作家のことば〕（大矢りか、金沢寿美、任田進一、中津川浩章、丸山常生、丸山芳子）

註：編集は松岡希代子、佐藤さおり。

□展示記録集〔全 7 葉、両面刷〕

展示案内図

図版〔図版、本展出品作品〕　12p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」

会期：2013 年 11 月 26 日－2014 年 1 月 5 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：大矢りか、金沢寿美、任田進一、中津川浩章、丸山常生、丸山芳子〔図版収載順〕

「札幌美術展 アクア-ライン」図録　　札幌芸術の森美術館編 ●

札幌市芸術文化財団　2013 年 12 月

ごあいさつ（札幌芸術の森美術館・北海道新聞社）　p.3

Art along the shore〈水と美術の諸相〉（今村信隆）　pp.6-10

カタログ〔作家解説、図版〕　pp.11-101

作家解説（今村信隆、宮城加奈子、岩﨑直人）

出品作品リスト　pp.102-103

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Art along the shore」

会期：2013 年 11 月 30 日－2014 年 2 月 16 日　札幌芸術の森美術館　主催：札幌芸術の森美術館・北海道新聞社

出品：佐々木秀明、宮川美樹、国松希根太、山田良、中野北溟、端聡、前澤良彰、蒼野甘夏、山田恭代美、八木保次、露口啓二、前川アキ、徳丸晋、吉成翔子〔出品作品リスト順〕

16th DOMANI・明日展〈建築×アート「未来の家」に集まろう。〉 ●

文化庁　2013 年 12 月 14 日　英文併載

ごあいさつ（主催者）　p.2

芸術家在外研修(現・新進芸術家海外研修)制度について　p.3

1967 年度から 2013 年度までの 46 年間に在外研修した芸術家たちの派遣先国別人数　pp.4-5

作家インタビュー（榊原澄人、徳丸鏡子、川上りえ、吉本直子、大栗恵、大野由美子、小笠

原美環、土橋素子、聞き手・真住貴子） pp.8-16, 17-23
アーティスト〔作家のことば、作家略歴、作品解説、図版〕 pp.25-167
〔作家のことば、作品解説〕（アーティスト・榊原澄人、徳丸鏡子、川上りえ、吉本直子、大栗恵、大野由美子、小笠原美環、土橋素子）
出品リスト アーティスト pp.168-169
出品リスト 建築家 pp.170-171
所蔵：□、国新美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
展名：「16th 未来を担う美術家たち DOMANI・明日展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉 建築×アート」
欧文タイトル：「16th DOMANI The Art of Tomorrow Exhibition」
会期：2013 年 12 月 14 日－2014 年 1 月 26 日 国立新美術館 主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ
出品：アーティスト；榊原澄人、徳丸鏡子、川上りえ、吉本直子、大栗恵、大野由美子、小笠原美環、土橋素子〔出品リスト順〕
註：出品欄はアーティストを収載した。

2014（平成 26）年
想像しなおし ●
福岡市美術館 2014 年 2 月 10 日
世界を再想像する（テッサ・モーリス＝スズキ） pp.2-4, 5-7 再録
〔ことば〕（正路佐知子） p.8 英文併載
美術、世界を再想像するための（正路佐知子） pp.12-17, 18-23 英文併載
図版〔作家試論、作家略歴、図版〕 pp.24-168
作家試論（正路佐知子）
略歴（正路佐知子、山口洋三、吉田暁子、綿抜由季）
フロアプラン pp.169
作品リスト pp.170-173
関連プログラム p.174
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「IN SEARCH OF CRITICAL IMAGINATION」
会期：2014 年 1 月 5 日－2 月 23 日 福岡市美術館 主催：福岡市美術館・西日本新聞社・TVQ 九州放送
出品：大西康明、手塚愛子、川辺ナホ、狩野哲郎、山本高之、山内光枝〔作品リスト順〕
日常／オフレコ ●
神奈川県民ホール 2014 年 1 月 英文併載 DVD1 枚付 〔日常シリーズ第 3 弾〕

ごあいさつ（芸術総監督一柳慧） pp.4, 5
日常／オフレコ 世界の秘密(書きおろし小説)（岡田利規） pp.8-12, 122-126
日常／オフレコ「ある記録が隠された」という記録を隠すこと あるいはその記録は、記憶でもありうる（中野仁詞） pp.13-23, 127-137
図版〔図版、作家のことば〕 pp.25-120
〔作家のことば〕（青田真也、安藤由佳子、梶岡俊幸、佐藤雅晴、八木良太）
略歴／作品リスト pp.138-159
青田真也、安藤由佳子、梶岡俊幸、佐藤雅晴、八木良太
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Everyday Life／Off the Record」
会期：2014 年 1 月 11 日－30 日 横浜・KAAT 神奈川芸術劇場 主催：神奈川県民ホール
出品：青田真也、安藤由佳子、梶岡俊幸、佐藤雅晴、八木良太〔作品リスト順〕

Variations 絵画の多様性 ●
鳥取県立博物館 2014 年 1 月
ごあいさつ（館長山内有明） p.3
Variations 絵画の多様性（尾﨑信一郎） pp.6-9
カタログ〔作家のことば、作家解説、図版〕 pp.10-90
〔作家のことば〕（秦博志、安木洋平、山下律子、山田和之）
〔作家解説〕（尾﨑信一郎）
出品作品リスト／作家略歴 pp.91-95
註：編集は山本亮、尾﨑信一郎。
所蔵：□、国新美、東近美、神近美、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
会期：2014 年 1 月 11 日－2 月 14 日 鳥取県立博物館 主催：鳥取県立博物館
出品：秦博志、安木洋平、山下律子、山田和之〔図版収載順〕

写真の境界 ●
横浜市民ギャラリーあざみ野 2014 年 2 月 あざみ野 フォト・アニュアル
ごあいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野）
境界が写しだすイメージ（森未祈）
図版〔図版、インタビュー、作家略歴〕 12p.
インタビュー（多和田有希、春木麻衣子、吉田和生）
所蔵：□、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Boundaries of Photograph」
会期：2014 年 2 月 1 日－23 日 横浜市民ギャラリーあざみ野 主催：横浜市民ギャラリーあざみ野
出品：多和田有希、春木麻衣子、吉田和生〔図版収載順〕

グループ「幻触」と石子順造 1966-1971〈時代を先駆けた冒険者たちの記録〉●

静岡県立美術館　2014 年 2 月

ごあいさつ（静岡県立美術館）　pp.52-53

図版〔章解説、文献資料再録、図版〕　pp.57-397

「事物から存在へ」について（加治屋健司）

出品作品リスト　pp.399-408

註：編集は川谷承子。

所蔵：□、東近美、東文研、都現美、神近美、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Group “Genshoku” and Ishiko Junzo 1966-1971」

会期：2014 年 2 月 1 日－3 月 23 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：石子順造、鈴木慶則、伊藤隆史、前田守一、伊藤勉、小山田二郎、桂川寛、池田龍雄、河原温、中村宏、三木富雄、赤瀬川原平、井上洋介、谷川晃一、田名網敬一、横尾忠則、林静一、堀川紀夫、丹羽勝次、小沢克巳、中西夏之、高松次郎、荒川修作、小島信明、タイガー立石、飯田昭二、小池一誠、中森五三九、杉浦康平、関根伸夫、李禹煥、成田克彦、吉田克朗、鈴木健司、大辻清司、原榮三郎〔出品作品リスト順〕

グループ「幻触」と石子順造 1966-1971 別冊

静岡県立美術館　2014 年 3 月 31 日

Essays｜Documents

図版〔展示風景〕　pp.4-15

グループ「幻触」と石子順造（川谷承子）　pp.16-41

石子順造と「幻触」〈日本の現代美術に与えた影響〉（本阿弥清）　pp.42-63

匿名の肉体にさわるには――石子順造的世界の手引き（成相肇）　pp.64-71

石子順造の転回――近代芸術批判のアポリア（大岡淳）　pp.72-77

石子順造と視覚の制度（加治屋健司）　pp.78-86

Biography｜Chronology

作家略歴　pp.2-12

石子順造、グループ「白」、グループ「幻触」関連年表　pp.13-22

グループ「白」、グループ「幻触」、石子順造、主要参考文献　pp.23-25

所蔵：□、都現美、神近美

○展覧会事項〔本体に同じ〕

天心の思い描いたもの――ぼかしの彼方へ ●

茨城県近代美術館　2014 年 2 月　岡倉天心没後 100 年記念展

ごあいさつ（茨城県近代美術館）　p.3

展覧会によせて――「間」の人、岡倉天心と五浦（市川政憲）　pp.6-9

天心の思い描いたこと（井野功一）　pp.10-16

図版〔章解説、図版〕　pp.17-95

作家略歴　pp.98-101

主要作品解説　pp.102-107
岡倉天心観連略年譜　pp.108-109
出品リスト　pp.110-111
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2014 年 2 月 15 日－3 月 21 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県近代美術館・天心・波山記念事業実行委員会
出品：第 1 部。第 2 部；國司華子、園家誠二、井手康人、浅見貴子、荒井経、宮北千織、岩永てるみ、鈴木恵麻、川瀬伊人、濱田樹里、三瀬夏之介、神戸智行、高島圭史、大久保智睦、並木秀俊〔出品リスト順〕
註：第 1 部は横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山の 5 作家である。

MOT アニュアル 2014 フラグメントー未完のはじまり ●
東京都現代美術館　2014 年 2 月　英文併載
ごあいさつ（東京都現代美術館）　pp.4, 5
フラグメント――未完のはじまり（森千花）　pp.11-23, 137-147
図版〔作家のことば、図版、参考図版〕　pp.25-107, 148-151
〔作家のことば〕（髙田安規子・政子、宮永亮、青田真也、福田尚代、吉田夏奈、パラモデル）
出品リスト　pp.109-112
作家略歴（岡部理加編）　pp.113-136
参考文献（菊池夏乃子編）　pp.113-136　和文
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「MOT Annual 2014　FRAGMENTS－Incomplete Beginnings」
会期：2014 年 2 月 15 日－5 月 11 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館
出品：髙田安規子・政子、宮永亮、青田真也、福田尚代、吉田夏奈、パラモデル〔出品リスト順〕

ニイガタ・クリエーション〈美術館は生きている〉 ●
新潟市美術館　2014 年 3 月
ごあいさつ（新潟市美術館）　p.3
地域と創造。そして、「美術館は生きている」ということ。（塩田純一）　pp.4-7
図版〔作家のことば、図版〕　pp.9-57
〔作家のことば〕（丸山直文、阪田清子、冨井大裕、金森穣）
ニイガタ・クリエーションは可能か?（荒井直美）　pp.58-65

略歴　pp.66-75
出品リスト　pp.76-77
イベントノート　p.78
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Niigata Creations　Museum in Motion」
会期：2014 年 2 月 15 日－3 月 30 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館
出品：丸山直文、阪田清子、冨井大裕、Noism。参考；アルベルト・ジャコメッティ、メダルド・ロッソ、堀内正和〔出品リスト順〕

都美セレクション 新鋭美術家 2014 ●
東京都美術館　2014 年 2 月
ごあいさつ（東京都美術館）p.3
「都美セレクション 新鋭美術家 2014」展について（真室佳武）　pp.5-7
図版〔作家のことば、図版〕　pp.8-47
〔作家のことば〕（丸山強、吉田幸紘、原田圭、川島史也、本郷芳哉）
身近な世界へのまなざし――出品作品紹介（大橋菜都子）　pp.50-53
出品作家略歴　pp.54-57
作品リスト　pp.58-59
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「New-wave Artists 2014－From the Public Entry Exhibition」
会期：2014 年 2 月 19 日－3 月 7 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館
出品：丸山強、吉田幸紘、原田圭、川島史也、本郷芳哉〔作品リスト順〕

拡張するファッション ドキュメント　　林央子編著 ●
DU BOOKS　2014 年 5 月 23 日　英文併載
図版〔展示写真〕（写真・ホンマタカシ）　pp.2-104
作家たちと林央子との対話　pp.111-139
〔トーク等の記録〕　pp.140-165
作家プロフィール&展示紹介（古野華奈子）　pp.166-175
展示作品リスト＋水戸会場マップ　pp.176, 177
ファッションは人生の伴走者（高橋瑞木）　pp.182-187
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「You reach out－right now－for something：Questioning the Concept of Fashion」

会期：2014 年 2 月 22 日－5 月 16 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団／6 月 14 日－9 月 23 日　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・ミモカ美術振興財団

出品：パスカル・ガテン、ホンマタカシ、DIY メディア、ミランダ・ジュライ、青木陵子、長島有里枝、スーザン・チャンチオロ、コズミックワンダー、ブレス／小金沢健人、横尾香央留、神田恵介×浅田政志、フォーム・オン・ワーズ〔展示作品リスト順〕

VOCA 展 2014「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2014 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2014」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展 2014」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、選考委員〕　p.9

〔選考評〕（高階秀爾、笠原美智子、片岡夏実、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫）　pp.10-21

〔出品作家、推薦委員〕　pp.22-23

図版〔図版、作家解説〕　pp.26-91, 93-103

〔作家解説〕（森啓輔、柳原正樹、能勢陽子、寺浦薫、川谷承子、山本丈志、岡里崇、平野到、ダリル・ウィー、保坂健二朗、西川美穂子、山下寿水、森山貴之、川西弘一、大島徹也、髙嶋雄一郎、五十嵐卓、小金沢智、服部浩之、宮本武典、野中明、真武真喜子、橋本梓、是枝開、岩渕貞哉、田中龍也、成相肇、赤松祐樹、木村絵理子、池上司、豊見山愛、佐藤由美加、山下裕二）英文 pp.93-103

Biography　pp.104-121

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2014　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2014 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：秋吉風人、阿部未奈子、荒井理行、入谷葉子、臼井良平、大小島真木、大坂秩加、大槻英世、小川晴輝、片山真紀、狩野哲郎、川北ゆう、金光男、指田菜穂子、佐藤香菜、炭田紗季、染谷悠子、高橋大輔、多田友充、田中望、徳山太郎、友清ちさと、中村航、西野由璃子、二艘木洋行、箱嶋泰美、橋本聡、伴美里、平川恒太、松嶋由香利、山川さやか、山本雄基、山本もえ美〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・田中望、VOCA 奨励賞・大小島真木、金光男、佳作賞・大坂秩加、染谷悠子、大原美術館賞・佐藤香菜

マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版 2014 ●

美術出版社　2014 年 4 月 12 日

ごあいさつ（名古屋市美術館・中日新聞社）　p.7

「マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版 2014」に寄せて（高橋龍太郎）　pp.8-10

高橋コレクションの軌跡――「ネオテニー・ジャパン」から「マインドフルネス! 2014」へ

（内田真由美） pp.11-16
展覧会出品作品〔作家・作品コメント、図版〕 pp.17-120
作家・作品コメント（高橋龍太郎）
高橋龍太郎インタビュー（聞き手・笠木日南子） pp.121-125
マインドフルネス!な作家たち 2014――今、ひらかれた展覧会のために（児島やよい） pp.126-129
現代美術「熱」（笠木日南子） pp.130-133
情熱を共有する（エレーヌ・ケルマシュター） pp.134-137
出品作家解説・略歴（児島やよい、内田真由美、笠木日南子） pp.138-157
出品作品リスト pp.158-162
註：編集は笠木日南子、中村暁子(美術館)。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION 2014 Mindfulness!」
会期：2014 年 4 月 12 日－6 月 8 日 名古屋市美術館 主催：名古屋市美術館・中日新聞社
出品：会田誠、秋山さやか、安藤正子、池田学、伊藤存、梅津庸一、大野智史、小谷元彦、樫木知子、加藤泉、加藤美佳、草間彌生、熊澤未来子、小出ナオキ、鴻池朋子、近藤亜樹、坂本夏子、さわひらき、塩田千春、塩保朋子、志賀理江子、菅木志雄、染谷亜里可、竹村京、田中功起、束芋、Chim↑Pom、名知聡子、奈良美智、蜷川実花、畠山直哉、冨谷悦子、松井えり菜、村上隆、村瀬恭子、やなぎみわ、ヤノベケンジ、山口晃、横尾忠則、和田典子〔出品作品リスト順〕

新紀元 革新の視座〈加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎の創造〉●
石川県立美術館 2014 年 4 月 20 日
ごあいさつ（石川県立美術館） p.5
図版 pp.9-144
論考 作家と作品（嶋崎丞、寺尾健一、二木伸一郎） pp.145-160
年譜 pp.161-176
作品リスト pp.177-181
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Creation of Takeshi Kagaya, Susumu Kinoshita, Kenji Kuze, Raikan Shoda, Shugoro Hasuda」
会期：2014 年 4 月 20 日－5 月 18 日 金沢・石川県立美術館 主催：石川県立美術館
出品：加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎〔作品リスト順〕

われわれは〈リアル〉である 1920s-1950s〈プロレタリア美術運動からルポルタージュ絵画運動まで：記録された民衆と労働〉●
武蔵野市吉祥寺美術館 2014 年 5 月
「われわれは〈リアル〉である 1920s－1950s」開催にあたって（武蔵野市吉祥寺美術館）

p.2
図版〔章解説、図版、作家略歴〕 pp.3-25
〔章解説、作家略歴〕（大内曜）
出品目録 pp.26-27
主要参考文献一覧 pp.28-29
所蔵：□、国新美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2014 年 5 月 17 日－6 月 29 日 武蔵野市吉祥寺美術館 主催：武蔵野市吉祥寺美術館
出品：1 プロレタリア美術運動とその時代。2 戦争と民衆－戦争画と勤労・増産絵画。3 戦後、ルポルタージュへ；浜田知明、池田龍雄、桂川寛、尾藤豊、中村宏、鈴木賢二、利根山光人、高山良策〔出品目録順〕
註：出品欄は 3 章を収載。ただし刊行物(表紙絵・漫画等)は除いた。

スリーピング・ビューティー ●
広島市現代美術館 2014 年 5 月 主に英文併載
ごあいさつ（館長福永治） pp.4, 5
美の正体についての考察（藤野可織） pp.9-11, 13-15
深奥で密かに瞬く美を目覚めさせるために（角奈緒子） pp.17-24, 25-31
図版 pp.33-90
作家略歴 pp.91-118
出品リスト pp.119-123
主な参考文献 pp.124-125
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「SLEEPING BEAUTY」
会期：2014 年 5 月 17 日－7 月 21 日 広島市現代美術館 主催：広島市現代美術館・中国新聞社
出品：コム デ ギャルソン／川久保玲、岩崎貴宏、菊畑茂久馬、草間彌生、三木富雄、三宅一生、宮本隆司、村上友晴、小谷元彦、志賀理江子、白髪一雄、田口和奈〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

ノスタルジー＆ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉 ●
国立国際美術館 2014 年 5 月
ごあいさつ（国立国際美術館） pp.2, 3 英文併載
世界の片隅で現代美術が見る夢（安來正博） pp.7-14, 186-192 英文併載
会場図面 p.15
図版 pp.17-160

作家解説（安來正博） 英文併載
作家略歴（岡部るい、楠本愛、高木瑞季） pp.161-171, 203-212 英文併載
作品リスト pp.173-183, 213-222 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、東大駒、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Nostalgia and Fantasy：Imagination and Its Origins in Contemporary Art」
会期：2014 年 5 月 27 日－9 月 15 日 大阪・国立国際美術館 主催：国立国際美術館
出品：北辻良央、柄澤齊、山本桂輔、小西紀行、橋爪彩、小橋陽介、須藤由希子、棚田康司、横尾忠則、淀川テクニック〔作品リスト順〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.04 リアルをめぐって ●
高松市美術館 2014 年 5 月
ごあいさつ（高松市美術館） p.2
図版〔作家のことば、図版、文献再録〕 pp.3-31
〔作家のことば〕（橋爪彩〔再録〕、大西伸明、小沢裕子、石黒浩〔再録〕）
高松市美術館コレクション〔図版、解説〕 pp.32-39
〔解説〕（牧野裕二）
作家略歴 pp.40-43
出品リスト pp.44-45
高松市美術館コレクション pp.46-47
所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.04 Regarding the Reality」
会期：2014 年 5 月 27 日－6 月 22 日 高松市美術館 主催：高松市美術館
出品：橋爪彩、大西伸明、小沢裕子、石黒浩〔出品リスト順〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.04 リアルをめぐって インスタレーションビュー
高松市美術館 2014 年
図版〔展示風景〕 見返し-p.5
関連イベント p.6
はじめに（牧野裕二） p.7
〔作家解説〕（牧野裕二、毛利義嗣、山口裕美） pp.7-12
もう 1 つのリアル～新しい自己を、多様な他者を、想起するチカラ（木ノ下智恵子） pp.12-13
作品リスト p.13
所蔵：□、東近美、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項〔本体に同じ〕

あざみ野コンテンポラリーvol.5 リッスン トゥ ザ ダクソフォン ハンス・ライヒェル×内橋和

久 ●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2014 年 5 月

ごあいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野）

リッスン・トゥ・ザ・ダクソフォン――二人の音楽世界（森未祈）

図版〔図版、解説〕 6p.

内橋和久インタビュー

〔作家略歴〕

関連イベント

所蔵：□、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Listen to the Daxophone」

会期：2014 年 5 月 31 日－6 月 15 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：ハンス・ライヒェル、内橋和久

ゴー・ビトゥイーンズ展〈こどもを通して見る世界〉●

森美術館　2014 年 6 月 19 日　主に英文併載

図版〔展示風景〕pp.1-20

ごあいさつ（南條史生、横井政和、安里進、藤田直義） p.21

ゴー・ビトゥイーンズ展：境界を超えるこどもの力（荒木夏実） pp.24-30, 32-40

図版　pp.41-136

ゴー・ビトゥイーンズからイン・ビトゥイーンズ、そしてハイフン付アメリカ人へ（サンドラ・J・ホルスタイン） pp.138-142, 150-154

ミドル・ネームは言わないで（ジャクリーン・リーム・サッローム） pp.144-145, 156-157

個性のはじまり（金仁淑） pp.146-147, 158-160

狭間の景色、根付く足跡〈須本エドワード豊〉 pp.148-149, 161-162

作家・作品解説（荒木夏実、後藤桜子、清家三智、田篭美保、高木瑞季、鷹箸絵麻、豊見山愛、椿玲子） pp.164-175

作家略歴・参考文献　pp.176-183

作品リスト　pp.184-190

註：編集は荒木夏実、佐々木瞳(美術館)。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Go-Betweens：The World Seen through Children」

会期：2014 年 5 月 31 日－8 月 31 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／11 月 8 日－12 月 23 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・中京テレビ放送／2015 年 1 月 16 日－3 月 15 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館　主催：沖縄県立博物館・美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会／4 月 5 日－6 月 7 日　高知県立美術館　主催：高知県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：宮武東洋、影山光洋、吉岡専造、大竹省二、奈良美智、小西淳也、梅佳代、菊地智子、近藤聡乃、照屋勇賢、塩田千春、山本高之〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

ミッション[宇宙×芸術]――コスモロジーを超えて ●

青幻舎　2014 年 7 月 31 日　平成 26 年度(第 18 回)文化庁メディア芸術祭協賛事業

図版　pp.4-19

宇宙にとって芸術とはなにか――ミッション[宇宙×芸術]展によせて（森山朋絵）pp.22-29, 30-31　抄訳

図版〔展示風景、図版、作家のことば、解説、作家略歴〕　pp.32-139

〔作家のことば〕（大平貴之、チームラボ）

宇宙×芸術クロニクル　pp.140-147

宇宙芸術〔について〕　pp.148, 149

宇宙芸術とは（逢坂卓郎）　pp.151-153

特別対談（若田光一・逢坂卓郎）　pp.154-157　再録

宇宙×芸術展の試み　pp.158-159

ミッション[宇宙×芸術]によせて（坂根厳夫）　p.160

宇宙機関と芸術の出会い（内冨素子）　p.161

現代アートの視点と宇宙芸術（森脇裕之）　pp.162-163

種子島宇宙芸術祭の構想（森脇裕之）　p.164

プロダクトデザインと宇宙芸術（山中敏正）　p.166

アートとしての宇宙切手の魅力（辻野照久）　p.169

地球人としての自覚・人類益の創成（松尾尚子）　p.170

国際宇宙ステーション(ISS)と宇宙芸術（潮田知彦）　p.171

人工衛星と宇宙芸術（鈴木浩之）　p.172

遙かなるもののリアリティ（久保田晃弘）　p.173

作品リスト　pp.174-175, 176-177　英文併載

主要参考文献　pp.178-179

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「mission[SPACE×ART]－beyond Cosmologies」

会期：2014 年 6 月 7 日－8 月 31 日　東京都現代美術館　主催：公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館、NHK エンタープライズ

出品：beyond、大平貴之、チームラボ、森脇裕之、木本圭子、鈴木康広、逢坂卓郎、oblaat(谷川俊太郎)、ユリウス・フォン・ビスマルク、安藤孝浩、河口洋一郎、イ・ヨンジュン、西澤丞、名和晃平、松本零士、なつのロケット団、多摩美術大学×東京大学 ARTSAT、福原哲郎、oblaat(谷川俊太郎、三角みづ紀、最果タヒ、穂村弘)、和田ラヂヲ〔作品リスト順〕

註：出品欄は、古典および機関・企業（NASA、JAXA など）による展示物は対象外とした。

美の最前線・現代アートなら〈素材と知の魔術〉●

奈良県立美術館　2014 年 6 月

ごあいさつ（奈良県立美術館）　p.3　英文併載

素材と知の魔術（南城守）　pp.5-10

図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕　pp.11-31

〔作家のことば〕（ふじい忠一、竹股桂、森口ゆたか、絹谷幸太、三瀬夏之介、菊池孝、下谷千尋）

関連事業　p.32

所蔵：□、国新美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Beauty on the Edge－Contemporary Art Nara－Magic of materials and wisdom」

会期：2014 年 6 月 14 日－7 月 21 日　奈良県立美術館　主催：奈良県立美術館

出品：ふじい忠一、竹股桂、森口ゆたか、絹谷幸太、三瀬夏之介、菊池孝、下谷千尋〔図版収載順〕

1974 年ニ生マレテ ●

群馬県立近代美術館　2014 年 8 月 9 日　主に英文併載　開館 40 周年記念展第 1 部

ごあいさつ（主催者）　p.2

私たちが生まれた 1974 年から現在に至るまで（藤田千彩）　pp.5-7, 8-10

〈境〉にて（宮本武典）　pp.11-13, 14-16

図版〔図版、作家による展示コンセプト〕　pp.17-78

〔作家による展示コンセプト〕（宮永愛子、小林耕平、水野暁、土屋貴哉、春木麻衣子、末永史尚）

「1974 年に生まれて」展について（熊谷ゆう子）　pp.8182, 83-84

作家略歴　pp.85-91

出品リスト　pp.92-95

CHRONOLOGY〔出品作家への質問で構成した年表〕　和文

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「BORN IN 1974　40th Anniversary Exhibition：1974, Part 1」

会期：2014 年 6 月 28 日－8 月 24 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館・上毛新聞社

出品：宮永愛子、小林耕平、水野暁、土屋貴哉、春木麻衣子、末永史尚〔出品リスト順〕

『メタルズ!〈変容する金属の美〉』図録　　高岡市美術館編 ●

メタルズ!実行委員会　2014 年 6 月 28 日

ごあいさつ（主催者）　p.3

「メタルズ!〈変容する金属の美〉」に寄せて（館長村上隆）　pp.6-10

新潟県の蝋型鋳金（横山秀樹）　pp.11-12

鉄の歴史（松井和幸） pp.13-16
林忠正と《十二の鷹》（山本成子） pp.16-17
〔基本コンセプトについて〕（村上隆） p.18
図版 pp.19-101
作品解説 pp.102-121
出品目録 pp.122-129
註：編集は山本成子、竹内唯。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2014 年 6 月 28 日－8 月 31 日 高岡市美術館 主催：高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館・メタルズ!実行委員会・北日本新聞社、共催：高岡市・高岡市教育委員会・NHK プラネット中部／9 月 11 日－10 月 19 日 碧南市藤井達吉現代美術館 主催：碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会・メタルズ!実行委員会、共催：朝日新聞社・NHK プラネット中部／11 月 1 日－12 月 23 日 北九州市立自然史・歴史博物館(北九州市立いのちのたび博物館) 主催：北九州市立自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)・北九州イノベーションギャラリー(KIGS)・メタルズ!実行委員会・毎日新聞社、共催：NHK プラネット九州／2015 年 1 月 24 日－3 月 8 日 新潟市新津美術館 主催：新潟市新津美術館・メタルズ!実行委員会、共催：新潟日報社・NHK プロモーション
出品：第 2 部 近現代彫刻・造形；朝倉文夫、堀内正和、野水信、村岡三郎、若林奮、堀川恭、村上炳人、久野真、石黒鏘二、柳原義達、舟越保武、佐藤忠良、向井良吉、多田美波、宮脇愛子、清水九兵衛、土谷武、吾妻兼治郎、保田春彦、米林雄一〔作品目録順〕
註：出品欄は「第 2 部 近現代彫刻・造形」の戦後作品出品の作家を収載。

プレイヤーズ 遊びかからはじまるアート展〔記録用リーフレット〕●
アーツ前橋 2014 年 7 月
ごあいさつ p.2
図版〔作家略歴、作家への質問、作家インタビュー、図版〕 pp.3-23
〔作家への質問〕（青秀祐、八谷和彦、関口光太郎、三家俊彦、高荷義之、大平貴之、KOSUGE 1-16）
〔作家インタビュー〕（高荷義之）
出品リスト pp.24-25
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2014 年 7 月 5 日－9 月 15 日 アーツ前橋 主催：アーツ前橋
出品：青秀祐、八谷和彦、三家俊彦、関口光太郎、小松崎茂、山川惣治、高荷義之、タミヤ、大平貴之、KOSUGE 1-16、近藤嘉男〔出品リスト順〕

ワンダフルワールド こどものワクワク、いっしょにたのしもう みる・はなす、そして発見!の美術展 ●

東京都現代美術館　2014 年 7 月　英文併載

ごあいさつ（東京都現代美術館）p.1

ワンダフルワールド〈こどものワクワク、いっしょにたのしもう みる・はなす、そして発見!の美術展〉（山本雅美）　pp.4-6, 7-9

図版　pp.10-24

作家略歴　pp.25-29

出品リスト　p.30

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Wonderful World　Sparkle is everywhere! Let's see, talk, discover, and share the fun with everyone!」

会期：2014 年 7 月 12 日－8 月 31 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品：橋本トモコ、クワクボリョウタ、船井美佐、金澤麻由子、武藤亜希子〔出品リスト順〕

絵画の在りか ●

東京オペラシティ文化財団　2014 年 7 月 12 日　主に英文併載　展覧会資料

ごあいさつ（東京オペラシティアートギャラリー）　p.3

絵画の在りか（堀元彰）　pp.8-11, 12-16

図版〔作家解説、図版〕　pp.17-120

切ったはったの世界の修復（蔵屋美香）　pp.31-32, 124-126

バロック／バラック（沢山遼）　pp.73-74, 127-129

アーカイヴと必然性（清水穣）　pp.121-123, 130-132

資料

参考文献（堀元彰編）　pp,134-135　和文・欧文

年表（堀元彰編）　pp.136-140, 141-145

作家略歴　pp.146-154, 155-163

アンケート（青木豊、厚地朋子、榎本耕一、福永大介、風能奈々、今井俊介、岩永忠すけ、鹿野震一郎、小西紀行、工藤麻紀子、政田武史、松原壮志朗、南川史門、持塚三樹、中園孔二、大野智史、小左誠一郎、五月女哲平、髙木大地、高橋大輔、竹﨑和征、八重樫ゆい、横野明日香）　pp.164-165, 166-168

出品リスト　pp.169-175

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Way of Painting」

会期：2014 年 7 月 12 日－9 月 21 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：

公益財団法人東京オペラシティ文化財団

出品：青木豊、厚地朋子、千葉正也、榎本耕一、福永大介、風能奈々、今井俊介、岩永忠すけ、鹿野震一郎、小西紀行、工藤麻紀子、政田武史、松原壮志朗、南川史門、持塚三樹、中園孔二、大野智史、小左誠一郎、五月女哲平、髙木大地、高橋大輔、竹﨑和征、八重樫ゆい、横野明日香〔出品リスト順〕

「楽園としての芸術」展 ●

東京都美術館　2014 年 7 月

ごあいさつ（東京都歴史文化財団・東京都美術館）　pp.6, 7　英文併載

楽園としての芸術〈アトリエ・エレマン・プレザンとしょうぶ学園〉（中原淳行）　pp.10-21, 122-131　英文併載

図版〔扉解説、図版〕　pp.23-120

扉解説（中原淳行）　英文併載

〔ことば〕（福森伸、佐久間寛厚）　pp.132-137　再録

展覧会歴　pp.138-140

主要文献　pp.141-146

作品リスト　pp.148-157

註：編集は中原淳行、水田有子。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ART AS A HAVEN OF HAPPINESS」

会期：2014 年 7 月 26 日－10 月 8 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館

出品：しょうぶ学園、アトリエ・エレマン・プレザン

これからの写真 ●

愛知県美術館・朝日新聞社　2014 年 8 月

ごあいさつ（主催者）　p.7

光源はいくつもある〈写真の多義性をめぐって〉（中村史子）　pp.8-19

発見のための写真（甲斐義明）　pp.22-30

図版〔作家解説、作家略歴、図版〕　pp.36-107

作家解説（中村史子）、作家略歴（塩津青夏）

参考文献（解説・林田新、甲斐義明）　pp.109-112

写真関連年表 写真をめぐる日本の動向 1994-2014（冨田由紀子・林田新・甲斐義明・中村史子編）　pp.113-120

出展作品リスト　pp.121-126

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Photography Will Be」

会期：2014 年 8 月 1 日－9 月 28 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・朝日新聞社

出品：新井卓、加納俊輔、川内倫子、木村友紀、鈴木崇、鷹野隆大、田代一倫、田村友一郎、畠山直哉〔出展作品リスト順〕

種村季弘の眼 迷宮の美術家たち　　柿沼裕朋編 ●

平凡社　2014 年 8 月 29 日

はじめに／各章リード（柿沼裕朋）

図版〔章リード、図版〕 pp.9-144

タネムラ流批評（種村季弘） pp.145-158

種村季弘略年（齋藤靖朗編） pp.159-160

編者あとがき（種村季弘） pp.161-162

作品一覧（弘中智子編） pp.163-168

出品作家略歴（弘中智子編） pp.169-183

出品作家批評リスト（柿沼裕朋、弘中智子、齋藤靖朗編）

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

展名：「20 世紀検証シリーズ No.4 種村季弘の眼 迷宮の美術家たち展」

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 9 月 6 日－10 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：今道子、種村季弘、加納光於、鈴木慶則、金子國義、鬼海弘雄、桑原弘明、中村宏、池田龍雄、横尾龍彦、土井典、真島直子、細江英公、中谷忠雄、横尾忠則、合田佐和子、谷川晃一、十文字美信、四谷シモン、吉野辰海、秋山祐徳太子、井上洋介、赤瀬川原平、中西夏之、清水晃、平賀敬、美濃瓢吾、野中ユリ、吉江庄蔵、森村泰昌、柄澤齊、間村俊一、勝本みつる、宇野亜喜良、石内都、渡辺兼人、菊畑茂久馬、一原有徳、森ヒロコ、永田耕衣、藤富保男〔作品一覧順〕

そこにある美術〈アール・ブリュット〉展 ●

第 14 回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会実行委員会　2014 年 9 月

ごあいさつ　p.1

そこにある美術〈アール・ブリュット〉（井上多枝子） pp.4-5

言語的思考はなくとも芸術は誕生する〈齋藤勝利の場合〉（工藤幸治） p.6

もみの木福祉会でのアート活動に携って（玉井詞） p.7

図版〔図版、作家紹介〕 pp.8-51

　作家紹介（井上多枝子、はたよしこ、小林瑞恵）

所蔵：□、国新美

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 9 月 6 日－28 日　米子市美術館／10 月 9 日－19 日　倉吉博物館／10 月 25 日－11 月 3 日　鳥取県立博物館　主催：厚生労働省・鳥取県・鳥取市

出品：足立伸一、西村真智子、久保田洋子、鶴川弘二、山田繁、舛次崇、川上敏郎、戸來貴規、門山幸順、河野咲子、澤田真一、古久保憲満、伊藤喜彦、中本清親、藤岡祐機、吉澤健、齋藤勝利、山崎健一、戸舎清志、小幡正雄、鮏万里絵、瀬戸東満、高岡源一郎、西川智之、萩野トヨ、水谷伸郎、表敷功、福嶋貴時、戸次公明、吉川秀昭、勝部翔太、小川滋、宮間英次郎、東健次〔図版収載順〕

1974 戦後日本美術の転換点 ●

群馬県立近代美術館　2014 年 9 月 19 日　開館 40 周年記念展第 2 部

ごあいさつ（館長中山博美）　pp.2, 3　英文併載

1974 年/美術に見る転換期の諸相〈崩れゆくものと生れいずるものの境界に立って〉（谷新）　pp.6-22

1974―戦後日本美術の転換点（田中龍也）　pp.24-31

図版〔章解説、図版〕　pp.33-127

章解説（松下由里、田中龍也）

1974 年群馬県立近代美術館開館 その前史をふりかえる〈旧陸軍岩鼻火薬製造所跡地に「群馬の森」ができるまで〉（松下由里）　pp.130-135

関連年表　pp.136-137

資料写真　pp.138-141

出品作家略歴（熊谷ゆう子、松下由里、定松晶子、野田麻美、田中龍也、佐藤聖子、相良浩）　pp.142-151

主要参考文献（佐藤聖子編）　pp.152-157

出品リスト　pp.158-167

CHRONOLOGY〔折り込み年表〕（佐藤聖子編）

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「1974 A Turning Point in Postwar Japanese Art　40th Anniversary Exhibition：1974, Part 2」

会期：2014 年 9 月 13 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館・上毛新聞社

出品：磯崎新、中平卓馬、清水九兵衛、保田春彦、篠田守男、江口週、伊藤公象、三尾公三、上田薫、靉嘔、桑山忠明、横尾忠則、中林忠良、日和崎尊夫、両角修、島州一、郭徳俊、野田哲也、吉田克朗、木村秀樹、榎倉康二、狗巻賢二、菅木志雄、高松次郎、河口龍夫、鴫剛、若江漢字、野村仁、今井祝雄、植松奎二、山中信夫、松本旻、井田照一、柏原えつとむ、北辻良央、李禹煥、小清水漸、戸谷成雄、丑久保健一、辰野登恵子〔出品リスト順〕

新たな系譜学をもとめて――アート・身体・パフォーマンス ●

フィルムアート社　2014 年 10 月 25 日　主に英文併載　東京アートミーティング第 5 回

ラディカルな「型」の存在、非存在をめぐる対話〈21 世紀の狂言師とメディアアーティスト

の間で〉（野村萬斎・高谷史郎、聞き手・長谷川祐子） pp.9-22, 23-34
身体のリズム〈動きの無駄を削ぎ落とし、最後に残るもの〉（中田英寿、聞き手・長谷川祐子） pp.35-45, 46-54
演じることと身体（岡田利規） pp.55-60, 61-64
図版〔質問、作家の回答、図版、作家解説〕 pp.65-168
〔作家の回答〕(野村萬斎、ジュリー・メーレトゥ、シャロン・ロックハート、岡田利規(チェルフィッチュ)、インバル・ピント&アブシャロム・ポラック・ダンスカンパニー、金氏徹平、エルネスト・ネト、高谷史郎(ダムタイプ)、真鍋大度(ライゾマティクス)、チョイ・カファイ、大植真太郎＋森山未來＋平原慎太郎)
新たな系譜学をもとめて〈跳躍・痕跡・身体〉（長谷川祐子） pp.169-186, 187-202
拘束された身体が表わすもの〈インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック・ダンスカンパニーの身体動作表現から〉（細馬宏通） pp.203-208, 209-213
戦後の舞台芸術における伝統と前衛（岡本章） pp.214-224　和文
作品リスト　pp.225-229
資料展示リスト　pp.230-233
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「Seeking New Genealogies－Art / Bodies / Performances」
会期：2014 年 9 月 27 日－2015 年 1 月 4 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室・産経新聞社
出品：ジュリー・メーレトゥ、アブラハム・ヴァハマン、ジョン・G・ハリーズ、ショシュ・コルムシュ、シャロン・ロックハート、チェルフィッチュ、インバル・ピント&アブシャロム・ポラック・ダンスカンパニー、金氏徹平、エルネスト・ネト、ジャクソン・ポロック、サイ・トゥオンブリー、吉原治良、村上三郎、田中敦子、白髪一雄、ダムタイプ、ダグラス・ゴードン&フィリップ・パレーノ、デンツウ ラボ トウキョウ&ライゾマティクス、チョイ・カファイ、大植真太郎＋森山未來＋平原慎太郎〔作品リスト順〕
註：この他、アンリ・マティスのエッチング（1935-36 年）が出品されている。なお、資料展示は割愛した。

ジャパン・アーキテクツ 1945－2010〈開館 10 周年記念特別展〉●
新建築社・金沢 21 世紀美術館　2014 年 10 月 31 日　英文併載　『新建築』第 89 巻第 14 号別冊
ごあいさつ（館長秋元雄史、アラン・スバン、ベルナール・ブリステーヌ） pp.2, 3
日本建築の来たるべきアイデンティティ（フレデリック・ミゲルー） pp.6-8, 9-11
「わ」空間の建築家（磯崎新） pp.12-16, 17-22
展覧会の構成（フレデリック・ミゲルー） p.23
図版〔章解説、図版、解説〕 pp.25-199
建築の本当と絵空事（植田実） pp.200-202, 203-206

日本現代建築の諸相：モダニズムとラディカリズムの往還（今村創平） pp.207-209, 209-212
建築データ　pp.213-219
著者プロフィール　p.220
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「JAPAN ARCHITECTS 1945－2010」
会期：2014 年 11 月 1 日－2015 年 3 月 15 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館、ポンピドゥ・センター パリ国立近代美術館
出品：磯崎新、白井晟一、前川國男、坂倉準三、増沢洵、吉阪隆正、海老原一郎、アントニン・レーモンド、大江宏、村野藤吾、吉村順三、丹下健三、谷口吉郎、菊竹清訓、渡邊洋治、大髙正人、林昌二、ル・コルビュジエ、芦原義信、清家清、林(山田)雅子、黒川紀章、槇文彦、大谷幸夫、内田祥哉、高橋靖一、原広司、中嶋龍彦、伊坂芳太良、西山夘三、神谷宏治、福田朝生、上田篤、村田豊、横尾忠則、生田勉、進来廉、山下和正、竹山実、重田良一、毛綱毅曠、六角鬼丈、倉本龍彦、石山修武、相田武文、長谷川逸子、早川邦彦、谷口吉生、藤井博巳、坂本一成、伊東豊雄、山本理顕、篠原一男、北川原温、水谷頴介、高月昭子、東孝光、鈴木恂、安藤忠雄、鈴木了ニ、高松伸、妹島和世、青木淳、アトリエ・ワン、乾久美子、石上純也、遠藤秀平、佐藤光彦、隈研吾、妹島和世＋西沢立衛／SANAA、髙崎正治、中村拓志、市川創太／ダブルネガティヴスアーキテクチャー、武井誠＋鍋島千恵／TNA、手塚貴晴／手塚由比、内藤廣、永山祐子、西沢立衛、坂茂、藤本壮介、平田晃久、藤森照信、みかんぐみ、渡辺誠、山下保博／アトリエ・天工人〔図版収載順〕

3.11 以後の建築〈社会と建築家の新しい関係〉　　五十嵐太郎・山崎亮編著
学芸出版社　2014 年 11 月 15 日
「3.11 以後の建築」展に寄せて（五十嵐太郎、山崎亮） pp.18, 19　英文併載
註：この書物は本展の関連書籍として出版されたもので、上記の一文は本展に直截的に触れた部分である。
所蔵：□、東近美、都現美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
展名：「ジャパン・アーキテクツ 3.11 以後の建築」展
欧文タイトル：「Architecture since 3.11　New relationships between society and architects」
会期：2014 年 11 月 1 日－2015 年 5 月 10 日　金沢 21 世紀美術館　ゲスト・キュレーター：五十嵐太郎・山崎亮、主催：金沢 21 世紀美術館
出品：伊東豊雄、乾久美子、藤本壮介、平田晃久、畠山直哉、坂茂、三分一博志、竹内昌義、馬場正尊、青木淳、新居千秋、工藤和美、藤村龍至、小津誠一、宮下智裕、松田達、光嶋裕介、岡啓輔、西村浩〔同館 HP の出品リストの個人作家を収載〕

17th DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果〉●
文化庁　2014 年 12 月 13 日　主に英文併載　付・インタビュー英語版
ごあいさつ（主催者） p.2
芸術家在外研修(現・新進芸術家海外研修)制度について　p.3

1967 年度から 2014 年度までの 47 年間に在外研修した芸術家たちの派遣先国別人数　pp.4-5

Artists

作家インタビュー（青木克世、紙川千亜紀、小林俊哉、岩崎貴宏、梶浦聖子、濱田富貴、和田淳、入江明日香、奥谷太一、北野謙、古武家賢太郎、関根直子）　pp.10-25

図版〔作家のことば、作家略歴、作品解説、図版〕　pp.26-121

〔作家のことば、作品解説〕（青木克世、紙川千亜紀、小林俊哉、岩崎貴宏、梶浦聖子、濱田富貴、和田淳、入江明日香、奥谷太一、北野謙、古武家賢太郎、関根直子）

Conservators

保存修復家インタビュー（北野珠子、野村悠里、邊牟木尚美）　pp.124-126

図版〔ことば、略歴、解説〕　pp.128-139

〔ことば、解説〕（北野珠子、野村悠里、邊牟木尚美）

出品リスト　pp.140-151

□Interview〔英語版〕全 20 ページ

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

展名：「17th 未来を担う美術家たち DOMANI・明日展〈文化庁芸術家在外研修の成果〉」

欧文タイトル：「“17th DOMANI：The Art of Tomorrow” Exhibition」

会期：2014 年 12 月 13 日－2015 年 1 月 25 日　国立新美術館　主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

出品：アーティスト；青木克世、紙川千亜紀、小林俊哉、岩崎貴宏、梶浦聖子、濱田富貴、和田淳、入江明日香、奥谷太一、北野謙、古武家賢太郎、関根直子〔出品リスト順〕

註：出品欄はアーティストを収載した。

現代郷土作家展 生きるものたちへ〈藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕〉●

姫路市立美術館　2014 年 11 月

ごあいさつ（姫路市立美術館）　p.3

「現代郷土作家展 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 生きるものたちへ」について（高瀬晴之）　pp.6-8

図版〔作家からのメッセージ、略年譜、図版〕　pp.9-45

〔作家からのメッセージ〕（藤原向意、松田一戯、清水浄、東影智裕）

出品作品リスト　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2014 年 12 月 15 日－12 月 23 日　姫路市立美術館　主催：姫路市立美術館

出品：藤原向意、松田一戯、清水浄、東影智裕

2015（平成 27）年

「三重の新世代 2015」図録　　三重県立美術館編 ●

三重の新世代展実行委員会　2015 年 1 月 4 日

「三重の新世代 2015」開催にあたって（毛利伊知郎）

図版　11p.

作家略歴

註：編集は樋口萌、毛利伊知郎。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「New-wave Artists in Mie」

会期：2015 年 1 月 4 日－3 月 29 日　津・三重県立美術館柳原義達記念館　主催：三重の新世代展実行委員会・三重県立美術館

出品：荒木由香里、石山浩達、磯貝知哉、板野久美子、稲葉直也、岩名泰岳、上島好恵、大西佐奈、近藤麻美、下村雄三、谷口美喜、西村怜奈、林康貴、平田茂、平松典子、廣田光司、宮本宗、柳田美穂、山鹿翔子、山本真也〔図版収載順〕

アート・オブ・メモリー〈記憶をめぐる 4 つのレシピ〉●

北九州市立美術館　2015 年 1 月 20 日

記憶のレシピのために　p.3

レシピの楽しみ方――鑑賞にあたって　p.6-7

図版〔図版、作家略歴、章解説、ひとことメモリー、作家論〕　pp.8-80

〔章解説、作家論〕（清田幸枝、河村朱音、小松健一郎）

アート・オブ・メモリー 記憶の術、アートと記憶（小松健一郎）　pp.82-87

会場図面・作品リスト　pp.88-89

作家略歴　pp.90-93

イベント記録　pp.94-95

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Art of Memory 4 Recipes for Mnemosyne」

会期：2015 年 1 月 4 日－2 月 22 日　北九州市立美術館　主催：アート・オブ・メモリー展実行委員会(北九州市立美術館・毎日新聞社・TVQ 九州放送)

出品：柴川敏之、クワクボリョウタ、北上伸江、plaplax〔作品リスト順〕

未見の星座〈つながり／発見のプラクティス〉●

東京都現代美術館　2015 年 1 月　主に英文併載　付・英語版

ごあいさつ（東京都現代美術館）　pp.5, 7

見えない線をえがく――未見の星座（森千花）　pp.11-22

展示プラン　p.23

図版〔作家のことば、図版〕　pp.25-88

〔作家のことば〕（大﨑のぶゆき、北川貴好、志村信裕、太田三郎、山本高之、淺井裕介、伊藤久也） pp.120-123 英文

出品リスト pp.89-99

作家略歴（福島瑞葉、高橋夏菜、前山言葉編） pp.100-119

註：編集は森千花、森山朋絵。

□英語版〔全 16 ページ〕

Constellations－Drawing Lines（森千花） pp.1-16

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Constellations：Practices for Unseen Connections / Discoveries」

会期：2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日 東京都現代美術館 主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：大﨑のぶゆき、北川貴好、志村信裕、太田三郎、山本高之、淺井裕介、伊藤久也〔出品リスト順〕

金山康喜のパリ――1950 年代の日本人画家たち ●

東京新聞 2015 年 1 月

ごあいさつ（主催者） pp.2, 3 仏文併載

カナヤマ（野見山暁治） pp.6-9

金山康喜のパリと 1950 年代の日本人画家たち（橋秀文） pp.10-23

図版〔章解説、図版、解説〕 pp.24-168

章解説・解説（杉野秀樹、渡辺希利子、遠藤望、橋秀文、西澤晴美）

未完の風景画／未完の金山康喜（杉野秀樹） pp.170-173

金山康喜の遺品調査を終えて（渡辺希利子） pp.174-178

田淵安一の東京とパリ 渡仏前後の作風の変遷をたどる（西澤晴美） pp.179-183

金山康喜年譜（渡辺希利子編） pp.184-191

用語解説 p.191

関連地図 pp.192-193

1950 年代渡仏芸術家・文化人フランス滞仏時期一覧（渡辺希利子編） pp.194-195

主要文献目録 pp.196-199

出品リスト pp.200-205

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「KANAYAMA Yasuki in Paris－Japanese Painters in the 1950s」

会期：2015 年 1 月 24 日－3 月 22 日 葉山・神奈川県立近代美術館 主催：神奈川県立近代美術館・東京新聞／5 月 16 日－7 月 5 日 富山県立近代美術館 主催：富山県立近代美術館・北陸中日新聞社／7 月 18 日－9 月 6 日 世田谷美術館 主催：世田谷美術館・東京新聞

出品：金山康喜、猪熊弦一郎、古茂田守介、藤田嗣治、佐野繁次郎、荻須高徳、佐藤敬、関口俊吾、菅井汲、野見山暁治、田淵安一、岡本半三、今井俊満、堂本尚郎〔出品リスト順〕

北海道発：8 人の写真と映像 もうひとつの眺め ●

北海道立近代美術館　2015 年 1 月　英文併載　全 17 点(カタログ 1 冊＋作家リーフレット 16 枚)ケース入

ごあいさつ（北海道立近代美術館）

北海道の現代美術と映像－もうひとつのサイト(場・鑑賞法)に向かって（穂積利明）

作品リスト

□〔作家リーフレット〕〔図版、作家解説、作家のことば、作家略歴〕和英各 1 枚 1 作家 2 枚

〔作家解説〕（鎌田享、穂積利明、寺地亜衣、福地大輔）

〔作家のことば〕（露口啓二）

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Contemporary Photography and Video Artists of Hokkaido」

会期：2015 年 1 月 31 日－3 月 22 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

出品：露口啓二、伊藤隆介、ニナ・フィッシャー&マロアン・エル・サニ、鈴木涼子、北川陽稔、大友真志、岡田敦、佐竹真紀〔作品リスト順〕

わが愛憎の画家たち――針生一郎と戦後美術 図録　　宮城県美術館編 ●

読売新聞社・美術館連絡協議会　2015 年 1 月

ごあいさつ（宮城県美術館）　p.5

カタログ〔章解説、図版、針生一郎執筆文献再録〕　pp.9-145

　章解説（三上満良）

針生一郎――美術運動家としての足跡（三上満良）　pp.147-158

アジアのリアリズムを求めつづけて――光州ビエンナーレ 2000「芸術と人権」展を中心に（古川美佳）　pp.159-165

再録文献 1-5（針生一郎）　pp.167-187

　解題（三上満良）　p.178

針生一郎セレクション　p.188

針生一郎の足跡 1925-2010(2015)年譜・執筆歴　pp.189-244

　年譜（菅野仁美編）／執筆歴（赤間和美編）

出品作家略歴（赤間和美、菅野仁美、加野恵子）　pp.246-260

出品作家図版索引　p.261

出品目録　pp.262-271

註：標題紙に〈アヴァンギャルドを見つめつづけた反骨の評論家の足跡〉の副題あり。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 1 月 31 日－3 月 22 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・ミヤギテレビ

出品：福沢一郎、鶴岡政男、岡本太郎、香月泰男、麻生三郎、阿部展也、井上長三郎、海老原喜之助、浜田知明、阿部合成、勅使河原宏、池田龍雄、福島秀子、山口勝弘、芥川紗織、山野卓、山下菊二、河原温、中村宏、中野淳、尾藤豊、桂川寛、小山田チカエ、曹良奎、福田恒太、中本達也、佐藤忠良、中谷泰、朝倉摂、小山田二郎、吉原治良、斎藤義重、前田常作、杉全直、難波田龍起、堀内正和、桂ゆき、瑛九、今井俊満、高橋秀、昆野勝、池田満寿夫、靉嘔、赤瀬川原平、篠原有司男、荒川修作、吉野辰海、立石紘一、岡本信治郎、馬場彬、小野忠弘、橿尾正次、菊畑茂久馬、宮城輝夫、佐々木正芳、村上善男、水谷勇夫、松澤宥、渡辺恂三、細谷修平、丸木位里・俊、梅田英俊、横尾忠則、大島哲以、辻まこと、星野真吾、石井茂雄、中村正義、横山操、片岡球子、三上誠、大森運夫、池田幹雄、不動茂弥、下村良之介、佐藤多持、菊池養之助、田中竜児、三木富雄、菅井汲、高松次郎、粟津潔、河口龍夫、関根伸夫、磯崎新、工藤哲巳、井田照一、山中信夫、石井勢津子、ヨーゼフ・ボイス、ラインハルト・サビエ、大浦信行、瀧口修造〔出品目録順〕

都美セレクション 新鋭美術家 2015 ●

東京都美術館　2015 年 2 月 19 日

ごあいさつ（東京都美術館）　p.5

図版〔作家のことば、図版〕　pp.6-45

〔作家のことば〕（瀬島匠、高島圭史、高松和樹、田丸稔、山田彩加）

「都美セレクション 新鋭美術家 2015」展について（河合晴生）　pp.46-50

出品作家略歴　pp.51-57

作品リスト　pp.58-59

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「New-wave Artists 2015－From the Public Entry Exhibition」

会期：2015 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

出品：瀬島匠、高島圭史、高松和樹、田丸稔、山田彩加〔作品リスト順〕

目の目 手の目 心の目〈体感の向こうに広がる世界〉●

岡山県立美術館・岡山大学　2016 年 2 月 19 日

主催者挨拶（館長守安収）　p.2

図版〔図版、作家のことば、作家略歴〕　pp.4-37

〔作家のことば〕（太田三郎、北川太郎、草間喆雄、向後千里、島田清徳、福井一尊、三橋遵、南川茂樹）

関連イベント　pp.38-51

来館ノート　p.52

その後の取組み　p.53

「Peace of Pieces」プロジェクト（広瀬浩二郎）p.58
あとがき「心の目」を養う（福冨幸） p.59
開催概要 p.60
所蔵：□、国新美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2015 年 3 月 14 日－4 月 19 日 岡山県立美術館 主催：岡山県立美術館
出品：太田三郎、北川太郎、草間喆雄、向後千里、島田清徳、福井一尊、三橋遵、南川茂樹〔図版収載順〕

VOCA 展 2015「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館 2015 年 3 月 英文併載
「VOCA 展 2015」開催にあたって（主催者） p.5
「VOCA 展 2015」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.7
〔授賞者、選考委員〕 p.9
〔選考評〕（高階秀爾、笠原美智子、片岡夏実、酒井忠康、建畠哲、本江邦夫） pp.10-21
〔出品作家、推薦委員〕 pp.22-23
図版〔図版、作家解説〕 pp.14-91
〔作家解説〕（森啓輔、前山裕司、三輪健仁、長門佐季、水田順子、岡村恵子、木村絵理子、高橋しげみ、森千花、池上司、豊見山愛、都筑正敏、以倉新、清水建人、佐藤友哉、中田耕市、角奈緒子、寺浦薫、宮本武典、大島徹也、白坂ゆり、岡里崇、野田尚稔、杉野秀樹、森山貴之、桜井武、田中龍也、渋沢和彦、五十嵐卓、松村円、徳山拓一、真武真喜子、赤松祐樹、橋本梓）英文 pp.93-104
BIOGRAPHY pp.104-121
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「VOCA 2015 THE VISION OF CONTEMPORARY ART」
会期：2015 年 3 月 14 日－30 日 上野の森美術館 主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：今井俊介、榮水亜樹、奥村雄樹、小野耕石、笠見康大、加茂昂、川久保ジョイ、岸幸太、衣川明子、ジョミ・キム、齋悠記、鋤柄ふくみ、鈴木興、瀬尾夏美、武田浩志、武田雄介、竹村文宏、長谷川由貴、原田圭、平野泰子、福田龍郎、本城直季、牧野真耶、松岡学、松平莉奈、松本寛庸、mariane、水川千春、水野里奈、ミヤギフトシ、村瀬恭子、村田峰紀、森綾乃、横山奈美〔図版収載順〕
授賞者：VOCA 賞・小野耕石、VOCA 奨励賞・岸幸太、水野里奈、佳作賞・松岡学、松平莉奈、大原美術館賞・川久保ジョイ

他人の時間 カタログ ●
東京都現代美術館・国立国際美術館・シンガポール美術館・クィーンズランド州立美術館現

代美術館・国際交流基金アジアセンター　2015 年 4 月 10 日　英文併載
ごあいさつ（東京都現代美術館・国立国際美術館・シンガポール美術館・クイーンズランド州立美術館 現代美術館・国際交流基金アジアセンター）　pp.4, 5
企画にあたって（崔敬華・橋本梓、ミシェル・ホー・ルーベン・キーハン）　pp.6, 7
各会場・出品作家リスト　p.10
図版〔作家・作品解説、図版〕　pp.11-121
〔作家・作品解説〕（ミシェル・ホー、橋本梓、崔敬華、ルーベン・キーハン）
分かちあえない時間を巡るいくつかの考察（崔敬華）　pp.35-38, 39-42
他人の時間のために（橋本梓）　pp.67-70, 71-74
他者性の場所：グローバルな現代における東南アジアの美術（ミシェル・ホー）　pp.99-102, 103-106
他人の時間と、差異から露呈してくる複数の現実（ルーベン・キーハン）　pp.123-126, 127-129
作家略歴　pp.131-134, 135-138
作品リスト　pp.139-142, 143-146
プロジェクト・メンバー　p.147
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「Time of others」
会期：2015 年 4 月 11 日－6 月 28 日　東京都現代美術館／7 月 25 日－9 月 23 日　大阪・国立国際美術館／11 月 19 日－2016 年 2 月 28 日　シンガポール美術館／6 月 11 日－9 月 18 日　クイーンズランド州立美術館現代美術館　主催：開催美術館・国際交流基金アジアセンター
出品：リンゴ・ブノアン、チェン・ジエレン、ヒーメン・チョン、キリ・ダレナ、グレアム・フレッチャー、ホー・ツーニェン、サレ・フセイン、ジョナサン・ジョーンズ、加藤翼、河原温、ヴォー・アン・カーン、キム・ボム、アン・ミー・レー、イム・ミヌク、バスィール・マハムード、mamoru、ミヤギフトシ、トザー・パク(パク・シュウンチュエン)、プラッチャヤ・ピントーン、ブルース・クェック、ルアンルパ、下道基行、ナティー・ウタリット、ヴァンディー・ラッタナ、ヤン・ヴォー〔作品リスト順〕

高橋コレクション展 ミラー・ニューロン ●
玄光社　2015 年 5 月 31 日
ごあいさつ（主催者）　p.3
図版　pp.6-116
ミラーニューロンとシミュレーション（高橋龍太郎）　pp.65-68
作家解説・略歴
作家解説（児島やよい、内田真由美、堀元彰、福士理）　pp.117-143
来るべき時代のカルテ――高橋コレクションについて（堀元彰）　pp.144-147

高橋龍太郎年譜（飯尾次郎・出原日向子編） pp.148-157
出品作品リスト pp.158-162
所蔵：□、国新美、都現美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「TAKAHASHI COLLECTION：Mirror Neuron」
会期：2015 年 4 月 18 日－6 月 28 日　初台・東京オペラシティアートギャラリー　主催：東京オペラシティ文化財団・朝日新聞社
出品：草間彌生、菅木志雄、関根伸夫、李禹煥、小林正人、榎倉康二、岡田謙三、井上有一、金坂健二、荒木経惟、奈良美智、加藤美佳、小谷元彦、安藤正子、樫木知子、鴻池朋子、辰野登恵子、丸山直文、中村一美、舟越桂、青木陵子、大岩オスカール、伊藤存、村瀬恭子、蜷川実花、須田悦弘、橋本雅也、塩保朋子、宮永愛子、名和晃平、Chim↑Pom、西尾康之、会田誠、村上隆、Mr.、小沢剛、池田学、小林孝亘、青山悟、町田久美、加藤泉、淺井裕介、近藤亜樹、束芋、山口晃、風間サチコ、松井えり菜、森村泰昌、やなぎみわ、森山大道、横尾忠則、ヤノベケンジ〔出品作品リスト順〕

われらの時代〈ポスト工業化社会の美術〉●
金沢 21 世紀美術館　2015 年 4 月 25 日　英文併載
「ザ・コンテンポラリー1 われらの時代：ポスト工業化社会の美術」によせて（館長秋元雄史） pp.4-5, 113-114
21 世紀の 15 年を回顧する（内田樹） pp.6-12, 115-121
キーワードで語る“われらの時代”（鷲田めるろ、星野太、北田暁大、津田大介、福住廉） pp.13-31, 122-140
図版〔作家のことば、図版、作家略歴、作家論〕 pp.33-112
〔作家のことば〕（大久保あり）
〔作家論〕（北出智恵子、黒澤浩美、中田耕市、鷲田めるろ、内呂博之、高橋律子、米田晴子）
出品リスト pp.142-143, 144-145
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「In Our Time：Art in Post-industrial Japan」
会期：2015 年 4 月 25 日－8 月 30 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館
出品：大久保あり、金氏徹平、宇川直宏、小金沢健人、泉太郎、三瀬夏之介、束芋、スプツニ子!、八木良太、アルマ望遠鏡プロジェクト〔出品リスト順〕

シンプルなかたち：美はどこからくるのか　森美術館編 ●
平凡社　2015 年 4 月 22 日　英文併載
ごあいさつ（館長南條史生） pp.4, 5
ごあいさつ（エマ・ラヴィーニュ） pp.6, 7
序文（ピエール＝アレクシィ・デュマ） pp.10-12, 13-15

シンプルとは?（ジャン・ド・ロワジー） pp.16-23, 24-31
図版〔章解説、図版〕 pp.33-160
作品リスト／作家・作品解説 pp.161-201
解説〔日本作家〕（南條史生、鷹箸絵麻、椿玲子）
註：編集は椿玲子、佐々木瞳(美術館)。
所蔵：□、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Simple Forms：Contemplating Beauty」
会期：2015 年 4 月 25 日－7 月 5 日 六本木・森美術館 主催：森美術館・ポンピドゥー・センター・メス、特別共催：エルメス財団
出品：岡崎和郎、李禹煥、杉本博司、岡田紅陽、黒田泰蔵、大巻伸嗣、田中信行、西川勝人〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

有為自然――岡崎和郎、伊勢﨑淳、中西夏之〈すべてとつながり、場がうまれ、ともに生きる〉●
岡山県立美術館 2015 年 5 月 20 日
ごあいさつ（主催者） p.5
展覧会場風景〔図版〕 pp.8-48
展覧会によせて〔インタビュー、詩〕 pp.51-79
インタビュー（岡崎和郎、伊勢﨑淳）
詩（中西夏之）
図版 pp.81-215
有為の奥山今日越えて（鍵岡正謹） pp.218-221
三人の人間による一つの場が生まれるまで（高嶋雄一郎） pp.222-227
人間と自然、自然と芸術 三人のアーティストをめぐって（巖谷國士） pp.228-235
略年譜・参考文献（高嶋雄一郎編） pp.238-264
作品リスト pp.265-270
註：編集は高嶋雄一郎、大山真季。
所蔵：□、国新美、東近美、神近美
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Three-Cornered World：Kazuo OKAZAKI, Jun ISEZAKI and Natsuyuki NAKANISHI Connecting with the other, making place, coexisnting here」
会期：2015 年 4 月 28 日－6 月 7 日 岡山県立美術館 主催：岡山県立美術館・山陽新聞社
出品：岡崎和郎、伊勢﨑淳、中西夏之〔作品リスト順〕

ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム from 1989 メディア・アート国際化推進委員会編 ●
図書刊行会 2015 年 6 月 24 日
はじめに（館長青木保） p.2
マンガ pp.6-127

マンガ史 1989-2015（中野晴行）
図版
アニメ　pp.128-229
アニメ史 1989-2015（氷川竜介）
図版
ゲーム　pp.230-324
ゲーム史 1989-2015（さやわか）
図版
コラム（三輪健太朗、渡邉大輔、石岡良治、岩下朋世）　pp.326-333
エッセイ（大口孝之、大橋崇行、宇野常寛）　pp.334-345
ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム＊テクノロジー＊社会＊文化の 60 年史　pp.346-373
付：ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム from 1989 人名一覧
ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム from 1989 作品年表
註：編集は真住貴子、本橋弥生、小山祐美子、古家満葉ほか。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
□英語版〔2015 年 10 月 25 日発行〕
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
展名：ニッポンのマンガ＊アニメ＊ゲーム
欧文タイトル：「MANGA＊ANIME＊GAMES＊FROM JAPAN」
会期：2015 年 6 月 24 日－8 月 31 日　国立新美術館　企画構成：室屋泰三・阿部芳久、主催：国立新美術館／9 月 19 日－11 月 23 日　神戸・兵庫県立美術館　主催：兵庫県立美術館・ワコールアートセンター・神戸ビエンナーレ組織委員会
註：出品欄は個々の作家というよりは作品が主として扱われているので割愛した。

アート・オブ・ライフ〈生きることの美学〉●
群馬県立近代美術館　2015 年 7 月 11 日
ごあいさつ（館長井出洋一郎）　p.3
世界へのまなざし と 生きることの美学（佐藤聖子）　p.5
図版〔章解説、図版、作品解説〕　pp.6-53
章解説、作品解説（佐藤聖子）
作家略歴（佐藤聖子、田中龍也編）　pp.55-58
作品リスト　pp.59-62
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Art of Life」
会期：2015 年 7 月 11 日－8 月 30 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美

術館

出品：山口薫、石内都、三輪途道、南桂子、久野和洋、山口啓介、金田実生、伊庭靖子、押江千衣子、上田薫、草間彌生、遠藤享、長谷川繁、小瀬村真美、河原温、松江泰治〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 1 部 ライフ＝ワーク ●

広島市現代美術館　2015 年 7 月

あいさつ（館長福永治） pp.6, 7　英文併載

被爆 70 年と広島市現代美術館（福永治） pp.10-13, 14-17

「原爆の絵」からたどる、生きることと、つくること（松岡剛） pp.18-24, 26-31

図版〔解説、図版〕 pp.33-112

〔解説〕（松岡剛、小島ひろみ）英文　pp.114-119

作家略歴（小島ひろみ編） pp.122-130

出品リスト　pp.131-141

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 1 LIFE＝WORK」

会期：2015 年 7 月 18 日－9 月 27 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：香月泰男、宮崎進、四國五郎、大道あや、殿敷侃、石内都、後藤靖香、入野忠芳、江上茂雄、吉村芳生、村上友晴、Tomoya、大木裕之〔出品リスト順〕

註：出品欄は「原爆の絵」の作者 48 名は割愛し作家を収載。

戦争と平和展〈広島・長崎被爆 70 周年〉こどもガイド ●

広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会　2015 年 7 月　平成 27 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業　1 枚(四ツ折両面刷)

〔解説、図版〕

〔解説〕（山下寿水、弘津かおる）

所蔵：□、東近美

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 7 月 25 日－9 月 13 日　広島県立美術館／9 月 20 日－10 月 25 日　長崎県美術館　主催：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会

註：本展カタログ未見のため「こどもガイド」を記載。本郷新、上野誠、田川憲、名井萬亀、石内都の作品図版が収載されている。

アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋〈日本と韓国の作家たち〉 ●

国立新美術館　2015 年 7 月　韓文英文併載

ごあいさつ（館長青木保） pp.4, 6, 8
ごあいさつ（キム・ジョンベ） pp.5, 7, 9
共同序文（南雄介、チェ・ウンジュ） pp.10-11, 12-13, 204-205
オブジェクトとイメージの隣接性（米田尚輝） pp.16-19, 20-23, 206-209
ここでは時間が空間となるのだ（カン・スジョン） pp.24-28, 29-33, 210-214
図版〔図版、作家論〕 pp.35-203
〔作家論〕（イ・ヨンウ、イ・サビン、米田尚輝、メン・ジョン、チョン・ヨンシム、イ・スヨン、長屋光枝、日比野民蓉、南雄介、イ・グァンフン） pp.216-227 英文
Biographies and Bibliographies of Artists〔作家略歴、主要文献〕（照屋全宝、桑名真吾、ロ・ユニア、チョ・アラ、キム・ジョン、イ・サンア、日比野民蓉） pp.228-286
List of Plates pp.288-292
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文／韓文タイトル：「Artist File 2015 Next Doors：Contemporary Art in Japan and Korea／아티스트 파일 2015：동행」
会期：2015 年 7 月 29 日－10 月 12 日 国立新美術館／11 月 10 日－2016 年 2 月 14 日 韓国国立現代美術館果川館 主催：国立新美術館・韓国国立現代美術館 共催：国際交流基金・韓国国際交流財団
出品：イム・フンスン、キ・スルギ、小林耕平、イ・ヘイン、イ・ソンミ、イ・ウォノ、南川史門、百瀬文、手塚愛子、冨井大裕、ヤン・ジョンウク、横溝静〔図版収載順〕

カフェ・イン・水戸 R ●
水戸芸術館現代美術センター 2015 年 11 月 20 日 主に英文併載 展覧会資料第 101 号 開館 25 周年事業
「カフェ・イン・水戸 R」～鷹揚なプラットフォーム（浅井俊裕） pp.4-5, 6-7
作家一覧 pp.8-9
図版〔図版、解説〕 pp.10-57
解説（浅井俊裕、竹久侑、井関宗悠）
作家プロフィール pp.58-61
作品リスト pp.62-68
Re MITO 100〔水戸街なか企画 リミット 100〕
Of the MITO, for the MITO（日比野克彦） pp.4-5, 6-7
Re MITO 100「ガイドブック」 pp.8-35
水戸市中心市街地マップ、水戸市広域マップ pp.36-37, 38-39
Re MITO 100 イベントカレンダー pp.40-41
「Re MITO 100」公開ミーティング、交流会 pp.42-43, 44
Re MITO 100 ガイドブック執筆者、街なか展示監視ボランティア p.45

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「CAFE in Mito R」

会期：2015 年 8 月 1 日－10 月 18 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団／8 月 1 日－9 月 30 日　水戸市内各所

出品：アレグザンドラ・ダン、柳家花緑、宮永愛子、佐々木愛、志村信裕、大塚千野、山下麻衣＋小林直人、目【め】、日比野克彦。街なか出品作家；北澤潤、増田拓史、山本麻紀子〔作品リスト順〕

戦後日本美術の出発 1945-1955〈画家たちは「自由」をどう表現したか〉●

群馬県立近代美術館　2015 年 9 月

ごあいさつ（館長井出洋一郎）　p.7

敗戦後 10 年（原田光）　pp.10-13

鶴岡政男、松本竣介、麻生三郎の戦後の活動を考える（徳江庸行）　pp.14-17

図版〔章解説、図版〕　pp.19-86

　章解説（松下由里、定松晶子）

作家略歴　pp.89-90

主要参考文献　pp.91-92

関連年表（谷内克聡編）　pp.93-100

出品リスト　pp.101-103

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：松本竣介、井上長三郎、鶴岡政男、麻生三郎、吉原治良、村井正誠、山口薫、森芳雄、香月泰男、福沢一郎、北脇昇、岡本太郎、古沢岩美、阿部展也、杉全直、丸木位里・俊、山下菊二、桂川寛〔出品リスト順〕

すごいぞ、これは!　　埼玉県立近代美術館編 ●

心揺さぶるアート事業実行委員会事務局　2015 年 9 月 19 日　文化庁平成 27 年度戦略的芸術文化創造推進事業

ごあいさつ（主催者）　p.5

すごいから、はじまる（前山裕司）　pp.6-7

図版〔図版、作家解説、作家略歴〕　pp.9-111

　〔作家解説〕（塩田純一、天野一夫、渋谷拓、建畠晢、大内郁、保坂健二朗、前山裕司、真武真喜子、櫛野展正、宮城加奈子、近藤由紀、服部正）

作品リスト　pp.112-118

参考文献　p.119

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「This is Amazing!」

会期：2015 年 9 月 19 日－11 月 3 日　北浦和・埼玉県立近代美術館／11 月 14 日－12 月 25 日　札幌芸術の森美術館／2016 年 1 月 7 日－14 日　高知・藁工ミュージアム、かるぽーと／2 月 2 日－10 日　福山・鞆の津ミュージアム　主催：文化庁・心揺さぶるアート事業実行委員会・開催美術館

出品：阿部恵子、伊藤輝政、刈谷智恵、川上建次、喜舎場盛也、しろ、杉浦篤、田湯加那子、西脇直毅、藤岡祐機、本田雅啓、前田諒太郎〔作品リスト順〕

ザ・コンテンポラリー2 誰が世界を翻訳するのか ●

マイブックサービス　2015 年 11 月 21 日　英文併載

図版　pp.15-42, 67-70, 95-122

翻訳論 ver・2015――生の振幅をめぐる賭け（真島一郎）　pp.132-135, 2-6

誰が世界を翻訳するのか――新しい歴史の地平のために（黒澤浩美）　pp.126-131, 7-13

「On Okinawa、過去と未来からのコレクション」展（照屋勇賢）　pp.86-87, 56-57

Selected Solo Exhibitions　Teruya Yuken　pp.71-72　英文

註：本展に出品された日本作家は照屋勇賢ひとりなので、メイン論文と照屋に関する論考、記録を記載し、出品欄も 1 名のみ収載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Contemporary 2　Who interprets the world?」

会期：2015 年 9 月 19 日－12 月 13 日　金沢 21 世紀美術館　主催：金沢 21 世紀美術館

出品：照屋勇賢

From now on!! 藤沢発、アートのこれから ●

藤沢市アートスペース　2016 年 1 月　開館記念特別展覧会

ごあいさつ（市長鈴木恒夫、藤沢市アートスペース）　pp.4, 5

藤沢市アートスペースの「いま」と「これから」（齋藤武郎）　pp.8-12

図版　pp.13-64

関連行事の記録　pp.65-68

作家略歴（杉本聡子編）　pp.70-74

出品リスト　pp.76-78

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

会期：　2015 年 10 月 3 日－2016 年 1 月 17 日　藤沢市アートスペース　主催：藤沢市・藤沢市教育委員会

出品：漆原夏樹、麻生知子、松浦歩、米山幸助、江川純太、柵瀬茉莉子、新澤悟郎、池田拓馬、内山聡〔出品リスト順〕

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 2 部 俯瞰の世界図 ●

広島市現代美術館　2015 年 10 月　英文併載

あいさつ（館長福永治）　pp.4, 5

高いところから、広くそして深くとらえるということ（角奈緒子）　pp.8-14, 15-20

爆心地ヒロシマに入る（林重男）　pp.24-27, 28-31　再録

図版〔図版、作家・作品解説〕　pp.33-96, 98-103

作家略歴　pp.106-119

出品リスト　pp.120-124

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING　PART 2 A BIRD'S-EYE VIEW OF THE WORLD」

会期：2015 年 10 月 10 日－12 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社

出品：林重男、マシュー・デイ・ジャクソン、吉田初三郎、丹下健三、ル・コルビュジエ、松江泰治、ジャナーン・アル・アーニ、チャールズ&レイ・イームズ、石原正、本城直季、山口晃、リン・シュカイ(林書楷)、大岩オスカール、ニパン・オラニウェー〔出品リスト順〕

STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」●

熊本市現代美術館　2015 年 10 月 10 日　主に英文併載　付・別葉 1 枚

ごあいさつ（熊本市現代美術館）　p.3

STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」（芦田彩葵）　pp.4-6, 7-9

図版〔作家のことば、図版〕　pp.10-70

〔作家のことば〕(渡邊淳司＋安藤英由樹、石黒浩、藤井直敬＋GRINDER-MAN＋EVALA、林智子、加藤泉、金川晋吾、横溝静、モナ・ハトゥム、小泉明郎、ボリス・ミハイロフ、ミカ・ロッテンバーグ、ズビグニエフ・リベラ、エリザベス・プライス、リー・ブラザーズ、大野智史、藤田桃子、塩保朋子)

作家略歴　pp.71-76

出品リスト　pp.77-78

□別葉〔二ツ折両面刷〕

『STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」』展（桜井武）英文併載

註：編集は芦田彩葵、塚本春菜、岩崎千夏。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「STANCE or DISTANCE?　My Connection with the World」

会期：2015 年 10 月 10 日－12 月 6 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市現代美術館・熊本

日日新聞社・KAB 熊本朝日放送

出品：渡邊淳司＋安藤英由樹、石黒浩、藤井直敬＋GRINDER-MAN＋EVALA、林智子、加藤泉、金川晋吾、横溝静、モナ・ハトゥム、小泉明郎、ボリス・ミハイロフ、ミカ・ロッテンバーグ、ズビグニエフ・リベラ、エリザベス・プライス、リー・ブラザーズ、大野智史、藤田桃子、塩保朋子〔出品リスト順〕

あざみ野コンテンポラリーvol.6 もう一つの選択 ●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2015 年 10 月　開館 10 周年記念

ごあいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野）　p.1　英文併載

図版〔作家略歴、インタビュー、図版〕　pp.2-12

〔インタビュー〕（青山悟、斎藤玲児、友政麻理子、和田昌宏、凌宗権、王坪）

関連イベント　p.12

所蔵：□、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.6　Alternative Choice」

会期：2015 年 10 月 17 日－11 月 8 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：青山悟、斎藤玲児、友政麻理子、和田昌宏、凌宗権、王坪〔図版収載順〕

ペインティングの現在〈4 人の平面作品から〉●

川越市立美術館　2015 年 10 月

あいさつ（川越市立美術館）　p.3

絵画を生きる（平野到）　pp.6-8

図版　pp.9-77

ペインティングの現在〈4 人の作品から〉（濱田千里）　pp.79-82

〔作家のことば〕（荻野僚介、樺山祐和、高橋大輔、浅見貴子）　pp.84-89

〔作家略歴、参考文献〕　pp.90-99

出品リスト　pp.100-101

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Present-Day Paintings：Two-Dimensional Works of Four Artists」

会期：2015 年 10 月 31 日－12 月 23 日　川越市立美術館　主催：川越市立美術館

出品：荻野僚介、樺山祐和、高橋大輔、浅見貴子〔出品リスト順〕

“TOKYO”－見えない都市を見せる ●

青幻舎　2015 年 11 月 20 日　英文併載　東京アートミーティング第 6 回

図版　pp.2-11

はじめに　pp.14, 15

“TOKYO”を読み解く 10 のキーワード　pp.18-19

図版〔解説、図版、作家略歴、インタビュー、作家のことば〕　pp.20-129

インタビュー（宮沢章夫、蜷川実花、塚本由晴）

作家のことば（蜷川実花、岡田利規、ホンマタカシ、EBM(T)、松江哲明）
ポスト・インターネットにおける三つのデフォルト：OS／イメージ・オブジェクト／オンラインギャラリー（水野勝仁） pp.96-98, 99-101
東京は今でも未来的か（長谷川祐子） pp.130-135, 136-141
東京-パラレル-リミックス（難波祐子） pp.142-145, 146-149
外部寄稿者・参加作家 pp.150, 151
展覧会構成 p.152
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「“TOKYO” －Sensing the Cultural Magma of the Metropolis」
会期：2015 年 11 月 7 日－2016 年 2 月 14 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京都現代美術館・アーツカウンシル東京・産経新聞社
出品：YMO、蜷川実花、小金沢健人、ホンマタカシ、中平卓馬、トーマス・デマンド、赤瀬川原平、大西麻貴＋百田有希、黒河内真衣子、津村耕佑、Chim↑Pom、テイバー・ロバック、ジェレミー・ショウ、TCF、ジェイムス・フェラーロ、イェンナ・ステラ、林科、サーダン・アフィフ、松江哲明、スーパーフレックス、目【め】〔図版収載順〕
註：これらの作家の他に桑原甲子雄の写真(1936 年)が出品されている。

時代の共鳴者 辻井喬・瀧口修造と 20 世紀美術〈セゾン現代美術館コレクションから〉●
富山県立近代美術館　2015 年 12 月　北陸新幹線開業記念
ごあいさつ（富山県立近代美術館） p.3
図版〔章解説、図版、作家略歴〕 pp.7-94
章解説、作家略歴（稲塚展子）
辻井喬、瀧口修造〔略年譜〕 pp.96-103
二つのまなざし－辻井喬と瀧口修造（稲塚展子） pp.104-106
出品目録 pp.107-119
註：編集は稲塚展子、碓井麻央。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2015 年 12 月 1 日－2016 年 1 月 17 日　富山県立近代美術館　主催：富山県立近代美術館・セゾン現代美術館・北日本新聞社・北日本放送
出品：辻井喬、田中一光、石岡瑛子、浅葉克己、松永真、瀧口修造、荒川修作、加納光於、中西夏之、堂本尚郎、福島秀子、横尾忠則〔出品目録順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

第 18 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●
文化庁　2015 年 12 月　主に英文併載
ごあいさつ（主催者）p.3

新進芸術家海外研修(旧・芸術家在外研修)制度について　p.4
表現と素材――第 18 回 DOMANI・明日展によせて（真住貴子）　pp.6-8, 9-12
アーティスト ことばと作品　pp.13-109
　ことば（ALIMO、木島孝文、栗林隆、佐伯洋江、線幸子、田村友一郎、富岡直子、西ノ宮佳代、野田睦美、古川あいか、松岡圭介、風間サチコ）
修復家 ことばと活動（市川詠子編）　pp.111-119
　ことば（石井美恵、奥村祥子）
作家略歴　pp.121-146
出展リスト　pp.148-151
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「18th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」
会期：2015 年 12 月 12 日－2016 年 1 月 24 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館・読売新聞社
出品：ALIMO、木島孝文、栗林隆、佐伯洋江、線幸子、田村友一郎、富岡直子、西ノ宮佳代、野田睦美、古川あいか、松岡圭介、風間サチコ〔出展リスト順〕

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作 第 3 部 ふぞろいなハーモニー ●
広島市現代美術館　2015 年 12 月　英文併載
あいさつ（館長福永治）　pp.4, 5
あいさつ（Dr.シュテファン・ドライアー）　pp.6, 7
「ふぞろいなハーモニー」アジアという想像物についての批評的考察（黄建宏、神谷幸江、キム・ソンジョン、キャロル・インハ＝ルー）　pp.10, 11
ハーモニー：共感の文化から不調和へ（キム・ソンジョン）　pp.12-16, 17-20
フィールドワークの現場としてのアジア（キャロル・インハ＝ルー）　pp.21-25, 26-29
真空への配慮（黄建宏(ファン・チェンホン)）　pp.30-35, 36-40
過去と未来の間、で考える。ヒロシマから。（神谷幸江）　pp.41-44, 45-48
〔出品作家への質問と回答〕　pp.49-60
図版〔作家・作品解説、図版〕　pp.61-112
　作家・作品解説（黄建宏、キャロル・インハ＝ルー、神谷幸江、パク・ユンア）
作家略歴　pp.114-121
出品リスト　pp.122-124
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「HIROSHIMA TRILOGY：70TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC

BOMBING　PART 3 DISCORDANT HARMONY」
会期：2015 年 12 月 19 日－2016 年 3 月 6 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・中国新聞社
出品：千葉正也、高嶺格、田中功起、米田知子〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

2016（平成 28）年
アートの今・岡山 2015「dialogues 対話」記録集 ●
「アートの今・岡山」展実行委員会　2016 年 1 月 31 日
ごあいさつ（花田修一）　p.2
図版〔展示風景、対話〕　pp.3-38
対話（蛭田二郎×上田久利、木村克朗×岡田啓伸、能勢伊勢雄×中原浩大）
出品リスト　p.39
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Present of Art OKAYAMA 2015」
会期：〔2015 年 11 月 4 日－15 日　岡山県天神山文化プラザ／11 月 28 日－12 月 23 日　高梁市歴史美術館〕／2016 年 1 月 9 日－2 月 7 日　奈義町現代美術館　主催：「アートの今・岡山」展実行委員会・岡山県天神山文化プラザ・おかやま県民文化祭実行委員会・高梁市・高梁市教育委員会・高梁市歴史美術館・奈義町・奈義町教育委員会・奈義町現代美術館
註：岡山県天神山文化プラザの企画展であるが、この「一覧」では奈義町現代美術館で採録し、巡回展の記録は〔　　〕で囲み記載のみにとどめた。
出品：蛭田二郎、上田久利、木村克朗、岡田啓伸、能勢伊勢雄、中原浩大〔出品リスト順〕
エッケ・ホモ〈現代の人間像を見よ〉●
国立国際美術館　2016 年 1 月　特別展
ごあいさつ（国立国際美術館）　p.5　英文併載
予兆と反転――現代の人間像は、見えない（福元崇志）　pp.7-11
現代の人間表現について〈アルベルト・ジャコメッティの芸術と小谷元彦の芸術との距離〉（中井康之）　pp.12-16
図版〔章解説、図版〕pp.17-103
章解説（福元崇志）
作家・作品解説（中井康之、小野寺結、尹志慧、福元崇志、高見澤なごみ、楠本愛、古俣皓隆、池田あけみ）　pp.105-118
出品作品リスト　pp.119-124
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ECCE HOMO The Human Images in Contemporary Art」

会期：2016 年 1 月 16 日－3 月 21 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館・朝日新聞社

出品：1 日常の悲惨；鶴岡政男、石井茂雄、山下菊二、中村宏、尾藤豊、桂川寛、芥川〔間所〕紗織、浜田知明、池田龍雄、靉嘔、工藤哲巳、荒川修作、吉仲太造、村岡三郎、北山善夫。2 肉体のリアル；小谷元彦、西尾康之、木下晋、石内都、塩田千春。3 不在の肖像；小林孝亘、内藤礼、オノデラユキ、森村泰昌、田口和奈、北野謙、島袋道浩〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

群馬 NOMO グループの全貌 ●

群馬県立近代美術館　2016 年 1 月 16 日

ごあいさつ（館長井出洋一郎）　p.3

図版〔章解説、図版〕　pp.7-118

〔章解説〕（田中龍也）

作家略歴　pp.120-126

関連事項解説（田中龍也、染谷滋）　pp.127-132

年譜　pp.133-144

参考文献　pp.145-148

出品リスト　pp.149-155

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 1 月 16 日－3 月 21 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館

出品：砂盃富男、角田仁一、田島弘章、藤森勝次、金子英彦、加藤アキラ、堤幸夫、森康雄〔出品リスト順〕

カンバセーション＿ピース：かたちを(た)もたない記録〈小西紀行＋AHA!〉 ●

武蔵野市立吉祥寺美術館　2016 年 8 月 15 日

図版〔図版、LOGUE、ESSAY、REVIEW、INTERVIEW〕　pp.4-51

LOGUE1-4（大内曜）

ESSAY（保坂和志）

REVIEW（松本篤）

INTERVIEW（AHA!）

所蔵：□、国新美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONVERSATION PIECE/PEACE」

会期：2016 年 1 月 16 日－2 月 28 日　武蔵野市立吉祥寺美術館　主催：武蔵野市立吉祥寺美術館

出品：小西紀行、AHA!(人類の営みのためのアーカイブ)

村上隆のスーパーフラット・コレクション〈蕭白、魯山人からキーファーまで〉●

カイカイキキ　2016 年 7 月 30 日　主に英文併載

図版　pp.2-29

はじめに（逢坂恵理子）pp.30, 31

ステートメント（村上隆）pp.32-33, 34-35

芸術への問い、芸術のちから－スーパーフラット・コレクションから見えるもの（三木あき子）pp.38-50

コレクションの最果て（柏木智雄）pp.51-57

スーパーフラット・コレクションとは?（三木あき子）p.58

図版〔図版、解説〕pp.59-329

デイヴィッド・ウォルシュ＋村上隆 コレクター対談　pp.330-341

千利休と村上隆（熊倉功夫）pp.342-344

広瀬一郎＋村上隆 陶芸対談　pp.346-357

やきもの年表　pp.358-361

スーパーフラット・コレクション－ゴミ屋敷の中の、カブトムシの死骸の入った水槽と芸術と奇蹟の関係性（村上隆）pp.362-376

作品リスト　pp.377-398

作家解説（三木あき子、柏木智雄、松永真太郎、庄司尚子、藤田麻希、カイカイキキ）pp.399-420

用語解説（花井素子、柏木智雄、小林沙友里、藤田麻希）pp.421-425

村上隆年表　pp.426-436, 437

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Takashi Murakami's Superflat Collection――From Shóhaku and Rosanjin to Anselm Kiefer――」

会期：2016 年 1 月 30 日－4 月 3 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社

出品：山本作兵衛、田中一村、井上有一、北大路魯山人、村田森、厚川文子、藤吉憲典、郡司庸久、浜名一憲、原朋子、上泉秀人、寒川義雄、小嶋亜創、熊谷幸治、沼田智也、尾形アツシ、小野哲平、大谷工作室、上田勇児、もとくにこ、高岡哲也、村上福壽郎、グルーヴィジョンズ、沢田英男、赤木明登&松林誠、土屋仁応、松下昌司、小出ナオキ、前川秀樹、大竹利絵子、篠山紀信、荒木経惟、中村一美、三木富雄、村上友晴、榎倉康二、李禹煥、川俣正、小林正人、中原浩大、岡崎乾二郎、小沢剛、大竹伸朗、BOME(ボーメ)、奈良美智、竹熊健太郎、藤原新也、佐内正史、ヒロ杉山／エンライトメント、徳重道朗、五木田智央、ヒロミックス、タカノ綾、灰原愛、堀尾貞治、榎忠、青島千穂、小泉明郎、谷口真人、吉村大星、菊畑茂久馬、村上裕二、畠山直哉、仲田智、ob、國方真秀未、寺田克也、指差し作業員〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

魔法の美術館 ●

佐倉市立美術館　2016 年 2 月
ごあいさつ（佐倉市立美術館）
展示配置図
図版〔図版、作家略歴、作品解説〕 pp.1-6
関連事業　pp.7-8
あとがき（西川可奈子） p.9
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、神近美、横浜美、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「ART IN WONDER LAND」
会期：2016 年 2 月 6 日－3 月 27 日　佐倉市立美術館　主催：佐倉市立美術館
出品：坪倉輝明、緒方壽人、岡田憲一、重田佑介、HDMI、森脇裕之、的場やすし／山野真吾／徳井太郎、金箱淳一／猪口大樹／吉田真也、藤本直明、岡田憲一＋冷水久仁江(LENS)、小松宏誠〔図版収載順〕

美術は語られる――評論家・中原佑介の眼 リーフレット ●
DIC 川村記念美術館　2016 年 2 月
美術は言葉をこえる、と言われます。（川村記念美術館） p.1
図版〔章解説、図版、略歴、事項解説〕 pp.2-28
〔章解説、事項解説〕（光田由里）
中原佑介略歴　p.29
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「Talking about Art－The Viewpoint of Yusuke Nakahara」
会期：2016 年 2 月 11 日－4 月 10 日　佐倉・DIC 川村記念美術館　主催：DIC 川村記念美術館
出品：1 章 先駆者たち；瀧口修造、オノサト・トシノブ。II 章 同時代の作家たち；河原温、池田龍雄、赤瀬川原平、立石紘一、高松次郎、李禹煥。III 章 海外作家の紹介；ピエロ・マンゾーニ、クリスト、朴栖甫。IV 章 現代彫刻；コンスタンティン・ブランクーシ、クレス・オルデンバーグ、山口勝弘、宮脇愛子〔図版収載順〕

アナタにツナガル展図録 ●
新潟市美術館　2016 年 3 月 25 日
遠くて近い、アナタへ。－ごあいさつに代えて（新潟市美術館）p.3
関係をつむぎだすアート－「アナタにツナガル」展によせて（塩田純一）pp.6-16
図版〔図版、会場音声採録、解説、作家のことば〕pp.17-79
〔作家のことば〕（角地智史）
関連事業の記録　p.80
プロフィール　pp.81-83
出品リスト　pp.84-87
註：編集は荒井直美。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CONNECTING WITH YOU」

会期：2016 年 2 月 13 日－4 月 10 日　新潟市美術館　主催：新潟市美術館

出品：折元立身、岩井成昭、神林美樹、田中仁、角地智史。参考作品；基村英行〔出品リスト順〕

都美セレクション 新鋭美術家 2016 ●

東京都美術館　2016 年 2 月

はじめに（東京都美術館）p.3　英文併載

図版〔作家のことば、作家略歴、図版〕 pp.7-59

〔作家のことば〕（花澤洋太、森美樹、西村大喜、武田司、戸田麻子）

都美セレクション 新鋭美術家 2016 出品作家、作品の紹介（河村三枝子） pp.60-62, 63-65 英文併載

作品リスト　pp.66-67

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「New-wave Artists 2016－From the Public Entry Exhibition」

会期：2016 年 2 月 19 日－3 月 15 日　東京都美術館ギャラリーC　主催：東京都美術館

出品：花澤洋太、森美樹、西村大喜、武田司、戸田麻子〔作品リスト順〕

MOT アニュアル 2016 キセイノセイキ ●

註：本展の展覧会カタログは未見。

○展覧会事項

欧文タイトル：「MOT Annual 2016　Loose Lips Save Ships」

会期：2016 年 3 月 5 日－5 月 29 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都現代美術館

出品：遠藤麻衣＋増本泰斗、小泉明郎、齋藤はぢめ、アルトゥル・ジミェフスキ、高田冬彦、橋本聡、藤井光、古屋誠一、ダン・ペルジョヴスキ、横田徹〔同館の HP に拠る〕

○関連書籍

あなたは自主規制の名のもとに検閲を内面化しますか〈Our Feardom of Expression and Internalization of Censorship〉

torch press　2016 年 5 月 21 日

イントロダクション　pp.6, 7　英文併載

あとがき（田中功起＋影山裕樹） pp.164-165, 166-167　英文併載

註：本書は「MOT アニュアル 2016 キセイノセイキ」展と時期を同じくして発行された。

所蔵：□、国新美、都現美、写真美、和光大、国会図

VOCA 展 2016「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●

「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館　2016 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2016」開催にあたって（主催者）　p.5

「VOCA 展 2016」協賛によせて（第一生命保険相互会社）　p.7

〔授賞者、選考委員〕　p.9

〔選考評〕（建畠哲、本江邦夫、笠原美智子、片岡真実、神谷幸江、島敦彦）　pp.10-21

〔出品作家、推薦委員〕　pp.22-23

図版〔図版、作家解説〕　pp.24-87

〔作家解説〕（岡里崇、吉崎元章、野中明、辻瑞生、古野華奈子、米田尚輝、高橋しげみ、野田尚稔、山下裕二、豊見山愛、名古屋覚、清水建人、永松左知、前山裕司・長門佐季、寺嶋弘道、中田耕市、中村史子、小原真史、新見隆、麻生恵子、中井康之、吉岡恵美子、山本丈志、徳山拓一、林寿美、加藤義夫、宮本武典、金井直、角奈緒子、都筑正敏、森千花、正路佐知子）英文 pp.89-100

BIOGRAPHY　pp.100-117

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2016　THE VISION OF CONTEMPORARY ART」

会期：2016 年 3 月 12 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：青木豊、石川潤、井田幸昌、牛嶋直子、ERIC、大山エンリコイサム、尾﨑森平、笠井麻衣子、柏木健佑、嘉手苅志朗、川合朋郎、菊地良博、小林透、今実佐子、佐竹真紀、下出和美、神馬啓佑、鈴木のぞみ、関根直子、竹谷満、谷原菜摘子、NAZE、白田誉主也、花岡伸宏、久門剛史、藤部恭代、前田エマ、村上早、村上友重、横野明日香、芳木麻里絵、渡邊瑠璃〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・久門剛史、VOCA 奨励賞・鈴木のぞみ、谷原菜摘子、佳作賞・大山エンリコイサム、佐竹真紀、大原美術館賞・尾﨑森平

六本木クロッシング 2016 展 僕の身体、あなたの声 ●

森美術館　2016 年 5 月 1 日　主に英文併載

ごあいさつ（館長南條史生）　pp.6, 7

キュレーターによるステートメント 僕の身体、あなたの声（荒木夏実、キム・ソンジョン、小澤慶介、ウー・ダークン）　pp.8, 9

展示風景　pp.12-14

図版〔図版、作家・作品解説〕　pp.15-135

作家・作品解説（ウー・ダークン、荒木夏実、小澤慶介、キム・ソンジョン）

僕とあなたのいる世界（荒木夏実）　pp.138-143, 144-150

声（キム・ソンジョン）　pp.152-155, 156-158

「他者」はどこにいった あるいは、埋め込まれた「他者」を探して（小澤慶介） pp.160-162, 163-165
混迷の時代に共感は可能か? （ウー・ダークン） pp.164-169, 170-173
作家略歴・参考文献 pp.178-193
作品リスト pp.194-201
註：編集は荒木夏実、佐々木瞳。
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、横浜美、東大駒、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「ROPPONGI CROSSING 2016 My Body, Your Voice」
会期：2016 年 3 月 26 日－7 月 10 日 六本木・森美術館 主催：森美術館
出品：毛利悠子、片山真理、石川竜一、さわひらき、山城大督、高山明、野村和弘、ミヤギフトシ、藤井光、後藤靖香、佐々瞬、志村信裕、百瀬文、ナイル・ケティング、松川朋奈、小林エリカ、西原尚、ジュン・ヤン、ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ、長谷川愛〔作品リスト順〕

複製技術と美術家たちーピカソからウォーホルまで〈富士ゼロックス版画コレクション×横浜美術館〉●
東京パブリッシングハウス 2016 年 4 月
ごあいさつ（館長逢坂恵理子） pp.5, 6 英文併載
ごあいさつ（栗原博） pp.7, 8 英文併載
富士ゼロックス版画コレクションの歩みと活動 pp.11-13
複製技術時代の美術家たちー美術の装置一式をめぐって（中村尚明） pp.14-23
切断からの像〈ベンヤミンとクレーにおける破壊と構成〉（柿木伸之） pp.24-27
ゼログラフィック・ラヴ（成相肇） pp.28-31
図版〔章解説、図版〕 pp.33-172
章解説（中村尚明、片多祐子）
作家解説 pp.174-182
雑誌解説 p.183
作品リスト pp.184-203
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「Artists in the Age of Mechanical Reproduction－From Picasso to Warhol」
会期：2016 年 4 月 23 日－6 月 5 日 横浜美術館 主催：横浜美術館
出品：第 I 章 写真の登場と大画家たちの版画。第 II 章 普遍的スタイルを求めて。第 III 章 変容のイメージ。第 IV 章 大量消費時代にむけて；斎藤義重、荒川修作、吉田克朗、河口龍夫。第 V 章 ゼログラフィーと美術家；河口龍夫(重)、山口勝弘、戸村浩、野村仁、前田信明、高松次郎、山崎博、星野高志郎、岸田良子〔作品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

革新表現に挑む女流画家たち〈創画会の原点・今・明日〉●

浜松市秋野不矩美術館　2016 年 4 月 29 日　特別展

ごあいさつ（主催者）　p.1

図版〔作家略歴、図版〕　pp.2-33

出品作品リスト　pp.34-35

創画会について、創画会小史　p.36

所蔵：□、横浜美、京都学、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 4 月 29 日－6 月 5 日　浜松市秋野不矩美術館　主催：浜松市秋野不矩美術館・中日新聞東海本社

出品：秋野不矩、広田多津、荒木亨子、梶岡百江、高畑郁子、津田一江、野畑直子、松本祐子、宮いつき〔出品作品リスト順〕

北海道・いまを生きるアーティストたち ともにいること ともにあること ●

北海道立近代美術館　2016 年 5 月

ごあいさつ　見返し

美術と共生－9 作家の展開（薗部容子）pp.1-2

図版〔作家作品解説、展覧会歴、図版〕pp.3-39

作家作品解説〔穂積利明、薗部容子、大下智一〕

作品リスト　p.40

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The Emerging Artists in Hokkaido」

会期：2016 年 5 月 25 日－6 月 23 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館

出品：今村育子、国松希根太、経塚真代、紅露はるか、斉藤幹男、佐藤史恵、鈴木悠哉、高野理栄子、山田良〔作品リスト順〕

生への言祝ぎ〈インスタレーション、十二の柱＋出会いのパフォーマンス〉●

生への言祝ぎ展実行委員会　2016 年 6 月

ごあいさつ（主催者）　p.3　英文併載

大分の独創性へ、大分のクリエイティヴな生き方へ、その未来への、芳しき贈り物。〈「生への言祝ぎ」、十二の柱「かたち」、四つのパフォーマンス「からだ」に寄せて〉（新見隆）　pp.4-11, 12-17　英文併載

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.18-49

〔作家のことば〕（青木野枝、さかぎしよしおう、戸田裕介、戸谷成雄、中村洋子、樋口健彦、藤本由紀夫、真島直子、増田洋美、村元崇洋、吉雄介、留守玲、スティーブン・コーヘン、トネ・フィンク、マリアンネ・グレーバー）

ワークショップ&パフォーマンス スケジュール＋会場マップ　pp.50-51

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Auspicious Celebration of Lives　Installation of 12 Pillars＋Performances of Encounters」

会期：2016 年 6 月 11 日－7 月 18 日　大分県立美術館　主催：生への言祝ぎ展実行委員会・大分県立美術館・大分県芸術文化スポーツ振興財団

出品：青木野枝、さかぎしよしおう、戸田裕介、戸谷成雄、中村洋子、樋口健彦、藤本由紀夫、真島直子、増田洋美、村元崇洋、吉雄介、留守玲、スティーブン・コーヘン、トネ・フィンク、マリアンネ・グレーバー〔図版収載順〕

再発見! ニッポンの立体 ●

群馬県立館林美術館・静岡県立美術館・三重県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会 2016 年 7 月 16 日

ごあいさつ（主催者）　p.3

「再発見! ニッポンの立体」（毛利伊知郎）　pp.7-10

立体と平面の境界――浮彫に関するいくつかのこと（神尾玲子）　pp.11-14

小さきものへ――小品から見る日本の立体表現の歩み（原舞子）　pp.15-18

「本物そっくりな」ひとがたについて――彫刻とヒューマノイド人形と（村上敬）　pp.19-23

図版〔章解説、図版〕　pp.25-151

　章解説（毛利伊知郎）

日本の立体造形略年譜（毛利伊知郎編）　pp.154-155

主要作家解説（毛利伊知郎、村上敬、神尾玲子、原舞子）　pp.156-165

主要参考文献（毛利伊知郎・原舞子編）　pp.166-168

作品リスト　pp.169-173

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan」

会期：2016 年 7 月 16 日－9 月 19 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／11 月 15 日－2017 年 1 月 9 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館・読売新聞社・静岡第一テレビ・美術館連絡協議会／1 月 24 日－4 月 9 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：平櫛田中、向井良吉、グループ七彩、棚田康司、保井智貴、野口哲哉、四谷シモン、宮本理三郎、荒井良、前原冬樹、中谷ミチコ、下村良之介、山田常山(三代)、小山一草(二代)、宮永理吉、大嶋久興、佐藤和彦、吉川充、岸一舟、関沢芳堂、永島信也、須田悦弘、沼田一雅、辻晋堂、八木一夫、鈴木治、桜文鳥〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

アートと考古学展〈物の声を、土の声を聴け〉 ●

京都文化博物館　2016 年 7 月 23 日　世界考古学会議京都(WAC-8)開催記念

ごあいさつ（京都府京都文化博物館） p.2
ここではないどこか〈アートと考古学展に寄せて〉（松井利夫） pp.4-5
総論「アートと考古学」とは何か（村野正景） pp.5-9
図版〔章解説、図版、解説〕 pp.10-73
各論、会場構成について、対談（上村博、中村大、家成俊勝、松井利夫・村野正景） pp.74-79
Art & Archaeology フォーラムの記録 p.80
参考文献 p.81
図版掲載作品目録 pp.84-85
英文テキスト、List 等 pp.86-95
所蔵：□、国新美、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「ART AND ARCHAEOLOGY：THE SILENT VOICES OF MATERIALS AND SOIL」
会期：2016 年 7 月 23 日－9 月 11 日 京都文化博物館 主催：京都文化博物館
出品：第 4 章 考古学と出会い、響き合うアート；松井利夫、伊達伸明、八木良太、日下部一司、清水志郎〔作品目録順〕
註：出品欄は現代作家を収載。

木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景 ●
東京都美術館 2016 年 7 月 26 日〔第 2 版・9 月 10 日〕 開館 90 周年記念展
ごあいさつ（東京都歴史文化財団・東京都美術館） pp.3, 5 英文併載
東京都美術館開館 90 周年と記念展「木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景」に寄せて（真室佳武） pp.8-9, 10-11 英文併載
木々との再生――5 つの風景との出会い（田村麗恵） pp.12-15
図版〔作家解説、図版、作家略歴〕 pp.17-96
作家解説（小林明子、山村仁志、中原淳行）
再生をめぐって――東京都美術館と 5 つの風景（山村仁志） pp.98-101
関連年表――東京都美術館の 90 年と日本の木彫（山村仁志編） pp.102-109
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Tokyo Metropolitan Art Museum's 90th Anniversary Exhibition Dialogue with Trees－Five Stories of Rebirth and Renewal」
会期：2016 年 7 月 26 日－10 月 2 日 東京都美術館ギャラリーA・B・C 主催：東京都美術館
出品：土屋仁応、田窪恭治、須田悦弘、國安孝昌、舟越桂〔図版収載順〕

木々との対話――再生をめぐる 5 つの風景展覧会記録集
東京都美術館 2016 年 8 月 20 日〔第 2 版・9 月 10 日〕 開館 90 周年記念展

図版　pp.2-28

出品リスト　pp.29-31

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項〔本体に同じ〕

あの時みんな熱かった! アンフォルメルと日本の美術 ●

京都国立近代美術館　2016 年 7 月 27 日

ごあいさつ（京都国立近代美術館）　pp.2,3　英文併載

日本におけるアンフォルメルとその役割（平井章一）　pp.6-15

図版　pp.17-132

　章解説（平井章一）

関連年表（平井章一編）　pp.133-145

作家略歴（松原龍一、平井章一、小倉実子、大村菜生、平井菊花）　pp.146-162

主要参考和文献（平井章一編）　pp.163-164

出品リスト　pp.165-171

註：出品作家の伊沢宏子の略歴は無い。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「A Feverish Era：Art Informel and the Expansion of Japanese Artistic Expression in the 1950s and ’60s」

会期：展覧会カタログに記載無。以下は同館ホームページに拠った。2016 年 7 月 27 日－9 月 11 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館

出品：第 1 章 ミシェル・タピエとアンフォルメル；ジョルジュ・マチュー、アンス・アルトゥング、ポール・ジェンキンス、ルーチョ・フォンタナ、カレン・アペル、フランコ・ガレッリ、マーク・トビー、サム・フランシス、ジュゼッペ・カポグロッシ、ジャン＝ポール・リオペル、ジャン・デュビュッフェ、ジャン・フォートリエ。第 2 章 身体・アクション・線の流動；井上有一、森田子龍、比田井南谷、吉原治良、津高和一、堂本印象、大西茂、田淵安一、川端実、横山操、鷲見康夫、白髪一雄、伊沢宏子、村上三郎、堂本尚郎、番浦省吾、佐野猛夫、今井俊満、鶴岡政男、難波田龍起、不動茂弥、河井寛次郎、嶋本昭三、篠原有司男。第 3 章 原始・生命・生態的イメージ；岡本太郎、岡部嶺男、鈴木治、利根山光人、水谷勇夫、星野真吾、元永定正、田中敦子、松谷武判、山本敬輔、熊倉順吉、八木一夫、森野泰明、勅使河原蒼風、向井良吉、村岡三郎、藤本能道、麻田脩二、久保金平。第 4 章 反復・集合・覆われる画面；麻生三郎、赤穴宏、荻太郎、工藤甲人、児玉希望、本野東一、正延正俊、三上誠、郭徳俊、伊藤久三郎、丸木位里、中西夏之、針生鎮郎、高瀬善明、伊藤隆康、東松照明、向井修二、末松正樹、三輪晁勢、猪原大華、佐藤敬、宮脇愛子。第 5 章 マチエール・物質；村井正誠、上前智祐、下村良之介、斎藤義重、麻田鷹司、辻晋堂、寺尾恍示、大野俶嵩、野村耕、小野忠弘、吉原通雄、名合孝之、三浦景生、冬木偉沙夫、楠田信吾、岩田重義、

野村久之、菊畑茂久馬、桜井孝身、山内重太郎、俣野衛、高松次郎、荒川修作、工藤哲巳〔出品リスト順〕

歴史する! Doing history! ●

福岡市美術館　2017 年 3 月 31 日

〔あいさつ〕（福岡市美術館）　pp.2, 3　英文併載

保苅実〔略歴〕　pp.2, 3　英文併載

ここからはじめる――「歴史する! Doing history!」（正路佐知子）　pp.6-17, 18-24　英文併載

図版〔作家略歴、図版、作家のことば〕　pp.25-168

〔作家のことば〕（酒井咲帆、田代一倫）

講演録（岸政彦、川端浩平、手塚夏子）　pp.169-197

エッセイ（大日方欣一、一谷智子）　pp.201-223

附 飯山由貴《作品の前で語られた、いくつかの会話》より　pp.225-240

フロアマップ・作品リスト　pp.242-249

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図

〇展覧会事項

会期：2016 年 8 月 2 日－31 日　福岡市美術館　主催：福岡市美術館

出品：飯山由貴、梅田哲也、大木裕之、酒井咲帆＋ALBUS、坂崎隆一、田代一倫〔作品リスト順〕

在る表現――その文脈と諏訪〈松澤宥・辰野登恵子・宮坂了作・根岸芳郎〉●

茅野市美術館　2016 年 8 月 7 日

ごあいさつ（館長辻野隆之）　p.3

虚空間のコミューンー松澤宥のめざしたもの（嶋田美子）　pp.4-7

辰野登恵子 絵画と版画（南雄介）　pp.8-11

図版　pp.12-47

美術と私（宮坂了作）　pp.48-51

絵画の周辺（根岸芳郎）　pp.52-53

この土地に生まれて 辰野登恵子と諏訪（太田智子）　pp.54-56

在る表現ーその文脈と諏訪 松澤宥・辰野登恵子・宮坂了作・根岸芳郎（前田忠史）　pp.57-59

略歴　pp.60-67

出品目録　pp.68-70

関連イベント　p.71

註：編集は前田忠史、太田智子、中田麻衣子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 8 月 7 日－9 月 11 日　茅野市美術館　主催：茅野市美術館

出品：松澤宥、辰野登恵子、宮坂了作、根岸芳郎〔出品目録順〕

2016 年の IMA〈岩手の現代美術家たち〉図録〔資料編〕●

岩手県立美術館・岩手県文化振興事業団　2016 年 9 月 3 日　記録編共 2 冊(カバー入)

ごあいさつ（主催者）　p.3

図版〔作家略歴、図版、作家論〕　pp.6-45

〔作家論〕（濱淵真弓、盛本直美、吉田尊子、大野正勝、根本亮子、加藤俊明）

イメージの連鎖する世界へ（加藤俊明）　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Here and Now　Seven Artists from Iwate」

会期：2016 年 9 月 3 日－10 月 16 日　盛岡・岩手県立美術館　主催：岩手県立美術館・岩手県文化振興事業団

出品：長谷川誠、山本英治、泉田之也、細川憲一、千葉奈穂子、本田恵美、尾崎森平〔図版収載順〕

2016 年の IMA〈岩手の現代美術家たち〉図録〔記録編〕

岩手県立美術館・岩手県文化振興事業団　2016 年 9 月 24 日

図版　pp.4-21

〔出品目録〕　pp.22-25

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項〔資料編に同じ〕

被災地からの発信 ふくしま 3.11 以降を描く　　福島県立美術館編 ●

被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会　2017 年 3 月 17 日　平成 28 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

ごあいさつ（主催者）　p.3　英文併載

図版〔図版、作家のことば〕　pp.4-24　英文併載

〔作家のことば〕（油井ひろ子、松本良子、片平仁、門馬美喜、坂内直美、宮本興一郎、齋藤杏奈）

シンポジウム「被災地の表現、その可能性を探る」　p.25

〔作家略歴、ギャラリートーク採録〕　pp.26-43

出品リスト　pp.44, 45　英文併載

違和感を持ちながら『被災地からの発信・ふくしま 3.11 以降を描く』展について（伊藤匡）　pp.46, 47　英文併載

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 9 月 10 日－10 月 10 日　福島県立美術館　主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

出品：油井ひろ子、松本良子、片平仁、門馬美喜、坂内直美、宮本興一郎、齋藤杏奈〔出品リスト順〕

ニュー・ヴィジョン・サイタマ 5 迫り出す身体 ●

埼玉県立近代美術館　2016 年 10 月

ごあいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.3

図版〔作家のことば、図版、作家論〕　pp.9-120

〔作家のことば〕（青木真莉子、小左誠一郎、鈴木のぞみ、高橋大輔、二藤建人、小畑多丘）

マクドナルド、星、迷路（ナイル・ケティング）

迫り出す身体（大浦周）　pp.122-127, 128-133

作家解説・略歴（大浦周・吉岡知子編）　pp.135-156

出品リスト　pp.158-163

関連プログラム　p.164

註：編集は大浦周、吉岡知子、平野到。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「NEW VISION SAITAMA　The Emerging Body」

会期：2016 年 9 月 17 日－11 月 14 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館

出品：青木真莉子、小左誠一郎、鈴木のぞみ、高橋大輔、二藤建人、中園孔二、小畑多丘〔出品リスト順〕

新・今日の作家展 2016 創造の場所－もの派から現代へ ●

横浜市民ギャラリー　2016 年 9 月　第 1 回展　記録集共 2 冊

ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）　p.2

創造の場所（大塚真弓）　pp.3-4

図版〔図版、作家紹介、インタビュー〕　pp.5-15

インタビュー（菅木志雄、池内晶子、鈴木孝幸、聞き手・大塚真弓）

所蔵：□、都現美、横浜美、和光大

□記録集〔全 8 ページ〕

図版〔展示風景、クロージングイベント〕

註：クロージングイベントは 10 月 9 日に開催、したがってこの「記録集」はこの日以後の刊行となる。

所蔵：□、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2016 Spaces of Creation Mono-ha to the Art of Today」

会期：2016 年 9 月 22 日－10 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：斎藤義重、榎倉康二、菅木志雄、池内晶子、鈴木孝幸〔図版収載順〕

BODY / PLAY / POLITICS ●

モ・クシュラ　2016 年 11 月 11 日　英文併載

序文（木村絵理子）　pp.8, 9

作品および解説　pp.15-112

解説（木村絵理子）

BODY / PLAY / POLITICS〈身体は歴史を引き受ける〉（木村絵理子）　pp.114-118, 119-123

作家インタビュー〔作家略歴、インタビュー〕（聞き手・木村絵理子）　pp.126-213

〔作家略歴〕（松永真太郎、片多祐子、日比野民蓉）

作品リスト　pp.214-219

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

和文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 10 月 1 日－12 月 14 日　横浜美術館　主催：横浜美術館

出品：インカ・ショニバレ MBE、イー・イラン、アピチャッポン・ウィーラセタクン、ウダム・チャン・グエン、石川竜一、田村友一郎〔作品リスト順〕

あざみ野コンテンポラリーvol.7 悪い予感のかけらもないさ展 ●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2016 年 10 月

あいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野）　p.1

〔作家インタビュー〕（岡田裕子、風間サチコ、金川晋吾、鈴木光、関川航平）　pp.2-11

関連イベント

所蔵：□、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 10 月 7 日－30 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：岡田裕子、風間サチコ、金川晋吾、鈴木光、関川航平〔インタビュー収載順〕

大地に立って／空を見上げて〈風景のなかの現代美術〉展覧会カタログ ●

群馬県立館林美術館　2016 年 10 月

ごあいさつ（館長佐々木正直）　p.3　英文併載

大地に立って／空を見上げて－風景のなかの現代美術（松下和美）　pp.6-15

会場図面　p.16

図版　pp.18-53

作家略歴・主要参考文献　pp.54-66

Biographies　pp.67-74

出品リスト　pp.75-78

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Standing on the Earth, Looking up into the Sky－Contemporary Artists' Views of Landscapes」

会期：2016 年 10 月 8 日－12 月 4 日　群馬県立館林美術館　主催：群馬県立館林美術館

出品：瀬尾夏美、ALIMO、笹井青依、中西信洋、シンゴヨシダ、笹岡啓子、スタン・アンダソン、秋山さやか、日比野克彦〔出品リスト順〕

大地に立って／空を見上げて〈風景のなかの現代美術〉展覧会ドキュメント

群馬県立館林美術館　2016 年 12 月

図版〔展示写真〕　10p.

日比野克彦ワークショップ「段ボール揚舟造船所」

館林 Re-project

館林 Re-project の「残して欲しい建物 30 選」と残念ながらすでに解体済みの建物(A, B, C)関連事業

註：編集は松下和美。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項〔展覧会カタログに同じ〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.05 見えてる風景／見えない風景 ●

高松市美術館　2016 年 10 月　瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業

ごあいさつ（高松市美術館）　p.1

図版〔図版、作家のことば〕　pp.4-39

〔作家のことば〕（流麻二果、dot architects、谷澤紗和子、伊藤隆介、来田広大）

風景をめぐって（篠原資明）　pp.40-41

敷かれた線路の後方、または視線の向こう側（毛利直子）　pp.42-45

地域の心臓、あるいはエンジンとしての美術館（藤浩志）　pp.46-47

モーメント現象と色眼鏡（木ノ下智恵子）　pp.48-49

Document　pp.50-53

作家略歴　pp.55-59

出品リスト　pp.60-61

主要参考文献　p.62

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒

○展覧会事項

欧文タイトル：「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.5　Visible / Invisible Sceneries」

会期：2016 年 10 月 8 日－11 月 6 日　高松市美術館　主催：高松市美術館

出品：流麻二果、ドットアーキテクツ、谷澤紗和子、伊藤隆介、来田広大。特別展示；谷澤

紗和子×藤野可織〔出品リスト順〕

NIHON 画〈新たな地平を求めて〉●

豊橋市美術博物館　2016 年 10 月 29 日　豊橋市制施行 110 周年・美術博物館リニューアル記念展

ごあいさつ（豊橋市美術博物館・中日新聞社）　p.3

「NIHON 画〈新たな地平を求めて〉」前史的断章（毛利伊知郎）　pp.6-8

「日本画」の延長上、もしくは変身を繰り返す「日本絵画」（吉田俊英）　pp.9-16

図版〔章解説、図版、参考図版〕　pp.17-88

「日本画」と物質－素材をめぐる挑戦（丸地加奈子）　pp.89-92

作家略年譜（岡田亘也、丸地加奈子、細田樹里、田中竜也）pp.93-100

NIHON 画展関連年表　pp.101-108

出品リスト　pp.109-111

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2016 年 10 月 29 日－12 月 11 日　豊橋市美術博物館　主催：豊橋市美術博物館・中日新聞社

出品：福田平八郎、徳岡神泉、小松均、山本丘人、東山魁夷、髙山辰雄、加山又造、工藤甲人、片岡球子、近藤弘明、平山郁夫、吉岡堅二、秋野不矩、杉山寧、堂本印象、横山操、山崎隆、三上誠、不動茂弥、大野俶嵩、下村良之介、野村耕、岩崎鐸、岩田重義、堀尾実、水谷勇夫、上田臥牛、丸木位里、丸木俊、佐藤多持、大島哲以、永井繁男、伊東隆雄、中村正義、平川敏夫、大森運夫、高畑郁子、星野真吾、森緑翠、土屋禮一、小嶋悠司、諏訪直樹、間島秀徳、岡村桂三郎、山本直彰、八木幾朗、石野善浩、新恵美佐子、加藤良造、田中武、漆原夏樹、高村総二郎、三瀬夏之介、山本太郎、久松和子〔出品リスト順〕

「沸点」アーティストの反骨精神 ●

西日本新聞社　2016 年 11 月 11 日　田川市美術館開館 25 周年記念

ごあいさつ（館長松岡英明）　p.3

本展開催にあたって（田川市美術館）　p.5

「沸点」から「沸展」へ（ワシオ・トシヒコ）　pp.8-9

図版〔図版、作品解説、作家略歴〕　pp.11-93

作品解説（大庭ほなみ、原田歩夢、安蘇龍生、廣畑公紀）

「沸点」展のデザインについて（松永真）／「反骨」のシンボルデザイン（田川市美術館）　pp.94-95

反骨の魂〈沸点に至るまで〉（文川和）　pp.96-97

作品リスト　pp.98-101

炭坑節のふるさと田川市の紹介（田川市）　pp.102-103

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「FUTTEN」

会期：2016 年 11 月 18 日－12 月 25 日　田川市美術館　主催：田川市美術館・西日本新聞社

出品：阿部直昭、有元利夫、池田龍雄、池田満寿夫、伊藤克広、井上敬一、井上有一、奥山民枝、筧本生、片山雅史、香月泰男、上川伸、上條陽子、黒田征太郎、髙鶴元、駒井哲郎、酒井忠臣、佐藤泰生、セルゲイ草柳、滝純一、滝口文吾、田島征三、千原稔、つかこうへい、寺田和幸、土門拳、中川一政、中村正義、平岡春治、本田光男、松永真、望月菊磨、元村正信、森一浩、八頭司昴、山本作兵衛、吉武研司、吉村芳生〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

粟津則雄コレクション目録 ●

練馬区立美術館　2016 年 11 月 17 日

ごあいさつ（練馬区立美術館）　p.3

想い出さまざま（粟津則雄）　pp.7-11

図版　pp.13-71

粟津則雄自筆年譜　pp.72-77　再録

作家解説　pp.78-80

作品リスト　pp.81-85

註：編集は加藤陽介。

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、国会図、都中図

〇展覧会事項

展名：粟津則雄コレクション展〈“思考する眼”の向こうに〉

欧文タイトル：「AWAZU NORIO COLLECTION」

会期：2016 年 11 月 19 日－2017 年 2 月 12 日　練馬区立美術館　主催：練馬区立美術館

出品：西脇順三郎、三雲祥之助、井上長三郎、柳原義達、駒井哲郎、野見山暁治、田淵安一、深沢幸雄、麻田浩、加藤清美、木原康行、渡辺恂三、池田満寿夫、中林忠良、宇野亜喜良、絹谷幸二、久保卓治、あきびんご、見目陽一、畑中優、柄澤齊、青木一平、小堀令子、芹沢銈介〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

発信//板橋//2016 江戸－現代 ●

板橋区立美術館　2016 年 12 月 3 日　付・展示記録集

はじめに（板橋区立美術館）　p.3

江戸－現代（深井隆）　pp.4-5

図版〔作家のことば、図版〕　pp.6-19

〔作家のことば〕（奥畑実奈、川島大幸、清塚紀子、白石顕子、人見元基・狛、深井隆、山口晃）

出品作家略歴　pp.20-23

註：編集は植松有希、伏見恵理子。

□展示記録集〔全 8 葉、両面刷〕

展示案内図
図版〔図版、本展出品作品〕 14p.
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Contemporary Art Festival in Itabashi Art Museum」
会期：2016 年 12 月 3 日－2017 年 1 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：奥畑実奈、川島大幸、清塚紀子、白石顕子、人見元基・狛、深井隆、山口晃〔図版収載順〕

第 19 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉●
文化庁　2016 年 12 月　主に英文併載
ごあいさつ（主催者） p.3
新進芸術家海外研修(旧・芸術家在外研修)制度について　p.4
再定義される「日本」と、「現代美術」――2020 年代のアートシーンに向けて（林洋子） pp.6-9, 10-14
アーティスト ことばと作品　pp.17-121
ことば（秋吉風人、池内晶子、今井智己、岡田葉、折笠良、金子富之、曽谷朝絵、平川祐樹、保科晶子、松井えり菜、南隆雄、三原聡一郎、山内光枝）
〔作品について〕（三原聡一郎）
研修参加者 ことばと活動　pp.123-125
キュレーターにとっての新進芸術家海外研修制度と、その副産物（近藤健一）
文化庁新進芸術家海外研修制度(美術)の派遣国別人数　pp.126-127
作家略歴　pp.129-155
出展作品リスト　pp.156-159
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「19th DOMANI：The Art of Tomorrow Exhibition　The Achievements of the Japanese Government Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」
会期：2016 年 12 月 10 日－2017 年 2 月 5 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館
出品：秋吉風人、池内晶子、今井智己、岡田葉、折笠良、金子富之、曽谷朝絵、平川祐樹、保科晶子、松井えり菜、南隆雄、三原聡一郎、山内光枝〔出展作品リスト順〕

2017（平成 29）年
1950 年代の日本美術――戦後の出発点 ●
神奈川県立近代美術館　2017 年 1 月
あいさつ（神奈川県立近代美術館） p.2
1950 年代を再考する。（水沢勉） pp.4-5

1950 年代の美術史と美術館（西澤晴美） pp.6-8
図版 pp.9-80
章解説（橋秀文、西澤晴美）
〈初年兵哀歌〉シリーズを中心とした浜田知明の 1950 年代の版画について（橋秀文） pp.81-83
人物関係図 p.84
関連年表（川人未来・西澤晴美編） pp.85-89
主要参考文献（西澤晴美・橋秀文編） pp.90-91
作品リスト pp.92-95
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Japanese Art of the 1950s：Starting Point after the War」
会期：2017 年 1 月 28 日－3 月 21 日 葉山・神奈川県立近代美術館 主催：神奈川県立近代美術館
出品：岡本太郎、阿部展也、村井正誠、海老原喜之助、佐藤哲三、井上長三郎、川口軌外、麻生三郎、田中岑、山口薫、鶴岡政男、山口長男、鳥海青児、朝井閑右衛門、棟方志功、駒井哲郎、堀内正和、毛利武士郎、向井良吉、辻晋堂、木内克、斎藤義重、藤井令太郎、浜口陽三、南桂子、佐野繁次郎、佐藤敬、田淵安一、金山康喜、岡本半三、野見山暁治、末松正樹、菅井汲、今井俊満、飯田善國、北代省三、山口勝弘、福島秀子、白髪一雄、瑛九、靉嘔、加納光於、野中ユリ、浜田知明、イサム・ノグチ、上野誠、山下菊二、朝倉摂、清宮質文、中谷泰、池田龍雄、中野秀人、香月泰男〔出品リスト順〕

都美セレクション 新鋭美術家 2017 ●
東京都美術館 2017 年 2 月
ごあいさつ（東京都美術館） p.3
図版〔作家のことば、図版〕 pp.8-52
〔作家のことば〕（青木宏憧、大石朋生、斉藤里香、畠山昌子、増井岳人）
美術における表現者たち〈新鋭美術家の紹介〉（山中千紗子） pp.54-57
出品作家略歴 pp.58-61
作品リスト pp.62-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「New-wave Artists 2017－From the Public Entry Exhibition」
会期：2017 年 2 月 19 日－3 月 15 日 東京都美術館ギャラリーC 主催：東京都美術館
出品：青木宏憧、大石朋生、斉藤里香、畠山昌子、増井岳人〔作品リスト順〕

カオスモス 5 一粒の砂に世界を見るように ●
佐倉市立美術館 2017 年 3 月 1 日 英文併載
カオスモス 5 の開催にあたって（佐倉市立美術館）p.3

搦め手から見る現代美術――佐倉市立美術館の果敢な試み（島敦彦） pp.4-7, 8-11
「一粒の砂に世界を見るように」について（黒川公二） pp.12-13, 14-15
図版〔作家へのインタビュー、作家のことば、図版〕 pp.17-72, 83-84
作家へのインタビュー（井川淳子、キューライス、満田晴穂、クリスティアーネ・レーア）
〔作家のことば〕（高瀬智淳、キューライス）
展示配置図 p.73
作家資料〔略年譜、図版〕 pp.73-82
出品作品一覧 pp.85-87
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Chaosmos 5：To View a World within a Grain of Sand」
会期：2017 年 3 月 1 日－28 日 佐倉市立美術館 主催：佐倉市立美術館
出品：井川淳子、高瀬智淳、キューライス、満田晴穂、クリスティアーネ・レーア〔出品作品一覧順〕

VOCA 展 2017「現代美術の展望－新しい平面の作家たち」●
「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会・上野の森美術館 2017 年 3 月 英文併載
「VOCA 展 2017」開催にあたって（主催者） p.5
「VOCA 展 2017」協賛によせて（第一生命保険相互会社） p.7
〔授賞者、選考委員〕 p.9
〔選考評〕（建畠哲、本江邦夫、島敦彦、光田由里、柳沢秀行） pp.10-19
〔出品作家、推薦委員〕 pp.20-21
図版〔図版、作家解説〕 pp.20-91
〔作家解説〕（五十嵐卓、古川文子、野村しのぶ、橋本梓、日沼禎子、和田浩一、副田一穂、中田耕市、植松篤、吉崎元章、辻瑞生、山本丈志、坂元暁美、荒井直美、山下裕二、林寿美、寺嶋弘道、角奈緒子、楠本智郎、児島やよい、長門佐季、木村絵理子、名古屋覚、竹久侑、牧野裕二、大浦周、牧口千夏、米田尚輝、黒川公二、徳山拓一、金井直、桝田倫広、小林純子、大島賛都、小原真史）
BIOGRAPHY pp.104-123
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「VOCA 2017 THE VISION OF CONTEMPORARY ART」
会期：2017 年 3 月 11 日－30 日 上野の森美術館 主催：「VOCA 展」実行委員会・財団法人日本美術協会 上野の森美術館
出品：青木恵美子、浅野有紀、池平徹兵、上田良、小野さおり、加納俊輔、川角岳大、菊谷達史、来田広大、国松希根太、幸田千依、齋藤瑠璃子、坂口竜太、佐竹真紀子、篠原愛、鈴木基真、高田 K 子、高松明日香、武内明子、田島大介、田中秀和、照沼敦朗、土井沙織、仲

田絵美、南条嘉毅、Nerhol、東畠孝子、益永梢子、松尾勘太、松田啓佑、村上華子、村田宗一郎、屋宜久美子、矢野佑貴、米田拓朗〔図版収載順〕

授賞者：VOCA 賞・幸田千依、VOCA 奨励賞・上田良、鈴木基真、佳作賞・村上華子、佳作賞／大原美術館賞・青木恵美子

『今様』－昔と今をつなぐ ●

渋谷区立松濤美術館　2017 年 4 月 5 日　英文併載

ごあいさつ（主催者）　pp.5, 126

このデジャビュ〔既視感〕、見たことがある：『今様』をめぐる一考察（ジョン・ショスタック）　pp.8-16, 118-123

「今様」を考える（河合正朝）　pp.18-25, 111-117

先人への憧憬と挑戦－受け継ぎ、変容させる者たち（大平奈緒子）　pp.26-32, 102-107

図版〔作家略歴、作家のことば、図版〕　pp.33-95, 108-110

〔作家のことば〕（石井亨、木村了子、染谷聡、棚田康司、満田晴穂、山本太郎）

作品リスト　pp.96-99

所蔵：□、国新美、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「IMAYŌ Connecting Past and Present」

会期：2017 年 4 月 5 日－5 月 21 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：石井亨、木村了子、染谷聡、棚田康司、満田晴穂、山本太郎〔作品リスト順〕

高橋コレクションの宇宙 ●

熊本市現代美術館　2017 年 3 月 31 日

ごあいさつ（熊本市現代美術館）　pp.4, 5　英文併載

高橋龍太郎インタビュー　誰のためでもないがゆえに誰のためでもあるコレクション　pp.10-14

高橋龍太郎〔略歴〕　p.15　英文併載

「高橋コレクションの宇宙」展――マインドフルネスと現代美術（桜井武）　pp.16-17, 18-20　英文併載

図版　pp.21-64

作品リスト　pp.65-71

高橋コレクションについて　pp.72-73

ブックリスト 複数の、構築され、流動する「日本」イメージ（藤田直哉編）　pp.75-77

註：編集は池澤茉莉。

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Cosmos of the Takahashi Collection」

会期：2017 年 4 月 8 日－6 月 11 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市現代美術館・熊本日日新聞社・熊本朝日放送

出品：会田誠、青山悟、淺井裕介、荒木経惟、石田尚志、梅津庸一、小沢剛、落合多武、加藤泉、金氏徹平、清川あさみ、草間彌生、鴻池朋子、小林孝亘、坂本夏子、坂本夏子&梅津庸一、さわひらき、志賀理江子、鈴木ヒラク、高木正勝、田口和奈、束芋、チームラボ、天明屋尚、内藤礼、奈良美智、名和晃平、西尾康之、蜷川実花、畠山直哉、町田久美、Mr.、宮永愛子、村上隆、森山大道、山口晃〔作品リスト順〕

堤清二 セゾン文化、という革命をおこした男。●

松本市美術館　2017 年 4 月 21 日　松本市市制施行 110 周年記念・松本市美術館開館 15 周年記念展

ごあいさつ（松本市美術館）　p.2　英文併載

「Il est quelqu'un authentiquel」（堤たか雄）　pp.6-7

フォルム／フォルムが消えること（小川稔）　pp.8-11

図版〔図版、作品解説〕　pp.13-71

　時代精神の根據地として（堤清二）　再録

堤清二と辻井喬（難波英夫）　pp.56-59

文化の軸をつくり広げた、堤さん（小池一子）　pp.72-73

堤清二とセゾングループの略年譜　pp.74-83

掲載作品リスト　pp.84-86

辻井喬と辰野登恵子と。〔図版、作品解説〕　pp.87-95

堤清二／辻井喬と松本市美術館（武藤美紀）　pp.96-97

そして、辻井喬。〔図版、詩・辻井喬〕　pp.99-144

　あいさつにかえて　p.142

註：編集は武藤美紀、堀井真美、澁田見彰。作品解説は武藤美紀。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Seiji Tsutsumi, the Man who Revolutionized　"Saison Culture"」

会期：2017 年 4 月 21 日－6 月 11 日　松本市美術館　主催：松本市美術館、特別協力：セゾン現代美術館

出品：荒川修作、瀧口修造、中西夏之、加納光於、堂本尚郎、菅井汲、篠原有司男、横尾忠則、宇佐美圭司、中村一美、辰野登恵子、田中一光、石岡瑛子、浅葉克己〔掲載作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

開館記念展 未来への狼火 ●

図書刊行会　2017 年 6 月 15 日　英文併載

ごあいさつ（市長清水聖義）　pp.2, 4

ごあいさつ（太田市美術館・図書館）　pp.3, 5

概要　p.7

図版〔章解説、図版、作家のことば、解説、文献再録〕　pp.9-67

　〔章解説〕（小金沢智）

〔作家のことば〕（淺井裕介、藤原泰佑、前野健太、石内都〔再録〕、林勇気）
関連イベント（守屋慎一郎） pp.68-74
わたしたちの未来への狼火のために（小金沢智） pp.76-79, 80-83
知と感性のプラットフォームを目指して 太田市美術館・図書館の管理運営計画（守屋慎一郎） pp.84-86, 87-89
作家・作品紹介（小金沢智） pp.93-102
作品リスト pp.103-107
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「OPENING EXHIBITION NOROSHI SIGNAL FLARE FOR OUR FUTURE」
会期：2017 年 4 月 26 日－7 月 17 日 太田市美術館・図書館 主催：太田市・太田市文化スポーツ振興財団
出品：淺井裕介、藤原泰佑、前野健太、清水房之丞、飯塚小玕斎、正田壌、石内都、片山真理、林勇気〔作品リスト順〕
註：清水房之丞(1903-1964)は詩人。

静かに狂う眼差し――現代美術覚書 林道郎著 ●
水声社 2017 年 7 月 1 日
註：本展の企画が進むなか、展覧会カタログ形式ではない書籍化が模索され実現したもの。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
展名：「静かに狂う眼差し――現代美術覚書〈DIC 川村記念美術館×林道郎〉」
欧文タイトル：「Kawamura Memorial DIC Museum of Art×Michio Hayashi Quiet Dislocations：Notes on Contemporary Art」
会期：2017 年 7 月 8 日－8 月 27 日 佐倉・DIC 川村記念美術館 主催：DIC 株式会社
出品：赤瀬川原平、中西夏之、李禹煥らを含む美術館コレクションから戦後アメリカ美術を中心とした約 90 点。

日本の家 1945 年以降の建築と暮らし ●
新建築社 2017 年 7 月 26 日 新建築住宅特集 別冊 英文併載
ごあいさつ（館長神代浩・理事長安藤裕康） pp.2, 3
図版〔章解説、図版、作品解説〕 pp.10-223
章解説（塚本由晴、保坂健二朗）
作品解説（保坂健二朗）
独立住宅に見る日本の近代（藤岡洋保） pp.224-231
日本の戦後の住宅の系譜学について（保坂健二朗） pp.232-241
作品リスト pp.242-252
註：本展はローマの MAXXI 国立 21 世紀美術館とロンドンのバービカン・センターで開催

され、イタリア語版と英語版の展覧会カタログがそれぞれ刊行されている。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE JAPANESE HOUSE　ARCHITECTURE AND LIFE AFTER 1945」

会期：2017 年 7 月 19 日－10 月 29 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国際交流基金

出品：石元泰博、アントニン・レーモンド、清家清、丹下健三、生田勉、白井晟一、前川國男、坂倉準三、増沢洵、池辺陽、大野勝彦、黒川紀章、難波和彦、畠山直哉、吉阪隆正、吉村順三、東孝光、阿部勤、真壁智治、篠原一男、坂本一成、伊東豊雄、毛綱毅曠、藤井博巳、山下和正、相田武文、藤本壮介、柄沢祐輔、長谷川逸子、妹島和世、青木淳、中山英之、大西麻貴、百田有希、安藤忠雄、岸和郎、アトリエ・ワン、西沢大良、西沢立衛、広瀬鎌二、隈研吾＋篠原聡子、長谷川豪、島田陽、石山修武、宮本佳明、岡啓輔、津村耕佑、藤森照信、手塚貴晴、手塚由比、五十嵐淳、金野千恵、家成俊勝、乾久美子、菊竹清訓、黒沢隆、山本理顕、西田司、藤野高志〔作品リスト順〕

長野県信濃美術館クロージング ネオヴィジョン 新たな広がり展図録〈7 人の若手作家〉●

長野県信濃美術館　2017 年 9 月 16 日

ごあいさつ（長野県信濃美術館）　p.2

図版〔図版、作家略歴、作家のことば、作家解説〕　pp.3-45

〔作家のことば〕（上田暁子、北村佳奈、倉石久子〔太次郎の母〕、篠田優、下平千夏、坪内真弓、新村優子）

〔作家解説〕（瀬尾典昭、松浦千栄子、古舘遼、松井正、木内真由美、上沢修、大野織江）

作品リスト　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「CLOSING NEO VISION」

会期：2017 年 9 月 16 日－30 日　長野県信濃美術館　主催：長野県・長野県信濃美術館

出品：上田暁子、北村佳奈、倉石太次郎、篠田優、下平千夏、坪内真弓、新村優子〔作品リスト順〕

新・今日の作家展 2017 キオクのかたち／キロクのかたち ●

横浜市民ギャラリー　2017 年 9 月　第 2 回展

ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）

記憶と記録と作品をめぐって（齋藤里紗）

図版〔作家解説、作家略歴、図版、インタビュー〕　16p.

〔作家解説、インタビュー・聞き手〕（齋藤里紗、大塚真弓、森未祈）

インタビュー（久保ガエタン、小森はるか＋瀬尾夏美、是恒さくら、笹岡啓子）

所蔵：□、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2017　Compilations of Memories and Records」

会期：2017 年 9 月 22 日－10 月 9 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：久保ガエタン、小森はるか＋瀬尾夏美、是恒さくら、笹岡啓子〔図版収載順〕

メッセージ 2017「南九州の現代作家たち」●

都城市立美術館　2017 年 10 月

ごあいさつ p.3

MESSAGE 2017－真摯さについて（本江邦夫）　pp.6-8

カタログ〔作家のことば、図版〕　pp.9-45

〔作家のことば〕（平川渚、芳木麻里絵、今和泉隆行、島嵜清史、宮田君平、早川直己、戸高千世子、小山田徹、姫田真武）

関連事業　pp.46-47

「97-07-17」繋がりと浸透（原田正俊）　pp.48-51

作家略歴　pp.52-57

作品リスト　pp.58-61

フロアプラン　p.62

サテライト会場　p.63

註：編集は原田正俊、亀元佐恵。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「MESSAGE 2017 Contemporary Artists of South Kyushu」

会期：2017 年 10 月 21 日－12 月 3 日　都城市立美術館・その他サテライト会場　主催：都城市立美術館・BTV・都城市立美術館特別展実行委員会

出品：平川渚、芳木麻里絵、今和泉隆行、島嵜清史、宮田君平、早川直己、戸高千世子、小山田徹、姫田真武〔作品リスト順〕

高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.06 物語る物質 ●

高松市美術館　2017 年 10 月

ごあいさつ（高松市美術館）　p.3　英文併載

図版〔図版、作家のことば〕　pp.6-29

〔作家のことば〕（小野耕石、亀井洋一郎、橋本雅也、南条嘉毅、須賀悠介、高本敦基）

イベント報告　pp.30-31

作家略歴・主要参考文献　pp.32-37

物質をめぐる六想（篠原資明）　p.39

作家論（牧野裕二、橘美貴）pp.40-45

出品リスト　pp.46-47

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル:「Takamatsu Contemporary Art Annual vol.6 / Materials That Tell Stories」
会期：2017 年 10 月 22 日－11 月 26 日　高松市美術館　主催：高松市美術館
出品：小野耕石、亀井洋一郎、橋本雅也、南条嘉毅、須賀悠介、高本敦基〔出品リスト順〕
「涯テノ詩聲 詩人吉増剛造展」図録 ●
足利市立美術館・美術館連絡協議会　2017 年 11 月 3 日
ごあいさつ（主催者） p.5　英文併載
図版〔章解説、図版、作品解説、作家略歴〕 pp.10-213
章解説、作品解説（篠原誠司、菊井崇史、春日洋一郎）
〔論考〕（鶴岡真弓、今福龍太、江尻潔、小林康夫、稲川方人、川島健二、篠原誠司、平塚泰三、滝口悠生、菊井崇史、宮川耕次、矢口哲男、松井輝美、寺本一生、川延安直、原田洋二、平澤広、森田一、奥脇崇大、森本悟郎、田中教子、工藤正廣）
座談会 吉増剛造の軌跡（吉田文憲・岸田将幸・菊井崇史） pp.262-277
資料〔17p.〕
吉増剛造年譜
出品作家略歴
出品リスト
所蔵：□、国新美、都現美、写真美、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Echoes from the Abyss：The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition」
会期:2017 年 11 月 3 日－12 月 24 日　足利市立美術館／2018 年 4 月 27 日－6 月 24 日　那覇・沖縄県立博物館・美術館／8 月 11 日－9 月 24 日　渋谷区立松濤美術館　主催：開催各館・読売新聞社・美術館連絡協議会
出品：吉増剛造、中西夏之、加納光於、赤瀬川原平、中平卓馬、森山大道、若林奮、荒木経惟、中森敏雄、中川潤、奈良原一高、東松照明、瀧口修造〔出品リスト順〕
註：出品欄は吉増剛造と戦後造形作品出品の作家を収載。
現代の写実－映像を超えて〈上野アーティストプロジェクト〉 ●
東京都美術館　2017 年 11 月 16 日
ごあいさつ（東京都美術館） pp.3, 5　英文併載
現代の写実――映像、リアリティ、写実（山村仁志） pp.9-15, 108-113　英文併載
図版〔作家解説、図版、作家略歴〕 pp.17-96
作家解説（山村仁志）
9 人が語る絵画と写実――作家 Q&A（田村麗恵編） pp.97-107
出品リスト　pp.114-117
註：編集は山村仁志、早川典子、田村麗恵。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Ueno Artist Project：“Contemporary Realism－Transcending the

Photograph and Video”」

会期：2017 年 11 月 17 日－2018 年 1 月 6 日　東京都美術館ギャラリーA・C　主催：東京都美術館

出品：小森隼人、塩谷亮、橋本大輔、小田野尚之、元田久治、蛭田美保子、佐々木里加、岩田壮平、稲垣考二〔出品リスト順〕

装飾は流転する〈「今」と向きあう 7 つの方法〉●

東京都庭園美術館　2017 年 11 月　主に英文併載

ごあいさつ（館長樋田豊次郎）　p.6

装飾よこんにちは（樋田豊次郎）　pp.8-11, 12-15

図版〔作家のことば、作家解説、図版、作品解説〕　pp.17-96

作家解説（田中雅子）、作品解説（八巻香澄）

作家略歴　pp.98-105

展示作品リスト　pp.106-111

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Decoration never dies, anyway」

会期：2017 年 11 月 18 日－2018 年 2 月 25 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

出品：山縣良和、髙田安規子・政子、山本麻紀子〔展示作品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

邂逅の海〈交差するリアリズム〉●

沖縄県立博物館・美術館　2018 年 1 月 19 日　開館 10 周年記念展

ごあいさつ（館長田名真之）　p.3　英文併載

美術館開館 10 周年記念展「邂逅の海 交差するリアリズム」（池原盛浩）　pp.4, 5　英文併載

沖縄の美術の「いま」と「これから」のために（玉那覇英人）　pp.6-7　英文併載

図版〔作家のことば、図版、作品解説〕　pp.9-71

〔作家のことば〕（多田弘、山城えりか、儀保克幸、水谷篤司、波多野泉、夏愛華、前田比呂也、平良優季、仲里安広、金城満、我喜屋位瑳務、金城徹、仲宗根香織、松本力、嘉手苅志朗、照屋勇賢、ジュン・グエン＝ハツシバ、袁廣鳴、石田尚志）

〔作品解説〕（梶原正史、大城さゆり、玉那覇英人、豊見山愛、島筒格、謝花聡恵）

Las barcas〔作家略歴〕（町田恵美編）　p.56

鼎談 展示で何を伝えて来たのか、そして今後何を目指していくべきか（翁長直樹・前田比呂也・池原盛浩）　pp.74-79

美術館は何を伝えて来たか－10 年間の記録 企画展・コレクション展 2007-2017　pp.80-85

「邂逅の海」へ船を出そう（上原誠勇）　pp.86-89

隔たりにおけるつながり（町田恵美）　pp.90-92

寄せては返す、往復書簡としての las barcas（岡田有美子）　pp.93-95

国際交流・沖縄と台湾（大田和人） p.96
沖縄、台湾との芸術交流について（水谷篤司） pp.97-99
作家略歴 pp.100-102, 103-105 英文併載
参考文献（岡本由希子・町田恵美編） pp.106-107
作品配置図 p.108
作品リスト pp.109-111 英文併載
註：編集は大城さゆり、大西弘美、玉那覇英人(美術館)。
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A Reunion with the Sea：Realism as Modern Asian Thought.」
会期：2017 年 12 月 19 日－2018 年 2 月 4 日 那覇・沖縄県立博物館・美術館 主催：沖縄県立博物館・美術館
出品：多田弘、山城えりか、儀保克幸、水谷篤司、波多野泉、夏愛華、前田比呂也、平良優季、仲里安広、金城満、我喜屋位瑳務、喜舎場盛也、金城徹、仲宗根香織、親川哲、阪田清子、山城知佳子、根間智子、鷹野隆大、高嶺剛、安谷屋正義、松本力、嘉手苅志朗、照屋勇賢、ジュン・グエン＝ハツシバ、袁廣鳴、石田尚志〔作品リスト順〕

アートのなぞなぞ 高橋コレクション展 ●
静岡県立美術館 2017 年 12 月 21 日
ごあいさつ（静岡県立美術館） pp.4-5
共振するか反発するか?（川谷承子） pp.8-15
図版〔図版、解説〕 pp.18-159
解説（川谷承子、植松篤、石上充代、泰井良、村上敬）
がらがらぽん（高橋龍太郎） pp.161-165
作家解説・略歴 pp.166-184
作品リスト pp.185-190
主要参考文献 p.191
所蔵：□、国新美、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Riddle of Art：Takahashi Collection」
会期：2017 年 12 月 23 日－2018 年 2 月 28 日 静岡県立美術館 主催：静岡県立美術館・静岡朝日テレビ
出品：青山悟、井上有一、畠山直哉、徳岡神泉、丸山直文、髙山辰雄、村瀬恭子、三宅砂織、坂本夏子、小西紀行、岩崎貴宏、青木美歌、竹村京、宮永愛子、鈴木ヒラク、森山大道、蜷川実花、志賀理江子、会田誠、樫木知子、鴻池朋子、加藤美佳、奈良美智、大竹利絵子、ob、工藤麻紀子、小谷元彦、橋爪彩、塩田千春、加藤泉、淺井裕介、草間彌生、桑田卓郎、金氏徹平、村上隆、Mr.、西尾康之、ヤノベケンジ、梅沢和木、名和晃平、束芋、横尾忠則、立石大河亞、宮﨑勇次郎、梅津庸一、難波田龍起、山口晃、チームラボ〔作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

2018（平成 30）年

「沸点の現象」アーティストの反骨精神 ●

田川市美術館　2018 年 1 月

ごあいさつ（館長片岡覺）　p.3

「チクホウ」からの発信――共振する「沸点」（平岡春治）　pp.4-5

図版〔図版、作家自身による作品解説〕　pp.7-57

作家・作品リスト〔作家略歴、作品リスト〕　pp.58-62

本展開催にあたって（大庭ほなみ）　p.63

所蔵：□、国新美、東近美、神近美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2018 年 1 月 7 日－2 月 4 日　田川市美術館　主催：田川市美術館

出品：麻生亜里、有田巧、井口章、岩永敬三、上村隆一、岡田安正、小山文雄、角間貴生、加藤光馬、上木原健二、川口久敏、河原律子、きはらごう、國本悦生、桑野進、小嶋勇、小鶴幸一、近藤えみ、佐々木三多、佐々木俊介、下平武敏、鈴木淳、清忠寿、園田真理子、立元真一郎、田中浩二、竹馬紀美子、塚本猪一郎、徳永隆、西留利義、野見山暁治、野村正則、濱田隆志、日髙実枝、日比野桂子、futaco、前田信幸、正村タカシ、水口政夫、三角兼次、三村亘、村田晴子、森信也、山口千里、山城有未、山田依子、山部善次郎、湯浅義明、横山博之、吉開繁美〔作品リスト順〕

第 20 回 DOMANI・明日展〈未来を担う美術家たち 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果〉 ●

文化庁　2018 年 1 月

ごあいさつ（主催者）　p.3　英文併載

新進芸術家海外研修(旧・芸術家在外研修)制度について　p.4

寄留者の記憶――DOMANI・明日展 20 周年に寄せて（林洋子）　pp.6-9, 10-15　英文併載

アーティスト ことばと作品　pp.17-105

ことば（雨宮庸介、猪瀬直哉、田中麻記子、中谷ミチコ、中村裕太、西尾美也、増田佳江、mamoru、三宅砂織、盛圭太、やんツー）

研修参加者 ことばと活動　pp.107-112

ことば（金澤韻、かないみき、須川咲子、徳山拓一、佐々木有美）

新進芸術家海外研修制度と「DOMANI・明日展」の歩み　p.113

文化庁新進芸術家海外研修制度(美術)の派遣国・地域別人数　pp.114-115

作家略歴、出品作品リスト　pp.117-143

出展作品リスト　pp.140-143

所蔵：□、国新美、東博資、都現美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「20th DOMANI : The Art of Tomorrow Exhibition Showcasing Participants from the Agency for Cultural Affairs Program of Overseas Study for Upcoming Artists」

会期：2018 年 1 月 13 日－3 月 4 日　国立新美術館　主催：文化庁・国立新美術館
出品：雨宮庸介、猪瀬直哉、田中麻記子、中谷ミチコ、中村裕太、西尾美也、増田佳江、mamoru、三宅砂織、盛圭太、やんツー〔出展作品リスト順〕

絵画の現在 ●

府中市美術館　2018 年 1 月
ごあいさつ（府中市美術館）pp.2, 3　英文併載
絵画の現在をめぐって（神山亮子）pp.6-8, 9-11　英文併載
1990 年代から「絵画の現在」へ（坂元暁美）pp.12-13, 14-15　英文併載
図版〔作家によるステートメント、図版、解説〕pp.17-87
　作家によるステートメント（今井俊介、木村彩子、近藤亜樹、白井美穂、諏訪未知、津上みゆき、福士朋子）　英文併載
　解説（神山亮子）
資料〔アンケート、作家略歴〕pp.89-106　作家略歴は英文併載
　〔アンケート、作家略歴〕（今井俊介、木村彩子、近藤亜樹、白井美穂、諏訪未知、津上みゆき、福士朋子）
図版リスト　pp.108-109, 110-111　英文併載
所蔵：□、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Paintings Here And Now」
会期：2018 年 1 月 13 日－2 月 25 日　府中市美術館　主催：府中市美術館
出品：今井俊介、木村彩子、木村彩子＋近藤恵介、近藤亜樹、白井美穂、諏訪未知、津上みゆき、福士朋子〔図版リスト順〕

絵画の現在　カタログ別冊

府中市美術館　2018 年
図版〔会場写真〕　pp.2-15
出品リスト　pp.16-17, 18-19　英文併載
所蔵：□、神近美
○展覧会事項（上記本編に同じ）

版画の景色――現代版画センターの軌跡 ●

埼玉県立近代美術館　2018 年 1 月　3 分冊(ケース入)
□A テキスト・ブック
再録：版画センターニュースより　pp.3-5, 39, 55, 71
ごあいさつ（埼玉県立近代美術館）　p.7
現代版画センター・エディション作品総目録　pp.10-38
アンケート：現代版画センターについて（荒井由泰、石田了一、見田隆博、木下哲夫、栗原敦、指田純子、関根伸夫、西岡文彦、西田考作、堀浩哉、柳正彦、柳澤紀子）　pp.40-54
現代版画センターニュース総目録　pp.56-66
現代版画センター主要刊行物目録　pp.67-68

現代版画センター刊行物一覧　pp.68-70
考え続けるために、[現代] 版画 [センター] について（梅津元）　pp.72-75
註：編集は梅津元、五味良子、鴨原悠。
□B ヴィジュアル・ブック
プロローグ〔図版〕pp.3-8
インデックス　p.11
現代版画センター エディション作品　pp.13-143
　メーカーとしての現代版画センター　p.134
現代版画センター コレクション作品　pp.144-151
作家略歴（大浦周、五味良子、鴨原悠、前山裕司、吉岡知子編）　pp.152-159
□C アトラス〔1 枚、両面刷〕
時代の熱気を帯びた多面的な運動体〈オーガナイザーとしての現代版画センター〉（梅津元）
現代版画センター組織運営年表
現代版画センター主要活動拠点分布図
現代版画センター個別事項年表
註：編集は梅津元、五味良子、鴨原悠。なお本カタログのデータ作成は尾立麗子、秋葉恵美(ときの忘れもの)。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「A View of Prints：The Trajectory of the Gendai Hanga Center」
会期：2018 年 1 月 16 日－3 月 25 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館
出品：エディション作品に関わる作家；靉嘔、安藤忠雄、飯田善國、磯崎新、一原有徳、アンディ・ウォーホル、内間安瑆、大沢昌助、岡本信治郎、小田襄、小野具定、オノサト・トシノブ、柏原えつとむ、加藤清之、加山又造、木村光佑、木村茂、木村利三郎、草間彌生、島州一、菅井汲、澄川喜一、関根伸夫、高橋雅之、高柳裕、戸張孤雁、難波田龍起、野田哲也、林芳史、藤江民、舟越保武、堀浩哉、堀内正和、本田眞吾、松本旻、宮脇愛子、ジョナス・メカス、元永定正、柳澤紀子、山口勝弘、吉田克朗、吉原英雄。コレクション作品に関わる作家；瑛九、駒井哲郎〔作家略歴順〕

ビルディング・ロマンス〈現代譚を紡ぐ〉●
豊田市美術館　2018 年 3 月
図版　pp.1-11, 14-200
大いなる過渡期の論理（遠藤水城）　pp.202-207
本当のフィクション（能勢陽子）　pp.209-217, 218-226　英文併載
作家略歴　pp.228-230, 231-233　英文併載
作品リスト　pp.234, 235　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、京都学、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Building Romance」

会期：2018 年 1 月 20 日－4 月 8 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・朝日新聞社・ひまわりネットワーク・エフエムとよた

出品：志賀理江子、危口統之と悪魔のしるし、アピチャッポン・ウィーラセタクン、スーザン・ヒラー、飴屋法水〔作品リスト順〕

モダンアート再訪－ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展 ●

鳥取県立博物館・埼玉県立近代美術館・広島市現代美術館・横須賀美術館・美術館連絡協議会　2018 年 2 月 1 日

ごあいさつ（主催者）　p.3　英文併載

作家インデックス　p.6

モダンアート再訪（尾﨑信一郎）　pp.7-13

福岡市美術館のコレクション形成－（元々）相対化されていた「モダンアート」（山口洋三）　pp.14-21

図版〔章解説、作品解説、図版〕　pp.22-112

作家解説（冨田康子、宇多瞳、尾﨑信一郎、吉岡知子、洲濱元子、山口洋三、赤井あずみ、小島ひろみ）

論考とデータ

ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いていたジョアン・ミロ 1940-1945（吉岡知子）　pp.114-117

核の時代の美術〈ダリ、イヴ・クラインそして工藤哲巳について〉（洲濱元子）　pp.118-121

前衛美術と女性作家（冨田康子）　pp.122-126

「基盤」からはじめる－榎倉康二と原口典之の試みについて（赤井あずみ）　pp.127-129

作家解説（宇多瞳、赤井あずみ、尾﨑信一郎、吉岡知子、冨田康子）　pp.130-139

出品作品リスト　pp.140-144

用語解説（尾﨑信一郎、宇多瞳、山口洋三、冨田康子、小島ひろみ）　pp.145-146

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Modern Art Revisited：from the collection of Fukuoka Art Museum」

会期：2018 年 2 月 3 日－3 月 18 日　鳥取県立博物館　主催：鳥取県立博物館・読売新聞社・美術館連絡協議会／4 月 7 日－5 月 20 日　北浦和・埼玉県立近代美術館　主催：埼玉県立近代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／6 月 2 日－8 月 26 日　広島市現代美術館　主催：広島市現代美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／9 月 15 日－11 月 4 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：藤野一友、河原温、池田龍雄、海老原喜之助、野見山暁治、工藤哲巳、山内重太郎、桜井孝身、石橋泰幸、田部光子、尾花成春、菊畑茂久馬、田中敦子、嶋本昭三、元永定正、白髪一雄、松谷武判、吉原治良、オチオサム、向井修二、赤瀬川原平、風倉匠、篠原有司男、

タイガー立石、中村宏、草間彌生、柳幸典、瑛九、原口典之、桑山忠明、榎倉康二、山崎直秀、大竹伸朗、やなぎみわ、辰野登恵子、横尾忠則、金村修〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後出品作品の日本作家を収載。

ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて 記録集 ●

水戸芸術館現代美術センター　2018 年 3 月 23 日　英文併載　展覧会資料第 107 号

図版〔作家解説、図版〕 pp.4-47

早期危機発見装置としての芸術（山峰潤也） pp.50-59, 60-67

可塑的な表面でつくり直されるヒトの顔（水野勝仁） pp.68-69, 70-71

Strange World, Strange Love（砂山太一） pp.72-74, 75-77

〔執筆者紹介〕 pp.78-79

作家略歴　pp.80-87

ギャラリーマップ・作品一覧　pp.88-89, 90-91

註：編集は山峰潤也、後藤桜子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、写真美、横浜美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Hello World－For the Post－Human Age」

会期：2018 年 2 月 10 日－5 月 6 日　水戸芸術館現代美術ギャラリー　主催：水戸市芸術振興財団

出品：セシル・B・エヴァンス、小林健太、エキソニモ(赤岩やえ＋千房けん輔)、デヴィッド・ブランディ、ヒト・シュタイエル、谷口暁彦、サイモン・デニー、レイチェル・マクリーン〔図版収載順〕

VOCA 展 2018 現代美術の展望－新しい平面の作家たち ●

「VOCA 展」実行委員会・日本美術協会 上野の森美術館　2018 年 3 月　英文併載

「VOCA 展 2018」開催にあたって（主催者） p.3

「VOCA 展 2018」協賛によせて（第一生命保険株式会社） p.5

〔授賞者、選考委員一覧〕 p.7

〔選考評〕（島敦彦、光田由里、柳沢秀行、小勝禮子、水沢勉） pp.8-17

〔出品作家、推薦委員一覧〕 pp.18-19

図版〔図版、作家解説〕 pp.20-87, 89-100

〔作家解説〕（森本陽香、松岡剛、服部浩之、橋本梓、中尾英恵、筒井宏樹、正路佐知子、住吉智恵、大浦周、林寿美、金井直、国枝かつら、三本松倫代、川延安直、辻瑞生、小林純子、田村麗恵、岡里崇、山内舞子、古川文子、花田伸一、牧口千夏、遠藤水城、成相肇、吉原美惠子、千葉真智子、濱淵真弓、植松篤、徳山拓一、黒川公二、清水建人、野中祐美子、小原真史、荒井直美）

BIOGRAPHY　pp.101-119

25th VOCA

VOCA 1994-2018 25 周年記録（主催者） p.123

〔授賞者一覧、VOCA 賞図版〕 pp.124-139

〔ポスター〕 pp.140-142

所蔵：□、国新美、東近美、写真美、神近美、和光大

○展覧会事項

欧文タイトル：「VOCA 2018　The Vision Of Contemporary Art」

会期：2018 年 3 月 15 日－30 日　上野の森美術館　主催：「VOCA 展」実行委員会・公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館

出品：會田千夏、芦田なつみ、阿部大介・鷹野健、石井麻希、碓井ゆい、梅沢和木、浦川大志、EKKO、小穴琴恵、表恒匡、川田知志、小泉圭理、越ちひろ、坂内直美、白井ゆみ枝、平良優季、髙田安規子・政子、田幡浩一、中山恵美子、野村康生、BABU、林葵衣、彦坂敏昭、百頭たけし、藤井俊治、前川祐一郎、増子博子、水江未来、森下明音、森本愛子、門馬美喜、山田七菜子、吉田志穂、ワタナベメイ〔出品作家一覧順〕

授賞者：VOCA 賞・碓井ゆい、VOCA 奨励賞・藤井俊治、山田七菜子、佳作賞・梅沢和木、森本愛子、大原美術館賞・浦川大志

視覚芸術百態 19 のテーマによる 196 の作品 ●

国立国際美術館　2018 年 5 月 26 日　英文併載　バインダー使用

図版　pp.2-77

序（国立国際美術館） p.81

所蔵作品展について（中西博之） pp.82-85, 98-101

認知科学から見る認識と言葉（鈴木宏昭） pp.86-89, 102-105

作品リスト　pp.90-96, 106-113

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「The Myriad Forms of Visual Art：196 Works with 19 Themes」

会期：2018 年 5 月 26 日－7 月 1 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：高松次郎、五月女哲平、村上友晴、内藤礼、秋吉風人、篠原有司男、荒木悠、宮脇愛子、岡崎乾二郎、竹岡雄二、岡崎和郎、工藤哲巳、畠山直哉、三木富雄、関根伸夫、タイガー立石、斎藤義重、舟越桂、柳原義達、八木一夫、森山大道、吉野辰海、中原浩大、落合多武、柴田敏雄、小林孝亘、髙柳恵里、中西夏之、宮本隆司、竹﨑和征、河原温、山城隆一、横尾忠則、小川信治、高橋尚愛、李禹煥、村岡三郎、元永定正、柳幸典、オノデラユキ〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

起点としての 80 年代 ●

マイブックサービス　2018 年 7 月 7 日　主に英文併載

はじめに（主催者） pp.4-5, 6-7

1980 年代の日本美術における批判的地域主義（鷲田めるろ） pp.10-12, 13-15

中原浩大とは何かーイメージ、持ち物、こども（牧野裕二） pp.16-19, 20-23

それぞれの、もう一つの起点－横尾忠則、大竹伸朗、日比野克彦の 80 年代（伊藤鮎）pp.24-27, 28-31

80 年代についての一考察（以倉新） pp.32-33, 34-36
図版〔章解説、作家解説、図版、作家のことば〕 pp.37-131
章解説・作家解説（鷲田めるろ、以倉新、牧野裕二、伊藤鮎）
〔作家のことば〕（松井智惠）
寄稿
言語／制度／時として詩（峯村敏明） pp.134-137, 138-140
80 年代日本／美術の成果－70 年代のミニマリズムを超えて（谷新） pp.142-147, 148-151
転換期としての 80 年代（建畠哲） pp.152-153, 154-155
「日本写真」の 1980 年代（飯沢耕太郎） pp.156-158, 159-161
汎化されたアヴァンギャルドー「美術の 1980 年代」試論（北澤憲昭） pp.162-164, 165-167
オルタナティブをめざすということ（小池一子） pp.168-170, 171-173
ヤワコいアートへー関西ニューウェーヴ考（篠原資明） pp.174-175, 176-177
1980 年代遠望－メディア・アート周辺雑記（島敦彦） pp.178-181, 182-185
付録
年表 pp.188-199 和文のみ
主要参考文献 pp.200-204 和文のみ
出品リスト pp.206-209
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「Starting Points：Japanese Art of the ’80s」
会期：2018 年 7 月 7 日－10 月 21 日 金沢 21 世紀美術館 主催：金沢 21 世紀美術館／11 月 3 日－12 月 16 日 高松市美術館 主催：高松市美術館／2019 年 1 月 5 日－3 月 24 日 静岡市美術館 主催：静岡市、静岡市美術館
出品：I メディウムを巡って；岡崎乾二郎、諏訪直樹、辰野登恵子、戸谷成雄、中原浩大、中村一美。II 日常とひそやかさ；今村源、杉山知子、日比野克彦、舟越桂、吉澤美香。III 関係性；川俣正、藤本由紀夫、松井智惠、宮島達男。IV 記憶・アーカイヴ・物語；石原友明、大竹伸朗、森村泰昌、横尾忠則〔出品リスト順〕

BENTO おべんとう展 食べる・集う・つながるデザイン いただきます編 ●
東京都美術館 2018 年 7 月 20 日
ごあいさつ（東京都美術館） pp.4, 5 英文併載
おべんとうのコミュニケーション・デザインの可能性（熊谷香寿美） pp.10-19
図版〔解説、図版、インタビュー、作家略歴、コラム〕 pp.20-121
インタビュー（小倉ヒラク、大塩あゆ美、阿部了、マライエ・フォーゲルサング、北澤潤、小山田徹、森内康博、山本千織）
コラム（稲庭彩和子）
出品リスト pp.122-125

註：編集は上條桂子、米津いつか、熊谷香寿美、稲庭彩和子。なお、本展のチラシに、展示室のインスタレーション風景等を収録した「ごちそうさま編」の刊行予告が記されている。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、横浜美、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「BENTO Design for Eating, Gathering and Communicating」
会期：2018 年 7 月 21 日－10 月 8 日　東京都美術館ギャラリーA・B・C　主催：東京都美術館
出品：小倉ヒラク、大塩あゆ美、阿部了、マライエ・フォーゲルサング、北澤潤、小山田徹、森内康博〔出品リスト順〕
註：出品欄は個人作家を収載。

1968 年 激動の時代の芸術 ●
千葉市美術館・北九州市立美術館・静岡県立美術館　2018 年 9 月 19 日
ごあいさつ（主催者）　p.3
1968 現代美術の転換点（水沼啓和）　pp.8-23
代々木から一駅はなれて〈日本の 1968 年における新宿、そして暴力と曖昧さの政治性〉（ウィリアム・マロッティ）　pp.24-32, 289-298　和文・英文
作品と解説〔章解説、図版、作品解説〕　pp.33-240
　章解説・作品解説（水沼啓和、小松健一郎、川谷承子）
関連エッセイ・インタビュー（インタビュー 北井一夫、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、林静一、インタビュー 田名網敬一、羽根太朗、嶋田美子、松井茂、阪本裕文、石崎尚、梅津元、川谷承子）　pp.241-267
年譜〔年表〕　pp.270-278
出品リスト　pp.279-288
所蔵：□、東文研、横浜美、東大駒、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「1968：Art in the Turbulent Age」
会期：2018 年 9 月 19 日－11 月 11 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会／12 月 1 日－2019 年 1 月 27 日　北九州市立美術館分館　主催：1968 年展実行委員会(北九州市立美術館・読売新聞社・FBS 福岡放送)・美術館連絡協議会／2 月 10 日－3 月 24 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・静岡第一テレビ
出品：A 激動の 1968 年；東松照明、渡辺眸、浜口タカシ、北井一夫、橋下治、赤瀬川原平、中村宏、森山大道、福島菊次郎、城之内元晴、鶴岡政男、桑原史成、篠原有司男、木村恒久、原口典之、田村彰英、久保田博二、羽永光利、渡辺克巳、朝倉摂、横尾忠則、タイガー立石、粟津潔、堀浩哉、彦坂尚嘉、中西夏之。
B 1968 年の現代美術；赤瀬川原平(重)、羽永光利(重)、横尾忠則(重)、粟津潔(重)、山下菊二、梅田英俊、ケイト・ミレット、村井修、磯崎新、高松次郎、松本俊夫、秋山邦晴、杉浦康平、大辻清司、伊藤隆康、山口勝弘、河口龍夫、吉村益信、宮脇愛子、四谷シモン、伊坂芳太良、

亀倉雄策、福田繁雄、石岡瑛子、東松照明(重)、木村恒久(重)、平田実、岩田信市〔信一〕、桜井孝身、尾花成春、北出幸男、秋山亮二、柏原えつとむ、鈴木慶則、関根伸夫、タイガー立石(重)、丹羽勝次、前田守一、飯田昭二。

C 領域を越える芸術；横尾忠則(重)、及川正通、粟津潔(重)、和田誠、羽永光利(重)、赤瀬川原平(重)、西村多美子、中谷忠雄、細江英公、中西夏之(重)、中村宏(重)、宇野亜喜良、宮井陸郎、渡辺藤一、佐藤亢、伊坂芳太良(重)、灘本唯人、高松次郎(重)、井上洋介、谷川晃一、田名網敬一、つげ義春、大崎紀夫、北井一夫(重)、林静一、立石紘一〔タイガー立石〕(重)、篠原有司男(重)、原榮三郎、藤本晴美、浜野安宏、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー、山田塊也、おおえまさのり。

D 新世代の台頭；羽永光利(重)、森山大道(重)、高梨豊、中平卓馬、関根伸夫(重)、田中一光、李禹煥、菅木志雄、高松次郎(重)、小池一誠、中島興、松澤宥、柏原えつとむ(重)、小泉博夫、前川欣三、河原温、岡本はじめ、樋口茂、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー(重)、大辻清司(重)〔出品リスト順〕

新・今日の作家展 2018 定点なき視点 ●

横浜市民ギャラリー　2018 年 9 月　第 3 回展

ごあいさつ（横浜市民ギャラリー）

図版〔作家のことば、図版、インタビュー〕 9p.

〔作家のことば、インタビュー〕（岩井優、川村麻純、阪田清子、聞き手・齋藤里紗、大塚真弓）

定点なき視点（大塚真弓）

〔作家略歴〕

所蔵：□

○展覧会事項

欧文タイトル：「New “Artists Today” Exhibition 2018　Unfixed Perspectives」

会期：2018 年 9 月 21 日－10 月 8 日　桜木町・横浜市民ギャラリー　主催：横浜市民ギャラリー

出品：岩井優、川村麻純、阪田清子〔図版収載順〕

あざみ野コンテンポラリーvol.9 今もゆれている ●

横浜市民ギャラリーあざみ野　2018 年 9 月

ごあいさつ（横浜市民ギャラリーあざみ野） p.3　英文併載

図版〔作家インタビュー、図版、作家略歴〕 pp.4-13

〔作家インタビュー〕（西村有、石垣克子、山城知佳子、露口啓二、今井智己）

関連イベント　p.14

所蔵：□

○展覧会事項

欧文タイトル：「Azamino Contemporary vol.9　Uncertain Landscape」

会期：2018 年 9 月 29 日－10 月 21 日　横浜市民ギャラリーあざみ野　主催：横浜市民ギャラリーあざみ野

出品：西村有、石垣克子、山城知佳子、露口啓二、今井智己〔図版収載順〕

アジアにめざめたら〈アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代〉●

東京国立近代美術館　2018 年 10 月 9 日

ごあいさつ（東京国立近代美術館、韓国国立現代美術館、ナショナル・ギャラリー・シンガポール、国際交流基金アジアセンター）　pp.6, 7　英文併載

展覧会の枠組：地図と年表　pp.10-11　英文併載

アジアにめざめたら――アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代（ペ・ミョンジ、セン・ユージン、鈴木勝雄）　pp.12-20

図版〔図版、解説・論考、文献再録〕　pp.21-180

〔解説・論考〕（イ・インボム、セン・ユージン、鈴木勝雄、チェン・ジアユン、桝田倫広、ユン・ジンソプ、リュ・ハンスン、ユン・ボンモ、ペ・ミョンジ、スマン・ゴピナート、シャーミン・トー、チェ・ヨル、アデル・タン）

年表　pp.183-195

主要文献　pp.196-205

作品リスト　pp.206-215

〔論考英訳〕pp.218-269

外部執筆者の略歴　p.270

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Awakening：Art in Society in Asia 1960s-1990s」

会期：2018 年 10 月 10 日－12 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館、韓国国立現代美術館、ナショナル・ギャラリー・シンガポール、国際交流基金アジアセンター／2019 年 1 月 31 日－5 月 6 日　韓国国立現代美術館／6 月 13 日－9 月 15 日　ナショナル・ギャラリー・シンガポール

出品：松本俊夫、荒川修作、高松次郎、郭仁植、中西夏之、李禹煥、野村仁、オノ・ヨーコ、植松奎二、郭徳俊、工藤哲巳、赤瀬川原平、平田実、羽永光利、ゼロ次元、中村宏、山下菊二、松澤宥、プレイ(THE PLAY)〔作品リスト順〕

註：出品欄は日本の作家およびグループを収載。

ニュー・ウェイブ 現代美術の 80 年代 ●

国立国際美術館　2018 年 11 月 3 日　主に英文併載

ごあいさつ（国立国際美術館）　pp.2, 3

現代美術の曲り角〈追憶の 80 年代〉（安來正博）　pp.7-14, 146-152

図版〔年表、図版、コラム〕pp.17-112, コラム英文　pp.165-170

80 年代美術をめぐって／その隆盛と社会に開かれたアート〈「ポストモダン」を超える「オルタナティヴ」なステップ〉（谷新）　pp.113-126, 153-164

作家別略歴　pp.127-136, 171-179

1980 年代主要美術展と出品作家　pp.136-140, 180-186

作品リスト　pp.141-145, 187-190

所蔵：□、国新美、東近美、東文研

〇展覧会事項

欧文タイトル：「New Wave：Japanese Contemporary Art of the 1980s」

会期：2018 年 11 月 3 日－2019 年 1 月 20 日　大阪・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：河原温、五十嵐彰雄、木下佳通代、佐川晃司、辰野登恵子、加納光於、文承根、郭徳俊、高山登、嶋剛、野村仁、若林奮、横尾忠則、北辻良央、松井智惠、朝比奈逸人、杉山知子、日比野克彦、田窪恭治、福嶋敬恭、中原浩大、山倉研志、松尾直樹、長沢秀之、野田裕示、平林薫、川俣正、松井紫朗、川島慶樹、坂口正之、宮﨑豊治、諏訪直樹、山部泰司、吉本作次、森村泰昌、中西學、吉原英里、小林正人、中村一美、荒敦子、関口敦仁、山本富章、橘田尚之、吉澤美香、松本陽子、鈴木省三、北山善夫、神山明、田嶋悦子、百瀬寿、横溝秀実、根岸芳郎、中村功、館勝生、石原友明、吉野辰海、舟越桂、中川佳宣、黒川弘毅、池垣タダヒコ、剣持和夫、堀浩哉、福田美蘭、小田英之〔作品リスト順〕

附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧

・そのⅠ　総合展（20 世紀美術史・近代日本美術史・分野史・主題・コレクション）の中の現代作家

凡例

・配列は、発行年順とした。
・この「一覧」の、それぞれの総合展では、外国作家および日本作家がそれぞれ出品されているか、あるいは、日本作家のみの場合は戦前作品が出品されている作家と戦後作品が出品されている作家とが収載されている。
・この出品欄では、前者の場合は、日本作家で戦後作品が出品されている作家のみを収載した。後者の場合は、戦後作品が出品されている作家を収載した。いずれの場合も、「出品欄は日本作家のみ収載」「出品欄は戦後作品の作家のみ収載」という注記は、この「一覧」では割愛したが、詳しい注記、あるいは若干の注記が必要な場合はそれぞれ注記しておいた。

1962（昭和 37）年

近代日本の造形〈油絵と彫刻〉●

国立近代美術館　1962 年 6 月

近代日本の造形〈油絵と彫刻〉（国立近代美術館）　英文併載

出品目録

図版〔章解説、作家解説、図版〕　22p.

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美

〇展覧会事項

欧文タイトル：「OIL PAINTING AND SCULPTURE IN Modern Japan」

会期：1962 年 6 月 28 日－7 月 22 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：油絵 1.写実主義の歩み A.外光派とその周辺。B.写実への新しい自覚；坂本繁二郎、小林和作、鍋井克之、須田国太郎、硲伊之助、内田巌、金山康喜。2.主観主義的な流れ A.主知的な流れ；北川民次、岡鹿之助。B.情意的な流れ；林武、野口彌太郎、田中忠雄、海老原喜之助。3.単純化と装飾化；熊谷守一、小絲源太郎、安井曾太郎、梅原龍三郎、児島善三郎、中川一政、高畠達四郎、中村琢二、田崎廣助、鳥海青児。4.前衛美術の先駆者 A.幻想の方向；松本竣介、阿部展也。B.抽象の方向；坂田一男、荒井龍男。5.現代美術の諸傾向 A.具象的傾向；福沢一郎、鶴岡政男、山口薫、脇田和、中谷泰、糸園和三郎、麻生三郎、田中岑、野見山暁治、中本達也、深見隆、高橋秀。B.抽象的傾向；岡田謙三、山口長男、斎藤義重、難波田龍起、村井正誠、川端実、津高和一、オノサト・トシノブ、桂ユキ子〔ゆき〕、田中田鶴子、杉全直、田淵安一、元永定正、江見絹子、前田常作、今井俊満、堂本尚郎。彫刻 1.洋風彫刻の発展 A.写実主義の流れ；吉田三郎。B.個性的な作風の展開；木内克、山本豊市、高田博厚、柳原義達、佐藤忠良、舟越保武。2.伝統木彫の展開；本郷新。3.戦後の展開；辻晋堂、堀内正和、植木茂、向井良吉、毛利武士郎、豊福知徳、木村賢太郎、井上武吉〔出品目録順〕

註：増築工事完成後の初の企画展。1950 年代から 1970 年代にかけて国立近代美術館では数

多くの「近代」を冠した展覧会が開かれていて、それらには戦後作品も含まれているが、この「一覧」では割愛した。ただ、本展と次の「近代日本の造形／絵画と彫刻」展は、前者は記念展であり、後者は「現代」に主眼が置かれているので採録した。

近代日本の造形／絵画と彫刻 ●

国立近代美術館　1962 年 7 月　1 枚(二ツ折両面刷)

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美

○展覧会事項

欧文タイトル：「PAINTING AND SCULPTURE IN MODERN JAPAN」

会期：1962 年 7 月 28 日－8 月 26 日　京橋・国立近代美術館　主催：国立近代美術館

出品：1 階 近代日本の絵画と彫刻 ○絵画。○彫刻。2・3 階 現代の絵画と彫刻 ○絵画 具象的傾向；福沢一郎、鳥海青児、岩橋英遠、井上長三郎、鶴岡政男、山口薫、脇田和、糸園和三郎、麻生三郎、藤井令太郎、小山田二郎、大森朔衛、石本正、田中岑、野見山暁治、宮城音蔵、中本達也、網谷義郎、深見隆、加山又造、麻田鷹司、高橋秀、大沼映夫。抽象的傾向；山口長男、斎藤義重、岡田謙三、難波田龍起、村井正誠、吉原治良、佐藤敬、行木正義、岡本太郎、川端実、津高和一、オノサト・トシノブ、桂ユキ子〔ゆき〕、田中田鶴子、杉全直、田淵安一、赤穴宏、元永定正、江見絹子、下村良之介、長谷川晶、前田常作、今井俊満、堂本尚郎。○墨象；上田桑鳩、森田子龍、篠田桃紅、井上有一。○彫刻；辻晋堂、柳原義達、堀内正和、植木茂、向井良吉、毛利武士郎、豊福知徳、木村賢太郎、井上武吉。4 階 近代の日本画と木彫〔出品目録順〕

1965（昭和 40）年

近代絵画の流れ ●

国立近代美術館京都分館　1965 年 8 月

〔ことば〕(国立近代美術館京都分館)　英文併載

出品目録　英文併載

作家小伝

図版　4p.

年表

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資

○展覧会事項

欧文タイトル：「Development of Modern Painting in Japan」

会期：1965 年 8 月 1 日－29 日　国立近代美術館京都分館　主催：国立近代美術館京都分館

出品：洋画；福沢一郎、鈴木信太郎、北脇昇、荒井龍男、須田国太郎、梅原龍三郎、高畠達四郎、小絲源太郎、脇田和、小牧源太郎、坂田一男、安井曾太郎、児島善三郎、野口彌太郎、麻生三郎、中谷泰、斎藤義重、鳥海青児、伊谷賢蔵、山口長男、山口薫、宮本三郎〔出品目録順〕

1968（昭和 43）年

東西美術交流展 ●

東京国立近代美術館　1968 年 9 月　英文併載

あいさつ（館長小林行雄）　pp.3, 4

東西美術交流（山田智三郎）　pp.5-9, 10-14

図版〔図版、部門解説〕　pp.15-74

出品目録　pp.75-85, 86-95

東西美術交流展実行委員　p.96

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Mutual Influences between Japanese and Western Arts」

会期：1968 年 9 月 7 日－10 月 27 日　京橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・日本ユネスコ国内委員会

出品：I 前景。II 明治初期の日本美術に与えた西洋の影響 1868－1890 年。III19 世紀後半から 20 世紀初頭への西洋美術に与えた日本の影響。IV 近代日本美術に与えた西洋の影響。V 現代日本と西洋美術における相互影響 西洋美術。日本美術 絵画；堂本尚郎、平川敏夫、加山又造、森田子龍、岡部繁夫、岡田謙三、岡本信治郎、斎藤義重、篠田桃紅、菅井汲、高松次郎、山口長男、吉原治良。版画；浜口陽三、長谷川三郎、池田満寿夫、棟方志功、斎藤清。VI デザインと建築〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

1977（昭和 52）年

日本の美、その色とかたち ●

国立国際美術館　1977 年 10 月 15 日　開館記念展

あいさつ（国立国際美術館）　pp.3, 5　英文併載

日本の美、その色とかたち（本間正義）　pp.7-9, 10-12　英文併載

図版　pp.13-108

　詩（谷川俊太郎）

出品目録〔付・解説〕　pp.109-162

参考展示 西の水墨的表現　pp.163-168

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Aesthetics in Japanese Art：Form and Colour」

会期：1977 年 10 月 15 日－12 月 18 日　吹田市・国立国際美術館　主催：国立国際美術館

出品：徳岡神泉、菅井汲、前田常作、竹谷富士雄、横山操、西山翠嶂、丸木位里、上阪雅人、津高和一、前田青邨、堅山南風、山口正城、吉原治良、久松真一、福田平八郎、岩橋英遠、平川敏夫、加山又造、東山魁夷、岡田謙三、鳥海青児、高井貞二、川島猛、熊谷守一、大沢昌助、川端龍子、山本丘人、平山郁夫、田中信太郎、永井一正、植木茂、木村賢太郎、木内

克、棟方志功、辻村ジュサブロー、篠原有司男〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

1979（昭和 54）年
近代日本美術の歩み展〈明治・大正から昭和へ〉図録 ●
朝日新聞社東京本社　1979 年 9 月
ごあいさつ（東京都美術館・京都市美術館・朝日新聞社）p.3
近代日本美術の流れ〈試論〉（嘉門安雄）　pp.7-14
図版　pp.15-222
時代概観と作家略歴（細野正信、三木多聞、桑原住雄、東京都美術館学芸員、京都市美術館学芸員編）　pp.223-256
出品作家生没年表　pp.257-262
出品目録　pp.265-274
近代日本美術に関する文献年表〈付：主要美術雑誌刊行年表〉（中島理壽・野崎たみ子・萩原幸子編、牧野研一郎協力）　pp.275-305
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、神近美、横浜美、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：東京展・1979 年 9 月 1 日－30 日　東京都美術館企画展示棟　主催：東京都美術館・朝日新聞社／京都展・1979 年 10 月 6 日－28 日　京都市美術館　主催：京都市・朝日新聞社
出品：IV 戦後の美術；香月泰男、鶴岡政男、林武、森芳雄、猪熊弦一郎、脇田和、山口薫、海老原喜之助、河原温、岡鹿之助、鳥海青児、小絲源太郎、糸園和三郎、福田豊四郎、東山魁夷、中村岳陵、横山操、加山又造、宇田荻邨、徳岡神泉、奥村土牛、平山郁夫、山本丘人、小野竹喬、山口華楊、吉岡堅二、髙山辰雄、木内克、柳原義達、菊池一雄、澤田政廣、舟越保武、佐藤忠良、山本豊市、駒井哲郎、浜田知明、池田満寿夫、浜口陽三、野田哲也、村井正誠、岡田謙三、難波田龍起、山口長男、今井俊満、白髪一雄、元永定正、堂本尚郎、オノサト・トシノブ、菅井汲、吉原治良、斎藤義重、川端実、杉山寧、植木茂、堀内正和、靉嘔、三木富雄、山口勝弘、豊福知徳、向井良吉、高松次郎、建畠覚造、三尾公三、宇佐美圭司、篠田守男、保田春彦、井上武吉、流政之、関根伸夫、榎倉康二〔出品目録順〕
註：出品のうち、I 近代日本美術の出発、II 明治末－大正期美術の展開、III 大正末－昭和前期の美術は対象外とした。なお、III に収載されている福田平八郎は戦前作品(188《山桜》1943)のほか戦後作品(189《新雪》1948)が出陳される。

1980（昭和 55）年
現代日本洋画展〈戦前から戦後へ〉 ●
群馬県立近代美術館　1980 年 10 月 4 日
ごあいさつ（館長岡畏三郎）

図版　p.72.
現代日本洋画展〈戦前から戦後へ〉（匠秀夫）
出品目録
作家略歴
「現代日本洋画展―戦前から戦後へ―」関係年表
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1980 年 10 月 4 日－11 月 3 日　高崎・群馬県立近代美術館　主催：群馬県立近代美術館
出品：藤田嗣治、小絲源太郎、安井曾太郎、梅原龍三郎、須田国太郎、児島善三郎、中川一政、北川民次、岡鹿之助、高畠達四郎、野口彌太郎、林武、荻須高徳、鳥海青児、小磯良平、海老原喜之助、牛島憲之、山口薫、森芳雄、脇田和、中谷泰、香月泰男、麻生三郎、福沢一郎、北脇昇、井上長三郎、靉光、鶴岡政男、岡本太郎、糸園和三郎、松本竣介、阿部展也、桂ゆき、杉全直、川口軌外、山口長男、斎藤義重、吉原治良、村井正誠、難波田龍起、長谷川三郎、宇治山哲平、川端実、オノサト・トシノブ、〔以下は準備最終段階での追加出品か：註〕児島善三郎(重)、荻須高徳(重)、鳥海青児(重)、海老原喜之助(重)、森芳雄(重)、脇田和(重)、麻生三郎(重)、福沢一郎(重)、松本竣介(重)、川口軌外(重)、井上長三郎(重)、山口長男(重)、難波田龍起(重)、三岸節子〔出品目録順〕
註：出品目録では 83 点の他に、神奈川県立近代美術館所蔵作品 25 点（14 作家）が記載されていて、展覧会準備の最終段階で出品が決定した、と推測される。14 作家のうち 13 作家は作家略歴が記載されているが三岸節子のみが記載されていない。

1981（昭和 56）年
日本近代彫刻の展開 ●
神奈川県立近代美術館　1981 年 7 月　開館 30 周年記念展第 II 部
あいさつ（神奈川県立近代美術館）
土方定一先生を偲ぶ〈三十周年記念特別展第二部「日本近代彫刻の展開」を機会に〉（匠秀夫）
近代彫刻の彫刻（土方定一）　再録
　附記（酒井忠康）
図版　75p.
出品目録
作家略歴
年表（青木茂編）
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1981 年 7 月 11 日－8 月 9 日　鎌倉・神奈川県立近代美術館　主催：神奈川県立近代美術館

出品：木内克、加藤顕清、新海竹蔵、山本豊市、高田博厚、笠置季男、イサム・ノグチ、圓鍔勝三、本郷新、安田周三郎、菊池一雄、柳原義達、辻晋堂、淀井敏夫、堀内正和、佐藤忠良、舟越保武、向井良吉、建畠覚造、清水九兵衛、流政之、毛利武士郎、飯田善國、多田美波、豊福知徳、高橋清、水井康雄、吾妻兼治郎、土谷武、山口牧生、速水史朗、木村賢太郎、村岡三郎、山口勝弘、宮脇愛子、保田春彦、湯原和夫、富樫一、井上武吉、篠田守男、澄川喜一、江口週、島田忠恵、若林奮、最上壽之、小田襄、三木富雄、山本正道、関根伸夫〔出品目録順〕

1982（昭和 57）年

日本銅版画史展――キリシタン渡米から現代まで 図録 ●

東京都美術館　1982 年 10 月 1 日　特別展図録第 10 号

あいさつ（東京都美術館）　p.3

図版　pp.5-86

銅版画――日本における定着化（河合晴生）　pp.87-92

近世銅版画の展開とその影響（松木寛）　pp.93-98

銅版画の技法と表現（河合晴生）　pp.99-104

出品目録　pp.105-114

作家略歴　pp.115-123

日本銅版画史年表（松木寛・中島理壽・河合晴生編）　pp.124-130

文献（中島理壽編）　pp.131-137

「日本銅版画史展」関連事業　p.138

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1982 年 10 月 1 日－11 月 28 日　東京都美術館企画展示室　主催：東京都美術館

出品：長谷川潔、浜口陽三、関野準一郎、駒井哲郎、浜田知明、瑛九、菅野陽、深沢幸雄、斎藤寿一、池田満寿夫、加納光於、秀島由己男、中林忠良、池田良二、北川健次〔出品目録順〕

1986（昭和 61）年

芸術と素朴 ●

世田谷美術館　1986 年 3 月　主に英文併載

ごあいさつ（世田谷美術館）　pp.8, 9

芸術と素朴（大島清次）　pp.10-18, 19-23

カタログ〔論考、作家解説、図版〕　pp.25-373

I 素朴派の系譜　pp.25-144
II 近・現代美術と素朴　pp.145-280
近代美術における素朴性（遠藤望）
現代美術における素朴（塩田純一）
日本近代美術と素朴な画家たち（遠藤望）
素朴の水系――稚拙美の源流から（川口幸也）
ノート：日本の近現代美術における素朴表現（塩田純一）
〔作家解説〕（遠藤望、児島薫、竹山博彦、川口幸也、塩田純一）
III 原始美術と民族美術　pp.281-347
IV 子どもと美術(知恵おくれの人たちの作品を含む)　pp.349-363
子どもと美術（高橋直裕）
夏休みのワークショップ
補遺 詩人の絵　pp.365-373
出品リスト　pp.374-404
参考文献　pp.405-413
註：論考は第 II 部のみを記載、作家解説は戦後作品出品の作家を対象とした。
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Naivety in Art」
会期：1986 年 3 月 30 日－6 月 15 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館／6 月 28 日－8 月 3 日　宇都宮・栃木県立美術館　主催：栃木県立美術館
出品：山本作兵衛、丸木スマ、広島市民が描いた原爆の絵、棟方志功、稗田一穂、川上澄生、畦地梅太郎、飯野農夫也、谷内六郎、久里洋二、有元利夫、篠原有司男、横尾忠則、日比野克彦〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

近代日本の美術〈所蔵作品による全館陳列〉●
東京国立近代美術館　1986 年 6 月
あいさつ（館長犬丸直）　英文併載
近代日本の美術（無署名）
図版　9p.
出品目録
近代日本の美術年表
展覧会場見取図
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東芸大、東大駒、和光大
○展覧会事項
欧文タイトル：「MODERN JAPANESE ART from the Museum Collection」

会期：1986 年 6 月 28 日－8 月 24 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：戦後の具象絵画；岡本太郎、荒井龍男、北脇昇、須田国太郎、児島善三郎、金山康喜、河原温、坂田一男、山口薫、糸園和三郎、石井茂雄、香月泰男、曹良奎、中谷泰、麻生三郎、小絲源太郎、岡鹿之助、林武、海老原喜之助。戦後の日本画；東山魁夷、橋本明治、加山又造、山本丘人、杉山寧、横山操、上村松篁、岩橋英遠、石本正、平山郁夫、下村良之介、髙山辰雄、吉岡堅二。彫刻；新海竹蔵、山本豊市、柳原義達、舟越保武、佐藤忠良。現代美術－1950 年代以後 絵画；瑛九、川端実、斎藤義重、杉全直、鶴岡政男、山田正亮、高橋秀、田淵安一、津高和一、山口長男、今井俊満、オノサト・トシノブ、菊畑茂久馬、白髪一雄、猪熊弦一郎、菅井汲、堂本尚郎、野見山暁治、難波田龍起、吉原治良、佐藤敬、元永定正、利根山光人、田中敦子、靉嘔、荒川修作、三尾公三、因藤壽、高松次郎、岡本信治郎、阿部展也、近藤竜男、小野木学、斎藤義重(重)、絹谷幸二、上田薫、高橋秀(重)、李禹煥、桂ゆき、有元利夫、中西夏之、黒田アキ、辰野登恵子、中村功、櫃田伸也。版画；浜口陽三、駒井哲郎、瑛九(重)、浜田知明、関野準一郎、萩原英雄、菅井汲(重)、吹田文明、深沢幸雄、加納光於、池田満寿夫、吉原英雄、野田哲也、靉嘔(重)、木村光佑、中林忠良、吉田穂高、上矢津、井田照一、榎倉康二、清塚紀子、河口龍夫、小本章、山中信夫。彫刻；植木茂、向井良吉、吾妻兼治郎、三木富雄、建畠覚造、辻晋堂、篠田守男、若林奮、豊福知徳、堀内正和、最上壽之、田中信太郎、清水九兵衛、斎藤史門、渡辺豊重。屋外 彫刻；木村賢太郎、保田春彦、イサム・ノグチ、多田美波、小清水漸〔出品目録順〕

註：本展は、初期文展/印象派、大正期・昭和前期の洋画、大正期・昭和前期の前衛的傾向 1、大正期・昭和前期の前衛的傾向 2、近代日本画の展開、大正・昭和戦前期の版画、明治末期から昭和初期の彫刻、アメリカ派と昭和 10 年代の作家たち、昭和期・近代版画の熟成、戦争記録画/戦後の具象絵画、戦後の日本画、彫刻、そして現代美術－1950 年代以後から構成されている。ここでは、「戦後の具象絵画」「戦後の日本画」「現代美術－1950 年代以後」の出品を収載。

1989（昭和 64・平成元）年

昭和の美術〈所蔵作品による全館陳列〉●

東京国立近代美術館　1989 年 7 月

あいさつ（館長大﨑仁）　p.3　英文併載

当館コレクションと昭和の美術（富山秀男）　pp.5-6, 7-8　英文併載

昭和期の美術への試論――近代から現代への架橋として（田中淳）　pp.9-14, 15-19　英文併載

図版〔図版、作品解説〕　pp.21-36

年表・カタログ〔年表、図版、出品目録〕　pp.37-173

出品作品一覧　pp.174-179　英文併載

註：作品解説者、年表作成者の記載は無い。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、

東大駒、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Art of the Showa Period From the Museum Collection」

会期：1989 年 7 月 21 日－9 月 17 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館

出品：荒井龍男、荒川修作、有元利夫、朝倉摂、麻生三郎、靉嘔、鳥海青児、堂本尚郎、海老原喜之助、瑛九、遠藤利克、榎倉康二、福田平八郎、福田豊四郎、舟越保武、浜田知明、浜口陽三、長谷川潔、橋本明治、速水史朗、林武、東山魁夷、平山郁夫、堀内正和、井田照一、池田満寿夫、池田龍雄、猪熊弦一郎、井上長三郎、石井茂雄、伊東深水、伊藤隆康、岩橋英遠、曹良奎、金山康喜、加納光於、片岡球子、河口龍夫、河原温、加山又造、香月泰男、菊畑茂久馬、菊竹清文、木村賢太郎、木村光佑、北脇昇、清水九兵衛、清塚紀子、児玉希望、小絲源太郎、小島信明、小嶋悠司、児島善三郎、駒井哲郎、小本章、昆野恆、黒田アキ、黒崎彰、桑山忠明、李禹煥、前田青邨、丸木位里、松本旻、松本竣介、三木富雄、最上壽之、森芳雄、毛利武士郎、元永定正、向井良吉、棟方志功、村井正誠、中村岳陵、中村宏、中村功、中村正義、中村貞以、中西夏之、中谷泰、難波田龍起、新妻実、野田哲也、イサム・ノグチ、小倉遊亀、岡鹿之助、岡田謙三、岡本太郎、恩地孝四郎、小野竹喬、オノサト・トシノブ、小山田二郎、斎藤義重、坂田一男、佐藤忠良、ハリー･K・シゲタ、下村良之介、新海竹蔵、白髪一雄、空充秋、須田国太郎、菅井汲、杉全直、杉本繁、杉山寧、多田美波、高松次郎、髙山辰雄、田中敦子、田中信太郎、建畠覚造、辰野登恵子、徳岡神泉、豊福知徳、辻晋堂、鶴岡政男、津高和一、内田巌、宇田荻邨、植木茂、上村松篁、上野誠、梅原龍三郎、若林奮、脇田和、山田正亮、山口蓬春、山口薫、山口勝弘、山口長男、山本丘人、山本正道、山中信夫、山下菊二、柳原義達、保田春彦、安田靫彦、安井曾太郎、横尾忠則、横山操、横山大観、吉田穂高、吉原英雄、吉原治良、吉仲太造〔出品リスト順〕

1990（平成 2）年

館蔵品を中心とした「昭和の前衛〈思考する絵画の視点から〉」●

板橋区立美術館　1990 年 7 月　〔全 16 ページ〕

昭和の前衛たちの発生構造〈真昼を駆けぬけ、暗夜を往くもの〉（尾崎眞人）

略年表・美術史の流れ（尾崎眞人編）

図版　14p.

出品目録

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東大駒、都現美、横浜美、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Avant-garde of the Showa Period From the Museum Collection」

会期：1990 年 7 月 21 日－8 月 19 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：〔戦後作品〕; 佐田勝、国吉康雄、入江比呂、古沢岩美、高山良策、尾藤豊、山下菊二、早瀬龍江、川口軌外、北代省三、高山良策、白木正一、桂川寛、井上長三郎、池田龍雄、中村宏、杉全直、桂ゆき、吉仲太造、村上善男、糸園和三郎〔出品目録順〕

註：佐田勝、入江比呂、古沢岩美、早瀬龍江、高山良策、井上長三郎、桂ゆきを含む戦前の作品 66 点も出陳される。

幻想の力〈日本の近・現代美術から〉展図録 ●

宮城県美術館　1990 年 10 月

あいさつ（宮城県美術館・河北新報社・東北放送）　p.3

「幻想絵画」をめぐって（酒井哲朗）　pp.5-7

図版　pp.9-69

「幻想の力」展について（有川幾夫）　pp.70-71

作家略歴　pp.72-77

出品目録　pp.78-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Art and Vision：From Japanese Modern Art」

会期：1990 年 10 月 2 日 11 月 4 日　仙台・宮城県美術館　主催：宮城県美術館・河北新報社・東北放送

出品：身体；鶴岡政男、荒川修作、藤野一友、三木富雄、三上誠、宇佐美圭司、星野真吾、麻生三郎、秋元雄史。事物；上田薫、金昌烈、吉仲太造、草間彌生、関口敦仁。部屋；河原温、高松次郎、荒川修作(重複記載、以下「重」とす)、小磯良平、有元利夫、川﨑麻児、田窪恭治、関口敦仁(重)。森；近藤弘明、東山魁夷、横尾忠則、戸谷成雄、鈴木省三、池村玲子。夜と闇；鶴岡政男(重)、宮城輝夫、鏑木昌弥。鳥獣虫魚；山下菊二、池田龍雄、鶴岡政男(重)、桂ゆき、中村正義、佐藤昌宏、高木敏行。子供・川上澄生、中村宏、片山健、川原田徹、岡本信治郎。終末；鶴岡政男(重)、横尾忠則(重)、岩崎巴人、山下菊二(重)、香月泰男、司修、平山郁夫、大竹伸朗〔出品目録順〕

註：戦前作品のみの出品作家（田中恭吉、萬鉄五郎、岸田劉生、玉城末一、杉田勇次郎、川口軌外、印藤真楯、中丸清十郎、村上華岳、秦テルヲ、太田聴雨、清水登之、石垣栄太郎、小牧源太郎、国吉康雄、古賀春江、伊藤久三郎、松本竣介）は割愛した。

ピカソと日本 ●

徳島県立近代美術館　1990 年 11 月 3 日　開館記念展

ごあいさつ（館長高橋亨）　p.3　英文併載

ピカソと日本（池上忠治）　pp.6-7

図版　pp.9-136

1920-30 年代のピカソ（友井伸一）　pp.138-141

ピカソと日本の近代美術〈大正から終戦まで〉（江川佳秀）　pp.142-145

現代の日本美術とピカソ（竹内利夫）　pp.146-149

作家略歴　pp.151-158

出品作家生没年一覧　p.159

出品目録　pp.161-173

年表[ピカソと日本]　pp.175-189
主要参考文献　pp.191-197
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Picasso and Japan」
会期：1990 年 11 月 3 日－12 月 9 日　徳島県立近代美術館　主催：徳島県立近代美術館
出品：神原泰、山口長男、岡本太郎、林武、佐藤敬、脇田和、三雲祥之助、棟方志功、香月泰男、萩原英雄、長谷川三郎、山本敬輔、瑛九、鶴岡政男、山下菊二、下村良之介、泉茂、岡本信治郎、荒川修作、島田章三、大沼映夫、池田満寿夫、絹谷幸二、横尾忠則〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

1991（平成 3）年
野生の復権展〈開館 5 周年記念展：コレクションからのメッセージ〉●
世田谷美術館　1991 年 4 月
ごあいさつ（館長大島清次）　p.5　英文併載
野生の復権〈ある意識を超えた選択について〉（勅使河原純）　pp.6-8, 9-11　英文併載
図版　pp.13-53
作家解説、作品リスト（世田谷美術館学芸課編）　pp.55-64
所蔵：□、東博資、都現美、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Wildness：Toward Their Own Natures An Aspect of Contemporary Art」
会期：1991 年 4 月 2 日－5 月 6 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館
出品：飯田善國、伊藤公象、横尾忠則、大竹伸朗、小泉俊己、荒敦子〔出品リスト順〕

1992（平成 4）年
筆あとの誘惑〈モネ、栖鳳から現代まで〉　京都市美術館編 ●
京都市　1992 年 11 月 1 日　特別展
ごあいさつ（京都市美術館）　pp.6, 7　英文併載
序論（中谷至宏）　pp.8-11
構成　pp.12-13
図版〔図版、章解説、作品解説〕　pp.15-104
〔作品解説〕（中谷至宏、喜多村明里）
作家略歴（京都市美術館学芸課編）　pp.106-125
作品リスト　pp.126-128, 128-130　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図
○展覧会事項

欧文タイトル：「Seductive Brush Marks from the late 19th century to the present day」
会期：1992 年 11 月 1 日－29 日　京都市美術館　主催：京都市
出品：組織；山田正亮。形象；堀浩哉。感情；海老原喜之助、日高昌克。動勢；白髪一雄、堂本尚郎、田淵安一。集積；瑛九、諏訪直樹、五十嵐彰雄、菊畑茂久馬、依田寿久、吉仲正直。契機；小林正人、中西夏之、李禹煥、関口敦仁、中村一美、堀浩哉(重)、児玉靖枝、館勝生、野見山暁治、渡辺信明〔作品リスト順〕

1993（平成 5）年
日本の木口木版画〈明治から今日まで〉●
板橋区立美術館　1993 年 12 月 4 日
ごあいさつ（板橋区立美術館）　p.3
近代の彫師・合田清（丹尾安典）　pp.4-16
闇に開かれた窓〈挿絵としての木口木版画〉（気谷誠）　pp.17-24
図版　pp.25-198
資料
　木口木版画〈明治から今日まで〉（松岡希代子）　pp.200-207
　彫り師、版画家略歴　pp.208-211
出品リスト　pp.212-223
註：編集は松岡希代子、岩清水祥代、山科知子。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛知芸、京都学、東大駒、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1993 年 12 月 4 日－1994 年 1 月 9 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館
出品：松原忠四郎、北川民次、関野準一郎、武井武雄、西川藤太郎、北岡文雄、城所祥、日和崎尊夫、小林敬生、柄澤齊、山本進、栗田政裕、三塩英春、斉藤修、永畑風人〔出品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

1994（平成 6）年
「死にいたる美術－メメント・モリ」展 ●
町田市立国際版画美術館・栃木県立美術館　1994 年 5 月
あいさつ（町田市立国際版画美術館・栃木県立美術館）　pp.4, 5　英文併載
序－「死を想え、生を想え」（小勝禮子）　pp.8-10, 11-13　英文併載
「エクスポーズ」するいやはて－死のヴィジュアルという逆説について（高山宏）　pp.15-24
中世後期における死の図像－屍体が語ること（小池寿子）　pp.25-35
第一部 死の版画史
　拡散する死のイメージ（佐川美智子）　pp.39-48

図版〔図版、作品リスト、作品解説〕 pp.49-198
作品解説（佐川美智子、小池寿子、小勝禮子）
第二部 現代の死
眼差しの向こう側――死と現代の美術（小勝禮子） pp.201-220
図版〔図版、作品リスト、作品解説、作家のことば〕 pp.221-303
〔作家のことば〕（ハンス・ベルメール〔再録〕、池田龍雄、吉仲太造〔再録〕、草間彌生〔再録〕、ジョエル＝ピーター・ウィトキン〔再録〕、クリスチャン・ボルタンスキー〔再録〕、村岡三郎〔再録〕、河口龍夫〔再録〕、戸谷成雄〔再録〕、柄澤齊、北川健次〔再録〕）.
作品解説（ラズロ・グローツァー、ロバート・マザウェル、瀧口修造、篠原有司男、ハイナー・シュタッヘルハウス、シュテファン・ブレッシン、マーク・ローゼンタール、峯村敏明、笠原美智子、山本和弘）すべて再録
作家略歴 pp.304-333
主要参考文献 pp.335-341
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「memento mori：Visions of Death c. 1500-1994」
会期：1994 年 5 月 29 日－7 月 17 日 町田市立国際版画美術館 主催：町田市立国際版画美術館／7 月 31 日－9 月 25 日 宇都宮・栃木県立美術館 主催：栃木県立美術館
出品：第二部 現代の死；ハンス・ベルメール、ヴォルス、ジョゼフ・コーネル、瀧口修造、池田龍雄、吉仲太造、草間彌生、荒川修作、ヨーゼフ・ボイス、ホルスト・ヤンセン、アンゼルム・キーファー、ジョエル＝ピーター・ウィトキン、クリスチャン・ボルタンスキー、村岡三郎、河口龍夫、戸谷成雄、北辻良央、柄澤齊、北川健次、服部冬樹、小山穂太郎〔図版収載順〕
註：出品欄は「第二部 現代の死」のみを収載。

1995（平成 7）年
動物美術館〈20 世紀日本の生きもののイメージ〉 三重県立美術館編 ●
三重県立美術館協力会 1995 年 4 月
ごあいさつ（三重県立美術館） pp.4-5 英文併載
動物美術館－日本の動物表現をめぐって（酒井哲朗） pp.6-14
図版〔章解説、図版〕pp.15-95
現代社会と動物表現（毛利伊知郎） pp.98-101
作家解説 pp.102-119
出品リスト pp.120-129
註：編集は荒屋鋪透、毛利伊知郎。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ART MUSEUM OF ANIMALS Japanese Plastic Expression of Creature in 20th Century」

会期：1995 年 4 月 1 日－5 月 7 日　津・三重県立美術館　主催：三重県立美術館

出品：1.動物に注がれる眼差し；池田遙邨、徳岡神泉、坂本繁二郎、海老原喜之助、古茂田公雄、長谷川潾二郎、脇田和、小林研三、柳原義達、淀井敏夫。2.動物をめぐるヴィジョン；加山又造、稗田一穂、工藤甲人、下村良之介、池田龍雄、三輪勇之助、桂ゆき、須田寿、阿部合成、瑛九、秋山泰計、斎藤清、辻晋堂、鈴木治、熊倉順吉。3.生きものをめぐる表現の可能性；戸田正寿、若林奮、吉野辰海、籔内佐斗司、浅井健作、天野裕夫、安藤泉、大谷まや、馬田純子〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

1996（平成 8）年

近代都市と芸術展　東京：都市と芸術 1870-1996 ●

東京都現代美術館　1996 年 7 月 24 日　英文併載

あいさつ（主催者）　p.6

視覚芸術

　揺籃としての都市（乙葉哲）　pp.8-11, 12-15

　図版〔図版、解説〕　pp.16-57

グラフィック・アート

　破壊(カタストロフ)と再生の都市東京（柏木博）　pp.60-63, 64-66

　図版〔図版、解説〕　pp.68-79

建築

　東京－学習と規範喪失の 140 年（松葉一清）　pp.82-85, 86-89

　図版〔図版、解説〕　pp.90-102

戦後の東京〈消えた街角－富岡畦草の定点撮影／木村恒久のバーチュオシティ〉

　図版〔図版、解説〕　pp.104-110

作家一覧　pp.112, 113

註：近代都市と芸術展のカタログは、ポンピドゥー・センターで開催されたものの巡回展である「ヨーロッパの近代都市と芸術」展カタログと本カタログの 2 分冊からなり、前者にはメイン論文の欧文版が 2 冊付けられている。副題に「1870-1996」とあるので本「現代美術展カタログ一覧」に収録したが、戦後日本作品の作家は 2 名のみである。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「LA VILLE MODERNE　TOKYO, LA VILLE MODERNE」

会期：1996 年 7 月 24 日－9 月 16 日　東京都現代美術館　主催：東京都・東京ルネッサンス推進委員会・東京都現代美術館

出品：富岡畦草、木村恒久

女はどう表現されてきたか ●

岡山県立美術館　1996 年 10 月 9 日

ごあいさつ（館長宮地暢夫）　p.1

MESSAGE（福冨幸）　p.4

図版〔章解説、図版〕　pp.5-132

〔章解説〕（福冨幸）

出品目録　pp.133-143

参考図書　pp.144-145

付：関連事業について　p.146

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Female Identity」

会期：1996 年 10 月 9 日－11 月 10 日　岡山県立美術館　主催：岡山県立美術館

出品：戦後 I；向井久万、古沢岩美、堂本印象、小倉遊亀、前田青邨、棟方志功、瑛九、河原温、麻生三郎、髙山辰雄、中村宏、三栖右嗣、荒川修作、工藤哲巳、三上誠、佐藤多持、高橋秀、安田靫彦、森田曠平、石本正、佐々木正芳、高松次郎、三輪龍作、板橋廣美、中村誠、浅葉克己、石岡瑛子、戸田正寿、井上嗣也。戦後 II；芥川〔間所〕紗織、桂ゆき、小倉遊亀(重)、広田多津、内田あぐり、田嶋悦子、草間彌生、レイコ・イケムラ、嶋田美子〔図版収載順〕

註：出品欄は「戦後 I」および「戦後 II」の作家を収載。

1999（平成 11）年

身体の夢 ファッション OR 見えないコルセット ●

京都服装文化研究財団　1999 年 4 月 2 日　主に英文併載

図版〔図版、作品解説〕　pp.8-35

あいさつ（主催者）　pp.36, 37

メッセージ（塚本能交）　pp.38, 39

序論（河本信治）　pp.40-41, 190-191

身体の夢――20 世紀の身体イメージとファッション（深井晃子）　pp.42-50, 192-195

身体の夢／夢の身体（渡邊守章）　pp.52-53, 196-197

仮想身体の着替え方――デヴィッド・リンチ「ロスト・ハイウェイ」の可能性を探る（遠藤徹）　pp.54-57

図版〔図版、作品解説、作家のことば〕　pp.59-188

〔作家のことば〕（笠原恵実子）

関連年表　pp.198-199

作家解説　pp.200-206

出品リスト　pp.207-208, 209-211
所蔵者一覧　p.213
註：作品解説は河本信治と京都服装文化研究財団担当者。なお「作家のことば」の記載は日本作家にとどめた。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「VISIONS OF THE BODY：FASHION OR INVISIBLE CORSET」
会期：1999 年 4 月 6 日－6 月 6 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・京都服装文化研究財団／8 月 7 日－11 月 23 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・京都服装文化研究財団・朝日新聞社、企画制作協力：京都国立近代美術館
出品：安藤福子、蔡國強、ひびのこづえ、笠原恵実子、川久保玲、キュピキュピ(石橋義正、木村真束、分島麻実、江村耕市)、小西良幸、熊谷登喜夫、草間彌生、真木洋茂、三宅一生、森村泰昌、沖啓介、鈴木淳子、津村耕佑、渡辺淳弥、山本耀司、やなぎみわ〔作家解説順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

2000（平成 12）年
日本美術の 20 世紀　美術が語るこの 100 年 ●
東京都現代美術館　2000 年 9 月　東京 2000 年祭共催事業
ごあいさつ（東京都現代美術館・東京都教育委員会）　p.5　英文併載
日本美術の 100 年－20 世紀末の地平から（福永治）　pp.8-17
東京都現代美術館コレクションについてーその群と流れ（乙葉哲）　pp.18-23
カタログ〔章解説、図版〕　pp.25-216
　章解説（福永治）
関連年表（乙葉哲編）　pp.219-233
事項解説（乙葉哲編）　pp.235-245
出品リスト　pp.247-253, 255-261　英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Japanese Art in the 20th Century」
会期：2000 年 9 月 15 日－11 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会
出品：IV 第 2 次大戦前後――抑圧と解放；福沢一郎、北脇昇、鶴岡政男、阿部展也、杉全直、井上長三郎、糸園和三郎、久保守、麻生三郎、朝妻治郎、山口薫、吉井忠、香月泰男、中村貞以、川﨑小虎、小野竹喬、加藤太郎、恩地孝四郎、駒井哲郎、浜田知明。V 高度経済成長期――新しい美術への挑戦；岡本太郎、村井正誠、山口長男、難波田龍起、オノサト・トシノブ、瑛九、靉嘔、池田満寿夫、前田常作、山口勝弘、北代省三、福島秀子、池田龍雄、中

村宏、桂ゆき、利根山光人、石井茂雄、吉仲太造、小山田二郎、吉原治良、嶋本昭三、金山明、元永定正、白髪一雄、田中敦子、松谷武判、田淵安一、堂本尚郎、今井俊満、菅井汲、野見山暁治、岡鹿之助、海老原喜之助、牛島憲之、脇田和、鳥海青児、小絲源太郎、曾宮一念、三上誠、大野俶嵩、不動茂弥、小倉遊亀、奥田元宋、加山又造、森田曠平、北澤映月、髙山辰雄、吉岡堅二、草間彌生、岡田謙三、山田正亮、磯辺行久、斎藤義重、村上善男、宇佐美圭司、郭徳俊、桑山忠明、小島信明、工藤哲巳、三木富雄、菊畑茂久馬、篠原有司男、荒川修作、中西夏之、赤瀬川原平、高松次郎、タイガー立石、岡本信治郎、横尾忠則、泉茂、池田満寿夫(重)、浜口陽三、吉原英雄、野田哲也、堀内正和、毛利武士郎、辻晋堂、山本豊市、村岡三郎、篠田守男、向井良吉、江口週、若林奮、建畠覚造。VI 美術の個別化と国際性――21 世紀に向けて；李禹煥、小清水漸、菅木志雄、榎倉康二、鴫剛、上田薫、彦坂尚嘉、堀浩哉、森村泰昌、中村一美、根岸芳郎、辰野登恵子、丸山直文、吉澤美香、木村光佑、下谷千尋、島州一、斉藤智、加納光於、原健、中林忠良、篠原有司男(重)、保田春彦、脇田愛二郎、土谷武、戸谷成雄、舟越桂〔出品リスト順〕

註：I 章は「近代市民意識の高まり――明治浪漫主義」、II 章は「大正の芸術運動と関東大震災」、III 章は「新思潮と日本――昭和前期」とある戦前期までと、本 IV 章以降の戦後期からとで構成されている。なお、「事項解説」は後半の戦後期の主要な展覧会やグループ等に絞って 11 ページにわたって解説をしている好資料である。

2001（平成 13）年

水辺のモダン〈江東・墨田の美術 墨東遊覧案内〉●

東京都現代美術館　2001 年 6 月

ごあいさつ（主催者）　p.3

水辺のモダニズムの底流（山口昌男）　pp.5-6

隅田川の東を描く――「近代」の向うにある風景（加藤弘子）　pp.7-12

復興祈念館所蔵ポスターと The Fraternity Memorial Hospital（関直子）　pp.13-19

ある撮影所の幻影――『映画雑誌 向島』をめぐって（石田哲朗）　pp.20-24

図版〔章解説、図版〕　pp.25-183

江東・墨田関連年表　pp.184-187

出品作品関連地　pp.188-189

作品リスト　pp.190-205

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Moderns by the Sumida River－Art in Eastern Tokyo from the Late Nineteenth Century to the Present－」

会期：2001 年 6 月 16 日－8 月 19 日　東京都現代美術館　主催：東京都現代美術館・東京都教育委員会・読売新聞社

出品：VII 日常の風景；鈴木新夫、牛島憲之、曹良奎、浜口陽三、麻生三郎、谷内六郎、林

忠彦、薗部澄、木村伊兵衛、田沼武能、師岡宏次、森山大道、細江英公、大西みつぐ、平嶋彰彦、内海三郎、兼平雄樹。X 記憶/記録；荒木経惟、山出淳也、土屋公雄、石内都、大岩オスカール幸男〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品を対象とした 2 つの章の作家を収載。

2002（平成 14）年

未完の世紀：20 世紀美術がのこすもの　　東京国立近代美術館編 ●

読売新聞社　2002 年 1 月

あいさつ（北村哲夫・渡邉恒雄）　英文併載

20 世紀文明と文化のはざまに（市川政憲）

戦後美術の同時代性について（松本透）

カタログ〔章解説、図版、コラム〕　pp.1-242

章解説（市川政憲、松本透）

コラム（第 IV 章後半以降・鈴木勝雄、都築千重子、蔵屋美香、中林和雄、若江漢字、古田亮、保坂健二朗、大谷省吾、高橋幸次）

作家略歴　pp.244-261

作品リスト　pp.262-279

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「The Unfinished Century：Legacies of 20th Century Art」

会期：2002 年 1 月 16 日－3 月 10 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・読売新聞社

出品：IV 戦時と「戦後」の美術 1940-50 年代 リアリズムの戦後；松本栄一、岡本太郎、鶴岡政男、丸木位里・俊、浜田知明、山下菊二、池田龍雄、海老原喜之助、河原温、麻生三郎、曹良奎、石井茂雄、川田喜久治、東松照明。V 文明の反ユートピア 1950 年代；草間彌生、駒井哲郎、今井俊満、建畠覚造、瑛九、毛利武士郎、斎藤義重、難波田龍起、田中敦子、向井良吉、吉原治良、白髪一雄。心象の絵画；東山魁夷、加山又造、徳岡神泉、横山操、平山郁夫、髙山辰雄。VI 加速する社会と芸術 1960 年代 更新されたモダニズム；植田正治、石元泰博、柳原義達、山田正亮、山口長男、宇佐美圭司、菅井汲、桑山忠明、保田春彦、堀内正和。芸術と非日常；工藤哲巳、松澤宥、細江英公、菊畑茂久馬、三木富雄、横尾忠則、荒川修作、野田哲也、若林奮、森山大道、高松次郎。VII 人間と物質 1970 年代以降；牛腸茂雄、菅木志雄、田村彰英、大辻清司、河口龍夫、小清水漸、山中信夫、草間彌生(重)、李禹煥、尹亨根、朴柄甫、野村仁、榎倉康二。VIII 芸術と歴史 1980 年代以降；中西夏之、辰野登恵子、村岡三郎、小林正人、森村泰昌、石内都、戸谷成雄、中原浩大、中村一美、野見山暁治、高木修、土谷武、田中信太郎、畠山直哉、宮島達男〔作品リスト順〕

註：出品欄は第 IV 章のうち「リアリズムの戦後」および第 V・VI・VII・VIII 章の日本作家を収載。

2003（平成 15）年

きらめく光〈日本とヨーロッパの点表現〉●

静岡県立美術館　2003 年 2 月 18 日

ごあいさつ（館長吉岡健二郎）　p.3

点描の世界（吉岡健二郎）　pp.6-9

点描の東西〈大雅・スーラなど〉（中谷伸生）　pp.10-14

図版〔章解説、図版〕　pp.15-160

章解説（飯田真、小針由紀隆、泰井良、森充代、堀切正人）

日本文人画にみる点表現－池大雅を中心に（飯田真）　pp.162-165

調和の幻想－新印象主義の絵画について（村上敬）　pp.166-169

大下藤次郎《万年橋》における点表現の違いについて（泰井良）　pp.170-172

大正期日本画における点描－今村紫紅と小野竹喬を中心に（森充代）　pp.173-176

作家・作品解説（飯田真、小針由紀隆、村上敬、泰井良、堀切正人、森充代）　pp.177-198

出品リスト　pp.199-203

註：章解説のうち現代美術、作家・作品解説の現代作家は堀切正人が担当。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2003 年 2 月 18 日－3 月 30 日　静岡県立美術館　主催：静岡県立美術館

出品：岡鹿之助、牛島憲之、草間彌生、浅見貴子、高橋洋子。参考図版；川田祐子、大巻伸嗣〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の日本人作家のみを収載。

「きらめく光〈日本とヨーロッパの点表現〉」展 インスタレーション・教育普及事業記録集 2003 “DOT/NET”

静岡県立美術館　2003 年 3 月 31 日

ごあいさつ（静岡県立美術館）　p.2

展覧会ソナタ〈「きらめく光」展の共同制作と現代美術セクションの展示について〉（堀切正人）　pp.3-4

図版〔展示風景、作家略歴、作家のことば〕　pp.5-23

〔作家のことば〕（浅見貴子、大巻伸嗣、高橋洋子、川田祐子）

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項〔本体に同じ〕

時空を超える風景たち 明治の記録画から現代都市の写真まで ●

世田谷美術館　2003 年 10 月

ごあいさつ（世田谷美術館）　p.5

「時空を超える風景たち」展〈展覧会の主旨と構成について〉（杉山悦子）　pp.8-11

カタログ〔章解説、作家略歴、図版〕 pp.13-75
　章解説、作家略歴（杉山悦子）
出品作品リスト　pp.77-86
註：編集は杉山悦子、遠藤望。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「LANDSCAPES TRANS-LOCATED」
会期：2003 年 10 月 11 日－12 月 7 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館
出品：小堀四郎、向井潤吉、宮本三郎、師岡宏次、難波田龍起、脇田和、緑川廣太郎、飯島一次、山口薫、森芳雄、須田寿、朝妻治郎、吉田善彦、髙山辰雄、阿部合成、難波田史男、牛島憲之、利根山光人、平嶋彰彦、宮本隆司〔出品作品リスト順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

2004（平成 16）年
再考：近代日本の絵画〈美意識の形成と展開〉●
セゾン現代美術館　2004 年 4 月
あいさつ（竹内順一） p.5
あいさつ（氏家齊一郎） p.6
あいさつ（堤清二） p.7
四角い窓から――辻井喬、J. ハーバーマス、P. ブルデュー、平塚らいてう（難波英夫） pp.10-15
モダニズム再考にあたっての一視点（三浦雅士） pp.16-19
近代国家とモダニズム（多木浩二） pp.20-22
カタログ〔図版〕 pp.23-263
　章解説（野口玲一、島津京、南雄介、加藤弘子、藤井亜紀、荻原佐和子、高砂三和子）
　第 11 章「戦後」という時代（章解説・南雄介、藤井亜紀） pp.194-195
　第 12 章 リセット：1950－1960 年代（章解説・藤井亜紀、高砂三和子） pp.218-219
　第 13 章 ものと観念（章解説・荻原佐和子） pp.230-231
　第 14 章 日本ポップ（章解説・荻原佐和子） pp.240-241
　第 15 章 絵画の世紀（章解説・高砂三和子） pp.252-253
リアリティの廃墟－「近代」の表象文化論（小林康夫） pp.97-99
歴史の中の前衛（建畠哲） pp.100-103
出品リスト（東京都現代美術館編） pp.266-285
年表（中島理壽編） pp.286-295
作家リスト（東京都現代美術館編） pp.296-301
所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Remaking Modernism in Japan 1900-2000」

会期：2004 年 4 月 10 日－6 月 20 日　東京芸術大学大学美術館（第 1 部）、東京都現代美術館（第 2 部）　主催：東京芸術大学・東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・セゾン現代美術館

出品：第 11 章〈戦後〉という時代；岡本太郎、井上長三郎(重)、鶴岡政男(重)、丸木位里・俊、麻生三郎、吾妻治郎、阿部展也、浜田知明(重)、河原温、石井茂雄、長谷川三郎、村井正誠、難波田龍起、瑛九、オノサト・トシノブ、吉原治良(重)、山口長男(重)、斎藤義重、北代省三、大辻清司、山口勝弘、勅使河原蒼風、駒井哲郎(重)、福島秀子、瀧口修造。第 12 章 リセット：1950-60 年代；今井俊満、村上三郎、勅使河原蒼風(重)、三上誠、堂本尚郎、津高和一、吉原治良(重)、元永定正、田中敦子、白髪一雄、星野真吾(重)、工藤哲巳、荒川修作、菊畑茂久馬、三木富雄、松澤宥、中西夏之。

第 13 章 ものと観念；荒川修作(重)、高松次郎、松澤宥(重)、北辻良央、榎倉康二、河口龍夫、李禹煥、菅木志雄。第 14 章 日本ポップ；山下菊二、靉嘔、池田龍雄、中村宏、中村正義、篠原有司男、清水晃、磯辺行久、草間彌生、菅井汲、岡本信治郎、タイガー立石、横尾忠則、福田美蘭、大竹伸朗、森村泰昌。第 15 章 絵画の世紀；草間彌生(重)、宇佐美圭司、山田正亮、桑山忠明、村上友晴、岡崎乾二郎、彦坂尚嘉、中西夏之(重)、加納光於、山本富章、根岸芳郎、小林正人、吉澤美香、辰野登恵子、石川順惠、堂本右美、中村一美〔出品リスト順〕

註：出品欄は、戦前期を対象外とし、第 11 章から第 15 章まで収載したが、その割愛部分の構成は、【第 1 章 博覧会美術、第 2 章 アカデミズムの形成、第 3 章 風景論、第 4 章 静物論、第 5 章 画家とモデル――アカデミズムの視覚、第 6 章 理想と大衆化、第 7 章 日常への眼差し――「近代」の規範、第 8 章〈インターナショナル〉スタイルへの連動、第 9 章〈東洋〉と〈日本〉、第 10 章 戦争を描く】となっている。なお、井上長三郎(重)、鶴岡政男(重)、浜田知明(重)、吉原治良(重)、山口長男(重)、駒井哲郎(重)、星野真吾(重)と 7 作家に「重」があるのは第 4 章と第 5 章に作品が出品されているためである。

COLORS ファッションと色彩 VIKTOR & ROLF & KCI ●

京都服飾文化研究財団　2004 年 4 月 29 日　主に欧文併載

ごあいさつ（内山武夫）　pp.6, 7

ごあいさつ（デヴィッド・エリオット）　pp.8, 9

ごあいさつ（塚本能交）　pp.10, 11

はじめに（河本信治）　pp.12-13, 272-273

仮託された夢、時代の色（深井晃子）　pp.14-21, 274-278

ヴィクター&ロルフ、セルフポートレイト〔インタヴュー〕pp.22-25, 279-280

ヴィクター&ロルフ、交差するアートとファッション（スーアン・ファン・デル・ザイプ）　pp.26-28, 281-282

ヴィクター&ロルフ、そのクリエーション（石関亮）　pp.29-32, 283-285

図版〔図版、解説〕　pp.33-208

出品目録　pp.5-6

図版〔図版、作家略歴〕pp.7-15
赤には二面があること（クロード・レヴィ＝ストロース） pp.210, 286
マネ、黒の効果（クロード・アンベール） pp.212-219, 287-290
青――空間と身体のポエジー（小林康夫） pp.220-223, 291-293
都市と色（森川嘉一郎） pp.224-228, 294-297
作品解説（京都服飾文化研究財団担当者） pp.229-251 和文
色の流行と天然染料――緊張下の歴史（ドミニク・カルドン） pp.254-257, 298-300
染色用語解説 pp.258-259 和文
服飾用語解説 pp.260-265 和文
参考文献 pp.266-271
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「FASHION IN COLORS VIKTOR & ROLF & KCI」
会期：2004 年 4 月 29 日－6 月 20 日 京都国立近代美術館 主催：京都国立近代美術館・京都服飾文化研究財団／8 月 24 日－12 月 5 日 六本木・森美術館 主催：森美術館・京都服飾文化研究財団
出品：山本耀司、川久保玲、渡辺淳弥、三宅一生〔作品解説順〕
註：出品欄は日本作家(デザイナー)を収載。

2005（平成 17）年
マルチプル・ショー〈デュシャンからリキテンスタインへ〉●
町田市立国際版画美術館 2005 年 4 月 9 日
あいさつ（館長村田哲朗）p.5
戦後、美術の大衆化の中で――マルチプルと瀧口修造（杉野秀樹）pp.8-21
カタログ〔章解説、図版、作品解説〕pp.23-104
章解説・作品解説（高木幸枝）
アメリカの版画工房とマルチプル――エピソードから（高木幸枝）pp.106-111
主要作家解説 pp.112-117
註：編集は高木幸枝、佐川美智子、和南城愛理。
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒
○展覧会事項
欧文タイトル：「Multiple Show from Duchamp to Lichtenstein」
会期：2005 年 4 月 9 日－6 月 12 日 町田市立国際版画美術館 主催：町田市立国際版画美術館
出品：I デュシャンからフルクサスへ；マルセル・デュシャン、マン・レイ、メレット・オッペンハイム、加納光於、瀧口修造、岡崎和郎、アルマン、ヨーゼフ・ボイス、靉嘔、ウイリアム・コプリー、オノ・ヨーコ、ジョン・ケージ、ヘニング・クリスチャンセン、トニー・

クラッグ。II 平面と立体と：さまざまな試み；ルーチョ・フォンタナ、イヴ・クライン、ヴィクトル・ヴァザルリ、ルイーズ・ニーヴェルソン、セザール、クレス・オルデンバーグ、デイヴィッド・ブラッドショウ、エヴァ・ヘス、ステファン・カルテンバック、ブルース・ナウマン、アラン・サラ、リチャード・セラ、キース・ソニエ、ロイ・リキテンスタイン、クリスト。III 版画工房の発展とマルチプル：アメリカを中心に；ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、アンディ・ウォーホル、クレス・オルデンバーグ、トム・ウェッセルマン、ロイ・リキテンスタイン、ジョナサン・ボロフスキー、フランク・ステラ〔図版収載順〕

アジアのキュビスム－境界なき対話 ●

東京国立近代美術館・国際交流基金　2005 年 8 月　英文併載　付・別冊＋年譜 1 枚

ごあいさつ（東京国立近代美術館・国際交流基金・韓国国立現代美術館・シンガポール美術館）pp.4, 5

アジアのキュビスム（建畠哲）　pp.10-15

カタログ〔論考、図版、テーマ、コラム〕　pp.17-127　英訳は別冊

オン・ザ・テーブル――静物の実験（林道郎）

「複数の近代性」の交渉――アジア美術におけるキュビスムとの出会い（アフマド・マシャディ）

キュビスムにおける身体（松本透）

ネイション－国民の創生（後小路雅弘）

テーマ（崔銀珠、金仁恵、ジョイス・ファン）

コラム（三輪健仁、建畠哲、林道郎、後小路雅弘、金仁恵）

キュビスム受容史（各国編）　pp.129-165

キュビスムと日本（大谷省吾）

年表（古市保子編）

作家略歴（古市保子、鈴木勝雄、西野華子、後小路雅弘）　pp.167-186

用語解説（松本透）　pp.187-193

参考文献　pp.194-200

日本語文献（古市保子・松本透編）

出品リスト　pp.202-208

註：「キュビスム受容史」以下は日本人執筆者のみを記載した。

□別冊〔4 論考の英訳、全 26 ページ〕

□アジアのキュビスム年譜〔1 枚、片面刷〕

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Cubism in Asia：Unbounded Dialogues」

会期：2005 年 8 月 9 日－10 月 2 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・国際交流基金・韓国国立現代美術館・シンガポール美術館／11 月 11 日－2006 年 1 月 30 日　徳壽宮美術館／2 月 18 日－4 月 9 日　シンガポール美術館

出品：山田正亮、山本敬輔、鶴岡政男、三上誠〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

アジアのキュビスム－境界なき対話　日英語版

東京国立近代美術館・国際交流基金　2005 年 8 月　英文併載

註：上記カタログの論考・文章等に英訳が加えられたもの。全 296 ページで、出品リストのみ位置（ノンブル）が変わっている。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図

庭園植物記 ●

東京都歴史文化財団東京都庭園美術館　2005 年 9 月

はじめに（井関正昭）　pp.8-9

図版〔章解説、図版、コラム〕　pp.10-251

　コラム（正木基、天野一夫）

庭園植物記――絵画から写真へ、観察から表現へ（岡塚章子）　pp.254-272

作家略歴　pp.273-279

出品リスト　pp.280-287

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ARTISTS' GARDENS　BOTANICAL RECOLLECTIONS」

会期：2005 年 9 月 3 日－11 月 6 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

出品：中川幸夫、石元泰博、東松照明、荒木経惟、井津建郎、杉浦邦恵、山崎博、鈴木理策、蜷川実花〔出品リスト順〕

註：出品欄は中川幸夫と「第 V 章 現代写真にみる植物」の写真家を収載。

東京府美術館の時代 1926－1970 ●

東京都現代美術館　2005 年 9 月 22 日　開館 10 周年記念

ごあいさつ（東京都現代美術館）　p.3

東京府美術館の時代（斉藤泰嘉）　pp.6-15

図版　pp.17-116

　解説（加藤弘子、西川美穂子）

「美術館」という場所で――1926 年から 1970 年まで（加藤弘子）　pp.118-122

上野公園と東京府美術館（米崎清実）　pp.123-125

画家／批評家／教育者による展覧会場の可能性（関直子）　pp.126-130

美術館とアヴァンギャルド――制度史的観点による仮説的エスキス（北澤憲昭）　pp.131-136

明治 40 年から大正 15 年を経て昭和 2 年に至る交響的変奏――美術工芸の長い道のり（森仁史）　pp.137-142

紀元二千六百年奉祝美術展覧会――「帝展改組」と「東京美術学校改革」のはざまで（林洋

子） pp.143-149

「非常な冒険」の展覧会――東京ビエンナーレ'70 再考（渡部葉子） pp.150-152

出品リスト pp.153-161

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、東大駒、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Age of "Tokyo Metropolitan Art Gallery"」

会期：2005 年 9 月 23 日－12 月 4 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館

出品： II. 展覧会再現 3-日本アンデパンダン展(読売アンデパンダン展)；大久保作次郎、文挟克明、山野卓、岡本太郎、藤松博、池田龍雄、勝呂忠、寺田政明、毛利武士郎、靉嘔、土方久功、池田満寿夫、利根山光人、中井勝郎、俣野衛、岡崎和郎、工藤哲巳、水谷勇夫、菊畑茂久馬、磯辺行久、小島信明、中沢潮、赤瀬川原平、中西夏之。4-第 10 回日本国際美術展(東京ビエンナーレ)「人間と物質」；原榮三郎、安齊重男、大辻清司、河口龍夫、狗巻賢二〔出品リスト順〕

註：本展は、【I. 美術館をつくる 1-建設から取壊しまで、2-佐藤記念室とコレクション、II. 展覧会再現 1-第一回聖徳太子奉讃美術展、2-紀元二千六百年奉祝美術展覧会、3-日本アンデパンダン展(読売アンデパンダン展)、4-第 10 回日本国際美術展(東京ビエンナーレ)「人間と物質」】から構成されている。出品欄は II. 展覧会再現の 3 と 4 を収載した。

東京府美術館の時代 1926－1970 資料編

東京都歴史文化財団東京都現代美術館　2007 年 3 月 31 日

はじめに p.3

I 美術館の建設 pp.7-35

II 美術館開館 pp.37-53

III 規程・要綱類 pp.55-66

IV 佐藤記念室／収蔵作品 pp.67-79

V 開催展覧会 pp.81-144

VI 年表・文献目録

年表（中島理壽編） II-XIV

文献目録（藤井亜紀編） XV-XIX

註：編集は加藤弘子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、愛芸文、国会図

ユートピアを探しに〈想像力の彼方へ〉●

新潟県立万代島美術館　2005 年 10 月 29 日

ごあいさつ（館長横山秀樹） p.3

絵画の無何有郷（谷川渥） pp.6-10

ユートピア、どこに探すか（桐原浩） pp.11-17

図版〔章解説、図版、作品解説〕 pp.18-146

章解説（桐原浩）
作品解説（桐原浩、小西珠緒、藤田裕彦、高晟埈）
作家略歴（桐原浩、小西珠緒、藤田裕彦、高晟埈） pp.148-157
参考文献 pp.158-161
出品目録 pp.162-171
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Looking for utopia Beyond the Imagination」
会期：2005 年 10 月 29 日－12 月 11 日 新潟県立万代島美術館 主催：新潟県立万代島美術館、共催：新潟日報社・NHK 新潟放送局
出品：奥山民枝、不染鉄、橋本倫、原田要、山口啓介、野又穫、牛腸茂雄、丸山直文、山口晃、小林孝亘〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

2006（平成 18）年
東京－ベルリン ベルリン－東京展 ●
森美術館 2006 年 1 月 28 日
メッセージ（都知事石原慎太郎） p.7 英文併載
メッセージ（ベルリン市長クラウス・ヴォーヴェライト） p.9 英文併載
ごあいさつ（館長デヴィッド・エリオット） pp.10, 11 英文併載
東京－ベルリン／ベルリン－東京 近代の都市をめぐる終わりなき対話（デヴィッド・エリオット、ペーター＝クラウス・シュースター） pp.13-20, 318-323 英文併載
19、20 世紀における日本とドイツの建築交流（藤森照信） pp.21-25
明暗の境界 日本文学作品内のベルリン（イルメラ・日地谷＝キルシュネライト） pp.26-29
砕かれた鏡像――ベルリンの日本人芸術家の自己像をめぐって（水沢勉） pp.30-34
日本の写真家たちとベルリン（飯沢耕太郎） pp.35-39
日本との出会い 1900-1945 年のベルリンの美術（ローラント・メルツ） pp.40-49
アーティストのプロヴィンス 1945 年以降のベルリンにおけるヴィジュアル・アートの状況に寄せて（ミヒャエル・ヘルター） pp.50-54
日常の場と夢想の空間：東京とベルリンから見たマンガ／コミック（ジャクリーヌ・ベルント） pp.55-58
映画における表現主義（ドナルド・リチー） pp.59-61
映画『新しき土』――日独合作の一例（ドナルド・リチー） pp.62-63
図版〔図版、章解説、論考〕 pp.65-315
作家略歴（荒木夏実、広瀬麻美、片岡真実、近藤健一、黒岩朋子、南條史生、瀬田光代、鷹箸絵麻） pp.325-347
作品リスト pp.349-385

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「TOKYO－BERLIN／BERLIN－TOKYO」

会期：2006 年 1 月 28 日－5 月 7 日　六本木・森美術館　主催：森美術館・ベルリン国立博物館群ベルリン新国立美術館・朝日新聞社

出品：セクション 9；福沢一郎、古沢岩美、石井茂雄、河原温、岡本太郎、山下菊二、樋口忠男、本庄光郎、岩宮武二、三瀬幸一、実験工房(北代省三、山口勝弘、大辻清司)、斎藤義重、勅使河原蒼風、長谷川三郎、土門拳、林忠彦、木村伊兵衛、長野重一。セクション 10；工藤哲巳、草間彌生、タイガー立石、横尾忠則、赤瀬川原平、高松次郎、中西夏之、靉嘔、塩見允枝子、小杉武久〔作品リスト順〕

註：出品欄はセクション 9 とセクション 10 の日本作家を収載。

カルティエ現代美術財団コレクション展 ●

有限会社フォイル　2006 年 4 月 29 日　英文併載

序文（エルベ・シャンデス）　p.7

ごあいさつ（館長氏家齊一郎）　pp.8, 9

透明な箱とコレクション（関直子）　pp.10, 11

カルティエ現代美術財団コレクション：思いがけないものとの遭遇（エレーヌ・ケルマシュテル）　pp.14-27

図版　pp.30-171

アーティスト略歴・作品リスト　pp.174-204

註：編集は関直子、西川美穂子、鎮西芳美。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Collection of the Fondation Cartier pour I'art contemporain at MOT」

会期：2006 年 4 月 22 日－7 月 2 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京都現代美術館・日本経済新聞社・カルティエ現代美術財団

出品：川内倫子、松井えり菜、森山大道

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 ●

東京新聞・NHK・NHK プロモーション　2006 年 10 月

ルソーの 1 世紀――アンリ・ルソーと日本の近・現代美術（遠藤望）　pp.14-33

カタログ〔章解説、作家略歴、作家解説、図版〕　pp.35-180

〔章解説、作家略歴、作品解説〕（IV 現代のルソー像；遠藤望、石崎尚）

展覧会関連年表（石崎尚編）　pp.202-213

参考文献（高嶋雄一郎編）　pp.214-221

出品目録　pp.224-230

註：出品欄を含め第 IV 章「現代のルソー像」を中心に記載した。

所蔵：□、国新美、東近美、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「ROUSSEAU ENVISAGED：Henri Rousseau and Japanese Artists」

会期：2006 年 10 月 7 日－12 月 10 日　世田谷美術館　主催：世田谷美術館・東京新聞・NHK・NHK プロモーション／12 月 20 日－2007 年 2 月 12 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・中日新聞社・NHK 名古屋放送局・NHK 中部ブレーンズ／3 月 9 日－5 月 6 日　松江・島根県立美術館　主催：島根県立美術館　NHK 松江放送局・NHK ちゅうごくソフトプラン

出品：IV 現代のルソー像；横尾忠則、鬚嘔、有元利夫、小杉小二郎、矢吹申彦、伊坂義夫、青木世一〔出品目録順〕

2007（平成 19）年

20 世紀美術探検〈アーティストたちの三つの冒険物語〉●

国立新美術館　2007 年 1 月　主に英文併載　開館記念展

あいさつ（国立新美術館）　pp4, 5

序文――「物の時代」の美術のために（南雄介）　pp.8-11, 359-361

近代美術の革新――20 世紀前半の日本社会と美術（福永治）　pp.12-16, 362-366

素材に対する正しさか、物質の復讐か――モダニティのための素材の美学（ヴェラ・ヴォルフ）　pp.17-23, 367-371

カタログ〔イントロダクション・章解説、図版、作家略歴、作家解説〕　pp.25-279

イントロダクション・章解説・作家解説（南雄介、宮島綾子、長屋光枝、西野華子、本橋弥生）　pp.372-393　英文

作家略歴(第 I 部・第 II 部)（浅野智子、西野華子、南雄介、本橋弥生、宮島綾子、長谷川珠緒、長屋光枝、植田彩芳子、久保田恭子）　pp.281-302

主要展覧会歴・文献(第 III 部)（マイケル・クレイグ＝マーティン）　pp.303-308

年表（浅野智子編）　pp.309-319

付録〔ハンス・ハーケ《ポーズをとる女性たち》の 14 枚のパネルのテキスト全文〕　pp.320-327

出品リスト　pp.328-357

作家索引　pp.395-397

所蔵者一覧　p.398

註：編集は南雄介、長屋光枝、宮島綾子、福永治、西野華子、加藤絢。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Living in the Material World：“Things” in Art of the 20th Century and Beyond」

会期：2007 年 1 月 21 日－3 月 19 日　国立新美術館　主催：国立新美術館

出品：第 II 部第 2 章消費社会における物・商品・欲望－20 世紀後半の美術；草間彌生、久保田成子、工藤哲巳、中西夏之、荒川修作、高松次郎、赤瀬川原平、田中信太郎、篠原有司男、吉村益信、笠原恵実子。第 III 部；髙柳恵里、田中功起〔出品リスト順〕

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展 ●

「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会　2007 年 4 月

ごあいさつ（主催者）　p.3　英文併載

シュルレアリスムがひらく「類比」としてのイメージ（中村尚明）　pp.7-16

イメージの発生、イメージの治癒（石川潤）　pp.17-24

シュルレアリスムと戦後の美術（北谷正雄）　pp.25-31

カタログ〔章解説、図版〕　pp.33-166

〔章解説〕（石川潤、中村尚明、北谷正雄）

作家解説（内山淳子、北川智昭、能勢陽子、北谷正雄、石川潤、中村尚明、都筑正敏、金井直、西崎紀衣）　pp.168-179

参考文献（内山淳子編）　pp.180-185

作家別出品一覧　pp.186-193

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「SURREALISM AND ART　IMAGE AND REALITY」

会期：2007 年 4 月 21 日－6 月 17 日　宇都宮美術館　主催：宇都宮美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会・下野新聞社／7 月 3 日－9 月 17 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会／9 月 29 日－12 月 9 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・「シュルレアリスムと美術－イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

出品：藤松博、草間彌生、森村泰昌、奈良美智、高松次郎、やなぎみわ〔作家別出品一覧順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

水の情景――モネ、大観から現代まで ●

横浜美術館・横浜市芸術文化振興財団　2007 年 4 月

本展によせて（館長雪山行二）　pp.4-5, 105　英文併載

図版〔セクション解説、図版〕　pp.9-104

セクション解説（松永真太郎、新畑泰秀、倉石信乃）

虚実の間にのぞむ――映像作品を中心に（松永真太郎）　pp.106-109

崇高なる、水の情景（新畑泰秀）　pp.110-113

きれいな水（倉石信乃）　pp.114-117

作家／作品解説（松永真太郎、新畑泰秀、倉石信乃、木下貴博、庄司尚子）　pp.118-125

作品リスト　pp.126-133

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美

○展覧会事項

欧文タイトル：「Views of Water：From Monet and Taikan to the Present」

会期：2007 年 4 月 21 日－7 月 1 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・日本経済新聞社・神奈川新聞社・TVK テレビ神奈川

出品：section1 たゆたう；金昌烈、藤芳あい、水野勝規、徳岡神泉、金村修、丸山直文、高松次郎、眞板雅文、水木塁。Section2 動く；柴田敏雄、梶井照陰、石田尚志。Section3 満ちる；原田正路。Section4 水と人；沢田教一、ジュン・グエン＝ハツシバ、淀川テクニック、照屋勇賢、高嶺格〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の日本作家を収載。

「20 世紀美術の森」展図録 ●

愛知県美術館・中日新聞社　2007 年 6 月　開館 15 周年記念 愛知・岐阜・三重県立美術館協同企画 No.3

ごあいさつ（主催者）　p.3

「共生の森へ」（市川政憲）　pp.4-7

図版〔章解説、図版〕　pp.9-71

　章解説（中村史子）

出品作品リスト　pp.73-79

註：編集は村田真宏、古田浩俊、中村史子。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Forest of the 20th Century Art」

会期：2007 年 6 月 29 日－8 月 26 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館・岐阜県美術館・三重県立美術館・中日新聞社

出品：ポール・セリュジエ、ハンス(ジャン)・アルプ、萬鉄五郎、大澤鉦一郎、小川芋銭、宇田荻邨、山口長男、川合玉堂、矢橋六郎、山口薫、須田国太郎、小林研三、横山操、香月泰男、アンドリュー・ワイエス、田渕俊夫、熊谷守一、土屋禮一、磯見輝夫、島田章三、戸谷成雄、オディロン・ルドン、グスタフ・クリムト、恩地孝四郎、田中恭吉、藤森静雄、パウル・クレー、古賀春江、ホアン・ミロ、駒井哲郎、浜口陽三、元永定正、金昌烈、澄川喜一、中西夏之、堀浩哉、李禹煥、百瀬寿、野見山暁治、伊藤公象、館勝生、ホセ・マリア・シシリア、李康昭、秋岡美帆、サルバドール・ダリ、川口軌外、伊藤利彦、村井正誠、アントニ・タピエス、小清水漸、アンゼルム・キーファー、岡田徹、山本正道、荒川修作、パトリック・トザニ、諏訪直樹、秋山陽、ふじい忠一、尹錫男、ポール・ゴーギャン、パブロ・ピカソ、ヴァシリー・カンディンスキー、松本竣介、瑛九、難波田龍起、舟越桂、庄司達、さわひらき〔出品作品リスト順〕

木版画東西対決〈仏教版画から現代まで〉 ●

町田市立国際版画美術館　2007 年 10 月 6 日　開館 20 周年記念展
あいさつ（館長村田哲朗）　p.3
木版画東西対決展について（和南城愛理）　pp.6-7
カタログ〔章解説、図版〕　pp.9-72
作家解説（佐川美智子、高木幸枝、和南城愛理、河野実、滝沢恭司、佐々木守俊）　pp.73-85
作品リスト　pp.86-95
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2007 年 10 月 6 日－11 月 25 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館
出品：Round 1 モノクロ対決；平塚運一、笹島喜平、秋山泰計、磯見輝夫、桂川成美。Round 2 多色刷り対決；恩地孝四郎、関野準一郎、前川千帆、永瀬義郎、古川龍生、下澤木鉢郎、畦地梅太郎、斎藤清、品川工、小野忠重、馬淵聖、清宮質文、吉田穂高。Round 3 木口木版対決；日和崎尊夫、城所祥、柄澤齊、小林敬生。Round 4 現代木版対決；萩原英雄、内間安瑆、黒崎彰、日下賢二、吹田文明、松本旻、北岡文雄、河内成幸、山中現、吉田亜世美、岩切裕子、中村桂子、李禹煥、鄭相和、田中陽子〔作品リスト順〕
註：作家解説は外国人と日本人（韓国人を含む）とに二分されている。この出品欄では後者の戦後作品出品作家を収載。

2008（平成 20）年
日本の版画 1941-1950「日本の版画」とは何か ●
千葉市美術館　2008 年 1 月　「日本の版画」シリーズ第 5 回展
あいさつ（主催者）　p.5
日本の版画・1941-1950・「日本の版画」とは何か（西山純子）　pp.8-16
戦中戦後の出版と版画本（岩切信一郎）　pp.17-22
カタログ〔章解説、図版〕　pp.23-120
　章解説（西山純子）
作家解説抄（西山純子）　pp.122-137
作品リスト　pp.138-157
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、都現美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2008 年 1 月 12 日－3 月 2 日　千葉市美術館　主催：千葉市美術館・東京新聞
出品：武井武雄、川上澄生、前川千帆、関野準一郎、石井鶴三、恩地孝四郎、北岡文雄、船崎光治郎、奥山儀八郎、平塚運一、川西英、勝平得之、ポール・ジャクレー、初山滋、山口進、馬淵聖、稲垣知雄、畦地梅太郎、上阪雅人、小野忠重、鈴木賢二・新居広治・滝平二郎、

新居広治・牧大介・滝平二郎、小口一郎・鈴木賢二、新居広治、上野誠、滝平二郎、油井正次、小口一郎、山口源、品川工、棟方志功、斎藤清、駒井哲郎、浜田知明、浜口陽三、瑛九、泉茂、加藤正、福井良之助〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後(1946-)作品の出品作家を収載。

建築の記憶〈写真と建築の近現代〉●

東京都歴史文化財団東京都庭園美術館　2008 年 1 月　英文併載

ごあいさつ（館長井関正昭）　pp.4, 5

図版〔章解説、コラム、図版、図版解説〕

章解説（岡塚章子）、図版解説（浅羽英男、池上重康、梅宮弘光、八巻香澄）

コラム（森仁史、中村一紀、山口俊浩、梅宮弘光、村井修〔談〕、石元泰博〔再録〕、青木淳）英文　pp.319-335

建築の記憶〈写真と建築の近現代〉（岡塚章子）　pp.284-290, 306-318

建築家 写真家解説（浅羽英男、池上重康、梅宮弘光、岡塚章子、八巻香澄）　pp.292-298

出品リスト　pp.299-304, 336-340

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Remembrance of Places Past　Japanese Architectural Photography from the 19th to the 21st century」

会期：2008 年 1 月 26 日－3 月 31 日　東京都庭園美術館　主催：東京都歴史文化財団東京都庭園美術館

出品：多比良敏雄、石元泰博、平山忠治、渡辺義雄、村井修、杉本博司、畠山直哉、鈴木理策〔出品リスト順〕

註：出品欄は「5 写真家の目、建築家の仕事」「6 日本建築の美」「7 現代写真の建築」の写真家を収載。

屋上庭園 ●

東京都現代美術館　2008 年 4 月

ごあいさつ（東京都現代美術館）　p.5

うさぎのいる庭（関直子）　pp.8-15

版画仲間の庭（加治幸子）　pp.16-19

図版〔章解説、図版〕　pp.21-75

章解説（関直子）

Roof Gardens　pp.77-79

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Roof Gardens」

会期：2008 年 4 月 29 日－7 月 6 日　東京都現代美術館　主催：東京都歴史文化財団・東京

都現代美術館
出品：中林忠良、内海聖史、須田悦弘〔図版収載順〕

2010（平成 22）年
20 世紀美術への招待状〈富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵作品による ピカソ、シャガールから横山大観、竹内栖鳳まで〉●
岐阜県美術館　2010 年 7 月
開催にあたって（主催者）　p.1
図版〔章解説、図版、作家解説〕　pp.2-25
富山県立近代美術館のコレクション〈コレクションのはじまり――瀧口修造&ミロとともに〉（杉野秀樹）　p.26
富山県水墨美術館のコレクション〈コレクションのあゆみと水墨の魅力について〉（浅地豊）　p.27
出品リスト　pp.28-31
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2010 年 7 月 16 日－8 月 22 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・富山県立近代美術館・富山県水墨美術館・岐阜新聞・岐阜放送
出品：I 日本画の 20 世紀；杉山寧、髙山辰雄、片岡球子、横山操、千住博。II 西洋美術の 20 世紀；瀧口修造。III 戦後日本のポスター；亀倉雄策、田中一光、福田繁雄、永井一正、勝井三雄、松永真、佐藤晃一、中村誠、サイトウマコト、戸田正寿、横尾忠則〔出品リスト順〕
「日本画」の前衛 1938-1949 ●
京都国立近代美術館　2010 年 9 月　英語版(全 34p.)共 2 冊
ごあいさつ（主催者）　pp.6, 7　英文併載
「日本画」の前衛 1938-1949（山野英嗣）　pp.10-23
歴程美術協会の結成と変容～離脱と再建の二つの流れ（永井明生）　pp.24-31
図版〔章解説、図版、作品解説〕　pp.33-160
　章解説（山野英嗣）、作品解説（山野英嗣、永井明生、藤崎綾）
出品リスト　pp.162-165
出品作家紹介　pp.166-168
「日本画」の前衛 1938-1949 関連年表（川井遊木・山野英嗣編）　pp.169-181
「歴程美術協会」目録再録及び参考図版　pp.182-207
所蔵：□、国新美、東近美、東文研(2 冊)、東博資(2 冊)、都現美、江戸博(2 冊)、神近美、横浜美(2 冊)、愛芸文(2 冊)、東大駒、和光大(2 冊)、国会図、都中図(2 冊)
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Avant-Garde of “Nihonga” 1938-1949」

会期：2010 年 9 月 3 日－10 月 17 日　京都国立近代美術館　主催：京都国立近代美術館・東京国立近代美術館／2011 年 1 月 8 日－2 月 13 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・京都国立近代美術館／2 月 22 日－3 月 27 日　広島県立美術館　主催：広島県立美術館・イズミテクノ・中国新聞社・京都国立近代美術館

出品：II 前衛集団「歴程美術協会」の軌跡；船田玉樹。III「洋画」との交錯、「日本画と洋画」のはざまに；丸木位里、船田玉樹(重)、北脇昇、堀尾実。V 戦後の再生、「パンリアル」結成への道；山崎隆、三上誠、下村良之介、星野真吾、不動茂弥〔出品リスト順〕

2011（平成 23）年

トリック&ユーモア展〈描かれた不思議〉●

横須賀市美術館　2011 年 9 月

ごあいさつ（横須賀市美術館）　pp.3, 4　英文併載

“トリック&ユーモア”展に寄せて…〈遊び心を触発する展覧会の回想から〉（坂根厳夫）　pp.7-11

だまされる眼、覚醒する思考（立浪佐和子）　pp.12-21

図版　pp.23-124

章解説（立浪佐和子）

作家解説（沓沢耕介、工藤香澄、立浪佐和子、冨田康子、中村貴絵、日野原清水）　pp.126-133

飯田昭二、伊庭靖子、ヴィクトル・ヴァザルリ、上田薫、歌川国盛(二代)、歌川国芳、歌川重宣(歌川広重二代)、歌川広重(初代)、歌川芳艶、歌川芳虎、歌川芳藤、M.C.エッシャー、マックス・エルンスト、桜寧斎、岡田修二、オノサト・トシノブ、狩野章信、河鍋暁斎、金昌烈、チャック・クロース、小瀬村真美、柴田是真、清水節堂、菅木志雄、鈴木慶則、関根伸夫、高松次郎、立石大河亜、サルバドール・ダリ、オスカル・ドミンゲス、丹羽勝次、福田繁雄、福田美蘭、堀内正和、前田守一、ルネ・マグリット、U.G.サトー、吉仲太造、ブリジット・ライリー、李禹煥

作品目録　pp.134-137

主要参考文献　p.138

所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、横浜美、京都学、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Tricks and Humor：Depicting the Uncanny」

会期：2011 年 9 月 10 日－11 月 6 日　横須賀市美術館　主催：横須賀市美術館

出品：1 章 トリックがみちびく迷宮－M.C.エッシャーの世界・M.C.エッシャー。2 章 日本絵画の中のあそび；清水節堂。3 章 まどわしの世界－シュルレアリストの方法。4 章 さまよう視線－知覚と美術と、ユーモア；高松次郎、堀内正和、鈴木慶則、前田守一、丹羽勝次、立石大河亜〔タイガー立石〕、飯田昭二、、李禹煥、菅木志雄、関根伸夫、オノサト・トシノブ、福田繁雄、U.G.サトー、福田美蘭。5 章 絵、それとも写真?－リアリズムの諸相；吉仲太造、上田薫、金昌烈、岡田修二、小瀬村真美、伊庭靖子〔作品目録順〕

2012（平成 24）年

美術にぶるっ!〈ベストコレクション 日本近代美術の 100 年〉●

NHK・NHK プロモーション　2012 年 10 月　東京国立近代美術館 60 周年記念特別展

時代はめぐる――東京国立近代美術館の 60 年（松本透）　pp.8-12, 13-16　英文併載

図版　pp.17-228

第 I 部 MOMAT コレクションスペシャル　pp.17-186

重要文化財、日本画、洋画・彫刻、海外作家コレクション

章解説（鈴木勝雄）、作品解説（蔵屋美香、鶴見香織、鈴木勝雄、大谷省吾）

第 II 部 実験場 1950s　pp.187-228

章解説、コラム（鈴木勝雄、桝田倫広）

年表（桝田倫広編）　pp.190-191

出品作品リスト　pp.229-251

第 I 部　pp.230-239

第 II 部　pp.240-251

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Art Will Thrill You!　：The Essence of Modern Japanese Art」

会期：2012 年 10 月 16 日－2013 年 1 月 14 日　竹橋・東京国立近代美術館　主催：東京国立近代美術館・NHK・NHK プロモーション

出品：第 I 部 コレクション スペシャル　ハイライト。はじめの一歩；松本竣介、佐藤忠良。人を表す 1。人を表す 2。風景を描く。前衛の登場；恩地孝四郎、瑛九。戦争の世紀に 1。戦争の世紀に 2；岡本太郎、北脇昇。写真；植田正治、大辻清司、石元泰博、東松照明、田村彰英、森山大道、須田一政、高梨豊、牛腸茂雄。日本画；福田平八郎、横山操、東山魁夷、徳岡神泉、加山又造、髙山辰雄。疑うことと信じること 1；、草間彌生、ブルース・ナウマン、横尾忠則、ヴィト・アコンチ、マーサ・ロスラー。疑うことと信じること 2；荒川修作、河原温、高松次郎、ロバート・ラウシェンバーグ、榎倉康二、李禹煥。海外作品と MOMAT。その他；イサム・ノグチ、木村賢太郎、マリノ・マリーニ、多田美波、アントニー・ゴームリー、ジュリアン・オピー、田中功起、舟越保武、柳原義達〔出品作品リスト順〕

出品：第 II 部実験場 1950s　1 原爆の刻印；土門拳、川田喜久治。2 静物としての身体；鶴岡政男、阿部展也、井上長三郎、香月泰男、毛利武士郎、村岡三郎、河原温、浜田知明。複数化するタブロー；河原温(重)、桂川寛、勅使河原宏、真鍋博、久里洋二、グループ「白」、関根弘、池田龍雄、吉仲太造、安部真知、中谷泰、園田正、千田梅二。記録・運動体；油井正次、魚沼六郎〔上野誠〕、新居広治、小口一郎、鈴木賢二、押仁太、山野卓造〔卓〕、福田恒太、尾藤豊、入野達弥。5 現場の磁力；池田龍雄(重)、山下菊二、粟津潔、中村宏、井上長三郎(重)、常盤とよ子、亀井文夫、曹良奎。6 モダン／プリミティヴ；間所〔芥川〕紗織、菅井汲、岡本太郎、山口長男、イサム・ノグチ、向井良吉、辻晋堂、剣持勇。7「国土」の再編；

東山魁夷、利根山光人、山下菊二(重)、木村伊兵衛、濱谷浩、小島一郎、野田真吉。8 都市とテクノロジー；山口勝弘、難波田龍起、北代省三、堀内正和、オノサト・トシノブ、亀倉雄策、猪熊弦一郎、松本俊夫、石井茂雄、奈良原一高、シネマ 57。9 コラージュ／モンタージュ；岡本太郎(重)、桂ゆき、山下菊二(重)、中村宏(重)、石井茂雄(重)、ドナルド・リチー、松本俊夫(重)、日大映研。10 方法としてのオブジェ；草間彌生、福島秀子、池田満寿夫、加納光於、桜井孝身、吉原治良、菊畑茂久馬、白髪一雄、工藤哲巳、荒川修作、辻晋堂(重)、八木一夫、東松照明(重)、飯村隆彦、細江英公〔出品作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品の出品作家を収載。

2013（平成 25）年

空想の建築〈ピラネージから野又穫へ〉展　　町田市立国際版画美術館編 ●

エクスナレッジ　2013 年 4 月 25 日

図版　pp.2, 4-24

ご挨拶（館長村田哲朗）　p.25

幻想建築小史（竺覚暁）　pp.27-40

世界にかたちを与えるもの－空想の建築をめぐって（佐川美智子）pp.41-44

図録〔章解説、図版〕　pp.45-206

〔章解説〕（佐川美智子）

ピラミッド幻想 阿部浩（佐川美智子）　p.64

妄想と名前のない建築（谷尻誠）　pp.84-85

作品リスト（解説・佐川美智子、藤村拓也）　pp. 208-222

主要参考文献　p.223

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Imaginary Architecture from Piranesi to Minoru Nomata」

会期：2013 年 4 月 13 日－6 月 16 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：阿部浩、コイズミアヤ、野又穫〔作品リスト順〕、特別展示：野又穫ドローイング展〈ELEMENTS－あちら、こちら、かけら〉

戦争／美術 1940－1950〈モダニズムの連鎖と変容〉●

神奈川県立近代美術館　2013 年 7 月　葉山館開館 10 周年

あいさつ（館長水沢勉）　p.3

空虚と充満――1940 年代美術への一視座として（水沢勉）　pp.6-9

作戦記録画をめぐる思惑のあれこれ（河田明久）　pp.10-13

ふたつの芳名録と「原爆の図」（岡村幸宣）　pp.14-15

図版〔作家解説〕　pp.17-120

〔作家解説〕：原精一、靉光、丸木位里、内田巌、丸木俊、山口蓬春、松本竣介、藤田嗣治、朝井閑右衛門、イサム・ノグチ、山下菊二

On the Exhibition WAR/ART1940-1950（水沢勉） p.123 英文
戦争／美術 関連年表 1936-1953（長門佐季編） pp.124-130
主要参考文献（藤代知子編） pp.131-133
作品リスト pp.134-140
資料リスト pp.141-150
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：「WAR/ART 1940-1950：Seguences and Transformations of Modernism」
会期：2013 年 7 月 6 日－10 月 14 日 葉山・神奈川県立近代美術館 主催：神奈川県立近代美術館 葉山館開館 10 周年
出品：土方久功、山下菊二、玉村方久斗、恩地孝四郎、鳥海青児、麻生三郎、井上長三郎、鶴岡政男、丸木俊、上野誠、石井柏亭、丸木位里、田中佐一郎、朝井閑右衛門、澤田哲郎、阿部展也、浜田知明、イサム・ノグチ、原精一、鷹山宇一、村井正誠、山口蓬春、海老原喜之助、田淵安一、佐藤哲三〔作品リスト順〕

聖なるものへ－ひそやかな祝祭－図録 ●
茨城県近代美術館 2013 年 11 月
ごあいさつ（茨城県近代美術館） p.3
触れえないイメージとしての聖なるものへ（永松左知） pp.6-11
図版〔章解説、図版〕 pp.13-44
章解説（永松左知）
出品目録および主要作品解説（永松左知） pp.46-55
作家略歴（永松左知、井野功一、石川淳子、今瀬佐和、長谷川彩、澤渡麻里） pp.56-63
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2013 年 11 月 2 日－2014 年 1 月 13 日 水戸・茨城県近代美術館 主催：茨城県近代美術館
出品：序章；舟越保武。第 1 章 うつろいの中のかがやき；小堀進、浦田正夫、木村忠太、福王寺法林、那波多目功一、中西夏之、伊藤彬、柳田昭。第 2 章・ 痛みのありか；舟越保武(重)、浜田知明、土井典、秀島由己男、堀井英男、鏑木昌弥、石井武夫、木下晋、エミコ・サワラギ・ギルバート、山本直彰、川瀬伊人。第 3 章 ひそやかな対面；長谷川潔、三岸節子、金山康喜、秀島由己男(重)、有元利夫、舟越桂〔出品目録順〕

2014（平成 26）年
魅惑のニッポン木版画 ●
横浜美術館 2014 年 3 月 開館 25 周年記念

序にかえて（館長逢坂恵理子） pp.4, 5 英文併載
図版〔章解説、図版、作家のことば〕 pp.7-151
章解説（沼田英子、太田雅子）英文 pp.162-165
横浜美術館コレクションに見る魅惑のニッポン木版画（沼田英子） pp.153-157, 167-171 英文併載
木版画の新たな表現――本展出品の 4 人の現代作家について（太田雅子） pp.158-160
魅惑のニッポン木版画展関連年譜（太田雅子編） pp.161, 172 英文併載
出品リスト pp.173-177, 178-183 英文併載
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、江戸博、神近美、横浜美
○展覧会事項
欧文タイトル：「Fascinating Japanese Woodcut Prints」
会期：2014 年 3 月 1 日－5 月 25 日 横浜美術館 主催：横浜美術館・日本経済新聞社
出品：第 1 章 幕末・明治－生活を彩る木版画。第 2 章 大正から昭和－木版画の復活。第 3 章 1950 年代以降－国際的な舞台へ；清宮彬、前川千帆、恩地孝四郎、川上澄生、初山滋、伊東深水、木和村創爾郎、畦地梅太郎、棟方志功、笹島喜平、斎藤清、大田耕士、吉田遠志、田嶋宏行、水船六洲、星襄一、関野準一郎、吉田政次、清宮質文、北岡文雄、馬淵聖、林保次郎、吉田千鶴子、小林七席、吉田穂高、岩見禮花、馬場檮男、由木礼、野田哲也、小林敬生、柄澤齊、山中現、吉田亜世美。第 4 章 現代－新たな木版画の表現へ；吉田亜世美(重)、風間サチコ、湯浅克俊、桐月沙樹〔出品リスト順〕
註：出品欄は日本作家を収載。

「美少女の美術史」展〈浮世絵からポップカルチャー、現代美術にみる“少女”のかたち〉●
「美少女の美術史」展実行委員会編
青幻舎 2014 年 7 月 20 日
ごあいさつ（「美少女の美術史」展実行委員会） p.3
美少女なんて、いるわけないじゃない。〈「美少女の美術史」展企画者座談会〉（川西由里・村上敬・工藤健志） pp.8-24
図版〔章解説、作品解説〕 pp.25-232
〔章解説、作品解説〕（村上敬、川西由里、工藤健志）
少女をめぐる 3 つのエッセイ（川西由里、工藤健志、村上敬） pp.233-245
掲載作品一覧 pp.246-255
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、神近美、愛芸文、東大駒、和光大、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2014 年 7 月 12 日－9 月 7 日 青森県立美術館／9 月 20 日－11 月 16 日 静岡県立美術館／12 月 13 日－2015 年 2 月 16 日 島根県立石見美術館 主催：「美少女の美術史」展実行委員会(青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館)
出品：Mr.、小磯良平、中原淳一、高橋真琴、内藤ルネ、水森亜土、陸奥 A 子、田渕由美子、太刀掛秀子、岡本光博、KEI、MONQ、山本大貴、手塚治虫、高橋しん、村上隆、わたなべ

ひろし、けいこ、高田明美、赤塚不二夫、金子國義、四谷シモン、山本タカト、石黒賢一郎、加藤美佳、青島千穂、松山賢、永島信也、BOME(ボーメ)、大嶋優木、桜文鳥、智惠理、マックスファクトリー・浅井真紀、吾妻ひでお、谷口真人、森口裕二、丸尾末廣、中村宏、工藤麻紀子、熊澤未来子、味戸ケイコ、東郷青児、有元利夫、藤野一友、吉岡正人、O JUN、高木正勝、三谷十糸子、イヂチアキコ、唐仁原希、村山香奈恵、タカノ綾、ob、志村貴子、林静一、塚原重義〔掲載作品一覧順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

モンスターを探せ!!〈ピラネージからゴヤ、そしてエルンストへ〉●

町田市立国際版画美術館　2014 年 8 月 9 日

図版〔解説、図版〕 pp.2-9

解説（藤村拓也）

出品リスト　pp.10-15

所蔵：□、国新美、東文研、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：「Where are the Monsters!?」

会期：2014 年 8 月 9 日－9 月 23 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館

出品：IV 怪物は死なず；浜田知明、深沢幸雄、池田龍雄、相笠昌義、作田富幸、池田俊彦〔出品リスト順〕

2015（平成 27）年

ほっこり美術館 ●

横須賀美術館　2015 年 4 月

ごあいさつ（横須賀美術館） pp.2, 3　英文併載

埴輪のイロハ（稲村繁） pp.6-10

大津絵 キャラクター絵画の成立（横谷賢一郎） pp.11-15

図版〔章解説、解説、図版〕 pp.17-112

ほっこり美術館ガイド（日野原清水） pp.114-117

出品作家略歴　pp.118-121

主要参考文献　p.122

出品作品リスト　pp.123-127

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2015 年 4 月 18 日－6 月 14 日　横須賀美術館　主催：横須賀美術館

出品：山口蓬春、鳥海青児、深堀隆介、児玉靖枝、熊谷守一、長谷川潾二郎、古茂田公雄、寺田政明、南桂子、中澤英明、仮屋美紀、伊庭靖子、鴻池朋子、黒田有里〔出品作品リスト

順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

2016（平成 28）年

はじまり、美の饗宴〈すばらしき大原美術館コレクション〉●

NHK プロモーション　2016 年 2 月 16 日

ごあいさつ（主催者）　pp.2, 3　英文併載

美術を通して世界へ!（館長青木保）　pp.6, 7　英文併載

多様な文化の殿堂－大原美術館のコレクションをめぐって（高階秀爾）　pp.8, 9　英文併載

大原美術館の自己紹介（大原謙一郎）　pp.11, 12-13　英文併載

大原美術館の 85 年（柳沢秀行）　pp.15-25, 26-38　英文併載

図版〔章解説、図版、作家・作品解説〕　pp.39-213

章解説〔第 6 章・第 7 章〕（瀧上華、柳沢秀行）

作家・作品解説〔第 6 章・第 7 章〕（瀧上華、岩﨑美千子、南雄介、柳沢秀行、長屋光枝）

対談（大原謙一郎×阿川佐和子）　pp.214-220

大原美術館歴史散歩　pp.221-230

再録資料　pp.231-234

作品リスト　pp.235-249

註：編集は長屋光枝、瀧上華、岩﨑美千子、柳沢秀行、吉川あゆみ。

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、東大駒、和光大、国会図、都中図

○展覧会事項

欧文タイトル：「THE BEST SELECTION OF THE OHARA MUSEUM OF ART」

会期：2016 年 1 月 20 日－4 月 4 日　国立新美術館　主催：国立新美術館・公益財団法人大原美術館・NHK プロモーション

出品：第 6 章；河原温、堂本尚郎、斎藤義重、荒川修作、宇佐美圭司。第 7 章；福田美蘭、やなぎみわ、辰野登恵子、東島毅、津上みゆき、北城貴子、町田久美、三瀬夏之介、押江千衣子、彦坂敏昭、浅見貴子、花澤武夫、上田暁子、坂本夏子、谷保玲奈〔作品リスト順〕

森羅万象を刻む〈デューラーから柄澤齊へ〉●

町田市立国際版画美術館　2016 年 4 月 29 日

図版　1 図　見返し

ごあいさつ（町田市立国際版画美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会）　p.5

汎版論〈表象としての版とビュラン〉（柄澤齊）　pp.9-16

図版〔章解説、図版〕　pp.17-144

章解説（藤村拓也）

版画の性分〈エングレーヴィングと木口木版画〉（藤村拓也）　pp.146-153

作品目録・解説（藤村拓也、滝沢恭司）　pp.154-183

主要参考文献　pp.184-185

出品リスト

所蔵：□、国新美、東文研、神近美、愛芸文、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Engraving the Universe：from Albrecht Dürer to Hitoshi Karasawa」

会期：2016 年 4 月 29 日－6 月 19 日　町田市立国際版画美術館　主催：町田市立国際版画美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：第四章 刻線の大宇宙〈自然〉；門坂流、長谷川潔。第五章 刻線の彼方へ；渡辺千尋、日和崎尊夫、木原康行。第六章 柄澤齊〈森羅万象を刻む〉；柄澤齊〔作品目録順〕

蜘蛛の糸 クモがつむぐ美の系譜－江戸から現代へ ●

蜘蛛の糸展実行委員会　2016 年 10 月

ごあいさつ（豊田市美術館） pp.4, 5　英文併載

蜘蛛と人生（奥本大三郎） pp.9-14

蜘蛛の糸（都筑正敏） pp.15-24

図版〔図版、章解説〕 pp.25-224　英文併載

蜘蛛の巣文様を着ること－近世前期小袖文様の意匠から（藤井享子） pp.226-231

小茂田青樹、速水御舟の写生観とその背景（成瀬美幸） pp.232-235

作品リスト、作家・作品解説（都筑正敏、成瀬美幸、西﨑紀衣、鈴木俊晴、千葉真智子、北谷正雄、能勢陽子） pp.236-253

所蔵：□、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Spider's Thread－Spinning images of Japanese beauty」

会期：2016 年 10 月 15 日－12 月 25 日　豊田市美術館　主催：豊田市美術館・朝日新聞社

出品：塩田千春、満田晴穂、熊谷守一、中谷芙二子、新宮晋、森村泰昌、荒木経惟、小柳裕、山口薫、福沢一郎、工藤哲巳、猪瀬光、大藤信郎、鴨居玲、籔内佐斗司、ムットーニ、イケムラレイコ、小林正人、小泉明郎、戸谷成雄、青木千絵、草間彌生、田中敦子、手塚愛子、浅野弥衛、狗巻賢二、小川信治、さかぎしよしおう、額田宣彦、法貴信也、秋山陽、青木野枝、加藤翼、ミヤギフトシ〔作品リスト順〕

註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

2018（平成 30）年

モネ それからの 100 年 ●

東京新聞　2018 年 4 月

ごあいさつ（主催者） pp.4, 5　英文併載

モネ それからの 100 年〈永遠の現在としての絵画〉（深谷克典） pp.9-15

モネと現代――「風景」をめぐって（松永真太郎） pp.16-21

カタログ〔章解説、図版、作品解説〕 pp.25-144

作品解説（深谷克典、松永真太郎、坂本恭子、大澤紗蓉子）

モネの遺産――近代画家としてのモネの戦略（ポール・ヘイズ・タッカー） pp.146-158, 176-183　和文・英文

壁画と衝立 クロード・モネと中西夏之（坂本恭子） pp.159-163

クロード・モネ略年譜（深谷克典編） p.164-167

モネをめぐる言葉　pp.168-169

モネに寄せて――出品作家から（小野耕石、児玉麻緒、児玉靖枝、鈴木理策、根岸芳郎、平松礼二、福田美蘭、松本陽子、丸山直文、水野勝規、湯浅克俊） pp.170-171

参考文献抄（坂本恭子編） pp.172-175

出品リスト　pp.184-188

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、東大駒

〇展覧会事項

欧文タイトル：「Monet's Legacy」

会期：2018 年 4 月 25 日－7 月 1 日　名古屋市美術館　主催：名古屋市美術館・中日新聞社・東海テレビ放送・東海ラジオ放送／7 月 14 日－9 月 24 日　横浜美術館　主催：横浜美術館・東京新聞・テレビ朝日

出品：堂本尚郎、福田美蘭、平松礼二、児玉麻緒、児玉靖枝、丸山直文、松本陽子、水野勝規、中西夏之、根岸芳郎、岡崎乾二郎、小野耕石、鈴木理策、湯浅克俊〔出品リスト順〕

註：出品欄は日本作家を収載。

終わりのむこうへ：廃墟の美術史 ●

渋谷区立松濤美術館　2018 年 12 月 3 日

ごあいさつ（主催者） pp.4, 5　英文併載

廃墟の美学－表象の歴史を眼差す（谷川渥） pp.9-13, 138-140　英文併載

図版〔章解説、図版〕 pp.15-111

日本に廃墟画はあったのか〈江戸から現代まで〉（平泉千枝） pp.112-117, 141-143　英文併載

作家・作品解説（平泉千枝、西美弥子） pp.118-129

主要参考文献　p.130

作品リスト　pp.131-137

所蔵：□、

〇展覧会事項

欧文タイトル：「BEYOND THE END：RUINS IN ART HISTORY」

会期：2018 年 12 月 8 日－2019 年 1 月 31 日　渋谷区立松濤美術館　主催：渋谷区立松濤美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

出品：不染鉄、岡鹿之助、池田龍雄、今井憲一、大沢昌助、麻田浩、大岩オスカール、元田久治、野又穫〔作品リスト順〕

註：出品欄は「III 章 廃墟に出会った日本の画家たち：近世と近代の日本の美術と廃墟主題」、「V 章 幻想のなかの廃墟：昭和期の日本における廃墟的世界」、および「VI 章 遠い未来を夢見て：いつかの日を描き出す現代画家たち」のうち、戦後作品出品の日本作家を収載。

附：「総合展カタログの中の現代作家」一覧

・そのⅡ 総合展（地域の美術）の中の現代作家

凡例

・配列は、都道府県順とした。

北海道

美術北海道 100 年展　　北海道立近代美術館編 ●

北海道新聞社　1987 年 9 月　北海道立近代美術館開館 10 周年記念

あいさつ（北海道立近代美術館・北海道新聞社）　p.5

開館 10 周年と北海道の美術（鬼丸吉弘）　pp.8-9

状況・北海道の現代美術（吉田豪介）　pp.10-11

概説 北海道の美術（奥岡茂雄）　pp.12-15, 122-123　英文併載

図版　pp.17-24

カタログ〔図版、解説〕pp.25-85

資料

　出品作家・作品解説　pp.88-97

北海道美術史年表（天野太郎・地家光二編）　pp.98-116

出品リスト　pp.117-119

主要美術団体等事項解説（解説・天野太郎）　pp.120-121

参考文献（苫名真編）pp.124-126

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1987 年 9 月 19 日－10 月 11 日　札幌・北海道立近代美術館　主催：北海道立近代美術館・北海道新聞社

出品：I 夜明け。II 戦前の進展。III 新しい出発；岩橋英遠、片岡球子、菊川多賀、久保守、佐藤忠良、田中忠雄、中村善策、本郷新、松島正幸、森田沙伊、山口蓬春、阿部貞夫、木田金次郎、本間莞彩、赤穴宏、因藤壽、植木茂、上野憲男、小野州一、難波田龍起、村山陽一、山内壮夫、渡辺伊八郎、一木万寿三、伊藤正、大本靖、小川マリ、尾崎志郎、笠井忠郎、亀山良雄、北岡文雄、坂坦道、砂田友治、栃内忠男、橋本三郎、本田明二、折原久左ヱ門、小森忍、山本正年。IV 現代；川井坦、石垣光雄、鵜川五郎、神田日勝、岸本裕躬、瀬戸英樹、花田和治、深井克美、伏木田光夫、松樹路人、米谷雄平、一原有徳、岡部昌生、木原康行、渋谷栄一、手島圭三郎、浜西勝則、百瀬寿、森ヒロコ、矢柳剛、渡会純价、板津邦夫、伊藤隆道、大塚哲郎、小野寺玄、國松明日香、砂澤ビッキ、安田侃、米坂ヒデノリ〔出品リスト順〕

註：出品欄は戦後の章を収載。

関東

現代茨城の美術展〈戦後 40 年の流れ〉図録 ●

茨城県近代美術館　1988 年 11 月　開館記念展第二部

あいさつ（知事竹内藤男）　p.5

あいさつ（茨城県近代美術館）　p.7

開催までの経緯（寺門征也）　pp.10-11

戦後茨城の美術とは（長山貞之）　pp.12-13

図版　pp.15-192

作家略歴　pp.193-226

出品目録　pp.227-239

主要参考文献　pp.61-62

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、神近美、横浜美、愛芸文、和光大、国会図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「ART IN IBARAKI, 1945-1988」

会期：前期 明治・大正生まれの作家たち 1988 年 11 月 13 日－12 月 20 日／後期 昭和生まれの作家たち 1989 年 1 月 7 日－2 月 12 日　水戸・茨城県近代美術館　主催：茨城県・茨城県教育委員会

出品：洋画 明治・大正生まれ；安藤信哉、飯野農夫也、飯野安、稲田三郎、稲村退三、榎戸庄衛、小野瀬進、小又光、角浩、香取徳、栗原信、黒澤三郎、小林晟、小堀進、小松崎永夫、小松義雄、酒泉淳、佐藤成一、菅野圭介、鈴木良三、大道武男、滝平二郎、田中良、辻永、鶴岡義雄、寺門弘、利根山光人、永瀬義郎、長山義一、中山節子、新居広治、西田亨、服部正一郎、塙賢三、原田睦、張替正次、平野逸郎、広原長七郎、福田輝、福田義之助、二重作龍夫、堀越隆次、本郷惇、巻島友治、村山密、茂木直喜、森嶋正浩、森田茂、山内豊喜、若林一男、渡辺浩三。洋画 昭和生まれ；靉嘔、相沢和郎、秋山静、麻生花児、アワノトシオ、飯泉俊夫、石井武夫、磯崎俊光、上田薫、海老原昭治、大沢康之、大森英樹、小沼隆一郎、片岡洋一、木村克朗、栗田政勝、栗田政裕、栗橋ノリオ、栗原喜依子、黒木重雄、小澤基弘、小林次男、小松興亜、齋藤義孝、サイトウ良、佐藤洋照、清水優、白木俊之、鈴木睦子、鈴木俊行、鈴木信男、十河雅典、立見榮男、舘野弘、田所幸一、田中良尊、玉川信一、丹保喜三郎、長南一夫、塚原明義、寺門晃、富張広司、中沢洋一、仲村寛、中山庄太郎、新居田郁夫、西岡民雄、西成田育男、西野和治、野沢二郎、橋本光、福田玲子、福地靖、古山浩一、堀井英男、益子昭雄、増田聡子、松井亨、松本安良、水落啓、武留井義男、谷田川卓、柳田昭、山田和枝、山本文彦、吉田勝彦、吉田正雄、綿引明浩。写真 明治・大正生まれ；大辻清司、貝塚光慶、小林彬、飛田耕、古橋惣吉、町田和久。写真 昭和生まれ；小野信一、鹿志村保男、川田喜久治、黒沢淳泰、斎藤さだむ、佐々木元彦、鈴木輝男、関政夫、中井川俊洋、福田仁、藤井正夫、室伏勇。彫刻 明治・大正生まれ；雨宮治郎、飯田艇三、池邊瑠璃、石塚

輝雄、板谷真吾、一色五郎、木津一夫、木内岬、木内克、倉持芳、小鹿尚久、後藤清一、小森邦夫、菅原安男、高久茂雄、松田喜三郎、三沢寛、宮本理三郎、村田勝四郎、森山朝光。彫刻 昭和生まれ；赤荻賢司、阿部誠、市村緑郎、一色邦彦、伊藤公象、伊藤知香、伊藤尚未、伊藤鈞、大槻孝之、小張隆男、河口龍夫、川崎普照、神戸武志、國安孝昌、郡司和男、小口一也、後藤末吉、小林三千夫、サトル・タカダ、信太進、篠田守男、鈴木実、高橋睦治、田代勝、田中信太郎、富樫一、中村義孝、西成田洋子、西野慎二、能島征二、橋本裕臣、早瀬重留、原口美喜麿、平戸司郎、蛭田二郎、槇渉、松村泰三、三田村畯右、六崎敏光、森脇裕之、山口勝弘、山崎猛、湯原和夫〔出品目録順〕

註：出品欄は洋画家(版画家を含む)、写真家、彫刻家を収載。

板橋の現況'89 ●

板橋区立美術館　1989 年 8 月 19 日　開館 10 周年記念

ごあいさつ（板橋区立美術館）

図版　67p.

出品目録

作家略歴

所蔵：□、国新美、東文研、都現美、愛芸文、和光大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：1989 年 8 月 19 日－9 月 17 日　板橋区立美術館　主催：板橋区立美術館

出品：日本画；浅野紫露、上野志津江、鈴木福恵、飛田啓之介。洋画；青木東正、石井達治、石川歌子、石島京児、稲岡新一郎、井上長三郎、井上照子、井上リラ、春日明夫、加治孝夫、川村勉、斉藤朗彦、関晴明、高松勝治、武田采子、竹田一夫、谷村睦子、中澤茂、中野敏、永井利昭、西田藤三郎、野村泰二、日高梢、福田建之、藤沢喬、古沢岩美、星由江、丸山芳子、持林英二郎、山田季孝、山本日子士良、鷲田恭。彫刻；浅井健作、大城章二、尾川宏、木戸修、斉藤吉郎、桜井水月、志田達三、白井謙二郎、瀬戸剛、深井隆、森口茂。工芸；石川義夫、中村清美、堀如眞。版画；岩下洋、清塚紀子、千正博一、仙北屋崇。写真；鈴木英男。その他；石井博康、丸山常生〔出品目録順〕

開館 10 周年記念特別展・世田谷の美術 ●

世田谷美術館　1996 年 4 月

ごあいさつ（主催者）　p.3　英文併載

「世田谷派」Setagaya School（大島清次）　pp.5-6, 7-8　英文併載

図版　pp.9-136

第 1 部さまざまな流れのなかで：創造的な個性

第 2 部国際的動向への関心：連帯を求めて

第 3 部地域的な交流の輪

世田谷の美術をめぐる歩み：関連資料

世田谷の美術をめぐる歩み（勅使河原純）　pp.138-141

「自由な仲間たち」に寄せて（村井正誠、インタヴュー・構成 橋本善八）　pp.142-146

「白と黒の会」の思い出（本郷新、須田寿） pp.147-148 再録
作家解説 pp.150-183
年表（清水真砂編） pp.184-209
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「The Art of Setagaya：Commemorating the Ten-Year Anniversary of the Setagaya Art Museum」
会期：1996 年 4 月 6 日－5 月 26 日 世田谷美術館 主催：世田谷区・世田谷美術館
出品：第 1 部 さまざまな流れのなかで：創造的な個性 洋画；1 鈴木保徳、2 伊原宇三郎、3 渡辺浩三、4 田中繁吉、5 木下義謙、6-8 土方久功、9 牛島憲之、10 野口謙蔵、11 向井潤吉、12 緑川廣太郎、13 池邊一郎、14 久保守、15 青山龍水、16 西山真一、17 須田寿、18 伊勢正義、19 林鶴雄、20 庫田叉、21 西尾節子、22 森芳雄、23 脇田和、24 中谷泰、25 飯島一次、26 黒田頼綱、27 末田利一、28 大島士一、29 永田精二、30 野口登士子、31 三芳悌吉、32 室田豊四郎、33 織田廣喜、34 児玉佐規子、35 庄司栄吉、36 中川力、37 谷内六郎、38 斎藤真一、39 葛西四雄、40 野田好子、41 木村正、42 小作青史、43 太田國廣、44 田村能里子。彫刻；45 澤田政廣、46 大内青圃、47 森野圓象、48 本郷新、49 黒田嘉治、50 菊池一雄、51 山本常一、52 古川順三、53 柳原義達、54 淀井敏夫、55 舟越保武、56 田畑一作、57 小坂圭二、58 向井良吉、59 佐藤助雄、60 寒川典美、61 加藤昭男、62 細川宗英、63 岩野勇三、64-65 石井厚生、66 木下宏。版画；67-68 稲垣知雄、69-70 細田政義、71 吉田遠志、72-75 駒井哲郎、76 増田誠、77 吹田文明、78 加藤清美、79 原健。写真；80-81 桑原甲子雄、82-83 藤本四八。日本画；84 松林桂月、85 平福百穂、86 小川千甕、87 堅山南風、88 石川寒巌、89 郷倉千靭、90 岩田正巳、91 新井勝利、92 川口春波、93 横尾深林人、94 大山魯牛、95 福田豊四郎、96 片岡球子、97 内山雨海、98 片桐白登、99 髙山辰雄、100 西野新川、101 吉田善彦、102 大平華泉、103 郷倉和子、104 稗田一穂、105 上野泰郎、106 吉澤照子、107 三輪敦子、108 白井進、109 佐々木裕久、110 石黒直子、111 柴田長俊。工芸；112-113 富本憲吉、114 山崎覚太郎、115 會田富康、116 大須賀喬、117 野口道方、118 井尾敏雄、119 山田貢、120 辻光典、121 帖佐美行、122 大須賀選、123 原清、124 横山尚人、125 井尾建二。第 2 部 国際的動向への関心：連帯を求めて；126 福沢一郎、127 菅創吉、128 難波田龍起、129 村井正誠、130 山口薫、131 鶴岡政男、132 今西中通、133 末松正樹、134 田中亜木男、135 清川泰次、136 利根山光人、137 飯田善國、138 玉置正敏、139 深尾庄介、140 間所〔芥川〕紗織、141 千葉勝、142 吉仲太造、143 堂本尚郎、144 高橋秀、145 保田春彦、146 井上悟、147 福田繁雄、148 吉村益信、149 河原温、150 豊島弘尚、151 瓦林睦生、152 小田襄、153 横尾忠則、154 李禹煥、155 谷川晃一、156-157 安齊重男、158-159 荒木経惟、160 藤岡蕙子・佐久間美智子、161-162 難波田史男、163 森野眞弓、164 榎倉康二、165 黒田悠子、166 桑原盛行、167 絹谷幸二、168 中川千早、169 奥山民枝、170 彦坂尚嘉、171 翁譲、172 佐藤良助、173 シュウゾウ・アヅチ・ガリバー／安土修三、174 畦地拓治、175 舟越桂、176 野田裕示、177 舟越直木、178 高橋淑人、179 小泉俊巳、180 荒敦子、181 福田美蘭。第 3 部 地

域的な交流の輪；182 難波田龍起(重複記載、以下「重」とす)、183 村井正誠(重)、184 須田寿(重)、185 山口薫(重)、186 小川孝子、187 脇田和(重)、188 朝妻治郎、189 利根山光人(重)、190 広井力、191 橋本正司、192 吹田文明(重)、193 最上壽之、194 小川千甕(重)、195 内田巌、196 牛島憲之(重)、197 向井潤吉(重)、198 福田豊四郎(重)、199 本郷新(重)、200 難波田龍起(重)、201 須田寿(重)、202 庫田叉(重)、203 南政善、204 菊池一雄(重)、205 原精一、206 森芳雄(重)、207 中谷泰(重)、208 石川滋彦、209 柳原義達(重)、210 南大路一、211 藤本四八(重)、212 佐藤忠良、213 舟越保武(重)、214 向井良吉(重)〔作品図版番号順〕

中部

新潟の美術 2004 新潟の作家 100 人 ●

新潟県立万代島美術館　2004 年 1 月 24 日

ごあいさつ（新潟県立万代島美術館・新潟日報社・新潟日報美術振興財団）p.3

「新潟の作家 100 人」の開催にあたって（横山秀樹）　pp.6-8

図版〔図版、コメント〕　pp.9-114

略歴　pp.115-168

出品リスト　pp.169-171

所蔵：□、都現美、国会図

○展覧会事項

欧文タイトル：当該カタログに記載無

会期：2004 年 1 月 24 日－3 月 7 日　新潟県立万代島美術館　主催：新潟県立万代島美術館・新潟日報社・新潟日報美術振興財団

出品：長谷部権次呂、木村卓央、金井二郎、穂苅春雄、三輪晃久、大矢紀、伊藤彫耳、大矢十四彦、山﨑隆夫、齋藤満栄、柴田長俊、本多酒泉、池田美弥子、長沢明、高橋美則、五十嵐二朗、岩下尊弘、渡辺啓輔、市橋哲夫、西村満、桐生照子、鈴木力、早津剛、池山阿有、長谷部昇、川崎ヒロ子、馬場まり子、藤田由明、本間ケイ、二村裕子、福岡奉彦、奥山民枝、清水伸、中野雅友、原裕治、五十嵐敏雄、杉森企観明、猪爪彦一、久我修、栗田宏、信田俊郎、長谷川清晴、近藤充、吉田志麻、市橋輝之、林昭三、高橋洋、大成浩、戸張公晴、原田哲男、江尻昭子、星野健司、霜鳥健二、牛膓達夫、小林新一、羽賀康夫、弓納持福夫、江川蒼竹、丸山翠蘭、中野松葉、長井蒼之、吉田六嶺、小黒五稜、石丸雨虹、小林畦水、菅井柳翠、野中吟雪、薄田東仙、石山恵美子、目黒順三郎、堀政晴、広川青五、宮田藍堂、本間一秋、三浦小平二、宮田脩平、亀倉康之、原益夫、原正樹、渡辺信二、高井進、中村謙二、伊藤赤水、石山悦子、熊井恭子、川嶋宣彦、宮田亮平、市川正美、吉田隆介、齋藤尚明、西片正、小飯塚眞理子、羽鳥律子、佐々木玲子、馬場省吾、関根哲男、前山忠、星野暁、田中正弘、坂爪勝幸、杣木浩一、磯部聡、丹治嘉彦、丸山直文、会田誠〔出品リスト順〕

美し、やまなし、パワー!〈山梨の女性アーティストたち〉●

山梨県立美術館　2016 年 6 月 24 日

ごあいさつ（館長白石和己）　p.3

日本の女性美術家たちー活動と評価の歴史（小勝禮子） pp.9-15
図版〔章解説、作家解説、図版、アンケート〕 pp.17-129
章解説、作家解説（森川もなみ、平林彰、高野早代子）
アンケート（堀内洋子、五味祥子、八代美紀、鈴木美江、安藤峯子、宇野さおり、窪咲子、ナカノ 163、松田百合子、村岡由梨、小川リエ、団野雅子、浅川洋、秋山泉、徳丸鏡子、丸山純子、秋山早苗、古屋真知子、柴田文江、山本鈴美香）
山梨における女性アーティストをめぐる歴史（森川もなみ） pp.130-137
資料
山梨県立美術館において過去に紹介された女性アーティスト（森川もなみ編） pp.138-140
佐野智子を中心とした山梨の女性作家の活動について（高野早代子） pp.141-145
関連年表（森川もなみ編） pp.146-150
主要参考文献（森川もなみ編） pp.151-154
出品目録 pp.155-158
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、横浜美、愛芸文、東大駒、国会図、都中図
〇展覧会事項
欧文タイトル：「UTSUKUSHI YAMANASHI POWER!」
会期：2016 年 6 月 25 日－8 月 21 日　甲府・山梨県立美術館　主催：山梨県立美術館
出品：竹田春子、桑原浜子、佐野智子、小林一枝、堀内洋子、五味祥子、八代美紀、鈴木美江、安藤峯子、宇野さおり、窪咲子、ナカノ 163、松田百合子、村岡由梨、小川リエ、団野雅子、浅川洋、秋山泉、早野恵美、徳丸鏡子、丸山純子、秋山早苗、古屋真知子、青島みどり、柴田文江、山本鈴美香〔出品目録順〕
註：出品欄は戦後作品出品の作家を収載。

「岐阜の美術」－絵画・1960 年代までの歩み ●
岐阜県美術館　1992 年 12 月　開館 10 周年記念展 2
ごあいさつ（岐阜県美術館・岐阜新聞・岐阜放送） p.3
岐阜の美術〈近代日本画と岐阜の画家〉（平光明彦） pp.5-8
岐阜の美術－「洋画」（古川秀昭） pp.9-11
図版 pp.13-99
作家略歴 pp.100-112
岐阜の美術 年表 pp.113-118
岐阜の美術 出品目録 pp.119-123
主要参考文献 p.123
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図
〇展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：1992 年 12 月 1 日－1993 年 1 月 17 日　岐阜県美術館　主催：岐阜県美術館・岐阜新

聞・岐阜放送

出品：洋画；熊谷守一、小寺健吉、田中比左良、加賀孝一郎、水谷清、横山潤之助、坪内節太郎、村井正誠、安藤勲、里見常夫、守洞春、キシオ・ムラタ〔村田簀史雄〕、横井蛙平、山田貞実、北川五郎、石川勇、吉田修三、稲田年行、宇野一、執行正夫、大澤一佐志、後藤昭夫、井上忠明〔出品目録順〕

註：出品欄は戦後作品出品の洋画家を収載。

20 世紀 愛知の美術 ●

愛知県美術館　1993 年 2 月　愛知県美術館開館記念第 3 部

ごあいさつ（館長浅野徹）　pp.2. 3　英文併載

近代愛知の美術〈明治から昭和戦前まで〉（深山孝彰）　pp.6-11

戦後愛知の美術－復興から現代へ（木本文平）　pp.12-17

図版　pp.18-140

　章解説（木本文平、深山孝彰）

作家解説（木本文平、坂下雄彦、高橋秀治、寺門臨太郎、拝戸雅彦、古田浩俊、牧野研一郎、松井秀法、深山孝彰、村上博哉、村田眞宏）　pp.141-152

「愛知の美術」関係年表（木本文平・深山孝彰編）　pp.153-158

主要参考文献（深山孝彰編）　p.159

出品作品リスト　pp.160-164

所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、神近美、横浜美、愛芸文、東芸大、国会図、都中図

〇展覧会事項

欧文タイトル：「20th Century Art in Aichi」

会期：1993 年 2 月 19 日－3 月 21 日　名古屋・愛知県美術館　主催：愛知県美術館

出品：第 4 章 戦後の復興と新時代への幕開け 日本画；我妻碧宇、市野亨、田島康、堀尾実、水谷勇夫、中村正義、平川敏夫、星野真吾、片岡球子、内田土卵、森緑翠、嶋谷自然。洋画；北川民次、鬼頭鍋三郎、杉本健吉、伊藤廉、三岸節子、市野長之介、鈴木三五郎、辻親造、坪内節太郎、水谷清、魚津良吉、荻須高徳、坂井範一、島田章三、笠井誠一、浅野弥衛、吉本弘。彫刻；野々村一男、野水信、石田清、高藤鎮夫。第 5 章 多様化の時代；久野真、桑山忠明、荒川修作、河原温、櫃田伸也、山本富章、金子潤、石黒鏘二、国島征二、庄司達〔出品作品リスト順〕

註：本展は、【第 1 章 明治期 画壇の成立、第 2 章 大正から昭和へ－日本画の動向、第 3 章 大正から昭和へ－洋画の動向、渡仏した洋画家たち、サンサシオンの洋画家たち、前衛芸術の台頭、第 4 章 戦後の復興と新時代への幕開け 日本画・洋画、第 5 章 多様化の時代】から構成されている。

九州

「長崎の美術 1 写真／長崎」展図録 ●

長崎県美術館　2005 年 4 月 23 日
ごあいさつ（館長伊東順二）　p.3
長崎と写真（伊藤晴子）　pp.4-5
図版〔作家解説、図版〕　pp.8-95
　作家解説（越中勇、伊藤晴子）
略歴　pp.115-120
図版リスト　pp.121-123
参考文献　p.124
所蔵：□、国新美、東近美、東文研、東博資、都現美、写真美、江戸博、神近美、横浜美、愛芸文、京都学、国会図、都中図
○展覧会事項
欧文タイトル：当該カタログに記載無
会期：2005 年 4 月 23 日－6 月 26 日　長崎県美術館　主催：長崎県美術館
出品：上野彦馬、永見徳太郎、山端庸介、奈良原一高、東松照明、雑賀雄二〔図版リスト順〕
註：上野彦馬と永見徳太郎は戦前の作品。

アルス・クマモトー熊本力の現在 ●
熊本市現代美術館　2006 年 12 月 23 日
Ars Kumamoto－熊本力の現在〈美の故郷、熊本の空を見上げて〉（館長南嶌宏）　pp.3-9
作家一覧　pp.10-11
図版〔作家略歴、作家コメント、図版〕　pp.12-153
出品作品リスト　pp.154-158
所蔵：□、国新美、東近美、都現美、写真美、神近美、横浜美、和光大、国会図
○展覧会事項
欧文タイトル：「Ars Kumamoto」
会期：2006 年 12 月 23 日－2007 年 3 月 4 日　熊本市現代美術館　主催：熊本市・熊本市美術文化振興財団・熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
出品：1 田中春弥、2 田口璋、3 宮崎静夫、4 段村一美、5 江田豊、6 下田悌三郎、7 渕田安子、8 春口光義、9 秀島由己男、10 岩永忠樹、11 二子石義之、12 宮本明、13 鎌田勝美、14 木戸征郎、15 田代晃三、16 大津英敏、17-18 牛島義弘、19 小材啓治、20 瀬川富紀男、21 上村隆一、22 有田巧、23 歳嶋洋一朗、24 石山義秀、25 小山佐敏、26 伊東浩一、27 田中均、28 熊谷有展、29 松崎良太、30 鹿見喜陌、31 中村賢次、32-41 野田哲也、42 浜田知明、43 中嶋一雄、44 市村緑郎、45 石原昌一、46 本田貴侶、47 山本幸一、48 鷹尾俊一、49 竹田康宏、50 勝野眞言、51 高濱英俊、52 水上嘉久、53-58 宮崎珠太郎、59-61 白木光虎、62-66 井上泰秋、67-68 高津明美、69-70 島田清美、71-73 山口耕三、74-76 久保田保義、77-79 小川哲男、80-84 松木良介、85-90 友枝雄策、91-95 岩上孝二、96-99 鶴田一郎、100-104 西村一也、105 花田峰堂、106-108 安永春炎、109-111 兼城昌山、112-114 森山淡草、115-116 吉岡功治、117-121 田中栄一、122-123 長野良市、124 村上タカシ、125 蔵野由紀子、126 小林まみ、127 佐藤和歌子、128 千々岩修、129 二宮弘一、130 野田竜太郎、131 林典子、132 藤田

ひろぶみ〔出品作品リスト順〕